

日本植物病名目録

(2025 年 8 月版)

COMMON NAMES OF
PLANT DISEASES IN JAPAN

(2025.8 edition)

日本植物病理学会
編

Edited by

The Phytopathological Society of Japan

2025 年 8 月

Aug., 2025

はじめに

下記の通り、第2版以来の編集経緯と基本方針をほぼ踏襲し、2018年版発行後に定期的にとりまとめてきた新たな病名、病原、文献等の情報を新旧対照表として巻末に追加し、今回2025年2月版として発行します。ご尽力を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。

2025 年 8 月 22 日

日本植物病理学会
会 長 高橋 英樹
病名委員長 佐藤 衛

記

「日本植物病名目録（2025 年 8 月版）」の編集経緯と基本方針

1. 編集の経緯

植物が病気にかかるさまざまな症状（病徴）を現わす。普通、その症状は主因となる病原の種類によって異なり、その病原については国際的な約束ごととして「命名規約」がある。しかし、病名については約束ごとはない。そのため、同一植物で同じ原因によって病気が起こっているのに異なった病名で呼ばれていたり、同じ植物で異なった病害であるのに同一病名で呼ばれているものがあつた。この混乱を整理するため昭和 12 年に、学会の一つの指針として統一整理された印刷物「有用植物病名調査」が出された。その後、一時中断したものの調査が続けられ、昭和 32 年に日本有用植物病名目録第 1 巻（食用作物・特用作物）、昭和 40 年に第 2 巻（野菜・観賞植物・牧草編）、及び第 3 巻（果樹・樹木編）のそれぞれ初版が出版された。これら日本有用植物病名目録第 1 巻～第 3 巻は、植物の種類ごとに病原を示し、共通語となる病名を定め、その出典を添えてとりまとめられたもので、現在の病名等に関する考証上の典拠となっている。

その後も、発生した新病害を随時取り込んで増補改訂を重ねるとともに収録植物も再構成し、昭和 58 年に日本有用植物病名目録第 4 巻（針葉樹・竹笹）第 2 版、昭和 59 年に 3 巻（果樹）第 2 版及び第 5 巻（広葉樹）第 2 版、平成 2 年に第 1 巻（食用作物・特用作物、牧草・芝草）第 3 版、そして平成 5 年に第 2 巻（野菜及び草花）第 3 版が出版された。この頃を前後して、病名の提案あるいは新病害等の報告があつた場合には、所定の手続き（後述の 4 項参照）と審査を経て、「日本有用植物病名目録追録」として整理し、学会報に収録して来た。この追録も 22 号まで集積したこと、出版年次の古い巻の改訂出版を迫られたこと等を踏まえて平成 9 年度評議員会において、改訂版の編集が病名委員会に委嘱された。病名委員会はこれを受けて、順次に日本有用植物病名目録 1～5 巻の改訂版の編集に取りかかるため「日本有用植物病名目録改訂版編集委員長会（以下病名目録編集委員長会と呼称）」を設置し、巻末に掲げた編集委員及び同編集事務局員を選任するとともに編集方針について審議した。従来、目録は病名考証上の出典として、またわが国に発生する病害のチェックリストとして、広く利用されてきたが、電子化情報の発達など変容するニーズの形態や新たなユーザーの動向を踏まえて、これまで巻ごとに随時発行して来た 1～5 巻を合冊し（B5 版）、新たな宿主植物を加えて体系的に整理し、「日本植物病名目録（初版）」として 2000 年 4 月に刊行した。

2000 年 4 月以降は日本植物病理学会病名委員会により学会等で公表された日本で発生する新病害に関する報告を取りまとめ、「日本植物病名目録追録」として、日本植物病理学会ウェブページ（<http://www.ppsj.org/mokuroku.html>）に随時公開した。2011 年 11 月までに公表された新病名等は約 950 項目以上に及んだため、これを「日本植物病名目録」と統合し公表する必要があつた。一方で、多様な植物病原微生物とその宿主植物の配布カタログとリンクし利用者の利便性を高めるため、独立行政法人農業生物資源研究所から病名目録情報をデータベースとして公開したいとの要請を受け、日本植物病理学会は 2006 年 11 月に病名に関するデータを同法人に提供し、使用する許可を与えた。農業生物資源研究所では追録を含む病名データをリレーショナル型データベースに再構成し、2009 年 8 月に同研究所ウ

ウェブページで公開した (http://www.gene.affrc.go.jp/databases-micro_pl_diseases.php)。さらに、病名委員会ではデータベース内のデータを再度テキスト化する作業を農業生物資源研究所に依頼し、同研究所で開発したコンピュータプログラムにより、「日本植物病名目録（第2版、電子版）」を構築することとした。「日本植物病名目録（2015年版）」も同様に編集された。

その後の電子情報取り扱い環境の社会全体における整備や充実もあり、「日本植物病名目録（2016年版）」以降、日本植物病理学会病名委員会を中心として編集を行っている。

2. 編集の基本方針について

病名委員会において、新目録として日本植物病名目録（2025年2月版）の巻末にその新旧対照表の1表を追加することとなり、その編集方針を以下のように決定した。

- (1) 日本植物病名目録（2000年版）は、食用作物、特用作物、牧草・芝草、野草、野菜、きのこ、草花、果樹、針葉樹、竹笹および広葉樹で構成されていたが、本目録では各植物を科ごとに分類し、これを科名のアルファベット順に並べた目録とする。
- (2) 目録への採録については、従来、発生に疑問のある病害、病名提案のない病害、病原の記載が不十分な病名、わが国の研究者によって記録された海外発生病害及び総説・抄録紹介病害、日本での未発生病害、学名が失効した病害及び有効学名を持たない病害等は、付録に掲載するとなっていた。しかし、一つの植物について本録と付録を見る煩雑さを軽減するため、付録に相当する病害についてはダガー印（†）を付して、各宿主の病名の後に記載することとする。
- (3) 引用文献は、可能な限り再点検し、著者、発表誌・頁、発表年、内容について新たに見直し、凡例にしたがって掲載する。
- (4) 備考欄には発生植物に関する記述の他、場合に応じて病名あるいは病原名の変更経緯も記載する。
- (5) 植物（宿主）の配列順は、作目に関わらず科により大別し、科・属学名によるアルファベット順に並べ、属以下も学名によるアルファベット順とする。なお、科の英名はそれぞれの植物区分で一般的に使われているものを採用し、相当する英名が無いときは属名をローマン体で括弧内に示すこととする。
- (6) 生理病は、従来記載されている重要なもののみ記載する。
- (7) 病名等本文は原則として、日本植物病名目録（2025年2月版）の収録病名および、その新旧対照表において公表された新病名等に従って記述するが、編集の過程で見つかった間違い等の修正は明らかな誤りを除いて病名委員会の審査を経て行う。
- (8) 本目録では、日本植物病名目録に則り日本有用植物目録編纂以来の経緯を記すとともに、巻末に代々の編集関係者を掲載して編集の経緯を示す。
- (9) 編集は日本植物病理学会の責任のもとに行う。

3. 新病名等命名基準の取り扱いについて

日本植物病理学会病名委員会では、1992年から病名の採録基準を定め（日本植物病理学会報 58 巻 1 号）、その基準に従って申請を受理・審査し、日本植物病名目録もしくは同追録に公表してきた。そして、これらに採録されたものが正式の新病名として有効となる。その採録基準の概要は以下の通りである。

- (1) 新たに発生した有用植物の病害に対して、命名しようとする場合は学会もしくはこれに準ずる専門誌に発表した後に、所定の様式（日本植物病理学会報、58 巻 1 号及び 62 巻 4 号）に従って病名委員長に申請する。病名委員会は、申請の内容を審査の上、日本有用植物病名目録もしくは同追録に公表する。
- (2) 学会の定める申請対象事項は、新病名、病名の変更、病原学名変更、病原追加、病原に関わる重要な文献の追加、輸入検疫において発見された新病害などとする。
- (3) 病名の付け方は、①病徴、病気の性質を的確に表す表現とし、②原則として 1 植物ごとに 1 病名、1 病原とするが、異なった 2 種以上の病原によって起こる病気で病徴による区別が困難なものについては 1 病名とする。③同一病原が種々の植物を侵すものは、病原に共通した病名を採用する。④原則として、細菌、線虫及び動物による病気は「○○細菌病、○○線虫病、○○（動物名）病」とする。⑤病名は原則として「常用漢字」を用いるが、凡例に定めた常用漢字以外の漢字、「ひらがな」及

び「カタカナ」を用いることとする。

- (4) 植物ウイルス病の新病名命名基準は、上記一般基準の他に植物ウイルス分類委員会によって策定された（日本植物病理学会報 59 巻 6 号参照）基準、および「植物ウイルス・ウイロイドの病名の提案・記載について」（2020 年 4 月 1 日付、学会ホームページ参照）に従う。

4. 病原体学名及び宿主学名等について

本目録の意図するところは病名整理であり、植物の種類ごとに共通語となる病名を定め、病原を示し、その出典を添えてとりまとめ、わが国で発生した病名等に関する考証上の典拠とするための目録を作ることにある。換言すれば、本目録は現在までにわが国において、どの植物にどのような病害がいつ誰によって報告されているか、その病原体は何かの情報を整理したものであり、宿主植物の和名や学名に加えて、病名、病原体名、わが国での発生の有無等を知るための辞書機能も有している。しかし、病原体については分類学の発展とともに次々と新たな分類体系や病原体名が提案されていること、また、植物についてはその学名が出典によりはしばしば異なることなどから、本目録では病名委員会内に各病原体責任者を中心に病原体毎のグループを作り、各専門分野の実情に従った最新の分類体系を採用した。また、植物の学名、英名等については主に園芸学用語集・作物名編（園芸学会編、養賢堂、2005 年）に準拠した。

5. 線虫病について

日本有用植物病名目録における線虫病は従来、「〇〇線虫病」として収録し、線虫学名を添えてきた。しかし、日本線虫学会ならびにアメリカ植物病理学会では、この方式を採らず、作物別に検出記録のある線虫の見出し語を“*Nematodes, parasitic*”とし、この下に線虫の英名と学名を付す形式に変更された。そのため、病名委員会では、従来から病名の付いていた線虫病はそのまま採録することとするが、その後報告された線虫については病原体名検討小委員会線虫部会にその取りまとめを一任した。その結果、①植物への被害が明確な線虫について採録する。②被害が定かでない線虫は原則として採録しないが、従来から掲載されてきた線虫については、植物ごとに植物寄生線虫の見出し語を付してその下に線虫の学名を並べ備考にその旨を付す。③線虫が伝搬するウイルスが病原となる病気の病名については、備考にベクターである旨を記述することとなり、本書ではこの取りまとめ結果を一括して収録した。

以上、本書は日本植物病名目録初版および同追録（新旧対照表）を取り込み、体系的に整理し、明らかな間違いの修訂正を加えたものである。しかし、短期間での編集を余儀なくされたため、不統一のところもあり、不注意からくる単純な誤りも残っているのではと危惧される。誤りは、従来通り追録・正誤表（新旧対照表）で訂正して行く予定である。なお、本書は基本的には遂次に増補改訂を重ねてきた従来の日本有用植物病名目録および日本植物病名目録を継承するもので、巻末に掲げた当時の病名調査委員、専門委員、編集委員諸氏の尽力に負うところが大きい。ここに、関係各位に深甚なる謝意を表す。

2025 年 8 月

日本植物病理学会 病名委員会

凡 例

1. 目次は PDF しおり形式とし、索引は設けず、フリーワードによる電子検索式とした。
2. 植物名（宿主名）は、科名をアルファベット順に配列した上で、科内の植物種を学名順に配列した。各植物種名では代表宿主を欄中央に配置し、それ以外は左寄せとした。また、同種異名の名称を（ ）内に示し、英名、学名および用途別植物群（食用作物、特用作物、牧草・芝草、野菜、草花、果樹、きのこ、野草、竹笹類、針葉樹、広葉樹）を示した。従来、2 つの植物群に掲載されていた宿主は、経済的重要性の高い植物群に統一し、重要性の低い植物群の病名をそこに組み入れた。なお、英名のない植物は、（ ）内にローマン体属名を入れて用いた。
3. 植物ごとに、病害をその病原によってウイロイド、ウイルス、ファイトプラズマ、細菌・放線菌、糸状菌類、線虫・ダニ、藻類、生理病・薬害、記載不十分な病名・病原名に大別し、各病原等区分の中で病名を 50 音順に配列した。
4. 日本の文献に見られる次の病害には†を付して同一宿主の下に収録した。
 - (1) 日本以外の海外発生病害で日本の研究者によって記録された病害（†）。
 - (2) 総説や抄録などによってわが国に紹介された病害（††）。
 - (3) 輸入検疫中に確認された病害（†††）。
 - (4) 病名提案あるいは病徴記載がない等（潜在感染ウイルスや無病徴のウイルス感染を含む）記述不十分な病害および症状（††††）。
5. 各病名欄は、病名、病原学名、文献、備考欄の順に配列した。
6. 病名委員会において従来の病名を修正し、また新たに命名した病名については、その病名の肩に*を付して示した。病名の漢字は原則として常用漢字を用い、常用外の漢字は「縞・痘・凋・叢・穎」を除き“ひらがな”とし、外来語はカタカナで表した。
7. 従来の病原学名は[]内に記載した。なお、病名目録採録文献をもって近年の分類体系に沿った病原学名に読み替えできないものは、従来の学名のままとした。ウイルス・ウイロイド名は、当学会の植物ウイルス分類委員会が示す「日本に発生する植物ウイルス・ウイロイド」を採用し、国際ウイルス分類委員会(ICTV)報告にないウイルスはその語尾に#を付した。
8. 文献は原則として、①病名を最初に提案した論文、②病原の最初の記載のある論文、③病原の所属や病名の変更等に関する論文を発表の年代順に掲載した。昭和 20 年以降の元号は省略した。

キツネノマゴ科 Acanthaceae

アフエランドラ

Aphelandra, Saffron-spike, Zebra plant

Aphelandra spp.

(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

植松清次ら:日植病報 59(3):289, 1993

[備考] *A. squarrosa* に発生

セキドウサクラソウ

(Asystasia)

Asystasia gangetica (L.) T. Anderson

(草花)

††††

Pseudocercospora asystasiae (J.M. Yen) J.M. Yen

Nakashima, C.:Mycoscience 45:116, 2004

[備考] 接種試験未了

クロサンドラ

Firecracker flower

Crossandra infundibuliformis (L.) Nees

(草花)

††††Flower rot

†*Fusarium pallidroseum* (Cooke) Saccardo

Lokesh, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):338, 2008

[備考] インド

キツネノマゴ類

(Justicia)

Justicia spp.

(草花)

†††さび病 sabi-byo Rust

Puccinia thwaitesii Berkeley

Motokura, Y. *et al.*:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 41:59, 2005

[備考] ウォーターウィロー (Water willow, *J. gendarussa* Burman) に発生

ツンベルギア

(Thunbergia)

Thunbergia affinis S. Moore

(広葉樹)

葉枯病 hagare-byo

Phyllosticta sp.

小林享夫ら:102 回日林論:326, 1991

[備考] 戻し接種未了

カエデ科 Aceraceae

カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹)

Maples

Acer spp.

(広葉樹)

首垂細菌病* kubitare-saikin-byo Shoot drooping disease (新梢首垂病)

(1) *Erwinia* sp.

瀧川雄一ら:日植病報 49(1):128, 1983

(2) *Pseudomonas* sp.

小川 隆:日植病報 7(2):125, 1937(昭 12) ; 林 弘子ら:日植病報 48(1):78, 1982 ; 林 弘子:森林防疫 32(5):78, 1983

[備考] トウカエデに発生。病原細菌名 *Xanthomonas acernea* (Ogawa) Burkholder [*Pseudomonas acerneum* Ogawa, *Bacterium acerneum* (Ogawa) Ishiyama & Muko] は 1980 年 1 月 1 日の国際細菌命名規約の適用により失効した

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

原 攝祐:実験樹木病害編:203, 1927(昭2) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑葉細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *aceris* (Ark 1939) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas aceris* (Ark) Burkholder, *Bacterium aceris* (Ark) Isiyama & Muko]

瀧川雄一ら:日植病報 51(1):53, 1985 ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌 661, 1941(昭 16) ; Takikawa, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 57(5):724, 1991

[備考] トウカエデ (*A. buergerianum*)に発生

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介・山口忠義:森林防疫 38(10):183, 1989 ; 川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

[備考] アメリカハナノキ (*A. rubrum*), ウリハダカエデ (*A. rufinerve*), サトウカエデ (*A. saccharum*)に発生

いぼ枝枯病* ibo-edagare-byo (枝枯病)

Cryptovalsa eutypaeformis Saccardo

澤田兼吉:林試研報 53:173, 1952

[備考] イロハモミジに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe ljabarskii* (Golovin) U. Braun & S. Takamatsu var. *ljabarskii* [*Uncinula ljabarskii* Golovin var. *ljabarskii*, *Uncinula aduncoides* R.Y. Zheng & G.Q. Chen, *Uncinula* sp.]

野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):198, 1983 ; Braun, U.:Mycotaxon 20:487, 1984 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012

[備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・オオイタヤメイゲツ・ハウチワカエデに発生

- (2) *Sawadaea bicornis* (Wallroth) Homma [*Uncinula aceris* (de Candolle) Saccardo] (白渋病, 粉病)
 白井光太郎:最近植物病理学:397, 1903(明 36); 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明 27); 澤田兼吉:台湾農試特報 9:50, 1914(大 3); 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012
 [備考] ミツデカエデ (*A. cissifolium*)・エンコウカエデ・ウリカエデ (*A. crataegifolium*)・ウラゲエンコウカエデ・トネリコバノカエデ・イタヤカエデ・ツタモミジ・ヤマモミジ・オニイタヤに発生
- (3) *Sawadaea bifida* Heluta [*Sawadaea zhengii* Y. Nomura, *Sawadaea* sp.]
 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:106, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012
 [備考]エンコウカエデに発生
- (4) *Sawadaea negundinis* Homma
 Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):375, 1937(昭 12); 伊藤一雄:樹病学大系 2:14, 1973
 [備考] トネリコバノカエデに発生
- (5) *Sawadaea polyfida* (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [*Sawadaea polyfida* (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *japonica* U. Braun & Tanda, *Sawadaea tulasnei* sensu auct. Jap. non (Fuckel) Homma]
 Braun, U.:Mycotaxon 22:93, 1985; Meeboon J. et al.:Mycoscience 56(6):590, 2015; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012
 [備考] イロハモミジ・ヒナウチワカエデ・コハウチワカエデ・ヤマモミジ・ナンゴクミネカエデ(*A. australe*)に発生
- (6) *Sawadaea tulasnei* (Fuckel) Homma [*Uncinula aceris* auct. non Saccardo, *Sawadaea aceris* Miyabe ex Sawada, *Uncinula aceris* Saccardo var. *tulasnei* E.S. Salmon] (粉病, 白渋病)
 新島善直:新編森林保護学(下):494, 1925(大 14); 南部信方:植物学雑誌 18(203):2, 1904(明 37)
 [備考] ヤマモミジ・イタヤカエデ・クロビイタヤ・ウリカエデ・オガラバナ (*A. ukurunduense*)・オニイタヤ・ウリハダカエデ・ベニイタヤ・マンシュウイタヤカエデに発生
- (7) *Sawadaea* sp. (白渋病)
 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973
 [備考] オオモミジ・ヒロハモミジ・ウラジロイタヤ・テツカエデ・ミネカエデ・エンコウカエデ・ウリハダカエデ・チドリノキ (*A. carpinifolium*)・オオイタヤメイゲツ・ハウチワカエデに発生

裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病)

- (1) *Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten
 新島善直:新編森林保護学(下):471, 1925(大 14); 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 359):10, 1927(昭 2)
 [備考] トネリコバノカエデに発生
- (2) *Phyllactinia* sp.
 平田幸治ら:新潟農林研究 16:92, 1963
 [備考] カラコキカエデに発生

枝枯病* edagare-byo Twig blight

Macrophoma haraeana Sydow

原 攝祐:実験樹木病害篇:228, 1927(昭 2); 原 攝祐:植物学雑誌 27(314):125, 1913(大 2)

枝斑点病 eda-hanten-byo (斑点病)

Phomopsis lebiseyi (Saccardo) Traverso & Spessa [*Phoma lebiseyi* Saccardo]

松村任三:帝国植物名鑑(上):159, 1904(明 37); 安田 篤:植物学各論隠花部:536, 1911(明 44); 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

表うどんこ病 omote-udonko-byo Powdery mildew

Uncinula sp.

丹田誠之助・松濤誠道:日植病報 41(3):256, 1975

[備考] イロハモミジ・オオイタヤメイゲツ(*A. shirasawanum*)・ヤマモミジに発生

褐色円斑病 kasshoku-maruhan-byo Leaf spot

Phyllosticta minima (Berkeley & M.A. Curtis) Underwood & Earle

中島諒弥ら:日植病報 81(3):209, 2015 ; 矢野顕子ら:日植病報 81(3):223, 2015

[備考] 中島ら(2015)の病害はメグスリノキに発生。矢野ら(2015)の病害はハナノキに発生

褐色円星病 kasshoku-maruhoshi-byo Brown circular spot

Phyllosticta tambowiensis Bubák & Serebrianikow

逸見武雄:植物分類地理 13(1):33, 1943(昭 18)

[備考] ミネカエデ (*A. tschonoskii*)・コミネカエデ (*A. micranthum*)・タカカラコギカエデ (*A. ginnala*)

褐点病 katten-byo Septoria leaf spot

Septoria acerina Peck

逸見武雄:植物分類地理 13:41, 1943(昭 18) ; 小林享夫:林業と薬剤 51:12, 1975

[備考] チョウセンハウチワカエデに発生

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot (褐点病)

Phyllosticta platanoides Saccardo

逸見武雄:植物分類地理 13(1):39, 1943(昭 18) ; 富樫浩吾:日本植物学輯報 2(2):95, 1924(大 13)

[備考] イタヤカエデ (*A. mono*)・イトマキイタヤ・クロビイタヤ(*A. miyabei*)・マンシュウイタヤに発生

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

(1) *Cristulariella depraedans* (Cooke) Höhnelt

原田幸雄:日植病報 59(1):60, 1990 ; 鳴海智子・原田幸雄:日植病報 65(6):663, 1999

[備考] ハウチワカエデに発生

(2) *Cristulariella moricola* (I. Hino) Redhead

周藤靖雄:日植病報 42(3):353, 1976 ; 周藤靖雄:植物防疫 30(12):497, 1976

[備考] トネリコバナカエデ (*A. negundo*)・イタヤカエデ・タタリアンカエデ (*A. tataricum*)に発生。病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker (癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola

白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明 27) ; 出田 新:日本植物病理学(上):234, 1909(明 42) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:246, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類がんしゅ病参照

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 紅斑性癌腫病, 紅粒癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962 ; 白井光太郎:植物病理学(下):209, 1894(明 27)

黒点病 kokuten-byo

Triposporium acerinum Sydow [*Triposporium acerinum* Sydow]

安田 篤:植物学各論隠花部:574, 1911(明 44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:101, 1905(明 38) ; Hughes, S. J.:Mycol. Pap. 46:10, 1951

黒斑病 kokuhan-byo Black leaf spot

Pilidium acerinum Kunze [*Leptothyrium acerinum* (Kunze) Corda]

安田 篤:植物学各論隠花部:544, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):31, 1905(明 38)

[備考] イタヤカエデ・ヤマモミジに発生

黒紋病 kokumon-byo Tar spot (皸裂黒点病, 黒斑病, 黒かび病, 黒脂病)

Rhytisma acerinum (Persoon ex St. Amans) Fries

出田 新:日本植物病理学(上):304, 1909(明 42); 田中延次郎:植物学雑誌 4(42):299, 1890(明 23)

[備考] イタヤカエデ・ヤマモミジ・オオモミジ・ハウチワカエデ (*A. japonicum*)・トキワカエデ・テツカエデ(*A. nipponicum*)に発生

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

千葉 修・佐々木敏雄:東大農演報 43:26, 1952

[備考] 病原菌の異名はボプラ類こふきたけ病参照

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum hikosanense Hiratsuka, f.

平塚直秀:日植病報 10(2-3):154, 1940(昭 15)

[備考] ウリハダカエデ・タイワンウリハダカエデ・シマウリカエデに発生

小黒紋病 sho-kokumon-byo Small tar spot (黒星病, 破裂黒点病, 斑葉病, 小黒やに病)

Rhytisma punctatum (Persoon) Fries [*Rhytisma acerinum* (Persoon ex St. Amans) Fries f. *punctatum* Naumov, *Melasmia punctata* Saccardo & Roumeguère]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:235, 1933(昭 8); 白井光太郎:植物病理学(下):160, 1894(明 27)

[備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・シマウリカエデ・クスノハカエデ・ミネカエデ・コミネカエデ・メイゲツカエデ・カラコギカエデ・ハウチワカエデ・メグスリノキに発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:414, 1910(明 43); 新島善直:日本森林保護学(下):502, 1912(明 45)

[備考] イタヤカエデ・イタヤメイゲツ (*A. sieboldiana*)・イロハモミジ・ウリハダカエデ・オオモミジ・オガラバナ (*A. ukurunduense*)・カラコギカエデ (*A. ginnala* var. *aidzuense*)・サトウカエデ (*A. saccharum*)・コブカエデ・ハウチワカエデ・ハナノキ (*A. pycnanthum*)・ミツデカエデ(*A. cissifolium*)・ミネカエデ・メグスリノキ (*A. nikoense*)・ヤマモミジに発生。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すすかび斑点病 susukabi-hanten-byo

Cercospora sp.

堀江博道・小林享夫:東京農試研報 16:217, 1983

[備考] タタリアンカエデ (*A. tataricum*)に発生

すす病 susu-byo Sooty mold

Fumago vagans Persoon

安田 篤:植物学各論隠花部:571, 1911(明 44)

すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold

Meliola aceris W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):416, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。クスノハカエデ (*O. oblongum*)に発生

せん孔斑点病* senko-hanten-byo (斑紋病, 斑点病, 褐斑病, 穿孔斑点病)

Taphrina nikkoensis Kusano

Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 21(243):65, 1907(明 40); 西田藤次:宮部植物学概説:197, 1911(明 44)

[備考] カジカエデ・オニメグスリノキ・タカカラコギカエデに発生

粗皮病 sohi-byo Rough bark

Guignardia macrospora (Feltgen) Ito [*Physalospora macrospora* Feltgen]

西門義一ら:農学研究 34:365, 1942(昭 17) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:273, 1973

[備考] メイゲツカエデ・マイクジャク (*A. japonicum* f. *aconitifolium*)に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

堀江博道・小林享夫:日植病報 48(3):368, 1982 ; 堀江博道・小林享夫:森林防疫 32:11, 1983

[備考] ノルウェーカエデ(*A. platanoides*)・セイヨウカジカエデ(*A. pseudoplatanus*)に発生。南部信方(病虫雑 2(5):481, 1915)の記録したカエデ炭疽病菌*Gloeosporium apocryptum* Ellis & Everhart は Von Arx (1970) により *Kabatiella apocrypta* (Ellis & Everhart) Arx に、さらに Heimanides-Nijhof (1977) により *Aureobasidium apocryptum* (Ellis & Everhart) Hermanides に移され、炭疽病菌からは除外される。病原菌の完全世代*Glomerella cingulate* (Stoneman) Spaulding & Schrenkはカエデでは未記録

(2) *Colletotrichum siamense* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde

市之瀬玲美ら:関東病虫研報 63:123, 2016

[備考] ノルウェーカエデに発生

(3) *Colletotrichum* sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):178, 1960

[備考] ウリハダカエデに発生

胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker (フォモプシス胴枯病)

(1) *Diaporthe dubia* Nitschke [*Diaporthe moriokaensis* Sawada]

周藤靖雄:森林防疫 24(3):62, 1975 ; 澤田兼吉:林試研報 53:172, 1952 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:87, 1970

[備考] イロハモミジ (*A. palmatum*)に発生

(2) *Diaporthe pustulata* (Desmazières) Saccardo

周藤靖雄:森林防疫 24(3):62, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:87, 1970

[備考] ヤマモミジ・オオモミジ (*A. palmatum* var. *amoenum*)に発生

(3) *Diaporthe varians* (Currey) Saccardo

周藤靖雄:森林防疫 24(3):62, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:88, 1970

[備考] オオモミジに発生

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

亀井専次:カラマツの病害と腐朽:21, 1956

[備考] 狭義の種については未検討

ならたけもどき病 naratakemodoki-byo Clitocybe root rot

Armillaria tabescens (Scopoli) Emel

高橋幸吉:樹木医学研究 4(1):42, 2000

[備考] イロハモミジ (*A. palmatum*) に発生

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

Ustilina deusta (Hoffmann) Lind [*Ustilina vulgaris* Tulasne & C. Tulasne] オオミコブタケ

青島清雄:日林誌 37(6):254, 1955 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):583, 1992

[備考] ヤマモミジに発生

ネクトリアがんしゅ病* Nectria-ganshu-byo Nectria canker

Neonectria castaneicola (W. Yamamoto & Oyasu) Tak. Kobayashi & Hirooka

小林享夫ら:日植病報 69(1):49, 2003 ; 廣岡裕吏ら:日植病報 69(3):264, 2003 ; Kobayashi, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):124, 2005

[備考] ウリカエデ (*A. crataegifolium* Sieb. & Zucc.)に発生

白点胴枯病 hakuten-dogare-byo

Cryptodiaporthe acerinum J. Reid & Cain

小林享夫:山林 1093:35, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:57, 1970

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

原田幸雄ら:日植病報 63(4):345, 1997

[備考] ヤマモミジに発生

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Mycocentrospora acerina (R. Hartig) Deighton [*Centrospora acerina* (R. Hartig) A.G. Newhall, *Cercospora acerina* R. Hartig]

南部信方:病虫雑 4(12):921, 1917(大 6) ; 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明 27) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):888, 1978 ; 及川 健ら:北日本病虫研報 38:55, 1978

斑紋病* hammon-byo (斑点病)

(1) *Mycosphaerella maculiformis* (Persoon) J. Schröter

白井光太郎:植物病理学(下):191, 1894(明 27) ; 原 攝祐:樹病学各論:104, 1923(大 12)

[備考] 病原菌の異名はシデ類斑点病参照

(2) *Mycosphaerella punctiformis* (Persoon) Schröter

白井光太郎:植物病理学(下):191, 1894(明 27) ; 原 攝祐:樹病学各論:104, 1923(大 12)

フォモプシス枝枯病* *Phomopsis-edagare-byo* Phomopsis twig blight (萎凋病, 胴枯病)

Phomopsis aceris-palmatis Nisikado & Miyawaki

西門義一・宮脇雪夫:農学研究 34:357, 1942(昭 17)

腐らん病 furan-byo

Valsa ceratosperma (Tode) Maire

小林享夫:山林 1093:35, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:107, 1970

[備考] オオモミジに発生。病原菌の異名はポプラ類腐らん病参照

べっこうたけ病* bekkotake-byo Butt rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタケ

逸見武雄・赤井重恭:日植病報 9(4):199, 1939(昭 14) ; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989

[備考] ヤマモミジ (*A. palmatum* var. *matsumurae*)に発生。病原菌の異名はカシ類べっこうたけ病参照

ペスタロチア病* *Pestalotia-byo* Pestalotia disease (葉枯病, 斑葉病)

Pestalotia aceris Hennings

松村任三:帝国植物名鑑(上):158, 1904(明 37) ; 安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:137, 1973

[備考] ヤマモミジ・オオモミジ・ツタモミジ・ウリハダカエデ (*A. rufinerve*)・カジカエデ (*A. diabolicum*)・ヒナウチワカエデ (*A. tenuifolium*)に発生

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Fomes fomentarius* (Linnaeus) J. Kickx f. ツリガネタケ

白井光太郎:植物病理学(下):154, 1900(明 33) ; 枅内吉彦:病虫雑 29(1):10, 1942(昭 17)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

(2) *Phellinus igniarius* (Linnaeus) Quélet キコブタケ(白腐病, 幹腐病)

北島君三:樹病学及木材腐朽論:241, 1933(昭 8) ; 亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959

[備考] エゾイタヤに発生。病菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

(3) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer [*Trametes sanguinea* (Linnaeus) Lloyd] ヒイロタケ

安田 篤:植研雑 6(7):221, 1929(昭 4) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):150, 1989

[備考] 病原菌の異名はシデ類幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

(1) *Stereum hirsutum* (Willdenow) Gray キウロコタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959

[備考] エゾイタヤに発生

(2) *Trametes gibbosa* (Persoon) Fries オオチリメンタケ

Yasuda, A.:Bot. Mag. Tokyo 31(362):61, 1917(大 6)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹辺材腐朽病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:6, 1949

[備考] コブカエデ (*A. campestre*)・エンコウカエデ (*A. mono* f. *dissectum*)・イタヤカエデに発生。病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未詳

堀江博道:日植病報 46(1):111, 1980 ; 堀江博道:東京農試研報 13:63, 1980 ; 堀江博道:森林防疫 31(2):27, 1982

[備考] エンコウカエデ・オオモミジに発生

ビロード病 birodo-byo Erineum gall

Eriophyes aceris Hodgkiss

伊藤一雄:樹病学概論:113, 1960

[備考] イタヤカエデ・カジカエデに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] イロハモミジに発生

(2) *Criconema jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconema jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] コハウチワカエデに発生。根圏土壌より検出

(3) *Criconema palliatum* (Minagawa) Raski & Luc [*Nothocriconema palliatum* Minagawa] ワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] コハウチワカエデに発生。根圏土壌より検出

(4) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(5) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] イロハモミジに発生

(6) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種
中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] ヤマモミジ・イロハモミジに発生

(7) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種
三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(8) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ
中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] ミツデカエデに発生。種名は再検討を要する

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 ; 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974
[備考] イロハモミジに発生。病原線虫の異名はサツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne mali* Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ
Itoh, Y. et al.:Appl. Entomol. Zool. 4(4):194, 1969

[備考] イロハモミジに発生

†褐紋病 katsumon-byo

Mycosphaerella alarum Ellis & Halsted

原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 360):12, 1927(昭2)

[備考] 中国東北部。ヤマモミジに発生。本邦での発生に疑問

†黒紋病 kuromon-byo Tar spot

Melasmia aceris-trifidi Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):155, 1943(昭18)

[備考] 台湾。タイワントウカエデ(*A. trifidum* var. *formosanum*) に発生

††††苗疫病 nae-eki-byo Phytophthora rot (立枯病)

††*Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大12) ; 白井光太郎:植物病理学(下):80, 1900(明33) ; Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agric. Expt. Sta. Japan 1:153, 1907(明40)

[備考] カエデでの国内発生に疑問

††††

††*Cristulariella depraedans* (Cooke) Höhnelt [*Botrytis depraedans* Cooke]

白井光太郎:植物病理学(下):254, 1894(明27) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:240, 1933(昭8)

[備考] 国内未発生

††††

Cryptocoryneum condensatum (Wallroth) E.W. Mason & S. Hughes

Katamoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(4):359, 1988

[備考] アサノハカエデに発生

††††

Daldinia concentrica (Bolton) Cesati & De Notaris チャコブタケ
白井光太郎:日本菌類目録:28, 1905(明 38)

††††

Discosia aceris Miura

三浦密成:秋田農試報 8:40, 1957

[備考] ミネカエデ (*A. tschanoshii*)・イタヤカエデに発生

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):213, 1917(大 6)

††††

††*Gnomonia setacea* (Persoon) Cesati & De Notaris

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):261, 1917(大 6)

[備考] カエデ類での国内発生に疑問

††††

Hypocrea schweinitzii (Fries) Saccardo

土居祥兌:科博研報 15(4):740, 1972

[備考] トネリコバノカエデに発生

††††

Monochaetia sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):180, 1960

[備考] ウリハダカエデに発生

††††

Phyllosticta aceris Saccardo

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):181, 1960

[備考] ウリハダカエデに発生

††††

†*Phyllosticta negundinis* Saccardo & Spegazzini

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:420, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部。トネリコバノカエデに発生

††††

††*Rosellinia quercina* R. Hartig

北島君三:樹病学及木材腐朽論:244, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

††††

Volutella sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):183, 1960

[備考] ウリハダカエデに発生

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986
[備考] ウリハダカエデに発生

マタタビ科 Actinidiaceae

キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ)

Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry

Actinidia deliciosa (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. *deliciosa*

[*A. chinensis* Planchon]

(果樹)

オニマタタビ Gold kiwi *A. chinensis* Planch.

ウイルス病 virus-byo Virus disease

病原未確認

新田浩通・小笠原静彦:日植病報 58(4):618, 1992

[備考] 接ぎ木伝染性確認。マタタビに接ぎ木した樹に黄化症状発現

かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker

Pseudomonas syringae pv. *actinidiae* Takikawa, Serizawa, Ichikawa, Tsuyumu & Goto 1989

芹澤拙夫ら:日植病報 51(1):53, 1985 ; 芹澤拙夫ら:日植病報 55(4):427, 1989 ; 瀧川雄一ら:日植病報 55(4):437, 1989 ; 澤田宏之ら:日植病報 80(3):171, 2014

[備考] 瀧川雄一ら:日植病報 51(1):53, 1985 は最初 *Pseudomonas syringae* pv. *morsprunorum* の一系統として報告したが, 後に新病原型として上記を提唱した。澤田ら(2014)は, *Actinidia chinensis* での発生を確認した。澤田ら(2014)の病原菌は MLSA グループ(Psa5 系統)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

(1) *Rhizobium vitis* (Ophel & Kerr 1990) Young, Kuykendall, Martinerez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti)

[*Agrobacterium vitis* Ophel & Kerr 1990 (Ti), *Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942]

(2) *Rhizobium* sp. (Ti) [*Agrobacterium* sp. (Ti)]

澤田宏之:果樹試特別報 5:1, 1994 ; Sawada, H. & Ieki, H.:Plant Disease 76:212, 1992

花腐細菌病 hanagusare-saikin-byo Bacterial blossom blight (花腐症)

(1) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

三好孝典ら:日植病報 54(3):378, 1988

(2) *Pseudomonas syringae* pv. *syringae* van Hall 1902

森田 昭・林田誠剛:日植病報 50(1):103, 1984 ; スラン カンジャンナラトら:九病虫研会報 31:229, 1985 ; 藤河正英ら:九病虫研会報 38:206, 1992

(3) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

三好孝典ら:日植病報 54(3):378, 1988

疫病 eki-byo *Phytophthora* rot

Phytophthora citrophthora (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian

植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot (褐斑病)

Phomopsis sp.

牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996

[備考] 果実軟腐病の同属菌との異同は不明

果実軟腐病* kajitsu-nampu-byo Soft rot (果実軟腐症)

(1) *Botryosphaeria dothidea* (Mougeot) Cesati & De Notaris

大和浩国:日植病報 63(6):526, 1997

(2) *Diaporthe* sp. [*Phomopsis* sp.]

橘 泰宣ら:日植病報 49(3):403, 1983 ; 高屋茂雄:果樹試報 E6:85, 1986 ; 梶谷裕二:日植病報 62(6):643, 1996 ; 衣川 勝・佐藤豊三:日植病報 69(4):373, 2003

(3) *Lasiodiplodia theobromae* (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

大和浩国:日植病報 63(6):526, 1997

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

牛山欽司ら:関東病虫研報 34:107, 1987

すす斑病 susuhan-byo Sooty spot

Pseudocercospora actinidiae Deighton

菊原賢次・中島千晴:日植病報 73(3):181, 2007 ; Kikuhara, K. & Nakashima, C.:J. Gen. Plant Pathol. 74(2):185, 2008

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐斑)

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017

[備考] 佐藤ら(2017)は狭義の*C. gloeosporioides* と再同定した

根腐病 negusare-byo Root rot

(1) *Pythium helicoides* Drechsler

(2) *Pythium vexans* de Bary

清水伸一ら:日植病報 71(3):210, 2005

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

三好孝典・橘 泰宣:日植病報 58(1):132, 1992

[備考] 永田英明ら (日植病報 50(1):137, 1984) は市場病害で *Botrytis* sp. を腐敗果から分離しているが、症状は本病類似のものと思われる

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis longiseta* (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi

(2) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert

牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

高橋浅夫:静岡柑試報 23:31, 1987 ; 皆川 望:今月の農薬 31(3):30, 1987

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

百田洋二:関東病虫研報 33:237, 1986 ; 皆川 望:今月の農薬 31(3):30, 1987

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

百田洋二:関東病虫研報 33:237, 1986 ; 皆川 望:今月の農薬 31(3):30, 1987
(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
百田洋二:関東病虫研報 33:237, 1986 ; 皆川 望:今月の農薬 31(3):30, 1987

マタタビ(木天蓼)類

Silver vine

Actinidia spp.

(果樹)

サルナシ Tara vine, Bower actinidia *A. arguta* Planchon

ミヤママタタビ Kolomikta vine *A. kolomikta* Maximowicz

マタタビ Silver vine *A. polygama* Maximowicz

かいよう病* kaiyo-byo Bacterial canker (斑点細菌病)

(1) *Pseudomonas syringae* pv. *actinidiae* Takikawa, Serizawa, Ichikawa, Tsuyumu & Goto 1989

牛山欽司ら:日植病報 58(3):476, 1992

[備考] 陶山一雄ら (日植病報 54(3):378, 1988) が報告した *P. syringae* pv. *morsprunorum* は上記と同一種である (キウイフルーツかいよう病参照)

(3) *Pseudomonas syringae* pv. *syringae* van Hall 1902

陶山一雄ら:日植病報 54(3):378, 1988

[備考] サルナシ

花腐細菌病 hanagusare-saikin-byo Bacterial blossom blight

病原未確認

北 宣裕ら:日植病報 55(4):509, 1989

[備考] サルナシ。本病原細菌はキウイフルーツ花腐細菌病 *Pseudomonas syringae* pv. *syringae* van Hall 1902 と極めて類似

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *actinidifoliorum* Cuntz, Poliakoff, Rivoal, Cesbron, Fischer-Le Saux, Lemaire, Jacques, Manceau & Vanneste 2015

澤田宏之ら:日植病報 83(3):136, 2017 ; 澤田宏之ら:日植病報 83(3):234, 2017

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病, 裏白渋病)

(1) *Erysiphe actinidiae* (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. *actinidiae* [*Uncinula actinidiae* Miyabe ex Jaczewski var. *actinidiae*, *Uncinula actinidiae* Miyabe ex Jaczewski, *Uncinula necator* (Schweinitz) Burrill var. *actinidiae* Hara]

原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大 4); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973; Homma, Y.: Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:81, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012

[備考] マタタビ・ミヤママタタビ・サルナシに発生

(2) *Erysiphe actinidiae* (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. *argutae* [*Uncinula actinidiae* Miyabe ex Jaczewski var. *argutae* Y. Nomura]

原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大 4); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973; Homma, Y.: Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:82, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012

[備考] マタタビ・サルナシに発生

裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (白渋病, うどんこ病)

Phyllactinia guttata (Wallroth) Lévillé [*Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma non Fuss]

Homma, Y.: Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):409, 1937 ; 野村幸彦ら: 東農大農学集報 22(3-4):307, 1978 ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):260, 1988

[備考] マタタビ・ミヤママタタビ・サルナシ

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら: 日植病報 52(3):539, 1986

[備考] サルナシ

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Aecidium actinidiae* Sydow & P. Sydow

白井光太郎・三宅市郎: 訂正増補日本菌類目録: 5, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉: 日本菌類誌 2(3):372, 1950

(2) *Pucciniastrum actinidiae* Hiratsuka, f. ex Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.: Mem. Tottori Agr. Coll. 4:279, 1936 ; 澤田兼吉: 台湾農試報 86 (台湾産菌類調査報告 9):98, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N.: Journ. Jap. Bot. 27(4):111, 1951

[備考] マタタビ・サルナシ・タイワンサルナシ (*Actinidia formosa*)

炭疽病* tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum actinidiicola* Miura

三浦密成: 秋田農試報 13:14, 1962

[備考] ミヤママタタビ

(2) *Gloeosporium* sp.

逸見武雄: 札幌農林学会報 11(50):295, 1919(大 8)

[備考] サルナシ

灰星病* haiboshi-byo Brown rot

Monilinia fructigena (Aderhold & Ruhland) Honey

原田幸雄: 日植病報 51(3):324, 1985

[備考] サルナシ

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

堀江博道: 森林防疫 31(2):27, 1982

[備考] サルナシ

††††

Mycosphaerella actinidiae Sydow & Hara

白井光太郎・三宅市郎: 訂正増補日本菌類目録: 379, 1917(大 6)

[備考] マタタビ。葉から検出

††††

Phyllosticta actinidiae Miura

三浦密成: 秋田農試報 8:24, 1957

[備考] マタタビ。葉の円～だ円形、灰黒色病斑から検出

††††

Phyllosticta sp.

山本昌木・安盛 博: 島根農大研報 8(A):182, 1960

[備考] サルナシ。葉の褐色病斑から検出。前種との異同は不明

††††

Volutella sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):183, 1960

[備考] サルナシ。葉の内部灰黒色, 周囲褐色～黒褐色病斑から検出

タカサゴシラタマ

(*Saurania*)

Saurania tristyla var. *oldhami* (Hemsl.) Finet & Gagnep

(広葉樹)

†立枯病 tachigare-byo

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Cryptoderma lamaense* (Murrill) Imazeki, *Fomes lamaensis* (Murrill) Saccardo & Trotter]

澤田兼吉:台湾中研農業報 35(台湾菌調 4):86, 1928(昭3)

[備考] 台湾。*Phellinus noxius* (Corner) Cunningham との異同の検討を要する

レンプクソウ科 Adoxaceae

レンプクソウ

(Adoxa)

Adoxa moschatellina L.

(草花)

さび病 sabi-byo

Puccinia argentata (Schultz) G. Winter [*Puccinia nolitangeris* Corda]

Hiratsuka, N. *et al.*: Rust Flora of Japan 749, 1992

[備考] レンプクソウ・ツリフネソウ(*Impatiens textoriv*)・キツリフネソウ(*Impatiens mali-tangere*) に発生

ケナシヤブデマリ

Viburnum plicatum Thunb. var. *plicatum* f. *glabrum* (Koidz. ex Nakai) Rehder

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe viburni-plicati Meeboon & S. Takamatsu

Meeboon, J. & Takamatsu, S.: Mycoscience 56:14, 2015

ハラタケ科 Agaricaceae

ツクリタケ(マッシュルーム)

White button mushroom, Button mushroom, Cultivated mushroom

Agaricus bisporus (J. Lange) Imbach

(きのこ)

褐変病 kappen-byo Brown blotch

Pseudomonas tolaasii Paine 1919

浦山隆司:マッシュルーム -つくり方と売り方- 106, 1970 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982 ; 陶山一雄・藤井 溥:東京農大農学集報 38:35, 1993

マミー病 mummy-byo Mummy disease

Pseudomonas sp.

浦山隆司:マッシュルーム -つくり方と売り方- 106, 1970 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982 ; 橋本一哉:マッシュルーム栽培法:235, 1987 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック増補改訂版:260, 1996
[備考] 国内発生はまれであり, 調査を要する

ウェットバブル病 wet-bubble-byo Bubble, Wet bubble (ミコゴン病)

Mycogone perniciosa Magnus

高亀格三:日本園芸雑誌 47(3):28, 1935(昭 10); 浦山隆司:マッシュルーム -つくりかたと売り方- 104, 197 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982

褐色石こうかび病 kasshoku-sekko-kabi-byo Brown plaster mould

Papulaspora byssina Hotson

浦山隆司:マッシュルーム -つくりかたと売り方- 112, 1970 ; 橋本一哉:マッシュルーム栽培法:230, 1987

褐斑病 kappan-byo Dry bubble (ドライバブル病)

Verticillium fungicola (Preuss) Hassebrauk var. *fungicola*

松浦 勇:応用菌蕈学研究:569, 1934(昭 9) ; 浦山隆司:マッシュルーム -つくりかたと売り方- 105, 1970 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982

コンポスト・トリコデルマ病* compost-Trichoderma-byo

Trichoderma spp.

中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982

[備考] 中村克哉 (キノコの事典 1982) は, *Trichoderma aureoviride*, *T. harzianum*, *T. koningii*, *T. pseudokoningii*, *T. viride* を記載している

トラフル病 truffle-byo False truffle

Diehliomyces microsporus (Diehl & E.B. Lambert) Gilkey [*Pseudobalsamia microspora* Diehl & E.B. Lamb.]

浦山隆司:マッシュルーム -つくりかたと売り方- 110, 1970 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982 ; 橋本一哉:マッシュルーム栽培法:230, 1987

白色石こうかび病 hakushoku-sekko-kabi-byo White plaster mould

Scopulariopsis coprophila (Cooke & Masee) W. Gams [*Scopulariopsis fimicola* (Costantin & Matruchot) Vuillemin]

浦山隆司:マッシュルーム -つくりかたと売り方- 111, 1970 ; 橋本一哉:マッシュルーム栽培法:230, 1987
[備考] コンポストと覆土に発生

††††せん孔細菌病* senko-saikin-byo Bacterial pit (穿孔細菌病, バクテリアルピット病, 細菌性オ
テン病)

††*Pseudomonas fluorescens* (Trevisan 1889) Migula 1895

浦山隆司:マッシュルーム -つくり方と売り方- 106, 1970 ; 高橋善次郎:農耕と園芸別冊 図解キノコ栽培
百科:181, 1980 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982

[備考] 国内発生不詳。調査を要する

††††フロック病 flock-byo Flock, Gill mildew

††*Acremonium* sp. [*Cephalosporium* sp.]

浦山隆司:マッシュルーム -つくりかたと売り方- 105, 1970 ; 松浦 勇:応用菌蕈学研究:568, 1934(昭9)

[備考] 国内発生未詳

リュウゼツラン科 Agavaceae

リュウゼツラン(マンネンラン)

Century plant

Agave americana L.

(草花)

斑点病 hanten-byo Leaf spot (炭疽病, 褐斑病)

Coniothyrium agaves (Montagne) Saccardo

南部信方:病虫雑 1(2):239, 1914(大 3) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害 123, 1939(昭 14)

[備考] 病菌の分類学的所属について再検討を要する

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne arenaria (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

関 節朗・中里筆二:関東病虫研報 27:163, 1960

シザルアサ(サイザルアサ)

Sisal hemp

Agave sisalana Perr.

[*Agave rigida* Miller]

(特用作物)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum agaves* Cavara]

末松直次:病虫雑 4(1):38, 1917(大 6) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):567, 1919(大 8)

[備考] 山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960

センネンボク(コルジリーネ)

Common dracaena

Cordyline terminalis Kunth

(広葉樹)

疫病 eki-byo

Phytophthora sp.

福西 務・山本 勉:四国植防 10:41, 1975

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Phyllosticta cordylinophila P.A. Young

小林享夫ら:森林防疫 50(6):134, 2001 ; Kobayashi, T. *et al.*:Mycoscience 44(6):473, 2003

[備考] 接種試験未了

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(1):21, 1989

††††

Phytophthora nicotianae Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse

堀江博道ら:日植病報 54(1):126, 1988

[備考] アカバナセンネンボク (*C. terminalis*)

リュウケツジュ

Dragon tree

Dracaena draco L.

(広葉樹)

††††

Phytophthora nicotianae Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse

堀江博道ら:日植病報 54(1):126, 1988

ドラセナ

Dracaena

Dracaena spp.

(草花)

疫病 eki-byo Leaf and stem rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 55(4):494, 1989

赤斑病 sekihan-byo Red blight

Microsphaeropsis boninensis Tak. Kobayashi & T. Okamoto

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

[備考] リュウケツジュ(ドラセナ) *D. draco* L.

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(1):21, 1989

根腐病 negusare-byo Pythium root rot

Pythium graminicola Subramanian

鈴木幹彦・景山幸二:日植病報 73(1):60, 2007

[備考] *Dracaena surculosa* Lindl.

斑点病 hanten-byo Fusarium leaf spot

Fusarium fujikuroi Nirenberg

白石千恵ら:日植病報 76(3):199, 2010

マオラン(ニューサイラン)

New Zealand flax

Phormium tenax J. R. & G. Forst.

(草花)

褐線細菌病 kassen-saikin-byo

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith) Stapp]

牧野孝宏ら:日植病報 42(1):61, 1976

条斑細菌病 johan-saikin-byo

Xanthomonas campestris pv. *phormicola* (Takimoto 1933) Dye 1978 [*Bacterium phormicola* Takimoto, *Xanthomonas phormicola* (Takimoto) Dowson]

瀧元清透:病害雑 20(10):774, 1933(昭 8) ; 牧野孝宏ら:日植病報 42(1):61, 1976

疫病 eki-byo *Phytophthora* blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

鐘ヶ江良彦ら:日植病報 81(3):214, 2015

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Ascochyta sp.

渡邊龍雄:繊維作物病学 187, 1947

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

渡邊龍雄:繊維作物病学 187, 1947

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose*

(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:83, 2006

(2) *Colletotrichum* spp.

鍵渡徳次:原色新しい病害虫 1976

斑点病 hanten-byo

Septoria sp.

山田 済:病虫雑 11(12):669, 1924(大 13)

††††

Phyllosticta phormi Schröter

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961

チューベローズ(ゲッカコウ)

Tuberose

Polianthes tuberosa L.

(草花)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

サンセベリア(チトセラン)
Snake sansevieria
Sansevieria trifasciata hort. ex Prain.
(草花)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum sansevieriae M. Nakamura & M. Ohzono
Nakamura, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 72(4):253, 2006

斑点病 hanten-byo Fusarium leaf spot
Fusarium moniliforme J. Sheldon emend. Snyder & Hansen
鍵渡徳次:東京農大農学集報 30(2):83, 1985

腐敗病 fuhai-byo Pythium rot
Pythium spinosum Sawada
竹内 純ら:関東病虫研報 49, 89, 2002
[備考] アツバチトセラン *S. trifasciata* に発生

ユッカ
Yucca
Yucca spp.
(広葉樹)

センジュラン Aloe yucca *Yucca aloifolia* L.
イトラン Adams needle *Yucca filamentosa* L.
アツバキミガヨラン Lords Candle stick *Yucca gloriosa* L.
キミガヨラン *Yucca recurvifolia* Salisb.

眼点病 ganten-byo Stigmina leaf spot
Stigmina concentrica (Cooke & Ellis) Deighton
飯嶋 勉:日植病報 45(1):80, 1979
[備考] キミガヨラン

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight
Corticium rolfsii Curzi [*Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne, *Hypochnus cucumeris* auct. Jap. non Frank, *Corticium centrifugum* (Léveillé) Bresàdola, *Sclerotium rolfsii* Saccardo]
渡邊龍雄:宇都宮高農農研会誌 10:47, 1935(昭 10) ; Endo, S.:Bull. Miyazaki Coll. Agr. For. 10:75, 1938(昭 13)
[備考] キミガヨラン・イトラン

斑点病 hanten-byo (楢円斑病, 褐斑病)
Microsphaeropsis concentrica (Desmazières) Morgan-Jones [*Coniothyrium concentricum* (Desmazières) Saccardo]
逸見武雄・倉田静子:植物分類地理 3:76, 1934(昭 9) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):593, 1992
[備考] キミガヨラン・チモラン・イトラン・キンポウラン

ツルナ(ハマミズナ)科 Aizoaceae

ベルゲランツス

(Bergeranthus)

Bergeranthus jamesii L. Bolus

(草花)

腐敗病 fuhai-byo Stem and foliage rot

Pythium myriotylum Drechsler

富岡啓介・佐藤豊三:日植病報 67(2):162, 2001 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005

マツバギク

Fig marigold

Lampranthus spectabile (Haw.) N.E.Br.

(草花)

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:135, 1994

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 51:75, 2004

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型IB

ピシウム腐敗病 *Pythium*-fuhai-byo Pythium rot

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

河原崎秀志ら:日植病報 71(3):210, 2005 ; Kawarazaki, H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(1):94, 2008

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora mesembryanthemi Verwoerd

佐藤茂穂:実際園芸 16(1):138, 1934(昭 9)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

メセンブリアンテマ(メセン)類

(*Mesembryanthemum*)

Mesembryanthemum spp.

(野菜)

アイスプラント *M. crystallinum* L.

こうがいかび病 kogai-kabi-byo Choanephora rot

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

萱野佑典ら:日植病報 75(1):51, 2009 ; Kagiwada, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):345, 2010
[備考] アイスプラント (*M. crystallinum* L.) に発生

根腐病 negusare-byo Root rot
Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick
尤 暁東ら:日植病報 82(1):61, 2016
[備考] 養液栽培アイスプラントに発生

ボトリティス葉腐病 Botrytis-hagusare-byo Botrytis leaf spot
Botrytis cinerea Persoon
前田一行ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; Maeda, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):303, 2010
[備考] アイスプラントに発生。前田ら(2009)は本病を灰色かび病としたが、後にボトリティス葉腐病に訂正した

ツルナ(ハマデシヤ, 蔓菜, 番杏)
New Zealand spinach
Tetragonia tetragonoides (Pall.) Kuntze
(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
李 準璋ら:日植病報 49(3):440, 1983
[備考] ウイルス名のみ記載。戻し接種なし

黄化えそ病 oka-eso-byo Necrotic yellow disease
Watermelon silver mottle virus (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス
田場 聡ら:日植病報 66(2):146, 2000

疫病 eki-byo Phytophthora rot
Phytophthora nicotianae van Breda de Haan
竹内 純ら:関東病虫研報 51:55, 2004

黒枯病 kurogare-byo Ulocladium blight
Ulocladium sp.
竹内 純ら:日植病報 74(3):179, 2008

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
栄森弘己・竹内 純:関東病虫研報 51:59, 2004

斑点病 hanten-byo Leaf spot
Cercospora tetragoniae Chupp [*Cercospora tetragoniae-expansae* Hori]
鶴田章逸:静岡県農会報 192:35, 1913(大 2)

ウリノキ科 Alangiaceae

ウリノキ
(Alangium)

Alangium platanifolium (Sieb. & Zucc.) Harms var. *trilobum* Nakai
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia alangii Y.X. Yu & Y.Q. Lai

佐藤幸生ら:50 回北陸病虫研講要:17, 1998

[備考] 平田幸治・和田久美子 (菌蕈研報 10:494, 1973) は *Phyllactinia* sp. および *Uncinula* sp. をウリノキのうどんこ病菌として列挙したが, 形態記述なし

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia miyakei H. Sydow & P. Sydow [*Aecidium alangii* Hiratsuka, f. & Yoshinaga]

平塚直秀・吉永虎馬:鳥取高農学術報 3(2):329, 1935(昭 10) ; Ono, Y.:Nova Hedwigia 60:157, 1995 ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:1038, 1992

[備考] 夏孢子・冬孢子世代はタガネソウに寄生する

オモダカ科 Alismataceae

ヘラオモダカ類

(Alisma)

Alisma spp.

(野草)

ヘラオモダカ *A. canaliculatum* A.Br. & Bouché

サジオモダカ *A. plantago-aquatica* L. var. *orientale* Samuels.

さび斑病 sabihan-byo Leaf spot

Plectosphaerella alismatis (Oudem.) A.J.L. Phillips, Carlucci & M.L. Raimondo

柴田 葵ら:日植病報 82(1):25, 2016

[備考] サジオモダカに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

柴田 葵ら:日植病報 82(1):25, 2016

[備考] サジオモダカに発生

††††角斑病 kakuhan-byo

Cylindrocarpon sp. 様

横山 竜夫:日植病報 41(3):254, 1975

[備考] 接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey]

イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] ヘラオモダカに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

クワイ(慈姑)

Arrowhead

Sagittaria trifolia L. var. *edulis* (Sieb.) Ohwi

(野菜)

乾腐病 kampu-byo Dry rot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten [*Cylindrocarpon radicicola* Wollenweber]

西門義一・宮脇雪夫:病虫雑 30(10):293, 1943(昭 18) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:535, 1992

茎腐病 kukigusare-byo Petiole rot

Pythium myriotylum Drechsler

善林六朗ら:日植病報 50(3):394, 1984 ; 善林六朗ら:日植病報 51(4):482, 1985

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Marssonina sp.

安 正純ら:日植病報 24(1):49, 1959 ; 笹野市蔵:北陸病虫研報 9:66, 1961 ; 吉野正義・安 正純:植物防疫 28(7):289, 1974

斑紋病 hammon-byo Leaf spot
Cercospora sagittariae Ellis & Kellerman
村田壽太郎:園芸之友 12(5):442, 1916(大 5)

火ぶくれ病 hibukure-byo Leaf smut, Blister smut
Doassansia horiana Hennings [*Doassansia tokinensis* Hennings, *Doassansiopsis horiana* Nisikado]
出田 新:日本植物病理学:418, 1903(明 36) ; 西門義一・松本弘義:病虫雑 24(1):11, 1937(昭 12) ; 我孫子和雄・折原詳子:日植病報 60(3):340, 1994
[備考] 我孫子・折原 (1994) は, 本菌によって球茎にこぶ及びかさぶた症状が発生するとしている

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ
川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963
[備考] 1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

††††赤枯症 akagare-sho
(1) *Fusarium* sp.
田中 寛ら:日植病報 49(1):102, 1983
(2) *Pythium paroecandrum* Drechsler
草刈眞一ら:関西病虫研報 23:89, 1981
[備考] 病徴再現試験不十分

オモダカ類
(*Sagittaria*)
Sagittaria spp.
(野草)

アギナシ *Sagittaria aginashi* Makino
オモダカ *Sagittaria trifolia* L.

黒穂病 kuroho-byo Smut
(1) *Doassansia distica* S. Ito
柿 嶋 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:33, 1982 ; 柿 嶋 眞:日本植物病害大事典(岸 國平編):1208, 1998
[備考] オモダカ
(2) *Doassansia horiana* Hennings
Tanimoto, T. & Kusakari, S.:J. Gen. Plant Pathol. 66(4):289, 2000
[備考] オモダカ *S. latifolia* L. アオクワイ *S. trifolia* var. *edulis* に発生

斑点病 hanten-byo Leaf spot
Plectosporium tabacinum (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg [*Cylindrocarpon sagittariae* Negishi]
Negishi, H.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62:495, 1996 ; 佐藤豊三:植物防疫 62:491, 2008
[備考] オモダカ *S. latifolia* L. に発生。*C. sagittariae* は異名。病名は佐藤(2008)が提案

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ
川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963
[備考] アギナシに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

アロエ科 Aloaceae

アロエ

Aloe

Aloe spp.

(草花)

疫病 eki-byo

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

植松清次ら:日植病報 61(3):219, 1995

株腐病 kabugusare-byo Foot rot

Fusarium dimerum Penzig var. *dimerum*

本橋慶一ら:日植病報 64(4):435, 1998 ; 本橋慶一ら:日植病報 74(4):304, 2007

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces aloës Magnus

中村重正ら:日菌報 17(3-4):342, 1976 ; 佐藤昭二・勝屋敬三:日植病報 43(3):325, 1977

紫斑病 shihan-byo Purple spot

Fusarium phyllophilum Nirenberg & O'Donnell [*Fusarium proliferatum* (Matsushima) Nirenberg var. *minus*]

岸 國平ら:日植病報 63(3):202, 1997 ; Kishi, K. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(6):576, 1999

[備考] *A. arborescens* Mill

輪紋病 rimmon-byo Ring spot

Haematonectria haematococca (Berkeley & Broome) Samuels & Nirenberg [不完全世代: *Fusarium* sp.]

廣岡裕吏ら:日植病報 72(4):203, 2006 ; Hirooka, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 73(5):330, 2007

ヒユ科 Amaranthaceae

イノコヅチ類
(Achyranthes)
Achyranthes spp.
(野草)

イノコヅチ *A. japonica* (Miq.) Nakai

モザイク病* *mosaic-byo* Mosaic

Alternanthera mosaic virus (AltMV) アルターナンセラモザイクウイルス

岩淵 望ら:日植病報 83(1):40, 2017

[備考]モザイク症状。戻し接種なし

根こぶ線虫病* *nekobu-senchu-byo* Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979

[備考] 接種試験の結果。 *M. mali* Itoh *et al.* リンゴネコブセンチュウとして報告されたが、後に本種に訂正された (Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984)

アルターナンセラ(モヨウビユ, テランセラ, アキランサス)

Alternanthera

Alternanthera ficoidea (L.) R.B. ex Roem. & Schult. 及び種間雑種
(草花)

葉腐病 *hagusare-byo* Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 43:133, 1996

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

根こぶ線虫病 *nekobu-senchu-byo* Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7); 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

アマランサス(ヒユ, ヒユナ, ヒョウ, ヒョウナ)

Edible amaranthus

Amaranthus mangostanus L.

(野菜)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

大橋真信・上運天 博:日植病報 60(1):119, 1994

[備考] *A. hypochondriacus* に発生

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995

村井雄一朗・後藤正夫:日植病報 62(2):181, 1996

[備考] *A. cruentus* に発生

†斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phoma macrostylospora Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2 (台湾菌類調査報告 2):114, 1923(大 12)

[備考] 台湾

ハゲイトウ

Joseph's coat amaranth

Amaranthus tricolor L.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

茎枯病 kukigare-byo Stem blight

Diaporthe sp.

蓑島綾華ら:日植病報 82(3):219, 2016

[備考] アナモルフ: *Phomopsis* sp.

黒斑病 kokuhan-byo

Alternaria sp.

成田武四:北海道における農作物病害:191, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:645, 1998

[備考] 接種試験未了。本病原はケイトウに発生する *Alterania alternata* と同じと思われるが検討を要する

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:191, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:645, 1998

[備考] 接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

ヒユ類
(Amaranthus)
Amaranthus spp.
(野草)

イヌビユ *A. lividus* L. var. *ascendens* (Lois.) Thell.

アオビユ(ホナガイヌビユ) Slender amaranth *A. viridis* L.

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:九病虫研会報 61:38, 2015

[備考] イヌビユに発生

白さび病 shirosabi-byo White rust

Wilsoniana bliti (Bivona-Bernardi) Thines

佐藤豊三・埋橋志穂美:日植病報 78(1):23, 2012

[備考] アオビユに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] イヌビユ

ケイトウ(鶏頭, 鶏冠)
Feather cockscomb
Celosia cristata L.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

軟腐病 nampu-byo

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

成田武四:北海道における農作物病害:192, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の

病害誌:646, 1998

[備考] 接種試験未了

疫病 eki-byo Blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur]

瀧元清透:日植病報 7(3-4):247, 1938(昭 13)

褐紋病 katsumon-byo Leaf spot

Septoria sp.

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:66, 1939(昭 14)

茎腐病 kukigusare-byo Root and stem rot (葉腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

森田 儔・深沢永光:改訂新版花の病害虫と新防除:108, 1973 ; 牛山欽司ら:日植病報 53(3):377, 1987

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria tenuissima (Kunze) Wiltshire

高野喜八郎:北陸病虫研報 43:31, 1995

[備考] クルメケイトウ (*Celosia cristata*)・ヤリケイトウ (*C. cristata* var. *childsii* hort.)・フサケイトウ (*C. cristata* var. *plumosa*)

立枯病 tachigare-byo Stem rot, Wilt (フザリウム病)

Fusarium lateritium Nees f. sp. *celosiae* Matuo [*Fusarium celosiae* Abe]

安部卓爾:京都大農紀要 7(Art 4):1, 1928(昭 3) ; 角田鷹次郎:病虫雑 17(9):599, 1930(昭 5) ; 塚本永治:秋田大教育紀要 自然科学 18:72, 1968 ; 松尾卓見:日菌報 16(4):351, 1975

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

高野喜八郎:日植病報 64(6):631, 1998

根腐病 negusare-byo Aphanomyces root rot

Aphanomyces cochlioides Drechsler

飯嶋 勉ら:日植病報 55(1):120, 1989 ; 渡辺京子:玉川大農研報 31:29, 1991

斑点病 hanten-byo Leaf spot (黒斑病)

(1) *Cercospora celosiae* Sydow

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:66, 1939(昭 14) ; 香月繁孝:福岡県農改課学術報告 1:7, 1949

(2) *Pseudocercospora celosiarum* (A.K. Kar & M. Mandal) Deighton

Nakashima, C. et al.:Mycoscience 43:95, 2002

[備考] Katsuki (1965)は福岡県産標本を用いて *Cercospora celosiae* Sydow と同定したが、再検討の結果、誤同定で *P. celosiarum* が正しい。日本植物病名目録 p.279 の瀧元(1939)が記載した *C. celosiae* が正しいかは不明

輪紋病 rimmon-byo

Ascochyta phaseolorum Saccardo

成田武四:北日本病虫研報 27:12, 1976

[備考] ヤリケイトウ(*C. crista* var. *childsii*)。Morgan-Jones, G. & Burck, K.B. (Mycotaxon 32:484, 1988) は本種名を *Phoma exigua* の異名としている

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:66, 1939(昭 14) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††††

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

高橋錦治・松浦 義:植物防疫 10(2):75, 1956

ケイトウ類

(*Celosia*)

Celosia spp.

(野草)

ノゲイトウ *Celosia argentea* L.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe celosiae Tanda

Tanda, S.:Mycoscience 41(2):155, 2000

[備考] ノゲイトウに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ノゲイトウ

センニチコウ(千日紅, センニチソウ)

Globe amaranth

Gomphrena globosa L.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

梶谷祐二ら:九病虫研会報 55:186, 2009

斑葉病 han'yo-byo Leaf spot (葉斑病)

Alternaria gomphrenae Togashi

富樫浩吾:病虫雑 13(6):323, 1926(大 15) ; 吉井 甫:日植病報 2(6):513, 1933(昭 8) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害 116, 1939(昭 14)

[備考] 病菌の学名は *Nimbya gomphrenae* が提唱されている

ヒ ガンバナ科 Amaryllidaceae

アマクリナム(アマリリス × ハマユウの属間雑種)
× *Amacrinum* spp.
(草花)

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Phoma sp.

竹内 純ら:関東病虫研報 41:149, 1994

[備考] *Amacrinum howardii* に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum acutatum J.H. Simmonds

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:175, 1997

クンシラン(君子蘭, ウケザキクンシラン)
Scarlet Kaffir lily
Clivia miniata Regel
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo

菅田重雄:関東病虫研報 16:68, 1969

††††腐敗病 fuhai-byo

細菌

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:62, 1939(昭 14)

[備考] 調査を要する

ハマオモト(ハマユウ, 浜木綿)
Grand crinum
Crinum asiaticum L. var. *japonicum* Baker
(草花)

オオハマオモト Chinese crinum *Crinum asiaticum* L. var. *sinicum* Baker

インドハマユウ *Crinum latifolium* L.

クリナムパウエリー *Crinum* × *powellii* Baker

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

平田正一:植物ウイルスの分類学的研究:178, 1964

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Phoma sp.

草刈眞一:日植病報 59(3):292, 1993

[備考] クリナム (*Crinum moorei*) にも発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

佐藤豊三:東京農試研報 20:25, 1987 ; 栄森弘己ら:関東病虫研報 42:141, 1995

[備考] オオハマオモト (*Crinum asiaticum* var. *sinicum*) にも発生

赤斑病 sekihan-byo Red leaf spot

Stagonospora curtisii (Berkeley) Saccardo

天地沙織ら:日植病報 70(1):44, 2004 ; 佐藤豊三・富岡啓介:日植病報 70(1):45, 2004 ; 富岡啓介ら:日植病報 77(3):209, 2011

[備考] インドハマユウ, オオハマオモトに発生。富岡ら(2011)は, ハマユウおよびクリナムパウエリー一分離菌の人工接種によりアマリリスへの病原性を確認

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium crini* Saccardo]

原 攝祐:静岡県農会報 34(397):51, 1937(昭 12) ; 堀江博道ら:菌草研報 28:274, 1990 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991

[備考] オオハマオモト (*Crinum asiaticum* var. *sinicum*) にも発生

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora pancratii Ellis & Everhart

逸見武雄・倉田静子:菌類 1(3-4):83, 1931(昭 6)

[備考] *Cercospora pancratii* は *Pancratium* 属植物に寄生する種で, *Crinum* 属植物上での同定には疑問があり, 再検討を必要としよう

キルタンサス

Fire lily

Cyrtanthus spp.

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 43:129, 1996

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:141, 1994

[備考] *Cyrtanthus mackenii* Hook. f. に発生

ユーチャリス(アマゾンユリ)

Amazon lily

Eucharis grandiflora Planch. & Linden

(草花)

微斑ウイルス病 bihan-virus-byo Mild mottle

Amazon lily mild mottle virus (ALiMMV) アマゾンユリ微斑ウイルス

花田 薫・福本文良:日植病報 67(2):176, 2001

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Amazon lily mosaic virus* (ALiMV) アマゾンユリモザイクウイルス

寺見文宏ら:日植病報 59(3):334, 1993 ; 寺見文宏ら:日植病報 61(1):1, 1995 ; Fuji, S. *et.al.*:Arch. Virol. 149:1843, 2004

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

寺見文宏ら:日植病報 59(1):64, 1993 ; Terami, F. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(3):192, 2004

灰色かび病 *haiiro-kabi-byo* Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 42:105, 1995

スノードロップ(マツユキソウ)

Snowdrop

Galanthus nivalis L.

(草花)

葉腐病 *hagusare-byo* (茎腐病, 株腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:121, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:644, 1998

[備考] 接種試験未了

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

アマリリス

Amaryllis

Hippeastrum spp. 及び種間雑種

(草花)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:日植病報 32(3):114, 1966 ; 岩木満朗:日植病報 33(4):237, 1967

(2) *Hippeastrum mosaic virus* (HiMV) アマリリスモザイクウイルス

岩木満朗・小室康雄:日植病報 32(5):296, 1966 ; 岩木満朗:日植病報 33(4):237, 1967

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

疫病 *eki-byo* Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

栄森弘己ら:日植病報 61(3):221, 1995

赤斑病 *sekihan-byo* Red leaf spot, Leaf scorch

Stagonospora curtisii (Berkeley) Saccardo

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:30, 1939(昭 14)

炭疽病 tanso-byo Leaf spot
Colletotrichum crassipes (Spegazzini) Arx
高野喜八郎:日植病報 59(1):73, 1993

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo
Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種
中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

†植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Anguillulina dipsaci* (Kühn) Gervais & van Beneden] ナミクキセンチュウ
弥富喜三・横尾多美男:応動 6(5-6):314, 1934(昭9)
[備考] 国内発生未確認

スノーフレーク
Summer snowflake
Leucojum aestivum L.
(草花)

葉枯病 hagare-byo
Stagonospora curtisii (Berkeley) Saccardo
高野喜八郎:日植病報 58(1):132, 1992

リコリス(ヒガンバナ, ショウキラン, ナツスイセンなど)
Lycoris
Lycoris spp.
(草花)

ヒガンバナ Cluster amaryllis *Lycoris radiata* (L'Herit) Herb.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
小室康雄ら:日植病報 32(3):114, 1966
[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

さび病 sabi-byo Rust
Puccinia lycoridicola Hiratsuka, f. & Hara ex Ito & Murayama
伊藤誠哉・村山大記:札幌博学会報 17:168, 1943(昭18); 平塚直秀:植物銹菌学研究:320, 1955

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
(1) *Botrytis cinerea* Persoon
(2) *Botrytis galanthina* (Berkeley & Broome) Saccardo
塚本俊秀・磯田 淳:日植病報 70(3):225, 2004

葉枯病 hagare-byo
Stagonospora curtisii (Berkeley) Saccardo
高野喜八郎:日植病報 58(1):132, 1992

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev ナミクキセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:359, 1975

スイセン(水仙)

Narcissus, Daffodil

Narcissus spp. 及び種間雑種

(草花)

ニホンスイセン Grand emperor, New year lily, Chinese grand emperor, Sacred ohinese lily *N. tazetta* L.

ラッパスイセン *N. pseudonarcissus* L.

ウイルス病 virus-byo

(1) *Arabid mosaic virus* (ArMV) アラビシモザイクウイルス

岩木満朗:日植病報 37(5):402, 1971 ; 岩木満朗・小室康雄:日植病報 40(4):344, 1974

(2) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウルトウイルス 2

岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(2):137, 1972 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

(3) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(2):137, 1972

[備考] 戻し接種なし

(4) *Lily symptomless virus* (LSV) ユリ潜在ウイルス

井上成信:遺伝 38(11):201, 1984

[備考] 総説のため詳細は不明

(5) *Narcissus degeneration virus* (NDV) スイセン潜在ウイルス

野見山玲衣ら:九病虫研会報 60:104, 2014

[備考] RT-PCR と塩基配列解析による同定。スイセンへの戻し接種により検出済みだが、ウイルスフリースイセンに接種することができないため、真の病徴は不明

(6) *Narcissus latent virus* (NLV) スイセン潜在ウイルス

井上成信:遺伝 38(11):201, 1984

[備考] 総説のため詳細は不明

(7) *Narcissus late season yellows virus* (NLSYV) スイセン晩期黄化ウイルス

野見山玲衣ら:九病虫研会報 60:104, 2014

[備考] RT-PCR と塩基配列解析による同定。スイセンへの戻し接種により検出済みだが、ウイルスフリースイセンに接種することができないため、真の病徴は不明

(8) *Narcissus mosaic virus* (NMV) スイセンモザイクウイルス

岩木満朗・小室康雄:日植病報 33(5):345, 1967 ; 岩木満朗・小室康雄:日植病報 36(2):81, 1970

(9) *Narcissus yellow stripe virus* (NYSV) スイセン黄色条斑ウイルス

岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(3):210, 1972

(10) *Tobacco rattle virus* (TRV) タバコ茎えそウイルス

岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(2):137, 1972 ; 山本孝彗ら:北陸病虫研報 38:60, 1990

(11) *Tomato black ring virus* (TBRV) トマト黒色輪点ウイルス

岩木満朗・小室康雄:日植病報 39(4):279, 1973

(12) *Tomato ringspot virus* (ToRSV) トマト輪点ウイルス

岩木満朗・小室康雄:日植病報 37(2):108, 1971

(13) *Vallota speciosa virus* (VSV) [*Cyrtanthus elatus virus* A キルタンサスエラツスウイルス]

野見山玲衣ら:九病虫研会報 60:104, 2014

[備考] RT-PCR と塩基配列解析による同定。戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Narcissus mild mottle virus# (NMMV) スイセン微斑モザイクウイルス

井上成信・光畑興二:日植病報 41(3):286, 1975

[備考] 戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

河村貞之助ら:花と庭木の病害虫:50, 1971 ; 河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:228, 1976

青かび病 aokabi-byo Blue mold

Penicillium spp.

森田 儔:農業技術 17(2):66, 1962

乾腐病* kampu-byo Dry rot, Basal rot (乾性腐敗病, 腐敗病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *narcissi* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium bulbigenum* Cooke & Massee]

山内己酉:病虫雑 23(3):214, 1936(昭 11) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:83, 1939(昭 14)

球茎腐敗病 kyukei-fuhai-byo Green mold (球茎腐朽病, 球根腐敗病)

Trichoderma narcissi Tochinai & Shimada

枅内吉彦:実際園芸 10:530, 1931(昭 6) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:82, 1939(昭 14)

菌核病 kinkaku-byo Neck rot

Stromatinia gladioli (Drayton) Whetzel [*Sclerotinia gladioli* Drayton]

阪口又輔:日植病報 11(3):114, 1941(昭 16) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):7, 1959

首腐病 kubigusare-byo Neck rot

(1) *Botrytis galanthina* (Berkeley & Broome) Saccardo

塚本俊秀ら:日植病報 71(3):215, 2005

(2) *Botrytis narcissicola* Klebahn

高野喜八郎:日植病報 69(3):266, 2003

黒かび病 kurokabi-byo Black mold

Aspergillus niger Tieghem

高野喜八郎:日植病報 61(6):635, 1995

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

永田利美:土壌病害の手引:26, 1962

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Neck rot, Dry scale rot, Gray mold (ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon

河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:47, 1950 ; 白浜賢一:農薬 10(4):46, 1963

葉先枯病 hasakigare-byo Leaf tip blight

Phoma sp.

本多範行ら:日植病報 56(3):386, 1990 ; 本多範行ら:植物防疫 45(1):11, 1991

斑点病 hanten-byo Leaf scorch (スタゴノスポラ病)

Stagonospora curtisii (Berkeley) Saccardo [*Stagonospora narcissi* Hollós]

福井武治:病虫雑 5(11):888, 1918(大 7); 原 攝祐:実用作物病理学:577, 1925(大 14)

茎線虫病 kuki-senchu-byo

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7); 三浦 脩・出水忠夫:関西病虫研報 1:109, 1958; 三枝敏郎・葭原敏夫:植防研報 4:29, 1966

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema americanum Cobb アメリカオオハリセンチュウ

岩木満朗・小室康雄:日植病報 37(2):108, 1971

[備考] 種名は再検討を要する。*Tomato ringspot virus* (ToRSV トマト輪点ウイルス)を伝搬する

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの 1 種

河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

ネリネ類

(Nerine)

Nerine spp.

(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 60(3):342, 1994

[備考] *Nerine sarniensis* に発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら:関東病虫研報 40:171, 1993

[備考] *Nerine bowdenii* に発生

タマスダレ(玉簾)

Zephyr lily

Zephyranthes candida (Lindl.) Herb.

(草花)

葉枯病 hagare-byo Red spot (梢枯病)

Stagonospora curtisii (Berkeley) Saccardo [*Stagonospora narcissi* Hollós]

福井武治:三重高農学報 3:21, 1933(昭 8)

†白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

澤田兼吉:台湾農試特別報告 2:1, 1917(大 6)

[備考] 台湾。タマスダレでは国内発生未確認

ウルシ科 Anacardiaceae

カシュー

Cashew, Cashew-nut

Anacardium occidentale L.

(特用作物)

††うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Acrosporium anacardii F. Noack

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:55, 1977

††炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:55, 1977

†ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis adusta (Ellis & Everhart) Steyaert

小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(5):78, 1986

[備考] フィリピン

††††

††*Cercospora anacardii* A.S. Muller & Chupp

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:55, 1977

ハグマノキ(スモークツリー)

Smoke tree

Cotinus coggygria Scop.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe verniciferae (Hennings) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula verniciferae* Hennings]

丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):109, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012

褐紋病 katsumon-byo Brown leaf spot

Pilidium sp.

堀江博道ら:森林防疫 26(3):36, 1977

さび病 sabi-byo Rust

Pileolaria sp.

奈尾雅浩:四国植防 37:70, 2002

[備考] 接種試験未了

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

菅原 敬ら:日植病報 74(1):51, 2008 ; 菅原 敬ら:日植病報 75(2):119, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

奈尾雅浩:四国植防 39:1, 2004

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅原 敬ら:北日本病虫研報 59:82, 2008 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot

Pseudocercospora cotini (Katsuki & Tak. Kobayashi) Deighton [*Cercospora cotini* Katsuki & Tak. Kobayashi]

小林享夫:植物防疫 29(8):320, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):274, 1976 ;

勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

[備考] *C. americanus* にも発生

マンゴー(檬果)

Mango, Indian mango

Mangifera indica L.

(果樹)

枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot blight

(1) *Dickeya dadantii* Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan

Febryani, N. *et al.*:Jpn. J. Phytopathol. 81(3):300, 2015

(2) *Dickeya* sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

宮平奈央ら:日植病報 74(3):253, 2008

かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker

Xanthomonas campestris pv. *mangiferaeindicae* (Patel, Moniz & Kulkarni 1948) Robbs, Ribeiro & Kimura 1974

福田徳治ら:日植病報 55(1):123, 1989 ; 福田徳治ら:日植病報 56(4):474, 1990

[備考] 渡邊龍雄 (熱帯の果樹と作物の病害:35, 1977) は台湾における *Pseudomonas mangiferaeindicae* Patel, Moninget & Kulkarni による果斑病を記載しているが、本病と同じものと思われる

果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Bacterial fruit rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:34, 1977

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):97, 1935(昭10) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば、情報不足のため、本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe quercicola* S. Takamatsu & U. Braun

澤岨哲也ら:日植病報 80(4):238, 2014

(2) ††*Oidium mangiferae* Berthet

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:33, 1977

[備考] 台湾

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf blight

Phyllosticta anacardiacearum Aa

Kobayashi, T. & Okamoto, T.: J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

安次富 厚ら: 日植病報 83(3):184, 2017

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer*

小野 剛ら: 関東病虫研報 61:67, 2014

[備考] 貯蔵中の果実に発生

こうじかび病* koji-kabi-byo Aspergillus rot, Black mold rot (黒粉病, 黒黴病)

Aspergillus niger Tieghem [*Sterigmatocystis nigra* Tieghem]

三好 学: 植物学雑誌 24(279):101, 1910(明 43); 横浜税関: 輸移入植物病菌害虫目録: 12, 1939(昭 14)

軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot

(1) *Diaporthe pseudophoenicicola* R.R. Gomes, Glienke & Crous

澤岬哲也ら: 日植病報 82(1):81, 2016

(2) *Lasiodiplodia theobromae* (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Lasiodiplodia theobromae* sensu stricto]

澤岬哲也ら: 日植病報 66(2):99, 2000; 澤岬哲也ら: 日植病報 79(1):15, 2013

(3) *Neofusicoccum parvum* (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips

澤岬哲也ら: 日植病報 82(1):81, 2016; 澤岬哲也ら: 日植病報 83(2):102, 2017

(4) *Neofusicoccum* sp.

北沢優悟ら: 日植病報 82(3):218, 2016; Hara, S. et al.: J. Gen. Plant Pathol. 82(6):314, 2016

[備考] *Neofusicoccum* sp. Karanda に近縁

すす点病 susuten-byo fly speck

Stomiopeltis sp.

安次富 厚ら: 日植病報 83(1):43, 2017; Ajitomi, A. et al.: J. Gen. Plant Pathol. 83(5):299, 2017

[備考] 安次富ら(2017)が *Stomiopeltis* 類似属の一種とした本病原菌を Ajitomi et al.(2017)が再同定した

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum aenigma* B.S. Weir & P.R. Johnston [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

澤岬哲也ら: 日植病報 77(1):36, 2011; 澤岬哲也ら: 日植病報 79(1):10, 2013; 安次富 厚ら: 日植病報 83(1):81, 2017

(2) *Colletotrichum asianum* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

澤岬哲也ら: 日植病報 77(1):36, 2011; 澤岬哲也ら: 日植病報 79(1):10, 2013; 安次富 厚ら: 日植病報 83(1):81, 2017

(3) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

田場 聡ら: 熱帯農業 48:57, 2004; 澤岬哲也ら: 日植病報 81(3):206, 2015

(4) *Colletotrichum fruticola* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

澤岬哲也ら: 日植病報 77(1):36, 2011; 澤岬哲也ら: 日植病報 79(1):10, 2013; 安次富 厚ら: 日植病報 83(1):81, 2017

(5) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [*Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大15); 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979; 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017

[備考] 安次富ら(2017)は狭義の*C. gloeosporioides* と再同定した

(6) *Colletotrichum scovillei* Damm, P.F. Cannon & Crous [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004; 澤岷哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015

(7) *Colletotrichum siamense* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017

(8) *Colletotrichum tropicale* E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017

灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo Gray leaf blight

Phomopsis mangiferae S. Ahmad

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 43(3):89, 2003

††黒点細菌病* kokuten-saikin-byo Bacterial black spot (黒点性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:194, 1941(昭 16); 岡部徳夫:植物細菌病学:255, 1949; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:34, 1977

[備考] 東アフリカ・南アフリカ・エジプト・ハワイ・台湾。病原細菌名 *Erwinia mangiferae* (Doidge) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Hunton は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した。本菌は横浜税関 (輸移入植物病菌害虫目録:4, 1939) によってハワイからの輸入果実でも検出されている

††萎凋病 icho-byo Branch blight (枝枯病, 萎ちょう病)

Ceratocystis fimbriata Ellis & Halsted

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:33, 1977

[備考] ブラジル

†††疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler

小林慶範ら:日植病報 69(1):48, 2003

[備考] メキシコ

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brownish sooty mold

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]

山本和太郎:日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

†褐色円星病 kasshoku-maruhoshi-byo Stigmina leaf spot

Stigmina mangiferae (Koorders) M.B. Ellis [*Cercospora mangiferae* Koorders]

山本和太郎:熱帯農学会誌 6:604, 1934(昭 9); 澤田兼吉:台湾博物学会報 33(235):96, 1943(昭 18)

[備考] 台湾・ブラジル

†こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard [*Elfvigia applanata* (Persoon) P. Karsten]

澤田兼吉:台湾博物学会報 24(135):450, 1934(昭 9)

[備考] 台湾

†すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Meliola mangiferae* Earle

Yamamoto, W.:Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa 30(200-201):155, 1940 ; 山本和太郎:熱帯農学会誌 13:312, 1941(昭 16)

[備考] 台湾

(2) *Phragmocapnias betle* (Sydow, P. Sydow & E.J. Butler) Theissen & Sydow [*Antennellopsis vulgaris* (W. Yamamoto) Batista & Ciferri, *Chaetoscorias vulgaris* W. Yamamoto]

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3):285, 1985 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:林試研報 351:120, 1988

[備考] フィリピン

(3) *Triposporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):42, 1959

[備考] 台湾

†灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Felt, Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):97, 1959

[備考] 台湾

†灰斑病 haihan-byo Gray leaf spot

Macrophoma luzonensis Tak. Kobayashi

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(3):301, 1981

[備考] フィリピン

†斑点病 hanten-byo Gray leaf spot

Pestalotiopsis mangiferae (Hennings) Steyaert [*Pestalotia mangiferae* Hennings]

藤黒與三郎:植物学雑誌 28(334):423, 1914(大 3) ; 徳永芳雄・橋岡良夫:台湾農試研報 3(2):133, 1948

[備考] 台湾

††††

†††*Bremia* sp.

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:7, 1939(昭 14)

[備考] 生産地台湾

††††

††*Septobasidium pilosum* Boedijn & B.A. Steinmann ケモンパキン (膏薬病菌)

山本和太郎:植物防疫 10(9):367, 1956(昭 31)

[備考] ジャワ・アメリカ

ランシンボク

Chinese pistachio, Chinese pistache

Pistacia chinensis Bunge

(広葉樹)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka
伊藤一雄:林試研報 43:6, 1949

††††さび病 sabi-byo Rust (銹病)
†*Pileolaria pistaciae* F.L. Tai & C.T. Wei
Hiratsuka, N.:J. Japan Bot. 13(4):251, 1937(昭 12)
[備考] 台湾

††††
†*Cercospora pistaciae* Chupp
澤田兼吉:台湾大農專刊 8(台湾産菌類調査報告 11):224, 1959
[備考] 台湾

ヌルデ(フシノキ)(白膠木, 五倍子樹)
Japanese sumac, Chinese nutgalls
Rhus javanica L. var. *roxburg* (DC.) Rehder & Wils.
(広葉樹)

萎黄病 io-byo
Phytoplasma ファイトプラズマ
李 準璋ら:日植病報 49(1):83, 1983

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)
Erysiphe verniciferae (Hennings) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula verniciferae* Hennings]
平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973 ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):355, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012

角斑病 kakuhan-byo Circular leaf spot
Exosporiella rhois-javanicae Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):175, 1943(昭 18) ; 澤田兼吉:林試研報 105:116, 1958
[備考] タイワンフシノキにも発生

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot
Pseudocercospora rhoia (Cooke & Ellis) Deighton [*Cercospora rhoia* Cooke & Ellis]
山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):71, 1960 ; 香月繁孝:植研雑 30(12):373, 1955 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot
Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead
鷺尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981
[備考] 病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

さび病 sabi-byo Rust (銹病)
Pileolaria klugkistiana Dietel [*Uromyces klugkistianus* Dietel]
安田 篤:植物学各論隠花部:433, 1911(明 44) ; 白井光太郎:植物病理学(下):117, 1900(明 33) ; 伊藤誠哉:北大農紀要 11:275, 1922(大 11)

白かび角斑病* shirokabi-kakuhan-byo Circular leaf spot

Septocylindrium rhois Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:90, 1958

すす点病 susuten-byo

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Myxosporium rhois (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo [*Colletotrichum* sp., *Myxosporium* sp.]

逸見武雄:病虫雑 8(1):10, 1921(大 10) ; 出田 新:続日本植物病理学(下):770, 1926(大 15) ; 伊藤一雄・小林
享夫:日林誌 41(10):406, 1959

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease

Pestalotiopsis versicolor (Spegazzini) Steyaert [*Pestalotia versicolor* Spegazzini]

日野隆之:採集と飼育 26:355, 1964 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992

帯化病* taika-byo

生理障害

久内清孝:植研雑 5(8):303, 1928(昭 3)

多毛病 tamo-byo

生理病(水分欠乏)

白井光太郎:植物病理学(上):32, 1900(明 33)

†すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

Meliola brachyodonta Sydow

山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):151, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。タイワンフシノキ

†葉枯病 hagare-byo

Tubercularia phyllophila Sydow

澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):687, 1919(大 8)

[備考] 台湾

††††

†*Cercospora rhois* Sawada & Katsuki

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):225, 1959

[備考] 台湾。タイワンフシノキ (*Rhus javanica* var. *roxburghii*)

††††

†*Mycosphaerella fushinoki* Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:165, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部

††††

Nitschkia cupularis (Persoon) P. Karsten

朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:257, 1939(昭 14)

††††

†*Venturia rhois* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):73, 1959

[備考] 台湾。タイワンフシノキ

ハゼノキ(黄櫨)

Wax tree

Rhus succedanea L.

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白粉病, 白渋病, 実白渋病)

Erysiphe verniciferae (Hennings) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula verniciferae* Hennings]

千石与太郎:愛媛県農会報 43:1, 1902(明 35); 安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明 44); 本間ヤス:北大農紀要 38(3):355, 1937(昭 12); 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012

[備考] ヤマハゼにも発生

黒粒枝枯病 kurotsubu-edagare-byo

Stylodothis puccinioides (de Candolle) Arx & E. Müller [*Dothidea sambuci* (Persoon) Fries]

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:176, 1960

紅粒がんしゅ病* koryu-ganshu-byo Coral spot disease (紅粒枝枯病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:172, 1960

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pileolaria shiraiana (Dietel & P. Sydow) S. Ito [*Uromyces shiraianus* Dietel & P. Sydow]

Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 32(1):47, 1902; 安田 篤:植物学各論隠花部:434, 1911(明 44); 伊藤誠哉:北大農紀要 11(4):273, 1922(大 11)

[備考] ヤマハゼ (*R. sylvestris*) にも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農林水産技術会議指定試験(病虫害) 3:5, 1963

とうそう病* toso-byo Spot anthracnose (痘瘡病, 黒痘病)

Sphaceloma rhois Bitancourt & Jenkins

香月繁孝:九州農業研究 12:53, 1953; 橋本平一:日林誌 41(6):239, 1959

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(2) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:7, 1960

[備考] (2) については疑問種とする意見がある (Plaats-Niterink:Studies in Mycology 21:1-242, 1981)

斑点病 hanten-byo

Phyllosticta toxica Ellis & Everhart

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:137, 1960; 伊藤一雄:樹病学大系 3:248, 1974

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

原 攝祐:果樹病害論:61, 1916 (大 5)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Xiphinema bakeri* Williams クワオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

††††

Aecidium incrassatum Sydow & P. Sydow

Sydow, H. & Sydow, P.:Ann. Mycol. 13:36, 1915(大 4) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):371, 1950

[備考] ヤマハゼ

††††

Botryosphaeria quercuum (Schweinitz) Saccardo

勝本 謙:植研雑 41(11):330, 1966

ウルシ(漆)

Varnish tree, Lacquer tree

Rhus verniciflua Stokes

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 白黴病)

Erysiphe verniciferae (Hennings) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula verniciferae* Hennings]

白井光太郎:植物病理学(下):192, 1900(明 33) ; 千石与太郎:愛媛県農会報 43:1, 1902(明 35) ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):355, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012

[備考] ヤマウルシにも発生

角斑病 kakuhan-byo

Cercospora rhois Sawada

澤田兼吉:林試研報 105(東北地方菌類調査報告 IV):92, 1958

褐斑病 kappan-byo

Pseudocercospora rhoina (Cooke & Ellis) Deighton [*Cercospora rhoina* Cooke & Ellis]

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):71, 1960 ; 小林享夫:日本植物病害大事典(岸 國平編):179, 1998

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

伊藤一雄:図説樹病講義:55, 1955

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

さび病 sabi-byo Rust

Pileolaria shiraiana (Dietel & P. Sydow) S. Ito [*Uromyces shiraianus* Dietel & P. Sydow]

西田藤次:植物学雑誌 16(190):271, 1902(明 35) ; 安田 篤:植物学各論隠花部 434, 1911(明 44) ; 伊藤誠哉:北大農紀要 11(4):273, 1922(大 11)

[備考] ヤマウルシ (*R. trichocarpa*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984 ; Takemoto, S. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 78(1):77, 2012

[備考] ウルシ, ヤマウルシに発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Colletotrichum rhoinum* sensu Fukui non Tassi, *Myxosporium rhois* (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo]

福井武治:病虫雑誌 5(8):630, 1918(大 8) ; 伊藤一雄・小林享夫:日林誌 41(10):407, 1959 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

(2) *Colletotrichum rhoinum* Tassi

伊藤一雄・小林享夫:日林誌 41(10):408, 1959

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(2) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:7, 1960

[備考] (2) については疑問種とする意見がある (Plaats-Niterink: Studies in Mycology 21:1-242, 1981)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

農務省農事試験場:農試要報 11(農作物の病害):34, 1902(明 35) ; 三浦道哉:りんごの病気:113, 1917(大 6)

[備考] 病原菌の異名はクワ紫紋羽病参照

輪斑病 rinhan-byo Zonate leaf spot

Acrosporum viticola Ikata [*Gonatophragmium mori* (Sawada) Deighton]

高橋幸吉・寺峰 孜:日植病報 52(3):405, 1986

タイトウウルシ

(*Semecarpus*)

Semecarpus longifolia Blume

(広葉樹)

†**赤衣病** akagoromo-byo Pink disease

Erythriscium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3) ; 阿部恭久:植物病原菌図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾

タマゴノキ
(Spondias)
Spondias cytherea Sonn.
(果樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot
Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ
島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013
[備考] 接種試験未了

バンレイシ科 Annonaceae

アテモヤ

Atemoya

Annona × *atemoya* Hort. & Wester

(果樹)

枝枯病 edagare-byo Die back

Fusarium decemcellulare Brick

外側正之ら:日植病報 60(3):343, 1994 ; 外側正之・野村明子:日植病報 64(3):217, 1998

[備考] アテモヤ (*Annona atemoya*) (バンレイシとチェリモヤ *A. cherimola* の交雑種)

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer*

小野 剛ら:関東病虫研報 61:67, 2014

[備考] 貯蔵中の果実に発生

すすかび病 susukabi-byo Sooty spot

Pseudocercospora anthonicola W.H. Hsieh & Goh

Nakashima, C. et al.:Mycoscience 43:95, 2002

[備考] 現在本菌の所属が変更され, *Pseudocercospora annonae-squamosae* Braun & Castaneda (Braun & Castaneda, Cryptog. Bot. 1:50, 1989) となった。接種試験未了

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum theobromicola Delacroix

森田琴子ら:関東病虫研報 62:73, 2015 ; 森田琴子ら:日植病報 81(3):207, 2015

バンレイシ類

(Annona)

Annona spp.

(果樹)

バンレイシ(シャカトウ, シュガーアップル)(蕃荔枝, 釈迦頭) Sugar apple, Sweet sop, Castard apple of India *A. squamosa* L.

トゲバンレイシ(刺蕃荔枝, オランダドリアン)(刺蕃荔枝) Soursop, Guanabana *A. muricata* L.

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus stolonifer* (Ehrenberg) Vuillemin]

佐藤豊三:東京農試研報 20:21, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987

[備考] バンレイシ・トゲバンレイシ。病原菌の学名は Schipper, M. A. A.:Stud. Mycol. 25:9, 1984 参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum theobromicola Delacroix [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

佐藤豊三:東京農試研報 20:26, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017

[備考] バンレイシ・トゲバンレイシに発生

ポポー(ポーポー, アケビガキ)

Papaw, Pawpaw
Asimina triloba Dunal
(果樹)

すす点病 susuten-byo Fly speck
Zygophiala jamaicensis E.W. Mason
那須英夫・中尾茂夫:日植病報 49(3):403, 1983

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot
Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka
Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:4, 1949

セリ科 *Apiaceae, Umbelliferae*

フランネルフラワー

Flannel flower

Actinotus helianthi L.

(草花)

苗立枯病 *nae-tachigare-byo* Damping-off

Pythium sp. (the *Pythium irregulare* species complex)

渡辺秀樹ら:関西病虫研報 52:73, 2010

ホワイトレースフラワー

White lace flower

Ammi majus L.

(草花)

††††

Ammi majus latent virus (AmLV) ドクゼリモドキ潜在ウイルス

金 沃宣ら:日植病報 70(3):263, 2004

[備考] 潜在感染

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Konjac mosaic virus (KoMV) [Japanese honewort mosaic virus] コンニャクモザイクウイルス

金 沃宣ら:日植病報 70(1):32, 2004

萎黄病 *io-byo*

Phytoplasma ファイトプラズマ

加藤昭輔ら:日植病報 57(1):75, 1991

[備考] 病原体の確認の記載なし

萎凋病 *icho-byo* Fusarium wilt

Gibberella zeae (Schweinitz) Petch [不完全世代: *Fusarium graminearum* Schwabe]

廣岡裕吏ら:日植病報 73(3):178, 2007

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew

Oidium sp.

植松清次ら:日植病報 63(6):495, 1997

[備考] 接種試験未了。病原菌の発芽管は *Erysiphe polygoni* 型

疫病 *eki-byo* Phytophthora rot

Phytophthora cryptogea Pethybridge & Lafferty emend. Ho & Jong

植松清次ら:日植病報 59(6):731, 1993

黄斑病 *ohan-byo* Yellow spot

Pleospora herbarum (Persoon) Rabenhorst

鐘ヶ江良彦ら:日植病報 78(3):188, 2012 ; Kurose, D. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(2):169, 2015

[備考] 鐘ヶ江ら(2012)は本病菌を *Stemphylium* sp. と同定したが³, Kurose *et al.*(2015)が³*P. herbarum* と再同定した

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

菅野博英・大久保博人:日植病報 64(6):611, 1998 ; 菅野博英・大久保博人:北日本病 虫研報 50:115, 1999

立枯病 tachigare-byo Root rot and stem rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

植松清次ら:関東病虫研報 40:85, 1993

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅野博英・本蔵良三:北日本病虫研報 49:91, 1998

ディル

Dill

Anethum graveolens L.

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

小板橋基夫・西村範夫:日植病報 69(1):21, 2003

[備考] *Pseudoidium* 亜属。 *Erysiphe heraclei* に似る

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium sp.

草刈眞一ら:日植病報 61(3):220, 1995

[備考] 水耕栽培で発生。接種試験未了

トウキ(ニホントウキ, 当帰)

(Angelica)

Angelica acutiloba (Sieb. & Zucc.) Kitagawa

[*Ligusticum acutiloba* Sieb. & Zucc.]

(特用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

李 準瑋ら:日植病報 47(1):137, 1981

[備考] 病徴未記載

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

前川和正・相野公孝:日植病報 65(3):408, 1999 ; 前川和正ら:関西病虫研報 46:43, 2004

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

根腐病 negusare-byo

Phoma sp.

阿部秀夫ら:日植病報 46(1):102, 1980

雪腐病 yukigusare-byo Snow mold

Sclerotinia nivalis I. Saito

Saito, I.:Mycoscience 38:227, 1997 ; 齊藤 泉:日菌報 38(2):97, 1997

[備考] 接種試験未了

††††

Phoma sp.

川部眞登ら:日植病報 82(3):231, 2016

[備考] 斑点症状。病名未定案。根腐病との異同は検討を要する

††††

Fusarium sp. (the *Fusarium solani* species complex)

佐藤豊三ら:日植病報 83(3):186, 2017

[備考] 地際・主根腐敗。接種試験未了。病名未提案

アマニユウ

(Angelica)

Angelica edulis Miyabe

(草花)

††††

Potyvirus

城戸響介ら:日植病報 83(3):216, 2017

[備考] 葉脈黄化・輪紋症状。接種試験未了。新種と考えられる。病名未提案

アシタバ

Ashitaba

Angelica keiskei (Miq.) Koidz.

(野菜)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

宮岸壮樹ら:日植病報 62(6):612, 1996

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

佐藤幸生ら:日植病報 62(3):263, 1996

疫病 eki-byo

(1) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 55(4):494, 1989

(2) *Phytophthora primulae* J.A. Tomlinson

小野 剛ら:関東病虫研報 63:123, 2016

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 43:67, 1996

黒枯病 kurogare-byo Phoma blight
Phoma sp.
小野 剛ら:関東病虫研報 59:27, 2012

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
栄森弘己:関東病虫研報 42:141, 1995

根腐病 negusare-byo Pythium rot
Pythium sylvaticum W.A. Campbell & F.F. Hendrix
竹内 純ら:日植病報 75(1):51, 2009

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
竹内 純ら:関東病虫研報 42:105, 1995

葉枯病 hagare-byo Leaf spot
(1) *Septoria dearnessii* Ellis & Everhart
竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 42:111, 1995
(2) *Septoria* sp.
竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 42:111, 1995

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
久保田まや ら:関東病虫研報 41:129, 1994
[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight
(1) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn
小野 剛ら:関東病虫研報 59:27, 2012
[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB
(2) *Thanatephorus cucumeris* (A.B. Frank) Donk
久保田まや ら:関東病虫研報 41:129, 1994 ; 星 秀男・堀江博道:関東病虫研報 51:25, 2004
[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB。 *Rhizoctonia solani* Kühn の完全世代

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

††††
Potyvirus 属ウイルス
宮田朋枝ら:日植病報 77(3):228, 2011
[備考] モザイクおよび輪紋症状

チャービル
Chervil
Anthriscus cerefolium (L.) Hoffm.
(野菜)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

小板橋基夫・西村範夫:日植病報 69(1):21, 2003

[備考] *Pseudoidium* 亜属

プレクトスフェレラ腐敗病 *Plectosphaerella-fuhai-byo* *Plectosphaerella* rot

Plectosphaerella pauciseptata A.J.L. Phillips, A. Carlucci & M.L. Raimondo

森井智美ら:日植病報 78(3):185, 2012 ; Usami, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):368, 2012 ; 宇佐見俊行・

森井智美:植物防疫 67(7):388, 2013

[備考] 森井ら(2012)は病原を *Plectosporium tabacinum* としたが, Usami *et al.*(2012)は本病原に改めた

セルリー(セロリー, オランダミツバ, 塘蒿)
Celery
Apium graveolens L.
(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Celery mosaic virus* (CeMV) セルリーモザイクウイルス

松本直子ら:日植病報 42(3):383, 1976

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 山本孝猗ら:四国植防 15:31, 1980

[備考] ウイルス(未同定)によるウイルス病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:109, 1933(昭 8)

マイコプラズマ病* *mycoplasma-byo* (萎黄病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 37(3):194, 1971 ; 根本正康ら:北海道農試研報 109:107, 1974 ; 奥田誠一:宇都宮大農学報特輯 32:1, 1977

[備考] 奥田誠一らは萎黄病と命名したが, この病名は *Fusarium oxysporum* による病害に対してすでに付けられているので (吉野正義:日植病報 32(5):299, 1966), 本病名をマイコプラズマ病とした。伝染試験なし

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病, 芽枯病, 細菌病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

南部信方:病虫雑 1(3):291, 1914(大 3) ; 中田覺五郎:作物病害図編:486, 1934(昭 9) ; 中田覺五郎ら:作物病害図編:347, 1957

葉枯細菌病* hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight (葉枯性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *apii* (Jagger 1921) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas apii* Jagger]

中田覺五郎・明日山秀文:満州国主要農作物病害調査報告:131, 1938(昭 13)

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

富永時任ら:日植病報 25(1):15, 1960

腐敗病 fuhai-byo

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

吉村美由紀ら:日植病報 51(1):96, 1985

萎黄病 io-byo Fusarium yellows

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *apii* W.C. Snyder & H.N. Hansen

吉野正義:日植病報 32(5):299, 1966 ; 赤沼礼一・清水時哉:長野野菜花き試報 8:65, 1994

萎縮炭疽病 ishuku-tanso-byo Stunt anthracnose

Colletotrichum nymphaeae (Passerini) Aa [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds, *Colletotrichum simmondsii* R.G. Shivas & Y.P. Tan]

藤永真史ら:日植病報 77(1):39, 2011 ; Fujinaga, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):243, 2011 ; 山岸菜穂ら:植物防疫 66(1):31, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

黄化病 oka-byo

Verticillium dahliae Klebahn

武田和男ら:日植病報 52(3):533, 1986

菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:病虫雑 8(9):463, 1921(大 10)

[備考] 南部信方(病虫雑 1(3):290, 1914)は *Sclerotinia* sp. を茎腐敗病として記載したが本病との関係は明らかでない

茎枯病 kukigare-byo

Stemphylium sp.

菅田重雄:新しい病害虫, 1976

ジベルロブシス腐敗病 Gibellulopsis-fuhai-byo Gibellulopsis rot

Gibellulopsis nigrescens (Pethybridge) Zare, W. Gams & Summerbell

宇佐美俊行・片桐春奈:日植病報 81(3):216, 2015

立枯病 tachigare-byo Rhizoctonia rot

Rhizoctonia sp.

南部信方:病虫雑 1(3):290, 1914(大 3)

[備考] 簡単な記載のため調査を要する。中田覺五郎・明日山秀文 (満州国主要農作物病害調報:131, 1938) は報告の中で, *Rhizoctonia* sp. による病害を根腐病と記載している

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum fioriniae (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

竹内 純ら:日植病報 66(2):92, 2000 ; 藤永真史ら:日植病報 77(1):39, 2011 ; Fujinaga, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):243, 2011 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 47:43, 2000

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小野 剛ら:関東病虫研報 57:35, 2010

葉枯病 hagare-byo Late blight (セプトリア斑点病, 白星病, 斑点病)

Septoria apiicola Spegazzini [*Septoria apii* (Briosi & Cavara) Chester]

南部信方:病虫雑 1(3):290, 1914(大 3); 西田藤次:園芸之友 12(1):21, 1916(大 5); 宇田川俊一ら:菌類図鑑 (下):1179, 1978

斑点病 hanten-byo Early blight (黒斑病, 褐斑病)

Cercospora apii Fresenius

出田 新:日本植物病理学:766, 1911(明 44); 南部信方:病虫雑 1(3):290, 1914(大 3)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:96, 1968

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病, 根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938; 後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961; 後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28); 鏑木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7); 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††根腐病 negusare-byo Root rot, Crown rot

Phoma apiicola Klebahn

中田覺五郎・明日山秀文:満州国主要農作物病害調報:131, 1938(昭 13)

[備考] 中国北東部報告のなかで紹介

††††

Pilobolus sp.

飯嶋 勉・神田 多:関東病虫研報 14:51, 1967

ミシマサイコ(三島柴胡)

Buplever

Bupleurum falcatum L.

(特用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

李 準璋ら:日植病報 47(1), 1981

[備考] 病徴未記載

(2) *Panax virus Y* (PanVY) サンシチニンジン Y ウイルス

一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017

[備考] 葉の凹凸や黄化症状。戻し接種なし

萎黄病 io-byo Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

塩見敏樹ら:日植病報 47(1):92, 1981 ; 塩見敏樹ら:日植病報 49(2):228, 1983

††††

Septoria sp.

佐藤豊三ら:日植病報 83(3):186, 2017

[備考] 葉に斑点症状。接種試験未了。病名未提案

ブプレウルム

(*Bupleurum*)

Bupleurum spp.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Clover yellow vein virus (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス

山本英樹:日植病報 69(4):420, 2003

[備考] *B. griffithii* (Tourn.) L. に発生

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

外側正之:関西病虫研報 42:77, 2000

[備考] *B. rotundifolium* L. に発生

センキュウ

(*Cnidium*)

Cnidium officinale Makino

(特用作物)

黒色根腐病 kokushoku-negusare-byo

Phoma sp.

田中民夫ら:日植病報 52(1):139, 1986

コリアンダー(コエンドロ, 香菜, シャンサイ)

Coriander

Coriandrum sativum L.

(野菜)

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *coriandricola* Toben & Rudolph 1996

菊池明日香ら:日植病報 83(1):61, 2017

株枯病 kabugare-byo Stem rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal

外側正之ら:日植病報 64(4):435, 1998

プレクトスフェレラ腐敗病 *Plectosphaerella-fuhai-byo* Plectosphaerella rot

Plectosphaerella pauciseptata A.J.L. Phillips, A. Carlucci & M.L. Raimondo

森井智美ら:日植病報 78(3):185, 2012 ; Usami, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):368, 2012 ; 宇佐見俊行・

森井智美:植物防疫 67(7):388, 2013

[備考] 森井ら(2012)は病原を *Plectosporium tabacinum* としたが, Usami *et al.* (2012)は本病原に改めた

†軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

Karnjanarat, S. ら:日植病報 50(3):422, 1984

[備考] タイ

ミツバ(野蜀葵, 鴨兒芹)

Japanese honeysort

Cryptotaenia japonica Hassk.

(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 河合一郎:園芸病害編:280, 1954

(2) *Konjac mosaic virus* (KoMV) [Japanese honeysort mosaic virus] コンニャクモザイクウイルス

Okuno, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 69(2):138, 2003

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 34(5):349, 1968 ; 奥田誠一・西村典夫:日植病報 40(5):439, 1974

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

後藤正夫:日植病報 24(3):188, 1959

円形葉枯病 enkei-hagare-byo Brown spot

Phyllosticta cryptotaeniae Sawada

宮田善雄:京都府立大学学術報告 農学 16:19, 1964

株枯病 kabugare-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *apii* W.C. Snyder & H.N. Hansen

白浜賢一ら:土壌病害の手引 I:8, 1962

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

堀 正太郎:病虫雑 2(2):107, 1915(大 4)

黒根病 kurone-byo Black root rot (22-512)

Chalara elegans Nag Raj & W.B. Kendrick

粕山新二・井上幸次:日植病報 62(6):630, 1996

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia tokyensis P. Sydow & Sydow [*Puccinia cryptotaeniae* Kusano]

草野俊助:植物学雑 16(187):201, 1902(明 35) ; 原 攝祐:実用作物病理学:474, 1925(大 14)

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

八田茂徳ら:日植病報 41(3):272, 1975 ; 草刈眞一ら:農及園 50(12):1525, 1975 ; 藤田智美・百町満朗:日植病報 73(3):184, 2007 ; 三澤知央・黒川太郎:日植病報 75(1):87, 2009 ; 三澤知央・黒川太郎:北日本病虫研報 62:85, 2011

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, AG-2-2 IIIB および AG-4 HG-1。病菌の異名はトマト苗立枯病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum tabacum Böning [*Colletotrichum destructivum* O'Gara]

下元祥史ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; 森脇丈治ら:日植病報 82(3):236, 2016

根腐病 negusare-byo

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

一谷多喜郎ら:関西病虫研報 22:76, 1980

(2) *Pythium apteroticum* Tokunaga

一谷多喜郎ら:関西病虫研報 22:76, 1980

(3) *Pythium* sp.

宮田善雄ら:日植病報 43(3):338, 1977

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

草刈眞一ら:日植病報 62(6):631, 1996 ; 岡田清嗣・草刈眞一:日植病報 66(3):242, 2000

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora apii Fresenius

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):44, 1960

変形菌病 henkeikin-byo

Phyisarum cinereum (Batsch) Persoon

米山伸吾:新しい病害虫, 1976

べと病* beto-byo Downy mildew

Plasmopara nivea (Unger) J. Schröter

富樫浩吾:日本植物学輯報 2:78, 1924(大 13)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

ニンジン(人参, 胡蘿蔔)

Carrot

Daucus carota L. var. *sativus* Hoffm.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Carrot latent virus (CtLV) ニンジン潜在ウイルス

大木 理ら:日植病報 44(1):61, 1978 ; 大木 理ら:日植病報 44(2):202, 1978

(2) Carrot rhabdovirus# (CRV) ニンジンラブドウイルス

山下修一ら:日植病報 48(3):395, 1982

[備考] 伝染性未確認。戻し接種なし

(3) *Carrot temperate virus 1* (CTeV-1) ニンジン潜伏ウイルス 1

夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:21, 1984

[備考] 無病徴保毒

(4) *Carrot temperate virus 2* (CTeV-2) ニンジン潜伏ウイルス 2

夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:21, 1984

[備考] 無病徴保毒

(5) *Carrot temperate virus 3* (CTeV-3) ニンジン潜伏ウイルス 3

夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:21, 1984

[備考] 無病徴保毒

(6) *Carrot temperate virus 4* (CTeV-4) ニンジン潜伏ウイルス 4

夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:21, 1984

[備考] 無病徴保毒

黄化病 oka-byo Yellows

(1) *Carrot mottle mimic virus* (CMoMV) ニンジン斑紋ミミックウイルス

山城 郁ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015

(2) *Carrot mottle virus* (CMoV) ニンジン斑紋ウイルス

吉田直人ら:日植病報 81(3):279, 2015

(3) *Carrot red leaf virus* (CtRLV) ニンジン黄化ウイルス

小室康雄・山下 功:日植病報 20(4):155, 1956 ; 岩木満朗・小室康雄:日植病報 33(5):317, 1967 ; 大木 理ら:
日植病報 45(1):74, 1979 ; 山城 郁ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015

黄葉病 oyo-byo Yellow leaf

Carrot yellow leaf virus (CYLV) ニンジン黄葉ウイルス

山下修一ら:日植病報 42(3):382, 1976

[備考] 戻し接種なし

微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo

Broad bean wilt virus 2 (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウイルトウイルス 2

藤澤一郎ら:日植病報 51(3):354, 1985 ; 藤澤一郎ら:関西病虫研報 29:1, 1987 ; 藤 晋一ら:日植病報
79(3):224, 2013

[備考] 藤澤ら(1985, 1987)の株を藤ら(2013)が検証し BBWV-2 とした

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Celery mosaic virus* (CeMV) セルリーモザイクウイルス

岩木満朗・小室康雄:日植病報 36(1):36, 1970

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

岩木満朗・小室康雄:日植病報 36(1):36, 1970

萎黄病 io-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

根本正康:日植病報 32(2):82, 1966 ; 都崎芳久・上原 等:日植病報 41(1):95, 1975 ; 都崎芳久・上原 等:日
植病報 43(1):102, 1978

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Rhizobacter dauci Goto & Kuwata 1988

桑田博隆・後藤正夫:日植病報 52(3):505, 1986 ; 後藤正夫・桑田博隆:日植病報 52(3):504, 1986 ; Goto, M.
& Kuwata, H.:Int. J. Syst. Bacteriol. 38(3):233, 1988 ; Kawarazaki, H. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 75(3):235, 2009

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942

岸 國平・上住 泰:原色野菜の病虫害防除:218, 1977 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることは
できない

ストレプトミセスそうか病 *Streptomyces*-soka-byo *Streptomyces* scab

Streptomyces sp.

阿部秀夫ら:日植病報 60(6):791, 1994 ; 相馬 潤ら:日植病報 61(6):648, 1995

[備考] 病原菌名として *S. turgidiscabies* が提案されている

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病, 細菌病, 軟化病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus*
carotovorus Jones, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer &
Huntoon 1923]

出田 新:日本植物病理学:81, 1903(明 36)

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial blight

Xanthomonas hortorum pv. *carotae* (Kendrick 1934) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Pseudomonas carotae* Kendrick, *Xanthomonas campestris* pv. *carotae* (Kendrick 1934) Dye 1978]

中田覺五郎・明日山秀文:満州国主要農作物病害調報:133, 1938(昭 13) ; 西山幸司ら:日植病報 45(5):683, 1979

萎凋病 icho-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal

金城衣恵ら:日植病報 55(4):496, 1989

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe heraclei de Candolle

新須利則:九病虫研会報 14:117, 1968 ; 丹田誠之助ら:農学集報 18:123, 1973 ; 我孫子和雄:日植病報 42(4):491, 1976 ; 野村幸彦ら:農学集報 21:23, 1976

疫病 eki-byo Soft rot

(1) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

金城衣恵ら:日植病報 75(3):185, 2009

(2) *Phytophthora* sp.

小玉孝司・芳岡昭夫:関西病虫研報 13:60, 1971

褐色根腐病 kasshoku-negusare-byo Brown root rot

Cylindrocarpon obtusisporum (Cooke & Harkness) Wollenweber

桑田博隆ら:北日本病虫研報 36:155, 1985

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Phoma dauci Arx

原 攝祐:実用作物病理学:456, 1925(大 14) ; 田中彰一・岸 國平:蔬菜の病害と防除法:219, 1963

[備考] 原が用いた *Phoma sanguinolenta* と本菌の関係は明らかでない

乾腐病 kampu-byo Dry rot

(1) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo

阿部秀夫ら:日植病報 63(6):531, 1997 ; 大上大輔ら:日植病報 63(6):531, 1997

[備考] 大上ら (1997) は病原性を有する *Fusarium graminearum* も分離した

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

金子洋平ら:関東病虫研報 64:18, 2017 ; 金子洋平ら:関東病虫研報 64:146, 2017

[備考] 分化型未検討。黒しみ病と似るが、形態とニンジン根部の亀裂症状が異なる

(3) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *radicicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen

清水節夫ら:日植病報 51(3):333, 1985

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot (結核病)

(1) *Sclerotinia intermedia* Ramsey

杉本利哉ら:北大農紀要 3(2):121, 1959

(2) *Sclerotinia sclerotiorum* (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

白井光太郎:植物病理学(下):149, 1894(明 27)

黒あざ病 kuroaza-byo Black scurf

Rhizoctonia sp. (binucleate)

三澤知央・戸田 武:日植病報 78(3):187, 2012 ; Misawa, T. & Toda, T.:J. Gen. Plant Pathol. 79(1):86, 2013

[備考] 菌糸融合群 AG-U

黒しみ病 kuroshimi-byo Black blotted root rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal

長浜 恵ら:日植病報 62(6):647, 1996

[備考] 病原菌の菌学的記述を要する

黒すす病 kurosusu-byo

(1) *Thielaviopsis basicola* (Berk. & Broome) Ferraris [*Chalara elegans* Nag Raj & W.B. Kendrick]

大上大輔:日植病報 61(6):650, 1995 ; 堀田治邦・大上大輔:北農 82(4):385, 2015

(2) *Thielaviopsis thielavioides* (Peyronel) A.E. Paulin, T.C. Harr. & McNew [*Chalara thielavioides* (Peyronel) Nag Rai & W.B. Kendrick, *Chalaropsis thielavioides* Peyronel]

堀田治邦ら:日植病報 55(1):111, 1989 ; 堀田治邦・大上大輔:北農 82(4):385, 2015

黒葉枯病 kuro-hagare-byo Leaf blight

Alternaria dauci (J.G. Kühn) J.W. Groves & Skolko [*Alternaria carotae* (Ellis & Langlois) J.A. Stevenson & Wellman]

後藤和夫:病虫雑 14(8):454, 1927(昭 2) ; 後藤和夫:盛岡高農学彙報 4:1, 1927(昭 2)

黒色根腐病 kokushoku-negusare-byo

Mycocentrospora acerina (R. Hartig) Deighton [*Scytalidium* sp.]

桑田博隆ら:日植病報 49(3):404, 1983 ; 及川 健ら:北日本病虫研報 38:54, 198

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria black rot

Alternaria radicina Meier, Drechsler & E.D. Eddy

吉井 甫:病虫雑 16(11):660, 1929(昭 4)

しみ腐病 shimigusare-byo Brown blotted root rot

Pythium sulcatum R.G. Pratt & J.E. Mitchell

長井雄治ら:日植病報 50(3):393, 1984 ; 渡辺恒雄ら:日植病報 52(2):287, 1986

[備考] Suffeert, F. and J.-M. Kycas (J. Gen. Plant Pathol. 74(4):296, 2008) はフランスで *Pythium violae* Chesters & Hickman によるしみ腐病を紹介した

しゅよう病 shuyo-byo (腫瘍病)

Protomyces macrosporus Unger

原 攝祐:実用作物病理学:455, 1925(大 14)

[備考] 調査を要する

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

河合一郎:農作物病害編:334, 1948 ; 河合一郎:園芸病害編:239, 1954

白かび病 shirokabi-byo Sour rot

Geotrichum candidum Link

堀田治邦・八田 洋:日植病報 70(1):86, 2004 ; Horita, H & Hatta, Y:J. Gen. Plant Pathol. 82(1):65, 2016

そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma sp.

後藤和夫・小林茂子:日植病報 21(1):39, 1956

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp. (the *Colletotrichum gloeosporioides* species complex)

石川成寿ら:日植病報 81(1):51, 2015

苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

米本謙悟ら:日植病報 71(3):217, 2005 ; 米本謙悟ら:日植病報 74(1):20, 2008 ; 山内智史ら:関東病虫研報 59:19, 2012 ; 三澤知央ら:日植病報 79(1):63, 2013 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 64:76, 2013

[備考] 菌糸融合群 AG-4 HG-II (米本ら, 2005), AG-4 HG-I (山内ら, 2012), および AG-1 IC (三澤ら, 2013)。

米本ら(2005)は初め立枯病としたが, 後に苗立枯病と訂正した

ならたけ病* naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

原田幸雄:日菌報 21(4):518, 1980

[備考] ナラタケの学名については, 勝本 謙:新編植物病原菌類解説:135, 1996 を参照

根腐病 negusare-byo Damping-off, Crown rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

長井雄治・深津量栄:日植病報 37(5):369, 1971

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照

斑点病 hanten-byo Cercospora blight

Cercospora carotae (Passerini) Solheim [*Cercospora apii* Fresenius var. *carotae* Passerini]

村田壽太郎:病虫雑 8(4):185, 1921(大 10) ; 香月繁孝:日植病報 15(3-4):143, 1951

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

鈴木直治:植物防疫 6(5):22, 1952

[備考] 原 攝祐 (病虫雑 7(6):337, 1920) が記載した栗色紋羽病 (*Rhizoctonia violacea*) は本病と同じではないかと考えられる

雪腐病 yukigusare-byo Snow mold

Sclerotinia nivalis I. Saito

Saito, I.:Mycoscience 38:227, 1997 ; 齊藤 泉:日菌報 38(2):97, 1997

[備考] 接種試験未了。国内で報告された *S. intermedia* は本菌であるとした

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Winter rot

(1) *Typhula japonica* Terui

池田幸子ら:日植病報 78(1):61, 2012 ; 池田幸子ら:日植病報 81(3):210, 2015 ; Ikeda, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 82(5):286, 2016 (2) *Typhula variabilis* Riess

池田幸子ら:日植病報 78(1):61, 2012 ; 池田幸子ら:日植病報 81(3):210, 2015 ; Ikeda, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 82(5):286, 2016

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(2) *Gracilacus yokooi* Toida, Ohshima & Hirata ピンセンチュウの1種

Kashio, T. & Yokoo, T.: Agr. Bull. Saga Univ. 32:57, 1972

[備考] 接種試験の結果。*Paratylenchus aciculus* Brown として報告されたが、後に本種として記載された (Toida, Y. *et al.*: Jpn. J. Nematol. 12:15, 1985)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜: 九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜: 宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus crenatus* Loof ノコギリネグサレセンチュウ

山田英一: 北日本病虫研報 17:101, 1966

[備考] 接種試験の結果

(3) *Pratylenchus fallax* Seinhorst キクネグサレセンチュウ

小林義明: 静岡県農試研報 17:21, 1972

(4) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一: 北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験の結果

(5) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一: 北日本病虫研報 18:124, 1967

(6) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

西澤 務: 関西病虫研報 1:128, 1958 ; 横尾多美男: 佐賀大農彙 14:161, 1962

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 指根病, 根線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎: 今月の農薬 2(12):45, 1958

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正: 北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔: 応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] サツマイモネコブセンチュウ

近藤鶴彦: 植物防疫 6(910):352, 1952 ; 一戸 稔: 応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎: 今月の農薬 2(12):45, 1958

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫: 日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.: Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] 接種試験の結果。*M. mali* として報告されたが、本種の記載に際し訂正された

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

堀 正太郎: 農及園 3(3):292, 1928(昭3) ; 楠木外岐雄: 実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

†環紋病 kammon-byo

Septoria daucina Brunaud

石山哲爾: 農及園 13(10):2336, 1938(昭13)

[備考] 樺太

††††

Phytophthora sp.

小玉孝司・芳岡昭夫:関西病虫研報 13:60, 1971

エリンギウム

(*Eryngium*)

Eryngium spp.

(草花)

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

我孫子和雄ら:関西病虫研報 39:29, 1997

フェンネル(ウイキョウ)

Fennel

Foeniculum vulgare P. Mill. Sweet fennel

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

竹内 純ら:日植病報 71(1):33, 2005

[備考] *Pseudoidium* 亜属

白かび病 shirokabi-byo

Passalora puncta (Lacroix) Petzoldt [*Passalora punctum* (Delacroix) S. Petzoldt]

中島千晴ら:日植病報 76(3):200, 2010

ハマボウフウ

Hama-bohu

Glehnia littoralis Fr. Schm.

(野菜)

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia phellopteri Sydow & P. Sydow [*Puccinia phelloptericola* Sawada]

三宅 勉:札幌農紀要 2:120, 1906(明 39)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

永島 進ら:日植病報 73(1):61, 2007

立枯病 tachigare-byo Rhizoctonia rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

森田琴子ら:関東病虫研報 62:87, 2015

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Plasmopara nivea (Unger) J. Schröter
出田 新:日本植物病理学:150, 1903(明 36)

セリ(水芹)
Water dropwort
Oenanthe javanica (Blume) DC.
(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus
Celery mosaic virus (CeMV) セルリーモザイクウイルス
松本直子ら:日植病報 42(3):383, 1976

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Konjac mosaic virus (KoMV) [Japanese honewort mosaic virus] コンニャクモザイクウイルス
山下一夫・福井要子:日植病報 70(1):50, 2004
[備考] 戻し接種なし

萎黄病 io-byo Yellows
Phytoplasma ファイトプラズマ
塩見敏樹ら:日植病報 48(1):78, 1982 ; 塩見敏樹ら:日植病報 49(3):367, 1983

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot
Sclerotinia sp.
高橋智恵子・月星隆雄:日植病報 76(3):201, 2010

さび病 sabi-byo Rust
Puccinia oenanthes-stoloniferae S. Ito ex Tranzschel [*Puccinia oenanthes* (Dietel) I. Miyake]
澤田兼吉:台湾中研農業部報告 35(台湾菌類調査報告 4):64, 1928(昭 3) ; 平塚直秀:札幌博物会報 16:206, 1941(昭 16) ; 平塚直秀:琉球大農学報 7:262, 1960

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
高橋智恵子・月星隆雄:北日本病虫研報 63:78, 2012

すす斑病 susuhan-byo (円星病)
Cercospora selini-gmelini Chupp
富樫浩吾・香月繁孝:植物学雑 65(763-764):24, 1952 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):74, 1960 ; 香月繁孝:植物防疫 24(7):287, 1970

葉枯病 hagare-byo
Septoria apiicola Spegazzini
本蔵良三ら:日植病報 54(1):90, 1988

葉腐病 hagusare-byo Pythium leaf rot
Pythium afertile Kanouse & T. Humphrey
本蔵良三ら:日植病報 61(6):644, 1995 ; 本蔵良三ら:宮城県農業短期大学術報 51:17, 2003

††††

Botrytis sp., *Pythium* sp., *Sclerotinia* sp.
横木国臣ら:日植病報 25(1):56, 1960

アメリカボウフウ
Parsnip
Pastinaca sativa L.
(野菜)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (節根病)
Meloidogyne sp. [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種
小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28)
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜)
Parsley
Petroselinum crispum Nym.
(野菜)

萎黄病 io-byo Yellows
Phytoplasma ファイトプラズマ
根本正康ら:北海道農試研報 109:107, 1974
[備考] 伝染試験なし

軟腐病* nampu-byo Bacterial soft rot (白星病, 腐敗病)
Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]
原 攝祐:実験作物病理学:775, 1930(昭 5)

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot
Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925
長田 茂:北日本病虫研報 45:80, 1994

萎凋病 icho-byo
Fusarium oxysporum Schlechtendal
粕山新二:日植病報 55(1):98, 1989

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Erysiphe heraclei de Candolle
都崎芳久・十河和博:四国植防 24:47, 1989

疫病 eki-byo
Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur]
赤山喜一郎ら:日植病報 52(3):533, 1986

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

落合幾美ら:日植病報 74(3):176, 2008

白星病 shirahoshi-byo Leaf blight

Septoria petroselini Desmazières

原 攝祐:実用作物病理学:474, 1925(大 14)

立枯病 tachigare-byo Fusarium blight

Fusarium solani (Martius) Saccardo

楠 幹生ら:日植病報 59(3):285, 1993

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum nymphaeae (Passerini) Aa [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

植松清次ら:日植病報 57(3):398, 1991 ; 植松清次ら:日植病報 79(3):184, 2013

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

植松清次ら:関東病虫研報 40:85, 1993

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

根くびれ病 nekubire-byo Foot rot

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo

清水時哉ら:日植病報 61(3):219, 1995

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

森 充隆ら:四国植防 30:85, 1995

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅野博英・本蔵良三:北日本病虫研報 49:91, 1998

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Cercospora sp.

白浜賢一:農薬 7(6):47, 1960

[備考] 調査を要する

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

海老原克介ら:日植病報 66(2):95, 2000

斑点病 hanten-byo Leaf spot (黒斑病)

Cercospora apii Fresenius

西田藤次・前原最蔵:作物病害教科書:125, 1923(大 12)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病)

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

++++レッドリーフ症状 Red-leaf-shojo Red leaf

Virus

藤永真史ら:日植病報 76(3):189, 2010

[備考] *Carrot mottle virus* と高い相同性を示すウイルスと *Carrot red leaf virus* (CtRLV ニンジン黄化ウイルス)と低い相同性を示す2種のウイルスが関与する

++細菌病 saikin-byo

Pseudomonas syringae pv. *apii* (Jagger 1921) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas apii* Jagger]

伊藤誠哉・今井三子:農作物病害教科書:71, 1932(昭 7)

[備考] 国内発生未詳

++++

Alternaria petroselini (Neergaard) E.G. Simmons

Nishikawa, J. & Nakashima, C.: J. Phytopathol. 161(9):604, 2013

[備考] 病名未提案。接種試験により葉柄基部の腐敗褐変および葉身部の褐変斑点症状を呈す

ボタンボウフウ

(*Peucedanum*)

Peucedanum japonicum Thunberg ex Murray

(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe heraclei de Candolle

丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

新崎千江美ら:日植病報 78(1):77, 2012

[備考] 病原菌の子のう盤等は未確認

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia jogashimensis Hiratsuka, f. & S. Kaneko

佐藤豊三ら:日植病報 79(1):69, 2013 ; 新崎千江美ら:九病虫研会報 59:22, 2013

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Septoria sp.

佐藤豊三ら:日植病報 79(1):69, 2013

ピンピネラ

Burnet saxifrage
Pimpinella saxifraga L.
(草花)

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
漆原寿彦ら:日植病報 68(2):187, 2002
[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

ブルーレースフラワー(ソライロレースソウ)
Blue lace flower
Trachymene coerulea Graham
(草花)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
菅野博英・大久保博人:日植病報 64(6):611, 1998 ; 菅野博英・大久保博人:北日本病虫研報 50:115, 1999 ;
芹澤英恵ら:日植病報 66(2):93, 2000

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
菅野博英・本蔵良三:北日本病虫研報 49:91, 1998

ヤブジラミ(藪虱)
(Torilis)
Torilis japonica (Houtt.) DC.
(野草)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
河原崎秀志ら:日植病報 81(3):225, 2015
[備考] ヤブジラミに発生

キョウチクトウ科 Apocynaceae

ハーダルストニア(バチノ)

(Alstonia)

Alstonia macrophylla Wall ex Don.

(広葉樹)

†褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora alstoniae Tak. Kobayashi & E.D. Guzmán

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:198, 1988

[備考] フィリピン

カリッサ

Christ's thorn

Carissa carandua L.

(広葉樹)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾

ニチニチソウ(ビンカ)

Madagascar periwinkle

Catharanthus roseus (L.) G. Don

(草花)

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

河野敏郎ら:日植病報 65(6):651, 1999

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス(未同定)によるモザイク病の最初の記載は、日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭8)

萎黄病 io-byo Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 37(3):194, 1971; 奥田誠一:宇都宮大農学特輯 32:1, 1977

[備考] 伝染試験なし

疫病 eki-byo Blight, Brown rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*]

松浦 勇・河村喜美雄:病虫雑 14(3):164, 1927(昭2); 桂 琦一:植物の疫病:86, 1971

[備考] 接種試験未了

株枯病 kabugare-byo Stem rot

Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

宮田穂波ら:日植病報 82(3):219, 2016

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:603, 1917(大 6) ; 瀧元清透:実際園芸 19(1):108, 1935(昭 10)

[備考] 接種試験未了

くもの巣かび病 kumonosu-kabi-byo

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer*

堀江博道ら:日植病報 59(6):732, 1993

白絹病 shiraku-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

瀧元清透:実際園芸 19(1):108, 1935(昭 10) ; 植松清次ら:関東病虫研報 56:137, 2009

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp. (the *Colletotrichum gloeosporioides* species complex) [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

鍵渡徳次:東京農大農学集報 31(3):156, 1987 ; 富岡啓介ら:日植病報 73(3):178, 2007 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(5):374, 2013

[備考] 鍵渡(1987)による記載病原の特徴は *C. gloeosporioides* と判断しがたい。当該病害の根拠(病原)を再提示する。Tomioka *et al.*(2013)は、本病菌が *C. gloeosporioides* 種複合体に含まれることを報告

苗立枯病 nae-tachigare-byo Root and stem rot, Damping-off (葉腐病, 葉枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

瀧元清透:実際園芸 19(1):108, 1935(昭 10)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

高野喜八郎:北陸病虫研報 33:100, 1985

葉腐病 hagusare-byo Leaf and stem blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

小野 剛・星 秀男:関東病虫研報 56:75, 2009

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

ゴムカズラ

(*Ecdysanthera*)

Ecdysanthera utilis Hayata & Kawakami

(広葉樹)

†輪斑病 rinhan-byo

Pestalotia ecdysantherae Sawada

澤田兼吉:台北農林学会報 7(1):24, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。病原菌の分類学的所属は再検討を要する

マンデビラ
Mandevilla
Mandevilla spp.
(草花)

マンデビラ・アモエナ *Mandevilla* × *amoena*

褐斑病 kappan-byo Corynespora leaf spot
Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei
三宅律幸ら:日植病報 74(3):175, 2008
[備考] マンデビラ・アモエナに発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
(1) *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore
Watanabe, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 82(1):33, 2016
(2) *Colletotrichum siamense* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde
Watanabe, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 82(1):33, 2016

キョウチクトウ(来竹桃)
Sweet-scented oleander
Nerium indicum Mill.
(広葉樹)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
荒井 啓ら:日植病報 36(5):340, 1970
[備考] 戻し接種なし

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall
Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]
ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):97, 1935(昭10) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015
[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

雲紋病 ummon-byo Cercospora leaf spot (灰色かび病, 黄斑病)
Pseudocercospora neriella (Saccardo) Deighton [*Cercospora neriella* Saccardo, *Cercospora kurimensis* Fukui, *Cercospora nerii-indici* W. Yamamoto]
澤田兼吉:台湾農事報 38(9):699, 1942(昭17) ; 福井武治:三重高農学術報告 3(3):12, 1933(昭8) ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight
Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk
勝 善鋼:森林防疫 23(5):91, 1974
[備考] 病原菌の異名はモクマオウくもの巣病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, *Gloeosporium oleandri* Saccardo]

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):269, 1976 ; 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):177, 1959 ; 安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:136, 1973

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小林享夫:新版緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:65, 1983

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

鍵渡徳次:北国の庭木と花の病害虫:36(農家の友 34(8), カラー口絵解説), 1982

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌から検出

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3) ; 藤黒與三郎:植物学雑 32(384):362, 1918(大 7)

[備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照

ヤロード

(Ochrosia)

Ochrosia nakaiana Koidz.

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

††††

Lloydella okabei S. Ito & S. Imai オカベウロコタケ

伊藤誠哉・今井三子:札幌博物学会報 16(3):132, 1940(昭 15)

インドソケイ
White frangipani
Plumeria alba L.
(広葉樹)

†褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora plumeriae (Chupp) Tak. Kobayashi, Nishijima & C. Nakashima [*Cercospora plumeriae* Chupp]
Kobayashi, T.: Trans. Mycol. Soc. Japan 21(3):313, 1980

[備考] フィリピン

アカハナインドソケイ
Nosegay Frangipani
Plumeria rubra L.
(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora plumeriae (Chupp) Tak. Kobayashi, Nishijima & C. Nakashima
Kobayashi, T. *et al.*: Mycoscience 39:188, 1998

[備考] 接種試験未了

サンユウカ
Adam's apple
Tabernaemontana coronaria Willd.
[*Ervatamia coronata* Rapf]
(広葉樹)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]
澤田兼吉: 柑橘研究 2:266, 1928(昭3); 阿部恭久: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾

キバナキョウチクトウ
(Thevetia)
Thevetia nerifolia Juss.
(広葉樹)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]
澤田兼吉: 柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3); 阿部恭久: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾

テイカカズラ(定家葛)
Yellow star jasmine, Japanese star jasmine
Trachelospermum asiaticum (Sieb. & Zucc.) Nakai

(広葉樹)

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15) ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

粉藻病* konamo-byo Algal powdery spot

Phycopeltis epiphyton Millardet

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:95, 1950

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大 3)

ツルニチニチソウ(蔓日々草)

Bigleaf periwinkle

Vinca major L.

(草花)

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 51:75, 2004

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型IIIA

ヒメツルニチニチソウ

Common periwinkle

Vinca minor L.

(草花)

茎枯病 kukigare-byo

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

上井憲治ら:日植病報 55(1):120, 1989 ; 酒井 宏ら:日植病報 56(1):149, 1990

[備考] 上井ら (1989) は *Macrophoma* sp. と報告

黒枯病 kurogare-byo Stem blight and leaf spot

Phoma exigua Desmazières var. *inoxidabilis* Boerema & Vegh

竹内 純ら:関東病虫研報 42:115, 1995

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium delphinii Welch

植松清次ら:関東病虫研報 56:137, 2009

[備考] 植松ら(2009)は *S. rolfsii* var. *delphinii* を提案した

ラネテ

(Wrightia)

Wrightia laniti (Blanco) Merr.
(広葉樹)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Aecidium prolixum* Sydow & P. Sydow

Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.: Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):242, 1935(昭 10)

[備考] 台湾

(2) *Hemileia wrightiae* Raciborski

平塚直秀: 植研雑 12(7):674, 1936(昭 11)

[備考] 台湾

モチノキ科 Aquifoliaceae

セイヨウヒイラギ(西洋柊)

English holly

Ilex aquifolium L.

(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

田端雅進: 日植病報 58(4):538, 1992

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子: 日林誌 66(7):265, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold

Apiosporium sp.

白井光太郎: 植物病理学(下):175, 1894(明 27)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄: 植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄: 植防研報 15:51, 1978

(3) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄: 植防研報 15:51, 1978

(4) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄: 植防研報 15:51, 1978

[備考] 種名は再検討を要する

ナナミノキ

(*Ilex*)

Ilex chinensis Sims

(広葉樹)

モチノキ(鵝木) *Ilex integra* Thunb.

タラヨウ *Ilex latifolia* Thunb.

ソヨゴ *Ilex pedunculosa* Miq.

クロガネモチ *Ilex rotunda* Thunb.

枝枯細菌病* edagare-saikin-byo Bacterial twig blight (枝枯病)

病原細菌種名未定

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 2:9, 1939(昭 14)

[備考] 病原細菌の種名 *Pseudomonas ilicis* Ogawa は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

裏すす病 ura-susu-byo

Prillieuxina hiugensis Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:77, 1975

[備考] タラヨウ

表すす病 omote-susu-byo

Lembosia ilicis-latifoliae Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:84, 1975

[備考] タラヨウ

褐点病 katten-byo

Mycosphaerella ilicis (Ellis) Lindau

原 攝祐:樹病学各論:107, 1923(大 12)

[備考] モチノキ・ソヨゴ

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Phyllosticta azevinhi Torrend

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 15(4):372, 1974

[備考] ソヨゴ

褐紋病 katsumon-byo

Leiosphaerella ilicis Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(1):42, 1981

[備考] ソヨゴ

黒やに斑点病 kuroyani-hanten-byo Discosia leaf spot (黒脂斑点病)

Discosia deflectens Saccardo

Kobayashi, T.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 292:7, 1977

[備考] シイモチ (*I. buergeri*)

黒紋病 kokumon-byo Tar spot

Rhytisma ilicis-latifoliae Hennings [*Rhytisma curtisii* sensu Tanaka non Berkeley & Ravenel]

田中延次郎:植物学雑 4(42):299, 1890(明 23) ; 白井光太郎:植物病理学(下):178, 1900(明 33) ; 小林享夫:林業と薬剤 51:8, 1975

[備考] モチノキ・ソヨゴ・タラヨウ。吉永虎馬 (植物学雑 15(171):97, 1901), 安田 篤 (植物学各論隠花部:351, 1911) は *Rhytisma ilicis-integrifoliae* Hennings による黒紋病を報告したが, 本種の記載文献不明のため調査を要する

†††黒紋病 kokumon-byo Tar spot (黒脂病)

(1) †*Rhytisma ilicis* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):47, 1959

[備考] 台湾。タイワンタマミズキ (*Ilex micrococca*)

(2) †*Melasmia ilicicola* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):161, 1959

[備考] 台湾。*I. asprella*

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農林水産技会指定試験(病虫害) 3:5, 1963

[備考] モチノキ・ソヨゴ・クロガネモチ。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす病 susu-byo Sooty mold

Apiosporium sp.

白井光太郎:植物病理学(下):175, 1894(明 27)

[備考] 検討を要する

†**すす病** susu-byo

(1) *Asterina scrobiculata* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):25, 1957

[備考] 台湾。タイワンナナミノキ (*I. formosana*)

(2) *Meliola ilicicola* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):420, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。タイワンナナミノキ

すす紋病 susumon-byo

Schizothyrium ilicis-integrae Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):451, 1979

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

伊藤一雄:森林防疫 27(4):58, 1978

[備考] モチノキ

斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot

(1) *Cercospora ilicicola* Maublanc [*Cercosporina ilicicola* (Maublanc) Saccardo]

Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Extra issue) 1:10, 1965 ; Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:50, 1940(昭 15)

[備考] モチノキ

(2) *Cercospora naitoi* Togashi [*Cercospora mate* sensu Naito non Spegazzini]

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):65, 1960 ; Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:49, 1940(昭 15) ; 富樫浩吾:札幌博物学会報 17:101, 1942(昭 17)

[備考] ナナミノキ

(3) *Cercospora* sp.

小河誠司:森林防疫 27(3):49, 1978

[備考] クロガネモチ

ペスタロチア褐斑病 Pestalotia-kappan-byo Pestalotia disease

Pestalotia ilicicola Fukui

伊藤一雄:樹病学大系 3:179, 1974 ; 福井武治:三重高農学術報 5:54, 1936(昭 11)

[備考] タラヨウ

星形すす病 hoshigata-susu-byo Black mildew

(1) *Asterina formosana* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):23, 1957 ; Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:77, 1975

[備考] タイワンナナミノキ (*I. formosana*)・ワールブルギモチノキ (*I. warburgii*)にも発生

(2) *Asterina yoshinoi* Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:77, 1975

[備考] ナナミノキ

(3) *Englerulaster alpinus* (Raciborski) Theissen [*Englerulaster continuus* Sydow & P. Sydow, *Seynesia ilicina* Sydow & P. Sydow]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):217, 1917(大 6) ; Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:83, 1975

[備考] ソヨゴ・モチノキ

粉藻病 konamo-byo Algal powdery spot

Phycopeltis epiphyton Millardet

Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):280, 1957

[備考] タラヨウ・モチノキ

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

原 攝祐:樹病各学論:257, 1923(大 11) ; 西田藤次:柑橘病害と予防法:173, 1914(大 3)

[備考] モチノキ・クロガネモチ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema incognitum Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961

か紋病 kamon-byo (痂紋病)

生理病(水分過多)

白井光太郎:植物病理学(上):99, 1900(明 33)

†裏ごま病 ura-goma-byo

Guignardia ilicis-formosanae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):30, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。タイワンナナミノキ

†円星病 maruhoshi-byo

Cercospora ilicis-micrococcae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):109, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。タイワンタマミズキ

††††

Phaeosphaerella sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):180, 1960
[備考] ソヨゴ

††††

†*Phragmosperma ilicis* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):67, 1959

[備考] 台湾

††††

Phyllosticta haynaldi Roumeguère & Saccardo

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):269, 1927(昭3)

[備考] タラヨウ

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] ソヨゴ・タラヨウ・クロガネモチ

イヌツゲ(犬黄楊)
Japanese holly
Ilex crenata Thunb.
(広葉樹)

枝枯病 edagare-byo Die back

Diatrype sp.

升屋勇人ら:森林防疫 57(2):25, 2008

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

大野啓一郎:森林防疫 24(12):243, 1975

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

星形すす病* hoshigata-susu-byo

Englerulaster alpinus (Raciborski) Theissen

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:77, 1975

[備考] 病原菌の異名はモチノキ星形すす病参照

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

小林享夫:新版緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:224, 1983

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病)

Eriophyes sp. ケフシダニの1種

山下修一ら:日植病報 46(1):60, 1980

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイ オオハリ センチュウ
Shishida, Y.: Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983
[備考] 根圏土壌より検出

すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Asterina ilicicola* W. Yamamoto

山本和太郎: 兵庫農大研報農生編 3(1):24, 1957

[備考] 台湾。ケイヌツゲ (*Ilex pubescens*)

(2) *Asterina lobulata* W. Yamamoto

山本和太郎: 兵庫農大研報農生編 3(1):24, 1957

[備考] 台湾。病名未提案。サカキバイヌツゲ (*I. ardisioides*)

(3) *Asterina scrobiculata* W. Yamamoto

山本和太郎: 兵庫農大研報農生編 3(1):25, 1957

[備考] 台湾。サカキバイヌツゲ

††††

Macrophoma ilexini Saccardo

白井光太郎・原 攝祐: 訂正増補日本菌類目録(3版):196, 1927(昭2); 三浦密成: 秋田農試報 8:35, 1957

アオハダ

(*Ilex*)

Ilex macropoda Miq.

(広葉樹)

ウメモドキ(梅擬) *Ilex serrata* Thunb.

イヌウメモドキ *Ilex serrata* Thunb. f. *argutidens* (Miq.) Kurata

黒紋病 kokumon-byo Tar spot (黒脂病)

Rhytisma prini Schweinitz

伊藤一雄: 樹病学大系 2:49, 1973; 吉永虎馬: 植物学雑誌 16(179):6, 1902(明35)

[備考] マルバウメモドキにも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら: 森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] ウメモドキ・アオハダ。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

とうそう病 toso-byo Spot anthracnose

Sphaceloma japonicum Kurosawa & Katsuki

Kurosawa, E. & Katsuki, S.: Bot. Mag. Tokyo 70(827):132, 1957

斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot

Cercospora naitoi Togashi

小林享夫: 森林防疫 25(1):5, 1976

[備考] 病原菌の異名はモチノキ斑点病参照

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未詳

堀江博道: 日植病報 46(1):111, 1980; 堀江博道: 東京農試研報 13:63, 1980; 堀江博道: 森林防疫 31:27, 1982

[備考] アオハダ・フウリンウメモドキ (*I. geniculata*)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

††††

Leptothyrella ilicis Hennings

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):323, 1917(大6)

[備考] フウリンウメモドキ (*Ilex geniculata*)

††††

Melasmia ilicis Hennings

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):180, 1960 ; 吉永虎馬:植物学雑 25(299):491, 1911(明44)

[備考] フウリンウメモドキ。ウメモドキ黒紋病菌 (*Rhytisma prini* Schweinitz) の不完全世代と思われるが、検討を要する

マテチャ(パラグアイチャ)

Mate

Ilex paraguayensis St. Hil.

(特用作物)

††白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:112, 1977

††すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Dimerosporium decipiens* var. *yerbae* Spegazzini

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:113, 1977

[備考] パラグアイ

(2) *Dimerosporium tropicale* Spegazzini

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:113, 1977

[備考] パラグアイ

(3) *Meliola yerbae* Spegazzini

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:113, 1977

[備考] パラグアイ

††胴枯病 dogare-byo Die back

Diaporthe mate Spegazzini

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:112, 1977

††もち病 mochi-byo Blister blight (餅病)

Exobasidium vexans Masee

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:110, 1977

[備考] 病原菌の同定に再検討を要する

†白藻病 shiromo-byo White blight

Cephaleuros virescens Kunze

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:111, 1977
[備考] パラグアイ

サトイモ科 Araceae

ショウブ(菖蒲)

Sweetflag

Acorus calamus L. var. *asiaticus* Bess.

(草花)

褐点根腐病* katten-negusare-byo

Rhizoctonia sp.

宮田善雄:関西病虫研報 30:73, 1988

さび病 sabi-byo Rust (褐斑病, 小錆病)

Uromyces acori Ramakrishnan & Rangaswami [*Uromyces pyriformis* sensu Ito non Cooke]

藤黒與三郎:病虫雑 2(5):406, 1915(大 4); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):77, 1950; 平塚直秀:菌蕈研報 10:85, 1973

コンニャク(蒟蒻)

Konnyaku, Elephant foot

Amorphophallus konjac Koch

(特用作物)

えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Konjak necrotic stunt

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

若林重雄:日作紀 29(3):369, 1961; 小室康雄:関東病虫研報 9:26, 1962; 下山 淳ら:日植病報 56(5):680, 1990

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Dasheen mosaic virus* (DsMV) サトイモモザイクウイルス

奥田誠一ら:日植病報 45(1):84, 1979; 堀尾英弘・田中 智:日植病報 45(1):84, 1979

(2) *Konjak mosaic virus*

下山 淳ら:日植病報 56(1):100, 1990; 下山 淳ら:日植病報 58(5):706, 1992

葉枯病 hagare-byo Bacterial leaf blight

Acidovorax konjaci (Goto 1983) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 [*Pseudomonas pseudoalcaligenes* subsp. *konjaci* Goto, *Pseudomonas konjac* Uyeda]

上田栄次郎:植物学雑 24(281):177, 1910(明 43); Goto, M.:Int. J. Syst. Bacteriol. 33(3):539, 1983

腐敗病 fuhai-byo Soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus carotovorus* Jones var. *konjac* Nakata, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

堀 正太郎:農業世界 14(1):51, 1919(大 8); 平田栄吉:農事試験場報告 48:1, 1927(昭 2)

乾性根腐病 kansei-negusare-byo (根腐病, 根ぐされ病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

徳永友三ら:福島農試研報 7:61, 1970

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

乾腐病 kampu-byo Dry rot (フザリウム病, 乾性腐敗病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal emend. Snyder & Hansen

柴田 聡・青木孝之:日植病報 60(6):748, 1994

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *radicicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen

笠井幹夫:大原農研報告 2(4):463, 1924(大 13) ; 出田 新:続日本植物病理学(下):1044, 1926(大 15) ; 桜井善雄ら:日植病報 25(5):218, 1960

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

ト蔵梅之丞:作物病害予防駆除法:831, 1925(大 14)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡邊龍雄:植物病理学:289, 1957

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium conjac Hara

原 攝祐:実用作物病理学:204, 1925(大 14)

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium aristosporum Vanterpool

山本 磐ら:日植病報 33(5):329, 1967 ; 祝迫親志・渡辺文吉郎:関東病虫研報 17:131, 1970

斑点病 hanten-byo

Phyllosticta conjac Hara

原 攝祐:実用作物病理学:203, 1925(大 14)

斑紋病 hammon-byo

Cercospora amorphophalli Hennings [*Cercospora amorphophalli* Hara?]

原 攝祐:実用作物病理学:204, 1925(大 14) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):44, 1960

紫腐病 murasaki-gusare-byo

Cylindrocarpon didymum (Hartig) Wollenweber

賛田裕行ら:日植病報 45(4):526, 1979

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

渡邊龍雄:植物病理学:298, 1957

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ogma octozonale (Momota & Ohshima) Siddiqi [*Crossonema octozonale* Momota & Ohshima] スギトゲワセンチュウ

宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌より検出

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

中里筆二ら:関東病虫研報 13:136, 1966 ; 中里筆二・井野光夫:関東病虫研報 14:141, 1967

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

中里筆二ら:関東病虫研報 11:105, 1964 ; 中里筆二ら:関東病虫研報 13:136, 1966

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

中里筆二ら:関東病虫研報 13:136, 1966

[備考] 病原線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(4) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

中里筆二ら:関東病虫研報 13:136, 1966

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 小菅喜久弥:関東病虫研報 7:66, 1960

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

アンスリウム

(Anthurium)

Anthurium spp.

(草花)

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo

Xanthomonas axonopodis pv. *dieffenbachiae* (McCulloch & Pirone 1939) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995

[*Xanthomonas campestris* pv. *dieffenbachiae* (McCulloch & Pirone 1939) Dye 1978]

木嶋利男ら:日植病報 50(1):83, 1984 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:91, 1987

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

鍵渡徳次:熱帯農業 34(4):289, 1990

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] ベニウチワ (*A. scherzerianum*) に発生

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

[備考] オオベニウチワ (*A. anadroeanum*) に発生

カラジウム

Caladium

Caladium spp.

(草花)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

佐藤豊三:東京農試研報 20:22, 1987

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

佐藤豊三:東京農試研報 20:25, 1987

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium aracearum* Hennings]

逸見武雄:病虫雑 5(3):182, 1918(大 7) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

+++植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Radopholus similis (Cobb) Thorne バナナネモグリセンチュウ

三枝敏郎:植物防疫 21(5):181, 1967 ; 三枝敏郎ら:植防研報 6:41, 1968

[備考] 生産地ハワイ

サトイモ(芋, 芋頭)

Taro, Dasheen

Colocasia esculenta (L.) Schott

(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 遠山 明:日植病報 39(3):229, 1973

(2) *Dasheen mosaic virus* (DsMV) サトイモモザイクウイルス

荒井 啓ら:日植病報 36(5):373, 1970; 遠山 明:日植病報 41(5):506, 1975; 田中 寛ら:大阪農技セ研報 18:27, 1981

立枯細菌病 tachigare-saikin-byo

(1) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

土屋健一ら:日植病報 72(4):306, 2006 ; 大城 篤ら:日植病報 79(1):72, 2013

[備考] タイモに発生。大城ら(2013)によれば, 本病の発生には, イネネモグリセンチュウの存在が鍵となる

(2) *Dickeya* sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

洲鎌栄徳ら:日植病報 52(3):505, 1986

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus carotovorus* Jones, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

原 攝祐:実用作物病理学:444, 1925(大 14)

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

病原細菌種名未定

瀧元清透:病虫雑 19(1):57, 1932(昭 7)

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas colocasiae* (Takimoto) Okabe & Goto は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

萎凋病 icho-byo Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *colocasiae* Norio Nishimura & K.I. Kudo

西村範夫・工藤和一:九州農試報 28(1):45, 1993 ; Nishimura, N. & Kudo, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(4):448, 1994

[備考] Nishimura & Kudo(1994)は乾腐病の病原 *Fusarium oxysporum* の分化型を決定し病名を萎凋病に変更した

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora colocasiae Raciborski

澤田兼吉:台湾農試特別報告 2:25, 1911(明 44) ; 桂 琦一:植物の疫病:60, 1971

汚斑病* ohan-byo Leaf mold, Blotch (田虫病, 汚点病)

Cladosporium colocasiae Sawada

澤田兼吉:台湾博物会報 (25):125, 1916(大 5) ; 原 攝祐:病虫雑 4(5):355, 1917(大 6)

乾腐病* kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 日焼病, 赤紅病)

Fusarium solani (Martius) Saccardo f. sp. *radicicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen

倉田忠良:病虫雑 18(6):288, 1931(昭 6) ; Nishimura, N. & Kudo, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(4):448, 1994

[備考] Nishimura & Kudo(1994)は *Fusarium oxysporum* f. sp. *colocasiae* による乾腐病を萎凋病として区別した

茎腐病 kukigusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

守川俊幸ら:日植病報 55(1):99, 1989

黒斑病 kokuhan-byo Black rot

Ceratocystis sp. [*Endoconidiophora* sp.]

河合一郎:農作物病害編:342, 1948 ; 水上武幸:九大農学芸雑誌 12(1):5, 1950 ; 木村貞夫:日植病報 38(3):185, 1972 ; 孫工弥寿雄:植物防疫 30(7):269, 1976

[備考] 木場三郎 (作物病害の診断と防除:334, 1952) によれば, 本病はいもに被害を及ぼし, 葉に斑点を生ずることがある

根腐病 negusare-byo

(1) *Pythium aristosporum* Vanterpool

長井雄治ら:日植病報 45(4):529, 1979

(2) *Pythium myriotylum* Drechsler

長江春季ら:日植病報 36(5):344, 1970 ; 長井雄治ら:日植病報 44(1):65, 1978 ; 長井雄治ら:日植病報 54(4):529, 1988

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

守川俊幸ら:日植病報 55(1):99, 1989

斑紋病 hammon-byo Leaf spot (斑点病)

Mycosphaerella colocasiae Hara

原 攝祐:病虫雑 4(5):355, 1917(大 6)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema insigne Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 山本敏夫:農研(三重農試) 8(4):7, 1963

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

田中彰一:蔬菜病害防除論:76, 1948

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

芽つぶれ症 metsubure-sho

カルシウム及びほう素欠乏

宮路龍典ら:鹿児島農試研報 4:49, 1976

††††細根腐敗症 saikon-fuhai-sho

(1) *Rhizoctonia* sp.

(2) *Pythium* sp.

岩崎哲彦・川越 仁:日植病報 41(1):111, 1975

[備考] 催芽床で発生する。調査が必要

ディーフェンバキア

Tuftroot

Dieffenbachia maculata G. Don

(草花)

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Xanthomonas axonopodis pv. *dieffenbachiae* (McCulloch & Pirone 1939) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995

[*Xanthomonas campestris* pv. *dieffenbachiae* (McCulloch & Pirone 1939) Dye 1978]

木嶋利男ら:日植病報 50(3):420, 1984 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:91, 1987

葉腐細菌病 hagusare-saikin-byo Bacterial leaf rot

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

木嶋利男ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:117, 1987

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 28:49, 1986 ; 手塚信夫・森田 壽:関東病虫研報 33:159, 1986

ハブカズラ
(*Epipremnum*)
Epipremnum mirabile Schott
(広葉樹)

さび病 *sabi-byo* Rust (銹病)

Puccinia hashiokai Hiratsuka, f. [*Uredo taiwaniana* Hiratsuka, f. & Hashioka]

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):148, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Bot. Mag. Tokyo 48(568):239, 1934(昭 9) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(646):377, 1940(昭 15)

ミズバショウ類
(*Lysichiton*)
Lysichiton spp.
(野草)

ミズバショウ *Lysichiton camtschatcense* (L.) Schott

さび病 *sabi-byo* Rust

(1) *Aecidium lysichiti* Jørstad

Harada, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 21:181, 1980

[備考] ミズバショウ

(2) *Puccinia sessilis* W.G. Schneider

原田幸雄ら:日植病報 65(6):664, 1999

[備考] 病原はクサヨシ上の *P. sessilis* の銹子腔世代である

モンステラ
(*Monstera*)
Monstera spp.
(草花)

炭疽病 *tanso-byo* Anthracnose

Colletotrichum boninense sensu lato [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

竹内 純ら:関東病虫研報 58:69, 2011 ; 佐藤豊三ら:日植病報 81(3):205, 2015

[備考] ホウライショウ (*M. deliciosa* Liebm.)に発生

灰色葉枯病 *haiiro-hagare-byo* Gray leaf blight

Fusicoccum vegans (Spegazzini) Tak. Kobayashi & T. Okamoto

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

斑葉病 *han'yo-byo* Leaf spot

Phoma exigua Desmazières

久保田まや・平野寿一:関東病虫研報 42:123, 1995

[備考] ホウライショウ (*M. deliciosa*) に発生

フィロデンドロン
Philodendron
Philodendron spp.
(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora leaf spot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

石塚まやら:日植病報 59(6):731, 1993

[備考] ヒトデカズラ (*P. selloum*) に発生

+++植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Radopholus similis (Cobb) Thorne バナナネモグリセンチュウ

三枝敏郎:植物防疫 21(5):181, 1967 ; 三枝敏郎ら:植防研報 6:41, 1968

[備考] 生産地ハワイ

ポトス
Solomon Islands ivy arum
Pothos spp.
(草花)

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Xanthomonas campestris (Pammel 1895) Dowson 1939

木嶋利男ら:日植病報 50(1):83, 1984 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:106, 1987

[備考] 病原細菌の pathovar として pv. *scindapsus* が提案されている (木嶋, 1987)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

手塚信夫ら:関東病虫研報 36:117, 1989

スパシフィラム
Peace lily
Spathiphyllum spp.
(草花)

葉腐細菌病 hagusare-saikin-byo Bacterial leaf rot

Pantoea ananatis (Serrano 1928) Mergaert, Verdonck & Kersters 1993 [*Erwinia ananas* Serrano 1928]

木嶋利男ら:日植病報 51(3):344, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:112, 1987

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

堀之内勇人ら:日植病報 65(3):413, 1999

根腐葉斑病 negusare-yohan-byo Root and petiole rot

Cylindrocladium spathiphylli Schouties, El-Gholl & Alfieri

Chen, Y.-K. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(5):481, 1998 ; 堀之内勇人ら:関西病虫研報 42:15, 2000

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 42:105, 1995

[備考] *Spathiphyllum cannifolium* に発生

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Cercospora sp.

中島千晴ら:日植病報 64(4):430, 1998

ザゼンソウ類

(*Symplocarpus*)

Symplocarpus spp.

(野草)

ヒメザゼンソウ *S. nipponicus* Makino

††††

Pseudodidymaria symplocarpi Yas. Ono & Tak. Kobayashi

Ono, Y. & Kobayashi, T.:Mycoscience 46:352, 2005

[備考] ヒメザゼンソウ

シンゴニウム

(*Syngonium*)

Syngonium spp.

(草花)

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo

Xanthomonas campestris (Pammel 1895) Dowson 1939

木嶋利男ら:日植病報 50(1):83, 1984 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:106, 1987

[備考] 病原細菌の pathovar として pv. *syngoniae* が提案されている (木嶋 1987)。 *Xanthomonas campestris* pv. *syngonii* Dickey & Zomoff 1987 との比較を要する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

高野喜八郎:日植病報 69(1):63, 2003

[備考] *S. podophyllum* Schott に発生

ココヤム

Yautia, New cocoyam

Xanthosoma sagittifolium Liebm.

(野菜)

†根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium sp.

小野 浩ら:日植病報 65(6):658, 1999

[備考] スリランカ

カラー

Calla

Zantedeschia spp. 及び種間雑種
(草花)

オランダカイウ Common calla *Z. aethiopica* (L.) Spreng.

キバナカイウ *Z. elliottiana* (W. Wats.) Engl.

モモイロカイウ *Z. rehmannii* Engl.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 小室康雄:日植病報 32(3):115, 1966

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

(2) *Dasheen mosaic virus* (DsMV) サトイモモザイクウイルス

小畠博文:日植病報 46(1):88, 1980

[備考] 戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記録は、河合一郎:園芸 病害編:510, 1954

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Xanthomonas campestris pv. *zantedeschiae* (Joubert & Truter 1972) Dye 1978

木嶋利男ら:日植病報 50(3):420, 1984 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:100, 1987

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (細菌病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

原 攝祐:実用作物病理学:576, 1925(大 14) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:50, 1939(昭 14) ; 富樫二郎ら:山形大紀要農 11(4):771, 1993

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora richardiae Buisman

植松清次ら:日植病報 56(3):385, 1990 ; 植松清次ら:日植病報 59(3):289, 1993

[備考] *Zantedeschia aethiopica* に発生

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora richardiicola G.F. Atkinson

Nakashima, C. et al.:Mycoscience 43:95, 2002

[備考] 現在本菌は広義の *Cercospora apii* であるとして, [*Cercospora apii sensu lato*] が種名とともに記載されている。接種試験未了

株腐病 kabugusare-byo Foot rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

多賀由美子ら:北陸病虫研報 46:71, 1998

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB。オランダカイウに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

栄森弘己ら:関東病虫研報 42:141, 1995

根腐病 negusare-byo Pythium root rot

Pythium myriotylum Drechsler

鐘ヶ江良彦ら:関東病虫研報 60:71, 2013

[備考] モモイロカイウに発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

堀田治邦:日植病報 60(6):792, 1994

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Plectosphaerella sp.

松原千純ら:日植病報 79(1):34, 2013 ; Usami, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):291, 2015

[備考] オランダカイウに発生

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:350, 1975

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

ウコギ科 Araliaceae

コシアブラ(金漆樹)

(*Acanthopanax*)

Acanthopanax sciadophylloides Franch. & Savat.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Nyssopsora asiatica Lütjeharms

澤田兼吉:林試研報 57:34, 1952 ; 伊藤誠哉・平塚直秀:札幌博物学会報 9(2):266, 1927(昭 2)

[備考] 病原菌の異名はタラノキサビ病参照

††††

Gloeosporium acanthopanax Miura

三浦密成:秋田農試報 8:48, 1957

ウコギ(五加木)

Ginseng

Acanthopanax spinosus (L. fil.) Miq.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Microsphaera sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:141, 1968

褐斑病* kappan-byo

Mycosphaerella acanthopanax Sydow & P. Sydow [*Phyllosticta acanthopanax* Sydow & P. Sydow]

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:422, 1928(昭 3) ; 三浦密成:秋田農試報 8:24, 1957

[備考] ヤマウコギ (*A. spinosus*)・マンシュウウコギ。病原菌の異名はハリギリ褐斑病参照

さび病* sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病)

Aecidium acanthopanax Dietel

白井光太郎:日本菌類目録:1, 1905(明 38) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):374, 1950

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:153, 1952

[備考] 病原菌の異名はポプラ類すす病参照

†すす病 susu-byo Black mildew

Meliola acanthopanax W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):224, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ミツバウコギ (*Acanthopanax trifoliatum*)

††††

Phyllosticta yamaukogi Miura

三浦密成:秋田農試報 13:11, 1961

[備考] ヤマウコギ

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Konoh, H.: Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

[備考] ヤマウコギ

ウド(土当帰)

Udo

Aralia cordata Thunb.

(野菜)

萎縮病 ishuku-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

浅利 覚ら: 日植病報 47(3):399, 1981

[備考] 伝染試験なし

萎黄病 io-byo

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

星 秀男ら: 日植病報 66(3):273, 2000

[備考] 病原追加

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

本橋精一・阿部善三郎: 日植病報 25(5):240, 1960

萎縮火傷病* ishuku-yakedo-byo Fire-blight

Phoma araliae Cooke & Massee var. *microspora* T. Watanabe

渡邊龍雄: 日植病報 8(1):62, 1938(昭 13)

萎凋病 icho-byo Verticillium wilt

(1) *Verticillium dahliae* Klebahn

澤村健三: 日植病報 40(3):193, 1974 ; 澤村健三・相馬敦子: 弘前大農学報 26:10, 1976

(2) *Verticillium nigrescens* Pethybridge

飯嶋 勉: 日植病報 43(3):343, 1977

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter

堀江博道ら: 日植病報 55(1):120, 1989

褐紋病 katsumon-byo Leaf spot (褐斑病, 斑点病, フィロステイクタ病)

Phyllosticta araliae Saccardo & Berlese

福井武治: 病虫雑 5(9):732, 1918(大 7) ; 原 攝祐: 実用作物病理学:484, 1925(大 14)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

福士貞吉: 病虫雑 12(8):425, 1925(大 14)

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

(1) *Alternaria panax* Whetzel

Zhang, M. et al.: Plant Dis. 93(11):1215, 2009

(2) *Alternaria* sp.

後藤和夫ら:日植病報 46(3):377, 1980

根部亀裂褐変病* kombu-kiretsu-kappen-byo

Rhizoctonia sp.

相野公孝ら:関西病虫研報 31:70, 1989

[備考] 2 核の *Rhizoctonia*

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

田中彰一・岸 國平:蔬菜の病害と防除法:233, 1963

そうか病 soka-byo Scab

Elsinoë araliae S. Yamamoto [*Sphaceloma araliae* Jenkins]

山本和太郎:日植病報 20(4):180, 1956 ; 山本和太郎:植物防疫 10(2):69, 1956 ; 常谷幸雄・端山重男:日植病報 34(3):183, 1968 ; 端山重男・常谷幸雄:東農大農学集報 特別号 35, 1971

斑点病 hanten-byo Leaf spot (点斑病)

Cercospora araliae-cordatae Hori [*Cercosporina araliae-cordatae* Hori]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):91, 1928(昭 3) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):45, 1960

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

タラノキ(楡木)

Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick

Aralia elata (Miq.) Seemann

(広葉樹)

萎縮病 ishuku-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

李 準瑋ら:日植病報 49(1):83, 1983

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

小野光明ら:日植病報 55(4):509, 1989

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Aecidium araliae* Sawada ex S. Ito & D. Murayama

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):119, 1943(昭 18) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(3-4):171, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 1:85, 1952

[備考] タイワンタラノキにも発生

(2) *Nyssopsora asiatica* Lütjeharms [*Triphragmium thwaitesii* auct. non Berkeley & Broome, *Triphragmium clavellum* Berkeley f. *asiaticum* Komarov]

安田 篤:植物学各論隠花部:446, 1911(明 44); 白井光太郎:日本菌類目録:101, 1905(明 38); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):51, 1950

[備考] メダラ (*A. elata* var. *subinermis*) にも発生

そうか病 soka-byo Spot anthracnose

Elsinoë araliae S. Yamamoto [*Sphaceloma araliae* Jenkins]

常谷幸雄・端山重男:日植病報 24(1):20, 1959; 端山重男・常谷幸雄:東農大農学集報 80 周年記念論文集:35, 1971

立枯疫病 tachigare-eki-byo

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter [*Phytophthora* sp.]

内田 勉ら:日植病報 50(3):392, 1984; 浅利 覚ら:関東病虫研報 33:136, 1986

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

鍵渡徳次・小菅喜久弥:関東病虫研報 34:91, 1987

[備考] 完全世代 *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk はタラノキでは未記録

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

白石俊昌・浅利 覚:日植病報 55(4):495, 1989

斑葉病 han'yo-byo Cercospora leaf spot (黒黴病, 角斑病)

Pseudocercospora araliae (Hennings) Deighton [*Cercospora araliae* Hennings, *Cercosporiopsis araliae* (Hennings) Miura]

安田 篤:植物学各論隠花部:573, 1911(明 44); 松村任三:帝国植物名鑑(上):134, 1904(明 37); 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

[備考] ウラジロタラノキ (*A. hypoleuca*)・タイワンタラノキ (*A. decaisneana*) にも発生

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:6, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconema jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconema jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Criconema palliatum* (Minagawa) Raski & Luc [*Nothocriconema palliatum* Minagawa] ワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

†裏円斑病* ura-maruhan-byo (裏円淡褐病)

Cladosporium araliae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):91, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。タイワンタラノキ

†すす病 susu-byo Black mildew

Meliola araliicola W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):224, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。タイワンタラノキ (*Aralia decaisneana*)

††根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood [*Meloidogyne thamesi* Chitwood] アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):310, 1960

[備考] 生産国オランダ

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):310, 1960

[備考] 生産国オランダ

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):310, 1960

[備考] 生産国オランダ

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):211, 1917(大 6)

カクレミノ(隠蓑)

(*Dendropanax*)

Dendropanax trifidus (Thunb.) Makino

(広葉樹)

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Pseudomonas syringae pv. *dendropanacis* Ogimi, Higuchi & Takikawa 1988

大宜見朝栄ら:日林九支研論 34:201, 1981 ; 大宜見朝栄ら:日植病報 54(3):296, 1988

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956

†すす病* susu-byo Black mildew

Meliola leptoclada Sydow

山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):22, 1941(昭 16)

[備考] 台湾

††††

Cordana gilibertiae Togashi & Katsuki

香月繁孝:九州農業研究 7:76, 1950

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

タカノツメ(イモノキ)(鷹爪)

Evodiopanax innovans (Sieb. & Zucc.) Nakai

(広葉樹)

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Nyssopsora asiatica Lütjeharms

小林享夫ら:茨城病虫研報 22:17, 1983 ; 吉永虎馬:植物学雑 15(171):97, 1901(明 34) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):51, 1950

[備考] 病原菌の異名はタラノキサビ病参照

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne]

堀 正太郎:庭木の病虫害:90, 1929(昭 4)

ヤツデ(八手)

Japanese aralia

Fatsia japonica (Thunb.) Decne. & Planch.

(広葉樹)

ウイルス病 virus-byo Virus disease

ウイルス (未同定)

奥山 哲・坂 ひとみ:関東東山病虫研報 25:83, 1978

[備考] 原株は輪紋症状

黄斑病 ohan-byo Yellow leaf spot

Cercospora ueharae Fukui

福井武治:三重高農学術報 3:20, 1933(昭 8)

黄色紋羽病 kiiri-mompa-byo Yellow root rot

Sclerotium sp.

小林享夫:林業と薬剤 54:3, 1975

黒斑病 kokuhan-byo

Colletotrichum fatsiae Fukui

福井武治:新植物病原菌報告:3, 1933(昭 8)

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Corticium rolfsii Curzi

埼玉県内務部:病虫雑 21(2):150, 1934(昭 9)

[備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照。完全世代 *C. rolfsii* はヤツデでは未記録

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold

Meliola fatsiae Katumoto & Y. Harada

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):412, 1979

[備考] ムニンヤツデ (*F. oligocarpella*)

そうか病 soka-byo Spot anthracnose (とうそう病)

Sphaceloma araliae Jenkins

黒澤英一:日植病報 9(2):130, 1939(昭 14)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

小河誠司:日林九支研論集 45:125, 1992

[備考] 接種試験未了

(2) *Gloeosporium yatsude* Fukui

福井武治:新植物病原菌報告:3, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease

Pestalotiopsis eugeniae (Thümen) S. Kaneko

日野隆之:採集と飼育 26(10):292, 1964 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:123, 1980

[備考] 病原菌の異名はスズカケノキ・ペスタロチア病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(2) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの 1 種

伊藤喜隆:15 回応動昆大会講要:27, 1971

[備考] 上記種との異同は不明

††††

Guignardia fatsiae I. Hino & Katumoto

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 40(7):194, 1965

††††

Phyllosticta fatsiae Hara

原 攝祐:菌類 1(3):109, 1931(昭 6)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

キヅタ(木蔦, 常春藤)

Japanese ivy

Hedera rhombea (Miq.) Bean

(広葉樹)

カナリーキヅタ *Hedera canariensis* Willd.

セイヨウキヅタ *Hedera helix* L.

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Xanthomonas hortorum pv. *hederae* (Arnaud 1920) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas campestris* pv. *hederae* (Arnaud 1920) Dye 1978]

瀧川雄一ら:日植病報 63(3):198, 1997 ; Suzuki, A. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):398, 2002

[備考] カナリーキヅタ・イヨウキヅタ・セイヨウキヅタに発生

裏すす病 ura-susu-byo

Cercospora hederæ Togashi & Katsuki

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):59, 1960 ; Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65:21, 1952

疫病 eki-byo *Phytophthora rot*

(1) *Phytophthora citrophthora* (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian

植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998

[備考] カナリーキヅタ

(2) *Phytophthora nicotianæ* Breda de Haan emend. G. Hall

竹内 純・堀江博道:日植病報 62(3):267, 1996

[備考] セイヨウキヅタ

(3) *Phytophthora niederhauserii* Z.G. Abad & J.A. Abad [*Phytophthora drechsleri* Tucker]

植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 ; Abad, Z.G.*et al.*: Mycologia, 106: 431, 2014

[備考] セイヨウキヅタ。植松ら(1998)は本病原菌を *Phytophthora drechsleri* と報告したが, Abad *et al.*(2014) は *P. niederhauserii* と再同定した

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

(1) *Guignardia* sp.

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 45:143, 1998

[備考] セイヨウキヅタに発生

(2) *Phyllosticta concentrica* Saccardo

高野喜八郎:日植病報 70(1):72, 2004

[備考] 完全世代は *Guignardia* sp. であるが, (1)と同種かどうかは不明

すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold

Meliola dichotoma Berkeley & M.A. Curtis [*Meliola kusanoi* Hennings, *Meliola dichotoma* Berkeley & M.A. Curtis var. *kusanoi* (Hennings) Hansford, *Meliola hederæ* W. Yamamoto]

吉永虎馬:植物学雑誌 16(179):3, 1902(明 35) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(2):54, 1958 ; Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 36(11):374, 1961

[備考] タイワンキヅタ (*H. formosana*) にも発生。山本和太郎 (台湾博物学会報 31:224, 1941) は台湾での *Meliola araliicola* W. Yamamoto によるタイワンキヅタすす病を報告した

そうか病 soka-byo Spot anthracnose (瘡痂病)

Sphaceloma araliae Jenkins

常谷幸雄・端山重雄:日植病報 24(1):20, 1959 ; 常谷幸雄・端山重雄:東農大一般教育学術集報 3:16, 1965

[備考] 病原菌の完全世代 *Elsinoë araliae* Yamamoto はキヅタでは未記録

立枯病 tachigare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

平野和弥ら:日植病報 52(3):543, 1986

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum trichellum (Fries) Duke

Kobayashi, T. & Sasaki, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(3):237, 1975

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 27:47, 1985 ; 竹内 純ら:関東病虫研報 42:105, 1995

[備考] カナリーキヅタ・セイヨウキヅタ

ハリギリ(センノキ)(刺楸)

(*Kalopanax*)

Kalopanax pictus (Thunb.) Nakai

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Mycosphaerella acanthopanacis Sydow & P. Sydow [*Phyllosticta acanthopanacis* Sydow & P. Sydow]

石坂忠之:病虫雑 1(1):90, 1914(大 3) ; 出田 新:続日本植物病理学(上):295, 1925(大 14)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

[備考] 病原菌の完全世代 *Grovesinia pyramidalis* M.N. Cline, J.L. Crane & S.D. Cline はハリギリでは未記録

黒穂病 kuroho-byo Smut

Mundkurella kalopanacis Vánky

塚田晴朗ら:日植病報 60(3):338, 1994

[備考] 接種試験未了

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Konoh H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

チ ョ ウ セ ン ニ ン ジ ン (朝 鮮 人 参 , 薬 用 人 参)

Ginseng

Panax ginseng Meyer

(特用作物)

赤腐病 akagusare-byo Red rot, End rot

病原細菌種名未定

上田栄次郎:農学会報 82:1, 1908(明 41)

[備考] 病名・病原菌について再検討を要する。本病の病原細菌名 *Erwinia araliavora* (Uyeda) Magrow は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

白色腐敗細菌病 hakushoku-fuhai-saikin-byo

Erwinia sp.

菅野 啓ら:日植病報 56(1):105, 1990

疫病* eki-byo Blight (腰折病)

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter

堀 正太郎:農業世界 1(2):71, 1906(明 39) ; 堀 正太郎:農商務省農試報告 1:1, 1907(明 40)

乾性黒腐病 kansei-kurogusare-byo Black rot (乾燥性黒腐病)

Phoma panacicola Nakata & S. Takimoto

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 5:62, 1922(大 11) ; 渡邊龍雄:植物病学:258, 1957

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sp.

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 5:41, 1922(大 11) ; 渡邊龍雄:植物病学:259, 1957

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:指定試験(病虫害) 3:4, 1963

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉焼病)

Colletotrichum panacicola Uyeda & S. Takimoto

瀧元清透:朝鮮農会報 14(3):24, 1919(大 8) ; 原 攝祐:実用作物病理学:234, 1925(大 14)

根腐病 negusare-byo Root rot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten f. sp. *panacis* Matuo & Miyazawa [*Cylindrocarpon panacis* Matuo & Miyazawa, *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *panacis* Matuo & Miyazawa, *Ramularia destructans* Zinssmeister, *Ramularia panacicola* Zinssmeister]

松尾卓見・宮沢洋一:日植病報 33(5):346, 1967 ; Matuo, T. & Miyazawa, Y.:Trans. Mycol, Soc. Japan 9:109, 1969 ; Matuo T. & Miyazawa Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 50(5):649, 1984

斑点病 hanten-byo Alternaria blight (根部乾腐病, 赤星病)

Alternaria panax Whetzel

ト蔵梅之丞:病虫雑 2(10, 附録):51, 1915(大 4) ; 村田寿太郎:病虫雑 3(2):140, 1916(大 5)

フザリウム病 *Fusarium*-byo Fusarium disease

Fusarium solani (Martius) Saccardo f. sp. *pisi* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Hypomyces solani* Reinke & Berthold f. sp. *pisi* Reichle, W.C. Snyder & Matuo]

原 攝祐:実験作物病理学:448, 1930(昭 5) ; Matuo, T. & Snyder, W. C.:Phytopathology 62:731, 1972
[備考] 日植病報 33(5):346, 1967 に松尾卓見・宮沢洋一によって記録された菌のうち, *Fusarium solani* f. sp. *panacis* Matuo & Miyazawa は, のちに根腐病菌 *Cylindrocarpon destructans* f. sp. *panacis* Matuo & Miyazawa の異名とされた (日植病報 50:390, 1984)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion
Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
川島嘉内:北日本病虫研報 13:129, 1962

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの 1 種
川島嘉内・遠藤 正:植物防疫 11(4):141, 1957

†**あめ色軟化病** ameiro-nanka-byo Soft rot (飴色軟化病)
病原細菌種名未定
中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 5:20, 1922(大 11) ; 渡邊龍雄:植物病学:259, 1957(昭 32)
[備考] 朝鮮半島。病原細菌名 *Pseudomonas panacis* (Takimoto) Dowson は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†**軟化病** nanka-byo
病原細菌種名未定
上田栄次郎:農学会報 82:1, 1908(明 41) ; 瀧元清透:朝鮮農会報 14(3):25, 1919(大 8)
[備考] 朝鮮半島。国内発生未詳。上田によれば, 本病原菌 *Pseudomonas koraiensis* は *Erwinia araliavorus* Uyeda に随伴し腐敗を助長するが, 本菌のみの病原性は極めて弱いと報告されたが, 病原細菌名 *Pseudomonas koraiensis* Uyeda および *Erwinia araliavora* (Uyeda) Magrou は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†**乾腐病** kampu-byo
Cladosporium sp.
中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 5:66, 1922(大 11)
[備考] 朝鮮半島

††**黒腐菌核病** kurogusare-kinkaku-byo Stem rot
Sclerotinia panacis Rankin
瀧元清透:農学会報 118:38, 1912(明 45)

†**蛇の目病*** janome-byo Leaf spot (蛇眼病)
Phyllosticta panax Nakata & Takimoto
中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 5:68, 1922(大 11)
[備考] 朝鮮半島

†**立枯病** tachigare-byo Foot rot
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 5:60, 1922(大 11)
[備考] 朝鮮半島。病菌の異名はイネ紋枯病参照

†**胴枯病** dogare-byo
Phoma panacis Nakata & S. Takimoto
中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 5:67, 1922(大 11)

[備考] 朝鮮半島

†軟化病 nanka-byo

Mucor sp.

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 5:71, 1922(大 11)

[備考] 朝鮮半島。細菌による軟化病と病名重複, 検討を要する

†白斑病 hakuhan-byo Papery disease

生理障害

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 5:74, 1922(大 11)

[備考] 朝鮮半島

フクリンアラリア

(Polyscias)

Polyscias balfouriana Bailey

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora polysciatis-pinnatae U. Braun & Mouchacca

Nakashima, C.:Mycoscience 45:67, 2004

[備考] 接種試験未了

タイワンモミジ

Ming aralia

Polyscias fruticosa (L.) Harms

(広葉樹)

斑点病 hanten-byo Alternaria leaf spot

Alternaria panax Whetzel

小野 剛:関東病虫研報 51:67, 2004

オオバアラリア

Geraniumleaf aralia

Polyscias guilfoylei (W. Bull) L. H. Bailey

(広葉樹)

斑点病 hanten-byo Alternaria leaf spot

Alternaria panax Whetzel

小野 剛:関東病虫研報 51:67, 2004

フカノキ

(Schefflera)

Schefflera octophylla (Lour.) Harms

(広葉樹)

シェフレラ *Schefflera arboricola* ‘Hong Kong’

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium araliae Sawada ex S. Ito & D. Murayama

澤田兼吉:台湾産菌調査報告 9:119, 1943(昭 18) ; Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 8:117, 1961

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

鈴木幹彦ら:日植病報 76(1):65, 2010

[備考] シェフレラ

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium splendens Hans Braun

久保田まや:関東病虫研報 47:97, 2000

[備考] *S. arboricola* に発生

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

Molish, H.:Sci. Rept. Tohoku Imp. Univ. 4, Biol.:1, 1926(大 15) ; 末松四郎:和歌山大学芸学術報, 自然科学 1:94, 1950

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brown sooty mold

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]

山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭 15) ; 勝本 謙:植物病原菌図説(小林享夫ら編):568, 1992

[備考] 台湾

††††

Auricularia polytricha (Montagne) Saccardo アラゲキクラゲ

日野 巖・勝本 謙:宇部短大学術年報 3:110, 1963

††††

†*Botryosphaeria quercuum* (Schweinitz) Saccardo [*Physalospora rhodina* (Berkeley & M.A. Curtis) Cooke]

澤田兼吉:柑橘研究 4(2):278, 1931(昭 6) ; Arx, J. A. von & Müller, E.:Beitr. Kryptogamenfl. Schw. 11(1):34, 1954

[備考] 台湾

††††

†*Chaetothyrium echinulatum* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):37, 1957

[備考] 台湾

††††

Sphaceloma araliae Jenkins

香月繁孝:植研雑 30(12):371, 1955

カミヤツデ(紙八手)

Rice paper plant

Tetrapanax papyriferus (Hook.) K. Koch

(広葉樹)

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:植物学雑 26(305):132, 1912(大元)

[備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照。完全世代 *C. rolfsii* Curzi はカミヤツデでは未記録

†角斑病 kakuhan-byo

Phaeoisariopsis tetrapanacis Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):177, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium fatsiae Sydow & P. Sydow

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査報告 4):76, 1928(昭 3); 藤黒與三郎:植物学雑 28(334):423, 1914(大 3)

[備考] 台湾

ナンヨウスギ科 *Araucariaceae*

シマナンヨウスギ(コバノナンヨウスギ)

Norfolk Island Pine

Araucaria heterophylla (Salisb.) Franco

(針葉樹)

アロウカリア *Araucaria* spp.

褐色葉枯病 Kasshoku-hagare-byo Brown needle blight

Phyllosticta drummondii Vanev & Aa [*Phyllosticta brasiliensis* Linder]

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:170, 1988 ; Kobayashi, T. *et al.*:Mycoscience 44(6):473, 2003

[備考] 接種試験未了。コバノナンヨウスギ (*A. heterophylla*)

葉枯病 hagare-byo Needle blight

Nodulosphaeria araucariae I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 17:825, 1966

[備考] パラナマツ (*A. brasiliensis*)

†微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Charcoal rot, Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidànich

渡辺恒雄:森林防疫 35:188, 1986

[備考] パラグアイ

†林地根腐病 rinchi-negusare-byo Root rot in plantation

Pythium splendens Hans Braun

渡辺恒雄:森林防疫 35:188, 1986

[備考] パラグアイ

ヤシ科 Arecaceae, Palmae

ビンロウ(檳榔、檳榔)

Areca nut palm

Areca catechu L.

(広葉樹)

†茶斑病 chahan-byo

Phyllosticta catechu Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 33(232):8, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†円斑病 maruhan-byo

Guignardia arecae Saccardo

澤田兼吉:台湾博物学会報 33(232):6, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

††††

†*Brachysporium arecae* (Berkeley & Broome) Saccardo

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):197, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Gloeosporium catechu* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):175, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Lichenophoma arecae* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):127, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Montagnellina catechu* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):60, 1959

[備考] 台湾

サトウヤシ(砂糖椰子)

Sugar palm

Arenga pinnata (Wurmb) Merr.

(特用作物)

††疫病 eki-byo *Phytophthora rot*

Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:227, 1977

††葉枯病 hagare-byo *Leaf blight*

Pestalotiopsis palmarum (Cooke) Steyaert [*Pestalotia palmarum* Cooke]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:227, 1977

[備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):540, 1992 を参照

††斑点病 hanten-byo Blight, Cercosporiose

Cercospora acrocomiae J.A. Stevenson

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:226, 1977

トウ(藤)

Rattan

Calamus formosana Becc.

(広葉樹)

†褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo

Montagnellina calami Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):124, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†葉枯病 hagare-byo

Pestalotia calami Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):115, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

クジャクヤシ

Common Fishtail Palm

Caryota urens L.

(広葉樹)

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotia phoenicis Vize

日野隆之:採集と飼育 27(8):300, 1965

[備考] 病原菌の分類学的所属については再検討を要する

テーブルヤシ類

Good-luck palm, Parlor palm

Chamaedorea spp.

[*Collinia* spp.]

(広葉樹)

茎腐病 kukigusare-byo Gliocladium blight

Gliocladium vermoeseni (Biourge) Thom

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 59(3):292, 1993 ; 堀江博道・飯嶋 勉:関東病虫研報 51:81, 2004

[備考] テーブルヤシ (*Chamaedorea elegans*=*Collinia elegans*)・*C. seifrizii*

ココヤシ(古古椰子)

Coconut palm

Cocos nucifera L.
(果樹)

葉枯病 hagare-byo Gray leaf blight, Gray leaf spot (斑葉病, 葉枯病, 灰色斑点病)

Pestalotiopsis palmarum (Cooke) Steyaert [*Pestalotia palmarum* Cooke]

澤田兼吉:台湾博物学会報 4(17):178, 1914(大 3); 南部信方:病虫雑 2(1):98, 1915(大 4); 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):589, 1919(大 8)

†カダンカダン病 cadang-cadang-byo Cadang-cadang disease

Coconut cadang-cadang viroid (CCCVd)

徳重陽山:熱帯林業 30:16, 1973; 楠木 学:新編樹病学概論(小林享夫ら共著):140, 1986

[備考] フィリピン

††疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

(2) *Phytophthora palmivora* (E.J. Butler) E.J. Butler

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:163, 1977(昭 52)

[備考] インド

††褐斑病 kappan-byo Brown spot disease

Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:164, 1977

[備考] インド。疫病の病原菌でもある

††黒腐病 kurogusare-byo Black scorch, Dry basal rot, Stem-bleeding disease

Ceratocystis paradoxa (Dade) C. Moreau [*Thielaviopsis paradoxa* (De Seynes) Höhnelt]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:162, 1977

[備考] ココヤン産地の各地

††炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病)

Gloeosporium sp.

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:165, 1977

†††へた腐病 hetagusare-byo (蒂腐病)

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

主要病菌害虫発見記録:植物防疫 5(8):311, 1951

[備考] 生産国フィリピン

†幹腐病 mikigusare-byo Stem rot

Ganoderma boninense Patouillard シママンネンタケ

今関六也:東京科博研報 1:45, 1939(昭 14)

[備考] トラック諸島。枯死した幹に発生。宿主はシュロ科に限られ、九州でビロウ、小笠原でオガサワラビロウでの発生が記録されている

††芽腐病 megusare-byo Bud rot

Phytophthora spp.

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:162, 1977

[備考] インド, スリランカ, 中南米, 東アフリカ。石山信一・向 秀夫 (植物病原細菌誌:184, 1941) は西

インドにおける *Bacillus coli* (Escherich) Migula [*Escherichia coli* (Escherich) Castelloni & Chalmers] による芽腐病を記載。海外では複数の菌のうち *P. palmivora* (Butler) Butler が最も重要とされている

††赤輪病 akawa-byo Red ring, Red ring disease

Rhadinaphelencus cocophilus (Cobb) Goodey

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:164, 1977

[備考] 中南米。国内未発見のため線虫の和名なし。外国の記載では同一病名の病原線虫は *Bursaphelenchus cocophilus* (Cobb) Baujard とされている

†††植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

†††*Tylenchorhynchus elegans* Siddiqi [*Tylenchorhynchus martini* Fielding] サトウキビイシュクセンチュウ

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):309, 1960

[備考] 生産地台湾

アブラヤシ(油椰子)

African oil palm

Elaeis guineensis Jacq.

(特用作物)

††樹幹腐敗病 jukan-fuhai-byo Trunk rot disease , Basal stem rot

Ganoderma lucidum (Leysser) P. Karsten オオマンネンタケ

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:159, 1977

††頂芽腐敗病 choga-fuhai-byo Bud rot

病原未定

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:158, 1977

[備考] ココヤシにも発生

††樹冠病 jukan-byo Crown disease

病因不明

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:158, 1977

[備考] 生理病と考えられている

††果房腐蝕病 kabo-fushoku-byo Fruit rot

病因不明

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:160, 1977

††幹腐病 mikigusare-byo Upper stem rot

病因不明

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:159, 1977

ケンチャヤシ

Belmore sentry palm

Howea belmoreana (C. Moore & F. J. Muell.) Becc.

(広葉樹)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

竹内 純・堀江博道:日植病報 67(2):166, 2001

褐斑病 kappan-byo *Cylindrocaldium* brown leaf spot

Calonectria ilicicola Boedijn & Reitsma [不完全世代: *Cylindrocladium parasiticum* Crous, M.J. Wingfield & Alfenas]

竹内 純ら:日植病報 71(3):216, 2005 ; Hirooka, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(1):66, 2008

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

Nakamura, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(1):86, 2008 ; 料所聖児ら:日植病報 74(1):28, 2008

ビロウ(蒲葵)

Livistona palm

Livistona chinensis (N.J. Jacq.) K. Br. ex Martius var. *subglobosa* (Hassk.) Martius
(広葉樹)

黒つぼ病 kurotsubo-byo

Graphiola cylindrica Kobayasi

伊藤一雄:樹病学大系 3:4, 1974 ; Kobayasi, Y.:Nagaoa 1:32, 1952

黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)

Sphaerodothis livistonae Tak. Kobayashi

国吉清保・小林享夫:森林防疫 21(7):167, 1972 ; Kobayashi, T.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 10:405, 1973

すす病 susu-byo Black mildew

Meliola livistonae H.S. Yates var. *boninensis* Katumoto & Y. Harada

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):415, 1979

[備考] オガサワラビロウ (*L. chinensis* var. *boninensis*)

葉枯病 hagare-byo

Pestalotia sp.

渡邊龍雄:繊維作物学:177, 1947

††††

Hendersonia livistonae Naito

内藤 喬:鹿児島大理科報告 1:77, 1952

††††

Leiosphaerella livistonae I. Hino & Katumoto

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 41(11):331, 1966

††††

Phaeosphaeria japonica Naito

内藤 喬:鹿児島大理科報告 1:72, 1952

トックリヤシモドキ

Pignut palm
Mascarena verschaffeltii (H. Wendl.) L. H. Bailey
[*Hyophorbe verschaffeltii* H. Wendl.]
(広葉樹)

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease
Pestalotiopsis palmarum (Cooke) Steyaert [*Pestalotia palmarum* Cooke]
日野隆之:採集と飼育 27(8):299, 1965 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):539, 1992

ナツメヤシ
Date palm
Phoenix dactylifera L.
(果樹)

褐条葉枯病 katsujo-hagare-byo
Phomopsis phoenicis (Cesati) Camara
小林享夫:森林防疫 45(1):10, 1996
[備考] 接種試験未了

眼点病 ganten-byo
Stigmina palmivora (Saccardo) S. Hughes [*Exosporium palmivorum* Saccardo]
澤田兼吉:台湾博物学会報 7(29):1, 1917(大 6) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告 1):692, 1919(大 8) ; 富永時任:日植病報 25(5):219, 1960
[備考] シンノウヤシ (*P. humilis* var. *loureirii*) にも発生

黒つぼ病* kurotsubo-byo Graphiola leaf spot (白毛病)
Graphiola phoenicis (Mougeot) Poiteau var. *phoenicis* [*Graphiola phoenicis* (Mougeot) Poiteau, *Nigrocupula formosana* Sawada]
澤田兼吉:台湾中研農業部報告 51(台湾産菌類調査報告 5):45, 1931(昭 6) ; 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):91, 1944(昭 19) ; 山本重雄:九病虫研会報 5:31, 1959
[備考] セネガルヤシ (*P. reclinata*) にも発生

††枝枯病 edagare-byo Twig blight
Marasmius eburneus Theissen
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:229, 1977

††果実病 kajitsu-byo Fruit disease, Fruit rots
Alternaria citri Ellis & N. Pierce
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:228, 1977
[備考] 本病菌を *Alternaria alternata* (Fries) Keissler に含める考え方がある

††黒焼病 kuroyake-byo Black rot, Black scorch (黒腐病)
Ceratocystis paradoxa (Dade) C. Moreau [*Thielaviopsis paradoxa* (De Seynes) Höhnelt]
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:228, 1977

††根腐病 negusare-byo Root rot
Pythium periplocum Drechsler
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:229, 1977

††葉枯病 hagare-byo Leaf blight
Diplodia phoenicicola Spegazzini
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:228, 1977

††斑紋病 hammon-byo Leaf spot
Pestalotia phoenicis Vize
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:229, 1977

フェニックス類
(Phoenix)
Phoenix spp.
(広葉樹)

カナリーヤシ Canary date palm *Phoenix canariensis* Chabaud
シンノウヤシ(フェニックス・ロベレニー) Roebelen date palm *Phoenix roebelenii* O'Brien [*Phoenix humilis* Royle var. *loureirii* Becc.]

疫病 eki-byo Phytophthora disease
Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler
桂 琦一:植物の疫病:91, 1971

褐紋病 katsumon-byo Phomopsis leaf spot
Phomopsis phoenicicola Traveso & Spessa
竹内 純・堀江博道:日植病報 65(6):657, 1999
[備考] シンノウヤシに発生

眼点病 ganten-byo
Stigmina palmivora (Saccardo) S. Hughes [*Exosporium palmivorum* Saccardo]
澤田兼吉:台湾博物学会報 7(29):1, 1917(大 6) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告 1):692, 1919(大 8) ; 富永時任:日植病報 25(5):219, 1960
[備考] シンノウヤシにも発生

黒つぼ病 kurosubo-byo Graphiola leaf spot (白毛病)
Graphiola phoenicis (Mougeot) Poiteau var. *phoenicis* [*Graphiola phoenicis* (Mougeot) Poiteau, *Nigrocupula formosana* Sawada]
澤田兼吉:台湾中研農業部報告 51(台湾産菌類調査報告 5):45, 1931(昭 6) ; 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):91, 1944(昭 19) ; 山本重雄:九病虫研会報 5:31, 1959
[備考] セネガルヤシ (*P. reclinata*) にも発生

黒葉枯病 kuro-hagare-byo Lasiodiplodia leaf blight
Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc
竹内 純・堀江博道:日植病報 66(3):273, 2000
[備考] シンノウヤシに発生

立枯病 tachigare-byo Damping-off
Fusarium oxysporum Schlechtendal
荒井 啓ら:日植病報 42(1):99, 1976

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo
竹内 純・堀江博道:日植病報 65(6):657, 1999
[備考] シンノウヤシに発生

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
竹内 純ら:関東病虫研報 42:119, 1995
[備考] シンノウヤシに発生

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease
Pestalotiopsis palmarum (Cooke) Steyaert
竹内 純・堀江博道:日植病報 66(3):273, 2000
[備考] シンノウヤシに発生

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種
河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

†小すす病 kosusu-byo Sooty mold (小煤病)
Meliola palmicola G. Winter [*Meliola amphitricha* sensu Sawada non Fries]
山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):156, 1940(昭 15)
[備考] 台湾。ソテツジュロ(*P. hanceana* var. *formosana*)

ボトルヤシ
Bottle Palm
Pritchardia wrightii Becc.
(広葉樹)

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease
Pestalotia phoenicis Vize
日野隆之:採集と飼育 27(8):300, 1965

カンノンチク(観音竹)
Large lady palm
Rhapis excelsa (Thunb.) Henry ex Rehder
(広葉樹)

褐点病 katten-byo Brown leaf spot
Cercospora rhapsidicola Tominaga
Tominaga, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 5(3):57, 1965
[備考] シュロチク (*R. humilis*) にも発生

シュロ(棕櫚)
Chinese coir
Trachycarpus fortunei (Hook.) H. Wendl.

(広葉樹)

黒つぼ病 kurotsubo-byo

Graphiola phoenicis (Mougeot) Poiteau var. *trachycarpi* Hennings

伊藤一雄:樹病学大系 3:4, 1974 ; 吉永虎馬:植物学雑誌 19(217):31, 1905(明 38)

立枯病 tachigare-byo

Botrytis sp.

原 攝祐:実験作物病理学:469, 1930(昭 5)

[備考] 人工接種により子のう菌の 1 種が病原菌との説あり(古賀 寛・岡本栄司:和歌山林試報 14:64, 1966)。検討を要する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

伊藤一雄:樹病学大系 2:70, 1973

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Leptosphaeria trachycarpi Hara

原 攝祐:実用作物病理学:248, 1925(大 14)

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotia sp.

岡田武次:和歌山林試報 12:9, 1954

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの 1 種

伊藤武夫:森林防疫ニュース 30:343, 1954

††††

Melanographium citri (González Fragoso & Ciferri) M.B. Ellis [*Melanographium trachycarpi* I. Hino & Katumoto]

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 37(10):298, 1962 ; Matsushima, T.:Icon. Microfung. Matsushima Lect.:94, 1975

ウマノスズクサ科 Aristolochiaceae

カンアオイ
Wild ginger
Asarum spp.
(野草)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
今泉英理夏ら:日植病報 65(3):408, 1999
[備考] *A. nipponicum* F. Maek.

ガガイモ科 Asclepiadaceae

トウワタ

Milk weed

Asclepias curassavica L.

(草花)

オオトウワタ *Asclepias syriaca* L.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia guttata (Wallroth) Lévillé

丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):109, 1996

カモメヅル類

(*Cynanchum*)

Cynanchum spp.

(野草)

イケマ *Cynanchum caudatum* (Miq.) Maxim.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] イケマ

フウセントウワタ

Cotton bush, Swan plant

Gomphocarpus fruticosus R. Br.

(野草)

++++

病原未記載

[備考] 血清試験による *Cucumber mosaic virus* (CMV キュウリモザイクウイルス)検出の報告がある。

大木 理ら:植物防疫 35(7):305, 1981

サクララン(桜蘭)

Wax plant

Hoya carnosa (L.f.) R.Br.

(草花)

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia variiformis Patouillard

藤黒與三郎:病虫雑 2(5):407, 1915(大 4) ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:336, 1955

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Gloeosporium hoyae* Sydow & P. Sydow]

中村重正:日植病報 34(5):349, 1968 ; 中村重正:農学集報 16(3-4):173, 1972

(2) *Gloeosporium* sp.

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:115, 1939 (昭 14)

[備考] 中村重正 (日植病報 34(5):349, 1968, 農学集報 16(3-4):173, 1972) はサクラランから得た菌の完全世代を *Glomerella cingulata*, 不完全世代を *Colletotrichum gloeosporioides* (*Gloeosporium hoyae*) と同定した。ただし、瀧元が報告した菌との異同は明らかでない。瀧元 (1939) と中村 (1968, 1972) が報告した菌は同一種である可能性がある。瀧元 (1939) は解説書につき詳細不明

すす病* susu-byo Sooty mold

†*Meliola hoyae* Saccardo

山本和太郎:台湾博物学会報 30(200-201):153, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

ガガイモ

Metaplexis japonica (Thunb.) Makino

(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera sparsa (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu

[*Sphaerotheca sparsa* U. Braun]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:19, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012

ルリトウワタ(ブルースター, オキシペタラム)

(Tweedia)

Tweedia caerulea D. Don

[*Oxypetalum caeruleum* (D. Don) Decne.]

(草花)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

安達理恵ら:日植病報 78(1):56, 2012

萎凋病 icho-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal

山岸菜穂ら:関東病虫研報 55:190, 2008

疫病 eki-byo Phytophthora rot, Phytophthora blight

(1) *Phytophthora citrophthora* (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian

佐藤 衛ら:日植病報 78(1):22, 2012 ; 佐藤 衛ら:関東病虫研報 59:78, 2012

(2) *Phytophthora palmivora* (E.J. Butler) E.J. Butler

安達理恵ら:日植病報 75(1):72, 2009 ; Gappa-Adachi, R. et al.: J. Gen. Plant Pathol. 78(1):39, 2012

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら:関東病虫研報 56:137, 2009

立枯病 tachigare-byo Stem blight

Fusarium striatum Sherbakoff

岡田知之:四国植防 49:64, 2015

オオカモメヅル

Tylophora aristolochioides Miq.

(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera sparsa (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu

[*Sphaerotheca sparsa* U. Braun]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:19, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012

キジカクシ科 Asparagaceae

ギボウシ類
Plantain lily
Hosta spp.
(草花)

えそ輪点病 eso-rinten-byo

Hosta virus X (HVX) ギボウシ X ウイルス

尾崎武司ら:日植病報 57(1):93, 1991

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Leaf blight

Botrytis squamosa J.C. Walker

塚本俊秀:日植病報 66(2):92, 2000

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia funkiae Dietel [*Puccinia hostae* Hara]

原 攝祐:実用作物病理学:574, 1925(大 14) ; 平塚直秀・長谷部早百合:菌蕈研報 16:4, 1978

[備考] *P. funkiae* は *P. hemerocallidis* とは別種。オオバギボウシ (*H. sieboldiana* Engl.), コバギボウシ (*H. sieboldii*), タチギボウシ, イワギボウシ (*H. longipes* (Fr. & Sav.) Matsumura), スジギボウシ, トウギボウシに発生。精子・さび孢子時代はオミナエシ類 (*Patrinia* spp.) に寄生する

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 儔ら:関東病虫研報 32:151, 1985 ; 笹井裕里ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 62:97, 2015

[備考] 笹井ら(2015)の病害はタマノカンザシ (*Hosta plantaginea* var. *japonica* Kikuchi & F.Maek.) で発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum lilacearum (Schweinitz) Ferraris [*Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove]

竹内 純・堀江博道:日植病報 62(3):267, 1996

[備考] コバギボウシ (*Hosta sieboldii*) に発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:210, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:703, 1998 ; 阿部美咲ら:日植病報 80(1):23, 2014

斑紋病 hammon-byo Leaf spot

Phyllosticta yanagawana Togashi

富樫浩吾:札幌博物会報 14:283, 1925(大 14) ; 富樫浩吾・雪ノ浦参之助:馬の築川病に関連する築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):118, 1937(昭 12)

円星病 maruhoshi-byo

Cercospora hostae Hori

堀 正太郎:日植病報 1(4):66, 1921(大 10) ; 香月繁孝:日植病報 20(2-3):72, 1955 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):60, 1960

チャンセンシダ科 Aspleniaceae

チャセンシダ類
(Asplenium)
Asplenium spp.
(草花)

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf blight

(1) *Xanthomonas campestris* の 1 pathovar

畔上耕児・上原勝江:日植病報 59(6):720, 1993

[備考]オオタニワタリに発生。接種試験未了

(2) *Burkholderia gladioli* pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas gladioli* pv. *gladioli* Severini 1913]

畔上耕児・上原勝江:日植病報 59(6):720, 1993

[備考]オオタニワタリに発生。接種試験未了

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight (くもの巣病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

吉田政博ら:九病虫研会報 50:97, 2004 ; 吉田政博ら:日植病報 82(4):318, 2016

[備考] シマオオタニワタリ (*A. nidus* L.) に発生。菌糸融合群 AG-1 培養型 IB。吉田ら(2004)は本病をくもの巣病としたが、吉田ら(2016)は葉腐病と改めた

キク科 Asteraceae, Compositae

ノコギリソウ(ハゴロモソウ)
Siberian yarrow
Achillea alpina L.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Golovinomyces cichoracearum* (de Candolle) Geljuta var. *cichoracearum*

星 秀男ら:日植病報 74(3):178, 2008

[備考] オオバノコギリソウ *A. ptarmica*

(2) *Oidium asteris-punicea* Peck

丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999

[備考] ノコギリソウモドキ *A. stricta* Schle & Gromli

(3) *Oidium* sp.

佐藤 衛ら:関西病虫研報 36:91, 1994

[備考] 発芽管は *Erysiphe cichoracearum* 型

セイヨウノコギリソウ
Yarrow
Achillea millefolium L.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe cichoracearum* de Candolle var. *cichoracearum*

本間ヤス:北大農紀 38:339, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):188, 1988

[備考] 大谷 (1988) は接種試験未了

(2) *Golovinomyces cichoracearum* (de Candolle) Geljuta var. *cichoracearum*

星 秀男ら:関東病虫研報 59:81, 2012

[備考] オオバナノコギリソウ(*A. ptarmica* L.)

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia cnici-oleracei Persoon ex Desmazières [*Puccinia ptarmicae* P. Karsten]

我孫子和雄ら:関西病虫研報 32:78, 1990 ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:870, 1992

[備考] 接種試験未了。我孫子は *A. millefolium* を, Hiratsuka et al. はエゾノコギリソウ *A. ptarmica* var. *macrocephala*, カミツレモドキ *A. cotula* について記載

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

星 秀男ら:関東病虫研報 50:109, 2003

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:135, 1994

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IA

††††

Phoma erysiphoides Ellis

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961

[備考] 宿主リスト

ノブキ類
(Adenocaulon)
Adenocaulon spp.
(野草)

ノブキ *Adenocaulon himalaicum* Edgew.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ノブキ

カッコウアザミ(アゲラタム)
Mexican ageratum
Ageratum conyzoides L.
(草花)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

[備考] カッコウアザミ・ムラサキカッコウアザミ (*A. housonanum*)

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††††

Ageratum yellow vein virus (AYVV) カッコウアザミ葉脈黄化ウイルス

大貫正俊ら:日植病報 74(1):32, 2008

††††

†*Pepper yellow leaf curl Indonesia virus*

佐方淳資ら:日植病報 73(3):222, 2007

[備考] インドネシア

ブタクサ類
(Ambrosia)
Ambrosia spp.
(野草)

ブタクサ *Ambrosia artemisiifolia* L. var. *elatio* (L.) Descourt.

オオブタクサ *A. trifida* L.

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia xanthii Schweinitz

福田達男・柿畠 眞:日植病報 65(3):411, 1999

[備考] ブタクサ・オオブタクサ

雪腐病 yukigusare-byo Snow mold

Sclerotinia nivalis I. Saito

Saito, I.:Mycoscience 38:227, 1997 ; 齊藤 泉:日菌報 38(2):97, 1997

[備考] ブタクサに発生。接種試験未了

カイザイク(貝細工)

Winged everlasting

Ammobium alatum R.Br.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo

病原不明

日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

萎黄病 io-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

関山英吉・村山大記:農及園 45(5):843, 1970 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:659, 1998

[備考] 接種試験未了

ゴボウ(牛蒡)

Edible burdock, Great burdock

Arctium lappa L.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Burdock rhabdovirus# (BuRV) ゴボウラブドウイルス

柏崎 哲ら:日植病報 49(1):132, 1983

[備考] 伝染性未確認。戻し接種なし

(2) Burdock yellows virus (BuYV) ゴボウ黄化ウイルス

中野道治・井上忠男:日植病報 46(1):7, 1980

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) Burdock mosaic virus# (BuMV) ゴボウモザイクウイルス

大島信行・後藤忠則:北海道農試彙報 68:55, 1955 ; 井上忠男・光畑興二:農学研究 54:1, 1971

(2) Burdock mottle virus (BdMV) ゴボウ斑紋ウイルス

井上忠男:日植病報 38(3):211, 1972 ; Inouye, T.:Ber. Ohara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 15(4):207, 1973

(3) Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

井上忠男・光畑興二:農学研究 54:1, 1971

黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial spot (細菌性黒斑病)

Xanthomonas campestris pv. *nigromaculans* (Takimoto 1927) Dye 1978 [*Bacterium nigromaculans* Takimoto]

瀧元清透:病虫雑 14(9):519, 1927(昭 2)

そうか病 soka-byo Scab

Streptomyces sp.

相馬 潤ら:日植病報 61(6):648, 1995

[備考] 病原菌名として *S. turgidiscabies* が提案されている

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *arctii* Matuo, A. Matsuda & K. Kato

松田 明ら:日植病報 36(5):369, 1970 ; 松尾卓見ら:日植病報 41(1):77, 1975

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

山田玄太郎・大森順造:植物病理学:365, 1904(明 37) ; 本間ヤス:北大農紀 38:305, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):174, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot

Cercospora arctii-ambrosiae Halsted [*Cercospora lappae* T. Watanabe & N. Takahashi]

渡邊龍雄・高橋信雄:宇都宮高農学彙報 1:33, 1934(昭 9) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):45, 1960

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

挾間 渉ら:日植病報 55(4):496, 1989

黒あざ病 kuroaza-byo (ヤケ)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

松田 明ら:日植病報 39(3):200, 1973

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照

黒条病 kurosui-byo Black streak

Iterosonia perplexans Derx

谷井昭夫ら:日植病報 54(1):117, 1988 ; 堀田治邦・安岡眞二:日植病報 64(4):431, 1998 ; Horita, H. & Yasuoka, S.:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):277, 2002

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Ascochyta phaseolorum Saccardo [*Phyllosticta lappae* Saccardo]

原 攝祐:実用作物病理学:452, 1925(大 14) ; 成田武四:日植病報 41(1):123, 1975 ; 成田武四・板垣裕道:北日本病虫研報 26:3, 1975

[備考] トマト輪状斑点病参照

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

手塚信夫ら:関西病虫研報 34:75, 1992

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum lappae Hori

堀 正太郎:病虫雑 2(10):833, 1915(大 4)

[備考] 病菌の分類学的所属については再検討を要する

根腐病 negusare-byo

Pythium irregulare Buisman

富来 務ら:日植病報 29(5):274, 1964 ; 一谷多喜郎ら:日植病報 41(3):271, 1975

根黒斑病 ne-kokuhan-byo Black root rot

(1) *Phoma exigua* Desmazières var. *exigua*

伊東菜美子ら:日植病報 70(3):223, 2004 ; 粕山新二ら:日植病報 74(4):343, 2008

(2) *Phoma* sp.

伊東菜美子ら:日植病報 70(3):223, 2004

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

河合一郎:園芸病害編:245, 1954

雪腐病 yukigusare-byo Snow mold

Sclerotinia nivalis I. Saito

Saito, I.:Mycoscience 38:227, 1997 ; 斉藤 泉:日菌報 38(2):97, 1997

[備考] 接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(2) *Rotylenchulus reniformis* Linford & Oliveira [*Rotylenchulus nicotiana* (Yokoo & Tanaka) Nakasono & Ichinohe]

ニセフクロセンチュウ

中園和年ら:昭 35 応動昆大会講要:17, 1960 ; 中園和年・一戸 稔:応動昆 11(4):169, 1967

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus fallax* Seinhorst キクネグサレセンチュウ

西澤 務・大島康臣:関東病虫研報 17:118, 1970

(3) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:96, 1968

(4) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 18:124, 1967

(5) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

西沢 務:関西病虫研報 1:128, 1958

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 指根病, 趾跟病, 根線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ
樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] 接種試験の結果。*M. mali* として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭3) ; 楠木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Septoria lappicola Ishiyama

石山哲爾:農及園 13(10):2337, 1938(昭13)

[備考] 樺太

††††

Verticillium dahliae Klebahn

岩田康広ら:日植病報 58(1):152, 1992

マーガレット(モクシュンギク)

Marguerite

Argyranthemum frutescens (L.) Schultz-Bip.

(草花)

ウイルス病 virus-byo

Chrysanthemum virus B (CVB) キク B ウイルス

中村靖弘ら:関東病虫研報 41:177, 1994

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

中村靖弘ら:関東病虫研報 41:177, 1994

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭8)

マイコプラズマ病 mycoplasma-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 35(5):389, 1969

[備考] 伝染試験なし

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

森田 儔ら:植物防疫 16(5):191, 1962

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Rhizobium radiobacter (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942]

太田光輝:日植病報 46(3):402, 1980 ; 太田光輝・西山幸司:日植病報 50(2):197, 1984 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

萎凋病 icho-byo Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

森田 儔ら:植物防疫 16(5):191, 1962

褐斑病 kappan-byo

Septoria obesa Sydow & P. Sydow

成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:662, 1998

[備考] 接種試験未了

菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

外側正之:日植病報 53(1):118, 1987

[備考] 接種試験未了

茎根腐病 kukinegusare-byo Stem and root rot

Pythium uncinulatum Plaäts-Niterink & I. Blok

中川章吾ら:日植病報 83(1):64, 2017

黒斑病 kokuhan-byo

Septoria chrysanthemella Saccardo

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:663, 1998

[備考] 接種試験未了

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia cnici-oleracei Persoon ex Desmazières

伊藤誠哉:日本菌類誌:320, 1950 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:871, 1992 ; 外側正之:関東病虫研報 42:127, 1995

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo

Phyllosticta sp.

成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:662, 1998

[備考] 接種試験未了

雪腐病 yukigusare-byo

Sclerotinia nivalis I. Saito

Saito, I.:Mycoscience 38:227, 1997 ; 斉藤 泉:日菌報 38(2):97, 1997

[備考] 接種試験未了

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

クラムヨモギ
Kurram santonica
Artemisia kurramensis Qazilbash
(特用作物)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
内藤中人・谷 利一: 日植病報 23(1):15, 1958
[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

ミブヨモギ
Sea wormwood
Artemisia maritima L.
(特用作物)

立枯病 tachigare-byo
Fusarium oxysporum Schlechtendal
松尾卓見・金井勘治: 日植病報 20(1):45, 1955

雪腐菌核病* yukigusare-kinkaku-byo
Sclerotinia intermedia Ramsey
杉本利哉・栃内吉彦: 北大農邦文紀 3(1):149, 1958
[備考] 富樫浩吾ら (岩手農試彙報 11:16, 1946) も菌核病の発生を報じている

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)
Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ
一戸 稔: 北農 23(5):178, 1956

ヨモギ類
(*Artemisia*)
Artemisia spp.
(野草)

オトコヨモギ *A. japonica* Thunb.
イヌヨモギ *A. keiskeana* Miq.
オオワタヨモギ *A. koidzumii* Nakai
オオヨモギ *A. montana* (Nakai) Pampan.
ヨモギ *A. princeps* Pampan.
チシマヨモギ *A. unalaskensis* Rydb.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Golovinomyces artemisiae (Greville) Heluta [*Erysiphe artemisiae* Greville, *Erysiphe cichoracearum* sensu lat. auct. non DC.]
白井光太郎: 日本菌類目録:31, 1905(明 38) ; 本間ヤス: 北大農紀要 38(3):335, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄・伊藤

誠哉:日本菌類誌 3(2):190, 1988 ; Matsuda, S. & Takamatsu, S.: Mol. Phylogenet. Evol. 27:314, 2003
[備考] オトコヨモギ・イヌヨモギ・オオワタヨモギ・オオヨモギ・ヨモギ・チシマヨモギに発生

裏すす病 ura-susu-byo

Mycovellosiella ferruginea (Fuckel) Deighton

我孫子和雄:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):464, 1992

[備考] ヨモギ

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Phakopsora artemisiae* Hiratsuka

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:319, 1992

[備考] オトコヨモギ・オオヨモギ・ヨモギ

(2) *Puccinia artemisiae-keiskeanae* Miura

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:867, 1992

[備考] イヌヨモギ

(3) *Puccinia caricis-stipatae* Y. Harada

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:653, 1992

[備考] ヨモギ

(4) *Puccinia cnici-oleracei* Persoon ex Desmazières

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:870, 1992

[備考] オトコヨモギ・オオヨモギ・ヨモギ

(5) *Puccinia dioicae* Magnus var. *micropuncta* Y. Ono

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:658, 1992

[備考] オトコヨモギ・ヨモギ

(6) *Puccinia tanacetii* de Candolle var. *tanacetii*

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:895, 1992

[備考] オトコヨモギ・オオヨモギ・ヨモギ

シスト線虫病* cyst-senchu-byo

Globodera hypolisi Ogawa, Ohshima & Ichinohe ヨモギシストセンチュウ

Ogawa, Y. *et al.*:日線虫研誌 12:41, 1983

[備考] ヨモギ

粒線虫病* tsubu-senchu-byo

Anguina moxae Yokoo & Choi ヨモギツブセンチュウ

平田賢司:34 回応動昆大会講要:207, 1990

[備考] ヨモギ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ヨモギ

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

[備考] ヨモギ

シュッコンアスター(クジャクアスター, 孔雀アスター, シロクジャク)

Aster

Aster ericoides L. 及び種間雑種
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

高橋幸吉ら:関東病虫研報 44:161, 1997

[備考] 分生子の発芽管は *Erysiphe cichoracearum* 型

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 46:57, 1999

茎腐小粒菌核病 kukigusare-shoryu-kinkaku-byo Small sclerotial stem rot

Sclerotinia minor Jagger

庄司俊彦ら:日植病報 67(2):166, 2001 ; 原田幸雄ら:日植病報 74(3):176, 2008

[備考] 庄司ら(2001)は本病病原を *Stromatinia* sp. としたが, 原田ら(2008)はこれを *Sclerotinia minor* に訂正した

さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium sp.

阿部淳一ら:日植病報 69(3):261, 2003

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

手塚信夫ら:関西病虫研報 34:75, 1992

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp.

菅原 敬ら:日植病報 83(3):183, 2017

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

市川和規ら:関東病虫研報 38:99, 1991 ; 峯岸直子ら:関東病虫研報 38:113, 1991 ; 市川和規・佐藤豊三:日植病報 59(3):291, 1993 ; 市川和規・佐藤豊三:日植病報 60(4):523, 1994 ; 黒瀬大介ら:日植病報 81(1):100, 2015 ; Kurose, D. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015

[備考] 市川ら(1993, 1994)は本病菌を *S. vesicarium* と同定したが, 黒瀬ら(2015) [Kurose *et al.* (2015)]が *S. lycopersici* と再同定した

ヤマジノギク(アレチノギク)

Aster hispidus L.

(草花)

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

佐藤俊次:日植病報 62(6):644, 1996 ; 佐藤俊次:九州農業研究 59:74, 1997

ユウゼンギク
New York aster
Aster novi-belgii L.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Golovinomyces asterum* (Schweinitz) U. Braun var. *asterum* [*Erysiphe cichoracearum* de Candolle]

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:104, 1977 ; 我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 27:47, 1985 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:32, 2012

(2) *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte [*Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

平田幸治・和田久美子:菌草研報 10:498, 1973

シオン(紫苑)
Tatarian aster
Aster tataricus L. f.
(草花)

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

(1) *Golovinomyces asterum* (Schweinitz) U. Braun var. *asterum* [*Erysiphe cichoracearum* de Candolle]

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:104, 1977 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:32, 2012

[備考] 和田・平田(1977)は寄主植物及び地理的分布のリスト

(2) *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte [*Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

原 攝祐:日本菌類目録:348, 1954 ; 本間ヤス:北大農紀 38:305, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988

[備考] 原 (1954) は寄主植物名リスト

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Septoria astericola Ellis & Everhart

南部信方:病虫雑 2(10):923, 1915(大 4)

さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium asterum (Dietel) Sydow & P. Sydow

平塚直秀:琉球大農学報 7:211, 1960

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

手塚信夫ら:関西病虫研報 34:75, 1992

アステリスカス
(Asteriscus)
Asteriscus maritimus (L.) Less.

(草花)

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:135, 1994

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IA

シオン類

Aster, Starwort

Aster spp.

(野草)

ヒメシオン *Aster fastigiatus* Fisch.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ヒメシオン

オケラ類

Atractylodes

Atractylodes spp.

(特用作物)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 42:143, 1995 ; 星 秀男ら:関東病虫研報 50:109, 2003

[備考] オオバナオケラ (*Atractylodes ovata* D.C.)・シナオケラ(*A. lancea* DC. var. *chinensis* Kitam.)

デージー(ヒナギク, エンメイギク)

English daisy

Bellis perennis L.

(草花)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:197, 1975

[備考] 解説書。接種試験未了。病原菌の形態記載なし

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia obscura J. Schröter

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:547, 1917(大 6)

[備考] 寄主植物リスト。本邦の発生について調査が必要

炭疽病 tanso-byo Anthracnose*

Colletotrichum sp.

成田武四:北海道における農作物病害:196, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:657, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌は *Colletotrichum dematium* と思われる

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

庄司俊彦ら:関西病虫研報 41:85, 1999

斑点病 hanten-byo

Septoria sp.

成田武四:北海道における農作物病害:196, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:657, 1998

[備考] 接種試験未了

円星病 maruhoshi-byo Leaf spot (白星病)

Ascochyta phaseolorum Saccardo [*Phyllosticta* sp.]

原 攝祐:実験作物病理学:872, 1930 (昭 5) ; 成田武四:北海道における農作物病害:196, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:657, 1998

[備考] 接種試験未了。病原菌の不完全世代は *Phyllosticta asteris* と思われる。ケイトウ輪紋病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの 1 種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

センダングサ類

Tickseed, Beggar's, Stick-tight, Bur-Marigold, Pitchforks, Spanish Needles

Bidens spp.

(野草)

センダングサ *Bidens biternata* (Lour.) Merrill & Sherff

コシロノセンダングサ *Bidens pilosa* L.

褐斑病 kappan-byo

Cercospora bidentis Tharp

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農業生物編 4(2):47, 1960 ; Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. (Tokyo) 65(763, 764):18, 1952

[備考] センダングサ

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 45:126, 1998

[備考] ウィンターコスモス(キクセンダングサ *B. leavis* (L.) B.S.P.) に発生

そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma bidentis Bitancourt & Jenkins

今井 彩ら:日植病報 75(3):235, 2009

[備考] ウィンターコスモス (キクセンダングサ *B. leavis*) に発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

[備考] コシロノセンダングサ

ボルトニア

(Boltonia)

Boltonia spp.

(草花)

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

ヒメコスモス

Swan river daisy

Brachyscome iberidifolia Benth.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium citrulli J.M. Yen & Chin C. Wang

丹田誠之助・須賀里絵:東農大農学集報 47(3):141, 2002

アレチアザミ類

(Breca)

Breca spp.

(野草)

エゾノキツネアザミ *Breca setosa* (Bieb.) Kitam.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] エゾノキツネアザミに発生。病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

キンセンカ(金盞花, トウキンセン)

Pot marigold, *Calendula*

Calendula officinalis L.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

(2) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

吉井 甫ら:九病虫研会報 特別報告 1:1, 1963

萎黄病 io-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

成田武四:北海道における農作物病害:197, 1977 ; 福士貞吉:札幌物学会報 12(3):34, 1932(昭 7) ; 福士貞吉:

実際園芸 13(4):83, 1932(昭 7) ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:663, 1998

[備考] 接種試験未了

芽枯細菌病 megare-saikin-byo Bacterial blight (細菌病, 芽枯性細菌病)

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

瀧元清透:日植病報 5(4):336, 1936(昭 11) ; 鶴巻直耕ら:日植病報 71(3):289, 2005

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas calandulae* (Takimoto 1936) Dowson 1943 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe polygoni* de Candolle

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録 227, 1917(大 6)

[備考] 寄主植物名リスト

(2) *Podosphaera xanthii* (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:371, 1927(昭 2) ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] 白井・原 (1927), 平田 (1964) は寄主植物名リスト

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora cryptogea* Pethybridge & Lafferty

植松清次ら:日植病報 60(3):342, 1994

(2) *Phytophthora* spp.

植松清次ら:日植病報 60(3):342, 1994

菌核病 kinkaku-byo Stem rot, Wilt

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:91, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

すす斑病 susuhan-byo Leaf spot (煤斑病)

Alternaria calandulae W. Yamamoto [*Macrosporium* sp.]

山本重雄:病虫雑 21(7):528, 1934(昭 9)

[備考] 山本(1934)は病原菌を *Macrosporium* sp. とした

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum carthami* (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [*Colletotrichum acutatum* J.H.

Simmonds, *Gloeosporium carthami* (Fukui) Hori & Hemmi]

沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

[備考] Sato & Moriwaki (2013)は本病原を狭義 *C. carthami* とした

(2) *Colletotrichum chrysanthemi* (Hori) Sawada [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds, *Colletotrichum carthami* (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, *Gloeosporium carthami* (Fukui) Hori & Hemmi, *Marssonina carthami* Fukui]

沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

[備考] 上田・梶原 (1968) は *G. carthami* を *C. gloeosporioides* の異名とする説(Arx, 1957)を紹介したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の *C. carthami* とされる標本も *C. acutatum* と再同定し, さらに Sato & Moriwaki(2013)は *C. carthami* および *C. chrysanthemi* と再同定した

根腐病 negusare-byo Damping-off

(1) *Pythium irregulare* Buisman

植松清次ら:日植病報 82(1):26, 2016

(2) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

植松清次ら:日植病報 82(1):26, 2016

(3) *Pythium* sp.

植松清次ら:日植病報 82(1):26, 2016

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold blight

Botrytis cinerea Persoon [*Botrytis vulgaris* Fries]

森田 儔:花の病害虫と新防除:64, 1966

[備考] 解説書。接種試験未了

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:197, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:663, 1998

[備考] 接種試験未了

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

飯嶋 勉:日植病報 47(3):379, 1981

[備考] 病原菌の形態的記述がない

輪紋病 rimmon-byo

Ascochyta phaseolorum Saccardo

成田武四:日植病報 41(1):123, 1975 ; 成田武四:北日本病虫研報 27:12, 1976

[備考] ケイトウ輪紋病参照

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.: Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎: 植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

池田克文: 総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

アスター(エゾギク, 翠菊)

China aster

Callistephus chinensis (L.) Nees

(草花)

黄色輪紋病 oshoku-rimmon-byo Yellow ringspot

Tobacco rattle virus (TRV) タバコ茎えそウイルス

小室康雄・吉野正義: 日植病報 34(3):201, 1968 ; 小室康雄ら: 日植病報 36(1):17, 1970

茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis

Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク茎えそウイルス

桃井千巳ら: 日植病報 76(3):190, 2010 ; Momonoi, K. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 77(2):142, 2011

萎黄病 io-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

福士貞吉: 農及園 5:557, 1930 ; 福士貞吉: 実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7) ; 福士貞吉・根本正康: 日植病報 18:146, 1954 ; 村山大記ら: 日植病報 28(5):306, 1963 ; 道立中央農試: 北海道における農作物および観賞植物の病害誌:653, 1998

[備考] 接種試験未了

萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

Komatsu, T. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 68(1):105, 2002

[備考] 岡部徳夫 (植物細菌病学:340, 1949), 上住 泰・西村十郎 (原色花の病害虫:153, 1975) は *Bacillus asteris* Verona による萎凋細菌病 (萎凋性細菌病) を紹介したが、同学名は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial black spot

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

森脇丈治ら: 日植病報 79(3):247, 2013

萎凋病 icho-byo Wilt, Fusarium wilt (立枯病, 茎腐病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *callistephi* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium conglutinans* Wollenweber var. *callistephi* Beach]

菅原太吉: 園芸之友 8(4):330, 1912(大 1) ; 松浦 義: 実地園芸 6:617, 1929(昭 4)

[備考] 菅原 (1912) は茎腐病として海外文献の紹介。解説書。松浦は国内での発生を記述

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

佐藤 衛ら:関西病虫研報 34:77, 1992

[備考] 発芽管は *Erysiphe cichoracearum* 型

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

成田武四:北海道における農作物病害:194, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:653, 1998

[備考] 接種試験未了

黒かび病 kurokabi-byo

Alternaria sp.

成田武四:北海道における農作物病害:194, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:653, 1998

[備考] 接種試験未了

さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, 赤銹病)

Coleosporium pini-asteris Orishimo

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 19:35, 1981

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Pythium megalacanthum de Bary [*Pythium megalacanthum* de Bary var. *callistephi* Tasugi & Shiino]

田杉平司・椎野秀蔵:日植病報 10(2-3):278, 1940(昭 15)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Botrytis blight

Botrytis cinerea Persoon

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:154, 1975

[備考] 解説書。接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot (葉斑病, 斑葉病)

Septoria callistephi Gloyer

中村寿夫:病虫雑 13(5):292, 1926(大 15) ; 堀 正太郎:実際園芸 3(4):427, 1927 (昭 2)

[備考] 中村寿夫 (1926) は接種試験未了。堀 (1927) は国内の発生事例と海外文献の紹介

べと病 beto-byo Downy mildew

Bremia taraxaci S. Ito & Tokunaga

西村十郎:新しい病害虫 1982

[備考] 解説書。接種試験未了

リゾクトニア立枯病 Rhizoctonia-tachigare-byo Rhizoctonia stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

伊藤陽子ら:日植病報 72(4):204, 2006

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

輪紋病 rimmon-byo

Ascochyta sp.

成田武四:北海道における農作物病害:194, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:653, 1998

[備考] 接種試験未了。本種の検討を要する

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

(2) *Paratrichodorus minor* (Colbran) Siddiqi [*Trichodorus minor* Colbran] ヒメユミハリセンチュウ

小室康雄ら:日植病報 36(1):17, 1970

[備考] 本線虫による *Tobacco rattle virus* (TRV タバコ茎えそウイルス)の伝搬が確認されている

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

(1) *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchoides olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7); 河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955

(2) *Aphelenchoides ritzemabosi* (Schwartz) Steiner & Buhner [*Aphelenchus ritzemabosi* Schwartz] ハガレセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7); 河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955

††斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial spot (斑点性細菌病)

病原細菌種名未定

岡部徳夫:植物細菌病学:341, 1949

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus asteracearum* Pavarino は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

ベニバナ(紅花, サフラワー)

Safflower

Carthamus tinctorius L.

(特用作物)

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

土屋行夫ら:関東病虫研報 29:98, 1982

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

土屋行夫ら:関東病虫研報 29:98, 1982

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

佐藤利美ら:北日本病虫研報 59:90, 2008

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci]

田中 孝ら:北日本病虫研報 37:108, 1986 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

褐斑病 kappan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia calcitrapae de Candolle var. *centaureae* (de Candolle) Cummins [*Puccinia carthami* Corda]

出田 新:日本植物病理学:544, 1911(明 44) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan 868, 1992

[備考] Hiratsuka (1992) は接種試験未了。出田 (1911) は寄主植物リスト

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 45:131, 1998

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum carthami* (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds, *Colletotrichum carthami* (Fukui) Hori & Hemmi, *Gloeosporium carthami* (Fukui) Hori & Hemmi, *Marssonina carthami* Fukui]

福井武治:農学会報:166, 1916(大 5) ; 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大 8) ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013

(2) *Colletotrichum chrysanthemi* (Hori) Sawada [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds, *Colletotrichum carthami* (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, *Colletotrichum simmondsii* R.G. Shivas & Y.P. Tan, *Gloeosporium carthami* (Fukui) Hori & Hemmi, *Marssonina carthami* Fukui]

福井武治:農学会報:166, 1916(大 5) ; 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大 8) ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

[備考] 上田・梶原 (1968) は *G. carthami* を *C. gloeosporioides* の異名とする説 (Arx, 1957)を紹介したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の *C. carthami* とされる標本も *C. acutatum* と再同定し, さらに Uematsu *et al.* (2012)は分子系統解析によりこれらを *C. carthami* としたが, Sato & Moriwaki(2013)は *C. carthami* および *C. chrysanthemi* と再同定した

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 43:125, 1996

円星病 maruhoshi-byo

Stemphylium sp.

菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

††††

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

大木 理ら:植物防疫 35(7):305, 1981

[備考] 血清試験による検出

ヤグルマギク(矢車草、ヤグルマソウ)

Cornflower

Centaurea cyanus L.

(草花)

ヤマヤグルマギク Perennial cornflower *Centaurea montana* L.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

平田正一:植物ウイルスの分類学的研究:178, 1964

[備考] 汁液接種検定による同定, 戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:123, 1939(昭 14)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

遠藤 茂:庭園樹木と花卉の病気とその防ぎ方:73, 1932(昭 7)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:123, 1939(昭 14) ; 舘 彩香ら:関東病虫研報 61:103, 2014

[備考] 瀧元(1939)は解説書。舘ら(2014)はヤマヤグルマギクでの発生を報告した

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Bremia centaureae Sydow

富樫浩吾:園芸 15(10):1, 1923(大 12)

[備考] 発生事例の紹介。病原菌については海外文献の紹介

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus devastatrix* Kühn, *Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミ
クキセンチュウ

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

スイートサルタン(ニオイヤグルマ)

Sweet sultan

Centaurea moschata L.

(草花)

エローサルタン(キバナニオイヤグルマ) Yellow sultan *Centaurea suaveolens* Willd.

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold, Stem blight (茎枯病)

Botrytis cinerea Persoon

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:88, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

トキンソウ類

(Centipeda)

Centipeda spp.

(野草)

トキンソウ *Centipeda minima* (L.) A.Br. & Aschers.

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] トキンソウに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] トキンソウ

ジョチュウギク(ムシヨケギク, 除虫菊)

Pyrethrum

Chrysanthemum cinerariaefolium (Trev.) Bocc.

(特用作物)

黒斑病 kokuhan-byo Septoriose, Leaf spot

Septoria chrysanthemella Saccardo

鏑方末彦:日植病報 2(2):152, 1928(昭 3)

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia cnici-oleracei Persoon ex Desmazières [*Puccinia heeringiana* Klebahn]

平塚直秀:植物銹菌学研究:314, 1955 ; 平塚直秀:菌蕈研究 18:39, 1980

小粒菌核病 shoryu-kinkaku-byo Small sclerotium disease

Sclerotinia minor Jagger

岡山農試:大正 6 年度業務功程:176, 1918(大 7) ; 鏑方末彦:日植病報 2(2):145, 1928(昭 3)

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

鏑方末彦:日植病報 2(2):151, 1928(昭 3)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

大粒菌核病 tairyu-kinkaku-byo Stem rot (菌核病)

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

吉野毅一:植物学雑誌 20(232):91, 1906(明 39) ; 岡山農試:大正 7 年度業務功程:134, 1919(大 8)

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt
Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *callistephi* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium conglutinans* Wollenweber var. *callistephi* Beach]
鑄方末彦:日植病報 2(2):151, 1928(昭 3) ; 山田岩男:北農叢書 16(除虫菊の栽培):97, 1947

根腐病 negusare-byo
Verticillium sp.
山田岩男:北農叢書 16(除虫菊の栽培):101, 1947

葉焼病* hayake-byo Blight (萎縮病)
Diplodia chrysanthemella Ikata
池田哲哉:岡山農試大正 5 年度業務功程:190, 1917(大 6) ; 鑄方末彦:日植病報 2(2):140, 1928(昭 3)

べと病* beto-byo Downy mildew
Peronospora danica Gäumann
伊藤誠哉:日本菌類誌 1:218, 1936(昭 11)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)
Meloidogyne hapla Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ
藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9) ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††褐斑病 kappan-byo Leaf spot
Septoria chrysanthemi Allescher
瀧元清透:朝鮮農会報 13(12):34, 1918(大 7)
[備考] 朝鮮半島

†大粒白絹病 tairyu-shirakinu-byo
Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk
岩垂 悟ら:満州国農試報告 45(満州国農作物病害調査報告):108, 1943(昭 18)
[備考] 中国東北部。病原菌の異名はイネ紋枯病参照

シュンギク(キクナ, 茼蒿)
Garland chrysanthemum
Chrysanthemum coronarium L. var. *spatiosum* L. H. Bailey
(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus
Garland chrysanthemum temperate virus# (GCTV) シュンギク潜伏ウイルス
夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955
[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし
(2) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス
吉井 甫:植物病害研究 4:17, 1951

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' Broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 38(3):215, 1972 ; 奥田誠一:宇都宮大農学報特輯 32:1, 1977

[備考] 伝染試験なし

青枯病* aogare-byo Bacterial Wilt (立枯病)

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

河合一郎:園芸病害編:269, 1954

黒腐病 kurogusare-byo

Xanthomonas campestris (Pammel 1895) Dowson 1939

土屋行夫ら:日植病報 49(3):405, 1983

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight

Pseudomonas syringae van Hall 1902

瀧川雄一ら:日植病報 68(2):255, 2002

[備考] 本病原の pathovar は未決定

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

瀧元清透:九大農学芸雑誌 1(1):33, 1925(大 14) ; 瀧川雄一ら:日植病報 46(1):57, 1980

萎凋病 icho-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal

孫工弥寿雄ら:日植病報 51(3):332, 1985 ; 福西 務ら:日植病報 51(3):332, 1985

黒斑病 kokuhan-byo

Alternaria solani Sorauer

高田正司ら:日植防研報 5:1, 1991

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia cnici-oleracei Persoon ex Desmazières

平塚直秀:菌蕈研報 14:52, 1976 ; 関澤 博・仲谷房治:北日本病虫研報 34:126, 1983 ; 仲谷房治・関澤 博:今月の農薬 27(11):26, 1983

立枯病 tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium myriotylum* Drechsler

瓦谷光男ら:日植病報 68(3):313, 2002

(2) *Pythium* 'group F'

瓦谷光男ら:日植病報 68(3):313, 2002

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉枯病)

Colletotrichum chrysanthemi (Hori) Sawada [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds, *Colletotrichum carthami* (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, *Colletotrichum simmondsii* R.G. Shivas & Y.P. Tan, *Gloeosporium carthami* (Fukui) Hori & Hemmi, *Gloeosporium chrysanthemi* Hori]

瀧元清透:日園雑 36(9):27, 1924(大 13) ; 澤田兼吉:台湾総督府中央研究所農業部報告 85:81, 1943(昭 18) ;

上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

[備考] 上田・梶原(1968)は *G. chrysanthemi* を *G. carthami* の異名としたが、後者が *C. gloeosporioides* の異名であるという説 (Arx, 1957) は要検討とした。植松ら(2004)は瀧元の *G. chrysanthemi* および逸見の *C. carthami* とされる標本も *C. acutatum* と再同定し、さらに Uematsu *et al.* (2012)は分子系統解析によりこれらを *C. carthami* としたが、Sato & Moriwaki(2013)は *C. chrysanthemi* と再同定した

苗腐敗病 nae-fuhai-byo Seedling rot

Gibellulopsis chrysanthemi Hirooka, Kawaradani & Toy. Sato

Kawaradani, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(5):346, 2013

葉枯病* hagare-byo Leaf blight

Cercospora chrysanthemi Heald & F.A. Wolf [*Cercospora chrysanthemi-coronarii* Sawada]

富樫浩吾・香月繁孝:横浜大理科紀要 1:2, 1952

斑葉病 han'yo-byo Leaf spot

Phyllosticta chrysanthemi Ellis & Dearnass

河合一郎:園芸病害編:269, 1954

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora chrysanthemi-coronarii (Sawada) Ito & Tokunaga [*Bremia chrysanthemi-coronarii* Sawada]

野村良邦ら:日植病報 47(3):371, 1981 ; 中村利宣:今月の農薬 25(7):66, 1981 ; 酒井泰文:広島県立農業技術センター研究報告 76:27, 2004

[備考] 病菌の学名を *Bremiella chrysanthemi-coronarii* とする意見もある

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

フランスギク
Oxeye daisy
Chrysanthemum leucanthemum L.
(草花)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965
(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo
Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種
河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

チョウセンノギク(ピレオギク, イワギク)
(*Chrysanthemum*)
Chrysanthemum zawadskii Herbich subsp. *latilobum* (Maxim.) Kitamura
(草花)

菌核病 kinkaku-byo Stem rot, Sclerotinia rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
高野喜八郎:北陸病虫研報 27:45, 1979

キク類
(*Chrysanthemum*)
Chrysanthemum spp.
(野草)

コハマギク *Chrysanthemum arcticum* L. subsp. *maekawanum* Kitam.
ノジギク *Chrysanthemum japonense* Nakai
リュウノウギク *Chrysanthemum makinoi* Matsum. & Nakai
イソギク *Chrysanthemum pacificum* Nakai

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium asteris-punicea Peck
丹田誠之助:東農大農学集報 42:176, 1997
[備考] ノジギク

さび病* sabi-byo Rust
Phakopsora artemisiae Hiratsuka
Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:319, 1992
[備考] イソギク

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
舘 彩香ら:関東病虫研報 61:103, 2014
[備考] リュウノウギク

白さび病* shirosabi-byo Rust

Puccinia horiana Hennings

Harada, Y.: Trans. mycol. Soc. Japan 24:129, 1983 ; Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan:880, 1992

[備考] コハマギク・ノジギク・イソギク

エンダイブ(キクチシャ)

Endive

Cichorium endivia L.

(野菜)

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

末永寛子ら:日植病報 72(1):77, 2006 ; 末永寛子ら:日植病報 73(3):172, 2007

菌核病 kinkaku-byo Sclerotia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

山崎裕司ら:日植病報 66(3):271, 2000 ; 佐々木静江ら:日植病報 70(3):223, 2004 ; 佐々木静江ら:日植病報 72(3):150, 2006

すそ枯病 susogare-byo Bottom rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

山内智史・堀内誠三:北日本病虫研報 51:77, 2000

チコリー(キクニガナ)

Chicory

Cichorium intybus L.

(野菜)

萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt

(1) *Dickeya* sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

酒井和彦:関東病虫研報 42:55, 1995

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

(2) *Pectobacterium carotovorum* subsp. *odoriferum* (Gallois *et al.* 1992) Hauben, Moore, Vauterin, Steenackers, Mergaert, Verdonck and Swings 1999

Lan, W. *et al.*: Jpn. J. Phytopathol. 78(3):273, 2012 ; Lan, W. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 79(3):182, 2013

[備考] *Cichorium intybus* var. *sativum* に発生

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Xanthomonas sp.

金谷寛子ら:日植病報 83(1):61, 2017

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

金谷寛子ら:日植病報 77(3):167, 2011

すそ枯病 susogare-byo Bottom rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

山内智史ら:北日本病虫研報 56:30, 2005

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

高橋智恵子ら:北日本病虫研報 60:122, 2009

[備考] 品種ブンタレッラに発生

Bacterial soft rot

(1) *Dickeya dianthicola* Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005

(2) *Pectobacterium carotovorum* subsp. *carotovorum* (Jones 1901) Hauben, Moore, Vauterin, Steenackers, Mergaert, Verdonck and Swings 1999 [*Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003]

††††

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

上杉浩子ら:日植病報 77(3):202, 2011

[備考] 葉枯症および苗立枯症。菌糸融合群 AG-1 培養型 IB および IC

ゴボウアザミ(モリアザミ)

(Cirsium)

Cirsium dipsacolepis (Maxim.) Matsum.

(野菜)

黒あざ病 kuroaza-byo

Fusarium sp.

知久武彦・今村昭二:日植病報 25(1):23, 1960 ; 知久武彦・今村昭二:植物防疫 16(7):283, 1962

半身萎凋病 hanshin-icho-byo

Verticillium dahliae Klebahn

白石俊昌・贅田裕行:日植病報 51(3):332, 1985

††††

Cercospora flagellaris Ellis & G. Martin

香月繁孝:日菌報 7(2-3):101, 1966

アザミ類

(Cirsium)

Cirsium spp.

(野草)

ノアザミ(ドイツアザミ) *C. japonicum* DC.

ミネアザミ *C. inundatum* Makino var. *alpicolum* (Nakai) Ohwi

トネアザミ *C. nipponicum* (Maxim.) Makino var. *incomptum* (Maxim.) Kitam. ex Ohwi

ヤチアザミ *C. shinanense* Shimizu

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe mayorii* var. *japonica* U. Braun & Y. Nomura

Meeboon, J. & Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 56:257, 2015

[備考] 接種試験未了。トネアザミ、ヤチアザミに発生

(2) *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte

丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000

黒斑病 kokuhan-byo

Septoria sp.

成田武四:北海道における農作物病害:194, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:652, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌は *Septoria cirsii* と思われる

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

井 智史ら:関西病虫研報 42:47, 2000

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:194, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:652, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Stemphylium sp.

唐津達彦・井上 興:日植病報 59(6):747, 1993 ; 唐津達彦ら:近畿中国農研 95:27, 1998

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

ハルシャギク(クジャクソウ, ジャノメソウ)

Tickseed, Plains coreopsis, Lance coreopsis

Coreopsis tinctoria Nutt.

(草花)

キンケイギク Golden wave *C. drummondii* Torr. & Gray

オオキンケイギク *C. lanceolata* L.

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

岡部徳夫:植物細菌病学:340, 1949

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

久保 花ら:日植病報 75(1):53, 2009

[備考] オオキンケイギクに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

平田幸治:千葉園芸学術報告 5:35, 1942(昭 17); Tanda, S.:J. Agric. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986;

大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988(昭 63); 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] 平田(1942) は発芽管の観察のみ。Tanda(1986) は寄主リストのみ

褐斑病 kappan-byo

Cercosporina umenobui Fukui

福井武治:三重大学芸学部研究紀要 6:117, 1951

[備考] 接種試験未了。病原菌の分類学的所属については検討が必要。キンケイギク (*C. drummondii*) に発生

黒斑病 kokuhan-byo

Alternaria sp.

成田武四:北海道における農作物病害:195, 1977; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:665, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌は *Alternaria zinniae* Pape に類似する

輪紋病 rimmon-byo

Ascochyta sp.

成田武四:北海道における農作物病害:195, 1977; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:665, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌はアズキ輪紋病菌 *Ascochyta phaseolorum* に類似する

†白絹病 shiraku-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus cucumeris* A.B. Frank]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 2:9, 1911(明 44)

[備考] 台湾

コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク)

Cosmos

Cosmos bipinnatus Cav.

(草花)

チョコレートコスモス *C. atrosanguineus*

キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos *C. sulphureus* Cav.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

明日山秀文ら:農作物ウイルスの同定に関する研究:1, 1966

[備考] 戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

萎黄病 io-byo Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 42(3):389, 1976; 澤柳利実ら:日植病報 68(2):258, 2002

[備考] 伝染試験無し。福士貞吉 (実地園芸 13(4):83, 1932) は病原未詳の萎黄病を紹介した

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

北沢優悟ら:日植病報 81(1):54, 2015

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

本間ヤス:北大農紀 38:301, 1937(昭 12) ; Tanda, S.:J. Agric. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 有賀麻貴ら:日植病報 66(3):272, 2000 ; 有賀麻貴ら:日植病報 67(2):116, 2001 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] Tanda (1986) は寄主リスト。チョコレートコスモスに発生 [有賀ら(2000, 2001)]

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

岡田清嗣・湯ノ谷彰:関西病虫研報 50:123, 2008

茎枯病 kukigare-byo Stem blight

Phomopsis arctii (Lasch) Traverso

小林享夫・高橋幸吉:日植病報 66(1):91, 2002

黒かび病 kurokabi-byo

Alternaria sp.

成田武四:北海道における農作物病害:197, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:665, 1998

[備考] 接種試験未了

そうか病 soka-byo

Sphaceloma sp.

根岸寛光ら:日植病報 52(3):534, 1986

[備考] 接種試験未了

立枯病 tachigare-byo Root and stem rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

塚本ひで子・米山伸吾:関東病虫研報 35:113, 1988

[備考] 培養型 IIIB 型か, それに近い

炭疽病* tanso-byo Anthracnose (花枯炭そ病)

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]
矢口行雄ら:日植病報 59(3):291, 1993 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(2) *Gloeosporium* sp.

沼田 巖・西原夏樹:日植病報 24(1):25, 1959

[備考] 本病原については分類学的検討を要する

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅原 敬ら:北日本病虫研報 51:119, 2000 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

[備考] キバナコスモスに発生

葉枯病 hagare-byo Leaf blight
Alternaria tenuissima (Kunze) Wiltshire
高野喜八郎:日植病報 71(1):73, 2006
[備考] コスモス・キバナコスモスに発生

白斑病 hakuhan-byo White smut
Entyloma cosmi Vánky, Horita & Jage
堀田治邦・羽賀安春:日植病報 64(6):582, 1998 ; Vánky, K. *et al.*:Mycoscience 46:364, 2005
[備考] コスモスに発生

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt
Verticillium dahliae Klebahn
飯嶋 勉:日植病報 47(3):379, 1981(昭 56)
[備考] 病原菌の形態的記述がない

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971
[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
(1) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965
(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種
池田克文:総合農学 2(3):124, 1954
[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

アーティチョーク(チョウセンアザミ, 朝鮮薊)
Globe artichoke
Cynara scolymus L.
(野菜)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo
手塚信夫ら:関東病虫研報 36:117, 1989

白斑病 hakuhan-byo Leaf spot
Phyllosticta cynarae Westendorp
福井武治:農及園 3(2):170, 1928(昭 3)

輪紋病 rimmon-byo Black rot
(1) *Phoma exigua* Desmazières var. *exigua*
Kubota, M. & Abiko, K.:J. Gen. Plant Pathol. 68(3):208, 2002
(2) *Phoma macrostoma* var. *incolorata* (A.S. Horne) Boerema & Dorenbosch
Kubota, M. & Abiko, K.:J. Gen. Plant Pathol. 68(3):208, 2002

ダリア(テンジクボタン)

Dahlia
Dahlia pinnata Cav.
(草花)

ウイロイド病* viroid-byo Viroid

Potato spindle tuber viroid (PSTVd) ジャガイモやせいもウイロイド

佐野輝男ら:日植病報 77(3):194, 2011

わい化病 waika-byo Stunt

Chrysanthemum stunt viroid (CSVd) キク矮化ウイロイド

Nakashima, A. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73(3):225, 2007

[備考] 罹病植物には他の数種ウイルスも混在しており, わい化が本ウイロイドによってのみ生じるか否かさらなる検討を要する

ウイルス病* virus-byo

Tobacco streak virus (TSV) タバコ条斑ウイルス

藤沢一郎・石井正義:日植病報 52(1):127, 1986

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:日植病報 32(3):115, 1966

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種無し

(2) *Dahlia mosaic virus* (DMV) ダリアモザイクウイルス

高橋 実ら:植物ウイルスの分類学的研究 昭和 37 年度成績:101, 1963 ; 土居養二ら:日植病報 33(2):95, 1967

[備考] ウイルス(未同定)によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

輪紋病 rimmon-byo Ring spot

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

井上忠男・井上成信:日植病報 36(5):357, 1970 ; 井上忠男・井上成信:農学研究 54:79, 1972

[備考] ウイルス (未同定) による輪紋病の最初の記載は, 河村貞之助:農薬 3(8):48, 1956

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt (立枯病)

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:96, 1939(昭 14)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

原 攝祐:実験作物病理学:858, 1930(昭5) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

軟腐細菌病 nampu-saikin-byo Bacterial rot of stems and tubers

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus dahliae* Hori & Bokura, *Erwinia cytolytica* (Chester) Isiyama & Muko, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

堀 正太郎:農事試報 38:45, 1911(明 44) ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:116, 1941(昭 16) ; 上住 泰・

西村十郎:原色花の病害虫:319, 1975

暗紋病 ammon-byo Leaf spot

Phyllosticta dahliaecola Brunaud

原 攝祐:病虫雑誌 16(3), 1929(昭 4) ; 原 攝祐:実験作物病理学:858, 1930(昭 5)

[備考] 解説書。接種試験未了

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

(1) *Oidium* sp.

神谷敏広ら:日植病報 70(3):213, 2004

[備考] *Reticuloidium* 亜属に所属する

(2) *Podosphaera xanthii* (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

本間ヤス:北大農紀 38:305, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

褐斑病 kappan-byo

Ascochyta sp.

成田武四:北海道における農作物病害:193, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:651, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌はアズキ輪紋病菌 *Ascochyta phaseolorum* に類似する。*Ascochyta dahlicola* との関係を検討する必要がある

菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:97, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴の解説のみ

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:97, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴の解説のみ

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum orbiculare* (Berkeley & Montagne) Arx

菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999

(2) *Gloeosporium dahliae* Hemmi

逸見武雄:栃内・福士両教授還暦記念論文集:1, 1955

[備考] 病原菌の分類学的所属について検討を要する

苗立枯病* nae-tachigare-byo Damping-off (子苗立枯病)

(1) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:72, 1950 ; 高橋錦治・松浦 義:植物防疫 10(2):75, 1956

[備考] 高橋・松浦は河村・高橋 (1950) は解説書のため詳細不明

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon

河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:73, 1950(昭 25) ; 河合一郎:園芸病害編:514, 1954 ; 阿部美咲ら:

日植病報 80(1):23, 2014

[備考] 河村・高橋(1950), 河合 (1954) は解説書

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:193, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:650, 1998

[備考] 接種試験未了

花枯病 hanagare-byo Petal blight

Itersonilia perplexans Derx

西原夏樹:植物防疫 12(10):444, 1958

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt (萎凋病)

Verticillium dahliae Klebahn

河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:73, 1950 ; 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 45:123, 1998

[備考] 本病原による萎凋病(河村・高橋, 1950)があるが, 詳細不明のため, 本病名を採用する

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora grandissima Rangel [*Cercospora dahliae* Hara, *Cercosporina dahliae* Hara]

原 攝祐:病虫雑 16(3):159, 1929(昭 4) ; Kagetsu, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan, Extra Issue 1:22, 1965

[備考] 原 (1929), Katsuki (1965) は接種試験未了

斑葉病 han'yo-byo Leaf smut (斑点病, エンチローマ病)

Entyloma dahliae Sydow & P. Sydow

伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):137, 1936(昭 11) ; 河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:74, 1950

[備考] 伊藤誠哉(1936)は接種なし。河村・高橋(1950)は解説書

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの 1 種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:325, 1975

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:97, 1939(昭 14)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides ritzemabosi (Schwartz) Steiner & Bührer [*Aphelenchus ritzemabosi* Schwartz] ハガレセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福士両教授還暦記念論文

集:36, 1955

††††

††† *Tobacco streak virus* (TSV) タバコ条斑ウイルス

松濤美文ら:日植病報 41(1):121, 1975 ; 松濤美文ら:植防研報 13:49, 1976

キク(菊)

Chrysanthemum

Dendranthema grandiflorum Kitamura

[*Chrysanthemum morifolium* Ramat.]

(草花)

わい化病 waika-byo

(1) *Chrysanthemum chlorotic mottle viroid* (CChMVd) キク退緑斑紋ウイロイド

山本英樹・佐野輝男:日植病報 70(3):303, 2004 ; Yamamoto, H. & Sano, T.:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):156, 2005

[備考] RT-PCR による検出。接種試験未了

(2) *Chrysanthemum stunt viroid* (CSVd) キク矮化ウイロイド

大沢高志ら:日植病報 43(3):372, 1977 ; 深谷雅博ら:日植病報 51(3):356, 1985

ウイルス病 virus-byo

(1) *Chrysanthemum virus B* (CVB) キク B ウイルス

栃原比呂志:日植病報 34(3):201, 1968

[備考] 戻し接種なし

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

日高 醇・鈴木洋子:九病虫研会報 13:33, 1967

(3) *Tomato aspermy virus* (TAV) トマトアスパーミィウイルス [*Chrysanthemum mild mottle virus*#]

井上忠男ら:日植病報 33(2):93, 1967 ; 井上忠男ら:農学研究 52(2):55, 1968 ; 栃原比呂志:日植病報 36(1):1, 1970 ; 花田 薫ら:日植病報 61(3):274, 1995

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot

Impatiens necrotic spot virus (INSV) インパチエンスえそ斑点ウイルス

近藤 亨ら:日植病報 76(1):49, 2010 ; Kondo, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):263, 2011

えそ病* eso-byo Necrosis

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

加藤公彦ら:日植病報 61(3):274, 1995 ; 守川俊幸ら:北陸病虫研報 45:11, 1997

茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis

Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク茎えそウイルス

松浦昌平ら:日植病報 73(1):68, 2007 ; 奥田 充ら:日植病報 73(3):223, 2007 ; Matsuura, S. *et al.*:Plant Dis. 91:468, 2007

[備考] RT-PCR による検出。接種試験未了

緑化病 ryokka-byo Virescence

‘*Candidatus Phytoplasma aurantifolia*’

Naito, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 73(2):139, 2007

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:410, 1941(昭 16)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Rhizobium radiobacter (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942]

森田 儔:花の病害虫と新防除:131, 1966 ; 太田光輝:日植病報 46(3):402, 1980 ; 太田光輝・西山幸司:日植病報 50(2):197, 1984 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

軟腐病 nampu-byo Bacterial stem rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 6:9, 1956

[備考] 本細菌の性質は *Erwinia chrysanthemi* に一致する。岡部・後藤は *Erwinia chrysanthemi* が *Erwinia carotovora* の異名であるとの立場をとった

花腐細菌病 hanagusare-saikin-byo Bacterial blossom blight

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

尾松直志・鳥越博明:九病虫研会報 49:56, 2003

[備考] スプレーギク *D. grandiflorum* に発生

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

川久保幸雄・後藤正夫:日植病報 53(3):404, 1987 ; 川久保幸雄ら:福井農試報 25:21, 1988

赤かび病 akakabi-byo Bud blight

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo

堀田治邦・児玉不二雄:北日本病虫研報 47:75, 1996

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt, Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

有江 力ら:日植病報 52(1):100, 1986

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Golovinomyces artemisiae (Greville) Heluta [*Erysiphe cichoracearum* de Candolle var. *cichoracearum*, *Oidium asteris-puniceae* Peck, *Oidium chrysanthemi* Rabenhorst]

原 攝祐:実用作物病理学:545, 1925(大 14) ; 本間ヤス:北大農紀 38:339, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):188, 1988 ; Matsuda, S. & Takamatsu, S.: Mol. Phylogenet. Evol. 27:314, 2003

[備考] 原(1925)は解説書。本間ヤス(1937)は寄主植物リスト

疫病 eki-byo Phytophthora rot, Phytophthora blight

(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

陶山一雄ら:日植病報 39(3):196, 1973 ; 鍵渡徳次:東京農大農学集報 30(3):176, 1986

(2) *Phytophthora chrysanthemi* Naher, Hid. Watan., Chikuo & Kageyama [*Phytophthora* sp.]

渡辺秀樹ら:日植病報 73(1):60, 2007 ; 築尾嘉章ら:日植病報 73(3):180, 2007 ; Naher, M. et al.:Jpn. J. Phytopathol. 74(3):182, 2008 ; Naher, M. et al.:Mycol. Progress 10:21, 2011 ; 渡辺秀樹:植物防疫 67(10):577, 2013

褐さび病 kassabi-byo Rust (褐色葉渋病)

Phakopsora artemisiae Hiratsuka [*Uredo autumnalis* Dietel]

出田 新:日本植物病理学:584, 1911(明 44) ; Hiratsuka, N.:日本植物学輯報 3:298, 1927(昭 2) ; Hiratsuka, N.:Sydowia Beiheft 1:34, 1957

[備考] 接種試験未了

褐斑病 kappan-byo Leaf blight, Leaf blotch

Septoria obesa Sydow & P. Sydow [*Septoria chrysanthemi-indici* Bubák & Kabát sensu Hemmi]

逸見武雄:植物学雑 31(372):309, 1917(大 6) ; 逸見武雄・中村寿夫:京大農紀 3:16, 1927(昭 2)

菌核病 kinkaku-byo Blight, Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:54, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴の解説のみ

茎枯病 kukigare-byo Stem and ray blight, Stem canker

Phoma sp.

大沢高志・森田 壽:日植病報 49(1):125, 1983

首垂病 kubitare-byo Top wilt

Stagonospora sp.

古川聡子ら:日植病報 71(1):33, 2005

黒さび病 kurosabi-byo Rust

Puccinia tanacetii de Candolle var. *tanacetii* [*Puccinia chrysanthemi* Roze]

草野俊助:植物学雑 18(209):99, 1904(明 37) ; 南部信方:病虫雑 1(1):73, 1914(大 3) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:895, 1992

[備考] 草野 (1904), Hiratsuka (1992) は接種試験未了。南部 (1914) は病徴の解説

黒点病 kokuten-byo Leaf spot (斑葉病, 輪斑病)

Phyllosticta chrysanthemi Ellis & Dearnass

南部信方:病虫雑 1(1):74, 1914(大 3)

[備考] 南部 (1914) は病名と病原菌名の記載。調査を要する

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Septoria chrysanthemella Saccardo

南部信方:病虫雑 1(1):74, 1914(大 3) ; 逸見武雄:植物学雑 31(372):309, 1917(大 6)

[備考] *Septoria chrysanthemi* との異同について検討が必要。南部 (1914) は病徴の解説

小斑点病 sho-hanten-byo Ray speck

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

西 菜穂子ら:日植病報 73(3):177, 2007 ; Nishi, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(1):80, 2009

[備考] キク(品種 Anastasia)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:54, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴の解説

白さび病 shirosabi-byo Rust

Puccinia horiana Hennings

草野俊助:植物学雑誌 18(209):99, 1904(明 37) ; 出田 新:日本植物病理学:528, 1911 (明 44) ; Hiratsuka, N.:Sydowia Beiheft 1:40, 1957

[備考] 接種試験未了

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

森田 儔:原色菊の病害虫防除:98, 1990

[備考] 接種試験未了

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

粕山新二ら:日植病報 50(1):118, 1984

立枯病 tachigare-byo Root and stem rot

(1) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

梶原敏宏・菅田重雄:関東病虫研報 18:74, 1971 ; 佐藤 衛ら:日植病報 78(1):22, 2012

[備考] 菌糸融合群 AG-2-1, AG-2-2 培養型 IIIB 及び AG-4 培養型 IIIA

(2) binucleate *Rhizoctonia*

築尾嘉章ら:日植病報 70(3):219, 2004

[備考] 菌糸融合群 AG-A. *Ceratobasidium cornigerum* と考えられる

(3) binucleate *Rhizoctonia*

築尾嘉章ら:日植病報 74(3):177, 2008

[備考] 菌糸融合群 AG-F

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum capsici (Sydow) E.J. Butler & Bisby

矢口行雄ら:日植病報 63(3):199, 1997

苗腐敗病 nae-fuhai-byo Cutting rot

Plectosporium tabacinum (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg

築尾嘉章ら:日植病報 75(3):206, 2009 ; Satou, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 76(3):225, 2010

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Botrytis blight

Botrytis cinerea Persoon

河村貞之助:農耕と園芸 13(7):94, 1958

葉枯病 hagare-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal

福富雅夫ら:日植病報 53(1):103, 1987 ; 福富雅夫:日植病報 53(3):377, 1987

[備考] 福富は *F. oxysporum* f. sp. *foli* という分化型を提唱した

花枯病 hanagare-byo Petal blight

Itersonilia perplexans Derx

西原夏樹:植物防疫 12(10):441, 1958

花腐病 hanagusare-byo Ray blight, Stem canker (腐敗病, 葉腐病)

Ascochyta chrysanthemi F. Stevens

草野俊助:植物学雑誌 21(251):338, 1907(明 40) ; 河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:100, 1950(昭 25)
[備考] 病原菌の完全世代 *Didymella chrysanthemi* [*Didymella ligulicola*, *Mycosphaerella ligulicola*] のわが国における記録はない。草野 (1907) は米国の紹介記事。河村・高橋 (1950) は解説書。小林 (1992) は学名について検討。本邦での発生について調査を要する

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Wilt

Verticillium dahliae Klebahn [*Verticillium albo-atrum* auct. jap. non Reinke & Berthold]

飯嶋 勉・三上元一:日植病報 37(3):174, 1971 ; 飯嶋 勉・三上元一:植物防疫 26(11):443, 1972 ; 飯嶋 勉:日植病報 47(1):131, 1981

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cylindrosporium chrysanthemi Ellis & Dearness

原 攝祐:実用作物病理学:547, 1925(大 14)

[備考] 原 (1925) は解説書。接種試験など不明

ピシウム立枯病 *Pythium-tachigare-byo* Pythium blight, Pythium root and stem rot

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

築尾嘉章ら:日植病報 74(3):177, 2008

(2) *Pythium dissotocum* Drechsler

(3) *Pythium helicoides* Drechsler

(4) *Pythium oedochilum* Drechsler

(5) *Pythium sylvaticum* W.A. Campbell & F.F. Hendrix

(6) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

月星隆雄ら:日植病報 71(1):32, 2004 ; Tsukiboshi, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73(4):293, 2007

フザリウム立枯病 *Fusarium-tachigare-byo* Fusarium blight

Fusarium solani (Martius) Saccardo

伊藤陽子ら:日植病報 70(3):220, 2004

変形菌病 henkeikin-byo Slime mold disease (粘菌病)

Physarum sp.

森田 儔:原色菊の病害虫防除:98, 1990

[備考] 接種試験未了

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora danica Gäumann

坂口壮一ら:九病虫研会報 26:70, 1980 ; 坂口壮一:新しい病害虫:1981

[備考] 接種試験未了

紋々病 mommon-byo Mommon disease

Paraphytoptus kikus Chinone キクモンサビダニ

土居養二:日植病報 45(4):563, 1979

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:90, 1975

(2) *Paratylenchus* sp. ピンセンセンチュウの 1 種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:90, 1975

(3) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:90, 1975

(4) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:90, 1975

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus fallax* Seinhorst キクネグサレセンチュウ

西澤 務・大島康臣:関東病虫研報 17:118, 1970

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

小林義明:静岡農試研報 13:114, 1968

(4) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

森田 儔:花の病害虫と新防除:192, 1966

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo (葉線虫病, 葉枯性線虫病, 線虫葉枯病, 線虫性葉枯病, 葉棲線虫病)

(1) *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchoides olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:53, 1939(昭14) ; 河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

(2) *Aphelenchoides ritzemabosi* (Schwartz) Steiner & Buhrer [*Aphelenchus ritzemabosi* Schwartz] ハガレセンチュウ

Fukushi, T. & Saito, H.:Trans. Tottori Soc. Agric. Sci. 2(1):45, 1930(昭5) ; 堀 正太郎:実際園芸 13(増4):140, 1932(昭7)

ムラサキバレンギク(エキナセア)

Purple coneflower

Echinacea purpurea (L.) Moench

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

ルリタマアザミ

Small globe thistle, Blue ball, Steel globe thistle

Echinops ritro L.

(草花)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sp.

菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

[備考] rDNA ITS 領域による系統解析では *S. minor* とは異なるが, *S. minor* による茎腐小粒菌核病と比較検討を要する

茎腐小粒菌核病 kukigusare-shoryu-kinkaku-byo Small sclerotial stem rot

Sclerotinia minor Jagger

忠 英一ら:日植病報 73(3):219, 2007 ; 原田幸雄ら:日植病報 74(3):176, 2008

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

越智昭彦・菅原 敬:北日本病虫研報 60:118, 2009

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 39:27, 1997

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 45:131, 1998

[備考] 菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

葉腐病 hagusare-byo Leaf rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB。AG-2-1 による立枯病との比較検討を要する

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 45:123, 1998

[備考] ナス系(A 群)

タカサブロウ類

(Eclipta)

Eclipta spp.

(野草)

タカサブロウ *Eclipta prostrata* (L.) L.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] タカサブロウ

ウスベニニガナ類

(Emilia)

Emilia spp.

(野草)

ウスベニニガナ *Emilia sonchifolia* (L.) DC.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.: Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

[備考] ウスベニニガナ

ムカシヨモギ類

(Erigeron)

Erigeron spp.

(野草)

アズマギク *Erigeron thunbergii* A. Gray

ヒメジョオン *Erigeron annuus* L. [*E. annuus* (L.) Pers.]

ハルジオン *Erigeron philadelphicus* L.

ヒメムカシヨモギ *Erigeron canadensis* L.

白粉病 hakufun-byo Frosty mildew

Cercospora virgaureae (Thümen) Allesher

澤田兼吉: 林試研報 105:86, 1958 ; 小川久美子ら: 日植病報 69(3):261, 2003

[備考] ヒメジョオン・ヒメムカシヨモギ。澤田(1958)の記載したヒメムカシヨモギ円星病菌 (*Cercospora cana* (Saccardo) Saccardo), ヒメジョオン円白斑病菌 (*Ramularia erigerontis-annui* Sawada) は, Braun(1995) により, 本病原菌の異名とされた。先に, *Septoria erigerontis* Berkeley & Curtis によるヒメジョオン円星病があるため, 本病原菌による病名は白粉病と改められた

円星病 maruhoshi-byo Circular leaf spot

Septoria erigerontis Berkeley & M.A. Curtis

Hirayama, T.: Mem. Fac. Agr., Kyoto Imp. Univ. 13(3):37, 1931 ; 澤田兼吉: 林試研報 105:58, 1958 ; 小川久美子ら: 日植病報 69(3):261, 2003

[備考] ヒメジョオン・ハルジオン。病原性は酒井ら(2000)により確認

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔: 北農 23(5):178, 1956

フジバカマ

Boneset

Eupatorium fortunei Turcz. *Eupatorium japonicum* Thunb.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

佐藤 衛ら:関西病虫研報 36:91, 1994

[備考] 発芽管は *Erysiphe cichoracearum* 型。接種試験未了

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

石井正義・手塚信夫:関西病虫研報 36:79, 1994

ユリオプス

(Euryops)

Euryops spp.

(草花)

株腐病 kabugusare-byo Stem rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

久保田まや:関東病虫研報 44:153, 1997

[備考] 病原菌の菌糸融合群は AG-1 培養型 IB

オオテンニンギク

Gaillardia

Gaillardia aristata Pursh

(草花)

テンニンギク Rosering gaillardia *Gaillardia pulchella* Foug.

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

我孫子和雄ら:関西病虫研報 39:31, 1997

コゴメギク類

(Galinsoga)

Galinsoga spp.

(野草)

ハキダメギク *Galinsoga quadriradiata* Ruiz & Pav.

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福土両教授還暦記念論文集:36, 1955

ガザニア(クンショウギク)

Gazania

Gazania spp.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium asteris-punicei Peck

丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999

[備考] *G. splendens* Hort.

疫病 eki-byo Phytophthora blight

(1) *Phytophthora citricola* Sawada

(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

植松清次ら:日植病報 73(1):41, 2007

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia blight

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 38:55, 1996

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

井 智史ら:関西病虫研報 42:47, 2000

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum dematium (Persoon) Grove

本橋慶一ら:日植病報 65(3):406, 1999

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

佐藤 衛ら:北日本病虫研報 48:129, 1997

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 40:161, 1993

[備考] *G. splendens* に発生。菌糸融合群 AG1 培養型 IB

ガーベラ

Gerbera

Gerbera spp. 及び種間雑種

(草花)

ウイルス病 virus-byo

(1) Broad bean wilt virus#

張 茂雄ら:日植病報 42(3):383, 1976

[備考] 戻し接種なし

(2) Gerbera symptomless virus (GeSLV) ガーベラ潜在ウイルス

張 茂雄ら:日植病報 42(3):383, 1976

[備考] 伝染性未確認。Gerbera latent virus# として記載された

えそ輪紋病 eso-rimmon-byo

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

加藤公彦ら:日植病報 62(6):614, 1996

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:農及園 37(10):1667, 1962

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

(2) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

小室康雄:農及園 37(10):1667, 1962

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

輪紋モザイク病 rimmon-mosaic-byo

Cycas necrotic stunt virus (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス

張 茂雄ら:日植病報 42(1):64, 1976 ; Kusunoki, M. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 52(2):302, 1986

[備考] 張らでは *Tomato black ring virus* として記載された。戻し接種なし

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial blight

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

河原林主一ら:日植病報 50(3):421, 1984 ; 家村浩海・土屋行夫:関西病虫研報 31:7, 1989 ; 河原林主一・陶山一雄:東京農大農学集報 34(4):194, 1990

青かび病 aokabi-byo *Penicillium* blight

Penicillium olsonii Bainer & Sartory

鈴木幹彦ら:関東病虫研報 56:71, 2009

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 我孫子和雄:日植病報 40(2):115, 1974 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] 平田 (1956) は寄主植物名リスト

疫病 eki-byo Blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:50, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

株枯病 kabugare-byo *Haematonectria* blight, Crown and root rot, *Nectria* blight

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *radicis-lycopersici* Jarvis & Shoemaker

内橋嘉一ら:日植病報 82(1):58, 2016

(2) *Haematonectria ipomoeae* (Halsted) Samuels & Nirenberg [*Fusarium solani* (Martius) Saccardo, *Fusarium striatum* Sherbakoff, *Nectria haematococca* Berkeley & Broome]

大嶋聡子・多賀正節:日植病報 57(3):396, 1991 ; 高橋智恵子ら:北日本病虫研報 50:108, 1999 ; 多賀正節ら:日植病報 72(4):206, 2006

[備考] 水耕栽培で発生。A.Y. Rossman *et al.* (Studies in Mycology 42:134, 1999) は, *Nectria heamatococca* complex を *Haematonectria* 属に帰属させるとともに, ホモタリックな菌群を狭義の *H. heamatococca* とは別種の *H. ipomoeae* とした

菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:50, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病名のみ記載

茎腐病 kukigusare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

鈴木幹彦ら:日植病報 74(1):34, 2008

紫斑病 shihan-byo Cercospora leaf spot

Cercospora gerberae Chupp & Viégas

竹内 純・堀江博道:日植病報 65(3):410, 1999

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:50, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病名のみ記載

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum orbiculare* (Berkeley & Montagne) Arx

菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999

(2) *Colletotrichum* sp.

沼田 巖・円城寺定男:日植病報 24(1):39, 1959

根腐病 negusare-byo Foot rot

(1) *Phytophthora cryptogea* Pethybridge & Lafferty

森田 儔:日植病報 35(2):105, 1969 ; 君島悦夫・後藤正昭:日植病報 57(1):76, 1991

(2) *Phytophthora megasperma* Drechsler

植松清次ら:日植病報 41:203, 1997

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

森田 儔ら:関東病虫研報 32:151, 1985

[備考] 病原菌の形態の記述なし

花腐病 hanagusare-byo Flower blight

Alternaria tenuissima (Kunze) Wiltshire

鈴木幹彦ら:関東病虫研報 56:71, 2009

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

手塚信夫:日植病報 55(1):120, 1989 ; 手塚信夫:関東病虫研報 37:127, 1990

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phyllosticta sp.

森田 儔・河合一郎:日植病報 25(1):37, 1960 ; 森田 儔・河合一郎:関西病虫研報 3:38, 1961

ピシウム根腐病 *Pythium-negusare-byo* Pythium root rot

Pythium helicoides Drechsler

鈴木幹彦ら:日植病報 75(3):237, 2009

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

楠木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

ハハコグサ類

Cudweed

Gnaphalium spp.

(野草)

ハハコグサ *G. affine* D. Don

チチコグサ *G. japonicum* Thunb.

チチコグサモドキ *G. pensylvanicum* Willd.

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sp.

稲田 稔ら:九病虫研会報 51:99, 2005

[備考] ハハコグサに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:九病虫会報 56:33, 2010

[備考] チチコグサモドキ *G. pensylvanicum* に発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 ; Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

[備考] ハハコグサ・チチコグサモドキ

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ハハコグサ・チチコグサ

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ハハコグサ・チチコグサ

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] ハハコグサ・チチコグサモドキ

スイゼンジナ(キンジソウ)
Gynura
Gynura bicolor (Roxb. ex Willd.) DC.
(野菜)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt
Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996
安達直人・塚本昇市:北陸病虫研報 59:1, 2010

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot
Alternaria sp.
森川千春:日植病報 70(3):216, 2004

ダンゴギク
Sneezeweed
Helienium autumnale L.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
佐藤 衛ら:関西病虫研報 36:91, 1994
[備考] 発芽管は *Sphaerotheca fuliginea* 型。接種試験未了

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
窪田昌春ら:関西病虫研報 41:83, 1999

ヒマワリ(向日葵, ヒグルマ)
Sunflower
Helianthus annuus L.
(草花)

コヒマワリ (Helianthus) *H. decapeltatus* var. *multiflorus*

退緑斑病 tairyokuhan-byo
Bidens mottle virus (BiMoV) センダングサ斑紋ウイルス
野田千代一・河辺邦正:日植病報 66(3):261, 2000

斑紋病 hammon-byo Mottle
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
西村典夫ら:日植病報 60(3):395, 1994 ; 西村典夫ら:関東病虫研報 42:151, 1995
[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt
Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]
石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:410, 1941(昭 16) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:339, 1949

空洞病 kudo-byo

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

明日山秀文ら:作物病虫害ハンドブック:549, 1955 ; 谷井昭夫・丸山博正:日植病報 51(1):105, 1985

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

後藤正夫・岡部徳夫:静大農学研報 4:7, 1954

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑点性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *helianthi* (Kawamura 1934) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium helianthi* Kawamura]

河村栄吉:日植病報 4(1-2):25, 1934(昭 9)

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe cichoracearum* de Candolle

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録 221, 1917(大 6)

(2) *Oidium latisporum* U. Braun

丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999

[備考] シロタエヒマワリ *H. argophyllus* Torr. & A. Gray に発生

(3) *Oidium* sp. (subsp. *Reticuloidium* sp.)

神谷敏広ら:日植病報 70(3):213, 2004

[備考] ヒマワリ・コヒマワリに発生。接種試験未了

(4) *Podosphaera xanthii* (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

本間ヤス:北大農紀 38:305, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] 白井・三宅 (1917) 寄主植物名リスト

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora cryptogea Pethybridge & Lafferty

植松清次ら:日植病報 74(3):180, 2008

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Septoria helianthi Ellis & Kellerman

逸見武雄:病虫雑 29(5):11, 1942(昭 17) ; 香月繁孝:ケミカル農業 11:13, 1973

[備考] 逸見 (1942) は中国東北部及び中国北部での採集。接種試験未了

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

出田 新:日本植物病理学:327, 1909(明 42)

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot, Stem spot, Seedling blight (すす斑病)

Alternaria helianthi (Hansford) Tubaki & Nishihara

高野喜八郎:日植病報 28(5):300, 1963 ; Tubaki, K. & Nishihara, N.:Trans. Br. Mycol. Soc. 53:147, 1969 ; 西原夏樹・椿 啓介:植物防疫 31(7):292, 1977

[備考] 高野 (1963) は接種試験, 菌の形態観察を行い *Alternaria* sp. とした。Tubaki & Nishihara は

Helminthosporium helianthi を *A. helianthi* とした

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia helianthi Schweinitz

高橋良直:札幌博物会報 1:175, 1906(明 39) ; 出田 新:日本植物病理学:532, 1911(明 44)

[備考] 高橋 (1906) は接種試験未了。出田 (1911) は高橋 (1906) の引用

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus cucumeris* A.B. Frank]

石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 37:47, 1995 ; 石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 39:27, 1997 ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 2:9, 1911(明 44)

[備考] ヒマワリ (*Helianthus annuus*)・ヤナギバヒマワリ (*H. salicifolius*)・ヒメヒマワリ (*H. debilis*) に発生

苗立枯病 nae-tachigare-byo Root and stem rot, Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:205, 1975

[備考] 解説書。接種試験未了

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium polymastum Drechsler

中川章吾ら:日植病報 83(1):64, 2017

根腐萎縮病 negusare-ishuku-byo Pythium root rot

Pythium spp.

海老原克介ら:日植病報 81(3):214, 2015

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (灰色菌)

Botrytis cinerea Persoon

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:99, 1917(大 6) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告 1):599, 1919(大 8); 富岡啓介ら:四国植防 36:78, 2001 ; Tomioka, K. & Sato, T.:J. Gen. Plant Pathol. 77(3):217, 2011

[備考] 白井・三宅 (1917) は寄主植物リストで発生は欧州と米国。澤田 (1919) は寄主植物リストで台湾の発生

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

角野晶大ら:日植病報 63(6):531, 1997 ; 角野晶大・阿部秀夫:日植病報 65(4):498, 1999

[備考] ヒマワリに発生

斑点病 hanten-byo

Cercospora pachypus Ellis & Kellerman

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):67, 1960

[備考] 山本・前田 (1960) はモノグラフ。接種試験未了

べと病* beto-byo Downy mildew (露菌病)

Plasmopara halstedii (Farlow) Berlese & De Toni

西村真琴:北大農紀 11(3):185, 1922(大 11) ; 原 攝祐:実用作物病理学:552, 1925(大 14)

[備考] 原 (1925) は Nishimura (1922) を引用

輪紋病 rimmon-byo Ascochyta leaf spot

Ascochyta compositarum Davis

西原夏樹:日植病報 35(4):325, 1969

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

鎗木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7); 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):97, 1935(昭10)

[備考] 抄録。ヒマワリでは国内発生未確認

キクイモ(菊芋)

Jerusalem artichoke, Girasole

Helianthus tuberosus L.

(牧草・芝草)

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

本間ヤス:北大農紀 38(3):306, 1937(昭12); 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sp.

野島友雄:日植病報 11(1):38, 1941(昭16)

[備考] 子のう胞子時代は未確認

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Cercospora helianthicola Chupp & Viégas [*Cercospora helianthicola* Hara, *Cercosporina helianthi* Fukui]

福井武治:三重大学芸研究紀要 6:117, 1951; 原 攝祐:日本菌類目録:51, 1954; 山本和太郎:兵庫農大研報 4(2):59, 1961

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):438, 1919(大8); 野島友雄:日植病報 11(1):38, 1941(昭16)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

斑葉病 han'yo-byo

Cercospora sp. [*Cercosporina* sp.]

野島友雄:日植病報 11(1):38, 1941(昭 16)

[備考] 黒斑病菌に比べ分生胞子の幅が広い一応区別した。検討を要する

輪紋病 rimmon-byo

Ascochyta compositarum Davis

高野喜八郎:日植病報 46(1):94, 1980

ヘリクリサム(ムギワラギク)

Strawflower, *Helichrysum*

Helichrysum bracteatum (Vent.) Andrews *Helichrysum bracteatum* Willd.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

大木 理・吉田美佐:関西病虫研報 35:75, 1993

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 46:57, 1999

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 39:27, 1997

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

井 智史ら:関東病虫研報 44:165, 1997

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

竹内 純・堀江博道:日植病報 61(3):220, 1995

[備考] 病原型は B 群

べと病 beto-byo

Peronospora helichrysi Togashi & Egami

伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:219, 1936 ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物学会報 14:30, 1935 ; 成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977

ヘリオプシス(キクイモモドキ)

North american ox-eye

Heliopsis helianthoides (L.) Sweet
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 45:126, 1998

ローダンセ(ヒロハハナカンザシ)

Rhodanthe

Helipterum manglesii (Lindl.) Muell.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

植松清次ら:日植病報 63(6):495, 1997

[備考] 接種試験未了。病原菌の発芽管は *Erysiphe cichoracearum* 型

キツネアザミ類

(Hemistepta)

Hemistepta spp.

(野草)

キツネアザミ *Hemistepta lyrata* (Bunge) Bunge

さび病* sabi-byo Rust

Aecidium saussureae-affinis Dietel

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:1072, 1992

[備考] キツネアザミ

べと病 beto-byo Downy mildew

Bremia saussureae Sawada

我孫子和雄:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):62, 1992

[備考] キツネアザミ

コウリンタンポポ

Orange hawkweed

Hieracium aurantiacum L.

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

笹井裕里ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 62:97, 2015

オグルマ(オグルマギク)

(Inula)

Inula britannica var. *japonica* Kitam.

(草花)

白さび病 shirosabi-byo White rust

Albugo tragopogonis (Persoon) Gray

出田 新:日本植物病理学:123, 1909(明 42) ; 南部信方:病虫雑 2(3):297, 1915(大 4)
[備考] 出田 (1909) 及び南部 (1915) は病徴の記載のみ

ニガナ類

(*Ixeris*)

Ixeris spp.

(野草)

オオジシバリ *Ixeris debilis* A. Gray

ニガナ *Ixeris dentata* (Thunb.) Nakai

ジシバリ(イワニガナ) *Ixeris stolonifera* A. Gray

さび病* *sabi-byo* Rust

Puccinia lactucae-debilis Dietel

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:882, 1992

[備考] ニガナ

べと病 *beto-byo* Downy mildew

Bremia microspora Sawada

我孫子和雄:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):62, 1992

[備考] ニガナ

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] ニガナに発生。本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病* *nekobu-senchu-byo* Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] ニガナ, ジシバリ。病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

[備考] オオジシバリ・ジシバリ

ヨメナ類

(*Kalimeris*)

Kalimeris spp.

(野草)

ヨメナ *Kalimeris indica* (L.) Sch.-Bip.

根こぶ線虫病* *nekobu-senchu-byo* Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

リュウゼツサイ(竜舌菜, 剣菜)
(*Lactuca*)
Lactuca indica L. var. *dracoglossa* Kitamura
(牧草・芝草)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

小室康雄:植物防疫 17(10):418, 1963

[備考] 病徴は黄斑型のモザイク症状である

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

奥浦正弘:日植病報 15(3-4):167, 1951

斑点細菌病* *hanten-saikin-byo* Bacterial spot (細菌性斑点病)

Xanthomonas axonopodis pv. *vitians* (Brown 1918) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium lactucae* Yamamoto, *Xanthomonas campestris* pv. *vitians* (Brown 1918) Dye 1978]

山本重雄:病虫雑 21(7):530, 1934(昭9)

うどんこ病* *udonko-byo* Powdery mildew

(1) *Podosphaera xanthii* (Castagen) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

(2) *Sphaerotheca intermedia* U. Braun [*Sphaerotheca humuli* (de Candolle) Burrill, *Sphaerotheca humuli* non (de Candolle) Burrill sensu Homma-pro parte]

本間ヤス:北大農紀 38(3):296, 1937(昭12)

さび病 *sabi-byo* Rust

Puccinia minussensis Thümen [*Puccinia lactucae* Dietel]

藤黒與三郎:病虫雑 6(6):444, 1919(大8) ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(3):329, 1950

べと病* *beto-byo* Downy mildew (露菌病)

Bremia lactucae Regel [*Bremia elliptica* Sawada]

伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:239, 1936(昭11)

根こぶ線虫病* *nekobu-senchu-byo* Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

レタス(チシャ, 萵苣)

Lettuce

Lactuca sativa L.

(野菜)

結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (*capitata* group)

リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (*crispa* group)

ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (*angustana* group)

コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (longiflora group)

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

守川俊幸ら:北陸病虫研報 45:11, 1997

ビッグベイン病 big vein-byo

Mirafiori lettuce big-vein virus (MiLBVV) レタスビッグベインミラフィオリウイルス [Mirafiori lettuce virus]

岩木満朗ら:日植病報 43(1):76, 1977 ; 中野昭信・家村浩海:関西病虫研報 19:132, 1977 ; 桑田 茂ら:日植病報 49(2):246, 1983 ; 夏秋啓子ら:日植病報 68(3):309, 2002

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 小室康雄:日植病報 26(5):199, 1961

[備考] 汁液接種検定による同定

(2) *Lettuce mosaic virus* (LMV) レタスモザイクウイルス

小室康雄:日植病報 26(5):199, 1961 ; 藤沢一郎・飯塚典男:北海道農試研報 138:105, 1983

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

萎黄病 io-byo Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 37(3):194, 1971 ; 新海 昭:日植病報 39(2):172, 1973 ; 奥田誠一:宇都宮大農学報特輯 32:1, 1977

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus carotovorus* Jones, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:94, 1961-1962 ; 土屋行夫ら:農技研報 C 33:77, 1979

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial spot (細菌性斑点病, 細菌性斑葉病, 細菌病)

Xanthomonas axonopodis pv. *vitians* (Brown 1918) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium vitians* Brown, *Xanthomonas vitians* (Brown) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *vitians* (Brown 1918) Dye 1978]

瀧元清透:病虫雑 22(11):836, 1937(昭 12) ; 家村浩海ら:日植病報 42(3):364, 1976 ; 土屋行夫ら:農技研報 C 33:77, 1979

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

(1) *Pseudomonas cichorii* (Swingle 1925) Stapp 1928

土屋行夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 向 秀夫ら:日植病報 43(1):123, 1977 ; 土屋行夫ら:農技研報 C 33:77, 1979

(2) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

富永時任・土屋行夫:関東病虫研報 7:33, 1960 ; 孫工弥寿雄ら:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 土屋行夫ら:農技研報 C 33:77, 1979

(3) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

長井雄治・梅本清作:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行夫ら:農技研報 C 33:77, 1979

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Golovinomyces orontii* (Castagne) V.P. Heluta [*Erysiphe cichoracearum* de Candolle]

高橋和夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:36, 2012

(2) *Euoidium* sp.

野津あゆみ・高田和明:北日本病虫研報 66:166, 2015

疫病 eki-byo Photophthora wilt, Stem blight

Phytophthora pseudolactucae M.Z. Rahman, S. Uematsu, T. Kanto, M. Kusunoki, Y. Ishiguro, H. Suga & K. Kageyama

神頭武嗣ら:日植病報 71(1):74:2005 ; Rahman, M.Z. *et al.*:日植病報 80(4):241, 2014 ; Rahman, M.Z. *et al.*:Mycoscience 56:419, 2015

褐色輪紋病 kasshoku-rimmon-byo *Corynespora target spot*

Corynespora cassicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

粕山新二・井上幸次:日植病報 65(3):401, 1999

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Cercospora longissima Cugini ex Traverso non Cooke & Ellis [*Cercospora longissima* (Cugini in Herb.) Saccardo]

福士貞吉:病虫雑 12(8):425, 1925(大 14) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):63, 1960

[備考] テンサイ褐斑病菌の異名のひとつ *Cercospora longissima* Cooke & Ellis に先命権があるため, 本病菌の種名は改名する必要がある

株枯病 kabugare-byo Phoma rot

Phoma exigua Desmazières

竹内 純・堀江博道:日植病報 63(3):200, 1997

菌核病 kinkaku-byo Stem rot, Drop (小菌核病)

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

村田壽太郎:病虫雑 3(10):800, 1916(大 5)

さび病 sabi-byo Rust

病原菌未詳

斎藤 泉ら:日植病報 43(1):105, 1977

[備考] 病原菌名の記述はないが *Aecidium* 属菌とみられる

ジベルロブシス腐敗病 Gibellulopsis-fuhai-byo Gibellulopsis rot

Gibellulopsis nigrescens (Pethybridge) Zare, W. Gams & Summerbell

宇佐美俊行・片桐春奈:日植病報 81(3):216, 2015

小粒菌核病* shoryu-kinkaku-byo (菌核病)

Sclerotinia minor Jagger

瀧元清透:病虫雑 8(9):463, 1921(大 10)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

藤崎みちる ら:日植病報 72(4):202, 2006

すそ枯病 susogare-byo Bottom rot (立枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

村田壽太郎:病虫雑 3(10):800, 1916(大 5) ; 田中彰一・岸 國平:蔬菜の病害と防除法:202, 1963 ; 関口昭良:日本植物病害大事典:424, 1998 ; 瓦谷光男ら:日植病報 73(1):21, 2007

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。関口(1998)は菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, 瓦谷ら(2007)は菌糸融合群 AG-1 培養型 IC を報告

すそ腐病 susogusare-byo Foot rot

Phyllosticta lactucaecola Hara & Ogawa

小川 隆:日植病報 16(3-4):183, 1952

[備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:471, 1925) の *Phyllosticta* sp. による斑点病は本病と同じと考えられる

せん孔病* senko-byo Anthracnose (穿孔病, 炭疽病)

Microdochium panattonianum (Berlese) B. Sutton, Galea & T.V. Price [*Marssonina panattoniana* (Berlese) Magnus]

村田壽太郎:病虫雑 3(6):462, 1916(大 5); 金野敬三:病虫雑 5(12):975, 1918(大 7); 山内己酉:病虫雑 18(10):571, 1931(昭 6); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:593, 1992

立枯病 tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

山内智史・窪田昌春:日植病報 81(1):50, 2015; 山内智史・窪田昌春:関東病虫研報 63:25, 2016

[備考] リーフレタスに発生

(2) *Pythium irregulare* Buisman

楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012

(3) *Pythium spinosum* Sawada

楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012

(4) *Pythium uncinulatum* Plaäts-Niterink & I. Blok

楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

瓦谷光男ら:日植病報 73(1):21, 2007

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IC

根腐病 negusare-byo Root rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *lactucae* Matuo & Motohashi

本橋精一ら:日植病報 25(1):47, 1960; 松尾卓見・本橋精一ら:日菌報 8(1):13, 1967

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (黒黴病, 灰色腐敗病)

Botrytis cinerea Persoon

村田壽太郎:病虫雑 3(6):800, 1916(大 5)

灰斑病 haihan-byo

Stemphylium botryosum Wallroth f. *lactucum* Padhi & Snyder [*Thyrsospora chisha* Y. Nisikado & Hiura, *Stemphylium chisha* Y. Nisikado]

西門義一・日浦運治:農学研究 39(1):40, 1950; 山本和太郎:日菌報 2(5):88, 1960

斑点病 hanten-byo Leaf spot (葉枯病, 葉焼病)

Septoria lactucae Passerini

藤黒與三郎:病虫雑 5(12):957, 1918(大 7)

バーティシリウム萎凋病 *Verticillium*-icho-byo Verticillium wilt

(1) *Verticillium dahliae* Klebahn

(2) *Verticillium tricorpus* I. Isaac
神頭武嗣ら:日植病報 71(3):214, 2005

ピシウム萎凋病 *Pythium-icho-byo* Pythium wilt
Pythium uncinulatum Plaäts-Niterink & I. Blok
松浦克成ら:日植病報 74(1):67, 2008 ; Matsuura, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):320, 2010

ピシウムすそ枯病 *Pythium-susogare-byo* Pythium bottom rot
Pythium uncinulatum Plaäts-Niterink & I. Blok
楠 幹生ら:日植病報 83(1):64, 2017

プレクトスフェレラ腐敗病 *Plectosphaerella-fuhai-byo* Plectosphaerella rot
(1) *Plectosphaerella cucumerina* (Lindfors) W. Gams
宇佐美俊行・片桐春奈:日植病報 81(3):216, 2015
(2) *Plectosphaerella pauciseptata* A.J.L. Phillips, Carlucci & M.L. Raimondo
森井智美ら:日植病報 78(3):185, 2012 ; Usami, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):368, 2012 ; 宇佐見俊行・森井智美:植物防疫 67(7):388, 2013
[備考] 森井ら(2012)は病原を *Plectosporium tabacinum* としたが, Usami *et al.* (2012)は本病原に改めた

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)
Bremia lactucae Regel [*Bremia elliptica* Sawada]
出田 新:日本植物病理学:158, 1903(明 36)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975
[備考] 接種試験の結果

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion
Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
柴本 精ら:関東病虫研報 27:172, 1980

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)
(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976
(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ
岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961
(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976
(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種
鐔木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

アキノノゲシ類

Indian lettuce
Lactuca spp.
(野草)

アキノノゲシ *Lactuca indica* L.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] アキノノゲシ

ヤブタビラコ類
(Lapsana)
Lapsana spp.
(野草)

コオニタビラコ(タビラコ) *L. apogonoides* Maxim.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Oidium asteris-punicea* Peck

丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000

[備考] ヤブタビラコ *L. humilis* (Thunb.) Makino に発生

(2) *Oidium* sp.

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:42, 1997 ; 稲田 稔ら:九病虫研会報 51:99, 2005

[備考] 分生子発芽管は *Fuliginea* 型。コオニタビラコに発生。野村(1997)はヤブタビラコ *L. humilis* (Thunb.) Makino に発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] コオニタビラコ

ロイカンセマム・パルドサム(園芸品種 ; ノースポール)
Swamp chrysanthemum
Leucanthemum paludosum (Poir.) Bonnet & Barratte
[*Chrysanthemum paludosum* Poir.]
(草花)

枝枯細菌病 edagare-saikin-byo

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

鍵渡徳次・高橋朋子:関東病虫研報 32:149, 1985

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅原 敬ら:北日本病虫研報 51:119, 2000 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

シャスターデージー
Shasta daisy
Leucanthemum × *superbum* (J.Ingram) Bergmans ex Ket.
(草花)

軟腐病 nampu-byo Bacterial stem rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 6:9, 1956

[備考] 本細菌の性質は *Erwinia chrysanthemi* に一致する。岡部・後藤は *Erwinia chrysanthemi* が *Erwinia carotovora* の異名であるとの立場をとった

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

竹内 純・堀江博道:日植病報 61(3):220, 1995

[備考] 病原型は B 群

リアトリス(キリンギク)
Gayfeather
Liatris spp.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Virus

Broad bean wilt virus 2 (BBWV-2) ソラマメウルトウイルス 2

山本孝彦:四国植防 29:71, 1994 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia blight

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:122, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

森田 儔ら:関東病虫研報 32:151, 1985

[備考] 病原菌の形態の記述なし

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 45:123, 1998

紋枯病 mongare-byo Sheath blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 38:55, 1996

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

ツワブキ・メタカラコウ類

Leopard plant

Farfugium spp., *Ligularia* spp.

(草花)

ツワブキ *F. japonicum* (L.) Kitam. [Syn. *L. tussilaginea* (Burm.f.) Makino]

モザイク病* *mosaic-byo*

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

前田孚憲・脇本哲:日植病報 43(3):366, 1977

[備考] 病原はツワブキから分離。戻し接種なし

てんぐ巣病 *tengusu-byo* Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

加藤昭輔・岩波節夫:日植病報 56(3):394, 1990

[備考] ツワブキに発生

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew

(1) *Erysiphe galeopsidis* de Candolle

香月繁孝:植物研究雑誌 30(9):282, 1955

[備考] 寄主植物名リスト。ツワブキに発生

(2) *Podosphaera xanthii* (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] 平田 (1956) は寄主植物名リスト。ツワブキに発生

褐色葉枯病 *kasshoku-hagare-byo*

Pseudocercospora sp.

中島千晴ら:日植病報 76(3):200, 2010

[備考] ツワブキに発生

褐色円斑病 *kasshoku-maruhan-byo* Brown leaf spot

Septoria sp.

佐野真知子ら:日植病報 75(3):235, 2009

[備考] ツワブキに発生

褐斑病 *kappan-byo*

Phyllosticta petasitidis Ellis & Everhart

福井武治:三重高農学報 2:11, 1933(昭8)

[備考] ツワブキに発生

黒斑病 *kokuhan-byo* Black leaf spot

Phoma sp.

Furukawa, T. & Kishi, K.:J. Gen. Plant Pathol. 70:292, 2004

[備考] ツワブキに発生

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia caricis-boottianae Hiratsuka, f. [*Aecidium nikkense* sensu Hiratsuka non Hennings & Shirai]

平塚直秀・島袋俊一:琉球大農学報 1:26, 1954

[備考] ツワブキには柄子・さび胞子世代が生じる。夏胞子・冬胞子世代はヒゲスゲ, コゴメスゲに生じる。交互接種あり

白絹病 shiraku-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:九病虫研会報 52:1, 2006

[備考] ツワブキに発生

そうか病 soka-byo Scab (とうそう病)

Sphaceloma ligulariae Kurosawa & Katsuki

香月繁孝:植物研究雑誌 28(9):284, 1953

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Alternaria cinerariae Hori & Enjoji

迫田琢也ら:日植病報 75(1):52, 2009 ; Sakoda, T. *et al.*:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 46:73, 2010 ; Nishikawa, J. & Nakashima, C.:Mycoscience 56:141, 2015

[備考] ツワブキに発生。迫田ら(2009), Sakoda *et al.* (2010)では米国産ツワブキに発生

斑葉病 han'yo-byo Leaf spot

Septoria tussilaginis Westendorp

南部信方:病虫雑 2(10):743, 1915(大 4)

[備考] 採集標本リストのみ。調査を要する

輪紋病 rimmon-byo Circular leaf spot

Phoma sp.

Furukawa, T. & Kishi, K.:J. Gen. Plant Pathol. 70:292, 2004

[備考] ツワブキに発生

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

カミツレ

German chamomile, Chamomile

Matricaria chamomilla L.

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer

丹田誠之助:東農大農学集報 43(3):159, 1998

(2) *Oidium* sp.

竹内 純ら:日植病報 71(1):33, 2005

[備考] *Reticuloidium* 亜属

メランポジウム
Gold medallion flower
Melampodium paludosum L.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium asteris-punicea Peck

丹田誠之助:東農大農学集報 47(4):290, 2003

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

笹井裕里ら:日植病報 80(1):22, 2014 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 61:99, 2014

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅原 敬ら:北日本病虫研報 59:82, 2008 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

ミヤコワスレ(ミヤマヨメナ, ノシュンギク, アズマギク)
(Miyamayomena)
Miyamayomena savatieri (Makino) Kitam.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Chrysanthemum virus B (CVB) キク B ウイルス

麻谷正義:日植病報 36(3):185, 1970 ; Suastika, G. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):1, 1997

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Rhizobium rhizogenes (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942]

牧野孝宏・森田 儔:関西病虫研報 26:65, 1984 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

萎黄病 io-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

森田 儔・小林義明:関西病虫研報 26:66, 1984

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

佐藤 衛ら:関西病虫研報 34:77, 1992

[備考] 発芽管は *Erysiphe cichoracearum* 型

疫病 eki-byo

Phytophthora sp.

森田 儔:日植病報 49(1):79, 1983

[備考] 病徴の記載のみ。病原菌の記載なし

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Septoria chrysanthemella Saccardo

Furukawa, T. & Kishi, K.:J. Gen. Plant Pathol. 69(2):151, 2003

株腐病 kabugusare-byo Stem rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

森田 儔・小林義明:関西病虫研報 26:66, 1984

さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium asterum (Dietel) Sydow & P. Sydow

平塚直秀:琉球大農学報 7:210, 1960

[備考] 寄主リストのみ

白絹病 shiraku-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

森田 儔:農業技術 17(3):111, 1962

[備考] 接種試験未了。病徴の記載のみ。病原菌の記載なし

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

森田 儔ら:関東病虫研報 32:151, 1985

[備考] 病原菌の形態の記述なし

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害 269, 1975

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

オステオスペルマム

Blue and white daisybush, Freeway daisy

Osteospermum ecklonis (de Candolle) Norlindh

[*Osteospermum* × *hybridum*]

(草花)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

菅原 敬ら:日植病報 72(1):54, 2006 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

[備考] *Osteospermum* × *hybridum* に発生

白絹病 shiraku-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

西川盾士・中島千晴:日植病報 73(1):62, 2007

[備考] *O. ecklonis* に発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅原 敬ら:北日本病虫研報 51:119, 2000 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

[備考] *O. hybridum* に発生

円斑病 maruhan-byo Circular leaf spot

Cercospora apii sensu lato

西川盾士・中島千晴:日植病報 73(1):62, 2007

[備考] *O. ecklonis* に発生

モミジガサ(シドケ)

Parasenecio delphiniifolius (Sieb. & Zucc.) H. Koyama
(野草)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 57:37, 2010

シネラリア(サイネリア, フウキギク)

Cineraria

Pericallis × *hybrida* B. Nord.
(草花)

えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot

Impatiens necrotic spot virus (INSV) インパチエンスえそ斑点ウイルス

谷名光治ら:日植病報 66(2):147, 2000 ; 谷名光治ら:日植病報 67(1):42, 2001

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

河野敏郎ら:日植病報 64(6):597, 1998

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

病原不明

河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病害虫:159, 1976

[備考] 解説書のため詳細は不明

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

加藤昭輔ら:日植病報 55(4):520, 1989

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera erigerontis-canadensis (Léveillé) U. Braun & T.Z. Liu [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:77, 1977 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012

[備考] 和田・平田(1977)は寄主植物及び地理的分布のリスト

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Ascochyta cinerariae F. Tassi

円城寺定男:病虫雑 18(9):498, 1931(昭 6)

黒根病 kurone-byo Black root rot

Thielaviopsis basicola (Berk. & Broome) Ferraris [*Chalara elegans* Nag Raj & W.B. Kendrick]

堀田治邦ら:日植病報 68(1):105, 2002 ; 堀田治邦・大上大輔:北農 82(4):385, 2015

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病虫害:160, 1976

[備考] 解説書。IIIA 型の菌によることが多いという

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:177, 1975

[備考] 解説書。接種試験未了

輪斑病 rinhan-byo Leaf spot

Alternaria cinerariae Hori & Enjoji

円城寺定男:病虫雑 18(8):428, 1931(昭 6)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの 1 種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

コウヤボウキ

(*Pertya*)

Pertya scandens (Thunb.) Sch. Bip.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (腫錆病, 錆病)

(1) *Uredo pertyae* (Miura ex S. Ito & Murayama) S. Kaneko [*Coleosporium pertyae* Miura ex S. Ito & Murayama]
伊藤誠哉:日本菌類誌 2(2):218, 1938(昭 13) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soci. 17:165, 1943(昭 18) ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 19:137, 1981

[備考] ナガバノコウヤボウキ・クルマバハグマ。冬孢子世代未確認

(2) *Puccinia seijoensis* Hiratsuka, f. & S. Sato [*Aecidium pertyae* Hennings]

Dietel, P.:Engler's Bot. Jahrb. 27:571, 1899(明 32) ; Hiratsuka, N. & Sato, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 7:270, 1960

[備考] ナガバノコウヤボウキにも発生。夏孢子・冬孢子世代はヒメカンスゲ (*Carex conica*) に寄生

フキ(蓴)

Japanese butterbur

Petasites japonicus (Sieb. & Zucc.) Maxim.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

栃原比呂志・田村 実:日植病報 39(3):217, 1973 ; 栃原比呂志・田村 実:日植病報 42(5):533, 1976

(2) *Arabidopsis mosaic virus* (ArMV) アラビシモザイクウイルス

栃原比呂志・田村 実:日植病報 39(3):217, 1973 ; 栃原比呂志・田村 実:日植病報 42(5):533, 1976
(3) *Butterbur rhabdovirus* (BuRV) フキクラブドウイルス
山下修一ら:日植病報 48(3):395, 1982 ; 柏崎 哲ら:日植病報 49(1):132, 1983
[備考] 伝染性未確認。戻し接種なし

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Butterbur mosaic virus* (ButMV) フキモザイクウイルス
栃原比呂志・田村 実:日植病報 39(3):217, 1973 ; 栃原比呂志・田村 実:日植病報 42(5):533, 1976
(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
熊田栄次ら:関東病虫研報 19:70, 1972 ; 栃原比呂志・田村 実:日植病報 39(3):217, 1973 ; 栃原比呂志・田村 実:日植病報 42(5):533, 1976
[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933 (昭 8)

斑点細菌病 *hanten-saikin-byo* Bacterial spot (斑点性細菌病)

Pseudomonas sp.
瀧元清透:日植病報 2(1):53, 1927(昭 2) ; 木嶋利男ら:日植病報 53(1):70, 1987
[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas petasitis* (Takimoto) Savulescu は, 国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した。木嶋らの報告にある *Pseudomonas* sp. と瀧元の *P. petasitis* との異同については検討を要する

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew (白渋病)

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]
白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:627, 1905(明 38) ; 本間ヤス:北大農紀 38:306, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

褐斑病 *kappan-byo* Leaf spot (斑点病)

Cercospora petasitis Shirai & Sono
園 孝次郎:農業国 3(6):1909(明 42)

菌核病 *kinkaku-byo* Sclerotinia

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]
堀 正太郎:農業世界 5(6):60, 1910(明 43)

黒斑病 *kokuhan-byo* Leaf spot

Phyllosticta petasitidis Ellis & Everhart
原 攝祐:実用作物病理学:482, 1925(大 14)

さび病 *sabi-byo* Rust (赤渋病, 秋銹病)

(1) *Coleosporium yamabense* (Saho) Hiratsuka, f. [*Coleosporium petasitis* non Lévillé, *Coleosporium neopetasitis* Saho]
堀 正太郎:農業世界 5(6):58, 1910(明43) ; 原 攝祐:実用作物病理学:482, 1925(大14) ; 佐保春芳:日菌報 2(3):8, 1960 ; 平塚直秀:北海道林試報 6:6, 1969
[備考] 本病菌の柄子, さび孢子世代はマツ属 (五葉マツ類) に形成される
(2) *Puccinia caricis-petasitidis* Y. Harada
原田幸雄:日菌報 18(2):170, 1977
(3) *Puccinia conglomerata* (F. Strauss) Rohling [*Puccinia glomerata* auct. non Greville, *Puccinia expansa* sensu Ito non Link]
伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):333, 1950 ; 平塚直秀:菌蕈研報 14:59, 1976 ; 平塚直秀:菌蕈研報 18:44, 1980

[備考] *Puccinia expansa* は北海道に分布し、フキに寄生する (伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):333, 1950) が、主に山地の野性のフキを侵す

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

岸 國平:野菜の病害虫:280, 1976

白星病 shirahoshi-byo Leaf spot (セプトリア病)

Septoria petasitis Hemmi

原 攝祐:実用作物病理学:481, 1925(大 14)

立枯病 tachigare-byo

Pythium sp.

富樫浩吾:農及園 10(3):746, 1935(昭 10)

[備考] 調査を要する

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon

堀 正太郎:農業世界 5(6):62, 1910(明 43)

葉枯病 hagare-byo Leaf blight (萎縮性葉枯病, 萎縮性斑点病)

Stagonospora petasitis Ellis & Everhart

堀 正太郎:農業世界 5(6):61, 1910(明 43)

春さび病 harusabi-byo Rust

Aecidium tussilaginis Persoon

原 攝祐:中央園芸 343:753, 1931(昭 6)

[備考] 調査を要する

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

加藤喜重郎・広田耕作:日植病報 41(3):271, 1975 ; 加藤喜重郎・広田耕作:植物防疫 29(9):361, 1975

斑点病 hanten-byo Alternaria leaf spot

Alternaria petasitis M. Kubota, Kishi & Abiko

Kubota, M. *et al.*:Mycoscience 42(1):29, 2001

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

西澤 務:関西病虫研報 10:120, 1968

(2) *Pratylenchus fallax* Seinhorst キクネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:90, 1975

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961
(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種
池田克文: 総合農学 2(3):124, 1954
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

++++てんぐ巢病 tengusu-byo
病原未詳
根本正康: 日植病報 39(3):218, 1973
[備考] 接木伝染性

コウゾリナ類
(Picris)
Picris spp.
(野草)

コウゾリナ *Picris hieracioides* L. var. *glabrescens* (Regel) Ohwi

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)
Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ
一戸 稔: 北農 23(5):178, 1956
[備考] コウゾリナ

ヤーコン
Yakon
Polymnia sonchifolia Poepp. & Endl.
(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
山本孝猷ら: 四国植防 26:29, 1991
[備考] 戻し接種なし

萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt
Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]
水野明文ら: 日植病報 59(1):103, 1993 ; 水野明文ら: 日植病報 59(6):702, 1993
[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
佐藤豊三ら: 四国植防 30:79, 1995

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot
Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich
佐藤豊三ら: 日植病報 63(3):200, 1997 ; 佐藤豊三ら: 四国農試報 64:1, 1999 ; 富岡啓介: 近中四農研センタ
ー研報 5:91, 2005

立枯病 tachigare-byo Stem and foliage blight, Rhizoctonia blight
Rhizoctonia solani J.G. Kühn

富岡啓介ら:四国植防 35:53, 2000 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Pant Pathol. 68(1):103, 2002 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium oedochilum Drechsler

大上大輔・景山幸二:日植病報 72(1):82, 2006

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

富岡啓介ら:四国植防 36:78, 2001 ; Tomioka, K. & Sato, T.:J. Gen. Plant Pathol. 77(3):217, 2011

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

角野晶大:北日本病虫研報 50:223, 1999

フクオウソウ類

(Prenanthes)

Prenanthes spp.

(野草)

オオニガナ *Prenanthes tanakae* (Fr. & Sav.) Koidz.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:27, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] オオニガナに発生

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia orbicula Peck & Clinton

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:892, 1992

[備考] オオニガナ

ルドベキア

Coneflower

Rudbeckia spp.

(草花)

ウイルス病 virus-byo

(1) Broad bean wilt virus#

松本純一ら:日植病報 61(6):630, 1995 ; Matsumoto, J. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):13, 1997

(2) Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

松本純一ら:日植病報 61(6):630, 1995 ; Matsumoto, J. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):13, 1997

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Rudbeckia mosaic virus# (RuMV) ルドベキアモザイクウイルス

山本孝猷:四国植防 29:77, 1994

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt
Fusarium sp.
神田 多ら:日植病報 30(5):293, 1965

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot
Alternaria alternata (Fries) Keissler
佐藤 衛ら:日植病報 76(1):41, 2010

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
手塚信夫・石井正義:関西病虫研報 36:81, 1994

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt
Verticillium dahliae Klebahn
竹内 純・堀江博道:日植病報 61(3):220, 1995
[備考] 病原型は B 群

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo
Aphelenchoides ritzemabosi (Schwartz) Steiner & Buhner [*Aphelenchus ritzemabosi* Schwartz] ハガレセンチ
ユウ
鐙木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

ジャノメギク
Sanvitalia, Creeping zinnia
Sanvitalia procumbens Lam.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium asteris-punicea Peck
丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999

シロタエギク
Dusty miller, Cineraria
Senecio cineraria de Candolle
(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
佐藤 衛ら:日植病報 79(1):34, 2013 ; 佐藤 衛ら:北日本病虫研報 64:86, 2013

輪斑病 rinhan-byo Leaf spot
Alternaria cinerariae Hori & Enjoji
高野喜八郎:日植病報 67(2):167, 2001

キオン類

(Senecio)
Senecio spp.
(野草)

ハンゴンソウ *S. cannabifolius* Less.
キオン *S. nemorensis* L.
サワオグルマ *S. pierotii* Miq.
エゾオグルマ *S. pseudoarnica* Less.
ノボロギク *S. vulgaris* L.

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew

(1) *Golovinomyces ambrosiae* (Schweinitz) U. Braun & R.T.A. Cook

[*Erysiphe cichoracearum* de Candolle var. *cichoracearum*]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:178, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:32, 2012

[備考] ハンゴンソウに発生

(2) *Oidium* sp.

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:41, 1997

[備考] サワオグルマ, ノボロギクに発生

(3) *Podosphaera senecionis* U. Braun

[*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend U. Braun]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:22, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012

[備考] キオンに発生

さび病 *sabi-byo* Rust

Coleosporium tussilaginis (Persoon) Léveillé

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. (Japan) 19:62, 1981 ; Harada, Y.:Mycoscience 35:295, 1994

[備考] エゾオグルマに発生

半身萎凋病* *hanshin-icho-byo* Verticillium wilt (萎凋症)

Verticillium dahliae Klebahn

萩原 廣ら:関東病虫研報 36:126, 1989

[備考] ノボロギクに発生

メナモミ類
(Siegesbeckia)
Siegesbeckia spp.
(野草)

コメナモミ *Siegesbeckia glabrescens* (Makino) Makino

メナモミ *Siegesbeckia orientalis* L. subsp. *pubescens* (Makino) Makino

根こぶ線虫病* *nekobu-senchu-byo* Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] コメナモミ・メナモミ

ヒキヨモギ類
(Siphonostegia)
Siphonostegia spp.

(野草)

ヒキヨモギ *Siphonostegia chinensis* Benth.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ヒキヨモギ

アキノキリンソウ類

(Solidago)

Solidago spp.

(野草)

アキノキリンソウ *Solidago virgaurea* L. subsp. *asiatica* Kitam.

セイタカアワダチソウ Tall goldenrod *Solidago altissima* L.

ソリダゴ Canada goldenrod × *Solidago canadensis* L. 及び種間雑種

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Rhizobium radiobacter (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942]

西 菜穂子ら: 日植病報 74(3):253, 2008 ; 澤田宏之ら: Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

[備考] ソリダゴに発生

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae van Hall 1902

佐藤 守ら: 日植病報 65(3):360, 1999

[備考] セイタカアワダチソウに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium asteris-punicea Peck

丹田誠之助: 東農大農学集報 45(2):122, 2000

[備考] コガネギク *S. virgaurea* L. var. *leiocarpa* (Benth.) Miq. に発生

さび病 sabi-byo

Coleosporium solidaginis Thümen ex Arthur

尾松直志・鳥越博明: 九病虫研会報 48:42, 2002

[備考] ソリダゴの品種「タラ」に発生

白粉病 hakufun-byo Frosty mildew

Cercospora virgaureae (Thümen) Allesher

澤田兼吉: 林試研報 102:93, 1958; 澤田兼吉: 林試研報 105:35, 1961; 小川久美子ら: 日植病報 69(3):261, 2003

[備考] 多角斑病を白粉病に改名する。ムカシヨモギ類白粉病の備考欄を参照。*Solidago virgaurea* L. subsp. *asiatica* Kitou に発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔: 北農 23(5):178, 1956

[備考] アキノキリンソウ

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

[備考] アキノキリンソウ

ソリダスター

× *Solidaster luteus* Green ex Dress
(草花)

さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium solidaginis Thümen ex Arthur

Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25:288, 1984 ; Harada, Y.:Mycoscience 35:295, 1994

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら:関東病虫研報 39:163, 1992

ノゲシ類

(*Sonchus*)

Sonchus spp.

(野草)

ハチジョウナ *Sonchus brachyotis* DC.

ノゲシ *Sonchus oleraceus* L.

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Miyagia pseudosphaeria* (Montagne) Jørstad

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:479, 1992

[備考] ハチジョウナ・ノゲシ

(2) *Puccinia cnici-oleracei* Persoon ex Desmazières

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:870, 1992

[備考] ハチジョウナ

(3) *Puccinia littoralis* Rostrup

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:700, 1992

[備考] ハチジョウナ

べと病 beto-byo Downy mildew

Bremia sonchicola (Schlechtendal) Sawada

我孫子和雄:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):62, 1992

[備考] ハチジョウナ・ノゲシ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] ハチジョウナ

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] ハチジョウナ。病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

- (3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961
 [備考] ノゲシ・ハチジョウナ
- (4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
 [備考] ハチジョウナ

ステイロディスカス
 (Steirodiscus)
Steirodiscus tagetes (L.) Schlechter
 (草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
 庄司俊彦:関東病虫研報 43:121, 1996

ステビア
 Stevia
Stevia rebaudiana Hemsl.
 (特用作物)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:87, 2006

葉腐病 hagusare-byo
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
 新留伊俊:日植病報 43(1):117, 1977
 [備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

ストケシア(ルリギク)
 Stokesia, Stokes aster
Stokesia laevis Greene
 (草花)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
 酒井和彦:日植病報 36(6):495, 1997

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
 石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 39:29, 1997

フシザキソウ類

(Synedrella)
Synedrella spp.
(野草)

フシザキソウ *Synedrella nodiflora* (L.) Gaertn.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

[備考] フシザキソウ

††††

Ageratum yellow vein virus (AYVV) カッコウアザミ葉脈黄化ウイルス

大貫正俊ら:日植病報 74(1):32, 2008

[備考] フシザキソウに発生。RT-PCR による検出

マリーゴールド

Marigold

(草花)

アフリカン・マリーゴールド African marigold *Tagetes erecta* L.

フレンチ・マリーゴールド French marigold *Tagetes patula* L.

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

河野敏郎ら:日植病報 64(6):597, 1998

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) ソラマメウイルトウイルス 2

小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

[備考] 戻し接種なし

(2) *Broad bean wilt virus*#

張 茂雄ら:日植病報 43(1):125, 1977

[備考] 戻し接種なし

(3) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

張 茂雄ら:日植病報 43(1):125, 1977

[備考] 戻し接種なし

萎黄病 io-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977 ; 福士貞吉:病虫害雑誌 20:22, 1933 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:666, 1998

[備考] 接種試験未了

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:225, 1975 ; 内藤博務ら:日植病報 52(1):151, 1986

株腐病 kabugusare-byo Stem and foliage blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(4):215, 1990

[備考] IB 型に類似する

立枯病 tachigare-byo

Gibberella sp.

成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:666, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌は *Gibberella zeae* と思われる

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

佐藤 衛ら:関西病虫研報 38:53, 1996 ; 阿部美咲ら:日植病報 80(1):23, 2014

[備考] アフリカン・マリーゴールド (*Tagetes erecta*), フレンチ・マリーゴールド

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:666, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Alternaria tagetica S.K. Shome & Mustafee

富岡啓介ら:日植病報 65(3):406, 2000 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 66(4):294, 2000 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(3) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

[備考] 上記種との異同は不明

ナツシロギク(コシロギク, ナツノコシロギク)

Feverfew, Pellitory

Tanacetum parthenium (L.) Schultz-Bip

(草花)

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *tanacetii* Hirooka, Y. Matsumoto & Tak. Kobayashi

松本 譲ら:日植病報 72(1):47, 2006 ; 廣岡裕吏ら:日植病報 74(1):7, 2008

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia cnici-oleracei Persoon ex Desmazières [*Puccinia heeringiana* Klebahn]

平塚直秀ら:菌蕈研報 18:1, 1980 ; 堀江博道ら:関東病虫研報 37:129, 1990

[備考] シュンギク (*Chrysanthemum coronarium* var. *spatiosum*), マーガレット (*Chrysanthemum frutescens*) にも発生

タンポポ類

(*Taraxacum*)

Taraxacum spp.

(野草)

シロバナタンポポ *T. albidum* Dahlst.

エゾタンポポ *T. hondoense* Nakai, ex Koidz.

アカミタンポポ *T. laevigatum* DC.

ヒロハタンポポ *T. longependiculatum* Nakai

セイヨウタンポポ *T. officinale* Weber

タンポポ, セイヨウタンポポ *T. platycarpum* Dahlst.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Oidium* sp.

佐藤 衛ら:関東病虫研報 59:77, 2012

[備考] セイヨウタンポポに発生。病原は *Fibroidium* 亜属に属する

(2) *Podosphaera erigerontis-canadensis* (Léveillé) U. Braun & T. Z. Liu [*Sphaerotheca fusca* (Fries) Blumer em. U. Braun]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:22, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012

[備考] シロバナタンポポ, エゾタンポポ, アカミタンポポ, ヒロハタンポポ, セイヨウタンポポ, カントウタンポポに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

前川和正ら:日植病報 66(3):302, 2000 ; 前川和正ら:関西病虫研報 46:47, 2004

[備考] セイヨウタンポポに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

チトニア(メキシコヒマワリ)
Mexican sunflower
Tithonia rotundifolia (Mill.) S. F. Blake
(草花)

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot
Alternaria sp.
菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

オニタビラコ類
(*Youngia*)
Youngia spp.
(野草)

オニタビラコ *Youngia japonica* (L.) DC.

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
菅野博英・大久保博人:北日本病虫研報 50:115, 1999
[備考] コオニタビラコに発生

さび病* sabi-byo Rust
Puccinia crepidis-japonicae Dietel
Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:875, 1992
[備考] オニタビラコ

べと病 beto-byo Downy mildew
Bremia ovata Sawada
我孫子和雄:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):62, 1992
[備考] オニタビラコ

ジニア(ヒャクニチソウ, 百日草)
Zinnia
Zinnia elegans Jacq.
(草花)

花の斑入り病 hana-no-fuiri-byo Flower color breaking
Turnip mosaic virus (TuMV) カブモザイクウイルス
井上成信・光畑興二:日植病報 50(1):116, 1984 ; 井上成信:農学研究 61:227, 1989

モザイク病 mosaic-byo Mosaic (ウイルス病)
(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
井上成信・光畑興二:日植病報 50(1):116, 1984 ; 井上成信:農学研究 61:227, 1989
(2) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス
河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病害虫:179, 1976
[備考] 解説書のため詳細は不明
(3) *Tomato aspermy virus* (TAV) トマトアスパーミウイルス [Chrysanthemum mild mottle virus#]

鈴木陽一ら:日植病報 60(3):396, 1994 ; 花田 薫ら:日植病報 61(3):274, 1995 ; Kameya-Iwaki, M. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):175, 1996

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith, *Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:100, 1939(昭 14) ; 岡田清嗣ら:日植病報 64(4):374, 1998

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

瀧元清透:農及園 2(8, 9):843, 967, 1927(昭 2)

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Xanthomonas campestris pv. *zinniae* (Hopkins & Dowson 1949) Dye 1978

田村 実:日植病報 48(4):532, 1982

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Euoidium* sp.

星 秀男ら:日植病報 73(3):182, 2007 ; Hoshi, H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):89, 2013

(2) *Podosphaera xanthii* (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

原 攝祐:日本菌類目録:348, 1954 ; 平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考]原 (1954), 平田 (1956) は寄主植物リスト

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall]

鷲尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

出田 新:日本植物病理学:327, 1909(明 42)

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Alternaria zinniae H. Pape 1942 non Ellis

森田 儔・河合一郎:日植病報 24(1):25, 1959 ; 森田 儔・河合一郎:静岡農試研報 4:20, 1959

[備考] M.B. Ellis (Mycol. Pap. 131:22, 1972) は Pape (1942) の学名にはラテン語の原記載を伴わず無効名であるとして, 新たに *A. zinniae* を記載した。同種と本病原菌との異同について確認する必要がある

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus cucumeris* A.B. Frank]

石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 39:27, 1997

[備考] 澤田兼吉 (台湾農試特別報告 2:10, 1911(明 44)) は海外での発生を報告し, 白絹病と命名した

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Pythium spinosum Sawada

田杉平司・椎野秀蔵:日植病報 10(2-3):278, 1940(昭 15)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum tabacum Böning

久保田まや ら:日植病報 83(3):182, 2017

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Head and leaf blight

Botrytis cinerea Persoon

我孫子和雄ら:関西病虫研報 32:78, 1990

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:196, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:657, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot (白星病)

Cercospora zinniae Ellis & G. Martin [*Cercospora atricincta* Heald & F.A. Wolf, *Cercosporina zinniae* Takahashi & Yoshida]

香月繁孝:日植病報 17(1):5, 1952 ; 高橋信雄・吉田正行:植物防疫 7(11):17, 1953 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):79, 1960

[備考] 山本・前田 (1960) はモノグラフ。接種試験未了

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo (角斑病, 線虫性角斑病)

Aphelenchoides ritzemabosi (Schwartz) Steiner & Bührer [*Aphelenchus ritzemabosi* Schwartz] ハガレセンチュウ

Fukushi, T. & Saito, H.:Trans. Tottori Soc. Agric. Sci. 2(1):45, 1930(昭 5) ; 堀 正太郎:実地園芸 13(増 4):145, 1932(昭 7)

キクラゲ科 Auriculariaceae

アラゲキクラゲ(粗毛木耳)

Ear fungus

Auricularia polytricha (Montagne) Saccardo
(きのこ)

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

Pseudomonas sp.

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック:233, 1986

[備考] 子実体に発生。細菌は病徴を再現した

ツリフネソウ科 Balsaminaceae

ハウセンカ(鳳仙花)

Garden balsam

Impatiens balsamina L.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、日野 巖:宮崎高農学報 5:98, 1933(昭 8)

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

渡邊結花ら:日植病報 59(1):44, 1993

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Podosphaera balsaminae (Wallroth) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca balsaminae* (Wallroth) Kari ex Junell, *Sphaerotheca fuliginea* auct. jap. non Pollacci]

原 攝祐:実用作物病理学:543, 1925(大 14); 本間ヤス:北大農紀 38:304, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):171, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:14, 2012

[備考] 原 (1925) は病名のみ記述。大谷 (1988) は接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora fukushiana (Matsuura) W. Yamamoto [*Cercosporina fukushiana* Matsuura]

松浦 勇:病虫雑 14(12):699, 1927(昭 2); 山本和太郎:熱帯農学会報 6:601, 1934(昭 9)

[備考] 山本 (1934) は接種試験未了

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot (褐斑病)

Ascochyta phaseolorum Saccardo

原 攝祐:実用作物病理学:543, 1925(大 14); 成田武四:日植病報 41(1):123, 1975

[備考] ケイトウ輪紋病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

岡部徳夫:植物細菌病学:347, 1949

[備考] ホウセンカでは国内発生未確認

††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):97, 1935(昭 10)

[備考] 抄録。ホウセンカでは国内発生未確認

†††さび病 sabi-byo Rust

Puccinia nolitantangeris Corda [*Puccinia argentata* G. Winter]

原 攝祐:実用作物病理学:543, 1925(大 14)

[備考] 我が国ではレンプクソウ, キツリフネ, ツリフネソウで認められているが, ホウセンカでは発生未確認

ツリフネソウ類

Patience Plant, Balsam, Busy Lizzie, Sultana, Jewel-weed, Touch-me-not

Impatiens spp.

(野草)

キツリフネ *Impatiens noli-tangere* L.

ツリフネソウ *Impatiens textori* Miq.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium balsaminae Rajderkar

丹田誠之助:東農大農学集報 42:176, 1997

[備考] ニューギニア・インパチエンス (*Impatiens* × *hybridus*) に発生

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia argentata (Schultz) G. Winter

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:794, 1992

[備考] キツリフネ・ツリフネソウ

円斑病 maruhan-byo

Cercosporidium campii-silii (Spegazzini) X.J. Liu & Y.L. Guo

小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):476, 1992

[備考] キツリフネ

インパチエンス(アフリカホウセンカ)類

Impatiens spp.

(草花)

インパチエンス(アフリカホウセンカ) Busy lizzie *Impatiens sultanii* Hook. f.

ニューギニア・インパチエンス *Impatiens* × *hybridus* Hort.

ウイルス病 virus-byo

Impatiens latent virus (ILV) インパチエンス潜在ウイルス

向 本春ら:日植病報 56(1):127, 1990 ; Xiang, B. C. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 56(4):557, 1990

えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot

Impatiens necrotic spot virus (INSV) インパチエンスえそ斑点ウイルス

谷名光治ら:日植病報 66(2):147, 2000;谷名光治ら:日植病報 67(1):42, 2001

えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ring

Clover yellow vein virus (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス

向 本春ら:日植病報 56(1):127, 1990 ; Xiang, B. C. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 56(4):557, 1990

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

河野敏郎ら:日植病報 65(6):651, 1999

[備考] ニューギニア・インパチエンス (*Impatiens* × *hybridus*) に発生

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

亀谷満朗ら:日植病報 62(3):325, 1996

[備考] 戻し接種なし

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

岡田清嗣ら:日植病報 64(4):374, 1998

アルタナリア斑点病 *Alternaria*-hanten-byo *Alternaria* leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

久保周子ら:日植病報 69(3):261, 2003

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium balsaminae Rajderkar

丹田誠之助:東農大農学集報 43(3):173, 1997

[備考] ニューギニア・インパチエンス (*Impatiens* × *hybridus*) に発生

疫病 eki-byo Blight, Brown rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*, *Phytophthora* sp.]

山田憲一ら:日植病報 43(1):86, 1977

[備考] 病原菌の分類学的所属については調査を要する

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

福原いずみ ら:関東病虫研報 42:147, 1995

[備考] インパチエンス(*Impatiens* New Cyclon Hybrid) に発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫・高橋幸吉:日植病報 66(2):91, 2000

立枯病 tachigare-byo *Rhizoctonia rot*

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

飯嶋 勉ら:日植病報 30(5):268, 1965 ; 岡田清嗣ら:日植病報 60(3):343, 1994 ; 佐藤 衛ら:日植病報 75(3):186, 2009 ; 佐藤 衛ら:関東病虫研報 56:65, 2009

[備考] 菌糸融合群 AG-4。佐藤ら (2009) の病原は菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

炭疽病 tanso-byo *Anthracnose*

Colletotrichum acutatum J.H. Simmonds

高野喜八郎:北陸病虫研報 46:98, 1998

根腐病 negusare-byo *Root rot*

(1) *Pythium irregulare* Buisman

草刈眞一ら:日植病報 67(2):163, 2001

(2) *Pythium spinosum* Sawada

庄司俊彦ら:日植病報 65(3):43, 1999 ; 庄司俊彦ら:関東病虫研報 46:65, 1999

[備考] ニューギニア・インパチエンス (*Impatiens* × *hybridus*) に発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo *Gray mold*

Botrytis cinerea Persoon

佐藤 衛ら:関西病虫研報 40:151, 1993

葉腐病 hagusare-byo *Leaf blight*

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

小野 剛ら:関東病虫研報 58:67, 2011

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

べと病 beto-byo *Downy mildew*

Plasmopara obducens (J. Schröter) J. Schröter

佐藤 衛ら:日植病報 77(3):167, 2011 ; Satou M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(3):205, 2013

[備考] インパチエンスに発生

ツルムラサキ科 Basellaceae

アカザカズラ

Anredera cordifolia (Ten.) Steenis
(野菜)

黒点病 kokuten-byo Black leaf spot

Aspergillus niger Tieghem

正司和之ら:日植病報 81(1):99, 2015

ツルムラサキ

Red malabar nightshade

Basella rubra L. var. *alba* Makino
(野菜)

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

加藤智弘ら:北日本病虫研報 53:70, 2002

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora drechsleri Tucker

川村明日香ら:日植病報 74(1):68, 2008

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

菅野博英・大久保博人:日植病報 64(6):611, 1998

紫斑病 shihan-byo Purple spot

Fusarium proliferatum (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg

菅野博英・青木孝之:北日本病虫研報 54:54, 2003

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅野博英・本蔵良三:北日本病虫研報 49:91, 1998

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

菅野博英・堀内誠三:北日本病虫研報 50:120, 1999

腐敗病 fuhai-byo Rot

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

東條元昭ら:日植病報 72(4):206, 2006

ペニシリウム腐敗病* *Penicillium*-fuhai-byo

Penicillium italicum Wehmer

獅山慈孝ら:日植病報 62(3):268, 1996

[備考] 市場で発生

オユコ(ウルクス・トウベロス)

Ulluco

Ullucus tuberosus Caldas

(野菜)

腰折病 koshiore-byo Foot rot

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

富岡啓介ら:日植病報 66(3):301, 2000 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 68(2):189, 2002

シュウカイドウ科 Begoniaceae

ベゴニア

Begonia

Begonia spp.

(草花)

シュウカイドウ Hardy begonia *B. evansiana* Andrews

ウイルス病* virus-byo

(1) *Zucchini yellow mosaic virus* (ZYMV) ブッキーニ黄斑モザイクウイルス

山川博美ら:日植病報 55(4):535, 1989

(2) Broad bean wilt virus#

羽山 繁ら:日植病報 56(1):100, 1990

[備考] 戻し接種なし

えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic mottle

Impatiens necrotic spot virus (INSV) インパチエンスえそ斑点ウイルス

黒川恵美ら:日植病報 69(1):67, 2003

[備考] 戻し接種なし。ベゴニアに発生

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑点性細菌病, 葉枯性細菌病, 黄暈性斑点病)

Xanthomonas axonopodis pv. *begoniae* (Takimoto 1934) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium begoniae* Takimoto, *Bacterium takimotii* Okabe, *Bacterium flavozonatum* McCulloch]

瀧元清透:病虫雑 21(4):258, 1934(昭 9) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:367, 1949 ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:546, 1941

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe begoniicola U. Braun & S. Takamatsu [*Pseudoidium macrosporum* (A.A. Mendonça & de Sequeir) U. Braun & R.T.A. Cook, *Oidium begoniae* Puttemans var. *macrosporum* de A.A. Mendonça & de Sequeira]

野村幸彦ら:東京農大農学集報 21(1):36, 1976 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:52, 2012

[備考] シュウカイドウに発生

株枯病 kabugare-byo Phoma rot

Phoma exigua Desmazières

粕山新二・井上幸次:岡山農試研報 27:39, 2009

株腐病 kabugusare-byo Fusarium wilt

Fusarium foetens Schroers, O'Donnell, Baayen & Hoofman

関根崇行ら:日植病報 74(3):164, 2008

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

菅原 敬ら:日植病報 72(1):54, 2006 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot (葉腐病, リゾクトニア病)

(1) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病害虫:185, 1976

[備考] 解説書のため詳細不明

(2) *Rhizoctonia* sp. (binucleate)

佐藤 衛ら:日植病報 77(1):39, 2011

[備考] 菌糸融合群 AG-F

さび病 sabi-byo Rust

Pucciniastrum boehmeriae (Dietel) Sydow & P. Sydow

山本敏夫ら:日植病報 50(3):401, 1984

[備考] 柄子, さび胞子世代はモミに寄生する。本病はコアカソ (*Boehmeria spicata*) に由来する

白星病 shirahoshi-byo Leaf spot

Cercospora begoniae Hori

堀 正太郎:園芸之友 10(13):262, 1914(大 3) ; Katsuki S.:Trans. Mycol. Soc. Japan, Extra Issue 1:14, 1965

[備考] 堀 (1914) は解説書。Katsuki (1965) は接種試験未了

炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Leaf spot

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病害虫:185, 1976 ; 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:175, 1997

(2) *Gloeosporium* sp.

河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病害虫:185, 1976

[備考] 河村 (1976) は解説書のため詳細不明。病原の分類学的所属について検討を要する

根腐病 negusare-byo Pythium root rot

(1) *Pythium helicoides* Drechsler

宮崎暁喜ら:関西病虫研報 51:53, 2009

(2) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

佐藤 衛ら:日植病報 77(1):39, 2011

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Leaf spot (鼠黴病, 鼠毛病, 葉腐敗病, 葉焼病, ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon [*Botrytis vulgaris* Fries]

堀 正太郎:園芸之友 10(13):262, 1914(大 3) ; 河合一郎:園芸病害編:524, 1954

[備考] 解説書。接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:259, 1975

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo (センチュウ性葉枯病, 葉枯性線虫病)

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭 3)

メギ科 Berberidaceae

メギ(目木)

Japanese barberry

Berberis thunbergii DC.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo (白渋病)

(1) *Erysiphe berberidicola* (F.L. Tai) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera berberidicola* F.L. Tai, *Microsphaera alni* var. *divaricata* Salmon] 野村幸彦・丹田誠之助:東農大農学集報 24(2):155, 1979 ; Braun, U.:Mycotaxon 18(1):115, 1983 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:52, 2012

(2) *Erysiphe berberidis* de Candolle var. *asiatica* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera berberidis* (de Candolle) Léveillé var. *asiatica* U. Braun, *Microsphaera berberidis* sensu Sawada in Homma]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:315, 1933(昭 8) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明 27) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):216, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:52, 2012

[備考] オオバメギ (*B. tschonoskyana*)・トウメギ・ヘビノボラズ (*B. sieboldii*)・ヒロハノヘビノボラズ・マルバヘビノボラズ (*B. amurensis* f. *brevifolia*)・オオトリトマラズにも発生

(3) *Erysiphe multiappendicis* (Z.Y. Zhao & Y.N. Yu) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera multiappendicis* Z.Y. Zhao & Y.N. Yu]

Braun, U.:Mycotaxon 18(1):115, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):269, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012

[備考] ヒロハノヘビノボラズに発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia graminis Persoon [*Puccinia culmicola* Dietel, *Aecidium berberidis-thunbergii* Hennings]

南部信方:病虫雑 8(6):286, 1921(大 10) ; 出田 新:実用植物病理学:116, 1901(明 34) ; 明日山秀文:日植病報 5:24, 1935(昭 10)

[備考] トリトマラズ・ヒロハノヘビノボラズ (*B. amurensis* var. *japonica*) にも発生

イカリソウ

Barrenwort

Epimedium grandiflorum Morr.

(草花)

++++

病原未記載

[備考] 血清試験による *Cucumber mosaic virus* (CMV キュウリモザイクウイルス)検出の報告がある。
大木 理ら:植物防疫 35(7):305, 1981

ホソバヒイラギナンテン

Chinese mahonia

Mahonia fortunei (Lindl.) Fedde

(広葉樹)

ヒイラギナンテン *M. japonica* (Thunb.) DC.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe berberidicola (F.L. Tai) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera berberidicola* F.L. Tai, *Microsphaera*

alni (Wallroth) Salmon var. *divaricata* Salmon auct. Jap., *Oidium* sp.]

Homma, Y.: Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):402, 1937(昭 12); 大野啓一郎: 植物防疫 29(8):310, 1975;
野村幸彦・丹田誠之助: 東農大農学集報 24(2):156, 1979; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):209, 1988; 高松 進:
三重大生資紀要 38:52, 2012

[備考] ホソバヒイラギナンテンに発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら: 森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] ヒイラギナンテン。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すすかび病 susukabi-byo

Pseudocercospora ogawae (Katsuki & Tak. Kobayashi) Deighton [*Cercospora ogawae* Katsuki & Tak. Kobayashi, *Cercospora* sp.]

小河誠司・小林享夫: 森林防疫 26(6):92, 1977; Katsuki, S. & Kobayashi, T.: Trans. Mycol. Soc. Japan 23(1):41, 1982; 勝本 謙・小林享夫: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

[備考] ホソバヒイラギナンテン

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Gloeosporium japonicum* Hemmi]

Hemmi, T.: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(3):13, 1920(大 9); 小林享夫・河辺祐嗣: 日植病報 46(1):110, 1980

[備考] ヒイラギナンテン

†††さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) †*Gambleola cornuta* Masee

平塚直秀: 植研雑 10(1):5, 1934(昭 9); 橋岡良夫: 植物及動物 5(10):1922, 1937(昭 12)

[備考] 台湾。アリサンヒイラギナンテン(*Mahonia lomarifolia*)

(2) †††*Cumminsella sanguinea* (Peck) Arthur

横浜税関: 輸入植物病原菌害虫目録:27, 1939(昭 14)

[備考] 生産国アメリカ

††††

Phyllosticta japonica Thümen

白井光太郎・三宅市郎: 訂正増補日本菌類目録(再版):447, 1917(大 6); 安盛 博・山口忠義: 群馬林試報 12:138, 1973

ナンテン(南天竹)

Nandina

Nandina domestica Thunb.

(広葉樹)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

奥山 哲ら: 茨城病虫研報 7:40, 1968

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Phyllosticta sp.

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 45:143, 1998

茎枯病 kukigare-byo

Leptosphaeria nandinae Togashi & Tsukamoto

Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17(3-4):121, 1953

紅斑病 kohan-byo (赤斑病)

Cercospora nandinae Nagatomo [*Cercospora nandinae* Fukui]

福井武治:三重高農学術報 3:11, 1933(昭 8) ; 永友 勇:中等教育研究教育資料 3:79, 1932(昭 7)

葉先枯病 hasakigare-byo Leaf tip blight

Phomopsis sp.

古川聡子ら:日植病報 72(1):51, 2006

††††

Phoma nandinae Tassi

塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(1):127, 1959

アメリカハッカクレン

(*Podophyllum*)

Podophyllum peltatum L.

(野草)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

市之瀬玲美ら:日植病報 80(1):22, 2014 ; 市之瀬玲美ら:関東病虫研報 61:74, 2014

カバノキ科 Betulaceae

ハンノキ類(楊枝)

Alder

Alnus spp.

(広葉樹)

ヤシャブシ Japanese green alder *A. firma* Sieb. & Zucc.

ケヤマハンノキ *A. hirsuta* Turcz.

ハンノキ *A. japonica* (Thunb.) Steud.

ミヤマハンノキ *A. maximowiczii* Callier

ヒメヤシャブシ *A. pendula* Matsum.

カワラハンノキ *A. serrulatoidea* Callier

オオバヤシャブシ *A. sieboldiana* Matsum.

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦:コバノヤマハンノキの主要病害(林試東北支場):6, 1963

[備考] コバノヤマハンノキに発生。種子の地中腐敗

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe amanoi* (Y. Nomura) U. Breau & S. Takamatsu [*Uncinula amanoi* Y. Nomura, *Erysiphe aquilegiae* de Candolle, *Erysiphe pisi* de Candolle, *Ischnochaeta pisi* (de Candolle) Sawada] (粉病)

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):330, 1937(昭 12); 澤田兼吉:林試研報 50:114, 1951; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:78, 1977; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:69, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012

[備考] ヒメヤシャブシに発生

(2) *Erysiphe miyabei* (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula miyabei* (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow, *Uncinula salicis* var. *miyabei* E.S. Salmon]

原 攝祐:実験樹木病害編:199, 1927(昭 2); 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明 34); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):249, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012

[備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・エゾハンノキ・ケヤマハンノキ・ミヤマカワラハンノキ・カワラハンノキ・サクラバハンノキ・コバノヤマハンノキ・ヤシャブシ・ヒメヤシャブシ・オオバヤシャブシに発生

(3) *Erysiphe penicillata* (Wallroth) Fries [*Microsphaera penicillata* (Wakkrit) Léveillé, *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon in Homma-pro parte]

安田 篤:植物学各論隠花部:1089, 1911(明 44); 出田 新:実用植物病理学:162, 1901(明 34); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):222, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012

[備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・ケヤマハンノキに発生

(4) *Phyllactinia alni* Y.N. Yu & S.J. Han

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:236, 1997

[備考] ミヤマカワラハンノキ・ヤシャブシ・ケヤマハンノキ・タニガワハンノキ・ハンノキ・エゾハンノキ・ヒロハケヤマハンノキ・ヤハズハンノキ・ミヤマハンノキ・カワラハンノキ・オオバヤシャブシ・サクラバハンノキに発生

(5) *Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma (白渋病, 裏白渋病)

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:409, 1937(昭 12); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973

[備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・コバノヤマハンノキ・ミヤマカワラハンノキ・ケヤマハンノキ・ヒロハケヤマハンノキ・エゾハンノキ・サクラバハンノキ (*A. trabeculosa*)・ヒメヤシャブシ・オオバヤシャブシ・ミヤマハンノキ・カワラハンノキに発生

(6) *Phyllactinia guttata* (Wallroth) Lévillé [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten sensu Homma, *Phyllactinia suffulta* (Rebentisch) Saccardo] (白渋病, 裏白渋病)

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:371, 1910(明 43) ; 白井光太郎:植物病理学(下):191, 1900(明 33) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988

[備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・タイワンハンノキ・エゾハンノキ・ケヤマハンノキ・カワラハンノキに発生

(7) *Uncinula miyabei* (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow var. *hermaphroditica* Tanda & Y. Nomura

Tanda, S. & Nomura, Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):122, 1994

[備考] ヒメヤシャブシに発生

黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo Endothia canker

Cryphonectria radicalis (Schweinitz) M.E. Barr [*Endothia radicalis* (Schweinitz) Cesati & De Notaris]

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:96, 1977 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:136, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

褐色斑点病* kasshoku-hanten-byo (褐斑病)

Robillarda alnicola Nisikado & Miyawaki

西門義一・宮脇雪夫:農学研究 34:353, 1942(昭 17)

褐斑病 kappan-byo Septoria leaf spot

Septoria alni Saccardo

西門義一・宮脇雪夫:農学研究 34:349, 1942(昭 17)

[備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・タニガワハンノキ・ヤシャブシ・ヒメヤシャブシに発生

かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ

青島清雄:植物防疫 29(8):328, 1975 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:761, 1987

[備考] 病原菌の異名はボプラ類かわらたけ病参照

がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker

Nectria galligena Bresàdola

白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明 27) ; 新島善直:日本森林保護学(下):504, 1912(明 45)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類がんしゅ病参照。北島君三(樹病学及木材腐朽論:276, 1933)は *Didymosphaeria oregonensis* Goodding によるがんしゅ病を紹介したが、国内発生に疑問

ギグナルディア胴枯病 Guignardia-dogare-byo Guignardia canker, Bud blight (芽枯病)

Guignardia alnigena Y. Nisikado & Watanabe [*Macrophoma alnigena* Y. Nisikado & Watanabe]

佐藤邦彦:コバノヤマハンノキの主要病害(林試東北支場):5, 1962 ; 西門義一ら:日植病報 22(1):26, 1957

くもの巢病 kumonosu-byo Web-blight (大粒白絹病, 苗立枯病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk

伊藤一雄:図説樹病講義:40, 1955 ; 岩田吉人・細田禎一:病虫害雑 29(5):240, 1942(昭 17)

[備考] ヤシャブシ・ヒメヤシャブシ・オオバヤシャブシ・タニガワハンノキに発生。病原菌の異名はモクマオウくもの巢病参照

黒粒枝枯病 kurotsubu-edagare-byo

(1) *Melanconium magnum* (Greville) Berkeley

小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(1):7, 1968

[備考] タニガワハンノキ・ヒロハケハンノキに発生

(2) *Melanconis marginalis* (Peck) Wehmeyer [*Melanconium marginale* Wehmeyer]

小林享夫:日林誌 53:57, 1971 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:15, 1970

[備考] ミヤマハンノキ・ミヤマカワラハンノキに発生

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo (がんしゅ病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

白井光太郎:植物病理学(下):209, 1894(明 27) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:379, 1910(明 43)

[備考] 病原菌の異名はハシバミ類紅粒がんしゅ病参照

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Melampsoridium alni* (Thümen) Dietel [*Melampsora alni* Thümen, *Melampsora alni-pendulae* Hiratsuka, *Melampsora alni-firmae* Hiratsuka]

出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明 34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):46, 1897(明 30) ; 南部信方:植物学雑誌 18(203):2, 1904(明 37)

[備考] ヤシヤブシ・ヒメヤシヤブシ・ヤマハンノキ・ミヤマハンノキ・オウシュウミヤマハンノキ・カラフトミヤマハンノキ・オオバミネバリに発生

(2) *Melampsoridium hiratsukanum* S. Ito ex Hiratsuka, f.

澤田兼吉:林試研報 57:18, 1952 ; 平塚直秀:札幌農林学会報 18, 306, 1926(大 15)

[備考] ヤマハンノキ・コバノヤマハンノキ・ケヤマハンノキ・ヤハズハンノキ (*A. matsumurae*)・ハンノキ・オウシュウクロハンノキ・イタリヤハンノキ (*A. cordata*)・オウシュウシロハンノキ (*A. rhombifolia*) に発生

白絹病 shiraku-byo Rolf's blight, Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

伊藤一雄:図説苗木病害診断法(後):144, 1959

[備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] ハンノキに発生

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:153, 1952

[備考] 病原菌の異名はボブラ類すす病参照

すす病* susu-byo Sooty mold

Hypocapnodium setosum (Zimmermann) Spegazzini

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):39, 1959

[備考] 台湾。タイワンハンノキ (*A. formosana*) に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

伊藤一雄:森林防疫 27(4):57, 1978

[備考] ヤマハンノキに発生

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries [*Rhizina inflata* (Schaeffer) Karsten] ツチクラゲ
佐藤邦彦ら:81 回日林講:249, 1970 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 268:13, 1974
[備考] ヤマハンノキ・オオバヤシャブシに発生

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病)

(1) *Taphrina epiphylla* Sadebeck (葉腫病)

西田藤次:宮部植物学概説:170, 1911(明 44) ; 田中 潔:日菌報 29(1):13, 1988

[備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・ケヤマハンノキに発生

(2) *Taphrina japonica* Kusano [*Taphrina alni-japonicae* Nishida] (腫葉病, 膨葉病)

草野俊助:植物学雑誌 18(208):91, 1904(明 37) ; 草野俊助:植物学雑誌 19(216):3, 1905(明 38)

[備考] ハンノキ・ヒロハケハンノキに発生

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium* sp.

赤井節夫:森林防疫ニュース 8(4):58, 1959

[備考] コバノヤマハンノキ・オオバヤシャブシに発生

(2) *Pythium* sp.

佐藤邦彦:林業技術 252:21, 1963

[備考] コバノヤマハンノキに発生

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:林業技術 147:22, 1954

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13)

[備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・コバノヤマハンノキに発生。病原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照。
狭義の種名は未検討

灰色こややく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

藤岡保夫:広島農業の研究 6:36, 1970

[備考] ヤシャブシに発生。病原菌の異名はポプラ類灰色こややく病参照

斑点病 hanten-byo Phyllosticta leaf spot

Phyllosticta allantospora Ellis & Everhart

原 攝祐:実験樹木病害篇:197, 1927(昭 2)

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot, Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidanich [*Macrophomina phaseoli* (Maublanc) S.F. Ashby, *Sclerotium bataticola* Taubenhaus, *Rhizoctonia bataticola* (Taubenhaus) E.J. Butler]

佐藤邦彦・庄司次男:林試研報 111:53, 1959

[備考] ヤマハンノキ・ヒメヤシャブシに発生

フォモプシス胴枯病 Phomopsis-dogare-byo Phomopsis canker

Diaporthe eres Nitschke [*Phomopsis* sp.]

佐藤邦彦:コバノヤマハンノキの主要病害(林試東北支場):5, 1962 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:67, 1970

[備考] ヤマハンノキ・インカナハンノキ・オウシュウクロハンノキに発生

腐らん病* furan-byo Cytospora canker (キトスポラ胴枯病)

(1) *Valsa ambiens* (Persoon) Fries

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:119, 1970

[備考] オウシュウクロハンノキ (*A. glutinosa*)・インカーナハンノキ (*A. incana*) に発生。病原菌の異名はヤナギ類腐らん病参照

(2) *Valsa ceratosperma* (Tode) Maire

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:106, 1970 ; 佐藤邦彦:コバノヤマハンノキの主要病害(林試東北支場):5, 1962

[備考] タニガワハンノキ (*A. inokumai*)・オウシュウクロハンノキ・ミヤマカワラハンノキ (*A. fauriei*) に発生。病原菌の異名はポプラ類腐らん病参照

(3) *Valsa salicina* (Persoon) Fries [*Cytospora fugax* (Bulliard) Fries]

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:117, 1970

[備考] タニガワハンノキ・オウシュウクロハンノキに発生

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease

Pestalotiopsis versicolor (Spegazzini) Steyaert [*Pestalotia versicolor* Spegazzini]

日野隆之:採集と飼育 26(12):355, 1964 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992

[備考] ヤシヤブシに発生

ぼうりん病 borin-byo (膨鱗病)

Taphrina amentorum (Sadebeck) Rostrup [*Exoascus alnitorquus* Sadebeck, *Taphrina alni-incanae* (J.G. Kühn) Magnus]

安田 篤:植物学各論隠花部:330, 1911(明 44) ; 白井光太郎:植物病理学(下):145, 1894(明 27)

[備考] ヤマハンノキ (*A. hirsuta* var. *sibirica*)・ケヤマハンノキに発生

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Phellinus igniarius (Linnaeus) Quélet キコブタケ

白井光太郎:植物病理学(下):154, 1900(明 33) ; 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:25, 1952

[備考] ケヤマハンノキ・ハンノキに発生。病原菌の異名はポプラ類の幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

(1) *Trametes hirsuta* (Wulfen) Pilát [*Coriolus hirsutus* (Wulfen) Quélet, *Polystictus hirsutus* Fries, *Polystictus nigromarginatus* Murrill, *Polystictus hirsutus* Fries f. *albidus* Lloyd, *Polystictus hirsutus* Fries f. *pores-adustus* Lloyd] アラゲカワラタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol. 2:745, 1987

[備考] ケヤマハンノキに発生

(2) *Stereum hirsutum* (Willdenow) Gray キウロコタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:438, 1933(昭 8)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):149, 1959

[備考] ヤチハンノキ・コバノヤマハンノキに発生。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

ビロード病 birodo-byo Erineum gall (絨毛病、毛氈病)

Eriophyes brevitarisus Focken

伊藤一雄:樹病学概論:113, 1960

とろけ病 toroke-byo (溶化病)

水, 養分の不時供給

白井光太郎:植物病理学(上)改訂版:136, 1900(明 33)

†裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, うどんこ病)

Ovulariopsis alni-formosanae Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾産菌類調査報告 6):83, 1933(昭 8)

[備考] 台湾。タイワンハンノキに発生

††††黒斑病 kokuhan-byo

††*Gnomoniella tubaeformis* (Tode) Saccardo [*Cylindrosporella alnea* Höhnelt, *Leptothyrium alneum* (Léveillé) Saccardo]

安田 篤:植物学各論隠花部:544, 1911(明 44); 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):325, 1917(大 6)

[備考] 国内発生に疑問

†葉枯病 hagare-byo

Passalora bacilligera Montagne & Fries

逸見武雄:植物分類地理 13(1):38, 1943(昭 18)

[備考] 朝鮮半島。シベリヤハンノキ (*A. sibirica*) に発生

††††

Mamiania fimbriata (Persoon) Cesati & De Notaris

原 攝祐:静岡県農会報 34(11):56, 1930(昭 5)

[備考] ヤシヤブシでの発生に疑問。調査を要する

††††

Mycosphaerella alni-viridis (De Notaris) Tomilin

Ito, K. & Shibukawa, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 92:76, 1956

[備考] ヤシヤブシに発生

††††

Mycosphaerella alni (Fuckel) Saccardo

Ito, K. & Shibukawa, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 92:76, 1956

[備考] ヤマハンノキに発生

††††

Pezicula livida (Berkeley & Broome) Rehm

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:86, 1968

[備考] オウシュウクロハンノキに発生

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] ハンノキ・サクラバハンノキ (*A. trabeculosa*) に発生

††††

Pseudohalenchus sp.

小野 馨:北方林業 17(5):157, 1965

[備考] オウシュウクロハンノキに発生。インカーナハンノキ側枝のこぶ。検討を要する

カンバ類(樺)

Birch

Betula spp.

(広葉樹)

ダケカンバ(岳樺) Erman's birch *B. ermanii* Cham.

ヨグソミネバリ(ミズメ)(水芽) *B. grossa* Sieb. & Zucc.

ウダイカンバ *B. maximowicziana* Regel

シラカンバ(白樺) *B. platyphylla* Sukaczew var. *japonica* (Miq.) Hara

胴枯ウイルス病 dogare-virus-byo (胴枯性ウイルス病, 胴枯病)

病原ウイルス未確認

伊藤一雄:樹病学大系 1:224, 1971 ; 伊藤一雄:図説樹病診断法:324, 1968

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe betulina* U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula betulae* Homma] (白渋病)

野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:362, 1937(昭 12) ;

大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012

[備考] ダケカンバ・アカカンバ (*B. ermanii* var. *subcordata*)・シラカンバ・ウダイカンバ・ヨグソミネバリに発生

(2) *Erysiphe ornata* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu var. *ornata*

丹田誠之助:日菌報 47(2):33, 2006

[備考] 接種試験未了。シラカンバに発生

(3) *Phyllactinia alni* Y.N. Yu & S.J. Han

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:236, 1997

[備考] シラカンバ・ダケカンバ・ヨグソミネバリに発生

(4) *Phyllactinia guttata* (Wallroth) Léveillé [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten sensu Homma, *Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma] (白渋病・裏白渋病)

出田 新:日本植物病理学(上):215, 1909(明 42) ; 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):35, 1976 ; 本間ヤス:札幌博物学会報 11(3):174, 1930(昭 5) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988

[備考] ダケカンバ・シラカンバ・コオノオレ・ヨグソミネバリに発生

(5) *Phyllactinia* sp.

平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1963

[備考] ダケカンバ・ウダイカンバに発生

枝枯病 edagare-byo Twig blight

Phomachora betulae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:48, 1958

[備考] シラカンバに発生

黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo Endothia canker

Cryphonectria havanensis (Bruner) M.E. Barr [*Endothia havanensis* Bruner]

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:96, 1977 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:139, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

大形褐斑病 ogata-kappan-byo

Calycellina leucella (P. Karsten) Dennis ex E. Müller [*Helotium leucellum* (P. Karsten) P. Karsten, *Pezizella leucella*

(P. Karsten) Saccardo]

Ito, K. & Shouji, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 248:89, 1972 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

[備考] シラカンバ・ウグイカンバに発生

褐斑病 kappan-byo Septoria leaf spot

Septoria chinensis Miura

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):188, 1959 ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:447, 1928(昭 3)

[備考] シラカンバ・ダケカンバ・ウダイカンバ・トウカンバに発生

菌核病 kinkaku-byo Sclerotial disease (実菌核病)

Ciboria betulae (Woronin) W.L. White [*Sclerotinia betulae* Woronichin]

安田 篤:植物学各論隠花部:342, 1911(明 44) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):7, 1959

[備考] シラカンバ・エゾノダケカンバに発生

銀葉病 gin'yo-byo Silver leaf (材白腐病)

Chondrostereum purpureum (Persoon) Pouzar [*Stereum purpureum* (Persoon) Fries] ムラサキウロコタケ

西田藤次:病虫雑 9(7):341, 1922(大 11)

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:36, 1977

[備考] 病原菌の異名はモクマオウくもの巣病参照

黒粒枝枯病 kurotsubu-edagare-byo Melanconis canker

(1) *Melanconis itoana* Tak. Kobayashi [*Melanconium itoanum* Tak. Kobayashi]

小林享夫:日林誌 53(3):57, 1971 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:19, 1970

[備考] ダケカンバ

(2) *Melanconis stilbostoma* Tulasne & C. Tulasne [*Melanconium bicolor* Nees]

小林享夫:日植病報 30(5):269, 1965

[備考] シラカバ・ダケカンバ・ウダイカンバ・ベルコサカンバ (*B. verrucosa*)・プベッセンスカンバ (*B. pubescens*)・パピリヘラカンバ (*B. papyrifera*) に発生

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot (材白腐病)

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:246, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類こふきたけ病参照

ゴドロニア胴枯病 Godronia-dogare-byo Godronia canker

Godronia multispora J.W. Groves

小林享夫:森林学(大政正隆編):246, 1978 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 10:705, 1973

[備考] コオノオレ (*B. davurica*) に発生

さび病 sabi-byo Rust (葉さび病, 銹病)

(1) *Blastospora betulae* S. Kaneko & Hiratsuka, f.

Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Mycologia 73:577, 1981 ; 金子 繁・平塚直秀:日林誌 66(7):280, 1984 ; Kakishima, M. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:187, 1993

[備考] ヨグソミネバリ・シラカンバ・ダケカンバ・ジゾウカンバ(*B. globispica*) に発生。本病原菌の精子・さび孢子世代はアスナロ、ヒノキアスナロ、ネズコなどに生じる

(2) *Melampsoridium betulinum* (Desmazières) Klebahn [*Melampsoridium betulae* (Schumacher) Arthur]
白井光太郎:植物病理学(下):117, 1894(明 27) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:272, 1910(明 43)
[備考] シラカンバ・ダケカンバ・ウダイカンバ・シコクダケカンバ・ポロナイカンバ・ヨグソミネバリ・
エゾノダケカンバに発生

縮葉病 shukuyo-byo Leaf curl

Taphrina betulina Rostrup

田中 潔:94 回日林論:563, 1983 ; 田中 潔:日菌報 29(3):205, 1988

[備考] ウダイカンバに発生

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Capnodium salicinum Montagne

出田 新:日本植物病理学(上):225, 1909(明 42)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類すす病参照

ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart チャイボタケ

高橋郁雄・高橋康夫:森林防疫 34(8):142, 1985

[備考] ダケカンバに発生

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病)

Taphrina betulicola Nishida

西田藤次:宮部博士記念植物襍説:109, 1911(明 44)

[備考] ダケカンバ・シラカンバに発生

胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker (フォモプシス胴枯病)

(1) *Diaporthe alleghaniensis* R.H. Arnold

小林享夫:植物防疫 27(1):30, 1973 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226, 1970

[備考] オウシュウシラカンバ (*B. pendula*) に発生

(2) *Diaporthe eres* Nitschke

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:67, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:30, 1975

[備考] ウダイカンバ・シラカンバに発生

(3) *Diaporthe melanocarpa* Dearness

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:67, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:34, 1975

[備考] シラカンバに発生

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (苗腐敗病)

Pythium debaryanum R. Hesse, *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn, *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):138, 1959

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病, 根枯病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

伊藤一雄:樹病:53, 1952

[備考] シラカンバ・ダケカンバ・ウダイカンバに発生。病原菌の異名はボプラ類ならたけ病参照。狭義の種名は未検討

灰斑病 haihan-byo

Monostichella sp.

堀江博道ら:森林防疫 24(4):72, 1975 ; 小林享夫・堀江博道:21 回日菌講:70, 1977

[備考] シラカンバに発生

葉枯病 hagare-byo

Cercospora sp.

小河誠司:日林九支研論 33:160, 1980

[備考] ヨグソミネバリに発生

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Fomes fomentarius* (Linnaeus) J. Kickx f. ツリガネタケ (ホクチタケ腐朽病)

新島善直:新編森林保護学(下):49, 1925(大 14)

[備考] 病原菌の異名はボブラ類幹心腐病参照

(2) *Inonotus obliquus* (Persoon) Pilát [*Fuscoporia obliqua* (Persoon) Aoshima, *Poria obliqua* (Persoon) Bresàdola] カバノアナタケ (心材白腐病)

小林義雄:植研雑 16(11):684, 1940(昭 15); 青島清雄:東大農演習林報 39:185, 1951; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol. 1:385, 1986

[備考] ダケカンバ・ウダイカンバに発生

(3) *Phellinus igniarius* (Linnaeus) Quélet キコブタケ(ニセホクチタケ) (白朽病, 白色腐朽病, ニセホクチタケ腐朽病)

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:336, 1910(明 43); 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:25, 1952

[備考] ダケカンバ・ウダイカンバに発生。病原菌の異名はボブラ類幹心腐病参照

(4) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer [*Trametes sanguinea* (Linnaeus) Lloyd] ヒイロタケ

安田 篤:植研雑 6(7):221, 1929(昭 4); 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):150, 1989

[備考] シラカンバに発生。病原菌の異名はシデ類幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

(1) *Piptoporus betulinus* (Bulliard) P. Karsten [*Polyporus betulinus* (Bulliard) Fries] カンバタケ (辺材褐腐朽病)

白井光太郎:植物病理学(下):156, 1900(明 33); 今関六也:東京科博研報 6:90, 1943(昭 18)

(2) *Trametes gibbosa* (Persoon) Fries オオチリメンタケ (オオチリメンタケ腐朽病)

逸見武雄・池屋重吉:日植病報 2(6):563, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はボブラ類幹辺材腐朽病参照

ビロード病 birodoby Erineum gall

Eriophyes rudis (Can.)

伊藤一雄:樹病学大系 3:355, 1974

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne mali Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ

小林享夫:林業と薬剤 57:9, 1976; 正司次男・瀬川幸三:森林防疫 22(2):59, 1973

[備考] ウダイカンバに発生

++枝枯ウイルス病 edagare-virus-byo Die back

病原ウイルス未確認

伊藤一雄:樹病学大系 1:224, 1971

[備考] 接木伝染性

+++がんしゅ病 ganshu-byo (癌腫病)

病原菌未同定

佐々木克彦:北方林業 36(8):211, 1984

[備考] ウダイカンバ・シラカンバに発生

++++苗疫病 nae-eki-byo

++*Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

原 攝祐:実験樹木病害篇:216, 1927(昭2)

[備考] 国内発生に疑問

シデ類
Hornbeam
Carpinus spp.
(広葉樹)

サワシバ (Carpinus) *C. cordata* Blume

クマシデ *C. japonica* Blume

アカシデ *C. laxiflora* (Sieb. & Zucc.) Blume

イヌシデ *C. tschonoskii* Maxim.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe carpinicola* (Hara) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula carpinicola* (Hara) Hara, *Uncinula geniculata* W.R. Gerard var. *carpinicola* Hara]

原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大4); 原 攝祐:樹病学各論:16, 1923(大12); 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012

[備考] アカシデ・イヌシデ・クマシデに発生

(2) *Erysiphe carpin-cordatae* (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula carpin-cordatae* Tanda & Nomura, *Uncinula pseudocarpinicola* Y. Nomura & Tanda]

Tanda, S. & Nomura Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):117, 1994; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:76, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012

[備考] サワシバに発生

(3) *Erysiphe fimbriate* S. Takamatsu, Masuya & Y. Nomura

Takamatsu, S. et al.: Mycoscience 49(3):188, 2008

[備考] アカシデに発生

(4) *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon

平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973

[備考] サワシバ・イヌシデに発生

(5) *Phyllactinia guttata* (Wallroth) Léveillé [*Phyllactinia* sp.]

和田久美子・平田幸治:新潟農研報 29:79, 1977; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964; Tanda, S. et al.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):268, 1995

[備考] サワシバ・イヌシデに発生

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia corylea (Persoon) P. Karsten

Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):174, 1930(昭5)

[備考] 中国東北部。サワシバ (*C. cordata*)

黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo Endothia canker

(1) *Cryphonectria nitschkei* (G.H. Otth) M.E. Barr [*Endothia nitschkei* G.H. Otth, *Endothia japonica* Tak. Kobayashi & Kaz. Ito, *Endothiella nitschkei* Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:143, 1970

[備考] イヌシデ

(2) *Cryphonectria radicalis* (Schweinitz) M.E. Barr [*Endothia radicalis* (Schweinitz) Cesati & De Notaris, *Endothia fluens* Shear & N.E. Stevens, *Endothiella fluens* (Sowerby) Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:136, 1970

[備考] クマシデ

(3) *Endothia tetraspora* Tak. Kobayashi

小林享夫:グリーンエージ 2(7):45, 1975 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 6(3):99, 1965

[備考] イヌシデ

がんしゅ病 ganshu-byo Trunk canker, Nectria canker

Nectria galligena Bresàdola

白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明 27)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類がんしゅ病参照

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:11, 1938(昭 13) ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

黒斑病 kokuhan-byo

Mamiania fimbriata (Persoon) Cesati & De Notaris

原 攝祐:樹病学各論:123, 1923(大 12)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Melampsoridium asiaticum* S. Kaneko & Hiratsuka, f.

Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Mycotaxon 18(1):1, 1983

[備考] アカシデ・イヌシデ

(2) *Melampsoridium carpini* (Fuckel) Dietel

白井光太郎:植物病理学(下):118, 1894(明 27) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:273, 1910(明 43) ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Mycotaxon 18(1):4, 1983

[備考] サワシバ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] クマシデ・アカシデ

すす紋病 susumon-byo

Cylindrosporella carpini (Libert) Höhnelt [*Leptostroma* sp., *Discophoma* sp.]

堀江博道ら:森林防疫 24(4):73, 1975 ; 堀江博道ら:森林防疫 26(3):37, 1977 ; Kaneko, S. & Kobayashi, T.:Mycoscience 43(2):181, 2002

[備考] サワシバ・アカシデ・イヌシデ・アサダ

炭疽病* tanso-byo Anthracnose*

Colletotrichum koyasuensis Miura

三浦密成:秋田農試報 13:14, 1962

[備考] サワシバに発生

葉枯病 hagare-byo (灰斑病, 炭疽病)

Monostichella robergei (Desmazières) Höhnelt [*Gloeosporium robergei* Desmazières]

小林享夫・堀江博道:21 回日菌講:70, 1977 ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):36, 1943(昭 18)
[備考] サワシバ・クマシデ

斑紋病* hammon-byo

Mycosphaerella maculiformis (Persoon) J. Schröter

出田 新:続日本植物病理学(上):297, 1925(大 14)

[備考] 病原菌の異名はヤナギ類斑紋病参照

幹心腐病 miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Fomes fomentarius* (Linnaeus) J. Kickx f. ツリガネタケ

新島善直:新編森林保護学(下):469, 1925(大 14)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

(2) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer [*Trametes sanguinea* (Linnaeus) Lloyd, *Polystictus sanguineus* (Linnaeus) Fries, *Polyporus sanguineus* Meyer] ヒイロタケ

安田 篤:植研雑 6(7):221, 1929(昭 4) ; 今関六也:東京科博研報 6:73, 1943(昭 18) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):150, 1989

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

Trametes gibbosa (Persoon) Fries オオチリメンタケ

逸見武雄・池屋重吉:日植病報 2(6):563, 1933(昭 8) ; 今関六也:東京科博研報 6:73, 1943(昭 18)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹辺材腐朽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] イヌシデ

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] アカシデ

(3) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] イヌシデ

††††てんぐ(天狗)巢病 tengusu-byo Witches' broom

††*Taphrina carpini* Rostrup

北島君三:樹病学及木材腐朽論:304, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

†灰斑病 haihan-byo

Septoria carpineae Davis

逸見武雄:植物分類地理 13:42, 1943(昭 18)

[備考] 朝鮮半島。イヌシデ(*C. tschonosckii*)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):210, 1987

[備考] イヌシデ・クマシデ (*C. japonica*)

ハシバミ類

Hazelnut

Corylus spp.

(広葉樹)

オオハシバミ(大榛) Chinese hazel, Japanese hazel *C. heterophylla* Fischer

ハシバミ(榛) *C. heterophylla* Fischer ex Besser var. *thunbergii* Blume

ツノハシバミ(角榛) *C. sieboldiana* Blume

オオツノハシバミ(大角榛) *C. sieboldiana* var. *mandshurica* (Maxim.) C. K. Schn.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病)

(1) *Erysiphe corylacearum* U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon, *Microsphaera hommae* U. Braun]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:230, 1933(昭 8); 出田 新:実用植物病理学:162, 1901(明 34); Braun, U.:Mycotaxon 15:124, 1982; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(4):225, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:53, 2012

[備考] ツノハシバミ・オオハシバミ・オオツノハシバミに発生

(2) *Microsphaera coryli* Homma

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:389, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):211, 1988

[備考] ハシバミ・ツノハシバミ・オオハシバミ・オオツノハシバミ・セイヨウハシバミ (*C. avellana*)に発生

裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, うどんこ病, 白渋病)

Phyllactinia guttata (Wallroth) Léveillé [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten sensu Homma]

出田 新:日本植物病理学:276, 1903(明 36); Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988

[備考] ツノハシバミ・オオツノハシバミに発生

汚斑病 ohan-byo Leaf spot (褐斑病)

Septoria corylina Peck

澤田兼吉:林試研報 105:58, 1958; 逸見武雄:植物分類地理 13:42, 1943(昭 18)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

[備考] ハシバミ

がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker (癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola

白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明 27); 出田 新:日本植物病理学(上):234, 1909(明 42)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類がんしゅ病参照

グノモニア葉枯病* *Gnomonia*-hagare-byo (黒斑病)

Gnomonia setacea (Persoon) Cesati & De Notaris

富樫浩吾:盛岡高農学術報 22:9, 1936(昭 11); 富樫浩吾:雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査 (岩手県):63, 1937(昭 12)

[備考] ハシバミ・ツノハシバミ

紅粒がんしゅ病* koryu-ganshu-byo Nectria canker (癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries [*Tubercularia vulgaris* Tode]

新島善直:日本森林保護学(下):505, 1912(明 45)

黒斑病 kokuhan-byo

Mamianiella coryli (Batsch) Höhnelt [*Mamiania coryli* (Batsch) Cesati & De Notaris, *Gnomoniella coryli* Batsch]
原 攝祐:樹病学各論:123, 1923(大 12) ; 出田 新:日本植物病理学(上):294, 1909(明 42) ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:168, 1970

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum coryli Komarov ex Jaczewski
大森順造・山田玄太郎:植物病理学:273, 1910(明 43) ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):228, 1981
[備考] ハシバミ・ツノハシバミ・オオツノハシバミ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984
[備考] ハシバミ・ツノハシバミ

すす紋病 susumon-byo

Cylindrosporella coryli (Fuckel) Arx [*Leptostroma* sp.]
堀江博道・小林享夫:東京農試研報 16:217, 1983 ; Kaneko, S. & Kobayashi, T.:Mycoscience 43(2):181, 2002
[備考] ハシバミ・ツノハシバミ

灰斑病 haihan-byo

Monostichella coryli (Desmazières) Höhnelt
堀江博道・小林享夫:東京農試研報 16:217, 1983
[備考] ハシバミ

葉枯病 hagare-byo

Cercospora sp.
小河誠司:日林九支研論 31:219, 1978
[備考] ツノハシバミ・*C. maxima*

葉ぶくれ病* habukure-byo Leaf blister (腫葉病, 膨葉病, 葉腫病)

Taphrina coryli Nishida
西田藤次:宮部植物学襍説:168, 1911(明 44)

斑点病 hanten-byo (斑紋病)

Mycosphaerella maculiformis (Persoon) J. Schröter
原 攝祐:実験樹木病害編:187, 1927(昭 2) ; 白井光太郎:植物病理学(下):191, 1894(明 27)
[備考] 病原菌の異名はシデ類斑点病参照

アサダ

Japanese hop hornbeam

Ostrya japonica Sarg.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:79, 1977 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12)

(2) *Phyllactinia ostryae* U. Braun [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten]

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:79, 1977 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭 12) ; 高松 進;三重大生資紀要 38:30, 2012

黒斑病* kokuhan-byo

Mamiania ostryae (Hennings) Theissen & Sydow [*Phyllachora ostryae* Hennings]

松村任三:帝国植物名鑑(上):160, 1904(明 37)

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Melampsoridium asiaticum S. Kaneko & Hiratsuka, f.

Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Mycotaxon 18(1):1, 1983

すす紋病 susumon-byo Sooty leaf spot

Cylindrosporella carpini (Libert) Höhnelt

Kaneko, S. & Kobayashi, T.:Mycoscience 43(2):181, 2002

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

Trametes gibbosa (Persoon) Fries オオチリメンタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:30, 1952

[備考] 病原菌の異名はポプラ類幹辺材腐朽病参照

ノウゼンカズラ科 Bignoniaceae

ノウゼンカズラ(凌霄花)

Trumpet creeper

Campsis grandiflora (Thunb.) Loisel.

(広葉樹)

††††

Phoma campsidis Tsukamoto & Katsuki [*Phoma* sp.]

塚本永治:日植病報 20(2-3):115, 1955 ; Tsukamoto, E. & Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 24(3):145, 1959

アメリカキササゲ

(Catalpa)

Catalpa bignonioides Walter

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Pseudoidium sp.

堀野龍介ら:日植病報 80(1):21, 2014

キササゲ(梓, 木豆)

Chinese Catalpa

Catalpa ovata G. Don.

(広葉樹)

枝枯病 edagare-byo

Macrophoma akitensis Togashi & Tsukamoto

Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17(3-4):123, 1953

褐色斑紋病 kasshoku-hammon-byo

Alternaria catalpae (Ellis & Martin) Parker [*Macrosporium catalpae* Ellis & G. Martin]

南部信方:病虫雑 7(5):268, 1920(大 9)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉枯病)

Colletotrichum sp.

南部信方:病虫雑 7(11):629, 1920(大 9)

とうそう病 toso-byo Spot anthracnose (黒痘病, 瘡痂病, 痘瘡病)

Sphaceloma tsujii Hara [*Sphaceloma catalpae* Kurosawa & Katsuki, *Sphaceloma* sp.]

常谷幸雄:日植病報 17(3-4):168, 1953 ; 常谷幸雄:植研雑 33(9):278, 1958

チタルパ

Chitalpa

× *Chitalpa tashkentensis* T.S. Elias & Wisura

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe elevata (Burrill) U. Braun & S. Takamatsu

堀野龍介ら:日植病報 79(1):33, 2013 ; 堀野龍介ら:日植病報 80(1):21, 2014

ヤカランダ(キリモドキ)

Green ebony fern tree

Jacaranda ovalifolia R. Br.

(広葉樹)

灰斑病 haihan-byo

Cercospora sp.

堀江博道ら:日植病報 42(3):353, 1976

センダンキササゲ(ステレオスペルマム)

China doll, Serpent tree, Emerald tree

Radermachera sinica (Hance) Hemsl.

(広葉樹)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

伊藤陽子ら:日植病報 77(1):69, 2011 ; 佐藤 衛ら:関西病虫研報 54:17, 2012

立枯病 tachigare-byo Fusarium rot

Fusarium solani (Martius) Saccardo

伊藤陽子ら:日植病報 77(1):69, 2011 ; 佐藤 衛ら:関西病虫研報 54:17, 2012

根腐病 negusare-byo Rhizoctonia rot

Rhizoctonia sp. (binucleate)

伊藤陽子ら:日植病報 77(1):69, 2011 ; 佐藤 衛ら:関西病虫研報 54:17, 2012

ラパチヨ(イペーロッシヨ)

Lapacho

Tabebuia avellanedae Lorenz

(広葉樹)

†褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Mycosphaerella brunneomaculans Tak. Kobayashi

小林享夫:森林防疫 34(1):11, 1985 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(3):255, 1984

[備考] パラグアイ。戻し接種未了

ベニノキ科 Bixaceae

ベニノキ

Orelean tree, Anatto tree

Bixa orellana L.

(広葉樹)

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium bixae Viégas

小林享夫ら:日植病報 59(3):292, 1993

[備考] インドネシア。接種試験未了

†褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora bixae Goh & Hsieh [*Cercospora bixae* sensu Sawada non Allescher & Noack]

澤田兼吉:台湾農事報 38(9):493, 1942(昭 17) ; Hsieh, W. H. & Goh, T. K.:*Cercospora* and similar fungi from Taiwan:44, 1990

[備考] 台湾

オキナタケ科 Bolbitiaceae

ヤナギマツタケ(柳松茸)

(Agrocybe)

Agrocybe cylindracea (de Candolle) Maire

[*Agrocybe aegerita* (V. Briganti) Singer]

(きのこ)

黒腐細菌病* kurogusare-saikin-byo Bacterial blotch

Pseudomonas tolaasii Paine 1919

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック増補改訂版:214, 1996

パンヤ科 Bombacaceae

キワタ

Cotton tree

Bombax malabaricum de Candolle

(広葉樹)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3) ; 藤黒與三郎:植物学雑誌 32(384):359, 1918(大 7) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾

††††

†*Cercospora bombacis* Goh & W.H. Hsieh [*Cercospora pachirae* sensu Sawada ex Katsuki non Chupp & Müller]

澤田兼吉:台湾大農専刊 8(台湾産菌類調査報告 11):222, 1959 ; Hsieh, W. H. & Goh, T. K.:*Cercospora* and similar fungi from Taiwan:44, 1990

[備考] 台湾。 *B. ceiba* に発生

カポック(シロキワタ)

Kapok tree, Silk cotton tree

Ceiba pentandra Gaertn.

(広葉樹)

††††褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

†*Pseudocercospora italica* (Curzi) Deighton [*Cercospora italica* Curzi]

Wahyuno, D. et al.:Jpn. J. Trop. Agr. 39(1):35, 1995

[備考] インドネシア

††††

†*Mycena cyanophos* Berkeley & M.A. Curtis f. *carolinensis* Kobayasi ナンヨウヤコウタケ

Kobayasi, Y.:Bot. Mag. Tokyo 53(628):161, 1939(昭 14)

[備考] ポナペ島

ドリアン

Durian

Durio zibethinus Murray

(果樹)

††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:39, 1977

[備考] タイ

††炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病)

(1) *Colletotrichum durionis* Koorders

(2) *Colletotrichum zibethianum* (Saccardo) Petrak

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:39, 1977

[備考] タイ。von Arx (Phytopath. Z. 29(4):413, 1957) は本種を *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzing & Saccardo の異名同種に含めている

†根腐病 negusare-byo Root rot

Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler

鈴木孝仁ら:日植病報 43(1):106, 1977

[備考] タイ

††葉斑病 yohan-byo Leaf spot

(1) *Botryodiplodia* sp.

(2) *Gloeosporium* sp.

(3) *Pestalotia* sp.

(4) *Phyllosticta durionis* Zimmermann

(5) *Rhizoctonia* sp.

渡辺龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:39, 1977

[備考] タイ

パキラ

Guiana-chestnut

Pachira aquatica Aubl.

(広葉樹)

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot

Pythium splendens Hans Braun

Tojo, M. *et al.*:Plant Disease 88(1):84, 2003 ; 黒田克利ら:日植病報 70(3):215, 2004

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

ムラサキ科 Boraginaceae

ルリジサ(ボラジ)

Common borage

Borago officinalis L.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

山本孝猷ら:四国植防 29:65, 1994

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

窪田昌春・太田 泉:日植病報 77(3):148, 2011 ; 窪田昌春・太田 泉:関西病虫研報 53:150, 2011

シナワスレナグサ

Chinese forget-me-not

Cynoglossum amabile Stapf & J. R. Drumm.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

エキウム

(Echium)

Echium wildpretii Pearson ex Hook.

(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

田中(三輪)千華ら:日植病報 73(3):180, 2007

チシャノキ

(Ehretia)

Ehretia ovalifolia Hassk.

(広葉樹)

褐色さび病 kasshoku-sabi-byo Brown rust (銹病, 褐色銹病)

Uredo ehretiae Barclay

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):391, 1919(大 8) ; Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 7:266, 1956

[備考] チシャノキ・タイワンマルバチシャノキ (*E. dicksonii* var. *typica*)・マルバチシャノキ (*E. macrophylla*)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Phakopsora ehretiae Hiratsuka, f. [*Bubakia ehretiae* Ito ex Ito & Homma, *Schroeteriaster ehretiae* Sydow, P. Sydow & E.J. Butler]

安田 篤:植物学各論隠花部:427, 1911(明 44) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 14(161):92, 1900(明 33)

[備考] チシャノキ・マルバチシャノキ・タカサゴチシャノキ (*E. taiwaniana*)・台湾ンマルバチシャノキ・リュウキュウチシャノキ (*E. dicksonii* var. *liukuensis*)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uromyces garanbiensis (Hiratsuka, f. & Hashioka) Sawada [*Uredo garanbiensis* Hiratsuka, f. & Hashioka]

澤田兼吉:台湾博物学会報 33(232):10, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):242, 1935(昭 10)

[備考] 台湾。台湾ンマルバチシャノキ (*E. dicksonii*)

すすかび斑点病 susukabi-hanten-byo (斑点病)

Cercospora ehretiae Togashi & Katsuki

Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):20, 1945

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

保 虎太郎:病虫雑 23(12):956, 1936(昭 11)

[備考] フクマンギ

†斑点病 hanten-byo

Macrophoma ehretiae Cooke & Massee

安田 篤:植物学各論隠花部:537, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):151, 1904(明 37)

[備考] 台湾。台湾ンチシャノキ (*Ehretia formosana*)

††††

†*Cercospora ehretiae* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):192, 1959

[備考] 台湾。台湾ンマルバチシャノキ

ムラサキ(紫草)

Lithospermum plant

Lithospermum erythrorhizon Sieb. & Zucc.

(特用作物)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

岡本 博・伊阪実人:日植病報 50(3):392, 1984

モンパノキ

(Messerschmidia)

Messerschmidia argentea (Linn. f.) Johnston

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust
Uromyces tairae Hiratsuka, f.
Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(646):374, 1940(昭 15)

ワスレナグサ(ワスルナグサ)
Forget-me-not
Myosotis scorpioides L.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955
[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

輪紋モザイク病 rimmon-mosaic-byo
Alfalfa mosaic virus (AMV) アルファルファモザイクウイルス
與良 清ら:日植病報 30(5):293, 1965
[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
本間善久:四国植防 11:131, 1976
[備考] 分生子の発芽管の形状は *Erysiphe polygoni* 型である

さび病 sabi-byo Rust
Thekopsora brachybotrydis Tranzschel
平塚直秀:植物研究雑誌 11:331, 1935(昭 10) ; 平塚直秀:東京教大農紀 5:134, 1958
[備考] いずれも接種試験未了

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
高野喜八郎:北陸病虫研報 29:81, 1981

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ
鎗木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)
(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970
[備考] 接種試験の結果

ロシアコンフリー(ロシアムラサキ, コンフリー)
Russian comfrey
Symphytum peregrinum Ledeb.
(特用作物)

黒根病 kurone-byo Root rot
Thielaviopsis basicola (Berkeley & Broome) Ferraris

向 秀夫ら:日植病報 33(5):347, 1967

葉枯病 hagare-byo

Stemphylium sp.

西原夏樹・但見明俊:日植病報 29(5):259, 1964

[備考] 病原は *S. botryosum* Wallroth に近似

キュウリグサ

Trigonotis peduncularis (Trevir.) Benth. ex Hemsl.

(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Euoidium sp.

Meeboon, J. & Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 56:243, 2015

[備考] 接種試験未了

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae

アラビス(ハタザオ類)

Rose rock cress, Coast rock cress

Arabis blepharophylla Hook. & Arn.

(草花)

ハクサンハタザオ *A. gemmifera* (Matsum.) Makino

ウイルス病* virus-byo Virus

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

吉澤 峻ら:日植病報 83(1):35, 2017

[備考] ハクサンハタザオに無病徴感染

(2) *Pelargonium zonate spot virus* (PZSV) ペラルゴニウム帯状斑点ウイルス

Kamitani, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(5):329, 2017

[備考] ハクサンハタザオに発生

†††灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

君島悦夫ら:日植病報 64(4):433, 1998 ; 君島悦夫ら:植防研報 35:93, 1999

ワサビダイコン

Horseradish

Armoracia rusticana Gaertn., Mey. & Scherb.

(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cauliflower mosaic virus* (CaMV) カリフラワーモザイクウイルス

夏秋知英ら:日植病報 46(3):413, 1980

[備考] 戻し接種なし

(2) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

大島信行・田中一郎:日植病報 18(3-4):145, 1954 ; 上原武茂ら:関東病虫研報 13:48, 1966 ; 夏秋知英ら:日植病報 46(3):413, 1980 ; 土崎常男ら:北海道農試研報 131:71, 1981

[備考] 戻し接種なし

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe cruciferarum Opiz ex L. Junell

丹田誠之助・須賀里絵:東農大農学集報 47(3):141, 2002

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria brassicae (Berkeley) Saccardo

我孫子和雄ら:関西病虫研報 30:75, 1988

白さび病 shirosabi-byo White rust

Albugo sp.

萩田孝志ら:北日本病虫研報 52:252, 2001, 萩田孝志ら:北海道立農試集報 82:83, 2002

バーティシリウム黒点病 *Verticillium*-kokuten-byo Black spot

Verticillium dahliae Klebahn

島貫忠幸ら:日植病報 59(3):285, 1993

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

††††

Cercospora armoraciae Saccardo

Nakashima, C. *et al.*:Mycoscience 47:48, 2006

[備考] 接種試験未了

カラシナ(芥菜)

Leaf mustard

Brassica juncea (L.) Czern. Cernua Group

(野菜)

タカナ Brown mustard *Brassica juncea* (L.) Czern. Integrifolia Group

ウイルス病 virus-byo Virus

Beet western yellows virus (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス

大木 理ら:日植病報 43(3):373, 1977

[備考] タカナに発生。戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

(2) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

吉井 甫:植物病害研究 4:17, 1951 ; 岩田吉人ら:三重大農学報 13:19, 1956 ; 梶原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965

[備考] 吉井の報告は、タカナでの発生。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Rhizobacter dauci Goto & Kuwata 1988

Kawarazaki, H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(3):235, 2009

[備考] カラシナに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium matthiolae Rayss [*Erysiphe cruciferarum* Opiz ex L. Junell, *Oidium* sp., *Erysiphe polygoni* de Candolle]

桜井 寿・中村広明:日植病報 33(2):88, 1967 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012

[備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

瓦谷光男ら:日植病報 73(1):21, 2007

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IC

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora parasitica (Persoon) Fries

佐藤 衛ら:北日本病虫研報 51:21, 2004:佐藤 衛ら:日植病報 70(3):214, 2004

[備考] レッドアジアンマスタード (*Brassica juncea*) に発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

縁腐れ症 fuchi-gusare-sho

カルシウム欠乏

中島靖之:今月の農薬 21(10):67, 1977

††††葉腐病 hagusare-byo Foliar rot

†*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

Yang, Gen-Hua *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(5):377, 2005

[備考] 菌糸融合群 AG-1B。Chinese mustard (*Brassica juncea* (L.) Czern. var. *rugosa*) に発生。中国・雲南省

ルタバガ(スエーデンカブ, 瑞典蕪菁)

Rutabaga, Swedish turnip

Brassica napus L. Napobrassica Group

(牧草・芝草)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Turnip mosaic virus (TuMV) カブモザイクウイルス

吉井 甫ら:九病虫研会報特別報告 1:1, 1963

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939

成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas maculicolum* (McCulloch) Stevens]

成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (白腐病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

馬場徹代:北海道立農試集報 2:23, 1958

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe* sp.

成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

[備考] 病原菌は *E. polygoni* de Candolle ではないかとみられるが未決定

(2) *Oidium matthiolae* Rayss [*Erysiphe cruciferarum* Opiz ex L. Junell]

Amano (Hirata), K.: Host range and geographical distribution of the powdery mildew fungi:741, 1986 ; 高松 進:
三重大生資紀要 38:44, 2012

[備考] 病原の完全世代は我が国では未記録

黒すす病 kurosusu-byo Alternaria sooty spot

Alternaria brassicicola (Schweinitz) Wiltshire

成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria brassicae (Berkeley) Saccardo

成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

白さび病 shirosabi-byo White rust

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito

成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

根くびれ病 nekubire-byo

Aphanomyces raphani J.B. Kendrick

成田武四:農業技術 16(12):572, 1961 ; 成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

根こぶ病 nekobu-byo Clubroot

Plasmodiophora brassicae Woronin

成田武四:農業技術 16(12):572, 1961

白斑病 hakuhan-byo Leaf spot

Cercospora brassicae (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt

成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

[備考] 病原菌の異名はナタネ白斑病参照

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

柄内吉彦・宇井格生:農及園 29(4):556, 1954

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora brassicae Gäumann

成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

成田武四:北海道における農作物病害:213, 1977

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ
岩田健一:北農 5(11):553, 1938
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

ハボタン
Flowering cabbage
Brassica oleracea L. Acephala Group
(草花)

黒腐病 kurogusare-byo Black rot
Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939
神頭武嗣ら:日植病報 69(4):422, 2003

萎黄病 io-byo Yellows
Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *conglutinans* W.C. Snyder & H.N. Hansen
堀江博道ら:関東病虫研報 37:119, 1990

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Erysiphe cruciferarum Opiz ex L. Junell
丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999
[備考] マルバハボタン *B. oleracea* L. var. *acephala* DC.

疫病 eki-byo Phytophthora rot
Phytophthora cryptogea Pethybridge & Lafferty
月星隆雄ら:日植病報 72(4):207, 2006

黒斑病 kokuhan-byo Black spot
Alternaria brassicicola (Schweinitz) Wiltshire
西川盾士:日植病報 72(4):200, 2006

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
杉山 悟ら:北日本病虫研報 58:193, 2007
[備考] 菌糸融合群 AG-4

葉腐病 hagusare-byo Rhizoctonia rot
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
庄司俊彦ら:日植病報 68(1):66, 2002
[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IA

バーティシリウム萎凋病 *Verticillium*-icho-byo Verticillium wilt
Verticillium nigrescens Pethybridge
神頭武嗣ら:日植病報 73(1):62, 2007

べと病 beto-byo Downy mildew
Peronospora parasitica (Persoon) Fries
本間宏基・飯嶋宏幸:関東病虫研報 40:77, 1993

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

鏑木外岐雄:実用園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

カイラン

Ornamental Cabbage

Brassica oleracea L. Alboglabra Group

(野菜)

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora parasitica (Persoon) Fries

佐藤 衛・福本文良:関西病虫研報 37:37, 1995

カリフラワー(ハナヤサイ, 花椰菜)

Cauliflower

Brassica oleracea L. Botrytis Group

(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cauliflower mosaic virus* (CaMV) カリフラワーモザイクウイルス

栃原比呂志:日植病報 25(4):187, 1960; 栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965; 栃原比呂志:日植病報 33(3):195, 1967

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

栃原比呂志:作物ウイルス病事典:351, 1993

(3) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939 [*Pseudomonas campestris* (Pammel) Smith, *Bacterium campestris* (Pammel) Smith]

上田栄次郎:病虫雑 1(1):20, 1914(大3); 瀧元清透:病虫雑 15(10):535, 1928(昭3)

黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial black spot (斑点病, 発疹性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium maculicola* McCulloch]

村田壽太郎:病虫雑 2(11):975, 1915(大4); 瀧元清透:九大農学芸雑誌 4(5):545, 1931(昭6)

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot, Slimy soft rot (白腐病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15:79, 1928(昭3); 北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:92, 1961-1962

萎黄病 io-byo Yellows

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *conglutinans* W.C. Snyder & H.N. Hansen

飯嶋 勉:東京農試研報 57, 1971

黒すす病 kurosusu-byo Black leaf spot
Alternaria brassicicola (Schweinitz) Wiltshire
神頭武嗣ら:日植病報 81(3):210, 2015

根こぶ病 nekobu-byo Clubroot
Plasmodiophora brassicae Woronin
我孫子和雄ら:関西病虫研報 30:75, 1988

べと病 beto-byo Downy mildew
Peronospora parasitica (Persoon) Fries
佐藤 衛・堀内誠三:日植病報 65(6):639, 1999

輪紋病 rimmon-byo Ring spot
Asteromella brassicae (Chevallier) Boerema & Kesteren
堀正太郎:蔬菜及び花卉の病害 54, 1930(昭 5) [石井勇義編:園芸病虫害 総論・防除法 (総合園芸体系 2), 実際園芸社]; 堀正太郎:蔬菜及び花卉の病害 320, 1931(昭 6) [石井勇義編:園芸病虫害 総論・防除法 (総合園芸体系 12), 誠文堂]
[備考] 完全世代 *Mycosphaerella brassicicola* は我が国では未記録

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975
[備考] 接種試験の結果

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion
(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964
[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある
(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ
山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968
[備考] 接種試験の結果
(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966
[備考] 接種試験の結果
(4) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970
[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976
(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976
(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976
(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

ほう素欠乏症 hoso-ketsubo-sho Boron deficiency

ほう素欠乏

岩田正利ら:園芸学雑 37(2):155, 1968

キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍)

Cabbage

Brassica oleracea L. Capitata Group (= var. *capitata* L.)

(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cauliflower mosaic virus* (CaMV) カリフラワーモザイクウイルス

栃原比呂志:日植病報 25(4):187, 1960 ; 栃原比呂志:日植病報 33(3):195, 1967

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965

(3) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

手塚信夫・石井正義:野菜試報 A11:71, 1983

黒腐病 kurogusare-byo Black rot (黒色腐敗病, 腐敗病)

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939 [*Pseudomonas campestris* (Pammel) Smith]

半沢 洵:北海道農会報 1(9):1, 1901(明 34) ; 山田玄太郎・大森順造:植物病理学:193, 1904(明 37)

黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial blight (細菌性黒斑病, 斑点病)

(1) *Pseudomonas cannabina* pv. *alisalensis* (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 [*Pseudomonas syringae* pv. *alisalensis* Cintas, Koike & Bull 2002]

高橋冬実・瀧川雄一:日植病報 78(3):274, 2012 ; Takahashi, F. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):260, 2013

(2) *Pseudomonas syringae* pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas maculicolum* (McCulloch) Stevens]

村田壽太郎:病虫雑 2(11):975, 1915(大 4) ; 中田覺五郎:作物病害図編:424, 1934(昭 9) ; 中田覺五郎ら:作物病害図編:279, 1957

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Rhizobacter dauci Goto & Kuwata 1988

河原崎秀志ら:日植病報 78(4):293, 2012

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot, Slimy soft rot (白腐病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003

[*Pseudomonas destructans* Potter, *Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

出田 新:日本植物病理学:894, 1903(明 36) ; 明日山秀文ら:作物病虫害ハンドブック:427, 1955

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Xanthomonas campestris pv. *raphani* (White 1930) Dye 1978

田村勝徳ら:日植病報 53(1):121, 1987 ; 田村勝徳ら:日植病報 60(3):281, 1994

腐敗病 fuhai-byo Soft rot

(1) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

後藤正夫:農及園 31(11):1547, 1956 ; 陶山一雄ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 陶山一雄・大林延夫:植物防疫

36(2):68, 1982

(2) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

陶山一雄ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 陶山一雄・大林延夫:植物防疫 36(2):68, 1982

萎黄病 io-byo Yellows

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *conglutinans* W.C. Snyder & H.N. Hansen

逸見武雄・石上孔一:農及園 28(11):1276, 1953 ; Hemmi, T.:Jubilee Publication in Commemoration of the Sixtieth Birthday of Prof. Y. Tochihara and Prof. T. Fukushi 4, 1955

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Oidium matthiolarum Rayss [*Erysiphe cruciferarum* Opiz ex L. Junell, *Oidium* sp., *Erysiphe polygoni* de Candolle]

沢村健三:日植病報 22(3):166, 1957 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012

[備考] 病菌の完全世代は我が国では未記録

株腐病 kabugusare-byo Head rot

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

星 秀男ら:日植病報 61(3):218, 1995 ; 星 秀男ら:東京農試研報 27:17, 1997 ; 三澤知央・青木元彦:日植病報 83(1):71, 2017 ; Misawa, T. & Aoki, M.:New Dis. Rep. 36:12, 2017

[備考] 星ら(1995)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, 星ら(1997)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型 IIを報告した。三澤・青木(2017)と Misawa & Aoki (2017)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IC

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

澤田兼吉:台灣農試特別報告:483, 1912(大 1)

黒すす病 kurosusu-byo Alternaria sooty spot

Alternaria brassicicola (Schweinitz) Wiltshire [*Alternaria circinans* (Berkeley & M.A. Curtis) P.C. Bolle, *Alternaria oleracea* Milbrath]

吉井 甫:病虫雑 28(1):14, 1941(昭 16) ; 吉井 甫:日植病報 2(3):301, 1930(昭 5)

こうがいかび病 kogai-kabi-byo Choanephora rot

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 43:9, 2001

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria brassicae (Berkeley) Saccardo

吉井 甫:日植病報 2(3):301, 1930(昭 5) ; 吉井 甫:病虫雑 28(1):14, 1941(昭 16)

先枯病 sakigare-byo Bud blight

(1) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo

(2) *Fusarium semitectum* Berkeley & Ravenel

窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 41:17, 1999

白さび病 shirosabi-byo White rust

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito

小島銀吉:作物病害篇:99, 1892(明 25) ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物会報 14:17, 1935(昭 10)

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (株腐れ)

(1) *Pythium megalacanthum* de Bary

窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 63(3):203, 1997 ; 窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 64(4):323, 1998

(2) *Pythium zingiberis* M. Takahashi

窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 42:52, 2000

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

向 秀夫ら:日植病報 41(1):82, 1975 ; 岸 國平:野菜の病害虫:252, 1976 ; 佐山 玲:北日本病虫研報 51:54, 2000

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

根朽病 nekuchi-byo Black leg (潰瘍病, 黒脚病)

Phoma lingam (Tode) Desmazières

村田壽太郎:病虫雑 3(10):799, 1916(大 5) ; 栗林数衛:病虫雑 8(3):129, 1921(大 10)

[備考] 完全世代 *Leptosphaeria maculans* は我が国では未記録

根こぶ病* nekobu-byo Clubroot (根瘤病, 指趾病)

Plasmodiophora brassicae Woronin

小島銀吉:作物病害篇:79 および 100, 1892(明 25) ; 白井光太郎:植物病理学(下):41, 1894(明 27)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

村越重雄:新しい病害虫 1981

バーティシリウム萎凋病 Verticillium-icho-byo Verticillium wilt

(1) *Verticillium dahliae* Klebahn

北沢健治・柳田騏策:日植病報 47(1):99, 1981 ; 酒井 宏ら:日植病報 67(2):160, 2001

[備考] 北澤・柳田(1981)が報告した *V. dahliae* は *V. longisporum* である

(2) *Verticillium longisporum* (C. Stark) Karapapa, Bainbridge & Heale

酒井 宏ら:日植病報 67(2):160, 2001

ピシウム腐敗病 Pythium-fuhai-byo Pythium rot

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

森 充隆ら:関東病虫研報 43:63, 1996

(2) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

中筋智子ら:日植病報 71(3):210, 2005 ; Kubota, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 72(2):123, 2006 ; 池田健太郎ら:日植病報 76(3):157, 2010 ; 池田健太郎ら:日植病報 77(1):28, 2011

[備考] 池田ら(2010, 2011)は本病菌が結球期の茎腐敗症状を引き起こすとした

(3) *Pythium* sp.

森 充隆ら:関東病虫研報 43:63, 1996

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora parasitica (Persoon) Fries [*Peronospora brassicae* Gäumann]

原 攝祐:農及園 1(1):48, 1926(大 15)

輪紋病 rimmon-byo Ring spot

Asteromella brassicae (Chevallier) Boerema & Kesteren

堀正太郎:蔬菜及び花卉の病害 54, 1930(昭 5) [石井勇義編:園芸病虫害 総論・防除法 (総合園芸体系 2), 実録園芸社] ; 堀正太郎:蔬菜及び花卉の病害 320, 1931(昭 6) [石井勇義編:園芸病虫害 総論・防除法 (総合園芸体系 12), 誠文堂]

[備考] 完全世代 *Mycosphaerella brassicicola* は我が国では未記録

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

(2) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験の結果

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

(4) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病, 根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] 接種試験の結果。 *M. mali* として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

石灰欠乏症 sekkai-ketsubo-sho Calcium deficiency

カルシウム欠乏

堀 裕ら:園芸学雑 27(4):221, 1958 ; 堀 裕ら:園芸学雑 2(4):267, 1959

ナニ苗立枯病 konae-tachigare-byo Damping-off (立枯病, 苗立枯病)

Olpidium brassicae (Woronin) P.A. Dangeard

白井光太郎:植物病理学(下):56, 1894(明27) ; 山田玄太郎・大森順造:植物病理学:200, 1904(明37)

[備考] 国内発生未詳

††††

Alternaria cheiranthi (Libert) P.C. Bolle
遠山 明ら:日植病報 57(1):98, 1991
[備考] キャベツ種子から分離された

コールラビ(カブキャベツ)
Kohlrabi
Brassica oleracea L. Gongylodes Group
(野菜)

べと病 beto-byo Downy mildew
Peronospora parasitica (Persoon) Fries
佐藤 衛ら:北日本病虫研報 53:77, 2002

ブロッコリー
Broccoli
Brassica oleracea L. Italica Group
(野菜)

モザイク病* mosaic-byo Mosaic
(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
栃原比呂志:作物ウイルス病事典:353, 1993
(2) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス
藤沢一郎・石井正義:日植病報 51(1):81, 1985

花蕾腐敗病 karai-fuhai-byo Head rot
(1) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003
[*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]
堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000
(2) *Pseudomonas cannabina* pv. *alisalensis* (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010
石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016
(3) *Pseudomonas fluorescens* (Trevisan 1889) Migula 1895
堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000
(4) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939
堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000

黒腐病 kurogusare-byo Black rot
Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939
酒井 宏ら:日植病報 72(2):116, 2006

++++黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo
Pseudomonas cannabina pv. *alisalensis* (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010
Ishiyama, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):155, 2013 ; 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016
[備考] 病徴, 病名および病原同定についての明確な記載は見出だせないが, 実態として本病の存在は既知と判断する

軟腐病* nampu-byo Soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

土屋健一ら:日植病報 52(1):107, 1986 ; 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000

腐敗病* fuhai-byo Head rot

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

坂本恵子ら:日植病報 64(4):374, 1998

株腐病 kabugusare-byo Foot rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

三澤知央・國永史朗:日植病報 75(1):87, 2009 ; Misawa, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(1):15, 2015

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IV

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Sclerotinia white mold

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

佐古 勇ら:関東病虫研報 55:45, 2008

黒すす病 kurosusu-byo Alternaria sooty spot

Alternaria brassicicola (Schweinitz) Wiltshire

漆原寿彦・酒井 宏:日植病報 72(1):52, 2006

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium megalacanthum* de Bary

楠 幹生・窪田昌春:日植病報 82(1):55, 2016

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 39:33, 1997 ; 窪田昌春ら:関西病虫研報 51:27, 2009 ; 窪田昌春ら:日植病報 75(3):238, 2009 ; 山内智史ら:北日本病虫研報 60:105, 2009 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 64:60, 2013

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB。窪田ら(2009)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IC。山内ら(2009)の病原は菌糸融合群 AG-4, 亜群 HG-I。三澤ら(2013)の病原は菌糸融合群 AG-2-1

ピシウム腐敗病 *Pythium-fuhai-byo* Pythium rot

Pythium ultimum Trow var. *ultimum*

窪田昌春ら:日植病報 60(6):776, 1994

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora parasitica (Persoon) Fries [*Peronospora brassicae* Gäumann]

佐藤 衛ら:関西虫研報 33:67, 1991

輪紋病 rimmon-byo

Asteromella brassicae (Chevallier) Boerema & Kesteren

粕山新二ら:日植病報 56(1):123, 1990

[備考] 完全世代 *Mycosphaerella brassicicola* は我が国では未記録

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966

[備考] 接種試験の結果

++++根こぶ病 nekobu-byo Clubroot

病原未記載

池上八郎:岐阜大農研報 38:11, 1975 ; 池上八郎:植物防疫 32(2):57, 1978

[備考] 池上(1978)はアンケートによる発生調査, 池上(1975)は汚染圃場に定植して発病。病原体の同定に関する記載なし

++++

Verticillium dahliae Klebahn

萩原 廣・竹内昭士郎:日植病報 46(3):395, 1980

タイサイ類(パクチョイ, シャクシナ, チンゲンサイ)

Chinese cabbage

Brassica rapa L. Chinensis Group

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

Beet western yellows virus (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス

大木 理ら:日植病報 43(3):373, 1977

[備考] 戻し接種なし

えそモザイク病 eso-mosaic-byo

Turnip mosaic virus (TuMV) カブモザイクウイルス

善林六朗ら:日植病報 55(4):532, 1989

[備考] チンゲンサイ (*B. rapa* Chinensis Group)に発生。戻し接種なし

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939

伊藤佐弥香ら:日植病報 68(2):255, 2002 ; 伊藤佐弥香ら:日植病報 69(4):407, 2003

[備考] チンゲンサイ (*B. rapa* Chinensis Group) に発生

軟腐病 nampu-byo Soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

Khorshed Alam, S. M. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(1):46, 1999

[備考] パクチョイに発生

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

佐山 玲ら:北日本病虫研報 52:59, 2001

[備考] チンゲンサイ (*B. rapa* Chinensis Group) に発生

萎黄病 io-byo Yellows

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *rapae* J. Enya, M. Togawa, T. Takeuchi & T. Arie

竹内妙子・香川晴彦:日植病報 60(6):748, 1994 ; Enya, J. *et al.*:Phytopathology 98:475, 2008

[備考] パクチョイ・チンゲンサイ (*B. rapa* Chinensis Group)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):313, 1914(大 3) ; 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 43:67, 1996

[備考] 竹内・堀江 (1966) はチンゲンサイ (*B. rapa* Chinensis Group) で報告

尻腐病 shirigusare-byo Bottom rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

前川和正ら:日植病報 65(6):680, 1999

[備考] 菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II。チンゲンサイに発生

白さび病 shirosabi-byo White rust (ひぶくれ病)

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito

伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物会報 14:17, 1935(昭 10) ; 堀江博道・菅田重雄:東京農試研報 13:31, 1980 ;

佐藤豊三:農業技術 46(11):489, 1991

[備考] 佐藤(1991)では、病原種未同定でチンゲンサイでの報告

白斑病 hakuhan-byo

Pseudocercospora capsellae (Ellis & Everhart) Deighton [*Cercospora brassicae* (Fautrey & Roumeguere)

Hohnel, *Cercospora albomaculans* (Ellis & Everhart) Saccardo]

園 孝次郎:農業国 3(9):47, 1908(明 41) ; 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959 ; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959

ピシウム腐敗病 Pythium-fuhai-byo Pythium rot

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

(2) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

谷名光治ら:日植病報 68(2):187, 2002 ; Tanina, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(3):188, 2004

[備考] チンゲンサイに発生

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] タイサイ。接種試験の結果

++++立枯病 tachigare-byo

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

佐藤豊三:農業技術 46(11):489, 1991

[備考] パクチョイ(タイサイ)に発生。病原菌の同定不十分

++++炭疽病 tanso-byo

病原種名未定

佐藤豊三:農業技術 46(11):489, 1991

[備考] チンゲンサイに発生。病名のみで、病原菌の同定不十分

++++葉腐病 hagusare-byo Foliar rot

†*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

Yang, Gen-Hua *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(5):377, 2005

[備考] 菌糸融合群 AG-1B。パクチョイに発生。中国・雲南省

キョウナ(ミズナ)

Chinese cabbage
Brassica rapa L. Japonica Group
(野菜)

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

白川 隆・山内智史:関東病虫研報 56:9, 2009

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *conglutinans* W.C. Snyder & H.N. Hansen

金田真人ら:日植病報 78(3):186, 2012

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

小野 剛・河野 章:関東病虫研報 54:35, 2007

白さび病 shirosabi-byo White rust (ひぶくれ病)

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito

伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物会報 14:17, 1935(昭 10) ; 堀江博道・菅田重雄:東京農試研報 13:31, 1980

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Pythium sp.

福西 務ら:日植病報 59(3):288, 1993

[備考] ミズナ (キョウナ) (*B. rapa* Japonica Group)

リゾクトニア病 *Rhizoctonia*-byo *Rhizoctonia* blight (尻腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

栄森弘己・竹内 純:関東病虫研報 51:61, 2004 ; 瓦谷光男ら:日植病報 73(1):21, 2007 ; 三澤知央・泉 咲子:日植病報 78(1):61, 2012 ; 三澤知央:北日本病虫研報 63:87, 2012

[備考] 菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II(栄森ら, 2004), および AG-1 IC(瓦谷ら, 2007)。三澤・泉 (2012) は尻腐病からリゾクトニア病に病名変更

ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔)

Rape

Brassica rapa L. Oleifera Group

(特用作物, 野菜)

ナバナ(洋種ナタネ) *B. napus* L.

ハナナ(ナバナ) *B. rapa* L. Pekinensis Group

萎縮病 ishuku-byo Dwarf

ウイルス (未同定)

後藤和夫・大畑貫一:日植病報 17(3-4):152, 1953

[備考] 洋種ナタネに発生

黒竹病 kurochiku-byo

ウイルス (未同定)

鑄方末彦・田口重良:病虫雑 20(2):126, 1933(昭 8)

[備考] *Turnip mosaic virus* (TuMV カブモザイクウイルス)の系統やアブラナ科植物の種類によっては黒竹病と同様な症状を示すことがある

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

奥山 哲ら:三重大農学報 8:4, 1954

[備考] 在来ナタネに発生

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

土居養二ら:日植病報 15(3-4):173, 1951

黒腐病 *kurogusare-byo* Black rot

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939 [*Pseudomonas campestris* (Pammel) Smith]
白井光太郎:細菌植物病理学:259, 1903(明 36)

黒斑細菌病* *kokuhan-saikin-byo* Bacterial leaf spot (細菌性黒斑病, 黒竹病)

Pseudomonas syringae pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas maculicolum* (McCulloch) Stevens, *Bacterium maculicola* McCulloch]

ト蔵梅之丞:病虫雑 18(8):433, 1931(昭 6) ; 中田覺五郎:作物病害図編:189, 1934(昭 9)

[備考] 新家積蔵 (病虫雑 4:55, 1917) の黒枯病 (*Bacillus areloes*) は、本病と同じではないかと考えられる

軟腐病* *nampu-byo* Bacterial soft rot, Hollow stalk (腐敗病, 斑点細菌病, 空洞病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]
農商務省農試:大正 4 年業務功程:69, 1917(大 6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:389, 1930(昭 5)

花腐細菌病 *hanagusare-saikin-byo* Bacterial bud rot

(1) *Pseudomonas marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

佐藤 圭ら:日植病報 65(3):360, 1999

[備考] ナバナ。本病原の pathovar は未決定

(2) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

佐藤 圭ら:日植病報 65(3):360, 1999

[備考] ナバナ

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe cichoracearum* de Candolle

本間ヤス:北大農紀 38:338, 1937(昭 12) ; 澤村健三:日植病報 22(3):166, 1957

[備考] 澤村の報告は洋種ナタネでの発生

(2) *Oidium matthiolae* Rayss [*Erysiphe cruciferarum* Opiz ex L. Junell, *Erysiphe polygoni* auct. p. p.]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:218, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012

褐斑病 *kappan-byo* Brown spot (褐紋病, 脱疽病)

Ovularia brassica Bresàdola & Allescher var. *oblongispora* Sano & Shirai

園 孝次郎:農業国 3(5):1909(明 42) ; 出田 新:宮部記念植物学襍説:127, 1912(大 1) ; 新家積蔵:病虫雑 5(4):271, 1918(大 7)

菌核病 *kinkaku-byo* Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

堀 正太郎:農商務省農試農事試験成績 14:141, 1899(明 32)

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

黒斑病 kokuhan-byo Gray leaf spot

Alternaria brassicae (Berkeley) Saccardo [*Macrosporium brassicae* Berkeley]

原 攝祐:実験作物病理学:389, 1930(昭 5)

白さび病 shirosabi-byo White rust (白銹病, 白錆病, 白黴病, ひぶくれ病)

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito [*Albugo candida* var. *macrospora* Togashi, *Alternaria brassicae* Sawada]

田中延次郎:植物学雑 4(42):298, 1980(明 23); 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物会報 14(1):17, 1935(昭 10)

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

窪田昌春ら:日植病報 75(3):170, 2009; 窪田昌春ら:日植病報 75(3):238, 2009

[備考] ナバナ。菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II

苗根腐病 nae-negusare-byo

(1) *Pythium brassicum* M.E. Stanghellini, M. Mohammadi, H. Förster & J.E. Adaskaveg

植松清次ら:日植病報 81(1):50, 2015

(2) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

植松清次ら:日植病報 81(1):50, 2015

(3) *Pythium* sp.

深野 弘・横山佐太正:日植病報 18(3-4):155, 1954; 宇都敏夫・肥後三郎:九州農業研究 16:120, 1955; 宇都

敏夫:植物防疫 11(10):437, 1957

根朽病 nekuchi-byo Root rot

Phoma lingam (Tode) Desmazières

渡邊龍雄:植物病学:208, 1957

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

向畠博行:北陸病虫研報 46:97, 1998; 向畠博行:北陸病虫研報 54:49, 2005

[備考] 洋種ナタネ

白斑病 hakuhan-byo Leaf spot, White spot, Pale spot

Cercospora brassicae (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt [*Cercospora albomaculans* (Ellis & Everhart) Saccardo]

園 孝次郎:農業国 3(9):47, 1908(明 41); 原 攝祐:実験作物病理学:389, 1930(昭 5); 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959

斑紋病 hammon-byo Leaf spot (斑点病)

Cercospora brassicicola Hennings

出田 新:続日本植物病理学(下):981, 1926(大 15); 原 攝祐:実験作物病理学:387, 1930(昭 5)

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora parasitica Persoon [*Peronospora brassicae* Gäumann]

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 61(台湾菌類調査報告 6):23, 1933(昭 8); 伊藤誠哉:日本菌類誌 1:227, 1936(昭 11)

雪腐菌核病* yukigusare-kinkaku-byo (冬枯菌核病, 冬枯病)

(1) *Sclerotinia nivalis* I. Saito [*Sclerotinia intermedia* Ramsey]

(2) *Typhula japonica* Terui

(3) *Typhula incarnata* Lasch

(4) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis*

照井陸奥生:札幌博物会報 17(1):40, 1941(昭 16) ; 照井陸奥生:農及園 16(10):1657, 1941(昭 16) ; 杉本利哉:北大農邦文紀 3(4):1, 1960 ; 渡部 茂:北日本病虫研報 11:52, 1960

(5) *Typhula variabilis* Riess

Ikeda, S. et al.:Mycoscience 56:549, 2015 ; Ikeda, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 82(5):286, 2016

[備考] ニンジン分離菌をナタネで病原性確認

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

鷲尾貞夫:北日本病虫研報 13:132, 1962

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] *M. mali* Itoh et al. として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された

ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency (硼素欠乏)

ほう素欠乏

中田覺五郎:改訂作物病害図編:564, 1967

++++黄斑病 ohan-byo

菌類の 1 種

原 攝祐:実験作物病理学:388, 1930(昭 5)

[備考] 調査を要する

ハクサイ(白菜), 不結球ハクサイ[サントウサイ(山東菜), シロナ]

Chinese cabbage

Brassica rapa L. Pekinensis Group

(野菜)

黄葉病* oyo-byo

Brassica yellows virus# (BrYV) アブラナ萎黄ウイルス

吉田直人ら:日植病報 83(1):74, 2017

[備考] 戻し接種なし

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Beet western yellows virus* (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス

大木 理:日植病報 43(3):373, 1977

[備考] 戻し接種なし

(2) *Broad bean wilt virus*#

與良 清ら:日植病報 35(2):122, 1969

[備考] 戻し接種なし

(3) *Santosai temperate virus*# (STV) サントウサイ潜伏ウイルス

夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984

[備考] サントウサイ

えそモザイク病 eso-mosaic-byo Ring spot mosaic (輪点病, 黒竹病)

Turnip mosaic virus (TuMV) カブモザイクウイルス

近藤 章:農及園 31(11):1549, 1956 ; 近藤 章:滋賀短大雑 1:35, 1960 ; 栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965

黄化モザイク病 oka-mosaic-byo Yellow mosaic

Turnip yellow mosaic virus (TYMV) カブ黄化モザイクウイルス

桐野菜美子ら:日植病報 72(4):251, 2006 ; 大木 理ら:日植病報 72(4):252, 2006 ; Kirino, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):331, 2008

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965

[備考] 戻し接種なし

(2) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

土崎常男ら:北海道農試研報 131:71, 1981 ; 手塚信夫ら:野菜試報 A 11:83, 1983

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 瀧元清透:日園雑 42(7):5, 1930(昭 5)

褐条細菌病 katsujo-saikin-byo Bacterial brown streak

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

梅川 学ら:日植病報 46(3):402, 1980 ; 梅川 学ら:野菜試報 B4:61, 1982

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939 [*Bacillus campestris* (Pammel) Smith]

村田壽太郎:病虫雑 7(10):577, 1920(大 9)

黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial blight (細菌性黒斑病, 黒竹病, 黒斑性細菌病)

(1) *Pseudomonas cannabina* pv. *alisalensis* (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 [*Pseudomonas syringae* pv. *alisalensis* Cintas, Koike & Bull 2002]

高橋冬実・瀧川雄一:日植病報 78(3):274, 2012 ; Takahashi, F. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):260, 2013

(2) *Pseudomonas syringae* pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium maculicolum* var. *japonicum* Takimoto, *Pseudomonas maculicolum* (McCulloch) Stevens]

瀧元清透:農及園 6(8):1233, 1931(昭 6) ; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 6:5, 1956

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot, Slimy soft rot (白腐病, 腐敗病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

吉田末彦:病虫雑 7(3):139, 1920(大 9); 瀧元清透:病虫雑 14(7):382, 1927(昭 2); 中田覺五郎:作物病害図編:436, 1934(昭 9); 津山博之:東北大農研彙報 13:221, 1961

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Xanthomonas campestris pv. *raphani* (White 1930) Dye 1978

田村勝徳ら:日植病報 53(1):121, 1987; 田村勝徳ら:日植病報 60(3):281, 1994

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:87, 1955

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium matthiolae Rayss [*Erysiphe cruciferarum* Opiz ex L. Junell, *Oidium* sp., *Erysiphe polygoni* de Candolle]

桜井 寿・中村広明:日植病報 33(2):88, 1967; 新須利則・坂口壮一:九病虫研会報 29:30, 1983; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012

[備考] 病菌の完全世代は我が国では未記録

黄化病 oka-byo Yellows

(1) *Verticillium dahliae* Klebahn [*Verticillium albo-atrum* auct. jap. non Reinke & Berthold]

渡辺恒雄ら:日植病報 38(3):184, 1972; 渡辺恒雄ら:日植病報 39(4):344, 1973; 飯嶋 勉:日植病報 47(1):131, 1981

(2) *Verticillium longisporum* (C. Stark) Karapapa, Bainbridge & Heale

Ikeda, K. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):331, 2012

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

河合一郎:園芸病害編:174, 1954

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

(1) *Alternaria brassicae* (Berkeley) Saccardo [*Alternaria herculea* (Ellis & Everhart) J.A. Elliott]

吉井 甫:九大農芸雑誌 5(3):227, 1933(昭 8); 吉井 甫:病虫雑 28(1):15, 1941(昭 16)

(2) *Alternaria brassicicola* (Schweinitz) Wiltshire

高野喜八郎:北陸病虫研報 38:36, 1990

(3) *Alternaria japonica* Yoshii [*Alternaria brassicae* (Berkeley) Saccardo var. *macrospora* Saccardo, *Alternaria raphani* J.W. Groves & Skolko]

堀 正太郎:農業世界 2(14):44, 1907(明 40); 吉井 甫:病虫雑 28(1):15, 1941(昭 16); 遠山 明・津田盛也:日菌報 31(4):508, 1990

尻腐病 shirigusare-byo Bottom rot, Brown rot (しり腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

横木国臣:病虫雑 24(1):25, 1937(昭 12)

白さび病 shirosabi-byo White rust

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito

伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物会報 14:17, 1935(昭 10); 堀江博道・菅田重雄:東京農試研報 13:31, 1980

††††白さび病 shirosabi-byo

病原種名未定

佐藤豊三:農業技術 46(11):489, 1991

[備考] サントウサイに発生。病原菌の同定不十分

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum higginsianum Saccardo

中田覺五郎:作物病害図編:413, 1934(昭 9)

††††炭疽病 tanso-byo

病原種名未定

佐藤豊三:農業技術 46(11):489, 1991

[備考] サントウサイに発生。病原菌の同定不十分

根くびれ病 nekubire-byo

Aphanomyces raphani J.B. Kendrick

生越 明ら:日植病報 36(3):165, 1970 ; 横沢菱三ら:日植病報 37(5):400, 1971

根こぶ病* nekobu-byo Clubroot

Plasmodiophora brassicae Woronin

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):77, 1928(昭 3)

白斑病 hakuhan-byo Leaf spot, White spot

Pseudocercospora capsellae (Ellis & Everhart) Deighton [*Cercospora brassicae* (Fautrey & Roumeguère)

Höhnelt, *Cercospora albomaculans* (Ellis & Everhart) Saccardo]

園 孝次郎:農業国 3(9):47, 1908(明 41) ; 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959 ; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959

ピシウム腐敗病 *Pythium*-fuhai-byo

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

重松辰郎ら:日植病報 71(3):211, 2005 ; Tojo, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(5):384, 2005

(2) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

菊本敏雄:日植病報 53(3):376, 1987

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora parasitica (Persoon) Fries [*Peronospora brassicae* Gäumann]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):77, 1928(昭 3) ; Hiura, M. & Kanae,

H.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):125, 1934(昭 9)

輪紋病 rimmon-byo

Asteromella brassicae (Chevallier) Boerema & Kesteren

粕山新二ら:日植病報 56(1):123, 1990

[備考] 完全世代 *Mycosphaerella brassicicola* は我が国では未記録

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤重喜:植物防疫 10(4):153, 1956

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958 ; 横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962

[備考] とともに接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964 ; 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964 ; 一戸 稔:農及園
40(6):973, 1965

[備考] 後藤重喜ら(1964)はサントウサイ・シロナへの接種試験の結果

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 小宮
書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964 ; 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 後藤重喜ら(1964)はサントウサイ・シロナへの接種試験の結果

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] Saigusa & Matsumoto(1961)はサントウサイでも確認

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964 ; 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 後藤重喜ら(1964)はサントウサイ・シロナへの接種試験の結果

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ
樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] 接種試験の結果。*M. mali* として報告されたが、本種の記載に際し訂正された

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種
池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††††心腐れ singusare

栄養障害

川口菊雄:農及園 42(8):1216, 1967

††††葉柄黒点性病害 yohei-kokutensei-byogai

生理障害

河合一郎ら:日植病報 22(1):24, 1957

[備考] 調査を要する (薬害?)

††††

Pythium sp.

田中澄人:九病虫研会報 13:39, 1967

[備考] 根くびれ病とは病徴が異なる。調査を要する

コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜)

Chinese cabbage

Brassica rapa L. Perviridis Group

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Beet western yellows virus* (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス

大木 理ら:日植病報 43(3):373, 1977

[備考] コマツナに発生。戻し接種なし

(2) *Broad bean wilt virus*#

與良 清ら:日植病報 35(2):122, 1969 ; 竹内 純ら:関東病虫研報 44:33, 1997

[備考] コマツナに発生。戻し接種なし

黄葉病* oyo-byo

Brassica yellows virus# (BrYV) アブラナ萎黄ウイルス

田邊 晃・佐野義孝:日植病報 76(3):221, 2010 ; 相崎健・佐野義孝:日植病報 80(4):296, 2014

[備考] トウナに発生。プチベールからも分離された(いずれの植物へも戻し接種なし)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 竹内 純ら:関東病虫研報 44:33, 1997

[備考] コマツナに発生

(2) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

明日山秀文・葛西武雄:植物バイラス病研究報告 37, 1950 ; 田中一郎・大島信行:北海道農試彙報 63:1 ;

栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965 ; 栃原比呂志:作物ウイルス病事典 359, 1993

[備考] コマツナに発生

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot

(1) *Pseudomonas cannabina* pv. *alisalensis* (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux

折原紀子ら:日植病報 82(1):28, 2016

(2) *Pseudomonas syringae* pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978

折原紀子ら:関東病虫研報 63:131, 2016

萎黄病 io-byo Yellows

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *rapae* J. Enya, M. Togawa, T. Takeuchi & T. Arie [*Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *conglutinans* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

阿部善三郎・堀江博道:日植病報 54(3):352, 1988 ; 阿部善三郎・堀江博道:東京農試研報 26:23, 1995 ; Enya, J. et al.:Phytopathology 98:475, 2008

[備考] コマツナに発生

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

嶋田竜太郎ら:関東病虫研報 53:69, 2006

[備考] コマツナに発生

白さび病 shirosabi-byo White rust (ひぶくれ病)

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito

伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物会報 14:17, 1935 (昭 10) ; 堀江博道・菅田重雄:東京農試研報 13:31, 1980 ;

今村有希ら:関東病虫研報 60:41, 2013

[備考] コマツナに発生。今村ら(2013)は、完全世代を確認

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum higginsianum Saccardo [*Colletotrichum destructivum* O'Gara]

鑄方末彦・斉藤太一:病虫雑 12(7):379, 1925(大 14) ; 堀江博道ら:東京農試研報 21:189, 1988 ; 堀江博道ら:日植病報 61(3):218, 1995 ; 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003 ; 折原紀子・堀江博道:植物防疫 67(7):397, 2013 ; 森脇丈治ら:日植病報 82(3):236, 2016

[備考] コマツナに発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 54:27, 2007

白斑病 hakuhan-byo

Pseudocercospora capsellae (Ellis & Everhart) Deighton

石井正義:日本病害大事典:351, 1998 ; 栢森美如・堀田治邦:北日本病虫研報 64:57, 2013

斑葉病 han'yo-byo Phoma leaf spot

Phoma wasabiae Yokogi

竹内 純ら:日植病報 69(3):260, 2003

べと病 beto-byo Downy mildew

Hyaloperonospora brassicae (Gäumann) Göker, Voglmayr, Riethmüller, Weiss & Oberwinkler

山内智史ら:日植病報 76(3):156, 2010 ; 山内智史ら:関東病虫研報 62:40, 2015

[備考] コマツナに発生。ハクサイおよびカブにも病原性あり

リゾクトニア病* Rhizoctonia-byo Rhizoctonia blight (苗立枯病, 葉腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

堀江博道:植物防疫 44(9):431, 1990 ; 佐藤香緒里ら:北日本病虫研報 50:232, 1999 ; 栄森弘己ら:関東病虫研報 52:35, 2005 ; 瓦谷光男ら:日植病報 73(1):21, 2007 ; 三澤知央・泉 咲子:日植病報 78(1):61, 2012 ; 三澤知央・泉 咲子:北日本病虫研報 63:87, 2012 ; 関口博之ら:日植病報 80(4):239, 2014 ; Sekiguchi H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(6):454, 2015 ; 山内智史・白川 隆:関東病虫研報 62:37, 2015

[備考] コマツナに発生。菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II (栄森ら, 2005), AG-1 IC (瓦谷ら, 2007), AG-4 HG-III (関口ら, 2014・Sekiguchi, *et al.*, 2015) および AG-4 HG-I (山内・白川, 2015)。三澤・泉(2012)は葉腐病(佐藤ら, 1999)をリゾクトニア病に含めた

カブ(蕪菁)

Turnip

Brassica rapa L. Rapifera Group

(野菜)

黄葉病* oyo-byo

Brassica yellows virus# (BrYV) アブラナ萎黄ウイルス

吉田直人ら:日植病報 83(1):74, 2017

[備考] 戻し接種なし

ウイルス病 virus-byo

(1) *Beet western yellows virus* (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス

大木 理ら:日植病報 43(3):373, 1977

[備考] 戻し接種なし

(2) Broad bean wilt virus#

與良 清ら:日植病報 35(2):122, 1969

[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

奥浦正弘:日植病報 15(3-4):167, 1951 ; 土居養二ら:日植病報 15(3-4):173, 1951 ; 栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965

[備考] 戻し接種なし

(2) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

吉井 甫:日植病報 14(3-4):100, 1949 ; 吉井 甫:植物病害研究 4:17, 1951 ; 栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 瀧元清透:日園雑 42(7):5, 1930(昭 5)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith, *Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

田中彰一:蔬菜病害防除論:186, 1948

黒腐病 kurogusare-byo Black rot (バクテリア病)

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939 [*Bacterium campestre* (Pammel) Smith, *Pseudomonas campestris* (Pammel) Smith]

瀧元清透:病虫雑 15(10):535, 1928 (昭 3) ; 今井三子:実際園芸 13(4):104, 1932(昭 7)

黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial black spot (黒斑性細菌病, 細菌性黒斑病, 黒竹病)

Pseudomonas syringae pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium maculicola* McCulloch, *Pseudomonas maculicolum* (McCulloch) Stevens]

瀧元清透:九大農学芸雑誌 4(5):545, 1931(昭 6) ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:330, 1944(昭 19) ; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 6:5, 1956

軟腐病* nampu-byo Bacterial soft rot, Slimy soft rot (腐敗病, 白腐病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Pseudomonas destructans* Potter, *Bacillus carotovorus* Jones, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

上田栄次郎:植物学雑 17(201):297, 1903(明 36) ; 今井三子:実際園芸 13(4):104, 1932(昭 7)

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Xanthomonas campestris pv. *raphani* (White 1930) Dye 1978

田村勝徳ら:日植病報 53(1):121, 1987 ; 田村勝徳ら:日植病報 60(3):281, 1994

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

堀田治邦ら:日植病報 80(1):57, 2014

萎黄病 io-byo Yellows

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *rapae* J. Enya, M. Togawa, T. Takeuchi & T. Arie [*Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *conglutinans* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

竹内妙子・香川晴彦:日植病報 60(6):748, 1994 ; Enya, J. et al.:Phytopathology 98:475, 2008

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *raphani* W.B. Kendrick & W.C. Snyder

萩原 廣・竹内昭士郎:野菜試報 A6:161, 1979

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium matthiolae Rayss [*Erysiphe cruciferarum* Opiz ex L. Junell, *Oidium* sp., *Erysiphe polygoni* de Candolle]

桜井 寿・中村広明:日植病報 33(2):88, 1967 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012

[備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録

菌核病* kinkaku-byo Sclerotinia rot (結核病)

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

白井光太郎:植物病理学(下):149, 1894(明 27)

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria brassicae (Berkeley) Saccardo [*Alternaria brassicae* (Berkeley) Saccardo var. *macrospora* Saccardo]

西田藤次・前原最蔵:作物病害教科書:101, 1923(大 12) ; 吉井 甫:病虫雑 28(1):15, 1941(昭 16)

白さび病 shirosabi-byo White rust (ひぶくれ病)

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito

白井光太郎:植物病理学(下):80, 1894(明 27) ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物会報 14:17, 1935(昭 10)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉斑病)

Colletotrichum higginsianum Saccardo

中田覺五郎:病虫雑 4(11):855, 1917(大 6) ; 鑄方末彦・斉藤太一:病虫雑 12(7):379, 1925(大 14) ; 堀江博道ら:日植病報 61(3):218, 1995

根くびれ病 nekubire-byo

Aphanomyces raphani J.B. Kendrick

鈴木久弥ら:関西病虫研報 19:119, 1977 ; 鈴木久弥ら:京都農試研報:91, 1980

根腐疫病 negusare-eki-byo

Phytophthora sp.

鍵渡徳次:東農大農学集報 30(4):286, 1986

根腐病 negusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

高野喜八郎:日植病報 44(3):365, 1978

根こぶ病* nekobu-byo Clubroot (根瘤病, 指趾病)

Plasmodiophora brassicae Woronin

小島銀吉:作物病害篇 79, 1892(明 25) ; 田中延次郎:大日本農会報 204, 1898(明 31)

白斑病 hakuhan-byo White spot

Pseudocercospora capsellae (Ellis & Everhart) Deighton [*Cercospora brassicae* (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt, *Cercospora albomaculans* (Ellis & Everhart) Saccardo]

園 孝次郎:農業国 3(9):47, 1908(明 41) ; 出田 新:日本植物病理学:731, 1911(明 44) ; 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959 ; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959

バーティシリウム黒点病 Verticillium-kokuten-byo

Verticillium dahliae Klebahn

片岡光信・鈴木久弥:日植病報 48(3):352, 1982 ; 片岡光信・鈴木久弥:植物防疫 37(2):69, 1983

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora parasitica (Persoon) Fries [*Peronospora brassicae* Gäumann]

富樫浩吾:農及園 10(3):729, 1935(昭 10) ; 有元倫子ら:日植病報 72(1):73, 2006

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鎗木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験の結果

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

鎗木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

ほう素欠乏症 hoso-ketsubo-sho Boron deficiency

ほう素欠乏

岩田正利ら:園芸学雑 37(2):155, 1968

キサラギナ(ターサイ)

Broad-beaked mustard

Brassica rapa var. *rosularis*

(野菜)

萎黄病 io-byo Yellows

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *rapae* J. Enya, M. Togawa, T. Takeuchi & T. Arie

竹内妙子・香川晴彦:日植病報 60(6):748, 1994 ; 外側正之:日植病報 72(4):205, 2006 ; Enya, J. *et al.*:Phytopathology 98:475, 2008

[備考] ターサイに発生

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora parasitica (Persoon) Fries

佐藤 衛ら:北日本病虫研報 50:62, 1999

その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜)

(Brassica)

Brassica spp.

(野菜)

オオサキナ Field mustard, Turnip mustard *Brassica rapa* L.

ハクラン *Brassica* × *napus* hort.

ペルコ PVH *Brassica rapa* L.

ヒロシマナ *Brassica rapa* L. var. *amplexicaulis*

クキタチナ *B. rapa* L. Rapifera Group

ミブナ *B. rapa* L. Japonica Group

ウイルス病 virus-byo Virus

Mibuna temperate virus# (MTV) ミブナ潜伏ウイルス

夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984

[備考] ミブナ

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Turnip mosaic virus (TuMV) カブモザイクウイルス

明日山秀文・葛西武雄:植物バイラス病研究報告:37, 1950 ; 田中一郎・大島信行:北海道農試彙報 63:1 ; 栃

原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965 ; 栃原比呂志:作物ウイルス病事典:359, 1993

[備考] クキタチナ・ハクラン

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939 [*Pseudomonas campestris* (Pammel) Smith]

上田栄次郎:病虫雑 1(1):12, 1914(大 3)

黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot (黒竹病, 黒斑性細菌病, 細菌性黒斑病)

Pseudomonas syringae pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium maculicola* McCulloch]

瀧元清透:九大農学芸雑誌 4(5):545, 1931(昭 6)

軟腐病* nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病, 腐敗性細菌病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

岡部徳夫:植物細菌病学:264, 1949

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp. [*Erysiphe polygoni* de Candolle]

桜井 寿・中村広明:日植病報 33(2):88, 1967

[備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録。病原学名については検討が必要

大粒菌核病 osubu-kinkaku-byo Snow mold

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn

Saito, I.:Mycoscience 39:145, 1998 ; 齊藤 泉:日菌報 39(2):62, 1998

[備考] ペルコ PVH に発生。接種試験未了。本菌は *Ciborinia* 属菌に近いとしている

黒斑病 kokuhan-byo *Alternaria* leaf spot

Alternaria brassicae (Berkeley) Saccardo [*Alternaria brassicae* (Berkeley) Saccardo var. *macrospora* Saccardo]

西田藤次・前原最蔵:作物病害教科書:101, 1923(大 12) ; 吉井 甫:病虫雑 28(1):15, 1941 (昭 16) ; 佐藤秀明ら:日植病報 77(3):165, 2011

[備考] 佐藤ら(2011)はオオサキナでの発生を報告

根こぶ病* nekobu-byo Clubroot (根瘤病)

Plasmodiophora brassicae Woronin

出田 新:日本植物病理学:62, 1901(明 34)

白斑病 hakuhan-byo Leaf spot

Pseudocercospora capsellae (Ellis & Everhart) Deighton [*Cercospora brassicae* (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt, *Cercospora albomaculans* (Ellis & Everhart) Saccardo]

出田 新:日本植物病理学:731, 1911(明 44) ; 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959 ; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959

ピシウム腐敗病 *Pythium*-fuhai-byo Pythium rot

Pythium spinosum Sawada

粕山新二・井上幸次:日植病報 64(4):434, 1998

[備考] 接種試験未了。ヒロシマナ (*Brassica rapa* L. var. *amplexicaulis*) に発生

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora parasitica (Persoon) Fries [*Peronospora brassicae* Gäumann]

山田玄太郎・大森順造:植物病理学:223, 1904(明 37) ; Hiura, M. & Kanae, H.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):125, 1934(昭 9)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962

[備考] ツケナ。接種試験の結果

††褐紋病 katsumon-byo Leaf spot

Leptosphaeria napi (Fuckel) Saccardo

出田 新:日本植物病理学:281, 1909(明 42)

[備考] 国内発生未詳

ナズナ類
(*Capsella*)
Capsella spp.
(野草)

ナズナ *Capsella bursa-pastoris* Medik.

オオナズナ *Capsella bursa-pastoris* Medik. var. *pinnata* Makino

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall (こぶ症)

Rhizobacter dauci Goto & Kuwata 1988

河原崎秀志ら:日植病報 77(3):183, 2011 ; 河原崎秀志ら:日植病報 78(4):293, 2012

[備考] オオナズナ。ナズナ類こぶ症を統合した

白さび病 shirosabi-byo White rust

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito

白井光太郎:植物病理学(下):80, 1894

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ナズナ

ルッコラ

Arugula, Garden rocket, Rocket-salad

Eruca vesicaria ssp. *sativa*

(野菜)

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:65, 2006

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum higginsianum Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 54:31, 2007

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora parasitica (Persoon) Fries

佐藤 衛ら:関東病虫研報 51:21, 2004

ワサビ(山葵)

Wasabi

Eutrema japonica (Miq.) Koidz.

(野菜)

萎縮病 ishuku-byo Dwarf, Stunt (モザイク病)

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・栃原比呂志:植物防疫 20(1):486, 1966 ; 鈴木春夫ら:静岡農試研報 21:59, 1976

[備考] 戻し接種なし

(2) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

栃原比呂志ら:関東病虫研報 11:46, 1964 ; 鈴木春夫ら:静岡農試研報 21:59, 1976 ; 柏崎 哲ら:日植病報 56(2):257, 1990

[備考] 戻し接種なし

(3) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

小暮璃沙ら:関東病虫研報 63:124, 2016

[備考] 戻し接種なし

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Broad bean wilt virus#

眞岡哲夫ら:関東病虫研報 37:97, 1990

[備考] 戻し接種なし

(2) Rhabdovirus#

岸良日出男ら:日植病報 56(1):100, 1990

[備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし

(3) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

枋原比呂志ら:関東病虫研報 11:46, 1964

[備考] 戻し接種なし

(4) Wasabi latent virus# (WLV) ワサビ潜在ウイルス

岸良日出男ら:日植病報 56(1):100, 1990 ; 岸良日出男ら:関東病虫研報 39:111, 1992

苗立枯細菌病 nae-tachigare-saikin-byo Bacterial seedling blight

Pseudomonas marginalis (Brown 1918) Stevens 1925

外側正之ら:日植病報 74(3):256, 2008

軟腐病* nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病, 腐爛病, 白腐病)

(1) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [Bacillus aroideae Ohmori, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

堀 正太郎:官報 3758 号, 1896(明 29); 大森順造:官報 3763 号, 1896(明 29); 村田壽太郎:病虫雑 13(12):723, 1926(大 15)

(2) *Pectobacterium wasabiae* (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *wasabiae* Goto & Matsumoto 1987]

Goto, M. & Matsumoto, K.:Int. J. Syst. Bacteriol. 37:130, 1987

輪腐病 wagusare-byo Ring rot

病原細菌未詳

松本邦彦ら:日植病報 43(1):86, 1977 ; 松本邦彦ら:山口農試研報 37:99, 1985

頭とび病 atamatobi-byo Crown standstill

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie イチゴセンチュウ

鳥居雄一郎ら:植物防疫 58(12):520, 2004

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium matthiolae Rayss [*Erysiphe cruciferarum* Opiz ex L. Junell, *Oidium* sp.]

奥 尚ら:日植病報 59(5):601, 1993 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012

[備考] 病原菌の完全時代はわが国では未記録

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora drechsleri Tucker

寰島綾華ら:日植病報 82(1):27, 2016 ; Minoshima, A. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(2):113, 2017

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot

Septoria wasabiae Hara

原 攝祐:実験作物病理学:724, 1930(昭 5)

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

田中彰一:蔬菜病害防除論:294, 1948

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot (株腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

横木国臣:病虫雑 19(11):814, 1932(昭 7) ; 竹内 純ら:関東病虫研報 55:39, 2008

[備考] 本病菌によって苗立枯れをおこすことがある (鈴木春夫:植物防疫 30(9):374, 1976)。菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Alternaria brassicae (Berkeley) Saccardo [*Alternaria brassicae* (Berkeley) Saccardo var. *macrospora* Saccardo]

原 攝祐:日園雑 28(5):7, 1916(大 5)

白さび病 shirosabi-byo White rust

Albugo wasabiae Hara

原 攝祐:実験作物病理学:721, 1930(昭 5)

墨入病 sumi-iri-byo Streak, Black leg

Phoma wasabiae Yokogi

野津六兵衛・横木国臣:日植病報 2(6):549, 1933(昭 8)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum higginsianum Saccardo

竹内 純ら:日植病報 74(1):33, 2008 ; 竹内 純ら:関東病虫研報 55:39, 2008

根こぶ病 nekobu-byo Clubroot

Plasmodiophora brassicae Woronin

田中秀平ら:日植病報 60(2):257, 1994 ; 鈴木幹彦ら:日植病報 72(4):251, 2006

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 50:61, 2003

葉腐病 hagusare-byo Rhizoctonia leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 50:61, 2003 ; 竹内 純ら:関東病虫研報 55:39, 2008

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

斑紋病 hammon-byo Ascochyta leaf spot

Ascochyta brassicae Thümen

原 攝祐:静岡県農会報 253:26, 1918(大 7)

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora alliariae-wasabi Gäumann

原 攝祐:日園雑 28(5):7, 1916(大 5)

††††萎黄病 io-byo

生理障害

村田壽太郎:病虫雑 13(12):723, 1926(大 15)

アリッサム(ニワナズナ)
Alyssum
Lobularia maritima (L.) Desv.
[*Alyssum maritimum* L.]
(草花)

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:623, 1998

[備考] 接種試験未了

べと病 beto-byo Downy mildew

Hyaloperonospora lobulariae (Ubrizsy & Vörös) Göker, Voglmayr & Oberwinkler

佐藤 衛ら:日植病報 79(3):182, 2013 ; Sato, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(1):83, 2015

ルナリア(ゴウダソウ)
Honesty-plant
Lunaria annua L.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

植松清次ら:日植病報 63(6):495, 1997

[備考] 接種試験未了。病原菌の発芽管は *Erysiphe cichoracearum* 型

すす斑病 susuhan-byo

Alternaria tenuissima (Kunze) Wiltshire

塚本永治:日植病報 50(3):402, 1984

ストック(アラセイトウ)
Stock
Matthiola incana (L.) R. Br.
(草花)

斑紋病 hammon-byo

Broad bean wilt virus#

石川 亮ら:日植病報 52(3):550, 1986

[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

堀田治邦ら:北日本病虫研報 61:269, 2010 ; 堀田治邦ら:北日本病虫研報 64:81, 2013

(2) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

高橋 実ら:日植病報 30(5):301, 1965 ; 高橋 実ら:関西病虫研報 12:7, 1970

[備考] ウイルス(未同定)によるモザイク病の最初の記載は、瀧元清透:花卉及温室作物の病害:86, 1939(昭 14)

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

Xanthomonas campestris pv. *incanae* (Kendrick & Baker 1942) Dye 1978 [*Xanthomonas incanae* (Kendrick & Baker) Starr & Weiss]

渡辺 実ら:日植病報 25(1):37, 1960 ; 渡辺 実・沼田 巖:植物防疫 15(6):251, 1961

萎凋病 icho-byo Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *conglutinans* W.C. Snyder & H.N. Hansen

高山睦雄ら:日植病報 47(1):132, 1981 ; 高山睦雄ら:植防研報 19:63, 1983

[備考] レース 3

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora cryptogea Pethybridge & Lafferty emend. Ho & Jong

植松清次ら:日植病報 59(6):731, 1993

菌核病 kinkaku-byo Crown rot, Wilt

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:実地園芸 20(4):549, 1936(昭 11)

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Alternaria japonica Yoshii [*Alternaria raphani* J.W. Groves & Skolko, *Alternaria matthiolae* Neergaard]

西原夏樹・沼田 巖:日植病報 34(3):182, 1968

立枯病 tachigare-byo Take-all

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen 'Graminearum']

清水時哉・赤沼礼一:日植病報 56(3):386, 1990 ; 清水時哉・赤沼礼一:長野野菜花き試研報 6:61, 1991 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum destructivum* O'Gara

森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003

(2) *Colletotrichum* sp.

沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958

苗腐病 naegusare-byo Damping-off

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

植松清次ら:日植病報 81(1):50, 2015

(2) *Pythium brassicum* M.E. Stanghellini, M. Mohammadi, H. Förster & J.E. Adaskaveg

田中千華ら:日植病報 74(1):34, 2008 ; 植松清次ら:日植病報 81(1):50, 2015

[備考] 田中ら(2008)は本病菌を*Pythium* sp.と同定したが、植松ら(2015)が*P. brassicum*と再同定した

(3) *Pythium irregulare* Buisman

田中千華ら:日植病報 74(1):34, 2008
(4) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*
田中千華ら:日植病報 74(1):34, 2008
(5) *Pythium* sp. (group F)
田中千華ら:日植病報 74(1):34, 2008
(6) *Pythium* sp.
河村貞之助:農薬 3(12):46, 1956

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
植松清次ら:関東病虫研報 40:85, 1993
[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
西部由太郎:切花(新園芸別冊):74, 1950

花枯炭疽病 hanagare-tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum nymphaeae (Passerini) Aa [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]
菅原 敬ら:日植病報 75(1):57, 2009 ; 菅原 敬ら:日植病報 75(2):119, 2009 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt
Verticillium dahliae Klebahn
山下一夫・杉山 悟:日植病報 57(1):87, 1991

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種
河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

††萎縮細菌病 ishuku-saikin-byo Bacterial stunt (萎縮性細菌病)
Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium matthiolae* Brioso & Pavarino]
石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:343, 1941(昭 16) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:352, 1949 ; 上住 泰・西村 十郎:原色花の病害虫:190, 1975
[備考] 国内発生未詳

クレソン(オランダガラシ, ミズガラシ, ウォータークレス)
Watercress
Nasturtium officinale R. Br.
(野菜)

黄色輪紋病 oshoku-rimmon-byo
Turnip mosaic virus (TuMV) カブモザイクウイルス
中曽根 渡ら:日植病報 51(1):81, 1985

斑点病 hanten-byo
Cercospora nasturtii Passerini
山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):65, 1960 ; 香月繁孝:日植病報 20(2-3):72, 1955 ; 香月

オオアラセイトウ(ショカツサイ)
Chinese violet cress
Orychophragmus violaceus O. E. Schulz
(草花)

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot
Alternaria japonica Yoshii
高野喜八郎:日植病報 68(1):79, 2002

ダイコン(大根)
Japanese radish
Raphanus sativus L. Daikon Group
[*R. sativus* L. var. *hortensis* Baker (daikon group)]
(野菜)

黄葉病* oyo-byo
Brassica yellows virus# (BrYV) アブラナ萎黄ウイルス
吉田直人ら:日植病報 83(1):74, 2017
[備考] 戻し接種なし

ウイルス病 virus-byo Virus
(1) *Beet western yellows virus* (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス
大木 理ら:日植病報 43(3):373, 1977
[備考] 杉本利哉・村山大記 (てん菜研報 13:1, 1972) の分離株は本ウイルスに近いが検討を要する
(2) *Broad bean wilt virus*#
栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965 ; 與良 清ら:日植病報 35(2):122, 1969
[備考] 汁液接種検定による同定
(3) *Radish yellow edge virus* (RYEV) ダイコン葉縁黄化ウイルス
夏秋知英ら:日植病報 44(3):384, 1978 ; 夏秋知英ら:日植病報 45(3):313, 1979
[備考] このほかに, *Radish stunt virus*# による萎縮病が報告されたが (石川信一・三沢正生:日植病報 12(1-2):116, 1943(昭 18)), 現在報告されている他のウイルスとの関連が不明

ひだ葉モザイク病 hidaha-mosaic-byo Enation mosaic
Radish mosaic virus (RaMV) ダイコンモザイクウイルス
栃原比呂志:日植病報 34(2):129, 1968 ; Campbell, R. N. & Tochiara, H.:Phytopathology 59(11):1756, 1969

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
(1) *Cauliflower mosaic virus* (CaMV) カリフラワーモザイクウイルス
栃原比呂志:日植病報 25(4):187, 1960 ; 栃原比呂志:日植病報 33(3):195, 1967
(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
土居養二ら:日植病報 15(3-4):173, 1951 ; 栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965
[備考] 戻し接種なし
(3) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス
吉井 甫:日植病報 14(3-4):100, 1949 ; 吉井 甫:植物病害研究 4:17, 1951 ; 栃原比呂志:農技研報 C 18:1, 1965 ; 土崎常男ら:北海道農試研報 131:71, 1981

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

萎黄そう生病 io-sosei-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 42(3):389, 1976

[備考] 伝搬試験なし

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

瀧元清透:病虫雑 17(12):794, 1930(昭 5) ; 瀧元清透:日園雑 43(2):29, 1931(昭 6)

黒腐病 kurogusare-byo Black rot (腐敗病, 黒変病, 空洞病, 太鼓病)

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939 [*Pseudomonas campestris* (Pammel) Smith]
ト蔵梅之丞:病虫雑 2(8), 735, 1915(大 4)

黒点輪腐病 kokuten-wagusare-byo

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925 [*Pseudomonas marginalis* (Brown) Stevens]
水沢芳名:今月の農薬 21(8):24, 1977

黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial blight (黒斑性細菌病, 細菌性黒斑病, 黒点性細菌病)

(1) *Pseudomonas cannabina* pv. *alisalensis* (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 [*Pseudomonas syringae* pv. *alisalensis* Cintas, Koike & Bull 2002]

高橋冬実・瀧川雄一:日植病報 78(3):274, 2012 ; Takahashi, F. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):260, 2013

(2) *Pseudomonas syringae* pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium maculicola* McCulloch, *Pseudomonas maculicolum* (McCulloch) Stevens]

原 攝祐:実験作物病理学:715, 1930(昭 5) ; 瀧元清透:九大農学芸雑誌 4(5):545, 1931(昭 6) ; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 6:5, 1956

そうか病 soka-byo

Streptomyces sp.

井上義孝・駒田 旦:日植病報 27(2):68, 1962 ; 夏目孝男:今月の農薬 14(1):83, 1970

[備考] 病原については検討が必要

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot, Slimy soft rot (白腐病, 太鼓病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Pseudomonas destructans* Potter, *Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

出田 新:日本植物病理学:894, 1903(明 36) ; 瀧元清透:病虫雑 14:382, 1927 (昭 2) ; 中田覺五郎:作物病害図編:425, 1934(昭 9) ; 中田覺五郎ら:作物病害図編 272, 1957

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial spot (斑点性細菌病, 細菌性斑点病)

Xanthomonas campestris pv. *raphani* (White 1930) Dye 1978 [*Bacterium vesicatorium* var. *raphani* White]

瀧元清透:農及園 2(8-9):843, 967, 1927(昭 2) ; 田村勝徳ら:日植病報 53(1):121, 1987 ; 田村勝徳ら:日植病報 60(3):281, 1994

萎黄病 io-byo Yellows (褐色心腐病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *raphani* W.B. Kendrick & W.C. Snyder

片山貞吾・片野恒雄:日植病報 20(2-3):113, 1955 ; 片野恒雄:植物防疫 23(1):19, 1958 ; 中野昭信・片野恒雄:和歌山農試研報 2:1, 1967

[備考] 片野 (1958) は病原菌に *Fusarium oxysporum* f.sp. *conglutinans* をあてた

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe cichoracearum* de Candolle [*Oidium* sp.]

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:338, 1937(昭 12)

[備考] 病原の完全世代は我が国では未記録とみられる。学名については検討が必要

(2) *Oidium matthiolae* Rayss [*Erysiphe cruciferarum* Opiz ex L. Junell, *Erysiphe polygoni* de Candolle, *Oidium* sp.]

桜井 寿・中村広明:日植病報 33(2):88, 1967 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012

[備考] 病原の完全世代は我が国では未記録

円形褐斑病 enkei-kappan-byo

Plectosporium tabacinum (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg [*Acremonium* sp., *Cephalosporium* sp.]

大林延夫・渡辺恒雄:日植病報 54(1):68, 1988 ; 佐藤豊三:植物防疫 62:491, 2008

[備考] 大林・渡辺 (1988) は本病菌を *Acremonium* 属としたが、佐藤 (2008) はこれを *P. tabacinum* と再同定した

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Watery soft rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

ト蔵梅之丞:病虫雑 3(1):313, 1914(大 3)

黒しみ病 kuroshimi-byo

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

児玉不二雄ら:日植病報 50(3):390, 1984 ; 生越 明ら:日植病報 51(1):110, 1985

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

(1) *Alternaria brassicae* (Berkeley) Saccardo sensu Bolle [*Alternaria herculea* (Ellis & Everhart) J.A. Elliott]

吉井 甫:病虫雑 28(1):15, 1941(昭 16)

(2) *Alternaria brassicicola* (Schweinitz) Wiltshire

遠山 明ら:日植病報 57(1):98, 1991

(3) *Alternaria japonica* Yoshii [*Alternaria brassicae* (Berkeley) Saccardo var. *macrospora* Saccardo, *Alternaria raphani* J.W. Groves & Skolko]

吉井 甫:九大農学芸雑誌 5(3):224, 1933(昭 8) ; 吉井 甫:病虫雑 28(1):17, 1941(昭 16) ; 遠山 明・津田盛也:日菌報 31(4):508, 1990

白さび病 shirosabi-byo White rust

Albugo macrospora (Togashi) S. Ito

原 攝祐:実用作物病理学:412, 1925 (大 14) ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物会報 14:17, 1935 (昭 10)

[備考] 古く用いられていた *Albugo candida* はナズナなどを侵すもので、ダイコン、ナタネなどを侵す本菌とは異なる

立枯病 tachigare-byo

Pythium sp.

草刈眞一・田中 寛:日植病報 53(1):103, 1987

[備考] カイワレダイコン (*Raphanus sativus*)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum higginsianum* Saccardo [*Colletotrichum destructivum* O'Gara]

中田覺五郎:作物病害図編:413, 1934(昭 9) ; 堀江博道ら:日植病報 61(3):218, 1995 ; 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003 ; 森脇丈治ら:日植病報 82(3):236, 2016

(2) *Colletotrichum incanum* H.C. Yang, J.S Haudenshield et G.L. Hartman [*Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove]

Sato, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(5):380, 2005 ; 森脇丈治ら:日植病報 82(3):236, 2016

[備考] 森脇ら(2016)は本病原菌を *C. incanum* と再同定した

根くびれ病 nekubire-byo

Aphanomyces raphani J.B. Kendrick

竹谷宏二・八木敏江:日植病報 45(4):527, 1979 ; 井本征史:日植病報 46(1):86, 1980 ; 平野寿一・飯嶋 勉:東京農試研報 13:14, 1980

根こぶ病* nekobu-byo Clubroot

Plasmodiophora brassicae Woronin

出田 新:実用植物病理学:49, 1901(明 34)

白斑病 hakuhan-byo Leaf spot

Pseudocercospora capsellae (Ellis & Everhart) Deighton

仲谷房治ら:北日本病虫研報 43:69, 1992

バーティシリウム黒点病 *Verticillium-kokuten-byo* Verticillium black spot

(1) *Verticillium albo-atrum* Reinke & Berthold

角田晶大:日植病報 63(3):203, 1997

(2) *Verticillium dahliae* Klebahn

北沢健治ら:日植病報 44(3):370, 1978 ; 北沢健治・鈴木孝仁:日植病報 46(2):271, 1980

腐敗病 fuhai-byo Pythium rot

Pythium ultimum Trow var. *ultimum*

田上俊太郎ら:日植病報 46(3):390, 1980 ; 萩原 廣ら:野菜試報 A 7:173, 1980

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora parasitica (Persoon) Fries [*Peronospora brassicae* Gäumann]

田中延次郎:植物学雑 4(44):380, 1890(明 23) ; Hiura, M. & Kanae, H.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):125, 1934(昭 9)

リゾクトニア病* *Rhizoctonia-byo* Rhizoctonia blight (葉腐病, 根腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

新留伊俊・糸賀繁人:九病虫研会報 2:68, 1956 ; 高野喜八郎・豊田久正:北陸病虫研報 33:96, 1985 ; 栄森弘己ら:関東病虫研報 52:35-38, 2005

[備考] 栄森ら(2005)の病原菌株は菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II。本病に類似の症状として以下の報告がある。亀裂褐変症 (さめ肌症状) (*Pythium* sp., 山口和彦ら:日植病報 38(3):193, 1972 ; 若井田正義ら:宇都宮大農学報 8(3):1, 1973, *Aphanomyces* sp., 久保庭孝ら:日植病報 42(3):338, 1976), 根腐症状 (*Rhizoctonia* sp., 横木国臣:病虫雑 24(1):25, 1937 ; 高橋錦治・松浦 義:植物防疫 10(2):75, 1956 ; 中山武則・重永友明:日植病報 42(1):100, 1976 ; 中山武則・重永友明:九州農業研究 3892, 1976), 褐変き裂症状 (*Rhizoctonia* sp., 家入 章・中山武則:熊本農試報, 昭和 49 年度 67:1975), 横しま症 (*Rhizoctonia* sp., 柏木弥太郎・山本 勉:日植病報 43(3):343, 1977), アミハダ大根 (病原不明, 松村源司・高橋三郎:関東病虫研報 8:28, 1961), これらの症状の異同については, 竹内昭士郎・萩原 廣 (植物防疫 32(7):289, 1978) を参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある。後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:植物防疫 10(4):153, 1956

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958 ; 横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962

[備考] とともに接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

鐙木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

++++わっか症 wakka-sho (根部異常症状, 黒色輪紋症状)

病原未詳

金磯泰雄:四国植防 30:57, 1995 ; 小林正伸ら:関東病虫研報 44:49, 1997 ; 小林正伸ら:日植病報 63(3):209, 1997 ; 井上美保ら:日植病報 64(4):333, 1998

[備考] 小林ら (1997) は *Albugo macrospora* が, 井上ら (1998) は *Alternaria brassicicola* が関与するとした

ダイコン類

(*Raphanus*)

Raphanus spp.

(野草)

ハマダイコン *Raphanus raphanistrum* L.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

[備考] ハマダイコン

イヌガラシ類
(Rorippa)
Rorippa spp.
(野草)

イヌガラシ *R. indica* (L.) Hiern
スカシタゴボウ *R. islandica* (Oeder) Borbás

ウイルス病* *virus-byo* Virus
Pelargonium zonate spot virus (PZSV) ペラルゴニウム帯状斑点ウイルス
Kamitani, M. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 83(5):329, 2017
[備考] イヌガラシに発生。接種試験未了

こぶ病 *kobu-byo* Bacterial gall (こぶ症)
Rhizobacter dauci Goto & Kuwata 1988
河原崎秀志ら: 日植病報 77(3):183, 2011 ; 河原崎秀志ら: 日植病報 78(4):293, 2012
[備考] スカシタゴボウ。イヌガラシ類こぶ症を統合した

根こぶ線虫病* *nekobu-senchu-byo* Root knot (根瘤線虫病)
(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
一戸 稔: 北農 23(5):178, 1956 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961
[備考] イヌガラシ・スカシタゴボウ
(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961
[備考] イヌガラシ
(3) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ
樋田幸夫: 日線虫研誌 9:20, 1979
[備考] イヌガラシ。接種試験の結果。M. mali Itoh *et al.* リンゴネコブセンチュウとして報告されたが、後に本種に訂正された (Toida, Y. & Yaegashi, T.: Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984)

パイナップル科 Bromeliaceae

パイナップル(パインアップル)(鳳梨)

Pineapple

Ananas comosus Merrill

(果樹)

花樟病 kasho-byo Marbled fruit disease, Core-rot (褐腐性細菌病, 心腐病)

(1) *Acetobacter pasteurianus* subsp. *lovaniense* (Frateur 1950) Deley & Frateur 1974 [*Acetobacter lovaniense* Frateur]

高江洲和子ら:日植病報 64(4):376, 1998

(2) *Acetobacter peroxydans* Visser't Hooft 1925

高江洲和子ら:日植病報 64(4):376, 1998

(3) *Pantoea ananatis* (Serrano 1928) Mergaert, Verdonck & Kersters 1993 [*Bacillus ananas* Serrano, *Erwinia ananas* Serrano 1928]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:177, 1941(昭 16) ; 田盛正雄ら:植物防疫 25(11):443, 1971

[備考] *Acedobacter* については, 病原の分類学的検討が必要である

果心黒変病* kashin-kokuhen-byo

(1) *Fusarium* spp.

(2) *Penicillium* spp.

高江洲和子ら:日植病報 50(3):428, 1984

小果腐敗病 shoka-fuhai-byo Fruitlet core rot

Fusarium ananatum A. Jacobs, Marasas & P.S. van Wyk

新崎千江美ら:日植病報 81(3):266, 2015

心腐病 shingusare-byo Heart rot, Phytophthora heart rot, Wilt, Root rot wilt (疫病, 萎凋病, 根腐萎凋病)

(1) *Phytophthora cinnamomi* Rands

(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

(3) *Phytophthora palmivora* (E.J. Butler) E.J. Butler

島袋俊一・田盛正雄:熱帯農業 8(4):228, 1965 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:21, 1977

基腐病 motogusare-byo Base rot, Black rot, Butt rot (腐敗病, 鳳梨病)

Ceratocystis paradoxa (Dade) C. Moreau

田盛正雄:沖縄農業 3(2):85, 1964 ; 田盛正雄ら:植物防疫 25(11):443, 1971

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchus* sp. ニセネグサレセンチュウの 1 種

照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971

[備考] 根圏土壌から検出

(2) *Criconema* sp. トゲワセンチュウの 1 種

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969 ; 照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971

[備考] 属名は再検討を要する

(3) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969 ; 照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971

[備考] 根圏土壌から検出。属名は再検討を要する

(4) *Helicotylenchus dihystra* Cobb ナミラセンセンチュウ

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963 ; 照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969 ; 照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971

[備考] 根圏土壌から検出

(5) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

[備考] 根圏土壌から検出

(6) *Hemicyclophora* sp. サヤセンチュウの 1 種

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

[備考] 根圏土壌から検出

(7) *Hoplolaimus* sp. ヤリセンチュウの 1 種

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

[備考] 根圏土壌から検出

(8) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの 1 種

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

[備考] 根圏土壌から検出

(9) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

[備考] 根圏土壌から検出

(10) *Pratylenchus zaei* Graham モロコシネグサレセンチュウ

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

[備考] 根圏土壌から検出

(11) *Rotylenchulus* sp. ニセフクロセンチュウの 1 種

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

[備考] 根圏土壌から検出

(12) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

[備考] 根圏土壌から検出

(13) *Tylenchorhynchus elegans* Siddiqi [*Tylenchorhynchus martini* Fielding] サトウキビイシユクセンチュウ

照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971

[備考] 根圏土壌から検出

(14) *Tylenchorhynchus nudus* Allen フタワイシユクセンチュウ

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

[備考] 根圏土壌から検出

(15) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの 1 種

照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971

[備考] 根圏土壌から検出

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961 ; 照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969 ; Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

照屋林宏・島仲常吉:琉球農試研報 5:29, 1969

褐斑病 kappan-byo Brown spot (果肉の褐色斑点病)

生理障害

田盛正雄ら:植物防疫 25(11):443, 1971 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:21, 1977

軟腐病 nampu-byo Soft rot (黒腐病)

病原不明

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:20, 1977

黄斑病 ohan-byo

病原未詳

梅村恒夫:病虫雑 19(11):839, 1932(昭 7)

[備考] ハワイ。スリップスが伝搬するウイルスによると推定されている

黒腐病 kurogusare-byo Fruitlet black rot

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:237, 1941(昭 16) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:257, 1949

[備考] フィリピン・ハイチ。病原細菌名 *Bacterium ananas* Serrano 1934 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

萎凋病 icho-byo Wilt, Mealybug wilt (萎ちょう病)

(1) *Fusarium* sp.

(2) *Pythium* sp.

(3) *Rhizoctonia* sp.

(4) *Dysmicoccus brevipes* Cockerell パイナップルコナカイガラ

徳永芳雄・高橋良一:台湾中研農業部彙報 205:1, 1942(昭 17)

[備考] 台湾

すす病 susu-byo Sooty mold

Asterinella stuhlmannii (Hennings) Theissen

澤田兼吉:台湾大農特別報 8:45, 1959

[備考] 台湾

やに病 yani-byo Brown rot

病原不明

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:20, 1977

[備考] ブラジル

グズマニア(アナナス)

Guzmania

Guzmania × *magnifica* hort.

(草花)

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

棚橋一雄・山田偉雄:関西病虫研報 30:76, 1988

ネオレゲリア

Neoregelia

Neoregelia spp.

(草花)

†††葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Exserohilum neoregeliae Sakoda & Tsukiboshi

迫田琢也ら:日植病報 75(1):52, 2009 ; Sakoda, T. & Tsukiboshi, T.: Mycotaxon 118(6):213, 2011

[備考] 生産国オランダ

ハリガネゴケ科 Bryaceae

ハリガネゴケ類

Bryum spp.

(草花)

ギンゴケ *Bryum argenteum* L.

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:九病虫研会報 55:89, 2009

[備考] ギンゴケに発生

フジウツギ科 Buddlejaceae

ブッドレア(フジウツギ)

Butterfly bush

Buddleja japonica Hemsl.

(広葉樹)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:農業及園芸 37(10):1667, 1962 ; 土崎常男ら:植物防疫 23(1):6, 1969

[備考] チチブフジウツギ (*B. shimidzuana*)・ウラジロフジウツギ (*B. venenifera*)にも発生

褐斑病 kappan-byo

Pseudocercospora buddleiae (W. Yamamoto) Goh & W.H. Hsieh [*Cercospora buddleiae* W. Yamamoto]

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):47, 1960 ; 山本和太郎:台湾博物学会報 26:279, 1936(昭11) ; Katsuki, S.:Journ. Jap. Bot. 28(9):285, 1953 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

[備考] ウラジロフジウツギ・アメリカフジウツギ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ウラジロフジウツギ

(2) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ウラジロフジウツギ。種名は再検討を要する

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ウラジロフジウツギ・アメリカフジウツギ

†褐色角斑病 kasshoku-kakuhan-byo

Septoria merrillii Sydow

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):110, 1942(昭17)

[備考] 台湾。タイワンフジウツギ (*Buddleja asiatica*)

††††

Leptosphaeria buddlejae I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 8:644, 1957

[備考] ウラジロフジウツギ (*B. venenifera*)

ツゲ科 Buxaceae

ツゲ(黄楊)

Japanese box

Buxus microphylla Sieb. & Zucc. var. *japonica* (Muell. Arg. ex Miq.) Rehd. & Wils.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia buxi de Candolle

平塚直秀:植物及動物 8(6):1063, 1940(昭 15)

[備考] ヒメツゲ・マルバツゲにも発生

すす病* susu-byo Black mildew

Irenina buxi Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 7:184, 1956

根腐病 negusare-byo Root rot

Poria sp.

北島君三:樹病学及木材腐朽論:284, 1933(昭 8)

葉枯病 hagare-byo

Macrophoma candollei (Berkeley & Broome) Berlese & Voglino

高野喜八郎:北陸病虫害研報 26:45, 1979 ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):37, 1943(昭 18)

[備考] ヒメツゲ (*B. microphylla*)・チョウセンヒメツゲ(*B. koreana*)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Criconeema jaejuense (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconeema jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961 ;

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

フッキソウ(富貴草, キチジソウ)

Japanese spurge

Pachysandra terminalis Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Phyllosticta sp.

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 45:143, 1998

紅粒茎枯病 koryu-kukigare-byo Die back

Pseudonectria pachysandricola B.O. Dodge [*Volutella pachysandricola* B.O. Dodge]

竹内 純・堀江博道:日植病報 59(3):285, 1993

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [完全世代: *Athelia rolfsii* (Curzi) C.C. Tu & Kimbrough, *Corticium rolfsii* Curzi]

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:145, 1994

炭疽病 tanso-byo Anthracnose*

Colletotrichum sp.

成田武四:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:699, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌は *Colletotrichum dematium* と思われる

円斑病 maruhan-byo

Mycosphaerella pachysandrae (Hemmi) Katumoto & Y. Harada [*Cyclodothis pachysandrae* Hemmi]

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(1):31, 1987 ; 逸見武雄:植物学雑 29(348):414, 1915(大4)

サルココッカ

(Sarcococca)

Sarcococca ruscifolia Stapf

(広葉樹)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [完全世代: *Athelia rolfsii* (Curzi) C.C. Tu & Kimbrough, *Corticium rolfsii* Curzi]

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:145, 1994

サボテン科 Cactaceae

サボテン(仙人掌)

Cactus

Aporocactus spp. *Carnegiea* spp. *Cereus* spp. *Echinocactus* spp. *Epiphyllum* spp. *Mammillaria*
spp. *Nopalxochia* spp. *Opuntia* spp.
(草花)

斑紋病 hammon-byo Mottle

Epiphyllum bacilliform virus# (EBV) クジャクサボテン桿菌状ウイルス

山下修一ら:日植病報 57(1):73, 1991 ; 山下修一ら:日植病報 59(6):727, 1993

[備考] クジャクサボテン (*Epiphyllum* sp.) からは *Sammon's Opuntia virus* (SOV ウチワサボテンサモンズウイルス)と考えられるウイルス粒子が検出されている (山下修一ら, 1991)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cactus virus X (CVX) サボテン X ウイルス

向 秀夫ら:日植病報 33(5):345, 1967 ; 麻谷正義・井上忠男:農学研究 53(1-2):35, 1969 ; 中村重正・向 秀夫:東京農大農学集報 18(2):91, 1973

[備考] 戻し接種なし

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

中村重正ら:日植病報 42(3):389, 1976

[備考] 伝染試験なし

†腐敗病 fuhai-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

岡部徳夫:植物細菌病学:360, 1949

[備考] サボテンでは国内発生未確認

疫病 eki-byo Blight

(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

桂 琦一:植物の疫病:43, 1971

[備考] 桂 琦一 (1971) は寄主植物リスト。分類学的所属について調査が必要

(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*]

瀧元清透:実地園芸 18(1):148, 1935(昭 10) ; 桂 琦一:植物の疫病:87, 1971

[備考] 瀧元清透 (1935) 及び桂 (1971) は解説書。分類学的所属について調査を要する

茎枯病 kukigare-byo

Pythium sp.

森田 儔・川瀬範毅:日植病報 48(3):349, 1982

[備考] 病原菌の形態の記述なし。接種試験未了

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot

Bipolaris cactivora (Petrak) Alcorn [*Helminthosporium cactivorum* Petrak]

中村重正:日植病報 35(2):105, 1969 ; 中村重正:東京農大農学集報 15(2):66, 1970

[備考] M.B. Ellis (Dematiaceous Hyphomycetes :432, 1971) は本種を *Drechslera cactivora* に, Alcorn J.L.

(Mycotaxon 17:67, 1983) は *B. cactivora* に移した

すそ腐病 susogusare-byo Root and stem rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

森田 儔・川瀬範毅:日植病報 48(3):349, 1982

[備考] 病原菌の形態の記述なし。接種試験未了

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (痘瘡病)

Microdochium lunatum (Ellis & Everhart) Arx [*Gloeosporium lunatum* Ellis & Everhart]

早水正澄:病虫雑 1(2):193, 1914(大 3) ; Arx, J. A. von:Trans. Br. mycol. Soc. 8:374, 1984

[備考] 完全世代 *Monographella opuntiae* はわが国では未発見

日射病 nissha-byo Scorch

Hendersonia opuntiae Ellis & Everhart

南部信方:病虫雑 2(9):562, 1915(大 4)

[備考] 解説書につき病徴記載のみ。詳細不明。病原菌の分類学的所属については検討が必要

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

森田 儔ら:関東病虫研報 32:151, 1985

[備考] 病原菌の形態の記述なし

腐敗病 fuhai-byo Root and stem rot (立枯病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal

河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病虫害:270, 1976 ; 木嶋利男・峯岸長利:日植病報 48(1):84, 1982 ; 鍵渡徳次:東京農大農学集報 31(1):1, 1986

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Cactodera cacti (Filipjev & Schuurmans Stekhoven) Krall & Krall [*Heterodera cacti* Filipjev & Schuurmans Stekhoven] サボテンシストセンチュウ

横尾多美男:佐賀大農彙 22:105, 1966 ; 森田 儔:花の病虫害と新防除:192, 1966

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

++++赤腐病 akagusare-byo

細菌

白岩秀雄:実際園芸 10(7):87, 1931(昭 6)

[備考] 調査を要する

++根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend

1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):97, 1935(昭 10)

[備考] 抄録。サボテンでは国内発生未確認

††輪紋病 rimmon-byo Bacterial ring spot

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:180, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Erwinia cacticida* (Johnston & Hitchcock 1923) Magrou 1937 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††††

Tobamovirus

石原夏帆ら:日植病報 76(3):221, 2010

[備考] クジャクサボテン (*Epiphyllum oxypetalum*)。Cactus mild mottle virus に近縁

ピタヤ(サンカクサボテン, ドラゴンフルーツ)

Pitaya

Hylocereus undatus Britton & Rose

[*Cereus triangularis* Haworth]

(果樹)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cactus virus X (CVX) サボテン X ウイルス

新海美紀・夏秋啓子:日植病報 63(3):195, 1997

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Fusarium sp.

鈴木裕子ら:日植病報 72(4):205, 2006

乾腐病 kampu-byo Dry rot (炭腐病)

Neoscytalidium dimidiatum (Penzig) Crous & Slippers [*Fusicoccum dimidiatum* (Penzig) D. F. Farr]

田場 聡ら:日植病報 69(3):259, 2003 ; 佐藤豊三ら:日植病報 75(3):206, 2009 ; 玉城優太ら:日植病報 80(4):238, 2014 ; 玉城優太ら:日植病報 81(3):206, 2015

[備考] 玉城ら(2014)は田場ら(2003)の炭腐病菌と佐藤ら(2009)の乾腐病菌を *N. hyalinum* (= *N. dimidiatum*) と同定し, 炭腐病を本病の異名とした。玉城ら(2015)は、*N. hyalinum* と *N. dimidiatum* を別種とし, 本病原菌を改めて *N. dimidiatum* と再同定した

茎腐病 kukigusare-byo Gilbertella stem rot

Gilbertella persicaria (E.D. Eddy) Hesseltine

宮平奈央ら:日植病報 73(3):183, 2007 ; 仲里美音ら:日植病報 76(3):199, 2010 ; 田場 聡ら:日植病報 77(4):291, 2011

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer*

田場 聡ら:日植病報 71(3):213, 2005

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Bipolaris cactivora (Petrak) Alcorn

宮平奈央ら:日植病報 72(4):209, 2006

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

田場 聡ら:日植病報 72(1):25, 2006

ロウバイ科 Calycanthaceae

ロウバイ (蠟梅, 臘梅)

Winter Sweet

Chimonanthus praecox (L.) Link

(広葉樹)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:83, 2006

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

キキョウ科 Campanulaceae

カンパニュラ(フウリンソウ)

Bellflower

Campanula spp.

(草花)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

Kusumoto, S. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):158, 2005

[備考] *C. lactiflora* Bret. に発生

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

白川 隆・萩原 廣:日植病報 66(3):239, 2000

茎枯細菌病 kukigare-saikin-byo

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

木嶋利男ら:日植病報 50(1):141, 1984 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:127, 1987

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora sp.

久保田まや:関東病虫研報 47:101, 2000

大粒菌核病 otsubu-kinkaku-byo Snow mold

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn

Saito, I.:Mycoscience 39:145, 1998 ; 斉藤 泉:日菌報 39(2):62, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌は *Ciborinia* 属菌に近いとしている。オトメギキョウ (*C. portenschlagiana*) に発生

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Ascochyta bohémica Kabát & Bubák

高野喜八郎:日植病報 63(3):201, 1997

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia blight

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:119, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。詳細不明

さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium tussilaginis (Persoon) Lévillé

牧野 華ら:日植病報 83(1):43, 2017

[備考] カンパニュラ・グロメラタ(リンドウザキカンパニュラ)に発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:119, 1939(昭 14)

[備考] 解説書のため詳細不明

根朽病 nekuchi-byo Root rot
Phoma sp.
西川盾士:日植病報 71(3):215, 2005

根腐病 negusare-byo Root rot
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
瀧元清透:花卉及温室作物の病害:119, 1939(昭 14)
[備考] *Rhizoctonia solani* による葉腐病, 茎腐病の報告がある(成田武四:北海道における農作物病害:199, 1977)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo
Botrytis cinerea Persoon
成田武四:北海道における農作物病害:199, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:659, 1998 ; 阿部美咲ら:日植病報 80(1):23, 2014

白斑病 hakuhan-byo
病因未確定
我孫子和雄ら:関西病虫研報 32:78, 1990
[備考] 病菌は *Septoria trachelii* に類似する

斑点病 hanten-byo Leaf spot
Phyllosticta sp.
瀧元清透:花卉及温室作物の病害:119, 1939(昭 14)
[備考] 解説書。病徴のみ記載

輪紋病 rimmon-byo
Ascochyta sp.
成田武四:北海道における農作物病害:199, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:669, 1998
[備考] 接種試験未了。*Ascochyta bohemica* あるいはカンパニュラ斑点病菌 *Phyllosticta* sp. との関係を明らかにする必要がある

イソトマ
Rock isotoma
Laurentia axillaris (Lindley) Wimmer
(草花)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo
菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
(2) *Colletotrichum* sp.
菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
菅原 敬ら:北日本病虫研報 53:152, 2002 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

ロベリア(ルリチョウチョウ)
Edging lobelia
Lobelia erinus L.
(草花)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

栗谷寛子ら:日植病報 53(1):126, 1987

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、日野 巖:宮崎高農学報 5:107, 1933(昭8)

灰色かび病 *haiiro-kabi-byo*

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:200, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:670, 1998

[備考] 接種試験未了

根こぶ線虫病 *nekobu-senchu-byo* Root knot (節根病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28)

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

キキョウ(桔梗)
Balloon flower
Platycodon grandiflorus (Jacq.) A.DC.
(草花)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・岩木満朗:日植病報 29(3):167, 1964

茎腐病 *kukigusare-byo* Stem blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(4):215, 1990 ; 植松清次:関東病虫研報 40:85, 1993

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB 型

立枯病 *tachigare-byo* Root rot

Rhizoctonia sp.

河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病虫害:151, 1976

[備考] 解説書のため詳細不明。茎腐病との異同について検討を要する

灰色かび病 *haiiro-kabi-byo*

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:200, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:670, 1998

[備考] 接種試験未了

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

西原夏樹:日植病報 41(1):82, 1975 ; 古谷真二:四国植防 11:117, 1976

[備考] 西原 (1975) は *Stemphylium* sp. と報告。古谷 (1976) は詳細な研究から *S. lycopersici* の一分化型とした

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 43:125, 1966

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Septoria platycodonis Sydow & P. Sydow

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:617, 1917(大 6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:900, 1930(昭 5)

[備考] 白井・三宅 (1917) は寄主植物リスト。原 (1930) は Sydow H. & P. が記載した「Ein Beitrag zur Kenntnis der parasitischen Pilzflora des Nördlichen Japan Ann. myc. 11(2), (1913)」を引用している。接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:271, 1975

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

アサ科 Cannabaceae

タイマ(アサ, 大麻)

Hemp

Cannabis sativa L.

(特用作物)

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (Bacterial blight)

Xanthomonas campestris pv. *cannabis* Severin 1978 [*Xanthomonas cannabis* (Watanabe 1947) Okabe & Goto 1955]
石山信一:大日本農会報 549:34, 1925(大 14) ; 渡邊龍雄:繊維作物病理学 112, 1947 ; 岡部徳夫・後藤正夫:静大農研報 5:63, 1955 ; 瀧川雄一ら:日植病報 50(1):141, 1984 ; Netsu, O. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(2):164, 2014

疫病 eki-byo Blight

Phytophthora sp.

瀧元清透:朝鮮農会報 16(1):18, 1921(大 10) ; 和田悦郎ら:日植病報 46(3):380, 1980

[備考] 瀧元 (1921) は朝鮮半島での発生を報告した

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot (斑点病)

Cercospora cannabis Hara & Fukui [*Cercosporina cannabis* Hara & Fukui, *Cercospora cannabis* Hara, *Cercospora hosodai* Fukui]

福士貞吉:病虫雑 12(6):311, 1925(大 14) ; 福井武治:病虫雑 12(10):574, 1925(大 14) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):48, 1960

茎枯病 kukigare-byo Canker

Phoma herbarum Westendorp

渡邊龍雄:繊維作物病理学:118, 1947

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):44, 1928(昭 3) ; 明日山秀文ら:作物病虫害ハンドブック:311, 1955

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白星病 shirahoshi-byo Leaf spot (斑点病)

Septoria cannabis (Lasch) Saccardo

山田玄太郎・大森順造:植物病理学:397, 1904(明 37) ; 原 攝祐:実用作物病理学:195, 1925(大 14)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡邊龍雄:繊維作物病理学:115, 1947

立枯病 tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium* spp.

(2) *Phoma* sp.

(3) *Alternaria* sp.

(4) *Rhizoctonia* sp.

渡邊龍雄:繊維作物病理学:120, 1947

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (菌核病)

Botrytis cinerea Persoon

渡邊龍雄:繊維作物病学:122, 1947

白斑病 hakuhan-byo White rot

Phyllosticta sp. [*Phyllosticta straminella* non Bresàdola]

渡邊龍雄:繊維作物病学:117, 1947

べと病 beto-byo Downy mildew

Pseudoperonospora cannabina (G.H. Otth) Curzi [*Peronospora cannabina* G.H. Otth]

出田 新:日本植物病理学(上):169, 1909(明 42)

円星病 maruhoshi-byo

Phyllosticta cannabis (L.A. Kirchner) Spegazzini

澤田兼吉:林試研報 105:39, 1958

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

渡邊龍雄:繊維作物病学:123, 1947

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

ホップ(忽布)

Hop

Humulus lupulus L.

(特用作物)

わい化病 waika-byo Stunt (矮化病)

(1) Apple fruit crinkle viroid (AFCVd) リンゴゆず果ウイロイド

Sano, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(3):181, 2004

(2) Hop stunt viroid (HpSVd) ホップ矮化ウイロイド

山本初美ら:北大農邦文紀 7(4):491, 1970 ; Sasaki, M. & Shikata, E.:Proc. Japan Acad. 53B:103, 1977 ; 佐々木

真津生・四方英四郎:日植病報 43(3):364, 1977

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Apple mosaic virus (ApMV) リンゴモザイクウイルス

佐野輝男ら:Ann. appl. Biol. 106:305, 1985

(2) Hop latent virus (HpLV) ホップ潜在ウイルス

佐野輝男ら:日植病報 47(3):411, 1981

(3) Hop mosaic virus (HpMV) ホップモザイクウイルス

菅野善明ら:日植病報 60(6):675, 1994

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942

渡邊龍雄:植物病学:253, 1957 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 病原細菌の異名はチャ根頭がんしゅ病参照。澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

細菌病 saikin-byo

病原細菌種名未定

酒井正行・上原吉久:醸造科研報 7:91, 1954 ; 須藤 勇・伊原衣子:学士院記事 31:294, 1955

[備考] 病原細菌名 *Corynebacterium humuli* Stow & Ihara は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

萎凋病 icho-byo

Verticillium sp.

鑑谷大節ら:北日本病虫研報 14:63, 1963

[備考] 病株からは *Fusarium* sp. や *Pythium* sp. も多く分離されている

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Oidium* sp.

原田幸雄・佐野輝男:日植病報 70(1):49, 2004 ; 勝部和則ら:日植病報 70(1):53, 2004

[備考] 病原は *Fibroidum* 亜属菌

(2) *Podosphaera macularis* (Wallroth) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca intermedia* U. Braun, *Sphaerotheca humuli* (de Candolle) Burrill, *Sphaerotheca humuli* non (de Candolle) Burrill sensu Homma-pro parte]

原 攝祐:日本害菌学:130, 1936(昭 11) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Pseudocercospora humuli (Hori) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Cercospora humuli* Hori, *Cercospora humuli-japonici* Sawada]

瀧元清透:朝鮮農会報 13(12):34, 1918(大 7)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

小澤竜生ら:日植病報 50(1):111, 1984

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

佐藤昭美:日植病報 34(5):358, 1968

白斑病 hakuhan-byo Leaf spot

Phyllosticta humuli Saccardo & Spegazzini

福井武治:農学会報 166:375, 1916(大 5)

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora humuli (Miyabe & Takahashi) G.W. Wilson

宮部金吾・高橋良直:札幌博物会報 1(2):149, 1906(明 39)

カラハナソウ類

(*Humulus*)

Humulus spp.

(野草)

カナムグラ *H. scandens* (Lour.) Merrill

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Fibroidium* sp.

神谷敏広ら:日植病報 70(3):213, 2004

[備考] *Fuliginea* 型。カラハナソウ (*H. lupulus* var. *cordifolius*) に発生

(2) *Oidium* sp.

原田幸雄・佐野輝男:日植病報 70(1):49, 2004

[備考] カラハナソウに発生

褐斑病 kappan-byo

Pseudocercospora humuli (Hori) Y.L. Guo & X.J. Liu

今泉英理夏ら:日植病報 62(6):608, 1996 ; 今泉英理夏ら:日植病報 65(5):557, 1999

[備考] カナムグラに発生

カンナ科 Cannaceae

カンナ(ハナカンナ)

Canna

Canna × *generalis* L.H. Bailey
(草花)

黄色斑紋病 oshoku-hammon-byo

Canna yellow mottle virus (CaYMV) カンナ黄色斑紋ウイルス

山下修一ら:日植病報 45(1):85, 1979 ; 山下修一:日植病報 51(5):642, 1985

[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定, 戻し接種なし。ウイルス(未同定)によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

茎腐病 kukigusare-byo Collar rot, Leaf-base rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

高野喜八郎:日植病報 54(3):354, 1988

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia thaliae Dietel

佐藤昭二ら:日植病報 45(4):543, 1979

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970 ; 上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:295, 1975

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:295, 1975

††芽腐細菌病 megusare-saikin-byo Bacterial bud rot (芽腐病, 芽腐性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:263, 1941(昭 16) ; 上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:294, 1975(昭 50)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Xanthomonas cannae* (Bryan 1921) Sávulescu 1947 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した。*Xanthomonas campestris* pv. *cannae* とは異なる

ギョボク(フウチョウボク)科 Capparaceae, Capparidaceae

ヒメフウチョウボク

(Capparis)

Capparis kikuchii Hayata

(広葉樹)

†表すす病 omote-susu-byo Sooty mold

Asterina koshunensis Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):5, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

†円斑病 maruhan-byo

Gloeosporium capparidis Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):63, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。病原菌の分類学的所属については再検討を要する

††††

†*Calothyriopeltis capparidis* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農専刊 8(台湾産菌類調査報告 11):45, 1959

[備考] 台湾。*C. formosana* に発生

††††

†*Coccodiella capparidis* (Mundkur & S. Ahmad) I. Hino & Katumoto [*Bagnisiopsis capparidis* Mundkur & S. Ahmad]

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 43(9):281, 1968

[備考] インド・パキスタン。*Capparis* sp.に発生

スイカズラ科 Caprifoliaceae

ツクバネウツギ(アベリア)(衝羽根空木)

Abelia

Abelia spathulata Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

タイワンツクバネウツギ(シナツクバネウツギ) *A. chinensis* R.Br. var. *ionandra* (Hayata) Masam.

ハナゾノツクバネウツギ(アベリア) *Abelia*×*grandiflora* (Andrée) Rehder

ツクバネウツギ *A. spathulata* Siebold & Zucc.

ウゴツクバネウツギ *A. spathulata* Siebold & Zucc. var. *stenophylla* Honda

オオツクバネウツギ *A. tetrasepala* (Koidz.) H. Hara & S. Kuros.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe abeliicola* U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera abeliae* Homma]

Homma, Y.: Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):392, 1937(昭 12) ; 平田幸治・和田久美子: 菌蕈研報 10:497, 1973 ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):214, 1988 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:51, 2012

[備考] オオツクバネウツギ・ウゴツクバネウツギに発生

(2) *Oidium* sp.

丹田誠之助: 東農大農学集報 42(3):173, 1997

[備考] ハナゾノツクバネウツギに発生

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら: 関東病虫研報 51:75, 2004

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型IB

斑点病 hanten-byo

Cercospora abeliae Katsuki

山本和太郎・前田巳之助: 兵庫農大研報農生編 4(2):42, 1960 ; Katsuki, S.: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 20(1):71, 1955

[備考] ハナゾノツクバネウツギ・シナツクバネウツギに発生

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

小林享夫ら: 森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] ハナゾノツクバネウツギに発生。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

堀江博道: 森林防疫 31(2):27, 1982

タイワンソクズ
(Ebulus)
Ebulus formosana Nakai
(広葉樹)

†裏すす病 ura-susu-byo

Pseudocercospora ebulicola (W. Yamamoto) Deighton [*Cercospora ebulicola* W. Yamamoto]

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):169, 1943(昭 18); 山本和太郎:札幌博物学会報 13(3):139, 1934(昭 9)

[備考] 台湾

†褐色円斑病 kasshoku-maruhan-byo

Helminthosporium ebuli Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):75, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。病原菌の分類学的所属については再検討を要する

†すす病 susu-byo Sooty mold

Asteridiella ebuli (W. Yamamoto) Hansford [*Irenina ebuli* W. Yamamoto]

山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):16, 1941(昭 16) ; Hansford, C. G.:Sydowia Beih. 2:612, 1961

[備考] 台湾

コークウィチア
Beautybush
Kolkwitzia amabilis Graebn.
(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Pseudocercospora imazekii Tak. Kobayashi & Nagashima [*Cercospora* sp.]

長島征哉・小林享夫:99 回日林論:519, 1988 ; Kobayashi, T. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 32(3):323, 1991

ウゲイスカグラ(鶯神楽)
Honeysuckle
Lonicera gracilipes var. *glabra* Miq.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe erlangshanensis* (Y.N. Yu) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera erlangshanensis* Y.N. Yu, *Microsphaera* sp.]

丹田誠之助ら:東農大農学集報 21(1):21, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):218, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:54, 2012

[備考] ヤマウゲイスカグラ (*L. gracilipes*) ・ ミヤマウゲイスカグラ (*L. gracilipes* var. *glandulosa*) に発生
(2) *Erysiphe lonicerae* de Candolle var. *lonicerae* [*Microsphaera lonicerae* (de Candolle) G. Winter var. *lonicerae*, *Microsphaera lonicerae* (de Candolle) G. Winter]

平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:103, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):218, 1988 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):219, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012

[備考] ヤマウゲイスカグラ (*L. gracilipes*) にも発生

(3) *Erysiphe lonicerae-ramosissimae* (Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera lonicerae-ramosissimae*

Tanda]

Tanda, S.:Mycoscience 41(2):155, 2000 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012

[備考] コウグイスカグラ(*L. ramosissima* Franch. & Savat.)に発生

(4) *Erysiphe miurae* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera miurae* U. Braun, *Microsphaeraalni* auct. Jap. non (Wallroth) Salmon]

Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ;

丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):114, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012

[備考] キンギンボク・チシマヒョウタンボク (*L. orientalis*)・ハナヒョウタンボク (*L. ciliata*)・オニヒョウタンボクに発生

黄褐斑病 okappan-byo

Pseudocercospora lonicericola (W. Yamamoto) Deighton [*Cercospora lonicericola* W. Yamamoto]

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:215, 1977 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

褐色輪斑病 kasshoku-rinhan-byo

Kabatia mirabilis Bubák

Sato, K.:Trans. Mycol Soc. Japan 18(4):343, 1977

[備考] キンギンボク (*L. morrowii*)

黒紋病* kokumon-byo Tar spot (黒脂病)

Rhytisma lonicericola Hennings [*Melasmia loniceriae* Hennings]

吉野毅一:植物学雑 19(224):204, 1905(明 38) ; 澤田兼吉:林試研報 53:149, 1952

[備考] オオヒョウタンボク (*L. tschonoskii*)・ハナヒョウタンボク (*L. maackii*)ミヤマヒョウタンボク (*L. mochidzukiana* var. *nomurana*) にも発生

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Aplopsora loniceriae* Tranzschel

平塚直秀:植研雑 16(10):616, 1940(昭 15)

[備考] アラゲヒョウタンボク (*L. strophiphora*)

(2) *Puccinia festucae* Plowright

伊藤誠哉:東北農科大紀要 3(2):237, 1909(明 42)

[備考] クロミノウグイスカグラ (*L. caerulea* var. *emphyllocalyx*)・ハナヒョウタンボク・アラゲヒョウタンボク・ケヨノミ (*L. caerulea* var. *edulis*)・エゾヒョウタンボク (*L. glehnii*)・チシマヒョウタンボク (*L. chamissoi*)・ネムロブシダマ (*L. chrysantha*)・ベニバナヒョウタンボク (*L. sachalinensis*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] ハナヒョウタンボク

スイカズラ(忍冬)

Japanese honeysuckle

Lonicera japonica Thunb.

(広葉樹)

斑紋病 hammon-byo

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

楠木 学:日植病報 46(3):414, 1980
[備考] *L. periclymenum*。戻し接種なし

葉脈黄化病* yomyaku-oka-byo Yellow vein
Tobacco leaf curl Japan virus (TbLCJV) タバコ巻葉日本ウイルス
Ogawa, T. *et al.*:Virus Res. 137:235, 2008
[備考] DNA β の存在により病徴は激しくなる

葉脈黄化モザイク病* yomyaku-oka-mosaic-byo Yellow vein mosaic
Honeysuckle yellow vein mosaic virus (HYVMV) スイカズラ葉脈黄化モザイクウイルス
池上正人:植物防疫 61:41, 2007 ; Ogawa, T. *et al.*:Virus Res. 137:235, 2008
[備考] DNA β の存在により病徴は激しくなる

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)
Erysiphe lonicerae de Candolle var. *lonicerae* [*Microsphaera lonicerae* (de Candolle) G. Winter var. *lonicerae*, *Microsphaera lonicerae* (de Candolle) G. Winter]
Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):392, 1937(昭 12) ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:103, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):219, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012

裏灰病 urahai-byo
Cladosporium lonicerae Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):163, 1943(昭 18) ; 香月繁孝:九州農業研究 12:54, 1953
[備考] ビロードスイカズラ・ハマニンドウ (*L. affinis*)

黄褐斑病 okappan-byo
Pseudocercospora lonicericola (W. Yamamoto) Deighton [*Cercospora lonicericola* W. Yamamoto]
澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):172, 1943(昭 18) ; 山本和太郎:熱帯農学会誌 6(3):604, 1934(昭 9) ; 香月繁孝:九州農業研究 7:76, 1950 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992
[備考] ビロードスイカズラ (*L. japonica* var. *sempervillosa*) にも発生

黒紋病 kokumon-byo Tar spot (黒脂病)
Rhytisma lonicericola Hennings [*Melasmia* sp., *Rhytisma lonicerae* Hennings]
伊藤一雄:樹病学大系 2:50, 1973 ; 吉永虎馬:植物学雑誌 16(179):6, 1902(明 35)
[備考] 病原菌の異名はウグイスカグラ黒紋病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot
Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka
Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:7, 1949
[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

帯化病* taika-byo Fasciation
生理障害
久内清孝:植研雑 5(8):303, 1928(昭 3)

オニヒョウタンボク
(*Lonicera*)
Lonicera vidalii Franch. & Savatier

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Microsphaera miurae U. Braun

丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):109, 1996

ニワトコ(接骨木)

Japanese elder

Sambucus racemosa L. subsp. *sieboldiana* (Miq.) Hara

(広葉樹)

ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

土崎常男ら:日植病報 32(5):319, 1966

[備考] 原株はモザイク症状

(2) *Elder ring mosaic virus*# (ERMV) ニワトコ輪紋モザイクウイルス

楠木 学ら:日植病報 43(1):125, 1977

[備考] 原株は輪紋症状

(3) *Elder vein clearing virus*# (EVCV) ニワトコ葉脈透明ウイルス

楠木 学ら:日植病報 43(1):125, 1977

[備考] 原株は葉脈透明症状

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe polygoni* de Candolle

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):38, 1913(大 2) ; 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:6, 1934(昭 9)

(2) *Erysiphe vanbruntiana* (Gerard) U. Braun & S. Takamatsu var. *sambuci-racemosae* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera vanbruntiana* Gerard var. *sambuci-racemosae* U. Braun, *Microsphaera grossulariae* auct. Jap. non Léveillé, *Microsphaera sambucicola* Hennings]

白井光太郎:植物病理学(下):192, 1900(明 33) ; 丹田誠之助ら:東農大農学集報 30(3):257, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):216, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:62, 2012

[備考] エゾニワトコ・ホソバニワトコ (*S. sieboldiana* f. *stenophylla*)・オオニワトコ(*S. sieboldiana* var. *major*)にも発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium sambuci Schweinitz

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):48, 1914(大 3) ; Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):660, 1930(昭 5)

[備考] エゾニワトコ (*S. sieboldiana* var. *miquelii*) にも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

斑点病 hanten-byo Leaf spot (褐斑病)

Cercospora depazeoides (Desmazières) Saccardo

高野喜八郎:日植病報 60(6):777, 1994

[備考] 接種試験未了

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明 44) ; 原 攝祐:果樹病害論:61, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Trichodorus tricaulatus Shishida ユミハリセンチュウの 1 種

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] エゾニワトコ

††††

Dothidea sambuci (Persoon) Fries

白井光太郎:植物病理学(下):223, 1894(明 27)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

シンフォリカルボス

Symphoricarpos albus (L.) S. F. Blake

(広葉樹)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

菅原 敬ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅原 敬ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

実腐病 migusare-byo Fruit rot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

菅原 敬ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

[備考] 日本植物病理学会報訂正記事(76(1):80, 2010)による

ガマズミ(アラゲガマズミ)(英蒾)

Linden viburnum

Viburnum dilatatum Thunb.

(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):252, 2000

[備考] ハクサンボク *V. japonicum* に発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe viburni* Duby [*Microsphaera sparsa* Howe, *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon-pro parte, *Microsphaera viburni* Howe, *Microsphaera alni* auct. Jap. non Salmon] (白渋病)

平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):128, 1973 ; 丹田誠之助・佐藤志美雄:東農大農学集報 23(1):89, 1978 ; Braun, U.:Mycotaxon 15:151, 1982 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):229, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:62, 2012

[備考] コバノガマズミ・ガマズミ・ミヤマガマズミ・オトコヨウゾメに発生

(2) *Erysiphe viburnicola* U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula viburni* Y. Nomura, Tanda & U. Braun, *Uncinula* sp.]

丹田誠之助ら:東農大農学集報 22(1):18, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):237, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012

[備考] コバノガマズミにも発生

(3) *Podosphaera viburni* U. Braun

Braun, U.:Mycotaxon 15:138, 1982 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 27(3):221, 1983

[備考] ミヤマガマズミ・オトコヨウゾメに発生

(4) *Podosphaera* sp.

高松 進:日菌報 18(2):197, 1977

[備考] ケナシヤブデマリに発生。前種との異同について検討を要する

褐斑病 kappan-byo (斑点病)

Stigmata tinea (Saccardo) M.B. Ellis [*Cercospora tinea* Saccardo]

小林享夫:森林防疫 22(12):275, 1973 ; Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 20(7):72, 1955 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):599, 1992

[備考] コバノガマズミ (*V. erosum*)・ヤブデマリ (*V. plicatum* var. *tomentosum*)・ゴマギ (*V. sieboldii*)・ゴモジュ (*V. suspensum*)にも発生

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

鷺尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

[備考] 病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

黒紋病* kokumon-byo Tar spot (黒脂病)

Rhytisma viburni Hennings [*Melasmia viburni* Sawada]

白井光太郎:日本菌類目録:88, 1905(明 38) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:351, 1911(明 44)

[備考] オトコヨウゾメ (*V. phlebotrichum*)にも発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Aecidium viburni* Hennings & Shirai

安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):130, 1904(明 37)

[備考] コガマズミ (*V. dilatatum* var. *microphyllum*)・コバノガマズミ・タカサゴガマズミ (*V. formosanum*)にも発生

(2) *Pucciniastrum miyabeanaum* Hiratsuka

出田 新:実用植物病理学:147, 1901(明 34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 12(134):33, 1898(明 31)

[備考] ムシカリ(*V. furcatum*)・ミヤマガマズミ・ヤブデマリ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] オオデマリ (*V. plicatum*)・オトコヨウゾメ・ヤブデマリにも発生。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

佐藤邦彦ら:林試東北支年報 11:210, 1970

[備考] ミヤマガマズミ (*V. wrightii*)。病原菌の狭義の種は未検討

ペスタロチア病* Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotia sp.

安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:137, 1973

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

堀江博道:森林防疫 31(2):30, 1982

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconea jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconea jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Criconea longulum* (Gunhold) Raski & Luc [*Nothocriconea longulum* Gunhold] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

Asteridiella viburni (Sydow) Hansford [*Irenina viburni* (Sydow) F. Stevens]

山本和太郎:台湾博物会報 30(200/201):149, 1940(昭15)

[備考] 台湾。タカサゴガマズミ (*V. luzonicum* var. *formosanum*)・オイワケガマズミ (*V. propinquum*)

†斑点病 hanten-byo

Gnomoniella koreana Hara

原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 361):18, 1927(昭2)

[備考] 朝鮮半島

††††

Phyllosticta akaisiana Hara

原 攝祐:静岡県農会報 34(11):560, 1930(昭5)

[備考] オオカメノキ

††††

Placosphaeria viburni Hennings

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(315):49, 1913(大2); 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):463, 1917(大6)

††††

Septoria viburni Westendorp

Naito, N.: Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:37, 1940 (昭 15)

[備考] コバノガマズミ

サンゴジュ(珊瑚樹)

Japanese viburnum

Viburnum odoratissimum Ker-Gawler var. *awabuki* (K. Koch) Zabel

(広葉樹)

いぼ皮病 ibokawa-byo Dieback, Warty stem blight

Botryosphaeria sp.

原田幸雄ら: 日植病報 63(3):202, 1997

すす病 susu-byo Sooty mold

Asteridiella viburni (Sydow) Hansford [*Irenina viburni* (Sydow) F. Stevens]

Katsuki, S.: Journ. Jap. Bot. 28(8):279, 1953

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease

Pestalotiopsis breviseta (Saccardo) Steyaert [*Pestalotia breviseta* Saccardo]

日野隆之: 採集と飼育 26(9):265, 1964 ; 小林享夫・勝本 謙: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫: 茶業技術研究 15:11, 1956

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.: Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.: Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.: Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

††††

Satsuma dwarf virus (SDV) 温州萎縮ウイルス

小泉銘冊ら: 日植病報 53(1):64, 1987

[備考] ウンシュウミカン温州萎縮病の感染源または媒介者である

カンボク(肝木)

Guelder rose

Viburnum opulus L. var. *calvescens* (Rehder) Hara

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe shinanoensis (Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera shinanoensis* Tanda]
Tanda, S.:Mycoscience 35(1):51, 1994 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium viburni Hennings & Shirai

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(662):58, 1942(昭 17) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):380, 1950

[備考] ケナシカンボク (*V. pubinerve* f. *calvescens*) にも発生

小褐斑病 sho-kappan-byo

Cercospora penicillata (Cesati) Fresenius

小林享夫:森林防疫 22(12):275, 1973 ; Katsuki, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 10:561, 1973

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:7, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

†褐斑病 kappan-byo

Cercospora tineae Saccardo

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):55, 1914(大 3) ; 小林享夫:森林防疫 22(12):275, 1973

[備考] 中国

††††

Phyllosticta viburni-opuli Miura

三浦密成:秋田農試報 8:33, 1957

ハコネウツギ(錦帯花)

Weigela

Weigela coraeensis Thunb.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe diervillae* Miyabe ex U. Braun var. *diervillae* [*Erysiphe pisi* auct. Jap. non de Candolle]

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:497, 1973 ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):321, 1937(昭 12) ; Braun, U.:Mycotaxon 18(1):119, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):185, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012

[備考] タニウツギ・ニシキウツギ (*W. decora*)・ヤブウツギ (*W. floribunda*) にも発生

(2) *Erysiphe diervillae* Miyabe ex U. Braun var. *weigela* (Z.X. Chen & S.B. Luo) Heluta [*Erysiphe weigela* Z.X. Chen & S.B. Luo]

佐藤幸生ら:日植病報 66(3):304, 2000 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 47(4):290, 2003 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012

[備考] オオベニウツギ *W. florida* (Bunge) de Candolle・タニウツギに発生

(3) *Erysiphe lata* (Y. Nomura & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula lata* Y. Nomura & Tanda]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:73, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012

[備考] ニシキウツギに発生

(4) *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon

平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956

[備考] カリヨセウツギ (*W. kariyosensis*) にも発生

黒いぼ病 kuroibo-byo Dothidea die-back (黒疣病)

Stylodothis puccinioides (de Candolle) Arx & E. Müller [*Dothidea puccinioides* (de Candolle) Fries]

安田 篤:植物学雑 37(434):67, 1923(大 12) ; 今関六也:隠花植物図鑑(朝比奈泰彦編):283, 1989

[備考] タニウツギ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] タニウツギにも発生

灰斑病 haihan-byo

Pseudocercospora weigeliae (Ellis & Everhart) Deighton [*Cercospora weigeliae* Ellis & Everhart]

福井武治:三重高農学術報 3(3):17, 1933(昭 8) ; 小林享夫:森林防疫 24(2):28, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23(1):42, 1982 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):599, 1992

[備考] タニウツギ (*W. hortensis*)・ベニウツギ (*W. decora* var. *rosea*) にも発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Criconea bellatulum (Minagawa) Raski & Luc [*Nothocriconea bellatulum* Minagawa] ワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] ツクシヤブウツギ (*W. japonica*)。根圏土壌より検出

††††

Phyllosticta diervillae Davis

三浦密成:秋田農試報 8:27, 1957

[備考] タニウツギ

††††

†*Septoria diervillae* Peck

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):52, 1914(大 3)

[備考] 中国

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] タニウツギ

タニウツギ

(Weigela)

Weigela hortensis (Sieb. & Zucc.) K. Koch

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe diervillae* Miyabe ex U. Braun [*Erysiphe pisi* de Candolle]

(2) *Erysiphe weigela* Z.X. Chen & S.B. Luo

佐藤幸生ら:日植病報 66(3):304, 2000

[備考] (1) *E. diervillae* と (2) *E. weigela* は同種との報告もある(佐藤幸生ら:日植病報 66(3):304, 2000)

パパイヤ科 Caricaceae

パパイヤ(モクカ)(木瓜)

Papaya

Carica papaya L.

(果樹)

奇形葉モザイク病 kikeiyo-mosaic-byo Leaf-distortion mosaic (モザイク病, 輪紋病)

(1) *Papaya leaf distortion mosaic virus* (PLDMV) パパイヤ奇形葉モザイクウイルス

小室康雄:農業叢書(琉球政府経済局農務課) 45:1, 1960 ; 与那覇哲義:沖縄農業 1(1):37, 1962 ; 与那覇哲義:琉球大農学報 23:115, 1976 ; 与那覇哲義:植物防疫 41(12):578, 1987 ; 眞岡哲夫ら:日植病報 61(1):34, 1995
[備考] パパイヤ系統 (PLDMV-P)。なお, 眞岡哲夫・野田千代一 (日植病報 63(3):194, 1997) はパパイヤには病原性を示さないが, ウリ類から本ウイルスのウリ科系統 (PLDMV-C) を分離している

(2) *Papaya ringspot virus* (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス

眞岡哲夫ら:日植病報 61(1):34, 1995

[備考] P-strain。外国で広く知られている *Papaya ringspot* (PRS) の病原と同じであり, PRS と本病との病徴の相違については検討を要する

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

Erwinia sp.

篠原弘亮ら:日植病報 70(3):282, 2004

[備考] 外国で報告のある *Erwinia papayae* による bacterial canker との異同について調査を要する

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Angular leaf spot

Pseudomonas syringae van Hall 1902

秋山雅世ら:日植病報 67(2):179, 2001

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病)

Sphaerotheca caricae-papayae Tanda & U. Braun [*Oidium caricae* F. Noack]

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 49:45, 1930(昭 5) ; Tanda, S. & Braun, U.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26:316, 1985 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):490, 1991

[備考] 追録(9)(日植病報 54(5):649, 1988) 記載の *Ovulariopsis caricae* Sawada は誤同定で, その後本病菌と再同定された

褐斑病 kappan-byo Greasy spot

Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

小林慶範ら:日植病報 66(3):274, 2000 ; Kobayashi, Y. et al.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 37:81, 2001 ; 小野 剛・中島千晴:日植病報 71(3):216, 2005

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus stolonifer* (Ehrenberg) Vuillemin]

佐藤豊三:東京農試研報 20:21, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987

軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot

(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

矢口行雄・中村重正:日植病報 53(3):378, 1987 ; 矢口行雄・中村重正:日植病報 58(1):30, 1992

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

矢口行雄・中村重正:日植病報 54(1):126, 1988 ; 矢口行雄・中村重正:日植病報 58(1):30, 1992

(3) *Lasiodiplodia theobromae* (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

矢口行雄・中村重正:日植病報 53(3):378, 1987 ; 矢口行雄・中村重正:日植病報 58(1):30, 1992
[備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):593, 1992 参照。完全世代の *Botryosphaeria rhodina* (Cook) Arx はわが国では未記録

(4) *Phoma caricae-papayae* (Tarr) Punithalingam [*Ascochyta caricae* Patouillard]

矢口行雄・中村重正:日植病報 54(1):126, 1988 ; 矢口行雄・中村重正:日植病報 58(1):30, 1992

(5) *Phomopsis* sp.

矢口行雄・中村重正:日植病報 53(3):378, 1987 ; 矢口行雄・中村重正:日植病報 58(1):30, 1992

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum capsici* (Sydow) E.J. Butler & Bisby

矢口行雄ら:日植病報 61(3):222, 1995

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum caricae* F. Stevens & J.G. Hall, *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Gloeosporium papayae* Hennings]

逸見武雄:病虫雑 8(6):274, 1921(大 10) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979

苗立枯病 nae-tachigare-byo

(1) *Phytophthora palmivora* (E.J. Butler) E.J. Butler

亀川 藍ら:日植病報 76(1):29, 2010

[備考] 亀川ら(2009)は本菌が軟腐病も引き起こすとした

(2) *Phytophthora* sp.

佐藤豊三:東京農試研報 20:21, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987

軟腐病 nampu-byo *Phytophthora blight* (疫病)

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:29, 1977 ; 佐藤豊三:東京農試研報 20:21, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987

白斑病 hakuhan-byo White leaf spot

Cercosporidium insulare Tak. Kobayashi & Tokashiki [*Cercospora* sp.]

小林享夫・渡嘉敷唯助:日植病報 60(3):338, 1994 ; 小林享夫・渡嘉敷唯助:日植病報 61(1):49, 1995

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. Ryukyu Is. 1:67, 1961 ; 照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971

††バンチトップ病* bunchy top-byo Bunchy top (マイコプラズマ病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

四方英四郎:植物防疫 26(5):184, 1972 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:31, 1977

[備考] ドミニカ

††細菌病 saikin-byo Bacterial rot

病原細菌種名未定

岡部徳夫:植物細菌病学:262, 1949 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:30, 1977

[備考] インドネシア (ジャワ島・モルッカ諸島)。病原細菌名 *Erwinia papayae* (Rant) Magrou [*Bacillus papayae* Rant] は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†首なし病 kubinashi-byo

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

津田盛也ら:日植病報 49(3):402, 1983

[備考] ブラジル。病原菌は果実にも病原性を示すことから、軸腐病と同じ可能性がある

†黒粉病 kokufun-byo Black powdery spot, Scab (瘡か病)

Mycosphaerella caricae (Maublanc) Maublanc [*Asperisporium caricae* (Spegazzini) Maublanc]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:28, 1977 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:日植病報 52(1):102, 1986 ; 小林享夫:森林防疫 35(10):175, 1986

[備考] ブラジル・フィリピン

†白絹病 shirakinu-byo Southern blight, Southern sclerotium rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農事報 49:12, 1910(明 43)

††††生育遅延 seiiku-chien Growth reduction

Pythium splendens Hans Braun

亀川 藍ら:日植病報 76(3):159, 2010

††立枯病 tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(2) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:27, 1977

†葉枯病 hagare-byo

Phyllosticta caricaecola Sawada

澤田兼吉:台湾農事報 38(10):775, 1942(昭 17) ; 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):60, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

††††

†*Cercospora mamaonis* Viégas & Chupp [*Cercospora papayae* Viégas & Chupp]

Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC II:12, 1978

[備考] ブラジル。葉の斑点から検出

††††

†*Phyllosticta papayicola* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):65, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。葉縁より生ずる黄褐色、不明瞭な病斑から検出。澤田によるとパパイヤには 2 種の *Phyllosticta* (*P. papayae* Saccardo, *P. caricae-papayae* Allesher) の寄生が知られている

ナデシコ科 Caryophyllaceae

カーネーション, ナデシコ類

Carnation, Pink

Dianthus spp.

(草花)

カーネーション Carnation *Dianthus caryophyllus* L.

ナデシコ *Dianthus* spp.

セキチク *Dianthus chinensis* L.

ウイルス病 virus-byo

(1) *Carnation etched ring virus* (CERV) カーネーションエッチドリングウイルス

栃原比呂志:作物ウイルス病事典:494, 1993

[備考] 解説書のため詳細不明

(2) *Carnation latent virus* (CLV) カーネーション潜在ウイルス

栃原比呂志ら:日植病報 41(4):390, 1975

(3) *Carnation mottle virus* (CarMV) カーネーション斑紋ウイルス

與良 清ら:日植病報 30(5):264, 1965 ; 栃原比呂志ら:日植病報 41(4):390, 1975

(4) *Carnation necrotic fleck virus* (CNFV) カーネーションえそ斑ウイルス

井上忠男・光畑興二:日植病報 37(3):197, 1971 ; Inouye, T. & Mitsuhashi, K.:Ber. Ohara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 15(4):195, 1973

(5) *Carnation vein mottle virus* (CVMoV) カーネーションベインモットルウイルス

矢吹駿一・栃原比呂志:日植病報 37(3):197, 1971 ; 栃原比呂志ら:日植病報 41(4):390, 1975 ; 山本孝彦ら:四国植防 26:49, 1991

[備考] 山本らの報告はフジナデシコ (*Dianthus japonicus*) での発生。ウイルス (未同定)の最初の記載は、福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭7)

微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo

Carnation latent virus (CLV カーネーション潜在ウイルス)と *Carnation vein mottle virus* (CVMoV カーネーションベインモットルウイルス)の重複感染

與良 清・小坂田 武:日植病報 25(1):37, 1960 ; 與良 清・結城 惇:日植病報 30(3):156, 1965

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] セキチク (*D. chinensis*) に発生。汁液接種検定による同定。戻し接種なし。血清試験によるフジナデシコ (*D. japonicus*) からの *Cucumber mosaic virus* 検出の報告がある。大木 理ら:植物防疫 35(7):305, 1981。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭7)

萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt (萎ちょう性細菌病)

Burkholderia caryophylli (Burkholder 1942) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 [*Pseudomonas caryophylli* (Burkholder 1942) Starr & Burkholder 1942, *Bacterium caryophylli* (Burkholder) Okabe]

岡部徳夫:植物細菌病学 341, 1949 ; 土屋行夫ら:日植病報 30(5):268, 1965

立枯細菌病 tachigare-saikin-byo Bacterial stunt

Dickeya dianthicola Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [*Erwinia chrysanthemi* pv. *dianthicola* (Hellmers 1958) Dickey 1979]

西東 力:日植病報 50(1):141, 1984 ; 西東 力:日植病報 51(2):145, 1985

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial spot (細菌性斑点病, 斑点性細菌病, 細菌病)
Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith) Stapp, *Bacterium woodsii* Smith, *Pseudomonas woodsii* (Smith) Stevens]

今井四郎:病虫雑 1(1):77, 1914(大 3); 瀧元清透:病虫雑 23(3):191, 1936(昭 11); 西山幸司ら:日植病報 45(5):668, 1979

萎凋病 icho-byo Wilt (裾腐病, 立枯病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *dianthi* W.C. Snyder & H.N. Hansen

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:46, 1939(昭 14); 松尾卓見ら:日植病報 26(5):217, 1961; 松尾卓見ら:日植病報 38(3):169, 1972

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium dianthi Jacz.

高橋尚之・高松 進:日植病報 69(1):59, 2003

[備考] *Erysiphe buhrii* U. Braun. は未確認。カーネーション *D. caryophyllus* L. に発生。接種試験未了

疫病 eki-byo *Phytophthora* blight

(1) *Phytophthora cryptogea* Pethybridge & Lafferty

植松清次ら:日植病報 74(3):180, 2008

(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:48, 1939(昭 14); 中村秀雄ら:日植病報 46(1):63, 1980; 植松清次ら:関東病虫研報 37:123, 1990

褐さび病 kassabi-byo Brown rust

Puccinia dianthi-japonici Hennings

塩田あづさ ら:日植病報 64(4):436, 1998

[備考] ナデシコ類に発生

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Cercospora dianthi A.S. Muller & Chupp

富樫浩吾・香月繁孝:植物学雑 65(763-764):20, 1952; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):54, 1960

カーブラリア葉枯病 *Curvularia*-hagare-byo *Curvularia* leaf blight

Curvularia inaequalis (Shear) Boedijn

神頭武嗣ら:日植病報 79(3):187, 2013

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:49, 1939(昭 14)

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot, Root rot (ロット, 葉腐病, 根腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

瀧元清透:実際園芸 20(4):548, 1936(昭 11); 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:45, 1939(昭 14); 杉山 悟:日植病報 65(3):405, 1999

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2

首腐病 kubigusare-byo

Alternaria sp.

瀧元清透:農薬研究 13(4):82, 1967

黒さび病 kurosabi-byo Black rust (Rust) (黒葉渋病, 黒色葉渋病)

Puccinia arenariae (Schumacher) G. Winter

今井四郎:病虫雑 1(1):77, 1914(大 3); 原 攝祐:実用作物病理学:565, 1925(大 14); 塩谷 浩ら:日植病報 59(1):42, 1993; 佐藤豊三ら:日植病報 60(4):535, 1994

黒点病 kokuten-byo Leaf spot (褐斑病, 斑点病)

Mycosphaerella dianthi (C.C. Burt) Jørstad [*Didymelina dianthi* C.C. Burt, *Heterosporium echinulatum* (Berkeley) Cooke]

今井四郎:病虫雑 1(1):77, 1914(大 3); 南部信方:病虫雑 2(7):659, 1915(大 4); 成田武四:北海道における農作物病害:203, 1977; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:683, 1998

[備考] 接種試験未了

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces dianthi (Persoon) Niessl [*Uromyces caryophyllinus* Winter]

今井四郎:病虫雑 1(1):75, 1914(大 3)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:46, 1939(昭 14); 手塚信夫・石井正義:関西病虫研報 36:81, 1994

白星病 shirahoshi-byo Leaf spot

Septoria dianthi Desmazières

今井四郎:病虫雑 1(1):76, 1914(大 3)

すす点病 susuten-byo Fly-speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

清水時哉ら:日植病報 62(3):266, 1996

[備考] カーネーションに発生

立枯病 tachigare-byo Stub dieback, Basal foot rot, Limb, Root and stem rot (裾腐病)

(1) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大 3); 松尾卓見ら:日植病報 26(5):217, 1961; 松尾卓見:日植病報 38(3):167, 1972; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992

(2) *Fusarium tricinctum* (Corda) Saccardo

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大 3); 松尾卓見ら:日植病報 26(5):217, 1961; 松尾卓見:日植病報 38(3):167, 1972

(3) *Gibberella zeae* (Schweinitz) Petch

外側正之・一戸正勝:関西病虫研報 30:43, 1988; 外側正之・小泉信三:静岡農試研報 35:53, 1990

根腐病 negusare-byo Root and stem rot

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

君島悦夫ら:日植病報 56(1):148, 1990; Kimishima, E. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 57(4):534, 1991

(2) *Pythium deliense* Meurs

君島悦夫・後藤正昭:日植病報 57(3):394, 1991; 君島悦夫・後藤正昭:植防研報 28:65, 1992

(3) *Pythium irregulare* Buisman

君島悦夫ら:日植病報 56(1):148, 1990 ; Kimishima, E. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 57(4):534, 1991
(4) *Pythium myriotylum* Drechsler
岡田清嗣ら:日植病報 74(3):177, 2008 ; 植松清次ら:関東病虫研報 55:191, 2008
[備考] カーネーション・ナデシコ「テルスター」

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (鼠黴病, ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:48, 1939(昭 14) ; 森田 壽:農業技術 16(12):561, 1961

斑点病 hanten-byo Blight, Stem rot

Alternaria dianthi F. Stevens & J.G. Hall

今井四郎:病虫雑 1(1):76, 1914(大 3)

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora dianthicola Barthelet

栢森美如ら:日植病報 78(1):61, 2012 ; Kayamori, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):364, 2012

[備考] カーネーション

芽腐病 megusare-byo Bud rot

(1) *Fusarium poae* (Peck) Wollenweber [*Sporotrichum anthophilum* Peck]

今井四郎:病虫雑 1(1):76, 1914(大 3)

(2) *Gibberella zeae* (Schweinitz) Petch

Togawa, M.:Abst. 6th IFW:28, 1988

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Heterodera trifolii Goffart クローバーシストセンチュウ

百田洋二ら:日植病報 56(1):151, 1990

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

(2) *Paratylenchus curvatus* van der Linde チャピンセンチュウ

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

(4) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:144, 1975

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 3(6):453, 1916(大5)

[備考] 抄録。カーネーション, セキチク, ナデシコでは国内発生未確認

††根部がんしゅ病 kombu-ganshu-byo Root gall

Pantoea agglomerans pv. *gypsophila* (Brown 1934) Bull, DeBoer, Firrao, Fescher-Le Saux, Saddler, Scortichini Stead & Takikawa [*Bacterium gypsophila* Brown, *Erwinia herbicola* pv. *gypsophila* (Brown 1934) Miller, Quinn & Graham 1981]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:554, 1941(昭16)

[備考] 国内発生未詳

†††黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Macrosporium nobile Vize

今井四郎:病虫雑 1(3):297, 1914(大3)

[備考] 病菌名は *Alternaria saponariae* の異名であり, また本病の国内における発生については調査を要する

††炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium dianthi Cooke

今井四郎:病虫雑 1(1):78, 1914(大3)

[備考] 病原菌の分類学的所属について検討が必要

†††葉枯病 hagare-byo

Volutella dianthi Atkinson ex Cooke

原 攝祐:実験作物病理学:883, 1930(昭5)

[備考] 調査を要する

†††がく割病 gakuware-byo

生理障害

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:47, 1939(昭14)

カスミソウ

Common gypsophila

Gypsophila elegans M. Bieb.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial spot (細菌性斑点病)

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Bacterium woodsii* Smith]

瀧元清透:病虫雑 23(3):191, 1936(昭 11)

[備考] ムレナデシコ (*Gypsophila elegans*) に発生

疫病 eki-byo Crown and root rot

Phytophthora sp.

森田 壽:日植病報 49(1):79, 1983

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

森田 壽ら:関東病虫研報 32:151, 1985

黒斑病 kokuhan-byo Flower and petal blight

Alternaria sp.

森田 壽ら:関東病虫研報 32:151, 1985

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:204, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:685, 1998

[備考] 接種試験未了

シュッコンカスミソウ(コゴメナデシコ)

Baby's-breath

Gypsophila paniculata L.

(草花)

萎凋細菌病* icho-saikin-byo Bacterial wilt (萎ちょう細菌病)

Burkholderia caryophylli (Burkholder 1942) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 [*Pseudomonas caryophylli* (Burkholder 1942) Starr & Burkholder 1942]

内藤博務ら:日植病報 52(1):151, 1986

こぶ病 kobu-byo Bacterial stem gall

Pantoea agglomerans pv. *gypsophilae* (Brown 1934) Bull, DeBoer, Firrao, Fescher-Le Saux, Saddler, Scortichini Stead & Takikawa [*Erwinia herbicola* pv. *gypsophilae* (Brown 1934) Miller, Quinn & Graham 1981]

木嶋利男ら:日植病報 51(3):344, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:144, 1987

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Rhizobium rhizogenes (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942]

牧野孝宏・森田 壽:関西病虫研報 26:65, 1984 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith) Stapp]

畔上耕児ら:日植病報 56(1):151, 1990

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

佐藤 衛ら:日植病報 62(3):226, 1996

[備考] 海外では *Oidium dianthi* Jacz. (*Erysiphe buhrii* U. Braun) が病原とされている (高松 進:三重大生資紀要 38:43, 2012)

疫病 eki-byo Crown and root rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

萩原 廣:野菜試報 A 7:173, 1980 ; 森田 壽:日植病報 49(1):79, 1983 ; 山田憲一ら:日植病報 49(1):100, 1983

茎腐病 kukigusare-byo Root and stem rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

吉松英明:植物防疫 44(6):276, 1990

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Alternaria sp.

木嶋利男ら:日植病報 48(3):356, 1982

立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt

Fusarium moniliforme J. Sheldon emend. Snyder & Hansen

粕山新二ら:日植病報 59(1):74, 1993

苗腐病 naegusare-byo

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

吉松英明:日植病報 56(1):105, 1990 ; 吉松英明:九州農業研究 52:103, 1990

スイセンノウ

Rose campion

Lychnis coronaria (L.) Desr.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

舘 彩香ら:関東病虫研報 61:103, 2014

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:204, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:686, 1998

[備考] 接種試験未了

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

ツメクサ類

(*Sagina*)

Sagina spp.

(野草)

ツメクサ *Sagina japonica* (Sw.) Ohwi

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ツメクサ

サポナリア(シャボンソウ)

Common soapwort, *Saponaria*

Saponaria officinalis L.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

平田正一:植物ウイルスの分類学的研究:178, 1964

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

立枯病 tachigare-byo *Rhizoctonia* rot_

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

森田琴子ら:関東病虫研報 62:87, 2015

[備考] *Rhizoctonia solani* J.G. Kühnによる葉腐病との比較検討を要する

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:204, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:686, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo

Phyllosticta tenerrima Ellis & Everhart

成田武四:北海道における農作物病害:204, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:686, 1998

[備考] 接種試験未了

ムシトリナデシコ(ハエトリナデシコ)

Sweet william silene

Silene armeria L.
(草花)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; Okuno, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 68(1):108, 2002

菌核病 *kinkaku-byo* Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 43:67, 1996

[備考] シレネ (*Silene vulgaris*) に発生

白絹病 *shirakinu-byo* Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 45:126, 1998

葉腐病 *hagusare-byo* Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

久保田まや:関東病虫研報 44:153, 1997

[備考] シレネ (*Silene vulgaris*) に発生。菌糸融合群は AG-2-1 培養型 II

斑点病 *hanten-byo* Leaf spot

Phyllosticta zahlbruckneri Bäumler [*Phyllosticta microspora* Fukui]

香月繁孝:九州農業研究 10:158, 1952

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode

Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 *nekobu-senchu-byo* Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

ハコベ類
(*Stellaria*)
Stellaria spp.
(野草)

ノミノフスマ *Stellaria alsine* Grim. var. *undulata* (Thunb.) Ohwi

ウシハコベ *Stellaria aquatica* (L.) Scop.

コハコベ(ハコベ) *Stellaria media* (L.) Villars

さび病* *sabi-byo* Rust

Puccinia arenariae G. Winter

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:758, 1992

[備考] ウシハコベ

円星病 *maruhoshi-byo*

Ovularia stellariae (Rabenhorst) Saccardo

勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):434, 1992

[備考] ウシハコベ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] ノミノフスマ・コハコベ。本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] コハコベ

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] コハコベ・ウシハコベ

モクマオウ科 Casuarinaceae

モクマオウ
Beefwood tree

Casuarina equisetifolia Forst.
(広葉樹)

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn, *Pellicularia filamentosa* (Patouillard) D.P. Rogers, *Corticium vagum* Berkeley & M.A. Curtis, *Hypochnus sasakii* Shirai, *Pellicularia sasakii* (Shirai) S. Ito]

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:36, 1977

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

外間現誠:琉球林試研報 3:73, 1956 ; 小林享夫:熱帯林業 49:23, 1978

南根腐病 minami-negusare-byo

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham [*Phellinus lamaensis* sensu Yasuda]

河辺祐嗣ら:日植病報 56(3):387, 1990; 小林享夫ら:日植病報 55(4):490, 1989; Abe, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995

ニシキギ科 Celastraceae

ツルウメモドキ(蔓梅擬)
Oriental bittersweet
Celastrus orbiculatus Thunb.
(広葉樹)

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe sengokui (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula sengokui* E.S. Salmon]

安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明 44); 出田 新:実用植物病理学:156, 1901(明 34); 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):28, 1976; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):241, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012
[備考] イヌツルウメモドキ (*C. orbiculatus* var. *papillosus*)・オニツルウメモドキ (*C. strigillosus*) にも発生

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Phyllosticta celastricola Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:39, 1958

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

鷺尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

黒いぼ病 kuroibo-byo Dothidea dieback (黒疣病)

Stylodothis puccinioides (de Candolle) Arx & E. Müller [*Dothidea puccinioides* (de Candolle) Fries]

安田 篤:植物学雑誌 37(434):67, 1923(大 12); 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):574, 1992

帯化病* taika-byo

生理障害

久内清孝:植研雑 5(8):303, 1928(昭 3)

††††

Phyllosticta celastri Ellis & Everhart

三浦密成:秋田農試報 8:26, 1957

††††

Septoria celastri Hemmi & N. Naito

Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:41, 1940(昭 15)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

ニシキギ(錦木, 樹矛)
Winged spindletree
Euonymus alatus (Thunb.) Sieb.
(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]
川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000
[備考] コマユミ *E. alatus* f. *ciliatodentatus* に発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

円星病 maruhoshi-byo Circular leaf spot
Stagonospora euonymicola Tak. Kobayashi & H. Horie [*Stagonospora* sp.]
堀江博道・小林享夫:日植病報 43(1):118, 1977 ; Kobayashi, T. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(3):331, 1979

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種
三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978
(2) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種
三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978
(3) *Xiphinema bakeri* Williams クワオオハリセンチュウ
三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

マサキ(柎)
Japanese spindletree
Euonymus japonicus Thunb.
(広葉樹)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Euonymus mosaic virus# (EuoMV) マサキモザイクウイルス
吉井 甫・徳重陽山:日植病報 17(3-4):175, 1953 ; 土居養二ら:日植病報 35(5):388, 1969

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall
Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]
ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):99, 1935(昭10) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015
[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(1) *Erysiphe euonymicola* U. Braun [*Oidium euonymi-japonicae* (Arcangeli) Saccardo, *Oidium euonymi-japonicae* E.S. Salmon]
安田 篤:植物学各論隠花部:555, 1911(明 44) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:54, 2012
[備考] ツルマサキ・オオバマサキ (*E. japonicus* var. *macrophyllus*)・キンマサキ (*E. japonicus* var. *aureovariegatus*)にも発生。我が国では完全世代は未確認
(2) *Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma
澤田宏之ら:日植病報 50(1):89, 1984

褐色こうやく病* kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏薬病)
Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann
富樫浩吾ら:岩手農試彙法 10:44, 1943(昭 18)

[備考] 病原菌の異名はボブラ類褐色こうやく病参照

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot (角斑病)

Cercospora destructiva Ravenel [*Cercospora* sp.]

逸見武雄:医学と生物学 1:494, 1942(昭 17) ; 福井武治:観賞植物病害調査報告 4:6, 1940(昭 15)

褐紋病 katsumon-byo Macrophoma leaf spot

Macrophoma euonymi-japonici Nisikado, Kimura & Miyawaki

西門義一ら:農学研究 31:349, 1939(昭 14)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農水技会指定試験(病虫害) 3:5, 1963

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす病 susu-byo Sooty mold

病因不明

全国林業改良普及協会:林業技術シリーズ(スライド解説) 63:10, 1976

そうか病* soka-byo Spot anthracnose (褐色円星病, 穿孔病, とうそう病, 瘡痂病)

Elsinoë euonymi-japonici Jenkins & Bitancourt [*Sphaceloma euonymi-japonici* Kurosawa & Katsuki, *Fusicladium euonymi-japonici* Hori]

堀 正太郎:園芸之友 9(12), 1913(大 2) ; 香月繁孝:植物防疫 11(9):397, 1957

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium euonymicola Hemmi

Hemmi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(1):9, 1920(大 9)

[備考] ツルマサキ (*E. fortunei*) にも発生。本病原菌を *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk の不完全世代 *Colletotrichum gloeosporioides* Penzig の異名とする意見があるが (山本和太郎:植物防疫 14(2):150, 1960) 実証に欠け, 再検討を要する

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:168, 1977

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Didymella euonymi-japonicae Shirai & Hara

原 攝祐:樹病学各論:118, 1923(大 12) ; 原 攝祐:病虫雑 5(10):807, 1918(大 7)

[備考] 樹病学各論:118, 1923 および実験樹木病害篇:311, 1927 には病原菌名が *Didymella euonymi* Shirai & Hara と誤記されている

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis gracilis* (Klebahn) Steyaert [*Pestalotia gracilis* Klebahn, *Pestalotia funerea* Desmazières f. *euonymi-japonici* Thümen] (灰斑病)

伊藤一雄:樹病学大系 3:179, 1974 ; 西門義一ら:農学研究 31:365, 1939(昭 14) ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

(2) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert [*Pestalotia neglecta* Thümen]

日野隆之:採集と飼育 26(11):319, 1964 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:6, 1949

[備考] フイリマサキ。病原菌の異名はポブラ類紫紋羽病参照

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大 11) ; 南部信方:園芸之友 10(9):1914(大 3)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

[備考] 種名は再検討を要する

(2) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961

帯化病 taika-byo

生理障害

石谷栄次:森林防疫 26(4):60, 1977 ; 松村義敏:植研雑 16(2):112, 1940(昭 15)

††††

†*Cercospora evonymi* Eriksson

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):54, 1914(大 3)

[備考] 中国

††††

Strasseria japonica Hara

原 攝祐:菌類 1(1):27, 1931(昭 6)

[備考] 病菌の記載と図から *Phyllosticta* 属菌と考えられる

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

マユミ(檀, 真弓)

Spindle tree

Euonymus sieboldianus Blume

(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]
川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000
[備考] ツリバナ *E. oxyphyllus* に発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe mayumi* (Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera mayumi* Y. Nomura]

野村幸彦:日菌報 25(4):475, 1984 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012

(2) *Microsphaera* sp.

高松 進ら:日菌報 19(1):69, 1978

[備考] コマユミ (*E. alatus* f. *ciliatodentatus*)に発生

(3) *Oidium* sp.

野村幸彦:日菌報 17(3-4):340, 1976

[備考] ツリバナ(*E. oxyphyllus*)に発生

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

天野孝之:森林防疫 33(6):102, 1984

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Phyllosticta euonymicola Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:40, 1958

[備考] ヒロハノツリバナ (*E. macropterus*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] コマユミ・ツリバナ・オオツリバナ (*E. planipes*)

炭疽病* tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium euonymicola Hemmi

日野 巖・勝本 謙:宇部短大学術年報 3:116, 1963

[備考] ヤンバルマユミ。病原菌の分類学的検討を要する

白点病 hakuten-byo White speck

Septogloeum japonicum B. Sutton & J. Webster

原田幸雄・椿 啓介:日植病報 59(3):293, 1993

腐らん病* furan-byo Cytospora canker

Valsa ceratosperma (Tode) Maire

安田 篤:植物学雑 38(450):148, 1924(大 13)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類腐らん病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:6, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconema jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconema jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチ

ユウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

††††

Dothidea sambuci (Persoon) Fries

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):213, 1917(大6)

††††

††*Melampsora evonymi-capraerum* Klebahn [*Caeoma evonymi* Gmelin]

白井光太郎:植物病理学(下):118, 1894(明27); 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):345, 1917(大6)

[備考] 国内発生に疑問

††††

Phyllosticta celastri Ellis & Everhart

香月繁孝:九州農業研究 8:83, 1951

[備考] コマユミ (*Euonymus alata* var. *subtriflorus*)

††††

Septogloeum evonymi Togashi

富樫浩吾:盛岡高農学術報 22:42, 1936(昭11)

[備考] ムラサキツリバナ (*E. sachalinensis*)

††††

Septoria evonymi Rabenhorst

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):361, 1927(昭2)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

モクレイシ

(*Microtropis*)

Microtropis japonica (Franch. & Savat.) H. Hallier

(広葉樹)

Korthalsella japonica (Thunb.) Engler ヒノキバヤドリギ (hinokiba-yadorigi)

江本義教:植物及動物 4(3):518, 1936(昭11)

[備考] 寄生性種子植物

イヌガヤ科 Cephalotaxaceae

イヌガヤ(犬榧)

Plum-yew

Cephalotaxus harringtonia (Knight) K.Koch

(針葉樹)

チョウセンマキ Japanese plum yew *Cephalotaxus harringtonia* f. *fastigiata* (Carriere) Rehder

ハイイヌガヤ Plum-yew *Cephalotaxus harringtonia* var. *nana* (Nakai) Rehder

赤枯病 akagare-byo

Guignardia cephalotaxi-nanae Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:117, 1950

[備考] ハイイヌガヤ

こうやく病 koyaku-byo Felt disease

Septobasidium sp.

天野孝之:森林防疫 33:103, 1984 ; 天野孝之:森林防疫 34:219, 1985

[備考] チョウセンマキ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux [不完全世代: *Dematophora necatrix* Hartig]

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66:265, 1984

[備考] イヌガヤ

淡赤褐病 tan-sekkatsu-byo

Rabenhorstia cephalotaxi Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:119, 1950

[備考] ハイイヌガヤ

胴枯病* dogare-byo Canker (突出黒点病)

Valsa friesii (Duby) Fuckel [*Valsa cephalotaxi* Sawada]

澤田兼吉:林試研報 46:118, 1950 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:123, 1970

[備考] ハイイヌガヤ

葉枯病 hagare-byo

Guignardia cephalotaxi (Sydow, P. Sydow & Hara) Saccardo [*Laestadia cephalotaxi* Sydow, P. Sydow & Hara]

富樫浩吾:札幌農林学会報 36(1):51, 1943(昭 18) ; 原 攝祐:植物学雑 27(314):124, 1913(大 2)

[備考] ハイイヌガヤ

葉黒点病* ha-kokuten-byo (葉漆黒点病)

Amphichaeta cephalotaxi Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:118, 1950

[備考] ハイイヌガヤ

フォモプシス枝枯病* *Phomopsis*-edagare-byo *Phomopsis* blight (大黒点病)

Diaporthe conorum (Desmazières) Niessl [不完全世代: *Phomopsis cephalotaxi* Sawada]

澤田兼吉:林試研報 46:119, 1950 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:71, 1970

[備考] ハイイヌガヤ

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease (黒点病)

(1) *Pestalotiopsis cephalotaxi* (Sawada) Y. Suto & Tak. Koboayashi [*Pestalotia cephalotaxi* Sawada, *Pestalotia lespedezae* sensu Guba non Sydow]

澤田兼吉:林試研報 46:118, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:333, 1993

[備考] チョウセンマキ・ハイイヌガヤ

(2) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert

Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:336, 1993

[備考] イヌガヤ。病原菌の異名はスギ・ペスタロチア病を参照

††††

Phyllosticta cephalotaxi Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 24:27, 1959

[備考] チョウセンマキ(*Cephalotaxus harringtonia* f. *fastigiata*)

カツラ科 Cercidiphyllaceae

カツラ(桂)

Katsura tree

Cercidiphyllum japonicum Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae van Hall 1902

小林真樹ら:日植病報 71(1):38, 2005 ; 小林真樹ら:日植病報 71(1):46, 2006

[備考] 病原細菌の pathovar は未確定

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

Nomi, C. et al.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):252, 2000

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Oidium* sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:136, 1968

(2) *Podosphaera cercidiphylli* Tanda & Y. Nomura

Tanda, S. & Nomura Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 27(1):26, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):176, 1988

[備考] ヒロハカツラ (*C. magnifici*) にも発生

枝枯病 edagare-byo

Coryneum katsurae Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):271, 1913(大 2)

[備考] 原 (日本菌類目録:364, 1954) は *Thyrostroma katsurae* (Hara) Hara と改名しているが理由の記載はない

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella sp.

原田幸雄:日植病報 59(1):60, 1993

コニエラ葉枯病 *Coniella*-hagare-byo *Coniella* leaf blight

Coniella castaneicola (Ellis & Everhart) B. Sutton

矢口行雄ら:日植病報 73(3):177, 2007

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

ならたけ病* naratake-byo *Armillaria* root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

亀井専次:カラマツの病害と腐朽:21, 1956

[備考] 病原菌の異名はボプラ類ならたけ病参照

斑葉病 han'yo-byo

Polythrincium shiraianum Hennings [*Polythrincium cercidiphylli* Hennings]

安田 篤:植物学各論隠花部:566, 1911(明 44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:75, 1905(明 38) ; 白井光太郎・三

宅市郎:訂正増補日本菌類目録:493, 1917(大 6)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):210, 1987

アカザ科 Chenopodiaceae

ハマアカザ類
Mountain spinach
Atriplex spp.
(野草)

ホソバノハマアカザ *Atriplex gmelinii* Mey.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961
[備考] ホソバノハマアカザ

テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜)
Sugar beet
Beta vulgaris L. var. *saccharifera* Alef.
(特用作物)

萎黄病 io-byo Yellows
Beet yellows virus (BYV) ビート萎黄ウイルス
村山大記・讃井 蕃: 日植病報 33(2):94, 1967

ウイルス病 virus-byo Virus
(1) *Beet cryptic virus 1* (BCV-1) ビート潜伏ウイルス 1 [Beet temperate virus#]
(2) *Beet cryptic virus 2* (BCV-2) ビート潜伏ウイルス 2 [Beet temperate virus#]
(3) *Beet cryptic virus 3* (BCV-3) ビート潜伏ウイルス 3 [Beet temperate virus#]
夏秋知英ら: 日植病報 45(1):84, 1979 ; Natsuaki, T. *et al.*: Intervirology 25:69, 1986
[備考] 無病徴保毒。食用ビートから分離された

黄化病 oka-byo (西部萎黄病)
Beet leaf yellowing virus# ビート黄葉ウイルス [*Beet western yellows virus* (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス]
讃井 蕃・村山大記: 日植病報 35(2):125, 1969 ; 吉田直人ら: 日植病報 83(1):74, 2017
[備考] 讃井・村山(1969)は *Beet western yellows virus* (西部萎黄病) として報告した。吉田ら(2017)は、西部萎黄病を本病名に、BWYVを本病原学名に変更することを提案した

そう根病 sokon-byo Rhizomania (叢根病)
Beet necrotic yellow vein virus (BNYVV) ビートえそ性葉脈黄化ウイルス
神沢克一・宇井格生: 日植病報 38(5):434, 1972 ; 玉田哲男・馬場徹代: 日植病報 39(4):325, 1973

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
(1) *Beet mosaic virus* (BtMV) ビートモザイクウイルス
斎藤康夫・明日山秀文: 日植病報 16(2):76, 1952 ; 西 泰道・西沢正洋: 日植病報 27(2):83, 1962 ; 小室康雄: 日植病報 27(2):83, 1962
(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
福士貞吉ら: 北大農邦文紀 1:443, 1953 ; 四方英四郎: 北大農邦文紀 3(3):124, 1960

帯状粗皮病 obijo-sohi-byo

Actinomyces sp.

成田武四:北農 7(9):299, 1940(昭 15)

[備考] そうか病との関係調査を要する

黒すじ細菌病 kurosuji-saikin-byo (黒条細菌病)

病原細菌種名未定

長井宏文・日高 醇:日植病報 33(5):322, 1967 ; 長井宏文・日高 醇:日植病報 34(3):185, 1968

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas nigrolinearum* Hidaka & Nagai は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した。

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:57, 1922(大11) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

そうか病 soka-byo Scab

Streptomyces spp.

成田武四:北農 7(9):299, 1940(昭 15) ; 阿部秀夫:日植病報 45(1):115, 1979 ; 阿部秀夫・石川治徳:てん菜研
会報 21:17, 1980

[備考] *S. scabies* (Thaxter) Waksman & Henricks, *S. fumuli* (Millard & Berley) Waksman などが挙げてある

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial blight (細菌性斑点病)

Pseudomonas syringae pv. *aptata* (Brown & Jamieson 1913) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas aptata* (Brown & Jamieson) Stevens, *Bacterium aptatum* Brown & Jamieson]

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:58, 1922(大 11) ; 富永時任:日植病報 32(5):297, 1966 ; 富永時任:日植病報 33(5):294, 1967

腐敗病 fuhai-byo Soft rot (白腐病, 心ぐされ病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus betivorus* Takimoto, *Erwinia betivora*, *Bacterium destructans* (Pottera) Nakata, Nakajima & Takimoto, *Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:58, 1922(大 11) ; 瀧元清透:日植病報 2(4):350, 1931(昭 6) ; 富永時任:日植病報 25:218, 1960

[備考] 心腐病との関係を明らかにする必要がある。出田 新 (日本植物病理学:314, 1903) は *Mycosphaerella tabifica* Prillieux & Delacroix [*Phoma betae*?] による腐敗病を紹介したが, 国内発生未詳

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp. (*Erysiphe polygoni* de Candolle)

本間ヤス:北大農紀 38:342, 1937(昭 12)

褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot (斑点病)

Cercospora beticola Saccardo [*Cercosporina beticola* (Saccardo) Nakata, T. Nakajima & S. Takimoto]

宮部金吾:北海道之殖産 35:1, 1893(明 26) ; 出田 新:日本植物病理学:401, 1903(明 36) ; 中田覺五郎:病虫雑 2(2):117, 1915(大 4)

菌核病 kinkaku-byo Root rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

森 芳夫:北海道の農業 4:21, 1965

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

黒根病 kurone-byo *Aphanomyces root rot*

Aphanomyces cochlioides Drechsler

宇井格生:北大農邦文紀 4(2):60, 1962 ; 宇井格生:北日本病虫研報 13:13, 1962 ; 内野浩克ら:日植病報 62(3):265, 1996

こうがいかび病 kogai-kabi-byo *Choanephora rot* (毛黴病, 毛かび病, こうがい毛かび病)

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

山内己酉・藤井新太郎:日植病報 27(2):65, 1962 ; 西原夏樹:日菌報 9(1):41, 1968 ; 橋岡良夫・中井幸隆:日植病報 45(4):522, 1979

白絹病 shirakinu-byo Stem rot, Southern blight (菌核病)

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:49, 1922(大 11)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

蛇の目病* janome-byo *Phoma root rot, Leaf spot* (蛇眼病)

Phoma betae A.B. Frank [*Pleospora bjoerlingii* Byford, *Pleospora betae* Björling non Nevodovsky, *Phyllosticta betae* Oudemans]

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:34, 1922(大 11) ; Sutton, B. C.:The Coelomycetes:380, 1980

[備考] 本病菌によって起こる根頭の腐敗を根頸腐朽病と呼ぶことがある (柄内吉彦:北大甜菜研究会・甜菜:100, 1959)。本病は輪斑病としても報告された (澤田兼吉:林試研報 105:38, 1958) が, 輪斑病は蛇の目病に統合

ステンフィリウム斑点病 Stemphylium-hanten-byo

Stemphylium botryosum Wallroth

内野浩克・神沢克一:日植病報 50(1):101, 1984

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia candida W. Yamamoto [*Rhizoctonia* sp., *Ceratobasidium* sp.]

山本和太郎ら:兵庫農大研報 農業生物篇 5(2):37, 1962 ; 山本和太郎:日菌報 3(1-6):118, 1962

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉黒枯病, 心葉黒葉枯病)

Colletotrichum spinaciae Ellis & Halsted [*Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove f. *spinaciae* (Ellis & Halsted) Arx, *Colletotrichum omnivorum* Halsted]

築尾嘉章ら:日植病報 50(1):46, 1984

[備考] 心葉黒葉枯病は築尾らにより炭疽病と改名された。Sutton (1992), Arx (1987) は *C. spinaciae* を独立した種として採用した (Sutton, B. C. in Bayley, J. A. & Jeger, M. J. ed. : *Colletotrichum*:Biology, Pathology and Control:1, 1992 ; Arx, J. A. von:Plant Pathogenic Fungi:219, 1987)

貯蔵腐敗病 chozo-fuhai-byo Storage rot

(1) *Botrytis cinerea* Persoon

柄内吉彦:北大甜菜研究会編・甜菜 102, 1959 ; 松本広治:日植病報 25(1):62, 1960

(2) *Phoma betae* A.B. Frank

杉本利哉:日本植物病害大事典(岸 國平編):162, 1998 ; 鷹田秀一:日植病報 76(3):162, 2010

[備考] 貯蔵中のテンサイにはこのほか *Penicillium crustosum*, *P. expansum*, *P. leucopus*, *Alternaria humicola*,

Cladosporium herbarum が発生する (半澤 洵・佐々木酉二:札幌農林会報 25(118):490, 1934(昭 9))

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Aphanomyces cochlioides* Drechsler

石塚喜一:札幌農林会報 27(130):484, 1936(昭 11)

(2) *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove

遠藤利光・佐々木正人:日植病報 48(3):363, 1982

(3) *Fusarium* sp.

宇井格生・中村重治:甜菜研究会研報 3:78, 1963

(4) *Phoma betae* A.B. Frank

成田武四:日植病報 10(4):341, 1941(昭 16)

(5) *Pythium debaryanum* R. Hesse

成田武四:日植病報 10(4):341, 1941(昭 16)

(6) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

三澤知央・高濱雅幹:日植病報 79(1):63, 2013

[備考] 本病罹病テンサイからは上記のほか次の *Pythium* 属菌が分離されている。*P. aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick, *P. spinosum* Sawada, *P. betae* Takahashi, *Pythium* spp. (高橋 實ら:日植病報 38:306, 1972)

(7) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

成田武四:日植病報 10(4):341, 1941(昭 16) ; 関口博之ら:日植病報 80(4):239, 2014

[備考] 異名はイネ紋枯病参照。関口ら(2014)の菌は、菌糸融合群 AG-4

根腐病 negusare-byo Root rot (根頭腐敗病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:67, 1922(大 11) ; 栗林数衛:北海道農試彙報 36:80, 1925(大 14)

[備考] 病原菌の異名は葉腐病参照。ト蔵梅之丞 (病虫雑 1(3):313, 1914) は *Aphanomyces levis* de Bary による根腐病を紹介した

灰色ほこりかび病 haiiro-hokorikabi-byo Slime mold (灰色囊埃黴病)

Physarum cinereum (Batsch) Persoon

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:104, 1922(大 11)

葉枯病 hagare-byo Leaf blight (アルターナリヤ病)

Alternaria alternata (Fries) Keissler [*Alternaria tenuis* Nees]

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:97, 1922(大 11) ; 宇井格生ら:甜菜研究会研報 1:5, 1958 ; 西村範夫ら:日植病報 51(3):333, 1985 ; 杉本利哉:作物病害事典(岸 國平編):163, 1988

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight, Foliage blight (葉腐れ病, 浸潤性褐斑病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk

宇井格生・栃内吉彦:日植病報 18(3-4):152, 1954 ; 宇井格生・栃内吉彦:甜菜研究会研報 1:1, 1958

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Ramularia leaf spot

Ramularia beticola Fautrey & Lambotte

栃内吉彦:甜菜(北大甜菜研究会編):98, 1959 ; 成沢信吉・鈴木秀昭:てん菜研報補巻 12:90, 1970

†斑点病 hanten-byo Leaf spot

Alternaria sp.

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:96, 1922(大 11)

[備考] 朝鮮半島

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora schachtii Fuckel

出田 新:日本植物病理学:117, 1903(明 36)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:65, 1922(大 11)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 18:124, 1967

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫病, 線虫根瘤病, 趾跟病, 節根病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9); 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28); Yokoo, T. & Gytoku, H.:Agric. Bull. Saga Univ. 11:65, 1960

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

ほう素欠乏症 hoso-ketsubo-sho (硼素欠乏病)

ほう素欠乏 (Boron deficiency)

山内己酉・藤井新太郎:日植病報 25(1):12, 1960

††褐変細菌病 kappen-saikin-byo Brown bacteriosis

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:160, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus serbinowi* (Potebnya) Elliott は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††結核病 kekkaku-byo Tuberculosis (癭瘤病, 空洞性細菌病)

病原細菌種名未定

上田栄次郎:農学会報 116:52, 1912(明 45)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Xanthomonas beticola* (Smith, Brown & Townsend) Săvulescu [*Bacterium beticolum* Smith, Brown & Townsend] は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††ゴム病* gomu-byo (護謨病)

病原細菌種名未定

岡部徳夫:植物細菌病学:201, 1949

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus bussei* Migula は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†そうか細菌病 soka-saikin-byo Scab (瘡痂性細菌病)

病原細菌種名未定

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:103, 1922(大 11)

[備考] 朝鮮半島。病原細菌名 *Bacterium scabiegenum* Busse & von Faber は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††軟腐細菌病* nampu-saikin-byo Bacterial soft rot (軟腐性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:700, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Aplanobacter teutlius* (Metcalf) Smith は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††輪紋細菌病* rimmon-saikin-byo Bacterial ring rot (輪紋性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:492, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Pseudomonas wieringae* (Elliott) Săvulescu [*Bacterium wieringae* Elliott] は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††疫病 eki-byo

Phytophthora drechsleri Tucker

岩切 嶺:日植病報 6(2):166, 1936(昭 11)

[備考] 本菌はわが国でもスイカに発生している (桂 琦一:西京大学報, 農 10:77, 1958)

††黄化病 oka-byo Yellow

Fusarium conglutinans Wollenweber var. *betae* D. Stewart

渡邊龍雄:農及園 6(5):799, 1931(昭 6)

†††さび病 sabi-byo Rust (銹病)

††*Uromyces betae* J.G. Kühn

出田 新:実用植物病理学:129, 1901(明 34)

[備考] 国内未発生

††根のがんしゅ病 ne-no-ganshu-byo Crown gall (根の癌種病)

Urophlyctis leproides (Trabut) Magnus

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):313, 1914(大 3)

†白色おう陷病* hakushoku-okan-byo (白色凹陷病)

菌類の 1 種

中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:101, 1922(大 11)

[備考] 朝鮮半島

††縮葉病 shukuyo-byo Curly top

病原不明

福士貞吉:農及園 4(11):1273, 1929(昭 4)

[備考] 国内発生未詳

フダンソウ(不断草, トウヂシャ, 恭菜)

Chard
Beta vulgaris L. var. *vulgaris* (cicla group)
(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Beet cryptic virus 1* (BCV-1) ビート潜伏ウイルス 1 [Beet temperate virus#]

夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英ら:日植病報 49(5):709, 1983 ; 夏秋知英:宇都宮大農学特輯 43:1, 1984

[備考] 無病徴保毒

(2) *Beet cryptic virus 2* (BCV-2) ビート潜伏ウイルス 2 [Beet temperate virus#]

夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英ら:日植病報 49(5):709, 1983 ; 夏秋知英:宇都宮大農学特輯 43:1, 1984

[備考] 無病徴保毒

(3) *Beet cryptic virus 3* (BCV-3) ビート潜伏ウイルス 3 [Beet temperate virus#]

夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英ら:日植病報 49(5):709, 1983 ; 夏秋知英:宇都宮大農学特輯 43:1, 1984

[備考] 無病徴保毒

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Beet mosaic virus* (BtMV) ビートモザイクウイルス

西 泰道・西沢正洋:日植病報 27(2):83, 1962 ; 小室康雄:日植病報 27(2):83, 1962

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

斎藤康夫・明日山秀文:日植病報 16(2):76, 1952

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

褐斑病 kappan-byo Blight, Brown spot (斑点病)

Cercospora beticola Saccardo

原 攝祐:中央園芸 344:843, 1931(昭 6) ; 富樫浩吾・川村正三:岩手農試彙報 8:16, 1942(昭 17)

蛇の目病* janome-byo Heart rot (じゃのめ病, 蛇眼病)

Phoma betae A.B. Frank

白井光太郎:植物病理学(下):252, 1894(明 27)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

手塚信夫ら:関西病虫研報 34:75, 1992

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora farinosa (Fries) Fries [*Peronospora schachtii* Fuckel]

香月繁孝:九州農業研究 7:75, 1950 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:578, 1992

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

一戸 稔: 農及園 40(6):973, 1965

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

池田克文: 総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

アメリカアリタソウ

American wormseed

Chenopodium ambrosioides L. var. *anthelminticum* (L.) Gray

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Oidium sp.

野村幸彦: 日菌報 20:387, 1979

[備考] *Erysiphe polygoni* 型

枝枯病 edagare-byo Die back

Phyllosticta ambrosioidis Thümen & Sydow f. sp. *santonensis* Brunaud

若井田正義: 日植病報 17(1):38, 1952

紫斑病 shihan-byo Leaf spot

Cercospora beticola Saccardo [*Cercospora anthelmintica* G.F. Atkinson]

渡邊龍雄・若井田正義: 日植病報 15(3-4):172, 1951

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phyllosticta ambrosioidis Thümen & Sydow

渡邊龍雄・若井田正義: 日植病報 15(3-4):172, 1951

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

アカザ類

(*Chenopodium*)

Chenopodium spp.

(野草)

マルバアカザ *Chenopodium acuminatum* Willd.

シロザ *Chenopodium album* L. var. *album*

アカザ *Chenopodium album* L. var. *centrorubrum* Makino

コアカザ *Chenopodium ficifolium* Smith

半身萎凋病* hanshin-icho-byo Verticillium wilt (萎凋症)

Verticillium dahliae Klebahn

萩原 廣ら: 関東病虫研報 34:95, 1987

[備考] シロザ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] アカザに発生。病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] マルバアカザ・アカザ

(3) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979

[備考] コアカザに発生。*M. mali* Itoh *et al.* リンゴネコブセンチュウとして報告されたが, 後に本種に訂正された (Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984)

コキア(ハウキギ, ニワクサ)

Kochia

Kochia spp.

(草花)

べと病 beto-byo

Peronospora kochiae Gäumann

照井陸奥生:札幌物学会報 11:157, 1930 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 I:196, 1936 ; 成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977

[備考] 接種試験未了

ハウキギ類

(*Kochia*)

Kochia spp.

(野草)

ハウキギ(ハハキギ) *Kochia scoparia* (L.) Schrad.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ハウキギ

オカヒジキ

Salt-wort

Salsola komarovii Iljin

(野菜)

萎凋病 icho-byo Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

有江 力ら:日植病報 52(1):100, 1986

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

萩原奈央子ら:日植病報 73(3):183, 2007 ; 萩原奈央子ら:日植病報 74(3):162, 2008

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 HG-III

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum truncatum (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore

Kubota, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 77(1):68, 2011

べと病 beto-byo

Peronospora sp.

井澤弘一・小山田光男:日植病報 51(1):68, 1985 ; 井澤弘一・小山田光男:北日本病虫研報 38:48, 1987

ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜)

Spinach

Spinacia oleracea L.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Beet western yellows virus* (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス

大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977 ; Kojima, M. *et al.*:Bull. Facul Agric. Niigata Univ. 47:35, 1995

(2) *Beet yellows virus* (BYV) ビート萎黄ウイルス

杉本利哉ら:てん菜研報 8:1, 1970 ; 大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977

(3) *Lettuce mosaic virus* (LMV) レタスモザイクウイルス

与那覇哲義ら:日植病報 59:715, 1993

(4) *Spinach temperate virus* (SpTV) ホウレンソウ潜伏ウイルス

夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英ら:日植病報 49(5):709, 1983 ; 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984

(5) *Tobacco necrotic dwarf virus* (TNDV) タバコえそ萎縮ウイルス

久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses No.234, 1981

えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Virus

Broad bean wilt virus 2 (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウイルトウイルス 2

向 秀夫・栗原一雄:日植病報 33(2):93, 1967 ; 與良 清ら:日植病報 33(2):94, 1967 ; 與良 清ら:日植病報 35(2):122, 1969 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

[備考] 向・栗原(1967)および與良ら(1967, 1969)は Broad bean wilt virus#として報告

モザイク病 mosaic-byo Mosaic (萎縮病)

(1) *Clover yellow vein virus* (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#]

藤沢一郎ら:日植病報 45(4):566, 1979 ; 藤沢一郎ら:日植病報 48(5):592, 1982

(2) *Beet mosaic virus* (BtMV) ビートモザイクウイルス

斎藤康夫・明日山秀文:日植病報 16(2):76, 1952

[備考] 汁液接種検定による同定

(3) *Beet necrotic yellow vein virus* (BNYVV) ビートえそ性葉脈黄化ウイルス

藤沢一郎ら:日植病報 48(5):592, 1982

(4) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

斎藤康夫・明日山秀文:日植病報 16(2):76, 1952 ; 善林六朗ら:日植病報 48(3):393, 1982 ; 善林六朗ら:日植病報 49(5):716, 1983

(5) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

藤沢一郎・土崎常男:日植病報 47(1):101, 1981 ; 藤沢一郎ら:日植病報 48(5):592, 1982

(6) *Tobacco rattle virus* (TRV) タバコ茎えそウイルス

都澤香織ら:日植病報 53(3):421, 1987

(7) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

吉井 甫:日植病報 14(3-4):100, 1949 ; 吉井 甫:植物病害研究 4:17, 1951

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病としての最初の記載は, 日野 巖:宮崎農高学報 5:97, 1933(昭 8)

萎黄病 io-byo Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 35(5):389, 1969 ; 奥田誠一ら:宇都宮大農学報特輯 32:1, 1977

[備考] 伝染試験なし

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *spinaciae* Ozaki, Kimura & Matsumoto 1998

松本邦彦ら:日植病報 53(1):112, 1987 ; 尾崎克巳ら:日植病報 53(1):112, 1987 ; 尾崎克巳ら:日植病報 54(3):377, 1988 ; Ozaki, K. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(4):264, 1998

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *spinaciae* W.C. Snyder & H.N. Hansen

奥田純一郎・古田 力:日植病報 29(2):89, 1964 ; 内記 隆・加納正和:日植病報 43(3):297, 1977

疫病 eki-byo

Phytophthora sp.

福西 務:新しい病害虫:7910, 1979

褐斑病 kappan-byo Leaf spot (斑点病)

Cercospora beticola Saccardo

西田藤次:農業世界 7(4):53, 1912(明 45) ; 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):83, 1928(昭 3) ; 内藤中人・高原 弘:香川大農学報 6(2):173, 1954

株腐病 kabugusare-byo Foot rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

河合一郎:園芸病害編:272, 1954 ; 奥田純一郎・古田 力:日植病報 29(2):89, 1964 ; Naiki, T. & Kanoh, M.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 44(5):554, 1978 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 67:94, 2016

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。Naiki, T. & Kanoh(1978)の病原は, 菌糸融合群 AG-1, 2-1, 2-2, 4, 三澤ら(2016)の病原は, 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, AG-4 HG-I

こうがいかび病 kogai-kabi-byo Choanephora rot (こうがい毛かび病)

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

唐津達彦ら:九病虫研会報 41:33, 1995

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

Inoue, K. & Nasu, H.:J. Gen. Plant Pathol. 66(1):18, 2000

立枯病 tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick [*Pythium butleri* Subramaniam]

草刈眞一ら:日植病報 45(2):268, 1979 ; 小嶋博文ら:関西病虫研報 21:46, 1979 ; 内記 隆:土と微生物 25:9,

1983 ; 内記 隆ら:日植病報 52(5):772, 1986

(2) *Pythium myriotylum* Drechsler

東條元昭ら:関西病虫研報 37:43, 1995

[備考] group F に属する *Pythium* も同様の症状を起こす

(3) *Pythium paroecandrum* Drechsler

内記 隆:土と微生物 25:9, 1983 ; 内記 隆ら:日植病報 52(5):772, 1986

(4) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

一谷多喜郎・福西 務:関西病虫研報 21:44, 1979

[備考] 河合一郎 (園芸病害編:271, 1954) は *Pythium* sp. を病原として立枯病を最初に記載した

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum spinaciae Ellis & Halsted

西田藤次:農業世界 7(4):53, 1912 ; 逸見武雄:病虫雑 8(9):429, 1921(大 10)

根腐病 negusare-byo Root rot

Aphanomyces cochlioides Drechsler

国永史朗ら:日植病報 41(1):118, 1975

灰色斑点病 haiiro-hanten-byo Leaf spot

Alternaria spinaciae Allescher & F. Noack

小川 隆:日植病報 23(1):44, 1958

白斑病 hakuhan-byo Leaf spot

(1) *Stemphylium botryosum* Wallroth

酒井 宏ら:日植病報 68(1):65, 2002

(2) *Stemphylium* spp. [*Stemphylium vesicarium* (Wallroth) E.G. Simmons]

三澤知央ら:日植病報 81(1):89, 2015 ; Misawa, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(3):147, 2017

[備考] 三澤ら(2015)が本病原を *S. vesicarium* と同定したが, Misawa et al.(2017)は *Stemphylium* sp. サブグループC2 と再同定するとともに, *Stemphylium* sp. サブグループE3を報告した

斑点病 hanten-byo Leaf mold (斑葉病, 黒円星病)

Heterosporium variabile Cooke [*Cladosporium variabile* (Cooke) G.A. de Vries]

後藤和夫・高橋喜吾:病虫雑 13(3):154, 1926(大 15) ; 原 攝祐:実験作物病理学:779, 1930(昭 5)

斑紋病 hammon-byo Leaf spot (葉枯病)

Phyllosticta chenopodii Saccardo

西田藤次:農業世界 7(4):53, 1912(明 45) ; 原 攝祐:実験作物病理学:780, 1930(昭 5)

バーティシリウム萎凋病 *Verticillium-icho-byo*

Verticillium dahliae Klebahn

北沢健治・柳田騏策:日植病報 47(1):99, 1981

変形菌病 henkeikin-byo

(1) *Physarum gyrosum* Rostafínsky

賛田裕行ら:日植病報 52(3):533, 1986

(2) *Stemonitis herbatica* Peck

賛田裕行ら:日植病報 52(3):533, 1986

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora farinosa (Fries) Fries f. sp. *spinaciae* Byford [*Peronospora effusa* (Greville) Cesati]
出田 新:日本植物病理学:120, 1903(明 36) ; 稲葉忠興・守中 正:日植病報 51(4):443, 1985 ; Satou, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 72(3):193, 2006

ペニシリウム腐敗病* *Penicillium-fuhai-byo*

(1) *Penicillium simplicissimum* (Oudemans) Thom

獅山慈孝ら:日植病報 62(3):268, 1996

(2) *Penicillium digitatum* (Persoon) Saccardo

獅山慈孝ら:日植病報 62(3):268, 1996

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962

[備考] 接種試験の結果

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:101, 1966

[備考] 接種試験の結果

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962 ; 近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

いや地病 iyachi-byo Soil-sickness

生理障害

堀正太郎:蔬菜及び花卉の病害 37, 1930(昭5) [石井勇義編:園芸病虫害 総論・防除法 (総合園芸体系2), 実際園芸社] ; 堀正太郎:蔬菜及び花卉の病害 303, 1931(昭6) [石井勇義編:園芸病虫害 総論・防除法 (総合園芸体系12), 誠文堂]

††††オルピディウム症 *Olpidium-sho* Olpidium syndrome

Olpidium virulentus (Sahtiyanci) Karling

村元靖典ら:日植病報 79(3):184, 2013

[備考] 養液栽培特有の症状

††さび病 sabi-byo Rust

Puccinia subnitens Dietel

中田覺五郎・明日山秀文:満州国主要農作物病害調報:126, 1938(昭 13)

[備考] 中国北東部。調査が必要

††††

Phoma sp.

後藤和夫・小林茂子:日植病報 19(1-2):90, 1954

センリョウ科 Chloranthaceae

チャラン類
(Chloranthus)
Chloranthus spp.
(野草)

ヒトリシズカ *Chloranthus japonicus* Sieb.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)
Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ
一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

センリョウ(千両)
(Chloranthus)
Sarcandra glaber (Thunb.) Nakai
(広葉樹)

立枯病 tachigare-byo
Erwinia sp.

松田 明ら:日植病報 42(3):367, 1976 ; 下長根 鴻ら:茨城病虫研報 17:19, 1978
[備考] 下長根ら (1978) は病原細菌を *E. nimiporensuralis* Carter に近いとしたが, この種名は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

疫病 eki-byo Phytophthora rot
Phytophthora nemorosa E.M. Hansen & Reeser
海老原克介ら:日植病報 69(1):39, 2003 ; 植松清次ら:日植病報 73(3):180, 2007

褐斑病 kappan-byo
Septoria sp.
後藤正夫:日植病報 24(3):193, 1959

白絹病 shirakinu-byo Southern blight, Southern sclerotium blight
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
海老原克介ら:日植病報 69(1):39, 2003 ; 澤田兼吉:台湾農事報 49:12, 1910(明 43) ; 澤田兼吉:植物学雑誌 26(305):132, 1912(大元)
[備考] 台湾のチャラン(*Chloranthus spicatus*)にも発生。病原菌の異名はユッカ白絹病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux [*Dematophora necatrix* Hartig]
渡辺文吉郎:農林水産技会指定試験 (病虫害) 3:5, 1963 ; 海老原克介ら:日植病報 69(1):39, 2003

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo
塚本俊秀:日植病報 73(3):178, 2007 ; 塚本俊秀ら:日植病報 76(3):200, 2010

根腐病 negusare-byo Root rot
Aphanomyces sp.
下長根 鴻ら:日植病報 58(4):543, 1992

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

村崎 聡ら:関東病虫研報 61:114, 2014

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot

Phoma sp.

塚本俊秀:日植病報 73(3):178, 2007

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie イチゴセンチュウ

小林義明ら:日線虫研誌 24(1):43, 1994

††††実腐病 migusare-byo

病原不明

松田 明ら:日植病報 36(3):167, 1970

††††

Glomerella sp.

後藤正夫:日植病報 24(3):193, 1959

††††

Guignardia sp.

後藤正夫:日植病報 24(3):193, 1959

フウチョウソウ科 Cleomaceae

クレオメ(フウチョウソウ)

Spiny spiderflower

Cleome spinosa Jacq.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Oidium matthiolae* Rayss [*Erysiphe cruciferarum* Opiz ex L. Junell, *Erysiphe polygoni* de Candolle]

高松 進ら:日菌報 19(1):67, 1978 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012

[備考] 病原菌の完全世代はわが国では未記録

(2) *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte [*Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

平田幸治:新潟大農学報 7:150, 1955

[備考] 病菌の分類学的所属については再検討を要する

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

沖 友香・岡田知之:日植病報 82(3):231, 2016

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌 647, 1998

[備考] 接種試験未了

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora capparidis Sawada

岩田吉人:日植病報 7(2):146, 1937(昭 12) ; 澤田兼吉:台湾博物会報 32(225):247, 1942(昭 17)

リョウブ科 Clethraceae

リョウブ(令法)

(Clethra)

Clethra barbinervis Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Microsphaera sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:92, 1963

[備考] Braun (Mycotaxon 15:121, 1982) が日本産とした *Microsphaera clethrae* Braun との異同について検討を要する

褐斑病 kappan-byo

Cercospora sp.

堀江博道・小林享夫:東京農試研報 16:216, 1983

[備考] アメリカリョウブ (*C. alnifolia*) にも発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum kusanoi Dietel

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:274, 1910(明 43) ; 白井光太郎:日本菌類目録:85, 1905(明 38)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

宇田川 晃ら:関東東山病虫研報 24:85, 1977

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

堀江博道:森林防疫 31(2):27, 1982

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconema jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconema jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Criconema longulum* (Gunhold) Raski & Luc [*Nothocriconema longulum* Gunhold] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Criconema palliatum* (Minagawa) Raski & Luc [*Nothocriconema palliatum* Minagawa] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(4) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(5) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(6) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978
(7) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの1種
三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

††††

Mycosphaerella clethrae Hara

原 攝祐:病虫雑 5(6):461, 1918(大7)

フクギ科 Clusiaceae, Guttiferae

テリハボク

Alexandrian laurel

Calophyllum inophyllum L.

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Southern root rot, Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ)

小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; Abe, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995 ; 島田律子ら:

小笠原研究年報 36:71, 2013

†紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

澤田兼吉:台湾農事報 129:609, 1917(大 6)

[備考] 台湾

マンゴスチン

Mangosteen

Garcinia × mangostana L.

(果樹)

††炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病)

Gloeosporium sp.

渡辺龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:37, 1977

[備考] タイ

††葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Phyllosticta sp.

渡辺龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:36, 1977

[備考] タイ

††葉斑病 yohan-byo Leaf spot

Pestalotia flagisetula Guba

渡辺龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:37, 1977

[備考] タイ

フクギ

(Garcinia)

Garcinia subelliptica Merr.

(広葉樹)

白斑病 hakuhan-byo White leaf spot

Phyllosticta garciniae (I. Hino & Katumoto) Motohashi, Tak. Kobayashi & Y. Ono

Motohashi, K. *et al.*:Mycoscience 51(2):93, 2010

[備考] 接種試験未了

南根腐病 minami-negusare-byo Southern root rot, Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ)

小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; Abe, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾。タイワンフクギ (*G.multiflora*)

††††

Guignardia garciniae I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 16:607, 1965

††††

†*Phoma garciniae* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):53, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

シクンシ科 Combretaceae

モモタマナ(コバテイシ)

Indian almond

Terminalia catappa L.

(広葉樹)

灰斑病 haihan-byo (灰色斑点病*)

Apiognomonina catappae (Koorders) M. Monod [*Apiognomonina terminaliae* Katumoto & Y. Harada, *Discula terminaliae* (P. Sydow & E.J. Butler) Katumoto & Y. Harada]

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):418, 1979 ; Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):426, 1979 ; 佐藤豊三ら:日本微生物資源学会誌 32(2):170, 2016

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis toxica (Ellis & Everhart) X.A. Sun & Q.X. Ge

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

円星病 maruhoshi-byo Circular leaf spot

Pseudocercospora catappae (Hennings) X.J. Liu & Y.L. Guo

Nakashima, C.:Mycoscience 45:67, 2004

[備考] 接種試験未了

†円星病 maruhoshi-byo Leaf spot

Cercospora terminaliae Sawada

澤田兼吉:台湾農事報 38(9):701, 1942(昭 17)

[備考] 台湾

††††

†*Harknessia terminaliae* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):160, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Phomopsis terminaliae* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報告 8(台湾産菌類調査報告 11):132, 1959

[備考] 台湾

ツユクサ科 Commelinaceae

ツユクサ類
(Commelina)
Commelina spp.
(野草)

マルバツユクサ *Commelina benghalensis* L.

ツユクサ *Commelina communis* L.

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Phakopsora tecta* H.S. Jackson & Holway ex Jackson

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 332, 1992

(2) *Uromyces commelinae* Cooke

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 926, 1992

[備考] ツユクサ

斑点病 hanten-byo

Cercospora commelinicola Chupp

小林享夫: 日本植物病害大事典(岸 國平編): 1225, 1998

[備考] マルバツユクサ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema insigne Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐: 植防研報 9: 27

[備考] ツユクサ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1: 84, 1961

[備考] ツユクサ

ムラサキオモト(シキンラン)

Oyster rhoeo

Rhoeo spathacea Stearn

(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora sp.

堀江博道・飯嶋 勉: 日植病報 60(6): 747, 1994

株腐病 kabugusare-byo Pythium rot

Pythium myriotylum Drechsler

鈴木幹彦ら: 関東病虫研報 55: 85, 2008

ムラサキツユクサ

Common spiderwort

Tradescantia ohiensis Raf.

(草花)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

白絹病 *shirakinu-byo* Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

遠藤 茂:庭木と草花の病害:364, 1940(昭 15)

セトクレアセア

Purple heart

Tradescantia pallida (Rose) D.R.Hunt

(草花)

斑点病 *hanten-byo*

Fusarium moniliforme J. Sheldon emend. Snyder & Hansen

鍵渡徳次:東京農大農学集報 30(2):126, 1985

ジャゴケ科 Conocephalaceae

ジャゴケ

Conocephalum conicum (L.) Dumort.

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

ヒルガオ科 Convolvulaceae

ヒルガオ類
(Calystegia)
Calystegia spp.
(野草)

ヒルガオ *Calystegia japonica* Chois.

コヒルガオ *Calystegia hederacea* Wallich

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe convolvuli de Candolle

丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000

[備考] コヒルガオ *C. hederacea* Wallich に発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] ヒルガオに発生。本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

エボルブルス
(Evolvulus)
Evolvulus spp.
(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:141, 1994

[備考] *Evolvulus nuttalianus* に発生

ヨルガオ
Moon Flower
Ipomoea alba L.
(草花)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種
鐙木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

ヨウサイ(アサガオナ, エンサイ, 蕪菜)
Water convolvulus
Ipomoea aquatica Forsk
(野菜)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot
Cercospora apii sensu lato [*Pseudocercospora* sp.]
生咲 巖ら:日植病報 73(1):60, 2007 ; 生咲 巖ら:四国植防 43:23, 2008

白さび病 shirosabi-byo White rust
Albugo ipomoeae-aquaticae Sawada
澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾菌類調査報告 2):27, 1923(大 12) ; 佐藤豊三ら:日植病報 76(3):159, 2010 ; 佐藤豊三ら:日植病報 77(1):43, 2011

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

サツマイモ(甘藷)
Sweet potato
Ipomoea batatas (L.) Lam.
(食用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus
(1) *Sweet potato latent virus* (SPLV) サツマイモ潜在ウイルス
Usugi, T. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 57(4):512, 1991
(2) *Sweet potato symptomless virus* (SPSV) サツマイモシンプトムレスウイルス
Usugi, T. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 57(4):512, 1991

帯状粗皮病 obijo-sohi-byo Russet crack
(1) *Sweet potato feathery mottle virus* (SPFMV) サツマイモ斑紋モザイクウイルス
宇杉富雄ら:日植病報 56(3):423, 1990
[備考] Severe strain による
(2) *Sweet potato virus G* (SPVG) サツマイモ G ウイルス
山崎修一ら:日植病報 75(2):102, 2009
[備考] 単独感染では塊根表皮にわずかな退色を生ずるのみであるが, SPFMV-S との同時接種により, SPFMV-S の単独感染よりも激しい帯状粗皮症状や激しい退色を誘発した

縮葉モザイク病 shukuyo-mosaic-byo
ウイルス (未同定)
森 寛一:植物防疫 12(2):67, 1958 ; 小尾充雄・森 寛一:日植病報 24(1):47, 1959

葉巻病 hamaki-byo Leaf curl
Sweet potato leaf curl virus (SPLCV) サツマイモ葉巻ウイルス
新海昭ら:かんしょ葉巻症状に関する調査報告(農林水産技術会議事務局), 1978 ; 尾崎武司ら:日植病報 55(1):102, 1989 ; Osaki, T. & Inoue, T.:Bull. Univ. Osaka Pref., Ser. B. 43:11, 1991

斑紋モザイク病 hammon-mosaic-byo Internal cork
Sweet potato feathery mottle virus (SPFMV) サツマイモ斑紋モザイクウイルス
田上義也:日植病報 15(3):135, 1951 ; 小尾充雄・森 寛一:日植病報 24(1):47, 1959 ; 山崎修一ら:日植病報 75(3):156, 2009
[備考] Ordinary strain による。山崎ら(2009)は *Sweet potato feathery mottle virus*-common 系統 (SPFMV-C)

が severe 系統 (SPFMV-S) と重複感染していることを報告したが, SPFMV-S による病徴への影響はなく, SPFMV-C 単独感染の場合には無病徴感染であった

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

岡本 弘:植物防疫 5(7):217, 1951 ; 土居養二ら:日植病報 33(5):344, 1967

茎根腐細菌病 kuki-negusare-saikin-byo Bacterial stem and root rot

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

田村逸美ら:日植病報 64(4):376, 1998

[備考] 病原菌の pathovar は未決定

立枯病 tachigare-byo Soil rot

Streptomyces ipomoeae (Persoon & Martin 1940) Waksman & Henrici 1948

鈴木孝仁ら:日植病報 52(3):505, 1986

青かび病 aokabi-byo Blue mold (青黴病)

Penicillium expansum Link またはその近縁種

西門義一ら:農学綜報 2:18, 1947

かいよう病 kaiyo-byo Surface rot (潰瘍病, 暗褐腐敗病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

後藤和夫:甘藷馬鈴薯の病虫害:106, 1946 ; 西澤正洋:農及園 24(11):781, 1949

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *radicicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen

後藤和夫:甘藷馬鈴薯の病虫害:106, 1946 ; 西澤正洋:農及園 24(11):781, 1949

角斑病 kakuhan-byo (斑点病)

Pseudocercospora timorensis (Cooke) Deighton [*Cercospora timorensis* Cooke, *Cercospora batatae* Zimmermann]

木場三朗:作物病害の診断と防除:323, 1952

褐色乾腐病 kasshoku-kampu-byo Fusarium root rot, Trichoderma rot

(1) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

大城 篤ら:日植病報 66(3):258, 2000

(2) *Trichoderma* sp.

瀧元清透:病虫雑 8(3):247, 1938(昭 13)

褐斑病 kappan-byo Mycosphaerella leaf spot

Mycosphaerella ipomoeaecola Hara

原 攝祐:実用作物病理学:442, 1925(大 14)

乾腐病 kampu-byo Dry rot (腐敗病, 尻腐病)

Diaporthe batatatis Harter & E.C. Field [*Phomopsis batatae* (Ellis & Halsted) Harter & E.C. Field]

出田 新:大日本農会報 285 号, 1905(明 38)

菌核病 kinkaku-byo Sprout blight

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

原 攝祐:実験作物病理学:742, 1930(昭 5)

黒あざ病 kuroaza-byo Scurf (黒痣病, 粗皮病, 黒皮病, 痣痕病)

Monilochaetes infuscans Ellis & Halsted ex Harter
農事試九州支場:農事雜報 11(130), 1909(明 42)

黒網病 kuroami-byo
担子菌の1種
後藤和夫:甘藷馬鈴薯増産技術の基礎:214, 1950

黒星病 kurohoshi-byo Black spot
Alternaria bataticola Ikata ex W. Yamamoto [*Macrosporium bataticola* Ikata]
鑄方末彦:農及園 22(5):239, 1947(昭 22) ; 山本和太郎:日菌報 2:89, 1960

黒斑病 kokuhan-byo Black rot (黒腐病)
Ceratocystis fimbriata Ellis & Halsted [*Ceratostomella fimbriata* (Ellis & Halsted) J.A. Elliott, *Endoconidiophora fimbriata* (Ellis & Halsted) R.W. Davidson]
出田 新:大日本農会報 290 号, 1905(明 38)

黒変病 kokuhē-byo
Cladosporium sp.
廣江 勇:日植病報 13(3-4):62, 1949

紫褐色粘菌病 shikasshoku-nenkin-byo Slime mold (粘菌病)
Physarum sp.
後藤和夫:甘藷馬鈴薯増産技術の基礎:213, 1950

縮芽病 shukuga-byo Scab
Elsinoë batatas Viégas & Jenkins [*Sphaceloma batatas* Sawada]
澤田兼吉:台湾中央研農業部報告 51(台湾菌類調査報告 5):105, 1931(昭 6) ; 後藤和夫:日植病報 7(2):143, 1937(昭 12)

小粒菌核病 shoryu-kinkaku-byo Damping-off of sprout
Sclerotinia minor Jagger
瀧元清透:病虫雑 28(6):428, 1941(昭 16)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight (小粒白絹病)
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
多田 勲:日植病報 12(2-4):205, 1943(昭 18)
[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白星病 shirahoshi-byo Leaf spot
Septoria bataticola Taubenhaus
卜藏梅之丞:病虫雑 2(1):75, 1915(大 4)

白腐病 shirogusare-byo Mottle necrosis
(1) *Pythium myriotylum* Drechsler
田村 収ら:日植病報 79(3):183, 2013
(2) *Pythium scleroteichum* Drechsler
Tojo, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73(2):121, 2007
(3) *Pythium spinosum* Sawada
瀧元清透:病虫雑 25(6):455, 1938(昭 13)

(4) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum* [*Pythium ultimum* Trow]

逸見武雄ら:日植病報 13(1-2):44, 1948

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

後藤和夫:甘藷馬鈴薯増産技術の基礎:214, 1950

ジャワ黒腐病 Java-kurogusare-byo Java black rot (ジャワ黒斑病, 炭化病)

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard, *Diplodia tubericola* (Ellis & Everhart) Taubenhaus]

西門義一ら:農学綜報 2:10, 1947 ; 堀 正侃:作物病害ハンドブック:190, 1955

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot (粉状乾腐病)

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich [*Macrophomina phaseoli* (Maublanc) S.F. Ashby, *Sclerotium bataticola* Taubenhaus, *Rhizoctonia bataticola* (Taubenhaus) E.J. Butler]

平田正一:農及園 21(9):19, 1946 ; 西門義一ら:農学綜報 2:4, 1947

そう葉病 soyo-byo (瘡葉病)

Cladosporium sp.

鏑方末彦・安尾 俊:日植病報 14(1-2):35, 1950

貯蔵腐敗病 chozo-fuhai-byo Macrophoma rot

Macrophoma edulis J.V. Almeida

西門義一・日浦運治:農学研究 39(3):117, 1951

つる割病 tsuruware-byo Stem rot (蔓割病, 茎腐病, 蔓枯病, 立枯病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *batatas* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium bulbigenum* Cooke & Massee var. *batatas* Wollenweber, *Fusarium hyperoxysporum* Wollenweber]

鶴田章逸:病虫雑 2(2):141, 1915(大 4)

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo [*Nectria ipomoeae* Halsted]

鶴田章逸:病虫雑 2(2):141, 1915(大 4)

軟腐病 nampu-byo Soft rot (軟化病, 腐敗病, 毛黴病, 黒黴病)

(1) *Rhizopus stolonifer* (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus nigricans* Ehrenberg]

Schipper, M. A. A.:Stud. Mycol. 25:9, 1984

(2) *Rhizopus tritici* Saito

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大 3)

[備考] *R. tritici* を *R. oryzae* Went & Prinsen Geeligs の異名とする意見がある (Schipper, M.A.A.: Stud. Mycol. 25:13, 1984)

根腐病 negusare-byo Root rot (黒色根腐病, 擬黒斑病)

Thielaviopsis basicola (Berkeley & Broome) Ferraris

原 攝祐:実用作物病理学:442, 1925(大 14)

[備考] ト蔵梅之丞 (病虫雑 1(3):314, 1914) は海外で発生した *Trichoderma koningii* Oudemans による根腐病を紹介した

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Botrytis rot, Gray mold rot (ボトリチス菌核病, 菌核病)

Botrytis cinerea Persoon

西門義一ら:農学綜報 2:6, 1947

灰色粘菌病 haiiro-nenkin-byo Slime mold

Physarum gyrosum Rostafinskiy

後藤和夫:甘藷馬鈴薯増産技術の基礎:212, 1950

葉枯病 hagare-byo

Fusarium sp.

渡邊龍雄ら:日植病報 14(3-4):104, 1950

斑点病 hanten-byo Leaf blight

Phyllosticta batatas (Thümen) Cooke

中田覺五郎:作物病害図編:444, 1934(昭 9)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

堀 正太郎:農作物病害:224, 1903(明 36)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchus avenae* Bastian ニセネグサレセンチュウ

天野 隆ら:愛知県農試彙報 19:84, 1965

(2) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐺木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

(3) *Paratrophurus* sp. リュウキュウイシユクセンチュウ

照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979

(4) *Rotylenchulus reniformis* Linford & Oliveira [*Rotylenchulus nicotiana* (Yokoo & Tanaka) Nakasono & Ichinohe] ニセフクロセンチュウ

中園和年・一戸 稔:応動昆 11(4):169, 1967

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion (芋腐線虫病)

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

高坂淳爾:防疫時報 17:43, 1950; 横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962; 後藤 昭・大島康臣:応動昆 7(3):187, 1963

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] サツマイモネコブセンチュウ

後藤和夫:日植病報 11(4):204, 1942(昭 17); 田中彰一:蔬菜病害防除論:45, 1948; 近藤鶴彦:甘藷馬鈴薯の病虫害 第一号:153, 1947; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] *Meloidogyne* 属が再確認されて複数種に分けられ (Chitwood, B.G.:Proc. helminth. Soc. Wash. 16(2):90, 1949), わが国で最初にこれに従った一戸の上記報告が行われるまで, ネコブセンチュウは一種として扱われ, 学名として *Heterodera radiculicola* (Greeff) Muller あるいは *H. marioni* (Cornu) Goodey が使用されていた。これらを使用した種を特定できないネコブセンチュウの報告は「*Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの 1 種」, 該当種が特定できる場合はその種として採録し, これらの名称を異名として示した

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

[備考] 1995 年以前のジャワネコブセンチュウの同定には疑問があり、アレナリアネコブセンチュウである可能性が高い (奈良部 孝: 関東病虫研報 42:9, 1995)

萎縮病 ishuku-byo (モザイク病)

生理障害

岡本 弘: 日植病報 11(3):147, 1941(昭 16) ; 吉井 甫: 日植病報 25(2):71, 1960

[備考] 岡本 (1941) は病原はウイルスらしいとし、モザイク病と呼んだ

コルク病 koruku-byo

原因不明

明日山秀文: 植物防疫 6(12):452, 1952 ; 森 寛一ら: 日植病報 22(1):20, 1957

心腐病 shingusare-byo Internal breakdown, Brown heart

生理障害

野津六兵衛: 病虫雑 3(7):595, 1916(大 5)

水腐れ mizugusare

生理障害

岡本 弘: 日植病報 11(1):15, 1941(昭 16)

裂開病 rekkai-byo Cracking

生理障害

瀧元清透: 病虫雑 25(6):455, 1938(昭 13)

†††† **茎腐病** kukigusare-byo

†† *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

富樫浩吾: 農及園 10(3):729, 1935(昭 10)

[備考] 国内発生未詳

†††† **白さび病** shirosabi-byo White rust (白錆病, 葉斑病)

†† *Albugo ipomoeae-panduratae* (Schweinitz) Swingle

富樫浩吾: 農及園 10(3):729, 1935(昭 10)

[備考] 国内発生未詳

†††† **そうよう病** soyo-byo (蒼瘍病)

†† *Cytospora batata* Elliott

出田 新: 病虫雑 5(9):736, 1918(大 7)

[備考] 国内発生未詳

† **大粒白絹病** tairyu-shirakinu-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn [*Hypochnus sasakii* Shirai]

澤田兼吉: 台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):477, 1919(大 8)

[備考] 台湾

†††† **根朽病** nekuchi-byo

†† *Acrocystis batatas* Ellis & Halsted

出田 新: 大日本農会報:218, 1904(明 37)

[備考] 国内発生未詳

††††腐敗病 fuhai-byo

††*Rhizopus reflexus* Bainier, *Rhizopus pseudochinensis* M. Yamazaki, *Rhizopus oryzae* Went & Prinsen Geerligs, *Rhizopus nodosus* Namyslowski, *Rhizopus artocarp*i Raciborski, *Rhizopus delemar* (Boidin) Wehmer & Hanzawa, *Rhizopus chinensis* Saito, *Rhizopus maydis* Bruderlein, *Rhizopus arrhizus* A. Fischer, *Rhizopus nigricans* Ehrenberg, *Rhizopus tritici* Saito, *Mucor racemosus* Fresenius f. *racemosus*

富樫浩吾・農及園 10(2):472, 10(3):729, 1935(昭 10)

[備考] 国内発生不詳。病原菌について再検討を要する

††††

Pyrenochaeta sp.

富永時任・土屋行夫:日植病報 22(1):38, 1957

[備考] 貯蔵中のいもに発生

ルコウソウ

Cypress-vine, Star-glory

Ipomoea quamoclit L.

(草花)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

サツマイモ類

(*Ipomoea*)

Ipomoea spp.

(野草)

ノアサガオ *Ipomoea indica* (Burm.) Merr.

ゲンバイヒルガオ *Ipomoea pes-caprae* (L.) Sweet

マルバアサガオ *Ipomoea purpurea* (L.) Roth

マルバアメリカアサガオ *I. hederacea* (L.) Jacq. var. *integriscula* A. Gray

マメアサガオ *I. lacunosa* L.

ホシアサガオ *I. triloba* L.

角斑病 kakuhan-byo (斑点病)

Pseudocercospora timorensis (Cooke) Deighton [*Cercospora timorensis* Cooke, *Cercospora batatae* Zimmermann]

Katsuki, S.:J. Jpn. Bot.28(9):287, 1953 ; Katsuki, S.:Trans. mycol. Soc. Japan, Extra Issue 1:25, 1965

[備考] ノアサガオ

白さび病 shirosabi-byo White rust

(1) *Albugo ipomoeae-hardwickii* Sawada

[備考] マルバアメリカアサガオに発生

(2) *Albugo ipomoeae-panduratae* (Schweinitz) Swingle f. sp. *lacunosae* Toy. Sato & Y. Degawa

[備考] マメアサガオに発生

(3) *Albugo ipomoeae-panduratae* (Schweinitz) Swingle f. sp. *trilobae* Toy. Sato & Y. Degawa

出川洋介ら:神奈川自然誌資料 29:45, 2008 ; 佐藤豊三ら:日植病報 75(1):46, 2009 ; Sato, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(1):46, 2009

[備考] ホシアサガオに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] グンバイヒルガオ・マルバアサガオ

アサガオ(朝顔)

Morning glory

Pharbitis nil (L.) Choisy

[*Ipomoea nil* L.]

(草花)

セイヨウアサガオ Royal morning-glory *Pharbitis nil* (L.) Choisy[*Ipomoea tricolor* Cav.]

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

佐藤 衛ら:日植病報 76(1):41, 2010 ; 佐藤 衛ら:関東病虫研報 57:47, 2010

白さび病 shirosabi-byo White rust

Albugo ipomoeae-hardwickii Sawada [*Albugo ipomoeae-panduratae* (Schweinitz) Swingle f. sp. *nile* Toy. Sato & J. Okamoto, *Albugo ipomoeae-panduratae* (Schweinitz) Swingle]

佐藤豊三ら:日植病報 66(3):271, 2000 ; 佐藤豊三ら:日植病報 75(1):46, 2009 ; Sato, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(1):46, 2009 ; 佐藤豊三ら:日植病報 77(1):43, 2011

[備考] Sato *et al.* (2009)は本菌を *A. ipomoeae-panduratae* f. sp. *nile* としたが, 佐藤ら(2011)はこれを *A. ipomoeae-hardwickii* f. sp. *nile* とした

つる割病 tsuruware-byo Stem rot, Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *batatas* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium bulbigenum* Cooke & Massee var. *batatas* Wollenweber, *Fusarium hyperoxysporum* Wollenweber]

中村秀雄:日植病報 47(1):90, 1981

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:191, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:644, 1998 ; 高野喜八郎ら:北陸病虫研報 43:81, 1995

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phyllosticta calystegiae Saccardo

原 攝祐:実験作物病理学:876, 1930(昭 5)

[備考] 病原の分類学的所属について検討を要する

斑紋病 hammon-byo Leaf spot (斑点病)

Cercospora ipomoeae G. Winter [*Cercosporina ipomoeae* (Winter) Hori]

園 孝次郎:農業国 3(11):35, 1909(明 42)

[備考] 接種試験未了

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot

Phoma exigua Desmazières

高野喜八郎:日植病報 61(3):220, 1995

[備考] 成田武四 (北海道における農作物病害:191, 1977) は本病原に *Ascochyta* sp. を充てている

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

††††

病原未記載

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の記載は, 遠藤 茂:庭木と草花の病害:232, 1940(昭15)。血清試験による *Cucumber mosaic virus* (CMV キュウリモザイクウイルス)検出の報告がある。大木 理ら:植物防疫 35(7):305, 1981

ドクウツギ科 Coriariaceae

ドクウツギ(毒空木)

(Coriaria)

Coriaria japonica Gray

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:139, 1968 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973

さび病 sabi-byo Rust

Pucciniastrum coriariae Dietel

Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 28(3):286, 1900 ; 平塚直秀:北大農紀要 21(3):84, 1928(昭3) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾菌類調査報告 5):50, 1931(昭6)

[備考] タイワンドクウツギ (*C. intermedia*) にも発生

++++褐色円星病 kasshoku-maruhoshi-byo

†*Phyllosticta coriariae* Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):111, 1942(昭17)

[備考] 台湾。タイワンドクウツギ (*Coriaria intermedia*)

ミズキ科 Cornaceae

アオキ(桃葉珊瑚)
Japanese laurel
Aucuba japonica Thunb.
(広葉樹)

葉脈モザイク病 yomyaku-mosaic-byo Veinal mosaic disease
Cycas necrotic stunt virus (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス [*Aucuba veinal mosaic virus*]
楠木 学ら:日植病報 44(1):61, 1978 ; 楠木 学ら:日植病報 45(4):571, 1979
[備考] 戻し接種なし

輪紋病 rimmon-byo Ring spot Virus
Aucuba ringspot virus# (AuRV) アオキ輪紋ウイルス
楠木 学:日植病報 46(3):414, 1980 ; 奥山 哲・坂 ひとみ:関東東山病虫研報 25:83, 1978 ; 山下修一ら:日植病報 48(3):395, 1982
[備考] 接木伝染性。旧目録第5巻第2版では輪紋病とウイルス病にわけられていたが、病徴の記載から両者は同一病害と考えられる

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease
Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]
黒澤英一:植物防疫 4(10):巻頭口絵解説, 1950

いぼ皮病 ibokawa-byo Warty stem blight
Botryosphaeria sp. [*Dothiorella* sp.]
原田幸雄ら:日植病報 62(6):601, 1996

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(1) *Erysiphe aucubae* S. Takamatsu & Siahaan
Siahaan, S.A.S. & Takamatsu, S.:Mycoscience 57:251, 2016
[備考] アオキ, ヒメアオキ (*A. japonica* var. *borealis*) に発生
(2) *Microsphaera* sp. (白渋病)
関 省吾・平田幸治:新潟農林研究 13:11, 1961 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973
[備考] ヒメアオキ (*A. japonica* var. *borealis*)
(3) *Oidium* sp.
野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):37, 1976

褐斑病 kappan-byo (斑点病)
Phyllosticta harai Togashi [*Phyllosticta aucubae* Hara, *Phyllosticta* sp.]
原 攝祐:樹病学名論:221, 1923(大 12) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:228, 1927(昭 2) ; Togashi, K.:Bull. Imp. Coll. Agr. For. Morioka 22, 37, 1936(昭 11)

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight
Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]
伊藤達次郎:東大農演報 8:79, 1951 ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12:70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993
[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

菌核病* kinkaku-byo Sclerotial disease

Lambertella brunneola (Patouillard) Le Gal
Korf, R.: 横浜国大理科報告 Ser. 11, 7:18, 1958

白星病 shirahoshi-byo White leaf spot (円星病)

Phomatospora aucubae (Shirai & Hara) Tak. Kobayashi & Y. Suto [*Sphaerulina aucubae* Shirai & Hara, *Phomatospora* sp.]

南部信方: 病虫雑 1(2):241, 1919(大 8); 白井光太郎・原 攝祐: 植物学雑 25(290):71, 1911(明 44); Kobayashi, T. & Suto, Y.: Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):283, 1983

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子: 日林誌 66(7):265, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold

Asteridiella aucubae (Hennings) Hansford [*Meliola aucubae* Hennings]

安田 篤: 植物学各論隠花部:360, 1911(明 44); 吉永虎馬: 植物学雑 16(179):3, 1902(明 35)

立枯疫病 tachigare-eki-byo

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter [*Phytophthora* sp.]

内田 勉ら: 日植病報 50(3):392, 1984; 浅利 覚ら: 関東病虫研報 33:136, 1986

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum crassipes* (Spegazzini) Arx [*Gloeosporium kiotoense* Hemmi & Nojima]

逸見武雄・野島友雄: 京大農紀 3:28, 1927(昭 2); 山本和太郎: 植物防疫 14(2):51, 1969

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum pollaccii* Magnus, *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Glomerella* sp.]

逸見武雄: 病虫雑 8(11):535, 1921(大 10); Kobayashi, T.: Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):262, 1976

胴枯病 dogare-byo Canker

Diaporthe aucubae Saccardo [*Phomopsis aucubae* (Westendorp) Traverso]

福井武治: 三重高農学術報 3(3):18, 1933(昭 8)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

伊藤一雄: 樹病:69, 1952

[備考] 完全世代 *Botryotinia fuckeliana* (de Bary) Whetzel はアオキでは未記録

斑点病 hanten-byo

Cercospora aucubae (Hara) Hara [*Cercosporina aucubae* Hara]

山本和太郎・前田巳之助: 兵庫農大研報 4(2):46, 1960; 原 攝祐: 菌類 1(3):113, 1931(昭 6)

斑葉病 han'yo-byo

Spiropes japonicus (Hennings) M.B. Ellis [*Podosporium japonicum* Hennings]

安田 篤: 植物学各論隠花部:576, 1911(明 44); 松村任三: 帝国植物名鑑(上):162, 1904(明 37)

[備考] 本病原菌はすす病菌への重複寄生菌である

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease (円星病, ペスタロチア円星病)

Pestalotia aucubae Fukui

福井武治: 新植物病原菌報告 2, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

星形すす病 hoshigata-susu-byo Sooty mold (裏すす病, すす病, 黒斑病, 黒癬病, 星状すす病)
Asterina aucubae Hennings [Lembosia catervaria var. *aucubae* Saccardo, *Lembosia aucubae* (Saccardo) Hara, *Asterina aucubae* (Saccardo) Theissen, *Asterina fimbriata* sensu Tanaka non Kalchbrenner]
原 攝祐:樹病学各論:45, 1923(大 12); 松村任三:帝国植物名鑑(上):132, 1904(明 37)
[備考] タイワンアオキにも発生

実の黒斑病 mi-no-kokuhan-byo Fruit rot (果実黒斑病・黒斑病)
Sphaeropsis aucubae Fukui
福井武治:三重高農同窓会学術彙報 5:53, 1936(昭 11)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot
Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka
Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:7, 1949
[備考] 病原菌の異名はボブラ類紫紋羽病参照

粉藻病 konamo-byo Algal powdery spot
Phycopeltis epiphyton Millardet
末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot
Cephaleuros virescens Kunze
江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979
(2) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983
[備考] 根圏土壌より検出

††††
Asterina fimbriata Kalchbrenner & Cooke
白井光太郎:日本菌類目録:11, 1905(明 38)

††††
Gloeosporium aucubae Oudemans
安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:134, 1973

††††
Guignardia sp.
周藤靖雄:島根林試研報 25:50, 1975

††††
Meliola dichotoma Berkeley & M.A. Curtis
松村任三:帝国植物名鑑(上):153, 1904(明 37)
[備考] アオキでの発生に疑問

††††

††*Phyllosticta ampla* Brunaud

北島君三:樹病学及木材腐朽論:301, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

††††

††*Phyllosticta aucubicola* Saccardo

北島君三:樹病学及木材腐朽論:301, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

††††

††*Pleospora infectoria* Fuckel var. *aucubicola* Montemartini

北島君三:樹病学及木材腐朽論:301, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

††††

††*Ramularia aucubae* C. Massalonga

北島君三:樹病学及木材腐朽論:301, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

††††

††*Septoria aucubae* Westendorp

北島君三:樹病学及木材腐朽論:301, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Konoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

ミズキ類

Dogwood

Benthamidia spp. *Cornus* spp. *Swida* spp.

(広葉樹)

ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood *B. florida* (L.) Spach

ヤマボウシ(四照花) Cornel *B. kousa* (Buerger ex Miq.) Hance

サンシュユ(山茱萸) *C. officinalis* Sieb. & Zucc.

ミズキ(水木) *S. controversa* (Hemsl.) Sojak

クマノミズキ(熊野水木) *S. macrophylla* (Wall.) Sojak

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe pulchra* (Cooke & Peck) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera pulchra* Cooke & Peck var. *japonica* (Hennings) U. Braun, *Microsphaera japonica* Hennings, *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte] (粉病, 白渋病)

安田 篤:植物病学各論隠花部 366, 1911(明 44) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):378, 1937(昭 12); Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):255, 1986; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012

[備考] ミズキ・クマノミズキ・タカネミズキ・ハナミズキ・ヤマボウシ・ヒマラヤヤマボウシ・シナヤマボウシ (*C. kousa* var. *chinensis*)に発生

(2) *Oidium* sp.

佐藤幸生:富山技術短大研報 13:112, 1980

[備考] クマノミズキに発生

(3) *Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten

高松 進ら:日菌報 19(1):70, 1978

[備考] サンシュユに発生

(4) *Phyllactinia guttata* (Wallroth) L  veill  

Tanda, S. *et al.*:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986

枝黒枯病 eda-kurogare-byo Black shoot blight

Fusicoccum aesculi Corda

高橋幸吉ら:樹木医学研究 8(1):42, 2004 ; 高橋幸吉ら:樹木医学研究 9(1):23, 2005

[備考] ミズキ(2004), ハナミズキ(2005)に発生

褐色輪斑病 kasshoku-rimpan-byo Septoria leaf spot

Septoria corni-controversae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:58, 1958

[備考] ミズキ・クマノミズキ

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

鷺尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

[備考] 病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照。病原菌の完全世代 *Grovesinia pyramidalis* M.N. Cline, J.L. Crane & S.D. Cline はミズキ類では未記録

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Aplopsora corni* Y. Ono & Y. Harada

Ono, Y. & Harada, Y.:Mycoscience 35(2):181, 1994

(2) *Pucciniastrum corni* Dietel

澤田兼吉:林試研報 57:15, 1952 ; 白井光太郎:日本菌類目録:85, 1905(明 38) ; Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 15:83, 1976

[備考] クマノミズキ・サンシュユ・ヤマボウシ・ハナミズキ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] クマノミズキ・サンシュユ・ハナミズキ・ミズキ・ヤマボウシ。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす斑病 susuhan-byo

Sarcinella questieri (Desmazi  res) Arnaud

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(4):359, 1988

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum karstii Y.L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai

市之瀬玲美ら:関東病虫研報 63:123, 2016

[備考] ヤマボウシに発生

とうそう病 toso-byo Spot anthracnose

Elsinoë corni Jenkins & Bitancourt

伊藤一雄:樹病学大系 2:76, 1973 ; 香月繁孝:九州農業研究 12:53, 1953

[備考] ミズキ・サンシュユ・ハナミズキ

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小河誠司:森林防疫 32(5):91, 1983

[備考] ハナミズキ。完全世代 *Botryotinia fuckeliana* (de Bary) Whetzel は未記録

灰色こややく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

原 攝祐:茶樹の病害:149, 1932(昭7)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類灰色こややく病参照

斑点病 hanten-byo

Pseudocercospora cornicola (Tracy & Earle) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Cercospora cornicola* Tracy & Earle]

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):52, 1960 ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):115, 1917(大6) ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

[備考] ミズキ・クマノミズキ・ハナミズキ・サンシュユ

斑紋病* hammon-byo

Mycosphaerella punctiformis (Persoon) Starbäck

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):383, 1917(大6)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:7, 1949

[備考] ミズキ・チョウセンミズキ。病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

堀江博道:日植病報 44(3):376, 1978 ; 堀江博道:東京農試研報 13:63, 1980

[備考] ミズキ・ハナミズキ・ヤマボウシ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconea jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconea jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Criconea palliatum* (Minagawa) Raski & Luc [*Nothocriconea palliatum* Minagawa] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(4) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

††††枝枯病 edagare-byo Die back

(1) *Phomopsis* sp.

渡辺恒雄ら:日植病報 59(6):728, 1993

[備考] ハナミズキに発生。病原菌の同定不十分

(2) *Pythium* sp.

渡辺恒雄ら:日植病報 59(6):728, 1993

[備考] ハナミズキに発生。病原菌の同定不十分

††††

Monochaetia cornicola I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 9:914, 1958

[備考] クマノミズキ

††††

Phyllosticta corni-controversae Miura

三浦密成:秋田農試報 8:26, 1957

††††

†*Ramularia angustissima* Saccardo

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):54, 1914(大 3)

[備考] 中国

††††

Septoria carnicola Desmazières

徳淵永治郎:宮部記念植物襍説:309, 1911(明 44)

[備考] ミズキ

††††

Septoria corni Hemmi & N. Naito

Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:39, 1940(昭 15)

[備考] クマノミズキ

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] ミズキ・サンゴミズキ

ハナイカダ(花筏)

Japan helwingia

Helwingia japonica (Thunb.) F. G. Dietr.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe helwingiae (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera helwingiae* Sawada, *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon]

Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12) ; 野村幸彦:植研雑 35(4):116, 1960 ; 丹田誠之助・佐藤志美雄:東農大農学集報 23(1):89, 1978 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:54, 2012

斑点病 hanten-byo Leaf spot, Cercospora leaf spot

Pseudocercospora izuohshimensis C. Nakashima, H. Horie & Tak. Kobayashi [*Cercospora* sp.]

堀江博道・小林享夫:95 回日林論:443, 1984 ; Nakashima, C. *et al.*:Mycoscience 45:49, 2004

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Criconema palliatum (Minagawa) Raski & Luc [*Nothocriconema palliatum* Minagawa] ワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

††††

Phyllosticta sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):182, 1960

ベンケイソウ科 Crassulaceae

セイロンベンケイ

Bryophyllum pinnatum (Lam.) Oken
(草花)

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot

Phoma exigua Desmazières

小野 剛ら:関東病虫研報 57:49, 2010

グラプトペタラム

(Graptopetalum)

Graptopetalum spp.
(草花)

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

富樫二郎・生井恒雄:日植病報 66(3):266, 2000

[備考] *G. paraguayense* (N. E. Br.) E. Walth. (園芸名・おぼろつき) に発生

カランコエ

(Kalanchoe)

Kalanchoe spp.
(草花)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

鐘江保忠ら:日植病報 64(4):374, 1998

萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

酒井和彦:関東病虫研報 44:155, 1997

[備考] 病原菌の pathovar は未決定

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe polygoni de Candolle

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:77, 1977

[備考] 病菌の分類学的所属については再検討が必要

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

Watanabe, H. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73(2):81, 2007

(2) *Phytophthora* sp.

栄森弘己・飯嶋 勉:日植病報 59(3):289, 1993

褐斑病 kappan-byo Myrothecium rot and leaf spot

Myrothecium roridum Tode

堀之内勇人ら:関西病虫研報 41:33, 1999

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia benkei Kusano

山岡裕一ら:日植病報 60(5):563, 1994

根腐病 negusare-byo Pythium rot, Root and stem rot

(1) *Pythium helicoides* Drechsler

(2) *Pythium myriotylum* Drechsler

渡辺秀樹ら:日植病報 68(1):77, 2002 ; Watanabe, H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 73(2):81, 2007

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 42:105, 1995

[備考] *Kalanchoe laciniata* に発生

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

佐藤豊三ら:日植病報 62(6):631, 1996 ; Tomioka, K. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(4):337, 1997 ; 富岡

啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005

ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ,
イワベンケイなど)

Sedum, Siebold sedum

Sedum spp. *Hylotelephium sieboldii* (Sweet ex Hook.) H. Ohba
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe polygoni* de Candolle

平田幸治:千葉高園学術報告 5:34, 1942(昭 17)

[備考] 病菌の分類学的所属については再検討が必要。ミセバヤ (タマノオトモ) は平田幸治:千葉園芸学
術報告 5:35, 1942(昭 17)に記載なし

(2) *Erysiphe sedi* U. Braun [*Erysiphe polygoni* de Candolle]

成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):328, 1937 ; 大谷吉雄:日本菌
類誌 III(2):194, 1988

[備考] 接種試験未了

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Puccinia benkei* Kusano

Yamaoka, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(5):563, 1994

[備考] 人工接種によりヒダカミセバヤ (*Sedum caudicolum*) に発生。病名の提案なし

(2) *Puccinia umbilici* Guépin & Duby

成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 II(3):255, 1950 ; 伊藤誠哉・村山大
記:札幌物学会報 19:5, 1950

[備考] 接種試験未了

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 39:27, 1997

[備考] ベンケイソウ *Hylotelephium erythrostictum* に発生

輪紋病 rimmon-byo

Ascochyta sp.

成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:641, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌は *A. phaseolorum* に類似するが, *A. telephi*, *Phoma telephi* との異同を検討する必要がある

ウリ科 Cucurbitaceae

トウガン(カモウリ, トウガ, 冬瓜)

Wax gourd, White gourd

Benincasa cerifera Savi

(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) Potyvirus#

小室康雄:日植病報 22(4-5):220, 1957

[備考] 汁液接種検定による同定。 *Papaya ringspot virus* (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), *Watermelon mosaic virus* (WMV スイカモザイクウイルス), *Zucchini yellow mosaic virus* のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり

(2) *Tomato spotted wilt virus* (TSWV) トマト黄化えそウイルス

鳥越博明・亀谷満朗:日植病報 58(1):113, 1992

(3) *Zucchini yellow mosaic virus* (ZYMV) ブッキーニ黄斑モザイクウイルス

大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988 ; 福本文良ら:関東病虫研報 40:101, 1993

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:101, 1933(昭8)

果実汚斑細菌病 kajitsu-ohan-saikin-byo Bacterial fruit blotch

Acidovorax avenae subsp. *citrulli* (Schaad, Sowell, Goth, Colwell & Webb 1978) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

小木曾秀紀ら:日植病報 71(3):290, 2005

[備考] スイカ台用トウガンに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca cucurbitae* (Jaczewski) Z.Y. Zhao, *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:304, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:30, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora capsici* Leonian

三宅律幸ら:日植病報 74(1):68, 2008

(2) *Phytophthora* sp.

稲田 稔ら:日植病報 63(3):203, 1997

褐色あざ病 kasshoku-aza-byo Brown scab

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

川口 章ら:日植病報 73(2):114, 2007

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 HG-I。川口らは本病をトウガン実褐斑病として発表(日植病報 71(1):75, 2005)したが, 病名を訂正した

立枯病 tachigare-byo Fusarium basal rot

Fusarium solani (Martius) Saccardo f. sp. *cucurbitae* W.C. Snyder & H.N. Hansen

粕山新二ら:日植病報 59(6):746, 1993

[備考] race 1

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum orbiculare (Berkeley & Montagne) Arx

折原紀子ら:日植病報 74(3):176, 2008 ; 折原紀子ら:関東病虫研報 55:35, 2008

つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight

Didymella bryoniae (Auerswald) Rehm [*Mycosphaerella melonis* (Passerini) W.F. Chiu & J.C. Walker]

我孫子和雄ら:関西病虫研報 30:75, 1988 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992

[備考] 病菌の異名はメロンつる枯病参照

つる割病* tsuruware-byo

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *lagenariae* Matuo & I. Yamamoto

油本武義・遠山 明:日植病報 47(3):389, 1981

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *niveum* W.C. Snyder & H.N. Hansen

油本武義・遠山 明:日植病報 47(3):389, 1981

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev [*Peronoplasmodium cubensis* (Berkeley & M.A. Curtis) G.P. Clinton]

黒沢英一:台湾博物学会報 14(73):35, 1924(大 13) ; 岩田吉人:植物病害研究 4:124, 1951

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

++++果実軟腐症 kajitsu-nampu-sho Soft rot

Pectobacterium sp. [*Erwinia carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

澤岬哲也ら:日植病報 75(3):271, 2009

コロシントウリ

Bitter gourd, Colocynthis, Bitter cucumber

Citrullus colocynthis (L.) Schrad.

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium citrulli J.M. Yen & Chin C. Wang

丹田誠之助:東農大農学集報 43(3):159, 1998

スイカ(西瓜)

Watermelon

Citrullus lanatus (Thunb.) Matsum. & Nakai

(野菜)

えそ斑点病 *eso-hanten-byo* Necrotic spot

Melon necrotic spot virus (MNSV) メロンえそ斑点ウイルス

佐古 勇ら:日植病報 62:324, 1996 ; 松尾和敏ら:日植病報 73(1):29, 2007

灰白色斑紋病 *haihakushoku-hammon-byo* Silver mottle

Watermelon silver mottle virus (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス

与那覇哲義ら:日植病報 49(3):406, 1983 ; Iwaki, M. *et al.*:Plant Disease 68(11):1006, 1984 ; Tsuda, S. *et al.*:Acta Hort. 431:176, 1996

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:日植病報 35(5):387, 1969

[備考] ウイルス名のみ記載。戻し接種なし

(2) Potyvirus#

小室康雄:日植病報 22(4-5):220, 1957 ; 小室康雄:日植病報 27(1):31, 1962

[備考] 汁液接種検定による同定。*Papaya ringspot virus* (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), *Watermelon mosaic virus* (WMV スイカモザイクウイルス), *Zucchini yellow mosaic virus* のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:札幌博物会報 12(2-3):130, 1932(昭7)

緑斑モザイク病 *ryokuhan-mosaic-byo*

Cucumber green mottle mosaic virus (CGMMV) スイカ緑斑モザイクウイルス [Cucumber green mottle mosaic virus-W#]

小室康雄ら:日植病報 34(5):377, 1968 ; 小室康雄ら:日植病報 37(1):34, 1971

萎凋細菌病* *icho-saikin-byo* Bacterial wilt (萎ちょう細菌病, 萎凋性細菌病)

(1) *Pseudomonas syringae* pv. *lachrymans* (Smith & Bryan 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas lachrymans* (Smith & Bryan) Carsner]

富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):43, 1958

(2) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):43, 1958 ; 桂 琦一:関西病虫研報 1:124, 1958

果実汚斑細菌病 *kajitsu-ohan-saikin-byo* Bacterial fruit blotch

Acidovorax avenae subsp. *citrulli* (Schaad, Sowell, Goth, Colwell & Webb 1978) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

白川 隆ら:日植病報 66(3):223, 2000

果実軟腐病 *kajitsu-nampu-byo* Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

清水慶明ら:日植病報 73(3):268, 2007

褐斑細菌病 *kappan-saikin-byo* Bacterial spot

Xanthomonas cucurbitae (ex Bryan 1926) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas campestris* pv. *cucurbitae* (Bryan 1926) Dye 1978]

木曾 皓:作物の細菌病:202, 1991

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew

Sphaerotheca fuliginea (Schlechtendal) Pollacci

白井光太郎:日本菌類目録:59, 1905(明 38) ; 本間ヤス:菌類 1:24, 1931(昭 6) ; 斉藤 正・沢田隆之:高知農技研特報 44, 1973

[備考] 病原菌の分類学的所属については検討を要する。キュウリうどんこ病の項参照

疫病 eki-byo Phytophthora rot, Fruit rot

Phytophthora cryptogea Pethybridge & Lafferty [*Phytophthora drechsleri* sensu Erwin non Tucker]

小川正行:防疫時報 16:38, 1950 ; 桂 琦一:西京大学報農 10:77, 1958

[備考] *Phytophthora nicotianae* van Breda de Haan によって疫病が起こる場合もある

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Brown rot

Phytophthora capsici Leonian

桂 琦一:植物防疫 6(7-8):322, 1952 ; 桂 琦一・土倉亮一:西京大学報農 6:38, 1954

菌核病 kinkaku-byo Cottony rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

後藤重喜・川越 仁:植物防疫 26(9):365, 1972

黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Root rot

Monosporascus cannonballus Pollack & Uecker

植松清次ら:日植病報 57(1):128, 1991

[備考] ユウガオ台の接木栽培に発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

出田 新:日本植物病理学:605, 1903(明 36)

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

藤永真史ら:日植病報 68(2):148, 2002

立枯病 tachigare-byo Pythium wilt (急性萎凋病)

Pythium debaryanum R. Hesse

富永時任・玉田 明:日植病報 43(1):119, 1977 ; 富永時任ら:日植病報 47(1):132, 1981 ; 富永時任ら:日菌報 24(3):319, 1983

[備考] ユウガオ台の接木栽培に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum orbiculare (Berkeley & Montagne) Arx [*Colletotrichum lagenarium* (Passerini) Ellis & Halsted]

逸見武雄:植物治病学汎論:156, 1926(大 15) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273-280, 1996

つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight, Black rot (黒斑病, 黒腐病, 斑点病)

Didymella bryoniae (Auerswald) Rehm [*Mycosphaerella melonis* (Passerini) W.F. Chiu & J.C. Walker, *Mycosphaerella citrullina* Grossenbacher]

中田覺五郎:作物病害図編:510, 1934(昭 9) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1922

[備考] 吉田末彦 (病虫雑 6(1):16, 1919) の記載した黒斑病菌 (*Phyllosticta* sp.) は本病菌の不完全世代であるという (瀧元清透:植物防疫 6(7-8):320, 1952)。しかし、欧米では本病菌の不完全世代は *Ascochyta cucumis* とされており、日本産の病菌の所属については再検討を要する

つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt (立枯病, 萎凋病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *lagenariae* Matuo & I. Yamamoto
松尾卓見・山本 磐:日菌報 8(2):61, 1967 ; 山本 磐:植物防疫 29(2):43, 1975

[備考] ユウガオ台の接木栽培に発生

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *niveum* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium niveum* E.F. Smith]
岡田忠男:病虫雑 1(1):34, 1914(大 3) ; 福士貞吉・田中彰一:病虫雑 12(4):189, 1925(大 14) ; 河合一郎ら:静岡農試研報 3:49, 1958

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

北沢健治・柳田騏策:日植病報 42(1):97, 1976

斑点病* hanten-byo Leaf spot (円煤病)

Cercospora citrullina Cooke

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960

フザリウム立枯病* *Fusarium-tachigare-byo* Fusarium basal rot

Fusarium solani (Martius) Saccardo f. sp. *cucurbitae* W.C. Snyder & H.N. Hansen

粕山新二ら:日植病報 59(6):746, 1993

[備考] race 1. 粕山ら (1993) の提案した立枯病は, 既に *Pythium debaryanum* (富永時任・玉田 明:日植病報 43(1):119, 1977) による病害に当てられている

変形菌病* henkeikin-byo Slime mold disease (灰色囊黴病, 灰色埃黴病)

Physoarum cinereum (Batsch) Persoon

香月繁孝・米谷平和:植物防疫 9(3):107, 1955

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev

出田 新:日本植物病理学:152, 1903(明 36)

ホモプシス根腐病 *Phomopsis-negusare-byo* Black root rot

Phomopsis sclerotoides Kesteren

Shishido, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 72(4):220, 2006

[備考] 小林正伸ら (日植病報 58(4):555, 1992) はスイカのユウガオ台接木栽培での発生を報告し, ホモプシス根腐病と命名したが, 同定不十分

綿腐病 watagusare-byo Pythium fruit rot

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 42:89, 2000

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:植物防疫 10(4):153, 1956 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(3) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験の結果

(4) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:96, 1968

(5) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:農及園 30(8):1030, 1955

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(4) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] 接種試験の結果。 *M. mali* として報告されたが、本種の記載に際し訂正された

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28)

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

退緑えそ病 tairyoku-eso-byo Necrotic yellows

Cucurbit chlorotic yellows virus (CCYV) ウリ類退緑黄化ウイルス

森山美穂・行徳 裕:日植病報 76(1):31, 2011 ; 森山美穂・行徳 裕:日植病報 77(1):34, 2011

[備考] 接種病徴であり、自然病徴の記載なし

果実腐敗症 kajitsu-fuhai-sho Bacterial fruit rot

(1) *Citrobacter amalonaticus* (Young, Kenton, Hobbs & Moody 1971) Brenner & Farmer 1982

伊藤実佐子ら:関東病虫研報 50:33, 2003

[備考] 病原同定不十分。16S rDNA による推定

(2) *Enterobacter aerogenes* Hormaeche & Edwards 1960

伊藤実佐子ら:関東病虫研報 50:33, 2003

[備考] 病原同定不十分。16S rDNA による推定

(3) *Enterobacter cloacae* (Jordan 1890) Hormaeche & Edwards 1960

井上 興ら:日植病報 74(3):262, 2008

[備考] 病原同定不十分

(4) *Leuconostoc mesenteroides* (Tsenkovskii 1878) van Tieghem 1878

井上 興ら:日植病報 75(1):80, 2009

(5) *Pantoea agglomerans* (Beijerinck 1888) Gavini, Mergaert, Beji, Mielcarek, Izard, Kersters & De Ley 1989

伊藤実佐子ら:関東病虫研報 50:33, 2003

[備考] 病原同定不十分。16S rDNA による推定

軟化症 nanka-sho

エチレンによる害

下川敬之:宮崎大農研報 20:365, 1973

マンガン過剰症 mangan-kajo-sho

マンガン過剰

奥瀬一郎:園芸学会昭和47年春季大会研究発表要旨集:220, 1972

シロウリ(越瓜)
Oriental pickling melon
Cucumis melo L. var. *conomon* (Thunb. ex Murray) Makino (Conomon Group)
(野菜)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:植物防疫 21(1):11, 1967

[備考] ウイルス名のみ記載

(2) Potyvirus#

小室康雄:日植病報 22(4-5):220, 1957

[備考] 汁液接種検定による同定。 *Papaya ringspot virus* (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), *Watermelon mosaic virus* (WMV スイカモザイクウイルス), *Zucchini yellow mosaic virus* のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭7)

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew (白渋病)

Sphaerotheca fuliginea (Schlechtendal) Pollacci

出田 新:日本植物病理学:205, 1903(明36)

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する。キュウリうどんこ病の項参照

疫病 *eki-byo* Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur]

小川正行:防疫時報 16:38, 1950

黒星病 *kurohoshi-byo* Scab

Cladosporium cucumerinum Ellis & Arthur

野津あゆみ・結城津子:日植病報 76(1):78, 2010

炭疽病 *tanso-byo* Anthracnose

(1) *Colletotrichum orbiculare* (Berkeley & Montagne) Arx [*Colletotrichum lagenarium* (Passerini) Ellis & Halsted]

原 攝祐:実用作物病理学:484, 1925(大14); 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273, 1996

(2) *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore

蔣 棟梁ら:日植病報 78(3):197, 2012

[備考] 京野菜‘桂ウリ’

つる枯病 *tsurugare-byo* Gummy stem blight

Didymella bryoniae (Auerswald) Rehm

我孫子和雄ら:関西病虫研報 30:75, 1988; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992

[備考] 病原菌の異名はメロンつる枯病参照

つる割病 *tsuruware-byo* Fusarium wilt (萎凋病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *melonis* W.C. Snyder & H.N. Hansen

金野敬三:病虫雑 6(1):21, 1919(大8); 河合一郎ら:静岡農試研報 3:49, 1958

灰色疫病 *haiiro-eki-byo*

Phytophthora capsici Leonian

桂 琦一:植物の疫病:47, 1971

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

北沢健治・鈴木孝仁:日植病報 46(2):267, 1980

べと病 beto-byo Downy mildew

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev

出田 新:日本植物病理学:152, 1903(明 36)

実腐病* migusare-byo

Rhizoctonia sp.

山本 勉・川尻啓介:日植病報 29(2):63, 1964 ; 山本 勉・川尻啓介:四国植防 5:71, 1970

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病)

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

マクワウリ(甜瓜)

Oriental melon

Cucumis melo L. var. *makuwa* Makino (Makuwa Group)

(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 尹 泰圭・山口 昭:日植病報 33(5):339, 1967

[備考] 汁液接種検定による同定

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca cucurbitae* (Jaczewski) Z.Y. Zhao, *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

出田 新:日本植物病理学:205, 1903(明 36) ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:304, 1937(昭 12) ;

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:30, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] 従来うどんこ病の病原菌とされていた *Erysiphe cichoracearum* のウリ類での寄生は我が国では疑問

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur]

桂 琦一:植物防疫 6(7-8):322, 1952 ; 奈須田和彦ら:福井農試報 1:71, 1964

黒星病 kurohoshi-byo Scab

Cladosporium cucumerinum Ellis & Arthur [*Cladosporium cucumeris* A.B. Frank]

原 攝祐:実験作物病理学:798, 1930(昭 5)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

出田 新:日本植物病理学:605, 1903(明 36)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黄紋病)

Colletotrichum orbiculare (Berkeley & Montagne) Arx [*Colletotrichum lagenarium* (Passerini) Ellis & Halsted]

吉野毅一:農商務省農試報告 34:101, 1907(明 40) ; 原 攝祐:実験作物病理学:484, 1925(大 14) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273-280, 1996

つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight

Didymella bryoniae (Auerswald) Rehm [*Mycosphaerella melonis* (Passerini) W.F. Chiu & J.C. Walker, *Mycosphaerella citrullina* Grossenbacher]

逸見武雄:病虫雑 7(1):16, 1920(大 9) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992

つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *melonis* W.C. Snyder & H.N. Hansen

原 攝祐:実験作物病理学:490, 1925(大 14) ; 河合一郎ら:静岡農試研報 3:49, 1958

苗立枯病* nae-tachigare-byo Damping-off (立枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):103, 1928(昭 3)

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照

灰色疫病 haiiro-eki-byo

Phytophthora capsici Leonian

桂 琦一:植物の疫病:47, 1971

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

岩田康広・田村 修:日植病報 59(1):89, 1993

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev

堀 正太郎:農作物病理学:196, 1903(明 36) ; 原 攝祐:実用作物病理学:487, 1925(大 14)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

キュウリ(胡瓜, 黄瓜)

Cucumber

Cucumis sativus L.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

眞岡哲夫・宇杉富雄:九病虫研会報 37:42, 1991

黄化えそ病* oka-eso-byo Spotted wilt

(1) Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化えそウイルス [Melon spotted wilt virus#]

竹内繁治ら:日植病報 62(3):325, 1996 ; 竹内繁治ら:日植病報 67(1):46, 2001

(2) *Watermelon silver mottle virus* (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス

外間数男・渡嘉敷唯助:九病虫研会報 33:39, 1987 ; 外間数男・Mondel, S. N.:九病虫研会報 34:21, 1988

[備考] *Tomato spotted wilt virus* (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された

黄化病 oka-byo

Beet pseudoyellows virus (BPYV) ビートシュードイエロースウイルス [Cucumber yellows virus#]

山下修一ら:日植病報 45(4):566, 1979 ; 山下修一ら:日植病報 45(4):484, 1979

退緑黄化病* tairyoku-oka-byo Chlorotic yellows

Cucurbit chlorotic yellows virus (CCYV) ウリ類退緑黄化ウイルス

久野公子ら:日植病報 74(3):218, 2008 ; 古田明子ら:日植病報 74(3):218, 2008 ; 岡崎真一郎ら:日植病報

74(3):218, 2008 ; 奥田 充:日植病報 75(3):182, 2009

斑紋病 hammon-byo Mottle virus

Cucumber mottle virus (CuMoV) キュウリ斑紋ウイルス

花田 薫ら:日植病報 66(2):148, 2000

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 19(1-2):18, 1954 ; 小室康雄:植物防疫 21(1):11, 1967

(2) *Papaya ringspot virus* (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス

岩崎真人ら:日植病報 58(4):619, 1992 ; 岩崎真人ら:四国農試報 60:1, 1996

[備考] 接木栽培キュウリの萎ちょう症状株

(3) *Watermelon mosaic virus* (WMV) スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス *Watermelon mosaic virus* 2#]

岩崎真人ら:四国植防 27:83, 1992

[備考] 血清反応による同定

(4) *Zucchini yellow mosaic virus* (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス

寺見文宏ら:日植病報 48(3):393, 1982 ; 寺見文宏ら:日植病報 51(1):83, 1985

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932 (昭 7)

緑斑モザイク病 ryokuhan-mosaic-byo

Kyuri green mottle mosaic virus (KGMV) キュウリ緑斑モザイクウイルス [Cucumber green mottle mosaic virus-C#, -Y#]

日高 醇・副島泰彦:日植病報 32(5):301, 1966 ; 高橋 実ら:日植病報 32(5):326, 1966 ; 井上忠男ら:日植病報 32(5):326, 1966 ; 井上忠男ら:農学研究 51:175, 1967 ; 西 泰道・西沢正洋:九州農試彙報 13:87, 1967

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

伊達寛敬ら:日植病報 57(3):433, 1991 ; 伊達寛敬ら:日植病報 58(2):220, 1992

[備考] カボチャ台の接木栽培, キュウリへの直接接種では未発病。上田栄次郎 (病虫雑 1(1):22, 1914) は *Erwinia tracheiphila* (Smith 1895) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923 [*Bacillus tracheiphilus* Smith] による青枯病を紹介したが、国内発生未詳。調査を要する

黄色かさ斑細菌病 oshoku-kasahan-saikin-byo Bacterial yellow halo spot

Pseudomonas syringae van Hall 1902

瀧川雄一ら:日植病報 76(3):176, 2010 ; 西野芳太郎ら:日植病報 76(3):211, 2010

[備考] 既知のものとは異なった新病原型

褐色かさ斑細菌病 kasshoku-kasahan-saikin-byo Bacterial brown halo spot

Pseudomonas syringae van Hall 1902

瀧川雄一ら:日植病報 72(4):305, 2006 ; 瀧川雄一ら:日植病報 76(3):176, 2010

[備考] *P. syringae* pv. *syringae* に近い病原型

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Xanthomonas cucurbitae (ex Bryan 1926) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas campestris* pv. *cucurbitae* (Bryan 1926) Dye 1978]

瀧川雄一ら:日植病報 51(1):96, 1985 ; 瀧川雄一・露無慎二:関西病虫研報 29:11, 1987

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

米山伸吾ら:日植病報 45(4):559, 1979

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial spot, Angular leaf spot (角斑病, 細菌性斑点病, 斑点性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *lachrymans* (Smith & Bryan 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas lachrymans* (Smith & Bryan) Carsner]

富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):35, 1958 ; 谷井昭夫・馬場徹代:北海道立農試集報 28:70, 1973

縁枯細菌病 fuchigare-saikin-byo Marginal blight

(1) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925 [*Pseudomonas marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925]

太田光輝ら:日植病報 42(1):61, 1976 ; 太田光輝ら:日植病報 42(2):197, 1976

(2) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

大内 昭・江塚昭典:日植病報 44(1):59, 1978 ; 大内 昭・江塚昭典:農技研報 C 34:15, 1980

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Golovinomyces cucurbitacearum* (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) Vakalounakis & Klironomou [*Golovinomyces orontii* (Castagne) V.P. Heluta, *Oidium* sp., *Erysiphe polygoni* de Candolle]

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:227, 1917(大 6) ; 佐藤幸生ら:日植病報 62(6):630, 1996 ; 内田景子・宗 和弘:日植病報 69(1):40, 2003 ; Uchida, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):92, 2009 ; 佐藤幸生ら:日植病報 79(3):187, 2013 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:34, 2012

[備考] 佐藤ら (2013) により富山県と東京都で報告された *Oidium* 属 *Reticuloidium* 亜属 (*Euoidium* 属) 菌は *G. orontii* とされた

(2) *Leveillula taurica* (Léveillé) G. Arnaud [*Oidiopsis sicula* Scalia]

斉藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012

[備考] 完全世代は我が国では未記録

(3) *Podosphaera xanthii* (Catagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca cucurbitae* (Jaczewski) Z.Y. Zhao, *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

出田 新:日本植物病理学:205, 1903(明 36) ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:304, 1937(昭 12) ; 魚住哲郎・吉井 甫:日植病報 16(3-4):123, 1952 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:30, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora melonis* Katsura

桂 琦一:日植病報 34(3):167, 1968 ; 桂 琦一:日菌報 17(3-4):238, 1976

(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur]

藤川 隆:大分農試研報 2:1, 1961

[備考] 病原の種について検討が必要

果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fusarium fruit rot

Fusarium pallidroseum (Cooke) Saccardo

堀田治邦:日植病報 65(3):405, 1999

褐斑病 kappan-byo Corynespora leaf spot (斑点病, 角斑病)

Corynespora cassicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei [*Corynespora melonis* (Cooke) Lindau, *Cercospora melonis* Cooke]

南部信方:園芸之友 9(4):827, 1913(大 2) ; 金野敬三:病虫雑 5(5):367, 1918(大 7) ; 後藤和夫:日植病報 15(1):35, 1950 ; 國丸謙二・成山秀樹:日植病報 82(3):232, 2016

[備考] 國丸・成山(2016)は, 本病により立枯症状も起こると報告した

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall]

鷲尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981 ; 鷲尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

逸見武雄:農及園 10(1):297, 1935(昭 10)

黒星病 kurohoshi-byo Scab (腐敗病)

Cladosporium cucumerinum Ellis & Arthur

高橋良直:園芸 4(10):7, 1912(大 1)

こうがいかび病 kogai-kabi-byo Choanephora rot

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

高野喜八郎ら:北陸病虫研報 46:99, 1998

黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Monosporascus root rot

Monosporascus cannonballus Pollack & Uecker

岩舘康哉・猫塚修一:日植病報 73(3):183, 2007

黒斑病 kokuhan-byo Leaf blight, Leaf spot

(1) *Alternaria alternata* (Fries) Keissler

楠 幹生・窪田昌春:日植病報 80(4):238, 2014

(2) *Alternaria cucumerina* (Ellis & Everhart) J.A. Elliott [*Macrosporium cucumerinum* Ellis & Everhart]

原 攝祐:日本菌類目録:189, 1954

白絹病 shirakinu-byo Southern blight (立枯病, 青枯病)

Sclerotium rolfsii Saccardo

白井光太郎:植物病理学(下):132, 1894(明 27) ; 中田覺五郎:作物病害図編:521, 1934(昭 9)

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

清水時哉ら:日植病報 67(2):170, 2001

[備考] カボチャ台接木栽培で発生

立枯病 tachigare-byo Damping off

Globisporangium splendens (Hans Braun) Uzuhashi, Tojo & Kakishima

菅原優司ら:関東病虫研報 62:21, 2015 ; 菅原優司ら:関東病虫研報 62:173, 2015

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黄紋病)

Colletotrichum orbiculare (Berkeley & Montagne) Arx [*Colletotrichum lagenarium* (Passerini) Ellis & Halsted]

出田 新:日本植物病理学:691, 1903(明 36) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273, 1996

つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight (斑点病)

Didymella bryoniae (Auerswald) Rehm [*Mycosphaerella melonis* (Passerini) W.F. Chiu & J.C. Walker, *Mycosphaerella citrullina* Grossenbacher]

原 攝祐:実用作物病理学:492, 1925(大 14) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):657, 1978 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992

つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt (萎凋病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *cucumerinum* J.H. Owen [*Fusarium niveum* E.F. Smith]

福士貞吉・田中 彰:病虫雑 12(4):189, 1925(大 14) ; 遠藤 茂:農及園 9(8):1830, 1934(昭 9)

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (腰折病, 軟化腐敗病, 立枯病)

- (1) *Pythium cucurbitacearum* S. Takimoto
 瀧元清透:日植病報 11(2):89, 1941(昭 16)
- (2) *Pythium debaryanum* R. Hesse
 出田 新:日本植物病理学:116, 1903(明 36)
- (3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn
 岸 國平:野菜の病害虫:54, 1976
- [備考] *R. solani* 菌の異名はトマト苗立枯病参照

根腐病 negusare-byo

- (1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick
 窪田昌春ら:関東病虫研報 62:16, 2015
- [備考] 養液栽培で発生。綿腐病菌
- (2) *Pythium myriotylum* Drechsler
 田中 寛・草刈眞一:新しい病害虫:8309, 1983
- [備考] 養液栽培で発生
- (3) *Pythium volutum* Vanterpool & Truscott
 田中 寛・草刈眞一:新しい病害虫:8309, 1983
- [備考] 養液栽培で発生

灰色疫病 haiiro-eki-byo

Phytophthora capsici Leonian
 桂 琦一:関西病虫研報 3:35, 1961

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (鼠黴病)

Botrytis cinerea Persoon
 瀧元清透:病虫雑 24(10):743, 1937(昭 12) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:146, 1939(昭 14)

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn
 北沢健治・柳田騏策:日植病報 42(1):97, 1976

斑点病 hanten-byo Leaf blotch

Cercospora citrullina Cooke [*Cercospora cucurbitae* Ellis & Everhart]
 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960

[備考] 原 攝祐 (静岡県農会報 363:39, 1928) は *Ascochyta cucumis* Fautrey & Roumeguère (ウリ類つる枯病菌の不完全世代 *Phoma cucurubitarum* の異名) による病害を斑点病として報告した

斑葉病 han'yo-byo Leaf spot, Stemphylium blight

Stemphylium cucurbitacearum Osner
 豊田太吉:病虫雑 5(9):737, 1918(大 7)

ばら色かび病 barairo-kabi-byo

Trichothecium roseum (Persoon) Link
 粕山新二・出射 立:日植病報 51(1):76, 1985

変形菌病* henkeikin-byo Slime mold disease (灰色囊黴病, 灰色埃黴病)

- (1) *Didymium squamulosum* (Albertini & Schweinitz) Fries
 香月繁孝・米谷平和:植物防疫 9(3):107, 1955
- (2) *Physarum cinereum* (Batsch) Persoon

香月繁孝・米谷平和:植物防疫 9(3):107, 1955

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev

玉利喜造:大日本農会報 85:11, 1888(明 21)

ホモプシス根腐病 *Phomopsis-negusare-byo* Black root rot

Phomopsis sp.

Kesteren, H. A. van: Neth. J. Plant Pathol. 73:112, 1966 ; 橋本光司ら:日植病報 51(1):94, 1985 ; 橋本光司・吉野正義:植物防疫 39(12):570, 1985

[備考] カボチャ台の接木栽培に発生。van Kesteren(1966)によれば、本病の病原菌は *Phomopsis sclerotoides* である

円葉枯病 maru-hagare-byo

Helminthosporium cucumerinum Garbowski

山本 磐ら:日植病報 30(2):77, 1965

[備考] 病原菌の分類学的所属については再検討が必要

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

杉山 悟・藤田孝二:日植病報 54(3):352, 1988

輪紋病 rimmon-byo

Ascochyta phaseolorum Saccardo

成田武四:日植病報 41(1):123, 1975 ; 成田武四:北日本病虫研報 27:12, 1976

[備考] トマト輪状斑点病参照

綿腐病 watagusare-byo

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

三沢正生・田部 真:北日本病虫研報 2:39, 1950 ; 高橋 実:日植病報 18(3-4):113, 1954

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(2) *Gracilacus yokooi* Toida, Ohshima & Hirata ピンセンチュウの 1 種

Kashio, T. & Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 32:57, 1972

[備考] 接種試験の結果。*Paratylenchus aciculus* Brown として報告されたが、後に本種として記載された (Toida, Y. et al.:Jpn. J. Nematol. 12:15, 1984)

(3) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(4) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験の結果

(5) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966

[備考] 接種試験の結果

(6) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962 ; 近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] とともに接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病, 根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎: 今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎: 植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正: 北農 13(3):359, 1934(昭 9) ; 一戸 稔: 北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎: 今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 小宮書之助・工藤 馨: 関東病虫研報 11:97, 1964

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎: 今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 小宮書之助・工藤 馨: 関東病虫研報 11:97, 1964

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫: 日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.: Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] 接種試験の結果。 *M. mali* として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

小貫信太郎: 大日本農会報 161:268, 1895(明 28) ; 鐙木外岐雄: 実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 池田克文: 総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo

マンガン過剰

深津量栄ら: 日植病報 28(2):71, 1963 ; 深津量栄ら: 植物防疫 17(9):356, 1963

†††† **黄化卷葉症** oka-makiha-sho Yellow leaf curl

† *Tomato leaf curl New Delhi virus*

伊藤拓也ら: 日植病報 74(1):52, 2008

[備考] タイ

†††† **小斑細菌病** shohan-saikin-byo Bacterial spot

病原細菌種名未定

碓 弘毅・鈴木一平: 日植病報 32(2):94, 1966

[備考] 調査を要する。 *Xanthomonas cucurbiticola* Suzuki & Ikari は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†††† **萎凋病** icho-byo Nectriella wilt (立枯病)

Nectriella cucumeris Hanzawa

出田 新: 続日本植物病理学(上):247, 1923(大 12) ; Hanzawa, J.: Zeits. Pflanzenkr. 23:71, 1913(大 2)

[備考] 調査を要する

† **黄斑病** ohan-byo Yellow spot

Septoria citrulli Ellis & Everhart

石山哲爾: 札幌博物会報 14(4):301, 1936(昭 11) ; 石山哲爾: 農及園 13(10):2335, 1938(昭 13)

[備考] 樺太

†††† **褐色小斑症** kasshoku-shohan-sho

生理障害

藤枝国光: 植物防疫 26(2):77, 1972

[備考] 特定品種の不適環境下で発生がみられる

††††Leaf yellowing

†*Tomato yellow leaf curl virus* (TYLCV) トマト黄化葉巻ウイルス

Samretwanich, K. *et al.*: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(4):403, 1998

[備考] タイ

メロン

Melon

Cucumis spp.

(野菜)

ネットメロン Netted melon *C. melo* L. Reticulatus Group

カンタロープ Cantaloupe *C. melo* L. Cantalupensis Group

ウィンターメロン Winter melon *C. melo* L. Inodorus Group

その他の雑種を含む

えそ斑点病 eso-hanten-byo (点々病)

Melon necrotic spot virus (MNSV) メロンえそ斑点ウイルス

岸 國平:日植病報 25(5):237, 1960 ; 斎藤康夫ら:日植病報 27(5):270, 1962 ; 岸 國平:日植病報 32(3):138, 1966 ; 古木市重郎:静岡農試特別報告 14:1, 1981

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化えそウイルス [Melon spotted wilt virus#]

加藤公彦ら:日植病報 60:397, 1994 ; Kato, K. *et al.*: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(6):624, 1999

黄化病 oka-byo

Beet pseudoyellows virus (BPYV) ビートシュードイエロースウイルス [Cucumber yellows virus#]

山下修一ら:日植病報 45(4):566, 1979 ; 山下修一ら:日植病報 45(4):484, 1979

退緑黄化病 tairyoku-oka-byo Chlorotic yellows

Cucurbit chlorotic yellows virus (CCYV) ウリ類退緑黄化ウイルス

行徳 裕ら:日植病報 74(3):219, 2008 ; 奥田 充ら:九病虫研会報 54:152, 2008 ; 奥田 充:日植病報 75(3):182, 2009

微斑病* bihan-byo Mild mottle

Melon mild mottle virus (MMMoV) メロン微斑ウイルス

富高保弘ら:日植病報 75(3):221, 2009

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber green mottle mosaic virus* (CGMMV) スイカ緑斑モザイクウイルス [Cucumber green mottle mosaic virus-W#]

古木市重郎・小室康雄:日植病報 39(3):218, 1973

[備考] 血清反応による同定。戻し接種なし

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 岸 國平:日植病報 26(2):70, 1961

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

(3) *Papaya ringspot virus* (PRSV) パパイア輪点ウイルス

相原弘和ら:日植病報 61:285, 1995

(4) *Squash mosaic virus* (SqMV) スカッシュモザイクウイルス

根本正康ら:日植病報 40(2):117, 1974 ; 吉田幸二ら:日植病報 46(3):349, 1980

(5) *Tomato ringspot virus* (ToRSV) トマト輪点ウイルス

吉田幸二ら:日植病報 37(5):409, 1971 ; 吉田幸二ら:日植病報 46(3):339, 1980

(6) Potyvirus#

岸 國平:日植病報 26(5):242, 1961

[備考] *Papaya ringspot virus* (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), *Watermelon mosaic virus* (WMV スイカモザイクウイルス), *Zucchini yellow mosaic virus* のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり。

(7) *Zucchini yellow mosaic virus* (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス

土井 誠ら:関東病虫研報 48:53, 2001

[備考] ネットメロン (*C. melo* L. *Reticulatus* Group) に発生

(8) ウイルス (未同定)

福士貞吉:札幌博物会報 12(2-3):130, 1932(昭 7)

葉脈黄化病* yomyaku-oka-byo

Melon vein yellowing virus# (MVYV) メロン葉脈黄化ウイルス

山下修一ら:日植病報 47(1):93, 1981

[備考] ウイルス名の提案なし

果実汚斑細菌病 kajitsu-ohan-saikin-byo Bacterial fruit blotch

Acidovorax avenae subsp. *citrulli* (Schaad, Sowell, Goth, Colwell & Webb 1978) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

堀田治邦ら:日植病報 72(1):82, 2006

果実内腐敗病* kajitsu-nai-fuhai-byo Internal fruit rot

Pantoea ananatis (Serrano 1928) Mergaert, Verdonck & Kersters 1993 [*Erwinia ananas* Serrano 1928]

厚地多恵ら:日植病報 70(3):283, 2004 ; 木戸一孝ら:日植病報 74(3):262, 2008 ; Kido, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):302, 2008

[備考] 厚地ら(2004)および木戸ら(2008)は本病を初め果実腐敗症としたが, 後に本病として病名申請した

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial leaf spot

Xanthomonas cucurbitae (ex Bryan 1926) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas cucurbitae* (Bryan) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *cucurbitae* (Bryan 1926) Dye 1978]

脇本 哲:日植病報 41(1):114, 1975 ; 竹谷宏二ら:北陸病虫研報 24:63, 1976

がんしゅ病 ganshu-byo Root tumor

Streptomyces sp.

中山武則:日植病報 51(1):60, 1985 ; 小林研三ら:日植病報 53(1):87, 1987 ; 小林研三ら:日植病報 53(4):562, 1987 ; 吉田政博・小林研三:日植病報 54(3):377, 1988

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia aroideae* (Townsend) Holland, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

奈須田和彦ら:日植病報 40(2):135, 1974 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 23:92, 1975

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Angular leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *lachrymans* (Smith & Bryan 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas*

lachrymans (Smith & Bryan) Carsner]

米山伸吾ら:日植病報 37(5):397, 1971 ; 米山伸吾ら:植物防疫 26(4):160, 1972 ; 藤田靖久ら:日植病報 43(3):350, 1977 ; 梅川 学ら:日植病報 44(1):69, 1978 ; 宮島邦之・土屋貞夫:日植病報 44(1):72, 1978

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

郷間秀夫・木嶋利男:日植病報 61(6):608, 1995 ; 郷間秀夫・木嶋利男:日植病報 62(3):324, 1996

毛根病 mokon-byo Hairy root

Rhizobium radiobacter (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ri) [*Agrobacterium rhizogenes* (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Conn 1942]

牧野孝宏ら:日植病報 52(3):504, 1986 ; 塩見敏樹ら:日植病報 52(3):504, 1986 ; 塩見敏樹ら:日植病報 53(4):454, 1987 ; 牧野孝宏・大沢高志:静岡農試研報 32:23, 1987 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Sphaerotheca fuliginea (Schlechtendal) Pollacci

本間ヤス:園芸 19:12, 1929(昭4) ; 平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956

[備考] 病原菌の分類学的所属については検討を要する。キュウリ うどんこ病の項参照

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur]

岸 國平:グリーンハウスにおける蔬菜の病害と防除法:51, 1970

汚点病 oten-byo

Rhinocladiella anceps (Saccardo & Ellis) S. Hughes

渡辺恒雄ら:日植病報 49(3):404, 1983

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo

(1) *Fusarium moniliforme* J. Sheldon

大沢高志・松尾卓見:日植病報 51(3):333, 1985 ; 大沢高志:関東病虫研報 40:81, 1993

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

大沢高志・松尾卓見:日植病報 51(3):333, 1985 ; 大沢高志:関東病虫研報 40:81, 1993

(3) *Fusarium roseum* Link

大沢高志・松尾卓見:日植病報 51(3):333, 1985 ; 大沢高志:関東病虫研報 40:81, 1993

[備考] 病原菌の所属は再検討が必要

(4) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

大沢高志・松尾卓見:日植病報 51(3):333, 1985 ; 大沢高志:関東病虫研報 40:81, 1993

褐斑病 kappan-byo *Corynespora* leaf spot

Corynespora cassicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei [*Corynespora melonis* (Cooke) Lindau, *Corynespora mazei* Güssow]

原 攝祐:実用作物病理学:495, 1925(大14)

陥没病 kambotsu-byo Concave rot

(1) *Diaporthe melonis* Beraha & M.J. O'Brien var. *brevistylispora* Tak. Kobayashi & Tak. Ohsawa

大沢高志・小林享夫:日植病報 54(1):69, 1988 ; 大沢高志:日植病報 55(4):410, 1989

(2) *Phomopsis cucurbitae* McKeen sensu Beraha & O'Brien

大沢高志・小林享夫:日植病報 54(1):69, 1988 ; 大沢高志:日植病報 55(4):410, 1989

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

川久保幸雄・竹下定之:北陸病虫研報 32:101, 1984

黒かび病 kurokabi-byo

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin

志田俊郎ら:日植病報 48(1):136, 1982 ; 志田俊郎ら:日植病報 48(5):702, 1982

黒渋腐敗病 kuroshibu-fuhai-byo Fusicoccum fruit rot

Fusicoccum aesculi Corda

三上哲壮・佐藤豊三:日植病報 66(2):95, 2000

黒星病 kurohoshi-byo Scab

Cladosporium cucumerinum Ellis & Arthur

和田悦郎ら:日植病報 46(3):373, 1980 ; 児玉不二雄・赤井 純:日植病報 49(1):119, 1983

紅色根腐病 koshoku-negusare-byo Secondary root rot

Pyrenochaeta terrestris (H.N. Hansen) Gorenz, J.C. Walker & Larson

佐藤豊三ら:日植病報 59(1):97, 1993

黒点根腐病 kokuten-negusare-byo

Monosporascus cannonballus Pollack & Uecker

渡辺恒雄:日菌報 20(3):312, 1979 ; 渡辺恒雄ら:日植病報 49(1):127, 1983 ; 植松清次ら:日植病報 50(3):399, 1984 ; 植松清次ら:日植病報 51(3):272, 1985

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

田中彰一:蔬菜病害防除論:128, 1948

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

清水時哉ら:日植病報 67(2):170, 2001

[備考] カボチャ台接木栽培で発生

立枯病 tachigare-byo Fusarium basal rot

Fusarium solani (Martius) Saccardo f. sp. *cucurbitae* W.C. Snyder & H.N. Hansen

粕山新二ら:日植病報 59(6):746, 1993

[備考] race 1

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum aenigma* B.S. Weir & P.R. Johnston [*Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [*Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017

[備考] 佐藤ら(2017)は狭義の*C. gloeosporioides*と再同定した

(3) *Colletotrichum orbiculare* (Berkeley & Montagne) Arx

菅野博英・森脇丈治:日植病報 64(4):432, 1998 ; 菅野博英・森脇丈治:日植病報 66(2):85, 2000

[備考] ネットメロンに発生

つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight

Didymella bryoniae (Auerswald) Rehm [*Mycosphaerella melonis* (Passerini) W.F. Chiu & J.C. Walker, *Mycosphaerella citrullina* Grossenbacher, *Ascochyta cucumis* Fautrey & Roumeguère]

逸見武雄:病虫雑 7(1):16, 1920(大 9) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992

つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *melonis* W.C. Snyder & H.N. Hansen

常谷幸雄:病虫雑 25(3):215, 1938(昭 13) ; 河合一郎ら:静岡農試研報 3:49, 1958

苗立枯病* nae-tachigare-byo Damping-off (立枯病)

(1) *Pythium spinosum* Sawada

古屋廣光・松本 勤:日植病報 58(1):118, 1992 ; 一谷多喜郎ら:関西病虫研報 35:95, 1993

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

小野木静夫ら:日植病報 49(1):126, 1983 ; 植松清次ら:関東病虫研報 40:85, 1993

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

根腐萎凋病 negusare-icho-byo

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

植松清次ら:日植病報 59(1):41, 1993

[備考] ネットメロン (*C. melo* L. Reticulatus Group)

(2) *Pythium splendens* Hans Braun

渡辺恒雄ら:日植病報 49(1):127, 1983 ; 小野木静夫ら:植物防疫 38(5):241, 1984

根腐病 negusare-byo

Nodulisporium melonis Ts. Watanabe & Mas. Sato

佐藤允通ら:日植病報 42(3):345, 1976 ; 佐藤允通ら:日植病報 61(4):325, 1995 ; 渡辺恒雄・佐藤允通:日植病報 61(4):330, 1995

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

窪田昌春ら:日植病報 73(1):61, 2007 ; 窪田昌春ら:関西病虫研報 50:107, 2008

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

(1) *Verticillium dahliae* Klebahn

北沢健治・柳田騏策:日植病報 42(1):97, 1976

(2) *Verticillium nigrescens* Pethybridge

飯嶋 勉:日植病報 43(3):343, 1977

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora citrullina Cooke [*Cercospora cucurbitae* Ellis & Everhart]

河合一郎:園芸病害編:119, 1954 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960

ばら色かび病 barairo-kabi-byo Pink-mold rot

Trichothecium roseum (Persoon) Link

松涛誠道ら:農学集報 18:15, 1973

変形菌病 henkeikin-byo

Physarum gyrosum Rostafinskiy

児玉不二雄・富永時任:日植病報 43(1):105, 1977

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev

原 攝祐:実験作物病理学:790, 1930(昭 5) ; 田中彰一:蔬菜病害防除論:127, 1948(昭 23)

ペニシリウム腐敗病* *Penicillium-fuhai-byo*

Penicillium italicum Wehmer

獅山慈孝ら:日植病報 62(3):268, 1996

[備考] 市場で発生

ホモプシス根腐病 *Phomopsis-negusare-byo* Black root rot

Phomopsis sclerotoides Kesteren

Shishido, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 72(4):220, 2006

[備考] 小林正伸ら (日植病報 58(4):555, 1992) はメロンでの発生を報告し、ホモプシス根腐病と命名したが、同定不十分

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962 ; 近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] とともに接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††††黄化巻葉症 oka-makiha-sho Yellow leaf curl

†*Tomato leaf curl New Delhi virus*

伊藤拓也ら:日植病報 74(1):52, 2008

[備考] タイ

††青枯病 aogare-byo Bacterial wilt (萎凋病)

Erwinia tracheiphila (Smith 1895) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923 [*Bacillus tracheiphilus* Smith]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:170, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳

†††黒腐病 kurogusare-byo Alternaria fruit rot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

小林慶範ら:日植病報 69(1):48, 2003 ; Kobayashi, Y. *et al.*:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 40:153, 2004

[備考] メキシコ。ウィンターメロン (*Cucumis melo* L. Inodorus Group) に発生

††††白斑病 hakuhan-byo White leaf spot

Acremonium sp.

原 攝祐:中央園芸:325, 1930(昭5)

[備考] 調査を要する

カボチャ

Pumpkin, Squash

(野菜)

クロダネカボチャ Figleaf gourd *Cucurbita ficifolia* Bouché

セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash *C. maxima* Duch.

ザシユカボチャ *C. maxima* Duch. × *C. moschata* Duch.

ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash *C. moschata* Duch.

ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash *C. pepo* Linn.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

(2) *Papaya ringspot virus* (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス [Watermelon mosaic virus 1#]

佐古宣道ら:日植病報 51(1):64, 1985; 大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988; 与那覇哲義ら:琉球大農学報 35:1, 1983

(3) *Watermelon mosaic virus* (WMV) スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス Watermelon mosaic virus 2#]

吉田幸二・飯塚典男:北海道農試研報 148:66, 1987

(4) *Zucchini yellow mosaic virus* (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス

大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、福士貞吉:札幌博物会報 12(2-3):130, 1932(昭7)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

伊達寛敬ら:日植病報 57(3):433, 1991 ; 伊達寛敬ら:日植病報 58(2):220, 1992

褐斑細菌病* kappan-saikin-byo Bacterial spot (細菌性褐斑病, 褐斑性細菌病)

Xanthomonas cucurbitae (ex Bryan 1926) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas cucurbitae* (Bryan) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *cucurbitae* (Bryan 1926) Dye 1978]

田部井英夫:植物防疫 12(10):449, 1958

軟腐細菌病 nampu-saikin-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

藤井直哉ら:北日本病虫研報 52:63, 2001

[備考] ペポカボチャ(ズッキーニ) *Cucurbita pepo* L. に発生

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Angular leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *lachrymans* (Smith & Bryan 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas lachrymans* (Smith & Bryan) Carsner]

向 秀夫ら:日植病報 41(3):276, 1975

果実斑点細菌病 kajitsu-hanten-saikin-byo Bacterial spot

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902

西 八束ら:日植病報 77(1):38, 2011

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot

(1) *Dickeya* sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

野島秀伸ら:日植病報 66(2):131, 2000

[備考] pathovar は未決定

(2) *Pseudomonas aeruginosa* (Schroeter 1872) Migula 1900

陶山一雄ら:日植病報 67(2):178, 2001

[備考] キュウリ 台木カボチャに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Oidium citrulli* J.M. Yen & Chin C. Wang

丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999

[備考] オモチャカボチャ (*C. pepo* L. var. *ovifera* (L.) Alef.) に発生

(2) *Oidium* [subgen. *Reticuloidium*] sp.

星 秀男ら:日植病報 72(1):49, 2006

(3) *Podosphaera xanthii* (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca cucurbitae* (Jaczewski) Z.Y. Zhao, *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

出田 新:日本植物病理学:205, 1903(明 36) ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:304, 1937(昭 12) ; 澤田兼吉:林試研報 50:97, 1951 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:30, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] 従来うどんこ病の病原菌とされていた *Erysiphe cichoracearum* のウリ類での寄生は我が国では疑問

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora capsici Leonian

田中彰一:農及園 23(5):317, 1948 ; 桂 琦一:西京大学報農 1:51, 1951

角斑病 kakuhan-byo Septoria leaf spot

Septoria cucurbitacearum Saccardo

逸見武雄:病虫雑 3(8):588, 1916(大 5)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

小野 剛:日植病報 70(1):45, 2004

[備考] ズッキーニ *C. pepo* に発生

黒星病* kurohoshi-byo Scab

Cladosporium cucumerinum Ellis & Arthur

児玉不二雄・赤井 純:日植病報 49(1):119, 1983

こうがい毛かび病 kogai-kekabi-byo Choanephora rot

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

大久保博人:日植病報 64(4):437, 1998

[備考] ペポカボチャ (ズッキーニ) に発生

紅色根腐病 koshoku-negusare-byo Pink root rot

Setophoma terrestris (H.N. Hansen) Gruyter, Aveskamp & Verkley

Ikeda, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):372, 2012 ; 池田健太郎ら:植物防疫 68(10):599, 2014

[備考] ニホンカボチャ

黒点根腐病 kokuten-negusare-byo

Monosporascus cannonballus Pollack & Uecker

有元倫子ら:関西病虫研報 55:141, 2013

[備考] キュウリのカボチャ台木に発生

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria Leaf spot

Alternaria cucumerina (Ellis & Everhart) J.A. Elliott

西原夏樹:日植病報 34(2):152, 1968 ; 栢森美如ら:日植病報 79(1):65, 2013

[備考] 飼料用カボチャ (*Cucurbita pepo*), セイヨウカボチャ

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

出田 新:日本植物病理学:605, 1903(明 36)

立枯病 tachigare-byo

Fusarium solani (Martius) Saccardo f. sp. *cucurbitae* W.C. Snyder & H.N. Hansen

金城衣恵ら:日植病報 53(1):86, 1987 ; 下長根 鴻ら:日植病報 55(1):120, 1989 ; 大戸謙二ら:植物防疫 43(12):1, 1989

[備考] race 1 と同定された

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum capsici (Sydow) E.J. Butler & Bisby

矢口行雄ら:日植病報 62(3):262, 1996

†††炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum orbiculare (Berkeley & Montagne) Arx

小林慶範・君島悦夫:日植病報 63(6):494, 1997

[備考] 生産国韓国

つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight

Didymella bryoniae (Auerswald) Rehm [*Mycosphaerella melonis* (Passerini) W.F. Chiu & J.C. Walker, *Mycosphaerella citrullina* Grossenbacher, *Ascochyta cucumis* Fautrey & Roumeguère]

原 攝祐:実用作物病理学:492, 1925(大 14) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

漆原寿彦ら:日植病報 69(3):275, 2003

[備考] 菌糸融合群 AG-4。キュウリ・カボチャに発生

軟腐病 nampu-byo Soft rot, Wet rot

Choanephoroidea cucurbitae I. Miyake & S. Ito

三宅市郎・伊東信吾:病虫雑 21(4):241, 1934(昭 9) ; 西原夏樹・御園生 尹:農業千葉 10(6):42, 1956

[備考] *Choanephora cucurbitarum* との異同について検討が必要

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

後藤重喜・川越 仁:植物防疫 26(9):365, 1972

白斑病 hakuhan-byo Plectosporium blight

Plectosporium tabacinum (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg

稲葉忠興ら:日植病報 52(3):521, 1986 ; 松田鋤男ら:日植病報 52(3):533, 1986 ; 佐藤豊三ら:日植病報 66(2):91, 2000 ; Sato, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):127, 2005

[備考] 稲葉ら(1986)が報告した *Cephalosporiopsis cucurbitae* Hamaya & Inaba, nomen invalidum の再同定。ザンショウ・カボチャに発生

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora citrullina Cooke

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960 ; 三浦密成:秋田農試報告 8:62, 1957

フザリウム果実腐敗病 *Fusarium-kajitsu-fuhai-byo* Fusarium fruit rot

(1) *Fusarium graminearum* Schwabe

栢森美如ら:日植病報 79(1):64, 2013

(2) *Fusarium* sp.

迫田琢也ら:日植病報 69(1):48, 2003

[備考] *F. sambucinum* に似る。ニュージーランド産果実で発見

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev

出田 新:日本植物病理学:152, 1903(明 36)

ホモプシス根腐病 *Phomopsis-negusare-byo* Black root rot

Phomopsis sclerotoides Kesteren

橋本光司ら:日植病報 51(1):94, 1985 ; 橋本光司・吉野正義:植物防疫 39(12):570, 1985 ; Shishido, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 72(4):220, 2006

輪紋病 rimmon-byo

Ascochyta phaseolorum Saccardo

成田武四:日植病報 41(1):123, 1975 ; 成田武四・板垣裕道:北日本病虫研報 26:3, 1975

[備考] トマト輪状斑点病参照

綿腐病 watagusare-byo Pythium fruit rot

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

楠元 司:日植病報 15(1):17, 1950

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモ・ユミ・ハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤重喜:植物防疫 10(4):153, 1956 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(3) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ
山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験の結果

(4) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
山田英一:北日本病虫研報 19:96, 1968

(5) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

(6) *Rotylenchulus reniformis* Linford & Oliveira [*Rotylenchulus nicotiana* (Yokoo & Tanaka) Nakasono & Ichinohe]
ニセフクロセンチュウ
中園和年・一戸 稔:応動昆 11(4):169, 1967

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ
樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984
[備考] 接種試験の結果。*M. mali* として報告されたが、本種の記載に際し訂正された

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種
小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28)

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††††黄化巻葉症 oka-makiha-sho Yellow leaf curl

†*Squash leaf curl China virus*

伊藤拓也ら:日植病報 74(1):52, 2008

[備考] タイ

ウリ類
Cucurbitaceae
(野菜)

††青枯病 aogare-byo Bacterial wilt (縮葉病)

Erwinia tracheiphila (Smith 1895) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923 [*Bacillus tracheiphilus* Smith]

出田 新:日本植物病理学:68, 1903(明 36)

[備考] 国内発生未詳

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Ascochyta cucumis Fautrey & Roumeguère

原 攝祐:実験作物病学:800, 1930(昭 5)

[備考] 病原菌は現在ウリ類つる枯病菌の不完全世代 *Phoma cucurbitacearum* の異名とされているので、調査を要する

アマチャヅル

Gynostemma

Gynostemma pentaphyllum (Thunb.) Makino

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podospheera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):123, 1973 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

ユウガオ(夕顔, 扁蒲)

Bottle gourd

Lagenaria siceraria (Molina) Standley var. *hispida* (Thunb. ex Murray) Hara

(野菜)

フクベ *L. siceraria* Standl. var. *depressa* Hara

ヒョウタン *L. siceraria* Standl. var. *gourda* Hara

センナリヒョウタン *L. siceraria* Standl. var. *microcarpa* Hara

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

中山喜一ら:日植病報 53(3):419, 1987

[備考] 戻し接種なし

(2) *Watermelon mosaic virus* (WMV) スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス *Watermelon mosaic virus* 2#]

中山喜一ら:日植病報 53(3):419, 1987

[備考] 戻し接種なし

(3) Potyvirus#

小室康雄ら:日植病報 37(1):34, 1971

[備考] 戻し接種なし。 *Papaya ringspot virus* (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), *Watermelon mosaic virus* (WMV スイカモザイクウイルス), *Zucchini yellow mosaic virus* のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり

(4) *Zucchini yellow mosaic virus* (ZYMV) ブッキーニ黄斑モザイクウイルス

中山喜一ら:日植病報 53(3):419, 1987

[備考] 戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究會誌 8:12, 1933(昭 8)

緑斑モザイク病 ryokuhan-mosaic-byo

Cucumber green mottle mosaic virus (CGMMV) スイカ緑斑モザイクウイルス [*Cucumber green mottle mosaic virus*-W#]

小室康雄ら:日植病報 37(1):34, 1971

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo

Xanthomonas cucurbitae (ex Bryan 1926) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas cucurbitae* (Bryan) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *cucurbitae* (Bryan 1926) Dye 1978]
向 秀夫ら:日植病報 43(3):350, 1977 ; 鈴木崇之ら:関東病虫研報 24:38, 1977

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Angular leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *lachrymans* (Smith & Bryan 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas lachrymans* (Smith & Bryan) Carsner]
陶山一雄ら:日植病報 39(3):238, 1973

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca cucurbitae* (Jaczewski) Z.Y. Zhao, *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]
本間ヤス:園芸 19:12, 1929(昭 4) ; 渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究会誌 8:10, 1933(昭 8) ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:304, 1937 (昭 12) ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究 30, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012
[備考] 渡邊があてた病原菌 *Erysiphe cichoracearum* については検討が必要

黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Root rot

Monosporascus cannonballus Pollack & Uecker
植松清次ら:日植病報 57(1):128, 1991
[備考] スイカの台木に発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo
渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究会誌 8:8, 1933(昭 8) ; 渡邊龍雄:宇都宮高農学報 3:1, 1933(昭 8) ; 渡邊龍雄:宇都宮高農学報 3:17, 1933(昭 8)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum orbiculare (Berkeley & Montagne) Arx [*Colletotrichum lagenarium* (Passerini) Ellis & Halsted]
渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究会誌 8:6, 1933(昭 8) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273, 1996

つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight

Didymella bryoniae (Auerswald) Rehm [*Mycosphaerella melonis* (Passerini) W.F. Chiu & J.C. Walker, *Mycosphaerella citrullina* Grossenbacher, *Ascochyta cucumis* Fautrey & Roumeguère]
渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究会誌 8:9, 1933(昭 8) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992

つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt (フザリウム病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *lagenariae* Matuo & I. Yamamoto
渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究会誌 8:27, 1933(昭 8) ; 松尾卓見・山本 磐:日菌報 8(2):61, 1967 ; 山本 磐:植物防疫 29(2):43, 1975

苗立枯病* nae-tachigare-byo Damping-off (立枯病, 腰折病)

(1) *Pythium debaryanum* R. Hesse
渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究会誌 8:1, 1933(昭 8)
[備考] *Pythium debaryanum* によりユウガオ台スイカに立枯病 (富永時任・玉田 明:日植病報 47(1):132, 1981 ; 富永時任ら:日菌報 24(3):319, 1983) が発生

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究会誌 8:1, 1933(昭8)

[備考] *R. solani* 菌の異名はトマト苗立枯病参照

灰色疫病 haiiro-eki-byo

Phytophthora capsici Leonian

斎藤司朗ら:日植病報 39(3):196, 1973 ; 斎藤司朗・高橋三郎:植物防疫 30(4):159, 1976

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev [*Peronosplasmopara cubensis* (Berkeley & M.A. Curtis) G.P. Clinton]

渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究会誌 8:11, 1933(昭8)

ホモプシス根腐病 *Phomopsis-negusare-byo* Black root rot

Phomopsis sclerotoides Kesteren

Shishido, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 72(4):220, 2006

[備考] 小林正伸ら (日植病報 58(4):555, 1992) はスイカのユウガオ台接木栽培での発生を報告し、ホモプシス根腐病と命名したが、同定不十分

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] ヒョウタン。接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 節根病, 根線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] *Lagenaria vulgaris*。接種試験の結果

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

[備考] 接種試験の結果

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 渡邊龍雄:宇都宮高等農学研究会誌 8:13, 1933(昭8)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††††黄化巻葉症 oka-makiha-sho Yellow leaf curl

†*Tomato leaf curl New Delhi virus*

伊藤拓也ら:日植病報 74(1):52, 2008

[備考] タイ。ヒョウタンに発生

††青枯病 aogare-byo Bacterial wilt (萎凋病)

Erwinia tracheiphila (Smith 1895) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923 [*Bacillus tracheiphilus* Smith]

渡邊龍雄:宇都宮高農農学研究会誌 8:4, 1933(昭8)

[備考] 国内発生未詳。調査を要する

††††

Phytophthora cryptogea Pethybridge & Lafferty

田中澄人・渡邊龍雄:日植病報 42(3):345, 1976

ヘチマ(糸瓜)

Sponge gourd, Loofah

Luffa aegyptiaca Mill.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Potyvirus#

李 準瑋ら:日植病報 49(3):440, 1983 ; 大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988

[備考] 戻し接種なし。*Papaya ringspot virus* (PRSV パパイア輪点ウイルス), *Watermelon mosaic virus* (WMV スイカモザイクウイルス), *Zucchini yellow mosaic virus* のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり

(2) *Zucchini yellow mosaic virus* (ZYMV) ブッキーニ黄斑モザイクウイルス

大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988

[備考] 血清反応による同定。戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病としての最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:101, 1933(昭8)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer]

丹田誠之助・中島千晴:東農大農学集報 47(1):54, 2002 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

褐紋病 katsumon-byo

Ascochyta sp.

田中彰一・岸 國平:蔬菜の病害と防除法:39, 1963

尻腐病 shirigusare-byo Fruit end rot (しり腐病, 黒腐病)

Fusarium lagenariae sensu Hara non (Schweinitz) Saccardo

原 攝祐:実用作物病理学:465, 1930(昭5)

[備考] 病原 *Fusarium* 属菌の所属については再検討を要する (小林享夫ら編:植物病原菌図説 592, 1992)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum orbiculare (Berkeley & Montagne) Arx [*Colletotrichum lagenarium* (Passerini) Ellis & Halsted]

原 攝祐:実用作物病理学:484, 1925(大14) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273, 1996

つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *luffae* Kawai, Suzuki & K. Kawai

常谷幸雄:病虫雑 25(3):215, 1938(昭 13) ; 河合一郎ら:静岡農試研報 3:49, 1958

苗立枯病* nae-tachigare-byo

Pythium hemmianum M. Takahashi

高橋 実:日植病報 18(3-4):113, 1954

斑点病* hanten-byo Leaf spot (白星病)

Cercospora citrullina Cooke [*Cercosporina luffae* Hara]

原 攝祐:実用作物病理学:465, 1930(昭 5) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev [*Pseudoperonospora luffae* Sawada]

堀 正太郎:農作物病学:196, 1903(明 36) ; 原 攝祐:実用作物病理学:487, 1925(大 14) ; 澤田兼吉:台灣中研農業部報告 61(台灣菌類調査報告 6):20, 1933(昭 8)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

渡邊龍雄:繊維作物病学:233, 1947

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

スズメウリ類

(Melothria)

Melothria spp.

(野草)

クロミオキナワスズメウリ *Melothria liukiensis* Nakai

斑紋病 hammon-byo Mottle

Melothria mottle virus# (MeMoV) スズメウリ斑紋ウイルス

与那覇哲義ら:日植病報 59(1):52, 1993

[備考] クロミオキナワスズメウリ

ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ)

Balsam pear

Momordica charantia L.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

Potyvirus#

大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988

[備考] 血清反応による同定。戻し接種なし。*Papaya ringspot virus* (PRSV パパイア輪点ウイルス), *Watermelon mosaic virus*, *Zucchini yellow mosaic virus* のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり

黄化えそ病* oka-eso-byo Spotted wilt

Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化えそウイルス [Melon spotted wilt virus#]

Takeuchi, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):154, 2009

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

高見圭司ら:日植病報 72(1):28, 2006 ; Takahashi, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 72(6):391, 2006

(2) *Watermelon silver mottle virus* (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス

渡嘉敷唯助・安田慶次:植物防疫 45(3):128, 1991

[備考] *Tomato spotted wilt virus* (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された

(3) *Zucchini yellow mosaic virus* (ZYMV) ブッキーニ黄斑モザイクウイルス

大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988 ; 福本文良ら:関東病虫研報 40:101, 1993

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

篠原弘亮ら:日植病報 66(2):131, 2000 ; 篠原弘亮ら:日植病報 71(1):20, 2005

軟腐病 nampu-byo Soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

久保 花ら:日植病報 75(3):173, 2009

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Angular leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *lachrymans* (Smith & Bryan 1915) Young, Dye & Wilkie 1978

尾崎克巳・白川 隆:日植病報 60(3):366, 1994

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Oidium* sp.

丹田誠之助・野村幸彦:東農大農学集報 27(3):207, 1983

(2) *Podosphaera xanthii* (Castagne) U. Braun & Shishkoff

澤岬哲也ら:日植病報 79(3):187, 2013

[備考] ニガウリへの接種試験無し

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M.

Waterhouse]

田盛正雄:琉球大農学術報 21:1, 1974

[備考] 病原菌同定, 接種試験等についての詳細な記載欠く

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Corynespora cassicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

黒木 尚ら:日植病報 74(3):176, 2008

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer*

田場 聡ら:日植病報 72(1):22, 2006

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

秋和さやか ら:日植病報 67(2):167, 2001

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum orbiculare (Berkeley & Montagne) Arx [*Colletotrichum lagenarium* (Passerini) Ellis & Halsted]

原 攝祐:実用作物病理学:484, 1925(大 14) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273, 1996

つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight

Didymella bryoniae (Auerswald) Rehm

古川聡子・岸 國平:日植病報 71(3):216, 2005 ; Furukawa, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 73(2):125, 2007

つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

今村幸久ら:日植病報 68(2):185, 2002 ; 今村幸久ら:九病虫研会報 53:1, 2007

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora citrullina Cooke [*Cercosporina elaterii* Passerini]

原 攝祐:実用作物病理学:803, 1930(昭 5) ; 佐々木綱紀:病虫雑 17(2):112, 1930(昭 5) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960(昭 35)

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Pseudoperonospora cubensis (Berkeley & M.A. Curtis) Rostovzev [*Pseudoperonospora momordicae* Sawada]

堀 正太郎:農作物病理学:196, 1903(明 36) ; 原 攝祐:実用作物病理学:487, 1925(大 14) ; 澤田兼吉:台灣中研農業部報告 61(台灣菌類調査報告 6):20, 1933(昭 8)

実腐病 migusare-byo Fruit rot

Phoma sp.

大城 篤ら:日植病報 72(1):34, 2006

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67,

1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

安田 篤:動雑 6(74):448, 1894(明 27)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

カラスウリ類

Trichosanthes spp.

(野草)

カラスウリ *T. cucumeroides* (Ser.) Maxim.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

星 秀男ら:日植病報 75(3):204, 2009

[備考] *Reticuloidium* 亜属

††††ウイルス病症状 *Virus-byo-shojo* Virus

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

(2) *Kyuri green mottle mosaic virus* (KGMMV) キュウリ緑斑モザイクウイルス

(3) *Papaya ringspot virus* (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス

(4) *Zucchini yellow mosaic virus* (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス

キム オッキョン・夏秋啓子:日植病報 76(3):221, 2010

[備考] カラスウリから検出。 *Papaya leaf distortion mosaic virus* に類似するウイルスも検出

ヒノキ科 Cupressaceae

タイワンシヨウナン(シヨウナンボク)

Taiwan Incense-cedar

Calocedrus formosana (Florin) Florin

[*Libocedrus formosana* Florin]

(針葉樹)

††††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

†*Erythricium salmonicolor* (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2:266, 1928(昭3)

[備考] 台湾

ヒノキ(檜)

Japanese cypress

Chamaecyparis obtusa (Sieb. & Zucc.) Endl.

(針葉樹)

ローソンヒノキ *Chamaecyparis lawsoniana* (A. Murray) Parl.

暗色枝枯病 anshoku-edagare-byo Guignardia canker

Guignardia cryptomeriae Sawada [不完全世代: *Macrophoma sugi* Hara]

小林享夫:林試研報 96:17, 1957

[備考] 完全世代は *Botryosphaeria*, 不完全世代は *Dothiorella* に所属すると考えられるが (小林享夫:今月の農薬 32(8):78, 1988), 転属処理は行われていない

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo *Racodium* snow blight (雪腐病)

Racodium therryanum Thümen [*Racodium therryanum* auct., *Rhizoctonia* sp.]

伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:219, 1957 ; 佐藤邦彦:林試秋田支研究時報 1:1, 1955 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:21, 1960

[備考] Hawksworth, D. L. (Trans. Brit. Myc. Soc. 54:323, 1970) および Dictionary of fungi (CMI, 1995) によれば *Racodium* が正しい

疫病 eki-byo *Phytophthora* blight

Phytophthora cinnamomi Rands

鐘ヶ江良彦ら:日植病報 77(3):166, 2011 ; 鐘ヶ江良彦ら:日植病報 78(1):23, 2012

[備考] ローソンヒノキ *C. lawsoniana* に発生

枝枯病 edagare-byo *Phoma* dieback

Phoma thujopsidis Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:44, 1958

黄褐葉枯病 okatsu-hagare-byo *Leptochlamys* needle blight

Leptochlamys chamaecyparidis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:122, 1950

きぞめたけ病* kizometake-byo Butt rot (根株心腐病)

(1) *Phlebia chrysocrea* (Berkeley & M.A. Curtis) Burdsall

Kubayashi, T. & Maekawa, N.:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):262, 2001

(2) *Tinctoporellus epimiltinus* (Berkeley & Broome) Ryvarden [*Poria epimiltina* (Berkeley & Broome) Lloyd, *Poria borbonica* Patouillard, *Tinctoporia epimiltina* (Berkeley & Broome) Aoshima, *Tinctoporia borbonica* (Patouillard) Aoshima] キゾメタケ
勝 善鋼:森林防疫 20:141, 1971 ; 北島君三:林学会雑 9(8):34, 1927(昭 2) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):588, 1992

球果褐変病 kyuka-kappen-byo
Alternaria alternata (Fries) Keissler
浜 武人・唐沢 清:日林誌 63:100, 1981

くもの巢病 kumonosu-byo Web blight (リゾクトニア病, 苗腐敗病)
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
藍野祐久・伊藤一雄:原色林木病虫害図鑑:75, 1958 ; 野原勇太:御料林 93:37, 1936 (昭 11)
[備考] 本病原菌の完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk はヒノキでは未記録

黒腐病 kurogusare-byo
Didymium melanospermum T. Macbride
帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 5:1, 1944(昭 19)

黒粒葉枯病 kurosubu-hagare-byo Chloroscypha needle blight
(1) *Chloroscypha chamaecyparidis* (Sawada) T. Kobayashi [*Mollisia chamaecyparidis* Sawada]
伊藤一雄:図説林木病害診断法:138, 1961 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 176:65, 1965
[備考] ローソンヒノキにも発生
(2) *Chloroscypha seaveri* (Rehm) Seaver
Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 176:55, 1965
(3) *Chloroscypha thujopsidis* (Sawada) Kobayashi
Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 176:55, 1965
[備考] 病菌の異名はアスナロ黒粒葉枯病参照

黒点病 kokuten-byo
(1) *Asterula chamaecyparidis* Shirai & Hara
原 攝祐:実験樹木病害篇:74, 1927(昭 2) ; Shirai, M. & Hara, K.:Bot. Mag. Tokyo 25(290):69, 1911
[備考] 病菌の分類学的所属の検討を要する
(2) *Phoma pilospora* Sawada
澤田兼吉:林試研報 46:123, 1950

先枯病 sakigare-byo
Macrophoma sp.
徳重陽山ら:日林九支研論 31:215, 1979

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
周藤靖雄:島根林試研報 35:19, 1984 ; 伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984
[備考] 病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照

樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Seiridium canker
Seiridium unicorne (Cooke & Ellis) B. Sutton [*Monochaetia unicornis* (Cooke & Ellis) Saccardo]
小林享夫:林業と薬剤 41:3, 1972 ; 佐々木克彦・小林享夫:林試研報 271:27, 1975 ; 田端雅進:森林防疫 38:204, 1989 ; Tabata, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 32:259, 1991

[備考] オニヒバ(*Calocedrus decurrens*)・ベニヒ(*Chamaecyparis formosensis*)・ローソンヒノキ(*C. lawsoniana*)・ヒバコラムナリス(*C. lawsoniana* cv. *Columnaris*)・アラスカヒノキ(*C. nootkatensis*)・チャボヒバ(*C. obtusa* var. *breviramea*)・ヌマヒノキ(*C. thyoides*)にも発生

樹脂溝腐病 jushi-mizogusare-byo

Sarea resinae (Fries) Kuntze [不完全世代: *Retinocyclus* sp., *Pycnidiella resinae* (Ehrenberg) Höhnelt]

周藤靖雄:森林防疫 29:223, 1980 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26:331, 1985

[備考] 本菌は流出する樹脂上に繁殖する好樹脂性菌であり, 病原性はほとんど示さない

すす病 susu-byo Sooty mold

Apiosporium pinophilum Fuckel

南部信方:病虫雑 7:516, 1920(大 9)

[備考] 病菌の分類学的所属は検討を要する

床替苗根腐病 tokogaenae-negusare-byo Root rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):59, 1959

(2) *Fusarium* spp.

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):59, 1959

胴枯病 dogare-byo Cytospora canker (枝枯病, キトスポラ胴枯病)

Valsa abietis Fries [不完全世代: *Cytospora abietis* Saccardo, 不完全世代: *Cytospora chamaecyparidis* Sawada]

伊藤一雄:樹病学大系 2:202, 1973 ; 澤田兼吉:林試研報 46:121, 1950 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:109, 1970

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (苗腐敗病, 苗倒靡病, 苗腰折病)

(1) *Cylindrocladium scoparium* Morgan

佐藤邦彦:76 回 日林講:349, 1965

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal [*Fusarium oxysporum* Schlechtendal var. *aurantiacum* (Link) Wollenweber, *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *pini* W.C. Snyder & H.N. Hansen, *Fusarium pini* Hartig, *Fusoma parasiticum* Tubeuf]

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 4:1, 1942(昭 17) ; 石坂忠之:病虫雑 1:90, 1914(大 3)

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:林業技術シリーズ 1 付図 IV B, 1949 ; 野原勇太:御料林 93:37, 1936(昭 11) ; 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:3, 1938(昭 13)

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu stricto ナラタケ

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:141, 1933(昭 8) ; Ota, Y. et al.:Plant Diseases 82:537, 1998

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

(1) *Heterobasidion annosum* (Fries) Brefeld マツノネクチダケ

青島清雄ら:72 回日林講:309, 1962

[備考] 病菌の異名はトドマツ類根株心腐病参照

(2) *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ(トドマツオオウズラタケ)

青島清雄・林 康夫:72 回日林講:308, 1962 ; 今関六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):463, 1988

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(3) *Phellinus weirii* (Murrill) Gilbertson [*Fuscoporia weirii* (Murrill) Aoshima] エゾノサビイロアナタケ

青島清雄ら:72 回日林講:309, 1962 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores 2:621, 1989

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:70, 1977 ; 周藤靖雄:島根林試研報 35:20, 1984

葉枯病 hagare-byo Needle blight

Cercospora chamaecyparidis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:122, 1950

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast (かびふるい病)

Lophodermium chamaecyparidis Shirai & Hara

北島君三:樹病学及木材腐朽論:84, 1933(昭 8) ; Shirai, M. & Hara, K.:Bot. Mag. Tokyo 25(290):69, 1911(明 44)

ヒポデルマ枝枯病 Hypoderma-edagare-byo

Hypoderma shimanense Y. Suto

周藤靖雄:日林関西支講 33:219, 1982 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(4):419, 1983

ヒポデルメラ葉枯病 Hypodermella-hagare-byo Hypodermella needle blight (葉枯病)

Hypodermella sp.

高井省三ら:林試研報 139:125, 1962

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot (裾腐病)

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidanich [*Macrophomina phaseoli* (Maublanc) S.F. Ashby, *Sclerotium bataticola* Taubenhaus, *Rhizoctonia bataticola* (Taubenhaus) E.J. Butler]

佐藤邦彦・庄司次男:林試研報 111:52, 1959

変形菌病* henkeikin-byo (粘菌病)

変形菌類

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):36, 1959

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis foedans* (Saccardo & Ellis) Steyaert [*Pestalotia foedans* auct. jap. non Desmazières]

原 攝祐:農業国 8(8):24, 1914(大 3) ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34(3):334, 1993

[備考] 病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

(2) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert

Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34(3):336, 1993

[備考] 病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

(3) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert [*Pestalotia chamaecyparidis* Sawada, *Pestalotia foedans* sensu Ito non Saccardo & Ellis, *Pestalotia shiraiana* auct. jap. non Hennings]

笠井幹夫:鉄道院総裁官房研究所業務研究資料 2(7):553, 1914(大 3) ; 澤田兼吉:林試研報 45:40, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34(3):326, 1993

まっ香腐病 makko-gusare-byo (心腐病)

Veluticeps berkeleyi (Berkeley & Curtis) Cooke [*Fomes angularis* Lloyd, *Stereum medicum* Currey, *Veluticeps angularis* (Lloyd) Aoshima & Furukawa, *Veluticeps medicum* (Currey) Cooke] チズガタサルノコシカケ

山本和太郎・伊藤武夫:日植病報 5:293, 1936(昭 11) ; 青島清雄ら:72 回日林講:309, 1962 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):589, 1992

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Lenzites betulina (Linnaeus) Fries カイガラタケ

北島君三:病虫雑 17(2):94, 1930(昭 5)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka [*Stypinella mompa* (Tanaka) Lindau, *Septobasidium mompa* (Tanaka) Raciborski]

原 攝祐:果樹病害論:61, 1916(大 5) ; 出田 新:実用植物病理学:205, 1901 (明 34)

漏脂病 roshi-byo Resinous stem canker, Pitch canker

(1) *Cistella japonica* Y. Suto & Tak. Kobayashi

北島君三:林学会雑 9(8):34, 1927(昭 2) ; 周藤靖雄:102 回日林論:317, 1991 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33:433, 1992

(2) *Pezicula livida* (Berkeley & Broome) Rehm [*Cryptosporiopsis abietina* Petrak]

北島君三:林学会雑 9(8):34, 1927(昭 2) ; 小林享夫:森林総研研報 357:51, 1990 ; 金子 繁ら:日林東北支誌 37:221, 1985

萎縮線虫病 ishuku-senchu-byo Stunt

(1) *Tylenchorhynchus claytoni* Steiner ナミイシユクセンチュウ

橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961 ; 橋本平一:日林誌 44:248, 1962 ; 橋本平一:福岡林試時報 16:154, 1963

(2) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの 1 種

山田栄一・周藤靖雄:島根林試研報 14:1, 1966 ; 周藤靖雄:島根林試研報 27:1, 1977

[備考] 上記種との異同は不明

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの 1 種

橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Ditylenchus* sp. クキセンチュウの 1 種

横川登代司:75 回日林講:365, 1964

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Helicotylenchus dihystra* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

(4) *Paratylenchus pini* (Mamiya) Baldwin & Bell [*Rotylenchus pini* Mamiya] マツラセンセンチュウ

Mamiya, Y.:Proc. Helminthol. Soc. Wash. 35:38, 1968

(5) *Paratrichodorus minor* (Colbran) Siddiqi [*Trichodorus minor* Colbran] ヒメユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967

(6) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの 1 種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

(7) *Rotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

[備考] 根圏土壌から検出

(8) *Scutellonema brachyurum* (Steiner) Andrassy フトラセンセンチュウ

真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

(9) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967

(10) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種

橋本平一:福岡林試時報 16:154, 1963

[備考] 上記種との異同は不明

(11) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

[備考] 根圏土壌から検出。種名は再検討を要する

(12) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの 1 種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

[備考] 根圏土壌より検出, 上記種との異同は不明

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの一種

中野満夫ら:植防研報 12:71, 1974

[備考] チャボヒバ(*C. obtusa* var. *breviramea*)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):155, 1959 ; 名古屋営林局:森林防疫ニュース 8:44, 1959 ; 橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961

てんぐ(天狗)巢病 tengusu-byo Witches' broom

病因不明

浜 武人:森林防疫ニュース 14:7, 1965

とっくり(徳利)病 tokkuri-byo

病因不明

北島君三:扁柏樹の新病害に就て:1, 1926(大 15) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:89, 1933(昭 8)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2:266, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。ベニヒ

††††苗疫病 nae-eki-byo Damping-off (苗立枯病, 立枯病)

††*Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter [*Phytophthora omnivora* de Bary]

原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大 12) ; 出田 新:実用植物病理学:64, 1901(明 34)

[備考] ヒノキでは国内発生に疑問

††††苗黄化病 nae-oka-byo

原因不明

喜多村 昭:三重林技普及センター業報 5:94, 1968

[備考] リン酸欠乏症とカリ過剰症が原因というが, 再現性は明確ではない

††††

††*Phoma strobiligena* Desmazières

北島君三:樹病学及木材腐朽論:89, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生未詳

††††

Phoma thujana Thümen

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):433, 1917(大 6)

††††

Seimatosporium foliicola (Berkeley) Shoemaker

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:129, 1975

サワラ(榎)

Sawara cypress

Chamaecyparis pisifera (Sieb. & Zucc.) Endl.

(針葉樹)

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病)

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959 ; 佐藤邦彦:林試秋田支研究時報 1:1, 1955 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はイチイ暗色雪腐病参照

黒粒葉枯病 kurotsubu-hagare-byo Chloroscypha needle blight (黒粒枝枯病)

(1) *Chloroscypha chamaecyparidis* (Sawada) T. Kobayashi

伊藤一雄:図説林木病害診断法:138, 1961 ; 澤田兼吉:林試研報 46:120, 1950 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 176:65, 1965

[備考] シノブヒバ (*C. pisifera* var. *plumosa*) にも発生。病菌の異名はヒノキ黒粒葉枯病参照

(2) *Chloroscypha thujopsidis* (Sawada) Kobayashi

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 176:65, 1965

ごま葉病 gomaha-byo

Psilospora chamaecyparidis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:123, 1950

さび病 sabi-byo Rust (枝赤木耳病)

Gymnosporangium miyabei G. Yamada & I. Miyake

原 攝祐:樹病学各論:163, 1923(大 12) ; Yamada, G. & Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 22(253):21, 1908 ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:470, 1992

[備考] ヒムロ(*C. pisifer* var. *squarrosa*)・シノブヒバにも発生。さび孢子世代は *Malus* 属(ズミ)・*Sorbus* 属(アズキナシ・ナナカマド・ウラジロノキ)に寄生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農林水産技会指定試験(病虫害) 3:6, 1963

[備考] 病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照

樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Resinous canker

Seiridium unicorne (Cooke & Ellis) B. Sutton

竹下 努:森林防疫 31:35, 1982 ; 田端雅進:森林防疫 38:202, 1989 ; 小林佳南子ら:日植病報 70(1):44, 2004

[備考] 病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照。シノブヒバ (*C. pisifera* Endl. var. *plumosa* Beissn.) に発生

すす病 susu-byo Sooty mold

Apiosporium pinophilum Fuckel

南部信方:病虫雑 7(9):516, 1920(大 9)

[備考] 病菌の分類学的所属の検討を要する

胴枯病 dogare-byo Cytospora canker (枝枯病, キトスポラ胴枯病)

Valsa abietis Fries

伊藤一雄:樹病学大系 2:202, 1973 ; 澤田兼吉:林試研報 46:121, 1950

[備考] 病菌の異名はヒノキ胴枯病参照

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (苗腐敗病, 苗腰折病, 苗倒靡病)

(1) *Fusarium* sp.

伊藤一雄:林業技術シリーズ 1:16, 1949

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:林業技術シリーズ 1:16, 1949 ; 伊藤一雄:林業技術シリーズ(改訂版) 付図 IIIC, 1950

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

赤井重恭ら:長野林友 昭和 47 年(1):1, 1972

[備考] サワラでは狭義の種の検討は行われていない

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

(1) *Heterobasidion annosum* (Fries) Brefeld マツノネクチタケ

青島清雄ら:72 回日林講:309, 1962

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(2) *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ(トドマツオオウズラタケ)

青島清雄・林 康夫:72 回日林講:308, 1962 ; 今関六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):463, 1988

[備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照

(3) *Phellinus weirii* (Murrill) Gilbertson エゾノサビイロアナタケ

青島清雄ら:72 回日林講:308, 1962 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol. 2:621, 1989

[備考] 病菌の異名はヒノキ根株心腐病参照

葉裏黒点病 haura-kokuten-byo

Stilbospora chamaecyparidis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:123, 1949

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast (かびふるい病, 胡麻葉病)

Lophodermium chamaecyparidis Shirai & Hara

伊藤一雄:樹病:31, 1952 ; 澤田兼吉:林試研報 46:120, 1950

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidànich

佐藤邦彦・庄司次男:林試研報 111:52, 1959

[備考] 病菌の異名はヒノキ微粒菌核病参照

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease (果汁赤枯病)

Pestalotiopsis neglecta (Thümen) Steyaert

澤田兼吉:林試研報 46:122, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993

[備考] 病菌の異名はヒノキ・ペスタロチア病参照

まつ香腐病 makko-gusare-byo (心腐病)

Veluticeps berkeleyi (Berkeley & Curtis) Cooke チズガタサルノコシカケ

伊藤一雄:樹病学大系 3:129, 1974 ; 青島清雄ら:72 回日林講:309, 1962 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):589, 1992

[備考] 病菌の異名はヒノキまつ香腐病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病)

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

出田 新:日本植物病理学:589, 1911(明 44) ; 出田 新:実用植物病理学:205, 1901(明 34)

[備考] シノブヒバにも発生。病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

こぶ病 kobu-byo

病因不明

佐藤邦彦:森林防疫ニュース 15:32, 1966

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 12:174, 1963

††††

Sarea resinae (Fries) Kuntze

Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26:331, 1985

[備考] 好樹脂生育菌

イトスギ(糸杉)

Cypress

Cupressus spp.

(針葉樹)

くもの巢病 kumonosu-byo Web-blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

星 秀男ら:関東病虫研報 42:133, 1995

[備考] モントレーサイプレス。菌糸融合群 AG-1 培養型 IB。完全世代 *Thanatephorus cucumeris* はイトスギ上では未記録

樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Seiridium canker

Seiridium unicorne (Cooke & Ellis) B. Sutton

佐々木克彦・小林享夫:林試研報 271:27, 1975 ; 田端雅進:森林防疫 38:204, 1989

[備考] アリゾナイトスギ(*Cupressus arizonica*)・シダレイトスギ(*C. funebris*)・グラブライトスギ(*C. glabra*)・メキシコイトスギ(*C. lusitanica*)・モントレーサイプレス(*C. macrocarpa*)・ホソイトスギ(*C. sempervirens*)・*C. sempervirens* var. *numidica*・*C. wiethelayana*。病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照

ビャクシン(カイヅカイブキ)

Chinese juniper
Juniperus chinensis L.
(針葉樹)

赤粒枝枯病 akatsubu-edagare-byo (枝枯病)

Pithya cupressina (Fries) Fuckel [*Pithya cupressi* (Batsch) Rehm]

澤田兼吉:林試研報 46:124, 1950 ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾産菌類調査報告 5):31, 1931(昭 6)

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo Lachnellula canker

Lachnellula ikenoi Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:344, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):149, 1904(明 37)

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

小林享夫:新版緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:111, 1983

[備考] ハイビャクシン(*J. procumbens*)。本病菌の完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk はビャクシン類の上では未記録

こずえ葉枯病* kozue-hagare-byo (梢鱗片葉枯病)

Halbania juniperi Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:124, 1950

さび病 sabi-byo Rust (葉赤さび病, 茎銹病, 茎丸赤銹病)

(1) *Gymnosporangium asiaticum* Miyabe ex G. Yamada [*Gymnosporangium haraeanaum* Sydow & P. Sydow, *Roestelia koreaensis* Hennings]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:303, 1904(明 37) ; 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明 36) ; 平塚直秀:日菌報 16:91, 1975 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:461, 1992

[備考] ミヤマビャクシン (*J. chinensis* var. *sargentii*)・*J. horizontalis*・*J. media*・ハイビャクシン・*J. sabina*・*J. scopulorum*・*J. squamata*・エンピツビャクシンにも発生。さび胞子世代は *Chaenomeles* 属(ヒボケ・シロボケ・ボケ・クサボケ・カリン)・*Cydonia* 属(マルメロ)・*Pyrus* 属(マンシュウマメナシ・セイヨウナシ・ナシ・チュウゴクナシ)・*Pourthiaea* 属(オオカマツカ)に寄生して赤星病を起こす

(2) *Gymnosporangium hemisphaericum* Hara

原 攝祐:大日本山林会報 419:13, 1917(大 6) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:466, 1992

[備考] ミヤマビャクシンにも発生。さび胞子世代はオオウラジロノキ(*Malus tschonoskii*)に発生して赤星病を起こす

(3) *Gymnosporangium japonicum* P. Sydow

白井光太郎:植物病理学(下)(再版):125, 1900(明 33) ; 伊藤誠哉:植物学雑 27(323):220, 1913(大 2) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan 468, 1992

[備考] ハイビャクシンにも発生。さび胞子世代は *Pourthiaea* 属(オオカマツカ・カマツカ)に発生して赤星病を起こす

(4) *Gymnosporangium nipponicum* G. Yamada

澤田兼吉:林試研報 57:37, 1952 ; 平塚直秀:鳥取高農学術報 3:143, 1935(昭 10) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:472, 1992

[備考] ミヤマビャクシン。さび胞子世代は *Sorbus* 属(ナナカマド・タカネナナカマド・ミヤマナナカマ

ド)に発生して赤星病を起こす

(5) *Gymnosporangium yamadae* Miyabe ex G. Yamada

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1904(明 37); 宮部金吾:植物学雑誌 17(192):34, 1903(明 36); Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:475, 1992

[備考] ハイビャクシン・ミヤマビャクシン・*J. squamata* にも発生。さび胞子世代の宿主は *Malus* 属(ワリンゴ・エゾノコリンゴ・カイドウ・ミカイドウ・イヌリンゴ・セイヨウリンゴ・ズミ・ノカイドウ・*Malus platycarpa*・*M. scheideckeri*・*M. theifera*・*M. transitoria*・*M. yunnanensis*) に寄生して赤星病を起こす

†さび病 sabi-byo

Gymnosporangium formosanum Hiratsuka, f. & Hashioka

澤田兼吉:台湾産菌類調査報告 9(台湾農試報 86):15, 1943(昭 18); 平塚直秀・橋岡良夫:植物学雑誌 49(577):21, 1935(昭 10)

[備考] 台湾。タイワンビャクシン

樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Resinous canker

Seiridium unicorne (Cooke & Ellis) B. Sutton

佐々木克彦・小林享夫:林試研報 271:27, 1975; 田端雅進:森林防疫 38:202, 1989

[備考] エンビツビャクシン(*J. virginiana*)。病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照

立枯病* tachigare-byo Root rot

Pythium sp.

神納 浄:関西病虫研報 17:38, 1975

[備考] カイズカイブキ

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:81 回日林講:149, 1970

[備考] ハマハイビャクシン(*J. chinensis* var. *pacifica*)・ハイビャクシン。病菌の異名はアカマツ・クロマツ類つちくらげ病参照

根株心腐病 nekabu-shingusare-byo

Heterobasidion annosum (Fries) Brefeld マツノネクチタケ

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:334, 1910(明 43)

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease (葉枯病)

Pestalotia sp. [*Monochaetia* sp.]

奥平虎雄:愛知林試研報 昭 48:120, 1973; 小林享夫:林業と薬剤 41:1, 1972

芽枯病 megare-byo

Macrophoma juniperina Peck

西門義一・宮脇雪夫:農学研究 36:361, 1944(昭 19)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] ミヤマビャクシン。属名は再検討を要する

(2) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Paratrichodorus minor* (Colbran) Siddiqi ヒメユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(4) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ミヤマビャクシン

(5) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] ミヤマビャクシン。上記種との異同は不明

(6) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] ミヤマビャクシン

(7) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] ミヤマビャクシン・タマイブキ

†††植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):309, 1960

[備考] 中国産ミヤマビャクシン

(2) *Rotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):309, 1960

[備考] 中国産ミヤマビャクシン

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ミヤマビャクシン

†††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] 生産地不明

†牛角病 gyukaku-byo Rust

Gymnosporangium corniforme Sawada ex Hiratsuka

澤田兼吉:台湾博物学会報 15(78):86, 1925(大 14) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 50:554, 1936

[備考] 台湾。タイワンビャクシン(*J. formosana*)

††††斑葉病 han'yo-byo

Coryneum berkeleyi Cooke

南部信方:病虫雑 3(2):168, 1916(大 5)

[備考] 調査を要する

††フオモプシス胴枯病 *Phomopsis-dogare-byo* Phomopsis blight, Cedar blight, Juniper blight

Phomopsis juniperovora G. Hahn

伊藤一雄:林木の耐病性:80, 1959

[備考] 国内未発生

††††ヘルポトリキア雪腐病 *Herpotrichia-yukigusare-byo*

††*Herpotrichia nigra* R. Hartig

伊藤一雄:樹病学大系 2:149, 1973 ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:156, 1933(昭 8)

[備考] 国内未発生

††††

††*Neopeckia coulteri* (Peck) Saccardo

北島君三:樹病学及木材腐朽論:156, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生未確認

ネズ(ムロ, ネズミサシ)(杜松)

Needle juniper

Juniperus rigida Sieb. & Zucc.

(針葉樹)

こうやく病 koyaku-byo Felt disease

Septobasidium albidum Patouillard

藤岡保夫:広島農業の研究 6:25, 1970

[備考] 接種試験未了。病原菌の形態の記述なし

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Gymnosporangium amelanchieris* E. Fischer [*Gymnosporangium idetae* G. Yamada]

原 攝祐:果樹病害論:90, 1916(大 5) ; 平塚直秀:植物学雑 50:213, 1936(昭 11) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:959, 1992

[備考] さび孢子世代の宿主はザイフリボク(*Amelanchier asiatica*)

(2) *Gymnosporangium clavariaeforme* (Jacquin) de Candolle

白井光太郎:植物病理学(下):116, 1894(明 27)

[備考] リシリビャクシン(*J. communis* var. *montana*)にも発生

(3) *Gymnosporangium cornutum* Arthur ex F. Kern [*Gymnosporangium alpinum* G. Yamada, *Gymnosporangium juniperi* Link]

伊藤誠哉:札幌農林学会報 9(39):48, 1917(大 6) ; 松尾綾男:日菌報 6:20, 1965 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:464, 1992

[備考] リシリビャクシン・ハイネズ(*J. conferta*)・ミヤマネズ(*J. communis* var. *nipponica*)にも発生。さび孢子世代の宿主は *Sorbus* 属(ナナカマド・タカネナナカマド)

(4) *Gymnosporangium shiraianum* Hara

原 攝祐:病虫雑 6(8):681, 1919(大 8) ; 松尾綾男:日菌報 6:20, 1965

[備考] ハイネズにも発生。さび孢子世代の宿主はナシ(*Pyrus serotina* var. *culta*)

樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Resinous canker

Seiridium unicorne (Cooke & Ellis) B. Sutton

小林享夫:林業と薬剤 41:3, 1972 ; 佐々木克彦・小林享夫:林試研報 271:27, 1975

[備考] 病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:81 回日林講:249, 1970 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 268:13, 1974

[備考] ハマハイビャクシン(*J. chinensis* var. *pacifica*)にも発生。病菌の異名はアカマツ・クロマツつちくらげ病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種
中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

††††
††*Dothidea sphaeroidea* Cooke
白井光太郎:植物病理学(下):223, 1894(明 27)
[備考] 国内発生未詳

††††
Exosporium juniperi Hara
原 攝祐:日本害菌学 331, 1936(昭 11)

ニオイヒバ(匂檜葉)
American arborvitae
Thuja occidentalis L.
(針葉樹)

コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae *Thuja orientalis* L.

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight
Racodium therryanum Thümen
佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959 ; 佐藤邦彦:林試研報 124:41, 1960
[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

枝枯病 edagare-byo
Rhabdospora orientalis Togashi & Tsukamoto
伊藤一雄:樹病学大系 3:302, 1974 ; Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17:122, 1953
[備考] コノテガシワ

樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Resinous canker
Seiridium unicorne (Cooke & Ellis) B. Sutton
山田利博・奥田清貴:98 回日林論:509, 1987 ; 周藤靖雄:森林防疫 36:197, 1987
[備考] 病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照

てんぐ巢病 tengusu-byo
Blastospora betulae S. Kaneko & Hiratsuka, f.
伊藤一雄:森林防疫 21:175, 1972 ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:228, 1981
[備考] ニオイヒバ。本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Betula* 属(ダケカンバ・ミズメ・ウダイカンバ・シラカンバ)に寄生してさび病を起こす。病菌の異名はアスナロてんぐ巢病参照

胴枯病 dogare-byo Cytospora canker
Valsa abietis Fries
小林享夫:林業と薬剤 47:2, 1974
[備考] ニオイヒバ

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot
Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

魚住 正・小野 馨:68 回日林講:250, 1958

[備考] ニオイヒバ。狭義の種への検討は行われていない

葉枯病 hagare-byo

Leptosphaeria thujaecola Hara

原 攝祐:静岡県農会報 34(397):49, 1930(昭 5)

[備考] コノテガシワ

ヒポデルマ枝枯病 *Hypoderma-edagare-byo*

Hypoderma shimanense Y. Suto

周藤靖雄:日林関西支講 33:219, 1982 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24:419, 1983

[備考] コノテガシワ

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:3, 1949

[備考] ニオイヒバ。病菌の異名はイチョウ紫紋羽病参照

漏脂病 roshi-byo

生理障害

佐藤邦彦:森林防疫 28:196, 1979

[備考] ニオイヒバ・ヒノキなど他の針葉樹の漏脂病(病原菌 *Cistella japonica* Suto & Kobayashi)との異同について検討を要する

†モノケチア葉枯病* *Monochaetia-hagare-byo* Needle blight

Monochaetia sp.

高木五六:朝鮮山林会報 213:9, 1943(昭 18)

[備考] 朝鮮。コノテガシワに発生

††††

Phoma thujana Thümen

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):433, 1917(大 6)

[備考] コノテガシワに発生

††††

Rhabdospora orientalis Togashi & Tsukamoto

Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17(3-4):122, 1953

[備考] コノテガシワに発生

ネズコ(クロベ)

Japanese arborvitae

Thuja standishii (Gord.) Carr.

(針葉樹)

黒粒葉枯病 kurotsubu-hagare-byo Chloroscypha needle blight

Chloroscypha thujopsidis (Sawada) Kobayashi

澤田兼吉:林試研報 46:141, 1950 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 176:67, 1965

黒点病* kokuten-byo (介殻状黒点病)

Asterula chamaecyparissii Shirai & Hara

澤田兼吉:林試研報 53:155, 1952 ; 澤田兼吉:林試研報 46:139, 1950

[備考] 病菌の分類学的所属については検討を要する

樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Seiridium canker

Seiridium unicorne (Cooke & Ellis) B. Sutton

田端雅進:日植病報 55(4):491, 1989

[備考] アメリカネズコ(*T. plicata*)。病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照

てんぐ(天狗)巢病 tengusu-byo Witches' broom

Blastospora betulae S. Kaneko & Hiratsuka, f.

安田 篤:植物学各論隠花部:455, 1911(明 44) ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:228, 1981 ; Kakishima, M. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:187, 1993

[備考] 本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Betula* 属 (ダケカンバ・ミズメ・ウダイカンバ・シラカンバ) に寄生しさび病を起こす。病菌の異名はアスナロてんぐ巢病参照

胴枯病* dogare-byo Cytospora canker (枝枯病)

Valsa abietis Fries

澤田兼吉:林試研報 46:139, 1950

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

赤井重恭ら:長野林友 (1):1, 1972

[備考] ネズコに発生する菌の狭義の種は未検討

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast (かびふるい病)

Lophodermium sawadae Darker [*Lophodermium thujae* Sawada non Davis]

伊藤一雄:樹病学大系 2:127, 1973 ; 澤田兼吉:林試研報 46:139, 1950

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease (果汁葉枯病)

Pestalotiopsis thujicola (J.L. Maas) Y. Suto & Tak. Kobayashi [*Pestalotia thujicola* J.L. Maas, *Pestalotia thujae* Sawada]

澤田兼吉:林試研報 46:140, 1950 ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:173, 1974 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:341, 1933

††ケイチア葉枯病 Keithia-hagare-byo Keithia disease, Leaf blight, Needle spot (葉枯病)

Keithia thujina E.J. Durand

伊藤一雄:林木の耐病性:84, 1959

[備考] 国内未発生

††††

Phoma thujana Thümen

北島君三:樹病学及木材腐朽論:88, 1933(昭 8)

アスナロ(ヒバ)(羅漢柏)

Hiba, Japanese thuja

Thujopsis dolabrata Sieb. & Zucc.

(針葉樹)

赤粒枝枯病 akatsubu-edagare-byo

Pithya cupressina (Fries) Fuckel

澤田兼吉:林試研報 46:142, 1950

[備考] ヒノキアスナロ。病菌の異名はビャクシン赤粒枝枯病参照

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo *Racodium snow blight* (雪腐病)

Racodium therryanum Thümen

伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:219, 1957 ; 佐藤邦彦:林試秋田支場研究時報 1:1, 1955 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

枝枯病 edagare-byo *Twig blight*

(1) *Hysterium thujopsidis* Sawada

澤田兼吉:林試研報 53:152, 1952

[備考] アスナロ

(2) *Mycosphaerella thujopsidis* Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:142, 1950

[備考] ヒノキアスナロ

(3) *Phoma thujopsidis* Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:145, 1950

[備考] ヒノキアスナロ

かいがら(介殻)状枝枯病 kaigarajo-edagare-byo

Halbania cryptomeriae Sawada

澤田兼吉:林試研報 45:30, 1950

[備考] ヒノキアスナロ

眼点病 ganten-byo *Leucostoma canker*

Leucocytophora kunzei (Saccardo) Z. Urban [*Cytospora kunzei* Saccardo]

澤田兼吉:林試研報 46:143, 1950

[備考] ヒノキアスナロ。本病菌の完全世代 *Leucostoma kunzei* (Fries) Munk はヒノキアスナロ上には未記録

黒粒葉枯病 kurotsubu-hagare-byo *Chloroscypha needle blight*

Chloroscypha thujopsidis (Sawada) Kobayashi [*Mollisia thujopsidis* Sawada]

澤田兼吉:林試研報 46:141, 1950 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 176:67, 1965

黒点病 kokuten-byo

(1) *Phoma pilospora* Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:144, 1950

(2) *Phragmothyriella thujopsidis* Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:142, 1950

(3) *Stagonospora thujopsidis* Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:146, 1950

[備考] いずれもヒノキアスナロ

軸枯病* jikugare-byo (疎枝枯病)

Pleuonaema thujopsidis Sawada
澤田兼吉:林試研報 46:145, 1950
[備考] ヒノキアスナロ

樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Seiridium canker
Seiridium unicorne (Cooke & Ellis) B. Sutton
田端雅進:日植病報 56:148, 1990
[備考] 病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照

てんぐ(天狗)巢病 tengusu-byo Witches' broom (ひじき病, あすなろのひじき, あすなろのやどりぎ)
Blastospora betulae S. Kaneko & Hiratsuka, f. [*Caeoma asunaro* Shirai, *Caeoma deformans* (Berkeley & Broome) Tubeuf]
出田 新:実用植物病理学:149, 1901(明 34); 白井光太郎:植物学雑 3(29):239, 1889(明 22); Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:228, 1981; Kakishima, M. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:187, 1993
[備考] 本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Betula* 属 (ダケカンバ・ミズメ・ウダイカンバ・シラカンバ) に生じる

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off
(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal
伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):49, 1959
[備考] 病菌の異名はヒノキ苗立枯病(2)の項参照
(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn
伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):49, 1959

葉枯病 hagare-byo Leaf blight (枝枯病)
Phyllosticta thujopsidis Sawada
澤田兼吉:林試研報 46:145, 1950
[備考] ヒノキアスナロ

葉黒点病 ha-kokuten-byo
Trichosporum thujopsidis Sawada
澤田兼吉:林試研報 46:146, 1950
[備考] ヒノキアスナロ

葉灰点病* ha-haiten-byo
Verticillium thujopsidis Sawada
澤田兼吉:林試研報 46:147, 1950
[備考] ヒノキアスナロ

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast (徴震病)
Lophodermium thujopsidis Sawada
伊藤一雄:樹病学概論:39, 1960; 澤田兼吉:林試研報 46:141, 1950
[備考] ヒノキアスナロ

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease (黒汁赤枯病, 斑点病)
(1) *Pestalotiopsis funerea* (Desmazières) Steyaert
吉野毅一:植物学雑 19(224):214, 1905(明 38); 日野隆之:採集と飼育 26:292, 1964
[備考] アスナロ。病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

(2) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert [*Pestalotia thujopsidis* Sawada]

澤田兼吉:林試研報 46:114, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:336, 1993

(3) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert

澤田兼吉:林試研報 46:114, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993

[備考] アスナロ。病菌の異名はヒノキ・ペスタロチア病参照

実枯病* migare-byo Cone blight (毬果枯病)

Campoa thujopsidis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:140, 1950

[備考] ヒノキアスナロ

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Veluticeps abietina (Persoon) Hjortstam & Tellería マツノウロコタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:23, 1952

[備考] アスナロ。病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照

溝腐病 mizogusare-byo Stem sap rot

Phellinus hartigii (Allescher & Schnabl) Patouillard モミサルノコシカケ

北島君三:病虫雑 17(2):94, 1930(昭 5) ; 今関六也:東京科博研報 6:104, 1943(昭 18)

[備考] アスナロ。病菌の異名はトドマツ溝腐病参照

密生黒点病 missei-kokuten-byo

Sphaerulina thujopsidis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:143, 1950

[備考] ヒノキアスナロ

葉斑病 yohan-byo

Phaeocryptopus podocarpus (Sydow & P. Sydow) Petrak [*Dimerina podocarpus* Sydow & P. Sydow]

原 攝祐:樹病学各論:32, 1923(大 12)

[備考] アスナロ

漏脂病 roshi-byo Resinous stem canker, Pitch canker

Cistella japonica Y. Suto & Tak. Kobayashi

伊藤一雄・藍野祐久:原色樹木病害虫図鑑 (改訂増補版):68, 1982 ; 周藤靖雄:102 回日林論:317, 1991 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33:433, 1992

[備考] 楠木 学ら(107 回 日林論 :311, 1996)はアスナロからの分離株をヒノキに人工接種し、漏脂病を再現したが、アスナロ属への接種再現の記録はない

飛腐病 tobigusare-byo

病因未詳

北島君三:樹病学及木材腐朽論:98, 1933(昭 8)

[備考] アスナロ

††††

Phoma thujana Thümen

北島君三:樹病学及木材腐朽論:88, 1933(昭 8)

ヘゴ科 Cyatheaceae

マルハチ
(Alsophila)

Alsophila mertensiana Copel.
(広葉樹)

††††

Laschia pezizaeformis Berkeley & M.A. Curtis エナシラッシタケ
Ito, S. & Imai, S.:Trans. Sapporo Nat. Hist. 16(3):124, 1940 (昭 15)

††††

Pleurotus cyatheae S. Ito & S. Imai ヘゴシロカタハ
伊藤誠哉・今井三子:札幌博物学会報 16(1):13, 1939(昭 14)

ヘゴ

Large spiny tree fern
Cyathea spinulosa Wall.
(広葉樹)

††††

Cyphella cyatheae S. Ito & S. Imai ヘゴノフウリシタケ
Ito, S. & Imai, S.:Trans. Nat. Hist. Soci. 16(3):131, 1940(昭 15)
[備考] ムニンヘゴ

††††

Dendrothele cyatheae (S. Ito & S. Imai) N. Maekawa [*Corticium cyatheae* S. Ito & S. Imai] ヘゴノコウヤク
タケ
Ito, S. & Imai, S.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soci. 16(3):132, 1940(昭 15)
[備考] ムニンヘゴ (*C. boninensis*)

††††

Pleurotus cyatheae S. Ito & S. Imai ヘゴシロカタハ
Ito, S. & Imai, S.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soci. 16(1):13, 1939(昭 14)
[備考] ムニンヘゴ

††††

Pseudocercospora cyatheae C. Nakashima & S. Inaba
Nakashima, C. *et al.*:Mycoscience 47:48, 2006
[備考] 接種試験未了

ソテツ科 Cycadaceae

ソテツ(蘇鉄)

Japanese fern palm, Japanese sago

Cycas revoluta Thunb.

(針葉樹)

えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic stunt disease

Cycas necrotic stunt virus (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス

楠木 学ら:日植病報 41:285, 1975 ; 楠木 学ら:日植病報 45:571, 1979 ; Kusunoki, M. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 52:302, 1986

赤葉枯病 akahagare-byo

Ascochyta sp.

楠木 学ら:日植病報 42:68, 1976

[備考] *Ascochyta cycadina* Scalia (内藤 喬:鹿児島農専学術報 15:33, 1949) との異同について検討を要する

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis glandicola (Castagne) Steyaert

日野隆之:採集と飼育 25(9):266, 1964 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:336, 1993

[備考] 病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎ら:植物防疫 14:309, 1960

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 196

††††

Diplodia cycadis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:宇部短大学術報 3:115, 1963 ; Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 15:509, 1964

††††

Microthyrium cycadinum I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ.15:512, 1964

††††

††*Phyllosticta cycadina* Passerini

北島君三:樹病学及木材腐朽論:168, 1933(昭8)

[備考] 国内発生に疑問

††††

††*Septoria montemartinii* Pollacci

北島君三:樹病学及木材腐朽論:169, 1933(昭8)

[備考] 国内発生に疑問

カヤツリグサ科 Cyperaceae

スゲ類
(Carex)
Carex spp.
(野草)

カサスゲ *Carex amplifolia* Boott subsp. *dispalata* (Boott ex Gray) Koyama & Calder
テキリスゲ *Carex kiotensis* Franch. & Savat.
ビロードスゲ *Carex fedia* Nees var. *miyabei* (Franch.) T. Koyama

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia caricis* Rebentisch

Ito, S.:Mycological Flora of Japan 2(3):183, 1950 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:619, 1992 ;
Harada, Y.:Mycoscience 35:195, 1994

[備考] ビロードスゲに発生

(2) *Puccinia caricis-molliculae* Sydow & P. Sydow

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:639, 1992

[備考] カサスゲ

にせ黒穂病 nise-kuroho-byo False smut

Melanodonthis caricis R.H. Arnold

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 28:29, 1987

[備考] カサスゲ・テキリスゲ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] カサスゲに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

カンエンガヤツリ(タタミガヤツリ, ワングル, 莞草)

Korean mat-making grass

Cyperus exaltatus Retzius subsp. *iwasakii* Makino

(特用作物)

葉枯病 hagare-byo

Duosporium yamadanum (Matsuura) Tsuda & Ueyama [*Brachysporium yamadaeum* Matsuura]

松浦 勇:病虫雑 17(2):104, 1930(昭 5) ; 松浦 勇:病虫雑 18(8):413, 1931(昭 6) ; Tsuda, M. & Ueyama, A.:Mycotaxon 14(1):145, 1982

シチトウイ(七島藺)

Chinese matgrass

Cyperus malaccensis Lam.

[*Carex malaccensis* Lam.]

(特用作物)

褐点病 katten-byo Brown spot (藻点病)

Scolecotrichum kawakamii Hara

川上瀧弥:大日本農会報 269, 1904(明 37) ; 出田 新:日本植物病理学(下):928, 1911(明 44) ; 原 攝祐:静岡県農会報 286:46, 1921 (大 10)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo cyperi-tagetiformis Hennings

吉永虎馬:植物学雑誌 19:35, 1905(明 38) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):390, 1919 (大 8)

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Coniosporium sp.

原 攝祐:静岡県農会報 254:25, 1918(大 7)

灰斑病 haihan-byo Gray spot

Stagonospora cyperi Ellis & Tracy

原 攝祐:静岡県農会報 254:18, 1918(大 7)

べっ甲病 bekko-byo Downy mildew (鼈甲病, 赤やみ病, 疫病)

Phytophthora cyperi (Ideta) S. Ito [*Peronospora cyperi* Ideta, *Kawakamia cyperi* Miyabe]

川上瀧弥:植物学雑誌 17(202):305, 1903(明 36) ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物会報 14(1):13, 1935(昭 10)
[備考] 台湾で *Cyperus rotundatus* L. (ハマスゲ) から記載された *Phytophthora cyperi-rotundati* Sawada (澤田兼吉:台湾菌類調査報告 3:26, 1927), 同じく *Cyperus iria* L. (コゴメガヤツリ) からの *P. cyperi-iriae* Sawada (澤田兼吉:台湾菌類調査報告 5:13, 1931) はともに本菌類の異名と考えられる (桂 琦一:植物の疫病:61, 1971)

紋枯病 mongare-byo

Rhizoctonia sp.

藤川 隆:九州農業研究 18:90, 1956

†軸黒穂病 jiku-kuroho-byo Stem smut

Cintractia minor (Clinton) H.S. Jackson [*Cintractia axicola* (Berkeley) Cornu var. *minor* G.P. Clinton]

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):343, 1919(大 8) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(1):73, 1936(昭 11)

[備考] 台湾

カヤツリグサ類

(*Cyperus*)

Cyperus spp.

(野草)

シロカヤツリグサ *C. alternifolius* L.

タマガヤツリ *C. difformis* L.

アゼガヤツリ *C. globosus* All.

ヌマガヤツリ *C. glomeratus* L.

カヤツリグサ *C. microiria* Steud.

ミズガヤツリ *C. serotinus* Rottb.

いもち病* imochi-byo Blast

Pyricularia higginsii Luttrell

Murata, N. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 80(1):66, 2014

[備考] コゴメガヤツリ (*C. iria*) に発生。接種試験なし

褐色菌核病 kasshoku-kinkaku-byo

Sclerotium oryzae-sativae Sawada

中田 覺五郎・河村 栄吉: 農改資 139:73, 1939

[備考] ミズガヤツリ に発生。病原菌の学名については、イネ褐色菌核病を参照

褐斑病 kappan-byo *Ascochyta* leaf spot

Ascochyta cyperiphthora Pomella & R.W. Barreto

今関 美菜子ら: 日植病報 70:226, 2004

[備考] カヤツリグサ に発生

球状菌核病 kyujo-kinkaku-byo

Sclerotium hydrophilum Saccardo

中田 覺五郎・河村 栄吉: 農改資 139:81, 1939(昭 14)

[備考] ミズガヤツリ に発生

灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo Gray leaf blight

Ascochyta papyricola Tassi

Kobayashi, T. & Okamoto, T.: J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

[備考] シロカヤツリグサ に発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Hirschmanniella diversa* Sher レンコンネモグリセンチュウ

植松 繁ら: 北陸病虫研報 64:15, 2015

[備考] タマガヤツリ に発生

(2) *Hirschmanniella oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島 嘉内: 北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] タマガヤツリ・ヌマガヤツリ・ミズガヤツリ に発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] アゼガヤツリ・カヤツリグサ に発生

ハリイ類
Spikerushes
Eleocharis spp.
(野草)

ハリイ *Eleocharis congesta* D. Don

クログワイ *Eleocharis kuroguwai* Ohwi

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia eleocharidis Arthur

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 659, 1992

[備考] ハリイ

橙色茎枯病 toshoku-kukigare-byo

Nimbya scirpicola (Fuckel) E.G. Simmons

Harada, Y.: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 58:766, 1992 ; 原田幸雄: 日本植物病害大事典(岸 國平編):1213, 1998

[備考] クログワイ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内: 北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] ハリイに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

††††

Dendryphiella sp.

山田昌雄: 日本植物病害大事典(岸 國平編):1212, 1998

[備考] クログワイに発生

††††

Epicoccosorus nematosporus (?)

鈴木穂積・中村 拓: 日植病報 53:374, 1987

[備考] クログワイに発生。病原菌の学名は横山竜夫らにより上記のように発表されたが、後に取り消された

テンツキ類
(*Fimbristylis*)
Fimbristylis spp.
(野草)

ヒデリコ *F. miliacea* (L.) Vahl

赤色菌核病 sekishoku-kinkaku-byo

Waitea circinata Warcup & P.H.B. Talbot [*Rhizoctonia oryzae* Ryker & Gooch]

中田覺五郎・河村栄吉: 農改資 139:136, 1939(昭 14) ; 我孫子和雄: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):504, 1992

[備考] ヒデリコに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella diversa Sher レンコンネモグリセンチュウ

植松 繁ら: 北陸病虫研報 64:15, 2015

ヒメクグ類
(*Kyllinga*)
Kyllinga spp.
(野草)

ヒメクグ *Kyllinga brevifolia* Rottb. subsp. *leiolepis* (Fr. & Sav.) T. Koyama

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia higginsii Luttrell

Hashioka, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 14:256, 1973

[備考] ヒメクグ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] ヒメクグに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

フトイ(太藺)

Black rush, Bass

Schoenoplectus lacustris (L.) Palla ssp. *validus* (Vahl) Koyama

[*Scirpus validus* Vahl]

(特用作物)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia scirpi de Candolle

原 攝祐:静岡県農会報 281:25, 1921(大 10)

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Stagonospora scirpicola Passerini

原 攝祐:実験作物病理学:402, 1930(昭 5)

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps nigricans Tulasne

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録第 2 版:145, 1917(大 6) ; 木場三朗:作物病害の診断と防除:368, 1952

++++糸黒穂病 ito-kuroho-byo

††*Anthracoidea caricis* (Persoon) Brefeld

木場三朗:作物病害の診断と防除:368, 1952

[備考] 国内発生について調査を要する

サンカクイ(三角藺)

Chair-maker's-rush

Schoenoplectus triqueter (L.) Palla

[*Scirpus triqueter* L.]

(特用作物)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia scirpi de Candolle

吉永虎馬:植物学雑 19:34, 1905(明 38) ; 藤黒與三郎:病虫雑 6(5):366, 1919(大 8)

[備考] サンカクイはシチトウイと同種とする人もあるので、これらの植物からのさび病菌の異同についても検討を要する

フトイ類

(Schoenoplectus)
Schoenoplectus spp.
(野草)

ホタルイ *Schoenoplectus juncoides* Palla subsp. *hotarui* (Ohwi) Koyama

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] ホタルイに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

ユズリハ科 Daphniphyllaceae

ユズリハ(交譲木)

Sloumi

Daphniphyllum macropodum Miq.

(広葉樹)

ヒメユズリハ(姫交譲木) *Daphniphyllum teijsmannii* Zoll. ex Kurz

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Pseudomonas syringae pv. *daphniphylli* Ogimi, Kubo, Hibuchi & Takikawa 1990

大宜見朝栄ら:日林誌 72:17, 1990

[備考] ヒメユズリハに発生

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

黒澤英一:植物防疫 4(10):巻頭口絵解説, 1950

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:491, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:139, 1968

[備考] ヒメユズリハ

裏すす病 ura-susu-byo (裏毛病, 斑葉病)

Trochophora simplex (Petch) R.T. Moore [*Helicostilbe simplex* Petch, *Curvidigitus daphniphylli* Sawada]

周藤靖雄:森林防疫 24(9):180, 1975 ; 南部信方:植物学雑誌 18(203):3, 1904(明 37)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora daphniphylli (Katsuki & Tak. Kobayashi) Deighton [*Cercospora daphniphylli* Katsuki & Tak. Kobayashi]

堀江博道ら:森林防疫 24(4):74, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23(1):44, 1982 ;

勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

[備考] ユズリハ

褐紋病 katsumon-byo

Mycosphaerella daphniphylli Sydow, P. Sydow & Hara

原 攝祐:樹病学各論:108, 1923(大 12) ; 原 攝祐:植物学雑誌 27(314):124, 1913(大 2)

[備考] ヒメユズリハ

黒点病* kokuten-byo

Parmulina japonica Katumoto

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 36(11):378, 1961

[備考] ヒメユズリハ

黒斑病 kokuhan-byo Black leaf spot

Leptothyrium yoshinagai Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:544, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑誌 19(217):31, 1905(明 38)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo daphniphylli Kakishima & Tak. Kobayashi

Kakishima, M. & Koabayashi, T.:Mycoscience 35(2):125, 1994 ; 小林享夫ら:森林防疫 39(7):137, 1990
[備考] ヒメユズリハ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

すす病* susu-byo Black mildew
Asterina daphniphylli W. Yamamoto
山本和太郎:兵庫農大研報農生編 2(2):34, 1956 ; Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 8:637, 1957
[備考] ヒメユズリハ

斑紋病* hammon-byo Vestergrenia leaf spot (褐紋病)
Vestergrenia daphniphylli Tak.Kobayashi
小林享夫:科博専報 9:92, 1976
[備考] ヒメユズリハ

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease
Pestalotia microspora Spegazzini
日野隆之:採集と飼育 28(6):194, 1966

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979
(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979
(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983
[備考] ユズリハ。根圏土壌より検出

†角斑病 kakuhan-byo
Cladosporium daphniphylli Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):91, 1943(昭 18)
[備考] 台湾。ヒメユズリハ

††††
Acrosporum daphniphylli I. Hino & Katumoto
Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 38(1):26, 1963
[備考] ヒメユズリハ

††††
Coniothyrium daphniphylli Miura
三浦密成:秋田農試報 8:37, 1957
[備考] ユズリハ

††††
Gloeosporium sp.
安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:135, 1973

[備考] ユズリハ

††††

Guignardia sp.

安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:135, 1973

[備考] ユズリハ

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

ハンカチノキ科 Davidiaceae

ハンカチノキ(ハトノキ)
Dove tree, Handkerchief tree
Davidia involucrata Baill.
(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot
Cercospora sp.
堀江博道・小林享夫:95 回日林論:443, 1984

シッポゴケ科 Dicranaceae

フデゴケ

Campylopus umbellatus (Arn.) Paris
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

ヤマノイモ科 Dioscoreaceae

ヤマノイモ

White yam, Chinese yam, Japanese yam

Dioscorea spp.

(野菜)

ダイジョ(大薯) White yam *Dioscorea alata* L.

ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam *Dioscorea opposita* Thunb.

ジネンジョ(自然薯) Japanese yam *Dioscorea japonica* Thunb.

ナガイモ Chinese yam *Dioscorea batatas* Decne.

カシュウイモ(ニガカシュウ) *Dioscorea bulbifera* L.

えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic

Chinese yam necrotic mosaic virus (ChYNMV) ヤマノイモえそモザイクウイルス

福本文良・栃原比呂志:日植病報 40(2):154, 1974 ; 福本文良・栃原比呂志:日植病報 44(1):1, 1978

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウルトウイルス 2

石川 亮ら:日植病報 51(1):99, 1985 ; 石川 亮ら:日植病報 51(3):352, 1985 ; Kondo, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(6):441, 2005

[備考] ヤマノイモに発生。石川ら(1985)は Broad bean wilt virus#と報告

(2) *Japanese yam mosaic virus* (JYMV) ヤマノイモモザイクウイルス

奥山 哲・坂 ひとみ:茨城大農学報 26:29, 1978 ; 藤田 隆:日植病報 50(1):110, 1984 ; 藤 晋一ら:日植病報 61(3):273, 1995 ; Fuji, S. & Nakamae, H.:Arch Virol. 144:231, 1999

[備考] 奥山・坂は *Yam mosaic virus* [*Dioscorea green-banding virus*#] として報告した。藤らのウイルスはジネンジョに発生

(3) *Yam mild mosaic virus* (YMMV) ヤマノイモ微斑ウイルス

藤 晋一ら:日植病報 67(3):261, 2001

[備考] ダイジョ・ヤマノイモ・ジネンジョ。モザイク病徴は再現されなかった

そうか病 soka-byo Scab

(1) *Streptomyces* sp.

原 攝祐:実験作物病理学:748, 1930(昭 5)

(2) *Streptomyces turgidiscabies* Miyajima, Tanaka, Takeuchi & Kuninaga 1998

吉田穂積ら:日植病報 78(3):274, 2012

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

河合一郎:園芸病害編:256, 1954

青かび病 aokabi-byo Blue mold

(1) *Penicillium sclerotigenum* T. Yamamoto

吉谷啓作:日植病報 18(3-4):180, 1954 ; 山本和太郎ら:兵庫農大研報 2(1):69, 1955

(2) *Penicillium* sp.

岩田 勉ら:日植病報 45(1):115, 1979

裏すす病 ura-susu-byo

Cercospora pachyderma Sydow & P. Sydow

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):66, 1960

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Brown rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

吉谷啓作:日植病報 18(3-4):180, 1954 ; 松尾卓見ら:菌蕈研報 10:541, 1973

[備考] 病菌の分化型は未確定

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *pisi* W.C. Snyder & H.N. Hansen

山本和太郎ら:兵庫農大研報 農学篇 2(1):69, 1955 ; 松尾卓見ら:菌蕈研報 10:541, 1973

(3) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *radicicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen

松尾卓見ら:菌蕈研報 10:541, 1973

[備考] *Fusarium oxysporum* および *Fusarium solani* はいもに奇形症状を起こすことがあり, 本病の一病徴とみられる (鍵渡徳次:植物防疫 23(4):155, 1969)

褐斑根腐病 kappan-negusare-byo Brown spot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

田中文夫ら:北日本病虫研報 44:28, 1993

[備考] ナガイモに発生

褐斑病 kappan-byo Leaf spot (褐紋病, 葉枯病)

Phyllosticta dioscoreae Cooke

原 攝祐:日園雑 30(5):20, 1918(大 7)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall]

鷺尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981 ; 鷺尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

紅色根腐病* koshoku-negusare-byo (紅変病)

Pyrenochaeta terrestris (H.N. Hansen) Gorenz, J.C. Walker & Larson

杉山 悟:日植病報 55(1):85, 1989

小粒菌核腐敗病 kotubu-kinkaku-fuhai-byo Typhula rot

Typhula ishikariensis S. Imai

原田幸雄:日植病報 61:217, 1995

[備考] ナガイモ (*Dioscorea batatas*) に発生

さび病 sabi-byo Rust

Goplana dioscoreae (Berkeley & Broome) Cummins

今津道夫ら:日植病報 61(3):217, 1995

[備考] ダイジョに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

草場基章ら:佐賀大農彙報 86:57, 2001

[備考] ジネンジョ (*D. japonica*) に発生

すす紋病 susumon-byo

Cladosporium sp.

原 攝祐:日園雑 30(5):20, 1918(大 7)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 蔓枯病)

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium pestis* Massee]

後藤和夫:熱帯農学会報 1(3):301, 1929(昭4); 中田覺五郎:作物病害図編:454, 1934(昭9); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:591, 1992

[備考] 原 攝祐 (実験作物病理学:748, 1930) の報告した炭疽病は, 調査を要する

根腐病 negusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

田中澄人:九病虫研会報 16:122, 1970; 油本武義ら:日植病報 38(3):192, 1972; 油本武義ら:植物防疫 26(9):361, 1972

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botryotinia fuckeliana (de Bary) Whetzel

岸 國平・小林享夫:日植病報 61(6):586, 1995

[備考] ダイジョ (*Dioscorea alata*) に発生

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Pestalotiopsis versicolor (Spegazzini) Steyaert [*Pestalotia versicolor* Spegazzini]

日野隆之:農及園 37(5):885, 1962; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992

葉渋病 hashibu-byo (炭疽病, 葉枯病, 白斑病, 斑紋病, 褐紋病)

Cylindrosporium dioscoreae Miyabe & S. Ito

原 攝祐:日園雑 30(5):21, 1918(大7); 田中彰一:病虫雑 11(2):93, 1924(大3)

斑点病 hanten-byo Leaf spot

(1) *Phaeoramularia dioscoreae* (Ellis & G. Martin) Deighton [*Cercospora dioscoreae* Ellis & G. Martin, *Cercospora tokoroi* Togashi]

岡田忠男:病虫雑 4(2):113, 1917(大6); 原 攝祐:日園雑 30(5):21, 1918(大7); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:595, 1992

(2) *Pseudocercospora ubi* (Raciborski) Deighton [*Cercospora ubi* Raciborski, *Cercosporina dioscoreae* sensu Hara non *Cercospora dioscoreae* Ellis & Martin]

山本和太郎:熱帯農学会誌 6:608, 1934(昭9); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):55, 1960; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:598, 1992

ピシウム腐敗病 *Pythium-fuhai-byo*

Pythium sylvaticum W.A. Campbell & F.F. Hendrix

原田幸雄ら:弘前大農学報 37:66, 1982

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

[備考] 種名は検討を要する。カシュウイモに発生

(2) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

[備考] カシュウイモに発生

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
十勝農試・(株)雪印種苗:北農 65(2):189, 1998

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

及川 健ら:北日本病虫研報 42:182, 1991

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

河村貞之助・平野和弥:日植病報 26(1):7, 1961 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 高野光之丞:今月の農薬 2(12):88, 1958

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

[備考] ヤマノイモ

ゆみはり線虫病 yumihari-senchu-byo

Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi [*Trichodorus porosus* Allen] ナガイモユミハリセンチュウ

矢口宣夫・川島嘉内:北日本病虫研報 18:127, 1967

黒変障害 kokuhen-shogai

生理障害

佐藤一郎ら:農及園 44(3):547, 1969 ; 西村正暘ら:日植病報 35(4):286, 1969

[備考] 土壌の強度の還元による有害物質の発生

††††

Chinese yam necrotic mosaic virus (ChYNMV) ヤマノイモえそモザイクウイルス

岡山直人ら:日植病報 76(3):221, 2010

[備考] ヤマノイモ(*Dioscorea japonica*)に発生

††††

Japanese yam mosaic virus (JYMV) ヤマノイモモザイクウイルス

岡山直人ら:日植病報 76(3):221, 2010

[備考] ヤマノイモ(*Dioscorea japonica*)に発生

マツムシソウ科 Dipsacaceae

スカビオサ(マツムシソウ, セイヨウマツムシソウ, コーカサスマツムシソウ)

Sweet scabious

Scabiosa spp.

(草花)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

灰色かび病 *haiiro-kabi-byo* Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 42:105, 1995

[備考] セイヨウマツムシソウ (*S. atropurpurea* L.)に発生

べと病 *beto-byo* Downy mildew

Peronospora knautiae Fuckel

佐藤 衛ら:日植病報 75(1):52, 2009 ; 佐藤 衛ら:関東病虫研報 56:63, 2009

[備考] セイヨウマツムシソウ (*S. atropurpurea* L.)に発生

白絹病 *shirakinu-byo* Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

笹井裕里ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 62:97, 2015

[備考] コーカサスマツムシソウ (*S. caucasica* M. Bieb.)に発生

オシダ科 Dryopteridaceae

オシダ類
(Dryopteris)
Dryopteris spp.
(野草)

ベニシダ *Dryopteris erythrosora* (Eat.) O. Ktze.

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種
中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974
[備考] ベニシダ

レザーファン(レザーリーフファン)
Leather leaf, Leather leaf fern
Rumohra adiantiformis (G. Forst. f.) Ching
(草花)

黒枯病 kurogare-byo Phoma rot
Phoma sp.
竹内 純ら:関東病虫研報 58:69, 2011

葉枯病 hagare-byo Leaf spot
Cylindrocladium sp.
神田 多・飯嶋 勉:日植病報 52(3):534, 1986

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
植松清次ら:関東病虫研報 40:85, 1993
[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

変形菌病 henkeikin-byo Slime mold
Didyma effusum (Schweinitz) Morgan var. *effusum*
堀江博道ら:関東病虫研報 41:127, 1994 ; 堀江博道:日本植物病害大事典(岸 國平編) 553, 1998
[備考] 堀江(1998)は、本病原に再同定した

†††さび病 sabi-byo Rust
病原菌未同定
柿畠 真ら:日植病報 54(3):348, 1988

カキノキ科 Ebenaceae

カキ(柿)

Persimmons

Diospyros spp.

(果樹)

カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon *D. kaki* Linne, f., *D. kaki* Thunberg, *D. kaki* Thunberg var. *domestica* Makino

マメガキ Dateplum *D. lotus* L.

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Persimmon latent virus# (PeLV) カキ潜在ウイルス

Ito, T. *et al.*: J. Gen. Virol. 94:1917, 2013

[備考] 接ぎ木伝染

(2) Persimmon virus A# (PeVA) カキ A ウイルス

Ito, T. *et al.*: J. Gen. Virol. 94:1917, 2013

[備考] 接ぎ木伝染。Ito, T. *et al.*: Virus Genes 51:105 (2015) はアメリカガキ (*D. virginiana*) で *Persimmon virus B* の接ぎ木伝染を確認したが病徴への関与は不明

ウイロイド病 viroid-byo Viroid

Persimmon viroid 2# カキウイロイド 2

Ito, T. *et al.*: Arch. Virol. 158:2629, 2013

[備考] 接ぎ木伝染

わい化病 waika-byo

病原未確認

柳瀬春夫ら: 日植病報 58(4):618, 1992

[備考] 接ぎ木伝染性

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

村田壽太郎: 農業国 9(10):34, 1915(大4); 高木三郎: 日園雑 45(12):37, 1933(昭8); ト蔵梅之丞: 病虫雑 22(2):97, 1935(昭10); 澤田宏之ら: 植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば、情報不足のため、本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

紅葉枯病 akahagare-byo (葉枯病, モノケチア葉枯病)

Monochaetia diospyri Yoshii

吉井 啓: 盛岡高農校友会誌 66:36, 1937(昭12); 富樫浩吾: 果樹病学:253, 1950

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, 白渋病)

Phyllactinia kakicola Sawada [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten]

原 攝祐: 岐阜県農会報 21(6):42, 1909(明42); 澤田兼吉: 台湾中研農業部報告 49:50, 1930(昭5); Homma, Y.: Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):411, 1937

[備考] マメガキにも発生

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora citrophthora* (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian

(2) *Phytophthora palmivora* (E.J. Butler) E.J. Butler

井伊吉博ら:四国植防 39:70, 2004 ; 三好孝典・清水伸一:日植病報 72(1):72, 2006

枝枯病 edagare-byo

Phoma loti Cooke

原 攝祐:岐阜県農会雑誌 21(6):42, 1909(明 42) ; 原 攝祐:実験作物病理学:655, 1930(昭 5)

汚染果(黒点型)病* osenka(kokuten-gata)-byo

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

唐津達彦ら:日植病報 68(1):80, 2002

[備考] カキ (*D. kaki* Thunberg. var. *domesteica* Makino) に発生

(2) *Colletotrichum* spp.

田中寛康:植物防疫 30(11):448, 1976

(3) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

唐津達彦ら:日植病報 69(1):64, 2003

(4) *Glomerella* sp.

小田道宏ら:日植病報 40(2):139, 1974

[備考] 小田道宏・小玉孝司 (日植病報 42(1):80, 1976) はさらに病原菌として *Alternaria alternata* (Fries) Keissler, *Botrytis cinerea* Persoon, *Fusarium oxysporum* Schlechtendal, *Sclerotinia* sp. の 4 種を報告している。
なお、雲型、破線型、緑斑型は生理的原因によるものと考えられている

角斑病 kakuhan-byo *Cercospora* leaf spot

Cercospora kakivora Hara

原 攝祐:病虫雑 16(3):160, 1929(昭 4) ; 原 攝祐:実験作物病理学:644, 1930(昭 5)

[備考] 原 攝祐 (日本害菌学:324, 1936) は同一病名で *Cercospora kakicola* Hara を記載している

角斑落葉病 kakuhan-rakuyo-byo Angular leaf spot (角斑性落葉病, 落葉病, 斑点病, 角斑点病, 角斑病)

Cercospora kaki Ellis & Everhart

吉野毅一:果樹 31:3, 1905(明 38) ; 中田覺五郎:作物病害図編:324, 1934(昭 9)

[備考] マメガキにも発生

果実黒すじ病 kajitsu-kurosuji-byo Fruit black stripe

Pestalotiopsis sp.

唐津達彦ら:日植病報 68(1):80, 2002

果実軟腐病 kajitsu-nampu-byo Ripe rot

(1) *Pestalotiopsis foedans* (Saccardo & Ellis) Steyaert

(2) *Pestalotiopsis longiseta* (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi

渡辺秀樹・田口義広:植物防疫 55(7):307, 2001

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

山本和太郎・三宅 昌:植物防疫 10(3):110, 1956

[備考] 接種試験未了

褐紋病 katsumon-byo

Macrophoma kaki Hara

原 攝祐:静岡県農会報 227:付録 9, 1920(大 9) ; 原 攝祐:果樹 220:21, 1921(大 10)

かわらたけ病* kawaratake-byo Coriolus stem rot, Stem sap rot
Coriopsis versicolor (Linnaeus) Quélet [*Polystictus versicolor* Fries]
原 攝祐:日本菌類目録:91, 1954

黒枯病 kurogare-byo (黒紋病, 瘡痂病)
Cladosporium sp.
原 攝祐:農業国 5(11):40, 1911(明 44) ; 原 攝祐:日園雑 29(12):10, 1917(大 6)

黒星病 kurohoshi-byo Black spot, Scab (黒枯病)
Fusicladium levieri Magnus [*Fusicladium diospyrae* Hori & Yoshino, *Fusicladium kaki* Hori & Yoshino]
吉野毅一:果樹 31:3, 1905(明 38) ; 原 攝祐:果樹病害論:375, 1916(大 5) ; 鑄方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:216, 1942(昭 17)
[備考] マメガキにも発生

黒星落葉病 kurohoshi-rakuyo-byo Black leaf spot
Adiscio kaki Kaz. Tanaka, J. Yamamoto & Toy. Sato
山本 淳ら:日植病報 75(3):234, 2009 ; Yamamoto, J. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 78(2):99, 2012

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot
Nectria cinnabarina (Tode) Fries
安田文俊・伊澤宏毅:日植病報 72(4):210, 2006 ; Yasuda, F. & Izawa, H.:J. Gen. Plant Pathol. 73(6):405, 2007

黒点病 kokuten-byo Phoma spot
Phoma kakivora Hara [*Pleospora* sp.]
小島銀次:作物病害篇:118, 1892(明 25) ; 原 攝祐:実験作物病理学:650, 1930(昭 5)

黒斑病 kokuhan-byo Black leaf spot (黒斑点病, 黒色斑点病)
Cercospora fuliginosa Ellis & Kellerman
吉田末彦:病虫雑 9(3):111, 1922(大 11) ; 出田 新:続日本植物病理学(下):990, 1926(大 15)
[備考] マメガキに発生

黒粉病 kokufun-byo
Coniothecium sp.
原 攝祐:日園雑 29(12):13, 1917(大 6)

縮葉病 shukuyo-byo Leaf curl
Physalospora kaki Hara
原 攝祐:実験作物病理学:649, 1930(昭 5)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
鑄方末彦:実験果樹病害篇:311, 1927(昭 2) ; 伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984
[備考] リュウキュウマメガキ (*Diospyros kuroiwei*) にも発生

すす点病 susuten-byo Fly speck
Zygophiala jamaicensis E.W. Mason [*Leptothyrium pomi* (Montagne & Fries) Saccardo]
福田仁郎・北島 博:果樹病虫害図説:213, 1956 ; 那須英夫ら:日植病報 47(3):375, 1981
[備考] 病原菌の完全世代 *Schizothyrium pomi* (Montagne & Fries) Arx は国内未記録

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

(1) *Aureobasidium pullulans* (de Bary) G. Arnaud [*Anthostomella pullulans* (de Bary) F.T. Bennet, *Dematium pullulans* de Bary]

鏑方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:30, 1942(昭 17); 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下) 849, 1978

(2) *Capnophaeum fuliginoides* (Rehm) W. Yamamoto

鏑方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:34, 1942(昭 17); 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 4(1):19, 1959

(3) *Cladosporium herbarum* (Persoon) Link [*Cladosporium epiphyllum* (Persoon) Nees]

鏑方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:28, 1942(昭 17)

(4) *Microxyphium* sp.

鏑方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:31, 1942(昭 17)

(5) *Phragmocapnias betle* (Sydow, P. Sydow & E.J. Butler) Theissen & Sydow [*Scorias communis* W. Yamamoto, *Chaetoscorias vulgaris* W. Yamamoto]

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954; Fujioka, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 3(1-6):61, 1962

(6) *Tripospermum juglandis* (Thümen) Spegazzini [*Triposporium juglandis* Thümen]

鏑方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:32, 1942(昭 17); 椿 啓介:日菌報 4(1):13, 1962

[備考] †すす病に 2 種病原の記載あり。高橋 奨 (果樹害虫各論(下):684, 1930) はカイガラムシの排泄物が煤病を誘発するとした

†すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953; 山本和太郎:日植病報 21(4):169, 1956

[備考] 台湾

(2) *Meliola diospyri* Sydow & P. Sydow

Yamamoto, W.:Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa 30(200-201):152, 1940; 澤田兼吉:台湾農試報 83(台湾産菌類調査報告 7):21, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。タイワンマメガキ (*Diospyros morrisiana*) に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 腐敗病, 葉炭疽病)

Colletotrichum horii B.S. Weir & P.R. Johnston [*Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Gloeosporium kaki* Hori]

吉野毅一:果樹 34:18, 1906(明 39); 堀正太郎:園芸之友 6(2):21, 1910(明 43); Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 25(296):197, 1911(明 44); 鏑方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:102, 1942(昭 17); 佐藤豊三ら:日植病報 80(4):235, 2014

[備考] 葉炭疽病を統合した

胴枯病 dogare-byo Canker (疑似炭疽病)

(1) *Botryosphaeria dothidea* (Mougeot) Cesati & De Notaris

大和浩国:日植病報 46(1):98, 1980; 外側正之ら:静岡柑試研報 28:41, 1999; 十亀美穂ら:日植病報 79(3):196, 2013; 加藤光弘ら:日植病報 80(4):273, 2014

[備考] カキに発生。果実も罹病し炭疽病とよく似た症状を呈する。加藤ら(2014)の病原の学名(*Dothiorella dothidea*)は原記載が確認できず不明で、当該症状は果実にしか現れない

(2) *Phomopsis* sp.

北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:158, 1962

[備考] 原 攝祐 (果樹病害論:380, 1916) は *Myxosporium kaki* Hara と *Phoma luttii* Saccardo を胴枯病 (枝

枯病) に関連する病原菌として報告しているが、本病や枝枯病との関係は明らかでない

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (褐紋病)

Botrytis cinerea Persoon

中田覺五郎:作物病害図編:329, 1934(昭 9)

葉枯病 hagare-byo *Pestalotia* leaf spot (褐斑病)

(1) *Pestalotia diospyri* Sydow & P. Sydow [*Pestalotia kaki* Ellis & Everhart]

村田壽太郎:農業国 9(10):34, 1915(大 4) ; 野島友雄:病虫雑 15(2):85, 1928(昭 3)

(2) *Pestalotiopsis acaciae* (Thümen) K. Yokoyama & S. Kaneko

安田文俊・小林享夫:日植病報 64(4):433, 1998 ; Yasuda, F. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 69(1):29, 2003

(3) *Pestalotiopsis breviseta* (Saccardo) Steyaert [*Pestalotia breviseta* Saccardo]

Guba, E. F.:Monogr. *Monochaetia* & *Pestalotia*:134, 1961 ; 日野隆之:植物防疫 16(7):287, 1962

(4) *Pestalotiopsis crassiuscula* Steyaert

安田文俊・小林享夫:日植病報 64(4):433, 1998 ; Yasuda, F. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 69(1):29, 2003

(5) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert

安田文俊・小林享夫:日植病報 64(4):433, 1998 ; Yasuda, F. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 69(1):29, 2003 ; 唐津達彦ら:近畿中国四国農研 2:72, 2003

[備考] *Pestalotiopsis glandicola* は果実黒すじ症(Fruit black stripe)も引き起こす(唐津ら, 2003)

(6) *Pestalotiopsis guepinii* (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia guepinii* Desmazières]

日野隆之:植物防疫 16(7):287, 1962

(7) *Pestalotiopsis longiseta* (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [*Pestalotia longiseta* Spegazzini]

日野隆之:植物防疫 16(7):288, 1962

[備考] 病原菌の学名は小林享夫ら:植物病原菌類図説:594, 1992 参照

斑点病 hanten-byo

Septogloeum kaki (Sydow & P. Sydow) Hara [*Cylindrosporium kaki* Sydow]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:189 1917(大 6) ; 原 攝祐:果樹 220:21, 1925(大 10)

[備考] マメガキに発生

ホモプシス立枯病* *Phomopsis*-tachigare-byo (立枯病)

Phomopsis rojana Linnaeus [*Phomopsis kaki* Hara]

原 攝祐:実用作物病理学:371, 1925(大 14) ; 原 攝祐:実験作物病理学:655, 1930(昭 5)

円星落葉病 maruhoshi-rakuyo-byo Circular leaf spot (円星性落葉病, 落葉病, 円星病)

Mycosphaerella nawae Hiura & Ikata

鏑方末彦:実験果樹病害篇:296, 1927(昭 2) ; 樋浦 誠・鏑方末彦:病虫雑 16(1):14, 1929(昭 4) ; 中田覺五郎:作物病害図編:323, 1934 (昭 9)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka [*Septobasidium mompa* (Tanaka) Raciborski]

白井光太郎:植物病理学(下):145, 1900(明 33) ; 埼玉県内務部:病虫雑 21(2):150, 1934(昭 9) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:120, 1927(昭 2)

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Ring spot

Pestalotiopsis theae (Sawada) Steyaert [*Pestalotia theae* Sawada]

野島友雄:病虫雑 15(2):85, 1928(昭 3) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Coslenchus costatus* (de Man) Siddiqi

Mizukubo, T. & Minagawa, N.: Jpn. J. Nematol. 14:28, 1984

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Helicotylenchus dihystera* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963 ; 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

(3) *Pratylenchus loosi* Loof チャネグサレセンチュウ

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963 ; 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

(4) *Tylenchulus semipenetrans* Cobb ミカンネセンチュウ

一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964 ; 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモノネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助・寺田伊斗子: 栃内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955

マグネシウム欠乏症* magnesium-ketsubo-sho Magnesium deficiency

マグネシウム欠乏

佐藤公一: 農及園 31(1):222, 1956

†††† ウイロイド Uiroido Viroid

Persimmon latent viroid (PLVd) [Persimmon viroid (PVd)] カキ潜在ウイロイド

中畝良二・中野正明: 日植病報 74(1):65, 2008

† 褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brownish sooty mold

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula citrivora* (Hara) Hara, *Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]

山本和太郎: 日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15) ; 原 攝祐: 日菌報 3(1-6):104, 1962

[備考] 台湾

†††† 黒紋病 kokumon-byo (瘡痂病)

病原不明

原 攝祐: 日園雑 29(12):10, 1917(大 6)

[備考] 成熟果に発生して黒変し、その上に数珠状の菌糸がみられる

†† 落果病 rakka-byo

Botrytis diospyri Brizi

西田藤次・野村彦太郎: 大日本農会報 268:95, 1903(明 36)

[備考] イタリア

†††† 黒あざ病 kuroaza-byo (黒痣病)

病原不明

大石俊雄: 病虫雑 22(4):274, 1935(昭 10)

†††† 裂開病 rekkai-byo Cracking

病原不明

原 攝祐:日園雑 29(12):10, 1917(大 6)

[備考] カンキツ裂果病と同様に生理的なものとされている

††††

Phytoplasma ファイトプラズマ

草野成夫・下村克己:日植病報 63(3):196, 1997

[備考] 衰弱樹や接ぎ木伝染性の粗皮症状樹等から検出

††††

Aspergillus flavus de Bary

南部信方:植物学雑 18(203):1, 1904(明 37)

[備考] マメガキ。葉の裏面から検出

††††

Geotrichum candidum Link

真山真理:日植病報 53(1):103, 1987

[備考] 市場病害の腐敗果から検出

グミ科 Elaeagnaceae

オガサワラグミ

(Elaeagnus)

Elaeagnus rotundata Nakai

(果樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

グミ(茱萸)

Gumis

Elaeagnus spp.

(果樹)

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

山本和太郎・三宅 昌:植物防疫 10(3):110, 1956

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Corticium argenteum Y. Kobayasi [*Cyphella pulchra* auct. non Berkeley & Broome]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15)

こはく色こうやく病 kohakuiro-koyaku-byo Felt (こはく色紋羽病)

Septobasidium miyakei W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 21(1):10, 1956

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Aecidium minoense* Sydow & P. Sydow

白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:8, 1927(昭 2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):373, 1950

[備考] マルバグミ (*Elaeagnus macrophylla*)・ナツグミ (*E. multiflora*)

(2) *Aecidium quintum* Sydow & P. Sydow [*Aecidium elaeagni-umbellata* non Dietel]

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(647):427, 1940 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950

[備考] アキグミ (*Elaeagnus umbellata*)

(3) *Ceraceopsis elaeagni* Kakishima, T. Sato & S. Sato

Kakishima, M. et al.:Mycologia 76(6):969, 1984 ; Kakishima, M. & Sato, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 22:171, 1984

(4) *Ochropsora nambuana* (Hennings) Dietel [*Coleosporium nambuianum* Hennings]

松村任三:帝国植物名鑑(上) 136, 1904(明 37) ; 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明 37) ; Yoshinaga, T. &

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Japan 44(528):659, 1930

[備考] アキグミ・マルバグミ

(5) *Puccinia achroa* Sydow & P. Sydow

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:503, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):269, 1950

[備考] マルバグミ

(6) *Puccinia elaeagni* Yoshinaga ex Dietel

Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Japan 44(528):627, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):270, 1950

[備考] ナワシログミ (*Elaeagnus pungens*)

(7) *Puccinia nigrolinearis* Okane & Kakishima [*Aecidium elaeagni-umbellatae* Dietel]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:11, 1917(大 6); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950; Okane, I. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(4):497, 1992

[備考] アキグミ・マルバグミ (オオバグミ)。本病菌の冬孢子世代はミヤマカンスゲ (*Carex dolichostachya* subsp. *multifolia*) に生じる

(8) *Puccinia velutina* Kakishima & S. Sato [*Aecidium elaeagni* Dietel]

草野俊助:植物学雑誌 16(187):201, 1902(明 35); 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:315, 1904(明 37); 柿畠眞ら:日植病報 46(3):371, 1980

[備考] アキグミ・タカサゴグミ (*Elaeagnus oldhami*)・ツルグミ (*E. glabra*)・ナツグミ・ナワシログミ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] ナツグミ

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum* sp.

矢口行雄ら:日植病報 70(3):218, 2004

[備考] ナワシログミ (*E. pungens* Thunb.) に発生

(2) *Colletotrichum siamense* Prihast., L. Cai & K.D. Hyde

近藤まりら:関東病虫研報 62:101, 2015; 市之瀬玲美ら:日植病報 82(1):25, 2016

[備考] グミ品種「ギルドエッジ」(*Elaeagnus* × *ebbingei*) に発生

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt (灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

吉野毅一:植物学雑誌 19(224):200, 1905(明 38); 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):105, 1928(昭 3)

灰黒色こうやく病 haikokushoku-koyaku-byo Felt (灰黒色紋羽病)

Septobasidium clavulatum W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 21(1):10, 1956

灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, モニリア病)

Monilinia fructigena (Aderhold & Ruhland) Honey [*Monilia fructigena* Persoon, *Sclerotinia fructigena* (Persoon) J. Schröter]

原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大 5); 原 攝祐:実験果樹病理学:486, 1930(昭 5)

斑点病 hanten-byo

Cercospora elaeagnicola Chiddarwar

小林享夫:森林防疫 23(9):179, 1974

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich [*Sclerotium bataticola* Taubenhans]

佐藤邦彦・庄司次男:北日本病虫研報 10:91, 1959; 佐藤邦彦・庄司次男:林研試報 111:51, 1959

円星病 maruhoshi-byo

Phaeosphaeria elaeagni Sawada

澤田兼吉:林研試報 53:167, 1952

白藻病 shiromo-byo Algal spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956

てんぐ巢病 tengusu-byo

Eriophyes sp. フシダニの一種

山下修一ら:日植病報 46(1):60, 1980

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconema jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconema jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] ナワシログミ。根圏土壌より検出

(2) *Criconema palliatum* (Minagawa) Raski & Luc [*Nothocriconema palliatum* Minagawa] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] ナワシログミ。根圏土壌より検出

(3) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ナツグミ

(4) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ナツグミ

(5) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ナツグミ

(6) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ナツグミ。種名は再検討を要する

††††

Ameromassaria japonica Hara

原 攝祐:病虫雑 5(11):883, 1918(大7)

[備考] アキグミ。枯死枝から検出

††††

Asterina japonica Theissen

Hino, I. & Katsumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 7:257, 1956 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970

[備考] ナワシログミ。葉にすす状で表面寄生性の散在した病斑から検出

††††

Hysterium citricolum Naito

Naito, T.:Trans. Nat. Hist. Soc. Kagoshima Coll. Agr. For. 3(12):4, 1933

[備考] ナワシログミ

††††

Hysterium photinae Naito

Naito, T.:Sci. Rept. Kagoshima Univ. 1:74, 1952

[備考] アキグミ・ナワシログミ。枯枝上で検出

††††

Pestalotia elaeagni J.V. Almeida & Sousa da Câmara

日野隆之:採集と飼育 26(10):292, 1964

[備考] アキグミ。葉から検出

††††

Phyllosticta argyrea Spegazzini

Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ 47:45, 1940

[備考] ナワシログミ。葉から検出

††††

†*Septobasidium albidum* Patouillard

澤田兼吉:台湾大農特別報 8:97, 1959

[備考] 台湾

††††

Phycopeltis epiphyton Millardet

Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):280, 1957

[備考] 地上藻類。明らかな被害は知られていないが、葉の表面を覆うので光合成の阻害が推定されている

ホルトノキ科 Elaeocarpaceae

コバンモチ

Elaeocarpus

Elaeocarpus japonicus Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

すすかび病 susukabi-byo Sooty leaf spot

Pseudocercospora elaeocarpicola Tak. Kobayashi, Nishijima & C. Nakashima

Kobayashi, T. *et al.*: Mycoscience 39:187, 1998

[備考] 接種試験未了

セイロンオリーブ

Ceylon olive

Elaeocarpus serratus L.

(果樹)

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brownish sooty mold

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]

山本和太郎: 日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

†すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow emend. W. Yamamoto

山本和太郎: 兵庫農大研報農学編 1(1):44, 1953 ; Yamamoto, W.: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):169, 1956

[備考] 台湾

(2) *Hypocapnodium setosum* (Zimmermann) Spegazzini

Yamamoto, W.: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):168, 1956

[備考] 台湾

(3) *Limacinia elaeocarpi* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉: 台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):39, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Phyllosticta elaeocarpi* Sawada

澤田兼吉: 台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):136, 1959

[備考] 台湾

ホルトノキ

(Elaeocarpus)

Elaeocarpus sylvestris (Lour.) Poir. var. *ellipticus* (Thunb.) Hara

(広葉樹)

萎黄病 io-byo Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

河辺祐嗣ら: 日植病報 65(6):654, 1999 ; 遠藤 藍ら: 日植病報 83(3):232, 2017

[備考] 戻し接種試験未了。 *Candidatus* Phytoplasma malaysianum タイプ系統 (MaPV) と同種異系統

すす病* susu-byo Black mildew

Asterina elaeocarpi Sydow & P. Sydow

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 7:258, 1956

†すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

Asterina elaeocarpi-kobanmochii W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):23, 1957

[備考] 台湾。コバンモチ (*E. kobanmochi*)・ホソバコバンモチ (*E. lanceaefolius*)

斑点病 hanten-byo Leaf spot

病原菌所属未詳

勝 善鋼:森林防疫 23(5):88, 1974

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

††††

†*Zythia elaeocarpi* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):160, 1959

[備考] 台湾

ツツジ科 Ericaceae

ヒメシャクナゲ(姫石楠花)

Bog-rosemary

Andromeda polifolia L.

(広葉樹)

黒紋病* kokumon-byo Tar spot

Rhytisma andromedae (Persoon) Fries

平塚直秀・本間ヤス:札幌農林学会報 19(85):179, 1927(昭 2)

++++もち病 mochi-byo

††*Exobasidium vaccinii* (Fuckel) Woronin

白井光太郎:植物病理学(下):131, 1894(明 27)

[備考] 国内発生未詳

イチゴノキ

Strawberry tree

Arbutus unedo L.

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora molleriana G. Winter

堀江博道・小林享夫:日植病報 46(3):376, 1980

[備考] 接種試験未了

黒円星病 kuro-maruhoshi-byo

Discosia sp.

堀江博道・小林享夫:東京農試研報 13:85, 1980

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 52:67, 2005

根黒斑病 ne-kokuhan-byo Cylindrocarpon root rot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 52:63, 2005

ウラシマツツジ

(Arctous)

Arctous alpinus Niedenzu var. *japonicus* (Nakai) Ohwi

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Thekopsora sparsa (G. Winter) Magnus

澤田兼吉:林試研報 57:14, 1952 ; 平塚直秀:北大農紀要 21(1):24, 1927(昭 2)

††††

Didymosphaeria atropunctata Tochinai & Yamagiwa

柄内吉彦・山際末男:札幌博物会報 13(3):145, 1934(昭 9)

††††

Diplodia arbuticola (Fries) Berkeley

富樫浩吾・大沼房次:盛岡高農学術報 17:37, 1934(昭 9)

ホロムイツツジ

(*Chamaedaphne*)

Chamaedaphne calyculata (L.) Moench

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Chrysomyxa ledi de Bary var. *cassandrae* (Peck & G.P. Clinton) Savile [*Chrysomyxa cassandrae* (Peck & Clinton) Tranzschel]

平塚直秀:北大農紀 21(1):33, 1927(昭 2) ; Hiratsuka, N. et al.:Rust flora of Japan:189, 1992

ドウダンツツジ(満天星)

(*Enkianthus*)

Enkianthus perulatus (Miq.) Schneid.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 ; 高松 進ら:日菌報 19(1):69, 1978

[備考] ベニドウダン・アブラツツジ (*E. subsessilis*)

黒紋病* kokumon-byo Tar spot

Rhytisma andromedae (Persoon) Fries

三浦密成:秋田農試報 8:5, 1957

[備考] サラサドウダン(*E. campanulatus*)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium enkianthi Dietel

安田 篤:植物学各論隠花部:454, 1911(明 44) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:315, 1910(明 43)

[備考] ドウダンツツジ・サラサドウダン・ベニドウダン (*E. cernuus* f. *rubens*)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

原田美貴子ら:日植病報 71(1):33, 2005 ; Harada, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):341 2008

[備考] サラサドウダン (*E. campanulatus*) に発生

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotia sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):180, 1960

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(4) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(5) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 種名は再検討を要する

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne arenaria (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

エリカ類

Heath

Erica spp.

(広葉樹)

スズランエリカ White heath *Erica formosa* Thunb.

根腐病 negusare-byo Root rot

(1) *Pythium helicoides* Drechsler

舟久保太一ら:日植病報 75(3):186, 2009

[備考] スズランエリカに発生

(2) *Pythium spinosum* Sawada

舟久保太一・景山幸二:関東病虫研報 57:59, 2010

ニイタカシラタマ

(Gaultheria)

Gaultheria borneensis Stapf

(広葉樹)

†もち病 mochi-byo

Exobasidium gaultheriae Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 19(100):33, 1929 ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾産菌類調査報告 5):63, 1931(昭6)

[備考] 台湾

††††

†*Meliola niessleana* G. Winter

山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):25, 1941(昭 16)

[備考] 台湾

ヒメコウジ (チェッカーベリー)

Checkerberry

Gaultheria procumbens L.

(草花)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

松浦克成ら:日植病報 78(3):185, 2012 ; 松浦克成ら:関西病虫研報 57:91, 2015

シラタマカズラ

(Gaultheria)

Gaultheria serpens L.

(広葉樹)

星形すす病 hoshigata-susu-byo Black mildew

Echidnodella gaultheriae Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:107, 1975

カルミア(アメリカシャクナゲ)

Mountain laurel

Kalmia latifolia L.

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora kalmiae Ellis & Everhart

堀江博道ら:日植病報 42(3):392, 1976 ; 堀江博道・小林享夫:東京農試研報 12:10, 1979

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Pythium undulatum H.E. Petersen

築尾嘉章ら:日植病報 70(1):47, 2004

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo

Pestalotiopsis sydowiana (Bresàdola) B. Sutton [*Pestalotia macrotricha* Klebahn]

奥野孝夫ら:原色樹木病害虫図鑑:183, 1977 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(2) *Paratylenchus* sp. ピンセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ
三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

+++根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall
Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]
横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)
[備考] 生産国不明

イソツツジ
Marsh tea, Wild rosemary
Ledum palustre var. *diversipilosum* Nakai
(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)
(1) *Chrysomyxa ledi* de Bary var. *ledi*
大森順造・山田玄太郎:植物病理学:283, 1910(明 42) ; 平塚直秀:北大農紀 21:34, 1927(昭 2) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:187, 1992
[備考] カラフトイソツツジ (*L. palustre* var. *dilatatum*)・ホソバイソツツジ (*L. palustre* var. *minor*) にも発生
(2) *Chrysomyxa ledicola* (Peck) Lagerheim
平塚直秀:北大農紀要 21:35, 1927(昭 2)
[備考] ヒメイソツツジ (*L. palustre* var. *procumbens*)・ホソバイソツツジ

もち病 mochi-byo Leaf gall
Exobasidium vaccinii (Fuckel) Woronin
白井光太郎:植物病理学(下):131, 1894(明 27)
[備考] 白井光太郎・宮家市郎 (訂正増補日本菌類目録:233, 1917), 出田 新 (続日本植物病理学(下):573, 1926) は *Exobasidium hexasporium* Kusano によるもち病を紹介したが, 同菌の正式な記載文が見当たらず調査を要する

++++うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:97, 1977
[備考] コバノハナヒリノキ (*Ledum grayana* var. *hypoleuca*)。病原菌の形態記載なし

ハナヒリノキ
(Leucothoe)
Leucothoe grayana Maxim. var. *oblongifolia* (Miq.) Ohwi
(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)
Thekopsora hakkodensis S. Ito & Hiratsuka, f. ex Hiratsuka [*Naohidemyces vaccinii* (Jørstad) S. Sato, Katsuya & Y. Hiratsuka (nom. inval.)]
平塚直秀:北大農紀要 21(1):21, 1927(昭 2) ; 澤田兼吉:東北生物研究 1:97, 1950 ; Sato, S. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:48, 1993
[備考] ヒロハハナヒリノキ・ウラジロハナヒリノキにも発生。本病菌の精子・銹胞子世代はツガ (*Tsuga*)

属に寄生し葉さび病を起こす

平もち病 hiramochi-byo Leaf blister

Exobasidium bisporum Sawada ex Ezuka

澤田兼吉:東北生物研究 1:97, 1950 ; 江塚昭典:日菌報 32(2):180, 1991

[備考] ヒロハハナヒリノキ (*L. grayana* var. *glabra*)・ウラジロハナヒリノキ (*L. grayana* var. *glaucina*) にも発生

イワナンテン

(*Leucothoe*)

Leucothoe keiskei Miq.

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Guignardia sp.

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 45:143, 1998

[備考] アメリカイワナンテン (*L. fontanesiana*)

紫斑病 shihan-byo Violet leaf spot

Pseudocercospora leucothoës (B.H. Davis) Deighton [*Cercospora leucothoës* B.H. Davis]

小林享夫:植物防疫 29(5):318, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):272, 1976 ;

勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

[備考] アメリカイワナンテン (*L. fontanesiana*)

ネジキ(カシオシミ)(榎木, 緞木)

(*Lyonia*)

Lyonia ovalifolia (Wall.) Drude var. *elliptica* (Sieb. & Zucc.) Hand.-Mazz.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia enkianthi Z.Y. Zhao [*Phyllactinia guttata* (Wallroth) Lévillé, *Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten, *Phyllactinia* sp.]

糸井節美ら:蚕試報 17(3):387, 1962 ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:93, 1964 ; 丹田誠之助・野村幸彦:東農大農学集報 27(3):204, 1983 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:27, 2012

褐斑病 kappan-byo

Pseudocercospora lyoniae (Katsuki & Tak. Kobayashi) Deighton [*Cercospora lyoniae* Katsuki & Tak. Kobayashi]

小林享夫:森林防疫 23(6):111, 1974 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(1):3, 1975 ; 勝

本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15) ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

黒紋病 kokumon-byo Tar spot (黒脂病)

Rhytisma pieridis Patouillard

松村任三:帝国植物名鑑(上):171, 1904(明 37)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Thekopsora vaccinii (Jørstad) Hiratsuka, f. [*Thekopsora myrtillina* P. Karsten ex Hiratsuka]

平塚直秀:札幌農林学会報 21(97):331, 1930(昭 5)

平もち病 hiramochi-byo Leaf blister (腫萎病)

Exobasidium pieridis-ovalifoliae Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾産菌類調査報告 5):65, 1931(昭6) ; 江塚昭典:日植病報 39(2):157, 1973

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease

Pestalotiopsis versicolor (Spegazzini) Steyaert [*Pestalotia versicolor* Spegazzini]

日野隆之:採集と飼育 26(12):355, 1964 ; 山崎貞夫・小野義隆:茨大教育研報 37:38, 1988 ; 小林享夫・勝本謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992

もち病 mochi-byo Leaf gall

Exobasidium pieridis Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:467, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):2, 1902(明 35)

††††

Mycosphaerella kasiozumi Hara

原 攝祐:病虫雑 5(7):536, 1918(大 7)

ヨウラクツツジ(瓔珞躑躅)

Menziesia

Menziesia purpurea Maxim.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Phyllactinia sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:141, 1968

[備考] ウラジロヨウラク

黒紋病* kokumon-byo Tar spot

(1) *Melasmia menziesiae* Dearness & Bartholomew

富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:45, 1934(昭 9)

[備考] コヨウラクツツジ (*M. pentandra*)

(2) *Melasmia menziesiae* Sawada non Dearness & Bertholomew (黒脂病)

澤田兼吉:林試研報 105:70, 1958

[備考] ウスギヨウラク (*M. ciliicalyx*)・ウラジロヨウラク(*M. multiflora*)・コヨウラクツツジ。前種との異同の検討を要する

(3) *Melasmia therorhodii* Sawada (黒脂病)

澤田兼吉:林試研報 105:71, 1958 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):374, 1992

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Chrysomyxa menziesiae* Dietel

安田 篤:植物学各論隠花部:422, 1911(明 44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:20, 1905(明 38)

[備考] コヨウラクツツジ

(2) *Thekopsora menziesiae* Hiratsuka, f.

澤田兼吉:林試研報 57:13, 1952 ; 平塚直秀:北大農紀要 21(1):22, 1927(昭 2)

[備考] コヨウラクツツジ・ウラジロヨウラク

アセビ(馬酔木)

Japanese andromeda

Pieris japonica (Thunb.) D. Don

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo

Phyllosticta sp.

堀江博道・小林享夫:日植病報 47(3):407, 1981

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15) ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

葉枯病 hagare-byo Pestalotiopsis leaf rot

(1) *Neopestalotiopsis* sp.

野澤俊介・渡辺京子:日植病報 82(3):218, 2016

(2) *Pestalotiopsis chamaeropsis* Maharachchikumbura, K.D. Hyde & Crous

野澤俊介ら:日植病報 82(1):25, 2016

平もち病 hiramochi-byo

Exobasidium asebiae Hara & Ezuka

江塚昭典・原 攝祐:農及園 34:1352, 1959 ; 江塚昭典:日菌報 32(1):71, 1991

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ogma japonicum (Minagawa) Siddiqi [*Pseudocriconeuma japonicum* Minagawa] トゲワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Appl. Entomol. Zool. 19(3):374, 1984

††††

†*Exobasidium pieridis-taiwanensis* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):98, 1959

[備考] 台湾。タイワンアセビ (*Pieris taiwanensis*)

††††

Guignardia asebi Hara

原 攝祐:病虫雑 5(6):459, 1918(大 7)

ツツジ類(躑躅)

Azalea

Rhododendron spp.

(広葉樹)

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦ら:北方林業 33(6):161, 1981

[備考] エゾムラサキツツジ

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe izuensis* (Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera izuensis* Y. Nomura, *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte]

野村幸彦:日菌報 25(4):475, 1984 ; Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):39, 1913(大 2) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):211, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012

[備考] モチツツジに発生

(2) *Microsphaera izuensis* Y. Nomura f. *breviseta* Tanda

丹田誠之助:東農大農学集報 47(4):290, 2003

[備考] キリシマツツジ (*R. obtusum* (Lindl.) Planch. var. *obtusum*) に発生

(3) *Microsphaera* sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973

[備考] ヤマツツジに発生

(4) *Oidium* sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973

[備考] オオゴメツツジ・ケラマツツジ (*R. scabrum*)に発生

(5) *Phyllactinia enkianthi* Z.Y. Zhao [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten]

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:97, 1977 ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:27, 2012

[備考] ムラサキヤシオツツジに発生

(6) *Phyllactinia* sp.

平田幸治・中山賢三・浅見 賢:新潟農林研究 16:92, 1963

[備考] レンゲツツジに発生

裏白もち病 urajiro-mochi-byo Exobasidium leaf blight

(1) *Exobasidium japonicum* Shirai var. *hypophyllum* Ezuka [*Exobasidium* sp.]

江塚昭典:日植病報 41(1):116, 1975 ; 江塚昭典:日菌報 31(4):443, 1990

[備考] ヤマツツジ

(2) *Exobasidium otanianum* Ezuka

江塚昭典:日菌報 32(1):75, 1991

[備考] コバノミツバツツジ

(3) *Exobasidium otanianum* Ezuka var. *satsumense* X.Y. Zhang & Arai

Zhang, X. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 36:97, 1995

[備考] ハヤトミツバツツジ(*R. dilatatum* var. *satsumense*)。接種試験未了

褐斑病 kappan-byo Septoria leaf spot

Septoria azaleae Voglino

逸見武雄・倉田静子:病虫雑 17(12):785, 1930(昭 5)

[備考] ヒラドツツジ・オオムラサキ (*R. pulchrum* var. *speciosum*)・リュウキュウツツジ (*R. mucronatum*)・キリシマツツジ (*R. obtusum*)

髪毛病 kaminoke-byo Hairy blight

Marasmius insignis Hino [*Marasmius sarmentosus* Berkeley] ヤマウバノカミノケ

原 攝祐:実験樹木病害篇 271, 1927(昭 2) ; 日野 巖:宮崎高農学術報 13:59, 1943(昭 18)

くもの巢病 kumonosu-byo Web blight (葉腐病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

森田 儔・深沢永光:改訂新版花の病害虫と新防除:383, 1973 ; 阿部善三郎:さつき研究 125:108, 1980

[備考] 病原菌の異名はモクマオウくもの巢病参照

黒紋病 kokumon-byo Tar spot (黒脂病, 斑葉病, 小黒脂病)

(1) *Rhytisma shiraianum* Hemmi & Kurata [*Melasmia rhododendri* Hennings & Shirai]

原 攝祐:実用作物病理学:584, 1925(大 14) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):153, 1904(明 37) ; 逸見武雄・倉田静子:植物病害研究 1:7, 1931(昭 6)

[備考] ヤマツツジ・モチツツジ・レンゲツツジ (*R. japonicum*)・ミツバツツジ・コバノミツバツツジ・シロバナミツバツツジ (*R. wadanum* f. *leucanthum*)・サクラツツジ (*R. tashiroi*)・コメツツジ (*R. tschonoskii*)・サツキ (*R. indicum*)・サイゴクミツバツツジ (*R. nudipes*)

(2) *Melasmia menziesiae* Sawada non Dearness & Bertholomew (黒脂病)

澤田兼吉:林試研報 105:70, 1958

[備考] アラゲエゾツツジ (*R. camtschaticum* var. *barbatum*)

(3) *Melasmia rhododendrina* Hara (裏黒脂病)

原 攝祐:実験作物病理学:904, 1930(昭 5)

[備考] ヤマツツジ・ミツバツツジ。(1) との異同について検討を要する

(4) *Melasmia therorhodii* Sawada (黒脂病)

澤田兼吉:林試研報 105:71, 1958 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):374, 1992

[備考] アラゲエゾツツジ

†黒紋病* kokumon-byo Tar spot (黒脂病)

(1) *Rhytisma rhododendri* Fries

照井陸奥生:札幌博物学会報 18(1-2):2, 1949

[備考] 千島。エゾツツジ (*R. camtschaticum*)

(2) *Rhytisma rhododendri-oldhamii* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):4, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。キンモウツツジ (*R. oldhamii*)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Chrysomyxa ledi de Bary var. *rhododendri* (de Bary) Savile [*Chrysomyxa rhododendri* de Bary]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:283, 1910(明 43) ; 白井光太郎:植物病理学(下):124, 1894(明 27) ; Hiratsuka, N. et al.:Rust Flora of Japan:190, 1992

[備考] ヤマツツジ・ゲンカイツツジ(*R. mucronulatum* var. *ciliatum*)・ウンゼンツツジ(*R. serpyllifolium*)・サツキ・キンモウツツジ(*R. oldhamii*)・ミヤマキリシマ(*R. kiusianum*)・ゴヨウツツジ(*R. quinquefolium*)・サカイツツジ(*R. parvifolium*)・エゾムラサキツツジ(*R. dauricum*)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Chrysomyxa komarovii Tranzschel

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(647):428, 1940(昭 15)

[備考] 朝鮮半島。ゲンカイツツジ (*R. mucronulatum* var. *ciliatum*)

小斑平もち病 shohan-hiramochi-byo (平もち病)

Exobasidium sp.

江塚昭典:日植病報 40(3):186, 1974 ; 江塚昭典:日菌報 31(4):453, 1990

[備考] モチツツジ(*R. macrosepalum* Maxim.) に発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

鈴木誠一:病虫雑 3(5):364, 1916(大 5)

[備考] オオムラサキ・キリシマツツジ・サツキ・ヒカゲツツジ(*R. keiskei*)・ヨドガワツツジ。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

そうか病 soka-byo Anthracnose leaf spot

Sphaceloma sp.

梶谷裕二:日植病報 70(3):224, 2004

[備考] クルメツツジに発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium rhododendri* Briosi & Cavara]

鈴木誠一:病虫雑 3(5):362, 1916(大 5); 上住 泰・鍵渡徳次:原色庭木盆栽の病害虫診断:111, 1972; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):590, 1992

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:林試東北支年報 11:214, 1970; 佐藤邦彦ら:林試研報 268:13, 1974

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類つちくらげ病参照

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (てんぐ巢もち病, 天狗巢病)

(1) *Exobasidium nobeyamense* Nagao & Ezuka

Nagao, H. *et al.*:Mycoscience 42(6):549, 2001

[備考] トウゴクミツバツツジ (*R. wadanum* Makino) に発生

(2) *Exobasidium pentasporium* Shirai [*Microstroma pentasporium* Shirai]

白井光太郎:植物学雑 10(113):228, 1896(明 29); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):52, 1955

[備考] ヤマツツジ・サツキ・コメツツジ・ホツツジ (*Tripetaleia paniculata*)・モチツツジ

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

奥野孝夫ら:原色樹木病害虫図鑑:240, 1977

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

佐藤邦彦ら:林試東北支年報 11:210, 1970

[備考] ヤマツツジ。病原菌の狭義の種については未検討

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (ボトリチス病, 茸毛病, 茸黴病, 灰色腐敗病, 菌核病)

Botrytis cinerea Persoon

白井光太郎:園芸 1(1):1907(明 40); 河合一郎:園芸病害編:561, 1954

[備考] 完全世代 *Botryotinia fuckeliana* (de Bary) Whetzel はツツジでは未記録

葉枯病 hagare-byo

Monochaetia monochaeta (Desmazières) Allescher [*Monochaetia rhododendri* Yoshii non Woronichin]

吉井 啓:逸見還暦記念論文集:130, 1951

[備考] モチツツジ (*R. macrosepalum*)

白斑病 hakuhan-byo

Monochaetia rhododendricola Yoshii

吉井 啓:逸見還暦記念論文集:130, 1951

[備考] ヤマツツジ(*R. kaempferi*)

花腐菌核病 hanagusare-kinkaku-byo Flower blight (菌核病, 花の菌核病)

Ovulinia azaleae F.A. Weiss [*Sclerotinia* sp., *Ovulitis azaleae* N.F. Buchwald]

逸見武雄:農作物病学:173, 1953 ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:125, 1939

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phyllosticta concentrica Saccardo [*Phyllosticta maxima* Ellis & Everhart]

逸見武雄・倉田静子:植物病害研究 1:1, 1931(昭 6) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:282, 1933(昭 8) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

平もち病 hiramochi-byo Exobasidium leaf blister

(1) *Exobasidium butleri* Sydow & P. Sydow

澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):98, 1950

[備考] バイカツツジ(*R. semibarbatum*)に発生。調査を要する

(2) *Exobasidium dubium* Raciborski [*Exobasidium magnusii* Woronichin]

澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):99, 1950 ; Nagao, H. *et al.*:Mycoscience 44(1):1, 2003

[備考] ヨドガワツツジ (*R. yedoense*)に発生

(3) *Exobasidium kawanense* Ezuka [*Exobasidium* sp.]

江塚昭典:日植病報 40(3):186, 1974 ; 江塚昭典:日菌報 31(4):451, 1990

[備考] モチツツジに発生

(4) *Exobasidium miyabei* Nagao, Akimoto & Kishi

Nagao, H. *et al.*:Mycoscience 44(1):1, 2003

[備考] エゾムラサキツツジ (*R. dauricum* L.) に発生

(5) *Exobasidium yoshinagai* Hennings (餅病)

吉永虎馬:植物学雑誌 16(179):2, 1902(明35) ; 江塚昭典:日植病報 40(2):147, 1974

[備考] ミツバツツジ (*R. dilatatum*)・キヨスミミツバツツジ (*R. kiyosumense*)・コバノミツバツツジ (*R. reticulatum*)・トウゴクミツバツツジ (*R. wadanum*)・タカクマミツバツツジ (*R. viscistylum*)・ウラジロミツバツツジ (*R. viscistylum* var. *glaucum*)・ツクシアカツツジ (*R. weyrichii*)に発生。原記載の宿主は *R. tosaense* (フジツツジ) になっているが、同定に疑問がある

(6) *Exobasidium* sp.

江塚昭典:日植病報 40(3):186, 1974

[備考] モチツツジに発生

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease (葉枯病)

(1) *Pestalotiopsis guepinii* (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia guepinii* Desmazières]

鈴木誠一:病虫雑誌 3(5):363, 1916(大 5) ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

(2) *Pestalotia rhododendri* Guba

日野隆之:採集と飼育 26(12):354, 1964

[備考] ヤマツツジ・ミツバツツジ。病原菌の分類学的所属は検討を要する

芽枯病 megare-byo Bud blight

Pycnostysanus azaleae (Peck) E.W. Mason

Kaneko, S. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 54(3):323, 1988

[備考] ヤマツツジ・レンゲツツジ

もち病 mochi-byo Leaf gall (餅病)

(1) *Exobasidium cylindrosporum* Ezuka [*Exobasidium* sp.]

江塚昭典:日植病報 40(3):185, 1974 ; 江塚昭典:日菌報 31(4):451, 1990

[備考] モチツツジ・ムラサキリュウキュウ・シロリュウキュウ・オオムラサキ

(2) *Exobasidium japonicum* Shirai [*Exobasidium rhododendri* C.E. Cramer]

白井光太郎:植物学雑 10(113):229, 1896(明 29)

[備考] ヤマツツジ・サツキ・モチツツジ・キリシマツツジ・ムラサキヤシオツツジ (*R. albrechtii*)

(3) *Exobasidium sakishimaense* Otani

Otani, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):355, 1976

[備考] サキシマツツジ(*R. amanoi*)

(4) *Exobasidium* sp.

江塚昭典:日植病報 40(3):185, 1974

[備考] モチツツジ・ムラサキリュウキュウ・シロリュウキュウ・オオムラサキ

†もち病 mochi-byo

(1) *Exobasidium formosanum* Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 11(54):88, 1921(大 10)

[備考] 台湾。キンモウツツジ

(2) *Exobasidium taihokuense* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):99, 1959

[備考] 台湾。タイワンヒメツツジ (*R. nakaharai*)

モニリア病 *Monilia*-byo *Monilia*

Monilinia jezoensis Yuk. Takahashi, Sano & Y. Harada [*Monilia* sp.]

一橋裕香子ら:日植病報 69(1):27, 2003 ; Takahashi, Y. *et al.*:Mycoscience 46:106, 2005

[備考] ヤマツツジ (*R. kaempferi*) に発生

葉斑病 yohan-byo *Cercospora* leaf spot (葉紋病)

Pseudocercospora handelii (Bubák) Deighton [*Cercospora handelii* Bubák]

逸見武雄・倉田静子:植物病害研究 1:12, 1931(昭 6) ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

[備考] キリシマツツジ・サツキ・ヨドガワツツジ

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

野中寿之・植原一雄:九州農業研究 36:115, 1974

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):279, 1957

萎縮線虫病 ishuku-senchu-byo Stunt

(1) *Tylenchorhynchus claytoni* Steiner ナミイシユクセンチュウ

酒井久夫・吉村清一:九病虫研会報 8:50, 1962 ; 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

(2) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 上記種との異同は不明

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] アケボノツツジ(*R. pentaphylon*)

(2) *Criconema longulum* (Gunhold) Raski & Luc [*Nothocriconema longulum* Gunhold] ワセンチュウの1種
Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] サイゴクミツバツツジ。根圏土壌より検出

(3) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ヤマツツジ・アケボノツツジ。属名は再検討を要する

(4) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 ; 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] キリシマツツジ。三枝・相原 (1978) はサツキの根圏土壌からの検出

(5) *Paratrichodorus minor* (Colbran) Siddiqi ヒメユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] キリシマツツジ

(6) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] サツキ

(7) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ヤマツツジ

(8) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎:日線虫研誌 9:49, 1979

[備考] サツキ

(9) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 ; 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 中野らはキリシマツツジ, 三枝・相原はサツキ (根圏土壌)・ヤマツツジ・アケボノツツジ。上記種との異同は不明

(10) *Trichodorus aequalis* Allen ユミハリセンチュウの1種

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] キリシマツツジ

(11) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] サツキ

(12) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 ; 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 中野らはキリシマツツジ, 三枝・相原はサツキ・ヤマツツジ・アケボノツツジ (根圏土壌)。上記種との異同は不明

(13) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ヤマツツジ・アケボノツツジ (根圏土壌)。種名は再検討を要する

(14) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ヤマツツジ

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] サツキ・ヤマツツジ・アケボノツツジ

††††球状てんぐ巢病 kyujo-tengusu-byo

病因不明

浜 武人:森林防疫 35(4):67, 1986

[備考] キリシマツツジ

†すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Antennatula shawiae* S. Hughes

Sugiyama, J. & Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:65, 1980

[備考] パプア・ニューギニア

(2) *Asteridiella rhododendri* (W. Yamamoto) Hansford [*Irenina rhododendri* W. Yamamoto]

山本和太郎:台湾博物学会報 31:17, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。キンモウツツジ

††††

Discosia rhododendri Miura

三浦密成:秋田農試報 8:40, 1957

[備考] ムラサキヤシオ (*R. albrechtii*)

††††

Naemosphaerella japonica Saccardo & Sydow

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):387, 1917(大 6)

[備考] ヤマツツジ

††††

Physalospora rhododendri Miura

三浦密成:秋田農試報 8:13, 1957

[備考] ヤマツツジ

††††

Placosphaeria rhododendri Hennings

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):463, 1917(大 6)

††††

†*Valsa subclypeata* Cooke & Peck

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):42, 1914(大 3)

[備考] 中国

シャクナゲ類(石楠花)

Rhododendron

Rhododendron spp.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

高松 進ら:日植病報 68(1):78, 2002

[備考] *Pseudoidium* 亜属。セイヨウシャクナゲ (*Rhododendron* spp.) に発生。接種試験未了

褐斑病 kappan-byo Corynespora leaf spot
Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei
築尾嘉章ら:日植病報 68(1):79, 2002
[備考] セイヨウシヤクナゲ (*Rhododendron* sp.) に発生

粉もち病 konamochi-byo (餅病)
(1) *Exobasidium caucasicum* Woronichin
Nagao, H. *et al.*:Mycoscience 45(2):85, 2004
[備考] キバナシヤクナゲ (*R. aureum*) に発生
(2) *Exobasidium shiraianum* Hennings
伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):51, 1955; 白井光太郎:日本菌類目録:34, 1905(明 38); Nagao, H. *et al.*:Mycoscience 45(2):85, 2004
[備考] キバナシヤクナゲ(*R. aureum*)・シロバナシヤクナゲ(*R. brachycarpum* var. *roseum*)・アズマシヤクナゲ (*R. degronianum*) に発生
(3) *Exobasidium woronichinii* Nagao
Nagao, H. *et al.*:Mycoscience 45(2):85, 2004
[備考] ハクサンシヤクナゲ (*R. brachycarpum*) に発生

さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, 銹病)
Chrysomyxa succinea (Saccardo) Tranzschel [*Chrysomyxa expansa* Dietel, *Chrysomyxa alpina* Hiratsuka, f.]
安田 篤:植物学各論隠花部:422, 1911(明 44); 松村任三:帝国植物名鑑(上):134, 1904(明 37); Miyabe, K.:Bot. Mag. Tokyo 29(346):258, 1915(大 4); Hiratsuka, N. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 10(1):14, 1969
[備考] シヤクナゲ・モリシヤクナゲ・ニイタカシヤクナゲ・キバナシヤクナゲ (*R. aureum*)・シロバナシヤクナゲ・ナンコウサンシヤクナゲ・ハクサンシヤクナゲ・ウスギシヤクナゲ (*R. brachycarpum* var. *nemotoanum*)

シンネマペスタロイデス枝枯病 *Synnemapestaloides-edagare-byo* *Synnemapestaloides* twig blight (先枯病)
Synnemapestaloides rhododendri T. Handa & Y. Harada
半田智一・原田幸雄:日植病報 69(1):27, 2003; Handa, T. *et al.*:Mycoscience 45:137, 2004
[備考] ハクサンシヤクナゲ (*R. brachycarpum* D. Don) に発生

立枯病 tachigare-byo Root rot
Verticillium sp.
小菅喜久弥:関東病虫研報 23:64, 1976
[備考] セイヨウシヤクナゲ

玉もち病 tama-mochi-byo Leaf gall (餅病, 玉餅病)
Exobasidium hemisphaericum Shirai
伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):51, 1955; 白井光太郎:植物学雑 10(113):229, 1896(明 29)
[備考] シヤクナゲ・ハクサンシヤクナゲ・シロバナシヤクナゲ・ヤクシマシヤクナゲ (*R. metternichii* var. *yakushimanum*)・ニイタカシヤクナゲ・ツクシヤクナゲ・ウスギシヤクナゲ・キバナシヤクナゲ

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum azaleae* Ellis & Everhart]
瀧元清透:花卉及温室作物の病害:134, 1939(昭 14); Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:5, 1977
[備考] シヤクナゲ・ヤクシマシヤクナゲ。完全世代 *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk はシヤクナゲ類では未記録

苗立枯病 nae-tachigare-byo Rhododendron damping-off

Pythium oedochilum Drechsler

築尾嘉章ら:日植病報 69(3):272, 2003

[備考] セイヨウシャクナゲに発生

根腐病 negusare-byo Phytophthora root rot

Phytophthora cinnamomi Rands

小泉信三ら:日植病報 44(1):87, 1978

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小林享夫:新版緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:67, 1983

[備考] 完全世代 *Botryotinia fuckeliana* (de Bary) Whetzel はシャクナゲ類では未記録

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis sydowiana (Bresàdola) B. Sutton [*Pestalotia sydowiana* Bresàdola, *Pestalotia macrotricha* Klebahn]

日野隆之:植研雑 41(4):122, 1966 ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:178, 1974 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992

芽枯病 megare-byo Bud blight

Pycnostysanus azaleae (Peck) E.W. Mason

Kaneko, S. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 54(3):323, 1988

[備考] ハクサンシャクナゲ(*R. brachycarpum*)

葉斑病 yohan-byo Leaf spot (斑点病, 葉紋病)

Pseudocercospora handelii (Bubák) Deighton [*Cercospora handelii* Bubák, *Cercospora* sp.]

小林享夫:森林防疫 23(6):112, 1974 ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:135, 1939(昭 14) ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

[備考] セイヨウシャクナゲ

†††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] 生産国不明

†††疫病 eki-byo Ramorum blight

Phytophthora ramorum Werres, De Cock & Man in 't Veld

後藤浩子ら:日植病報 82(1):27, 2016 ; Sakoda, T. *et al.*:Res. Bull. Plant Prot. Jpn 53:75, 2017

[備考] 英国から輸入されたセイヨウシャクナゲで, 検疫時に確認

†††植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの 1 種

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):310, 1960

[備考] 生産国イギリス

(2) *Rotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):310, 1960

[備考] 生産国イギリス

††††

Leptosphaeria rhododendri Hennings

山本昌木:日植病報 16(2):70, 1952

[備考] アズマシヤクナゲ

††††

Plectosphaera yakusimensis I. Hino & Katumoto

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 40(7):196, 1965

[備考] ヤクシマシヤクナゲ

ホツツジ

(Tripetaleia)

Tripetaleia paniculata Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Thekopsora tripetaleiae Hiratsuka, f.

平塚直秀:北大農紀要 21(1):23, 1927(昭 2) ; 澤田兼吉:林試研報 57:14, 1952

[備考] ミヤマホツツジ(*T. bracteata*)にも発生

††††うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Phyllactinia sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973

[備考] 病原菌の形態記載なく詳細は不明

シヤシヤンボ(南燭)

(Vaccinium)

Vaccinium bracteatum Thunb.

(広葉樹)

斑点病* hanten-byo Leaf spot

Mycosphaerella maculiformis (Persoon) J. Schröter [*Phyllosticta maculiformis* Saccardo]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):383, 1917(大 6)

斑紋病 hammon-byo

Cercospora vaccinii Katsuki & Tak. Kobayashi

小林享夫:森林防疫 23(6):111, 1974 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(1):3, 1975

斑葉病 han'yo-byo

Septoria vaccinii Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:541, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):173, 1904(明 37)

平もち病 hiramochi-byo Leaf blister

Exobasidium sp.

江塚昭典:日植病報 41(3):253, 1975

もち病* mochi-byo Leaf gall

Exobasidium vaccinii (Fuckel) Woronin
吉永虎馬:植物学雑誌 15(171):96, 1901(明 34)

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot
Cephaleuros virescens Kunze
江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956

スノキ類
(*Vaccinium*)
Vaccinium spp.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe vaccinii* Schweinitz

丹田誠之助:日菌報 47(2):33, 2006

[備考] 接種試験未了。ナツハゼ (*V. oldhamii* Miquel) に発生

(2) *Microsphaera wallrothii* U. Braun & Tanda [*Microsphaera alni* auct. Jap. non (Wallroth) Salmon]

我孫子和雄・萩原 廣:日菌報 21:267, 1980 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):226, 1988

[備考] ウスノキ・オオバスノキ

(3) *Podosphaera myrtillina* (Schubert) Kunze var. *myrtillina*

丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000

[備考] クロウスゴ (*V. ovalifolium* J. E. Smith) に発生

裏白もち病 urajiro-mochi-byo *Exobasidium* leaf blight

Exobasidium kishianum Nagao & Ezuka

長尾英幸ら:日植病報 68(1):58, 2002 ; Nagao, H. *et al.*:Mycoscience 47(5):277, 2006

[備考] ヒメウスノキ (*Vaccinium yatabei*)・ウスノキ (*V. hirtum* var. *pubescens*)・オオバスノキ(*V. smallii*)に発生。接種試験未了

褐斑病 kappan-byo *Corynespora* leaf spot

Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

梶谷裕二ら:日植病報 75(3):190, 2009

[備考] ナツハゼに発生

粉もち病 konamochi-byo

Exobasidium vaccinii-uliginosi Boudier

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):53, 1955 ; 江塚昭典:森林防疫 41(3):48, 1992

[備考] クロマメノキ(*V. uliginosum*)・クロウスゴ・エゾクロウスゴ(*V. chamissonis*)・オオバスノキ(*V. smallii*)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Naohidemyces fujisanensis* S. Sato, Katsuya & Y. Hiratsuka

Sato, S. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 34(1):54, 1993

[備考] ウスノキ・オオバスノキ・ヒメスノキ(*V. yatabei*)・クロミウスノキ(*V. nikkoense*)

(2) *Naohidemyces vaccinii* (Jørstad) S. Sato, Katsuya & Y. Hiratsuka (nom. inval.) [*Thekopsora vaccinii* (Jørstad) Hiratsuka, f., *Thekopsora hakkodensis* S. Ito & Hiratsuka, f.]

平塚直秀:北大農紀 21(1):19, 1927(昭 2) ; Hiratsuka, N.:Sydowia 12:369, 1958 ; Sato, S. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 34(1):48, 1993

[備考] クロマメノキ・コケモモ・ツルコケモモ・クロウスゴ・エゾクロウスゴ・アクシバ(*V. japonicum*)。

精子・さび孢子世代はコメツガ(*Tsuga diversifolia*), ツガ (*T. sieboldii*)に人工接種で葉さび病を起こす

平もち病 hiramochi-byo Leaf blister

(1) *Exobasidium bisporum* Sawada ex Ezuka

澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):97, 1950 ; 江塚昭典:日菌報 32(2):176, 1991

[備考] ナツハゼ (*V. oldhamii*)・クロウスゴ (*V. ovalifolium*) に発生

(2) *Exobasidium inconspicuum* Nagao & Ezuka [*Exobasidium* sp.]

江塚昭典:日菌報 32(2):176, 1991 ; Nagao, H. *et al.*:Mycoscience 47(5):277, 2006

[備考] ウスノキ (*V. hirtum* var. *pubescens*) に発生

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease

(1) *Pestalotiopsis breviseta* (Saccardo) Steyaert

山崎貞夫・小野義隆:茨大教育研報(自然科学) 37:33, 1988

[備考] *Vaccinium shei*

(2) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert [*Pestalotia versicolor* Spegazzini, *Pestalotiopsis versicolor* (Spegazzini) Steyaert]

日野隆之:採集と飼育 26(12):355, 1964

[備考] ナツハゼ

もち病 mochi-byo

Exobasidium vaccinii (Fuckel) Woronin

Hennings, P.:Engler's Bot. Jahrb. 32:38, 1902(明 35) ; 白井光太郎:日本菌類目録:34, 1905(明 38) ; 江塚昭典:森林防疫 41(3):48, 1992

[備考] コケモモ(*V. vitis-idaea*)・オオバスノキ・クロウスゴ・ナツハゼ・ウスノキ・エゾクロウスゴ・クロマメノキ・ツルコケモモ(*V. oxycoccus*)

すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

Irenopsis sinsuiensis W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 30:414, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。クスノハシヤシヤンボ (*Vaccinium candatifolium*)

††††

Exobasidium hexasporium Kusano

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:233, 1917 (大 6)

[備考] Kusano (草野俊助) による正式の記載は見あたらない。またその後の唯一の記録, 富樫・大沼(盛岡高農学術報 17:36, 1934) においても詳しい記載はない

ブルーベリー類

Blueberry

Vaccinium spp.

(果樹)

モザイク病 Mosaic disease

Blueberry mosaic associated virus (BIMaV)

Isogai, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 82(3):177, 2016

[備考] 戻し接種未了

赤色輪点病 sekishoku-rinten-byo Red ringspot

Blueberry red ringspot virus (BRRV) ブルーベリー赤色輪点ウイルス
磯貝雅道ら:日植病報 75(1):57, 2009 ; Isogai, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):140, 2009

アルターナリア葉枯病 *Alternaria-hagare-byo* Alternaria leaf spot
Alternaria alternata (Fries) Keissler
佐藤 創ら:日植病報 79(1):33, 2013
[備考] *Vaccinium corymbosum*, *V. virgatum*

枝枯病 *edagare-byo* Canker (先枯病)
Fusicoccum putrefaciens Shear
兼松聡子ら:日植病報 69(1):27, 2003
[備考] ブルーベリー・ハイブッシュ系とラビットアイ系品種に発生。病原菌の所属について検討を要する

環紋葉枯病 *kammon-hagare-byo* Zonate leaf spot
Cristulariella sp.
川口陽子ら:日植病報 71(1):49, 2005

菌核病 *kinkaku-byo* Sclerotinia rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
Umemoto, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 73(4):290, 2007
[備考] Highbush blueberry (*V. corymbosum* L.), Rabbiteye blueberry (*V. ashei* Reade) に発生

白紋羽病 *shiro-mompa-byo* White root rot
Rosellinia necatrix (Berlese) Prillieux
近藤賢一ら:日植病報 76(3):155, 2010
[備考] ブルーベリーに発生

すす点病 *susuten-byo* Fly speck
Zygothia jamaicensis E.W. Mason
那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):73, 1986

炭疽病 *tanso-byo* Anthracnose
(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]
Yoshida, S. & Tsukiboshi, T.:J. Gen. Plant Pathol. 68(3):246, 2002 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013
[備考] ハイブッシュブルーベリー(Highbush Blueberry, *V. corymbosum* L.) に発生
(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo
北澤 健ら:日植病報 76(1):67, 2010
(3) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa
三澤知央ら:日植病報 81(1):89, 2015

灰色かび病 *haiiro-kabi-byo* Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
長尾英幸ら:日植病報 68(1):66, 2002
[備考] ブルーベリー・ハイブッシュ系とラビットアイ系の品種に発生

斑点病 *hanten-byo* Leaf spot

Pestalotiopsis sp.

川合康充:関東病虫研報 40:135, 1993

[備考] ハイブッシュブルーベリー (*Vaccinium corymbosum*) に発生

バルデンシア葉枯病 *Valdensia*-hagare-byo *Valdensia* leaf blight

Valdensia heterodoxa Peyronel

猫塚修一ら:日植病報 73(3):180, 2007 ; Nekoduka, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(3):151, 2012

[備考] Highbush blueberry (*V. corymbosum* L.)

††††

(1) *Blueberry latent spherical virus* (BLSV) ブルーベリー小球形潜在ウイルス

Isogai, M. *et al.*:Arch. Virol. 157:297, 2012

(2) *Blueberry latent virus* (BBLV) ブルーベリー潜在ウイルス

磯貝雅道ら:日植病報 77(3):230, 2011

(3) *Blueberry virus A* (BVA) ブルーベリーA ウイルス

Isogai, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):123, 2013

コカノキ科 Erythroxylaceae

コカ

Coca, Cocainbush

Erythroxylum coca Lam.

(特用作物)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease (紅斑病)

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3)

[備考] 台湾。病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 を参照

††根褐腐病 ne-kappu-byo Brown root disease

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Cryptoderma lamaense* (Murrill) Imazeki]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:142, 1977

[備考] 病原菌の異名及び *Phellinus noxius* との関係についてはクスノキ†立枯病参照。学名は Heim, R.:Ann. Crypt. Exot. 7(1):21, 1934 を参照

トウダイグサ科 Euphorbiaceae

エノキグサ類
(Acalypha)
Acalypha spp.
(野草)

エノキグサ *A. australis* L.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera euphorbiae-hirtae (U. Braun & Somani) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca euphorbiae-hirtae* U. Braun & Somani]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:29, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

††††

Ageratum yellow vein virus (AYVV) カッコウアザミ葉脈黄化ウイルス

大貫正俊ら:日植病報 74(1):32, 2008

[備考] エノキグサに発生。RT-PCR による検出

アブラギリ(油桐)

Japanese tung-oil tree

Aleurites cordata (Thunb.) R. Br. ex Steud.

(特用作物)

シナアブラギリ(支那油桐) *Aleurites fordii* Hemsley

がんしゅ病 ganshu-byo

病原未詳

小川 隆:教育農芸 9:612, 1940(昭 15)

[備考] シナアブラギリ。患部より 1 種の細菌を分離するというが、実験的詳細なし

果実黒腐病 kajitsu-kurogusare-byo

Macrophoma sp.

安部卓爾・葉 貞聡:69 回日林講:350, 1959

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora aleuritis (I. Miyake) Deighton [*Mycosphaerella aleuritidis* (I. Miyake) S.H. Ou, *Cercospora aleuritis* I. Miyake, *Cercosporina aleuritis* (I. Miyake) Saccardo]

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 26(303):66, 1912(大 1); 内藤 喬:鹿児島高農学術報 15:34, 1949 ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Extra issue) 1:70, 1965

[備考] 完全世代国内未記録

実の乾腐病 mino-kampu-byo Dry rot of fruit

Phomopsis sp.

安部卓爾・葉 貞聡:西京大農学術報 8:89, 1956 ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:317, 1974

[備考] シナアブラギリ (*A. fordii*)

†角斑細菌病 kakuhan-saikin-byo Bacterial angular leaf spot

病原細菌種名未定

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:143, 1977

[備考] アメリカ。 *Pseudomonas aleuritidis* (McCulloch & Demaree) Stapp は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†すす病 susu-byo Sooty mold

Asterina punctiformis Lévillé

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(2):287, 1985

[備考] フィリピン。フィリピンアブラギリ (バギルンバン, *A. trisperma*)

†立枯病 tachigare-byo

病原未定

渡邊恒雄:日植病報 53(1):67, 1987

[備考] パラグアイ。ククイノキ (*A. moluccana*), 根系から *Fusarium* sp., *Diplodia* sp. 等が検出される

††根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:144, 1977

[備考] 国内未発生

††††

†*Cladobotryum aleuritidis* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :184, 1959

[備考] 台湾。アブラギリ

ヤマヒハツ

(*Antidesma*)

Antidesma japonicum Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

円星病 maruhoshi-byo Brown circular spot

Phoma sakishimensis Tak. Kobayashi & Y. Kawabe

小林享夫・河辺祐嗣:熱帯農業 36(3):204, 1992

[備考] 接種試験未了。コウトウヤマヒハツ(*A. pentandrum* var. *barbatum*)

アカギ

Javanese bishopwood

Bischofia javanica Bl.

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

すす病 susu-byo Sooty mold

Phaeosaccardinula penzigii (Saccardo) W. Yamamoto [*Limacinia penzigii* (Saccardo) Saccardo, *Limacinia penzigii* (Saccardo) Sawada, *Meliola penzigii* Saccardo]

山本和太郎:兵庫農大研報, 農生編 3(4):46, 1957

[備考] 台湾。病原菌の分類学的所属については検討を要する

立枯病 tachigare-byo

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Fomes lamaensis* (Murrill) Saccardo & Trotter] シマサルノコシカケ

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾菌調 4):86, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。病原菌および和名については検討を要する

円星病 maruhoshi-byo

Pestalotia bischoffiae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):84, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。病原菌の分類学的所属は再検討を要する

††††

†*Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow emend. W. Yamamoto

Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):169, 1956

[備考] 台湾

††††

†*Pseudocercospora bischoffiae* (Yamamoto) Deighton [*Cercospora bischoffiae* W. Yamamoto]

山本和太郎:札幌博物学会報 13:139, 1934(昭 9) ; Deighton, F. C.:Trans. Br. Mycol. Soc. 88(3):388, 1987

[備考] 台湾

オオシマコバンノキ

(Breynia)

Breynia rhamnoides Mull. -Arg.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Endophyllum emasculatum Arthur & Cummins [*Aecidium breyniae* sensu Hiratsuka, f. non Sydow & P. Sydow, *Aecidium securinegae* Sawada]

平塚直秀:植物学雑 54(641):166, 1940(昭 15) ; 平塚直秀:植物学雑 55(654):272, 1941(昭 16)

マルヤマカンコノキ

(Bridelia)

Bridelia glauca Bl. f. *balansae* (Tucht.) Hatusima

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Phakopsora formosana Sydow & P. Sydow

Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 8:44, 1961

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Phakopsora cingens (Sydow & P. Sydow) Hiratsuka [*Bubakia cingens* (Sydow & P. Sydow) S. Ito]

Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Bot. Mag. Tokyo 51(602):42, 1937(昭 12) ; 伊藤誠哉ら:2(2):149, 1938(昭 13)

[備考] 台湾。カンコモドキに発生

††††葉枯病 hagare-byo

†*Cercosporidium atrides* (H. Sydow & P. Sydow) Goh & W.H. Hsieh [*Cercospora atrides* Sydow & P. Sydow]

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):99, 1943(昭 18) ; Hsieh, W. H. & Goh, T. K.:*Cercospora* and similar fungi from Taiwan:115, 1990

[備考] 台湾。カンコモドキ (*B. monoica*)

††††

†*Tremella fuciformis* Berkeley シロキクラゲ

澤田兼吉:台湾博物学会報 24(131):128, 1934(昭 9)

[備考] 台湾

アメダマノキ

Star berry

Cicca acida Merr.

(特用作物)

†Rust

Caeoma sp.

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:104, 1988

[備考] フィリピン。病名未提案

クロトンノキ

Croton

Codiaeum variegatum (L.) Blume

(広葉樹)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum soraueriana* (Allescher) Hori]

堀 正太郎:園芸之友 9(10):885, 1913(大 2) ; 山本和太郎:植物防疫 14(2):50, 1960

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):309, 1960 ; Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop.

Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

†††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] 生産国不明

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):45, 1953

[備考] 台湾。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照

†幹心腐病 miki-shingusare-byo Stem heart rot (立枯病)

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim シマサルノコシカケ

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査報告 4):86, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。病原菌の異名はセンダン†幹心腐病参照

トウダイグサ類
Milkweed, Spurge
Euphorbia spp.
(野草)

トウダイグサ *E. helioscopia* L.

ニシキソウ *E. pseudochamaesyce* Fisch., Mey. & Lallem.

タカトウダイ *E. pekinensis* Rupr.

コニシキソウ *E. supina* Rafin.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera euphorbiae-helioscopiae (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca euphorbiae-helioscopiae* Tanda & Y. Nomura]

Tanda, S. and Nomura, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 27:17, 1986 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012

[備考] トウダイグサに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ニシキソウ・タカトウダイ・コニシキソウ

ポインセチア(ユーホルビア, ユーホルビア・フルゲンス)

Poinsettia

Euphorbia spp.

(草花)

ポインセチア *E. puicherrima* Willd.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Poinsettia mosaic virus (PnMV) ポインセチアモザイクウイルス

難波成任ら:日植病報 53(3):422, 1987

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

病原未確定

堀江博道ら:日植病報 72(4):208, 2006 ; 星 秀男ら:関東病虫研報 53:164, 2006
[備考] 接種試験未了

疫病 eki-byo Phytophthora blight
Phytophthora nicotianae Breda de Haan
神頭武嗣ら:日植病報 70(3):214, 2004

褐斑病 kappan-byo Leaf spot
Alternaria sp.
井上幸次ら:日植病報 70(3):216, 2004

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot, Damping-off (苗立枯病)
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
植松清次ら:関東病虫研報 40:85, 1993 ; 竹内 純・堀江博道:関東病虫研 44:183, 1997
[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA。 *Euphorbia fulgens*。植松ら(1993)は苗立枯病として報告した

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
(1) *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [*Colletotrichum capsici* (Sydow) E.J. Butler & Bisby]
佐藤豊三ら:日植病報 74(3):175, 2008 ; 佐藤豊三ら:四国植防 43:1, 2008 ; 佐藤豊三ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 49:351, 2015
(2) *Glomerella* sp.
神頭武嗣ら:関西病虫研報 51:123, 2009
[備考] 神頭ら(2009)は *Glomerella* sp.を斑点病の1病原としたが, 英名の Anthracnose に基づき本病の病原に移した

根腐病 negusare-byo Pythium root rot, Root rot
(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick
渡辺秀樹ら:日植病報 74(3):178, 2008
(2) *Pythium helicoides* Drechsler
三宅律幸ら:日植病報 78(3):183, 2012 ; Miyake, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(6):479, 2014
(3) *Pythium myriotylum* Drechsler
三宅律幸ら:日植病報 78(3):183, 2012 ; Miyake, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(6):479, 2014
(4) *Pythium* sp.
高鳥四郎ら:関東病虫研報 22:73, 1975

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
堀田治邦:日植病報 60(6):792, 1994

斑点病 hanten-byo Bract spot, Anthracnose
Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei
神頭武嗣ら:関西病虫研報 51:123, 2009
[備考] 神頭ら(2009)は *Glomerella* sp.を本病の1病原としたが, 英名の Anthracnose に基づき炭疽病の病原に移した

ほう枯病 hogare-byo (苞枯病)
Alternaria alternata (Fries) Keissler
中神喜郎・加藤喜重郎:植物防疫 29(11):457, 1975

円星病 maruhoshi-byo (圓星病)

Cercospora euphorbiae Fukui

福井武治:三重大学芸学部研究紀要 6:117, 1951

[備考] シラユキソウ (*E. mariginata*) に発生。接種試験未了。病原菌の分類学的所属については検討が必要

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

[備考] ショウジョウソウ (*Euphorbia heterophylla*) に発生

オキナワジンコウ

(Excoecaria)

Excoecaria agallocha L. var. *genuina* Muell.-Arg.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Skierka agallocha Raciborski

平塚直秀:植物学雑誌 54(646):373, 1940(昭 15) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:1031, 1992

カンコノキ

(Glochidion)

Glochidion obovatum Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Phakopsora glochidii* (P. Sydow & Sydow) Arthur [*Bubakia glochidii* Dietel, *Schroeteriaster glochidii* P. Sydow & Sydow]

藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:10, 1914(大 3); 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):350, 1919(大 8) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 2:21, 1955

[備考] カキバカンコノキ。台湾ではカンコノキ・キイルンカンコノキ(*G. lanceolatum*)・アカカンコ(*G. dasyphyllum*)にも記録

(2) *Phakopsora formosana* Sydow & P. Sydow [*Phakopsora innata* (Sydow, P. Sydow & Butler) Sawada, *Aecidium innatum* Sydow, P. Sydow & E.J. Butler]

藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:10, 1914(大 3); 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):348, 1919(大 8) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 2:21, 1955 ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:324, 1992

[備考] カキバカンコノキ・ヒラミカンコノキ(*G. fortunei*)・ウラジロカンコノキ・キイルンカンコノキにも発生。台湾ではケカンコノキ(*G. album*)にも記録

星形すす病 hoshigata-susu-byo

Asterina lobulifera Sydow & P. Sydow

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 32(1):37, 1991 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 2(2):36, 1956

[備考] カキバカンコノキ(*G. zeylanicum*)

円星病 maruhoshi-byo

Cercospora taihokuensis Sawada ex Goh & W.H. Hsieh

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):13, 1943(昭 18) ; 香月繁孝:植研雑 30:373, 1955 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):25, 1960 ; Hsieh, W. H. & Goh, T. K.:*Cercospora* and similar fungi from Taiwan:114, 1990

[備考] カキバカンコノキ

†裏淡すす病 ura-awasusu-byo

Pseudocercospora giranensis Goh & W.H. Hsieh [*Cercospora giranensis* Sawada nom. inval.]

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):170, 1943(昭 18) ; Goh, T. K. & Hsieh, W. H.:Trans. Mycol. Soc. R. O. C. 2(2):92, 1987

[備考] 台湾。ヒラミカンコノキ

†褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium acaciae Sawada

澤田兼吉:台湾農試特別報 2:101, 1911(明 44) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):410, 1919(大 8)

[備考] 台湾。ヒラミカンコノキにも発生

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brown sooty mold

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]

山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭 15) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):568, 1992

[備考] 台湾。カキバカンコノキ

†褐斑病 kappan-byo

Phyllosticta glochidii Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 8(35):49, 1918(大 8) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):526, 1919(大 8)

[備考] 台湾。カキバカンコノキ・ヒラミカンコノキにも発生

†黒毛さび病 kuro-kesabi-byo

Crossopsora sawadae (Sydow & P. Sydow) Arthur & Cummins [*Cronartium sawadai* Sydow & P. Sydow]

黒藤与三郎:台湾博物学会報 9:10, 1914(大 3) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):347, 1919(大 8) ; Hiratsuka, N.:J. Japan Bot. 14(1):34, 1938(昭 13)

[備考] 台湾。ケカンコノキ

†黒褐色すす病 kokukasshoku-susu-byo

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 21(4):168, 1956

[備考] 台湾。アカカンコ

†葉枯病 hagare-byo

Pseudocercospora glochidii (Sawada) Goh & Hsieh [*Cercospora glochidii* Sawada]

澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):670, 1919(大 8)

[備考] 台湾。カキバカンコノキ

††††

†*Gloeosporium glochidii* Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 6(24):78, 1916(大 5)

[備考] 台湾。ホンコンカンコノキ。病菌の分類学的所属は再検討を要する

††††

†*Meliola glochidiicola* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):19, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ウラジロカンコノキ

††††

†*Meliola kansireiensis* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):19, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ケカンコノキ

††††

†*Tremella fuciformis* Berkeley

澤田兼吉:台湾博物学会報 24:128, 1934(昭 9)

[備考] 台湾。ヒラミカンコノキ

パラゴムノキ

Para rubber tree

Hevea brasiliensis Muell. & Arg.

(特用作物)

†赤衣病* akagoromo-byo Pink disease (紅斑病)

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

栃内吉彦:農及園 17(9):1137, 1942(昭 17)

[備考] マレーシア。病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 を参照

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium heveae B.A. Steinmann

栃内吉彦:農及園 17(9):986, 1942(昭 17)

[備考] マレーシア

††枝枯病 edagare-byo

Thyridaria tarda C.K. Bancroft

栃内吉彦:農及園 17(8):990, 1942(昭 17)

†乾腐病 kampu-byo Stem rot

Ustilina zonata Léveillé

赤井重恭:東南アジア研究 5(4):723, 1968 ; 栃内吉彦:農及園 17(7):869, 1942(昭 17)

[備考] マレーシア

††黒腐病 kurogusare-byo Mouldy rot

Ceratocystis fimbriata Ellis & Halsted

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:148, 1977

††黒線病 kokusen-byo Black line disease (実腐病)

Phytophthora meadii McRae

栃内吉彦:農及園 17(7):867, 1942(昭 17)

††白糸病 shiroito-byo White thread blight

Cyphella heveae Massee

柄内吉彦:農及園 17(10):1253, 1942(昭 17)

††すす病* susu-byo Sooty mold

Meliola heveae Vincens

柄内吉彦:農及園 17(8):989, 1942(昭 17)

††赤色がんしゅ病 sekishoku-ganshu-byo Red gall disease (赤色癌腫病, 実腐病)

Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler [*Phytophthora faberi* Maublanc]

柄内吉彦:農及園 17(7):41, 1942(昭 17) ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:153, 1977

††炭疽病 tanso-byo Anthracnose (落葉病)

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum heveae* Petch, *Gloeosporium alborubrum* Petch, *Gloeosporium heveae* Petch]

柄内吉彦:農及園 17(10):1255, 1942(昭 17)

††南米葉枯病* nambei-hagare-byo South American leaf blight (葉枯病)

Dothidella ulei Hennings

柄内吉彦:農及園 17(8):989, 1942(昭 17) ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:146, 1977

†根褐腐病 ne-katsugusare-byo Brown root disease

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Cryptoderma lamaense* (Murrill) Imazeki]

柄内吉彦:農及園 17(9):1134, 1942(昭 17) ; 今関六也:科博研報 6:107, 1943(昭 18)

[備考] マレーシア。病原菌の異名及び *Phellinus noxius* との関係についてはクスノキ†立枯病参照。学名は Heim, R.:Ann. Crypt. Exot. 7(1):21, 1934 を参照

†根朽病 nekuchi-byo Root rot

Sphaerostilbe repens Berkeley & Broome

柄内吉彦:農及園 17(8):985, 1942(昭 17) ; 赤井重恭:東南アジア研究 5(4):723, 1968

[備考] マレーシア

†根湿腐病 ne-shitsugusare-byo Wet root disease

Ganoderma pseudoferreum (Wakefield) Overeem & B.A. Steinmann

柄内吉彦:農及園 17(9):1136, 1942(昭 17)

[備考] マレーシア

††根白腐病 ne-shirogusare-byo White root disease

Rigidoporus microporus (Fries) Overeem [*Rigidoporus lignosus* (Klotzsch) Imazeki, *Fomes lignosus* (Klotzsch) Cooke] ネットアイスルメタケ

柄内吉彦:農及園 17(9):1133, 1942(昭 17)

[備考] 病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):587, 1992 を参照

†葉枯病 hagare-byo

Phyllosticta heveae Zimmermann

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):150, 1943(昭 18) ; 柄内吉彦:農及園 17(10):1256, 1942(昭 17)

[備考] 台湾

††ペスタロチア病* *Pestalotia-byo* Pestalotia disease, Damping-off (苗木立枯病)

Pestalotiopsis palmarum (Cooke) Steyaert [*Pestalotia palmarum* Cooke]

栃内吉彦:農及園 17(10):1256, 1942(昭 10)

[備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):540, 1992 を参照

††ボトリオディプロディア胴枯病* *Botryodiplodia-dogare-byo* Die back

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

栃内吉彦:農及園 17(10):1254, 1942(昭 17)

[備考] マレーシア。病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):593, 1992 を参照

††紫紋羽病 *murasaki-mompa-byo* Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

栃内吉彦:農及園 17(10):1253, 1942(昭 17)

††††

††*Ascochyta heveae* Petch

栃内吉彦:農及園 17(10):1256, 1942(昭 17)

††††

Bipolaris heveae (Petch) J.J. Muchovej & R.M.C. Muchovej [*Helminthosporium heveae* Petch]

栃内吉彦:農及園 17(10):1257, 1942(昭 17) ; Muchovej, J. J. & Muchovej, R. M. C.:Mycotaxon 39:27, 1990

[備考] 英名は Bird's eyespot (Kevorkian, A. G.:Phytopathology 38:1025, 1948)

††††

††*Diaporthe heveae* Petch

栃内吉彦:農及園 17(8):990, 1942(昭 17)

††††

†*Fomes semitostus* Berkeley

澤田兼吉:台湾博物学会報 6(25):159, 1916(大 5)

[備考] マレーシア

††††

††*Guignardia heveae* Sydow & P. Sydow

栃内吉彦:農及園 17(8):990, 1942(昭 17)

††††

††*Phyllosticta ramicola* Petch

栃内吉彦:農及園 17(10):1256, 1942(昭 17)

††††

††*Septobasidium retiforme* (Berkely & M.A. Curtis) Patouillard

栃内吉彦:農及園 17(10):1253, 1942(昭 17)

テイキンザクラ

(*Jatropha*)

Jatropha integerrima Jacq.

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

オオバギ

(Macaranga)

Macaranga tanarius (L.) Muell.-Arg.

(広葉樹)

†裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew

Ovulariopsis macarangae Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報 49:44, 1930(昭 5); 澤田兼吉:台湾中研農業部報 61(台湾産菌類調査報告 6):88, 1931(昭 6); 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:92, 1977

[備考] 台湾

†葉枯病 hagare-byo

Pseudocercospora macarangae (Sydow & P. Sydow) Deighton [*Cercospora macarangae* Sydow & P. Sydow]

澤田兼吉:台湾中研農業部報 5(台湾産菌類調査報告 5):130, 1931(昭 6); Deighton, F. C.:Mycol. Pap. 140:47, 1976

[備考] 台湾

アカメガシワ(赤芽柏)

(Mallotus)

Mallotus japonicus (Thunb.) Muell.-Arg.

(広葉樹)

褐点細菌病 katten-saikin-byo Bacterial brown spot

Xanthomonas campestris pv. *malloti* Goto 1993

Goto, M.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 59(6):678, 1993; 畔上耕児・上原勝江:日植病報 59(6):720, 1993; 畔上耕児:森林防疫 43(12):229, 1994

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 斑点性細菌病)

Erwinia mallotivora Goto 1976

瀧元清透:病虫雑 17(8):513, 1930; Goto, M.:Intern. J. Syst. Bact. 26:467, 1976

[備考] 病名の異同については西山幸司:日本植物細菌病の病名と病原細菌の学名 p.91(1997)を参照

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

遠藤 茂:農業及園芸 8(6):1540, 1933(昭 8)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe cichoracearum* de Candolle

出田 新:続日本植物病理学(上):199, 1925(大 14); 藤黒與三郎:植物学雑 28(334):425, 1914(大 3)

(2) *Erysiphe malloti* Zhi X. Chen & R.X. Gao [*Erysiphe malloti* Y. Nomura & Tanda, *Erysiphe* sp.]

野村幸彦:日菌報 7(2-3):349, 1966 ; Nomura, Y. & Tanda, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(2):115, 1985 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):196, 1988

(3) *Microsphaera* sp.

平田幸治・和田久美子:菌草研報 10:491, 1973 ; 関 省吾・平田幸治:新潟農林研究 13:11, 1961

(4) *Oidium* sp.

野村幸彦:日菌報 17(3-4):340, 1976

[備考] 澤田兼吉 (台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):44, 1959) は台湾で *Oidium ellipticum* Sawada によるうどんこ病を報告した

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot

Cercospora malloti Ellis & Everhart

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):113, 1943(昭 18) ; 山本和太郎:台湾博物学会報 26(154):283, 1936(昭 11) ; 香月繁孝:植研雑 30(12):373, 1955

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Crossopora malloti* (Raciborski) Cummins

Katsuki, S.:Jour. Jap. Bot. 28(9):281, 1953

[備考] ヤンバルアカメガシワにも発生

(2) *Phakopsora malloti* Cummins [*Pucciniastrum malloti* Hiratsuka, f.]

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):100, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Bot. Mag. Tokyo 49(577):23, 1935(昭 10)

(3) *Uredo malloti* Hennings

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):143, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:1118, 1992

[備考] ヤンバルアカメガシワにも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

山本和太郎:日植病報 21(1):11, 1956

[備考] 病原菌の異名はボプラ類灰色こうやく病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:5, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

†裏すす病 ura-susu-byo (裏煤病)

Cercospora bakeriana Saccardo

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):117, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。ウラジロアカメガシワ (*Mallotus paniculatus*)。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照

†黒色ビロードすす病* kokushoku-birodo-susu-byo

Neocapnodium tanakae (Shirai & Hara) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):33, 1957

[備考] 台湾。ツルアカメガシワ (*M. repandus*)

†††黒褐色すす病* kokukasshoku-susu-byo Black sooty mold

†*Tripasporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):41, 1959

[備考] 台湾。ヤンバルアカメガシワ (*M. multigrandulosa*)。病原菌の異名はクチナシ†黒褐色すす病参照

†すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Asterina malloti* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):44, 1959

[備考] 台湾。ツルアカメガシワ

(2) *Balladynastrum malloti* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):25, 1959

[備考] 台湾。ヤンバルアカメガシワ

(3) *Dimerina citricola* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):37, 1959

[備考] 台湾。ヤンバルアカメガシワ

(4) *Irenina mallotica* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):415, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ウラジロアカメガシワにも発生

(5) *Irenina subapoda* (Sydow & P. Sydow) F. Stevens

山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):149, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。クスノハガシワ (*M. philippinensis*)

(6) *Scorias communis* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957

[備考] 台湾

キャッサバ

Cassava, Tapioca

Manihot utilissima Pohl

(特用作物)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

††モザイク病 mosaic-byo Mosaic

ウイルス (未同定)

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:232, 1977

†青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas*

solanacearum (Smith) Smith]

西山幸司ら:日植病報 47(1):92, 1981 ; Nishiyama, K. *et al.*:Cont. Cent. Res. Inst. Agric. Bogor No.59:1, 1980
[備考] インドネシア

†††葉枯細菌病* hagare-saikin-byo Bacterial blight (萎凋細菌病, 細菌性萎凋病)

†*Xanthomonas axonopodis* pv. *manihotis* (Bondar 1915) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacillus manihotis* Berthet & Bondar 1915, *Xanthomonas campestris* pv. *manihotis* (Berthet & Bondar 1915) Dye 1978]
Tominaga, T. *et al.*:Cont. Cent. Res. Inst. Agric. Bogor No. 38:1, 1978 ; Nishiyama, K. *et al.*:Cont. Cent. Res. Inst. Agric. Bogor No.59:1, 1980 ; 西山幸司ら:日植病報 47(1):92, 1981
[備考] インドネシア

††斑葉細菌病 han'yo-saikin-byo Bacterial spot

Pantoea agglomerans (Beijerinck 1888) Gavini, Mergaert, Beji, Mielcarek, Izard, Kersters & De Ley 1989 [*Erwinia cassavae* (Hansford 1938) Burkholder 1948, *Bacterium cassavae* Hansford 1938, *Erwinia herbicola* (Löhnis 1911) Dye 1964]
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:236, 1977

††うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium manihotis Hennings

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:233, 1977

††乾腐病 kampu-byo Peduncle rot, Lasiodiplodia stem rot

(1) †††*Lasiodiplodia parva* Phillips, Alves & Crous

本蔵洋一ら:植防研報 50:53, 2014

(2) ††*Lasiodiplodia theobromae* (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard, *Diplodia natalensis* Pole Evans]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:231, 1977

(3) ††*Phomopsis manihotica* Viégas

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:231, 1977

††さび病 sabi-byo Rust

Uromyces manihotis Hennings

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:236, 1977

†白絹病 shirakinu-byo

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:植物学雑 26(305):134, 1912(大 1)

[備考] 台湾。病原菌の異名はイネ白絹病参照

††そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma manihotica Bitancourt & Jenkins

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:233, 1977

†炭疽病* tanso-byo Anthracnose*

†*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum manihotica* Sawada, *Colletotrichum manihotis* Hennings]

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11]:171, 1959 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:231, 1977

[備考] 台湾で発生。病原菌の学名は von Arx. J.A.:Phytopath. Z. 29: 413, 1957 を参照

††白色斑点病 hakushoku-hanten-byo White leaf spot

Cercospora caribaea Chupp & Ciferri

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:231, 1977

†斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercosporidium henningsii (Allescher) Deighton [*Cercospora henningsii* Allescher, *Cercospora cassavae* Ellis & Everhart]

川上瀧弥・鈴木力治:台湾農事報 1:37, 1908(明 41); Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC (熱帯農研) 11:32, 1978 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(1):9, 1986

[備考] 台湾, ブラジル, フィリピン。セアラゴムノキ (*M. glaziovii*) にも発生

††腐敗病 fuhai-byo

Diplodia cacaoicola Hennings

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:40, 1939(昭 14)

[備考] 生産地ハワイ, ブラジル

††††

†*Guignardia manihotica* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :59, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Irpex lacteus* Fries

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :106, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Macrophoma cassavae* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :147, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Phoma manihotina* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :130, 1959

[備考] 台湾

コバンノキ(小判木)

(*Phyllanthus*)

Phyllanthus flexuosus (Sieb. & Zucc.) Muell.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe phyllanthi (U. Braun & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera phyllanthi* Tanda & U. Braun, *Microsphaera* sp.]

高松 進ら:日菌報 19(1):69, 1978 ; Tanda, S. & Braun, U.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3):317, 1985 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):220, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium phyllanthi Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):29, 1905(明 38)

†さび病* sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Phakopsora phyllanthi* Dietel

Lohsomboon, P. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(1):58, 1984

[備考] タイ。アメダマノキ (*Cicca acida*)

(2) *Ravenelia brevispora* Hiratsuka, f. & Hashioka

Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Bot. Mag. Tokyo 49(584):522, 1935(昭 10)

[備考] 台湾。タイワンコバンノキ

†褐すす病 kassusu-byo

Cercospora phyllanthi Chupp [*Cercospora phyllanthi* Sawada]

澤田兼吉:台湾博物学会報 33(233):30, 1943(昭 18) ; 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):223, 1959

[備考] 台湾。タイワンコバンノキ (*Phyllanthus reticulatus*)・キダチコミカンソウ

コミカンソウ類

(*Phyllanthus*)

Phyllanthus spp.

(野草)

コミカンソウ *Phyllanthus urinaria* L.

ヒメミカンソウ *Phyllanthus ussuriensis* Rupr. & Maxim.

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] コミカンソウに発生。本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ヒメミカンソウ

ヒマ(トウゴマ, 蓖麻)

Castor bean

Ricinus communis L.

(特用作物)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith, *Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

小川正行:台湾農事報 36(6):511, 1940(昭 15) ; 権藤道夫・深津量栄:日植病報 13:60, 1948

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 斑点性細菌病)

Xanthomonas axonopodis pv. *ricini* (Yoshii & Takikmoto 1928) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995

[*Xanthomonas ricinicola* (Elliott) Dowson, *Bacterium ricini* Yoshii & Takimoto, *Xanthomonas ricini* (Yoshii & Takimoto) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *ricini* (Yoshii & Takimoto 1928) Dye 1978]

吉井 甫・瀧元清透:病虫雑 15(1):12, 1928(昭 3) ; 中田覺五郎:作物病害図編:196, 1934(昭 9)

疫病 eki-byo Seedling blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur, *Phytophthora formosana* Sawada]

中田覺五郎:作物病害図編:188, 1934(昭 9) ; 桂 琦一:植物の疫病:85, 1971

褐斑病 kappan-byo White leaf spot (斑点病)

Cercospora ricinella Saccardo & Berlese

瀧元清透:朝鮮農会報 13(10):29, 1918(大 7) ; 福井武治:病虫雑 5(10):808, 1918(大 7)

立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt (黒腐病)

Fusarium ricini (Berkeley) Bizzozzero

岩垂 悟:病虫雑 23(12):934, 1936(昭 11) ; 小川正行:台湾農事報 36(6):512, 1940(昭 15)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella ricini Hemmi & Matuo [*Gloeosporium ricini* Maublanc]

逸見武雄・松尾卓見:農及園 19(10):891, 1944(昭 19) ; 渡邊龍雄:工芸作物病学:106, 1948

[備考] 本病菌の子のう時代を *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk, 分生孢子時代を *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960)

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Alternaria ricini (Yoshii) Hansford [*Macrosporium ricini* Yoshii]

吉井 甫:九大農学芸雑誌 3(4):327, 1919(昭 4)

斑点病 hanten-byo Leaf spot (褐斑病)

Phyllosticta ricini Rostrup

明日山秀文:日植病報 8(2):167, 1938(昭 13) ; 逸見武雄・松尾卓見:京大植病特別報告 8:54, 1954

葉斑病 yohan-byo Leaf spot

Mycosphaerella ricinicola (Spegazzini) Hemmi & Matuo [*Ascochyta ricinella* Saccardo & Scalia]

松尾卓見:日植病報 13(1-2):62, 1948 ; 松尾卓見:信州大織学報 3:7, 1953

†菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

小川正行:台湾農事報 36:513, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。病原菌の異名はナタネ菌核病参照

†さび病 sabi-byo Rust (銹病, 黒銹病)

Melampsora ricini Passerini

藤黒與三郎:台湾農事報 66:9, 1912(明 45)

[備考] 台湾

†白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

小川正行:台湾農事報 36(6):509, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

†苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (苗枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

小川正行:台湾農事報 36:511, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。病原菌の異名はワタ腰折病参照

†灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (腐敗病)

Botrytis cinerea Persoon

小川正行:台湾農事報 36:517, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

†葉疫病 ha-eki-byo

Phytophthora formosana Sawada

澤田兼吉:台湾農事報 38:253, 1942(昭 17)

[備考] 台湾

シラキ(白木)

(Sapium)

Sapium japonicum (Sieb. & Zucc.) Pax & K. Hoffm.

(広葉樹)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:5, 1949

[備考] 病原菌の異名はボブラ類紫紋羽病参照

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

ナンキンハゼ(南京黄櫨)

Chinese tallow tree

Sapium sebiferum (L.) Roxb.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

本間善久:四国植防研究 14:53, 1979

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:136, 1960

黒色角斑病 kokushoku-kakuhan-byo

Stigmina sapii (J. Miyake) M.B. Ellis [*Helminthosporium sapii* I. Miyake, *Cercospora micromera* Sydow]

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):122, 1943(昭 18); 小林享夫ら:森林防疫 39(7):141, 1990;
Kobayashi, T. & Onuki, M.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 28:166, 1996

幹心腐病 miki-shingusare-byo Stem heart rot

Lenzites betulina (Linnaeus) Fries カイガラタケ

安田 篤:植物学雑 35(412):93, 1921(大 10)

[備考] 病原菌の異名はブナ幹心腐病参照

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

陳野好之・真宮靖治:森林防疫 25(9):128, 1976

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

陳野好之・真宮靖治:森林防疫 25(9):128, 1976

†裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, うどんこ病)

Phyllactinia corylea (Persoon) P. Karsten [*Phyllactinia sapii* Sawada]

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:92, 1977 ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報 49:53, 81, 1930(昭 5)

[備考] 台湾

†角斑病 kakuhan-byo

Cercospora sapii-sebiferi Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):121, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

††††

†*Helminthosporium sapii* I. Miyake

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 26(303):64, 1912(大元)

[備考] 中国

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

ヒトツバハギ

(*Securinega*)

Securinega suffruticosa var. *japonica* (Muell. Arg.) Hurusawa

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe securinegae (F.L. Tai & C.T. Wei) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera securinegae* F.L. Tai & C.T. Wei, *Microsphaera euphorbiae* sensu Salmon non (Peck) Berkeley & M.A. Curtis]

Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:391, 1937(12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):210, 1988 ; 高松進:三重大生資紀要 38:60, 2012

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Nothoravenelia japonica Dietel

Dietel, P.:Ann. Mycol. 8:304, 1910(明 43) ; 出田 新:日本植物病理学(下):586, 1911(明 44) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):55, 1950

††††

Pseudocercospora securinegae (Togashi & Katsuki) Deighton [*Cercospora securinegae* Togashi & Katsuki]

香月繁孝:日植病報 17:7, 1952 ; Katsuki, S.:Trans Mycol. Soc. Japan (Extra Issue) 1:32, 1965

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

フサザクラ科 Eupteleaceae

フサザクラ(総桜)

(Euptelea)

Euptelea polyandra Siebold & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Phyllactinia eupteleae* U. Braun & S. Takamatsu [*Phyllactinia guttata* (Wallroth) Léveillé]

Tanda, S. *et al.*: J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):268, 1995 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:27, 2012

(2) *Phyllactinia* sp.

平田幸治・和田久美子: 菌草研報 10:487, 1973 ; 野村幸彦: 日菌報 7(2-3):349, 1966

褐斑病 kappan-byo

Cercospora eupteleae Togashi & Katsuki

山本和太郎・前田巳之助: 兵庫農大研報農生編 4(2):56, 1960 ; Togashi, K. & Katsuki, S.: Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):21, 1952

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.: Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:4, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

††††

Sphaerulina eupetaleae Hara

原 攝祐: 病虫雑 5(9):729, 1918(大 7)

マメ科 Fabaceae, Leguminosae

ソウシジュ(相思樹)

Taiwan acacia

Acacia confusa Merr.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Atelocauda hyalospora (Sawada) Y. Ono [*Poliotelium hyalosporum* (Sawada) Mains, *Uromyces hyalosporus* Sawada, *Maravalia hyalospora* (Sawada) Dietel]

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):353, 1919(大 8) ; 澤田兼吉:台湾農事報 72:1, 1912(大元) ; Ono, Y.:Mycologia 76(5):909, 1984

南根腐病 minami-negusare-byo

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham

小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; Abe, Y. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:台湾農事報 80:3, 1913 ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照

†褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo

Septobasidium acaciae Sawada

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):410, 1919(大 9) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 2:101, 1911(明 44)

[備考] 台湾

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3), 259, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照

†かわらたけ病* kawaratake-byo

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ

澤田兼吉:台湾博物学会報 25(142):235, 1935(昭 10)

[備考] 台湾。病原菌の異名はポプラ類かわらたけ病参照

†こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

澤田兼吉:台湾博物学会報 24(135):450, 1934(昭 9)

[備考] 台湾。病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参照

†すす病* susu-byo Sooty mold (小すす病)

Meliola koea F. Stevens [*Meliola acaciae-confusae* Sawada]

澤田兼吉:台湾中研農報 51(台湾産菌類調査報告 5):16, 1931(昭 6) ; 山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):154, 1940(昭 15) ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan. 26(3):290, 1985

[備考] 台湾

†根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

(1) *Abortiporus biennis* (Bulliard) Singer [*Daedalea biennis* (Bulliard) Fries, *Polyporus rufescens* Persoon] ニ
クウチワタケ

澤田兼吉:台湾博物学会報 25(141):178, 1935(昭 10)

[備考] 台湾

(2) *Ganoderma lucidum* (Leysser) P. Karsten オオマンネンタケ

澤田兼吉:台湾博物学会報 24(134):302, 1934(昭 9)

[備考] 台湾

†円星病 maruhoshi-byo

Cercospora acaciae-confusae Sawada

澤田兼吉:台湾中研農報 35(台湾産菌類調査報告 4):105, 1928(昭 3)

[備考] 台湾

†幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Pycnoporus coccineus (Fries) Bondartsev & Singer [*Trametes sanguinea* (Linnaeus) Lloyd] ヒヒロタケ

澤田兼吉:台湾博物学会報 25(136/139):42, 1935(昭 10)

[備考] 台湾。病原菌の異名はシデ類幹心腐病参照

†幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

Trametes hirsuta (Wulfen) Pilát [*Coriolus hirsutus* (Wulfen) Quélet] アラゲカワラタケ

澤田兼吉:台湾農試報 83(台湾産菌類調査報告 7):88, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。病原菌の異名はハンノキ類幹辺材腐朽病参照

††††

†*Daldinia concentrica* (Bolton) Cesati & De Notaris チャコブタケ

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):77, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Sphaerostilbe coccophila* Tulasne

澤田兼吉:台湾博物学会報 5(20):15, 1915(大 4)

[備考] 台湾。ナガカイガラムシに寄生

キンゴウカン(金合歡)

Sweet acacia

Acacia farnesiana Willd.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust

Uredo leucaenae-glaucæ Hiratsuka, f. & Hashioka

澤田兼吉:台湾農試報 83(台湾産菌類調査報告 7):66, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5:242, 1935(昭 10) ; Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 8:114, 1961

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Ravenelia formosana Sydow & P. Sydow [*Hapl原因elia formosana* (Sydow & P. Sydow) S. Ito]

澤田兼吉:台湾中研農業報 35(台湾産菌類調査報告 4):71, 1928(昭 3) ; 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:7,

1914(大 3)
[備考] 台湾

アカシア類
(Acacia)
Acacia spp.
(広葉樹)

ミモザアカシア Silver wattle *Acacia dealbata* Link
モリシマアカシア Black wattle *Acacia mearnsii* De Wild.
メラノキシロンアカシア Blackwood *Acacia melanoxylon* R. Br.
カマバアカシア *A. auriculiformis* A. Cunn. ex Benth.
アカシア・マンギューム *A. mangium* Willd.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.

高松 進ら:日植病報 68(1):78, 2002

[備考] *Pseudoidium* 亜属。カマバアカシア, アカシア・マンギュームに発生。接種試験未了。小林享夫ら(熱帯農研集報 43:193, 1982), 田中 潔(森林防疫 35(2):22, 1986) はタイ, フィリピンで *Oidium* sp.によるカマバアカシア・*A. mangium* のうどんこ病を報告した。北島君三(樹病学及木材腐朽論:256:1933) は *Erysiphe polygoni* de Candolle によるうどんこ病を紹介したが, 国内発生に疑問。調査を要する

がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo Nectria canker

Nectria galligena Bresàdola

原 攝祐:果樹病害論:79, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類がんしゅ病参照

茎枯病* kukigare-byo Stem canker (立枯病)

Calonectria kyotensis Terashita [*Cylindrocladium floridanum* Sobers & C.P. Seymour, *Cylindrocladium scoparium* Morgan]

Terashita, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8(3):124, 1968 ; 堂園安生・中山伊勲:日林九支講 20:169, 1966

[備考] フサアカシア・メラノキシロンアカシア・モリシマアカシア

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

北島君三:樹病学及木材腐朽論:256, 1933(昭 8)

さめ肌胴枯病 samehada-dogare-byo

Botryosphaeria sp.

小河誠司・小林享夫:森林防疫 26(6):91, 1977

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Physalospora acaciae* Kaz. Ito & Shibukawa, *Glomerella acaciae* (Kaz. Ito & Shibukawa) W. Yamamoto & Kaz. Ito, *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

伊藤一雄・渋川浩三:64 回日林講:237, 1955 ; 伊藤一雄・渋川浩三:林試研報 92:51, 1956 ; 寺下隆喜代:林試研報 155:1, 1963 ; 陳野好之:日林東北支誌 34:114, 1982

[備考] フサアカシア・モリシマアカシア・メラノキシロンアカシアに発生。陣野 (1982) はインドネシアのカマバアカシアに本病を確認

ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart チャイボタケ

伊藤一雄:図説樹病診断法:65, 1968

[備考] モリシマアカシア

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Cylindrocladium scoparium* Morgan

寺下隆喜代:森林防疫ニュース 10(5):100, 1961

[備考] フサアカシア

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal (苗根腐病)

寺下隆喜代:森林防疫ニュース 10(5):100, 1961

†苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

陳野好之:森林防疫 32(7):122, 1983

[備考] インドネシア。カマバアカシア (*A. auriculiformis*)。病原菌は他に *Fusarium* spp. がある

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot (Charcoal rot)

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidànich

佐藤邦彦・庄司次男:林試研報 111:52, 1959

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類微粒菌核病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

(4) *Rotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):155, 1959; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961;

橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961

[備考] Saigusa (1961)はヤナギバアカシア(*A. neriifolia*)、他はフサアカシア・モリシマアカシア

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Atelocauda hyalospora (Sawada) Y. Ono [*Poliotelium hyalosporum* (Sawada) Mains]

陳野好之:日林東北支誌 34:115, 1982

[備考] インドネシア。カマバアカシア

†すす病 susu-byo Sooty mold

Meliola koeae F. Stevens [*Meliola acaciae-confusae* Sawada]

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3):290, 1985

[備考] フィリピン。カマバアカシア

†胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker

Diaporthe eres Nitschke

小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(10):177, 1986

[備考] フィリピン。カマバアカシア

†ボトリオディプロディア胴枯病 *Botryodiplodia*-dogare-byo Botryodiplodia canker

Botryodiplodia theobromae Patouillard

小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(10):175, 1986

[備考] フィリピン。*Acacia mangium*

††††

Calonectria kyotensis Terashita [*Cylindrocladium scoparium* Morgan]

Terashita, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8(3):124, 1968

††††

Calonectria reteaudii (Bugnicourt) C. Booth [*Calonectria hederæ* G. Arnaud ex Booth & Murray]

Terashita, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(3):113, 1969

[備考] フサアカシア

††††

Cylindrocladium camelliae Venkataramani & C.S.Venkata Ram

Terashita, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(3):15, 1969

[備考] フサアカシア

††††

††*Phyllosticta pollaccii* A. Agostini

北島君三:樹病学及木材腐朽論:256, 1933(昭8)

[備考] 国内発生に疑問。調査を要する

クサネム

Indian jointvetch

Aeschynomene indica L.

(野草)

白絹病 shirakinu-byo Southern bligh

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:九病虫研会報 61:38, 2015

モルッカネム(モルッカソウ)

Albizzia

Albizia falcataria (L.) Fosberg

(広葉樹)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

小林享夫:熱帯林業 50:26, 1978

[備考] フィリピン。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照

†黄葉病 oyo-byo Yellow leaf disease

Camptomeris albizziae (Petch) E.W. Mason [*Exosporium albizziae* Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 19(4):375, 1987 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:126, 1988

[備考] フィリピン

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove f. *truncatum* (Schweinitz) Arx

陳野好之:日林東北支誌 34:114, 1982 ; 陳野好之:森林防疫 32(7):123, 1983

[備考] インドネシア

(2) *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [*Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove f. *truncatum* (Schweinitz) Arx]

陳野好之:日林東北支誌 34:114, 1982 ; Kobayashi, T. & Jinno, Y.:J. Jap. For. Soc. 66(3):113, 1984

[備考] インドネシア

†胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker

Phomopsis mendax (Saccardo) Traverso

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:196, 1988

[備考] フィリピン。病原菌は *Diaporthe eres* Nitschke の不完全世代とされた

†苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

小林享夫:熱帯林業 50:26, 1978 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:149, 1988

[備考] フィリピン

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

小林享夫:熱帯林業 50:26, 1978 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:149, 1988

[備考] フィリピン

†ボトリオディプロディア胴枯病 *Botryodiplodia*-dogare-byo Botryodiplodia canker

Botryodiplodia theobromae Patouillard

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:196, 1988

[備考] フィリピン

†植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

(3) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

ネムノキ(合歡木)
Silktree
Albizia julibrissin Durazz.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

佐藤幸生:富山技術短大研報 13:110, 1980

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):232, 1959 ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:97, 1974

[備考] 病原菌の異名はモクマオウくもの巣病参照

黒粒病 kurotsubu-byo

Nitschkia cupularis (Persoon) P. Karsten

安田 篤:植物学雑 31(362):41, 1917(大 6)

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 紅斑性癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962

さび病 sabi-byo Rust (傘形銹病, 銹病)

Ravenelia japonica Dietel & P. Sydow [*Haplorationia japonica* (Dietel & P. Sydow) Sydow]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:311, 1910(明 43) ; 西田藤次:植物学雑 16(190):273, 1902(明 35) ;

Kakishima, M. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):189, 1987

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす点病 susuten-byo Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫ら:日植病報 51(3):324, 1985

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Gibberella baccata* (Wallroth) Saccardo [*Fusarium lateritium* Nees]

[備考] 病原菌の異名はニセアカシア枝枯病参照

(2) *Neocosmospora vasinfecta* E.F. Smith

西門義一・山内己酉:日植病報 6(2):180, 1936(昭 11) ; 笠井幹夫:鉄道院官房研業研資料 23(13):1, 1935(昭 10) ; 松尾卓見・佐藤邦彦:日菌報 3:120, 1962

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidànich

伊藤一雄:図説樹病新講:78, 1962

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類微粒菌核病参照

べっこうたけ病* bekkotake-byo Butt rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタケ

逸見武雄・赤井重恭:日植病報 9(4):199, 1939(昭 14) ; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989

[備考] 病原菌の異名はカシ類べっこうたけ病参照

††萎凋病 icho-byo Mimosa wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. *perniciosum* (Hepting) Snyder

伊藤一雄:樹木の耐病性:174, 1959

††††

Camptomeris albizziae (Petch) E.W. Mason [*Heterosporium albizziae* (Petch) N. Naito]

Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:51, 1940(昭 15) ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:127, 1988

††††

Heterosporium albizziae (Petch) N. Naito

Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:51, 1940(昭 15)

††††

Hypocrea splendens W. Phillips & Plowright [*Fusarium splendens* Matuo & Takah. Kobayashi]

松尾卓見・小林享夫:日菌報 2(4):13, 1960

††††

†*Ravenelia sessilis* Berkeley

Lohsomboon, P. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(3):226, 1988

[備考] タイ。ニオイネムノキ (*A. odoratissima*)

ビルマネム

Lebbek

Albizia lebbeck (L.) Benth.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Sphaerophragmium acaciae (Cooke) Magnus

藤黒與三郎:病虫雑 6(7):518, 1919(大 8);藤黒與三郎:植物学雑 32(384):358, 1918(大 7);Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 8:64, 1961

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 (1):266, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照

†こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

澤田兼吉:台湾博物学会報 24(135):450, 1934(昭 9)

[備考] 台湾。病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参照

†根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot (立枯病)

(1) *Ganoderma lucidum* (Leysser) P. Karsten オオマンネンタケ

澤田兼吉:台湾博物学会報 24(134):302, 1934(昭9)

[備考] 台湾

(2) *Rigidoporus lineatus* (Persoon) Ryvarden [*Rigidoporus zonalis* (Berkeley) Imazeki] スルメタケ

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):110, 1959 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:695, 1987

[備考] 台湾。病原菌の異名はキリ根株心腐病参照

†葉枯病 hagare-byo

Phoma lebbek Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業報 51(台湾産菌類調査報告 5):102, 1931(昭6)

[備考] 台湾

††††

†*Sphaerophragmium luzonicum* H.S. Yates

Lohsomboon, P. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(3):231, 1988

[備考] タイ

イタチハギ

Indigo-bush

Amorpha fruticosa L.

(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

広間勝巳:植物防疫 40(12):581, 1986

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp. (*Erysiphe polygoni* 型)

高松 進ら:日菌報 19(1):68, 1978

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk

伊藤一雄・紺谷修治:林試研報 54:45, 1952 ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:97, 1974

[備考] 病原菌の異名はモクマオウくもの巣病参照

白絹病 shirakinu-byo Rolf's blight, Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:8, 1960

[備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

伊藤一雄・紺谷修治:林試集報 60:82, 1951

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard

浜 武人:森林防疫ニュース 10(6):121, 1961

[備考] 病原菌の異名はボプラ類灰色こうやく病参照

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

(1) *Macrosporium* sp.

伊藤一雄:森林防疫ニュース 7(6):110, 1958

(2) *Epicoccum* sp.

伊藤一雄:森林防疫ニュース 7(6):110, 1958

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:9, 1960

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

++++**褐斑細菌病** kappan-saikin-byo

病原細菌種名不明

伊藤一雄:森林防疫ニュース 7(6):110, 1958

[備考] 調査を要する

++++

Passalora passaloroides (G. Winter) U. Braun & Crous

Nakashima, C. *et al.*:Mycoscience 47:48, 2006

[備考] 接種試験未了

ヤブマメ類
(Amphicarpaea)
Amphicarpaea spp.
(野草)

ヤブマメ *Amphicarpaea bracteata* (L.) Fern. subsp. *edgeworthii* (Benth.) Ohashi var. *japonica* (Oliv.) Ohashi

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe glycines F.L. Tai emend. Zheng var. *glycines* [*Erysiphe polygoni* de Candolle, *Erysiphe pisi* auct. non de Candolle sensu Homma pro parte]

白井光太郎:改訂増補日本菌類目録第2版:225, 1917(大6); 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):201, 1988

[備考] ヤブマメに発生。ヤブハギ, ケヤブハギ, ヌスビトハギ, マルバナヌスビトハギ, ケハギにも発生するとされる (大谷 1988)

さび病* sabi-byo Rust

Cerotelium tanakae S. Ito & Homma

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:308, 1992

[備考] ヤブマメ

ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生)

Peanut

Arachis hypogaea L.

(食用作物)

萎縮病 ishuku-byo Stunt

Peanut stunt virus (PSV) ラッカセイ矮化ウイルス

飯塚典男・柚木利文:日植病報 42(3):377, 1976 ; 夏秋啓子ら:日植病報 47(1):137, 1981

えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic stunt

Peanut mottle virus (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス

夏秋啓子ら:日植病報 47(1):137, 1981

斑紋病 hammon-byo Mottle

Peanut mottle virus (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス

井上忠男:日植病報 33(5):338, 1967

斑葉病 han'yo-byo Stripe

Bean common mosaic virus (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス [Peanut stripe virus#]

大木 理ら:日植病報 55(1):72, 1989 ; 仙北俊弘・亀谷満朗:関東病虫研報 37:57, 1990

[備考] 渡邊龍雄 (熱帯の果樹と作物の病害:250, 1977) は *Cercospora sphaerioides* Spegazzini var. *multisepta* Spegazzini による斑葉病 (Leaf spot) を紹介した

輪紋モザイク病 rimmon-mosaic-byo Ring spot

Turnip mosaic virus (TuMV) カブモザイクウイルス

井上忠男・井上成信:農学研究 50:51, 1964

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

新海 昭:琉球政府経済局特別報告(甘藷天狗巢病の虫媒伝染に関する研究):22, 1964 ; 新海 昭:日植病報 35(5):388, 1969

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

鑄方末彦:食用作物病学(上):273, 1949

大菌核病 o-kinkaku-byo Large sclerotinia rot (菌核病, 大粒菌核病)

Sclerotinia miyabeana Hanzawa

半澤 洵:宮部記念植物学集説:213, 1912(大 1) ; 出田 新:続日本植物病理学(上):164, 1923(大 12)

汚斑病 ohan-byo

Ascochyta sp.

鍵渡徳次:日植病報 23(1):17, 1958 ; 鍵渡徳次:植物防疫 21(7):262, 1967

褐斑病 kappan-byo Brown Leaf spot (斑点病)

Mycosphaerella arachidis Deighton [*Mycosphaerella arachidicola* W.A. Jenkins, *Cercospora arachidicola* Hori]

堀 正太郎:大正 6 年農商務省農試業務功程:26, 1919(大 8) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾菌類調査報告 2):143, 1922(大 11)

[備考] 完全世代はわが国では未記録

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot (立枯病)

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard, *Diplodia natalensis* Pole Evans]

明日山秀文・山中 達:日植病報 16(2):89, 1952 ; 明日山秀文・山中 達:日植病報 18(1-2):28, 1953

黒かび病 kurokabi-byo Crown rot, Foot rot (黒黴病, すそ腐病)

Aspergillus niger Tieghem

鈴木孝仁・牧野秋雄:日植病報 45(4):530, 1979 ; 鈴木孝仁・牧野秋雄:日植病報 46(1):46, 1980

黒渋病 kuroshibu-byo Leaf spot (黒斑病, 斑点病)

Mycosphaerella berkeleyi W.A. Jenkins [*Cercosporidium personatum* (Berkeley & M.A. Curtis) Deighton, *Cercospora personata* (Berkeley & M.A. Curtis) Ellis & Everhart]

園 孝治郎:農事雑報 135:55, 1909(明 42) ; 堀 正太郎:大正 6 年農商務省農試業務功程:26, 1919(大 8)

黒根腐病 kuro-negusare-byo Peg, pod and root necrosis

Calonectria ilicicola Boedijn & Reitsma [*Calonectria crotalariae* (Loos) D.K. Bell & Sobers, *Cylindrocladium crotalariae* D.K. Bell & Sobers]

御園生 尹:植物防疫 27(2):77, 1973

小菌核病 ko-kinkaku-byo Small sclerotinia rot (菌核病)

Botryotinia arachidis (Hanzawa) W. Yamamoto [*Sclerotinia arachidis* Hanzawa]

半澤 洵:宮部記念植物学集説:213, 1912(大 1) ; 出田 新:続日本植物病理学(上):162, 1923(大 12) ; 関沢 博:日植病報 38(3):193, 1972

さび斑病 sabihan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

古川聡子・岸 國平:日植病報 68(1):65, 2002

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia arachidis Spegazzini

新須利則・前川政男:九病虫研会報 17:25, 1971

英褐斑病 saya-kappan-byo

Rhizoctonia sp.

鬼木正臣・荒木隆男:日植病報 48(1):84, 1982

[備考] 菌糸融合群 AG-A, AG-G, 2 核の *Rhizoctonia* 属菌

白絹病 shirakinu-byo Southern blight (萎凋病, 菌核病)

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

吉田末彦:病虫雑 4(7):546, 1917(大 6)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:指定試験(病虫害) 3:5, 1963

そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma arachidis Bitancourt & Jenkins

根岸寛光ら:日植病報 43(1):121, 1977

根腐病 negusare-byo Root rot

Cylindrocladium floridanum Sobers & C.P. Seymour

生越 明・石井良助:日植病報 34(3):168, 1968 ; 生越 明:農技研報 C 24:153, 1970 ; 野中福次ら:佐賀大農学
彙報 35:51, 1973

[備考] 本病菌は初め *Cylindrocladium scoparium* Morgan とされたが, のちに上記のように訂正された

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

澤田兼吉:林試研報 105:83, 1958

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

木村重兵衛:病虫雑 1(3):46, 1914(大 3)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrophurus* sp. リュウキュウイシュクセンチュウ

照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979

(2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 根瘤病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964 ; 小宮書之助・工藤 馨:関東
病虫研報 11:97, 1964

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:農及園 30(8):1030, 1955 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

†ウイルス病 virus-byo

(1) *Peanut mottle virus* (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス

(2) *Tomato spotted wilt virus* (TSWV) トマト黄化えそウイルス

福本文良ら:日植病報 49(1):81, 1983

[備考] タイ

††立枯病 tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(2) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum* [*Pythium ultimum* Trow]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:252, 1977

[備考] 病原菌 (1) の分類学的検討を要する。(2) の学名は Plaats-Niterink, J.A. van der:Stud. Mycol. 21:164,
1981 を参照

††††

Leptosphaerulina arachidicola W.Y. Yen & K.T. Huang

勝本 謙:植研雑 39(12):363, 1964

††††

Neocosmospora vasinfecta E.F. Smith

御園生 尹:植物防疫 27(2):81, 1973

キバナオウギ

Milk vetch, *Astragalus*

Astragalus membranaceus Bunge

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo

Erysiphe pisi de Candolle

福田達男ら:日植病報 56(1):148, 1990

茎腐病 kukigusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

福田達男ら:日植病報 56(1):148, 1990

[備考] 菌糸融合群 AG-4

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces punctatus J. Schröter

福田達男ら:日植病報 53(3):386, 1987

白絹病 shirakinu-byo

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

福田達男ら:日植病報 56(1):148, 1990

レンゲ

(ゲンゲ, 紫雲英, 蓮華草)

Milk vetch

Astragalus sinicus L.

(牧草・芝草)

萎縮病 ishuku-byo Dwarf

(1) *Milk vetch dwarf virus* (MDV) レンゲ萎縮ウイルス

ト蔵梅之丞:病虫雑 2(6):555, 1915(大 4); 松浦 義・堀野正雄:東北農業 4(5-6):235, 1951; 日野稔彦ら:農学研究 52(1):1, 1968

[備考] ソラマメ, エンドウに発生すれば萎黄病 (Yellow dwarf) を起こす

(2) *Bean common mosaic virus* (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス [*Cowpea aphid-borne mosaic virus*, *Asparagus bean mosaic virus*]

斉藤 正:北陸農試報告 5:18, 1963

モザイク病 mosaic-byo

White clover mosaic virus (WCIMV) シロクローバモザイクウイルス

夏秋啓子ら:日植病報 49(3):406, 1983

黒斑病 kokuhan-byo (細菌性黒斑病)

病原細菌種名未定

瀧元清透:病虫雑 17(11):728, 1930(昭 5)

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas astragali* (Takimoto) Sávulescu は、国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe astragali de Candolle [*Microsphaera astragali* (de Candolle) Trevisan de Saint-Léon]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):165, 1919(大 8); 本間ヤス:北大農紀 38(3):425, 1937(昭 12); 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012

[備考] 最近, *Microsphaera trifolii* によるレンゲうどんこ病の発生が認められる

汚斑病 ohan-byo

Cladosporium astragali Yamamoto, Iwayama & Saito

山本義彦ら:紫雲英の一新病害汚斑病に就て(富山農試):1, 1930(昭 5)

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo *Pythium* snow blight

(1) *Pythium iwayamai* S. Ito

(2) *Pythium paddicum* Hirane

(3) *Pythium* sp.

末次 勲ら:農及園 27(10):1139, 1952; 平根誠一:新潟農試彙報 3:27, 1953; 飯田 格・鈴木幸雄:北陸農業研究 3(2):51, 1958

褐斑病 kappan-byo

Cercospora astragali Woronichin

富樫浩吾・香月繁孝:Sci. Rept. Yokohama Nat. Univ. Sect. II, 1:1, 1952; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):45, 1960; 斉藤 正:北陸農試報告 5:11, 1963

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* root rot and crown rot

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

堀 正太郎:農事試報 18:17, 1901(明 34); 松浦 義:紫雲英菌核病に関する研究 1(山形農試):1, 1946

茎枯病 kukigare-byo

Ascochyta sp.

斉藤 正:北陸農試報告 5:17, 1963; 西原夏樹:農林水産研究文献解題 8:28, 1981

黒点病* kokuten-byo Black spot

Camptomeris astragali E.A. Bessey

Bessey, E. A.:Pap. Mich. Acad. Sci. 40:3, 1955

[備考] 吉井 甫が鹿児島で採集した標本により Bessey が同定。病名は吉井が提案

こぶ病 kobu-byo Wart (結癭病)

Urophlyctis trifolii (Passerini) Magnus

原 攝祐:病虫雑 7(4):198, 1920(大 9); 明日山秀文ら:微生物学ハンドブック:347, 1957

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces punctatus J. Schröter [*Uromyces astragali* Saccardo]

斉藤 正:日植病報 21(2-3):122, 1956; 斉藤 正:北陸農試報告 5:7, 1963; 平塚直秀:菌蕈研報 10:49, 1973

立枯病 tachigare-byo Damping-off (根腐病)

Pythium spinosum Sawada

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 5(1):13, 1961

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

斉藤 正:北陸農試報告 5:16, 1963 ; 西原夏樹:農林水産研究文献解題 8:7, 1981

白粉病 hakufun-byo White leaf spot (白斑病)

Tuberculina nomuriana Saccardo

堀 正太郎:農業世界 2(2):62, 1907(明 40) ; 出田 新:日本植物病理学(下):778, 1911(明 44)

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Stemphylium astragali (Yoshii) Yoshii [*Thyrospora astragali* Yoshii]

吉井 甫:病虫雑 16(9):533, 1929(昭 4) ; 中田覺五郎:改著作物病害図編:644, 1957 ; 山本和太郎:日菌報 2(5):92, 1960

[備考] 本病菌の子のう世代 *Pleospora* sp. が確認されているが, その種名は未決定 (西原夏樹:日植病報 25(1):50, 1960)

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora sp.

斉藤 正:北陸病虫研報 8:89, 1960 ; 斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960

[備考] 木場三朗 (作物病害の診断と防除:241, 1952) は *P. trifoliorum* de Bary をあげている。検討を要する

いや地病 iyachi-byo Soil-sickness (弥地病, 忌地病)

原因不明

堀 正太郎:農業世界 6(5):56, 1911(明 44)

ヨウテイボク

Mountain ebony

Bauhinia racemosa Lam.

(広葉樹)

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne, *Hypochnus cucumeris* A.B. Frank]

澤田兼吉:台湾農事報 49:12, 1910(明 43) ; 遠藤 茂:宮崎高農学術報 10:62, 1938(昭 13)

[備考] *Bauhinia* sp.

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ (キコロシサルノコシカケ)

澤田兼吉:台湾博物学会報 24(135):456, 1934(昭9) ; 小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; Abe, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995

†環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (輪紋病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Sclerotium cinnamomi* Sawada]

澤田兼吉:台湾博物学会報 32(230):339, 1942(昭 17)

[備考] 台湾

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)

Phyllachora bauhiniae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):6, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。キクカボク (*B. purpurea*)

†すす病 susu-byo Sooty mold

Meliola bauhiniicola W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):225, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。キクカボク

††††

†*Cercospora bauhiniae* Sydow & P. Sydow

Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC. Bull. 11:51, 1978

[備考] ブラジル。 *Bauhinia variegata*

ジャケツイバラ

(*Caesalpina*)

Caesalpina japonica Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病)

Phyllactinia guttata (Wallroth) Léveillé [*Phyllactinia corylea* sensu Homma non (Persoon) Karsten]

南部信方:病害雑 8(4):200, 1921(大 10) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):402, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988

†黒いぼ病 kuroibo-byo (黒疣病)

Cladosporium caesalpiniae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):91, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。ナンテンカズラ (*Caesalpina nuga*)

キマメ

Pigeon pea

Cajanus cajan Millsp.

(広葉樹)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uromyces dolicholi Arthur [*Uredo cajani* Sydow & P. Sydow]

藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:11, 1914(大 3) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査報告 4):80, 1928(昭 3) ; 平塚直秀:植物学雑 55(654):269, 1941(昭 16)

[備考] 台湾

††††

†*Dendryphion cajani* Sawada

澤田兼吉:台湾大農専刊 8(台湾産菌類調査報告 11):199, 1959 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):556, 1992

[備考] 台湾

ファイヤーボール(アカバナブラッシマメ)
(Calliandra)
Calliandra haematocephala Hassk.
(広葉樹)

†ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease
Pestalotiopsis langloisii (Guba) Tak. Kobayashi & E.D. Guzmán
Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:166, 1988
[備考] フィリピン

ナタマメ(刀豆)
Sword bean
Canavalia gladiata DC.
(食用作物)

疫病 eki-byo *Phytophthora* rot
Phytophthora canavaliae Hara
原 攝祐:実験作物病理学:848, 1930(昭 5)
[備考] 有性器官の記載がなく、新種の学名を付けるには適当でない。遊走子のうと厚膜胞子の形態は
Phytophthora palmivora (Butler) Butler に近い (桂 琦一:植物の疫病:39, 1971)

褐斑病 kappan-byo
Stenella canavaliae (Sydow & P. Sydow) Deighton [*Cercospora canavaliae* Sydow & P. Sydow]
山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):48, 1960
[備考] ハマナタマメにも発生

ムレスズメ(群雀, 金雀花)
Chinese pea tree
Caragana sinica (Buc'hoz) Rehder
(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)
Uromyces laburni (de Candolle) G.H. Otth [*Uromyces caraganicola* Hennings, *Uromyces genistae-tinctoriae*
(Persoon) G. Winter]
吉永虎馬:植物学雑 16(179):7, 1902(明 35); 白井光太郎:日本菌類目録 107, 1905(明 38); Hiratsuka, N.:Rept.
Tottori Mycol. Inst. Japan 10:45, 1973
[備考] コムレスズメ(*C. rosea*)にも発生

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Microsphaera caraganae Magnus
Sato, Y. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(3):185, 1988
[備考] 中国

ナンバンサイカチ
Golden shower
Cassia fistula L.
(広葉樹)

††††

Pseudocercospora cassiae-fistulae Goh & W.H. Hsieh
Nakashima, C.:Mycoscience 45:116, 2004
[備考] 接種試験未了

タガヤサン(鉄刀木)
Rosewood
Cassia siamea Lam.
(広葉樹)

†すす病 susu-byo Black mildew
Meliola aethiops Saccardo
山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):149, 1940(昭 15)
[備考] 台湾

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Gloeosporium siameae Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):80, 1943(昭 18)
[備考] 台湾

†葉枯病 hagare-byo
Phyllosticta siameae Sawada
澤田兼吉:台湾農事報 38(10):776, 1942(昭 17)
[備考] 台湾

††††

†*Cercospora nigricans* Cooke
澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):221, 1959
[備考] 台湾。 *C. torosa*

センナ類
Oriental senna
Cassia spp.
(特用作物)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 37:47, 1995
[備考] エビスクサモドキ (*Cassia tora* L.) に発生

†枝枯病 edagare-byo Die back
(1) *Diatrypella favacea* (Fries) Cesati & De Notaris

(2) *Valsa kitajimana* Tak. Kobayashi
Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:175, 1988
[備考] フィリピン。イエローシャワー (*Cassia fruticosa*)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Ravenelia berkeleyi* Mundkur & Thirumalachar
Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:172, 1988
[備考] フィリピン。マラカツライ (*C. multijuga*)

(2) *Uredo cossiae-glaucæ* Sydow
Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):242, 1935(昭 10)
[備考] 台湾。モクセンナ (*C. glauca*)

カワラケツメイ類

(*Cassia*)

Cassia spp.

(野草)

カワラケツメイ *Cassia mimosoides* L. subsp. *nomame* (Sieb.) Ohashi

エビスグサ *Cassia tora* L.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

[備考] カワラケツメイ・エビスグサ

ハナズオウ(紫荊)

Juda's tree, Redbud

Cercis chinensis Bunge

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

丹田誠之助:東農大農学集報 43(3):173, 1997

枝枯病 edagare-byo Twig blight

Diplodia cercidis-chinensis Togashi & Tsukamoto

Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17(3-4):122, 1953

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot (斑点病)

Pseudocercospora chionea (Ellis & Everhart) X.J. Liu & Y.L. Guo [*Cercospora chionea* Ellis & Everhart, *Cercospora cercidis* Y. Nisikado]

西門義一・大島俊市:農学研究 36:411, 1944(昭 19) ; Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):19, 1952 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Phaeosphaerella japonica Shirai & Hara

原 攝祐:樹病学各論:113, 1923(大 12) ; Shirai, K. & Hara, K.:Bot. Mag. Tokyo 25(290):72, 1911(明 44)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:5, 1949

[備考] アメリカハナズオウ(*C. canadensis*)。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

++++斑点病 hanten-byo

++*Cercospora cercidicola* Ellis

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):49, 1960 ; 香月繁孝:福岡県経済部学術報告 1:6, 1949

[備考] 国内発生に疑問。調査を要する

+ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease (褐紋病)

Pestalotia siliquastri Thümen

伊藤一雄:樹病学大系 3:178, 1974 ; 西門義一・大島俊市:農学研究 36:414, 1944(昭 19)

[備考] 中国

++++

Gloeosporium sp.

安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:134, 1973

++++

Mycosphaerella nipponica Hara

原 攝祐:病虫雑 5(6):461, 1918(大 7)

フジキ(白槐)

(*Cladrastis*)

Cladrastis platycarpa (Maxim.) Makino

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uromyces shikokianus Kusano [*Aecidium sophorae* Kusano]

Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 18(203):5, 1904(明 37) ; Hiratsuka, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 10:42, 1973

[備考] ユクノキ(*C. shikokiana*)にも発生

デザートピー(スチュアートピー)

Desert pea, Sturt's desert pea

Clianthus formosus (G. Don) Ford & Vickery

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999

黒根病 kurone-byo Black root rot

Chalara elegans Nag Raj & W.B. Kendrick

奈尾雅浩:四国植防 36:19, 2001

クロタラリア
Crotalaria
Crotalaria spp.
(特用作物)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) ソラマメウルトウイルス 2

小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

(2) *Broad bean wilt virus*#

小室康雄・岩木満朗:日植病報 34(1):7, 1968 ; 與良 清ら:日植病報 35(2):122, 1969 ; 松本純一ら:日植病報 62(3):324, 1996 ; 大木 理ら:関西病虫研報 40:103, 1998

[備考] *Crotalaria juncea*, *C. lanceolata*, *C. sessiliflora*, *C. spectabilis* に発生

(3) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

小室康雄・岩木満朗:日植病報 34(1):7, 1968 ; 松本純一ら:日植病報 62(3):324, 1996 ; 大木 理ら:関西病虫研報 40:103, 1998

[備考] *Crotalaria juncea*, *C. pallida* に発生

(4) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

山本孝猷・大畑貫一:四国植防 11:127, 1976

[備考] *Crotalaria* sp. に発生

萎凋病 *icho-byo* Wilt

Fusarium sp.

水野はるか ら:日植病報 74(1):82, 2008

疫病 *eki-byo* *Phytophthora* rot

Phytophthora drechsleri Tucker

田村美佳ら:日植病報 80(4):240, 2014

[備考] *C. spectabilis* で発生

エニシダ(金雀枝)
Scotch broom
Cytisus scoparius (L.) Link
(広葉樹)

疫病 *eki-byo* *Phytophthora* disease

Phytophthora megasperma Drechsler [*Phytophthora* sp.]

那須英夫ら:日植病報 46(1):87, 1979 ; 那須英夫ら:近畿中国農研 74:32, 1987

褐斑病 *kappan-byo* Brown leaf spot

Pleiochaeta setosa (Kirchner) S. Hughes [*Ceratophorum setosum* Kirchner]

逸見武雄:札幌博物学会報 7(2):116, 1919(大 8)

褐変病 *kappen-byo* *Cylindrocladium* disease (苗立枯病, シリンドロクラジウム病)

Cylindrocladium scoparium Morgan

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):233, 1959 ; 寺下隆喜代・伊藤一雄:林試研報 87:33, 1956

炭疽病 *tanso-byo* Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk
高橋 晃ら:日植病報 59(1):99, 1993

帯化病* taika-byo
生理障害
久内清孝:植研雑 5(8):301, 1928(昭 3)

††††
Calonectria reteaudii (Bugnicourt) C. Booth [*Calonectria hederæ* G. Arnaud ex Booth & Murray]
Terashita, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(3):113, 1969

††††
Pseudocercospora nogalesii (Urries) U. Braun & M.A. Dick
Nakashima, C. *et al.*:Mycoscience 47:48, 2006
[備考] 接種試験未了

シタン
KerANJI, Kralanh, Xoay
Dalbergia cochinchinensis Pierre
(広葉樹)

†**黒やに病** kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)
Phyllachora sp.
田中 潔:森林防疫 35(2):23, 1986
[備考] タイ

シツソノキ
Sissoo, Zigzag-rosewood
Dalbergia sissoo Roxb.
(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)
Maravalia achroa (Sydow) Arthur & Cummins [*Uromyces achroa* Sydow & P. Sydow]
Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 14(1):34, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 1:16, 1954 ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:352, 1992

†**環紋葉枯病*** kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (白葉枯病)
Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Sclerotium cinnamomi* Sawada]
伊藤武夫:森林防疫ニュース 10(9):178, 1961
[備考] 台湾

††††
†*Phyllosticta sissooicola* Sawada
澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):143, 1959
[備考] 台湾

ホウオウボク
Royal poinciana
Delonix regia (Bojer) Raf.
(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot
Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ)
小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; Abe, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995

††††
†*Ganoderma lucidum* (Leysser) P. Karsten オオマンネンタケ
澤田兼吉:台湾博物学会報 24(134):302, 1934(昭9)
[備考] 台湾

††††
†*Ganoderma tropicum* (Junghuhn) Bresàdola ネットアイマンネンタケ
澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 7):108, 1942(昭17)
[備考] 台湾

トバ(デリス)
Tuba
Derris elliptica Benth.
(特用作物)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)
(1) *Hapalophragmium derridis* Sydow & P. Sydow
Hiratsuka, N.:Sci. Bull. Agric. & Home Econ. Div. Univ. Ryukyus 7:224, 1960
(2) *Uredo derridicola* Arthur & Cummins
Harada, Y. & Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(4):409, 1981

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne javanica (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

††††
†*Hapalophragmium derridis* Sydow & P. Sydow
Lohsomboon, P. & Kakishima, M.:Trans. Mycol Soc. Japan 29:230, 1988
[備考] タイ

ヌスビトハギ
Desmodium
Desmodium racemosum (Thunb.) DC.
(野草)

網黒点病 ami-kokuten-byo
Parodiella hedysari (Schweinitz) S. Hughes [*Parodiella perisporioides* (Berkeley & M.A. Curtis) Spegazzini,
Parodiella puncta auct. Jap. non (Cooke) Saccardo]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:378, 1910(明 43); 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):581, 1992

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe glycines F.L. Tai emend. Zheng var. *glycines* [*Erysiphe pisi* sensu Homma non de Candolle]

丹田誠之助ら:東農大農学集報 22(1):15, 1977; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):201, 1988

[備考] マルバヌスビトハギ(*D. racemosum* var. *villosum*)・ケヤブハギ(*D. racemosum* var. *dilatatum*)・ヤブハギ(*D. racemosum* var. *mandshuricum*)にも発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo desmodii-pulchelli P. Sydow & Sydow

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):138, 1943(昭 18); Hiratsuka, N.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 7:280, 1960

[備考] ミソナオシ(*D. caudatum*)。台湾ではウチワツナギ(*D. pulchellum*)・タデハギモドキ(*D. pseudotriquetrum*)に発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:九病虫研会報 61:38, 2015

††††

Helminthosporium desmodii Togashi & Katsuki

香月繁孝:植研雑 30(12):372, 1955

[備考] シバハギ (*Desmodium heterocarpum*)。病菌の分類学的所属については再検討を要する

††††

†*Meliola desmodii* P. Karsten & Roumeguère

澤田兼吉:台湾大農専刊 8(台湾菌調 11):32, 1959

[備考] 台湾。 *D. gangeticum*

††††

†*Meliola heterocephala* Sydow & P. Sydow

山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):153, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。ホソミハギ (*D. laxiflorum*)

††††

†*Stomiopeltella desmodii* Sawada

澤田兼吉:台湾大農専刊 8(台湾産菌類調査報告 11):42, 1959

[備考] 台湾。 *D. laburifolium* に発生

セイボ(エリスリナ)

Ceibo

Erythrina crista-galli L.

(広葉樹)

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)

Phyllachora sp.

小林享夫:森林防疫 33(12):212, 1984

[備考] パラグアイ

†††炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo
小林享夫:森林防疫 33(12):212, 1984

デイゴ(梯梧)
East indian coral tree
Erythrina variegata L. var. *orientalis* (L.) Merr.
(広葉樹)

裏角斑病 ura-kakuhan-byo
Stagonospora erythrinae F. Stevens & P.A. Young [*Stagonospora erythrinae* Sawada]
澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):113, 1942(昭 17) ; 小林享夫ら:日植病報 56(1):96, 1990 ; Kobayashi, T. & Onuki, M.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 28:164, 1990

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo
Kobayashi, T. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 56(3):378, 1990

南根腐病 minami-negusare-byo
Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ)
河辺祐嗣・宇杉富雄:日植病報 57(1):84, 1991 ; Abe, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995 ; 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

†根株心腐病 nekabu-shingusare-byo Butt rot
Daedalea dickinsii Yasuda [*Trametes dickinsii* Berkeley] ホウロクタケ
澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11:113, 1959
[備考] 台湾

††††
Exosporium mexicanum (Ellis & Everhart) M.B. Ellis
Ono, Y. & Kobayashi, T.:Mycoscience 46:352, 2005
[備考] 接種試験未了

††††
Fusarium sp. (the *Fusarium solani* species complex)
黒田慶子ら:日植病報 83(3):192, 2017
[備考] 衰退枯死。*F. solani* 種複合体の clade 3 に属する。病名未提案

サイカチ
Japanese honey locust
Gleditsia japonica Miq.
(広葉樹)

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease
Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]
堀 正太郎:病虫雑 5(4):333, 1918(大 7)

灰色こやく病* haiiro-koyaku-byo Gray flet disease (膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

堀 正太郎:病蟲害雑誌 5(5):333, 1918(大 7)

[備考] 接種試験未了。病原菌の形態の記述なし

べっこうたけ病 bekkotake-byo Root rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden ベッコウタケ

池本三郎:森林防疫 42(2):26, 1997

[備考] 接種試験未了

メキシコライラック

Mexican lilac

Gliricidia sepium (Jacq.) H.B.K.

(広葉樹)

††††

†*Cercospora gliricidiae* Sydow & P. Sydow

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 351:130, 1988

[備考] フィリピン

††††

†*Hypocrea schweinitzii* (Fries) Saccardo

土居祥兌:科博研報 15(4):740, 1972

[備考] マレーシア。 *Gliricidia maculata* に発生

ダイズ(大豆)

Soybean

Glycine max (L.) Merr.

(食用作物)

萎縮病 ishuku-byo Stunt

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス [Soybean stunt virus#]

越水幸男・飯塚典男:日植病報 23(1):27, 1958 ; 高橋幸吉ら:日植病報 36(5):374, 1970 ; 飯塚典男・柚木利文:北日本病虫研報 25:29, 1974 ; Hanada, K. & Tochiara, H.:Phytopathology 72(7):761, 1982

ウイルス病 virus-byo

(1) *Southern bean mosaic virus* (SBMV) インゲンマメ南部モザイクウイルス

飯塚典男:植物防疫 28:471, 1974

(2) *Peanut stunt virus* (PSV) ラッカセイ矮化ウイルス

飯塚典男・柚木利文:東北農試報告 47:1, 1974

(3) *Bean common mosaic virus* (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス [Azuki bean mosaic virus#, Blackeye cowpea mosaic virus#, Peanut stripe virus#]

飯塚典男・柚木利文:北日本病虫研報 27:72, 1976 ; 大木 理ら:日植病報 50(3):441, 1984 ; 松本純一・大木理:日植病報 58(1):134, 1992

(4) *Broad bean wilt virus* #

大木 理ら:日植病報 50(3):441, 1984

†ウイルス病 virus-byo

(1) *Indonesian soybean dwarf virus*

岩木満朗ら:日植病報 50(1):86, 1984

[備考] タイ

(2) *Peanut mottle virus* (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス

岩木満朗ら:日植病報 50(1):86, 1984

[備考] タイ

(3) *Black gram mottle virus*

本田要八郎ら:日植病報 48(3):391, 1982

[備考] タイ

縮葉モザイク病* shukuyo-mosaic-byo Leaf rugose mosaic

Soybean leaf rugose mosaic virus (SbLRMV) ダイズ縮葉モザイクウイルス

黒田智久ら:日植病報 74(3):223, 2008 ; Kuroda, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 76(6):382, 2010

退緑斑紋ウイルス病 tairyoku-hammon-virus-byo

Soybean chlorotic mottle virus (SbCMV) ダイズ退緑斑紋ウイルス

岩木満朗ら:日植病報 48(3):390, 1982

斑紋病 hammon-byo Soybean fleck

Tobacco rattle virus (TRV) タバコ茎えそウイルス

塩川啓子ら:日植病報 44(1):100, 1978

微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mosaic

Soybean mild mosaic virus# (SMMV) ダイズ微斑モザイクウイルス [Soybean chlorotic spot virus#]

高橋幸吉ら:日植病報 35(2):120, 1969

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

越水幸男・飯塚典男:東北農試報告 27:1, 1963

(2) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

越水幸男・飯塚典男:東北農試報告 27:1, 1963

(3) *Soybean mosaic virus* (SMV) ダイズモザイクウイルス

吉井 甫ら:朝鮮勸業模範場彙報 7:21, 1927(昭2) ; 越水幸男・飯塚典男:東北農試報告 27:1, 1963

わい化病 waika-byo Dwarf (矮化病)

(1) *Soybean dwarf virus* (SbDV) ダイズ矮化ウイルス

玉田哲男ら:日植病報 34(5):368, 1968 ; 土居養二ら:日植病報 34(5):375, 1968 ; 玉田哲男ら:日植病報 35(4):282, 1969

(2) *Milk vetch dwarf virus* (MDV) レンゲ萎縮ウイルス

浅田重義ら:日植病報 49(1):114, 1983

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

新海 昭:琉球政府経済局特別報告(甘藷天狗巢病の虫媒伝染に関する研究):22, 1964 ; 新海 昭:日植病報 35(5):388, 1969

葉焼病 hayake-byo Bacterial pustule (小斑点病, 小斑点性葉焼病, 細菌性斑点病, 発疹性細菌病)

Xanthomonas axonopodis pv. *glycinea* (Nakano 1919) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Pseudomonas glycines* Nakano, *Xanthomonas campestris* pv. *glycinea* (Nakano 1919) Dye 1978]

中野勝喜:病虫雑 6(3):217, 1919(大 8) ; 西山幸司ら:日植病報 49(1):130, 1983

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial blight (斑点性細菌病, 細菌性斑点病, 小斑点病, 立枯細菌病, 立枯性細菌病)

Pseudomonas savastanoi pv. *glycinea* (Coerper 1919) Gardan, Bollet, Abu Ghorrah, Grimont & Grimont 1992 [*Bacterium sojae* var. *japonica* Takimoto, *Pseudomonas syringae* pv. *glycinea* (Coerper 1919) Young, Dye & Wilkie 1978]

瀧元清透:病虫雑 8(5):237, 1921(大 10) ; 瀧元清透:病虫雑 14(10):559, 1927(昭 2) ; 西山幸司ら:日植病報 49(3):414, 1983

赤かび病 akakabi-byo Fusarium blight, Fusarium pod-rot (赤黴病)

(1) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link]

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

原 攝祐:農業国 12(7), 1918(大 7) ; 松尾卓見・桜井善雄:日植病報 27(5):246, 1962

萎凋病 icho-byo

Verticillium dahliae Klebahn

諏訪澄長ら:日植病報 50(3):391, 1984

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe glycines* F.L. Tai

Takamatsu, S. et al.:Mycoscience 43(4):333, 2002

(2) *Erysiphe pisi* de Candolle

澤田宏之ら:日植病報 48(1):136, 1982

(3) *Oidium* spp.

佐藤幸生ら:日植病報 65(3):398, 1999 ; 挟間 渉・加藤徳弘:日植病報 65(3):399, 1999 ; 挟間 渉・加藤徳弘:九病虫研会報 46:18, 2000 ; Takamatsu, S. et al.:Mycoscience 43(4):333, 2002

[備考] *Oidium* sp. (*E. polygoni* 型, *Pseudoidium* 亜属)は北米で発生する *Erysiphe diffusa* (Cooke & Peck) U. Braun & S. Takam. の不完全世代と考えられるが, わが国では完全世代は未確認。接種試験未了

灰斑病 kaihnan-byo Gray leaf spot

Pleosphaerulina americana (Ellis & Everhart) Hara [*Pleosphaerulina sojaecola* (Massalonga) Miura]

原 攝祐:実用作物病理学:116, 1925(大 14)

褐色輪紋病 kasshoku-rimmon-byo Target spot

Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

柳下 浩:日植病報 15(1):40, 1950 ; 倉田 浩:農技研報 C 12:12, 1960

[備考] 佐藤倫造・北沢健治 (1979) は, 本菌が根腐症を起こすことを報告している (日植病報 45(4):530)

褐点病 katten-byo

Alternaria sp.

廣江 勇:日植病報 13(3-4):62, 1948

[備考] 倉田 浩もアルタナリア病を記載している (農技研報 C 12:102, 1960)

褐斑病 kappan-byo (褐色斑紋病)

Mycosphaerella sojae Hori

山本和太郎:病虫雑 12(2):97, 1925(大 14) ; 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目

録):21, 1928(昭 3)

褐紋病 katsumon-byo Septoria brown spot (褐斑病)

Septoria glycines Hemmi

逸見武雄:北海道農会報 15(4):165, 1915(大 4); 逸見武雄:札幌博物会報 6(1):12, 1915(大 4)

株枯病 kabugare-byo

Ophionectria sojae Hara

原 攝祐:実験作物病理学:278, 1930(昭 5)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel, *Whetzelinia sclerotiorum* (Libert) Korf & Dumont]

出田 新:日本植物病理学:339, 1903(明 36)

茎疫病 kuki-eki-byo

Phytophthora sojae Kaufmann & Gerdemann [*Phytophthora megasperma* Drechsler var. *sojae* A.A. Hildebrand]

土屋貞夫ら:日植病報 44(3):351, 1978

茎枯病 kukigare-byo Stem rot

(1) *Phoma exigua* Desmazières

竹内 純ら:関東病虫研報 50:57, 2003

[備考] エダマメでの報告

(2) *Phoma* sp.

北沢健治・柳田騏策:日植病報 46(1):103, 1980

黒枯病 kurogare-byo

Peckia sp.

後藤和夫・高橋喜吾:病虫雑 13(3):154, 1926(大 15)

[備考] 本菌は *Drudeala* 属が適当とする意見がある (小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):566, 1992)

黒根腐病 kuro-negusare-byo Root necrosis (根腐病)

Calonectria ilicicola Boedijn & Reitsma [*Calonectria crotalariae* (Loos) D.K. Bell & Sobers, *Cylindrocladium crotalariae* D.K. Bell & Sobers]

御園生 尹・深津量栄:日植病報 35(2):107, 1969; 御園生 尹:植物防疫 27(2):77, 1973

黒根病 kurone-byo

Thielaviopsis sp.

青田盾彦ら:日植病報 45(1):116, 1979

黒点病 kokuten-byo Pod and stem blight (木乃伊病, ミイラ病)

Diaporthe phaseolorum (Cooke & Ellis) Saccardo var. *sojae* (Lehman) Wehmeyer

後藤和夫:病虫雑 12(12):677, 1925(大 14)

黒とう病 kokuto-byo Sphaceloma scab (黒痘病)

Elsinoë glycines Jenkins [*Sphaceloma glycines* Kurata & Kuribayashi]

倉田 浩:病虫発生予察資料 24:40, 1950; 倉田 浩・栗林数衛:日植病報 15(2):84, 1951; 倉田 浩・栗林数衛:日植病報 18(3-4):119, 1954

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Phakopsora pachyrhizi Sydow & P. Sydow [*Phakopsora sojae* Sawada, *Uromyces sojae* (Hennings) Sydow & P. Sydow]

藤黒與三郎:病虫雑 6(5):364, 1919(大 8) ; 平塚直秀:生物の研究 1(1):8, 1932(昭 7) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(2):142, 1938(昭 13)

さや枯病 sayagare-byo (莢枯病)

Macrophoma mame Hara

原 攝祐:実験作物病理学:276, 1930(昭 5)

子実汚斑病 shijitsu-ohan-byo Yeast-spot

(1) *Eremothecium ashbyi* (Guilliermond ex Routien) Batra

Kimura, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):275, 2008

(2) *Eremothecium coryli* (Peglion) Kurtzman

木村重光:日植病報 73(4):283, 2007

紫斑病 shihan-byo Purple stain, Purple blotch or purple speck of seed (粒の紫斑病, 紫粒病)

Cercospora kikuchii (Tak. Matsumoto & Tomoyasu) M.W. Gardner [*Cercosporina kikuchii* Tak. Matsumoto & Tomoyasu]

鈴木慶光:朝鮮農会報 16(2):24, 1921(大 10) ; 滋賀農試:大正 11 年度業務功程:132, 1923(大 12) ; 松本 巍・友安亮一:日植病報 1(6):1, 1925(大 14)

白絹病 shirakinu-byo Stem rot (小粒白絹病)

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

吉野毅一:植物学雑 19(222):167, 1905(明 38)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白紋羽病* shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

原 攝祐:日本菌類目録:318, 1954

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot (灰色茎枯病)

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

西原夏樹:日植病報 22(1):15, 1957 ; 西原夏樹:千葉農試研報 3:89, 1958

[備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照

立枯病 tachigare-byo Fusarium blight

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *tracheiphilum* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium tracheiphilum* E.F. Smith]

(2) *Gibberella fujikuroi* (Sawada) Wollenweber [*Gibberella moniliformis* Wineland, *Fusarium moniliforme* J. Sheldon]

松尾卓見ら:信州大織研報 8:6, 1958 ; 倉田 浩:農技研 C 12:62, 1960

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [*Colletotrichum glycines* Hori, *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove f. *truncatum* (Schweinitz) Arx]

(2) *Colletotrichum trifolii* Bain

(3) *Glomerella glycines* (Hori) Lehman & Wolf

(4) *Gloeosporium* sp.

出田 新:続日本植物病理学(下):785, 1926(大 15) ; 倉田 浩:農技研報 C 12:68, 1960

[備考] *Colletotrichum truncatum* が最も重要な菌である (倉田, 1960)

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium myriotylum* Drechsler

富岡啓介ら:日植病報 79(1):52, 2013 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):162, 2013

(2) *Pythium spinosum* Sawada

児玉不二雄ら:日植病報 76(1):78, 2010

(3) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

児玉不二雄ら:日植病報 76(1):78, 2010

ねむり病 nemuri-byo Sleeping-blight

Septogloeum sojae Yoshii & Nishizawa

西沢正洋ら:日植病報 20(1):11, 1955

灰星病 haiboshi-byo Phyllosticta canker and leaf spot (Phyllosticta 病)

Phyllosticta sojaecola C. Massalongo

三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):21, 1921(大 10) ; 倉田 浩:農技研報 C 12:88, 1960

[備考] 三浦道哉 (1921) は満州で発見した *Pleosphaerulina sojaecola* (Massalongo) Miura を本菌の子のう時代としたが, 倉田 (1960) はこれを否定した

葉腐病* hagusare-byo Rhizoctonia rot (葉腐れ病, くもの巣病, 大粒白絹病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

宇井格生・栃内吉彦:日植病報 18(3-4):152, 1954 ; 栃内吉彦・宇井格生:農及園 29(4):555, 1954 ; 倉田 浩:農技研報 C 12:97, 1960 ; 竹原利明ら:日植病報 71(3):217, 2005 ; 越智 直ら:日植病報 71(3):217, 2005

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照。菌糸融合群 AG-1 培養型 IA

斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot, Frog-eye disease (褐斑病)

Cercosporidium sojinum (Hara) X.J. Liu & Y.L. Guo [*Cercospora sojina* Hara, *Cercospora daizu* Miura, *Cercosporina sojina* Hara]

原 攝祐:農業国 9(10), 1915(大 4) ; 三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):25, 1921(大 10)

フォモプシス腐敗病 Phomopsis-fuhai-byo Phomopsis seed decay

Phomopsis longicolla Hobbs

佐藤豊三ら:日植病報 55(4):495, 1989

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora manshurica (Naumov) Sydow ex Gäumann

三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):7, 1921(大 10) ; 原 攝祐:実用作物病理学:110, 1925(大 14)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 10:10, 1943(昭 18)

落葉病 rakuyo-byo Brown stem rot

Phialophora gregata (Allington & D.W. Chamberlain) W. Gams

青田盾彦ら:日植病報 50(1):98, 1984

[備考] 病原菌の異名はアズキ落葉病参照

リゾクトニア根腐病 *Rhizoctonia-negusare-byo* Rhizoctonia root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

内記 隆・宇井格生:北大農紀要 12(4):262, 1981 ; 向島博行ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 三澤知央・小松勉:日植病報 77(1):73, 2011 ; 三澤知央・小松 勉:北日本病虫研報 62:50, 2011

[備考] 菌糸融合群 AG-1, AG-4, AG-5, AG-2-2 培養型 IIIB, IV

輪紋病* rimmon-byo (環紋病, 莢褐斑病, 灰斑病, 斑紋病)

Ascochyta phaseolorum Saccardo [*Ascochyta sojicola* Abramov, *Ascochyta sojae* Miura]

原 攝祐:実験作物病理学:271, 1930(昭5) ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:443, 1928(昭3) ; 倉田浩:農技研報 C 12:90, 1960

†輪紋病 rimmon-byo

Gibberella sp. [*Fusarium* sp.]

三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):15, 1921(大10)

[備考] 中国東北部

連作障害 rensaku-shogai Monoculture injury

Pythium myriotylum Drechsler, *Pythium* sp.

景山幸二ら:日植病報 48(3):333, 1982

萎黄病 io-byo Yellow dwarf (シスト線虫病, 月夜病, 嫌地病, 虫瘻病)

Heterodera glycines Ichinohe ダイズシストセンチュウ

堀 正太郎:病虫雑 2(11):927, 1915(大4) ; Katsufuji, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(2):12, 1919 ; Ichinohe, M.:Jap. J. Appl. Zool. 17(1-2):1, 1952

[備考] 病名の初出は水上笑作:大日本農会報 15:20, 1882(明15)。本線虫は Ichinohe (1952) の記載以前には *H. schachtii* Schmidt とされた

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchus avenae* Bastian ニセネグサレセンチュウ

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Gracilacus yokooi* Toida, Ohshima & Hirata ヨコオピンセンチュウ

Kashio, T. & Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 32:57, 1972

[備考] 接種試験の結果。 *Paratylenchus aciculus* Brown として報告されたが、後に本種として記載された (Toida, Y. et al.:Jpn. J. Nematol. 12:15, 1982)

(3) *Longiodorus* sp. ナガハリセンチュウの1種

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌より検出

(4) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi [*Trichodorus porosus* Allen] ナガイモユミハリセンチュウ

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌より検出

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 川越 仁・後藤重喜:九農研 22:113, 1960

[備考] 病原線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963 ; 山田英一:北日本病虫研報 18:124, 1967

(4) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963 ; 近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 一戸 (1963) は根圏土壌からの検出。近岡(1970)は接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病, 節根病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] *Meloidogyne mali* Itoh et al. として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

鐙木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

いや地病 iyachi-byo Soil sickness (弥地病)

原因不明

三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):29, 1921(大 10) ; 倉田 浩:農技研報 C 12:112, 1960

カリ欠乏症 kari-ketsubo-sho Potassium deficiency

カリ欠乏

河田 党・後藤和夫:原色病虫害図鑑 I. 普通作物篇(上):86, 1958

マンガン欠乏症 mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency

マンガン欠乏

遠藤 茂:食用作物の病害防除:522, 1963

†クリンクルリーフ病 crinkle-leaf-byo

Cowpea mild mottle virus

岩木満朗ら:日植病報 47(3):409, 1981

[備考] タイ

†急性枯死症 kyusei-koshi-sho Sudden death syndrome

(1) *Fusarium brasiliense* T. Aoki & O'Donnell

Aoki T. et al.:Mycoscience 46:162, 2005 ; Aoki T. et al.:Mycoscience 53:167, 2012

[備考] ブラジル

(2) *Fusarium crassipitatum* Scandiani, T. Aoki & O'Donnell

Aoki T. *et al.*:Mycoscience 53:167, 2012

[備考] アルゼンチン・ブラジル

(3) *Fusarium cuneirostrum* O'Donnell & T. Aoki

Aoki T. *et al.*:Mycoscience 46:162, 2005 ; Aoki T. *et al.*:Mycoscience 53:167, 2012

[備考] ブラジル

(4) *Fusarium tucumaniae* T. Aoki, O'Donnell, Yosh. Homma & Lattanzi

Aoki T. *et al.*:Mycologia 95:660, 2003 ; 青木孝之ら:日植病報 70(3):220, 2004 ; Aoki T. *et al.*:Mycoscience 46:162, 2005 ; Aoki T. *et al.*:Mycoscience 53:167, 2012

[備考] アルゼンチン・ブラジル

(5) *Fusarium virguliforme* O'Donnell & T. Aoki

Aoki T. *et al.*:Mycologia 95:660, 2003 ; 青木孝之ら:日植病報 70(3):220, 2004 ; Aoki T. *et al.*:Mycoscience 53:167, 2012

[備考] アメリカ合衆国・アルゼンチン

†茎かいよう病 kuki-kaiyo-byo Southern stem canker

Diaporthe phaseolorum (Cooke & Ellis) Saccardo f. sp. *meridionalis* Morgan-Jones

佐藤豊三ら:日植病報 59(1):45, 1993 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 27(1):20, 1993

[備考] パラグアイ

†莢腐敗 saya-fuhai

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

高屋茂雄ら:日植病報 56(3):378, 1990

[備考] インドネシア。菌糸融合群 AG-1-IA

†根腐症 negusare-sho Root rot

Cylindrocladium floridanum Sobers & C.P. Seymour

内藤繁男・Djaeni, M.:日植病報 71(1):84, 2005

[備考] インドネシア

††粒褐斑病 tsubu-kappan-byo

生理障害

中田覺五郎・明日山秀文:満州産業部資料 32(満州主要農作物病害調査報告):66, 1939(昭 14)

††††

Epicoccum nigrum Link [*Epicoccum neglectum* Desmazières]

倉田 浩:農技研報 C 12:102, 1960

††††

Pleospora glycines-hispidae Miura

勝本 謙:植物病原菌図説(小林享夫ら編):520, 1992

ダイズ類

(Glycine)

Glycine spp.

(野草)

ツルマメ *G. ussuriensis* Regel & Maack

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014

[備考] 戻し接種なし

(2) *Soybean yellow common mosaic virus*# (SYCMV) ダイズ黄斑モザイクウイルス

大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014

[備考] 戻し接種なし。病原体の種同定には全ゲノム解析が必要

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

谷 沙世ら:日植病報 83(3):235, 2017

葉焼病 hayake-byo Bacterial pustule

Xanthomonas axonopodis pv. *glycines* (Nakano 1919) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995

入江沙織ら:九病虫研会報 62:34, 2016 ; 入江沙織ら:日植病報 83(1):78, 2017

褐色根腐病 kasshoku-negusare-byo *Neocosmospora* stem rot

Neocosmospora vasinfecta E.F. Smith var. *vasinfecta*

三室元気ら:日植病報 82(3):233, 2016

黒根腐病 kuro-negusare-byo Root necrosis

Calonectria crotalariae (Loos) D.K. Bell & Sobers

西 和文・佐藤 剛:関東病虫研報 41:47, 1994

[備考] ツルマメ

さび病* sabi-byo Rust

Phakopsora pachyrhizi Sydow & P. Sydow

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:330, 1992

[備考] ツルマメ

††††

Pseudomonas syringae pv. *glycinea* (Coerper 1919) Young, Dye & Wilkie 1978

入江沙織ら:九病虫研会報 62:34, 2016

[備考] 病名未提案

カンゾウ(甘草)

Licorice

Glycyrrhiza spp.

(特用作物)

シナカンゾウ *G. echinata* L.

スペインカンゾウ *G. glabra* L.

ウラルカンゾウ *G. uralensis* Fisher

褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo

Cercospora sp.

中島千晴ら:日植病報 76(3):200, 2010

[備考] シナカンゾウ・スペインカンゾウ

斑点病 hanten-byo Leaf spot

菊池健太郎ら:日植病報 82(3):233, 2016

[備考] ウラルカンゾウ, スペインカンゾウに発生

苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (Damping-off)

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

(2) *Pythium myriotylum* Drechsler

(3) *Pythium spinosum* Sawada

景山幸二ら:日植病報 78(3):184, 2012 ; Ishiguro, Y. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 80(3):230, 2014

[備考] ウラルカンゾウ

ハーデンベルギア

(Hardenbergia)

Hardenbergia violacea (Schneev.) Stearn

(広葉樹)

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *phaseolicola* (Burkholder 1926) Young, Dye & Wilkie 1978

石原 誠・小河誠司:日植病報 83(3):234, 2017

コマツナギ

(Indigofera)

Indigofera pseudo-tinctoria Matsumura

(広葉樹)

網黒点病 ami-kokuten-byo

Parodiella hedysari (Schweinitz) S. Hughes [*Parodiella perisporioides* (Berkeley & M.A. Curtis) Spegazzini]

富樫浩吾・雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):59, 1937(昭 12) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):581, 1992

[備考] チョウセンニワフジ(*I. kirilowii*)にも発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp. [*Erysiphe pisi* auct. non de Candolle sensu Homma pro parte]

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):321, 1937(昭 12) ; Sato, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 31(3):289, 1990

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uromyces sphaerocarpus Sydow & P. Sydow [*Uromyces* sp.]

草野俊助:植物学雑 16(187):199, 1902(明 35) ; 吉永虎馬:植物学雑 18(213):219, 1904(明 37) ; 伊藤誠哉:北大農紀要 11:233, 1922(大 11)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythrimum salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]

澤田兼吉:台湾農事報 80:3, 1913(大 2) ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾。ナタールコマツナギ (*Indigofera arrecta*)

†白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):257, 1928(昭3)

[備考] 台湾。ナタールコマツナギ

ヤハズソウ類

(*Kummerowia*)

Kummerowia spp.

(野草)

マルバヤハズソウ *Kummerowia stipulacea* (Maxim.) Makino

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] マルバヤハズソウ

フジマメ(鵲豆, 扁豆)

Hyacinth bean

Lablab purpureus (L.) Sweet

(食用作物)

輪紋病 rimmon-byo

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

塩川啓子ら:日植病報 45(1):128, 1979

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Cercospora canescens Ellis & G. Martin

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):48, 1960

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uromyces phaseoli (Rebentisch) G. Winter var. *vignae* (Barclay) Arthur [*Uromyces vignae* Barclay]

村田寿太郎:農及園 3(6):689, 1928(昭3) ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:34, 1973

††††ウイルス Uirusu Virus

(1) *Bean common mosaic virus* (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス

(2) *Cowpea aphid-borne mosaic virus*

(3) *Cowpea mosaic virus*

(4) *Cowpea mottle virus*

(5) *Cowpea severe mosaic virus*

(6) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

(7) *Southern bean mosaic virus* (SBMV) インゲンマメ南部モザイクウイルス

(8) †*Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

Odedara, O. O. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):322, 2008

[備考] ナイジェリア。ELISA による検出

キングサリ(金鎖)

Goldenchain, Bean tree
Laburnum vulgare Bercht. & J. Presl
(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora laburni (W.W. Ray) Deighton [*Cercospora laburni* W.W. Ray]

小林享夫:森林防疫 23(6):112, 1974 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

銀葉病 gin'yo-byo Silver leaf disease

Chondrostereum purpureum (Persoon) Pouzar [*Stereum purpureum* Persoon] ムラサキウロコタケ

西田藤次:病虫雑 9(71):341, 1922(大 11) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):100, 1989

根腐病 negusare-byo Root rot

Cylindrocladium pacificum J.C. Kang, Crous & C.L. Schoch

佐野真知子ら:日植病報 74(3):183, 2008

シュツコンスイートピー
Perennial pea
Lathyrus latifolius L.
(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

佐藤 衛ら:日植病報 79(1):34, 2013 ; 佐藤 衛ら:関東病虫研報 60:75, 2013

スイートピー
Sweet pea
Lathyrus odoratus L.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

井上忠男:農学研究 50(3):103, 1964

(2) Broad bean wilt virus#

井上忠男:農学研究 50(3):103, 1964

[備考] エンドウ萎縮モザイクウイルスとして記載された。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

萎凋病 icho-byo Wilt (立枯病)

Fusarium solani (Martius) Saccardo f. sp. *pisi* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium lathyri* Taubenhaus]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:88, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病名のみ記載

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe pisi de Candolle [*Erysiphe polygoni* non de Candolle sensu auct. jap., *Microsphaera polygoni* (de Candolle) Sawada]

南部信方:病虫雑 1(3):346, 1914(大 3) ; 平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956

[備考] 我が国ではまだ子のう殻の形成が確認されていない。南部(1914)は病徴の記載のみ。平田(1956)は寄主植物名リスト

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Ascochyta lathyri Trail var. *lathyri-odorati* Bubák & Kabát

安部卓爾:実地園芸 23(4):433, 1937(昭 12)

[備考] 病害解説。安部 (1937) の報告には病原菌名の記載未記載。接種試験未了

株枯病 kabugare-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

今村幸久ら:日植病報 71(3):223, 2005 ; 今村幸久ら:九病虫研会報 54:30, 2008

菌核病 kinkaku-byo Blight

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:実地園芸 19(1):108, 1935(昭 10)

[備考] 病害解説。接種試験未了

黒根病 kurone-byo Black root rot

Chalara elegans Nag Raj & W.B. Kendrick

粕山新二・井上幸次:日植病報 62(6):630, 1996

腰折病 koshio-re-byo Damping-off (苗立枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:86, 1939(昭 14)

[備考] 瀧元は *Corticium vagum* としているが、解説書のため詳細不明

立枯病 tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

松浦 明ら:日植病報 67(2):162, 2001 ; 松浦 明・築尾嘉章:九病虫研会報 49:66, 2003

(2) *Pythium myriotylum* Drechsler

松浦 明ら:日植病報 67(2):162, 2001 ; 松浦 明・築尾嘉章:九病虫研会報 49:66, 2003

(3) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

鈴木幹彦ら:関西病虫研報 50:111, 2008

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

(2) *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore

竹内 純・堀江博道:日植病報 68(1):66, 2002

(3) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Glomerella rufomaculans* (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk]

南部信方:病虫雑 2(8):742, 1915(大 4)

[備考] 病徴の記載

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

堀江博道・栄森弘己:関東病虫研報 48:61, 2001

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

粕山新二・井上幸次:日植病報 55(1):98, 1989

[備考] 病原型は A 群

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

(2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

長崎農試:昭和 35 年度農林省応用研究成績:30, 1960

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††条斑細菌病* johan-saikin-byo Bacterial stripe (条斑性細菌病)

Pantoea agglomerans (Beijerinck 1888) Gavini, Mergaert, Beji, Mielcarek, Izard, Kersters & De Ley 1989 [*Bacillus lathyri* Manns & Taubenhaus, *Erwinia herbicola* (Löhnis 1911) Dye 1964]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:189, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳

††帯花病 taika-byo Fasciation

Rhodococcus fascians (Tilford 1936) Goodfellow 1984 [*Phytomonas fascians* Tilford, *Corynebacterium fascians* (Tilford) Dowson]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:689, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳

ヤハズソウ

Common lespedeza, Striate lespedeza

Lespedeza striata (Thunb. ex Murr.) Hook. & Arn.

(牧草・芝草)

モザイク病 mosaic-byo

White clover mosaic virus (WCIMV) シロクローバモザイクウイルス

夏秋啓子ら:日植病報 49(3):406, 1983

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe pisi de Candolle

本間ヤス:北大農紀 38(3):323, 1937(昭 12)

さび病* sabi-byo Rust

Uromyces lespedezae-procumbentis (Schweinitz) Curtis var. *itoanus* (Hiratsuka, f.) Hiratsuka, f. [*Uromyces itoanus* Hiratsuka, f.]

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):95, 1950 ; 平塚直秀:菌草研報 10:21, 1973

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot

Pseudoplea trifolii (Rostrup) Petrak

成田武四:北海道における農作物病害:244, 1977

[備考] 病原菌の学名検討を要する

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot, Root rot (くもの巣病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

伊藤一雄:樹病学概論:67, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):14, 1961

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

††萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt

Xanthomonas axonopodis pv. *lespedezae* (Ayers, Lefebvre & Johnson 1939) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium lespedezae* (Ayers, Lefebvre & Johnson) Okabe, *Xanthomonas campestris* pv. *lespedezae* (Ayers, Lefebvre & Johnson) Dye]

岡部徳夫:植物細菌病学:388, 1949

[備考] 国内発生未詳

ハギ(萩)

Bush clover

Lespedeza spp.

(広葉樹)

網黒点病 ami-kokuten-byo (表黒点病)

Parodiella hedysari (Schweinitz) S. Hughes [*Parodiella perisporioides* (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo, *Parodiella grammodes* Cooke]

富樫浩吾・雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):59, 1937(昭 12) ; von Arx, J. A. & Müller, E.:Stud. Mycol. 9:104, 1975

[備考] ネコハギ(*L. pilosa*)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe lespedezae R.Y. Zhang & U. Braun [*Erysiphe pisi* de Candolle]

Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):321, 1937(昭 12) ; 野村幸彦:植研雑 35(2):58, 1960 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:47, 2012

[備考] ヤマハギ・メドハギ(*L. cuneata*)・イヌハギ (*L. tomentosa*)・ネコハギ・マキエハギ(*L. vingata*)・マルバハギ・キハギ・ケハギ・ツルメドハギ(*L. intermixta*) に発生

枝枯病 edagare-byo Twig blight

Diplodia diversispora Kabát & Bubák

富樫浩吾・雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):76, 1937(昭 12)

[備考] ヤマハギ(*L. bicolor*)

褐斑病 kappan-byo

Phyllosticta lespedezae Togashi

富樫浩吾・雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):77, 1937(昭 12) ; 富樫浩吾:札幌博物学会報 14(4):283, 1935(昭 10)

[備考] ヤマハギ

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (白葉枯病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986 ; 伊藤武夫:森林防疫ニュース 10(9):178, 1961

[備考] マルバハギ。伊藤 (1961) は台湾のタイワンハギ (*Lespedeza purpurea*)環紋葉枯病を紹介した。病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk

伊藤一雄:植物防疫 12(5):185, 1958

[備考] 病原菌の異名はモクマオウくもの巣病参照

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uromyces lespedezae-procumbentis (Schweinitz) Curtis var. *lespedezae-procumbentis* [*Uromyces lespedezae* (Schweinitz) Peck]

安田 篤:植物学各論隠花部:433, 1911(明 44) ; 田中延次郎:植物学雑 4(42):299, 1890(明 23) ; Hiratsuka, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 10:14, 1973

白絹病 shirakinu-byo Rolf's blight, Sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

伊藤一雄:図説樹病講義:42, 1955

[備考] 病原菌の異名はキミガヨラン白絹病参照

すす点病 susuten-byo

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] ヤマハギ

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:林試東北支場年報 11:210, 1970 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 268:13, 1974

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類つちくらげ病参照

とうそう病 toso-byo Spot anthracnose (そうか病)

Sphaceloma lespedezae Kurosawa & Katsuki

Kurosawa, E. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(827):133, 1957

[備考] キハギ・ヤマハギ

葉枯病 hagare-byo Cercospora leaf spot (褐斑病)

Pseudocercospora latens (Ellis & Everhart) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Cercospora latens* Ellis & Everhart, *Cercospora lespedezae* Ellis & Dearness]

富樫浩吾・雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):84, 1937(昭 12) ; 山本和太郎:台湾博物学会報 26(154):279, 1936(昭 11) ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

[備考] ヤマハギ・キハギ(*L. buergeri*)・ツクシハギ (*L. homoloba*)・マルバハギ(*L. cyrtobotrya*)

縁枯病 herigare-byo Leaf blight

(1) *Macrosporium* sp.

(2) *Epicoccum* sp.

伊藤一雄:森林防疫ニュース 7(6):110, 1958

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease (斑葉病)

Pestalotia lespedezae Sydow

松村任三:帝国植物名鑑(上):158, 1904(明 37) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:551, 1911(明 44) ; 伊藤一雄:樹病

学大系 3:178, 1974

[備考] ヤマハギ・マルバハギ

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:図説樹病新講:82, 1962

[備考] 病原菌の異名はボブラ類紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Trophonema okamotoi Minagawa

Minagawa, N.:Appl. Entomol. Zool. 18(1):90, 1983

帯化病 taika-byo Fasciation

生理障害

伊藤一雄:図説樹病講義:10, 1955 ; 久内清孝:植研雑 5(8):303, 1928(昭 3)

†**紅粒がんしゅ病*** koryu-ganshu-byo Coral spot disease

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):39, 1914(大 3)

[備考] 中国。ヤマハギ

††††

Dothidea haraeana Sydow & P. Sydow

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):213, 1917(大 6)

††††

Hypoxyylon viride Yasuda アオコブタケ

Yasuda, A.:Bot. Mag. Tokyo 37(437):67, 1923(大 12)

[備考] キハギ

††††

Phyllosticta lespedezae Togashi

富樫浩吾:札幌博物学会報 14(2):283, 1935(昭 10)

[備考] ヤマハギ

††††

†*Pleospora lespedezae* I. Miyake

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):41, 1914(大 3)

[備考] 中国。ヤマハギ

ギンネム(イピル・イピル)(銀合歡)

Leedtree, Ipil-ipil

Leucaena leucocephala (Lam.) de Wit

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

長谷川 仁・三枝敏郎:植物防疫 22(10):450, 1968

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

長谷川 仁・三枝敏郎:植物防疫 22(10):450, 1968

†黄葉病 oyo-byo Yellow leaf disease

Exosporium leucaenae F. Stevens & Dalbey

小林享夫:熱帯林業 49:24, 1978 ; 小林享夫:日菌報 19(4):377, 1978

[備考] フィリピン

†こずえ萎凋病 kozue-icho-byo Top-killing

(1) *Colletotrichum* sp.

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

小林享夫:熱帯林業 49:24, 1978 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:150, 1988

[備考] フィリピン

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo leucaenae-glaucæ Hiratsuka, f. & Hashioka

Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):242, 1935(昭 10)

[備考] 台湾

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:150, 1988

[備考] フィリピン

(2) *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore

Kobayashi, T. & Jinno Y.:J. Jap. For. Soc. 66(3):113, 1984 ; Kobayashi, T. & Jinno, Y.:Abst. 3rd. Intern. Mycol. Congr. (Tokyo):506, 1983

[備考] フィリッピン

†苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

小林享夫:熱帯林業 49:23, 1978 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:149, 1988

[備考] フィリピン

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:149, 1988

[備考] フィリピン

†植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

(2) *Rotylenchulus* sp. ニセフクロセンチュウの 1 種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

(3) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの1種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

トレフォイル

Trefoil

Lotus spp.

(牧草・芝草)

バースフットトレフォイル Bird's foot trefoil *Lotus corniculatus* L.

ビッグトレフォイル Big trefoil *Lotus major* Scop.

わが国に野生するミヤコグサは, *L. corniculatus* L. var. *japonicus* Regel であるが, ここでは野生種の病害を含める

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe pisi de Candolle

本間ヤス:北大農紀 38(3):323, 1937(昭 12)

[備考] ミヤコグサで記載

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root rot and crown rot

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

成田武四:北海道立農試集報 4:54, 1959 ; 成田武四:北海道立農試集報 10:99, 1963

さび病* sabi-byo Rust

Uromyces euphorbiae-corniculati Jordi [*Uromyces loti* A. Blytt]

伊藤誠哉:北大農紀 11(4):243, 1922(大 11) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):98, 1950 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:49, 1973

[備考] ミヤコグサで記載

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):6, 1961

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960

[備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot

Leptosphaerulina trifolii (Rostrup) Petrak

西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):17, 1963

[備考] 病原菌の異名はアカクローバそばかす病参照

根腐病 negusare-byo Root rot

Haematonectria ipomoeae (Halsted) Samuels & Nirenberg [不完全世代: *Fusarium striatum* Sherbakoff]

Takeuchi, K. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73:336, 2007 ; 富岡啓介ら:四国植防 44:44, 2009

[備考] ミヤコグサに発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:243, 1977

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (くもの巣病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):23, 1963

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora lotorum Sydow

伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:206, 1936(昭 11)

[備考] ミヤコグサで記載

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

Typhula ishikariensis S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

成田武四:北海道における農作物病害:243, 1977

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

輪紋病 rimmon-byo Stemphylium leaf spot

Stemphylium loti J.H. Graham

西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960; 成田武四:北海道立農試研報 10:98, 1963; 西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):18, 1963

†白かび病 shirokabi-byo

Ramularia deusta (Fuckel) Baker

西原夏樹:日植病報 30(5):269, 1965; 西原夏樹:農林省畜試研報 10:33, 1966

[備考] ブラジル

††††

Phytophthora medicaginis E.M. Hansen & D.P. Maxwell [*Phytophthora megasperma* Drechsler]

佐藤 徹ら:日植病報 49(1):126, 1983

[備考] 根を侵し萎凋をおこす。病原菌の学名は Hansen, E.H. & Maxwell, D.P.:Mycologia 83:376, 1991 を参照

マダラハウチワマメ

Tarwi, Pearl lupin

Lupinus mutabilis Sweet

(食用作物)

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

佐藤豊三ら:日植病報 63(3):200, 1997; 佐藤豊三ら:四国農試報 64:1, 1999

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

富岡啓介ら:日植病報 68(1):79, 2002 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(5):405, 2008

ルピナス(ルーピン, ハウチワマメ)

Lupine

Lupinus spp.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

萎凋病 icho-byo Wilt, Fusarium wilt

Fusarium lateritium Nees

島田昌一:農及園 13(5):1225, 1938(昭 13)

[備考] 接種試験未了。調査を要する

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe pisi de Candolle

本間ヤス:北大農紀 38:323, 1937(昭 12) ; 平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):203, 1988

褐斑病 kappan-byo Black spot, Brown spot, Leaf spot (すそ腐病)

Pleiochaeta setosa (Kirchner) S. Hughes [*Ceratophorum setosum* Kirchner]

逸見武雄:病虫雑 6(1):11, 1919(大 8)

[備考] ハウチワマメ (タチフジ) *Lupinus polyphyllus* に発生

褐変病 kappen-byo

Cylindrocladium scoparium Morgan

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):286, 1959 ; 寺下隆喜代・伊藤一雄:林試研報 87:33, 1956

[備考] 伊藤 (1959) は解説書。なお、島田昌一 (農及園 13(5):1225, 1938) は病原が *Ramularia lupini* と推定しており、調査が必要

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia blight

Sclerotinia sp.

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:113, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot (茎枯病, 立枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

瀧元清透:花卉及温室作物の病害 :113, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

腰折病 koshiore-byo Damping-off

Pythium sp.

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:114, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

白絹病 shiraku-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

手塚信夫・石井正義:関西病虫研報 36:81, 1994

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:茨城農試指定試験 (病虫害)第3号:5, 1963

[備考] 寄主植物リスト中にキバナルピナス *Lupinus luteus* とある

立枯病 tachigare-byo Foot rot (根腐病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *lupini* W.C. Snyder & H.N. Hansen

蓮子栄吉:九州農業研究 7:79, 1950

(2) *Fusarium* sp.

蓮子栄吉:九州農業研究 7:79, 1950

[備考] *Fusarium anguoides* あるいは *Fusarium diversisporum* に近い

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (鼠かび病)

Botrytis cinerea Persoon

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:114, 1939(昭 14); 原 攝祐:日本菌類目録:35, 1954

[備考] 瀧元 (1939) は解説書。病徴のみ記載

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鍋木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(4) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

佐藤邦彦:森林防疫ニュース 5(10):248, 1956

[備考] 上記種との異同は不明

イヌエンジュ(犬槐)

Maackia

Maackia amurensis Rupr. & Maxim. subsp. *buergeri* (Maxim.) Kitamura

(広葉樹)

がんしゅ病 ganshu-byo Bacterial canker

Pseudomonas syringae van Hall 1902

坂本泰明ら:日植病報 61(3):253, 1995 ; 坂本泰明:森林防疫 49(3):54, 2000

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Oidium sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:139, 1968

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uromyces amurensis Komarov

安田 篤:植物学各論隠花部:433, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):36, 1905(明 38)

[備考] ハネミノイヌエンジュ(*M. floribunda*)・シマエンジュ(*M. tashiroi*)・カライヌエンジュにも発生

灰斑病 haihan-byo Gray leaf spot

Stagonospora maackiae Tak. Kobayashi

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 13(1):25, 1972

斑点病 hanten-byo Leaf spot (円星病)

Cercospora cladrastidis Jaczewski [*Cercospora* sp.]

原 攝祐:実験樹木病害篇:296, 1927(昭 2); 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):115, 1916(大 5) ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:520, 1928(昭 3)

べっこうたけ病 bekkotake-byo Root rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden

池本三郎:森林防疫 46(2):26, 1997

[備考] 接種試験未了

アルファルファ(ルーサン, ムラサキウマゴヤシ)

Alfalfa, Lucerne

Medicago sativa L.

[*Medicago media* Persoon]

(牧草・芝草)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Alfalfa cryptic virus 1* (ACV-1) アルファルファ潜伏ウイルス 1 [Alfalfa temperate virus#]

(2) *Alfalfa cryptic virus 2* (ACV-2) アルファルファ潜伏ウイルス 2 [Alfalfa temperate virus#]

夏秋啓子ら:日植病報 49(1):132, 1983 ; Natsuaki, T. *et al.*:Intervirology 25:69, 1986

[備考] 無病徴保毒

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Alfalfa mosaic virus (AMV) アルファルファモザイクウイルス

正田宏二ら:日植病報 17(2):90, 1953 ; 明日山秀文ら:栃内・福士両教授還暦記念論文集:101, 1955

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

成田武四:北海道における農作物病害:234, 1977

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Xanthomonas alfalfae pv. *alfalfae* (ex Riker, Jones & Davis 1935) Schaad, Postnikova, Lacey, Sechler, Agarkova, Stromberg, Stromberg & Vidaver 2007 [*Xanthomonas phaseoli* f. sp. *alfalfae* (Riker, Jones & Davis) Sabet, *Xanthomonas alfalfae* (Riker, Jones & Davis) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *alfalfae* (Riker, Jones & Davis) Dye 1978]

富永時任:日植病報 27(5):269, 1962 ; 富永時任:植物防疫 17(10):412, 1963

萎凋病 icho-byo Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *medicaginis* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium oxysporum* Schlechtendal var. *medicaginis* Weimer]

松井幸夫ら:日植病報 35(2):106, 1969 ; 佐藤倫造・荒木隆男:日植病報 40(2):116, 1974

いぼ斑点病 ibo-hanten-byo Common leaf spot, Pseudopeziza leaf spot (葉斑病, 褐点病)

Pseudopeziza medicaginis (Libert) Saccardo

逸見武雄:病虫雑 6(9):784, 1919(大 8) ; 吉原 潔・西原夏樹:長野県における牧草生育障害の実態 1(長野県畜産課):20, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):39, 1961

黄斑病 ohan-byo Yellow leaf blotch (斑葉病)

Sporonema phacidioides Desmazières [*Leptotrochila medicaginis* (Fuckel) Schüepp, *Pseudopeziza jonesii* Nannfeldt, *Pyrenopeziza medicaginis* Fuckel]

逸見武雄:病虫雑 6(9):784, 1919(大 8) ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:100, 1928(昭 3) ; 西原夏樹:日植病報 34(5):342, 1968

[備考] わが国では子のう世代は未確認

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight

Pythium spp.

齊藤 正:農業技術 15(5):206, 1960

[備考] 病原菌の種名等についてはアカクローバ褐色雪腐病参照

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root rot and crown rot

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

岩山新二:農及園 7(2):259, 1932(昭 7) ; 松浦 義:山形農試指定試験報告第 1 報:3, 1946

[備考] 藤井 溥ら (日植病報 29(2):70, 1964) はアルファルファからナタネ菌核病菌 *Sclerotinia sclerotiorum* (Libert) de Bary と同一菌系のものが分離されることがあると報告している

茎枯病 kukigare-byo Spring black stem, Black stem

Phoma medicaginis Malbranche & Roumeguère var. *medicaginis* [*Ascochyta imperfecta* Peck, *Phoma medicaginis* Fuckel, *Phoma herbarum* Westendorp f. sp. *medicaginum* Westendorp ex Rabenhorst, *Phoma herbarum* Westendorp var. *medicaginis* Fuckel]

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):17, 1961

黒あし病 kuroashi-byo Crown rot

(1) *Calonectria ilicicola* Boedijn & Reitsma [*Calonectria crotalariae* (Loos) D.K. Bell & Sobers, *Cylindrocladium crotalariae* D.K. Bell & Sobers]

西 和文・佐藤 剛:関東病虫研報 41:185, 1994; 佐藤倫造:日本植物病害大事典(岸 國平編):294, 1998; Crous, P. W. et al.:Mycol. Res. 97:889, 1993

(2) *Cylindrocladium floridanum* Sobers & C.P. Seymour

佐藤倫造・但見明俊:日植病報 52(1):139, 1986

黒葉枯病 kuro-hagare-byo

Leptotrochila trifolii Narita

成田武四:農業技術 16(11):522, 1961 ; 成田武四ら:日植病報 34(5):363, 1968

[備考] 病原菌の異名はアカクローバ黒葉枯病参照

根頭腐敗病 konto-fuhai-byo Crown rot (根ぐされ病)

Gibberella avenacea R.J. Cook [*Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo]

成田武四:北海道における農作物病害:233, 1977 ; 佐藤倫造・荒木隆男:日植病報 41(3):266, 1975

[備考] 病原菌の異名はアカクローバ根頭腐敗病参照

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces striatus J. Schröter [*Uromyces medicaginis* Passerini, *Uromyces striatus-medicaginis* Arthur]

出田 新:日本植物病理学(下):485, 1911(明 44) ; 伊藤誠哉:北大農紀 11(4):244, 1922(大 11) ; 伊藤誠哉:日本

菌類誌 2(3):99, 1950 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:48, 1973

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

遠藤 茂:宮崎高農学報 19:74, 1938(昭 13) ; 斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):185, 1957

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):11, 1961

[備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot, Brown leaf spot (黒点病, 褐斑病)

Leptosphaerulina briosiana (Pollacci) J.H. Graham & Luttrell [*Pleosphaerulina briosiana* Pollacci, *Pseudoplea briosiana* (Pollacci) Höhnelt]

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):43, 1961

[備考] 西原 (1959, 1961) は本菌に *Pseudoplea trifolii* (Rostrup) Petrak を充てた

炭疽病 tanso-byo Southern anthracnose

(1) *Colletotrichum trifolii* Bain

(2) *Colletotrichum* sp.

西原夏樹・但見明俊:日植病報 29(5):291, 1964

[備考] 後者は *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & Moore に近似するが未同定。分布は前者のほうがはるかに多い

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

西原夏樹:農及園 39(9):1407, 1964

葉枯病 hagare-byo Stemphylium leaf spot, Ring spot (輪紋病)

Pleospora herbarum (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [*Stemphylium botryosum* non Wallroth sensu auct. pl., *Stemphylium herbarum* E.G. Simmons]

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):63, 1961 ; 成田武四:北海道立農試集報 10:93, 1963

[備考] 病原菌の異名はアカクローバ葉枯病参照

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (苗立枯病, くもの巣病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):14, 1961

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Summer black stem and leaf spot (褐斑病)

Cercospora zebrina Passerini

斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):185, 1957 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):69, 1961

[備考] 病原菌の異名はアカクロローバ斑点病参照。本病菌を *Cercospora medicaginis* Ellis & Everhart とする意見がある

バーティシリウム萎凋病 Verticillium-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium albo-atrum Reinke & Berthold

北沢健治・佐藤倫造:日植病報 47(2):272, 1981 ; 佐藤倫造・北沢健治:日植病報 47(3):379, 1981

フィトフトラ根腐病 Phytophthora-negusare-byo

Phytophthora medicaginis E.M. Hansen & D.P. Maxwell [*Phytophthora megasperma* Drechsler f. sp. *medicaginis* T.L. Kuan & Erwin]

荒木隆男ら:日植病報 43(3):338, 1977 ; 松本直幸・荒木隆男:日植病報 44(2):214, 1978

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora trifoliorum de Bary

伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:206, 1936(昭 11) ; 中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32(満州作物病害調査):99, 1939(昭 14) ; 西原夏樹・石井 耕:日植病報 52(1):101, 1986

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):13, 1961

雪腐小粒菌核病* yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

成田武四:植物防疫 17(10):401, 1963 ; 北海道農試牧草 3 研:北農 38(1):20, 1971 ; 成田武四:北海道における農作物病害:234, 1977

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus dihystra* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

[備考] 根圏土壌から検出

(2) *Gracilacus yokooi* Toida, Ohshima & Hirata ヨコオピンセンチュウ

Kashio, T. & Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 32:57, 1972

[備考] 接種試験の結果。*Paratylenchus aciculus* Brown として報告されたが、後に本種として記載された (Toida, Y. et al.:Jpn. J. Nematol. 12:15, 1983)

(3) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

(4) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(5) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

(6) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 ; 後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency (硼素欠乏)

ほう素欠乏

諸遊英行・木内知美:中国農業研究 30:24, 1964

††萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt (細菌性萎凋病, 萎凋性細菌病)

Clavibacter michiganensis subsp. *insidiosus* (McCulloch 1925) Davis, Gillaspie, Vidaver & Harris 1984

[*Corynebacterium insidiosum* (McCulloch 1925) Jensen 1934, *Aplanobacter insidiosus* McCulloch]

中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32(満州作物病害調査):101, 1939(昭 14) ; 石山信一・向 秀夫:

植物病原細菌誌:692, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳

††茎枯細菌病 kukigare-saikin-byo Stem blight (細菌性茎枯病)

病原細菌種名未定

中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32(満州作物病害調査):101, 1939(昭 14) ; 石山信一・向 秀夫:

植物病原細菌誌:347, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 [*Pseudomonas medicaginis* Sackett, *Bacterium medicaginis* (Sackett) Smith]

は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

††*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942

藤岡保夫:List of crop diseases in Japan. Economic and Scientific Section, Natural Resources Division, Preliminary Study, GHQ, No.73. Vol.I:7, 1952

[備考] アルファルファでの国内発生は疑問

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe pisi de Candolle [*Erysiphe polygoni* de Candolle emend. Salmon]

中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32(満州作物病害調査):101, 1939(昭 14) ; 岩垂 悟ら:満州農試報 45(満州作物病害目録):110, 1943(昭 18)

[備考] 中国東北部。わが国では澤田兼吉 (台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査 1):167, 1919) の意見を採用し, 本菌を *Microsphaera polygoni* (de Candolle) Sawada とすることが多い。ここでは本間ヤス (北大農紀 38(3):323, 1937) に従う。本間(1937)によれば本菌はアルファルファと同属の *Medicago lupulina* L. (キバナノコマツブウマゴヤシ) に寄生し北海道に分布する

††こぶ病* kobu-byo Crown wart (冠瘻病, 結瘻病)

Urophlyctis alfalfae Magnus

平松芳市:病虫雑 7(2):112, 1920(大 9)

[備考] 藤岡保夫 (List of crop diseases in Japan. Economic and Scientific Section, Natural Resources Division, Preliminary Study, GHQ, No.73, Vol.I:7, 1952) のいう本病の国内発生は疑問

†立枯病 tachigare-byo

Pythium debaryanum R. Hesse

中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32(満州作物病害調査):101, 1939(昭 14)

[備考] 中国東北部。病原菌は国内にも分布するがアルファルファでは未記録。病原菌の分類学的所属について検討を要する。坂井 弘・河本次郎 (中国農試報告 A12:104, 1966) は *Pythium* sp. によるアルファルファの根の障害を認めたが病名を与えていない

††††

††*Alternaria alternata* (Fries) Keissler [*Alternaria tenuis* Nees]

中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32R(満州作物病害調査):102, 1939(昭 14)

[備考] 種実の病害

††††

Cylindrocladium sp.

斉藤 正:北陸病虫研報 4:53, 1956

[備考] わが国のチャ苗根腐病株から分離した *Cylindrocladium scoparium* Morgan はアルファルファに強い病原性がある (高屋茂雄:日植病報 36(5):336, 1970)

††††

Phytophthora cryptogea Pethybridge & Lafferty

松本直幸・佐藤 徹:日植病報 45(3):362, 1979

[備考] アルファルファ圃場から分離され、アルファルファの根に病原性を示した

††††

Sclerotium sp.

成田武四:植物防疫 17(10):401, 1963

[備考] 着生を認めたのみで病原性未詳。調査を要する

††††

†*Septoria* sp.

岩垂 悟ら:満州農試報 45(満州作物病害目録):110, 1943(昭 18)

[備考] 中国東北部

††††

†*Stemphylium sarcinaeforme* (Cavara) Wiltshire [*Macrosporium sarcinaeforme* Cavara]

石山哲爾:札幌農林会報 28(131):16, 1936(昭 11)

[備考] 樺太。本菌は *Stemphylium botryosum* Wallroth の疑いあり

バークローバ(ウマゴヤシ類)

Burclover, Medic

Medicago spp.

(牧草・芝草)

スポッテッド・バークローバ(モンツキウマゴヤシ) Spotted burclover *Medicago arabica* (L.) Huds.

カリフォルニア・バークローバ(ウマゴヤシ, 野苜蓿) Californiaburclover *Medicago polymorpha* L.[*Medicago denticulata* Willd.]
バトンクローバ(ウズマキウマゴヤシ) Buttonclover *Medicago orbicularis* (L.) Bartal.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
White clover mosaic virus (WCIMV) シロクローバモザイクウイルス
夏秋啓子ら:日植病報 49(3):406, 1983

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root and stem rot
Sclerotinia trifoliorum Eriksson
岩山新二:農及園 7(2):259, 1932(昭 7) ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):9, 1961
[備考] 岩山 (1932) はウマゴヤシについて記載。西原(1961)は、本病は多くのマメ科牧草に発生すると述べて、すべての草種名は明記していないが、各種の導入バークローバに本病の発生が認められる

さび病 sabi-byo Rust
Uromyces striatus J. Schröter
出田 新:日本植物病理学(下):485, 1911(明 44) ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:49, 1973
[備考] 本菌はわが国ではウマゴヤシとアルファルファのほか、*Medicago lupulina* L. (コメツブウマゴヤシ) に発生。病原菌の異名はアルファルファさび病参照

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
遠藤 茂:宮崎高農学報 10:74, 1938(昭 13)
[備考] 遠藤 (1938) はウマゴヤシについて記載。病原菌の異名はイネ白絹病参照

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot (黒点病)
Leptosphaerulina briosiana (Pollacci) J.H. Graham & Luttrell
西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):44, 1961
[備考] 病原菌の異名はアルファルファそばかす病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum medicaginis-denticulatae Sawada
澤田兼吉:台湾中研農業部報告 61(台湾産菌類調査報告 6):76, 1933(昭 8) ; 横木国臣:病虫雑 26(10):733, 1939(昭 14)
[備考] ウマゴヤシに発生。アルファルファ炭疽病菌 *C. trifolii* との異同はなお検討を要する

†うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew
Erysiphe polygoni de Candolle [*Microsphaera polygoni* (de Candolle) Sawada]
澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):169, 1919(大 8)
[備考] 台湾。ウマゴヤシに発生。原 攝祐 (日本菌類目録:119, 1954) はわが国で *Erysiphe pisi* de Candolle がウマゴヤシに寄生するとしたが、これは本間ヤス (北大農紀 38(3):323, 1937) の報告にあるキバナノコメツブウマゴヤシの誤記と思われる

†べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)
Peronospora aestivalis Sydow
伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:206, 1936(昭 11)
[備考] 中国東北部。ウマゴヤシ

スイートクローバ

Sweet clover

Melilotus spp.

(牧草・芝草)

ホワイトスイートクローバ(シロバナシナガワハギ, コゴメハギ) White sweet clover *Melilotus alfa* Medik.

イエロースイートクローバ Yellow sweet clover *Melilotus officinalis* (L.) Pallas

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Alfalfa mosaic virus (AMV) アルファルファモザイクウイルス

小室康雄:植物防疫 17(10):420, 1963 ; 飯塚典男・飯田 格:東北農試研報 37:43, 1969

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe pisi de Candolle

北海道農試牧草 3 研:北農 51(4):9, 1984

[備考] 病原菌の形態的記述なし

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root rot and crown rot

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

富永時任:農技研報 C 25:196, 1971

[備考] ホワイトスイートクローバに発生

黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch

Rhizoctonia leguminicola Gough & E.S. Elliott

西原夏樹:日草誌 11(3):186, 1965

[備考] ホワイトスイートクローバに発生

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces baeumlerianus Bubák

平塚直秀:植物銹菌学研究:291, 1955 ; 島袋俊一:琉球大農学術報告 7:321, 1960 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:50, 1973

[備考] ホワイトスイートクローバに発生

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot (黒点病)

Leptosphaerulina trifolii (Rostrup) Petrak

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):44, 1961 ; 成田武四:北海道立農試研報 10:97, 1963

[備考] 西原 (1961) は本病菌を *Pseudoplea trifolii* (Rostrup) Petrak と同定した。病原菌の異名はアカクローバそばかす病参照。*Melilotus* 属を侵すものと *Trifolium* 属を侵すものが同一種であるかはなお検討を要する

葉枯病 hagare-byo Stemphylium leaf spot (輪紋病)

Pleospora herbarum (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [*Stemphylium botryosum* non Wallroth sensu auct. pl., *Stemphylium herbarum* E.G. Simmons]

西原夏樹:日植病報 35(3):234, 1969

[備考] イエロースイートクローバに発生

白斑病 hakuhan-byo Stagonospora leaf spot

Leptosphaeria pratensis Saccardo & Briard [*Stagonospora meliloti* (Lasch) Petrak]

西原夏樹:草地試研報 6:95, 1975

[備考] ホワイトスイートクローバに発生

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (くもの巣病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

土屋貞夫・尾崎政春:北農 34(11):44, 1976

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑紋病 hammon-byo Cercospora leaf spot, Summer black stem and leaf spot (斑点病)

Mycosphaerella davisii F.R. Jones [*Cercospora davisii* Ellis & Everhart]

成田武四:北海道立農試研報 10:96, 1963

[備考] ホワイトスイートクローバおよびイエロースweetクローバに発生

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

成田武四:北海道における農作物病害:242, 1977

††萎凋細菌病* icho-saikin-byo Bacterial wilt (萎凋性細菌病, 細菌性萎凋病)

Clavibacter michiganensis subsp. *insidiosus* (McCulloch 1925) Davis, Gillaspie, Vidaver & Harris 1984

[*Aplanobacter insidiosus* McCulloch]

岡部徳夫:植物細菌病学:210, 1949

[備考] 国内発生未詳

ナツフジ(夏藤)

Japanese millettia

Millettia japonica (Sieb. & Zucc.) A. Gray

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

本間善久:四国植防研究 11:134, 1976

†黒粒病 kurotsubu-byo (黒脂病)

Lizonia millettiae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):8, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。ムラサキナツフジ (*M. reticulata*)

†黒円星病 kuro-maruhoshi-byo

Cryptocoryneum millettiae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):175, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。ドクフジ (*Millettia taiwaniana*)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Haplophragmium kawakamii* Hiratsuka, f. & Hashioka [*Haplophragmium derridis* Fujikuro non Sydow & P. Sydow]

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):78, 1943(昭 18) ; 藤黒與三郎:植物学雑 28(333):395, 1914(大 3) ; Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):239, 1935(昭 10)

[備考] 台湾。ドクフジ

(2) *Haploravenelia millettiae* (Sawada) S. Ito [*Uredo millettiae* Sawada, *Ravenelia millettiae* (Sawada) Hiratsuka, f.

& Hashioka]

澤田兼吉:台湾中研農業報 51(台湾産菌類調査報告 5):55, 1931(昭 6) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc.17(3-4):166, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。ムラサキナツフジ

†すす病* susu-byo Black mildew

Meliola banosensis Sydow

山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):150, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。ムラサキナツフジ

†そうか病 soka-byo Spot anthracnose (褐色斑点病)

Sphaceloma sp.

黒澤英一:日植病報 5(2):177, 1935(昭 10)

[備考] 台湾。ドクフジ (*M. taiwanica*)

††††

†*Maravalia fusiformis* Y. Ono, Kakishima & Lohsomboon

Ono, Y. *et al.*:Mycologia 80(2):261, 1988

[備考] タイ。 *Millettia* sp.

††††

Septoria millettiae N. Naito

Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:32, 1940(昭 15)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

オジギソウ

Mimosa

Mimosa pudica L.

(草花)

††††

病原未記載

[備考] 血清試験による *Cucumber mosaic virus* (CMV キュウリモザイクウイルス)検出の報告がある。

大木 理ら:植物防疫 35(7):305, 1981

ベニマメノキ

(*Ormosia*)

Ormosia formosana Kanehira

(広葉樹)

††††

†*Lembosia ormosiae* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):28, 1957

[備考] 台湾

††††

†*Pseudovalsellia thelebola* (Fries) Höhnelt [*Cryptodiaporthe konseiensis* Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:31, 1970 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 4(1):6, 1962

[備考] パラグアイ

クパン

Kupang

Parkia roxburgii G. Don

(広葉樹)

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)

Phyllachora parkiae Hennings

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(3):306, 1979

[備考] フィリピン

ベニバナインゲン(ハナマメ)

Scarlet runner

Phaseolus coccineus L.

(食用作物)

萎凋病 icho-byo Fusarium rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *phaseoli* J.B. Kendrick & W.C. Snyder

柴田 聡:日植病報 65(3):398, 1999 ; 柴田 聡:群馬農試研報 7:21, 2002

茎根腐病 kukinegusare-byo Stem and root rot

Pythium myriotylum Drechsler

渡邊 健・東條元昭:日植病報 72(1):52, 2006 ; Watanabe, K. & Tojo, M.:J. Gen. Plant Pathol. 72(2):126, 2006

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

渡邊 健・本橋みゆき:関東病虫研報 52:19, 2005

リゾクトニア根腐病 *Rhizoctonia-negusare-byo* Rhizoctonia root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

渡邊 健・本橋みゆき:関東病虫研報 52:19, 2005

[備考] 菌糸融合群 AG-1

綿腐病 watagusare-byo Cottony leak

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

青木一美ら:日植病報 73(3):182, 2007 ; Aoki, K. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73(6):408, 2007

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

ライマメ(月豆)
Lima bean
Phaseolus lunatus L.
[*Phaseolus limensis* Macf., *Phaseolus lunatus* L.var. *macrocarpus* Benth.]
(食用作物)

さや焼病 sayayake-byo (莢焼病)
Phoma subcircinata Ellis & Everhart
原 攝祐:実験作物病理学:805, 1930(昭 5)

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot
Ascochyta phaseolorum Saccardo
成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)
Meloidogyne hapla Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ
岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

†褐斑細菌病* kappan-saikin-byo Bacterial blight (褐斑性細菌病)
Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium vignae* Gardner & Kendrick]
石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:485, 1941(昭 16)
[備考] ササゲでは国内に発生するが, ライマメでは未記載

†††褐斑病 kappan-byo Pod blight
Diaporthe phaseolorum (Cooke & Ellis) Saccardo
金野敬三:病虫雑 5(6):463, 1928(大 7)
[備考] 国内発生未詳

インゲンマメ(インゲン, 菜豆)
Kidney bean, Garden bean, Haricot bean
Phaseolus vulgaris L.
(食用作物)

えそ病 eso-byo Necrosis
Tobacco mosaic virus (TMV) タバコモザイクウイルス
竹内繁治ら:日植病報 61(6):631, 1995

黄化病 oka-byo Yellows
Soybean dwarf virus (SbDV) ダイズ矮化ウイルス
玉田哲男ら:日植病報 39(2):152, 1973

縮葉モザイク病 shukuyo-mosaic-byo
Broad bean wilt virus#
塩川啓子ら:日植病報 46(1):105, 1980

つる枯病 tsurugare-byo

Clover yellow vein virus (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス
菅野 徹ら:日植病報 46(1):101, 1980 ; 夏秋啓子ら:日植病報 48(1):130, 1982

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

- (1) *Bean common mosaic virus* (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス
栗林数衛:病虫雑 13(4):199, 1926(大 15) ; 赤井重恭・吉谷啓作:日植病報 26(5):227, 1961
(2) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス
井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968
(3) *Clover yellow vein virus* (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#]
井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968
(4) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968
(5) *Peanut stunt virus* (PSV) ラッカセイ矮化ウイルス
土崎常男:日植病報 37(5):401, 1971 ; 土崎常男:日植病報 39(1):67, 1973

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

Phytoplasma ファイトプラズマ
新海 昭:琉球政府経済局特別報告(甘藷天狗巢病の虫媒伝染に関する研究):22, 1964

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]
瀧元清透:九大農学芸雑誌 9(1):1, 1940(昭 15)

かさ枯病* kasagare-byo Halo blight (黄斑性細菌病, 黄斑病)

Pseudomonas savastanoi pv. *phaseolicola* (Burkholder 1926) Gardan, Bollet, Abu Ghorrah, Grimont & Grimont 1992 [*Pseudomonas phaseolicola* (Burkholder) Dowson, *Pseudomonas syringae* pv. *phaseolicola* (Burkholder 1926) Young, Dye & Wilkie 1978]
後藤正夫・岡部徳夫:静岡大農研報 8:40, 1958 ; 谷井昭夫ら:北海道十勝農試資料 6:1, 1976

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo (がんしゅ細菌病, 褐斑性細菌病)

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939
岡部徳夫:植物細菌病学:326, 1949 ; 土屋行夫・大畑貫一:日植病報 46(3):401, 1980
[備考] 岡部徳夫 (植物細菌病学:325, 1949) は *Pseudomonas syringae* pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium syringae* van Hall] による褐斑細菌病 (褐斑性細菌病) を紹介したが, 国内発生未詳

葉焼病 hayake-byo Bacterial blight (細菌病, 斑紋病)

Xanthomonas axonopodis pv. *phaseoli* (Smith 1897) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas phaseoli* (Smith) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *phaseoli* (Smith 1897) Dye 1978]
中田覺五郎ら:作物病害図編:219, 1957 ; 植松 勉:作物の細菌病:154, 1991

アフアノマイセス根腐病 Aphanomyces-negusare-byo Aphanomyces root rot

Aphanomyces euteiches Drechsler f. sp. *phaseoli* W.F. Pfender & D.J. Hagedorn
堀田治邦・谷井昭夫:日植病報 56(3):385, 1990 ; 堀田治邦・谷井昭夫:植物防疫 44(12):545, 1990

萎凋病 icho-byo Fusarium rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *phaseoli* J.B. Kendrick & W.C. Snyder
柴田 聡:群馬農試研報 7:21, 2002

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe pisi* de Candolle

平田幸治・和田久美子:菌蕈研究所報告 10:491, 1973

(2) *Sphaerotheca fuliginea* non Pollacci sensu Homma-pro parte [*Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci]

平田幸治:日植病報 19(3-4):186, 1955

雲紋病 ummon-byo Leaf blotch

Mycosphaerella sp.

古川聡子・岸 國平:日植病報 75(3):234, 2009

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot (褐色斑紋病)

Phaeoisariopsis griseola (Saccardo) Ferraris

伊藤誠哉:北海道農会報 15(11):5, 1915(大 4) ; 伊藤誠哉:病虫雑 2(12):1022, 1915(大 4)

[備考] 病原菌の異名はアズキ角斑病参照

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Cercospora canescens Ellis & G. Martin

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):48, 1960

褐紋病 katsumon-byo Brown leaf spot (斑点病)

Phyllosticta phaseolina Saccardo

村田寿太郎:病虫雑 4(11):931, 1917(大 6) ; 鑄方末彦:食用作物病学(上):254, 1949

[備考] 病原菌の異名はアズキ褐紋病参照

菌核病 kinkaku-byo Stem rot, Watery soft rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

鑄方末彦:食用作物病学(上):257, 1949

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

黒かび病 kurokabi-byo Leaf spot (黒黴病, 黒渋病)

Alternaria fasciculata (Cooke & Ellis) L.R. Jones & Grout [*Macrosporium fasciculatum* Cooke & Ellis]

村田寿太郎:日本農業雑誌 11(11):73, 1915(大 4) ; 原 攝祐:実験作物病理学:846, 1930(昭 5)

黒根病 kurone-byo Black root rot

Chalara elegans Nag Raj & W.B. Kendrick

香川晴彦ら:日植病報 68(1):65, 2002

さび病 sabi-byo Rust (銹病, 葉渋病)

Uromyces phaseoli (Rebentisch) G. Winter var. *phaseoli* [*Uromyces appendiculatus* (Persoon) Link]

出田 新:実用植物病理学:126, 1902(明 35) ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:32, 1973

さや黒あざ病 saya-kuroaza-byo (莢果痣黒病)

Alternaria brassicae (Berkeley) Saccardo f. sp. *phaseoli* Brunaud [*Alternaria azukiae* Hara]

澤田兼吉:林試研報 105:102, 1958

白絹病 shirakinu-byo Stem rot, Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):447, 1919 (大 8) ; 鑄方末彦:食用作物病学(上):280, 1949

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すす紋病 susumon-byo (煤紋病, 褐紋病, 煤斑病, すすかび病)

Pseudocercospora cruenta (Saccardo) Deighton [*Cercospora cruenta* Saccardo]

村田寿太郎:病虫雑 4(11):931, 1917(大6)

[備考] 病原菌の異名はササゲすすかび病参照

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot, Ashy stem blight

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

西原夏樹:千葉農試研報 3:89, 1958

[備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (とびくさり病, 斑紋病, 斑紋病, 斑点病)

Colletotrichum lindemuthianum (Saccardo & Magnus) Briosi & Cavara

白井光太郎:最近植物病理学:456, 1903(明36); 堀 正太郎:農作物病学教科書 103, 1921(大10)

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium irregulare* Buisman

(2) *Pythium mamillatum* Meurs

(3) *Pythium myriotylum* Drechsler

(4) *Pythium spinosum* Sawada

(5) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

的場百合香ら:日植病報 70(3):214, 2004; Matoba, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol.

根腐病 negusare-byo Fusarium root-rot

Fusarium cuneirostrum O'Donnell & T. Aoki [*Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *phaseoli* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

田中一郎・北沢健治:日植病報 22(1):57, 1958; 青木孝之:日植病報 73(3):175, 2007

†**根腐病** negusare-byo Root rot

Fusarium phaseoli (Burkholder) T. Aoki & O'Donnell

青木孝之ら:日植病報 70(3):220, 2004

[備考] アメリカ合衆国。接種試験未了

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (ボトリチス莢腐病)

Botrytis cinerea Persoon

鏑方末彦:食用作物病学(上):255, 1949

葉腐病* hagusare-byo Rhizoctonia rot, Web blight (葉腐れ病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

栃内吉彦・宇井格生:農及園 29(4):555, 1954; 宇井格生・栃内吉彦:日植病報 18(3-4):152, 1954; 岡田 貴ら:日植病報 76(1):79, 2010

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照。岡田ら(2010)は菌糸融合群 AG-1 培養型 IB とした

リゾクトニア根腐病 *Rhizoctonia*-negusare-byo *Rhizoctonia* root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

内記 隆・宇井格生:北大農紀要 12(4):262, 1981

輪紋病 rimmon-byo Ascochyta leaf spot (斑紋病, 褐斑病)

Ascochyta phaseolorum Saccardo

原 攝祐:実験作物病理学:845, 1930(昭 5) ; 成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973

[備考] 中田覺五郎・瀧元清透 (勸業模範場研報 15:108, 1928) は朝鮮半島で *Ascochyta* sp.による輪紋病を報告した

連作障害 rensaku-shogai Monoculture injury

Pythium myriotylum Drechsler, *Pythium* sp.

景山幸二ら:日植病報 47(3):320, 1981

綿腐病 watagusare-byo Cottony leak

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

田杉平司・高辻久生:日植病報 4(1-2):96, 1934(昭 9)

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Heterodera glycines Ichinohe [*Heterodera schachtii* Schmidt] ダイズシストセンチュウ

伊藤誠哉:北海道農試報告 11:47, 1921(大 10) ; Fujita, K. & Miura, O.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):359, 1934(昭 9)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Gracilacus yokooi* Toida, Ohshima & Hirata ヨコオピンセンチュウ

Kashio, T. & Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 32:57, 1972

[備考] 接種試験の結果。*Paratylenchus aciculus* Brown として報告されたが、後に本種として記載された (Toida, Y. et al.:Jpn. J. Nematol. 12:15, 1983)

(2) *Paratrophurus* sp. リュウキュウイシユクセンチュウ

照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病, 節根病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Toida, Y. et al.:Jpn. J. Nematol. 23(2):90, 1993

[備考] Toida et al. (1993)はタイでの発生報告

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28) ; 鐔木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

日焼病 hiyake-byo Sun scald (日射病)

生理障害

鏑方末彦:食用作物病学(上):263, 1949

††萎凋細菌病* icho-saikin-byo Bacterial wilt (萎凋性細菌病)

Curtobacterium flaccumfaciens pv. *flaccumfaciens* (Hedges 1922) Collins & Jones 1983 [*Bacterium flaccumfaciens* Hedges]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:543, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳

††斑点細菌病* hanten-saikin-byo (斑点性細菌病)

Xanthomonas axonopodis pv. *phaseoli* (Smith 1897) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium phaseoli* var. *fuscans* (Burkholder) Okabe, *Xanthomonas campestris* pv. *phaseoli* (Smith 1897) Dye 1978]

岡部徳夫:植物細菌病学 322, 1949

[備考] 国内発生未詳。葉枯病と異同について検討を要する

†斑紋病 hammon-byo

Septoria phaseoli Maublanc

中田覺五郎:華北産研調査報 1(北支蒙疆農園芸作物病害調査報告):36, 1941(昭 16)

[備考] 中国

††††

Nematospora sp.

瀧元清透:日植病報 18(3-4):133, 1954

エンドウ(豌豆)

Pea, Garden pea, Field Pea

Pisum sativum L.

(食用作物)

萎黄病 io-byo Yellow dwarf

Milk vetch dwarf virus (MDV) レンゲ萎縮ウイルス

井上忠男ら:日植病報 34(1):28, 1968

えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic virus disease (えそ性ウイルス病)

Broad bean necrosis virus (BBNV) ソラマメえそモザイクウイルス

深野 弘・横山佐太正:九州農業研究 10:134, 1952

黄化病 oka-byo

Clover yellows virus (CYV) クローバ萎黄ウイルス

夏秋啓子ら:日植病報 48(1):80, 1982

茎えそ病 kuki-eso-byo

Pea stem necrosis virus (PSNV) エンドウ茎えそウイルス

中野昭信ら:日植病報 42(1):82, 1976

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

- (1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス
山下一夫ら:日植病報 83(3):218, 2017
- (2) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス
井上忠男:農学研究 52:11, 1968
- (3) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#, Pea dwarf mosaic virus#] ソラマメウイルトウイルス 2
井上忠男・井上成信:文部省科研総合研究, 昭和 39・40 年成績資料:30, 1966 ; 井上忠男:農学研究 52:11, 1968 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004
[備考] 本ウイルスによるものを萎縮モザイク病と呼んだことがある
- (4) *Clover yellow vein virus* (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#]
井上忠男:農学研究 52:11, 1968
[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉 (札幌農林会報 29(139):189, 1937
- (5) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
日野稔彦:九病虫研会報 7:84, 1961
- (6) *Lettuce mosaic virus* (LMV) レタスモザイクウイルス
杭田 要・井上忠男:日植病報 38(3):209, 1972
- (7) *Pea seed-borne mosaic virus* (PSbMV) エンドウ種子伝染モザイクウイルス
井上忠男:日植病報 33(1):38, 1967
- (8) *Peanut mottle virus* (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス
井上忠男:農学研究 52:159, 1969
- (9) *Peanut stunt virus* (PSV) ラッカセイ矮化ウイルス
吉田幸二ら:日植病報 47(1):101, 1981
- (10) *Watermelon mosaic virus* (WMV) スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス Watermelon mosaic virus 2#]
Inouye, T.:Berichte Ohara Inst. 12:133, 1964
- (11) *White clover mosaic virus* (WCIMV) シロクローバモザイクウイルス
井上忠男:農学研究 51:1, 1965

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

新海 昭:琉球政府経済局特別報告(甘藷天狗巢病の虫媒伝染に関する研究):22, 1964 ; 新海 昭:日植病報 35(5):388, 1969

つる枯細菌病 tsurugare-saikin-byo Bacterial blight (蔓枯細菌病, 細菌病, 蔓枯性細菌病, 先端黄白化症)

Pseudomonas syringae pv. *pisi* (Sackett 1916) Young, Dye & Wilkie 1978

石山信一:病虫雑 13(8):498, 1926(大 15) ; 瀧元清透:病虫雑 23(4):252, 1936(昭 11) ; 鈴木 歩ら:日植病報 64(4):375, 1998 ; Suzuki, A. et al.:Plant Dis. 87(12):1404, 2003

つる腐細菌病 tsurugusare-saikin-byo Bacterial stem-rot (蔓腐性細菌病, 茎腐細菌病)

(1) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003
[*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

後藤正夫・岡部徳夫:静岡大農研報 8:33, 1958 ; 後藤正夫:植物防疫 13(4):167, 1959

(2) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

後藤正夫・岡部徳夫:静岡大農研報 8:33, 1958 ; 後藤正夫:植物防疫 13(4):167, 1959

(3) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

石井香奈子ら:日植病報 72(1):46, 2006

(4) *Xanthomonas pisi* (ex Goto & Okabe 1958) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas pisi* Goto

& Okabe, *Xanthomonas campestris* pv. *pisi* (Goto & Okabe 1958) Dye 1978]

後藤正夫・岡部徳夫:静岡大農研報 8:33, 1958 ; 後藤正夫:植物防疫 13(4):167, 1959

アフアノミセス根腐病 *Aphanomyces-negusare-byo* *Aphanomyces* root rot (根腐病)

Aphanomyces euteiches Drechsler

石山信一:病虫雑 13(8):498, 1926(大 15) ; 横沢菱三ら:日植病報 40(5):454, 1974 ; 福西 務ら:日植病報 42(1):53, 1976 ; 赤井 純:北海道病害虫防除提要 93, 1986

暗斑病 *anhan-byo*

Cylindrosporium phaseoli Rabenhorst

原 攝祐:静岡県農会報 34(3):85, 1930(昭 5)

萎凋病 *icho-byo* *Fusarium* wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *pisi* W.C. Snyder & H.N. Hansen

松崎聖史ら:日植病報 69(3):274, 2003

[備考] 平田賢司ら (植物防疫 52(2):83, 1998) は海外での発生を報告し、萎凋病と命名した

うどんこ病 *udonko-byo* *Powdery mildew* (白渋病, 表白渋病, ごま症)

Erysiphe pisi de Candolle

本間ヤス:北大農紀要 38(3):323, 1937(昭 12) ; 原 攝祐:実用作物病理学:519, 1925(大 14) ; 樋口康一ら:九病虫研会報 60:101, 2014

[備考] 莢も罹病する

疫病 *eki-byo* *Phytophthora* rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 47:45, 2000

[備考] サヤエンドウ

褐斑病 *kappan-byo* *Leaf spot, Ascochyta blight* (斑紋病, ごま症)

Ascochyta pisi Libert

出田 新:日本植物病理学(下):648, 1911(明 44) ; 樋口康一ら:九病虫研会報 60:101, 2014

[備考] 莢も罹病する

褐紋病 *katsumon-byo* *Mycosphaerella blight* (褐斑病, 黒斑病)

Mycosphaerella pinodes (Berkeley & A. Bloxam) Vestergren [*Ascochyta pinodes* L.K. Jones]

出田 新:続日本植物病理学(上):286, 1923(大 12) ; 瀧元清透:病虫雑 20(9):686, 1933(昭 8)

菌核病 *kinkaku-byo* *Sclerotinia* rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

鏑方末彦:食用作物病学(上):240, 1949

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

茎腐病 *kukigusare-byo* *Rhizoctonia* stem rot

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

鏑方末彦:食用作物病学(上):241, 1949 ; 古屋広光:北日本病虫研報 37:80, 1986

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照。古屋 (1986) は菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB による発病を報告

こうがいかび病 *kogai-kabi-byo* *Choanephora* rot (毛かび病, 毛黴病, こうがい毛かび病)

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

鏑方末彦:食用作物病学(上):227, 1949 ; 吉田政治:岡山農試臨時報告 47:267, 1950 ; 橋岡良夫・中井幸隆:日植病報 45(4):522, 1979

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Uromyces viciae-fabae* (Persoon) J. Schröter var. *viciae-fabae* [*Uromyces fabae* (Persoon) de Bary, *Uromyces pisi* Winter]

(2) *Uromyces hidakaensis* Murayama & Takeuchi

出田 新:実用植物病理学:127, 1902(明 35) ; 村山大記・竹内昭士郎:日植病報 19(3-4):137, 1955(昭 30) ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:27-487, 1973

種子斑点病 shushi-hanten-byo Seed-spot

Alternaria fasciculata (Cooke & Ellis) L.R. Jones & Grout

岩垂 悟:北海道農試報告 26:45, 1931(昭 6)

すそ腐病 susogusare-byo Foot rot (裾腐病)

Phoma medicaginis Malbranche & Roumeguère var. *pinodella* (L.K. Jones) Boerema [*Ascochyta pinodella* L.K. Jones]

瀧元清透:日植病報 4(1-2):172, 1934(昭 9) ; 津田盛也:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):351, 1992

[備考] 本変種を独立種 *Phoma pinodella* (Jones) Morgan-Jones & Burch とする説 (Morgan-Jones, G. & Burch, K.B.: Mycotaxon 29:447, 1987) もある

立枯病 tachigare-byo Root rot

(1) *Fusarium arthrosporioides* Sherbakoff

(2) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium anguioides* Sherbakoff]

(3) *Fusarium sporotrichioides* Sherbakoff

富樫浩吾:札幌農林会報 18(79):149, 1926(大 15)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum pisi* Patouillard]

逸見武雄:病虫雑 8(5):229, 1921(大 10)

[備考] 山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

石山信一:病虫雑 13(8):498, 1926(大 15)

[備考] (1) の分類学的所属については疑問種とする意見がある。(2) の菌糸融合群 AG-4

根腐病 negusare-byo Root rot (茎葉腐敗病)

Fusarium solani (Martius) Saccardo f. sp. *pisi* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium martii* Appel & Wollenweber var. *pisi* F.R. Jones]

北沢健治・鐙谷大節:日植病報 26(5):232, 1961 ; 松尾卓見・桜井善雄:日植病報 28(5):311, 1963 ; 石山信一:病虫雑 13:498, 1926(大 15)

[備考] 本菌の完全時代は *Hypomyces solani* Reinke & Berthold f.sp. *pisi* Reichle, Snyder & Matuo であるが、交配によって得られ、自然状態ではクワ芽枯病罹病枝においてだけ認められる

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold, Botrytis pod-rot (ボトリチス英腐病)

Botrytis cinerea Persoon

鑄方末彦:食用作物病学(上):230, 1949

斑点病 hanten-byo (黒点病)

Mycosphaerella phaseolicola Saccardo

原 攝祐:実用作物病理学:520, 1925(大 14)

[備考] 石山信一 (病虫雑 13(8):498, 1926) は *Septoria flagellifera* Ellis & Everhart による斑点病を国内発生未詳と紹介

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora pisi Sydow

田中一郎・成田武四:北方の農作物病害:100, 1947 ; 山田 済・山本秀夫:日植病報 18(1-2):93, 1953

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

(2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966

[備考] 接種試験の結果

(4) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9) ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

いや地病 iyachi-byo Soil-sickness (弥地病, 忌地病, 萎縮病)

原因不明

出田 新:実用植物病理学:245, 1902(明 35) ; 小室康雄:植物防疫 10(7):283, 1956

さやしんしゅ病 saya-shinshu-byo Intumescence (莢疹腫病, 莢膨腫病)

生理障害

伊藤誠哉:病虫雑 19(5):329, 1932(昭 7)

††立枯細菌病* tachigare-saikin-byo Bacterial blight (立枯性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:324, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacterium leguminiperdum* (von Oven) Magrou は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††芽枯細菌病* megare-saikin-byo Bacterial bud blight (芽枯性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:405, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Pseudomonas seminum* Cayley [*Bacterium seminum* (Cayley) Stevenson]
は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††黒斑病 kokuhan-byo

Septoria pisi Westendorp

南部信方:病虫雑 2(3):254, 1915(大 4)

キンキジュ

Madras thorn, Manila tamarind

Pithecellobium dulce Benth.

(広葉樹)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大 9); 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照

†裏灰病 urahai-byo

Cercospora pithecolobii Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):119, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。タマザキネム

†すす病 susu-byo Black mildew

Irenina pithecolobii W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):221, 1941(昭 16)

[備考] 台湾

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium pithecolobiicola Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):113, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。タマザキネム (*P. lucidum*)

クロヨナ

Pongam oil tree

Pongamia pinnata (L.) Merrill

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Ravenelia hobsonii Cooke [*Haploravenelia hobsonii* (Cooke) S. Ito]

平塚直秀:植物学雑 53(641):160, 1940(昭 15); 平塚直秀:銹菌学研究:225, 1955

シカクマメ

Winged bean
Psophocarpus tetragonolobus (L.) DC.
(食用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

伊藤 伝ら:日植病報 51(1):63, 1985

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

伊藤 伝ら:九病虫研会報 32:224, 1986

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo *Lasiodiplodia brown rot*

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc

小野 剛ら:日植病報 70(3):224, 2004

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia rot*

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

小野 剛:日植病報 70(1):45, 2004

白絹病 shirakinu-byo *Southern blight*

Sclerotium rolfsii Saccardo

小野 剛ら:関東病虫研報 59:31, 2012

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora psophocarpicola J.M. Yen

大貫正俊ら:九病虫研会報 35:34, 1989

[備考] 病原菌の分類学的所属について検討を要する

実腐病 migusare-byo Fruit rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

栄森弘己ら:関東病虫研報 50:55, 2003

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

†††赤渋病 akashibu-byo Orange gall

Synchytrium psophocarpi (Raciborski) Gäumann

本蔵洋一ら:日植病報 66(3):274, 2000

[備考] タイ

インドシタン(ナラ)
Narra
Pterocarpus indicus Willd.
(広葉樹)

†汚斑病 ohan-byo Leaf blotch

Ellisiopsis gallsiae Batista & Nascimento

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:302, 1988 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:302, 1979

[備考] フィリピン

†褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Cercospora pterocarpicola J.M. Yen [*Cercospora guzmanii* Tak. Kobayashi, *Cercospora* sp.]

小林享夫:熱帯林業 48:28, 1978 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(3):308, 1981

[備考] フィリピン

†黒点汚斑病 kokuten-ohan-byo Leaf blotch

Robillarda trachycarpi Tassi

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:174, 1988

[備考] フィリピン

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)

Phyllachora pterocarp Sydow & P. Sydow

小林享夫:熱帯林業 48:28, 1978

[備考] フィリピン

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:150, 1988

[備考] フィリピン

(2) *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore

Kobayashi, T. & Jinno, Y.:J. Jap. For. Soc. 66(3):113, 1984 ; Kobayashi, T. & Jinno, Y.:Abst. 3rd. Intern. Mycol.

Congr. (Tokyo):506, 1983

[備考] フィリピン

†植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Helicotylenchus sp. ラセンセンチュウの1種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

††††

†*Phyllosticta pterocarp* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):142, 1959

[備考] 台湾

ビルマカリン

Burmese rosewood

Pterocarpus macrocarpus Kurz

(広葉樹)

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)

Phyllachora pterocarp Sydow & P. Sydow

田中 潔:森林防疫 35(2):23, 1986

[備考] タイ

クズ(葛)

Kudzu

Pueraria lobata (Willd.) Ohwi

(牧草・芝草)

かさ枯病 kasagare-byo Bacterial halo spot (斑点細菌病)

Pseudomonas savastanoi pv. *phaseolicola* (Burkholder 1926) Gardan, Bollet, Abu Ghorrah, Grimont & Grimont 1992 [*Pseudomonas phaseolicola* (Burkholder) Dowson, *Pseudomonas syringae* pv. *phaseolicola* (Burkholder 1926) Young, Dye & Wilkie 1978]

岡部徳夫:植物細菌病学:217, 1949; 谷井昭夫ら:十勝農試資料 6:14, 1976; 後藤正夫ら:植物防疫 35(6):270, 1981; 市川一行ら:日植病報 47(3):134, 1981

赤渋病 akashibu-byo Leaf gall, False rust (こぶ病, いぼ病, 浮腫病)

Synchytrium minutum (Patouillard) Gäumann

伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:38, 1936(昭 11); 富樫浩吾・雪ノ浦参之助:馬の築川病に関連する築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):56, 1937(昭 12)

アルタナリア葉枯病 *Alternaria*-hagare-byo *Alternaria* leaf spot

Alternaria sp.

澤柳利実ら:日植病報 71(3):216, 2005

疫病 eki-byo *Phytophthora* blight, Leaf and stem blight

Phytophthora asiatica M.Z. Rahman, H. Mukobata & K. Kageyama

向畠博行・関原順子:日植病報 72(1):71, 2006; 向畠博行ら:日植病報 72(4):207, 2006; Rahman, M.Z. *et al.*: Mycol Progress 13(3):759, 2014; 向畠博行・Rahman, M.Z.:植物防疫特別増刊号 17:123, 2015

褐斑病 kappan-byo Angular leaf spot (褐色葉枯病)

Mycosphaerella puerariicola Weimer & Luttrell [*Cercospora pueraricola* W. Yamamoto]

澤田兼吉:台湾博物会報 13:142, 1934(昭 9); 山本和太郎:札幌博物会報 13(3):142, 1934(昭 9); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):71, 1960

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Grovesinia pyramidalis M.N. Cline, J.L. Crane & S.D. Cline [*Cristulariella moricola* (I. Hino) Redhead, *Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall, 不完全世代: *Hinomyces moricola* (I. Hino) Narumi-Saito & Y. Harada]

周藤靖雄:日植病報 42(3):353, 1976

[備考] 野生のクズに発生

さび病* sabi-byo Rust

Phakopsora pachyrhizi Sydow & P. Sydow

平塚直秀:植物学雑 49:785, 1935(昭 10); 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):141, 1938(昭 13)

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot, Root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):15, 1961

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑紋病 hammon-byo

Ascochyta sp.

富樫浩吾・雪ノ浦参之助:馬の築川病に関連する築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):75, 1937(昭 12)

†裏黄円星病 ura-ki-maruhoshi-byo

Ramularia puerariae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾菌類調査報告 8):89, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†黄褐円紋病 okatsu-emmon-byo

Guignardia puerariae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):11, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†すす病 susu-byo

Meliola banosensis Sydow

山本和太郎:台湾博物会報 30:150, 1940(昭 15);澤田兼吉:台湾農試報 83(台湾菌類調査報告 7):17, 1942(昭 17)

[備考] 台湾

†多角円紋病 takaku-emmon-byo

Phyllosticta puerariicola Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾菌類調査報告 10):52, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

†同心輪紋病 doshin-rimmon-byo

Cephalosporium puerariae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾菌類調査報告 10):69, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。病原菌の分類学的所属について検討を要する

†葉枯病 hagare-byo

Marssonina puerariae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾菌類調査報告 10):66, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

トキリマメ(オオバタンキリマメ)

(Rhynchosia)

Rhynchosia acuminatifolia Makino

(草花)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

原田美貴子ら:日植病報 71(3):221, 2005 ; Harada, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):341, 2008

[備考] 原田ら(2005)はサラサドウダンへの病原性を確認

ニセアカシア(針槐)

Black locust

Robinia pseudoacacia L.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe pisi* de Candolle

Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):170, 1930(昭 5) ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:90, 1977

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類うどんこ病参照

(2) *Erysiphe palczewskii* (Jacz.) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera robiniae* F.L. Tai, *Microsphaera baeumleri* non Magnus sensu Homma-pro parte, *Ischnochaeta baeumleri* (Magnus) Sawada]

Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):399, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):214, 1988 ;

高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012

枝枯病 edagare-byo Die back (芽枯病)

(1) *Gibberella baccata* (Wallroth) Saccardo [*Fusarium lateritium* Nees]

原 攝祐:実験樹木病害篇:236, 1927(昭 2) ; 南部信方:病虫雑 8(4):201, 1921(大 10)

[備考] 松尾卓見・佐藤邦彦(日菌報 3:120, 1962)によれば本病菌には *Fusarium lateritium* f. sp. *cerealis* Matuo & Sato と, *F. lateritium* f. sp. *mori* Matuo & Sato の 2 分化型がある

(2) *Nectria haematococca* Berkeley & Broome [*Fusarium solani* (Martius) Saccardo]

Matuo, T. & Sakurai, Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 30(1):31, 1965 ; Matuo, T. & Sakurai, Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 28(5):287, 1963

[備考] 上記の文献では本病原菌は *Fusarium solani* f. sp. *robiniae* Matuo & Sakurai と提案された

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot (輪斑病)

Ascochyta robiniae Saccardo & Spegazzini

佐藤邦彦:山林 868:4, 1956 ; 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):223, 1959

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk

伊藤一雄・紺谷修治:林試研報 54:45, 1952 ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:97, 1974

[備考] 病原菌の異名はモクマオウくもの巣病参照

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries [*Tubercularia vulgaris* Tode]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:379, 1910(明 43) ; 白井光太郎:植物病理学(下):209, 1894(明 27)

白絹病 shirakinu-byo Rolfs' blight, Sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):144, 1959

[備考] 病原菌の異名はキミガヨラン白絹病参照

白粒腐敗病 shirotsubu-fuhai-byo

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten [*Cylindrocarpon radiculicola* Wollenweber]

佐藤邦彦:79 回日林講:233, 1968

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum destructivum* O'Gara

伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958

(2) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa

山岸菜穂ら:日植病報 81(3):205, 2015 ; Yamagishi, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 82(3):174, 2016

(3) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Guignardia robiniae* Kaz. Ito & Tak. Kobayashi, *Glomerella robiniae* (Kaz. Ito & Tak. Kobayashi) W. Yamamoto & Kaz. Ito, *Colletotrichum revolutum* (Ellis & Everhart) Kaz. Ito & Tak. Kobayashi]

伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958

(4) *Colletotrichum truncatum* (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [*Colletotrichum glycines* Hori]

伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:81 回日林講:249, 1970 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 268:22, 1974

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類つちくらげ病参照

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (萎凋病, 苗しおれ病)

(1) *Fusarium lateritium* Nees

佐藤邦彦:山林 868:1, 1956

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):225, 1959

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

小河誠司:福岡林試時報 31:6, 1984

[備考] トゲナシニセアカシア(*R. pseudoacacia* var. *umbraculifera*)

べっこうたけ病 bekkotake-byo

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer, *Fomitopsis semilaccata* (Berkeley) S. Ito] ベッコウタケ

伊藤一雄:樹病:51, 1952 ; 逸見武雄・赤井重恭:日植病報 9(4):199, 1939(昭 14) ; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease (ペスタロチア斑紋病, 輪紋病)

Pestalotia sp.

伊藤一雄:図説樹病講義:154, 1955

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Phellinus linteus (Berkeley & M.A. Curtis) Teng [*Phellinus yucatanensis* (Murrill) Imazeki, *Fomes yucatanensis* P. Saccardo & D. Saccardo] メシマコブ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:215, 1933(昭 8) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):189, 1989

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

三浦道哉:りんごの病気:113, 1917(大 6)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

こぶ病 kobu-byo

生理障害

佐藤邦彦:森林防疫 28(11):196, 1979

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

ウイルス (未同定)

伊藤一雄:樹病学大系 1:227, 1971

てんぐ巣病 tengusu-byo Brooming disease

Phytoplasma ファイトプラズマ

伊藤一雄:樹病学大系 1:227, 1971

[備考] 国内発生未確認

††††苗疫病* nae-eki-byo Phytophthora root rot (立枯病)

††*Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

新島善直:日本森林保護学(下):514, 1912(明 45)

[備考] わが国におけるニセアカシアでの発生に疑問

††††

Calonectria kyotensis Terashita [*Cylindrocladium scoparium* Morgan]

Terashita, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8(3):124, 1968

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):211, 1916(大 5)

††††

Dothidea sambuci (Persoon) Fries

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):213, 1916(大 5)

††††

†*Phyllosticta robiniiella* Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:419, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部

アメリカネムノキ(レイン・ツリー)

Rain tree

Samanea saman (Jacq.) Merr.

(広葉樹)

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

小林享夫:熱帯林業 50:25, 1978

[備考] フィリピン

†植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン。属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

セスバニア

Sesbania

Sesbania rostrata Bremek. & Oberm. *Sesbania cannabina* (Retz.) Pers.

(特用作物)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

荒井治喜:北陸病虫研報 39:111, 1991 ; 荒井治喜:日植病報 59(5):610, 1993

エンジュ(槐)

Japanese pagoda tree

Sophora japonica L.

(広葉樹)

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:155, 1977

さび病 sabi-byo Rust (がんしゅ病, 赤渋病, 銹病)

Uromyces truncicola Hennings & Shirai [*Uromyces sophorae-japonicae* Dietel]

安田 篤:植物学各論隠花部:433, 1911(明 44) ; 白井光太郎:植物病理学(下):117, 1900(明 33) ; 陳野好之・林弘子:日菌報 21(1):87, 1980

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sophorae-japonicae Hara

原 攝祐:静岡県農会報 34(397):51, 1930(昭 5)

[備考] 病原菌の分類学的検討を要する

べっこうたけ病 bekkotake-byo Root rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden

池本三郎:森林防疫 46(2):26, 1997

†表黒点病* omote-kokuten-byo

Parodiella puncta (Cooke) Saccardo

原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 359):10, 1927(昭 2)

[備考] 朝鮮半島。病原菌の *Parodiella perisporioides* (Berkeley & Curtis) Spegazzini との異同について検討を要する

†††根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root-knot nematode disease

Meloidogyne javanica Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):311, 1960

[備考] ニュージーランド産ハネミエンジュ

††††

†*Diplodia sophorae* Spegazzini & Saccardo

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):51, 1914(大 3)

[備考] 中国

††††

Gibberella lateritia (Nees) W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium lateritium* Nees]

松尾卓見・手塚俊彦:日植病報 21(2-3):118, 1956

††††

†*Macrophoma sophorae* I. Miyake

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 26(303):59, 1912(明 45)

[備考] 中国

††††

Melanconis sophorae (Kobayashi) Otani [*Ditopellopsis sophorae* Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.:Gov. For. Exp. Sta. 226:48, 1970 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):236, 1988

タマリンド

Tamarind

Tamarindus indica L.

(特用作物)

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

平田幸治・和田久美子:新潟大農研報 29:91, 1977 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫:35(5):77, 1986 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:159, 1988 ; 澤田兼吉:台湾大農專刊 8:187, 1959

[備考] 台湾・フィリピン。分生子 (oidium) の発芽形態は *Erysiphe polygoni* 型

サイニュウクローバ(催乳クローバ)

Goat's rue

Tephrosia virginiana (L.) Pers.

(牧草・芝草)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:植物防疫 17(10):420, 1963 ; 飯塚典男:北日本病虫研報 18:70, 1967

アルサイククローバ(タチオランダゲンゲ)

Alsike clover

Trifolium hybridum L.

(牧草・芝草)

黄斑モザイク病 ohan-mosaic-byo Yellow patch

Alfalfa mosaic virus (AMV) アルファルファモザイクウイルス

飯塚典男・飯田 格:東北農試研報 37:43, 1969 ; 小室康雄:植物防疫 17(10):418, 1963

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

飯塚典男・飯田 格:東北農試研報 37:43, 1969

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

井上忠男ら:日植病報 16(3-4):181, 1952 ; 飯塚典男:北日本病虫研報 18:70, 1967

(3) ウイルス (未同定)

村山大記:札幌農林会報 34(1):49, 1941(昭 16) ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):104, 1961

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

富士貞吉・四方英四郎:北大農邦文紀 2(3):47, 1955

[備考] 本病原は初めウイルスとされ, *Potato witches' broom virus* と呼ばれた

葉化病 yoka-byo Clover phyllody disease (花の葉化病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

中村重正ら:日植病報 42(3):389, 1976

いぼ斑点病 ibo-hanten-byo Common leaf spot, *Pseudopeziza* leaf spot (斑葉病)

Pseudopeziza trifolii (Bivona-Bernardi) Fuckel

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):35, 1961

汚斑病 ohan-byo *Curvularia* leaf blight, Leaf spot

Curvularia trifolii (Kauffman) Boedijn

斉藤 正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:52, 1962 ; 西原夏樹:農林省畜試研報 12:15, 1966

[備考] 病原の異名はアカクロローバ汚斑病参照

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo *Pythium* snow blight

Pythium spp.

斉藤 正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:52, 1962

[備考] 病原菌の種名等についてはアカクロローバ褐色雪腐病参照

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* root rot and crown rot, Clover rot

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

斉藤 正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:52, 1962

茎割病 kukiware-byo Northern anthracnose (炭疽病)

Kabatiella caulivora (Kirchner) Karakulin

成田武四:農業技術 16(11):522, 1961 ; 成田武四:植物防疫 17(10):400, 1963

[備考] 病原菌の種名はアカクロローバ茎割病参照

黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch

Rhizoctonia leguminicola Gough & E.S. Elliott

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):86, 1961 ; 西原夏樹:日草誌 11(3):168, 1965

黒葉枯病 kuro-hagare-byo

Leptotrochila trifolii Narita

成田武四:植物防疫 17:400, 1963 ; 成田武四:農業技術 16(11):522, 1961

[備考] アカクロローバ黒葉枯病備考参照

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces hybridi Davis

成田武四ら:北日本病虫研報 16:42, 1965

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
斉藤 正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:52, 1962
[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すす点病 susuten-byo Sooty blotch, Black blotch
Cymadothea trifolii (Persoon) F.A. Wolf
成田武四:北海道立農試集報 2:45, 1958
[備考] 病原菌の異名はアカクロバすす点病参照

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot, Pseudoplea leaf spot, Sphaerulina leaf spot (黒点病)
Leptosphaerulina trifolii (Rostrup) Petrak
西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):53, 1961 ; 斉藤 正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:52, 1962
[備考] 病原菌の異名はアカクロバそばかす病参照

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
成田武四:農薬の進歩 8(3):16, 1962 ; 成田武四:北海道における農作物病害:237, 1977

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
成田武四:農業技術 16(11):522, 1961
[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Summer black stem and leaf spot
Cercospora zebrina Passerini
斉藤 正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:52, 1962

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種
一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

クリムソンクロバ(ベニバナツメクサ)
Crimson clover
Trifolium incarnatum L.
(牧草・芝草)

萎黄病 io-byo Yellows
Clover yellows virus (CYV) クローバ萎黄ウイルス
大木 理ら:日植病報 42(1):63, 1976 ; 大木 理ら:日植病報 42(3):313, 1976

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス
飯塚典男・飯田 格:東北農試研報 37:43, 1969
(2) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス
飯塚典男・飯田 格:東北農試研報 37:43, 1969 ; 井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968

(3) *White clover mosaic virus* (WCIMV) シロクローバモザイクウイルス

飯塚典男・飯田 格:東北農試研報 37:43, 1969

(4) ウイルス (未同定)

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):103, 1961 ; 根本正康:日植病報 36(3):186, 1970

萎凋病 icho-byo Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

児玉不二雄ら:日植病報 59(1):89, 1993

いぼ斑点病 ibo-hanten-byo Common leaf spot, Pseudopeziza leaf spot (斑葉病)

Pseudopeziza trifolii (Bivona-Bernardi) Fuckel

吉原 潔・西原夏樹:長野県における牧草生育障害の実態 1(長野県畜産課):10, 1960

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe pisi de Candolle

本間ヤス:北大農紀 38(3):323, 1937(昭 12)

汚斑病 ohan-byo Curvularia leaf blight, Clover wilt

Curvularia trifolii (Kauffman) Boedijn

西原夏樹:農林省畜試研報 12:15, 1966

[備考] 病原の異名はアカクローバ汚斑病参照

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root rot and crown rot, Clover rot

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):9, 1961

茎割病 kukiware-byo Northern anthracnose (炭疽病)

Kabatiella caulivora (Kirchner) Karakulin

西原夏樹:日植病報 25(5):218, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):22, 1961

[備考] 病原菌の異名はアカクローバ茎割病参照

黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch

Rhizoctonia leguminicola Gough & E.S. Elliott

西原夏樹:日草誌 11(3):168, 1965

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Uromyces fallens* (Arthur) Bartholomew

成田武四:植物防疫 17(10):400, 1963

(2) *Uromyces trifolii* (R. Hedwing) Lévillé [*Uromyces trifolii-repentis* Liro, *Uromyces trifolii* Plowright]

村山大記:日植病報 13(1-2):47, 1948 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):104, 1950

[備考] クリムソンクローバに寄生する上記さび病菌の異同についてはさらに検討を要する

すす点病 susuten-byo Sooty blotch, Black blotch

Cymadothea trifolii (Persoon) F.A. Wolf

成田武四:農業の進歩 8(3):15, 1962

[備考] 病原菌の異名はアカクローバすす点病参照

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot

Leptosphaerulina trifolii (Rostrup) Petrak

成田武四:北海道における農作物病害:239, 1977

[備考] 病原菌の異名はアカクロローバそばかす病参照

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:238, 1977

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (株枯病, くもの巣病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:農業技術 15(10):447, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):15, 1961 ; 遠藤 茂ら:日大農学術報告 31:150, 1974

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Summer black stem and leaf spot

Cercospora zebrina Passerini

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):69, 1961

[備考] 病原菌の異名はアカクロローバ斑点病参照

輪紋病 rimmon-byo Stemphylium leaf spot, Target spot

Stemphylium sarcinaeforme (Cavara) Wiltshire

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):54, 1961

[備考] 病原の異名はアカクロローバ輪紋病参照。クリムソンクロローバには上記とは別種の *Stemphylium* sp. による輪紋病の発生報告がある(西原夏樹:日植病報 24(1):40, 1959)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

アカクロローバ(赤クロローバ, レッドクロローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ)

Red clover

Trifolium pratense L.

(牧草・芝草)

ウイルス病 virus-byo Virus

Soybean dwarf virus (SbDV) ダイズ矮化ウイルス

玉田哲男:北海道農試報 25:1, 1975

[備考] 無病徴保毒

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

明日山秀文ら:栃内・福士両教授還暦記念論文集:105, 1955 ; 小室康雄:植物防疫 17(10):418, 1963

(2) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

小室康雄:植物防疫 17(10):419, 1963 ; 飯塚典男・飯田 格:日植病報 27(2):83, 1962 ; 久米宏毅ら:北大農邦文紀 7(4):435, 1970

[備考] 本ウイルスは検定植物に対する反応の若干の相違により, いくつかの系統に分けられる (井上忠男:農学研究 52(1):24, 1968)

(3) *Clover yellow vein virus* (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#]

井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968 ; 笹谷孝英:四国農試報 63:1, 1998

(4) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

井上忠男:農学研究 52(1):24, 1968

(5) *Peanut stunt virus* (PSV) ラッカセイ矮化ウイルス

土崎常男ら:北海道農試研報 131:71, 1981

(6) *White clover mosaic virus* (WCIMV) シロクローバモザイクウイルス

井上忠男:農学研究 50(3):105, 1964

(7) ウイルス (未同定)

小室康雄:植物防疫 17(10):421, 1963

[備考] アカクローバのモザイク病には福士貞吉 (札幌博物会報 12(2-3):132, 1932), 村山大記 (札幌農林会報 34(1):49, 1941), 西原夏樹 (千葉農試資料 1(牧草の病害 I):102, 1961) の報告がある。小室 (1963) の認めたものは, 上記(1)-(4), (6)のウイルスによる典型的病徴とは異なる。しかし以上のものはいずれもウイルスの種類未決定

紫染萎黄病 shisen-io-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

成田武四:農薬の進歩 8(3):14, 1962

[備考] 本病原は初めウイルスとされ, *Aster yellows virus* と呼ばれた

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

福士貞吉・四方英四郎:北大農邦文紀 2(3):47, 1955 ; 小室康雄:植物防疫 17(10):421, 1963

[備考] 本病原は初めウイルスとされ, *Potato witches' broom virus* と呼ばれた。小室 (1963) の記載した本病は病原未同定

葉化病 yoka-byo Phyllody (花の葉化病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

中村重正ら:日植病報 42(3):389, 1976

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Pseudomonas syringae* van Hall 1902]

岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:66, 1951 ; 富永時任:植物防疫 17(10):411, 1963

萎凋病 icho-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *medicaginis* W.C. Snyder & H.N. Hansen

佐藤倫造・荒木隆男:日植病報 40(2):116, 1974

いぼ斑点病 ibo-hanten-byo Leaf spot, *Pseudopeziza* leaf spot, Common leaf spot (斑葉病)

Pseudopeziza trifolii (Bivona-Bernardi) Fuckel

出田 新:日本植物病理学(上):308, 1909(明 42) ; 西原夏樹:農業技術 15(10):448, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):35, 1961

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe trifoliorum (Eliade) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera trifolii* (Greville) U. Braun, *Erysiphe trifolii* Greville]

成田武四:北海道における農作物病害:237, 1977 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:91, 1977 ; 佐藤幸生ら:日植病報 51(3):370, 1985 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:61, 2012

[備考] 西原夏樹 (農業技術 15(10):446, 1960) がクローバのうどんこ病として記載したものは草種名を欠くが, これはシロクローバとクリムソンクローバであった

汚斑病 ohan-byo Curvularia leaf blight

Curvularia trifolii (Kauffman) Boedijn [*Brachysporium trifolii* Kauffman]

松浦 勇:病虫雑 12(12):668, 1925(大 14) ; 高橋廣治・飯田 格:東北農試研報 37:15, 1969

[備考] 松浦 勇 (病虫雑 17(9):589, 1930) は本種以外に 1 種の *Brachysporium* によるアカクロバの汚斑病菌があることを予報したが詳細をみない

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight

(1) *Pythium iwayamai* S. Ito

(2) *Pythium paddicum* Hirane

(3) *Pythium* sp.

斉藤 正:植物防疫 8(11):479, 1954

[備考] アカクロバをはじめわが国のマメ科牧草の褐色雪腐病菌の種名は検討されていないが、おそらく上に掲げたわが国のレンゲ褐色雪腐病菌 (斉藤 正:北陸農試報告 5:6, 1963) と同一の菌が関与しているものと思われる

褐斑病 kappan-byo Leaf spot (角斑病)

Stagonospora recedens (C. Massalongo) F.R. Jones & Weimer

成田武四:植物防疫 17(10):400, 1963 ; 成田武四:北日本病虫研報 23:19, 1972 ; 西原夏樹:農林省畜試研報 10:37, 1966

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root rot and crown rot, Clover rot, Sclerotinia wilt

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

出田 新:日本植物病理学:335, 1901(明 34) ; 斉藤 正:植物防疫 8(11):478, 1954 ; 成田武四:北海道立農試集報 4:54, 1959

茎割病 kukiware-byo Northern anthracnose (炭疽病)

Kabatiella caulivora (Kirchner) Karakulin [*Gloeosporium caulivorum* Kirchner]

田中一郎・成田武四:病虫雑 27(4):272, 1940(昭 15) ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):22, 1961

黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch

Rhizoctonia leguminicola Gough & E.S. Elliott

西原夏樹:日草誌 11(3), 1965

黒葉枯病 kuro-hagare-byo

Leptotrochila trifolii Narita

成田武四:農業技術 16(11):522, 1961 ; 成田武四ら:日植病報 34(5):363, 1968

[備考] 本病菌は一時 *Phyllosticta* sp. とされたが (成田武四:植物防疫 17(10):400, 1963), これは本病菌の不完全世代 (柄孢子) である

根頭腐敗病 konto-fuhai-byo Crown rot (根ぐされ病)

Gibberella avenacea R.J. Cook [*Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo, *Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* 'Avenaceum']

佐藤倫造・荒木隆男:日植病報 41(3):266, 1975 ; 成田武四:北海道における農作物病害:235, 1977

[備考] アカクロバからは *Fusarium solani* (Martius) Saccardo [完全世代 *Nectria haematococca* Berkeley & Broome] の 2 つ以上の分化型も分離されている (佐藤倫造・荒木隆男:日植病報 41(1):125, 1975)

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces fallens (Arthur) Bartholomew [*Uromyces fallens* (Arthur) Bartholomew, *Uromyces trifolii* auct., *Uromyces trifolii* (R. Hedwing) Léveillé var. *fallens* (Desmazières) Arthur]

村山大記:日植病報 13(1-2):47, 1948 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:39, 1973

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):6, 1961
[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すす点病 susuten-byo Sooty blotch, Black blotch
Cymadothea trifolii (Persoon) F.A. Wolf [*Polythrincium trifolii* Kunze ex Ficus & Schabert]
北海道立農試:指導奨励上注意すべき事項 6:209, 1936(昭 11) ; 斉藤 正:植物防疫 8(11):476, 1954

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot
Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich
西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960 ; 千葉農試資料 1(牧草の病害 I):11, 1961
[備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot, Leaf scorch, Leaf spot, Pseudoplea leaf spot, Sphaerulina leaf spot
(黒点病, スフェルリナ斑点病)
Leptosphaerulina trifolii (Rostrup) Petrak [*Pseudoplea trifolii* (Rostrup) Petrak, *Sphaerulina trifolii* Rostrup]
田中一郎・成田武四:病虫雑 27(5):331, 1940(昭 15) ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):43, 1961

炭疽病 tanso-byo Southern anthracnose (南方炭疽病)
(1) *Colletotrichum destructivum* O'Gara
西田 耕:盛岡たばこ試報告 2:7, 1964 ; 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003
(2) *Colletotrichum trifolii* Bain
斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):182, 1957 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):25, 1961

根腐病 negusare-byo Root rot
(1) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn [*Corticium vagum* Berkeley & M.A. Curtis]
斉藤 正:植物防疫 8(11):478, 1954
[備考] 葉腐病菌と同じ
(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo
荒木隆男ら:日植病報 36(5):362, 1970 ; 荒木隆男・佐藤倫造:日植病報 39(2):154, 1973
[備考] 根腐症の病原菌として報告されたが, 病名未提案

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (花腐病)
Botrytis cinerea Persoon
飯田 格ら:東北農試研報 37:4, 1969 ; 斉藤 正:日植病報 28(2):70, 1963 ; 成田武四:北海道における農作物病害:235, 1977

葉枯病 hagare-byo Stemphylium leaf blight
Pleospora herbarum (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [*Stemphylium botryosum* non Wallroth sensu auct. pl., *Stemphylium herbarum* E.G. Simmons]
西原夏樹:日植病報 25(5):218, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):63, 1961

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (くもの巣病)
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):14, 1961 ; 月星隆雄・君ヶ袋尚志:草地試研報 47:29, 1993
[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照。月星・君ヶ袋 (1993)は, アカクローバをはじめわが国のマメ科

牧草の葉腐病菌には菌糸融合群 AG1 培養型 IA と IB があるとした

斑点病 hanten-byo Summer black stem and leaf spot
Cercospora zebrina Passerini [*Cercosporina zebrina* (Passerini) Matsuura]
松浦 勇:病虫雑 17(9):585, 1930(昭 5)

斑紋病 hammon-byo (アスコキータ病)
Ascochyta sp.
斉藤 正:植物防疫 8(11):478, 1954 ; 斉藤 正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:52, 1962
[備考] 本菌は褐斑病菌 *Stagonospora recedens* (Massalongi) Jones & Weimer の未熟胞子ではないかという意見もある

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)
Peronospora trifoliorum de Bary
出田 新:日本植物病理学(上):167, 1909(明 42) ; 斉藤 正:植物防疫 8(11):479, 1954

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot
Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka
新留伊俊:鹿児島農試創立 70 年記念報告:238, 1970

輪紋病 rimmon-byo Stemphylium leaf spot, Target spot (斑点病)
Stemphylium sarcinaeforme (Cavara) Wiltshire [*Macrosporium sarcinaeforme* Cavara]
原 攝祐:実験作物病理学:462, 1930(昭 5) ; 成田武四:北海道立農試集報 2:45, 1958

シスト線虫病 cyst-senchu-byo
Heterodera trifolii Goffart クローバーシストセンチュウ
湯原 巖ら:北日本病虫研報 12:104, 1961 ; 井上 寿:北日本病虫研報 12:105, 1961

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
(1) *Helicotylenchus dihystra* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ
一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963
(2) *Gracilacus yokooi* Toida, Ohshima & Hirata ピンセンチュウの 1 種
Kashio, T. & Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 32:57, 1972
[備考] 接種試験の結果 *Paratylenchus aciculus* Brown として報告されたが、後に本種として記載された
(Toida, Y. *et al.*:Jpn. J. Nematol. 12:15, 1983)
(3) *Paratrophurus* sp. リュウキュウイシユクセンチュウ
照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979
(4) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964
(5) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
近岡一郎ら:神奈川県農試研究機関共同研報 2:1, 1971
[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病)
(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ
藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

††えそ斑点病 eso-hanten-byo Necrotic leaf spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith) Stapp, *Pseudomonas stizolobii* (Wolf) Stapp]

富永時任:植物防疫 17(10):412, 1963

[備考] 米国。本菌はアカクローバでわが国での発生は未記載

††††

Phoma sp.

斉藤 正:植物防疫 8(11):479, 1954

[備考] 田中一郎・成田武四 (病虫雑 27(5):330, 1940) の記載した *Phoma* sp. は二次的なものとみられる
(成田武四:北海道における農作物病害:237, 1977)

シロクローバ(白クローバ, ホワイトクローバ, シロツメクサ, オランダゲンゲ)

White clover

Trifolium repens L.

(牧草・芝草)

シロクローバはタイプによってワイルドホワイトクローバ (Wild white clover, *T. repens* L. var. *sylvester*),
コモンホワイトクローバ (Common white clover, *T. repens* L. var. *hollandicum*) およびラジノクローバ
(Ladino clover, *T. repens* L. race *giganteum*) に分けられる (農林水産技術会議事務局:試料作物の品種解
説:148, 1974)

萎黄病 io-byo Yellows

Clover yellows virus (CYV) クローバ萎黄ウイルス

大木 理ら:日植病報 42(1):63, 1976 ; 大木 理ら:日植病報 42(3):313, 1976

ウイルス病 virus-byo

(1) *White clover cryptic virus 1* (WCCV-1) [White clover temperate virus#] シロクローバ潜伏ウイルス 1

(2) *White clover cryptic virus 2* (WCCV-2) [White clover temperate virus#] シロクローバ潜伏ウイルス 2

(3) *White clover cryptic virus 3* (WCCV-3) [White clover temperate virus#] シロクローバ潜伏ウイルス 3

夏秋啓子ら:日植病報 49(1):132, 1983 ; Natsuaki, T. *et al.*:Intervirology 25:69, 1986

[備考] 無病徴保毒

えそ輪点病 eso-rinten-byo

ウイルス (未同定)

小室康雄:植物防疫 17(10):420, 1963 ; 小室康雄:日本作物ウイルス病総覧(明日山秀文・飯田俊武編):141,
1967

黄斑モザイク病 ohan-mosaic-byo Yellow patch

Alfalfa mosaic virus (AMV) アルファアルファモザイクウイルス

大島信行ら:北日本病虫研報 13:77, 1962 ; 斉藤 正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:52, 1962 ; 小室康雄:植物
防疫 17(10):417, 1963

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

小室康雄:植物防疫 17(10):413, 1963

(2) *Clover yellow vein virus* (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#]

井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968 ; 笹谷孝英:四国農試報 63:1, 1998

(3) *White clover mosaic virus* (WCIMV) シロクローバモザイクウイルス

越水幸男・飯塚典男:日植病報 21(2-3):127, 1956 ; 飯塚典男・飯田 格:北日本病虫研報 12:58, 1961 ; 飯塚典男・飯田 格:日植病報 30(1):46, 1965

(4) ウイルス (未同定)

小室康雄:植物防疫 17(10):420, 1963

[備考] ウイルスの種類は明らかでないが、シロクローバのモザイク病は福士貞吉 (札幌博物会報 12(2-3):132, 1932), 村山大記 (札幌農林会報 34(1):47, 1941) の報告がある

紫染萎黄病 shisen-io-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

関山英吉・村山大記:農及園 45(5):843, 1970

[備考] 本病は初めウイルス病とされ、その病原は *Aster yellows virus* とされた

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

福士貞吉・四方英四郎:北大農邦文紀 2(3):47, 1955

[備考] 本病は初めウイルス病とされ、その病原は *Potato witches' broom virus* とされた

葉化病 yoka-byo Phyllody

Phytoplasma ファイトプラズマ

中村重正ら:日植病報 41(3):297, 1975 ; 中村重正ら:日植病報 42(3):389, 1976

黒点細菌病 kokuten-saikin-byo Bacterial black leaf spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith) Stapp]

富永時任:植物防疫 17(10):411, 1963 ; 後藤正夫・岡部徳夫:日植病報 28(5):286, 1963 ; Goto, M. & Starr, M. P.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 37(4):233, 1971

[備考] 本病はクローバの黒点細菌病として記載されたが、シロクローバの病害と考えられる

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

後藤正夫:農及園 31(10):1415, 1956

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902

岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:66, 1951 ; 富永時任:植物防疫 17(10):411, 1963

赤かび立枯病 akakabi-tachigare-byo

Fusarium sp.

西原夏樹:農業技術 15(10):446, 1960

[備考] 記載不十分。調査を要する

いぼ斑点病 ibo-hanten-byo Common leaf spot, Pseudopeziza leaf spot, Leaf spot (斑葉病)

Pseudopeziza trifolii (Bivona-Bernardi) Fuckel

成田武四:北海道立農試集報 4:64, 1959 ; 西原夏樹:農業技術 15(10):446, 1960

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe pisi de Candolle

本間ヤス:北大農紀 38(3):323, 1937(昭 12) ; 西原夏樹:日植病報 24(1):40, 1959

[備考] 西原 (1959) はクロローバの病害として報告している。アカクロローバうどんこ病参照

汚斑病 ohan-byo *Curvularia* leaf blight, Clover wilt, Leaf spot

Curvularia trifolii (Kauffman) Boedijn

松浦 勇:病虫雑 12(12):668, 1925(大 14) ; 高橋廣治・飯田 格:東北農試研報 37:15, 1969

[備考] 病原菌の異名はアカクロローバ汚斑病参照。松浦 勇 (病虫雑 17(9):585, 1930) は本種以外にいま 1 種の *Brachysporium* によるシロクロローバの汚斑病があることを予報したが詳細をみない

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo *Pythium* snow blight

Pythium spp.

斉藤 正:農業技術 15(5):204, 1960 ; 斉藤 正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:52, 1962

[備考] 病原菌の種名等についてはアカクロローバ褐色雪腐病参照

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Stagonospora recedens (C. Massalonga) F.R. Jones & Weimer

成田武四:北日本病虫研報 23:19, 1972

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* root rot and crown rot, Clover rot, *Sclerotinia* wilt, Stem wilt

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

出田 新:日本植物病理学:347, 1903(明 36) ; 松浦 義:山形農試指定試報告 1:3, 1946

茎さび病 kukisabi-byo Rust

Uromyces flectens Lagerheim [*Uromyces nerviphilus* (Grognot) Hoston, *Puccinia nerviphila* Arthur]

伊藤誠哉:北大農紀 11(4):236, 1922(大 11); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):435, 1950; 平塚直秀:菌蕈研報 10:41, 1973

黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch

Rhizoctonia leguminicola Gough & E.S. Elliott

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):86, 1961 ; 成田武四:植物防疫 17(10):400, 1963

黒葉枯病 kuro-hagare-byo

Leptotrochila trifolii Narita

成田武四:農業技術 16(11):522, 1962 ; 成田武四ら:日植病報 34(5):363, 1968

[備考] アカクロローバ黒葉枯病参照

こうがいかび病 kogai-kabi-byo *Choanephora* rot (こうがい毛かび病)

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

西原夏樹:日菌報 9(1):38, 1968 ; 橋岡良夫・中井幸隆:日植病報 45(4):522, 1979

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

(1) *Sclerotium rolfsii* Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

(2) *Sclerotium delphinii* Welch

遠藤 茂:日本微生物病理雑誌 22:1851, 1928(昭 3) ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):8, 1961 ; 斉藤

正・吉村彰治:北陸病虫研報 10:51, 1962

[備考] 上記 2 種を同一種とする意見もあるが、現在は一般に区別される

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:茨城農試指定試験(病虫害) 3:5, 1963

蛇の目葉枯病 janome-hagare-byo

Phyllosticta sp.

西原夏樹:農業技術 15(10):448, 1960

[備考] 関澤 博・橋本 保 (北日本病虫研報 15:66, 1964) のラジノクローバ褐紋病も *Phyllosticta* sp. による病害。ともに調査を要する

すす点病 susuten-byo Sooty blotch, Black blotch

Cymadothea trifolii (Persoon) F.A. Wolf

香月繁孝:九州農業研究 7:75, 1950; 内藤中人:四国農業研究 1:60, 1956; 成田武四:北海道立農試集報 2:49, 1958

[備考] 病原菌の異名はアカクローバすす点病参照

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960

[備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot, Pseudoplea leaf spot, Burn, Sphaerulina leaf spot (黒点病, スフェルリナ斑点病)

Leptosphaerulina trifolii (Rostrup) Petrak

田中一郎・成田武四:病虫雑 27(5):331, 1940(昭 15); 成田武四:北海道立農試集報 4:58, 1959; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):43, 1961

[備考] 病原菌の異名はアカクローバそばかす病参照

立枯病 tachigare-byo (根腐病)

Pythium spinosum Sawada

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 5(1):13, 1961

[備考] 新留伊俊 (九病虫研会報 17:42, 1971) も夏枯れしたラジノクローバの根から *Pythium* sp. を分離した

炭疽病 tanso-byo Southern anthracnose

(1) *Colletotrichum destructivum* O'Gara

西田 耕:盛岡たばこ試報告 2:7, 1964; 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003

(2) *Colletotrichum trifolii* Bain

飯田 格ら:東北農試研報 37:4, 1969; 木谷清美・国安克人:四国農試報告 22:123, 1970

[備考] 木谷・国安 (1970) は病原菌を *Colletotrichum* sp. としている

根腐病* negusare-byo Root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

上野昌彦:農林省畜試年報 9:119, 1979

[備考] 葉腐病菌と同一。異名もそれを参照

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

飯田 格ら:東北農試研報 37:4, 1969 ; 成田武四:北海道における農作物病害:239, 1977

白斑病 hakuhan-byo *Stagonospora* leaf spot

Leptosphaeria pratensis Saccardo & Briard [*Stagonospora meliloti* (Lasch) Petrak]

松浦 勇:病虫雑 17(9):585, 1930(昭 5)

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, *Rhizoctonia* rot, Brown patch, Root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):14, 1961

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

葉さび病 hasabi-byo Rust

Uromyces trifolii-repentis Liro [*Uromyces trifolii* (R. Hedwing) Léveillé, *Uromyces trifolii* (R. Hedwing) Léveillé var. *trifolii-repentis* Arthur]

伊藤誠哉:北大農紀 11(4):235, 1922(大 11) ; 遠藤 茂:病虫雑 14(7):409, 1927(昭 2) ; 西原夏樹:農業技術 15(10):447, 1960 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:39, 1973

斑点病 hanten-byo *Cercospora* leaf spot, Summer black stem

Cercospora zebrina Passerini [*Cercosporina zebrina* (Passerini) Matsuura]

松浦 勇:病虫雑 17(9):585, 1930(昭 5)

火ぶくれ病 hibukure-byo Leaf curl, Warty scab (火腫病, 結癭病, 浮腫病)

Oplidium trifolii J. Schröter

草野俊助:東大農学術報告 10(2):83, 1929(昭 4) ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:23, 1936(昭 11) ; 西原夏樹:日植病報 24(1):40, 1959

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora trifoliorum de Bary

北海道農試牧草 3 研:北農 38(1):20, 1971

ほこりかび病* hokorikabi-byo Slime mold (灰色ほこりかび病)

Physarum cinereum (Batsch) Persoon ハイイロホコリカビ

富永時任:農技研報 C 25:197, 1971

[備考] 本種以外のホコリカビによる病害の発生のおそれがあり, それらの病徴の区別はつきにくいと思われるので, 病名にはそれを考慮してほこりかび病を採用する

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

成田武四:北海道における農作物病害:240, 1977

輪紋病 rimmon-byo *Stemphylium* leaf spot

Stemphylium trifolii J.H. Graham

西原夏樹:日植病報 24(1):40, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):59, 1961

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Heterodera trifolii Goffart クローバーシストセンチュウ

湯原 巖ら:北日本病虫研報 12:104, 1961 ; 井上 寿:北日本病虫研報 12:105, 1961

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus dihystra* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(2) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(3) *Paratylenchus projectus* Jenkins ピンセンチュウの1種

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(4) *Pratylenchus crenatus* Loof ノコギリネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:101, 1966

[備考] 接種試験の結果

(5) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(6) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963 ; 山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966

(7) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

(8) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 ; 成田武四:北海道立農試集報 4:54, 1959

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

カリ欠乏症 kari-ketsubo-sho Potassium deficiency

カリ欠乏

吉原 潔・西原夏樹:長野県における牧草生育障害の実態 1(長野県畜産課):37, 1960 ; 前田正男(編):原色作物の要素欠乏・過剰症:11, 1968

††††

Ascochyta sp.

山本 勉ら:中国農試報告 A 9:137, 1963 ; 飯田 格ら:東北農試研報 37:4, 1969

[備考] 病原菌の分類学的所属について検討を要する

††††

Macrosporium cladosporioides Desmazières

原 攝祐:日本菌類目録:189, 1954

[備考] 病原菌の分類学的所属について検討を要する

サブタレニアンクローバ(サブクローバ, ジモグリツメクサ)

Subterranean clover, Sub clover

Trifolium subterraneum L.

(牧草・芝草)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

飯塚典男・飯田 格:東北農試研報 37:43, 1969

(2) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

飯塚典男・飯田 格:東北農試研報 37:43, 1969

(3) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:植物防疫 17(10):420, 1963

(4) Broad bean wilt virus#

小室康雄:日本作物ウイルス病総覧(明日山秀文・飯田俊武編):143, 1967 ; 與良 清ら:日植病報 35(2):122, 1969

汚斑病 ohan-byo *Curvularia* leaf blight, Leaf spot

Curvularia trifolii (Kauffman) Boedijn

西原夏樹:農林省畜試研報 12:15, 1966

[備考] 病原の異名はアカクロローバ汚斑病参照

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* root rot and crown rot, Clover rot, *Sclerotinia* wilt

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

富永時任:農技研報 C 25:197, 1971

黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch

Rhizoctonia leguminicola Gough & E.S. Elliott

富永時任:日菌報 4(1):15, 1962 ; 富永時任:農技研報 C 25:1971

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces fallens (Arthur) Bartholomew

成田武四:植物防疫 17(10):400, 1963

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot, *Pseudoplea* leaf spot, *Sphaerulina* leaf spot (黒点病, スフェルリナ斑点病)

Leptosphaerulina trifolii (Rostrup) Petrak

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):53, 1961

[備考] 病原菌の異名はアカクロローバそばかす病参照

炭疽病 tanso-byo Southern anthracnose

Colletotrichum trifolii Bain

杉本 堯ら:日植病報 39(3):192, 1973

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, *Rhizoctonia* rot (くもの巣病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):14, 1961

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Summer black stem and leaf spot

Cercospora zebrina Passerini

富永時任:農技研報 C 25:196, 1971

[備考] 病原菌の異名はアカクロバ斑点病参照

その他のクロバ

(Trifolium)

Trifolium spp.

(牧草・芝草)

エジプトチアノクロバ, バーシム Egyptian clover, Berseem clover, Alexandrian clover *T. alexandrinum* L.

スモールホップクロバ(コメツブツメクサ) Small hop clover *T. dubium* Sibth.

ストロベリークロバ(ツメクサダマシ) Strawberry clover *T. fragiferum* L.

ローズクロバ(ビロードアカツメクサ) Rose clover *T. hirtum* All.

ペルシヤンクロバ(シャットア, ヒナメツメクサ) Persian clover, Reversed clover *T. resupinarum* L.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

ウイルス (未同定)

村山大記:札幌農林会報 34(1):50, 1941(昭 16) ; 小室康雄:植物防疫 17(10):420, 1963

[備考] 村山 (1941) はエジプトチアノクロバのモザイク病, 小室 (1963) はストロベリークロバのモザイク病を報告した

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe trifoliorum (Wallroth) U. Braun

Meeboon, J. & Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 56:257, 2015

[備考] 接種試験未了。スモールホップクロバに発生

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root rot and crown rot, Clover rot

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

富永時任:農技研報 C25:197, 1971

[備考] スモールホップクロバ (エローサックリングクロバ) に発生

黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch

Rhizoctonia leguminicola Gough & E.S. Elliott

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):86, 1961

[備考] ストロベリークロバに発生

すす点病 susuten-byo Sooty blotch, Black blotch

Cymadothea trifolii (Persoon) F.A. Wolf

成田武四:北海道における農作物病害:241, 1977

[備考] ストロベリークロバに発生。病原菌の異名はアカクロバすす点病参照

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot

Leptosphaerulina trifolii (Rostrup) Petrak

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 I):43, 1961 ; 成田武四:植物防疫 17(10):400, 1963

[備考] エジプトチアノクロバ (西原 1961, 成田 1963), ストロベリークロバおよびローズクロバ (西原 1961)に発生。病原菌の異名はアカクロバそばかす病参照

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:241, 1977

[備考] ストロベリークロバに発生

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (くもの巣病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害 D):14, 1961 ; 成田武四:植物防疫 17(10):400, 1963

[備考] 西原 (1961) はほとんどのマメ科牧草に発生すると述べ、すべての草種は明示していないが、ストロベリークローバには発生が多い。成田 (1963) はエジプトチアノクローバを掲げている。病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Summer black stem and leaf spot

Cercospora zebrina Passerini

成田武四:植物防疫 17(10):400, 1963

[備考] エジプトチアノクローバに発生。病原の異名はアカクローバ斑点病参照

ソラマメ(蚕豆)

Broad bean

Vicia faba L.

(食用作物)

萎黄病 io-byo Yellow dwarf

Milk vetch dwarf virus (MDV) レンゲ萎縮ウイルス

井上忠男ら:日植病報 34(1):28, 1968

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

御子柴義郎・藤澤一郎:日植病報 56(1):110, 1990

(2) *Pomovirus*属ウイルス

中村茂雄ら:日植病報 72(1):54, 2006 ; 中村茂雄ら:日植病報73(3):227, 2007

[備考] えそ症状を示す。土壌伝染性。ウイルスゲノムの解析によりソラマメえそモザイクウイルスとは別種の*Pomovirus*属ウイルスが関与している可能性が高い

(3) *Vicia cryptic virus* (VCV) ソラマメ潜伏ウイルス

夏秋知英ら:日植病報 47(1):94, 1981

[備考] 潜在感染

えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic (壊疽モザイク病)

(1) *Broad bean necrosis virus* (BBNV) ソラマメえそモザイクウイルス

深野 弘・横山佐太正:九州農業研究 10:133, 1952 ; 井上忠男・麻谷正義:日植病報 34(5):317, 1968

(2) *Broad bean necrotic mosaic virus*# (BBNMV) ソラマメネクロティックモザイクウイルス

富高保弘ら:日植病報 80(1):16, 2014 ; 中村茂雄ら:日植病報 82(3):253, 2016 ; 富高保弘ら:第94回九州病虫研講要

[備考] 富高ら(2014)と中村ら(2016)が報告したウイルスの異同は不明。土壌伝染性。富高ら(2014)は症状を呈する株から*Polymyxa graminis*を検出した

えそ輪紋病 eso-rimmon-byo

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

夏秋啓子ら:日植病報 48(1):80, 1982

黄化病 oka-byo

Clover yellows virus (CYV) クローバ萎黄ウイルス

夏秋啓子ら:日植病報 48(1):80, 1982

黄色輪紋病 oshoku-rimmon-byo

Broad bean yellow ringspot virus# (BBYRV) ソラマメ黄色輪紋ウイルス

塩川啓子ら:日植病報 45(1):84, 1979

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

井上忠男:農学研究 52:11, 1968

(2) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) ソラマメウルトウイルス2 [Broad bean wilt virus#, Pea dwarf mosaic virus#]

笹谷孝英ら:日植病報 58(1):134, 1992 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

(3) Broad bean wilt virus# [Pea dwarf mosaic virus#]

井上忠男・井上成信:文部省科研総合研究, 昭和39・40年成績資料:30, 1966 ; 井上忠男・井上成信:農学研究 52:11, 1968

[備考] 本ウイルスによるものを萎縮モザイク病と呼んだことがある

(4) *Clover yellow vein virus* (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス

笹谷孝英ら:四国植防 29:7, 1994 ; 中村茂雄・本蔵良三:北日本病虫研報 48:80, 1997

(5) *Pea seed-borne mosaic virus* (PSbMV) エンドウ種子伝染モザイクウイルス

井上忠男:日植病報 33(1):38, 1967

(6) *Watermelon mosaic virus* (WMV) スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス Watermelon mosaic virus 2#]

田中 寛ら:大阪農技センター研報 10:77, 1973

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:病虫雑 17:707, 1930(昭5)

葉脈黄化病 yomyaku-oka-byo

Broad bean yellow vein virus# (BBYVV) ソラマメ葉脈黄化ウイルス

夏秋啓子ら:日植病報 47(3):410, 1981 ; 夏秋啓子ら:日植病報 49(1):81, 1983

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

新海 昭:琉球政府経済局特別報告(甘藷天狗巣病の虫媒伝染に関する研究):22, 1964 ; 新海 昭:日植病報 35(5):388, 1969

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

田中彰一・岸 國平:蔬菜の病害と防除法:139, 1963

茎腐細菌病 kukigusare-saikin-byo Bacterial stem rot

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

本蔵良三ら:日植病報 62(6):604, 1996 ; 木村俊夫ら:日植病報 62(6):604, 1996

葉焼病 hayake-byo Bacterial leaf blight

病原細菌種名未定

瀧元清透:病虫雑 2(10):846, 1915(大4)

[備考] 本病病原細菌の種名 *Pseudomonas viciae* Uyeda は国際細菌命名規約により 1980年1月1日をもって失効した

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

大司さえき ら:日植病報 66(3):255, 2000

[備考] *Erysiphe polygoni* 型

疫病 eki-byo *Phytophthora* rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*, *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*]

瀧元清透:日植病報 7(3-4):240, 1938(昭 13) ; 桂 琦一:植物の疫病:83, 1971

[備考] 病原菌の異名はタバコ疫病参照

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo *Pythium* snow rot

Pythium iwayamai S. Ito

荒井治喜ら:日植病報 65(6):656, 1999

褐斑病 kappan-byo Brown spot, Leaf spot (褐紋病, 斑葉病)

Ascochyta fabae Spegazzini

吉野毅一:農業世界 1(3):61, 1906(明 39) ; 吉井 甫:日植病報 17(3-4):175, 1953

[備考] 吉野 (1906) は病原菌を *Ascochyta pisi* Libert, 出田 新 (日本植物病理学下:649, 1911) は *Ascochyta phaseolorum* Saccardo としたが, これらは *Ascochyta fabae* Spegazzini の誤り。また原 攝祐 (実用作物病理学:526, 1925) は褐斑病の病原として *Stagonospora carpathica* Baeumler をあてたが, この菌については検討を要する

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

逸見武雄:植物治病学汎論:367, 1926(大 15)

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

茎腐病 kukigusare-byo *Rhizoctonia* rot (地際腐敗病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

鏑方末彦:食用作物病理学(上):220, 1949 ; 三鍋昌俊・出水忠夫:日植病報 14(1-2):47, 1950

[備考] 菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II。病原菌の異名はイネ紋枯病参照

黒根病 kurone-byo *Cylindrocladium* root rot

Cylindrocladium floridanum Sobers & C.P. Seymour

大藤泰雄ら:日植病報 58(4):584, 1992

さび病 sabi-byo Rust (銹病, 葉渋病, 赤渋病)

Uromyces viciae-fabae (Persoon) J. Schröter var. *viciae-fabae* [*Uromyces fabae* (Persoon) de Bary]

出田 新:農作物病理学:89, 1901(明 34) ; 平塚直秀:病虫雑 17(9):571, 1930(昭 5) ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:27, 1973

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

遠藤 茂:病虫雑 20(9):717, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

原 攝祐:日本菌類目録:318, 1954

赤色斑点病 sekishoku-hanten-byo Chocolate spot, Red spot (チョコレート斑点病)

(1) *Botrytis fabae* Sardiña

鏑方末彦:岡山農試臨時報告 38:1, 1933(昭 8)

(2) *Botrytis cinerea* Persoon

塚本俊秀・大久保博人:日植病報 63(6):527, 1997

(3) *Botrytis elliptica* (Berkeley) Cooke

塚本俊秀・大久保博人:日植病報 63(6):527, 1997

立枯病 tachigare-byo Stem wilt, Root rot

(1) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *fabae* T.F. Yu & C.T. Fang

三宅忠一:大原農研報告 2(4):435, 1924(大 13) ; 鏑方末彦:食用作物病学(上):212, 1949 ; 山本和太郎ら:兵庫農大研報 2(1):53, 1955

[備考] *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo は *Fusarium roseum* Link emend. Snyder & Hansen [完全時代 *Gibberella zeae* (Schweinitz) Petch = *Gibberella saubinetii* (Montagne) Saccardo] の一部に当る。山本ら (1955) は *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo f.sp. *fabae* (Yu) Yamamoto としているが, 独自の分化型とすることには疑問が残されている。上掲 2 菌種のほか *Fusarium solani* (Martius) Saccardo が分離されることもある

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

野島秀伸・佐藤豊三:九病虫研会報 45:134, 1999

根腐病 negusare-byo

Pythium sp.

三鍋昌俊・出水忠夫:日植病報 14(1-2):47, 1950

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

荒井治喜ら:日植病報 66(2):92, 2000

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Alternaria tenuissima (Nees) Wiltshire

Rahman, M. Z. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 68(1):31, 2002

火ぶくれ病 hibukure-byo Warty scab (火腫病)

Olpidium viciae Kusano

草野俊助:病虫雑 23(1):1, 1936(昭 11)

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora viciae de Bary

出田 新:日本植物病理学:119, 1903(明 36)

雪腐菌核病 yukigusare-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

荒井治喜ら:日植病報 65(6):656, 1999

輪紋病 rimmon-byo Ring spot, Zonate leaf spot (斑葉病)

Cercospora zonata G. Winter [*Cercospora fabae* Fautrey, *Cercosporina fabae* (Fautrey) T. Takahashi & Suzuki]
原 攝祐:実用作物病理学:526, 1925(大 14)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鎗木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

(2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 根瘤病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

いや地病 iyachi-byo Soil sickness (弥地病)

原因不明

農林省農務局:病虫害分布調査, 1929(昭 4)

††褐点病 katten-byo Bacterial leaf spot, Bacterial streak (斑点性細菌病, 斑葉性細菌病)

Pantoea agglomerans (Beijerinck 1888) Gavini, Mergaert, Beji, Mielcarek, Izard, Kersters & De Ley 1989 [*Bacillus lathyr* Manns & Taubenhaus, *Erwinia herbicola* (Löhnis 1911) Dye 1964]

西田藤次:病虫雑 9(9):437, 1922(大 11)

[備考] 抄録。病原細菌について再検討を要する

††茎枯細菌病* kukigare-saikin-byo (茎枯性細菌病)

病原細菌種名未定

岡部徳夫:植物細菌病学:328, 1949

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Pseudomonas fabae* (Yu) Burkholder [*Bacterium fabae* (Yu) Okabe] は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo (黒斑性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium trifoliorum* Jones, Williamson, Wolf & McCulloch 1923]

岡部徳夫:植物細菌病学:329, 1949

[備考] 国内発生未詳

††††褐紋病 katsumon-byo

Ascochyta viciae Libert

出田 新:大日本農会報 302:11, 1906(明 39) ; 原 攝祐:実験作物病理学:841, 1930(昭 5)

[備考] 病原菌について検討を要する

コモンベッチ(オオカラスノエンドウ, オオヤハズエンドウ, ザートウィッケン)

Common vetch

Vicia sativa L.

(牧草・芝草)

本邦野生のヤハズエンドウ (カラスノエンドウ) は *Vicia angustifolia* L. であるが、ここでは野生種に発生が報告された病害、病原を含める

葉脈えそ病 yomyaku-eso-byo (葉脈壊疽モザイク病, 葉脈えそウイルス病)

Bean yellow mosaic virus (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

深野 弘・横山佐太正:九州農業研究 10:133, 1952 ; 日野稔彦:日植病報 25(1):66, 1960 ; 小室康雄:植物防疫 17(10):419, 1963

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe pisi de Candolle

平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo *Pythium* snow blight

Pythium spp.

斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):184, 1957 ; 飯田 格・斉藤 正:北陸農業研究 3(2):41, 1958

[備考] 病原菌の種名等についてはアカクローバ褐色雪腐病参照

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* root rot and crown rot

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):184, 1957

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces ervi Westendorp

平塚直秀・吉田政治:病虫雑 17(9):571, (10):635, (11):716, 1930(昭 5) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):106, 1950 ;

平塚直秀:菌草研報 10:24, 1973

そばかす病 sobakasu-byo Pepper spot, Pseudoplea leaf spot, Sphaerulina leaf spot

Leptosphaerulina trifolii (Rostrup) Petrak

西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):3, 1963

[備考] 病原菌の異名はアカクローバそばかす病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella glycines (Hori) Lehman & Wolf [*Colletotrichum destructivum* O'Gara, *Colletotrichum sativum* N.L. Horn]

飯田 格・斉藤 正:北陸農業研究 3(2):35, 1958 ; 西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):4, 1963

[備考] Sawada (Coll. Agric. Natl. Taiwan Univ. Spec. Publ. No.8:175, 1959) は台湾で *Vicia sativa* から *Colletotrichum viciae-sativae* Sawada を記載したが、これと *C. destructivum* の相違はなお検討を要する

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (チョコレート斑点病)

Botrytis cinerea Persoon

西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):3, 1963 ; 木谷清美:植物防疫 17(10):409, 1963

灰斑病 haihan-byo *Ascochyta* leaf spot

Ascochyta punctata Naumov

澤田兼吉:台湾農試報告 85(台湾菌類調査報告 8):73, 1943(昭 18) ; 西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):14, 1963

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (子苗の立枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

(1) *Peronospora sepium* Gäumann

伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:187, 1936(昭 11)

(2) *Peronospora viciae-sativae* Gäumann

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 35(台湾菌類調査報告 4):11, 1928(昭 3); 板野秀次郎:日植病報 4(1-2):89, 1934(昭 9); 伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:187, 1936(昭 11)

[備考] *P. sepium* はカラスノエンドウ, *P. viciae-sativae* はヤハズエンドウに寄生するとされているが宿主の同定に疑問あり

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

(4) *Pratylenchus zeae* Graham モロコシネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病)

Meloidogyne hapla Chitwood [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9); 岩田健一:北農 5(11):553, 1938; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

++++桃色かび病 momoirokabi-byo

Cephalothecium sp.

西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):3, 1963

[備考] 種子に発生。記載不十分。調査を要する。病原菌は *Trichothecium* に転属されている

++++

Ovularia schwarziana Magnus

三浦密成:秋田農試報 8:54, 1957

[備考] 三浦 (1957) は本菌の宿主としてヘヤリーベッチのほか, *Vicia sativa* L. サンドベッチを挙げ, 索引ではこれを"からすのえんどう"と注記しているが, これはヘヤリーベッチの誤認であると思われる

ヘヤリーベッチ(サンドベッチ, ビロードクサフジ)

Hairy vetch, Winter vetch, Sand vetch

Vicia villosa Roth

(牧草・芝草)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

ウイルス (未同定)

日野稔彦:日植病報 25(1):21, 1960

[備考] 病原ウイルスは *Bean yellow mosaic virus* (BYMV インゲンマメ黄斑モザイクウイルス)に近い
(井上忠男:農学研究 50(3):105, 1964)

褐色雪腐病 *kasshoku-yukigusare-byo* *Pythium snow blight*

Pythium spp.

斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):184, 1957 ; 飯田 格・斉藤 正:北陸農業研究 3(2):41, 1958

[備考] 病原菌の種名等はアカクロバ褐色雪腐病参照。本病はビッグフラワーベッチ (*Vicia glandiflora*) やウイラメッドベッチにも発生 (斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960)

菌核病 *kinkaku-byo* *Sclerotinia root rot and crown rot*

Sclerotinia trifoliorum Eriksson

岩山新二:農及園 7(2):259, 1932(昭 7) ; 松浦 義:山形農試指定試験報告第 1 報 3, 1946

[備考] 本病はビッグフラワーベッチやウイラメッドベッチにも発生 (斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960)

さび病 *sabi-byo* Rust

Uromyces sp.

斉藤 正:北陸病虫研報 4:53, 1956

白かび病 *shirokabi-byo* Leaf and stem spot (斑点病)

Ovularia schwarzhiana Magnus

田中一郎・岩垂 悟:札幌博覧会報 11(4):260, 1931(昭 6) ; 斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):184, 1957 ;
西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):9, 1963

炭疽病 *tanso-byo* Anthracnose

Colletotrichum villosum Weimer

斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960

灰色かび病 *haiiro-kabi-byo* Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

斉藤 正:日植病報 23(1):16, 1958 ; 斉藤 正:農業技術 15(5):207, 1960

葉腐病 *hagusare-byo* Summer blight, *Rhizoctonia rot* (根腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

斉藤 正:日植病報 8(11):478, 1954 ; 斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 *hanten-byo* Leaf spot

Ascochyta sp.

飯田 格・斉藤 正:北陸農業研究 3(2):39, 1958 ; 斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960

[備考] コモンベッチ灰斑病菌 *Ascochyta punctata* Naumov との異同について検討を要する

べと病 *beto-byo* Downy mildew (露菌病)

Peronospora sp.

斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):184, 1957

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratylenchus projectus* Jenkins ピンセンチュウの1種

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(4) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(5) *Pratylenchus zaei* Graham モロコシネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

†葉枯病 hagare-byo Leaf spot

Septoria pisi Westendorp

西原夏樹:農林省畜試研報 10:38, 1966

[備考] ブラジル

††††

Fusarium sp.

斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):184, 1957

[備考] 発芽障害を起こす

ソラマメ類

(*Vicia*)

Vicia spp.

(野草)

ツルフジバカマ *Vicia amoena* Fisch.

ナンテンハギ *Vicia unijuga* A. Br.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe viciae-unijugae (Homma) U. Braun [*Microsphaera polygoni* (de Candolle) Sawada pro parte, *Microsphaera viciae-unijugae* Homma]

澤田兼吉:台湾総督府中央研究所農業部報告 24:56, 1914(大 3); 本間ヤス:北大農紀要 38(3):400, 1937(昭 12); 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):200, 1988

[備考] ナンテンハギに発生。オオバクサフジ, ヒロハクサフジ, ミヤマタニワタシにも発生するとされる (大谷 1988)

黒穂病 kuroho-byo Smut

Thecaphora viciae-amoenae Y. Harada

Harada, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 24:300, 1983

[備考] ツルフジバカマ

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Uromyces heimerlianus* Magnus

Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:969, 1992

[備考] ツルフジバカマ・ナンテンハギ

(2) *Uromyces viciae-fabae* (Persoon) J. Schröter var. *orobi* (Schumacher) Jørstad

Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:990, 1992

[備考] ナンテンハギ

(3) *Uromyces viciae-fabae* (Persoon) J. Schröter var. *viciae-fabae*

Hiratsuka, N. et al.: The rust flora of Japan: 988, 1992

[備考] ツルフジバカマ

アズキ(小豆)

Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean

Vigna angularis Ohwi & Ohashi

[*Phaseolus angularis* (Willd.) Wight]

(食用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus

Peanut stunt virus (PSV) ラッカセイ矮化ウイルス

吉田幸二・土崎常男: 日植病報 46(1):100, 1980

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

飯塚典男・柚木利文: 北日本病虫研報 22:98, 1971

(2) *Bean common mosaic virus* (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス [Azuki bean mosaic virus#, Asparagus bean mosaic virus#, Blackeye cowpea mosaic virus#]

松本 巍: 病虫雑 9(10):517, 1922(大 11); 日野稔彦: 日植病報 27(3):138, 1962; 飯塚典男ら: 日植病報 36(3):186, 1970; 土崎常男ら: 日植病報 36(2):112, 1970; 土崎常男ら: 日植病報 50(4):461, 1984

(3) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

飯塚典男ら: 日植病報 36(3):186, 1970

(4) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

飯塚典男・津田保昭: 北日本病虫研報 19:25, 1968; 土崎常男ら: 日植病報 36(2):112, 1970

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902

谷井昭夫・馬場徹代: 日植病報 37(3):183, 1971

茎腐細菌病 kukigusare-saikin-byo Bacterial stem rot

Pseudomonas sp.

谷井昭夫ら: 日植病報 39(2):151, 1973; 谷井昭夫・馬場徹代: 日植病報 40(3):202, 1974; 谷井昭夫・馬場徹代: 北海道立農試集報 42:29, 1979; 東岱孝司ら: 日植病報 77(3):246, 2011

[備考] 本病の病原細菌の種名 *Pseudomonas adzukicola* Tanii & Baba は国際細菌命名規約により失効したが、東岱ら(2011)は *Pseudomonas syringae* 群と推定した

細菌病 saikin-byo

Xanthomonas axonopodis pv. *phaseoli* (Smith 1897) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Pseudomonas phaseoli* Smith, *Bacillus phaseoli* Smith, *Xanthomonas campestris* pv. *phaseoli* (Smith 1897) Dye 1978]

半澤 洵: 北海道農会報及興農雑誌 134 号; 出田 新: 日本植物病理学(上):94, 1909(明 42)

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *adzukicola* Kitazawa & K. Yanagita

北沢健治・柳田騏策: 日植病報 55(1):76, 1989; 近藤則夫・児玉不二雄: 日植病報 55(4):451, 1989

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe pisi* de Candolle

本間ヤス:北大農紀要 38(3):323, 1937(昭 12)

(2) *Podosphaera xanthii* (Castgne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca phaseoli* (Z.Y. Zhao) U. Braun, *Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci, *Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

出田 新:続日本植物病理学(上):210, 1922(大 11) ; 本間ヤス:北大農紀 38(3):304, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

角斑病* kakuhan-byo Angular leaf spot

Phaeoisariopsis griseola (Saccardo) Ferraris [*Isariopsis griseola* Saccardo]

三浦密成:秋田農試報告 8:64, 1957

†角斑病 kakuhan-byo

Leptosphaeria circinans (Fuckel) Saccardo

原 攝祐:農及園 17(5):631, 1942(昭 17)

[備考] 中国東北部。 *Phaeoisariopsis griseola* による角斑病と病名重複し不適當

褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown leaf spot

Aristastoma sp.

粕山新二・井上幸次:日植病報54(3):348, 1988 ; 粕山新二・井上幸次:岡山県農試研報 26:39, 2008

褐斑病 kappan-byo Leaf spot (角斑病, 褐紋病, 斑点病)

Cercospora canescens Ellis & G. Martin [*Cercosporiopsis canescens* (Ellis & G. Martin) Miura]

柴田萬年:病虫雑 11(12):672, 1924(大 13) ; 山本和太郎:日植病報 14(1-2):45, 1950

[備考] 柴田は褐斑病菌として *Cercospora cruenta* Saccardo をあげたが, 菌の記載から判断して *C. canescens* と思われる

†褐斑病 kappan-byo

Mycosphaerella phaseolicola Saccardo

中田覺五郎・瀧元清透:産業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):25, 1928(昭 3)

[備考] 朝鮮半島

褐紋病 katsumon-byo Leaf spot (斑葉病)

Phyllosticta phaseolina Saccardo [*Phyllosticta phaseolorum* Saccardo & Spegazzini]

半澤 洵:興農雑誌 14(134):173, 1906(明 39) ; 鑄方末彦:食用作物病学(上):202, 1949

菌核病 kinkaku-byo Stem rot, Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

原 攝祐:農及園 17(5):631, 1942(昭 17) ; 成田武四:北海道十勝農試資料 2:4, 1966

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

茎疫病 kuki-eki-byo

Phytophthora vignae Purss f. sp. *adzukicola* S. Tsuchiya, Yanagawa & Ogoshi

北沢健治・柳田騏策:日植病報 44(1):74, 1978 ; 北沢健治ら:日植病報 44(4):528, 1978 ; 土屋貞夫ら:日植病報 52(4):577, 1986

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uromyces phaseoli (Rebentisch) G. Winter var. *azukicola* (Hirata) Hiratsuka [*Uromyces azukicola* Hirata]

半澤 洵:興農雑誌 14(134):173, 1906(明 39) ; 平田正一:日植病報 16(1):13, 1952 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:35,

子実汚斑病 shijitsu-ohan-byo Yeast spot(1) *Eremothecium ashbyi* (Guilliermond ex Routien) Batra(2) *Eremothecium coryli* (Peglion) KurtzmanKimura, S. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 75(4):322, 2009**白絹病** shirakinu-byo Stem rot, Southern blight (小粒白絹病)*Sclerotium rolfsii* Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

鑄方末彦: 食用作物病学(上):205, 1949 ; 原 攝祐: 農及園 17(5):632, 1942

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すすかび病 susukabi-byo Leaf spot (煤黴病, 煤紋病)*Pseudocercospora cruenta* (Saccardo) Deighton [*Mycosphaerella cruenta* Latham, *Cercospora cruenta* Saccardo]

山本和太郎・前田巳之助: 兵庫農大研報 4(2):53, 1960

[備考] 完全世代はわが国では未確認。主としてツルアズキ(*Phaseolus pendulus*)。病原菌の異名はササゲすすかび病参照**炭腐病** sumigusare-byo Charcoal rot, Ashy stem blight*Macrophomina phaseolina* (Tassi) Goidánich

西原夏樹: 千葉農試研報 3:89, 1958

[備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照

立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

原 攝祐: 農及園 17(5):631, 1942(昭 17) ; 半澤 洵: 興農雑誌 14(134):173, 1906(明 39) ; 北沢健治・柳田騏策: 日植病報 50(5):643, 1984

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *phaseoli* J.B. Kendrick & W.C. Snyder

近藤則夫・児玉不二雄: 日植病報 55(4):451, 1989 ; 小林享夫: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):538, 1992

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐紋病, 褐斑病)*Colletotrichum phaseolorum* S. Takimoto

角田鷹次郎: 病虫雑 3(11):866, 1916(大 5) ; 瀧元清透: 日植病報 4(1-2):21, 1934(昭 9) ; 鑄方末彦: 食用作物病理学(上):199, 1949

[備考] 本病菌を *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [子のう時代 *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk] の異名とする意見もある (山本和太郎: 植物防疫 14:49, 1960)**灰色かび病** haiiro-kabi-byo Gray mold*Botrytis cinerea* Persoon

土屋貞夫・赤井 純: 日植病報 43(3):318, 1977

[備考] 本菌は立枯症も起こす (青田盾彦ら: 日植病報 43(3):74, 1978)

葉枯病 hagare-byo Leaf blotch*Epicoccum nipponica* (Hiura) Hara [*Clathrococcum nipponicum* Hiura]

樋浦 誠: 札幌農林会報 17(75-76):288, 1925(大 14) ; 樋浦 誠: 農及園 4(1):34, 1929(昭 4)

[備考] 澤田兼吉 (林試研報 105:115, 1958) の記載した *Epicoccum phaseoli* Sawada (裏黒点病菌) は本病菌と同一と思われる**葉腐病*** hagusare-byo Rhizoctonia rot (大粒白絹病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

原 攝祐:農及園 17(5):632, 1942(昭 17)

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

葉焼病 hayake-byo

Sphaeropsis azukicola Miura

三浦密成:秋田農試報告 8:36, 1957

ピシウム苗立枯病 *Pythium-nae-tachigare-byo* Pythium damping-off

(1) *Pythium mamillatum* Meurs

岡田 貴ら:日植病報 65(1):75, 2003

(2) *Pythium myriotylum* Drechsler

岡田 貴ら:日植病報 65(1):75, 2003

(3) *Pythium spinosum* Sawada

岡田 貴ら:日植病報 68(1):105, 2002 ; 岡田 貴ら:日植病報 69(1):75, 2003

[備考] 岡田ら(2002)は腐敗病を提案したが、標記病名に変更する

落葉病 rakuyo-byo Brown stem rot

Phialophora gregata (Allington & D.W. Chamberlain) W. Gams [*Cephalosporium gregatum* Allington & D.W. Chamberlain]

成田武四ら:日植病報 37(3):168, 1971 ; 成田武四ら:植物防疫 25(9):353, 1971 ; 小林喜六ら:日植病報 45(3):409, 1979 ; Kobayashi, K. *et al.*:Plant Dis. 67:387, 1983

リゾクトニア根腐病 *Rhizoctonia-negusare-byo* Rhizoctonia root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

内記 隆・宇井格生:北大農紀要 12(4):262, 1981 ; 三澤知央・小松 勉:日植病報 77(1):73, 2011 ; 三澤知央・小松 勉:北日本病虫研報 62:50, 2011

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, AG-4, AG-5

輪紋病 rimmon-byo Ascochyta leaf spot (褐斑病, 斑紋病, 葉斑病)

Ascochyta phaseolorum Saccardo

中田覺五郎:作物病害図編:125, 1934(昭 9) ; 成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973

[備考] 本目録初版 (1960) では、マメ類の *Ascochyta* による病名はできるだけ同じ名称を用いるという趣旨から、本病を褐斑病としたが、成田・伊藤 (1973) は *A. phaseolorum* によるものを輪紋病に統一した

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Heterodera glycines Ichinohe [*Heterodera schachtii* Schmidt] ダイズシストセンチュウ

Fujita, K. & Miura, O.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):359, 1934(昭 9) ; 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

(4) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9); 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

鐔木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7); 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

†斑点病 hanten-byo

(1) *Alternaria azukiae* (Hara) Hara [*Macrosporium azukiae* Hara]

(2) *Phyllosticta azukicola* Miura

原 攝祐:静岡県農会報 364:53, 1928(昭3); 原 攝祐:農及園 17(5):629, 1942(昭17)

[備考] 中国東北部

†斑葉病 han'yo-byo

(1) *Ascochyta* sp.

(2) *Phyllosticta phaseolorum* Saccardo & Spegazzini

中田覺五郎・瀧元清透:産業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):26, 1928(昭3)

[備考] 朝鮮半島

ハマアズキ(ハマササゲ)

Vigna marina

Vigna marina (Burm.) Merr.

(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca phaseoli* (Z.Y. Zhao) U. Braun]

丹田誠之助・中島千晴:東農大農学集報 47(1):54, 2002; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

リョクトウ(マングビーン)

Mung bean, Green gram

Vigna radiata (L.) R. Wilczek

(食用作物)

†ウイルス病 virus-byo Virus

Black gram mottle virus

本田要八郎ら:日植病報 48(3):391, 1982

[備考] タイ

†そうか病 soka-byo Scab

Elsinoë iwatae Kajiwara & Mukelar

梶原敏宏ら:日植病報 42(1):108, 1976 ; Kajiwara, T. *et al.*:Cont. Cent. Res. Inst. Agric. Bogor 23:1, 1976

[備考] インドネシア

†根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root-knot nematode disease

Meloidogyne javanica (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

Toida, Y. *et al.*:Jpn. J. Nematol. 23(2):90, 1993

[備考] タイ。接種試験未了

††††

Phialophora gregata (Allington & D.W. Chamberlain) W. Gams [*Cephalosporium gregatum* Allington & D.W. Chamberlain]

成田武四ら:植物防疫 25:353, 1971 ; 山本英樹:北大農邦文紀要 19(1):57, 1994

[備考] 自然発病でなく、接種による病原性の確認

ササゲ(豇豆)

Cowpea, Asparagus bean

Vigna unguiculata (L.) Walp.

[*Vigna sinensis* Endl.]

(食用作物)

ハタササゲ Catjang bean *Vigna unguiculata* subsp. *cylindrica* (L.) Eseltine

ジュウロクササゲ *Vigna unguiculata* subsp. *sesquipedalis* (L.) Verdc.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Bean common mosaic virus* (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス [Azuki bean mosaic virus#, Blackeye cowpea mosaic virus#, Asparagus bean mosaic virus#]

日野稔彦:日植病報 25(4):178, 1960 ; 土崎常男ら:日植病報 50(4):461, 1984

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968

(3) Broad bean wilt virus# [Subclover mottle virus#, Pea dwarf mosaic virus#]

土崎常男ら:日植病報 36(2):112, 1970

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は河村栄吉:日植病報 11:155, 1941(昭 16)

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

新海 昭:琉球政府経済局特別報告(甘藷天狗巢病の虫媒伝染に関する研究):22, 1964

青枯病 aogare-byo Bacterial rot

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

篠原弘亮ら:日植病報 76(3):211, 2010

葉焼病 hayake-byo Common blight

Xanthomonas axonopodis pv. *phaseoli* (Smith 1897) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas phaseoli* (Smith) Dowson, *Bacillus phaseoli* Smith, *Xanthomonas campestris* pv. *phaseoli* (Smith 1897) Dye 1978]

中田 覺五郎:作物病害図編:562, 1934(昭 9)

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt (萎凋病, 立枯病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *tracheiphilum* W.C. Snyder & H.N. Hansen

鏑方末彦:食用作物病学(上) 271, 1949 ; 松尾卓見:日植病報 38(3):168, 1972

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe pisi* de Candolle

本間ヤス:北大農紀要 38(3):323, 1937(昭 12)

(2) *Sphaerotheca fuliginea* non Pollacci sensu Homma-pro parte [*Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci]

白井光太郎:植物病理学:399, 1903(明 36) ; 平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956

角斑病* kakuhan-byo

Phaeoisariopsis griseola (Saccardo) Ferraris

三浦密成:秋田農試報告 8:64, 1957

[備考] 病原菌の異名はアズキ角斑病参照

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Cercospora canescens Ellis & G. Martin

山本和太郎:日植病報 14(1-2):45, 1950 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):48, 1960

褐紋病 katsumon-byo Leaf spot (輪紋病, 褐斑病, 輪斑病)

Phyllosticta phaseolina Saccardo

原 攝祐:日本園芸雑誌 28(9):10, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の異名はアズキ褐紋病参照

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

鏑方末彦:食用作物病学(上):271, 1949

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uromyces phaseoli (Rebentisch) G. Winter var. *vignae* (Barclay) Arthur [*Uromyces vignae* Barclay, *Uromyces vignae-sinensis* Miura]

三浦道哉:満蒙植物誌 2, 荳科:309, 1926(大 15) ; 平田正一:日植病報 16(1):13, 1952

[備考] 藤黒與三郎 (病虫雑 6:446, 1919) は *Uromyces appendiculatus* (Persoon) Link を病原菌としたが, これは誤認と考えられる

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

鏑方末彦:食用作物病学(上):271, 1949

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すすかび病 susukabi-byo Leaf spot, Sooty blotch (煤黴病, 煤紋病, 斑点病)

Pseudocercospora cruenta (Saccardo) Deighton [*Mycosphaerella cruenta* Latham, *Cercospora cruenta* Saccardo, *Cercospora phaseolorum* Cooke, *Cercospora vignae* Ellis & Everhart, *Cercospora dolichi* Ellis & Everhart, *Cercospora vignae* Raciborski, *Cercospora raciborskii* Matsumoto & Nagaoka, *Cercospora neovignae* W. Yamamoto]

出田 新:日本植物病理学(下) 759, 1911(明 44) ; 松本弘義・長岡栄利:病虫雑 18(12):714, 1931(昭 6)

[備考] 完全時代はわが国では未確認。不完全時代の学名としては *Cercospora cruenta* Saccardo が用いられる。なお、病名目録 1 (1960) では、*Cercospora dolichi* Ellis & Everhart によるものをすすかび病、*Cercospora cruenta* Saccardo によるものをすす紋病としたが、山本・前田 (兵庫農大研報 4(2):53, 1960) 及び香月 (日菌報, 別冊 1:71, 1965) の意見に従い、この両者は同一種と見なし、すすかび病に統一した

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot, Ashy stem blight (立枯病)

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

西門義一・宮脇雪夫:農学研究 35:403, 1943(昭 18); 西原夏樹:千葉農試研報 3:89, 1958

[備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照。西門・宮脇 (1943) の材料は柄子殻世代のみを生じ、西原 (1958) の材料は菌核のみを生じた。両者の相違は検討を要する

白斑病 hakuhan-byo

病原菌所属不明

後藤和夫・長江春季:日植病報 17(3-4):150, 1953

輪紋病 rimmon-byo Frog-eye spot

Corynespora vignicola (E. Kawamura) Goto [*Cercospora vignicola* E. Kawamura]

河村栄吉:菌類 1(1):14, 1931(昭 6); 後藤和夫:日植病報 15(1):34, 1950

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

†ウイルス病 virus-byo Virus

Bean common mosaic virus (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス [Blackeye cowpea mosaic virus#]

土崎常男ら:日植病報 49(1):131, 1983; 土崎常男ら:日植病報 50(4):461, 1984

[備考] タイ, マレーシア

††††褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial spot

††*Pseudomonas syringae* pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium vignae* Gardner & Kendrick, *Bacterium viridifaciens* Tisdale & Williamson]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:485, 1941(昭 16); 岡部徳夫:植物細菌病学:332, 1949

[備考] 国内発生未確認

フジ(藤)

Japanese wistaria

Wistaria floribunda (Willd.) DC.
(広葉樹)

こぶ病 kobu-byo Gall

Pantoea agglomerans pv. *milletiae* (Kawakami & Yoshida 1929) Young, Saddler, Takikawa, DeBoer, Vauterin, Gardan, Gvozdyak & Stead 1996 [*Bacillus milletiae* Kawakami & Yoshida, *Erwinia milletiae* (Kawasaki & Yoshida) Magrou, *Erwinia herbicola* pv. *milletiae* (Kawakami & Yoshida 1920) Goto, Takahashi & Okajima 1980] 南部信方:病虫雑 3(2):168, 1916(大 5) ; Kawakami, K. & Yoshida, S.:Bot. Mag. Tokyo 34(403):110, 1920(大 9) ; 後藤正夫ら:日植病報 46(2):185, 1980

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

原 攝祐:実験樹木病害篇:203, 1927(昭2) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Oidium* sp.

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:91, 1977

(2) *Uncinula delavayi* Patouillard

北島君三:樹病学及木材腐朽論:304, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

絹皮病 kinukawa-byo

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

帝室林野林試:森林病虫害図説病害篇 1:11, 1938(昭 13) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12:70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Nectria canker

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

内藤 喬:鹿児島大理科報 1:74, 1952

[備考] ヤマフジ(*W. brachybotrys*)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Ochropsora kraunhiae (Dietel) Dietel [*Phakopsora kraunhiae* Dietel]

安田 篤:植物学各論隠花部:450, 1911(明 44) ; 吉野毅一:植物学雑 19(220):96, 1905(明 38) ; Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Proc. Jpn. Acad. 54B(6):300, 1978

斑点病 hanten-byo Phyllosticta leaf spot

Phyllosticta wistariicola Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:44, 1958

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌から検出。属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(4) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌より検出

(5) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(6) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

††††

Ascochyta wistariae Miura

三浦密成:秋田農試報 13:12, 1962

††††

†*Cercospora wisteriae* A.S. Muller & Chupp

Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:61, 1978

[備考] ブラジル

††††

†*Coniothyrium kraunhiae* I. Miyake

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 26(303):59, 1912(大元)

[備考] 中国

††††

Phoma seposita Saccardo

塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(1):27, 1959

††††

Sphaerulina fuji Hara

原 攝祐:病虫雑 5(9):727, 1918(大 7)

††††

Stilbum cinnabarinum Montagne

原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大 2)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] ヤマフジ

ブナ科 Fagaceae

クリ(栗)

Chestnuts

Castanea spp.

(果樹)

ニホングリ Japanese chestnut *C. crenata* Sieb. & Zucc.

チュウゴクグリ Chinese chestnut *C. mollissima* Blume など

萎黄病 io-byo Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

島田昌一・古宇田 武:日植病報 19(1-2):95, 1954 ; 奥田誠一ら:日植病報 40:464, 1974

かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker

Pseudomonas syringae pv. *castaneae* Takanashi & Shimizu

清水寛二ら:日植病報 51(3):342, 1985 ; 高梨和雄ら:日植病報 51(3):342, 1985 ; 高梨和雄・清水寛二:日植病報 55(4):397, 1989

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (冠瘻病, 根瘻病, 根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* Smith & Townsend]

鶴田章逸:果樹 143:42 1915(大4) ; 原 攝祐:実用作物病理学:368, 1925(大14) ; 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭8) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

芽枯病 megare-byo Blight

病原細菌種名未定

河村栄吉:日植病報 3(1):15, 1934(昭9)

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas castaneae* (Kawamura) Săvulescu は, 国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

いが円形褐斑病 iga-enkei-kappan-byo

(1) *Coniella castaneicola* (Ellis & Everhart) B. Sutton

(2) *Tubercularia* sp.

大石親男ら:日植病報 47(3):374, 1981

萎縮病 ishuku-byo

Cryphonectria radicalis (Schweinitz) M.E. Barr [*Endothia radicalis* (Schweinitz) Cesati & De Notaris]

原 攝祐:果樹病害論:461, 1916(大5) ; 原 攝祐:実用作物病理学:403, 1925(大14)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 渋病)

(1) *Erysiphe castaneigena* U. Braun & Cunningham [*Microsphaera sinensis* Y.N. Yu]

藤田 学ら:日植病報 69(3):257, 2003 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:52, 2012

(2) *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon

吉野毅一:植物学雑 19(224):205, 1905(明38) ; 原 攝祐:果樹病害論:477, 1916(大5) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:211, 1927(昭2)

裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病)

Phyllactinia roboris (Gachet) S. Blumer [*Phyllactinia quercus* (Mérat) Homma]
Homma, Y.: Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Uni. 38(3):414, 1937 ; 富樫浩吾:果樹病学:359, 1950

疫病 eki-byo Trunk rot

Phytophthora katsurae W.H. Ko & H.S. Chang [*Phytophthora castaneae* Katsura & K. Uchida]
内田和馬:日植病報 33(5):315, 1967 ; 桂 琦一・内田和馬:日植病報 35(2):109, 1969

枝枯病 edagare-byo Endothia shoot blight

Cryphonectria nitschkei (G.H. Otth) M.E. Barr [*Endothia nitschkei* G.H. Otth]

澤田兼吉:林試研報 53:173, 1952

[備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):578, 1922 参照

褐色いが腐病 kasshoku-igagusare-byo

Melanconium sp.

庄司次男ら:日植病報 48(3):367, 1982

褐斑病 kappan-byo

Morenoella quercina (Ellis & G. Martin) Theissen

富永時任ら:日植病報 25(1):14, 1960 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:178, 1973

かわらたけ病* kawaratake-byo Coriolus stem rot, Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet, *Polystictus versicolor* Fries var. *nigricans* Lasch]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:455, 1933(昭8)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

黒粒枝枯病 kurotsubu-edagare-byo Melanconis canker, Melanconis shoot blight

Melanconis microspora Tak. Kobayashi [*Melanconium gourdaeforme* Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.: Trans. Mycol. Soc. Japan 9(1):1, 1968 ; Kobayash, T.: Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970 ; 小林享夫:日林誌 53(3):57, 1971

黒根立枯病 kurone-tachigare-byo Black root rot (立枯病)

(1) *Didymosporium radicola* Tak. Kobayashi & C. Oishi

(2) *Diaporthopsis* sp. [*Macrophoma castaneicola* Tak. Kobayashi & C. Oishi]

大石親男・八木敏江:日植病報 40(3):176, 1974 ; 大石親男ら:日植病報 45(4):546, 1979 ; Kobayashi, T. & Ohishi, C.: Trans. Mycol. Soc. Japan 20:429, 1979 ; 大石親男ら:日植病報 52(3):538, 1986

毛さび病 kesabi-byo Rust (毛銹病)

Cronartium orientale S. Kaneko [*Cronartium quercuum* (Berkeley) Miyabe ex Shirai]

Shirai, M.: Bot. Mag. Tokyo 13(148):74, 1899 ; 富樫浩吾:果樹病学:363, 1950 ; Kaneko, S.: Mycoscience 41(2):115, 2000

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot, Nectria twig blight (癌腫病, 紅斑性癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

原 攝祐:実験樹木病害篇:183, 1927(昭2) ; 伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962

黒色実腐病 kokushoku-migusare-byo Black rot

Botryosphaeria dothidea (Mougeot) Cesati & De Notaris [*Macrophoma* sp.]

小林享夫:森林防疫ニュース 17(7):142, 1968; 大石親男ら:日植病報 43(3):325, 1977; Kobayashi, T. & Ohishi, C.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20:429, 1979

黒斑胴枯病 kokuhan-dogare-byo

Cryptodiaporthe japonica Tak. Kobayashi & C. Oishi [*Catinula japonica* Tak. Kobayashi & C. Oishi]

Kobayashi, T. & Ohishi, C.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):429, 1979

コニエラ葉枯病 *Coniella*-hagare-byo

Coniella castaneicola (Ellis & Everhart) B. Sutton [*Gloeosporium castanicola* Ellis & Everhart]

金子 繁:日植病報 47(1):80, 1981

[備考] 本菌はいが円形褐斑病の病原でもある

コリネウム枝枯病 *Coryneum*-edagare-byo Coryneum twig blight

Pseudovalsa modonia (Tulasne) Höhnelt [*Coryneum castaneae* (Saccardo & Roumeguère) Kobayashi, *Pseudovalsella modonia* (Tulasne) Tak. Kobayashi]

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:72, 1960 (昭 35) ; 小林享夫:林試研報 226:35, 1970 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:241, 1973

さび病 sabi-byo Rust (銹菌病, 銹病)

Pucciniastrum castaneae Dietel

西田藤次:植物学雑誌 16(190):273, 1902(明 35) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:428, 1911(明 44) ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:68, 1974

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農水技会指定試験(病虫害)3:5, 1963

すえひろたけ病 suehirotake-byo Schizophyllum rot

Schizophyllum commune Fries

伊藤一雄:日本のクリ:46, 1955

すす点病 susuten-byo Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):73, 1986

すす葉枯病 susu-hagare-byo Sooty leaf blotch

Tubakia dryina (Saccardo) B. Sutton [*Actinopelte dryina* (Saccardo) Höhnelt]

Yokoyama, T. & Tubaki, K.:IFO Res. Commun. 5:46, 1971 ; 小林享夫・佐々木克彦:日植病報 41(1):117, 1975 ;

金子 繁:菌蕈研究 18:120, 1980

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

(1) *Capnodium salicinum* Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952

(2) *Lembosia quercicola* Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:107, 1975

†すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Limacinia chenii* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8:39, 1959

(2) *Phragmocapnias betle* (Sydow, P. Sydow & E.J. Butler) Theissen & Sydow [*Scorias communis* W. Yamamoto]

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954

(3) *Triposporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto [*Chaetothyrium spinigerum* (Höhnelt) W. Yamamoto]

山本和太郎:熱帯農学会誌 13:213, 1941(昭 16)

[備考] 以上すべて台湾

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実腐病, 実炭疽病)

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

内田和馬:関東病虫研報 11:51, 1964 ; 小林享夫:森林防疫ニュース 17(7):142, 1968 ; 寺下隆喜代:林試研報 252:1, 1973 ; 小林享夫・内田和馬:植物防疫 37(2):50, 1983

[備考] 完全世代の *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk は国内未発見

ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart [*Thelephora laciniata* Persoon]

徳淵永治郎:植物学雑誌 20(233):118, 1906(明 39) ; 小林享夫:新版緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:94, 1983

胴枯病 dogare-byo Endothia canker, Blight (皮膚病)

Cryphonectria parasitica (Murrill) M.E. Barr [*Endothia parasitica* (Murrill) P.J. Anderson & H.W. Anderson, *Valsonectria parasitica* Murrill]

ト蔵梅之丞:園芸之友 10(1):39, 1914(大 3) ; 原 攝祐:病虫雑誌 2(3):242, 1915(大 4) ; 原 攝祐:日本害菌学:224, 1936(昭 11)

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Agaricus melleus* Vahl, *Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

原 攝祐:果樹病害論:467, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験樹木病害:209, 1927(昭 2) ; 伊藤一雄:日本のクリ:46, 1955

ならたけもどき病 naratakemodoki-byo Clitocybe root rot

Armillaria tabescens (Scopoli) Emel [*Armillariella tabescens* (Scopoli) Singer]

金子周平・小河誠司:森林防疫 32(7):120, 1983

にせ炭疽病 nise-tanso-byo Gnomonia leaf spot (葉炭疽病)

Gnomonia setacea (Persoon) Cesati & De Notaris [*Gloeosporium castanicolum* sensu Hemmi non Ellis & Everhart]

原 攝祐:植物学雑誌 27(316):226, 1913(大 2) ; 小林享夫・内田和馬:日植病報 47(1):89, 1981 ; 小林享夫・内田和馬:植物防疫 37(2):50, 1983

にせ胴枯病 nise-dogare-byo

Cytospora sp.

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:68, 1960

根腐病 negusare-byo Root rot (フザリウム腐敗病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(2) *Fusarium* spp.

伊藤一雄:日本のクリ:46, 1955 ; 下川利之:日林関西支講 24:184, 1973

葉かび病 hakabi-byo

Cladosporium epiphyllum (Persoon) Nees

吉富清志:農学研究 47(1-2):58, 1959

[備考] 本菌は *Cladosporium herbarum* (Persoon) Link の異名とされている

葉枯病 hagare-byo Large leaf spot

Monochaetia monochaeta (Desmazières) Allescher [*Monochaetia desmaytia* Saccardo, *Monochaetia pachyspora* Bubák]

鶴田章逸:病虫雑 4(7):523, 1917(大 6) ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:267, 1974 ; 金子 繁:菌蕈研究 18:124, 1980

白点胴枯病 hakuten-dogare-byo (枝枯病, フォモプシス胴枯病)

Amphiportha castanea (Tulasne & C. Tulasne) M.E. Barr [*Cryptodiaportha castanea* (Tulasne & C. Tulasne) Wehmeyer, *Fusicoccum castaneum* Saccardo]

伊藤一雄:図説樹病講:204, 1955 ; 小林享夫:植物防疫 27(1):27, 1973

葉円褐斑病 ha-maru-kappan-byo

Ovularia castaneae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:82, 1958

斑点病 hanten-byo Tubakia leaf spot (斑紋病)

Tubakia japonica (Saccardo) B. Sutton [*Actinopelte japonica* Saccardo]

原 攝祐:植物学雑 27(321):422, 1913(大 2) ; 原 攝祐:植物学雑 28(333):399, 1914(大 3) ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:293, 1974

斑紋病* hammon-byo (斑点病)

Mycosphaerella maculiformis (Persoon) J. Schröter [*Phyllosticta maculiformis* Saccardo]

原 攝祐:植物学雑 27(316):226, 1913(大 2) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:199, 1933(昭 8)

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis acaciae (Thümen) K. Yokoyama & S. Kaneko

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:122, 1980

幹枯病 mikigare-byo

Nectria castaneicola W. Yamamoto & Oyasu

山本和太郎ら:兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):15, 1957 ; 山本和太郎:日植病報 23(1):51, 1958

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Laetiporus sulphureus (Bulliard) Murrill アイカワタケ

白井光太郎:植物病理学(下):155, 1900(明 33) ; Imazeki, R.:Journ. Jap. Bot. 16(5):264, 1940

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

埼玉県内務部:病虫雑 21(2):150, 1934(昭 9) ; Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:1, 1949

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Coslenchus costatus* (de Man) Siddiqi

Mizukubo, T. & Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 14:28, 1984

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Criconema* sp. ワセンチュウの 1 種

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

[備考] 属名は再検討を要する

(3) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

[備考] 属名は再検討を要する

(4) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966 ; 伊藤喜隆:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):142, 1992

(5) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(6) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの1種

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

(7) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

(8) *Safianema anchilisposoma* (Tarjan) Siddiqi [*Ditylenchus anchilisposomus* (Tarjan) Fortune, *Pseudhalenchus anchilisposomus* Tarjan]

山本公志:日線虫研誌 4:20, 1974

[備考] 立枯病 (ポックリ病) に関連した衰弱樹から検出

(9) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] 根圏土壌から検出

(10) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

(11) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

(12) *Tylenchulus semipenetrans* Cobb ミカンネセンチュウ

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

(13) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの1種

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

(14) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌から検出

(15) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの1種

安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ

伊藤一雄:図説樹病新講:98, 1962

(2) *Meloidogyne mali* Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ

伊藤喜隆:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):142, 1992

(3) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

伊藤一雄:図説樹病新講:98, 1962 ; 安部 浩:島根植防 7(2):1, 1966

††インキ病 inki-byo Ink disease, *Phytophthora* root rot

(1) *Phytophthora cambivora* (Petri) Buisman

(2) *Phytophthora cinnamomi* Rands

伊藤一雄:樹病学大系 1:250, 1971

[備考] 欧米・アルゼンチン。北島君三 (樹病学及木材腐朽論:211, 1933) は同名の病害の病原菌として *Melanconis modonia* Tubey を挙げているが、本病との異同は明らかではない

†ささら病 sasara-byo (ササラ病)
Sphaerospora graminicola (Saccardo) Schröter
原 攝祐:静岡県農会報 359:1, 1927(昭 2)
[備考] 朝鮮半島

††††
Aschersonia tamurai Hennings
吉永虎馬:植物学雑 18(204):27, 1904(明 37)
[備考] 葉から検出

††††
Daedalea unicolor (Bulliard) Fries ミダレアミタケ
松村任三:帝国植物名鑑(上):139, 1904(明 37); 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:193, 1917(大 6)
[備考] ヨーロッパグリ (*Castanea sativa*, *C. vesca*) の樹皮, 幹に発生

††††
Discosia atrocreas (Tode) Fries
Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:118, 1980
[備考] 生葉の斑点から検出したが, 二次感染の可能性はある

††††
Dothidea noxia Ruhland [*Plowrightia noxia* Saccardo & D. Saccardo]
北島君三:樹病学及木材腐朽論:233, 1933(昭 8)
[備考] 枝幹に寄生して黄褐色～褐色の大きな斑点を生じ, 上部は枯死する

††††
Endothia singularis Shear & N.E. Stevens
Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970
[備考] 枯死した枝の樹皮上の突起から検出

††††
Fusarium sp.
安田弘之ら:関西病虫研報 21:48, 1979
[備考] がんしゅ症状から検出。病原性確認。根腐病の病原菌 *Fusarium oxysporium* とは異なる

††††
Gnomonia megalocarpa (I. Hino & Katumoto) Tak. Kobayashi [*Gnomonia setacea* (Persoon) Cesati & De Notaris var. *megalocarpa* I. Hino & Katumoto]
Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 43(7):209, 1968
[備考] 葉に発生

††††
Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Diplodia natalensis* Pole Evans]
日野隆之:九州植物防疫 407:3, 1977

††††
Melanconis spodiaea Tulasne & C. Tulasne
Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970

[備考] 枯死した枝の樹皮上の突起から検出

††††

Monochaetia dimorphospora T. Yokoyama

Yokoyama, T.:Trans. Brit. Myc. Soc. 65:500, 1975 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:126, 1980

[備考] 成葉から検出

††††

Peniophora quercina (Fries) Cooke イワハタケ

松村任三:帝国植物名鑑(上):158, 1904(明 37) ; Ito T.:Bot. Mag. 43 (514):515, 1929

[備考] 樹皮, 木部に発生

††††

Pestalotia affinis Saccardo & Voglino

白井光太郎:日本菌類目録:119, 1905(明 38)

[備考] 葉・幹から検出

††††

Pestalotiopsis eugeniae (Thümen) S. Kaneko [*Pestalotia eugeniae* Thümen, *Pestalotia cuboniana* Brizi, *Pestalotia eriobotryae-japonicae* Sawada]

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:123, 1980

[備考] 葉の病斑から検出

††††

Phoma sp.

塚本永治:日植病報 21(2-3):115, 1956

[備考] 新梢の枯死症状から検出

††††

Phyllosticta castaneae Ellis & Everhart

逸見武雄・倉田静子:植物分類, 地理 2:109, 1933(昭 8) ; 山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):178, 1960

[備考] 葉上の淡赤褐色～赤白色の病斑から検出

††††

Physalospora sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):178, 1960

[備考] 葉の褐色大形病斑内の小黑点から検出

††††

Sphaerulina myriadea (de Candolle) Saccardo

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:372, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:菌類 1(3):103, 1931(昭 6)

[備考] *Castanea sativa* var. *pubinervis* の葉上から検出

††††

Valsa ceratosperma (Tode) Maire

Kobayashi, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970

[備考] 枝幹の枯死部やかいよう症状部に生じた突起から検出

††††

Vibrissea truncorum (Albertini & Schweinitz) Fries

原 攝祐:植物学雑 27(313):62, 1913(大 2)

[備考] 幹に寄生し、水中では黄色を呈すると記述されている

シイノキ類(椎)

(*Castanopsis*)

Castanopsis spp.

(広葉樹)

ツブラジイ(コジイ) *Castanopsis cuspidata* (Thunb. ex Murray) Schottky

スダジイ(イタジイ) *Castanopsis sieboldii* (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba

根頭がんしゅ病 koto-ganshu-byo Crown-gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):99, 1935(昭10) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば、情報不足のため、本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Microsphaera alphitoides Griffon & Maublanc

伊藤一雄:樹病学大系 2:15, 1973 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):383, 1937(昭 12)

[備考] スダジイ。病原菌の異名はナラ類うどんこ病参照

裏黒点病 ura-kokuten-byo

Coccoidea quercicola Hennings & Shirai

原 攝祐:樹病学各論:80, 1923(大 12) ; 原 攝祐:植物学雑 26(305):141, 1912(大元)

[備考] 病原菌の異名はカシ類裏黒点病参照

黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo Endothia canker

(1) *Cryphonectria havanensis* (Bruner) M.E. Barr [*Endothia havanensis* Bruner]

小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:139, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

[備考] 病原菌の異名はナラ類黄色胴枯病参照

(2) *Cryphonectria macrospora* (Tak. Kobayashi & Kaz. Ito) M.E. Barr [*Endothia macrospora* Tak. Kobayashi & Kaz. Ito]

小林享夫:林業と薬剤 53:4, 1975 ; Kobayashi, T. & Ito, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):152, 1956 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

(3) *Endothia singularis* Shear & N.E. Stevens

小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; 小林享夫:日植病報 19(3-4):189, 1955

[備考] スダジイ。病原菌の異名はナラ類黄色胴枯病参照

顆粒がんしゅ病 karyu-ganshu-byo

Botryosphaeria pasaniae Hara

伊藤一雄:樹病学大系 2:278, 1973 ; 原 攝祐:菌類 1(3):106, 1931(昭 6)

かわらたけ病* kawaratake-byo

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ

梅村甚太郎:植物学雑 26(305):152, 1912(大元) ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores

Vol. 2:761, 1987

[備考] 病原菌の異名はヤナギ類かわらたけ病参照

きぞめたけ病 kizometake-byo Butt rot

Tinctoporellus epimiltinus (Berkeley & Broome) Ryvarden [*Tinctoporia epimiltina* (Berkeley & Broome) Aoshima]
キゾメタケ

河辺祐嗣・橋本平一:森林防疫 34(12):220, 1985

[備考] スダジイ。病原菌の異名はヒノキきぞめたけ病参照

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:11, 1938(昭 13) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

毛さび病 kesabi-byo Rust (毛銹病)

Cronartium quercuum (Berkeley) Miyabe ex Shirai

平塚直秀・吉田安雄:病虫雑 18(7):339, 1931(昭 6)

[備考] 病原菌の異名はブナ毛さび病参照

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:338, 1910(明 43)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参照

コリネウム枝枯病 *Coryneum*-edagare-byo

Coryneum sp.

安盛 博・山口忠義:森林防疫 24(2):40, 1975

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum fioriniae (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:175, 1997 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. et al.:JARQ 47:295, 2013

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

今関六也:くさびら 4:11, 1982

[備考] 病原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照。狭義の種名は未検討

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

Daedalea dickinsii Yasuda [*Trametes dickinsii* Berkeley] ホウロクタケ

逸見武雄:日植病報 2(6):565, 1933(昭 8) ; Aoshima, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:2, 1967

白斑病 hakuhan-byo

Bagcheea albomaculans (Fukui) I. Hino & Katumoto [*Gnomonia albomaculans* Fukui, *Bagcheea castaneae* E. Müller & R. Menon]

福井武治:三重高農学術報 3:16, 1933(昭 8) ; Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 16:615, 1965

葉黒点病 ha-kokuten-byo

Coccochora nakaizumiensis Fukui [*Microthyrium nakaizumiense* Fukui]

福井武治:新植物病原菌報告:5, 1933(昭 8) ; 福井武治:三重高農同窓会学術彙報 3:79, 1934(昭 9)

[備考] アラカシ汚点病菌 *Coccochora kusanoi* (Hennings) Höhnelt と同 1 種とする説もある(逸見武雄:植物及動物 2(4):661, 1934)

葉ぶくれ病 habukure-byo Leaf blister (腫葉病, 膨葉病, 葉腫病)

Taphrina kusanoi Ikeno

安田 篤:植物学各論隠花部:330, 1911(明 44) ; Ikeno, S.:Flora 92:2, 1903(明 36)

べっこうたけ病* bekkotake-byo Butt rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタケ

逸見武雄・赤井重恭:日植病報 9(4):199, 1939(昭 14) ; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989

[備考] 病原菌の異名はカシ類べっこうたけ病参照

ペスタロチア病* Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis distincta (Guba) K. Yokoyama [*Pestalotia distincta* Guba]

Yokoyama, T.:IFO Res. Comm. 7:124, 1975 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1188, 1978

星形すす病 hoshigata-susu-byo Sooty mold (星状すす病, すす病, 煤病, 星形煤病)

Asterina pasaniae Hennings

原 攝祐:日本菌類目録:29, 1954 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):132, 1904(明 37)

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Coriolus polygonus* (Persoon) Ryvarden [*Coriolus polygonus* (Persoon) Imazeki, *Polystictus polyzonus* (Persoon) Cooke] キツネカワラタケ

安田 篤:植物学雑誌 35(410):46, 1921(大 10) ; Ryvarden, L. & Johansen, I.:A preliminary polypore flora of East Africa:291, 1980

[備考] 本種は熱帯系の種で, 日本産のものは誤同定の可能性がある

(2) *Laetiporus sulphureus* (Bulliard) Murrill マスタケ

逸見武雄・赤井重恭:植物病害研究 3:58, 1938(昭 13)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

(3) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer [*Trametes sanguinea* (Linnaeus) Lloyd] ヒイロタケ

安田 篤:植研雑誌 6(7):221, 1929(昭 4)

[備考] 病原菌の異名はシデ類幹心腐病参照

紫かび病 murasaki-kabi-byo Powdery mildew (うどんこ病)

Cystotheca wrightii Berkeley & M.A. Curtis

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):291, 1937(昭 12)

[備考] ツブラジイ。病原菌の異名はカシ類紫かび病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:3, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

粉藻病* konamo-byo Algal powdery spot

Phycopeltis epiphyton Millardet

Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):280, 1957

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot
Cephaleuros virescens Kunze
江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:11, 1956

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病)
病因不明
白井光太郎:植物学雑誌 11(125):254, 1897(明 30)
[備考] フシダニによる疑いが濃い(山下修一ら:日植病報 46(1):60, 1980)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979
(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

すす病 susu-byo Sooty mold
(1) *Meliola castanopsina* W. Yamamoto
山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):125, 1941(昭 16)
[備考] 台湾。タカサゴジイ (*C. stipitata*)・ウライガシ (*C. uruiana*)・タイワンヒシグリ (*C. formosana*)
(2) *Meliola fusispora* W. Yamamoto
山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):126, 1941(昭 16)
[備考] 台湾。タカサゴジイ
(3) *Meliola subacuminata* W. Yamamoto
山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):127, 1941(昭 16)
[備考] 台湾。ヒイランクリガシ (*C. subacuminata*)
(4) *Meliola shiiae* W. Yamamoto
原 攝祐:農薬と病虫 5(3):102, 1951 ; 山本和太郎:台湾博物学会報 31:126, 1941(昭 16)
[備考] 台湾。タカサゴジイ・オオクリガシ (*C. kawakamii*)
(5) *Meliola taiwaniana* W. Yamamoto
山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):128, 1941(昭 16)
[備考] 台湾。クリガシ (*C. taiwaniana*)

灰色こやく病 haiiro-koyaku-byo
Septobasidium bogoriense Patouillard
澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):416, 1919(大 9)
[備考] 台湾

斑葉病 han'yo-byo
Aschersonia tamurai Hennings
安田 篤:植物学各論隠花部:543, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑誌 18(204):27, 1904(明 37)
[備考] カイガラムシ寄生菌。調査を要する

ブナ類(山毛櫨)
Beech
Fagus spp.
(広葉樹)

ブナ(山毛櫨) *F. crenata* Blume

イヌブナ *F. japonica* Maxim.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病)

(1) *Erysiphe wadae* S. Takamatsu & Y. Sato

Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 44(3):165, 2003

[備考] 接種試験未了

(2) *Parauncinula curvispora* (Hara) S. Takam. & U. Braun [*Uncinula curvispora* (Hara) Hara, *Uncinula septata* E.S. Salmon var. *curvispora* Hara]

原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大 4) ; 原 攝祐:樹病学各論:21, 1923(大 12) ; Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 46(1):15, 2005

[備考] イヌブナに発生

(3) *Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten

出田 新:実用植物病理学:164, 1901(明 34)

黄色胴枯病* oshoku-dogare-byo Endothia canker

Cryphonectria radicalis (Schweinitz) M.E. Barr [*Endothia radicalis* (Schweinitz) Cesati & De Notaris]

小林享夫:日植病報 19(2-3):189, 1955 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:136, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992

[備考] イヌブナ(*F. japonica*)にも発生。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照

黄斑病 ohan-byo Yellow leaf spot

Didymella fagi C. Z. Wei & Y. Harada [*Ascochyta fagi* Woronichin]

魏 傳釗・原田幸雄:日植病報 62(6):601, 1996 ; Wei, C. Z. & Harada, Y.:Mycoscience 39:63, 1998

褐変病* kappen-byo Brown stain, Stain

Ceratocystis moniliformis (Hedgcock) C. Moreau [*Endoconidiophora bunae* Kitajima]

北島君三:林試研報 35:1, 1936(昭 11) ; 伊藤一雄:樹病学概論:47, 1960

かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ

笠井幹夫:病虫雑 22(12):919, 1935(昭 10) ; 今関六也:東京科博研報 6:81, 1943(昭 18)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類かわらたけ病参照

がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker (癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola

出田 新:日本植物病理学(上):234, 1909(明 42) ; 白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明 27) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:246, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類がんしゅ病参照

毛さび病* kesabi-byo Rust (毛錆病)

Cronartium orientale S. Kaneko [*Cronartium quercuum* (Berkeley) Miyabe ex Shirai, *Uredo castaneae* Fujikuro non Hennings, *Uredo querci* Sawada, *Uredo quercus-myrsinifoliae* Hennings]

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 2:7, 1939(昭 14) ; Kaneko, S.:Mycoscience 41(2):115, 2000

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 紅斑性癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明 44) ; 横木国臣:農業及園芸 5(6):739, 1930(昭 5)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類こふきたけ病参照

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum fagi G. Yamada ex Hiratsuka

澤田兼吉:林試研報 57:16, 1952 ; 平塚直秀:植物学雑 44(521):280, 1930(昭 5) ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21(4):417, 1980

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

出田 新:日本植物病理学(上):253, 1909(明 42)

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

青変病 seihen-byo Blue stain

(1) *Ophiostoma piceae* (Münch) Sydow & P. Sydow [*Ceratocystis piceae* (Münch) B.K. Bakshi, *Ceratostomella piceae* Münch]

西門義一・山内己酉:植物及動物 3(2):365, 1935 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:29, 1973 ; 青島清雄・林 康夫:日林誌 35:268, 1953

(2) *Ophiostoma pluriannulatum* (Hedgcock) Sydow & P. Sydow [*Ceratocystis pluriannulata* (Hedgcock) C. Moreau]

青島清雄・林 康夫:日植病報 20(2-3):115, 1955 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:29, 1973

(3) *Ophiostoma stenoceras* (Robak) Melin & Nannfeldt [*Ceratocystis stenoceras* (Robak) C. Moreau]

青島清雄・林 康夫:日林誌 38:151, 1956 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:29, 1973

(4) *Leptographium* sp.

青島清雄・林 康夫:日植病報 25(1):48, 1960

炭疽病* tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum dematium (Persoon) Grove

Sasaki, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 18(4):343, 1977

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (立枯病)

(1) *Cylindrocarpon destructans* (Zinssmeister) Scholten [*Cylindrocarpon* sp.]

小林享夫:これからの森林施業(坂口勝美ら編):116, 1975 ; 小林享夫ら:95 回日林論:440, 1984

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

小林享夫ら:95 回日林論:440, 1984

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

Daedalea dickinsii Yasuda [*Trametes dickinsii* Berkeley] ホウロクタケ

梅村甚太郎:植物学雑 28(328):196, 1914(昭 3) ; Yasuda, A.:Bot. Mag. Tokyo 36:128, 1922 ; Aoshima, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:2, 1967

斑紋病* hammon-byo (斑点病)

Mycosphaerella maculiformis (Persoon) J. Schröter

白井光太郎:植物病理学(下):230, 1894(明 27)

[備考] 病原菌の異名はシデ類斑点病参照

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (白色腐朽病, 白朽病, 腐朽病, 白腐病)

(1) *Antrodia heteromorpha* (Fries) Donk [*Daedalea heteromorpha* Fries, *Coriolellus heteromorphus* (Fries)]

Bondartsev & Singer, *Trametes heteromorpha* (Fries) Lloyd] ミヤマシロアミタケ

今関六也:植研雑 15(5):305, 1939(昭 14); Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol. 1:132, 1986

(2) *Fomes fomentarius* (Linnaeus) J. Kickx f. ツリガネタケ (白色腐朽病)

白井光太郎:植物病理学(下):154, 1900(明 33); 安田 篤:植物学雑 23(265):690, 1909(明 42)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類幹心腐病参照

(3) *Lenzites betulina* (Linnaeus) Fries [*Lenzites thunbergii* Fries, *Lenzites berkeleyi* Lévillé, *Lenzites betulina* (Linnaeus) Fries f. *daedaloides* Yasuda] カイガラタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:464, 1933(昭 8)

(4) *Phellinus igniarius* (Linnaeus) Quélet キコブタケ

白井光太郎:植物病理学(下):145, 1900(明 33); 今関六也:東京科博研報 6:104, 1943(昭 18)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類幹心腐病参照

(5) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer [*Trametes sanguinea* (Linnaeus) Lloyd] ヒイロタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:458, 1933(昭 8); 今関六也:東京科博研報 6:73, 1943(昭 18); 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):150, 1989

[備考] 病原菌の異名はシデ類幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

(1) *Trametes hirsuta* (Wulfen) Pilát [*Coriolus hirsutus* (Wulfen) Quélet] アラゲカワラタケ

笠井幹夫:病虫雑 22(12):919, 1935(昭 10); 今関六也:東京科博研報 6:80, 1943(昭 18); Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol. 2:745, 1987

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類幹辺材腐朽病参照

(2) *Stereum hirsutum* (Willdenow) Gray キウロコタケ

笠井幹夫:病虫雑 22(12):912, 1935(昭 10)

(3) *Trametes gibbosa* (Persoon) Fries オオチリメンタケ

逸見武雄・池屋重吉:日植病報 2(6):563, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類幹辺材腐朽病参照

綿皮病 watakawa-byo

Ramaricium polyporoideum (Berkeley & M.A. Curtis) Ginns [*Corticium polyporoideum* Berkeley & M.A. Curtis]

佐藤邦彦:95 回日林論:447, 1984

こぶ病 kobu-byo

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 13(9):226, 1964

†††† 苗疫病 nae-eki-byo Damping-off (苗立枯病)

†† *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter [*Phytophthora omnivora* de Bary, *Phytophthora fagi* R. Hartig]

原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大 12); 白井光太郎:最近植物病理学:287, 1903(明 36)

[備考] 国内発生に疑問

††††

Asterosporium asterospermum (Persoon) S. Hughes

Kobayashi, T. & Kubono, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 27(1):29, 1986

††††

Cheirospora botryospora (Montagne) Berkeley & Broome

Ono, Y. & Kobayashi, T.:Mycoscience 46:352, 2005

[備考] 接種試験未了

††††

Taphrina sp.

田中 潔:日植病報 49(1):119, 1983

[備考] ムラサキブナ (*F. sylvatica* var. *purpurea*)

マテバシイ

(*Lithocarpus*)

Lithocarpus edulis (Makino) Nakai

(広葉樹)

シリブカガシ(尻深樫) *Lithocarpus glabra* (Thunb. ex Murray) Nakai

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:102, 1977 ; 大野啓一郎:神奈川林試報 10:7, 1984

[備考] マテバシイ

裏黒点病 ura-kokuten-byo

Coccoidea quercicola Hennings & Shirai

原 攝祐:樹病学各論:80, 1923(大 12) ; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):30, 1905(明 38)

[備考] シリブカガシ。病原菌の異名はカシ類裏黒点病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew

Lembosia quercicola Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:85, 1975

[備考] シリブカガシ

斑葉病 han'yo-byo

Coccochorella quercicola (Hennings) Höhnelt

安田 篤:植物学各論隠花部:384, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):30, 1905(明 38)

[備考] シリブカガシ

ナンキョクブナ

(*Nothofagus*)

Nothofagus cunninghamii Oerst.

(広葉樹)

††††

†*Cyttaria gunnii* Berkeley

小林義雄:植研雑 39(7):216, 1964

[備考] ニュージーランド・タスマニア。 *N. menziesii*, *N. solandri* にも寄生

††††

†*Cyttaria nigra* Rawlings

小林義雄:植研雑 39(7):216, 1964

[備考] ニュージーランド。 *N. menziesii*

カシ類(櫟, 櫟)

Oak

Quercus spp.

(広葉樹)

アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak *Q. acuta* Thunb. ex Murray

イチイガシ(石櫟) *Q. gilva* Blume

アラカシ *Q. glauca* Thunb. ex Murray

シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) *Q. myrsinaefolia* Blume

ウバメガシ(姥芽櫟) *Q. phillyraeoides* A. Gray

ウラジロガシ(裏白櫟) *Q. salicina* Blume

ツクバネガシ *Q. sessilifolia* Blume

コルクガシ *Q. suber* L.

枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot blight

Xanthomonas arboricola Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939]

石原 誠ら:日植病報 62(3):304, 1996 ; 石原 誠ら:日植病報 66(2):130, 2000 ; Ishihara, M. *et al.*:Forest Pathol.45(6) :459, 2015

[備考] シラカシに発生。Ishihara *et al.* (2015) は, 石原ら (2000) が *X. campestris* とした本菌を再同定した

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Pseudomonas syringae van Hall 1902

小林真樹ら:日植病報 68(1):64, 2002

[備考] ウバメガシ (*Q. phillyraeoides*) に発生

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):97, 1935(昭10) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (表白渋病, 白渋病, 表うどんこ病)

(1) *Erysiphe alphitoides* (Griffon & Maublanc) U. Braun & S. Takamatsu

[*Microsphaera quercus* Sawad, *Microsphaera alphitoides* auct. non Griffon & Maublanc]

原 攝祐:大日本山林会報 392:60, 1915(大 4) ; 澤田兼吉:林試研報 50:122, 1951 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):227, 1988 ; 堀江博道ら:日植病報 65(6):657, 1999 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012

[備考] アカガシ・アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・イチイガシ・ツクバネガシ・ウバメガシ・コルクガシに発生

(2) *Erysiphe gracilis* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *gracilis* [*Erysiphe hiratae* U. Braun]

Braun, U.:Mycotaxon 18(1):128, 1983 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012

[備考] アラカシに発生

(3) *Erysiphe gracilis* RY. Zheng & G.Q. Chen var. *longissima* Y. Nomuura

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:204, 1997

[備考] アカガシ・ツクバネガシに発生

(4) *Erysiphe heraclei* de Candolle [*Microsphaera polygoni* (de Candolle) Sawada]

原 攝祐:樹病学各論:13, 1923(大 12) ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):324, 1937(昭 12)

[備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ツクバネガシ・アカガシ・ウバメガシに発生

(5) *Erysiphe quercicola* S. Takamatsu & U. Braun

Takamatsu, S. & U. Braun:Mycol. Res. 111:819, 2007 ; 高松 進ら:日植病報 83(3):187, 2017

[備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ウバメガシに発生。接種試験未了

(6) *Uncinula* sp.

佐藤幸生ら:日植病報 61(3):222, 1995

[備考] アカガシに発生

裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia roboris (Gachet) S. Blumer [*Phyllactinia quercus* (Mérat) Homma]

野村幸彦・丹田誠之助:東農大農学集報 24(2):158, 1979 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):263, 1988

[備考] アラカシ

裏黒点病 ura-kokuten-byo

Coccoidea quercicola Hennings & Shirai [*Coccodiscus quercicola* Hennings]

原 攝祐:樹病学各論:80, 1923(大 12) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):135, 1904(明 37)

黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo *Endothia* canker

(1) *Cryphonectria macrospora* (Tak. Kobayashi & Kaz. Ito) M.E. Barr [*Endothia macrospora* Tak. Kobayashi & Kaz. Ito]

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:8, 1977 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

[備考] ウラジロガシ

(2) *Cryphonectria nitschkei* (G.H. Otth) M.E. Barr [*Endothia nitschkei* G.H. Otth]

小林享夫:山林 1093:32, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:8, 1977 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

[備考] シラカシ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照

(3) *Cryphonectria radicalis* (Schweinitz) M.E. Barr [*Endothia radicalis* (Schweinitz) Cesati & De Notaris]

小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226, 136, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992

[備考] ウラジロガシ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照

汚点病 oten-byo (黒斑病)

Coccochora kusanoi (Hennings) Höhnelt [*Dothidella kusanoi* Hennings]

原 攝祐:大日本山林会報 420:46, 1916(大 5) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:385, 1911(明 44)

[備考] シラカシ・アラカシ

表黒点病 omote-kokuten-byo

Monolocula quercus Hara [*Yoshinagamyces quercus* Hara, *Japonia quercus* Höhnelt]

原 攝祐:樹病学各論:47, 1923(大 12) ; 原 攝祐:植物学雑 26(305):141, 1912(大元)

褐斑病 kappan-byo

(1) *Lembosina nipponica* Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:88, 1975

[備考] ウバメガシ

(2) *Sphaerulina* sp.

楠木 学ら:日植病報 42(1):68, 1976

[備考] アカガシ

かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:455, 1933(昭 8) ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:761, 1987

[備考] 病原菌の異名はボプラ類かわらたけ病参照

がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker

Nectria galligena Bresàdola

出田 新:日本植物病理学(上):234, 1909(明 42)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類がんしゅ病参照

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15); Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] シラカシ・ツクバネガシ・ウラジログシ・アカガシ・アラカシ。病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

毛さび病 kesabi-byo Rust (毛銹病)

Cronartium orientale S. Kaneko [*Cronartium quercuum* (Berkeley) Miyabe ex Shirai]

伊藤一雄:図説苗木病害診断法(後):165, 1959 ; 安田 篤:植物学各論隠花部:456, 1911(明 44) ; Kaneko, S.:Mycoscience 41(2):115, 2000

[備考] アラカシ・シラカシ・ツクバネガシ・コルクガシ・ホソバガシ。病原菌の異名はブナ毛さび病参照

黒斑病 kokuhan-byo

Dermatodothis quercicola Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):26, 1983

[備考] アラカシ・シラカシ

さめ肌胴枯病 samehada-dogare-byo Botryosphaeria Canker

(1) *Botryosphaeria dothidea* (Mougeot) Cesati & De Notaris

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:3, 1977

(2) *Botryosphaeria melanops* (Tulasne & C. Tulasne) G. Winter

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:3, 1977

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot (根朽病)

Rosellinia necatrix Prillieux

出田 新:日本植物病理学:253, 1909 (明 42)

[備考] シラカシ・ウラジログシ・ウバメガシ。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす点葉枯病 susuten-hagare-byo Grayish leaf blight

Coniothyrium fuckelii Saccardo [*Diapleella coniothyrium* (Fuckel) M.E. Barr]

Kaneko, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 48(5):677, 1982

[備考] シラカシ

すす点病 susuten-byo Fly speck

(1) *Schizothyrium dispersum* Katumoto

Katumoto, K.: Trans. Mycol. Soc. Japan 27(1):5, 1986

[備考] ウラジロガシ

(2) *Zygophiala jamaicensis* E.W. Mason

那須英夫ら: 日植病報 51(3):324, 1985

[備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ツクバネガシ

すす葉枯病 susu-hagare-byo Sooty blotch

Tubakia subglobosa (T. Yokoyama & Tubaki) B. Sutton [*Actinopelte subglobosa* T. Yokoyama & Tubaki]

小林享夫・佐々木克彦: 日植病報 41(1):117, 1975 ; Yokoyama, T. & Tubaki, K.: IFO Res. Commun. 5:49, 1971

[備考] アラカシ

すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (媒病)

(1) *Capnodium quercinum* Berkeley & Desmazières [*Apiosporium quercinum* (Berkeley & Desmazières) Lindau]

南部信方: 植物学雑誌 18(203):3, 1904(明 37)

[備考] アラカシ

(2) *Capnodium salicinum* Montagne

大森順造・山田玄太郎: 植物病理学:373, 1910(明 43)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類すす病参照

(3) *Hypocapnodium japonicum* (Hara) W. Yamamoto [*Limacinia japonica* Hara]

原 攝祐: 日菌報 3(1-6):108, 1962 ; 原 攝祐: 菌類 1(2):14, 1931(昭 6) ; 山本和太郎: 兵庫農大研報農生編 4(1):19, 1959

[備考] アラカシ

(4) *Limacinia harai* W. Yamamoto [*Aithaloderma japonica* Hara]

原 攝祐: 菌類 1(2):20, 1930(昭 6) ; 山本和太郎: 兵庫農大研報農生編 4(1):19, 1959

[備考] アラカシ

(5) *Meliola cyclobalanopsina* W. Yamamoto

山本和太郎: 台湾博物学会報 31:130, 1941(昭 16) ; Katumoto, K.: Journ. Jap. Bot. 38(1):23, 1963

[備考] アラカシ・シラカシ・ナガバシラカシ(*Q. longinux*)・ホソバシラカシ(*Q. pseudomyrsinaefolia*)

(6) *Meliola taiyuensis* W. Yamamoto

山本和太郎: 台湾博物学会報 31(210):131, 1941(昭 16) ; Katumoto, K.: Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):257, 1983

[備考] アラカシ・アカガシ

(7) *Treubiomyces japonicus* Hara

原 攝祐: 菌類 1(2):22, 1931(昭 6)

[備考] アラカシ

†すす病* susu-byo Black mildew

(1) *Irene arisanensis* W. Yamamoto

山本和太郎: 台湾博物学会報 31(212):216, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。アリサンガシ (*Cyclobalanopsis ternaticupula* f. *arisanensis*)

(2) *Irenina cyclobalanopsicola* W. Yamamoto

山本和太郎: 台湾博物学会報 31(212):219, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ナンバンガシ (*C. ternaticupula*)

(3) *Meliola cyclobalanopsina* W. Yamamoto

山本和太郎: 台湾博物学会報 31(210):130, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。アラカシ・ナガバシラカシ (*Q. longinux*)・ホソバシラカシ (*Q. pseudomyrsinaefolia*)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium sessifoliae Kitajima

北島君三:林試彙報 5:29, 1921(大 10)

[備考] ツクバネガシ。病原菌の分類学的所属は再検討を要する

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病)

Microstroma album (Desmazières) Saccardo var. *japonicum* Hennings [*Microstroma album* (Desmazières) Saccardo, *Microstroma japonicum* (Hennings) Hara]

草野俊助:植物学雑誌 17(196):107, 1903(明 36) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:467, 1911(明 44)

[備考] アラカシ

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(2) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):138, 1959

ならたけ病* naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:141, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類ならたけ病参照。狭義の種名は未検討

ならたけもどき病 naratakemodoki-byo Clitocybe root rot

Armillaria tabescens (Scopoli) Emel [*Armillariella tabescens* (Scopoli) Singer] ナラタケモドキ

金子周平・小河誠司:森林防疫 32(7):120, 1983

[備考] アラカシ

葉枯病 hagare-byo

Taphrina caerulescens (Montagne & Desmazières) Tulasne

寺下隆喜代:植物防疫 11(5):185, 1957 ; 寺下隆喜代:森林防疫ニュース 5(12):276, 1956

[備考] シラカシ

白点胴枯病 hakuten-dogare-byo Cryptodiaporthe canker

Amphiportha raveneliana (Thümen & Rehm) M.E. Barr [*Cryptodiaporthe raveneliana* (Thümen & Rehm) Tak. Kobayashi]

安盛 博・山口忠義:森林防疫 24(2):39, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:54, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

[備考] シラカシ

白斑病 hakuhan-byo

Phomatospora albomaculans Tak. Kobayashi & K. Sasaki [*Phomatospora* sp.]

佐々木克彦・小林享夫:日植病報 41(1):117, 1975 ; 山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):181, 1960 ; Kobayashi, T. & Sasaki, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23(3):254, 1982

[備考] アラカシ・ウラジロガシ

葉ぶくれ病* habukure-byo Leaf blister (葉腫病, 腫葉病)

Taphrina caerulescens (Montagne & Desmazières) Tulasne

出田 新:日本植物病理学:259, 1903(明 36) ; Nagao, H. & Katumoto, K.:Mycoscience 39:173, 1998

[備考] アラカシ・ウバメガシ

斑点病 hanten-byo

Phyllachora quercicola Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:385, 1911(明 44) ; 出田 新:日本植物病理学(上):252, 1909(明 42)

[備考] シラカシ

斑葉病 han'yo-byo (白星病)

Phyllosticta shiraiana P. Sydow

安田 篤:植物学各論隠花部:535, 1911(明 44) ; 白井光太郎:植物病理学(下) 改訂版:250, 1900(明 33)

[備考] アラカシ・アカガシ

べっこうたけ病* bekkotake-byo Butt rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer, *Polyporus rhodophaeus* Lévillé] ベッコウタケ

逸見武雄・赤井重恭:日植病報 9(4):199, 1939(昭 14) ; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989

[備考] イチイガシ

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis acaciae* (Thümen) K. Yokoyama & S. Kaneko (ペスタロチア葉枯病)

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:122, 1980

[備考] アラカシ

(2) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert [*Pestalotia glandicola* (Castagne) Guba]

日野隆之:採集と飼育 26(10):294, 1964 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

[備考] シラカシ

(3) *Pestalotia kasagiensis* C.T. Yeh & Katsura (輪紋葉枯病, ペスタロチア輪紋病)

葉 貞聡・桂 琦一:関西病虫研報 1:50, 1958 ; 葉 貞聡:京都府大学術報, 農学 11:52, 1959

[備考] アラカシ

円斑病 maruhan-byo Circular spot

Plagiosphaera japonica Tak. Kobayashi & K. Sasaki [*Plagiosphaera* sp.]

佐々木克彦・小林享夫:日植病報 41(1):117, 1975 ; Kobayashi, T. & Sasaki, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23:251, 1982

[備考] アラカシ・シラカシ

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Fomes fomentarius (Linnaeus) J. Kickx f. ツリガネタケ

北島君三:林試研報 28:27, 1928(昭 3)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

(1) *Stereum hirsutum* (Willdenow) Gray キウロコタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:438, 1933(昭 8)

(2) *Trametes gibbosa* (Persoon) Fries オオチリメンタケ

逸見武雄・池屋重吉:日植病報 2(6):563, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹辺材腐朽病参照

紫かび病 murasaki-kabi-byo (粉病, 褐斑病, うどんこ病, 裏黒渋病)

(1) *Cystotheca wrightii* Berkeley & M.A. Curtis [*Sphaerotheca wrightii* (Berkeley & M.A. Curtis) Höhnelt]

原 攝祐:樹病学各論:4, 1923(大 12) ; 田中延次郎:植物学雑 4(42):298, 1890(明 23)

[備考] アラカシ・シラカシ・アカガシ・ウラジロガシ・ツクバネガシ・ウバメガシ

(2) *Cystotheca lanestris* (Harkness) Miyabe

出田 新:日本植物病理学:226, 1909(明 42) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):158, 1919(大 8)

[備考] アラカシ・ウラジロガシ。病原菌の異名はナラ類紫かび病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病)

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明 44) ; 出口 新:実用植物病理学:205, 1901(明 34)

[備考] アカガシ・シラカシ・イチイガシ。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

モノケチア葉枯病* *Monochaetia*-hagare-byo *Monochaetia* leaf blight (葉枯病)

Monochaetia monochaeta (Desmazières) Allescher

藤岡保夫:広島農業の研究 2:55, 1966

[備考] 病原菌の異名はナラ類葉枯病参照

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

ビロード病 birododo-byo Erineum gall

Eriophyes sp. ケフシダニの 1 種

周藤靖雄:森林防疫 23(4):70, 1974

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus minor* (Colbran) Siddiqi ヒメユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] ウラジロガシ

(2) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] ウラジロガシ

(3) *Xiphinema chambersi* Thorne オオハリセンチュウの 1 種

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] ウバメガシ・ウラジロガシ。根圏土壌より検出

(4) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] ウバメガシ・ウラジロガシ。根圏土壌より検出

(5) *Xiphinema simillimum* Loof & Yassin オオハリセンチュウの 1 種

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] ウラジロガシ。根圏土壌より検出

†黒褐色すす病 kokukasshoku-susu-byo

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto

山本和太郎:熱帯農学会誌 13:213, 1941(昭 16) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 1(1):46, 1953

[備考] 台湾。アラカシ。病原菌の異名はクチナシ†黒褐色すす病参照

††††

Apiognomonina supraseptata S. Kaneko & Tak. Kobayashi

Kaneko, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(1):11, 1984

[備考] アラカシ。接種試験で病原性なし

††††

Coccomyces dentatus (Kunze & J.C. Schmidt) Saccardo

原 攝祐:日本害菌学:113, 1936(昭 11)

††††

Kusanoa japonica Hennings

松村任三:帝国植物名鑑(上):149, 1904(明 37) ; 原 攝祐:植物及動物 3(2):470, 1935(昭 10)

[備考] アラカシ・シラカシ

††††

Lachnum nipponicum J.H. Haines & S. Kaneko [*Eriosporella calami* (Niessl) Höhnelt]

Haines, J. H. & Kaneko, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(3):238, 1984

[備考] アラカシ落葉

††††

Plagiosphaera quercicola Tak. Kobayashi

小林享夫:科博専報 9:88, 1976 ; Kaneko, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(1):17, 1984

[備考] アラカシ・ウラジロガシ・シラカシ

ナラ類(櫟)

Oak

Quercus spp.

(広葉樹)

クヌギ(栲) Japanese chestnut oak *Q. acutissima* Carr.

アメリカシロナラ (ホワイトオーク) *Q. alba* L.

ナラガシワ *Q. aliena* Blume

ミズナラ(水櫟、カラフトガシワ、モンゴリナラ) *Q. crispula* Blume

ミヤマナラ *Q. crispula* Blume var. *horikawae* H.Ohba

カシワ(柏) *Q. dentata* Thunb. ex Murray

オウシュウナラ (ヨーロッパナラ) *Q. robur* L.

アメリカアカナラ (レッドオーク) *Q. rubra* L.

コナラ(小櫟) *Q. serrata* Thunb. ex Murray

アベマキ *Q. variabilis* Blume

オオバコナラ *Quercus*×*major* Nakai

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

[備考] コナラ (*Q. serrata*) に発生

萎凋病 icho-byo Raffaelea wilt, Japanese oak wilt

Raffaelea quercivora Kubono & Shin. Ito

Kubono, T. & Ito, S.:Mycoscience 43:255, 2002 ; 伊藤進一郎ら:日植病報 69(1):61, 2003

[備考] ミズナラおよびコナラの集団枯死を引き起こす

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe alphitoides* (Griffon & Maublanc) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera alphitoides* Griffon & Maublanc, *Microsphaera alni* auct. non (Wallroth) Salmon, *Microsphaera alni* (de Candolle) G. Winter f. *quercus-glandulifera* Hara, *Microsphaera querci* Sawada, *Microsphaera alphitoides* auct. non Griffon & Maublanc, *Microsphaera alni* auct. non Salmon sensu Sawada, *Microsphaera quercina* (Schweinitz) Burrill] (白渋病, 粉病)

出田 新:実用植物病理学:162, 1901(明 34); 安田 篤:植物学各論隠花部:1089, 1911(明 44); Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):171, 1930(昭 5); Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):383, 1937(昭 12); 澤田兼吉:林試研報 50:122, 1951; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:80, 1977; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):227, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012

[備考] コナラ・ミズナラ・カシワ・オウシュウナラ・クヌギ・アメリカアカナラ・アメリカシロナラ・ミヤマナラに発生

(2) *Erysiphe bifurcate* (Homma) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula bifurcata* Homma] (白渋病)

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):349, 1937(昭 12); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):242, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012

[備考] コナラに発生

(3) *Erysiphe epigena* S. Takamatsu & U. Braun [*Microsphaera alphitoides* auct p.p.]

Takamatsu, S. *et al.*:Mycol. Res. 111(7):821, 2007

[備考] クヌギ・アベマキに発生

(4) *Microsphaera calocladophora* G.F. Atkinson

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):382, 1937(昭 12); 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:80, 1977

[備考] アメリカシロナラに発生

(5) *Parauncinula septate* (E.S. Salmon) S. Takamatsu & U. Braun [*Uncinula septata* E.S. Salmon]

松村任三:帝国植物名鑑(上):179, 1904(明 37); 安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明 44); Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):361, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):245, 1988; Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 46(1):14, 2005; Meeboon J. *et al.*:Mycoscience 56(6):590, 2015

[備考] コナラ・カシワ・アベマキ・ヨーロッパナラに発生

裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe japonica* (S. Ito & Hara) C.T. Wei [*Typhulochaeta japonica* S. Ito & Hara] (粉病, 白渋病, うどんこ病, 裏白渋病)

Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 29(338):20, 1915; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):181, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012

[備考] コナラ・ミズナラ・ナラガシワに発生

(2) *Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma

本間善久:四国植物防疫研究 11:132, 1976

[備考] アベマキに発生

(3) *Phyllactinia roboris* (Gachet) S. Blumer [*Phyllactinia quercus* (Mérat) Homma] (うどんこ病)

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):414, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):263, 1988

[備考] コナラ・アベマキに発生

裏黒点病 ura-kokuten-byo (黒点病)

Coccoidea quercicola Hennings & Shirai

原 攝祐:樹病学各論:80, 1923(大 12); 出田 新:続日本植物病理学(上):268, 1925(大 14)

[備考] コナラ。病原菌の異名はカシ類裏黒点病参照

枝枯病 edagare-byo Die-back disease

Colpoma quercinum (Persoon) Wallroth

小口健夫:日林北支論 41:62, 1993

[備考] 病原性未確認

黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo Endothia canker

(1) *Cryphonectria havanensis* (Bruner) M.E. Barr [*Endothia havanensis* Bruner, *Endothia tropicalis* Shear & N.E. Stevens]

小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:139, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

[備考] コナラ・アベマキ・カシワ

(2) *Cryphonectria nitschkei* (G.H. Oth) M.E. Barr [*Endothia nitschkei* G.H. Oth]

小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; Kobayashi, T. & Ito, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):151, 1956 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992

[備考] コナラ・ミズナラ・クヌギ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照

(3) *Cryphonectria radicalis* (Schweinitz) M.E. Barr [*Endothia radicalis* (Schweinitz) Cesati & De Notaris] (萎縮病)

小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; 原 攝祐:樹病学各論:131, 1923 (大 12) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992

[備考] コナラ・アベマキ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照

(4) *Endothia singularis* Shear & N.E. Stevens [*Endothiella singularis* (Sydow) Shear & Stevens]

小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; 小林享夫:日植病報 19(3-4):189, 1955

[備考] コナラ・クヌギ

黄斑病 ohan-byo Yellow leaf spot

Didymella fagi C. Z. Wei & Y. Harada [*Ascochyta fagi* Woronichin]

魏 傳釗・原田幸雄:日植病報 62(6):601, 1996 ; Wei, C. Z. & Harada, Y.:Mycoscience 39:63, 1998

[備考] ミズナラ

褐色こうやく病* kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (こうやく病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類褐色こうやく病参照

褐色円星病* kasshoku-maruhoshi-byo (円星病)

Marssonina martini (Saccardo & Ellis) Magnus [*Marssonina martini* Saccardo & Ellis]

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(237):53, 1914(大 3) ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):37, 1943(昭 18) ; 丹田誠之助:東農大農学集報 27(3):229, 1983

[備考] ミズナラ・ナラガシワ・オオナラガシワ(*Q. aliena* var. *pellucida*)

かわらたけ病* kawaratake-byo

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:460, 1933(昭 8) ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol. 2:761, 1987

[備考] クヌギ・コナラ。病原菌の異名はポプラ類かわらたけ病参照

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

[備考] コナラ

がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker (こぶ病, 癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola

新島善直:日本森林保護学(下):504, 1912(明 45); 白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明 27); 伊藤一雄:樹病学大系 2:229, 1973

[備考] 病原菌の異名はポプラ類がんしゅ病参照

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15); Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

黒星病 kurohoshi-byo Scab

Protoventuria quercina (Persoon) M.E. Barr

田中和明ら:日植病報 77(3):204, 2011

[備考] カシワ *Q. dentata* に発生。病原菌は *Venturia* 属への転属処理が必要

毛さび病 kesabi-byo Rust (銹病, 毛銹病)

Cronartium orientale S. Kaneko [*Cronartium quercuum* (Berkeley) Miyabe ex Shirai]

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):165, 1959; Shirai, M.:Bot. Mag. Tokyo 13(148):74, 1899; Kaneko, S.:Mycoscience 41(2):115, 2000

[備考] コナラ・アベマキ・クヌギ・カシワ・ミズナラ・アカガシワ・モンゴリナラ・ナラガシワ・オオバコナラ(*Q. major*)・アオナラガシワ(*Q. neostuxbugii*)・チョウセンカシワ。病原菌の異名はブナ毛さび病参照

堅果菌核病* kenka-kinkaku-byo Acorn rot

Ciboria batschiana (Zopf) N.F. Buchwald [*Sclerotinia pseudotuberosa* Rehm] ドングリキンカクキン(ナラミノチャワಂತケ)

市原 優ら:日林誌 92(2):100, 2010

[備考] コナラ, ミズナラに発生。大谷(菌蕈研報 28:251, 1990)および長尾・吹春(千葉中央博自然史研報特別号 5:111, 2002)は病原をドングリキンカクキンと, Iguchi (Bull. Saitama Mus. Nat. Hist. 9:15, 1991)はナラミノチャワಂತケと呼称した

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 紅斑性癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962; 原 攝祐:樹病学各論:65, 1923(大 12)

[備考] コナラ・クヌギ。病原菌の異名はハシバミ類紅粒がんしゅ病参照

コニエラ葉枯病 Coniella-hagare-byo

Coniella castaneicola (Ellis & Everhart) B. Sutton [*Gloeosporium castanicola* Ellis & Everhart]

Kaneko, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 47(1):80, 1981

[備考] コナラ・クヌギ・ミズナラ・アカナラ

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:338, 1910(明 43); 横木国臣:農業及園芸 5(6):739, 1930(昭 5)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参照

しみ葉枯病 shimi-hagare-byo

Gnomonia megalocarpa (I. Hino & Katumoto) Tak. Kobayashi [*Discogloeum* sp.]

金子 繁:日林東北支誌 36:235, 1984

[備考] クヌギ

白粒葉枯病 shirosubu-hagare-byo Frosty mildew

Redheadia quercus Y. Suto & Suyama [不完全世代: *Mycopappus quercus* Y. Suto & M. Kawai]

周藤靖雄:日林論 104:617, 1993 ; Suto, Y. & Kawai, M.:Mycoscience 41:55, 2000 ; Suto, Y. & Suyama, H.:Mycoscience 46:227, 2005

[備考] クヌギに発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:414, 1910(明 43) ; 原 攝祐:果樹病害論:54, 1916(大 5)

[備考] カシワ・アメリカアカナラ(*Q. rubra*)・コナラ・ミズナラ・クヌギ。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす点病 susuten-byo Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫ら:日植病報 53(1):324, 1985

[備考] カシワ・ミズナラ・クヌギ・アベマキ・ナラガシワ

すす葉枯病 susu-hagare-byo

Tubakia dryina (Saccardo) B. Sutton

小林享夫・佐々木克彦:日植病報 41(1):117, 1975

[備考] コナラ・ミズナラ・クヌギ・アベマキ・ナラガシワ

すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Capnodium quercinum* Berkeley & Desmazières

白井光太郎:植物病理学(下):175, 1894(明 27)

[備考] 病原菌の異名はカシ類すす病参照

(2) *Capnodium salicinum* Montagne

南部信方:病虫雑 2(2):192, 1915(大 4)

[備考] カシワ。病原菌の異名はボブラ類すす病参照

(3) *Lembosia quercicola* Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:85, 1975

[備考] コナラ

†**すす病*** susu-byo Sooty mold

Scorias communis W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953

[備考] 台湾。コナラ

スフェルリナ斑点病 *Sphaerulina-hanten-byo*

Sphaerulina myriadea (de Candolle) Saccardo

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(1):28, 1987

[備考] カシワ

青変病 seihen-byo Blue stain

Ophiostoma pluriannulatum (Hedgcock) Sydow & P. Sydow [*Ceratocystis pluriannulata* (Hedgcock) C. Moreau]

青島清雄・林 康夫:日植病報 20(2-3):115, 1955

[備考] ミズナラ。病原菌の異名はブナ青変病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

伊藤一雄:森林防疫 27(4):58, 1978

[備考] コナラ

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries ツチクラゲ

佐藤邦彦ら:林試東北支年報 11:208, 1970 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 268:13, 1974

[備考] コナラ・ミズナラ。病原菌の異名はハンノキ類つちくらげ病参照

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病)

Microstroma album (Desmazières) Saccardo var. *japonicum* Hennings

草野俊助:植物学雑 17(196):107, 1903(明 36) ; 南部信方:病虫雑 2(5):481, 1915(大 4)

[備考] コナラ・ミズナラ。病原菌の異名はカシ類てんぐ巣病参照

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (苗腐敗病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(2) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):138, 1959

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13) ; 堀 正太郎:病虫雑 5(5):336, 1918(大 7)

[備考] クヌギ・コナラ・ミズナラ・カシワ。病原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照。狭義の種名は未検討

にせ炭疽病 nise-tanso-byo Gnomonia leaf spot

Gnomonia setacea (Persoon) Cesati & De Notaris [*Discogloeum* sp.]

金子 繁:日植病報 48(3):367, 1982 ; 原 攝祐:植物学雑 27(316):226, 1913(大 2)

[備考] クヌギ・アベマキ・カシワ・コナラ

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

Daedalea dickinsii Yasuda [*Trametes dickinsii* Berkeley] ホウロクタケ

Yasuda, A.:Bot. Mag. Tokyo 37(439/444):128, 1923(大 12) ; 亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959 ;

Aoshima, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:2, 1967

[備考] コナラ・ミズナラ

灰白円星病* haihaku-maruhoshi-byo (円星病)

Stagonospora querci Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:54, 1958

[備考] ミズナラ

灰斑病 haihan-byo Gray leaf spot

Discula sp.

矢口行雄ら:第 115 回林学大会学術講演集 52, 2004

[備考] コナラに発生

葉枯病 hagare-byo Monochaetia leaf blight

(1) *Monochaetia dimorphospora* T. Yokoyama

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:126, 1980

[備考] クヌギ

(2) *Monochaetia monochaeta* (Desmazières) Allescher [*Monochaetia* sp., *Monochaetia pachyspora* Bubák, *Monochaetia desmaytia* Saccardo]

小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; Fujioka, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan. 3:64, 1962 ; Kaneko S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:124, 1980

[備考] クヌギ・アベマキ・コナラ・オウシュウアカナラ(*Q. robur*)

白点胴枯病 hakuten-dogare-byo

Amphiportha raveneliana (Thümen & Rehm) M.E. Barr [*Cryptodiaportha raveneliana* (Thümen & Rehm) Tak. Kobayashi]

小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:54, 1970 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

[備考] コナラ・ミズナラ・カシワ

葉ぶくれ病* habukure-byo Leaf blister (葉腫病, 腫葉病)

Taphrina caerulescens (Montagne & Desmazières) Tulasne

白井光太郎:植物病理学(下):146, 1894(明 27) ; 出田 新:実用植物病理学:156, 1901(明 34)

[備考] カシワ・ミズナラ・コナラ・クヌギ・モンゴリナラ(*Q. mongolica*)

斑点病 hanten-byo

Septogloeum niishimae Hemmi

Hemmi, T.:Bot. Mag. Tokyo 30(358):337, 1916(大 5) ; 原 攝祐:樹病学各論:240, 1923(大 12)

[備考] カシワ

斑紋病* hammon-byo (斑点病)

Mycosphaerella maculiformis (Persoon) J. Schröter

原 攝祐:実験樹木病害篇:187, 1927(昭 2)

[備考] 病原菌の異名はシデ類斑点病参照

†**斑紋病** hammon-byo

Septoria quercus Thümen

逸見武雄:植物分類地理 13:43, 1943(昭 18)

[備考] 朝鮮半島。アオナラガシワ

斑葉病 han'yo-byo

Dothiorella phomiformis (Saccardo) Petrak & Sydow [*Gloeosporium shiraianum* Sydow]

安田 篤:植物学各論隠花部:549, 1911(明 44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:38, 1905(明 38) ; von Arx, J. A.:Revision der zu *Gloeosporium* gestellten Pilze:135, 1957

[備考] コナラ

腐らん病 furan-byo Cytospora canker

Valsa ceratosperma (Tode) Maire

小林享夫:山林 1093:34, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:106, 1970

[備考] ミズナラ。病原菌の異名はポプラ類腐らん病参照

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis acaciae* (Thümen) K. Yokoyama & S. Kaneko

Kaneko, S.: Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:122, 1980

[備考] コナラ・クヌギ・ナラガシワ

(2) *Pestalotiopsis montellica* (Saccardo & Voglino) Tak. Kobayashi (黒汁葉枯病)

伊藤一雄: 樹病学大系 3:174, 1974; 澤田兼吉: 林試研報 105:78, 1958

[備考] カシワ。病原菌の異名はズミ褐斑病参照

円斑病 maruhan-byo Circular leaf spot

Apiocarpella quercicola Tak. Kobayashi & K. Sasaki

小林享夫・佐々木克彦: 日植病報 41(1):117, 1975; Kobayashi, T. & Sasaki, K.: Trans. Mycol. Soc. Japan 16(3):235, 1975

[備考] コナラ

円星病 maruhoshi-byo Macrophoma leaf spot (斑紋病, マクロフオマ円星病)

Macrophoma quercicola Togashi

澤田兼吉: 林試研報 105:46, 1958; Togashi, K.: Bull. Imp. Coll. Agr. For. Morioka 22:36, 1936

[備考] コナラ・ミズナラ

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Fomes fomentarius* (Linnaeus) J. Kickx f. ツリガネタケ

出田 新: 日本植物病理学(下):611, 1911(明 44)

[備考] カシワ。病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

(2) *Laetiporus sulphureus* (Bulliard) Murrill マスタケ

白井光太郎: 植物病理学(下)改訂版:155, 1900(明 33); 千葉 修・寺本敏雄: 東大農演報 43:31, 1952

[備考] コナラ・ミズナラ・カシワ。病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

(3) *Lenzites betulina* (Linnaeus) Fries カイガラタケ

北島君三: 病虫雑 17(2):94, 1930(昭 5)

[備考] ミズナラ。病原菌の異名はブナ幹心腐病参照

(4) *Phellinus igniarius* (Linnaeus) Quélet キコブタケ (白朽病)

白井光太郎: 植物病理学(下)改訂版:154, 1900(明 33); 千葉 修・寺本敏雄: 東大農演報 43:25, 1952

[備考] ミズナラ・カシワ。病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

(1) *Daedaleopsis tricolor* (Bulliard) Bondartsev & Singer チャカイガラタケ

亀井専次・五十嵐恒夫: 日林北支講 8:53, 1959

[備考] ミズナラ

(2) *Stereum hirsutum* (Willdenow) Gray キウロコタケ

白井光太郎: 植物病理学(下)改訂版:148, 1900(明 33)

[備考] ミズナラ・カシワ

(3) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer [*Trametes sanguinea* (Linnaeus) Lloyd] ヒイロタケ

安田 篤: 植研雑 6(7):221, 1929(昭 4); 今関六也・本郷次雄: 原色日本新菌類図鑑(II):150, 1989

[備考] 病原菌の異名はシデ類幹心腐病参照

紫かび病 murasaki-kabi-byo (うどんこ病, 粉病, 白粉病, 白渋病, 裏うどんこ病, 褐斑病, 紫黴病)

Cystotheca lanestris (Harkness) Miyabe [*Sphaerotheca lanestris* Harkness, *Sphaerotheca kusanoi* Hennings & Shirai, *Cystotheca kusanoi* (Hennings & Shirai) Miyabe & Takahashi, *Cystotheca tenuis* Miyabe & Shirai]

原 攝祐: 東亜菌類誌 静岡農会報 359:5, 1927(昭 2); 白井光太郎: 植物病理学(下)改訂版:190, 1900(明 33);

出田 新: 日本植物病理学(上):226, 1909(明 42)

[備考] コナラ・ミズナラ・カシワ・クヌギ・ナラガシワ・オオバコナラ

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病)

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明 44); 出田 新:実用植物病理学:205, 1901(明 34)

[備考] コナラ・クヌギ。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconema jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconema jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] クヌギ・コナラ。根圏土壤より検出

(2) *Criconema longulum* (Gunhold) Raski & Luc [*Nothocriconema longulum* Gunhold] ワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] クヌギ・コナラ。根圏土壤より検出

(3) *Criconemella macrodora* (Taylor) Luc & Raski [*Xenocriconema macrodora* (Taylor) De Grisse & Loof] ワセンチュウの 1 種

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] コナラ。根圏土壤より検出

(4) *Gracilacus* sp. ピンセンチュウの 1 種

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] コナラ。根圏土壤より検出

(5) *Ogma dryum* (Minagawa) Raski & Luc [*Crossonema dryum* Minagawa] トゲワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 9:25, 1979

[備考] クヌギ・コナラ

(6) *Ogma octozonale* (Momota & Ohshima) Siddiqi [*Crossonema octozonale* Momota & Ohshima] スギトゲワセンチュウ

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壤より検出

(7) *Paratrichodorus minor* (Colbran) Siddiqi ヒメユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] クヌギ・コナラ

(8) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] クヌギ・コナラ

(9) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの 1 種

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] コナラ

(10) *Pratylenchus japonicus* Ryss オオハリネグサレセンチュウ

Minagawa, N.:Appl. Entomol. Zool. 17(3):418, 1982

[備考] *Pratylenchus macrostylus* Wu として報告されたが、現在は別種とされ、表記学名が適用される (Mizukubo, T. et al.:Esakia 37:203, 1997)

(11) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] コナラ。根圏土壤より検出

(12) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] コナラ。根圏土壤より検出。上記種との異同は不明

(13) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] クヌギ・コナラ

(14) *Trichodorus tricaulatus* Shishida ユミハリセンチュウの1種

Shishida, Y.: Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] クヌギ・コナラ

(15) *Xiphinema bakeri* Williams クワオオハリセンチュウ

宍田幸男: 関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] コナラ。根圏土壌より検出

(16) *Xiphinema chambersi* Thorne オオハリセンチュウの1種

Shishida, Y.: Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983 ; 宍田幸男: 関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] コナラ。根圏土壌より検出

(17) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.: Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983 ; 宍田幸男: 関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] コナラ。根圏土壌より検出

†植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Helicotylenchus sp. ラセンセンチュウの1種

小林享夫: 熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

非伝染性てんぐ巣病 hi-densensei-tengusu-byo Witches' broom

病因未詳

浜 武人: 森林防疫ニュース 12(7):147, 1963

[備考] クヌギ

こぶ病 kobu-byo Gall

病因未詳

佐藤邦彦: 森林防疫ニュース 5(9):225, 1956

[備考] コナラ

†黒褐色すす病 kokukasshoku-susu-byo Black sooty mold

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto

山本和太郎: 兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953

[備考] 台湾。コナラ。病原菌の異名はクチナシ†黒褐色すす病参照

††しおれ病 shiore-byo Oak wilt (萎凋病)

Ceratocystis fagacearum (Bretz) J. Hunt [*Endoconidiophora fagacearum* Bretz, *Chalara quercina* B.W. Henry]

伊藤一雄: 林木の耐病性:169, 1959

††††苗根腐病* nae-negusare-byo Rosellinia root rot (苗立枯病)

Rosellinia quercina R. Hartig

原 攝祐: 実験樹木病害編:182, 1927(昭2)

[備考] 調査を要する

††††根系てんぐ巣症 konkei-tengusu-sho

病因未詳

浜 武人: 森林防疫 34(4):73, 1985

[備考] ミズナラ

††††

Ophiostoma longicollum Masuya

Masuya, H. *et al.*:Mycoscience 39:347, 1998

[備考] カシノナガキクイムシが穿孔したミズナラ辺材より分離

タイワンガシ

(Synaedrys)

Synaedrys formosana (Hayata) Koidz.

(広葉樹)

†すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Irene castanopsisifoliae* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):217, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。オニガシ (*S. amygdalifolia* var. *castanopsiifolia*)

(2) *Irene konishii* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):218, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。コニシガシ (*S. konishii*)

(3) *Irene lithocarpicola* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):218, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。タイワンガシ (*S. formosana*)・ヒラミガシ (*S. dodonaeifolia*)・スイシャガシ(*S. suishaensis*)・アミガシ (*S. amygdalifolius*)

(4) *Irene sinsuiensis* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):219, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。シンスイエイガシ (*S. sinsuiensis*)

(5) *Meliola kawakamii* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):131, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。カワカミガシ (*S. kawakamii*)

(6) *Meliola kiraiensis* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):132, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。オオアミガシ (*S. lepidocarpa*)

(7) *Meliola kodaihoensis* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):133, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。コダイホガシ (*S. kodaihoensis*)

(8) *Meliola lithocarpina* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):133, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。セイショウガシ (*S. brevicaudata*)

(9) *Meliola ramulicola* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):134, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。セイショウガシ

(10) *Meliola subpellucida* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(210):136, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。オニガシ

††††

†*Appendiculella konishii* (W. Yamamoto) Hansford [*Irene konishii* W. Yamamoto]

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):217, 1941(昭 16) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):561, 1992

[備考] 台湾。コニシガシ。†すす病菌 *Irene konishii* との異同は検討を要する

††††

†*Appendiculella lithocarpicola* (W. Yamamoto) Hansford [*Irene lithocarpicola* W. Yamamoto]

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):218, 1941(昭 16) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):561, 1992

[備考] 台湾。アミガシ (*S. amygdalifolius*)・タイワンガシ・イイシャガシ (*S. rhonbocarpa* f. *suihensis*)・ヒラミガシ (*S. formosana* f. *dodoniaefolia*)。†すす病菌 *Irene lithocarpicola* との異同は検討を要する

††††

†*Appendiculella sinsuiensis* (W. Yamamoto) Hansford [*Irene sinsuiensis* W. Yamamoto]

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):219, 1941(昭 16) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):561, 1992

[備考] 台湾。シンスイエイガシ (*S. sinsuiensis*)。†すす病菌 *Irene sinsuiensis* との異同は検討を要する

イイギリ科 Flacourtiaceae

イヌカンコノキ

(Casearia)

Casearia merrillii Hayata

(広葉樹)

††††

†*Asterina caseariae* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 2(2):35, 1956

[備考] 台湾

イイギリ(飯桐)

Flacourtia indica

Idesia polycarpa Maxim.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Melampsora idesiae Miyabe ex Hiratsuka

出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明 34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):45, 1897(明 30)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella sp.

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:176, 1977

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

††††

Mycosphaerella idesiae Hara

原 攝祐:病虫雑 5(8):617, 1918(大 7)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

トゲイヌツゲ

(Scolopia)

Scolopia oldhamii Hance

(広葉樹)

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)

Phyllachora scolopiae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):8, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo scolopiae Sydow & P. Sydow

藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:11, 1914(大 3);澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):400, 1919(大 8)

[備考] 台湾

††††

†*Calothyriopeltis scolopiae* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農專刊 8(台湾産菌類調査報告 11):45, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Halbaniella scolopiae* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農專刊 8(台湾産菌類調査報告 11):46, 1959

[備考] 台湾

クスドイゲ

(Xylosma)

Xylosma congestum (Lour.) Merr.

(広葉樹)

††††

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸学術報, 自然科学 1:94, 1951

リンドウ科 Gentianaceae

トルコギキョウ

Russell prairie gentian

Eustoma grandiflorum (Raf.) Shinn.

(草花)

えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic stunt

(1) *Lisianthus necrotic stunt virus*# (LiNSV) トルコギキョウえそ萎縮ウイルス

Ibrahim, M. *et al.*: Jpn. J. Phytopathol. 72(1):41, 2006 ; 藤永真史ら: 日植病報 72(2):109, 2006 ; 伊山幸秀ら: 北陸病虫研報 58:19, 2009

(2) *Moroccan pepper virus* (MPV) トウガラシモロッコウイルス

大木建広ら: 日植病報 78(3):253, 2012 ; Ohki, T. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 80(1):90, 2014

(3) *Tomato bushy stunt virus* (TBSV) トマトブッシュースタントウイルス

藤永真史ら: 日植病報 71(3):233, 2005 ; 善正二郎・藤 晋一: 日植病報 72(1):28, 2006 ; 藤永真史ら: 日植病報 72(2):109, 2006

えそ斑点病 eso-hanten-byo

Turnip mosaic virus (TuMV) カブモザイクウイルス

山下一夫・杉山 悟: 日植病報 64(6):605, 1998 ; 土井 誠・古木孝典: 関東病虫研報 50:89, 2003

えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot

Impatiens necrotic spot virus (INSV) インパチエンスえそ斑点ウイルス

土井 誠・加藤公彦: 日植病報 68(2):231, 2002 ; 土井 誠・加藤公彦: 関東病虫研報 50:83, 2003

えそ病 eso-byo

Lisianthus necrosis virus (LNV) トルコギキョウえそウイルス

岩木満朗ら: 日植病報 51(3):355, 1985 ; 花田 薫・岩木満朗: 日植病報 52(1):153, 1986

えそモザイク病 eso-mosaic-byo

(1) *Clover yellow vein virus* (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス

山下一夫・福井要子: 日植病報 66(3):263, 2000

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

岩木満朗ら: 日植病報 51(3):355, 1985 ; 松尾和敏・太田孝彦: 日植病報 58(10):113, 1992

[備考] 戻し接種なし

えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ringspot

(1) *Iris yellow spot virus* (IYSV) アイリス黄斑ウイルス

土井 誠・加藤公彦: 日植病報 68(2):231, 2002 ; 花田 薫ら: 日植病報 68(2):234, 2002 ; 岡本 潤ら: 日植病報 69(1):22, 2003 ; 岡本 潤ら: 九州農業研究 65:92, 2003 ; 土井 誠ら: 日植病報 69(3):181, 2003

(2) *Lisianthus necrotic ringspot virus*# (LNRV) トルコギキョウえそ輪紋ウイルス

下元祥史ら: 日植病報 77(3):189, 2011 ; Shimomoto, S. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 80(2):169, 2014

[備考] 病原は *Tospovirus* 属の一種

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

勝部和則ら: 日植病報 64(3):402, 1998 ; 黒田智久ら: 日植病報 65(4):490, 1999

茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis

Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク茎えそウイルス
桃井千巳ら:日植病報 76(3):190, 2010 ; Momonoi, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 77(2):142, 2011

葉巻病 hamaki-byo Leaf curl
Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV) トマト黄化葉巻ウイルス
内川敬介ら:日植病報 68(1):50, 2002

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス
竹内繁治・古谷眞二:日植病報 58(4):616, 1992 ; 竹内繁治・古谷眞二:高知農技セ研報 2:1, 1993
(2) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) ソラマメウイルトウイルス 2
小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004
[備考] 戻し接種なし
(3) *Broad bean wilt virus*#
岩木満朗ら:日植病報 51(3):355, 1985 ; 山下一夫:北日本病虫研報 41:80, 1990
[備考] 戻し接種なし
(4) *Youcai mosaic virus* (YoMV) アブラナモザイクウイルス
山下一夫・杉山 悟:日植病報 64(6):605, 1998 ; 山下一夫・福井要子:日植病報 68(2):235, 2002

輪紋病 rimmon-byo Ring spot
Watermelon mosaic virus (WMV) スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス *Watermelon mosaic virus 2*]
井上幸次ら:日植病報 61(3):274, 1995

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt
Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]
伊達寛敬ら:日植病報 60(3):366, 1994

萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt
Burkholderia caryophylli (Burkholder 1942) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993
益永輝幸ら:日植病報 63(6):479, 1997 ; Furuya, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 66(4):316, 2000

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight
Burkholderia gladioli (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993
[*Pseudomonas gladioli* Severini]
吉永文浩:日植病報 61(3):253, 1995
[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

青かび根腐病 aokabi-negusare-byo Penicillium rot, Blue mold root rot
(1) *Penicillium pinophilum* Thom
菅原 敬ら:日植病報 76(3):201, 2010
(2) *Penicillium* sp.
小野光代・平子喜一:日植病報 64(6):611, 1998 ; 長浜 恵ら:日植病報 65(6):693, 1999

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium [subgen. *Pseudoidium*] sp.
岡本 潤:日植病報 65(6):643, 1999 ; 岡本 潤:九農研 62:69, 2000 ; 岡本 潤・高松 進:植物防疫 56(6):242,

2002 ; Okamoto, J. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 68(3):200, 2002

[備考] *Erysiphe polygoni* 型

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora cinnamomi* Rands

(2) *Phytophthora citricola* Sawada

(3) *Phytophthora citrophthora* (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian

(4) *Phytophthora cryptogea* Pethybridge & Lafferty

植松清次ら: 日植病報 62(3):266, 1996

褐色根腐病 kasshoku-negusare-byo Brown root rot

Subplenodomus drobnjakensis (Bubák) Gruyter, Aveskamp & Verkley

築尾嘉章ら: 日植病報 78(3):188, 2012 ; Kondo, T. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 80(1):99, 2014

[備考] 築尾ら(2012)は *Pyrenochaeta* sp. としたが, Kondo *et al.* がこれを *S. drobnjakensis* と再同定した

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

粕山新二・井上幸次: 日植病報 63(6):525, 1997

[備考] 接種試験未了

株腐病 kabugusare-byo Foliage rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

吉松英明: 日植病報 59(3):284, 1993

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 と AG4

花らい(蕾)腐敗病 karai-fuhai-byo Bud blight

Alternaria alternata (Fries) Keissler

富川 章・黒田克利: 日植病報 62(6):631, 1996

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

森田 儔ら: 関東病虫研報 32:151, 1985

[備考] 病原菌の形態の記述なし

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo

岩田康広ら: 日植病報 57(1):123, 1991 ; 堀田治邦・児玉不二雄: 日植病報 61(6):646, 1995

[備考] *F. roseum* は *Fusarium avenaceum* の異名

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

富田恭範・小木曾秀紀: 関東病虫研報 46:49, 1999

立枯病 tachigare-byo Root rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

松尾卓見ら: 作物のフザリウム病:472, 1980 ; 外側正之ら: 日植病報 74(1):35, 2008

(2) *Fusarium* sp. (the *Fusarium solani* species complex)

松尾卓見ら: 作物のフザリウム病:472, 1980 ; 富岡啓介ら: 日植病報 68(2):185, 2002 ; 富岡啓介ら: 四国植防 44:44, 2009 ; Tomioka, K. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 77(2):132, 2011

[備考] 本病原菌は *F. solani* species complex Clade 3 に属する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]
佐藤豊三ら:日植病報 58(4):544, 1992 ; Sato, T. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

菅原 敬ら:日植病報 75(1):57, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

根腐病 negusare-byo Root rot, Pythium rot

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

林 美希ら:日植病報 82(3):221, 2016

(2) *Pythium irregulare* Buisman

植松清次ら:関東病虫研報 40:167, 1993

(3) *Pythium spinosum* Sawada

吉松英明:日植病報 59(1):51, 1993

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

森田 儔ら:関東病虫研報 32:151, 1985

[備考] 病原菌の形態の記述なし

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Pseudocercospora eustomatis (Peck) U. Braun

石井貴明ら:日植病報 77(3):205, 2011

エキザカム(ベニヒメリンドウ)

German violet

Exacum affine Balf.fil.

(草花)

萎縮病 ishuku-byo

Broad bean wilt virus#

夏秋啓子ら:日植病報 58(4):615, 1992

えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot

Impatiens necrotic spot virus (INSV) インパチエンスえそ斑点ウイルス

後藤知昭ら:日植病報 67(2):173, 2001 ; 後藤知昭ら:関東病虫研報 48:97, 2001

[備考] 戻し接種なし

株枯病 kabugare-byo

Nectria ochroleuca (Schweinitz) Berkeley [*Nectria gliocladioides* Smalley & H.N. Hansen, *Gliocladium roseum* (Link) Bainier]

有江 力ら:日植病報 53(3):377, 1987

[備考] J. P. Trappe は本菌を *Nectria ochroleuca* に含めている(日菌報 17:216, 1976)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

リンドウ

Gentian

Gentiana scabra Bunge var. *buergeri* (Miq.) Maxim. *Gentiana* spp. および種間雑種
(草花)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) ソラマメウルトウイルス 2

酒井淳一ら:九病虫研会報 47:46, 2001 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004 ; 藤永真史ら:日植病報 78(1):58, 2012

(2) *Broad bean wilt virus*#

長尾記明ら:九病虫研会報 24:180, 1978 ; 善林六朗ら:関東病虫研報 36:124, 1989

えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic dwarf

Clover yellow vein virus (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#]

梶 和彦ら:日植病報 59(1):57, 1993 ; 梶 和彦ら:日植病報 59(6):763, 1993

えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic mottle

Impatiens necrotic spot virus (INSV) インパチエンスえそ斑点ウイルス

猫塚修一ら:日植病報 71(3):183, 2005

えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ringspot

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

森島正二ら:日植病報 79(3):241, 2013 ; 森島正二ら:関東病虫研報 61:119, 2014

子房輪紋症 shibo-rimmon-byo Ring-spot symptoms

Gentian ovary ring-spot virus# (GORV) リンドウ輪紋ウイルス [Gentian ring-spot virus#]

関根健太郎ら:日植病報 80(1):68, 2014 ; 厚見 剛ら:日植病報 81(1):62, 2015 ; Atsumi, G. *et al.* : J. Gen. Virol. 96(2): 431, 2015

[備考] 厚見ら(2015)の報告によれば, 本病原は*Virgaviridae*科の新属を形成すると推測される

斑紋病 hammon-byo

Tobacco rattle virus (TRV) タバコ茎えそウイルス

李 準璋ら:日植病報 49(1):83, 1983

[備考] 伝染性未確認。戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

Uga H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):378, 2002

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

長尾記明ら:九病虫研会報 24:180, 1978 ; 小湊正幸ら:日植病報 65(3):391, 1999

(3) *Gentian mosaic virus* (GeMV) リンドウモザイクウイルス

Kobayashi, Y. O. *et al.*:Phytopathology 95(2):192, 2005

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

(1) '*Candidatus Phytoplasma asteris*'

田中 穰ら:日植病報 72(4):191, 2006

(2) Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 38(3):215, 1972 ; 奥田誠一:宇都宮大農学報特輯 32:1, 1977

[備考] 伝染試験なし

褐色根腐病* kasshoku-negusare-byo Brown root rot (紅色根腐病, Pink root rot)

(1) *Pyrenochaeta gentianicola* Ts. Watanabe

渡辺恒雄・今村昭二:日植病報 43(3):343, 1977 ; Watanabe, T. & Imamura, S.:Mycoscience 36:439, 1995

(2) *Pyrenochaeta terrestris* (H.N. Hansen) Gorenz, J.C. Walker & Larson

渡辺恒雄・今村昭二:日植病報 43(3):343, 1977 ; Watanabe, T. & Imamura, S.:Mycoscience 36:439, 1995

[備考] 渡辺・今村 (1977) は *Pyrenochaeta* spp. による褐色根腐病を報告し, 後に Watanabe & Imamura(1995)は紅色根腐病と改訂

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Mycochaetophora gentianae Tak. Kobayashi, Kasuyama & Nasu

粕山新二・出射 立:日植病報 53(3):377, 1987 ; 粕山新二ら:日植病報 54(3):354, 1988 ; 小林享夫ら:日植病報 70(3):225, 2004 ; 小林享夫ら:日植病報 75(1):1, 2009

[備考] 粕山ら(1988) は本病原をもって *Thallosporiella gentianae* Yokoyama & Kasuyama を提案していたが, 小林らは *M. gentianae* と同定

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot

Fusarium sp. (the *Fusarium solani* species complex)

山城 都ら:日植病報 79(3):181, 2013 ; 山城 都ら:日植病報 81(1):43, 2015

[備考] *F. solani* complex Clade 3に属する。山城ら(2013)は本病を株腐病と提案したが, のちに本病とした

茎枯病 kukigare-byo

Fusarium roseum Link

松尾卓見ら:日植病報 41(3):254, 1975 ; 小菅喜久弥:原色新しい病虫害:1975

[備考] 接種試験未了。病菌の分類学的所属については検討が必要。松尾ら (1975) は *Fusarium roseum* "Avenaceum" を提案

黒斑病 kokuhan-byo Black rot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

猫塚修一ら:日植病報 69(1):27, 2003

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Puccinia moliniae* Tulasne

仲谷房治:北日本病虫研報 56:55, 2005 ; 仲谷房治・原田幸雄:北日本病虫研報 59:77, 2008

[備考] エゾオヤマリンドウ (*Gentiana triflora* Pall. var. *japonica* f. *montana* (Hara) Toyokuni)

(2) *Puccinia* sp.

仲谷房治・原田幸雄:日植病報 71(1):50, 2005

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

仲谷房治ら:日植病報 48(1):97, 1982

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

中山喜一ら:関東病虫研報 51:101, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. et al.:JARQ

47:295, 2013

(2) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds, *Colletotrichum simmondsii* R.G. Shivas & Y.P. Tan]

中山喜一ら:関東病虫研報 51:101, 2004 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇文治:植物防疫 67(7):367, 2013

(3) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

中山喜一ら:関東病虫研報 51:101, 2004

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium irregulare Buisman

庄司俊彦ら:関東病虫研報 46:69, 1999

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

夏秋知英ら:日植病報 48(1):36, 1982 ; 庄司俊彦:関東病虫研報 46:73, 1999

葉枯病 hagare-byo (斑点病)

Septoria gentianae Thümen [*Septoria gentianicola* Ishiyama, *Septoria gentianicola* Baudyš & Picbauer]

石山哲爾:札幌博物会報 13(3):218, 1934(昭 9) ; 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学報 17:42, 1934(昭 9) ; 大野義文ら:関東病虫研報 43:117, 1996

葉腐病 hagusare-byo Rhizoctonia leaf rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

大野義文ら:日植病報 60(3):343, 1994

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IA

花腐菌核病 hanagusare-kinkaku-byo Sclerotial flower blight

Ciborinia gentianae I. Saito & Kaji [*Sclerotinia* sp.]

今村昭二ら:日植病報 40(3):187, 1974 ; 今村昭二ら:日植病報 41(3):225, 1975 ; 梶 和彦ら:日植病報 56(3):382, 1990 ; Saito, I. & Kaji, K.:Mycoscience 47:41, 2006

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:261, 1975

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

森田 儔・深沢永光:改定新版花の病害虫と新防除:221, 1973

(3) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 上記種との異同は不明

センブリ

(Swertia)
Swertia japonica (Schult.) Makino
(特用作物)

さび病 sabi-byo Rust

Uredo sp.

藤永真史ら:日植病報 65(3):411, 1999

フウロソウ科 Geraniaceae

エロジウム

(Erodium)

Erodium texanum A. Gray

(草花)

††斑葉細菌病* han'yo-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑葉性細菌病)

病原細菌種名未定

岡部徳夫:植物細菌病学:350, 1949

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Pseudomonas erodii* Lewis は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

フウロソウ類

Cranesbill

Geranium spp.

(野草)

ゲンノショウコ(フウロソウ) *G. nepalense* Sweet var. *thunbergii* (Sieb. & Zucc.) Kudo

アケボノフウロ Bloody geranium *G. sanguineum* L.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera fugax (Penzig & Saccardo) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca fugax* Penzig & Saccardo]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:17, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:17, 2012

[備考] ゲンノショウコに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

市之瀬玲美ら:日植病報 80(1):22, 2014 ; 市之瀬玲美ら:関東病虫研報 61:74, 2014 ; 舘 彩香ら:関東病虫研報 61:103, 2014

[備考] 市之瀬ら(2014)はゲンノショウコ, 舘ら(2014)はアケボノフウロでの報告

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] ゲンノショウコに発生。病原線虫の異名等はサツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ゲンノショウコ

††斑葉細菌病 han'yo-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑葉性細菌病)

Xanthomonas hortorum pv. *pelargonii* (Brown 1923) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium geranii* (Burkholder) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *pelargonii* (Brown 1923) Dye 1978]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:548, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳

ゼラニウム

Geranium

Pelargonium × hortorum L.H.Bailey

(草花)

ペラルゴニウム(モンテンジクアオイ) *Regal pelargonium* *Pelargonium × domesticum* L.H.Bailey

アイビーゼラニウム *Pelargonium peltatum* (L.) L'Hér. ex Aiton

ニオイゼラニウム *Pelargonium graveolens* L'Hér.

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

亀谷満朗ら:日植病報 62(3):325, 1996

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

てんぐ巣病 *tengusu-byo* Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 35(5):389, 1969

[備考] 伝染試験なし

青枯病 *aogare-byo* Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

尾崎克巳・渡部 洋:九病虫研会報 50:98, 2004

斑葉細菌病* *han'yo-saikin-byo* Bacterial leaf spot (斑点病, 斑葉性細菌病)

Xanthomonas hortorum pv. *pelargonii* (Brown 1923) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium pelargoni* Brown, *Xanthomonas campestris* pv. *pelargonii* (Brown 1923) Dye 1978]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:89, 1939(昭 14)

[備考] 南部信方 (病虫雑 2(8):742, 1915), 石山信一・向 秀夫 (植物病原細菌誌:289, 1941) は *Pseudomonas erodii* Lewis による斑葉細菌病 (細菌病, 斑葉性細菌病) を紹介したが, 同学名は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した。国内発生未詳

株枯病 *kabugare-byo* Phoma rot

Phoma exigua Desmazières

粕山新二・井上幸次:岡山農試研報 27:39, 2009

褐斑病 *kappan-byo* *Alternaria* leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler [*Alternaria* sp.]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:89, 1939(昭 14) ; 高野喜八郎:日植病報 59(6):744, 1993 ; Furukawa, T. & Kishi, K.:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):268, 2001

[備考] 瀧元(1939)は解説書。高野(1993)はゼラニウムに, Furukawa & Kishi(2001)はペラルゴニウム, アイビーゼラニウム, ニオイゼラニウムに発生確認

茎腐病 *kukigusare-byo* *Pythium* blackleg

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

植松清次ら:関東病虫研報 38:111, 1991

(2) *Pythium irregulare* Buisman

渡辺秀樹ら:日植病報 72(1):72, 2006

(3) *Pythium splendens* Hans Braun

植松清次ら:関東病虫研報 38:111, 1991

(4) *Pythium* sp.

我孫子和雄ら:関西病虫研報 32:78, 1990

[備考] 富樫浩吾 (農及園 10(3):745, 1935) は *P. splendens* および *Pythium debaryanum* R. Hesse var.

pelargonii Hans Braun による茎腐病を紹介したが、国内発生未詳

黒根病 kurone-byo Black root rot

Thielaviopsis basicola (Berkeley & Broome) Ferraris

西川盾士:日植病報 71(3):215, 2005 ; 西川盾士:日植病報 73(4):309, 2007

[備考] ペラルゴニウムに発生

さび病 sabi-byo Rust

Uredo sp.

堀越紀夫ら:日植病報 70(3):224, 2004

[備考] ゼラニウム (*Pelargonium × hortorum*) に発生

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:135, 1994

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA。ニオイテンジクアオイに発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium pelargonii Cooke & Massee

今井四郎:病虫雑 1(3):298, 1914(大 3) ; 瀧元清透:日植病報 25(1):37, 1960

[備考] 病原の分類学的所属について検討を要する。接種試験未了

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (ボトリチス病, 鼠黴病)

Botrytis cinerea Persoon

金野敬三:日園雑 30(7):10, 1918(大 7) ; 河合一郎:園芸病害編:538, 1954 ; 阿部美咲ら:日植病報 80(1):23, 2014

[備考] 金野敬三 (1918) は病徴の解説。病原菌の記載は海外文献を引用。河合 (1954) 解説書

葉枯病 hagare-byo Leaf spot

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

高野喜八郎:日植病報 64(4):429, 1998

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Fusarium merismoides Corda var. *merismoides* [*Fusarium pelargonii* Crouan]

今井四郎:病虫雑 1(3):297, 1914(大 3)

[備考] 解説書。接種試験未了

円星病 maruhoshi-byo Circular leaf spot

Cercospora brunckii Ellis & Galloway

Nakashima, C. et al.:Mycoscience 43:95, 2002

[備考] 現在本菌は広義の *Cercospora apii* であるとして, [*Cercospora apii* sensu lato] が種名とともに記載されている。接種試験未了

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

三枝敏郎:植物寄生性線虫とその調査法(千葉県):1, 1958

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

黒腐病 kurogusare-byo

病原不明

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:90, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載。病原は細菌および糸状菌によるとされており, 調査を要する

††茎枯病 kukigare-byo Stem rot

Pythium complectens Hans Braun

富樫浩吾:農及園 10(3):745, 1935(昭 10)

[備考] 国内発生未詳。なお本種は現在 *Pythium vexans* の異名とされている

イワタバコ科 Gesneriaceae

ネマトンツス

(Nematanthus)

Nematanthus gregarius DC.

(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 42:105, 1995

セントポーリア(アフリカスミレ)

Saintpaulia, African violet

Saintpaulia ionantha H. Wendl.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

佐藤 衛ら:北日本病虫研報 53:149, 2002

[備考] 接種試験未了

疫病 eki-byo Crown and root rot

Phytophthora sp.

森田 儔:日植病報 49(1):79, 1983

褐斑病 kappan-byo Corynespora leaf spot

Corynespora cassicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

佐藤 衛ら:関西病虫研報 35:73, 1993

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo (葉枯性線虫病)

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie イチゴセンチュウ

河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

††††

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

堀江博道ら:日植病報 54(1):126, 1988

グロキシニア

Gloxinia

Sinningia speciosa (Lodd.) Hiern

(草花)

疫病 eki-byo Blight

Phytophthora sp.

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:62, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (鼠黴病)

Botrytis cinerea Persoon

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:62, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:648, 1998

[備考] 接種試験未了

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:350, 1975

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:350, 1975

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo (葉枯性線虫病)

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭 3) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:62, 1939(昭 14)

††††

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

飯嶋 勉ら:日植病報 30(5):268, 1965

イチョウ科 Ginkgoaceae

イチョウ(銀杏, 公孫樹)

Ginkgo, Maidenhair Tree

Ginkgo biloba L.

(針葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介・山口忠義:森林防疫 38:183, 1989 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

絹糸病 kinuito-byo Thread blight

Ceratobasidium anceps (Bresàdola & Sydow) H.S. Jackson [*Pellicularia koleroga* auct., *Corticium* sp.]

伊藤達次郎:日林誌 39:483, 1957 ; 伊藤達次郎:日植病報 19(1-2):65, 1954 ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:100, 1974

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

全国林業改良普及協会:林業技術シリーズ(スライド解説) 63:7, 1976 ; 小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:56, 1977

[備考] 病原の完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk はイチョウでは未記録

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux [不完全世代: *Dematophora necatrix* Hartig]

小林享夫ら:森林防疫 30:153, 1981

[備考] 病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照

すす点病 susuten-byo Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40:77, 1986

すす斑病 susuhan-byo

Gonatobotryum apiculatum (Peck) S. Hughes [*Gonatobotryum* sp.]

堀江博道ら:森林防疫 24:71, 1975 ; 堀江博道・小林享夫:日植病報 48:135, 1982

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

矢口行雄ら:日植病報 70(3):218, 2004

胴枯病 dogare-byo

Fusarium sp.

高井省三:森林防疫 14:206, 1965

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

病原菌未詳

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:51, 1977

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botryotinia fuckeliana (de Bary) Whetzel [不完全世代: *Botrytis cinerea* Persoon]

高野喜八郎:日植病報 53:103, 1987

斑葉病 han'yo-byo

Hendersonia ginkginis Naito

内藤 喬:鹿児島大理科報 1:76, 1952

べっこうたけ病 Bekkotake-byo

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタケ

高橋旨象:きのこ木材:129, 1989 ; 池本三郎:森林防疫 46(2):26, 1997

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease (葉枯病)

(1) *Pestalotia ginkgo* Hori

南部信方:病虫雑 2(8):743, 1915(大 4)

[備考] 病原は原記載なく破棄された

(2) *Pestalotiopsis foedans* (Saccardo & Ellis) Steyaert

Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:334, 1993

[備考] 病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

(3) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert

Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993

[備考] 病菌の異名はヒバ・ペスタロチア病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

南部信方:病虫雑 2(12):1093, 1915(大 4) ; 澤田兼吉:台湾農事報 129:609, 1917(大 6)

[備考] 病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(3) *Rotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

こぶ苗病 kobunae-byo

BHC 薬害

高井省三:植物防疫 20:334, 1966

++++ウイルス病 virus-byo

ウイルス (未同定)

土崎常男ら:植物防疫 23(1):7, 1969

[備考] 調査を要する

イネ科 Gramineae, Poaceae

カモジグサ類
Drooping wheatgrass
Agropyron spp.
(野草)

アオカモジグサ *A. ciliare* Franch var. *pilosum* Honda
ヒメカモジグサ *A. repens* (L.) Beauv.
カモジグサ *A. tsukushiense* (Honda) Ohwi var. *transiens* (Hack.) Ohwi

黄萎病 oi-byo Yellow dwarf

Barley yellow dwarf virus#

鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):35, 1972

[備考] カモジグサ

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer f. sp. *agropyri* Marchal

澤田兼吉:林試研報 50:100, 1951 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:162, 1997

[備考] アオカモジグサ・カモジグサに発生

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia agropyri-ciliaris* F.L. Tai & C.T. Wei

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:10, 1992

[備考] カモジグサ・アオカモジグサ

(2) *Puccinia agropyricola* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:11, 1992

[備考] カモジグサ・アオカモジグサ

(3) *Puccinia coronata* Corda var. *coronata*

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:524, 1992

[備考] カモジグサ

(4) *Puccinia graminis* Persoon subsp. *graminicola* Z. Urban

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:544, 1992

[備考] カモジグサ・アオカモジグサ

(5) *Puccinia recondita* Roberge ex Desmazières

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:584, 1992

[備考] カモジグサ・ヒメカモジグサ

(6) *Puccinia striiformis* Westendorp var. *striiformis*

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:591, 1992

[備考] カモジグサ・アオカモジグサ

葉枯病 hagare-byo

Pyrenophora tritici-repentis (Diedicke) Drechsler [*Drechslera tritici-repentis* (Diedicke) Shoemaker]

西門義一:大原農研特別報告 4:123, 1928 ; 上山昭則ら:植物防疫 32:361, 1978

[備考] カモジグサ

ホイトグラス
Wheatgrass
Agropyron spp.

(牧草・芝草)

クレステッドホイトグラス Crested wheatgrass *Agropyron cristatum* (L.) Gaertn.

トールホイトグラス Tall wheatgrass *Agropyron elongatum* (Host) Beauv.

インターメディエートホイトグラス Intermediate wheatgrass *Agropyron intermedium* (Host) Beauv.
var. *intermedium*

プベセントホイトグラス Pubescent wheatgrass *Agropyron intermedium* (Host) Beauv. var.
trichophorum (Link) Halac.

スレンダーホイトグラス Slender wheatgrass *Agropyron trachycaulum* (Link) Malte ex Lewis

褐条病 katsujo-byo Brown stripe

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992
[*Pseudomonas setariae* (Okabe) Săvulescu, *Pseudomonas alboprecipitans* Rosen]

富永時任:日細菌誌 23(3):176, 1968 ; 富永時任:農技研報 C 25:229, 1971

黒すじ細菌病 kurosuji-saikin-byo Blackish streak

Xanthomonas sp.

富永時任:日植病報 35(5):354, 1969 ; 富永時任:農技研報 C 25:260, 1971

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer f. sp. *agropyri* Marchal [*Erysiphe graminis* de Candolle f. sp. *agropyri* É.J. Marchal]

富永時任:農技研報 C 25:191, 1971

[備考] クレステッドホイトグラスに発生

褐斑病 kappan-byo

Pyrenophora tritici-repentis (Diedicke) Drechsler [*Drechslera tritici-repentis* (Diedicke) Shoemaker, *Helminthosporium tritici-repentis* Diedicke]

成田武四:北海道における農作物病害:231, 1977

黄さび病 kisabi-byo Stripe rust

Puccinia striiformis Westendorp var. *striiformis*

尾添 茂:島根農試研報 4:79, 1961

[備考] 病原菌の異名はオオムギ黄さび病参照

黒ごま病 kurogoma-byo Tar spot

Phyllachora graminis (Persoon) Nitschke ex Fuckel

成田武四:北海道における農作物病害:231, 1977

[備考] インターメディエートホイトグラスに発生

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminicola* Z. Urban

成田武四:北海道における農作物病害:231, 1977

[備考] スレンダーホイトグラスに発生

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, *Rhizoctonia* rot (紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):166, 1962

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cochliobolus sativus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur

富永時任:農技研報 C 25:191, 1971

[備考] 病原菌の異名はオオムギ斑点病参照

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight, Snow mold

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

佐久間 勉・成田武四:北海道立農試集報 11:69, 1963

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

成田武四:北海道における農作物病害:231, 1977

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

ヌカボ類

(*Agrostis*)

Agrostis spp.

(野草)

ヤマヌカボ *Agrostis clavata* Trin. subsp. *clavata*

ヌカボ *Agrostis clavata* Trin. subsp. *matsumurae* Tateoka

コヌカグサ *Agrostis palustris* Huds.

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminis* Cummins

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:541, 1992

[備考] ヌカボ・ヤマヌカボ・コヌカグサ

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

丹田誠之助:東農大農学集報 23:215, 1978

[備考] ヌカボ・ヤマヌカボ・コヌカグサ。*Claviceps purpurea* var. *purpurea* と var. *alopecuri* Tanda が混在する

レッドトップ, ベントグラス

Redtop and Bentgrass

Agrostis spp.

(牧草・芝草)

レッドトップ(コヌカグサ) Redtop *Agrostis gigantea* Roth[*Agrostis alba* L.]

ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass *Agrostis canina* L.

クリーピングベントグラス Creeping bentgrass *Agrostis stolonifera* L. var. *palustris* (Huds.) Farw.

コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop *Agrostis tenuis* Sibth.

かさ枯病 kasagare-byo Halo blight

Pseudomonas syringae van Hall 1902

小林真樹ら:芝草研究 30(別 1):104, 2001 ; 小林真樹ら:芝草研究 31(別 1):35, 2002

[備考] クリーピングベントグラス *A. stolonifera* var. *palustris* に発生

褐条病 katsujo-byo Brown stripe

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

小林真樹ら:日植病報 70(1):76, 2004 ; 小林真樹ら:日植病報 70(3):285, 2004 ; 小林真樹ら:芝草研究 34(別1):42, 2005

[備考] クリーピングベントグラス *A. stolonifera* var. *palustris* に発生

株枯細菌病 kabugare-saikin-byo Bacterial foot blight

Burkholderia plantarii (Azegami, Nishiyama, Watanabe, Kadota, Ohuchi & Fukazawa 1987) Urakami, Ito-Yoshida, Araki, Kijima, Suzuki & Komagata 1994

小林真樹ら:日植病報 77(1):65, 2011

[備考] クリーピングベントグラスに白化症状を伴う楕円形パッチを形成 (小林真樹ら:芝草研究 39:70, 2010)

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight

Xanthomonas sp.

小林真樹ら:日植病報 68(2):256, 2002

[備考] クリーピングベントグラス *A. stolonifera* var. *palustris* に発生

葉鞘腐敗病 yosho-fuhai-byo Bacterial sheath brown rot

Pseudomonas fuscovaginae Miyajima, Tanii & Akita 1983

小林真樹ら:日植病報 68(2):256, 2002 ; 林田美由貴ら:日植病報 68(2):256, 2002

[備考] クリーピングベントグラス *A. stolonifera* var. *palustris* に発生

赤葉腐病 aka-hagusare-byo Red thread

Laetisaria fuciformis (McAlpine) Burdsall

林 聰ら:芝草研究 14(2):108, 1985

赤焼病 akayake-byo Pythium red blight (綿腐病)

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

吉川 功:総説芝生と芝草(日本芝草研究会編):253, 1977

[備考] 従来 *P. ultimum* Trow が病原菌としてあげられていたが、本草種に対するその分布と病原性には疑義があり、検討を要する

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

佐々木伸浩ら:日植病報 76(1):42, 2010

[備考] クリーピングベントグラス

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

田杉平司:日植病報 2(4):379, 1931(昭 6)

[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight

(1) *Pythium vanterpoolii* V. Kouyeas & H. Kouyeas

佐々木伸浩:日植病報 78(3):195, 2012

[備考] クリーピングベントグラス

(2) *Pythium volutum* Vanterpool & Truscott

佐々木伸浩:日植病報 78(3):195, 2012

[備考] クリーピングベントグラス

(3) *Pythium* spp.

荒木隆男:芝草研究 5(1):18, 1976

[備考] 病原菌の種名等はオオムギ褐色雪腐病参照

冠さび病 kansabi-byo Crown rust

Puccinia coronata Corda

寺中理明ら:九病虫研会報 16:124, 1970

カーブラリア葉枯病 *Curvularia*-hagare-byo *Curvularia* leaf blight

Curvularia sp.

梅本清作ら:日植病報 62(3):267, 1996

[備考] ベントグラス。病原菌の菌学的検討不十分

疑似葉腐病 giji-hagusare-byo Winter patch, Winter brown patch, White patch, Yellow patch (冬葉腐病)

Ceratobasidium spp. (binucleate *Rhizoctonia*)

鬼木正臣ら:日植病報 52(5):850, 1986 ; 反保宏之ら:芝草研究 19(1):31, 1990 ; 田中明美ら:日植病報 60(3):344, 1994

[備考] 鬼木らは完全世代を得て病原菌を *C. cornigerum* (Bourdott) Rogers 菌糸融合群 AG-Q としたが, 反保らは *C. gramineum* 導入菌株との融合実験により, 前者の菌株も含めて日本産 binucleate *Rhizoctonia* は AG-D (= *C. gramineum*) に該当するとした。症状はイエローパッチに代表される円斑である。田中ら (1994) は, 本菌の培養型を AG-D (I) とした

黒さび病* kurosabi-byo Stem rust

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminicola* Z. Urban

伊藤誠哉:東北大(札幌)農紀 3(2):212, 1909(明 42) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):130, 1950 ; 成田武四:北海道における農作物病害:215, 1977 ; 平塚直秀・金子 繁:菌草研報 21:66, 1983

紅色雪腐病* koshoku-yukigusare-byo Pink snow mold

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

荒木隆男ら:日植病報 37(5):406, 1971

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

黒斑病 kokuhan-byo Blotch and char spot

Cheilaria agrostis Libert [*Septogloeum oxysporum* E. Bommer, M. Rousseau & Saccardo]

島貫忠幸ら:日植病報 51(1):94, 1985

[備考] Sutton, B. C.:The Coelomycetes:610, 1980

褐色リング葉腐病* shiro-hagusare-byo Brown ring patch (白葉腐病)

Waitea circinata Warcup & P.H.B. Talbot var. *circinata* Gunnel [*Rhizoctonia oryzae* Ryker & Gooch]

反保宏之ら:芝草研究 18(2):125, 1990 ; Toda, T. et al.:Plant Dis. 89:536, 2005

[備考] 初め反保ら(1990)が *R. oryzae* による白葉腐病として報告したが, Toda et al. (2005)は病原菌を *W. circinata* var. *circinata* と再同定した。クリーピングベントグラス。病原菌の完全世代 *Waitea circinata* Warcup & Talbot はベントグラスでは未確認。菌糸融合群 WAG-O, WAG-Z のいずれともよく融合し, *R. zeae* Voorhees に先名権のあることが示唆される

すじ黒穂病 suji-kuroho-byo Stripe smut

Ustilago striiformis (Westendorp) Niessl [*Ustilago phlei-pratensis* Davis, *Ustilago salveii* (Oudemans) Berkeley & Broome, *Tilletia striaeformis* (Westendorp) Saccardo]

杉本 堯ら:日植病報 39(3):192, 1973

[備考] 伊藤誠哉 (大日本菌類誌 2(1):31, 1936) は *Agrostis perennans* (ヌカボ) に寄生する本菌を記載している

すじ葉枯病 suji-hagare-byo Brown stripe, Leaf streak

Scolecotrichum graminis Fuckel

成田武四:北海道における農作物病害:214, 1977

赤褐色葉腐病 sekikasshoku-hagusare-byo Waitea reddish-brown patch

Rhizoctonia sp.

早川敏広ら:日植病報 68(1):82, 2002 ; Toda, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73(6):379, 2007

[備考] 病原は *Waitea circinata* の既報の3変種いずれとも異なる新変種と推定された

赤斑病 sekihan-byo Red eye-spot

Mastigosprium rubricosum (Dearness & Bartholomew) Nannfeldt

富永時任:飼料作物の病気カラスライド集, 解説(農文協):29, 1970

立枯病 tachigare-byo Take-all

Gaeumannomyces graminis (Saccardo) Arx & D.L. Olivier

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):116, 1962

[備考] 病原菌の異名はコムギ立枯病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum graminicola* (Cesati) G.W. Wilson

Moriwaki, J. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002

[備考] 接種試験未了。Crouch et al. (Phytopathology 96:46, 2006) は本病菌を *C. cereale* Manns とした
(2) *Colletotrichum* sp.

矢口重治・岡村誠之:芝草研究 21(2):243, 1993

ダラースポット病 dollar spot-byo Dollar spot

Sclerotinia homoeocarpa F.T. Bennett [*Rhizoctonia monteithianum* F.T. Bennett]

吉川 功・朝倉鍊太郎:グリーン研報集 9:43, 1965 ; 反保宏之ら:芝草研究 17(2):156, 1989

デッドスポット病 dead spot-byo Dead spot

Ophiosphaerella agrostis Dernoeden, M.P.S. Câmara, N.R. O'Neill, Berkum & M.E. Palm

早川敏広・小林真樹:日植病報 70(3):225, 2004

[備考] クリーピングベントグラス *A. stolonifera* var. *palustris* に発生

鳥の目病* tori-no-me-byo Tan leaf spot, Bird's-eye spot (白かび病)

Ovularia pusilla (Unger) P.A. Saccardo & D. Saccardo [*Ovularia pulchella* (Cesati) Saccardo]

成田武四:日植病報 37(5):404, 1971 ; 成田武四:北日本病虫研報 27:4, 1976

[備考] 本菌を *Ramularia pusilla* Unger とする意見もある

ドレクスレラ葉枯病 Drechslera-hagare-byo Drechslera leaf blight

(1) *Drechslera catenaria* (Drechsler) S. Ito

(2) *Drechslera* sp.

早川敏広ら:日植病報 75(3):206, 2009

[備考] クリーピングベントグラスに発生。早川ら(2009)は斑点病菌 (*D. erythrospila*) も同様の症状を引き起こすとした

長葉枯病 naga-hagare-byo

Drechslera fugax (Wallroth) Shoemaker [*Helminthosporium stenacrum* Drechsler]

西原夏樹:日植病報 46(3):378, 1980

葉枯病 hagare-byo (褐斑病)

Stagonospora intermixta (Cooke) Saccardo

西原夏樹:農林省畜試研報 20:79, 1969

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot, Brown patch (褐色葉腐病, くもの巣病, 紋枯病, ブラウンパッチ)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):166, 1962 ; 早川敏広ら:日植病報 74(1):16, 2008

[備考] 主として菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB, ときに AG-1 培養型 IB によっておきる。完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk は未確認。ブラウンパッチと通称される

斑点病 hanten-byo Leaf spot (葉枯病)

Pyrenophora erythrospila A.R. Paul [*Drechslera erythrospila* (Drechsler) Shoemaker, *Helminthosporium erythrosphilum* Drechsler]

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):112, 1962

[備考] 西原 (1959) の報告で本菌はリードカナリーグラスの病原菌となっているが, これは印刷間違い。本病は初め葉枯病とされたが, のち斑点病と改称された (西原 1962)

バイポラリス葉枯病 *Bipolaris*-hagare-byo *Bipolaris* leaf blight

Bipolaris sorokiniana (Saccardo) Shoemaker

早川敏広ら:日植病報 75(1):71, 2009

[備考] クリーピングベントグラスに発生

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

徳永芳雄:日植病報 4(1-2):113, 1934(昭 9) ; 成田武四:北海道における農作物病害:215, 1977

ピシウム病 *Pythium*-byo *Pythium* blight (綿腐病)

(1) *Pythium arrhenomanes* Drechsler

田村季実子ら:芝草研究大会誌 別 1 号 32:112, 2003

[備考] クリーピングベントグラスに発生

(2) *Pythium graminicola* Subramanian

吉川 功:総説芝生と芝草(日本芝草研究会編):253, 1977 ; 上田顕秀ら:芝草研究 16(1):5, 1987

(3) *Pythium vanterpoolii* V. Kouyeas & H. Kouyeas

吉川 功:総説芝生と芝草(日本芝草研究会編):253, 1977 ; 上田顕秀ら:芝草研究 16(1):5, 1987

(4) *Pythium volutum* Vanterpool & Truscott

田村季実子・米山勝美:日植病報 70(1):47, 2004

[備考] クリーピングベントグラスに発生

(5) *Pythium* sp.

田中明美ら:日植病報 60(6):776, 1994 ; 佐々木伸浩ら:日植病報 80(4):236, 2014

[備考] 田中ら(1994)の病害はベントグラスに発生し, 黄化萎縮病と類似の症状。佐々木ら(2014)の病害は

クリーピングベントグラスに高温条件下で発生

フェアリーリング病 *fairy ring-byo* Fairy rings

(1) *Bovista dermoxantha* (Vittadini) de Toni [*Bovista pusilla* (Batsch) Persoon, *Lycoperdon pusillum* Batsch ss. Hollós non Batsch] チビホコリタケ

(2) *Conocybe lactea* (J.E. Lange) Métrod キコガサタケ

(3) *Vascellum curtisii* (Berkeley) Kreisel [*Lycoperdon curtisii* Berkeley & Curtis, *Lycoperdon wrightii* Berkeley & M.A. Curtis] ヒダホコリタケ

Terashima, Y. *et al.*:Mycoscience 45:251, 2004

[備考] 接種試験未了。クリーピングベントグラス

フザリウム病 *Fusarium-byo*

(1) *Fusarium acuminatum* Ellis & Everhart

(2) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo

(3) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(4) *Fusarium tricinctum* (Corda) Saccardo

谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994

[備考] 病原菌同定記載不十分

雪腐大粒菌核病 *yukigusare-otsubu-kinkaku-byo* Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

佐久間 勉・成田武四:日植病報 25(1):61, 1960

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 *yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo* Typhula snow blight

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

赤井 純・鎧谷大節:日植病報 28(5):304, 1963 ; 鎧谷大節・赤井 純:北海道農試彙報 84:52, 1964 ; 成田武四:北海道における農作物病害:214, 1977

[備考] 芝生のベントグラスで記載。牧草にも発生すると思われる。病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

++++褐色葉枯病 *kasshoku-hagare-byo*

Helminthosporium spp.

瀧元清透:農薬研究 15(2):68, 1968

[備考] 病原菌の分類学的所属について再検討を要する

++++茎葉枯病 *kuki-hagare-byo*

Helminthosporium spp.

瀧元清透:農薬研究 16(3):64, 1970

[備考] 病原菌の分類学的所属について再検討を要する

++++すそ枯病 *susogare-byo*

Helminthosporium sp.

瀧元清透:農薬研究 12(4):64, 1966

[備考] 病原菌の分類学的所属について再検討を要する

++++退色・生育不良 *taishoku-seiiku-furyo*

Pythium volutum Vanterpool & Truscott

田村季実子・米山勝美:日植病報 70(1):47, 2004

[備考] クリーピングベントグラスに発生

メドーフォックステール(オオスズメノテッポウ)

Meadow foxtail

Alopecurus pratensis L.

(牧草・芝草)

赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

西原夏樹:農林省畜試研報 13:59, 1967

雲形病 kumogata-byo Scald

Rhynchosporium orthosporum Caldwell

成田武四:農業技術 16(10):469, 1961

[備考] 本菌の種名はさらに検討を要する (成田武四:北海道における農作物病害:222, 1977)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

遠藤 茂:宮崎高農学報 10:71, 1938(昭 13)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すじ葉枯病 suji-hagare-byo Brown stripe, Leaf streak

Scolecotrichum graminis Fuckel

成田武四:北海道立農試集報 2:56, 1958

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):172, 1962

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):155, 1962 ; 西原夏樹:農林水産研究文献解題 8:239, 1981

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight, Snow mold

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

佐久間 勉・成田武四:北海道立農試集報 11:69, 1963

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

成田武四:北海道における農作物病害:221, 1977

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

スズメノテッポウ類

Foxtail
Alopecurus spp.
(野草)

スズメノテッポウ *Alopecurus aequalis* Sobol. var. *amurensis* (Komar.) Ohwi
セトガヤ *Alopecurus japonicus* Steud.

さび病* sabi-byo Rust
Uromyces dactylidis G.H. Oth var. *poae* (Rabenhorst) Cummins
Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 911, 1992
[備考] スズメノテッポウ・セトガヤ

なまぐさ黒穂病* namagusa-kuroho-byo Bunt
Tilletia alopecuri (Sawada) L. Ling
柿畠 眞: 日本産黒穂菌類の分類学的研究: 58, 1982 ; 柿畠 眞: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編): 254, 1992
[備考] スズメノテッポウに発生。病名提案なし

葉枯病 hagare-byo
Drechslera sp.
西原夏樹: 草地試研究資料 2: 96, 1991
[備考] セトガヤ

麦角病 bakkaku-byo Ergot
Claviceps purpurea (Fries) Tulasne var. *alopecuri* Tanda
丹田誠之助: 東農大農学集報 22: 293, 1977
[備考] スズメノテッポウ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey]
イネネモグリセンチュウ
川島嘉内: 北日本病虫研報 14: 112, 1963
[備考] スズメノテッポウに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

スイートバーナルグラス(ハルガヤ)
Sweet vernalgrass
Anthoxanthum odoratum L.
(牧草・芝草)

いもち病 imochi-byo Blast
Pyricularia sp.
後藤和夫・山中 達: 日植病報 25(1): 48, 1960 ; 西原夏樹: 千葉農試資料 2(牧草の病害 II): 139, 1962
[備考] イネいもち病菌に感染したという報告もある (成田武四: 北海道立農試報告 7: 12, 1956)

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust
Puccinia graminis Persoon
但見明俊: 日植病報 57(1): 124, 1991

葉かび病 hakabi-byo Mold
Drechslera dematioidea (Bubák & Wróblewski) Subramanian & B.L. Jain [*Helminthosporium dematioideum*]

Bubák & Wróblewski]

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):144, 1962

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (くもの巣病, 紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):172, 1962

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

佐久間 勉・成田武四:日植病報 25(1):61, 1960

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

トールオートグラス(オオカニツリグサ)

Tall oatgrass

Arrhenatherum elatius (L.) Beauv. ex J. & C. Presl

(牧草・芝草)

赤葉枯病 akahagare-byo Red leather leaf

Spermospora avenae (R. Sprague & Aar.G. Johnson) R. Sprague [*Pseudodiscosia avenae* R. Sprague & Aar.G. Johnson]

梶原敏宏・岩田吉人:植物防疫 11(12):535, 1957

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

赤井重恭・福富雅夫:病害虫発生予察特別報告 17:1, 1964

[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

褐斑病 kappan-byo Leaf blotch

Septoria avenae A.B. Frank [*Leptosphaeria avenaria* G.F. Weber]

成田武四:北日本病虫研報 26:42, 1975

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust (さび病)

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminicola* Z. Urban

西原夏樹:日菌報 17(3-4):532, 1976

[備考] 西原 (1976) は冬孢子世代を得ることができなかったため菌種名を保留し, 病名もたださび病としたが, その記載から上記のように取扱うのがよいと思われる

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

新留伊俊:鹿児島農試創立 70 年記念報告:238, 1970

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すじ葉枯病 suji-hagare-byo Brown stripe, Leaf streak

Scolecotrichum graminis Fuckel

梶原敏宏・岩田吉人:植物防疫 11(12):535, 1957

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson
西原夏樹:日草誌 18(3):209, 1972

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):172, 1962
[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut
Ustilago perennans Rostrup
伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):15, 1936(昭 11) ; 成田武四:北海道立農試集報 7:71, 1961

斑点病 hanten-byo Leaf blotch
Bipolaris sorokiniana (Saccardo) Shoemaker [*Cochliobolus sativus* (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur]
西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):92, 1962
[備考] 病原菌の異名はオオムギ斑点病参照

麦角病 bakkaku-byo Ergot
Claviceps purpurea (Fries) Tulasne
徳永芳雄:日植病報 4(1-2):113, 1934(昭 9) ; 阿部又三:日農化誌 20(6):355, 1944(昭 19)

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight
Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]
佐久間 勉・成田武四:日植病報 25(1):61, 1960
[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight
(1) *Typhula incarnata* Lasch [*Typhula itoana* S. Imai] (褐色小粒菌核病)
(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)
飯田 格:農及園 39(12):1855, 1964 ; 成田武四:北海道における農作物病害:227, 1977
[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

††††
Epicoccum sp.
山本 勉ら:中国農試報告 A 9:142, 1963

††††
Stagonospora sp.
山本 勉ら:中国農試報告 A 9:142, 1963

リボングラス(オオカニツリ)
Ribbon-grass
Arrhenatherum elatius (L.) Persl.

(草花)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev ナミクキセンチュウ
上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:315, 1975

コブナグサ類
(Arthraxon)
Arthraxon spp.
(野草)

コブナグサ *Arthraxon hispidus* (Thunb.) Makino

さび病 sabi-byo Rust
Puccinia arthraxonis-ciliaris Cummins
Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:513, 1992
[備考] コブナグサ

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum destructivum O'Gara
竹内 純ら:関東病虫研報 59:59, 2012
[備考] コブナグサ

べと病 beto-byo Downy mildew
Bremia graminicola Naumov
我孫子和雄:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):62, 1992
[備考] コブナグサ

トダシバ類
(Arundinella)
Arundinella spp.
(野草)

トダシバ *Arundinella hirta* (Thunb.) Tanaka

さび病* sabi-byo Rust
Uredo nakanishikii Hennings
Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:1122, 1992
[備考] トダシバ

麦角病 bakkaku-byo Ergot
Claviceps microspora Tanda var. *microspora*
丹田誠之助:東農大農学集報 30:94, 1985
[備考] トダシバ

ダンチク類
Spanish reed
Arundo spp.

(野草)

ダンチク *Arundo donax* L.

葉枯病 hagare-byo

Helminthosporium arundinis Léveillé

西門義一:大原農研特別報告 4:128, 1928

[備考] 菌名は検討を要する

アズマガヤ類

(*Asperella*)

Asperella spp.

(野草)

アズマガヤ *Asperella longe-aristata* (Hack.) Ohwi

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer f. sp. *tritici* Marchal [*Erysiphe graminis* de Candolle]

和田久美子:じねんじょ 5:12, 1970 ; 奥 尚:日植病報 64(2):133, 1998

[備考] アズマガヤ

エンバク(燕麦, カラスムギ)

Oat

Avena sativa L.

(食用作物)

セイヨウチャヒキ *Avena strigosa* Schreb.

すじ萎縮病 suji-ishuku-byo Streaked dwarf (黒条萎縮病)

Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス

新海 昭:農技研報 C, 14:1, 1962

北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic

Northern cereal mosaic virus (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス

伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19)

レッドリーフ病 red leaf-byo Red leaf

(1) Barley yellow dwarf virus#

鳥山重光ら:日植病報 34(5):374, 1968

[備考] PAV, RMV などとの異同の検討を要する

(2) *Wheat yellow leaf virus* (WYLV) コムギ黄葉ウイルス

井上忠男ら:農学研究 55(1):1, 1973

かさ枯病 kasagare-byo Halo-blight (暈枯病, 黄枯病)

Pseudomonas syringae pv. *coronafaciens* (Elliott 1920) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium coronafaciens* Elliott, *Pseudomonas coronafaciens* (Elliott) Staevens]

田部井英夫・向 秀夫:日植病報 17(2):95, 1953 ; 田部井英夫・向 秀夫:日植病報 29(1):20, 1964(昭 39)

褐斑細菌病* kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Pseudomonas syringae pv. *alisalensis* Cintas, Koike & Bull 2002

石山佳幸ら:日植病報 78(3):239, 2012 ; Ishiyama, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):155, 2013
[備考] セイヨウチャヒキ

すじ枯細菌病 sujigare-saikin-byo Bacterial stripe blight (条枯性細菌病)
Pseudomonas syringae pv. *striafaciens* (Elliott 1927) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas striafaciens* (Elliott) Starr & Burkholder]
富永時任・西山幸司:日植病報 33(5):347, 1967 ; 富永時任・西山幸司:日草誌 14(1):51, 1968

赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight (赤黴病, 黒点病)
Gibberella zeae (Schweinitz) Petch
伊藤誠哉:北海道農会報 12(133):1, 1912(明 45) ; 原 攝祐:実験作物病理学:216, 1930(昭 5)
[備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照

赤葉枯病 akahagare-byo Red leather leaf
Spermospora avenae (R. Sprague & Aar.G. Johnson) R. Sprague
乙藤まりら:日植病報 49(3):403, 1983

いもち病 imochi-byo Blast
(1) *Pyricularia oryzae* Cavara [*Pyricularia grisea* (Cooke) Saccardo]
杉山正樹・松本邦彦:日植病報 51(3):319, 1985 ; Murata, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):66, 2014
(2) *Pyricularia* sp.
三澤知央・佐藤豊三:日植病報 79(3):185, 2013
[備考] 三澤・佐藤(2013)は, セイヨウチャヒキ(緑肥)で報告した

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew
Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan
田中一郎:日植病報 10(2-3):127, 1940(昭 15)
[備考] 本菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

堅黒穂病 kata-kuroho-byo Covered smut (黒穂病)
Ustilago hordei (Persoon) Lagerheim [*Ustilago kolleri* Wille, *Ustilago levis* (Kellerman & Swingle) Magnus]
出田 新:日本植物病理学(下):364, 1911(明 44) ; 柿嶋 眞:筑波大農林研究 1:84, 1982

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Browning root rot
(1) *Pythium iwayamai* S. Ito
(2) *Pythium* spp.
平根誠一:農改技資 60:4, 1955
[備考] 他の *Pythium* 菌の種名はコムギ褐色雪腐病参照

褐斑病 kappan-byo Speckled blotch
Septoria avenae A.B. Frank [*Leptosphaeria avenaria* G.F. Weber]
成田武四:北日本病虫研報 26:42, 1975
[備考] 完全世代はわが国では未発見

冠さび病 kansabi-byo Crown rust, Leaf rust (冠銹病, 冠状銹病, 角銹病, つのはしぶ)
Puccinia coronata Corda [*Puccinia lolii* E. Nielsen]
原 攝祐:実験作物病理学:242, 1930(昭 5)
[備考] 本菌に *P. coronata* Corda f.sp. *avenae* Eriksson を充てる意見がある (成田武四:北日本病虫研報 23:25, 1972)

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust (黒銹病)

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminis* [*Puccinia graminis* Persoon f. sp. *avenae* Eriksson & Henning]

出田 新:日本植物病理学:500, 1903(明 36)

黒渋病 kuroshibu-byo

Dendryphion avenae-sativae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:99, 1958

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Snow mold

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

平根誠一:農改技資 60:4, 1955

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

黒斑病 kokuhan-byo

Drechslera sp.

西原夏樹:日植病報 51(3):329, 1985

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

中田覺五郎・明日山秀文:満州産業部資料 32(満州国主要農作物病害調査報告):51, 1939(昭 14); 西原夏樹:日植病報 25(1):48, 1960

葉枯病 hagare-byo Leaf stripe (斑葉病)

Pyrenophora chaetomioides Spegazzini [*Pyrenophora avenae* S. Ito & Kuribayashi, *Drechslera avenacea* (M.A. Curtis ex Cooke) Shoemaker, *Helminthosporium avenae* Eidam]

西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究):82, 1928(昭 3); 上山昭則ら:植物防疫 32(9):361, 1978

裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (黒穂病)

Ustilago avenae (Persoon) Rostrup

出田 新:日本植物病理学(下):361, 1911(明 44)

紋枯病 mongare-byo

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

杉山正樹ら:日植病報 51(1):74, 1985; 杉山正樹ら:日本植物病害大事典(岸 國平編):61, 1998

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Bidera avenae (Wollenweber) Krall & Krall ムギシストセンチュウ

一戸 稔:北海道農試報告 48:1, 1955; 清水 啓ら:日線虫研誌 17:42, 1987

[備考] 病原線虫の異名はオオムギシスト線虫病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田栄一:牧草と園芸:44(7), 1996

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958
[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種
池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††リオグランデ葉枯病 Rio Grande-hagare-byo Leaf spot

Septoria tritici Roberge ex Desmazières f. *avenae* (Desmazières) R. Sprague
西原夏樹:農林省畜試研報 10:22, 1966

[備考] ブラジル

ハウライチク類
(竹筴類)

ハウライチク *Bambusa multiplex* (Lour.) Raeusch

ハウオウチク *Bambusa multiplex* var. *elegans* (Koidz.) Muroi

ダイサンチク *Bambusa vulgaris* Schrad.

赤衣病* akagoromo-byo Culm rust

Stereostromum corticioides (Berkeley & Broome) H. Magnusson

平塚直秀:東教大農紀要 1:41, 1952 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:902, 1992

[備考] ダイサンチク。病菌の異名はカンチク赤衣病参照

ごま竹病* gomatake-byo

Apiospora shiraiana (I. Miyake & Hara) Hara

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:83, 1961

[備考] マチク(*Dendrocalamus latiflorus*)。病菌の異名はトウチクごま竹病参照

†ごま竹病 gomatake-byo (稗ごま竹病)

(1) *Lasmenia phyllostachydis* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87:60, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。マチク

(2) *Melanconium dendrocalami* Petch

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:178, 1959

[備考] 台湾。シチク

(3) *Melanconium ischurochloae* Sawada

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:179, 1959

[備考] 台湾。シチク

(4) *Melanconium shiraianum* P. Sydow

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:179, 1959

[備考] 台湾。シチク

さび病 sabi-byo Rust (赤さび病)

(1) *Dasturella divina* (Sydow) Mundkur & Kheswalla [*Angiopsora divina* Sydow, *Puccinia inflexa* Hori, *Uredo inflexa* S. Ito]

澤田兼吉:台湾産菌類調査報 9(台湾農試報 86):141, 1943(昭 18) ; 伊藤誠哉:東北帝大農科大紀要 3:247, 1909(明 42) ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:271, 1955

[備考] シチク(*Ischurochloa stenostachya*)・セキカクチク(*B. shimadai*)・ダイサンチク・ホウオウチク・マチク・リョクチク(*Leleba oldami*)

(2) *Puccinia phyllostachydis* Kusano

平田正一:宮崎大農研報 27(2):284, 1980 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:608, 1992

[備考] ダイサンチク。なお島袋(琉大農家政工学報 7:3, 1960)は本病菌の宿主として *Bambusa multiplex* を記録しているが、和名をマダケとしており *Phyllostachys bambusoides* の誤りと思われる

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Aciculosporium take I. Miyake

周藤靖雄:島根林試研報 25:51, 1975

[備考] ホウオウチク。病菌の異名はマダケてんぐ巢病参照

†裏黒点病 ura-kokuten-byo

Coccodiella arundinariae Hara [*Coccostromopsis bambusae* Sawada]

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:54, 1959 ; 勝本 謙:植研雑 43(9):280, 1968

[備考] 台湾。 *Bambusa* sp.

†黒やに病 kuroyani-byo Tar-spot

(1) *Phyllachora pachinensis* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85:27, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。パチナダケ(*B. pachinensis*)

(2) *Phyllachora shiraiana* P. Sydow

澤田兼吉:台湾農試報 87:20, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。シチク

†白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

澤田兼吉:台湾農試特別報 2:13, 1911(明 44) ; 澤田兼吉:植物学雑 26(305):134, 1912(大元)

[備考] 台湾。マチク。病菌の異名はスギ白絹病参照

†すす点病* susuten-byo Fly-speck

Leptothyrium dendrocalami Sawada

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:161, 1959

[備考] 台湾。マチク

†すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew

(1) *Dimeriella dendrocalami* Sawada & W. Yamamoto

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:37, 1959

[備考] 台湾。マチク

(2) *Meliola ischurochloae* Sawada & Yamamoto

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8 (台湾産菌類調査報告 11):36, 1959

[備考] 台湾。シチク

(3) *Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭 16)

[備考] 台湾。マチク・チョウシチク (*Bambusa dolicholada*)

(4) *Scorias communis* W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 19(1):3, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957

[備考] 台湾。マチク

(5) *Triposporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto

山本和太郎:熱帯農学会誌 13:213, 1941(昭 16) ; 山本和太郎:日植病報 21(4):168, 1956

[備考] 台湾。マチク・リョクチク。病菌の異名はマダケすす病参照

†葉薄紫細点病 ha-usumurasaki-saiten-byo

Cercospora dendrocalami Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87:73, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。マチク

†葉枯病 hagare-byo

Scaphidium ischurochloae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87:61, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。シチク

†葉黒点病 ha-kokuten-byo

(1) *Macrospora dendrocalami* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87:54, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。マチク

(2) *Macrospora ischurochloae* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87:54, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。シチク

†葉黒斑病 hakokuhan-byo

Cercosporidium bambusicolum Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87:77, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。*Bambusa* sp.

†斑竹病 hanchiku-byo

(1) *Chaetosphaeria hinoi* Doke

道家剛三郎:暖地農学 1:52, 1948

[備考] マレーシア。Bamboo

(2) *Chaetosphaeria macrospora* (Kawamura) Hara [*Miyoshiella macrospora* Kawamura, *Ceratosphaeria* sp.] 豹紋竹菌

朝比奈泰彦:植研雑 4(1):2, 1927(昭 2) ; 川村清一:日植輯報(J. Jpn. Bot.) 4(3):295, 1929(昭 4) ; 原 攝祐:病虫雑 16(2):90, 1929(昭 4)

[備考] 台湾。セキカクチク

(3) *Chaetosphaeria stenostachyae* Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 32(224):221, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。シチク

†円星病 maruhoshi-byo

Dendrographium bambusae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85:129, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。リョクチク

††††

Acrodictys bambusicola M.B. Ellis

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:3, 1975

[備考] ホウライチク

††††

Arthrobotryum austrojaponicum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 15:507, 1964

[備考] ホウライチク

††††

Astrocystis mirabilis Berkeley & Broome

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:146, 1961

[備考] ホウライチク

††††

†*Cavimalum borneense* Yoshim. Doi, Dargan & K.S. Thind

土居祥兌ら:科博研報 B(植物) 3(1):26, 1977

[備考] 北ボルネオ。 *Bambusa gibbseae*

††††

†*Cavimalum indicum* Yoshim. Doi, Dargan & K.S. Thind

土居祥兌ら:科博研報 B(植物) 3(1):24, 1977

[備考] インド。 *Bambusa* sp.

††††

Conioscypha bambusicola Matsushima

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:38, 1975

[備考] ホウライチク

††††

†*Coniothyrium bambusicola* Sawada

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:146, 1959

[備考] 台湾。 *Bambusa* sp.。病菌の所属は検討を要する

††††

†*Dichaenopsis ischurochloae* Sawada

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:162, 1959

[備考] 台湾。シチク

††††

Edmundmasonia pulchra Subramanian

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:66, 1975

[備考] ホウライチク

††††

Eutypa kusanoi Hennings

松村任三:帝国植物名鑑(上):141, 1904(明 37)

[備考] *Bambusa* sp.

††††

Fusarium stromaticola Hennings

松村任三:帝国植物名鑑(上):144, 1904(明 37)

[備考] *Bambusa* sp. の桿上の *Dothidea* sp. に重複寄生

††††

†*Ganoderma applanatum* (Persoon) Patouillard コフキササルノコシカケ

澤田兼吉:台湾博物学会報 24(135):450, 1934(昭 9) ; 澤田兼吉:台湾農試報 83:101, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。シチク。病菌の異名はトドマツこふきたけ病参照

††††

Gliomastix fusigera (Berkeley & Broome) C.H. Dickinson

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:75, 1975

[備考] ホウライチク

††††

Helicomycetes roseus Link

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:81, 1975

[備考] ホウライチク

††††

Leptosphaeria lelebae I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:904, 1958

[備考] ホウライチク

††††

Massarinula gloeospora I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:899, 1958

[備考] ホウライチク

††††

†*Phellinus gilvus* (Schweinitz) Patouillard [*Polyporus gilvus* (Schweinitz) Fries] ネンドタケ

今関六也:東京科博研報 6:104, 1943(昭 18) ; Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8 (台湾産菌類調査報告 11):108, 1959

[備考] 台湾。シチク

††††

†*Phellinus senex* (Nees & Montagne) Imazeki [*Fomes senex* Nees & Montagne]

今関六也:林試研報 57:115, 1952 ; Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8 (台湾産菌類調査報告 11):105, 1959

[備考] 台湾。シチク

††††

†*Phellinus torulosus* (Persoon) Bourdot & Galzin [*Fomes torulosus* (Persoon) Lloyd] コルクタケ

澤田兼吉:台湾博物学会報 24(135):458, 1934(昭 9) ; 今関六也:東京科博研報 6:105, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。シチク

††††

Phialoarthrobotryum triseptatum Matsushima
Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:112, 1975
[備考] ホウライチク

††††
Phomachora punctulata I. Hino & Katumoto
Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:243, 1961
[備考] ホウライチク

††††
†*Psilospora bambusae* Sawada
Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8 (台湾産菌類調査報告 11):162, 1959
[備考] 台湾。ホウライチク・セキカクチク

††††
†*Rigidoporus lineatus* (Persoon) Ryvarden [*Polyporus zonalis* Berkeley, *Rigidoporus zonalis* (Berkeley) Imazeki]
スルメタケ
今関六也:林試研報 57:119, 1952 ; Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8 (台湾産菌類調査報告 11):110, 1959
[備考] 台湾。リョクチク・*Bumusa* sp.

††††
Sporidesmium iriomoteanum Matsushima
Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:138, 1975
[備考] ホウライチク

††††
†*Tubeufia javanica* Penzig & Saccardo
澤田兼吉:台湾農試報 87:8, 1944(昭 19)
[備考] 台湾。シチク

タケ
Bambusoideae
(竹笹類)

††††
Arthrinium phaeospermum (Corda) M.B. Ellis
横山竜夫・椿 啓介:日植病報 37:158, 1971

††††
Arthrinium sphaerospermum Fuckel
横山竜夫・椿 啓介:日植病報 37:158, 1971

††††
Favolaschia fujisanensis Kobayasi コツブラッシタケ
小林義雄:服部植研報 8:2, 1953

††††

Hypocrea protocitrina Yoshim. Doi
土居祥兌:科博研報 15:660, 1972

††††

†*Massarina alpina* Katumoto
勝本 謙:植研雑 56:388, 1981
[備考] ウガンダ

††††

†*Phaeotomasellia ruwenzorensis* Katumoto
勝本 謙:植研雑 56:390, 1981
[備考] ウガンダ

カズノコグサ類
(*Beckmannia*)
Beckmannia spp.
(野草)

カズノコグサ *Beckmannia syzigachne* (Steud.) Fern.

さび病* sabi-byo Rust
Puccinia striiformis Westendorp var. *striiformis*
Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:591, 1992
[備考] カズノコグサ

葉枯病 hagare-byo
Drechslera catenaria (Drechsler) S. Ito [*Helminthosporium catenarium* Drechsler]
西門義一:大原農研特別報告 4:129, 1928 ; 上山昭則ら:植物防疫 32:361, 1978 ; 西原夏樹:草地試研究資料 2:90, 1991
[備考] カズノコグサ

ヒメアブラススキ類
(*Bothriochloa*)
Bothriochloa spp.
(野草)

ヒメアブラススキ *Bothriochloa parviflora* Ohwi

さび病* sabi-byo Rust
(1) *Puccinia miyoshiana* Dietel
(2) *Puccinia pusilla* Sydow & P. Sydow
Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:559, 578, 1992
[備考] ヒメアブラススキ

麦角病 bakkaku-byo Ergot
Claviceps bothriochloae Tanda
丹田誠之助:東農大農学集報 36:36, 1991
[備考] ヒメアブラススキ

パラグラス
Paragrass
Brachiaria mutica (Forsk.) Stapf
(牧草・芝草)

斑点病 hanten-byo Leaf spot
Bipolaris panici-miliacei (Y. Nisikado) Shoemaker
月星隆雄ら:日草誌 46(別):152, 2000

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke
Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]
月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008
[備考] 接種試験未了

ヤマカモジグサ類
(*Brachypodium*)
Brachypodium spp.
(野草)

ヤマカモジグサ *Brachypodium sylvaticum* (Huds.) Beauv.

がまの穂病 gamanoho-byo Choke
Epichloë typhina (Persoon) Tulasne & C. Tulasne
柿畠 眞:日本植物病害大事典(岸 國平編):1229, 1998 ; 原田幸雄:キノコとカビの生物学:137, 1993 ; 古賀博
則ら:草地試研報 57:27, 1999
[備考] ヤマカモジグサ

なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt
Tilletia olida (Riess) Schröter
柿畠 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:62, 1982 ; 柿畠 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):254, 1992
[備考] ヤマカモジグサ。病名提案なし

コバンソウ類
(*Briza*)
Briza spp.
(野草)

ヒメコバンソウ *Briza minor* L.

葉枯病 hagare-byo
Drechslera brizae (Nisikado) Subramanian & B.L. Jain [*Helminthosporium brizae* Y. Nisikado]
西門義一:大原農研特別報告 4:133, 1928 ; 上山昭則ら:植物防疫 32:361, 1978 ; 西原夏樹:草地試研究資料
2:89, 1991
[備考] ヒメコバンソウ

ブロムグラス(スズメノチャヒキ)
Brome grass

Bromus spp.
(牧草・芝草)

スムースブロムグラス、オーンレスブロムグラス(コスズメノチャヒキ) Smooth brome *B. inermis* Leyss.

マウンテンブロムグラス Mountain brome *B. marginatus* Nees ex Steud.

ノゲイヌムギ *B. sitchensis* Trin.

レスクグラス、プレーリーグラス(イヌムギ) Rescue grass *B. unioloides* H.B.K.[*Bromus catharticus* Vahl]

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:162, 1997

[備考] イヌムギ・ノゲイヌムギに発生

かさ枯病 kasagare-byo Chocolate spot, Halo blight (黒条病)

Pseudomonas syringae pv. *atropurpurea* (Reddy & Godkin 1923) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas coronafaciens* var. *atropurpurea* (Reddy & Godkin) Stapp]

舟山広治ら:北日本病虫研報 13:76, 1962 ; 富永時任:植物防疫 17(10):414, 1963

[備考] 関東地方のマウンテンブロムグラスでは病徴に相違が認められるため、富永 (1963) は黒条病とした

褐条病 katsujo-byo Brown stripe

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

[*Pseudomonas avenae* Manns, *Pseudomonas alboprecipitans* Rosen, *Pseudomonas setariae* (Okabe) Săvulescu]

富永時任:日細菌誌 23(3):176, 1968 ; 富永時任:農技研報 C 25:229, 1971

条斑細菌病 johan-saikin-byo (すじ枯病, 条枯性細菌病, 褐条病)

Xanthomonas translucens pv. *cerealis* (Hagborg 1942) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas translucens* (Jones, Johnson & Reddy 1917) Dowson 1939, *Xanthomonas translucens* f. sp. *cerealis* Hagborg 1942, *Xanthomonas campestris* pv. *cerealis* (Hagborg 1942) Dye 1978]

舟山広治ら:北日本病虫研報 13:74, 1962 ; 富永時任:植物防疫 17(10):413, 1963 ; 宮島邦之・坪木和男:日植病報 46(5):615, 1980 ; 瀧川雄一ら:日植病報 48(1):76, 1982

[備考] 旧版で用いられていたすじ枯病の病名は *Xanthomonas translucens* が 1980 年に自動的に pv. *translucens* に読み替えられたために生じたものである

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo [*Pyricularia oryzae* Cavara]

成田武四:北海道立農試報 7:24, 1956

[備考] 特殊環境下でイヌムギに発生

角斑病 kakuhan-byo Leaf spot

Pseudoseptoria bromigena (Saccardo) B. Sutton [*Selenophoma bromigena* (Saccardo) R. Sprague & Aar.G. Johnson]

成田武四:北海道における農作物病害:218, 1977

[備考] 1931 年に札幌でスムースブロムグラスで発生した標本がある。現在発生しているかは疑問

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Pyrenophora bromi (Diedicke) Drechsler [*Drechslera bromi* (Diedicke) Shoemaker, *Helminthosporium bromi* (Diedicke) Diedicke]

成田武四:北海道立農試集報 7:67, 1961

黄さび病 kisabi-byo Stripe rust

Puccinia striiformis Westendorp var. *striiformis*

成田武四・真野 豊:日植病報 24(1):64, 1959 ; 尾添 茂・川本亮三:日植病報 25(1):53, 1960

[備考] 病原菌の異名はオオムギ黄さび病参照

雲形病 kumogata-byo

Rhynchosporium secalis (Oudemans) Davis

但見明俊ら:日植病報 51(3):330, 1985

黒ごま病 kurogoma-byo Tar spot

Phyllachora graminis (Persoon) Nitschke ex Fuckel [*Phyllachora graminis* (Persoon) Fuckel]

出田 新:日本植物病理学(上):251, 1909(明 42) ; 成田武四:北海道における農作物病害:218, 1977

[備考] 出田 (1909) は *Phyllachora bromi* Fuckel としたが, この学名は疑問

黒穂病 kuroho-byo Smut, Head smut (裸黒穂病)

Ustilago bullata Berkeley [*Ustilago bromivora* (Tulasne & C. Tulasne) A.A. Fischer Waldheim]

伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):18, 1936(昭 11) ; 成田武四:北海道立農試集報 7:63, 1961

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Pink snow mold, Fusarium snow blight

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

成田武四:北海道における農作物病害:218, 1977 ; 荒木隆男:植物防疫 29(12):487, 1975

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

すじ葉枯病 suji-hagare-byo Streak, Leaf streak

Scolecotrichum graminis Fuckel

成田武四:北海道立農試集報 7:67, 1961

立枯病 tachigare-byo

Gaeumannomyces graminis (Saccardo) Arx & D.L. Olivier var. *tritici* J. Walker

宮島邦之:農及園 60(7):903, 1985 ; 宮島邦之ら:日植病報 52(1):141, 1981

[備考] スムースブロムグラスとマウンテンブロムグラスに発生。病原菌の異名はコムギ立枯病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

成田武四:北海道における農作物病害:218, 1977

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):166, 1962

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Leaf spot (葉枯病)

Cochliobolus sativus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur

成田武四:北海道立農試集報 7:68, 1961 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):103, 1962

[備考] 病原菌の異名はオオムギ斑点病参照

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

成田武四:北海道における農作物病害:217, 1977

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

佐久間 勉・成田武四:日植病報 25(1):61, 1960

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight, Snow-rot

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

成田武四:北海道立農試集報 7:70, 1961

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

††††黒さび病 kurosabi-byo Stem rust

Puccinia graminis Persoon

平塚直秀:琉球大農家政工学報 7:251, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):102, 1962

[備考] 人工接種では *Bromus* 属の牧草が感受性とされているが, 自然発生は未確認

††††

Cercospora festucae Hardison

香月繁孝:日菌報 7(2-3):101, 1966

[備考] マウンテンブロムグラス

††††

†*Epichloë typhina* (Persoon) Tulasne & C. Tulasne

岩垂 悟ら:満州農試報 45(満州農作物病害目録):112, 1943(昭 18)

[備考] 中国東北部。イヌムギモドキ

スズメノチャヒキ類

Japanese brome

Bromus spp.

(野草)

スズメノチャヒキ *B. japonicus* Thunb.

キツネガヤ *B. pauciflorus* (Thunb.) Hack.

赤さび病 akasabi-byo Leaf rust, Brown rust

Puccinia recondita Roberge ex Desmazières [*Puccinia bromina* Eriksson]

平塚利子:琉球大農家政工学報 5:70, 1958

[備考] キツネガヤ

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer f. sp. *bromi* Marchal [*Erysiphe graminis* de Candolle f. sp. *bromi* É.J. Marchal]

澤田兼吉:林試研報 50:100, 1951 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:162, 1997

[備考] スズメノチャヒキ・キツネガヤに発生

ホガエリガヤ類
(Brylkinia)
Brylkinia spp.
(野草)

ホガエリガヤ *Brylkinia caudata* (Munro) Fr. Schm.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961
[備考] ホガエリガヤ

バッファログラス
Buffalograss
Buchloë dactyloides (Nutt.) Engelm.
(牧草・芝草)

すす葉枯病 susu-hagare-byo Leaf and glume spot (葉枯病)
Bipolaris buchloës (Lefebvre & Aar.G. Johnson) Shoemaker [*Helminthosporium buchloës* (Ellis & Everhart) Lefebvre & Aar.G. Johnson]
西原夏樹: 日植病報 32(2):65, 1966 ; 西原夏樹: 日植病報 33(3):197, 1967

ノガリヤス類
Small-reed
Calamagrostis spp.
(野草)

ノガリヤス *Calamagrostis arundinacea* (L.) Roth var. *brachytricha* (Steud.) Hack.
ヤマアワ *Calamagrostis epigeios* Roth
ヒメノガリヤス *Calamagrostis hakonensis* Franch. & Savat.
ホッスガヤ *Calamagrostis pseudo-phragmites* Koel.

さび病* sabi-byo Rust
(1) *Puccinia coronata* Corda var. *coronata*
Hiratsuka, N. et al.: The rust flora of Japan:524, 1992
[備考] ノガリヤス
(2) *Puccinia coronata* Corda var. *epigejos* (S. Ito) Hiratsuka, f.
Hiratsuka, N. et al.: The rust flora of Japan:527, 1992
[備考] ノガリヤス・ヤマアワ
(3) *Puccinia coronata* Corda var. *himalensis* Barclay
Hiratsuka, N. et al.: The rust flora of Japan:529, 1992
[備考] ヒメノガリヤス
(4) *Puccinia hirosakiensis* Terui & Y. Harada
Hiratsuka, N. et al.: The rust flora of Japan:545, 1992
[備考] ノガリヤス
(5) *Puccinia pygmaea* Eriksson var. *pygmaea*
Hiratsuka, N. et al.: The rust flora of Japan:579, 1992
[備考] ヤマアワ・ヒメノガリヤス・ノガリヤス

(6) *Puccinia rangiferina* S. Ito

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 581, 1992

[備考] ノガリヤス・ヒメノガリヤス

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

丹田誠之助: 東農大農学集報 24: 67, 1979

[備考] ヤマアワ・ヒメノガリヤス・ホッスガヤ。 *Claviceps purpurea* var. *phalaridis* Tanda と var. *alopecuri* Tanda が混在する

ブッフエルグラス

Buffelgrass

Cenchrus ciliaris L.

(牧草・芝草)

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

八重樫博志・西原夏樹: 日植病報 42(4): 511, 1976

[備考] ブッフエルグラスから分離し供試しているが、詳細は未報告

カンチク(寒竹)

(*Chimonobambusa*)

Chimonobambusa marmorea (Mitford) Makino

(竹笹類)

シホウチク(シカクダケ)(四方竹, 四角竹) *Tetragonocalamus quadrangularis* (Fenzi) Nakai

赤衣病* akagoromo-byo Culm rust

Stereostromum corticioides (Berkeley & Broome) H. Magnusson [*Puccinia corticioides* Berkeley & Broome]

平塚直秀: 東教大農紀要 1: 41, 1952 ; Hiratsuka, N. *et al.*: The Rust Flora of Japan: 902, 1992

[備考] カンチク

いもち病* imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

糸井節美ら: 日植病報 44: 209, 1978

[備考] シホウチク

黒やに病 kuroyani-byo Tar spot

Phyllachora chimonobambusae I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙: 山口大農学術報 6: 45, 1955

[備考] カンチク

ローズグラス

Rhodes grass, Rhodesgrass

Chloris gayana Kunth

(牧草・芝草)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

ウイルス (未同定)

西原夏樹:草地試年報 8(昭和 52 年度):40, 1978

褐点病 *katten-byo*

Curvularia verruculosa Tandon & Bilgrami ex M.B. Ellis

西原夏樹:草地試年報 8(昭 52 年度):40, 1978 ; 月星隆雄ら:日草誌 49(別):324, 2003

毛すじ病 *kesuji-byo*

Bipolaris australiensis (M.B. Ellis) Tsuda & Ueyama [*Drechslera australiensis* (Bugnicourt) Subramanian & B.L. Jain ex Ellis, *Helminthosporium australiense* Bugnicourt]

西原夏樹:日植病報 46(1):61, 1980

すす葉枯病 *susu-hagare-byo*

Bipolaris chloridis (Alcorn) Alcorn [*Cochliobolus chloridis* Alcorn, *Drechslera chloridis* Alcorn]

西原夏樹:日植病報 46(1):61, 1980

葉腐病 *hagusare-byo* Summer blight, Rhizoctonia rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

高橋 仁:日草誌 10(2):184, 1964 ; 西原夏樹:日植病報 32(2):65, 1966

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 *hanten-byo*

Helminthosporium sp.

高野喜八郎:日植病報 33(5):329, 1967

[備考] 西原夏樹 (農林水産文献解題 8, 412) は *Bipolaris chloridis* (Alcorn) Alcorn によるすす葉枯病ではないかとしている

オヒゲシバ類

(Chloris)

Chloris spp.

(野草)

ムラサキシマヒゲシバ *Chloris barbata* Swartz

ヒメヒゲシバ *Chloris divaricata* R. Br.

ミイラ穂病 *miiraho-byo* Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Tsukiboshi, T. et al.:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] ムラサキシマヒゲシバ・ヒメヒゲシバ。接種試験未了

オキナワミチシバ

Love grass

Chrysopogon aciculatus (Retz.) Trin.

(牧草・芝草)

ミイラ穂病 *miiraho-byo* Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008
[備考] 接種試験未了

ジュズダマ
Job's-tears, Adlay
Coix lacryma-jobi L.
(牧草・芝草)

以下以外の病害はハトムギの項参照

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス
鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):46, 1972

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew
Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan
桂 琦一:植物の疫病:72, 1971
[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

黒穂病 kuroho-byo Smut
Ustilago okudairae Miyabe
伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):27, 1936(昭 11)
[備考] 最近, 本種は新属に移され, *Franjeperakia okudairae* (Miyabe) Cuo, Vánky & Mordue とされた (柿
畠 眞:日本植物病害大事典(岸 國平編):248, 1998)

葉枯病 hagare-byo (芽枯病)
Pseudocochliobolus nisikadoi Tsuda, Ueyama & Nishihara
西門義一:大原農研特別報告(日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究) 4:136, 1928(昭
3) ; 佐々木三男:病虫雑 25(12):902, 1938(昭 13) ; 上山昭則ら:植物防疫 32(9):361, 1978
[備考] 病原菌の異名はハトムギ葉枯病参照

ハトムギ(慧苡)
Job's tears
Coix lacryma-jobi L. var. *ma-yuen* (Roman.) Stapf
[*Coix lacryma-jobi* var. *frumentacea* Makino]
(食用作物)

いもち病 imochi-byo Blast
Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo [*Pyricularia oryzae* Cavara]
本蔵良三ら:日植病報 48(3):386, 1982 ; 本蔵良三ら:日植病報 49(1):91, 1983
[備考] 本間宏基らはハトムギ種子からイネいもち病菌を分離 (日植病報 48(3):386, 1982)。病原菌(要調
査)の学名は Rossman, A.Y. *et al.*:Mycologia 82:509, 1990 を参照

黒穂病 kuroho-byo Head smut
Ustilago coicis Brefeld
出田 新:続日本植物病理学(下):399, 1926(大 15)

葉枯病 hagare-byo (芽枯病)

(1) *Curvularia tomato* (Ellis & Bartholomew) Muntañola-Cvetković [*Brachysporium tomato* (Ellis & Bartholomew) Hiroe & Watanabe]

松浦 勇:日植病報 3(1):114, 1934(昭 9) ; 廣江 勇:日植病報 5(2):132, 1935(昭 10)

(2) *Curvularia senegalensis* (Spegazzini) Subramanian [*Brachysporium senegalense* Spegazzini]

松浦 勇:日植病報 3(1):114, 1934(昭 9) ; 廣江 勇:日植病報 5(4):325, 1936(昭 11) ; 倉田 浩・河野文子:日植病報 23(1):37, 1958

(3) *Curvularia ovoidea* (Hiroe & N. Watanabe) Muntañola-Cvetković [*Brachysporium ovoideum* Hiroe & Watanabe]

廣江 勇:鳥取農学会報 5(3):175, 1935(昭 10) ; 倉田 浩・河野文子:日植病報 23(1):37, 1958

(4) *Pseudocochliobolus nisikadoi* Tsuda, Ueyama & Nishihara [*Bipolaris coicis* (Y. Nisikado) Shoemaker, *Helminthosporium coicis* Y. Nisikado, *Curvularia coicis* (Nisikado) Kurata & Kono, *Curvularia coicis* E. Castellani, *Drechslera coicis* (Y. Nisikado) Subramanian & B.L. Jain]

西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究):136, 1928(昭 3) ; 佐々木三男:病虫雑 25(12):902, 1938(昭 13) ; Tsuda, M. *et al.*:Mycologia 69:1117, 1977

オガルカヤ類

(*Cymbopogon*)

Cymbopogon spp. 及び種間雑種

(特用作物)

コウスイガヤ *C. nardus* Rendle

†葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Curvularia andropogonis (Zimm.) Boedijn

Sato, T. & Ohkubo, H.:JARQ 23:170, 1990

[備考] フィリピンで発生

バミューダグラス(ギョウギシバ)

Bermuda grass

Cynodon dactylon (L.) Pers.

(牧草・芝草)

改良バミューダグラス *C. dactylon* × *C. transvaalensis*

モザイク病* mosaic-byo Mosaic

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):46, 1972

褐条葉枯病 katsujo-hagare-byo Brown stripe

Cochliobolus heveicola Tsukiboshi & W.H. Chung [*Bipolaris heveae* (Petch) Arx emend. J. J. Muchovej & R. M. C. Muchovej]

Tsukiboshi, T. *et al.*:Mycoscience 46(1):17, 2005

黒穂病 kuroho-byo Smut

Ustilago cynodontis (Passerini) Hennings

藤黒與三郎:植物学雑 28(333):395, 1914(大 3) ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):23, 1936(昭 11)

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia cynodontis Lacroix ex Desmazières

伊藤誠哉:東北大(札幌)農紀 3(2):217, 1909(明 42) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):150, 1950

白枯病 shiro gare-byo Leaf blight (葉枯病)

Bipolaris cynodontis (Marignoni) Shoemaker [*Cochliobolus cynodontis* R.R. Nelson, *Drechslera cynodontis* (Marignoni) Subramanian & B.L. Jain, *Helminthosporium cynodontis* Marignoni]

西原夏樹:日植病報 32(2):65, 1966 ; 西原夏樹:日植病報 33(4):276, 1967

ダラースポット病 dollar spot-byo Dollar spot

Sclerotinia homoeocarpa F.T. Bennett

谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993

ネクロティックリングスポット病 necrotic ring spot-byo Necrotic ring spot

(1) *Ophiosphaerella korrae* (J. Walker & A.M. Smith) Shoemaker & C.E. Babcock

(2) *Ophiosphaerella* spp.

佐々木伸浩ら:日植病報 76(3):158, 2010

[備考] *Ophiosphaerella* spp. の 1 種は *O. herpotricha* と推定

葉枯病 ha gare-byo

(1) *Curvularia tomato* (Ellis & Bartholomew) Muntañola-Cvetković [*Brachysporium tomato* (Ellis & Bartholomew) Hiroe & Watanabe]

廣江 勇:日植病報 5(2):127, 1935(昭 10) ; 廣江 勇:鳥取高農学報 5(1):28, 1937(昭 12)

(2) *Curvularia senegalensis* (Spegazzini) Subramanian

廣江 勇:日植病報 5(4):318, 1936(昭 11)

[備考] (2) の異名はハトムギ葉枯病参照

葉腐病 ha gusa-re-byo Summer blight, Rhizoctonia rot, Brown patch (紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):172, 1962

[備考] 完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk は未確認

斑点病 han ten-byo Leaf spot

Cochliobolus peregrinensis Alcorn [*Bipolaris peregrinensis* Alcorn]

月星隆雄ら:芝草研究 34(別 1):36, 2005

ピシウム病 Pythium-byo Pythium blight

Pythium arrhenomanes Drechsler

堀田佳祐ら:日植病報 83(1):63, 2017

[備考] 改良バミューダグラスに発生

フィソデルマ病 Physoderma-byo Dollar spot

Physoderma sp.

大久保良一ら:日植病報 33(5):313, 1967

[備考] バーシュエダ芝に発生とあり。バミューダグラスと思われるが病名不適當

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Tsukiboshi, T. et al.:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] 接種試験未了

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

Typhula incarnata Lasch (褐色小粒菌核病)

飯田 格:農及園 39(12):1855, 1964

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne graminis* (Sledge & Golden) Whitehead シバネコブセンチュウ

平野和弥:昭 59 応動昆大会講要 158, 1984

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

†黒ごま病* kurogoma-byo Tar spot

Phyllachora cynodontis (Saccardo) Niessl

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):290, 1919(大 8)

[備考] 台湾

†黒ひだ病 kurohida-byo

Cerebella cynodontis Sydow

澤田兼吉:台湾農試特報 85(台湾菌類調査報告 8):128, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

††††

†*Hyphoderma cynodontis* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] 185, 1959

[備考] 台湾。子房を侵す

ジャイアントスターグラス

Giant-star-grass

Cynodon plectostachyus (K. Schum.) Pilger

(牧草・芝草)

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Tsukiboshi, T. et al.:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] 接種試験未了

オーチャードグラス(カモガヤ)

Orchardgrass, Cocksfoot

Dactylis glomerata L.

(牧草・芝草)

斑紋萎縮病 hammon-ishuku-byo

Ryegrass mottle virus (RGMoV) ライグラス斑紋ウイルス

御子柴義郎ら:日植病報 48(1):129, 1982 ; 鳥山重光ら:日植病報 49(5):610, 1983

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cocksfoot mottle virus (CfMV) コックスフット斑紋ウイルス

鳥山重光・與良 清:日植病報 45(4):565, 1979 ; 鳥山重光・與良 清:日植病報 48(4):514, 1982

黄色ゴム病 kiiro-gomu-byo Bacterial head blight, Rathays' disease (萎縮性細菌病)

Rathayibacter rathayi (Smith 1913) Zgurskaya, Evtushenko, Akimov & Kalakoutskii 1993 [*Clavibacter rathayi* (Smith 1913) Davis, Gillaspie, Vidaver & Harris 1984, *Corynebacterium rathayi* (Smith) Dowson]

富永時任:植物防疫 17(10):413, 1963 ; 富永時任:農技研報 C25:263, 1971

黄枯細菌病 kigare-saikin-byo Bacterial blight

Xanthomonas translucens pv. *translucens* (ex Jones, Johnson & Reddy 1917) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas translucens* f. sp. *hordei* Hagborg, *Xanthomonas campestris* pv. *translucens* (Jones, Johnson & Reddy 1917) Dye 1978]

富永時任:日細菌誌 22(11-12):628, 1967

赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight

Gibberella zeae (Schweinitz) Petch

澤田兼吉:林試研報 53:156, 1952 ; 西原夏樹:農林省畜試研報 13:59, 1967

[備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer f. sp. *dactylidis* Oku, Yamashita, Doi & Nishihara [*Erysiphe graminis* de Candolle f. sp. *dactylidis* Oku, Yamashita, Doi & Nishihara]

西原夏樹:日植病報 36(5):335, 1970 ; 西原夏樹:日植病報 38(4):359, 1972(昭 47) ; 奥 尚ら:日植病報 51(5):613, 1985

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

赤井重恭・福富雅夫:病害虫発生予察特別報告 17:1, 1964

[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

角斑病 kakuhan-byo Stem speckle (葉焼病, 穂焼病)

Pseudoseptoria stomaticola (Bäumler) B. Sutton [*Selenophoma donacis* (Passerini) R. Sprague & Aar.G. Johnson var. *stomaticola* (Bäumler) R. Sprague & A. Johnson]

富永時任:飼料作物の病気カラスライド集, 解説(農文協):22, 1970 ; 杉本 堯ら:日植病報 39(3):192, 1973 ; 成田武四:北海道における農作物病害:218, 1977

[備考] 成田武四 (植物防疫 17:401, 1963) は初め本病を葉焼病と呼び, その病原を *Gloeosporium* sp. としたがのち訂正した

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight, Browning root rot

(1) *Pythium iwayamai* S. Ito

(2) *Pythium paddicum* Hirane

(3) *Pythium* spp.

斉藤 正:日草誌 3(3-4):74, 1958 ; 島貫忠幸:日植病報 43(1):108, 1977 ; 島貫忠幸:植物防疫 38(5):223, 1984

黄さび病 kisabi-byo Yellow rust

Puccinia striiformoides M. Abbasi, Hedjaroude & M. Scholler

菅原幸哉ら:日植病報 72(4):209, 2006

[備考] 本病原は *P. striiformis* var. *dactylidis* Manners とシノニムである

雲形病 kumogata-byo Scald

Rhynchosporium orthosporum Caldwell

梶原敏宏・岩田吉人:日植病報 20(4):170, 1956 ; 梶原敏宏・岩田吉人:農及園 32(2):383, 1957

黒ごま病* kurogoma-byo Tar spot (黒脂病, 黒腫病)

Phyllachora graminis (Persoon) Nitschke ex Fuckel

白井光太郎:植物病理学:437, 1903(明 36)

[備考] 出田 新 (日本植物病理学(上):251, 1909) がオーチャードグラスに寄生するとしている
Phyllachora bromi Fuckel は現在, 種名に疑問がもたれている

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminicola* Z. Urban [*Puccinia dactylidis* Gäumann]

斉藤 正:北陸病虫研報 9:71, 1961 ; 成田武四:北海道立農試集報 7:61, 1961 ; 但見明俊:草地試研報 4:57, 1973

[備考] 本病菌に *P. graminis* Persoon:Persoon f.sp. *dactylidis* Guyot & Massenot を採用する意見もある (但見 1973)

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Pink snow mold, Fusarium snow blight

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

成田武四:植物防疫 17(10):398, 1963

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

小さび病 kosabi-byo

Uromyces dactylidis G.H. Otth var. *dactylidis*

西原夏樹・但見明俊:日植病報 47(1):91, 1981

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):47, 1962

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すじ黒穂病 suji-kuroho-byo Stripe smut

Ustilago striiformis (Westendorp) Niessl

伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):32, 1936(昭 11) ; 成田武四:北海道立農試集報 2:45, 1958

[備考] 病原菌の異名はレッドトップすじ黒穂病参照

すじ葉枯病 suji-hagare-byo Brown stripe, Streak, Leaf streak

Scolecotrichum graminis Fuckel

梶原敏宏・岩田吉人:植物防疫 11(12):535, 1957

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒点葉枯病)

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):19, 1962

鳥の目病 tori-no-me-byo Bird's-eye spot (裏白斑病, 白かび病)

Ovularia pusilla (Unger) P.A. Saccardo & D. Saccardo

澤田兼吉:林試研報 105:82, 1958 ; 成田武四:北日本病虫研報 27:4, 1976

[備考] 本菌を *Ramularia pusilla* Unger とする意見もある。病原菌の異名はレッドトップ鳥の目病参照

夏葉枯病 natsu-hagare-byo

Drechslera dactylidis Shoemaker [*Helminthosporium dactylidis* (Shoemaker) Nishihara]

西原夏樹:日植病報 35(1):84, 1969

[備考] 本菌の子のう世代は *Pyrenophora phaeocomes* (Rebentisch) Fries とされたが、それを否定する意見もある

夏斑点病 natsu-hanten-byo

Cochliobolus sativus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur [*Bipolaris sorokiniana* (Saccardo) Shoemaker]

月星隆雄ら:日草誌 51(別):436, 2005

根腐病 negusare-byo (株枯れ症)

(1) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(2) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum* [*Pythium ultimum* Trow]

荒木隆男ら:日植病報 37(3):175, 1971 ; 成田武四:北海道における農作物病害:223, 1977

熱湯病 netto-byo

糸状菌の1種

西原夏樹:農林水産研究文献解題 8:455, 1981

ねん葉病 nenyō-byo Twist (ツイスト)

Dilophospora alopecuri (Fries) Fries

成田武四:植物防疫 17(10):398, 1963

葉枯病 hagare-byo Leaf blotch

Stagonospora arenaria (Saccardo) Saccardo

西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):34, 1962

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot, Brown patch (くもの巣病, 紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):166, 1962 ; 月星隆雄・君ヶ袋尚志:草地試研報 47:29, 1993

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照。月星・君ヶ袋は、オーチャードグラスをはじめわが国のイネ科牧草の葉腐病菌には菌糸融合群 AG-1 培養型 IA と IB があるとした

斑点病 hanten-byo Eye spot

Mastigospirium rubricosum (Dearnness & Bartholomew) Nannfeldt

北海道農試牧草3研:北農 38(1):21, 1971 ; 成田武四:北日本病虫研報 24:65, 1974

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

竹本常松:薬雑 64(4):225, 1944(昭19) ; 西原夏樹:関東病虫研報 5:44, 1958 ; 成田武四:北海道における農作物病害:222, 1977

ひょう紋病 hyōmon-byo Zonate leaf spot, Copper spot

Gloeocercospora sorghi D.C. Bain & Edgerton ex Deighton

西原夏樹:日植病報 26(2):61, 1961 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):26, 1962

紫斑点病 murasaki-hanten-byo Purple leaf spot

Stagonospora maculata (Grove) R. Sprague

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

佐久間 勉・成田武四:日植病報 25(1):14, 1960 ; 成田武四:北海道立農試集報 7:62, 1961

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

斉藤 正:北陸病虫研報 9:72, 1961 ; 成田武四:北海道立農試集報 7:63, 1961

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964 ; 後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

(2) *Pratylenchus zaei* Graham モロコシネグサレセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

カリ欠乏症* kari-ketsubo-sho Potassium deficiency (カリ欠乏)

カリ欠乏

前田正男:原色作物の要素欠乏 過剰症:11, 1968

††††がまの穂病 gamanoho-byo Choke

††*Epichloë typhina* (Persoon) Tulasne & C. Tulasne

出田 新:日本植物病理学(上):239, 1909(明 42) ; 西原夏樹:農及園 40(7):1102, 1965

[備考] 国内発生未詳

††††

Penicillium sp.

橋本伸一ら:日植病報 40(2):114, 1974

[備考] 葉に対する病原性と病徴は確認された

パンゴラグラス

Pangolagrass

Digitaria decumbens Stent

(牧草・芝草)

萎縮病 ishuku-byo

ウイルス (未同定)

松田鋤男ら:日植病報 37(5):374, 1971 ; 松田鋤男ら:九病虫研会報 19:61, 1973

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [Ephelis sp.]

月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] 接種試験未了

メヒシバ類

Southern crabgrass

Digitaria spp.

(野草)

メヒシバ *Digitaria ciliaris* (Retz.) Koel.

イヌメヒシバ *Digitaria microbachne* Henrard

アキメヒシバ *Digitaria violascens* Link

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo [*Magnaporthe grisea* (T.T. Hebert) M.E. Barr]

堀正太郎:農事試験場特別報告 1:25, 1898(明 31) ; Nisikado, Y.:Ohara Inst. Landw. Forsch. Ber. 1:171, 1917

[備考] メヒシバ・アキメヒシバ

球状菌核病 kyujo-kinkaku-byo

Sclerotium hydrophilum Saccardo

中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:81, 1939(昭 14)

[備考] メヒシバ

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia oahuensis Ellis & Everhart

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:565, 1992

[備考] アキメヒシバ

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps amamiensis Tanda

丹田誠之助:東農大農学集報 36:182, 1991

[備考] イヌメヒシバ

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [Ephelis sp.]

月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] アキメヒシバ。接種試験未了

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] メヒシバ

††††

Bipolaris sp.

西原夏樹:草地試研究資料 2:112, 1991

[備考] 病徴と病原の記載不十分。接種試験未了

アブラススキ類
(Eccoilopus)
Eccoilopus spp.
(野草)

アブラススキ *Eccoilopus citulifer* (Thunb.) Camus

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia miyoshiana Dietel

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 559, 1992 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.: J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3): 89, 2003

[備考] アブラススキ *E. citulifer* に発生

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps microspora Tanda var. *kawatanii* Tanda

丹田誠之助: 東農大農学集報 36: 28, 1991 ; 丹田誠之助: 日本植物病害大事典(岸 國平編): 1204, 1998

[備考] アブラススキ

ヒエ類
(Echinochloa)
Echinochloa spp.
(野草)

イヌビエ *E. crus-galli* (L.) Beauv. var. *crus-galli*

黒穂病 kuroho-byo Smut

Moesziomyces bullatus (J. Schröter) Vánky [*Tolyposporium bullatum* J. Schröter]

柿畠 眞: 日本産黒穂菌類の分類学的研究: 63, 1982 ; 柿畠 眞: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編): 248, 1992

[備考] イヌビエに発生

赤色菌核病 sekishoku-kinkaku-byo

Waitea circinata Warcup & P.H.B. Talbot [*Rhizoctonia oryzae* Ryker & Gooch]

中田覺五郎・河村栄吉: 農改資 139: 136, 1939

[備考] イヌビエ (ノビエ) に発生

葉枯病 hagare-byo

Exserohilum monoceras (Drechsler) K.J. Leonard & Suggs [*Helminthosporium monoceras* Drechsler]

西門義一: 大原農研特別報告 4: 163, 1928 ; 上山昭則ら: 植物防疫 32: 361, 1978

[備考] 完全世代 *Setosphaeria monoceras* Alcorn は国内未確認

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

月星隆雄ら: 芝草研究大会誌 27: 110, 1998 ; Tsukiboshi, T. *et al.*: JARQ 42(3): 173, 2008

[備考] イヌビエに発生。接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Hirschmanniella diversa* Sher レンコンネモグリセンチュウ

高木素紀ら: Nematological Research 41: 53, 2011 ; 植松 繁ら: 北陸病虫研報 64: 15, 2015 ; 高木素紀ら: 関東病虫研報 63: 98, 2016

[備考] 高木ら(2011)はイヌビエ, 植松ら(2015)はタイヌビエ, 高木ら(2016)はケイヌビエでの報告
(2) *Hirschmanniella oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc
& Goodey] イネネモグリセンチュウ
川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963
[備考] イヌビエに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

シコクビエ(竜爪稷)
Finger millet, African millet, Ragi
Eleusine coracana Gaertn.
(食用作物)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic
Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス
山本孝彦:日植病報 39(3):218, 1973

褐条病 *katsujo-byo* Bacterial brown stripe
Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992
[*Pseudomonas alboprecipitans* Rosen]
西山幸司ら:日植病報 44(1):108, 1978 ; 西山幸司ら:日植病報 45(1):25, 1979

いもち病 *imochi-byo* Blast
Pyricularia oryzae Cavara [*Pyricularia* sp.]
大畑貫一:四国植防 9:61, 1974 ; 加藤 肇ら:日植病報 43:392, 1977 ; Murata, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol.
80(1):66, 2014

すす葉枯病 *susu-hagare-byo*
Bipolaris nodulosa (Berkeley & M.A. Curtis) Shoemaker
西原夏樹:草地試研究資料 2:50, 1991
[備考] 西門 (農学研究 7:190, 1914) は本病をヘルミントスポリウム病としたが, 国内発生未確認であつた。西原 (1991) は国内発生を確認して, すす葉枯病として報告した

紋枯病 *mongare-byo*
Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]
杉山正樹ら:日植病報 51(1):74, 1985 ; 杉山正樹:日本植物病害大事典(岸 國平編):82, 1998

++++褐紋病 *katsumon-byo*
Bipolaris sp.
西原夏樹:草地試研究資料 2:107, 1991

†白絹病 *shirakinu-byo* Stem rot
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):446, 1919(大 8)
[備考] 台湾

++++葉枯病 *hagare-byo*
Exserohilum monoceras (Drechsler) K.J. Leonard & Suggs
西原夏樹:草地試研究資料 2:115, 1991

オヒシバ類
Goosegrass
Eleusine spp.
(野草)

オヒシバ *Eleusine indica* (L.) Gaertn.

いもち病 imochi-byo Blast
Pyricularia sp.
大畑貫一ら:四国植防 9:61, 1974
[備考] オヒシバ

葉枯病 hagare-byo
Cochliobolus nodulosus Luttrell [*Bipolaris nodulosa* (Berkeley & M.A. Curtis) Shoemaker, *Helminthosporium nodulosum* Berkeley & M.A. Curtis]
西門義一:大原農研特別報告 4:139, 1928 ; 上山昭則ら:植物防疫 32:361, 1978
[備考] オヒシバ

ハマニンニク類
(*Elymus*)
Elymus spp.
(野草)

ハマニンニク *Elymus mollis* Trin.

黒穂病* kuroho-byo Bunt
Urocystis agropyri (Preuss) A.A. Fischer Waldheim
柿嶌 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:67, 1982 ; 柿嶌 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):256, 1992
[備考] ハマニンニクに発生。病名提案なし

さび病* sabi-byo Rust
(1) *Puccinia coronata* Corda var. *coronata*
(2) *Puccinia elymi* Westendorp var. *longispora* Cummins
Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:524, 535, 1992
[備考] ハマニンニク

麦角病 bakkaku-byo Ergot
Claviceps litoralis Kawatani
丹田誠之助・川谷豊彦:東農大農学集報 24:281, 1979
[備考] ハマニンニク

††††
Marasmiellus mesosporus Singer スナジホウライタケ
竹橋誠司ら:日菌報 51:15, 2010
[備考] ハマニンニク(*Elymus mollis*)の大量枯死

テフグラス(テフ)
Teff grass, Teff

Eragrostis tef (Zuccagni) Trotter
(牧草・芝草)

すす葉枯病 susu-hagare-byo

Exserohilum frumentacei (Mitra) K.J. Leonard & Suggs [*Helminthosporium frumentacei* Mitra]

西原夏樹:日植病報 43(3):318, 1977 ; 西原夏樹:草地試研究資料 2:53, 1991

カゼクサ類
(*Eragrostis*)
Eragrostis spp.
(野草)

スズメガヤ *Eragrostis cilianensis* (Allioni) Vignolo-Lutati

カゼクサ *Eragrostis ferruginea* (Thunb.) Beauvois

コゴメカゼクサ *Eragrostis japonica* Thunb.

ニワホコリ *Eragrostis multicaulis* Steud.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):16, 1972

[備考] カゼクサ

すす穂病 susuho-byo

Bipolaris miyakei (Y. Nisikado) Shoemaker [*Helminthosporium miyakei* Y. Nisikado]

西門義一:大原農研特別報告 4:145, 1928 ; 上山昭則ら:植物防疫 32:361, 1978

[備考] ニワホコリ

葉枯病 hagare-byo

(1) *Cochliobolus kusanoi* (Y. Nisikado) Drechsler ex Dastur [*Bipolaris kusanoi* (Y. Nisikado) Shoemaker]

西門義一:大原農研特別報告 4:150, 1928(昭3) ; Nisikado, Y.:Japan J. Bot. 4:99, 1928(昭3) ; 西原夏樹:草地試研究資料 2:98, 1991

[備考] スズメガヤ・ニワホコリ

(2) *Bipolaris* sp.

西原夏樹:草地試研究資料 2:110, 1991

[備考] カゼクサに発生。病原菌は *B. bicolor* と考えられる

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):374, 1992 ; 月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Koga, H. *et al.*:Bull. RIAR, Ishikawa Agr. Coll. 6:45, 1999 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] カゼクサ。接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] コゴメカゼクサに発生。本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

ラブグラス

Lovegrass
Eragrostis spp.
(牧草・芝草)

ウィーピングラブグラス(シナダレスズメガヤ) Weeping lovegrass *Eragrostis curvula* (Schrad.) Nees
レーマンラブグラス Lehmann lovegrass *Eragrostis lehmanniana* Nees

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia oryzae Cavara [*Pyricularia* sp.]

山中 達・西原夏樹:日植病報 42(1):74, 1976 ; Murata, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):66, 2014

[備考] ロブスタラブグラス *Eragrostis robusta* にも発生 (八重樫博志・浅賀宏一:日植病報 46(3):364, 1980)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

山本 勉ら:中国農試報告 A 9:142, 1963

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

Typhula incarnata Lasch (褐色小粒菌核病)

飯田 格:農及園 39(12):1855, 1964

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Helicotylenchus dihystera (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

[備考] ウィーピングラブグラス。根圏土壌より検出

センチピードグラス
Centipedegrass
Eremochloa ophiuroides (Munro) Hack.
(牧草・芝草)

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

富家和典ら:日植病報 70(1):73, 2004 ; 富家和典ら:日植病報 70(3):194, 2004

[備考] 富家らは rDNA 解析から本病原菌を栽培植物寄生菌群に属するとした

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum caudatum (Saccardo) Peck

富家和典ら:日植病報 71(1):72, 2005 ; Fuke, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 72(1):74, 2006

ダラースポット病 dollar spot-byo Dollar spot

Sclerotinia homoeocarpa Bennett

月星隆雄ら:日植病報 76(3):198, 2010

ナルコビエ類
(*Eriochloa*)
Eriochloa spp.

(野草)

ナルコビエ *Eriochloa villosa* (Thunb.) Kunth

ムラサキノキビ *Eriochloa procera* (Retz.) C. E. Hubb.

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

西門義一:病菌害虫彙報 15:1, 1926

[備考] ナルコビエ

さび病* sabi-byo Rust

Uromyces setariae-italicae Yoshino

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:917, 1992

[備考] ナルコビエ

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings

Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] ムラサキノキビ。接種試験未了

テオシント(ブタモロコシ)

Teosinte

Euchlaena mexicana Schrad.

(牧草・芝草)

テオシントはトウモロコシときわめて近縁であり、発生する病害も相似ていて寄生性も共通と見てよい。
テオシントの学名に *Zea mays* subsp. *mexicana* (Schrad.) Iltis を充てる意見もある

えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

范 永堅ら:日植病報 61(4):410, 1995

黄化病 oka-byo Yellow

Barley yellow dwarf virus#

范 永堅ら:日植病報 60(1):725, 1994

すじ萎縮病 suji-ishuku-byo Streaked dwarf

Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス

鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):42, 1972

モザイク病* mosaic-byo Mosaic

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

鳥山重光ら:日植病報 30(5):264, 1965 ; 鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):46, 1972

[備考] 病原の種類は明らかでないが、モザイク病は西原夏樹 (千葉農試資料 3(牧草の病害 III):25, 1963) の報告もある

褐条病 katsujo-byo Brown stripe (条斑細菌病)

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

[*Pseudomonas avenae* Manns, *Pseudomonas alboprecipitans* Rosen]

吉野嶺一:北陸病虫研報 12:69, 1964 ; 富永時任:日草誌 13(3):156, 1967 ; 富永時任:農技研報 C 25:192, 228, 1971

[備考] 富永 (1967) は初め本菌を *Pseudomonas andropogonis* (Smith) Stapp とし条斑細菌病と呼んだが、のち訂正した。西原夏樹 (千葉農試資料 3(牧草の病害 III):26, 1963) の報告したテオシントの細菌病も本病と思われる

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

吉野嶺一:北陸病虫研報 12:68, 1964

[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

黒穂病 kuroho-byo Smut

Ustilago maydis (de Candolle) Corda

中田覺五郎:改著作物病害図編:88, 1957 ; 西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):45, 1963

[備考] 中島 茂ら (宮崎大農研時報 4(1):85, 1958) の認めたテオシントの黒穂病も本病と思われる。病原菌の異名はトウモロコシ黒穂病参照

ごま葉枯病 goma-hagare-byo Leaf blotch

Cochliobolus heterostrophus (Drechsler) Drechsler

西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):27, 1963

[備考] 病原菌の異名はトウモロコシごま葉枯病参照

すす紋病 susumon-byo Leaf blight

Exserohilum turcicum (Passerini) K.J. Leonard & Suggs

西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):33, 1963

[備考] 本菌の完全世代は *Setosphaeria turcica* (Luttrell) Leonard & Suggs [*Trichometasphaeria turcica* Luttrell] とされているがわが国では未発見。病原菌の異名はトウモロコシすす紋病参照

斑点病 hanten-byo Brown spot, Brown bundle

Physoderma maydis Miyabe [*Physoderma zae-maydis* F.J.F. Shaw, *Cladochytrium maydis* Miyabe]

西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):37, 1963

縁葉枯病 fuchi-hagare-byo

Pseudocochliobolus geniculatus (R.R. Nelson) Tsuda, Ueyama & Nishihara [*Cochliobolus geniculatus* R.R. Nelson, *Curvularia geniculata* (Tracy & Earle) Boedijn, *Helminthosporium geniculatum* Tracy & Earle]

西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害 III):42, 1963

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

病原菌未定

中島 茂ら:宮崎大農研時報 4(1):85, 1958

[備考] 台湾では *Sclerospora sacchari* Miyake によるテオシントのべと病が報告されている (三宅 勉:台湾糖試特報 1:18, 1911)

紋枯病 mongare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (葉腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

(2) *Pratylenchus zae* Graham モロコシネグサレセンチュウ

後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

アシボソ類

(*Eularia*)

Eularia spp.

(野草)

アシボソ *Eularia viminea* (Trin.) Kuntze var. *polystachya* (Fr. & Sav.) Koyama

裏白かび病 urajiro-kabi-byo

Ramularia pollinae (Hennings) U. Braun [*Ovularia pollinae* Hennings]

澤田兼吉:林試研報 105:82, 1958 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):434, 1992

[備考] アシボソに発生。Braun, U. (Intern. J. mycol. Lichenol. 3:282) によって *Ovularia* 属から *Ramularia* 属へ転属された

葉枯病 hagare-byo

Bipolaris sp.

西原夏樹:草地試研究資料 2:106, 1991

[備考] アシボソ

フェスク(ウシノケグサ)

Fescues

Festuca spp.

(牧草・芝草)

トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue *Festuca arundinacea* Schreb.

ハードフェスク Hard fescue *Festuca longifolia* Thuill. var. *duriuscula* (L.) Koch

シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue *Festuca ovina* L.

メドーフフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue *Festuca pratensis* Huds.

チューイングフェスク Chewing fescue *Festuca rubra* L. subsp. *commutata* Gaudin

クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ) Creeping red fescue *Festuca rubra* L. subsp. *rubra*

かさ枯病 kasagare-byo Halo blight

Pseudomonas syringae pv. *atropurpurea* (Reddy & Godkin 1923) Young, Dye & Wilkie 1978

舟山広治:北日本病虫研報 13:76, 1962 ; 富永時任:日植病報 34(4):242, 1968 ; 富永時任:農技研報 C 25:244, 1971

[備考] 病原細菌の異名はブルムグラスかさ枯病参照

網斑病 amihan-byo Net blotch

Drechslera dictyoides (Drechsler) Shoemaker [*Pyrenophora dictyoides* A.R. Paul & Parbery, *Helminthosporium dictyoides* Drechsler f. *dictyoides*]

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):82, 1962

いもち病 imochi-byo Blast (稲熱病)

(1) *Pyricularia grisea* (Cooke) Saccardo [*Pyricularia oryzae* Cavara]

成田武四ら:北海道立農試報告 7:6, 1956

[備考] Rossman, A. Y. *et al.*:Mycologia 82:509, 1990

(2) *Pyricularia oryzae* Cavara

鈴木智貴ら:日植病報 77(1):48, 2011

[備考] 鈴木らは野草としてのオニウシノケグサで発生を認めた

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight

Pythium spp.

斉藤 正:日草誌 3(3-4):74, 1958

[備考] 病原菌の種名等はオーチャードグラス褐色雪腐病参照

鹿の子まだら病 kanoko-madara-byo

Phloeospora graminearum R. Sprague & Hardison

西原夏樹:草地試研報 1:1, 1972

冠さび病 kansabi-byo Crown rust

Puccinia coronata Corda var. *coronata*

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):87, 1962

[備考] 国内ではトボシガラ、樺太ではフェスクに *Puccinia festucae* Plowright が寄生する (伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):154, 1950)。病原菌の異名はエンバク冠さび病参照

がまの穂病 gamanoho-byo Choke

Neotyphodium typhinum (Morgan-Jones & W. Gams) Glenn, C.W. Bacon & Hanlin [*Acremonium typhinum* Morgan-Jones & W. Gams]

古賀博則ら:日植病報 60(6):751, 1994

[備考] チューイングフェスク

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminicola* Z. Urban

出田 新:日本植物病理学(下):504, 1911(明 44) ; 成田武四:農業技術 16(10):468, 1961 ; 但見明俊ら:日植病報 59(3):283, 1993

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Pink snow mold, Fusarium snow blight

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

成田武四:北海道における農作物病害:220, 1977

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

すじ葉枯病 suji-hagare-byo Brown stripe

Scolecotrichum graminis Fuckel

土屋貞夫・尾崎政春:北農 34(11):39, 1967 ; 富永時任:農技研報 C25:192, 1971

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

成田武四:北海道における農作物病害:220, 1977

葉枯病 hagare-byo Leaf spot

Septoria tenella Cooke & Ellis

土屋貞夫・尾崎政春:北農 34(11):39, 1967

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):166, 1962

[備考] 完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk は未確認

斑点病 hanten-byo Leaf spot

(1) *Cochliobolus sativus* (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur

(2) *Drechslera siccans* (Drechsler) Shoemaker

西原夏樹:日草誌 14(2):104, 1968

[備考](1) の異名はオオムギ斑点病,(2) はライグラス斑点病参照。葵・内村 (九州農業研究 24:154, 1962) の報じたトールフェスク斑点病は本病と思われる

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

富樫浩吾:植物学雑 56(662):74, 1942(昭 17) ; 竹本常松:薬雑 64(4):225, 1944(昭 19) ; 阿部又三:日農化誌 20(6):353, 1944(昭 19)

[備考] 富樫 (1942) はレッドフェスク, 竹本 (1944) はトールフェスクおよびメドーフェスク, 阿部 (1944) はシープフェスクの麦角病について報告した

縁枯病 fuchigare-byo

Drechslera nobleae McKenzie & D. Matthews

西原夏樹:日植病報 49(3):404, 1984

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

佐久間 勉・成田武四:日植病報 25(1):61, 1960

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

Typhula incarnata Lasch (褐色小粒菌核病)

斉藤 正:日草誌 3(3-4):74, 1958

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus dihystera* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964 ; 後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

ドジョウツナギ類

(Glyceria)

Glyceria spp.

(野草)

ドジョウツナギ *Glyceria ischyronura* Steud.

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] ドジョウツナギに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

ウラハグサ類

(*Hakonechloa*)

Hakonechloa spp.

(野草)

ウラハグサ *Hakonechloa macra* (Munro) Makino

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps microcephala (Wallroth) Tulasne

丹田誠之助:東農大農学集報 22:204, 1977

[備考] ウラハグサ

ベルベツトグラス(シラゲガヤ)

Velvetgrass

Holcus lanatus L.

(牧草・芝草)

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo [*Pyricularia oryzae* Cavara]

成田武四:北海道立農試報 7:24, 1956

[備考] 特殊環境下での発生

冠さび病 kansabi-byo Crown rust

Puccinia coronata Corda var. *coronata*

成田武四:農業技術 16(10):468, 1961

がまの穂病* gamanoho-byo Choke

Epichloë typhina (Persoon) Tulasne & C. Tulasne [*Neotyphodium typhinum* (Morgan-Jones & W. Gams) Glenn, C.W. Bacon & Hanlin]

原 攝祐:日本菌類目録:117, 1954

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Pink snow mold, Fusarium snow blight

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

成田武四:北海道における農作物病害:230, 1977

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

成田武四:農薬の進歩 8(3):9, 1962 ; 杉本 堯ら:日植病報 39(3):192, 1973

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:230, 1977

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cochliobolus sativus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur

西原夏樹:日草誌 14(2):104, 1968

[備考] 病原菌の異名はオオムギ斑点病参照

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

丹田誠之助・松涛誠道:東京農大農学集報 6(4):327, 1961

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

成田武四:北海道における農作物病害:230, 1977

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

オオムギ(大麦)

Barley

Hordeum vulgare L.

(食用作物)

萎縮病 ishuku-byo Rosette, Green mosaic

Soil-borne wheat mosaic virus (SBWMV) コムギ萎縮ウイルス [Wheat rosette virus#, Wheat green mosaic virus#]

静岡農試:病虫雑 3(12):937, 1916(大 5)

黄萎病 oi-byo Yellow dwarf

(1) *Barley yellow dwarf virus-PAV* (BYDV-PAV) オオムギ黄萎 PAV ウイルス

Kojima, M. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 49(3):338, 1983 ; Sano, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(6):566, 1996

(2) *Barley yellow dwarf virus-RMV* 様分離株#

丹野史典ら:日植病報 63(3):277, 1977

[備考] *Barley yellow dwarf virus-RMV* に近いと考えられるが, 塩基配列の相同性が低い

(3) *Cereal yellow dwarf virus-RPS* (CYDV-RPS) ムギ類黄萎 RPS ウイルス

松原 旭ら:日植病報 77(3):228, 2011

黄葉病 oyo-byo Yellow leaf

Wheat yellow leaf virus (WYLV) コムギ黄葉ウイルス

井上忠男:日植病報 39(3):224, 1973 ; 井上忠男ら:農学研究 55(1):1, 1973

縞萎縮病 shima-ishuku-byo Yellow mosaic (モザイク病)
Barley yellow mosaic virus (BaYMV) オオムギ縞萎縮ウイルス
鏑方末彦・河合一郎:農改資 154:1, 1940(昭 15)

すじ萎縮病 suji-ishuku-byo Streaked dwarf (黒条萎縮病)
Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス
栗林数衛・新海 昭:日植病報 16(1):41, 1952 ; 小菅喜久弥・小尾 仁:日植病報 22(1):40, 1957

斑葉モザイク病 han'yo-mosaic-byo Stripe mosaic (偽縞萎縮病)
Barley stripe mosaic virus (BSMV) ムギ斑葉モザイクウイルス
西門義一ら:日植病報 22(1):51, 1957 ; 高橋隆平ら:農学研究 44(4):147, 1957

北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic
Northern cereal mosaic virus (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス
伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19)

褐斑細菌病* kappan-saikin-byo (褐斑性細菌病)
病原細菌名未定
鶴田章逸:病虫雑 6(7):528, 1919(大 8)
[備考] 発生および病原について検討を要する。病原細菌名 *Bacillus hordei* Hori 1919 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

黒節病 kurofushi-byo Bacterial black node, Bacterial stripe blight, Ear burn (細菌性節黒病, 黒条病, 穂焼病)
Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Pseudomonas striafaciens* var. *japonica* Ikata, Mukoo, Tsuchiya & Kusaba, *Aplanobacter hordei* Goto & Nakanishi, *Pseudomonas syringae* pv. *japonica* (Mukoo 1955) Dye, Bradbury, Goto, Hayward, Lelliott & Schroth 1980]
向 秀夫:農薬と病虫 4:116, 1950 ; 向 秀夫:栃内・福士記念論文集:153, 1955 ; 後藤正夫ら:植物防疫 35:270, 1981
[備考] 後藤和夫・中西 勇:日植病報 15(3-4):159, 117, 1951 記載の穂焼病は本病の一病徴型である

赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight (赤黴病, 黒点病, 赤麴病)
(1) *Gibberella zeae* (Schweinitz) Petch [*Gibberella saubinetii* (Montagne) Saccardo, *Fusarium graminearum* Schwabe, *Fusarium roseum* Link emend. W.C. Snyder & H.N. Hansen f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen 'Graminearum']
出田 新:実用植物病理学 196, 1902 (明 35) ; 西門義一:日植病報 31(記念号):207, 1965
(2) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link emend. W.C. Snyder & H.N. Hansen f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen 'Avenaceum']
栃内吉彦・杉本利哉:日植病報 17(3-4):182, 1953
(3) *Fusarium culmorum* (W.G. Smith) Saccardo [*Fusarium roseum* Link emend. W.C. Snyder & H.N. Hansen f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen 'Culmorum']
小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983
(4) *Monographella nivalis* (Schaffnit) E. Müller [*Microdochium nivale* (Fries) Cesati, *Fusarium nivale* Cesati ex Berlese & Voglino, *Gerlachia nivalis* (Cesati ex Berlese & Voglino) W. Gams & E. Müller, *Fusarium nivale* Cesati ex Berlese & Voglino emend. Snyder & Hansen f. sp. *graminicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen]
小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983 ; Müller, E.:Rev. Mycol. 41:132, 1977 ; Samuels, G. J. & Hallett, I. C.:Trans. Br. mycol. Soc. 81:479, 1983

[備考] 赤かび病は *Gibberella fujikuroi* (Sawada) Ito, *Fusarium acuminatum* Ellis & Everhart, *F. sporotrichioides* Sherbakoff によってもおこる (柄内吉彦・杉本利哉:日植病報 17(3-4):182, 1953 ; 小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983 ; 小泉信三ら:日植病報 54(1):70, 1988)

網斑病 amihan-byo Net blotch (網斑点病, 斑点病, 胡麻斑葉病)

Pyrenophora teres Drechsler [*Drechslera teres* (Saccardo) Shoemaker, *Helminthosporium teres* Saccardo]

西門義一:大原農研特別報告 4:61, 1928(昭 3) ; 上山昭則ら:植物防疫 32(9):361, 1978

いもち病 imochi-byo Blast (稻熱病)

Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo [*Pyricularia oryzae* Cavara]

原 攝祐:病虫雑 3(9):693, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日本菌類目録 274, 1954

[備考] 病原菌の学名は Rossman, A.Y. et al.:Mycologia 82:509, 1990 を参照

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病, 白黴病)

Blumeria graminis (de Candolle) Speer f. sp. *hordei* Marchal [*Erysiphe graminis* de Candolle f. sp. *hordei* É.J. Marchal]

出田 新:日本植物病理学:273, 1903(明 36) ; 佐藤幸生:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):76, 1992

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew (黄斑性萎縮病, 萎縮性黄斑病)

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

田中一郎:日植病報 10(2-3):127, 1940(昭 15)

[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

角斑病 kakuhan-byo Selenophoma leaf blight, Halo spot

Pseudoseptoria stomaticola (Bäumler) B. Sutton [*Selenophoma donacis* (Passerini) R. Sprague & Aar.G. Johnson var. *stomaticola* (Bäumler) R. Sprague & A. Johnson, *Macrophoma hennebergii* J.G. Kühn]

鶴田章逸:病虫雑 2(10):857, 1915(大 4) ; 香月繁孝:植物防疫 7(12):442, 1953

堅黒穂病 kata-kuroho-byo Covered smut (かたまりくろぼ)

Ustilago hordei (Persoon) Lagerheim

農商務省農試:農事試験成績 8(1):117, 1895(明 28)

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Browning root rot

(1) *Pythium iwayamai* S. Ito

(2) *Pythium paddicum* Hirane

(3) *Pythium horinouchiense* Hirane

(4) *Pythium graminicola* Subramanian

(5) *Pythium okanoganense* P.E. Lipps

(6) *Pythium vanterpoolii* V. Kouyeas & H. Kouyeas

(7) *Pythium volutum* Vanterpool & Truscott

平根誠一:農改技資 60:4, 1955 ; 一谷多喜郎ら:日植病報 52(2):209, 1986

褐斑病 kappan-byo

Heterosporium hordei Bubák

原 攝祐:実用作物病理学:91, 1925(大 14)

褐紋病 katsumon-byo

Botrytis sp.

後藤和夫・長江春季:日植病報 17(3-4):150, 1953

株腐病 kabugusare-byo Foot-rot, Rhizoctoniose (紋枯病, 株腐菌核病, 菌核病)
Ceratobasidium gramineum (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki [*Corticium gramineum* Ikata & T. Matsuura, *Rhizoctonia cerealis* E.P. Hoeven]
横木国臣:日植病報 2(4):385, 1931(昭 6); 松浦 義:病虫雑 17(7):448, 1930(昭 5); 鬼木正臣ら:日菌報 27(2):147, 1986; 高松 進:福井農試特別報 9:9, 1989
[備考] 本菌は積雪下で雪腐症状を起こすことがある (高松 進:日植病報 52(1):121, 1986)

から枯病 karagare-byo (稈枯病, かんかれ病)
Mycosphaerella hordicola Hara
鶴田章逸:病虫雑 3(7):530, 1916(大 5)

黄枯病 kigare-byo Browning root rot
(1) *Pythium spinosum* Sawada
(2) *Pythium sylvaticum* W.A. Campbell & F.F. Hendrix
(3) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*
田杉平司:日植病報 3(1):78, 1934(昭 9); 楠 幹生・一谷多喜郎:日植病報 60(3):305, 1994

黄さび病 kisabi-byo Stripe rust (黄銹病, 春赤渋病, 春銹病, 赤渋病, きはしぶ)
Puccinia striiformis Westendorp var. *striiformis* [*Puccinia glumarum* (Schmidt) Eriksson & Henning, *Puccinia striiformis* Westendorp]
出田 新:農作物病理学:64, 1901(明 34); 平塚直秀・金子 繁:菌蕈研報 21:61, 1983

雲形病 kumogata-byo Scald, Leaf blotch (雲紋病)
Rhynchosporium secalis (Oudemans) Davis f. sp. *hordei* Iwata & Kajiware [*Rhynchosporium graminicola* Heinsen, *Fusomella hordei* Miyabe]
徳淵永治郎:植物学雑 20(233):119, 1906(明 39)

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust (黒銹病, 夏赤渋病, 夏銹病, 葉渋病, 黒色銹病, くろはしぶ)
Puccinia graminis Persoon subsp. *graminis* [*Puccinia graminis* Persoon]
出田 新:農作物病理学:62, 1901(明 34); 平塚直秀・金子 繁:菌蕈研報 21:61, 1983

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Snow mold
Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Calonectria graminicola* Wollenweber, *Fusarium nivale* (Fries) Cesati f. sp. *graminicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]
栗林数衛:日植病報 7(1):62, 1937(昭 12)
[備考] 本病菌は雪とは無関係に発生し, 葉に大型暗色斑紋を生ずることがある (西原夏樹:日植病報 23:33, 1958)。中国地方で報告された *Mycosphaerella* sp. による病害 (山本 勉:中国農業研究 2:33, 1956) もそれと同じ病害と思われる

黒点病 kokuten-byo (斑点病, 茎枯)
Epicoccum nigrum Link [*Epicoccum purpurascens* Ehrenberg ex Schlechtendal]
原 攝祐:実験作物病理学:234, 1930(昭 5); 富永時任ら:日植病報 24(1):36, 1959; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):502, 1992

黒変病 kokuh-en-byo Sooty mold, Mold
Cladosporium herbarum (Persoon) Link
鶴田章逸:病虫雑 6(6):449, 1919(大 8)

小さび病 kosabi-byo Dwarf leaf rust (小銹病, 矮形銹病, こはしぶ)

Puccinia hordei G.H. Oth [*Puccinia simplex* Eriksson & Henning, *Puccinia anomala* Rostrup]

出田 新: 日本植物病理学(下):510, 1911(明 44) ; 平塚直秀: 植物銹菌学研究:316, 1955

条斑病 johan-byo *Cephalosporium stripe* (条斑性萎縮病)

Cephalosporium gramineum Y. Nisikado & Ikata

西門義一ら: 農学研究 21:270, 1933(昭 8)

[備考] 本菌のスポロドキア時代は *Hymenula cerealis* Ellis & Everhart と命名されている。*Cephalosporium* 属は *Acremonium* 属の異名とされている (小林享夫: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):551, 1992)

すす紋病 susumon-byo (煤紋病)

Pyrenophora japonica S. Ito & Kuribayashi [*Drechslera japonica* (S. Ito & Kuribayashi) Shoemaker, *Helminthosporium japonica* S. Ito & Kuribayashi]

伊藤誠哉・今井三子: 農作物病害教科書:25, 1932(昭 7) ; 伊藤誠哉: 帝国学士院記事 6:353, 1930(昭 5) ; 伊藤誠哉・栗林数衛: 北大農紀 29:108, 1931(昭 6) ; 上山昭則ら: 植物防疫 32(9):361, 1978

立枯病 tachigare-byo Take-all (裾腐病)

Gaeumannomyces graminis (Saccardo) Arx & D.L. Olivier var. *tritici* J. Walker [*Ophiobolus graminis* Saccardo, *Ophiochaeta graminis* (Saccardo) Hara, *Ophiobolus cariceti* (Berkeley & Broome) Saccardo, *Linocarpon cariceti* (Berkeley & Broome) Petrak]

堀 正太郎: 農商務省農試報告 18:35, 1901(明 34) ; 宇田川俊一ら: 菌類図鑑(上):595, 1978

なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt, Stinking smut (腥黒穂病)

Tilletia controversa J.G. Kühn [*Tilletia panicii* Bubák & Ranojević]

農商務省農試: 大正 10 年度事務功程:35, 1921(大 10) ; 柿嶌 眞: 筑波大農林研究 1:60, 1982

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

向島博行: 北陸病虫研報 46:97, 1998 ; 向島博行: 北陸病虫研報 54:45, 2005

裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (コナクロボ, 麦奴)

Ustilago nuda (C.N. Jensen) Rostrup

農商務省農試: 農事試験成績 10(1):60, 1896(明 29)

葉焼病 hayake-byo

Mycosphaerella tassiana (De Notaris) Johanson [*Cladosporium herbarum* (Persoon) Link]

鶴田章逸: 病虫雑 2(10):858, 1915(大 4)

[備考] *Fusarium nivale* による斑紋 (明日山秀文: 日植病報 10:51, 1940) および *Mycosphaerella* sp. (山本勉: 中国農業研究 2:33, 1956) との関係についてはなお検討を要する

斑点病 hanten-byo Spot blotch (葉枯病)

Cochliobolus sativus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur [*Ophiobolus sativus* S. Ito & Kuribayashi, *Helminthosporium sativum* Pammel, C.M. King & Bakke, *Helminthosporium sorokinianum* Saccardo ex Sorokin, *Drechslera sorokiniana* (Saccardo) Subramanian & B.L. Jain, *Bipolaris sorokiniana* (Saccardo) Shoemaker]

西門義一: 農学研究 7:163, 1925(大 14) ; 栗林数衛: 札幌植物学会報 10:138, 1929(昭 4) ; 上山昭則ら: 植物防疫 32(9):361, 1978

斑葉病 han'yo-byo Stripe (褐色斑葉病, 黒色斑葉病, 条斑病)

Pyrenophora graminea S. Ito & Kuribayashi [*Pleosphaeria trichostoma* (Fries) Hara, *Helminthosporium gramineum* Rabenhorst ex Schlechtendal, *Drechslera graminea* (Rabenhorst ex Schlechtendal) Shoemaker, *Helminthosporium hordei* Hori]

堀 正太郎:農商務省農試農事試験成績 14(1):134, 1899(明 32); 伊藤誠哉・栗林数衛:北大農紀 29:85, 1931(昭 6); 上山昭則ら:植物防疫 32(9):361, 1978

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne var. *purpurea*

出田 新:農作物病理学:67, 1901(明 34); 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):512, 1992

ひょう紋病 hyomon-byo Zonate leaf spot (豹紋病)

Helminthosporium zonatum Ikata

鑄方末彦・吉川政治:病虫雑 30(7):209, (8):247, 1943(昭 18)

[備考] 病原菌の学名については再検討を要する

紋枯病 mongare-byo (大粒白絹病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

原 攝祐:実験作物病理学:232, 1930(昭 5)

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel, *Sclerotinia graminearum* Elenev]

田中一郎・福地宏平:農及園 21(4):141, 1946; 富山宏平:北海道農試報告 47:1, 1955

[備考] *Typhula* spp., *Calonectria graminicola*, *Pythium* spp. などによるものを含め雪腐病と総称することがある

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo *Typhula* snow blight, Snow-rot (菌核病, 冬枯病, 雪腐菌核病)

(1) *Typhula incarnata* Lasch [*Typhula itoana* S. Imai, *Typhula graminum* P. Karsten]

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* [*Typhula idahoensis* Remsberg, *Typhula borealis* Ekstrand, *Typhula hyperborea* Ekstrand]

ト蔵梅之丞:病虫雑 13(8):476, 1926(大 15); 村田寿太郎:大日本農会報 554:40, 1927(昭 2); 富山宏平:北海道農試報告 47:1, 1955; 宇井格生監修:北海道畑作物の土壌病害:291, 1983

[備考] 病原によって区別するときは (1) を雪腐褐色小粒菌核病, (2) を雪腐黒色小粒菌核病という。また, *Myriosclerotinia borealis*, *Calonectria graminicola*, *Pythium* spp. などによるものを含め雪腐病と総称することがある

輪紋病 rimmon-byo Ring spot, *Ascochyta* leaf spot (輪斑病)

Ascochyta hordei Hara [*Ascochyta graminicola* non Saccardo]

鶴田章逸:病虫雑 2(10):855, 1915(大 4)

茎線虫病* kuki-senchu-byo (萎黄病)

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐺木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病徴の初記載は, 武田藤吉:病虫雑 4(11):852, 1917(大 6)

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Bidera avenae (Wollenweber) Krall & Krall [*Heterodera avenae* Wollenweber, *Heterodera major* Schmidt] ム

ギシストセンチュウ

一戸 稔:北海道農試報告 48:46, 1955 ; 清水 啓ら:日線虫研誌 17:42, 1987

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

一戸 稔:線虫とその防除(その 2):58, 1960

粒線虫病* tsubu-senchu-byo Wheat gall, Cockles

Anguina tritici (Steinbuch) Filipjev [*Tylenchus scandens* (Schneider) Cobb] コムギツブセンチュウ

堀江 浩:関西農報 41:11, 1917(大 6)

[備考] 病原線虫の異名はコムギの粒線虫病を参照

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

褐線萎黄病 kassen-io-byo Brown streaked chlorosis

マンガン欠乏

明日山秀文・遠藤武雄:農及園 23(9):507, 1948

白縞病 shiroshima-byo Interveinal necrosis

マグネシウム欠乏

木谷清美ら:農及園 28(11):1325, 1953

心枯病 shingare-byo

生理病 (寒害?)

鶴田章逸:病虫雑 7(2):105, 1920(大 9)

銅欠乏症 do-ketsubo-sho Copper deficiency

銅欠乏

中野信夫・黒澤順平:農及園 37(11):1738, 1962

中葉枯病 naka-hagare-byo Leaf blight

病原未記載

桜井 肇:病虫雑 22(6):430, 1935 (昭 10)

[備考] 病因不明。調査を要する

白斑病 hakuhan-byo White blotch

カリ欠乏

木谷清美:植物防疫 7(10):351, 1953

紅立枯病 beni-tachigare-byo
原因不明
宮脇雪夫ら:農及園 24(3):216, 1949

穂首腐病 hokubi-gusare-byo
病原未記載
鶴田章逸:病虫雑 6(8):702, 1919 (大 8)
[備考] 病因不明。調査を要する

†黒ふ病 kurofu-byo Bacterial blight (黒俘病, 立枯性細菌病)
Xanthomonas translucens pv. *translucens* (ex Jones, Johnson & Reddy 1917) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium translucens* Jones, Johnson & Reddy, *Xanthomonas campestris* pv. *translucens* (Jones, Johnson & Reddy 1917) Dye 1978]
中田覺五郎・明日山秀文:満州産業部資料 32(満州主要農作物病害調査報告):31, 1939(昭 14)
[備考] 中国東北部

††斑点細菌病* hanten-saikin-byo (斑点性細菌病)
病原細菌種名未定
岡部徳夫:植物細菌病学:130, 1949
[備考] 国内発生未詳。病原菌について検討を要する。病原細菌名 *Bacterium cerealium* (Gentner) Elliott は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†††赤かび病類似症 akakabi-byo-ruiji-sho Fusarium head blight-like symptom
(1) *Epicoccum nigrum* Link
(2) *Sporobolomyces ruberrimus* Yamasaki & H. Fujii ex Fell, Pinel, Scorzetti, Statzell-Tallman & Yarrow
三室元気ら:日植病報 76(3):158, 2010

††††茶紋病 chamon-byo
病原未記載
北海道農試:昭 4 年業務概要:64, 1933(昭 8)
[備考] 病因不明。調査を要する

チガヤ類
Cogongrass
Imperata spp.
(野草)

チガヤ *Imperata cylindrica* (L.) Beauv. var. *koenigii* (Retz.) Durand & Schinz

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス
鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):8, 1972
[備考] チガヤ

さび病* sabi-byo Rust
Puccinia rufipes Dietel
Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:585, 1992
[備考] チガヤ

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [Ephelis sp.]

月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] チガヤ。接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema americanum Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

[備考] チガヤに発生。種名は再検討を要する

チゴザサ類

(Isachne)

Isachne spp.

(野草)

チゴザサ *Isachne globosa* (Thunb.) Kuntze

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

ウイルス (未同定)

鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):32, 1972

[備考] チゴザサ

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps panicoidearum Tanda & Y. Harada

丹田誠之助:日菌報 30:105, 1989

[備考] チゴザサ

カモノハシ類

(Ischaemum)

Ischaemum spp.

(野草)

ケカモノハシ *Ischaemum antheophoroides* (Steud.) Miq.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):19, 1972

[備考] ケカモノハシ

サヤヌカグサ類

(Leersia)

Leersia spp.

(野草)

アシカキ *Leersia japonica* Makino

エゾノサヤヌカグサ *Leersia oryzoides* (L.) Swartz

サヤヌカグサ *Leersia oryzoides* (L.) Swartz var. *sayanuka* (Ohwi) Koyama

白葉枯病 shirahagare-byo

Xanthomonas oryzae pv. *oryzae* (Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [*Xanthomonas oryzae* (Uyeda & Ishiyama) Dowson]
後藤和夫ら:農及園 28:207, 1953 ; 吉村彰治ら:日植病報 24:6, 1959
[備考] アシカキ・エゾノサヤヌカグサ・サヤヌカグサ

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo [*Pyricularia oryzae* Cavara]

川上瀧弥:札幌農学会報 2:34, 1901(明 34) ; 成田武四ら:北海道農試報告 7:8, 1956

[備考] エゾノサヤヌカグサ。病原菌の学名は Rossman, A.Y. *et al.*:Mycologia 82:509, 1990 を参照

さび病* sabi-byo Rust

Uromyces halstedii De Toni ex Saccardo

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:914, 1992

[備考] サヤヌカグサ

葉枯病 hagare-byo

Cochliobolus miyabeanus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur [*Bipolaris leersiae* (G.F. Atkinson) Shoemaker, *Helminthosporium leersii* Atkinson]

西門義一:大原農研特別報告 4:157, 1928 ; 上山昭則ら:植物防疫 32:361, 1978

[備考] アシカキ

アゼガヤ類
(Leptochloa)
Leptochloa spp.
(野草)

アゼガヤ *L. chinensis* (L.) Nees

イトアゼガヤ *L. panicea* (Retz.) Ohwi

葉枯病 hagare-byo

Exserohilum micropus (Drechsler) Alcorn [*Bipolaris micropus* (Drechsler) Shoemaker, *Helminthosporium leptochloae* Y. Nisikado & C. Miyake]

西門義一:大原農研特別報告 4:160, 1928 ; 西原夏樹:草地試研究資料 2:117, 1991

[備考] アゼガヤ

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

月星隆雄ら:芝草研究大会誌 27:110, 1998 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] イトアゼガヤ。接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Hirschmanniella diversa* Sher レンコンネモグリセンチュウ

植松 繁ら:北陸病虫研報 64:15, 2015

[備考] アゼガヤに発生

(2) *Hirschmanniella oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] アゼガヤに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

ライグラス

Ryegrass

Lolium spp.

(牧草・芝草)

イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass *L. multiflorum* Lam.

ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass *L. perenne* L.

エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種

斑紋萎縮病 hammon-ishuku-byo

Ryegrass mottle virus (RGMoV) ライグラス斑紋ウイルス

御子柴義郎ら:日植病報 48(1):129, 1982 ; 鳥山重光ら:日植病報 49(5):610, 1983

北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo

Northern cereal mosaic virus (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス

御子柴義郎ら:日植病報 50(1):108, 1982

モザイク病 mosaic-byo

Ryegrass mosaic virus (RGMV) ライグラスモザイクウイルス

御子柴義郎ら:日植病報 48(1):79, 1982 ; 井上 興ら:日植病報 59(1):66, 1993 ; 井上 興ら:日食病報 59(3):326, 1993

[備考] 英国のライグラスモザイクウイルスの抗血清と陽性の反応が認められる

かさ枯病 kasagare-byo Halo blight

Pseudomonas syringae pv. *atropurpurea* (Reddy & Godkin 1923) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas coronafaciens* var. *atropurpurea* (Reddy & Godkin) Stapp]

舟山広治ら:北日本病虫研報 13:76, 1962 ; 富永時任:日植病報 34(4):242, 1968

葉鞘腐敗病 yosho-fuhai-byo Bacterial sheath brown rot

(1) *Pseudomonas fuscovaginae* Miyajima, Tanii & Akita 1983

小林真樹ら:日植病報 68(2):256, 2002 ; 林田美由貴ら:日植病報 68(2):256, 2002

[備考] ペレニアルライグラス *L. perenne* に発生

(2) *Pseudomonas* sp.

小林真樹ら:日植病報 76(1):62, 2010

[備考] ペレニアルライグラスに発生

赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight

Gibberella zeae (Schweinitz) Petch

成田武四:植物防疫 17(10):399, 1963 ; 西原夏樹:農林省畜試研報 13:59, 1967

[備考] 病原菌の異名はイネ赤かび病参照

網斑病 amihan-byo Net blotch

Drechslera andersenii A. Lam [*Drechslera dictyoides* (Drechsler) Shoemaker f. sp. *perennis* Shoemaker]

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):59, 1962 ; 西原夏樹:草地試研究資料 2:29, 1991

[備考] Sivanesan, A.: Mycological paper 158:185, 1987

いもち病 imochi-byo Blast

(1) *Pyricularia grisea* (Cooke) Saccardo

鈴木智貴ら:日植病報 81(3):188, 2015

[備考] イタリアンライグラスに発生

(2) *Pyricularia oryzae* Cavara

牧野秋雄・久永 勝:関西病虫研報 14:96, 1972 ; 岡田 大・後藤重喜:日植病報 45(1):92, 1979 ; Murata, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):66, 2014 ; 鈴木智貴ら:日植病報 81(3):188, 2015

[備考] 牧野・久永(1972)の供試菌はイネに病原性があり, 岡田・後藤(1979)の供試菌はイネに病原性がない。鈴木ら(2015)の供試菌はイタリアンライグラスに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer [*Oidium monilioides* (Nees) Link]

月星隆雄ら:日植病報 64(4):437, 1998

[備考] 有性世代未確認。イタリアンライグラスに発生

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

山本 勉ら:中国農試報告 A 9:140, 1963

[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight, Browning root rot

(1) *Pythium iwayamai* S. Ito

(2) *Pythium paddicum* Hirane

(3) *Pythium* spp.

斉藤 正:日草誌 3(3-4):74, 1958 ; 島貫忠幸:日植病報 43(1):108, 1977 ; 島貫忠幸:植物防疫 38(5):223, 1984

株腐病 kabugusare-byo Foot rot

Rhizoctonia cerealis E.P. Hoeven [*Ceratobasidium gramineum* (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki]

井上 興ら:日植病報 57(1):103, 1991 ; 井上 興ら:山口農試報 45:58, 1995

[備考] 病原菌を *Ceratobasidium gramineum* としたが, 完全世代は未確認。菌糸融合群 AG-D

冠さび病 kansabi-byo Crown rust

Puccinia coronata Corda var. *coronata*

中島 茂ら:宮崎大農研究時報 4(1):84, 1958 ; 成田武四:農業技術 16(10):468, 1961

[備考] 病原菌の異名はエンバク冠さび病参照。本菌に *P. coronata* Corda f. sp. *lolii* Eriksson を採用する意見もある (成田武四:北日本病虫研報 23:36, 1972)

雲形病 kumogata-byo Scald

Rhynchosporium secalis (Oudemans) Davis

西原夏樹:日植病報 43(1):70, 1977

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminicola* Z. Urban

西原夏樹:農林水産省畜試研報 10:28, 1966 ; 但見明俊・成田武四:日植病報 40(3):169, 1974

[備考] 本菌に *P. graminis* f. sp. *lolii* Guyot & Massenot を採用する意見もある (但見明俊:草地試研報 7:81, 1975)

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Pink snow mold, Fusarium snow blight

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

斉藤 正:日草誌 3(3-4):76, 1958

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

遠藤 茂:宮崎高農学報 10:71, 1938(昭 13)

[備考] 遠藤 (1938) は台湾での発生を報じたが、近年わが国にも発生した。病原菌の異名はイネ白絹病参照

蛇紋病 jamon-byo Leaf blotch (褐斑病)

Ascochyta desmazieri Cavara [*Ascochyta desmazieri* Cavara]

西原夏樹:農林省畜試研報 10:27, 1966 ; 西原夏樹:植物防疫 25(12):489, 1971

[備考] 山本勉ら (中国農試報告 A 9:140, 1963) の報告した *Ascochyta* sp. は本菌と思われる

すじ葉枯病 suji-hagare-byo Brown stripe

Scolecotrichum graminis Fuckel

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):80, 1962

立枯病 tachigare-byo

Gaeumannomyces graminis (Saccardo) Arx & D.L. Olivier var. *tritici* J. Walker

宮島邦之:農及園 60(7):903, 1985

[備考] ペレニアルライグラスに発生。病原菌の異名はコムギ立枯病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

富永時任:農技研報 C 25:192, 1971

ダラースポット病 dollar spot-byo Dollar spot

Sclerotinia homoeocarpa F.T. Bennett

谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993

夏斑点病 natsu-hanten-byo Helminthosporium leaf spot

Bipolaris sorokiniana (Saccardo) Shoemaker

西原夏樹:日植病報 49(3):404, 1983 ; 西原夏樹:草地試研究資料 2:34, 1991

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

土屋貞夫・尾崎政春:北農 34(11):40, 1967 ; 成田武四:北海道における農作物病害:225, 1977

葉枯病 hagare-byo Leaf spot

Septoria loligena R. Sprague

富永時任:日植病報 27(2):64, 1962

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot, Brown patch (紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):172, 1962

[備考] 完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk は未確認

斑点病 hanten-byo Leaf blight

Drechslera siccans (Drechsler) Shoemaker [*Helminthosporium siccans* Drechsler]

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):59, 1962

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

成田武四:農業技術 16(11):520, 1961

[備考] 丹田誠之助・釜野井正男 (東京農大農学集報 17(4):314, 1973) はペレニアルライグラス麦角病菌を *Claviceps purpurea* と同定した

ひょう紋病 hyomon-byo

糸状菌の1種

中田栄一郎ら:日植病報 40(2):135, 1974

[備考] 病原は *Drechslera* 属菌と思われる。調査を要する

ピシウム病 *Pythium*-byo Pythium blight

(1) *Pythium aristosporum* Vanterpool

Lam-ping Gel ら:芝草研究 24(1):5, 1995

(2) *Pythium spinosum* Sawada

(3) *Pythium sylvaticum* W.A. Campbell & F.F. Hendrix

(4) *Pythium vanterpoolii* V. Kouyeas & H. Kouyeas

月星隆雄ら:日植病報 74(1):35, 2008

[備考] イタリアンライグラスに発生

ピンクパッチ病 *pink-patch*-byo Pink patch

Limonomyces roseipellis Stalpers & Loerakker

田中明美・谷 利一:日植病報 61(6):634, 1995

[備考] ペレニアルライグラスに発生。病原菌同定記載不十分

縁枯病 fuchigare-byo

Drechslera nobleae McKenzie & D. Matthews

西原夏樹:日植病報 44(1):63, 1978

ほこりかび病 hokorikabi-byo Slime mold (灰色ほこりかび病)

Physarum cinereum (Batsch) Persoon ハイイロホコリカビ

富永時任:農技研報 C 25:192, 1971

[備考] 本種以外のホコリカビによる病害の発生のおそれがあり、それらの病徴の区別はつきにくいと思われるので、病名にはそれを考慮してほこりかび病を採用する

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

佐久間 勉・成田武四:日植病報 25(1):61, 1960 ; 佐久間 勉・成田武四:北海道立農試集報 11:69, 1963

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

斉藤 正:日草誌 3(3-4):75, 1958 ; 成田武四:植物防疫 17(10):399, 1963

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964 ; 後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 17:93, 1966

[備考] 接種試験の結果

(4) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

††リオグランデ葉枯病 Rio Grande-hagare-byo

Septoria tritici Roberge ex Desmazières var. *lolicola* R. Sprague & Aar.G. Johnson

西原夏樹:農林省畜試研報 10:28, 1966

[備考] ブラジル

コメガヤ類

(*Melica*)

Melica spp.

(野草)

コメガヤ *Melica nutans* L.

黒穂病 kuroho-byo Bunt

(1) *Urocystis agropyri* (Preuss) A.A. Fischer Waldheim

柿畠 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:67, 1982 ; 柿畠 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):256, 1992

(2) *Urocystis melicae* (Lagerheim & Liro) Zundel

原田幸雄:日本植物病害大事典(岸 國平編):1215, 1998

[備考] コメガヤ

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia coronata Corda var. *himalensis* Barclay

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:529, 1992

[備考] コメガヤ

ススキ類

Silvergrass

Miscanthus spp.

(野草)

トキワススキ *Miscanthus floridulus* (Labill.) Warb. ex. K. Schum. & Lauterb.

カリヤスモドキ *Miscanthus oligostachyus* Stapf

ハチジョウススキ *Miscanthus sinensis* Anderss. var. *condensatus* (Hack.) Makino

ススキ *Miscanthus sinensis* Anderss. var. *sinensis*

ムラサキススキ *Miscanthus sinensis* Anderss. f. *purpurascens*

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

鳥山重光・興良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):13, 1972
[備考] ススキ

黒穂病 kuroho-byo Smut

(1) *Naemacyclus culmigenus* Ellis & Langlois

Hosoya, T. *et al.*:Mycoscience 54(6):433, 2013 ; Suzuki, R.O. *et al.*:Mycoscience 56:42, 2015

(2) *Sporisorium kusanoi* (Sydow & P. Sydow) Vánky

Suzuki, R.O. *et al.*:Mycoscience 56:42, 2015

[備考] ススキ。病原性未確認

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia daisenensis* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:532, 1992

[備考] トキワススキ・ススキ

(2) *Puccinia erythropus* Dietel [*Aecidium vincetoxici* Hennings & Shirai]

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:536, 1992 ; Ono, Y. & Azbukina, M. Z.:Mycoscience 38:281, 1997

[備考] トキワススキ・ススキ・ハチジョウススキ。精子・さび胞子世代をコバノカモメズル (*Cynanchum subanceolatum* var. *obtusum*) 上に形成

(3) *Puccinia miscanthi* Miura

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:557, 1992

[備考] トキワススキ・ススキ・ハチジョウススキ

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps panicoidearum Tanda & Y. Harada

丹田誠之助:東農大農学集報 35:213, 1991

ミイラ穂病* miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):374, 1992 ; 月星隆雄ら:芝草研究大会誌 27:110, 1998 ;

Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] ススキ。接種試験未了

紫眼斑病 murasaki-ganhan-byo Violet eye spot

Ascochyta miscanthi Tak. Kobayashi & T. Okamoto

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

[備考] ハチジョウススキ *M. sinensis* var. *condensatus* に発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Verutus mesoangustus Minagawa

Minagawa, N.:Appl. Entomol. Zool. 21(2):277, 1986

ヌマガヤ類
(Moliniopsis)
Moliniopsis spp.

(野草)

ヌマガヤ *Moliniopsis japonica* (Hack.) Hayata

さび病 *sabi-byo* Rust

Puccinia molinae Tulasne

仲谷房治:北日本病虫研報 56:55, 2005 ; 仲谷房治・原田幸雄:北日本病虫研報 59:77, 2008

ササ類

(竹笹類)

ハコネメダケ(箱根女竹) *Nipponobambusa sawadai* (Makino) Muroi

ヤダケ(矢竹, 箭竹) *Pseudosasa japonica* (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino

スズ(スズタケ) *Sasa borealis* (Hack.) Makino & Shibata

チシマザサ(ネマガリダケ) *Sasa kurilensis* (Rupr.) Makino & Shibata

ミヤコザサ *Sasa nipponica* Makino & Shibata

チマキザサ *Sasa palmata* (Bean) Nakai

クマザサ *Sasa veitchii* (Carr.) Rehd.

アズマザサ *Sasaella ramosa* (Makino) Makino

クマイザサ *Sasa senanensis* (Franch. & Savat.) Rehder

赤衣病 *akagoromo-byo* Culm rust

Stereostromum corticioides (Berkeley & Broome) H. Magnusson

堀 正太郎:植物学雑誌 6(64):211, 1892(明 25) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):166, 1904(明 37) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust flora of Japan:902, 1992

[備考] ヤダケ・クマザサ・チュウゴクザサ(*Sasa veitchii* var. *hirsuta*)。病菌の異名はカンチク赤衣病参照

赤だんご病 *akadango-byo* Reddish bamboo-apple

Shiraia bambusicola Hennings

澤田兼吉:林試研報 53:158, 1952

[備考] チシマザサ。病菌は *Peloronectriella sasae* Doi との異同について検討を要する

いもち病* *imochi-byo* Blast

Pyricularia sp.

糸井節美ら:日植病報 44:209, 1978

[備考] ジョウボウザサ(*Sasaella bitchuensis*)

裏黒点病 *ura-kokuten-byo* (黒粒点病)

Coccodiella arundinariae Hara タケクロイボカビ

原 攝祐:病虫雑誌 1(3):267, 1914(大 3) ; 原 攝祐:植物学雑誌 25(293):222, 1911(明 44)

[備考] 病菌の異名はマダケ裏黒点病参照

褐斑病 *kappan-byo* Brown leaf spot

Phaeosphaeria bambusae I. Miyake & Hara

澤田兼吉:林試研報 53:167, 1952 ; 三宅市郎・原 攝祐:植物学雑誌 24(286):340, 1910(明 43)

[備考] アズマザサ・チシマザサ・チマキザサ・ヤダケ。病菌の異名はナリヒラダケ褐斑病参照

かんらん円星病 *kanran-maruhoshi-byo* Haplotrichum leaf spot

Haplotrichum arundinariae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:81, 1958

[備考] アズマザサ

熊斑病 kumahan-byo

(1) *Haraea barbata* I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:33, 1955

[備考] チシマザサ

(2) *Haraea japonica* Saccardo & P. Sydow

原 攝祐:樹病学各論:41, 1923(大 12) ; 原 攝祐:植物学雑 27(321):422, 1913(大 2)

[備考] ニッコウザサ(*Sasa nikkoensis*)・チマキザサ・チシマザサ

(3) *Haraea sasae* Hara

原 攝祐:日本害菌学:142, 1936(昭 11)

[備考] チマキザサ

黒穂病 kuroho-byo Smut

Ustilago shiraiana Hennings

Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. 1(1):73, 1905 ; Hennings, P.:Engler's Bot. Jahrb. 28:260, 1900 ; 柿嶋 眞:
筑波大農林研究 1:91, 1982

[備考] 病菌の異名はマダケ黒穂病参照

黒やに病 kuroyani-byo Tar spot

(1) *Clypeostroma arundinariae* Sawada

澤田兼吉:林試研報 53:163, 1952

[備考] アズマザサ

(2) *Phaeodothis muroiana* I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:891, 1958

[備考] ホソバノナンブスズ(*Sasa uinuizana*)・ミヤコザサ

(3) *Phragmocarpella sasae* Sawada

澤田兼吉:林試研報 53:162, 1952

[備考] チシマザサ

(4) *Phyllachora sasae* I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 12:157, 1961

[備考] チシマザサ

(5) *Phyllachora shiraiana* P. Sydow

澤田兼吉:林試研報 53:161, 1952 ; 原 攝祐:植物学雑 27(317):248, 1913(大 2)

[備考] ヤダケ上に記録された *Phyllachora graminis* (Persoon) Fuckel(吉永虎馬:植物学雑 16(179):5, 1902)
も本種であると考えられる

(6) *Telimena haraeana* I. Hino & Katumoto

原 攝祐:実験樹木病害篇:350, 1927(昭 2) ; 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:915, 1958

[備考] チュウゴクザサ。病菌の異名はメダケ黒やに病参照

黒点病* kokuten-byo Black speck

Phragmothyriella muroiana I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 8:654, 1957

[備考] サイコウザサ(*Sasa stenophylla*)

ごま黒やに病 goma-kuroyani-byo

Phyllachora tetraspora Sawada

澤田兼吉:林試研報 53:161, 1952

[備考] チシマザサ

ごま竹病* gomatake-byo

Melanconium muroianum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1180, 1959

[備考] ヤダケ

さび病 sabi-byo Rust (葉さび病)

(1) *Puccinia hikawaensis* Hiratsuka, f. & S. Uchida [*Aecidium philadelphi* Dietel]

内田正之助:目白学園女短大紀要 2:24, 196 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust flora of Japan:599, 1992

[備考] スズ・ケスズ(*Sasamorpha mollis*)。さび胞子世代はバイカウツギ(*Philadelphus satsumi*)に寄生してさび病を起こす

(2) *Puccinia kusanoi* Dietel

原 攝祐:樹病学各論:172, 1923(大 12) ; 吉永虎馬:植物学雑 15(171):97, 1901(明 34) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:602, 1992

[備考] センダイムラサキシノ(*Arundinaria atropurpurea*)・ヒロハアズマササ(*A. okadana*)・アズマザサ・スエコザサ(*A. suwekoana*)・カムロザサ・(*A. viridistriana*)・ミヤコザサ・チュウゴクザサ(*Sasa tyugokuensis*)。病菌の異名及びさび胞子世代はナリヒラダケさび病参照

(3) *Puccinia longicornis* Patouillard & Hariot

原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大 12) ; 草野俊助:東大農紀要 8:4, 1908(明 41) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:603, 1992

[備考] ヤダケ・スズ・チシマザサ・ミヤコザサ・チマキザサ・シャコタンチク(*Sasa paniculata* var. *ontakensis*)・ミヤマザサ(*S. septentrionalis*)。さび胞子世代は *Deutzia* 属(ウツギ・コウツギ・ツクシウツギ・マルバウツギ)に寄生してさび病を起こす

(4) *Puccinia mitriformis* S. Ito [*Aecidium hamamelidis* Dietel]

原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大 12) ; 伊藤誠哉:東北帝大農紀要 3(2):233, 1909(明 42) ; 平塚直秀・佐藤昭二:菌蕈研報 8:39, 1970 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:605, 1992

[備考] スズ・ヨシノナンブスズ(*Sasa kohzegawana*)・キンタイザサ(*S. paniculata* var. *nobilis*)・チシマザサ・オクミヤコザサ。さび胞子世代は *Hamamelis* 属(マンサク・マルバマンサク・ウラジロマルバマンサク)に寄生してさび病を起こす

(5) *Puccinia sasae* Kusano

原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大 12) ; 草野俊助:東大農紀要 8:9, 1908(明 41)

[備考] スズ・チュウコクザサ

(6) *Puccinia sasicola* Hara ex Hino & Katumoto

原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大 12)

[備考] スズ・ニッコウザサ。さび胞子世代はトサミズキ属(*Corylopsis spicata*)に寄生してさび病を起こす

(7) *Puccinia suzutake* Kakishima & S. Sato [*Aecidium hydrangiicola* Hennings]

Kakishima, M. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(3):321, 1981

[備考] スズ。さび胞子世代は *Hydrangea* 属(コアジサイ・ナガバアジサイ・アマチャ・ヤマアジサイ)に寄生してさび病を起こす

†さび病 sabi-byo Rust (葉さび病)

Dasturella divina (Sydow) Mundkur & Kheswalla

澤田兼吉:台湾農試報 86:141, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。カワカムリヤダケ (*Pseudosasa uzawai*)

すす点病* susuten-byo Fly-speck

(1) *Chaetopeltiopsis sasae* Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):254, 1913(大 2)

[備考] チシマザサ・ニッコウザサ

(2) *Phillipsiella bambusae* Katumoto
Katumoto, K.: Trans. Mycol. Soc. Japan 27(1):8, 1986
[備考] ヤダケ

すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew

(1) *Balladyna muroiana* I. Hino & Katumoto

勝本 謙: 植研雑 38:23, 1963

[備考] ハコネメダケ

(2) *Dimeriella sasae* (Hara) Hara [*Dimerium sasae* Hara, *Dimerina sasae* (Hara) Hara, *Dimerosporium sasae* (Hara) Hara]

原 攝祐: 植物学雑 27(317):246, 1913(大 2) ; 原 攝祐: 日菌報 1(3):2, 1957

[備考] ニッコウザサ

(3) *Kusanobotrys bambusae* Hennings [*Parodiopsis gregaria* I. Hino & Katumoto]

原 攝祐: 日本害菌学:154, 1936(昭 11) ; Hennings, P.: Hedwigia 43:141, 1904

[備考] クマザサ・チシマザサ。クマザサ上の *Kusanobotrys bambusae* sensu Hino & Katumoto non Hennings(日野 巖・勝本 謙: 山口大農学術報 5:218, 1954 は *Dysrhynchis uncinata* (Sydow) Arx であるといわれる

(4) *Meliola pseudosasae* Hara ex I. Hino & Katumoto

原 攝祐: 日本害菌学:140, 1936(昭 11) ; 日野 巖・勝本 謙: 山口大農学術報 9:882, 1958

[備考] スズタケ

すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

Meliola phyllostachydis W. Yamamoto

山本和太郎: 台湾博物学会報 31:26, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。カワカムリヤダケ

炭疽病* tanso-byo Anthracnose (炭そ病)

Colletotrichum sasicola I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙: 山口大農学術報 9:879, 1958

[備考] チシマザサ

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

(1) *Aciculosporium sasicola* Oguchi

Oguchi, T.: Mycoscience 42:217, 2001

[備考] クマイザサに発生

(2) *Epichloë sasae* Hara

原 攝祐: 静岡県農会報 300:40, 1922(大 11)

葉焼病 hayake-byo Leaf blight

Stigmatodopsis sasae (Hara) I. Hino & Katumoto [*Sphaerulina sasae* Hara]

原 攝祐: 病虫雑 5:728, 1918(大 7) ; 日野 巖・勝本 謙: 山口大農学術報 9:883, 1958

[備考] スズ

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

松村任三: 帝国植物名鑑(上):135, 1904(明 37)

[備考] ササ類麦角菌の学名として *Claviceps purpurea* var. *sasae* Tanda(丹田誠之助: 富士竹園報 18:30, 1973)が提唱されているが正規の記載はない

縁枯病* herigare-byo

Phyllosticta take I. Miyake & Hara

日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:76, 1958

[備考] チシマザサ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Helicotylenchus californicus Sher ラセンセンチュウの1種

中西喜徳:関西病虫研報 14:106, 1972

[備考] 根圏土壌から検出

††††

Anthostomella sasae Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):251, 1913(大 2)

[備考] チマキザサ

††††

Apiosphaeria nipponica I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑 41(10):294, 1966

[備考] ミヤコザサ

††††

Arthrobotrys foliicola Matsushima

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect. :10, 1975

[備考] *Sasa* sp.

††††

Ascochyta sasae Hara

原 攝祐:菌類 1(3-4):110, 1931(昭 6)

[備考] スズタケ

††††

Astrocystis mirabilis Berkeley & Broome

日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:66, 1958

[備考] スズタケ

††††

Astrotheca nigrocornis I. Hino

長沢栄史:菌蕈研報 10:453, 1973

[備考] クマイザサ

††††

Broomella miakei I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:43, 1955

[備考] チュウゴクササ

††††

Broomella pustulata I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:42, 1955

[備考] スズタケ

††††

Calonectria sasae Hara

原 攝祐:植物学雑誌 27(317):247, 1913 (大 2)

[備考] クマザサ

††††

Chaetopatella longiciliata I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑誌 33(8):238, 1958

[備考] チシマザサ。病菌の学名は *Pseudolachnea longiciliata* (Hino & Katumoto) Sutton とされている

††††

Chaetopatella setulosa (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Heteropatella setulosa* I. Hino & Katumoto]

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:252, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑誌 33(8):239, 1958

[備考] スズタケ・チトセザサ(*Sasa takizawana* var. *lasioclada*)。病菌は *Pseudolachnea scolecospora* Teng & Shen と同一種とされている

††††

Cladosporium cerophilum (Tubaki) Matsushima [*Acrotheca cerophila* Tubaki]

椿 啓介:服部植物研報 20:143, 1958 ; Matsushima, I.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:34, 1975

[備考] *Sasa* sp.。病菌の学名は *Ramichloridium cerophylunm* (Tubaki) de Hoog とされている

††††

Cladosporium herbarum (Persoon) Link

原 攝祐:植物学雑誌 27(317):255, 1913 (大 2)

[備考] *Sasa* sp.

††††

Cochliobolus miakei I. Hino & Katumoto

長沢栄史:菌蕈研報 10:454, 1973

[備考] クマイザサ

††††

Cochliobolus sasae I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:26, 1960

[備考] タンバザサ

††††

Collodiscula japonica I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:55, 1955 ; 長沢栄史:菌蕈研報 10:455, 1973

[備考] シャコタンチク・クマイザサ

††††

Cordyceps clavicipiticola Tokunaga & S. Imai バッカクヤドリタケ

今井三子:札幌博物学会報 14(2):104, 1935(昭 10)

[備考] チマキザサ上の麦角菌 (*Claviceps* sp.) の菌核に重複寄生

††††

Cordyceps ergoticola Tanda & Kawatani オゼザサバッカクヤドリタケ

丹田誠之助・川谷豊彦:植研雑誌 52(1):19, 1977

[備考] オゼザサ上の麦角菌 (*Claviceps purpurea* (Fries) Tulasne var. *sasae* Tanda) の菌核に重複寄生

††††

Dasyscyphus albotestaceus (Desmazières) Massee トガリケシロヒナノチャワಂತケ

Otani, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:39, 1967

[備考] チシマザサ

††††

Dasyscyphus apalus (Berkeley & Broome) Dennis ハリミノヒナノチャワಂತケ

Otani, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:34, 1967

[備考] チシマザサ

††††

Dasyscyphus asiaticus Y. Otani タマケヒナノチャワಂತケ

Otani, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:36, 1967

[備考] チシマザサ

††††

Dasyscyphus diminutus (Roberge ex Desmazières) Saccardo シロヒメチャワಂತケ

Otani, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:34, 1967

[備考] チシマザサ

††††

Diaboliumbilicus mirabilis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:40, 1955 ; 長沢栄史:菌蕈研報 10:456, 1973

[備考] チシマザサ

††††

Dicellomyces gloeosporus Olive ササノヒメサラタケ

長沢栄史:菌蕈研報 25:1, 1987

[備考] ネザサ・アズマネザサ

††††

Dicellomyces sp.

原田幸雄:日植病報 58:120, 1992

[備考] チシマザサ・アズマネザサ

††††

Didymella pseudosasae I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:21, 1960

[備考] ヤダケ

††††

Didymella yezoensis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:902, 1958

[備考] チマキザサ

††††

Didymobotryum kusanoi Hennings

日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:69, 1958

[備考] ヤダケ。*Didymobotryum rigidum* (Berekeley & Broome) Saccardo との異同について検討を要する (椿啓介:発酵研報 7:116, 1975)

††††

Didymobotryum verrucosum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1181, 1959

[備考] スズタケ

††††

Didymosphaeria pustulata I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:24, 1960 ; 長沢栄史:菌蕈研報 10:457, 1973

[備考] チシマザサ・クマイザサ

††††

Dinemasporium gramineum Léveillé [*Dinemasporium gramineum* Léveillé f. *bambusae* Rolland]

原 攝祐:植物学雑 27(317):254, 1913(大 2) ; 日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:70, 1958

[備考] チマキザサ。病菌の学名は *Dinemasporium strigosum* (Persoon) Saccardo が用いられる

††††

Diplodina pseudosasae I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 8:649, 1957

[備考] ヤクシマダケ (*Pseudosasa owatarii*)

††††

Erinella hyalopilosa I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:885, 1958

[備考] シャコタンチク

††††

Favolaschia nipponica Kobayasi ニカワアナタケ

小林義雄:服部植研報 8:1, 1953

[備考] クマイザサ・メグマイザサ・スズタケ

††††

Hendersonia striatospora I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1176, 1959

[備考] ラッキョウヤダケ(*Pseudosasa japonica* cv. *tsutsumiana*)

††††

Hidakaea tumidula I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:38, 1955

[備考] スズタケ・チシマザサ・タンバザサ(*Sasa tembaensis*)・ハコネスズタケ(*Sasa shimidzuana*)

††††

Hymenoscypha sasicola I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1182, 1959

[備考] タンバザサ

††††

Hypocrea nigricans (S. Imai) Yoshim. Doi [*Chromocrea nigricans* S. Imai] カラスノボタンタケ

今井三子:札幌博物学会報 14(2):102, 1935(昭 10) ; 土居祥兌:科博研報 15(4):732, 1972

[備考] チシマザサ

††††

Hypoxylon fuscopurpureum (Schweinitz) Berkeley タイシヤコブタケ

日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:72, 1958

[備考] スズタケ・チシマザサ・ヤダケ

††††

Hysteroglonium rokkoense I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1183, 1959

[備考] スズタケ

††††

Konenia sasaecola I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:220, 1954

[備考] ヤダケ

††††

Leptosphaerella sasae Hara [*Phaeospora sasae* (Hara) Hara]

原 攝祐:病虫雑 5(10):805, 1918(大 7) ; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録 (3 版):255, 1927(昭 2)

[備考] ニッコウザサ

††††

Leptosphaeria minoensis Hara

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:175, 1961

[備考] カワカムリヤダケ

††††

Leptosphaeria sasae Hara

原 攝祐:病虫雑 5(11):884, 1918(大 7)

[備考] チマキザサ

††††

Leptosphaeria sasicola Hara

原 攝祐:病虫雑 5(11):885, 1918(大 7)

[備考] チマキザサ

††††

Linocarpon muroianum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑 41(10):296, 1966 ; 長沢栄史:菌蕈研報 10:458, 1973

[備考] チシマザサ・クマイザサ

††††

Lophodermium arundinaceum (Schrader) Chevallier

長沢栄史・大谷吉雄:菌蕈研報 15:38, 1977

[備考] クマイザサ

††††

Marasmius graminum (Libert) Berkeley ヒメホウライタケ

安田 篤:植物学雑 29(340):169, 1915(大 4)

[備考] スズタケ

††††

Massarina pustulata I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:54, 1955

[備考] チュウゴクササ

††††

Massarina yezoensis I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:188, 1961

[備考] チシマザサ

††††

Massarinula gloeospora I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:899, 1958 ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:190, 1961

[備考] チシマザサ・チュウゴクザサ・カワカムリヤダケ

††††

Mazzantia yukawana (I. Hino & Katumoto) Tak. Kobayashi [*Phomatospora yukawana* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1190, 1959 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:155, 1970

[備考] シコクザサ

††††

Melchioria pseudosasae I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑 43(1):29, 1968

[備考] ヤダケ

††††

Melomastia yezoensis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:25, 1960

[備考] チシマザサ

††††

Micropeltella sasae I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 8:655, 1957

[備考] チュウゴクササ

††††

Muroia nipponica I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑 33(3):79, 1958

[備考] チシマザサ

††††

Nectria exigua I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:889, 1958
[備考] チマキザサ

††††
Nectria sasae-kurilensis S. Imai
今井三子:札幌博物学会報 14(2):103, 1935(昭 10)
[備考] チシマザサ

††††
Nectria variabilis Hara
原 攝祐:植物学雑 28:341, 1914(大 3)
[備考] ニッコウザサ上のカイガラムシに寄生

††††
Neopeckia japonica Sydow & Hara
出田 新:続日本植物病理学(上):271, 1925(大 14)
[備考] チシマザサ

††††
Peloronectriella sasae Yoshim. Doi
土居祥兌:科博研報 11:179, 1968
[備考] チシマザサ

††††
Phaeosphaeria arundinacea (Sowerby) Hedjaroude var. *brevispora* Nagasawa & Y. Otani
長沢栄史・大谷吉雄:菌蕈研報 15:38, 1977
[備考] チシマザサ・クマイザサ・ササの 1 種

††††
Phaeosphaeria sasicola Nagasawa & Y. Otani
長沢栄史・大谷吉雄:菌蕈研報 15:39, 1977
[備考] クマイザサ

††††
Phomatospora punctulata I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:898, 1958
[備考] ヤダケ

††††
Physalacria sasae Imai f. *sterilis* Kobayashi タマバリタケモドキ
小林義雄:植研雑 26(10):316, 1951
[備考] チシマザサ

††††
Physalacria sasae S. Imai タマバリタケ
今井三子:札幌博物学会報 13:385, 1934(昭 9)
[備考] オクヤマザサ(*Sasa cernua*)

††††

Polystigma haraeaeum Sydow

日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:77, 1958

[備考] ヤダケ

††††

Polystigma uniloculare I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:887, 1958

[備考] ヤダケ

††††

Pseudomassaria inaequalis (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Mycosphaerella inaequalis* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 8:657, 1957 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):84, 1965 ; 長沢栄史:菌蕈研報 10:462, 1973

[備考] チュウゴクササ・ミヤコザサ・クマイザサ

††††

Rosellinia muroiana I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:893, 1958

[備考] ミヤコザサ

††††

Roussoella hysteroioides (Cesati) Höhnelt var. *minuta* (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:61, 1955 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):85, 1965

[備考] チュウゴクササ。病菌の異名はマダケ類の項参照

††††

Roussoellopsis tosaensis (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Didymosphaeria tosaensis* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:62, 1955 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):87, 1965

††††

Tomasellia dispersa (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Didothia dispersa* I. Hino & Katumoto]

長沢栄史:菌蕈研報 10:463, 1973

[備考] クマイザサ

††††

Vermicularia straminis Berkeley & Harkn.

原 攝祐:植物学雑 27(317):253, 1913(大 2)

[備考] チシマザサ・ニッコウザサ。病菌は検討を要する

††††

Yoshinagella phyllostachydis I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:214, 1961

[備考] チュウゴクササ

チヂミザサ類
(*Oplismenus*)

Oplismenus spp.

(野草)

ケチヂミザサ *Oplismenus undulatifolius* (Arduino) Roem. & Schult.

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia flaccida Berkeley & Broome

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 539, 1992

[備考] チヂミザサ

斑点病 hanten-byo

Exserohilum sp.

西原夏樹: 草地試研究資料 2: 118, 1991

[備考] チヂミザサ

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps viridis Padwick & Azmatullah

丹田誠之助: 日菌報 33: 343, 1992

[備考] ケチヂミザサ

イネ(稲)

Rice

Oryza sativa L.

(食用作物)

萎縮病 ishuku-byo Dwarf, Stunt

Rice dwarf virus (RDV) イネ萎縮ウイルス

高田鑑三: 大日本農会報 171: 1, 1895(明 28); Fukushima, T.: Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc.: 35, 1931(昭 6); Fukushima, T.: J. Fac. Agric. Hokkaido Imp. Univ. 37: 41, 1934(昭 9); 新海 昭: 日植病報 26: 68, 1961

えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrosis mosaic (矮化症)

Rice necrosis mosaic virus (RNMV) イネえそモザイクウイルス

藤井新太郎ら: 日植病報 32(2): 82, 1966; 藤井新太郎ら: 日植病報 33(2): 105, 1967

黒すじ萎縮病 kurosuji-ishuku-byo Black-streaked dwarf (黒条萎縮病)

Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス

栗林数衛・新海 昭: 日植病報 16(1): 41, 1952; 新海 昭: 農技研報 C 11: 1, 1962; 北川良親・四方英四郎: 北大農邦文紀要 6: 439, 446, 1969

グラッシースタント病 grassy stunt-byo Grassy stunt (褐穂黄化病)

Rice grassy stunt virus (RGSV) イネグラッシースタントウイルス

岩崎真人・新海 昭: 日植病報 45(5): 741, 1979; 日比野啓行ら: 日植病報 48(3): 388, 1982; 和泉勝一: 九病虫研会報 29: 175, 1983

縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe (幽霊病, 縞枯病, 捻葉病)

Rice stripe virus (RSV) イネ縞葉枯ウイルス

上田栄次郎: 農商務省農試事務功程(大 2-4 年度): 41, 1917(大 6); 小金澤碩城ら: 日植病報 41(2): 148, 1975

トランジトリーイエローイング病 transitory yellowing-byo Transitory yellow dwarf (黄葉病)

Rice transitory yellowing virus#

斎藤康夫ら:日植病報 44(5):666, 1978

南方黒すじ萎縮病* nampo-kurosuji-ishuku-byo Southern black-streaked dwarf

Southern rice black-streaked dwarf virus (SRBSDV) イネ南方黒条萎縮ウイルス

酒井淳一ら:日植病報 77(1):33, 2011 ; 東 貴彦ら:日植病報 77(1):34, 2011

ラギッドスタント病 ragged stunt-byo Ragged stunt (せん(旋)葉萎縮症)

Rice ragged stunt virus (RRSV) イネラギッドスタントウイルス

新海 昭ら:日植病報 46(3):411, 1980 ; 日比野啓行ら:日植病報 45(2):228, 1979 ; 斎藤康夫:農林水産技術会議研究成果 169:32, 1985

わい化病 waika-byo Waika (わい性症状)

Rice tungro spherical virus (RTSV) イネ矮化ウイルス [Rice waika virus#]

西 泰道:植物防疫 27(7):282, 1973 ; 西 泰道ら:日植病報 40(3):209, 1974

黄萎病 oi-byo Yellow dwarf

Phytoplasma ファイトプラズマ

高知農試業務功程:62, 1919(大 8) ; 奈須壮兆ら:日植病報 33(5):343, 1967

かさ枯病 kasagare-byo Halo blight

Pseudomonas syringae pv. *oryzae* (ex Kuwata 1985) Young, Bradury, Davis, Dickey, Ercolani, Hayward & Vidaver 1991

桑田博隆:日植病報 51(2):212, 1985

褐条病 katsujo-byo Bacterial brown stripe

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 [*Pseudomonas avenae* Manns, *Bacterium panici* Elliott, *Pseudomonas panici* (Elliott) Stapp]

後藤和夫・大畑貫一:日植病報 21(1):46, 1956 ; 後藤正夫:静岡大農研報 14:3, 1964 ; 富永時任ら:日植病報 49(4):463, 1983

株腐病 kabugusare-byo Bacterial foot rot (株腐細菌病)

Dickeya zeae Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [*Erwinia chrysanthemi* pv. *zeae* (Sabet 1954) Victoria, Arboleda & Muñoz 1975]

後藤正夫:日植病報 49(4):576, 1983 ; 後藤正夫:日植病報 44(1):107, 1978

白葉枯病 shirahagare-byo Bacterial leaf blight (葉枯病)

Xanthomonas oryzae pv. *oryzae* (Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [*Pseudomonas oryzae* Uyeda & Ishiyama]

西田藤次:農事雑報 11(127):68, 1908(明 41) ; 石山信一:農事試報告 45:232, 1922(大 11)

内穎褐変病 naiei-kappen-byo Bacterial palea browning (内穎褐変症)

Pantoea ananatis (Serrano 1928) Mergaert, Verdonck & Kersters 1993 [*Pantoea agglomerans* (Beijerinck 1888) Gavini, Mergaert, Beji, Mielcarek, Izard, Kersters & De Ley 1989, *Erwinia ananas* Serrano 1928, *Erwinia herbicola* (Löhnis 1911) Dye 1964]

畔上耕児ら:農技研報 C 37:1, 1983 ; 尾崎克巳ら:関東病虫研報 28:20, 1981 ; 吉田浩之・安木睦夫:日植病報 47(3):398, 1981

苗立枯細菌病 nae-tachigare-saikin-byo Bacterial seedling blight

Burkholderia plantarii (Azegami, Nishiyama, Watanabe, Kadota, Ohuchi & Fukazawa 1987) Urakami, Ito-Yoshida, Araki, Kijima, Suzuki & Komagata 1994 [*Pseudomonas plantarii* Azegami, Nishiyama, Watanabe, Kadota, Ohuchi & Fukazawa]

畔上耕児ら:日植病報 52(1):91, 1986 ; 門田育生・大内 昭:日植病報 52(1):92, 1986 ; Azegami, K. *et al.*:Intern. J. Syst. Bacteriol. 37(2):144, 1987

もみ枯細菌病 momigare-saikin-byo Bacterial grain rot (籾枯性細菌病)

(1) *Burkholderia gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993

Ura, H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 72(2):98, 2006

(2) *Burkholderia glumae* (Kurita & Tabei 1967) Urakami, Ito-Yoshida, Araki, Kijima, Suzuki & Komagata 1994 [*Pseudomonas glumae* Kurita & Tabei]

後藤和夫・大畑貫一:日植病報 21(1):46, 1956 ; 後藤和夫・大畑貫一:日植病報 23(3):155, 1958 ; 栗田年代・田部井英夫:日植病報 33(2):111, 1967 ; 富永時任:農技研報 C 25:205, 1971

[備考] *P. syringae* pv. *aptata* によって本病類似症が起こる (西山幸司ら:日植病報 51:95, 1985 ; 後藤孝雄ら:日植病報 53(2):141, 1987)

葉しょう褐変病 yosho-kappen-byo Sheath brown rot (葉鞘褐変病)

Pseudomonas fuscovaginae Miyajima, Tanii & Akita 1983 [*Pseudomonas marginalis* (Brown) Stevens]

舟山広治・平野トシエ:日植病報 28(2):67, 1963 ; 宮島邦之・馬場徹代:日植病報 38(3):201, 1972 ; Miyajima, K. *et al.*:Int. J. Syst. Bacteriol. 33(3):656, 1983

[備考] 舟山・平野 (1963) は本細菌を *P. oryzicola* Klement と同定した

赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight (赤黴病, 節黒病, 黒点病)

(1) *Fusarium asiaticum* O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser

上垣隆一・月星隆雄:日植病報 80(1):24, 2014

(2) *Fusarium incarnatum* (Desmazières) Saccardo

上垣隆一・月星隆雄:日植病報 80(1):24, 2014

(3) *Fusarium sporotrichioides* Sherbakoff

上垣隆一・月星隆雄:日植病報 80(1):24, 2014

(4) *Gibberella zeae* (Schweinitz) Petch

原 攝祐:稲の病害:105, 1918(大 7)

[備考] 病原(4)の異名はオオムギ赤かび病参照

稲こうじ病 inakoji-byo False smut (稲麹病, 稲こおじ病)

Villosiclava virens (M. Sakurai ex Nakata) E. Tanaka & C. Tanaka [*Claviceps virens* M. Sakurai ex Nakata, *Claviceps oryzae-sativae* Hashioka, 不完全世代: *Ustilaginoidea virens* (Cooke) Takahashi]

堀 正太郎:植物学雑 7(78):209, 1893(明 26) ; 原田幸雄:日植病報 50:387, 1984 ; Tanaka, E. *et al.*:Mycotaxon 106:491, 2008 ; 田中栄爾ら:日植病報 75(3):233, 2009

[備考] Tanaka *et al.* (2008) は本菌に新属 *Villosiclava* をあてた

いもち病 imochi-byo Blast, Neck-rot (稲熱病)

Pyricularia oryzae Cavara [*Pyricularia grisea* (Cooke) Saccardo, *Piricularia oryzae* Cavara, *Dactylaria oryzae* (Cavara) Sawada]

白井光太郎:植物学雑 10(109):69, 1896(明 29) ; 西門義一:病菌害虫彙報 15:1, 1926(大 15) ; 山中 達:日植病報 48:245, 1982 ; Murata, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):66, 2014

[備考] 本菌の完全時代を *Magnaporthe grisea* (Hebert) Barr とする意見が多いが (加藤 肇・山口富夫:日植病報 45(1):121, 1979 ; 八重樫博志:植物防疫 35:521, 1981), 自然界ではイネ上で確認されていない

疫病 eki-byo

Phytophthora japonica G.M. Waterhouse [*Phytophthora oryzae* (S. Ito & Nagai) Waterhouse non (Brizi) Hara, *Pythiomorpha oryzae* S. Ito & Nagai]

伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭 6) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):264, 1978

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew (黄斑性萎縮病, 萎縮性黄斑病)

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan [*Phytophthora macrospora* (Saccardo) S. Ito & I. Tanaka, *Sclerospora oryzae* Brizi]

山田玄太郎:宮部記念植物学集説:381, 1912(大 1)

褐色菌核病 kasshoku-kinkaku-byo Brown sclerotium disease

Ceratobasidium setariae (Sawada) Oniki, Ogoshi & T. Araki [*Sclerotium oryzae-sativae* Sawada, *Rhizoctonia oryzae-sativae* (Sawada) Mordue, *Hypochnus setariae* Sawada]

遠藤 茂:植物病害研究 1:126, 1931(昭 6) ; 中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:64, 1939(昭 14) ; 鬼木正臣・荒木隆男:日菌報 27:147, 1986

[備考] 本菌を *Ceratobasidium oryzae-sativae* Gunnell & Webster とする説もある (Gunnell, P.S. & Webster, P.K: Mycologia 79:731, 1987 ; Sneh, B., Burpee, L. & Ogoshi, A ; Identification of *Rhizoctonia* species 133p., 1989)

褐色小粒菌核病 kasshoku-kotsubu-kinkaku-byo

Waitea circinata Warcup & P.H.B. Talbot [*Sclerotium oryzicola* Nakata & E. Kawamura, *Rhizoctonia zeae* Voorhees]

中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:137, 1939(昭 14) ; 鬼木正臣ら:日植病報 48(1):133, 1982

[備考] 病原菌の完全世代は赤色菌核病と同じであるが, 菌糸培養型および生育適温が異なる

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf spot, Leaf scald (雲形病)

Monographella albescens (Thümen) V.O. Parkinson, Sivanesan & C. Booth [*Metasphaeria albescens* Thümen, *Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Calonectria graminicola* Wollenweber, *Fusarium nivale* (Fries) Cesati f. sp. *graminicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen, *Microdochium oryzae* (Hashioka & Yokogi) Samuels & I.C. Hallet, *Gerlachia oryzae* (Hashioka & Yokogi) W. Gams & E. Müller]

岩切 嶺:防疫時報 17:13, 1950 ; 富永時任:日植病報 36(5):367, 1970

[備考] 橋岡良夫・池上八郎 (栃内・福土記念論文集:46, 1955) が記載した *Rhynchosporium oryzae* Hashioka & Yokogi による雲形病は本病と同一である。越水幸男ら:東北農試研報 39: 111, 1970, 内藤秀樹:東北農試研報 66: 101, 1982

褐色紋枯病 kasshoku-mongare-byo Brown sheath blight

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

渡辺文吉郎ら:九病虫研会報 23:22, 1977

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB 型。培養型が紋枯病菌と異なる

褐紋病 katsumon-byo

Nigrospora oryzae (Berkeley & Broome) Petch

富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):40, 1958

[備考] 陸稲に発生する

株枯病 kabugare-byo Fusarium blight

Gibberella fujikuroi (Sawada) Wollenweber [*Fusarium moniliforme* J. Sheldon]

鍵渡徳次・二宮 融:日植病報 23(1):40, 1958

[備考] 病原菌はばか苗病と同一だが, 陸稲に発生し症状が異なる。病原菌の異名はイネばか苗病参照

眼斑病 gampan-byo Eye spot

Drechslera gigantea (Heald & F.A. Wolf) S. Ito

本蔵良三・井上 徹:日植病報 54(1):91, 1988; 佐藤豊三ら:日植病報 54(1):91, 1988; Sato, T. *et al.*:Rept. Tottori Mycol. Inst. 28:175, 1990

黄枯病 kigare-byo

Pyrenochaeta oryzae Shirai

白井光太郎:農業大辞書 1:180, 1911(明 44)

[備考] 黄萎病を疑う説あり

球状菌核病 kyujo-kinkaku-byo Globular sclerotial disease

Sclerotium hydrophilum Saccardo [*Sclerotium sphaeroides* Nakata]

原 攝祐:実験作物病理学:165, 1930(昭 5); Widyastuti *et al.*:Bull. Fac. Agr., Saga Univ. 61:81, 1986

[備考] 原 攝祐 (稲の病害:45, 1959) は本菌に *Rhizoctonia microsclerotia* Matz を充てた

黒しゅ病 kokushu-byo Leaf smut (黒腫病, 胡麻葉病)

Entyloma dactylidis (Passerini) Ciferri [*Entyloma oryzae* Sydow & P. Sydow, *Ectostroma oryzae* Sawada, *Sclerotium phyllachoroides* Hara]

原 攝祐:病虫雑 2(11):948, 1915(大 4); 柿瀧 眞:筑波大農林研究 1:36, 1982

黒変病 kokuhē-byo Mold, Black mold

Cladosporium herbarum (Persoon) Link

出田 新:日本植物病理学:735, 1903(明 36)

[備考] すず紋病との関係不明。*C. herbarum* はにせいもち病の病原菌ともなっている

黒粒菌核病 kokuryu-kinkaku-byo Reddish-brown sheath rot

Helicoceras oryzae Linder & Tullis [*Helicoma echinosporium* S. Ito & R. Sasaki]

中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:140, 1939(昭 14)

小黒菌核病 koguro-kinkaku-byo Stem-rot, Culm rot

Helminthosporium sigmoideum Cavara var. *irregulare* Cralley & Tullis

中田覺五郎:作物病害図編:22, 1934(昭 9)

[備考] 小球菌核病を含めて小粒菌核病と称されている。病原菌の分類学的所属について再検討を要する

ごま葉枯病 goma-hagare-byo Brown spot, Helminthosporium leaf spot, Helminthosporium blight (胡麻葉枯病, 葉枯病, 苗焼病, 条斑病, 斑点病)

Cochliobolus miyabeanus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur [*Bipolaris leersiae* (G.F. Atkinson) Shoemaker, *Helminthosporium oryzae* Hori]

堀 正太郎:大日本農会報 380:6, 1913(大 2); 上山昭則ら:植物防疫 32:361, 1978

ささら病 sasara-byo

Sphaerulina miyakei Hara (ササラ病, 籾病)

原 攝祐:稲の病害:71, 1959

さび色小粒菌核病 sabi-iro-kotsubu-kinkaku-byo

Sclerotium sp.

舟山広治ら:北日本病虫研報 13:63, 1962; 舟山広治:日植病報 28(5):303, 1963

シナモン色かび病 *cinnamon-iro-kabi-byo* Cinnamon color mold

Peziza ostracoderma Korf [*Chromelosporium fulvum* (Link) McGinty, Hennebert & Korf]

向島博行・斉藤 毅:日植病報 60(6):776, 1994 ; 向島博行・斉藤 毅:日植病報 61(3):216, 1995

[備考] ポット式育苗で発生

小球菌核病 *shokyu-kinkaku-byo* Stem rot, Culm rot

Magnaporthe salvinii (Cattaneo) R.A. Krause & R.K. Webster [*Leptosphaeria salvinii* Cattaneo, *Nakataea sigmoidea* Hara, *Helminthosporium sigmoideum* Cavara, *Curvularia sigmoidea* (Cavara) Hara, *Sclerotium oryzae* Cattaneo, *Sclerotium microsphaeroides* Nakata]

中田覺五郎:作物病害図編 24, 1934(昭 9) ; 津田盛也・上山昭則:日植病報 45(1):103, 1979

[備考] 小黑菌核病を含めて小粒菌核病と称されている

白絹病 *shirakinu-byo* Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne, *Corticium centrifugum* (Léveillé) Bresàdola, *Athelia rolfsii* (Curzi) C.C. Tu & Kimbrough]

斎藤 正・古谷真二:日植病報 37(3):164, 1971

すじ葉枯病 *suji-hagare-byo* *Cercospora* leaf spot (条葉枯病)

Sphaerulina oryzina Hara [*Cercospora oryzae* I. Miyake, *Cercospora janseana* (Raciborski) Constantinescu]

三宅市郎:植物学雑誌 23:139, 1909(明 42)

すす病 *susu-byo* Sooty mold (煤病)

(1) *Cladosporium herbarum* (Persoon) Link

(2) *Neocapnodium tanakae* (Shirai & Hara) W. Yamamoto

(3) *Aureobasidium pullulans* (de Bary) G. Arnaud [*Dematium pullulans* de Bary, *Pullularia pullulans* (de Bary) Berkhout]

鏑方末彦:食用作物病学(上):24, 1949

[備考] ヨコバイ、ウンカの寄生に伴って発生する

すす紋病 *susumon-byo* *Brachysporium* blotch, Glume mold (煤紋病, ブラキスポリウム病)

Pseudocochliobolus lunatus (R.R. Nelson & F.A. Haasis) Tsuda, Ueyama & Nishihara [*Curvularia lunata* (Wakker) Boedijn]

伊藤誠哉・石山哲爾:札幌農林会報 96:218, 1929(昭 4)

[備考] 病原菌の異名はイネにせいもち病参照

すそ枯病 *susogare-byo*

病原未記載

下根長 鴻・松田 明:日植病報 51(3):330, 1985

[備考] 陸稲に発生。病原未同定

墨黒穂病 *sumi-kuroho-byo* Kernel smut

Tilletia barclayana (Brefeld) Saccardo & P. Sydow [*Tilletia horrida* Takahashi, *Neovossia horrida* (Takahashi) Padwick & A. Kahn, *Neovossia barclayana* Brefeld]

堀 正太郎:植物学雑誌 10(108):62, 1896(明 29) ; 高橋良直:植物学雑誌 10(109):16, 1896(明 29) ; 柿瀧 眞:筑波大農林研究 1:59, 1982

赤色菌核病 *sekishoku-kinkaku-byo* Bordered sheath spot, Rhizoctonia sheath spot

Waitea circinata Warcup & P.H.B. Talbot [*Rhizoctonia oryzae* Ryker & Gooch]

中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:126, 1939(昭 14) ; 鬼木正臣・酒井隆太郎:日植病報 44(3):348, 1978

立枯病 tachigare-byo Take-all

Gaeumannomyces graminis (Saccardo) Arx & D.L. Olivier var. *graminis*

原 攝祐:農業国 10(1), 1916(大 5) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):595, 1978

[備考] 病原菌の異名はオオムギ立枯病参照

†立枯病 tachigare-byo

Marasmius plicatus Wakker

澤田兼吉:台湾農事報 61:15, 1911(明 44)

[備考] 台湾

種もみ腐敗病* tanemomi-fuhai-byo (粃種腐敗病, 桃色種腐敗病)

(1) *Fusarium merismoides* Corda

(2) *Fusarium* sp.

大谷廣直:日植病報 3(1):74, 1934(昭 9) ; 原 攝祐:農及園 19(12):1085, 1944(昭 19)

[備考] 大谷 (1934) が病原菌としてあげた *Fusarium merismoides* Corda は *F. episphaeria* (Tode) Snyder & Hansen になるが, 本菌の病原性はないと考えられる。病原菌を *F. avenaceum* (Fries) Saccardo とする意見もある (小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):592, 1992)

苗腐病 naegusare-byo Seed and seedling rot (苗腐敗病, 粃種腐敗病, 苗綿腐敗病, 猫毛病)

(1) *Achlya americana* Humphrey

伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭 6)

(2) *Achlya flagellata* Coker

伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭 6) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):232, 1978

(3) *Achlya klebsiana* Pieters

宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):233, 1978

(4) *Dictyuchus sterilis* Coker

(5) *Pythiomorpha miyabeana* S. Ito & Nagai

[備考] *Phytophthora megasperma* Drechsler の異名

(6) *Pythiomorpha oryzae* S. Ito & Nagai

伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭 6)

[備考] *Phytophthora japonica* G.M. Waterh. の異名

(7) *Pythium* spp.

高橋勝太郎:病虫雑 5(5):357, 1918(大 7) ; 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭 6) ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:北大農紀 32:201, 1933(昭 8)

苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (苗いちょう病, ムレ病, 急性萎凋症, 萎凋性立枯病)

(1) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966

(3) *Rhizopus chinensis* Saito

(4) *Rhizopus oryzae* Went & Prinsen Geerligs [*Rhizopus nodosus* Namyslowski, *Rhizopus delemar* (Boidin) Wehmer & Hanzawa]

(5) *Rhizopus arrhizus* A. Fischer

(6) *Rhizopus javanicus* Y. Takeda

茨木忠雄:日植病報 39(2):141, 1973 ; 矢尾板恒雄ら:北陸病虫研報 24:60, 1976 ; 郷 直俊ら:北陸病虫研報 26:90, 1978

[備考] *R. chinensis* は *R. microsporus* v. Tieghem var. *chinensis* (Saito) Schipper & Sapers の異名。*R. arrhizus*,

R. javanicus は *R. oryzae* Went & Prinsen Geeligs の異名とする報告がある (Schipper, M.A.A.:Stud. Mycol. 25:1-34, 1984)

(7) *Trichoderma viride* Persoon ex S.F. Gray

茨木忠雄:日植病報 40(3):189, 1974

(8) *Mucor fragilis* Bainier

茨木忠雄:日植病報 42(3):332, 1976 ; 青木孝之:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):72, 1992

[備考] Schipper, M.A.A.(Stud.Mycol. 12:37, 1976) は本菌を疑問種にあげており, 分類学的検討を要する

(9) *Phoma* sp.

茨木忠雄:日植病報 43(3):316, 1977

(10) *Pythium arrhenomanes* Drechsler

戸田 武ら:日植病報 75(3):236, 2009 ; 松浦昌平ら:日植病報 78(4):301, 2012

(11) *Pythium catenulatum* V.D. Matthews

畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016

(12) *Pythium dissotocum* Drechsler

畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016

(13) *Pythium graminicola* Subramanian

梅原吉廣ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:植物防疫 38:218, 1984

(14) *Pythium inflatum* V.D. Matthews

畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016

(15) *Pythium irregulare* Buisman

加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984

(16) *Pythium marsipium* Drechsler

畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016

(17) *Pythium spinosum* Sawada

加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984

(18) *Pythium sylvaticum* W.A. Campbell & F.F. Hendrix

加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984

(19) *Phytopyrium litorale* (Nechwatal.) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque

畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016

[備考] *Pythium inflatum*, *P. torulosum*, *P. aristosporum* も関与しているとの報告がある (遠藤頼嗣・茨木忠雄:北日本病虫研報 37:189, 1986)

にせいもち病 nise-imochi-byo False blast (擬似いもち, 擬似稲熱病)

(1) *Alternaria oryzae* Hara

(2) *Epicoccum nigrum* Link [*Epicoccum purpurascens* Ehrenberg ex Schlechtendal]

(3) *Cladosporium herbarum* (Persoon) Link

(4) *Pseudocochliobolus lunatus* (R.R. Nelson & F.A. Haasis) Tsuda, Ueyama & Nishihara [*Cochliobolus lunatus* R.R. Nelson & F.A. Haasis, *Curvularia lunata* (Wakker) Boedijn, *Brachysporium oryzae* S. Ito & Ishiyama, *Curvularia oryzae* (Ito & Ishiyama) Hara]

田中一郎:水稻の病害:31, 1942(昭 17)

[備考] *Helminthosporium* 属菌によっても類似症状が起こるという報告がある (本蔵良三ら:北日本病虫研報 35:40, 1984)。病原性について再検討を要する

ねずみかび病 nezumikabi-byo Gray mold of glumes (鼠黴病, ネズミカビ病)

Alternaria oryzae Hara

原 攝祐:稲の病害:67, 1959

灰色菌核病 haiiro-kinkaku-byo Gray sclerotial disease

Ceratobasidium cornigerum (Bourd.) D.P. Rogers [*Sclerotium fumigatum* N. Nakata ex Hara, *Rhizoctonia* sp.]
原 攝祐:実験作物病理学:168, 1930 ; Widyastuti *et al.*:Bull. Fac. Agr., Saga Univ. 61:81, 1986

灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo

Hendersonia oryzae I. Miyake

三宅市郎:植物学雑誌 23(267):135, 1909(明 42)

[備考] 病原菌の所属について再検討を要する。*Hendersonia* 属は *Stagonospora* 属の異名とされている
(勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):559, 1992)

灰紋病 haimon-byo

Cladosporium miyakei Saccardo & Trotter

原 攝祐:稲の病害:74, 1959

[備考] 病原菌について再検討を要する。現在の発生状況は不明である

葉枯病 hagare-byo (胡麻斑病, 葉切病)

Phaeosphaeria oryzae I. Miyake [*Leptosphaerella oryzae* (I. Miyake) Hara, *Phoma oryzae* Hori, *Phyllosticta oryzaecola* Hara]

原 攝祐:稲の病害:51, 1959

[備考] 現在の発生状況は不明である

斑点病 hanten-byo Helminthosporium spot blotch

Cochliobolus sativus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur [*Bipolaris sorokiniana* (Saccardo) Shoemaker]

児玉不二雄ら:日植病報 45(4):503, 1979

[備考] 病原菌の異名はオオムギ斑点病参照。完全世代国内未発見

ばか苗病 bakanae-byo “Bakanae” disease (馬鹿苗病, おとこなえ)

Gibberella fujikuroi (Sawada) Wollenweber [*Gibberella moniliformis* Wineland, *Gibberella fujikuroi* (Sawada) S. Ito, *Fusarium moniliforme* J. Sheldon, *Lisea fujikuroi* Sawada]

堀 正太郎:農商務省農試農事試験成績 12(1):110, 1898(明 31) ; 伊藤誠哉・木村甚弥:北海道農事試報 27:1, 1931(昭 6)

ブラキスポリウム病 Brachysporium-byo

Curvularia senegalensis (Spegazzini) Subramanian [*Brachysporium senegalense* Spegazzini]

松浦 勇:日植病報 3(1):114, 1934(昭 9)

穂黒粒病 ho-kokuryu-byo

Epicoccum hyalopes I. Miyake

三宅市郎:東大農紀 2(4):264, 1910(明 43); 澤田兼吉:林試研 105:115, 1958; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):964, 1978

もみ枯病 momigare-byo Glume blight (粃枯病)

Phoma glumarum Ellis & Tracy [*Phyllosticta glumarum* (Ellis & Tracy) I. Miyake]

原 攝祐:稲の病害:73, 1959 ; 三宅市郎:東大農紀 2(4):252, 1910

[備考] 澤田兼吉 (林試研報 105:85, 1958) は *Trichothecium roseum* (Persoon) Link をもみ枯病菌としてあげている。Sutton (1980) は本菌の学名として *Phoma sorghinina* (Saccardo) Boerema, Dorenbosch & van Kesteren を提唱している (Sutton:The Coelomycetes:391, 1980)

紋枯病 mongare-byo Sheath blight (大粒白絹病, 大粒菌核病, 雲形病, 紋枯褐色菌核病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn, *Pellicularia sasakii* (Shirai) S. Ito,

Hypochnus sasakii Shirai, *Corticium sasakii* (Shirai) H. Matsumoto, *Sclerotium irregulare* I. Miyake]

鶴田章逸:病虫雑 3(3):192, 1916(大 6) ; 鬼木正臣ら:日植病報 46(3):391, 1980

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IA。渡辺文吉郎 (1977) は *T. cucumeris* f. sp. *sasakii* を用いた (日植病報 43:240)

葉しょう網斑病 yosho-amihan-byo Sheath net-blotch (葉鞘網斑病)

Cylindrocladium scoparium Morgan

松浦 義:病虫雑 29(6):286, 1942(昭 17) ; 青柳和雄:日植病報 27(3):147, 1962

葉しょう褐斑病 yosho-kappan-byo (葉鞘褐斑病)

Pyrenochaeta sp.

森 喜作ら:日植病報 28(5):296, 1963

葉鞘腐敗病 yosho-fuhai-byo Sheath rot (葉しょう腐敗病)

Sarocladium oryzae (Sawada) W. Gams & D. Hawksworth [*Acrocylindrium oryzae* Sawada]

河村栄吉:日植病報 10(1):55, 1940(昭 15) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):571, 1992 ; 那須英夫:日植病報 70(1):18, 2004 ; 那須英夫:日植病報 70(2):106, 2004

陸稲連作障害 rikuto-rensaku-shogai

Pythium graminicola Subramanian

松尾卓見ら:日植病報 47(3):386, 1981

†陸稲連作障害 rikuto-rensaku-shogai

†*Fusarium moniliforme* J. Sheldon emend. Snyder & Hansen

駒田 旦ら:日植病報 46(3):395, 1980

[備考] フィリピン

綿疫病 wata-eki-byo

Phytophthora sojae Kaufmann & Gerdemann [*Phytophthora megasperma* Drechsler var. *sojae* A.A. Hildebrand, *Pythiomorpha miyabeana* S. Ito & Nagai]

伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:50, 1931(昭 6) ; 桂 琦一:植物の疫病:77, 1971

ドロカナ dorokana (稲粃浮上病)

珪藻類による表土剥離

島田昌一:病虫雑 24(12):930, 1937(昭 12)

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Heterodera elachista Ohshima イネシストセンチュウ

岡田富信:昭 30 応動応昆合同大会講要:11, 1955 ; 一戸 稔:北日本病虫研究会資料 1:13, 1958 ; 岡田富信:農及園 35(9):1475, 1960 ; Ohshima, Y.:Jpn. J. Nematol. 4:51, 1974

[備考] 病原線虫は *H. oryzae* Luc & Berdon Brizuela とされたことがある (川島嘉内:北日本病虫研報 15:133, 1964)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Hirschmanniella oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Tylenchus apapillatus* Imamura, *Radopholus oryzae* (van Breda de Haan) Filipjev & Schuurmans Stekhoven, *Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

Imamura, S.:J. Coll. Agr., Imp. Univ. Tokyo 11:193, 1931(昭 6) ; 川島嘉内:植物防疫 16(2):57, 1962 ; 川島嘉内:北日本病虫研報 14:111, 1963 ; 川島嘉内・藤沼敏子:福島農試研報 1:57, 1965 ; 後藤三千代:山形農林会報

26:43, 1969

[備考] 1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

(2) *Hirschmanniella imamuri* Sher [*Tylenchus gracilis* Imamura] イマムラネモグリセンチュウ

Imamura, S.:J. Coll. Agr., Imp. Univ. Tokyo 11:193, 1931(昭 6) ; 後藤三千代:山形農林会報 26:43, 1969

[備考] 1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

心枯線虫病 shingare-sencku-byo White tip (黒糲病, はたるいもち)

Aphelenchoides besseyi Christie [*Aphelenchoides oryzae* Yokoo] イネシンガレセンチュウ

角田鷹次郎:病虫雑 2(3):214, 1915(大 4) ; 田中一郎・内田重義:病虫雑 28(3):193, 1941(昭 16) ; 吉井 甫:農及園 19(11):981, 1944(昭 19); 横尾多美男:日植病報 13(1-2):40, 1948; 西澤 務・弥富喜三:日植病報 20(1):33, 1955

[備考] 病徴の初記載は, 堀 正太郎:農業雑誌 25(36):561, 1900(明 33)。病原線虫は, *Tylenchus* sp., *Anguillulina* sp. とされたことがある

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 川越 仁・後藤重喜:九農研 22:114, 1960

[備考] 病原線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus zaei* Graham モロコシネグサレセンチュウ

後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

[備考] 根圏土壌から検出

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] 陸稲に発生

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] 陸稲に発生

青枯れ aogare

生理障害

吉野 実・村山 登:日土肥雑 33(12):533, 1962

青立病 aodachi-byo Straight head

生理障害

堀 正太郎:農商務省農試農事試験成績 9(1):319, 1896(明 29)

[備考] 堀 正太郎 (大日本農会報 394:52, 1914) は冷青立病を, 堀 正太郎 (農商務省農試農事試験成績 9(1):319, 1896) はひでり青立病(早青立病)を報告した

赤枯病 akagare-byo Stifle disease, Akagare (窒息病, 開田病)

生理障害

堀 正太郎:大日本農会報 487:47, 1921(大 10)

褐色葉枯症 kasshoku-hagare-sho Phosphorus excess

リン酸過剰

松本泰彦ら:関東病虫研報 24:16, 1977

カリ欠乏症 kari-ketsubo-sho Potassium deficiency (加里缺乏症)

カリ欠乏

松坂泰明ら:日土肥雑 33(3):125, 1962

カルシウム欠乏症 Calcium-ketsubo-sho Calcium deficiency

カルシウム欠乏

下瀬 昇:日土肥雑 35(4):148, 1964

苦土欠乏症 kudo-ketsubo-sho Magnesium deficiency

マグネシウム欠乏

後藤 恭:農及園 35(12):61, 1960

ケイ酸欠乏症 keisan-ketsubo-sho Silica deficiency (珪酸欠乏症)

ケイ酸欠乏

上田和雄・山岡 熟:日土肥雑 30(7):371, 1959

縞イネ shima-ine Variegation

生理障害

近藤萬太郎ら:農学会報 277:443, 1925(大 14)

マンガン欠乏症 mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency

マンガン欠乏

橋本重久ら:日土肥雑 29:505, 1959

もみ褐変病 momi-kappen-byo (粃褐変病)

生理病 (寒害)

伊藤誠哉:病虫雑 19(4):256, 1932(昭 7)

††白葉病 shiraha-byo (Hoja blanca)

Virus

後藤和夫:植物防疫 11(12):554, 1957

[備考] 中南米, カリブ海諸国

†ツングロ病 Tungro-byo

Rice tungro bacilliform virus と *Rice tungro spherical virus* (RTSV イネ矮化ウイルス)との重複感染

斎藤康夫ら:日植病報 42(3):375, 1976 ; Saito, Y. *et al.*:Proc. 5th Int. Cong. Virology:213, 1981

†オレンジリーフ病 orange leaf-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

Saito, Y. *et al.*:Plant Dis. Repr. 60(8):649, 1976

[備考] タイ, マレーシア

††条斑細菌病 Johan-saikin-byo Bacterial leaf streak

Xanthomonas oryzae pv. *oryzicola* (Fang, Ren, Chen, Chu, Faan & Wu 1957) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [*Xanthomonas campestris* pv. *oryzicola* (Fang, Ren, Chen, Chu, Faan & Wu) Dye]

小林敏郎・末次哲雄:植物防疫 36:349, 1982 ; Tominaga, T. *et al.*:Contr. Centr. Res. Inst. Agric. Bogor 48:1, 1978

[備考] フィリピン, タイ, マレーシア, インドネシア, ベトナム, カンボジア, インド, アフリカ, 中国南部, 台湾など

†赤条斑病 seki-jiyohan-byo Red stripe

Microbacterium sp.

加来久敏ら:日植病報 66(2):131, 2000 ; Kaku, H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 66(2):149, 2000 ; Dhitikianttipong, R.・加来久敏:日植病報 70(3):283, 2004

[備考] タイ, インドネシア

†褐斑病 kappan-byo (頭毛病)

Pestalotia kawakamii Sawada

澤田兼吉:台湾農事報 63:100, 1912(明 45)

[備考] 台湾

†††葉先白枯病 hasaki-shirogare-byo

††*Fusoma triseptatum* Saccardo

原 攝祐:稲の病害:116, 1918(大 7)

[備考] 発生, 病原菌について再検討を要する

†ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke (ウドバツタ病)

Balansia oryzae-sativae (Sydow) Narasimhan & Thirumalachar [*Ephelis oryzae* Sydow]

橋岡良夫:日植病報 33(2):82, 1967 ; 高山睦雄ら:植物防疫 36:343, 1982

[備考] インドベンガル湾諸国, 中国南部, シェラレオーネ, インドネシア

††葉節褐腐病 yosetsu-kappu-byo Collar rot

Phomopsis oryzae-sativae Punithalingam [*Ascochyta oryzae* Cattaneo]

橋岡良夫:日植病報 33(2):82, 1967 ; Ou, S. H.:Rice Diseases:242, 1985

[備考] タイ。病原菌は日本にも分布する

††††白穂病 shiraho-byo

病原未記載

田中一郎:北農講座 10:47, 1942(昭 17)

[備考] 病因不明。調査を要する

†††茶ざや病 chazaya-byo (茶鞘病)

††病原未記載

原 攝祐:実験作物病理学:183, 1930(昭 5)

[備考] 発生未確認。病原未同定。調査を要する

†Gall dwarf disease

Rice gall dwarf virus

大村敏博ら:日植病報 46(3):412, 1980 ; 大村敏博ら:日植病報 47(3):411, 1981

[備考] タイ

†

Rice yellow mottle virus

Tibanyendela, N. *et al.*:Jpn. J. Phytopathol. 78(3):232, 2012 ; 鵜家綾香ら:日植病報 78(3):233, 2012

[備考] タンザニア連合共和国・ウガンダ共和国。病名未提案

††††

†*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923

後藤正夫:日植病報 30(1):42, 1965

[備考] インドネシア

††††

Pseudomonas fluorescens (Trevisan 1889) Migula 1895

植松 勉・岩波節夫:日植病報 52(3):501, 1986 ; 植松 勉・岩波節夫:関東病虫研報 33:35, 1986

[備考] 直播栽培で発芽発根を抑制する *Pseudomonas fluorescens* の biovar 5 と考えられている

†Bacterial red stripe

病原細菌種名未定

Mogi, S. *et al.*:Abstr. ICPP-5:388, 1988

[備考] インドネシア。病名未提案

†††

(1) *Bipolaris hawaiiensis* (M.B. Ellis) J.Y. Uchida & Aragaki

(2) *Exserohilum rostratum* (Drechsler) K.J. Leonard & Suggs

(3) *Exserohilum* sp.

(4) *Myrothecium verrucaria* (Albertini & Schweinitz) Ditmar

(5) *Phoma* sp.

(6) *Pinatubo oryzae* J.B. Manandhar & Mew

迫田琢也ら:植防研報 46:89, 2010

[備考] (6) 以外, 合衆国, ベニン, フィリピン, 中国およびタイ産玄米付着・感染菌の接種によるイネでの発病確認

††††

Eurotium rubrum Konig, Spieckermann & Bremmer [*Aspergillus restrictus* G. Smith]

高橋治男ら:日菌報 28(1):43, 1987

[備考] 貯蔵中の玄米および白米を侵す

††††

Fusarium commune K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg

越智昭彦・横山克至:日植病報 79(1):20, 2013

††††

Leptosphaeria oryzaecola Hara [*Septoria oryzae* Cattaneo]

寺中理明ら:日植病報 48(1):19, 1982

[備考] 穂の変色部から分離・同定

††††

Leptosphaerulina oryzae (I. Miyake) Karan [*Pleosphaerulina oryzae* I. Miyake]

三宅市郎:東大農紀要 2(4):250, 1910(明 43) ; Karan, D.:Mycopath, Mycol. Appl. 24:88, 1964

イネ穀粒
Rice grain
Oryza sativa L.

(食用作物)

[参考] わが国で記録された病変米(米粒の病害)の種別は百数十種あることが報告されているが、病名を付されたものには次のようなものがある

エクワドル茶米 *Ecuador-cha-mai* Subtilis yellowsis rice

Bacillus subtilis (Ehrenberg 1835) Cohn 1872

角田 廣ら:食研報 10:69, 1955

えび米 *ebi-mai* Cinnamon speck of rice grains

病原細菌種名未定

三宅市郎・角田 廣:病虫雑 25(9):669, 1938(昭 13) ; 飯塚 広・駒形和男:日農化誌 37(2):77, 1963

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas cinnamona* (Miyake & Tsunoda 1938) Iizuka & Komagata 1963 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

黒しょく米 *kokushoku-mai* Black rot of rice grains (黒蝕米, 尻黒米)

(1) 病原細菌種名未定

[備考] 本細菌種名 *Xanthomonas itoana* (Tochinai) Dowson は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

(2) *Pantoea agglomerans* (Beijerinck 1888) Gavini, Mergaert, Beji, Mielcarek, Izard, Kersters & De Ley 1989

[*Enterobacter agglomerans* (Beijerinck) Ewing & Fife]

北海道農試:大正 7 年業務概要, 1921(大 10) ; 枅内吉彦:日植病報 2(5):453, 1932(昭 7) ; 富永時任:日植病報 39(3):191, 1973 ; 富永時任:植物防疫 27(9):379, 1973

[備考] アカヒゲホソミドリメクラガメの食害に伴って侵入し発病する。本菌 (1) を *Erwinia herbicola* (Löhnis) Dye の異名とする意見がある (谷井昭夫ら:日植病報 39:151, 1973)

土臭黄変米 *doshu-ohen-mai* Soil smelling yellowsis rice

Streptomyces flavovirens (Waksman 1923) Waksman & Henrici 1948

杉本貞三ら:日植病報 24(1):41, 1959 ; 角田 廣ら:食研報 14:58, 1959

目黒米 *meguro-mai* Black eye-spot of grains

病原細菌種名未定

三宅市郎・角田 廣:病虫雑 28(7):480, 1941(昭 16) ; 舟山広治:日本植物病原細菌目録:22, 1971

[備考] 本細菌種名 *Xanthomonas atroviridigenum* (Miyake & Tsunoda 1941) Funayama 1971 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

モナス性黄変米 *monasusei-ohen-mai* Rotted rice “Monas”

病原細菌種名未定

角田 廣:食研報 9:171, 1954 ; 飯塚 広・駒形和男:日農化誌 37(2):71, 1963

[備考] 本細菌種名 *Pseudomonas lacunogenes* Goresline 1933 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

イスランジア黄変米 *Islandea-ohen-mai* *Islandea* yellowsis rice (肝硬変米)

Penicillium islandicum Sopp

角田 廣:栄養雑 8(6):19, 1950 ; 角田 廣:食研報 8:41, 1953

黄斑米 *ohan-mai*

Aspergillus amstelodami (Margin) Thom & Church

鶴田 理・角田 廣:日植病報 19(1-2):88, 1954 ; 角田 廣・鶴田 理:食研報 10:61, 1955

黄変米 ohen-mai Yellowsis of rice grains

Penicillium citreoviride Biourge [*Penicillium toxicarium* I. Miyake]

三宅市郎ら:利用研究所報告 1:1, 1940(昭 15) ; 内藤 広:食研報 18:75, 1964

褐色米 kasshoku-mai Discoloured rice grains (黒色米, 暗色米, 茶米, 濃茶米, 淡茶米, 褐点米)

(1) *Curvularia intermedia* Boedijn, *Curvularia clavata* B.L. Jain, *Curvularia inaequalis* (Shear) Boedijn, *Curvularia lunata* (Wakker) Boedijn, *Curvularia ovoidea* (Hiroe & N. Watanabe) Muntanola-Cvetković

伊藤誠哉・石山哲爾:札幌農林学会報 21(96):218, 1929(昭 4) ; 竹谷宏二ら:日植病報 45(1):98, 1979 ; 梅原吉廣・中川俊昭:日植病報 46(3):369, 1980

(2) *Alternaria alternata* (Fries) Keissler, *Alternaria oryzae* Hara, *Alternaria* spp.

伊藤誠哉・石山哲爾:札幌農林学会報 21(96):218, 1929(昭 4); 梅原吉廣・中川俊昭:日植病報 46(3):369, 1980

(3) *Sarocladium oryzae* (Sawada) W. Gams & D. Hawksworth [*Sarocladium attenuatum* W. Gams & D. Hawksworth]

那須英夫ら:日植病報 50(3):386, 1984 ; 那須英夫:日植病報 70(2):106, 2004

[備考] 本病原はイネ葉鞘腐敗病菌である。(注)これにより *Cephalosporium* sp. は削除する

(4) *Phoma* spp.

那須英夫ら:日植病報 48(1):100, 1982

[備考] 内穎褐変病細菌, ごま葉枯菌病, 斑点病菌, 腹黒米菌, 紅変米菌によって褐色米が発生することがある。*Curvularia lunata* の異名はイネにせいもち病参照

紅変米 kohen-mai Pink coloring of rice grains

Epicoccum nigrum Link [*Epicoccum purpurascens* Ehrenberg ex Schlechtendal, *Epicoccum oryzae* S. Ito & Iwaware]

伊藤誠哉・石山哲爾:札幌農林会報 96:218, 1929(昭 4) ; 岩垂 悟:札幌農林会報 111:357, 1933(昭 8) ; 勝本謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):502, 1992

黒変米 kokuhen-mai Dark colorsis of grains

Aspergillus chevalieri (Mangin) Thom & Church

角田 廣・鶴田 理:日植病報 18(3-4):143, 1954 ; 鶴田 理:食研報 10:55, 1954

誤認黄変米 gonin-ohen-mai Misidentified yellowsis rice

Trichoderma sp.

角田 廣・鶴田 理:日植病報 18(1-2):78, 1953 ; 角田 廣・鶴田 理:食研報 9:163, 1954

シェイドモス米 sheido-mosu-mai

Aspergillus restrictus G. Smith

鶴田 理:穀類の病菌・害虫図鑑(保管研究会編)病菌:5, 1969(昭 44) ; 高橋治男ら:日菌報 28(1):43, 1987

白こうじ米 shirokoji-mai (白麴米)

Aspergillus candidus Link

鶴田 理:穀類の病菌・害虫図鑑(保管研究会編)病菌:4, 1969

赤変米 sekihen-mai Reddening of grains

Oospora sp.

原 攝祐:実験作物病理学:189, 1930(昭 5)

タイ国黄変米 taikoku-ohen-mai Thailand yellowsis rice

Penicillium citrinum Thom

角田 廣:食研報 8:77, 1953 ; 角田 廣:日植病報 18(3-4):143, 1954 ; 平山重勝:日植病報 18(3-4):144, 1954

ニカラガ茶米 *Nicaragua-cha-mai*

Aspergillus nidulans (Eidam) G. Winter

角田 廣・鶴田 理:日植病報 18(3-4):170, 1954

腹黒米 *haraguro-mai* Kernel discoloration (Haraguro-mai)

Trichoconiella padwickii (Ganguly) B.L. Jain [*Alternaria padwickii* (Ganguly) M.B. Ellis]

田村 實:石川農試特報 2:1, 1976

ビルマモス米 *Birma-mosu-mai*

Penicillium cyclopium Westling

角田 廣:病変米解説 7, 1954

ふけ米 *fuke-mai* Moldy rice grains

Absidia sp.

三宅市郎・高田一男:農商務省農試報告 45(2):71, 1922(大 11)

ベルジモス米 *beruji-mosu-mai*

Aspergillus versicolor (Vuillemin) Tiraboschi

角田 廣・鶴田 理:日植病報 19(3-4):181, 1955 ; 鶴田 理:穀類の病菌・害虫図鑑(保管研究会編)病菌:3, 1969

モス米 *mosu-mai*

Penicillium commune Thom

三宅市郎・高田一男:農商務省農試報告 45(2):1, 1922(大 11)

ルグロモス米 *ruguro-mosu-mai*

Penicillium rugulosum Thom

鶴田 理:穀類の病菌・害虫図鑑(保管研究会編)病菌:6, 1969

穿孔米 *senko-mai*

イネゾウムシ成虫の加害

石崎久次・松浦博一:北陸病虫研報 23:58, 1975

斑点米 *hanten-mai*

カメムシ類による被害

杉本達美:植物防疫 25(10):405, 1971

黒点米 *kokuten-mai* Black spotted rice kernels

Aphelenchoides besseyi Christie イネシンガレセンチュウ

上林 譲ら:愛知総農試研報 A3:46, 1971 ; 上林 譲ら:愛知総農試研報 A5:63, 1973

[備考] 線虫とともに数種の細菌が症状の発生に関与しているとする報告 (上林 譲ら:日線虫研誌 6:67, 1976 ; 西澤 務:日線虫研誌 6:73, 1976) がある

ヒエ(稗)

Barnyard millet, Japanese millet

Panicum crus-galli var. *frumentaceum* Hook.

[*Echinochloa crus-galli* var. *frumentaceum* Hook.]

(食用作物)

萎縮病 ishuku-byo Dwarf, Stunt
Rice dwarf virus (RDV) イネ萎縮ウイルス
中田覺五郎:作物病害図編:8, 1934(昭 9)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス
鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):23, 1972

いもち病 imochi-byo Blast (稲熱病)
Pyricularia sp. [*Piricularia* sp.]
富樫浩吾・川村正三:岩手農試彙報 8:3, 1942(昭 17)

褐斑病 kappan-byo Leaf spot
Phaeoramularia fusimaculans (G.F. Atkinson) X.J. Liu & Y.L. Guo [*Cercospora fusimaculans* G.F. Atkinson]
中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):20, 1928(昭 3) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992

黒穂病 kuroho-byo Smut
(1) *Ustilago crus-galli* Tracy & Earle
(2) *Ustilago sphaerogena* Burrill
(3) *Moesziomyces bullatus* (J. Schröter) Vánky [*Tolyposporium bullatum* J. Schröter]
西田藤次・前原最蔵:作物病害教科書:80, 1923 (大 12); 柿 寫 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992
[備考] *Ustilago crus-galli* によるものをから (稈) 黒穂病とすることもある (岩垂 悟:北海道農作物病害目録:49, 1973)

こぶ黒穂病 kobu-kuroho-byo
Ustilago crus-galli Tracy & Earle
兼平 勉ら:日植病報 46(1):108, 1980

すす紋病 susumon-byo (煤紋病)
Curvularia trifolii (Kauffman) Boedijn
高野喜八郎:日植病報 33(5):329, 1967
[備考] 病原菌の同定にはなお検討を要する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum echinocloae Moriwaki & Tsukiboshi [*Colletotrichum graminicola* (Cesati) G.W. Wilson]
澤田兼吉:台湾農試報 83(台湾菌類調査報告 7):158, 1942(昭 17) ; Moriwaki, J. & Tsukiboshi, T.:Mycoscience 50(4):273, 2009
[備考] 病原が広義の *C. graminicola* から新種として分割された

葉枯病 hagare-byo Leaf blight
Exserohilum monoceras (Drechsler) K.J. Leonard & Suggs [*Helminthosporium monoceras* Drechsler]
西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究):163, 1928(昭 3) ; 上山昭則ら:植物防疫 32:361, 1978

紋枯病 mongare-byo Sheath blight
Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

中田覺五郎:作物病害図編:6, 1934(昭 9)
[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958

[備考] 接種試験の結果

(3) 線虫未同定

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:8, 1946(昭 21)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

†細菌病 saikin-byo

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

[*Pseudomonas panici* (Elliott) Stapp]

中田覺五郎・明日山秀文:満州産業部資料 32(満州主要農作物病害調査報告):49, 1939(昭 14)

[備考] 中国東北部

†粘穂病 nensui-byo

Balansia andropogonis Sydow

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾菌類調査報告 10):6, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

††††

Bipolaris sp.

西原夏樹:草地試研究資料 2:111, 1991

[備考] 病徴と病原の記載不十分。接種試験未了

キビ(黍)

Common millet, Millet, Proso millet

Panicum miliaceum L.

(食用作物)

すじ萎縮病 suji-ishuku-byo Streaked dwarf (黒条萎縮病)

Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス

小菅喜久弥:植物防疫 20(7):298, 1966

モザイク病 mosaic-byo

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

范 永堅ら:日植病報 51(1):98, 1985

条斑細菌病 johan-saikin-byo Bacterial stripe (細菌性条斑病, 条斑性細菌病)

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

[*Bacterium panici-miliacei* Ikata, *Bacterium panici* Elliott]

鑄方末彦・山内己酉:病虫雑 18(1):30, 1931(昭 6) ; 後藤正夫・岡部徳夫:静岡大農研報 2:15, 1952

いもち病 imochi-byo Blast (稲熱病)
Pyricularia panici Hara [*Piricularia panici* Hara]
原 攝祐:実用作物病理学:592, 1925(大 14)

黒穂病 kuroho-byo Smut (黒穂)
Sporisorium destruens (Schlechtendal) Vánky [*Sorosporium panici-miliacei* (Persoon) Takahashi, *Sphacelotheca destruens* (Schlechtendal) J.A. Stevenson & Aar.G. Johnson]
高橋良直:植物学雑 16(189):247, 1902(明 35) ; 柿畠 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):587, 1992

長斑点病 naga-hanten-byo (葉枯病, 長形斑点病)
Bipolaris panici-miliacei (Y. Nisikado) Shoemaker [*Helminthosporium panici-miliacei* Y. Nisikado]
原 攝祐:実験作物病理学:593, 1925(大 14) ; 西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究):113, 1928(昭 3) ; 西門義一:病虫雑 16(1):1, 1929(昭 4)

葉枯病 hagare-byo Leaf spot
Phaeoramularia fusimaculans (G.F. Atkinson) X.J. Liu & Y.L. Guo [*Cercospora fusimaculans* G.F. Atkinson, *Cercospora panici-miliacei* Sawada]
澤田兼吉:台湾中央研農業部報告 51(台湾菌類調査報告 5):131, 1931(昭 6)

白斑葉枯病 hakuhan-hagare-byo Leaf blight
Fusarium spp.
宋 碩燦ら:日植病報 68(2):185, 2002

円斑点病 maru-hanten-byo (斑点病, 円形斑点病)
Bipolaris yamadae (Y. Nisikado) Shoemaker [*Helminthosporium yamadae* Y. Nisikado]
西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究):117, 1928(昭 3) ; 西門義一:病虫雑 16(1):1, 1929(昭 4)

紋枯病 mongare-byo Sheath blight
Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]
中田覺五郎・作物病害図編:6, 1934(昭 9)
[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958
[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

++++斑点病 hanten-byo
†*Phyllosticta sorghina* Saccardo
中田覺五郎・明日山秀文:満州産業部資料 32(満州主要農作物病害調査報告):38, 1939(昭 14)
[備考] 中国東北部

パニカム

Panicum

Panicum spp.

(牧草・芝草)

ブルーパニック, ジャイアントパニック Blue panic, Giant panic *Panicum antidotale* Retz.
バルブパニック, テキサスグラス Blub panic, Texas grass *Panicum bulbosum* H.B.K.
カラードギニアグラス, クライングラス Coloured guinea grass, Kleingrass *Panicum coloratum* L.
カブラブラグラス Kabulabula grass *Panicum coloratum* L. Kabulabula type
マカリカリグラス Makarikari grass *Panicum coloratum* L. var. *makarikariense* Goossens
オオクサキビ Fall panicum *Panicum dichotomiflorum* Michx.
ギニアグラス Guinea grass *Panicum maximum* Jacq.
グリーンパニック Green panic *Panicum maximum* Jacq. var. *trichoglume* Erbas
バインモスキート Vine mosquito *Panicum obtusum* H.B.K.
クーラーグラス (Panicum) *Panicum prolutum* F.V.M.
スイッチグラス Switchgrass *Panicum virgatum* L.

現在上記の草種が導入されている

ウイルス病 virus-byo

(1) *Rice black streaked dwarf virus* (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス

(2) *Sugarcane mosaic virus* (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

山本孝彦・勝部利弘:日植病報 48(1):114, 1982 ; 山本孝彦・勝部利弘:四国植防 17:65, 1982

ファイトプラズマ病 *phytoplasma-byo*

Phytoplasma ファイトプラズマ

山本孝彦・勝部利弘:日植病報 48(1):114, 1982

[備考] 病徴と電顕観察による記載

いもち病* imochi-byo Blast

(1) *Pyricularia* sp. (LS-group)

井上 興ら:九病虫研会報 45:131, 1999 ; 月星隆雄ら:日草誌 49(別):324, 2003 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:Plant Dis. 93(12):1350, 2009

[備考] ギニアグラス *P. maximum*。月星ら(2003)は本病菌を *P. grisea* としたが, *Pyricularia* sp.(LS-group) に訂正した(Tsukiboshi, *et al.*, 2009)

(2) *Pyricularia* sp.

八重樫博志・浅賀宏一:日植病報 46(3):364, 1980

[備考] クーラーグラスに発生

ごま葉枯病 goma-hagare-byo

Bipolaris sp.

月星隆雄ら:日草誌 49(別):324, 2003

[備考] ギニアグラス *P. maximum* に発生

すじ枯病 sujigare-byo

Helminthosporium sp.

西原夏樹:日植病報 32(2):64, 1966

[備考] スイッチグラスに発生。病原菌の所属は再検討を要する

葉腐病 hagusare-byo Summer blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

井上 興ら:日植病報 64(4):435, 1998

[備考] ギニアグラスに発生。菌糸融合群 AG-1

キビ類
(Panicum)
Panicum spp.
(野草)

ヌカキビ *Panicum bisculatum* Thunb.

ハイキビ *Panicum repens* L.

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

山中 達・西原夏樹:日植病報 42:74, 1976

[備考] ヌカキビ・ハイキビ

さび病* sabi-byo Rust

Uromyces linearis Berkeley & Broome

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:915, 1992

[備考] ハイキビ

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings

Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] ハイキビ。接種試験未了

パスパルム(スズメノヒエ)
Paspalum
Paspalum spp.
(牧草・芝草)

ダリスグラス(シマスズメノヒエ) Dallisgrass *P. dilatatum* Poir.

キシウスズメノヒエ(カリマタスズメノヒエ) Knotgrass *P. distichum* L.

バヒアグラス(アメリカスズメノヒエ) Bahiagrass *P. notatum* Flüge

ベージーグラス(タチスズメノヒエ) Vaseygrass *P. urvillei* Steud.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草のウイルス病に関する研究(東大出版会):46, 1972

褐条病 katsujo-byo Brown stripe

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

[*Pseudomonas avenae* Manns, *Pseudomonas alboprecipitans* Rosen]

富永時任:日植病報 37(5):368, 1971

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):125, 1962 ; 岡田 大ら:日植病報 41(1):109, 1975 ; 岡田 大ら:九州農業研究 37:96, 1975

[備考] 西原 (1962) はダリスグラスで, 岡田ら (1975) はバヒアグラスで記載

熱湯病* netto-byo

糸状菌の1種

新留伊俊:鹿児島農試創立 70 年記念報告:238, 1970 ; 西原夏樹:農林水産研究文献解題 8:455, 1981

[備考] バヒアグラス。病原菌は *Rhizoctonia* sp. とされるが, 未同定。病名は仮称

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, *Rhizoctonia rot* (紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):166, 1962

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps paspali F. Stevens & J.G. Hall [*Sclerotium paspali* Schweinitz, *Sphacelia paspali* Bornet]

西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):128, 1962 ; 福代和子・古田力:中国農試報告 E 6:91, 1970

[備考] ダリスグラス・ベージグラスおよびキシウスズメノヒエ

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

古賀博則ら:日植病報 59(6):732, 1993 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] ベージグラス。接種試験未了

植物寄生性線虫* shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella diversa Sher レンコンネモグリセンチュウ

高木素紀ら:関東病虫研報 63:98, 2016

[備考] キシウスズメノヒエに発生

++++斑点性病害 hantensei-byogai

病原未記載

寺中理明ら:九病虫研会報 15:19, 1970

[備考] ダリスグラス。病原菌未同定

スズメノヒエ類

(Paspalum)

Paspalum spp.

(野草)

スズメノヒエ *Paspalum thunbergii* Kunth ex Steud.

スズメノコビエ *Paspalum orbiculare* Forst.

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

山中 達:日植病報 48:245, 1982

[備考] *Paspalum* sp. に発生

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia paspalina Cummins

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 568, 1992

[備考] スズメノヒエ・スズメノコビエ

にせ炭疽病 nise-tanso-byo False anthracnose

Colletotrichum caudatum (Saccardo) Peck [*Ellisiella caudata* Saccardo]

西原夏樹: 日菌報 5(3):75, 1965

[備考] スズメノヒエに発生。病原菌の学名は Sutton, B.C.: The Coelomycetes: 531, 1980 を参照

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps paspali F. Stevens & J.G. Hall

丹田誠之助: 東農大農学集報 36:292, 1992

[備考] スズメノヒエ・スズメノコビエ。丹田はスズメノコビエ菌を *Claviceps paspali* var. *queenslandica* とした

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [*Ephelis* sp.]

月星隆雄ら: 日植病報 63(6):496, 1997 ; Tsukiboshi, T. *et al.*: JARQ 42(3):173, 2008

[備考] スズメノヒエ・スズメノコビエ。接種試験未了

パールミレット(トウジンビエ, 唐人稗)

Pearl millet

Pennisetum americanum (L.) Leeke

[*Pennisetum typhoides* (Burm.) Stapf & Hubb.]

(牧草・芝草)

ネピアグラス(ペルーグラス) Napier grass, Elephant grass *Pennisetum purpureum* Schumach.

すじ萎縮病 suji-ishuku-byo Streaked dwarf

Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス

鳥山重光・與良 清: イネ科植物とくに野草のウイルス病に関する研究(東大出版会):42, 1972

[備考] パールミレットに発生

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

鳥山重光・與良 清: イネ科植物とくに野草のウイルス病に関する研究(東大出版会):46, 1972

[備考] パールミレットに発生。ウイルス(未同定)によるウイルス病の最初の記載は、日野 巖: 宮崎高農学報 5:102, 1933

条斑細菌病 johan-saikin-byo

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902

田部井英夫・西原夏樹: 日植病報 23(1):43, 1958

[備考] パールミレットに発生

赤かび病 akakabi-byo Scab

Gibberella zeae (Schweinitz) Petch

西原夏樹: 日植病報 32(2):65, 1966 ; 西原夏樹: 農林省畜試研報 13:59, 1967

[備考] パールミレットに発生。病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照

黒穂病 kuroho-byo Smut

病原菌未定

中島 茂ら:宮崎大農研時報 4(1):85, 1958

[備考] パールミレットに発生とあるが調査を要する

ごま葉枯病 goma-hagare-byo Leaf spot

Bipolaris sacchari (E.J. Butler) Shoemaker

西原夏樹:日植病報 32(2):65, 1966 ; 西原夏樹:農林省畜試研報 11:23, 1966 ; 西原夏樹:農林省畜試研報 15:33, 1967

[備考] パールミレットとネピアグラスに発生。病原菌の異名はサトウキビ眼点病参照

さび病 sabi-byo Rust

病原菌未定

中島 茂ら:宮崎大農研時報 4(1):85, 1958

[備考] ネピアグラスに発生。米国では *Puccinia penniseti* Zimmermann の発生あり。調査を要する

しらが病 shiraga-byo Downy mildew

病原菌未定

中島 茂ら:宮崎大農研時報 4(1):85, 1958

[備考] パールミレットに発生。病原は *Sclerospora graminicola* (Saccardo) Schröter か。調査を要する

ひょう紋病 hyomon-byo Zonate leaf spot

Gloeocercospora sorghi D.C. Bain & Edgerton ex Deighton

西原夏樹:植物防疫 12(11):513, 1958

[備考] パールミレットに発生

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

[備考] パールミレットに発生

††††Cercospora leaf spot

Cercospora penniseti Chupp

香月繁孝:日菌報 7(2-3):101, 1966

キクユグラス

Kikuyu grass

Pennisetum clandestinum Hochst. ex Chiov.

(牧草・芝草)

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

山中 達・西原夏樹:日植病報 42(3):331, 1976

チカラシバ類

(*Pennisetum*)

Pennisetum spp.

(野草)

チカラシバ *Pennisetum alopecuroides* (L.) Spreng.

ごま葉枯病 goma-hagare-byo

Bipolaris sp.

西原夏樹:草地試研究資料 2:109, 1991

[備考] チカラシバ

ミイラ穂病 miiraho-byo Black choke

Ephelis japonica Hennings [Ephelis sp.]

月星隆雄ら:日植病報 63(6):496, 1997 ; Koga, H. *et al.*:Bull. RIAR, Ishikawa Agr. Coll. 6:45, 1999 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:JARQ 42(3):173, 2008

[備考] チカラシバ。接種試験未了

リードカナリーグラス(クサヨシ)

Reed canarygrass, Harding grass

Phalaris arundinacea L. *Phalaris stenoptera* Hack.

(牧草・芝草)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Reed canary mosaic virus# (RCMV) クサヨシモザイクウイルス

鳥山重光ら:日植病報 34(3):199, 1968 ; 鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):29, 1972

赤さび病* akasabi-byo Leaf rust

Puccinia sessilis W.G. Schneider ex J. Schröter var. *sessilis* [Puccinia sessilis W.G. Schneider]

伊藤誠哉:東北大(札幌)農紀 3(2):203, 1909(明 42) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):165, 1950 ; 平塚直秀・金子繁:菌蕈研報 21:61, 1983

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo [Pyricularia oryzae Cavara]

成田武四:北海道立農試報告 7:10, 1956 ; 富永時任:農技研報 C 25:192, 1971 ; 八重樫博志・浅賀宏一:日植病報 46(3):364, 1980

[備考] 成田武四ら (1956) は特殊環境条件での自然感染を報じた。病原菌の異名は Rossman, A.Y. *et al.*:Mycologia 82:509, 1990 を参照

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer [Erysiphe graminis de Candolle]

西原夏樹:日植病報 36(5):335, 1970 ; 西原夏樹:日植病報 38(4):359, 1972

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

田杉平司:日植病報 2(4):379, 1931(昭 6)

[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

褐斑病 kappan-byo Buff spot (葉枯病)

Stagonospora foliicola (Bresàdola) Bubák [Stagonospora vexata Saccardo var. *foliicola* Bresàdola]

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):149, 1962

[備考] 成田武四 (北海道における農作物病害:224, 1977) は葉枯病を採っている

冠さび病 kansabi-byo Crown rust, Leaf rust

Puccinia coronata Corda var. *coronata*

平塚利子:琉球大農家政工学術報告 5:42, 1958 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):152, 1962

[備考] 成田武四 (北日本病虫研報 23:36, 1972) は本菌に *P. coronata* Corda f. sp. *phalaridis* Klebahn を採用している

雲形病 kumogata-byo Scald

Rhynchosporium secalis (Oudemans) Davis f. sp. *phalaridis* Y. Iwata & Kajiware

尾添 茂:島根農試研報 1:32, 1956 ; 梶原敏宏・岩田吉人:農技研報 C 15:1, 1963

黒ごま病 kurogoma-byo Tar spot (黒点病)

Phyllachora phalaridis Orton

西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):147, 1962

なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt

Tilletia decipiens (Persoon) Körnicke [*Tilletia menieri* Hariot & Patouillard]

伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):91, 1936(昭 11) ; 柿 島 眞:筑波大農林研究 1:61, 1982

葉枯菌核病 hagare-kinkaku-byo Leaf rot

Sclerotium rhizodes Auerswald

成田武四:北海道における農作物病害:224, 1977

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):172, 1962

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

丹田誠之助・松涛誠道:東京農大農学集報 6(4):323, 1961 ; 平塚直秀・小谷英二:鳥取農学会報 2:57, 1930(昭 5) ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):153, 1962

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

佐久間 勉・成田武四:日植病報 25(1):61, 1960

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

Typhula incarnata Lasch (褐色小粒菌核病)

成田武四:北海道における農作物病害:224, 1977

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

†Leaf smut

Ustilago echinata Schröter

伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):34, 1936(昭 11)

[備考] 樺太, 千島。病名未提案。*U. striiformis* (Westendorp) Niessl の異名に *U. echinata* Ferraris があるが本菌とは異なる

クサヨシ類
(Phalaris)
Phalaris spp.
(野草)

クサヨシ *P. arundinacea* L.

シマクサヨシ *Phalaris arundinacea* L. var. *picta* L.

白葉枯病 shirahagare-byo

Xanthomonas oryzae pv. *oryzae* (ex Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [*Xanthomonas oryzae* (Uyeda & Ishiyama) Dowson]

吉村彰治ら:日植病報 24:6, 1959

[備考] クサヨシ

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia coronata* Corda var. *coronata*

Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:524, 1992

[備考] シマクサヨシ

(2) *Puccinia coronata* Corda var. *himalensis* Barclay

Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:529, 1992

[備考] クサヨシ

(3) *Puccinia moriokaensis* S. Ito

Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:562, 1992

[備考] クサヨシ

(4) *Puccinia sessilis* W.G. Schneider ex J. Schröter var. *sessilis*

Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:587, 1992

[備考] クサヨシ

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne var. *phalaridis* Tanda

丹田誠之助:東農大農学集報 24:79, 1979

[備考] シマクサヨシ

チモシー(オオアワガエリ)
Timothy
Phleum pratense L.
(牧草・芝草)

かさ枯病 kasagare-byo

Pseudomonas syringae pv. *atropurpurea* (Reddy & Godkin 1923) Young, Dye & Wilkie 1978

宮島邦之・斎藤 泉:日植病報 50(3):420, 1984

赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

西原夏樹:農林省畜試研報 13:59, 1967 ; 横山竜夫:菌類図鑑(宇田川俊一ら編):1055, 1978

赤葉枯病 akahagare-byo Narrow leaf spot

Rhynchosporina meinersii (R. Sprague) Arx [*Gloeosporium meinersii* R. Sprague]

成田武四:北海道立農試集報 7:58, 1961

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo [*Pyricularia oryzae* Cavara]

成田武四:北海道立農試報 7:10, 1956

[備考] 特殊環境下での発生。病原菌の異名は Rossman, A.Y. *et al.*: Mycologia 82:509, 1990 を参照

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer [*Erysiphe graminis* de Candolle]

成田武四ら:北海道における農作物病害:229, 1977 ; 佐藤幸生:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):76, 1992

[備考] ハウス内での発生

角斑病 kakuhan-byo Eye-spot

Pseudoseptoria stomaticola (Bäumler) B. Sutton [*Selenophoma donacis* (Passerini) R. Sprague & Aar.G. Johnson var. *stomaticola* (Bäumler) R. Sprague & A. Johnson]

成田武四:北海道立農試集報 7:58, 1961

[備考] 病原菌の異名はオオムギ角斑病参照

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight, Browning root rot

(1) *Pythium iwayamai* S. Ito

(2) *Pythium paddicum* Hirane

(3) *Pythium* spp.

斉藤 正:日草誌 3(3-4):74, 1958 ; 島貫忠幸:日植病報 43(1):108, 1977 ; 島貫忠幸:植物防疫 38(5):223, 1984

冠さび病 kansabi-byo Crown rust

Puccinia coronata Corda var. *coronata*

寺中理明ら:九病虫研会報 15:19, 1970

がまの穂病 gamanoho-byo Choke

Epichloë typhina (Persoon) Tulasne & C. Tulasne [*Neotyphodium typhinum* (Morgan-Jones & W. Gams) Glenn, C.W. Bacon & Hanlin]

成田武四:農薬の進歩 8(3):10, 1962 ; 富永時任:飼料作物の病気カラスライド集, 解説(農文協) 24, 1970

黄さび病 kisabi-byo Stripe rust

Puccinia striiformis Westendorp f. sp. *poae* Tollenaar & Houston [*Puccinia striiformis* Westendorp var. *striiformis*]

成田武四:日植病報 38(3):181, 1972

[備考] 病原菌の異名はオオムギ黄さび病参照。

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminicola* Z. Urban [*Puccinia phlei-pratensis* Eriksson & Henning]

伊藤誠哉:北大農紀 3(2):222, 1909(明 42) ; 成田武四:北海道立農試集報 2:54, 1958 ; 但見明俊:草地試研報 4:57, 1973

[備考] 本菌に *P. graminis* Persoon:Persoon f.sp. *phlei-pratensis* (Eriksson & Henning) Stakman & Piemeisel を採用する意見もある (但見 1973)

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Pink snow mold, Fusarium snow blight

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

成田武四:植物防疫 17(10):397, 1963

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

しらが病 shiraga-byo Downy mildew (露菌病, ささら病, 白髪病)

Sclerospora graminicola (Saccardo) J. Schröter

伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:149, 1936(昭 11)

すじ黒穂病 suji-kuroho-byo Stripe smut

Ustilago striiformis (Westendorp) Niessl

成田武四:北海道立農試集報 2:57, 1958

[備考] 病原菌の異名はレッドトップすじ黒穂病参照

すじ葉枯病 suji-hagare-byo Streak, Leaf streak, Brown leaf blight (煤葉病)

Scolecotrichum graminis Fuckel

梶原敏宏・岩田吉人:植物防疫 11(12):535, 1957

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

飯田 格ら:東北農試研報 37:5, 1969

鳥の目病 tori-no-me-byo Bird's-eye spot (白かび病)

Ovularia pusilla (Unger) P.A. Saccardo & D. Saccardo

成田武四:日植病報 37(5):404, 1971 ; 成田武四:北日本病虫研報 27:4, 1976

[備考] 病原菌の異名はレッドトップ鳥の目病参照。本菌を *Ramularia pusilla* Unger とする意見もあり

葉枯病 hagare-byo Leaf blight, Leaf blotch

Drechslera phlei (J.H. Graham) Shoemaker [*Helminthosporium phlei* (J.H. Graham) Scharif, *Helminthosporium dictyoides* Drechsler var. *phlei* J.H. Graham]

西原夏樹:日植病報 25(5):240, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):54, 1962

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot, Brown patch (紋枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:植物防疫 17(10):397, 1963

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo Purple spot (紡錘斑病)

Cladosporium phlei (C.T. Gregory) G.A. de Vries [*Cladosporium phlei-pratensis* Sawada, *Heterosporium phlei* C.T. Gregory]

成田武四:北海道立農試集報 2:52, 1958 ; 澤田兼吉:林試研報 105:96, 1958

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):154, 1962 ; 成田武四:北海道における農作物病害:228, 1977

ひょう紋病 hyomon-byo Zonate leaf spot

Gloeocercospora sorghi D.C. Bain & Edgerton ex Deighton

西原夏樹:日植病報 43(1):121, 1977

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]
佐久間 勉・成田武四:日植病報 25(1):61, 1960 ; 成田武四:北海道立農試集報 7:60, 1961
[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

成田武四:北海道立農試集報 7:61, 1961

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

††条斑細菌病 johan-saikin-byo Bacterial stripe

Xanthomonas translucens pv. *phleipratensis* (Wallin & Reddy 1945) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995

[*Bacterium translucens* var. *phleipratensis* (Wallin & Reddy) Okabe 1945, *Xanthomonas campestris* pv. *phleipratensis* (Wallin & Reddy 1945) Dye 1978]

岡部徳夫:植物細菌病学:395, 1949

[備考] 国内発生未詳

†††根腐病 negusare-byo

藻菌類の1種

北海道農試牧草3研:北農 38(1):13, 1971

[備考] 記載不十分。調査を要する

ヨシ類
Common reed
Phragmites spp.
(野草)

ヨシ *Phragmites communis* Trin.

ツルヨシ *Phragmites japonica* Steud.

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia moriokaensis* S. Ito

平塚直秀:琉球大農家政工学報 7:261, 1960 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:562, 1992

[備考] ヨシ・ツルヨシ。クサヨシに寄生とあるのは疑問

(2) *Puccinia okatamaensis* S. Ito

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:566, 1992

(3) *Puccinia phragmitis* (Schumacher) Körnicke

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:570, 1992

(4) *Puccinia trabutii* Roumeguère & Saccardo var. *abei* (Hiratsuka, f.) Cummins

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:595, 1992

[備考] ヨシ

赤色菌核病 sekishoku-kinkaku-byo

Waitea circinata Warcup & P.H.B. Talbot [*Rhizoctonia oryzae* Ryker & Gooch]

中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:136, 1939(昭 14)
[備考] ヨシ

なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt
Neovossia danubialis Sâvulescu
Terui, M. & Harada, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 15:215-217, 1974
[備考] ヨシ

麦角病 bakkaku-byo Ergot
Claviceps microcephala (Wallroth) Tulasne
丹田誠之助:東農大農学集報 22:193, 1977
[備考] ヨシ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ
川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963
[備考] ヨシに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

マダケ類
(竹笹類)

ホテイチク(布袋竹) *Phyllostachys aurea* (Sieb.) Carr.
マダケ(苦竹) *Phyllostachys bambusoides* Sieb. & Zucc.[*Phyllostachys reticulata* K. Koch]
モウソウチク(孟宗竹) *Phyllostachys heterocycla* (Carr.) Mitf. var. *pubescens* (Mazel) Ohwi
ヒメハチク *Phyllostachys humilis* Makino
タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) *Phyllostachys makinoi* Hayata
クロチク(黒竹) *Phyllostachys nigra* (Lodd.) Munro
ハチク(淡竹) *Phyllostachys nigra* (Lodd.) Munro var. *henonis* (Bean) Stapf

††††てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom
†‘*Candidatus* Phytoplasma asteris’
Jung, H-Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 72(4):261, 2006
[備考] 韓国。ハチク (*Phyllostachys nigra* Munro var. *henonis*) に発生

赤かび病* akakabi-byo Scab
Gibberella zeae (Schweinitz) Petch [*Gibberella saubinetii* (Montagne) Saccardo]
原 攝祐:植物学雑 27(317):247, 1913(大 2) ; 日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 12:57, 1967
[備考] マダケ

赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (朱病, 赤渋病, 竹蓐病, すずめのたまご)
Stereostratum corticioides (Berkeley & Broome) H. Magnusson
安田 篤:植物学雑 31(364):95, 1917(大 6) ; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):34, 1905(明 38) ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 272, 1961
[備考] モウソウチク・マダケ・ハチク・キンケイチク。病菌の異名はカンチク赤衣病参照

赤だんご病 akadango-byo Reddish bamboo-apple
Shiraia bambusicola Hennings
原 攝祐:岐阜県農会雑 21(4):25, 1909(明 42) ; 出田 新:日本植物病理学(上):239, 1909(明 42)

[備考] マダケ・ハチク・コウチク(*P. nidularia*)・キンケイチク(*P. bambusoides* f. *castillonis*)

いもち病* imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

糸井節美ら:日植病報 44:346, 1978

[備考] マダケ・ハチク・クロチク

裏黒点病 ura-kokuten-byo (黒粒点病, 黒点病)

Coccidiella arundinariae Hara [*Coccoidea sinobambusae* Sawada, *Coccidiopsis arundinariae* (Hara) Hara, *Coccostroma arundinariae* (Hara) Teng, *Coccostromopsis bambusae* Sawada] タケクロイボカビ

原 攝祐:植物学雑 27(317):248, 1913(大 2); 勝本 謙:植研雑 43:280, 1968

[備考] マダケ・ハチク・ホテイチク

雲紋病 ummon-byo Leaf blotch

(1) *Coniothyrium bambusae* I. Miyake & Hara

原 攝祐:岐阜県農会報 21(5):30, 1909(明 42); 三宅市郎・原 攝祐:植物学雑 24(287):353, 1910(明 43)

[備考] ハチク・マダケ・ネマガリダケ。病菌の所属は再検討を要する

(2) *Metasphaeria phyllostachydis* Hara

原 攝祐:日本害菌学:203, 1936(昭 11); 原 攝祐:植物学雑 27(317):250, 1913(大 2)

[備考] マダケ

円斑病 enhan-byo Diplodia leaf spot

Diplodia maculans I. Miyake & Hara [*Microdiplodia maculata* (I. Miyake & Hara) Saccardo]

原 攝祐:樹病学各論:226, 1923(大 12); 三宅市郎・原 攝祐:植物学雑 24(287):353, 1910(明 43)

[備考] ハチク

褐色雲紋病 kasshoku-ummon-byo Culm blotch

(1) *Microthelia fuscomaculans* (W. Yamamoto) E. Müller [*Astrosphaeriella fuscomaculans* W. Yamamoto]

山本和太郎ら:兵庫農大研報・農学編 1(2):63, 1954; 山本和太郎:森林防疫ニュース No.33:383, 1954; 日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 12:57, 1967

[備考] ハチク

(2) *Microthelia fusispora* (Sydow & P. Sydow) E. Müller [*Astrosphaeriella fusispora* Sydow & P. Sydow]

原 攝祐:植物学雑 27(321):422, 1913(大 2); 日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 12:57, 1967

[備考] モウソウチク・マダケ

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Phaeosphaeria bambusae I. Miyake & Hara

原 攝祐:日本害菌学:195, 1936(昭 11)

[備考] マダケ・メダケ・ヤダケ。病菌の異名はナリヒラダケ褐斑病参照

黒穂病 kuroho-byo Smut

Ustilago shiraiana Hennings [*Cintractia bambusae* Miyake & Hori]

Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. 1(1):73, 1905(明 38); 松村任三:帝国植物名鑑(上):183, 1904(明 37); 柿 瀧 眞:筑波大農林学研究 1:91, 1982

[備考] コモウソウチク・マダケ・ハチク・ホテイチク・キッコウチク(*P. heterocycla*)・タイワンマダケ

黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (腫状病, 黒腫病)

(1) *Melasmia phyllostachydis* Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):254, 1913(大 2)

[備考] モウソウチク・マダケ

(2) *Phragmocarpella japonica* Hara

原 攝祐:樹病学各論:85, 1923(大 12)

[備考] マダケ

(3) *Phyllachora phyllostachydis* Hara

北島君三:樹病学及木材腐朽論:51, 1933(昭 8) ; 原 攝祐:植物学雑誌 27(317):248, 1913(大 2)

[備考] マダケ・ハチク・マダケ上に記載された *Phyllachora graminis* (Persoon) Fuckel(吉野毅一:植物学雑誌 19(224):208, 1905(明 38)及び *P. shiraiana* Sydow(三宅市郎・原 攝祐:植物学雑誌 24(286):335, 1910(明 43)も本種であると考えられる

黒色立枯病 kokushoku-tachigare-byo Black culm rot

Glomerella hsienjenchang (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa [*Gnomonia hsienjenchang* I. Hino & Katumoto, 不完全世代: *Colletotrichum hsienjenchang* Hino & Hidaka]

日野 巖・日高 醇:宮崎高農学術報 6:93, 1934(昭 9) ; 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:896, 1958 ; Sato, T. et al.:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012

[備考] マダケ・ハチクに発生

黒点病* kokuten-byo Black speck

(1) *Micropeltis kyusyuensis* I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑誌 41(10):293, 1966

[備考] マダケ

(2) *Schizothyrium disseminatum* (I. Hino & Katumoto) Katumoto [*Microthyriella disseminata* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 8:653, 1957 ; 勝本 謙:山口大農学術報 26:91, 1975

[備考] マダケ

(3) *Stomiopeltis japonica* (I. Hino & Katumoto) Batista [*Chypeolum japonicum* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:39, 1955 ; 勝本 謙:山口大農学術報 26:68, 1975

[備考] ハチク

小だんご(団子)病 kodango-byo Grayish bamboo-apple (斑穂病)

Mycocitrus phyllostachydis (Sydow) Yoshim. Doi [*Hypocreopsis phyllostachydis* (Sydow) I. Miyake & Hara, *Shiraiella phyllostachydis* (Sydow & P. Sydow) Hara, *Ustilaginoidea phyllostachydis* Sydow]

出田 新:日本植物病理学(下):901, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑誌 15(171):98, 1901(明 34) ; 土居祥兌:科博研報 10(1):31, 1967

[備考] モウソウチク・マダケ・クロチク・ハチク

虎斑病 kohan-byo

Leptosphaeria tigrisoides Hara

原 攝祐:実験樹木病害篇:331, 1927(昭 2)

[備考] マダケ

ごま竹病 gomatake-byo (黒点病)

(1) *Apiospora muroiana* I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:20, 1960

[備考] マダケ

(2) *Apiospora phyllostachydicola* I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 15:506, 1964

[備考] マダケ・タイワンマダケ(*P. makinoi*)

(3) *Apiospora shiraiana* (I. Miyake & Hara) Hara

三宅市郎・原 攝祐:植物学雑誌 24(286):336, 1910(明 43) ; 原 攝祐:日本菌類目録:19, 1954

[備考] モウソウチク・マダケ・タイワンマダケ・ホテイチク。病菌の異名はトウチクごま竹病参照
(4) *Melanconium* sp.

紺谷修治:森林防疫 28:221, 1979

[備考] モウソウチク

(5) *Scyphospora phyllostachydis* L.A. Kantschaweli

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:259, 1961

[備考] ハチク・ヒメハチク

†ごま竹病 gomatake-byo

Lasmenia phyllostachydis Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87:60, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。タイワンマダケ

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Puccinia nigroconoidea* I. Hino & Katumoto [*Aecidium akebiae* Hennings]

伊藤一雄:樹病学大系 3:14, 1974 ; 内田正之助:目白学園女短大紀要 2:26, 1965 ; 平塚直秀・金子 繁:菌蕈研報 15:7, 1977

[備考] クロチク・ハチク。さび胞子世代は *Akebia* 属(ゴヨウアケビ・アケビ・ミツバアケビ)に寄生してさび病を起こす

(2) *Puccinia phyllostachydis* Kusano [*Puccinia kusanoi* auct. non Dietel., *Uredo arundinariae* auct. non Sydow & P. Sydow]

原 攝祐:樹病学各論:171, 1923(大 12) ; 草野俊助:東大農紀要 8:2, 1908(明 41)

[備考] マダケ・ハチク・ホテイチク・オウゴンチク(*P. bambusoides* var. *holochrysa*)・カシロダケ(*P. bambusoides* f. *kashirodake*)・キンメイチク・ギンメイハチク(*P. aurea* var. *flavesuns-inversa*)・コンシマダケ(*P. bambusoides* f. *subvariegata*)・シボチク(カタシボ)(*P. bambusoides* var. *marliacea*)・ムツオレダケ(*P. bambusoides* f. *geniculata*)に発生。マダケ上に記載された *Dasturella divina* (Sydow) Mundkur & Kheswalla(島袋俊一:琉大農家政学術報 8:49, 1961)は *Tubeufia* sp. が重複寄生した *Puccinia phyllostachydis* の夏胞子層を誤認したものである(勝本 謙:山口大農学術報 19:1146, 1968)

すす点病* susuten-byo Fly-speck

(1) *Leptothyrium japonicum* Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):253, 1913(大 2)

[備考] マダケ

(2) *Zygophiala jamaicensis* E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] マダケ。(1)との異同について検討を要する

すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Capnodium elongatum* Berkeley f. *phyllostachydis* Saccardo

原 攝祐:植物学雑 27(317):246, 1913(大 2)

[備考] ハチク

(2) *Triposporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto [*Aithaloderma phyllostachydis* Hara, *Chaetothyrium spinigerum* (Höhnelt) W. Yamamoto, *Meliola stomata* Hara, *Meliolina stomata* (Hara) Hara]

原 攝祐:樹病学各論:30, 1923(大 12) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 1(1):46, 1953

[備考] マダケ・ハチク・タイワンマダケ

†すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew

(1) *Chaetothyrium echinulatum* W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 21:167, 1956

[備考] 台湾。タイワンマダケ

(2) *Meliola phyllostachydis* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):26, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。タイワンマダケ・モウソウチク

(3) *Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3):262, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。タイワンマダケ

(4) *Scorias communis* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957

[備考] 台湾。タイワンマダケ

たけのこ菌核病 takenoko-kinkaku-byo Sclerotium disease of bamboo-shoot

Sclerotium japonicum Endo & Hidaka

遠藤 茂・日高 醇:宮崎高農学術報 8:81, 1935(昭 10)

[備考] マダケ・ハチク

たけのこ立枯病 takenoko-tachigare-byo Fusarium rot of bamboo-shoot

(1) *Fusarium bambusicola* Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):255, 1913(大 2)

[備考] マダケ

(2) *Fusarium* sp.

帝室林野林試:森林病虫害図説病害篇 5:7, 1944(昭 19)

[備考] モウソウチク

立枯病 tachigare-byo Culm rot (水枯病)

Gibberella phyllostachydicola S. Yamamoto [不完全世代: *Fusarium phyllostachydicola* W. Yamamoto]

山本和太郎:日菌報 3:118, 1962 ; 山本和太郎ら:兵庫農大研報農生編 3(1):15, 1957

[備考] マダケ

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病)

Gloeosporium sphaerosporum Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):254, 1913(大 2)

[備考] マダケ

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (蔓自然枯病, すずめの巢病)

Aciculosporium take I. Miyake [不完全世代: *Albomyces take* Miyake, *Balansia take* (Miyake) Hara, *Mitosporium take* Clements & Shear]

三宅市郎:植物学雑 22(259):305, 1908(明 41) ; 篠原正行:日大農獣医学術研報 21:42, 1965

[備考] マダケ・ハチク・シボチク

斑点病 hanten-byo (葉斑点病)

Mycosphaerella bambusifolia I. Miyake & Hara

原 攝祐:樹病学各論:106, 1923(大 12) ; 三宅市郎・原 攝祐:植物学雑 24(286):338, 1910(明 43)

[備考] マダケ・ハチク

縁枯病 herigare-byo

Phyllosticta take I. Miyake & Hara

原 攝祐:樹病学各論:216, 1923(大 12) ; 三宅市郎・原 攝祐:植物学雑 24(287):351, 1910(明 43)

[備考] マダケ

シスト線虫病* *cyst-senchu-byo*
Heterodera sp. シストセンチュウの1種
中園和年ら:平5 昆虫応動昆合同大会講要:155, 1993

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode
Helicotylenchus erythrinae (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ
中西喜徳:関西病虫研報 14:106, 1972
[備考] マダケ。根圏土壌から検出

開花病 *kaika-byo* Anomalous flowering (自然枯, 開花枯死)
生理障害
堀 正太郎:農試報 38:1, 1911(明 44)
[備考] モウソウチク・マダケ・ハチク・クロチク

水枯病 *mizugare-byo* Water-pool disease (貯水病)
生理障害
北島君三:日林誌 25:1, 1924(大 13)
[備考] マダケ。病原として *Cylindrosporium bambusae* Miyake & Hara, *Gibberella phyllostachydicola* Yamamoto, *Stereostratum corticioides* (Berkeley & Broom) Magnus があげられたことがあるが、いずれも確認されていない

††††ウイルス病 *virus-byo* Mosaic
病原未記載
日野 巖:北方林業 5:246, 1953
[備考] マダケ。詳細不明

†漆黒病 *sikkoku-byo*
Vermicularia nigronitensis Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 85:70, 1943(昭 18)
[備考] 台湾。タイワンマダケ

††††
Amphisphaeria hiugensis I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:271, 1956
[備考] マダケ

††††
Amphisphaeria minutula I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:227, 1954
[備考] マダケ

††††
Amphisphaeria muroiana (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Schizothyrium muroianum* Hino & Katumoto]
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:895, 1958 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 41(10):296, 1966
[備考] マダケ

††††
Amyliroa haraeana I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:48, 1955
[備考] マダケ

††††

Anthostomella sasae Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):251, 1913(大 2)

[備考] モウソウチク・マダケ

††††

Arthrobotryum austrojaponicum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 15:508, 1964

[備考] ウサンチク (*Phyllostachys aurea* f. *takemurai*)

††††

Astrocystis mirabilis Berkeley & Broome

原 攝祐:菌類 1(3-4):106, 1931(昭 6)

[備考] マダケ

††††

Astrotheca nigrocornis I. Hino

日野 巖:宮崎高農学術報 10:57, 1938(昭 13)

[備考] マダケ

††††

Brachysporiella gayana Batista

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:18, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Calospora atropustulata I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:56, 1955

[備考] マダケ

††††

Camarosporium phyllostachydis I. Miyake & Hara

三宅市郎・原 攝祐:植物学雑 24(287):354, 1910(明 43)

[備考] マダケ・ハチク

††††

Campanella junghuhnii (Montagne) Singer [*Campanella cucullata* (Bresàdola) Lloyd] アミヒダタケ

安田 篤:植物学雑 35(413):120, 1921(大 10) ; 小林義雄:服部植研報 8:2, 1953

[備考] マダケ

††††

Caryospora phyllostachydis (Hara) I. Hino & Katumoto [*Amphisphaeria phyllostachydis* Hara]

原 攝祐:病虫雑 5(5):350, 1918(大 7) ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):82, 1965

[備考] マダケ。病菌は *Caryospora langloisii* Ellis & Everhart との異同について検討を要する

††††

Chaetosphaeria nagatensis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:224, 1954

[備考] ハチク

††††

Chaetosphaerulina vermicularispora I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:225, 1954

[備考] マダケ。病菌の学名は *Herpotrichia vermicularispora* (Hino & Katumoto) Pirozynski とされている

††††

Chloridium matsushimae W. Gams & Holubova-Jechova [*Chloridium* sp.]

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:29, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Cladosporium herbarum (Persoon) Link

原 攝祐:植物学雑 27(317):255, 1913(大 2)

[備考] *Phyllostachys* sp.

††††

Collodiscula japonica I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:55, 1955

[備考] マダケ

††††

Conioscypha bambusicola Matsushima

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:38, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Coniosporium pulvinatum A.L. Smith

原 攝祐:植物学雑 27(317):254, 1913(大 2)

[備考] マダケ

††††

Coniosporium punctiforme Saccardo

原 攝祐:植物学雑 27(317):255, 1913(大 2)

[備考] マダケ・ハチク

††††

Cordana triseptata Matsushima

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:39, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Crucibulum vulgare Tulasne & C. Tulasne キツネノチャダイゴケ

原 攝祐:植物学雑 27(317):256, 1913(大 2)

[備考] マダケ

††††

Cryptosporella bambusicola I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:905, 1958

[備考] ハチク

††††

Cylindrocladium bambusae Hara

原 攝祐:菌類 1(3-4):111, 1931(昭 6)

[備考] マダケ

††††

Cylindrosporium bambusae I. Miyake & Hara

三宅市郎・原 攝祐:植物学雑誌 24(287):355, 1910(明 43)

[備考] マダケ。水枯病の病原菌とされたことがあるが疑問があり検討を要する

††††

Cytoplea phyllostachydis (Tak. Kobayashi) B. Sutton [*Neopycnodothis phyllostachydis* Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 30:153, 1965

[備考] モウソウチク

††††

Cytosporella bambusae Hara [*Phoma pelliculosa* sensu Miyake & Hara non Berkeley & Broome]

三宅市郎・原 攝祐:植物学雑誌 24(287):352, 1910(明 43) ; 原 攝祐:植物学雑誌 27(317):252, 1913(大 2)

[備考] マダケ

††††

Dactylaria candidula G.C. Bhatt & W.B. Kendrick

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:49, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Dasyscyphus arundinariae (Berkeley) Saccardo

原 攝祐:日本菌類目録:104, 1954

[備考] モウソウチク

††††

Dictyopanus gloeocystidiatus Corner [*Dictyopanus pusillus* sensu Ito non Singer, *Favolus rhipidium* (Berkeley) Cooke var. *pusillus* sensu Imazeki, *Polyporus pusillus* sensu Yasuda non Berkeley, *Polyporus rhipidium* Berkeley var. *pusillus* sensu Lloyd, *Polyporus rhipidium* Berkeley f. *pusillus* sensu Ito & Imai] スズメタケ

安田 篤:植物学雑誌 34(403):194, 1920(大 9) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(5):161, 1959 ; 小林義雄:科博研報 6(3):359, 1963

[備考] マダケ

††††

Didymella phyllostachydis Hara

原 攝祐:病虫雑誌 5(10):807, 1918(大 7)

[備考] マダケ

††††

Didymobotryum rigidum (Berkeley & Broome) Saccardo

椿 啓介:発酵研報 7:116, 1975

[備考] *Phyllostachys* sp.

††††

Durella brunnea I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:36, 1955

[備考] マダケ

††††

Edmundmasonia pulchra Subramanian

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:66, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Endophragmia oblonga Matsushima

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:70, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Endophragmia ovoidea Matsushima [*Sporidesmium matsushimae* S. Hughes]

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:70, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Epicoccum purpurascens Ehrenberg ex Schlechtendal [*Epicoccum neglectum* Desmazières]

原 攝祐:植物学雑 27(317):255, 1913(大 2)

[備考] モウソウチク

††††

Epithele typhae (Persoon) Patouillard [*Corticium scirpinum* (Thümen) G. Winter] カミコウヤタケ

安田 篤:植物学雑 37(437):137, 1923(大 12) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):122, 1955

[備考] マダケ

††††

Eutypa kusanoi Hennings [*Valsa kusanoi* Hennings]

原 攝祐:植物学雑 27(317):251, 1913(大 2)

[備考] モウソウチク・マダケ・ハチク

††††

Favolaschia phyllostachydis Imazeki & Y. Kobayasi シヤモジラッシタケ

小林義雄:服部植研報 8:2, 1953

[備考] マダケ

††††

Gibberella fusispora I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 8:651, 1957

[備考] マダケ

††††

Gibberella moniliformis Wineland var. *bambusicola* S. Yamamoto

山本和太郎ら:兵庫農大研報農生編 3(1):16, 1957

[備考] モウソウチク・マダケ

††††

Guignardia bambusina Rehm

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:19, 1965

[備考] マダケ

††††

Hendersonia phyllostachydis I. Miyake & Hara

三宅市郎・原 攝祐:植物学雑誌 24(287):354, 1910(明 43)

[備考] マダケ

††††

Hidakaea tumidula I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:217, 1961

[備考] マダケ

††††

Hypomyces bambusicola Hara

原 攝祐:日菌報 1(4), 1957

[備考] モウソウチク・マダケ

††††

Hypoxyton caulogenum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:59, 1955

[備考] マダケ

††††

Hypoxyton fuscopurpureum (Schweinitz) Berkeley [*Cytoplea badia* I. Miyake & Hara] タイシヤコブタケ

三宅市郎・原 攝祐:植物学雑誌 24(287):352, 1910(明 43) ; 原 攝祐:植物学雑誌 27(314):124, 1913(大 2) ; 安田 篤:植物学雑誌 36(429):145, 1922(大 11)

[備考] モウソウチク・マダケ・シボチク

††††

Hypoxyton nagatense I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:60, 1955

[備考] マダケ

††††

Koenia bambusae Hara

原 攝祐:植物学雑誌 27(317):250, 1913(大 2)

[備考] モウソウチク・マダケ

††††

Lasiosphaeria culmorum I. Miyake & Hara

三宅市郎・原 攝祐:植物学雑誌 24(286):337, 1910(明 43)

[備考] マダケ

††††

Leptosphaeria minoensis Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):250, 1913(大 2)

[備考] マダケ

††††

Leptosphaeria phyllostachydis Hara [*Metasphaeria phyllostachydis* Hara]

原 攝祐:植物学雑 27(317):250, 1913(大 2) ; 原 攝祐:日本害菌学:203, 1936(昭 11)

[備考] モウソウチク・マダケ

††††

Leptospora inquinans I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:51, 1955

[備考] マダケ

††††

Leptospora phyllostachydis Hara

原 攝祐:病虫雑 5(5):347, 1918(大 7)

[備考] マダケ

††††

Lisea bambusae I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:220, 1954

[備考] マダケ

††††

Massarinula gloeospora I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:190, 1961

[備考] マダケ

††††

Melanopsamma aggregata I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:53, 1955

[備考] マダケ

††††

Melchioria philippinensis (Rehm) I. Hino & Katumoto [*Gibbera philippinensis* Rehm]

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:136, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 43(1):29, 1968

[備考] タイワンマダケ

††††

Metasphaeria tuberculosa I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:273, 1956

[備考] マダケ

††††

Miyakeomyces bambusae Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):248, 1913(大 2)
[備考] マダケ黒やに病菌 *Phyllachora phyllostachydis* Hara に重複寄生

††††
Mycosphaerella phyllostachydis (Hara) Hara [*Mycosphaerella bambusae* Patouillard var. *phyllostachydis* Hara]
原 攝祐:植物学雑 27(317):249, 1913(大 2) ; 原 攝祐:樹病学各論:107, 1923(大 12)
[備考] マダケ

††††
Myriangium haraeana F.L. Tai & Wei [*Myriangium bambusae* Hara non Rick, *Myriangium haraeana* I. Hino & Katumoto]
原 攝祐:植物学雑 27(317):252, 1913(大 2) ; 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:263, 1956 ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:108, 1961
[備考] マダケ・ハチク

††††
Myrmaecium decorticans I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:50, 1955
[備考] マダケ

††††
Myrothecium cinctum (Corda) Saccardo
Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:99, 1975
[備考] モウソウチク

††††
Nectria phyllostachydis Hara
原 攝祐:植物学雑 27(317):247, 1913(大 2)
[備考] マダケ

††††
Neottiospora take Hara
原 攝祐:実験樹木病害編:333, 1927(昭 2)
[備考] マダケ

††††
Ophiomassaria haraeana I. Hino & Katumoto
Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:191, 1961
[備考] マダケ

††††
Phlyctaena muroiana I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 8:650, 1957
[備考] カタシボ

††††
Phoma bambusina (Saccardo) Hara [*Phoma arundinacea* (Berkeley) Saccardo f. *bambusina* Saccardo]
原 攝祐:植物学雑 27(317):252, 1913(大 2) ; 原 攝祐:日本菌類目録:252, 1954
[備考] マダケ

††††

Phyllosticta bacillariformis Hara

原 攝祐:樹病学各論:198, 1923(大 12)

[備考] マダケ

††††

Phyllosticta phyllostachydis Hara

原 攝祐:菌類 1(3-4):110, 1931(昭 6)

[備考] マダケ

††††

Physalospora inamoena I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:57, 1955

[備考] マダケ・カタシボ

††††

Physalospora punctulata I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:18, 1960

[備考] マダケ

††††

Pleospora punctulata I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:181, 1961

[備考] マダケ・ハチク

††††

Pleurophragmium varieseptatum Matsushima

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:117, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Polystigma haraeaeum Saccardo

原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大 2)

[備考] マダケ

††††

Pseudospiropes simplex (Kunze ex Persoon) M.B. Ellis

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:120, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Pycnopus coccineus (Fries) Bondartsev & Singer ヒイロタケ

鈴木丙馬:日林誌 15(11):37, 1933(昭 8)

[備考] マダケ

††††

Rosellinia congesta I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 8:656, 1957

[備考] マダケ。病菌の異名はアカマツ・クロマツ幹心腐病参照

††††

Roussoella hysterioides (Cesati) Höhnelt [*Didymosphaeria striatula* Penzig & Saccardo]

Hino, I.: Icon. Fung. Bamb. Japon.:171, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 12:57, 1967

[備考] マダケ

††††

Roussoella hysterioides (Cesati) Höhnelt var. *minuta* (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Didymosphaeria striatula* Penzig & Saccardo var. *minuta* I. Hino & Katumoto, *Didymosphaeria striatula* sensu Hara non Penzig & Saccardo]

原 攝祐:菌類 1(3-4):106, 1931(昭 6) ; 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:61, 1955 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):85, 1965

[備考] マダケ・カタシボ

††††

Roussoella phyllostachydis (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Didymosphaeria phyllostachydis* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:272, 1956 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):85, 1965

[備考] マダケ

††††

Roussoellopsis japonica (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Didymosphaeria japonica* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:229, 1954 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):86, 1965

[備考] マダケ

††††

Roussoellopsis macrospora (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Didymosphaeria macrospora* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1193, 1959 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):87, 1965

[備考] マダケ

††††

Scirrhia bambusina Penzig & Saccardo

原 攝祐:日本菌類目録:325, 1954

[備考] マダケ。詳細不明

††††

Sclerographium fuligineum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:269, 1956

[備考] マダケ

††††

Septoria bambusae Brunaud

三宅市郎・原 攝祐:植物学雑 24(287):355, 1910(明 43)

[備考] ハチク

††††

Spadicoides obovata (Cooke & Ellis) S. Hughes

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:134, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Sphaerulina phyllostachydis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:903, 1958

[備考] マダケ

††††

Sphaerulina take (Hara) Hara [*Diaporthe take* Hara]

原 攝祐:植物学雑 27(317):251, 1913(大 2) ; 原 攝祐:樹病学各論:115, 1923(大 12)

[備考] マダケ

††††

Sporidesmium minigelatinosum Matsushima

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:139, 1975

[備考] モウソウチク

††††

Sporonema nigropunctatum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:267, 1956

[備考] マダケ

††††

Stagonospora phyllostachydis Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):253, 1913

[備考] マダケ

††††

Stagonospora septorioides Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):253, 1913(大 2)

[備考] マダケ・ハチク

††††

Trichosphaeria bambusifolia Hara

原 攝祐:病虫雑 5(5):348, 1918(大 7)

[備考] マダケ

††††

Tubeufia nigrotuberculata I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:270, 1956

[備考] マダケ

††††

Vialaea bambusae Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):251, 1913(大 2)

[備考] マダケ

††††

Yoshinagella phyllostachydis I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:232, 1954
[備考] マダケ

††††
Zythia australis Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:12, 1960
[備考] マダケ

タケ・ササ類の稈
Bamboo culm
Phyllostachys spp. & others
(竹笹類)

[参考] 菌類の寄生による斑竹には次のようなものがある

圈紋竹 kemmonchiku (圈紋病)
Phragmothyrium bambusicola (Hennings & Shirai) I. Hino [*Micropeltis bambusicola* Hennings & Shirai]
原 攝祐:樹病学各論:46, 1923(大 12) ; Hennings, P.:Engler's Bot. Jahrb. 28:237, 1900 ; 日野 巖:宮崎高農学術
報 11:15, 1940(昭 15)
[備考] チシマザサ

ごま竹 goma-take (胡麻竹病, 黒点病)
Apiospora shiraiana (I. Miyake & Hara) Hara
三宅市郎・原 攝祐:植物学雑誌 24(286):336, 1910(明 43) ; 原 攝祐:日本菌類目録:19, 1954
[備考] モウソウチク・ホテイチク・マダケ・メダケ・トウチク・マチク・タイワンマダケ

さび竹 sabi-take
Stereostromum corticioides (Berkeley & Broome) H. Magnusson
Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan 272, 1961
[備考] 本菌は竹笹類(マダケ・メダケなど)の赤衣病菌である。本菌の異名はカンチク赤衣病参照

仙人杖 sen'ninjo (黒色立枯病)
Glomerella hsienjenchang (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa [*Gnomonia hsienjenchang* I. Hino &
Katumoto, *Colletotrichum hsienjenchang* Hino & Hidaka]
日野 巖・日高 醇:宮崎高農学術報 6:93, 1934(昭 9) ; 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:896, 1958 ; Sato,
T. et al.:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012
[備考] マダケ・ハチク・トウチクに発生

祖母斑竹 sobo-hanchiku
Chaetosphaeria yosie-hidakai I. Hino
日野 巖:植物及動物 5(11):2014, 1937(昭 12) ; 日野 巖:宮崎農学術報 10:61, 1938(昭 13)
[備考] スズ

虎斑竹 torafudake (岡山虎斑竹)
Chaetosphaeria fusispora (Kawamura) I. Hino [*Miyoshia fusispora* Kawamura, *Miyoshiella fusispora* (Kawamura)
Kawamura]
川村清一:東大理紀要 23(2):1, 1907(明 40) ; 日野 巖:宮崎高農学術報 4:191, 1932(昭 7) ; 日野 巖:植物病害

研究 4:110, 1951

[備考] ヤシヤダケ・マダケ・トウチク・メダケ

日向斑竹 hyuga-hanchiku

Asterinella hiugensis Hino & Hidaka

日野 巖・日高 醇:植物及動物 2(7):1192, 1934(昭 9)

[備考] マダケ

ようらく(瑛珞)紋竹 yoraku-monchiku

Lembosia tikusiensis Hidaka

Hidaka, Z.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 10(2-3):150, 1940

[備考] ハチク

涙斑竹 rui-hanchiku

Phragmothyrium semiarundinariae I. Hino & Hidaka [*Micropeltis bambusae* sensu Kawamura non Hennings & Shirai]

日野 巖・日高 醇:植物及動物 2(7):1192, 1934(昭 9) ; 日野 巖:山口大農学術報告 1:30, 1950

[備考] ヤシヤダケ

メダケ類

(竹笹類)

ゴキダケ(イヨスダレ) *Pleioblastus argenteostriatus* (Regel) Nakai

ネザサ *Pleioblastus argenteostriatus* (Regel) Nakai f. *glaber* (Makino) Murata

アズマネザサ *Pleioblastus chino* (Franch. & Savat.) Makino

カンザンチク *Pleioblastus hindsii* (Munro) Nakai

リュウキュウチク *Pleioblastus linearis* (Hackel) Nakai

メダケ(女竹) *Pleioblastus simonii* (Carr.) Nakai

赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (さび病, 竹蓐病, すずめのたまご)

Stereostroma corticioides (Berkeley & Broome) H. Magnusson

堀 正太郎:植物学雑誌 5(50):135, 1891(明 24) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust flora of Japan:902, 1992

[備考] メダケ・ネザサ・ハコネダケ(*Pleioblastus vaginatus*)・ヒゴメダケ(*P. kozumae*)・リュウキュウチク
にも発生。病菌の異名はカンチク赤衣病参照

赤だんご病 akadango-byo Reddish bamboo-apple

Shiraia bambusicola Hennings

山本昌木・岡田 惇:日菌報 7(2-3):188, 1966

[備考] メダケ

いもち病* imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

糸井節美ら:日植病報 44(2):209, 1978

[備考] メダケ・ゴキダケ・ネザサ

裏黒点病 ura-kokuten-byo

Coccodiella arundinariae Hara タケクロイボカビ

原 攝祐:病虫雑誌 1(3):267, 1914(大 3) ; 原 攝祐:植物学雑誌 25(293):222, 1911(明 44)

[備考] メダケ・カンザンチク・ネザサ・コンゴウダケ。病菌の異名はメダケ裏黒点病参照

雲紋病* ummon-byo Leaf blotch
Coniothyrium bambusae I. Miyake & Hara
原 攝祐:植研雑 1(4):101, 1917(大 6)
[備考] メダケ。病菌の所属は検討を要する

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot
Phaeosphaeria bambusae I. Miyake & Hara
三宅市郎・原 攝祐:植物学雑 24(286):340, 1910(明 43)
[備考] メダケ・カンザンチク。病菌の異名はナリヒラダケ褐斑病参照

黒穂病 kuroho-byo Smut
Ustilago shiraiana Hennings
Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. 1(1):73, 1905 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):183, 1904(明 37)
[備考] メダケ・ハコネダケ。病菌の異名はマダケ黒穂病参照

黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病, 斑葉病)
(1) *Phragmocarpella japonica* Hara
Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 203, 1961
[備考] メダケ
(2) *Phyllachora shiraiana* P. Sydow
澤田兼吉:林試研報 53:161, 1952 ; 出田 新:日本植物病理学(上):251, 1909(明 42)
[備考] メダケ・アズマネザサ・メダケ上に記録された *Phyllachora graminis* (Persoon) Fuckel(吉野毅一:植物学雑 19(224):208, 1905)も本種であると考えられる
(3) *Telimena haraeana* I. Hino & Katumoto [*Telimena arundinariae* Hara non Doidge]
原 攝祐:実験樹木病害篇:350, 1927(昭 2) ; 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:915, 1958
[備考] メダケ
(4) *Telimena pleioblasti* I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:274, 1956
[備考] メダケ

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot
Phyllachora indocalami Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 85:25, 1943(昭 18)
[備考] 台湾。ニイタカメダケ(*Indocalamus niitakayamensis*)

黒点病 kokuten-byo Black speck
(1) *Helicothyrium ryukyuense* I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:11, 1960
[備考] リュウキュウチク
(2) *Micropeltis ryukyuensis* I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:14, 1960
[備考] リュウキュウチク
(3) *Phragmothyrium muroianum* I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:884, 1958
[備考] シブヤザサ(*Pleioblastus fortunei*)・コンゴウダケ(*P. kongosanensis*)
(4) *Schizothyrium pleioblasti* I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:13, 1960
[備考] メダケ

(5) *Septothyrella nipponica* I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:31, 1955
[備考] メダケ

ごま竹病* gomatake-byo

(1) *Apiospora shiraiana* (I. Miyake & Hara) Hara
日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:65, 1958
[備考] メダケ。病菌の異名はトウチクごま竹病参照
(2) *Melanconium muroianum* I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1180, 1959
[備考] メダケ

さび病 sabi-byo Rust (葉さび病)

(1) *Dasturella divina* (Sydow) Mundkur & Kheswalla
平塚直秀ら:菌蕈研報 12:63, 1975
[備考] *Pleioblastus* sp.。病菌の異名はハウライチク類さび病参照
(2) *Puccinia kusanoi* Dietel
安田 篤:植物学各論隠花部:442, 1911(明 44) ; 草野俊助:植物学雑 16(187):199, 1902(明 35) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:602, 1992
[備考] シマメダケ(*P. chino* var. *argenteostriatus*)・アズマネザサ・カンザンチク・リュウキュウチク・ケネザサ(*Pleioblastus pubescens*)・メダケ・ハコネダケ・ネザサ。病菌の異名およびさび胞子世代はナリヒラダケさび病参照
(3) *Puccinia longicornis* Patouillard & Hariot
南部信方:病虫雑 4(8):597, 1917(大 6) ; 出田 新:日本植物病理学(下):550, 1911(明 44)
[備考] メダケ・カンザンチク。病菌のさび胞子世代はササ類さび病参照
(4) *Puccinia phyllostachydis* Kusano
内田正之助:目白学園女子短大紀要 2:23, 1965 ; 平田正一:宮崎大農研報 27(2):284, 1980 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:608, 1992
[備考] メダケ・ゴザダケザサ(*P. gozadakensis*)・リュウキュウチク。病菌の異名はマダケ類さび病参照

すす病* susu-byo Sooty mold

(1) *Dimerina arundinariae* I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:213, 1954
[備考] ネザサ
(2) *Dimerosporium arundinariae* I. Hino & Katumoto [*Dimerosporina arundinariae* (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto]
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:214, 1954 ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 102, 1961
[備考] メダケ・ネザサ
(3) *Hinoa bambusicola* (I. Hino & Katumoto) Hara & I. Hino [*Haraea bambusicola* I. Hino & Katumoto, *Haraella bambusicola* (I. Hino & Katumoto) Hara & I. Hino]
原 攝祐:日菌報 1(3):3, 1957 ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 137, 1961
[備考] ネザサ・イガネザサ(*Pleioblastus kongosanensis* var. *protrusus*)にも発生
(4) *Hinoa sasae* (Hara & I. Hino) Hara & I. Hino [*Haraella sasae* Hara & I. Hino]
Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 138, 1961
[備考] メダケ
(5) *Limacinia bambusicola* I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:216, 1954
[備考] メダケ
(6) *Triposporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto

原 攝祐:菌類 1(2):18, 1931 (昭 6) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 1(1):46, 1953

[備考] メダケ。病菌の異名はマダケ類すす病参照

炭疽病* tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum metake Saccardo

日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:68, 1958

[備考] メダケ。病菌の分類学的所属は検討を要する

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Aciculosporium take I. Miyake

原 攝祐:日菌報 1(4):3, 1957

[備考] メダケ。病菌の異名はマダケてんぐ巢病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:林試研報 43:7, 1949

[備考] メダケ。病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

開花病 kaika-byo Anomalous flowering (自然枯)

生理障害

堀 正太郎:農事試報 38:1, 1911(明 44)

[備考] メダケ

††††

Pleiblastus mosaic virus (PleMV) アズマネザサモザイクウイルス

范 永堅ら:日植病報 51(1):58, 1985

[備考] アズマネザサ

††††

Acrospormoides protracta I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:16, 1960

[備考] メダケ

††††

Astrocystis mirabilis Berkeley & Broome

日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:66, 1958

[備考] メダケ・ハコネダケ・リュウキュウチク

††††

Aulographum globosum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1184, 1959

[備考] メダケ

††††

Belonopsis longispora I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:35, 1955

[備考] メダケ

††††

Chaetopatella coronata I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑 33(8):239, 1958

[備考] カンザンチク。病菌の学名は *Pseudolachnea coronata* (Hino & Katumoto) Sutton とされている

††††

Chaetopatella ryukyuensis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:10, 1960

[備考] リュウキュウチク。病菌の学名は *Pseudolachnea ryukyuensis* (Hino & Katumoto) Sutton とされている

††††

Chaetopatella setulosa (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Heteropatella setulosa* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:234, 1954 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 33(8):239, 1958

[備考] メダケ。病菌は *Pseudolachnea scolecospora* Teng & Shen と同一種とされている

††††

Chaetophoma pleioblasti I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:30, 1955

[備考] ネザサ

††††

Cochliobolus miakei I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑 41(10):292, 1966

[備考] ネザサ

††††

Collodiscula japonica I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:134, 1961

[備考] メダケ・ネザサ・シブヤザサ

††††

Coniothyrium punctatum Saccardo

原 攝祐:植研雑 1(4):101, 1917(大 6)

[備考] メダケ。病菌の学名は検討を要する(*Coniosporium punctiforme* Saccardo の誤りと思われる)

††††

Corynespora tsurudai Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):255, 1913(大 2)

[備考] メダケ・カンザンチク

††††

Dicellomyces gloeosporus Olive ササノヒメサラタケ

長沢栄史:菌蕈研報 25:1, 1987 ; 原田幸雄:日植病報 58(1):120, 1992

[備考] メダケ・ネザサ・アズマネザサ

††††

Didymella tenuispora I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:22, 1960

[備考] リュウキュウチク

††††

Didymobotryum kusanoi Hennings

松村任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明 37)

[備考] メダケ。 *Didymobotryum rigidum*(Berkeley & Broome) Saccardo との異同について検討を要する (椿啓介:発酵研報 7:116, 1975)

††††

Erinella albocarpa I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:37, 1955

[備考] メダケ

††††

Eutypa kusanoi Hennings

日野 巖・勝本 謙:宇部短大研報 3:106, 1963

[備考] リュウキュウチク

††††

Gibberella culmicola I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:221, 1954

[備考] メダケ

††††

Hidakaea tumidula I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:38, 1955

[備考] ネザサ・ハコネダケ・リュウキュウチク

††††

Hirudinaria arundinariae Hara

原 攝祐:植物学雑 27(317):255, 1913(大 2)

[備考] カンザンチク

††††

Hymenochaete iriomotensis I. Hino & Katumoto イリオモテササウロコタケ

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 15:510, 1964

[備考] ゴザダケザサ

††††

Hymenochaete muroiana I. Hino & Katumoto ササウロコタケ

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:237, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:宇部短大学術報 3:111, 1963

[備考] メダケ・リュウキュウチク

††††

Hypoxylon tuberculiforme I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:58, 1955

[備考] メダケ

††††

Linopeltis ryukyuensis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑 36(4):100, 1961

[備考] リュウキュウチク

††††

Marasmius graminum (Libert) Berkeley ヒメホウライタケ

安田 篤:植物学雑 29(340):169, 1915(大 4)

[備考] メダケ

††††

Massarinula gloeospora I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:899, 1958

[備考] リュウキュウチク

††††

Melchioria maeshimana (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Gibbera maeshimana* I. Hino & Katumoto]

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:135, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 43(1):28, 1968

[備考] メダケ

††††

Metasphaeria ryukyuensis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 15:511, 1964

[備考] リュウキュウチク

††††

Microcyclella disciformis I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:46, 1955

[備考] メダケ

††††

Myriangium haraeaeum F.L. Tai & Wei

日野 巖・勝本 謙:見島総合学術調査報告:116, 1964

[備考] メダケ

††††

Myrmaecium muroianum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 10:1194, 1959

[備考] メダケ

††††

Ophionectria hidakaeana I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:41, 1955

[備考] ハコネダケ上の重複寄生菌。病菌は *Tubeufia paludosa* (Crouan & Crouan) Rossman と同一種とされている

††††

Podosporium muroianum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:9, 1960

[備考] リュウキュウチク

††††

Rhabdospora pleioblasti Hara

原 攝祐:菌類 1(3-4):111, 1931(昭 6)

[備考] カンザンチク

††††

Roussoella hysterioides Penzig & Saccardo var. *minuta* I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):85, 1965

[備考] メダケ

††††

Scirrhia linearistromatifera I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:17, 1960

[備考] メダケ

††††

Sphaerocolla pleioblasti I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:266, 1961

[備考] カタハタネザサ(*P. chino* var. *semihirtus*)

††††

Sphaeropezia bambusina Hara

原 攝祐:菌類 1(3-4):103, 1931(昭 6)

[備考] カンザンチク

††††

Sphaeropsis verrucosa I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:245, 1961

[備考] ケネザサ

††††

Sporidesmium globuligerum I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:880, 1958

[備考] ネザサ

††††

Tomasellia dispersa (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Didothia dispersa* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 8:652, 1957 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 41(10):294, 1966

[備考] ネザサ

††††

Tubercularia maeshimana I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:267, 1961

[備考] メダケ・ネザサ・カムロザサ(*P. vividistriatus*)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):212, 1987

[備考] メダケ

イチゴツナギ類

(Poa)

Poa spp.

(野草)

ミゾイチゴツナギ *Poa acroleuca* Steud.

スズメノカタビラ *Poa annua* L.

萎凋細菌病* icho-saikin-byo Bacterial wilt (萎凋症)

Xanthomonas translucens pv. *poae* (Egli & Schmidt 1982) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas campestris* pv. *poae* Egli & Schmidt 1982]

西野友規ら:日植病報 61(6):555, 1995

[備考] スズメノカタビラ

黒穂病* kuroho-byo Bunt

Urocystis agropyri (Preuss) A.A. Fischer Waldheim

柿 寫 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:67, 1982 ; 柿 寫 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):256, 1992

[備考] ミゾイチゴツナギに発生。病名提案なし

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia agropyri-ciliaris* F.L. Tai & C.T. Wei

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:510, 1992

[備考] ミゾイチゴツナギ

(2) *Puccinia brachypodii* G.H. Otth var. *poae-nemoralis* (G.H. Otth) Cummins & H.C. Greene

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:519, 1992

[備考] スズメノカタビラ・ミゾイチゴツナギ

(3) *Puccinia coronata* Corda var. *coronata*

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:524, 1992

[備考] スズメノカタビラ

炭疽病* tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

宮部克宏ら:日植病報 65(3):398, 1999

[備考] スズメノカタビラに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema insigne Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27

[備考] スズメノカタビラ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] スズメノカタビラ

ブルーグラス

Bluegrass

Poa spp.
(牧草・芝草)

カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass *Poa compressa* L.
ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass *Poa pratensis* L.

かさ枯病 kasagare-byo Halo blight

Pseudomonas syringae pv. *atropurpurea* (Reddy & Godkin 1923) Young, Dye & Wilkie 1978

土屋貞夫・尾崎政春:北農 34(11):41, 1967

[備考] 病原細菌の異名はブロムグラスかさ枯病参照

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Blumeria graminis (de Candolle) Speer f. sp. *poae* Marchal [*Erysiphe graminis* de Candolle f. sp. *poae* É.J. Marchal]

本間ヤス:北大農紀 38(3):333, 1937(昭 12); 澤田兼吉:林試研報 50:100, 1951; 成田武四:北日本病虫研報 24:65, 1973

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight, Browning root rot

(1) *Pythium iwayamai* S. Ito

Masumoto, S. et al.:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 38(1):33, 2009

[備考] ケンタッキーブルーグラス (Masumoto et al., 2009)

(2) *Pythium paddicum* Hirane

(3) *Pythium* spp.

荒木隆男ら:日植病報 40(2):117, 1974; 島貫忠幸:日植病報 43(1):108, 1977; 島貫忠幸:植物防疫 38(5):223, 1984

褐斑病 kappan-byo Melting-out

Drechslera poae (Baudyš) Shoemaker [*Helminthosporium poae* Baudyš, *Helminthosporium vagans* Drechsler]

西原夏樹:草地試研報 2:41, 1973

[備考] 本菌と富永時任 (農技研報告 C 25:193, 1971) が wood meadowgrass (*Poa nemoralis* L. タチイチゴツナギ) で記載した *Helminthosporium* sp. による褐斑病との異同は明らかではない

冠さび病 kansabi-byo Crown rust

Puccinia coronata Corda var. *coronata* [*Puccinia poae-pratensis* Miura]

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:281, 1928(昭 3); 成田武四:日植病報 38(3):181, 1972; 成田武四:北日本病虫研報 23:36, 1972

黄さび病 kisabi-byo Stripe rust

Puccinia striiformis Westendorp var. *striiformis*

成田武四:日植病報 38(3):181, 1972

[備考] 成田 (1972) は本菌に *P. striiformis* Westendorp f.sp. *poae* Tollenaar & Houston を採用している

疑似葉腐病 giji-hagusare-byo Yellow patch

Rhizoctonia cerealis E.P. Hoeven [*Ceratobasidium gramineum* (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki]

鬼木正臣ら:日植病報 52(5):850, 1986

[備考] 病原菌の詳細はベントグラス疑似葉腐病参照

黒ごま病* kurogoma-byo Tar spot (黒脂病)

Phyllachora graminis (Persoon) Nitschke ex Fuckel [*Phyllachora poae* (Fuckel) Saccardo, *Phyllachora poae-pratensis* Sawada]

澤田兼吉:林試研報 53:161, 1952

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminicola* Z. Urban

成田武四:日植病報 38(3):181, 1972

[備考] 成田 (1972) は本菌に *P. graminis* f. sp. *poae* Eriksson & Henning を採用している

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Pink snow mold, Fusarium snow blight

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

荒木隆男:植物防疫 29(12):487, 1975

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

黒しゅ病* kokushu-byo Pale leaf smut

Entyloma irregulare Johanson

伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):98, 1936(昭 11)

サマーパッチ病 Summer patch-byo Summer patch

Magnaporthe poae Landschoot & N. Jackson

矢口重治・早川敏広:日植病報 63(6):496, 1997 ; 早川敏広ら:日植病報 77(3):167, 2011

[備考] ケンタッキーブルグラスに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

西原夏樹ら:芝生の病害:67, 1978

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すじ黒穂病 suji-kuroho-byo Stripe smut

Ustilago striiformis (Westendorp) Niessl

伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):33, 1936(昭 11) ; 成田武四:北海道における農作物病害:216, 1977

[備考] 病原菌の異名はレッドトップすじ黒穂病参照

赤褐色葉腐病* sekikasshoku-hagusare-byo Waitea reddish-brown patch

Rhizoctonia sp.

Toda, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73(6):379, 2007

[備考] 病原は *Waitea circinata* の既報の 3 変種いずれとも異なる新変種と推定された。接種試験未了

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson

吉原 潔・西原夏樹:長野県における牧草生育障害の実態 1(長野県畜産課):11, 1960 ; 富永時任:農技研報 C 25:193, 1971

[備考] 富永 (1971) は本菌を rough-stalked meadowgrass (*Poa trivialis* L. オオスズメノカタビラ) で記載した

鳥の目病 tori-no-me-byo Bird's-eye spot (白かび病)

Ovularia pusilla (Unger) P.A. Saccardo & D. Saccardo

成田武四:日植病報 37(5):404, 1971 ; 成田武四:北日本病虫研報 27:4, 1976

[備考] 病原菌の異名はレッドトップ鳥の目病参照。本菌を *Ramularia pusilla* Unger とする意見がある

ネクロティックリングスポット病 necrotic ring spot-byo Necrotic ring spot

Ophiosphaerella korrae (J. Walker & A.M. Smith) Shoemaker & C.E. Babcock [*Leptosphaeria korrae* J. Walker & A.M. Sm. Bis]

早川敏広ら:芝草研究 33(別 1):24, 2004

[備考] ケンタッキーブルーグラス *P. pratensis* に発生

葉枯病 hagare-byo Leaf spot

Septoria oudemansii Saccardo

成田武四:北日本病虫研報 26:42, 1975

葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot, Brown patch

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):120, 1962 ; 早川敏広ら:日植病報 74(1):16, 2008

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB および AG-1 IB によっておきる。完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk は未確認。ケンタッキーブルーグラスに発生

葉さび病 hasabi-byo Yellow leaf rust

Puccinia brachypodii G.H. Otth var. *poae-nemoralis* (G.H. Otth) Cummins & H.C. Greene [*Puccinia poae-nemoralis* G.H. Otth, *Puccinia poae-sudeticae* (Westendorp) Jørstad, *Puccinia poarum* non E. Nielsen]

伊藤誠哉:東北大(札幌)農紀 3(2):206, 1909(明 42) ; 平塚直秀:琉球大農家政工学術報告 7:189, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害 II):121, 1962 ; 平塚直秀・金子 繁:菌蕈研報 21:63, 1983

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne

徳永芳雄:日植病報 4(1-2):113, 1934(昭 9) ; 西原夏樹:農林水産研究文献解題 8:392, 1981

フェアリーリング病 fairy ring-byo Fairy rings

(1) *Bovista dermoxantha* (Vittadini) de Toni [*Bovista pusilla* (Batsch) Persoon, *Lycoperdon pusillum* Batsch ss. Hollós non Batsch] チビホコリタケ

(2) *Conocybe lactea* (J.E. Lange) Métrod キコガサタケ

(3) *Vascellum curtisii* (Berkeley) Kreisel [*Lycoperdon curtisii* Berkeley & Curtis, *Lycoperdon wrightii* Berkeley & M.A. Curtis] ヒダホコリタケ

Terashima, Y. et al.:Mycoscience 45:251, 2004

[備考] 接種試験未了。ケンタッキーブルーグラスブルーグラス

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]

成田武四:農業技術 16(10):467, 1961

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight

(1) *Typhula incarnata* Lasch (褐色小粒菌核病)

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis* (黒色小粒菌核病)

赤井 純・鐙谷大節:日植病報 28(5):304, 1963 ; 鐙谷大節・赤井 純:北海道農試彙報 84:52, 1964

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照

ヒエガエリ類

(Polypogon)

Polypogon spp.

(野草)

ヒエガエリ *Polypogon fugax* Steud.

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne var. *alopecuri* Tanda

丹田誠之助・川谷豊彦:日菌報 21:97, 1980

[備考] ヒエガエリ

サトウキビ(甘蔗)

Sugar cane

Saccharum officinarum L.

(特用作物)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic (黄条病)

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

岡出幸生:台湾糖業試報告 12:1, 1942(昭 17) ; 西沢正洋・西 泰道:九州農試研究資料 35:17, 1965 ; 栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病害虫図説:13, 1965

白葉病 hakuyo-byo White leaf

Phytoplasma ファイトプラズマ

荒井 啓・氏原邦博:日植病報 54(1):86, 1988

赤すじ病 akasuji-byo Red stripe (赤条性細菌病, 赤条病)

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992
[*Xanthomonas rubrilineans* (Lee, Purdy, Barnum & Martin) Starr & Burkholder, *Bacterium rubrilineans* (Lee, Purdy, Barnum & Martin) Elliott]

岡部徳夫:熱帯農学会誌 5(1):32, 1933(昭 8) ; 栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病害虫図説:29, 1965

疑似赤すじ病 giji-akasuji-byo Mottled stripe (疑似赤条病)

Herbaspirillum rubrisubalbicans (Christopher & Edgerton 1930) Baldani, Pot, Kirchhof, Falsen, Baldani, Olivares, Hoste, Kersters, Hartmann, Gillis & Dobereiner 1996

富永時任:日植病報 37(3):182, 1971

芯腐細菌病 singusare-saikin-byo Bacterial shoot rot

Dickeya zeae Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005

曾澤雅夫ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 瀧川雄一ら:日植病報 83(3):235, 2017

[備考] 曾澤ら(2017)が *Dickeya* sp. と報告した病原菌を瀧川ら(2017)が同定した

白すじ病 shirosuji-byo White streak, Leaf scald (白条病, 葉焼病)

Xanthomonas albilineans (Ashby 1929) Dowson 1943 [*Bacterium albilineans* Ashby]

岡部徳夫:植物細菌病学:186, 1949 ; 田部井英夫・田上義也:九病虫研会報 11:38, 1965

わい化病 waika-byo Ratoon stunting (矮化病)

細菌の 1 種

栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病害虫図説:12, 1965 ; 日高 醇・村山大記:日植病報 39(3):216, 1973 ; 中田 栄一郎ら:日植病報 39(3):216, 1973 ; 上運天 博・脇本 哲:日植病報 42(4):500, 1976

[備考] 外国の類似病は病原が *Clavibacter xili* subsp. *xili* とされている (Davis, M.J. et al.:Int. J. Syst. Bacterial. 34:107, 1984)

赤腐病 akagusare-byo Red rot (茎赤腐病)

Glomerella tucumanensis (Spegazzini) Arx & E. Müller [*Physalospora tucumanensis* Spegazzini, *Colletotrichum falcatum* Went]

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:29, 1908(明 41)

[備考] 本病菌の分生孢子時代 *Colletotrichum falcatum* を *C. graminicola* (Cesati) Wilson の異名とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:51, 1960)

褐さび病 kassabi-byo (さび病, 銹病)

Puccinia melanocephala H. Sydow & P. Sydow

大津善弘:日植病報 41(3):249, 1975 ; Virtudazo, E. V. ら:日植病報 64(4):437, 1998

褐条病 katsujo-byo Brown stripe

Cochliobolus stenospilus T. Matsumoto & W. Yamamoto [*Drechslera stenospila* (Drechsler) Subramanian & B.L. Jain, *Helminthosporium stenospilum* Drechsler]

松本 巍・山本和太郎:病虫雑 23(1):12, 1936(昭 11) ; 田上義也・田部井英夫:九州農試研究資料 35:16, 1965

外皮病 gaihi-byo Rind disease (トリコスヘリア病, メランコニウム病)

Phaeocystroma sacchari (Ellis & Everhart) B. Sutton [*Melanconium sacchari* Masee, *Pleocyta sacchari* (Masee) Petrak & Sydow]

原 攝祐:実験作物病理学:421, 1930(昭 5)

[備考] 病原菌の学名は Sutton, B.C.(The Coelomycetes:631, 1980) による

眼点病* ganten-byo Eye spot (眼状斑点病, ヘルミントスポリウム病)

Bipolaris sacchari (E.J. Butler) Shoemaker [*Cercospora sacchari* Breda de Haan, *Helminthosporium sacchari* (Breda de Haan) E.J. Butler, *Helminthosporium ocellum* Faris]

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:75, 1908(明 41) ; 西門義一:農学研究 7:163, 1921(大 10)

黄さび病* kisabi-byo (さび病, 銹病)

Puccinia kuehnii (W. Krüger) E.J. Butler

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:29, 1908(明 41) ; 平塚直秀・金子 繁:菌蕈研報 21:67, 1983 ; Virtudazo, E. V. ら:日植病報 64(4):437, 1998

黒腐病* kurogusare-byo Pineapple disease (鳳梨病, 黒爛病)

Ceratocystis paradoxa (Dade) C. Moreau [*Ceratostomella paradoxa* Dade, *Thielaviopsis paradoxa* (De Seynes) Höhnelt]

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:40, 1908(明 41)

†**黒腐病** kurogusare-byo Black rot (黒痣病, 黒黴病)

Sphaeronema adiposum Butler

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:20, 1908(明 41)

[備考] 台湾。現在台湾においても未確認

黒穂病 kuroho-byo Smut

Ustilago scitaminea Sydow [*Ustilago sacchari* Fujikuro]

堀 正太郎:農業世界 2(14):45, 1907(明 40) ; 山内昌治:植物防疫 27(5):194, 1973

さや枯病 sayagare-byo Sheath-rot (鞘枯病)

Cytospora sacchari E.J. Butler

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:44, 1908(明 41) ; 中田覺五郎:最新改訂作物病害図編:589, 1957

しょう頭腐敗病* shoto-fuhai-byo Top rot, Pokkah boeng (梢頭腐敗病, 梢頭部腐敗病, 梢腐病)

(1) *Gibberella fujikuroi* (Sawada) Wollenweber [*Fusarium moniliforme* J. Sheldon]

(2) *Gibberella fujikuroi* (Sawada) Ito var. *subglutinans* E.T. Edwards [*Fusarium moniliforme* J. Sheldon var. *subglutinans* Wollenweber & Reinking]

(3) *Fusarium moniliforme* J. Sheldon var. *majus* Wollenweber & Reinking

松本 巍・山本和太郎:病虫雑 23(2):107, 1936(昭 11)

白絹病 shirakinu-byo Leaf-sheath rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病害虫図説:19, 1965

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白星病 shirahoshi-byo White rash

Elsinoë sacchari T.C. Lo [*Sphaceloma sacchari* T.C. Lo]

栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病害虫図説:29, 1965

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

(1) *Caldariomyces fasciculatus* Yamamoto

(2) *Fumago vagans* Persoon

(3) *Hypocapnodium* sp.

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:132, 1908(明 41) ; 山本和太郎:日植病報 8(2):95, 1938(昭 13)

立枯病 tachigare-byo Die-back

Marasmius sacchari Wakker サトウキビシロカレハタケ

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:44, 1908(明 41)

虎斑病 torafu-byo Banded sclerotial disease

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病害虫図説:18, 1965

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

根腐病 negusare-byo Root rot

(1) *Pythium arrhenomanes* Drechsler

(2) *Pythium graminicola* Subramanian

佐藤 徹・渡辺文吉郎:九病虫研会報 21:98, 1975

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Pseudocercospora taiwanensis (T. Matsumoto & W. Yamamoto) J.M. Yen [*Cercospora taiwanensis* T. Matsumoto & W. Yamamoto]

松本 巍・山本和太郎:熱帯農学会誌 6:584, 1934(昭 9) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):76, 1960

[備考] *Leptosphaeria taiwanensis* Yen & Chi は本病菌の完全世代ではない

葉焼病 hayake-byo Leaf scorch

Stagonospora sacchari T.T. Lo & L. Ling

栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病害虫図説:28, 1965

斑点病 hanten-byo Leaf spot
Curvularia lunata (Wakker) Boedijn
西 菜穂子ら:日植病報 74(2):118, 2008

葉しょう赤斑病 yosho-sekihan-byo Red spot (赤斑病, 葉鞘赤斑病)
Cercospora vaginae W. Krüger
川上瀧弥:甘蔗病害論 1:82, 1908(明 41); 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾菌類調査報告 2):161, 1922(大 11)

葉片赤斑病 yohen-sekihan-byo Brown spot (赤斑病, 赤紋病, 褐斑病)
Mycovellosiella koepkei (W. Krüger) Deighton [*Cercospora koepkei* W. Krüger, *Cercospora longipes* E.J. Butler]
川上瀧弥:甘蔗病害論 1:29, 1908(明 41); 松本 巍・山本和太郎:熱帯農学会誌 6:591, 1934(昭 9); 大津善弘・上原勝江:日本植物病害大事典(岸國平編):176, 1998

輪斑病 rinhan-byo Ring spot (環状斑点病)
Leptosphaeria sacchari Breda de Haan
川上瀧弥:甘蔗病害論 1:29, 1908(明 41); 栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病害虫図説:24, 1965

萎縮線虫病 ishuku-senchu-byo Stunt
Paratrophurus sp. リュウキュウイシュクセンチュウ
大島康臣・後藤 昭:九病虫研会報 8:44, 1962; 後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965
[備考] 病原線虫は *Tylenchorhynchus* sp. とされたことがある

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
(1) *Hoplolaimus seinhorsti* Luc ヤリセンチュウの1種
後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965
(2) *Hoplolaimus* sp. ヤリセンチュウの1種
照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971
[備考] 上記種との異同は不明
(3) *Pratylenchus brachyurus* (Godfrey) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ネグサレセンチュウの1種
後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965
(4) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤重喜:九農研 7:71, 1950; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964
[備考] 本線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある
(5) *Pratylenchus scribneri* Steiner ネグサレセンチュウの1種
後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965
[備考] 根圏土壌から検出
(6) *Pratylenchus zaeae* Graham モロコシネグサレセンチュウ
後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965
(7) *Tylenchorhynchus elegans* Siddiqi [*Tylenchorhynchus martini* Fielding] サトウキビイシュクセンチュウ
後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965; 後藤 昭:九病虫研会報 14:78, 1968
(8) *Tylenchorhynchus nudus* Allen フタワイシュクセンチュウ
後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965; 後藤 昭:九病虫研会報 14:78, 1968
(9) *Tylenchorhynchus* sp. イシュクセンチュウの1種
後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965; 後藤 昭:九病虫研会報 14:78, 1968

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965; 照屋林宏:沖縄農業 5(1):52, 1966

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971

らせん線虫病 rasen-senchu-byo

Helicotylenchus dihystra (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

後藤 昭:九病虫研会報 11:105, 1965 ; 後藤 昭:九病虫研会報 14:78, 1968

硬化病 koka-byo

非伝染性病害

中田覺五郎:最新改訂作物病害図編:595, 1957

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

病原未記載

島袋俊一:琉大農家便り 1:4, 1955

[備考] 病因不明

†ゼレー病 Sereh-byo Sereh

病因不明 (? ウイルス)

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:48, 1908(明 41)

[備考] 台湾

†ゴム病 gomu-byo Gummosis (護謨病)

Xanthomonas axonopodis pv. *vasculorum* (Cobb 1894) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas vasculorum* (Cobb) Dowson, *Bacillus vasculorum* Cobb, *Bacterium vasculorum* (Cobb) Smith, *Xanthomonas campestris* pv. *vasculorum* (Cobb) Dye 1978]

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:46, 1908(明 41)

[備考] 台湾。現在台湾においても未確認

††苗茎腐細菌病 nae-kukigusare-saikin-byo Bacterial stem rot

病原細菌種名未定

瀧元清透:病虫雑 19(9):677, 1932(昭 7)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus sacchari* Roldan は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†黒ごま病 kurogoma-byo Black spot (黒斑病)

Phyllachora sp.

川上瀧弥:甘蔗病害論 1:29, 1908(明 41)

[備考] 台湾

†紫斑病 shihan-byo

Venturia sacchari (Breda de Haan) Saccardo

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾菌類調査報告 8):37, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

††しらが病 shiraga-byo White hair

Peronosclerospora miscanthi (T. Miyake) C.G. Shaw [*Sclerospora miscanthi* T. Miyake]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:219, 1977 ; Shaw, C. G.:Mycologia 70:594, 1978

[備考] 国内発生未詳

††††べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

††*Peronosclerospora sacchari* (T. Miyake) Shirai & Hara [*Sclerospora sacchari* T. Miyake]

三宅 勉:台湾糖試特別報告 1:1, 1912(明 45); 栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病害虫図説 30, 1965; Shaw, C. G.:Mycologia 70:594, 1978

[備考] 国内発生未詳。再検討を要する

††††Target blotch

Helminthosporium sp.

田部井英夫・田上義也:九病虫研会報 11:38, 1965

[備考] 病原菌の分類学的所属について検討を要する

ライムギ(ライ, 黒麦)

Rye

Secale cereale L.

(食用作物)

黄萎病 oi-byo Yellow dwarf

Barley yellow dwarf virus#

范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994

黄葉病 oyo-byo Yellow leaf

Wheat yellow leaf virus (WYLV) コムギ黄葉ウイルス

井上忠男ら:農学研究 55(1):1, 1973

すじ萎縮病 suji-ishuku-byo Streaked dwarf (黒条萎縮病)

Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス

小菅喜久弥:植物防疫 20(7):298, 1966

北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic

Northern cereal mosaic virus (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス

伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):1944(昭 19)

かさ枯病 kasagare-byo Bacterial halo blight

Pseudomonas syringae pv. *coronafaciens* (Elliott 1920) Young, Dye & Wilkie 1978

篠原弘亮ら:日植病報 65(6):653, 1999; 篠原弘亮ら:日植病報 69(2):136, 2003

条斑細菌病 johan-saikin-byo Bacterial streak

Xanthomonas translucens pv. *cerealis* (Hagborg 1942) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas campestris* pv. *cerealis* (Hagborg 1942) Dye 1978]

宮島邦之:日植病報 48(3):314, 1982

赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight (赤黴病)

Gibberella zeae (Schweinitz) Petch

出田 新:実用植物病理学:196, 1902(明 35)

[備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照

赤さび病 akasabi-byo Leaf rust (赤錆病, 褐色錆病, 褐錆病, 錆病, あかはしぶ)

Puccinia recondita Roberge ex Desmazières [*Puccinia dispersa* Eriksson & Henning]

伊藤誠哉・今井三子:農作物病害教科書:5, 1932(昭 7)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Blumeria graminis (de Candolle) Speer f. sp. *secalis* Marchal [*Erysiphe graminis* de Candolle f. sp. *secalis* É.J. Marchal]

出田 新:日本植物病理学:273, 1903(明 36) ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:165, 1997

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

大久保博人ら:日植病報 71(3):213, 2005

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Brown root rot

Pythium iwayamai S. Ito, *Pythium* spp.

斎藤 正:日草誌 3(3-4):75, 1958

[備考] 他の *Pythium* 菌の種名はコムギ褐色雪腐病参照

から黒穂病 kara-kuroho-byo Flag smut (稈黒穂病, 黒条病, 茎葉黒奴病)

Urocystis agropyri (Preuss) A.A. Fischer Waldheim [*Urocystis occulta* (Wallroth) Rabenhorst, *Tubercinia occulta* (Wallroth) Liro]

出田 新:日本植物病理学(下):413, 1911(明 44) ; 柿畠 眞:筑波大農林研 1:68, 1982

黄さび病 kisabi-byo Stripe rust (黄銹病)

Puccinia striiformis Westendorp var. *striiformis*

成田武四・真野 豊:日植病報 24(1):65, 1959

[備考] 病原菌の異名はオオムギ黄さび病参照

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust (黒銹病)

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminis* [*Puccinia graminis* Persoon f. sp. *secalis* Eriksson]

出田 新:日本植物病理学:52, 1909(明 42) ; 平塚直秀・金子 繁:菌草研報 21:61, 1983

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Snow mold

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

島田昌一:農及園 22(1):37, 1947

[備考] 本病菌は雪とは無関係に発生し、葉に大型暗色斑紋を生ずることがある (西原夏樹:日植病報 23:33, 1958)。病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

黒変病 kokuhē-byo Sooty mold, Mold

Cladosporium herbarum (Persoon) Link

原 攝祐:実験作物病理学:217, 1930(昭 5)

葉枯病 hagare-byo

Septoria secalis Prillieux & Delacroix

成田武四:北日本病虫研報 26:42, 1975

斑点病 hanten-byo Leaf blotch

Cochliobolus sativus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur

西原夏樹:千葉農試資料 2:95, 1962 ; 西原夏樹:日草誌 14(2):104, 1968

[備考] 病原菌の異名はオオムギ斑点病参照

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne var. *purpurea*

出田 新:農作物病理学:67, 1901(明 34) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):512, 1992

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

††すじ枯細菌病* sujigare-saikin-byo Bacterial blight (条枯性細菌病)

Xanthomonas translucens pv. *translucens* (ex Jones, Johnson & Reddy 1917) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium translucens* var. *secalis* Jones, Johnson & Reddy, *Xanthomonas campestris* pv. *translucens* (Jones, Johnson & Reddy 1917) Dye 1978]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:636, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳

††斑点細菌病* hanten-saikin-byo (斑点性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:272, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原菌の検討を要する。病原菌名 *Bacterium cerealinum* (Gentner) Elliott は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††雲形病 kumogata-byo Scald

Rhynchosporium secalis (Oudemans) Davis f. *secalis*

梶原敏宏:農技研報 C 22:259, 1968

[備考] 国内発生未詳

ナリヒラダケ(業平竹)

(*Semiarundinaria*)

Semiarundinaria fastuosa (Mitford) Makino

(竹笹類)

ヤシャダケ(夜叉竹) *Semiarundinaria yashadake* (Makino) Makino

赤衣病 akagoromo-byo Culm rust

Stereostromum corticioides (Berkeley & Broome) H. Magnusson

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:303, 1910(明 43) ; 白井光太郎:日本菌類目録:79, 1905(明 38)

[備考] 病菌の異名はカンチク赤衣病参照

いもち病* imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

糸井節美ら:日植病報 44:84, 1978

[備考] アオナリヒラ(*S. fastuosa* var. *viridis*)・ケナシナリヒラ(*S. tatebeana*)

褐斑病* kappan-byo Brown leaf spot

Phaeosphaeria bambusae I. Miyake & Hara [*Leptosphaerella bambusae* (I. Miyake & Hara) Hara, *Leptosphaeria bambusae* (I. Miyake & Hara) Saccardo, *Phaeospora bambusae* (Miyake & Hara) Hara, *Trematosphaerella bambusae* (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto, *Trematosphaerella bambusae* (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto]

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 160, 1961

[備考] ケナシナリヒラ

黒点病* kokuten-byo Black speck

Phragmothyrium japonicum I. Hino & Hidaka

日野 巖・日高 醇:植物及動物 2:1192, 1934

[備考] ヤシャダケ

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia kusanoi Dietel [*Puccinia kusanoi* Dietel var. *azuma* Kusano, *Puccinia bambusae* Tanaka, *Uredo arundinariae* Sydow & P. Sydow, *Aecidium deutziae* Dietel]

原 攝祐:樹病学各論:172, 1923(大 12) ; 草野俊助:東大農紀要 8:5, 1908(明 41) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:602, 1992

[備考] アオナリヒラ・ビゼンナリヒラ(ビロードナリヒラ)(*S. okuboi*)・クマナリヒラ(ニッコウナリヒラ)・(*S. fortis*)にも発生。さび孢子世代はササ類さび病参照

すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold

Balladyna muroiana I. Hino & Katumoto

勝本 謙:植研雑 38:23, 1963

[備考] ビゼンナリヒラ

††††

Astrocystis mirabilis Berkeley & Broome

日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:66, 1958

††††

Dimerium leptosporum Spegazzini [*Dimerium japonicum* Sydow, P. Sydow & Hara]

原 攝祐:植物学雑 26(306):207, 1912(大元) ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):281, 1976

[備考] ヤシャダケすす病菌に重複寄生

††††

Exosporium bambusae (Cooke) Subramanian [*Helminthosporium bambusae* Cooke]

三宅市郎・原 攝祐:植物学雑 24(287):356, 1910(明 43) ; 日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 12:57, 1967

アワ(粟)

Foxtail millet, Italian millet

Setaria italica Beauv. (オオアワ)

Setaria italica var. *germanica* Trin. (コアワ)

(食用作物)

黄化病 oka-byo Yellow

Barley yellow dwarf virus

范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994

縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe
Rice stripe virus (RSV) イネ縞葉枯ウイルス
河合一郎:病虫雑 21(3):208, 1934(昭 9)

すじ萎縮病 suji-ishuku-byo Streaked dwarf (黒条萎縮病)
Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス
小菅喜久弥:植物防疫 20(7):298, 1966

北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic
Northern cereal mosaic virus (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス
伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19)

モザイク病 mosaic-byo
Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス
范 永堅ら:日植病報 51(1):98, 1985

褐条病 katsujo-byo Bacterial brown stripe
Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992
[*Bacterium setariae* Okabe, *Bacterium panici* Elliott]
岡部徳夫:熱帯農学会誌 6(1):54, 1934(昭 9) ; 後藤正夫・岡部徳夫:静岡大農研報 2:15, 1952

株腐細菌病 kabugusare-saikin-byo Bacterial foot rot
Dickeya zeae Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [*Erwinia chrysanthemi* pv. *zeae* (Sabet 1954) Victoria, Arboleda & Muñoz 1975]
木嶋利男ら:日植病報 51(3):344, 1985

いもち病 imochi-byo Blast, Gray leaf spot (稲熱病)
Pyricularia oryzae Cavara [*Piricularia setariae* Y. Nisikado, *Pyricularia setariae* Y. Nisikado]
西門義一:病菌害虫彙報 15(稲熱病に関する研究):28, 1926(大 15) ; 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):12, 1928(昭 3) ; Murata, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):66, 2014
[備考] 澤田兼吉 (林試研報 105:90, 1958) は本病菌を *Piricularia oryzae* Cavara と同定している

菌核病 kinkaku-byo
Sclerotium sp.
吉野毅一:植物学雑 20(237):246, 1906 (明 39)
[備考] 発生および病原菌について調査を要する

黒穂病 kuroho-byo Smut, Head smut
(1) *Ustilago crameri* Körnicke
(2) *Ustilago tanakae* S. Ito
出田 新:農作物病理学:51, 1901(明 34)

ごま葉枯病 goma-hagare-byo Leaf spot (胡麻葉枯病, 斑点病, 葉枯病, 斑葉病)
Cochliobolus setariae (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur [*Bipolaris setariae* (Sawada) Shoemaker, *Helminthosporium setariae* Sawada]
西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究):107, 1928(昭 3) ; 上山昭則ら:日植病報 44:346, 1978

さび病 sabi-byo Rust (銹病, 赤渋病)

Uromyces setariae-italicae Yoshino

三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):52, 1921(大 10)

しらが病 shiraga-byo Downy mildew (白髪病, 露菌病, ささら病, でずぼ病, 縦裂葉枯病)

Sclerospora graminicola (Saccardo) J. Schröter

堀 正太郎:農作物病害:181, 1903(明 36)

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):438, 1919(大 8)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

原 攝祐:実験作物病理学:255, 1934(昭 9)

[備考] 三浦道哉 (満鉄農事彙報 11:54, 1921) は中国東北部で *Fusarium* sp.による苗立枯病を報告した

葉枯病 hagare-byo Leaf spot

Cercospora setariae G.F. Atkinson [*Cercosporina setariae* (Atkinson) Hori]

堀 正太郎:病虫雑 4(1):1, 1917(大 6) ; 香月繁孝:福岡県経済部農業改良課学術報告 1:22, 1949

フザリウム病 Fusarium-byo Fusarium disease

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

瀧元清透:農薬研究 5(1):47, 1958

[備考] 苗立枯病との関係について再検討を要する

縁葉枯病 fuchi-hagare-byo

Pseudocochliobolus lunatus (R.R. Nelson & F.A. Haasis) Tsuda, Ueyama & Nishihara [*Cochliobolus lunatus* R.R.

Nelson & F.A. Haasis, *Curvularia lunata* (Wakker) Boedijn, *Brachysporium ovoideum* Hiroe & Watanabe]

松浦 勇・山下俣二郎:病虫雑 18(9):478, 1931(昭 6)

紫穂病 murasakiho-byo

Ephelis japonica Hennings [*Cylindrosporium setariae* Nakata & Takimoto]

逸見武雄:日植病報 2(3):294, 1930(昭 5); 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):13, 1928(昭 3)

紋枯病 mongare-byo Sheath blight (大粒白絹病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

澤田兼吉:植物学雑 26(306):177, 1912(明 45)

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IA。病原菌の異名はイネ紋枯病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

不稔病 funen-byo (紫穂病)

Aphelenchoides besseyi Christie [*Aphelenchoides oryzae* Yokoo] イネシンガレセンチュウ

中野勝喜:病虫雑 3(1):33, 1916(大 5) ; 山本重雄・吉井 甫:日植病報 14(3-4):81, 1950
[備考] 病原線虫の異名等はイネの心枯線虫病を参照

立枯病 tachigare-byo

病原未記載

吉野毅一:植物学雑 20(237):246, 1906(明 39)

[備考] 原因不明。調査を要する

ばか穂病 bakaho-byo (馬鹿穂病)

病原未記載

堀 正太郎:農作物学:187, 1903(明 36)

[備考] 原因不明。調査を要する

†細菌病 saikin-byo

細菌の 1 種

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):12, 1928(昭 3)

[備考] 朝鮮半島

†灰色白絹病 haiiro-shirakinu-byo

Hypochnus setariae Sawada

澤田兼吉:台湾農事報 64:15, 1912(明 45)

[備考] 台湾

†斑点病 hanten-byo

Mycosphaerella sp., *Phyllosticta* sp. (? *P. sorghina* Saccardo)

中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32(満州主要農作物病害調査報告):47, 1939(昭 14)

[備考] 中国東北部

エノコログサ類

Green bristlegrass

Setaria spp.

(野草)

アキノエノコログサ *Setaria faberi* Herm.

キンエノコロ *Setaria glauca* (L.) Beauv.

エノコログサ *Setaria viridis* (L.) Beauv.

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo [*Pyricularia setariae* Y. Nisikado]

川上瀧弥:札幌農学会報 2:34, 1901(明 34) ; Nisikado, Y.:Ohara Inst. Landw. Forsch. Ber. 1:217, 1917(大 6) ; 加

藤 肇:日本植物病害大事典(岸 國平編):1207, 1998

[備考] エノコログサ (Nisikado, 1917), キンエノコロ (川上, 1901) に発生

さび病* sabi-byo Rust

Uromyces setariae-italicae Yoshino

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:917, 1992

[備考] エノコログサ

なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt

Tilletia setariae L. Ling

柿 島 眞: 日本産黒穂菌類の分類学的研究:63, 1982 ; Harada, Y.: Trans. mycol. Soc. Japan 19:194, 1978 ; Terui, M. & Fujita, T.: Bull. Fac. Agric. Hirosaki Univ. 35:16, 1981

[備考] アキノエノコログサ・キンエノコロ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜: 九農研 7:71, 1950

[備考] エノコログサに発生。本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne javanica (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 三枝敏郎: 植防研報 7:75, 1969

[備考] エノコログサ

オカメザサ(ブンゴザサ, 豊後笹)

(Shibataea)

Shibataea kumasaca (Zollinger) Makino

(竹笹類)

いもち病* imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

糸井節美ら: 日植病報 44:209, 1978

雲紋病* ummon-byo Leaf blotch

Coniothyrium bambusae I. Miyake & Hara

三宅市郎・原 攝祐: 植物学雑誌 24(287):353, 1910(明 43)

[備考] 病菌の所属は検討を要する

ごま竹病* gomatake-byo

(1) *Scirrhia curvispora* Spegazzini

日野 巖・勝本 謙: 山口大農学術報 6:49, 1955

(2) *Scyphospora phyllostachydis* L.A. Kantschaweli

Hino, I.: Icon. Fung. Bamb. Japon. 259, 1961

さび病* sabi-byo Rust

Uredo ditissima (Sydow) Cummins [*Dasturella divina* sensu Uchida non Mundkur & Kheswalla]

内田正之助: 目白学園女短大紀要 2:21, 1965 ; 勝本 謙: 山口大農学術報 19:1143, 1968

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp.

竹内 純ら: 関東病虫研報 50:105, 2003

葉先枯病 hasakigare-byo

Pseudomassaria bambusae (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto [*Guignardia bambusae* I. Miyake & Hara, *Mycosphaerella shibataeae* I. Miyake & Hara, *Mycosphaerella phyllostachydicola* Tomilin]

原 攝祐: 樹病学各論:103, 1923(大 12) ; 三宅市郎・原 攝祐: 植物学雑誌 24(286):338, 1910(明 43) ; 日野 巖・勝本 謙: 植研雑誌 40(3):83, 1965

††††

Roussoellopsis tosaensis (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [*Didymosphaeria tosaensis* I. Hino & Katumoto]

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:62, 1955 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 40(3):87, 1965

トウチク(唐竹)

Tootsik bamboo

Sinobambusa tootsik Makino

(竹笹類)

赤衣病* akagoromo-byo Culm rust

Stereostratum corticioides (Berkeley & Broome) H. Magnusson

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:236, 1961

[備考] 病菌の異名はカンチク赤衣病参照

黒色立枯病* kokushoku-tachigare-byo Black culm rot

Glomerella hsienjenchang (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa [*Gnomonia hsienjenchang* I. Hino & Katumoto, 不完全世代: *Colletotrichum hsienjenchang* Hino & Hidaka]

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:182, 1961 ; Sato, T. *et al.*:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012

ごま竹病* gomatake-byo

(1) *Apiospora shiraiana* (I. Miyake & Hara) Hara [*Munkiella shiraiana* I. Miyake & Hara, *Hypoderma shiraianum* I. Miyake & Hara, *Apiosporella bambusae* sensu Hara non Sydow, *Scirrhia bambusae* sensu Hara non Turconi, *Melanconium shiraianum* P. Sydow, *Coniosporium shiraianum* (Sydow) Bubák]

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:258, 1961

(2) *Melanconium sinobambusae* I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 15:111, 1964

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia kusanoi Dietel

日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:77, 1958

[備考] 病菌の異名はナリヒラダケさび病参照

†裏黒点病* ura-kokuten-byo

Coccidiella arundinariae Hara [*Coccoidea sinobambusae* Sawada] タケクロイボカビ

Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:54, 1959 ; 勝本 謙:植研雑 43(9):280, 1968

[備考] 台湾。タイワンヤダケ(*Sinobambusa kunishii*)

††††

Astrocystis mirabilis Berkeley & Broome [*Anthostomella mirabilis* (Berkeley & Broome) Höhnelt]

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:146, 1961

††††

Hypocrea muroiana I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:888, 1958

††††

Koorchaloma okamurae I. Hino & Katumoto
Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:265, 1961

††††

Linopeltis ryukyuensis I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:植研雑 36(4):100, 1961

††††

Phoma sinobambusae I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:878, 1958

††††

Vestergrenia globosa I. Hino & Katumoto
日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:892, 1958

モロコシ(ソルガム)
Sorghum, Great millet, Grain sorghum
Sorghum vulgare L.
(食用作物)

えそモザイク病 eso-mosaic-byo

Maize dwarf mosaic virus (MDMV) トウモロコシ萎縮モザイクウイルス
御子柴義郎ら:日植病報 70(3):266, 2004

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Sugarcane mosaic virus (SCMV) サトウキビモザイクウイルス
鳥山重光ら:日植病報 30(5):264, 1965 ; 鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病
に関する研究(東大出版会):40, 1972

条斑細菌病 johan-saikin-byo Bacterial stripe (条斑性細菌病, 赤条細菌病)

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin
& Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith 1911) Stapp 1928, *Bacterium andropogonis* Smith]
岡部徳夫:熱帯農学会誌 7(3):219, 1935(昭 10) ; 後藤正夫・岡部徳夫:静岡大農研報 2:10, 1952

糸黒穂病 ito-kuroho-byo Head smut (線黒穂病, 条黒穂病, 黒穂病)

Sporisorium holci-sorghi (Rivolta) Vánky [*Sphacelotheca reiliana* (J.G. Kühn) G.P. Clinton, *Sorosporium reilianum*
(J.G. Kühn) McAlpine]
出田 新:実用植物病理学:103, 1902(明 35)

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Crazy top downy mildew

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan
月星隆雄ら:日植病報 60(6):752, 1994

黄斑病 ohan-byo Yellow spot

Cercospora koepkei W. Krüger var. *sorghii* Goto, K. Hirano & Fukatsu
後藤和夫ら:日植病報 27(1):49, 1962

黒砂病 kurosuna-byo

Dactuliophora harrisii C.L. Leakey
西原夏樹:日植病報 32(2):65, 1966

小黑穂病 ko-kuroho-byo

Sphacelotheca sorghi (Link) G.P. Clinton [*Sphacelotheca sorghicola* (Spegazzini) Zundel, *Ustilago sorghicola* Spegazzini]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):335, 1919(大 8); 柿畠 眞:筑波大農林研究 1:55, 1982

[備考] 粒黒穂病との関係検討を要する

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia purpurea Cooke

出田 新:日本植物病理学(下):523, 1911(明 44)

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):445, 1919(大 8)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

紫輪病 shirin-byo Gray leaf spot

Cercospora sorghi Ellis & Everhart [*Cercosporina sorghi* (Ellis & Everhart) Hara]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):16, 1928(昭 3); 木谷清美・国安克人:四国農試報告 22:136, 1970

すす紋病 susumon-byo Leaf blight (煤紋病)

Setosphaeria turcica (Luttrell) K.J. Leonard & Suggs

出田 新:日本植物病理学(下):753, 1911(明 44)

[備考] 病原菌の異名はトウモロコシすす紋病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒点葉枯病)

Colletotrichum sublineolum Hennings [*Colletotrichum lineola* Corda]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):580, 1919(大 8)

粒黒穂病 tsubu-kuroho-byo Grain smut, Covered kernel smut (堅黒穂病, 黒穂病, 紫囊黒穂病)

Sphacelotheca sorghi (Link) G.P. Clinton [*Ustilago sorghi* (Link) Passerini]

三浦道哉・赤石行雄:満鉄農試彙報 23:1, 1926(大 15)

粒斑病 tsubuhan-byo Rough leaf spot

Ascochyta sorghi Saccardo [*Ascochyta sorghina* Saccardo]

月星隆雄・君ヶ袋尚志:日植病報 56(1):146, 1990

裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose kernel smut (紫囊黒穂病)

Sporisorium cruentum (J.G. Kühn) Vánky [*Sphacelotheca cruenta* (J.G. Kühn) Potter, *Ustilago cruenta* J.G. Kühn]

三浦道哉・赤石行雄:満鉄農試彙報 23:5, 1926(大 15)

葉焼病 hayake-byo (三日月葉焼病)

Kabatiella sorghi Nishihara & Yokoyama

西原夏樹:千葉農試資料 3:49, 1963; 西原夏樹:草地試研報 3:137, 1973; 西原夏樹・横山竜夫:日植病報 40(3):170, 1974

斑点病 hanten-byo Sooty stripe, Leaf spot

Ramulispora sorghi (Ellis & Everhart) L.S. Olive & Lefebvre [*Ramulispora andropogonis* Miura]

三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):40, 1921(大 10)

麦角病 bakkaku-byo Ergot

(1) *Claviceps sorghicola* Tsukiboshi, Shimanuki & T. Uematsu

島貫忠幸ら:日植病報 54(3):346, 1988 ; Tsukiboshi, T. *et al.*:Mycological Research 103(11):1403, 1999

[備考] 麦角病罹病穂で繁殖した *Epicoccum andropogonis* (Cesati) Schol-Schwarz, *Cerebella andropogonis* Cesati によって黒穂病様の異常穂が発生することがある (兼平 勉ら・日植病報 54(3):346, 1988)

(2) *Sphacelia sorghi* McRae

月星隆雄ら:日植病報 58(4):543, 1992 ; 月星隆雄ら:日植病報 65(3):318, 1999

ひょう紋病 hyomon-byo Zonate leaf spot, Copper spot (豹紋病)

Gloeocercospora sorghi D.C. Bain & Edgerton ex Deighton

西原夏樹:日植病報 23(1):18, 1958 ; 西原夏樹:植物防疫 12(11):513, 1958

縁葉枯病 fuchi-hagare-byo

(1) *Curvularia intermedia* Boedijn

(2) *Curvularia lunata* (Wakker) Boedijn

河本征臣ら:中国農試報告 E 17:1, 1980

紫斑点病 murasaki-hanten-byo Target spot

Bipolaris sorghicola (Lefebvre & Sherwin) Alcorn [*Drechslera sorghicola* (Lefebvre & Sherwin) M.J. Richardson & E.M. Fraser, *Helminthosporium sorghicola* Lefebvre & Sherwin]

西原夏樹:草地試研報 2:46, 1973

紋枯病 mongare-byo Leaf-sheath rot, Rhizoctonia rot (葉腐病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

西原夏樹:千葉農試資料 3:48, 1963

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

††すじ枯細菌病* sujigare-saikin-byo Bacterial stripe (条枯性細菌病)

Xanthomonas vasicola pv. *holcicola* (Elliott 1930) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium holcicola* Elliott, *Xanthomonas campestris* pv. *holcicola* (Elliott 1930) Dye 1978]

岡部徳夫:植物細菌病学:137, 1949

[備考] 国内発生未詳

††葉焼細菌病* hayake-saikin-byo (葉焼病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:165, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus sorghi* Burrill は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††斑点細菌病* hanten-saikin-byo (斑点性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium holci* Kendrick]

岡部徳夫:植物細菌病学:136, 1949

[備考] 国内発生未詳

†茎腐病 kukigusare-byo

Pythium debaryanum R. Hesse

三浦道哉:満鉄農事彙報 11(満州主要農作物の病害):33, 1921(大 10)

[備考] 中国東北部。病原菌はわが国にも分布するが、モロコシでは未記録。病原菌の分類学的検討を要する

†黒変病 kokuhēn-byo

Cladosporium herbarum (Persoon) Link

岩垂 悟ら:満州農試報 45(満州農作物病害目録):10, 1943(昭 18)

[備考] 中国東北部。病原菌はわが国にも分布するが、モロコシでは未記録

†紫斑病 shihan-byo

Cercospora koreana Nakata & Takimoto

中田覺五郎・瀧元清透:産業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):16, 1928 (昭 3)

[備考] 朝鮮半島

††しらが病 shiraga-byo Downy mildew (白髪病)

Peronosclerospora sorghi (W. Weston & Uppal) C.G. Shaw [*Sclerospora sorghi* W. Weston & Uppal]

富樫浩吾:農及園 10(3):729, 1935(昭 10) ; Shaw, C. G.:Mycologia 70:594, 1978

[備考] 国内発生未詳

††††すす穂病 susuho-byo

Bipolaris sp.

西原夏樹:草地試研究資料 2:108, 1991

††††

Sorosporium andropogonis-sorghi S. Ito

伊藤誠哉:札幌博物会報 14(2):93, 1935(昭 10)

オオアブラススキ類

(*Spodiopogon*)

Spodiopogon spp.

(野草)

オオアブラススキ *Spodiopogon sibiricus* Trin. var. *sibiricus*

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia miyoshiana Dietel

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:559, 1992 ; Ono, Y. & Azbukina, M. Z.:Mycoscience 38:281, 1997

[備考] オオアブラススキに発生。精子・さび胞子世代をミシマサイコ的一种 (*Bupleurum komarovianum*) 上に形成

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps microspora Tanda var. *kawatanii* Tanda

丹田誠之助:東農大農学集報 36:28, 1991

[備考] オオアブラススキ

ネズミノオ類

Smutgrass
Sporobolus spp.
(野草)

ネズミノオ *Sporobolus fertilis indicus* (L.) var. *purpureo-suffusus* (Ohwi) Koyama

さび病* sabi-byo Rust

Puccinia schedonnardi Kellerman & Swingle

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 586, 1992

[備考] ネズミノオ

すす穂病 susuho-byo

Bipolaris ravenelii (M.A. Curtis) Shoemaker

西門義一: 大原農研特別報告 4:170, 1928 ; 上山昭則ら: 植物防疫 32:361, 1978 ; 西原夏樹: 草地試研究資料 2:101, 1991

[備考] ネズミノオ

††††

Exserohilum sp.

西原夏樹: 草地試研究資料 2:119, 1991

[備考] 病徴と病原の記載不十分。接種試験未了

セントオーガスチングラス(イヌシバ)

St. Augustine grass

Stenotaphrum secundatum (Walt.) Kuntze

(牧草・芝草)

いもち病* imochi-byo Blast

Pyricularia sp.

八重樫博志: 日植病報 44(1):67, 1978

[備考] セントオーガスチングラスから分離し、供試しているが詳細は未報告

黒穂病 kuroho-byo Smut

Ustilago affinis Ellis & Everheart

月星隆雄ら: 日草誌 46(別):152, 2000

[備考] 接種試験未了

葉腐病 hagusare-byo Rhizoctonia rot, Rhizoctonia blight, Large patch

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

谷 利一: 目で見るゴルフ場の芝草病害: 24, 1991

[備考] ラージパッチと呼ばれる症状をおこす。菌糸融合群 AG-2-2 (イ紋枯病系)。完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk は未確認

カニツリグサ類
(Trisetum)

Trisetum spp.

(野草)

カニツリグサ *Trisetum bifidum* (Thunb.) Ohwi

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia graminis* Persoon subsp. *graminis* Cummins

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 541, 1992

(2) *Puccinia recondita* Roberge ex Desmazières

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 582, 1992

[備考] カニツリグサ

麦角病 bakkaku-byo Ergot

Claviceps purpurea (Fries) Tulasne var. *alopecuri* Tanda

丹田誠之助: 東農大農学集報 23: 207, 1978

[備考] カニツリグサ

コムギ(小麦)

Wheat

Triticum aestivum L.

[*Triticum sativum* Lam.]

(食用作物)

萎縮病 ishuku-byo Rosette, Green mosaic

Soil-borne wheat mosaic virus (SBWMV) コムギ萎縮ウイルス [Wheat rosette virus#, Wheat green mosaic virus#]

静岡農試: 病虫雑 3(12): 937, 1916(大 5)

黄萎病 oi-byo Yellow dwarf

Barley yellow dwarf virus#

范 永堅ら: 日植病報 60(6): 725, 1994

黄葉病 oyo-byo Yellow leaf

Wheat yellow leaf virus (WYLV) コムギ黄葉ウイルス

井上忠男ら: 日植病報 37(5): 393, 1971 ; 井上忠男ら: 農学研究 55(1): 1, 1973

縞萎縮病 shima-ishuku-byo Yellow mosaic (小麦黄色モザイク病)

Wheat yellow mosaic virus (WYMV) コムギ縞萎縮ウイルス

澤田栄寿: 病虫雑 14(8): 444, 1927(昭 2) ; Kusume, T. *et al.*: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(2): 107, 1997

縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe

Rice stripe virus (RSV) イネ縞葉枯ウイルス

天野悦平: 病虫雑 22(10): 785, 1935(昭 10) ; 安 正純: 日本作物ウイルス病総覧(明日山秀文・飯田俊武編): 85, 1967

すじ萎縮病 suji-ishuku-byo Streaked dwarf (黒条萎縮病)

Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス

小菅喜久弥・小尾 仁: 日植病報 22(1): 40, 1957

斑紋萎縮病 hammon-ishuku-byo Mottle dwarf

Wheat mottle dwarf virus# (WMDV) コムギ斑紋萎縮ウイルス

山下修一ら: 日植病報 44(3): 395, 1978

斑葉モザイク病 han'yo-mosaic-byo Stripe mosaic
Barley stripe mosaic virus (BSMV) ムギ斑葉モザイクウイルス
高橋隆平ら:農学研究 44(4):147, 1957

北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic
Northern cereal mosaic virus (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス
伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19)

黒節病 kurofushi-byo Bacterial black node, Bacterial stripe blight (細菌性節黒病, 黒条病)
Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Pseudomonas striafaciens* var. *japonica* Ikata, Mukoo, Tsuchiya & Kusaba, *Pseudomonas syringae* pv. *japonica* (Mukoo 1955) Dye, Bradbury, Goto, Hayward, Lelliott & Schroth 1980]
向 秀夫:農薬と病虫 4(5):116, 1950 ; 向 秀夫:枋内・福士還暦記念論文集:153, 1955

赤かび病 akakabi-byo Scab, *Fusarium* blight (赤黴病, 黒点病, 赤麴病)
(1) *Gibberella zeae* (Schweinitz) Petch
出田 新:実用植物病理学 196, 1902(明 35) ; 西門義一:農業改良技術資料 97:10, 1958
[備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照
(2) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo
枋内吉彦・杉本利哉:日植病報 17(3-49):182, 1953
[備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照
(3) *Fusarium culmorum* (W.G. Smith) Saccardo
小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983
[備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照
(4) *Fusarium crookwellense* L.W. Burgess, P.E. Nelson & Toussoun
Sugiura, Y. *et al.*:Mycoscience 35(1):77, 1994
(5) *Monographella nivalis* (Schaffnit) E. Müller [*Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]
小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983
[備考] 病原菌の異名と使用種名, 文献についての解説はオオムギ赤かび病参照

赤さび病 akasabi-byo Leaf rust, Brown rust (赤錆病, 褐色錆病, 褐錆病, 赤渋病)
Puccinia recondita Roberge ex Desmazières [*Puccinia triticea* Eriksson, *Puccinia rubigo-vera* G. Winter f. sp. *tritici* Mains]
出田 新:日本植物病理学(下):508, 1911(明 44) ; 平塚利子:琉球大農家政工学部報告 5:70, 1958

いもち病 imochi-byo Blast
Pyricularia oryzae Cavara [*Pyricularia grisea* (Cooke) Saccardo, *Pyricularia grisea* sensu Hara non Saccardo]
原 攝祐:病虫雑 3(9):693, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日本菌類目録:274, 1954 ; Murata, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):66, 2014

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病, 白黴病)
Blumeria graminis (de Candolle) Speer f. sp. *tritici* Marchal [*Erysiphe graminis* de Candolle f. sp. *tritici* É.J. Marchal]
出田 新:日本植物病理学:273, 1903(明 36) ; 佐藤幸生:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):76, 1992

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew (黄斑性萎縮病, 萎縮性黄斑病)
Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan
山田玄太郎:宮部記念植物集説:381, 1912(大 1)

[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

黄斑病 ohan-byo Yellow spot

Pyrenophora tritici-repentis (Diedicke) Drechsler [*Drechslera tritici-repentis* (Diedicke) Shoemaker, *Drechslera tritici-vulgaris* (Y. Nisikado) S. Ito, *Helminthosporium tritici-repentis* Diedicke, *Helminthosporium tritici-vulgaris* Y. Nisikado]

西門義一:日植病報 2(2):89, 1928(昭 3) ; 上山昭則ら:植物防疫 32(9):361, 1978

角斑病 kakuhan-byo Gray leaf spot, Halo spot

Pseudoseptoria donacis (Passerini) B. Sutton [*Selenophoma donacis* (Passerini) R. Sprague & Aar.G. Johnson]

香月繁孝・西原夏樹:植物防疫 8(5):209, 1954 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):362, 1992

褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Browning root rot (雪下腐敗病, 黄枯病)

(1) *Pythium iwayamai* S. Ito

(2) *Pythium paddicum* Hirane

(3) *Pythium horinouchiense* Hirane

(4) *Pythium graminicola* Subramanian

(5) *Pythium okanoganense* P.E. Lipps

(6) *Pythium vanterpoolii* V. Kouyeas & H. Kouyeas

(7) *Pythium volutum* Vanterpool & Truscott

松尾孝嶺ら:農作物の雪害防除に関する試験成績(農林省農政局) 1, 1944(昭 19) ; 一谷多喜郎ら:日植病報 52(2):209, 1986

株腐病 kabugusare-byo Foot-rot, Rhizoctoniose (紋枯病, 株腐菌核病, 菌核病)

Ceratobasidium gramineum (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki

横木国臣:日植病報 2(4):385, 1931(昭 6) ; 松浦 義:病虫雑 17(7):448, 1930(昭 5) ; 鬼木正臣ら:日菌報 27(2):147, 1986 ; 高松 進:福井農試特別報 9:9, 1989

[備考] 病原菌の異名および積雪下の症状についてはオオムギ株腐病参照

から枯病 karagare-byo (稈枯病)

Mycosphaerella hordicola Hara

鶴田章逸:病虫雑 3(7):530, 1916(大 5)

から黒穂病 kara-kuroho-byo Flag smut (稈黒穂病, すじくろぼ, 条黒穂病)

Urocystis agropyri (Preuss) A.A. Fischer Waldheim [*Urocystis tritici* Körnicke, *Tubercinia tritici* Liro]

堀 正太郎:農商務省農試報告 18:6, 1901(明 34)

眼紋病 gammon-byo Eye spot

Pseudocercospora herpotrichoides (Fron) Deighton

古屋廣光:日植病報 50(1):77, 1984

黄枯病 kigare-byo Browning root rot, Seedling blight

Pythium spp.

田杉平司:日植病報 3(1):78, 1934(昭 9)

[備考] オオムギでは黄枯病菌として *Pythium* 属菌 3 種が記載されている

黄さび病 kisabi-byo Stripe rust (黄銹病)

Puccinia striiformis Westendorp var. *striiformis*

出田 新:農作物病理学:64, 1901(明 34)

[備考] 病原菌の異名はオオムギ黄さび病参照

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotium rhizodes Auerswald

堀 正太郎:大日本農会報 394:52, 1914 (大 3)

[備考] 発生および病原菌について調査を要する

黒さび病 kurosabi-byo Stem rust, Black rust (黒銹病, 稈銹病, 夏赤渋病, 夏銹病, 葉渋病, 黒色銹病, くろはしぶ)

Puccinia graminis Persoon subsp. *graminis* Cummins

出田 新:農作物病理学:62, 1901(明 34)

[備考] 病原菌の異名はオオムギ黒さび病参照

黒目粒 kurome-ryu Black point, Kernel smudge

(1) *Cochliobolus sativus* (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur

(2) *Alternaria* sp.

明日山秀文:日植病報 8(3):251, 1938(昭 13)

[備考] 上記 (1) の異名はコムギ斑点病参照

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Snow mold, Fusarium snow blight

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

栗林数衛:日植病報 7(1):62, 1937(昭 12)

[備考] 本病菌は雪とは無関係に発生し, 葉に大型暗色斑紋を生ずることがある (明日山秀文:日植病報 10:51, 1940)。中国地方で報告された *Mycosphaerella* sp. による病害 (山本 勉:中国農業研究 2:33, 1956) も同じ病害と思われる。病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

黒点病 kokuten-byo Glume spot (斑点病)

Epicoccum nigrum Link [*Epicoccum purpurascens* Ehrenberg ex Schlechtendal, *Epicoccum tritici* Hennings]

原 攝祐:作物病理学:92, 1925(大 14); 富永時任ら:日植病報 24(1):36, 1959; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):502, 1992

黒変病 kokuh-en-byo Black mold

Cladosporium herbarum (Persoon) Link

鶴田章逸:病虫雑 6(6):449, 1919(大 8)

条斑病 johan-byo Cephalosporium stripe (条斑性萎縮病)

Cephalosporium gramineum Y. Nisikado & Ikata

西門義一ら:農学研究 21:270, 1933(昭 8)

[備考] 本菌のスポロドキア時代名および異名についてはオオムギ条斑病を参照

すそ葉枯病 suso-hagare-byo Ascochyta leaf spot (裾葉枯病, 裾枯病)

Ascochyta tritici Hori & Enjoji

円城寺定男:病虫雑 17(8):528, 1930(昭 5)

立枯病 tachigare-byo Take-all (裾腐病)

Gaeumannomyces graminis (Saccardo) Arx & D.L. Olivier var. *tritici* J. Walker

堀 正太郎:農商務省農試報告 18:35, 1901(明 34); 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):595, 1978; 宮島邦之・坪木和男:北海道立農試集報 45:38, 1981

[備考] 病原菌の異名はオオムギ立枯病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson
西原夏樹:日植病報 25(1):48, 1960

なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt, Stinking smut (腥黒穂病, 黒粒病, ふすべ, ふすべ病, 臭奴, くろこむぎ)
(1) *Tilletia caries* (de Candolle) L.R. Tulasne & C. Tulasne [*Tilletia tritici* (Bjerkander) Winter] (網なまぐさ黒穂菌)
(2) *Tilletia foetida* (Bauer) Liro [*Tilletia foetens* (Berkeley & M.A. Curtis) Schroeter] (丸なまぐさ黒穂病)
佐々木忠次郎・上田栄次郎:作物病虫害教科書:25, 1903(明 36)
[備考] 病原によって区別するときは (1) を網なまぐさ黒穂病, (2) を丸なまぐさ黒穂病と呼ぶ

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
梶谷裕二:日植病報 75(1):39, 2009

葉枯病 hagare-byo Speckled leaf blotch (セプトリア病)
Septoria tritici Roberge ex Desmazières [*Septoria graminum* Desmazières]
鶴田章逸:病虫雑 6(7):526, 1919(大 8)

裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (麦奴, こなくろぼ病)
Ustilago nuda (C.N. Jensen) Rostrup [*Ustilago tritici* (Persoon) Rostrup]
出田 新:日本植物病理学(下):370, 1911(明 44) ; 柿嶋 眞:筑波大農林研究 1:88, 1982

斑点病 hanten-byo Spot blotch, Crown rot (裾枯病, 脚腐病)
Cochliobolus sativus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur
西門義一:農学研究 7:163, 1925(大 14) ; 栗林数衛:札幌博物学会報 10:138, 1929(昭 4) ; 上山昭則ら:植物防疫 32(9):361, 1978
[備考] 病原菌の異名はオオムギ斑点病参照

麦角病 bakkaku-byo Ergot
Claviceps purpurea (Fries) Tulasne var. *purpurea*
出田 新:農作物病理学:67, 1901(明 34)

ふ枯病 fugare-byo Glume blotch (稈枯病, 淡色葉枯病, 穎セプトリア病)
Phaeosphaeria nodorum (E. Müller) Hedjaroude [*Leptosphaeria nodorum* E. Müller, *Septoria nodorum* Berkeley, *Stagonospora nodorum* (Berkeley) E. Castellani & Germano]
藤黒與三郎:病虫雑 5(12):957, 1918(大 7) ; 宇都敏夫:農改資 74:1, 1956 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):543, 1992

雪腐大粒菌核病 yukigusare-otsubu-kinkaku-byo Sclerotinia snow blight
Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn [*Sclerotinia borealis* Bubák & Vleugel]
田中一郎・福地宏平:農及園 21(4):141, 1946 ; 富山宏平:北海道農試報告 47:1, 1955
[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐大粒菌核病参照。 *Typhula* spp., *Calonectria graminicola*, *Pythium* spp. によるものを含め雪腐病と総称することがある

雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight, Snow-rot (菌核病, 冬枯病, 雪

腐菌核病)

(1) *Typhula incarnata* Lasch

(2) *Typhula ishikariensis* S. Imai var. *ishikariensis*

ト蔵梅之丞:病虫雑 13(8):476, 1926(大 15) ; 村田寿太郎:大日本農会報 554:40, 1927(昭 2) ; 富山宏平:北海道農試報告 47:1, 1955 ; 宇井格生監修:北海道畑作物の土壌病害 291, 1983

[備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照。病原によって区別するときは (1) を雪腐褐色小粒菌核病, (2) を雪腐黒色小粒菌核病という。また *Myriosclerotinia borealis*, *Calonectria graminicola*, *Pythium* spp. によるものを含め雪腐病と総称することがある

茎線虫病 kuki-senchu-byo

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus devastatrix* Kühn, *Anguillulina dipsaci* (Kühn) Gervais & van Beneden] ナミクキセンチュウ

原 攝祐:実用作物病理学:93, 1925(大 14) ; 弥富喜三・横尾多美男:応動 6:188, 1934(昭 9)

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Bidara avenae (Wollenweber) Krall & Krall [*Heterodera major* Schmidt, *Heterodera avenae* Wollenweber] ムギシストセンチュウ

一戸 稔:北海道農試報告 48:46, 1955 ; 清水 啓ら:日線虫研誌 17:42, 1987

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema insigne Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

粒線虫病* tsubu-senchu-byo Wheat gall, Cockles (穀実線虫病, 胡麻病, 線虫病, 黍椒病, 虫癭病, 豌豆, 黍椒(山椒)粒)

Anguina tritici (Steinbuch) Filipjev [*Anguillula tritici* (Steinbuch) Grube, *Tylenchus tritici* (Steinbuch) Bastian, *Tylenchus scandens* (Schneider) Cobb, *Anguillulina tritici* (Steinbuch) Gervais & van Beneden] コムギツブセンチュウ

玉利喜造:大日本農会報 37:20, 1884(明 17) ; 岡山農試:農事試験成績 2, 84, 1902(明 35) ; 堀 正太郎:大日本農会報 386:46, 1913(大 2) ; 瀧元清透:病虫雑 3(1):28, 1916(大 5) ; 向坂幾三郎:朝鮮勸業模範場報告 10:143, 1916(大 5) ; 鋤塚喜久治:病虫雑 23(3):194, 1936(昭 11) ; 鋤塚喜久治:農業 707:5, 1939(昭 14)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験による寄生性の確認例。「麦類」の根圏土壌からの検出例は数多い (後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974)

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 18:124, 1967

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

黄色斑点病 oshoku-hanten-byo “Flecken”

原因不明

福岡農試業務年報:小麦黄色斑点病試験成績報告 昭9年度:126, 1935(昭10)

[備考] 壺状菌目の1種(未同定)によって起こるとする意見もある(鈴木直治:日植病報 15:150, 1951)

白縞病 shiroshima-byo Interveinal necrosis

マグネシウム欠乏

木谷清美ら:農及園 28(11):1325, 1953

心枯病 shingare-byo

寒害?

鶴田章逸:病虫雑 7(2):107, 1920(大9)

中葉枯病 naka-hagare-byo Leaf blight

病原未記載

桜井 肇:病虫雑 22(6):430, 1935(昭10)

[備考] 原因不明。調査を要する

紅立枯病 beni-tachigare-byo

原因不明

宮脇雪夫ら:農及園 24(3):216, 1949

††えいほう腐敗病* eiho-fuhai-byo Basal glume rot (穎苞の腐敗病)

Pseudomonas syringae pv. *atrofaciens* (McCulloch) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium atrofaciens* McCulloch]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:254, 1941(昭16)

[備考] 国内発生未詳

†黒ふ病 kurofu-byo Bacterial blight (黒俘病, 立枯性細菌病)

Xanthomonas translucens pv. *translucens* (ex Jones, Johnson & Reddy 1917) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium translucens* Jones, Johnson & Reddy, *Xanthomonas campestris* pv. *translucens* (Jones, Johnson & Reddy 1917) Dye 1978]

中田覺五郎・明日山秀文:満州産業部資料 32(満州主要農作物病害調査報告):19, 1939(昭14)

[備考] 中国東北部

††ねん葉細菌病* nen'yo-saikin-byo (捻葉性細菌病)

Rathayibacter tritici (Carlson & Vidaver 1982) Zgurskaya, Evtshenko, Akimov & Kalakoutskii 1993 [*Bacterium tritici* (Hutchinson 1917) Elliott]

石川信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:640, 1941(昭16)

[備考] 国内発生未詳

†††スッポヌケ症(仮称) supponuke-sho

担子菌の1種

清水基滋・宮島邦之:日植病報 56(1):141, 1990

[備考] 病原菌未同定

††††

Alternaria sp. [*Epicoccum* sp.]

平山成一:北日本病虫研報 38:183, 1987

[備考] 黒変穂から分離

トウモロコシ(玉蜀黍)
Maize, Corn, Indian corn
Zea mays L.
(食用作物)

黄化病 oka-byo Yellows

Barley yellow dwarf virus#

范 永堅ら:日植病報 50(1):131, 1984 ; 范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994

縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe

Rice stripe virus (RSV) イネ縞葉枯ウイルス

新海 昭:植物ウイルス病(日高 醇ら編):257, 1960 ; 安 正純:日本作物ウイルス病総覧(明日山秀文・飯田俊武編):85, 1967

すじ萎縮病 suji-ishuku-byo Streaked dwarf (黒条萎縮病)

Rice black streaked dwarf virus (RBSDV) イネ黒条萎縮ウイルス

小林政明・小尾充雄:農業技術 11(5):175, 1956

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

田杉平司・向 秀夫:日植病報 13(1):61, 1948 ; 小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

(2) *Maize dwarf mosaic virus* (MDMV) トウモロコシ萎縮モザイクウイルス

御子柴義郎ら:日植病報 68(1):70, 2002

(3) *Sugarcane mosaic virus* (SCMV) サトウキビモザイクウイルス

鳥山重光ら:日植病報 30(5):264, 1965

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Ear Soft rot

Burkholderia gladioli (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993

相馬 潤:日植病報 79(1):64, 2013

褐条病 katsujo-byo Bacterial brown stripe

Acidovorax avenae subsp. *avenae* (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992

[*Pseudomonas alboprecipitans* Rosen]

富永時任:日植病報 34(5):350, 1968

条斑細菌病 johan-saikin-byo Bacterial stripe

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin

& Fernandez 1995 [*Bacterium andropogonis* Smith]

後藤正夫・岡部徳夫:静岡大農研報 2:10, 1952

倒伏細菌病 tofuku-saikin-byo Bacterial stalk rot

(1) *Dickeya zeae* Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [*Erwinia chrysanthemi* pv. *zeae* (Sabet 1954) Victoria, Arboleda & Muñoz 1975]

瀧川雄一ら:日植病報 48(1):76, 1982

(2) *Pseudomonas marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925 の1系統

瀧川雄一ら:日植病報 48(3):373, 1982

[備考] 外国では *Pseudomonas syringae* pv. *lapse* (Ark 1940) Young, Dye & Wilkie 1978 による倒伏細菌病が報告されている

青かび病 aokabi-byo Blue mold kernel rot

(1) *Penicillium italicum* Wehmer

獅山慈孝ら:日植病報 62(3):268, 1996

(2) *Penicillium* spp.

西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959

赤かび病 akakabi-byo Gibberella ear rot, Kernel rot, Stalk rot (赤黴病)

(1) *Fusarium asiaticum* O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser

Kawakami A. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):324, 2015

(2) *Fusarium concentricum* Nirenberg & O'Donnell

月星隆雄ら:日植病報 78(3):187, 2012

(3) *Fusarium fujikuroi* Nirenberg

(4) *Fusarium proliferatum* (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg

月星隆雄ら:日植病報 77(3):203, 2011

(5) *Fusarium verticillioides* (Saccardo) Nirenberg

岡部郁子ら:日植病報 74(1):35, 2008

(6) *Gibberella zeae* (Schweinitz) Petch

[備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照

(7) *Gibberella fujikuroi* (Sawada) S. Ito [*Gibberella moniliformis* Wineland, *Fusarium moniliforme* J. Sheldon]

出田 新:日本植物病理学(下):785, 1909(明 42) ; 西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959

糸黒穂病 ito-kuroho-byo Head smut

Sporisorium holci-sorghii (Rivolta) Vánky [*Sphacelotheca reiliana* (J.G. Kühn) G.P. Clinton, *Sorosporium reilianum* (J.G. Kühn) McAlpine]

三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):47, 1921(大 10) ; 柿畠 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):587, 1992

いもち病 imochi-byo Blast (稲熱病)

(1) *Pyricularia grisea* (Cooke) Saccardo [*Pyricularia oryzae* Cavara]

逸見武雄ら:日植病報 13(3-4):23, 1949 ; 山中 達・西原夏樹:日植病報 45(4):541, 1979

(2) *Pyricularia* sp.

山中 達・西原夏樹:日植病報 45(4):541, 1979

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Crazy top downy mildew (黄斑性萎縮病, 萎縮性黄斑病)

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

田中一郎:日植病報 10(2-3):127, 1940(昭 15)

[備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照

汚点病 oten-byo

Epicoccum nigrum Link [*Epicoccum purpurascens* Ehrenberg ex Schlechtendal, *Epicoccum neglectum* Desmazières]

出田 新:日本植物病理学(下):788, 1911(明 44) ; 出田 新:続日本植物病理学(下):1052, 1926(大 15)

褐斑病 kappan-byo Eye spot (炭疽病)

Kabatiella zeae Narita & Y. Hiratsuka

成田武四ら:日植病報 22(1):61, 1957 ; 成田武四ら:北海道立農試集報 4:71, 1959 ; 成田武四・平塚保之:日植病報 24(3):147, 1959

褐条べと病 katsujo-beto-byo Brown stripe downy mildew
Sclerophthora rayssiae R.G. Kenneth, Koltin & I. Wahl var. *zeae* Payak & Renfro
西原夏樹・石井 耕:日植病報 52(1):101, 1986

黒穂病 kuroho-byo Smut (おぼけ)
Ustilago maydis (de Candolle) Corda [*Ustilago zeae* (Beckmann) Unger]
田中延次郎:植物学雑 4(44):387, 1890(明 23)

腰折病 koshiore-byo
Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick
西原夏樹・井澤弘一:日植病報 45(1):124, 1979

ごま葉枯病 goma-hagare-byo Leaf spot, Southern leaf spot, Southern leaf blight (胡麻葉枯病, 斑点病)
Cochliobolus heterostrophus (Drechsler) Drechsler [*Ophiobolus heterostrophus* Drechsler, *Drechslera maydis* (Y. Nisikado & C. Miyake) Subramanian & B.L. Jain, *Helminthosporium maydis* Y. Nisikado & C. Miyake, *Bipolaris maydis* (Y. Nisikado & C. Miyake) Shoemaker]
原 攝祐:実用作物病理学:593, 1925(大 14)

さび病 sabi-byo Rust, Leaf rust (銹病)
Puccinia sorghi Schweinitz
出田 新:実用植物病理学:123, 1902(明 35) ; 平塚直秀:植物防疫 5(8):279, 1951

白絹病 shirakinu-byo Stem rot
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):446, 1919(大 8)
[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

すす紋病 susumon-byo Leaf blight, Northern leaf blight (煤紋病, 斑葉病, 葉枯病, 煤葉病)
Setosphaeria turcica (Luttrell) K.J. Leonard & Suggs [*Exserohilum turcicum* (Passerini) K.J. Leonard & Suggs, *Drechslera turcica* (Passerini) Subramanian & B.L. Jain, *Helminthosporium turcicum* Passerini]
出田 新:日本植物病理学(下):752, 1911(明 44)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum graminicola (Cesati) G.W. Wilson
佐々木三男:札幌農林会報 31(149):44, 1939(昭 14) ; 西原夏樹:日植病報 25(1):48, 1960

苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight
(1) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen]
島田昌一:日植病報 10(4):334, 1941(昭 16)
(2) *Penicillium* sp.
西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959 ; 田中文夫ら:北日本病虫研報 40:37, 1989

南方さび病 nampo-sabi-byo Southern rust
Puccinia polysora Underwood
但見明俊:日草誌 29(3):261, 1983

根朽病 nekuchi-byo Rhizoctonia root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

西村範夫・工藤和一:九病虫研会報 34:17, 1988

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2

根腐病 negusare-byo Browning root rot (茎腐病, 萎ちょう病)

(1) *Pythium arrhenomanes* Drechsler

舟久保太一・景山幸二:関東病虫研報 57:15, 2010

(2) *Pythium graminicola* Subramanian

佐藤 徹ら:日植病報 50(1):137, 1984 ; 橋本光司ら:関東病虫研報 32:56, 1985

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Curvularia lunata (Wakker) Boedijn

勝本 謙ら:日植病報 45(4):543, 1979

斑点病 hanten-byo Brown spot (フイソデルマ病)

Physoderma maydis Miyabe [*Physoderma zea-maydis* F.J.F. Shaw]

千石与太郎:愛媛県農会報 32:21, 1905(明 38) ; 出田 新:続日本植物病理学(下):1138, 1926(大 15)

ひょう紋病 hyomon-byo

Gloeocercospora sorghi D.C. Bain & Edgerton ex Deighton

杉山正樹ら:日植病報 51(1):74, 1985 ; 但見明俊:作物病害事典(岸 國平編):83, 1988

ピシウム苗立枯病 *Pythium-nae-tachigare-byo*

(1) *Pythium sylvaticum* W.A. Campbell & F.F. Hendrix

(2) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(3) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum* [*Pythium ultimum* Trow]

(4) *Pythium spinosum* Sawada

(5) *Pythium paroecandrum* Drechsler

近藤則夫ら:日植病報 50(3):393, 1984 ; 近藤則夫ら:日植病報 51(1):105, 1985 ; 近藤則夫ら:日植病報 52(4):585, 1986

フザリウム茎腐病 *Fusarium-kukigusare-byo* Fusarium stalk

(1) *Fusarium graminearum* Schwabe

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

月星隆雄ら:日植病報 79(3):181, 2013

北方斑点病 hoppo-hanten-byo Northern leaf spot

Cochliobolus carbonum R.R. Nelson [*Bipolaris zeicola* (G.L. Stout) Shoemaker]

西原夏樹:日植病報 47(3):367, 1981 ; 月星隆雄ら:日植病報 52(3):493, 1986

紋枯病 mongare-byo Sheath blight (大粒白絹病, 大粒菌核病, 葉腐病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):471, 1919 (大 8) ; 遠藤 茂:農及園 10(9):2083, 1935(昭 10)

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IA。病原菌の異名はイネ紋枯病参照

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966 ; 後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

(3) *Pratylenchus zaeae* Graham モロコシネグサレセンチュウ

後藤 昭・大島康臣:応動昆 7(3):187, 1963 ; 後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

苦土欠乏症 kudo-ketsubo-sho Magnesium deficiency

マグネシウム欠乏

仲野博之・櫛引英男:北海道立農試集報 15:15, 1967 ; 田中彰一:農及園 19(9):812, 1944(昭 19) ; 石塚喜明:
農及園 31(1):195, 1956

††条斑病 johan-byo Streak

ウイルス (未同定)

栗林数衛:長野農試報告 2:45, 1931(昭 6)

[備考] 海外研究の紹介

††萎凋細菌病* icho-saikin-byo Bacterial wilt (萎凋性細菌病, ステワルト氏病)

Pantoea stewartii subsp. *stewartii* (Smith 1898) Mergaert Verdonck & Kersters 1993 [*Xanthomonas stewartii* (Smith 1898) Dowson 1939, *Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith, *Erwinia stewartii* (Smith 1898) Dye 1963]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:719, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳

††茎枯細菌病* kukigare-saikin-byo Bacterial root and stalk rot (茎枯性細菌病)

Enterobacter cloacae subsp. *dissolvens* (Rosen 1922) Hoffmann, Stindl, Ludwig, Stumpf, Mehlen, Heesemann, Monget, Schleifer & Roggenkamp 2005 [*Pseudomonas dissolvens* Rosen, *Aplanobacter dissolvens* (Rosen) Rosen, *Erwinia dissolvens* (Rosen 1922) Burkholder 1948]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:687, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳

††葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Goss's bacterial wilt and blight, Nebraska leaf freckle

Clavibacter michiganensis subsp. *nebraskensis* (Vidaver & Mandel 1974) Davis, Gillaspie Jr., Vidaver & Harris 1984

平田賢司ら:植物防疫 52(2):83, 1998

[備考] アメリカ合衆国で発生

††斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial eyespot (斑点性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902

岡部徳夫:植物細菌病学:141, 1949

[備考] 本細菌はわが国にも分布するが、トウモロコシでは未発生。病原細菌の異名はモロコシ斑点細菌病参照

††焼病 yake-byo (細菌病)

Enterobacter cloacae (Jordan 1890) Hormaeche & Edwards 1960 [*Aerobacter cloacae* (Jordan 1890) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923, *Bacillus cloacae* Jordan 1890, *Bacillus zeae* (Comes 1891) Russell 1893]

上田栄次郎:病虫雑 1(1):20, 1914(大 3)

[備考] 外国に於ける細菌病の研究史 (総説) 中に引用

†茎腐病 kukigusare-byo

Pythium debaryanum R. Hesse

三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):47, 1921(大 10)

[備考] 中国東北部。病原菌は国内にも分布する。病原菌の分類学的検討を要する

†灰色菌核病* haiiro-kinkaku-byo

Sclerotium fumigatum N. Nakata ex Hara

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :234, 1959

[備考] 台湾。国内にもイネの灰色菌核病はあるが、トウモロコシでは未確認

†べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

(1) *Peronosclerospora maydis* (Raciborski) C.G. Shaw [*Sclerospora javanica* Palm, *Peronospora maydis* Raciborski, *Sclerospora maydis* E.J. Butler]

(2) *Peronosclerospora sacchari* (T. Miyake) Shirai & Hara [*Peronosclerospora sacchari* (T. Miyake) Shirai & Hara, *Sclerospora sacchari* T. Miyake]

村田寿太郎:病虫雑 2(5):445, 1915(大 4); 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):98, 1919(大 8);

御子柴晴夫:熱帯農業 14(4):213, 1971 ; Shaw, C. G.:Mycologia 70:594, 1978

[備考] 台湾

†シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Heterodera zeae Koshy, Swarup & Sethi

Chinnarwsri, B. et al.:Jpn. J. Nematol. 24(1):35, 1994

[備考] タイ。接種試験未了

††††

Alternaria sp.

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:9, 1946

[備考] 葉枯症状のものから分離

††††

†††*Diplodia maydis* (Berkeley) Saccardo

臺 喜吉ら:日植病報 54(1):68, 1988

[備考] アメリカ産輸入種子より分離

††††

Endomyces sp.

三浦密成:秋田農試報告 8:3, 1951

††††

Phaeosporella sp.

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:9, 1946

[備考] 煤紋症状のものから分離

マコモ類
Manchurian wild rice
Zizania spp.
(野草)

マコモ Manchurian wild rice *Zizania latifolia* (Griseb.) Stapf
アメリカマコモ(ワイルドライス) *Zizania palustris* L.

白葉枯病 shirahagare-byo

Xanthomonas oryzae pv. *oryzae* (ex Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [*Xanthomonas oryzae* (Uyeda & Ishiyama) Dowson]

後藤和夫ら:農及園 28:207, 1953 ; 吉村彰治ら:日植病報 24:6, 1959

[備考] マコモ

いもち病 imochi-byo Blast

(1) *Pyricularia grisea* (Cooke) Saccardo [*Pyricularia oryzae* Cavara]

生井恒雄ら:日植病報 62(3):247, 1996

[備考] アメリカマコモ。病原菌の学名は Rossman, A.Y. et al.:Mycologia 82:509, 1990 を参照

(2) *Pyricularia zizaniaecola* Hashioka [*Pyricularia zizaniae* Hara]

原 攝祐:日本園芸雑誌 28(12):9, 1916 ; 後藤和夫ら:日植病報 18:160, 1954 ; Hashioka, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 14:256, 1973

[備考] マコモ

褐色菌核病 kasshoku-kinkaku-byo

Sclerotium oryzae-sativae Sawada

中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:73, 1939

[備考] マコモ。病原菌の学名については、イネ褐色菌核病を参照

球状菌核病 kyujo-kinkaku-byo

Sclerotium hydrophilum Saccardo

中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:81, 1939 ; 稲垣公治:日本植物病害大事典(岸 國平編):1225, 1998

[備考] マコモ

黒穂病 kuroho-byo Smut

Ustilago esculenta Hennings

澤田兼吉:台湾産菌類調査報告 1:319, 1919 ; 柿畠 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:82, 1982

[備考] マコモ

さび病* sabi-byo Rust

Uromyces coronatus Miyabe & Nishida ex Dietel

Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:910, 1992

[備考] マコモ

斑点病 hanten-byo (胡麻葉枯病, 黒節病, 煤穂病)

Cochliobolus miyabeanus (S. Ito & Kuribayashi) Drechsler ex Dastur [*Bipolaris zizaniae* (Y. Nisikado) Shoemaker]

西門義一:大原農研特別報告 4:173, 1928 ; 西原夏樹:草地試研究資料 2:105, 1991

[備考] マコモ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] マコモに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

シバ(芝, 和芝, 日本芝)

Zoysia grass

Zoysia spp.

(牧草・芝草)

シバ, ノシバ *Zoysia*, Japanese lawngress *Zoysia japonica* Steud.

ハリシバ Manila grass *Zoysia matrella* (L.) Merr.

コウライシバ Mascarene grass *Zoysia tenuifolia* Willd. ex Thiele

芝または芝草の病害のうち, 明らかに *Zoysia* 属の芝の病名と思われるものの他, 罹病植物名不詳のものも++++を付してここに収録した。西洋芝はベントグラス (*Agrostis*), ブルーグラス (*Poa*) およびバミューダグラス (*Cynodon*) などが用いられ, その病名は牧草と同一であるので, それぞれの植物の項を参照のこと。なお日本のゴルフ場では, しばしばハリシバ (マニラシバ) をコウライと呼んでいるので, 草種には注意を要する

萎縮病 ishuku-byo *Zoysia* dwarf

Wheat mottle dwarf virus# (WMDV) コムギ斑紋萎縮ウイルス

山下修一ら:日植病報 44(1):101, 1978 ; 山下修一ら:日植病報 44(3):395, 1978

[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Zoysia mosaic virus# (ZoMV) シバモザイクウイルス

鳥山重光ら:日植病報 34(3):199, 1968 ; 鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):31, 1972

黄萎病 oi-byo Yellow dwarf

Phytoplasma ファイトプラズマ

尾上孝利ら:芝草研究 13(2):163, 1984 ; 尾上孝利ら:日植病報 39(2):163, 1973

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Yellow tuft

Sclerophthora macrospora (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan

堀田佳祐ら:日植病報 81(1):73, 2015

[備考] 接種試験未了

褐条葉枯病 katsujo-hagare-byo Brown stripe

Cochliobolus heveicola Tsukiboshi & W.H. Chung [*Bipolaris heveae* (Petch) Arx emend. J. J. Muchovej & R. M. C. Muchovej]

Tsukiboshi, T. *et al.*:Mycoscience 46(1):17, 2005

[備考] 月星ら(芝草研究 24(別 1):49, 1995)は本病をヘルミントスポリウム葉枯病と, また月星・森脇(日本菌学会第 43 回大会講演要旨集 45, 1999)は病原菌を *C. stenospilus* としたが, 病名および病原学名を訂正した。ノシバに発生

環紋病 kammon-byo

Drechslera gigantea (Heald & F.A. Wolf) S. Ito

西原夏樹ら:日植病報 53(1):119, 1987 ; Sato, T. *et al.*:Rept. Tottori Mycol. Inst. 28:175, 1990

カーブラリア葉枯病 *Curvularia-hagare-byo* Curvularia leaf blight, Curvularia leaf spot (立枯病, 犬の足跡, 葉枯病)

Curvularia geniculata (Tracy & Earle) Boedijn [*Helminthosporium geniculatum* Tracy & Earle]

平山重勝ら:三重大農学報 18:15, 1958 ; 田浜康夫:日植病報 38(3):182, 1972

[備考] 病原菌の完全世代 *Pseudocochliobolus geniculatus* (Nelson) Tsuda, Ueyama & Nishihara は日本シバでは未記録

疑似葉腐病* giji-hagusare-byo Rhizoctonia patch (リゾクトニア性春はげ症, 象の足跡)

Ceratobasidium spp. (binucleate *Rhizoctonia*)

鬼木正臣ら:日植病報 52(5):850, 1986 ; 反保宏之ら:芝草研究 19(1):31, 1990 ; 田中明美ら:日植病報 60(3):344, 1994

[備考] 病菌の内容についてはベントグラス疑似葉腐病参照。発生時期により春はげ, 象の足跡 (夏~秋) と呼ばれる。田中ら (1994) は, 春はげ症の病原菌を binucleate *Rhizoctonia* AG-D(I) 系統とし, 象の足跡症の病原菌 AG-D(II) と区別した

紅色雪腐病 koshoku-yukigusare-byo Pink snow mold, Fusarium snow blight

Monographella nivalis (Schaffnit) E. Müller [*Micronectriella nivalis* (Schaffnit) C. Booth, *Microdochium nivale* (Fries) Samuels & I.C. Hallett]

瀧元清透:農薬研究 12(3):44, 1966

[備考] 病原菌の異名はオオムギ紅色雪腐病参照

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia zoysiae Dietel

出田 新:日本植物病理学(下):557, 1911(明 44)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

遠藤 茂:宮崎高農学報 10:72, 1938(昭 13)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

立枯病 tachigare-byo Zoysia decline

糸状菌の1種

檜野 弘ら:日植病報 60(3):342, 1994

[備考] 病原は, *Gaeumannomyces graminis* var. *graminis* と推定されたが, 子のう殻未確認

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum caudatum (Peck ex Saccardo) Peck

田中明美ら:芝草研究 28 (別 1):70, 1999 ; 大久保博人ら:日植病報 70(3):218, 2004

[備考] ハリシバ *Z. matrella*・シバ(ノシバ) *Z. japonica*

ダラースポット病 dollar spot-byo Dollar spot

Sclerotinia homoeocarpa F.T. Bennett

谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993

[備考] コウライシバに発生。本菌は *Sclerotinia* 属の種ではないとされるが所属未定 (Kohn, L.:Mycotaxon 9:413, 1979)

ネクロティックリングスポット病 *necrotic ring spot-byo* Necrotic ring spot
Ophiosphaerella korrae (J. Walker & A.M. Smith) Shoemaker & C.E. Babcock [*Leptosphaeria korrae* J. Walker & A.M. Sm. Bis]

早川敏広ら:芝草研究 33(別 1):24, 2004

[備考] ノシバ *Z. japonica* およびハリシバ *Z. matrella* に発生

熱湯病 *netto-byo*

糸状菌の1種

西原夏樹:農林水産研究文献解題 8:455, 1981

[備考] 病原, 病名とも検討を要する

白葉病 *hakuyo-byo* (白斑病)

Phyllosticta sp.

吉川 功:総説芝生と芝草(日本芝草研究会編):254, 1977

葉腐病 *hagusare-byo* *Rhizoctonia* rot, *Rhizoctonia* patch, Large patch

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

鬼木正臣ら:日植病報 52(5):850, 1986 ; 百町満朗ら:日植病報 60(3):344, 1994

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 菌群が主で, ラージパッチと呼ばれる症状をおこす。日本シバでは完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk は未確認。百町ら (1994) は, 本菌の培養型をラージパッチ型 (LP 型) とした

麦角病 *bakkaku-byo* Ergot

Claviceps yanagawaensis Togashi

富樫浩吾:札幌博物会報 14(4):280, 1936(昭 11)

ピシウム病 *Pythium-byo* Pythium blight (綿腐病, ピシウム性春はげ症, 不揃い症)

(1) *Pythium periplocum* Drechsler

(2) *Pythium graminicola* Subramanian

(3) *Pythium vanterpoolii* V. Kouyeas & H. Kouyeas

谷 利一ら:日植病報 52(1):121, 1986 ; 一谷多喜郎ら:日菌報 27(1):41, 1986 ; 谷 利一ら:芝草研究 17(1):39, 1988 ; 谷 利一ら:芝草研究 20(1):19, 1991

[備考] 発生に季節性があり, *P. periplocum* は主として 6~9 月に発生。*P. graminicola* と *P. vanterpoolii* による症状を不揃い症と呼ぶが, これとは別に *Fusarium avenaceum*, *Monographella nivalis* による冬期の被害パッチに両種が春先に重複感染して大形病斑を形成することがあり (一種の複合病害), 春はげ症と呼ばれる

フェアリーリング病 *fairy ring-byo* Fairy rings

(1) *Bovista dermoxantha* (Vittadini) de Toni [*Bovista pusilla* (Batsch) Persoon, *Lycoperdon pusillum* Batsch ss. Hollós non Batsch] チビホコリタケ

Terashima, Y. et al.:Mycoscience 45:251, 2004 ; Terashima, Y. & Fujiie, A.:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 35:19, 2006

(2) *Conocybe lactea* (J.E. Lange) Métrod キコガサタケ

Terashima, Y. et al.:Mycoscience 45:251, 2004 ; Terashima, Y. & Fujiie, A.:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 35:19, 2006

(3) *Lepista subnuda* Hongo コムラサキシメジ

田浜康夫:芝草研究 2(2):27, 1973

(4) *Lycoperdon perlatum* Persoon ホコリタケ

田浜康夫:芝草研究 2(2):27, 1973

(5) *Marasmius oreades* (Fries) Fries シバフタケ

谷 利一:目で見るゴルフ場の芝草病害:84, 1991

(6) *Vascellum curtisii* (Berkeley) Kreisel [*Lycoperdon curtisii* Berkeley & Curtis, *Lycoperdon wrightii* Berkeley & M.A. Curtis] ヒダホコリタケ

Terashima, Y. *et al.*:Mycoscience 45:251, 2004

[備考] 病原(1), (2), (6)は接種試験未了。ハリシバ

フザリウム病 *Fusarium-byo* *Fusarium blight*

Fusarium acuminatum Ellis & Everhart

谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 ; 谷 利一ら:四国植防 31:21, 1996

[備考] コウライシバ (*Zoysia matrella* (L.) Merr.), ノシバ (*Z. japonica* Steud.) に発生。春はげ症の原因菌の一種

ほこりかび病 *hokorikabi-byo* *Slime mold* (粘菌病, スライムモールド)

(1) *Mucilago crustacea* F.H. Wiggers ヤニホコリ

(2) *Physarum cinereum* (Batsch) Persoon ハイイロホコリカビ

吉川 功・朝倉鍊太郎:グリーン研報集 9:45, 1965 ; 飯田 格:芝草研究 4(1):71, 1975

斑葉葉巻病 *han'yo-hamaki-byo* *Stripe leafroll*

病因未確認

大木 理・井上忠男:日植病報 55(1):101, 1989

[備考] ダニの一種 *Aceria tulipae* による伝搬を確認しているが, 病原ウイルスは未検出

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* *Plant parasitic nematode*

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

大島康臣・市川伊三郎:昭 38 応動昆大会講要:28, 1963

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus devastatrix* Kühn, *Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

吉田 猛:千葉農試研報 6:69, 1965 ; 上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:378, 1975

(3) *Helicotylenchus dihystra* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

大島康臣・市川伊三郎:昭 38 応動昆大会講要:28, 1963 ; 一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(4) *Helicotylenchus platyrus* Darling & Thorne ラセンセンチュウの1種

大島康臣・市川伊三郎:昭 38 応動昆大会講要:28, 1963 ; 一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963

(5) *Hemicriconemoides* sp. サヤワセンチュウの1種

吉田 猛:千葉農試研報 6:69, 1965

(6) *Paratrichodorus mirzai* (Siddiqi) Siddiqi シバユミハリセンチュウ

横尾多美男:佐賀大農彙 20:57, 1964

(7) *Pratylenchus zaeae* Graham モロコシネグサレセンチュウ

大島康臣・市川伊三郎:昭 38 応動昆大会講要:28, 1963

(8) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:378, 1975

(9) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの1種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:378, 1975

根こぶ線虫病 *nekobu-senchu-byo* *Root knot*

(1) *Meloidogyne graminis* (Sledge & Golden) Whitehead シバネコブセンチュウ

西澤 務:今月の農薬 29(9):26, 1985

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1963 ; Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(3) *Meloidogyne marylandi* Jepson
荒城雅昭:日線虫研誌 22:49, 1992

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo
Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種
上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:378, 1975

黄化症 oka-sho
生理障害
田浜康夫:日植病報 39(3):206, 1973 ; 飯田 格:芝草研究 4(1):71, 1975

++++**犬の足跡病** inu-no-ashiato-byo (犬のあし跡)
糸状菌の1種
瀧元清透:農薬研究 16(2):78, 1969 ; 飯田 格:芝草研究 4(1):71, 1975
[備考] 病原, 病名とも検討を要する。カーブラリア葉枯病に含まれる可能性が高い

+++**カッパースポット** kappa-supotto Copper spot
Gloeocercospora sorghi D.C. Bain & Edgerton ex Deighton
飯田 格:芝草研究 4(1):71, 1975
[備考] 病名不適當

++++**しずみ** shizumi (しずみ症)
病因未詳
飯田 格:芝草研究 4(1):71, 1975 ; 吉川 功:総説芝生と芝草(日本芝草研究会編):248, 1977
[備考] 吉川 (1977) は病原不明としている。"しずみ"は一種の症候群の呼称と見るべきではないかと考えられる

ギボウシゴケ科 Grimmiaceae

エゾスナゴケ

Racomitrium japonicum Dozy & Molk.

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

マンサク科 Hamamelidaceae

ヒュウガミズキ(日向水木)

Winter hazel

Corylopsis pauciflora Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

トサミズキ(土佐水木) *Corylopsis spicata* Sieb. & Zucc.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia sp.

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:86, 1977

[備考] トサミズキ

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia sasicola Hara ex Hino & Katumoto

原 攝祐:植物及動物 7(9):1618, 1939(昭 14) ; Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 6:68, 1955

[備考] トサミズキ・コウヤミズキ(*C. gotoana*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] ヒュウガミズキ・コウヤミズキ

斑点病 hanten-byo

Cercospora corylopsidis Togashi & Katsuki

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):52, 1960 ; Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):20, 1952

[備考] ヒュウガミズキ

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] ヒュウガミズキ。病原菌の異名はボブラ類紫紋羽病参照

††††

Dasyscypha heterochaeta Sydow

出田 新:続日本植物病理学(上):186, 1925(大 14)

††††

Microsphaera sp.

佐藤幸生・堀江博道:日植病報 64(4):438, 1998

[備考] ヒュウガミズキ。接種試験未了

イスノキ(柞樹)

(Distylium)

Distylium racemosum Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

伊藤一雄:樹病学大系 3:142, 1974 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia sakamotoi Hiratsuka, f. & Yoshinaga [*Xenostele sakamotoi* (Hiratsuka, f. & Yoshinaga) S. Ito & Murayama]

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):377, 1942(昭 17) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(314):170, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:788, 1992

すす病* susu-byo Black mildew

Asterina distyliicola I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 7:257, 1956

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

シマイスノキ

(Dystylium)

Dystylium lepidotum Nakai

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

ヤマハンノキモドキ

(Fothergilla)

Fothergilla major Lodd.

(広葉樹)

すすかび病 susukabi-byo Sooty spot

Pseudocercospora fothergillae Kobayashi, Ogawa & Nagashima [*Cercospora* sp. sensu Ogawa, 1980]

小河誠司:日林九支研論 33:159, 1980 ; Kobayashi, T. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 32(3):324, 1991

マンサク(金縷梅)

Japanese witch-hazel

Hamamelis japonica Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, 白渋病, うどんこ病)

Phyllactinia hamamelidis U. Braun [*Phyllactinia alni* Y.N. Yu & S.J. Han, *Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten sensu Homma]

出田 新:実用植物病理学:164, 1901(明 34) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭 12) ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:236, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:28, 2012

[備考] マルバマンサクにも発生

褐斑病 kappan-byo

Cercospora hamamelidis (Peck) Ellis & Everhart

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):59, 1960 ; Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):21, 1952

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia mitriformis S. Ito [*Aecidium hamamelidis* Dietel]

安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911 (明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):128, 1904(明 37) ; Hiratsuka, N. & Sato, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 8:9, 1970

[備考] マルバマンサク・ウラジロマルバマンサク(*H. obtusata* var. *discolor*)にも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:林試東北支年報 11:209, 1970 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 268:13, 1974

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類つちくらげ病参照

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

佐藤邦彦:林試東北支年報 11:210, 1970

[備考] 病原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照。病原菌の狭義の種は未検討

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Phyllosticta hamamelidis Peck

本橋慶一ら:樹木医研 12:144, 2008

円星病 maruhoshi-byo

Gonatobotryum apiculatum (Peck) S. Hughes

高野喜八郎:日植病報 52(1):122, 1986

[備考] マルバマンサク(*H. obtusata*)

††††

Phyllosticta hamamelidis Peck

三浦密成:秋田農試報 8:32, 1957

††††

Pleospora mansaku Hara

原 攝祐:病虫雑 5(11):886, 1918(大 7)

フウ(楓)
Formosan gum
Liquidambar formosana Hance
(広葉樹)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot
Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead
周藤靖雄:日植病報 42(3):353, 1976 ; 周藤靖雄:植物防疫 30(12):497, 1976
[備考] 病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Botryosphaeria canker
Botryosphaeria sp. [*Dothiorella* sp.]
周藤靖雄:森林防疫 24(3):61, 1975 ; 周藤靖雄:森林防疫 23(3):47, 1974
[備考] モミジバフウ(*L. stylaciflua*)

すす色斑点病 susuiro-hanten-byo
Pseudocercospora neoliquidambaris C. Nakashima & Tak. Kobayashi [*Cercospora liquidambaris* Cooke & Ellis, *Cercospora liquidambaris* Sawada]
澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):112, 1943(昭 18) ; 小林享夫ら:日植病報 56(1):96, 1990 ; Kobayashi, T. *et al.*:Mycoscience 43:219, 2002

†円星病 maruhoshi-byo
Phyllosticta liquidambaricola Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):64, 1943(昭 18)
[備考] 台湾

トキワマンサク
Fringe flower, Evergreen witchhazel
Loropetalum chinense (R. Br.) Oliver
(広葉樹)

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall disease
Pseudomonas sp.
石原 誠ら:日植病報 82(3):277, 2016

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

オオムバナ科 Heliconiaceae

ヘリコニア

Heliconias

Heliconia spp.

(草花)

根もぐり線虫病* nemoguri-senchu-byo Burrowing nematode disease

Radopholus similis (Cobb) Thorne バナナネモグリセンチュウ

三枝敏郎:植物防疫 21(5):181, 1967 ; 三枝敏郎ら:植防研報 6:41, 1968

[備考] 1966 年にハワイから導入したアンスリウムに寄生して八丈島に侵入したが, 1967 年に根絶され, 現在は国内に発生していない

†††植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Radopholus similis (Cobb) Thorne バナナネモグリセンチュウ

三枝敏郎:植物防疫 21(5):181, 1967 ; 三枝敏郎ら:植防研報 6:41, 1968

[備考] 生産地ハワイ

ハスノハギリ科 Hernandiaceae

ハスノハギリ

(Hernandia)

Hernandia nymphaeifolia (Presl) Kubitzki

(広葉樹)

斑点病 hanten-byo

Guignardia hernandiae Tak. Kobayashi & Y. Kawabe

小林享夫・河辺祐嗣:熱帯農業 36(3):201, 1992

[備考] 接種試験未了

†黒斑病 kokuhan-byo

病原菌所属未定

小林享夫・河辺祐嗣:森林防疫 40(12):221, 1991

†††炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

小林享夫:森林防疫 45(1):10, 1996

[備考] 接種試験未了。病原菌の菌学的記載なし

トチノキ科 Hippocastanaceae

トチノキ(七葉樹)

Japanese horse chestnut

Aesculus turbinata Blume

(広葉樹)

インドトチノキ *Aesculus indica* (Wall. ex Cambess.) Hook.

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

大野啓一郎:植物防疫 29(8):8, 1975

大形輪紋病 ogata-rimmon-byo Large concentric leaf spot

Mycodidymella aesculi C.Z. Wei, Y. Harada & Katsumoto [*Didymella* sp.]

原田幸雄・椿 啓介:日植病報 59(3):293, 1993 ; Wei, C. Z. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(6):642, 1995 ; Wei, C. Z. *et al.*:Mycologia 90(2):336, 1998

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora aesculi Y. Harada & Katsuki

Harada, Y. & Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):286, 1976

がんしゅ病* ganshu-byo Nectria canker

Nectria galligena Bresàdola

白井光太郎:日本菌類目録:59, 1905(明 38)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類がんしゅ病参照

紅粒がんしゅ病* koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:379, 1910(明 43) ; 白井光太郎:植物病理学(下):209, 1894(明 27)

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類紅粒がんしゅ病参照

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

白井光太郎:日本菌類目録:35, 1905(明 38)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参照

白かび病 shirokabi-byo (褐斑病, 白黴病)

Septocylindrium aesculi Togashi & Egami

江川利夫:病虫雑 18(12):722, 1931(昭 6) ; 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:53, 1934(昭 9)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] マロニエ(セイヨウトチノキ)(*A. hippocastanum*)にも発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum aenigma B.S. Weir & P.R. Johnston

市之瀬玲美ら:関東病虫研報 63:123, 2016

[備考] インドトチノキに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

††††

Discosia sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):179, 1960

††††

Valsa ambiens (Persoon) Fries

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):725, 1917(大 6)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Konoh H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

オトギリソウ科 Hypericaceae

オトギリソウ類

(Hypericum)

Hypericum spp.

(草花, 広葉樹)

コボウズオトギリ(小坊主弟切) *H. androsaemum* L.

セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) *H. calycinum* L.

オトギリソウ(弟切草) *H. erectum* Thunb.

ビヨウヤナギ(美容柳) *H. monogynum* L. [*H. salicifolium* Sieb. & Zucc., *H. chinense* L. var. *salicifolium* Y. Kimura]

キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort *H. patulum* Thunb.

セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) *H. perforatum* L.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 42(4):253, 1999

[備考] 丹田(1999)の病害はビヨウヤナギに発生

褐紋病 katsumon-byo Diploceras brown leaf spot

Diploceras hypericinum (Cesati) Diedicke

竹内 純ら:日植病報 72(4):208, 2006

[備考] コボウズオトギリに発生

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn [完全世代: *Thanatephorus cucumeris* (A.B. Frank) Donk]

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:135, 1994

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB。セイヨウキンシバイに発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Melampsora hypericorum* (de Candolle) J. Schröter

堀江博道ら:関東病虫研報 50:117, 2003 ; 堀江博道ら:関東病虫研報 51:87, 2004

[備考] コボウズオトギリ、ビヨウヤナギおよびセイヨウキンシバイに発生

(2) *Melampsora* sp.

堀江博道ら:日植病報 61:604, 1995 ; 中川茂子:47 回日林関東支論:93, 1995

[備考] セイヨウキンシバイに発生。冬孢子世代は未確認

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田琴子ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 森田琴子ら:関東病虫研報 62:93, 2015

[備考] セイヨウオトギリソウに発生

根腐疫病 negusare-eki-byo Phytophthora root rot

Phytophthora cinnamomi Rands

小林達男・植松清次:日植病報 66(3):302, 2000

[備考] コボウズオトギリに発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小林享夫:日植病報 50(1):91, 1984 ; 小林享夫:日植病報 50(4):528, 1984

[備考] ビヨウヤナギに発生

ペスタロチア病* *Pestalotia-byo* Leaf spot

Pestalotiopsis microspora (Spegazzini) G. C. Zhao & N. Li

Zhang, M. *et al.*:Plant dis. 94(8):1064, 2010

[備考] キンシバイに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconeimoides* sp. ワセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌から検出。属名は再検討を要する

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 種名は再検討を要する

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] オトギリソウに発生

(3) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

ハイゴケ科 Hypnaceae

ハイゴケ

Hypnum plumaeforme Wils.

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

シキミ科 Illiciaceae

シキミ(榊)

Japanese anise-tree

Illicium anisatum L.

(広葉樹)

ウイルス病 virus-byo Virus

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

福本文良・前野昭人:関東東山病虫研報 41:181, 1994

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15); Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

黒しみ斑点病 kuroshimi-hanten-byo Black smear leaf spot

Mycosphaerella sp.

松浦 明ら:日植病報 66(2):93, 2000

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium illicii Hemmi

Hemmi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(3):17, 1920(大 9)

[備考] 病原菌の分類学的検討を要する

ペスタロチア病* Pestalotia-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotia illicii* Hino

日野隆之:門司植物防疫所植防資料 7:3, 1953

(2) *Pestalotiopsis longiaristata* (Maublanc) Ribeiro de Souza [*Pestalotia longiaristata* Maublanc]

日野隆之:植研雑 41(4):121, 1966; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

(3) *Pestalotiopsis theae* (Sawada) Steyaert [*Pestalotia theae* Sawada]

日野隆之:採集と飼育 26(12):354, 1964

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未詳

堀江博道:森林防疫 28(4):65, 1979

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

輪紋病 rimmon-byo Ring spot

Eriophyes spp. (フシダニ)

山下修一:植物防疫 57(9):13, 2003; 山下修一:日植病報 69(1):47, 2003

[備考] 病原フシダニ(Eriophyid mites)の3タイプの種は未同定

††††

Guignardia shikimii Hara

原 攝祐:病虫雑 5(6):460, 1918(大 7)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

アヤメ科 Iridaceae

ヒオウギ

Blackberry lily

Belamcanda chinensis (L.) DC.

(草花)

ウイルス病 virus-byo

(1) *Clover yellow vein virus* (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#]

岩木満朗:日植病報 39(3):217, 1973

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

岩木満朗:日植病報 39(3):217, 1973

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

山本孝彦・大畑貫一:日植病報 42(1):81, 1976 ; 山本孝彦・大畑貫一:四国農試報 30:39, 1977

[備考] 戻し接種なし

黄化腐敗病 oka-fuhai-byo *Aphanomyces basal rot*

Aphanomyces iridis Ichitani & Tak. Kodama

萩原 廣ら:野菜茶業試研報 15:11, 2000

[備考] 属間雑種パルダンカンダ (*× Pardancanda norisii*) ‘ブルーサファイア’に発生

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Alternaria iridicola (Ellis & Everhart) J.A. Elliott

高野喜八郎:日植病報 59(6):747, 1993

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia belamcandae Dietel [*Uredo belamcandae* Hennings]

藤黒與三郎:病虫雑 6(7):520, 1919(大 8) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):225, 1950

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 儔・深沢永光:改訂新版花の病害虫と新防除:219, 1973

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum belamcandium Fukui

福井武治:三重高農同窓会学術彙報 5:58, 1936(昭 11)

[備考] 病菌の分類学的所属については再検討を要する

クロッカス(サフラン, 泊夫藍)

Crocus

Crocus spp. 及び種間雑種

(草花)

クロッカス *Crocus* *Crocus sieberi* J. Gay

サフラン *Crocus sativus* L.

ウイルス病* virus-byo

Bean yellow mosaic virus (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

兼重 寛ら:農学研究 62:225, 1991

[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Tobacco rattle virus (TRV) タバコ茎えそウイルス

井上成信ら:日植病報 47(3):410, 1971 ; 井上成信ら:農学研究 61:105, 1986

[備考] 戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

首腐病 kubigusare-byo Bacterial scab

Burkholderia gladioli pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas marginata* (McCulloch) Stapp]

永田利美:土壌病害の手引 I:26, 1962

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (細菌病, 腐敗病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus croci* Mizusawa, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

水沢芳次郎:神奈川農試成績 51:1, 1921(大 10) ; 水沢芳次郎:日植病報 1(5):1, 1923(大 12)

青かび病 aokabi-byo Blue mold rot

Penicillium crocicola T. Yamamoto

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:61, 1939(昭 14) ; 山本和太郎ら:日植病報 22(1):47, 1957

乾腐病* kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *gladioli* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium bulbigenum* Cooke & Massee var. *blasticola* (Rostrup) Wollenweber]

安部卓爾:鳥取農学会報 4(3):212, 1933(昭 8) ; 山本和太郎:植物防疫 14(10):432, 1960

球茎硬化病 kyukei-koka-byo Hard rot

Septoria gladioli Passerini

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:61, 1939(昭 14)

球茎腐敗病 kyukei-fuhai-byo Root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

南部信方:病虫雑 3(2):168, 1916(大 5)

菌核病 kinkaku-byo Dry rot (乾腐病)

Stromatinia gladioli (Drayton) Whetzel [*Sclerotinia gladioli* Drayton]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:61, 1939(昭 14) ; Darva S. J. M.:Phytophylactica 16:255, 1984

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

高野喜八郎:日植病報 65(3):409, 1999

[備考] クロッカスに発生

葉枯病 hagare-byo Gray mold

Botrytis tulipae (Libert) Hopkins

高野喜八郎:日植病報 65(3):409, 1999

[備考] クロッカスに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

長崎農試:昭 35 農林省応用研究成績:30, 1960

フリージア

Freesia

Freesia spp. 及び種間雑種
(草花)

えそ斑病 esohan-byo

Freesia streak virus (FSV) フリージア条斑ウイルス

井上成信・光畑興二:日植病報 49(1):113, 1983

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

小室康雄・栃原比呂志:日植病報 29(2):80, 1964

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄ら:日植病報 32(3):114, 1966

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

首腐病 kubigusare-byo Bacterial scab, Neck rot

(1) *Burkholderia gladioli* pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas marginata* (McCulloch) Stapp]

沼田 巖ら:日植病報 28(5):284, 1963 ; 土屋行夫:日植病報 28(5):285, 1963

(2) *Pantoea ananatis* (Serrano 1928) Mergaert, Verdonck & Kersters 1993 [*Erwinia ananas* Serrano 1928]

阿部雄幸ら:北日本病虫研報 51:115, 2000

球根腐敗病 kyukon-fuhai-byo Bulb rot (球茎腐敗病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *gladioli* W.C. Snyder & H.N. Hansen

河村貞之助ら:原色花と庭木の病害虫:62, 1971 ; 上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:346, 1975

菌核病 kinkaku-byo Dry rot (乾腐病)

Sclerotinia sp.

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:102, 1939(昭 14)

[備考] 我が国では病菌の種名は調べられていないが, *Stromatinia gladioli* と思われる

立枯病 tachigare-byo Blue mold rot

Penicillium carnesens Sopp

向 秀夫ら:関東病虫研報 19:65, 1972

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon

河村貞之助ら:原色花と庭木の病害虫:61, 1971 ; 上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:345, 1975

ボトリチス病 *Botrytis*-byo Botrytis blight

Botrytis gladiolorum Timmermans

塚本俊秀:島根病虫害研報 28:16, 2003

りん片先腐病 rimpen-sakigusare-byo (鱗片先腐病)

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten [*Cylindrocarpon radicola* Wollenweber]

高野喜八郎:日植病報 46(3):396, 1980

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

グラジオラス

Gladiolus

Gladiolus spp. 及び種間雑種

(草花)

アシダンセラ Peacock orchid *Gladiolus* spp.

ウイルス病 virus-byo

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

高橋 実ら:日植病報 30(5):301, 1965 ; 福本文良ら:日植病報 48(1):68, 1982

(2) *Cycas necrotic stunt virus* (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス

福本文良ら:日植病報 53(1):64, 1987 ; Hanada, K. *et al.*:J. Gen. Plan Pathol. 72(6):383, 2006

(3) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

福本文良ら:日植病報 48(1):68, 1982

(4) *Tobacco ringspot virus* (TRSV) タバコ輪点ウイルス

福本文良・栃原比呂志:日植病報 42(3):384, 1976 ; 福本文良ら:日植病報 48(1):68, 1982

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 福本文良ら:日植病報 48(1):68, 1982

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭7)

角斑病 kakuhan-byo Bacterial blight (立枯性細菌病)

Xanthomonas campestris pv. *gummisudans* (McCulloch 1924) Dye 1978 [*Bacterium gummisudans* var. *japonicum* Mukoo & Kusaba]

堀 正太郎:実際園芸 3(6):659, 1927(昭2) ; 向 秀夫・草葉俊彦:日植病報 16(3-4):180, 1952

首腐病 kubigusare-byo Bacterial scab, Neck rot (細菌病, 軟腐性細菌病)

Burkholderia gladioli pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Bacterium gladioli* (Severini) Elliott, *Bacterium marginatum* McCulloch]

瀧元清透:病虫雑 10(4):212, 1923(大12) ; 堀 正太郎:実際園芸 3(6):659, 1927(昭2) ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:550, 1941 ; 岡部徳夫:植物病原細菌学:354, 1947

青かび病 aokabi-byo Corm rot (青黴腐敗病)

Penicillium gladioli L. McCulloch & Thom

堀 正太郎:実際園芸 6(6):580, 1929(昭4) ; 河合一郎:園芸病害編:500, 1954

乾腐病* kampu-byo Basal rot, Dry rot, Brown rot (フザリウム腐敗病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *gladioli* W.C. Snyder & H.N. Hansen
堀 正太郎:実地園芸 3(6):659, 1927(昭 2) ; 松尾卓見:日植病報 38(3):167, 1972

菌核病 kinkaku-byo Dry rot (乾腐病)

Stromatinia gladioli (Drayton) Whetzel [*Sclerotinia gladioli* Drayton]

田杉平司:日植病報 6(4):349, 1937(昭 12) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):7, 1959

黒穂病 kuroho-byo Smut

Urocystis gladioli (Requien) W.G. Smith [*Tubercinia gladioli* (Requien) Liro]

南部信方:病虫雑 2(5):480, 1915(大 4) ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):116, 1936(昭 11) ; 柿畠 眞:筑波大農
林研究 1:72, 1982

硬化病 koka-byo Hard rot, Leaf spot (球茎硬化病)

Septoria gladioli Passerini

南部信方:病虫雑 3(5):419, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験作物病理学:880, 1930(昭 5)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

手塚信夫・石井正義:関西病虫研報 36:81, 1994

赤斑病 sekihan-byo

(1) *Curvularia gladioli* Boerema & Hamers [*Curvularia lunata* (Wakker) Boedijn sensu Naito & Ouchi]

内藤中人・大内成志:香川大農学報 7(2):135, 1956 ; 堀田治邦:日植病報 61(6):646, 1995

(2) *Curvularia trifolii* (Kauffman) Boedijn f. sp. *gladioli* Parmelee & Luttrell

高野喜八郎:日植病報 56(3):388, 1990

[備考] 病菌の学名として *Curvularia gladioli* が提唱されている (Boerema, G. H. & Hamers, M. E. C., Neth.
J. Pl. Pathol. Suppl. 95(3):10, 1980)。アシダンセラ *Acidanthera bicola* Hochst. に発生

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Mycosphaerella macrospora (Klebahn) Jørstad [*Didymellina iridis* (Desmazières) Höhnelt]

河合一郎:園芸病害編:497, 1954 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):651, 1978

斑点病 hanten-byo Leaf and stem spot (斑点性葉枯病)

Stemphylium sp.

永田利美・上原久八郎:植物防疫 9(9):377, 1955 ; 香月繁孝・守田久雄:日植病報 20(2-3):117, 1955

ボトリチス病 Botrytis-byo Gray mold

Botrytis gladiolorum Timmermans

山内己酉・藤井新太郎:日植病報 24(1):25, 1959

紋枯病 mongare-byo Collar rot, Leaf-base rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

高野喜八郎・藤井伸泰:日植病報 38(3):192, 1972

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐔木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

- (1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
- (2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961
- (3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):309, 1960
- (4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種
河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

††白斑細菌病* hakuhan-saikin-byo Bacterial white spot (白斑性細菌病, 細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:644, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Erwinia variegata* (Raino) Stapp は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††腐敗細菌病* fuhai-saikin-byo Bacterial rot (腐敗性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:133, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Erwinia ixiae* (Severini 1913) Magrou は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†††さび病 sabi-byo Rust

Uredo transversalis Thümen

Motokura, Y. et al.:Bull. Pl. Prot. Japan 36:47, 2000

[備考] イタリア。 *Uromyces transversalis* (Thümen) Winter の夏胞子世代と考えられる

イリス類

Iris

Iris spp.

(草花)

ダッチアイリス Dutch iris *Iris* Dutch Group

ジャーマンアイリス German iris *I. germanica* L.

アヤメ *I. sanguinea* Hornem. ex Donn

カキツバタ Rabbitear iris *I. laevigata* Fisch.

ハナショウブ Japanese water iris *I. ensata* Thunb.

シャガ *I. japonica* Thunb.

球根性のアイリス(ダッチアイリスを含む), 塊茎性のピアデッドアイリス(ジャーマンアイリス), 和種(アヤメ, カキツバタ, ハナショウブなど)がある

ウイルス病 virus-byo

(1) Broad bean wilt virus#

中野正明ら:日植病報 45(1):128, 1979

[備考] 戻し接種なし

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

中野正明ら:日植病報 45(1):128, 1979

[備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし

(3) *Narcissus latent virus* (NLV) スイセン潜在ウイルス

井上成信:遺伝 38(11):201, 1984

[備考] 総説のため詳細は不明

えそ輪紋病 *eso-rimmon-byo* Necrotic ring

Japanese iris necrotic ring virus (JINRV) ハナシヨウブえそ輪紋ウイルス

安川 浩ら:日植病報 48(1):113, 1982 ; 尾崎憲治ら:日植病報 53(3):422, 1987 ; 安川 浩ら:大阪府大紀要 B 43:21, 1991

[備考] ハナシヨウブ (*Iris ensata*) に発生

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

井上成信ら:日植病報 44(3):397, 1978

(2) *Iris mild mosaic virus* (IMMV) アイリス微斑モザイクウイルス [*Bulbous iris mosaic virus*#]

井上成信ら:日植病報 43(1):99, 1977 ; 井上成信ら:日植病報 47(2):182, 1981 ; 井上成信:作物ウイルス病事典:523, 1993

[備考] 井上ら (1981) では *Iris severe mosaic virus* として報告された

(3) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

井上成信・光畑興二:日植病報 42(3):383, 1976 ; 井上成信・光畑興二:農学研究 57(1):1, 1978

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

黄萎病 *oi-byo* Yellow dwarf

Phytoplasma ファイトプラズマ

堀越紀夫ら:日植病報 62(6):614, 1996

[備考] ハナシヨウブ (*Iris ensata*) に発生。接ぎ木伝染性。媒介虫は未確認

心腐病 *shingusare-byo*

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

土屋行夫ら:日植病報 53(3):404, 1987

軟腐病 *nampu-byo* Bacterial soft rot (腐敗病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:32, 1939(昭 14)

葉枯細菌病 *hagare-saikin-byo* Bacterial blight (葉枯性細菌病, 立枯細菌病)

Xanthomonas campestris pv. *tardicrescens* (McCulloch 1937) Dye 1978 [*Bacterium tardicrescens* McCulloch, *Xanthomonas tardicrescens* (McCulloch) Dowson]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:630, 1941(昭 16); 岡部徳夫:植物細菌病学:359, 1949; Goto, M.:Phytopath. Z. 88:97, 1977

斑点細菌病 *hanten-saikin-byo* Bacterial spot (斑点性細菌病)

病原細菌種名未定

瀧元清透:菌類 1(1):21, 1931(昭 6); 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:35, 1939(昭 14); 岡部徳夫:植物細菌病学:358, 1949

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas iridicola* (Takimoto 1931) Stapp 1935 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

青かび病 aokabi-byo Blue mold rot

Penicillium sp.

河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:203, 1976

疫病 eki-byo Phytophthora basal rot

Phytophthora europaea E.M. Hansen & T. Jung

雨宮良幹ら:日植病報 75(3):184, 2009 ; 雨宮良幹ら:日植病報 76(3):200, 2010

[備考] ハナショウブに発生

黄化腐敗病 oka-fuhai-byo Aphanomyces basal rot

Aphanomyces iridis Ichitani & Tak. Kodama

一谷多喜郎ら:日植病報 49(1):100, 1983 ; 小玉孝司ら:奈良農試研報 16:77, 1985 ; 一谷多喜郎ら:日植病報 52(4):590, 1986

[備考] 本病はシャガ (*Iris japonica*) にも発生する (飯嶋 勉ら:日植病報 54(1):126, 1988)

大粒菌核病 otsubu-kinkaku-byo Snow mold

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn

Saito, I.:Mycoscience 39:145, 1998 ; 斉藤 泉:日菌報 39(2):62, 1998

[備考] ジャーマンアイリス・ダッチアイリス・ハナショウブ (*I. ensata*)・キショウブ (*I. pseudacorus*)。接種試験未了。本菌は *Ciborinia* 属菌に近いとしている。

褐斑病 kappan-byo

Geotrichum sp.

本間宏基:日植病報 44(1):106, 1978

黒斑病 kokuhan-byo Leaf blight (斑葉病)

Mycosphaerella macrospora (Klebahn) Jørstad [*Didymellina macrospora* Klebahn]

南部信方:病虫雑 2(10):922, 1915(大 4) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):651, 1978

さび斑病 sabihan-byo Leaf spot

Alternaria iridicola (Ellis & Everhart) J.A. Elliott [*Macrosporium iridicola* Ellis & Everhart]

島崎 弘:病虫雑 17(7):459, 1930(昭 5) ; 原 攝祐:実験作物病理学:891, 1930(昭 5)

さび病 sabi-byo Rust (赤渋病)

Puccinia iridis Rabenhorst [*Puccinia iridis* Wallroth]

山田玄太郎・大森順造:植物病理学:297, 1904(明 37) ; 平塚直秀・長谷部早百合:菌蕈研報 16:26, 1978

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:33, 1939(昭 14)

尻腐病 shirigusare-byo Basal rot, Dry rot (しり腐病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal

永田利美:土壌病害の手引 I:26, 1962

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp.

米田浩美ら:日植病報 77(3):203, 2011

[備考] イチハツ(*Iris tectorum*)に発生

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Chaetomium globosum Kunze

古川聡子ら:日植病報 82(3):233, 2016

[備考] シヤガに発生。病原菌の形態的同定の記述なし

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

高野喜八郎・谷口操枝:北陸病虫研報 43:81, 1995

[備考] ジャーマンアイリス・ダッチアイリス

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Hendersonia iridis Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(3):146, 1959

ボトリチス根茎腐敗病 *Botrytis-konkei-fuhai-byo* Botrytis Rhizome rot

Botrytis convoluta Whetzel & Drayton

堀内誠三ら:関西病虫研報 36:83, 1994

[備考] ジャーマンアイリスに発生

紋枯病 mongare-byo Sheath blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

高野喜八郎:日植病報 55(4):495, 1989 ; 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:135, 1994

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB。ダッチアイリス, ハナショウブ (*I. ensata*) に発生

いも腐線虫病 imogusare-senchu-byo

Ditylenchus destructor Thorne イモグサレセンチュウ

上住 泰:植物防疫 30(1):31, 1976 ; 三枝敏郎ら:植防研報 14:7, 1977

茎線虫病 kuki-senchu-byo

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐙木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:288, 1975

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne ichinohei* Araki カキツバタネコブセンチュウ

Araki, M.:Jpn. J. Nematol. 22:11, 1992

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

(1) *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie イチゴセンチュウ

田中彰一: 蔬菜病害防除論: 254, 1948

(2) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助: 園芸新知識 12(11): 4, 1957

[備考] 上記種との異同は不明

腐敗病 fuhai-byo

病原細菌種名未定

南部信方: 病虫雑 2(10): 922, 1915(大 4)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Pseudomonas iridis* van Hall は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

硬化病 koka-byo Hard rot, Ink disease

Mystrosporium adustum Massee

今井四郎: 病虫雑 1(3): 299, 1914(大 3)

[備考] 調査を要する

イキシア

Corn lily

Ixia spp.

(草花)

斑入病 fuiri-byo (斑入り病)

Bean yellow mosaic virus (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

辻 俊也ら: 日植病報 59(6): 737, 1993 ; Tsuji, T. *et al.*: Bull. Res. Inst. Bioresour. Okayama Univ. 4: 201, 1996

ニワゼキショウ

Blue-eyed Grass

Sisyrinchium atlanticum E.P. Bickn.

(草花)

++++

病原未記載

[備考] 血清試験による *Cucumber mosaic virus* (CMV キュウリモザイクウイルス) 検出の報告がある。

大木 理ら: 植物防疫 35(7): 305, 1981

クルミ科 Juglandaceae

ペカン(山核桃)

Pecan

Carya illinoensis Koch *Carya pecan* Engler & Graebner
(果樹)

†黒星病 kurohoshi-byo Scab

Fusicladium effusum G. Winter

小林享夫:森林防疫 33(12):211, 1984 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(3):269, 1984

[備考] パラグアイ

クルミ(胡桃)類

Black walnut, Walnuts

Juglans spp.

(果樹)

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Walnut blight

Xanthomonas arboricola pv. *juglandis* (Pierce 1901) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas arboricola* Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995]

横澤志織ら:日植病報 82(1):29, 2016 ; 澤田宏之ら:日植病報 82(3):275, 2016 ; 澤田宏之ら:日植病報 83(1):10, 2017

[備考] シナノグルミ(*J. regia* L.)に発生

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (冠瘻病, 根瘻病, 根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* (Smith & Townsend) Duggar]

原 攝祐:実用作物病理学:368, 1925(大14) ; 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭8) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Microsphaera juglandis Golovin [*Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon var. *yamadai* E.S. Salmon, *Microsphaera yamadai* (E.S. Salmon) Sydow & P. Sydow]

原 攝祐:実験樹木病害篇:249, 1927(昭2) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):390, 1937 ; 丹田誠之助ら:東農大農学集報 30(3):253, 1986

[備考] オニグルミに発生

裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia juglandis J.F. Tao & J.Z. Quin [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten, *Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma]

出田 新:日本植物病理学 上巻:205, 1909(明42) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ.:38(3):409, 1937

[備考] オニグルミに発生

裏白斑病 ura-hakuhan-byo

Lachnodoichium juglandis Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:114, 1958

[備考] オニグルミに発生。病原菌は上記てんぐ巢病菌ではないかと考えられている

褐色枝枯病 kashoku-edagare-byo Brown blight

Guignardia juglandis (Sydow & Hara) Ito [*Macrophoma juglandis* Matuo & Sakurai, *Physalospora juglandis* Sydow & Hara]

出田 新:続日本植物病理学 上巻:308, 1925 (大 14); 松尾卓見・桜井善雄:信大繊維学研報 4:9, 1954; 伊藤一雄:樹病学大系 2:276, 1973

[備考] テウチグルミ (*Juglans regia* L. var. *orientis*) ・オニグルミ。(白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:451, 1917; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:274, 1927)。Theissen (Ann. Mycol. 14:263, 1916) は本種を *Botryosphaeria xanthocephala* var. *jugrandis* (Sydow & Butler) Theissen の異名同種としている

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5); 原 攝祐:樹病学各論:171, 1923(大 12); 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

黒粒枝枯病 kurotsubu-edagare-byo Melanconis disease, Melanchonis shoot blight (黒粒性枝枯病)

Melanconis juglandis (Ellis & Everhart) A.H. Graves [*Melanconium oblongum* Berkeley]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:294, 1933(昭 8); 松尾卓見・桜井善雄:日植病報 16(3-4):147, 1952; 小林享夫:日植病報 30(5):269, 1965; 小林享夫:日菌報 9(1):1, 1968

[備考] オニグルミ・シナノグルミ (*Juglans regia* var. *sinensis*) その他に発生

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot, Nectria twig blight (癌腫病, 紅斑性癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962

白星病 shirahoshi-byo

Marssonina manschurica (Naumov) Sawada [*Marssonina manschurica* Naumov]

澤田兼吉:林試研報 105:76, 1958

白かび葉枯病 shirokabi-hagare-byo Frosty mildew (葉枯病)

Pseudocercospora juglandis (Kaz. Ito & Tak. Kobayashi) U. Braun [*Cercospora juglandis* (Hara) Kaz. Ito & Tak. Kobayashi, *Sphaerulina juglandis* Kaz. Ito & Tak. Kobayashi, *Septogloeum juglandis* Hara]

原 攝祐:実験樹木病害篇:248, 1927(昭 2); 伊藤一雄・小林享夫:日植病報 18(3-4):190, 1954; 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 96:37, 1957

[備考] オニグルミに発生

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952

そうか病* soka-byo Anthracnose (黒点病, 黒痘病)

Elsinoë randii Jenkins & Bitancourt

黒沢英一・香月繁孝:植物防疫 9(9):367, 1955

[備考] テウチグルミその他に発生。完全世代は国内未発見

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑点病, 炭そ病)

Colletotrichum nymphaeae (Passerini) Aa [*Gloeosporium juglandis* (Libert) Montagne, *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

南部信方:病虫雑 9(2):81, 1922(大 11); 伊藤一雄・小林享夫:日林東北支講 8:39, 1957; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

[備考] シナノグルミ

てんぐ巢病 tengusu-byo Downy leaf spot (天狗巢病)

Microstroma juglandis (Berenger) Saccardo

出田 新:日本植物病理学 下巻:602, 1911(明 44); 北島君三:樹病学及木材腐朽論:291, 1933(昭 8)

[備考] オニグルミに発生。伊藤一雄 (樹病学概論:10, 1960) は外国での抄録でウイルスによると思われるものを記載している

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot, Armillaria crown and root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

富樫浩吾:果樹病学:227, 1950; 伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:13, 1960

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt (膏薬病, 樹癩, 灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):106, 1928(昭 3); 伊藤一雄:樹病:44, 1952

[備考] オニグルミ (*Juglans sieboldiana*) に発生

ホモプシス枝枯病 Phomopsis-edagare-byo Twig blight (枝枯病)

Phomopsis albobestita Fairman [*Phoma* sp.]

松尾卓見・桜井善雄:日植病報 16(3-4):147, 1952; 伊藤一雄:樹病学大系 3:316, 1974

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Laetiporus sulphureus* (Bulliard) Murrill [*Polyporus candicinus*, *Polyporus sulphureus* (Bulliard) Fries] ア
イカワタケ

新島善直:日本森林保護学(下):497, 1912(明 45); 新島善直:新編森林保護学(下):477, 1925(大 14)

(2) *Phellinus igniarius* (Linnaeus) Quélet [*Fomes igniarius* (Linnaeus) Fries] キコブタケ

新島善直:新編森林保護学(下):480, 1925(大 14)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:3, 1949

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

伊藤一雄:図説樹病新講:98, 1962

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

伊藤一雄:図説樹病新講:98, 1962

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961

[備考] 上記種との異同は不明

亜鉛欠乏症* aen-ketsubo-sho Zinc deficiency

亜鉛欠乏

伊藤公一:農及園 31(1):224, 1956

††細菌病 saikin-byo Bacterial blight (褐色腐敗病, 腐爛病)

Xanthomonas arboricola pv. *juglandis* (Pierce 1901) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium juglandis* (Pierce) Smith, *Pseudomonas juglandis* Pierce, *Xanthomonas campestris* pv. *juglandis* (Pierce 1901) Dye 1978]

村田寿太郎:病虫雑 2(4):352, 1915(大 4) ; 村田寿太郎:病虫雑 3(1):24, 1916(大 5) ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:315, 1941(昭 16)

[備考] アメリカ (カリフォルニア州・オレゴン州)・メキシコ・ニュージーランド

†葉焼病 hayake-byo

Phyllosticta juglandis (de Candolle) Saccardo

中田覺五郎:華北農試調査報 1:71, 1941(昭 16)

[備考] 中国

††ビロード病 birodo-byo Erineum gal

Eriophyes tristriatus var. *erinea* クルミケフシダニ

伊藤一雄:樹病学大系 1:104, 1971

†††こぶ病 kobu-byo Gall

病原未詳

伊藤一雄:図説樹病新講:173, 1962

[備考] 患部に *Nectria* sp. あるいは *Phomopsis* sp. が認められるが、これらが病原かどうかは不明

††††

Diaporthe eres Nitschke

Kobayashi, K.:Bull. Gov. For. Sta. 226:1, 1970

[備考] オニグルミの枝幹の枯死部やかいよう症状部に生じた突起から検出

††††

Fusarium pallidum Berkeley & Cooke

白井光太郎:植物病理学(下):265, 1894(明 27)

[備考] 葉の乾燥斑点から検出

††††

††*Gnomonia leptostyla* (Fries) Cesati & De Notaris [*Marssonina juglandis* (Libert) Saccardo]

白井光太郎:植物病理学(下):204, 1894(明 27) ; 三宅市郎:植物学雑 28(327):53, 1914(大 3) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:293, 1933(昭 8)

[備考] 葉から検出。*M. juglandis* は三宅が中国で記録

††††

Hypocrea subpachybasioides Yoshim. Doi

Doi, Y.:Bull. Tokyo Sci. Mus. 15(4):688, 1972

[備考] 枯死したナッツ上で検出

††††

†*Myxosporium juglandinum* Oudemans

逸見武雄・倉田静子:菌類 1(3):83, 1931(昭 6)

[備考] 朝鮮半島。テウチグルミの赤褐色の枯枝上の小さい突起から採取されているが、病原性は不明

††††

Penicillium divaricatum Thom

北島君三:樹病学及木材腐朽論:350, 1933(昭 8)
[備考] 黄色変菌 (yellow stain)。伐採林内に発生

††††

Pestalotia affinis Saccardo & Voglino

出田 新:日本植物病理学下巻:710, 1911(明 44)

[備考] 葉・幹から検出

††††

Septoria effusa (Libert) Desmazières

白井光太郎:植物病理学(下):240, 1894(明 27)

[備考] クルミに寄生するとの記載があるのみ

††††

Septoria mespili Saccardo

白井光太郎:植物病理学(下):240, 1894(明 27)

[備考] クルミに寄生するとの記載があるのみ

††††

Septoria piricola (Desmazières) Desmazières

白井光太郎:植物病理学(下):240, 1894(明 27)

[備考] クルミに寄生するとの記載があるのみ

††††

Sphaeronema japonica Sydow

原 攝祐:植物学雑 27(314):123, 1913(大 2) ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:623, 1917(大 6)

[備考] 葉, 枝, 幹から検出

††††

Valsa ceratosperma (Tode) Maire

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970

[備考] オニグルミの枝幹の枯死部やかいよう症状部に生じた突起から検出

ノグルミ(野胡桃)

(Platycarya)

Platycarya strobilacea Siebold & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia juglandis J.F. Tao & J.Z. Quin [*Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma]

本間善久:四国植防研 11:132, 1976 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):264, 1988

白粒葉枯病 shirotsubu-hagare-byo Frosty mildew

Redheadia sp. [不完全世代: *Mycopappus* sp.]

周藤靖雄:日植病報 74(3):185, 2008

[備考] *Mycopappus* sp. のテレオモルフの確認

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:3, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

サワグルミ(沢胡桃)

Japanese wingnut

Pterocarya rhoifolia Siebold & Zucc.

(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe juglandis* (Golovin) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera juglandis* Golovin, *Microsphaera yamadai* (E.S. Salmon) Sydow & P. Sydow-pro parte]

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:135, 1968 ; Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci., Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):254, 1986 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):109, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012

[備考] シナサワグルミ (*P. stenoptera* DC.)・コーカサスサワグルミ (*P. fraxinifolia* Spach)に発生

(2) *Phyllactinia juglandis* J.F. Tao & J.Z. Quin [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten, *Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma]

本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:135, 1968 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):264, 1988 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):117, 1996

[備考] シナサワグルミにも発生

黒粒枝枯病 kurotsubu-edagare-byo

Melanconis pterocaryae Tak. Kobayashi [*Melanconium pterocaryae* Kuschke]

小林享夫:日林誌 53:57, 1971 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(1):2, 1968

†根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

Daedalea dickinsii Yasuda [*Trametes dickinsii* Berkeley] ホウロクタケ

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):113, 1959

[備考] 台湾

††††

Mycosphaerella haraeana Sydow & P. Sydow

原 攝祐:樹病学各論:111, 1923(大 12)

イグサ科 Juncaceae

イグサ(藎, 燈心草)

Mat rush

Juncus effusus L. var. *decipiens* Buchen.

(特用作物)

株腐病 kabugusare-byo Stem rot

Fusarium sp.

渡邊龍雄:植物病学:359, 1957

茎枯病 kukigare-byo Blight

Leptosphaeria juncina (Auerswald) Saccardo

鏑方末彦・吉田政治:岡山農試臨時報告 42:1, 1940(昭 15)

蛇紋病 jamon-byo Frog-eye spot (じゃ紋病, 蝮蛇形病)

Cercospora juncicola (Hori & Kasai) Vassiljevsky [*Cercospora juncicola* (Hori & Kasai) Chupp, *Cercospora juncicola* (Hori & Kasai) Hara, *Cercosporina juncicola* Hori & Kasai]

笠井幹夫:大原農研報告 2(2):225, 1922(大 11); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):61, 1960

冬紋枯病 fuyu-mongare-byo (冬菌核病)

Ceratobasidium gramineum (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki [*Corticium gramineum* Ikata & T. Matsuura]

鏑方末彦・吉田政治:岡山農試臨時報告 42:2, 1940(昭 15); 西沢正洋・松岡正則:九州農試彙報 13(3-4):271, 1968; Oniki, M. et al.:Trans. Mycol. Soc. Jpn. 27(2):156, 1986

紋枯病 mongare-byo Stem rot

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

中田覺五郎:日植病報 2(6):552, 1933(昭 8); 西沢正洋・松岡正則:九州農試彙報 13(3-4):271, 1968; 鬼木正臣:日植病報 42(1):103, 1976

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB。病原菌の異名はイネ紋枯病参照

線虫わい化病* senchu-waika-byo

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963; 松崎征美ら:高知農林研報 11:7, 1979

[備考] 1968 年以前の記録は別種との混同の可能性がある

先焼病 sakiyake-byo (尖焼病, 裏焼病)

生理障害

鏑方末彦・吉田政治:岡山農試臨時報告 42:2, 1940(昭 15)

[備考] 本病の病原は糸状菌ではないかとも考えられている

†先枯病 sakigare-byo

Phoma sp.

粕山新二・井上幸次:日植病報 61(6):634, 1995

[備考] タイ

イグサ類

(Juncus)
Juncus spp.
(野草)

コヒゲ *Juncus effusus* L.
クサイ *J. tenuis* Willd.

さび病 sabi-byo Rust
Uromyces junci (Desmazières) Tulasne & C. Tulasne
Harada, Y.:Mycoscience 35:295, 1994
[備考] クサイに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ
川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963
[備考] コヒゲに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

シソ科 Labiatae, Lamiaceae

アジュガ(セイヨウキランソウ, セイヨウジュウニヒトエ, ニシキゴロモ, キンランソウ)
(Ajuga)
Ajuga spp.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Oidium* sp.

佐藤 衛ら:関西病虫研報 36:91, 1994

[備考] 発芽管は *Sphaerotheca fuliginea* 型。 *A. reptans* に発生

(2) *Podosphaera elsholtzia* (Z.Y. Zhao) T.Z. Liu & U. Braun [*Sphaerotheca elsholtzia* Z.Y. Zhao]

大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):169, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:15, 2012

[備考] ジュウニヒトエ (*A. nipponensis*) に発生

株枯病 kabugare-byo Phoma rot

Phoma eupyrena Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 45:135, 1998

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 40:163, 1993

[備考] *A. reptans* に発生

雪腐病 yukigusare-byo

Sclerotinia nivalis I. Saito

Saito, I.:Mycoscience 38:227, 1997 ; 斉藤 泉:日菌報 38(2):97, 1977

[備考] 接種試験未了。 *A. reptans* に発生

コリウス

Coleus

Coleus blumei Benth.

(草花)

ウイロイド病 viroid-byo Viroid

(1) *Coleus blumei* viroid 1 (CbVd-1) コリウスウイロイド 1

石黒 亮ら:日植病報 62(1):84, 1996

(2) *Coleus blumei* viroid 6 (CbVd-6) コリウスウイロイド 6

対馬太郎ら:日植病報 76(3):223, 2010

根腐病 negusare-byo

Pythium spinosum Sawada

植松清次ら:関東病虫研報 55:191, 2008

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:207, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:694, 1998

[備考] 接種試験未了

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora belbahrii Thines

伊藤陽子ら:日植病報 74(1):34, 2008 ; Ito Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):328, 2015

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

鐔木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭3)

ナギナタコウジュ類

(*Elsholtzia*)

Elsholtzia spp.

(野草)

ナギナタコウジュ *Elsholtzia ciliata* (Thunb.) Hylander

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] ナギナタコウジュ。病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

ヤマハッカ類

(*Isodon*)

Isodon spp.

(野草)

ヤマハッカ(オオバヤマハッカ) *I. inflexus* (Thunb.) Kudô

ヒキオコシ *I. japonica* (Burm.f.) Hara

タイリンヤマハッカ(カメバヒキオコシ) *I. umbrosus* (Maxim.) H. Hara

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe huayinensis* R.Y. Zheng & G.Q. Chen

Meeboon, J. & Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 56:257, 2015

[備考] 接種試験未了。タイリンヤマハッカに発生

(2) *Erysiphe plectranthi* H.D. Shin & Y.J. La

丹田誠之助:東農大農学集報 41:203, 1997

[備考] ヤマハッカ・タイリンヤマハッカに発生

オドリコソウ類

(Lamium)

Lamium spp.

(野草)

ホトケノザ *Lamium amplexicaule* L.

ヒメオドリコソウ *Lamium purpureum* L.

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Rhizobacter dauci Goto & Kuwata 1988

Kawarazaki, H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(3):235, 2009 ; 河原崎秀志ら:日植病報 77(3):183, 2011 ; 河原崎秀志ら:日植病報 78(4):293, 2012

[備考] ホトケノザ・ヒメオドリコソウ

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

内田景子ら:日植病報 68(2):189, 2002

[備考] *Sphaerotheca fuliginea* 型で, *S. fusca* の不完全世代と思われ, キュウリなどのウリ科植物に感染できる。ホトケノザ *L. amplexicaule* L. に発生。接種試験未了

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum higginsianum Saccardo

折原紀子ら:日植病報 78(3):185, 2012 ; 折原紀子ら:関東病虫研報 59:47, 2012 ; 折原紀子・堀江博道:植物防疫 67(7):397, 2013

[備考] ホトケノザ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ホトケノザ

ラベンダー

Lavender

Lavandula spp.

(特用作物)

トゥルーラベンダー True Lavender *L. angustifolia* (L.) Mill.

フリンジドラベンダー Toothed lavender, Dentata Lavender *L. dentata* L.

ヒロハラベンダー Spike Lavender *L. latifolia* (L. f.) Med.

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight

Xanthomonas hortorum Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995

阿久津千秋ら:日植病報 78(3):276, 2012

[備考] フリンジドラベンダー

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

植松清次ら:関東病虫研報 55:191, 2008

(2) *Phytophthora* sp.

出射 立・粕山新二:日植病報 60(6):777, 1994

株枯病 kabugare-byo Phoma rot

Phoma exigua Desmazières

粕山新二・井上幸次:岡山農試研報 27:39, 2009

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:87, 2006

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

レオノチス

Lion'ear

Leonotis leonurus (L.) R. Br.

(草花)

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 43:133, 1996

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB 型

メハジキ

(Leonurus)

Leonurus japonicus Houttuyn

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium leonuri-sibirici Sawada

丹田誠之助:東農大農学集報 43(3):159, 1998

シロネ類

(Lycopus)

Lycopus spp.

(野草)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

星 秀男ら:関東病虫研報 50:109, 2003

[備考] ヒメシロネ (*L. maackianus* (Maxim.) Makino) に発生

レモンバーム
Lemon Balm
Melissa officinalis L.
(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
有賀麻貴ら:日植病報 66(3):272, 2000
[備考] *Erysiphe cichoracearum* 型

ニホンハッカ(日本薄荷)
Japanese mint
Mentha arvensis L. var. *piperascens* Malinvand
(特用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
李 準璋ら:日植病報 47(1):137, 1981
[備考] 病徴未記載

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
真野 豊:北海道の農薬 4:52, 1965
[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

黒腐病 kurogusare-byo (立枯病, 根腐病, 種根腐敗病, 地下茎腐敗病, 黒枯病, 葉黒腐病, 種茎腐敗病, 茎腐病)
Phoma strasseri Moesz
真野 豊ら:日植病報 24(2):91, 1964 ; 成田武四:北海道における農作物病害:136, 1977 ; 成田武四:北海道農作物病害総覧:286, 1980

さび病 sabi-byo Rust (銹病)
Puccinia menthae Persoon
出田 新:新農報 56 号, 1903(明 36) ; 鑄方末彦:岡山農試臨時報告 34:1, 1929(昭 4)

白絹病 shirakinu-byo Stem rot
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
渡邊龍雄:植物病学:267, 1957
[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白星病 shirahoshi-byo Leaf spot (黒斑病, 褐斑病, 円星病)
Septoria menthae (Thümen) Oudemans
福井武治:農学会報 166:379, 1916(大 5)

大粒白絹病 tairyu-shirakinu-byo Stem rot
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
渡邊龍雄:植物病学:267, 1957

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

斑点病 hanten-byo

Cercospora menthae Hori

河合一郎:改著作物病害編:509, 1961

[備考] 米国で報告された *C. menthicola* Tehon & Daniels との異同検討の要あり

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種

稲垣春郎・湯原 巖:北日本病虫研報 14:121, 1963

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9); 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等はサツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] ヒメハッカ。病原線虫の異名等はサツマイモの根こぶ線虫病を参照

ピン線虫病 pin-senchu-byo

Paratylenchus curvatus van der Linde チャピンセンチュウ

稲垣春郎・湯原 巖:北日本病虫研報 14:121, 1963; 稲垣春郎・古山三郎:北日本病虫研報 16:97, 1965

ミント類

Mint

(特用作物)

ペパーミント Peppermint *Mentha piperita* L.

スペアミント(ミドリハッカ) Spearmint *Mentha spicata* L.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

丹田誠之助:東農大農学集報 43(3):159, 1998; 有賀麻貴ら:日植病報 66(3):272, 2000; 竹内 純ら:日植病報 71(1):33, 2005

[備考] 有賀らの報告は, *Erysiphe cichoracearum* 型でアップルミントに発生。竹内らの報告は, *Reticuloidium* 亜属でスペアミントに発生

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia menthae Persoon

堀江博道ら:関東病虫研報 41:153, 1994

白絹病 shiraku-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

前川和正ら:日植病報 66(3):302, 2000; 前川和正ら:関西病虫研報 46:45, 2004

[備考] ペパーミントに発生

モルセラ
Bells of Ireland
Moluccella laevis L.
(草花)

ウイルス病 *virus-byo* Virus
Broad bean wilt virus 2 (BBWV-2) ソラマメウルトウイルス 2
小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

褐斑病 *kappan-byo* Leaf spot
Cercospora apii sensu lato
菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

ヤグルマハッカ(モナルダ)類
(Monarda)
Monarda spp.
(野草)

タイマツバナ *M. didyma* L.

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew
Golovinomyces biocellatus (Ehrenberg) Hetula [*Erysiphe biocellata* Ehrenberg var. *monardae* (G.S. Nagy) U. Braun]
丹田誠之助:東農大農学集報 41:209, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:33, 2012
[備考] タイマツバナに発生

キャットニップ(チクマハッカ, イヌハッカ)
Catnip
Nepeta cataria L.
(特用作物)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
岩井 久ら:九病虫研会報 39:152, 1993
[備考] serotype P. 戻し接種なし

メボウキ(バジル)
Sweet basil
Ocimum basilicum L.
(野菜)

黒斑細菌病 *kokuhan-saikin-byo* Bacterial black spot
Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928
兼橋和央ら:日植病報 70(3):283, 2004

萎凋病 *icho-byo* Fusarium wilt
Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *basilici* Armst. & Armst.

漆原寿彦ら:日植病報 66(2):95, 2000 ; 漆原寿彦ら:群馬園試研報 6:65, 2001 ; 田場 聡ら:土と微生物 56:31, 2002

[備考] 田場 聡ら(2002)は病原の分化型 *f. sp. basilcum* を提案しているが, 標記の分化型名を採用

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

吉田桂子・伊藤千紘:日植病報 76(1):65, 2010

黒あし病 kuroashi-byo Black stem and root rot

Corynespora citricola M. B. Ellis

田場 聡ら:日植病報 68(1):43, 2002

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

高良綾乃ら:日植病報 72(4):208, 2006 ; Taba, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):160, 2009

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 42:105, 1995

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora belbahrii Thines

草野尚雄ら:日植病報 81(3):213, 2015 ; 佐藤 衛ら:日植病報 81(3):213, 2015

円斑病 maruhan-byo Circular leaf spot

Cercospora guatemalensis A.S. Muller & Chupp

Nishikawa, J. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 68(1):46, 2002

ハナハッカ(オレガノ)

Origanum vulgare L.

(特用作物)

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:65, 2006 ; 窪田昌春ら:関西病虫研報 51:123, 2009

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

エゴマ(荳胡麻)

Perilla

Perilla frutescens (L.) Britton var. *japonica* (Hassk.) Hara

(特用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

李 準瑋ら:日植病報 47(1):137, 1981

[備考] 病徴未記載

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

松崎聖史ら:日植病報 76(3):211, 2010

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Septoria perillae I. Miyake [*Septoria kishitai* Fukui]

三宅市郎:植物学雑 28(327):52, 1914(大 3) ; 逸見武雄:病 3(7):506, 1916(大 5)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Coleosporium plectranthi Barclay [*Coleosporium perillae* P. Sydow]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):72, 1928(昭 3) ; 金子 繁:菌蕈研報 19:126, 1981

粗皮病 sohi-byo Anthracnose

Colletotrichum yoshinoi Fukui

福井武治:病虫雑 12(10):572, 1925(大 14)

[備考] 病原菌の分類学的所属については再検討を要する

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (灰色黴)

Botrytis cinerea Persoon

澤田兼吉:林試研報 105:83, 1958

斑点病 hanten-byo Leaf spot (円星病)

Cercospora perillae Nakata [*Cercospora perillae* Sawada]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):72, 1928(昭 3); 澤田兼吉:林試研報 105:110, 1958

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

†斑点細菌病* hanten-saikin-byo (細菌性斑点病)

細菌の 1 種

岩垂 悟ら:満州農試報告 45(満州農作物病害目録):90, 1943(昭 18)

[備考] 中国東北部

†萎凋病 icho-byo

Fusarium sp.

岩垂 悟ら:満州農試報告 45(満州農作物病害目録):90, 1943(昭 18)

[備考] 中国東北部

シソ(紫蘇)

Perilla

Perilla ocymoides L.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Broad bean wilt virus#

山内淳司ら:日植病報 42(3):382, 1976 ; 中曽根 渡ら:日植病報 48(3):394, 1982

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

山内淳司ら:日植病報 42(3):382, 1976

[備考] 同定の記載不十分

(3) *Potato virus X* (PVX) ジャガイモ X ウイルス

山内淳司ら:日植病報 42(3):382, 1976

[備考] 同定の記載不十分

(4) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

山内淳司ら:日植病報 42(3):382, 1976

[備考] 同定の記載不十分

(5) *Tomato mosaic virus* (ToMV) トマトモザイクウイルス [Tobacco mosaic virus-T#]

山内淳司ら:日植病報 42(3):382, 1976

[備考] 同定の記載不十分

斑紋病 hammon-byo Mottle

Perilla mottle virus (PerMoV) シソ斑紋ウイルス

李 準璋ら:日植病報 46(1):105, 1980 ; 李 準璋ら:日植病報 46(5):672, 1980

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Perilla mosaic virus (PMoV) シソモザイクウイルス

富高保弘ら:日植病報 79(3):242, 2013 ; 久保田健嗣ら:日植病報 80(4):301, 2014

[備考] オオバ(青シソ)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

小林正伸ら:日植病報 51(1):54, 1985

疫病 eki-byo

Phytophthora sp.

廣田耕作・宮川寿之:日植病報 52(3):532, 1986

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Septoria perillae I. Miyake

逸見武雄:病虫雑 3(7):506, 1916(大 5)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

外側正之:関西病虫研報 42:77, 2000

さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium plectranthi Barclay [*Coleosporium perillae* P. Sydow]

南部信方:病虫雑 4(8):597, 1917(大 6) ; 藤黒與三郎:病虫雑 6(6):447, 1919(大 8)

[備考] 本病菌の柄子、さび孢子世代はアカマツに形成される

そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma sp.

松田鋤男:日植病報 43(1):115, 1977

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum destructivum O'Gara
瓦谷光男ら:日植病報 74(4):335, 2008

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt
Verticillium dahliae Klebahn
菅野博英・堀内誠三:北日本病虫研報 50:120, 1999

斑点病 hanten-byo Corynespora leaf spot
Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei
挟間 渉ら:日植病報 57(5):732, 1991 ; 草刈眞一ら:日植病報 57(5):737, 1991 ; 森田泰彰・古谷眞二:四国植防 28:9, 1993
[備考] 株枯症状 (stem blight) もおこす

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)
(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955
(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955
(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964
(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種
池田克文:総合農学 2(3):124, 1954
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

カクトラノオ(ハナトラノオ, フィソステギア)
Obedient plant
Physostegia virginiana (L.) Benth.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
石井正義・手塚信夫:関西病虫研報 36:79, 1994

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo
Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種
河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福土両教授還暦記念論文集:36, 1955

パチョリ
Patchouli
Pogostemon patchouli Pellet
(特用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus
(1) Patchouli mild mosaic virus (PatMMV) パチョリ微斑ウイルス
(2) Patchouli mottle virus# (PatMoV) パチョリ斑紋ウイルス
伊藤和歌子ら:日植病報 54(1):121, 1988

ウツボグサ類
Prunella spp.
(特用作物)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
森田琴子ら:関東病虫研報 62:87, 2015
[備考] ウツボグサ属の1種 *Prunella* sp.に発生

マウンテンミント
Mountain mint
Pycnanthemum pilosum Nutt.
(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
漆原寿彦ら:関東病虫研報 48:93, 2001

ローズマリー(マンネンロウ)
Rosemary
Rosmarinus officinalis L.
(特用作物)

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight
Xanthomonas sp.
阿久津千秋ら:日植病報 77(3):247, 2011

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(1) *Erysiphe galeopsidis* de Candolle
Tanda, S. & Hirose, T.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 47(4):274, 2003
(2) *Oidium* sp.
竹内 純ら:日植病報 71(1):33, 2005
[備考] *Reticuloidium* 亜属

セージ(セイヨウサルビア)
Common sage, Sage
Salvia officinalis L.
(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
竹内 純ら:日植病報 71(1):33, 2005
[備考] *Reticuloidium* 亜属

サルビア(ヒゴロモソウ)
Scarlet sage
Salvia splendens Sellow ex Roem. & Schult.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 井上成信ら:日植病報 53(1):108, 1987

(2) Broad bean wilt virus#

井上成信ら:日植病報 53(1):108, 1987

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium hormini Farneti

丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999

[備考] ブルーサルビア *S. farinacea* Benth.

疫病 eki-byo Blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*]

瀧元清透:日植病報 7(3), 240, 1938(昭 13) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:70, 1939(昭 14) ; 桂 琦一:植物の疫病:88, 1971

[備考] 瀧元 (1939) は解説書。病徴のみ記載。桂 (1971) は病徴記載のみ

褐斑病* kappan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

本多哲也ら:日植病報 62(6):608, 1996 ; Negishi, H. & Suyama, K.:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):321, 2002

[備考] ブルーサルビア (*Salvia farinacea*)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

岡田清嗣ら:日植病報 73(3):179, 2007

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

Cercospora salviicola Tharp [*Cercospora salviae* Fukui, *Cercosporina salviae* Fukui]

福井武治:三重大学芸研紀要 6:120, 1951 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):73, 1960

[備考] 山本・前田 (1960) はモノグラフ。接種試験未了

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:207, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:695, 1998 ; 山内智史ら:北日本病虫研報 50:112, 1999

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:207, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:695, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Corynespora leaf spot

Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

古川聡子ら:日植病報 73(3):179, 2007 ; Furukawa, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(2):117, 2008

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

チョロギ

Chinese artichoke

Stachys affinis Bunge *Stachys sieboldii* Miq. *Stachys tubifera* Naud.
(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Chinese artichoke mosaic virus (ChAMV) チョロギモザイクウイルス

Fuji, S. *et al.*:Arch. Virol. 148:2249, 2003

立枯病 tachigare-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal [*Fusarium bulbigenum* Cooke & Massee]

常谷幸雄:日植病報 17(2):91, 1953

セルピルムソウ

Wild thyme

Thymus serpyllum L.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

舘 彩香ら:関東病虫研報 61:103, 2014

アケビ科 Lardizabalaceae

アケビ(通草, 山女)類

Akebia

Akebia spp.

(果樹)

アケビ *Akebia* *A. quinata* Decaisne

ミツバアケビ *A. trifoliata* Koidzumi

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Acidovorax valerianellae Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003

阿部篤智ら:北日本病虫研報 63:252, 2012 ; 後藤新一ら:北日本病虫研報 64:93, 2013

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病)

Erysiphe akebiae (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera akebiae* Sawada, *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon]

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:365, 1917(大 6) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937 ; 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):5, 1949 ; 澤田兼吉:林試研報 50:116, 1951 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012

[備考] アケビ・ミツバアケビに発生

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Phyllosticta akebiae N. Naito

Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:47, 1940 ; 山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):178, 1960 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 27(3):228, 1983

[備考] ミツバアケビに発生

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

[備考] ミツバアケビに発生

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia cymbiformis F. He & Kakishima [*Aecidium akebiae* Hennings]

吉永虎馬:植物学雑 15(171):94, 1901(明 34) ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(3):364, 1950 ; He, F. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:133, 1993

[備考] *A. akebiae* はゴヨウアケビ (*Akebia pentaphylla*)・マルバミツバアケビ (*A. trifoliata* var. *clematifolia*)・ミツバアケビにも発生。本病菌の冬胞子世代はハチク (*Phyllostachys nigra* var. *henonis*) に生じる。なお、従来病原菌として報告されていた *P. nigroconioidea* Hino & Katumoto とは形態的に異なる

そうか病 soka-byo Scab (痘瘡病)

Sphaceloma akebiae Kurosawa & Katsuki

Kurosawa, E. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Japan 70(827):131, 1957

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum acutatum J.H. Simmonds

Kobayashi, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(5):295, 2004

[備考] ミツバアケビに発生

斑点病 hanten-byo

Septoria akebiae N. Naito

Naito, N.: Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:35, 1940 ; 小林享夫: 新版緑化樹木の病虫害(上) 病害とその防除:164, 1983

[備考] アケビに発生

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

堀江博道: 森林防疫 31(2):27, 1982

[備考] ミツバアケビに発生

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎: 和歌山大学芸研究, 自然科学:1:93, 1950

[備考] ミツバアケビに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎: 日線虫研誌 9:49, 1979

[備考] 接種試験の結果

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎: 植物防疫 40(2):73, 1986

[備考] すず点病菌であり, 枝葉から分離

ムベ(郁子)

(Stauntonia)

Stauntonia hexaphylla (Thunb.) Decaisne

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

和田久美子・平田幸治: 新潟大農研報 29:84, 1977

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia stauntoniae Tranzschel & Dietel

平塚直秀: 植研雑 12(9):674, 1936(昭 11)

とうそう病 toso-byo Spot anthracnose (痘瘡病)

Sphaceloma akebiae Kurosawa & Katsuki

Kurosawa, E. & Katsuki, S.: Bot. Mag. Tokyo 70(827):131, 1957

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

Suematsu, S.: Bot. Mag. Tokyo 70(831):278, 1957

†すす病* susu-byo Black mildew

Asterina stauntoniae W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):27, 1957

[備考] 台湾

クスノキ科 Lauraceae

アカハダクスノキ

(Beilschmiedia)

Beilschmiedia erythrophloia Hayata

(広葉樹)

すす病 susu-byo Sooty mold

Meliola beilschmiediae W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):52, 1941(昭 16)

[備考] 台湾

クスノキ(樟・楠)

Camphor tree

Cinnamomum camphora (L.) Presl

(特用作物)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

ウイルス (未同定)

日野 巖・日野稔彦:山口大農学術報 4:185, 1953

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (白葉枯病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾産菌類調査報告 6):96, 1933(昭 8) ; 伊藤武夫:森林防疫ニュース 10(9):176, 1961

[備考] 病原菌の異名はクワ環紋葉枯病参照

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight (白絹病, 大粒白絹病, 菌核病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk

白井光太郎:植物学雑 20(239):319, 1906(明 39) ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:97, 1974

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard

青島清雄:植物防疫 29(8):327, 1975

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

出田 新:日本植物病理学:419, 1903(明 36) ; 澤田兼吉:台湾農事報 49:12, 1910(明 43)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

大野啓一郎:森林防疫 24(12):241, 1975

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 黒点病)

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Glomerella cinnamomi* Yoshino, *Guignardia cinnamomi* (Yoshino) Hara]

吉野毅一:植物学雑誌 21(248):229, 1907(明 40) ; 伊藤一雄・林 弘子:林試研報 195:1, 1962

斑紋病 hammon-byo (褐斑病)

Leptosphaeria cinnamomi Shirai & Hara

白井光太郎・原 攝祐:植物学雑誌 25(290):72, 1911(明 44) ; 南部信方:病虫雑誌 7(11):629, 1920(大 9)

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease (黒斑病)

Pestalotiopsis camphori (Kurosawa) Steyaert [*Pestalotia camphori* G. Kurosawa, *Pestalotia cinnamomi* Kurosawa]

黒澤良平:植物学雑誌 22(253):53, 1908(明 41) ; Guba, E. F.:Monogr. *Monochaetia* & *Pestalotia*:80, 1961

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

北島君三:樹病学及木材腐朽論:182, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はクワ紫紋羽病参照

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

保 虎太郎:病虫雑誌 23(12):952, 1936(昭 11) ; 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956

ビロード病 birodo-byo Erineum gall

Eriophyes malpighianus (Canestrini & Massalongo)

伊藤一雄:樹病学大系 3:355, 1974

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961

(3) *Trichodorus cedarius* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病)

Microsphaera alphitoides Griffon & Maublanc [*Erysiphe cinnamomi* Sawada]

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:82, 1977 ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 9(41):65, 1919(大 8) ; Sawada,

K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :22, 1959

[備考] 台湾。クスノキダマシ

†褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (褐色膏薬病)

Septobasidium acaciae Sawada

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):101, 1928(昭 3)

[備考] 台湾

†こうやく病 koyaku-byo Felt disease (膏薬病)

Septobasidium albidum Patouillard

澤田兼吉:台湾農試特報 2:85, 1911(明 45)

[備考] 台湾

†粉実病 konami-byo

Exobasidium sawadae G. Yamada [*Glomerularia cinnamomi* Sawada]

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):431, 1919(大 8); 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(19):215, 1914(大 3)

[備考] 台湾。クスノキダマシ (*C. camphora* var. *nomimale*), オオバクスノキ (*C. micranthum*) にも発生

†小粒白絹病 shoryu-shirakinu-byo (小粒菌核病, 小白絹病)

Corticium cinnamomi (Sawada) Sawada [*Hypochnus cinnamomi* Sawada]

澤田兼吉:台湾農事報 49:10, 1910(明 43)

[備考] 台湾

††††すす病 susu-byo Sooty mold

††*Asterina repulta* Berkeley & Curtis

北島君三:樹病学及木材腐朽論:171, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

†立枯病 tachigare-byo

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Cryptoderma lamaense* (Murrill) Imazeki, *Fomes lamaensis* (Murrill) Saccardo & Trotter]

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾菌類調査報告 4):86, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。阿部らは *Phellinus noxius* (Corner) Cunningham の和名をシマサルノコシカケとし, *P. lamaensis* を別種とした (Abe *et al.*:Ann. Phytopath. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995)。学名は Heim, R.:Ann. Crypt. Exot. 7(1):21, 1934 を参照

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

シナニッケイ

Cinnamon Powder

Cinnamomum cassia J. Presl

(広葉樹)

†黒すじ細菌病 kurosuji-saikin-byo Bacterial vein blight

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

土屋健一ら:日植病報 58(4):594, 1992

[備考] インドネシア

ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂)

Wild cinnamon

Cinnamomum japonicum Sieb. ex Nakai

(広葉樹)

あざ病 aza-byo (痣病)

Rosenscheldiella litseae Sydow

原 攝祐:実験樹木病害篇:265, 1927(昭 2)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium cinnamomi-japonici U. Braun [*Oidium* sp.]

野村幸彦:日菌報 22(3):344, 1981 ; Braun, U.:Mycotaxon 25(1):266, 1986

†うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (粉病)

Microsphaera alphitoides Griffon & Maublanc [*Erysiphe cinnamomi* Sawada]

澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):144, 1919(大 8) ; 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):22, 1959

[備考] 台湾。クスノキダマシ

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

伊藤達次郎:演習林(東大農) 8:79, 1951 ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

黒穂病 kuroho-byo Smut

(1) *Sphacelotheca cinnamomi* S. Hirata

平田正一:宮崎大農研報 26(1):123, 1979

[備考] マルバニッケイ(*C. brevifolium*)

(2) *Melanopsichium onumae* (Shirai) Kakishima [*Ustilago onumae* (Shirai) Ito, *Anthracoidea onumae* Shirai]

原 攝祐:静岡県農会報 284:37, 1921(大 10) ; 伊藤誠哉:札幌博物学会報 14(2):89, 1935(昭 10) ; 柿畠 眞:筑波大農林研究 1:42, 1982

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Monosporidium machili* (Hennings) T. Sato [*Endophyllum machili* (Hennings) F. Stevens]

Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 8:119, 1961 ; 佐藤豊三:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):585, 1992

[備考] 病原菌の異名はタブノキさび病参照

(2) *Puccinia litseae* (Patouillard) Dietel & Hennings [*Xenostele litseae* (Patouillard) Sydow & P. Sydow]

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):375, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:775, 1992

[備考] 病原菌の異名はシロダモさび病参照

†さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium cinnamomi Raciborski

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):94, 1959

[備考] 台湾。ニッケイ (*C. loureirii*)

すす病* susu-byo Sooty mold

(1) *Armatella litseae* (Hennings) Theissen & Sydow [*Dimerosporium litseae* Hennings]

Hemmi, T.:Bot. Mag. Tokyo 30(358):341, 1916(大 5) ; Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 13:295, 1974

(2) *Armatella litseae* (Hennings) Theissen & Sydow var. *boninensis* Katumoto & Y. Harada

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):411, 1979

[備考] オガサワラヤブニッケイ(*C. pseudo pedunculatus*)

(3) *Capnodium salicinum* Montagne

保 虎太郎:病虫雑 23(11):862, 1936(昭 11)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類すす病参照

(4) *Dothidasteromella sepulta* (Berkeley & M.A. Curtis) Höhnelt [*Asterina sepulta* Berkeley & M.A. Curtis]

原 攝祐:日本菌類目録:111, 1954 ; 原 攝祐:樹病学各論:91, 1923(大 12)

†すす病* susu-byo Sooty mold

Armatella longispora W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 3(1):19, 1957

[備考] 台湾。タイワンニッケイ (*C. pseudo-loureirii*)・ランダイニッケイ (*C. randaiensis*)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

料所聖児ら:日植病報 74(1):28, 2008

もち病 mochi-byo Gall

Exobasidium hachijoense Y. Otani, Kakishima & Iijima

飯嶋 勉ら:日植病報 51(1):94, 1985 ; 飯嶋 勉ら:日菌報 26(2):166, 1985

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

†粉実病 konami-byo

Exobasidium sawadae G. Yamada

澤田兼吉:台湾農試報特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):422, 1919(大 8)

[備考] 台湾。クスノキ・クスノキダマシ (*Cinnamomum camphora* var. *nomimale*)・オオバクスノキ (*C. micranthum*)

††††

†*Cercospora cinnamomi* Sawada & Katsuki

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):214, 1959

[備考] 台湾。クスノキダマシ

††††

Ellisiopsis gallsiae Batista & Nascimento

Matsushima, T.:Icon. Microfung. Matsushima lect. :67, 1975

コヤブニッケイ

(*Cinnamomum*)

Cinnamomum pseudopedunculatum Hayata

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

セイロンニッケイ

Ceylon cinnamon

Cinnamomum verum J. Presl

(広葉樹)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

森田琴子ら:日植病報 80(1):23, 2014 ; 森田琴子ら:関東病虫研報 61:91, 2014

[備考] 茎枝の萎凋枯死・枝枯症状

ゲッケイジュ(月桂樹)

Laurel, Sweetbey

Laurus nobilis L.

(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973

[備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

小河誠司:日林九支所論集 29:251, 1976

クロモジ(黒文字, 烏樟)

Kuromoji

Lindera umbellata Thunb.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe blasti* (F.L. Tai) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera blasti* F.L. Tai, *Microsphaera alni* auct. Jap. non Winter] (粉病, 白渋病)

澤田兼吉:林試研報 50:117, 1951 ; 野村幸彦:日菌報 7(2-3):347, 1966 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):217, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:52, 2012

[備考] アオモジ・クロモジ・オオバクロモジ(*L. umbellata* var. *membranacea*) にも発生

(2) *Microsphaera* sp. (白渋病)

本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:137, 1968 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:487, 1973

[備考] ダンコウバイ(*L. obtusiloba*)・オオバクロモジ・アオモジに発生

(3) *Phyllactinia guttata* (Wallroth) Lévillé

Morimoto, Y. & Gjaerum, H. B.:Hikobia 6:93, 1971

[備考] アオモジに発生

(4) *Phyllactinia* sp.

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:82, 1977

[備考] アオモジ・カナクギノキ(*L. erythrocarpa*)に発生。前種との異同について調査を要する

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15) ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] ヤマコウバシ(*L. glauca*)。病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

小黒斑病 sho-kokuhan-byo

Phyllosticta multimaculans Kobayashi

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:1, 1977

[備考] アオモジ(*L. citriodora*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] ダンコウバイ・オオバクロモジ

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未詳

堀江博道:日植病報 46(1):111, 1980 ; 堀江博道:東京農試研報 13:63, 1980

†雲紋病 ummon-byo

Guignardia linderiae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):10, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。カワカミコウバシ (*L. glaucum* var. *kawakamii*)

†すす病* susu-byo Black mildew

(1) *Lembosia linderiae* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生篇 3(1):28, 1957

[備考] 台湾。ホソバヤマコウバシ (*L. communis*)

(2) *Meliola linderiae* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):20, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ホソバヤマコウバシ・タイワンヤマコウバシ (*L. cubeda*)

(3) *Morenoella linderiae* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生篇 3(1):29, 1957

[備考] 台湾。ナンバンクロモジ (*L. akoensis*)

†灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):416, 1919(大 8)

[備考] 台湾。 *Lindera* sp.

††††

†*Asterina sepulta* Berkeley & M.A. Curtis

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):41, 1913(大 2)

[備考] 中国。テンダイウヤク (*L. strychnifolia*)。病原菌は調査を要する

††††

†*Cercospora lindericola* W. Yamamoto

山本和太郎:熱帯農学 6(3):603, 1934(昭 9)

[備考] 台湾。オオバコウバシ (*L. oldhamii*)

††††

Discosia linderæ Miura

三浦密成:秋田農試報 8:40, 1957

††††

Discosia sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):179, 1960

[備考] オオバクロモジ (*L. umbellata* var. *membranacea*)

††††

Macrophoma benzoinis Miura

三浦密成:秋田農試報 8:34, 1957

††††

Mycosphaerella gifuensis Hara

原 攝祐:病虫雑 5(8):616, 1918(大 7)

[備考] ダンコウバイ

††††

Phyllosticta kuromoji Miura

三浦密成:秋田農試報 8:28, 1957

[備考] クロモジ・ダンコウバイ

††††

Phyllosticta linderæ Ellis & Everhart

富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:40, 1934(昭 9)

[備考] クロモジ・ダンコウバイ

††††

Plagiostromella pleurostoma Höhnelt

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):182, 1960

††††

Rosellinia affinis Saccardo [*Astrocystis affinis* (Saccardo) Hara]

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3 版):345, 1927(昭 2)

[備考] アブラチャン (*L. praecox*)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] カナクギノキ・ダンコウバイ・ヤマコウバシ

バリバリノキ

(*Litsea*)

Litsea acuminata (Bl.) Kurata

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

本間善久:四国植防研究 16:46, 1981

[備考] カゴノキ

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia takakumensis (Hiratsuka) Hiratsuka [*Xenostele takakumensis* Hiratsuka, f.]

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):376, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:776, 1992

すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold

Meliola kagonoki I. Hino & Katumoto [*Meliola actinodaphnes* I. Hino & Katumoto non Hansford]

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 8:641, 1957 ; Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 38(1):25, 1963

[備考] カゴノキ (*A. lancifolia*)

†すす病 susu-byo Black mildew

(1) *Armatella formosana* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生篇 3(1):19, 1957

[備考] 台湾。ムシヤダモ (*Actinodaphne mushaensis*)

(2) *Irene kiraiensis* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):147, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ムシヤダモ

斑紋病 hammon-byo

Plectosphaera actinodaphnes Tak. Kobayashi

Kobayashi, T.:Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo 9:90, 1976

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

††††

Dimerium piceum (Berkeley & M.A. Curtis) Theissen

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17:280, 1976

[備考] すず病菌 *Appendiculella calostroma* への重複寄生菌

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):210, 1987

[備考] カゴノキ (*A. lancifolia*)

ハマビワ(浜枇杷)

(*Litsea*)

Litsea japonica (Thuub.) Juss.

(広葉樹)

斑点病 hanten-byo

Cercospora litseae-glutinosae Sydow & P. Sydow

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):63, 1960 ; 富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大研報 Sect. II, 1:5, 1952

粉藻病* konamo-byo Algal powdery spot
Phycopeltis epiphyton Millardet
Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):280, 1957

すす病 susu-byo Black mildew
(1) *Meliola litseae* Sydow & P. Sydow
山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):154, 1940(昭 15)
[備考] 台湾。タイワンヤマクロモジ (*Litsea cubeba*)
(2) *Meliola neolitseae* W. Yamamoto
山本和太郎:台湾博物学会報 31:24, 1941(昭 16)
[備考] 台湾。病名未提案。ヒロハダモ (*L. hayatae*)

ホソバタブ(アオガシ)(細葉楠, 青檜)
(*Machilus*)
Machilus japonica Sieb. & Zucc.
(広葉樹)

タブノキ(イヌグス)(楠) *Machilus thunbergii* Sieb. & Zucc.

黒穂病 kuroho-byo Smut
Melanopsichium inouyei (Hennings & Shirai) L. Ling [*Uredo inouyei* Hennings & Shirai, *Ustilago inouyei* (Hennings & Shirai) S. Ito & Yoshinaga, *Cintractia machili* Hino & Nagaoka, *Ustilago machili* (Hino & Nagaoka) S. Ito]
日野 巖・長岡栄利:宮崎高農学術報 3:49, 1931(昭 6) ; 伊藤誠哉・本間ヤス:札幌博物学会報 15(3):113, 1938(昭 13) ; 柿島 眞:筑波大農林研究 1:42, 1982

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot
Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ(キウラサルノコシカケ)
梅村甚太郎:植物学雑誌 28(332):357, 1914(大 3)
[備考] 病原菌の異名はボプラ類こふきたけ病参照

さび病 sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病)
Monosporidium machili (Hennings) T. Sato [*Endophyllum machili* (Hennings) F. Stevens, *Aecidium machili* Hennings, *Aecidium nakanishikii* Hennings]
藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:12, 1914(大 3) ; 草野俊助:植物学雑誌 16(187):197, 1902(明 35) ; Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 15:8, 1977 ; 佐藤豊三:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):585, 1992
[備考] ニオイタブ(*M. longipaniculata*)・オオバタブ(*M. kusanoi*)・アリサントタブ(*M. arisanensis*)・タイワンイヌグス(*M. formosana*)・アオグスモドキ(*M. pseudolongifolia*)にも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす病* susu-byo Black mildew
Meliola machili W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31:141, 1941(昭 16)

[備考] オオバタブ・アリサントブ・アオクスモドキ・ニオイタブにも発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973

[備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

今関六也:くさびら 4:11, 1982

[備考] 病原菌の異名はボプラ類ならたけ病参照。狭義の種名は未検討

白斑病 hakuhan-byo White leaf spot

Ascochyta yakushimensis Kobayashi

Kobayashi, T.:Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo 9:85, 1976

[備考] ホソバタブ

白粉病 hakufun-byo White powdery spot

Asteronidium saccardoi Sydow & P. Sydow

周藤靖雄:森林防疫 24(9):179, 1975 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21(2):225, 1980

[備考] タブノキ

べっこうたけ病* bekkotake-byo Butt rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisine* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタケ

逸見武雄・赤井重恭:日植病報 9(4):199, 1939(昭 14) ; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989

[備考] 病原菌の異名はカシ類べっこうたけ病参照

星形すす病 hoshigata-susu-byo Black mildew

Asterina machili Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):448, 1979

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Corioloopsis polyzona (Persoon) Ryvarden [*Coriolus polygonus* (Persoon) Imazeki] キツネカワラタケ

安田 篤:植物学雑誌 35(410):46, 1921(大 10) ; Ryvarden, L. & Johansen, I.:A preliminary polypore flora of East Africa:291, 1980

[備考] 病原菌の異名はシイノキ幹心腐病参照。本種は熱帯系の種で、日本産のものは誤同定の可能性がある

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大 11)

コブガシ

(*Machilus*)

Machilus kobu Maxim.

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot
Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ
島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013
[備考] 接種試験未了

タブノキ
Machilus thunbergii Sieb. & Zucc.
(広葉樹)

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Sooty mold
Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto
山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭 15)
[備考] 台湾。ニオイタブ (*P. zuihoensis*)

†褐斑病 kappan-byo
Cercospora machili Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):113, 1943(昭 18)
[備考] 台湾。オオバタブ

†がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo
Exobasidium machili Sawada
澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):422, 1919(大 9) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 9(41):66, 1919(大 9)
[備考] 台湾。アオクスモドキ(*Persea pseudolongifolia*)

†こうやく病* koyaku-byo Felt disease
Septobasidium albidum Patouillard
澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):97, 1959

†炭疽病* tanso-byo (円紋病)
Gloeosporium machili Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):156, 1943(昭 18)
[備考] 台湾。アオクスモドキ

†灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Gray felt disease
Septobasidium bogoriense Patouillard
澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):98, 1959
[備考] 台湾。オオバタブ (*P. kusanoi*)。病原菌の異名は灰色こうやく病参照

†円紋病 marumon-byo
Stagonospora machili Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):152, 1943(昭 18)
[備考] 台湾。オオバタブにも寄生

††††
†*Cladosporium machili* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):196, 1959
[備考] 台湾

††††

†*Helminthosporium machili* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):165, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。オオバタブ

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

シロダモ(五爪楠)

(*Neolitsea*)

Neolitsea sericea (Blume) Koidz.

(広葉樹)

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

黒点円星病 kokuten-maruhoshi-byo

Plagiostigme neolitseae Tak. Kobayashi

小林享夫:科博専報 9:89, 1976

[備考] イヌガシ (*N. aciculata*)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia litseae (Patouillard) Dietel & Hennings [*Xenostele litseae* (Patouillard) Sydow & P. Sydow, *Aecidium litseae* Patouillard, *Puccinia nakanoi* Kusano & Yoshinaga, *Xenostele nakanoi* Hiratsuka, f. & Yoshinaga]

松村任三:帝国植物名鑑(上):168, 1904(明 37) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):344, 1950 ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:776, 1992

[備考] イヌガシ・コバノシロダモ(*N. acuminatissima*) にも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (瘧病, 煤病)

(1) *Armatella litseae* (Hennings) Theissen & Sydow

安田 篤:植物学各論隠花部:369, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明 37) ; Hemmi, T.:Bot. Mag. Tokyo 30(358):341, 1916(大 5)

[備考] コバノシロダモ・ニイタカシロダモ(*N. acutotrineria*)にも発生。病原菌の異名はヤブニッケイすす病参照

(2) *Micropeltis fusoma* I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 8:640, 1957

[備考] イヌガシ

すす病 susu-byo Black mildew

Meliola neolitseae W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31:24, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。カワリシロダモ (*Neolitsea variabilissima*)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

料所聖児ら:日植病報 74(1):28, 2008

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

Exobasidium sp.

草野俊助:日菌報 1(2):3, 1956

斑点病 hanten-byo

Cercospora litseae-glutinosae Sydow & P. Sydow

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):63, 1960 ; 富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大理研報 Sect. II, 1:5, 1952

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Trichodorus tricaulatus* Shishida ユミハリセンチュウの 1 種

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

++++斑葉病 han'yo-byo

Cercospora litseae Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:573, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):134, 1904(明 37)

[備考] Hennings (1902) は東京・駒場産の標本により記載したが Chupp (1953) によれば疑問種

++++

Anthostomella neolitseae Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(2):169, 1984

++++

Vestergrenia neolitseae I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 39(12):360, 1964

++++

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):210, 1987

[備考] イヌガシ

キンショクダモ
(Neolitsea)
Neolitsea sericea (Blume) Koidz. var. *aurata* (Hayata) Hatus.
(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot
Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ
島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013
[備考] 接種試験未了

コニシイヌグス
(Notaphoebe)
Notaphoebe konishii Hayata
(広葉樹)

††††
†*Meliola sempeiensis* W. Yamamoto
山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):56, 1941(昭 16)
[備考] 台湾

アブラチャン
(Lindera)
Parabenzoin praecox (Sieb. & Zucc.) Nakai
(広葉樹)

葉枯病 hagare-byo
Phyllosticta kobayashii Vanev & Aa [*Phyllosticta miurae* Tak. Kobayashi]
Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 15(4):370, 1974 ; In van der Aa & Vanev, A Revision of the Species
Described in *Phyllosticta* (Utrecht):36, 2002

アボカド(酪梨)
Avocado
Persea americana Miller
(果樹)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds
樋口あやこら:日植病報 63(6):494, 1997
(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig &
Saccardo, *Gloeosporium foliicolum* Nishida]
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:48, 1977 ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 佐藤豊三:植物防疫
41(12):588, 1987

††サンブロッチ病* sunblotch-byo Sunblotch (ウイルス病)
Avocado sunblotch viroid (ASBVd)
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:44, 1977

[備考] アボカド産地の各地

††斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial spot (斑点性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium syringae* (van Hall) Smith, *Pseudomonas syringae* van Hall 1902]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:431, 1941(昭 16) ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:49, 1977

[備考] アメリカ

††萎凋病 icho-byo Verticillium wilt (萎ちょう病)

Verticillium dahliae Klebahn [*Verticillium albo-atrum* Reinke & Berthold]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:45, 1977

[備考] アメリカ (カリフォルニア州)

††うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Oidium sp.

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:50, 1977

†枝枯病 edagare-byo

Macrophoma perseae Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告 2):117, 1922(大 11)

[備考] 台湾

†褐紋病 katsumon-byo Brown spot, Pseudocercospora blotch, Pseudocercospora spot

Pseudocercospora purpurea (Cooke) Deighton [*Cercospora purpurea* Cooke]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:50, 1977 ; Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC 11:50, 1978

[備考] ブラジル・フィリピン

††黒化病 kokka-byo Black rot, Blanch canker, Physalospora canker

(1) *Botryosphaeria rhodina* (Cooke) Arx [*Physalospora rhodina* (Berkeley & M.A. Curtis) Cooke]

(2) *Physalospora perseae* Doidge

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:50, 1977

[備考] von Arx and Muller (Beitr. Kryptog.-Flora Schw. 11(1):33, 1954) は (1) の種を *Botryosphaeria quercuum* (Schweinitz) Saccardo の異名同種としている

††そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma perseae Jenkins

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:49, 1977

††ドチオレラがんしゅ病 *Dothiorella-ganshu-byo* Dothiorella canker, Dothiorella fruit rot, Dothiorella stem canker (ドチオレラ果実腐敗病)

Botryosphaeria dothidea (Mougeot) Cesati & De Notaris [*Dothiorella gregaria* Saccardo]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:47, 1977

[備考] アメリカ (カリフォルニア州)

††ならたけ病* naratake-byo Armillaria root rot (ならたけ根腐病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:43, 1977

[備考] アメリカ (カリフォルニア州)

††根腐病 negusare-byo Phytophthora root rot

Phytophthora cinnamomi Rands

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:42, 1977

[備考] ブラジルその他世界各国の産地

†葉枯病 hagare-byo

Phyllosticta perseae Ellis & G. Martin

澤田兼吉:台湾博物学会報 33(232):6, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

††フィトフトラがんしゅ病 *Phytophthora-ganshu-byo* Phytophthora canker

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:46, 1977

[備考] アメリカ (カリフォルニア州)。 *P. cinnamomi* Rands が重要な病原であり, 以前に *P. cactorum* と報告されたものは実際には *P. citricola* Sawada であるとされている(APS:Compendium of Tropical Fruit Diseases:76, 1994)

†††腐敗病 fuhai-byo

Diplodia perseana Delacroix

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:41, 1939(昭 14)

[備考] 生産地ハワイ

†ボトリオディプロディア枝枯病* *Botryodiplodia-edagare-byo* Botryodiplodia shoot blight (枝枯病)

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

津田盛也ら:日植病報 49(3):402, 1983

[備考] ブラジル。病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):593, 1992 参照

††実腐病 migusare-byo Fruit rot

(1) *Macrophoma* sp.

(2) *Rhizopus stolonifer* (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus nigricans* Ehrenberg]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:50, 1977

††紋羽病 mompa-byo Root rot

Rosellinia sp.

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:50, 1977

ムチゴケ科 Lepidoziaceae

コムチゴケ

Bazzania tridens (Reinw., Blume & Nees) Trevis.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

シラガゴケ科 Leucobryaceae

ホソバオキナゴケ

Leucobryum juniperoideum (Brid.) Mull.Hal.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

ユリ科 Liliaceae

アガパンサス

African lily

Agapanthus africanus Hoffmanns.

(草花)

疫病 eki-byo Blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:121, 1939(昭 14); 桂 琦一:植物の疫病:88, 1971

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum dematium (Persoon) Grove

村田佑揮ら: 東農大農学集報 52(2):97, 2007

アルブカ

(Albuca)

Albuca nelsonii N. E. Br.

(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 47:45, 2000

リーキ(参照:アリウム類)

Leek

Allium ampeloprasum L.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Leek yellows virus# (LYV) リーキ黄化ウイルス

荒城雅昭ら:日植病報 47(1):138, 1981

[備考] 伝染性未確認。戻し接種なし

(2) Carlavirus#

荒城雅昭ら:日植病報 47(1):138, 1981

[備考] 戻し接種なし

腐敗病 fuhai-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

瀧元清透:病虫雑 8(7):344, 1921(大 10); 原 攝祐:実用作物病理学:469, 1925(大 14); 堀田治邦ら:北日本病虫研報 65:76, 2014

[備考] 堀田ら(2014)は亜種 *Pectobacterium carotovorum* subsp. *carotovorum* を同定

黒斑病 kokuhan-byo Purple blotch

Alternaria porri (Ellis) Ciferri

菅野博英ら:日植病報 62(6):604, 1996 ; 菅野博英・大久保博人:北日本病虫研報 48:109, 1997 ; 菅野博英・大久保博人:北日本病虫研報 48:218, 1997

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

(1) *Pleospora tarda* E.G. Simmons [*Pleospora herbarum* (Persoon) Rabenhorst, *Stemphylium botryosum* Wallroth]

菅野博英・大久保博人:日植病報 63(6):492, 1997 ; 菅野博英・大久保博人:北日本病虫研報 48:218, 1997

(2) *Stemphylium vesicarium* (Wallroth) E.G. Simmons

三澤知央ら:日植病報 79(1):63, 2013 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 65:72, 2014

白斑葉枯病 hakuhan-hagare-byo Botrytis leaf blight

Botrytis sp.

三澤知央・植野玲一郎:日植病報 81(1):89, 2015

タマネギ(葱頭, 玉葱)

Onion

Allium cepa L.

(野菜)

萎縮病 ishuku-byo Yellow dwarf, Dwarf

Shallot yellow stripe virus (SYSV) シャロット黄色条斑ウイルス [Welsh onion yellow stripe virus#]

北野忠彦ら:日植病報 24(1):34, 1959 ; 吉野正義・安 正純:埼玉農試研報 26:1, 1965 ; 山下一夫・花田 薫:日植病報 62(3):325, 1996

[備考] 吉野・安は, *Onion yellow dwarf virus* (OYDV タマネギ萎縮ウイルス)として報告した。ウイルス(未同定)による萎縮病の最初の記載は, 富士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932 (昭 7)

えそ条斑病 eso-johan-byo Straw bleaching

Iris yellow spot virus (IYSV) アイリス黄斑ウイルス

善 正二郎ら:九州農業研究 65:91, 2003

[備考] 戻し接種なし

萎黄病 io-byo Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

松崎正文ら:日植病報 48(1):91, 1982 ; 宮原和夫ら:日植病報 48(4):551, 1982

かいよう病 kaiyo-byo

Curtobacterium flaccumfaciens (Hedges 1922) Collins & Jones 1984 [*Corynebacterium flaccumfaciens* (Hedges) Dowson]

谷井昭夫・小林敏郎:日植病報 50(1):95, 1984

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus cepivorus* Delacroix, *Bacillus carotovorus* Jones, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

原 攝祐:実験作物病理学:769, 1930(昭 5) ; 田部井英夫・吉田孝二:日植病報 16(3-4):180, 1952

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae van Hall 1902

Goto, M.: Plant Dis. Rept. 56:490, 1972 ; 後藤正夫ら: 植物防疫 35(6):270, 1981

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病)

(1) *Burkholderia cepacia* (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993

瀧川雄一ら: 日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.: J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004

(2) *Erwinia rhapontici* (Millard 1924) Burkholder 1948 [*Bacterium rhapontici* Millard 1924]

大内 昭ら: 日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら: 日植病報 49(5):619, 1983

(3) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

富永時任・土屋行夫: 日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら: 日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら: 日植病報 49(5):619, 1983

りん片腐敗病 rimpen-fuhai-byo Scale rot *, Center rot (鱗茎腐敗症)

(1) *Burkholderia gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 [*Pseudomonas gladioli* Severini]

田中民夫・青田盾彦: 日植病報 56(3):393, 1990

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

(2) *Pantoea ananatis* (Serrano 1928) Mergaert, Verdonck & Kersters 1993

白川 隆ら: 日植病報 76(3):176, 2010 ; 守川俊幸ら: 関東病虫研報 61:175, 2014

[備考] 白川ら(2010)と守川ら(2014)は鱗茎腐敗症と呼んだ。前者の報告に鑑み、当該病名は(1)の病原 *B. gladioli* による病害との異同と合わせ再検討を要す

疫病 eki-byo

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*]

岸 國平: 野菜の病害虫:301, 1976 ; 萩原 廣ら: 関西病虫研報 24:29, 1982

乾腐病* kampu-byo *Fusarium* basal rot (フザリウム病, 鱗茎腐敗病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *cepae* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium cepae* Hanzawa]

半沢 洵: Mycologisches Centralblatt 5:4, 1914(大 3) ; 出田 新: 続日本植物病理学(下):1035, 1926(大 15) ; 児玉不二雄ら: 植物防疫 31(6):229, 1977 ; 高桑 亮ら: 日植病報 43(4):479, 1977

(2) *Fusarium proliferatum* (Matsushima) Nirenberg var. *minus* Nirenberg

正司和之ら: 日植病報 81(3):266, 2015

(3) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

中原勝也ら: 日植病報 79(1):48, 2013

菌核病 kinkaku-byo Watery soft rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

ト蔵梅之丞: 病虫雑 2(6):551, 1915(大 4)

菌核腐敗病* kinkaku-fuhai-byo (菌核性腐敗病)

Botrytis sp.

河合一郎: 園芸病害編:206, 1954

菌糸腐敗病* kinshi-fuhai-byo Mycelial neck rot (菌糸性腐敗病)

Botrytis byssoides J.C. Walker

逸見武雄: 農及園 10(1):308, 1935(昭 10) ; 逸見武雄・丹羽静子: 日植病報 8(4):309, 1939(昭 14)

[備考] 灰色腐敗病の備考参照

黒かび病 kurokabi-byo

Aspergillus niger Tieghem

遠藤 茂:病虫雑 18(6):284, 1931(昭 6) ; 川島耕一:実際園芸臨時増刊 園芸植物の病虫害:115, 1932(昭 7)

黒腐菌核病 kurogusare-kinkaku-byo

Sclerotium cepivorum Berkeley

守川俊幸ら:日植病報 51(3):333, 1985

黒穂病 kuroho-byo Smut

Urocystis cepulae Frost [*Tubercinia cepulae* (Frost) Liro]

出田 新:実用植物病理学:108, 1902(明 35) ; 柿瀧 眞:筑波大農林研 1:70, 1982

紅色根腐病 koshoku-negusare-byo Pink root rot

Pyrenochaeta terrestris (H.N. Hansen) Gorenz, J.C. Walker & Larson

児玉不二雄ら:日植病報 41(3):264, 1975 ; 児玉不二雄ら:日植病報 42(3):320, 1976

黒点葉枯病 kokuten-hagare-byo Black spotted leaf blight

Septoria alliacea Cooke

逸見武雄:医学と生物学 5(3):93, 1944(昭 19) ; 高津 寛:中国農業研究 4:23, 1956

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

(1) *Alternaria porri* (Ellis) Ciferri [*Macrosporium porri* Ellis]

中田覺五郎:作物病害図編:471, 1934(昭 9)

(2) *Alternaria* sp. (にせ黒斑病)

広江 勇・米原光雄:鳥取農学会報 11(3):206, 1957

[備考] 葉枯症 (田中澄人・中村利宣:九病虫研究会報 27:44, 1981) と黒斑病 (にせ黒斑病) との異同について検討を要する

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia allii (de Candolle) F. Rudolphi

堀 正太郎:農作物病学教科書:97, 1921(大 10) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):214, 1950

[備考] ノビルに発生する *Uromyces durus* はタマネギに寄生してさび病を起こす (平塚直秀・平塚利子:日菌報 7(2-3):160, 1966)

小菌核病 sho-kinkaku-byo Leaf blight

Ciborinia allii (Sawada) L.M. Kohn [*Sclerotinia allii* Sawada]

松尾綾男:日植病報 40(3):171, 1974 ; 田村 修ら:日植病報 62(6):645, 1996

小菌核腐敗病* sho-kinkaku-fuhai-byo Small sclerotial, neck rot (小菌核性腐敗病)

Botrytis squamosa J.C. Walker

逸見武雄:農及園 10(1):308, 1935(昭 10) ; 逸見武雄・丹羽静子:日植病報 8(4):309, 1939(昭 14)

[備考] 灰色腐敗病の備考参照

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

河合一郎:農作物病害編:316, 1948(昭 23)

白色疫病 shiroiro-eki-byo

Phytophthora porri Foister

横山佐太正・吉田桂輔:九病虫研会報 13:35, 1967 ; 横山佐太正ら:日植病報 3(3):167, 1968 ; 桂 琦一ら:日植病報 35(1):55, 1969 ; 桂 琦一:関西病虫研報 11:71, 1969 ; 横山佐太正:福岡農試特報 22:1, 1976

立枯病 tachigare-byo

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo

池谷美奈子・児玉不二雄:北日本病虫研報 58:188, 2007

[備考] 定植 2-3 週間後の苗で発生

炭疽病 tanso-byo Smudge (汚点病)

(1) *Colletotrichum circinans* (Berkeley) Voglino

野島友雄:農及園 2(4):355, 1927(昭 2) ; 川島耕一:実際園芸臨時増刊 園芸植物の病害虫:115, 1932(昭 7)

(2) *Phylospora* sp.

山本弘幸・内藤中人:日植病報 37(3):167, 1971

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Pythium* sp.

相馬 潤:日植病報 65(6):693, 1999

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

山本 勉・上原 等:植物防疫 26(4):153, 1972 ; 石坂信之ら:日植病報 41(3):272, 1975

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

松尾綾男:植物防疫 31(6):234, 1977

[備考] 灰色腐敗病の備考参照

灰色腐敗病 haiiro-fuhai-byo Gray-mold neck rot (菌核性腐敗病, 白斑葉枯病)

(1) *Botrytis aclada* Fresenius

野津あゆみ・児玉不二雄:日植病報 80(1):62, 2014

(2) *Botrytis allii* Munn

逸見武雄:農及園 10(1):308, 1935(昭 10)

[備考] *Botrytis allii*, *B. byssoidea*, *B. squamosa*, *B. tulipae* によって葉身の斑点, 葉枯れ症状を起こすことが知られている (高桑 亮ら:日植病報 37(3):167, 1971 ; 松尾綾男ら:兵庫農試研報 19:85, 1971 ; 高桑 亮ら:北農集報 29:1, 1974)

葉枯病 hagare-byo Leaf spot, Leaf blight

Pleospora herbarum (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [*Stemphylium botryosum* non Wallroth sensu auct. pl., *Stemphylium herbarum* E.G. Simmons]

田中彰一:蔬菜病害防除論:259, 1948 ; 福西 務ら:日植病報 43(3):320, 1977

[備考] Simmons, E. G.(Sydowia 38:284, 1985) は有性, 無性世代の関係について, 上記の菌種と異なる見解を示した

べと病 beto-byo Downy mildew (萎黄病, つゆかび病, 露菌病)

Peronospora destructor (Berkeley) Caspary [*Peronospora schleideni* Unger]

堀 正太郎:植物学雑誌 7(76):151, 1893(明 26) ; 原 攝祐:実用作物病理学:462, 1925(大 14)

茎線虫病 kuki-senchu-byo

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus devastatrix* Kühn, *Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキ

センチュウ

出田 新:農事雑報 64:12, 1903(明 36) ; 黒木功令:日線虫研誌 17:61, 1987

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験の結果

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966

[備考] 接種試験の結果

(4) *Rotylenchulus reniformis* Linford & Oliveira ニセフクロセンチュウ

中園和年:農技研報 C 38:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鎗木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

石灰欠乏症 sekkai-ketsubo-sho Calcium deficiency

カルシウム欠乏

堀 裕ら:園芸学雑 27(4):221, 1958

††††

(1) *Botrytis* sp.

(2) *Mucor circinelloides* Tieghem

川崎智典ら:日植病報 83(1):64, 2017

[備考] 腐敗鱗茎から分離

ラッキョウ(薤)

Rakkyo, Scallion

Allium chinense G. Don

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Garlic latent virus#

佐古 勇ら:日植病報 53(1):108, 1987

[備考] 戻し接種なし。Chinese chive dwarf virus#, *Shallot latent virus* (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する

(2) *Shallot yellow stripe virus* (SYSV) シャロット黄色条斑ウイルス [Welsh onion yellow stripe virus#]

佐古 勇ら:日植病報 57(1):65, 1991

[備考] *Onion yellow dwarf virus* (OYDV タマネギ萎縮ウイルス)として報告された。圃場では *Garlic latent virus*# との混合感染で激しい黄色条斑を示すことから混合感染株に黄色条斑病 (Yellow streak) の病名が付けられている

(3) *Leek yellows virus*# (LYV) リーキ黄化ウイルス

荒城雅昭ら:日植病報 47(1):138, 1981

[備考] 伝染性未確認。戻し接種なし

(4) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

佐古宣道・安藤干治:日植病報 51(3):353, 1985

[備考] ウイルス (未同定) による萎縮病の記載は、河合一郎:園芸病害編 209, 1954

えそ条斑病 eso-johan-byo Necrotic streak

Iris yellow spot virus (IYSV) アイリス黄斑ウイルス

安田文俊ら:日植病報 76(3):190, 2010

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

河合一郎:園芸病害編:208, 1954 ; 富樫二郎:日植病報 51(1):68, 1985 ; 富樫二郎:日植病報 52(4):725, 1986

春腐病 harugusare-byo Spring rot (腐敗病)

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958

赤枯病 akagare-byo Leaf sheath rot

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo

竹内妙子ら:日植病報 70(4):323, 2004

乾腐病 kampu-byo *Fusarium* basal rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *allii* Matuo, Tooyama & Isaka

遠山 明・油本武義:日植病報 41(1):97, 1975 ; 伊阪実人:植物防疫 30(9):365, 1976 ; 伊阪実人・岡本 博:福井短大研紀 2:19, 1977 ; 松尾卓見ら:日植病報 44(1):105, 1978

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *radicicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen

遠山 明・松尾卓見:日植病報 43(3):340, 1977 ; 遠山 明・松尾卓見:日植病報 46(3):394, 1980

[備考] 松尾ら (日植病報 26(5):239, 1961) は本病原菌として *F. oxysporum* f.sp. *gladioli*, f.sp. *tulipae* 及び *F. moniliforme* をあげたが、上記の菌の発見、著しい病原性の確認によってこれらを除外した

黒腐菌核病 kurogusare-kinkaku-byo White rot

Sclerotium cepivorum Berkeley

遠山 明:鳥取野菜試研報 4:1, 1983

黒球病 kurotama-byo (菌核病)

Helotium sp.

堀 正侃:病虫雑 22(6):426, 1935(昭 10) ; 明日山秀文ら:日植病報 5(3):216, 1935(昭 10)

黒点葉枯病 kokuten-hagare-byo Black spotted leaf blight

Septoria alliacea Cooke

香月繁孝・日野隆之:植物防疫 6(7-8):289, 1952

黒斑病 kokuhan-byo

Mycosphaerella tassiana (De Notaris) Johanson [*Mycosphaerella allicina* (Fries) Vestergren]

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:34, 1946 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:581, 1992

[備考] 本病菌の不完全世代は *Cladosporium herbarum* である

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia allii (de Candolle) F. Rudolphi [*Puccinia allii-japonici* Dietel]

原 攝祐:実験作物病理学:760, 1930(昭5) ; 岩間俊太ら:日植病報 68(2):184, 2002

[備考] 病原変種 var. *rakkyo* の提案

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

手塚信夫ら:関西病虫研報 34:75, 1992

白色疫病 shiroiro-eki-byo

Phytophthora porri Foister

桂 琦一ら:日植病報 35(1):55, 1969;伊阪実人・宮越 盈:福井農試報 8:1, 1971

根腐病 negusare-byo

Pyrenochaeta sp.

遠山 明ら:日植病報 44(1):86, 1978

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

(1) *Botrytis cinerea* Persoon

奈須田和彦・川久保幸雄:日植病報 43(3):319, 1977 ; 奈須田和彦・川久保幸雄:植物防疫 38(1):15, 1984

(2) *Botrytis squamosa* J.C. Walker

奈須田和彦・川久保幸雄:日植病報 43(3):319, 1977 ; 奈須田和彦・川久保幸雄:植物防疫 38(1):15, 1984

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫病)

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

三枝敏郎:植物寄生性線虫とその調査法(千葉県):1, 1958

++++潜在感染 senzai-kansen Latent infection

Shallot latent virus (SLV) シャロット潜在ウイルス

山下一夫ら:日植病報 63(6):486, 1997 ; 山下一夫ら:日植病報 70(1):50, 2004

[備考] 戻し接種なし

ワケギ(分葱, 冬葱)

Welsh onion

Allium fistulosum L. (caespitosum group)
(野菜)

ウイルス病* virus-byo Virus

(1) Garlic latent virus#

中曽根 渡ら:日植病報 48(3):377, 1982

[備考] 戻し接種なし。Chinese chive dwarf virus#, *Shallot latent virus* (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する

(2) *Shallot virus X* (ShVX) シャロット X ウイルス

山下一夫ら:日植病報 66(2):147, 2000

白色疫病 shiroiro-eki-byo

Phytophthora porri Foister

桂 琦一:関西病虫研報 11:71, 1969 ; 桂 琦一:植物の疫病:91, 1971

べと病 beto-byo Downy mildew (萎黄病, つゆかび病, 露菌病)

Peronospora destructor (Berkeley) Caspary [*Peronospora schleideni* Unger]

樋浦 誠:病虫雑 17(4):215, 1930(昭 5)

++++潜在感染 senzai-kansen Latent infection

Shallot latent virus (SLV) シャロット潜在ウイルス

山下一夫ら:日植病報 63(6):486, 1997 ; 山下一夫ら:日植病報 66(2):147, 2000 ; 山下一夫ら:日植病報 70(1):50, 2004

[備考] 戻し接種なし

++++黄化萎縮症 oka-ishuku-sho

病原未定

中曽根 渡ら:日植病報 48(3):377, 1982

[備考] *Phytoplasma* (ファイトプラズマ) によると思われるが, 伝染試験なく, 病原性未確認

ネギ(葱)

Welsh onion, Spring onion

Allium fistulosum L. (porrum group)

(野菜)

萎縮病 ishuku-byo Yellow dwarf, Dwarf

Shallot yellow stripe virus (SYSV) シャロット黄色条斑ウイルス [Welsh onion yellow stripe virus#]

北野忠彦ら:日植病報 24(1):34, 1959 ; 吉野正義・安 正純:埼玉農試研報 26:1, 1965 ; 山下一夫・花田 薫:日植病報 62(3):325, 1996

[備考] 吉野・安は, *Onion yellow dwarf virus* (OYDV タマネギ萎縮ウイルス)として報告した。ウイルスによる萎縮病の最初の記載は, 堀 太郎:病虫雑 7(12):667, 1920(大 9)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Chinese chive dwarf virus#

中曽根 渡ら:日植病報 54(1):108, 1988

[備考] Garlic latent virus#, *Shallot latent virus* (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する

(2) Garlic latent virus#

佐古 勇ら:日植病報 53(1):108, 1987 ; 深見正信ら:関東病虫研報 34:79, 1987

[備考] Chinese chive dwarf virus#, *Shallot latent virus* (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する

(3) *Tomato spotted wilt virus* (TSWV) トマト黄化えそウイルス

荒城雅昭ら:日植病報 46(3):414, 1980

[備考] 戻し接種なし

えそ条斑病 *eso-johan-byo* Necrotic streaks

Iris yellow spot virus (IYSV) アイリス黄斑ウイルス

植草秀敏ら:関東病虫研報 52:31, 2005 ; 福田 充・中山喜一:関東病虫研報 54:39, 2007

斑紋病 *hammon-byo* Mottle

Cycas necrotic stunt virus (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス

山下研一ら:日植病報 43(3):373, 1977 ; 荒城雅昭ら:日植病報 46(3):414, 1980

[備考] 山下らは *Tomato black ring virus* として報告した

萎黄病 *io-byo* Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

塩見敏樹ら:日植病報 61(3):252, 1995

褐色腐敗病 *kasshoku-fuhai-byo* Bacterial brown rot

Burkholderia gladioli (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993

酒井和彦ら:日植病報 77(3):183, 2011

軟腐病* *nampu-byo* Bacterial soft rot (軟化腐敗病, 腐敗病)

(1) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003

[*Bacillus cepivorus* Delacroix, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

ト蔵梅之丞:病虫雑 2(2):付録 31, 1915(大 4) ; 原 攝祐:実用作物病理学:469, 1925(大 14)

(2) *Dickeya* sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

瀧川雄一ら:日植病報 49(3):415, 1983

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

葉枯細菌病 *hagare-saikin-byo* Bacterial blight

Xanthomonas axonopodis pv. *allii* (Kadota, Uehara, Shinohara & Nishiyama 2000) Roumangac, Gagnevin, Gardan, Sutra, Manceau, Dickstein, Jones, Rott & Pruvost 2004 [*Xanthomonas campestris* pv. *allii* Kadota, Uehara, Shinohara & Nishiyama 2000]

Kadota, I. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 66(4):310, 2000

[備考] 新 pathovar。本病原については *Xanthomonas axonopodis* pv. *allii* Roumagnac, Gagnevin, Gardan, Sutra, Manceau, Dickstein, Jones, Rott & Pruvost 2003 も提案されている

斑点細菌病* *hanten-saikin-byo* Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae van Hall 1902

Goto, M.:Plant Dis. Rept. 56:490, 1972 ; 後藤正夫ら:植物防疫 35(6):270, 1981

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

腐敗病 *fuhai-byo* Bacterial rot

(1) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら:日植病報 49(3):415, 1983

(2) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013

萎凋病 icho-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *cepa* W.C. Snyder & H.N. Hansen

児玉不二雄:日植病報 43(3):340, 1977

疫病 eki-byo *Phytophthora blight*

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*, *Phytophthora allii* Sawada]

桂 琦一:植物の疫病:80, 1971 ; 田中澄人・池田 登:九病虫研会報 19:35, 1973

黄斑病 ohan-byo Leaf spot

Heterosporium allii Ellis & G. Martin

河合一郎:園芸病害編:200, 1954

大粒菌核病 otsubu-kinkaku-byo Snow mold

Myriosclerotinia borealis (Bubák & Vleugel) L.M. Kohn

Saito, I.:Mycoscience 39:145, 1998 ; 斉藤 泉:日菌報 39(2):62, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌は *Ciborinia* 属菌に近いとしている

菌糸腐敗病 kinshi-fuhai-byo Mycelial rot

Botrytis byssoidea J.C. Walker

阿部秀夫・新村昭憲:日植病報 65(3):401, 1999 ; 阿部秀夫ら:北日本病虫研報 52:67, 2001

黒腐菌核病 kurogusare-kinkaku-byo White rot

Sclerotium cepivorum Berkeley

渡邊龍雄・若井田正義:日植病報 24(1):40, 1959

黒渋病 kuroshibu-byo Black leaf blight

Mycosphaerella allicina (Fries) Vestergren [*Mycosphaerella schoenoprasii* (Auerswald) Schröter]

堀 正太郎:農作物病学:222, 1903(明 36) ; 小林享夫ら:日植病報 62(3):263, 1996 ; 岸 國平ら:日植病報 64(1):43, 1998 ; 小林享夫ら:日植病報 64(1):57, 1998

黒穂病 kuroho-byo Smut

Urocystis cepulae Frost [*Tubercinia cepulae* (Frost) Liro]

河合一郎:農作物病害編:313, 1948 ; 柿畠 眞:筑波大農林研 1:70, 1982

紅色根腐病 koshoku-negusare-byo

Pyrenochaeta terrestris (H.N. Hansen) Gorenz, J.C. Walker & Larson

重松 統ら:日植病報 51(1):95, 1985

黒点葉枯病 kokuten-hagare-byo Black spotted leaf blight

Septoria alliacea Cooke

逸見武雄:医学と生物学 5(3):93, 1944(昭 19) ; 香月繁孝:九州農業研究 10:159, 1952

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot, Purple blotch

Alternaria porri (Ellis) Ciferri [*Macrosporium porri* Ellis]

吉井 甫:病虫雑 16(8):466, 1929(昭 4)

黒紋葉枯病 kokumon-hagare-byo Phyllosticta leaf blight (黒紋病)

Guignardia alliacea Motohashi, Jun. Nishikawa & C. Nakashima [不完全世代: *Phyllosticta alliacea* Motohashi, Jun. Nishikawa & C. Nakashima]

本橋慶一ら:日植病報 72(4):202, 2006 ; Motohashi, K. *et al.*:Mycoscience 49:16, 2008

さび病 sabi-byo Rust (赤さび病, 赤渋病)

Puccinia allii (de Candolle) F. Rudolphi [*Puccinia porri* (Sowerby) G. Winter, *Puccinia alliivora* Hara]

出田 新:新農報:20, 1900(明 33) ; 原 攝祐:農業世界 10(2):51, 1915(大 4)

[備考] 平塚ら (日植病報 18(3-4):137, 1954 ; 日菌報 2(2-3):160, 1966) によればノビルに発生する *Uromyces durus* がネギ類に寄生し, さび病を起こすことがある

小菌核病 sho-kinkaku-byo

Ciborinia allii (Sawada) L.M. Kohn [*Sclerotinia allii* Sawada]

織田富士夫・瀧元清透:蔬菜病虫害:87, 1946

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

河合一郎:農作物病害編:316, 1948 ; 河合一郎:園芸病害編:203, 1954

白色疫病 shiroiro-eki-byo

Phytophthora porri Foister

桂 琦一:植物の疫病:91, 1971

白かび腐敗病 shirokabi-fuhai-byo White-mold rot

(1) *Botrytis cinerea* Persoon

谷渡敦子ら:関西病虫研報 52:53, 2010

(2) *Botrytis porri* N.F. Buchwald

塚本俊秀ら:日植病報 64(4):429, 1998

炭疽病 tanso-byo Smudge

Colletotrichum circinans (Berkeley) Voglino

近藤 章・逸見武雄:滋賀農短大学術報 3:19, 1953 ; 鍵渡徳次:東京農大農学集報 29(4):343, 1985

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

山本 勉・上原 等:植物防疫 26(4):153, 1972

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照

根腐萎凋病 negusare-icho-byo Root rot

Fusarium redolens Wollenweber [*Fusarium oxysporum* Schlechtendal]

新村昭憲ら:日植病報 62(6):645, 1996 ; 新村昭憲:日植病報 63(3):202, 1997 ; 新村昭憲:日植病報 67(2):165, 2001

[備考] 新分化型 f. sp. *cepae* Shinmura を提案

根腐病 negusare-byo Root rot

(1) *Pythium irregulare* Buisman

佐古 勇ら:日植病報 63(3):203, 1997

(2) *Pythium dissotocum* Drechsler

清水佐知子・東條元昭:日植病報 76(3):157, 2010 ; 清水佐知子ら:日植病報 78(3):191, 2012

[備考] 有性器官未確認

葉枯病 hagare-byo Leaf spot, Leaf blight

(1) *Pleospora allii* (Rabenhorst) Cesati & De Notaris [*Stemphylium vesicarium* (Wallroth) E.G. Simmons]

柴田 智ら:北日本病害虫研究会報 51:62, 2000

(2) *Pleospora herbarum* (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [*Stemphylium botryosum* non Wallroth sensu auct. pl., *Stemphylium herbarum* E.G. Simmons]

出田 新:日本植物病理学:772, 1911(明 44); 吉井 甫:病虫雑 16(8):469, 1929(昭 4); 三澤知央ら:日植病報 77(1):73, 2011

[備考] リーキおよびタマネギ葉枯病参照

(3) *Stemphylium botryosum* Wallroth

三澤知央ら:日植病報 77(1):73, 2011

白斑葉枯病 hakuhan-hagare-byo Leaf blight (小菌核腐敗病)

Botrytis squamosa J.C. Walker

生井恒雄・富樫二郎:山形大紀要 11(2):271, 1991; 竹内妙子ら:日植病報 61(3):218, 1995; Takeuchi, T. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(2):129, 1998

べと病 beto-byo Downy mildew (萎黄病, つゆかび病, 露菌病)

Peronospora destructor (Berkeley) Caspary [*Peronospora schleideni* Unger]

堀 正太郎:植物学雑 7(76):151, 1893(明 26); 原 攝祐:実用作物病理学:462, 1925(大 14)

葉鞘腐敗病 yosho-fuhai-byo (葉しょう腐敗病)

Fusarium sp.

向 秀夫ら:日植病報 40(2):152, 1974; 関東東山地区病害虫専門技術員協議会:新しい病害虫, 1976

[備考] 接種試験未了

リゾクトニア葉鞘腐敗病 Rhizoctonia-yosho-fuhai-byo Rhizoctonia leaf sheath rot

(1) binucleate *Rhizoctonia*

三澤知央:日植病報 80(1):61, 2014; Misawa, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(3):121, 2017

[備考] 菌糸融合群 AG-U

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

三澤知央・國永史朗:日植病報 75(1):87, 2009; 三澤知央:北日本病虫研報 62:208, 2011; 三澤知央:日植病報 81(3):214, 2015; Misawa, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(3):121, 2017

[備考] 菌糸融合群 (および培養型) AG-1 IB, AG-1 IC, AG-2-1, AG-2-2 IIIB, AG-4 HG-I, AG4 HG-II, AG-4 HG-I+II h.s., AG-5

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験の結果

(3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966

[備考] 接種試験の結果

(4) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

西沢 務:関西病虫研報 1:128, 1958; 近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ (根瘤線虫病)

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

++++潜在感染 senzai-kansen Latent infection

Shallot latent virus (SLV) シャロット潜在ウイルス

山下一夫ら:日植病報 63(6):486, 1997 ; 山下一夫ら:日植病報 70(1):50, 2004

[備考] 戻し接種なし

ノビル

Wild Onion

Allium macrostemon Bunge

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Garlic latent virus#

佐古 勇ら:日植病報 54:109, 1988 ; 佐古 勇ら:植物防疫 43(7):389, 1989

[備考] 血清反応による同定。戻し接種なし。Chinese chive dwarf virus#, *Shallot latent virus* (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する

(2) *Scallion mosaic virus* ノビルモザイクウイルス

村岡聡史ら:日植病報 80(1):77, 2014 ; Oshima, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 82(1):61, 2016

(3) *Shallot latent virus* (SLV) シャロット潜在ウイルス

岡村輝太ら:日植病報 83(1):76, 2017

ニンニク(大蒜)

Garlic

Allium sativum L.

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Garlic latent virus#

李 龍雨ら:日植病報 44(3):384, 1978

[備考] Chinese chive dwarf virus#, *Shallot latent virus* (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する

(2) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

李 治遠ら:日植病報 48(3):394, 1982

[備考] 戻し接種なし

モザイク病* *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Leek yellow stripe virus* (LYSV) リーキ黄色条斑ウイルス [Garlic mosaic virus#]

佐古宣道:日植病報 42(1):101, 1976 ; 佐古宣道:日植病報 42(3):383, 1976

(2) *Onion yellow dwarf virus* (OYDV) タマネギ萎縮ウイルス

山下一夫ら:日植病報 63(3):195, 1997

(3) Garlic mite-borne mosaic virus#

山下一夫:日植病報 59(1):57, 1993 ; 山下一夫ら:日植病報 62(5):483, 1996

軟腐病 *nampu-byo* Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

木村俊夫・橋本 保:日植病報 46(1):76, 1980 ; 木村俊夫・橋本 保:宮城農短大学報 28:17, 1980

春腐病 *harugusare-byo*

(1) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

杉山 悟ら:日植病報 47(3):396, 1981 ; 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982

(2) *Pseudomonas cichorii* (Swingle 1925) Stapp 1928

木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982

(3) *Erwinia* sp.

木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982

青かび病 *aokabi-byo* *Penicillium* rot

Penicillium viridicatum Westling

斎藤道彦・鶴田 理:食総研報 45:124, 1984 ; 石井正義ら:四国植防 21:13, 1986

黄斑病 *ohan-byo*

Heterosporium allii Ellis & G. Martin emend. Jacques

杉山 悟・松中謙次郎:日植病報 51(3):333, 1985

乾腐病 *kampu-byo* Basal rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *garlic* Matuo, Miyagawa & Saito

松尾卓見ら:日植病報 52(3):537, 1986 ; 松尾卓見ら:日植病報 52(5):860, 1986

黒腐菌核病 *kurogusare-kinkaku-byo*

Sclerotium cepivorum Berkeley

千葉順逸ら:北日本病虫研報 29:20, 1978 ; 桑田博隆ら:北日本病虫研報 29:21, 1978 ; 千葉順逸ら:日植病報 45(1):96, 1979

紅色根腐病 *koshoku-negusare-byo* Pink root rot

Pyrenochaeta sp.

鷺尾貞夫:日植病報 44(3):371, 1978

黒斑病 *kokuhan-byo* Purple blotch

Alternaria porri (Ellis) Ciferri

菅野博英ら:日植病報 63(3):202, 1997 ; 菅野博英・大久保博人:北日本病虫研報 48:109, 1997

さび病 *sabi-byo* Rust

Puccinia allii (de Candolle) F. Rudolphi

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):214, 1950 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:301, 1955

[備考] ノビルに発生する *Uromyces durus* はニンニクに寄生可能とみられる (平塚直秀・平塚利子:日菌報 7(2-3):160, 1966)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

逸見武雄:農及園 10(1):297, 1935(昭 10) ; 我孫子和雄・西 泰道:関西病虫研報 21:1, 1979

白色疫病 shiroiro-eki-byo

Phytophthora porri Foister

桂 琦一ら:日植病報 35(1):55, 1969 ; 桂 琦一:植物の疫病:91, 1971

葉枯病 hagare-byo Tip blight

Pleospora herbarum (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [*Stemphylium botryosum* non Wallroth sensu auct. pl., *Stemphylium herbarum* E.G. Simmons]

福西 務ら:日植病報 43(1):86, 1977 ; 杉山 悟・松中謙次郎:日植病報 50(1):110, 1984

[備考] タマネギ葉枯病参照

白斑葉枯病 hakuhan-hagare-byo Leaf blight

Botrytis squamosa J.C. Walker

山下一夫:日植病報 77(1):50, 2011

[備考] 病原の形態による同定根拠なし。接種試験未了

鱗茎墨汚病* rinkei-sumiyogore-byo (鱗茎墨汚れ病)

Embellisia allii (Campanile) E.G. Simmons

Taniguchi, N. *et al.*:Mycoscience 35:421, 1994

いも腐線虫病 imogusare-senchu-byo

Ditylenchus destructor Thorne イモグサレセンチュウ

藤村建彦ら:日線虫研誌 16:38, 1986

++++潜在感染 senzai-kansen Latent infection

Shallot latent virus (SLV) シャロット潜在ウイルス

山下一夫ら:日植病報 63(6):486, 1997 ; 山下一夫ら:日植病報 70(1):50, 2004

[備考] 戻し接種なし

チャイブ(セイヨウアサツキ)

Chives

Allium schoenoprasum L.

(野菜)

アサツキ Asatuki, Japanese Chives *A. schoenoprasum* L. var. *foliosum* Regel

ウイルス病 virus-byo Virus

Garlic latent virus#

佐古 勇ら:日植病報 54(1):109, 1988 ; 佐古 勇ら:植物防疫 43(7):389, 1989

[備考] アサツキに発生。血清反応による同定。戻し接種なし。Chinese chive dwarf virus#, *Shallot latent virus* との異同の検討を要する

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfii Saccardo

森田琴子ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 森田琴子ら:関東病虫研報 62:93, 2015

ニラ(菰)

Chinese chive

Allium tuberosum Rottler

(野菜)

萎縮病 ishuku-byo

Chinese chive dwarf virus#

米山伸吾ら:日植病報 40(3):211, 1974

[備考] Garlic latent virus#, *Shallot latent virus* (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する

ウイルス病* virus-byo Virus

(1) *Cherry leaf roll virus* (CLRV) チェリー葉巻ウイルス

山下一夫ら:日植病報 66(2):145, 2000

(2) Garlic latent virus#

中山喜一ら:関東病虫研報 36:75, 1989

[備考] Chinese chive dwarf virus#, *Shallot latent virus* (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する

(3) *Peanut stunt virus* (PSV) ラッカセイ矮化ウイルス

山下一夫・花田 薫:日植病報 65(6):669, 1999

(4) *Tobacco rattle virus* (TRV) タバコ茎えそウイルス

都澤香織ら:日植病報 53(3):421, 1987

えそ条斑病 eso-johan-byo Necrotic streak

Iris yellow spot virus (IYSV) アイリス黄斑ウイルス

福田 充ら:日植病報 72(4):277, 2006; 福田 充ら:日植病報 73(4):311, 2007

株腐細菌病 kabugusare-saikin-byo Bacterial basal bulb rot

Pseudomonas sp.

木嶋利男ら:日植病報 51(3):343, 1985

条斑細菌病 Johan-saikin-byo Bacterial streak

Herbaspirillum sp.

矢野和孝ら:日植病報 83(3):234, 2017

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

富樫二郎・生井恒雄:日植病報 57(1):88, 1991 ; 富樫二郎・生井恒雄:日植病報 57(7):720, 1991

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf blight

(1) *Pleospora herbarum* (Fries) Rabenhorst ex Cesati & de Notaris [*Stemphylium herbarum* E.G. Simmons]

三澤知央:日植病報 75(1):87, 2009 ; 黒瀬大介ら:日植病報 81(1):100, 2015 ; Kurose, D. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 ; Misawa, T. *et al.*:New Dis. Rpt. 34:5, 2016

[備考] 三澤(2009)は本病菌を*S. botryosum*と同定したが、黒瀬ら(2015) [Kurose *et al.* (2015)]が*S. herbarum*と再同定し、さらにMisawara *et al.*がその完全世代を*P. herbarum*とした

(2) *Stemphylium lycopersici* (Enjoji) W. Yamamoto

山崎睦子・森田泰彰:日植病報 82(3):231, 2016

乾腐病 kampu-byo Basal rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *cepae* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium oxysporum* Schlechtendal]

木嶋利男ら:日植病報 49(1):78, 1983 ; 山崎睦子ら:日植病報 79(3):182, 2013

(2) *Fusarium proliferatum* (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg

山崎睦子ら:日植病報 78(3):186, 2012 ; Yamazaki, M.*et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(6):431, 2013

黒腐菌核病 kurogusare-kinkaku-byo White rot

Sclerotium cepivorum Berkeley

有江 力ら:日植病報 51(1):51, 1985

紅色根腐病 koshoku-negusare-byo Pink root rot

Pyrenochaeta terrestris (H.N. Hansen) Gorenz, J.C. Walker & Larson

石川成寿ら:日植病報 61(6):604, 1995

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia allii (de Candolle) F. Rudolphi

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):214, 1950 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:301, 1955

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

有江 力ら:日植病報 50(1):136, 1984

白色疫病 shiroiro-eki-byo

Phytophthora porri Foister

桂 琦一ら:日植病報 35(1):55, 1969 ; 桂 琦一:植物の疫病:91, 1971

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Septoria alliacea Cooke

逸見武雄:医学と生物学 5(3):93, 1944(昭 19)

白色葉腐病 hakushoku-hagusare-byo White leaf rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

三澤知央・國永史朗:日植病報 75(1):87, 2009 ; Misawa, T. & Kuninaga, S.:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):280, 2013

[備考] 菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II

白斑葉枯病 hakuhan-hagare-byo Leaf blight

(1) *Botrytis byssoides* J.C. Walker

賛田裕行・高橋 武:日植病報 36(5):336, 1970 ; 高桑 亮ら:北農集報 29:1, 1974

(2) *Botrytis cinerea* Persoon

高桑 亮ら:北農集報 29:1, 1974 ; 三澤知央:日植病報 77(1):73, 2011

(3) *Botrytis squamosa* J.C. Walker

高桑 亮ら:北農集報 29:1, 1974 ; 三澤知央:日植病報 77(1):73, 2011

[備考] 三澤(2011)は *B. cinerea* および *B. squamosa* の病原性を確認した

葉腐病 hagusare-byo Rhizoctonia rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

中山喜一ら:日植病報 57(3):395, 1991 ; 中山喜一ら:植物防疫 46(2):64, 1992

[備考] 菌糸融合群 AG-4

腐敗病 fuhai-byo *Fusarium rot*

Fusarium sp.

道家剛三郎:鳥取農試研報 1:62, 1956 ; 道家剛三郎:中国農業研究 5:37, 1956

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora destructor (Berkeley) Caspary

三澤知央ら:日植病報 76(3):156, 2010 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 65:68, 2014

[備考] ニラに対する病原性は未確認だが, ネギに対する病原性を認めた

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

道立道南農試・渡島南部地区普及センター:北農 65(2):189, 1998

††††潜在感染 senzai-kansen Latent infection

Shallot latent virus (SLV) シャロット潜在ウイルス

山下一夫ら:日植病報 63(6):486, 1997 ; 山下一夫ら:日植病報 70(1):50, 2004

[備考] 戻し接種なし

††††白斑症 hakuhan-sho

病原菌未詳

米山伸吾:日植病報 43(3):319, 1977

ギョウジャニンニク

Victory onion, Alpine leek

Allium victorialis L. ssp. *platyphyllum* Hultén

(野菜)

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces japonicus Berkeley & M.A. Curtis

田中栄爾ら:北陸病虫研報 64:23, 2015

白色疫病 shiroiro-eki-byo Leaf blight

Phytophthora porri Foister

向島博行ら:日植病報 63(6):525, 1997

すすかび病 susukabi-byo Leaf mold

Cercospora victorialis Thümen

向島博行ら:日植病報 63(6):525, 1997

[備考] 病原菌は *Mycovellosiella* 属に属するとされている

アリウム類
Allium
Allium spp.
(草花)

ウイルス病* virus-byo

(1) *Leek yellow stripe virus* (LYSV) リーキ黄色条斑ウイルス

野田千代一・井上成信:日植病報 55(2):208, 1989

(2) *Garlic latent virus*#

井上成信ら:日植病報 48(1):114, 1982

[備考] 戻し接種なし。Chinese chive dwarf virus#, *Shallot latent virus* (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する

(3) *Onion yellow dwarf virus* (OYDV) タマネギ萎縮ウイルス

野田千代一・井上成信:日植病報 55(4):532, 1989

[備考] 戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の記載は, 上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:292, 1975

腐敗病* fuhai-byo Bacterial rot

Pantoea ananatis (Serrano 1928) Mergaert, Verdonck & Kersters 1993 [*Erwinia ananas* Serrano 1928]

多賀由美子ら:北陸病虫研報 47:55, 1999

[備考] *A. giganteum* に発生

青かび病 aokabi-byo Blue mold (鱗茎腐敗症)

Penicillium sp.

守川俊幸ら:北陸病虫研報 38:122, 1990

[備考] 本病原の形態記載なし。*A. giganteum* Regel に発生

疫病 eki-byo

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:292, 1975

黒斑病 kokuhan-byo Purple blotch

Alternaria porri (Ellis) Ciferri

菅野博英:北日本病虫研報 54:76, 2003

[備考] アリウム・ギガンテウム *A. giganteum* に発生

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia allii (de Candolle) F. Rudolphi

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:292, 1975

††††潜在感染 senzai-kansen Latent infection

Shallot latent virus (SLV) シャロット潜在ウイルス

山下一夫ら:日植病報 63(6):486, 1997 ; 山下一夫ら:日植病報 70(1):50, 2004

[備考] 戻し接種なし

ネギ類
(Allium)
Allium spp.
(野草)

ヒメニラ *Allium monanthum* Maxim.

さび病 *sabi-byo* Rust

(1) *Uromyces allii-monanthi* Y. Harada

Harada, Y.: Trans. mycol. Soc. Japan 25:335, 1984 ; Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan:928, 1992

(2) *Uromyces japonicus* Berkeley & M.A. Curtis

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan:935, 1992

[備考] ヒメニラ

アルストロメリア
Alstroemeria
Alstroemeria spp. 及び種間雑種
(草花)

ウイルス病 *virus-byo* Virus

(1) *Alstroemeria mosaic virus* (AlMV) アルストロメリアモザイクウイルス

井上成信ら: 日植病報 58(1):135, 1992 ; 安田 茂・夏秋啓子: 日植病報 61(6):603, 1995 ; 安田 茂ら: 熱帯農業 42:85, 1998

(2) *Alstroemeria virus X*

Fuji, S. *et al.*: Arch. Virol. 150:2377, 2005

[備考] *Alstroemeria ligula* への戻し接種は無病徴(全身感染, RT-PCR による確認)

(3) *Arabidopsis mosaic virus* (ArMV) アラビシモザイクウイルス

井上成信ら: 日植病報 58(1):135, 1992

[備考] 戻し接種なし

(4) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス 2

Fuji, S. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 73(3):216, 2007

[備考] 戻し接種なし

(5) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

塩田あづさ ら: 関東病虫研報 44:149, 1997

[備考] 戻し接種なし

(6) *Grapevine Algerian latent virus* (GALV)

富高保弘ら: 日植病報 82(3):250, 2016

[備考] 戻し接種なし

(7) *Lily symptomless virus* (LSV) ユリ潜在ウイルス

藤田 隆ら: 日植病報 63(6):486, 1996

[備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし

(8) Potyvirus#

塩田あづさ ら: 関東病虫研報 44:149, 1997

[備考] 戻し接種なし

(9) *Youcai mosaic virus* (YoMV) アブラナモザイクウイルス

藤田 隆ら: 日植病報 63(6):486, 1996 ; Fuji, S. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 73(3):216, 2007

[備考] 戻し接種なし。藤田ら(1996)は *Tobacco mosaic virus* (TMV タバコモザイクウイルス)と報告し、同定の記載不十分

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

高橋義行ら:関東病虫研報 45:105, 1998 ; 高橋義行ら:関東病虫研報 46:77, 1999

条えそ病 suji-eso-byo Necrotic streaks

Iris yellow spot virus (IYSV) アイリス黄斑ウイルス

花田 薫ら:日植病報 66(3):259, 2000 ; 奥田 充ら:日植病報 71(2):119, 2005

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

植松清次ら:日植病報 59(3):289, 1993

[備考] *Alstromeria ligtu* に発生

褐斑病 kappan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

株腐病 kabugusare-byo Stem and root rot

(1) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(1):50, 2011

[備考] 菌糸融合群 AG-4 亜群HG-1 培養型 IIIA

(2) binucleate *Rhizoctonia*

菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

井上 興ら:山口農試研報 44:47, 1992

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Alternaria alstroemeriae E.G. Simmons & C.F. Hill

山岸菜穂ら:日植病報 75(1):71, 2009 ; Yamagishi, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(5):401, 2009

根茎腐敗病 konkei-fuhai-byo Pythium rot

(1) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

竹内 純・堀江博道:日植病報 65(3):410, 1999

(2) *Pythium helicoides* Drechsler

(3) *Pythium myriotylum* Drechsler

菅原 敬ら:日植病報 76(1):44, 2010 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら:関東病虫研報 40:171, 1993

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

堀田治邦:日植病報 60(6):792, 1994

花腐病 hanagusare-byo

Fusarium sp.

アマナ類
(Amana)
Amana spp.
(野草)

アマナ *Amana edulis* (Baker) Honda
ヒロハノアマナ *Amana latifolia* (Makino) Honda

さび病 *sabi-byo* Rust

Uromyces erythronii Passerini

Fukuda, T. & Nakamura, S.: Trans. mycol. Soc. Japan 26:487, 1985 ; Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 931, 1992 ; 福田達男: 日本植物病害大事典(岸 國平編): 1204, 1998

[備考] アマナ・ヒロハノアマナ

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜: 九農研 7:71, 1950

[備考] アマナに発生。本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

アスパラガス(石臼柏)
Asparagus
Asparagus officinalis L.
(野菜)

ウイルス病 *virus-byo* Virus

(1) *Asparagus virus 1* (AV-1) アスパラガスウイルス 1

藤沢一郎ら: 日植病報 47(3):410, 1981 ; 藤沢一郎ら: 日植病報 49(3):299, 1983

(2) *Asparagus virus 2* (AV-2) アスパラガスウイルス 2

藤沢一郎ら: 日植病報 46(1):100, 1980 ; 藤沢一郎ら: 日植病報 49(5):683, 1983

(3) *Asparagus virus 3* (AV-3) アスパラガスウイルス 3

藤沢一郎・飯塚典男: 日植病報 50(1):115, 1984 ; 藤沢一郎・飯塚典男: 日植病報 52(2):193, 1986

軟腐病 *nampu-byo* Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

藤井直哉ら: 北日本病虫研報 53:80, 2002

青かび病 *aokabi-byo* Blue mold

Penicillium hirsutum Dierckx

Saito, M. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 69(5):304, 2003

疫病 *eki-byo* Phytophthora rot

(1) *Phytophthora asparagi* Saude & Hausbeck

児玉不二雄ら: 日植病報 80(4):240, 2014

(2) *Phytophthora erythroseptica* Pethybridge

山崎陽子・守川俊幸: 日植病報 64(6):629, 1998 ; 山崎陽子ら: 北陸病虫研報 48:64, 2000

(3) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

横田仁子ら:日土肥学会講要 55:54, 2009 ; 横田仁子ら:土と微生物 67:77, 2013

(4) *Phytophthora* sp.

堀越紀夫ら:北日本病虫研報 60:108, 2009

褐色菌核根腐病 kasshoku-kinkaku-negusare-byo

Sclerotium sp.

鈴井孝仁・鐙谷大節:日植病報 28(5):304, 1963 ; 鈴井孝仁・鐙谷大節:北農試彙報 82:60, 1963

褐斑病 kappan-byo Leaf spot (黒渋病)

Cercospora asparagi Saccardo [*Cercosporina asparagicola* Spegazzini]

瀧元清透:園芸之友 17(3):145, 1921(大 10) ; 後藤和夫:病虫雑 12(12):677, 1925(大 14)

株腐病 kabugusare-byo

Fusarium moniliforme J. Sheldon

橋本典久ら:日植病報 56(3):385, 1990

茎枯病 kukigare-byo Stem blight (枝枯病)

Phomopsis asparagi (Saccardo) Bubák [*Phoma asparagi* Saccardo]

瀧元清透:園芸之友 17(3):145, 1921(大 10) ; 守川俊幸ら:日植病報 56(1):126, 1990

さび病 sabi-byo Rust (赤錆病, 赤渋病)

Puccinia asparagi-lucidi Dietel

出田 新:日本植物病理学(下):529, 1911(明 44) ; 南部信方:日園雑 25(4):34, 1913(大 2)

[備考] 出田があてた *Puccinia asparagi* は我が国には産しない

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

金谷 元:岡山農試研報 12:33, 1994

立枯病 tachigare-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *asparagi* S.I. Cohen

鐙谷大節ら:北農 30(7):12, 1963 ; 鈴井孝仁・鐙谷大節:北日本病虫研報 16:38, 1965 ; 原田敏男ら:関東病虫研報 23:49, 1976

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp. [*Gloeosporium* sp.]

瀧元清透:病虫雑 2(3):224, 1915(大 4) ; 瀧元清透:園芸之友 17(3):145, 1921(大 10)

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

坂口壮一ら:九病虫研会報 36:48, 1990

根腐病 negusare-byo

Rhizoctonia crocorum (Persoon) de Candolle [*Rhizoctonia asparagi* Fuckel ex Eriksson]

星野好博:北農 5(9):388, 1938(昭 13) ; 渡邊恒雄:植物土壌病害の事典:173, 1998

[備考] 調査を要する

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

鑑谷大節ら:北農 30(7):12, 1963

斑点病 hanten-byo Stemphylium leaf spot

Stemphylium herbarum E.G. Simmons

鈴木孝仁・鑑谷大節:日植病報 26(5):233, 1961 ; 鈴木孝仁:日植病報 39(2):152, 1973 ; 鈴木孝仁:日植病報 39(4):364, 1973 ; 黒瀬大介ら:日植病報 81(1):100, 2015 ; Kurose, D. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015
[備考] 鈴木(1973)は本病菌を*S. botryosum*と同定したが, 黒瀬ら(2015) [Kurose *et al.* (2015)]が*S. herbarum*と再同定した

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (根腐病)

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

田中一郎:北日本病虫研報 8:63, 1957 ; 田中一郎:日植病報 23(1):21, 1958 ; 鑑谷大節ら:北農 30(7):12, 1963

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

楠木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

クサスギカズラ(アスパラガス)類

(*Asparagus*)

Asparagus spp.

(草花)

スマイラックス *A. asparagoides* (L.) W. F. Wight

ハマタマボウキ *A. kiusianus* Makino

タチテンモンドウ *A. pygmaeus* (Makino) Makino

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium splendens Hans Braun

久保田まや:関東病虫研報 47:97, 2000

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne arenaria (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] タチテンモンドウ

††††

Diaporthe spp.

Thao, L.D. *et al.*:Jpn. J. Phytopathol. 83(3):182, 2017

[備考] ハマタマボウキに発生。病原菌は 系統学的に *D. longicolla* と *D. unshiuensis* に近縁の2種。病名未提案

††††

Neopestalotiopsis sp.

大迫佳奈ら:日植病報 83(3):182, 2017

[備考] ハマタマボウキに発生。病名未提案

††††

(1) *Phomopsis asparagi* (Saccardo) Bubák

(2) *Phomopsis* sp.

山根 南ら:日植病報 83(3):174, 2017

[備考] ハマタマボウキに発生。病名未提案

ハラン(バラン, 葉蘭)

Aspidistra

Aspidistra elatior Blume

(草花)

褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Leaf spot

Ascochyta aspidistrae Massee

豊田太吉:病虫雑 1(2):160, 1914(大 3)

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sp.

豊田太吉:病虫雑 1(2):160, 1914(大 3)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum lilicearum (Schweinitz) Ferraris [*Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove, *Colletotrichum omnivorum* Halsted]

豊田太吉:病虫雑 1(2):160, 1914(大 3) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Macrophoma aspidistrae Y. Iwata

岩田吉人:日植病報 22(3):164, 1957

円星病 maruhoshi-byo Leaf spot

Phyllosticta aspidistrae Oudemans

岩田吉人:日植病報 22(3):164, 1957

オリヅルラン

Chlorophytum comosum (Thunb.ex Murry) Jacques

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight, Sclerotium crown rot

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら:関東病虫研報 39:163, 1992

コルチカム(イヌサフラン)

Autumn crocus, Meadow saffron

Colchicum autumnale L.
(草花)

黒穂病 kuroho-byo Smut

Urocystis colchici (Schlechtendal) Strauss [*Tubercinia colchici* (Schlechtendal) Liro]

南部信方:病虫雑 2(8):742, 1915(大 4) ; 柿畠 眞:筑波大農林研究 1:71, 1982

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

井 智史ら:関西病虫研報 44:71, 2002

根腐病 negusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

高野喜八郎:日植病報 55(1):98, 1989

ドイツスズラン(鈴蘭, スズラン)
Lily-of-the-valley
Convallaria majalis L.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

病原未詳

日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

赤斑細菌病 sekihan-saikin-byo Bacterial red leaf spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995

吉澤祐太郎ら:日植病報 82(1):27, 2016

黒穂病 kuroho-byo Smut

Urocystis miyabeana Togashi & Onuma [*Tubercinia miyabeana* Togashi]

富樫浩吾・大沼総次:植物輯報 5(1):25, 1930(昭 5) ; 柿畠 眞:筑波大農林研究 1:72, 1982

[備考] K. Vánky (Mycotaxon 35:157, 1989) によれば, 本種の基準標本の宿主植物はドイツスズランではなく, *Polygonatum* 属であろうという。検討を要する

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia majanthemi Dietel

平塚直秀・長谷部早百合:菌蕈研報 16:18, 1978

[備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:575, 1925) は *Aecidium convallariae* Schumacher によるさび病を紹介したが, 調査を要する

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

飯島柚奈ら:関東病虫研報 61:96, 2014

炭疽病 tanso-byo Anthracnose*

Colletotrichum sp.

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:706, 1998

[備考] 接種試験未了。本菌は *Colletotrichum dematium* と思われる。検討が必要

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:356, 1975

[備考] 種名は再検討を要する

(2) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの1種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:356, 1975

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974

(2) *Pratylenchus convallariae* Seinhorst スズランネグサレセンチュウ

一戸 稔:線虫とその防除(その2):59, 1960; 三枝敏郎ら:植防研報 11:36, 1973; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(3) *Pratylenchus crenatus* Loof ノコギリネグサレセンチュウ

三枝敏郎ら:植防研報 11:36, 1973

(4) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

三枝敏郎ら:植防研報 11:36, 1973

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie イチゴセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:356, 1975

キキョウラン

Blue flax lily

Dianella ensifolia (L.) DC.

(草花)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 55:93, 2008

紋枯病 mongare-byo Sheath blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

小野 剛・星 秀男:関東病虫研報 56:75, 2009

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

トウチ克蘭

Fairy bells

Disporum pullum Salisb.

(草花)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum kahawae J.M. Waller & Bridge

飯浜春奈ら:日植病報 80(1):23, 2014; 飯浜春奈ら:関東病虫研報 61:85, 2014

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
飯浜春奈ら:関東病虫研報 60:83, 2013

チゴユリ
Disporum smilacinum A.Gray
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
森田琴子ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 森田琴子ら:関東病虫研報 62:93, 2015

カタクリ類
(*Erythronium*)
Erythronium spp.
(野草)

カタクリ *Erythronium japonicum* Decaisne

さび病 sabi-byo Rust
Uromyces erythronii Passerini
Fukuda, T. & Nakamura, S.:Trans. mycol. Soc. Japan 26:487, 1985 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:931, 1992 ; 福田達男:日本植物病害大事典(岸 國平編):1209, 1998
[備考] カタクリ

パイナップルリリー
Pineapple lily
Eucomis autumnalis (Mill.) Chitt.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
笹井裕里ら:日植病報 80(1):22, 2014 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 61:99, 2014

クロユリ(黒百合)
Black lily
Fritillaria camtschatskensis (L.) Ker-Gawl.
(草花)

ウイルス病 virus-byo Virus
病原不明
福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭 7) ; 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)

さび病 sabi-byo Rust
Uromyces miurae Sydow & P. Sydow
伊藤誠哉:北大農紀 11:260, 1922(大 11) ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:71, 1973

バイモ
Fritillary snake's head
Fritillaria verticillata Willd. var. *thunbergii* (Miq.) Baker
(草花)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic
Fritillaria mosaic virus# (FriMV) バイモモザイクウイルス
尾崎武司ら:日植病報 57(1):93, 1991

グロリオーサ
Glory-lily, Climbing lily
Gloriosa spp.
(草花)

条斑病 *johan-byo* Stripe mosaic
Gloriosa stripe mosaic virus (GSMV) グロリオーサ条斑モザイクウイルス
荒城雅昭ら:日植病報 46(1):59, 1980 ; 荒城雅昭ら:日植病報 51(5):632, 1985

白斑病 *hakuhan-byo* Fleck
Gloriosa fleck virus# (GIFV) グロリオーサ白斑ウイルス
荒城雅昭ら:日植病報 46(1):59, 1980 ; 荒城雅昭ら:日植病報 51(5):632, 1985
[備考] 伝染性未確認。病名, ウイルス名とも再検討を要する

斑紋病 *hammon-byo* Mottle
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
荒城雅昭ら:日植病報 46(1):59, 1980 ; 荒城雅昭ら:日植病報 51(5):632, 1985

紅色根腐病 *koshoku-negusare-byo* Pink root rot
Pyrenochaeta terrestris (H.N. Hansen) Gorenz, J.C. Walker & Larson
高橋尚之ら:日植病報 63(6):526, 1997

ヘメロカリス(ワスレグサ, ヤブカンゾウ, カンゾウ, ナンバンカンゾウ)
Tawny daylily
Hemerocallis spp.
(草花)

さび病 *sabi-byo* Rust
Puccinia funkiae Dietel [*Puccinia hemerocallidis* Thümen]
藤黒與三郎:病虫雑 2(5):407, 1915(大 4) ; 平塚直秀・長谷部早百合:菌蕈研報 16:4, 1978 ; Ono, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):99, 2005
[備考] 精子・さび胞子時代はオミナエシ類に寄生する。*P. funkiae* は *P. hemerocallidis* とは別種。オオバギボウシ (*H. sieboldiana* Engl.), コバギボウシ (*H. sieboldii*), タチギボウシ, イワギボウシ (*H. longipes* (Fr. & Sav.) Matsumura), スジギボウシ, トウギボウシに発生

葉枯病 *hagare-byo* Leaf blight

Aureobasidium microstictum (Bubák) W.B. Cooke

吉川正巳・横山竜夫:日植病報 52(3):535, 1986 ; 吉川正巳・横山竜夫:日植病報 53(5):606, 1987

斑点病 hanten-byo Leaf spot

(1) *Botrytis polyblastis* Dowson

塚本俊秀・磯田 淳:日植病報 68(2):183, 2002

[備考] ヤブカンゾウ (*Hemerocallis fulva* L. var. *kwanso* Regel) に発生

(2) *Botrytis* sp.

塚本俊秀・磯田 淳:日植病報 74(3):184, 2008

[備考] ヤブカンゾウ (*Hemerocallis fulva* L. var. *kwanso* Regel) に発生

カラスキバサンキライ

(*Heterosmilax*)

Heterosmilax japonica Kunth

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Puccinia citrina* P. Sydow & Sydow

Hiratsuka, N. et al.:Sci. Bull. Div. Agr., Univ. Ryukyus 2:30, 1955

(2) *Puccinia ferruginea* Léveillé

Morimoto, Y.:Journ. Jap. Bot. 31(2):40, 1956

ヒアシンス

Hyacinth

Hyacinthus orientalis L.

(草花)

ウイルス病 virus-byo Virus

病原不明

福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

黄腐病 kigusare-byo Yellows (腐敗病, 腐朽病, 白腐病)

Xanthomonas hyacinthi (ex Wakker 1883) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Pseudomonas hyacinthi* (Wakker) Smith, *Bacterium hyacinthi* Wakker, *Xanthomonas hyacinthi* (Wakker) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *hyacinthi* (Wakker 1883) Dye 1978]

出田 新:日本植物病理学:92, 1909(明 42) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:100, 1939(昭 14) ; 永田利美:植物防疫 20(4):173, 1966 ; 小畑琢志:植防研報 5:7, 1968 ; 小畑琢志:植物防疫 23(5):185, 1969

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (白腐病, 腐敗病)

(1) †††*Dickeya solani* van der Wolf, Nijhuis, Kowalewska, Saddler, Parkinson, Elphinstone, Pritchard, Toth, Lojkowska, Potrykus, Waleron, de Vos, Cleenwerck, Pirhonen, Garland, Helias, Pothier, Pfluger, Duffy, Tsrör & Manulis 2014

平川崇史ら:日植病報 83(3):234, 2017

(2) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003

[*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

瀧元清透:日植病報 5(2):145, 1935(昭 10) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:101, 1939(昭 14)

菌核病 kinkaku-byo Black slime
Sclerotinia bulborum (Wakker) Saccardo
南部信方:病虫雑 2(3):396, 1915(大 4)

黒かび病 kurokabi-byo Black mold
Aspergillus niger Tieghem
高野喜八郎:日植病報 61(6):635, 1995

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
瀧元清透:花卉及温室作物の病害:102, 1939(昭 14)

白色疫病 shiroiro-eki-byo
Phytophthora porri Foister
桂 琦一:関西病虫研報 11:71, 1969 ; 桂 琦一:植物の疫病:95, 1971

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis sp.
河村貞之助ら:原色図説花と花木の病虫害:246, 1976

葉枯病 hagare-byo
Embellisia hyacinthi de Hoog & P.J. Muller bis
守川俊幸ら:日植病報 57(3):396, 1991 ; 守川俊幸・野村良邦:日植病報 60(1):104, 1994

フザリウム腐敗病 *Fusarium-fuhai-byo* Fusarium rot
Gibberella zeae (Schweinitz) Petch [*Fusarium graminearum* Schwabe]
富岡啓介・佐藤豊三:日植病報 70(3):221, 2004 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol.74(3):264, 2008

緑かび病 midori-kabi-byo Green mold
(1) *Penicillium hirsutum* Dierckx
(2) *Penicillium puberulum* Bainier
佐藤豊三ら:日植病報 69(1):39, 2003

茎線虫病 kuki-senchu-byo (環状病)
Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev ナミクキセンチュウ
鎗木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの 1 種
河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

+++腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot
Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925
高山睦雄ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 高山睦雄ら:植防研報 22:49, 1986
[備考] 生産国オランダ

++++ゴム病 gom-u-byo Gummosis
生理障害

川村清一:日園雑 34(5):12, 1922(大 11)

++++輪腐病 wagusare-byo

生理障害

白井光太郎:最近植物病理学:132, 1903(明 36)

[備考] 調査を要する

++++

+++Tobacco rattle virus (TRV) タバコ茎えそウイルス

末次哲雄ら:日植病報 39(2):135, 1973 ; 末次哲雄ら:植防研報 11:10, 1973

トリトマ(ツルボラン)

Red-hot poker

Kniphofia × hybrida Hort.

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

窪田昌春ら:関西病虫研報 41:83, 199

苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

庄内玲子ら:関西病虫研報 41:67, 1999

ユリ類

Lily

Lilium spp.

(草花)

ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等)

オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等)

アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等)

萎黄病 io-byo Yellow flat, Crook neck, Rossett (急性落葉病, 萎縮病)

病原不明

河村貞之助:日植病報 7(3-4):163, 1938 (昭 13)

[備考] 急性落葉, 萎縮の病徴を示すものがある。これらの病原ウイルスが同じかどうかは不明

ウイルス病 virus-byo

(1) *Apple stem grooving virus* (ASGV) リンゴステムグルービングウイルス [Citrus tatter leaf virus#]

井上成信ら:日植病報 44(1):95, 1978 ; 井上成信ら:日植病報 45(5):712, 1979 ; Yoshikawa, N. *et al.*:J. Gen. Virol. 74:2743, 1993

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

川田穰一・阿部定夫:農及園 39(3):529, 1964 ; 小室康雄・明日山秀文:日植病報 32(3):114, 1966 ; 前田孚憲・井上成信:農学研究 60:69, 1983

(3) *Lily mottle virus* (LMoV) ユリ微斑ウイルス [Tulip mild mottle virus, *Tulip breaking virus* (ユリ系), Rembrandt tulip breaking virus# (ReTBV チューリップブレイキングレンブラントウイルス)]

山口 昭:日植病報 29(5):252, 1964 ; 前田孚憲ら:日植病報 45(1):111, 1979 ; 前田孚憲・井上成信:日植病報 47(1):129, 1981 ; 山本英樹・千田峰生:日植病報 78(2):111, 2012

[備考] ReTBV は ICTV8 次報告では暫定種として記載

(4) *Lily symptomless virus* (LSV) ユリ潜在ウイルス

前田孚憲・井上成信:日植病報 47(3):410, 1981 ; 萩田孝志ら:日植病報 55(1):1, 1989

(5) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

佐古 勇ら:日植病報 57(1):93, 1991

[備考] 戻し接種なし

えそ病 eso-byo Necrosis

Plantago asiatica mosaic virus (PiAMV オオバコモザイクウイルス)と *Lily mottle virus* (LMoV ユリ微斑ウイルス)の重複感染 [*Lily virus X* (LVX ユリ X ウイルス) と *Tulip breaking virus* の重複感染]

萩田孝志・田村 修:日植病報 58(4):616, 1992 ; 佐々木純ら:日植病報 67(2):176, 2001 ; 竹内 徹・佐々木純:日植病報 69(3):329, 2003

[備考] 食用ユリに発生

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) Carlavirus#

前田孚憲ら:日植病報 61(6):630, 1995

[備考] テッポウユリに発生。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 堀 正太郎:実地園芸 7(2):115, 1929(昭 4)

(2) *Plantago asiatica mosaic virus*

高橋修一郎ら:日植病報 69(3):330, 2003

緑化病 ryokka-byo Virescence

Phytoplasma ファイトプラズマ

堀越紀夫ら:日植病報 63(3):196, 1997

[備考] 伝染試験なし。テッポウユリに発生

立枯病 tachigare-byo (萎縮病, 腐敗病, 細菌病)

病原細菌種名未定

上田栄次郎:園芸之友 1(8):1905(明 38) ; 堀 正太郎:農業世界 2(9):55, 1907(明 40) ; 卜蔵梅之丞:日植病報 1(2):36, 1919(大 8) ; 出田 新:続日本植物病理学(上):34, 1923(大 12)

[備考] 病原細菌名 *Erwinia lilii* (Uyeda 1911) Magrou 1937 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:108, 1939(昭 14)

青かび病 aokabi-byo Blue mold, Dry rot

Penicillium spp.

河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:43, 1950

暗斑病 anhan-byo Leaf spot (葉先枯病, 先枯病)

Macrophoma lilii Hara

原 攝祐:日園雑 30(2):15, 1918(大 7) ; 原 攝祐:実用作物病理学:222, 1925(大 14)

疫病 eki-byo Blight (茎腐疫病)

(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

田杉平司・熊澤正武:日植病報 4(1-2):95, 1934(昭 9) ; 田杉平司・熊澤正武:農事試験報 3(2):207, 1938(昭 13) ; 桂 琦一:植物の疫病:86, 1971

(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

田杉平司・熊澤正武:日植病報 4(1-2):95, 1934(昭 9) ; 田杉平司・熊澤正武:農事試験報 3(2):207, 1938(昭 13) ; 桂 琦一:植物の疫病:86, 1971

(3) *Phytophthora lilii* M.Z. Rahman, S. Uematsu, K. Motohashi, E. Kimishima, H. Suga & K. Kageyama

君島悦夫ら:日植病報 54(1):68, 1988 ; 君島悦夫ら:日植病報 54(4):427, 1988 ; Rahman, M.Z. *et al.*:日植病報 80(1):35, 2014 ; Rahman, M. Z. *et al.*:Mycoscience 56:419, 2015

[備考] 君島悦夫ら(1988)は、病原を*Phytophthora megasperma*と同定したが、Rahman, M.Z. *et al.* (2015)は、*P. lilii*と再同定した

株腐病 kabugusare-byo Foot rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

森田康彰・川田洋一:日植病報 68(1):78, 2002 ; 森田康彰ら:四国植物防疫 38:15, 2003 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(3):168, 2011

[備考] 森田・川田(2002)および森田ら(2003)は菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA, 菅原(2010)および菅原ら(2011)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II を報告した

乾腐病 kampu-byo Bulb, root and stem rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *lilii* Imle

田中文雄ら:日植病報 54(1):118, 1988 ; 田中文雄ら:日植病報 55(4):501, 1989 ; 田中文雄ら:日植病報 57(3):395, 1991

[備考] 食用ユリ (*Lilium auratum*)。 *Fusarium* sp. による鱗片腐敗は森本徳右衛門 (日植病報 19(3-4):159, 1955 ; 高知大学術研報 4(7):1, 1955) が最初に記載した

黒腐菌核病 kurogusare-kinkaku-byo Bulb black rot

Sclerotium cepivorum Berkeley var. *tulipae* Desmazières

若井田正義ら:日植病報 36(3):166, 1970 ; 若井田正義ら:宇都宮大農学報 8(1):7, 1971

[備考] ヤマユリ (*Lilium auratum*) に発生

黒粉病 kokufun-byo Bulb black mold

Aspergillus niger Tieghem [*Sterigmatocystis nigra* Tieghem]

原 攝祐:実用作物病理学:221, 1925(大 14) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:589, 1992

さび病 sabi-byo Rust (赤渋病)

Uromyces holwayi Lagerheim [*Uromyces japonicus* Sydow & P. Sydow non Berkeley & Curtis]

出田 新:日本植物病理学:128, 1903(明 36) ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:72, 1973

小菌核葉枯病 sho-kinkaku-hagare-byo Leaf blight

Botrytis tulipae Lind

塚本俊秀・守川俊幸:鳥取病虫研報 31:1, 2006

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:110, 1939(昭 14)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Black scale rot

Colletotrichum lilicearum (Schweinitz) Ferraris [*Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove, *Colletotrichum lilii* Plakidas ex Boerema & Hamers]

原 攝祐:実用作物病理学:221, 1925(大 14) ; 桜井義郎・古木市重郎:日植病報 17(1):37, 1952 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:589, 1992

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

塚本俊秀:日植病報 65(3):409, 1999

葉枯病 hagare-byo Botrytis blight (腐爛病, ボトリチス病, 褐色円星病, 斑点病)

(1) *Botrytis elliptica* (Berkeley) Cooke [*Botrytis liliorum* Fujikuro]

藤黒與三郎:植物学雑 28(329):228, 1914(大 3) ; 原 攝祐:日園雑 30(2):15, 1918(大 7) ; 鑄方末彦・人見 剛:岡山農試臨報 39:1, 1933(昭 8)

(2) *Pestalotiopsis* sp.

野澤俊介ら:日植病報 82(1):25, 2016

[備考] カノコユリに発生

白斑病 hakuhan-byo Leaf spot

Cercospora inconspicua (G. Winter) Höhnelt

樋浦 誠:日植病報 1(6):20, 1925(大 14)

[備考] 病菌の学名には *Pseudocercospora inconspicua* が提唱されている

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phyllosticta liliicola Saccardo

原 攝祐:日園雑 30(2):15, 1918(大 7)

斑葉病 han'yo-byo Leaf spot

Septoria lilii Ikeno

池野早苗:農及園 7(8):1421, 1932(昭 7)

腐敗病 fuhai-byo Bulb rot (軟腐病)

(1) *Rhizopus necans* Masee

[備考] 病原の分類学的所属について検討を要する

(2) *Rhizopus stolonifer* (Ehrenberg) Vuillemin [*Rhizopus nigricans* Ehrenberg]

出田 新:日本植物病理学:127, 1903(明 36) ; 永田利美ら:植防研報 1:15, 1961 ; 古屋真二・斉藤 正:日植病報 42(1):76, 1976

(3) *Rhizopus oryzae* Went & Prinsen Geerligs

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:42, 1950

りん片先腐病 rimpen-sakigusare-byo Scale tip rot (鱗片先腐病, 輪紋病)

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten [*Cylindrocarpon radicicola* Wollenweber]

高野喜八郎:日植病報 46(3):396, 1980 ; 近藤則夫ら:日植病報 56(1):142, 1990

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鎗木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7)

(3) *Hirschmanniella imamuri* Sher イマムラネモグリセンチュウ

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(4) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(5) *Rotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(6) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(7) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(8) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの1種

三枝敏郎:横浜植防ニュース 391:2, 1969 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 上記種との異同は不明

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:343, 1975

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:343, 1975

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

(1) *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie イチゴセンチュウ

河村貞之助:新農薬 58:21, 1961 ; 山田英一・高倉重義:日線虫研誌 11:28, 1982

(2) *Aphelenchoides lilium* Yokoo ユリセンチュウ

Yokoo, T.:Agric. Bull. Saga Univ. 20:67, 1964

(3) *Aphelenchoides ritzemabosi* (Schwartz) Steiner & Buhner ハガレセンチュウ

河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福土両教授還暦記念論文集:36, 1955

(4) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

赤ずじ症 akasuji-sho Reddish-brown streak

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

(2) *Lily symptomless virus* (LSV) ユリ潜在ウイルス

西菜穂子ら:九病虫研会報 54:39, 2008

[備考] テッポウユリ。接種試験未了

††††茎腐病 kukigusare-byo Stem rot (立枯病)

Fusarium sp. および細菌の1種

鹿児島農試大島分場:業務功程 昭和12年:138, 1937(昭12); 河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:36, 1950

ヤブラン

Big blue lilyturf

Liriope platyphylla Wang & Tang

(草花)

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia iwakuniensis Morimoto

森本泰二:植物研究雑誌 34:187, 1959; 平塚直秀・長谷部早百合:菌草研報 16:10, 1978

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove [*Colletotrichum omnivorum* Halsted]

岩田吉人:日植病報 11(2):92, 1941(昭16); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

陳 忠和・小林享夫:日植病報 61(6):604, 1995; Kobayashi, T. & Chen, C.-H.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(1):38, 1998

マイヅルソウ(マイズルソウ, 舞鶴草)

False lily of the valley

Maianthemum dilatatum Nels. & Macbr.

(草花)

さび病 sabi-byo

Puccinia majanthemi Dietel

伊藤誠哉:日本菌類誌 II(3):217, 1950; 平塚直秀:日本植物銹菌学研究:321, 1955

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:705, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo

Cercospora majanthemi Fuckel

香月繁孝:日菌学会報 別冊 1:5, 1965; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:705, 1998

[備考] 接種試験未了

ムスカリ

Muscari
Muscari spp.
(草花)

ウイルス病 virus-byo
病原不明
福士貞吉: 札博物学会報 12(3):37, 1932

ジャノヒゲ(リュウノヒゲ)
Dwarf mondo grass
Ophiopogon japonicus (L.f.) Ker-Gawl.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
竹内 純・堀江博道: 関東病虫研報 40:163, 1993
[備考] チャボリュウノヒゲ (*O. japonicus* f. *nanus* hort.) に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum lilacearum (Schweinitz) Ferraris [*Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove]
竹内 純・堀江博道: 日植病報 62(3):267, 1996
[備考] ジャノヒゲ (*Ophiopogon japonicus*)・ノシラン (*O. jaburan*)

オーニソガラム
Ornithogalum, Star of Bethlehem
Ornithogalum spp.
(草花)

えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic
Ornithogalum virus 3 (OrV-3) [*Ornithogalum necrotic mosaic virus*] オーニソガラムえそモザイクウイルス
Fuji, S. *et al.*: Arch Virol 148:613, 2003 ; Matsumoto, T. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 74(1):76, 2008

条斑モザイク病 jyohan-mosaic-byo Stripe mosaic
Ornithogalum virus 2 (OrV-2) [*Ornithogalum stripe mosaic virus*] オーニソガラム条斑モザイクウイルス
松本 勤ら: 日植病報 69(3):320, 2003 ; Fuji, S. *et al.*: Arch Virol 148:613, 2003 ; Matsumoto, T. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 73(3):222, 2007
[備考] *O. thyrsoides*

モザイク病 mosaic-byo Ornithogalum mosaic
Ornithogalum mosaic virus (OrMV) オーニソガラムモザイクウイルス
Fuji, S. *et al.*: Arch Virol 148:613, 2003 ; 松本 勤ら: 日植病報 73(2):102, 2007

疫病 eki-byo Phytophthora rot
Phytophthora nicotianae Breda de Haan
植松清次ら: 日植病報 59(3):289, 1993
[備考] *Ornithogalum sandersiae* に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum dematium (Persoon) Grove

菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:北日本病虫研報 61:270, 2010

††††

Penicillium sp.

伊藤 栞ら:北日本病虫研報 63:249, 2012

[備考] *Ornithogalum thyrsoides* Jacq.。球根腐敗症状。主な病原は *Penicillium allii* の可能性が高いとされる

ナルコユリ

(Polygonatum)

Polygonatum falcatum A. Gray

(草花)

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia sessilis W.G. Schneider

柿畠 眞ら:日植病報 47(3):385, 1981 ; 柿畠 眞・佐藤昭二:日植病報 54(1):60, 1988

[備考] 夏孢子・冬孢子時代はクサヨシ(*Phalaris arundinacea*) に寄生する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum spaethianum (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous [*Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove]

佐藤豊三ら:日植病報 70(3):217, 2004 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(5):402, 2008 ; 佐藤豊三ら:

日植病報 81(1):51, 2015 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 49:351, 2015

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

アマドコロ

Polygonatum odoratum (Mill.) Druce var. *pluriflorum* (Miq.) Ohwi

(草花)

角斑病 kakuhan-byo

Cercospora polygonati-maximowiczii Togashi

富樫浩吾:植物輯報 2(2):100, 1924(大 13) ; 澤田兼吉:林試報告 105:110, 1976

褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown leaf spot

Phyllosticta cruenta (Kunze) J. Kickx f.

兼平 勉ら:日植病報 60(6):747, 1994 ; 兼平 勉ら:日菌報 37(2):41, 1996

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia sessilis W.G. Schneider

柿畠 眞ら:日植病報 47(3):385, 1981 ; 柿畠 眞・佐藤昭二:日植病報 54(1):60, 1988

[備考] 夏孢子・冬孢子時代はクサヨシ(*Phalaris arundinacea*) に寄生する

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus convallariae Seinhorst スズランネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:356, 1975

キチジョウソウ

Reineckea

Reineckea carnea (Andr.) Kunth.

(草花)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum dematium (Persoon) Grove

竹内 純ら:関東病虫研報 55:93, 2008

オモト(万年青)

Omoto Nippon lily

Rohdea japonica (Thunb.) Roth

(草花)

赤星病 akahoshi-byo Leaf spot (斑葉病, 点々病, 斑点病)

Sphaerulina rhodeae Hennings & Shirai

南部信方:病虫雑 1(2):241, 1914(大 3); 原 攝祐:実験作物病理学:860, 1930(昭 5)

褐色円斑病 kasshoku-maruhan-byo

Penicillium gladioli L. McCulloch & Thom

粕山新二ら:日植病報 54(3):354, 1988

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum lilii* Plakidas ex Boerema & Hamers

高野喜八郎:日植病報 63(6):526, 1997

(2) *Colletotrichum* spp.

山中 達・内海洋子:日植病報 41(1):89, 1975

斑葉病 han'yo-byo

Phomopsis sp.

高山睦雄ら:日植病報 44(3):376, 1978

††††腐敗病 fuhai-byo Rot

病原不明

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:40, 1939(昭 14)

[備考] 調査が必要

ナギイカダ

Butchers broom

Ruscus aculeatus L.

(広葉樹)

ルスカス(イカダバルスカス) *Ruscus hypoglossum* L.

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith 1911) Stapp 1928]

外側正之・瀧川雄一:日植病報 56(1):152, 1990 ; 外側正之・瀧川雄一:日植病報 57(5):729, 1991

斑点細菌病 hanten-saikin-byo

Pantoea agglomerans (Beijerinck 1888) Gavini, Mergaert, Beji, Mielcarek, Izard, Kersters & De Ley 1989 [*Erwinia herbicola* (Löhnis 1911) Dye 1964]

陶山一雄ら:日植病報 49(3):405, 1983

青かび病 aokabi-byo *Penicillium* leaf spot

Penicillium copticola Houbraken, Frisvad & Samson

飯浜春奈ら:日植病報 80(1):23, 2014 ; 飯浜春奈ら:関東病虫研報 61:85, 2014

[備考] ルスカス(イカダバルスカス)に発生

褐点病 katten-byo Brown leaf spot

Rhizopus sp.

星 秀男・堀江博道:関東病虫研報 51:93, 2004

[備考] ルスカス(イカダバルスカス)に発生

こうじかび病 koji-kabi-byo *Aspergillus* blight

Aspergillus niger Tieghem

竹内 純ら:日植病報 66(2):92, 2000

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 48:69, 2001

[備考] ルスカス(イカダバルスカス)に発生

葉先枯病 hasakigare-byo Leaf tip blight

Cladosporium cladosporioides (Fresenius) G.A. de Vries

竹内 純ら:関東病虫研報 48:69, 2001

[備考] ルスカス(イカダバルスカス)に発生

斑点病 hanten-byo Spot disease

Fusarium moniliforme J. Sheldon emend. Snyder & Hansen

外側正之:関東病虫研報 37:155, 1990

か紋病 kamon-byo (痂紋病)

水分過多

白井光太郎:植物病理学(上)改訂版:99, 1900(明 33)

††††

Paraphaeosphaeria rusci (Wallroth) O.E. Eriksson

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21(1):11, 1980

サンダーソニア
Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari
Sandersonia aurantiaca Hook.
(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora rot
Phytophthora nicotianae Breda de Haan
竹内 純・堀江博道:日植病報 67(2):166, 2001

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
竹内 純ら:関東病虫研報 42:43, 1995 ; 植松清次ら:関東病虫研報 42:137, 1995

立枯病 tachigare-byo Rhizoctonia rot
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
植松清次ら:関東病虫研報 42:137, 1995 ; 星 秀男・堀江博道:関東病虫研報 51:97, 2004
[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB。菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

根腐病 negusare-byo Pythium root rot
(1) *Pythium irregulare* Buisman
(2) *Pythium splendens* Hans Braun
竹内 純ら:関東病虫研報 48:65, 2001

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
飯浜春奈ら:関東病虫研報 60:83, 2013

†††乾腐病 kampu-byo Bulb rot
(1) *Fusarium anguioides* Sherbakoff
迫田琢也ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; Sakoda, T. *et al.*: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011
(2) *Fusarium* sp. (the *Fusarium avenaceum* species complex)
Sakoda, T. *et al.*: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011
[備考] 生産国ニュージーランド

ツルボ類
(Scilla)
Scilla spp.
(野草)

ツルボ *Scilla scilloides* (Lindl.) Druce

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

サルトリイバラ
China root

Smilax china L.
(特用作物)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo
Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead
鷺尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Aecidium smilacis* Schweinitz

Dietel, P.:Hedwigia 37:212, 1898(明 30) ; 吉永虎馬:植物学雑誌 15(171):95, 1901(明 33)

[備考] ヤマガシユウ (*S. sieboldii*) にも発生

(2) *Aecidium smilacis-chinae* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告)9:131, 1943(昭 18) ; 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭 18) ; 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961

[備考] トゲナシカズラ (*S. sebeana*) にも発生

(3) *Blastospora itoana* Togashi & Onuma

富樫浩吾・大沼総治:植物学雑誌 45(529):6, 1931(昭 6)

[備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・ランダイサンキライ (*S. randaiensis*)

(4) *Blastospora smilacis* Dietel [*Caeoma makinoi* Kusano]

Dietel, P.:Ann. Mycol. (3):223, 1908(明 41) ; 吉永虎馬・平塚直秀:植物学雑誌 44(528):633, 1930(昭 5) ; Ono, Y. *et al.*:Mycologia 78(2):253, 1986

[備考] シオデ・ヤマガシユウ

(5) *Puccinia caricis-blepharicarpace* Hiratsuka, f.

伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18(3-4):87, 1949 ; 平塚直秀:東教大農紀要 1:58, 1952

(6) *Puccinia citrina* P. Sydow & Sydow

Sydow, P. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 12:107, 1914(大 3) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告) 1:366, 1919(大 9) ; 平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):26, 1941(昭 16)

[備考] サツマサンキライ (*S. bracteata*)・カラスキバサンキライ (*S. japonica*)・ナメラサンキライ (*S. glabra*)・ランダイサンキライにも発生

(7) *Puccinia ferruginea* Léveillé ex Vaillant [*Puccinia smilacis-chinae* Hennings]

Hennings, P.:Hedwigia 40:125, 1901(明 34) ; 吉永虎馬:植物学雑誌 16(179):5, 1902(明 35) ; 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:20, 1926(大 15)

[備考] シオデ・タチシオデ・サツマサンキライ・カラスキバサンキライ・マルバサンキライ (*S. stans*)・ヤクシマカカラ (*S. china* var. *yakushimensis*) にも発生

(8) *Puccinia iriensis* Morimoto

森本泰二:植研雑誌 37(1):1, 1962

(9) *Puccinia smilacis-sieboldii* Hiratsuka, f. [*Puccinia henryana* P. Sydow & Sydow, *Puccinia smilacicola* Sawada, *Uredo smilacicola* Sawada, *Uredo smilacis-chinae* Hiratsuka]

Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37(1):99, 1905(明 38) ; 平塚直秀:植物学雑誌 56:377, 1942(昭 17)

[備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・マルバサンキライ・ササバサンキライ (*S. nervo-marginata*)・オキナワサルトリイバラ (*S. china* var. *kuru*) にも発生

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora miyakei Hennings

Hennings, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37:166, 1906(明 39) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):64, 1960 ; 香月繁孝:日菌報別 1:43, 1965

[備考] シオデ (*S. oldhami* var. *nipponica*), タチシオデ (*S. nipponica*) にも発生

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotia diospyri* Sydow & P. Sydow

日野隆之:採集と飼育 27(8):299, 1965

(2) *Pestalotia longiaristata* Maublanc

日野隆之:採集と飼育 26(11):318, 1964

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo

病原菌所属不明

周藤靖雄:森林防疫 26(4):49, 1977 ; 堀江博道:森林防疫 28(4):45, 1979

すす病 susu-byo Sooty mold

Meliola smilacis F. Stevens

山本和太郎:台湾博物学会報 30:157, 1940(昭 15)

[備考] 台湾, サツマサンキライ・タイワンサンキライ (*Smilax lanceifolia*)・アラガタオオサンキライ (*S. trachyclada*)

††††

†*Mycosphaerella smilacis-glabrae* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :64, 1959

[備考] 台湾

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・久能 均:日菌報 28(2):1987

ホトトギス

Toad lily

Tricyrtis hirta (Thunb.) Hook.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

山本孝彦ら:四国植防 26:57, 1991

さび病 sabi-byo *Tricyrtis* rust

(1) *Puccinia caricis-conicae* Homma

石宮かおり・小野義隆:日植病報 65(3):411, 1999

[備考] 接種によりヤマホトトギス, ヤマジノホトトギス, キバナホトトギスに感染

(2) *Puccinia speciosa* Y. Ono & Ishimiya

Ono, Y. & Ishimiya, K.:Mycologia 93(4):791, 2001

[備考] ホトトギス (*T. hirta* (Thunb.) Hook.), ヤマホトトギス (*T. macropoda* Miq.), ヤマジノホトトギス (*T. affinis* Makino), キバナホトトギス (*T. flava* Maxim.)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

石井正義・手塚信夫:関西病虫研報 36:79, 1994

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum acutatum J.H. Simmonds

高野喜八郎:北陸病虫研報 54:83, 2005

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:704, 1998

[備考] 接種試験未了

葉枯病 hagare-byo Botrytis blight

Botrytis elliptica (Berkeley) Cooke

Furukawa, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71:95, 2005

[備考] タイワンホトトギス (*T. formosana* Bak., Taiwanese toad lily)。葉片への接種試験

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo Leaf nematode disease

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie

牛山欽司:関東病虫研報 46:133, 1999

エンレイソウ類

(Trillium)

Trillium spp.

(野草)

オオバナエンレイソウ *T. camschatcense* Ker Gawl.

エンレイソウ *T. smallii* Maximowicz

ミヤマエンレイソウ(シロバナエンレイソウ) *T. tschonoskii* Maximowicz

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia trillii Y. Harada & Narumi

原田幸雄・鳴海智子:日植病報 63(6):493, 1997 ; Narumi, T. *et al.*:Mycoscience 42:181, 2001

[備考] エンレイソウ・ミヤマエンレイソウに発生

春さび病 harusabi-byo Spring rust

Aecidium sp.

原田幸雄・藤田美夏:日植病報 64(6):611, 1998

[備考] オオバナエンレイソウ、エンレイソウおよびミヤマエンレイソウに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] ミヤマエンレイソウに発生

トリテレイア

(Triteleia)

Triteleia spp.

(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora sp.

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 60(6):747, 1994

[備考] *Triteleia × thumbergenii* に発生

ツルバキア
(*Tulbaghia*)
Tulbaghia spp.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
植松清次ら:関東病虫研報 40:171, 1993
[備考] *Tulbaghia fragrans* に発生

チューリップ
Tulip
Tulipa spp. 及び種間雑種
(草花)

ウイルス病* virus-byo Virus
(1) †††Tulip severe mosaic virus#
長尾記明ら:植防研報 24:57, 1988
[備考] 輸入試料についての報告
(2) *Tulip virus X* (TVX) チューリップ X ウイルス
藤原裕治ら:植防研報 30:99, 1994 ; 宮川正通ら:新潟園試研報 16:65, 1997

えそ病 eso-byo Necrosis
(1) *Olive latent virus 1* (OLV-1) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ潜在ウイルス 1
Kanematsu, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):333, 2001
(2) *Olive mild mosaic virus* (OMMV) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ微斑ウイルス
守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006
(3) *Tobacco necrosis virus D* (TNV-D) [Tobacco necrosis virus#] タバコえそ D ウイルス
多賀由美子ら:日植病報 71(3):232, 2005
(4) Tulip necrosis virus# (TulNV) [Tobacco necrosis virus#, Tobacco necrosis virus-Toyama] チューリップえそウイルス
Saeki, K. et al.:Biosci Biotechnol Biochem 65(3):719, 2001 ; 守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006
[備考] Saeki et al.(2001)は Tobacco necrosis virus-Toyama と報告
(5) Tobacco necrosis virus#
草葉敏彦ら:日植病報 43(1):76, 1977 ; 松涛美文ら:日植病報 43(1):77, 1977 ; 名畑清信ら:富山農試研報 9:1, 1978
[備考] ウイルス株の分類学的検証が必要。罹病株からは Tobacco necrosis satellite virus (STNV タバコえそサテライトウイルス)も検出された

条斑病 johan-byo Streak
未定
山本孝彗:日植病報 55(1):101, 1989 ; 守川俊幸・多賀由美子:日植病報 68(2):239, 2002 ; 守川俊幸ら:日植病報 70(1):77, 2004
[備考] 病原として *Tulip streak virus* (TuSV チューリップ条斑ウイルス) を提案。病原は *Olpidium brassicae* の非アブラナ科系によって伝搬される

微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mottle mosaic

Tulip mild mottle mosaic virus (TMMMV) チューリップ微斑モザイクウイルス

守川俊幸ら:富山農技セ研報 16:55, 1995 ; 守川俊幸ら:日植病報 61(6):578, 1995 ; 守川俊幸ら:日植病報 63(6):504, 1997

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

大内 昭・高橋 実:日植病報 28(2):87, 1963

[備考] 戻し接種なし

(2) *Lily mottle virus* (LMoV) ユリ微斑ウイルス [*Lily mild mottle virus*, *Tulip breaking virus* (ユリ系)]

瀬 智幸・兼松誠司:日植病報 64(4):420, 1998

[備考] RT-PCR による検出

(3) *Lily symptomless virus* (LSV) ユリ潜在ウイルス

宮川正通・中臣康範:日植病報 52(1):97, 1986 ; 守川俊幸ら:日植病報 60(6):783, 1994 ; 守川俊幸ら:富山農技セ研報 16:67, 1995

(4) *Tobacco rattle virus* (TRV) タバコ茎えそウイルス

山本孝猷ら:北陸病虫研報 38:60, 1990

[備考] 戻し接種なし

(5) *Tulip breaking virus*

山口 昭:日植病報 23(5):240, 1958 ; Yamaguchi, A. & Matsui, C.:Phytopathology 53(11):1374, 1963

[備考] 戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

かいよう病 kaiyo-byo Silvering (爆裂病)

Curtobacterium flaccumfaciens pv. *oortii* (Saaltink & Maas Geesteranus 1969) Collins & Jones 1983

[*Corynebacterium oortii* Saaltink & Maas Geesteranus]

小林敏郎ら:日植病報 39(2):177, 1973 ; 向 秀夫ら:日植病報 40(2):110, 1974 ; 小林敏郎・小畑琢志:植防研報 12:6, 1974

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot

Burkholderia gladioli (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993

[*Pseudomonas gladioli* Severini]

守川俊幸ら:日植病報 57(1):92, 1991 ; 守川俊幸ら:日植病報 59(1):10, 1993

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

黒腐病 kurogusare-byo Bacterial black rot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin

& Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith) Stapp]

草葉敏彦・名畑清信:日植病報 42(3):366, 1976 ; 西山幸司ら:日植病報 46(1):58, 1980 ; 西山幸司ら:日植病報 45(5):668, 1979

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗細菌病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia*

aroideae (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

永田利美:土壌病害の手引 I:22, 1962 ; 森田 儔:農業技術 17(2):65, 1962

青かび病 aokabi-byo Blue mold

Penicillium cyclopium Westling

山本和太郎・前田巳之助:日植病報 22(1):47, 1957

疫病 eki-byo Tulip blossom blight

(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

向畠博行ら:日植病報 49(3):391, 1983 ; 向畠博行ら:日植病報 51(1):77, 1985 ; 向畠博行ら:日植病報 53(3):291, 1987

(2) *Phytophthora hedraiaandra* De Cock & Man in 't Veld

向畠博行ら:日植病報 53(3):291, 1987 ; Rahman, M. Z. *et al.*:Mycoscience 55:314, 2014, Rahman, M. Z. *et al.*:Mycoscience 56:443, 2015

[備考] Rahman *et al.* (2014, 2015)は、向畠ら(1987)が*P. cactorum*とした1菌株を*P. hedraiaandra*と再同定した

褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Botrytis blight (ボトリチス菌核病, ボトリチス病)

Botrytis tulipae (Libert) Hopkins

金野敬三:日園雑 30(7):10, 1918(大 7) ; 茂木正夫:実地園芸 13(4):156, 1932(昭 7)

皮腐病 kawa-gusare-byo Bulb-coat rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

多賀由美子ら:日植病報 69(1):60, 2003

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

球茎腐敗病 kyukei-fuhai-byo

Trichoderma sp.

森田 儔:日植病報 28(2):77, 1963 ; 森田 儔:花の病害虫と新防除:166, 1966

球根腐敗病 kyukon-fuhai-byo Bulb rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *tulipae* Apt

河合一郎:園芸病害編:478, 1954 ; 松尾卓見・桜井善雄:日植病報 25(5):217, 1960

[備考] *Fusarium solani* f. sp. *radicicola* も病原性がある

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, White bulb rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

永田利美:土壌病害の手引 I:22, 1962

茎枯病 kukigare-byo

Fusarium roseum Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen 'Avenaceum'

向畠博行ら:日植病報 52(2):338, 1986

[備考] 病菌名は *Fusarium avenaceum* の異名とされていて、再検討を要する

黒かび病 kurokabi-byo Black mold

Aspergillus niger Tieghem

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:95, 1939(昭 14)

白絹病 shirakinu-byo Sclerotial blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

河村貞之助:日植病報 6(1):1, 1936(昭 11)

白色疫病 shiroiro-eki-byo

Phytophthora porri Foister

桂 琦一・中辻孝見:関西病虫研報 12:78, 1970 ; 桂 琦一:京都府大学報農 22:9, 1970

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum fioriniae (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan

森脇丈治:日植病報 79(1):52, 2013

[備考] *Tulipa gesneriana* L.。品種ラッキーストライク, フラメンコ

根腐病 negusare-byo

(1) *Pythium irregulare* Buisman

一谷多喜郎ら:日植病報 54(3):355, 1988 ; 一谷多喜郎ら:日植病報 57(2):174, 1991

(2) *Pythium spinosum* Sawada

一谷多喜郎ら:日植病報 55(1):100, 1989 ; 一谷多喜郎ら:日植病報 55(4):498, 1989 ; 一谷多喜郎ら:日植病報 57(2):174, 1991

(3) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

一谷多喜郎ら:日植病報 54(3):355, 1988 ; 一谷多喜郎ら:日植病報 57(2):174, 1991

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (斑点病)

Botrytis cinerea Persoon

河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:51, 1950

灰色腐敗病 haiiro-fuhai-byo Gray bulb rot

Rhizoctonia tuliparum Whetzel & J.M. Arthur

堀 正太郎:実際園芸 4:125, 1928(昭 3)

葉腐病 hagusare-byo Leaf rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

森田 儔:農及園 39(2):365, 1964 ; 筒井 澄:富山農試砺波園芸分場研報 7:11, 1967 ; 中臣康範・金子英雄:植物防疫 25(5):191, 1971

ピシウム葉枯病 *Pythium*-hagare-byo *Pythium* blight (葉枯病)

(1) *Pythium afertile* Kanouse & T. Humphrey

向島博行ら:日植病報 55(5):594, 1989

(2) *Pythium dissotocum* Drechsler

向島博行ら:日植病報 55(5):594, 1989

(3) *Pythium sylvaticum* W.A. Campbell & F.F. Hendrix

向島博行ら:日植病報 55(5):594, 1989

(4) *Pythium* sp. (group P)

向島博行ら:日植病報 55(5):594, 1989

腐敗病 fuhai-byo

Rhizopus sp.

森田 儔:花の病害虫と新防除:167, 1966

緑かび病 midori-kabi-byo Green mold

Penicillium corymbiferum Westling

山本和太郎・前田巳之助:日植病報 22(1):47, 1957

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(2) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian, *Anguillulina dipsaci* (Kühn) Gervais & van Beneden] ナミクキセンチュウ

鎗木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 弥富喜三・横尾多美男:応動 6(5-6):314, 1934(昭 9)

†††球根腐敗 kyukon-fuhai

Pseudomonas marginalis (Brown 1918) Stevens 1925

曾澤雅夫・水野明文:日植病報 65(3):360, 1999

[備考] オランダ産球根で発見

†††黒穂病 kuroho-byo Smut

Tubercinia sp.

河村貞之助:日植病報 11(3):152, 1941(昭 16)

[備考] 国内未発生。輸入植物に寄生

††††首折症 kubiore-sho

生理障害

河村貞之助ら:花と庭木の病害虫:58, 1971 ; 河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:243, 1976

アマ科 Linaceae

アマ(亜麻)

Flax

Linum usitatissimum L.

(特用作物)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

渡邊龍雄:植物病学:331, 1957

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe lini* Tanda [*Erysiphe polygoni* de Candolle, *Oidium lini* Škorič]

(2) *Sphaerotheca* sp.

本間ヤス:植物学雑誌 42(499):331, 1928(昭3); 本間ヤス:北大農紀 38(3):326, 1937(昭12)

枝枯病 edagare-byo Twig blight

Phoma sp.

渡邊龍雄:植物病学:331, 1957

[備考] 1927年に平塚直治・平塚直秀(農及園 9:2629, 1934)は *Phoma* sp. による病害を認めているが病名は付けていない

褐変病 kappen-byo Browning and stem break

Polyspora lini Lafferty

平塚直治・平塚直秀:農及園 9(12):2625, 1934(昭9)

褐紋病* katsumon-byo Pasm (パスモ病)

Mycosphaerella linicola Naumov [*Mycosphaerella linorum* (Wollenweber) García-Rada, *Septoria linicola* (Spegazzini) Garassini, *Phlyctaena linicola* Spegazzini]

平塚直治・平塚直秀:農及園 9(12):2626, 1934(昭9)

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot (? 尖枯病)

Alternaria brassicae (Berkeley) Saccardo sensu Bolle

渡邊龍雄:植物病学:331, 1957

[備考] 平塚直治・平塚直秀(農及園 9:2630, 1934)は北海道において *Alternaria* sp. による病害を認め、尖枯病と称したが、その病原の種名を決定していない

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Melampsora lini (Persoon) Léveillé [*Melampsora liniperda* Palm]

出田 新:日本植物病理学(下):449, 1911(明44); 平塚直治・平塚直秀:農及園 9(11):2377, 1934(昭9)

立枯病 tachigare-byo Wilt

(1) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

原 松次:帝織研究所時報 3:10, 1946; 原 松次:日植病報 16(1):27, 1953

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *lini* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium lini* Bolley]

平塚直治:北海之殖産 7:365, 1897(明30)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum destructivum O'Gara [*Colletotrichum lini* (Westerdijk) Tochinai, *Colletotrichum linicola* Pethybridge & Lafferty]

逸見武雄:病虫雑 6(4):310, 1919(大 8); 逸見武雄:日植病報 1(3):13, 1920(大 9); 樋浦 誠:札幌農林会報 15(64):1, 1923(大 12); 山本和太郎:植物防疫 14(2):51, 1960; 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003

根腐病 negusare-byo Root rot

Thielaviopsis basicola (Berkeley & Broome) Ferraris [*Thielavia basicola* Zopf]

平塚直治・平塚直秀:農及園 9(12):2627, 1934(昭 9)

[備考] ト蔵梅之丞 (病虫雑 1(3):313, 1914) は *Asterocystis radialis* de Wildeman による根腐病を紹介した

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (先枯れ症状)

Botrytis cinerea Persoon

平野喜代人:岡山農試臨時報告 58:89, 1961

焼枯病 yakigare-byo Seedling blight

Olpidiaster radialis (De Wildeman) Pascher

平塚直治・平塚直秀:農及園 9(12):2627, 1934(昭 9)

焼病 yake-byo Seedling blight

Pythium megalacanthum de Bary

照井陸奥生:農及園 9(5):1179, 1934(昭 9)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:101, 1966

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

稲垣春郎・湯原 巖:北日本病虫研報 11:9, 1960

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9); 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

ピン線虫病 pin-senchu-byo

Paratylenchus curvatus van der Linde チャピンセンチュウ

稲垣春郎・湯原 巖:北日本病虫研報 14:121, 1963; 稲垣春郎・古山三郎:北日本病虫研報 16:97, 1965; 稲垣春郎:昭 44 応動昆大会講要:8, 1969

いや地病 iyachi-byo (忌地病)

原因不明

小室康雄:植物防疫 10(7):283, 1956

日焼病 hiyake-byo

生理障害

原 松次:帝織研究所時報 7:47, 1948

++++褐斑病 kappan-byo

菌類の1種

原 松次:帝織研究所時報 7:33, 1948

[備考] 検討を要する

++++菌核病 kinkaku-byo

++*Sclerotinia sclerotiorum* (Libert) de Bary

渡邊龍雄:繊維作物病学:135, 1947

[備考] 国内発生未詳。病原菌の異名はダイズ菌核病参照

ヤドリギ科 Loranthaceae

マツグミ

(Taxillus)

Taxillus kaempferi (DC.) Danser

(広葉樹)

†すす病 susu-byo Black mildew

Asterina loranthe-rhododendricolae W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):24, 1957

[備考] 台湾。シャクナゲモドキ (*Loranthus rhododendricola*)

††††

Hymenochaete sallei Berkeley & M.A. Curtis コガネウロコタケ

今関六也:東京科博研報 2:11, 1940(昭 15)

††††

†*Meliola suisyaensis* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物会報 30(206/207):422, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。ニンドウバノヤドリギ (*T. lonicerifolius*)

ヤドリギ

Mistletoe, European mistletoe, Common mistletoe

Viscum album var. *coloratum* (Komar.) Ohwi

(広葉樹)

枝枯病 edagare-byo

Sphaeropsis viscicola Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:50, 1958

葉枯病 hagare-byo

Pestalotiopsis guepinii (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia guepinii* Desmazières]

鈴木誠一:病虫雑 3(5):363, 1916(大 5) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

††††

†*Sphaeropsis visci* (Sollmann) Saccardo

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:436, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部

ミソハギ科 Lythraceae

サルスベリ(百日紅)
Crape myrtle, Indian lilac
Lagerstroemia indica L.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病)

Erysiphe australiana (McAlpine) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinuliella australiana* (McAlpine) R.Y. Zheng & G.Q. Chen, *Uncinula australiana* McAlpine]

安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明 44); 出田 新:実用植物病理学:161, 1901(明 34); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):257, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012

[備考] シマサルスベリにも発生

褐斑病 kappan-byo (角斑病)

Cercospora lythracearum Heald & F.A. Wolf [*Cercospora lagerstroemiae-subcostatae* Sawada, *Cercospora lagerstroemiicola* Sawada]

逸見武雄:教育農芸 11(11):1255, 1942(昭 17); 澤田兼吉:台湾中研農業報 51(台湾産菌類調査報告 5):129, 1931(昭 6); 小林享夫:森林防疫 20(12):265, 1971

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

平野和弥・飯田 格:日植病報 41(3):254, 1975

[備考] 病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照。病原菌の完全世代 *Grovesinia pyramidalis* M.N. Cline, J.L. Crane & S.D. Cline はサルスベリでは未記録

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15); Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照:

すす病 susu-byo Sooty mold

病原菌所属未詳

滝沢幸雄:森林防疫 23(10):199, 1974

斑葉病 han'yo-byo

Tripospermum lagerstroemiae (Hennings) Spegazzini [*Triposporium lagerstroemiae* Hennings]

安田 篤:植物学各論隠花部:574, 1911(明 44); 松村任三:帝国植物名鑑(上):177, 1904(明 37); 安藤勝彦:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):490, 1992

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconeoides* sp. ワセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(4) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(5) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 種名は再検討を要する

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

†††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] 生産国不明

ヘンナ

Henna

Lawsonia inermis L.

(広葉樹)

†褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot

Cercospora lawsoniae-albae Thirumalachar & Govindu

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:197, 1988

[備考] フィリピン

モクレン科 Magnoliaceae

ユリノキ(ハンテンボク)
Yellow-poplar, Tuliptree
Liriodendron tulipifera L.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Erysiphe liriodendri Shweinitz
荒木郁充・白石嘉朗:日植病報 74(3):179, 2008
[備考] 接種試験未了

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Gloeosporium liriodendri* Ellis & Everhart]
伊藤一雄・小林享夫:林試研報 146:1, 1962

べっこうたけ病 bekkotake-byo Butt rot
Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタ
ケ
伊藤一雄:樹病:51, 1952 ; 青島清雄:日林誌 45:231, 1963 ; 高橋旨象:きのこと木材:129, 1989
[備考] 病原菌の異名はカシ類べっこうたけ病参照

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot
Pleurotus cystidiosus O.K. Miller オオヒラタケ
小林 正・青島清雄:93 回日林論:377, 1982

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot
Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka
Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:4, 1949
[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

++++斑点細菌病 hanten-saikin-byo
病原細菌未詳
伊藤一雄:樹病学大系 1:246, 1971
[備考] 調査を要する

タイサンボク(泰山木)
Southern magnolia
Magnolia grandiflora L.
(広葉樹)

黄色紋羽病 kiiro-mompa-byo
Sclerotium sp.
小林享夫:林業と薬剤 54:3, 1975

白絹病 shiraku-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

熊本県林業指導所:くまもとの緑化樹病害虫と防除のしおり:93, 1978

[備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

Rigidoporus lineatus (Persoon) Ryvarden [*Rigidoporus zonalis* (Berkeley) Imazeki] スルメタケ

全国林業改良普及協会:林業技術シリーズ(スライド解説) 63:26, 1976 ; 小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:170, 1977 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:695, 1994

斑葉病 han'yo-byo (斑点病)

Gyrophthia circinata (Berkeley & M.A. Curtis) S. Hughes [*Campsotrichum circinatum* Berkeley & M.A. Curtis]

安田 篤:植物学各論隠花部:564, 1911(明 44) ; 一戸正勝:日菌報 9(2):58, 1968 ; 兼平文憲・佐保春芳:日菌報 16(1):16, 1975

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大 3)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Trichodorus cedrus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

ハクモクレン(白木蓮)

Yulan

Magnolia heptapeta (Buchoz) Dandy

(広葉樹)

モクレン(木蓮) *M. quinquepeta* (Buchoz) Dandy

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo

Xanthomonas campestris (Pammel 1895) Dowson 1939

木嶋利男ら:日植病報 51(1):96, 1985

[備考] ハクモクレン。病原細菌の pathovar は未確定

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae van Hall 1902

瀧川雄一ら:日植病報 51(1):53, 1985

[備考] モクレン。病原細菌の pathovar は未確定

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe magnifica* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera magnifica* U. Braun, *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon-pro parte]

丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):128, 1973 ; Tanda, S. et al.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):255, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):232, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012

[備考] モクレン・トウモクレン(*M. liliflora* var. *grandis*)に発生

(2) *Microsphaera diffusa* Cooke & Peck

平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956

黄色紋羽病 kiiro-mompa-byo Sclerotium root rot

Sclerotium sp.

小林享夫:林業と薬剤 54:3, 1975

菌核病 kinkaku-byo Petal blight

Ciborinia sp.

萩原 廣ら:日植病報 65(6):678, 1999

[備考] 接種試験未了

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis guepinii (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia guepinii* Desmazières]

鈴木誠一:病虫雑 3(5):363, 1916(大 5)

[備考] 接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの 1 種

橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961

[備考] モクレン

††††

Pseudomonas syringae pv. *delphinii* (Smith 1904) Young, Dye & Wilkie 1978

Goto, M. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 54(2):189, 1988

[備考] 氷核活性細菌。花より分離

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):210, 1987

[備考] モクレン

ホオノキ(厚朴)

Japanese white bark magnolia

Magnolia obovata Thunb.

(広葉樹)

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病)

Erysiphe magnoliae (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera magnoliae* Sawada, *Microsphaera diffusa* non Cooke & Peck sensu Homma]

出田 新:日本植物病理学(上):205, 1909(明 42); 原 攝祐:樹病学各論:14, 1923(大 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):215, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012

裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病)

Phyllactinia fraxini (de Candolle) Homma

澤田兼吉:林試研報 50:125, 1951

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

鷲尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

[備考] 病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

小すす病 kosusu-byo Sooty mold (煤病, 小煤病)

Meliola butleri Sydow & P. Sydow [*Meliola amphitricha* Fries]

原 攝祐:樹病学各論:33, 1923(大 12) ; 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明 37)

[備考] 調査を要する

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Coccodinium magnoliae Sawada

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小河誠司:森林防疫 32(5):91, 1983

斑点病 hanten-byo

Phyllosticta cookei Saccardo

南部信方:病虫雑 3(2):168, 1916(大 5)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema incognitum Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

†褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo (葉枯病)

Macrophoma magnoliae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):70, 1943(昭 18) ; 澤田兼吉:台湾農事報 38(10):777, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。トキワレンゲ

†灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo

Phyllosticta yugokwa Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):67, 1943(昭 18) ; 澤田兼吉:台湾農事報 38(10):777, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。トキワレンゲ

†葉枯病 hagare-byo

Phyllosticta magnoliae-pumilae Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 32:290, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。トキワレンゲ (*Magnolia pumila*)

††††

Phyllosticta magnoliae-obovatae Miura

コブシ(辛夷)
Kobus magnolia
Magnolia praecocissima Koidz.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Microsphaera bulbosa* (Wang) U. Braun

佐藤幸生・堀江博道:日植病報 56(1):97, 1990

[備考] シデコブシ・トウモクレン(*M. liliflora* var. *gracilis*)にも発生

(2) *Microsphaera diffusa* Cooke & Peck

関 省吾・平田幸治:新潟農林研究 13:11, 1961

[備考] タムシバ(*M. salicifolia*)にも発生

(3) *Microsphaera magnifica* Braun [*Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon-pro parte]

原 攝祐:実験樹木病害篇:211, 1927(昭2) ; Tanda, S. et al.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):257, 1986 ;

大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):231, 1988

裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, 白渋病, うどんこ病)

Phyllactinia magnoliae Y.N. Yu & S.J. Lai [*Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma p.p.]

Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):409, 1937(昭12) ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:243, 1997

[備考] キタコブシ(*M. kobus* DC. var. *borealis* Sarg.)・シデコブシ・ヒメシデコブシ(*M. stellata* var. *keiskei*)・ハクモクレンにも発生

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Grovesinia pyramidalis M.N. Cline, J.L. Crane & S.D. Cline [*Cristulariella moricola* (I. Hino) Redhead, *Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall, *Sclerotium moricola* Hino, *Sclerotium cinnamomi* Sawada]

鷲尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981 ; 野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] シデコブシ(*M. stellata*)にも発生

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952

[備考] 病原菌の異名はボブラ類すす病参照

斑点病 hanten-byo

(1) *Phyllosticta concentrica* Saccardo [*Phyllosticta kobus* Hennings, *Phyllostictina kobus* (Hennings) Petrak]

南部信方:病虫雑 3(2):168, 1916(大5) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

(2) *Phyllosticta cookei* Saccardo

伊藤一雄:樹病学大系 3:250, 1974

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] オオヤマレンゲ。属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] オオヤマレンゲ

(3) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(4) *Criconea* sp. ワセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] オオヤマレンゲ。属名は再検討を要する

(5) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] オオヤマレンゲ(*M. Sieboldii*)

(6) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] オオヤマレンゲ

(7) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] オオヤマレンゲ。種名は再検討を要する

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne arenaria (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] オオヤマレンゲ(*M. sieboldii*)

††††

Sphaerulina magnoliae-kobusi Hara

原 攝祐:病虫雑 5(9):728, 1918(大7)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] タムシバ・*M. virginiana* にも発生

カラタネオガタマ(トウオガタマ)

(*Michelia*)

Michelia fuscata Blume

(広葉樹)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchus* sp. ニセネグサレセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(4) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 種名は再検討を要する

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]

澤田兼吉:台湾農事報 80:9, 1913(大2); 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類
図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾

キントラノオ科 Malpighiaceae

アセロラ

Acerola

Malpighia emarginata DC.

(果樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

アオイ科 Malvaceae

オクラ(アメリカネリ, 黄蜀葵)

Okra

Abelmoschus esculentus (L.) Moench

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Hibiscus chlorotic ringspot virus* (HCRSV) ハイビスカス退緑輪点ウイルス

野田千代一・眞岡哲夫:日植病報 62(6):637, 1996

(2) *Hibiscus yellow mosaic virus*# (HYMV) ハイビスカス黄斑ウイルス

野田千代一・眞岡哲夫:日植病報 62(6):637, 1996

(3) Potyvirus#

李 準璋ら:日植病報 49(3):440, 1983

[備考] *Watermelon mosaic virus* のウイルス名のみ記載。*Papaya ringspot virus* (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), *Watermelon mosaic virus* (WMV スイカモザイクウイルス), *Zucchini yellow mosaic virus* のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo

(1) *Pseudomonas cichorii* (Swingle 1925) Stapp 1928

多賀正節ら:日植病報 56(3):394, 1990 ; 井上 興ら:日植病報 76(3):176, 2010 ; 井上 興ら:九病虫研会報 57:94, 2011

[備考] 井上ら(2010, 2011)は本病菌が実の腐敗を引き起こすとした

(2) *Pseudomonas syringae* van Hall 1902

富濱 毅ら:日植病報 80(1):72, 2014 ; 富濱 毅・瀧川雄一:日植病報 81(1):95, 2015

[備考] 病原は, 病原型 I a群に属する

(3) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

難波孝志・山本 磐:日植防研報 7:19, 1996

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Leveillula taurica (Léveillé) G. Arnaud [*Oidiopsis taurica* (Léveillé) E.S. Salmon]

斉藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975

[備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録

疫病 eki-byo

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

堀江博道ら:日植病報 54(1):126, 1988 ; 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 55(4):494, 1989

果実黒斑病 kajitsu-kokuhan-byo Alternaria rot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

遠山 明ら:日植病報 58(1):132, 1992

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Cercospora malayensis F. Stevens & Solheim

香月繁孝:植物防疫 26(11):451, 1972

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

窪田昌春:日植病報 78(1):22, 2012 ; 窪田昌春・三澤知央:関東病虫研報 61:43, 2014

黒根病 kurone-byo Black root rot
Thielaviopsis basicola (Berkeley & Broome) Ferraris
小林達男・古谷真二:四国植防 22:47, 1987

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
安次富 厚ら:九病虫研会報 62:139, 2016

立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt
Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *vasinfectum* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium malvacearum* Taubenhaus]
原 攝祐:実験作物病理学:854, 1930(昭 5) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off
(1) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*
貴田健一ら:日植病報 73(1):60, 2007
(2) *Pythium* sp.
外間数男:今月の農業 27(8):98, 1983 ; 斉藤 正:施設野菜の生理障害と病害(高橋和彦・西 泰道編):186, 1977
(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn
外間数男:今月の農業 27(8):98, 1983 ; 斉藤 正:野菜の病虫害(岸 國平編):211, 1976 ; 斉藤 正:施設野菜の生理障害と病害(高橋和彦・西 泰道編):186, 1977

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
窪田昌春:日植病報 78(1):22, 2012 ; 窪田昌春・三澤知央:関東病虫研報 61:43, 2014

葉すす病* hasusu-byo Brown leaf mold, Leaf spot (黒斑病)
Pseudocercospora abelmoschi (Ellis & Everhart) Deighton [*Cercospora abelmoschi* Ellis & Everhart, *Cercospora hibisci* Tracy & Earle]
中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):92, 1928(昭 3) ; 斉藤 正ら:高知農研報 5:17, 1973 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:596, 1992

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt
Verticillium dahliae Klebahn [*Verticillium albo-atrum* auct. jap. non Reinke & Berthold]
飯嶋 勉:新しい病虫害 1976 ; 飯嶋 勉:東京農試研報 16:65, 1983

斑点病 hanten-byo Leaf spot
Phoma okra Cooke
中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):92, 1928(昭 3)

輪紋病 rimmon-byo Pod spot (さく腐病)
Ascochyta phaseolorum Saccardo
中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):92, 1928(昭 3) ; 成田武四:日植病報 41(1):123, 1975 ; 成田武四:北日本病虫研報 27:12, 1976
[備考] トマト輪状斑点病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(2) *Paratrophurus* sp. リュウキュウイシュクセンチュウ
照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
後藤 昭:九州農試研究資料 54:1, 1976

ノリアサ(糊麻)

(*Abelmoschus*)

Abelmoschus glutino-textilis Kagawa

(特用作物)

子苗立枯病 konae-tachigare-byo

Fusarium sp.

渡邊龍雄:繊維作物病学:160, 1947

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

Meloidogyne sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

渡邊龍雄:繊維作物病学:161, 1947

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

トロロアオイ(黄蜀葵)

Mask mallow, Sunset hibiscus

Abelmoschus manihot (L.) Medik.

[*Hibiscus manihot* L.]

(特用作物)

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 黒斑病)

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium hibisci* Nakata & Takimoto, *Pseudomonas hibisci* (Nakata & Takimoto) Stapp]

中田覺五郎・瀧元清透:日植病報 1(5):13, 1923(大 12); 中田覺五郎:作物病害図編:254, 1934(昭 9); 中田覺五郎:作物病害図編:639, 1957

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe abelmoschicola Tanda

Tanda, S. & Hirose, T.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 48(2):50, 2003

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

田杉平司・池田義夫:日植病報 9(2):69, 1939(昭 14) ; 桂 琦一:植物の疫病:87, 1971
[備考] 病原菌の異名はタバコ疫病参照

褐斑病 kappan-byo

Cercospora malayensis F. Stevens & Solheim

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):64, 1960

立枯病 tachigare-byo

Pythium ultimum Trow var. *ultimum* [*Pythium ultimum* Trow]

高橋 實:日植病報 13(3-4):66, 1948 ; 高橋 實:日植病報 18(3-4):114, 1954

[備考] このほか *P. hemmianum* Takahashi, *P. zingiberum* Takahashi が寄生する (高橋 實:植物防疫 24:345, 1970)

斑点病 hanten-byo *Cercospora leaf spot*

Pseudocercospora abelmoschi (Ellis & Everhart) Deighton [*Cercospora abelmoschi* Ellis & Everhart]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):47, 1928(昭 3) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):42, 1960

[備考] 病原菌の異名はケナフ葉すす病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

渡邊龍雄:植物病学:300, 1957

[備考] 病原線虫の異名等はサツマイモの根こぶ線虫病を参照

ボウマ(チンマ, キリアサ, イチビ, 青麻, 苗麻)

China jute, Indian mallow

Abutilon avicennae Gaertn.

(特用作物)

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Mycosphaerella abutilonis Nakata & Takimoto

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):45, 1928(昭 3) ; 富樫浩吾・川村正三:岩手農試彙報 8:9, 1942(昭 17)

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Macrosporium abutilonis Spegazzini

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):45, 1928(昭 3)

[備考] 本菌は *Alternaria* に属すると思われる。外国で報告されている *A. abutilonis* (Passerini) Sawada との異同を検討する必要がある

立枯病 tachigare-byo Stem rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

逸見武雄:植及動 10(10):894, 1942(昭 17)

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum coccodes (Wallroth) S. Hughes

大久保博人・島貫忠幸:日植病報 65(3):407, 1999

[備考] イチビ *A. theophrasti* Medic. に発生

†**炭疽病** tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum pehkinense Katsura

桂 琦一:華北農業第 6 期:107, 1944(昭 19) ; 桂 琦一:植物病害研究 4:103, 1951(昭 26)

[備考] 中国。病原菌の分類学的所属について検討を要する

胴枯病 dogare-byo

Macrophoma abutilonis (Nakata & Takimoto) Nakata & Takimoto [*Phoma abutilonis* Nakata & Takimoto]

瀧元清透:朝鮮農会報 16(1):18, 1921(大 10) ; 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):45, 1928(昭 3) ; 中田覺五郎:作物病害図編:194, 1934(昭 9)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

萎縮病 ishuku-byo

病原不明

田中節三郎:大日本農会報 150:41, 1894(明 27)

†**モザイク病** mosaic-byo Mosaic

ウイルス (未同定)

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):46, 1928(昭 3)

[備考] 朝鮮半島

†**根頭がんしゅ病** konto-ganshu-byo Crown gall (癌種病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

桂 琦一:華北農業第 6 期:108, 1944(昭 19)

[備考] 中国。ボウマでは国内未発生

†**疫病** eki-byo

Phytophthora sp.

桂 琦一:民国 32 年発生 of 麻類病害に関する調査報告, 華北産研, 1943(昭 18)

[備考] 中国

†**褐紋病** katsumon-byo Brown spot

Phyllosticta abutilonis Hennings

逸見武雄:植及動 10(10):891, 1942(昭 17)

[備考] 中国東北部

†**茎腐病** kukigusare-byo

Tubercularia abutilonis Katsura

桂 琦一:植物病害研究 4:103, 1951

[備考] 中国

†斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora althaeina Saccardo

逸見武雄:植及動 10(10):891, 1942(昭 17)

[備考] 中国。ボウマでは国内未発生

†べと病 beto-byo Downy mildew

Plasmopara skvortzovii Miura

原 攝祐:実験作物病理学:400, 1930(昭 5) ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:40, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部

†輪紋病 rimmon-byo

Gloeosporium sp.

桂 琦一:民国 32 年発生 of 麻類病害に関する調査報告, 華北産研, 1943(昭 18)

[備考] 中国。病原菌の分類学的所属について検討を要する

アブチロン類

Abutilon spp.

(広葉樹)

ショウジョウカ *Abutilon striatum* Dicks.

疫病 eki-byo

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

植松清次ら:関東病虫研報 55:191, 2008

††††モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Abutilon mosaic virus (AbMV) アブチロンモザイクウイルス

河野敏郎ら:日植病報 72(4):279, 2006

†白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

澤田兼吉:台湾農試特別報 2:23, 1911(明 44)

[備考] 台湾

タチアオイ(ホリホック)

Hollyhock

Althaea rosea Cav. *Althaea cannabina* L.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe orontii Castagne

丹田誠之助・須賀里絵:東農大農学集報 47(3):141, 2002

[備考] タチアオイ *A. rosea* L. に発生

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia malvacearum Bertero ex Montagne

出田 新:続日本植物病理学(下):522, 1926(大 15) ; 平塚直秀:菌蕈研報 8:49, 1970
[備考] 出田(1926) 及び Hiratsuka(1970) は寄主植物名リスト

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 37:47, 1995

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum malvarum (A. Braun & Caspary) Southworth [*Colletotrichum althaeae* Southworth]
原 攝祐:実用作物病理学:553, 1925(大 14); 原 攝祐:実験作物病理学:874, 1932(昭 7); von Arx, J. A.:Phytopath. Zeits. 29:447, 1957

灰色かび病 haiiro-kabi-byo
Botrytis cinerea Persoon
成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:623, 1998
[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot
Cercospora althaeina Saccardo
南部信方:病虫雑 2(1):99, 1915(大 4) ; 原 攝祐:実験作物病理学:874, 1932(昭 7)
[備考] 病原菌の調査を要する

輪紋病 rimmon-byo
Ascochyta phaseolorum Saccardo
成田武四:日植病報 41(1):123, 1975 ; 成田武四・板垣裕道:北日本病虫研報 26:3, 1975
[備考] ケイトウ輪紋病参照

††††**斑点性の病害** hantensei-no-byogai
Phoma sp.
古川聡子・岸 國平:日植病報 66(3):273, 2000
[備考] 病徴が異なるので複数の病原菌が関与している可能性がある

ビロードアオイ
Marsh mallow
Althaea officinalis L.
(特用作物)

褐斑病 kappan-byo Brown zonate leaf spot (褐斑症状)
Ascochyta malvicola Saccardo
Yoshikawa, M. & Yokoyama, T.:Mycoscience 36(1):67, 1995
[備考] 接種試験未了

ポピーマロー
Poppy mallow
Callirhoe involucrata (Torr. & A. Gray) A. Gray

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

笹井裕里ら:日植病報 80(1):22, 2014 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 61:99, 2014

カラスノゴマ

Corchoropsis tomentosa (Thunb.) Makino

(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Pseudoidium cf. *neolycopersici* (L. Kiss) L. Kiss

Meeboon, J. & Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 56:257, 2015

[備考] 接種試験未了

ワタ(棉)

Cotton

Gossypium spp.

(特用作物)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

ウイルス (未同定)

権藤道夫:病虫雑 24(5):340, 1937(昭 12)

[備考] 2, 3 のメクラガメの単独加害によってもモザイク状を呈することがあり, 伝染性, 非伝染性のものを含めて雄棉とも云われている

角点病 kakuten-byo Angular leaf spot, Bacterial blight (角斑病)

Xanthomonas citri subsp. *malvacearum* (ex Smith 1901) Schaad, Postnikova, Lacey, Sechler, Agarkova, Stromberg, Stromberg & Vidaver 2007 [*Xanthomonas malvacearum* (Smith) Dowson, *Bacterium malvacearum* Smith, *Xanthomonas campestris* pv. *malvacearum* (Smith 1901) Dye 1978]

瀧元清透:朝鮮農会報 16(11):60, 1921(大 10); 卜蔵梅之丞:作物病害予防駆除法:840, 1925(大 14)

褐斑病 kappan-byo Leaf spot (葉片褐斑病)

Phyllosticta gossypina Ellis & G. Martin

鶴田章逸:病虫雑 5(3):193, 1918(大 7)

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot (褐紋病)

(1) *Alternaria macrospora* Zimmermann

(2) *Alternaria gossypii* (Jaczewski) Y. Nisikado, K. Kimura & Miyawaki

(3) *Macrosporium nigricantium* G.F. Atkinson

鶴田章逸:病虫雑 5(3):193, 1918(大 7); 瀧元清透:病虫雑 21(9):661, 1934(昭 9); 中田覺五郎:作物病害図編:275, 1934(昭 9); 西門義一ら:日植病報 10(2-3):214, 1940(昭 15)

[備考] 西門義一 (農学研究 36:381, 1944) は北支で採集した黒斑病菌として *Alternaria macrospora* のほか *A. gossypina* Hopkins および *Thyrsospora gossypicola* Nisikado & Oshima を報じている。鶴田 (1918) の *Macrosporium nigricantium* は病原性が非常に弱い

腰折病 koshiore-byo Sore shin (根腐病, 茎腐病, 立枯病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

瀧元清透:病虫雑 11(12):664, 1924(大 13) ; 中田覺五郎:作物病害図編:263, 1934(昭 9) ; 松尾卓見:日植病報 13(3-4):26, 1948

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

木場三朗:作物病害の診断と防除:374, 1952

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白かび病 shirokabi-byo Frosty mildew, Areolate mildew (白黴病)

Mycosphaerella areola Ehrlich & F.A. Wolf [*Ramularia areola* G.F. Atkinson]

瀧元清透:朝鮮農会報 16(1):16, 1921(大 10) ; 中田覺五郎:最新改訂作物病害図編:633, 1957

立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt (萎凋病, 根腐立枯病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *vasinfectum* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium vasinfectum* G.F. Atkinson]

(2) *Gibberella fujikuroi* (Sawada) Wollenweber [*Fusarium moniliforme* J. Sheldon]

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大 3) ; 中田覺五郎:作物病害図編:225, 1934(昭 9) ; 西門義一・宮脇雪夫:逸見還暦記念論文集:184, 1951

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭色腐敗病)

(1) *Glomerella gossypii* Edgerton [*Colletotrichum gossypii* Southworth]

(2) *Colletotrichum indicum* Dastur

出田 新:日本植物病理学(下):699, 1911(明 44) ; 瀧元清透:日植病報 8(1):43, 1938(昭 13) ; 安部卓爾:日植病報 11(1):43, 1941(昭 16)

[備考] *Glomerella gossypii* Edgerton が普通である。瀧元 (1938) によれば *Colletotrichum indicum* は子苗を侵して立枯を起こし, また, 蒴, 綿絮を侵すが成葉, 茎は侵さない。*Glomerella gossypii* を *G. cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk, その分生孢子時代 *Colletotrichum gossypii* を *C. gloeosporioides* Penzig の異名とし, また *C. indicum* を *C. dematium* (Persoon) Grove の異名とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960)

葉焼病 hayake-byo Leaf spot (斑点病)

Mycosphaerella gossypina (G.F. Atkinson) Earle [*Cercospora gossypina* Cooke, *Cercosporina gossypina* Fukui]

鶴田章逸:病虫雑 4(3):202, 1917(大 6) ; 瀧元清透:朝鮮農会報 16(11):63, 1921(大 10) ; 木場三朗:朝鮮農試彙報 13:12, 1941(昭 16)

半身萎凋病 hanshin-icho-byo

Verticillium dahliae Klebahn

諏訪澄長:日植病報 54(3):355, 1988

斑紋病 hammon-byo Leaf spot

Pestalotia gossypii Hori

鶴田章逸:病虫雑 4(3):202, 1917(大 6)

輪紋病 rimmon-byo Ascochyta blight (葉斑病)

Ascochyta gossypii Woronichin [*Ascochyta gossypii* Sydow & P. Sydow]

瀧元清透:朝鮮農会報 16(11):63, 1921(大 10) ; 瀧元清透:病虫雑 22(9):687, 1935(昭 10)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

††萎凋細菌病* icho-saikin-byo Bacterial rot (萎凋性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:187, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus erivanensis* (Kalantarion) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††さく腐敗病* saku-fuhai-byo Boll rot (球蒴腐敗病)

(1) 病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:128, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus gossypina* Stedman は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

(2) *Eremothecium cymbalariae* Borzi

渡邊龍雄:繊維作物病学 111, 1947

[備考] 国内発生未詳

(3) *Nematospora coryli* Peglion

渡邊龍雄:繊維作物病学 111, 1947 ; 木場三朗:作物病害の診断防除 374, 1952

[備考] 国内発生未詳

†疫病 eki-byo

Phytophthora sp.

岩垂 悟ら:満州農試報 45(満州国農作物病害目録):81, 1943(昭 18)

[備考] 中国東北部

††黒かび病 kurokabi-byo (黒黴病)

Aspergillus niger Tieghem, *Rhizopus nigricans* Ehrenberg

渡邊龍雄:繊維作物病学 111, 1947

[備考] 国内発生未詳

†黒葉枯病 kuro-hagare-byo

Alternaria gossypina (Thümen) J.C.F. Hopkins

西門義一・大島俊市:日植病報 13(1-2):65, 1948

[備考] 中国

†黒点病* kokuten-byo (蒴の黒点病)

Strumella sp.

中田覺五郎:華北産研調査報 1(北支蒙疆農園芸作物病害調査報告):11, 1941(昭 16)

[備考] 中国

††黒化病 kokka-byo Diplodia ball rot

Botryosphaeria rhodina (Cooke) Arx [*Physalospora rhodina* (Berkeley & M.A. Curtis) Cooke, *Diplodia gossypina*

Cooke]

渡邊龍雄:繊維作物病学 110, 1947 ; 河合一郎:改善作物病害編 568, 1961

[備考] 国内発生未詳

††††さく褐斑病 saku-kappan-byo (蒴褐斑病)

††*Helminthosporium gossypii* Tucker

渡邊龍雄:繊維作物病学 110, 1947

[備考] 国内発生未詳。病原菌の再検討を要する

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Phakopsora gossypii (Arthur) Hiratsuka, f. [*Cerotelium gossypii* Arthur, *Uredo gossypii* Lagerheim]

藤黒興三郎:植物学雑誌 28(334):423, 1914(大 3) ; 平塚直秀:植物銹菌学研究 266, 1955

[備考] 台湾

†苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight

Gloeosporium sp., *Fusarium* spp., *Pythium* sp., *Rhizoctonia* sp.

能瀬久義:朝鮮農会報 12(12):10, 1938(昭 13)

[備考] 朝鮮半島。*Gloeosporium* sp. の分類学的所属について検討を要する

††根腐病 negusare-byo Phymatotrichum root rot

Phymatotrichum omnivorum (Shear) Dugger [*Ozonium omnivorum* Shear]

ト蔵梅之丞:病虫雑誌 1(3):313, 1914(大 3)

†灰紋病 haimon-byo

Thyrsospora gossypicola Y. Nisikado

西門義一・大島俊市:日植病報 13(1-2):65, 1948

[備考] 中国

††††白粉病 hakufun-byo

††*Ovulariopsis gossypii* Wakefield

渡邊龍雄:繊維作物病学:111, 1947 ; 河合一郎:改著作物病害編:571, 1961

[備考] 国内発生不詳

†斑点病 hanten-byo

Neobarclaya sp.

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):40, 1928(昭 3)

[備考] 朝鮮半島。瀧元 (病虫雑誌 11:665, 1924) は本病原菌を *Robillardiella* sp. として発表

†バラ色腐敗病 barairo-fuhai-byo (褐腐病)

Trichothecium roseum (Persoon) Link [*Cephalothecium roseum* Corda]

瀧元清透:病虫雑誌 11(12):667, 1924(大 13) ; 岩垂 悟ら:満州国農作物病害目録:81, 1943(昭 18)

[備考] 朝鮮半島, 中国東北部。国内未発生

†紅腐病 benigusare-byo *Fusarium* rot, Boll rot (紅色腐敗病)

Fusarium sp.

瀧元清透:病虫雑誌 11(12):666, 1924(大 13)

[備考] 朝鮮半島

ケナフ(洋麻)
Ambari hemp, Kenaf
Hibiscus cannabinus L.
(特用作物)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

瀧元清透:農及園 23(2):114, 1948 ; 瀧元清透:日植病報 13(1-2):66, 1948

萎凋病 icho-byo Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *vasinfectum* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium vasinfectum* G.F. Atkinson]

遠藤 茂・平 如夫:農及園 12(11):2825, 1937(昭 12)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

Tanda, S. & Hirose, T.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 48(2):50, 2003

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

渡邊龍雄:繊維作物病学:152, 1947

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

立枯病 tachigare-byo Stem rot (腰折病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32(満州国主要農作物病害調査報告):87, 1939(昭 14) ; 渡邊龍雄:繊維作物病学:153, 1947

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum hibisci Pollacci

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):579, 1919(大 8)

[備考] 本病菌を *C. gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [子のう時代 *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk] の異名とする意見がある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (灰色黴病)

Botrytis cinerea Persoon

満州棉花株式会社:満州に於けるケナフ栽培法彙報 11:57, 1938(昭 13) ; 渡邊龍雄:繊維作物病学:158, 1947

葉すす病 hasusu-byo Cercospora leaf spot (葉煤病)

Pseudocercospora abelmoschi (Ellis & Everhart) Deighton [*Cercospora abelmoschi* Ellis & Everhart, *Cercospora hibisci* Tracy & Earle, *Cercospora hibisci-cannabini* Sawada, *Cercospora hibisci-manihotis* Hennings]

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾菌類調査報告 2):153, 1922(大 11) ; 内藤中人・谷 利一:香川大農学術報告 4(3):187, 1953

輪紋病 rimmon-byo Ring spot

Hyalothyridium nakatae Hara

中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32(満州主要農作物病害調査報告):87, 1938(昭 13) ; 中田覺五

郎:華北産研調査報告 1(北支蒙疆農園芸作物病害調査報告):15, 1941(昭 16)

[備考] 中田・明日山 (1938) は病原を *Phyllosticta* sp. としたが, 中田 (1941) によれば, 病斑内に *P. hokusiensis* Hara が随伴するという

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

Meloidogyne sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

渡邊龍雄:繊維作物病学:160, 1947 ; 渡邊龍雄:植物病学:343, 1957

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

†斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病)

細菌の 1 種

桂 琦一:華北農報 45, 1944(昭 19)

[備考] 中国東北部

†胴枯病 dogare-byo

Macrophoma sp.

桂 琦一:華北農報:45, 1944(昭 19)

[備考] 中国東北部

†葉枯病 hagare-byo

Cercospora sp.

桂 琦一:華北農報:45, 1944(昭 19)

[備考] 中国

†斑点病 hanten-byo

Cercospora hibiscivora Hara

中田覺五郎:華北産研調査報告 1(北支蒙疆農園芸作物病害調査報告):16, 1941(昭 16)

[備考] 中国

†裂孔病 rekko-byo

原因不明

中田覺五郎・明日山秀文:満州国産業部資料 32(満州主要農作物病害調査報告):88, 1939(昭 14)

[備考] 中国東北部。椿象 (カメムシ) の加害か?

モミジアオイ

Scarlet rose mallow

Hibiscus coccineus (Medicus) Walter

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997

テリハハマボウ

(Hibiscus)

Hibiscus glaber Matsum.

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

フヨウ(芙蓉)

Cotton rosemallow

Hibiscus mutabilis Linn.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera hibiscicola (Z.Y. Zhao) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci, *Sphaerotheca hibiscicola* Z.Y. Zhao]

野村幸彦:日菌報 22(3):338, 1981 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:17, 2012

[備考] スイフヨウ (*H. mutabilis* L. f. *versicolor* Makino) にも発生

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora malayensis F. Stevens & Solheim [*Cercosporina hibisci* Fukui non Tracy & Earle, *Cercospora fukuii* Hara]

福井武治:三重大学芸研究紀要 6:117, 1951 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫大農研報農生編 4(2):64, 1960

[備考] ハマボウ(*H. tiliaceus*)にも発生

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

小林享夫ら:森林防疫 43(6):106, 1994

[備考] 接種試験未了。病原菌の形態の記述なし

ブッソウゲ

Shoeflower

Hibiscus rosa-sinensis L.

(広葉樹)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum capsici (Sydow) E.J. Butler & Bisby

矢口行雄ら:樹木医学研究 4(2):81, 2000

†てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

Hiruki, C.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 53(1):1, 1987

[備考] オーストラリア。 *H. heterophyllus*

††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] フウリンブッソウゲ。生産国不明

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照

†菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

澤田兼吉:台湾農試報 19(台湾産菌類調査報告 1):209, 1919(大 8) ; 藤黒與三郎:植物学雑 28(334):424, 1914(大 3)

[備考] 台湾。病原菌の異名は菌核病参照

†灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

藤黒與三郎:植物学雑 28(334):424, 1914(大 3)

[備考] 台湾

††††

†*Phyllosticta hibiscicola* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):138, 1959

[備考] 台湾

††††

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin

佐藤豊三:東京農試研報 20:21, 1987

[備考] 落花弁上

††††

†*Valsella hibisci* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):74, 1959

[備考] 台湾

ロゼルアサ(ローゼル, ロゼルソウ)

Roselle hemp

Hibiscus sabdariffa L.

(特用作物)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

渡邊龍雄・寺中理明:熱帯農業 17(2):108, 1973 ; 鈴木杏子ら:日植病報 83(3):186, 2017

[備考] 渡邊・寺中(1973)はナイジェリア等での報告

茎割病 kukiware-byo

Fusarium sp.

渡邊龍雄:繊維作物病学:162, 1947

根腐病 negusare-byo Root rot

(1) ††*Pythium pernicius* Serbinow

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:205, 1977

[備考] 国内発生未詳

(2) *Pythium splendens* Hans Braun

戸田浩子ら:日植病報 83(3):186, 2017

輪紋病 rimmon-byo

Ascochyta sp.

渡邊龍雄:繊維作物病学:163, 1947

††立枯病 tachigare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:203, 1977

[備考] 国内発生未詳。病名の検討を要する

††白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

渡邊龍雄・寺中理明:熱帯農業 17(2):109, 1973

††斑葉病 han'yo-byo Cercospora leaf spot

Cercospora malayensis F. Stevens & Solheim

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:205, 1977

[備考] ロゼリアサでは国内未発生

ムクゲ(木槿)

Rose of sharon

Hibiscus syriacus L.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Sphaerotheca fuliginea (Schlechtendal) Pollacci

野村幸彦:日菌報 22(3):338, 1981

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (褐色膏葉病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

瀧元清透:農薬研究 7(2):78, 1960

[備考] 病原菌の異名はボプラ類褐色こうやく病参照

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Corynespora hibisci Goto

Goto, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 12(1):14, 1942(昭 17)

白星病 shirahoshi-byo Septoria leaf spot

Septoria abei N. Naito

伊藤一雄:樹病学大系 3:265, 1974 ; Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:32, 1940

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

伊藤一雄:森林防疫 27(4):59, 1978

[備考] 完全世代は *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk だがムクゲでは未記録

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard

瀧元清透:農薬研究 7(2):78, 1960

[備考] 病原菌の異名はボプラ類灰色こうやく病参照

葉すす病 hasusu-byo Cercospora leaf spot

Pseudocercospora abelmoschi (Ellis & Everhart) Deighton [*Cercospora abelmoschi* Ellis & Everhart, *Cercospora hibisci* Tracy & Earle]

富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大研報 II, 1:3, 1952 ; 内藤中人・谷 利一:香川農大大学術報 4:187, 1954 ; 勝本謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

††††

Phomopsis malvacearum (Westendorp) Diedicke

Petrak, F.:Ann. Mycol. 34:240, 1936(昭 11)

††††

Stagonospora hibisci-syriaci Miura

三浦密成:秋田農試報 8:40, 1957

オオハマボウ

Mahoe, Coast cotton tree

Hibiscus tiliaceus L.

(広葉樹)

黒やに病 kuroyani-byo

Phyllachora minuta Hennings

小林享夫:森林防疫 45(1):9, 1996 ; Kobayashi, T. *et al.*:Mycoscience 44(6):473, 2003

ハイビスカス

Hibiscus

Hibiscus spp.

(広葉樹)

黄斑病 ohan-byo Yellow mosaic

Hibiscus yellow mosaic virus# (HYMV) ハイビスカス黄斑ウイルス

柏崎 哲ら:日植病報 48(3):395, 1982

[備考] *H. rosa-sinensis*

退緑斑病 tairyokuhan-byo Chlorotic ring spot

Hibiscus chlorotic ringspot virus (HCRSV) ハイビスカス退緑輪点ウイルス

柏崎 哲ら:日植病報 48(3):395, 1982

[備考] *H. rosa-sinensis*

微斑病 bihan-byo

Hibiscus latent Fort Pierce virus (HLFPV) ハイビスカス潜在フォートピアスウイルス

松井暢子ら:日植病報 71(3):232, 2005

黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot

Alternaria sp.

伊藤陽子・月星隆雄:日植病報 71(3):215, 2005

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum capsici (Sydow) E.J. Butler & Bisby

矢口行雄ら:日植病報 63(3):199, 1997

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne javanica (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

ハイアオイ

(Malva)

Malva neglecta Wallr.

[*M. rotundifolia* L.]

(草花)

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia malvacearum Montagne

Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25:289, 1984 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:798, 1992 ; Harada, Y.:Mycoscience 35:295, 1994

ゼニアオイ(錦葵)

Mallow

Malva sylvestris L. var. *mauritiana* Mill.

(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:625, 1998

[備考] 接種試験未了

エノキアオイ

(Malvastrum)

Malvastrum coromandelianum (L.) Garcke

(野草)

エネーション病 *enation-byo* Enation

Malvastrum enation virus (MEV) エノキアオイひだ葉ウイルス

大貫正俊ら:日植病報 68(2):238, 2002

ボンテンカ

Cadillo, Caesarweed, Rose Mallow

Urena sinuata L.

(広葉樹)

†赤衣病 *akagoromo-byo* Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾。オオバボンテンカ (*U. lobata* var. *tomentosa*)

†環紋葉枯病 *kammon-hagare-byo* Zonate leaf spot (白葉枯病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Sclerotium cinnamomi* Sawada]

伊藤武夫:森林防疫ニュース 10(9):178, 1961 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑:864, 1978

[備考] 台湾。オオバボンテンカ

†さび病 *sabi-byo* Rust (銹病)

Aecidium urenae Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):127, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。オオバボンテンカ

†立枯病 *tachigare-byo*

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Fomes lamaensis* (Murrill) Saccardo & Trotter]

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査報告 4):86, 1928(昭 3) ; Ryvarden, L. & Johansen, I.:A preliminary polypore flora of East Africa:178, 1980

[備考] 台湾。オオバボンテンカ。病原菌は *Phellinus noxius* (Corner) Cunningham シマサルノコシカケと思われる

††††

†*Irenopsis triumfettae* (F. Stevens) Hansford & Deighton [*Irenopsis coronata* (Spegazzini) F. Stevens var. *triumfettae* (F. Stevens) F. Stevens]

Hansford, C. G. & Deighton, F. C.:Mycol. Pap. 23:14, 1948 ; 山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):148, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。オオバボンテンカ

クズウコン科 Marantaceae

カラテア
Calathea
Calathea spp.
(草花)

円斑病 maruhan-byo Bipolaris leaf spot
Bipolaris sp.
竹内 純ら:関東病虫研報 48:75, 2001
[備考] *Calathea louise* Gabnep. および *C. zebrina* (Sims) Lindl. に発生

カラテア類
(Calathea)
Calathea spp.
(野草)

ゴシキヤバネバショウ *Calathea makoyana* E. Morr.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種
中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

クテナンテ
Ctenanthe
Ctenanthe spp.
(草花)

円斑病 maruhan-byo Bipolaris leaf spot
Bipolaris sp.
竹内 純ら:関東病虫研報 48:75, 2001
[備考] *Ctenanthe oppenheimiana* (E. Morr.) K. Schum. に発生

マランタ
Maranta
Maranta spp.
(草花)

円斑病 maruhan-byo Bipolaris leaf spot
Bipolaris sp.
竹内 純ら:関東病虫研報 48:75, 2001
[備考] *Marantha leuconeura* var. *erythroneura* Bunt., *M. leuconeura* var. *kerchoviana* E. Morr. および *M. leuconeura* var. *massangeana* E. Morr. に発生

根もぐり線虫病* nemoguri-senchu-byo Burrowing nematode disease
Radopholus similis (Cobb) Thorne ミカンネモグリセンチュウ
三枝敏郎:植物防疫 21(5):181, 1967 ; 三枝敏郎ら:植防研報 6:41, 1968

[備考] 1966 年にハワイから導入したアンスリウムに寄生して八丈島に侵入したが, 1967 年に根絶され, 現在は国内に発生していない

††††植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

†††*Radopholus similis* (Cobb) Thorne バナナネモグリセンチュウ

三枝敏郎:植物防疫 21(5):181, 1967 ; 三枝敏郎ら:植防研報 6:41, 1968

[備考] 生産地ハワイ

ノボタン科 Melastomataceae

ノボタン

Melastoma

Melastoma candidum D. Don

(広葉樹)

黒点病 kokuten-byo Black dot

Rehmiodothis osbeckiae (Berkeley & Broome) Theissen & Sydow

Kobayashi, T. & Onuki, M.: Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 28:162, 1990

円星病 maruhoshi-byo

Pseudocercospora melastomobia (W. Yamamoto) Deighton [*Cercospora melastomobia* W. Yamamoto]

山本和太郎:台湾博物学会報 26:283, 1936(昭 11) ; 澤田兼吉:台湾農試報 85 (台湾産菌類調査報告 8):124, 1943(昭 18) ; 小林亨夫ら:日植病報 56(3):378, 1990 ; Kobayashi, T. *et al.*:Mycoscience 43:219, 2002

センダン科 Meliaceae

チャンチン(香椿)

Chinese toom

Cedrela sinensis Juss.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病)

Erysiphe cedrelae (F.L. Tai) U. Braun & S. Takamatsu var. *cedrelae* [*Uncinula cedrelae* F.L. Tai, *Uncinula delavayi* auct. Jap. non Patouillard]

安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明 44) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):349, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):240, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012

さび病 sabi-byo Rust (黒渋病, 品字形銹病, 銹病)

Nyssopsora cedrelae (Hori) Tranzschel [*Triphragmium cedrelae* Hori]

澤田兼吉:林試研報 57:34, 1952 ; 堀 正太郎:植物学雑 6(59):35, 1892(明 25)

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):257, 1928(昭 3)

[備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照

斑葉病 han'yo-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis japonica (Sydow) Steyaert [*Pestalotia japonica* Sydow]

安田 篤:植物学各論隠花部:551, 1911(明 44) ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

††††

Botryosphaeria dothidea (Mougeot) Cesati & De Notaris

Katamoto, K.:Journ. Jap. Bot. 41(11):329, 1966

ランソネス

Langsat

Lansium domesticum Jacq.

(特用作物)

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

小林享夫:日菌報 22(3):301, 1981

[備考] フィリピン

センダン(梅檀, 棟)

Chinaberry

Melia azedarach L. var. *subtripinnata* Miq.

(広葉樹)

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Pseudomonas meliae Ogimi 1981

大宜見朝栄:琉大農学術報 24:497, 1977

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora subsessilis (Sydow & P. Sydow) Deighton [*Cercospora subsessilis* Sydow & P. Sydow, *Cercospora leucosticta* sensu Fukui non Ellis & Everhart]

出田 新:続日本植物病理学(下):995, 1926(大 15); 福井武治:農学会報 166:377, 1916(大 5); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):75, 1960; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):257, 1928(昭 3)

[備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照

そうか病* soka-byo Spot anthracnose (斑点病)

Sphaceloma meliae Bitancourt & Costaneto

Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 6(2):52, 1965

斑点病 hanten-byo *Cercospora* leaf spot

Cercospora meliae Ellis & Everhart

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):64, 1960

べっこうたけ病* bekkotake-byo Butt rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタケ

讃井孝義:森林防疫 31(2):102, 1982; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989

幹心腐病 miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Phellinus fastuosus* (Léveillé) S. Ahmad [*Cryptoderma fastuosum* (Léveillé) Imazeki, *Fomes fastuosus* Léveillé, *Pyropolyporus fastuosus* (Léveillé) Murrill] センダンサルノコシカケ

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):511, 1919(大 8); 今関六也:植研雑 16(10):583, 1940(昭 15); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):586, 1992

(2) *Porodaedalea aulaxina* (Bresàdola) Aoshima [*Cryptoderma mcgregorii* (Bresàdola) Imazeki] ツクシサルノコシカケ

青島清雄:植物防疫 29(8):328, 1975

†**幹心腐病*** miki-shingusare-byo Stem heart rot (立枯病)

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Fomes lamaensis* (Murrill) Saccardo & Trotter]

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査報告 4):86, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。 *Phellinus noxius* (Corner) Cunningham との異同の検討を要する

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

†**赤衣病** akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3)
[備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照

†褐色こややく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease
Septobasidium acaciae Sawada

澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):410, 1919(大8); 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(19):217, 1914(大3)
[備考] 台湾

†こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot
Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ
澤田兼吉:台湾博物学会報 24(135):450, 1934(昭9)
[備考] 台湾。病原菌の異名はボブラ類こふきたけ病参照

†苗疫病 nae-eki-byo Phytophthora rot
Phytophthora sp.
田中 潔:森林防疫 35(2):24, 1986
[備考] タイ

†根株心腐病 nekabu-shingusare-byo Butt rot
Rigidoporus lineatus (Persoon) Ryvarden [*Rigidoporus zonalis* (Berkeley) Imazeki] スルメタケ
澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):110, 1959
[備考] 台湾。病原菌の異名はキリ根株心腐病参照

オオバマホガニイ
Large leaf mahogany
Swietenia macrophylla King
(広葉樹)

マホガニイ Mahogany *Swietenia mahagoni* Jacq.

†がんしゅ病 ganshu-byo
Nectria swieteniae-mahogani C.C. Chen
上山昭則:日植病報 41(1):92, 1975
[備考] 台湾。オオバマホガニイ

†茎枯病 kukigare-byo Stem rot, Callar rot
Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard, *Botryodiplodia* sp.]
小林享夫:熱帯林業 50:23, 1978; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(3):307, 1981; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):593, 1992
[備考] フィリピン。オオバマホガニイ

†白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
小林享夫:熱帯林業 50:23, 1978
[備考] フィリピン。オオバマニガニイ。病原菌の異名はユッカ白絹病参照

†苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off, Root rot

(1) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

小林享夫:熱帯林業 50:22, 1978 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:150, 1988

[備考] フィリピン。オオバマホガニイ

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

小林享夫:熱帯林業 50:22, 1978

[備考] フィリピン。オオバマホガニイ

†白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:117, 1988

[備考] フィリピン

†植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Helicotylenchus sp. ラセンセンチュウの1種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン。オオバマホガニイ

ツヅラフジ科 Menispermaceae

アオツヅラフジ(カミエビ)
Snailseed, Moonseed
Cocculus trilobus (Thunb.) DC.
(特用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus
ウイルス (未同定)
土崎常男ら:植物防疫 23(1):6, 1969

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病)
Erysiphe pseudolonicerae (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera pseudolonicerae* (Salmon) Blumer, *Microsphaera alni* (de Candolle) G. Winter var. *pseudolonicerae* E.S. Salmon, *Microsphaera penicillata* (Wakkrit) Lévêillé var. *pseudolonicerae* Saccardo & Trottey, *Microsphaera alni* auct. jap.]
吉永虎馬:植物学雑誌 25(299):491, 1911(明 44); 本間ヤス:北大農紀要 38(3):393, 1937(昭 12); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012

小角斑病 sho-kakuhan-byo (葉すす病)
Cercospora cocculi Sydow [*Cercospora cocculi* Sawada]
澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):118, 1943(昭 18); 香月繁孝:植研雑誌 30(12):372, 1955; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):51, 1960

††††
†*Cercospora menispermi* Ellis & Holway [*Cercosporiopsis menispermi* (Ellis & Holway) Miura]
原 攝祐:東亜菌類誌 静岡県農会報 363:49, 1928(昭 3); 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:528, 1928(昭 3)
[備考] 中国東北部

††††
Cercospora trilobi Chupp
香月繁孝:日菌報別冊 1:46, 1965

††††
Zygophiala jamaicensis E.W. Mason
那須英夫・久能 均:日菌報 28(2):212, 1987

コウモリカズラ
(Menispermum)
Menispermum dauricum DC.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病)
(1) *Erysiphe menispermi* (Howe) U. Braun & S. Takamatsu var. *dahurica* (U. Braun & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera menispermi* Howe var. *dahurica* U. Braun & Y. Nomura, *Microsphaera* sp.]
関 省吾:新潟農林研究 13:11, 1961; 丹田誠之助ら:東農大農学集報 22(1):21, 1977; Braun, U.:Mycotaxon 22:88, 1985; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):219, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012
(2) *Microsphaera pseudolonicerae* (Salmon) Blumer [*Microsphaera pseudolonicerae* (Salmon) Homma]

澤田兼吉:林試研報 50:122, 1951 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):215, 1988

角斑病 kakuhan-byo (紫黒角斑病)

Septoria menispermi Thümen

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:451, 1933(昭8) ; 澤田兼吉:林試研報 105:63, 1958

††††

†*Cercospora menispermi* Ellis & Holway [*Cercosporiopsis menispermi* (Ellis & Holway) Miura]

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:528, 1928(昭3)

[備考] 中国東北部

††††

†*Microsphaera pseudolonicerae* (Salmon) Blumer [*Microsphaeraalni* (Wallroth) Salmon]

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):39, 1914(大3)

[備考] 中国東北部

††††

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸学術報, 自然科学 1:93, 1950

ツヅラフジ

(*Sinomenium*)

Sinomenium acutum (Thunb.) Rehd. & Wils.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe sinomenii (Y.N. Yu) U. Braun [*Microsphaera menispermi* Howe var. *sinomenii* (Y.N. Yu) U. Braun]

大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):219, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012

タマザキツヅラフジ

(*Stephania*)

Stephania cephalantha Hayata

(特用作物)

暗点病 anten-byo

Phyllosticta stephaniae Sawada

澤田兼吉:台北農林学会報 7(1):25, 1943(昭18) ; 平山重勝:国立衛試彙報 66:53, 1948

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

高松 進ら:日菌報 19(1):67, 1978

[備考] ハスノハカズラ (*S. japonica*)

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Microsphaeraalni (Wallroth) Salmon

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:84, 1977

[備考] 台湾。ハスノハカズラ (*S. japonica*) にも発生

†褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Phyllosticta kotoensis Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):112, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。コウトウツヅラフジ (*Sinomenium sasakii*)

ハスノハカズラ

(Stephania)

Stephania japonica (Thunb.) Miers

(広葉樹)

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal emend. Snyder & Hansen

鍵渡徳次:関東東山病虫研報 33:163, 1986

[備考] タマザキツヅラフジ(*S. cepharantha*)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe stephaniae Tanda & Tas. Fukuda

Tanda, S.:Mycoscience 35(1):49, 1994 ; 丹田誠之助:日菌報 35(1):74, 1994

[備考] タマザキツヅラフジ

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Imazekia ryukyuensis Tak. Kobayashi & Y. Kawabe

小林享夫・河辺祐嗣:森林防疫 40(12):223, 1991 ; 小林享夫・河辺祐嗣:熱帯農業 36(3):201, 1992

[備考] 接種試験未了

アンタワリ

Antawari

Tinospora crispa (L.) Hook. f. & Thoms.

(広葉樹)

†白かび斑点病 shirokabi-hanten-byo White powdery spot

Cercospora dioscoreophylli (Hennings) Deighton

小林享夫ら:日植病報 59(3):292, 1993

[備考] インドネシア

チ ョ ウ チ ン ゴ ケ 科 Mniaceae

ツルチ ョ ウ チ ン ゴ ケ

Plagiomnium maximoviczii (Lindb.) T.J.Kop.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

クワ科 Moraceae

パンノキ(アンチポロ)

Bread nut tree

Artocarpus blancoi (Elm.) Merr.

(特用作物)

†Cercospora leaf spot

Cercospora artocarp Sydow & P. Sydow

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:128, 1988

[備考] フィリピン。病名および接種試験未了

パラミツ(ジャックフルーツ, ナガミパンノキ)

Jackfruit

Artocarpus heterophyllus Lamarck

(果樹)

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus stolonifer* (Ehrenberg) Vuillemin]

佐藤豊三:東京農試研報 20:21, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987

コウゾ(楮)

Paper mulberry

Broussonetia kazinoki Sieb.

(特用作物)

焼枯細菌病 yakigare-saikin-byo Bacterial blight (細菌病, 斑点病)

Pseudomonas syringae pv. *broussonetiae* Takahashi, Nishiyama & Sato 1996

渡邊龍雄:繊維作物病学:209, 1947 ; 高橋幸吉ら:日植病報 49(3):405, 1983 ; 高橋幸吉ら:日植病報 62(1):17, 1996

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病, 裏白渋病)

Phyllactinia broussonetiae-kaempferi Sawada [*Phyllactinia moricola* (Hennings) Homma]

本間ヤス:北大農紀要 38(3):408, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):263, 1988

[備考] ツルコウゾ (*B. kaempferi*) にも発生

枝枯病 edagare-byo (斑点病)

Gibberella baccata (Wallroth) Saccardo [*Fusarium lateritium* Nees]

安田 篤:植物学各論隠花部:579, 1911(明 44) ; 堀 正太郎:庭木の病虫害:66, 1929(昭 4)

[備考] カジノキ (*B. papyrifera*) にも発生

かさぶた病* kasabuta-byo (瘡痂病)

Elsinoë broussonetiae Kurosawa & Katsuki

黒澤英一・香月繁孝:日植病報 21(1):13, 1956

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5) ; 山本和太郎・三宅 晶:植物防疫 10(3):110, 1956
[備考] カジノキにも発生。病原菌の異名はクワ褐色こうやく病参照

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

渡邊龍雄:繊維作物病学:210, 1947

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

黒粒枝枯病* kurotsubu-edagare-byo (黒粒性枝枯病, 芽枯病)

Stylodothis puccinioides (de Candolle) Arx & E. Müller [*Dothidea sambuci* (Persoon) Fries]

原 攝祐:植物学雑 27(314):124, 1913(大 2) ; 伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:176, 1960

紅粒がんしゅ病* koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 枝枯病, 紅粒性枝枯病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries [*Tubercularia vulgaris* Tode]

出田 新:実用植物病理学:170, 1901(明 34) ; 伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:172, 1960

[備考] カジノキにも発生

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:325, 1910(明 43) ; 山本和太郎・三宅 晶:植物防疫 10(3):110, 1956

[備考] カジノキにも発生。病原菌の異名はクワ灰色こうやく病参照

斑紋病 hammon-byo

Phyllosticta broussonetiae Hori

鶴田章逸:病虫雑 2(12):1041, 1915(大 4)

[備考] 山本和太郎・前田巳之助 (兵庫農大研報農生編 4(2):47, 1960) および香月繁孝 (日菌報別冊 1:75, 1965) は *Cercospora broussonetiae* Chupp & Linder による斑紋病を提案したが, 国内発生は疑問

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne suginamiensis Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] *M. mali* Itoh *et al.* として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された。カジノキにも発生

†裏うどんこ病* ura-udonko-byo (裏白渋病, うどんこ病)

Ovulariopsis broussonetiae-papyriferae Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業報 49:63, 1930(昭 5) ; 澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾菌類調査報告 6):86, 1933(昭 8)

[備考] 台湾。カジノキ

†さび病 sabi-byo

(1) *Kuehneola fici* (Castagne) E.J. Butler

藤黒與三郎:台湾博物会報 19:7, 1914(大 3)

[備考] 台湾。カジノキ

(2) *Uredo broussonetiae* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):134(昭 18)

[備考] 台湾。カジノキ

††††

Nectria bolbophylli Hennings

原 攝祐:植物学雑 27(314):124, 1913(大 2)

[備考] 調査を要する

メキシコゴムノキ

(Castillosa)

Castillosa elastica Cerv.

(広葉樹)

†**円星病** maruhoshi-byo

Cercospora castillosae Sawada ex Goh & W.H. Hsieh [*Cercospora castilloae* Sawada (nom. inval.)]

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):167, 1943(昭 18) ; Goh, T. K. & Hsieh, W. H.:Trans. mycol. Soc. R. O. C. 2(2):126, 1987

[備考] 台湾

カカツガユ

Cudrania cochinchinensis Kudo & Masam. var. *gerontogea* Kudo & Masam.

(広葉樹)

†**さび病** sabi-byo Rust (銹病)

Uredo cudraniae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):137, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†**葉ぶくれ病** habukure-byo (腫葉病)

Hymenopsis cudraniae Massee

澤田兼吉:台湾博物学会報 4(15):75, 1914(大 3)

[備考] 台湾

ハリグワ

Osage orange

Cudrania tricuspidata (Carr.) Bur.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo sinensis Trotter

Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:15, 1955

[備考] カカツガユ(*Cudrania cochinchinensis* var. *gerontogea*)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne suginamiensis Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979

[備考] *M. mali* Itoh et al. リンゴネコブセンチュウとして記録されたが後に本種に訂正された(Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984)

クワクサ類

(Fatoua)
Fatoua spp.
(野草)

クワクサ *F. villosa* (Thunb.) Nakai

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew

Podosphaera pseudofusca (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu

[*Sphaerotheca pseudofusca* U. Braun]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:32, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012

根こぶ線虫病* *nekobu-senchu-byo* Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] クワクサ

ベンガルボダイジュ
(Ficus)
Ficus benghalensis L.
(広葉樹)

南根腐病 *minami-negusare-byo* Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

イチジク(無花果)
Fig
Ficus carica L.
(果樹)

ウイルス病 *virus-byo* Virus

(1) Fig leaf mottle-associated virus 1 (FLMaV-1)

草野成夫ら:日植病報 80(4):301, 2014

[備考] 戻し接種なし

(2) Fig leaf mottle-associated virus 2 (FLMaV-2)

草野成夫ら:日植病報 80(4):301, 2014

[備考] 戻し接種なし

(3) Fig badnavirus-1 (FBV-1)

草野成夫ら:日植病報 80(4):301, 2014

[備考] 戻し接種なし。潜在感染の可能性

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Fig mosaic virus (FMV) イチジクモザイクウイルス

小室康雄:植物防疫 16(6):255, 1962; 土崎常男ら:日植病報 32(5):319, 1966; 難波成任ら:日植病報 45(1):85, 1979; Ishikawa, K. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 78(2):136, 2012

[備考] 接ぎ木伝染性。戻し接種は未成功

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* (Smith & Townsend) Duggar]

原 攝祐:果樹病概論:345, 1916(大5); 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:51, 1927(昭2); 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭8); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease, Rubellosis

Erythriscium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]

藤黒與三郎:植物学雑 32(384):358, 1918(大 7); 原 攝祐:樹病学各論:184, 1923(大 12)

疫病 eki-byo White powdery rot (白腐病)

Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler [*Phytophthora carica* (Hara) Hori, *Phytophthora fici* Hori]

原 攝祐:農業国 9(3):24, 1915(大 4); 堀正太郎:病虫雑 2(11):930, 1915(大 4); 桂 琦一・山本弘平:京府大学報・農 21:24, 1969

枝枯病 edagare-byo Branch and twig canker (胴枯病, 癌腫病)

Libertella ulcerata Massee

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44); 原 攝祐:果樹病害論:430, 1916(大 5)

黄斑病 ohan-byo

Fusarium roseum Link

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44); 村田壽太郎:病虫雑 2(2):147, 1915(大 4)

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Brown rot

Phytophthora citrophthora (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian

瀧元清透:病虫雑 28(3):184, 1941(昭 16); 桂 琦一・山本弘平:京府大学報 農 21:24, 1969

褐斑病 kappan-byo Leaf spot, Rusty leaf (角斑性葉枯病)

Cercosporidium bolleanum (Thümen) X.J. Liu & Y.L. Guo [*Cercospora bolleana* (Thümen) Spegazzini]

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44); 村田壽太郎:病虫雑 2(2):147, 1915(大 4); 原 攝祐:日本菌類目録:46, 1954

株枯病 kabugare-byo Ceratocystis canker (萎凋病)

Ceratocystis ficiicola Kajitani & Masuya [*Ceratocystis fimbriata* Ellis & Halsted]

加藤喜重郎・宮川寿之:日植病報 46(1):97, 1980; 加藤喜重郎ら:日植病報 47(3):373, 1981; 加藤喜重郎ら:植物防疫 36(2):55, 1982; Kajitani, Y. & Masuya, H.: Mycoscience 52(5):349, 2011; 森田剛成ら:日植病報 80(4):262, 2014

[備考] Kajitani & Masuya (2011) は本病菌を新種として記載した。森田ら(2014)は本病菌が萎凋病を起こすことを実験的に証明した

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

原 攝祐:果樹病害論:429, 1916(大 5)

くもの巣病* kumonosu-byo (枝枯病)

Corticium laetum P. Karsten

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(1):55, 1915(大 4)

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot (水腐病)

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus nigricans* Ehrenberg]

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44) ; 松尾綾男:関西病虫研報 13:70, 1971

黒枯病 kurogare-byo

Rosellinia echinata Massee

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44)

黒葉枯病 kuro-hagare-byo Black leaf blight, Branch canker, Fruit rot

Botryosphaeria parva Pennycook & Samuels [*Neofusicoccum parvum* (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips, *Fusicoccum aesculi* Corda]

井上幸次ら:日植病報 74(3):180, 2008 ; 菊原賢次・井上幸次:日植病報 77(3):165, 2011 ; 菊原賢次:日植病報 78(3):188, 2012

こうじかび病 koji-kabi-byo Aspergillus blight

Aspergillus sp.

唐津達彦ら:日植病報 69(1):64, 2003

酵母腐敗病 kobo-fuhai-byo Souring (果実腐敗病)

(1) *Candida sorbosa* L.R. Hedrick & Burke ex Uden & Buckley

(2) *Candida* sp.

(3) *Pichia kluyveri* Bedford

新田浩通ら:日植病報 61(6):635, 1995 ; 細見彰洋・草刈眞一:関西病虫研報 37:9, 1995

さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, 銹病)

Phakopsora nishidana S. Ito [*Kuehneola fici* (Castagne) E.J. Butler, *Phakopsora fici* Nishida, *Uredo fici* Castagne, *Uredo sawadae* S. Ito, *Uredo sawadae* S. Ito & Otani ex Ito & Murayama]

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44) ; Ito, S. & Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 15:117, 1938 ; 伊藤誠哉・大谷吉雄:植物及動物 9(5):657, 1941(昭 16) ; 藤黒與三郎:植物学雑 28(334):423, 1914(大 3) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告 2):100, 1922(大 11) ; 島袋俊一:琉大農家政工学術報 8:116, 1961

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Cerotelium fici (Butler) Arthur

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告 2):100, 1922(大 11) ; Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Bot. Mag. Tokyo 49(577):19, 1935

[備考] 台湾

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Corticium centrifugum* (Léveillé) Bresàdola, *Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne, *Hypochnus solani* Prillieux & Delacroix]

藤黒與三郎:植物学雑 28(334):423, 1914(大 3) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(1):55, 1915(大 4) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:282, 1927(昭 2)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux [*Dematophora necatrix* Hartig]

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(1):55, 1915(大 4)

そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma caricae Ikata & Katsuki

鑄方末彦:果物月報 308:13, 1937(昭 12) ; 黒沢英一・香月繁孝:植物防疫 9(9):368, 1955

立枯病 tachigare-byo (根腐病)

Ozonium omnivorum Shear

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(1):55, 1915(大 4)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病)

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum caricae* F. Stevens & J.G. Hall, *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Glomerella rufomaculans* (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk]

徳淵永治郎:島根農会報 140:9, 1909(明 42) ; 堀正太郎:日園雑 22(10):34, 1910(明 43) ; 今井四郎:日園雑 25(8):34, 1913(大 2) ; 逸見武雄:北大農紀要 9:1, 1920(大 9)

胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker

Phomopsis cinerascens (Saccardo) Bubák

鑄方末彦:果物月報 262(3):7, 1934(昭 9)

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

富樫浩吾:果樹病学:227, 1950

軟腐病 nampu-byo Soft rot

Rhizopus sp.

桂 琦一ら:関西病虫研報 12:86, 1970(昭 45)

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (水腐病, 褐色腐敗病)

Botrytis cinerea Persoon

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(2):147, 1915(大 4) ; 三好孝典・橘 泰宣:日植病報 60(6):786, 1994

[備考] 梶谷裕二ら (日植病報 59(6):718, 1993) は *Botrytis* sp. による結果母枝の枝枯れ症状を報告しているが, 本菌との異同は明らかでない

葉枯病 hagare-byo Leaf blotch (斑点病)

Cercospora fici Heald & F.A. Wolf [*Cercospora fici-caricae* Sawada, *Cercosporina fici-caricae* (Sawada) Hara]

村田壽太郎:病虫雑 2(2):147, 1915(大 4) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告 2):151, 1922(大 11)

[備考] 小林享夫・渡嘉敷唯助 (日植病報 60(3):338, 1994) は, 日本産イチジク菌 (*C. fici*) が台湾産イチジク葉枯病菌 (*Pseudocercospora fici-caricae* (Sawada) Goh & Hsieh) とは明らかに異なることを指摘しており, *C. fici* の再同定と病名の再検討が必要と思われる

実腐病 migusare-byo (黒腐病)

Macrophoma sp.

安部卓爾・葉 貞聡:関西病虫研報 2:52, 1959 ; 安部卓爾・葉 貞聡:京府大学報・農 12:57, 1960

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

富樫浩吾:果樹病学:348, 1950

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus erythrinae* (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

[備考] 上記種との異同は不明

(3) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの1種

吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

(4) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

(5) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

(6) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

[備考] 上記種との異同は不明

(7) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

(8) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの1種

吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根腐病)

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:86, 1961 ; 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

(2) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(3) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] *Meloidogyne mali* Itoh *et al.* として報告されたが、本書の記載に際し訂正された

(4) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957 ; 大島康臣:九病虫研会報 9:69, 1963

[備考] 上記の種との異同は不明

††細菌病 saikin-byo Bacterial disease

Xanthomonas campestris pv. *fici* (Cavara 1905) Dye 1978 [*Bacterium fici* Cavara, *Xanthomonas campestris* pv. *fici* (Cavara 1905) Dye 1978]

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44) ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:541, 1941(昭 16) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:250, 1949

[備考] イタリア

††がんしゅ病 ganshu-byo (癌腫病)

Tubercularia fici Edgerton

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(1):55, 1915(大 4)

[備考] アメリカ

††黒穂病 kuroho-byo

Ustilago fici Reichardt

西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明 44)

[備考] 小アジア

††††

Botryosphaeria sp.

加藤喜重郎・宮川寿之:日植病報 46(1):97, 1980

[備考] 胴枯れ, 枝枯れ症状発現部位から分離

インドゴムノキ

Indian rubber tree

Ficus elastica Roxb.

(広葉樹)

枝枯病 edagare-byo Dieback, Canker

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc

佐藤豊三:日植病報 56(3):388, 1990

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

矢口行雄ら:日植病報 72(1):51, 2006

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose (輪斑病)

Colletotrichum elasticae Tassi

伊藤一雄:樹病学大系 2:72, 1973 ; 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):157, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon

瀧元清透:病虫雑 24(10):744, 1937(昭 12)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

澤田兼吉:台湾農事報 129:609, 1917(大 6)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

†††植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Heterodera fici* Kimianova シストセンチュウの 1 種

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):310, 1960

[備考] オランダ産カシワバゴムノキ

(2) *Heterodera* sp. シストセンチュウの 1 種

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):310, 1960

[備考] オランダ産コバノゴムビワ

††根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):310, 1960

[備考] オランダ, アメリカ産コバノゴムビワ・カシワバゴムノキ・*F. radicus*

イヌビワ(犬枇杷, 天仙果)

Wild fig

Ficus erecta Thunb.

(広葉樹)

ガジュマル(榕樹) *Ficus microcarpa* L. fil.

アコウ(榕樹) *Ficus superba* (Miq.) Miq. var. *japonica* Miq.

ウイルス病 virus-byo Virus disease

Tobacco mosaic virus (TMV) タバコモザイクウイルス

土崎常男ら:日植病報 33(5):316, 1967

[備考] イヌビワ。原株はモザイク症状

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas ficuserectae Goto 1983

後藤正夫ら:植物防疫 35:272, 1981 ; 市川一行ら:日植病報 47(1):134, 1981 ; Goto, M.:Int. Syst. Bacteriol. 33:546, 1983

[備考] イヌビワ

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:81, 1977 ; 野村幸彦:日菌報 7(2-3):349, 1966

[備考] イヌビワ

褐色円星病 kasshoku-maruhoshi-byo

Cytophoma sp.

小林享夫:森林防疫 45(1):10, 1996

[備考] 接種試験未了。ガジュマル

黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (斑葉病, 黒点病)

(1) *Phyllachora ficuum* Niessl [*Auerswaldia microthyrioides* Hennings, *Trabutiella microthyrioides* (Hennings) Theissen & Sydow, *Catacauma nipponicum* Sydow & P. Sydow]

Katamoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(1):37, 1981 ; 吉永虎馬:植物学雑誌 19(217):29, 1905(明 38)

[備考] イヌビワ

(2) *Phyllachora fici-wightianae* Sawada (黒脂斑点病)

澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):291, 1919(大 8); 澤田兼吉:台湾博物学会報 6(24):77, 1916(大 5) ; Katsuki, S.:Journ. Jap. Bot. 28(9):280, 1953

[備考] アコウ

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot

Phyllachora spinifera (P. Karsten & Hariot) Höhnelt

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:170, 1988

[備考] フィリピン。 *F. odorata*

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Cerotelium fici* (Butler) Arthur

Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.: Bot. Mag. Tokyo 49(577):23, 1935(昭 10) ; Shimabukuro, S.: Sci. Bull. Div. Agri., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 8:49, 1961

[備考] タイワンイヌビワ(*F. formosana*)・ケイヌビワ(*F. erecta* var. *yamadorii*)・ハマイヌビワ(*F. vasculosa*)・アコウ

(2) *Phakopsora fici-erectae* S. Ito & Y. Otani ex S. Ito & Murayama

伊藤誠哉・大谷吉雄:植物及動物 9:663, 1941(昭 16) ; 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18:85, 1949

[備考] イヌビワ・ハマイヌビワ・ホソバイヌビワ(*F. erecta* var. *sieboldii*)・ギランイヌビワ(*F. konishii*)・アカメイヌビワ(*F. miyagii*)・ケイヌビワ・コウトウイヌビワ(*F. harlandii* var. *kotoensis*)・タイワンイヌビワ・オオバイヌビワ(*F. septica*)

(3) *Phakopsora nishidana* S. Ito [*Phakopsora fici* Nishida]

Ito, S. & Homma, Y.: Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 15(2):117, 1938(昭 13)

[備考] イヌビワ・ケイヌビワ・ギランイヌビワ・タイワンイヌビワ

(4) *Uredo sawadae* S. Ito & Otani ex Ito & Murayama [*Uredo fici-nervosae* Sawada]

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):127, 1943(昭 18) ; 伊藤誠哉・大谷吉雄:植物及動物 9:662, 1941(昭 16) ; Ito, S. & Murayama, D.: Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17:171, 1943 ; Shimabukuro, S.: Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 8:116, 1961

[備考] カシワバイヌビワ・アコウ

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 27:47, 1985

[備考] シロガジュマル(*F. benjamina*)

(2) *Gloeosporium* sp.

逸見武雄:札幌農林学会報 11(50):291, 1919(大 8)

[備考] イヌビワ・ハマイヌビワ。澤田兼吉 (台中農林学会報 7(2):113, 1943) は台湾で *Gloeosporium fici-septicae* Sawada によるトキワイヌビワ炭疽病 (円斑病) を報告したが、分類学的所属は検討を要する

葉枯病 hagare-byo

Cercospora fici Heald & F.A. Wolf

周藤靖雄:日林関西支講 38:358, 1987

†葉枯病 hagare-byo

Phyllosticta fici-wightianae Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):112, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。アコウ

円斑病 maruhan-byo

Mycosphaerella fici-wightianae Sawada [*Cercospora* sp.]

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):33, 1943(昭 18) ; 小林享夫:森林防疫 24(2):28, 1975

[備考] アコウ

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

澤田兼吉:台湾農事報 129:609, 1917(大 6)

[備考] ガジュマル。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

輪斑病 rinhan-byo Zonate leaf spot

Acrospermum viticola Ikata [*Gonatophragmium mori* (Sawada) Deighton]
Takahashi, K. & Teramine, T.: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 52(3):406, 1986
[備考] イヌビワ

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze
末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:50, 1950
[備考] イヌビワ・アコウ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Criconemoides sp. ワセンチュウの1種
長谷川 仁・三枝敏郎:植物防疫 22(10):450, 1968
[備考] 属名は再検討を要する

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]
澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3)
[備考] 台湾。ガジュマル

†赤円星病 aka-maruhoshi-byo

Kmetia fici Sawada
澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):120, 1943(昭18)
[備考] 台湾。ハマイヌビワ (*F. cerasicarpa*)

†裏黒やに病 ura-kuroyani-byo (裏黒脂病)

Phyllachora fici-septicae Sawada
澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):121, 1943(昭18)
[備考] 台湾。トキワイヌビワ

†表黒点病 omote-kokuten-byo

Phyllachora fici-beecheyanae Sawada
澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):121, 1943(昭18)
[備考] 台湾。ケイヌビワ

†角斑病 kakuhan-byo

(1) *Cercospora cladophora* Sawada
澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):118, 1943(昭18)
[備考] 台湾。トキワイヌビワ (*F. septica*)
(2) *Cercospora fici-harlandii* Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):106, 1948(昭18)
[備考] 台湾。テリハイヌビワ (*F. harlandii*)

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。アコウ・トキワイヌビワ・ベンガルボダイジュ (*F. bengalensis*)

†褐色円斑病 *kasshoku-maruhan-byo* (褐色円星病)

Glomerella fici-beecheyanae (Sawada) Yamamoto [*Guignardia fici-beecheyanae* Sawada]

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):123, 1943(昭 18) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生篇 5(1):4, 1961

[備考] 台湾。ケイヌビワ (*F. beecheyana*)

†環紋葉枯病* *kammon-hagare-byo* Zonate leaf spot (白葉枯病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):233, 1959

[備考] 台湾。トキワイヌビワ・アコウ。病菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

†眼点病 *ganten-byo*

Phyllosticta cylindrospora Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):111, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。アコウ

†黒褐色すす病 *kokukasshoku-susu-byo*

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto

山本和太郎:熱帯農学会誌 13:213, 1941(昭 16) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):46, 1953

[備考] 台湾。アコウ・ガジュマル・ベンガルボダイジュ。病菌の異名はクチナシ†黒褐色すす病参照

†すす病* *susu-byo* Sooty mold, Black mildew

(1) *Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow

山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):44, 1953

[備考] 台湾。ガジュマル

(2) *Meliola microtricha* Sydow & P. Sydow

山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):155, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。ケイヌビワ・タイワンイヌビワ・シマダイヌビワ (*F. formosana* f. *shimadai*)

(3) *Neocapnodium tanakae* (Shirai & Hara) W. Yamamoto [*Capnodium tanakae* Shirai & Hara, *Capnodaria tanakae* (Shirai & Hara) Sawada, *Antennella citri* Sawada]

山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):45, 1953

[備考] 台湾。ベンガルボダイジュ

(4) *Scorias communis* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):46, 1953

[備考] 台湾。アコウ・ガジュマル・トキワイヌビワ

†そうか病 *soka-byo* Spot anthracnose (穿孔性斑点病)

Sphaceloma sp. [*Kurosawaia* sp.]

黒澤英一:日植病報 5(2):177, 1935(昭 10)

[備考] 台湾。インドボダイジュ (*F. religiosa*)

†灰色円星病 *haiiro-maruhoshi-byo*

Montagnellina fici Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):125, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。カシワバイヌビワ (*F. nervosa*)

††††斑点性病害 hantensei-byogai

Pseudocercospora sp.

小林享夫・渡嘉敷唯助:日植病報 60(3):338, 1994

[備考] 正式な病名記載なし。イヌビワに発生し、イチジク上の *Cercospora fici* Heald & Wolf に一致するが、イチジクでの病名は再検討を要する

†円星すすかび病* maruhoshi-susukabi-byo (円星病)

Cercospora fici-septicae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):106, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。トキワイヌビワ

†円星病 maruhoshi-byo

Guignardia fici-septicae Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):123, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。トキワイヌビワ

†円紋病 marumon-byo

Physalospora fici-formosanae Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):122, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。タイワンイヌビワ (*F. formosana*)

††††

Macrophoma sycophila (Massee) Saccardo & D. Saccardo var. *corticola* Traverso & Voglino

香月繁孝:植研雑 31(12):371, 1956

[備考] アコウ

††††

†*Phyllosticta ficicola* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):136, 1959

[備考] 台湾。シロガジュマル (*F. cuspidato-caudata*)

イタビカズラ(崖石榴)

(Ficus)

Ficus nipponica Franch. & Savat.

(広葉樹)

粉藻病* konamo-byo Algal powdery spot

Phycopeltis epiphyton Millardet

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大 3)

†環紋葉枯病* kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (白葉枯病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

伊藤武夫:森林防疫ニュース 10(9):178, 1961

[備考] 台湾。病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)

Phyllachora fici-pumilae Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 1):55, 1959

[備考] 台湾。オオイタビ (*F. pumila*)

†すす病 susu-byo Black mildew

Meliola sakahensis W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):420, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。アリサンイタビカズラ (*F. foveolata* var. *arisanensis*)

クワ(桑)

Mulberry

Morus spp.

(特用作物)

シマグワ Mulberry *M. acidosa* Griff., *M. australis* Poir.

カラヤマグワ *M. alba* L.

ヤマグワ *M. bombycis* Koidz.

ログワ *M. latifolia* Poir.

ウイルス病* virus-byo Virus

Mulberry latent virus (MLV) クワ潜在ウイルス

土崎常男:日植病報 42(3):304, 1976

モザイク病 mosaic-byo Mosaic (バイラス病)

Mulberry ringspot virus (MRSV) クワ輪紋ウイルス

遠藤保太郎・倉沢恒夫:蚕糸学雑誌 9(2):115, 1937(昭 12) ; 土崎常男ら:日植病報 37(4):266, 1971 ; 八木田秀幸:埼玉蚕試研報 (39):1, 1987

萎縮病 ishuku-byo Dwarf (バイラス病, 刈縮み)

Phytoplasma ファイトプラズマ

白井光太郎:日本蚕業雑誌 32:1, 1890(明 23) ; 土居養二ら:日植病報 33(4):259, 1967

枝軟腐病* eda-nampu-byo Shoot soft rot (空胴性細菌病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

岡部光波:群馬蚕試要報 33:15, 1956 ; 高橋幸吉・佐藤 守:日蚕雑 47(2):143, 1978

縮葉細菌病 shukuyo-saikin-byo Bacterial blight (黒枯病, 縮葉性細菌病, 細菌性萎縮病, 萎縮性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *mori* (Boyer & Lambert 1893) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium mori* Boyer & Lambert]

堀 正太郎:大日本蚕糸会報 165:9, 1906(明 39) ; 卜蔵梅之丞:病虫雑 1(1-2):29, 1914(大 3) ; 瀧元清透:九大農学芸雑誌 2:317, 1927(昭 2)

立枯細菌病* tachigare-saikin-byo (立枯性細菌病, 細菌病, 立枯病)

病原細菌種名未定

遠藤保太郎・樋口琢磨:蚕業新報 354:822, 1922(大 11) ; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:68, 1955

[備考] 病原細菌種名 *Corynebacterium moricolum* (Yendo & Higuchi) Okabe & Goto は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した。富永・西山 (日植病報 36(5):337, 1970) は本細菌を *Klebsiella* 属であろうと考えている

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]

藤黒與三郎:植物学雑 32:361, 1918(大 7); 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):495, 1919(大 8); 遠藤保太郎:蚕糸学雑 5(2):112, 1932(昭 7)

赤渋病 akashibu-byo Red rust (銹病)

Aecidium mori Barclay

堀 正太郎:農事雑報 2(17), 1900(明 33)

暗斑病 anhan-byo Myrothecium leaf spot

(1) *Myrothecium roridum* Tode

高橋幸吉ら:日植病報 59(1):99, 1993; 高橋幸吉ら:日植病報 60(1):122, 1994

(2) *Myrothecium verrucaria* (Albertini & Schweinitz) Ditmar

村上理都子ら:日植病報 65(6):657, 1999; Murakami, R. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):153, 2005

うすよごれ葉病 usu-yogorecha-byo (淡汚葉病)

Cercospora missouriensis G. Winter [*Cercospora pulvinulata* Saccardo & G. Winter]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):680, 1919(大 8); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):64, 1960

裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, 白渋病, うどんこ病)

Phyllactinia moricola (Hennings) Homma [*Phyllactinia moricola* (Hennings) Sawada, *Phyllactinia suffulta* (Rebentisch) Saccard var. *moricola* Hennings, *Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten]

岩淵平介:桑樹病理学:37, 1901(明 34); 三宅市郎:蚕試報 1(5):308, 1915(大 4); 本間ヤス:札幌博物学会報 11:174, 1930(昭 5)

枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo Sclerotiose (枝枯病, 桑条の菌核病, 菌核, 枝菌核病)

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

岩淵平介:桑樹病理学 42, 1901(明 34); ト蔵梅之丞:病虫雑 (6):567, 1915(大 4)

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

枝枯病 edagare-byo (胴枯病, 腐爛病)

(1) *Camarosporium mori* (Kalchbrenner) Schulzer

三宅市郎:蚕試報 1(5):350, 1916(大 5); 澤田兼吉:林試研報 105:55, 1958

[備考] 三宅は同一文献において *Camarosporium passerina* Saccardo を記載している

(2) *Cryptovalsa protracta* (Persoon) De Notaris

三宅市郎:蚕試報 1(5):325, 1916(大 5); 澤田兼吉:林試研報 53:173, 1952

(3) *Diaporthe medusaea* Nitschke

小林享夫:林試研報 226:75, 1970

(4) *Paradiplodia chinensis* (I. Miyake) Sawada [*Nothopatella chinensis* I. Miyake, *Cytoplea chinensis* Miyake]

三宅市郎:植物学雑 26(303):59, 1912(大 1); 澤田兼吉:林試研報 105:53, 1958

(5) *Rhabdospora curvula* Berlese

白井光太郎:日本菌類目録:86, 1905(明 38); 三宅市郎:蚕試 1(5):350, 1916(大 5)

(6) *Valsa ambiens* (Persoon) Fries

澤田兼吉:林試研報 53:170, 1952

(7) *Valsa ceratosperma* (Tode) Maire [*Cytospora sacculus* (Schweinitz) Gvritschvili]

小林享夫:林試研報 226:106, 1970

(8) *Valsa kitajimana* Tak. Kobayashi

小林享夫:林試研報 226:106, 1970

(9) *Valsa mori* Sawada

澤田兼吉:林試研報 53:171, 1952

[備考] 小林 (林試研報 226:103, 1970) によれば本菌 (9) は *Valsa* 属ではないという

表うどんこ病 omote-udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 表白渋病, 粉病, うどんこ病)

Erysiphe mori (Miyake) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula mori* I. Miyake]

三宅市郎:植物学雑 21(240):1, 1907(明 40) ; 三宅市郎:蚕試報 1(5):307, 1916(大 5) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012

角斑病 kakuhan-byo

Phomopsis morifolia (Berlese) Petrak [*Phoma morifolia* Berlese]

三宅市郎:蚕試報 1(5):338, 1915(大 4) ; 原 攝祐:大日本蚕糸会報 310:19, 1917(大 6)

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown lepra (褐色膏薬病, 膏薬病, 褐色紋羽病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

出田 新:農作物病理学:108, 1901(明 34) ; 堀 正太郎:農作物病学教科書:135, 1913(大 2)

褐色さび病* kasshoku-sabi-byo (褐色銹病)

Uredo morifolia Sawada ex Ito & Murayama

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):392, 1919(大 8) ; 島袋俊一:琉球大農家政工学術報告 8:115, 1961 ; 平塚直秀ら:菌蕈研報 12:66, 1975 ; Hiratsuka, N. *et al.*, (ed.):The rust flora of Japan:1120, 1992

褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo

Sphaceloma mori Kurosawa & Katsuki

香月繁孝:日菌報 6(2):53, 1965

褐斑病 kappan-byo Phloeospora Leaf spot

Phloeospora maculans (Bérenger) Allescher [*Phloeospora kuwaecola* (Y. Endo) Fukui, *Septogloeum mori* Lévêille, Briosi & Cavara]

高橋幸吉ら:日植病報 58(4):538, 1992

株腐病 kabugusare-byo

Phyllotopsis nidulans (Persoon) Singer [*Claudopus nidulans* (Persoon) Peck] キヒラタケ (ウスベニクワタケ)

木村勝太郎:茸類の研究 1(1):9, 1935(昭 10)

株腐朽病 kabu-fukyu-byo Wood decay

(1) *Auricularia polytricha* (Montagne) Saccardo アラゲキクラゲ

高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001

(2) *Flammulina velutipes* (Fries) Singer エノキダケ

木村勝太郎:四国女子大研紀要 20:1, 1977 ; 高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001

(3) *Phellinus ferruginosus* (Schrader) Bourdot & Galzin [*Fuscoporia ferruginosa* (Schrader) Murrill] サビアナタケ

木村勝太郎:原色日本桑樹病害図説:118, 1979 ; 高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001

- (4) *Phellinus linteus* (Berkeley & M.A. Curtis) Teng [*Pyropolyporus yucatanensis* Murrill] メシマコブ
三宅市郎:蚕試報 1(5):301, 1916(大 5) ; 高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001
[備考] 三宅(1916)のメシマコブ学名 *Fomes rimosus* Berkeley は誤同定
- (5) *Phellinus rimosus* (Berkeley) Pilát オオメシマコブ
Imazeki, R.:Bull. Tokyo Sci. Mus. 6:104, 1943(昭 18) ; 高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001
- (6) *Pleurotus ostreatus* (Fries) Quélet ヒラタケ
木村勝太郎:原色日本桑樹病害図説:116, 1979 ; 高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001
- (7) *Schizophyllum commune* Fries スエヒロタケ
木村勝太郎:四国女子大研紀要 20:1, 1977 ; 高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001
- (8) *Trametes hirsuta* (Wulfen) Pilát アラゲカワラタケ
高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001
- (9) *Trametes versicolor* (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ
木村勝太郎:四国女子大研紀要 20:1, 1977 ; 高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001
[備考] クワに発生記録のある材質腐朽菌による病名は、株腐病(*Phyllotopsis nidulans* (Persoon) Singer キヒラタケ) を除き株腐朽病と総称する (高橋幸吉ら:日蚕講要 71:74, 2001)

環紋葉枯病* kammon-hagare-byo *Cristulariella zonate* leaf spot (灰色斑点病, 葉枯性斑点病, 葉菌核病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall, *Sclerotium moricola* Hino, *Sclerotium cinnamomi* Sawada]

日野 巖:宮崎高農学術報告 1:67, 1929(昭 4) ; 鷲尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

[備考] 病原菌の完全世代 *Grovesinia pyramidalis* M.N. Cline, J.L. Crane & S.D. Cline はクワでは未発見である

疑似胴枯病 giji-dogare-byo (疑似胴枯病)

(1) *Cryptovalsa extorris* Saccardo

三宅市郎:蚕糸報 1(5):325, 1916(大 5) ; 遠藤保太郎:桑樹病理学:200, 1927(昭 2)

(2) *Cytoplea chinensis* Miyake

三宅市郎:蚕糸報 1(5):344, 1916(大 5) ; 遠藤保太郎:桑樹病理学:193, 1927(昭 2)

(3) *Fusicoccum mori* Y. Endo

遠藤保太郎:桑樹病理学:191, 1927(昭 2)

(4) *Phoma morearum* Brunaud

三宅市郎:蚕糸報 1(5):338, 1916(大 5) ; 遠藤保太郎:桑樹病理学:191, 1927(昭 2)

(5) *Phoma moricola* Saccardo

三宅市郎:蚕糸報 1(5):305, 1916(大 5) ; 遠藤保太郎:桑樹病理学:190, 1927(昭 2)

(6) *Phoma mororum* Saccardo

三宅市郎:蚕糸報 1(5):337, 1916(大 5) ; 遠藤保太郎:桑樹病理学:191, 1927(昭 2)

(7) *Phoma pyriformis* Briosi & Farnet

三宅市郎:蚕糸報 1(5):339, 1916(大 5) ; 遠藤保太郎:桑樹病理学:191, 1927(昭 2)

(8) *Valsa moricola* Y. Endo

遠藤保太郎:桑樹病理学:198, 1927(昭 2)

[備考] 病名および (2) (4) (5) (7) の病原菌の分類学的所属については検討を要する

紅粒がんしゅ病* koryu-ganshu-byo Coral spot disease (こぶ病, 癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

出田 新:日本植物病理学(上):232, 1911(明 44) ; 高橋幸吉:日蚕関東講要 37:6, 1986

黒褐色すす病* kokukasshoku-susu-byo Blackish brown sooty mold

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto [*Meliola morifolia* Y. Endo]

遠藤保太郎:大日本蚕糸会報 303:12, 1917(大 6) ; 遠藤保太郎:桑樹病理学:124, 1927(昭 2) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Uredo moricola Hennings

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):396, 1919(大 8) ; 島袋俊一:琉球大農家政工学術報告 8, 115, 1961 ; 平塚直秀ら:菌蕈研報 12:66, 1975

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

三宅市郎:蚕試報 1(5):334, 1915(大 4)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot (根朽病)

Rosellinia necatrix Prillieux

野村彦太郎:農事試報告 18:93, 1901(明 34) ; 堀 正太郎:農作物病学:265, 1903(明 36)

すす点病 susuten-byo Fly speak

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫:岡山農試臨時報告 80:19, 1990

すす斑病 susuhan-byo (煤斑病)

Pseudocercospora mori (Hara) Deighton [*Cercospora mori* Hara]

原 攝祐:大日本蚕糸会報 27(314):227, 1918(大 7) ; 山本和太郎・田巳之助:兵庫農大研報 4(2):65, 1960

[備考] Deighton, F.C.:Mycol. Pap. 140:148, 1976

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

(1) *Calyptra mori* (Y. Endo) Hara [*Dimerosporium mori* Yamamoto, *Dimerium mori* Y. Endo]

遠藤保太郎:大日本蚕糸会報 26(303):286, 1917(大 6) ; 原 攝祐:日本害菌学:151, 1936(昭 11) ; 勝本 謙:日菌報 17:282, 1976

(2) *Dimerina moricola* (Hara) Hara [*Dimerosporium moricolum* Hara]

原 攝祐:大日本蚕糸会報 314:224, 1918(大 7) ; 原 攝祐:日本害菌学:143, 1936(昭 11)

(3) *Schenckiella mori* Y. Endo & Higuchi

遠藤保太郎:桑樹病理学 130, 1927(昭 2)

[備考] 原 (日本害菌学:153, 1936) は本菌を *Phragmocapnias mori* (Yendo & Higuchi) Hara の異名としたが, 原記載と異なるので元のままとした

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (赤葉枯病)

(1) *Colletotrichum boninense* sensu lato [*Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病報 81(3):205, 2015

[備考] 子のう胞子形成が確認されている

(2) *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove [*Colletotrichum morifolium* Hara]

原 攝祐:実用作物病理学:148, 1925 ; 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995

[備考] 本病菌に *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove f. *morifolium* (Hara) Yamamoto を充てる意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:51, 1960)

(3) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防

疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(4) *Colletotrichum morina* Hara

原 攝祐:日本菌類目録:400, 1954

(5) *Colletotrichum tropicale* E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [*Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017

胴枯病 dogare-byo Dieback, 'Dôgare' blight (寒枯, 桑焼, 鮫肌, 土蒸, 春枯)

Diaporthe nomurai Hara [*Diaporthe nipponica* (Nomura) Hara, *Phoma nipponia* Nomura, *Phomopsis nipponia* (Nomura) Hara]

堀 正太郎:農業世界 1(1):58, 1906(明 39) ; 原 攝祐:大日本蚕糸会報 273:16, 1914(大 3) ; 原 攝祐:大日本蚕糸会報 310:906, 1917(大 6)

苗腐敗病 nae-fuhai-byo *Rhizopus* rot

Rhizopus oryzae Went & Prinsen Geerligs

Yoshida, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):291, 2001

ならたけ病* naratake-byo *Armillaria* root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten, *Armillaria mellea* (Fries) Quélet, *Agaricus melleus* Vahl]

野村彦太郎:東京蚕業講習所蚕糸報告 19:443, 1902(明 35)

根こぶ病* nekobu-byo Clubroot (粘菌病)

Plasmodiophora mori Y. Endo

遠藤保太郎・今村良郷:日蚕雑 2(1):1, 1930(昭 5) ; 高橋幸吉:日蚕関東講要 37:6, 1986

灰色かび病 haiiro-kabi-byo (ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon [*Botrytis vulgaris* Fries]

藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大 3) ; 遠藤保太郎:桑樹病理学:109, 1927(昭 2)

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Plaster (灰色膏薬病, 膏薬病, 癰, 癰病, 黒色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* auct. jap. non Patouillard]

白井光太郎:最新植物病理学:356, 1903(明 36) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):416, 1919(大 8)

斑紋病 hammon-byo (角形斑点病)

Leptosphaeria yulan Saccardo

原 攝祐:日本園芸雑誌 29(10):1, 1917(大 6) ; 原 攝祐:大日本蚕糸会報 314:226, 1918(大 7)

変形菌病* henkeikin-byo Slime mold disease (粘菌病)

(1) *Physarum compressum* Albertini & Schweinitz ユガミモジホコリ

木場三朗:作物病害の診断と防除:347, 1955

(2) *Physarum cinereum* (Batsch) Persoon ハイイロフクロホコリ

高橋幸吉ら:日植病報 53(1):119, 1987

(3) *Physarum gyrosum* Rostafinskiy クダマキフクロホコリ

高橋幸吉ら:日植病報 53(1):119, 1987

(4) *Didymium squamulosum* (Albertini & Schweinitz) Fries シロエノカタホコリ

高橋幸吉ら:日植病報 53(1):119, 1987

(5) *Stemonitis herbatica* Peck クサムラサキホコリ

高橋幸吉ら:日植病報 53(1):119, 1987

[備考] 和名は萩原・山本・伊沢:日本変形菌類図鑑, 1995 による

巻枯病 makigare-byo Leaf burn (葉枯病, 捲枯病)

Hormodendrum mori Y. Endo

遠藤保太郎:大日本蚕糸会報 335:6, 1919(大 8); 原 攝祐:実験作物病理学:329, 1925(大 14)

又枯病 matagare-byo Branch blight (炭疽病)

Stigmina mori (Nomura) Shirata & Takahashi [*Coryneum mori* Nomura, *Steganosporium mori* (Nomura) Saccardo & Trotter, *Thyrostroma mori* (Nomura) Höhnelt, *Coryneum moricolum* Hori]

Nomura, H.:Atti Ist. Bot. Univ. di Pavia 9:37, 1904(明 37); 堀 正太郎:大日本蚕糸会報 187:1, 1907(明 40); 白田 昭・高橋幸吉:日蚕雑 44(5):411, 1975

マッサリア病 massaria-byo (擬似胴枯病, マスサーリア病)

Massaria phorcioides I. Miyake

三宅市郎:蚕試報 1(5):318, 1915(大 4)

[備考] *M. mori* Miyake と *M. moricola* Miyake は疑似胴枯病菌とされている (三宅市郎:蚕試報 1:318, 1915)

円星病 maruhoshi-byo

Thyrococcum mori Y. Endo

遠藤保太郎:桑樹病理学:228, 1927(昭 2); 原 攝祐:農及園 13(6):1504, 1938(昭 13)

[備考] 病原の分類学的所属については再検討を要する

実菌核病* mi-kinkaku-byo Popcorn disease (菌核病, 結核病, 榎肥大性菌核病, 榎縮小性菌核病)

(1) *Ciboria shiraiana* (Hennings) Whetzel [*Sclerotinia shiraiana* Hennings] キツネノワンタケ (榎肥大菌核病)

白井光太郎:植物病理学(下):153, 1894(明 27); 出田 新:日本植物病理学:350, 1903(明 36); 山本和太郎:日菌報 2(2):7, 1959; 高橋幸吉:日蚕関東講要 37:6, 1986

(2) *Scleromitruia shiraiana* (Hennings) S. Imai [*Microglossum shiraianum* Hennings, *Mitruia shiraiana* (Hennings) Ito & Imai] キツネノヤリ (榎縮小菌核病)

白井光太郎:植物病理学(下) 153, 1894(明 27); 出田 新:日本植物病理学 350, 1903(明 36); 山本和太郎:日菌報 2(2):5, 1959; 高橋幸吉:日蚕関東講要 37:6, 1986

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] シماغワ(*M. australis*)。接種試験未了

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (もんぱ病)

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka [*Stypinella mompa* (Tanaka) Lindau, *Septobasidium mompa* (Tanaka) Raciborski]

田中延次郎:植物学雑 4(44):387, 1890(明 23); 出田 新:日本植物病理学:421, 1903(明 36)

芽枯病 megare-byo Twig blight, 'Megare' blight (枝枯病, 立枯病, 芽の萎凋病, フザリウム病)

(1) *Gibberella baccata* (Wallroth) Saccardo [*Fusarium lateritium* Nees f. sp. *mori* Matuo & K. Sato]

堀 正太郎:大日本蚕糸会報 188:12, 1908(明 41); 松尾卓見:日蚕雑 31(3):166, 1962

(2) *Hypomyces solani* Reinke & Berthold f. sp. *mori* Y. Sakurai & Matuo [*Fusarium solani* (Martius) Saccardo f.

sp. *mori* Sakurai & Matuo]

松尾卓見:日蚕雑 31(3):166, 1962

(3) *Hypomyces solani* Reinke & Berthold f. sp. *pisi* Reichle, W.C. Snyder & Matuo [*Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *pisi* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

松尾卓見:日蚕雑 31(3):166, 1962

汚葉病 yogoreha-byo Leaf blotch (よごれ葉病)

Sirosporium mori (Sydow & P. Sydow) M.B. Ellis [*Clasterosporium mori* Sydow & P. Sydow, *Cercospora flexuosa* Tanaka, *Cercospora kusanoi* Sawada]

田中延次郎:植物学雑 4(44):386, 1890(明 23)

輪斑病* rinhan-byo *Gonatophragmium zonate* leaf spot

Acrospermum viticola Ikata [*Spondylocadium mori* Sawada, *Gonatophragmium mori* (Sawada) Deighton]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):666, 1919(大 8); 鑄方末彦・人見 剛:日植病報 2(4):357, 1931(昭 6); 高橋幸吉・寺峰 孜:日植病報 52(3):404, 1986

輪紋病 rimmon-byo

Phyllosticta kuwaecola Hara

原 攝祐:大日本蚕糸会報 304:390, 1917(大 6)

類似枝枯病 ruiji-edagare-byo

Venturia mori Hara

原 攝祐:大日本蚕糸会報 310:17, 1917(大 6); 原 攝祐:実験作物病理学:303, 1942(昭 17)

[備考] 病原菌および病名の検討を要する

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconema mutabile* (Taylor) Raski & Luc [*Nothocriconema mutabile* (Taylor) de Grisse & Loof, *Nothocriconemella mutabilis* (Taylor) Ebsary] ワセンチュウの一種

Toida, Y. & Momota, Y.:Jpn. J. Nematol. 10:27, 1981; 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984

(2) *Criconemella xenoplax* (Raski) Raski & Luc [*Macroposthonia xenoplax* (Raski) de Grisse & Loof] ワセンチュウの一種

Toida, Y. & Momota, Y.:Jpn. J. Nematol. 10:27, 1981; 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984

(3) *Cryphodera* sp. ニセシストセンチュウの 1 種

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967; 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971; 吉野治男ら:東京蚕指要報 18:11, 1984

[備考] 本線虫は, *Meloidodera* sp. とされたことがある

(4) *Gracilacus yokooi* Toida, Ohshima & Hirata ヨコオピンセンチュウ

Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 30:1, 1970; Toida, Y. et al.:Jpn. J. Nematol. 12:15, 1983; 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984

[備考] 本線虫は, *Paratylenchus aciculus* Brown とされたことがある

(5) *Helicotylenchus dihystra* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

樋田幸夫ら:蚕試報 27(3):370, 1978

(6) *Helicotylenchus erythrinae* (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

(7) *Longiodorus martini* Merny クワナガハリセンチュウ

八木田秀幸・小室康雄:日植病報 38(4):275, 1972; 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971; 八木田秀幸:日線虫研誌 5:10, 1975

[備考] クワ輪紋病 (*Mulberry ringspot virus* (MRSV) クワ輪紋ウイルス) を伝搬する (八木田秀幸・小室康雄 (1972))

- (8) *Ogma coffeae* (Edward, Misra & Rai) Andrassy クワトゲワセンチュウ
樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984
- (9) *Ogma querci* (Choi & Geraert) Andrassy [*Variasquamata querci* (Choi & Geraert) Khan, Chawla & Saha] トゲワセンチュウの1種
樋田幸夫ら:蚕試報 27(3):370, 1978
- (10) *Paratrachodorus porosus* (Allen) Siddiqi [*Trichodorus porosus* Allen] ナガイモユミハリセンチュウ
平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971
- (11) *Paratylenchus elachistus* Steiner ヒメピンセンチュウ
一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967
- (12) *Paratylenchus morius* Yokoo ピンセンチュウの1種
Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 30:1, 1970
- (13) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種
橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961
- (14) *Xiphinema bakeri* Williams クワオオハリセンチュウ
平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971
- (15) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ
平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971
- [備考] 種名は再検討を要する
- (16) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ
三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫病)

- (1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
桑名寿一ら:蚕糸研究 31(6):43, 1959 ; 石井五郎ら:蚕糸研究 33(13):48, 1960
- (2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
石井五郎ら:蚕糸研究 35:38, 1960
- (3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964
- (4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
- (5) *Meloidogyne mali* Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ
伊藤喜隆・広瀬健吉:長野園試報 2:45, 1969 ; Itoh, Y. *et al.*:Appl. Entomol. Zool. 4(4):194, 1969
- [備考] 病原線虫は *M. thamesi* Chitwood とされたことがある (樋田幸夫:日線虫研誌 14:20)
- (6) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ
Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984
- (7) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種
丹波四郎:大日本蚕糸会報 237:7, 1911(明 44) ; 鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)
- [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

萎黄病 io-byo Chlorosis

病原不明

遠藤保太郎・原 利文:蚕糸学雑 11(1):1, 1938(昭 13)

粗皮病* sohi-byo (粗皮障害)

ほう素欠乏

柳沼泰衛・松野瑞彦:福島蚕試要報 11:13, 1970

ひしげ病 hishige-byo (拉病, 帯化病, 攀枝病, 石化病, 扁茎)

生理障害

遠藤保太郎:最新桑樹栽培学:538, 1919(大 8)

水ぶくれ病 mizubukure-byo (水腫病, 枝条枯死病)

生理障害

前田 謙:農業世界 15(10):108, 1920(大 9)

†裏白輪斑病 urajiro-rinhan-byo

Acremonium zonatum (Sawada) W. Gams [*Cephalosporium zonatum* Sawada]

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):603, 1919(大 8) ; Gams, W.:*Cephalosporium-artige Schimmelpilze* (Hyphomycetes):119, 1971

[備考] 台湾。*M. acidosa* に発生

†白かび斑点病 shirokabi-hanten-byo Cercospora leaf spot

Cercospora moricola Cooke

小林享夫:森林防疫 34(1):9, 1985

†白星病 shirohoshi-byo

Leptosphaerulina moricola Sawada

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):298, 1919(大 8)

[備考] 台湾

††††立枯病 tachigare-byo

Mycosphaerella morifolia Passerini

三宅市郎:植物学雑誌 26(303):56, 1912(大 1) ; 三宅市郎:蚕糸報 1(5):313, 1916(大 5)

[備考] 調査を要する

†根腐病 negusare-byo Root rot

(1) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

高橋幸吉・石家達爾:日蚕関東講要 21:11, 1970 ; 高橋幸吉:蚕糸研究 85:123, 1972

(2) *Neocosmospora vasinfecta* E.F. Smith var. *vasinfecta* [*Neocosmospora vasinfecta* E.F. Smith]

高橋幸吉・石家達爾:日蚕関東講要 21:11, 1970 ; 高橋幸吉:蚕糸研究 85:123, 1972

[備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら):94, 1992 を参照

(3) *Burkholderia gladioli* pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas gladioli* pv. *gladioli* Severini]

Boonnab, L. & Ishijima, T.:Bul. Thai Seri. Res. and Train. Centre 10:148, 1980 ; 高橋幸吉ら:日蚕関東講要 53:22, 1983

[備考] タイ

†葉枯病 hagare-byo

Ascochyta morifolia Sawada

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):546, 1919(大 8)

[備考] 台湾

†斑点病 hanten-byo

Mycosphaerella moricola Sawada

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):295, 1919(大 8)

[備考] 台湾

†微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich [*Macrophomina phaseoli* (Maublanc) S.F. Ashby]

高橋幸吉・石家達爾:蚕糸研究 85:122, 1972

[備考] タイ

††††

Ascochyta miyakei Tanaka [*Ascochyta mori* Miyake]

三宅市郎:蚕糸報 1(5):345, 1916(大 5) ; Tanaka, C.:Mycologia 10:280, 1918

††††

Ascochyta moricola Berlese

原 攝祐:大日本蚕糸会報 314:229, 1918(大 7)

[備考] 桑葉に発生

††††

†*Cercospora morina* Chupp

Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:65, 1978

[備考] ブラジル

††††

†*Colletotrichum moricola* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :171, 1959

[備考] 台湾。病原菌の分類学的所属について検討を要する

††††

†*Colletotrichum morinum* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :172, 1959

[備考] 台湾。菌の分類学的所属について検討を要する

††††

Coniothyria mori Y. Endo

遠藤保太郎・高瀬毅一:蚕糸学雑 4(3):111, 1932(昭 7)

††††

†*Dendrophoma mori* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :127, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Diplodia morina* Sydow & P. Sydow

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :153, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Endoxylina mori* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :76, 1959

[備考] 台湾

††††

Epicoccum mori Y. Endo & Higuchi

遠藤保太郎:桑樹病理学:227, 1927(昭 2)

[備考] 桑葉に寄生

††††

Epicoccum nigrum Link [*Epicoccum neglectum* Desmazières]

遠藤保太郎:桑樹病理学:226, 1927(昭 2)

[備考] 桑葉に寄生

††††

†*Glomerella mori* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :75, 1959

[備考] 台湾。菌の分類学的所属について検討を要する

††††

†*Lasiodiplodia theobromae* (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard, *Diplodia natalensis* Pole Evans]

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :153, 1959

[備考] 台湾。病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):593, 1992 を参照

††††

†*Mycosphaerella mori-albae* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :63, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Nectria verrucosa* (Schweinitz) Saccardo

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :52, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Phoma manihotina* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :130, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Phomopsis moricola* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :131, 1959

[備考] 台湾。菌の分類学的所属について検討を要する

††††

†*Phomopsis morina* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :132, 1959

[備考] 台湾。菌の分類学的所属について検討を要する

††††

Phyllosticta kuwae Hara

原 攝祐:大日本蚕糸会報 314:227, 1918(大 7) ; 原 攝祐:実験作物病理学:330, 1930(昭 5)

[備考] 桑葉に発生

††††

Physalospora minuta T. Miyake [*Macrophoma minuta* Berlese]

勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):520, 1992

バショウ科 Musaceae

バナナ(甘蕉, 香蕉)

Bananas

Musa spp.及び種間雑種
(果樹)

バンチー トップ病 *bunchy top-byo* Bunchy top (バンチトップ病)

Banana bunchy top virus (BBTV) バナナバンチー トップウイルス

野原堅世:沖縄農業 7(1):48, 1968 ; 河野伸二・蘇 鴻基:日植病報 59(1):053, 1993 ; Furuya, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(1):68, 2005

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

河野伸二ら:日植病報 61(6):597, 1995

果実落下病 *kajitsu-rakka-byo*

(1) *Colletotrichum musae* (Berkeley & M.A. Curtis) Arx [*Gloeosporium musarum* Cooke & Massee]

(2) *Fusarium* spp.

(3) *Nigrospora oryzae* (Berkeley & Broome) Petch

平井篤造:日植病報 8(1):67, 1938(昭 13)

[備考] 台湾からの輸入果実に発生。(1) は軸腐病, 炭疽病の病原でもある

黒かび病* *kurokabi-byo* Rhizopus rot, Soft rot (灰かび病)

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus nigricans* Ehrenberg]

平井篤造:日植病報 8(1):67, 1938(昭 13)

[備考] 台湾からの輸入果実に発生。病原菌の学名は Schipper, M. A. A.:Stud. Mycol. 25:9, 1984 参照

黒腐病 *kurogusare-byo* Fruit rot

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

平井篤造:日植病報 8(1):67, 1938(昭 13)

[備考] 台湾からの輸入果実に発生。本菌は軸腐病の病原でもある

黒星病 *kurohoshi-byo* (黒点病)

Macrophoma musae (Cooke) Berlese & Voglino

澤田兼吉:台湾農事報 75:11, 1913(大 2) ; 藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大 3) ; 逸見武雄・倉田 静子:植物分類, 地理 3(2):78, 1934(昭 9)

細線病 *saisen-byo*

Cercospora musaecola Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 32(231):368, 1942(昭 17) ; 香月繁孝:日菌報別冊 1:48, 1965

[備考] 台湾ではサンジャクバナナ

白絹病 *shirakinu-byo* Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium centrifugum* (Léveillé) Bresàdola, *Corticium rolfsii* Curzi]

平井篤造:日植病報 8(1):67, 1938(昭 13)

[備考] 台湾からの輸入果実に発生

軸腐病 *jikugusare-byo* Peduncle rot, Stem end rot

- (1) *Ceratocystis paradoxa* (Dade) C. Moreau [*Thielaviopsis paradoxa* (De Seynes) Höhnelt]
 (2) *Colletotrichum musae* (Berkeley & M.A. Curtis) Arx [*Gloeosporium musarum* Cooke & Massee]
 (3) *Lasiodiplodia theobromae* (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]
 平井篤造:日植病報 8(1):67, 1938(昭 13) ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:16, 1977
 [備考] 台湾からの輸入果実に発生。(2) は果実落下病, 炭疽病, (3) は黒腐病の病原でもある

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum musae (Berkeley & M.A. Curtis) Arx [*Gloeosporium musarum* Cooke & Massee, *Glomerella rufomaculans* (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk]
 川上瀧彌・鈴木力弥:台湾農試報 1:47, 1908(明 41) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告 1):561, 1914(大 8) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979
 [備考] 本菌は軸腐病, 果実落下病の病原でもある

パナマ病 Panama-byo Fusarium wilt, Panama disease, Banana wilt (萎ちょう病)

- (1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal
 二谷貴夫ら:日植病報 83(3):185, 2017
 (2) †*Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *cubense* W.C. Snyder & H.N. Hansen
 中村重正ら:日植病報 37(3):172, 1971 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:10, 1977
 [備考] 台湾・中南米・フィリピン

斑葉病 han'yo-byo Banana leaf spot, Sigatoka disease, Sigatoka leaf disease (黒点葉枯病, シガトカ病)

- (1) *Mycosphaerella minima* Stahel
 (2) *Mycosphaerella musae* (Spegazzini) Sydow & P. Sydow
 (3) *Mycosphaerella musicola* J.L. Mulder [*Cercospora musae* Zimmermann, *Metasphaeria musae* (Zimmermann) Sawada]
 澤田兼吉:台湾大農特別別報 8(台湾産菌類調査報告 11):221, 1959(昭 34) ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:11, 1977
 [備考] 台湾ではサンジャクバナナ (テイキヤクミバショウ *Musa cavendishii* L.) ・バナナの 1 種 (*Musa* sp.)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

- (1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
 Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970
 (2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ
 Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970
 (3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

青熟病 aoure-byo

生理障害
 平井篤造:日植病報 8(1):67, 1938(昭 13)
 [備考] 台湾からの輸入果実に発生

風引 kazeiki

生理障害
 平井篤造:日植病報 8(1):67, 1938(昭 13)
 [備考] 台湾からの輸入果実に発生

††青枯病 aogare-byo Moko disease (腐敗病, 芽枯病)

(1) *Ralstonia solanacearum* (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacillus musae* Rorer, *Bacterium solanacearum* (Smith) Chester, *Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

農商務省:病虫雑 1(3):328, 1914(大 3); 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:410, 1941(昭 16); 岡部徳夫:植物細菌病学:259, 1949(昭 24)

[備考] ギニア・キューバ・トリニダード

(2) *Ralstonia* sp.

Kusumoto, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(1):45, 2004

[備考] 病原は *Ralstonia* 近縁種。インドネシア(スマトラ)

†††萎縮病 ishuku-byo

病原不明

堀正太郎・桑名伊之吉:大日本農会報 376:89, 1912(大 1)

[備考] 細菌の根部寄生が原因と推定されている

††萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt (萎凋病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:583, 1941(昭 16); 岡部徳夫:植物細菌病学:259, 1949; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:16, 1977

[備考] インドネシア。病原細菌名 *Bacterium musae* (Gäumann) Elliott は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††黒腐細菌病 kurogusare-saikin-byo Bacterial black rot (黒腐性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:345, 1941(昭 16); 岡部徳夫:植物細菌病学:258, 1949; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:16, 1977

[備考] アラビア半島・シリア。病原細菌名 *Pseudomonas maublancii* (Foex & Lansade) Săvulescu は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††血脈病 ketsumyaku-byo Blood rot

Xanthomonas arboricola pv. *celebensis* (Gäumann 1923) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium celebensis* (Gäumann) Elliott, *Xanthomonas celebensis* (Gäumann) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *celebensis* (Gäumann 1923) Dye 1978]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:521, 1941(昭 16); 岡部徳夫:植物細菌病学:259, 1949; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:13, 1977

[備考] インドネシア (スラウェシ島)

†††果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fusarium fruit rot

Fusarium verticillioides (Saccardo) Nirenberg [*Fusarium moniliforme* J. Sheldon]

平田隆司・君島悦夫:日植病報 63(6):494, 1997; Hirata, T. *et al.*:Mycoscience 42(2):155, 2001

[備考] メキシコからの輸入果実 *Musa cavendishii* Lamb. ex Paxt. に発生

†茎腐病 kukigusare-byo Marasmiellus rot

Marasmius semistatus Berkeley & M.A. Curtis

澤田兼吉:台湾博物学会報 11(54):92, 1921(大 10); 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告 2):110, 1922(大 11)

[備考] 台湾。海外では *Marasmiella inoderma* (Berkeley) Singer とされている

†中肋黒点病* churoku-kokuten-byo (中肋黒疣病)

Napicladium musae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):97, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。サンジャクバナナ・バナナの 1 種

†円星病 maruhoshi-byo

Scolecotrichum musae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):93, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。サンジャクバナナ・バナナの 1 種

†輪斑病 rimpan-byo Brown blotch

Pestalotia leprogena Spegazzini

澤田兼吉:台湾博物学会報 32(327):289, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。サンジャクバナナ・バナナの 1 種。病原菌は現在 *Pestalotiopsis leprogena* (Spegazzini) Steyaert とされている

††††

†*Banana bract mosaic virus*

長嶋一郎ら:日植病報 73(3):225, 2007

[備考] ミャンマー

ヤマモモ科 Myricaceae

ヤマモモ(楊梅)

Wax myrtle

Myrica rubra Sieb. & Zucc.

(果樹)

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Pseudomonas syringae pv. *myricae* Ogimi & Higuchi 1981

大宜見朝栄・樋口 浩:日林九支研論 33:147, 1980 ; 大宜見朝栄・樋口 浩:日植病報 47(4):443, 1981

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora sp.

川田洋一:四国植防 18:39, 1983

褐斑病 kappan-byo

Didymella myricae Hara [*Mycosphaerella myricae* Sawada]

原 攝祐:静岡農会報 396(12月号):50, 1930(昭5); 澤田兼吉:台湾博物学会報 33(232):6, 1943(昭18); 伊藤一雄:樹病学大系 2:162, 1973

すす病 susu-byo Sooty mold

Irenina manca (Ellis & G. Martin) F. Stevens

Katsuki, S.:Jour. Jap. Bot. 28(9):279, 1953

[備考] 病原菌の学名は *Asteridiella manca* (Ellis & Martin) Hansford とされている

†すす病 susu-byo Sooty mold

Scorias cylindrica W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954

[備考] 台湾

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotia sp.

高橋公一:やまもも:103, 1972

白藻病 shiromo-byo Algal spot

Cephaleuros virescens Kunze

青柳寅雄:日園雑 45(2):13, 1933(昭8)

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brownish sooty mold

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]

山本和太郎:日植病報 10(2-3):254, 1940(昭15)

[備考] 台湾

††††

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

寺下隆喜代:林試研報 252:1, 1973

[備考] 潜在感染

ヤブコウジ科 Myrsinaceae

マンリョウ(万両)

(Ardisia)

Ardisia crenata Sims

(広葉樹)

根黒斑病 ne-kokuhan-byo

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

萩原淳志ら:関東病虫研報 31:94, 1984

半円病 han-en-byo Leaf spot

Phyllosticta ardisiicola Motohashi, I. Araki & C. Nakashima

鮎川 侑ら:日植病報 78(3):190, 2012

†褐斑病 kappan-byo

Septoria bladhiae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):57, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

カラタチバナ

Japanese holly

Ardisia crispa (Thunb.) DC.

(広葉樹)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

田中(三輪)千華ら:日植病報 73(3):180, 2007

ヤブコウジ(薺柑子)

(Ardisia)

Ardisia japonica (Thunb.) Blume

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Guignardia ardisiae I. Hino & Katumoto [*Mycosphaerella ardisiae* Miura nom. invalid, *Phyllosticta* sp.]

小林享夫:日菌報 14(3):279, 1973 ; 三浦密成:秋田農試報 8:9, 1957 ; Hino, I. & Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 7(2-3):45, 1966

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956

根黒斑病 ne-kokuhan-byo Cylindrocarpon root rot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 52:63, 2005

††††

Pseudodiscosia ardisiae Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 23(1):25, 1958 ; Tsukamoto, E. & Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 24(3):146, 1959

モクタチバナ

(*Ardisia*)

Ardisia sieboldii Miquel

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

†すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow

山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):44, 1953

[備考] 台湾

(2) *Chaetothyrium echinulatum* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):44, 1953

[備考] 台湾

イズセンリョウ

(*Maesa*)

Maesa japonica (Thunb.) Moritzi

(広葉樹)

すす点病 susuten-byo Fly speck

Schizothyrium perexiguum (Roberge) Höhnelt

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 27(1):3, 1986

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brown sooty mold

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]

山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭 15) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):568, 1992

[備考] 台湾。タイワンセンリョウ (*Maesa formosana*)

†立枯病 tachigare-byo

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Cryptoderma lamaense* (Murrill) Imazeki, *Fomes lamaensis* (Murrill) Saccardo & Trotter]

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査報告 4):86, 1928(昭 3) ; Ryvarden, L. & Johansen, I.: A preliminary polypore flora of East Africa:178, 1980

[備考] 台湾。タイワンセンリョウ。 *Phellinus noxius* (Cunningham) Corner [*Fomes lamaensis* sensu Yasuda] との異同について検討を要する

††††

†*Amazonia peregrina* (Sydow & P. Sydow) Sydow & P. Sydow

山本和太郎:台湾博物会報 30(200/201):148, 1940(昭 15) ; 香川繁孝:植研雑 31(12):370, 1956 ; Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 7:259, 1956

[備考] タイワンセンリョウ・シマイズセンリョウ (*M. perlarius*)

††††

†*Phragmocapnias betle* (Sydow & P. Sydow) Theissen & Sydow [*Scorias communis* W. Yamamoto]

山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):34, 1957 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):572, 1992

[備考] 台湾。タイワンセンリョウ

††††

Phycopeltis epiphyton Millardet

Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):280, 1957

[備考] 粉藻

タイミンタチバナ

(Myrsine)

Myrsine seguinii Lev.

(広葉樹)

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):279, 1957

††††

Echidnodella rapanae I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 8:639, 1957

フトモモ科 Myrtaceae

コウシュウツゲ

(Decaspermum)

Decaspermum fruticosus Forst.

(広葉樹)

††††

†*Paranthostomella decaspermi* Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 32(231):370, 1942(昭 17)

[備考] 台湾

ユーカリ類(有加利)

Gum

Eucalyptus spp.

(広葉樹)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

原 攝祐:実験樹木病害篇:203, 1927(昭2) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Oidium eucalypti-globuli* Tanda

(2) *Oidium* sp.

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):241, 1959 ; Terashita, T.:J. Jpn. For. Soc. 37(5):213, 1955

[備考] *E. citriodora*, *E. globulus*, *E. longifolia*, *E. robusta*, *E. tereticornis*

(3) *Podosphaera aphanis* (Wallroth) U. Braun & S. Takamatsu var. *aphanis* [*Sphaerotheca aphanis* (Wallroth) U. Braun var. *aphanis*]

Tanda, S. & Hirose, T.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 47(4):274, 2003 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:13, 2012

[備考] ユーカリノキ (*E. globulus* Labil.) に発生

枝枯病 edagare-byo

Fusicoccum sp.

村本正博:日林九支研論 38:167, 1985

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot (褐斑病)

Pseudocercospora eucalyptorum Crous, M.J. Wingfield, Marasas & B. Sutton [*Cercospora epicoccoides* auct. Jap. non Cooke & Massee, *Cercospora eucalypti* auct. non Cooke & Massee, *Pseudocercospora eucalypti* sensu Y.L. Guo & X.J. Liu non Cooke & Massee]

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):104, 1943(昭 18) ; Yamamoto, W.:Trop. Agr. 6(3):599, 1934 (昭 9) ; 寺下隆喜代:森林防疫ニュース 22:197, 1954 ; Crous, P. W. *et al.*:Mycol. Res. 93:394, 1989 ; 小林享夫:森林防疫 48:216, 1999

[備考] *E. globulus*

褐変病 kappen-byo Foot rot (苗立枯病)

Cylindrocladium scoparium Morgan

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):237, 1959 ; 寺下隆喜代:日林誌 37(5):210, 1955

[備考] 完全世代 *Calonectria kyotensis* Terashita はユーカリでは未記録

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):235, 1959

[備考] 病原菌の異名はモクマオウくもの巣病参照

黒粉斑点病 kokufun-hanten-byo Black powdery spot

Kirramyces epicoccoides (Cooke & Massee) J. Walker, B. Sutton & Pascoe [*Cercospora epicoccoides* (Cooke & Massee) non auct Jap., *Phaeoseptoria eucalypti* Handford, *Phaeoseptoria luzonensis* Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 19:373, 1978 ; 小林享夫:森林防疫 37(7):128, 1988 ; Walker, J. *et al.*:Mycol. Res. 96:911, 1992 ; 小林享夫:森林防疫 48(11):15, 1999

[備考] *E. blakelyi*, *E. botryoides*, *E. camaldulensis*, *E. globulus*, *E. haematostoma*, *E. mannifera*, *E. microcorys*, *E. robusta*, *E. saligna*, *E. tereticornis*

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidànich

村井雄一朗ら:日植病報 61(6):603, 1995

[備考] グンニーユーカリ (*Eucalyptus gunnii* Hook. f.)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

料所聖児ら:日植病報 74(1):28, 2008

[備考] ロブスターユーカリ (*E. robusta*) に発生

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Cylindrocladium scoparium* Morgan

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(3) *Pythium debaryanum* R. Hesse

寺下隆喜代:森林防疫ニュース No.22:197, 1954

†苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:149, 1988

[備考] フィリピン。カメレレ

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

陳野好之:森林防疫 32(7):122, 1983

[備考] インドネシア・フィリピン。カメレレ

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (苗立枯病)

Botrytis cinerea Persoon

寺下隆喜代:日林誌 37(5):209, 1955

[備考] *Eucalyptus citriodora*, *E. globulus*, *E. saligna*, *E. robusta*, *E. longifolia*, *E. resinifera*, *E. tereticornis*。完全世代 *Botryotinia fuckeliana* (de Bary) whetzel はユーカリでは未記録

葉枯病 hagare-byo Leaf and shoot blight

Pseudoplagiostoma eucalypti Cheewangkoon, M.J. Wingfield & Crous
井沼 崇ら:日植病報 80(1):50, 2014

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phyllosticta sp.

寺下隆喜代:森林防疫ニュース No.22:197, 1954

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease (葉枯病)

Pestalotiopsis disseminata (Thümen) Steyaert [*Pestalotia disseminata* Thümen]

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):240, 1959 ; 寺下隆喜代:森林防疫ニュース No.22:199, 1954 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1188, 1978

††††小粒こぶ症 kotsubu-kobu-sho Small gall

Klebsiella oxytoca (Flügge 1886) Lautrop 1956

小松 勉・景山幸二:日植病報 74(1):82, 2008

††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

寺下隆喜代:森林防疫ニュース 22:197, 1954

[備考] ユーカリ類での国内発生未確認。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照

†褐斑病 kappan-byo *Cercospora* leaf spot

Pseudocercospora eucalyptorum Crous [*Cercospora eucalypti* Cooke & Massee]

Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:66, 1978 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(1):6, 1986 ; 小林享夫:森林防疫 48(11):216, 1999

[備考] ブラジル, パラグアイ, フィリピン。カメレレ (*E. deglupta*)・*Eucalyptus* sp.

†斑紋病 hammon-byo *Cercospora* leaf spot

Cercospora paraguayensis Tak. Kobayashi

小林享夫:森林防疫 33(12):214, 1984 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(3):263, 1984

[備考] パラグアイ

†微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Charcoal rot, Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidanich

渡辺恒雄:森林防疫 35(10):188, 1986

[備考] パラグアイ

†植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconeoides* sp. ワセンチュウの1種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン。属名は再検討を要する

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

††††

†*Cercospora eucalypti* Cooke & Massee

Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:66, 1978

[備考] ブラジル。 *Eucalyptus* sp.

††††

Cryphonectria havanensis (Bruner) M.E. Barr [*Endothia havanensis* Bruner]

Kobayashi, T. & Ito, K.: Bull. Gov. For. Exp. Sta. 92:84, 1956 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

[備考] *E. globulus*

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Konoh H.: Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

[備考] *E. globulus*

フトモモ類

(*Eugenia*)

Eugenia spp.

(果樹)

フトモモ(ローズアップル) Rose apple *Eugenia jambos* L.

マレイフトモモ Malay apple *Eugenia malaccensis* L.

レンブ(ジャワフトモモ, オオフトモモ) Wax jambu, Java apple *Eugenia javanica* Lamarck

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Pseudocercospora xenosyzygiicola Crous

Nakashima, C. *et al.*: Mycoscience 43:95, 2002

[備考] 接種試験未了。レンブに発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

中村重正ら: 日植病報 45(4):545, 1979

[備考] レンブに発生

†角斑病 kakuhan-byo

Cercospora eugeniae Sawada

澤田兼吉: 台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):104, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。レンブに発生

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brownish sooty mold

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]

山本和太郎: 日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。マレイフトモモに発生

†さび病 sabi-byo Rust

Puccinia psidii G. Winter

小林享夫: 森林防疫 33(12):214, 1984

[備考] パラグアイ。フトモモに発生

†白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

小林享夫: 森林防疫 33(12):214, 1984

[備考] パラグアイ。フトモモに発生

オヒア

Ohia

Metrosideros polymorpha Gaudich.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia psidii G. Winter

川西剛史ら:日植病報 74(3):179, 2008 ; Kawanishi, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(6):428, 2009

キバンジロウ

Strawberry Guava

Psidium cattleianum Sabine f. *lucidum*

(果樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

グアバ(バンジロウ)(蕃石榴)

Guava

Psidium guajava L.

(果樹)

疫病 eki-byo Phytophthora fruit rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

高江洲和子ら:日植病報 67(2):168, 2001

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:53, 1977 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:54, 1977 ; 矢口行雄ら:東京農大農学集報 48(1):12, 2003

[備考] 渡邊 (54, 1977)が紹介した*Gnomonia psidium* Averna-Saccaによる炭疽病には病徴の記載なく, 同菌の原記載も不明

斑葉病 han'yo-byo Leaf spot (斑点病, 眼点病)

Cercospora sawadae W. Yamamoto [*Cercospora psidii* Sawada non Range]

澤田兼吉:台湾博物学会報 11(52):42, 1921 (大 10) ; 山本和太郎:熱帯農業 6:607, 1934(昭 9) ; 保 虎太郎:病虫害雑 23(12):952, 1936(昭 11)

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis toxica (Ellis & Everhart) X.A. Sun & Q.X. Ge

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

†ペスタロチア病 *Pestalotia-byo* Pestalotia disease

Pestalotia heucherae Tehon & E.Y. Daniels

小林享夫ら:熱研集報 43:191, 1982 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(5):80, 1986

[備考] フィリピン

根こぶ線虫病* *nekobu-senchu-byo* Root knot

Meloidogyne arenaria (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

††枝枯病 *edagare-byo* Twig blight

Diplodia sp.

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:53, 1977

†褐色すす病 *kasshoku-susu-byo* Brownish sooty mold (褐色煤病)

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]

山本和太郎:日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

††褐斑病 *kappan-byo* Brown spot

Phyllosticta guajavae Viégas

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:53, 1977

††黒腐病 *kurogusare-byo* Canker

Physalospora sp.

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:52, 1977

††さび病 *sabi-byo* Rust

Puccinia psidii G. Winter

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:52, 1977 ; 小林享夫:森林防疫 33(12):214, 1984

[備考] パラグアイ

†すす病 *susu-byo* Sooty mold

(1) *Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):169, 1956 ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):46, 1957

[備考] 台湾

(2) *Hypocapnodium setosum* (Zimmermann) Spegazzini

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):169, 1956

[備考] 台湾。 *Hypocapnodium* は現在 *Aithaloderma* とされている

(3) *Phaeosaccardinula penzigii* (Saccardo) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):46, 1957

[備考] 台湾

(4) *Phragmocapnias betle* (Sydow, P. Sydow & E.J. Butler) Theissen & Sydow [*Scorias communis* W. Yamamoto]

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954

[備考] 台湾

(5) *Triposporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956

[備考] 台湾。黒褐色すす病として報告されている

††そうか病 soka-byo Scab

Elsinoë pitangae Bitancourt & Jenkins [*Sphaceloma psidii* Bitancourt & Jenkins]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:53, 1977

†立枯病 tachigare-byo

Myxosporium psidii Sawada & Kurosawa

黒沢英一ら:台湾博物学会会報 16(83):47, 1926(大 15); 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 35(台湾産菌類調査報告 4):97, 1928(昭 3)

[備考] 台湾

†苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Fusarium oxysporum Schlechtendal

小林享夫・de Guzman, E. D.:林試研報 351:149, 1988

[備考] フィリピン

††灰斑病 haihan-byo Canker

Pestalotia psidii Patouillard

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:53, 1977

††腐らん病 furan-byo Canker

Valsa guayavae Hennings

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:54, 1977

†植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

小林享夫ら:熱研集報 43:191, 1982

[備考] フィリピン。属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

小林享夫ら:熱研集報 43:191, 1982

[備考] フィリピン

(3) *Hemicriconemoides* sp. サヤワセンチュウの 1 種

小林享夫ら:熱研集報 43:191, 1982

[備考] フィリピン

(4) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの 1 種

小林享夫ら:熱研集報 43:191, 1982

[備考] フィリピン

チョウジ(丁字)

Clove tree

Syzygium aromaticum Merr. & Perry

(特用作物)

†スマトラ病 Sumatra-byo Sumatra disease

Pseudomonas sp.

鬼木正臣:熱帯林業(新) 12:20, 1988

[備考] インドネシア。本病の病原は現在 *Pseudomonas syringae* Robert *et al.*, 1990 とされている

††緩性立枯病 kansei-tachigare-byo Die back

Cryptosporella eugeniae (Jenkins) Jenkins & Wehmeyer
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:136, 1977

††急性立枯病 kyusei-tachigare-byo Sudden death
Valsa eugeniae Nutman & F.M. Roberts
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:136, 1977

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum sp.
鬼木正臣:熱帯林業(新) 12:23, 1988
[備考] インドネシア

†ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia leaf rot
Pestalotia sp.
鬼木正臣:熱帯林業(新) 12:23, 1988
[備考] インドネシア

††赤さび病 akasabi-byo Red spot
Cephaleuros virescens Kunze
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:137, 1977

†白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot
Cephaleuros virescens Kunze
鬼木正臣:熱帯林業(新) 12:23, 1988
[備考] インドネシア

†Leaf spot
Coniella castaneicola (Ellis & Everhart) B. Sutton
鬼木正臣:熱帯林業(新) 12:23, 1988
[備考] インドネシア。病名未提案

†Leaf rot
Cylindrocladium quinqueseptatum Boedijn & Reitsma
鬼木正臣:熱帯林業(新) 12:23, 1988
[備考] インドネシア。病名未提案

†Leaf blister blight
Phyllosticta sp.
鬼木正臣:熱帯林業(新) 12:23, 1988
[備考] インドネシア。CDC 病ともいうが病名未定

†Leaf fall
病因未詳
鬼木正臣:熱帯林業(新) 12:22, 1988
[備考] インドネシア。病名未提案

ウツボカズラ科 Nepenthaceae

ウツボカズラ(ネペンテス)

Nepenthes

Nepenthes mirabilis (Lour.) Druce

(草花)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne arenaria (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

オシロイバナ科 Nyctaginaceae

ブーゲンビレア(イカダカズラ)

Bougainvillea

Bougainvillea spectabilis Willd.

(広葉樹)

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith) Stapp]

木嶋利男ら:日植病報 51(1):96, 1985

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan emend. G. Hall

植松清次ら:日植病報 59(3):289, 1993

[備考] *Bougainvillea* × *Buttiana* Holtt. & Standl., *B. glabra*

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

阿部美咲ら:日植病報 80(1):23, 2014

††††ウイルス Uirusu Chlorotic spot

Bougainvillea bacilliform virus#

Chagas, C. M. *et al.*:Virus Rev. Res. 6:153, 2001 ; 山下修一ら:日植病報 70(3):260, 2004 ; Rivas E. B. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(6):438, 2005

[備考] ブラジル。接種試験未了

†円星病 maruhoshi-byo Cercular leaf spot

Cercosporidium bougainvilleae (Muntañola-Cvetković) Sobers & C.P. Seymour

小林享夫・鬼木正臣:日植病報 60(2):221, 1994

[備考] インドネシア

オシロイバナ(ユウゲショウ)

Four-o'clock

Mirabilis jalapa L.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe polygoni de Candolle

本間善久・平田幸治:新潟大農林研究 20:136, 1968 ; 野村幸彦:日菌報 7:349, 1966 ; 本間善久:四国植防 11:133, 1976

[備考] 分生子による同定

こうがいかび病 kogai-kabi-byo

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

西村登志子ら:九病虫研会報 34:218, 1988

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:205, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:690, 1998

[備考] 接種試験未了

††††

病原未記載

[備考] 血清試験による *Cucumber mosaic virus* (CMV キュウリモザイクウイルス)検出の報告がある。

大木 理ら:植物防疫 35(7):305, 1981

トゲカズラ

(Pisonia)

Pisonia aculeata L.

(広葉樹)

†すす病 susu-byo Black mildew

Meliola pisoniae F. Stevens & Roldan

山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):156, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

スイレン科 Nymphaeaceae

ジュンサイ(蓴, 蓴菜)

Water shield

Brasenia schreberi J.F.Gmel.

(野菜)

暗紋病 ammon-byo

Septoria braseniana Hara

原 攝祐:農及園 15(5):1183, 1940(昭 15)

ハス(蓮)

East Indian lotus

Nelumbo nucifera Gaertn.

(野菜)

条斑病 johan-byo

Lotus streak virus (LoSV) ハス条斑ウイルス

山下修一ら:日植病報 44(1):61, 1978 ; 山下修一ら:日植病報 51(5):627, 1985

[備考] 戻し接種なし

腐敗細菌病* fuhai-saikin-byo

病原細菌種名未定

堀 正太郎:農事試報 34:95, 1907 (明 40) ; 堀 正太郎:日農会報 319:9, 1908(明 41) ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:216, 1941(昭 16)

[備考] 病原細菌名 *Bacillus nelumbii* Uyeda 1907 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe takamatsui Y. Nomura

高松 進:日菌報 18(2):197, 1977 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:208, 1997

褐斑病 kappan-byo

Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

柏木弥太郎・田村礼二:日植病報 39(3):202, 1973 ; 柏木弥太郎:徳島農試研報 15:21, 1977

褐紋病 katsumon-byo Alternaria leaf spot

Alternaria nelumbii (Ellis & Everhart) Enlows & F.V. Rand

長岡栄利:病虫雑 19(5):369, 1932(昭 7)

乾腐病 kampu-byo Dry rot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten [*Cylindrocarpon radicola* Wollenweber]

西門義一・宮脇雪夫:病虫雑 30(10):293, 1943(昭 18) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:535, 1992

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium nelumbii* Tassi]

西門義一・渡辺清志:農学研究 42(3):89, 1954 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:591, 1992

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

西沢正洋:九州農試彙報 5(1):31, 1958

葉腐病 hagusare-byo

Sclerotium hydrophilum Saccardo

内田和馬:日植病報 43(3):327, 1977 ; 内田和馬:茨城園試研報 8:33, 1980

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phoma nelumbii Cooke & Massee

原 攝祐:実用作物病理学:456, 1925(大 14) ; 原 攝祐:実験作物病理学:756, 1930(昭 5)

[備考] 病菌の分類学的所属については再検討を要する

斑葉病 han'yo-byo Leaf spot

Candelospora nelumbii Sakaguchi (nom. inval.)

[備考] *Cylindrocladium* 属に移されるべきと考えられる(小林享夫ら:植物病原菌類図説:550, 1992)

腐敗病 fuhai-byo Rhizome rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal f. sp. *nelumbinicola* W.L. Gordon [*Fusarium bulbigenum* Cooke & Massee var. *nelumbinicola* Y. Nisikado & Kyoto Watanabe]

西門義一・渡辺清志:日植病報 16(3-4):158, 1952 ; 西門義一・渡辺清志:植物防疫 7(10):345, 1953

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

(3) *Pythium afertile* Kanouse & T. Humphrey

堀 正太郎:農業世界 2(4):52, 1907 ; 西沢正洋:九州農試彙報 6(1):1, 1960

(4) *Pythium helicoides* Drechsler

米本謙悟ら:日植病報 79(3):183, 2013

[備考] 堀 正太郎 (農事試報 34:95, 1907(明 40)) が腐敗病菌としてあてた *Bacillus nelumbii* Uyeda 1907 (1980 年 1 月 1 日をもって失効した) は記載不十分で現在存否不明。高橋 実・大内 昭 (日植病報 30(4):186, 1965) によれば腐敗株から *Pythium* spp. が分離されている

黒皮線虫病* kurokawa-senchu-byo

(1) *Hirschmanniella diversa* Sher レンコンネモグリセンチュウ

水久保隆之:植物防疫 56:531, 2002

(2) *Hirschmanniella imamuri* Sher イマムラネモグリセンチュウ

三平東作・永井充明:関東病虫研報 43:261, 1996

(3) *Hirschmanniella oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] 1968年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

コウホネ

Common mallow

Nuphar japonicum Augustin Pyramus de Candolle

(草花)

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Pseudocercospora nymphaeacea (Cooke & Ellis) Deighton

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農科大研報 4(2):66, 1960 ; Deighton, F. C.:Trans. Br. mycol. Soc. 88(3):365, 1987 ; 中島千晴ら:日植病報 65(3):410, 1999

スイレン(睡蓮, ヒツジグサ)
Water lily
Nymphaea tetragona Georgi 及び種間雑種
(草花)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium nymphaeae Hemmi & Kawase

逸見武雄・川瀬保夫:浪速大学報 B 4:1, 1954

[備考] 病菌の分類学的所属については再検討が必要

葉腐病 hagusare-byo

Sclerotium hydrophilum Saccardo

内田和馬:日植病報 43(3):327, 1977

斑点腐敗病 hanten-fuhai-byo Leaf-spot rot

Helicosporium nymphaearum F.V. Rand

堀 正太郎:園芸之友 25(5):251, 1929(昭 4)

[備考] 病菌を *Dichotomophthoropsis nymphaearum* とする見解がある (Ellis, M.B.:More Dematiaceous Hyphomycetes:387, 1976)

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot

Rhamphospora nymphaeae D.D. Cunningham [*Entyloma nymphaeae* (Cunningham) Setchell]

堀 正太郎:園芸之友 25(5):254, 1929(昭 4) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:587, 1992

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] 1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

ヌマミズキ科 Nyssaceae

ニッサボク

(Nyssa)

Nyssa sinensis Oliver

(広葉樹)

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Pseudocercospora chibaensis Kobayashi & Nagashima [*Cercospora* sp.]

長島征哉・小林享夫:99 回日林論:519, 1988 ; Kobayashi, T. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 32(3):328, 1991

モクセイ科 Oleaceae

ヒトツバタゴ(ナンジャモンジャ)
Chinese fringe-tree
Chionanthus retusus Lindl. & Paxton
(広葉樹)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

斑点病 hanten-byo
Pseudocercospora chionanthicola C. Nakashima & Tak. Kobayashi [*Cercospora chionanthi-retusi* Togashi & Katsuki]
山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):50, 1960 ; 富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大科学報, Sect. II, 1:1, 1952 ; Nakashima, C. *et al.*:Mycoscience 43:95, 2002
[備考] 菌の所属を再検討した結果, *Pseudocercospora chionanthi-retusi* (Togashi & Katsuki) Nishijima, Nakashima & Kobayashi (Nakashima *et al.* 1999) としたが, 本学名は *P. chionanthi-retusi* Goh & Hsieh in Hsieh and Goh (1990) の later homonym となるため新名を与えた。しかしながら, 両者は同一種であるとして *P. chionanthi-retusi* Goh & Hsieh を与える判断もある

べっこうたけ病 bekkotake-byo Butt rot
Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタケ
今関六也:日植病報 4(3-4):205, 1935(昭 10) ; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989
[備考] 病原菌の異名はカシ類べっこうたけ病参照

††††
†*Cercospora chionanthi* Ellis & Everhart
澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):214, 1959
[備考] 台湾

レンギョウ(連翹)
Weeping forsythia
Forsythia suspensa (Thunb.) Vahl
(広葉樹)

枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
向 秀夫ら:目植病報 43(3):327, 1977

枝枯病* edagare-byo
Macrophoma forsythiae Togashi & Tsukamoto
Tsukamoto, N.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17(3-4):122, 1953

褐斑病 kappan-byo
Pseudocercospora forsythiae (Katsuki & Tak. Kobayashi) Deighton [*Cercospora forsythiae* Katsuki & Tak. Kobayashi]

小林享夫:植物防疫 29(8):319, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):273, 1976 ;
勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

先枯病 sakigare-byo Shoot blight

Ciborinia sp.

原田幸雄ら:日植病報 64(4):429, 1998

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] チョウセンレンギョウ (*F. koreana*) にも発生。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

外側正之・森田 儔:関西病虫研報 28:51, 1986

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

†††**根頭がんしゅ病** konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] 生産国不明

††††

Phoma forsythiae Cooke

塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(1):27, 1959

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] シナレンギョウにも発生

トネリコ類

Ash

Fraxinus spp.

(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]
川島祐介・山口忠義:森林防疫 38(10):183, 1989 ; 川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000
[備考] オウシュウトネリコ (*F. excelsior*), アメリカトネリコ (*F. americana*), トネリコ (*F. japonica*)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe fraxinicola* U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula fraxini* Miyabe] (白渋病)
安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明 44) ; 出田 新:実用植物病理学:161, 1901(明 35) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012
[備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・マルバアオダモに発生
(2) *Erysiphe salmonii* (Sydow & P. Sydow) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula salmonii* Sydow & P. Sydow] (白渋病)
平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973 ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):679, 1917(大 6) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):352, 1937(昭 12) ; 堀野龍介ら:日植病報 79(1):33, 2013
[備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・アラゲアオダモ・マルバアオダモ・マンシュウトネリコ・ビロードトネリコ(*Fraxinus pennsylvanica*)に発生
(3) *Typhulochaeta japonica* S. Ito & Hara
和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:98, 1977 ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):369, 1937(昭 12)
[備考] トネリコに発生

裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia fraxinicola U. Braun & H.D. Shin [*Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma]
出田 新:実用植物病理学:164, 1901(明 34) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):409, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:27, 2012
[備考] トネリコ・アオダモ・ヤチダモ・マルバアオダモ・ヤマトアオダモに発生。北アフリカ, 北米, 中央・西アジア, ヨーロッパに分布する *P. fraxini* とは区別される

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora fraxinites Ellis & Everhart [*Cercospora* sp.]
伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):191, 1959 ; Katsuki, S.:Rept. Tottoti Mycol. Inst. Japan 10:564, 1973

がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker (癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola [*Cylindrocarpon heteronema* (Berkeley & Broome) Wollenweber]
新島善直:日本森林保護学(下):504, 1912(明 45) ; 白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明 27) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:229, 1973
[備考] トネリコ (*F. japonica*)・ヤチダモ (*F. mandshurica* var. *japonica*)。病原菌の異名はポプラ類がんしゅ病参照

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease

Nectria cinnabarina (Tode) Fries [*Tubercularia vulgaris* Tode]
伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ
亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959
[備考] ヤチダモ。病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参照

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Aecidium fraxini-bungeanae* Dietel

安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:3, 1905(明 38)

[備考] トネリコ・アオダモ (*F. lanuginosa*)・シマタゴ

(2) *Uropyxis fraxini* (Komarov) Magnus

伊藤誠哉・平塚直秀:札幌博物学会報 9(2):267, 1927(昭 2)

[備考] アオダモ・マンシュウトネリコ (*F. mandshurica*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] ヤマトアオダモ (*F. longicuspis*)・マルバアオダモ・シオジ (*F. platypoda*)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum* sp.]

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):191, 1959 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:71, 1973

[備考] 完全世代は *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk であるがトネリコ類では未記録

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:林試東北支年報 11:206, 1970 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 268:13, 1974

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類つちくらげ病参照

ならたけ病* naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

堀 正太郎:病虫雑 5(5):333, 1918(大 7)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類ならたけ病参照。狭義の種名は未検討

灰斑病 haihan-byo

Macrophoma fraxini Delacroix

石坂忠之:病虫雑 2(3):225, 1915(大 4) ; 山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):179, 1960

斑点病* hanten-byo

Mycosphaerella maculiformis (Persoon) J. Schröter

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:383, 1917(大 6)

[備考] 病原菌の異名はシデ類斑点病参照

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Antrodia heteromorpha (Fries) Donk [*Daedalea heteromorpha* Fries] ミヤマシロアマタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 34:30, 1952 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.1:132, 1986

[備考] ヤチグモ。病原菌の異名はブナ幹心腐病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):149, 1959

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

++++苗疫病 nae-eki-byo Phytophthora rot (立枯病)

††*Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

原 攝祐:実験樹木病害篇:216, 1927(昭 2) ; 新島善直:日本森林保護学(下):514, 1912(明 45)

[備考] トネリコでの国内発生に疑問

††††

Cercospora fraxini-longicuspidis Miura

三浦密成:秋田農試報 8:56, 1957

[備考] コバノトネリコ

††††

†*Coniothyrium fraxini* Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:442, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部。マンシュウトネリコ(*Fraxinus rhynchophylla*)

††††

Daldinia concentrica (Bolton) Cesati & De Notaris チャコブタケ

白井光太郎:日本菌類目録:28, 1905(明 38) ; 原 攝祐:植物学雑誌 27(314):123, 1913(大 2)

††††

Diatrype stigma (Hoffmann) Fries シトネタケ

安田 篤:植物学雑誌 33(386):34, 1919(大 8)

[備考] コバノトネリコ

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):211, 1917(大 6)

††††

Phyllosticta coryli Westendorp

三浦密成:秋田農試報 8:32, 1957

[備考] マンシュウトネリコ

††††

Phyllosticta fraxini Ellis & G. Martin

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):49, 1914(大 3) ; 山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):181, 1960

[備考] ツクシトネリコ (*F. satsumana*)

オウバイ(黄梅)

Winter jasmine

Jasminum nudiflorum Lindl.

(広葉樹)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

大野啓一郎:森林防疫 24(12):243, 1975 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(2) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

ソケイ(ジャスミン)(素馨)

Jasmine

Jasminum officinale L. f. *grandiflorum* (L.) Kobuski

(広葉樹)

キソケイ *J. humile* var. *revolutum*

ハゴロモジャスミン *J. polyanthum* Franch.

アラビアジャスミン *J. sambac* (L.) Aiton

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] キソケイ (*J. humile* var. *revolutum*)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

梶谷裕二ら:日植病報 75(3):186, 2009

[備考] ハゴロモジャスミンに発生

(2) *Colletotrichum tropicale* E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels

近藤まりら:関東病虫研報 62:101, 2015 ; 市之瀬玲美ら:日植病報 82(1):25, 2016

[備考] アラビアジャスミン(*Jasminum sambac*)に発生

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

†枝枯病 edagare-byo

Phoma jasmini-sambactis Sawada

澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):536, 1919(大 9) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(16):139, 1914(大 3)

[備考] 台湾。マツリカ (*Jasminum sambac*)

†白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農試特別報 2:23, 1911(明 44)

[備考] 台湾。マツリカ。病原菌の異名はユッカ白絹病参照

†すす病 susu-byo Black mildew

Asterina jasmini-subtrinervis W. Yamamoto [*Asterina jasminicola* Yamamoto non Yates]

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):29, 1957 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 2(2):36, 1956

[備考] 台湾

†田斑病 maruhan-byo

Cercospora iasmini Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):119, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。マツリカ

††††

Hypocrea lactea (Fries) Fries

土居祥兌:科博研報 15(4):665, 1972

ネズミモチ(胤鷄, 玉椿)

Japanese privet

Ligustrum japonicum Thunb.

(広葉樹)

トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet *L. lucidum* Ait.

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae van Hall 1902

小林真樹ら:日植病報 72(1):46, 2006

[備考] 病原細菌の pathovar は未確定。トウネズミモチに発生

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

天野孝之:森林防疫 33(6):102, 1984

[備考] トウネズミモチにも発生

褐点病 katten-byo Brown spot (斑点病)

Mycosphaerella ilicis (Ellis) Lindau

原 攝祐:樹病学各論:107, 1923(大 12)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium klugkistianum Dietel [*Aecidium ligustri* Hennings]

安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):128, 1904(明 37)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] トウネズミモチにも発生。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす病 susu-byo Black mildew

(1) *Asterina ligustri* Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:372, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑 18(204), 1904(明 37)

(2) *Meliola osmanthi* Sydow & P. Sydow [*Meliola osmanthi-aquifolii* Hara]

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 36(11):376, 1961

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

奥野孝夫ら:原色樹木病虫害図鑑:206, 1977

斑紋病 hammon-byo Cercospora leaf spot

Cercospora ligustri Roumeguère

南部信方:病虫雑 8(11):554, 1921(大 10) ; 徳淵永治郎:宮部記念植物襍説:309, 1911(明 44)

[備考] トウネズミモチ (*L. lucidum*) にも発生

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] ムニンネズミモチ。接種試験未了

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:7, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎:日線虫研誌 9:49, 1979

(2) *Xiphinema chambersi* Thorne オオハリセンチュウの 1 種

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

++++ファイトプラズマ病 *Phytoplasma*-byo Japanese prived dwarf

†*Phytoplasma* sp.

鄭 照英ら:日植病報 70(3):295, 2004

[備考] 韓国。ネズミモチ・トウネズミモチに発生。本病原は jujube witches' broom subgroup (*P. ziziphi* と考えられる)。RT-PCR による検出。接種試験未了

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brown Sooty mold (煤病)

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3):262, 1940(昭 15) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾産菌類調査報告 5):23, 1931(昭 6)

[備考] 台湾。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照

++++

Diplodia mamma Fuckel

徳淵永治郎:宮部記念植物襍説:309, 1911(明 44)

++++

Isthmospora trichophila (G.F. Atkinson) Damon

Tubaki, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 4(4):85, 1963

[備考] すず病菌の重複寄生菌

††††

Phyllosticta ligustri Saccardo

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):270, 1927(昭2); 日野 巖・勝本 謙:見島総合学術調査報:119, 1964

††††

Theadgonia ligustrina (Boerema) B. Sutton

Yoshikawa, M. & Yokoyama, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(2):177, 1992

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

[備考] トウネズミモチ

イボタノキ(水臘木)

Ibota Privet

Ligustrum obtusifolium Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe ligustri (Homma) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera ligustri* Homma, *Microsphaera katumotoi* U. Braun, *Microsphaera ligustri* I. Hino & Katumoto non Homma, *Microsphaera alni* auct. non Salmon]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:368, 1911(明44); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):386, 1937(昭12); Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 9:910, 1958; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012

[備考] オオバイボタ・ミヤマイボタ (*L. tschonoskii*)・エゾイボタ (*L. tschonoskii* var. *glabrescens*) にも発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Aecidium klugkistianum* Dietel

安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44); 白井光太郎:日本菌類目録:4, 1905(明38)

[備考] タンナイイボタ・ケイボタにも発生

(2) *Uredo amami-oshimaensis* Morimoto

Morimoto, Y.:Journ. Jap. Bot. 31(2):40, 1956

[備考] オオバイボタ (*L. ovalifolium*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] オカイボタ (*L. hisauchii*) にも発生

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:7, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大 11)

†黒点病 kokuten-byo (黒腫病)

Phaeodothis ligustri Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):28, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。ノウコウイボタ (*Ligustrum nokoensis*)

††††葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの 1 種

河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

オリーブ

Olive

Olea europaea L.

(果樹)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):97, 1935(昭10); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

紫斑病 shihan-byo Fruit and leaf spot

Mycocentrospora cladosporioides (Saccardo) M.E.A. Costa ex Deighton [*Cercospora cladosporioides* Saccardo]

渡辺竜雄:植物病学:293, 1957

梢枯病 shoko-byo ()

Coleophoma oleae (de Candolle) Petrak & Sydow [*Macrophoma oleae* (de Candolle) Berlese & Voglino]

原 攝祐:植物防疫 12(8):369, 1958

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

外側正之:関西病虫研報 33:65, 1991

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

都崎芳久・川原精剛:四国植防 36:7, 2001

[備考] 衣川ら(日植病報 74(3):157, 2008)は本菌による新梢枯死症を報告した

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium olivarum* J.V. Almeida]

逸見武雄・倉田静子:菌類 1(3, 4):83, 1931(昭 6); 逸見武雄ら:日植病報 2(6):550, 1933; 山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Tylenchulus semipenetrans Cobb ミカンネグサレセンチュウ

三枝敏郎:農及園 34(12):1847, 1959

ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency

ほう素欠乏

佐藤公一:原色図解作物の要素欠乏—診断と対策 (三井進午・今泉吉郎監修):216, 1958

†がんしゅ病 ganshu-byo Tuberculosis, Knot disease (癌腫病, 結節病, 小癌病)

Pseudomonas savastanoi pv. *savastanoi* (Smith 1906) Gardan, Bollet, Abu Ghorrah, Grimont & Grimont 1992
[*Bacterium savastanoi* Smith, *Pseudomonas savastanoi* (Smith) Stevens]

上田栄次郎:病虫雑 1(1):20, 1914(大 3); 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:398, 1941(昭 16); 岡部徳夫:
植物細菌病学:172, 1949; 達瑞枝ら:日植病報 81(3):300, 2015; Tsuji, M. *et al.*:Plant Dis. 99(10):1445, 2015

[備考] 上田(1914), 石山・向(1941)および岡部(1949)は本病の海外(アメリカ・アルゼンチン・メキシコ・
イタリア)での発生を紹介。達ら(2015)および Tsuji *et al.*(2015)は本病の我が国での発生を確認

††††新梢枯死症 shinsho-koshi-sho Shoot dieback

Colletotrichum acutatum J.H. Simmonds

衣川 勝ら:日植病報 74(3):157, 2008

[備考] 病原は炭疽病と同一

††††

†††*Penicillium* sp.

主要病原菌害虫発生記録:植物防疫 5(7):261, 1951

[備考] 生産地香港

キンモクセイ(金木犀)

Sweetolive

Osmanthus fragrans Lour. var. *aurantiacus* Makino

(広葉樹)

ギンモクセイ(銀木犀) Sweetolive *Osmanthus fragrans* Lour. var. *fragrans*

ウイルス病 virus-byo Virus disease

Tobacco mosaic virus (TMV) タバコモザイクウイルス

奥山 哲・篠田信行:関東病虫研報 21:74, 1974

[備考] キンモクセイ。原株はモザイク症状

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

山本和太郎・三宅 昌:植物防疫 10(3):110, 1956

[備考] キンモクセイ。病原菌の異名はポプラ類褐色こうやく病参照

褐斑病 kappan-byo

Phyllosticta osmanthicola Trinchieri

西内義一・宮脇雪夫:農学研究 33:445, 1942(昭 17)

[備考] ギンモクセイ

先葉枯病 saki-hagare-byo

Phomopsis sp.

小林享夫:林業と薬剤 55:13, 1976; 安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:137, 1973

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Zaghouania phillyrae Patouillard [*Aecidium sizuokaensis* Hara]

伊藤一雄:樹病学大系 3:76, 1974 ; 平塚直秀:植研雑 10(1):6, 1934(昭 9)

[備考] ギンモクセイ・キンモクセイ・シマモクセイ・ナタオレサツマモクセイ (*O. insularis*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp.

小林享夫:林業と薬剤 55:13, 1976

[備考] キンモクセイ

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小林享夫:日植病報 50(1):91, 1984 ; 小林享夫:日植病報 50(4):528, 1984

[備考] キンモクセイ

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotia sp.

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:210, 1977

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] シマモクセイ。接種試験未了

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎ら:植物防疫 14(7):309, 1960 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

†すすかび病* susukabi-byo (褐斑病)

Cercospora osmanthi-asiatici Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 32(231):369, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。ギンモクセイ

†すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow emend. W. Yamamoto

Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):169, 1956

[備考] 台湾。ギンモクセイ

(2) *Meliola osmanthi* Sydow & P. Sydow

山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):155, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。ナガバモクセイ (*Osmanthus matsumuranus*)

†ふくれさび病 fukure-sabi-byo (膨銹病)

Aecidium osmanthi Sydow, P. Sydow & E.J. Butler

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):43, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。ギンモクセイ

††††

Ascochyta sp.

安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:133, 1973

[備考] ギンモクセイ

ヒイラギ(柊)

Holly osmanthus

Osmanthus heterophyllus (G. Don) P. S. Green

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo

Phyllosticta osmanthicola Trinchieri

小林享夫:林業と薬剤 55:12, 1976

[備考] ヒイラギモクセイ (*O. fortunei*)

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:11, 1938(昭 13) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12:70, 1971 ;

Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] ヒイラギモクセイにも発生。病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Zaghouania phillyreae Patouillard

原 攝祐:実験樹木病害篇:307, 1927(昭 2) ; 平塚直秀:農業及園芸 4(9):1027, 1929(昭 4)

[備考] ヒイラギモクセイにも発生。病原菌の異名はモクセイさび病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす病 susu-byo Black mildew (小すす病)

(1) *Meliola butleri* Sydow & P. Sydow

安田 篤:植物学各論隠花部:360, 1911(明 44) ; 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明 37)

[備考] 病原菌の異名はホオノキ小すす病参照

(2) *Meliola osmanthi* Sydow & P. Sydow

原 攝祐:菌類 1(2):13, 1931(昭 6) ; 山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):155, 1940(昭 15) ; Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 36(11):376, 1961

[備考] 病原菌の異名はネズミモチすす病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp.

小林享夫:林業と薬剤 55:13, 1976

[備考] フイリヒイラギにも発生

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotia sp.

小林享夫:林業と薬剤 55:13, 1976

[備考] ヒイラギモクセイ

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

ライラック(ムラサキハシドイ)

Lilac

Syringa vulgaris L. 及び 1 代交配種
(広葉樹)

輪紋病 rimmon-byo Ring spot

Lilac ringspot virus# (LiRSV) ライラック輪紋ウイルス

楠木 学ら:日植病報 43(1):77, 1977

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

奥田誠一ら:日植病報 62(3):320, 1996

[備考] 伝染試験なし。一代交配種 *Syringa* × *prestoniae* cv. Jaga に発生

枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial blight

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902

鍵渡徳次ら:日植病報 49(1):128, 1983 ; 鍵渡徳次ら:日植病報 50(3):422, 1984 ; 鍵渡徳次ら:日植病報 55(2):244, 1989

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

広間勝巳:植物防疫 40(12):581, 1986 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

[備考] ハシドイ (*S. reticulata*)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe syringae* Schweinitz

Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 57(5):349, 2016

(2) *Erysiphe syringae-japonicae* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon, *Microsphaera syringae-japonicae* U. Braun]

川村幹雄:日園雑 34(5):16, 1922(大 11) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1984(明 27) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):222, 1988 ; Tanda, N. *et al.*:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):266, 1995 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012

[備考] ハシドイ ・ハンガリーハシドイ ・タチハシドイ ・ウスゲハシドイ ・ワタゲハシドイ ・ハハシドイ ・ウスゲシナハシドイ も宿主として記録されている

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe syringae Schweinitz [*Microsphaera syringae* (Schweinitz) Magnusson]

Sato, Y. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(3):190, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012

[備考] 中国。マンシュウハシドイ (*S. reticulata* var. *mandshurica*)に発生

枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

鍵渡徳次・小澤 賢:関東病虫研報 34:109, 1987

褐色こやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

天野孝之:森林防疫 33(6):102, 1984

褐斑病 kappan-byo

Pseudocercospora lilacis (Desmazières) Deighton [*Cercospora lilacis* (Desmazières) Saccardo]

小林享夫:森林防疫 23(9):179, 1974 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(1):9, 1975 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):542, 1992

[備考] マンシュウハシドイ (*S. reticulata* var. *mandshurica*) にも発生

先枯病 sakigare-byo Shoot blight

Ciborinia sp.

原田幸雄・鳴海智子:日植病報 64(4):429, 1998

[備考] ハシドイ (*S. reticulata*)

さめ肌胴枯病* samehada-dogare-byo Botryosphaeria canker (胴枯病)

Botryosphaeria dothidea (Mougeot) Cesati & De Notaris

小口健夫:専修大学北海道短大紀要 20:281, 1987

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

鍵渡徳次ら:日植病報 53(1):119, 1987

[備考] 切枝。完全世代 *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk はライラックでは未記録

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

堀田治邦:日植病報 60(6):792, 1994

††††根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

横尾多美男:朝鮮総督府農試彙報 11(4):255, 1939(昭14)

[備考] 病原本線虫の異名は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

††††

Phyllosticta syringae Westendorp

三浦密成:秋田農試報 13:11, 1962

[備考] ハシドイ (*Syringa reticulata*)

ヒメハギ科 Olygolaceae

セネガ

Senega

Polygala senega L.

(特用作物)

黒根病 kurone-byo

Thielaviopsis basicola (Berkeley & Broome) Ferraris

松尾綾男・塩飽邦子:日植病報 41(1):97, 1975

アカバナ科 Onagraceae

ミズタマソウ

(Circaea)

Circaea mollis Sieb. & Zucc.

(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe circaeae L. Junell

丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000

アカバナ類

(Epilobium)

Epilobium spp.

(野草)

アカバナ属の1種 *Epilobium latifolium* L.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

[備考] *E. latifolium* に発生

フクシャ(ボクシャ, ヒョウタンソウ)

Common garden fuchsia

Fuchsia hybrida Voss

(草花)

立枯病 tachigare-byo Foot rot

Pythium sp.

大久保博人・佐藤豊三:日植病報 61(3):221, 1995

[備考] 病原は *P. ultimum* var. *ultimum* に近似

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977 ; 我孫子和雄ら:関西病中研報 62(6):630, 1996 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:623, 1998

ゴデチア(イロマツヨイ)

Farewell to spring, Godetia

Godetia spp.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

我孫子和雄ら:関西病虫研報 39:31, 1997

[備考] *Godetia* sp.に発生。接種植物からの再分離なし

立枯病 tachigare-byo Foot rot

Pythium sp.

大久保博人・佐藤豊三:日植病報 61(3):221, 1995

[備考] 病原は*P. ultimum* var. *ultimum*に類似

チョウジタデ類

(*Ludwigia*)

Ludwigia spp.

(野草)

チョウジタデ *L. epilobioides* Maxim.

植物寄生性線虫* shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella diversa Sher レンコンネモグリセンチュウ

高木素紀ら:関東病虫研報 63:98, 2016

[備考] チョウジタデに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] チョウジタデ

メマツヨイグサ(雌待宵草)・アレチマツヨイグサ

Common evening primrose

Oenothera biennis L.

(野草)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

河原崎秀志ら:日植病報 81(3):225, 2015

[備考] メマツヨイグサに発生

ツキミソウ(ツキミグサ)

Evening Primrose

Oenothera tetraptera Cav.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

大木 理・吉田美佐:関西病虫研報 35:75, 1993

[備考] モモイロヒルザキツキミソウ (*Oenothera speciosa* var. *childsii*)

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe polygoni* de Candolle

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:225, 1917(大 6)

[備考] 寄主植物名リスト。調査が必要

(2) *Oidium* sp.

丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999

[備考] ヒルザキツキミソウ *O. speciosa* Nutt.

ヒシ(菱)

Watercaltrops, Jesuit's nut

Trapa japonica Flerov

(野菜)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

野中福次ら:九病虫研会報 36:56, 1990

白斑病 hakuhan-byo

Gnomonia albomaculans Fukui

福井武治:三重高農学報 3:11, 1933(昭 8)

[備考] 接種試験未了

ラン科 Orchidaceae

ナリヤラン

(Arundina)

Arundina chinensis Blume

(草花)

†葉枯細菌病 hagare-saikin-byo (葉枯性細菌病)

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Bacterium andropogonis* Smith]

岡部徳夫:植物細菌病学:371, 1949

[備考] 台湾。寄生性が *P. andropogonis* と異なるため, *Bacterium andropogonis* var. *arundinae* Okabe 1949 と命名されたが詳細な発表はない

†さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium arundinae Sydow & P. Sydow

藤黒與三郎:病虫雑 2(5):408, 1915(大 4)

[備考] 台湾

シラン

Bletilla

Bletilla striata (Thunb.) Rchb. fil.

(草花)

さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium bletiae Dietel

金子 繁:菌蕈研報 16:37, 1978

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

エビネ

Japanese calanthe

Calanthe spp.

(草花)

エビネ *C. discolor* Lindl.

ウイルス病* virus-byo

(1) *Bean yellow mosaic virus* (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス

井上成信ら:日植病報 57(1):94, 1991

[備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし

(2) *Cymbidium mosaic virus* (CymMV) シンビジウムモザイクウイルス

井上成信ら:日植病報 57(1):94, 1991 ; 松本純一ら:岡大資生研報 4(2):187, 1996

(3) *Odontoglossum ringspot virus* (ORSV) オドントグロッサム輪点ウイルス

井上成信:自然と野生ラン 5:71, 1986 ; 松本純一ら:岡大資生研報 3(2):163, 1995

(4) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

松本純一ら:日植病報 59(3):333, 1993

[備考] 戻し接種なし

黄色斑紋モザイク病 oshoku-hammon-mosaic-byo Yellow mosaic

Orchid fleck virus (OFV) ランエソ斑紋ウイルス

井上成信ら:日植病報 60(6):785, 1994

斑紋モザイク病 hammon-mosaic-byo

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

井上成信ら:日植病報 46(1):88, 1980 ; 井上成信ら:農学研究 60(1):1, 1982

微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mosaic

Calanthe mild mosaic virus (CalMMV) エビネ微斑モザイクウイルス

Gara I.W. et al.:J. Phytopathol. 146(7):357, 1998

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) Calanthe mosaic virus# (CalMV) エビネモザイクウイルス

山本孝猷・石井正義:日植病報 47(1):130, 1981 ; 山本孝猷・石井正義:四国植防 16:81, 1981

[備考] 戻し接種なし

(2) Clover yellow vein virus (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス

井上成信ら:日植病報 52(3):550, 1986 ; Inouye, N. et al.:Acta Hort. 234, 61, 1988

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial black spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995

丹野和幸ら:日植病報 82(3):271, 2016 ; Tomomitsu, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 82(4):220, 2016

さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium bletiae Dietel

金子 繁:菌蕈研報 16:37, 1978

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum lilicearum (Schweinitz) Ferraris [Colletotrichum dematium (Persoon) Grove]

鍵渡徳次:東京農大農学集報 31(1):27, 1986

根黒斑病 ne-kokuhan-byo Cyindrocarpon root rot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

竹内 純ら:日植病報 70(1):46, 2004

[備考] ニオイエビネ Calanthe izu-insularis (Satomi) Ohwi & Satomi

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

カトレア

Cattleya

(草花)

カトレア及び種間, 属間雑種 Cattleya Cattleya spp.

ウイルス病 virus-byo

- (1) *Odontoglossum ringspot virus* (ORSV) オドントグロッサム輪点ウイルス
井上成信ら:日植病報 29(5):270, 1964 ; 井上成信:日本蘭協会誌 12(1):2, 1966
(2) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス
向 秀夫ら:日植病報 37(3):198, 1971

えそ病 eso-byo Foliar necrosis

- Cymbidium mosaic virus* (CymMV) シンビジウムモザイクウイルス
井上成信:日本蘭協会誌 10(1):6, 1964 ; 井上成信:日本蘭協会誌 12(1):2, 1966 ; Inouye, N.:Ber. Ohara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 14(3):161, 1968

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot

- Burkholderia gladioli* pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas gladioli* pv. *gladioli* Severini]
木嶋利男ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987
[備考] ブラウナラ (× *Cattleya* × *Broughtonia* × *Diacrium*) に発生

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

- Acidovorax avenae* subsp. *cattleyae* (Pavarino 1911) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 [*Pseudomonas cattleyae* (Pavarino) Săvulescu]
木嶋利男:植物防疫 40(3):143, 1986 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:75, 1987
[備考] 木嶋 (1987) は, *P. cattleyae* を *P. avenae* の異名とする意見を採用している

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

- Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]
河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:262, 1976

疫病 eki-byo Phytophthora black rot

- Phytophthora* sp.
植松清次・赤山喜一郎:日植病報 57(1):77, 1991
[備考] 病菌は *Phytophthora nicotianae* に類似する

黄斑病 ohan-byo Leaf spot

- Cercospora* sp.
森田 儔:関東病虫研報 32:151, 1985

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

- Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo
徳永芳雄・柿 眞:日植病報 40(4):377, 1974 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:534, 1992

苗黒腐病 nae-kurogusare-byo Black rot

- (1) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*
河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:263, 1976
(2) *Pythium* spp.
森田 儔:花の病害虫と新防除:231, 1966 ; 上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:403, 1975

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:402, 1975

ビルステケラ

Cochlioda × *Miltonia* × *Odontoglossum* 属間雑種

(草花)

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot

Burkholderia gladioli pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas gladioli* pv. *gladioli* Severini]

木嶋利男ら:日植病報 49(1):129, 1983 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial black spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995

Takahashi, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(5):284, 2004

オドンティオダ

Odontioda

Cochlioda × *Odontoglossum* 属間雑種

(草花)

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial black spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995

Takahashi, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(5):284, 2004

葉腐細菌病 hagusare-saikin-byo Bacterial leaf rot

Enterobacter cloacae (Jordan 1890) Hormaeche & Edwards 1960

高橋義行ら:日植病報 62(6):612, 1996 ; 高橋義行ら:日植病報 63(3):164, 1997

黒点病 kokuten-byo Black leaf spot

Fusarium guttiforme Nirenberg & O'Donnell

高橋幸吉ら:日植病報 69(3):260, 2003 ; 青木孝之ら:日植病報 69(3):260, 2003

セロジネ

(Coelogyne)

Coelogyne pandurata Lindl.

(草花)

ウイルス病* virus-byo

Cymbidium mosaic virus (CymMV) シンビジウムモザイクウイルス

中山喜一ら:関東病虫研報 38:125, 1991

コルマナラ

(Colmanara)
Colmanara spp.
(草花)

ウイルス病 *virus-byo*

Colmanara mottle virus# (ColMV) コルマナラえそ斑紋ウイルス

井上成信:日植病報 43(3):373, 1977

[備考] 戻し接種なし

カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シンビジウム, スルガラン
Cymbidium
Cymbidium spp.
(草花)

えそ斑紋病 *eso-hammon-byo*

Orchid fleck virus (OFV) ランえそ斑紋ウイルス

張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976 ; 近藤秀樹ら:岡大資生研報 3(2):151, 1995

退緑斑病* *tairyokuhan-byo* Chlorotic mosaic

Cymbidium chlorotic mosaic virus# (CyCMV) シュンラン退緑斑ウイルス

近藤英樹ら:日植病報 60(3):396, 1994

[備考] シュンラン (*Cymbidium goeringii*) に発生

微斑モザイク病 *bihan-mosaic-byo*

Cymbidium mild mosaic virus# (CyMMV) シンビジウム微斑モザイクウイルス

張 茂雄ら:日植病報 41(3):286, 1975

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

(1) *Cymbidium mosaic virus* (CymMV) シンビジウムモザイクウイルス

Inouye, N.:Ber. Ohara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 14(3):161, 1968

(2) *Odontoglossum ringspot virus* (ORSV) オドントグロッサム輪点ウイルス

Inouye, N.:Ber. Ohara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 13(3):149, 1966 ; 近藤秀樹ら:岡大資生研報 1(1):21, 1992

褐色斑点細菌病 *kasshoku-hanten-saikin-byo* Bacterial brown spot

Burkholderia cepacia (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 [*Pseudomonas cepacia* Palleroni & Holmes]

Akhter, T. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 51(3):344, 1985 ; 土屋健一ら:日植病報 52(5):825, 1986

褐色腐敗病 *kasshoku-fuhai-byo* Bacterial brown rot

Burkholderia gladioli pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas gladioli* pv. *gladioli* Severini]

木嶋利男ら:日植病報 49(1):129, 1983 ; 畔上耕児ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987

黒色腐敗病 *kokushoku-fuhai-byo*

Pseudomonas marginalis (Brown 1918) Stevens 1925

畔上耕児ら:日植病報 50(3):421, 1984

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

向 秀夫ら:日植病報 42(1):114, 1976 ; 河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:262, 1976

裏すすかび病 ura-susukabi-byo Sooty spot

Pseudocercospora cymbidiicola U. Braun & C.F. Hill

中島千晴ら:日植病報 63(3):200, 1997 ; 中島千晴ら:関西病虫研報 48:61, 2006

[備考] シンビジウムに発生

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora multivesiculata* Ilieva, Man in 't Veld, W. Veenb.-Rijks & R. Pieters

植松清次ら:日植病報 71(3):212, 2005

[備考] シンビジウムに発生

(2) *Phytophthora palmivora* (E.J. Butler) E.J. Butler

植松清次ら:日植病報 78(1):22, 2012

[備考] シンビジウムに発生

黄斑病 ohan-byo

(1) *Fusarium proliferatum* (Matsushima) Nirenberg var. *minus* Nirenberg [*Fusarium moniliforme* J. Sheldon emend. Snyder & Hansen]

市川和規ら:日植病報 55(4):496, 1989 ; 市川和規・青木孝之:日植病報 62(3):261, 1996

(2) *Fusarium sacchari* (E.J. Butler & Hafiz Khan) W. Gams var. *subglutinans* (Wollenweber & Reinking) Nirenberg

市川和規ら:日植病報 55(4):496, 1989 ; 市川和規・青木孝之:日植病報 62(3):261, 1996

[備考] Gerlach & Nirenberg (1982) の分類体系による

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf blight

Fusarium subglutinans (Wollenweber & Reinking) P.E. Nelson, Toussoun & Marasas

本多哲也:日植病報 61(3):221, 1995

乾腐病 kampu-byo Dry rot

Fusarium solani (Martius) Saccardo

市川和規・齋藤英毅:関東病虫研報 45:119, 1998

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:112, 1939(昭 14)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

森田 儔ら:原色花の病害虫防除:96, 1978 ; 鍵渡徳次ら:関東病虫研報 33:161, 1986

苗黒腐病 nae-kurogusare-byo Black rot

Pythium ultimum Trow var. *ultimum*

河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:263, 1976

葉枯病 hagare-byo

Cylindrosporium sp.

堀 正侃・岩田吉人:病虫雑 23(11):867, 1936(昭 11)

腐敗病 fuhai-byo Bulb and root rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal

木嶋利男・峯岸長利:日植病報 49(1):79, 1983

芽腐病 megusare-byo Bud rot

Aplosporella sp.

佐藤豊三ら:日植病報 64(6):630, 1998

[備考] カンラン

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema americanum Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

[備考] シュンランに発生。種名は再検討を要する

アツモリソウ

(Cypripedium)

Cypripedium macranthum Sw.

(草花)

褐色腐敗病* kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot

Erwinia cypripedii (Hori 1911) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923 [*Bacillus cypripedii* Hori]
Hori, S.:Zbl. Bakt. Parasit. Inf. Hyg. Abt. II 31:85, 1911(明 44)

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 56(1):147, 1990

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema sp. オオハリセンチュウの 1 種

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

デンドロビウム類

Dendrobium

Dendrobium spp. 及び種間雑種

(草花)

セッコク Mohl's dendrobium *D. moniliforme* (L.) Swartz

えそ斑紋病 eso-hammon-byo

Orchid fleck virus (OFV) ランえそ斑紋ウイルス

張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

井上成信:農学研究 53(1-2):49, 1969

(2) *Cymbidium mosaic virus* (CymMV) シンビジウムモザイクウイルス

井上成信:日本蘭協会誌 17(1):3, 1971

(3) *Dendrobium mosaic virus* (DeMV) デンドロビウムモザイクウイルス

井上成信:日植病報 36(3):185, 1970 ; Inouye, N.:Ber. Ohara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 16(3):165, 1976

(4) *Dendrobium severe mosaic virus* (DeSMV) デンドロビウムシビアモザイクウイルス

Gara, I. W. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(4):422, 1998

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot

Burkholderia gladioli pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas gladioli* pv. *gladioli* Severini]

木嶋利男ら:日植病報 51(1):96, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987

褐斑病 kappan-byo

Acidovorax avenae subsp. *cattleyae* (Pavarino 1911) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 [*Pseudomonas cattleyae* (Pavarino) Săvulescu]

河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:263, 1976

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:262, 1976

腐敗細菌病 fuhai-saikin-byo Bacterial brown rot

Erwinia cypripedii (Hori 1911) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923

木嶋利男:植物防疫 40(3):143, 1986 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:80, 1987

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:264, 1976

すす葉枯病 susu-hagare-byo Sooty leaf blight

Pseudocercospora sp.

佐藤豊三ら:日植病報 64(4):430, 1998 ; 佐藤豊三ら:四国植防 36:29, 2001

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:265, 1976 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:534, 1992

苗黒腐病 nae-kurogusare-byo Black rot

Pythium ultimum Trow var. *ultimum*

河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:263, 1976

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:263, 1976

葉枯病 hagare-byo

Cylindrosporium sp.

河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:264, 1976

斑点病 hanten-byo

Selenophoma dendrobii Abiko

我孫子和雄:日植病報 41(3):255, 1975 ; 我孫子和雄:日植病報 42(3):261, 1976

腐敗病 fuhai-byo Bulb and root rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal

木嶋利男ら:日植病報 48(3):355, 1982

ディネマ
(Dinema)
Dinema spp.
(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler

鈴木幹彦ら:関東病虫研報 55:89, 2008

[備考] *Dinema polybulbon* に発生

ドリテノプシス
Doritaenopsis
× *Doritaenopsis* (*Doritis* × *Phalaenopsis*)
(草花)

株枯病 kabugare-byo Nectria blight

Nectria haematococca Berkeley & Broome [*Fusarium solani* (Martius) Saccardo emend. W.C. Snyder & H.N. Hansen]

森田泰彰ら:日植病報 55(4):496, 1989 ; 森田泰彰ら:日植病報 58(3):452, 1992

[備考] ドリテノプシス (× *Doritaenopsis asahi*) に発生

カキラン
(Epipactis)
Epipactis thunbergii A. Gray
(草花)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

サギソウ
Egret flower
Habenaria radiata Spreng.
(草花)

萎縮病 ishuku-byo Stunt

Watermelon mosaic virus (WMV) スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス *Watermelon mosaic virus 2*#]

Gara, I. W. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(6):628, 1996 ; Gara, I. W. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(2):113, 1997

ウイルス病 *virus-byo*

Habenaria mosaic virus (HaMV) サギソウモザイクウイルス [*Pecteilis mosaic virus*#]

井上成信:日植病報 46(5):414, 1980 ; 井上成信ら:岡大資源生研報 5(2):155, 1998

リカステ
(*Lycaste*)
Lycaste spp.
(草花)

えそ斑点病 *eso-hanten-byo* Mottle

Cymbidium mosaic virus (CymMV) シンビジウムモザイクウイルス

長井雄治ら:日植病報 60(6):753, 1994

[備考] 戻し接種なし

ミルトニア
Pansy-orchid
Miltonia spp. 及び種間雑種
(草花)

微斑モザイク病 *bihan-mosaic-byo* Mild mosaic

Carnation mottle virus (CarMV) カーネーション斑紋ウイルス

河野敏郎ら:日植病報 60(3):396, 1994

褐色腐敗病 *kasshoku-fuhai-byo* Bacterial brown rot

Burkholderia gladioli pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas gladioli* pv. *gladioli* Severini]

木嶋利男ら:日植病報 52(1):92, 1986 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987

オドントシジウム
(*Odontocidium*)
Odontocidium (*Odontoglossum* × *Oncidium*) spp.
(草花)

黒斑細菌病 *kokuhan-saikin-byo* Bacterial black spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995

Takahashi, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(5):284, 2004

オドントグロッサム
(*Odontoglossum*)

Odontoglossum spp.
(草花)

えそ斑紋病 eso-hammon-byo

Orchid fleck virus (OFV) ランえそ斑紋ウイルス

張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial black spot

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995

Takahashi, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(5):284, 2004

黒点病 kokuten-byo Black leaf spot

Fusarium guttiforme Nirenberg & O'Donnell

高橋幸吉ら:日植病報 69(3):260, 2003 ; 青木孝之ら:日植病報 69(3):260, 2003

オンシジウム

Oncidium

Oncidium spp. 及び種間雑種
(草花)

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo

Burkholderia gladioli (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993

[*Pseudomonas gladioli* Severini]

伊藤泰信ら:日植病報 57(1):132, 1991

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

伊藤泰信ら:日植病報 56(3):394, 1990

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler

植松清次ら:日植病報 58(4):540, 1992

[備考] *Oncidium* Golden Sunset 'Taka' および *O. Gower* Ramsey に発生。MF1 に該当

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

富岡啓介・佐藤豊三:日植病報 70(1):45, 2004 ; 大高伸明ら:四国植防 43:7, 2008

[備考] *O. sphacelatum* Lindley

††††

病原未記載

[備考] 電顕観察 による Orchid fleck virus (OFV ランえそ斑紋ウイルス)検出の報告がある(張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976)

パフィオペディラム
Lady's-slipper
Paphiopedilum spp. 及び種間雑種
(草花)

ウイルス病 virus-byo

Cymbidium mosaic virus (CymMV) シンビジウムモザイクウイルス
大野 博・向 秀夫:日植病報 35(2):120, 1969

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot

Erwinia cypripedii (Hori 1911) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923
木嶋利男:植物防疫 40(3):143, 1986; 木嶋利男:栃木農試研報 34:80, 1987; 瀧川雄一ら:日植病報 53(3):404, 1987
[備考] これとは別に *Erwinia* 属もしくは *Enterobacter* 属の1細菌が関与する

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]
上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:403, 1975

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum cypripedii Hori
南部信方:病虫雑 2(8):743, 1915(大 4)
[備考] 病菌の分類学的所属については再検討が必要

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon
上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:404, 1975

ファレノプシス
Moth orchid
Phalaenopsis spp. 及び種間雑種
(草花)

ウイルス病* virus-byo

(1) *Cymbidium mosaic virus* (CymMV) シンビジウムモザイクウイルス
井上成信ら:植物防疫 44(4):177, 1990
[備考] 総説のため詳細は不明
(2) *Odontoglossum ringspot virus* (ORSV) オドントグロッサム輪点ウイルス
井上成信ら:植物防疫 44(4):177, 1990
[備考] 総説のため詳細は不明

褐色腐敗病* kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot

(1) *Burkholderia gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993
横内京子ら:関東病虫研報 61:117, 2014
(2) *Erwinia cypripedii* (Hori 1911) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923 [*Bacillus cypripedii* Hori] Hori, S.:Zbl. Bakt. Parasit. Inf. Hyg. Abt. II 31:85, 1911(明 44)

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Acidovorax avenae subsp. *cattleyae* (Pavarino 1911) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992
[*Pseudomonas cattleyae* (Pavarino) Sávulescu]

陶山一雄ら:日植病報 49(1):129, 1983 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:75, 1987

[備考] 陶山ら (1983) および木嶋 (1987) は, *P. cattleyae* を *P. avenae* の異名とする意見を採用している

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

(1) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003
[*Bacillus carotovorus* Jones, *Bacillus carotovorus* var. *phalaenopsidis* Okabe, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

松本 巍・岡部徳夫:熱帯農学会誌 3:117, 1931(昭 6) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:369, 1949 ; 向 秀夫ら:日植病報 42(1):114, 1976

(2) *Dickeya* sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

伊藤泰信ら:日植病報 56(1):98, 1990

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

株枯病 kabugare-byo Nectria blight

Nectria haematococca Berkeley & Broome [*Fusarium solani* (Martius) Saccardo emend. W.C. Snyder & H.N. Hansen]

森田泰彰ら:日植病報 55(4):496, 1989 ; 森田泰彰ら:日植病報 58(3):452, 1992

乾腐病 kampu-byo Sheath rot

Nectria ochroleuca (Schweinitz) Berkeley

佐藤豊三ら:日植病報 62(3):267, 1996

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら:関東病虫研報 40:171, 1993

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

徳永芳雄・柿 寛 眞:日植病報 40(4):377, 1974 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:404, 1975

†淡色炭そ病 tanshoku-tanso-byo Anthracnose

Cylindrosporium phalaenopsidis Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 51(台湾産菌類調査報告 5):108, 1930(昭 5)

[備考] 台湾

ナゴラン

Sedirea japonica

Sedirea japonica (Linden ex Rchb.fil.) Garay & Sweet

(草花)

褐色腐敗病* kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot

Erwinia cypripedii (Hori 1911) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923 [*Bacillus cypripedii* Hori]
Hori, S.:Zbl. Bakt. Parasit. Inf. Hyg. Abt. II 31:85, 1911(明 44)

トンボソウ類

(*Tulotis*)

Tulotis spp.

(野草)

トンボソウ *Tulotis ussuriensis* (Regel) Hara

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema americanum Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

[備考] トンボソウに発生。種名は再検討を要する

バンダ

Vanda

Vanda spp. 及び種間雑種

(草花)

ウイルス病 virus-byo

Cymbidium mosaic virus (CymMV) シンビジウムモザイクウイルス

井上成信・光畑興二:日植病報 47(1):130, 1981 ; Gara, I. W. *et al.*:Bull. Res. Inst. Bioresour. Okayama Univ. 4(2):163, 1996

[備考] 戻し接種なし

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot

Burkholderia gladioli pv. *gladioli* (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [*Pseudomonas gladioli* pv. *gladioli* Severini]

木嶋利男ら:日植病報 52(1):151, 1986 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

伊藤泰信ら:日植病報 56(3):394, 1990

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

疫病 eki-byo *Phytophthora* black rot

Phytophthora sp.

植松清次・赤山喜一郎:日植病報 57(1):77, 1991

[備考] 病菌は *Phytophthora nicotianae* に類似する

白絹病 shirakinu-byo Basal rot

Sclerotium rolfsii Saccardo

我孫子和雄ら:関西病虫研報 32:78, 1990

バニラ
Vanilla
Vanilla fragrans Ames
(特用作物)

†立枯病 tachigare-byo Stem rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *vanillae* Tucker

鬼木正臣:熱帯林業(新) 12:23, 1988 ; Tombe, M.:Diagnostic manual for industrial crop diseases in Indonesia (JICA & RISM ed.):76, 1993

[備考] インドネシア

ゼンマイ科 Osmundaceae

ゼンマイ

Zenmai

Osmunda japonica Thunb.

(野菜)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

周藤靖雄:島根病虫研報 7:14, 1979

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福土両教授還暦記念論文集:36, 1955

カタバミ科 Oxalidaceae

オカ

Oca

Oxalis tuberosa Molina

(野菜)

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

佐藤豊三ら:日植病報 63(3):200, 1997 ; 佐藤豊三ら:四国農試報 64:1, 1999 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005

オキザリス

Oxalis

Oxalis spp.

(草花)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

カタバミ類

(*Oxalis*)

Oxalis spp.

(野草)

フシネハナカタバミ *Oxalis articulata* Savigny

カタバミ *Oxalis corniculata* L.

アカカタバミ *Oxalis corniculata* L. f. *rubrifolia* Hara

ムラサキカタバミ *Oxalis corymbosa* DC.

エゾタチカタバミ *Oxalis fontana* Bunge

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Pseudocercospora oxalidis (Goh & S.Y. Hsieh) U. Braun

今泉英理夏ら:43 回日菌講 44, 1999 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

[備考] ムラサキカタバミ *O. corymbosa* DC に発生

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Aecidium oxalidis* Thümen

原田幸雄:北日本病害虫研報 35:41, 1984 ; 原田幸雄:日本植物病害大事典(岸 國平編):1209, 1998

[備考] カタバミ・アカカタバミ・エゾタチカタバミ。トウモロコシさび病菌 *Puccinia sorghi* Schweinitz のさび孢子世代

(2) *Puccinia oxalidis* Dietel & Ellis

平塚直秀:日菌報 14:177, 1973 ; 堀江博道:日本植物病害大事典(岸 國平編):1208, 1998
[備考] ムラサキカタバミ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] カタバミ

ボタン科 Paoniaceae

ボタン(牡丹)

Tree peony

Paeonia suffruticosa Andr.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe paeoniae R.Y. Zheng & G.Q. Chen

山本 淳・高松 進:日植病報 76(1):67, 2010

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter [*Phytophthora paeoniae* D.C. Cooper & Porter]

桂 琦一:植物防疫 22(2):75, 1968 ; 桂 琦一:植物の疫病:45, 1971

[備考] 田杉・熊沢 (農試彙報 2:75, 1932) は人工接種によるシャクヤク疫病菌 (*P. paeoniae*) のボタンへの病原性を確認している

枝枯病 edagare-byo Pestalotia dieback

Pestalotia paeoniicola Tsukamoto & T. Hino

塚本永治・日野隆之:日植病報 21(2-3):116, 1956 ; 塚本永治・日野隆之:日植病報 21(4):181, 1956

褐紋病 katsumon-byo Brown leaf spot

Pilidium concavum (Desmazières) Höhnelt

福岡貴寿・永島 進:日植病報 83(3):184, 2017

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Cronartium flaccidum (Albertini & Schweinitz) G. Winter

Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot.(日植輯報) 6(1):24, 1932(昭 7) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(2):154, 1938(昭 13) ; 澤田兼吉:林試研報 57:24, 1952

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight (白絹糸病)

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

ト蔵梅之丞:病虫雑 4(10):821, 1917(大 6)

[備考] 病菌の異名はユッカ白絹病参照

すすかび病 susukabi-byo (葉枯病)

Cladosporium paeoniae Passerini

富樫浩吾・川村正三:岩手農試彙報 8:25, 1942(昭 17) ; 堀正太郎:日植病報 1(4):66, 1921(大 10) ; 岩垂 悟ら:満洲農試報 45:182, 1942(昭 17)

根黒斑病 ne-kokuhan-byo Black root rot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

広沢敬之:日植病報 46(1):88, 1980

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (花腐れ病, ボトリチス病, 灰色黴病)

Botrytis cinerea Persoon

澤田兼吉:林試研報 105:83, 1958 ; 末松直次:植物病理学:240, 1926(大 15)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

- (1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ
 鐺木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)
- (2) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
 Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979
- (3) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
 安部 浩:15 回応動昆大会講要:32, 1971 ; 上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:399, 1975
- (4) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ
 Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

- (1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
- (2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
 Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo (葉線虫病)

- (1) *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchoides olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ
 河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955
- (2) *Aphelenchoides lilium* Yokoo ユリセンチュウ
 横尾多美男・松崎武嗣:九病虫研会報 13:103, 1967
- (3) *Aphelenchoides ritzemabosi* (Schwartz) Steiner & Buhrer ハガレセンチュウ
 河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955

†斑葉病 han'yo-byo

Cladosporium paeoniae Passerini
 堀 正太郎:日植病報 1(4):66, 1921(大 10)
 [備考] 中国

タコノキ科 Pandanaceae

タコノキ類
(Pandanus)
Pandanus spp.
(広葉樹)

タコノキ(蝸の木) Screw-Pine *Pandanus boninensis* Warb.
アダン *Pandanus odoratissimus* L.

果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fruit rot

(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

弓木彩子ら:日植病報 72(4):203, 2006

[備考] タコノキに発生

(2) *Haematonectria haematococca* (Berkeley & Broome) Samuels & Nirenberg

弓木彩子ら:日植病報 72(4):203, 2006

[備考] タコノキに発生

(3) *Lasiodiplodia theobromae* (Patouillard) Griffon & Maublanc

弓木彩子ら:日植病報 72(4):203, 2006

[備考] タコノキ・シマタコノキ

(4) *Microsphaeropsis* sp.

弓木彩子ら:日植病報 72(4):203, 2006

[備考] ヒョウタンタコノキに発生

(5) *Pestalotiopsis gracilis* (Klebahn) Steyaert

弓木彩子ら:日植病報 72(4):203, 2006

[備考] タコノキに発生

眼斑病 ganhan-byo

Cytospora ambiens Saccardo

小林享夫:森林防疫 45(1):10, 1996

[備考] アダン。接種試験未了

葉枯病 hagare-byo

Pestalotia sp.

渡邊龍雄:繊維作物病学:168, 1947

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] タコノキ。接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Criconeimoides sp. ワセンチュウの1種

長谷川 仁・三枝敏郎:植物防疫 22(10):450, 1968

[備考] 属名は再検討を要する

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rept Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

黄点病 oten-byo

水分の過多

白井光太郎:植物病理学(上)(2 版):98, 1900(明 33)

†黒点類円病 kokuten-ruien-byo

Pestalotia pandani Sawada

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):114, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。シマタコノキ (アダン・リントウ)(*P. odoratissimus*)

†すす病 susu-byo Black mildew

Meliola pandani Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):35, 1959

[備考] 台湾。シマタコノキ

††††

†*Harknessia pandani* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):16, 1959

[備考] 台湾。シマタコノキ

††††

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

Yokoyama, T.:IFO Res. Comm. 7:123, 1975

[備考] オガサワラタコノキ (タコノキ)

††††

†*Leptosphaeria pandanicola* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):71, 1959

[備考] 台湾。シマタコノキ

††††

†*Melanconium pandanicola* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):179, 1959

[備考] 台湾。シマタコノキ

ケシ科 Papaveraceae

クサノオウ類
(Chelidonium)
Chelidonium spp.
(野草)

クサノオウ *Chelidonium majus* L. var. *asiaticum* (Hara) Ohwi

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)
Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ
一戸 稔:北農 23(5):178, 1956
[備考] クサノオウ

キケマン
Fumitory
Corydalis heterocarpa Sieb. & Zucc. var. *japonica* (Franch. & Sav.) Ohwi
(野草)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
星 秀男ら:関東病虫研報 50:109, 2003

ハナビシソウ(花菱草, カリフォルニアポピー, キンエイカ)
California poppy
Eschscholzia californica Cham.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:77, 1977
[備考] 分生子の発芽管の形状は *Erysiphe polygoni* 型であるが, 種名については未同定

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
我孫子和雄ら:関西病虫研報 39:31, 1997

根腐病 negusare-byo Root rot, Stem rot (茎腐病)
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
瀧元清透:花卉及温室作物の病害:119, 1939(昭 14)

葉枯病 hagare-byo Leaf mold
Acroconidiella eschscholziae (Harkness) M.B. Ellis
忠 英一ら:日植病報 75(3):233, 2009

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

タケニグサ類

Macleaya spp.

(野草)

タケニグサ *Macleaya cordata* R. Br.

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Acidovorax valerianellae Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003

瀧川雄一ら:日植病報 74(3):255, 2008

ケシ類

Poppy

(草花)

アイスランドポピー Iceland poppy *Papaver nudicaule* L.

ヒナゲシ(虞美人草) Corn poppy *Papaver rhoeas* L.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) Broad bean wilt virus#

與良 清ら:本邦における未記録ウイルスの検定と同定:1, 1972

[備考] ヒナゲシに発生。戻し接種なし。汁液接種検定による同定

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:日植病報 23(1):34, 1955

[備考] ヒナゲシに発生。戻し接種なし。汁液接種検定による同定

(3) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

亀谷満朗ら:日植病報 59(1):37, 1993

[備考] アイスランドポピーに発生

萎黄病 io-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

加藤昭輔ら:日植病報 55(1):118, 1989 ; 加藤昭輔ら:日植病報 56(1):99, 1990

軟化腐敗病* nanka-fuhai-byo (腐敗細菌病, 腐敗性細菌病, 細菌病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):65, 1928(昭3); 松本 巍・平根誠一:台灣博物学会報 31(208):1, 1941(昭16); 岡部徳夫:植物細菌病学:181, 1949

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial blight (細菌性斑点病)

Xanthomonas campestris pv. *papavericola* (Bryan & McWhorter 1930) Dye 1978 [*Xanthomonas papavericola* (Bryan & McWhorter) Dowson]

中田 覺五郎:作物病害図編:212, 1934(昭 9) ; 中田 覺五郎ら:作物病害図編:599, 1957

腐敗病 fuhai-byo Soft rot

病原細菌種名未定

瀧元清透:九大農学芸雑誌 6(4):306, 1935(昭 10) ; 向 秀夫ら:微生物ハンドブック:341, 1957

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas papaveris* (Takimoto) Mukoo は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

芽腐細菌病* megusare-saikin-byo (芽腐性細菌病)

病原細菌学名は未記載

青柳純三:日植病報 13(1-2):59, 1948

萎縮病 ishuku-byo

Verticillium dahliae Klebahn

本田 卓ら:日植病報 47(1):132, 1981

[備考] アイスランドポピーに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe cichoracearum* de Candolle

我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 27:48, 1985

[備考] ヒナゲシに発生。分生子による同定

(2) *Erysiphe polygoni* de Candolle

野村幸彦:日菌報 22:339, 1981

[備考] 分生子による同定

(3) *Oidium* sp.

佐藤幸生:富山技術短大研報 13:109, 1980 ; 星 秀男ら:日植病報 79(1):33, 2013

[備考] 佐藤 (1980) の病原は *Sphaerotheca fuliginea* とされているが, 分類学的検討を要する。星ら(2013) の病害はナガミヒナゲシ(*Papaver dubium*) に発生し, 病原は *Reticuloidium* 亜属に属する

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia disease

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

原 攝祐:実用作物病理学:208, 1925(大 14)

[備考] 病菌の異名はダイズ菌核病参照

黒葉枯病 kuro-hagare-byo

Alternaria somniferi (Hariot & Broome) Sawada [*Alternaria brassicae* (Berkeley) Saccardo var. *somniferi* Hariot & Broome]

澤田兼吉:林試研報 105:104, 1958

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

原 攝祐:日本菌類目録:318, 1954

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

逸見武雄・野島友雄:京大農紀 3(2):25, 1927(昭 2)

胴枯病 dogare-byo

Phoma sp.

中田覺五郎:作物病害図編:214, 1934(昭 9)

苗立枯病 nae-tachigare-byo

(1) *Pleospora papaveracea* (De Notaris) Saccardo

(2) *Alternaria* sp.

(3) *Fusarium* sp.

(4) *Rhizoctonia* sp.

平山重勝・青柳純三:日植病報 11(1):44, 1941(昭 16)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (鼠黴病)

Botrytis cinerea Persoon

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:65, 1939(昭 14); 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:649, 1998

[備考] 接種試験未了

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Pleospora papaveracea (De Notaris) Saccardo [*Helminthosporium papaveris* Sawada, *Dendryphon papaveris* (Sawada) Sawada]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台灣菌類調査報告 1):653, 1919(大 8); 平山重勝・井村純三:日植病報 10(4):338, 1941(昭 16); 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:649, 1998

[備考] 接種試験未了。完全世代 *Pleospora papaveracea* は未発見。病原菌の属名については検討が必要

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora arborescens (Berkeley) de Bary

出田 新:日本植物病理学(上):168, 1909(明 42)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの 1 種

河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

†**黒斑病** kokuhan-byo (黒変病)

Cercospora papaveri Nakata

瀧元清透:朝鮮農会報 13(11):33, 1918(大 7); 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):65, 1927(昭 2); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):67, 1960

[備考] 朝鮮半島

トケイソウ科 Passifloraceae

トケイソウ(参照:パッションフルーツ)

Blue-crown passionflower

Passiflora caerulea L.

(草花)

ウイルス病 virus-byo

Passiflora latent virus (PLV) トケイソウ潜在ウイルス

井上成信:日植病報 42(1):83, 1976

[備考] 戻し接種なし

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

††††菌核病* kinkaku-byo

†*Sclerotinia sclerotiorum* (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大 14)

[備考] 台湾

††††白絹病* shirakinu-byo

†*Sclerotium rolfsii* Saccardo [*Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne]

藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大 14)

[備考] 台湾

††††灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold

†*Botrytis cinerea* Persoon

藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大 14)

[備考] 台湾

パッションフルーツ(クダモノトケイ)

Passion fruit

Passiflora edulis Sims

(果樹)

ウッドイネス病 woodiness-byo Woodiness

(1) *East Asian Passiflora virus* (EAPV) トケイソウ東アジアウイルス

大森 拓ら:日植病報 58(4):619, 1992 ; Iwai, H. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(5):459, 1996 ; 岩井 久
ら:日植病報 72(4):302, 2006 ; Iwai, H. *et al.*:Arc. Virol. 151:811, 2006 ; Iwai, H. *et al.*:Arc. Virol. 151:1457,
2006

[備考] Iwai *et al.* (1996)は本ウイルスを Passionfruit woodiness virus としたが, 岩井ら (2006) および Iwai
et al. (2006)が *East Asian Passiflora virus* (EAPV トケイソウ東アジアウイルス)に訂正した

(2) *East Asian passiflora distortion virus*# (EAPDV)

トケイソウ東アジア奇形ウイルス

犬童奏実ら:日植病報 83(3):215, 2017

[備考] 果実に奇形を起こす

微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mosaic
Passiflora latent virus (PLV) トケイソウ潜在ウイルス
渡邊正男ら:日植病報 63(3):194, 1997

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
(1) *Bean common mosaic necrosis virus* (BCMNV)
Riska *et al.*:Jpn. J. Phytopathol. 82(3):253, 2016
(2) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウルトウイルス 2
与那覇哲義ら:日植病報 59(3):335, 1993 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004
(3) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
与那覇哲義ら:日植病報 44(3):390, 1978
[備考] 葉のモザイク及び果実の奇形発生樹から分離。いずれも接ぎ木伝染性未確認

萎凋病 icho-byo *Passiflora* wilt
Haematonectria ipomoeae (Halsted) Samuels & Nirenberg
廣岡裕吏ら:日植病報 66(3):272, 2000 ; 廣岡裕吏ら:日植病報 69(1):1, 2003
[備考] アナモルフ:*Fusarium striatum* Sherbakoff

疫病 eki-byo *Phytophthora* rot
Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]
堀江博道ら:日植病報 54(1):126, 1988 ; 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 55(4):494, 1989 ; 堀江博道・飯嶋 勉:
東京農試研報 24:87, 1992

菌核病 kinkaku-byo *Sclerotinia* rot
Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
鍵渡徳次:日植病報 54(1):69, 1988

黒かび病 kurokabi-byo *Rhizopus* rot
Rhizopus sp.
小野 剛ら:関東病虫研報 57:45, 2010
[備考] *Passiflora edulis* × *P. edulis* f. *flavicarpa* ‘台農 1 号’に発生

軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot
Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc
小野 剛・中島千晴:日植病報 71(3):216, 2005

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
(1) *Colletotrichum capsici* (Sydow) E.J. Butler & Bisby
(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo
Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

根腐病 negusare-byo Root rot
(1) *Globisporangium irregulare* (Buisman) Uzuhashi, Tojo & Kakishima
飯浜春奈ら:関東病虫研報 61:70, 2014
(2) *Globisporangium splendens* (Hans Braun) Uzuhashi, Tojo & Kakishima
飯浜春奈ら:関東病虫研報 61:70, 2014

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

鍵渡徳次:日植病報 54(1):69, 1988

円斑病 maruhan-byo

Septoria pastinacina Saccardo [*Septoria passifloricola* Punithalingam]

久保田まや ら:日植病報 62(6):606, 1996 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

実腐病 migusare-byo Fruit rot

Diaporthe sp.

簗島綾華ら:日植病報 83(3):185, 2017

[備考] 収穫後の *Passiflora edulis*×*P. edulis* f. *flavicarpa* に発生

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:456, 1941(昭 16) ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:58, 1977(昭 52)

††細菌病 saikin-byo Bacterial disease

Pseudomonas syringae pv. *passiflorae* (Reid 1938) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas passiflorae* (Reid) Burkholder]

岡部徳夫:植物細菌病学:262, 1949 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:57, 1977(昭 52)

[備考] ニュージーランド

††さび病 sabi-byo Rust

Puccinia scleriae (Pazschke) Arthur

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):346, 1950 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:58, 1977

††そうか病 soka-byo Scab

Cladosporium herbarum Link

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:58, 1977

††††

†*Athelia rolfsii* (Curzi) C.C. Tu & Kimbrough [*Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne]

藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大 3)

[備考] 台湾。トケイソウ (*Passiflora caerulea*) に発生

ゴマ科 Pedaliaceae

ゴマ(胡麻)

Sesame, Gingili

Sesamum indicum L.

(特用作物)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

近藤 章:関西病虫研報 4:61, 1962

(2) *Watermelon mosaic virus* (WMV) スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス *Watermelon mosaic virus* 2#]

小室康雄・田村 寛:植物防疫 18(9):355, 1964

青枯病* aogare-byo Bacterial wilt (立枯病, 黒枯病)

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):70, 1928(昭 3); 鋤塚喜久治:日植病報 2:396, 1931

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 黒枯性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *sesami* (Malkoff 1906) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium sesamicola* Takimoto]

瀧元清透:病虫雑 14(8):433, 1927(昭 2)

萎凋病 icho-byo Wilt (凋萎病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *sesami* Castellani

照井陸奥生:病虫雑 20(11):853, 1933(昭 8); 松尾卓見:日植病報 38(3):168, 1972

[備考] 照井 (1933) は本病菌を *F. vasinfectum* Atkinson とした

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Oidium* sp.

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):69, 1928(昭 3); 本間ヤス:北大農紀要 38(3):343, 1937(昭 12); 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956

[備考] *Erysiphe polygoni* 型

(2) *Pseudoidium pedaliacearum* (H.D. Shin) H.D. Shin

佐藤幸生ら:日植病報 80(4):238, 2014

疫病 eki-byo Blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur]

瀧元清透:日植病報 7(3-4):245, 1938(昭 13); 桂 琦一:植物の疫病:87, 1971

黒斑病* kokuhan-byo *Alternaria* leaf blight (葉枯病, アルテルナリア葉枯病, マクロスポリウム斑点病)

Alternaria sesami (E. Kawamura) Mohanty & Behera [*Macrosporium sesami* E. Kawamura, *Alternaria sesami* (E. Kawamura) Yamamoto]

河村栄吉:菌類 1(2):26, 1931; 鑄方末彦:食用作物病学:294, 1949

[備考] Joly (Encycl. Myc. 28:138, 1964) は本病菌を斑点病菌 *Alternaria sesamicola* Kawamura の異名とした

白絹病 shirakinu-byo Stem rot
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
横木国臣:農及園 2(5):487, 1927(昭 2)
[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

蛇の目病* janome-byo Cercospora leaf spot (蛇の眼病, 蛇眼病, 斑点病, 葉枯病)
Cercospora sesami Zimmermann [*Cercosporina sesami* (Zimmermann) Hara]
園 孝次郎:農事雑報 12:139, 1909(明 42)

せん孔葉枯病* senko-hagare-byo Foliage rot (穿孔性葉枯病)
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
松浦 義・高橋錦治:日植病報 17(3-4):163, 1953
[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

立枯病 tachigare-byo
(1) *Phoma sesami* Sawada
澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾菌類調査報告 2):115, 1922(大 11)
(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn
富樫浩吾ら:岩手農試彙報 10:13, 1943(昭 18)
[備考] 病徴の記載なし

灰星病 haiboshi-byo
Ascochyta sesami Miura
三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:445, 1928(昭 3); 三浦密成:秋田農試報告 8:38, 1957; 木場三朗:
作物病害の診断と防除:402, 1952

葉枯病 hagare-byo Leaf blotch (斑紋病, 胡麻の胡麻葉枯病)
Corynespora sesameum (Saccardo) Goto [*Helminthosporium sesameum* Saccardo]
中田覺五郎:作物病害図編:186, 1934(昭 9); 渡邊菊治:日植病報 11(2):57, 1941(昭 16); 後藤和夫:日植病報
15(1):34, 1950

斑点病 hanten-byo Leaf spot (アルテルナリヤ斑点病)
Alternaria sesamicola E. Kawamura
河村栄吉:菌類 1(2):28, 1931(昭 6)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤重喜:九農研 7:71, 1950; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964
[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

†褐斑病 kappan-byo Brown spot
Macrophoma sesami Sawada
澤田兼吉:台湾中研農業報 2(台湾菌類調査報告 2):118, 1932(大 11)
[備考] 台湾

ヤマゴボウ科 Phytolaccaceae

ヤマゴボウ類
(Phytolacca)
Phytolacca spp.
(野草)

ヨウシュヤマゴボウ *Phytolacca americana* L.

斑点病 hanten-byo

Cercospora flagellaris Ellis & G. Martin

小林享夫:日本植物病害大事典(岸 國平編):1230, 1998

[備考] ヨウシュヤマゴボウ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne suginamiensis Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979

[備考] ヨウシュヤマゴボウに発生。接種試験の結果。*M. mali* Itoh *et al.* リンゴネコブセンチュウとして報告されたが、後に本種に訂正された (Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984)

マツ科 Pinaceae

モミ類
Fir
(針葉樹)

モミ(縦) *Abies firma* Sieb. & Zucc.

ウラジロモミ(裏白縦, 日光縦) *Abies homolepis* Sieb. & Zucc.

オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森榎松, 大白檜) *Abies mariesii* Mast.

シラビソ(シラベ(白檜)) *Abies veitchii* Lindl.

アスコカリックス枝枯病 *Ascocalyx-edagare-byo* Ascocalyx canker

Ascocalyx abietis Naumov [不完全世代: *Bothrodiscus pinicola* Shear]

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 19:169, 1970

[備考] コンコロールモミ(*A. concolor*)

アデロプス落葉病 *Adelopus-rakuyo-byo* Adelopus needle cast (針葉黒粒病)

Phaeocryptopus nudus (Peck) Petrak [*Adelopus nudus* (Peck) Theissen]

伊藤一雄:図説林木病害診断法:171, 1961 ; 魚住 正:日林誌 41:243, 1959 ; 小林享夫:日林誌 49:328, 1967

[備考] ウラジロモミ・アオモリトドマツ・シラベ

暗色雪腐病 *anshoku-yukigusare-byo* *Racodium snow blight* (雪腐病)

Racodium therryanum Thümen

伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:219, 1957 ; 佐藤邦彦:林試秋田支研究時報 1:1, 1955 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

裏黒球病* *ura-kurotama-byo* (裏毛群球病)

Sphaeropsis abietis-mariesii Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:116, 1950

[備考] アオモリトドマツ

裏黒点病* *ura-kokuten-byo* (葉裏一面黒点病)

Lizonia abietis-mariesii Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:115, 1950

[備考] アオモリトドマツ

がんしゅ(癌腫)病 *ganshu-byo* Lachnellula canker

(1) *Dasyscyphus abieticola* Hennings & Shirai

白井光太郎:最近植物病理学:380, 1903(明 36) ; 白井光太郎:植物病理学(下)(再版):173, 1900(明 33)

[備考] モミ・ウラジロモミ

(2) *Lachnellula calyciformis* (Willdenow) Dharne [*Dasyscypha calyciformis* (Willdenow) Rehm, *Trichoscyphella calycina* (Schumacher) Nannfeldt]

安田 篤:植物学各論隠花部:344, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明 37) ; 小口健夫:森林防疫 29:141, 1980

[備考] モミ・ウラジロモミ

キトスポラ胴枯病* *Cytospora-dogare-byo* Cytospora canker

Valsa abietis Fries [*Cytospora abietis* Saccardo]

小口健夫:北海道林試報 11:135, 1973

[備考] チョウセンモミ (*A. holophylla*)。病菌の異名はヒノキ胴枯病参照

黒粒がんしゅ病 kurotsubu-ganshu-byo (粟粒癌腫病, 瘤状天狗巢病)

Cucurbitodthis pityophila (J.C. Schmidt & Kunze) Petrak [*Cucurbitaria pityophila* (J.C. Schmidt & Kunze) De Notaris]

魚住 正:森林防疫 18:186, 1969 ; 原 攝祐:病虫雑 6(6):437, 1919(大 8)

[備考] モミ・シラベ

先枯病 sakigare-byo Shoot blight

盤菌類の 1 種

陳野好之:森林防疫ニュース 12:38, 1963

[備考] ウラジロモミ, 病原菌の属種未同定

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66:265, 1984

[備考] モミ。病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照

スクレロデリス枝枯病 *Scleroderris*-edagare-byo Scleroderris canker

Gremmeniella abietina (Lagerberg) M. Morelet [*Scleroderris lagerbergii* Gremmen, 不完全世代: *Brunchorstia pinea* (P. Karsten) Höhnelt]

高橋郁雄:東大農演報 69:87, 1979 ; 近藤秀明・小林享夫:日林誌 66(2):63, 1984

[備考] オウシュウシロモミ

すす葉枯病 susu-hagare-byo Rhizosphaera needle blight

(1) *Rhizosphaera pini* (Corda) Maublanc

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:99, 1967

[備考] シラベ

(2) *Rhizosphaera kobayashii* (M. Morelet) M. Morelet [*Rhizosphaera* sp., *Rhizosphaera pini* (Corda) Maublanc var. *kobayashii* M. Morelet]

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. Japan 204:103, 1967

[備考] アオモリトドマツ

すす病 susu-byo Sooty mold (葉裏黒点病)

(1) *Apiosporium pinophilum* Fuckel

白井光太郎:植物病理学(下):174, 1894(明 27)

[備考] 病原菌の検討を要する

(2) *Capnobotrys neesii* S. Hughes

Sugiyama, J. & Amano, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(1):49, 1984

[備考] シラベ

(3) *Epipolaeum abietis* (Dearness) Shoemaker [*Dimerium abietis-mariesii* Sawada]

伊藤一雄:樹病学大系 2:24, 1973 ; 澤田兼吉:林試研報 46:114, 1950 ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):282, 1976

[備考] アオモリトドマツ。重複寄生菌

青変病* seihen-byo Blue stain

Ophiostoma pluriannulatum (Hedgcock) Sydow & P. Sydow [*Ceratocystis pluriannulata* (Hedgcock) C. Moreau]

青島清雄・林 康夫:日植病報 20(2-3):115, 1955 ; 山岡裕一ら:森林防疫 48:8, 1999

[備考] モミ

垂葉病 tareha-byo Needle droop

Herpotrichia parasitica (R. Hartig) Rostrup [*Acanthostigma parasiticum* (R. Hartig) Saccardo, *Trichosphaeria parasitica* R. Hartig, 不完全世代: *Pyrenochaeta parasitica* K. Freyer & Aa]

原 攝祐:樹病学各論:97, 1923(大 12); 白井光太郎:植物病理学(下):183, 1894(明 27); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:584, 1992

[備考] わが国における存在は不詳

ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart [*Thelephora laricina* Persoon] チャイボタケ

高橋郁雄・高橋康夫:森林防疫 34:142, 1985

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (木癭病)

Melampsorella caryophyllacearum J. Schröter [*Aecidium elatinum* Albertini & Schweinitz, *Melampsora caryophyllacearum* Schröter, *Melampsora cerastii* G. Winter, *Melampsorella cerastii* Winter, *Melampsorella elatina* Arthur]

出田 新:実用植物病理学:143, 1902(明 35); 白井光太郎:植物病理学(下):134, 1900(明 33); 白井光太郎:最近植物病理学:345, 1903(明 36)

[備考] 本病原菌の夏孢子・冬孢子世代は *Cerastium* 属(ミミナグサ他)および *Stellaria* 属(ハコベ他)に寄生してさび病をおこす

デルメア枝枯病* *Dermea*-edagare-byo *Dermea* canker

Dermea balsamea (Peck) Seaver

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst 10:705, 1973

[備考] コンコロルモミ

胴枯病 dogare-byo *Phomopsis* canker

Diaporthe conorum (Desmazières) Niessl [不完全世代: *Phomopsis occulta* (Saccardo) Traverso, *Phomopsis* sp.]

伊藤一雄:図説林木病害診断法:166, 1961

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Fusarium sp.

浜 武人:78 回日林講:206, 1967

[備考] ウラジロモミ

ならたけ病 naratake-byo *Armillaria* root rot (根朽病)

(1) *Armillaria mellea* (Vahl) P. Kummer sensu lato [*Agaricus melleus* Vahl, *Armillaria mellea* (Fries) Quélet, *Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ(広義)

伊藤一雄:樹病:52, 1952; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:141, 1933(昭 8)

(2) *Armillaria ostoyae* (Romagnesi) Herink オニナラタケ(ツバナラタケ)

Ota, Y. et al.:Plant Disease 82:537, 1998; 本郷次雄ら:青森のきのこ:54, 1988; 太田祐子:森林防疫 48(3):51, 1999

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

(1) *Ganoderma valesiacum* Boudier [*Ganoderma tsugae* Murrill] ツガノマンネンタケ

今関六也:東京科博研報 1:41, 1939(昭 14); 青島清雄:日菌報 15(4):443, 1974

[備考] モミ

(2) *Gloeophyllum odoratum* (Wulfen) Imazeki [*Trametes odorata* (Wulfen) Fries] ニオイアミタケ

梅村甚太郎:植物学雑 29(338):65, 1915(大 4); 今関六也:東京科博研報 6:75, 1943(昭 18)

[備考] モミ

(3) *Heterobasidion annosum* (Fries) Brefeld マツノネクチタケ(根赤色腐朽病)

白井光太郎:植物病理学(下):150, 1894(明 27)

[備考] モミ。病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照

(4) *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilbertson & Ryvarden [*Polyporus balsameus* Peck, *Tyromyces balsameus* (Peck) Murrill] レンゲタケ(トドマツオオウズラタケ)

青島清雄:日林誌 34(10):306, 1952 ; 今関六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):463, 1988

[備考] アオモリトドマツ・シラベ

(5) *Perenniporia subacida* (Peck) Donk [*Poria subacida* (Peck) Saccardo] キンイロアナタケ

青島清雄:林試研報 46:157, 1950 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:586, 1992

[備考] アオモリトドマツ・シラベ

(6) *Phellinus weirii* (Murrill) Gilbertson エゾノサビイロアナタケ

青島清雄:林試研報 59:61, 1953

[備考] アオモリトドマツ。病菌の異名はヒノキ根株心腐病参照

ネクトリアがんしゅ病 *Nectria-ganshu-byo* Nectria canker

Neonectria castaneicola (W. Yamamoto & Oyasu) Tak. Kobayashi & Hirooka

小林享夫ら:日植病報 69(1):49, 2003 ; 廣岡裕吏ら:日植病報 69(3):264, 2003 ; Kobayashi, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):124, 2005

[備考] シラビソ(シラベ)に発生

ネクトリア胴枯病* *Nectria-dogare-byo* Nectria canker (癌腫病)

Nectria fuckeliana C. Booth [*Nectria cucurbitula* sensu Fuckel non Fries]

山本和太郎:日菌報 3:116, 1962 ; 出田 新:実用植物病理学:171, 1901(明 34)

灰色かび病 *haiiro-kabi-byo* Gray mold (芽枯病)

Botrytis cinerea Persoon

佐藤邦彦ら:林試研報 110:14, 1959

[備考] モミ・ウラジロモミ・アオモリトドマツ。北島は「樹病学及木材腐朽論:155, 1933」に本病菌の完全世代 *Sclerotinia fuckeliana* de Bary [*Botryotinia fuckeliana* (de Bary) Whetzel] を記したが、わが国のモミ類での完全世代の形成記録はない。したがって病名目録 4 巻 2 版 150 ページモミ類菌核病の項は削除する

葉裏黒点病 *haura-kokuten-byo*

Macrophoma mariesii Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:116, 1950

[備考] アオモリトドマツ

葉さび病* *hasabi-byo* Needle rust (銹病)

(1) *Calyptospora goeppertiana* J.G. Kühn [*Pucciniastrum goeppertianum* (Kühn) Klebahn]

白井光太郎:植物病理学(下):135, 1900(明 33) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:32, 1992

[備考] シラベ・ウラジロモミ。冬孢子世代は *Vaccinium* 属(コケモモ)に寄生

(2) *Melampsora abietis-populi* S. Imai

平塚直秀:王子製紙林木育種研テクニカルノート 76:22, 1969 ; 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969

[備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生し、葉さび病をおこす

(3) *Melampsora laricis-populina* Klebahn

平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969

[備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生し、葉さび病をおこす

(4) *Milesina exigua* Faull [*Milesina vogesiaca* sensu Kamei non P. Sydow & Sydow]

亀井専次:札幌農林学会報 11(3):141, 1930(昭5); Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:73, 1992

[備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Ctenites* 属(カツモウイノデ他), *Dennstaedia* 属(コバノイシカグマ), *Hypolepis* 属(イワヒメワラビ), *Lastrea* 属(ヒメワラビ他), *Microlepia* 属(イシカグマ), *Polystichum* 属(イノデ他)

(5) *Milesina vogesiaca* Sydow

亀井専次:札幌博物会報 11(3):141, 1930(昭5)

[備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(イタチシダ他)に寄生

(6) *Pucciniastrum boehmeriae* (Dietel) Sydow & P. Sydow

Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:104, 1992; 金子 繁・平塚直秀:日林誌 66:283, 1984

[備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は *Begonia* 属(ベゴニア), *Boehmeria* 属(ヤブマオ他)に寄生しさび病をおこす

(7) *Pucciniastrum corni* Dietel

Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:82, 1976; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:113, 1992

[備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Cornus* 属(サンシュユ他)にさび病をおこす

(8) *Pucciniastrum coryli* Komarov

Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:222, 1981; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:113, 1992

[備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Corylus* 属(ハシバミ他)にさび病をおこす

(9) *Pucciniastrum tiliae* Miyabe

Saho, H.:Plant Dis. Rept. 46:35, 1962; 平塚直秀:王子製紙林木育種研テクニカルノート 76:15, 1969

[備考] コンコロールモミ, 他に人工接種でオオシロモミ(*A. grandis*)。夏孢子・冬孢子世代は *Tilia* 属(シナノキ他)に寄生しさび病をおこす

(10) *Uredinopsis filicina* (Niessl) Magnus

Hiratsuka, N.:J. Jap. Bot. 27(4):111, 1952; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:162, 1992

[備考] シラベ・ウラジロモミ。夏孢子・冬孢子世代は *Phegopteris* 属(ミヤマワラビ)に寄生

(11) *Uredinopsis kameiana* Faull [*Uredinopsis pteridis* Kamei non Dietel & Holway]

亀井専次:日植病報 2:207, 1930(昭5); 亀井専次:北大農紀要 47:33, 1940(昭15); Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:168, 1992

[備考] バルサムモミ(*A. balsamea*)・ウラジロモミ・チョウセンモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Pteridium* 属(ワラビ)に寄生

(12) *Uredinopsis komagataensis* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 6:47, 1965; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:170, 1992

[備考] シラベ。夏孢子・冬孢子世代は *Athyrium* 属(ヘビノネゴザ)に寄生

(13) *Uredinopsis ossiformis* (*ossaeiformis*) Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭7); Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:28, 1958; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:172, 1992

[備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(シラネワラビ他)に寄生

(14) *Uredinopsis struthiopteridis* F.C.M. Störmer ex Dietel

Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936; 亀井専次:北大農紀要 47:40, 1940(昭15); Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:11, 1958; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:176, 1992

[備考] モミ・バルサムモミ・オウシュウシロモミ(*A. alba*), いずれも人工接種。夏孢子・冬孢子世代は *Matteuccia* 属(クサソテツ)に寄生

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast (かびふるい(微震)病)

(1) *Lirula japonica* S. Kaneko

Kaneko, S.:Mycoscience 44:335, 2003

[備考] オオシラビソに発生。オオシラビソ上で *L. exigua* S. Kaneko も認められるが二次寄生と判断される

(2) *Lirula nervisequia* (de Candolle) Darker

北島君三:樹病学及木材腐朽論:162, 1933(昭 8) ; 白井光太郎:植物病理学(下):159, 1894(明 27)

[備考] 病原の異名はトドマツ葉ふるい病参照。北島君三は *Hypoderma robustum* Tubeuf (樹病学及木材腐朽論:131, 1933) および *Lophodermium filiforme* Darker [*Lophodermium macrosporum* (R. Hartig) Rehm] (樹病学及木材腐朽論:154, 1933) による葉ふるい病を, 伊藤一雄 (樹病学大系 2:128, 1973) は *L. filiforme* および *Lophodermium hyperboreum* Lagerberg による同病を紹介したが, 国内発生未確認

葉ぶくれ銹病 habukure-sabi-byo (葉腫銹病)

Aecidium abietis-mariesii Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:115, 1950

[備考] アオモリトドマツ

斑点病 hanten-byo Twig canker

Phomopsis abietina Hartig

南部信方:病虫雑 2(12):1092, 1915(大 4)

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidanich

伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:170, 1957

[備考] モミ。病菌の異名はヒノキ微粒菌株病参照

ファシディウム雪腐病 *Phacidium-yukigusare-byo* *Phacidium* snow blight

Phacidium abietis (Dearnass) J. Reid & Cain

高橋郁雄:北方林業 27(9):240, 1975

[備考] バルサムモミ・オウシュウシロモミ。病菌の異名はトドマツ・ファシディウム雪腐病参照

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Antrodia heteromorpha* (Fries) Donk [*Corirolellus heteromorphus* (Fries) Bondartsev & Singer, *Daedalea heteromorpha* Fries, *Trametes heteromorpha* (Fries) Lloyd] ミヤマシロアミタケ

青島清雄:森林防疫ニュース 7:161, 1958 ; 高橋旨象:きのこ木材:130, 1989

[備考] アオモリトドマツ・シラベ

(2) *Antrodia xantha* (Fries) Ryvariden [*Poria xantha* (Fries) Cooke] チョークアナタケ

青島清雄:林試研報 46:155, 1950 ; 高橋旨象:きのこ木材:126, 1989

[備考] モミ

(3) *Echinodontium tsugicola* (Hennings & Shirai) Imazeki [*Hydnofomes tsugicola* Hennings & Shirai] マンネンハリタケ

今関六也:植研雑 11(7):517, 1935(昭 10)

[備考] モミ

(4) *Fomitopsis officinalis* (Villars) Bondartsev & Singer [*Fomes laricis* Murrill, *Polyporus officinalis* Fries] エブリコ

朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:449, 1939(昭 14) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):301, 1955

(5) *Fomitopsis pinicola* (Swartz) P. Karsten [*Fomes pinicola* (Swartz) Cooke] ツガサルノコシカケ

出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明 44) ; 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭 18)

(6) *Laetiporus sulphureus* (Bulliard) Murrill [*Polyporus sulphureus* Fries] アイカワタケ

白井光太郎:植物病理学(下):155, 1894(明 27) ; 今関六也:東京科博研報 6:88, 1943(昭 18)

(7) *Phellinus pini* (Brotero) Ames [*Cryptoderma yamanoi* Imazeki, *Cryptoderma yezoensis* (Tochinai & Kamei) Imazeki, *Daedalea jezoensis* Yamano, *Fomes jezoënsis* Tochinai & Kamei, *Porodaedalea pini* (Brotero) Murill, *Trametes pini* Yamano] マツノカタワタケ(エゾノコシカケ)

白井光太郎:植物病理学(下):152, 1894(明 27) ; 今関六也:東京科博研報 6:107, 1943(昭 18) ; 本郷次雄ら:きのこのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994

(8) *Stereum sanguinolentum* (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ

今関六也・青島清雄:日植病報 16:88, 1952

[備考] シラベ

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

(1) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer ヒイロタケ

安田 篤:植研雑 6(7):221, 1929(昭 4) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑 II:150, 1989

[備考] モミ。病菌の異名はアカマツ・クロマツ幹心腐敗病参照

(2) *Trametes hirsuta* (Wulfen) Pilát [*Coriolus hirsutus* (Wulfen) Quélet, *Polystictus hirsutus* Fries] アラゲカワラタケ

松村任三:帝国植物名鑑(上):164, 1904(明 37) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑 II:150, 1989

[備考] モミ

(3) *Trichaptum abietinum* (Dickson) Ryvarden [*Hirschioporus abietinus* (Dickson) Donk, *Polystictus abietinus* Cooke] シハイタケ

今関六也:植研雑 20(6-7):284, 1944 ; 今関六也ら:日本のきのこ:476, 1988

[備考] アオモリトドマツ

溝腐病 mizogusare-byo Stem sap rot

Phellinus hartigii (Allescher & Schnabl) Patouillard モミサルノコシカケ

北島君三:林試報 31:41, 1931(昭 6) ; 今関六也:東京科博研報 6:104, 1943(昭 18)

[備考] 病菌の異名はトドマツ溝腐病参照

芽枯病 megare-byo Bud blight

Phyllosticta sp.

浜 武人:79 回日林講:232, 1968

[備考] ウラジロモミ

落葉病 rakuyo-byo Needle cast (葉ふるい病)

Lophodermium abietis Rostrup

伊藤一雄:図説林木病害診断法:156, 1961 ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:131, 1933(昭 8)

[備考] モミ・ウラジロモミ

ラブドクリネ落葉病 *Rhabdocline*-rakuyo-byo *Rhabdocline* needle cast

Rhabdocline sp.

魚住 正:森林防疫 21(5):90, 1972

[備考] ウラジロモミ・シラベ

列葉枯病 retsu-hagare-byo

Dendrophoma abietis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:114, 1950

[備考] モミ

ロゼリニア暗色かび病 *Rosellinia*-anshokukabi-byo *Rosellinia* needle blight (黒色顆粒病)

Rosellinia herpotrichioides Hepting & R.W. Davidson

伊藤一雄:図説苗木病害診断法(前):38, 1959

[備考] モミ・ウラジロモミ

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956

[備考] モミ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

[備考] ウラジロモミ

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961

[備考] モミ。上記種との異同は不明

(3) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967

[備考] ウラジロモミ

(4) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

[備考] 種名は再検討を要する

黄化病 oka-byo

マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency)

佐藤邦彦:青森林友 267:32, 1970

††††**苗疫病** nae-eki-byo Damping-off, Phytophthora root rot (苗立枯病, 立枯病)

††*Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大 12) ; 白井光太郎:植物病理学(下):80, 1900(明 33)

[備考] モミでの国内発生に疑問

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):211, 1917(大 6)

††††

††*Mycosphaerella abietis* (Rostrup) Lindau

北島君三:樹病学及木材腐朽論:159, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

††††

Pragmopora abietina (Ellis & Everhart) J.W. Groves

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973

[備考] コンコロールモミ (*Abies concolor*)

††††

††*Rehmiellopsis abietis* (Rostrup) Rostrup

北島君三:樹病学及木材腐朽論:162, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

††††

Scolecnectria cucurbitula (Tode) C. Booth

Saho, H. & Takahashi, I.: Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973 ; 高橋郁雄: 東大農演報 69:91, 1979

[備考] コンコロールモミ

トドマツ

Saghalien fir

(針葉樹)

アカトドマツ(赤榎松) *Abies sachalinensis* (Fr. Schm.) Mast.

アオトドマツ(青榎松) *Abies sachalinensis* var. *mayriana* Miyabe & Kudo

アスコカリックス枝枯病 *Ascocalyx-edagare-byo* Ascocalyx canker

Ascocalyx abietis Naumov [不完全世代: *Bothrodiscus pinicola* Shear]

佐保春芳・高橋郁雄: 日林北支講 19:169, 1970

アデロプス落葉病 *Adelopus-rakuyo-byo* Adelopus needle cast (針葉黒粒病, 葉ふるい病)

Phaeocryptopus nudus (Peck) Petrak

小野 馨: 北方林業 9(5):146, 1957 ; 小林享夫: 日林誌 49(8):331, 1967

[備考] 病菌の異名はモミ類アデロプス落葉病参照

暗色雪腐病 *anshoku-yukigusare-byo* Racodium snow blight (雪腐病, 立枯病)

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦ら: 日林誌 41:66, 1959 ; 佐藤邦彦: 林試秋田支研究時報 1:1, 1955 ; 佐藤邦彦ら: 林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

えぞ雷丸病 *ezo-raigan-byo* (にせ雷丸病)

Sclerotium sp.

小野 馨: 樹氷 9(8):23, 1959 ; 小野 馨: 日林北支講 6:27, 1957

[備考] 病原菌を *Agrocybe tuberosa* (Hennings) Singer タマムクエタケとする説に疑問があり, 当面 *Sclerotium* sp. としておきたい(小野 馨: 林試研報 268:49, 1974)

枝枯病 *edagare-byo* Scleroderris canker (ミクロペラ枝枯病)

Gremmeniella abietina (Lagerberg) M. Morelet [*Scleroderris lagerbergii* Gremmen, 不完全世代: *Brunchorstia pinea* (P. Karsten) Höhnelt]

小林享夫: 森林防疫 21:208, 1972 ; 横田俊一: 森林防疫 19:300, 1970 ; 近藤秀明・小林享夫: 日林誌 66:63, 1984

がんしゅ(癌腫)病 *ganshu-byo* Lachnellula canker

Lachnellula calyciformis (Willdenow) Dharne

亀井専次: 日林北支講 7:86, 1958 ; 小口健夫: 森林防疫 29:141, 1980

[備考] 病菌の異名はモミ類がんしゅ病参照

キトスポラ胴枯病* *Cytospora-dogare-byo* Cytospora canker (るいがん病)

Valsa abietis Fries [不完全世代: *Cytospora abietis* Saccardo]

小口健夫: 北海道林試報 11:135, 1973

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

小野 馨:北方林業 9(5):145, 1957

[備考] 本病菌の完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk はトドマツ上では未記録

こうやく(膏薬)病 koyaku-byo Felt disease (紋羽病)

Septobasidium kameii Kaz. Ito

伊藤一雄:図説樹病講義:132, 1955 ; 伊藤一雄・林 弘子:林試研報 134:49, 1961

こふきたけ病 kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard [*Elfvigia applanata* (Persoon) P. Karsten, *Fomes applanatus* (Persoon) Gillet, *Fomes australis* Cooke, *Fomes leucophaeus* Cooke] コフキタケ (コフキサルノコシカケ, キウラサルノコシカケ)

亀井専次:日林北支講 7:87, 1958

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:62, 1977

針葉黒点病 shin'yo-kokuten-byo

Phomopsis sp.

亀井専次:日林北支講 7:85, 1958

すす病 susu-byo Sooty mold

(1) 病原菌未詳

河野広道:応動雑 13:172, 1941(昭 16)

(2) *Capnodium* sp.

亀井専次:日林北支講 7:86, 1958

(3) *Limacinia* sp.

伊藤一雄:樹病学大系 2:25, 1973

青変病 seihen-byo Blue stain, Blue sap stain

Ophiostoma piceae (Münch) Sydow & P. Sydow

伊藤一雄:樹病学概論:47, 1960 ; 河野広道:北海道林業会報 36(6):236, 1938(昭 13)

[備考] 病菌の異名はエゾマツ青変病参照

ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart チャイボタケ

高橋郁雄・高橋康夫:森林防疫 34(8):142, 1985

[備考] 病菌の異名はモミ類ちやいぼたけ病参照

チンパニス枝枯病* *Tympanis-edagare-byo* Tympanis canker

Tympanis laricina (Fuckel) Saccardo [*Tympanis abietina* J.W. Groves]

佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 50:338, 1968 ; Ouellette & Pirozynski:Can. J. Bot. 52(8):1899, 1974

[備考] アカトドマツ

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:林試研報 268:22, 1974

[備考] 病菌の異名はアカマツ、クロマツつちくらげ病参照

てんぐ(天狗)巢病 *tengusu-byo* Witches' broom (てんぐのす)

Melampsorella caryophyllacearum J. Schröter

出田 新:実用植物病理学:148, 1901(明 34) ; Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 3(4):299, 1927(昭 2)

[備考] 病菌の異名および夏孢子・冬孢子世代はモミ類てんぐ巢病参照

デルメア枝枯病 *Dermea-edagare-byo* Dermea canker

Dermea balsamea (Peck) Seaver

伊藤一雄:樹病学大系 2:209, 1973 ; 小口健夫:北海道林試報 6:172, 1968

床替苗根腐病 *tokogaenae-negusare-byo* Root rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

小野 馨:北方林業 9(5):145, 1957

(2) *Fusarium* spp.

小野 馨:北方林業 9(5):145, 1957

胴枯病 *dogare-byo* Phomopsis canker

Diaporthe conorum (Desmazières) Niessl [不完全世代: *Phomopsis occulta* Traverso]

亀井専次:日植病報 11:53, 1941(昭 16)

苗立枯病 *nae-tachigare-byo* Damping-off (腐敗病, 倒伏病, 腰折病)

(1) *Cylindrocladium scoparium* Morgan

伊藤一雄・小野 馨:63 回日林講:202, 1954

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

大谷吉雄ら:日植病報 22:63, 1957

(3) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link]

千葉 修ら:75 回日林講:376, 1964 ; Matsuo, T. & Chiba, O.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 32:14, 1966 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992

(4) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:林業技術シリーズ 1 付図 IB, 1949 ; 伊藤一雄:林業技術シリーズ(改訂版):付図 IIC, 1950

ならたけ病 *naratake-byo* Armillaria root rot (根朽病)

(1) *Armillaria gallica* Marxmüller & Romagnesi ワタゲナラタケ, ヤワラナラタケ

Ota, Y. *et al.*:Plant Disease 82:537, 1998

(2) *Armillaria mellea* (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

伊藤一雄:樹病:52, 1952 ; 宮部金吾:北海道林業会報 15(180):2, 1917(大 6)

[備考] 病菌の異名はモミ類ならたけ病参照

(3) *Armillaria ostoyae* (Romagnesi) Herink オニナラタケ(ツバナラタケ)

Ota, Y. *et al.*:Plant Disease 82:537, 1998

(4) *Armillaria singula* J.Y. Cha & Igarashi ヒトリナラタケ

Cha, J. Y. *et al.*:Mycoscience 35:39, 1994

根株心腐病* *nekabu-shingusare-byo* Butt rot

(1) *Bondarzewia mesenterica* (Schaeffer) Kreisel [*Bondarzewia montana* (Quélet) Singer, *Polyporus montanus* (Quélet) Bresàdola] ミヤマトンビマイタケ

今関六也:植研雑 15(7):442, 1939(昭 14) ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):259, 1994

(2) *Ganoderma valesiacum* Boudier ツガノマンネンタケ

朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:445, 1939(昭 14) ; 青島清雄:日菌報 15:443, 1974

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(3) *Gloeophyllum odoratum* (Wulfen) Imazeki ニオイアミタケ

青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(4) *Heterobasidion annosum* (Fries) Brefeld [*Fomes annosus* (Fries) Cooke, *Fomitopsis annosa* (Fries) P. Karsten, *Polyporus annosus* Fries] マツノネクチタケ (根赤色腐朽病)

亀井専次:日植病報 13(1-2):58, 1948 ; 青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977

(5) *Heterobasidion insulare* (Murrill) Ryvarden [*Fomitopsis insularis* (Murrill) Imazeki] レンガタケ

亀井専次:日林北支講 2:45, 1953 ; 服部 力:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):585, 1992

(6) *Inonotus tomentosus* (Fries) Teng [*Onnia tomentosa* (Fries) P. Karsten, *Polyporus tomentosus* Fries, *Polystictus tomentosus* (Fries) Karsten] ニセカイメンタケ

山野義雄:日林誌 15:463, 1933(昭 8) ; 今関六也:東京科博研報 6:110, 1943(昭 18)

(7) *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ(トドマツオオウズラタケ)

亀井専次:北大農演報 15:159, 1951 ; 今関六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):463, 1988

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(8) *Perenniporia subacida* (Peck) Donk キンイロアナタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 6:39, 1957 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):586, 1992

(9) *Phaeolus schweinitzii* (Fries) Patouillard カイメンタケ

新島善直:新編森林保護学(下):447, 1925(大 14) ; 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:33, 1952

[備考] 病菌の異名はカラマツ腐心病参照

(10) *Sparassis crispa* (Wulfen) Fries ハナビラタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:29, 1952

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (芽枯病)

Botrytis cinerea Persoon

魚住 正:北方林業 6(3):66, 1954 ; 今井三子:日植病報 13(1-2):58, 1948

葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病)

(1) *Calyptospora goeppertiana* J.G. Kühn

松村任三:帝国植物名鑑(上):133, 1904(明 37) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:35, 1992

[備考] アカトドマツ。病菌の異名および冬孢子世代の宿主はモミ類葉さび病参照

(2) *Hyalopsora aculeata* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):124, 1932(昭 7)

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Blechnum* 属(シシガシラ)に寄生

(3) *Melampsora abietis-populi* S. Imai

亀井専次:日林北支講 7:85, 1958 ; 今井三子:日植病報 12(1):68, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:271, 1992

[備考] アオトドマツのほか人工接種でアカトドマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす

(4) *Melampsora laricis-populina* Klebahn

平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:291, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす

(5) *Milesina dryopteridis* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):171, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:69, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(リョウメンシダ)に寄生

(6) *Milesina exigua* Faull

亀井専次:札幌博物学会報 11:146, 1930(昭 5) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:73, 1992

[備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏孢子・冬孢子世代はモミ類さび病参

照

(7) *Milesina itoana* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 14(2):97, 1935(昭 10) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:81, 1992

[備考] アカトドマツ・アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(オシダ他)に寄生

(8) *Milesina jezoënsis* Kamei & Hiratsuka

亀井専次:札幌博物学会報 12:32, 1931(昭 6) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:83, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子は *Polypodium* 属(エゾデンド)に寄生

(9) *Milesina miyabei* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):169, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:88, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(オシダ他)に寄生

(10) *Milesina sublevis* (Faull) Hiratsuka [*Milesina scolopendrii* Jaap]

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 3:313, 1927(昭 2) ; 亀井専次:札幌農林学会報 24:364, 1933(昭 8) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:93, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Scolopendrium* 属(コタニワタリ)に寄生

(11) *Milesina vogesiaca* Sydow

亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭 5) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:96, 1992

[備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(イタチシダ他)に寄生

(12) *Pucciniastrum epilobii* G.H. Oth

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(1):3, 1932(昭 7) ; 平塚直秀:札幌農林学会報 18(81):84, 1926(大 15) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:116, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Epilobium* 属(ヤナギラン他)に寄生してさび病をおこす

(13) *Pucciniastrum kusanoi* Dietel

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 47(562):713, 1933(昭 8) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:121, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Clethra* 属(リュウブ)に寄生しさび病をおこす

(14) *Pucciniastrum miyabeana* Hiratsuka

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(2):22, 1932(昭 7)

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Viburnum* 属(ムシカリ他)に寄生してさび病をおこす

(15) *Pucciniastrum styracinum* Hiratsuka

亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:128, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Pterostyrax* 属(アサガラ他)および *Styrax* 属(エゴノキ他)に寄生してさび病をおこす

(16) *Pucciniastrum tiliae* Miyabe

亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:130, 1992

[備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は *Tilia* 属(シナノキ他)にさび病をおこす

(17) *Uredinopsis adianti* Komarov

Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:78, 1936(昭 11) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:156, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Adiantum* 属(クジャクシダ)に寄生

(18) *Uredinopsis athyrii* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):163, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:158, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Athyrium* 属(メシダ他)に寄生

(19) *Uredinopsis filicina* (Niessl) Magnus

Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:50, 1936(昭 11) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:162, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(20) *Uredinopsis hirosakiensis* Kamei & Hiratsuka

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):164, 1932(昭 7) ; 亀井専次:札幌博物学会報 13(3):153, 1934(昭 9) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:164, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Lastrea* 属(ヒメシダ)に寄生

(21) *Uredinopsis intermedia* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):166, 1932(昭7); Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:166, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Athyrium* 属(ミヤマシケシダ他)に寄生

(22) *Uredinopsis kameiana* Faull

亀井専次:日植病報 2:228, 1930(昭5); Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:168, 1992

[備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。病菌の異名, 夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(23) *Uredinopsis ossaeiformis* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭7); Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 5:28, 1958

[備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(24) *Uredinopsis pteridis* Dietel & Holway

亀井専次:日植病報 2:208, 1930(昭5); Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:174, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Pteridium* 属(ワラビ)に寄生

(25) *Uredinopsis struthiopteridis* F.C.M. Störmer ex Dietel

Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936(昭11); Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:176, 1992

[備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(26) *Uredinopsis woodsiae* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):162, 1932(昭7); Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:176, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Woodsia* 属(イワデンダ他)に寄生

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast

(1) *Lirula nervisequia* (de Candolle) Darker [*Hypodermella nervisequia* (Fries) Lagerberg, *Lophodermium nervisequia* (Fries) Rehm]

亀井専次:トドマツの樹病と木材腐朽(北方林業叢書 12):16, 1959; 伊藤一雄:樹病学大系 2:127, 1973

(2) *Lophodermium abietis* Rostrup (落葉病, 葉振病)

亀井専次:日林北支講 7:86, 1958; 亀井専次:トドマツの樹病と木材腐朽(北方林業叢書 12):16, 1959

(3) *Lophodermium piceae* (Fuckel) Höhnelt

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidanich

高井省三:植物防疫 20:331, 1966

[備考] 病菌の異名はヒノキ微粒菌核病参照

ファシディウム雪腐病 *Phacidium-yukigusare-byo* *Phacidium* snow blight (ファシディウム葉枯病)

Phacidium abietis (Dearness) J. Reid & Cain [*Phacidium infestans* P. Karsten var. *abietis* Dearness]

高橋郁雄・佐保春芳:日林北支講 18:159, 1969; 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫ニュース 17:53, 1968; 高橋郁雄:北方林業 27(9):240, 1975

節葉病 fushiha-byo

Sclerotiopsis abietis-mayrianae Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:117, 1950

変形菌病* henkeikin-byo Slime mold (粘菌病)

変形菌の1種

伊藤一雄:図説菌畑病害診断法(前):36, 1959

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Antrodia heteromorpha* (Fries) Donk ミヤマシロアミタケ

青島清雄:森林防疫ニュース 7:161, 1958 ; 高橋旨象:きのこ木材:130, 1989

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(2) *Climacocystis borealis* (Fries) Kotlaba & Pouzar [*Polyporus borealis* Fries, *Tyromyces borealis* (Fries) Imazeki] エゾタケ

亀井専次:北大農演報 14(2):157, 1949 ; 今関六也:東京科博研報 6:84, 1943(昭 18)

(3) *Fomitopsis officinalis* (Villars) Bondartsev & Singer エブリコ

安田 篤:植物学雑 32(377):136, 1918(大 7)

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(4) *Fomitopsis pinicola* (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(5) *Gloeophyllum sepiarium* (Wulfen) P. Karsten キカイガラタケ

亀井専次:日林北支講 2:45, 1953

[備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツ幹心腐病参照

(6) *Gloeophyllum trabeum* (Persoon) Murrill [*Lenzites trabea* (Persoon) Fries, *Trametes protracta* Fries] キチリメンタケ(キアミタケ)

安田 篤:植物学雑 37(434):67, 1923(大 12) ; 青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977

(7) *Laetiporus sulphureus* (Bulliard) Murrill アイカワタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(8) *Stereum sanguinolentum* (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:29, 1952

(9) *Veluticeps abietina* (Persoon) Hjortstam & Telleria [*Columnocystis abietina* (Persoon) Pouzar, *Lloydella abietina* (Persoon) S. Ito, *Stereum abietinum* Fries] マツノウロコタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:28, 1952 ; 亀井専次・五十嵐恒夫:68 回日林講:264, 1958 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):350, 1992

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

(1) *Trichaptum abietinum* (Dickson) Ryvarden シハイタケ

今関六也:植研雑 20(6-7):284, 1944(昭 19)

[備考] 病菌の異名はモミ類幹辺材腐朽病参照

(2) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer ヒイロタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:54, 1959 ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑 II:150, 1989

[備考] 病菌の異名はモミ類幹辺材腐朽病参照

(3) *Trametes hirsuta* (Wulfen) Pilát アラゲカワラタケ

亀井専次:日林北支講 2:45, 1953 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):235, 1994

[備考] 病菌の異名はモミ類幹辺材腐朽病参照

溝腐病 mizogusare-byo Stem sap rot

Phellinus hartigii (Allescher & Schnabl) Patouillard [*Fomes hartigii* Allescher & Schnabl, *Fomes hartigii* var. *japonica* Miyabe & Kusama]

新島善直:新編森林保護学(下):445, 1925(大 14) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:98, 1933(昭 8)

ロゼリニア暗色かび病 *Rosellinia*-anshokukabi-byo *Rosellinia* needle blight (黒色顆粒病)

Rosellinia herpotrichioides Hepting & R.W. Davidson

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):38, 1959

ロヒューム枝枯病* *Lophium-edagare-byo* *Lophium* twig blight

Lophium mytilinum (Persoon) Fries

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Aphelenchus* sp. ニセネグサレセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Ditylenchus* sp. クキセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(4) *Helicotylenchus dihystera* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

真宮靖治:77回日林講:295, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(5) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの1種

真宮靖治:77回日林講:295, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(6) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967

(7) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

根腐線虫病 *negusare-senchu-byo* Root lesion

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

小口健夫:北方林業 18(3):70, 1966 ; 真宮靖治:77回日林講:295, 1966 ; 橋本平一:北方林業 22:53, 1970

黄化病 *oka-byo*

マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency)

佐藤邦彦ら:北方林業 33:160, 1981

こぶ苗病 *kobunae-byo*

BHC 薬害

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):35, 1959

++++漏脂症 *roshi-sho* Pitch canker

病因未詳

佐々木千晶ら:東大演報 80:187, 1988

++++

Lachnellula aeruginosa Oguchi

Oguchi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:435, 1980

++++

Lachnellula ciliata (Hahn) Dennis

Oguchi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:437, 1980

††††

Lachnellula fuckelii (Bresàdola) Dharne

Oguchi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:439, 1980

††††

Lachnellula microspora Ellis & Everhart

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

††††

Scoleconectria cucurbitula (Tode) C. Booth

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973

ヒマラヤスギ(ヒマラヤシーダー)

Himalayan cedar

Cedrus deodara (Roxb.) Loud.

(針葉樹)

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

すす葉枯病 susu-hagare-byo Rhizosphaera needle blight

Rhizosphaera kalkhoffii Bubák

陳野好之:森林防疫 20:223, 1971

すす病 susu-byo Sooty mold

病原菌未詳

小河誠司:日林九支研論 29:251, 1976

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Fusarium sp.

勝 善鋼:森林防疫 23:90, 1974

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

久林高市:日林九支研論 40:209, 1987

材線虫病 zai-senchu-byo Wilt

Bursaphelenchus xylophilus (Steiner & Buhrer) Nickle マツノザイセンチュウ

海老根翔六:森林防疫 29:201, 1980

[備考] 病原線虫の異名は、アカマツ・クロマツ材線虫病を参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(2) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(3) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(4) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(5) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 種名は再検討を要する

カラマツ

Larch

Larix spp.

(針葉樹)

チョウセンカラマツ(朝鮮落葉松) *Larix dahurica* var. *koreana* Nakai

オウシュウカラマツ European larch *Larix decidua* Mill.

グイマツ Kurile larch *Larix gmelini* var. *japonica* (Maxim.) Pilger

カラマツ(落葉松) Japanese larch *Larix kaempferi* (Lamb.) Carriere

赤粒病 akatsubu-byo *Fusarium* blight

Fusarium laricis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:130, 1950

[備考] カラマツ

アスコカリックス枝枯病 *Ascocalyx*-edagare-byo *Ascocalyx* canker

Ascocalyx abietis Naumov [不完全世代: *Bothrodiscus berenice* (Berkeley & M.A. Curtis) J.W. Groves]

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:704, 1973 ; 高橋郁雄:東大農演報 69:63, 1979

[備考] カラマツ・グイマツ × カラマツ

暗色枝枯病 anshoku-edagare-byo (灰色枝枯病)

Guignardia cryptomeriae Sawada [不完全世代: *Macrophoma sugi* Hara]

小林享夫:日林誌 44:282, 1962 ; 澤田兼吉:林試研報 45:39, 1950

[備考] オウシュウカラマツ・カラマツ。病菌の所属についてはヒノキ暗色枝枯病参照

エンケリオプシス胴枯病 *Encoeliopsis*-dogare-byo *Encoeliopsis* canker

Encoeliopsis laricina (Ettlinger) J.W. Groves [不完全世代: *Brunchorstia laricina* Ettlinger]

高橋郁雄ら:北方林業 23:109, 1971 ; 高橋郁雄・佐保春芳:日林北支講 18:164, 1969

[備考] マンシュウカラマツ(*L. olgensis*)・ラリシナカラマツ(*L. laricina*)・ホクシカラマツ(*L. principis-rupprechtii*)・シベリヤカラマツ(*L. siberica*) にも発生

かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot (乾腐病)

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát カワラタケ

陳野好之ら:94 回日林論:541, 1983 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):235, 1994

[備考] カラマツ

がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo Larch canker (胴枯病)

(1) *Lachnellula calyciformis* (Willdenow) Dharne

魚住 正:76 回日林講:321, 1965

[備考] チョウセンカラマツ・グイマツ・カラマツ・ラリシナカラマツ。病菌の異名はモミ類がんしゅ病参照

(2) *Lachnellula suecica* (de Bary) Nannfeldt

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 21(10):210, 1972

[備考] グイマツ・カラマツ・ラリシナカラマツ

(3) *Lachnellula willkommii* (Hartig) Dennis [*Trichoscyphella willkommii* (Hartig) Nannfeldt, *Dasyscypha willkommii* (Hartig) Rehm]

出田 新:日本植物病理学(上):311, 1909(明 42) ; 白井光太郎:植物病理学(下):155, 1894(明 27) ; 伊藤一雄ら:林試研報 155:23, 1963

[備考] カラマツ

球果褐変病 kyuka-kappen-byo

(1) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link]

横山竜夫:菌類図鑑(下)(宇田川俊一ら編):1055, 1978 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):592, 1992

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

浜 武人:日林誌 49:211, 1967

[備考] カラマツ

茎枯病 kukigare-byo Cytospora canker

Valsa abietis Fries [不完全世代: *Cytospora abietis* Fries]

亀井専次:森林防疫ニュース 10:157, 1961 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:109, 1970

[備考] カラマツ

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

伊藤一雄:森林防疫ニュース 32:370, 1954

[備考] カラマツ。病菌の完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk はカラマツでは未記録

黒粒病 kurotsubu-byo

Epicoccum sp.

澤田兼吉:林試研報 46:130, 1950

[備考] カラマツ

こぶ癌腫病 kobu-ganshu-byo

病原不明

浜 武人:74 回日林講:304, 1963

[備考] カラマツ。調査を要する

先枯病 sakigare-byo Shoot blight (梢枯病, 枝枯病)

Botryosphaeria laricina (Sawada) Y.Z. Shang [*Guignardia laricina* (Sawada) W. Yamamoto & Kaz. Ito, *Physalospora laricina* Sawada, 不完全世代: *Macrophoma* sp.]

伊藤一雄:北方林業 143:43, 1961 ; 澤田兼吉:林試研報 46:111, 1950 ; 魚住 正:林試研報 132:47, 1961 ; 小林享夫:森林防疫 39:80, 1990

[備考] マンシュウカラマツ・ラリシナカラマツ・アメリカセイブカラマツ・ホクシカラマツ・シベリヤカラマツにも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

北島君三:樹病学及木材腐朽論:242, 1933(昭 8)

[備考] カラマツ。病菌の異名はイチョウ白紋羽病参照

すす病 susu-byo Sooty mold

Limacinia sp.

新島善直・宮部金吾:北海道林業会報 22:390, 1924(大 13)

[備考] カラマツ。*Phragmocapnias laricis* Tochinai & Yamamoto(亀井専次:カラマツの病害と腐朽:22, 1956) は正式な記載なく無効

赤色がんしゅ病 sekishoku-ganshu-byo (赤色癌腫病)

病原不明

浜 武人:74 回日林講:304, 1963

[備考] 調査を要する

ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart チャイボタケ

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):44, 1959

[備考] カラマツ。病菌の異名はモミ類ちやいぼたけ病参照

チンパニス胴枯病* Tympanis-dogare-byo Tympanis canker

Tympanis laricina (Fuckel) Saccardo [*Tympanis abietina* J.W. Groves]

佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 50:340, 1968

[備考] アメリカカラマツ・マンシュウカラマツ・グイマツ・カラマツ・シベリヤカラマツ

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:林試研報 268:22, 1974 ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:109, 1933(昭 8)

[備考] カラマツ。病菌の異名はアカマツ・クロマツつちくらげ病参照

床替苗根腐病 tokogaenae-negusare-byo Root rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法:59, 1959

(2) *Fusarium* sp.

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法:59, 1959

[備考] いずれもカラマツ

胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker (裾腐病)

Diaporthe conorum (Desmazières) Niessl [不完全世代: *Phomopsis occulta* (Saccardo) Traverso]

亀井専次:カラマツの病害と腐朽(北方林業叢書 6):19, 1956 ; 亀井専次・鈴木 隆:74 回日林講:303, 1963

[備考] オウシュウカラマツ・カラマツ

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (腐敗病, 腰折病, 倒靡病)

(1) *Cylindrocladium scoparium* Morgan

伊藤一雄・小野 馨:63 回日林講:202, 1954

(2) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link]

千葉 修ら:74 回日林講:311, 1963

(3) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:樹病:71, 1952

[備考] 病菌の異名はヒノキ苗立枯病参照

(4) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

千葉 修ら:74 回日林講:311, 1963

(5) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:林業技術シリーズ 1 付図 IIB, 1949 ; 伊藤一雄:林業技術シリーズ(改訂版) 付図 IIID, 1950

[備考] いずれもカラマツ

ならたけ病 naratake-byo *Armillaria root rot* (根朽病, 根腐病)

(1) *Armillaria cepistipes* Velenovský クロゲナラタケ

Ota, Y. *et al.*:Plant Dis. 82:537, 1998 ; 太田祐子:森林防疫 48:47, 1999

[備考] カラマツ

(2) *Armillaria mellea* (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13) ; 北島君三:山林公報 4:354, 1918(大 7)

[備考] オウシュウカラマツ・グイマツ・カラマツ・ラリシナカラマツ・シベリヤカラマツ。広義のナラタケとして記録。病菌の異名はモミ類ならたけ病参照

(3) *Armillaria ostoyae* (Romagnesi) Herink オニナラタケ(ツバナラタケ)

Ota, Y. *et al.*:Plant Dis. 82:537, 1998 ; 太田祐子:森林防疫 48:47, 1999

[備考] カラマツ

にせ落葉病 nise-rakuyo-byo

Mycosphaerella sp.

伊藤一雄:図説樹病診断法:185, 1968 ; 小野 馨:北方林業 8:327, 1956

[備考] カラマツ

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo *Butt rot* (心腐病)

(1) *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ

青島清雄:森林防疫ニュース 7:162, 1958 ; 今関六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):463, 1988

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐参照

(2) *Perenniporia subacida* (Peck) Donk キンイロアナタケ

青島清雄:林試研報 46:157, 1950 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):586, 1992

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(3) *Sparassis crispa* (Wulfen) Fries ハナビラタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956

[備考] 上記(1)~(3)はいずれもカラマツ

ネクトリア胴枯病 *Nectria-dogare-byo* *Nectria canker* (癌腫病)

Nectria fuckeliana C. Booth

伊藤一雄:樹病学大系 2:187, 1973 ; 出田 新:実用植物病理学:171, 1901(明 34) ; 山本和太郎:日菌報 3:116, 1962

[備考] 病菌の異名はトウヒ類ネクトリア胴枯病参照。本病菌がわが国に産する確実な文献はない

灰色かび病 haiiro-kabi-byo *Gray mold*

Botrytis cinerea Persoon

澤田兼吉:林試研報 45:45, 1950

[備考] カラマツ

灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo

Mycosphaerella cryptomeriae Shirai & Hara

澤田兼吉:林試研報 45:34, 1950

[備考] カラマツ

葉黒星病 ha-kurohoshi-byo

Pseudodiscosia laricis Sawada

澤田兼吉:青森局第2回造林技術分担研究発表会記録第2輯:123, 1949; 澤田兼吉:林試研報 46:129, 1950

[備考] 病菌の分類学的所属の検討を要する

葉黒粒点病 ha-kokuryuten-byo (葉黒粒病)

Cladosporium laricis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:130, 1950

葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病)

(1) *Melampsora capraearum* (de Candolle) Thümen [*Melampsora laricis-capraearum* Klebahn]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:349, 1917(大6); Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(1):10, 1932(昭7); Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:275, 1992

[備考] カラマツ(人工接種)。本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Salix* 属(バッコヤナギ等)に寄生し、葉さび病を起こす

(2) *Melampsora epiphylla* Dietel [*Melampsora larici-opaca* Miyabe & Matsumoto]

Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:279, 1992

[備考] オウシュウカラマツ・カラマツ(人工接種)。本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Salix* 属(キヌヤナギ等)に寄生し、葉さび病を起こす

(3) *Melampsora epitea* (Kunze & Schmidt) Thümen [*Melampsora laricis-epitea* Klebahn]

Hiratsuka, N.:Jap. J. Bot. 6(1):3, 1932(昭7); Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:280, 1992

[備考] オウシュウカラマツ・カラマツ(いずれも人工接種)。本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Salix* 属(カワヤナギ等)に寄生し、葉さび病を起こす

(4) *Melampsora laricis-populina* Klebahn

Matsumoto, T.:Ann. Misso. Bot. Gard. 6:309, 1919(大8); 太田 昇:日林誌 53:149, 1971; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:241, 1992

[備考] アメリカカラマツ(*L. americana*)・チョウセンカラマツ・オウシュウカラマツ・ダフリカラマツ(*L. gmelini*)・グイマツ・マンシュウカラマツ・ホクシカラマツ・カラマツ・アメリカセイブカラマツ(*L. occidentalis*)ほか交配種にも発生。本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生し、葉さび病を起こす

(5) *Melampsora laricis-urbaniana* Matsumoto

Matsumoto, T.:Ann. Misso. Bot. Gard. 6:311, 1919(大8); Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:294, 1992

[備考] 本病菌の夏孢子・冬孢子世代はオオバヤナギ(*Toisusu urbaniana*)に寄生し、葉さび病を起こす

(6) *Melampsora populnea* (Persoon) P. Karsten [*Melampsora laricis* R. Hartig]

平塚直秀:札幌農林学会報 21:61, 1929(昭4); Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:299, 1992

[備考] カラマツ(人工接種)。本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ヤマナラシ等)に寄生し、葉さび病を起こす

(7) *Melampsoridium alni* (Thümen) Dietel

Hiratsuka, N.:Jap. J. Bot. 6(1):16, 1932(昭7); Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:50, 1992

[備考] オウシュウカラマツ(人工接種)・カラマツ・シコタンマツ(*L. kurilensis*)(人工接種)。本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Alnus* 属(ヤシャブシ等)に寄生し、さび病を起こす

(8) *Melampsoridium hiratsukanum* S. Ito ex Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Jap. J. Bot. 6(1):19, 1932(昭7); 佐藤昭二:東教大農紀要 12:9, 1966; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:57, 1992

[備考] チョウセンカラマツ・オウシュウカラマツ・カラマツ, ほかにシコタンカラマツ(人工接種)他交配種。本病菌の夏孢子・冬孢子世代は *Alnus* 属(ヤマハンノキ等)に寄生し、さび病を起こす

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidanich

伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:170, 1957

[備考] カラマツ。病菌の異名はモミ類微粒菌核病参照

フォマ葉枯病* *Phoma-hagare-byo* (赤枯病)

Phyllosticta cryptomeriae Kawamura

澤田兼吉:林試研報 45:42, 1950

[備考] カラマツ。本病原菌の完全世代 *Discochora sawadae* (Kobayashi) Bissett & Palm はカラマツでは未記録

腐心病 fushin-byo Butt rot

Phaeolus schweinitzii (Fries) Patouillard [*Polyporus schweinitzii* Fries] カイメンタケ

白沢保美:林試報 1:48, 1904 ; 北島君三:林試報 28:75, 1928(昭3)

[備考] カラマツ

ペスタロチア病* *Pestalotia-byo* Pestalotia disease (黒汁赤枯病, 苗枯病)

(1) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert

澤田兼吉:青森局第2回造林技術分担研究発表会記録第2輯:123, 1949 ; 澤田兼吉:林試研報 46:128, 1950 ;

Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:336, 1993

[備考] カラマツ。病菌の異名はスギ・ヒノキペスタロチア病参照

(2) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert

澤田兼吉:林試研報 45:40, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:336, 1993

[備考] カラマツ。病菌の異名はヒノキ・ペスタロチア病参照

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (幹腐病, 心腐病)

(1) *Antrodia heteromorpha* (Fries) Donk ミヤマシロアミタケ

青島清雄:森林防疫ニュース 7:161, 1958 ; 青島清雄ら:日林誌 45:125, 1963 ; 高橋旨象:きのこ木材:130, 1989

[備考] カラマツ。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(2) *Fomitopsis officinalis* (Villars) Bondartsev & Singer エブリコ

白井光太郎:植物病理学(下):137, 1894(明27) ; 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭18)

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(3) *Laetiporus sulphureus* (Bulliard) Murrill アイカワタケ

白井光太郎:植物病理学(下):155, 1894(明27) ; 青島清雄・林 康夫:72回日林講:308, 1962

[備考] カラマツ。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(4) *Phellinus chrysoloma* (Fries) Donk [*Porodaedalea chrysoloma* (Fries) Fiasson & Niemelä, *Porodaedalea chrysoloma* (Fries) Imazeki] カラマツカタワタケ(マツノカタワタケ)

中牟田五郎:森林保護学:107, 1894(明27) ; 今関六也:逸見博士還暦記念論文集:176, 1951 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994

[備考] カラマツ

(5) *Stereum sanguinolentum* (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ

今関六也・青島清雄:日植病報 16:88, 1952

[備考] カラマツ

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):42, 1959

[備考] オウシュウカラマツ・カラマツ。病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

芽枯病 megare-byo Bud blight

(1) *Alternaria* sp.

亀井専次・鈴木 隆:74 回日林講:304, 1963

(2) *Cryptostictella reynoutriae* Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:127, 1950

[備考] いずれもカラマツ

落葉病 rakuyo-byo Needle cast (葉ふるい病, 斑葉病, 斑点病)

Mycosphaerella laricis-leptolepidis Kaz. Ito & K. Sato [*Phoma yano-kubotae* Kitajima, *Phyllosticta laricis* Sawada]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:104, 1933(昭 8); 北島君三:林友 191:4, 1931(昭 6); 伊藤一雄ら:林試研報 96:69, 1957

[備考] ラリシナカラマツ・シベリヤカラマツ・アメリカセイブカラマツにも発生

ロヒューム枝枯病 *Lophium-edagare-byo* Lophium twig blight

Lophium mytilinum (Persoon) Fries

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 16:116, 1967

[備考] グイマツ・カラマツ・シベリヤカラマツ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの 1 種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Aphelenchus* sp. ニセネグサレセンチュウの 1 種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Cephalenchus planus* Siddiqi & Khan

Mizukubo, T. & Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 15:36, 1985

[備考] 根圏土壌より検出。寄生性未確認

(4) *Ditylenchus* sp. クキセンチュウの 1 種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(5) *Helicotylenchus erythrinae* (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ

真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

[備考] 根圏土壌から検出

(6) *Paratrichodorus minor* (Colbran) Siddiqi [*Trichodorus minor* Colbran] ヒメユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967

(7) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの 1 種

橋本平一:北方林業 22:53, 1970

[備考] 根圏土壌より検出

(8) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

真宮靖治:77 回日林講:295, 1966; Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967

[備考] 真宮(1966)は根圏土壌からの検出

(9) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの 1 種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(10) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

[備考] 根圏土壌より検出。種名は再検討を要する

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
伊藤一雄:図説樹病新講:100, 1962 ; 真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

こぶ苗病 kobunae-byo (苗瘤病)

BHC 薬害

伊藤一雄ら:69 回日林講:365, 1959

帯化病 taika-byo Fasciation

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 9:36, 1960

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

生理病 (遺伝的芽条変異)

伊藤一雄・千葉 修:森林防疫ニュース 6:249, 1957 ; 百瀬行男:日林誌 48:254, 1966

苗黄化病 nae-oka-byo Yellow tip (針葉黄化病, 苦土欠乏症)

マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency)

佐藤邦彦:森林防疫ニュース No.29:329, 1954 ; 佐藤邦彦ら:日林東北支講 7:42, 1956

苗紫色化病 nae-shishokuka-byo (苗針葉紫色化病, 磷酸欠乏症)

リン酸欠乏 (Phosphorus deficiency)

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):106, 1959 ; 伊藤一雄:林業技術 146:20, 1954

++++褐さび病 kassabi-byo Brown needle rust

†*Triphragmiopsis laricinum* (W.F. Chiu) F.L. Tai

小林享夫:森林防疫 36(11):207, 1987

[備考] 中国東北部

+++苗疫病 nae-eki-byo Damping-off (苗立枯病, 立枯病)

††*Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter [*Phytophthora omnivora* de Bary]

原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大 12) ; 白井光太郎:植物病理学(下):80, 1900(明 33)

[備考] カラマツでの国内発生に疑問

+++葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast (斑点病, かびふるい病)

(1) *Hypodermella laricis* Tubeuf

北島君三:樹病学及木材腐朽論:108, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生未確認

(2) *Lophodermium laricinum* Rehm

北島君三:樹病学及木材腐朽論:131, 1933(昭 8) ; 白井光太郎:植物病理学(下):159, 1894(明 27)

[備考] 国内発生未確認

(3) *Mycosphaerella laricina* R. Hartig [*Sphaerella laricina* R. Hartig]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:102, 1933(昭 8) ; 南部信方:病虫雑 3(2):168, 1916(大 5)

[備考] 国内未発生

††ファキディオピクニス胴枯病 *Phacidiopycnis-dogare-byo* Phacidiopycnis canker, Phomopsis canker
(フォモプシス胴枯病)

Phacidiopycnis pseudotsugae (M. Wilson) G.G. Hahn [*Phomopsis pseudotsugae* M. Wilson]

伊藤一雄:林木の耐病性:73, 1959

[備考] 国内未発生

††メリア葉ふるい病 *Meria-hafurui-byo*

Meria laricis Vuillemin

伊藤一雄:樹病学大系 3:240, 1974 ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:107, 1933(昭 8)

[備考] 国内未発生

††††

Lachnellula arida (W. Phillips) Dennis

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

[備考] グイマツ

††††

Nectria viridescens C. Booth

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973

††††

Pezicula livida (Berkeley & Broome) Rehm [不完全世代: *Cryptosporiopsis abietina* Petrak]

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:86, 1968

[備考] カラマツ・チョウセンカラマツ・オウシュウカラマツ

††††

Scolecnectria cucurbitula (Tode) C. Booth [不完全世代: *Zythiostroma pinastri* (P. Karsten) Höhnelt]

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973 ; 高橋郁雄:東大農演報 69:91, 1979

[備考] チョウセンカラマツ・カラマツ・シベリアカラマツ

††††

Thyronectria balsamea (Cooke & Peck) Seeler

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:86, 1968

[備考] チョウセンカラマツ・シベリアカラマツ

アカエゾマツ(赤蝦夷松)

Saghalin spruce

Picea glehnii Mast.

(針葉樹)

エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) *Picea jezoensis* (Sieb. & Zucc.) Carr.

アトロペリス胴枯病 *Atropellis-dogare-byo* Atropellis canker

Atropellis treleasei (Saccardo) Zeller & Goodding

高橋郁雄・佐保春芳:日林北支講 23:7, 1974

[備考] エゾマツ

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病, 雪枯病)

Racodium therryanum Thümen

伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:218, 1957 ; 伊藤一雄:林業技術 117:6, 1951 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はイチイ暗色雪腐病参照

枝枯病 edagare-byo Tryblidiopsis twig blight

Tryblidiopsis pinastri (Persoon) P. Karsten [不完全世代: *Tryblidiopycnis pinastri* Höhnelt]

高橋郁雄・佐保春芳:日林誌 55:75, 1973

かさぶた状葉さび病 kasabutajo-hasabi-byo Needle cushion rust (さび病, 葉さび病)

Chrysomyxa abietis (Wallroth) Unger

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 23(11):258, 1973 ; 平塚直秀:北大農紀要 21(1):32, 1927 (昭 2)

がんしゅ(癌腫)病* ganshu-byo Lachnellula canker

Lachnellula calyciformis (Willdenow) Dharne

佐保春芳・高橋郁雄:菌蕈研報 10:709, 1973

[備考] 病菌の異名はモミ類がんしゅ病参照

黄かび病 kikabi-byo

Dasyscyphus acuum (Albertini & Schweinitz) Saccardo

佐藤邦彦・庄司次男:72 回日林講:279, 1962(昭 37)

[備考] エゾマツ。分類学的所属の再検討を要する

球果さび病 kyuka-sabi-byo Cone rust (毬果銹)

Thekopsora areolata (Fries) Magnus [*Aecidium strobilinum* Reess]

新島善直:日本森林保護学(下):489, 1912(明 45) ; 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 19:272, 1970

[備考] 夏孢子・冬孢子世代は *Prunus* 属(ウワミズザクラ他)に寄生してさび病をおこす

こうやく(膏薬)病 koyaku-byo Felt disease

Septobasidium kameii Kaz. Ito

伊藤一雄・林 弘子:林試研報 134:51, 1961

[備考] エゾマツ

青変病 seihen-byo Blue stain, Blue sap stain

(1) *Ceratocystis coerulescens* (Münch) B.K. Bakshi [*Endoconidiophora coerulescens* Münch]

伊藤一雄:樹病学大系 2:28, 1973 ; 青島清雄・林 康夫:林試研報 81:19, 1955

(2) *Ophiostoma bicolor* R.W. Davidson & D.E. Wells [*Ceratocystis bicolor* (R.W. Davidson & D.E. Wells) R.W. Davidson]

青島清雄・林 康夫:日植病報 21(1):43, 1956 ; 山岡裕一ら:森林防疫 48:6, 1999

(3) *Ophiostoma piceae* (Münch) Sydow & P. Sydow [*Ceratocystis piceae* (Münch) B.K. Bakshi, *Ceratostomella piceae* Münch]

伊藤一雄:樹病学概論:47, 1960 ; 枅内吉彦・坂本正幸:北海道林業会報 32(7):334, 1934(昭 9) ; 山岡裕一ら:森林防疫 48:8, 1999

(4) *Ophiostoma pluriannulatum* (Hedgcock) Sydow & P. Sydow

伊藤一雄:樹病学大系 2:28, 1973 ; 青島清雄・林 康夫:日植病報 20(2-3):115, 1955

[備考] 病菌の異名はモミ類青変病参照。伊藤一雄 (樹病学概論:47, 1960) は *Ceratocystis clavata* (Mathiesen-Käärik) J. Hunt および *Ceratocystis penicillata* (Grossmann) C. Moreau による青変病を紹介したが、国内未発生

ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart チャイボタケ

高橋郁雄・高橋康夫:森林防疫 34:142, 1985

[備考] 病菌の異名はモミ類ちやいぼたけ病参照

チンパニス枝枯病* *Tympanis-edagare-byo* Tympanis canker

Tympanis tsugae J.W. Groves [*Tympanis piceae* J.W. Groves]

佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 55:253, 1973 ; Ouellette & Pirozynski:Can. J. Bot. 52(8):1904, 1974

床替苗根腐病 tokogaenae-negusare-byo Root rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):59, 1959

(2) *Fusarium* spp.

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):59, 1959

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (立枯病, 腐敗病, 腰折病, 倒靡病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

今井三子:日植病報 13(1-2):58, 1948

(2) *Pythium debaryanum* R. Hesse, *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

亀井専次:日林北支講 7:84, 1958

[備考] 前者は Plaats-Niterink(1981) Studies in Mycology 21:1-242 により疑問種として扱われている。後者の出典も上記である

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:林業技術シリーズ 1(改訂版)付図 IIIB, 1950

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

帝室林野林試:森林病虫害図説病害篇 1:7, 1938(昭 13) ; 新島善直:日本森林保護学(下):476, 1912(明 45)

[備考] 病菌の異名はモミ類ならたけ病参照

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

(1) *Ganoderma valesiacum* Boudier ツガノマンネンタケ

朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:445, 1939(昭 14) ; 青島清雄:日菌報 15:443, 1974 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:525, 1992

[備考] 病菌の異名はモミ類心腐病参照

(2) *Gloeophyllum odoratum* (Wulfen) Imazeki ニオイアミタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 34:30, 1952

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(3) *Heterobasidion annosum* (Fries) Brefeld マツノネクチタケ

亀井専次:日植病報 13(1-2):58, 1948 ; 青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977

[備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照

(4) *Heterobasidion insulare* (Murrill) Ryvarden レンガタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956 ; 青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977

[備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照

(5) *Inonotus tomentosus* (Fries) Teng ニセカイメンタケ

山野義雄:林学会誌 15:67, 1933(昭 8) ; 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:33, 1952 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):263, 1994

[備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照

(6) *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ(トドマツオオウズラタケ)

亀井専次:北大農演報 15:159, 1951 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):286, 1955 ; 今関六也ら:山溪カラー名鑑・日本のきのこ:463, 1988

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(7) *Perenniporia subacida* (Peck) Donk [*Poria subacida* (Peck) Saccardo] キンイロアナタケ

青島清雄:林試研報 46:157, 1950 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):586, 1992

(8) *Phaeolus schweinitzii* (Fries) Patouillard カイメンタケ

新島善直:新編森林保護学(下):447, 1925(大 14) ; 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:33, 1952

[備考] 病菌の異名はカラマツ腐心病参照

(9) *Phellinus weirii* (Murrill) Gilbertson エゾノサビイロアナタケ

青島清雄:林試研報 59:61, 1953

[備考] 病菌の異名はヒノキ根株心腐病参照

(10) *Sparassis crispa* (Wulfen) Fries ハナビラタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (芽枯病)

Botrytis cinerea Persoon

魚住 正:北方林業 60:65, 1954 ; 今井三子:日植病報 13(1-2):58, 1948

葉さび病 hasabi-byo Needle rust (さび病)

(1) *Chrysomyxa ledi* de Bary var. *ledi* [*Chrysomyxa ledi* de Bary]

平塚直秀・本間ヤス:札幌農林会報 19(85):182, 1927(昭 2) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:187, 1992

[備考] エゾマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Ledum* 属(イソツツジ)に寄生してさび病をおこす

(2) *Chrysomyxa ledi* de Bary var. *rhododendri* (de Bary) Savile [*Chrysomyxa rhododendri* de Bary]

松村任三:帝国植物名鑑(上):134, 1904(明 37)

[備考] エゾマツ・アカエゾマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Rhododendron* 属(ヤマツツジ他)に寄生してさび病をおこす

(3) *Chrysomyxa succinea* (Saccardo) Tranzschel [*Chrysomyxa expansa* Dietel, *Chrysomyxa alpina* Hiratsuka, f., *Gloeosporium succineum* Saccardo, *Peridermium piceae-hondoensis* Dietel]

伊藤一雄:樹病学大系 3:54, 1974 ; 宮部金吾:植物学雑 29(346):258, 1915(大 4) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:196, 1992

[備考] エゾマツ・アカエゾマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Rhododendron* 属(シャクナゲ他)に寄生してさび病をおこす

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast (徴振病)

Lirula macrospora (R. Hartig) Darker [*Lophodermium filiforme* Darker, *Lophodermium macrosporum* (R. Hartig) Rehm]

亀井専次:日林北支講 7:84, 1958 ; 大谷吉雄:横須賀市博報(自然) 37:68, 1989

ファシディウム雪腐病 Phacidium-yukigusare-byo Phacidium snow blight (ファシディウム葉枯病)

Phacidium abietis (Dearnass) J. Reid & Cain

高橋郁雄・佐保春芳:日林北支講 18:159, 1969 ; 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫ニュース 17:53, 1968 ; 高橋郁雄:北方林業 27:240, 1975

[備考] 病菌の異名はトドマツ・ファシディウム雪腐病参照

変形葉さび病 henkei-hasabi-byo (葉さび病, 新芽葉さび病, さび病)

Chrysomyxa deformans (Dietel) Jaczewski [*Barclayella deformans* Dietel, *Chrysomyxa abietis* (Wallroth) Unger]

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22(11):259, 1973 ; 平塚直秀:植研雑 13(8):594, 1937(昭 12)

ペスタロチア葉枯病 *Pestalotia-hagare-byo* Pestalotia disease

Pestalotiopsis glandicola (Castagne) Steyaert

高橋幸吉・小林享夫:樹木医学研究 2:9, 1998

[備考] アカエゾマツに発生。エゾマツ(人工接種)。病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

幹心腐病* *miki-shingusare-byo* Stem heart rot

(1) *Climacocystis borealis* (Fries) Kotlaba & Pouzar エゾタケ

亀井専次:日林北支講 2:45, 1953 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):584, 1992

[備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照

(2) *Fomitopsis officinalis* (Villars) Bondartsev & Singer エブリコ

白井光太郎:植物病理学(下):137, 1894(明 27)

[備考] エゾマツ類の国内記録は疑問。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(3) *Fomitopsis pinicola* (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ

逸見武雄:病虫雑 15:4, 1928(昭 3) ; 亀井専次:日林北支講 2:45, 1953

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(4) *Gloeophyllum trabeum* (Persoon) Murrill キチリメンタケ

青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977

[備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照

(5) *Phellinus chrysoloma* (Fries) Donk カラマツカタワタケ

中牟田五郎:森林保護学:107, 1894(明 27) ; 今関六也:東京科博研報 6:107, 1943 (昭 18) ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994

[備考] 病菌の異名はカラマツ幹心腐病参照

(6) *Phellinus pini* (Brotero) Ames マツノカタワタケ(エゾサルノコシカケ)

山野義雄:御料林 25:69, 1930(昭 5) ; 今関六也:植物病害研究 4:176, 1951 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(7) *Stereum sanguinolentum* (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:29, 1952

(8) *Veluticeps abietina* (Persoon) Hjortstam & Tellería マツノウロコタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:68 回日林講:264, 1958 ; 山口岳広:日本植物病害大事典 (岸 國平編):1160, 1998

[備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* *miki-henzai-fukyu-byo* Stem sap rot

Trichaptum abietinum (Dickson) Ryvarden シハイタケ

今関六也:植研雑 20(6-7):284, 1944(昭 19) ; 今関六也ら:日本のきのこ:476, 1988

[備考] 病菌の異名はモミ類幹辺材腐朽病参照

ロゼリニア暗色かび病 *Rosellinia-anshokukabi-byo* Rosellinia needle blight (黒色黒粒病, 雪枯病)

Rosellinia herpotrichioides Hepting & R.W. Davidson

伊藤一雄:図説林木病害診断法(針葉樹編):158, 1961 ; 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 2:5, 1939(昭 14) ; 佐藤邦彦ら:日林誌 41:67, 1959

ロヒューム枝枯病* *Lophium-edagare-byo* Lophium twig blight

Lophium mytilinum (Persoon) Fries

佐保春芳・高橋郁雄:菌蕈研報 10:706, 1973

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの 1 種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Aphelenchus* sp. ニセネグサレセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Ditylenchus* sp. クキセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(4) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの1種

橋本平一:北方林業 22:53, 1970

[備考] 根圏土壌より検出

(5) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(6) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):122, 1959 ; 小口健夫:北方林業 18:70, 1966

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

山口捨雄:北大農演報 7:209, 1932(昭7) ; 橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961

[備考] 山口(1932)は *P. pratensis* (de Man) Filipjev としたが再検討を要する

黄化病 oka-byo

マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency)

佐藤邦彦ら:北方林業 33:160, 1981

[備考] アカエゾマツ

††††

Macrophoma yamabeana Saho & I. Takahashi

高橋郁雄:東大農演報 69:80, 1979 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

トウヒ(唐檜)

Hondo spruce

Picea jezoensis subsp. *hondoensis* (Mayr) P.A. Schmidt

(針葉樹)

かさぶた状葉さび病 kasabutajo-hasabi-byo Needle cushion rust (銹病)

Chrysomyxa abietis (Wallroth) Unger

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22:258, 1973 ; 白井光太郎:植物病理学(下):122, 1894(明27)

[備考] ヤツガタケトウヒ(*P. koyamae*), ヒメマツハダ(*P. koyamae* var. *acicularis*)

がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo Lachnellula canker

Lachnellula resinaria (Cooke & W. Phillips) Rehm [*Dasyscyphus resinarius* (Cooke & W. Phillips) Rehm]

小林享夫・陳野好之:森林防疫 19:56, 1970

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:414, 1910(明 43)

[備考] 病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照

垂葉病 tareha-byo Needle droop

Herpotrichia parasitica (R. Hartig) Rostrup [不完全世代: *Pyrenochaeta parasitica* K. Freyer & Aa]

出田 新:続日本植物病理学(上):270, 1925(大 14); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:584, 1992

[備考] 病菌の異名および不完全世代はモミ類垂葉病参照。わが国における存在は不詳

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium* sp.

白井光太郎:植物病理学(下):80, 1894(明 27); 浜 武人:78 回 日林講:206, 1967

(2) *Rhizoctonia* sp.

白井光太郎:植物病理学(下):80, 1894(明 27); 浜 武人:78 回 日林講:206, 1967

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

(1) *Armillaria mellea* (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13); 新島善直:新編森林保護学(下):458, 1925(大 14);

池上八郎ら:新編植物病原菌類解説:135, 1996

[備考] 広義のナラタケとしての記録。ヤツガタケトウヒにも発生

(2) *Armillaria ostoyae* (Romagnesi) Herink オニナラタケ(ツバナラタケ)

Ota, Y. et al.:Plant Diseases 82:537, 1998; 太田祐子:森林防疫 48:47, 1999

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

(1) *Heterobasidion annosum* (Fries) Brefeld マツノネクチタケ(根の赤色腐朽病, 赤腐病)

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:334, 1910(明 43)

[備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照

(2) *Phaeolus schweinitzii* (Fries) Patouillard カイメンタケ

新島善直:新編森林保護学(下):447, 1925(大 14); 青島清雄:日植病報 14(3-4):106, 1950

[備考] 病菌の異名はカラマツ心腐病参照

ネクトリア胴枯病* Nectria-dogare-byo Nectria canker (癌腫病)

Nectria fuckeliana C. Booth

白井光太郎:植物病理学(下):209, 1894(明 27); 山本和太郎:日菌報 3:113, 1962

[備考] 病菌の異名はモミ類ネクトリア胴枯病参照

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小口健夫:第 16 回林技研発表論文集(北海道林務部):129, 1967

葉さび病* hasabi-byo Needle rust (銹病)

Chrysomyxa succinea (Saccardo) Tranzschel

宮部金吾:植物学雑誌 29(346):258, 1915(大 4); 出田 新:日本植物病理学(下):578, 1911(明 44); 平塚直秀・佐藤昭二:日菌報 10(1):14, 1969

[備考] 本病菌異名および夏孢子・冬孢子世代はエゾマツ葉さび病参照。 *Chrysomyxa ledi* de Bary var. *ledi* (大森順造・山田玄太郎:植物病理学:283, 1910), *Chrysomyxa ledi* de Bary var. *rhododendri* (de Bary) Savile [*Chrysomyxa rhododendri* de Bary] (出田 新:実用植物病理学:139, 1901), *Pucciniastrum arcticum* Tranzschel (伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):87, 1938; 平塚直秀:北大農紀要 21:90, 1927) による葉さび病が紹介されているがトウヒでの発生未確認

葉ふるい病* hafurui-byo Needle cast (かびふるい病)

Lirula macrospora (R. Hartig) Darker

白井光太郎:植物病理学(下):159, 1894(明 27); 伊藤一雄:樹病学大系 2:128, 1973; 大谷吉雄:横須賀市博報(自然) 37:68, 1989

[備考] 病菌の異名はエゾマツ葉ふるい病参照。北島君三(樹病学及木材腐朽論:131, 1933)は *Lophodermium abietis* Rostrup および *Lophodermium brachysporum* Rostrup による葉ふるい病を、伊藤一雄(樹病学大系 2:128, 1973)は *Lophodermium hyperboreum* Lagerberg および *Lirula brevispora* Ziller による同病を紹介したが、国内発生未確認

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidanich

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):61, 1959

[備考] 病菌の異名はヒノキ微粒菌核病参照

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Fomitopsis pinicola* (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ

出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明 44); 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭 18)

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(2) *Phellinus chrysoloma* (Fries) Donk カラマツカタワタケ

白井光太郎:植物病理学(下):152, 1894(明 27); 今関六也:東京科博研報 6:107, 1943(昭 18); 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994

[備考] 病菌の異名はカラマツ幹心腐病参照

(3) *Phellinus pini* (Brotero) Ames マツノカタワタケ

青島清雄:日植病報 14(3-4):106, 1950; 今関六也・本郷次雄:原色新菌類図鑑(II):192, 1989; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):95, 1950

[備考] 病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967

(3) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

[備考] 種名は再検討を要する

黄化病 oka-byo

マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency)

佐藤邦彦:青森林友 267:32, 1970

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 11:18, 1962

†††† 苗疫病 nae-eki-byo Damping-off (立枯病)
†† *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter [*Phytophthora omnivora* de Bary]
原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大 12); 白井光太郎:植物病理学(下):80, 1900(明 33)
[備考] トウヒでの国内発生に疑問

†† ヘルボトリキア雪腐病 *Herpotrichia-yukigusare-byo* Snow blight
Herpotrichia nigra R. Hartig
北島君三:樹病学及木材腐朽論:156, 1933(昭 8); 伊藤一雄:樹病学大系 2:149, 1973
[備考] 国内未発生

†††† 実さび病 misabi-byo Cone rust (毬果病)
†† *Thekopsora areolata* (Fries) Magnus
原 攝祐:樹病学各論:181, 1923(大 12)
[備考] トウヒでの発生未確認

††††
†† *Neopeckia coulteri* (Peck) Saccardo
北島君三:樹病学及木材腐朽論:156, 1933(昭 8)
[備考] 国内発生未確認

††††
†† *Physalospora abietina* Prillieux
北島君三:樹病学及木材腐朽論:156, 1933(昭 8)
[備考] 国内発生未確認

††††
†† *Thelephora terrestris* Ehrhart [*Thelephora laciniata* Persoon]
北島君三:樹病学及木材腐朽論:158, 1933(昭 8)
[備考] トウヒでの国内発生未確認

導入トウヒ類
Picea spp.
(針葉樹)

アトロペリス胴枯病 *Atropellis-dogare-byo* Atropellis canker
Atropellis treleasei (Saccardo) Zeller & Goodding
高橋郁雄・佐保春芳:日林北支講 23:7, 1974
[備考] オウシュウトウヒ

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo *Racodium* snow blight (雪腐病, 雪枯病)
Racodium therryanum Thümen
佐藤邦彦ら:日林誌 41:64, 1959; 佐藤邦彦:林試秋田支場研究時報 1:1, 1955; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960
[備考] オウシュウトウヒ(*P. abies*)・カナダトウヒ(*P. canadensis*)。病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

枝枯病 edagare-byo Twig blight
Tryblidiopsis pinastri (Persoon) P. Karsten
高橋郁雄・佐保春芳:日林誌 55:75, 1973

[備考] オウシュウトウヒ・プンゲンストウヒ (*P. pungens*)

かさぶた状葉さび病 kasabutajo-hasabi-byo Needle cushion rust (銹病)

Chrysomyxa abietis (Wallroth) Unger

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22(1):258, 1973 ; 白井光太郎:植物病理学(下):122, 1894(明 27)

[備考] オウシュウトウヒ・エンゲルマンストウヒ・オモリカトウヒ (*P. omorika*)・プンゲンストウヒ・アカトウヒ

がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo Lachnellula canker

Lachnellula resinaria (Cooke & W. Phillips) Rehm

魚住 正:76 回日林講:321, 1965 ; 小野 馨:北方林業 18(4):106, 1966

[備考] オウシュウトウヒ。病菌の異名はトウヒ類がんしゅ病参照

黄かび病 kikabi-byo

Dasyscyphus acuum (Albertini & Schweinitz) Saccardo

佐藤邦彦・庄司次男:72 回日林講:279, 1962 ; 佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959

[備考] オウシュウトウヒ。病菌の分類学的所属の検討を要する

球果さび病 kyuka-sabi-byo Cone rust (みさび病, 毬果菌, 毬果病, 毬果銹)

Thekopsora areolata (Fries) Magnus

新島善直:日本森林保護学(下):489, 1912(明 45) ; 新島善直:大日本山林会報 258:37, 1904 ; 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 19:272, 1970

[備考] オウシュウトウヒ。病菌の異名および夏孢子・冬孢子世代はエゾマツ球果さび病参照

こうやく(膏薬)病 koyaku-byo Felt disease

Septobasidium kameii Kaz. Ito

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973

[備考] オウシュウトウヒ

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries ツチクラゲ

馬場勝馬:35 回日林関東支論:153, 1983 ; 馬場勝馬:森林防疫 34(7):127, 1985

[備考] オウシュウトウヒ。病菌の異名はアカマツ・クロマツつちくらげ病参照

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

今関六也・小林享夫:森林防疫ニュース 5:194-197, 1956

[備考] オウシュウトウヒ・カナダトウヒ・クロトウヒ (*P. nigra*), 広義のナラタケとして記録

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (立枯病)

Botrytis cinerea Persoon

今井三子:栃内・福土還暦記念論文集:145, 1955 ; Saho, H.:Plant Disease Rept. 46:34, 1962

[備考] オウシュウトウヒ

葉さび病 hasabi-byo Needle rust

Chrysomyxa ledi de Bary var. *rhododendri* (de Bary) Savile

Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:190, 1992

[備考] オウシュウトウヒ。病菌の夏孢子・冬孢子世代はエゾマツ葉さび病参照

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidanich

佐藤邦彦・庄司次男:林試研報 111:53, 1959

[備考] オウシュウトウヒ。病原菌の異名はヒノキ微粒菌核病参照

変形葉さび病 henkei-hasabi-byo (葉さび病)

Chrysomyxa deformans (Dietel) Jaczewski

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22:259, 1973; 平塚直秀:植研雑 13(8):594, 1937(昭 12); Hiratsuka, N. *et al.*: The Rust Flora of Japan:184, 1992

[備考] オウシュウトウヒ・カナダトウヒ・エンゲルマンントウヒ(*P. engelmannii*)・プンゲンストウヒ・アカトウヒ(*P. rubens*)。病菌の異名はエゾマツ変形葉さび病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:林試研報 43:3, 1949

[備考] 病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

ロゼリニア暗色かび病 *Rosellinia-anshokukabi-byo* *Rosellinia* needle blight (黒色黒粒病)

Rosellinia herpotrichioides Hepting & R.W. Davidson

伊藤一雄:図説林木病害診断法(針葉樹編):158, 1961; 佐藤邦彦ら:日林誌 41:67, 1959

[備考] カナダトウヒ

ロヒューム枝枯病* *Lophium-edagare-byo* *Lophium* twig blight

Lophium mytilinum (Persoon) Fries

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

[備考] オウシュウトウヒ

材線虫病 zai-senchu-byo Wilt

Bursaphelenchus xylophilus (Steiner & Buhner) Nickle マツノザイセンチュウ

海老根翔六:森林防疫 30:117, 1981

[備考] オウシュウトウヒ。病原線虫の異名は、アカマツ・クロマツ材線虫病を参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

[備考] オウシュウトウヒ。根圏土壌より検出。属名は再検討を要する

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

小口健夫:北海道林試資料 1:3, 1966; 真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

[備考] オウシュウトウヒ

(3) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

[備考] オウシュウトウヒ。種名は再検討を要する

††††ウイルス病 virus-byo

††病原ウイルス未確認

伊藤一雄:樹病学大系 1:221, 1971

[備考] 国内未発生。オウシュウトウヒ

††††

Hysterium acuminatum Fries

Saho, H. & Takahashi, I.: Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

[備考] オウシュウトウヒ

††††

Macrophoma yamabeana Saho & I. Takahashi

Saho, H. & Takahashi, I.: Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

[備考] オウシュウトウヒ

††††

Nectria viridescens C. Booth

Saho, H. & Takahashi, I.: Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973

[備考] オウシュウトウヒ

††††

Phacidium abietinum Kunze & J.C. Schmidt

Saho, H. & Takahashi, I.: Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973

[備考] オウシュウトウヒ

ゴヨウマツ

Five-needle pine

(針葉樹)

アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) *Pinus armandii* Franch. var. *amamiana* (Koidz.) Hatusima

チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) *Pinus koraiensis* Sieb. & Zucc.

ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) *Pinus parviflora* Sieb. & Zucc.

キタゴヨウ(北五葉松) *Pinus parviflora* var. *pentaphylla* (Mayr) Henry

ハイマツ(這松, 偃松) *Pinus pumila* (Pallas) Regel

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦ら: 日林誌 42:66, 1959; 佐藤邦彦ら: 林試研報 124:41, 1960

[備考] ヒメコマツ・キタゴヨウ。病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

枝枯病 edagare-byo Twig blight

Phomopsis sp.

楠木 学: 日植病報 62:606, 1996

[備考] ヒメコマツ(五葉松)に発生

かさぶたがんしゅ病 kasabuta-ganshu-byo Scab canker

Scolecoglossina sp.

山田利博ら: 日植病報 72(1):50, 2006; 中島千晴ら: 日植病報 72(1):50, 2006

[備考] ヒメコマツ・ストロブマツ・キタゴヨウ・マケドニアゴヨウ・メキシコシロマツ・ヒマラヤゴヨウ・*P. fenzeliana* Hande-Mazzetti

がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo Lachnellula canker (ラクネルラがんしゅ病)

(1) *Lachnellula calyciformis* (Willdenow) Dharne

浜 武人: 80 回日林講: 310, 1969; Oguchi, T.: Jpn. For. Soc. 61:216, 1979

[備考] ハイマツ・ヒメコマツ。病菌の異名はモミ類がんしゅ病参照

(2) *Lachnellula microspora* Ellis & Everhart

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

[備考] ハイマツ

(3) *Lachnellula pini* (Brunchorst) Dennis [*Lachnellula fuscanguinea* sensu Saho & Takahashi non Dennis]

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 21:210, 1972 ; 高橋郁雄・佐保春芳:日林北支講 22:106, 1973

[備考] ハイマツ

(4) *Lachnellula subtilissima* (Cooke) Dennis

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

[備考] ハイマツ

(5) *Lachnellula suecica* (de Bary) Nannfeldt

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 21:210, 1972

[備考] ハイマツ

黒粒がんしゅ病 kurotsubu-ganshu-byo Cucurbitodthis canker

Cucurbitodthis pityophila (J.C. Schmidt & Kunze) Petrak

高橋郁雄・佐保春芳:日林誌 54:282, 1972 ; 高橋郁雄:東大農演報 69:67, 1979

[備考] ハイマツ。病菌の異名はモミ類黒粒がんしゅ病参照

白粒腐敗病 shirotsubu-fuhai-byo

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

佐藤邦彦:79 回日林講:233, 1968

[備考] ヒメコマツ。病菌の異名はアカマツ・クロマツ白粒腐敗病参照

すす葉枯病 susu-hagare-byo Rhizosphaera needle blight

(1) *Rhizosphaera kalkhoffii* Bubák

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:91, 1967

[備考] ヒマラヤゴヨウ・バルカンマツ。病菌の異名はアカマツ・クロマツすす葉枯病参照

(2) *Rhizosphaera kobayashii* (M. Morelet) M. Morelet [*Rhizosphaera pini* (Corda) Maublanc var. *kobayashii* M. Morelet, *Rhizosphaera* sp.]

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:103, 1967 ; 浜 武人:80 回日林講:309, 1969

[備考] ハイマツ

赤斑葉枯病 sekihan-hagare-byo Dothistroma needle blight

Dothistroma septosporum (Doroguine) M. Morelet

高橋郁雄ら:日林北支講 23:3, 1974

[備考] ヒマラヤゴヨウ・バルカンマツ(*P. laricio*)。病菌の異名はアカマツ・クロマツ赤斑葉枯病参照

チンパニス枝枯病 Tympanis-edagare-byo Tympanis canker

(1) *Tympanis hypopodia* Nylander

佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 55(8):254, 1973

[備考] ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・ハイマツ

(2) *Tympanis truncatula* (Persoon) Rehm [*Tympanis pitya* (P. Karsten) P. Karsten]

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:710, 1973 ; Ouellette & Pirozynski:Can. J. Bot. 52(8):1903, 1974

[備考] チョウセンゴヨウ

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:81 回日林講:249, 1970

[備考] ヒメコマツ。病菌の異名はアカマツ・クロマツつちくらげ病参照

デルメア枝枯病 *Dermea-edagare-byo* *Dermea canker*

Dermea pinicola J.W. Groves

高橋郁雄・佐保春芳:83 回日林講:290, 1972

[備考] ハイマツ

トリブリディオプシス枝枯病 *Tryblidiopsis-edagare-byo* *Tryblidiopsis twig blight*

Tryblidiopsis pinastri (Persoon) P. Karsten

高橋郁雄:東大農演報 69:96, 1979

[備考] ハイマツ

苗立枯病 *nae-tachigare-byo* *Damping-off*

(1) *Cylindrocarpon* sp.

佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959

[備考] ヒメコマツ

(2) *Cylindrocladium scoparium* Morgan

伊藤一雄・小野 馨:63 回日林講:202, 1954

[備考] ヒメコマツ

(3) *Pythium* sp.

浜 武人:78 回日林講:206, 1967

[備考] ヒメコマツ

ならたけ病 *naratake-byo* *Armillaria root rot* (根朽病, 根枯病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

佐保春芳:北方林業 12:78, 1960

[備考] チョウセンゴヨウ・ヒメコマツ。病菌の異名はモミ類ナラタケ病参照。まだ狭義の種の検討は行われておらず, 広義のナラタケである

根株心腐病 *nekabu-shingusare-byo* *Butt rot*

(1) *Perenniporia subacida* (Peck) Donk キンイロアナタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 7:39, 1957 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):340, 1992

[備考] ヒメコマツ。病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(2) *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):338, 1992

[備考] キタゴヨウ。病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

葉枯病 *hagare-byo* *Needle blight*

Pseudocercospora pini-densiflorae (Hori & Nambu) Deighton

松田正治:愛媛林試業務報告 (昭 48 年度):123, 1974 ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan, Extra Issue 1:51, 1965 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992

[備考] ヒメコマツ。病菌の異名はアカマツ・クロマツ葉枯病参照

葉黒点病 *ha-kokuten-byo* *Septoria needle blight* (葉黒粒病, セプトリア葉枯病)

Septoria pini-pumilae Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:136, 1950

[備考] チョウセンゴヨウ・ハイマツ

葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病)

(1) *Coleosporium cimicifugatum* Thümen [*Coleosporium actaeae* P. Karsten]

佐保春芳:77 回日林講:316, 1966 ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8(2):73, 1967 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:209, 1992

[備考] ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・シベリヤマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Actaea* 属(ルイヨウショウマ:人工接種)・*Cimicifuga* 属(サラシナショウマ)ほかに寄生してさび病を起こす

(2) *Coleosporium eupatorii* Arthur

平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭 5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Nat. Hist. Soc. 9(2):221, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:99, 1981

[備考] シベリヤマツ・チョウセンゴヨウ・キタゴヨウ。人工接種ではヒマラヤゴヨウ・シベリヤマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は *Eupatorium* 属(ヒヨドリバナほか)に寄生してさび病を起こす

(3) *Coleosporium fauriae* P. Sydow & Sydow

Kaneko, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(2):128, 1975 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:219, 1992

[備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Fauria* 属(イワイチョウ)に寄生してさび病を起こす

(4) *Coleosporium neocacaliae* Saho [*Coleosporium cacaliae* auct., *Coleosporium neosenecionis* Saho]

平塚直秀:病虫雑 17(6):361, 1930(昭 5) ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 7(2-3):58, 1966 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:224, 1992

[備考] シベリヤマツ・ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・ヒメコマツ・ハイマツ・バルカンマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Cacalia* 属(コウモリソウほか)・*Senecio* 属(ハンゴンソウほか)に寄生してさび病を起こす

(5) *Coleosporium paederiae* Dietel ex Hiratsuka, f.

千葉 修:森林防疫ニュース 8:150, 1959 ; 千葉 修・陳野好之:日植病報 25:38, 1960 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:226, 1992

[備考] アマミゴヨウ・ヒマラヤゴヨウ。夏孢子・冬孢子世代は *Paederia* 属(ヘクソカズラほか)に寄生してさび病を起こす

(6) *Coleosporium saussureae* Thümen [*Coleosporium taisetsuense* S. Ito & Homma, *Coleosporium ligulariae* auct. non Thümen]

平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭 5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 9(2):222, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:122, 1981

[備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Ligularia* 属(オタカラコウほか)・*Saussurea* 属(シラネアザミほか)に寄生してさび病を起こす

(7) *Coleosporium yamabense* (Saho) Hiratsuka, f. [*Coleosporium petasitis* auct., *Coleosporium petasitis* de Bary var. *yamabense* Saho, *Coleosporium neopetasitis* Saho]

佐保春芳:70 回日林講:338, 1960 ; 平塚直秀:北海道林試研報 6:6, 1968 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:247, 1992

[備考] チョウセンゴヨウ・シベリヤマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Petasites* 属(フキほか)に寄生してさび病を起こす

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast (かびふるい病, 微震病)

(1) *Davisomycella hiratsukae* (Darker) Darker [*Hypodermella hiratsukae* Darker]

伊藤一雄:樹病学大系 2:123, 1973 ; 原 攝祐:日本菌類目録:163, 1954 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992

[備考] ハイマツ

(2) *Lophodermium pinastri* (Schrader) Chevallier

出田 新:日本植物病理学(上):299, 1909(明 42) ; 千葉 修・陳野好之:林試研報 201:175, 1967

[備考] マケドニアマツ(*P. peuce*)・シベリヤマツ(オウシュウハイマツ, *P. cembra*)・ヒマラヤゴヨウ(*P. griffithii*)・モンチコラマツ(*P. monticola*)にも発生

(3) *Lophodermium pini-pumilae* Sawada

澤田兼吉:林試研報 53:151, 1952

[備考] ハイマツ

皮目枝枯病 himoku-edagare-byo Cenangium twig blight

Cenangium ferruginosum Fries

浜 武人:80 回日林講:309, 1969 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:704, 1973

[備考] ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・ハイマツ。病菌の異名はアカマツ・クロマツ皮目枝枯病参照

ファシディウム雪腐病 *Phacidium-yukigusare-byo* Phacidium snow blight

Phacidium abietis (Dearness) J. Reid & Cain

高橋郁雄・佐保春芳:日林北支講 21:153, 1972

[備考] チョウセンゴヨウ・ハイマツ。病菌の異名はトドマツ・ファシディウム雪腐病参照

冬孢子葉さび病 fuyuhoshi-hasabi-byo Telial leaf rust

Coleosporium pini-pumilae Azbukina [*Coleosporium pinicola* Hiratsuka, N. & Y. non Jackson]

平塚直秀:日林誌 42:154, 1960; Hiratsuka, N.:Sydowia 12:372, 1958; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:20, 1981

[備考] ハイマツ。冬孢子世代のみ知られる

ペスタロチア葉枯病 *Pestalotia-hagare-byo* Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert

高橋幸吉・小林享夫:樹木医学研究 2:9, 1998

[備考] ヒメコマツに発生

(2) *Pestalotiopsis lespedezae* (Sydow) Bilgrami

高橋幸吉・小林享夫:樹木医学研究 3(1):21, 1999

[備考] ヒメコマツ

(3) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert

澤田兼吉:林試研報 45:41, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993

[備考] ヒメコマツ。病菌の異名はヒノキ葉枯病参照

†ペスタロチア葉枯病 *Pestalotia-hagare-byo* Pestalotia disease

Pestalotiopsis conigena (Léveillé) Takahashi & Kobayashi

高橋幸吉・小林享夫:樹木医学研究 3(1):21, 1999

[備考] 中国(東北部)

発しん(疹)さび病 hasshin-sabi-byo Blister rust (そうほう病, 茎さび病)

(1) *Cronartium ribicola* J.C. Fischer [*Cronartium kamtschaticum* Jørstad, *Peridermium kurilense* Dietel]

平塚直秀:札幌農林学会報 19(88):567, 1928(昭 3); 伊藤一雄・魚住 正:日菌報 17(3-4):534, 1976; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:255, 1992

[備考] チョウセンゴヨウ・ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Pedicularis* 属(ヨツバシオガマ・エゾシオガマほか)・*Ribes* 属(マルスグリ・コマガタケスグリ・エゾスグリ・トカチスグリ・フサスグリ・トガスグリ・アカスグリ・スグリ)に寄生してさび病を起こす

(2) *Endocronartium sahoanum* Imazu & Kakishima var. *sahoanum*

Imazu, M. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 30:301, 1989 ; Kaneko, S. & Harada, Y.:Proc. 4th IUFRO Rusts of Pines Working Party Conf. Tsukuba:95, 1995

[備考] ハイマツ

(3) *Endocronartium sahoanum* Imazu & Kakishima var. *hokkaidoense* Imazu & Kakishima

Imazu, M. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33:167, 1992

[備考] ハイマツ

(4) *Endocronartium yamabense* (Saho & Takahashi) Paclt [*Peridermium yamabense* Saho & I. Takahashi]
Saho, H. & Takahashi, I.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:27, 1981 ; Imazu, M. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 32:371, 1991

[備考] ハイマツ

膜銹病 maku-sabi-byo

Peridermium pini-koraiensis Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:135, 1950

[備考] チョウセンゴヨウ

幹心腐病 miki-shingusare-byo Stem heart rot

Phellinus pini (Brotero) Ames マツノカタワタケ

中牟田五郎:森林保護学:107, 1894(明 27) ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:3, 1949

[備考] ヒメコマツ。病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

ワルトニア枝枯病 *Waltonia*-edagare-byo Waltonia twig blight

Waltonia pinicola Saho

Saho, H. & Takahashi, I.:Trans. Mycol. Soc. Japan 11(1):3, 1970

[備考] ヒメコマツ

材線虫病 zai-senchu-byo Wilt

Bursaphelenchus xylophilus (Steiner & Buhner) Nickle マツノザイセンチュウ

佐倉詔夫ら:89 回日林論:403, 1978 ; 岸 洋一:茨城県林試研報 13:1, 1980

[備考] ヒメコマツ。病菌の異名はアカマツ・クロマツ材線虫病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

小口健夫:北海道林試資料 1:3, 1966

[備考] チョウセンゴヨウ・ヒメコマツ

(4) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(5) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 14:113, 1965

[備考] チョウセンゴヨウ

††††

Nectria pinea Dingley

高橋郁雄:東大農演報 69:82, 1979

[備考] ハイマツ

††††

†*Olpidium luxurians* (Tomaschek) A. Fischer

伊藤誠哉:大日本菌類誌 1:25, 1936(昭 11)

[備考] 中国東北部。チョウセンゴヨウの花粉

††††

Pezicula livida (Berkeley & Broome) Rehm

高橋郁雄:東大農演報 69:84, 1979

[備考] ヒマラヤゴヨウ

††††

Stagonospora pini-pumilae Togashi

Togashi, K.:J. Jpn. Bot. 2:75, 1924

[備考] ハイマツ

††††

Thyronectria balsamea (Cooke & Peck) Seeler

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:709, 1973

[備考] ヒマラヤゴヨウ

マツ類(ニ、三葉マツ)

Two-needle and three-needle pines

(針葉樹)

アカマツ(赤松) Japanese red pine *Pinus densiflora* Sieb. & Zucc.

クロマツ(黒松) Japanese black pine *Pinus thunbergii* Parl.

リュウキュウマツ *Pinus luchuensis* Mayer

あずまたけ病 azumatake-byo Onnia root rot

Onnia orientalis (Lloyd) Imazeki [*Polyporus orientalis* Lloyd]

逸見武雄・野島友雄:日植病報 2(2):70, 1928(昭 3) ; 梅村甚太郎:植物学雑 28(328):195, 1914(大 3)

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo *Racodium* snow blight (雪腐病)

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦:林試秋田支場研究時報 9:1, 1956 ; 佐藤邦彦:林試秋田支場研究時報 1:1, 1955 ; 佐藤邦彦:林試研報 124:41, 1960

[備考] ラジアタマツ(*P. radiata*)にも発生。病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

枝枯病 edagare-byo Twig blight

(1) *Aposphaeria pini-densiflorae* Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:134, 1950

[備考] アカマツ

(2) *Cenangium pini* Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:131, 1950

[備考] アカマツ

(3) *Massarinula pini* Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:132, 1950

[備考] アカマツ

(4) *Tryblidiopsis pinastri* (Persoon) P. Karsten

高橋郁雄・佐保春芳:日林誌 55:75, 1973

[備考] コルシカマツ(*P. laricio*)・レジノサマツ(*P. resinosa*)・オウシュウアカマツ。安田 篤 (植物学各論 隠花部:347, 1911), 白井光太郎 (植物病理学(下):174, 1900) は, *Cenangium abietis* (Persoon) Duby による枝枯病を紹介したが, 国内未発生

褐斑葉枯病 kappan-hagare-byo Brown spot needle blight, Brown spot (褐斑病)

Lecanosticta acicola (Thümen) H. Sydow [*Septoria acicola* (Thümen) Saccardo]

周藤靖雄・扇 大輔:森林防疫 46:201, 1997 ; 吉井 啓・曾川重夫:日植病報 20:116, 1955 ; Suto, Y. & Ougi, D.:Mycoscience 39:319, 1998

[備考] クロマツ。北島君三 (樹病学及木材腐朽論:126, 1993)の記述は外国文献の紹介。病菌の完全世代 *Mycosphaerella dearnesii* Evans はわが国では未記録

がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo Lachnellula canker

Lachnellula calyciformis (Willdenow) Dharne

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:709, 1973

[備考] バンクスマツ・リギダマツ・オウシュウアカマツ。病菌の異名はモミ類がんしゅ病参照

黄かび病 kikabi-byo

Dasyscyphus acuum (Albertini & Schweinitz) Saccardo

佐藤邦彦・庄司次男:72 回日林講:279, 1962

[備考] アカマツ

菌核病 kinkaku-byo Sclerotial disease

Sclerotinia kitajimana Kaz. Ito & Hosaka

佐藤邦彦ら:日林誌 41:65, 1959

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

藍野祐久・伊藤一雄:原色林木病虫害図鑑:11, 1961 ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:97, 1974

[備考] 完全世代 *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk はアカマツ・クロマツ上では未記録

ケナンギウム葉枯病 *Cenangium*-hagare-byo *Cenangium* needle blight

Cenangium acuum Cooke & Peck

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 20:222, 1971

[備考] バンクスマツ(*P. banksiana*)・ジェフレイマツ(*P. jeffreyi*)・モンタナマツ(*P. montana*)・オウシュウクロマツ(*P. nigra*)・リギダマツ(*P. rigida*)・プンゲンスマツ(*P. pungens*)・オウシュウアカマツ(*P. sylvestris*)・バージニアマツ(*P. virginiana*)に発生

こぶ病 kobu-byo Gall rust, Asian pine-oak gall rust (木癭病, 瘤癭病, 癌腫病)

Cronartium orientale S. Kaneko [*Cronartium quercuum* (Berkeley) Miyabe ex Shirai, *Peridermium giganteum* (Mayr) Tubeuf]

白井光太郎:最近植物病理学:342, 1903(明 36) ; 中牟田五郎:森林保護学:100, 1894(明 36) ; 近藤秀明:茨城林試研報 8:1, 1975 ; Kaneko, S.:Mycoscience 41(2):115, 2000

[備考] モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ・バンクスマツ・フランスカイガンシ

ヨウ・マンシュウクロマツ・アカマツ・クロマツにも発生

白粒腐敗病 shirosubu-fuhai-byo *Cylindrocarpon rot*

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten [*Cylindrocarpon radicola* Wollenweber]

佐藤邦彦:79 回日林講:233, 1968 ; 小林享夫・佐々木克彦:森林防疫 32:162, 1983

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

大森順造・山田玄太郎:植物病理学 414, 1910(明 43) ; 伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66:265, 1984

[備考] アカマツ。病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照

水耕苗根腐病 suikonae-negusare-byo Root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

小林享夫・佐々木克彦:日植病報 36:369, 1970

すす葉枯病 susu-hagare-byo *Rhizosphaera needle blight*

Rhizosphaera kalkhoffii Bubák [*Rhizophoma* sp., *Rhizosphaera* sp.]

千葉 修:森林防疫ニュース 14:256, 1965 ; 周藤靖雄:森林防疫ニュース 13:224, 1964 ; 小林享夫:日植病報 32:315, 1966

[備考] ジェフリーマツ・ダイオウショウ・ポンデローザマツ・テダマツにも発生

すす病 susu-byo Sooty mold

Apiosporium pinophilum Fuckel

白井光太郎:植物病理学(下):174, 1894(明 27)

[備考] 病菌の分類学的再検討を要する。リュウキュウマツにも発生する(大宜見朝栄:森林防疫 18:68, 1969)が、病原は未確認

青変病 seihen-byo Blue stain

(1) *Leptographium lundbergii* Lagerberg & Melin

青島清雄・林 康夫:日植病報 17(3-4):164, 1953

(2) *Ophiostoma ips* (Rumbold) Nannfeldt [*Ceratostomella ips* Rumbold, *Ceratocystis ips* (Rumbold) C. Moreau]

西門義一:病虫雑 19(12):877, 1932(昭 7) ; 山岡裕一:森林防疫 48:7, 1999

[備考] リュウキュウマツにも発生

(3) *Ophiostoma minus* (Hedgcock) Sydow & P. Sydow [*Ceratostomella pini* Münch, *Ceratocystis minor* (Hedgcock) J. Hunt]

西門義一・山内己酉:農学研究 23:352, 1934(昭 9) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:26, 1973 ; 山岡裕一:森林防疫 48:7, 1999

(4) *Ophiostoma piceae* (Münch) Sydow & P. Sydow

西門義一・山内己酉:植物及動物 3(2):365, 1935(昭 10) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:26, 1973 ; 山岡裕一:森林防疫 48:8, 1999

[備考] 病菌の異名はエゾマツ青変病参照

(5) *Ophiostoma piliferum* (Fries) Sydow & P. Sydow [*Ceratocystis pilifera* (Fries) C. Moreau, *Ceratostomella pilifera* (Fries) G. Winter, *Ophiostoma coeruleum* (Münch) Sydow & P. Sydow]

笠井幹夫:鉄道院総裁官房研究所業研資料 5(5):1, 1917(大 6) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:26, 1973 ; 山岡裕一:森林防疫 48:8, 1999

[備考] 北島君三 (樹病学及木材腐朽論:349, 1933)は *Ceratocystis schrenkiana* (Hedgcock) C. Moreau によるエチナタマツの青変病を紹介したが、国内未発生

(6) *Ophiostoma pluriannulatum* (Hedgcock) Sydow & P. Sydow

青島清雄・林 康夫:日植病報 20(2-3):115, 1955 ; 山岡裕一:森林防疫 48:8, 1999

[備考] 病菌の異名はモミ類青変病参照

赤斑葉枯病 sekihan-hagare-byo Dothistroma needle blight (ドシストロマ葉枯病, 褐斑病)

Dothistroma septosporum (Dorogaine) M. Morelet [*Dothistroma pini* Hulbary]

伊藤一雄・陳野好之:森林防疫 21:86, 1972; 周藤靖雄・福島 勉:日林関西支論 2:209, 1993

[備考] コントルトマツ・コルシカマツ・スラッシュマツ・ジェフリーマツ・モンタナマツ・マケドニアマツ(*P. peuce*)・ポンデローザマツ・ブンゲンスマツ・ラジアタマツ・リギダマツにも発生。病原菌の完全世代 *Mycosphaerella pini* Rostrup はわが国では未記録

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium sp.

北島君三:山林公報 9:718, 1918(大 7)

†**炭疽病** tanso-byo Anthracnose (炭そ病)

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. Exp. Sta. 351:150, 1988

[備考] フィリピン。カリビアマツ。日本ではマツ類では未記録

ちゃいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart チャイボタケ

伊藤一雄:図説苗畑病書診断法(前):44, 1959; 安田 篤:植物学雑 31(366):144, 1917(大 6)

[備考] オウシュウアカマツ・テーダマツにも発生。病菌の異名はモミ類ちゃいぼたけ病参照

チンパニス胴枯病 Tympanis-dogare-byo Tympanis canker

(1) *Tympanis hypopodia* Nylander [*Tympanis confusa* sensu Saho & Takahashi non Nylander, 不完全世代: *Sirodothis* sp.]

高橋郁雄:東大農演報 69:98, 1979; 佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 50:339, 1968

[備考] バンクスマツ・コントルトマツ・オウシュウアカマツ・バージニアマツ

(2) *Tympanis truncatula* (Persoon) Rehm [*Tympanis pitya* (P. Karsten) P. Karsten]

佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 50:341, 1968; Ouellette & Pirozynski:Can. J. Bot. 52(8):1903, 1974

[備考] オウシュウアカマツ

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries [*Rhizina inflata* (Schaeffer) Karsten]

森屋茂更治:森林防疫ニュース 16:239, 1967; 安田 篤:植物学雑 27:503, 1913(大 2); 佐藤邦彦ら:林試研報 268:13, 1974

ディプロディア病 Diplodia-byo Diplodia needle blight, Tip blight, Canker, Twig blight (ディプロディア葉枯病, 赤枯病, ディプロティア葉枯・枝先病)

Sphaeropsis sapinea (Fries) Dyko & B. Sutton [*Diplodia pinea* (Desmazières) J. Kickx f., *Sphaeropsis ellisii* Saccardo]

伊藤一雄:図説林木病害診断法:84, 1961; 澤田兼吉:林試研報 46:134, 1950; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:599, 1992

[備考] ハレペンシスマツ(*P. halepensis*)・オウシュウクロマツ・ポンデローザマツ(*P. ponderosa*)・ラジアタマツ・オウシュウアカマツにも発生

ディスコシア葉枯病 Discosia-hagare-byo Discosia needle blight

Discosia pini Heald

周藤靖雄:日植病報 41:256, 1975; 周藤靖雄:森林防疫ニュース 17:76, 1968

床替苗根腐病 tokogaenae-negusare-byo Root rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):59, 1959

(2) *Fusarium* spp.

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):59, 1959

苗白枯病 nae-shirogare-byo

(1) *Macrosporium* sp.

伊藤一雄:農薬と病虫 5(3):97, 1951

[備考] 病菌の所属は再検討を要する

(2) *Lophodermium pinastri* (Schrader) Chevallier

伊藤一雄:農薬と病虫 5(3):97, 1951

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (腐敗病, 腰折病, 倒靡病, 立枯病, 子苗立枯病)

(1) *Chaetomella* sp.

山本昌木ら:日林誌 47:30, 1965

(2) *Cylindrocladium scoparium* Morgan

伊藤一雄・小野 馨:63 回日林講:202, 1954 ; 佐藤邦彦:76 回日林講:349, 1965

(3) *Cylindrocarpon* sp.

佐藤邦彦:日林誌 46:171, 1964 ; 周藤靖雄:島根林試研報 24:6, 1974

(4) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link]

千葉 修ら:74 回日林講:311, 1963 ; 周藤靖雄:島根林試研報 24:6, 1974

(5) *Fusarium lateritium* Nees

千葉 修ら:74 回日林講:311, 1963 ; 松尾卓見・千葉 修:日植病報 30(2):82, 1965

(6) *Fusarium moniliforme* J. Sheldon

山本昌木ら:日林誌 47:30, 1965

(7) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 4:1, 1942(昭 17) ; 南部信方:病虫雑 4(4):259, 1917(大 6) ; 寺下隆喜代:林試研報 128:105, 1961 ; 千葉 修ら:75 回日林講:376, 1964

[備考] バンクスマツにも発生

(8) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

千葉 修ら:74 回日林講:311, 1963

(9) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:林業技術シリーズ 1(改訂版) :付図 IIA, 1950

[備考] スラッシュマツ・オウシュウアカマツにも発生

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

(1) *Armillaria gallica* Marxmüller & Romagnesi ワタゲナラタケ(ヤワナラタケ)

本郷次雄ら:青森のきのこ:56, 1988

[備考] アカマツ

(2) *Armillaria mellea* (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938 ; 北島君三:山林公報 4:354, 1918(大 7)

[備考] バンクスマツ・レジノザマツ・リギダマツ・オウシュウアカマツにも発生。病菌の異名はモミ類ならたけ病参照。クロマツには狭義 (sensu stricto) のナラタケが確認されている (Ota, Y. et al.:Plant Dis.82:537, 1998)

(3) *Armillaria ostoyae* (Romagnesi) Herink オニナラタケ(ツバナラタケ)

寺下隆喜代・沢口勝則:森林防疫 40(10):178, 1991 ; 太田祐子:森林防疫 48:47, 1999

[備考] アカマツ

根株心腐病 nekabu-shingusare-byo Butt rot

(1) *Ganoderma lucidum* (Leysser) P. Karsten マンネンタケ

日野 巖・勝本 謙:見島総合学術調査報告:119, 1964

[備考] クロマツ

(2) *Heterobasidion annosum* (Fries) Brefeld マツノネクチタケ (赤色腐朽病)

白井光太郎:植物病理学(下)(再版):150, 1900(明 33) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):334, 1992

[備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照

(3) *Phaeolus schweinitzii* (Fries) Patouillard カイメンタケ

出田 新:日本植物病理学(下):617, 1911(明 44) ; 今関六也:東京科博研報 6:108, 1943(昭 18) ; 赤井重恭:森林防疫 38:209, 1989

[備考] アカマツ。病菌の異名はカラムツ腐心病参照

ネクトリア枝枯病 *Nectria-edagare-byo* *Nectria dieback*

Nectria viridescens C. Booth

佐保春芳:日林北支講 16:116, 1967

[備考] バンクスマツ

ネクトリア胴枯病 *Nectria-dogare-byo* *Nectria canker* (癌腫病)

Nectria fuckeliana C. Booth

伊藤一雄:樹病学大系 2:187, 1973 ; 白井光太郎:植物病理学(下):209, 1894(明 27)

[備考] 病菌の異名はトウヒ類ネクトリア胴枯病参照。わが国でマツ類に発生した確実な文献はない

ネマキクルス葉ふるい病 *Naemacyclus-hafurui-byo* *Naemacyclus needle cast*

Naemacyclus niveus (Persoon) Saccardo

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 20:221, 1971 ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:124, 1933(昭 8)

[備考] コントルトマツ・ジェフリーマツ・モンタナマツ・ポンデローザマツ・プンゲンスマツ・リギダマツ・バージニアマツ・オウシュウアカマツにも発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (雪腐病)

Botrytis cinerea Persoon

伊藤一雄・保坂義行:林試研報 51:1, 1951

[備考] ラジアタマツにも発生

葉枯病 hagare-byo Needle blight

Pseudocercospora pini-densiflorae (Hori & Nambu) Deighton

南部信方:病虫雑 4(5):353, 1917(大 6) ; Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 246:21, 1972 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992

[備考] カナリーマツ(*P. canariensis*)・リュウキュウマツ(*P. luchuensis*)・タイワンアカマツ(*P. massoniana*)・ラジアタマツ・オウシュウクロマツ・フランスカイガンショウ(*P. pinaster*)にも発生。病菌の完全世代 *Mycosphaerella gibsonii* H.C. Evans はわが国では未確認

葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病, 葉膜さび病, 袋銹病)

(1) *Coleosporium asterum* (Dietel) Sydow & P. Sydow

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 48:463, 1943 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:40, 1981 ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:204, 1992

[備考] アカマツ。冬孢子世代は *Aster* 属(ノコンギク等)・*Kalimeris* 属(ヨメナ等)に寄生してさび病を起こす

(2) *Coleosporium bletiae* Dietel

- Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 16:37, 1978 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:206, 1992
 [備考] 人工接種でアカマツ・リュウキュウマツ・フランスカイガンショウ・ラジアタマツ・クロマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は *Bletilla* 属(シラン等)・*Calanthe* 属(エビネ等)・*Oreorchis* 属(コケイラン)・*Phaius* 属(カクラン)に寄生してさび病を起こす
- (3) *Coleosporium clematidis* Barclay
 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):27(4):140, 1954 ; Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:211, 1992
 [備考] アカマツ。人工接種でリュウキュウマツ・ラジアタマツにも寄生。夏孢子・冬孢子世代は *Clematis* 属(テッセン・クサボタン等)に寄生してさび病を起こす
- (4) *Coleosporium clematidis-apiifoliae* Dietel
 平塚直秀ら:日植病報 18:140, 1954 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:216, 1992
 [備考] アカマツ。クロマツは人工接種。夏孢子・冬孢子世代は *Clematis* 属(ボタンヅル等)に寄生してさび病を起こす
- (5) *Coleosporium horianum* Hennings [*Coleosporium campanumoeae* Dietel]
 Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:81, 1976 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:220, 1992
 [備考] アカマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Campanumoea* 属(ツルギキョウ等)に寄生
- (6) *Coleosporium lycopi* Sydow & P. Sydow [*Coleosporium campanulae* auct. jap. non Tulasne, *Coleosporium hiratsukanum* S. Kaneko]
 Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:54, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:222, 1992
 [備考] アカマツ。ほかに人工接種でオウシュウアカマツ・クロマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Adenophora* 属(ソバナ等), *Phyteuma* 属(シデシヤジン), *Wahlenbergia* 属(ヒナギキョウ)に寄生してさび病を起こす
- (7) *Coleosporium pedunculatum* S. Kaneko
 Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:13, 1977 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:230, 1992
 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ・クロマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Saussurea* 属(ミヤコアザミ・ツクシトウヒレン等)に寄生してさび病を起こす
- (8) *Coleosporium phellodendri* Komarov
 千葉 修:森林防疫ニュース 6:142, 1957 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):196, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:232, 1992
 [備考] バンクスマツ・アカマツ・モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ。ほかに人工接種でコントルタマツ・コルシカマツ・レジノザマツ・パラシアナマツ(*P. pallasiana*)・ポンデローザマツ・マンシュウアカマツ(*P. tabulaeformis*)にも発生する。夏孢子・冬孢子世代は *Phellodendron* 属(キハダ等)に寄生してさび病を起こす
- (9) *Coleosporium pini-asteris* Orishimo
 南部信方:病虫雑 4(8):599, 1917(大 6) ; Orishimo, Y.:Bot. Mag. Tokyo 24(276):4, 1910(明 43) ; Kaneko, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:35, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:234, 1992
 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Aster* 属(シラヤマギク)に寄生
- (10) *Coleosporium pini-densiflorae* Zinno & Kaneko
 Jinno, Y. & Kaneko, S.:J. Jpn. For. Soc. 66:462, 1984
 [備考] アカマツ。冬孢子世代のみ
- (11) *Coleosporium plectranthi* Barclay
 Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:126, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:238, 1992
 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Elsholtzia* 属(ナギナタコウジュ)・*Keiskea* 属(シモバシラ)・*Mosla* 属(イヌコウジュ等)・*Perilla* 属(シソ等)・*Plectranthus* 属(ヤマハッカ等)に寄生してさび病を起こす
- (12) *Coleosporium tussilaginis* (Persoon) Lévillé [*Coleosporium senecionis* Fries, *Coleosporium melampyri* (Rebentisch) P. Karsten]
 Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:62, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:243, 1992
 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Melampyrum* 属(ママコナ等)・*Senecio* 属(サワオグル

マ)に寄生してさび病を起こす

(13) *Coleosporium xanthoxyli* Dietel & P. Sydow

陳野好之:日林誌 57:369, 1975 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:245, 1992

[備考] クロマツ。人工接種ではリュウキュウマツ・フランスカイガンショウにも発生。夏孢子・冬孢子世代は *Zanthoxylum* 属(カラスザンショウ・サンショウ等)に寄生してさび病を起こす

(14) *Melampsora laricis-populina* Klebahn

平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969

[備考] アカマツ・ポンドローザマツ・ラジアタマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はカラムツ葉さび病参照

葉すす病 hasusu-byo Sooty mold

Septonema pini-densiflorae Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:135, 1950

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast (かびふるい病, 葉振病)

(1) *Lophodermium conigenum* (Brunaud) Hilitzer

国分義彦・塩見晋一:36 回日林関西支講:255, 1985

[備考] クロマツ

(2) *Lophodermium iwataense* Sakuyama

作山 健:日菌報 34:441, 1993

[備考] バージニアマツ・ジェフリーマツ・オウシュウアカマツにも発生

(3) *Lophodermium nitens* Darker

作山 健:日菌報 34:445, 1993

[備考] アカマツ

(4) *Lophodermium pinastri* (Schrader) Chevallier

白井光太郎:植物病理学(下):158, 1894(明 27) ; 出田 新:日本植物病理学(上):299, 1909(明 42) ; 千葉 修・陳野好之:林試研報 201:175, 1967

[備考] プンゲンスマツ・タイワンアカマツ・バンクスマツ・コントルタマツ(*P. contorta*)・エチナタマツ(*P. echinata*)・スラッシュマツ(*P. elliotii*)・オウシュウクロマツ・ダイオウショウ(*P. palustris*)・フランスカイガンショウ・ポンドローザマツ・マンシュウクロマツ(*P. tabulaeformis* var. *mukdensis*)・ラジアタマツ・レジノサマツ・リギダマツ・オウシュウアカマツ・テーダマツ・バージニアマツにも発生

(5) *Lophodermium staleyi* Minter

作山 健:日菌報 34:443, 1993

[備考] スラッシュマツ。伊藤一雄(樹病学大系 2:123, 1973) は *Davisomycella ponderosae* (Stanley) Dubin, *Hypoderma desmazieri* Duby, *H. hedgcockii* Dearness, *H. lethale* Dearness, *H. mexicanum* F.A. Wolf, *Hypodermella ampla* Dearness, *Hl. arcuata* Darker, *Hl. medusa* Dearness による葉ふるい病を, 北島君三(樹病学及木材腐朽論:131, 1933) は *H. pinicola* Brunchorst, *Hl. sulcigena* (Link) Tubeuf による同病を紹介したが, いずれも国内未発生

†葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast

Lophodermium australe Dearness

佐保春芳:森林防疫 33:139, 1984 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 351:152, 1988

[備考] インドネシア, フィリピン。カリビアマツ(*P. caribaea*)・ケシヤマツ(*P. kesiya*)・メルクシマツ(*P. merkusii*)

皮目枝枯病 himoku-edagare-byo Cenangium twig blight (枝曲病, 枝枯病, 胴枯病)

Cenangium ferruginosum Fries [*Cenangium pini-densiflorae* Togashi, *Cenangium japonicum* (Hennings) Miura, *Cenangium abietis* Rehm var. *japonicum* Hennings]

澤田兼吉:林試研報 46:131, 1950 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):134, 1904(明 37) ; 小林享夫・真宮靖治:林試

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidànich

佐藤邦彦・庄司次男:林試研報 111:52, 1959

[備考] テーダマツ(*P. taeda*)にも発生。病菌の異名はヒノキ微粒菌核病参照

ペスタロチア葉枯病 *Pestalotia-hagare-byo* Pestalotia disease (葉枯病, ペスタロチア病, 苗立枯病)

(1) *Pestalotiopsis disseminata* (Thümen) Steyaert

高橋幸吉・小林享夫:樹木医学研究 2:9, 1998 ; 高橋幸吉・小林享夫:樹木医学研究 3(1):21, 1999

[備考] アカマツ, クロマツに発生

(2) *Pestalotiopsis foedans* (Saccardo & Ellis) Steyaert

日野隆之:採集と飼育 26:293, 1964 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:334, 1993

[備考] ポンデローザマツ・ラジアタマツ・オウシュウアカマツにも発生。病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

(3) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert [*Pestalotiopsis funerea* auct. jap. non Steyaert]

南部信方:病虫雑 4(4):259, 1917(大 6) ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:336, 1993

[備考] アカマツ。病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

(4) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert

澤田兼吉:林試研報 46:111, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993 ; 高橋幸吉・小林享夫:樹木医学研究 3(1):21, 1999

[備考] クロマツに発生。病原の異名はヒノキ・ペスタロチア病参照

(5) *Pestalotiopsis populi-nigrae* (Sawada & Kaz. Ito) M. Morelet

高橋幸吉・小林享夫:樹木医学研究 2:9, 1998 ; 高橋幸吉・小林享夫:樹木医学研究 3(1):21, 1999

[備考] クロマツ・アカマツ

マクロホマ葉枯病 *Macrophoma-hagare-byo* Macrophoma needle blight (葉枯病)

Macrophoma pini-densiflorae Sawada

伊藤一雄:樹病学大系 3:226, 1974 ; 澤田兼吉:林試研報 46:134, 1950

†**マクロホマ葉枯病** *Macrophoma-hagare-byo* Macrophoma needle blight

Macrophoma micromegala (Berkeley & M.A. Curtis) Berlese & Voglino

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 351:153, 1988

[備考] フィリピン。メルクシマツ

幹心腐病 miki-shingusare-byo Stem heart rot (輪腐病)

(1) *Corioloropsis polyzona* (Persoon) Ryvarden [*Coriolus polygonus* (Persoon) Imazeki, *Polystictus polyzonus* Persoon] キツネカワラタケ

安田 篤:植物学雑 35(410):46, 1921(大 10)

[備考] アカマツ。日本における本病菌の記録と所属については再検討を要する。アラゲカワラタケである可能性が高い

(2) *Fomitopsis officinalis* (Villars) Bondartsev & Singer エブリコ

朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:449, 1939(昭 14) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):302, 1955

[備考] マツ属のみ記録。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(3) *Fomitopsis pinicola* (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ

出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明 44)

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(4) *Gloeophyllum sepiarium* (Wulfen) P. Karsten [*Lenzites sepiaria* (Fries) Fries] キカイガラタケ

伊藤誠哉・今井三子:札幌博物学会報 16(3):124, 1940(昭 15)

[備考] リュウキュウマツ

(5) *Gloeophyllum subferrugineum* (Berkeley) Bondartsev & Singer ヒロハノキカイガラタケ

日野 巖・勝本 謙:見島総合学術調査報告:119, 1964

[備考] アカマツ。病菌の異名はツガ・コメツガ幹心腐病参照

(6) *Phellinus chrysoloma* (Fries) Donk カラマツカタワタケ

中牟田五郎:森林保護学:107, 1894 (明 27) ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994

[備考] オレゴンマツ・ハクショウにも発生。病菌の異名はカラマツ類幹心腐病参照

(7) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer [*Polystictus sanguineus* (Linnaeus) G. Mey, *Trametes sanguinea* auct. jap. non (Murrill) Lloyd] ヒイロタケ

安田 篤:植研雑 6(7):221, 1929(昭 4) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑 II:150, 1989

[備考] リュウキュウマツにも発生

幹辺材腐朽病 miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

Trichaptum abietinum (Dickson) Ryvarden シハイタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:457, 1933(昭 8) ; 今関六也:植研雑 20(6-7):286, 1944(昭 19) ; 今関六也ら:日本きのこ(山溪カラー名鑑):476, 1988

[備考] 病菌の異名はモミ類幹辺材腐朽病参照

溝がんしゅ病 mizo-ganshu-byo Ascocalyx canker

Ascocalyx pinicola Tak. Kobayashi & H. Kondo

近藤秀明・小林享夫:日林誌 66(2):60, 1984

[備考] テーダマツ・クロマツ

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (もんぱ病)

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明 44) ; 白井光太郎:植物病理学(下):132, 1894(明 27) ; 伊藤一雄:森林防疫ニュース 10(3):45, 1961

[備考] テーダマツにも発生。病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

漏脂胴枯病 roshi-dogare-byo Pitch canker

(1) *Cosmospora* sp.

廣岡裕吏・小林享夫:日植病報 70(3):221, 2004

[備考] アナモルフは *Fusarium* 属菌

(2) *Fusarium circinatum* Nirenberg & O'Donnell [*Fusarium subglutinans* (Wollenweber & Reinking) P.E. Nelson, Toussoun & Marasas, *Fusarium moniliforme* J. Sheldon var. *subglutinans* Wollenweber & Reinking]

小林享夫・村本正博:森林防疫 38:173, 1989 ; 本多哲也:日植病報 61:221, 1995 ; 青木孝之・O'Donnell, K.:日植病報 67(2):169, 2001

[備考] リュウキュウマツ。小林・村本らにより *F. moniliforme* var. *subglutinans* とされていた原因菌の再同定の結果である

ロヒューム枝枯病 Lophium-edagare-byo Lophium twig blight

Lophium mytilinum (Persoon) Fries

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 16:116, 1967

[備考] コントルタマツ・バンクスマツ・アカマツ

ワルトニア枝枯病 Waltonia-edagare-byo Waltonia twig blight

Waltonia pinicola Saho

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:87, 1969 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Trans. Mycol. Soc. Japan 11:3, 1970

[備考] バンクスマツ・コントルタマツ・オウシェウクロマツ・レジノサマツ・オウシェウアカマツ・バ

ージニアマツにも発生

芽状てんぐ巢病 gajo-tengusu-byo (多芽病)

病因未詳

草野俊助:植物学雑 18(213):211, 1904(明 37)

[備考] リュウキュウマツにも発生。病原としてフシダニ類が疑われている

萎縮線虫病 ishuku-senchu-byo Stunt

(1) *Tylenchorhynchus claytoni* Steiner ナミイシユクセンチュウ

橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961 ; 橋本平一:日林誌 44:248, 1962 ; 橋本平一:福岡林試時報 16:154, 1963

[備考] アカマツ・クロマツ

(2) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

山田栄一・周藤靖雄:島根林試研報 14:1, 1966 ; 真宮靖治:林試研報 219:95, 1969 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 真宮(1969)はアカマツ。上記種との異同は不明

材線虫病 zai-senchu-byo Wilt

Bursaphelenchus xylophilus (Steiner & Buhner) Nickle [*Bursaphelenchus lignicolus* Mamiya & Kiyohara] マツノザイセンチュウ

徳重陽山・清原友也:日林誌 51, 193, 1969 ; Mamiya, Y. & Kiyohara, T.:Nematologica 18:120, 1972 ; 真宮靖治:森林防疫 31:104, 1982

[備考] スラッシュマツ・リュウキュウマツ・タイワンアカマツ・シロマツ (*P. bungeana*)・フランスカイガンショウ・リギダマツ・ストロブマツ・テーダマツにも発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchus* sp. ニセネグサレセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Criconemoides* sp. ワセンセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 真宮靖治:77回日林講:295, 1966

[備考] 橋本(1963)はクロマツ, 真宮(1966)はアカマツ。属名は再検討を要する

(3) *Cryphodera* sp.

平田賢司・湯原 巖:28回応動昆大会講要:157, 1984

[備考] クロマツ

(4) *Helicotylenchus dihystra* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

横川登代司:75回日林講:365, 1964

(5) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:154, 1963

[備考] 根圏土壌から検出。上記種との異同は不明

(6) *Heterodera* sp. シストセンチュウの1種

竹腰昭夫:森林防疫ニュース 10:71, 1961

[備考] テーダマツより検出

(7) *Paratrylenchus pini* (Mamiya) Baldwin & Bell [*Rotylenchus pini* Mamiya] マツラセンセンチュウ

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; Mamiya, Y.:Proc. Helminthol. Soc. Wash. 35(1):38, 1968

[備考] アカマツ

(8) *Paratrichodorus minor* (Colbran) Siddiqi [*Trichodorus minor* Colbran] ヒメユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967 ; Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(9) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi [*Trichodorus porosus* Allen] ナガイモユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967 ; Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

[備考] Mamiya (1967)はアカマツ

(10) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの1種

真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

[備考] アカマツ。根圏土壤より検出

(11) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

[備考] クロマツ

(12) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

真宮靖治:77回日林講:295, 1966

[備考] アカマツ・バンクスマツ・レジノサマツ・テーダマツ・オウシュウアカマツ

(13) *Rotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

[備考] 根圏土壤から検出

(14) *Scutellonema brachyurum* (Steiner) Andrassy フトラセンセンチュウ

真宮靖治:77回日林講:295, 1966

[備考] アカマツ

(15) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967

[備考] アカマツ・レジノサマツ・オウシュウアカマツにも寄生

(16) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:154, 1963

[備考] 上記種との異同は不明

(17) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

真宮靖治:林試研報 219:95, 1969

[備考] レジノサマツ・オウシュウアカマツ。種名は再検討を要する

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫病)

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961 ; 橋本平一:福岡林試時報 16:154, 1963

黄化病 oka-byo Yellow tip (苦土欠乏症)

マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency)

藍野祐久・伊藤一雄:原色林木病害虫図鑑:65, 1958

[備考] リュウキュウマツにも発生

こぶ苗病 kobunae-byo

BHC 薬害

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):35, 1959

[備考] リュウキュウマツにも発生

鉄欠乏症 tetsu-ketsubo-sho Ferrous deficiency

病原未記載

佐藤邦彦:青森林友 267:29, 1970

[備考] アカマツ

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

遺伝的芽条変異 (芽条変異)

原 攝祐:実験樹木病害篇:93, 1927(昭2) ; 百瀬行男:日林誌 49:66, 1967

苗紫色化病 nae-shishokuka-byo (磷酸欠乏症)

リン酸欠乏 (Phosphorus deficiency)

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):87, 1959

[備考] リュウキュウマツにも発生

マンガン欠乏症 mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency

病原未記載

佐藤邦彦:青森林友 267:29, 1970

[備考] アカマツ

†茎枯病 kukigare-byo Stem blight

Calonectria pini-caribaeae Tak. Kobayashi & E.D. Guzmán

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 351:198, 1988

[備考] フィリピン。カリビアマツ

†黒線葉枯病 kokusen-hagare-byo Needle blight

Volutella pini-caribaeae Tak. Kobayashi

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:318, 1980 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 351:196, 1988

[備考] フィリピン。カリビアマツ

††小葉病 shoyo-byo Little leaf disease

Phytophthora cinnamomi Rands

伊藤一雄:林木の耐病性:53, 1959

[備考] マツ類では国内未発生

††††苗疫病 nae-eki-byo Damping-off (苗立枯病)

††*Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大 12) ; 白井光太郎:植物病理学(下):80, 1894(明 27)

[備考] マツ類では国内発生に疑問

††ぼうすい形さび病 bosukei-sabi-byo Fusiform rust

Cronartium fusiforme Hedgcock & N.R. Hunt

伊藤一雄:林木の耐病性:36, 1959

[備考] 国内未発生

††††

Aristadiplodia pini Shirai ex Numata

沼田大学:大日本山林会報 438:25, 1919(大 8)

[備考] 調査を要する

††††

Calospora pini-thunbergii Sawada

澤田兼吉:林試研報 46:136, 1950

††††

††*Coccophacidium pini* Rehm

北島君三:樹病学及木材腐朽論:131, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生未確認

††††

Discosia strobilina Libert

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:61, 1975

[備考] ディスコシア葉枯病菌(*D. pini* Heald)との異同について検討を要する

††††

Lachnellula subtilissima (Cooke) Dennis

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

††††

Leptographium lundbergii Lagerberg & Melin

Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect. :93, 1975

††††

Leptostromella pini-densiflorae Shirai

原 攝祐:訂正増補樹病学各論:211, 1925(大 14)

[備考] アカマツ。調査を要する

††††

Leptostromella pini-thunbergii Hori

出田 新:続日本植物病理学(下):741, 1926(大 15)

[備考] クロマツ。調査を要する。原出典(堀 正太郎:植病菌分類表)所在不明

††††

††*Neopeckia coulteri* (Peck) Saccardo

北島君三:樹病学及木材腐朽論:156, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生未確認

††††

Pezicula livida (Berkeley & Broome) Rehm

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:86, 1968

[備考] オウシュウアカマツ

††††

††*Phacidium infestans* P. Karsten

北島君三:樹病学及木材腐朽論:124, 1933(昭 8)

[備考] 国内未発生

††††

Sclerotium acicola Hennings

松村任三:帝国植物名鑑(上):173, 1904(明 37)

[備考] 調査を要する

††††

Scoleconectria cucurbitula (Tode) C. Booth

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973 ; 高橋郁雄:東大農演報 69:91, 1979

[備考] オウシュウアカマツ

ストローブマツ
Eastern white pine
Pinus strobus L.
(針葉樹)

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病)

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦ら:日林誌 42:65, 1959 ; 佐藤邦彦:林試秋田支研究時報 1:1, 1955 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

枝枯病 edagare-byo Tryblidiopsis twig blight

Tryblidiopsis pinastri (Persoon) P. Karsten

高橋郁雄・佐保春芳:日林誌 55:75, 1973

オフィオネクトリア枝枯病 *Ophionectria*-edgare-byo *Ophionectria* canker

Scolecnectria cucurbitula (Tode) C. Booth [*Ophionectria scolecospora* Brefeld]

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 16:116, 1967 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973

がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo *Lachnellula* canker (ラクネルラがんしゅ病)

(1) *Lachnellula abietis* (P. Karsten) Dennis

Oguchi, T.:Jpn. For. Soc. 61:215, 1979

(2) *Lachnellula calyciformis* (Willdenow) Dharne

Yokota, S. & Matsuzaki, S.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 238:119, 1971 ; Oguchi, T.:Jpn. For. Soc. 61:215, 1979

[備考] 病菌の異名はモミ類がんしゅ病参照

(3) *Lachnellula pini* (Brunchorst) Dennis

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 21:210, 1972

[備考] 病菌の異名は五葉マツがんしゅ病参照

(4) *Lachnellula subtilissima* (Cooke) Dennis

Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973

黒粒がんしゅ病 kurosubu-ganshu-byo *Cucurbitodthis* canker

Cucurbitodthis pityophila (J.C. Schmidt & Kunze) Petrak

高橋郁雄・佐保春芳:日林誌 54:282, 1972 ; 高橋郁雄:東大農演報 69:67, 1979

[備考] 病菌の異名はモミ類黒粒がんしゅ病参照

ケナンギウム葉枯病 *Cenangium*-hagare-byo *Cenangium* needle blight

Cenangium acuum Cooke & Peck

佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 20:222, 1971

ゲラチノスポリウム枝枯病 *Gelatinosporium*-edagare-byo

Gelatinosporium sp.

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 16:117, 1967

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66:265, 1984

スクレロデリス枝枯病 *Scleroderris*-edagare-byo *Scleroderris* canker

Gremmeniella abietina (Lagerberg) M. Morelet

高橋郁雄:北方林業 27:239, 1975 ; 高橋郁雄:日林北支講 22:106, 1973 ; 近藤秀明・小林享夫:日林誌 66:63, 1984

[備考] 病菌の異名はトドマツ枝枯れ病参照

すす葉枯病 *susu*-hagare-byo *Rhizosphaera* needle blight

Rhizosphaera kalkhoffii Bubák

安盛 博:群馬林試研報 5:155, 1965 ; 横田俊一ら:北方林業 26:45, 1974

[備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツすす葉枯病参照

セプトリア葉枯病 *Septoria*-hagare-byo *Septoria* needle blight

Septoria pini-pumilae Sawada

高橋郁雄:日林北支講 24:58, 1975

ダジスキフス枝枯病 *Dasyscyphus*-edagare-byo

Dasyscyphus sp.

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 16:116, 1967

ちゃいぼたけ病 *chaibotake*-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart チャイボタケ

横田俊一ら:北方林業 20:118, 1968

[備考] 病菌の異名はモミ類ちゃぼいたけ病参照

チンパニス枝枯病 *Tympanis*-edagare-byo *Tympanis* canker (チンパニス胴枯病)

(1) *Tympanis hypopodia* Nylander [*Tympanis confusa* sensu Saho & Takahashi non Nylander]

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 16:117, 1967 ; 佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 50:339, 1968

[備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツチンパニス枝枯病参照

(2) *Tympanis truncatula* (Persoon) Rehm [*Tympanis pitya* (P. Karsten) P. Karsten]

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 16:117, 1967 ; Ouellette & Pirozynski:Can. J. Bot. 52(8):1903, 1974

デルメア枝枯病 *Dermea*-edagare-byo *Dermea* canker

Dermea pinicola J.W. Groves

高橋郁雄・佐保春芳:83 回日林講:298, 1972

胴枯病 *dogare*-byo *Phomopsis* canker

Diaporthe conorum (Desmazières) Niessl [不完全世代: *Phomopsis occulta* Traverso]

亀井専次:ストロームマツの病害(北方林業叢書 14):204, 1959

苗立枯病 *nae-tachigare*-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

Saho, H.:Plant Disease Rept. 46:35, 1962

[備考] モンチコラマツ

ならたけ病 *naratake*-byo *Armillaria* root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

佐保春芳:森林防疫ニュース 8:112, 1959

[備考] モンチコラマツにも発生

ネクトリア枝枯病 *Nectria-edagare-byo* *Nectria canker*

Nectria viridescens C. Booth

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 16:116, 1967 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973

葉枯病 *hagare-byo* *Needle blight*

Pseudocercospora pini-densiflorae (Hori & Nambu) Deighton

伊藤一雄:森林防疫ニュース 10(3):43, 1961 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992

[備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツ葉枯病参照

葉さび病 *hasabi-byo* *Needle rust*

(1) *Coleosporium cimicifugatum* Thümen

佐保春芳:77 回日林講:317, 1966 ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:73, 1967

[備考] モンチコラマツ(*P. monticola*)・ストロブマツ・マケドニアマツ(*P. peuce*)(人工接種)。病菌の異名及び夏孢子・冬孢子世代は五葉マツ葉さび病参照

(2) *Coleosporium eupatorii* Arthur

佐保春芳:70 回日林講:338, 1960 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:114, 1981

[備考] 人工接種ではモンチコラマツ・マケドニアマツにも発生。病菌の異名及び夏孢子・冬孢子世代は五葉マツ葉さび病参照

(3) *Coleosporium neocacaliae* Saho

佐保春芳:森林防疫ニュース 11(4):82, 1962 ; Saho, H.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 7(2-3):58, 1966

[備考] モンチコラマツ・マケドニアマツにも発生。病菌の異名及び夏孢子・冬孢子世代は五葉マツ葉さび病参照

(4) *Coleosporium paederiae* Dietel ex Hiratsuka, f.

千葉 修:森林防疫ニュース 8:150, 1959

[備考] 病菌の夏孢子世代・冬孢子世代は五葉マツ葉さび病参照

(5) *Coleosporium yamabense* (Saho) Hiratsuka, f.

佐保春芳:森林防疫ニュース 9:35, 1960 ; 平塚直秀:北海道林試報 6:6, 1968 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:108, 1981

[備考] モンチコラマツ・マケドニアマツにも発生。病菌の異名及び夏孢子・冬孢子世代は五葉マツ葉さび病参照

葉ふるい病 *hafurui-byo* *Needle cast* (葉振病)

Lophodermium pinastri (Schrader) Chevallier

亀井専次:ストロブマツの病害(北方林業叢書 14):208, 1959

[備考] 北島君三(樹病学及木材腐朽論:129, 1933)は *Hypoderma brachysporum* Rostrup による葉ふるい病を紹介したが、国内未発生

皮目枝枯病 *himoku-edagare-byo* *Cenangium die-back*

Cenangium ferruginosum Fries

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:86, 1968

ファシディウム雪腐病 *Phacidium-yukigusare-byo* *Phacidium snow blight*

Phacidium abietis (Dearness) J. Reid & Cain

高橋郁雄:北方林業 27:240, 1975 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:708, 1973

[備考] 病菌の異名はトドマツ・ファシディウム雪腐病参照

発しん(疹)さび病 *hasshin-sabi-byo* *Blister rust* (茎銹病)

(1) *Cronartium ribicola* J.C. Fischer

平塚直秀:森林防疫ニュース 8:8, 1959 ; 魚住 正:北方林業 24:273, 1972

[備考] 病菌の異名及び夏孢子・冬孢子世代は五葉マツ類発しんさび病参照

(2) *Endocronartium sahoanum* Imazu & Kakishima var. *sahoanum*

今津道夫:筑波大学農林学研究 7:26, 1995

[備考] いずれも人工接種

(3) *Endocronartium yamabense* (Saho & Takahashi) Paclt

佐保春芳・高橋郁雄:日菌報 22:27, 1981

[備考] モンチコラマツ・ストロブマツ・*Pinus strobiliformis*(いずれも人工接種)

紫紋羽病 *murasaki-mompa-byo* Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:3, 1949

[備考] 病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

ロヒューム枝枯病 *Lophium-edagare-byo* Lophium twig blight

Lophium mytilinum (Persoon) Fries

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 16:116, 1967

ワルトニア枝枯病 *Waltonia-edagare-byo* Waltonia twig blight

Waltonia pinicola Saho

佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:87, 1968 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Trans. Mycol. Soc. Japan 11:3, 1970

材線虫病 *zai-senchu-byo* Wilt

Bursaphelenchus xylophilus (Steiner & Buhrer) Nickle マツノザイセンチュウ

岸 洋一:マツ材線虫病ーマツクイムシー精説:103, 1988

[備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツ材線虫病参照

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Aphelenchus* sp. ニセネグサレセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Ditylenchus* sp. クキセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(4) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

小口健夫:北方林業 18:70, 1966 ; 真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

(5) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967

(6) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの1種

小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(7) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

[備考] 根圏土壌から検出。種名は再検討を要する

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom
生理障害
浜 武人:森林防疫ニュース 12:192, 1963

††††腐心病 fushin-byo Butt rot
††*Phaeolus schweinitzii* (Fries) Karsten カイメンタケ
亀井専次:ストロブマツの病害(北方林業叢書 14):209, 1959
[備考] わが国ではストロブマツには未記録

††††
Pezicula livida (Berkeley & Broome) Rehm
佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:86, 1968

††††
Thyronectria balsamea (Cooke & Peck) Seeler
佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:86, 1968
[備考] モンチコラマツにも発生

ダグラスモミ(ダグラスファー, オレゴンパイン)(米松)
Douglas fir
Pseudotsuga menziesii (Mirb.) Franco
(針葉樹)

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病)
Racodium therryanum Thümen
佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959; 佐藤邦彦:林試秋田支場研究時報 1:1, 1955; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960
[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

キトスポラ胴枯病* *Cytospora-dogare-byo* Cytospora canker
(1) *Valsa abietis* Fries [不完全世代: *Cytospora abietis* Saccardo]
小口健夫:北海道林試報 11:135, 1973
(2) *Valsa salicina* (Persoon) Fries [不完全世代: *Cytospora fugax* (Bulliard) Fries]
Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:117, 1970

先枯病 sakigare-byo Shoot blight
Botryosphaeria laricina (Sawada) Y.Z. Shang
佐藤邦彦:74 回日林講:301, 1963
[備考] 病菌の異名はカラマツ先枯病参照

チンパニス枝枯病* *Tympanis-edagare-byo* Tympanis canker
Tympanis truncatula (Persoon) Rehm [*Tympanis hansbroughiana* J.W. Groves]
佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 50:339, 1968 ; Ouellette & Pirozynski:Can. J. Bot. 52(8):1903, 1974

ディプロディア病 *Diplodia-byo* Diplodia needle and tip blight
Sphaeropsis sapinea (Fries) Dyko & B. Sutton
佐藤邦彦・庄司次男:森林防疫ニュース 15:75, 1965 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:599, 1992
[備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツディプロディア病参照

トリブリディオプシス枝枯病 *Tryblidiopsis-edagare-byo* Tryblidiopsis twig blight
Tryblidiopsis pinastri (Persoon) P. Karsten
高橋郁雄:東大農演報 69:96, 1979

苗立枯病 *nae-tachigare-byo* Damping-off
Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *pini* W.C. Snyder & H.N. Hansen
Matuo, T. & Chiba, O.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 32(1):14, 1966

ならたけ病 *naratake-byo* Armillaria root rot
Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)
庄司次男:森林防疫ニュース 14:262, 1965
[備考] 病菌の異名はモミ類ならたけ病参照

灰色かび病 *haiiro-kabi-byo* Gray mold (雪腐病)
Botrytis cinerea Persoon
佐藤邦彦・太田 昇:林試秋田支場研究時報 4:31, 1952

††アデロプス落葉病 *Adelopus-rakuyo-byo* Adelopus needle cast, Swiss needle cast (スイス落葉病)
Phaeocryptopus gaeumannii (T. Rohde) Petrak [*Adelopus gaeumannii* T. Rohde]
伊藤一雄:林木の耐病性:58, 1959
[備考] 国内未発生

††††葉ふるい病 *hafurui-byo* Needle cast
††*Lophodermium abietis* Rostrup
伊藤一雄:樹病学大系 2:128, 1973
[備考] ダグラスファーでは国内未発生

††ファキディオピクニス胴枯病 *Phacidiopycnis-dogare-byo* Phomopsis blight, Phacidiopycnis canker, Phomopsis canker (フォモプシス胴枯病)
Phacidiopycnis pseudotsugae (M. Wilson) G.G. Hahn [*Phomopsis pseudotsugae* M. Wilson]
伊藤一雄:林木の耐病性:64, 1959
[備考] 国内未発生

††ラブドクリネ落葉病 *Rhabdocline-rakuyo-byo* Rhabdocline needle cast
Rhabdocline pseudotsugae Sydow
伊藤一雄:林木の耐病性:58, 1959
[備考] 国内未発生

††††
Pezicula livida (Berkeley & Broome) Rehm [不完全世代: *Cryptosporiopsis abietina* Petrak]
高橋郁雄:東大農演報 69:84, 1979

ツガ類
Hemlock
Tsuga spp.
(針葉樹)
コメツガ(米母) Japanese northern hemlock *Tsuga diversifolia* (Maxim.) Mast.

ツガ(樺) Japanese hemlock *Tsuga sieboldii* Carr.

アデロプス落葉病 *Adelopus-rakuyo-byo* Adelopus needle cast

Phaeocryptopus nudus (Peck) Petrak

小林享夫:日林誌 49:331, 1967

[備考] コメツガ。病菌の異名はモミ類アデロプス落葉病参照

暗色雪腐病 *anshoku-yukigusare-byo* Racodium snow blight (雪腐病)

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959 ; 佐藤邦彦:林試秋田支時報 1:1, 1955 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

萎凋病* *icho-byo* Verticillium wilt (立枯病)

Verticillium sp.

小菅喜久弥:関東病虫研報 23:64, 1976

黒球枝枯病 *kurotama-edagare-byo* Twig blight (落葉病)

Strasseriosis tsugae (Tak. Kobayashi) B. Sutton & Tak. Kobayashi [*Phellostroma tsugae* Tak. Kobayashi]

小林享夫:森林防疫ニュース 14:232, 1965 ; 北島君三:森林病虫害の研究:7, 1928(昭 3) ; Sutton, B. C. &

Kobayashi, T.:Mycologia 61:1066, 1969

さび病 *sabi-byo* Rust (腫銹病)

Chrysomyxa tsugae Hiratsuka [*Aecidium tsugae* Sawada]

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 4:7, 1942(昭 17) ; 平塚直秀:植研雑 13(4):246, 1937(昭 12)

白紋羽病 *shiro-mompa-byo* White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:16, 1939(昭 14) ; 渡辺文吉郎:農水技会指定試験(病虫害) 3:6, 1963

[備考] ツガ。病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照

すす葉枯病 *susu-hagare-byo* Rhizosphaera needle blight

Rhizosphaera pini (Corda) Maublanc

小林享夫:林試研報 204:91, 1967

[備考] コメツガ

垂葉病* *tareha-byo* Needle droop

Herpotrichia parasitica (R. Hartig) Rostrup

出田 新:続日本植物病理学(上):270, 1925(大 14) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):560, 1992

[備考] 病菌の異名および不完全世代はモミ類垂葉病参照。我が国に本病存在の正確な記録はない

ならたけ病 *naratake-byo* Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

赤井重恭ら:長野林友 (1):1, 1972

[備考] コメツガ。病菌の異名はモミ類ならたけ病参照

根株心腐病* *nekabu-shingusare-byo* Butt rot

(1) *Bondarzewia mesenterica* (Schaeffer) Kreisel ミヤマトンビマイタケ

青島清雄ら:75 回日林講:397, 1964 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):259, 1994

[備考] コメツガ。病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照

(2) *Ganoderma valesiacum* Boudier ツガノマンネンタケ

安田 篤:植物学雑 29(348):421, 1915(大 4) ; 服部 力:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):525, 1992

[備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(3) *Perenniporia subacida* (Peck) Donk キンイロアナタケ

青島清雄:林試研報 46:157, 1950 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):586, 1992

[備考] コメツガ。病菌の異名はモミ類根株心腐病参照

(4) *Phellinus weirii* (Murrill) Gilbertson エゾノサビイロアナタケ

青島清雄:林試研報 59:61, 1953 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol. 2:621, 1989

[備考] コメツガ。病菌の異名はヒノキ根株心腐病参照

葉さび病 hasabi-byo Needle rust

(1) *Naohidemyces fujisanensis* S. Sato, Katsuya & Y. Hiratsuka

Sato, S. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:54, 1993

[備考] コメツガ。人工接種ではツガにも発生。夏孢子・冬孢子世代は *Vaccinium* 属(ウスノキ他)にさび病をおこす

(2) *Naohidemyces vaccinii* (Jørstad) S. Sato, Katsuya & Y. Hiratsuka (nom. inval.) [*Thekopsora myrtillina* P. Karsten, *Thekopsora vaccinii* (Jørstad) Hiratsuka, f.]

平塚直秀:鳥取高農学術報 4:309, 1936(昭 11) ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:260, 1955 ; Sato, S. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:48, 1993

[備考] コメツガ。人工接種ではツガにも発生。夏孢子・冬孢子世代は *Hugeria* 属(アクシバ), *Lyonia* 属(ネジキ), *Vaccinium* 属(ナツハゼ, ウスノキ他)にさび病をおこす

(3) *Pucciniastrum fagi* G. Yamada ex Hiratsuka

Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:420, 1980 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:117, 1992

[備考] ツガ・コメツガ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Fagus* 属(ブナ他)に寄生してさび病を起こす

(4) *Thekopsora hakkodensis* S. Ito & Hiratsuka, f.

平塚直秀・佐藤昭二:日植病報 27:70, 1962 ; 平塚直秀:北大農紀要 21:21, 1927(昭 2) ; Sato, S. & Katsuya, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20:1, 1979 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:142, 1992

[備考] コメツガ。人工接種ではツガにも発生。夏孢子・冬孢子世代は *Leucothoe* 属(ハナヒリノキ他)に寄生してさび病を起こす

葉ふるい病 hafurui-byo Needle cast

Hypoderma insulare Tak. Kobayashi

Kobayashi, T.:Mem. Natn. Sci. Mus. 9:87, 1976

[備考] ツガ

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Antrodia xantha* (Fries) Ryvarden チョークアナタケ

今関六也・青島清雄:日植病報 16:88, 1952 ; 高橋旨象:きのこと木材:126, 1989

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(2) *Echinodontium tsugicola* (Hennings & Shirai) Imazeki マンネンハリタケ

白井光太郎:植物病理学(下):150, 1894(明 27) ; 今関六也:植研雑 11(7):517, 1935(昭 10)

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(3) *Fomitopsis pinicola* (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ(ツガタケ)

松村任三:帝国植物名鑑(上):145, 1904(明 37) ; 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭 18)

[備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照

(4) *Gloeophyllum subferrugineum* (Berkeley) Bondartsev & Singer [*Lenzites subferruginea* Berkeley] ヒロハノキカイガラタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:462, 1933(昭 8)

(5) *Lenzites betulina* (Linnaeus) Fries カイガラタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:464, 1933(昭 8)

(6) *Stereum sanguinolentum* (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ

青島清雄:林試研報 46:155, 1950 ; 高橋旨象:きのこ木材:126, 1989

(7) *Veluticeps abietina* (Persoon) Hjortstam & Telleria マツノウロコタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:23, 1952 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):350, 1992

[備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

Trichaptum abietinum (Dickson) Ryvardeen シハイタケ

今関六也:植研雑 20(6-7):284, 1944(昭 19) ; 今関六也ら:日本のきのこ:476, 1988

[備考] 病菌の異名はモミ類幹辺材腐朽病参照

溝腐病* mizogusare-byo Stem sap rot

Phellinus hartigii (Allescher & Schnabl) Patouillard モミサルノコシカケ

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):374, 1955

[備考] 病菌の異名はトドマツ溝腐病参照

ロゼリニア暗色かび病 *Rosellinia-anshokukabi-byo* Rosellinia needle blight (黒色顆粒病)

Rosellinia herpotrichioides Hepting & R.W. Davidson

伊藤一雄:図説苗木病害診断法(前):38, 1959

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] ツガ

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom

病因未詳

浜 武人:森林防疫ニュース 12:71, 1963

コショウ科 Piperaceae

ペペロミア
Peperomia
Peperomia spp.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
明日山秀文ら:農作物の同定に関する研究:1, 1966
[備考] 戻し接種なし

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
我孫子和雄ら:関西病虫研報 25:37, 1983

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 40:163, 1993
[備考] チヂミペペロミア (チヂミバシマアオイソウ) *Peperomia caperata*

腐敗病 fuhai-byo Cutting and stem rot, Pythium root rot
Pythium splendens Hans Braun
我孫子和雄ら:関西病虫研報 25:37, 1983

フウトウカズラ
Piper kadmura (Choisy) Ohwi
(特用作物)

葉枯病 hagare-byo Leaf blight
Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc
田子瑞穂ら:日植病報 78(3):190, 2012

コショウ(胡椒)
Pepper
Piper nigrum L.
(特用作物)

†ウイルス病 virus-byo Virus
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
寺神戸 曠:熱帯農業 16(4):283, 1973 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:127, 1977
[備考] ブラジル

††疫病 eki-byo Phytophthora foot rot
Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:131, 1977

††すす病 susu-byo Sooty mold
Capnodium sp. [*Chaetothyrium* sp.]
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:133, 1977

††炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum nigrum* Ellis & Halsted]
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:132, 1977
[備考] 病原菌の学名は von Arx. J.A.:Phytopath. Z. 29:430, 1957 を参照

†胴枯病 dogare-byo Canker
Fusarium solani (Martius) Saccardo
福富雅夫ら:日植病報 48(3):355, 1982
[備考] ブラジル

†ネクトリア病 *Nectria*-byo Nectria blight
Nectria haematococca Berkeley & Broome f. sp. *piperis* F.C. Albuquerque & Conduru
浜田正博ら:日植病報 54:303, 1988
[備考] ブラジル

†根腐病 negusare-byo Root rot
(1) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *piperis* F.C. Albuquerque
渡邊龍雄:関東病虫研報 11:45, 1964 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:116, 1977
[備考] ブラジル
(2) *Pythium splendens* Hans Braun
Matsuda, A. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(4):303, 1998
[備考] ドミニカ共和国

††べと病 beto-byo Thread blight (白絹病, 菌糸病)
Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:131, 1977
[備考] フィリピン。病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 を参照

††白藻病 shiromo-byo White blight
Cephaleuros virescens Kunze
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:134, 1977

†根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
一戸 稔:日線虫研誌 5:36, 1975
[備考] ブラジル

†Cercopora leaf spot
*Cercospora artocarp*i Sydow & P. Sydow
Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:128, 1988
[備考] フィリピン。病名未提案

††††
†*Mycoleptodiscus terrestris* (Gerdemann) Ostazeski
Watanabe, T. *et al.*:Mycoscience 38:91, 1997

[備考] 接種試験未了。ドミニカ共和国産コショウの根から分離

トベラ科 Pittosporaceae

トベラ(海桐花)

Japanese pittosporum

Pittosporum tobira (Thunb. ex Murray) Ait.

(広葉樹)

ウイルス病 virus-byo Virus disease

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

土崎常男ら:日植病報 32(5):319, 1966 ; 土崎常男ら:植物防疫 23(1):6, 1969

[備考] 原株はモザイク症状

褐点病* katten-byo Brown leaf spot (斑点病)

Ascochyta tobera Hara

原 攝祐:植研雑 1(4):101, 1917(大 6)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:132, 1977

すすかび病* susukabi-byo (斑点病)

Cercospora pittospori Plakidas

富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大研報 II, 1:6, 1952 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):69, 1960

すす病 susu-byo Sooty mold

病原菌未詳

小林享夫:林業と薬剤 54:4, 1975

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Fusarium sp.

勝 善鋼:森林防疫 23(5):90, 1974

斑点病* hanten-byo

Septoria pittospori Brunaud

南部信方:病虫雑 2(8):743, 1915(大 4)

星形すす病 hoshigata-susu-byo Black mildew

Asterina yakusimensis Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:81, 1975

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

††††

Floresculomyces floridaensis B. Sutton

Ono, Y. & Kobayashi, T.:Mycoscience 46:352, 2005

[備考] 接種試験未了

††††

†*Meliola elmeri* Sydow & P. Sydow

山本和太郎:台湾博物学会報 30:153, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

††††

Phyllosticta pittospori Brunaud

Katsuki, S.:Journ. Jap. Bot. 28(9):282, 1953

オオバコ科 Plantaginaceae

ミズハコベ
Water-starwort
Callitriche palustris L.
(野草)

植物寄生性線虫* shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Hirschmanniella diversa Sher レンコンネモグリセンチュウ
植松 繁ら:北陸病虫研報 64:15, 2015

ミズアオイ
Pickerel weed
Monochoria korsakowii Regel & Maack
(野草)

植物寄生性線虫* shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Hirschmanniella diversa Sher レンコンネモグリセンチュウ
高木素紀ら:Nematological Research 41:53, 2011

オオバコ類
(*Plantago*)
Plantago spp.
(野草)

オオバコ *P. asiatica* L.
ヘラオオバコ *P. lanceolata* L.
エダウチオオバコ *P. psyllium* L.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Plantago asiatica mosaic viurs
高橋修一郎ら:日植病報 69(3):330, 2003
[備考] オオバコに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Erysiphe sordida L. Junell
澤田兼吉:林試研報 50:101, 1951 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:186, 1997
[備考] オオバコに発生

さび病* sabi-byo Rust
Puccinia miscanthi Miura
Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:557, 1992
[備考] オオバコに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
星 秀男ら:関東病虫研報 50:109, 2003 ; 森田琴子ら:関東病虫研報 62:87, 2015
[備考] ヘラオオバコ, エダウチオオバコに発生

雪腐病 yukigusare-byo Snow mold

Sclerotinia nivalis I. Saito

Saito, I.:Mycoscience 38:227, 1997 ; 齊藤 泉:日菌報 38(2):97, 1997

[備考] ヘラオオバコに発生。接種試験未了

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] オオバコ・ヘラオオバコ。病原線虫の異名等は・サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] オオバコに発生

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] オオバコに発生

††††

Cercospora plantaginis Saccardo [*Cercospora apii* sensu lato]

Nakashima, C.:Mycoscience 45:116, 2004

[備考] オオバコに発生。接種試験未了

スズカケノキ科 Platanaceae

スズカケノキ(プラタナス)類

Platanus

Platanus spp.

(広葉樹)

モミジバスズカケノキ(プラタナス) London plane tree, London plane *P. × hispanica* Muench. [*P. × acerifolia* (Aiton) Willd.]

アメリカスズカケノキ *P. occidentalis* L.

スズカケノキ *P. orientalis* L.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe platani* (Howe) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera platani* Howe]

丹田誠之助:東農大農学集報 43(4):253, 1999 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012

(2) *Oidium* sp.

堀江博道ら:関東病虫研報 49:65, 2002

[備考] *Erysiphe polygoni* 型。モミジバスズカケノキ・アメリカスズカケノキ・スズカケノキに発生

褐点病 katten-byo Brown leaf spot, Cercospora leaf spot (褐斑病)

Mycosphaerella platanifolia Cooke [*Cercospora platanifolia* sensu Wolf, *Cercospora platanicola* Ellis & Everhart]

Ito, K. & Hosaka, Y.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 46:17, 1950

[備考] *Cercospora platanifolia* Ellis & Everhart (伊藤・保坂, 1950) という種は実在しない。Wolf (1938) の誤記である

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

埼玉県内務部:病虫雑 21(2):150, 1934(昭 9)

[備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Discula platani (Peck) Saccardo [*Gloeosporium nervisequum* (Fuckel) Saccardo, 完全世代: *Apiognomonina veneta* (Saccardo & Spegazzini) Höhnelt]

南部信方:病虫雑 3(5):419, 1916(大 5)

[備考] 病名を含め再検討を要する。完全世代の日本での確実な記録はない

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis funerea* (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia funerea* Desmazières]

石坂忠之:病虫雑 1(2):189, 1914(大 3) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1189, 1978

(2) *Pestalotiopsis eugeniae* (Thümen) S. Kaneko [*Pestalotia eugeniae* Thümen]

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:123, 1980

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Pleurotus cystidiosus O.K. Miller オオヒラタケ

小林 正・青島清雄:93 回日林論:377, 1982

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:5, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

††††

Oidium sp.

佐藤幸生・堀江博道:日植病報 64(4):438, 1998

[備考] 接種試験未了。発芽管の形態は *Erysiphe polygoni* 型

††††

††*Phyllosticta platani* Saccardo

北島君三:樹病学及木材腐朽論:306, 1933(昭 8)

[備考] わが国での発生に疑問

††††

Sphaerulina myriadea (de Candolle) Saccardo var. *platani* Hara

原 攝祐:菌類 1(3-4):105, 1931(昭 6)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):210, 1987

[備考] モミジバスズカケノキ

ヒラタケ科 Pleurotaceae

シイタケ(椎茸)

Shiitake mushroom

Lentinula edodes (Berkeley) Pegler

(きのこ)

わい化病 waika-byo Fruitbody dwarf disease

Rickettsia-like organism (リケッチア様微生物)

Nakai, Y. & Ushiyama, R.: Taiwan Mushroom 5:6, 1981 ; 中井幸隆・牛山六男: 日植病報 50(3):445, 1984 ; 中井幸隆ら: 菌蕈研報 22:84, 1985

[備考] 子実体に発生

褐変腐敗病 kappen-fuhai-byo Immature browned fruit-bodies, Browning

Pseudomonas fluorescens (Trevisan 1889) Migula 1895

小松光雄・後藤正夫: 菌蕈研報 11:69, 1974 ; 中井幸隆・牛山六男: 菌蕈研報 20:47, 1982 ; 有田郁夫: 1986 年版きのこ年鑑:105, 1985

黒腐細菌病* kurogusare-saikin-byo Brown blotch, Bacterial black rot

Pseudomonas tolaasii Paine 1919

陶山一雄・藤井 博: 東京農大農学集報 38:35, 1993 ; Tsuneda, A. *et al.*: Mycoscience 36:283, 1995

[備考] 子実体に発生

腐敗病* fuhai-byo Brown rot

Ewingella americana Grimont, Farmer, Grimont, Asbury, Brenner and Deval 1984

有馬 忍ら: 日林九支研論 50:171, 1997 ; 有馬 忍・陶山一雄: 日植病報 63(3):198, 1997 ; 有馬 忍ら: 日本きのこ学会誌 18(4):139-144, 2010

オオボタнтаケ病* oobotantake-byo Hypocrea disease

Hypocrea peltata (Fries) Fries

有田郁夫: 菌蕈研報 9:36, 1971 ; 小松光雄: 菌蕈研報 13:1, 1976

[備考] ほだ木に発生

菌床トリコデルマ病* kinsho-*Trichoderma*-byo

Trichoderma spp.

時本景亮: 菌蕈研報 23:1, 1985 ; 福井陸夫: きのこの基礎科学と最新技術:185, 1991 ; 宮崎和弘ら: 日林九支研論 48:233, 1995

[備考] 菌床に発生。時本景亮 (菌蕈研報 1985) は, *Trichoderma harzianum*, *T. polysporum*, *T. viride* を記載している

クロボタнтаケ病* kurobotantake-byo Hypocrea disease

Hypocrea schweinitzii (Fries) Saccardo [*Trichoderma longibrachiatum* Rifai aggr.]

橋岡良夫ら: 菌蕈研報 1:1, 1961 ; 小松光雄: 菌蕈研報 7:27, 1969 ; 有田郁夫: 菌蕈研報 9:36, 1971 ; 小松光雄: 菌蕈研報 13:1, 1976 ; 松尾芳徳: 大分林試報 9:1, 1980

[備考] ほだ木に発生。橋岡良夫ら (菌蕈研報 1:1, 1961) の報告した不完全世代 *Trichoderma viride* は *T. longibrachiatum* と同一種

黒色斑点病 kokushoku-hanten-byo Black spot disease

Hyphozyma sp. [*Eleutheromyces subulatus* (Tode) Fuckel]

常田昭彦:菌蕈 42(2):34, 1996 ; Tsuneda, A. *et al.*:菌蕈研報 33:14, 1995 ; Tsuneda, A. *et al.*:Mycologia 89:867, 1997

[備考] 子実体に発生

白色トリコデルマ病* hakushoku-*trichoderma*-byo Trichoderma disease

Trichoderma polysporum (Link ex Persoon) Rifai aggr. [*Hypocrea pachybasii* Yoshim. Doi]

小松光雄:菌蕈研報 7:27, 1969 ; 有田郁夫:菌蕈研報 9:36, 1971 ; 小松光雄:菌蕈研報 13:1, 1976

[備考] ほだ木に発生。小松光雄・橋岡良夫 (菌蕈研報 5:1, 1966) の報告した *Pachybasium* sp. は *Trichoderma polysporum* と同一種

ラクテア病* lactea-byo Hypocrea disease

Hypocrea lactea (Fries) Fries

小松光雄:菌蕈研報 13:1, 1976

[備考] ほだ木に発生。橋岡良夫ら (菌蕈研報 1:1, 1961) の記載した *Hypocrea lactea* については再検討を要する

緑色トリコデルマ病* ryokushoku-*Trichoderma*-byo Trichoderma disease

(1) *Trichoderma hamatum* (Bonorden) Bainier aggr.

小松光雄:菌蕈研報 7:27, 1969 ; 小松光雄:菌蕈研報 13:1, 1976

(2) *Trichoderma harzianum* Rifai aggr.

小松光雄:菌蕈 21(2):2, 1975 ; 小松光雄:菌蕈研報 13:1, 1976

(3) *Trichoderma koningii* Oudemans aggr.

小松光雄:菌蕈研報 6:18, 1968 ; 小松光雄:菌蕈研報 13:1, 1976

(4) *Trichoderma pseudokoningii* Rifai aggr.

小松光雄:菌蕈研報 13:1, 1976

(5) *Trichoderma viride* Persoon ex S.F. Gray aggr.

小松光雄:菌蕈研報 7:27, 1969 ; 小松光雄:菌蕈 21(2):2, 1975 ; 小松光雄:菌蕈研報 13:1, 1976

[備考] ほだ木に発生するが、まれに子実体に感染し、褐変を誘起する場合もある。シイタケほだ木の黒腐病 (昭和 53 年度しいたけの種菌活力度と害菌被害追跡調査報告書:2, 1979 ; 松尾芳徳:大分林試報 9:1, 1979) は, *Trichoderma* 属菌が主要な病原菌であるが、他に細菌類 (宮道慎二ら:明治製菓研究報告 18, 1979) などの関与も指摘されている

エリンギ

Eryngi, The King Oyster, Boletus of the steppes, Umbel oyster mushroom

Pleurotus eryngii (de Candolle) Quélet

(きのこ)

わたかび病* watakabi-byo Cladobotryum white mould (白色かび病)

Cladobotryum varium Nees

有馬 忍・陶山一雄:日植病報 64(4):430, 1998 ; 有馬 忍・陶山一雄:日本応用きのこ学会誌 18(1):13-20, 2000

[備考] 子実体に発生

ヒラタケ(平茸)

Oyster mushroom

Pleurotus ostreatus (Jacquin) Kummer

(きのこ)

紫褐色斑紋病 shikasshoku-hammon-byo

Pseudomonas sp.

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック増補改訂版:168, 1986

[備考] 病原菌の性質不詳。調査を要する

軟腐病 nampu-byo Soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

伊阪実人・岡本 博:日植病報 58:595, 1992 ; Okamoto, H. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(4):460, 1999

腐敗病 fuhai-byo Brown blotch, Bacterial rot (黄褐色変色病, 褐斑病)

Pseudomonas tolaasii Paine 1919

陶山一雄ら:日本菌学会関東談話会 57 年度講演要旨集:16, 1983 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック:170, 1986 ; 有田郁夫:1986 年版きのこ年鑑:105, 1985 ; 陶山一雄・藤井 溥:東京農大農学集報 38:35, 1993

菌床トリコデルマ病* kinsho-*Trichoderma*-byo

Trichoderma spp.

山中勝次・柿本陽一:きのこ生育診断 ヒラタケ・エノキタケ篇:36, 1991

白こぶ病 shirokobu-byo Gill-knot

Itonchium unguatum Aihara ヒラタケヒダコブセンチュウ

Aihara, T.:Jpn. J. Nematol. 31(1-2):1, 2001 ; 田中 寛ら:関西病虫研報 42:47, 2002

[備考] ナミトモナガキノコバエ *Allodiopsis domestica* (Meigen) が本線虫のベクター

ひだこぶ線虫病* hidakobu-senchu-byo (ひだこぶ病, こぶ病, 白こぶ病)

Itonchium sp.

有田郁夫ら:菌学会 27 回大会講要:14, 1983 ; 金子周平:森林防疫 32(11):12, 1993 ; 相原孝雄:昆虫応動昆虫合同大会講要 156:1993 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこの害菌・害虫ハンドブック:166, 1986 ; 中村公義ら:長野野菜花き試報 9:49, 1996

[備考] 原木栽培の子実体に発生

†††黄斑病 ohan-byo Drippy gill

††*Pseudomonas agarici* Young 1970

有田郁夫:1986 年版きのこ年鑑:105, 1985

[備考] 国内発生不詳。調査を要する

ウスヒラタケ(薄平茸)

Indian oyster

Pleurotus pulmonarius (Fries) Quélet

(きのこ)

ひだこぶ線虫病* hidakobu-senchu-byo

Itonchium sp.

中村公義ら:長野野菜花き試報 9:49, 1996

[備考] ビン栽培に発生

イソマツ科 Plumbaginaceae

アルメリア(ハマカンザシ, マツバカンザシ)

Thrift

Armeria maritima (Mill.) Willd.

(草花)

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces armeriae Léveillé ex Kickx [*Uromyces armeriae* (Schlechtendal) Léveillé]

平塚直秀:菌蕈研報 10:56, 1973

[備考] チシマハマカンザシ *Armeria vulgaris* var. *arctica* に発生。病原菌と寄主植物のリスト

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Corticium sp.

米山伸吾・菅原 毅:日植病報 29(5):290, 1964

炭疽病 tanso-byo Anthracnose*

Colletotrichum truncatum (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore

菅原 敬ら:日植病報 71(1):50, 2005

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:647, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Septoria sp.

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:119, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記述。植物名はニワハナビ (*Limonium latifolium*) と記述

++++モザイク病 mosaic-byo Mosaic

ウイルス (未同定)

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:119, 1939 (昭 14)

スターチス(ハナハマザシ, イソマツ類, リモニウム)

Statice, Wide leaf sea lavender

Limonium spp. 及び種間雑種

(草花)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウイルトウイルス 2

河野敏郎ら:茨城病虫研報 34:58, 1995 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

(2) *Broad bean wilt virus*#

Matsumoto, J. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):13, 1997

(3) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小野木静夫:関東病虫研報 30:93, 1983 ; 井上成信ら:農学研究 62(3):209, 1991 ; Matsumoto, J. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):13, 1997

(4) *Clover yellow vein virus* (CIYVV) クローバ葉脈黄化ウイルス

井上成信ら:日植病報 51(3):354, 1985

(5) *Grapevine Algerian latent virus* (GALV) ブドウアルジェリア潜在ウイルス

Fujinaga, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):157, 2009

[備考] *L. sinuatum* に発生

(6) *Turnip mosaic virus* (TuMV) カブモザイクウイルス

飯野尚之・井上成信:日植病報 50(1):116, 1984

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

鍵渡徳次・山下修一:東京農大農学集報 31(3):165, 1987 ; 脇部秀彦ら:日植病報 64(4):383, 1998 ; 塩見敏樹ら:日植病報 65(1):87, 1999

[備考] ヒメフタテンヨコバイによって媒介される

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

畔上耕児ら:日植病報 56(1):151, 1990

萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt

Burkholderia caryophylli (Burkholder 1942) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 [*Pseudomonas caryophylli* (Burkholder 1942) Starr & Burkholder 1942]

西山幸司ら:日植病報 53(1):70, 1987 ; 西山幸司ら:日植病報 54(4):444, 1988

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

萩原 廣ら:日植病報 64(5):506, 1998

[備考] 宿根性スターチス (*L. latifolium* × *L. bellidifolium*)。発芽管の形態は *Erysiphe polygoni* 型

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

植松清次ら:日植病報 59(3):289, 1993

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Cercospora insulana Saccardo

沼田 巖:日植病報 25(1):24, 1960 ; Katsuki, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:565, 1973

[備考] 沼田 (1960) は *Cercospora* sp. と報告。Katsuki (1973)はモノグラフ。接種試験未了

褐紋病 katsumon-byo Brown spot

Phomopsis sp.

粕山新二ら:日植病報 60(3):340, 1994

株腐病 kabugusare-byo Crown rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

我孫子和雄ら:関西病虫研報 29:69, 1987

[備考] 培養型 IIIA

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

石井正義・我孫子和雄:関西病虫研報 37:47, 1995

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum capsici* (Sydow) E.J. Butler & Bisby

野島秀伸・矢口行雄:日植病報 63(3):199, 1997

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

鍵渡徳次:東京農大農学集報 31(2):101, 1986 ; 手塚信夫・中村秀雄:関東病虫研報 34:117, 1987

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

森田 儔ら:関東病虫研報 32:151, 1985 ; 鍵渡徳次:東京農大農学集報 31(4):310, 1987

葉枯病 hagare-byo

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

高野喜八郎:日植病報 57(1):98, 1991

[備考] 高野は同一病斑から *Stemphylium botryosum* を分離したが, 病原性は弱かった

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora statice Lobik

西脇由恵ら:日植病報 80(4):241, 2014 ; Shirai, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 82(4):212, 2016

[備考] 宿根性スターチス (*L. latifolium* × *L. bellidifolium*) に発生

ペスタロチア病 pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis gracilis (Klebahn) Steyaert

佐藤俊次・澤本敬男:九病虫研会報 43:57, 1997

[備考] 宿根スターチス (*L. latifolium* × *L. bellidifolium*)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

†††さび病 sabi-byo Rust

Uromyces savulescui Rayss

本蔵洋一ら:植防研報 37:87, 2001

[備考] スペイン

††††

Pestalotia staticae Tukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961

マキ科 Podocarpaceae

イヌマキ(狗槠, 羅漢松)

Longleaf podocarpus

Podocarpus macrophyllus (Thunb.) D. Don

(針葉樹)

ラカンマキ(羅漢槠) *Podocarpus macrophylla* D. Don var. *maki* Sieb.

白棄枯病 shirahagare-byo

Phyllosticta sp.

小林享夫:林業と薬剤 43:4, 1973

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農林水産技会指定試験(病虫害) 3:6, 1963

[備考] 病菌の異名はイヌガヤ白紋病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

都崎芳久:四国植防 33:29, 1998

[備考] イヌマキに発生

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease (葉枯病)

(1) *Pestalotiopsis disseminata* (Thümen) Steyaert [*Pestalotia disseminata* Thümen]

日野隆之:採集と飼育 26(10):292, 1964 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1188, 1978

[備考] イヌマキ。病菌の異名はアカマツ・クロマツペスタロチア病参照

(2) *Pestalotiopsis foedans* (Saccardo & Ellis) Steyaert

日野隆之:門司植物防疫所植防資料 7:1, 1953 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:334, 1993

[備考] イヌマキ。病菌の異名はスギペスタロチア病参照

(3) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert

Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:336, 1993

[備考] イヌマキ。病菌の異名はスギペスタロチア病参照

(4) *Pestalotiopsis guepinii* (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia guepinii* Desmazières]

日野隆之:門司植物防疫所植防資料 7:1, 1953 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:340, 1993

[備考] イヌマキ

(5) *Pestalotiopsis longiaristata* (Maublanc) Ribeiro de Souza [*Pestalotia longiaristata* Maublanc]

香月繁孝:植研雑 30(12):371, 1955 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:341, 1993

[備考] イヌマキ

(6) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert [*Pestalotia neglecta* Thümen]

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35:98, 1928(昭3) ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993

[備考] イヌマキ

(7) *Pestalotiopsis podocarpi* (Dennis) X.A. Sun & Q.X. Ge [*Pestalotiopsis podocarpi* (Dennis) Suto & Tak. Kobayashi, *Pestalotia podocarpi* Dennis]

日野隆之:採集と飼育 26(11):320, 1964 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:341, 1993

[備考] イヌマキ

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham [*Phellinus lamaensis* sensu Yasuda]

阿部恭久ら:日植病報 56:387, 1990 ; 小林享夫ら:日植病報 55:490, 1989 ; Abe, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc.

Jpn. 61:245, 1995

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

††††灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

[備考] イヌマキ。文献は1975年の森林病虫害被害発生状況報告。病名のみ病原に記載, 接種試験未了

††††

Phaeocryptopus podocarpi (Sydow & P. Sydow) Petrak [*Dimerina podocarpi* Sydow & P. Sydow]

出田 新:続日本植物病理学(上):232, 1925(大 14)

††††

Physalospora podocarpi Hara

原 攝祐:菌類 1:27, 1931(昭 6)

††††

Pseudomassaria corni (Sowerby ex Niessl) Arx

宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):623, 1978

ナギ(竹柏, 榔)

Japan laurel

Podocarpus nagi (Thunb.) Zoll.& Moritz.

(針葉樹)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農林水産技会指定試験(病虫害) 3:6, 1963

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis neglecta (Thümen) Steyaert

滝沢幸雄:森林防疫 23:196, 1974 ; 周藤靖雄・小林享夫:森林防疫 44:70, 1995

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

Pycnoporus coccineus (Fries) Bondartsev & Singer [*Trametes sanguinea* auct. jap. non Murrill] ヒイロタケ

日菌関西談話会:日菌報 6:28, 1965 ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑 II:151, 1989

ハナシノブ科 Polemoniaceae

フロックス(キキョウナデシコ)

Drummond Phlox

Phlox drummondii Hook.

(草花)

オイランソウ(クサキョウチクトウ) Summer perennial phlox *P. paniculata* L.

ウイルス病* virus-byo

Alfalfa mosaic virus (AMV) アルファルファモザイクウイルス

牛山欽司ら:神奈川園試研報 38:43, 1989

[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Golovinomyces magnicellulatus* (U. Braun) Heluta var. *magnicellulatus* [*Erysiphe magnicellulata* U. Braun var. *magnicellulata*, *Erysiphe cichoracearum* de Candolle]

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:223, 1917(大 6); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973; 高松 進ら:日菌報 19(1):65, 1978; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(4):202, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:36, 2012

[備考] 白井・三宅 (1917), 平田・和田 (1973), 高松 (1978) は寄主植物リスト。接種試験未了

(2) *Oidium* sp.

野村幸彦:日菌報 17(3, 4):338, 1977

[備考] 分生子の発芽管の形状は *Sphaerotheca fuliginea* 型である。寄主植物リスト。接種試験未了

(3) *Sphaerotheca humuli* (de Candolle) Burrill

野村幸彦:日菌報 15(1):72, 1974

[備考] 病原菌の分類学的所属については検討が必要。寄主植物リスト。接種試験未了

褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Passalora omphacodes (Ellis & Holway) Crous & U. Braun [*Cercospora omphacodes* Ellis & Holway]

Togashi, K. & Katsuki, S.:Sci. Rept. Yokohama Nat. Univ. Sci. 1:6, 1952; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):66, 1960

[備考] いずれも接種試験未了。Togashi *et al.* は *Cercospora omphacodes* としたが, Crous, P.W. & Braun, U. (Mycotaxon 57: 288, 1996) により *Passalora omphacodes* に移されている

白絹病 Southern blight Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

舘 彩香ら:関東病虫研報 61:103, 2014

[備考] オイランソウ

炭疽病* tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum paniculatae Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961

[備考] 病原菌の分類学的所属については検討が必要。宿主植物のリスト

斑点病 hanten-byo Leaf spot

(1) *Stemphylium botryosum* Wallroth

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:171, 1997

(2) *Septoria drummondii* Ellis & Everhart

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 10:1, 1943 ; 富樫浩吾:日植病報 13:60, 1949

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:271, 1975

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの 1 種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

(1) *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie イチゴセンチュウ

田中彰一:蔬菜病害防除論:254, 1948

(2) *Aphelenchoides ritzemabosi* (Schwartz) Steiner & Buhrer [*Aphelenchus ritzemabosi* Schwartz] ハガレセンチュウ

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

(3) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの 1 種

河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

[備考] 上記種との異同は不明

クリーピングフロックス

Creeping phlox

Phlox stolonifera Sims

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

笹井裕里ら:日植病報 80(1):22, 2014 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 61:99, 2014

シバザクラ(ハナツメクサ, モスフロックス)

Moss phlox

Phlox subulata L.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe cichoracearum* de Candolle

高松 進ら:日菌報 19(1):65, 1978

(2) *Oidium* sp.

本間善久:四国植防 14:54, 1979

[備考] 本間 (1979) は寄主植物名リスト。分生子の発芽管の形状は *Sphaerotheca humuli* 型である。U. Braun (1987) は日本産 *Phlox* 属上に *Erysiphe magnicellulata* var. *magnicellulata* を記録している。本病原菌との異同については検討が必要

株腐病 kabugusare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 43:133, 1996

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 43:67, 1996

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:190, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:642, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo

Septoria sp.

成田武四:北海道における農作物病害:190, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:642, 1998

[備考] 接種試験未了。クサキョウチクトウ (*P. paniculata*) に発生する斑点病菌と同一とみられるが検討を要する

茎線虫病 kuki-senchu-byo Dieback

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev

河原崎秀志ら:日植病報 83(1):67, 2017

††††

Pleosphaerulina subulatae Tsukamoto [*Pleosphaerulina subulatae* Tsukamoto & Katsuki, nom. nud.]

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961(昭 36); Tsukamoto, E.:Memoirs of the Faculty of Education, Akita Univ., Natural 17:82, 1967

[備考] いずれも病原菌リスト

セイヨウハナシノブ

(Polemonium)

Polemonium caeruleum L.

(草花)

葉腐病 hagusare-byo Leaf rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

漆原寿彦ら:日植病報 68(2):187, 2002

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

タデ科 Polygonaceae

ソバ(蕎麦)

Buckwheat

Fagopyrum esculentum Moench

(食用作物)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) Broad bean wilt virus#

小室康雄・岡田 大:関東病虫研報 20:21, 1973

(2) Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

杉山晋一ら:日植病報 17(2):90, 1953

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe polygoni de Candolle [*Oidium clematidis* Saccardo & Traverso]

鶴田章逸:病虫雑 4(12):924, 1917(大 6)

[備考] 本病菌に *Erysiphe heraclei* de Candolle を充てる意見もある (本間ヤス:北大農紀 38:324, 1937)

疫病 eki-byo Foot-rot (立枯病)

Phytophthora fagopyri S. Takimoto

瀧元清透:九大農学芸雑誌 6(2):105, 1935(昭 10)

[備考] 本病菌は *Pythium oedochilum* Drechsler であろうとする意見もある (桂 琦一:植物防疫 22:76, 1968)

褐斑病 kappan-byo (褐斑病)

Ascochyta fagopyri Bresàdola [*Ascochyta italica* (Traverso) Ishiyama]

石山哲爾:札幌博物会報 14(4):297, 1936(昭 11); 内藤中人・安部忠孝:日植病報 17(3-4):184, 1953

褐紋病 katsumon-byo Brown spot

Cercospora fagopyri Nakata & S. Takimoto

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):29, 1928(昭 3)

菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

後藤和夫:日植病報 9(4):263, 1939(昭 14)

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

さび病 sabi-byo Rust (銹病, 赤渋病)

Puccinia polygoni-amphibii Persoon

鶴田章逸:病虫雑 4(12):924, 1917(大 6); 平塚直秀:日植病報 15(3-4):170, 1951

[備考] 鶴田 (1917) は *P. fagopyri* Barclay によるものに赤渋病を与えたが, わが国の菌はそれとは別種である

子実菌核病 shijitsu-kinkaku-byo Sclerotinia seed rot (菌核病)

Sclerotinia fagopyri Hori

堀 正太郎:病虫雑 3(2):91, 1916(大 5); 鑄方末彦:食用作物病学(上):288, 1949

白かび病 shirokabi-byo Leaf spot

Ramularia rufomaculans Peck

後藤和夫・村山 隆:日植病報 37(5):368, 1971

立枯病 tachigare-byo Damping-off (腰折病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

鶴田章逸:病虫雑 4(12):924, 1917(大 6) ; 岩波 徹ら:日植病報 51(3):329, 1985

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照。また *Sclerospora* sp. による立枯病も報告されている (中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15:29, 1928)

淡褐円斑病 tankatsu-empan-byo

Phyllosticta fagopyrina Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:40, 1958

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum aenigma* B.S. Weir & P.R. Johnston [*Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk]

森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017

(2) *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove

森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phyllosticta polygonorum Saccardo

鶴田章逸:病虫雑 4(12):924, 1917(大 6)

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora ducometii Siemaszko & Jankowska [*Peronospora fagopyri* I. Tanaka]

田中一郎:札幌博物会報 13(3):203, 1934(昭 9)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

++++**黒星病** kurohoshi-byo Leaf spot

++*Fusicladium fagopyri* Oudemans

鶴田章逸:病虫雑 4(12):924, 1917(大 6)

[備考] 国内発生未詳

++++**立枯症** tachigare-sho Damping-off

Pythium sp.

景山幸二ら:日植病報 71(3):211, 2005

[備考] 病原は未発表の新種

†灰色かび病* haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):600, 1919(大 8)

[備考] 台湾

†††斑紋病 hammon-byo Leaf spot

††*Ramularia areola* G.F. Atkinson

鶴田章逸:病虫雑 4(12):925, 1917(大 6)

[備考] 発生未確認。白かび病菌 *Ramularia rufomaculans* Peck との異同調査を要する

ソバ類
(Fagopyrum)
Fagopyrum spp.
(野草)

シャクチリソバ *Fagopyrum cymosum* Meissn.

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia fagopyricola Jørstad

原田幸雄:日植病報 57:398, 1991 ; Harada, Y.:Mycoscience 35:297, 1994

[備考] シャクチリソバ

アイタデ(アイ, タデアイ, 蓼藍)
Chinese indigo, Indigo
Polygonum tinctorium Lour.
[*Percicaria tinctoria* (Lour.) Gross]
(特用作物)

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Phyllosticta tokutaroi Spegazzini

出田 新:続日本植物病理学(下):620, 1926(大 15)

タデ類
(Polygonum)
Polygonum spp.
(野草)

イタドリ *P. cuspidatum* Sieb. & Zucc.

ツルソバ *P. chinense* L.

ミズヒキ *P. filiforme* Thunb.

オオイヌタデ *P. lapathifolium* L. subsp. *nodosum* (Pers.) Kitam.

イヌタデ *P. longisetum* De Bruyn

タニソバ *P. nepalensis* Meisn.

ハナタデ *P. posumbu* Ham. var. *laxiflorum* (Meisn.) Ohwi

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe polygoni de Candolle

野村幸彦ら:東農大農学集報 22:301, 1977 ; 丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平編):1206, 1998

[備考] イヌタデ・オオイヌタデに発生

黒穂病 kuroho-byo Smut

(1) *Farysia emodensis* (Berkeley) P. Sydow & Sydow

澤田兼吉:台湾産菌類調査報告 1:314, 1919 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):61, 1936

[備考] ツルソバに発生

(2) *Sphacelotheca hydropiperis* (Schumacher) de Bary

柿畠 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:51, 1982 ; 柿畠 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992

[備考] イヌタデ・ハナタデなどタデ類に発生

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia benokiyamensis* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:732, 1992

[備考] ツルソバに発生

(2) *Puccinia congesta* Berkeley & Broome

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:737, 1992

[備考] ツルソバに発生

(3) *Puccinia polygoni-amphibii* Persoon var. *polygoni-amphibii*

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:746, 1992

[備考] オオイヌタデに発生

(4) *Puccinia polygoni-amphibii* Persoon var. *tovariae* Arthur

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:751, 1992

[備考] ミズヒキに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:九病虫研会報 61:38, 2015 ; 森田 昭:日植病報 82(1):81, 2016 ; 森田 昭:九病虫研会報 62:72, 2016

[備考] イヌタデ, ミズヒキに発生

斑点病 hanten-byo *Mycosphaerella* leaf spot

Mycosphaerella polygoni-cuspidati Hara

黒瀬大介ら:日植病報 74(3):279, 2008

[備考] イタドリに発生

円斑病 maruhan-byo

Ovularia tovarae Sawada

勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):434, 1992

[備考] ミズヒキに発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema insigne Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27

[備考] イタドリ・イヌタデに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] イヌタデ・タニソバに発生

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] イヌタデに発生

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

[備考] ミズヒキに発生

ケレンバク(ダイオウ)

Chinese rhubarb

Rheum officinale Baill.

(特用作物)

†褐紋病 katsumon-byo Brown spot

Ascochyta rhei Ellis & Everhart [*Ascochyta rheicola* Sawada, *Phoma* sp.]

小林享夫ら:日植病報 59(3):292, 1993 ; Djiwanti, S. R. *et al.*:Mycoscience 35(2):161, 1994

[備考] インドネシア

ギシギシ類

(Rumex)

Rumex spp.

(野草)

ヒメスイバ *R. acetosella* L.

ギシギシ *R. crispus* L. subsp. *japonicus* (Houtt.) Kitam.

エゾノギシギシ *R. obtusifolius* L.

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

河原崎秀志ら:日植病報 81(3):225, 2015

[備考] ギシギシに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] ヒメスイバ・エゾノギシギシ。病原線虫の異名等は・サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] ギシギシに発生

サルノコシカケ科 Polyporaceae

マイタケ(舞茸)

Hen-of-the-woods, Sheep's-head

Grifola frondosa (Dickson) S.F. Gray

(きのこ)

イタモジホコリ粘菌病* itamoji-hokori-nenkin-byo

Physarum rigidum (G. Lister) G. Lister

菅原冬樹ら:日林東北支誌 47:139, 1995

[備考] 本粘菌が単独で病原性を発揮するか、随伴する細菌にも病原性があるかは未検討。子実体に発生

スギゴケ科 Polytrichaceae

コスギゴケ

(Pogonatum)

Pogonatum inflexum (Lindb.) Sande Lac.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

セイタカスギゴケ

Pogonatum japonicum Sull. & Lesq.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

ミズアオイ科 Pontederiaceae

コナギ類
(Monochoria)
Monochoria spp.
(野草)

コナギ *Monochoria vaginalis* (Burm.) Presl var. *plantaginea* (Roxb.) Laub.

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] コナギに発生。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

スベリヒユ科 Portulacaceae

ルイシア

(Lewisia)

Lewisia cotyledon (Wats.) Robins

(草花)

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Bipolaris sp.

庄司俊彦:関東病虫研報 44:167, 1997

[備考] 病原菌は *Bipolaris sorokiniana* (Saccardo) Shoemaker [*Helminthosporium sorokinianum* Saccardo] に類似する

マツバボタン

Portulaca

Portulaca grandiflora Hook.

(草花)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

尾崎克巳・渡部 洋:九病虫研会報 50:98, 2004

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

ポーチュラカ(ハナスベリヒユ)

(Portulaca)

Portulaca spp.

(草花)

退緑斑点病 tairyoku-hanten-byo Chlorotic spot

(1) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウイルトウイルス 2

河野敏郎ら:関東病虫研報 45:101, 1998 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

[備考] 小林ら(2004)は河野ら(1998)の株の一部を ELISA 検定した

(2) Broad bean wilt virus#

河野敏郎ら:関東病虫研報 45:101, 1998

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・平野寿一:関東病虫研報 39:171, 1992

スベリヒユ類

(Portulaca)

Portulaca spp.
(野草)

スベリヒユ *Portulaca oleracea* L.

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

菅野博英・大久保博人:日植病報 64(6):611, 1998 ; 菅野博英・大久保博人:北日本病虫研報 50:115, 1999

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 82(1):81, 2016 ; 森田 昭:九病虫研会報 62:72, 2016

[備考]スベリヒユに発生

白さび病 shirosabi-byo White rust

Wilsoniana portulacae (de Candolle) Thines

佐藤豊三・埋橋志穂美:日植病報 78(1):23, 2012

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum higginsianum Saccardo

折原紀子ら:日植病報 78(3):185, 2012 ; 折原紀子ら:関東病虫研報 59:47, 2012 ; 折原紀子・堀江博道:植物防疫 67(7):397, 2013

[備考] スベリヒユ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

[備考] スベリヒユ

ヒルムシロ科 Potamogetonaceae

ヒルムシロ類
(Potamogeton)
Potamogeton spp.
(野草)

ヒルムシロ *Potamogeton distinctus* Bennett

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella oryzae (van Breda de Haan) Luc & Goodey [*Hirschmannia oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ

川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963

[備考] 1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

サクラソウ科 Primulaceae

シクラメン

Cyclamen

Cyclamen persicum Mill.

(草花)

えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot

Impatiens necrotic spot virus (INSV) インパチエンスえそ斑点ウイルス

後藤知昭ら:日植病報 67(2):173, 2001 ; 後藤知昭ら:関東病虫研報 48:97, 2001

[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:農及園 37(10):1667, 1962 ; 牛山欽司ら:神奈川園試研報 32:50, 1985

(2) Broad bean wilt virus#

牛山欽司ら:神奈川園試研報 32:50, 1985

軟腐病* nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

瀧元清透:日園雑 43(1):18, 1931(昭 6)

葉腐細菌病 hagusare-saikin-byo

Pantoea agglomerans (Beijerinck 1888) Gavini, Mergaert, Beji, Mielcarek, Izard, Kersters & De Ley 1989 [*Erwinia herbicola* (Löhns 1911) Dye 1964]

木嶋利男ら:日植病報 47(3):396, 1981 ; 瀧川雄一ら:日植病報 47(3):396, 1981 ; 木嶋利男・峯岸長利:栃木農試研報 31:89, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:5, 1987

[備考] 木嶋 (1987) は, *Erwinia herbicola* pv. *cyclamenae* とする新 pathovar を提案している

芽腐細菌病 megusare-saikin-byo Bacterial bud blight

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

長田 茂・三浦喜夫:日植病報 50(3):421, 1984 ; 木嶋利男・峯岸長利:栃木農試研報 31:89, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:38, 1987

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *cyclaminis* Gerlach

菅田重雄ら:日植病報 29(2):65, 1964 ; 菅田重雄:植物防疫 18(12):490, 1964

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

萩原 廣ら:日植病報 64(6):575, 1998

[備考] *Erysiphe polygoni* 型

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum cyclamenae* Halsted]

瀧元清透:日園雑 43(1):17, 1931(昭 6)

[備考] 解説書。接種試験未了

苗腐病 naegusare-byo Root rot

Thielaviopsis basicola (Berkeley & Broome) Ferraris [*Thielavia basicola* sensu Kawai non Zopf]

河合一郎:園芸病害編:513, 1954

[備考] 解説書。接種試験未了。*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923 [*Erwinia aroideae* (Townsend 1904) Holland 1920] も苗腐の原因になることがある

苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

飯嶋 勉ら:日植病報 30(5):268, 1965 ; 河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病害虫:222, 1976

[備考] 河村ら (1976) は解説書

根腐病 negusare-byo Root rot

Cylindrocladium floridanum Sobers & C.P. Seymour

高野喜八郎ら:日植病報 59(3):276, 1993

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (鼠黴病, ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon

渡辺龍雄:実際園芸 15(3):204, 1933(昭8) ; 河合一郎:園芸病害編:512, 1954

[備考] 渡辺 (1933), 河合 (1954) は解説書。接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Septoria cyclaminis Pursh & Montagne

渡辺龍雄:実際園芸 15(3):204, 1933(昭8)

[備考] 病原菌の形態の記載なし。接種試験未了

斑葉病 han'yo-byo Leaf spot

Phyllosticta cyclaminis Brunaud [*Phoma cyclamenae* Halsted]

南部信方:病虫雑 2(4):388, 1915(大4)

[備考] 解説書のため詳細は不明

ピシウム根腐病 *Pythium*-negusare-byo Root rot

(1) *Pythium* sp. (the *Pythium irregulare* species complex)

舟久保太一・景山幸二:日植病報 76(3):157, 2010

(2) *Pythium undulatum* H.E. Petersen

舟久保太一・景山幸二:日植病報 77(3):166, 2011

毛せん病 mosen-byo

Tarsonemus pallidus Banks シクラメンホコリダニ

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:74, 1939(昭14)

[備考] 解説書。詳細不明

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

森田 儔:花の病害虫と新防除:192, 1966

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

森田 儔:花の病害虫と新防除:192, 1966

(3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

オカトラノオ類

(*Lysimachia*)

Lysimachia spp.

(野草)

コナスビ *Lysimachia japonica* Thunb.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] コナスビに発生。病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

プリムラ類(サクラソウ)

Primrose

Primula spp.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):78, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

(2) *Plantago asiatica mosaic virus*

高橋修一郎ら:日植病報 69(3):330, 2003

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:68, 1939(昭 14)

斑葉細菌病 han'yo-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *primulae* (Ark & Gardner 1936) Young, Dye & Wilkie 1978

陶山一雄ら:日植病報 49(1):80, 1983

腐敗病 fuhai-byo

(1) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

河原林主一ら:日植病報 51(3):343, 1985

(2) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

古谷明彦ら:日植病報 71(1):38, 2005

[備考] プリムラ (*Primula* × *polyantha*) に発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidiopsis sicula Scalia

市之瀬玲美ら:日植病報 82(3):220, 2016

褐斑病* kappan-byo Leaf spot (斑点病)

Alternaria sp.

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:68, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

黒穂病 kuroho-byo Smut

Urocystis tranzscheliana (Lavrov) Zundel

Kakishima, M. *et al.*:Mycoscience 36(2):239, 1995

[備考] 接種試験未了

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia primulae Greville

南部信方:病虫雑 2(4):388, 1915(大 4)

[備考] 解説書のため詳細不明

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 41:135, 1994

[備考] プリムラ・マラコイデス (*Primula malacoides*) に発生。菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA 型

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray-mold blight, Gray mold (葉腐病, ボトリチス病, 鼠黴病)

Botrytis cinerea Persoon [*Botrytis vulgaris* Fries]

南部信方:病虫雑 2(8):743, 1915(大 4); 河合一郎:園芸病害編:536, 1954; 佐藤 衛ら:日植病報 79(1):34, 2013; 佐藤 衛ら:関東病虫研報 60:75, 2013

[備考] 南部(1915)病害採集リストのみ。河村(1954)は解説書。佐藤ら(2013)の宿主は、プリムラ・マラコイデス(*Primula malacoides*)

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Pseudocercospora smithii (Petrak) U. Braun

畠山 聡・原田幸雄:日植病報 71(1):50, 2005

[備考] クリンソウ (*Primula japonica*) に発生

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Ramularia primulae Thümen

香月繁孝・佐々木茂樹:植物防疫 13(4):161, 1959

[備考] 接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鐺木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鎚木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchoides olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

鎚木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

ヤマモガシ科 Proteaceae

シノブノキ

(Grevillea)

Grevillea robusta A. Cunn.

(広葉樹)

††††

Fracchiaria subconnata (Berkeley & Curtis) Berlese

内藤 喬:鹿大理科報 1:72, 1952

[備考] 病原菌の分類学的所属について再検討を要する

ヤマモガシ

(Helicia)

Helicia cochinchinensis Lour.

(広葉樹)

††††

†*Asterina heliciae* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 2(2):34, 1956

[備考] 台湾。タイワンヤマモガシ (*H. formosana*)

††††

†*Meliola heliciae* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):54, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。タイワンヤマモガシ

マカデミア

Macadamia nut

Macadamia spp.

(果樹)

マカデミア・インテグリフォリア *M. integrifolia* Maiden & Betche

マカデミア・テトラフィラ *M. tetraphylla* L. Johnson

†急性立枯病 kyusei-tachigare-byo Sudden decline

Macrophoma castaneicola Tak. Kobayashi & C. Oishi

匠原監一郎ら:日植病報 70(1):45, 2004

[備考] 本病と病原の確認が必要。ポリビア

イノモトソウ科 Pteridaceae

アディアンタム(クジャクソウ, クジャクシダ)

Maidenhair fern

Adiantum spp.及び種間雑種

(草花)

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭3)

ブテリス

Brake, Bracken

Pteris spp.

(草花)

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭3)

イノモトソウ類

(*Pteris*)

Pteris spp.

(野草)

オオバイノモトソウ *Pteris cretica* L.

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

堀 正太郎:実地園芸 23(増4):140, 1932(昭9); 河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955

[備考] オオバイノモトソウ

ザクロ科 Punicaceae

ザクロ(石榴, 安石榴)

Pomegranate

Punica granatum L.

(果樹)

褐斑病 kappan-byo

Sphaeropsis sp.

堀江博道・小林享夫:日植病報 43(1):118, 1977

そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma punicae Bitancourt & Jenkins

Kurosawa, E. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Japan 69(817-818):315, 1956

斑点病 hanten-byo (褐斑病)

Pseudocercospora punicae (Hennings) Deighton [*Cercospora punicae* Hennings, *Mycosphaerella lythracearum* F.A. Wolf]

三宅市郎:植物学雑 28(327):55, 1914(大 3); 原 攝祐:果樹病害論:483, 1916(大 5); 香月繁孝:日菌報別冊 1:72, 1965; 小林享夫・河辺祐嗣:熱帯農業 36(3):205, 1992

[備考] 完全世代は国内未発見

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

キンポウゲ科 Ranunculaceae

カワチブシ

Aconitum grossedentatum (Nakai) Nakai
(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe cf. *aquilegiae* DC.

Meeboon, J. & Takamatsu, S. *et al.*: Mycoscience 56:257, 2015

[備考] 接種試験未了

トリカブト

Chinese monkshood

Aconitum spp.

(草花)

ハナトリカブト Chinese monkshood *Aconitum carmichaeli* Debeaux [*Aconitum chinense* Sieb.]

オクトリカブト Japanese monkshood *Aconitum japonicum* Debeaux

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

Fukumoto, F. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 74(1):88, 2008

[備考] ハナトリカブト *A. chinense* Sieb. に発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe aquilegiae de Candolle var. *ranunculi* (Greville) R.Y. Zheng & G.Q. Chen

佐藤幸生・米澤雅人: 日植病報 72(4):207, 2006

[備考] 栽培薬用植物 *A. camichaeli* に発生

株枯病 kabugare-byo Seedling blight, Plectosporium blight

Plectosporium tabacinum (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg

富岡啓介ら: 日植病報 74(3):181, 2008 ; Tomioka, K. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 77(4):266, 2011

さび病 sabi-byo Rust

Uromyces lycoctoni (Kalchbrenner) Trotter

平塚直秀: 菌蕈研報 10:12, 1973

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

白石俊昌・贅田裕行: 日植病報 51(3):332, 1985 ; 白石俊昌・贅田裕行: 群馬園試研報 1:7, 1995

黒色葉枯病 kokushoku-hagare-byo Black leaf blight (斑点病)

Mycocentrospora sp.

粕山新二ら: 日植病報 60(3):341, 1994 ; 粕山新二・井上幸次: 岡山県農試研報 27:35, 2009

[備考] オクトリカブトに発生。粕山ら(1994)が報告した斑点病を、粕山・井上(2009)は黒色葉枯病と改めた

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

小菅喜久弥: 関東病虫研報 15:127, 1968

フクジュソウ(福寿草, ガンジツソウ)
Amur adonis
Adonis amurensis Reg. & Radde
(草花)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic
Adonis mosaic virus# (AdMV) フクジュソウモザイクウイルス
柏崎 哲ら:日植病報 50(1):131, 1984 ; 矢崎美奈ら:日植病報 82(3):253, 2016
[備考] *Carnation mottle virus* に近縁の別種ウイルス(矢崎ら, 2016)

さび病 *sabi-byo* Rust
Aecidium sp.
原田幸雄・岩間俊太:日植病報 63(6):492, 1997
[備考] 接種試験未了

根腐菌核病 *negusare-kinkaku-byo*
Sclerotinia sp.
吉野正義:日植病報 47(1):89, 1981

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode
Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種
中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

アネモネ
Anemone
Anemone coronaria L.
(草花)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955
[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス (未同定)によるモザイク病の最初の記載は、
遠藤 茂:庭木と草花の病害:243, 1940(昭 15)

てんぐ巢病 *tengusu-byo* Witches' broom
Phytoplasma ファイトプラズマ
加藤昭輔ら:日植病報 54(3):386, 1988 ; 加藤昭輔ら:日植病報 55(1):64, 1989

腐敗病 *fuhai-byo* Bacterial rot
Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925
河原林主一・陶山一雄:東京農大農学集報 34(4):186, 1990

疫病 *eki-byo* *Phytophthora* rot
(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter
池田 弘ら:九病虫研会報 28:74, 1982
(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

植松清次ら:日植病報 61(3):219, 1995

株腐病 kabugusare-byo Foot rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

堀本圭一・前川達也:日植病報 55(1):98, 1989 ; 堀本圭一:奈良農試研報 21:44, 1990

球根腐敗病 kyukon-fuhai-byo Bulb rot

Rhizopus oryzae Went & Prinsen Geerligs

窪田昌春ら:日植病報 61(6):635, 1995

菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:31, 1939(昭 14)

黒穂病* kuroho-byo Leaf and stem smut

Urocystis japonica (Hennings) L. Ling [*Tubercinia japonica* (Hennings) Liro, *Urocystis anemones* (Persoon)

Rostrup var. *japonica* Hennings]

伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):126, 1936(昭 11) ; 柿嶋 眞:筑波大農林研究 1:72, 1982

黒斑病 kokuhan-byo

Alternaria sp.

成田武四:北海道における農作物病害:191, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:645, 1998

[備考] 接種試験未了。本病原はケイトウに発生する *Alterania alternata* と同じと思われるが検討を要する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum godetiae* Neergaard [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

Sato, T. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170, 1996 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

(2) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds, *Colletotrichum simmondsii* R.G. Shivas & Y.P. Tan]

手塚信夫ら:関東病虫研報 36:117, 1989 ; Sato, T. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170, 1996 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

[備考] Sato & Moriwaki(2013)は、手塚信夫ら (1989) が *Colletotrichum gloeosporioides* と同定した病原菌株を *C. nymphaeae* と再同定した

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:671, 1998

[備考] 接種試験未了

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:191, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:645, 1998

[備考] 接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ
鎗木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鎗木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchoides olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

鎗木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7); 河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

†††ウイルス病 virus-byo

Raspberry ringspot virus

西尾 健ら:日植病報 44(3):397, 1978

††††さび病 sabi-byo Rust

††*Ochropsora ariae* (Fuckel) Ramsbottom [*Ochropsora ariae* (Fuckel) P. Sydow & Sydow, *Aecidium anemones* Schumacher]

南部信方:病虫雑 2(4):388, 1915(大 4)

[備考] 本菌のアネモネへの寄生は不明。ニリンソウ(*Anemone flaccida*), キクザキイチゲにさび胞子時代が寄生する

ニリンソウ(二輪草, ガシヨウソウ)

(*Anemone*)

Anemone flaccida Fr. Schm.

(草花)

黒穂病 kuroho-byo Smut

Urocystis anemones (Persoon) Rostrup [*Tubercinia anemones* (Persoon) Liro]

南部信方:病虫雑 2(3):297, 1915(大 4); 柿島 眞:筑波大農林研究 1:69, 1982

さび病 sabi-byo

(1) *Ceraceopsis elaeagni* Kakishima, T. Sato & S. Sato

Kakishima, M. et al.:Mycologia 76:969, 1984

[備考] ニリンソウ (*Anemone flaccida*) にさび胞子世代が, アキグミ (*Elaeagnus umbellata*), マルバグミ (*Elaeagnus macrophylla*) に冬胞子世代が寄生する

(2) *Ochropsora ariae* (Fuckel) Ramsbottom [*Ochropsora ariae* (Fuckel) P. Sydow & Sydow, *Aecidium anemones* Schumacher]

南部信方:病虫雑 2(4):388, 1915(大 4)

[備考] ニリンソウ (*Anemone flaccida*), キクザキイチゲ(*Anemone pseudoaltaica*) にさび胞子世代が寄生する。アネモネへの寄生は未確認

(3) *Puccinia japonica* Dietel

Kakishima, M. et al.:Trans. Br. mycol. Soc. 82:469, 1984

[備考] ニリンソウに 2 型の冬胞子世代が寄生する

(4) *Tranzschelia pruni-spinosae* (Persoon) Dietel

Hiratsuka, N. *et al.*: The Rust Flora of Japan: 368, 1992

[備考] ニリンソウ (*Anemone flaccida*) に精子・さび胞子世代が, ウワミズザクラ (*Padus grayana*) などに夏・冬胞子世代が寄生する

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Plasmopara pygmaea (Unger) J. Schröter

原 攝祐: 実用作物病理学: 539, 1925(大 14)

シュウメイギク(キブネギク)

Japanese anemone

Anemone hupehensis Lemoine var. *japonica* (Thunb. ex Murray) Bowles & Stearn

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

石井正義・我孫子和雄: 関西病虫研報 37: 47, 1995

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo Leaf nematode disease

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie

牛山欽司: 関東病虫研報 46: 133, 1999

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium myriotylum Drechsler

林 美希ら: 日植病報 83(1): 62, 2017

オダマキ

Fan columbine

Aquilegia spp.

(草花)

オダマキ Fan columbine *Aquilegia flabellata* Sieb. & Zucc.

セイヨウオダマキ European columbine, Common columbine *Aquilegia vulgaris* L.

えそモザイク病 eso-mosaic-byo

Aquilegia necrotic mosaic virus (ANMV) オダマキえそモザイクウイルス

李 準瑋ら: 日植病報 49(1): 83, 1983

[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文: 日植病報 20(2-3): 77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉: 実地園芸 13(4): 83, 1932(昭 7); 日野 巖: 宮崎高農学報 5: 106, 1933(昭 8)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe aquilegiae de Candolle var. *aquilegiae*

本間ヤス: 北大農紀 38: 331, 1937(昭 12)

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

今泉英理夏ら:日植病報 65(3):408, 1999 ; Imaizumi, E. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 66(3):210, 2000

[備考] 菌糸融合群 AG-1-1B。オダマキに発生

紫斑病 shihan-byo Leaf spot

(1) *Stemphylium lancipes* (Ellis & Everhart) E.G. Simmons

佐藤 衛ら:日植病報 80(4):250, 2014

(2) *Stemphylium* sp.

成田武四:北海道における農作物病害:201, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:673, 1998

[備考] 接種試験未了。病原の種名については検討が必要

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

手塚信夫・石井正義:関西病虫研報 36:81, 1994

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:201, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:673, 1998 ; Zhang, M. *et al.*:Plant Disease 93(4):425, 2009

輪斑病 rinhan-byo

Ascochyta aquilegiae (Roumeguère & Patouillard) Saccardo

成田武四:北海道における農作物病害:201, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:673, 1998

[備考] 接種試験未了

クレマチス(テッセン, センニンソウ類)

Clematis

Clematis spp. 及び種間雑種

(草花)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942

関東東山地区病害虫専門技術員協議会:新しい病害虫, 1975 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

赤渋病 akashibu-byo Rust

Coleosporium clematidis Barclay

出田 新:日本植物病理学(下):447, 1911(明 44) ; 金子 繁:菌蕈研報 19:75, 1981

[備考] 精子・さび胞子時代はアカマツ (*Pinus densiflora*), リュウキュウマツ (*Pinus luchuensis*) に寄生する

うどんこ病 udonko-byo

Erysiphe aquilegiae de Candolle var. *ranunculi* (Greville) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [*Erysiphe polygoni* de Candolle]

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:675, 1998

褐斑病 kappan-byo

Ascochyta sp.

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:675, 1998

[備考] 接種試験未了

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

菅田重雄:関東病虫研報 16:68, 1969

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

草刈眞一ら:日植病報 63(5):399, 1997

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:254, 1975

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:254, 1975

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:254, 1975

(3) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

[備考] 上記種との異同は不明

††††つる枯症 turugare-sho

Pestalotiopsis sp.

塚本永治・原田幸雄:日植病報 54(1):89, 1988

センニンソウ類

(*Clematis*)

Clematis spp.

(野草)

リュウキュウボタンヅル *C. grata* Wallich var. *ryukyuensis* Tamura

ハンショウヅル *C. japonica* Thunb.

ムニンセンニンソウ *C. terniflora* var. *boninensis* (Hayata) Tamura

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Ascochyta vitalbae Briard & Hariot

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

[備考] ムニンセンニンソウに発生

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia exhausta* Dietel

Hiratsuka *et al.*:The rust flora of Japan:764, 1992

(2) *Puccinia moriokaensis* S. Ito

Hiratsuka *et al.*:The rust flora of Japan:562, 1992

(3) *Puccinia okatamaensis* S. Ito

Hiratsuka *et al.*:The rust flora of Japan:566, 1992

(4) *Puccinia recondita* Roberge ex Desmazières

Hiratsuka *et al.*:The rust flora of Japan:582, 1992

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:254, 1975

[備考] ハンショウヅルに発生

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:254, 1975

[備考] ハンショウヅルに発生

††††

Pseudocercospora ranunculacearum U. Braun

Nakashima, C.:Mycoscience 45:116, 2004

[備考] リュウキュウボタンヅル。接種試験未了

チドリソウ(コンソリダ)

Rocket Larkspur

Consolida spp.

(草花)

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

‘*Candidatus Phytoplasma asteris*’

田中 穰ら:日植病報 68(2):257, 2002 ; Tanaka, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 73(4):286, 2007

[備考] ラークスパー *Consolida ambigua* に発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

植松清次ら:日植病報 63(6):495, 1997

[備考] 接種試験未了。病原菌の発芽管は *Erysiphe polygoni* 型

褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Leaf spot

Ascochyta aquilegiae (Roumeguère & Patouillard) Saccardo

佐藤豊三ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三ら:四国植防 34:63, 1999

[備考] *Consolida ambigua* に発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

山田憲吾ら:関西病虫研報 40:123, 1998

[備考]*Consolida regalis* に発生

立枯病 tachigare-byo Stem and foliage blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

植松清次ら:関東病虫研報 39:167, 1992

[備考] 菌糸融合群 AG 2-1

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt (未申請) (黄化病)

Verticillium tricornutum I. Isaac

築尾嘉章ら:日植病報 64(6):630, 1998 ; 築尾嘉章ら:日植病報 67(2):165, 2001

[備考] ラークスパー (*Consolida ajacis*)。築尾ら(1998)は *V. dahliae* による黄化病を報告したが、築尾ら(2001)は本病原に再同定し病名を変更した

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phoma sp.

築尾嘉章ら:日植病報 75(1):52, 2009

[備考] ラークスパー *C. ambigua* に発生。ITS 配列から *Didymella bryoniae* と近縁とした

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora sp.

谷名光治ら:日植病報 66(2):94, 2000

[備考] ラークスパー (*Consolida* sp.) に発生

††††

Pseudomonas syringae 群の細菌

小川潤子ら:関東病虫研報 38:117, 1991

オウレン(黄蓮)

Goldthread

Coptis japonica (Thunb.) Makino

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe aquilegiae de Candolle var. *ranunculi* (Greville) R.Y. Zheng & G.Q. Chen

伊阪実人ら:福井短大紀要 3:49, 1978 ; 岡本 博・伊阪実人:福井短大紀要 5:1, 1980 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:42, 2012

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora citrophthora (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian

伊阪実人・岡本 博:日植病報 44(3):351, 1978 ; 伊阪実人・岡本 博:日植病報 48(1):103, 1982 ; 伊阪実人・岡本 博:福井短大紀要 8:9, 1983

白絹病 shirakinu-byo

Sclerotium rolfsii Saccardo

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981 ; 山田員人:日植病報 50(1):121, 1984

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose*

Colletotrichum sp.

伊阪実人ら:日植病報 47(1):121, 1981

[備考] *Colletotrichum lindemuthianum* (Saccardo & Magnus) Brisi & Cavara に近い

デルフィニウム(ヒエンソウ, オオヒエンソウ)

Larkspur
Delphinium spp. 及び種間雑種
(草花)

ウイルス病 virus-byo Virus

Aconitum latent virus (AcLV) トリカブト潜在ウイルス

Fuji, S. *et al.*: Arch Virol 147:865, 2002

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Broad bean wilt virus 1* (BBWV-1) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウルトウイルス 1

山下一夫ら: 日植病報 67(2):174, 2001

(2) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウルトウイルス 2

中村靖弘ら: 関東病虫研報 41:175, 1994 ; 小林有紀ら: 関東病虫研報 51:43, 2004

[備考] 中村ら(1994)は Broad bean wilt virus#としていた

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

宮岸壮樹ら: 日植病報 62(6):612, 1996

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

吉松英明・挟間 渉: 日植病報 58(1):110, 1992 ; 吉松英明・挟間 渉: 日植病報 58(4):594, 1992

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *delphinii* (Smith 1904) Young, Dye & Wilkie 1978

木嶋利男: 栃木農試研報 34:133, 1987

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe aquilegiae de Candolle var. *ranunculi* (Greville) R.Y. Zheng & G.Q. Chen

佐藤幸生ら: 日植病報 59(1):98, 1993

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora sp.

近藤 亨ら: 日植病報 82(3):232, 2016

[備考] *Delphinium elatum* に発生

茎腐萎凋病 kukigusare-icho-byo Stem canker and Wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *delphinii* Laskaris [*Fusarium oxysporum* Schlechtendal]

近藤 亨ら: 日植病報 77(3):203, 2011 ; Kondo, T. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 79(5):370, 2013

[備考] *Delphinium elatum* に発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら: 関東病虫研報 39:163, 1992

[備考] *D. elatum* 品種 Princess Caroline に発生

立枯病 tachigare-byo Stem and foliage blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(4):215, 1990 ; 千葉恒夫ら:関東病虫研報 38:121, 1991

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

泥谷公子ら:日植病報 68(2):186, 2002

根腐萎凋病 negusare-icho-byo Myrothecium root rot

Myrothecium roridum Tode

西川盾士:日植病報 70(3):216, 2004

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

堀田治邦:日植病報 60(6):792, 1994

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium tricorpus I. Isaac

築尾嘉章ら:日植病報 66(3):303, 2000

††茎腐細菌病* kukigusare-saikin-byo Bacterial foot rot, Blackleg (茎腐性細菌病)

Pectobacterium atrosepticum (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus phytophthorus* Appel, *Erwinia carotovora* subsp. *atroseptica* (van Hall 1902) Dye 1969]

岡部徳夫:植物細菌病学:352, 1949

[備考] 国内発生未詳

††††(未提案)

Erwinia herbicola 群の細菌

小川潤子ら:関東病虫研報 38:117, 1991

シラネアオイ

Glaucidium

Glaucidium palmatum Sieb. & Zucc.

(草花)

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

田中 穰ら:日植病報 64(3):205, 1998

クリスマスローズ類(ヘレボルス)

(*Helleborus*)

Helleborus spp.

(草花)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) ソラマメウルトウイルス 2

長岡圭祐ら:日植病報 82(3):254, 2016

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

長岡圭祐ら:日植病報 82(3):254, 2016

黒死病 kokushi-byo Black death

Helleborus net necrosis virus (HeNNV) クリスマスローズ網状えそウイルス

Shiraishi, T. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 77(4):269, 2011 ; 白石拓也ら: 日植病報 78(1):31, 2012, 清水健太ら: 日植病報 82(1):32, 2016

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial black leaf spot

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

佐山 玲ら: 北日本病虫研報 53:312, 2002

[備考] クリスマスローズ (*H. orientalis* Lam.) に発生

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan

鐘ヶ江良彦ら: 日植病報 81(3):214, 2015

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

栄森弘己・竹内 純: 関東病虫研報 51:109, 2004

[備考] ヘレボルス・オリエンタリス (*H. orientalis* L.) に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp.

菅原 敬ら: 日植病報 74(3):181, 2008 ; Sugawara, K. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 75(2):163, 2009

[備考] クリスマスローズ *H. niger* に発生。ITS 配列から *C. dematium* または *C. truncatum* と近縁とした

根黒斑病 ne-kokuhan-byo Cyindrocarpon root rot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

竹内 純ら: 日植病報 70(1):46, 2004

[備考] ヘレボルス(コダチクリスマスローズ) *H. foetidus* L. に発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅原 敬ら: 北日本病虫研報 53:152, 2002 ; 菅原 敬: 山形農試特別研報 2, 2010

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora pulveracea Fuckel

菅原 敬ら: 日植病報 74(3):181, 2008 ; 菅原 敬: 山形農試特別研報 2, 2010

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo Leaf nematode disease

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie

牛山欽司: 関東病虫研報 46:133, 1999

ミスミソウ(スハマソウ, オオミスミソウ)

Liver leaf

Hepatica nobilis Mill. var. *japonica* Nakai

(草花)

さび病 sabi-byo Rust

Tranzschelia asiatica Y. Ono [*Aecidium* sp.]

Ono, Y.: Can. J. Bot. 72:1178, 1994

[備考] 本病菌の夏孢子・冬孢子世代はウワミズザクラ (*Prunus grayana*) に生じる

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

高野喜八郎・塩谷佳和: 日植病報 56(1):124, 1990

デュモンティニア根腐病 Dumontinia-negusare-byo Dumontinia root rot

Dumontinia tuberosa (Bulliard) L.M. Kohn

埋橋志穂美ら: 日植病報 76(1):42, 2010 ; Uzuhashi, S. et al.: J. Gen. Plant Pathol. 76(3):183, 2010

[備考] オオミスミソウ *H. nobilis* var. *japonica* f. *magna* 。埋橋ら(2010)は根腐菌核病を提案したが、これをデュモンティニア根腐病に訂正した

斑点病 hanten-byo

Phyllosticta hepaticae Brunaud

高野喜八郎・塩谷佳和: 日植病報 56(1):124, 1990

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus coffeae (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜: 九農研 7:71, 1950

[備考] ミスミソウ(*H. nobilis*)。本線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

クロタネソウ(ニゲラ)

Fennel flower, Love-in-a-mist

Nigella damascena L.

(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

堀田治邦: 日植病報 60(6):792, 1994

シャクヤク(芍薬)

Chinese peony

Paeonia lactiflora Pallas

(草花)

輪紋病 rimmon-byo Peony ring spot

Tobacco rattle virus (TRV) タバコ茎えそウイルス

張 茂雄ら: 日植病報 42(3):325, 1976

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の記載は、福士貞吉: 実地園芸 13(4):83, 1932(昭7); 日野 巖: 宮崎高農学報 5:106, 1933(昭8)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942

河合一郎: 園芸病害編:522, 1954 ; 澤田宏之ら: 植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば、情報不足のため、本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe paeoniae R.Y. Zheng & G.Q. Chen [*Erysiphe aquilegiae* sense Homma non de Candolle]

本間ヤス:北大農紀 38:332, 1937(昭 12); 原 攝祐:日本菌類目録:118, 1954; 丹田誠之助:東京農大農学集報 30(3):257, 1986

疫病 eki-byo Tip blight

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter [*Phytophthora paeoniae* D.C. Cooper & Porter]

原 攝祐:実験作物病理学:864, 1930(昭 5); 田杉平司・熊沢正武:農事試彙報 2(1):75, 1932(昭 7); 桂 琦一:植物の疫病:45, 1971

枝枯病 edagare-byo Canker

Pestalotia paeoniicola Tsukamoto & T. Hino

塚本永治・日野隆之:日植病報 21(4):181, 1956

[備考] 病菌の分類学的所属については再検討を要する。なお、塚本永治(日植病報 18(3-4):132, 1954)は枝枯れを起こす菌としてこの他に *Phoma* sp. と *Coryneum* sp. をあげている。本病と瀧元清透(朝鮮農會報 13(10):30, 1918)の重輪状斑点病 *Pestalotia* sp. との関係については不明

褐斑病 kappan-byo Leaf spot (褐色輪紋病)

Cercospora variicolor G. Winter

後藤和夫:病虫雑 14(8):461, 1927(昭 2); 後藤和夫:盛岡高農学彙報 4:1, 1927(昭 2)

菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

堀 正太郎:実地園芸 10(5):439, 1931(昭 6)

さび病 sabi-byo Rust

Cronartium flaccidum (Albertini & Schweinitz) G. Winter

南部信方:病虫雑 2(8):743, 1915(大 4)

[備考] 精子・さび胞子時代はアカマツ (*Pinus densiflora*) に寄生する

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

遠藤 茂:宮崎高農学術報 10:78, 1938(昭 13); 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:80, 1939(昭 14)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

南部信方:病虫雑 1(2):240, 1914(大 3)

そうか病 soka-byo Scab (白斑病)

Sphaceloma paeoniae Kurosawa

黒沢英一:日植病報 9(2):131, 1939(昭 14)

立枯病 tachigare-byo Blight (ボトリチス病)

Botrytis paeoniae Oudemans

出田 新:日本植物病理学:377, 1903(明 36)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Gloeosporium sp. [*Colletotrichum* sp.]
山口義雄:病虫雑 11(7):379, 1924(大 13)
[備考] 病原菌の分類学的所属について検討が必要

根腐病 negusare-byo Root rot
Phialophora sp.
川部眞登ら:日植病報 83(3):183, 2017

根黒斑病 ne-kokuhan-byo
Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten
広沢敬之:日植病報 46(1):88, 1980

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (花腐病)
Botrytis cinerea Persoon
末松直次:植物病理学:240, 1926(大 15); 長尾次太郎:接木挿木の新技术 (農耕と園芸別冊):105, 1953; 河村貞之助:農薬通信 46:1, 1960

斑葉病 han'yo-byo Leaf blotch (葉斑病, 煤黴病)
Cladosporium paeoniae Passerini
南部信方:病虫雑 1(2):239, 1914(大 3); 鶴田章逸:病虫雑 3(12):955, 1916(大 5)

円星病 maruhoshi-byo Phoma circular leaf spot
Phoma sp.
福岡貴寿ら:日植病報 81(3):206, 2015

芽枯病 megare-byo Bud rot
Alternaria sp. [*Macrosporium* sp.]
熊沢正武:実際園芸 13(4):161, 1932(昭 7)

葉斑病 yohan-byo Leaf spot
Cladosporium paeoniae Passerini var. *paeoniae-anomala* Sawada
澤田兼吉:林試研報 105:95, 1958
[備考] *Cladosporium paeoniae* による斑葉病との異同は検討が必要

†輪紋病* rimmon-byo (重輪状斑点病)
Pestalotia sp.
瀧元清透:朝鮮農会報 13(10):30, 1918(大 7)
[備考] 朝鮮半島

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian, *Anguillulina dipsaci* (Kühn) Gervais & van Beneden] ナミクキセンチュウ
鐺木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion
(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤 昭:九州農試報告 17(2):139, 1974; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974
(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:399, 1975

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

(1) *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchoides olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福土両教授還暦記念論文集:36, 1955 ; 河村貞之助:新農薬 58:21, 1961

(2) *Aphelenchoides lilium* Yokoo ユリセンチュウ

横尾多美男・松崎武嗣:九病虫研会報 13:103, 1967

(3) *Aphelenchoides ritzemabosi* (Schwartz) Steiner & Buhner ハガレセンチュウ

河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福土両教授還暦記念論文集:36, 1955

††††

Coryneum paeoniae Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961

††††

Dendrophoma paeoniae Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961

††††

Monochaetia paeoniicola Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961

††††

Mycosphaerella paeoniae Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961

オキナグサ類

Pasque flower

Pulsatilla spp.

(草花)

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phoma sp.

築尾嘉章ら:日植病報 75(1):52, 2009

[備考] セイヨウオキナグサ *P. vulgaris* に発生。ITS 配列から *Didymella applanata* と近縁とした

ランキンキュラス(キンポウゲ類)

Butter cup

Ranunculus spp.

(草花)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) Broad bean wilt virus#

石川 亮ら:日植病報 52(3):550, 1986 ; 牛山欽司ら:神奈川園試研報 38:43, 1989

[備考] 戻し接種なし

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

牛山欽司ら:神奈川園試研報 38:43, 1989

[備考] 戻し接種なし

(3) *Ranunculus leaf distortion virus* (RanLDV) ラナンキュラス奇形葉ウイルス

早日早貴ら:日植病報 83(3):219, 2017

[備考] 戻し接種なし

(4) *Ranunculus mild mosaic virus* (RanMMV) ラナンキュラス微斑モザイクウイルス

河野亜希子ら:九病虫研会報 60:102, 2014

(5) *Ranunculus mottle virus*# (RanMoV) ラナンキュラス斑紋ウイルス

藤森文啓ら:日植病報 55(4):532, 1989

葉化病 yoka-byo Phyllody

Phytoplasma ファイトプラズマ

堀越紀夫ら:日植病報 62(3):320, 1996 ; Kanehira, T. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):26, 1997

[備考] 伝染試験なし。ラナンキュラス (*Ranunculus asiaticus*) 。加藤昭輔ら:日植病報 55(1):64, 1989 は、アネモネの病原の接種によりラナンキュラスに発病を認めた

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *delphinii* (Smith 1904) Young, Dye & Wilkie 1978

木嶋利男:栃木農試研報 34:133, 1987

腐敗病 fuhai-byo

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

土屋行夫ら:日植病報 50(1):83, 1984

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe aquilegiae de Candolle var. *ranunculi* (Greville) R.Y. Zheng & G.Q. Chen

佐藤幸生ら:日植病報 60(3):344, 1994

株枯病 kabugare-byo Plectosporium blight

Plectosporium tabacinum (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg

佐藤豊三ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sato, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):127, 2005

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

漆原寿彦ら:日植病報 65(3):409, 1999 ; 漆原寿彦ら:関東病虫研報 46:61, 1999

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium debaryanum R. Hesse

楠 幹生・東條元昭:日植病報 78(3):183, 2012

[備考] *Ranunculus asiaticus* L.

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:674, 1998 ; Tomioka, K. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(6):620, 1999

植物寄生性線虫* shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella diversa Sher レンコンネモグリセンチュウ

高木素紀ら:関東病虫研報 63:98, 2016

[備考] キツネノボタン(*R. silerifolius* H. Lév.)に発生

++++立枯症 tachigare-sho Root rot

Pythium sp.

工藤裕也ら:日植病報 76(3):202, 2010

カラマツソウ類

(*Thalictrum*)

Thalictrum spp.

(野草)

アキカラマツ *T. minus* L. var. *hypoleucum* (Sieb. & Zucc.) Miq.

ミヤマカラマツ *T. tuberiferum* Maxim.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe aquilegiae* de Candolle

Meeboon, J. & Takamatsu, S.: Mycoscience 56:257, 2015

[備考] ミヤマカラマツに発生。接種試験未了

(2) *Erysiphe aquilegiae* de Candolle var. *ranunculi* (Greville) R.Y. Zheng & G.Q. Chen

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:194, 1997

[備考] カラマツソウ(*T. aquilegifolium* var. *intermedium* Nakai), エゾカラマツ(*T. sachalinense* Lecover)にも発生

さび病* sabi-byo Rust

(1) *Puccinia agropyricola* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:511, 1992

(2) *Puccinia recondita* Roberge ex Desmazières f. sp. *tritici* Eriksson

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:582, 1992 ; 柿畠 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):528, 1992

(3) *Tranzschelia fusca* (Persoon) Dietel

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:366, 1992

[備考] アキカラマツ上には上記のコムギ赤さび病菌の精子・さび胞子世代が生じるほか, アオカモジグサ赤さび病菌 (*P. agropyricola* Hiratsuka f.) の精子・さび胞子世代および *T. fusca* の精子・冬胞子世代も発生する

キンバイソウ

Trollius hondoensis Nakai

(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe aquilegiae DC.

Meeboon, J. & Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 56:257, 2015

[備考] 接種試験未了

クロウメモドキ科 Rhamnaceae

クマヤナギ

(Berchemia)

Berchemia racemosa Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病)

Erysiphe berchemiae (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon, *Microsphaera berchemiae* Sawada]

Homma, Y.: J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12) ; 澤田兼吉: 東北生物研究 1(1):6, 1949 ; 澤田兼吉: 林試研報 50:118, 1951 ; 平田幸治・和田久美子: 菌蕈研報 10:492, 1973 ; 丹田誠之助・野村幸彦: 東農大農学集報 23(1):25, 1978 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:52, 2012

[備考] ミヤマクマヤナギ (*B. pauciflora*)・ホナガクマヤナギ (*B. longeracemosa*)・ヨコグラノキ (*B. berchemiaefolia*)にも発生

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら: 日植病報 52(3):539, 1986

さび病 sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病)

Puccinia coronata Corda var. *coronata* [*Aecidium pulcherrimum* Ravenel]

吉永虎馬: 植物学雑 15(171):95, 1901 (明 34) ; Kakishima, M. et al.: Trans. Mycol. Soc. Japan 20(1):41, 1979 ;

Hiratsuka, N. et al.: Rust flora of Japan:524, 1992

[備考] ヨコグラノキ (*B. berchemiaefolia*) にも発生

++++

Phellinus rimosus (Berkeley) Pilát [*Fomes rimosus* Cooke, *Polyporus rimosus* Berkeley] オオメシマコブ

今関六也: 植研雑 16(10):585, 1940(昭 15) ; 今関六也: 東京科博研報 6:104, 1943(昭 18)

[備考] ヨコグラノキに発生

ケンボナシ(玄圃梨)

Japanese raisin-tree

Hovenia dulcis Thunb.

(広葉樹)

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

Kusunoki, M. et al.: J. Jpn. For. Soc. 76(1):78, 1994

[備考] ケケンボナシ (*H. tomentella*)

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病)

(1) *Erysiphe yamadae* (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera yamadae* (E.S. Salmon) Sydow & P. Sydow, *Microsphaera alni* (DC.) G. Winter var. *yamadai* E.S. Salmon, *Microsphaera penicillata* (Wakkr.) Lévillé var. *yamadai* Saccardo]

出田 新: 日本植物病理学(上):205, 1909(明 42) ; 原 攝祐: 樹病学名論:12, 1923(大 12) ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):213, 1988 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:63, 2012

(2) *Microsphaera* sp.

高松 進ら:日菌報 19(1):70, 1978

[備考] ケケンボナシに発生

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

天野孝之:奈良林試研報 14:15, 1984

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Pseudocercospora udagawana (Katsuki) X.J. Liu & Y.L. Guo [*Cercospora udagawana* Katsuki]

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):77, 1960 ; Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 20:72, 1955 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌図説(小林享夫ら編):598, 1992

円斑病 maruhan-byo Circular leaf spot

Ascochyta hoveniae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:52, 1958

††††

Diplodia hoveniae Petrak

Petrak, F.:Ann. Mycol. 34:247, 1936(昭 11)

††††

Guignardia hoveniae Hara

原 攝祐:病虫雑 5(6):458, 1918(大 7)

ハマナツメ

Christ's-thorn

Paliurus ramosissimus (Lour.) Poir.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Phakopsora zizyphi-vulgaris Dietel [*Uredo zizyphi-vulgaris* Hennings]

Hennings, P.:Hedwigia 41:21, 1902(明 35) ; 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:10, 1914(大 3) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:333, 1992 ; 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):93, 1943(昭 18)

†褐色円斑病 kasshoku-maruhan-byo

Pseudocercospora rhamnaceicola Goh & W.H. Hsieh [*Cercospora paliuri* Sawada nom. inval.]

澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):119, 1943(昭 18) ; Hsieh, W. H. & Goh, T. K.:*Cercospora* and similar fungi from Taiwan:274, 1990

[備考] 台湾。Hsieh & Goh(1990) は沢田 (1943) の記載 (日本語のみでラテン記載文なし) を無効名として、*Rhamnus* 属と *Paliurus* 属に寄生する新種をたてたが、これらが同一種との支援データ (交互接種など) はなく、再検討を要する

クロウメモドキ(黒梅擬)

(*Rhamnus*)

Rhamnus japonica Maxim.

(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病)

Erysiphe friesii (Léveillé) U. Braun & S. Takamatsu var. *dahurica* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu
[*Microsphaera friesii* Léveillé var. *dahurica* U. Braun, *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon sensu Homma]
本間ヤス:札幌博物学会報 11(3):171, 1930(昭5); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):222, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:54, 2012
[備考] オオクロウメモドキ (*R. dahurica*) にも発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Pileolaria shiraiana* (Dietel & P. Sydow) S. Ito [*Uromyces shiraianus* Dietel & P. Sydow]
(2) *Puccinia coronata* Corda [*Puccinia brevicornis* S. Ito, *Puccinia himalensis* Dietel, *Puccinia lolii* E. Nielsen, *Aecidium rhamni* Persoon, *Aecidium rhamni-japonici* Dietel]
松村任三:帝国植物名鑑(上):166, 1904(明37); 安田 篤:植物学各論隠花部:441, 1911(明44); 佐藤昭二:東教大農紀要 12:30, 1966

†さび病 sabi-byo

(1) *Aecidium alaterni* Maire
三宅市郎:植物学雑 28:47, 1914(大3)
[備考] 中国。 *Rhamnus* sp.
(2) *Puccinia poae-pratensis* Miura
三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:280, 1928(昭3)
[備考] 中国東北部。 チョウセンクロツバラ (*R. davurica*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984
[備考] クロツバラ (*R. dahurica* var. *nipponica*) にも発生

†眼点病 ganten-byo

Montagnellina rhamni Sawada
澤田兼吉:台湾農林学会報 7(2):125, 1943(昭18)
[備考] 台湾。 タイワンクロウメモドキ (*Rhamnus formosana*)

††††

†*Cercospora aeruginosa* Cooke
山本和太郎:台湾博物学会報 26:279, 1936(昭11)
[備考] 台湾。 ソメモノノキ (*R. nepalensis*)

††††

†*Coniothyrium dumei* Briosi & Cavara [*Coniothyrium rhamni* I. Miyake]
三宅市郎:植物学雑 27(315):49, 1913(大2); 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:440, 1928(昭3)
[備考] 中国, 中国東北部

††††

†*Phyllosticta rhamnicola* Desmazières
三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:421, 1928(昭3)
[備考] 中国東北部

ナツメ(棗)

Jujube
Zizyphus jujuba Miller
(果樹)

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

中村重正ら:農学集報 21(3, 4):222, 1977 ; 李 準璋ら:日植病報 49(1):83, 1983 ; 川北 弘ら:日植病報 53(3):411, 1987

[備考] 日本, 台湾で発見されたものと韓国(李 準璋ら)で発見されたものの異同は明らかでない

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Phakopsora zizyphi-vulgaris (Hennings) Dietel [*Uredo zizyphi-vulgaris* Hennings]

松村任三:帝国植物名鑑(上):180, 1904(明 37) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:322, 1904(明 37) ; 藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大 3) ; 藤黒與三郎:病虫雑 6(6):444, 1919(大 8)

葉枯病 hagare-byo

Ascochyta natume Hara [*Ascochyta* sp.]

原 攝祐:果樹病害論:481, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日本菌類目録:23, 1954

斑点病 hanten-byo

Coniothyrium fuckelii Saccardo [*Coniothyrium zizyphi* Hara]

原 攝祐:果樹病害論:479, 1916(大 5)

†褐点病 katten-byo Cercospora leaf spot

Cercospora zizyphi Petch

小林享夫・de Guzman, E. D.:林試研報 351:197, 1988

[備考] フィリピン。インドナツメ (*Zizyphus mauritiana*)

ヒルギ科 Rhizophoraceae

オオバヒルギ(ヤエヤマヒルギ)
(Rhizophora)

Rhizophora mucronata Lam.
(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo

Phyllosticta hiratsukae Tak. Kobayashi & Onuki

小林享夫ら:日植病報 56(1):96, 1990 ; Kobayashi, T. & Onuki, M.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 28:160, 1990

バラ科 Rosaceae

キンミズヒキ類
(Agrimonia)
Agrimonia spp.
(野草)

キンミズヒキ *A. pilosa* Ledeb.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera aphanis (Wallroth) U. Braun & S. Takamatsu var. *aphanis* [*Sphaerotheca aphanis* (Wallroth) U. Braun var. *aphanis*]

丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平編):1210, 1998 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:13, 2012

[備考] キンミズヒキに発生

さび病* sabi-byo Rust

Pucciniastrum agrimoniae (Dietel) Tranzschel

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:102, 1992

[備考] キンミズヒキ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

Meloidogyne hapla Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

[備考] キンミズヒキに発生。病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照

ザイフリボク(扶移)

June berry

Amelanchier asiatica (Sieb. & Zucc.) Endl. ex Walp.

(広葉樹)

赤星病 akahoshi-byo Rust (銹病)

Gymnosporangium amelanchieris E. Fischer [*Gymnosporangium idetae* G. Yamada]

伊藤誠哉:札幌農林学会報 9:50, 1917(大 6) ; 原 攝祐:赤星病の研究:54, 1925(大 14)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Phyllactinia mali* (Duby) U. Braun [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:371, 1910(明 43); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:29, 2012

(2) *Podosphaera clandestina* (Wallroth) Léveillé var. *clandestina*

丹田誠之助:東農大農学集報 47(4):290, 2003

[備考] アメリカザイフリボク (*A. canadensis* (Linnaeus) Medik.)に発生

(3) *Podosphaera longiseta* Sawada

丹田誠之助:東農大農学集報 27(3):220, 1983

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo

堀江博道・小林享夫:日植病報 41(3):253, 1975 ; Horie, H. & Kobayashi, T.:Eur. J. For. Pathol. 10:225, 1980 ;

堀江博道:東京農試研報 19:1, 1986

[備考] 病原菌の異名はシャリンバイ ごま色斑点病参照。病原菌の完全世代 *Diplocarpon mespili* (Sorauer)

Sutton は我が国では未記録

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Ochropsora ariae (Fuckel) P. Sydow & Sydow

Hiratsuka, N.: Journ. Jap. Bot. 27(4):112, 1952 ; Hiratsuka, N. *et al.*: Rust Flora of Japan:354, 1992

すすかび病 susukabi-byo

Cercospora sp.

小河誠司:日林九支研論 36:236, 1983

ヤマブキシヨウマ

Aruncus dioicus (Walter) Fernald var. *kamtschaticus* (Maxim.) H.Hara

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera ferruginea (Schlechtendal) U. Braun & S. Takamatsu var. *ferruginea*

[*Sphaerotheca ferruginea* (Schlechtendal) L. Junell var. *ferruginea*]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:37, 1997 ; Braun, U. and Takamatsu, S.:Schlechtendalia 4:29, 2000

[備考] 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012 では宿主として未記載

アロニア

(Aronia)

Aronia sp.

(果樹)

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Alternaria sp.

美濃健一・藤塚敏昭:北日本病虫研報 64:244, 2013

[備考] 宿主は、日本への導入経緯と北海道での栽培状況から *A. melanocarpa* と考えられる

灰星病 haiboshi-byo Brown rot

Monilinia fructicola (G. Winter) Honey

Takashi Okada *et al.*:The 2nd Circular for the 2nd Korea-Japan Joint Symposium:167, 2012 ; 栢森美如ら:北日本病虫研報 66:88, 2015

[備考] *A. melanocarpa* に発生

カリン(楸欏, 花梨, 木瓜)

Chinese quince

Chaenomeles sinensis Koehne

(果樹)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭 8) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 本菌の宿主の一つとして「木瓜」が挙げられているが、これはパパイヤでなく、カリンと推定さ

れる。澤田ら(2015)によれば、情報不足のため、本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

赤星病 akahoshi-byo Rust

Gymnosporangium asiaticum Miyabe ex G. Yamada [*Gymnosporangium haraeaeum* Sydow & P. Sydow]

原 攝祐:実用作物病理学:254, 1925(大 14) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 50(597):481, 1936

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia mali (Duby) U. Braun [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten]

Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:29, 2012

褐斑病 Kappan-byo (ペスタロチア病)

Pestalotia malicola Hori

奥野孝夫ら:原色樹木病虫害図鑑:183, 1977

黒点病 kokuten-byo Fruit spot

Mycosphaerella pomi (Passerini) Lindau

荒井茂充・原田幸雄:日植病報 70(1):54, 2004

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot, Fabraea leaf spot and fruit rot

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo [*Diplocarpon mespili* (Sorauer) B. Sutton, *Entomosporium maculatum* Léveillé, *Fabraea maculata* G.F. Atkinson]

山口忠義:第 29 回日林関東支講:17, 1977; 山口忠義:森林防疫 28(9):163, 1979; Horie, H. & Kobayashi, T.:Eur. J. For. Path. 9:366, 1979

白かび斑点病 shirokabi-hanten-byo

Mycosphaerella chaenomelis Y. Suto [不完全世代: *Cercospora chaenomelis* Y. Suto, *Cercospora* sp.]

堀江博道・小林享夫:日植病報 48(1):135, 1982 ; Suto, Y.:Mycoscience 40:509, 1999

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot, Rosellinia root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす点病 susuten-byo Fly speak

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・岡本康博:日植病報 49(1):104, 1983

[備考] 国外で採用されている完全世代 *Schizothyrium pomi* (Montagne & Fries) Arx はわが国では未記録

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (芽枯病)

Botrytis cinerea Persoon

尾形 正・落合政文:北日本病虫研報 41:83, 1990

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

ボケ(貼梗海棠)

Japanese quince

Chaenomeles speciosa (Sweet) Nakai
(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

広間勝巳:植物防疫 40(12):581, 1986

赤星病 akahoshi-byo Rust

Gymnosporangium asiaticum Miyabe ex G. Yamada [*Gymnosporangium haraeum* Sydow & P. Sydow, *Gymnosporangium confusum* auct. non Plowright, *Roestelia koreaensis* Hennings]

原 攝祐:病虫雑 6(9):759, 1919(大 8); 吉永虎馬:植物学雑 16(179):6, 1902(明 35); 平塚直秀:日菌報 16(1):91, 1975

[備考] クサボケ (*C. japonica*)・カラボケ・ヒボケ・シロボケにも発生

褐斑病 kappan-byo

Diplocarpon mali Y. Harada & Sawamura [*Marssonina mali* (Hennings) S. Ito, *Marssonina coronaria* (Ellis & Davis) Davis]

西門義一ら:農学研究 31:369, 1939(昭 14); Harada, Y. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 40(5):412, 1974

[備考] クサボケにも発生

黒点病 kokuten-byo Fruit spot

Mycosphaerella pomi (Passerini) Lindau

荒井茂充:日植病報 75(1):57, 2009

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす点病 susuten-byo Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora cydoniae Ellis & Everhart

原 攝祐:樹木病害篇:151, 1927(昭 2); 逸見武雄:医学と生物学 1:146, 1942(昭 17)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

澤田兼吉:台湾農事報 129:609, 1917(大 6); Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:5, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

輪紋病 rimmon-byo (疣皮病)

Guignardia pyricola (Nose) W. Yamamoto [*Physalospora piricola* Nose, *Macrophoma kuwatsukai* Hara]

鋤塚喜久治:園芸の研究 17:190, 1921(大 10); 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 5(1):11, 1961

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

西門義一ら: 農学研究 31:372, 1939(昭 14)

††††

Discosia chaenomeles Nisikado & Miyawaki

西門義一・宮脇雪夫: 農学研究 32:461, 1941(昭 16)

††††

Neottiospora chaenomeles Nisikado & Miyawaki

西門義一・宮脇雪夫: 農学研究 32:464, 1941(昭 16)

コトネアスター

(Cotoneaster)

Cotoneaster spp.

(広葉樹)

フランシェシャリントウ *Cotoneaster franchetii* Bois

ベニシタン(紅紫檀) *Cotoneaster horizontalis* Decne.

ヤナギバシャリントウ(柳葉車輪桃) *Cotoneaster salicifolius* Franch.

褐斑病 kappan-byo

Pseudocercospora cotoneastri (Katsuki & Tak. Kobayashi) Deighton [*Cercospora cotoneastri* Katsuki & Tak. Kobayashi]

小林享夫: 植物防疫 29(8):319, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.: Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):276, 1976 ;

勝本 謙・小林享夫: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

[備考] ヒメボケモドキ (*C. rotundifolia*)・*C. watereri*・*C. thymifolus*・*C. dammeri* にも発生。病原菌種名
の原記載 *C. cotoneasteris* は誤り

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道: 関東病虫研報 40:161, 1993

[備考] ヤナギバシャリントウ。菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

中野満夫ら: 植防研報 12:69, 1974

[備考] ベニシタン

(2) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの 1 種

中野満夫ら: 植防研報 12:69, 1974

[備考] ベニシタン

†さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium cunninghamianum Barclay

平塚直秀・橋岡良夫:植物学雑 48:240, 1934(昭 9)
[備考] 台湾。コケモモカマツカ (*Cotoneaster morrisonensis*)

サンザシ類(山査子)

Hawthorn

Crataegus spp..

(広葉樹)

サンザシ(山査子) *C. cuneata* Sieb. & Zucc.

セイヨウサンザシ(西洋山査子) Hawthorn *C. oxyacantha* Linn.

クロミサンザシ *C. chlorosarca* Maxim.

エゾサンザシ *C. jozana* C.K. Schn.

赤星病 akahoshi-byo Rust

Gymnosporangium clavariaeforme (Jacquin) de Candolle

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 50:597, 1936(昭 11) ; 白井光太郎:日本菌類目録:39, 1905(明 38) ; 小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:80, 1977

[備考] アカサンザシ (*C. sanguinea*)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera clandestina (Wallroth) Léveillé var. *clandestina* [*Podosphaera oxyacanthae* (de Candolle) de Bary]

出田 新:日本植物病理学(上):197, 1909(明 42) ; 白井光太郎:植物病理学(下):172, 1894(明 27) ; Tanda, N. *et al.*:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):177, 1988

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot (葉焼病)

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo

堀江博道・小林享夫:日植病報 41(3):253, 1975 ; 楠木 学ら:日植病報 40(3):187, 1974 ; Horie, H. & Kobayashi, T.:Eur. J. For. Pathol. 10(4):225, 1980 ; 堀江博道:東京農試研報 19:1, 1986

[備考] セイヨウサンザシ・アカハナサンザシ。病原菌の異名はシャリンバイ ごま色斑点病参照。病原菌の完全世代は *Diplocarpon mespili* (Sorauer) Sutton だが我が国では未記録

白粒葉枯病 shirotsubu-hagare-byo Frosty mildew

Mycopappus alni (Dearness & Bartholomew) Redhead & G.P. White

Takahashi, Y. *et al.*:Mycoscience 47(6):388, 2006

[備考] 接種試験未了。クロミサンザシに発生

すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf spot

Cercospora crataegi Saccardo & C. Massalongo [*Cercospora* sp.]

小河誠司・小林享夫:森林防疫 26(6):92, 1977 ; 小河誠司:日林九支研論集 29:252, 1976 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23(1):48, 1982

[備考] セイヨウサンザシ・ヒトツバサンザシ (*C. monogyna*)・カラタチサンザシ (*C. crugalli*)

†††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] マルバサンザシ。生産国不明

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Gymnosporangium clavariaeforme (Jacquin) de Candolle

白井光太郎:植物病理学(下)(再版):126, 1900(明 33); 白井光太郎:植物病理学(下):116, 1894(明 27); Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 50(599):597, 1936(昭 11)

[備考] サハリン。サンザシ・アカサンザシ (*C. sanguinea*)

††††

†*Coryneum crataegicola* Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:482, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部。オオサンザシ(*C. pinnatifida*)

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):213, 1917(大 6)

††††

†*Phyllosticta crataegicola* Saccardo

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:417, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部。オオサンザシ

マルメロ(楡棗)

Quince

Cydonia oblonga Miller

(果樹)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* (Smith & Townsend) Duggar]

原 攝祐:実用作物病理学:368, 1925(大14); 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:51, 1927(昭2); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

赤星病 akahoshi-byo Rust

Gymnosporangium asiaticum Miyabe ex G. Yamada [*Gymnosporangium confusum* Plowright, *Gymnosporangium haraeum* Sydow & P. Sydow]

出田 新:農作物病理学:99, 1901(明 34); 吉野毅一:植物学雑誌 20(232):91, 1906(明 39); 原 攝祐:実用作物病理学:254, 1925(大 14); Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 50(597):481, 1936

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Podosphaera oxyacanthae* (de Candolle) de Bary

原 攝祐:果樹病害論:175, 1916(大 5)

[備考] 本病菌はシモツケ類等に寄生する *Podosphaera clandestina* (Wallroth) Léveillé var. *clandestina* の異名とされている (大谷吉雄:日本菌類誌 3 (2):177, 1988)

(2) *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary

原 攝祐:実験樹木病害篇:130, 1927(昭 2)

黒腐病* kurogusare-byo (斑紋病, 斑点病, 褐斑病, 褐点病)

Physalospora obtusa (Schweinitz) Cooke [*Haplosporella mali* (Westendorp) Petrak & Sydow, *Physalospora*

cydoniae G. Arnaud, *Physalospora malorum* (Peck) Shear, *Sphaeropsis cinerea* (Cooke & Ellis) Saccardo, *Sphaeropsis mali* (Westendorp) Saccardo, *Sphaeropsis malorum* Peck]

原 攝祐:実用作物病理学:290, 1925(大 14) ; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:274, 1927(昭 2) ;

原 攝祐:日本菌類目録:270, 1954

黒点病 kokuten-byo Blotch

Mycosphaerella pomi (Passerini) Lindau

荒井茂充・原田幸雄:日植病報 70(2):128, 2004

[備考] アナモルフ:*Cylindrosporium pomi* Brooks

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot, Fabraea leaf spot and fruit rot

Diplocarpon mespili (Sorauer) B. Sutton [*Entomosporium mespili* (de Candolle) Saccardo, *Entomosporium maculatum* Léveillé, *Fabraea maculata* G.F. Atkinson]

工藤 晟・高梨和雄:日植病報 41(1):83, 1975 ; 工藤 晟・高梨和雄:果樹試報 A3:53, 1976 ; 江口直樹ら:日植病報 73(1):42, 2007

[備考] 村田壽太郎 (病虫雑 2(2):163, 1915) は *E. maculatum* による斑点病として、北米オレゴン州の事例を報告している。原 攝祐 (果樹病害論:82, 1916) が褐点病菌としてあげた *Stigmatea mespili* Sorauer は本菌の完全世代 *Diplocarpon mespili* (Sorauer) Sutton の異名である

尻腐病 shirigusare-byo Calyx end rot

Phomopsis sp.

江口直樹・萩原保身:日植病報 68(2):186, 2002 ; 江口直樹ら:関東病虫研報 50:79, 2003

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

岩波靖彦ら:日植病報 78(3):187, 2012

炭疽病* tanso-byo Anthracnose, Bitter rot

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

江口直樹・萩原保身:日植病報 68(2):186, 2002

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Glomerella rufomaculans* (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk]

今井四郎:日園雑 25(8):34, 1913(大 2)

灰星病* haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病, モニリア病)

Monilinia fructigena (Aderhold & Ruhland) Honey [*Monilia fructigena* Persoon, *Sclerotinia fructigena* (Persoon) J. Schröter]

原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大 5) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959

腐らん病 furan-byo Valsa canker

Valsa ceratosperma (Tode) Maire [*Cytospora carphosperma* Fries, *Cytospora sacculus* (Schweinitz) Gvritschvili]

尾沢 賢・伊藤昭二:日植病報 42(1):111, 1976

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Capnodium salicinum Montagne

白井光太郎:植物病理学(下):196, 1900(明 33)

ビワ(枇杷)

Loquat, Japanese medlar
Eriobotrya japonica (Thunberg) Lindley
(果樹)

がんしゅ病 ganshu-byo Canker, Bud blight (癌腫病, 潰瘍病, 芽枯病)

Pseudomonas syringae pv. *eriobotryae* (Takimoto 1931) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacillus eriobotryae* Hori & Bokura, *Bacillus eriobotryae* Miyake & Muko, *Bacterium eriobotryae* Takimoto, *Pseudomonas eriobotryae* (Takimoto) Dowson]

原 攝祐:果樹病害論:457, 1916(大 5); 三宅市郎・向 秀夫:病虫(1):47, 1930; 瀧元清透:病虫雑 18:349, 1931(昭 6); 向 秀夫:農技研報 C1:1, 1952; 岡部徳夫:静大農研報 5:100, 1955

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (癌腫病, 根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942

埼玉県内務部:病虫雑 21(2):150, 1934(昭9); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease, Rubellosis

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]

鑄方末彦:実験果樹病害篇:270, 1927(昭 2); 原 攝祐:日本害菌学:274, 1936(昭 5)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter

鑄方末彦:実験果樹病害篇:373, 1927(昭 2); 鐘ヶ江良彦ら:関東病虫研報 61:64, 2014

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot (円星病)

Pseudocercospora eriobotryae (Enjoji) Goh & W.H. Hsieh [*Cercospora eriobotryae* (Enjoji) Sawada, *Cercosporina eriobotryae* Enjoji]

円城寺定雄:病虫雑 18(5):329, 1931(昭 6); 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 61(台湾産菌類調査報告 6):94, 1933(昭 8)

褐斑病 kappan-byo Phyllosticta leaf spot (斑点病)

Phyllosticta eriobotryae Thümen

藤黒與三郎:植物学雑 28(334):423, 1914(大 3); 原 攝祐:果樹病害論:453, 1916(大 5); ト蔵梅之丞:作物病害予防駆除法:900, 1925(大 14)

[備考] 原 攝祐 (日本菌類目録:244, 1954) は台湾の *Phyllosticta eriobotryae-japonicae* Sawada による褐斑病を紹介した

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

(1) *Dothiorella* sp.

(2) *Lasiodiplodia theobromae* (Patouillard) Griffon & Maublanc

矢口行雄ら:日植病報 56(3):408, 1999

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo *Entomosporium* leaf spot, *Fabraea* leaf spot (胡麻葉枯病)

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo [*Entomosporium eriobotryae* Takimoto]

瀧元清透:病虫雑 21(3):199, 1934(昭 9); 中田覺五郎:作物病害図編:397, 1934(昭 9); 工藤 晟・高梨和雄:果樹試報 A3:53, 1976

[備考] 本病菌の完全世代 *Diplocarpon mespili* (Sorauer) Sutton は国内未記録

さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, 銹病)

Coleopucciniella simplex (Dietel) Hara ex Hiratsuka [*Coleopuccinia simplex* Dietel]

堀正太郎:農業世界 7(10):1912(大 1) ; Hiratsuka, N.:Jour. Jap. Bot. 13(4):244, 1937

白絹病 shiraku-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 61(3):197, 1995

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

耕堂学人:日園雑 30(1):20, 1918(大 7)

そうか病 soka-byo Scab (瘡痂病)

Cladosporium nervisequum Montagne

ト蔵梅之丞:病虫雑 2(1):14, 1915(大 4)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

佐藤豊三ら:日植病報 60(3):339, 1994 ; Sato, T. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997

(2) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa

Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

(3) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium eriobotryae* Spegazzini]

Hemmi, T.:Journ. Coll. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 9(1):15, 1920 ; 原 攝祐:実験作物病理学:686, 1930(昭 5)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Blossom blight, Gray mold (花腐病)

Botrytis cinerea Persoon [*Botrytis* sp.]

野島枇杷組合:中央園芸 356(11):858, 1932(昭 7) ; 中田覺五郎:作物病害図編:442, 1968 ; 森田 昭:植物防疫 38(7):308, 1984

灰斑病 haihan-byo Gray leaf spot (斑点病)

(1) *Neopestalotiopsis* spp.

野澤俊介ら:日植病報 83(1):42, 2017 ; 野澤俊介ら:日植病報 83(3):185, 2017

[備考] 病原は未記載の複数種と *Neopestalotiopsis* 属に転属すべき *Pestalotia rhododendri* および *Pestalotiopsis sydowiana*

(2) *Pestalotia eriobotrifolia* Guba

野島秀伸ら:日植病報 62(3):265, 1996

[備考] 本病菌は *Pestalotiopsis eriobotrifolia* と報告されたが, この組み合わせ名は正式発表されていないため旧学名を挙げるに留めた

(3) *Pestalotiopsis funerea* (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia eriobotryae* McAlpine]

原 攝祐:果樹病害論:455, 1916(大5) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1189, 1978

[備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):600, 1992 参照

(4) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert [*Pestalotia funerea* auct. jap. non Desmazières]

野島秀伸ら:日植病報 62(3):265, 1996

(5) *Seiridium* sp.

佐藤豊三ら:日植病報 73(3):181, 2007

灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, モニリア病)

Monilinia fructigena (Aderhold & Ruhland) Honey [*Sclerotinia fructigena* (Persoon) J. Schröter]

富樫浩吾:果樹病学:124, 1950 ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

小熊彦三郎:日園雑 34(7):23, 1922(大 11)

汚葉病 yogoreha-byo Blotch

Clasterosporium eriobotryae Hara

原 攝祐:静岡県農会報 280:付録 21, 1921(大 10) ; 原 攝祐:実験作物病理学:685, 1930(昭 5)

たてぼや病* tateboya-byo Tate-boya, Abrasion (たてぼや症)

Botrytis cinerea Persoon およびビワサビダニ (*Aceria* sp.)

森田 昭:日植病報 63(1):44, 1997

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

後藤 昭・大島康臣:応動昆 7(3):187, 1963

鉢巻病 hachimaki-byo Frost injury, Russet (鱗皮病)

生理障害

鑄方末彦:実験果樹病害篇:371, 1927(昭 2) ; 桜井基夫:日植病報 13(3-4):48, 1949

[備考] 凍害

日焼病 hiyake-byo Sun scald

生理障害

小熊彦三郎:日園雑 34(7):23, 1922(大 11)

††火傷病 kasho-byo Fire blight

Erwinia amylovora (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [*Bacillus amylovorus* (Burrill) Trevisan]

岡部徳夫:植物細菌病学:253, 1949

[備考] アメリカ・ヨーロッパ

†††腐敗病 fuhai-byo

Macrosporium sp.

原 攝祐:実験作物病理学:689, 1930(昭 5)

[備考] 輸移入植物検査 (長崎植物検査成績 1928) によって発見

††††はく皮病 hakuhi-byo Scaly bark (剥皮病)

病原不明

鑄方末彦:実験果樹病害篇:372, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:689, 1930(昭 5)

[備考] 原因は排水不良のようである

††††

Geotrichum candidum Link

真山真理:日植病報 53(1):103, 1987

[備考] 市場病害の腐敗果から検出

エキソコルダ
(Exochorda)
Exochorda giraldii Hesse
(広葉樹)

バイカシモツケ *E. racemosa* Rehder

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997
[備考] バイカシモツケに発生

褐斑病 kappan-byo Brown spot
Pseudocercospora exochordae (Chupp & J.A. Stevenson) Deighton [*Cercospora exochordae* Chupp & J.A. Stevenson]
小林享夫:植物防疫 29(8):318, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):277, 1976 ;
勝本 謙・小林享夫:植物病原菌図説(小林享夫ら編):597, 1992

キョウガノコ(キョウカノコ)
Japanese meadowsweet
Filipendula purpurea Maxim. var. *purpurea*
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(1) *Sphaerotheca filipendulae* Z.Y. Zhao
佐藤幸生・望月正己:北陸病虫研報 37:67, 1989
[備考] 接種試験未了
(2) *Sphaerotheca humuli* (de Candolle) Burrill
平田幸治:新潟大農学報 7:30, 1955
[備考] 分生子による同定

シモツケソウ類
(Filipendula)
Filipendula spp.
(野草)

シモツケソウ *Filipendula multijuga* Maxim.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Erysiphe ulmariae Damazières
丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平編):1216, 1998
[備考] シモツケソウ

さび病* sabi-byo Rust
Triphragmium ulmariae (de Candolle) Link var. *ulmariae*
Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:454, 1992
[備考] シモツケソウ

イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓)

Strawberry

Fragaria × *ananassa* Duchesne

(野菜)

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Soybean dwarf virus* (SbDV) ダイズ矮化ウイルス [*Strawberry mild yellow edge virus* (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス]

阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964

[備考] 接木検定による同定。戻し接種なし

(2) *Strawberry crinkle virus* (SCV) イチゴクリンクルウイルス

阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969

[備考] 接木検定による同定。戻し接種なし

(3) *Strawberry latent C virus* (SLCV) イチゴ潜在 C ウイルス

吉川信幸ら:日植病報 51(1):82, 1985 ; 吉川信幸・井上忠男:日植病報 52(3):437, 1986

[備考] 戻し接種なし

(4) *Strawberry mild yellow edge virus* (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス [*Strawberry mild yellow edge-associated virus*]

鈴木 健ら:日植病報 64(4):427, 1988

[備考] RT-PCR による同定。戻し接種なし

(5) *Strawberry mottle virus* (SMoV) イチゴ斑紋ウイルス

阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964

[備考] 接木検定による同定。戻し接種なし

(6) *Strawberry pseudo mild yellow edge virus* (SPMYEV) イチゴシュードマイルドイエローエッジウイルス

吉川信幸・井上忠男:日植病報 51(3):354, 1985 ; 吉川信幸・井上忠男:日植病報 52(4):643, 1986

(7) *Strawberry vein banding virus* (SVBV) イチゴベインバンディングウイルス

高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969

[備考] 接木検定による同定。戻し接種なし

(8) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973

[備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし

(9) *Olive latent virus 1* (OLV-1) [*Tobacco necrosis virus*] オリーブ潜在ウイルス 1

小室康雄ら:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋一ら:日植病報 77(3):227, 2011

[備考] 戻し接種なし。藤ら(2011)は、*Tobacco necrosis virus*とされていた小室ら(1973)の株を OLV-1 と再同定した。小室ら(1973)は *Tobacco necrosis satellite virus* (STNV タバコネソサテライトウイルス)も検出した

(10) *Olive mild mosaic virus* (OMMV) [*Tobacco necrosis virus*] オリーブ微斑ウイルス

要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋一ら:日植病報 77(3):227, 2011

[備考] 藤ら(2011)は、*Tobacco necrosis virus*とされていた要・岸(1973)の株を OMMV と再同定した

葉脈黄化病 yomyaku-oka-byo

ウイルス (未同定)

吉川信幸ら:日植病報 54(1):88, 1988

黄化病 oka-byo Yellow

‘*Candidatus Phytoplasma fragariae*’

田中 穰ら:日植病報 74(3):253, 2008

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

Phytoplasma ファイトプラズマ

杉浦巳代治ら:日植病報 49(3):425, 1983 ; 塩見敏樹・杉浦巳代治:日植病報 49(5):727, 1983

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith, *Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

田中彰一:病虫雑 23(1):34, 1936(昭 11); 田中彰一:蔬菜病害防除論:253, 1948; 後藤正夫ら:日植病報 44:270, 1978

萎凋細菌病* icho-saikin-byo Bacterial stem rot (茎腐れ細菌病)

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

吉松英明・挟間 渉:日植病報 63(3):197, 1997

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

角斑細菌病 kakuhan-saikin-byo

(1) *Xanthomonas campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939

木嶋利男ら:日植病報 53(1):121, 1987

[備考] 病原の pathovar は未決定

(2) *Xanthomonas fragariae* Kennedy & King 1962

瀧川雄一ら:日植病報 63(3):197, 1997

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo

Pseudomonas sp.

木嶋利男ら:日植病報 52(1):151, 1986

[備考] *P. andropogonis* に類似

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial brown spot

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

楠元智子ら:日植病報 68(2):255, 2002

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot

Herbaspirillum sp. [*Pseudomonas* sp.]

木嶋利男ら:日植病報 52(1):151, 1986 ; 楠元智子ら:日植病報 67(2):179, 2001

[備考] 褐色腐敗病の病名を斑点細菌病に改名する。楠元らは木嶋らの分離株を含めて同定した

芽枯細菌病 megare-saikin-byo

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

木嶋利男ら:日植病報 51(1):53, 1985

葉縁退緑病 yoen-tairyoku-byo Marginal chlorosis

‘*Candidatus* *Phlomobacter fragariae*’

Tanaka, M. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 72(6):374, 2006

[備考] 接種試験未了

萎黄病 io-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *fragariae* Winks & Y.N. Williams

岡本康博ら:日植病報 36(3):166, 1970 ; 岡本康博ら:植物防疫 24(6):231, 1970 ; 松尾卓見:日植病報 38(3):167, 1972

萎凋病 icho-byo Verticillium-wilt

Verticillium dahliae Klebahn [*Verticillium albo-atrum* auct. jap. non Reinke & Berthold]

吉野正義:日植病報 32(5):299, 1966 ; 吉野正義:植物防疫 20(11):489, 1966 ; 北沢健治・鈴木孝仁:日植病報 46(2):267, 1980

イリマメホコリカビ病 irimame-hokorikabi-byo Slime mold

Stemonitis pallida Wingate イリマメムラサキホコリカビ

郷間秀夫・石川成寿:日植病報 78(3):188, 2012

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Podosphaera aphanis (Wallroth) U. Braun & S. Takamatsu var. *aphanis* [*Sphaerotheca aphanis* (Wallroth) U. Braun var. *aphanis*, *Sphaerotheca humuli* (de Candolle) U. Burrill]

本間ヤス:北大農紀 38:298, 1937(昭 12) ; Nakazawa, Y. & Uchida, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(2):121, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:13, 2012

[備考] 堀 正太郎:実地園芸 12(6):502, 1932(昭 7)によりうどんこ病の記録があるが、菌の詳細は不明

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

石川成寿ら:日植病報 56(1):147, 1990

[備考] 果実にのみ病原性を有する *P. cactorum* に酷似した菌種も報告されている (高橋 実・前田篤実:日植病報 25(1):56, 1960 ; 桂 琦一:植物の疫病 46, 1971)

(2) *Phytophthora fragariaefolia* M. Z. Rahman, S. Uematsu, T. Takeuchi, K. Shirai & K. Kageyama [*Phytophthora* sp.]

白井佳代ら:日植病報 72(4):207, 2006 ; Rahman, M. Z. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 80(4):348, 2014 ; 植松清次ら:植物防疫特別増刊号 17:118, 2015

(3) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

松崎正文ら:日植病報 45(4):528, 1979 ; 鈴木孝仁ら:日植病報 45(4):528, 1979 ; Suzui, T. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 46(2):169, 1980 ; 松崎正文ら:日植病報 46(2):179, 1980

(4) *Phytophthora* sp.

鈴木孝仁・牧野秋雄:日植病報 46(1):64, 1980

[備考] *P. citricola* に酷似する

果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo

Pythium ultimum Trow var. *ultimum*

草刈眞一ら:日植病報 46(1):92, 1980 ; 草刈眞一・田中 寛:日植病報 51(1):39, 1985

乾腐病 kampu-byo Crown and root rot

Fusarium solani (Martius) Saccardo

舟久保太一ら:日植病報 74(3):180, 2008

急性萎凋症 kyusei-icho-sho

Cylindrocarpon sp.

木曾 皓:今月の農薬 19(11):68, 1975 ; 重松喜昭ら:日植病報 43(3):341, 1977

[備考] 本症状は線虫および virus によって起こることもであるとされている。接種試験未了。*Rhizoctonia*, *Fusarium* も分離される

菌核病 kinkaku-byo Crown rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary
橋本 保・関沢 博:日植病報 29(2):65, 1964

グノモニア輪斑病 *Gnomonia-rimpan-byo*

Gnomonia comari P. Karsten [*Gnomonia fruticola* (G. Arnaud) Fall, *Zythia fragariae* Laibach]

向 秀夫ら:日植病報 40(2):116, 1974 ; 岸 國平・鍵渡徳次:植物防疫 28(4):139, 1974 ; 小林享夫ら:植物病原菌図説:579, 1992

黒腐病 *kurogusare-byo* Dieback

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc

植松清次ら:日植病報 81(3):213, 2015

黒色根腐病* *kokushoku-negusare-byo* Black root rot (根腐症)

Rhizoctonia fragariae S.S. Husain & W.E. McKeen [*Rhizoctonia candida* W. Yamamoto, *Ceratobasidium* sp.]

山本和太郎:日菌報 3(1-6):118, 1962 ; 小玉孝司ら:日植病報 40(2):136, 1974 ; 甲元啓介ら:鳥取大農学術報 16:1, 1981

黒斑病 *kokuhan-byo* Black leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

渡辺康正・梅川 学:日植病報 43(1):82, 1977 ; 渡辺康正ら:日植病報 44(3):363, 1978

こむらさきしめじ病 *komurasaki-shimeji-byo* Lepista root rot

Lepista sordida (Fries) Singer コムラサキシメジ

鈴井孝仁ら:日植病報 46(3):396, 1980

先枯病 *sakigare-byo* Runner-tip blight

Fusarium moniliforme J. Sheldon

石川成寿ら:日植病報 59(3):286, 1993

白絹病 *shirakinu-byo* Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

石川成寿ら:関東病虫研報 39:125, 1992

白星病 *shirahoshi-byo*

Septoria fragariae Saccardo

原 攝祐:静岡県農会報 363:37, 1928(昭3)

[備考] 調査を要する

心腐萎凋病 *shingusare-icho-byo*

Phialophora sp.

近藤則夫ら:日植病報 53(1):77, 1987

ジクホコリカビ病 *jiku-hokorikabi-byo* Slime mold

Diachea leucopoda (Bulliard) Rostafinski

石川成寿・郷間秀夫:日植病報 66(2):95, 2000

蛇の目病* *janome-byo* Leaf spot (じゃのめ病, 蛇眼病)

Mycosphaerella fragariae (Tulasne) Lindau

出田 新:実用植物病理学:168, 1902(明35)

炭疽病 tanso-byo Crown rot, Anthracnose

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds [*Colletotrichum carthami* (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato]

Sato, T. & Moriwaki, J.: Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013
[備考] Sato & Moriwaki(2013)は果実から分離された菌株を暫定的に系統群A2-Sとした

(2) *Colletotrichum aenigma* B.S. Weir & P.R. Johnston

鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017

(3) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(4) *Colletotrichum fragariae* A.N. Brooks

山本 勉・福西 務:日植病報 36(3):165, 1970 ; 山本 勉:植物防疫 25(2):61, 1971 ; 岡山健夫:奈良農試研報 20:79, 1989

[備考] Weir, B.S. *et al.* (Stud. Mycol. 73:115, 2012)は, *C. fragariae*を*C. theobromicola*の異名としている

(5) *Colletotrichum fructicola* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde

鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; Hirayama, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 82(4):186, 2016

(6) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds, *Colletotrichum simmondsii* R.G. Shivas & Y.P. Tan]

松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; Sato, T. & Moriwaki, J.: Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

(7) *Colletotrichum siamense* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde

鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016

(8) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

岡山健夫:植物防疫 42(12):5, 1988 ; 岡山健夫・辻本 昭:日植病報 60(5):617, 1994

苗立枯病 nae-tachigare-byo *Cylindrocladium damping-off*, Damping-off

Cylindrocladium canadense J.C. Kang, Crous & C.L. Schoch

石川成寿ら:日植病報 72(4):209, 2006 ; Hirooka, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(1):83, 2009

軟腐病* nampu-byo Soft rot of fruit (リゾプス病, 漏汁性腐敗病)

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin [*Rhizopus nigricans* Ehrenberg]

山田 済:実地園芸 13(4):122, 1932(昭 7)

根腐萎凋病 negusare-icho-byo Root rot

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

重松喜昭ら:日植病報 43(3):341, 1977 ; 菅野博英ら:日植病報 66(2):94, 2000

根腐症状 negusare-shojo

Rhizoctonia sp.

小玉孝司ら:日植病報 40(2):136, 1974

[備考] *R. candida*, *R. fragariae* に酷似する。接種試験未了

根腐病 negusare-byo Red stele

Phytophthora fragariae Hickman

森田 儔:日植病報 29(2):93, 1964 ; 森田 儔:日植病報 30(5):239, 1965 ; 森田 儔:静岡農試特報 10:1, 1975
[備考] 江戸恒雄 (日植病報 16(2):90, 1952) によれば *Pythium* sp. によっても根腐病を起こすが, これに

についてはさらに調査を要する。また、高橋 実・川瀬保夫 (日植病報 30(4):181, 1965) によれば根腐症状の株から *Pythium* spp. が分離されている

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (ボトリチス病, 灰色腐敗病)

Botrytis cinerea Persoon

西田藤次・前原最蔵:作物病害教科書:121, 1923(大 12)

葉枯病 hagare-byo

Marssonina fragariae (Libert) Klebahn [*Marssonina potentillae* (Desmazières) Fischer]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査目録 1):586, 1919(大 8); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:593, 1992

ばら色かび病 barairo-kabi-byo Pink-mold rot

Trichothecium roseum (Persoon) Link

石川成寿ら:日植病報 64(4):431, 1998

[備考] 空中採苗で発生

ピシウム根腐病 *Pythium-negusare-byo* Pythium root rot

(1) *Pythium helicoides* Drechsler

鈴木幹彦ら:日植病報 71(3):209, 2005 ; 渡辺秀樹ら:日植病報 71(3):209, 2005

(2) *Pythium spinosum* Sawada

中山喜一ら:日植病報 74(3):177, 2008 ; 中山喜一ら:関東病虫研報 61:40, 2014

(3) *Pythium sylvaticum* W.A. Campbell & F.F. Hendrix

中山喜一ら:日植病報 74(3):177, 2008 ; 中山喜一ら:関東病虫研報 61:40, 2014

ペスタロチア病 *Pestalotia-byo*

Pestalotia disease

(1) *Neopestalotiopsis protearum* (Crous & L. Swart) Maharachchikumbura, K.D. Hyde & Crous

山本賢一郎ら:日植病報 82(1):26, 2016

(2)††*Pestalotiopsis longisetula* (Guba) X. A. Sun & Q. X. Ge

佐藤俊次ら:日植病報 66(3):257, 2000

[備考] パラグアイでの発生

芽枯病 megare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

橋本 保・関沢 博:日植病報 29(2):65, 1964 ; 富永時任ら:植物防疫 20(4):168, 1966

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照

輪斑病 rimpan-byo Leaf blight, Angular leaf spot

Dendrophoma obscurans (Ellis & Everhart) H.W. Anderson

岸 國平・山田邦彦:日植病報 40(2):116, 1974 ; 岸 國平・鍵渡徳次:植物防疫 28(4):139, 1974 ; 岸 國平:野菜試報 A 1:225, 1974

[備考] 病菌の分類学的所属については再検討を要する

輪紋病 rimmon-byo Phyllosticta leaf spot

Phyllosticta fragariicola Desmazières & Roberge

原 攝祐:実験作物病理学:853, 1930(昭 5)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ
鏑木外岐雄:実地園芸 15(増4):302, 1932(昭7)

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種
中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(3) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(4) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種
上住 泰・中西喜徳:奈良農試研報 5:76, 1973

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion (コクシヨクネグサレセンチュウ病)

(1) *Pratylenchus crenatus* Loof ノコギリネグサレセンチュウ

後藤 昭・大島康臣:応動昆 7(3):187, 1963

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
下川三男・牛山欽司:神奈川県農試園芸分場報告 8:54, 1960

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
下川三男・牛山欽司:神奈川県農試園芸分場報告 8:54, 1960

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤病, 根線虫病, 根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ
岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

(4) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

鏑木外岐雄:実地園芸 15(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo Spring dwarf (crimp), Summer dwarf (crimp) (線虫性葉枯病, 葉枯性線虫病, 線虫病, 夏萎縮, 春萎縮)

(1) *Aphelenchoides besseyi* Christie イネシンガレセンチュウ

小林義明:日線虫研誌 6:80, 1976

(2) *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus fragariae* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ
鏑木外岐雄:実地園芸 15(4):302, 1932(昭7) ; 彌富喜三・西澤 務:静岡農試研報 1:106, 1951

(3) *Aphelenchoides ritzemabosi* (Schwartz) Steiner & Buhner
稲垣春郎:北日本病虫研報 20:113, 1969

[備考] 英病名の Spring dwarf はイチゴセンチュウ (*A. fragariae*) またはハガレセンチュウ (*A. ritzemabosi*), Summer dwarf はイネシンガレセンチュウ (*A. besseyi*) の引き起こす病害に対応する

芽線虫病 me-senchu-byo

Ditylenchus acris (Thorne) Fortuner & Maggenti [*Nothotylenchus acris* Thorne] イチゴメセンチュウ

西澤 務・彌富喜三:応動 20(1-2):47, 1955

すすくみ症状 sukumi-shojo Stunt

Pythium myriotylum Drechsler, *Pythium ultimum* Trow, Virus

渡辺恒雄:日植病報 43(3):306, 1977 ; 要 司ら:日植病報 43(3):372, 1977 ; Watanabe, T. et al.:Phytopathology

67:1324, 1977

[備考] 渡辺恒雄 (1977) によると、このほかにも *Pythium* spp. がイチゴに病原性を有する

††††

Agrocybe sp.

鈴木孝仁ら:日植病報 46(3):396, 1980

[備考] すくみ症状

††††

Pestalotia sp.

村越重雄:関東病虫研報 27:73, 1980

[備考] 葉枯症状

ダイコンソウ類

(Geum)

Geum spp.

(草花)

ダイコンソウ *G. japonicum* Thunb.

ベニバナダイコンソウ *G. coccineum* Sibth. & Sm.

さび病 sabi-byo Rust

Uredo sp.

柿畠 眞ら:日植病報 65(3):410, 1999

[備考] ベニバナダイコンソウに発生。 *Pucciniastrum* sp. と推定される

ヤマブキ(山吹)

Globeflower

Kerria japonica (L.) DC.

(広葉樹)

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の異名はサクラ類褐色こうやく病参照

褐斑病 kappan-byo

Septoria kerriae Sydow

原 攝祐:実験作物病理学:902, 1930(昭 5); 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):166, 1917(大 6)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

那須英夫ら:近畿中国農研 64:71, 1982 ; 野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker

Diaporthe japonica Saccardo [*Phomopsis japonica* Saccardo]

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3 版):117, 1927(昭 2)

[備考] Wehmeyer (1933) は本病原菌を *Diaporthe eres* Nitschke に含めた

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

原 攝祐:茶樹の病害:149, 1932(昭 7)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類灰色こうやく病参照

円星病 maruhoshi-byo

Cercospora kerriae Togashi

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):61, 1960 ; 富樫浩吾:札幌博物学会報 17:99, 1942(昭 17)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

††††

Metasphaeria kerriae Sydow, P. Sydow & Hara

原 攝祐:植物学雑 27(313):66, 1913(大 2)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

ハナカイドウ類(カイドウ)(海棠)

Flowering crab apple, Kaido crab apple

(広葉樹)

ハナカイドウ Flowering crab-apple *Malus halliana* Koehne

ミカイドウ *Malus micromalus* Makino

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

埼玉県内務部:病虫雑 21(2):152, 1934(昭9) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

赤星病 akahoshi-byo Rust (銹病)

Gymnosporangium yamadae Miyabe ex G. Yamada

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1910(明 43) ; 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明 36) ; 平塚直秀:日菌報 16(1):91, 1975 ; 成田武四:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:633, 1998

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera leucotricha (Ellis & Everhart) E.S. Salmon

安田 篤:植物学各論隠花部:363, 1911(明 44)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

灰星病* haiboshi-byo (菌核病)
Monilinia fructigena (Aderhold & Ruhland) Honey [*Sclerotinia fructigena* (Persoon) J. Schröter]
原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大 5)

腐らん病 furan-byo Cytospora canker
Valsa ceratosperma (Tode) Maire
田村 修ら:農薬の進歩(北海三共) 15(2):3, 1975 ; 成田武四:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:633, 1998
[備考] 病原菌の異名はボブラ類ふらん病参照。接種試験未了

モニリア病 *Monilia*-byo Blossom blight (花腐病)
Monilinia mali (Takahashi) Whetzel [*Sclerotinia mali* Takahashi, *Sclerotinia malicola* Miura, *Monilinia mali* (Takahashi) Yamamoto]
山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959 ; 成田武四:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:633, 1998
[備考] 接種試験未了

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne mali Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ
Itoh, Y. *et al.*:Appl. Entomol. Zool. 4(4):194, 1969

ヒメリンゴ
Plumleaf Crabapple
Malus prunifolia Borkhausen
(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease
Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]
川島祐介・山口忠義:森林防疫 38(10):183, 1989

リンゴ(苹果)
Apple
Malus pumila Miller var. *domestica* Schneider
(果樹)

くぼみ果病* kubomika-byo Yellow dimple fruit
Apple dimple fruit viroid (ADFVd) リンゴくぼみ果ウイロイド
磯野清香ら:日植病報 73(3):220, 2007 ; He, Y.-H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):324, 2010

さび果病 sabika-byo Scar skin (Dapple apple) (斑入果病, 満州苹果銹果病)
Apple scar skin viroid (ASSVd) リンゴさび果ウイロイド
大塚義雄:園学雑 6:44, 1935(昭 10) ; 澤村健三:園試報 C3:25, 1965 ; 山口 昭ら:果樹試報 C2:73, 1975 ; Koganezawa, H. & Hashimoto, J.:Abstr.5th ICPP:69, 1988

ゆず果病 yuzuka-byo

Apple fruit crinkle viroid (AFCVd) リンゴゆず果ウイロイド

小金澤碩城ら:日植病報 54(1):89, 1988 ; 伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 62(6):597, 1996 ; 伊藤 伝ら:日植病報 64(4):424, 1998

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Apple latent spherical virus* (ALSV) リンゴ小球形潜在ウイルス

小金澤碩城ら:日植病報 51(3):363, 1985 ; Li, C. *et al.*:J. Gen Virol 81:541, 2000

(2) *Apple russet ring A virus*#

伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 60(6):762, 1994 ; 伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 63(6):487, 1997 ; 李 春江ら:日植病報 63(6):487, 1997

[備考] 本ウイルスは輪状さび果罹病リンゴ樹から分離されたが、本病とは関係がないのでウイルス名の変更が必要

(3) *Platycarpa scaly bark virus*# (PSBV)

澤村健三・長田 茂:日植病報 41(1):91, 1975

[備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染

えそ病 eso-byo

病原未確認

難波成任ら:日植病報 48(1):80, 1982 ; 難波成任:日植病報 48(3):258, 1982

[備考] 接ぎ木伝染性未確認。難波は病原として *Apple necrosis virus*# (ANV リンゴえそウイルス) を提唱しているが、戻し接種未成功

高接病 takatsugi-byo Topworking disease

(1) *Apple chlorotic leaf spot virus* (ACLSV) リンゴクロロティックリーフスポットウイルス

(2) *Apple stem grooving virus* (ASGV) リンゴステムグルービングウイルス

(3) *Apple stem pitting virus* (ASPV) リンゴステムピットティングウイルス

須佐寅三郎:農及園 13(2):581, 1938(昭 13) ; 飯森三男・後沢憲志:園学要旨昭 28 春:2, 1953 ; 柳瀬春夫:果樹試報 C1:47, 1974 ; Yanase, H.:Acta Hort. 130:117, 1982

[備考] (3) は病原性未確認

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

病原未確認

富士貞吉・田濱康夫:北大農邦文紀要 3(3):116, 1960 ; 小室康雄:植物防疫 16(6):255, 1962 ; 小金澤碩城・別所英男:日植病報 53(1):93, 1987

[備考] 接ぎ木伝染性。世界のリンゴ生産地で *Apple mosaic virus* が知られている。また、わが国でもエライザ法により同ウイルスの検出の例がある

輪状さび果病 rinjo-sabika-byo Russet ring

病原未確認

柳瀬春夫・山口 昭:日植病報 43(3):376, 1977 ; 柳瀬春夫:植物防疫 31(10):408, 1977 ; 伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 63(6):487, 1997

[備考] 接ぎ木伝染性。被害樹から *Apple chlorotic leaf spot virus* (ACLSV リンゴクロロティックリーフスポットウイルス)が検出されている

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (癌腫病, 癌瘤病, 冠瘻病, 根頭癌腫病)

(1) *Rhizobium radiobacter* (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

村田壽太郎:病虫雑 2(2):163, 1915(大 4) ; 三浦道哉:りんごの病気:109, 1917(大 6) ; 對馬由記子ら:日植病報 70(1):53, 2004 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

(2) *Rhizobium rhizogenes* (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium rhizogenes* (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Conn 1942]
對馬由記子ら:日植病報 70(1):53, 2004 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

毛根病 mokon-byo Hairy root

Agrobacterium rhizogenes (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Conn 1942 [*Bacterium rhizogenes* Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen]

立石 晁:日植病報 9(3):181, 1939(昭14) ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:391, 1941(昭16) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:233, 1949 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

あいかわたけ病 aikawatake-byo (心腐病)

Laetiporus sulphureus (Bulliard) Murrill [*Polyporus candicinus* Karsten]

原 攝祐:果樹病害論:135, 1916(大 5)

青かび病 aokabi-byo Blue mold (軟腐病, 青黴腐敗病, 青黴病)

Penicillium expansum Link

三浦道哉:りんごの病気:146, 1917(大 6) ; 富樫浩吾:果樹病学:62, 1950

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease, Rubellosis

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]

富樫浩吾:果樹病学:44, 1950 ; 広間勝巳ら:日植病報 52(3):546, 1986

赤星病 akahoshi-byo Rust (銹病, 赤銹病, 毛銹病)

Gymnosporangium yamadae Miyabe ex G. Yamada

出田 新:農作物病理学:97, 1901(明 34) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1904(明 37) ; 平塚直秀:日菌報 16(1):91, 1975

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Podosphaera leucotricha (Ellis & Everhart) E.S. Salmon [*Podosphaera oxyacanthae* de Bary, *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary]

出田 新:日本植物病理学:269, 1903(明 36) ; 原 攝祐:果樹病害論:175, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実用作物病理学:285, 1925(大 14) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):314, 1937

疫病 eki-byo Crown rot, Collar rot, Phytophthora fruit rot (根頸疫病)

(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

瀧元清透:病虫雑 6(8):687, 6(9):756, 1919(大 8) ; 柳瀬春夫・佐久間 勉:果樹試報 C 6:105, 1979

(2) *Phytophthora cambivora* (Petri) Buisman

鈴井孝仁・星野好博:日植病報 45(1):81, 1979 ; Suzui, T. & Hoshino, Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 45(3):344, 1979

(3) *Phytophthora syringae* (Klebahn) Klebahn

藤田孝二ら:日植病報 58(1):121, 1992 ; 藤田孝二ら:日植病報 60(6):717, 1994

果梗腐病 kakogusare-byo (果梗ぐされ病)

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo [*Fusarium roseum* Link 'Avenaceum', *Fusarium roseum* Link f. sp.

avenaceum (Fries) W.C. Snyder & H.N. Hansen, *Fusarium roseum* Link f. sp. *cereale* W.C. Snyder & H.N. Hansen]

阿部寛二:日植病報 45(4):544, 1979

[備考] 貯蔵病害としての水腐病と病原菌は同じ

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf spot

Pleospora herbarum (Persoon) Rabenhorst

平良木武ら:日植病報 41(3):253, 1975 ; 平良木武:岩手園試研報 5:1, 1984

褐斑病 kappan-byo Blotch, Marssonina leaf spot, Marssonina blotch (褐点病, 落葉病)

Diplocarpon mali Y. Harada & Sawamura [*Marssonina coronaria* (Ellis & Davis) Davis, *Marssonina mali* (Hennings) S. Ito, *Marssonina mali* Hennings]

三宅市郎:植物学雑誌 21(242):49, 1907(明 40) ; 原田幸雄ら:日植病報 40(5):412, 1974

褐紋病 katsumon-byo Brown leaf spot, Fruit blotch (疱瘡病, 褐斑病, 疱腫病, 葉枯病)

Phyllosticta solitaria Ellis & Everhart

三浦道哉:りんごの病気:78, 1917(大 6) ; 鑄方末彦:実験果樹病害編:116, 1927(昭 2)

かわらたけ病* kawaratake-byo Coriolus stem rot, Stem sap rot

Coriolus versicolor (Linnaeus) Quélet [*Polystictus versicolor* Fries]

原 攝祐:日本菌類目録:91, 1954

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall]

鷺尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981 ; 野呂俊一ら:日植病報 48(3):365, 1982 ; 原田幸雄・野呂俊一:東北地方における作物病害研究の歩みと展望:161, 1994

がんしゅ病 ganshu-byo European canker, Nectria canker (癌腫病, 潰瘍病)

Nectria galligena Bresàdola [*Nectria ditissima* Tulasne & C. Tulasne]

出田 新:日本植物病理学:289, 1903(明 36) ; 富樫浩吾:果樹病学:35, 1950

黄腐病 kigusare-byo

Gloeosporium sp.

福井白志:農林省農改資料 152:186, 1940(昭 15)

銀葉病 gin'yo-byo Silver leaf

Chondrostereum purpureum (Persoon) Pouzar [*Stereum purpureum* (Persoon) Fries]

島 善鄰:農及園 4(7):867, 1929(昭 4)

くもの巣病 Kumonosu-byo Web-blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:日植病報 62(3):264, 1996

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

黒腐病 kurogusare-byo Black rot (葉斑点病, 褐点病, 斑葉病, 灰色丸星病, 黒点病, 蛙眼病, 灰色星病, 灰色斑点病, 潰瘍病)

Botryosphaeria obtusa (Schweinitz) Shoemaker [*Physalospora cydoniae* G. Arnaud, *Physalospora obtusa* (Schweinitz) Cooke, *Sphaeropsis malorum* Peck]

内田郁太:日園雑 21(8):39, 1909(明 42); 中田覺五郎:朝鮮農會報 10(6):26, 1915(大 4); 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):665, 1978

[備考] von Arx and Muller (Beitr. Kryptog.-Flora Schw. 11(1):33, 1954) は本種を *Botryosphaeria quercuum* (Schweinitz) Saccardo の異名同種としている

黒星病 kurohoshi-byo Scab (瘡痂病, 黒点病, そうか病)

Venturia inaequalis (Cooke) G. Winter [*Fusicladium dendriticum* (Wallroth) Fuckel]

出田 新:日本植物病理学:323, 1903(明 36); 原 攝祐:果樹病害論:145, 1916(大 5); 西田 勉・池 大司:北日本病虫研報 16:53, 1965

こうじかび病 koji-kabi-byo *Aspergillus rot* (麹黴病)

(1) *Aspergillus glaucus* Link

(2) *Aspergillus niger* Tieghem

(3) *Aspergillus ochraceus* G. Wilhelm

(4) *Aspergillus tamarii* Kita

富樫浩吾:果樹病学:64, 1950

紅粒がんしゅ病* koryu-ganshu-byo *Nectria twig blight*, *Twig canker*, *Coral spot* (紅斑性癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

富樫浩吾:果樹病学:39, 1950

黒点病 kokuten-byo *Fruit spot*, *Brooks fruit spot* (斑点病, 枝枯病, 葉縮病)

Mycosphaerella pomi (Passerini) Lindau [*Cylindrosporium pomi* C. Brooks, *Diaporthe pomigena* (Schweinitz) Miura]

西田藤次:果樹 81:18, 1909(明 42); 吉井 甫:勸業模範場彙報 2:140, 1926(大 15); 堀竈健介ら:日植病報 33(5):325, 1967

黒斑病 kokuhan-byo (潰瘍病)

Macrophoma curvispora Peck

菅原太吉:果樹 109:28, 1912(明 45); 農商務省:病虫雑 1(3):328, 1014(大 3)

[備考] 病原菌の分類学的検討を要する

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo *Entomosporium leaf spot*, *Fabraea leaf spot*

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo [*Entomosporium maculatum* Léveillé, *Stigmatea mespili* Sorauer]

Horie, H. & Kobayasi, T.:Europ. J. For. Pathol. 9(6):366, 1979; 堀江博道:日植病報 50(1):136, 1984

[備考] 海外では完全世代として *Diplocarpon mespili* (Sorauer) Sutton が発見されている

白絹病 shirakinu-byo *Southern blight*

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne]

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場報告 15:119, 1928(昭 3); 埼玉県内務部:病虫雑 21(2):153, 1934(昭 9); 落合政文ら:日植病報 47(3):372, 1981

[備考] 菅原太吉 (果樹 109:28, 1912) およびト蔵梅之丞 (病虫雑 4(2):141, 1917) は *Hypochnus ochroleucus* Noack による白絹病を記載しているが, 本病と同じものと思われる

白紋羽病 shiro-mompa-byo *White root rot*, *Rosellinia root rot*

Rosellinia necatrix Prillieux [*Dematophora necatrix* Hartig]

呉 竹生:果樹 142:45, 1915(大 4); 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:345, 1927(昭 2)

心かび病 shinkabi-byo Heart rot, Moldy core and core rot (心黴病, 心腐病)

(1) *Alternaria* sp.

(2) *Cladosporium* sp.

(3) *Fusarium* sp.

木村甚弥:青森県内務部:72, 1934(昭 9); 伊藤誠哉・赤塚耕三:病虫雑 29:220, 1942(昭 17); 富樫浩吾:果樹病学:67, 1950

[備考] 田中弥平・中田良一 (東北農業研究 15:317, 1974) は約 20 種類の菌を, また, 松尾卓見ら (作物のフザリウム病:472, 1980) は数種の *Fusarium* 属菌を病原として挙げている。倉舘公子・藤田孝二 (日植病報 64(4):430, 1998) は本病の主因は *Fusarium* spp. であり, *F. oxysporum* Schlechtendal が含まれることを報告している

すえひろたけ病 suchirotake-byo Schizophyllum rot

Schizophyllum commune Fries

逸見武雄:病虫雑 29(2):66, 1942(昭 17); 富樫浩吾:果樹病学:43, 1950

すす点病 susuten-byo Fly speck (煤斑病, 汚斑病, 煤病, 煤点病)

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason [*Leptothyrium pomi* (Montagne & Fries) Saccardo]

村田壽太郎:果樹 151:47, 1915(大 4); 那須英夫ら:日植病報 47(3):375, 1981

[備考] 海外で採用されている完全世代の *Schizothyrium pomi* (Montagne & Fries) Arx は国内では未記録

すす斑病 susuhan-byo Sooty blotch

Gloeodes pomigena (Schweinitz) Colby

高橋俊作:落葉果樹の病害虫(北島 博監修):28, 1968

せん孔病 senko-byo (穿孔病)

(1) *Leptosphaeria lucilla* Saccardo

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6)

(2) *Leptosphaeria yulan* Saccardo [*Leptosphaeria pomona* Saccardo]

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6); 富樫浩吾:果樹病学:118, 1950

そうか病 soka-byo (瘡痂病)

Cladosporium carpophilum Thümen

堀正太郎:園芸之友 9(11):990, 1913(大 2); 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):11, 1916(大 5)

炭疽病 tanso-byo Bitter rot (苦腐病, 腐敗病, 熱腐病, 晩腐病, 炭そ病)

(1) *Colletotrichum aenigma* B.S. Weir & P.R. Johnsto

平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016

(2) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan

佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(3) *Colletotrichum fructicola* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde

平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016

(4) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

飯島章彦:関東病虫研報 41:123, 1994; 佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

(5) *Colletotrichum siamense* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde

平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016

(6) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichopsis piri* (F. Noack) Bubák f. *tirolense*

Bubák, *Gloeosporium fructigenum* Berkeley]

出田 新:日本植物病理学:358, 1903(明 36); 三宅市郎・原 攝祐:日園雑 22(12):31, 1910(明 43)

胴枯病 dogare-byo Diaporthe canker, Phomopsis canker (軸腐病)

(1) *Diaporthe tanakae* Tak. Kobayashi & Sakuma

(2) *Phomopsis mali* Roberts [*Phomopsis truncicola* Miura]

三浦道哉:りんごの病気:91, 1917(大 6); 照井陸奥生:日植病報 24(1):17, 1959; 照井陸奥生:弘大農報 5:59, 1959; 照井陸奥生・原田幸雄:弘大農報 14:43, 1968; 杉木 隆ら:日植病報 49(3):402, 1983

[備考] 三浦道哉 (りんごの病気:121, 1917) は斑点病菌として *Diaporthe pomi* Miura を挙げ, そのシノニムとして *Phomopsis mali* を記載している。

†胴枯病 dogare-byo

Cytospora capitata Saccardo & Schulzer

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5)

[備考] 朝鮮半島

胴腐病 dogusare-byo Dieback, Dothiorella gummosis, White rot

Botryosphaeria ribis Grossenbacher & Duggar

逸見武雄:日植病報 9(3):184, 1939(昭 14)

[備考] von Arx and Muller (Beitr. Kryptog.-Flora Schw. 11(1):37, 1954) は本種を *Botryosphaeria dothidea* (Mougeot) Cesati & De Notaris の異名同種としている

夏念珠病 natsu-nenju-byo (念珠病, 菌核病, モニリア病, 硬化病)

Phaeosclerotinia nipponica Hori [*Sclerotinia phaeospora* Hori]

堀正太郎:園芸之友 8(11):1, 1912(大 1); 佐々木武吉:日園雑 25(3):36, 1913(大 2); 佐々木武吉:園芸之友 9:349, 1913(大 2); 鑄方末彦:実験果樹病害篇 108, 1927(昭 2)

[備考] 原田幸雄・佐々木将人 (菌蕈研報 28:275, 1990) は本菌はリンゴ灰星病 (*Monilinia fructigena* (Aderhold & Ruhland) Honey) の分生子世代とチャイロミ菌核病菌 (*Lambertella corni-marisi* von Höhnelt) の子のう盤世代を混同記載した種である可能性が大であると記している。なお, Korf, R. P. (Phytopathologia 21:201, 1971) は本菌を *Phaeosclerotinia phaeospora* (Hori) Korf としている

ならたけ病* naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

原 攝祐:果樹病害論:467, 1916(大 5)

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Blossom end rot, Dry eye rot, Gray mold, Gray mold rot (鼠黴病, 果頂腐敗病)

Botrytis cinerea Persoon

富樫浩吾:果樹病学:66, 1950; 田村 修・斎藤 泉:日植病報 47(5):691, 1981

灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Felt (膏薬病, 灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

呉 竹生:果樹 142:45, 1915(大 4)

灰色斑点病 haiiro-hanten-byo Leaf spot

(1) *Leptosphaeria mandshurica* Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:175, 1928(昭 3); 原 攝祐:実験作物病理学:527, 1930(昭 5); 三浦密成:秋田農試 8:11, 1957

(2) *Phyllosticta pyrina* Saccardo

中田覺五郎:朝鮮農会報 10(4):23, 1915(大 4) ; 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6) ; 原 攝祐:静岡県農会報 363:付録 37, 1928(昭 3)

[備考] 永井政次・高橋公毅 (日植病報 30(5):278, 1963) は (1)を斑点落葉病の病原菌の 1 種として報告している。三浦密成 (三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:416, 1928), 原 攝祐 (実験作物病理学:525, 1930), 北島 博 (果樹病害各論:175, 1989) は朝鮮半島の *Phyllosticta trunanensis* Miura [*Phyllosticta minutissima* Kabát & Bubák] による灰色斑点病を紹介した

灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, 秋念珠病, 念珠病, モニリア病, 褐腐病, 硬化病)

(1) *Monilinia fructicola* (G. Winter) Honey

原田幸雄:日植病報 51(3):324, 1985

(2) *Monilinia fructigena* (Aderhold & Ruhland) Honey [*Monilia fructigena* Persoon, *Sclerotinia fructigena* (Persoon) J. Schröter]

白井光太郎:植物病理学(下):267, 1894(明 27) ; 原 攝祐:実用作物病理学:274, 1925(大 14) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):2, 1959

葉巻萎縮病 hamaki-ishuku-byo Leaf-roll dwarf

Geniculosporium spp.

岩波靖彦ら:日植病報 76(3):155, 2010

[備考] 萎縮病 (浅利正義ら:日植病報 75:193, 2009) とさび色萎縮病 (岩波靖彦ら:日植病報 75:193, 2009) が同時に提案されたが, 岩波ら (2010) はこれらを同一病害とし, 本病名とした

斑点病 hanten-byo *Phyllosticta* leaf spot (穿孔病)

(1) *Phyllosticta allantospora* Ellis & Everhart [*Phyllosticta maculiformis* Saccardo]

原 攝祐:実験樹木病害篇:197, 1927(昭 2)

(2) *Phyllosticta prunicola* (Opiz) Saccardo

原 攝祐:果樹病害論:133, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6)

†斑点病 hanten-byo (葉枯病)

(1) *Hendersonia mali* Thümen

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5)

[備考] 朝鮮半島

(2) *Phyllosticta mali* Prillieux & Delacroix [*Phoma mali* Briard]

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5) ; 原 攝祐:静岡県農会報 362:付録 27, 1927(昭 2)

[備考] 朝鮮半島・中国東北部

斑点落葉病 hanten-rakuyo-byo *Alternaria* blotch, *Alternaria* leaf spot, Cork spot (褐色斑点病, 大星病)

Alternaria mali Roberts

原 攝祐:静岡県農会報 364:付録 51, 1928(昭 3) ; 澤村健三:東北農試研報 23:163, 1962 ; 澤村健三・柳瀬春夫:園試報 C 1:77, 1963

[備考] 本病菌を *Alternaria alternata* (Fries) Keissler に含める考え方がある。なお, 三浦道哉 (りんごの病気:84, 1914) が葉枯病菌とした *Alternaria* sp. は本菌と異なるようである。澤村(1962)の報告は病原性を確認した

ばら色かび病* barairo-kabi-byo Pink rot, Pink mold rot (紅腐病, 石竹色腐敗病)

Trichothecium roseum (Persoon) Link [*Cephalothecium roseum* (Persoon) Corda]

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5) ; 三浦道哉:りんごの病気:148, 1917(大 6)

バーティシリウム病 *Verticillium*-byo

Verticillium sp.

三浦道哉:りんごの病気:151, 1917(大 6)

腐らん病 furan-byo Valsa canker (粗皮病, 腐敗病, 黒斑病, 皮膚病, 腐爛病)

Valsa ceratosperma (Tode) Maire [*Valsa mali* Miyabe & G. Yamada, *Cytospora capitata* Saccardo & Schulzer, *Cytospora sacculus* (Schweinitz) Gvritschvili]

高橋良直:北海道農試彙報 5:39, 1908(明 41) ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis disseminata* (Thümen) Steyaert [*Pestalotia disseminata* Thümen]

日野隆之:日菌報 7(2, 3):193, 1966 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1188, 1978

(2) *Truncatella hartigii* (Tubef) Steyaert [*Pestalotia hartigii* Tubeuf]

日野隆之:日菌報 7(2, 3):193, 1966

[備考] 病原菌の学名は佐藤幸生:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編:424, 1992) 参照

†ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotia traverseta Saccardo

原 攝祐:静岡県農会報 363:付録 37, 1928(昭 3) ; 原 攝祐:実験作物病理学:525, 1930(昭 5)

[備考] 中国東北部

水腐病 mizugusare-byo Water rot

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo [*Fusarium putrefaciens* Osterwalder]

三浦道哉:りんごの病気:143, 1917(大 6)

[備考] 白井光太郎・原 攝祐 (訂正増補日本菌類目録:143, 1927) は水腐病の病原として *Fusarium helianthi* Saccardo を記載している

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka [*Stypinella purpurea* (Tulasne) Schröter]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:323, 1904(明 37) ; 原 攝祐:果樹病害論:60, 1916(大 5)

芽腐病 megusare-byo Twig canker and fruit rot

Seimatosporium lichenicola (Corde) Shoemaker & E. Müller [*Coryneum foliicola* Fuckel]

ト蔵梅之丞:園芸之友 10(1):43, 1914(大 3) ; 三浦道哉:りんごの病気:94, 1917(大 6)

モニリア病 Monilia-byo Blossom blight, Monilia leaf blight (花腐病, 花モニリア病, 実腐病, 菌核病, 硬花病, 念珠病)

Monilinia mali (Takahashi) Whetzel [*Sclerotinia mali* Takahashi, *Sclerotinia malicola* Miura]

高橋良直:北農試彙報 5:35, 1908(明 41) ; 島 善鄰:実際園芸 13(4):57, 1932(昭 7) ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977

輪紋病 rimmon-byo Ring rot (Physalospora canker) (いぼ皮病 ibokawa-byo, 粗皮病)

Botryosphaeria kuwatsukai (Hara) G.Y. Sun and E. Tanaka [*Botryosphaeria berengeriana* De Notaris f. sp.

pyricola Koganezawa & Sakuma, *Guignardia pyricola* (Nose) W. Yamamoto, *Macrophoma kuwatsukai* Hara, *Macrosporium pyrorum* Cooke, *Physalospora pyricola* Nose]

鋤塚喜久治:園芸の研究 17:190, 1921(大10) ; 平良木武ら:日植病報 47(3):373, 1981 ; 野瀬直毅:朝鮮総督府農事試験場彙報 7(2):156, 1933 ; 小金澤碩城・佐久間 勉:果樹試報C 11:58, 1984 ; Ogata, T. et al.:Mycoscience 41(4):331, 2000 ; Xu C. et al.:Fungal Divers. 71:215, 2015

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

湯原 巖ら:北日本病虫研報 13:133, 1962

(2) *Meloidodera* sp. ニセシストセンチュウの1種

津川 力ら:北日本病虫研報 14:122, 1963

(3) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの1種

湯原 巖ら:北日本病虫研報 13:133, 1962

(4) *Pratylenchus crenatus* Loof ノコギリネグサレセンチュウ

後藤 昭:九農試報 17(2):139, 1974

(5) *Pratylenchus loosi* Loof チャネグサレセンチュウ

後藤 昭:九農試報 17(2):139, 1974

(6) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

後藤 昭:九農試報 17(2):139, 1974

(7) *Tylenchorhynchus claytoni* Steiner ナミイシユクセンチュウ

津川 力ら:北日本病虫研報 14:122, 1963

(8) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 輸出検疫 (植物体から検出)。上記種との異同は不明

(9) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの1種

湯原 巖ら:北日本病虫研報 13:133, 1962 ; 津川 力ら:北日本病虫研報 14:122, 1963

(10) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの1種

湯原 巖ら:北日本病虫研報 13:133, 1962

根腐線虫病* negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

津川 力ら:北日本病虫研報 14:122, 1963

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

津川 力ら:北日本病虫研報 14:122, 1963 ; 後藤 昭:九農試報 17(2):139, 1974

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

鷺尾貞夫・豊川菊祐:北日本病虫研報 19:103, 1968 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] エゾリンゴ (*Malus cerasifera*) にも寄生。上記種との異同は不明

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 津川 力ら:北日本病虫研報 14:122, 1963

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne mali* Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ

Itoh, Y. et al.:Appl. Ent. Zool. 4:194, 1969 ; 伊藤喜隆:植物防疫 21(10):414, 1967

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] *Meloidogyne mali* Itoh et al. として報告されたが、本種の記載に際し訂正された

亜鉛欠乏症 aen-ketsubo-sho Zinc deficiency (ロゼット病)

亜鉛欠乏

島 善鄰:農及園 4(7):872, 1929(昭4)

赤脚病 akasune-byo

生理障害

三浦道哉:りんごの病気:155, 1917(大 6)

[備考] 施肥量不足, 施肥配合の不適當などが原因と考えられている

萎凋病 icho-byo (萎ちょう病)

生理障害

島 善鄰:果樹 230:27, 1922(大 11)

[備考] 水分調節の欠陥が原因と考えられている

苦とう病 kuto-byo Bitter pit (苦痘病)

生理障害

西田藤次:園芸之友 15(2):85, 1919(大 8)

[備考] Ca 不足が主な原因で, N 過剰及び Ca/K+Mg 比も関与すると考えられている

紅玉斑点病 kogyoku-hanten-byo Jonathan spot (紅玉星)

生理障害

西田藤次:園芸之友 15(2):85, 1919(大 8); 吉井 甫:勸業模範場彙報 2:135, 1926(大 15)

ゴム病 gomu-byo Internal breakdown, Soggy breakdown, Mealy breakdown

生理障害

島 善鄰:中央園芸 277:19, 1926(大 15); 照井陸奥生:弘大農報 5:60, 1959

鶴の卵実割病 tsurunotamago-miware-byo

生理障害

柄内吉彦:病虫雑 21(1):17, 1934(昭 9)

[備考] リンゴ品種 鶴の卵

日焼病 hiyake-byo Sunburn

生理障害

西田藤次:病虫雑 5(7):520, 1918(大 7)

[備考] 日光の直射

ほう素欠乏症 hoso-ketsubo-sho Boron deficiency, Blossom blast, Internal cork (縮果病 shukka-byo)

ほう素欠乏

中田覺五郎:病虫雑 4(9):670, 1917(大 6)

[備考] 瀧元清透 (日園雑 34(5):18, 1922) は土壤中の水分不足による生理障害として縮果病を記載している

マグネシウム欠乏症* magnesium-ketsubo-sho Magnesium deficiency

マグネシウム欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):222, 1956

マンガン過剰症 mangan-kajo-sho Manganese excess, Internal bark necrosis (粗皮病 sohi-byo)

マンガン過剰

長井晃四郎ら:園芸雑 34(4):265, 1965

[備考] 三浦道哉 (りんごの病気:106, 1917) は粗皮病の病原として *Coniothecium chromatosporum* Corda を記載している

マンガン欠乏症* mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency

マンガン欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):223, 1956

蜜病 mitsu-byo Glassiness, Water core (硝子化病, 硝子病, 心腐病, 水心病)

生理障害

中田覺五郎:朝鮮農会報 10(2):43, 1915(大 4); 三浦道哉:りんごの病気:152, 1917(大 6)

奇形果病 kikeika-byo Green crinkle (伝染性さび果)

病原未確認

木村甚弥:病虫雑 21(3):201, 1934(昭 9); 澤村健三:園試報 C3:25, 1965

[備考] 接ぎ木伝染性

††火傷病 kasho-byo Fire blight (腐爛病, 火焼病)

Erwinia amylovora (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [*Bacillus amylovorus* (Burrill) Trevisan]

上田栄次郎:日本農会報 260:1, 1903(明 36); 山田玄太郎:植物病理学:186, 1904(明 37); 岡部徳夫:植物細菌病学:235, 1949; 村田寿太郎:病虫雑(2):163, 1915(大 4)

[備考] アメリカ・ヨーロッパ

†††急性衰弱症 kyusei-suijaku-sho

Dickeya dadantii Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005

藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017

[備考] 病名未提案。数年生りんご樹への接種試験は成功していない

††水ほう細菌病* suiho-saikin-byo Blister spot (水泡性斑点病)

Pseudomonas syringae pv. *papulans* (Rose 1917) Dhanvantari 1977 [*Bacterium papulans* (Rose) Elliott, *Pseudomonas papulans* Rose]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:370, 1941(昭 16); 岡部徳夫:植物細菌病学:235, 1949

[備考] アメリカ・イギリス・南アフリカ

††実腐細菌病* migusare-saikin-byo Bacterial fruit rot (実腐性細菌病)

病原細菌種名未定

岡部徳夫:植物細菌病学:236, 1949

[備考] アメリカ。病原細菌名 *Pseudomonas melophthora* Allen & Riker [*Bacterium melophthorum* Allen & Ricker] は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†暗色葉枯病 anshoku-hagare-byo (暗色斑点病, 斑点病)

Plenodomus harbinensis Hara [*Plenodomus* sp.]

原 攝祐:静岡県農会報 363:付録 37, 1928(昭 3); 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:430, 1928(昭 3);

原 攝祐:日本菌類目録:177, 1954

[備考] 中国東北部

†枝枯病 edagare-byo

Stagonospora mali Delacroix

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5); 中田覺五郎・瀧元清透:朝鮮勸業模範場研報 15(朝鮮作目病害目録):116, 1928(昭 3)

[備考] 朝鮮半島

†大星病 oboshi-byo

Pestalotia malicola Hori

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5)

[備考] 朝鮮半島。永井政次・高橋公毅 (日植病報 30(5):278, 1963) は国内での調査で斑点落葉病菌の 1 種として報告しているが、その後の記録は見当たらない

†褐色せん孔病 kasshoku-senko-byo Brown shot hole, *Cylindrosporium* leaf spot (黒点病)

Phloeosporrella padi (Libert) Arx [*Cylindrosporium padi* P. Karsten]

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5)

[備考] 朝鮮半島

†††国光斑点病 kokko-hanten-byo

†††*Septoria* sp.

瀧元清透:病虫雑 25(5):372, 1938(昭 13)

[備考] 朝鮮半島からの輸入果実に発生

††すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

(1) *Apiosporium mali* Wallroth

(2) *Capnodium salicinum* Montagne

白井光太郎:植物病理学(下):198, 1900(明 33) ; 白井光太郎:最近植物病理学:403, 1907(明 40)

†セルコスボラ病 *Cercospora*-byo *Cercospora* disease

Cercospora mali Everhart & Ellis

原 攝祐:静岡県農会報 364:付録 48, 1928(昭 3) ; 原 攝祐:実験作物病理学:526, 1930(昭 5)

[備考] 中国東北部

†猫眼病 nekonome-byo

Phoma pomorum Thümen

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5)

[備考] 朝鮮半島

†白点病 hakuten-byo

Coniothyrium tirolense Bubák

中田覺五郎:華北農試調査報告 1:55, 1941(昭 16)

[備考] 中国東北部

†円星病 maruhoshi-byo (灰斑病)

Mycosphaerella pomacearum (Corda) Saccardo

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5) ; 中田覺五郎:華北農試調査報告 1:55, 1941(昭 16)

[備考] 朝鮮半島・中国東北部

††褐色おうかん病 kasshoku-okan-byo (褐色凹陷病)

生理障害

村田寿太郎:病虫雑 2(2):163, 1915(大 4)

[備考] アメリカ

††霜焼病 shimoyake-byo

生理障害

吉井 甫:勸業模範場彙報 2:139, 1926(大 15)

[備考] 朝鮮半島

††心腐病 shingusare-byo

生理障害

吉井 甫:勸業模範場彙報 2:135, 1926(大 15)

[備考] 朝鮮半島

†根腐病 negusare-byo

病原不明

吉井 甫・草野 実:勸業模範場彙報 6:477, 1926(大 15)

[備考] 朝鮮半島

††††斑葉病 han'yo-byo

病原不明

島 善鄰:農及園 4(7):867, 1929(昭 4)

†わい化病 waika-byo (矮化病)

病原不明

吉井 甫・草野 実:勸業模範場彙報 6:477, 1926(大 15)

[備考] 朝鮮半島

††††

†*Cytospora mandshurica* Miura

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:113, 1927(昭 2)

[備考] 中国東北部。腐爛病菌と記載している

††††

Epicoccum granulatum Penzig

永井政次・高橋公毅:日植病報 30(5):278, 1965

[備考] 斑点落葉病菌の 1 種として記載されたが、その後の記録は見当たらない

††††

Lambertella corni-marit Höhnelt

Terui, M. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(3):131, 1969 ; Harada, Y. & Sasaki, M.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 28:275, 1990

[備考] リンゴ園内のミイラ化した果実から検出。Harada, Y. & Sasaki, M. によれば本菌 (チャイロミ菌核病菌) はリンゴ灰星病菌 *Monilinia fructigena* (Aderhold & Ruhland) Honey の寄生菌であり、さらにリンゴ夏念珠病菌 *Phaeosclerotinia nipponica* (Hori) Korf の子のう盤世代の可能性が大である (夏念珠病参照)。セイヨウナシ・モモ・スモモ・オウトウでは接種によって発病する

††††

†*Monilia kenjiana* Miura

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:220, 1927(昭 2)

[備考] 中国東北部

††††

Nummularia discreta (Schweinitz) Tulasne & C. Tulasne

小宮康平:日植病報 48(3):365, 1983

[備考] 海外では Nailhead canker の病原である *Biscogniauxia marginata* (Fries) Pouzar のシノニムとされ

ている (APS: Compendium of Apple and Pear Diseases:41, 1990)

††††

Penicillium aurantiogriseum Dierckx

獅山慈孝ら:日植病報 62(3):268, 1996

[備考] 市場病害の腐敗果から分離。病原性確認

††††

Penicillium glabrum (Wehmer) Westling

獅山慈孝ら:日植病報 62(3):268, 1996

[備考] 市場病害の腐敗果から分離。病原性確認

††††

Phyllosticta briardii Saccardo

永井政次・高橋公毅:日植病報 30(5):278, 1965

[備考] 斑点落葉病菌の 1 種として記載されたが、その後の記録は見当たらない。なお、中田覺五郎 (朝鮮農会報 10(4):23, 1915) は朝鮮半島における調査で本菌を褐斑病の 1 種として記載している

††††

Sclerotium sp.

鈴木孝仁・鑑谷大節:北農試彙報 82:60, 1963

[備考] 根に寄生し、腐敗の原因となる

††††

†*Xylaria* sp.

佐久間 勉ら:日植病報 56(1):102, 1990

[備考] ウルグアイ。根の被害部から検出

ズミ(栂, 棠梨)

Toringo crabapple

Malus toringo (Sieb.) Sieb. ex Variese

(広葉樹)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):99, 1935(昭10) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば、情報不足のため、本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

赤星病 akahoshi-byo Rust

(1) *Gymnosporangium hemisphaericum* Hara

原 攝祐:大日本山林会報 419:13, 1917(大 6)

[備考] オオズミ (*M. sieboldii* var. *zumi*) ・ オオウラジロノキ(*M. tschonoskii*)

(2) *Gymnosporangium miyabei* G. Yamada & I. Miyake [*Roestelia solitaria* Miyabe]

平塚直秀:植物学雑 10(10):618, 1934(昭 9)

(3) *Gymnosporangium yamadae* Miyabe ex G. Yamada (銹病, 毛銹病)

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1910(明 43) ; 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明 36) ; 平塚直

秀:日菌報 16(1):91, 1975

[備考] エゾノコリンゴ (*M. baccata* var. *mandshurica*)・カラフトズミ (*M. baccata*)にも発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Podosphaera leucotricha (Ellis & Everhart) E.S. Salmon

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:120, 1928(昭3); 松村任三:帝国植物名鑑(上):162, 1904(明37)

[備考] エゾノコリンゴにも発生

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera oxycanthae (de Candolle) de Bary

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):39, 1914(大3)

[備考] 中国

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot

Pseudocercospora mali (Ellis & Everhart) Deighton

Nakashima, C.:Mycoscience 45:67, 2004

[備考] 接種試験未了

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo

堀江博道:日植病報 50(1):136, 1984

[備考] エゾノコリンゴ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] エゾノコリンゴ・オオウラジロノキ (*M. tschonoskii*) にも発生

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease (褐斑病)

Pestalotiopsis montellica (Saccardo & Voglino) Tak. Kobayashi [*Pestalotia montellica* Saccardo & Voglino]

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 15(4):381, 1974

モニリア病 *Monilia*-byo Blossom blight (花腐病)

Monilinia mali (Takahashi) Whetzel

澤田兼吉:林試研報 53:146, 1952

[備考] 病原菌の異名はハナカイドウ・モニリア病参照

†褐斑病 kappan-byo

Diplocarpon mali Y. Harada & Sawamura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:481, 1928(昭3)

[備考] 中国東北部。ズミでは完全世代未発見。病原菌の異名はボケ褐斑病参照

††††

Botryosphaeria dothidea (Mougeot) Cesati & De Notaris

大和浩国:日植病報 43(3):324, 1977

††††

†*Coniothyrium tirolense* Bubák

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:438, 1928(昭3)

[備考] 中国東北部。マンシュウズミ (*M. baccata* var. *mandshurica*)

††††

†*Phleospora microspora* Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:473, 1928(昭3)

[備考] 中国東北部。マンシュウズミ

カナメモチ(アカメモチ)

(*Photinia*)

Photinia glabra Maxim.

(広葉樹)

根頭がんしゅ病 kōto-ganshu-byō Crown gall

Rhizobium rhizogenes (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

大野啓一郎:森林防疫 24(12):243, 1975 ; 牧野孝宏:静岡県農業試験場特別報告 17:1 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

斑点細菌病 hanten-saikin-byō Bacterial leaf spot

Pseudomonas syringae pv. *photiniae* Goto 1983

市川一行ら:日植病報 47:134, 1981 ; 後藤正夫ら:植物防疫 35:272, 1981 ; Goto, M.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 49(4):457, 1983

赤衣病 akagoromo-byō Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

[備考] オオカナメモチ (*P. serrulata*)

うどんこ病 udonko-byō Powdery mildew

(1) *Fibroidium* sp. [*Oidium* sp.]

堀江博道ら:日植病報 65(6):657, 1999 ; 前野早衣子:日植病報 80(1):22, 2014

[備考] ベニカナメモチ。発芽管の形態は *Sphaerotheca pannosa* 型

(2) *Oidium* sp.

大野啓一郎:植物防疫 29(8):310, 1975

[備考] カナメモチ

(3) *Podosphaera leucotricha* (Ellis & Everhart) E.S. Salmon

前野早衣子:日植病報 80(1):22, 2014

[備考] カナメモチ, セイヨウカナメモチ

疫病 eki-byō Phytophthora rot

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 56(1):147, 1990

褐斑病 kappan-byō

Cercospora photiniae Fukui

福井武治:三重高農学術報 3(3):11, 1933(昭8)

[備考] オオカナメモチ (*P. serrulata*) にも発生

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo

堀江博道・小林享夫:日植病報 44(1):106, 1978 ; Horie, H. & Kobayashi, T.:Eur. J. For. Pathol. 10:225, 1980 ;
堀江博道:東京農試研報 19:1, 1986

[備考] *P. fraseri* にも発生。病原菌の異名はシャリンバイごま色斑点病参照。病原菌の完全世代
Diplocarpon mespili (Sorauer) Sutton は我が国では未記録

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農林水産技会指定試験(病虫害) 3:5, 1963 ; 内藤 喬:鹿児島高農学術報 15:32, 1949

ペスタロチア病* Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotia photinae Thümen

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):419, 1917(大 6) ; 日野隆之:採集と飼育 26(11):320,
1964

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明 44) ; 原 攝祐:果樹病害論:61, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):278, 1957

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Sooty mold

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3):257, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。タイワンカナメモチ (*P. taiwanensis*)

†黒褐色すす病 kokukasshoku-susu-byo

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto

Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):168, 1956

[備考] 台湾。病名未記載。タイワンカナメモチ。病原菌の異名はクチナシ†黒褐色すす病参照

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium pourthiaee Sydow & P. Sydow

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):128, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。タイワンカナメモチ

†すす病 susu-byo Sooty mold

Irene photinicola W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):48, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ノウコウカマツカ (*P. kudoii*)

††††

Hysterium photinae Naito

内藤 喬:鹿兒島高農博物同志会報 3(12):4, 1933(昭 8)

テマリシモツケ

Amur ninebark

Physocarpus amurensis Maxim.

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora spiraeicola (A.S. Muller & Chupp) X.J. Liu & Y.L. Guo [*Cercospora spiraeicola* A.S. Muller & Chupp]

Katsuki, S.:Trans. Myco. Soc. Japan (Extra Issue):1:56, 1965 ; 小林享夫:森林防疫 20(12):264, 1971 ; Kobayashi, T. & Sato, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 42(2):138, 1976 ; Guo, Y. L. & Hsierh, W. H.:Genus *Pseudocercospora* in China:286, 1995

[備考] ケアメリカシモツケ (*P. opulifolius*) にも発生。但し本病菌は接種では *Spiraea* 属には病原性を示さなかった

キジムシロ

(Potentilla)

Potentilla fragarioides L. var. *major* Maxim.

(野草)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

星 秀男ら:関東病虫研報 50:109, 2003

ポテンティラ

Potentilla

Potentilla spp.

(草花)

ベニバナロウゲ *Potentilla nepalensis* Hook.

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

笹井裕里ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 62:97, 2015

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora potentillae de Bary

柏森美如ら:日植病報 79(3):182, 2013

カマツカ

(Pourthiaea)

Pourthiaea villosa (Thunb.) Decne. var. *laevis* (Thunb.) Stapf

(広葉樹)

赤星病 akahoshi-byo Rust (銹病)

(1) *Gymnosporangium asiaticum* Miyabe ex G. Yamada

原 攝祐:赤星病の研究:46, 1925(大 14) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):145, 1904(明 37) ; 平塚直秀:日菌報 16(1):91, 1975

[備考] 病原菌の異名はボケ赤星病参照

(2) *Gymnosporangium japonicum* P. Sydow [*Roestelia photinae* Hennings, *Roestelia pourthiaeae* Sydow & P. Sydow]

原 攝祐:果樹病害論:94, 1916(大 5) ; 吉永虎馬:植物学雑 15(171):97, 1901(明 34)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Microsphaera divaricata* (Wallroth) Lévillé

平田幸治:新潟大農研報 29:88, 1977 ; 野村幸彦:日菌報 7(2-3):348, 1966

(2) *Podosphaera photinae* Meeboon & S. Takamatsu [*Podosphaera* sp.]

佐藤幸生ら:日植病報 62(3):264, 1996 ; Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:14, 2015

さび病 sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病)

Aecidium pourthiaeae Sydow & P. Sydow [*Aecidium pourthiaeae* sensu Sawada non Dietel]

吉永虎馬:植物学雑 15(171):95, 1901(明 34) ; 澤田兼吉:林試研報 57:75, 1952

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3):257, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。 *Pourthiaea benthamina*

††††

Mycosphaerella pourthiaeae Hara

原 攝祐:日本菌類目録:402-2, 1954

アーモンド(扁桃)

Almond

Prunus amygdalus Batsch

(果樹)

褐さび病* kassabi-byo (褐色銹病, 銹病)

Tranzschelia pruni-spinosae (Persoon) Dietel [*Puccinia pruni-spinosae* Persoon]

原 攝祐:実験樹木病害篇:138, 1927(昭 2) ; 富樫浩吾:果樹病学:274, 1950

黒星病 kurohoshi-byo Scab (瘡痂病)

Cladosporium carpophilum Thümen

原 攝祐:果樹病害論:392, 1916(大 5)

せん孔病 senko-byo Cercospora leaf spot (穿孔病)

Pseudocercospora circumscissa (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Cercospora circumscissa* Saccardo]

原 攝祐:果樹病害論:446, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の学名は勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 参照

灰星病 haiboshi-byo (菌核病, モニリア病)

Monilinia laxa (Aderhold & Ruhland) Honey [*Sclerotinia laxa* (Ehrenberg) Aderhold & Ruhland]

富樫浩吾:果樹病学:310, 1950

葉ぶくれ病 habukure-byo

Polystigma rubrum Persoon

原 攝祐:果樹病害論:396, 1916(大 5)

斑点病 hanten-byo

Stigmia carpophila (Léveillé) M.B. Ellis [*Coryneum beyerinckii* Oudemans]

原 攝祐:果樹病害論:444, 1916(大 5)

†††ロゼット rozzeto (多葉病)

病原不明

原 攝祐:実用作物病理学:306, 1925(大 14)

[備考] 生理病と考えられている

アンズ(杏)

Apricot

Prunus armeniaca L.

(果樹)

ウイルス病 virus-byo Virus disease

Prunus necrotic ringspot virus (PNRSV) プルナスえそ輪点ウイルス

岸 國平ら:園試報 A8:141, 1969

[備考] 潜在感染

輪紋病 rimmon-byo Ringspot

Plum pox virus (PPV) ウメ輪紋ウイルス

大石盛伝ら:日植病報 83(3):216, 2017

[備考]PPV-M 系統。戻し接種なし

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:51, 1927(昭2) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:239, 1949 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

せん孔細菌病 senko-saikin-byo Bacterial shot hole (斑点病, 孔細菌病)

Xanthomonas arboricola pv. *pruni* (Smith 1903) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium pruni* (Smith) Smith, *Pseudomonas pruni* Smith, *Xanthomonas campestris* pv. *pruni* (Smith 1903) Dye 1978]

上田栄次郎:植物学雑 17(201):297, 1903(明 36) ; 原 攝祐:果樹病害論:226, 1916(大 5) ; 岡部徳夫:植物細菌

病学:237, 1949

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera tridactyla (Wallroth) de Bary var. *tridactyla* [*Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary]

白井光太郎:植物病理学(下):191, 1900(明 33) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter

飯島章彦:関東病虫研報 44:137, 1997

枝枯病 edagare-byo

Haplosporella sp.

栗林数衛:防疫時報 21:27, 1951

褐さび病 kassabi-byo Brown rust (褐色葉渋病, 褐色銹病, 褐銹病)

Tranzschelia japonica Tranzschel & M.A. Litvinov [*Puccinia pruni-spinosae* Persoon, *Tranzschelia pruni-spinosae* (Persoon) Dietel]

鑄方末彦:実験果樹病害篇:169, 1927(昭 2); 富樫浩吾:果樹病学:304, 1950; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 1:33, 1952 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:281, 1955

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

褐点病 katten-byo

Clasterosporium amygdalearum Persoon

原 攝祐:果樹病害論:215, 1916(大 5)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Grovesinia pruni Y. Harada & Noro [不完全世代: *Hinomyces pruni* (Y. Harada & Noro) Narumi-Saito & Y. Harada, *Cristulariella* sp.]

鷺尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981 ; 野呂俊一ら:日植病報 48(3):365, 1982 ; Harada, Y. & Noroi, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(1):85, 1988 ; Narumi-Saito, T. et al.:Mycoscience 47:351, 2006

がんしゅ病 ganshu-byo (癌腫病)

Plowrightia morbosa Saccardo

原 攝祐:果樹病害論:385, 1916(大 5)

[備考] アメリカで被害が大で, わが国にも発生しつつあると記載されている

銀葉病 gin'yo-byo Silver leaf

Chondrostereum purpureum (Persoon) Pouzar [*Stereum purpureum* (Persoon) Fries]

原 攝祐:実験作物病理学:664, 1930(昭 5)

黒星病 kurohoshi-byo Scab (黒点病, 瘡痂病)

Cladosporium carpophilum Thümen

原 攝祐:果樹病害論:392, 1916(大 5) ; 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):137, 1928(昭 3) ; 富樫浩吾:果樹病学:313, 1950

黒粒枝枯病 kokuryu-edagare-byo Shoot blight

Coryneum sp.

尾沢 賢:日植病報 25(1):27, 1960

縮葉病 shukuyo-byo Leaf curl (膨葉病)

Taphrina mume Nishida [*Taphrina armeniaca* Ikeno, *Taphrina deformans* (Berkeley) Tulasne var. *armeniaca* Kusano]

安田 篤:植物学各論隠花部:330, 1911(明 44); 原 攝祐:果樹病害論:406, 1916(大 5)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot, Dematophora root rot

Rosellinia necatrix Prillieux [*Dematophora necatrix* Hartig]

原 攝祐:果樹病害論:54, 1916(大 5)

すえひろたけ病 suehirotake-byo Schizophyllum rot

Schizophyllum commune Fries

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:1, 1946; 富樫浩吾:果樹病学:307, 1950

せん孔病 senko-byo (斑点病, 穿孔病)

Pseudocercospora circumscissa (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Cercospora circumscissa* Saccardo]

原 攝祐:果樹病害論:446, 1916(大 5); 中田覺五郎:華北農試調査報告 1:67, 1941(昭 16); 富樫浩吾:果樹病学:305, 1950

そうか病 soka-byo Scab (瘡癩病)

Sphaceloma pruni-domesticae Jenkins

香月繁孝・渡辺 茂:北日本病虫研報 15:81, 1964

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum fiorinae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]
菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013; Sato, T. et al.:JARQ 47:295, 2013

(2) *Gloeosporium* sp.

原 攝祐・松浦理太郎:中央園芸 259:26, 1924(大 13)

[備考] 白井光太郎・原 攝祐 (訂正増補日本菌類目録:143, 1927) は *Gloeosporium cerasi* Lindau を記載しているが, 本病原菌との異同は明らかでない

胴枯病 dogare-byo Cytospora canker, Leucostoma canker

Leucostoma persoonii (Nitschke) Höhnelt [*Valsa leucostoma* (Persoon) Fries]

鶴田章逸:果樹 141:33, 1914(大 3); 富樫浩吾:果樹病学:278, 1950

苗木がんしゅ病* naegi-ganshu-byo (癌腫病)

Camarosporium persicae Maublanc

成田武四:北農 6:225, 1939(昭 14)

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt (灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

灰星病* haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom and twig blight and fruit rot (菌核病, 熟果菌核病, モニリア病)

(1) *Monilinia fructicola* (G. Winter) Honey [*Sclerotinia cinerea* (Bonorden) J. Schröter]

西田藤次・前原最蔵:作物病害教科書:136, 1923(大 12); 原 攝祐:実用作物病理学:376, 1925(大 14); 照井陸
奥生・原田幸雄:日植病報 32:291, 1966

(2) *Monilinia fructigena* (Aderhold & Ruhland) Honey [*Monilia fructigena* Persoon, *Sclerotinia fructigena*
(Persoon) J. Schröter]

原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大 5)

(3) *Monilinia laxa* (Aderhold & Ruhland) Honey [*Monilia laxa* (Ehrenberg) Saccardo & Voglino, *Sclerotinia laxa*
(Ehrenberg) Aderhold & Ruhland]

半澤 洵:札幌博物学会報 1:97, 1906(明 39); 西田藤次・前原最蔵:作物病害教科書:136, 1923(大 12); 原 攝
祐:実験作物病理学:675, 1930(昭 5); 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959

白粉病 hakufun-byo Frosty mildew

Clasterosporium degenerans Sydow & P. Sydow

出田 新:続日本植物病理学 下巻:920, 1926(大 15)

[備考] *Clasterosporium* の属名は分類の誤りで、転属の必要があるとされている

ふくろ実病 fukuromi-byo Pockets (袋実病)

Taphrina pruni Tulasne

鏑方末彦:実験果樹病害篇:376, 1927(昭 2)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

鏑方末彦:実験果樹病害篇:47, 1927(昭 2)

††火傷病 kasho-byo Fire blight

Erwinia amylovora (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [*Bacillus*
amylovorus (Burrill) Trevisan]

岡部徳夫:植物細菌病学:239, 1949

[備考] アメリカ・ヨーロッパ

†斑点病 hanten-byo Leaf spot

(1) *Phyllosticta* sp.

(2) *Septoria cerasina* Peck

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):136, 1928(昭 3)

[備考] 朝鮮半島

††††

†*Monilia fragrans* Miura

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:220, 1927(昭 2)

[備考] 中国東北部。ミイラ化した果実から検出

ニワウメ(庭梅)

(*Prunus*)

Prunus japonica Thunb. ex Murray

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Podosphaera tridactyla (Wallroth) de Bary var. *tridactyla* [*Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary]

丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):123, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:138, 1968 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):179, 1988

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

澤田兼吉:林試研報 45:45, 1950

灰星病 haiboshi-byo

Monilinia fructicola (G. Winter) Honey

原田幸雄:弘前大農学術報 27:37, 1977

†ふくろ実病 fukuromi-byo

Taphrina truncicola Kusano

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:87, 1928(昭3)

[備考] 中国東北部

ウメ(梅)

Mume, Japanese apricot

Prunus mume Sieb. & Zucc.

(果樹)

ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) ††Apple stem grooving virus (ASGV) リンゴステムグルービングウイルス

高橋 勲ら:日植病報 55(1):116, 1989

[備考] 中国産隔離検疫苗木

(2) *Cycas necrotic stunt virus* (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス

丸山千尋ら:日植病報 81(1):48, 2015

[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

病原未確認

小室康雄:植物防疫 16(6):255, 1962

[備考] 汁液伝染性。病原ウイルスは Peach yellow mosaic virus# (PYMV モモ斑葉モザイクウイルス)と推定されている

葉縁えそ病 yoen-eso-byo Leaf-edge necrosis (茶がす病)

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

(2) *Prunus necrotic ringspot virus* (PNRSV) プルヌスえそ輪点ウイルス

栗原 潤ら:日植病報 61(6):603, 1995 ; 家村浩海ら:日植病報 61(6):631, 1995 ; 中畝良二ら:日植病報 81(3):272, 2015 ; 武田知明・中畝良二:日植病報 81(3):272, 2015 ; 沼口孝司ら:日植病報 82(3):286, 2016

[備考] 2病原の重複感染による発病。中畝ら(2015)と武田・中畝(2015)は, *Plum bark necrosis stem pitting-associated virus* (PBNPaV) が関与している可能性があるとし, 沼口ら(2016)は, *Little cherry virus 2* (LChV-2)も関与している可能性があるとした

輪紋病 rimmon-byo Ringspot

Plum pox virus (PPV) ウメ輪紋ウイルス

萱野佑典ら:日植病報 76(1):36, 2010 ; Maejima, K. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 76(3):229, 2010 ; 伊藤(川口)陽子ら:日植病報 77(1):42, 2011 ; 大石盛伝ら:日植病報 83(3):216, 2017

[備考]大石ら(2017)は, PPV-M 系統を報告した

かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker

(1) *Erwinia* sp.

陶山一雄:日植病報 62(3):303, 1996

(2) *Pseudomonas syringae* pv. *morsprunorum* (Wormald 1931) Young, Dye & Wilkie 1978

岸 國平・高梨和雄:日植病報 35(2):112, 1969 ; 富永時任ら:日植病報 49(5):627, 1983

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Rhizobium rhizogenes (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:51, 1927(昭 2) ; 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭 8) ; 菱池政志:和歌山県農林水技セ研報 13:57 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

細菌病 saikin-byo

Bacterium sp.

彭 光毅:病虫雑 24(7):532, 1937(昭 12) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:243, 1949

[備考] 病原は短かん状で1-3 極毛を有し, *Bacterium pruni* (Smith) Smith とは異なるとされている

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Podosphaera pannosa* (Wallroth) de Bary [*Sphaerotheca pannosa* (Wallroth) Léveillé var. *persicae* Woronichin]

北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:138, 1962 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012

(2) *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary var. *tridactyla* [*Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary]

吉野毅一:植物学雑 19(224):199, 1905(明 38) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937

疫病 eki-byo Phytophthora fruit rot

Phytophthora sp.

桂 琦一ら:関西病虫研報 16:127, 1974 ; 福田明美ら:日植病報 82(3):235, 2016

[備考] 福田ら(2016)の病原は果実に病原性がない点で桂ら(1974)と異なる。*Phytophthora syringae* (Klebahn) Klebahn に近縁

枝枯病 edagare-byo Shoot blight

Botryosphaeria dothidea (Mougeot) Cesati & De Notaris

大和浩国:日植病報 51(1):80, 1985

褐さび病* kassabi-byo Brown rust (銹病, 褐銹病, 褐色銹病, 褐色葉渋病)

Tranzschelia japonica Tranzschel & M.A. Litvinov [*Puccinia pruni* Persoon, *Puccinia pruni-spinosae* Persoon, *Tranzschelia pruni-spinosae* (Persoon) Dietel]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:298, 1904(明 37) ; 富樫浩吾:果樹病学:304, 1950 ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 1:33, 1952 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:281, 1955

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:375, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

褐色せん孔病* kasshoku-senko-byo Brown shot hole, Brown spot (斑点病, 褐色穿孔病, 穿孔病)

Phloeosporella padi (Libert) Arx [*Cylindrosporium padi* P. Karsten]

南部信方:病虫雑 3(5):419, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験作物病理学:547, 1930(昭 5) ; 富樫浩吾:果樹病学:305, 1950

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Grovesinia pruni Y. Harada & Noro [不完全世代: *Hinomyces pruni* (Y. Harada & Noro) Narumi-Saito & Y. Harada, *Cristulariella* sp., *Sclerotinia* sp.]

原田幸雄ら:弘大農報 36:12, 1981 ; 野呂俊一ら:植物防疫 39(12):564, 1985 ; Harada, Y. & Noro, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(1):85, 1988 ; Narumi-Saito, T. *et al.*:Mycoscience 47:351, 2006

がんしゅ病 ganshu-byo Valsa canker (癌腫病)

Valsa ambiens (Persoon) Fries [*Valsa japonica* Miyabe & Hemmi]

逸見武雄:病虫雑 4(1):32, 1917(大 6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:671, 1930(昭 5)

きつねかわらたけ病* kitsune-kawaratake-byo Corioliopsis Stem rot

Corioliopsis polyzona (Persoon) Ryvarden [*Coriolus polygonus* (Persoon ex Quélet) Imazeki, *Polystictus polyzonus* (Persoon) Bresadole, *Polyporus polyzonus* Persoon]

原 攝祐:日本菌類目録:90, 1954

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

川久保幸雄・奈須田和彦:福井農試報 13:103, 1976

黒星病 kurohoshi-byo Scab (黒点病, 黒痣病, 瘡痂病)

Cladosporium carpophilum Thümen

鶴田章逸:果樹 131:34, 1914(大 3) ; 原 攝祐:果樹病害論:392, 1916(大 5) ; 堀正太郎:植物病理学講話 第 2 篇:121, 1921(大 10)

縮葉病 shukuyo-byo Leaf curl (膨葉病, ふくれば病)

Taphrina mume Nishida

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:349, 1904(明 37) ; 原 攝祐:果樹病害論:406, 1916(大 5) ; 鑄方末彦:果樹病害篇:374, 1928(昭 2)

白さび病 shirosabi-byo White rust, Leucotelium white rust (白銹病, 白葉渋病)

Sorataea pruni-persicae (Hori) Cummins & Y. Hiratsuka [*Leucotelium pruni-persicae* (Hori) Tranzschel, *Aecidium semiaquilegiae* Dietel, *Puccinia pruni-persicae* Hori]

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):17, 1950 ; 平塚直秀:植物研究雑誌 27(8):229, 1952

[備考] 病原菌の学名は柿 眞:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):587, 1992 参照。病原菌の精子・さび胞子世代 (*Aecidium semiaquilegiae* Dietel) はヒメウズ (*Semiaquilegia adoxoides*) に生じる

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

宮本久美・山本省三:植物防疫 38(9):426, 1984

心腐病 shingusare-byo

Fusarium lateritium Nees

樋浦光男・樋浦 誠:日植病報 42(1):67, 1976

[備考] 病原菌の種名については検討を要する

すえひろたけ病 suehirotake-byo Schizophyllum rot

Schizophyllum commune Fries

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:17, 1946

すす点病 susuten-byo Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):73, 1986

すす斑病 susuhan-byo Sooty blotch

Peltaster sp.

島津 康ら:日植病報 73(3):181, 2007

せん孔病 senko-byo Cercospora leaf spot (斑点病, 穿孔病)

(1) *Leptosphaeria yulan* Saccardo [*Leptosphaeria pomona* Saccardo]

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6)

(2) *Pseudocercospora circumscissa* (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Cercospora circumscissa* Saccardo]

堀正太郎:園芸之友 10(1):32, 1914(大 3); 堀正太郎:園芸之友 10(2):25, 1914(大 3)

[備考] 病原菌の学名は勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 参照

そうか病 soka-byo Scab (瘡痂病)

Sphaceloma pruni-domesticae Jenkins

香月繁孝・渡辺 茂:北日本病虫研報 15:81, 1964

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉炭疽病)

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999; 菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum mume* Hori, *Glomerella mume* (Hori) Hemmi]

堀正太郎:園芸之友 10(1):33, 1914(大 3); 逸見武雄:北大農紀要 9(1):39, 1920(大 9); 北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:137, 1962

[備考] 葉炭疽病を統合した

胴枯病 dogare-byo Leucostoma canker (Cytospora canker)

Leucostoma persoonii (Nitschke) Höhnelt [*Cytospora leucostoma* (Persoon) Saccardo]

岩波靖彦・兼松聡子:日植病報 82(3):232, 2016

苗木がんしゅ病 naegi-ganshu-byo (癌腫病, 苗木癌腫病)

Camarosporium persicae Maublanc

本間ヤス:札幌農林学会報 18(81):63, 1926(大 15); 富樫浩吾:果樹病学:306, 1950

根腐衰弱病 negusare-suijaku-byo Root rot decline, Foot rot (立枯病)

(1) *Cylindrocarpon destructans* (Zinssmeister) Scholten

村上裕俊ら:日植病報 62(6):608, 1996

(2) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

根岸寛光ら:日植病報 64(4):435, 1998

(3) *Fusarium* sp.

村上裕俊ら:日植病報 62(6):608, 1996; 小林紀彦・小川 真:日植病報 63(6):518, 1997

(4) *Pythium* sp.

小林紀彦・小川 真:日植病報 63(6):518, 1997

(5) *Rhizoctonia* sp.

小林紀彦・小川 真:日植病報 63(6):518, 1997

[備考] 病原菌 (2) と (3) の異同は不明

念珠病 nenju-byo (菌核病)

Monilinia mume (Hara) Yamamoto [*Monilia mume* Hara, *Sclerotinia mume* Hara]

原 攝祐:果樹 194:31, 1919(大 8) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):2, 1959 ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (鼠毛病)

Botrytis cinerea Persoon

原 攝祐:農及園 1(7):21, 1926(大 15)

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt (灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

南部信方:病虫雑 2(2):192, 1913(大 2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

灰星病 haiboshi-byo Brown rot (灰色菌核病, 熟果菌核病, 菌核病)

(1) *Monilia mumeicola* Y. Harada, Y. Sasaki & T. Sano [*Monilia* sp.]

原田幸雄ら:日植病報 56(3):387, 1990 ; Harada, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):297, 2004

(2) *Monilinia fructicola* (G. Winter) Honey [*Monilia fructicola* Bonorden, *Sclerotinia cinerea* (Bonorden) J. Schröter]

原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大 5) ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977

[備考] 半澤 洵 (札幌博物学会報 1:97, 1906) は病原菌のシノニムとして *Monilia cinerea* Bonorden, *M. kusanoi* Hennings を記載している

(3) *Monilinia laxa* (Aderhold & Ruhland) Honey

山本和太郎:日菌報 2(2):2, 1959 ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977

白粉病 hakufun-byo Frosty mildew

Clasterosporium degenerans Sydow & P. Sydow [*Miuraea degenerans* (Sydow & P. Sydow) Hara]

原 攝祐:果樹病害論:418, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日本菌類目録:208, 1954

[備考] *Clasterosporium* の属名は分類の誤りで, 転属の必要があるとされている (小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫篇):551, 1992)

斑点病 hanten-byo Phyllosticta leaf spot (大形円星病, 穿孔病)

(1) *Phyllosticta prunicola* (Opiz) Saccardo

原 攝祐:果樹病害論:133, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:673, 1930(昭 5)

(2) *Phyllosticta* sp.

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6)

[備考] 中田覺五郎・瀧元清透 (勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):137, 1928), 原 攝祐 (実験作物病理学:673, 1930) は朝鮮半島の *Phyllosticta herbarum* Westendorp による斑点病を紹介した

(3) *Stigmina carpophila* (Léveillé) M.B. Ellis [*Coryneum beyerinckii* Oudemans]

原 攝祐:果樹病害論:444, 1916(大 5)

ふくろ実病* fukuromi-byo Pocket (囊果病)

Taphrina pruni Tulasne [*Exoascus pruni* Fuckel]

白井光太郎:植物病理学(下):143, 1894(明 27)

変葉病 hen'yo-byo Chloranthy (銹病)

Blastospora smilacis Dietel [*Caeoma makinoi* Kusano]

草野俊助:植物学雑 17(192):15, 1903(明 36); 草野俊助:東大農紀要 2(6):278, 1911(明 44); Ono, Y. *et al.*:Mycologia 78(2):253, 1986

[備考] 病原の夏孢子・冬孢子世代はヤマカシユウ (*Smilax sieboldii*) などに生じる

円星病 maruhoshi-byo Circular leaf spot (大形円星病)

Phyllosticta mume Hara

原 攝祐:日園雑 29(10):5, 1917(大 6); 原 攝祐:実用作物病理学:673, 1930(昭 5)

実斑点病* mi-hanten-byo Fruit spot (斑点病)

Phoma mume Hara

原 攝祐:果樹病害論:416, 1916(大 5); 原 攝祐:実用作物病理学:382, 1925(大 14); 原 攝祐:実験作物病理学:667, 1930(昭 5)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka [*Septobasidium mompa* (Tanaka) Raciborski]

埼玉県内務部:病虫雑 21(2):150, 1934(昭 9); 原 攝祐:日本害菌学:268, 1936(昭 11); 原 攝祐:実験樹木病害篇:120, 1927(昭 2)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus digonicus* Perry ウメラセンセンチュウ

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

(2) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Rotylenchulus* sp. [*Tetylenchus* sp.] ニセフクロセンチュウの 1 種

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

(4) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの 1 種

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

日焼病 hiyake-byo Sun scald

生理障害

瀧元清透:日園雑 34(5):18, 1922(大 11); 織田富士夫・瀧元清透:果樹病虫害:143, 1948

[備考] 水分欠乏と日照

††ならたけ病* naratake-byo Armillaria root rot, Mushroom root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer

村田壽太郎:病虫雑 2(4):352, 1915(大 4)

[備考] アメリカ (オレゴン州)

††††ヤニふき果病 yanifukika-byo Gum deposit

病原不明

村上 来ら:徳島果試研報 5:75, 1976

[備考] ほう素欠乏の可能性が推定されている

††††Phytoplasma

(1) 'Candidatus Phytoplasma asteris'

(2) Phytoplasma ホルトノキ萎黄病ファイトプラズマ

河辺祐嗣ら:日植病報 73(3):266, 2007

[備考] 樹勢衰退木より検出

††††

Monilinia kusanoi (Hennings ex Takahashi) Yamamoto

原田幸雄:日植病報 51(3):324, 1985

[備考] 葉から検出

ユスラウメ(英桃)

Nanking cherry, Chinese bush cherry

Prunus tomentosa Thunberg

(果樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera tridactyla (Wallroth) de Bary [*Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary var. *tridactyla*]

本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:138, 1968 ; 丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):123, 1973 ; 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):24, 1976 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:12, 2012

きつねかわらたけ病* kitsune-kawaratake-byo *Coriolus* stem rot

Coriopsis polyzona (Persoon) Ryvarden [*Coriolus polygonus* (Persoon ex Quélet) Imazeki, *Polystictus polyzonus* (Persoon) Bresadole, *Polyporus polyzonus* Persoon]

原 攝祐:実験樹木病害篇:139, 1927(昭 2)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

澤田兼吉:林試研報 45:45, 1950

灰星病 haiboshi-byo Brown rot (熟果菌核病)

(1) *Monilinia fructicola* (G. Winter) Honey

落合政文ら:北日本病虫研報 30:72, 1979

(2) *Monilinia laxa* (Aderhold & Ruhland) Honey

山本和太郎:日菌報 2(2):2, 1959

ふくろ実病 fukuromi-byo Pockets (囊果病, 囊実病)

Taphrina pruni Tulasne [*Exoascus pruni* Fuckel]

原 攝祐:果樹病害論:388, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実用作物病理学:373, 1925(大 14)

†葉振病 haburui-byo

Cylindrosporium pruni-tomentosi Miura

原 攝祐:実験作物病理学:664, 1930(昭 5)

[備考] 中国東北部

サクラ類(桜)

Cherry

Prunus spp.

(広葉樹)

ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

岸 國平ら:日植病報 39(4):297, 1973

[備考] ソメイヨシノ (*P. yedoensis*)

(2) Little cherry virus

Tanaka, S. & Hirose, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 32(1):23, 1966

[備考] サトザクラ (*P. lannesiana*)・オオシマザクラ (*P. lannesiana* var. *speciosa*)

こぶ病 kobu-byo

Pseudomonas syringae pv. *cerasicola* Kamiuntten, Nakao & Oshida 2000 [*Pseudomonas syringae* van Hall 1902]

小口健夫:森林防疫 23(12):241, 1974 ; 秋本正信:86 回日林講:392, 1975 ; 上運天 博ら:日植病報 63(6):480, 1997 ; Kamiuntten, H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 66(3):219, 2000

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

(1) *Rhizobium radiobacter* (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

原 攝祐:果樹病害篇:345, 1916(大 5) ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

(2) *Rhizobium rhizogenes* (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

原 攝祐:果樹病害篇:345, 1916(大 5) ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

[備考] セイヨウバクチノキ (*P. laurocerasus* L.) に発生

暗褐色こうやく病 ankasshoku-koyaku-byo Dark brown felt disease (暗褐色紋羽病, 暗褐色膏薬病)

Septobasidium tambaense W. Yamamoto

山本和太郎:植物防疫 10(9):368, 1956 ; Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(1):9, 1956

[備考] ヤマザクラ (*P. jamasakura*)

萎凋病 icho-byo

Fusicoccum pruni Potebnia

木村勘二:日植病報 8(1):74, 1938(昭 13) ; 西門義一・木村勘二:農学研究 30:444, 1938(昭 13)

[備考] ソメイヨシノ

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病)

(1) *Podosphaera longiseta* Sawada

野村幸彦:日菌報 20(3):389, 1979 ; 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):6, 1949 ; 澤田兼吉:林試研報 50:105, 1951

[備考] ウワミズザクラ

(2) *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary var. *tridactyla* [*Podosphaera oxyacanthae* (Wallroth) de Bary]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:219, 1933(昭 8) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾菌類調査報告 1):162, 1919(大 8) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):179, 1988

[備考] ウワミズザクラ・エゾノウワミズザクラ・イヌザクラ・ソメイヨシノ・サトザクラ・ヤマザクラ・コヒガンザクラ・ウバヒガン・シウリザクラ・ヤエザクラ・エドヒガン・オオシマザクラ・カスミザクラ

(3) *Podosphaera* sp.

丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000

[備考] チョウジサクラ (*P. apetala* (Sieb. & Zucc.) Fr. & Sav.) に発生

角斑病 kakuhan-byo

Phaeoisariopsis pruni-grayanae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:113, 1958

[備考] ウワミズザクラ

褐さび病 kassabi-byo Leaf rust (さび病, 褐色葉渋病, 葉渋病)

Tranzschelia discolor (Fuckel) Tranzschel & M.A. Litvinov [*Tranzschelia pruni-spinosae* (Persoon) Dietel, *Puccinia pruni-spinosae* Persoon]

富樫浩吾:果樹病学:321, 1950 ; 南部信方:病虫雑 1(3):346, 1914(大 3) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 1:33, 1952

[備考] イヌザクラ (*P. buergeriana*)

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (褐色紋羽病, 膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):95, 1950 ; 澤田兼吉:植物学雑 26(304):101, 1912(明 45)

[備考] ソメイヨシノ・ヤマザクラ・イヌザクラ・ミヤマザクラ。病原菌の異名はポプラ類褐色こうやく病参照

かわらたけ病 kawaratake-byo Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ

安田 篤:植物学雑 22(261):373, 1908(明 41) ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:761, 1987

[備考] ソメイヨシノ。病原菌の異名はポプラ類かわらたけ病参照

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

[備考] ウワミズザクラ

がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker (癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola

南部信方:病虫雑 7(6):334, 1920(大 9) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:185, 1927(昭 2)

[備考] エゾウワミズザクラ (*P. padus*)。病原菌の異名はポプラ類がんしゅ病参照

きつねかわらたけ病 kitsune-kawaratake-byo

Corioloopsis polyzona (Persoon) Ryvarden [*Coriolus polygonus* (Persoon) Imazeki] キツネカワラタケ

岡田十蔵:病虫雑 4(2):100, 1917(大 6) ; Ryvarden, L. & Johansen, I.:A preliminary polypore flora of East Africa:291, 198

[備考] 病原菌の異名はシイノキ幹心腐病参照

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15); Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] ヤマザクラ・リンボク (*P. sepiculosa*)。病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

紅点病 koten-byo (多角斑点病, 葉腫病)

Polystigma ochraceum (Wahlenberg) Saccardo

原 攝祐:樹病学各論:71, 1923(大 12) ; 白井光太郎:植物病理学(下):213, 1894(明 27)

[備考] シウリザクラ・エゾノウワミズザクラ

こうやく病* koyaku-byo Felt disease

Septobasidium prunophilum Couch

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):14, 1955

[備考] ソメイヨシノ

黒色こうやく病* kokushoku-koyaku-byo Black felt disease (黒色紋羽病)

Septobasidium nigrum W. Yamamoto

山本和太郎:植物防疫 10(9):367, 1956

[備考] ソメイヨシノ・サトザクラ・ヤマザクラ・ヒガンザクラ

黒点病 kokuten-byo

(1) *Coccidiella kawagooi* (Hara) Hara [*Polystomella kawagooi* Hara]

原 攝祐:日本害菌学:169, 1936(昭 11) ; 原 攝祐:植物学雑誌 29(338):53, 1915(大 4)

[備考] リンボク (*P. spiculosa*)・バクチノキ (*P. zippeliana*)

(2) *Microcyclus kawagooi* (Hara) M.E. Barr [*Coccidiella spiculosae* (Hennings) Hara, *Diplodia spinulosae* Hennings, *Coccoidea tsurudai* Hara, *Coccidiella tsurudai* (Hara) Hara]

原 攝祐:日本害菌学:169, 1936(昭 11) ; Barr, M. E.:Mycotaxon 60:438, 1996 ; 吉永虎馬:植物学雑誌 19(217):30, 1905(明 38)

[備考] リンボク

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

青島清雄:森林防疫ニュース 7(1):10, 1958

[備考] 病原菌の異名はボプラ類こふきたけ病参照

紺色こうやく病* kon-iro-koyaku-byo Blue black felt disease (紺色紋羽病)

Septobasidium indigophorum Couch

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):14, 1955

さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, てんぐ巣さび病, 葉渋病, 天狗巣病, 銹病)

(1) *Caeoma makinoi* Kusano

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):359, 1950 ; 草野俊助:植物学雑誌 17(192):15, 1903(明 36)

[備考] ウワミズザクラ

(2) *Blastospora itoana* Togashi & Onuma [*Caeoma radiatum* Shirai]

出田 新:実用植物病理学:146, 1902(明 35) ; 白井光太郎:植物学雑誌 9(101):243, 1895(明 28) ; Ono, Y. et al.:Mycologia 79(5):668, 1987

[備考] ウワミズザクラ・ヤマザクラ・ミヤマザクラ

(3) *Thekopsora areolata* (Fries) Magnus [*Thekopsora padi* (Kunze ex Schumacher) Klebahn]

出田 新:実用植物病理学:147, 1901(明 34)

[備考] シウリザクラ・ウワミズザクラ・エゾノウワミズザクラ

(4) *Thekopsora pseudocerasi* Hiratsuka, f.

出田 新:実用植物病理学:147, 1901(明 34) ; 平塚直秀:北大農紀要 21:16, 1927(昭 2)

[備考] ヤマザクラ・エゾヤマザクラ・ソメイヨシノ・ミザクラ

(5) *Tranzschelia asiatica* Y. Ono

Ono, Y.:Can. J. Bot. 72:1178, 1994

[備考] ウワミズザクラ。本病菌の精子・さび孢子世代はスハマソウに生じる

(6) *Uredo pruni-maximowiczii* Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:456, 1911(明 44); 松村任三:帝国植物名鑑(上):179, 1904(明 37)

[備考] ミヤマザクラ

さめ肌胴枯病 samehada-dogare-byo (枝枯病)

Botryosphaeria dothidea (Mougeot) Cesati & De Notaris

周藤靖雄:森林防疫 23(3):48, 1974; 周藤靖雄:森林防疫 24(3):61, 1975; 大和浩国:日植病報 43(3):324, 1977

[備考] ソメイヨシノ・イトザクラ・ヤマザクラ・サトザクラ・エゾヤマザクラ

しゅたけ病* shutake-byo (朱蕈病)

Pycnoporus cinnabarinus (Jacquin) P. Karsten [*Trametes cinnabarina* (Jacquin) Fries, *Polyporus cinnabarinus* (Jacquin) Fries] シュタケ

農林省山林局:日本菌類図譜:20 図版, 1925(大 14); 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):151, 1989

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

富樫浩吾:果樹病学:326, 1950

[備考] ヤマザクラ・チョウジザクラ (*P. apetala*)・マメザクラ・オオシマザクラ。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すえひろたけ病 suehirotake-byo Schizophyllum rot

Schizophyllum commune Fries スエヒロタケ

富樫浩吾:果樹病学:326, 1950

すす点病 susuten-byo Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):210, 1987

[備考] ウワミズザクラ

せん孔褐斑病* senko-kappan-byo Brown shot hole (穿孔性褐斑病, 穿孔病, 穿孔褐斑病)

Pseudocercospora circumscissa (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Mycosphaerella cerasella* Aderhold, *Cercospora cerasella* Saccardo, *Cercospora circumscissa* Saccardo]

三宅忠一:日植病報 1(5):31, 1923(大 12); 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明 27); 小林享夫・河辺祐嗣:熱帯農業 36(3):204, 1992

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

Taphrina wiesneri (Ráthay) Mix [*Exoascus cerasi* Saccardo, *Taphrina cerasi* (Fuckel) Sadebeck, *Exoascus pseudocerasi* Hennings, *Taphrina pseudocerasi* Shirai]

白井光太郎:植物学雑 9(99):161, 1895(明 28); 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:163, 1900(明 33)

[備考] ソメイヨシノ・エドヤマザクラ・サトザクラ・カスミザクラ (*P. verecunda*)・コヒガンザクラ・マメザクラ・ヤマザクラ・ヒガンザクラ・ミザクラ

デルメア枝枯病 *Dermea*-edagare-byo *Dermea* canker (デルメア胴枯病)

Dermea cerasi (Persoon ex Méral) Fries [*Micropera cerasi* Saccardo] ヘソタケ

小口健夫:森林防疫 23(12):240, 1974; 小口健夫:北海道林試報 11:101, 1973

[備考] ソメイヨシノ・イトザクラ (*P. pendula*)・カンザン(*P. lannesiana* f. *sekiyama*)

胴枯病* dogare-byo Valsa canker (類癌病, 癌腫病, 枝枯癌腫病)

Valsa ambiens (Persoon) Fries

逸見武雄:東北帝大農科大紀要 7(4):257, 1916(大 5) ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:119, 1970

[備考] ソメイヨシノ・イトザクラ・ヤマザクラ・オオヤマザクラ・ヤエザクラ・チシマザクラ (*P. nipponica* var. *kurilensis*)。病原菌の異名はヤナギ類腐らん病参照

苗木がんしゅ病 naegi-ganshu-byo Camarosporium canker

Camarosporium persicae Maublanc

秋本正信:日植病報 55(4):491, 1989

[備考] エゾヤマザクラ・チシマザクラ・ミヤマザクラ・シウリザクラ

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13)

[備考] コヒガンザクラ・ソメイヨシノ・キクサクラ・サトザクラ。病原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照

ならたけもどき病 naratakemodoki-byo Clitocybe root rot

Armillaria tabescens (Scopoli) Emel [*Armillariella tabescens* (Scopoli) Singer] ナラタケモドキ

金子周平・小河誠司:森林防疫 32(7):120, 1983

[備考] ヤマザクラ

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (灰色紋羽病, 樹癩, 膏薬病, 灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard

澤田兼吉:柑橘研究 2(1):105, 1928(昭 3) ; 吉野毅一:植物学雑 19(224):200, 1905(明 38)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類灰色こうやく病参照

灰星病 haiboshi-byo (モニリア先枯病)

(1) *Monilinia fructicola* (G. Winter) Honey

伊藤一雄:樹病学大系 2:90, 1973 ; 佐藤邦彦:森林防疫 18(4):56, 1969

[備考] ソメイヨシノ・エドヒガン (*P. pendula* f. *ascendens*)・シダレザクラ (イトザクラ)

(2) *Monilinia laxa* (Aderhold & Ruhland) Honey [*Sclerotinia cinerea* J. Schröter]

照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 35(5):368, 1969 ; 半澤 洵:札幌博物学会報 1(1):106, 1905(明 38)

葉枯病 hagare-byo Leaf scorch

Apiognomonina erythrostoma (Persoon) Höhnelt [*Gnomonia erythrostoma* (Persoon) Auerswald]

出田 新:日本植物病理学:331, 1903(明 36) ; 白井光太郎:植物病理学(下):203, 1894(明 27)

[備考] わが国での記録に疑問がある

葉腐病 hagusare-byo

Monilinia ssiori Y. Harada, M. Sasaki & T. Sano [不完全世代: *Monilia ssiori* Y. Harada, M. Sasaki & T. Sano, *Monilia* sp.]

原田幸雄・佐々木将人:日植病報 53(3):378, 1987 ; 原田幸雄:日植病報 51(3):324, 1985 ; 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 56:112, 1990 ; Harada, Y. et al.:Mycoscience 46:376, 2005

[備考] シウリザクラ (*P. ssiori* Fr. Schm.) に発生

斑点病 hanten-byo (穿孔性褐斑病)

Cercospora prunicola Ellis & Everhart [*Cercospora pruni-yedoensis* Sawada]

原 攝祐:静岡県農会報 2 77, 特別付録:9, 1920(大 9) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 33(233):32, 1943(昭 18)

[備考] ソメイヨシノ・ヒガンザクラ・ヤマザクラ・カンヒザクラ (*P. campanulata*)

斑紋病 hammon-byo (斑点病)

Helminthosporium pruni Berkeley & M.A. Curtis

安田 篤:植物学各論隠花部:569, 1911(明 44); 白井光太郎:日本菌類目録:118, 1905(明 38)

[備考] ソメイヨシノ。病原菌の分類学的所属の検討を要する

フォモプシス枝枯病 *Phomopsis-edagare-byo* (胴枯病)

Diaporthe eres Nitschke [*Phomopsis oblonga* (Desmazières) Höhnelt]

小口健夫:森林防疫 23(12):240, 1974; 逸見武雄:病虫雑 29:4, 1942(昭 17)

[備考] シダレザクラ・カンザン

ふくろ実病 fukuromi-byo Fruit pocket (囊果病, 実腫病, 赤腫病, 膨腫病)

(1) *Taphrina farlowii* Sadebeck

伊藤一雄:樹病学大系 2:8, 1973; 西田藤次:宮部植物学襍説:192, 1911(明 44)

[備考] シウリザクラ(*P. ssiori*)・ウワミズザクラ(*P. grayana*)

(2) *Taphrina pruni* (Fuckel) Tulasne [*Taphrina insititiae* (Sadebeck) Johanson]

伊藤誠哉:日本菌類誌 3(1):214, 1964; 西田藤次:宮部植物学襍説:194, 1911(明 44)

[備考] ミヤマザクラ (*P. maximowiczii*)。西田 (1911) の記載した病原菌が本種であるか疑問

(3) *Taphrina truncicola* Kusano

伊藤一雄:樹病学大系 2:8, 1973; 草野俊助:植物学雑 19(216):1, 1905(明 38); 西田藤次:宮部植物学襍説:193, 1911(明 44)

[備考] ミヤマザクラ (*P. maximowiczii*)・マメザクラ (*P. incisa*)・コニワザクラ・ニワザクラ (*P. grandulosa* var. *albi-plena*)

べっこうたけ病 bekkotake-byo Butt rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタケ

伊藤一雄:樹病:51, 1952; 安田 篤:植物学雑 26(309):299, 1912(大元); 逸見武雄・赤井重恭:日植病報 9(4):199, 1939(昭 14); 青島清雄:日林誌 45(7):232, 1963; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989

[備考] 病原菌の異名はカシ類べっこうたけ病参照

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Fomes fomentarius* (Linnaeus) J. Kickx f. ツリガネタケ

新島善直:新編森林保護学(下):469, 1925(大 14)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

(2) *Fomitopsis pinicola* (Swartz) P. Karsten [*Fomes pinicola* (Swartz) Cooke] ツガサルノコシカケ

柄内吉彦:病虫雑 29(1):11, 1942(昭 17); 小口健夫:森林防疫 25(12):242, 1974

[備考] エゾヤマザクラ

(3) *Inonotus mikadoi* (Lloyd) Gilbertson & Ryvarden [*Inonotus cuticularis* sensu Imazeki non P. Karsten, *Polyporus mikadoi* Lloyd] カワウソタケ

梅村甚太郎:植物学雑 28(332):356, 1914(大 3); 今関六也:科博研報 6:105, 1943(昭 18); 服部 力:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):585, 1992

[備考] ミヤマザクラ・シダレヒガン

(4) *Laetiporus sulphureus* (Bulliard) Murrill マスタケ

新島善直:新編森林保護学(下):477, 1925(大 14)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

(5) *Laetiporus versisporus* (Lloyd) Imazeki [*Polyporus versisporus* Lloyd, *Calvatia versisporus* Lloyd] ヒラフスベ

安田 篤:植物学雑 29(344):263, 1915(大 4); 安田 篤:植物学雑 37:203, 1923(大 12); 今関六也:植研雑

16(5):269, 1940(昭 15)

(6) *Phellinus igniarius* (Linnaeus) Quélet キコブタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:25, 1952

[備考] エゾヤマザクラ。病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

(1) *Trametes hirsuta* (Wulfen) Pilát [*Coriolus hirsutus* (Wulfen) Quélet] アラゲカワラタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:460, 1933(昭 8); 亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:745, 1987

[備考] シウリザクラにも発生。病原菌の異名はハンノキ類幹辺材腐朽病参照

(2) *Daedaleopsis tricolor* (Bulliard) Bondartsev & Singer [*Lenzites tricolor* (Bulliard) Fries] チャカイガラタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:30, 1952; 朝比奈泰彦:日本隠花植物図鑑:479, 1939(昭 14)

[備考] ソメイヨシノ・エゾヤマザクラ

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病)

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明 44); 原 攝祐:果樹病害論:61, 1911(大 5)

[備考] サトザクラ・オオシマザクラ・ウワミズザクラ。病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

幼果菌核病 yoka-kinkaku-byo (嫩果菌核病, 木乃伊(ミイラ)病, 菌核病, 花腐病)

(1) *Monilinia kusanoi* (Hennings ex Takahashi) Yamamoto [*Sclerotinia kusanoi* Hennings ex Takahashi, *Monilia kusanoi* Hennings]

山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959; 松村任三:帝国植物名鑑(上):154, 1904(明 37); 高橋良直:宮部植物学襍説:142, 1911(明 44)

(2) *Monilinia ssiori* Y. Harada, M. Sasaki & T. Sano

原田幸雄・佐々木将人:日植病報 53(3):378, 1987; 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 56(1):112, 1990; Harada, Y. et al.:Mycoscience 46:376, 2005

[備考] シウリザクラ (*P. ssiori* Fr. Schm.) に発生

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未詳

堀江博道:日植病報 46(1):111, 1980; 堀江博道:東京農試研報 13:63, 1980

[備考] マメザクラ

ビロード病 birodo-byo Erineum gall

Eriophyes padi (Nalepa)

伊藤一雄:樹病学大系 3:355, 1974

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus japonicus* Ryss オオハリネグサレセンチュウ

Minagawa, N.:Appl. Entomol. Zool. 17(3):418, 1982

[備考] ヤマザクラ。 *Pratylenchus macrostylus* Wu として報告されたが、現在は別種とされ、表記学名が適用される(Mizukubo, T. et al.:Esakia 37:203, 1997)

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(4) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] ソメイヨシノ。根圏土壌より検出

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

森田 儔:花の病害虫と新防除:296, 1966

(2) *Meloidogyne mali* Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ

Itoh, Y. et al.:Appl. Entomol. Zool. 4(4):194, 1969 ; 小林享夫:林業と薬剤 46:7, 1973

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

森田 儔:花の病害虫と新防除 :296, 1966

(4) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979

[備考] *M. mali* Itoh et al. リンゴネコブセンチュウとして記録されたが後に本種に訂正された (Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49., 1984)

非伝染性こぶ病 hi-densensei-kobu-byo

病因不明

佐藤邦彦:森林防疫ニュース 15(2):32, 1966

††††樹脂病 jushi-byo

病因不明

山根重成:病虫雑 2(5):482, 1915(大 4)

[備考] ヤマザクラ・ソメイヨシノ・エドガワザクラ。山根は病原細菌として *Pseudomonas cerasus* Griffin (= *P. syringae* pv. *syringae* van Hall) をあげたが、本病原菌としては疑問。調査を要する

†枝枯病 edagare-byo

Fusicoccum persicae Ellis & Everhart

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査報告 4):94, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。 *Prunus donarium*

†白粉病 hakufun-byo

Clasterosporium persicum (Saccardo) Tsuji

逸見武雄:植物分類地理 13:35, 1943(昭 18)

[備考] 朝鮮半島。ニワザクラ (*P. glandulosa*)

††††

Phytoplasma ファイトプラズマ

河辺祐嗣ら:日植病報 73(3):266, 2007

[備考] 樹勢衰退木より検出

††††

†*Botryosphaeria yedoensis* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):54, 1959

[備考] 台湾。ソメイヨシノ

††††

Cryphonectria nitschkei (G.H. Oth) M.E. Barr [*Endothia nitschkei* G.H. Oth]

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:143, 1970 ; Barr, M. E.:Mycol. Mem. 7:144, 1978

††††

†*Mycosphaerella punctiformis* (Persoon) Saccardo

原 攝祐:植物学雑 27(316):226, 1913(大 2)

††††

†*Napicladium brunaudii* Saccardo

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):54, 1914(大 3)

[備考] 中国

††††

†*Phyllosticta persicae* Saccardo

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):49, 1914(大 3)

[備考] 中国

††††

Valsa kitajimana Tak. Kobayashi

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:102, 1970

[備考] ソメイヨシノ

オウトウ(桜桃)

Cherries

Prunus spp.

(果樹)

スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry *Prunus avium* L.

サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry *Prunus cerasus* L.

ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) *Apple chlorotic leaf spot virus* (ACLSV) リンゴクロロティックリーフスポットウイルス

宗像 隆ら:日植病報 51(3):364, 1985

[備考] 潜在感染

(2) *Apple stem grooving virus* (ASGV) リンゴステムグルービングウイルス

福井要子ら:日植病報 65(6):669, 1999

[備考] 品種サミット

(3) *Cherry virus A* (CVA) チェリーA ウイルス

山下一夫ら:日植病報 68(2):237, 2002

[備考] 品種サミット

(4) Green ring mottle

小畑琢志:日植病報 34(5):377, 1968

[備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染

(5) Little cherry

田中彰一・広瀬和栄:日植病報 32(1):23, 1966

[備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染

(6) *Prunus necrotic ringspot virus* (PNRSV) プルヌスえそ輪点ウイルス

宗像 隆ら:日植病報 51(3):364, 1985

[備考] 潜在感染

サワーチェリーイエローズ病* sour cherry yellows-byo Sour cherry yellows, Prune dwarf (プルーン
ドワーフ病*)

Prune dwarf virus (PDV) プルーン萎縮ウイルス
岸 國平ら:日植病報 32(2):84, 1966

芽枯病 megare-byo Bud blight

- (1) *Apple chlorotic leaf spot virus* (ACLSV) リンゴクロロティックリーフスポットウイルス
- (2) *Cherry green ring mottle virus* (CGRMV) チェリー緑色輪紋ウイルス
- (3) *Cherry necrotic rusty mottle virus* (CNRMV) チェリーえそさび斑ウイルス
- (4) *Cherry virus A* (CVA) チェリーA ウイルス
- (5) *Cherry virus B* (ChVB) チェリーB ウイルス
- (6) *Little cherry virus 1* (LChV-1) リトルチェリーウイルス 1
- (7) *Little cherry virus 2* (LChV-2) リトルチェリーウイルス 2
- (8) *Prune dwarf virus* (PDV) プルーン萎縮ウイルス

吉川信幸ら:日植病報 80(4):333, 2014

[備考] 病原(1)~(8)の多重感染の可能性

(10) 病原未確認

菊地繁美ら:日植病報 60(6):760, 1994 ; 菊地繁美ら:日植病報 61(6):637, 1995

[備考] 接ぎ木伝染性

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

- (1) *Rhizobium radiobacter* (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

鏑方末彦:実験果樹病害篇:369, 1927(昭 2) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:239, 1949 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

- (2) *Rhizobium rhizogenes* (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

鏑方末彦:実験果樹病害篇:369, 1927(昭 2) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:239, 1949 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

樹脂細菌病* jushi-saikin-byo Bacterial canker, Bacterial gummosis, Resinosis (樹膠病, 脂病, 護謨病, 癌腫性細菌病)

- (1) *Pseudomonas syringae* pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium cerasi* (Griffin) Elliott, *Pseudomonas cerasus* Griffin]

卜蔵梅之丞:園芸之友 10(1):43, 1914(大 3) ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:523, 1941(昭 16)

- (2) *Pseudomonas syringae* van Hall 1902

結城昭一ら:日植病報 60(6):760, 1994

- (3) *Pseudomonas viridiflava* (Burkholder 1930) Dowson 1939

結城昭一ら:日植病報 63(3):198, 1997

[備考] (2) の pathovar は未決定。病原 (1) と (2) の異同については検討を要する

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera tridactyla (Wallroth) de Bary var. *tridactyla* [*Podosphaera oxyacanthae* (de Candolle) de Bary, *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary]

原 攝祐:実験樹木病害篇:130, 1927(昭 2) ; 鏑方末彦:実験果樹病害篇:371, 1927(昭 2)

[備考] 白井光太郎・三宅一郎 (訂正増補日本菌類目録:443, 1917) は *Phyllactina corylea* (Persoon) Karsten を記載しているが, 国内発生は不明

褐さび病* kassabi-byo Leaf rust (銹病, 褐色銹病)

Tranzschelia pruni-spinosae (Persoon) Dietel [*Puccinia pruni* Persoon, *Puccinia pruni-spinosae* Persoon]

原 攝祐:果樹病害論:394, 440, 1916(大 5) ; 富樫浩吾:果樹病学:321, 1950

[備考] 原 (果樹病害論:440, 1916) は *Puccinia bullata* Schröter による銹病を記載しているが, 本病との関係は不明

褐色こうやく病* kasshoku-koyaku-byo Felt (膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5)

褐色せん孔病 kasshoku-senko-byo *Cylindrosporium* leaf spot (褐色穿孔病, 穿孔性褐斑病)

(1) *Mycosphaerella cerasella* Aderhold [*Cercospora cerasella* Saccardo]

三宅忠一:日植病報 1(5):31, 1923(大 12) ; 原 攝祐:実用作物病理学:396, 1925(大 14)

(2) *Phloeosporella padi* (Libert) Arx [*Cylindrosporium padi* P. Karsten]

原 攝祐:果樹病害論:212, 1916(大 5)

褐点病 katten-byo

Clasterosporium amygdalearum Persoon

原 攝祐:果樹病害論:215, 1916(大 5)

がんしゅ病 ganshu-byo European canker, Nectoria canker (癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola [*Nectria ditissima* Tulasne & C. Tulasne]

原 攝祐:日本害菌学:158, 1936(昭 11)

[備考] 原 (果樹病害論:385, 1916) は病原菌として *Plowrightia morbosa* Saccardo を記載している

菌核病 kinkaku-byo Green fruit rot, Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

野呂俊一・松中謙次郎:日植病報 52(1):119, 1986

銀葉病 gin'yo-byo Silver leaf

Chondrostereum purpureum (Persoon) Pouzar [*Stereum purpureum* (Persoon) Fries]

原 攝祐:実験作物病理学:664, 1930(昭 5)

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus nigricans* Ehrenberg]

大沼幸男ら:園学要旨昭 55 春:556, 1980

黒星病 kurohoshi-byo Scab

Cladosporium carpophilum Thümen

原 攝祐:果樹病害論:392, 1916(大 5) ; 鏑方末彦:実験果樹病害篇:370, 1927(昭 2)

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Alternaria sp.

佐藤 裕・水野 昇:日植病報 66(3):269, 2000

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Thekopsora pseudocerasi Hiratsuka, f.

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:274, 1904(明 37)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

鑄方末彦:実験果樹病害篇:371, 1927(昭2)

立枯病 tachigare-byo Verticillium wilt

Verticillium sp.

小菅喜久弥:関東病虫研報 23:64, 1976

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

本多哲也:日植病報 63(6):494, 1996

[備考] カプリチェリー (*Prunus capuli*) に発生

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

末松直次・楸塚喜久治:農商務省病菌害虫彙報 8:1, 1920(大9)

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病)

Taphrina wiesneri (Ráthay) Mix [*Taphrina cerasi* (Fuckel) Sadebeck]

原 攝祐:果樹病害論:438, 1916(大5)

胴枯病 dogare-byo Cytospora canker, Leucostoma canker (枝枯病)

Leucostoma persoonii (Nitschke) Höhnelt [*Valsa leucostoma* (Persoon) Fries]

鑄方末彦:実験果樹病害篇:370, 1927(昭2); 大石俊雄:病虫雑 16(5):296, 1929(昭4)

[備考] 西田藤次(桃・葡萄・柿の病害:48, 1911) は病原菌として *Diaporthe eres* Nitschke を記しているが、国内発生は不明。吉井甫ら(朝鮮勧業模範場彙報 7:33, 1927) は朝鮮半島での調査で *Phomopsis* sp. を報じている

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot, Armillaria crown and root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

富樫浩吾:果樹病学:226, 1950

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (灰色腐敗病)

Botrytis cinerea Persoon

半澤 洵:札幌農会報 11:35, 1911(明44)

灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Felt (膏薬病, 灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

大石俊雄:病虫雑 16(4):238, 1929(昭4)

灰星病 haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病, 熟果菌核病, モリニア病, 褐色腐敗病)

(1) *Monilinia fructicola* (G. Winter) Honey [*Monilia fructicola* Bonorden, *Sclerotinia cinerea* (Bonorden) J. Schröter]

原 攝祐:果樹病害論:401, 1916(大5); 照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32(5):291, 1966; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977

(2) *Monilinia fructigena* (Aderhold & Ruhland) Honey

野呂俊一・松中謙次郎:日植病報 52(1):119, 1986

(3) *Monilinia laxa* (Aderhold & Ruhland) Honey

山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959

葉枯病 hagare-byo Leaf scorch

Gnomonia erythrostoma (Persoon) Auerswald

原 攝祐:果樹病害論:441, 1916(大 5)

葉巻病 hamaki-byo

Alternaria cerasi Potebnia

原 攝祐:静岡県農会報 364:51, 1928(昭 3) ; 原 攝祐:実験作物病理学:685, 1930(昭 5)

斑点病 hanten-byo (穿孔病)

(1) *Phyllosticta prunicola* (Opiz) Saccardo

原 攝祐:果樹病害論:133, 1916(大 5)

(2) *Stigmia carpophila* (Léveillé) M.B. Ellis [*Coryneum beyerinckii* Oudemans]

原 攝祐:果樹病害論:444, 1916(大 5)

ばら色かび病 barairo-kabi-byo Pink rot

Trichothecium roseum (Persoon) Link [*Cephalothecium roseum* (Persoon) Corda]

半澤 洵:札幌農会報 11:39, 1911(明 44)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

原 攝祐:実験作物病理学:286, 1930(昭 5)

幼果菌核病 yoka-kinkaku-byo Young-fruit rot (嫩果菌核病, 菌核病, モニリア病, 花腐病)

Monilinia kusanoi (Hennings ex Takahashi) Yamamoto [*Sclerotinia kusanoi* Hennings ex Takahashi]

高橋良直:宮部博士記念論文集:135, 1911(明 44) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959 ; 原田幸雄:弘大農報 27:34, 1977

亜鉛欠乏症* aen-ketsubo-sho Zinc deficiency

亜鉛欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):224, 1956

ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency

ほう素欠乏

佐藤公一:原色図解作物の要素欠乏—診断と対策 (三井進午:今泉吉郎監修):216, 1958

マンガン欠乏症* mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency

マンガン欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):223, 1956

実割病 miware-byo

生理障害

大石俊雄:病虫雑 16(6):347, 1931(昭 6) ; 澤田英吉:農及園 6(6):865, 1931(昭 6)

[備考] 降雨による過剰吸水

竹火傷病 kasho-byo Fire blight

Erwinia amylovora (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [*Bacillus amylovorus* (Burrill) Trevisan]

岡部徳夫:植物細菌病学:239, 1949

[備考] アメリカ・ヨーロッパ

++++黒しん細菌病* kokushin-saikin-byo (黒疹性細菌病)

病原未詳

原 攝祐:果樹病害論:452, 1916(大 5)

[備考] 細菌によると考えられるが, 病原に関する記載なし

++せん孔細菌病* senko-saikin-byo (斑点病, 斑点細菌病, 斑点性細菌病, 穿孔細菌病)

Xanthomonas arboricola pv. *pruni* (Smith 1903) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium cerasi wraggi* (Sackett) Elliott, *Bacterium pruni* (Smith) Smith, *Xanthomonas campestris* pv. *pruni* (Smith 1903) Dye 1978]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:527, 1941(昭 16); 岡部徳夫:植物細菌病学:237, 242, 1949

[備考] アメリカ

++++花腐細菌病* hanagusare-saikin-byo (細菌性花腐病)

病原未詳

ト蔵梅之丞:園芸之友 10(1):39, 1914(大 3)

[備考] 細菌によると考えられるが, 病原に関する記載なし

++++すそ腐病 susogusare-byo (裾枯病, 裾腐病)

病原不明

大石俊雄:病虫雑 16(3):163, 1929(昭 4)

++++

Pezicula corticola (C.A. Jørgensen) Nannfeldt [*Cryptosporiopsis* sp.]

原田幸雄・岩倉和恵:日植病報 63(6):493, 1997

[備考] 枝枯れからがんしゅ症状に進行する被害部から検出。病原性確認

スモモ(李)

Plums

Prunus spp.

(果樹)

ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune *Prunus domestica* L.

ニホンスモモ Japanese plum *Prunus salicina* Lindley

黄色網斑病 oshoku-amihan-byo Line pattern

病原未確認

岸 國平ら:日植病報 36(3):190, 1970; 岸 國平ら:日植病報 39(4):280, 1973

[備考] 接ぎ木伝染性

斑入果病 huirika-byo Dapple fruit (黄果病)

Hop stunt viroid (HpSVd) ホップ矮化ウイロイド

寺井康夫:日植病報 51(3):363, 1985; 畑谷達児ら:日植病報 54(1):112, 1988; 寺井康夫:植物防疫 44(3):127, 1990

[備考] Plum 系統による。黄果病は品種ソルダムでの一病徴と考えられている

ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) *Apple chlorotic leaf spot virus* (ACLSV) リンゴクロロティックリーフスポットウイルス

宗像 隆ら:日植病報 51(3):364, 1985

[備考] 潜在感染

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

岸 國平ら:日植病報 37(3):199, 1971

[備考] 潜在感染

(3) *Prunus necrotic ringspot virus* (PNRSV) プルナスえそ輪点ウイルス

岸 國平ら:園試報 A8:141, 1969

[備考] 潜在感染

かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker (癌腫性細菌病, 潰瘍性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *morsprunorum* (Wormald 1931) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium morsprunorum* (Wormald) Ishiyama & Muko, *Pseudomonas morsprunorum* Wormald]

高梨和雄:日植病報 50(3):416, 1984 ; 高梨和雄:果樹試報 A15:117, 1988

[備考] 石山信一・向 秀夫 (植物病原細菌誌:358, 1941) の癌腫性細菌病は本病と同じものと思われる

黒斑病 kokuhan-byo Bacterial leaf spot, Bacterial spot (斑点病, 黒点病, 細菌穿孔病)

Xanthomonas arboricola pv. *pruni* (Smith 1903) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Pseudomonas pruni* Smith, *Xanthomonas campestris* pv. *pruni* (Smith 1903) Dye 1978]

出田 新:日本植物病理学(上):93, 1909(明 42) ; 石山信一:病虫雑 1(1):48, 1914(大 3)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Rhizobium rhizogenes (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* (Smith & Townsend) Duggar]

白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:51, 1927(昭 2) ; 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭 8) ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe* sp.

神谷敏広・佐藤幸生:日植病報 69(3):258, 2003

[備考] *Erysiphe* 属 *Uncinula* 節の新種と考えられる

(2) *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary var. *tridactyla* [*Podosphaera oxyacanthae* (de Candolle) de Bary, *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary]

白井光太郎:植物病理学(下):191, 1900(明 33) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937

枝枯病 edagare-byo Shoot blight

(1) *Dothiorella* sp.

谷名光治・那須英夫:日植病報 64(6):633, 1998

(2) *Valsa prunastri* Peck

原 攝祐:果樹病害論:210, 1916(大 5)

褐さび病* kassabi-byo Rust (褐色葉渋病, 褐色銹病, 銹病)

Tranzschelia discolor (Fuckel) Tranzschel & M.A. Litvinov [*Puccinia pruni* Persoon, *Puccinia pruni-spinosae* Persoon, *Tranzschelia pruni-spinosae* (Persoon) Dietel]

出田 新:実用植物病理学:127, 1902(明 35) ; 富樫浩吾:果樹病学:274, 1950 ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 1:33, 1952 ; 平塚直秀:植物研究雑誌 27(8):229, 1952

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:178, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

[備考] 藤黒與三郎 (植物学雑 28(335):481, 1914) は台湾における調査で *S. acasiae* Sawada を記載している

褐色せん孔病 kasshoku-senko-byo *Cylindrosporium* leaf spot (穿孔病, 褐色穿孔病, 護謨病)

(1) *Phloeosporrella padi* (Libert) Arx [*Cylindrosporium padi* P. Karsten]

原 攝祐:果樹病害論:212, 1916(大 5)

(2) *Stigmina carpophila* (Léveillé) M.B. Ellis [*Coryneum beyerinckii* Oudemans]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:177, 1917(大 6)

褐点病 katten-byo

Clasterosporium amygdalearum Persoon

原 攝祐:果樹病害論:215, 1916(大 5)

かわらたけ病 kawaratake-byo *Coriolus* stem rot, Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet]

原 攝祐:日本菌類目録:91, 1954 ; 林 康夫ら:関東病虫研報 28:77, 1981

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo *Zonate* leaf spot

(1) *Cristulariella moricola* (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall]

鷺尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981(昭 56) ; 鷺尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981 ; 原田幸雄・野呂俊一:東北地方における作物病害研究の歩みと展望:161, 1994

(2) *Cristulariella pruni* Y. Harada & Noro [*Cristulariella* sp.]

野呂俊一:植物防疫 39(12):564, 1985 ; Harada, Y. & Noro, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(1):85, 1988

[備考] 病原菌 (1) の完全世代 *Grovesinia pyramidalis* Cline, Crane & Cline, (2) の完全世代 *G. pruni* Harada & Noro は国内未確認

がんしゅ病 ganshu-byo (癌腫病)

Plowrightia morbosa Saccardo

原 攝祐:果樹病害論:385, 1916(大 5)

銀葉病 gin'yo-byo *Silver* leaf

Chondrostereum purpureum (Persoon) Pouzar [*Stereum purpureum* (Persoon) Fries]

西田藤次:病虫雑 9(7):341, 1922(大 11)

黒星病* kurohoshi-byo *Scab* (瘡癩病)

Cladosporium carpophilum Thümen

原 攝祐:果樹病害論:392, 1916(大 5)

白紋羽病 shiro-mompa-byo *White* root rot

Rosellinia necatrix Prillieux [*Dematophora necatrix* Hartig]

原 攝祐:実用作物病理学:120, 1925(大 14)

すす点病 susuten-byo *Fly* speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・中尾茂夫:日植病報 49(3):403, 1983 ; 那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):73, 1986

せん孔病 senko-byo *Shot* hole (穿孔病)

Pseudocercospora circumscissa (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Cercospora circumscissa* Saccardo]

白井光太郎:植物病理学(下):260, 1984(明 27) ; 富樫浩吾:果樹病学:305, 1950

[備考] 病原菌の学名は勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 参照

立枯病 tachigare-byo Verticillium wilt

Verticillium sp.

小菅喜久弥:関東病虫研報 23:64, 1976

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan

Sato, T. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170, 1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ;

Sato, T. et al.:JARQ 47:295, 2013

(2) *Colletotrichum godetiae* Neergaard [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

萩田孝志:北日本病虫研報 57:78, 2006 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊

三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

(3) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa

Sato, T. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170, 1996 ; 萩田孝志:北日本病虫研報 57:78, 2006 ; Sato, T. &

Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

[備考] 飯島章彦ら (関東病虫研報 38:129, 1991) が記載した *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo は上記種の誤同定

胴枯病 dogare-byo Leucostoma canker (立枯病)

Leucostoma persoonii (Nitschke) Höhnelt [*Valsa leucostoma* (Persoon) Fries]

白井光太郎:最近植物病理学:424, 1907(明 40) ; 鶴田章逸:果樹 141:33, 1914(大 3) ; 富樫浩吾:果樹病学:318, 1950

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

島津 康・家村浩海:日植病報 61(6):634, 1995

灰色こややく病 haiiro-koyaku-byo Felt (膏薬病, 灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:52, 1911(明 44) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

灰星病 haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病, モニリア病)

(1) *Monilinia fructicola* (G. Winter) Honey [*Monilia fructicola* L.R. Batra, *Sclerotinia cinerea* (Bonorden) J. Schröter]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:355, 1904(明 37) ; 原 攝祐:果樹病害論:401, 1916(大 5) ; 照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32:291, 1966

(2) *Monilinia fructigena* (Aderhold & Ruhland) Honey [*Monilia fructigena* Persoon, *Sclerotinia fructigena* (Persoon) J. Schröter]

白井光太郎:植物病理学(下) 267, 1984(明 27) ; 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験作物病理学:486, 1930(昭 5)

[備考] 半澤 洵 (札幌博物会報 1:97, 1906) は菌核病の病原 *S. cinerea* のシノニムとして *Monilia cinerea* Bonorden, *M. kusanoi* Hennings を記載している。また, 海外では *Monilinia laxa* (Aderhold & Ruhland) Honey も病原とされている

白粉病 hakufun-byo Frosty mildew

Clasterosporium degenerans Sydow & P. Sydow

富樫浩吾:果樹病学:318, 1950

[備考] *Clasterosporium* の属名は分類の誤りで, 転属の必要があるとされている (小林享夫:植物病原菌

類図説(小林享夫ら編):551, 1992)

葉ぶくれ病 habukure-byo Red leaf spot (紅点病, ポリスチグマ病, 葉腫病)

Polystigma rubrum (Persoon) de Candolle

出田 新:日本植物病理学:292, 1903(明 36); 白井光太郎:最近植物病理学:429, 1907(明 40)

斑点病* hanten-byo Phyllosticta leaf spot (穿孔病)

Phyllosticta prunicola (Opiz) Saccardo

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6)

ふくろ実病 fukuromi-byo Plum pockets (囊実病)

Taphrina pruni Tulasne [*Taphrina pruni* Fuckel, *Exoascus pruni* Fuckel]

田中延次郎:植物学雑 4(44):387, 1890(明 23); 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:346, 1904(明 37); 原 攝祐:果樹病害論:388, 1916(大 5)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

鑄方末彦:実験果樹病害篇:47, 1927(昭 2)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemella xenoplax* (Raski) Raski & Luc ワセンチュウの 1 種

宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌から検出

(2) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ベニバスモモ (*Prunus certacifera* Ehrhart var. *stropurpurea* Dipp.). 属名は再検討を要する

(3) *Hemicriconemoides* sp. サヤワセンチュウの 1 種

宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌から検出

(4) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ベニバスモモ

(5) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] ベニバスモモ

(6) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌から検出

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

亜鉛欠乏症* aen-ketsubo-sho Zinc deficiency

亜鉛欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):224, 1956

日焼病 hiyake-byo Sun scald

生理障害

式地俊材:日園雑 27(8):46, 1915(大 4) ; 瀧元清透:日園雑 34(5):18, 1922(大 11)

[備考] 土壌中の水分不足による生理的障害

ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency

ほう素欠乏

佐藤公一:原色図解作物の要素欠乏—診断と対策 (三井進午・今泉吉郎監修):216, 1958

マンガン欠乏症* mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency

マンガン欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):223, 1956

††火傷病 kasho-byo Fire blight

Erwinia amylovora (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [*Bacillus amylovorus* (Burrill) Trevisan]

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:432, 1927(昭 2) ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:61, 1941(昭 16)

[備考] 朝鮮半島・アメリカ・ヨーロッパ

††新梢萎凋病* shinsho-icho-byo Bacterial shoot blight (新梢萎凋性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium prunicolum* (Wormald) Isiyama & Muko]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:614, 1941(昭 16) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:241, 1949

[備考] イギリス

††樹脂細菌病 jushi-saikin-byo Bacterial canker, Bacterial gummosis, Resinosis

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium cerasi* (Griffin) Elliott]

瀬戸房太郎:日植病報 5:91, 19(昭 5) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:239, 1949

††すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Capnodium salicinum Montagne

白井光太郎:植物病理学(下):108, 1900(明 33)

††††ロゼット病 rosetto-byo (多葉病)

病原不明

原 攝祐:実用植物病理学:306, 1925(大 14)

[備考] 生理病と考えられている

††††

Hysterium photinae Naito

Naito, T.:Trans Nat. Hist. Soc. Kagoshima Coll. Agr. For. 3(12):4, 1933

モモ(桃)

Peaches

Prunus spp.

(果樹)

モモ Peach *P. persica* Batsch var. *vulgaris* Maximowicz

ネクタリン(油桃) Nectarine *P. persica* Batsch var. *nucipersica* Schneider

潜在モザイク病* *senzai-mosaic-byo* Latent mosaic

Peach latent mosaic viroid (PLMVd) モモ潜在モザイクウイロイド

大崎秀樹ら:日植病報 64(4):426, 1998

[備考] 大崎(1998)の報告では無病徴。病原はスモモ、アンズ、ウメおよびオウトウからも低率ながら検出された

萎縮病 *ishuku-byo* Dwarf

病原未確認

北島 博・岸 國平:日植病報 30(5):295, 1965

[備考] 接ぎ木伝染性。なお西田藤次 (果樹 41:14, 1906), 松浦 勇 (病虫雑 11(6):325, 1924) は同名の病害について外国での抄録 (接ぎ木伝染性) を記載しているが、両者の異同は明らかでない

ウイルス病 *virus-byo* Virus disease

(1) *Apple chlorotic leaf spot virus* (ACLSV) リンゴクロロティックリーフスポットウイルス

小林敏郎ら:日植病報 46(3):416, 1980(昭 55)

[備考] 潜在感染

(2) *Prunus necrotic ringspot virus* (PNRSV) プルナスネセ輪点ウイルス

岸 國平ら:日植病報 32(2):84, 1966(昭 41)

[備考] 潜在感染

黄葉病 *oyo-byo* Yellow leaf disease

病原未確認

難波成任:日植病報 46(1):59, 1980

[備考] 接ぎ木伝染性。難波らは病原として *Peach yellow leaf virus*# (PYLV モモ黄葉ウイルス)を提唱しているが、戻し接種未成功

斑葉モザイク病 *han'yo-mosaic-byo* Yellow mosaic

Peach yellow mosaic virus# (PYMV) モモ斑葉モザイクウイルス

小室康雄:植物防疫 16(6):255, 1962 ; 難波成任ら:日植病報 45(1):128, 1979

ひだ葉病 *hidaha-byo* Enation

Peach enation virus# (PEV) モモひだ葉ウイルス

岸 國平ら:日植病報 34(3):204, 1968 ; 我孫子和雄ら:日植病報 36(5):340, 1970

斑入病 *fui-ri-byo*

病原未確認

柳瀬春夫・山家弘士:日植病報 50(3):435, 1984

[備考] 接ぎ木伝染性

星斑モザイク病 *hoshihan-mosaic-byo* Star mosaic

病原未確認

岸 國平ら:園試報 A12:197, 1973

[備考] 接ぎ木伝染性

油斑モザイク病 *yuhan-mosaic-byo* Oil blotch

病原未確認

岸 國平ら:園試報 A12:197, 1973

[備考] 接ぎ木伝染性

輪紋病 rimmon-byo Ringspot

Plum pox virus (PPV) ウメ輪紋ウイルス

大石盛伝ら:日植病報 83(3):216, 2017

[備考] PPV-M 系統。戻し接種なし

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (癌腫病, 根頭癌腫病)

Rhizobium rhizogenes (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* Smith & Townsend]

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:177, 1927(昭 2) ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

せん孔細菌病* senko-saikin-byo Bacterial shot hole, Bacterial leaf spot, Bacterial canker, Black spot, Bacterial spot (細菌性穿孔病, 穿孔性細菌病)

(1) *Brenneria nigrifluens* (Wilson, Starr & Berger 1957) Hauben, Moore, Vauterin, Steenackers, Mergaert, Verdonck & Swings 1999 [*Erwinia nigrifluens* Wilson, Starr & Berger 1957]

高梨和雄:日植病報 48(3):376, 1982

(2) *Pseudomonas syringae* pv. *syringae* van Hall 1902

高梨和雄:日植病報 48(1):77, 1982

(3) *Xanthomonas arboricola* pv. *pruni* (Smith 1903) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Bacterium pruni* (Smith) Smith, *Xanthomonas campestris* pv. *pruni* (Smith 1903) Dye 1978]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:43, 1911(明 44) ; 原 攝祐:果樹病害論:226, 1916(大 5) ; 中田覺五郎:植物病原細菌目録 (白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録):445, 1927(昭 2)

赤かび病 akakabi-byo Fusarium rot (赤黴病)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal [*Fusarium orthoceras* Appel & Wallenweber]

逸見武雄・瀬戸房太郎:病虫雑 28:83, 1941(昭 16)

(2) *Gibberella zeae* (Schweinitz) Petch [*Gibberella saubinetii* (Montagne) Saccardo]

原 攝祐:果樹病害論:220, 1916(大 5)

[備考] 海外では病原菌として *G. avenacea* R.J.Cooke が挙げられている

いぼ皮病 ibokawa-byo Blister canker, Physalospora canker

Botryosphaeria berengeriana De Notaris f. sp. *persicae* Koganezawa & Sakuma [*Physalospora persicae* Abiko & Kitajima]

我孫子和雄:日植病報 35(3):172, 1969 ; 我孫子和雄・北島 博:日植病報 35(5):356, 1969 ; 小金澤碩城・佐久間 勉:果樹試報 C11:58, 1984

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Podosphaera leucotricha* (Ellis & Everhart) E.S. Salmon

横澤志織ら:日植病報 83(1):43, 2017

(2) *Podosphaera pannosa* (Wallroth) de Bary [*Sphaerotheca pannosa* (Wallroth) Léveillé, *Sphaerotheca pannosa* (Wallroth) Léveillé var. *persicae* Woronichin]

白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905 ; 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明 44) ; Honma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012

(3) *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary [*Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary var. *tridactyla*, *Podosphaera oxyacanthae* (de Candolle) de Bary]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明 44) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:12, 2012

[備考] (2)は主に果実を, (3)は主に葉を侵す。

疫病 eki-byo Phytophthora fruit rot

Phytophthora sp.

寺井康夫・矢野 龍:日植病報 38(3):187, 1972

枝折病 edaore-byo Fusicoccum canker

Fusicoccum amygdali (Delacroix) Tuset & Portilla [*Fusicoccum* sp.]

原田倭男・鍵渡徳次:桃の新病害枝折病に関する研究, 神奈川県農林部:1, 1951 ; Kanematsu, S. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(5):531, 1999

[備考] 木村劫二 (日植病報 8(1):74, 1936) は萎凋病として *Fusicoccum pruni* Potebnia を記載しているが, 本病との関係は不明

枝枯病 edagare-byo

Valsa prunastri Peck

原 攝祐:果樹病害論:210, 1916(大 5)

果実赤点病 kajitsu-sekiten-byo Fruit red spot

Ellisembia sp.

森本涼子ら:日植病報 74(3):184, 2008

褐さび病 kassabi-byo Brown rust (葉渋病, 銹病, 褐色葉渋病, 褐色銹病, 褐銹病)

Tranzschelia discolor (Fuckel) Tranzschel & M.A. Litvinov [*Puccinia pruni-spinosae* Persoon, *Tranzschelia pruni-spinosae* (Persoon) Dietel]

西田藤次:果樹 48:19, 1907(明 40) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 1:33, 1952 ; 平塚直秀:植物研究雑誌 27(8):229, 1952

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:178, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

[備考] 藤黒與三郎 (植物学雑 28(335):481, 1914) は台湾から *S. acasiae* Sawada を報告している

褐色せん孔病 kasshoku-senko-byo Cylindrosporium leaf spot (穿孔病, 褐色穿孔病)

Phloeosporrella padi (Libert) Arx [*Cylindrosporium padi* P. Karsten]

原 攝祐:果樹病害論:212, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験作物病理学:548, 1930(昭 5)

褐点病 katten-byo

Clasterosporium carpophilum (Léveillé) Aderhold [*Clasterosporium amygdalearum* Persoon]

原 攝祐:果樹病害論:215, 1916(大 5) ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:139, 1917(大 6)

かわらたけ病* kawaratake-byo Coriolus stem rot, Coriolus sap rot

Coriolus versicolor (Linnaeus) Quélet [*Polystictus versicolor* Fries]

原 攝祐:日本菌類目録:91, 1954

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella pruni Y. Harada & Noro [*Cristulariella* sp.]

野呂俊一:植物防疫 39(12):564, 1985 ; 原田幸雄・野呂俊一:日菌報 29(1):85, 1988

[備考] 病原菌の完全世代 *Grovesinia pruni* Harada & Noro は国内未確認

がんしゅ病 ganshu-byo Valsa canker (枯枯病, 胴枯病, 癌腫病)

Valsa ambiens (Persoon) Fries [*Valsa japonica* Miyabe & Hemmi]

逸見武雄:東北帝大農科大紀要 7(4):257, 1916(大 5) ; 原 攝祐:果樹 207:付録 14, 1920(大 9) ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970

きつねかわらたけ病 kitsune-kawaratake-byo Coriolus stem rot

Coriopsis polyzona (Persoon) Ryvardeen [*Coriolus polygonus* (Persoon) Imazeki, *Polystictus polyzonus* (Persoon) Cooke]

岡田十蔵:病虫雑 4(2):100, 1917(大 6) ; 出田 新:続日本植物病理学 下巻:594, 1926(大 15)

[備考] 病原菌の学名は Ryvardeen, L. & Johansen, I.:A preliminary polypore flora of East Africa:291, 1980 を参照

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

田村 実ら:北陸病虫研報 19:107, 1971(昭 46)

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot (黒黴病)

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus nigricans* Ehrenberg]

原 攝祐:実験作物病理学:550, 1930(昭 5)

黒星病 kurohoshi-byo Scab (黒点病, 瘡痂病, 黒痣病)

Cladosporium carpophilum Thümen

白井光太郎:植物病理学(下):257, 1894(明 27) ; 西田藤次:果樹 45:27, 1906(明 39) ; 鶴田章逸:果樹 131:34, 1914(大 3)

こうじかび病 koji-kabi-byo Aspergillus rot

Aspergillus niger Tieghem

北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:134, 1962

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

Inoue, K. & Nasu, H.:J. Gen. Plant Pathol. 66(1):18, 2000

コフキタケ病 kohukitake-byo

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ, コフキササルノコシカケ

岸 國平ら:原色果樹病害虫百科 5 モモ・ウメ・スモモ・アンズ:97, 1987

小円星病 ko-maruhoshi-byo (白星病)

Leptosphaeria persicaecola Hara

原 攝祐:実験作物病理学:551, 1930(昭 5) ; 富樫浩吾:果樹病学:277, 1950

先枯病 sakigare-byo Stem blight (尖枯病)

Phoma persicae Saccardo

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:48, 1911(明 44)

縮葉病 shukuyo-byo Leaf curl

Taphrina deformans (Berkeley) Tulasne

白井光太郎:植物病理学(下):145, 1894(明 27) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:348, 1904(明 37)

白さび病 shirosabi-byo White rust, Leucotelium white rust (白葉渋病, 白色銹病, 白銹病, 白渋病)

Sorataea pruni-persicae (Hori) Cummins & Y. Hiratsuka [*Leucotelium pruni-persicae* (Hori) Tranzschel, *Puccinia pruni-persicae* Hori]

堀正太郎:農業世界 6(5):58, 1911(明 44); 富樫浩吾:果樹病害:276, 1950; 平塚直秀:植物研究雑誌 27(8):229, 1952

[備考] 病原菌の学名は, 柿 眞:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):587, 1992 を参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux [*Dematophora necatrix* Hartig]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:197, 1917(大 6); 原 攝祐:実験作物病理学:120, 1925(大 14)

すすかび病 susukabi-byo

Stenella sp.

那須英夫ら:日植病報 52(3):534, 1986; 那須英夫・横山竜夫:日植病報 62(6):587, 1996

すす点病 susuten-byo Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):73, 1986

せん孔病 senko-byo Shot hole, *Cercospora* leaf spot (穿孔病)

(1) *Leptosphaeria michotii* Westendorp & Saccardo [*Leptosphaeria iwamotoi* I. Miyake]

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6); 原 攝祐:実用作物病理学:309, 548, 1925(大 14)

(2) *Leptosphaeria yulan* Saccardo [*Leptosphaeria pomona* Saccardo]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:29, 30, 1911(明 44); 原 攝祐:実用作物病理学:309, 548, 1925(大 14); 原 攝祐:実験作物病理学:548, 1930(昭 5)

(3) *Mycosphaerella irina* Auerswald [*Mycosphaerella shiraiana* I. Miyake]

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6)

(4) *Pseudocercospora circumscissa* (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Cercospora circumscissa* Saccardo]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:29, 30, 1911(明 44); 原 攝祐:果樹病害論:446, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の学名は, 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):596, 1992 を参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (硬化病, 腐敗病, 木守病, 立葉病)

(1) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium laeticolor* Berkeley]

白井光太郎:最近植物病理学:457, 1903(明 36); 堀正太郎:農業世界 5(12):49, 1910(明 43)

[備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:297, 1925) は *Gloeosporium laeticolor* の完全時代を発見し, *Glomerella persicae* Hara を記述している

(2) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013;

佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013

胴枯病 dogare-byo Cytospora canker, Leucostoma canker (枝枯病, 立枯病, 立腐病, 腐敗病)

Leucostoma persoonii (Nitschke) Höhnelt [*Leucostoma leucostoma* (Persoon) Togashi, *Leucostoma persoonii* (Nitschke) Togashi, *Valsa leucostoma* (Persoon) Fries]

白井光太郎:最近植物病理学:424, 1903(明 36); 鶴田章逸:果樹 141:33, 1914(大 3); 富樫浩吾:盛岡高農学術報告 16:1, 1931(昭 6)

[備考] 海外では病原として *Leucostoma cincta* (Fries) Höhnelt も挙げられている

苗木がんしゅ病 naegi-ganshu-byo (癌腫病, 苗木癌腫病)

Camarosporium persicae Maublanc

本間ヤス:札幌農林学会報 18(81):63, 1926(大 15); 富樫浩吾:果樹病理学:292, 1950

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot, Armillaria crown and root rot (根腐病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

富樫浩吾:果樹病学:226, 1950

ならたけもどき病* naratakemodoki-byo Clitocybe root rot

Armillariella tabescens (Scopoli) Singer

藤井新太郎・畑本 求:日植病報 40(3):177, 1974 ; 藤井新太郎・畑本 求:植物防疫 28(6):219, 1974

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold, Botrytis rot

Botrytis cinerea Persoon

富樫浩吾:果樹病学:237, 1950

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt (膏薬病, 灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:52, 1911(明 44) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

灰星病 haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病, モニリア病, 黒腐病, 褐色腐敗病, 硬化病)

(1) *Monilinia fructicola* (G. Winter) Honey [*Monilia fructicola* L.R. Batra, *Sclerotinia cinerea* (Bonorden) J. Schröter]

西田藤次:果樹 42:22, 1906(明 39) ; 富樫浩吾:果樹病学:296, 1950 ; 照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32:291, 1966

(2) *Monilinia fructigena* (Aderhold & Ruhland) Honey [*Monilia fructigena* Persoon]

白井光太郎:植物病理学(下) 267, 1894(明 27) ; 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大 5) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959

[備考] 落合政文 (福島園試報 2:9, 1970) は腐敗果から *Monilinia laxa* (Aderhold & Ruhland) Honey を分離しているが, 病原性は未確認

白粉病 hakufun-byo Frosty mildew (白黴病)

Mycosphaerella pruni-persicae Deighton [*Cercospora persica* Saccardo, *Cercospora persicae* Saccardo, *Clasterosporium degenerans* Sydow & P. Sydow, *Clasterosporium persicum* (Saccardo) Tsuji, *Mycosphaerella persica* (Saccardo) B.B. Higgins]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:44, 1911(明 44) ; 原 攝祐:果樹病害論:418, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日本害菌学:311, 1936(昭 11) ; 香月繁孝:植物防疫 26(4):163, 1972

[備考] 病原菌の完全世代 *M. pruni-persicae* は国内未確認。また, 不完全世代の *Clasterosporium* は誤同定 (小林享夫:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):551, 1992)

斑点病 hanten-byo Leaf spot (果実斑点病, 穿孔病)

(1) *Macrophoma collabens* (Cooke) Berlese & Voglino

原 攝祐:実用作物病学:309, 1925(大 14) ; 原 攝祐:実験作物病理学:551, 1930(昭 5)

(2) *Mycosphaerella pachyasca* (Rostrup) Vestergren

原 攝祐:静岡県農会報 280:22, 1921(大 10) ; 原 攝祐:実験作物病理学:551, 1930(昭 5)

(3) *Phyllosticta maculiformis* Saccardo

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:551, 1930(昭 5)

(4) *Phyllosticta persicae* Saccardo

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:29, 30, 1911(明 44) ; 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:551, 1930(昭 5)

(5) *Phyllosticta prunicola* (Opiz) Saccardo

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):12, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6)
(6) *Stigmia carpophila* (Léveillé) M.B. Ellis [*Coryneum beyerinckii* Oudemans]
原 攝祐:果樹病害論:444, 1916(大 5)

ひいろたけ病* hirotake-byo Trametes stem rot, Stem heart rot
Pycnoporus coccineus (Fries) Bondartsev & Singer [*Polystictus sanguineus* (Linnaeus) Fries, *Trametes sanguinea* (Linnaeus) Lloyd]
北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:133, 1962

ホモプシス腐敗病 *Phomopsis-fuhai-byo* Phomopsis rot (腐敗病)
Phomopsis sp.
原 攝祐:実験作物病理学:550, 1930(昭 5) ; 我孫子和雄:園試報 A11:127, 1972 ; 兼松聡子ら:日植病報 60(6):749, 1994
[備考] 病原菌の完全世代は *Diaporthe eres* Nitschke に類似

紫紋羽病 *murasaki-mompa-byo* Violet root rot
Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka
鑄方末彦:実験果樹病害篇:177, 1927(昭 2)

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode
(1) *Criconema* sp. トゲワセンチュウの 1 種
岡本好一・一戸 稔:第 16 回応動昆大会講要:119, 1972
[備考] 属名は再検討を要する
(2) *Criconemella xenoplax* (Raski) Raski & Luc ワセンチュウの 1 種
宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987
[備考] 根圏土壌から検出
(3) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種
岡本好一・一戸 稔:第 16 回応動昆大会講要:119, 1972
[備考] 属名は再検討を要する
(4) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種
一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964
(5) *Meloidodera* sp. ニセシストセンチュウの 1 種
一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964
(6) *Paratrophurus* sp. [*Tylenchorhynchus* sp.] リュウキュウイシユクセンチュウ
照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971 ; 照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979
(7) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの 1 種
一戸 稔:農業技術 19:351, 1964
(8) *Xiphinema bakeri* Williams クワオオハリセンチュウ
宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987
[備考] 根圏土壌より検出
(9) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ
宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987
[備考] 根圏土壌より検出
(10) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの 1 種
岡本好一・一戸 稔:第 16 回応動昆大会講要:119, 1972
[備考] 上記種との異同は不明

根腐線虫病* *negusare-senchu-byo* Root lesion
(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

引地直至:植物防疫 21(10):418, 1967 ; 山田正己・吉田雅夫:昭 59 春園芸学会研発要旨:152, 1984

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

石川元一:関東病虫研報 13:139, 1966

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

湯原 巖ら:北日本病虫研報 13:133, 1962 ; 一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

石川元一:関東病虫研報 11:98, 1964

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 宋田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 石川元一:関東病虫研報 11:98, 1964

(4) *Meloidogyne mali* Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ

果樹試栽培 1 研:研究成果シリーズ 98:131, 1977 ; 伊藤喜隆:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):142, 1992

(5) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの 1 種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

[備考] 上記の種との異同は不明

亜鉛欠乏症* aen-ketsubo-sho Zinc deficiency

亜鉛欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):224, 1956

ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency

ほう素欠乏

佐藤公一:原色図解作物の要素欠乏—診断と対策 (三井進午・今泉吉郎監修):216, 1958

マンガン欠乏症* mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency

マンガン欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):223, 1956

††萎黄病 io-byo Yellows

病原未詳

市川延次郎:植物学雑誌 11(121):82, 1897(明 30) ; 原 攝祐:果樹病害論:496, 1916(大 5)

[備考] アメリカ。Phytoplasma (ファイトプラズマ) によると思われる

††樹脂病* jushi-byo Bacterial canker, Bacterial gummosis, Resinosis

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Pseudomonas cerasus* Griffin]

西田藤次:果樹 49:22, 1907(明 40) ; 原 攝祐:果樹病害論:227, 1916(大 5) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:239, 1949

[備考] 国内発生未詳。せん孔細菌病菌(2)との異同については調査を要する

†裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病)

Phyllactinia corylea (Persoon) P. Karsten

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):133, 1928(昭 3)

[備考] 朝鮮半島

††スポロトリクム病 *Sporotrichum*-byo *Sporotrichum* disease

Sporotrichum persicae Pollacci
西門義一:病虫雑 8(8):409, 1921(大 10)
[備考] イタリア

†円星病 maruhoshi-byo
Coniothyrium nakatae Hara
中田覺五郎:農試調査報告 1:68, 1941
[備考] 中国東北部

††ロゼット病 rosetto-byo (多葉病)
病原不明
原 攝祐:実用作物病理学:306, 1925(大 14)
[備考] 生理的と考えられている

††わい小病 waisho-byo Little peach (矮小病)
病原不明
西田藤次:果樹 91:21, 1910(明 43)
[備考] アメリカ

††††
Prunus virus S (PruVS) モモ S ウイルス
難波成任ら:日植病報 45(1):128, 1979
[備考] モモに潜在感染する約 13×650 nm の Carlavirus

††††
Abortiporus biennis (Bulliard) Singer ニクウチワタケ
市川和規ら:関東病虫研報 60:59, 2013
[備考] 接種試験未了

††††
Cytospora rosarum Greville [*Valsa ceratosperma* (Tode) Maire]
Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970
[備考] 枝幹の枯死部やかいよう症状部に生じた突起物から検出

††††
Fomitopsis sp.
市川和規ら:関東病虫研報 60:59, 2013
[備考] 接種試験未了

††††
Ganoderma lucidum (Curtis) P. Karsten マンネンタケ
伊藤一雄:樹病学大系 3:153, 1974
[備考] 接種試験未了

††††
Laetiporus cremeiporus Y. Ota & T. Hattori マスタケ
市川和規ら:関東病虫研報 60:59, 2013
[備考] 接種試験未了

††††

Microstroma tonellianum Ferraris

赤井重恭:日植病報 14(3-4):91, 1950

††††

Oligoporus sp. オシロイタケ属

市川和規ら:関東病虫研報 60:59, 2013

[備考] 接種試験未了

††††

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden ベッコウタケ

市川和規ら:関東病虫研報 60:59, 2013

[備考] 接種試験未了

††††

Trametes hirsuta (Wulfen) Lloyd アラゲカワラタケ

市川和規ら:関東病虫研報 60:59, 2013

[備考] 接種試験未了

ピラカンサ

Firethorn

Pyracantha spp.

(広葉樹)

タチバナモドキ Narrowleaf firethorn *Pyracantha angustifolia* (Franchet) Schneder

トキワサンザシ *Pyracantha coccinea* (L.) Roem.

ヒマラヤピラカンサ *Pyracantha crenulata* (D. Don) Roem.

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora cactorum (Lebert & Cohn) J. Schröter

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 56(1):147, 1990

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Pseudocercospora pyracanthae (Katsuki) C. Nakashima & Tak. Kobayashi [*Cercospora pyracanthae* Katsuki]

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):71, 1960 ; 香月繁孝:福岡県経済部研報 1:19, 1949 ;

Nakashima, C. & Kobayashi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(4):309, 1997

黒星病 kurohoshi-byo *Pyracantha* scab

Venturia inaequalis (Cooke) Winter

牛山欽司ら:日植病報 78(1):23, 2012

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] トキワサンザシ

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの1種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

セイヨウナシ(ヨウナシ)(西洋梨)
Pear, European pear
Pyrus communis L. var. *sativa* de Candolle
(果樹)

くぼみ果病 kubomika-byo Dimple pit

病原未確認

大沼幸男ら:日植病報 54(1):87, 1988 ; 大沼幸男ら:植物防疫 42(9):447, 1988

[備考] 接ぎ木伝染性。Sano, T. *et al.* (Ann. Phytopath. Soc. Jpn. 63(2):89, 1997) は *Pear blister canker viroid* (PBCVd ナシブリスタキャンカーウイロイド) を検出している

粗皮病* sohi-byo Rough bark

病原未確認

落合政文ら:日植病報 44(3):388, 1978

[備考] 接ぎ木伝染性。Sano, T. *et al.* (Ann. Phytopath. Soc. Jpn. 63(2):89, 1997) は *Pear blister canker viroid* (PBCVd ナシブリスタキャンカーウイロイド) を検出している

ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) *Apple stem grooving virus* (ASGV) リンゴステムグルーピングウイルス

澤村健三ら:弘大農報 50:22, 1988

[備考] 潜在感染。品種によってウイルス病様症状を発現

(2) *Pear ring pattern mosaic virus* (PRPMV) ナシ輪紋モザイクウイルス

高梨和雄ら:日植病報 46(3):416, 1980

[備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染。品種によってウイルス病様症状発現。病原として *Apple chlorotic leaf spot virus* (ACLSV リンゴクロロティックリーフスポットウイルス)が推定されている (土崎常男ら編:原色作物ウイルス病事典:619, 1993)

(3) *Quince sooty ring spot virus* (QSRSV) マルメロすす輪点ウイルス

高梨和雄ら:日植病報 46(3):416, 1980

[備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染。品種によってウイルス病様症状発現

ベインイエローズ病* vein-yellow-byo Vein yellows

病原未確認

高梨和雄ら:日植病報 46(3):416, 1980

[備考] 接ぎ木伝染性。なお、土崎常男ら編 (原色作物ウイルス病事典:619, 1993) には、病樹から *Apple stem pitting virus* (ASPV リンゴステムピットティングウイルス)様のひも状ウイルスが検出されたことが記述されている

枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot blight (火傷病類似症)

Erwinia sp.

谷井昭夫:第12回細菌病談話会講要:18, 1983

[備考] 病原はナシとセイヨウナシだけに病原性を有する。なお、栃内吉彦・高橋喜夫 (日植病報 8(1):69, 1938) が *Bacillus* sp. によると記載した細菌病は本病と同じものと考えられる

黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial black spot, Bacterial blossom blast and canker (花腐細菌病, 花腐性細菌病, 黒斑性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium nectarophilum* Doidge, *Bacterium utiformica* (Clara) Burgwitz]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:587, 642, 1941(昭 16) ; 阿部篤智ら:日植病報 76(3):175, 2010 ; 田平 剛
ら:日植病報 76(3):176, 2010 ; 田平 剛ら:日植病報 78(3):178, 2012
[備考] 病原の異名関係により, 花腐細菌病を本病に統一した

新梢黒変細菌病 shinsho-kokuhen-saikin-byo Bacterial black shoot

Erwinia sp.

水野明文ら:日植病報 75(3):208, 2009 ; 松浦貴之ら:日植病報 75(3):208, 2009 ; Mizuno, A. *et al.*:J. Gen. Plant
Pathol. 76(1):43, 2010

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall

川上暢喜ら:日植病報 76(1):42, 2010

赤星病* akahoshi-byo Rust (銹病)

Gymnosporangium asiaticum Miyabe ex G. Yamada [*Gymnosporangium haraeaeum* Sydow & P. Sydow,
Gymnosporangium sabinae (Dickson) G. Winter]

安田 篤:植物学各論隠花部:431, 1911(明 44) ; 原 攝祐:実用作物病理学:254, 1925(大 14) ; Hiratsuka, N.:Bot.
Mag. Tokyo 50(597):481, 1936

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (うどん粉病)

Phyllactinia pyri-serotinae Sawada [*Phyllactinia mali* (Duby) U. Braun, *Phyllactinia pyri* (Castagne) Homma,
Phyllactinia corylea (Persoon) P. Karsten]

鑄方末彦:実験果樹病害篇:76, 1927(昭 2) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):412, 1937 ;
高松 進:三重大生資紀要 38:30, 2012

疫病 eki-byo Phytophthora fruit rot

(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

中川原郁也・鷲尾貞夫:北日本病虫研報 26:97, 1975 ; 柳瀬春夫・佐久間 勉:果樹試報 C6:105, 1979

(2) *Phytophthora syringae* (Klebahn) Klebahn

藤田孝二・原田幸雄:日植病報 59(6):758, 1993 ; 藤田孝二ら:日植病報 60(6):717, 1994

褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown spot

Stemphylium sp.

棚橋 恵ら:日植病報 74(3):183, 2008 ; 棚橋 恵ら:日植病報 76(3):158, 2010

褐斑病 kappan-byo Brown blotch, *Mycosphaerella* leaf spot

Mycosphaerella pyri (Auerswald) Boerema [*Mycosphaerella sentina* (Fries) J. Schröter]

鑄方末彦:実験果樹病害篇:74, 1927(昭 2)

[備考] 村田壽太郎 (病虫雑 3(12):958, 1916) は褐斑病としてアメリカニュージャージー州における
Macrosporium sydowianum Farnati について紹介しているが, 本病との関係は不明

黒星病 kurohoshi-byo Scab (鼈甲病, 黒斑病, 瘡痂病, 痂紋病)

Venturia pirina Aderhold

出田 新:日本植物病理学:318, 1903(明 36)

黒点病 kokuten-byo *Mycosphaerella* fruit rot

Mycosphaerella pomi (Passerini) Lindau

荒井茂充ら:日植病報 69(3):198, 2003

[備考] アナモルフ:*Cylindrosporium pomi* Brooks

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

棚橋 恵ら:日植病報 64(4):434, 1998 ; 棚橋 恵ら:日植病報 70(3):168, 2004

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot, Fabraea leaf spot and fruit rot

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo [*Entomosporium maculatum* Léveillé, *Fabraea maculata* G.F. Atkinson]

工藤 晟・高梨和雄:果樹試報 A3:53, 1976 ; 堀江博道:日植病報 50(1):136, 1984

[備考] 原 攝祐 (果樹病害論:82, 1916) が褐点病菌としてあげた *Stigmatea mespili* Sorauer は本菌の完全世代 *Diplocarpon mespili* (Sorauer) Sutton の異名であるが, 完全世代はわが国では未確認

尻腐病 shirigusare-byo Blossom end rot

Phomopsis fukushii S. Endo & Tanaka [*Phomopsis* sp.]

渡辺政三:果樹 158:31, 1916(大 5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:66, 1927(昭 2) ; 那須英夫・畑本 求:日植病報 53(3):383, 1987

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot, Rosellinia root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

竹内友助:園芸 25(1):35, 1933(昭 8)

すすかび病 susukabi-byo

Stenella sp.

那須英夫ら:日植病報 56(3):386, 1990

炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (苦腐病, 晩腐病)

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]
菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Gloeosporium fructigenum* Berkeley]

鑄方末彦:実験果樹病害篇:76, 1927(昭 2) ; 深谷雅子・加藤作美:北日本病虫研報 43:80, 1992 ; 菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999

胴枯病 dogare-byo Diaporthe canker (枝枯病)

Diaporthe tanakae Tak. Kobayashi & Sakuma [*Diaporthe ambigua* Nitschke, *Diaporthe ambigua* sensu Tanaka non Nitschke, *Diaporthe discigena* Tanaka]

中島友輔・瀧元清透:病虫雑 11(8):415, 1924(大 13) ; 中田覺五郎:華北農試調査報告 1:53, 1941(昭 16) ; 原 攝祐:日本菌類目録:106, 1954 ; Kobayashi, T. & Sakuma, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23(1):37, 1982 ; 後藤新一ら:日植病報 81(3):210, 2015

[備考] 後藤ら(2015)は本菌が果実腐敗も引き起こすと報告した

灰星病 haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病)

Monilinia fructigena (Aderhold & Ruhland) Honey [*Sclerotinia fructigena* (Persoon) J. Schröter]

富樫浩吾:果樹病学:124, 1950 ; 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959 ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

那須英夫ら:日植病報 57(3):395, 1991

腐らん病 furan-byo Valsa canker

Valsa ceratosperma (Tode) Maire [*Cytospora sacculus* (Schweinitz) Gvritischvili]

齋藤 泉ら:日植病報 38(3):258, 1972

汚果病 yogoreka-byo Fruit stain

Stenella sp.

那須英夫:岡山農試研報 16:7, 1998

輪紋病 rimmon-byo Ring rot, Physalospora canker

Botryosphaeria berengeriana De Notaris f. sp. *pyricola* Koganezawa & Sakuma [*Physalospora piricola* Nose]

大沼幸男・木村和夫:北日本病虫研報 27:78, 1976 ; 小金澤碩城・佐久間 勉:果樹試報 C11:49, 1984

石なし ishinashi Hard end (石ナシ)

生理障害

石塚昭吾:園学昭 40 秋シンポジウム講要:22, 1965 ; 渡部俊三・山本隆儀:農及園 53(4):553, 1978

尻腐 shirigusare Black end (尻ぐされ)

生理障害

石塚昭吾:園学昭 40 秋シンポジウム講要:22, 1965 ; 渡部俊三・山本隆儀:農及園 53(4):553, 1978

葉やけ hayake

生理障害

石塚昭吾:園学昭 40 秋シンポジウム講要:17, 1965 ; 渡部俊三・山本隆儀:農及園 53(6):771, 1978

††かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker (潰瘍性細菌病)

病原細菌種名未定

岡部徳夫:植物細菌病学:227, 1949

[備考] ヨーロッパ。病原細菌名 *Bacterium pyri* Brzezinski は国際細菌命名規約により, 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††火傷病 kasho-byo Fire blight (腐爛病)

Erwinia amylovora (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [*Bacillus amylovorus* (Burrill) Trevisan]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:186, 1904(明 37)

[備考] アメリカ・ヨーロッパ

††花枯細菌病* hanagare-saikin-byo Bacterial blight of blossom (花枯性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:257, 1941(昭 16)

[備考] イギリス。病原細菌名 *Pseudomonas barkeri* (Berridge) Clara [*Bacterium barkeri* (Berridge) Elliott] は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††褐紋病 katsumon-byo Brown blotch

Leptothyrium pomi (Montagne & Fries) Saccardo

吉田末彦:病虫雑 5(9):739, 1918(大 7)

[備考] アメリカ

†黒腐病 kurogusare-byo

Sphaeropsis malorum Peck

原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭5)

[備考] 中国東北部

†白点病 hakuten-byo (白星病)

Coniothyrium piricola Potebnia

原 攝祐:静岡県農会報 364:付録 37, 1928(昭3)

[備考] 中国東北部

†腐敗病 fuhai-byo

Pestalotia sp.

吉井 甫ら:勸業模範場彙報 7:21, 1927(昭2)

[備考] 朝鮮半島

††††

††*Cercospora piricola* Sawada

原 攝祐:果樹病害論:491, 1916(大5)

[備考] 本菌は斑点病の1病原として記載されており、ナシでは裏すず病の病原とされているが、わが国での発生等は不明

ナシ(梨)

Pears

Pyrus spp.

(果樹)

ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) *P. betulaefolia* Bunge

ニホンナシ Japanese pear *P. serotina* Rehder var. *culta* Rehder

チュウゴクナシ Chinese white pear *P. ussuriensis* Maximowicz var. *sinensis* Kikuchi

奇形果病 kikeika-byo Friut dimple (果実くぼみ症)

Apple scar skin viroid (ASSVd) リンゴさび果ウイロイド

大津善弘ら:日植病報 56(1):101, 1990 ; 大崎秀樹ら:日植病報 56(1):101, 1990 ; Osaki, H. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(4):379, 1996

ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) *Apple stem grooving virus* (ASGV) リンゴステムグルーピングウイルス [Citrus tatter leaf virus#]

高梨和雄・工藤 晟:日植病報 40(3):216, 1974 ; 高梨和雄:日植病報 49(3):432, 1983 ; Yoshikawa, N. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):119, 1996

[備考] 潜在感染

(2) *Pear ring pattern mosaic virus* (PRPMV) ナシ輪紋モザイクウイルス

高梨和雄ら:日植病報 46(3):416, 1980

[備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染。品種によってウイルス病様症状発現。土崎常男ら編 (原色作物ウイルス病事典:614, 1993) によると、海外では *Apple chlorotic leaf spot virus* (ACLSV リンゴクロロティックリーフスポットウイルス)が本病の病原とされている

(3) *Pear vein yellows*

高梨和雄ら:日植病報 46(3):416, 1980

[備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染。品種によってウイルス病様症状発現

輪点病 rinten-byo Ring spot

病原未確認

難波成任ら:日植病報 48(1):80, 1982 ; 難波成任:日植病報 48(3):258, 1982

[備考] 接ぎ木伝染性未確認。難波は病原として Pear ringspot virus# (PeRSV ナシ輪点ウイルス) を提唱しているが, 戻し接種未成功

枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot blight (火傷病類似症)

Erwinia sp.

谷井昭夫ら:日植病報 47(1):102, 1981 ; 谷井昭夫:第 12 回細菌病談話会講要:18, 1983

[備考] 品種“千両”に発生。病原はナシとセイヨウナシだけに病原性を有する

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (冠瘻病, 癌腫病, 根頭癌腫病)

Rhizobium rhizogenes (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* (Smith & Townsend) Duggar]

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:48, 1927(昭 2) ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

さび色胴枯病 sabi-ro-dogare-byo *Erwinia* rusty canker

(1) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

(2) *Dickeya chrysanthemi* (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [*Erwinia chrysanthemi* pv. *chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987

花腐細菌病 hanagusare-saikin-byo Bacterial blossom blight and canker

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902

佐藤 徹ら:日植病報 39(2):143, 1973

あいかわたけ病* aikawatake-byo Stem heart rot (心腐病)

Laetiporus sulphureus (Bulliard) Murrill [*Polyporus candicinus* Karsten, *Polyporus sulphureus* (Bulliard) Fries]

原 攝祐:果樹病害論:135, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:188, 1927(昭 2)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall

川上暢喜ら:日植病報 76(1):42, 2010

赤星病 akahoshi-byo Rust (銹病, 赤銹病)

Gymnosporangium asiaticum Miyabe ex G. Yamada [*Gymnosporangium confusum* Plowright, *Gymnosporangium haraeum* Sydow & P. Sydow]

Shirai, M.:Zeitschr. Pflanzenkr. 10:1, 1900 ; 出田 新:農作物病理学:99, 1901(明 34) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:303, 1904(明 37) ; 平塚直秀:日菌報 16(1):91, 1975

萎縮病 ishuku-byo Dwarf (萎縮症)

(1) *Fomitiporia punctata* (P.Karsten) Murrill

金子洋平ら:日植病報 80(1):24, 2014

(2) *Fomitiporia torreyae* Y.C. Dai & B.K. Cui チャアナタケモドキ

関本美和:園学要旨 昭 53 春:76, 1978 ; 塩田あづさ ら:日植病報 76(3):156, 2010 ; 金子洋平ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Ota, Y. et al.:Mycologia 106(1):66, 2014

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia pyri-serotinae Sawada [*Phyllactinia mali* (Duby) U. Braun, *Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten, *Phyllactinia guttata* (Wallroth) Léveillé, *Phyllactinia pyri* (Castagne) Homma, *Phyllactinia suffulta* Rebentisch]
白井光太郎:植物病理学(下):191, 1900(明 33); 藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大 3); Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):412, 1937; 高松 進:三重大生資紀要 38:30, 2012

疫病 eki-byo Phytophthora crown and root rot, Phytophthora fruit rot (苗立枯病)

(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

原 攝祐:果樹病害論:120, 1916(大 5); 御園生 尹・深津量栄:日植病報 33(5):347, 1967; 梅本清作ら:日植病報 42(3):351, 1976

(2) *Phytophthora syringae* (Klebahn) Klebahn

藤田孝二・原田幸雄:日植病報 59(6):758, 1993; 藤田孝二ら:日植病報 60(6):717, 1994

枝枯病 edagare-byo Shoot blight, Dieback

Botryosphaeria dothidea (Mougeot) Cesati & De Notaris

大和浩国:日植病報 43(3):324, 1977

[備考] 原 攝祐は同名の病害の病原菌として, *Ocellaria nashi* Hara (果樹病害論:116, 1916) および *Neofabraea corticola* (Edert.) Jørgensen (日本菌類目録:225, 1954) を記載している。また富樫浩吾ら (岩手農試彙報 11:21, 1946) は *N. corticola* を葉枯れ症状部位から検出している

果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo

Fusarium avenaceum (Fries) Saccardo [*Fusarium pirinum* Saccardo, *Fusarium roseum* Link]

原 攝祐:実験作物病理学:488, 1930(昭 5); 久保周子ら:日植病報 67(2):164, 2001

[備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):250, 1894) は腐敗果からの *Fusarium heteronemum* を記載し, また松尾卓見ら (作物のフザリウム病:473, 1980) も果実上の病斑から本病原菌および *F. lateritium* Nees を分離したが, 病原性は不明。ニホンナシに発生

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (紋羽病, 膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5); 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bull's-eye rot

Cryptosporiopsis corticola (Edgerton) Nannfeldt

新田浩通ら:日植病報 68(2):190, 2002

[備考] ニホンナシに発生

褐斑病 kappan-byo Mycosphaerella leaf spot, Ashy leaf spot, Fruit spot (白斑病, 黒斑病, 黒点病, 白星病)

Mycosphaerella pyri (Auerswald) Boerema [*Mycosphaerella sentina* (Fries) J. Schröter, *Septoria piricola* (Desmazières) Desmazières]

出田 新:日本植物病理学:263, 1909(明 42)

かわらたけ病* kawaratake-byo Coriolus stem rot, Stem sap rot

Coriolus versicolor (Linnaeus) Quélet [*Polystictus versicolor* Fries]

原 攝祐:日本菌類目録:91, 1954

がんしゅ病 ganshu-byo European canker, Nectria canker (癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola [*Nectria ditissima* Tulasne & C. Tulasne]

原 攝祐:果樹病害論:79, 1916(大 5)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

斎藤司朗ら:日植病報 46(1):62, 1980

銀葉病 gin'yo-byo Silver leaf

Chondrostereum purpureum (Persoon) Pouzar [*Stereum purpureum* (Persoon) Fries]

原 攝祐:実験作物病理学:664, 1930(昭 5)

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight (葉腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

那須英夫ら:日植病報 62(1):75, 1996

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer*

安田文俊ら:植物防疫 53(7):257, 1999

黒腐病* kurogusare-byo (斑紋病, 斑点病, 褐斑病, 褐点病)

Physalospora obtusa (Schweinitz) Cooke [*Haplosporella mali* (Westendorp) Petrak & Sydow, *Physalospora cydoniae* G. Arnaud, *Physalospora malorum* (Peck) Shear, *Sphaeropsis cinerea* (Cooke & Ellis) Saccardo, *Sphaeropsis mali* (Westendorp) Saccardo, *Sphaeropsis malorum* Peck]

原 攝祐:実用作物病理学:290, 1925(大 14); 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:274, 1927(昭 2);

原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5); 原 攝祐:日本菌類目録:270, 1954

黒星病 kurohoshi-byo Scab (鼈甲病, 黒斑病, 瘡痂病)

Venturia nashicola S. Tanaka & S. Yamamoto [*Fusicladium dendriticum* (Wallroth) Fuckel, *Fusicladium pyrinum* (Libert) Fuckel, *Venturia pirina* Aderhold]

田中延次郎:植物学雑誌 4(44):387, 1890(明 23); 出田 新:日本植物病理学:318, 1909(明 42); 田中彰一・山本省二:日植病報 27(2):71, 1962

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot, Twig canker, Nectria twig blight (紅斑性癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

富樫浩吾:果樹病学:112, 1950; 工藤 晟・高梨和雄:日植病報 40(2):115, 1974; 工藤 晟:果樹試報 A5:73, 1978

黒点病 kokuten-byo Mycosphaerella fruit spot

Mycosphaerella pomi (Passerini) Lindau

荒井茂充:日植病報 67(2):167, 2001

[備考] アナモルフ:*Cylindrosporium pomi* Brooks。ニホンナシに発生

黒斑病 kokuhan-byo Black spot (輪紋病)

Alternaria kikuchiana S. Tanaka [*Alternaria gaisen* Nagano, *Alternaria nashi* Miura]

永野 健:日園雑誌 32(3):16, 1920(大 9); 卜蔵梅之丞:病虫雑誌 11(9):483, 1924(大 13); Tanaka, S.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 28:1, 1933(昭 8); 原 攝祐:日本害菌学:322, 1936(昭 11)

[備考] 本菌を *Alternaria alternata* (Fries) Keissler に含める考え方がある

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot, Fabraea leaf spot and fruit spot

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo [*Diplocarpon mespili* (Sorauer) B. Sutton, *Entomosporium*

maculatum Lévillé, *Fabraea maculata* G.F. Atkinson]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:217, 1917(大 6); 工藤 晟・高梨和雄:果樹試報 A3:53, 1976;
堀江博道:日植病報 50(1):136, 1984

[備考] 原 攝祐 (日本菌類目録:355, 1954) が褐斑病として記載した *Srimatea mespili* Sorauer は本病原菌の完全世代 *Diplocarpon mespili* (Sorauer) Sutton の異名であるが, 完全世代の国内発生は不明

縮葉病 shukuyo-byo Leaf blister (腫葉病, 腫脹病, 葉腫病)

Taphrina bullata (Berkeley) Tulasne

出田 新:実用植物病理学:151, 1902(明 35); 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:348, 1904(明 37)

白絹病 shirakinu-byo

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Hypochnus ochroleucus* F. Noack]

ト蔵梅之丞:病虫雑 4(2):141, 1917(大 6)

白星病 shirahoshi-byo

Leptosphaeria nashi (Hara) Saccardo [*Leptosphaerella nashi* (Hara) Saccardo, *Phaeosphaeria nashi* Hara, *Phaeospora nashi* Hara]

原 攝祐:果樹病害論:142, 1916(大 5); 鑄方末彦:実験果樹病害篇:55, 1927(昭 2); 原 攝祐:実験作物病理学:498, 1930(昭 5)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot, Dematophora root rot, Rosellinia root rot (根朽病, 根腐病)

Rosellinia necatrix Prillieux [*Dematophora necatrix* Hartig]

鶴田章逸:果樹 149:39, 1915(大 4); 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:345, 1927(昭 2)

すす点病 susuten-byo Fly speck (煤点病)

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason [*Leptothyrium carpophilum* Passerini, *Leptothyrium pomi* (Montagne & Fries) Saccardo]

西田藤次:病虫雑 3(7):540, 1916(大 5); 原 攝祐:果樹病害論:490, 1916(大 5); 那須英夫ら:日植病報 47(3):375, 1981

[備考] 海外で採用されている完全世代 *Schizothyrium pomi* (Montagne & Fries) Arx はわが国では未記録

せん孔病 senko-byo (斑点病, 穿孔病)

(1) *Leptosphaeria lucilla* Saccardo

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6); 原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5)

(2) *Leptosphaeria yulan* Saccardo [*Leptosphaeria pomona* Saccardo]

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6); 原 攝祐:実用作物病理学:269, 1925(大 14); 原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (葉炭疽病, 葉の炭疽病, 果の炭疽病, 苦腐病, 晩腐病)

(1) *Colletotrichum fiorinae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]
深谷雅子ら:日植病報 66(2):99, 2000; 深谷雅子:日植病報 70(3):184, 2004; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013; Sato, T. et al.:JARQ 47:295, 2013

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo, *Colletotrichopsis piri* (F. Noack) Bubák f. *tirolense* Bubák]

黒澤良平:植物学雑 26(311):359, 1912(大 1); 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5); 原 攝祐:果樹病害論:107, 1916(大 5); 鑄方末彦:実験果樹病害篇:54, 1927(昭 2)

[備考] 葉炭疽病を統合した

胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker

Phomopsis fukushii S. Endo & Tanaka

遠藤 茂:病虫雑 13(7):393, 1926(大 15); 遠藤 茂:病虫雑 13(9):622, 1926(大 15); Tanaka, S. & Endo, S.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(1):123, 1930

[備考] 本病原菌の完全世代として, *Diaporthe eres* Nitschke および *D. medusaea* Nitschke が大和浩国 (日植病報 42(3):351, 1976), 工藤 晟ら (日植病報 47(3):374, 1981), 福富雅夫ら (日植病報 52(3):538, 1986) によって報告されているが, 相互の関係は不明。また原 攝祐 (日本菌類目録:105, 1954) は本病の病原として *Diaporthe ambigua* Nitschke を記載している

ならたけ病* naratake-byo *Armillaria root rot* (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten, *Agaricus melleus* Vahl]

富樫浩吾:果樹病学:227, 1950

[備考] 病原菌の学名は池上八郎ら:新編植物病原菌類解説:134, 1996 参照

ならたけもどき病 Naratakemodoki-byo *Armillaria root rot* (*Clitocybe root rot*)

Armillaria tabescens (Scop.) Emel [*Armillaria mellea* var. *tabescens* (Scop.) Rea & Ramsb., *Armillariella tabescens* (Scop.) Singer]

北島 博:果樹病害各論:560, 1989

[備考] 接種試験未了

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold, Gray mold rot (単黴病)

Botrytis cinerea Persoon

富樫浩吾:果樹病学:127, 1950

[備考] 梅本清作 (日植病報 64(4):430, 1998 ; 千葉農林総研研報 1:21, 2009) はホクシマメナシ (*Pyrus betulaefolia*) での発生を報告している

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt (灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告 1):416, 1919(大 8); 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

灰星病 haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病, モニリア病, 硬化病, 灰色腐敗病)

(1) *Monilinia fructicola* (G. Winter) Honey

照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32(5):291, 1966

(2) *Monilinia fructigena* (Aderhold & Ruhland) Honey [*Monilia fructigena* Persoon, *Sclerotinia fructigena* (Persoon) J. Schröter]

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:355, 1904(明 37); 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大 5); 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959

白点病 hakuten-byo (斑紋病, 穿孔病)

Coniothyrium piricola Potebnia

原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5); 中田覺五郎:華北農事試調査報告 1(北支蒙疆農園芸作物病害調査報告):50, 1941(昭 16)

葉さび病 hasabi-byo Leaf rust (銹病, 葉銹病)

Ochropsora ariae (Fuckel) P. Sydow & Sydow [*Ochropsora sorbi* Dietel]

藤黒與三郎:台湾博物会報 19:9, 1914(大 3); 原 攝祐:実験作物病理学:480, 1930(昭 5)

斑紋病 hammon-byo Leaf spot, Phyllosticta leaf spot (斑点病, 灰色斑点病, 白星病, 白点病, 穿孔

病)

(1) *Ascochyta piricola* Saccardo

原 攝祐:実用作物病理学:270, 1925(大 14) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:55, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5)

(2) *Ascochyta pirina* Saccardo

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6)

(3) *Leptosphaeria bellona* Saccardo

原 攝祐:実験作物病理学:498, 1930(昭 5)

(4) *Pestalotia* sp.

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5)

(5) *Phyllosticta erratica* Ellis & Everhart

原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5)

(6) *Phyllosticta piricola* Saccardo & Spegazzini

原 攝祐:実用作物病理学:270, 1925(大 14) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:55, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5)

(7) *Phyllosticta pyrina* Saccardo

原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:55, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5)

(8) *Phyllosticta prunicola* (Opiz) Saccardo

原 攝祐:果樹病害論:133, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大 6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5)

(9) *Phyllosticta* sp.

原 攝祐:実験作物病理学:500, 1930(昭 5)

ばら色かび病* barairo-kabi-byo Pink rot (黒点病)

Trichothecium roseum (Persoon) Link [*Cephalothecium roseum* (Persoon) Corda]

鑄方末彦・人見 剛:病虫雑 16(2):97, 1929(昭 4)

ヒボキシロン幹腐病 *Hypoxylon-mikigusare-byo* Hypoxylon heart wood rot

Hypoxylon serpens (Persoon) Kickx

佐久間 勉ら:日植病報 56(3):388, 1990 ; 佐久間 勉ら:果樹試報 24:45, 1993

腐らん病 furan-byo Valsa canker

Valsa ceratosperma (Tode) Maire [*Cytospora carphosperma* Fries, *Cytospora sacculus* (Schweinitz) Gvritschvili]

原 攝祐:実験作物病理学:496, 1930(昭 5) ; 齋藤 泉ら:日植病報 38(3):258, 1972

[備考] 中国ナシ系の品種 “身不知” にのみ発生確認

ボトリオディプロディア枝枯病 *Botryodiplodia-edagare-byo* Botryodiplodia canker

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]

大和浩国:徳島果試ニュース 33:4, 1980 ; 大和浩国:日植病報 49(3):401, 1983

円星病 maruhoshi-byo

Mycosphaerella sp.

原 攝祐:実験作物病理学:498, 1930(昭 5)

三方赤星病 mikata-akahoshi-byo Rust

Gymnosporangium shiraianum Hara [*Gymnosporangium juniperi* Link]

原 攝祐:病虫雑 6(8):681, 6(9):751, 1919(大 8) ; 松尾綾男:日菌報 6(1):20, 1965

実腐病 migusare-byo (ペスタロチア病)

Pestalotia piricloa Yoshino & Hara

吉野正義・小林五郎:関東病虫研報 10:24, 1963 ; 吉野正義・日野隆之:埼玉園試報 1:1, 1967

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka [*Septobasidium mompa* (Tanaka) Raciborski]

原 攝祐:果樹病害論:60, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:120, 1927(昭 2)

汚果病 yogoreka-byo Fruit stain (尻黒, 汚れ果)

(1) *Acaromyces ingoldii* Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg [*Hyalodendron* sp.]

那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997 ; 安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊ら:日植病報 71(4):156, 2005 ; Yasuda, F. *et al.*:Mycoscience 47:36, 2006 ; 安田文俊ら:日植病報 73:166, 2007

[備考] ニホンナシに発生

(2) *Alternaria* sp.

大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭 33 秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992

(3) *Meira geulakonigii* Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg

安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006

(4) *Meira nashicola* F. Yasuda & H. Otani

安田文俊ら:日植病報 71:156, 2005 ; Yasuda, F. *et al.*:Mycoscience 47:36, 2006

[備考] ニホンナシに発生

(5) *Meira* sp.

安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊ら:日植病報 71(4):156, 2005

(6) *Phomopsis* sp.

大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭 33 秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992

(7) *Pseudozyma aphidis* (Henninger & Windisch) Boekhout

安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006

(8) *Stenella* sp.

大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭 33 秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 ; 那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997

[備考] 野口保弘・田中澄人 (九病虫研会報 26:73, 1980) は類似の症状として尻腐症を報告している

輪紋病 rimmon-byo Ring rot (*Physalospora* canker) (いぼ皮病 ibokawa-byo, 瘤状粗皮病)

Botryosphaeria berengeriana De Notaris f. sp. *pyricola* Koganezawa & Sakuma [*Physalospora piricola* Nose, *Physalospora piri* Nose, *Macrophoma kuwatsukai* Hara, *Macrosporium pirorum* Cooke]

鶴田章逸:果樹 171:41, 1917(大 6) ; 鋤塚喜久治:園芸の研究 17:190, 1921(大 10) ; 原 攝祐:日本害菌学:199, 1936(昭 11) ; 小金澤碩城・佐久間 勉:果樹試報 C11:49, 1984

[備考] 病原菌名を *Guignardia piricola* (Nose) Yamamoto とする意見もある (山本和太郎:日植病報 26(5):229, 1961)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus digonicus* Perry ウメラセンセンチュウ

吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

(3) *Helicotylenchus dihystra* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

- (4) *Helicotylenchus erythrinae* (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ
 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 ; 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (5) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種
 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (6) *Meloidodera* sp. ニセシストセンチュウの 1 種
 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (7) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi [*Trichodorus porosus* Allen] ナガイモユミハリセンチュウ
 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (8) *Paratylenchus elachistus* Steiner ヒメピンセンセンチュウ
 田中福三郎:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):322, 1992
- (9) *Paratylenchus* sp. ピンセンセンチュウの 1 種
 一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964
 [備考] 上記種との異同は不明
- (10) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種
 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (11) *Tylenchorhynchus claytoni* Steiner ナミイシュクセンチュウ
 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (12) *Tylenchorhynchus nudus* Allen フタワイシュクセンチュウ
 金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963
- (13) *Tylenchulus semipenetrans* Cobb ミカンネセンチュウ
 一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964 ; 石川元一・高瀬一太郎:関東病虫研報 12:102, 1965
- (14) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの 1 種
 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (15) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの 1 種
 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

根腐線虫病* negusare-senchu-byo Root lesion

- (1) *Pratylenchus loosi* Loof チャネグサレセンチュウ
 石川元一・高瀬一太郎:関東病虫研報 12:102, 1965
- (2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
 石川元一・高瀬一太郎:関東病虫研報 12:102, 1965

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

- (1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
 Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961
- (2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ
 Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961
- (3) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種
 原 攝祐:果樹病害論:494, 1916(大 5)
 [備考] *Meloidogyne* 属が再確認されて複数種に分けられ(Chitwood, B. G.:Proc. Helminth. Soc. Wash. 16(2):90, 1949), わが国で最初にこれに従った一戸 稔 (応動昆 20(1-2):75, 1955) によって報告されるまで、ネコブセンチュウは 1 種として扱われ、学名として *H. radicola* あるいは *H. marioni* (Cornu) Goodey が使用されていた。これらを使用した種を特定できないネコブセンチュウの報告は「*Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの 1 種」、該当種が特定できる場合はその種として採録し、これらの名称を異名として示した

亜鉛欠乏症* aen-ketsubo-sho Zinc deficiency
 亜鉛欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):224, 1956

ほう素欠乏症 hoso-ketsubo-sho Boron deficiency, Blossom blast

ほう素欠乏

佐藤和郎・藤原康年:農及園 37(8):1343, 1962

マグネシウム欠乏症* magnesium-ketsubo-sho Magnesium deficiency

マグネシウム欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):222, 1956

マンガン欠乏症* mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency

マンガン欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):223, 1956

ゆずはだ病 yuzuhada-byo (柚膚病, 石化病, 縮果病)

生理障害

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):12, 1916(大 5) ; 瀧元清透:日園雑 34(5):18, 1922(大 11) ; 中川慶実:農及園 15(12):2445, 1940(昭 15)

[備考] 土壤中の水分不足による生理障害と考えられている

裂果病 rekka-byo Cracking

生理障害

鑄方末彦:実験果樹病害篇:57, 1927(昭 2)

[備考] 水分不足から過多への急変

えそ斑点病* eso-hanten-byo Necrotic spot (褐斑病)

病原未確認

三浦小四郎・山田喜和:農及園 32(1):57, 1957 ; 野田健男ら:千葉農試研報 3:73, 1959 ; 岸 國平ら:園試報 A11:139, 1972

[備考] 接ぎ木伝染性

粗皮病* sohi-byo (粗皮症)

病原未確認

落合政文ら:日植病報 44(3):388, 1978

[備考] 接ぎ木伝染性。原 攝祐 (実験作物病理学:497, 1930) は中国東北部, モンゴルにおける調査結果として, *Coniothecium intricatum* Peck による粗皮病を記載しているが, 本病との関係は明らかでない

††††変葉病 hen'yo-byo

病原未詳

永井 喬ら:園学要旨 昭 30 秋:2, 1955 ; 三浦小四郎:果実日本 13(4):42, 1958

[備考] 罹病枝の切り接ぎ試験からウイルスによると推定。汁液伝染性は陰性

††††モザイク病 mosaic-byo Mosaic

病原未詳

小室康雄:植物防疫 16(6):255, 1962

[備考] ウイルスによると思われるが, 汁液伝染性は陰性

†火傷病 kasho-byo Fire blight (腐爛病)

Erwinia amylovora (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [*Bacillus*

amylovorus (Burrill) Trevisan]

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5)

[備考] 朝鮮半島

†裏すす病 *ura-susu-byo* (裏煤病)

Cercospora piricola Sawada

原 攝祐:果樹病害論:491, 1916(大 5); 藤黒與三郎:植物学雑 32(384):358, 1918(大 7); 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告 1):677, 1919(大 8)

[備考] 台湾

†かいよう病 *kaiyo-byo* (潰瘍病)

Phoma sp.

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):12, 1916(大 5)

[備考] 朝鮮半島

†白星病 *shirohoshi-byo*

Macrosporium pirorum Cooke

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5)

[備考] 朝鮮半島

†葉ぶくれ病 *habukure-byo* (葉腫病)

Eriophyes piri Nalepa ダニの 1 種

中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5)

[備考] 朝鮮半島

††††

††††*Apple chlorotic leaf spot virus* (ACLSV) リンゴクロロティックリーフスポットウイルス

元島俊治ら:日植病報 49(1):82, 1983

[備考] 生産国中国

††††

†*Alternaria manshurica* Hara [*Alternaria bokurai* Miura]

原 攝祐:日本害菌学:323, 1936(昭 11)

[備考] 中国東北部。紅梨・鴨梨・慈梨に発生

††††

Cladosporium sp.

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:21, 1946

[備考] 葉枯れ症状から検出

††††

Diatrype minor (Saccardo) Hara [*Diatrype microstroma* Sydow, P. Sydow & Hara var. *minor* Saccardo]

原 攝祐:植物学雑 28(333):399, 1914(大 3)

[備考] 枯死枝に寄生。寄主はナシ *Prunus sinensis* と記載されているが、その学名は疑問である

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

原 攝祐:植物学雑 27(313):62, 1913(大 2)

[備考] 葉の黒色小斑点から検出

††††

Geotrichum candidum Link

真山真理:日植病報 53(1):103, 1987

[備考] 市場病害の腐敗果から検出

††††

Mycochaetophora sp.

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:21, 1946

[備考] 葉枯れ症状から検出

††††

Mycosphaerella bellona Saccardo

原 攝祐:静岡県農会報 359:11, 1927(昭2)

††††

Pestalotiopsis breviseta (Saccardo) Steyaert [*Pestalotia breviseta* Saccardo]

白井光太郎:植物病理学(下):245, 1894(明27)

[備考] 葉裏面から検出, リンゴでは本菌によるものをペスタロチア病としている

††††

Phyllosticta solitaria Ellis & Everhart

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:272, 1927(昭2)

[備考] 葉, 果実, に発生

††††

†*Uredo* sp.

藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大3)

[備考] 台湾

シャリンバイ(車輪梅)

Yeddo hawthorn

Rhaphiolepis indica (L.) Lindl. ex Ker var. *umbellata* (Thunb. ex Murray) Ohashi

(広葉樹)

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Pseudomonas syringae pv. *rhaphiolepidis* Ogimi, Kawano, Higuchi & Takikawa 1992

大宜見朝栄ら:日林誌 74(4):308, 1992

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot (紅斑病)

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo [*Entomosporium maculatum* Léveillé, *Entomosporium eriobotryae* Takimoto]

堀江博道・小林享夫:日植病報 41(3):253, 1975 ; 楠木 学ら:日植病報 40(3):187, 1974 ; 堀江博道:東京農試研報 19:1, 1986

[備考] 病原菌の完全世代 *Diplocarpon mespili* (Sorauer) Sutton は我が国では未記録

さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, 赤錆病, 葉裏赤渋病, 錆病)

(1) *Aecidium rhaphiolepidis* H. Sydow

小林享夫・米林俵三:森林防疫 22(4):94, 1973 ; 保 虎太郎:科学の農業 13(11):52, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 15(10):626, 1939(昭 14) ; 佐藤昭二:日菌報 16(1):86, 1975

[備考] ホソバシヤリンバイ (*R. umbellata* var. *liukiensis*) にも発生

(2) *Coleopucciniella ideii* Hiratsuka [*Coleopuccinia* sp.]

井手清治:植研雑 11(5):334, 1935(昭 10) ; Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 13:245, 1937(昭 12)

[備考] ホソバシヤリンバイ・ヒイランシヤリンバイ (*R. umbellata* var. *hiiranensis*)

紫斑病 shihan-byo Leaf spot

Pseudocercospora violamaculans (Fukui) Tak. Kobayashi & C. Nakashima [*Cercospora violamaculans* Fukui]

福井武治:三重高農学術報 3(3):11, 1933(昭 8) ; Kobayashi, T. *et al.*:Mycoscience 43:219, 2002

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす病 susu-byo Black mildew

Asteridiella raphiolepidis (W. Yamamoto) Hansford [*Irenina raphiolepidis* W. Yamamoto]

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):412, 1979 ; 山本和太郎:台湾博物学術報 31(209):50, 1941(昭 16)

[備考] シマシヤリンバイ・モツコクモドキ (*R. indica* var. *tashiroi*)

そうか病 soka-byo Anthracnose leaf spot

Sphaceloma sp.

梶谷裕二:日植病報 72(4):208, 2006

白斑病 hakuhan-byo Pestalotia disease

Pestalotia sp.

勝 善鋼:森林防疫 23(5):88, 1974

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

澤田兼吉:台湾農事報 129:609, 1917(大 6)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

シロヤマブキ(白山吹)

Black jetbead, Jetbead

Rhodotypos scandens (Thunb.) Makino

(広葉樹)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

那須英夫ら:近畿中国農研 64:71, 1982

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

円斑病 maruhan-byo Septoria leaf spot
Septoria rhodotypi Hollós
堀江博道・小林享夫:日植病報 47(3):406, 1981

ハマナス(浜梨)
Rugosa rose
Rosa rugosa Thunb.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Podosphaera pannosa (Wallroth) de Bary [*Sphaerotheca pannosa* (Wallroth) Léveillé, *Oidium leucoconium* Desmazières]
Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):311, 1937(昭 12) ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:88, 1977 ; 丹田誠之助・須賀里絵:東農大農学集報 47(3):141, 2002 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012
[備考] ヤマハマナスに発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)
(1) *Phragmidium montivagum* Arthur [*Phragmidium americanum* sensu Kasai non Dietel, *Phragmidium yezoense* Kasai]
Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3(1):30, 1910(明 43) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 49(579):148, 1935(昭 10) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust Flora of Japan:418, 1992
[備考] ヤマハマナス (*R. davurica*)・カラフトイバラ (*R. marretii*)にも発生
(2) *Phragmidium rosae-rugosae* Kasai
澤田兼吉:林試研報 57:33, 1952 ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3(1):33, 1910(明 43)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)
Phragmidium rosae-davuricae Miura
三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:374, 1928(昭 3)
[備考] 中国東北部。ヤマハマナス (*R. davurica*)

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)
Phragmidium kamtschatkae (H.W. Anderson) Arthur & Cummins [*Teloconia kamtschatkae* (H.W. Anderson) Hiratsuka, f., *Gymnoconia rosae* (Barclour) Liro]
三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:384, 1928(昭 3) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 57(680):283, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:82, 1980
[備考] ヤマハマナスにも発生

葉褐斑病 ha-kappan-byo
Seimatosporium lichenicola (Corde) Shoemaker & E. Müller [*Coryneum microstictum* Berkeley & Broome]
澤田兼吉:林試研報 105:79, 1958 ; Sutton, B. C.:Mycol. Pap. 138:136, 1975

††††
†*Coryneum rosaecola* Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:484, 1928(昭 3)
[備考] 中国東北部。キバナハマナス (*R. xanthioides*)

††††

Phleospora hiratsukae Togashi

富樫浩吾:日植輯報(Jap. J. Bot.) 2(2):94, 1924(大 13)

バラ(薔薇)類

Rose

Rosa spp.

(広葉樹)

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Prunus necrotic ringspot virus (PNRSV) プルナスえそ輪点ウイルス

河村貞之助:植物防疫 13(4):143, 1959 ; 石沢隆明ら:日植病報 52(1):95, 1986

[備考] 分離検出のみ。寄生性未確認

根頭がんしゅ病 *konto-ganshu-byo* Crown gall (根頭癌腫病)

(1) *Rhizobium radiobacter* (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 3(6):455, 1916(大 5) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:130, 1939(昭 14) ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

(2) *Rhizobium rhizogenes* (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

ト蔵梅之丞:病虫雑 3(6):455, 1916(大 5) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:130, 1939(昭 14) ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

毛根病 *mokon-byo* Hairy root

(1) *Rhizobium radiobacter* (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ri)

太田光輝:日植病報 51(3):344, 1985 ; 太田光輝:日植病報 52(3):413, 1986 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

(2) *Rhizobium rhizogenes* (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ri) [*Agrobacterium rhizogenes* (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Conn 1942]

太田光輝:日植病報 51(3):344, 1985 ; 太田光輝:日植病報 52(3):413, 1986 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew (白渋病, 粉病, うどん病)

(1) *Erysiphe simulans* (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. *simulans* [*Uncinuliella simulans* (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *simulans*, *Uncinula simulans* E.S. Salmon]

丹田誠之助・佐藤志美雄:東農大農学集報 23(1):88, 1978 ; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):403, 1927(昭 2) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):256, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012

[備考] ノイバラに発生

(2) *Podosphaera pannosa* (Wallroth) de Bary [*Sphaerotheca pannosa* (Wallroth) Léveillé, *Sphaerotheca pannosa* (Wallroth) Léveillé var. *rosae* Woronichin]

白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:190, 1900(明 33) ; 出田 新:日本植物病理学:270, 1903(明 36) ; Homma,

Y.: Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):311, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012
[備考] サクラバラ (*R. multiflora* var. *platyphylla*)・コウシンバラ・オオタカネイバラ・ヤエヤマノイバラ・サンショウバラ・タカネイバラ・テリハノイバラ・ノイバラに発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病)

(1) *Erysiphe simulans* (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. *simulans* [*Oidium rosae-indicae* Sawada]
澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾産菌類調査報告 6):82, 1933(昭 8) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012

[備考] 台湾。コウシンバラ (*R. indica* var. *formosana*)に発生

(2) *Podospaera pannosa* (Wallroth) de Bary [*Sphaerotheca rosae* (Jaczewski) Z.Y. Zhao

Sato, Y. et al.: Trans. Mycol. Soc. Japan 29(3):193, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012

[備考] 中国。ノイバラに発生

疫病 eki-byo Phytophthora disease

(1) *Phytophthora nagaii* M. Z. Rahman, S. Uematsu, T. Takeuchi, K. Shirai & K. Kageyama [*Phytophthora megasperma* Drechsler]

長井雄治ら:日植病報 41(3):254, 1975 ; Rahman, M. Z. et al.: J. Gen. Plant Pathol. 80(4):348, 2014 ; 植松清次ら:植物防疫特別増刊号 17:118, 2015

(2) *Phytophthora* sp.

渡辺秀樹ら:日植病報 69(3):273, 2003

[備考] 病原は *P. citricola* のクレードに属する。ミニバラに発生

枝枯病 edagare-byo Stem canker

Diapleella coniothyrium (Fuckel) M.E. Barr [*Leptosphaeria coniothyrium* (Fuckel) Saccardo, *Coniothyrium fuckelii* Saccardo]

安部卓爾:病虫雑 21(1):52, 1934(昭 9) ; 白井光太郎:植物病理学(下):238, 1894(明 27) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992

褐斑病 kappan-byo

Mycosphaerella sp.

安部卓爾:実際園芸 23(4):428, 1937(昭 12)

カーブラリア葉枯病 *Curvularia*-hagare-byo *Curvularia* leaf blight

Curvularia inaequalis (Shear) Boedijn

神頭武嗣ら:日植病報 79(3):187, 2013

キトスポラ胴枯病* *Cytospora*-dogare-byo *Cytospora* canker (枝枯病)

Valsa ceratosperma (Tode) Maire

澤田兼吉:林試研報 53:170, 1952

[備考] 病原菌の異名はボブラ類腐らん病参照

黒星病 kurohoshi-byo Black spot (黒点病, 黒斑病, 斑点病)

Diplocarpon rosae F.A. Wolf [*Actinonema rosae* Fries, *Marssonina rosae* (Trail) Sawada]

原 攝祐:実用作物病理学:581, 1925(大 14) ; 白井光太郎:日本菌類目録:1, 1905(明 38) ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):209, 1917(大 6)

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

高野喜八郎:日植病報 72(4):210, 2006

さび病 sabi-byo Rust (葉渋病, 赤錆病, 錆病)

(1) *Kuehneola japonica* (Dietel) Dietel [*Phragmidium japonicum* Dietel, *Kuehneola rosae* Sawada]
澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):376, 1919(大 8); 吉永虎馬:植物学雑誌 16(179):3, 1902(明 35); 澤田兼吉:台湾中研農業報 35(台湾産菌類調査報告 4):72, 1928(昭 3)

[備考] テリハノイバラ (*R. wichuraiana*)・トックリイバラ (*R. wichuraiana* var. *ampullicarpa*)・リュウキュウテリハノイバラ (*R. wichuraiana* var. *glandulifera*)・コウシンバラ (*R. chinensis*)・フジイバラ (*R. fujisanensis*)・オオサクライバラ(*R. luciae*)・モッコウバラ (*R. banksiae*)・ヤエヤマイバラ (*R. bracteata*)・ヤブイバラ (*R. onoei*)・タイワンノイバラ (*R. taiwaniana*)・ナニワイバラ (*R. laevigata*)

(2) *Phragmidium fusiforme* J. Schröter [*Phragmidium rosae-acicularis* Liro]

笠井幹夫:札幌博物学会報 3(1):31, 1910(明 43)

[備考] タカネイバラ (*R. acicularis* var. *nipponensis*)・オオタカネイバラ (*R. acicularis* var. *gmelinii*)

(3) *Phragmidium mucronatum* (Persoon) Schlechtendal [*Phragmidium subcorticium* (Schrank) G. Winter]

出田 新:実用植物病理学:128, 1902(明 35); Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot. (日植輯報) 7(3-4):249, 1935(昭 10)

(4) *Phragmidium rosae-multiflorae* Dietel [*Phragmidium rosae-laevigatae* Fujikuro]

南部信方:病虫雑誌 4(8):597, 1917(大 6); Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3(1):32, 1910(明 43)

[備考] テリハノイバラ・トックリイバラ・ナニワイバラ・ツクシイバラ (*R. multiflora* var. *adenochaeta*)・サンショウバラ(*R. hirtula*)・ツルノイバラ (*R. spinosissima* var. *mandshurica*)

†さび病* sabi-byo Rust (錆病)

Phragmidium hashiokai Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):238, 1935(昭 10)

[備考] 台湾。ニイタカモリイバラ (*Rosa transmorisonensis*)

白星病 shirahoshi-byo White spot

Monochaetia compta Saccardo var. *ramicola* Berlese & Bresàdola

吉井 啓ら:日植病報 20(2-3):117, 1955

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農林水産技会指定試験 (病虫害) 3:5, 1963

[備考] ヤブイバラ。病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すそ枯病 susogare-byo Basal canker, Crown canker (裾枯病)

Cylindrocladium scoparium Morgan

瀧元清透:実地園芸 19(4):607, 1935(昭 10)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum nigrum* Ellis & Halsted

保 虎太郎:病虫雑誌 23(12):952, 1936(昭 11)

[備考] 調査を要する

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

神頭武嗣ら:日植病報 77(3):164, 2011

とうそう病 toso-byo Spot anthracnose, Leaf spot (斑点病, 斑葉病, 炭疽病)

Elsinoë rosarum Jenkins & Bitancourt [*Sphaceloma rosarum* (Passerini) Jenkins, *Phyllosticta rosarum* Passerini]

Kurosawa, E. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(827):135, 1957; 南部信方:病虫雑誌 2(2):192, 1915(大 4)

[備考] コウシンバラにも発生

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

Priyatmojo ら:日植病報 64(4):436, 1998

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium helicoides Drechsler

景山幸二ら:日植病報 64:629, 1998 ; Kageyama, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 68(1):15, 2002

[備考] *Rosa hybrida* Hort. に発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Botrytis blight (花腐病)

Botrytis cinerea Persoon

河合一郎:園芸病害編:558, 1954

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

(1) *Hainesia lythri* (Desmazières) Höhnelt

高野喜八郎:日植病報 71(3):215, 2005

[備考] バラ (*R. hybrida* Hort.) に発生

(2) *Pseudocercospora pueri* Deighton

Nakashima, C.:Mycoscience 45:67, 2004

[備考] 接種試験未了。英名は *Pseudocercospora leaf spot* を提案

半身萎凋病 hanshin-icho-byo

Verticillium dahliae Klebahn

小林正伸・宇田川 晃:日植病報 50(3):391, 1984

斑点病 hanten-byo (円形斑点病)

Mycosphaerella rosicola B.H. Davis ex Deighton [*Cercospora rosicola* Passerini, *Mycosphaerella rosigena* (Ellis & Everhart) Lindau, *Cercospora rosigena* Tharp]

原 攝祐:実用作物病理学:582, 1925(大 14) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):72, 1960

ばら色かび病 barairo-kabi-byo Pink-mold-rot

Trichothecium roseum (Persoon) Link

石川成寿・中山喜一:日植病報 66(2):92, 2000

腐らん病 furan-byo Brown canker (腐爛病)

Cryptosporella umbrina (Jenkins) Jenkins & Wehmeyer [*Diaporthe umbrina* Jenkins]

安部卓爾:病虫雑 21(2):103, 1934(昭 9) ; 安部卓爾・野添早苗:関西病虫研報 2:23, 1959

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora sparsa Berkeley

河合一郎:園芸病害編:553, 1954 ; 河村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:108, 1950

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis populi-nigrae (Sawada & Kaz. Ito) M. Morelet

君島悦夫ら:日植病報 62(5):502, 1996

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Xiphinema sp. オオハリセンチュウの 1 種

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:123, 1975

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫 :123, 1975

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

林 勇ら:関東東山病虫研報 18:124, 1971

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 上記種との異同は不明

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] 三枝 (1969) はノイバラ

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:131, 1939(昭 14) ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] 病原線虫の異名はサツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:131, 1939(昭 14) ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] 病原線虫の異名はサツマイモの根こぶ線虫病を参照

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne mali* Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ

Itoh, Y. et al.:Appl. Entomol. Zool. 4(4):194, 1969

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの 1 種

鍋木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:62, 1939(昭 14) ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 病原線虫の異名等はサツマイモの根こぶ線虫病を参照

†枝ふくれさび病 edafukure-sabi-byo Rust

Caeoma rosae-bracteatae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):131, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。ヤエヤマノイバラ

†紫縁灰斑病 shien-haihan-byo

Mycosphaerella rosae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):26, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。タイワンイバラ (*R. taiwaniana*)

†††胴枯病 dogare-byo

Coniothyrium wernsdorffiae Laubert

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:39, 1939(昭 14)

[備考] 生産国アメリカ

††††

Coryneum rosae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:79, 1958

††††

†*Exosporium rosae* Fuckel

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:535, 1928(昭3)

[備考] 中国東北部

††††

†*Marssonina rosae-laevigatae* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):83, 1943(昭18)

[備考] 台湾。ナニワイバラ。病原菌の属名は現在 *Marssonina* を用いる

††††

Nodulosphaeria rosae I. Hino & Katumoto

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 43(7):209, 1968

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] ノイバラ・ヤマイバラ

バラ類

(*Rosa*)

Rosa spp.

(野草)

ヤマハマナス *R. davurica* Pallas

ノイバラ *R. multiflora* Thunb.

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew

(1) *Erysiphe simulans* (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. *simulans* [*Uncinuliella simulans* (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *simulans*, *Uncinula simulans* E.S. Salmon]

白井光太郎:改訂増補日本菌類目録第2版:679, 1917(大6); 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):256, 1988; 丹田誠之助:東農大農学集報 41:113, 1996; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012

[備考] ヤマハマナスに発生

(2) *Erysiphe simulans* (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. *tandae* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinuliella simulans* (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *tandae* U. Braun]

大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):256, 1988; 丹田誠之助:東農大農学集報 41:113, 1996; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012

[備考] ノイバラに発生

(3) *Podosphaera pannosa* (Wallroth) de Bary [*Sphaerotheca pannosa* (Wallroth) Lévillé]

白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905(明38); 本間ヤス:北大農紀要 38(3):311, 1937(昭12); 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):166, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012

[備考] ノイバラに発生。本邦ではまだ閉子のう殻世代は確認されていない。栽培バラ品種にも発生する(大谷 1988)

さび病* *sabi-byo* Rust

(1) *Kuehneola japonica* (Dietel) Dietel

Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:398, 1992

[備考] ノイバラ

(2) *Phragmidium montivagum* Arthur

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 418, 1992

[備考] ヤマハマナス

(3) *Phragmidium rosae-multiflorae* Dietel

Hiratsuka, N. *et al.*: The rust flora of Japan: 429, 1992

[備考] ノイバラ

エゾイチゴ

(*Rubus*)

Rubus idaeus L. var. *aculeatissimus* C. A. Meyer

(広葉樹)

さび病 *sabi-byo* Rust

Phragmidium miyakeanum Hiratsuka

Ito, S.: Mycol. Fl. Japan 2(3):39, 1950 ; Hiratsuka, N. *et al.*: The Rust Flora of Japan: 417, 1992 ; Harada, Y.: Mycoscience 35:295, 1994

キイチゴ(木苺)類

Brambles

Rubus spp.

(果樹)

ラズベリー Raspberries *R. idaeus* L., *R. occidentalis* L. など

ブラックベリー Blackberries *R. allegheniensis* Porter など

デューベリー Dewberry *R. procumbens* Muhlenberg など

黄化病 *oka-byo* Yellow (ウイルス病)

Raspberry bushy dwarf virus (RBDV) ラズベリー黄化ウイルス

加藤幹雄ら: 植防研報 18:29, 1982; 磯貝雅道ら: 日植病報 78(3):252, 2012; Isogai, M. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 78(5):360, 2012 ; 磯貝雅道: 植物防疫 67(4):237, 2013

[備考] レッドラズベリー。加藤ら(1982)はイタリア産キイチゴ類から本病原を検出した

根頭がんしゅ病 *konto-ganshu-byo* Crown gall, Crown and cane gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* (Smith & Townsend) Duggar]

白井光太郎・原 攝祐: 訂正増補日本菌類目録: 51, 1927(昭2) ; ト蔵梅之丞: 病虫雑 22(2):97, 1935(昭10) ; 澤田宏之ら: 植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば、情報不足のため、本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

褐斑病 *kappan-byo* Septoria leaf spot

Septoria rubi Westendorp

Kobayashi, T.: Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292(12):1, 1977

[備考] クマイチゴ (*Rubus crataegifolius*) に発生

環紋葉枯病 *kammon-hagare-byo* Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Arthuriomyces peckianus* (Howe) Cummins & Y. Hiratsuka [*Gymnoconia peckiana* (Howe) Trotter]

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):13, 1950

[備考] ヒメゴヨウイチゴ (*Rubus pseudo-japonicus*, *R. japonicus* Auctor)

(2) *Gerwasia rubi* Raciborski [*Uredo constellata* Berkeley & M.A. Curtis]

Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):665, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):6, 1950

[備考] フユイチゴ (*Rubus buergeri*)

(3) *Hamasporea acutissima* Sydow & P. Sydow

藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:8, 1914(大 3) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):22, 1950

[備考] クワノハイチゴ (*Rubus nesiotis*)

(4) *Hamasporea okinawensis* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N. & Simabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 1:15, 1954 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955

[備考] ホザキイチゴ (*Rubus utchinensis*) に発生

(5) *Hamasporea ozeensis* Hiratsuka, f.

平塚直秀:植物研究雑誌 26(3):76, 1951 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955

[備考] コバノフユイチゴ (*Rubus pectinellus*) に発生

(6) *Hamasporea rubi-sieboldii* (Kawagoe) Dietel

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:156, 1927(昭 2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):21, 1950

[備考] ホウロクイチゴ (*Rubus sieboldii*) に発生

(7) *Kuehneola uredinis* (Link) Arthur [*Kuehneola albida* (J.G. Kühn) Magnus]

Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 12(11):809, 1936 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:231, 1955

[備考] ブラックベリーの 1 種 (*Rubus* sp., 栽培種) に発生

(8) *Phragmidium alpinum* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Annales Mycologici 28:280, 1930 ; Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950

[備考] コガネイチゴ (*Rubus pedatus*) に発生

(9) *Phragmidium griseum* Dietel [*Phragmidium yoshinagai* Dietel]

白井光太郎:日本菌類目録:66, 1905(明 38) ; 南部信方:植物学雑 23(270):309, 1909(明 42) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:41, 1910 ; 白井光太郎・三宅市郎:改訂増補日本菌類目録:439, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950

[備考] コジキイチゴ (*Rubus asper*, *R. sorbifolius*)・エゾクマイチゴ・コバノニガイチゴ (*R. microphyllus*, *R. incisus* var. *geifolius*)・ニガイチゴ (アズキイチゴ)(*R. incisus*, *R. microphyllus* var. *incisus*)・リュウキュウバライチゴ (*R. rosaefolius* var. *maximowiczii*)・オオバライチゴ (*R. rosaefolius* var. *tropicus* f. *genuinus*)・クマイチゴ (*R. morifolius*, *R. wrightii*)

(10) *Phragmidium heterosporum* Dietel

白井光太郎・三宅市郎:改訂増補日本菌類目録:435, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950

[備考] カジイチゴ (*R. trifidus*)

(11) *Phragmidium miyakeanum* Hiratsuka

Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950

[備考] クロイチゴ (*Rubus kinashii*, *R. occidentalis* var. *exsuccus*)

(12) *Phragmidium nambuianum* Dietel

南部信方:植物学雑 23(270):309, 1909(明 42) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950

[備考] クロイチゴ (*Rubus occidentalis*) に発生

(13) *Phragmidium pauciloculare* (Dietel) P. Sydow & Sydow [*Phragmidium barnardii* Plowright & G. Winter var. *pauciloculare* Dietel]

白井光太郎:日本菌類目録 66, 1905(明 38) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:36, 1910 ; 平塚直秀:鳥

- 取農学会報 4:38, 1932(昭 7) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):43, 1950
 [備考] アオナワシロイチゴ (*Rubus parvifolius* var. *concolor*)・ナワシロイチゴ (*R. parvifolius* var. *triphyllus*, *R. triphyllus*)・ウラジロイチゴ (エビガライチゴ)(*R. phoenicolasius*)
 (14) *Phragmidium rubi-fraxinifolii* P. Sydow & Sydow
 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):44, 1950
 [備考] ミヤマニガイチゴ (ナガバモミジイチゴ)(*Rubus palmatoides*)
 (15) *Phragmidium rubi-idaei* (de Candolle) P. Karsten
 Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:39, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):37, 1950
 [備考] オオミヤマウラジロイチゴ (ウラジロエゾイチゴ)(*Rubus idaeus* var. *strigosus*, *R. idaeus* subsp. *melanolasius*, *R. idaeus* subsp. *sachalinensis*, *R. strigosus*)・チョウセンキイチゴ(*Rubus idaeus* var. *concolor*)
 (16) *Phragmidium rubi-japonici* Kasai
 Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):36, 1950
 [備考] ゴヨウイチゴ (*Rubus japonicus*)・ヒメゴヨウイチゴに発生
 (17) *Phragmidium rubi-oldhami* Togashi & Y. Maki
 Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc.13:134, 1934 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):38, 1950
 [備考] サナギイチゴ (*Rubus oldhami*, *R. pungens* var. *oldhami*)に発生
 (18) *Phragmidium rubi-thunbergii* Kusano
 Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 18:148, 1904 ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950
 [備考] クサイチゴ (*Rubus hirsutus*, *R. thunbergii*)
 (19) *Phragmidium yamadanum* Hiratsuka, f.
 Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot. 7(3-4):242, 1935 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):40, 1950
 [備考] ゴヨウイチゴ (*Rubus ikenoensis*, *R. japonicus*) に発生

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

- (1) *Pucciniastrum americanum* (Farlow) Arthur
 本蔵洋一・君島悦夫:日植病報 64(6):600, 1998 ; Motokura, Y. *et al.*:Bull. Pl. Prot. Japan 35:103, 1999
 [備考] 米国(カルフォルニア)。ラズベリー *Rubus idaeus* L. に発生
 (2) *Pucciniastrum arcticum* Tranzschel
 Hiratsuka, N.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 21:90, 1927 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):87, 1938(昭 13)
 [備考] チシマイチゴ (*Rubus arcticus*)・キタイチゴ (*R. saxatilis*) その他のキイチゴ類に発生。発生地不詳

すす病 susu-byo Sooty mold

- Appendiculella calostroma* (Desmazières) Höhnelt [*Meliola rubicola* Hennings]
 吉永虎馬:植物学雑誌 19(217):32, 1905(明 38) ; Katsumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):284, 1976 ; 小林享夫ら:茨城病虫研報 22:19, 1983
 [備考] ヒメバライチゴ (*Rubus rosaefolius* var. *tropicus* f. *minor*)・ナガバモミジイチゴ (*R. palmatus*)・モミジイチゴ (*R. palmatus* var. *coptophyllus*)・ニガイチゴに発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病)

- Gloeosporium venetum* Spegazzini
 村田壽太郎:病虫雑誌 2(4):352, 1915(大 4) ; 原 攝祐:果樹病害論:427, 1916(大 5)
 [備考] 原 攝祐 (日本菌類目録:277, 1954) は本菌の完全世代として *Plectodiscella veneta* Burkholder を記載しているが, *Plectodiscella* は *Elsinoë* とされている

ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

- Thelephora terrestris* Ehrhart
 高橋郁雄・高橋康夫:森林防疫 34(8):142, 1985
 [備考] エゾイチゴ (*Rubus idaeus*) に発生

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Pseudocercospora rubi (Saccardo) Deighton [*Cercospora rubi* Saccardo]

福井武治:病虫雑 5(10), 808, 1918(大 7); 原 攝祐:実用作物病理学:410, 1925(大 14)

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora sparsa Berkeley

大上大輔ら:日植病報 83(3):185, 2017

[備考] カジイチゴ(*R. trifidus* Thunb.)に発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne suginamiensis Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] モミジイチゴ。 *Meloidogyne mali* Itoh *et al.* として報告されたが、本種の記載に際し訂正された

†††ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) *Arabid mosaic virus* (ArMV) アラビスモザイクウイルス

(2) *Tobacco streak virus* (TSV) タバコ条斑ウイルス

(3) *Tomato ringspot virus* (ToRSV) トマト輪点ウイルス

加藤幹雄ら:植防研報 18:29, 1982

[備考] (1) は生産国イギリス, (2), (3) はアメリカ

††がんしゅ病 ganshu-byo Cane gall (癌腫病)

Agrobacterium rubi (Hildebrand 1940) Starr & Weiss 1943 [*Bacterium rubi* (Hildebrand) Okabe]

岡部徳夫:植物細菌病学:263, 1949

[備考] アメリカ

††枝枯病 edagare-byo Cane blight

Coniothyrium fuckelii Saccardo

村田壽太郎:病虫雑 2(4):352, 1915(大 4)

[備考] アメリカ (オレゴン州)

††††黄さび病 kisabi-byo (黄锈病)

††*Phragmidium* sp.

原 攝祐:実験作物病理学:703, 1930(昭 5)

[備考] 国内発生未詳

†黒さび病 kurosabi-byo (锈病, 黒锈病)

Phragmidium okianum Hara [*Phragmidium okianum* Hara]

原 攝祐:静岡県農会報 362:31, 1927(昭 2); 原 攝祐:実験作物病理学:702, 1930(昭 5); Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot. 7:282, 1935

[備考] 中国東北部。キイチゴの一種 (*Rubus* sp.) に発生

†††ペスタロチア枝枯病 *Pestalotia*-edagare-byo

Pestalotiopsis longiseta (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi

臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990; 臺 喜吉ら:横浜植防調報 26:4, 1990

[備考] 生産国アメリカ

††††

Arthuriomyces peckianus (Howe) Cummins & Y. Hiratsuka [*Gymnoconia peckiana* (Howe) Trotter]

平塚直秀:植物研究雑誌 10(1):3, 1934(昭 9) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):13, 1950

[備考] ヒメゴヨウイチゴ。樺太ではチシマイチゴ, 中国東北部ではキタイチゴに発生

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):182, 1960

††††

†*Gerwasia rubi* Raciborski [*Uredo constellata* Berkeley & M.A. Curtis]

Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):665, 1930 ; Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 7(1):26, 1943 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):6, 1950

[備考] 台湾。ケオリイチゴ (*Rubus laciniato-stipulatus*)・シマダイチゴ (*R. shimadai*) に発生

††††

†*Hamasporea acutissima* Sydow & P. Sydow

藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:8, 1914(大 3) ; Hiratsuka, N.:Acta Phytotax. & Geobot. 4(4):195, 1935 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):22, 1950

[備考] 台湾。ヒメフユイチゴ (*Rubus calycinoides*)・テガタイチゴ (*R. formosensis*)・ケオリイチゴ・ナントウイチゴ (*R. nantoensis*)・キイチゴの 1 種に発生

††††

†*Hamasporea benguetensis* Sydow

Hiratsuka, N.:Acta Phytotax. et Geobot. 4(4):195, 1935 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):22, 1950

[備考] 台湾。ミツマタフユイチゴ (*Rubus pectinellus* var. *trilobus*) に発生

††††

†*Hamasporea hashiokae* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Acta Phytotax. et Geobot. 4(4):195, 1935 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):21, 1950

[備考] 台湾。シマバライチゴ (*Rubus lambertianus* subsp. *xanthoneurus*) に発生

††††

†*Hamasporea taiwaniana* Hiratsuka, f. & Hashioka

Hiratsuka, N.:Acta Phytotax. et Geobot. 4(4):195, 1935

[備考] 台湾。タカサゴクワノハイチゴ (*Rubus kawakamii*) に発生

††††

††*Phragmidium arcticum* Lagerheim

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):36, 1950

[備考] サハリン。チシマイチゴに発生

††††

†*Phragmidium arisanense* Hiratsuka, f. & Hashioka

Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13:134, 1943 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):40, 1950

[備考] 台湾。アリサンミヤマウラジロイチゴ (*Rubus rarissimus*)に発生

††††

††*Phragmidium barnardii* Plowright & G. Winter

南部信方:植物学雑誌 23(270):309, 1909(明 42) ; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:262, 1927(昭

2)

[備考] ナワシロイチゴ・エビガライチゴ・バライチゴ (*Rubus illecebrosus*) に発生。発生地不詳

††††

††*Phragmidium formosanum* Hiratsuka, f.

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950

[備考] 台湾。アリサンサナギイチゴ (ケサナギイチゴ)(*Rubus parvipungens*, *R. hirsuto-pungens*) ・シチセイイチゴ (*R. glanduloso-calycinus*)

††††

††*Phragmidium griseum* Dietel [*Phragmidium yoshinagai* Dietel]

白井光太郎:日本菌類目録:67, 1905(明 38) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950

[備考] 台湾。タカサゴニガイイチゴ (*Rubus conduplicatus*, *R. incisus* var. *conduplicatus*) ・ミンゲツイチゴ (*R. mingetsensis*)。クワノハイチゴは発生地不詳

††††

††*Phragmidium heterosporum* Dietel

白井光太郎・三宅市郎:改訂増補日本菌類目録:435, 1917(大 6)

[備考] タイワンイチゴ (*Rubus taiwanianus*) ・トネリコバナイチゴ (*R. fraxinifolius*) に発生。発生地不詳

††††

††*Phragmidium pauciloculare* (Dietel) P. Sydow & Sydow [*Phragmidium barnardii* Plowright & G. Winter var. *pauciloculare* Dietel]

白井光太郎:日本菌類目録:66, 1905(明 38)

[備考] バライチゴに発生。発生地不詳

††††

††*Phragmidium rosae-laevigatae* Fujikuro

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:263, 1927(昭 2)

[備考] ナニワイチゴ (*Rubus* sp.) に発生。発生地不詳

††††

††*Phragmidium rubi-fraxinifolii* P. Sydow & Sydow

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:437, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):44, 1950

[備考] 台湾。エフミヤクイチゴ (*Rubus euphlebophyllus*) ・サクマイチゴ (*R. glanduloso-punctatus*) ・タイワンイチゴ・タラバイチゴ (*R. parviaraliifolius*) ・トネリコバナイチゴ・ユウシュンイチゴ (*R. fraxinifolius* var. *yushunii*) に発生

††††

††*Phragmidium rubi-idaei* (de Candolle) P. Karsten

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:439, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):37, 1950

[備考] 朝鮮半島。チョウセンウラジロイチゴ (*Rubus idaeus* var. *microphyllus*) に発生。エゾイチゴは発生地不詳

††††

†*Phragmidium rubi* G. Winter

Kasai, M.:Trans Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:39, 1910

[備考] サハリン。チシマイチゴに発生

††††

†*Pucciniastrum americanum* (Farlow) Arthur [*Pucciniastrum arcticum* Tranzschel var. *americanum* Farlow]

Hiratsuka, N.: Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 21:89, 1927

[備考] オオミヤマウラジロイチゴ (ウラジロエゾイチゴ) その他のキイチゴ類に発生。発生地不詳

††††

Valsa ceratosperma (Tode) Maire

Kobayashi, T.: Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970

ワレモコウ類

Burnet bloodwort, Great burnet

Sanguisorba spp.

(草花)

シロバナトウウチソウ *S. albiflora* (Makino) Makino

ワレモコウ Great Burnet *S. officinalis* L.

ナガボノシロワレモコウ *S. tenuifolia* Fischer var. *alba* Trautv. & Mey.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Podosphaera ferruginea* (Schlechtendal) U. Braun & S. Takamatsu var. *ferruginea* [*Sphaerotheca ferruginea* (Schlechtendal) L. Junell, *Sphaerotheca humuli* (de Candolle) Burrill]

本間ヤス: 北大農紀要 38(3):296, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):163, 1988 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:16, 2012

[備考] 接種試験未了, エゾワレモコウ(*S. officinalis* var. *carnea*)・ナガボノシロワレモコウ・ウスベニワレモコウ(*S. canadensis* var. *media*)・ワレモコウに発生

(2) *Podosphaera ferruginea* (Schlechtendal) U. Braun & S. Takamatsu var. *albiflorae* (Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca ferruginea* var. *albiflorae* Y. Nomura]

野村幸彦: 日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:38, 1997 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:16, 2012

[備考] シロバナトウウチソウに発生

さび病 sabi-byo

Xenodochus carbonarius Schlechtendal

平塚直秀・本間ヤス: 札農林学会報 19:278, 1927 ; 平塚直秀: 植物銹菌学研究:283, 1955 ; Sato, T. & Sato, S.: Trans. Mycol. Soc. Japan 21:411, 1980

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum godetiae* Neergaard [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

杉山 悟ら: 北日本病虫研報 59:86, 2008 ; Sato, T. & Moriwaki, J.: Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤 豊三・森脇丈治: 植物防疫 67(7):367, 2013

(2) *Colletotrichum lineola* Corda

菅原 敬ら: 日植病報 78(1):67, 2012

(3) *Colletotrichum* sp.

菅原 敬ら: 日植病報 78(1):67, 2012

[備考] 本病原は *C. anthrisci* の近縁と考えられる。ワレモコウ(*S. officinalis*)に発生

べと病 beto-byo Downy mildew

Peronospora sparsa Berkeley

柏森美如ら: 日植病報 79(3):182, 2013

アズキナン(小豆梨)

(Sorbus)

Aria alnifolia (Siebold & Zucc.) Decne. [*Sorbus alnifolia* (Sieb. & Zucc.) C. Koch.]

(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

赤星病 akahoshi-byo Rust (銹病)

Gymnosporangium miyabei G. Yamada & I. Miyake

伊藤誠哉:札幌農林学会報 9(39):43, 1917(大 6) ; 宮部金吾:植物学雑 17(192):35, 1903(明 36)

[備考] ウラジロノキ (*S. japonica*)にも発生。病原菌の異名はズミ赤星病参照

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

(1) *Phyllactinia* sp.

高松 進:北陸病虫研報 30:98, 1982 ; 三室元気・佐藤幸生:日植病報 68(2):188, 2002

(2) *Podosphaera curvispora* Y. Nomura

三室元気・佐藤幸生:日植病報 68(2):188, 2002

(3) *Podosphaera* sp.

高松 進:北陸病虫研報 30:98, 1982

すす病 susu-byo Sooty mold

Fumago vagans Persoon

安田 篤:植物学各論隠花部:571, 1911(明 44)

葉ぶくれ病 habukure-byo (腫葉病, 葉腫病)

Taphrina piri Kusano

安田 篤:植物学各論隠花部:330, 1911(明 44) ; Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 19(216):2, 1905(明 38)

††††がんしゅ病 ganshu-byo

病原菌未同定

佐々木克彦:北方林業 36(8):211, 1984

††††

Discosia sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):179, 1960

[備考] ウラジロノキ (*S. japonica*)

††††

†*Monochaetia mali* (Ellis & Everhart) Saccardo & D. Saccardo

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:485, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

ナナカマド
Mountain ash
Sorbus commixta Hedl.
(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

[備考] サビバナナカマド (*S. commixta* var. *rufoferruginea*)

赤星病 akahoshi-byo Rust (銹病)

(1) *Gymnosporangium juniperi* Link [*Gymnosporangium alpinum* G. Yamada, *Gymnosporangium shiraianum* Hara]

伊藤誠哉:病虫雑 4(4):243, 1917(大 6) ; 宮部金吾:植物学雑 17(192):35, 1903(明 36)

[備考] ミヤマナナカマド (*S. sambucifolia* var. *pseudogracilis*) ・ タカネナナカマド (*S. sambucifolia*) ・ アコウナナカマドにも発生

(2) *Gymnosporangium miyabei* G. Yamada & I. Miyake

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 50(600):661, 1936(昭 11)

[備考] 病菌の異名はズミ赤星病参照

(3) *Gymnosporangium nipponicum* G. Yamada

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 50(598):549, 1936(昭 11)

[備考] タカネナナカマドにも発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Podosphaera clandestina* (Wallroth) Léveillé var. *aucupariae* (Eriksson) U. Braun [*Podosphaera oxyacanthae* (de Candolle) de Bary]

出田 新:日本植物病理学(上):197, 1909(明 42) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):178, 1988

(2) *Podosphaera curvispora* Y. Nomura

野村幸彦:日菌報 25(2):199, 1984

(3) *Podosphaera* sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:490, 1973 ; 野村幸彦ら:東農大農学集報 22(3-4):300, 1978

[備考] ツシマナナカマド

かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:761, 1987

[備考] 病原菌の異名はボプラ類かわらたけ病参照

すすかび病 susukabi-byo

Cercospora sp.

堀江博道・小林享夫:日植病報 46(3):376, 1980

[備考] セイヨウナナカマド

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

館 和夫:光珠内季報 61:12, 1984

[備考] 病原菌の異名はボプラ類ならたけ病参照。狭義の種については未検討

灰星病 haiboshi-byo

Monilinia fructigena (Aderhold & Ruhland) Honey

原田幸雄:弘前大農学術報 27:36, 1977

葉腐病 hagusare-byo

Monilinia aucupariae (F. Ludwig) Whetzel [*Monilia* sp.]

原田幸雄・工藤哲男:森林防疫 24(2):30, 1975 ; Harada, Y. & Kudo, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(2):126, 1976

フォモプシス胴枯病 *Phomopsis-dogare-byo* Phomopsis canker

*Diaporthe impuls*a (Cooke & Peck) Saccardo

小口健夫:北海道の林木育種 18(2):31, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:130, 1970

レウコストマ胴枯病 *Leucostoma-dogare-byo* Leucostoma canker

(1) *Leucostoma massariana* (De Notaris) Höhnelt

小口健夫:北海道の林木育種 18(2):31, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:129, 1970

(2) *Leucostoma persoonii* (Nitschke) Höhnelt

小口健夫:北海道の林木育種 18(2):31, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:130, 1970

††††

Gloeosporium sp.

三浦密成:秋田農試報 8:49, 1957

††††

††*Leptosphaeria sorbi* Jaczewski

北島君三:樹病学及木材腐朽論:308, 1933(昭8)

[備考] 国内発生に疑問。調査を要する

††††

Marssonina sorbi Miura

三浦密成:秋田農試報 8:51, 1957

††††

Pseudovalsella thelebola (Fries) Höhnelt [*Cryptodiaporthe konseiensis* Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:31, 1970 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 4(1):6, 1962

シジミバナ

Spiraea prunifolia Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera spiraeae (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu

[*Sphaerotheca spiraeae* Sawada]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:40, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012

ユキヤナギ(噴雪花, 雪柳)

Spiraea

Spiraea thunbergii Sieb.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病)

Podosphaera spiraeae (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca spiraeae* Sawada, *Sphaerotheca humuli* (de Candolle) Burrill pro parte]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:137, 1939(昭 14); 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):7, 1949; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):163, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012

褐点病 katten-byo Brown spot

Cylindrosporium spiraeae-thunbergii Miura ex Tak. Kobayashi

小林享夫・堀江博道:日植病報 43(1):118, 1977; 三浦密成:秋田農試報 8:53, 1957; Kobayashi, T. *et al.*:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(3):325, 1979

すすかび病 susukabi-byo Sooty spot

Pseudocercospora spiraeicola (A.S. Muller & Chupp) X.J. Liu & Y.L. Guo

小河誠司:日林九支研論 36:235, 1983; 松倉佳幸ら:日植病報 63(3):201, 1997

斑点落葉病 hanten-rakuyo-byo

Cladosporium sp.

小出仁士ら:関西病虫会報 18:104, 1976; 小出仁士ら:日植病報 43(3):327, 1977

†††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] 生産国不明

シモツケ類(木下野)

Spiraea

Spiraea spp.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Podosphaera clandestina* (Wallroth) Lévillé var. *clandestina*, [*Podosphaera oxyacanthae* (de Candolle) de Bary]

原 攝祐:果樹病害論:175, 1916(大 5); Tanda, S. *et al.*:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):177, 1988

[備考] トサシモツケ・マルバシモツケ・ホザキシモツケ (*S. salicifolia*)・ホソバシモツケ (*S. pubescens*) に発生

(2) *Podosphaera filipendulae* (Z.Y. Zhao) T.Z. Liu & U. Braun [*Sphaerotheca filipendulae* Z.Y. Zhao, *Sphaerotheca spiraeae* Sawada-pro parte, *Sphaerotheca humuli* (de Candolle) Burrill sensu Homma-pro parte]

Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):296, 1937(昭 12); 佐藤幸生・望月正己:北陸病虫研報 37:67, 1989; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:35, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:17, 2012

[備考] オニシモツケ・キョウガノコに発生

(3) *Podosphaera* sp.

丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):124, 1973

[備考] シモツケ (*S. japonica*)・トサシモツケ (*S. nipponica* var. *tosaensis*)・イワシモツケ (*S. nipponica*)・

エゾシモツケ (*S. media* var. *vericea*)に発生

枝黒膜病 eda-kuromaku-byo

Dendryphion spiraeae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:100, 1958 ; 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:59, 1934(昭 9)

[備考] マルバシモツケ (*S. betulifolia*)

塊割病 kaiware-byo

Rhabdospora sp.

永野 健:農芸作物病害の研究と防除:1935(昭 10) ; 原 攝祐:病虫雑 24(8):589, 1937(昭 12)

[備考] コデマリ (*S. cantoniensis*)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

鷺尾貞夫ら:青森畑園誌研報 4:45, 1981

[備考] 病原菌の異名はコブシ環紋葉枯病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981 ; 伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] コデマリ・マルバシモツケ。病原菌の異名はセンリョウ白紋病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum exiguum* Penzig & Saccardo]

堀江博道・小林享夫:日植病報 48(3):368, 1982

[備考] コデマリ

†††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] コデマリ。生産国不明

††††

†*Cercospora laxipes* Davis

Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:76, 1978

[備考] ブラジル。シモツケの一種 (*S. hypericifolia*)

††††

†*Coniothyrium spiraeae* I. Miyake

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):50, 1914(大 3)

[備考] 中国。ホソバシモツケ (*S. pubescens*)

††††

Diplodia spiraeae Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 26(2):59, 1961

[備考] コデマリ

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] コデマリ

コゴメウツギ

(*Stephanandra*)

Stephanandra incisa (Thunb.) Zabel

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病)

(1) *Oidium erysiphoides* Fries

南部信方:植物学雑 20(237):251, 1906(明 39)

(2) *Podosphaera stephanandrae* (Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca stephanandrae* Jaczewski, *Sphaerotheca japonica* (E.S. Salmon) Homma, *Sphaerotheca mors-uvae* (Schweinitz) Berkeley & M.A. Curtis var. *japonica* E.S. Salmon]

Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):310, 1937(昭 12) ; 佐藤幸生・野澤彰夫:日菌報 29:437, 1988 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):166, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012

[備考] カナウツギ (*S. tanakae*) にも発生。和田・平田(1977)はカナウツギ上に *Sphaerotheca* sp. を記録したが、形態の記載なく、本種との比較はできない

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora stephanandrae Tak. Kobayashi & H. Horie [*Cercospora* sp. sensu Horie, Kobayashi, Sugata & Abe]

堀江博道ら:森林防疫 24(4):74, 1975 ; Kobayashi, T. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(3):328, 1979

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未定

堀江博道:日植病報 46(1):111, 1980

ストランベisia

Chinese stranvaesia

Stranvaesia davidiana Decne.

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo

Pseudocercospora stranvaesiae (Katsuki & Tak. Kobayashi) Deighton [*Cercospora stranvaesiae* Katsuki & Tak. Kobayashi]

小林享夫:植物防疫 29(8):319, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):278, 1976 ;

勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992

ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot

Entomosporium mespili (de Candolle) Saccardo

堀江博道・小林享夫:日植病報 44(1):106, 1978

[備考] 病原菌の異名はシャリンバイ ごま色斑点病参照

すす病 susu-byo Sooty mold

Irene stranvaesiicola W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):415, 1941(昭 15)

[備考] 台湾。ニイタカカマツカ (*Stranvaesia niitakayamensis*)

アカネ科 Rubiaceae

カトアンバンカル

Kaatoan bangkal

Anthocephalus chinensis (Lam.) A. Rich. ex Walp.

(広葉樹)

†線毛褐斑病 semmo-kappan-byo Brown leaf spot

Phaeoisariopsis anthocephala Tak. Kobayashi

小林享夫:熱帯林業 49:20, 1978 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 19(4):373, 1978

[備考] フィリピン

†立枯病 tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

小林享夫:熱帯林業 49:20, 1978

[備考] フィリピン

††††

†*Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

小林享夫:熱研集報 43:195, 1982

[備考] フィリピン

ブーバルジア

Hybrid bouvardia

Bouvardia × *hybrida* hort.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

栄森弘己ら:関東病虫研報 37:131, 1990 ; 栄森弘己ら:日植病報 64(4):422, 1998 ; 栄森弘己:東京農試研報 26:51, 1995

暗斑病 anhan-byo Myrothecium leaf spot

Myrothecium roridum Tode

竹内 純ら:日植病報 75(3):205, 2009 ; 竹内 純ら:関東病虫研報 56:67, 2009

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

堀江博道・星 秀男:関東病虫研報 49:69, 2002

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

栄森弘己:関東病虫研報 42:129, 1995

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

根腐病 negusare-byo Pythium rot

(1) *Pythium myriotylum* Drechsler

(2) *Pythium splendens* Hans Braun

竹内 純ら:日植病報 75(1):51, 2009

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 41:141, 1994

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo Leaf blight nematode disease

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie

竹内 純ら:関東病虫研報 46:141, 1999

アカキナノキ(赤規那)

Red bark quinine

Cinchona pubescens Vahl

(広葉樹)

フィロスチクタ病 *Phyllosticta*-byo (炭疽病)

Phyllosticta cinchonae Patouillard

山田 濟:病虫雑 11(12):671, 1924(大 13) ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:140, 1977

††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

渡邊龍雄:熱帯果樹と作物の病害:141, 1977

[備考] 病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照

†疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora cinchonae Sawada

澤田兼吉:台湾農事報 32(5):1, 1936(昭 11)

[備考] 台湾。ポリビアキナノキ (*Cinchona ledgeriana*) にも発生

†褐色すす病* kasshoku-susu-byo Brown sooty mold

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953

[備考] 台湾。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照

†すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Chaetoscorias vulgaris* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954

[備考] 台湾

(2) *Neocapnodium tanakae* (Shirai & Hara) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954

[備考] 台湾

(3) *Scorias communis* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953

[備考] 台湾

キナノキ(規邦)

Red bark quinine

Cinchona succirubra Pav.

(特用作物)

††赤衣病 akagoromo-byo

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:141, 1977

[備考] 病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 を参照

†疫病 eki-byo

Phytophthora cinchonae Sawada

澤田兼吉:台湾農事報 32(5):1, 1936(昭 11)

[備考] 台湾。ポリビアキナ (*C. ledgerana*) にも発生

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953

[備考] 台湾

†すす病 susu-byo

(1) *Chaetoscorias vulgaris* W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 19:3, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):36, 1957 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):44, 1953

[備考] 台湾。病名未提案

(2) *Neocapnodium tanakae* (Shirai & Hara) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19:1, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):33, 1957

[備考] 台湾

(3) *Scorias communis* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953

[備考] 台湾

†フィロスチクタ病 *Phyllosticta*-byo (炭疽病)

Phyllosticta cinchonae Patouillard

山田 済:病虫雑 11(12):671, 1924(大 13) ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:140, 1977

コーヒーノキ(珈琲)

Coffee tree

Coffea spp. (*C. arabica* L. など)

(特用作物)

褐眼病 katsugan-byo Leaf spot (円紋病)

Cercospora coffeicola Berkeley & Cooke [*Cercospora coffeae* Zimmermann]

佐藤豊三:東京農試研報 20:25, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):590, 1987 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):494, 1991

[備考] 接種試験未了

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum coffeanum* F. Noack

佐藤豊三:東京農試研報 20:25, 1987; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):590, 1987; 佐藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991

[備考] 接種試験未了

(2) *Colletotrichum tropicale* E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels

柴田 葵ら:日植病報 81(3):207, 2015

††黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Pseudomonas syringae pv. *garcae* (Amaral, Teixeira & Pinheiro 1956) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas garcae* Amaral, Teixeira & Pinheiro 1956]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:72, 1977

[備考] アラビアコーヒー

††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:78, 1977

[備考] コンゴコーヒー。病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 を参照

††アメリカ斑点病 america-hanten-byo American leaf spot

Mycena citricolor (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:76, 1977

†黒褐色すす病 kokukasshoku-susu-byo Sooty mold (黒褐色煤病)

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto [*Chaetothyrium spinigerum* (Höhnelt) W. Yamamoto]

山本和太郎:熱帯農学会誌 13:213, 1941(昭 16); 山本和太郎:日植病報 21(4):168, 1956

[備考] 台湾。アラビアコーヒー・リベリアコーヒー

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Hemileia vastatrix Berkeley & Broome

澤田兼吉:台湾博物学会報 11(54):89, 1921(大 10); 藤黒與三郎:植物学雑 32(384):363, 1918(大 7)

[備考] 台湾, フィリピン。アラビアコーヒー・リベリアコーヒー・コンゴコーヒー

†立枯病 tachigare-byo

Fomes noxius Corner キコロシサルノコシカケ

澤田兼吉:台湾農誌報 86(台湾菌類調査報告 9):149, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。アラビアコーヒー

††胴枯病 dogare-byo Canker

Ceratocystis fimbriata Ellis & Halsted

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:79, 1977

††苗立枯病 nae-tachigare-byo Root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:71, 1977

[備考] アラビアコーヒー

††根朽病 nekuchi-byo Pellicularia root rot

Pellicularia koleroga Cooke

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:80, 1977

[備考] 病原菌の所属について検討を要する

††斑点病 hanten-byo Septoria leaf spot
Septoria berkeleyi Saccardo & Traverso
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:81, 1977

†ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo Pestalotia disease
Pestalotia coffeicola Sawada
Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :180, 1959
[備考] 台湾。アラビアコーヒー。病原菌の所属について検討を要する

††紋羽病 mompa-byo Root rot
Rosellinia bunodes (Berkeley & Broome) Saccardo
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:81, 1977

コプロスマ
Mirror plant
Coprosma spp.
(広葉樹)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo
鈴木幹彦ら:日植病報 76(1):65, 2010

アリドオシ
(*Damnacanthus*)
Damnacanthus indicus Gaertn.
(広葉樹)

すす病 susu-byo Black mildew
Echidnodella damnacanthi Katumoto
Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:107, 1975

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot
Cephaleuros virescens Kunze
江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956

††††
Mycosphaerella sp.
原 攝祐:日植病報 24(1):59, 1959

ヤエムグラ
(*Galium*)
Galium aparine L.
(野草)

††††

Puccinia galiuuniversa Okane & Yamaoka
Okane, I. *et al.*:Mycoscience 55(1):89, 2014

クルマムグラ
(Galium)
Galium trifloriforme Komar. var. *nipponicum* (Makino) Nakai
(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Golovinomyces riedlianus (Speer) V.P. Heluta
Meeboon, J. & Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 56:243, 2015
接種試験未了

クチナシ(梔子)
Cape-jasmine
Gardenia jasminoides Ellis
(広葉樹)

裏黒点円星病 ura-kokuten-maruhoshi-byo
Septoria gardeniae Sevell
小林享夫・西島卓也:日植病報 61(3):222, 1995 ; Kobayashi, T. *et al.*:Mycoscience 44(6):473, 2003

褐色円星病 kasshoku-maruhoshi-byo
Phyllosticta gardeniicola Sawada
澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):62, 1943(昭 18) ; 赤井節夫:森林防疫ニュース 10(6):119, 1961

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot
Mycosphaerella gardeniae Cooke [*Mycosphaerella gardeniae* Hori]
南部信方:病虫雑 2(8):743, 1915(大 4)

がんしゅ病 ganshu-byo Phomopsis canker
Phomopsis gardeniae Hansen & Barrett
灰塚敏郎・楠木 学:日林誌 80(4):270, 1998

さび病 sabi-byo Rust
Uredo gardeniae-floridae (Sawada) Hiratsuka, f. [*Hemileia gardeniae-floridae* Sawada, *Hemileia vastatrix* auct. non Berkeley & Broome]
出田 新:続日本植物病理学(下):469, 1926(大 15) ; 吉永虎馬:植物学雑 27(313):67, 1913(大 2) ; Hiratsuka, N.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 7:279, 1960

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すすかび病 susukabi-byo
Cercosporidium okinawaense Tak. Kobayashi & Nishijima [*Cercosporidium* sp.]
小林享夫・西島卓也:日植病報 61(3):222, 1995 ; Kobayashi, T. *et al.*:Mycoscience 43:219, 2002

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Balladyna velutina (Berkeley & M.A. Curtis) Höhnelt [*Dimerosporium gardeniicola* Hennings]

安田 篤:植物学各論隠花部:369, 1911(明 44); 松村任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明 37); 山本和太郎:日菌報 10:8, 1959

[備考] タイワンクチナシ (*G. angustifolia*) にも発生

†すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Scorias communis* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957

[備考] 台湾。ヤエクチナシ

(2) *Scorias cylindrica* W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 19(3-4):98, 1955

[備考] 台湾。ヤエクチナシ

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

奥野孝夫ら:原色樹木病虫害図鑑:207, 1977

斑点病 hanten-byo

Phaeosphaerella gardeniae (Cooke) Hara [*Mycosphaerella gardeniae* Cooke]

原 攝祐:実験樹木病害篇:289, 1927(昭 2); 松村任三:帝国植物名鑑(上):156, 1904(明 37)

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root-knot nematode disease

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 45:249, 1998

[備考] コクチナシ (*G. jasminoides* Ellis var. *radicans* (Thunb.) Makino)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大 9); 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照

†黄斑病 ohan-byo

Mycosphaerella luzonensis Tak. Kobayashi [*Cercospora gardeniae* Boedijn]

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21(3):311, 1980

[備考] フィリピン。 *G. phyllostrei*

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brown sooty mold (煤病)

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto [*Meliola citricola* Hara, *Capnodium citrivorum* (Hara) Sawada, *Phaeosaccardinula citrivora* (Hara) Hara, *Zukaliopsis gardeniae* Sawada]

山本和太郎:日植病報 10:262, 1940(昭 15); 澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾産菌類調査報告 5):23, 1931(昭 6)

[備考] 台湾。タイワンクチナシ (*Gardenia angustifolia*)・ヤエクチナシ (*G. angusta* var. *ovalifolia*)

†黒褐色すす病 kokukasshoku-susu-byo Black sooty mold

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto [*Chaetothyrium spinigerum* (Höhnelt) W. Yamamoto, *Hypocapnodium citri* Sawada, *Hypocapnodium mikanum* Hara, *Hypocapnodium quercifolium* Hara, *Meliola*

morifolia Y. Endo, *Meliola stomata* Hara, *Triposporium juglandis* Thümen, *Aithaloderma phyllostachydis* Hara]
原 攝祐:植物防疫 5(3):103, 1951 ; 山本和太郎:熱帯農学会誌 13:216, 1941(昭 16) ; 山本和太郎:兵庫農大
研報農生編 3(1):40, 1957

[備考] 台湾。タイワンクチナシ・ヤエクチナシ

†白絹病* shiraku-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

藤黒與三郎:植物学雑 32(384):361, 1918(大 7)

[備考] 台湾。病菌の異名はユッカ白絹病参照

†輪斑病 rinhan-byo

Pestalotiopsis theae (Sawada) Steyaert [*Pestalotia theae* Sawada]

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):86, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。ヤエクチナシ

††††

Phyllosticta erratica Ellis & Everhart

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3 版):268, 1927(昭 2)

ハテルマギリ

(Guettarda)

Guettarda speciosa L.

(広葉樹)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo guettardae Hiratsuka, f. & Hashioka

Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Bot. Mag. Tokyo 49(584):523, 1935(昭 10)

[備考] 台湾

シマザクラ

(Hedyotis)

Hedyotis leptopetala A.Gray

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

サンダンカ

Chinese ixora

Ixora chinensis Lam.

(広葉樹)

††††

†*Pseudocercospora ixorae* (Solheim) Deighton [*Cercospora ixorae* Solheim, *Cercospora ixorae* W. Yamamoto]

山本和太郎:熱帯農学会誌 6:602, 1934(昭 9) ; Deighton, F. C.:Mycol. Pap. 140:145, 1976
[備考] 台湾

††††

†*Scorias cylindrica* W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954

[備考] 台湾。Raynold, D. R.(Mycotaxon 8(2):417, 1979) は本種を *Phragmocapnias betle* (Sydow, P. Sydow & Butler) Theissen & Sydow の異名とした

ルリミノキ

(*Lasianthus*)

Lasianthus japonicus Miq.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo lasianthi Sydow

平塚直秀:植研雑 11(5):333, 1935(昭 10) ; Hiratsuka, N. *et al.*:Sci. Bull. Div. Agr., Univ. Ryukyu 2:36, 1955

††††

†*Chaetothyrium echinulatum* W. Yamamoto

Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):167, 1956

[備考] 台湾。マルバルリミノキ

††††

Inonotus sp.

青島清雄・金子 繁:日植病報 41(1):83, 1975

[備考] マルバルリミノキの葉。著者らはこの中で本菌に *Inonotus foliicolus* Aoshima & Kaneko を提案したが、正式の記載文無く、無効名である

††††

†*Meliola mephitidae* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):227, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。オオバルリミノキ (*Lasianthus chinensis*)

ルクリア

Luculia

Luculia spp.

(草花)

ルクリア *Luculia* *L. gratissima* Sweet

アッサムニオイザクラ *L. pinceana* Hook.

疫病 eki-byo *Phytophthora* rot

Phytophthora sp.

久保田まや:関東病虫研報 47:101, 2000

[備考] *L. gratissima* に発生

枝枯病 edagare-byo Stem rot

Phoma exigua Desmazières

舟久保太一・横内京子:日植病報 79(3):186, 2013 ; 舟久保太一ら:関東病虫研報 62:106, 2015

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium splendens Hans Braun

市川和規ら:日植病報 65(3):413, 1999 ; 東條元昭ら:日植病報 76(3):199, 2010

[備考] *L. pinceana* に発生

ヤエヤマアオキ

Indian Mulberry, Noni

Morinda citrifolia L.

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo *Alternaria* spot

Alternaria alternata (Fries) Keissler

上村大樹ら:日植病報 74(3):183, 2008 ; 田場 聡ら:日植病報 76(2):97, 2010

[備考] 上村ら(2008)は本病を黒斑病としたが, 田場ら(2010)は褐斑病に訂正した

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

田場 聡ら:日植病報 73(3):178, 2007 ; 田場 聡ら:日植病報 75(1):35, 2009

ハナガサノキ

(*Morinda*)

Morinda umbellata L.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo morindae Y. Morimoto

Morimoto, Y.:Bot. Mag. Tokyo 31(2):40, 1956

コンロンカ(昆崙花)

(*Mussaenda*)

Mussaenda parviflora Miq.

(広葉樹)

†**褐色輪斑病** kasshoku-rinhan-byo *Cercospora* leaf spot

Cercospora philippinensis Tak. Kobayashi & E.D. Guzmán

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:197, 1988

[備考] フィリピン。カホイダラガ (*M. philippica*)

ヘクソカズラ類

(*Paederia*)

Paederia spp.

(野草)

ヘクソカズラ *Paederia scandens* (Lour.) Merrill

角斑病 kakuhan-byo Angular spot

Pseudocercospora paederiicola C. Nakashima & Tak. Kobayashi

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4:67, 1960 ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan, Extra Issue 1:56, 1965 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):87, 2003

[備考] ヘクソカズラ *P. scandens* に発生

さび病 sabi-byo Rust

Coleosporium eupaderiae L. Guo [*Coleosporium paederiae* Dietel]

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

[備考] ヘクソカズラ *P. scandens* に発生

灰褐斑病 hai-kappan-byo Grayish brown spot

Phyllosticta boninense Tak. Kobayashi & T. Okamoto

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

[備考] ヘクソカズラ *P. scandens* に発生

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis adusta (Ellis & Everhart) Steyaert

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

[備考] ヘクソカズラ *P. scandens* に発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne suginamiensis Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

++++斑点症 hanten-sho Leaf spot

Phyllosticta sp.

大倉香人ら:日植病報 77(3):204, 2011

[備考] ヘクソカズラに発生

ペンタス

Egyptian star-cluster

Pentas lanceolata (Forssk.) Defflers

(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

庄司俊彦ら:関西病虫研報 41:85, 1999

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 43:133, 1996
[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB 型

ボチョウジ(リュウキュウアオキ)
(Psychotria)
Psychotria rubra (Lour.) Poir.
(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Uredo psychotriicola* Hennings

Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 1:44, 1954

(2) *Uredo yakushimensis* Y. Morimoto

森本泰二:植研雑 28(10):315, 1953

†紫褐円斑病 shikatsu-maruhan-byo

Cercospora psychotriae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):86, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

††††

†*Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow emend. W. Yamamoto

Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):169, 1956

[備考] 台湾

††††

Fomes terminaliae S. Ito & S. Imai ナガミノシマサルノコシカケ

伊藤誠哉・今井三子:札幌博物会報 16(3):125, 1940(昭 15)

[備考] オガサワラボチョウジ(*Phomalosperma*)。実体不明

ミサオノキ

(Randia)

Randia cochinchinensis (Lour.) Merrill

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Endophyllum griffitsiae (Hennings) Raciborski

Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:14, 1955

[備考] ヒジハリノキ (*R. sinensis*)・シマミサオノキ(*R. canthoides*)

††††

†*Asterinella formosana* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):28, 1957

[備考] 台湾

ハクチョウゲ(白丁花)

Serisse

Serissa japonica (Thunb.) Thunb.
(広葉樹)

萎縮病 ishuku-byo

Potexvirus#

楠木 学ら:日植病報 43(3):374, 1977

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Tobacco mosaic virus (TMV) タバコモザイクウイルス

奥山 哲・仲田 誠:関東東山病虫研報 20:79, 1973

[備考] 病徴再現未確認

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

遠藤 茂:宮崎高農学術報 10:78, 1938(昭 13)

[備考] 病原菌の異名はキミガヨラン白絹病参照

ギョクシンカ(玉心花)

Tarenna

Tarenna gracilipes (Hayata) Ohwi

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown spot

Mycosphaerella tarennicola Tak. Kobayashi & T. Okamoto

Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003

[備考] シマギョクシンカ (*T. subsessilis* (Gray) Ohwi)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Puccinia tarennicola Kakishima & Tak. Kobayashi

Kakishima, M. & Kobayashi, T.:Mycoscience 35(2):125, 1994 ; 小林享夫ら:102 回日林論:326, 1992

ミカン科 Rutaceae

ボローニア

Pink boronia

Boronia heterophylla F. V. Muell.

(広葉樹)

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora sp.

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 60(3):342, 1994

シロサポテ

White sapote

Casimiroa edulis La Llave & Lex.

(果樹)

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer*

小野 剛ら:関東病虫研報 61:67, 2014

[備考] 貯蔵中の果実に発生

タチバナ(橘)

(Citrus)

Citrus tachibana (Makino) Tanaka

(広葉樹)

†青かび病* aokabi-byo

Penicillium italicum Wehmer

藤黒與三郎:植物学雑 32(384):360, 1918(大 7)

[備考] 台湾

††††

†*Cladosporium citri* Masee

藤黒與三郎:植物学雑 32(384):360, 1918(大 7)

[備考] 台湾

カンキツ(柑橘)類

Citrus

Citrus spp. 等

(果樹)

カンキツ(柑橘) Citrus *Citrus* spp.

キンカン(金柑) Kumquats *Fortunella* spp.

カラタチ(枳殻) Trifoliate orange *Poncirus trifoliata* (L.) Raf.

ウイロイド病 viroid-byo Viroid disease

(1) *Citrus bark cracking viroid* (CBCVd) [Citrus IV viroid] カンキツバーククラッキングウイロイド

(2) *Citrus bent leaf viroid* (CBLVd) [Citrus I viroid#]

カンキツベントリーフウイロイド

(3) *Citrus dwarfing viroid* (CDVd) [Citrus III viroid] カンキツ矮化ウイロイド

Sano, T. *et al.*:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. *et al.*:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997 ; 畑谷達児:日植病報 79(1):68, 2013

(4) *Citrus viroid V* (CVd-V) カンキツウイロイド V

伊藤隆男ら:日植病報 76(3):223, 2010 ; Ito, T. & Ohta, S.:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):348, 2010

[備考] カンキツ樹に発生

(5) *Hop stunt viroid* (HpSVd) [Citrus II viroid#] ホップ矮化ウイロイド

Sano, T. *et al.*:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. *et al.*:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997

(6) F10 citrus viroid#

(7) OS citrus viroid#

伊藤隆男ら:日植病報 63(6):484, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 64(4):425, 1998

[備考] ウイロイド (1) ~ (3) は単独あるいは混合感染でカラタチ台バレンシアオレンジ樹にわい化などの症状を現すことが知られている (Roistacher, N. *et al.*:Proc. 12th Conf. IOCV:173, 1993)。 (6), (7) は仮称である

エクソコーティス病* *exocortis-byo* Exocortis

Citrus exocortis viroid (CEVd) カンキツエクソコーティスウイロイド

田中彰一:日植病報 28(2):88, 1963 ; 田中寛康・山田峻一:園試報 B9:181, 1969

ウイルス病 *virus-byo* Virus disease

Citrus leaf rugose virus (CiLRV) カンキツリーフルゴースウイルス

宮川経邦:日植病報 41(3):286, 1975 ; 今田 準・成沢信吉:果樹試安芸津年報 昭 51:32, 1977 ; 難波成任ら:日植病報 46(1):106, 1980

[備考] 潜在感染

温州萎縮病 *unshu-ishuku-byo* Satsuma dwarf

Satsuma dwarf virus (SDV) 温州萎縮ウイルス

山田峻一・澤村健三:園学要旨昭 25:36, 1950 ; 山田峻一・澤村健三:東近農試研報園芸 1:61, 1952 ; 田中彰一・岸 國平:日植病報 28(5):262, 1963

黄色斑葉病 *oshoku-han'yo-byo* Yellow mottle

Citrus yellow mottle virus (CYMV) カンキツ黄色斑葉ウイルス

牛山欽司:日植病報 37(3):199, 1971 ; 牛山欽司ら:日植病報 48(3):395, 1982

かいよう虎斑病* *kaiyo-kohan-byo* (かいよう性虎斑症)

Citrus tristeza virus (CTV) カンキツトリステザウイルス

大森尚典・森 介計:果樹園芸 7(7):28, 1954 ; 森 介計:果樹研究 1:79, 1956 ; 大森尚典ら:日植病報 51(1):81, 1985

[備考] Seedling yellows strain

ステムピッティング病 *stem pitting-byo* Stem pitting (Hassaku dwarf) (ハッサク萎縮病 Hassaku-ishuku-byo)

Citrus tristeza virus (CTV) カンキツトリステザウイルス

田中彰一ら:日植病報 25(1):21, 1960 ; 田中彰一・山田峻一:園試報 B3:67, 1964

ソローシス病 *psorosis-byo* Psorosis (ソロシス病)

Citrus psorosis virus (CPsV) カンキツソローシスウイルス

伊藤隆男ら:日植病報 73(3):225, 2007 ; Ito, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):257, 2011 ; 伊藤隆男:植物防疫 66(4):96, 2012

[備考] Tanaka *et al.* (Agrochemicals Japan 67:23, 1995)および田中寛康 (農林業協力専門家通信 18(6):37, 1998) はソロシス病として海外での発生を報告した。伊藤ら(2007)および Ito *et al.* (2011)は国内発生を報告し、本病をソローシス病とした

接木部異常病* *tsugikibu-ijo-byo* Bud-union disorder (接木部異常症)

Apple stem grooving virus (ASGV) リンゴステムグルービングウイルス [*Citrus tatter leaf virus*]

宮川経邦・水流 洋:園学要旨昭 48 秋:100, 1973 ; 宮川経邦:植物防疫 29(9):371, 1975 ; 宮川経邦:植物防疫 31(10):395, 1977

ナツカン萎縮病 *natsukan-ishuku-byo* Natsudaiddai dwarf

Natsudaiddai dwarf virus#

Tanaka, S. & Yamada, S.:Proc. 2nd Conf. IOCV:247, 1961 ; 田中彰一:果実日本 19(2):13, 1964 ; 今田 準・成沢信吉:日植病報 45(4):570, 1979

ネーブル斑葉モザイク病 *Navel-han'yo-mosaic-byo* Navel orange infectious mottling

Navel orange infectious mottling virus#

田中寛康・山田峻一:日植病報 29(5):285, 1964 ; 田中寛康:農及園 44(2):351, 1969 ; Tanaka, H. & Imada, J.:Proc. 7th Conf. IOCV:116, 1976

ベインエネーション病* *vein enation-byo* Vein enation (Woody gall) (ウッディーゴール病 *woody gall-byo*)

Citrus vein enation virus # (CVEV) カンキツベインエネーションウイルス

山田峻一・田中彰一:日植病報 26(2):70, 1961 ; 長岡(中菌)栄子ら:日植病報 81(4):341, 2015

[備考] 長岡(中菌)ら(2015)は、ユズのベインエネーション症状が本ウイルスの単独感染によることを確認した

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic (トラミカン)

Citrus mosaic virus #

石谷敏夫・神野三男:日植病報 23(1):29, 1958 ; 田中寛康ら:日植病報 40(3):215, 1974 ; 宇杉富雄ら:日植病報 52(2):349, 1986 ; 吉井 啓:植物防疫 12(8):367, 1958

かいよう病 *kaiyo-byo* Canker (癌腫病, 潰瘍病)

Xanthomonas citri subsp. *citri* (ex Hasse 1915) Gabriel, Kingsley, Hunter & Gottwald 1989 [*Bacterium citri* (Hasse) Doidge, *Pseudomonas citri* Hasse, *Xanthomonas citri* (Hasse) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *citri* (Hasse 1915) Dye 1978]

原 攝祐:果樹病害論:289, 1916(大 5) ; 原 攝祐:実験作物病理学:567, 1930(昭 5)

[備考] 西田藤次 (柑橘病害と予防法:177, 1914), 堀 正太郎 (病虫雑 2(1):1, 1915) は潰瘍病 (円形瘡痂病) として米国における citrus canker を紹介しているが、病原としての細菌に関する記述はみられない

褐斑細菌病 *kappan-saikin-byo* Bacterial brown spot

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902

重田 進・中田栄一郎:日植病報 55(1):103, 1989 ; 重田 進・中田栄一郎:日植病報 61(2):150, 1995

[備考] 外国で被害の大きい熱病と病原の性質がわずかに異なる (熱病参照)

グリーンング病 greening-byō Citrus huanglongbing HLB(英旧名:Citrus greening)
‘*Candidatus Liberibacter asiaticus*’ Jagoueix, Bove & Garnier 1994 [*Candidatus “Liberobacter asiaticum”* Jagoueix, Bove & Garnier 1994]

宮川経邦・津野和宣:日植病報 55(4):519, 1989 ; 宮川経邦・津野和宣:日植病報 55(5):667, 1989 ; 宮川経邦:南九州大学研報 30(A):53, 2000 ; Subandiyah, S. *et al.*:Plant Disease 84:15, 2000

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byō Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* (Smith & Townsend) Duggar]

原 攝祐:実用作物病理学:368, 1925(大14) ; 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:51, 1927(昭2) ; 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭8) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

腐敗細菌病 fuhai-saikin-byō Bacterial fruit rot

Serratia sp.

田代暢哉:日植病報 64(4):375, 1998

青かび病 aokabi-byō Blue mold, Contact mold (青黴病)

Penicillium italicum Wehmer

西田藤次:柑橘病害論:66, 1907(明 40)

青緑かび病 aomidorikabi-byō *Penicillium* rot (青緑黴病)

Penicillium fructigenum Takeuchi

武内晴好:九大農学芸誌 3(4):333, 1929(昭 4)

赤衣病 akagoromo-byō Pink disease, Rubellosis

Erythriscium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome, *Corticium zimmermannii* Saccardo & P. Sydow]

澤田兼吉:台湾農事報 80:9, 1913(大 2) ; 原 攝祐:果樹病害論:301, 1916(大 5) ; 堀 正太郎:日植病報 1(4):67, 1921(大 10)

[備考] 澤田兼吉(1913), 原 攝祐(1916)の記載は台湾での発生記録

暗紋病 ammon-byō *Cercospora* leaf and fruit spot

Cercospora penzigii Saccardo [*Cercospora daidai* Hara, *Cercospora* sp., *Cercosporina* sp.]

原 攝祐:果樹 188:22, 1918(大 7) ; 原 攝祐:日本菌類目録:400, 1954 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農業生物学編 4(2):67, 1960

うどんこ病 udonko-byō Powdery mildew

Oidium sp.

山田憲吾ら:日植病報 65(3):412, 1999 ; 山田憲吾ら:日植病報 66(1):40, 2000

[備考] *Erysiphe polygoni* 型。タンカン (*Citrus tankan* Hayata), ポンカン (*C. reticulata* Blanco) に発生。西田藤次 (病虫雑 2(8):705, 1915), 田中寛康・上野 勇 (熱研集報 34:41, 1979) はマレーシアで *Oidium tingitaninum* J.C. Carter によるうどんこ病 (白渋病) を報告した

疫病 eki-byō *Phytophthora* rot, *Phytophthora* foot rot (苗疫病, すそ腐病)

(1) *Phytophthora citrophthora* (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian

瀧元清透:柑橘研究 5(1):55, 1931 ; 横山佐太正・吉田桂輔:九病虫研会報 6:91, 1960 ; 岡本 博ら:日植病報 40(2):139, 1974 ; 入江和己・神納 浄:日植病報 44(3):371, 1978

[備考] 横山・吉田は苗の新梢の病害に *P. cactorum* (Lebert & Cohn) Schröter らしい菌も関与すると報告している。また鈴井孝仁ら (日植病報 43(1):106, 1977) はすそ腐病の病原菌としてタイにおける調査で *P. nicotianae* を報告している

(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

植松清次ら:日植病報 65(3):412, 1999

[備考] ウンシュウミカン・ユズに発生

黄斑病 ohan-byo Greasy spot (褐色小円星病, 褐色円星病)

(1) *Mycosphaerella citri* Whiteside

家城洋之:日植病報 52(3):484, 1986

(2) *Mycosphaerella horii* Hara [*Phyllosticta curvispora* Hori, *Phyllosticta nakayamai* Hara]

堀正太郎:果樹 123:20, 1913(大 2); 田中彰一・山田峻一:東近農試研報 園芸 1:1, 1952; 原 攝祐:植物防疫 15(6):265, 1961

[備考] 堀が褐色小円星病の他に記載している黄斑病は細菌によるもので別病害である

褐色こややく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (褐色膏薬病)

Septobasidium acaciae Sawada

原 攝祐:果樹病害論:504, 1916(大 5); 原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大 12)

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Brown rot (褐腐病, 腐敗病, 白腐病, 疫病)

(1) *Phytophthora citricola* Sawada

清水伸一ら:日植病報 72(1):72, 2006

(2) *Phytophthora citrophthora* (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian [*Pythiacystis citrophthora* R.E. Smith & E.H. Smith]

西田藤次:柑橘病害と予防法:95, 1914(大 3); 原 攝祐:実験作物病理学:569, 1930(昭 5)

[備考] 台湾で澤田兼吉 (台湾中研農業部報告 27(台湾産菌類調査報告 3):21, 1927) が同様症状を起因する疫病菌として *P. citricola* Sawada を報告している

(3) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

君島悦夫ら:日植病報 61(6):605, 1995; 田代暢哉ら:日植病報 68(2):189, 2002

[備考] 君島ら (1995) はアメリカ産グレープフルーツから本病原菌を検出した

(4) *Phytophthora palmivora* (E.J. Butler) E.J. Butler

君島悦夫ら:日植病報 61(6):605, 1995; 田代暢哉ら:日植病報 68(2):189, 2002; Tashiro, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(3):233, 2012

[備考] ウンシュウミカン(*C. unshiu*)。君島ら (1995) はアメリカ産グレープフルーツから本病原菌を検出した

(5) †††*Phytophthora syringae* (Klebahn) Klebahn

君島悦夫ら:日植病報 58(1):101, 1992

[備考] アメリカ産オレンジ果実で発見

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Sclerotinia twig blight

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

ト蔵梅之丞:病虫雑 2(3):266, 1915(大 4)

銀皮病 gimpi-byo Silver scurf, Black scurf (銀衣病)

Coniothecium scabrum McAlpine

西田藤次:柑橘病害と予防法:100, 1914(大 3); 鑄方末彦:実験果樹病害篇:281, 1927(昭 2); 保 虎太郎:病虫雑 23(12):952, 1936(昭 1)

[備考] 海外では本病菌が主原因であるが, 虫害や機械的障害も関係あるらしいとされている

くすぶり病 kusuburi-byo

Leptosphaeria citricola Penzig

安田 篤:植物学各論隠花部:391, 1911(明 44)

黒いぼ病 kuroibo-byo

(1) *Dothidea sambuci* (Persoon) Fries

白井光太郎・三宅市郎:改訂増補日本菌類目録:213, 1917(大 6)

[備考] カラタチに発生

(2) *Stylodothis puccinioides* (de Candolle) Arx & E. Müller [*Dothidea puccinioides* (de Candolle) Fries, *Dothidea sambuci* non (Persoon) Fries sensu Imazeki]

原 攝祐:植物学雑 27(314):123, 1913(大 2); 安田 篤:植物学雑 37(434):67, 1923(大 12); 今関六也:隠花植物図鑑(朝比奈泰彦編):238, 1939(昭 14); 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):574, 1992

[備考] カラタチに発生

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer*

田代暢哉ら:日植病報 68(1):47, 2002

[備考] 中晩性カンキツ(不知火)・温州ミカン(貯蔵中)に発生

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

Alternaria citri Ellis & N. Pierce

西田藤次:柑橘病害と予防法:90, 1914(大 3); 原 攝祐:日園雑 31(4):17, 1919(大 8)

[備考] 本病菌を *Alternaria alternata* (Fries) Keissler に含める考え方がある。また本菌は小黑点病の病原でもある

黒玉病 kurodama-byo Phellomyces rot

Sclerotium citricola Hara [*Phellomyces citri* Hara]

原 攝祐:実験作物病理学:578, 1930(昭 5); 原 攝祐:日植病報 25(5):225, 1960; 原 攝祐:植物防疫 15(6):266, 1961

こうじかび病 koji-kabi-byo Aspergillus rot, Black mold rot (麴黴病, 黒黴病, 黒粉病)

(1) *Aspergillus flavus* Link

田代暢哉ら:日植病報 69(1):21, 2003

[備考] ハウスミカン *Citrus* sp. に発生

(2) *Aspergillus carbonarius* (Bainier) Thom

三好孝典ら:日植病報 73(1):61, 2007

(3) *Aspergillus japonicus* Saito

三好孝典ら:日植病報 73(1):61, 2007

(4) *Aspergillus niger* Tieghem [*Sterigmatocystis nigra* Tieghem]

三好 学:植物学雑 24(279):101, 1910(明 43); 原 攝祐:実験作物病理学:577, 1930(昭 5); 横浜税関:輸移入植物病原菌害虫目録:12, 1939(昭 14)

黒点病 kokuten-byo Melanose (Phomopsis stem-end rot) (軸腐病 jikugusare-byo, 枝腐病, 枝枯病, メラノーズ)

Diaporthe citri F.A. Wolf [*Phomopsis citri* H.S. Fawcett]

西田藤次:柑橘 1(8):8, 1903(明 36); 大和浩国:日植病報 37(5):355, 1971

黒斑病 kokuhan-byo Phoma rot

Phoma erratica (Ellis & Everhart) Hara var. *mikan* Hara [*Phoma citricarpa* McAlpine var. *mikan* Hara]
原 攝祐:静岡農会報 283:35, 1921(大 10) ; 原 攝祐:日植病報 25(5):225, 1960

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot (株腐病)

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard [*Elfvigia applanata* (Persoon) P. Karsten, *Fomes applanatus* (Persoon) Gillet]

横木国臣:農及園 5(6):739, 1930(昭 5) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):347, 1955

小黒点病 sho-kokuten-byo Melanose-like blemish

(1) *Alternaria citri* N. Ellis & Pierce

倉本 孟:日植病報 41(3):251, 1975 ; 牛山欽司・倉本 孟:植物防疫 29(7):283, 1975

[備考] 本病菌を *Alternaria alternata* (Fries) Keissler に含める考え方がある

(2) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

村本和之・東浦祥光:日植病報 80(4):273, 2014

(3) *Diaporthe medusaea* Nitschke

大和浩国:日植病報 39(2):157, 1973 ; 倉本 孟:日植病報 41(3):251, 1975 ; 牛山欽司・倉本 孟:植物防疫 29(7):283, 1975 ; 大和浩国:日植病報 42(1):56, 1976

白絹病 shirakinu-byo Southern blight (小粒白絹病)

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium centrifugum* (Léveillé) Bresàdola, *Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne, *Hypochnus solani* Prillieux & Delacroix]

原 攝祐:果樹 174:42, 1917(大 6) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:282, 1927(昭 2)

白かび病 shirokabi-byo Sour rot (白黴病)

Geotrichum candidum Ferraris var. *citri-aurantii* Ciferri & F. Ciferri [*Oospora citri-aurantii* (Ferraris) Saccardo & P. Sydow, *Oosporioidea citri-aurantii* Saccardo & Sydow]

西田藤次:病虫雑 5(12):943, 1918(大 7) ; 倉本 孟・山田峻一:果樹試報 B2:87, 1975

[備考] 海外では *Endomyces geotrichum* Butler & Petersen (不完全世代 *Geotrichum candidum* Link ex Petersen) や *Geotrichum citri-aurantii* (Ferraris) Butler (完全世代 *Galactomyces citri-aurantii* Butler) が用いられている

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot (根朽病)

Rosellinia necatrix Prillieux [*Dematophora necatrix* Hartig]

西田藤次:柑橘病害と予防法:163, 1914(大 3)

樹脂病 jushi-byo Gummosis (ゴム病, 護謨病, 脂病, 樹膠病)

Phomopsis sp.

西田藤次:柑橘病害と予防法:138, 1914(大 3) ; 石山信一:日園雑 38(10):6, 1926(大 15) ; 水沢芳次郎・横木国臣:神奈川農試農事試験成績 56:1, 1929(昭 4)

[備考] 西田や原 攝祐 (果樹病害論:285, 1916) は病原として細菌その他を記載している。また, 石山は他の病原による多くの病害も樹脂病として記載しているが, それらは何れも別の病害である

すす点病 susuten-byo Fly speck (蠅糞病, 煤点病)

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason [*Leptothyrium pomi* (Montagne & Fries) Saccardo]

西田藤次:柑橘病害と予防法:66, 1914(大 3) ; 北島 博:果樹病害各論:437, 1989

[備考] 病原菌の完全世代の *Schizothyrium pomi* (Montagne & Fries) Arx は国内未確認。また, 原 攝祐 (農業国 5(9):50, 1911) は病原菌として *Cladosporium herbarum* (Persoon) Link ex Gray を記載しているが, 別病名にすべきと思われる

すす斑病 susuhan-byo Sooty spot

Cladosporium cladosporioides (Fresenius) G.A. de Vries

田代暢哉ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; Tashiro, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):158, 2013

すす病 susu-byo Sooty mold (黒黴病, 小煤病, 淡色煤病, 灰色煤病, 文旦の煤病, 褐色煤病, 多色茸煤病, 煤病)

(1) *Capnodium salicinum* Montagne

原 攝祐:果樹病害論:231, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日菌報 3(1-6):104, 1962

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

(2) *Capnophaeum fuliginoides* (Rehm) W. Yamamoto [*Capnodium fuliginodes* Rehm, *Capnophaeum nipponicum* Ikata]

山本和太郎:兵庫農大紀要 1(2):15, 1951 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954

(3) *Hypocapnodium japonicum* (Hara) W. Yamamoto [*Limacinia japonica* Hara] (灰色煤病)

原 攝祐:実験作物病理学:559, 1930(昭 5) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 4(1):19, 1959

[備考] *Hypocapnodium* は現在 *Aithaloderma* とされている

(4) *Limacinia harai* W. Yamamoto [*Aithaloderma japonica* Hara]

原 攝祐:菌類 1(2):20, 1931(昭 6) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農業生物学編 4(1):19, 1959

(5) *Limacinula javanica* (Zimmermann) Höhnelt [*Capnophaeum citrivorum* (Hara) Sawada, *Meliola citricola* Hara, *Meliola harana* Trotter, *Phaeosaccardinula citrivora* (Hara) Hara, *Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto, *Zukaliopsis gardeniae* Sawada] (褐色すす病・淡色煤病 Brownish sooty mold)

原 攝祐:静岡県農会報 262:5, 1919 (大 8) ; 山本和太郎:日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15)

[備考] 本病菌による病害は他の樹種ではすべて褐色すす病として独立されている

(6) *Meliola butleri* Sydow & P. Sydow [*Meliola amphitricha* sensu Sawada non Fries, *Meliola citricola* Sydow & P. Sydow] (小煤病)

藤黒與三郎:植物学雑 32(384):358, 1918(大 7) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告 1):196, 1919(大 8) ; 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):248, 1929(昭 4) ; 原 攝祐:実験作物病理学:560, 1930(昭 5)

(7) *Meliola citri* (Briosi & Passerini) Saccardo [*Capnodium citri* Berkeley & Desmazières, *Limacinia citri* (Briosi & Passerini) Saccardo]

出田 新:農作物病理学:100, 1901(明 34) ; 安田 篤:植物学各論 隠花部:36, 1911(明 44) ; 西田藤次:柑橘病害と予防法:6, 1914(大 3)

[備考] 原 攝祐 (果樹 200:19, 1919) が *Meliola citri* にあてた菌はのちに原によって *Hypocapnodium mikanum* Hara とされた

(8) *Phaeosaccardinula penzigii* (Saccardo) W. Yamamoto [*Limacinia penzigii* (Saccardo) Saccardo, *Limacinula penzigii* (Saccardo) Sawada, *Meliola penzigii* Saccardo]

出田 新:農作物病理学:100, 1901(明 34) ; 西田藤次:柑橘病害と予防法:6, 1914(大 3) ; 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):259, 1929(昭 4) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):46, 1957

(9) *Phragmocapnias betle* (Sydow, P. Sydow & E.J. Butler) Theissen & Sydow [*Antennella citri* Sawada, *Antennellopsis vulgaris* (W. Yamamoto) Batista & Ciferri, *Capnodaria tanakae* (Shirai & Hara) Sawada, *Capnodium footii* sensu Sawada non Berkeley & Desmazières, *Capnodium tanakae* Shirai & Hara, *Chaetoscorias vulgaris* W. Yamamoto, *Neocapnodium tanakae* (Shirai & Hara) W. Yamamoto, *Scorias communis* W. Yamamoto] (文旦の煤病)

原 攝祐:果樹病害論:231, 1916(大 5) ; 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):261, 1929(昭 4) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):43, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954

(10) *Scorias citrina* (Hara) W. Yamamoto [*Antennella citrina* Hara]

原 攝祐:菌類 1(2):20, 1931(昭 6) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 4(1):20, 1959

(11) *Tripasporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto [*Aithaloderma phyllostachydis* Hara, *Chaetothyrium spinigerum* (Höhnelt) W. Yamamoto, *Hypocapnodium citri* Sawada, *Hypocapnodium mikanum* Hara, *Hypocapnodium quercifolium* Hara, *Limacinia spinigera* Höhnelt, *Meliola citri* sensu Hara non Saccardo, *Meliola morifolia* Y. Endo, *Meliola stomata* Hara, *Tripasporium juglandis* Thümen]

原 攝祐:実験作物病理学:556, 1930(昭 5) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953
[備考] 病原菌の学名は *Trichomerium grandisporum* (Ellis & Martin) Batista & Ciferri とされている
(12) 病原未記載
長崎 常:農学会報 35:107, 1897(明 30)

すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956

[備考] 台湾

(2) *Capnodium citricolum* McAlpine

西田藤次:柑橘病害と予防法:6, 1914(大 3)

[備考] オーストラリア

(3) *Capnodium walteri* Saccardo

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956

[備考] 台湾

(4) *Chaetothyrium citricola* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8:36, 1959

[備考] 台湾

(5) *Chaetothyrium echinulatum* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956

[備考] 台湾

(6) *Chaetothyrium sawadai* W. Yamamoto [*Hypocapnodium strigosum* Sawada]

澤田兼吉:柑橘研究 3(2):255, 1929(昭 4) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956

[備考] 台湾

(7) *Cladosporium sclerotophilum* Sawada (枝煤病)

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 51(台湾産菌類調査報告 5):112, 1931(昭 6)

[備考] 台湾

(8) *Dimerina citricola* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8:37, 1959

[備考] 台湾

(9) *Dimerium scheffleri* (Hennings) Saccardo & D. Saccardo

澤田兼吉:台湾大農特別報 8:38, 1959

[備考] 台湾

(10) *Hypocapnodium camelliae* (Cattaneo) Sawada [*Limacinia camelliae* (Cattaneo) Saccardo, *Meliola camelliae* (Cattaneo) Saccardo]

白井光太郎:植物病理学(下):196, 1900(明 33) ; 西田藤次:柑橘病害と予防法:6, 1914(大 3) ; 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):254, 1929(昭 4)

[備考] イタリア. *Hypocapnodium* は現在 *Aithaloderma* とされている (勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):560, 1992)

(11) *Hypocapnodium setosum* (Zimmermann) Spegazzini [*Chaetothyrium theae* (Sawada) Hara, *Zukalia theae* Sawada]

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953

[備考] 台湾. *Hypocapnodium* は現在 *Aithaloderma* とされている (勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):560, 1992)

(12) *Limacinia aurantii* Hennings

澤田兼吉:柑橘研究 3(2):250, 1929(昭 4) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953

[備考] 台湾

(13) *Limacinia chenii* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8:39, 1959

[備考] 台湾

(14) *Limacinia clavatispora* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956

[備考] 台湾

(15) *Limacinia filiformis* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956

[備考] 台湾

(16) *Limacinia formosensis* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956

[備考] 台湾

(17) *Limacinia globosa* (L.R. Fraser) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):43, 1957

[備考] 台湾

(18) *Limacinia ovispora* Sawada

澤田兼吉:柑橘研究 3(2):252, 1929(昭 4)

[備考] 台湾

(19) *Phaeosaccardinula longispora* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956

[備考] 台湾

そうか病 soka-byo Scab, Spot anthracnose (瘡痂病, カサ病)

Elsinoë fawcettii Bitancourt & Jenkins [*Sphaceloma fawcettii* Jenkins]

横山:農学会報 31:76, 1896(明 29); 西田藤次:大日本農会報 258:1, 1903(明 36); 香月繁孝:植研雑 30(9):285, 1955

[備考] カラタチ。横山(1896)では菌の分類学的記載が不明瞭 (*Cladosporium* 属菌と記載)。完全世代は国内未発見

そばかす病 sobakasu-byo Freckle

Mycosphaerella pinodes (Berkeley & A. Bloxam) Vestergren

富永時任・山本省二:日植病報 35(5):389, 1969 ; 山本省二・山本 滋:植物防疫 26(7):263, 1972 ; 宮本久美ら:日植病報 46(1):98, 1980

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (Anthracnose tear stain) (さび果病 sabika-byo, 落葉病, 葉枯病)

(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan

田代暢哉ら:日植病報 83(3):184, 2017

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium foliicolum* Nishida]

堀正太郎:果樹 123:20, 1913(大2) ; 山田峻一・山本省二:日植病報 28(2):74, 1963 ; 間佐古将則ら:日植病報 73(3):181, 2007 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017

[備考] 堀の記載した葉枯病の病原菌 *G. citricolum* Massee は *G. foliicolum* の誤りである (西田藤次:柑橘病害と予防法:111, 1914)。佐藤ら(2017)は狭義の *C. gloeosporioides* を報告した

ドチオレラ樹脂病 *Dothiorella-jushi-byo* Dothiorella rot

Dothiorella ribis Grossenbacher & Duggar

原 攝祐:実験作物病理学:593, 1930(昭 5)

[備考] 病原菌の完全世代は *Botryosphaeria ribis* Grossenbacher & Duggar である

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

田代暢哉・貞松光男:佐賀果試研報 10:125, 1988

[備考] 菌糸融合群 AG-4

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot, Mushroom root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

牛山欽司:神奈川園試研報 16:12, 1968

[備考] 病原菌の学名は池上八郎ら:新編植物病原菌類解説:134, 1996 参照

にせ黄斑病* nise-ohan-byo Pseudo-greasy spot, Pseudogreasy spot (黄斑症)

(1) *Aureobasidium* sp.

禧久 保・河野通昭:九病虫研会報 18:138, 1972 ; 小泉銘冊・久原重松:日植病報 51(1):51, 1985

(2) *Sporobolomyces corallinus* N. Furuya & M. Takashima

(3) *Sporobolomyces productus* N. Furuya & M. Takashima

小泉銘冊・久原重松:日植病報 51(1):51, 1985 ; Koizumi, M.:Ann. Phytopath. Soc. Jpn. 52:758, 1986 ; Furuya, N. *et al.*:Mycoscience 53:261, 2012

[備考] Koizumi(1986)が報告した病原 *S. roseus* を, Furuya *et al.*(2012)が *S. corallinus* と *S. productus* に再同定した

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold, Botrytis fruit injury

Botrytis cinerea Persoon

原 攝祐:実験作物病理学:576, 1930(昭 5)

[備考] 禧久 保・河野通昭 (九病虫研会報 16:100, 1970 ; 同 17:4, 1971) は果面がさ症の病原として本病菌のほか *Alternaria* sp. も報告している。また, ト蔵梅之丞 (病虫雑 2(3):266, 1915) は *Botrytis vulgaris* Fries による灰色菌核病を記載している

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt (灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* (Schweinitz) Patouillard]

原 攝祐:実験作物病理学:598, 1930(昭 5)

[備考] 海外では Felt の病原菌として *S. pseudopedicellatum* Burt が挙げられているが, 灰色こうやく病と褐色こうやく病の区別はされていない

白色こうやく病* hakushoku-koyaku-byo White felt disease

Septobasidium citricola Sawada [*Septobasidium citricolum* Sawada]

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 35(台湾産菌類調査報告 4):84, 1928(昭 3) ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):101, 1928(昭 3) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 61(台湾産菌類調査報告 6):54, 1933(昭 8)

[備考] 接種試験未了。ヒュウガナツ *C. tamurana* に発生

†白色こうやく病 hakushoku-koyaku-byo Felt (白色膏薬病)

Helicobasidium albicans Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 35(台湾産菌類調査報告 4):84, 1928(昭 3) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 61(台湾産菌類調査報告 6):54, 1933(昭 8)

[備考] 台湾

ひげかび病 hige-kabi-byo Whisker mold

Penicillium ulaiense H.M. Hsieh, H.J. Su & Tzean

田代暢哉・井手洋一:日植病報 78(1):77, 2012 ; Tashiro, N. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 78(2):140, 2012

[備考] 不知火(*Citrus unshiu* Marcow. × *C. sinensis* (L.) Osbeck), 中野 3 号ポンカン(*C. reticulata* Blanco) の貯蔵果実に発生

フザリウム立枯病* *Fusarium-tachigare-byo* *Fusarium wilt* (衰弱症)

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

井上一男: 静柑試研報 14:51, 1978

[備考] 病原菌は海外では *F. oxysporum* f.sp.*citri* Timmer とされている

フザリウム腐敗病 *Fusarium-fuhai-byo* *Fusarium rot*

Fusarium sp.

田中彰一ら: 東近農試研報 園芸 2:75, 1954 ; 北島 博・梶原敏宏: 原色作物病害図説:117, 1962

円星病 *maruhoshi-byo* *Phyllosticta leaf spot* (落葉病)

(1) *Phyllosticta beltranii* Penzig [*Phyllosticta fuliginosa* C. Massalongo] (白円星病)

堀正太郎: 果樹 123:20, 1913(大 2) ; 富樫浩吾: 果樹病学:168, 1950

(2) *Phyllosticta erratica* Ellis & Everhart [*Phyllosticta citri* Hori, *Phyllosticta citricola* Hori] (褐色大円星病, 大円星病)

堀正太郎: 果樹 123:20, 1913(大 2) ; 原 攝祐: 実用作物病理学:332, 1925(大 14)

(3) *Phyllosticta* sp. (灰色大円星病)

原 攝祐: 日園雑 29(9):1, 1917(大 6)

[備考] 原 攝祐 (農及園 13(12):2641, 1938) および富樫浩吾 (果樹病学:168, 1950) は *Phyllosticta* 属菌によるその他の落葉性病害として *P. disciformis* Penzig, *P. hesperidearum* Penzig, *P. marginalis* Penzig, *P. rigida* (Penzig) Hara (*Phoma rigida* Penzig), *P. sidaensis* Hara, *P. unshu* Hara をあげた。また, 病名目録第3巻第2版 (1984) に円星病の病原として記載された *P. nakayamai* Hara はカンキツ黄斑病菌 *Mycosphaerella horii* Hara の不完全世代として記載されていた *P. curvispora* Hori を原が改名したもので本病の病原ではない

(4) 病原未記載

西田藤次: 柑橘病害と予防法:106, 1914(大 3)

幹腐病 *mikigusare-byo* *Concave stem canker*

Lachnum abnorme (Montagne) J.H. Haines & Dumont

貞野光弘ら: 日植病報 64(4):437, 1998

緑かび病 *midori-kabi-byo* *Common green mold*, *Green mold* (腐敗病, 萌黄黴病, 緑黴病)

Penicillium digitatum (Persoon) Saccardo [*Penicillium olivaceum* Wehmer]

和田歌吉: 日園雑 21(6):19, 1909(明 42) ; 鶴田章逸: 果樹 168:24, 1917(大 6) ; 澤田兼吉: 台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告 2):130, 1923(大 12)

紫紋羽病 *murasaki-mompa-byo* *Violet root rot*

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

西田藤次: 柑橘病害と予防法:160, 1914(大 3)

葉柄病 *yohei-byo*

Macrosporium sp.

西田藤次: 柑橘病害と予防法:116, 1914(大 3)

白藻病 *shiromo-byo* *Algal disease*, *Algal leaf spot*, *Algal spot*

Cephaleuros virescens Kunze [*Cephaleuros mycoidea* Karsten]

原 攝祐: 果樹病害論:492, 1916(大 5)

象皮病 zohi-byo (日焼病)

Aculops pelekassi Keifer [*Eriophyes oleivorus* Ashmead, *Phyllocoptrata olivorus* Ashmead] ミカンサビダニ
Pink citrus rust mite
鑄方末彦:実験果樹病害篇:267, 1927(昭2)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconema* sp. トゲワセンチュウの1種

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

[備考] 属名は再検討を要する

(3) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの一種

一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964

(4) *Ogma civellae* (Steiner) Raski & Luc [*Crossonema civellea* Steiner] ミカントゲワセンチュウ

果樹試栽培 1 研:研究成果シリーズ 98:117, 1977 ; 西沢 務:研究成果シリーズ 226:57, 1989

(5) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi [*Trichodorus porosus* Allen] ナガイモユミハリセンチュウ

果樹試栽培 1 研:研究成果シリーズ 98:117, 1977

(6) *Paratylenchus curvatus* van der Linde チャピンセンチュウ

果樹試栽培 1 研:研究成果シリーズ 98:117, 1977

(7) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの一種

大島康臣ら:九病虫研会報 9:69, 1963 ; 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967

(8) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 ; 果樹試栽培 1 研:研究成果シリーズ 98:117, 1977

[備考] 種名は再検討を要する

(9) *Xiphinema bakeri* Williams クワオオハリセンチュウ

果樹試栽培 1 研:研究成果シリーズ 98:117, 1977

(10) *Xiphinema brasiliense* Lordello オオハリセンチュウの1種

果樹試栽培 1 研:研究成果シリーズ 98:117, 1977

(11) *Xiphinema simillimum* Loof & Yassin オオハリセンチュウの1種

果樹試栽培 1 研:研究成果シリーズ 98:117, 1977

根腐線虫病* negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤 昭・大島康臣:応動昆 7(3):187, 1963 ; 後藤昭:九農試報 17(2):139, 1974

(2) *Pratylenchus loosi* Loof チャネグサレセンチュウ (根腐衰弱病)

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963 ; 宮川経邦:植物防疫 25(2):70, 1971

根線虫病* ne-senchu-byo Slow decline (立枯病)

Tylenchulus semipenetrans Cobb ミカンネセンチュウ

澤田兼吉:台湾農事報 7(10):903, 1913(大2) ; 宮川経邦・森下 実:植物防疫 11(5):182, 1957

亜鉛欠乏症 aen-ketsubo-sho Zinc deficiency, Mottle leaf (斑葉病)

亜鉛欠乏

西田藤次:柑橘病害と予防法:201, 1914(大3) ; 田中彰一:農及園 16(9):1503, 1941(昭16)

枝枯病* edagare-byo (枝枯症)

生理障害

北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:121, 1962(昭37) ; 宮川経邦:徳島の果樹 10(11):15, 1963

[備考] 低温障害と水分生理の異常が原因すると考えられている

カリ欠乏症* kari-ketsubo-sho Potassium deficiency (葉先黄化症)

カリ欠乏

和田英雄ら:園学要旨昭 54 中四国:21, 1979

虎斑病 kohan-byo Oil spotting, Oleocellosis, Rind-oil spot (痘果病, 日焦病)

生理障害

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(1):97, 1914(大 3); 西田藤次:柑橘病害と予防法:188, 1914(大 3)

[備考] ト蔵, 西田は海外の抄録で病原としてそれぞれ細菌, 生理的, また原 攝祐 (果樹病害論:264, 1916) も病原として *Bacterium* の 1 種を記載しているが, 鑄方末彦 (実験果樹病害篇:274, 1927) はトビイロヒメヨコバイ, コノハガなどの加害によるという説を紹介している。一方, アメリカでは生理的原因によるとされている

石果病 sekka-byo (石化病)

生理障害

堀正太郎:果樹 201:25, 1919(大 8); 瀧元清透:日園雑 34(5):18, 1922(大 11)

[備考] 旱害によると思われる

銅欠乏症 do-ketsubo-sho Copper deficiency

銅欠乏

佐藤公一:柑橘経営 3(2):8, 1969; 石原正義ら:園試報 A11:41, 1972

日焼病 hiyake-byo Sunburn

生理障害

瀧元清透:柑橘研究 7:176, 1936(昭 11); 中田覺五郎:福岡県病虫駆除予防資料 64:27, 1937(昭 12)

ほう素欠乏症 hoso-ketsubo-sho Boron deficiency

ほう素欠乏

田中彰一:園学要旨昭 32 春:11, 1957

マグネシウム欠乏症* magnesium-ketsubo-sho Magnesium deficiency (帯黄病, 苦土欠乏症)

マグネシウム欠乏

田中彰一:日園雑 56(3):30, 1944(昭 19)

マンガン過剰症* mangan-kajo-sho Manganese excess (落葉性褐斑症, 異常落葉)

マンガン過剰

青木 朗・森田修二:土肥誌 40(6):228, 1969; 石原正義ら:園試報 A10:55, 1971

[備考] 北島 博・梶原敏宏 (原色作物病害図説:112, 1962) は若木斑点病を記載しているが, マンガン過剰によると考えられている。また小林源次 (日植病報 4(3):233, 1935) は通常の落葉と異なることから原因不明の落葉性ヴァイラス病を記載しているが, ウイルスに関する記述は全くなく, いわゆる異常落葉と同じ可能性がある

マンガン欠乏症 mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency (萎黄病?)

マンガン欠乏

田中彰一:病虫雑 27(1):61, 同 27(2):140, 1940(昭 15)

[備考] 西田藤次 (柑橘 1(7), 1903) の記載した萎縮病はマンガン欠乏症と思われる

水腐病 mizugusare-byo

生理障害

北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:113, 1962

モリブデン欠乏症* moribuden-ketsubo-sho Molybdenum deficiency

モリブデン欠乏

中間和光:果樹の生理障害と対策(鳥潟博高編):62, 1977

やに果症 yanika-sho

生理障害

大和浩国:徳島果試研報 3:1, 1970(昭 45)

[備考] 果皮のほう素(B)欠乏が関与しているようであるが, 葉中の B 含量が過剰でも発生するので B 欠とは異なるとされている

葉肉崩壊症 yoniku-hokai-sho Mesophyll collapse

生理障害

北島 博:日植病報 21(1):43, 1956

裂果病 rekka-byo Splits (折裂病, 裂開病)

生理障害

白井光太郎:果樹 16:1, 1904(明 37); 原 攝祐:実用作物病理学:328, 1925(大 14); 鑄方末彦:実験果樹病害篇:280, 1927(昭 2)

[備考] 原因は乾燥後の降雨とされている

コンケーブガム病* concave gum-byo Concave gum

病原未確認

家城洋之:日植病報 59(3):335, 1993; Ieki, H. *et al.*:Proc. 13th IOCV Conf.:346, 1996

[備考] 接ぎ木伝染性

††熱病 netsu-byo Citrus blast (果護謨病, 凋萎病, 細菌性梢枯病, 黒斑病, 黒腐病, 黒痘病, 虎斑病)

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium citrifaciens* Lee, *Bacterium citripateale* Smith, *Bacterium syringae* (van Hall) Smith]

鑄方末彦:実験果樹病害篇:291, 1927(昭 2); 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:431, 1941(昭 16)

[備考] アメリカ (カリフォルニア州)。高山睦雄ら (日植病報 47(1):92, 1981) は輸入検疫中のレモンから本病菌を分離している

††斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial knot, Bacterial spot (細菌性斑点病)

病原細菌種名未定

瀧元清透:病虫雑 6(4):312, 1919(大 8); 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:119, 1941(昭 16)

[備考] イタリア・南アフリカ。病原細菌名 *Erwinia citrimaculans* (Doidge) Magrou [*Bacillus citrimaculans* Doidge] は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

†赤粒病 akatsubu-byo

Nectria citricola Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 51(台湾産菌類調査報告 5):32, 1931(昭 6)

[備考] 台湾

†褐色紋羽病 kasshoku-mompa-byo

Anthina brunnea Sawada

澤田兼吉・黒沢英一:台湾中研農業部彙報 46:1, 1927(昭 2)

[備考] 台湾

††がんしゅ病 ganshu-byo (癌腫病)

Didymella citri F. Noack

西田藤次:柑橘病害と予防法:134, 1914(大 3)

[備考] ブラジル

†黒枯枝病 kuro-kareeda-byo

Valsa sp.

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 51(台湾産菌類調査報告 5):37, 1931(昭 6)

[備考] 台湾

††黒星病 kurohoshi-byo Black spot, Phoma rot (黒点病)

Phyllostictina citricarpa (McAlpine) Aa [*Phoma citricarpa* McAlpine]

西田藤次:柑橘 1(9):2, 1903(明 36)

[備考] 台湾。Farr, D.F. *et al.* (Fungi on plants and plant products in the United States:866, 1989) による

†こけら病 kokera-byo (葉紋羽病)

Multipatrina citricola Sawada

澤田兼吉・黒沢英一:台湾中研農業部彙報 46:1, 1927(昭 2)

[備考] 台湾

††梢枯病 shoko-byo (しょう枯病)

Gloeosporium limetticola R.E. Clausen

西田藤次:柑橘病害と予防法:129, 1914(大 3)

[備考] アメリカ, キューバにおける Wither tip の紹介であり, von Arx (Phytopath. Z. 29(4):413, 1957) は本種 *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo のシノニムとしている

†茶褐小すす病 chakatsu-kosusu-byo (茶褐小煤病)

Septobasidium parlitoriae Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 51(台湾産菌類調査報告 5):57, 1931(昭 6)

[備考] 台湾

††てんぐ巣病 tengusu-byo (天狗巣病)

Sphaeropsis tumefaciens Hedges & Tenny

西田藤次:柑橘病害と予防法:136, 1914(大 3)

[備考] アメリカ・ジャマイカ

†白色円斑病 hakushoku-empan-byo

Ramularia citrifolia Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会会報 21(115):233, 1931(昭 6) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 61(台湾産菌類調査報告 6):90, 1933(昭 8)

[備考] 台湾

†花紋羽病 hana-mompa-byo (こけら病, 紋羽病)

Anthina citri Sawada

澤田兼吉・黒沢英一:台湾中研農業部彙報 46:3, 1927(昭 2) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 35(台湾産菌類調査報告 4):117, 1928(昭 3)

[備考] 台湾

†へた腐病 hetagusare-byo Diplodia gummosis and stem-end rot, Diplodia rot (硬化病, 炭化病, 蒂腐病)

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Diplodia natalensis* Pole Evans]

西田藤次:柑橘病害と予防法:98, 1914(大 3); 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 61(台湾産菌類調査報告 6):71, 1933(昭 8)

[備考] 台湾・南米。病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):593, 1992 参照

††††紅腐病 benigusare-byo Pink mold rot

††*Penicillium roseum* Link

原 攝祐:実験作物病理学:577, 1930(昭 5)

[備考] 国内発生未確認

†円すす病 maru-susu-byo (円煤病)

Helminthosporium citri Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 51(台湾産菌類調査報告 5):113, 1931(昭 6)

[備考] 台湾

††††緑斑症 ryokuhan-sho Green tear stain

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

間佐古将則ら:日植病報 73(3):181, 2007

[備考] ハッサク (*C. hassaku*) に発生。病原菌は炭疽病菌と同一

††††奇病 ki-byo

病原不明

坂本 庵ら:日植病報 35(5):378, 1969

[備考] 気象条件の関与が推定されている

††††枝樹脂病 edajushi-byo Twig gumming

病原不明

原 攝祐:実験作物病理学:595, 1930(昭 5)

††††おうかん樹脂病 okan-jushi-byo (凹陷樹脂病)

病原不明

原 攝祐:実験作物病理学:595, 1930(昭 5)

††††黄変落葉症 ohen-rakuyo-sho

病原不明

和田英雄ら:徳島果試研報 8:11, 1979

[備考] 葉中の N, P 含量が低下し, さらに Mg も低下するが, Mg 欠による黄変とは異質とされている

††††果頂部褐変症 kachobu-kappen-sho

病原不明

長浜正照:九病虫研会報 22:5, 1976

[備考] 伝染性病害と推定されている

††††褐斑落葉病 kappan-rakuyo-byo

病原不明

北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:112, 1962(昭 37)

[備考] 若木斑点病に類似。フロリダでは肥料過剰または潮風害といわれており、日本でも肥料過剰の可能性ありとされている

†††† ゴム病 gomu-byo Gum disease, Gummosis

病原不明

白井光太郎:最近植物病理学:121, 1907(明 40) ; 西田藤次:柑橘病害と予防法:138, 1914(大 3)

[備考] 病原として菌類, 組織の崩壊, 外界よりの損傷などが推定されている

†††† りん皮病 rimpi-byo (鱗皮病)

病原不明

西田藤次:果樹 78:18, 1909(明 42)

††††

Cladosporium citri Massee

藤黒與三郎:植物学雑 32(384):360, 1918(大 7)

[備考] カンキツの種類によってすす病菌, そうか病菌と記されている

††††

Cladosporium elegans Penzig

白井光太郎:植物病理学(下):257, 1894(明 27)

[備考] 枝葉, 果実から検出

††††

Cladosporium sp.

小西全太郎:日植病報 3(1):101, 1934(昭 9)

[備考] 貯蔵中のユズの腐敗果から検出

††††

Hysterium citricolum Naito

Naito, T.:Trans. Nat. Hist. Soc. Kagoshima Coll. Agr. For. 3(12):4, 1933

サザンクロス

Cypress

Crowea exalata F. Muell.

(広葉樹)

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora sp.

堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 60(3):342, 1994

ハマセンダン(浜梅檀, 棟)

Evodia meliifolia (Hance) Benth.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Coleosporium telioevodiae L. Guo [*Coleosporium evodiae* Dietel ex Hiratsuka]

藤黒與三郎:台湾博物学会報 4(19):9, 1914(大 3) ; Hiratsuka, N.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 6:213, 1960 ; Guo, L.:Fungi and Lichens of Shennongjia:112, 1989

すす点病 susuten-byo Cercospora leaf spot (裏褐円病, 煤点病)

Cercospora evodiae Sydow & P. Sydow

澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):669, 1919(大 8) ; 富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大研報 Sect II, 1:2, 1952

†すす病* susu-byo Black mildew

Asterina evodiicola W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 2(2):33, 1956

[備考] 台湾。アワダン (*Evodia pteleaefolia*)

††††

†Wallrothiella evodiae Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):70, 1959

[備考] 台湾。アワダン

ゲッキツ

Orange Jasmine

Murraya paniculata (L.) Jack

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

丹田誠之助・中島千晴:東農大農学集報 47(1):54, 2002 ; 本蔵洋一ら:日植病報 70(1):46, 2004 ; 本蔵洋一ら:植防研報 40:113, 2004

[備考] *Pseudoidium* 亜属。テレモルフ:*Erysiphe* sp.

黒球病 kurotama-byo

Hypocrella murrayae Kobayashi [*Aschersonia murrayae* Kobayashi]

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 14(3):279, 1973

††††萎凋性細菌病 ichosei-saikin-byo

Pseudomonas sp. [*Bacterium* sp.]

宇都敏夫・藤 福建:病虫雑 26(12):875, 1939(昭 14) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:379, 1949

[備考] 調査を要する

†疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora murrayae Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 32(2239):176, 1942(昭 17) ; 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):9, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†立枯病 tachigare-byo

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Cryptoderma lamaense* (Murrill) Imazeki, *Fomes lamaensis* (Murrill) Saccardo & Trotter]

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査報告 4):86, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。 *Phellinus noxius* (Corner) Cunningham との異同を検討する必要あり

††††

†*Meliola tenella* Patouillard

山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):158, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

††††

†*Triposporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto

Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):168, 1956

[備考] 台湾

コクサギ
(Orixa)
Orixa japonica Thunb.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe orixae (U. Braun & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera orixae* U. Braun & Tanda, *Microsphaera alni* auct. Jap. non (Wallroth) Salmon]

平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; Braun, U.:Mycotaxon 25(1):260, 1986 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

††††

Coslenchus japonicus Mizukubo & Minagawa

水久保隆之・皆川 望:日線虫研誌 14:35, 1986

[備考] 根圏土壌より検出

キハダ(黄蘗)
Amur cork-tree
Phellodendron amurense Rupr.
(広葉樹)

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

天野孝之:森林防疫 33(6):102, 1984

褐斑落葉病* kappan-rakuyo-byo Brown leaf blight

Cylindrocladium colhounii Peerally

渡辺恒雄ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; Watanabe, T. et al.:Plant Dis. 79:1161, 1995

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Coleosporium phellodendri Komarov

安田 篤:植物学各論隠花部:449, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):136, 1904(明 37)

[備考] チュウゴクキハダ・ヒロハノキハダ (*P. amurense* var. *sachalinensis*) にも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold

病原菌未詳

天野孝之ら:森林防疫 33(8):182, 1984

苗立枯病* nae-tachigare-byo Damping-off (立枯病)

Fusarium sp.

天野孝之ら:森林防疫 33(10):182, 1984

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:9, 1960

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

ホップノキ

(*Ptelea*)

Ptelea trifoliata L.

(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介・山口忠義:森林防疫 38:183, 1989 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

ミヤマシキミ(深山檜)

Skimmie

Skimmia japonica Thunb.

(広葉樹)

裏褐斑病 ura-kappan-byo Beloniella leaf spot

Beloniella skimmiae T. Miyabe & Togashi

澤田兼吉:林試研報 53:148, 1952 ; 宮部金吾・富樫浩吾:札幌博物学会報 9(1):71, 1924(大 13)

††††

Macrophoma sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):179, 1960

[備考] ツルシキミ (*Skimmia japonica* f. *repens*)

サルカケミカン
Wild orange tree
Toddalia asiatica (L.) Lam.
(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Didymopsores lemanensis (Doidge) Hiratsuka [*Skierka toddaliae* (Sydow & P. Sydow) Hiratsuka, *Ctenoderma toddaliae* Sydow & P. Sydow]

平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):21, 1941(昭 16) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):3, 1950 ; Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 1:14, 1954 ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust Flora of Japan:361, 1992

サンショウ(山椒)
Japanese pepper
Zanthoxylum piperitum (Linn.) DC.
(広葉樹)

カラスザンショウ(烏山椒) *Zanthoxylum ailanthoides* Sieb. & Zucc.

フユザンショウ(冬山椒) *Zanthoxylum armatum* DC. var. *subtrifoliatum* (Franch.) Kitamura

イヌザンショウ(犬山椒) *Zanthoxylum schinifolium* Sieb. & Zucc.

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

広間勝巳:植物防疫 40(12):581, 1986

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia sp.

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:92, 1977

[備考] カラスザンショウ

疫病 eki-byo Phytophthora disease

(1) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

北澤 健ら:日植病報 75(3):235, 2009

(2) *Phytophthora* sp.

阿部宏二ら:日植病報 41(1):98, 1975

角斑病 kakuhan-byo

Pseudocercospora fagariae (W. Yamamoto) Deighton [*Cercospora fagariae* W. Yamamoto]

小林享夫:森林防疫 23(9):180, 1974 ; 山本和太郎:札幌博物学会報 13:140, 1934(昭 9) ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992

[備考] カラスザンショウ

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

山本和太郎・三宅 昌:植物防疫 10(3):111, 1956 ; 原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類褐色こうやく病参照

褐斑病 kappan-byo

Septoria sp.

小林享夫ら:茨城病虫研報 22:17, 1983

[備考] カラスザンショウ

黒いぼ病 kuroibo-byo Dothidea canker

Stylodothis puccinioides (de Candolle) Arx & E. Müller [*Dothidea puccinioides* (de Candolle) Fries, *Dothidea sambuci* non (Persoon) Fries sensu Imazeki]

安田 篤:植物学雑 37(434):67, 1923(大 12) ; 今関六也:隠花植物図鑑(朝比奈泰彦編):283, 1939(昭 14) ; 勝本謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):574, 1992

さび病 sabi-byo (腫銹病, 銹病)

(1) *Aecidium zanthoxyli-schinifolii* Dietel

安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:7, 1905(明 38)

[備考] ヒレザンショウにも発生

(2) *Coleosporium zanthoxyli* Dietel & P. Sydow [*Uredo asperata* Berkeley & M.A. Curtis]

藤黒與三郎:台湾博物学会報 4(19):9, 1914(大 3) ; 西田藤次:植物学雑 16(190):271, 1902(明 35) ; 陳野好之:日林誌 57(11):369, 1975

[備考] ヒレザンショウ・ヤマアサクラザンショウ (*Z. piperitum* f. *brevispinosum*)・トゲザンショウ・コカラスザンショウ (*Z. fauriei*)・アコウザンショウ・シマイヌザンショウ・テリハザンショウにも発生

(3) *Uredo fagariae* Sydow & P. Sydow

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):392, 1919(大 8) ; 藤黒與三郎・澤田兼吉:台湾博物学会報 4(18):236, 1914(大 3) ; Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:15, 1955

[備考] テリハザンショウ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] イヌザンショウ

胴枯病 dogare-byo

Nectria elegans W. Yamamoto & Maeda [*Hypomyces solani* Reinke & Berthold f. *xanthoxyli* Y. Sakurai & Matuo]

山本和太郎・前田巳之助:植物防疫 12(2):65, 1958 ; 山本和太郎ら:兵庫農大研報農生編 3(1):15, 1957

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

原 攝祐:茶樹の病害:149, 1932(昭 7)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類灰色こうやく病参照

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] アコウザンショウ。接種試験未了

†裏角斑病 ura-kakuhan-byo

Ramularia fragrans Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):72, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。カラスザンショウ (*Z. ailanthoides*)

†黒やに病 kuroyani-byo (黒脂病)

Marchalia fagarae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):2, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。テリハザンシヨウ (*Fagara nitida*)

†すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Asterina zanthoxyli* W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):28, 1957

[備考] 台湾。ツルサンシヨウ (*F. cuspidata*)・トゲサンシヨウ (*Zanthoxylum setosum*)

(2) *Calothyrium fagarae* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):46, 1959

[備考] 台湾。テリハザンシヨウ

(3) *Limacinia ovispora* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):40, 1959

[備考] 台湾。テリハザンシヨウ

(4) *Meliola fagaricola* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):419, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。テリハザンシヨウ

†円星病 maruhoshi-byo

Cercospora fagaricola Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):105, 1943(昭 18)

[備考] 台湾。テリハザンシヨウ

アワブキ科 Sabiaceae

アワブキ(泡吹)

(*Meliosma*)

Meliosma myriantha Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe meliosmae (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera meliosmae* Tanda & Y. Nomura, *Microsphaera* sp.]

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973 ; 高松 進ら:日菌報 19(1):69, 1978 ; 丹田誠之助・野村幸彦:日菌報 24(3):307, 1983 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Aecidium hornotinum* Cummins

Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:14, 1955

[備考] リュウキュウアワブキ (*M. oldhami*)

(2) *Aecidium meliosmae-pungentis* Hennings & Shirai

安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明 37)

[備考] ヤマビワ (*M. rigida*)。柿島・佐藤 (25 回日菌講:61, 1981) は本病原菌が *Phakopsora meliosmae* Kusano のさび胞子世代であることを口頭発表したが、論文としての発表はない

(3) *Phakopsora meliosmae-myrianthae* (Hennings & Shirai) Y. Ono [*Phakopsora euvitis* Y. Ono, *Aecidium meliosmae-myrianthae* Hennings & Shirai]

工藤 晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978 ; Ono, Y.:Mycologia 92:154, 2000 ; Ono, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012

[備考] *Vitis* 属の宿主はブドウさび病の項を参照

(4) *Phakopsora montana* Y. Ono & Chatasiri

Ono, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012

[備考] ミヤマハハソ (*M. tenuis*)。 *Vitis* 属の宿主はブドウさび病の項を参照

(5) *Physopella ampelopsidis* (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [*Phakopsora ampelopsidis* Dietel & P. Sydow, *Aecidium meliosmae-myrianthae* Hennings & Shirai, *Aecidium meliosmae* Dietel]

安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明 37) ; 工藤 晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978

[備考] ミヤマハハソ (*M. tenuis*) にも発生

(6) *Physopella meliosmae* (Kusano) Cummins & Ramachar [*Phakopsora meliosmae* Kusano, *Aecidium meliosmae-pungentis* Hennings & Shirai]

安田 篤:植物学各論隠花部:427, 1911(明 44) ; Kusano, S.:Bot. Mag. 18(214):148, 1904(明 37) ; Kakishima, M. *et al.*:Trans. Br. Mycol. Soc. 80:77, 1983 ; Hiratsuka, N. *et al.*:Rust flora of Japan:337, 1992

[備考] リュウキュウアワブキ・ミヤマハハソ・ヤマビワ (*M. rigida*)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] ミヤマハハソ (*M. tenuis*) にも発生

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:6, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

[備考] ヤマビワにも発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconea jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconea jaejuense* Choi & Geraert] トゲワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Criconea longulum* (Gunhold) Raski & Luc [*Nothocriconea longulum* Gunhold] トゲワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

†環紋葉枯病* kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (白葉枯病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

伊藤武夫:森林防疫ニュース 10(9):178, 1961

[備考] 台湾。ヤマビワ (*Meliosma rigida*)。病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

†すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

Asterina meliosmae W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 2(2):34, 1956

[備考] 台湾。病名未提案。ヤンバルアワブキ (*Meliosma rhoifolia*)

††††

Mycosphaerella meliosmae-myrianthae Hara

原 攝祐:病虫雑 5(8):616, 1918(大 7)

ヤマビワ

Stiff-leaved meliosma

Meliosma rigida Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

すす病* susu-byo Sooty mold, Black mildew

(1) *Asterostomella tosaensis* I. Hino & Katumoto [*Asterostomella meliosmae* I. Hino & Katumoto non Batista]

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 36(11):379, 1961 ; Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 38(1):27, 1963

(2) *Meliola hiratsukana* Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 32(1):38, 1991

ヤナギ科 Salicaceae

ポプラ類

Poplar

Populus spp.

(広葉樹)

ドロノキ類 Balsam poplar

クロヤマナラシ類 Black poplar

ヤマナラシ類 Aspen

ギンドロ類 White poplar

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

原 攝祐:実験樹木病害篇:203, 1927(昭2); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

[備考] イタリアポプラ (*P. nigra* var. *italica*) に発生

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病)

Uncinula adunca (Wallroth) Léveillé var. *mandshurica* (Miura) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [*Uncinula salicis* auct. Jap. non Winter, *Uncinula mandshurica* Miura]

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:127, 1928(昭3); 伊藤一雄:日本におけるポプラの寄生性病害 :2, 1959; 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明30); Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):356, 1937 (昭12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988

[備考] ドロノキ・ヤマナラシ。三浦 (1928) は中国東北部の *U. mandshurica* によるテリハドロうどんこ病を報告した

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:140, 1928(昭3)

(2) *Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma

Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):174, 1930(昭5)

[備考] いずれも中国東北部。テリハドロ

枝枯炭疽病 edagare-tanso-byo Glomerella shoot blight

Colletotrichum fioriniae (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan

千葉 修・小林享夫:日林誌 41(5):189, 1959; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

[備考] アメリカクロヤマナラシ。千葉・小林(1959)は, 本病原を *Glomerella cingulata*(異名 *Myxosporium rimosum*)としたが, Sato *et al.* (2013) は, *C. fioriniae* と再同定した

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

伊藤一雄:林業技術 183:24, 1957

褐色斑紋病 kasshoku-hammon-byo

Cryptosporium populi Bonorden

新島善直:森林保護学(下):474, 1925(大 14)

褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot

Mycosphaerella togashiana Kaz. Ito & Tak. Kobayashi [*Pseudocercospora salicina* (Ellis & Everhart) Deighton, *Cercospora populina* Ellis & Everhart]

原 攝祐:静岡県農会報 34:49, 1930(昭 5) ; Ito, K. & Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 59:1, 1953 ; 勝本謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら):598, 1992

かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet, *Polystictus versicolor* Fries, *Polystictus hirsutulus* Cooke, *Polystictus versicolor* Fries f. *azuleus* Yasuda, *Polystictus versicolor* (Linnaeus) Fries var. *fuscatus* Shirai, *Polystictus versicolor* (Linnaeus) Fries var. *nigricans* Hennings] カワラタケ(クロクモタケ)

青島清雄:植物防疫 29(8):327, 1975 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores 2:761, 1987

がんしゅ病* ganshu-byo Nectria canker (ネクトリア胴枯病)

Nectria galligena Bresàdola [*Nectria ditissima* Tulasne & C. Tulasne]

伊藤一雄:林業技術 183:32, 1957

黄色紋羽病 kiiro-mompa-byo

Sclerotium sp.

小林享夫:林業と薬剤 54:3, 1975

ギグナルディア胴枯病 *Guignardia-dogare-byo* Guignardia canker (マクロフオマ胴枯病)

Guignardia sp. [*Macrophoma* sp.]

伊藤一雄:ポプラ 11:3, 1961

黒粒枝枯病 kurosubu-edagare-byo

Melanconium cryptostromoides Tak. Kobayashi

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:90, 1977 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(1):5, 1968

黒褐色すす病* kokukasshoku-susu-byo Sooty mold

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto [*Aithaloderma phyllostachydis* Hara, *Chaetothyrium spinigerum* (Höhnelt) W. Yamamoto, *Hypocapnodium citri* Sawada, *Hypocapnodium mikanum* Hara, *Hypocapnodium quercifolium* Hara, *Meliola morifolia* Y. Endo, *Meliola stomata* Hara, *Meliolina stomata* (Hara) Hara]

山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot (材白腐病)

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard [*Fomes applanatus* (Persoon) Gillet, *Elfyngia applanata* (Persoon) P. Karsten, *Fomes australis* Cooke, *Polyporus leucophaeus* Montagne] コフキタケ(キウラサルノコシカケ)

出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明 44) ; 亀井専次:日林北支講 7:87, 1958

小褐斑病 sho-kappan-byo

Phyllosticta alcides Saccardo

千葉 修・小林享夫:日林誌 41(5):188, 1959

白絹病 shiraku-byo Southern sclerotium blight

Corticium rolfsii Curzi

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:64, 1977

[備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤一雄:林業技術 181:34, 1957

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Alternaria alternata* (Fries) Keissler [*Alternaria tenuis* Nees]

山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1139, 1978

(2) *Capnodium salicinum* Montagne [*Apiosporium salicinum* (Persoon) Kunze]

白井光太郎:植物病理学(下):176, 1894(明 27) ; 出田 新:日本植物病理学(上):225, 1906(明 42)

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

(3) *Cladosporium cladosporioides* (Fresenius) G.A. de Vries

山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961

(4) *Cladosporium herbarum* (Persoon) Link

山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961

(5) *Curvularia lunata* (Wakker) Boedijn

山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961

(6) *Neocapnodium tanakae* (Shirai & Hara) W. Yamamoto [*Capnodium tanakae* Shirai & Hara, *Capnodaria tanakae* (Shirai & Hara) Sawada, *Antennella citri* Sawada]

山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961

セプトチス葉枯病 *Septotis*-hagare-byo Leaf blotch (汚斑病)

Septotinia populiperda Waterman & E.K. Cash ex B. Sutton [*Septotis populiperda* (Moesz & Smarods) B. Sutton]

伊藤一雄:森林防疫ニュース 7(9):180, 1958 ; 千葉 修・小林享夫:日植病報 24(1):50, 1959

そうか病 soka-byo Spot anthracnose (とうそう病, 黒痘病, 瘡痂病)

Sphaceloma populi (Saccardo) Jenkins

千葉 修・小林享夫:日林誌 39(2):75, 1957 ; 伊藤一雄:林業技術 81:32, 1957

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (苗腐敗病, 腰折病)

Pythium debaryanum R. Hesse, *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn, *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):138, 1959

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten, *Agaricus melleus* Vahl, *Armillaria mellea* (Vahl) P. Kummer] ナラタケ

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:260, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の狭義の種については未検討

ネオファブラエア胴枯病 *Neofabraea*-dogare-byo Neofabraea canker (ケナンギウム胴枯病)

Pezicula populi (G.E. Thompson) Seaver [*Neofabraea populi* G.E. Thompson, *Cenangium* sp., *Tuberculis* sp.]

伊藤一雄:林業技術 183:22, 1957 ; 伊藤一雄ら:林試研報 225:31, 1969 ; 大谷吉雄:横須賀市博報(自然)37:64, 1989

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (膏薬病, 樹癩)
Septobasidium bogoriense Patouillard [*Septobasidium pedicellatum* auct. non Patouillard]
伊藤一雄:林業技術 183:24, 1957

葉さび病 hasabi-byo Leaf rust (銹病, 葉渋病, 葉銹病)

(1) *Melampsora abietis-populi* S. Imai

今井三子:日植病報 12(1):68, 1942(昭 17); 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:48, 1969

[備考] クロヤマナラシ類

(2) *Melampsora laricis-populina* Klebahn [*Melampsora balsamiferae* Thümen]

出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明 34); 千葉 修・陳野好之:日林誌 42(11):406, 1960; 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969

[備考] ドロノキ類, クロヤマナラシ

(3) *Melampsora laricis* R. Hartig

平塚直秀:札幌農林学会報 21(94):61, 1929(昭 4); 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:51, 1969

[備考] ヤマナラシ類

(4) *Melampsora magnusiana* G.H. Wagner ex Klebahn

白井光太郎:植物病理学(下):118, 1894(明 27); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(2):115, 1938(昭 13)

[備考] ヤマナラシ類

(5) *Melampsora medusae* Thümen

Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 15(10):622, 1939(昭 14)

[備考] ドロノキ

葉炭疽病 ha-tanso-byo Leaf anthracnose

Colletotrichum sp.

Kobayashi, T. & Chiba, O.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 130:12, 1961

葉ぶくれ病 habukure-byo Yellow leaf blister (腫葉病)

Taphrina populina Fries [*Taphrina aurea* (Persoon) Fries]

伊藤一雄:林業技術 181:33, 1957; 白井光太郎:植物病理学(下):146, 1894(明 27)

フォモプシス胴枯病 *Phomopsis-dogare-byo* Phomopsis canker (フォモプシス枝枯病)

(1) *Diaporthe medusae* Nitschke [*Phomopsis* sp.]

伊藤一雄:林業技術 181:32, 1957; 千葉 修・小林享夫:日林誌 41(6):246, 1959

(2) *Diaporthe santonensis* Saccardo [*Phomopsis macrospora* Kobayashi & Chiba]

小林享夫:山林 1093:30, 1975; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 130:29, 1961; Kobayashi, Y.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:79, 1970

ふくろ実病 fukuromi-byo Fruit pocket (膨果病, 実腫病, 黄泉病)

Taphrina johansonii Sadebeck [*Taphrina rhizophora* Johanson]

伊藤一雄:樹病学概論:24, 1960; 白井光太郎:植物病理学(下)(改訂版):164, 1900(明 33)

腐らん病 furan-byo Cytospora canker (胴枯病, 粗皮病)

(1) *Valsa ceratosperma* (Tode) Maire [*Valsa ceratophora* Tulasne & C. Tulasne, *Valsa mali* Miyabe & G. Yamada ex Ideta, *Valsa theae* Hara, *Cytospora rosarum* Greville, *Cytospora mandshurica* Miura]

小口健夫:日林誌 52(10):300, 1970

(2) *Valsa germanica* Nitschke

小林享夫:山林 1093:32, 1975; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:115, 1970

(3) *Valsa salicina* (Persoon) Fries

小林享夫:山林 1093:32, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:117, 1970

(4) *Valsa sordida* Nitschke [*Cytospora chrysosperma* (Persoon) Fries]

伊藤一雄:林業技術 182:32, 1957 ; 富樫浩吾:札幌農林学会報 15(64):29, 1923(大 12) ; 逸見武雄:教育農芸 11(11):1258, 1942(昭 17)

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease, *Pestalotia* shoot blight, *Pestalotia* leaf spot (ペスタロチア枝枯病, 黒列病, 枝枯病, 輪紋病, ペスタロチア斑紋病)

Pestalotiopsis populi-nigrae (Sawada & Kaz. Ito) M. Morelet [*Pestalotia populi-nigrae* Sawada & Kaz. Ito]

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 45:135, 1950 ; 千葉 修・小林享夫:日林誌 41(4):146, 1959 ; 澤田兼吉:林試研報 105:78, 1958 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992

マルゾニナ落葉病 *Marssonina*-rakuyo-byo *Marssonina* leaf blight

Marssonina brunnea (Ellis & Everhart) Magnus [*Marssonina populicola* Miura]

伊藤一雄:ポプラ 2:11, 1959 ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:480, 1928(昭 3)

幹心腐病* *miki-shingusare*-byo *Stem heart rot*

(1) *Fomes fomentarius* (Linnaeus) J. Kickx f. [*Polyporus fomentarius* (Linnaeus) Fries] ツリガネタケ(ホクチタケ腐朽病)

亀井専次:日林北支講 7:86, 1958

(2) *Laetiporus sulphureus* (Bulliard) Murrill [*Polyporus sulphureus* (Bulliard) Fries, *Polyporus candicinus* J. Schröter] マスタケ

白井光太郎:植物病理学(下)(改訂版):155, 1900(明 33)

(3) *Phellinus igniarius* (Linnaeus) Quélet [*Polyporus igniarius* (Linnaeus) Fries, *Fomes igniarius* (Linnaeus) Kickx] キコブタケ

新島善直:日本森林保護学(下):496, 1912(明 45) ; 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:25, 1952

幹辺材腐朽病* *miki-henzai-fukyu*-byo *Stem sap rot*

(1) *Stereum hirsutum* (Willdenow) Gray キウロコタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:438, 1933(昭 8)

(2) *Trametes gibbosa* (Persoon) Fries [*Daedalea gibbosa* Persoon, *Lenzites gibbosa* (Persoon) Hemmi, *Lenzites earlei* Murrill] オオチリメンタケ

逸見武雄・池屋重吉:日植病報 2(6):563, 1933(昭 8)

紫紋羽病 *murasaki-mompa*-byo *Violet root rot*

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka [*Stypinella mompa* (Tanaka) Lindau, *Septobasidium mompa* (Tanaka) Raciborski]

出田 新:日本植物病理学(下):553, 1911(明 44) ; 出口 新:実用植物病理学:205, 1901(明 34)

輪斑病 *rimpan*-byo *Phyllosticta* leaf spot

Phyllosticta populorum Saccardo & Roumeguère

千葉 修・小林享夫:日林誌 39(2):77, 1957

レウコストマ胴枯病 *Leucostoma*-dogare-byo *Leucostoma* canker

Leucostoma niveum (Persoon) Höhnelt [*Valsa nivea* (Persoon) Fries, *Leucocytospora nivea* (Hoffmann) Tak. Kobayashi, *Cytospora nivea* (Hoffmann) Saccardo]

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):296, 1959 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 226:127, 1970

モザイク病 *mosaic*-byo *Mosaic*

ウイルス (未同定)

伊藤一雄:樹病学大系 1:225, 1971 ; 伊藤一雄:図説樹病新講:4, 1962

††がんしゅ細菌病 ganshu-saikin-byo (がんしゅ性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *syringae* van Hall 1902 [*Bacterium rimaefaciens* (Koning) Isiyama & Muko]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌 388, 1941(昭 16) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:381, 1949 ; 伊藤一雄:樹病学大系 1:239, 1971 ; 伊藤一雄:林業技術 181:32, 1957

[備考] 国内未発生。伊藤が病原としている *Pseudomonas syringae* f. sp. *populea* Sabet の学名は 1980 年 1 月 1 日をもって失効したが, pv. *syringae* との関係は不明である

††菌核病 kinkaku-byo Sclerotial disease, Ink spot disease (インク斑点病)

Ciborinia whetzelii (Seaver) Seaver, *Ciborinia seaveri* J.W. Groves & Bowerman [*Ciborinia* (*Sclerotinia*) *bifrons* Ellis & Everhart, *Ciborinia* (*Sclerotinia*) *bifrons* Ellis & Everhart]

伊藤一雄:林業技術 180:26, 1957 ; 大谷吉雄:横須賀市博報(自然) 37:63, 1989

[備考] 国内未発生

†黒星病 kurohoshi-byo

Venturia tremulae Aderhold [*Fusicladium tremulae* A.B. Frank]

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:172, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部。モニリヤヤマナラシ (*P. monilifera*)

††白星病 shirahoshi-byo Septoria leaf spot (セプトリア斑点病)

(1) *Mycosphaerella populicola* C.H. Thompson [*Septoria populicola* Peck]

(2) *Mycosphaerella populorum* G.E. Thompson [*Septoria musiva* Peck]

伊藤一雄:林業技術 181:32, 1957

[備考] 国内未発生

††すす色胴枯病 susuiro-dogare-byo Sooty bark canker

Cenangium singulare (Rehm) R.W. Davidson & Cash

伊藤一雄:林業技術 183:22, 1957

[備考] 国内未発生

††セプトリア胴枯病 Septoria-dogare-byo Septoria canker

Mycosphaerella populorum G.E. Thompson [*Septoria musiva* Peck]

伊藤一雄:林業技術 182:35, 1957

[備考] 国内未発生

†††炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑葉病)

††*Gloeosporium tremulae* (Libert) Passerini

新島善直:森林保護学(下):476, 1925(大 14)

[備考] 国内発生未確認。調査を要する

††ドシキザ胴枯病 Dothichiza-dogare-byo Dothichiza canker (潰瘍病, 癌腫病)

Cryptodiaporthe populea (Saccardo) Butin [*Dothichiza populea* Saccardo & Briard]

伊藤一雄:林業技術 182:33, 1957 ; 吉田末彦:病虫雑 4(6):444, 1917(大 6)

†灰色斑点病 haiiro-hanten-byo

Mycosphaerella mandshurica Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:161, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部。テリハドロ (*P. laurifolia*)

†灰斑病 haihan-byo

Coryneum populinum Bresàdola

小林享夫:森林防疫 36(11):207, 1987

[備考] 中国。幼梢に発生するのを茎がんしゅ病 (腫茎潰瘍病) という

††春落葉病 haru-rakuyo-byo Spring defoliation

Venturia populina (Vuillemin) Fabricius [*Pollaccia elegans* Servazzi]

伊藤一雄:林業技術 180:22, 1957

[備考] 国内未発生

††ヒボキシロン胴枯病 *Hypoxyton-dogare-byo* Hypoxyton canker

Hypoxyton mammatum (Wahlenberg) Miller [*Hypoxyton pruinaum* (Klotzsch) Cooke]

伊藤一雄:林業技術 182:35, 1957

[備考] 国内未発生

†フィロスチクタ斑点病 *Phyllosticta-hanten-byo*

Phyllosticta populea Saccardo

伊藤一雄:林業技術 181:32, 1959 ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:409, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部

††リノスポラ葉枯病 *Linospora-hagare-byo* Linospora leaf blight

Linospora tetraspora G.E. Thompson

伊藤一雄:林業技術 180:26, 1957

[備考] 国内未発生

コリヤナギ(杞柳)

Osier

Salix koriyanagi Kimura

(特用作物)

黒枯病 kurogare-byo Bacterial twig blight (黒枯細菌病)

病原細菌種名未定

原 攝祐:岐阜県農会雑 20(4):12, 1908(明 41) ; 堀 正太郎:農商務省農試報 38:69, 1911(明 44)

[備考] 病原細菌名 *Erwinia harai* (Hori & Miyake) Okabe [*Bacillus harai* Hori & Miyake] は 1980 年 1 月 1 日の国際細菌命名規約の適用により失効した

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Uncinula adunca (Wallroth) Léveillé var. *mandshurica* (Miura) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [*Uncinula salicis* (de Candolle) G. Winter sensu Homma, *Uncinula mandshurica* Miura]

Hennings, P.:Engl. Bot. Jahrb. 29:149, 1901(明 34) ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):356, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988

枝枯病 edagare-byo (胴枯病, 黒斑病, マルソニア病)

Marssonina kriegeana Bresàdola

福井武治:病虫雑 5(8):628, 1918(大 7) ; 原 攝祐:実験作物病理学:358, 1930(昭 5)

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Capnodium salicinum Montagne [*Apiosporium salicinum* (Persoon) Kunze]

白井光太郎:植物病理学(下):176, 1894(明 27) ; 出田 新:日本植物病理学(上):225, 1909(明 42)

[備考] 病原については再検討を要する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella salicina (Hara) Fukushi & W. Yamamoto [*Glomerella miyabaena* (Fukushi) Arx, *Physalospora miyabeana* Fukushi, *Physalospora salicina* Hara, *Guignardia salicina* Hara]

原 攝祐:病虫雑 5(6):458, 1918(大 7) ; 福士貞吉:日植病報 1(4):1, 1921(大 10) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 5(1):7, 1961

葉さび病 hasabi-byo Leaf rust (銹病)

(1) *Melampsora dimorphospora* S. Kaneko & Hiratsuka, f.

平塚直秀・金子 繁:菌蕈研報 20:6, 1982

(2) *Melampsora humilis* Dietel [*Melampsora ribesii-purpureae* sensu Dietel non Klebahn]

安田 篤:植物学各論隠花部 441, 1911(明 44) ; 平塚直秀:鳥取高農校友会誌 11:97, 1932(昭 7) ; 内藤 喬:鹿児島高農博物同志会報 3(11):25, 1933(昭 8)

††††

†*Marssonina salicis-purpureae* Jaap

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :178, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Pestalotia salicis-purpureae* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :182, 1959

[備考] 台湾

ヤナギ類(柳)

Willow

Salix spp. *Chosenia* spp.

(広葉樹)

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

原 攝祐:実験樹木病害篇:203, 1927(昭2) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

水紋病 suimon-byo Bacterial watermark disease

Brenneria salicis (Day 1924) Hauben, Moore, Vauterin, Steenackers, Mergaert, Verdonck & Swings 1999 [*Bacterium salicis* Day, *Erwinia salicis* (Day 1924) Chester 1939]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:269, 1933(昭 8) ; 坂本泰明ら:日植病報 64(4):375, 1998

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病)

(1) *Erysiphe adunca* (Wallroth) Fries var. *adunca* [*Uncinula adunca* (Wallroth) Léveillé var. *adunca*, *Uncinula longispora* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *minor* R.Y. Zheng & G.Q. Chen]

白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:191, 1900(明 33) ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):356,

1937(昭 12) ; Braun, U.:Mycotaxon 15:145, 1982 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):246, 1988 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):252, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:64, 2012

[備考] バッコヤナギ・ナガバヤナギ・ネコヤナギ (*S. gracilistyla*)・ヤマヤナギ・オノエヤナギ・カワヤナギ・キツネヤナギ・オオネコヤナギ・キヌヤナギ・ダイセンヤナギ・エゾノカワヤナギに発生

(2) *Erysiphe mandshurica* (Miura) U. Braun [*Uncinula adunca* (Wallroth) Lévillé var. *mandshurica* (Miura) R.Y. Zheng & G.Q. Chen, *Uncinula salicis* (de Candolle) G. Winter sensu Homma, *Uncinula mandshurica* Miura]

Hennings, P.:Engl. Bot. Jahrb. 29:149, 1901(明 34) ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):356, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012

[備考] イヌコリヤナギ・ネコヤナギ・エゾノバッコヤナギ・コリヤナギ・エゾヤナギ・エゾノキヌヤナギに発生

†うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe adunca (Wallroth) Fries var. *salicis-gracilistylae* [*Uncinula salicis-gracilistylae* Homma]

Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):173, 1930(昭 5) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:64, 2012

[備考] 中国東北部。ネコヤナギ (*S. gracilistyla*) に発生

枝枯病 edagare-byo (胴枯病, 黒斑病, マルソニア病)

Marssonina kriegiana (Bresàdola) Magnus

福井武治:病虫雑 5(8):628, 1918(大 7) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:237, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:358, 1930(昭 5)

[備考] 病原菌を *Marssonina salicis-purpureae* Jaap とする意見がある (外国文献)

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (こうやく病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

山本和太郎・三宅 昌:植物防疫 10(3):110, 1956 ; 原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類褐色こうやく病参照

†褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium acaciae Sawada

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):410, 1919(大 9) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(19):217, 1914(大 3)

[備考] 台湾。タイワンヤナギ

かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ

安田 篤:植物学雑 22(261):373, 1908(明 41) ; 今関六也:東京科博研報 6:81, 1943(昭 13)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類かわらたけ病参照

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

[備考] イヌコリヤナギ

がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker (癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola

原 攝祐:実験樹木病害篇:185, 1927(昭 2)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類がんしゅ病参照

黒紋病 kokumon-byo Tar-spot (皸裂黒点病, 黒脂病)

Rhytisma salicinum (Persoon) Fries

白井光太郎:植物病理学, 改訂版(下):177, 1900(明 33) ; 白井光太郎:植物病理学(下):160, 1894(明 27)

[備考] ミヤマヤナギ・キツネヤナギ・バッコヤナギ・カワヤナギ (*S. gilgiana*)・イヌコリヤナギ・ナガヤナギ・チシマヤナギ

先枯病 sakigare-byo

Gibberella baccata (Wallroth) Saccardo [*Gibberella lateritium* Nees ex Link]

原 攝祐:実験樹木病害篇:236, 1927(昭 2)

[備考] キツネヤナギ

小角斑病 sho-kakuhan-byo

Septoria vulpinae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:69, 1958

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] バッコヤナギ・アカメヤナギ

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne [*Apiosporium salicinum* (Persoon) Kunze]

白井光太郎:植物病理学(下):176, 1894(明 27) ; 出田 新:日本植物病理学(上):225, 1909(明 42)

[備考] 病原については再検討を要する。病原菌の異名はポプラ類すす病参照

そうか病 soka-byo Spot anthracnose (とうそう病, 瘡痂病)

Sphaceloma murrayae Jenkins & Grodzinsky [*Gloeosporium capreae* Murray]

伊藤一雄:樹病学概論:101, 1960

炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Willow blight, Black canker

Glomerella salicina (Hara) Fukushi & W. Yamamoto [*Guignardia salicina* Hara, *Physalospora miyabeana* Fukushi, *Physalospora salicina* Hara, *Glomerella miyabaena* (Fukushi) Arx]

原 攝祐:病虫雑 5(6):458, 1918(大 7) ; 福士貞吉:日植病報 1(4):1, 1921(大 10) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 5(1):7, 1961

葉さび病 hasabi-byo Leaf rust (銹病, 葉銹病)

(1) *Caeoma salicis-miyabeana* S. Kaneko & Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 20:28, 1982

[備考] エゾノカワヤナギ (*S. miyabeana*)

(2) *Melampsora arctica* Rostrup

Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 13(8):593, 1937(昭 12) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952

[備考] チシマヤナギ・ジンヨウチシマヤナギ・マルバヤナギ(*S. yezoalpina*)・ミヤマヤナギ (*S. reinii*)

(3) *Melampsora chelidonii-pierotii* Tak. Matsumoto

松本 巍:植物学雑 40(470):46, 1926 (大 15) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952 ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):221, 1981 ; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012

[備考] オオタチヤナギ・タチヤナギ (*S. subfragilis*)・アカメヤナギ (*S. chaenomeloides*)・オオシロヤナギ (*S. eriocarpa*)・マルバヤナギ・ジャヤナギ (*S. eiocarpa*)。本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じる

(4) *Melampsora coleosporioides* Dietel

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明 43) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明 37) ; Okane,

I. *et al.*:Mycoscience 55 : 431,2014

[備考] シダレヤナギ (*S. babylonica*)・コウシンヤナギ・タチヤナギ・ウンリュウヤナギ (*S. matsudana* f. *tortuosa*)。Okane *et al.* (2014)によれば、本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じるが、シダレヤナギ上で越冬もできる

(5) *Melampsora dimorphospora* S. Kaneko & Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 20:6, 1982

[備考] コリヤナギ (*S. koriyanagi*)

(6) *Melampsora epiphylla* Dietel

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明 43); 草野俊助:植物学雑誌 16(187):204, 1902(明 35); Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):219, 1981

[備考] オノエヤナギ (*S. sachalinensis*)

(7) *Melampsora humilis* Dietel [*Melampsora ribesii-purpureae* sensu Dietel non Klebahn]

松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明 37); 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明 43); 安田篤:植物学各論隠花部:441, 1911(明 44); 平塚直秀:鳥取高農校友会誌 11:97, 1932(昭 7); 内藤 喬:鹿児島高農博物同志会報 3(11):25, 1933(昭 8)

[備考] コリヤナギ・イヌコリヤナギ (*S. integra*)・ホソバコリヤナギ・サルコヤナギ

(8) *Melampsora kamikotica* S. Kaneko & Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 20:3, 1982

[備考] ケシヨウヤナギ (*Chosenia arbutifolia*)

(9) *Melampsora kiusiana* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 57(680):281, 1943(昭 18)

[備考] ヒメヤナギ

(10) *Melampsora laricis-caprearum* Klebahn [*Melampsora farinosa* (Persoon) J. Schröter, *Melampsora hartigii* Thümen]

澤田兼吉:林試研報 57:21, 1952; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明 37)

[備考] バッコヤナギ (*S. bakko*)・コウライバッコヤナギ・サルヤナギ

(11) *Melampsora laricis-epitea* Klebahn [*Melampsora larici-miyabeana* Miyabe & Matsumoto, *Melampsora larici-opaca* Miyabe & Matsumoto, *Melampsora laricis-daphnoidis* Klebahn]

安田 篤:植物学各論隠花部:424, 1911(明 44); 松本 巍:札幌博物学会報 6(1):32, 1915(大 4)

[備考] エゾヤナギ (*S. rorida*)・エゾカワヤナギ(*S. miyabeana*)・サルヤナギ・キヌヤナギ (*S. kinuyanagi*)・ナガバヤナギ

(12) *Melampsora microsora* Dietel

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明 43); 松村任三:帝国植物名鑑(上):153, 1904 (明 37)

[備考] タチヤナギ

(13) *Melampsora salicis-warburgii* Sawada

Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 20:8, 1982

[備考] ジャヤナギ (*S. pierotii*)・タチヤナギ

(14) *Melampsora yezoensis* Miyabe & T. Matsumoto

松本 巍:札幌博物学会報 6(1):29, 1915(大 4); Kondo, S. *et al.*:Mycoscience 38:163, 1997; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012

[備考] シロヤナギ (*S. jessoensis*)・オオシロヤナギ (*S. eriocarpa*)・オオタチヤナギ (*S. pierotii*)・コゴメヤナギ (*S. serissaefolia*)。人工接種でジャヤナギ, オオタチヤナギ, ヨシノヤナギ (*S. yoshinoi*), ロツカクヤナギ (*S. babylonica* f. *rokkaku*)にも寄生性を有す。本病菌の精子・さび胞子世代はヤマエンゴサク・ミヤマキケマン・クサノオウ・ムラサキケマン・エゾノエンゴサクおよびナガミツルキケマンに生じる。南部信方 (病虫雑誌 8(8):400, 1921) は *Melampsora albertensis* Arthur によるさび病を紹介したが国内未発生

花腐病* hanagusare-byo (花序腐病)

Fusamen lapponum (Lind) Arx [*Gloeosporium lapponum* Lind]

澤田兼吉:林試研報 105:72, 1958

[備考] キツネヤナギ (*S. vulpina*)

斑点病 hanten-byo Septoria leaf spot (白星病)

Septoria capraeae Westendorp

南部信方:病虫雑 7(6):334, 1920(大 9)

斑紋病* hammon-byo (白星病, 斑点病)

Mycosphaerella maculiformis (Persoon) J. Schröter [*Phyllosticta maculiformis* Saccardo]

白井光太郎:最近植物病理学:413, 1903(明 36)

斑葉病 han'yo-byo

Ramularia nambuana Hennings

安田 篤:植物学各論隠花部:561, 1911(明 44); 南部信方:植物学雑 20(237):252, 1906(明 39)

[備考] シバヤナギ (*S. japonica*)・タチヤナギ(*S. subfragilis*)。さび病菌夏胞子に寄生するとの説あり。検討を要する

腐らん病* furan-byo Cytospora canker

(1) *Valsa ambiens* (Persoon) Fries [*Valsa japonica* Miyabe & Hemmi, *Valsa moricola* Y. Endo]

富樫浩吾・平塚直秀:札幌農林学会報 16(68):75, 1924(大 13)

(2) *Valsa salicina* (Persoon) Fries [*Cytospora fugax* Bulliard, *Valsa sordida* Nitschke]

逸見武雄:教育農芸 11(11):1258, 1942(昭 17); 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):523, 1992

[備考] 病原菌の異名はボプラ類腐らん病参照

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis gracilis* (Klebahn) Steyaert [*Pestalotia gracilis* Klebahn]

日野隆之:採集と飼育 26(10):294, 1964; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

[備考] カワヤナギ

(2) *Pestalotia salicis-vulpinse* Miura

伊藤一雄:樹病学大系 3:174, 1974; 三浦密成:秋田農試報 8:52, 1957

[備考] キツネヤナギ

†**ペスタロチア病** Pestalotia-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotia salicis* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):69, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。タカサゴアカメヤナギ

(2) *Pestalotia salicis-purpureae* Sawada

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):182, 1959

[備考] 台湾。コリヤナギ (*S. koriyanagi*)

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Laetiporus sulphureus (Bulliard) Murrill マスタケ

出田 新:実用植物病理学:207, 1901(明 34); 今関六也:東京科博研報 6:88, 1943(昭 18)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

Trametes gibbosa (Persoon) Fries オオチリメンタケ

逸見武雄・池屋重吉:日植病報 2(6):563, 1933(昭 8); 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録(2版):659, 1917(大 6)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹辺材腐朽病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

原 攝祐:果樹病害論:61, 1916(大 5)

[備考] キツネヤナギ・バッコヤナギ。病菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus sp. ネグサレセンチュウの 1 種

橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961

帯化病 taika-byo Fasciation

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 11(5):118, 1962

†裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, うどんこ病)

Ovulariopsis salicis-warburgii Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾産菌類調査報告 6):89, 1933(昭 8); 澤田兼吉:台湾中研農業報 49:55, 1930(昭 5)

[備考] 台湾。タイワンヤナギ

††かいよう病* kaiyo-byo Scab, Bark scorch (斑点病, 潰瘍病)

Venturia chlorospora (Cesati) P. Karsten [*Fusicladium saliciperdum* (Allescher & Tubeuf) Tubeuf]

北島君三:日林誌 12(2):64, 1930(昭 5)

[備考] 国内未発生

†角斑病 kakuhan-byo

(1) *Cercospora babylonicae* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):79, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。シダレヤナギ (*S. babylonica*)

(2) *Cercospora salicicola* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):87, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。タカサゴアカメヤナギ (*S. glandulosa* var. *warburgii*)

(3) *Cercospora salicina* Ellis & Everhart

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):173, 1960; 山本和太郎:熱帯農学会報 6(3):606, 1934(昭 9)

[備考] 台湾。シダレヤナギ

††††

Ascochyta salicicola Passerini

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3 版):26, 1927(昭 2)

[備考] カワヤナギ (*S. gilgiana*)

††††

†*Cercospora salicis* Chupp & H.C. Greene

Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:83, 1978

[備考] ブラジル。シダレヤナギ

††††

†*Marssonina salicis-purpureae* Jaap

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):178, 1959

[備考] 台湾。コリヤナギ

††††

Mycosphaerella salicicola (Fries) Fuckel

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3 版):229, 1927(昭 2)

[備考] カワヤナギ。調査を要する

††††

Phomopsis salicina (Westendorp) Diedicke

Petrak, F. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 34:240, 1936(昭 11)

††††

Phyllosticta salicicola Thümen

三浦密成:秋田農試報 8:33, 1957

[備考] ヤナギの 1 種

オオバヤナギ(大葉柳)

(Toisusu)

Toisusu urbaniana (Seemen) Kimura

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病)

Uncinula adunca (Wallroth) Léveillé var. *adunca* [*Uncinula salicis* (de Candolle) G. Winter]

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:78, 1977 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):178, 1904(明 37) ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):356, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):246, 1988

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Melampsora laricis-urbaniana Matsumoto

澤田兼吉:林試研報 57:21, 1952 ; Matsumoto, T.:Ann. Missouri Bot. Gard, 6:311, 1919(大 8) ; 平塚直秀:札幌農林学会報 19:183, 1927(昭 2)

ビロード病 birodo-byo Erineum gall

Eriophyes tetanothrix (Nalepa)

伊藤一雄:樹病学大系 3:355, 1974

ビャクダン科 Santalaceae

ツクバネ

(Buckleya)

Buckleya lanceolata (Sieb. & Zucc.) Miq.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe buckleyae* (Y. Nomura & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula buckleyae* Y. Nomura & Tanda, *Erysiphe heraclei* auct. Jap. non de Candolle]

Nomura, Y. & Tanda, S.: Trans. Mycol. Soc. Japan 26(2):120, 1985 ; 丹田誠之助ら: 東農大農学集報 18(2):125, 1973 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:65, 2012

(2) *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon

平田幸治: 日植病報 21:91, 1956

[備考] 病原菌の形態が不明であり, 分類学的所属については再検討を要する

カナビキボク

(Champereia)

Champereia manillana (Bl.) Merr.

(広葉樹)

††††

†*Asterina decipiens* Sydow & P. Sydow

山本和太郎: 兵庫農大研報 農生篇 2(2):34, 1956

[備考] 台湾

††††

†*Asterina elmeri* Sydow & P. Sydow

山本和太郎: 兵庫農大研報 農生編 2(2):33, 1956

[備考] 台湾

ムクロジ科 Sapindaceae

フウセンカズラ類
(Cardiospermum)
Cardiospermum spp.
(野草)

フウセンカズラ *Cardiospermum halicacabum* L.

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Yamamoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970
[備考] フウセンカズラ

リュウガン(龍眼, 亜荔枝)
Longan
Euphoria longana Lamarck
(果樹)

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brownish sooty mold
Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]
山本和太郎: 日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15)
[備考] 台湾

†すす病 susu-byo Sooty mold
(1) *Chaetothyrium echinulatum* W. Yamamoto
山本和太郎: 兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎: 日植病報 21(4):167, 1956
[備考] 台湾
(2) *Chaetothyrium sawadai* W. Yamamoto
山本和太郎: 兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎: 日植病報 21(4):167, 1956
[備考] 台湾
(3) *Meliola nepheliicola* F. Stevens & Roldan
山本和太郎: 兵庫農大研報 農学篇 1(1):43, 1953 ; 山本和太郎: 兵庫農大研報 農業生物学編 3(2):262, 1958
[備考] 台湾
(4) *Phaeosaccardinula penzigii* (Saccardo) W. Yamamoto
山本和太郎: 兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎: 兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):46, 1957
[備考] 台湾
(5) *Tripasporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto
山本和太郎: 兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953 ; 山本和太郎: 兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):40, 1957
[備考] 台湾

††††
††† *Thielaviopsis paradoxa* (De Seynes) Höhnelt
横浜税関: 輸移入物病菌害虫目録:55, 1939(昭 14)
[備考] 台湾・フィリピン・北米

モクゲンジ(木患子)
Golden rain-tree

Koelreuteria paniculata Laxm.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Nyssopsora koelreuteriae (Sydow & P. Sydow) Tranzschel

澤田兼吉:林試研報 57:35, 1952 ; Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 15(7):438, 1939(昭 14)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Nyssopsora formosana (Sawada) Lütjeharms [*Triphragmium formosanum* Sawada]

澤田兼吉:台湾中研農業報 51(台湾産菌類調査報告 5):52, 1931(昭 6);Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 15(7):438, 1939(昭 14)

[備考] 台湾。 タイワンモクゲンジ (*Koelreuteria bipinnata*)

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952

[備考] 病原菌の異名はボプラ類すす病参照

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Uncinula koelreuteriae I. Miyake

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):39, 1913(大 2)

[備考] 中国。 タイワンモクゲンジ

レイシ(ライチー)(荔枝)

Litchi, Lychee, Lichee

Litchi chinensis Sonnerat

(果樹)

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* [*Rhizopus stolonifer* (Ehrenberg) Vuillemin]

佐藤豊三:東京農試研報 20:21, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987

さび病 sabi-byo Rust

Skierka nephelii (Sawada) S. Ito & Murayama [*Uredo nephelii* Sawada, *Uredo nephelii* (S. Ito & Murayama) Hiratsuka, f.]

澤田兼吉:台湾博物学会報 33(233):30, 1943(昭 18) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(3-4):165, 1943

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 59:59, 2012

††根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942

横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:2, 1939(昭 14)

[備考] 生産地不明

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brownish sooty mold

Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]
山本和太郎:日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15)
[備考] 台湾

†すす病 susu-byo Sooty mold
Dimeriella dendrocalami Sawada & W. Yamamoto
澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):37, 1959
[備考] 台湾

†††べと疫病 beto-eki-byo Downy mildew
Peronophythora litchii C.C. Chen ex W.H. Ko, H.S. Chang, H.J. Su, C.C. Chen & L.S. Leu
小林慶範ら:日植病報 52(1):101, 1986 ; 小林慶範ら:植防研報 22:55, 1986
[備考] 生産地台湾

メリコッカ
(Melicocca)
Melicocca piderpetala
(広葉樹)

†褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot
Cercospora malicoccae Kobayashi
小林享夫:森林防疫 33(12):217, 1984 ; Kobayashi, T.:Trans mycol. Soc. Japan. 25(3):267, 1984
[備考] パラグアイ

ガラナ
Guarana
Paullinia cupana H.B.K.
(特用作物)

††炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Physalospora paullinae González Frago & Ciferri
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:108, 1977
[備考] von Arx & Müller (1954) は本菌を *Diplacella mararyensis* (Hennings) Arx & Müller の異名とした

†ボトリオディプロディア胴枯病* *Botryodiplodia-dogare-byo* (枝枯病)
Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]
津田盛也ら:日植病報 49(3):402, 1983
[備考] ブラジル。病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):593, 1992 を参照

††白藻病 shiromo-byo White blight
Cephaleuros virescens Kunze
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:109, 1977

††根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:108, 1977

ムクロジ(無患子)
Ritha tree, Soapnut-tree
Sapindus mukorossi Gaertn.
(広葉樹)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:6, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

†角斑病 kakuhan-byo

Isariopsis sapindi Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):130, 1942(昭 17);澤田兼吉:台湾博物学会報 32(225):249, 1942(昭 17)

[備考] 台湾

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brown Sooty mold

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):40, 1959

[備考] 台湾。病名未記載。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照

†黒褐色すす病 kokukasshoku-susu-byo Black sooty mold

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):46, 1953 ; Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):168, 1956

[備考] 台湾。病名未記載。病原菌の異名はクチナシ†黒褐色すす病参照

†すす病 susu-byo Sooty mold

Scorias communis W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957

[備考] 台湾

†葉枯病 hagare-byo

Phyllosticta sapindicola Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):52, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

††††

Cercospora sapindicola T.L. Tai

日野 巖・勝本 謙:宇部短大学術年報 3:115, 1963 ; Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 16:612, 1965

††††

Plagiostromella pleurostoma Höhnelt

原 攝祐:菌類 1(1):25, 1931(昭 6)

アカテツ科 Sapotaceae

スターアップル(ホシリンゴ, 星苹果)

Star apple

Chrysophyllum cainito L.

(果樹)

†白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

小林享夫・de Guzman, E. D.:林試研報 351:127, 1988

[備考] フィリピン

ミムソプス

(Mimusops)

Mimusops indica DC.

(広葉樹)

††††

†*Hypocapnodium setosum* (Zimmermann) Spegazzini

Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):168, 1956

[備考] 台湾。Müller, E. & Arx, J. A. von (Stud. Mycol. 9:114, 1975) は *Hypocapnodium* 属を *Aithaloderma* 属の異名としている

アカテツ

(Planchonella)

Planchonella obovata (R.Br.) H.L.Lam

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

ムニンノキ

(Pouteria)

Pouteria boninensis (Nakai) Bachni

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cainia boninensis Katumoto & Y. Harada

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):417, 1979

白点病 hakuten-byo

Amphichaetella echinata (Klebahn) Höhnelt [*Chaetospermopsis boninensis* Katumoto & Y. Harada]

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):425, 1979 ; Harada, Y. & Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(4):410, 1981

サラセニア科 Sarraceniaceae

サラセニア
(Sarracenia)
Sarracenia spp.
(草花)

褐斑病 kappan-byo Cylindrocladium brown leaf spot
Cylindrocladium theae (Petch) Subramanian
竹内 純ら:日植病報 71(1):32, 2005

ドクダミ科 Saururaceae

ドクダミ類
(Houttuynia)
Houttuynia spp.
(野草)

ドクダミ *Houttuynia cordata* Thunb.

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

市之瀬玲美ら:日植病報 80(1):22, 2014 ; 市之瀬玲美ら:関東病虫研報 61:74, 2014

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの 1 種

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

[備考] ドクダミ

ユキノシタ科 Saxifragaceae

アスチルベ

Perennial spiraea, Spiraea, Astilbe

Astilbe spp.

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

笹井裕里ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 62:97, 2015

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 46:57, 1999

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

堀田治邦:日植病報 60(6):792, 1994

ヒマラヤユキノシタ(ベルゲニア)

Himalaya-bergenie, Strackey bergenia

Bergenia stracheyi (Hook.f & Thomson) Engl. を中心とした種及び種間雑種

(草花)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum acutatum J.H. Simmonds

佐藤 衛ら:関西病虫研報 53:71, 2011

ウツギ(空木, 卯木)

Japanese snowflower

Deutzia crenata Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Tobacco mosaic virus (TMV) タバコモザイクウイルス

奥山 哲・北川 守:茨大農学術報 22:1, 1974

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe deutziae* (Bunkina) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera deutziae* Bunkina, *Microsphaera abeliae* sensu Nomura & Tanda non Homma]

野村幸彦・丹田誠之助:東農大農学集報 24(2):157, 1979 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):201, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):214, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:53, 2012

(2) *Erysiphe* sp.

神谷敏宏・佐藤幸生:日植病報 69(1):59, 2003

[備考] 本菌は *Uncinula* 節に属する

(3) *Microsphaeraalni* (Wallroth) Salmon

平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956

(4) *Microsphaera* sp.

平田幸治・和田久美子:菌草研報 10:489, 1973 ; 高松 進ら:日菌報 19(1):68, 1978

[備考] ヒメウツギ・マルバウツギにも発生

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:11, 1938(昭 13) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] マルバウツギ (*D. scabra*)。病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Puccinia kusanoi* Dietel [*Aecidium deutziae* Dietel]

安田 篤:植物学各論隠花部:1102, 1911(明 44) ; 吉永虎馬:植物学雑誌 15(171):94, 1901(明 34) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):125, 1950

[備考] ウツギ・コウツギ (*D. crenata* var. *nakaiana*)・マルバウツギ・ニイタカウツギ・ヒメウツギ

(2) *Puccinia longicornis* Patouillard & Hariot

小林享夫:林業と薬剤 48:5, 1974 ; Sato, S. & Horie, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(2):141, 1975

(3) *Uredo ishiuchii* (Hiratsuka, f.) Hiratsuka, f. [*Pucciniastrum ishiuchii* Hiratsuka, f.]

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 57(680):280, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 1(5):4, 1957

†**さび病** sabi-byo Rust (銹病)

Uredo deutziicola Hiratsuka

Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 14(9):562, 1938(昭 13)

[備考] 台湾。タイワンウツギ (*D. pulchra* var. *formosana*)・タイワンヒメウツギ (*D. taiwanensis*)

白かび病 shirokabi-byo

Hyalohelicomina deutziae (T. Yokoyama) T. Yokoyama [*Helicomina deutziae* T. Yokoyama]

横山竜夫:日植病報 39(3):202, 1973 ; 横山竜夫:北大農邦文紀要 51:191, 1959 ; Yokoyama, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 15(2):159, 1974

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952 ; 三浦密成:秋田農試報 8:8, 1957

[備考] 病原菌の異名はボプラ類すす病参照

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Pythium myriotylum Drechsler

三宅律幸ら:日植病報 76(1):65, 2010

[備考] 園芸品種 *Deutzia* × *hybrida* に発生

斑点病 hanten-byo

Cercospora deutziae Ellis & Everhart

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):54, 1960 ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:115, 1917(大 6)

[備考] ヒメウツギ (*D. gracilis*)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconema* sp. トゲワセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(4) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 種名は再検討を要する

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne arenaria (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

††††

Ascochyta deutziae Bresàdola

Yokoyama, T.:IFO Res. Commun. 8:80, 1997

††††

Cylindrosporium deutziae Sydow

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):189, 1917(大 6) ; 香月繁孝:九州農業研究 8:84, 1951

††††

Tuberculina sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):183, 1960

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

エスカローニア

(*Escallonia*)

Escallonia grahamiana Gill.

(広葉樹)

すすかび病 susukabi-byo

Cercospora sp.

堀江博道・小林享夫:東京農試研報 13:82, 1980

ツボサンゴ
Coral bell
Heuchera sanguinea Engelm.
(草花)

株枯病 kabugare-byo Cylindrocladium blight
Cylindrocladium canadense J.C. Kang, Crous & C.L. Schoch
竹内 純ら:日植病報 73(3):179, 2007 ; Hirooka, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(1):83, 2009

ペスタロチア葉枯病 *Pestalotia*-hagare-byo
Pestalotiopsis sp.
菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

アジサイ(紫陽花)
Hortensia
Hydrangea spp.
(広葉樹)

タマアジサイ *Hydrangea H. involucrata* Sieb.
ヤマアジサイ *H. macrophylla* Ser. var. *acuminata* Makino
ベニガクアジサイ *H. macrophylla* Ser. var. *serrata* Makino f. *japonica* Makino
コアマチャ *H. macrophylla* Ser. var. *serrata* Makino f. *thunbergii* Makino
エゾアジサイ *H. serrata* (Thunb. ex Murray) Ser. var. *megacarpa* (Ohwi) H. Ohba

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
田村 実・小室康雄:日植病報 33(1):27, 1967
[備考] アジサイ (*H. macrophylla*)

葉化病 yoka-byo Phyllody
(1) ‘*Candidatus Phytoplasma asteris*’
滝波祐輔ら:日植病報 78(1):25, 2012 ; Takinami, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 79(3):209, 2013
(2) ‘*Candidatus Phytoplasma japonicum*’
堀越紀夫ら:日植病報 61(6):611, 1995 ; 兼平 勉ら:日植病報 62(5):537, 1996 ; 澤柳利実ら:日植病報 63(3):196, 1997 ; 澤柳利実ら:日植病報 65(3):368, 1999
[備考] 媒介虫は未確認。星 朱香ら(日植病報 73(1):40, 2007)は‘*Candidatus P. ziziphi*’を検出

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt
Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996
楠元智子ら:日植病報 75(3):209, 2009
[備考] カシワバアジサイ *H. quercifolia* に発生

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial blight
Pseudomonas syringae van Hall 1902
白田 昭ら:日植病報 50(3):422, 1984
[備考] 病原菌の pathovar は未決定

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot
Acidovorax valerianellae Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003
瀧川雄一ら:日植病報 74(3):255, 2008

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)
(1) *Erysiphe hydrangeae* (Z.X. Chen & R.X. Gao) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula hydrangeae* Z.X. Chen & R.X. Gao, *Uncinula hydrangeae* Y. Nomura & Tanda, *Uncinula* sp.]
丹田誠之助・野村幸彦:東農大農学集報 23(1):23, 1978 ; Nomura, Y. & Tanda, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(2):118, 1985 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):250, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012
[備考] ノリウツギに発生
(2) *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon
平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956
[備考] ノリウツギに発生
(3) *Microsphaera* sp.
平田幸治・和田久美子:菌茸研報 10:489, 1973 ; 関 省吾・平田幸治:新潟農林研究 13:11, 1961
[備考] ノリウツギ・エゾアジサイ(*H. serrata* subsp. *yessoensis*)に発生
(4) *Oidium* sp.
丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):130, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:138, 1968
[備考] アジサイ・ガクアジサイに発生
(5) *Pseudoidium hortensiae* (Jørstad) U. Braun & R.T.A. Cook [*Oidium hortensiae* Jørstad]
丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 43(4):253, 1999 ; 高松 進:三重大生資紀要 38: 71, 2012
[備考] タマアジサイ・ヤマアジサイ・ベニガクアジサイ・コアマチャに発生

褐斑病 kappan-byo
Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei
粕山新二・出射 立:日植病報 53(3):377, 1987

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot
Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead
横山竜夫:植物防疫 28(9):348, 1974 ; 横山竜夫:日植病報 40(2):147, 1974
[備考] ツルアジサイ (*H. petiolaris*)。病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

茎疫病 kuki-eki-byo Stem rot
Phytophthora hedraiandra De Cock & Man in 't Veld
Yosilia, R. *et al.*:Jpn. J. Phytopathol. 83(3):183, 2017

茎根腐病 kukinegusare-byo Stem and root rot
(1) *Pythium intermedium* de Bary
永島 進ら:日植病報 82(1):55, 2016
(2) *Pythium myriotylum* Drechsler
永島 進ら:日植病報 83(3):183, 2017
(3) *Pythium spinosum* Sawada
永島 進ら:日植病報 83(3):183, 2017
(4) *Pythium splendens* Hans Braun
永島 進ら:日植病報 83(3):183, 2017

さび病 sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病)
(1) *Puccinia glyceriae* S. Ito [*Aecidium hydrangeae-paniculatae* Dietel]

吉永虎馬:植物学雑 19(217):28, 1905(明 38) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:451, 1911(明 44) ; Okane, I. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 32(1):135, 1991

[備考] ノリウツギ (*H. paniculata*)。本菌のテレオモルフはヒロハノドジョウツナギ (*Glyceria leptolepis*) に生じる

(2) *Puccinia suzutake* Kakishima & S. Sato [*Aecidium hydrangiicola* Hennings]

安田 篤:植物学各論隠花部:451, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):128, 1904(明 37) ; Kakishima, M. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(3):325, 1981

[備考] ノリウツギ・アマチャ(*H. macrophylla* var. *thunbergii*)・コアジサイ・ナガバアジサイ(*H. longifolia*)・キダチコガク

(3) *Pucciniastrum hydrangeae-petiole-ridis* Hiratsuka, f.

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):100, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 21(1):27, 93, 1927(昭 2)

[備考] ツルアジサイ・タイワンツルアジサイ (*H. anomala*)・タイワンゴトウヅル (*H. kawakamii*)

新梢さび病 shinsho-sabi-byo Shoot rust

Aecidium sp.

原田幸雄・藤田美夏:日植病報 64(6):611, 1998

[備考] エゾアジサイに発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] アジサイ・タマアジサイ (*H. involucrata*)・ノリウツギ

すすかび病* susukabi-byo (斑点病)

Cercospora yakushimensis Togashi & Katsuki

Togashi, K. & Katsuki S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):25, 1952

[備考] トカラアジサイ (*H. kawagoeana*)

そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma sp.

小野 剛ら:日植病報 76(1):41, 2010

[備考] ヤマアジサイ(*H. serrata*)に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (円星病)

(1) *Colletotrichum destructivum* O'Gara

森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003

[備考] アジサイ由来の *C. sp.* は *C. destructivum* である

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum ajisai* Miura, *Colletotrichum hydrangeae* Sawada]

中村重正ら:日植病報 32(2):64, 1966 ; 澤田兼吉:台湾農試報 85:82, 1943(昭 18) ; 中村重正:東農大農学集報 14(3-4):190, 1970

[備考] アジサイ・ガクアジサイ・ヤマアジサイ・ツルアジサイ・ガクウツギ・カラコンテリギ (*H. chinensis*)

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries

佐藤邦彦ら:林試東北支年報 11:210, 1970 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 268:13, 1974

[備考] 病原菌の異名はハンノキ類つちくらげ病参照

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:59, 1977

[備考] ノリウツギ

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

荒井治喜:北陸病虫研報 39:111, 1991 ; 荒井治喜:日植病報 59(6):730, 1993 ; 荒井治喜:日植病報 62(1):87, 1996

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

藤井新太郎・村上 要:日植病報 40(2):138, 1974

斑点病 hanten-byo

Phyllosticta hydrangeae Ellis & Everhart

原 攝祐:実験作物病理学:905, 1930(昭5) ; 山田 濟:博物同志会会報 1(2):30, 1928(昭3)

[備考] アジサイ・コアジサイ (*H. hirta*)

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis adusta (Ellis & Everhart) Steyaert

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:1, 1977

[備考] コガクウツギ (*H. luteo-venosa*)

葉斑病 yohan-byo (褐斑病, 裏すす病)

Cercospora obtegens Sydow

遠藤 茂:庭木と草花の病害:179, 1940(昭15)

[備考] アジサイ

輪斑病 rinhan-byo

Cercospora hydrangeae Ellis & Everhart [*Cercospora hydrangeana* Tharp]

澤田兼吉:台湾博物学会報 33(233):30, 1943(昭18) ; 山本和太郎:台湾博物学会報 26(154):281, 1936(昭11) ;

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):60, 1960

[備考] アジサイ・ヤマアジサイ (*H. serrata*)・キダチコガク(*H. angustipetala*)・*H. arborescens* var. *glandiflora*

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot, Stem rot

(1) *Phoma exigua* Desmazières

高野喜八郎:日植病報 60(3):340, 1994

[備考] アジサイ・ガクアジサイ・ヤマアジサイ

(2) *Phoma* spp.

池田健太郎ら:関東病虫研報 57:55, 2010

[備考] 池田ら(2010)は本菌が葉の輪紋状病斑に加え、枝枯れ症状も引き起こすとした

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

すす病* susu-byo Black mildew

Irenina hydrangeae W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):220, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。カラコンテリギ (*Hydrangea chinensis*)・ギダチコガク (*H. angustipetala*)

††††

Hydrangea ringspot virus

小畑琢志・澤田兼吉:日植病報 33(2):93, 1967 ; 小畑琢志・山本洋祐:植防調査研報 6:13, 1968 ; 遊佐 礼ら:
日植病報 82(3):255, 2016

[備考] 戻し接種なし

††††

Cercospora kyotensis M. Yoshikawa & T. Yokoyama

Yoshikawa, M. & Yokoyama, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(2):179, 1992

[備考] アマチャ

††††

Colletotrichum hydrangeae Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(1):27, 1959

[備考] アジサイ炭疽病菌の不完全世代に同一種名あり (澤田兼吉:台湾農試報 85:82, 1943), 異同について検討を要する

††††

Discosia atrocreas (Tode) Fries

富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:45, 1934(昭 9)

[備考] ゴトウヅル (*H. petiolaris* var. *cordifolia*)

††††

Discosia sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):179, 1960

[備考] コガクウツギ。前種との異同につき検討を要する

††††

Metasphaeria hydrangeae Tsukamoto & Katsuki

塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(1):27, 1959

††††

Mycosphaerella hydrangiae Hara

原 攝祐:病虫雑 5(8):615, 1918(大 7)

[備考] コアジサイ

††††

Phyllosticta micrococcae Miura

三浦密成:秋田農試報 13:10, 1962

[備考] ヤマアジサイ

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):210, 1987

[備考] ノリウツギ

ズイナ
(Itea)
Itea japonica Oliver
(広葉樹)

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brown sooty mold
Limacinula javanica (Zimmermann) Höhnelt [*Phaeosaccardinula javanica* (Zimmermann) W. Yamamoto]
山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭 15) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):568, 1992
[備考] 台湾。 *Itea chinensis*

††††
†*Chaetothyrium echinulatum* W. Yamamoto
Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):167, 1956
[備考] 台湾。 *Itea chinensis*

††††
†*Pseudocercospora iteae* (Sawada & Katsuki) Goh & W.H. Hsieh [*Cercospora iteae* Sawada & Katsuki]
澤田兼吉:台湾大農專刊 8(台湾産菌類調査報告 11):219, 1959 ; Hsieh, W. H. & Goh, T. K.:*Cercospora* and
similar fungi from Taiwan:304, 1990
[備考] 台湾。 *Itea chinensis*

クロクモソウ
Micranthes fusca (Maxim.) S. Akiyama & H. Ohba var. *kikubuki* (Ohwi) S. Akiyama & H. Ohba
(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:41, 1997

ヤマハナソウ
Micranthes sachalinensis (F. Schmidt) S. Akiyama & H. Ohba
(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:41, 1997

タンチョウソウ
(Mukdenia)
Mukdenia rossii (Oliv.) Koidz.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo

バイカウツギ(梅花空木)
Mock orange
Philadelphus satsumi Sieb. ex Lindl. & Peht.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Microsphaera sp.

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:489, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:137, 1968

さび病* sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病)

Puccinia hikawaensis Hiratsuka, f. & S. Uchida [*Aecidium philadelphi* Dietel, *Aecidium deutziae* auct. Jap. non Dietel]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:21, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):368, 1950 ; He, F. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 30(2):183, 1989

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす点病 susuten-byo

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):73, 1986

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(2) *Aphelenchus avenae* Bastian ニセネグサレセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌より検出。属名は再検討を要する

(4) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(5) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(6) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

††††

†*Cercospora angulata* G. Winter

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):55, 1914(大 3)

[備考] 中国。*Philadelphus pekinensis*

††††

†*Phyllosticta vulgaris* Desmazières var. *philadelphi* Saccardo

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:425, 1928(昭3)

[備考] 中国東北部。ウスバヒメバイカウツギ (*P. tenuifolius*)

シマユキカズラ

(*Pileostegia*)

Pileostegia viburnoides Hook. & Thoms.

(広葉樹)

†すす病 susu-byo Black mildew

Meliola pileostegiae W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):228, 1941(昭16)

[備考] 台湾

ヤブサンザシ

Ribes, Currant, Current

Ribes fasciculatum Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

入江和己ら:日植病報 61(3):222, 1995

スグリ(須具利)類

(*Ribes*)

Ribes spp.

(果樹)

グーズベリー(スグリ) Gooseberries *R. grossularia* L., *R. hirtellum* Michaux など

カラント(フサスグリ) Currants *R. nigrum* L., *R. vulgare* Lamarck など

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

鑄方末彦:実験果樹病害論:48, 1927(昭2); 埼玉県内務部:病虫雑 21(2):150, 1934(昭9); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Oidium* sp.

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:97, 1977

[備考] ヤシヤビシヤク (*R. ambiguum*) に発生

(2) *Podosphaera mors-uvae* (Schweinitz) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca mors-uvae* (Schweinitz) Berkeley & M.A. Curtis]

南部信方:病虫雑 1(2):186, 1914(大 3); 原 攝祐:果樹病害論:422, 1916(大 5); 田中一郎:北海道農試報 31:123, 1934(昭 9); 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012

[備考] グーズベリー (マルスグリ)・アメリカスグリ (*R. hirtellum*)・アカスグリに発生。北島君三 (樹病学及木材腐朽論:315, 1933) は *Microsphaera grossulariae* (Wallroth) Lévillé によるうどんこ病を記載している

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5); 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

がんしゅ病 ganshu-byo European canker, Nectria canker (癌腫病)

Nectria galligena Bresàdola [*Nectria ditissima* Tulasne & C. Tulasne]

原 攝祐:樹病学各論:57, 1923(大 12); 原 攝祐:実験作物病理学:664, 1930(昭 5)

銀葉病 gin'yo-byo Silver leaf

Chondrostereum purpureum (Persoon) Pouzar [*Stereum purpureum* (Persoon) Fries]

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:26, 1946; 原 攝祐:実験樹木病害篇:185, 1927(昭 2)

茎枯病* kukigare-byo (茎枯病)

Macrophoma hyalina (Berkeley & Broome) Berlese & Voglino

塚本永治:日植病報 22(1):22, 1957(昭 32); 塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(3):145, 1959(昭 34)

[備考] アカスグリ (フサスグリ)(*Ribes rubrum*) に発生

紅粒がんしゅ病* koryu-ganshu-byo Coral rot, Nectria twig canker (紅斑性癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

富樫浩吾:果樹病学:354, 1950

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Cronartium ribicola* J.C. Fischer (White pine blister rust, 毛銹病)

出田 新:日本植物病理学 下巻:439, 1911(明 44); 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):156, 1938(昭 13)

[備考] アカスグリ (フサスグリ)・トガスグリ (*Ribes sachalinensis*)

(2) *Puccinia parkerae* Dietel & Holway [*Puccinia ribis-japonici* Hennings]

松村任三:帝国植物名鑑(上) 169, 1904(明 37); 平塚直秀:鳥取農学会報 3:239, 1931(昭 6); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):258, 1950; Hiratsuka, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:22, 1976

[備考] コマガタスグリ (*Ribes japonicum*)・トガスグリ・スグリの 1 種 (*Ribes* sp.) に発生

(3) *Puccinia pringsheimiana* Klebahn

原 攝祐:果樹病害論:421, 1916(大 5); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):184, 1950

[備考] グーズベリーに発生

(4) *Puccinia ribis* de Candolle

Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 1(2):71, 1930; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):257, 1950

[備考] エゾスグリ (*Ribes latifolium*)・チシマスグリ (*R. triste*) に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑葉病, 炭そ病)

Gloeosporidiella ribis (Libert) Petrak [*Gloeosporium ribis* (Libert) Montagne & Desmazières, *Pseudopeziza ribis* Klebahn]

出田 新:日本植物病理学 下巻:676, 1911(明 44); 村田壽太郎:病虫雑 2(4):352, 1915(大 4)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

佐藤 裕・照井 真:日植病報 83(1):34, 2017
[備考]アカフサスグリ (*R. rubrum*)に発生

灰色円星病 haiiro-maruhoshi-byo
Septoria grossularicola C. Massalongo
澤田兼吉:林試研報 105:60, 1958

斑点病 hanten-byo Leaf spot
Mycosphaerella grossulariae (Auerswald) Lindau [*Mycosphaerella ribis* (Fuckel) Feltgen, *Septoria ribis* Desmazières]
村田壽太郎:病虫雑 14(7):439, 1927(昭 2)

†††菌核病 kinkaku-byo
Sclerotinia rubi Carm
横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:10, 1939(昭 14)
[備考] 生産国イギリス

†輪紋病 rimmon-byo
Ascochyta ribis Massa
Ishiyama, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 14(4):299, 1936 ; 石山哲爾:農及園 13:1709, 1938(昭 13)
[備考] サハリン

††††
††*Caeoma confluens* (Persoon) J. Schröter
大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明 43)

††††
†*Cronartium ribicola* J.C. Fischer
Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Bot. Mag. Tokyo 49(577):19, 1935 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):156, 1938(昭 13)
[備考] 台湾・サハリン。エゾスグリ・ニイタカスグリ (*Ribes formosanum*) に発生

††††
†*Cryptoderma ribis* (Schumacher) Imazeki スグリタケ
Imazeki, R.:Bull. Tokyo Sci. Museum 6:107, 1943

††††
Graphium eumorphum Saccardo
北島君三:樹病学及木材腐朽論:352, 1933(昭 8)
[備考] 青黒～灰黒変色菌として野生のスグリの材に寄生

††††
Nectria ribis (Tode) Rabenhorst
白井光太郎:植物病理学(下):209, 1894(明 27)
[備考] スグリ・アカスグリから検出

††††
Phomopsis sp.
塚本永治:日植病報 21(2-3):116, 1956
[備考] フサスグリ。茎枯症状から検出

††††

Phyllosticta grossulariae Saccardo

岩垂 悟ら:満州農試報 45:181, 1942(昭 17)

††††

Pleurotus perpusillus Fries [*Agaricus subversus* Schumacher] フブキタケ(マツタケ科)

安田 篤:植物学雑 27(314):117, 1913(大 2)

[備考] 枯枝に発生

††††

††*Puccinia ribis* de Candolle

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):257, 1950

[備考] サハリン。カラフトスグリ (*Ribes rubrum* var. *glabellum*) に発生

ユキノシタ

Strawberry saxifragae

Saxifraga stolonifera Curtis

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe krumbholzii U. Braun [*Erysiphe polygoni* de Candolle]

平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:47, 2012

[備考] 平田(1956)は寄主植物名リスト

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:九病虫研会報 57:51, 2011

斑葉病 han'yo-byo Leaf spot

Phoma exigua Desmazières

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:179, 1997

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

近岡一郎・竹沢秀夫:関東病虫研報 22:136, 1975

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎・竹沢秀夫:関東病虫研報 22:136, 1975

イワガラミ

Japanese hydrangea vine

Schizophragma hydrangeoides Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe schizophrangmatis* (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula schizophragmatis* Tanda & Y. Nomura]

Nomura, Y. *et al.*: Trans. Mycol. Soc. Japan 33(2):212, 1992 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:69, 2012
(2) *Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Fuss [*Phyllactinia fraxini* (de Candolle) Homma p.p.]
Homma, Y.: J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):409, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):264, 1988

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

鷺尾貞夫ら: 青森畑園試研報 4:45, 1981

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate ring spot

病原菌所属未定

堀江博道: 森林防疫 31(2):27, 1982

マツブサ科 Schisandraceae

サネカズラ(実葛)

Scarlet kadsura

Kadsura japonica (Thunb.) Dunal

(広葉樹)

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo *Pestalotia* disease

Pestalotiopsis versicolor (Spegazzini) Steyaert [*Pestalotia versicolor* Spegazzini]

日野隆之:植研雑 41(4):122, 1966 ; 山崎貞夫・小野義隆:茨大教育研報 37:38, 1988

円星病 maruhoshi-byo

Cercospora kadsurae Togashi & Katsuki

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):61, 1960 ; Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65:22, 1952

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

すす病* susu-byo Sooty mold

Meliola kadsurae W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):55, 1941(昭 16)

[備考] 台湾

††††

Mycosphaerella shinojimesis Hara

原 攝祐:植研雑 1(4):100, 1917(大 6)

マツブサ

(Schisandra)

Schisandra repanda (Sieb. & Zucc.) Radlk.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe schizandrae (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera schizandrae* Sawada, *Microsphaera alni* auct. Jap. non Wallroth, *Microsphaera schizandrae* Sawada f. *breviseta* Tanda & Y. Nomura]

原 攝祐:果樹病害論:477, 1916(大 5) ; Homma, Y.:Journ. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12) ;

澤田兼吉:東北生物研究 1(1):6, 1949 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 2(3):230, 1988 ; Nomura, Y. *et al.*:Trans. Mycol.

Soc. Japan 33(2):219, 1992 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:59, 2012

[備考] マツブサ・チョウセンゴミシ(*S. chinensis*)に発生

コウヤマキ科 Sciadopityaceae

コウヤマキ(高野槇)

Japanese umbrella pine

Sciadopitys verticillata (Thunb.) Sieb. & Zucc.

(針葉樹)

黄葉病 oyo-byo

Cercospora sp.

小林享夫・堀江博道:日植病報 46:376, 1980

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium* sp.

浜 武人:78 回日林講:206, 1967

(2) *Rhizoctonia* sp.

浜 武人:78 回日林講:206, 1967

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Mycosphaerella podocarpi Cooke

原 攝祐:実験樹木病害編:112, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:植物学雑 27(314):124, 1913(大 2)

[備考] 本病菌は原 攝祐(日本菌類目録:218, 1954)により *M. kisoensis* Hara と訂正されたが, 理由の記載なく, 検討を要する

葉斑病 yohan-byo Needle blight (斑葉病, すす病)

Phaeocryptopus podocarpi (Sydow & P. Sydow) Petrak [*Dimerina podocarpi* Sydow & P. Sydow]

原 攝祐:実験樹木病害編:112, 1927(昭 2) ; 原 攝祐:植物学雑 27(314):124, 1913(大 2)

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 14:43, 1965

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae

アンゲロニア

Angelonia spp.

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら:関東病虫研報 56:137, 2009

キンギョソウ(金魚草, アンテリナム)

Snapdragon

Antirrhinum majus L.

(草花)

モザイク病* mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、日野 巖:宮崎高農学報 5:107, 1933(昭 8)

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial blight, Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 斑点性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *antirrhini* (Takimoto 1920) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas antirrhini* Takimoto]

瀧元清透:植物学雑 34(406):253, 1920(大 9)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp. (subgenus *Reticuloidium*)

伊藤陽子ら:日植病報 72(1):50, 2006

疫病 eki-byo Blight

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

瀧元清透:日植病報 7(3):242, 1938(昭 13)

褐斑病 kappan-byo Cercospora blight

Cercospora sp.

植松清次ら:日植病報 62:267, 1996

[備考] 病原菌の所属について検討が必要

菌核病 kinkaku-byo Stem rot, Wilt

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

瀧元清透:実地園芸 19(1):108, 1935(昭 10)

[備考] 病害解説。接種試験未了

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

外側正之ら:日植病報 61:219, 1995

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia antirrhini Dietel & Holway

福田達男・柿嶋 眞:日植病報 65(3):411, 1999 ; 杉山 悟・佐藤詩織:日植病報 72(1):60, 2006

小粒菌核病 shoryu-kinkaku-byo

Sclerotinia sp.

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:56, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

白絹病 shirakinu-byo Southern blight, Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:57, 1939(昭 14)

[備考] 解説書。病徴のみ記載

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum destructivum* O'Gara

富岡啓介ら:日植病報 72(1):51, 2006 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 77(1):60, 2011 ; 森脇丈治ら:日植病報 82(3):236, 2016

[備考] 森脇ら(2016)は本病原菌を狭義の *C. destructivum* と再同定した

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum antirrhini* F.C. Stewart]

南部信方:病虫雑 3(5):419, 1916(大 5) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992

[備考] 河合一郎 (園芸病害編:532, 1954) によれば *Glomerella* sp. による場合もある。南部(1916)は一般的解説のため詳細不明。小林享夫ら (植物病原菌類図説:590, 1992)は *C. antirrhini* を *C. gloeosporioides* に移した

根腐病 negusare-byo Root rot (苗腐病)

Pythium spinosum Sawada [*Pythium spinosum* Sawada]

澤田兼吉・陳 其昌:台灣博物會報 16:199, 1926(大 15) ; 松尾和敏:日植病報 59(1):51, 1993

[備考] 澤田・陳 (1926) は台湾で発生した報告

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (ボトリチス病)

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:190, 1977

葉枯病 hagare-byo Leaf spot (葉斑病)

Phyllosticta antirrhini P. Sydow

西門義一:病虫雑 6(12):1018, 1919(大 8)

[備考] 本邦での発生について調査が必要

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:190, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:641, 1998

[備考] 接種試験未了

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium albo-atrum Reinke & Berthold

河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病害虫:153, 1976

[備考] 解説書のため詳細不明。接種試験未了

斑点病 hanten-byo Corynespora leaf spot
Corynespora cassicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei
松崎聖史・深谷雅博:日植病報 73(3):179, 2007

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
横尾多美男・池上泰俊:佐大農彙 22:83, 1966
(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
近岡一郎ら:神奈川農試共研報 2:1, 1971
[備考] 接種試験の結果
(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970
[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)
(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955
(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955
(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種
瀧元清透:花卉及温室作物の病害:66, 1939(昭 14) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo
Aphelenchoides ritzemabosi (Schwartz) Steiner & Buhrer ハガレセンチュウ
上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害:165, 1975

カルセオラリア
Calceolaria
Calceolaria × *hybrida* hort.
(草花)

苗立枯病 nae-tachigare-byo
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病虫害:129, 1976
[備考] 河村ら (1976) によれば, *Pythium* sp. によることもあるというが, 解説書のため詳細不明

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
佐藤豊三ら:日植病報 60(6):777, 1994 ; 佐藤豊三ら:四国植防 31:15, 1996

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Ditylenchus dipsaci (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchus olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭 3)

ディアスキア

(*Diascia*)

Diascia sp.

(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

阿部美咲ら:日植病報 80(1):23, 2014

ジギタリス

Digitalis, Common foxglove

Digitalis purpurea L.

(特用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus

Broad bean wilt virus#

李 準璋ら:日植病報 47(1):137, 1981

[備考] 病徴未記載

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

ウイルス (未同定)

日野 巖:宮崎高農学術報告 5:107, 1933(昭 8)

円斑病 empan-byo Leaf spot

Phyllosticta digitalis Bellynck

澤田兼吉:林試研報 105:39, 1958

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:93, 1939(昭 14)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum fuscum Laubert

福井武治:三重高農学術報告 3:17, 1933(昭 8) ; 後藤和夫:日植病報 8(1):1, 1938(昭 13)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

阿部美咲ら:日植病報 80(1):23, 2014

†茎腐病 kukigusare-byo Stem rot (根腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):66, 1928(昭 3)

[備考] 朝鮮半島。病原菌の異名はイネ紋枯病参照

†斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora digitalis Nakata & Takimoto

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):66, 1928(昭 3)

[備考] 朝鮮半島

マツバウンラン

Blue toadflax

Linaria canadensis (L.) Chaz.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

佐藤幸生ら:日植病報 76(3):156, 2010

[備考] *Reticuloidium* 亜属

リナリア

(*Linaria*)

Linaria maroccana Hook. f.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

伊藤陽子ら:日植病報 69(3):258, 2003

[備考] *Reticuloidium* 亜属に属すると思われる

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Pythium irregulare Buisman

鈴木幹彦・景山幸二:関西病虫研報 51:57, 2009

サギゴケ類

(*Mazus*)

Mazus spp.

(野草)

サギゴケ *Mazus miquelii* Makino

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne hapla Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

[備考] サギゴケ

ミムラス類(ミゾホオズキ)

Monkey flower

Mimulus nepalensis Benth. var. *japonicus* Miq. ex Maxim.
(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

漆原寿彦ら:関東病虫研報 46:63, 1999

シュツコンネメシア

Nemesia caerulea Hiern
(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

野澤俊介ら:日植病報 80(4):250, 2014 ; 野澤俊介ら:日植病報 82(1):19, 2016

葉枯病 hagare-byo Stemphylium leaf rot

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

野澤俊介ら:日植病報 80(4):250, 2014 ; 野澤俊介ら:日植病報 82(1):19, 2016

ネメシア(ウンランモドキ)

Nemesia

Nemesia strumosa Benth
(草花)

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Pythium myriotylum Drechsler

梶谷裕二・景山幸二:日植病報 74(1):27, 2008

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum higginsianum Saccardo

[*Colletotrichum destructivum* O'Gara, *Colletotrichum fuscum* Laubert]

富岡啓介ら:日植病報 65(6):678, 1999 ; Tomioka, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 67(2):111, 2001 ; Moriwaki, J. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 68:307, 2002 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005 ; 森脇丈治ら:日植病報 82(3):236, 2016

[備考] 富岡啓介ら(1999)は本病原を *C. fuscum* としたが, Moriwaki *et al.* (2002)はこれを *C. destructivum* と再同定し, さらに森脇ら(2016)が *C. higginsianum* と再同定した

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

阿部美咲ら:日植病報 80(1):23, 2014

オタカンサス(ブルーキャッツアイ)

Otacanthus

Otacanthus caeruleus Lindl.
(草花)

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot
Rhizoctonia solani J.G. Kühn
竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 46:53, 1999
[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA

キリ(桐)
Paulownia, Princess tree
Paulownia tomentosa (Thunb.) Steud.
(広葉樹)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス
土崎常男ら:植物防疫 23(1):6, 1969 ; 小池 勝ら:日植病報 39(2):135, 1973

てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (萎縮病, 縮葉病)
Phytoplasma ファイトプラズマ
川上瀧彌:桐樹天狗巣病原論:1902 (明 35) ; 土居養二ら:日植病報 33(4):259, 1967 ; 塩沢宏康ら:日植病報 45(1):130, 1979

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall
Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]
ト蔵梅之丞:病虫雑 22(2):99, 1935(昭10) ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015
[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, 白渋病)
Phyllactinia salmonii S. Blumer [*Phyllactinia imperialis* Miyabe]
大森順造・山田玄太郎:植物病理学:371, 1910(明 43); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):416, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):261, 1988

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (褐色紋羽病, 褐色膏薬病)
Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann
伊藤一雄:樹病:45, 1952 ; 原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5)
[備考] 病原菌の異名はボプラ類褐色こうやく病参照

褐点病 katten-byo Brown spot (褐斑病)
Mycosphaerella paulowniae Shirai & Hara
南部信方:病虫雑 2(6):562, 1915(大 4) ; Shirai, M. & Hara, K.:Bot. Mag. Tokyo 25(290):70, 1911(明 44)

かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot
Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet] カワラタケ
高木五六:病虫雑 21(2):112, 1934(昭 9) ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:761, 1987
[備考] 病原菌の異名はボプラ類かわらたけ病参照

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

野呂俊一ら:日植病報 52(3):539, 1986

さめ肌胴枯病 samehada-dogare-byo Botryosphaeria canker (枝枯病)

Botryosphaeria dothidea (Mougeot) Cesati & De Notaris [*Physalospora paulowniae* Kaz. Ito & Tak. Kobayashi, *Guignardia paulowniae* (Kaz. Ito & Tak. Kobayashi) Yamamoto & Kaz. Ito, *Dothiorella paulowniae* González Frago]]

小林享夫・楠木 学:91 回日林論:392, 1980 ; Ito, K. & Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 49:79, 1951

[備考] ウスバギリ (*P. taiwaniana*)にも発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium kawakamii Miyabe [*Colletotrichum kawakamii* (Miyabe) Sawada]

吉井 甫:九大農学芸雑 5:524, 1933(昭 8) ; 宮部金吾:桐樹天狗巢病原論, 英文後記:2, 1902(明 35)

とうそう病 toso-byo Spot anthracnose (黒痘病, そうか病, 痘瘡病)

Sphaceloma tsujii Hara [*Gloeosporium* sp.]

高木五六:病虫雑 21(2):112, 1934(昭 9) ; 辻 良介:植物検査所彙報 1:100, 1926(大 15) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:116, 1927(昭 2)

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:林業技術 147:22, 1954 ; 伊藤一雄ら:林試研報 91:38, 1956

(2) *Pythium debaryanum* R. Hesse

伊藤一雄:樹病:16, 1952

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄ら:林試研報 91:38, 1956

ならたけ病* naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):51, 1917(大 6)

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

Rigidoporus lineatus (Persoon) Ryvarden [*Rigidoporus zonalis* (Berkeley) Imazeki] スルメタケ

小林 正:林試研報 246:69, 1972 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Popypores Vol.2:695, 1987

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (灰色紋羽病, 樹癩, 灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard

原 攝祐:茶病の病害:149, 1932(昭 7)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類灰色こうやく病参照

斑点病 hanten-byo Leaf spot (褐斑病)

Pseudocercospora horii C. Nakashima & Tak. Kobayashi [*Cercospora paulowniae* Hori, *Cercospora imperialis* Miura]

南部信方:病虫雑 2(6):563, 1915(大 4) ; Nakashima, C. et al.:Mycoscience 43:95, 2002

[備考] タイワンギリ (*P. fortunei*)・ウスバギリ(*P. taiwaniana*) にも発生。*Cercospora paulowniae* Hori の再検討の結果, *Pseudocercospora paulowniae* (Hori) Nakashima & Kobayashi (Nakashima et al. 1999) としたが, *P. paulowniae* Goh & Hsieh in Hsieh and Goh(1990) の later homonym となるため新名を与えた。両者は別種

で、前者は *P. horii* が用いられるべきであるが、基礎異名の取り扱いで命名規約上無効となり、現在 *P. paulowniae* Goh & Hsieh が用いられている

フォモプシス枝枯病 *Phomopsis-edagare-byo* *Phomopsis* twig blight

Diaporthe eres Nitschke [*Phoma imperialis* Saccardo & Roumeguère, *Phomopsis* sp., *Phomopsis imperialis* Saccardo & Roumeguère]

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:25, 1960 ; 原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大 2) ; 小林享夫・伊藤一雄:林試研報 105:57, 1957

腐らん病 *fulan-byo* Canker (立枯病, 腐爛病)

Valsa paulowniae Miyabe & Hemmi

北島君三:山林彙報 13:1223, 1916(大 5) ; Hemmi, T.:Bot. Mag. Tokyo 30(357):304, 1916(大 5)

幹心腐病* *miki-shingusare-byo* Stem heart rot

Lenzites betulina (Linnaeus) Fries カイガラタケ

高木五六:病虫雑 21(2):112, 1934(昭 9)

[備考] 病原菌の異名はブナ幹心腐病参照

紫紋羽病 *murasaki-mompa-byo* Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

原 攝祐:実験樹木病害篇:120, 1927(昭 2)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

根こぶ線虫病 *nekobu-senchu-byo* Root knot (根りゅう線虫病, 線虫病)

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

(2) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの 1 種

伊藤一雄:図説樹病講義 :50, 1955 ; 名古屋営林局:森林防疫ニュース 8(3):44, 1959 ; 赤井節夫:森林防疫ニュース 8(4):61, 1959

[備考] 名古屋営林局 (1959) はタイワンギリ。上記種との異同は不明

†いぼ病 *ibo-byo*

病原未詳

小林享夫:森林防疫 34(1):11, 1985

[備考] パラグアイ。ウスバギリ (*P. taiwaniana*)。病患部に *Fusarium* sp. が認められる

†立枯病 *tachigare-byo* (立枯症)

病因未詳

渡辺恒雄ら:日植病報 53(1):67, 1987 ; 小林享夫:森林防疫 34(1):13, 1985

[備考] パラグアイ。ウスバギリ。根系から *Fusarium*, *Diplodia* 等が検出される

††††

Diatrype microstroma Sydow, P. Sydow & Hara

原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大 2)

††††

Hypoxylon nectrioides Spegazzini

原 攝祐:植物学雑 27(314):124, 1913(大 2)

††††

Phyllosticta paulowniae Saccardo

富樫浩吾・川村正三:岩手農試報 8:27, 1942(昭 17)

ペンステモン

Beard-tongue

Penstemon spp. および種間雑種
(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora sp.

久保田まや:関東病虫研報 47:101, 2000

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

竹内 純ら:関東病虫研報 43:67, 1996

白絹病 shirakinu-byo Southern Blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 43:129, 1996

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 45:131, 1998

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

レーマニア・エラータ

Chinese foxglove

Rehmannia elata N. E. Br. ex Prain
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

舘 彩香ら:関東病虫研報 61:103, 2014

コシオガマ

Phtheirospermum japonicum (Thunb.) Kanitz
(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera phtheirospermi (Hennings & Shirai) U. Braun & T.Z. Liu

[*Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal & Persoon) Pollacci var. *sibirica* U. Braun]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:18, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:19, 2012

ジオウ(地黄)

Rehmannia plant
Rehmannia glutinosa (Gaertn.) Libos.
(特用作物)

アカヤジオウ Sticky rehmannia *R. glutinosa* (Gaertn.) Libos. var. *purpurea* Makino
カイケイジオウ *R. glutinosa* (Gaertn.) Libos. var. *hueichingensis* Chao & Schih

ウイルス病 virus-byo Virus

- (1) *Rehmannia virus X#* (RVX) ジオウ X ウイルス
- (2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
- (3) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

李 準璋ら:日植病報 47(1):137, 1981

[備考] 病徴記載。戻し接種なし

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse]

伊阪実人ら:日植病報 43(3):325, 1977 ; 岡本 博・伊阪実人:福井短大紀要 (8):25, 1983

立枯病 tachigare-byo *Rhizoctonia* rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

森田琴子ら:関東病虫研報 62:87, 2015

[備考] カイケイジオウに発生

スコパリア

Scoparia

Scoparia spp.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Euoidium sp.

星 秀男ら:日植病報 75(1):51, 2009 ; Hoshi, H. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):89, 2013

[備考] 星ら(2009)は病原菌を *Oidium* 属菌 *Reticuloidium* 亜属としたが, Hoshi et al.(2013)は本病菌に改めた

シロガラシ

White mustard

Sinapis alba L.

(特用作物)

黄葉病* oyo-byo

Brassica yellows virus# (BrYV) アブラナ萎黄ウイルス

吉田直人ら:日植病報 83(1):74, 2017

[備考] 戻し接種なし

黒腐病 kurogusare-byo Black rot

Xanthomonas campestris pv. *campestris* (Pammel 1895) Dowson 1939

瀧川雄一ら:日植病報 71(1):38, 2005

立枯病 tachigare-byo Root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

五十嵐文雄ら:日植病報 62(6):647, 1996

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2

ステラ(バコパ)

Sutera, Bacopa

Sutera spp.

(草花)

茎腐病 kukigusare-byo Stem and root rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

鈴木幹彦ら:日植病報 74(1):34, 2008

[備考] *S. diffusus* に発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum tabacum Böning [*Colletotrichum destructivum* O'Gara]

佐藤豊三ら:日植病報 74(1):33, 2008 ; Tomioka, K. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 78(2):133, 2012 ; 森脇丈治ら:日植病報 82(3):236, 2016

[備考] *S. cordata* (Thunb.) Kuntze に発生。森脇ら(2016)は本病原菌を *C. tabacum* と再同定した

トレニア(ハナウリクサ)

Blue torenia

Torenia fournieri Linden ex E.Fourm.

(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Euoidium* sp.

Hoshi, H. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 79(2):89, 2013

(2) *Oidium* sp.

高松 進ら:日菌報 19:71, 1978 ; 高松 進ら:日菌報 19:71, 1978 ; 星 秀男ら:日植病報 74(1):33, 2008

[備考] 分生子の発芽管は *Erysiphe polygoni* 型。星ら(2008)は *Reticuloidium* 亜属とした

(3) *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte [*Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら:関東病虫研報 56:137, 2009

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

萩原 廣ら:関西病虫研報 40:127, 1998

クワガタソウ類

(Veronica)

Veronica spp.

(野草)

イヌノフグリ *Veronica didyma* Tenore var. *lilacina* (Hara) Yamazaki

オオイヌノフグリ *Veronica persica* Poir.

タチイヌノフグリ *Veronica arvensis* L.

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Rhizobacter dauci Goto & Kuwata 1988

Kawarazaki, H. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 75(3):235, 2009 ; 河原崎秀志ら: 日植病報 77(3):183, 2011 ; 河原崎秀志ら: 日植病報 78(4):293, 2012

[備考] オオイヌノフグリ・タチイヌノフグリ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] イヌノフグリ

ベロニカ

Speedwell

Veronica spp.

(草花)

ベロニカ・ロンギフォリア(セイヨウトラノオ) Beach speedwell *V. longifolia* L.

ベロニカ・プロストラータ *V. prostrata* L.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe orontii Castagne

丹田誠之助ら: 東農大農学集報 44(3):115, 1999

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

笹井裕里ら: 日植病報 81(1):51, 2015 ; 笹井裕里ら: 関東病虫研報 62:97, 2015

[備考] ベロニカ・プロストラータに発生

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

漆原寿彦ら: 関東病虫研報 48:93, 2001

クガイソウ

Veronicastrum japonicum (Nakai) T. Yamaz.

(野草)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera sibirica (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu

[*Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci var. *sibirica* U. Braun]

野村幸彦: 日本産ウドンコ菌科の分類学的研究: 18, 1997 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:20, 2012

イワヒバ科 Selaginellaceae

イワヒバ(イワマツ)

Club moss

Selaginella tamariscina (Beauv.) Spring
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

庄司俊彦:関東病虫研報 40:179, 1993

ニガキ科 Simaroubaceae

シンジュ(ニワウルシ)(樗)

Tree of heaven

Ailanthus altissima Swingle

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病)

Phyllactinia ailanthi (Golovin & Bunkina) Yu [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten]

小河誠司・小林享夫:森林防疫 26(6):90, 1977 ; Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 26(303):54, 1912(大元) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):259, 1988

[備考] 安田 篤 (植物学各論隠花部:367, 1911), 出田 新 (日本植物病理学(上):215, 1909) は *Uncinula delavayi* Patouillard によるうどんこ病を紹介したが, シンジュでの発生に疑問。調査を要する

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum dematium (Persoon) Grove [*Colletotrichum ailanthi* Tognini]

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):198, 1959

胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker

Phomopsis ailanthi (Saccardo) Traverso

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):193, 1959

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):149, 1959

[備考] 病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

輪紋病 rimmon-byo (穿孔性輪紋病)

Ascochyta sp.

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):195, 1959

††††

†*Phyllosticta ailanthi* Saccardo

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(315):49, 1913(大2)

[備考] 中国

ニガキ(苦木)

Bitter wood, Nigaki

Picrasma quassioides (D. Don) Benn.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe picrasmae* (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera picrasmae* Sawada] (粉病)

澤田兼吉:林試研報 50:121, 1951 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):232, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58,

2012

(2) *Erysiphe picrasmicola* U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula picrasmae* Homma] (白渋病)

Homma, Y.: Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937(昭 12) ; 平田幸治・和田久美子: 菌蕈研報 10:491, 1973 ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):245, 1988 ; 高松 進: 三重大生資紀要 38:69, 2012

(3) *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon (白渋病)

安田 篤: 植物学各論隠花部:366, 1911(明 44) ; 出田 新: 実用植物病理学:162, 1901(明 34) ; Homma, Y.: Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12)

(4) *Phyllactinia guttata* (Wallroth) Léveillé [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten sensu Homma] (白渋病, 裏白渋病)

Homma, Y.: Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭 12) ; 和田久美子・平田幸治: 新潟大農研報 29:92, 1977 ; 新島善直: 新編森林保護学(下):471, 1925(大 14) ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):260, 1988

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot

Prathigada picrasmae (Togashi & Katsuki) X.J. Liu & Y.Z. Liao [*Cercospora picrasmae* Togashi & Katsuki]

澤田兼吉: 林試研報 105:110, 1958 ; Togashi, S. & Katsuki, S.: Bot. Mag. Tokyo 65(763-764):24, 1952 ; 勝本 謙: 植物病原菌類図説(小林亨夫ら編):596, 1992

こうやく病 koyaku-byo Felt disease

Septobasidium sp.

全国林業改良普及協会: 林業技術シリーズ(スライド解説) 63:19, 1976

とうそう病 toso-byo Spot anthracnose

Sphaceloma picrasmae Kurosawa & Katsuki

Kurosawa, E. & Katsuki, E.: Bot. Mag. Tokyo 69(817/818):317, 1956

††††

Diplodia togashiana Sydow

Petrak, F. & Sydow, H.: Ann. Mycol. 34:248, 1936(昭 11)

ナス科 Solanaceae

ベラドンナ
Belladonna
Atropa belladonna L.
(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

李 準瑋ら:日植病報 47(1):137, 1987

[備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし

(2) ウイルス (未同定)

宮本雄一ら:日植病報 30(5):301, 1965

[備考] *Tobacco rattle virus* (TRV タバコ茎えそウイルス) [*Belladonna mosaic virus*#] に類似。戻し接種なし

ブロワリア
Browallia
Browallia speciosa Hook.
(草花)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

菅原 敬ら:日植病報 73(3):177, 2007 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

キダチチョウセンアサガオ類
(Brugmansia)
Brugmansia spp.
(草花)

微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mosaic

Colombian datura virus (CDV) チョウセンアサガオコロンビアウイルス

諸橋一樹ら:日植病報 81(3):280, 2015

トウガラシ(唐芥子, 蕃椒)
Red pepper, Hot pepper
Capsicum annuum L. var. *annuum*
(野菜)

ピーマン Sweet pepper *Capsicum annuum* L.

ウイルス病 virus-byo Virus

(1) *Pepper cryptic virus 1* (PCrV-1) トウガラシ潜伏ウイルス1 [*Pepper cryptic virus 1*#]

王 蔚芹ら:日植病報 53(1):64, 1987

[備考] トウガラシに発生

(2) *Pepper cryptic virus 2* (PCrV-2) トウガラシ潜伏ウイルス2 [*Pepper cryptic virus 2*#]

王 蔚芹ら:日植病報 53(1):64, 1987

[備考] トウガラシに発生

(3) *Potato virus X* (PVX) ジャガイモXウイルス

櫛間義幸ら:九病虫研会報 37:51, 1991

[備考] ピーマンに発生

えそ斑紋病* eso-hammon-byo Necrotic spot

Impatiens necrotic spot virus (INSV) インパチエンスえそ斑点ウイルス

若林秀忠ら:関東病虫研報 55:185, 2008

[備考] パプリカに発生

えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic

Rehmannia mosaic virus (ReMV) ジオウモザイクウイルス

久保田健嗣ら:日植病報 77(1):41, 2011 ; Kubota, K. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 78(1):43, 2012

[備考] トウガラシに発生

えそ輪点病* eso-rinten-byo Necrotic ringspot

Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク茎えそウイルス

沼田慎一ら:日植病報 77(1):41, 2011

[備考] ピーマンに発生

黄化えそ病 oka-eso-byo (ウイルス病)

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

坂本 庵・松尾綾男:日植病報 41(1):95, 1975 ; 米山伸吾・栃原比呂志:日植病報 45(4):565, 1979 ; 米山伸吾:植物防疫 34(4):151, 1980

縮葉モザイク病 shukuyo-mosaic-byo Veinal mottle

Pepper veinal mottle virus (PVMV) トウガラシ縮葉モザイクウイルス

松本康佑ら:日植病報 81(1):97, 2015 ; Matsumoto, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 82(1):57, 2016

[備考] ピーマン, トウガラシに発生

退緑えそ病 tairyoku-eso-byo Chlorotic necrosis

Tobacco rattle virus (TRV) タバコ茎えそウイルス

富高保弘ら:日植病報 76(1):36, 2010 ; Tomitaka, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 77(2):136, 2011

退緑斑紋病 tairyoku-hammon-byo Chlorosis

Capsicum chlorosis virus (CaCV) トウガラシ退緑ウイルス

奥田 充ら:日植病報 71(3):235, 2005

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

後藤忠則・土崎常男:日植病報 46(1):100, 1980

(2) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス2 [Broad bean wilt virus#]

井本征史ら:日植病報 36(3):185, 1970 ; 井本征史ら:日植病報 39(2):164, 1973 ; 井本征史:広島農試報 36:57, 1975 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004

(3) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

奥浦正弘:日植病報 15(3-4):167, 1951 ; 奥山 哲ら:日植病報 22(1):40, 1957 ; 井本征史ら:日植病報 36(3):185, 1970

(4) *Paprika mild mottle virus* (PaMMV) パプリカ微斑ウイルス

Hamada, H. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 69(3):199, 2003

[備考] 病原はJapanese strainである。ピーマンに発生

(5) *Pepper mild mottle virus* (PMMoV) トウガラシ微斑ウイルス [Tobacco mosaic virus-P#]

尾崎武司ら:日植病報 38(3):209, 1972 ; Kirita. M. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63:373, 1997

[備考] 尾崎らは *Tobacco mosaic virus* の1系統として報告した

(6) *Pepper mottle virus* (PepMoV) トウガラシ斑紋ウイルス

Ogawa, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 69(5):348, 2003

[備考] ピーマンに発生

(7) *Potato virus Y* (PVY) ジャガイモYウイルス

宮本雄一ら:兵庫農大研報 6(2):37, 1964 ; 尾崎武司ら:関西病虫研報 17:20, 1975

(8) *Tobacco mild green mosaic virus* (TMGMV) タバコ微斑モザイクウイルス

竹内繁治ら:日植病報 64(4):424, 1998 ; 宮崎暁喜ら:日植病報 76(1):64, 2010

[備考] 宮崎ら(2010)は本ウイルスがピーマンにかすり状えそ斑を形成するとした

(9) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

中田覺五郎・瀧元清透:九大学芸雑誌 9:179, 1940(昭15) ; 井本征史ら:日植病報 36(3):185, 1970

(10) *Tomato aspermy virus* (TAV) トマトアスパーミィウイルス [Chrysanthemum mild mottle virus#]

井本征史ら:日植病報 36(3):185, 1970

(11) *Tomato mosaic virus* (ToMV) トマトモザイクウイルス [Tobacco mosaic virus-T#]

井本征史ら:日植病報 36(3):185, 1970

[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 堀 正太郎:病虫雑 7(12):667, 1920(大9)

葉脈黄化病 yomyaku-oka-byo Vein yellows

Pepper vein yellows virus (PeVYV) トウガラシ葉脈黄化ウイルス

与那覇哲義ら:日植病報 54(1):85, 1988 ; 与那覇哲義ら:日植病報 61(3):178, 1995

[備考] ピーマンに発生

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* Smith]

村田壽太郎:日園雑 28(8):5, 1916(大5)

かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker

病原細菌未詳

小林光雄・木嶋利男:関東病虫研報 28:54, 1981

軟腐病* nampu-byo Bacterial soft rot (軟化病, 細菌性軟化病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

織田富士夫・瀧元清透:蔬菜病虫害:144, 1946(昭21)

葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial leaf blight

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

森田泰彰ら:日植病報 70(1):76, 2004 ; Gappa-Adachi, R. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):103, 2014

[備考] シシトウガラシ (*C. annuum* L.) に発生

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial spot (斑点性細菌病, 瘡痂病, 細菌性斑点病)

Xanthomonas vesicatoria (ex Doidge 1920) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 または *Xanthomonas euvesicatoria* Jones, Lacy, Bouzar, Stall & Schaad 2006 [*Bacterium vesicatorium* Doidge, *Xanthomonas vesicatoria* (Doidge) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *vesicatoria* (Doidge 1920) Dye 1978]

吉井 甫:病虫雑 15(8):434, 1928(昭3) ; 織田富士夫・瀧元清透:蔬菜病虫害:143, 1946(昭21) ; 脇本 哲:農及

園 45(11):1719, 1970

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal

村田壽太郎:日園雑 28(9):7, 1916(大 5) ; 渡邊龍雄・横田克明:関東病虫研報 7:37, 1960 ; 渡邊龍雄:植物防疫 18(2):58, 1964

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Leyeillula taurica (Léveillé) G. Arnaud [*Oidiopsis sicula* Scalia]

斉藤 正・平田幸治:植物防疫 21(1):8, 1967 ; 斉藤 正:高知農林特研報 1:1, 1979 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012

[備考] 病原菌の完全世代は我が国では未確認

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora capsici Leonian

瀧元清透:病虫雑 27(12):844, 1940(昭 15)

果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fruit rot

(1) *Fusarium lactis* Pirota

関口博之ら:日植病報 80(1):50, 2014

(2) *Fusicoccum aesculi* Corda

富岡啓介:近中四農研センター 研報 5:91, 2005

(3) *Phomopsis* sp.

富岡啓介:近中四農研センター 研報 5:91, 2005

[備考] ピーマン *C. annuum* L. var. *grossum* Sendtner に発生。富岡(2005)は病原(3)を *P. phomoides* (Saccardo) Arx としたが、本学名は *Colletotrichum coccodes* (Wallr.) S. Hughes のシノニムのため、現状 *Phomopsis* sp. とする

褐紋病 katsumon-byo Phomopsis blight

Phomopsis capsici (Magnaghi) Saccardo

高野喜八郎:北陸病虫研報 44:92, 1996

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

村田壽太郎:日園雑 28(8):7, 1916(大 5)

黒かび病 kurokabi-byo Fruit rot

(1) *Stemphylium botryosum* Wallroth [*Macrosporium commune* Rabenhorst]

村田壽太郎:日園雑 28(8):7, 1916(大 5) ; 山本和太郎:日菌報 2(5):93, 1960

(2) *Stemphylium lycopersici* (Enjoji) W. Yamamoto

富岡啓介ら:四国植防 37:71, 2002 ; Tomioka, K. & Sato, T.: J. Gen. Plant Pathol. 77(6):342, 2011

[備考] ピーマンに発生

黒枯病 kurogare-byo Corynespora blight

Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

安達理恵ら:日植病報 71(1):72, 2005 ; Shimomoto, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):335, 2008

[備考] ピーマン・シシトウガラシ

黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Black-dot root-rot

Colletotrichum coccodes (Wallroth) S. Hughes [*Colletotrichum atramentarium* (Berkeley & Broome) Taubenhaus]
岸 國平・岩田 勉:日植病報 39(3):202, 1973

[備考] 病菌の学名は *Colletotrichum coccodes* を正名とする意見が強い (Sutton, B.C. 1980 von Arx, J.A. 1981)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight (立枯病)

Sclerotium rolfsii Saccardo

村田壽太郎:日園雑 28(9):9, 1916(大 5) ; 植松清次ら:関東病虫研報 56:137, 2009

[備考] 植松ら(2009)はハナトウガラシで発生を認めた

白星病 shirahoshi-byo

Alternaria solani Sorauer [*Macrosporium solani* Ellis & G. Martin]

原 攝祐:実用作物病理学:514, 1925(大 14) ; 山本和太郎:日菌報 2(5):91, 1960

立枯病 tachigare-byo Nectria blight

Haematonectria ipomoeae (Halsted) Samuels & Nirenberg [*Fusarium striatum* Sherbakoff, *Nectria haematococca* Berkeley & Broome]

森田泰彰ら:日植病報 60(6):776, 1994 ; 多賀正節ら:日植病報 72(4):206, 2006

[備考] シシトウガラシに発生。A.Y. Rossman *et al.* (Studies in Mycology 42:134, 1999) は, *Nectria haematococca* complex を *Haematonectria* 属に帰属させるとともに, ホモタリックな菌群を狭義の *H. haematococca* とは別種の *H. ipomoeae* とした

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒色炭疽病, 黒斑性炭疽病, 鮭肉色炭疽病, 肉色炭疽病)

(1) *Colletotrichum capsici* (Sydow) E.J. Butler & Bisby

矢口行雄ら:日植病報 64(4):432, 1998

[備考] ピーマンに発生

(2) *Colletotrichum fructicola* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde

正司和之ら:日植病報 80(4):235, 2014

[備考] ピーマンに発生

(3) *Colletotrichum nigrum* Ellis & Halsted [*Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, *Glomerella piperata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, *Gloeosporium piperatum* Ellis & Everhart]

堀 正太郎:病虫雑 2(10):835, 1915(大 4) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992 ; Bayley, J. A. & Jeger, M. J.:*Colletotrichum* Biology, Pathology and Control 19, 1992

(4) *Colletotrichum scovillei* Damm, P.F. Cannon & Crous [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds, *Colletotrichum simmondsii* R.G. Shivas & Y.P. Tan]

神頭武嗣ら:日植病報 76(3):157, 2010 ; 塚本俊秀ら:日植病報 76(3):200, 2010 ; 植松清次ら:関東病虫研報 57:136, 2010 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 ; Kanto, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):73, 2014

[備考] ピーマンに発生。神頭ら(2010)の病原菌は *C. acutatum* から独立した *C. simmondsii* とされたが, 塚本ら(2010)および植松ら(2010)の病原とともに, Sato & Moriwaki(2013)は *C. scovillei* と再同定した

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (根腐病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

斉藤 正ら:日植病報 30(2):78, 1965

[備考] 本畑における本病菌による病害を根腐病と呼ぶことがある

にせ黒かび病 nise-kurokabi-byo Fruit rot

Curvularia geniculata (Tracy & Earle) Boedijn [*Brachysporium capsici* Hiroe & N. Watanabe]

広江 勇・渡辺 登:鳥取農学会報 5(1):36, 1934(昭 9) ; 倉田 浩・河野文子:日植病報 23(1):37, 1958

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (灰色腐敗病)

Botrytis cinerea Persoon

原 攝祐:日本菌類目録:35, 1954(昭 29) ; 齊藤 正ら:高知農技研報 3:1, 1970

白斑病 hakuhan-byo Stemphyrium leaf spot

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

齊藤 正ら:日植病報 34(3):182, 1968 ; 齊藤 正ら:高知農技研 3:1, 1970

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

北沢健治・柳田騏策:日植病報 42(1):97, 1976 ; 北沢健治・鈴井孝仁:日植病報 46(2):267, 1980

斑点病 hanten-byo Frogeye leaf spot, Stem-end rot of fruit

Cercospora capsici Heald & F.A. Wolf

村田壽太郎:日園雑 28(8):7, 1916(大 5)

へた腐病 hetagusare-byo

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin [*Rhizopus nigricans* Ehrenberg]

倉田宗良ら:日植病報 41(3):269, 1975 ; 倉田宗良:植物防疫 33(6):257, 1979

実腐病 migusare-byo Fruit rot

Fusarium sp.

西原夏樹:植物防疫 21(12):513, 1967 ; 富岡啓介ら:四国植防 37:71, 2002 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005 ; 富岡啓介ら:日植病報 76(3):200, 2010

[備考] ピーマンに発生。原田敏男ら (関東病虫研報 21:42, 1974) は長野県下で発生したものにつき生理的疾患とした。富岡ら(2002, 2005)は香川県で採集した病原を *F. lateritium* としたが、富岡ら(2010)はこれを否定し、*F. incarnatum* に類似するとした

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot (葉斑病)

Ascochyta phaseolorum Saccardo [*Phoma destructiva* Plowright]

原 攝祐:実用作物病理学:516, 1925(大 14) ; 成田武四:日植病報 41(1):123, 1975 ; 成田武四:北日本病虫研報 27:12, 1976

[備考] トマト輪状斑点病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

(3) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968

[備考] 接種試験の結果

(4) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 19:96, 1968

(5) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(4) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] 接種試験の結果。*M. mali* として報告されたが、本種の記載に際し訂正された

††††細菌病 saikin-byo

Bacillus sp.

瀧元清透:病虫雑 8(10):510, 1921(大 10)

[備考] 調査を要する

††††灰斑病 kaihan-byo

Phyllosticta sp.

村田壽太郎:日園雑 28(10):6, 1916(大 5)

[備考] 調査を要する

ゴシキトウガラシ

Cherry pepper

Capsium annuum L. var. *ceraciforme* Bailey

(草花)

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora capsici Leonian

佐藤豊三・富岡啓介:四国植防 34:57, 1999 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005

[備考] チェリーペッパーに発生

キチガイナスビ

(*Datura*)

Datura arborea L.

(広葉樹)

†萎縮病 ishuku-byo Little leaf disease

Phytoplasma ファイトプラズマ

Hiruki, C.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 52(4):675, 1986

[備考] オーストラリア

チョウセンアサガオ

Hindu datura

Datura spp.

(草花)

ケチヨウセンアサガオ *D. inoxia* Mill.

ヤエチヨウセンアサガオ *D. metel* L.

ヨウシュチヨウセンアサガオ *D. stramonium* L.

モザイク病 *mosaic-byo* Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] チョウセンアサガオ。汁液接種検定による同定。戻し接種なし

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew

(1) *Erysiphe orontii* Castagne

Tanda, S. & Hirose, T.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 57(4):274, 2003

(2) *Oidium* sp.

佐藤幸生ら:日植病報 62(6):630, 1996

[備考] 接種試験未了。ヨウシュチヨウセンアサガオ (*D. stramonium*)。分生子の発芽管の形態は *Erysiphe polygoni* 型

輪紋病 *rimmon-byo* Leaf spot

Alternaria crassa (Saccardo) Rands

市之瀬玲美ら:日植病報 81(1):52, 2015 ; 市之瀬玲美ら:関東病虫研報 62:83, 2015

[備考] ケチヨウセンアサガオ, ヤエチヨウセンアサガオに発生

エジプトヘンペイン

Egyptian henbane

Hyoscyamus muticus L.

(特用作物)

こうがいかび病 *kogai-kabi-byo* Choanephora rot

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

Abdel-Motaal, F. F. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):358, 2010

斑点病 *hanten-byo* Leaf spot

Cladosporium herbarum (Persoon) Link

Abdel-Motaal, F. F. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(6):437, 2009

クコ(枸杞)

Chinese boxthorn

Lycium chinense Mill.

(広葉樹)

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew (粉病)

Microsphaera mougeotii Léveillé [*Oidium* sp.]

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:101, 1977 ; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):32, 1905(明 38)

[備考] わが国では完全世代未発見

斑点病 *hanten-byo*

Pseudocercospora chengtuensis (F.L. Tai) Deighton [*Cercospora chengtuensis* F.L. Tai]
山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):50, 1960 ; Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo
65(763/764):19, 1952 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

斑葉病 han'yo-byo

Tuberculina japonica Spegazzini

安田 篤:植物学各論隠花部:578, 1911(明 44)

ビロード病 birodo-byo Erineum gall

Eriophyes kuko Kishida

伊藤一雄:樹病学大系 3:355, 1974 ; 岸田久吉:東亜蜘蛛学会誌 2(1):6, 1937(昭 12)

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

トマト(蕃茄)

Tomato

Lycopersicon esculentum Mill.

(野菜)

退緑萎縮病 tairyoku-ishuku-byo Chlorotic dwarf

(1) *Potato spindle tuber viroid* (PSTVd) ジャガイモやせいもウィロイド

松下陽介ら:日植病報 76(1):37, 2010 ; Matsushita, Y. *et al.*:Eur. J. Plant Pathol. 128:165, 2010

(2) *Tomato chlorotic dwarf viroid* (TCDVd) トマト退緑萎縮ウィロイド

津田新哉ら:日植病報 73(3):220, 2007 ; Matsushita, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 74(2):182, 2008

ウイルス病 virus-byo Virus

Tobacco necrosis virus#

深谷雅博ら:日植病報 53(3):421, 1987

[備考] 水耕栽培の萎ちょう症状株から検出されたが、萎ちょうとの関係については検討を要する

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Yellow dwarf

(1) *Eupatorium yellow vein virus* (EpYVV) ヒヨドリバナ葉脈黄化ウイルス

大貫正俊・上田重文:日植病報 75(1):42, 2009

(2) *Honeysuckle yellow vein mosaic virus* (HYVMV) スイカズラ葉脈黄化モザイクウイルス

(3) *Tobacco leaf curl Japan virus* (TbLCJV) タバコ巻葉日本ウイルス

Shimizu, S. & Ikegami, M.:Microbiol. Immunol. 43:989, 1999 ; Fauquet, C. M. *et al.*:Arch. Virolo. 148:405, 2003 ;

Ogawa, T. *et al.*:Virus Res. 137:235, 2008 ; Kitamura, K. *et al.*:Plant Pathol. 57:391, 2008

(4) *Geminiviridae* トマト黄化萎縮ウイルス

久保田健嗣ら:日植病報 77(3):189, 2011

[備考] *Geminiviridae* 科新規ウイルス

(5) Tobacco leaf curl virus

尾崎武司ら:日植病報 42(1):82, 1976 ; 尾崎武司ら:植物防疫 30(11):458, 1976 ; 尾崎武司・井上忠男:日植

病報 44(2):167, 1978 ; Osaki, T. & Inouye, T.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses 232, 1981

(6) *Tomato yellow leaf curl virus* (TYLCV) トマト黄化葉巻ウイルス

大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato K. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998

[備考] RT-PCR による検出。Kato らは病名として黄化葉巻病を提案

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

小嶋博文:日植病報 39(3):217, 1973 ; 小嶋博文ら:日植病報 42(3):287, 1976

[備考] 匠原監一郎ら (日植病報 70(3):276, 2004) はパラグアイでの発生を報告したが, DAS-ELISA 法と RIPA 法で *Tomato chlorotic spot virus* および *Groundnut ringspot virus* 抗体にも弱く陽性反応を認めた

††††黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

(1) *Groundnut ringspot virus*

Williams, L. V. *et al.*:Plant Dis. 85(12):1227, 2001

[備考] アルゼンチン。ELISA による検出。戻し接種なし

(2) *Tomato chlorotic spot virus*

Williams, L. V. *et al.*:Plant Dis. 85(12):1227, 2001

[備考] アルゼンチン。ELISA による検出。戻し接種なし

黄化葉巻病 oka-hamaki-byo Yellow leaf curl

Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV) トマト黄化葉巻ウイルス

大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 ; Ueda, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 71(4):319, 2005

[備考] RT-PCR による検出。本ウイルスは ICTV では *Tomato yellow leaf curl virus-Is, -Sr, -Th, -Ye* に分けられているので, それらとの異同の検討を要する

黄化病 oka-byo Yellowing

(1) *Tomato chlorosis virus* (ToCV) トマト退緑ウイルス

Hirota, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 76(2):168, 2010

(2) *Tomato infectious chlorosis virus* (TICV) トマトインフェクシャスクロロシスウイルス

Hartono, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 69(1):61, 2003

黄斑病 ohan-byo Yellow mottle

Potyvirus#

大木 理ら:日植病報 43(1):125, 1977

黄斑モザイク病 ohan-mosaic-byo Aucuba mosaic

Alfalfa mosaic virus (AMV) アルファアルファモザイクウイルス

王 蔚芹ら:日植病報 50(1):131, 1984

[備考] 中田覺五郎・瀧元清透 (九大農芸雑誌 9(2):167, 1940) は *Tobacco mosaic virus* (TMV タバコモザイクウイルス) の 1 系統による病名として黄斑モザイクを用いた

茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis

Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク茎えそウイルス

桑原克也・酒井宏:日植病報 74(3):225, 2008

条斑病 johan-byo Streak

Tobacco mosaic virus (TMV タバコモザイクウイルス) の特異な系統, *Cucumber mosaic virus* (CMV キュウリモザイクウイルス), *Potato virus X* (PVX ジャガイモ X ウイルス), *Tobacco mosaic virus* (TMV タバコモザイクウイルス) の 3 種のウイルスのうち, いずれか 2 種ウイルスの重複感染による

小室康雄:日植病報 28(1):40, 1963 ; 後藤忠則・根本正康:北海道農試研報 105:1, 1973 ; 大島信行ら:日植病報 48(5):634, 1982

[備考] ウイルス (未同定) による条斑病の最初の記載は, 瀧元清透:花卉及び温室作物の病害 150,

1939(昭 14)

退緑斑紋病 tairyoku-hammon-byo Chlorosis
Capsicum chlorosis virus (CaCV) トウガラシ退緑ウイルス
福田 充ら:日植病報 75(3):219, 2009

葉巻病 hamaki-byo Leaf-roll
Potato leafroll virus (PLRV) ジャガイモ葉巻ウイルス
根本正康・後藤忠則:日植病報 42(3):381, 1976
[備考] 戻し接種なし

巻葉病 makiha-byo Leaf curl
(1) *Ageratum yellow vein virus* (AYVV) カッコウアザミ葉脈黄化ウイルス
安藤緑樹ら:日植病報 74(1):32, 2008 ; Andou, T. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 76(4):287, 2010
(2) *Ageratum yellow vein Hualian virus* (AYVHuV) カッコウアザミ葉脈黄化花蓮ウイルス
大貫正俊ら:日植病報 76(3):190, 2010

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
(1) *Colombian datura virus* (CDV) チョウセンアサガオコロンビアウイルス
山下一夫・福井要子:日植病報 70(3):263, 2004 ; 富高保弘ら:日植病報 77(1):41, 2011
(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
小室康雄ら:日植病報 32(3):130, 1966
[備考] 汁液接種検定による同定
(3) *Potato virus X* (PVX) ジャガイモ X ウイルス
小室康雄:日植病報 32(3):130, 1966
[備考] 汁液接種検定による同定
(4) *Potato virus Y* (PVY) ジャガイモ Y ウイルス
後藤忠則ら:北農試研報 149:35, 1988
(5) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス
村山大記:札幌農林会報 133:1, 1936 (昭 11) ; 小室康雄ら:日植病報 32(3):130, 1966 ; 野場和徳・岸 國平:
野菜試報 A 6:147, 1979
(6) *Tomato aspermy virus* (TAV) トマトアスパーミィウイルス [Chrysanthemum mild mottle virus#]
花田 薫・栃原比呂志:関東病虫研報 32:88, 1985
(7) *Tomato mosaic virus* (ToMV) トマトモザイクウイルス [Tobacco mosaic virus-T#]
大島信行ら:北海道農試彙報 83:87, 1964 ; 小室康雄ら:日植病報 32(3):130, 1966 ; 野場和徳・岸 國平:野菜
試報 A 6:147, 1979
[備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 堀 正太郎:病虫雑 7(12):667, 1920(大 9)

葉脈透化病 yomyaku-toka-byo
Tomato vein clearing virus# (TVCV) トマト葉脈透化ウイルス
加納 健ら:日植病報 47(1):138, 1981 ; 加納 健ら:日植病報 47(3):411, 1981 ; 加納 健ら:日植病報 51(5):606,
1985

萎黄病 io-byo Yellows
Phytoplasma ファイトプラズマ
大島信行:北日本病虫研報 6:74, 1955 ; 土居養二ら:日植病報 33(4):259, 1967

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt (舞病, 立枯病)
Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacillus solanacearum*

Smith]

出田 新:日本植物病理学:70, 1903(明 36)

かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker (潰瘍性萎凋病)

Clavibacter michiganensis subsp. *michiganensis* (Smith 1910) Davis, Gillaspie, Vidaver & Harris 1984
[*Aplanobacter michiganense* (Smith) Smith, *Corynebacterium michiganense* (Smith) Jensen]

松岡喜惣治:病虫雑 18(8):438, 1931(昭 6) ; 成田武四・馬場徹代:農及園 34(11):1701, 1959 ; Wakimoto S. *et al.*:Bull. Nat. Inst. Agr. Sci. C22:269, 1968

茎えそ細菌病 kukieso-saikin-byo

(1) *Pseudomonas corrugata* Roberts & Scarlett 1981

瀧川雄一ら:日植病報 47(1):134, 1981 ; 瀧川雄一ら:日植病報 51(3):342, 1985 ; 夏秋啓子・鍵渡徳次:日植病報 51(3):341, 1985 ; 夏秋啓子・鍵渡徳次:東農大農学集報 30(3):196, 1986

(2) *Pseudomonas fluorescens* (Trevisan 1889) Migula 1895

白川 隆ら:日植病報 59(1):61, 1993

黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial black spot

Pseudomonas viridiflava (Burkholder 1930) Dowson 1939

西山幸司ら:日植病報 44(3):378, 1978

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall (こぶ症)

Rhizobacter dauci Goto & Kuwata 1988

河原崎秀志ら:日植病報 77(3):183, 2011 ; 河原崎秀志ら:日植病報 78(4):293, 2012

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot, Hollow stalk (腐敗病, 空洞病, 軟化病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

瀧元清透:農及園 2(8, 9):843, 967, 1927(昭 2) ; 堀 正侃:日園雑 45(3):32, 1933(昭 8) ; 富永時任・高橋三郎:植物防疫 16(9):359, 1962

葉こぶ病 hakobu-byo Bacterial leaf gall

病原細菌未詳

木嶋利男:関東病虫研報 28:46, 1981

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial spot (斑点性細菌病, 瘡痂病)

Xanthomonas vesicatoria (ex Doidge 1920) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 または *Xanthomonas euvesicatoria* Jones, Lacy, Bouzar, Stall & Schaad 2006 [*Bacterium vesicatorium* Doidge, *Xanthomonas vesicatoria* (Doidge) Dowson, *Xanthomonas campestris* pv. *vesicatoria* (Doidge 1920) Dye 1978]

瀧元清透:日植病報 9(1):22, 1939(昭 14) ; 矢吹駿一ら:日植病報 39(3):236, 1973

斑葉細菌病 han'yo-saikin-byo Bacterial speck (斑点性細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *tomato* (Okabe 1933) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium tomato* Okabe]

岡部徳夫:熱帯農学会誌 5:26, 1933(昭 8) ; 木嶋利男ら:日植病報 51(1):53, 1985 ; 木嶋利男ら:関東病虫研報 33:81, 1986

腐敗細菌病* fuhai-saikin-byo Bacterial rot (腐敗病)

Pseudomonas marginalis pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

唐津達彦ら:近畿中国農業研究 89:9, 1995

毛根病 mokon-byo Root mat (Hairy root)

Rhizobium radiobacter (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ri) [*Rhizobium radiobacter* (Beijerinck & van Delden 1902) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001]

澤田宏之・畔上耕児:日植病報 79(3):246, 2013 ; 澤田宏之・畔上耕児:日植病報 80(2):98, 2014 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

幼果黒変症状 yoka-kokuhenshojo

Pseudomonas sp.

村田明夫・沼田 巖:日植病報 35(5):355, 1969

青かび病 aokabi-byo Blue mold

Penicillium oxalicum Currie & Thom

梅本清作ら:日植病報 73(3):219, 2007 ; 梅本清作ら:日植病報 74(1):34, 2008 ; Umemoto, S. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 75(5):399, 2009

[備考] 梅本ら(2007)は緑かび病としたが, Umemoto *et al.* (2009)は青かび病に訂正した

アルターナリア茎枯病 *Alternaria-kukigare-byo* Stem canker

Alternaria alternata (Fries) Keissler

田上征夫ら:関西病虫研報 21:57, 1979 ; 田上征夫ら:関西病虫研報 26:29, 1984

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *lycopersici* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium lycopersici* Saccardo]

村田壽太郎:園芸之友 2:934, 1915(大 4) ; 菅原裕幸・鈴木一平:園試報 B 5:1, 1966 ; 細淵勇治:日植病報 64(4):434, 1998 ; 益永輝幸ら:日植病報 64(4):435, 1998

[備考] 細淵, 益永ら (1998) は race 3 の発生を報告した

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白粉病, 白渋病)

(1) *Leyeillula tauric* (Léveillé) G. Arnaud [*Oidiopsis sicula* Scalia]

斉藤 正・倉田宗良:日植病報 40(3):171, 1974 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012

[備考] 完全世代は未記録

(2) *Oidium* sp. [*Erysiphe cichoracearum* de Candolle]

村田壽太郎:園芸之友 11(9):1055, 1915 ; 平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:77, 1977 ; Matsuda, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):294, 2001

[備考] 病原菌の分類学的所属については検討を要する。完全世代は未記録。 *Erysiphe polygoni* 型

(3) *Pseudoidium neolycopersici* (Levente Kiss) Levente Kiss [*Oidium neolycopersici* Levente Kiss]

Kashimoto, K. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 69(3):176, 2003 ; Takamatsu, S. *et al.*: Mycoscience 45(1):71, 2005

疫病 eki-byo Late blight

Phytophthora infestans (Montagne) de Bary [*Phytophthora infestans* (Montagne) de Bary f. sp. *infestans* Waterhouse]

瀧元清透:日本農業雑誌 10(6):68, 1914(大 3) ; 村田壽太郎:園芸之友 11(12):1370, 1915(大 4)

円紋病 emmon-byo Phoma leaf spot, Stem and fruit rot (茎腐病, 実腐病, 輪状斑点病)

(1) *Phoma destructiva* Plowright [*Phyllosticta lycopersici* Peck]

原 攝祐:実験作物病理学:821, 1930(昭 5) ; 瀧元清透:病虫雑 18(6):280, 1931(昭 6) ; 中田覺五郎:作物病害図編:546, 1934(昭 9) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:595, 1992

[備考] Morgan-Jones, G & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:253, 1988) は *Phyllosticta lycopersici* を *Phoma*

destructiva の異名とした

(2) *Phoma exigua* Desmazières [*Ascochyta phaseolorum* Saccardo]

成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973 ; 成田武四・伊藤 仁:北日本病虫研報 24:6, 1973

[備考] Morgan-Jones, G. & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:484, 1988) は *Ascochyta phaseolorum* を *Phoma exigua* の異名とした

(3) *Phoma lycopersici* Cooke [*Didymella lycopersici* Klebahn, *Diplodina lycopersici* Hollós]

成田武四ら:北農 36(7):41, 1969 ; 窪田昌春ら:日植病報 66(1):12, 2000

[備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:510, 1925) は本菌の不完全世代 *Phoma lycopersici* Cooke をトマト斑点病の病原菌として記録している。トマトの *Phoma* 菌による病害を統一し、円紋病とする。なお、*Phoma lycopersici* の有性世代 *Didymella lycopersici* Klebahn は国内未確認

†かいよう病 kaiyo-byo

Mycosphaerella citrullina Crossland

村田壽太郎:園芸之友 11(11):1369, 1915(大 4)

[備考] 抄録。この学名は *Mycosphaerella tassiana* の異名とされている

褐色根腐病 kasshoku-negusare-byo Brown root rot, Corky root

Pyrenochaeta lycopersici R.W. Schneider & Gerlach

森田 壽ら:日植病報 39(3):201, 1973 ; 森田 壽:植物防疫 27(4):145, 1973 ; 森田 壽ら:静岡農試研報 20:11, 1975

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Brown rot, Buckeye rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse, *Phytophthora parasitica* Dastur]

瀧元清透:病虫雑 18(6):280, 1931(昭 6) ; 桂 琦一:植物の疫病:84, 1971

褐色輪紋病 kasshoku-rimmon-byo *Corynespora target spot*

Corynespora cassicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei

粕山新二ら:日植病報 58(4):544, 1992

褐斑病 kappan-byo

Cylindrosporium sp.

原 攝祐:実験作物病理学:821, 1930(昭 5)

株腐病 kabugusare-byo Foot rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

三澤知央:日植病報 73(1):76, 2007 ; Misawa, T. & Kuninaga, S.:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):310, 2010 ; 三澤知央・国永史朗:植物防疫 67(1):44, 2013

[備考] 菌糸融合群 AG-3 PT, AG-2-1/Nt [AG-2-Nt]

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall]

横山竜夫・椿 啓介:日菌報 15(3):189, 1974 ; 小嶋博文・小玉孝司:日植病報 43(3):320, 1977 ; 小嶋博文ら:奈良農試研報 17:97, 1986

菌核病 kinkaku-byo Stem rot, Fruit rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

村田壽太郎:園芸之友 11(12):1371, 1915(大 4)

黒すじ実腐病 kurosuji-migusare-byo Black vascular fruit rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal

今村幸久ら:日植病報 66(2):94, 2000

紅色根腐病 koshoku-negusare-byo

Pyrenochaeta terrestris (H.N. Hansen) Gorenz, J.C. Walker & Larson

重松 統ら:日植病報 51(1):95, 1985

黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Black-dot root-rot

Colletotrichum coccodes (Wallroth) S. Hughes [*Colletotrichum atramentarium* (Berkeley & Broome) Taubenhaus]

岸 國平・岩田 勉:日植病報 39(3):202, 1973

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot, Nail-head spot

Alternaria tomato (Cooke) Weber [*Macrosporium tomato* Cooke]

原 攝祐:実験作物病理学:508, 1925(大 14) ; 山本和太郎:植物防疫 15(8):347, 1961

さび斑病 sabihan-byo Plectosporium leaf spot

Plectosporium tabacinum (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg

竹内 純ら:日植病報 74(3):179, 2008

小粒菌核病 shoryu-kinkaku-byo

Sclerotinia minor Jagger

巖 在烈ら:日植病報 44(3):361, 1978

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

村田壽太郎:園芸之友 11(10):1150, 1915(大 4)

白星病 shirahoshi-byo Septoria blight, Leaf spot (葉斑病, 斑点病)

Septoria lycopersici Spegazzini

村田壽太郎:園芸之友 11(9):1054, 1915(大 4) ; 山田 済:病虫雑 10(12):549, 1923(大 12) ; 原 攝祐:実験作物病理学:511, 1925(大 14)

白かび病 shirokabi-byo Watery-rot

Geotrichum candidum Link

高野喜八郎:日植病報 59(1):117, 1984

すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf mold

Pseudocercospora fuligena (Roldan) Deighton [*Cercospora fuligena* Roldan]

山田峻一:日植病報 15(2):61, 1951 ; 富樫浩吾・香月繁孝:植物学雑 65(763, 764):18, 1952 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:597, 1992

立枯病 tachigare-byo Nectria blight

Haematonectria ipomoeae (Halsted) Samuels & Nirenberg [*Fusarium striatum* Sherbakoff]

今村幸久ら:日植病報 66(3):255, 2000 ; 多賀正節ら:日植病報 72(4):206, 2006

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実炭疽病, 鮭肉炭疽病)

(1) *Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds

末永寛子ら:日植病報 74(1):68, 2008

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum phomoides* (Saccardo) Chester]
村田壽太郎:園芸之友 11(9):1053, 1915(大 4) ; 金野敬三:園芸之友 14(9):662, 1918(昭 7) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (立枯病)

(1) *Pythium vexans* de Bary

高橋 実:日植病報 18(3-4):113, 1954

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn [*Pellicularia filamentosa* (Patouillard) D.P. Rogers, *Corticium vagum* Berkeley & M.A. Curtis, *Thanatephorus cucumeris* (A.B. Frank) Donk]

村田壽太郎:園芸之友 11(10):1152, 1915(大 4)

根腐萎凋病 negusare-icho-byo Crown (foot) and root rot

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *radicis-lycopersici* Jarvis & Shoemaker

山本 磐ら:関西病虫研報 16:17, 1974(昭 49) ; 駒田 旦ら:日植病報 55(4):501, 1989 ; 駒田 旦ら:植物防疫 43(12):645, 1989

[備考] 本病菌によって果実腐敗を起こすことがある (富川 章ら:日植病報 51(1):76, 1985 ; 富川 章ら:植物防疫 41(2):56, 1987)

根腐疫病 negusare-eki-byo Phytophthora root rot (根腐症)

Phytophthora cryptogea Pethybridge & Lafferty [*Phytophthora drechsleri* sensu Erwin non Tucker]

山田憲一ら:日植病報 44(3):363, 1978 ; 神納 浄ら:日植病報 46(1):91, 1980 ; 神納 浄・山田憲一:農薬研究 29(3):35, 1983

[備考] Ho. H.H. and Jong, S.C. (Mycotaxon 4035, 1991) により日本でトマト根腐疫病にあてられていた *Phytophthora drechsleri* は *Phytophthora cryptogea* が正しいとされた

根腐病 negusare-byo

(1) *Pythium myriotylum* Drechsler

草刈眞一ら:日植病報 47(3):387, 1981 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987

(2) *Pythium dissotocum* Drechsler

草刈眞一ら:日植病報 48(3):349, 1982 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987

[備考] 養液栽培で発生。綿腐病菌 (*Pythium aphanidermatum*) によって根腐れを起こすことがある

灰色疫病 haiiro-eki-byo

Phytophthora capsici Leonian

桂 琦一:関西病虫研報 3:35, 1961

灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (鼠黴病)

Botrytis cinerea Persoon

瀧元清透:病虫雑 24(10):743, 1937(昭 12) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:152, 1939(昭 14)

葉かび病 hakabi-byo Leaf mold (黄斑病, 褐色黴斑病, 葉銹病, 鼠黴病, 葉枯病, 葉渋病)

Passalora fulva (Cooke) U. Braun & Crous [*Fulvia fulva* (Cooke) Ciferri, *Cladosporium fulvum* Cooke]

村田壽太郎:病虫雑 2(7):618, 1915(大 4) ; 中田覺五郎:作物病害図編:569, 1934(昭 9) ; Satou, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 71(6):436, 2005

[備考] 葉かび病の病名は病虫雑 19(3):251, 1932 に見られるが *Fulvia fulva* による病害か否かについては明らかでない

葉腐病 hagusare-byo

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk

伊達寛敬ら:日植病報 50(3):399, 1984 ; 伊達寛敬:近畿中国農研 76:12, 1988

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn [*Verticillium albo-atrum* auct. jap. non Reinke & Berthold]

飯嶋 勉・阿部善三郎:日植病報 39(2):131, 1973 ; 飯嶋 勉:東京農試研報 16:63, 1983

斑点病 hanten-byo Leaf spot (褐斑病, 灰色斑点病)

(1) *Stemphylium lycopersici* (Enjoji) W. Yamamoto [*Thyrsospora lycopersici* Enjoji]

円城寺定男:病虫雑 18(1):48, 1931(昭6); 御園生 尹ら:日植病報 24(1):46, 1959; 山本和太郎:日菌報 2(5):88, 1960 ; 山本和太郎:植物防疫 15(8):347, 1961

(2) *Stemphylium solani* G.F. Weber

円城寺定男:病虫雑 18(1):48, 1931(昭6); 御園生 尹ら:日植病報 24(1):46, 1959; 山本和太郎:日菌報 2(5):88, 1960 ; 山本和太郎:植物防疫 15(8):347, 1961

[備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:510, 1925) は *Phoma lycopersici* Cooke による斑点病を紹介したが, 本菌は円紋病の病原に含まれ調査を要する

ばら色かび病 barairo-kabi-byo Pink-mold rot

Trichothecium roseum (Persoon) Link

重松 統ら:日植病報 49(3):404, 1983

フザリウム株腐病 *Fusarium-kabugusare-byo* Foot rot

Fusarium solani (Martius) Saccardo f. sp. *eumartii* W.C. Snyder & H.N. Hansen

中山喜一・青木孝之:日植病報 76(1):7, 2010

変形菌病* henkeikin-byo Slime mold disease (葉面黒かび病, 灰色埃黴病, 灰色囊黴病)

(1) *Didymium squamulosum* (Albertini & Schweinitz) Fries

香月繁孝・米谷平和:植物防疫 9(3):107, 1955

(2) *Physarum cinereum* (Batsch) Persoon

香月繁孝・米谷平和:植物防疫 9(3):107, 1955

輪紋病 rimmon-byo Early blight (夏疫病, 褐斑病, 黒黴病)

Alternaria solani Sorauer [*Macrosporium solani* Ellis & G. Martin]

円城寺定男:病虫雑 17(12):798, 1930(昭5)

綿腐病 watagusare-byo Cottony leak

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

楠元 司:日植病報 15(1):17, 1950

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Globodera rostochiensis (Wollenweber) Mulvey & Stone ジャガイモシストセンチュウ

北海道病害防除所:北農 64:199, 1997

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Longiodorus martini* Merny クワナガハリセンチュウ

八木田秀幸:日線虫研誌 6:89, 1976

[備考] 接種試験の結果

(2) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(3) *Rotylenchulus reniformis* Linford & Oliveira [*Rotylenchulus nicotiana* (Yokoo & Tanaka) Nakasono & Ichinohe]
ニセフクロセンチュウ
三枝敏郎・松本安生:日植病報 25(1):41, 1960 ; 中園和年・一戸 稔:応動昆 11(4):169, 1967

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

- (1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
高坂渚爾:九州農試研会講要 5:5, 1949 ; 後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964
[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある
- (2) *Pratylenchus crenatus* Loof ノコギリネグサレセンチュウ
山田英一:北日本病虫研報 17:101, 1966
[備考] 接種試験の結果
- (3) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ
山田英一:北日本病虫研報 19:98, 1968
[備考] 接種試験の結果
- (4) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
山田英一:北日本病虫研報 19:96, 1968
- (5) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958
[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病, 根こぶ病, 線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 節根病)

- (1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
- (2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ
藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
- (3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
近藤鶴彦:植物防疫 6(9-10):352, 1952 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955
- (4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
- (5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ
樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984
[備考] 接種試験の結果。 *M. mali* として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された
- (6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種
小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 村田壽太郎:園芸之友 11(12):137, 1915(大4) ; 鐙木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7)
[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

尻腐病 shirigusare-byo Blossom-end-rot, Black rot, Point rot (黒腐病, 尖腐病, 果頂腐敗病, 先端腐敗病)

生理障害

村田壽太郎:園芸之友 22(2):69, 1926(大15) ; 田杉平司:実際園芸 13(4):102, 1932(昭7)

条腐病 sujigusare-byo Streak rot

生理障害

森 寛一・荻原佐太郎:日植病報 24(1):47, 1959 ; 荻原佐太郎・坂本石蔵:農及園 35(4):631, 1960

日焼病 hiyake-byo Sun scald
生理障害
河合一郎:園芸病害編:145, 1954

裂果病 rekka-byo Cuticle crack
生理障害
河合一郎:園芸病害編:145, 1954

++++茎えそ症状 kukieso-shojo
(1) *Pseudomonas fluorescens* (Trevisan 1889) Migula 1895
久我ゆかりら:日植病報 51(1):105, 1985
(2) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925
佐久間晴彦ら:日植病報 50(1):140, 1985 ; 久我ゆかりら:日植病報 51(1):105, 1985

++++そうか病 soka-byo
Cladosporium scabies Cooke
原 攝祐:実験作物病理学:818, 1930(昭5)
[備考] 調査を要する

++++根腐性病害 negusaresei-byogai Foot rot
Nectria haematococca Berkeley & Broome
大嶋聡子・多賀正節:日植病報 57(3):396, 1991
[備考] 古屋廣光ら (日植病報 57(1):88, 1991) はオーストラリアで *Fusarium solani* の発生をみた

++++腐敗病 fuhai-byo Fruit rot
Botryosporium pulchrum Corda [*Radaisiella elegans* Bainier]
原 攝祐:実用作物病理学:512, 1925(大14) ; 原 攝祐:実験作物病理学:817, 1930(昭5)
[備考] 調査を要する

+ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease
Pestalotiopsis longisetula (Guba) X. A. Sun & Q. X. Ge
佐藤俊次ら:日植病報 66(3):257, 2000
[備考] パラグアイ

タバコ(煙草)
Tobacco
Nicotiana tabacum L.
(特用作物)

えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic dwarf
Tobacco necrotic dwarf virus (TNDV) タバコえそ萎縮ウイルス
久保 進ら:葉たばこ研究 73:49, 1976 ; 久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB
Descriptions of Plant Viruses, No.234, 1981

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt
Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス
都丸敬一ら:日植病報 42(3):382, 1976 ; 都丸敬一ら:日植病報 48(3):336, 1982

黄斑えそ病 ohan-eso-byo Yellow spotted streak

Potato virus Y (PVY) ジャガイモ Y ウイルス

都丸敬一・日高 醇:日植病報 18(1-2):78, 1953; 都丸敬一・宇田川 晃:日植病報 34(2):77, 1968; 宇田川 晃・都丸敬一:日植病報 38(3):210, 1972; 都丸敬一:盛岡たばこ試報告 17:87, 1983

[備考] Necrotic strain, yellow spotted streak strain による

茎えそ病 kuki-eso-byo Rattle

Tobacco rattle virus (TRV) タバコ茎えそウイルス

都丸敬一:植物防疫 18(9):350, 1964; 都丸敬一ら:日植病報 36(4):275, 1970

条斑病 johan-byo Streak

Tobacco streak virus (TSV) タバコ条斑ウイルス

都丸敬一ら:日植病報 51(4):486, 1985

ネクロシス病 necrosis-byo Necrosis

Tobacco necrosis virus#

土居養二・宇田川 晃:日植病報 34(2):77, 1968; 土居養二ら:日植病報 35(5):359, 1969; 宇田川 晃・都丸敬一:秦野たばこ試報告 70:71, 1971

巻葉病 makiha-byo Tobacco leaf curl (腫葉性ヴァイラス病, 捲葉病)

Tobacco leaf curl virus

津曲彦寿:病虫雑 22(10):780, 1935(昭 10); 中村寿夫・津曲彦寿:病虫雑 27(4):254, 1940(昭 15); 桐山 清:日植病報 38(4):323, 1972; 尾崎武司・井上忠男:日植病報 44(2):167, 1978

脈緑モザイク病 myakuryoku-mosaic-byo Vein banding mosaic

Tobacco vein banding mosaic virus (TVBMV) タバコ脈緑モザイクウイルス

久保 進:葉たばこ研究 76:37, 1977; 久保 進:日植病報 43(3):373, 1977

モザイク病 mosaic-byo Mosaic (笹葉病)

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルフアモザイクウイルス

比留木忠治:日植病報 26(5):215, 1961; 都丸敬一・宇田川 晃:日植病報 29(5):265, 1964; 都丸敬一・宇田川 晃:秦野たばこ試報告 65:1, 1969

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

日高 醇ら:日植病報 16(3-4):150, 1952; 日高 醇・都丸敬一:秦野たばこ試報告 46:125, 1960; 都丸敬一・日高 醇:秦野たばこ試報告 46:135, 143, 1960; 都丸敬一・宇田川 晃:日植病報 36(2):87, 1970

(3) *Potato virus X* (PVX) ジャガイモ X ウイルス

日高 醇・都丸敬一:秦野たばこ試業程報告 1953:90, 1957; 日高 醇・都丸敬一:植物ウイルス病実験法と種類 (日高 醇ら編, 養賢堂) 315, 1960

(4) *Potato virus Y* (PVY) ジャガイモ Y ウイルス

比留木忠治・日高 醇:日植病報 21(2-3):125, 1956; 都丸敬一・宇田川 晃:秦野たばこ試報告 65:23, 1969; 桐山 清・西村紀子:盛岡たばこ試報告 7:85, 1969

(5) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

大工原銀太郎:農商務省報告 22:140, 1902(明 35); 比留木忠治:秦野たばこ試報告 56:1, 1965

わい化病 waika-byo Stunt (矮化病)

Tobacco stunt virus

日高 醇:日植病報 15(1):40, 1950; 日高 醇・中野惟俊:秦野たばこ試報告 40:1, 1956; 桑田 茂・久保 進:日植病報 47(2):264, 1981; Kuwata, S. & Kubo, S.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses, №313, 1981

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot (角点病)

Pseudomonas syringae pv. *tabaci* (Wolf & Foster 1917) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas angulata* (Fromme & Murray) Holland, *Bacterium angulatum* Fromme & Murray]

瀧元清透:病虫雑 7(7):418, 1920(大 9) ; 中村寿夫:煙草植物病学:22, 1955 ; 田中行久:日植病報 39(4):312, 1973 ; 小野邦明・赤沢順子:岡山たばこ試報告 42:155, 1983

[備考] 野火病病原細菌と比較すると, 毒素 (tabtoxin) を生産せず, 病徴も明確に異なる

黄がさ細菌病 kigasa-saikin-byo Wisconsin bacterial leaf spot (斑点病, 斑点性細菌病, 黄色斑点病, 暈環性細菌病, ウィスコンシン病, かさ環細菌病)

Pseudomonas syringae pv. *mellea* (Johnson 1923) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas mellea* Johnson, *Bacterium mellea* Johnson]

原 攝祐:実験作物病理学:375, 1930(昭 5) ; 小野邦明:日植病報 34(5):358, 1968 ; 小野邦明:盛岡たばこ試報告 4:69, 1969

空洞病 kudo-byo Hollow stalk rot, Black leg (腐敗病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia aroideae* (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

中田覺五郎:農及園 2(1):11, 1927(昭 2) ; 浜村浩史:宇都宮たばこ試報告 12:123, 1973

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall

Rhizobium radiobacter (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942]

下楠蘭史華ら:日植病報 69(3):306, 2003 ; Furuya, N. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 70(1):39, 2004 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

立枯病 tachigare-byo Bacterial wilt, Granville wilt (青枯病, 片山病, 帽子腐病)

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith, *Bacterium solanacearum* (Smith) Chester, *Bacillus nicotianae* Uyeda]

堀 正太郎:農作物病理学:268, 1903(明 36) ; Uyeda, E.:Zbl. Bakt. Abt. II 13:327, 1904(明 37) ; 中田覺五郎:農学会報 294:185, 1927 (昭 2) ; 田中行久:鹿児島たばこ試報告 22:1, 1979 ; 原 秀紀・小野邦明:岡山たばこ試報告 42:127, 1983

吊り腐れ病 tsurigusare-byo Barn rot, Shed burn

(1) *Bacillus polymyxa* (Prazmowski) Macé

小野邦明:日植病報 33(2):113, 1967 ; 小野邦明:盛岡たばこ試報告 6:77, 1969

(2) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

中村寿夫:秦野たばこ試報 32:5, 1931(昭 6) ; 千葉信一・魚住哲郎:盛岡たばこ試報告 10:141, 1974 ; 片平君子・中沢邦男:盛岡たばこ試報告 15:101, 1981

(3) *Alternaria* sp.

中村寿夫:秦野たばこ試報 32:5, 1931(昭 6)

(4) *Botryosporium pulchrum* Corda

西田 耕ら:日植病報 32(2):106, 1966

(5) *Botrytis cinerea* Persoon

中村寿夫:煙草植物病学:204, 1948

(6) *Cercospora nicotianae* Ellis & Everhart

大谷快夫:たばこ病害虫原色図鑑 30, 1967

(7) *Phytophthora parasitica* Dastur var. *nicotianae* (Breda de Haan) Tucker

中村寿夫:秦野たばこ試報 32:5, 1931(昭 6)

[備考] 病原菌の異名はタバコ疫病参照

(8) *Rhizoctonia* sp.

中村寿夫:秦野たばこ試報 32:5, 1931(昭 6)

(9) *Sclerotinia sclerotiorum* (Libert) de Bary

中村寿夫:秦野たばこ試報 32:5, 1931(昭 6)

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

野火病 nobi-byo Wild fire

Pseudomonas syringae pv. *tabaci* (Wolf & Foster 1917) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium tabacum* Wolf & Foster, *Pseudomonas tabaci* (Wolf & Foster) Stevens]

中田覺五郎:病虫雑 12(11):625, 1925(大 14) ; 小野邦明:盛岡たばこ試報告 11:1, 1976 ; 瀧元清透:病虫雑 28:93, 1941(昭 16)

斑点細菌病* hanten-saikin-byo (細菌性斑点病)

病原細菌種名未定

瀧元清透:病虫雑 13(12):729, 1926(大 15)

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas nicotiana* (Takimoto) Okabe & Goto は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

赤星病 akahoshi-byo Brown spot (ヌケ星病, 胡麻銹病)

Alternaria alternata (Fries) Keissler [*Alternaria longipes* (Ellis & Everhart) E.W. Mason, *Alternaria tabacina* (Ellis & Everhart) Hori, *Macrosporium longipes* Ellis & Everhart]

堀 正太郎:農作物病理学:274, 1908(明 41) ; 奥浦正弘ら:宇都宮たばこ試報告 5:1, 1967

[備考] 津曲彦寿 (九州農業研究 20:106, 1958) は本病菌の子のう時代と思われる *Pleospora* を分離したが, 種名未定である

萎黄病 io-byo Olpidium seedling blight (黄変病)

Olpidium brassicae (Woronin) P.A. Dangeard

中村寿夫:本邦煙草病害論:54, 1934(昭 9)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe cichoracearum de Candolle [*Oidium chrysanthemi* Rabenhorst]

原 攝祐:実験作物病理学:377, 1930(昭 5) ; 津曲彦寿:鹿児島たばこ試報告 13:1, 1966 ; 福田睦勇ら:鹿児島たばこ試報告 17:199, 1973

疫病 eki-byo Black shank (べと病)

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*, *Phytophthora parasitica* Dastur var. *nicotianae* (Breda de Haan) Tucker]

高橋太郎兵衛・上田栄次郎:煙草疫病研究報告:50, 1915(大 4) ; 魚住哲郎:盛岡たばこ試報告 1:1, 1964

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot (斑点病)

Ascochyta nicotianae Passerini

津曲彦寿:病虫雑 18(8):420, 1931(昭 6)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia stem-rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

高橋太郎兵衛・松井泉也:専売局煙草試報 7:63, 1927(昭 2) ; 赤沢倅紀・小野邦明:岡山たばこ試報告 43:47, 1984

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

黒かび病 kurokabi-byo (黒黴病)

Alternaria alternata (Fries) Keissler [*Alternaria tenuis* Nees]

中村寿夫:専売局中央研資料 28(内外産煙草病害目録), 1932(昭 7) ; 中村寿夫:煙草植物病学:68, 1949

[備考] *Alternaria* sp. はわが国でも発生するが, 本病の発生不詳

黒根病* kurone-byo Black root rot (黒色根腐病, 根腐病)

Thielaviopsis basicola (Berkeley & Broome) Ferraris

中村寿夫:日植病報 2(5):484, 1932(昭 7) ; 大谷快夫:岡山たばこ試報告 23:1, 1962

腰折病 koshiore-byo Sore shin, Damping-off (苗腰折病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

中田覺五郎:煙草病害論:5, 1932(昭 7) ; 荒木幹男:鹿児島たばこ試報告 16:57, 1970

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

中田覺五郎:九大農学芸雑誌 2:7, 1926(大 15)

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白星病 shirahoshi-byo Frog-eye

Cercospora nicotianae Ellis & Everhart [*Cercosporina nicotianae* (Ellis & Everhart) Hara]

吉野毅一:植物学雑 19(224):218, 1905(明 38) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):672, 1919(大 8) ; 荒木幹男:鹿児島たばこ試報告 17:185, 1973

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:指定試験(病虫害) 3:5, 1963 ; 大谷快夫・中村 裕:葉たばこ研究 78:98, 1978

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Capnodium salicinum Montagne [*Apiosporium salicinum* Persoon]

中村寿夫:専売局中央研研究資料 28(内外産煙草病害目録), 1932(昭 7)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum tabacum* Böning]

原 攝祐:実験作物病理学:381, 1930(昭 5) ; 中村寿夫:専売局秦野試報告 33:54, 1934(昭 9) ; 瀧元清透:病虫害 21(8):574, 1934(昭 9) ; 西田 耕:盛岡たばこ試報告 2:1, 1964

[備考] 山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold, Collar rot (灰色黴病)

Botrytis cinerea Persoon

中村寿夫:病虫害 19(9):658, 1932(昭 7) ; 小野邦明:植物防疫 37:168, 1983 ; 増田 税:宇都宮たばこ試報告 20:59, 1984

灰色ほこりかび病 haiiro-hokorikabi-byo Slime mold (灰色埃黴病)

Physarum cinereum (Batsch) Persoon ハイイロフクロホコリ

鶴田章逸:病虫害 4(2):129, 1917(大 6)

[備考] タバコの苗床にはこのほかに次の粘菌が発生して被害をこうむることがある (中村寿夫:日植病

報 2(4):393, 1931 ; 中村寿夫:煙草植物病学:189, 1955)。 *Arcyria cinerea* (Bulliard) Persoon [*A. cinerea* Persoon] シロウツボホコリ *Comatriza pulchella* (C. Babington) Rostafinski [*C. pulchella* Rostrup] アカカミノケホコリ *Didymium nigripes* (Link) Fries [*D. nigripes* Fries] ヒメカタホコリ *Didymium squamulosum* (Albertini & Schweinitz) Fries [*D. squamulosum* Fries] シロエノカタホコリ *Fuligo septica* (Linnaeus) Gmelin var. *septica* [*F. septica* Gmelin] ススホコリ *Fuligo candida* Persoon [*F. septica* var. *candida* Fries] シロススホコリ *Lycogara exiguum* Morgan [*L. epidendrum* Fries var. *tessellatum* Lister] コマメホコリ *Physarum compressum* Albertini & Schweinitz ユガミモジホコリ *Physarum gyrosum* Rostafinski [*P. gyrosum* Rostrup] クダマキフクロホコリ *Stemonitis axifera* (Bulliard) Macbride [*S. erruginea* Ehrenberg] サビムラサキホコリ 以上、病原和名は萩原・山本・伊沢:日本変形菌類図鑑, 1995 による

斑点病 hanten-byo Phyllosticta leaf spot (フィロスチクタ斑点病)

Phyllosticta nicotianae Ellis & Everhart

中村寿夫:本邦煙草病害論:88, 1933(昭 8)

舞病 mai-byo Damping-off, Bed rot (苗立枯病)

(1) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(2) *Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick

中村寿夫:病虫雑 19(8):589, 1932(昭 7) ; 千葉信一・魚住哲郎:盛岡たばこ試報告 12:93, 1977

[備考] (1) の分類学的所属については疑問種とする意見がある (Plaats-Niterink:Studies in Mycology 21:1-242, 1981)

マルソニナ斑点病 Marssonina-hanten-byo (マルソニナ菌寄生病)

Marssonina sp.

津曲彦寿:病虫雑 21(12):913, 1934(昭 9) ; 中村寿夫:煙草植物病学:64, 1949

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

津曲彦寿:鹿児島たばこ試業績概要 7:24, 1949 ; 福田睦勇・荒木幹男:日植病報 36(5):344, 1970 ; 大谷快夫:葉たばこ研究 76:29, 1977

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

福留信明:鹿児島たばこ試報 21:43, 1978

(2) *Rotylenchulus reniformis* Linford & Oliveira [*Tetylenchus nicotiana* Yokoo & Tanaka] ニセフクロセンチュウ

田中 勇:鹿児島たばこ試報 9:59, 1954

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 横尾多美男:たばこ線虫病に関する調査研究(鹿児島たばこ試参考資料):66, 1961

[備考] 病原線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

小野邦明ら:葉たばこ研究 68:71, 1975

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958

[備考] 接種試験の結果

(4) *Pratylenchus zeae* Graham モロコシネグサレセンチュウ

福留信明:鹿児島たばこ試報 21:43, 1978

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫病, 根瘤病, 節根病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 大橋雄司ら:葉たばこ研究 60:80, 1972

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28) ; 中村寿夫:本邦煙草病害論 105, 1934(昭 9) ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 横尾多美男:たばこ線虫病に関する調査研究(鹿児島たばこ試参考資料):66, 1961

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

(1) *Aphelenchoides ritzemabosi* (Schwartz) Steiner & Buhner ハガレセンチュウ

田中 勇:葉たばこ研究 29:44, 1962 ; 福留信明:葉たばこ研究 96:135, 1984

(2) *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie イチゴセンチュウ

福留信明:葉たばこ研究 96:135, 1984

カリ欠乏症 kari-ketsubo-sho Potassium deficiency (加里缺乏症)

カリ欠乏

中村寿夫:病虫雑 19(7):514, 1932(昭 7)

カルシウム欠乏症* Calcium-ketsubo-sho Calcium deficiency (石灰缺乏症)

カルシウム欠乏

中野惟俊:日植病報 14(1-2):48, 1950

苦土欠乏症 kudo-ketsubo-sho Magnesium deficiency (マグネシウム欠乏症)

マグネシウム欠乏

高橋達郎・吉田大輔:土肥誌 23:42, 1952

茎か病 keika-byo Scabby stalk (茎痂病)

遺伝的

専売局秦野試昭和 9 年業程報告:199, 1937(昭 12) ; 福田睦勇:日植病報 36(5):342, 1970 ; 福田睦勇・原 秀紀:宇都宮たばこ試報告 18:19, 1981

白子病 shirako-byo Albinosis

遺伝的

中村寿夫:病虫雑 19(7):522, 1932(昭 7)

生理的斑点病 seiriteki-hanten-byo Weather fleck, Physiological leaf spot (白色斑点病, 痘瘡病)

生理障害

中村寿夫:病虫雑 19(7):516, 1932(昭 7) ; 中田覺五郎:華北産研調査報告 1(北支蒙疆農園芸作物病害調査報告):3, 1941(昭 16) ; 都丸敬一:葉たばこ研究 44:43, 1967 ; 福田三千夫ら:岡山たばこ試報告 33:1, 1973, 35:1, 1975

斑入病 fui-ri-byo Variegation (ふいり病)

遺伝的

中村寿夫:病虫雑 19(7):522, 1932(昭 7)

細葉病 hosoha-byo Frenching

生理障害

中村寿夫:病虫雑 19(7):514, 1932(昭 7)

マンガン過剰症 mangan-kajo-sho Manganese excess

マンガン過剰

安松範郎・高橋達郎:秦野たばこ試報告 52:49, 1963

††環紋細菌病* kammon-saikin-byo (環紋性細菌病)

病原細菌種名未定

岡部徳夫:植物細菌病学:166, 1949

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacterium heteroceum* (Vzoroff) Okabe は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††黒さび細菌病* kurosabi-saikin-byo (黒銹性細菌病, 黒銹病)

病原細菌種名未定

岡部徳夫:植物細菌病学:165, 1949

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacterium pseudozoogloeae* Honing は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††††軸腐病 jikugusare-byo

細菌の 1 種

専売局秦野試昭和 9 年業程報告:197, 1937(昭 12) ; 中村寿夫:煙草植物病学:28, 1949

[備考] 空洞病との異同について検討を要する

††葉枯細菌病* hagare-saikin-byo (葉枯性細菌病)

Pseudomonas aeruginosa (Schroeter 1872) Migula 1900 [*Bacterium polycolor* (Clara 1930) Okabe 1949]

岡部徳夫:植物細菌病学:164, 1949

[備考] 国内発生未詳

††††白点病 hakuten-byo (白斑病, 白斑性細菌病)

††*Pseudomonas syringae* pv. *maculicola* (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas maculicolum* (McCulloch) Stevens, *Bacillus maculicola* Delacroix, *Aplanobacter maculicola* (Delacroix) Elliot]

中田覺五郎:日植病報 5(1):101, 1935(昭 10)

[備考] 国内発生未詳

††褐色根腐病 kasshoku-negusare-byo Brown root rot, Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidànich

後藤和夫:日植病報 10(1):62, 1940(昭 15)

[備考] 病原菌は国内に分布するが, タバコでの国内発生は未詳

††††セプトリア斑点病 *Septoria*-hanten-byo

††*Septoria* sp.

中村寿夫:専売局中央研資料 28(内外産煙草病害目録):6, 1932(昭 7) ; 中村寿夫:煙草植物病学:65, 1949

[備考] 国内発生未詳

†秦野タバコ疫病 hatano-tabako-eki-byo (秦野煙草疫病, 秦野疫病)

Phytophthora tabaci Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 27(台湾産菌類調査報告 3):35, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。病原菌記載不十分であるが, *Phytophthora nicotianae* van Breda de Haan [*P. nicotianae* van Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) Waterhouse] であろうといわれる (桂 琦一:植物の疫病:40, 1971)

††††フザリウム萎凋病 *Fusarium-icho-byo*

††*Fusarium* sp.

中村寿夫:煙草植物病学:68, 1949

[備考] 現在国内発生未確認

††べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora sp.

中村寿夫:煙草植物病学:42, 1949 ; 魚住哲郎:盛岡たばこ試報告 5:43, 1970

††大理石斑病 dairisekihan-byo Marmer

病原未記載

中村寿夫:煙草植物病学:187, 1949

[備考] 原因不明。国内発生未詳

†てんぐ巢病 tengusu-byo (天狗巢病)

病原未記載

中村寿夫:煙草植物病学:242, 1949

[備考] 中国東北部でルスチカタバコ。原因不明

††毛根病 mokon-byo Hairy root

病原未記載

中村寿夫:煙草植物病学:188, 1949

[備考] 原因不明。国内発生未詳

††落葉病 rakuyo-byo Leaf drop

病原未記載

中村寿夫:煙草植物病学:187, 1949

[備考] 原因不明。国内発生未詳

††緑網病 ryokumo-byo Grunnetzigkeit

病原未記載

中村寿夫:煙草植物病学:187, 1949

[備考] 原因不明。国内発生未詳

††††

Cephalosporium sp.

西田 耕:日植病報 29(2):61, 1964

[備考] 接種試験未了。病原菌の分類学的所属について検討を要する

††††

Stemphylium lycopersici (Enjoji) W. Yamamoto

黒瀬大介ら:日植病報 78(3):189, 2012 ; Kurose, D. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 80(2):147, 2014

[備考] 花器感染による種子の発芽阻害。Kurose *et al.* (2014)は, *Stemphylium vesicarium* (Wallroth) E.G.

Simmons としていた病原(黒瀬ら, 2012)を *S. lycopersici* と再同定した

ギンパイソウ
White cup
Nierembergia repens Ruiz & Pav.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo
笹井裕里ら:日植病報 80(1):22, 2014 ; 笹井裕里ら:関東病虫研報 61:99, 2014

ニーレンベルギア
(*Nierembergia*)
Nierembergia × *hybrida*
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
Oidium sp.
伊藤陽子ら:日植病報 68(1):78, 2002
[備考] 発芽管の形態は *Erysiphe polygoni* 型

ペチュニア(ソクバネアサガオ)
Petunia
Petunia × *hybrida* Vilm.
(草花)

ウイルス病* virus-byo
(1) Broad bean wilt virus#
牛山欽司ら:神奈川園試研報 38:43, 1989
[備考] 本ウイルスは ICTV では *Broad bean wilt virus 1, 2* に分けられているので、それらとの異同の検討を要する
(2) *Tomato ringspot virus* (ToRSV) トマト輪点ウイルス
佐藤仁敏ら:日植病報 59(1):92, 1993
[備考] 戻し接種なし

モザイク病 mosaic-byo Mosaic
(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス
小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 牛山欽司ら:神奈川園試研報 38:43, 1989
[備考] 戻し接種なし
(2) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス
河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病虫害:187, 1976
[備考] 解説書のため詳細は不明。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は、福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭 7)

葉脈透化病 yomyaku-toka-byo
Petunia vein clearing virus (PVCV) ペチュニア葉脈透化ウイルス

加納 健ら:日植病報 46(3):413, 1980

[備考] 戻し接種なし

帯化病 taika-byo Bacterial fasciation

Rhodococcus fascians (Tilford 1936) Goodfellow 1984

清水慶明ら:日植病報 74(3):252, 2008

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Oidium* sp.

[備考] 分生子の発芽管は *Erysiphe polygoni* 型

(2) *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte [*Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988

褐斑病 kappan-byo *Alternaria* blight

Alternaria longissima Deighton & MacGarvie

高野喜八郎:日植病報 71(1):73, 2005

菌核病* kinkaku-byo *Sclerotinia* rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:603, 1917(大 6)

こうがいかび病 kogai-kabi-byo *Choanephora* blight

Choanephora cucurbitarum (Berkeley & Ravenel) Thaxter

竹内 純・堀江博道:日植病報 62(2):607, 1996 ; 竹内 純・堀江博道:日植病報 66(2):72, 2000

白かび病 shirokabi-byo White mold

Ramularia petuniae Cooke

南部信方:病虫雑 2(8):743, 1915(大 4)

[備考] 病徴の記載のみ。調査が必要

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Pythium myriotylum Drechsler

岡田清嗣ら:日植病報 74(3):177, 2008

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:205, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:688, 1998 ; 菅原 敬ら:関西病虫研報 42:49, 2000

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

成田武四:北海道における農作物病害:205, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:688, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora petuniae (Saito) A.S. Muller & Chupp [*Cercosporina petuniae* Saito]

斉藤英策:鳥取農学会報 3:271, 1931(昭 6) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):68, 1960

[備考] 完全世代 *Pleosphaerulina petuniae* は我が国では未記録

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot

Ascochyta phaseolorum Saccardo

成田武四:日植病報 41(1):123, 1975 ; 成田武四:北日本病虫研報 27:12, 1976

[備考] ケイトウ輪紋病参照

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

鎗木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955

††††てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom

††Phytoplasma ファイトプラズマ

河村貞之助ら:原色花と花木の病害虫:189, 1976

[備考] 解説書のため詳細は不明。発生は未確認

††††

Tomato chlorotic dwarf viroid (TCDVd) トマト退緑萎縮ウイロイド

Shiraishi T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 79(3):214, 2013

[備考] 無病徴

††††

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

高橋錦治・松浦 義:植物防疫 10(2):75, 1956

ホオズキ(酸漿)

Chinese lanternplant

Physalis alkekengi L. var. *franchetii* (Masters) Hort.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

明日山秀文ら:農作物ウイルスの同定に関する研究:1, 1966

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

(2) *Tomato mosaic virus* (ToMV) トマトモザイクウイルス [Tobacco mosaic virus-T#]

大沢高志ら:日植病報 52(3):562, 1986 ; 夏秋啓子ら:関東病虫研報 39:161, 1992

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Xanthomonas axonopodis pv. *physalidicola* (Goto & Okabe 1958) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995

[*Xanthomonas physalidicola* Goto & Okabe, *Xanthomonas campestris* pv. *physalidicola* (Goto & Okabe 1958) Dye

1978]

後藤正夫・岡部徳夫:静大農研報 8:33, 1958

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe cichoracearum de Candolle

本間ヤス:北大農紀 38:338, 1937(昭 12)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 38:55, 1996

立枯病 tachigare-byo Nectria blight

Haematonectria ipomoeae (Halsted) Samuels & Nirenberg

河野亜希子ら:日植病報 77(3):167, 2011

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum destructivum* O'Gara [*Colletotrichum coccodes* (Wallroth) S. Hughes]

中村宏子ら:日植病報 64(4):432, 1998 ; 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003

[備考] これにより, ホオズキ由来の *C. coccodes* は *C. destructivum* に統合される

(2) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk

外側正之ら:日植病報 64(6):600, 1998

白斑病 hakuhan-byo White spot

Phoma sp.

外側正之ら:日植病報 64(6):600, 1998

葉腐病 hagusare-byo Leaf blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:183, 1997

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 I B

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

飯嶋 勉:日植病報 47(3):379, 1981

[備考] 病原菌の形態的記述がない

円星病 maruhoshi-byo Leaf spot

Cercospora physalidis Ellis [*Cercosporina physalidis* (Ellis) Miura, *Cercospora physalidicola* Bartholomew]

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:525, 1928(昭 3) ; 香月繁孝:福岡県経済部農業改良課学術報告 1:18, 1949(昭 24) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):68, 1960

[備考] 香月(1949) は寄主植物リスト。山本・前田(1960), 三浦(1928) は接種試験未了。三浦(1928)は中国東北部で採集

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus vulnus Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

三枝敏郎:植物寄生性線虫とその調査法(千葉県):1, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

三枝敏郎:植物寄生性線虫とその調査法(千葉県):1, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

††††

(1) *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923

柳屋佑樹ら:日植病報 79(1):71, 2013 ; 柳屋佑樹ら:日植病報 80(1):72, 2014

[備考] 軟腐症状

(2) *Erwinia chrysanthemi* pv. *zeae* (Sabet 1954) Victoria, Arboleda & Muñoz 1975 [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

柳屋佑樹ら:日植病報 79(1):71, 2013 ; 柳屋佑樹ら:日植病報 80(1):72, 2014

[備考] 軟腐症状。病原菌(2)は, *Dickeya* 属の分類体系においては, *D. dadantii* に近縁な種に鑑別された

ホオズキ類

(*Physalis*)

Physalis spp.

(野草)

センナリホオズキ *Physalis angulata* L.

ショクヨウホオズキ *Physalis pruinosa* L.

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Pythium aphanidermatum (Edson) Fitzpatrick

三宅律幸ら:日植病報 80(4):241, 2014

[備考] ショクヨウホオズキ

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] センナリホオズキ

ツノナス

Nipplefruit

Solanum mammosum L.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1995

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1995

(3) *Grapevine Algerian latent virus* (GALV) ブドウアルジェリア潜在ウイルス

藤澤一郎ら:日植病報 60(3):396, 1994 ; Ohki, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 72(2):119, 2006

(4) *Tomato bushy stunt virus* (TBSV) トマトブッシースタントウイルス

藤澤一郎ら:日植病報 61(6):602, 1995 ; Ohki, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 71(1):74, 2005

かいよう病 kaiyo-byo

Clavibacter michiganensis subsp. *michiganensis* (Smith 1910) Davis, Gillaspie, Vidaver & Harris 1984

山本圭祐ら:日植病報 73(1):71, 2007

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora cryptogea Pethybridge & Lafferty emend. Ho & Jong

植松清次ら:日植病報 59(6):731, 1993

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

植松清次ら:関東病虫研報 40:171, 1993

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

海老原克介ら:日植病報 66(2):95, 2000

ナス(茄)

Eggplant

Solanum melongena L.

(野菜)

えそ斑点病 eso-hanten-byo

Broad bean wilt virus#

森田健二ら:日植病報 39(2):134, 1973 ; 森田健二ら:日植病報 40(4):288, 1974

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

河野敏郎ら:日植病報 64(6):597, 1998

退色斑点病 taishoku-hanten-byo

Potyvirus#

与那覇哲義ら:日植病報 53(3):421, 1987

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄:農及園 35(6):1015, 1960

[備考] 血清反応でヒラナス (*S. integrifolium*) にも発生を確認 (大木 理ら:植物防疫 35(7):306, 1981)

(2) *Tomato mosaic virus* (ToMV) トマトモザイクウイルス [Tobacco mosaic virus-T#]

長井雄治・栃原比呂志:日植病報 40(3):212, 1974

萎縮病 ishuku-byo

Phytoplasma ファイトプラズマ

尾崎武司ら:日植病報 42(1):82, 1976

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt (舞病)

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith, *Bacillus solanacearum* Smith]

堀 正太郎:日園雑 84, 1898(明 31)

褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Necrotic leaf spot

Pseudomonas cichorii (Swingle 1925) Stapp 1928

富永時任・西山幸司:日植病報 37(3):183, 1971 ; 山本 勉:植物防疫 28(11):432, 1974 ; 富永時任ら:日植病報 43(5):569, 1977

茎えそ細菌病 kukieso-saikin-byo

Pseudomonas corrugata Roberts & Scarlett 1981

木嶋利男ら:日植病報 53(1):70, 1987

茎腐細菌病 kukigusare-saikin-byo Bacterial stem rot

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

松田 泉ら:日植病報 50(3):420, 1984

[備考] 病原細菌の pathovar は未決定

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

瀧川雄一ら:日植病報 46(3):401, 1980

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Pseudomonas sp.

富永時任ら:日植病報 26(2):60, 1961

幼果黒変症状 yoka-kokuhen-shojo

Pseudomonas sp.

村田明夫・沼田 巖:日植病報 35(5):355, 1969

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe cichoracearum* de Candolle

Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:335, 1937(昭 12)

[備考] ナス上の本種については検討を要する

(2) *Leveillula taurica* (Léveillé) G. Arnaud [*Oidiopsis sicula* Scalia]

斉藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012

[備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録

(3) *Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci

本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:133, 1968

[備考] 病原菌のナス上での完全世代は我が国では未記録

疫病 eki-byo Late blight

Phytophthora infestans (Montagne) de Bary [*Phytophthora infestans* (Montagne) de Bary f. sp. *infestans* Waterhouse]

堀 正太郎:農業世界 2(4):43, 1907(明 40)

褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

小玉孝司ら:日植病報 48(3):356, 1982 ; 堀本圭一・小玉孝司:奈良農試研報 14:66, 1983

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Brown rot

Phytophthora capsici Leonian

桂 琦一・土倉亮一:栃内・福士両教授還暦記念論文集:167, 1955

褐色円星病 kasshoku-maruhoshi-byo Leaf spot (セルコスボラ斑点病)

Paracercospora egenula (Sydow) Deighton [*Cercospora solani-melongenae* Chupp]

堀 正太郎:農業世界 12(9):77, 1917 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):74, 1960 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:594, 1992

[備考] 従来用いられていた *C. melongenae* は本菌とは異なる

褐色輪紋病 kasshoku-rimmon-byo

Phoma lycopersici Cooke [*Ascochyta hortorum* (Spegazzini) C.O. Smith]

堀 正太郎:農業世界 12(9):80, 1917(大 6) ; 古川聡子・岸 國平:日植病報 70(3):223, 2004

褐斑病 kappan-byo Early blight, Leaf spot (葉枯病, 葉黒斑病)

Alternaria solani Sorauer [*Macrosporium solani* Ellis & G. Martin]

田中彰一:蔬菜園芸防除論:159, 1948

褐紋病 katsumon-byo Brown spot, Phomopsis blight (褐点病, 斑紋病, 焼病, 輪紋病, 斑葉病, 葉枯病)

Phomopsis vexans (Saccardo & P. Sydow) Harter

高橋良直:北海道農試報告:92, 1903(明 36) ; 原 攝祐:農業世界 5(6):222, 1910(明 43)

菌核病 kinkaku-byo Stem rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

原 攝祐:実用作物病理学:505, 1925(大 14)

茎枯病 kukigare-byo Stem blight

Fusicoccum aesculi Corda [*Dothiorella* sp.]

矢野和孝ら:日植病報 64(4):431, 1998 ; 矢野和孝ら:日植病報 69(2):132, 2003

[備考] 水耕栽培で発生。病原性のある *Phomopsis* sp. も分離される

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus fruit rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer*

岡田清嗣・大植大輔:関西病虫研報 49:55, 2007

黒枯病 kurogare-byo Black blight

Corynespora cassiicola (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei [*Corynespora melongenae* Takimoto, *Helminthosporium* sp.]

瀧元清透:病虫雑 25(4):281, 1938 ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:155, 1939(昭 14) ; 瀧元清透:最新改訂作物病害図譜 185, 1957 ; 下元祥史ら:日植病報 77(2):105, 2011

[備考] 本病菌により果実の水ほう症 (Pimples) が生じる。瀧元(1957)は本病菌を *C. melongenae* として報告したが、下元ら(2011)は *C. cassiicola* と再同定した

こうがい毛かび病* kogai-kekabi-byo Choanephora fruit rot (毛かび病)

Choanephora sp.

北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:66, 1961-1962

黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Black-dot root-rot

Colletotrichum coccodes (Wallroth) S. Hughes [*Colletotrichum atramentarium* (Berkeley & Broome) Taubenhaus]

岸 國平・岩田 勉:日植病報 39(3):202, 1973

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

原 攝祐:実用作物病理学:501, 1925(大 14)

すすかび病 susukabi-byo Leaf mold

Mycovellosiella natrassii Deighton

斉藤 正ら:日植病報 39(3):201, 1973 ; 佐藤 徹・松本省平:九病虫研会報 19:28, 1973 ; 斉藤 正ら:高知農林研報 61, 1974 ; Deighton, F. C.:Mycological paper 137:17, 1974

すす斑病 susuhan-byo Cercospora leaf spot

Pseudocercospora fuligena (Roldan) Deighton [*Cercospora* sp.]

吉野正義:日植病報 40(2):152, 1974 ; 吉野正義:植物防疫 29(6):246, 1975 ; 原田 守ら:日植病報 75(3):234, 2009

立枯病 tachigare-byo Rhizoctonia rot

Rhizoctonia sp.

南部信方:病虫雑 1(3):290, 1914(大 3)

[備考] 簡単な記載のため調査を要する。中田覺五郎・明日山秀文 (満州国主要農作物病害調報:131, 1938) は報告の中で, *Rhizoctonia* sp. による病害を根腐病と記載している。堀 正太郎 (農作物病学:211, 1903) は *Nectria ipomoeae* Halsted による立枯病を紹介したが, 調査を要する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Gloeosporium melongenae* Ellis & Halsted]

原 攝祐:実験作物病理学:809, 1930(昭 5) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:591, 1992

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (立枯病, 苗の立枯病, 腰折病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

出田 新:日本植物病理学:307, 1903(明 36)

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照

根腐疫病 negusare-eki-byo Phytophthora root rot (根腐萎凋症)

(1) *Phytophthora glovera* A.Z. Abad & Shew

伊達寛敬ら:日植病報 49(3):390, 1983 ; 伊達寛敬ら:日植病報 50(3):392, 1984 ; Rahman, M.Z. et al.:Jpn. J. Phytopathol. 81(3):215, 2015

[備考] 伊達ら(1984)は、病原を *Phytophthora boehmeriae* と同定したが、Rahman et al. (2015)が *P. glovera* と再同定した

(2) *Phytophthora* sp.

新須利則・木曾 皓:九病虫研会報 21:70, 1975

根腐病 negusare-byo Pythium root rot

Pythium myriotylum Drechsler

岡田清嗣ら:関西病虫研報 51:69, 2009

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

瀧元清透:病虫雑 24(10):743, 1937(昭 12) ; 河合一郎:園芸病害編:161, 1954

半枯病 hangare-byo

Fusarium oxysporum Schlechtendal f. sp. *melongenae* Matuo & K. Ishigami

石上孔一:日植病報 17(3-4):151, 1953 ; 松尾卓見・石上孔一:日植病報 23(4):189, 1958 ; 竹内繁治・倉田宗良:高知農林報 19:19, 1987

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

河合一郎:園芸病害編 165, 1954 ; 田中 寛:大阪府大紀要 農学・生物学 6:127, 1956 ; 北沢健治・鈴木孝仁:日植病報 46(2):267, 1980

フザリウム立枯病 *Fusarium-tachigare-byo* Fusarium blight

Fusarium striatum Sherbakoff [*Haematonectria ipomoeae* (Halsted) Samuels & Nirenberg]

下元祥史ら:日植病報 78(3):186, 2012

変形菌病* henkeikin-byo Slime mold disease (灰色囊黴病, 灰色埃黴病)

(1) *Didymium squamulosum* (Albertini & Schweinitz) Fries

香月繁孝・米谷平和:植物防疫 9(3):107, 1955

(2) *Physarum cinereum* (Batsch) Persoon

香月繁孝・米谷平和:植物防疫 9(3):107, 1955

円星病 maruhoshi-byo Leaf spot

Septoria solanina Spegazzini

原 攝祐:病虫雑 16(3):162, 1929(昭 4)

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot (輪状斑点病)

Ascochyta phaseolorum Saccardo [*Ascochyta melongenae* Takimoto]

瀧元清透:日園雑 39(5):32, 1927(昭 2) ; 成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973 ; 成田武四・伊藤 仁:北日本病虫研報 24:6, 1973

[備考] トマト輪状斑点病参照

綿疫病 wata-eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora nicotianae Breda de Haan [*Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *nicotianae*, *Phytophthora melongenae* Sawada]

鋤塚喜久治:病虫雑 10(11):497, 1923(大 12) ; 桂 琦一・土倉亮一:西京大学報農 5:119, 1953

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Longiodorus martini* Merny クワナガハリセンチュウ

八木田秀幸:日線虫研誌 6:89, 1976

[備考] 接種試験の結果

(2) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975

[備考] 接種試験の結果

(3) *Paratrophurus* sp. リュウキュウイシユクセンチュウ

照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
高坂淦爾:九州農試研会講要 5:5, 1949 ; 後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus crenatus* Loof ノコギリネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:101, 1966

[備考] 接種試験の結果

(3) *Pratylenchus neglectus* (Rensch) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ムギネグサレセンチュウ

三浦敏夫・鷺尾貞夫:北日本病虫研報 15:142, 1964

(4) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

山田英一:北日本病虫研報 17:100, 1966

[備考] 接種試験の結果

(5) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 節根病, 根線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ

藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ

近藤鶴彦:植物防疫 6(9-10):352, 1952 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984

[備考] 接種試験の結果。 *M. mali* として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 田杉平司:実地園芸 13(増4):91, 1932(昭7)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

鉄さび様症状 tetsusabi-yo-shojo

生理障害

加藤 徹:高知大学研報農学 21:97, 1972

†黄斑モザイク病 ohan-mosaic-byo Eggplant yellow mosaic

Eggplant yellow mosaic virus

本田要八郎ら:日植病報 49(3):437, 1983

[備考] タイ

†††黒点病 kokuten-byo

Rhabdospora melongenae Hanzawa

半沢 洵:札幌博物会報 3:83, 1910(明43)

[備考] 本病の病原菌はナス褐紋病の病原菌 *Phomopsis vexans* と同一種であるといわれる

††††

Mycovellosiella tarrii Deighton [*Cercospora deightonii* Chupp]

香月繁孝:日菌報 別冊:162, 1965 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:594, 1992

ペピーノ

Pepino

Solanum muricatum Ait.

(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

本田要八郎ら:日植病報 51(1):101, 1985 ; 本田要八郎ら:日植病報 52(5):870, 1986

輪紋モザイク病 rimmon-mosaic-byo Ring spot mosaic

Alfalfa mosaic virus (AMV) アルファルファモザイクウイルス

本田要八郎ら:日植病報 51(1):101, 1985 ; 本田要八郎ら:日植病報 52(5):870, 1986

汚斑病 ohan-byo

Pleospora sp.

五十嵐文雄ら:日植病報 61(6):646, 1995

ジャガイモ(馬鈴薯)

Potato

Solanum tuberosum L.

(食用作物)

ウイルス病 virus-byo

Southern potato latent virus# (SoPLV) ジャガイモ南部潜在ウイルス

小林敏郎ら:日植病報 49(1):81, 1983 ; 小林敏郎ら:植防研報 21:41, 1985

[備考] *Potato virus S* (PVS ジャガイモ S ウイルス)のアンデス系統 (Slack, 1983) と近縁

えそ病 eso-byo Necrosis

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

松尾和敏ら:日植病報 69(3):342, 2003

黄斑モザイク病 ohan-mosaic-byo Aucuba mosaic (黄斑性モザイク病, 脈間モザイク病)

Potato aucuba mosaic virus (PAMV) ジャガイモ黄斑モザイクウイルス [Potato virus F#, Potato virus G#, *Solanum virus* 9#, Potato interveinal mosaic virus#, Marmor aucuba#]

福士貞吉:教育農芸 4(1):1, 1935(昭 10)

塊茎えそ病 kaikai-eso-byo Tuber necrotic ringspot

Potato virus Y (PVY) ジャガイモ Y ウイルス

迫 和也ら:九病虫研会報 43:130, 1997 ; 大島一里ら:日植病報 63(3):264, 1997 ; 平石千賀子ら:九病虫研会報 44:115, 1998

[備考] PVY 塊茎えそ系統

塊茎褐色輪紋病 kaikai-kasshoku-rimmon-byo

Potato mop-top virus (PMTV) ジャガイモモップトップウイルス

井本征史ら:日植病報 47(3):409, 1981 ; 井本征史ら:日植病報 52(5):752, 1986

キャリコ病 calico-byo Calico

Alfalfa mosaic virus (AMV) アルファルファモザイクウイルス

小室康雄ら:日植病報 29(4):199, 1964

葉巻病 hamaki-byo Leafroll (捲葉病, 捲葉性萎縮病, 捲葉萎縮病, 葉捲性モザイク病, 伝染性捲葉病, 縮葉病, 萎縮病)

Potato leafroll virus (PLRV) ジャガイモ葉巻ウイルス [Potato phloem necrosis virus#]

笠井幹夫:大原農研報告 2(1):47, 1921(大 10)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

松涛美文ら:日植病報 36(5):374, 1970

(2) *Potato virus A* (PVA) ジャガイモ A ウイルス

松涛美文・末次哲雄:日植病報 34(3):199, 1968 ; 松涛美文・末次哲雄:植防調査研報 8:13, 1970

(3) *Potato virus M* (PVM) ジャガイモ M ウイルス

堀尾英弘ら:日植病報 34(5):374, 1968 ; 堀尾英弘ら:日植病報 35(1):47, 1969

(4) *Potato virus S* (PVS) ジャガイモ S ウイルス

行本峰子ら:日植病報 28(5):307, 1960

(5) *Potato virus X* (PVX) ジャガイモ X ウイルス [Potato mottle virus#, Latent potato virus#, Healthy potato virus#, Potato simple mosaic virus#, Solanum virus 1#, Annulus dubius#]

田中一郎ら:北海道農試報告 49:1, 1956

(6) *Potato virus Y* (PVY) ジャガイモ Y ウイルス [Potato streak virus#, Potato leaf drop streak virus#, Potato vein-banding virus#, Potato acropetal necrosis virus#, Solanum virus 2#, Marmor epsilon#]

日高 醇:微生物学ハンドブック:554, 1957

[備考] 主として *Potato virus X* (PVX ジャガイモ X ウイルス)によっておこるモザイク病に対し, 単純モザイク病, 微斑モザイク病, 潜在モザイク病, 擬黒斑モザイク病などの病名が, また主として *Potato virus Y* (PVY ジャガイモ Y ウイルス)によっておこるモザイク病に漣葉モザイク病, 漣葉性モザイク病, クリンクルモザイク, 縮葉モザイク病, 縮葉萎縮病, 縮葉性萎縮病, 縮葉病, モザイク性萎縮病, ルゴースモザイク, 箴工萎縮病, 萎縮性モザイク病, 壊疽モザイク病, 条斑モザイク病, 壊疽萎縮病, 条斑萎縮病, 黒斑モザイク病, ストリーク, 萎縮病, などの病名が用いられたこともある

萎黄病 io-byo Yellows

Phytoplasma ファイトプラズマ

大島信行・根本正康:北海道農試彙報 79:58, 1962 ; 大島信行・根本正康:日植病報 29(1):25, 1964

[備考] 一部は紫染萎黄病が含まれている

紫染萎黄病 shisen-io-byo Purple-top

Phytoplasma ファイトプラズマ

塩田弘行ら:日植病報 25(5):235, 1960 ; 土居養二ら:日植病報 38(4):259, 1967

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病, 叢生萎縮病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

福土貞吉:病虫雑 25(1):37, 1938(昭 13) ; 土居養二ら:日植病報 38(4):259, 1967

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt (舞病, 立枯病, 萎凋病)

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

出田 新:農作物病理学:73, 1901(明 34) ; 成田武四:北日本病虫研報 2:30, 1950 ; 成田武四・春貴起男:北海道立農試報告 4:1, 1952

萎凋細菌病 icho-saikin-byo

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

谷井昭夫・馬場徹代:日植病報 37(3):183, 1971 ; 谷井昭夫・馬場徹代:北海道立農試集報 24:1, 1971 ; 富永時任・小笠原賢亮:日植病報 45:474, 1979

[備考] 病原菌の pathovar は未決定。旧第 1 巻第 3 版 p.68 にある pv. *chrysanthemi* は 1980 年の読み替えによる自動生成名で不適切

黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病)

(1) *Pectobacterium atrosepticum* (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus phytophthorus* Appel, *Erwinia carotovora* subsp. *atroseptica* (van Hall 1902) Dye 1969]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭 16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39:351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984

(2) *Pectobacterium wasabiae* (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923, *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003]

谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41:280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017

(3) *Pectobacterium carotovorum* subsp. *brasiliense* (Duarte, De Boer, Ward and de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss and Wydra 2012

藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto *et al.*: Plant Dis. 101(1):241, 2017

(4) *Dickeya* sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984

[備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違いは明確でない

そうか病 soka-byo Scab, Common scab (瘡癬病, かさ病, 癬皮病, 粗皮病, 癬腫病)

Streptomyces spp.

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大 3) ; 田中文夫ら:日植病報 61(3):253, 1995

[備考] 病名細菌名 *Streptomyces scabies* (Thaxter) Waksman & Henrici は、国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した。そうか病の病原菌として、*Streptomyces scabies* Lambert & Loria 1989, 酸性土壌 (pH5.2 以下) で発生するそうか病菌 *Streptomyces acidiscabies* Lambert & Loria 1989, 及び隆起型の病斑を形成する *Streptomyces turgidiscabies* Miyajima, Tanaka, Takeuchi & Kuninaga (Int. J. Syst. Bacteriol, 1998) が命名されている。この他そうか病の病原菌には数種の *Streptomyces* spp. があげられている

象皮病 zohi-byo Russet scab

病原細菌種名未定

木村貞夫:長崎総農試研報 3:32, 1975

[備考] 病原細菌名 *Streptomyces verrucosus* Shibata & Kimura 1975 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病, 湿性腐敗病, 湿腐病)

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus aroideae* Townsend, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

瀧元清透:農及園 2(8, 9):843, 967, 1927(昭 2) ; 中田覺五郎:作物病害図編:526, 1934(昭 9)

粘性腐敗病 nensei-fuhai-byo Slimy rot

Clostridium sp.

陶山一雄ら:日植病報 56(5):557, 1990

輪腐病 wagusare-byo Ring rot (黒腐性細菌病)

Clavibacter michiganensis subsp. *sepedonicus* (Spieckermann & Kotthoff 1914) Davis, Gillaspie, Vidaver & Harris 1984 [*Corynebacterium sepedonicum* (Spieckermann & Kotthoff) Sakpston & Burkholder, *Bacterium sepedonicum* Spieckermann & Kotthoff, *Aplanobacter sepedonicus* Smith]

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:717, 1941(昭 16) ; 田杉平司:農耕と園芸 3(10):6, 1948 ; 柄内吉彦:日植病報 13(3-4):43, 1949

萎凋病 icho-byo Fusarium wilt (萎凋病)

Fusarium oxysporum Schlechtendal の 1 系統

伊藤誠哉:北海道庁農事彙報 32:9, 1930(昭 5) ; 星野好博:日植病報 13(3-4):3, 1949

疫病 eki-byo Late blight, Blight (べと病, 葉枯病)

Phytophthora infestans (Montagne) de Bary

白井光太郎:植物病理学(下):61, 1894(明 27)

[備考] 本病菌によって起こる塊茎の腐敗を塊茎腐敗病と呼ぶことがある (北沢健治・富山宏平:北日本病虫研報 18:59, 1967)

褐斑病 kappan-byo Leaf blotch

Mycovellosiella concors (Caspary) Deighton [*Cercospora concors* (Caspary) Saccardo]

内田重義・田口啓作:北海道農試彙報 62:108, 1943(昭 18)

乾腐病 kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 乾朽病, 乾燥病, 腐敗病, フザリウム病)

(1) *Fusarium avenaceum* (Fries) Saccardo

一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987

(2) *Fusarium caeruleum* Libert ex Saccardo [*Fusarium solani* (Martius) Saccardo var. *caeruleum* (Libert ex Saccardo) C. Booth]

一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987

(3) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大 3)

(4) *Fusarium sambucinum* Fuckel

陶山一雄ら:日植病報 52(3):520, 1986 ; 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987

(5) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *eumartii* W.C. Snyder & H.N. Hansen

荒木隆男・坪木和男:日植病報 41(1):123, 1975

(6) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo f. sp. *radicicola* W.C. Snyder & H.N. Hansen [*Fusarium radicicola* Wollenweber]

ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大 3)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotial rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

成田武四:北海道十勝農試資料 2:4, 1966

銀か病 ginka-byo Silver scurf (銀痂病, 乾性瘡痂病, 瘡痂病)

Helminthosporium solani Durieu & Montagne [*Spondylocladium atrovirens* (Harz) Harz ex Saccardo]

伊藤誠哉:北海道庁農事彙報 32:14, 1930(昭 5) ; 成田武四:北日本病虫研報 3:67, 1952
[備考] Ellis, M. B.: Dematiaceous Hyphomycetes:390, 1971

黒あざ病 kuroaza-byo Black scurf (黒痣病, 根部及茎部腐敗病, 肉芽病, 菌核病)
Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]
出田 新:日本植物病理学:313, 1903(明 36)
[備考] 菌糸融合群 AG-3 培養型 IV。病原菌の異名はイネ紋枯病参照

紅色斑点病 koshoku-hanten-byo Pink spot
Setophoma terrestris (H.N. Hansen) Gruyter, Aveskamp & Verkley
山名利一・三澤知央:日植病報 75(1):85, 2009 ; 山名利一・中島千晴:日植病報 78(1):60, 2012

黒斑病 kokuhan-byo Black pit
Alternaria alternata (Fries) Keissler
米村 信ら:日植病報 51(3):334, 1985 ; 池谷美奈子・白井佳代:日植病報 75(1):85, 2009

指斑病 shihan-byo Gangrene
Phoma exigua Boerema var. *exigua*
北沢健治・柳田騏策:日植病報 48(1):128, 1982

白絹病 shirakinu-byo Southern blight
Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]
藤黒興三郎:台湾農事報 126:348, 1917(大 6) ; 石井正義・手塚信夫:関西病虫研報 36:79, 1994

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
原 攝祐:日本菌類目録:318, 1954

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
Colletotrichum coccodes (Wallroth) S. Hughes [*Colletotrichum atramentarium* (Berkeley & Broome) Taubenhaus]
栗林数衛ら:長野農試彙報 34(6):1, 1951

夏疫病 natsu-eki-byo Early blight (輪紋病, 腐敗病, 葉炎病, 葉枯病, 輪斑病, 褐斑病)
Alternaria solani (Ellis & Martin) Sorauer [*Macrosporium solani* Ellis & G. Martin, *Alternaria americana* Sawada]
出田 新:実用植物病理学:188, 1902(明 35) ; 山本和太郎:日菌報 (5):91, 1960 ; 白井佳代・三澤知央:日植病報 77(3):165, 2011

ならたけ病* naratake-byo (纏糸病)
Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten, *Armillaria mellea* (Fries) Quélet, *Agaricus melleus* Vahl]
伊藤誠哉:北海道庁農事彙報 32:10, 1930(昭 5)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold
Botrytis cinerea Persoon
成田武四:北海道の農薬(北興化学) 4:12, 1965

葉枯病 hagare-byo Leaf blight
Plectosphaerella cucumerina (Lindfors) W. Gams
宮田穂波ら:日植病報 83(3):181, 2017

葉腐病 hagusare-byo Foliage blight (葉腐れ病)

Thanatephorus cucumeris (A.B. Frank) Donk [*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn]

枅内吉彦・宇井格生:農及園 29(4):555, 1954

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

(1) *Verticillium albo-atrum* Reinke & Berthold

斎藤 泉ら:植物防疫 35(7):316, 1981

(2) *Verticillium dahliae* Klebahn

飯嶋 勉:日植病報 47(3):379, 1981

(3) *Verticillium nigrescens* Pethybridge

北沢健治・佐藤章夫:日植病報 50:641, 1984

(4) *Verticillium tricorpus* I. Isaac

海老原克介ら:日植病報 65(3):399, 1999

[備考] 病原力は非常に弱い

緋色腐敗病 hiiro-fuhai-byo Pink rot

Phytophthora erythroseptica Pethybridge

堀田治邦・谷井昭夫:日植病報 53(1):77, 1987 ; 堀田治邦・谷井昭夫:北海道立農試集報 71:1, 1996

粉状そうか病 funjo-soka-byo Powdery scab (粉状瘡痂病, 粉瘡痂病, 粉痂病)

Spongospora subterranea (Wallroth) Lagerheim f. sp. *subterranea* J.A. Tomlinson [*Spongospora subterranea* (Wallroth) Lagerheim, *Sorosporium scabies* (Berkeley) A.A. Fischer Waldheim]

金野敬三:病虫雑 4(1):70, 1917(大 6) ; 明日山秀文:植物防疫 8(12):510, 1954

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

鏑方末彦:甘藷馬鈴薯の病虫害:35, 1946

輪紋病* rimmon-byo (輪状斑点病)

Ascochyta phaseolorum Saccardo

成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973

[備考] 上記報告では輪状斑点病を提案しているが、従前のジャガイモ輪紋病は夏疫病とされているので、この病気に輪紋病を充ててよいと思われる

シスト線虫病 cyst-senchu-byo

Globodera rostochiensis (Wollenweber) Mulvey & Stone [*Heterodera rostochiensis* Wollenweber] ジャガイモシストセンチュウ

加藤利之:植物防疫 26(11):442, 1972 ; Yamada, E. et al.:Jpn. J. Nematol. 2:12, 1972 ; 児島司忠:植物防疫 27(2):69, 1973

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev [*Tylenchus dipsaci* (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ

鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7)

(2) *Paratrophurus* sp. リュウキュウイシユクセンチュウ

照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979

(3) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion (芋腐線虫病)

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:植物防疫 10(4):153, 1956 ; 西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958
[備考] 病原線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
山田英一:北日本病虫研報 18:124, 1967 ; 近岡一郎ら:神奈川農共研報 2:1, 1971

(3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
西澤 務:関西病虫研報 1:128, 1958 ; 後藤 昭・大島康臣:応動昆 7(3):187, 1963

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤病, 根線虫病, 根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ
伊藤誠哉:北海道庁農事彙報 32:15, 1930 ; 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭 9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicum* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

鏑木外岐雄:実地園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) ; 田中彰一:蔬菜病害防除論:69, 1948

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

褐色心腐病 kasshoku-shingusare-byo Internal brown spot (内部褐点病, 褐色心腐病, 褐傷病)

原因不明

福士貞吉:病虫雑 12(6):309, 1925(大 14)

空洞病 kudo-byo Hollow heart (中心空洞)

生理障害

伊藤誠哉:北海道庁農事彙報 32:15, 1930(昭 5)

黒色心腐病 kokushoku-shingusare-byo Black heart (黒傷病)

生理障害

伊藤誠哉:北海道庁農事彙報 32:15, 1930(昭 5)

二次成長病 niji-seicho-byo

生理障害

栃内吉彦:北海道における馬鈴薯病害虫とその防除:65, 1946

††塊茎褐色斑点病 kaikai-kasshoku-hanten-byo Brown spot of tuber

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:204, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus solanicola* Delacroix は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

††褐腐細菌病* kappu-saikin-byo Bacterial brown rot (褐腐性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:142, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus mesentericus* Trevisan は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

++さび斑心腐病* sabihan-shingusare-byo Internal rust spot (銹斑性心腐病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:621, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacterium rubefaciens* Burr は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

++傷腐細菌病* shofu-saikin-byo Bacterial sprain (傷腐性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:628, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacterium suberfaciens* Burr は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

++赤色心腐病* sekishoku-shingusare-byo Internal brownish red rot

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:627, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Pseudomonas solaniolens* Paine は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

++斑葉細菌病 han'yo-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑葉性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:176, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacillus tubifex* Dale は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

++腐敗細菌病* fuhai-saikin-byo Bacterial rot (腐敗性細菌病)

病原細菌種名未定

石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:660, 1941(昭 16)

[備考] 国内発生未詳。病原細菌名 *Bacterium xanthochlorum* Schuster は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

++++がんしゅ病 ganshu-byo Wart (癌腫瘤病, 疣腫病)

++*Synchytrium endobioticum* (Schilberszky) Percival

堀 正太郎:農業世界 5(4):36, 1910(明 43)

[備考] 国内発生未詳

++++腐敗病 fuhai-byo Tuber rot

(1) *Phytophthora drechsleri* Tucker

富樫浩吾:農及園 10(3):729, 1935(昭 10)

[備考] 国内発生未確認

(2) *Phytophthora erythroseptica* Pethybridge (紅腐病 (Pink rot))

西門義一:病虫雑 1(4):315, 1914(大 3)

[備考] 国内発生未確認

++++叢生萎縮病 sosei-ishuku-byo Spindle sprout

生理障害

伊藤誠哉:北海道庁農事彙報:32, 1930(昭 5)

[備考] 調査を要する

††††葉先枯病 hasakigare-byo Tip burn (紋斑病)

生理障害

伊藤誠哉:北海道庁農事彙報:32, 1930(昭 5)

[備考] 調査を要する

††††Bacterial stem rot

Dickeya dianthicola Samson, Legendre, Christen, Saux, Achouak & Gardan 2005

Suharjo, R. *et al.*:Jpn. J. Phytopathol. 75(3):272, 2009

††††

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

池谷美奈子ら:日植病報 79(1):63, 2013

[備考] 腰折症状。菌糸融合群 AG-2-2 IV

ナス類
Eggplant
Solanum spp.
(野草)

アメリカイヌホオズキ *S. americanum* Mill.

ワルナスビ *S. carolinense* L.

イヌホウズキ *S. nigrum* L.

ハリナスビ *S. sisymbriifolium* Lam.

ニシキハリナスビ(キンギンナスビ) *S. xanthocarpum* Schrad. & J.C.Wendl.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

Tanda, S.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Agri. Univ. 38:303, 1994 ; 丹田誠之助・須賀里絵:東農大農学集報 47(3):141, 2002

[備考] ワルナスビ・アメリカイヌホオズキに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] イヌホオズキに発生

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] イヌホオズキに発生

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961

[備考] イヌホオズキ・ハリナスビ・ニシキハリナスビに発生

ハダカホオズキ類

(Tubocapsicum)
Tubocapsicum spp.
(野草)

ハダカホオズキ *Tubocapsicum anomalum* (Franch. & Savat.) Makino

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] ハダカホオズキ

ミクリ科 Sparganiaceae

ミクリ類
(Sparganium)
Sparganium spp.
(野草)

ミクリ *Sparganium erectum* L.

黒穂病 kuroho-byo Smut

Nannfeldtiomyces sparganii (Lagerheim) Vánky

Vánky, K. & Harada, Y.: Trans. mycol. Soc. Japan 30:450, 1989

[備考] ミクリ

キブシ科 Stachyuraceae

キブシ(木付子, 木五倍子)
(*Stachyurus*)

Stachyurus praecox Sieb. & Zucc.
(広葉樹)

ハチジョウキブシ *S. praecox* var. *matsuzakii* (Nakai) Makino

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Oidium sp.

本間善久:四国植物防疫研究 11:135, 1976 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:141, 1968

[備考] ケキブシにも発生

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora hachijokibushi C. Nakashima, H. Horie & Tak. Kobayashi

Nakashima, C. *et al.*:Mycoscience 45:49, 2004

[備考] 接種試験未了。ハチジョウキブシに発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo stachyuri Dietel [*Pucciniastrum stachyuri* Hiratsuka, f. & Yoshinaga]

Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):665, 1930(昭 5)

[備考] ハチジョウキブシ・ヒマラヤキブシにも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未詳

堀江博道:日植病報 46(1):111, 1980 ; 堀江博道:東京農試研報 13:63, 1980

ビロード病 birodo-byo

Eriophyes sp.

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:178, 1977

††††

††*Phyllosticta stachydis* Brunaud

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):181, 1960

[備考] 病原菌の原記載宿主はシソ科の草本 *Stachys* 属で、キブシでの発生には疑問

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

ミツバウツギ科 Staphyleaceae

ゴンズイ(権萃)

(Euscaphis)

Euscaphis japonica (Thunb.) Kanitz

(広葉樹)

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

原 攝祐:柑橘の煤病論:28, 1919(大 8)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類すす病参照

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

ミツバウツギ(三葉空木)

Japanese bladdernut

Staphylea bumalda (Thunb.) DC.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病・粉病)

(1) *Erysiphe staphyleae* (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera staphyleae* Sawada, *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte]

澤田兼吉:林試研報 50:124, 1951 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973 ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):223, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012

(2) *Uncinula miyabei* Saccardo & P. Sydow

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:94, 1977 ; 野村幸彦:日菌報 7:348, 1966

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15) ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952

[備考] 病原菌の異名はボプラ類すす病参照

†さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Aecidium staphyleae Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:388, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部

††††

†*Mycosphaerella staphyleae* Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:165, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部

ショウベンノキ
(Turpinia)
Turpinia ternata Nakai
(広葉樹)

††††

†*Appendiculella turpiniae* (W. Yamamoto) Hansford [*Irenina turpiniae* W. Yamamoto]

山本和太郎:台湾博物会報 31(209):50, 1941(昭 16) ; Hansford, C. G.:Sydowia Beih. 2:455, 1961

[備考] 台湾

††††

Pestalotiopsis theae (Sawada) Steyaert [*Pestalotia theae* Sawada]

日野隆之:採集と飼育 26(12):354, 1964 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑:1190, 1978

††††

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸学術報 自然科学 1:93, 1950

ビャクブ科 Stemonaceae

ビャクブ類
Stemona spp.
(広葉樹)

ビャクブ *Stemona japonica* (Blume) Miq.

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove

竹内 純ら:関東病虫研報 49:81, 2002

(2) *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo

竹内 純ら:関東病虫研報 49:81, 2002

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 49:81, 2002

アオギリ科 Sterculiaceae

アオギリ (梧桐, 青桐)

Chinese parasol tree

Firmiana simplex (L.) W. F. Wight

(広葉樹)

根頭がんしゅ病 kōto-ganshu-byō Crown gall

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907]

原 攝祐:果樹病害論:345, 1916(大5); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を*Rhizobium*属へと読み替えることはできない

うどんこ病 udonko-byō Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe clintoniopsis* (R.Y. Zheng & G.O. Chen) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula clintoniopsis* R.Y. Zheng & G.Q. Chen]

Braun, U.:Mycotaxon 20:487; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):252, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012

(2) *Erysiphe nishidana* (Homma) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula nishidana* Homma]

伊藤一雄:樹病学大系 2:19, 1973; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭 12); 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byō Brown felt disease (膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類褐色こうやく病参照

褐斑病 kappan-byō Brown leaf spot (斑点病)

Alternaria sp.

南部信方:病虫雑 7(5):267, 1920(大 9); 南部信方:病虫雑 7(11):628, 1920(大 9)

炭疽病 tanso-byō Anthracnose

Colletotrichum sp.

小林享夫:林業と薬剤 56:7, 1976

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byō Gray felt disease (灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard

原 攝祐:茶樹の病害:149, 1932(昭 7)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類灰色こうやく病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byō Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:6, 1949

[備考] 病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

シロギリ
(Pterospermum)
Pterospermum acerifolium Willd.
(広葉樹)

†がんしゅ病 ganshu-byo
Nectria pterospermi Sawada
澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾産菌類調査報告 5):33, 1931(昭 6)
[備考] 台湾

カカオ
Cacao
Theobroma cacao L.
(特用作物)

果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo *Lasiodiplodia* pod rot
Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc
福田有希子ら:日植病報 73(1):40, 2007 ; 福田有希子ら:東京農大農学集報 53(2):130, 2008

炭疽病 tanso-byo *Anthraxnose*
Colletotrichum tropicale E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels
柴田 葵ら:日植病報 81(3):207, 2015 ; 柴田 葵ら:関東病虫研報 62:78, 2015

†ウイルス病 virus-byo Virus
(1) Cacao necrosis virus#
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:88, 1977
(2) *Cacao swollen shoot virus* [*Cacao mottle leaf virus*]
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:88, 1977

††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease (紅斑病)
Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:87, 1977
[備考] 病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 を参照

††萎凋病 icho-byo *Ceratocystis* wilt
Ceratocystis fimbriata Ellis & Halsted
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:90, 1977

††褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo *Phytophthora* rot (赤色癌腫病)
Phytophthora palmivora (E.J. Butler) E.J. Butler
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:82, 1977

††褐腐病 katsugusare-byo Brown rot
Thyridaria tarda C.K. Bancroft
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:86, 1977

††白糸胴枯病 shiraito-dogare-byo Thread blight

Marasmius equicrinis F. Müller ex Berkeley
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:93, 1977

††立枯病 tachigare-byo Verticillium wilt
Verticillium dahliae Klebahn
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:92, 1977

††炭疽病 tanso-byo Anthracnose*
Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum theobromae* K.R. Appel & Strunk]
枋内吉彦:南洋諸島(自然と資源) 418, 1940(昭 15)
[備考] 病原菌の学名は von Arx, J.A.:Phytopath. Z. 29:433, 1957 を参照

††てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom
Marasmius perniciosus Stahel
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:84, 1977

††胴枯病 dogare-byo Vascular streak, Die-back
Nectria theobromae Massee
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:91, 1977

††苗立枯病 nae-tachigare-byo Root rot
Ramularia necator Massee
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:94, 1977

††根腐病 negusare-byo Root rot
Macrophoma theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:94, 1977

††葉かび病 hakabi-byo Leaf mold
Cladosporium herbarum Link
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:95, 1977

††フオマ枝枯病* *Phoma-edagare-byo* Twig blight (枝枯病)
Phoma cacaoicola Torrendis
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:95, 1977

†ボトリオディプロディア胴枯病* *Botryodiplodia-dogare-byo* (枝枯病)
Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc [*Botryodiplodia theobromae* Patouillard]
津田盛也ら:日植病報 49(3):402, 1983
[備考] ブラジル。病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):593, 1992 を参照

††モニリア果実腐敗病 *Monilia-kajitsu-fuhai-byo* Monilia pod rot, Fruit rot
Monilia roreri Rorer
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:89, 1977

††緑点こぶ病 ryokuten-kobu-byo Green point gall
Calonectria rigidiuscula (Berkeley & Broome) Saccardo f. sp. *theobromae* E.J. Ford, Bourret & W.C. Snyder
渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:93, 1977

††††

††*Corticium javanicum* Zimmermann

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:94, 1977

††††

††*Helminthosporium bactridis* Hennings

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:55, 1977

[備考] 病原菌の分類学的所属について検討を要する

††††

††*Pestalotia dichæta* Spegazzini

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:55, 1977

[備考] 病原菌の分類学的所属について検討を要する

††††

††*Thielaviopsis paradoxa* (De Seynes) Höhnelt

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:55, 1977

ストレリチア科 Strelitziaceae

ストレリチア(ゴクラクチョウカ)
Bird-of-paradise flower
Strelitzia reginae Banks
(草花)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

後藤正夫ら:日植病報 51(1):54, 1985 ; 後藤正夫ら:日植病報 51(2):231, 1985

条斑細菌病 johan-saikin-byo Bacterial stripe

Burkholderia andropogonis (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kersters, Heulin & Fernandez 1995 [*Pseudomonas andropogonis* (Smith) Stapp]

市川一行ら:日植病報 47(1):134, 1981 ; 後藤正夫ら:植物防疫 35(6):270, 1981

疫病 eki-byo Phytophthora blight

(1) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

植松清次ら:日植病報 60(6):746, 1994

(2) *Phytophthora palmivora* (E.J. Butler) E.J. Butler

植松清次ら:日植病報 60(6):746, 1994

葉枯病 hagare-byo Leaf spot

Cylindrocladium pteridis F.A. Wolf

久保田まや:関東病虫研報 48:89, 2001

†††植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Radopholus similis (Cobb) Thorne バナナネモグリセンチュウ

三枝敏郎:植物防疫 21(5):181, 1967 ; 三枝敏郎ら:植防研報 6:41, 1968

[備考] 生産地ハワイ

モエギタケ科 Strophariaceae

ナメコ(滑子)

Nameko mushroom, Viscid mushroom

Pholiota nameko (T. Ito) S. Ito & Imai in Imai

(きのこ)

子実体腐敗病 shijitsutai-fuhai-byo

Pseudomonas sp.

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック 全国林業改良普及協会:176, 1986

[備考] 子実体に発生。ナメコ子実体上で病原性の検討を要する

軟腐病 nampu-byo Soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

伊阪実人・岡本 博:日植病報 58:595, 1992

腐敗病 fuhai-byo

Pseudomonas sp.

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック 全国林業改良普及協会:160, 1986

[備考] 菌床に発生。病原菌の分類学的所属ならびに菌床内で本菌のナメコに対する病原性については検討を要する

菌床トリコデルマ病* kinsho-Trichoderma-byo

Trichoderma spp. [*Hypocrea* spp.]

小松光雄:菌蕈研報 7:78, 1969 ; 篠田 茂・本間広之:新潟県林試報 27:45, 1985 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこの害虫・害菌ハンドブック:146, 1986

[備考] 菌床に発生。本病について、篠田 茂・本間広之 (新潟県林試報 27:45, 1985) は *Trichoderma aureoviride*, *T. koningii*, *T. viride*, *Hypocrea luteovirens*, *H. nigricans*, *H. tawa* f. *microspora* がナメコに対して抗菌性があるとしている。古川久彦・野淵 輝 (栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック, 1986) はトリコデルマ・コニンジイ病として, *T. koningii*, ヒポクレア・ムロイアーナ病として, *H. muroiana*, ヒポクレア・パキバシオイデス病として, *H. pachybasioioides*, ヒポクレア・シュワイニッツィー病として, *H. schweinitzii* [*T. longibrachiatum*] を記載し, 小松光雄 (菌蕈研報 7:78, 1969) は *T. viride* はナメコを侵害するとしている

グリオクラディウム・デリクエセンス病* *Gliocladium deliquescens*-byo

Gliocladium deliquescens Sopp

小松光雄:菌蕈研報 7:78, 1969 ; 篠田 茂・本間広之:新潟県林試報 27:45, 1985

[備考] 菌床に発生。病徴の記載無し

黒変病 kokuh-en-byo

Verticillium sp.

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック 全国林業改良普及協会:178, 1986

[備考] 子実体に発生。病原性の検討を要する

スピネルス病 *Spinellus*-byo

Spinellus fusiger (Link) Tieghem

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック 全国林業改良普及協会:180, 1986

[備考] 子実体に発生。病原性の検討を要する

ディプロクラディウム病 *Diplocladium-byo*

Cladobotryum sp. [*Diplocladium* sp.]

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック 全国林業改良普及協会:156, 1986

[備考] 菌床, 子実体に発生。病原性の検討を要する

粘菌病 *nenkin-byo*

Myxomycetes

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック 全国林業改良普及協会:158, 1986

[備考] 菌床および子実体に発生。菌床内で粘菌および随伴する細菌のナメコに対する病原性の検討を要する

溶解病 *yokai-byo*

Badhamia utricularis (Bulliard) Berkeley

原田幸雄:弘前大農報 28:32, 1977 ; 前川二太郎:1992 年版 きのこ年鑑 農村文化社:115, 1992

[備考] 子実体に発生。ナメコの菌糸に対しても病原性がある。本粘菌が単独で病原性を発揮するか, 随伴する細菌にも病原性があるかは未検討

エゴノキ科 *Styracaceae*

アメリカアサガラ

Carolina silverbell

Halesia carolina Ellis

(広葉樹)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

オオバアサガラ(大葉麻殻)

Epaulette tree

Pterostyrax hispidus Siebold & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Phyllactinia guttata* (Wallroth) Léveillé [*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten sensu Homma]

野村幸彦ら:東農大農学集報 22:305, 1978 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988

(2) *Phyllactinia* sp.

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:98, 1977

[備考] アサガラ (*P. corymbosa*) にも発生

(3) *Erysiphe togashiana* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu var. *rigida* (U. Braun & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula togashiana* U. Braun var. *rigida* U. Braun & Tanda]

Braun, U.:Mycotaxon 22:92, 1985 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):254, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012

裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew

Phyllactinia pterostyracis Y.N. Yu & Y.Q. Lai

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:243, 1997

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum styracinum Hiratsuka

平塚直秀:植研雑 10(8):470, 1934(昭 9)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

エゴノキ

Snowbell

Styrax japonica Siebold & Zucc.

(広葉樹)

オオバエゴノキ *S. japonica* Sieb. & Zucc. var. *jippeikawamurae* (Yanagita) Harao

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe miyabeana (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera miyabeana* U. Braun, *Microsphaera alni*

(Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte]

安田 篤:植物学各論隠花部:366, 1911(明 44) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. HokkaidoImp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):231, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora fukuokaensis (Chupp) X.J. Liu & Y.L. Guo [*Cercospora fukuokaensis* Chupp]

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):57, 1960 ; 富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大研報, Ser.II, 1:2, 1952 ; Kobayashi, T. *et al.*:Mycoscience 39:185, 1998 ; Nakashima, C. *et al.*:Mycoscience 45:49, 2004

[備考] オオバエゴノキに発生

こうやく病 koyaku-byo Felt disease (膏薬病)

Septobasidium mariani Bresàdola var. *japonicum* Couch

伊藤一雄:樹病学大系 3:83, 1974 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):14, 1955

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum styracinum Hiratsuka

出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明 34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 12:31, 1898(明 31)

[備考] タイワンエゴノキ・コトエゴノキにも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold

Meliola butleri Sydow & P. Sydow

安田 篤:植物学各論隠花部:360, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):153, 1904(明 37)

[備考] 病原菌の異名はホオノキ小すす病参照

†すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Appendiculella styracicola* (W. Yamamoto) Hansford [*Irene styracicola* W. Yamamoto]

山本和太郎:台湾博物学会報 31:228, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。タイワンエゴノキ

(2) *Asterolibertia hiiranensis* (W. Yamamoto) W. Yamamoto [*Asterina hiiranensis* W. Yamamoto]

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 2(2):36, 1956 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):29, 1957

[備考] 台湾。ヒメウラジロエゴノキ (*S. hayataiana*)

(3) *Chaetothyrium echinulatum* W. Yamamoto

Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):167, 1956

[備考] 台湾。ウラジロエゴノキ

(4) *Meliola styracis* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31:228, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ウラジロエゴノキ

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

堀江博道:森林防疫 31(2):27, 1982

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconema jaejuense* (Choi & Geraert) Raski & Luc [*Nothocriconema jaejuense* Choi & Geraert] ワセンチュウの1種

Minagawa, N.:Jpn. J. Nematol. 10:16, 1981

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Trichodorus tricaulatus* Shishida ユミハリセンチュウの1種

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brown sooty mold

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3):257, 1940(昭15)

[備考] 台湾。ウラジロエゴノキ (*S. suberifolius*)。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照

†灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):98, 1959 ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):166, 1928(昭3)

[備考] 台湾。タイワンエゴノキ (*Styrax formosana*)。病原菌の異名はポプラ類灰色こうやく病参照

††††

Diatrype microstroma Sydow, P. Sydow & Hara

原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大2)

††††

Diatrype stigma (Hoffmann) Fries

出田 新:続日本植物病理学(上):389, 1925(大14)

††††

Phoma sp.

塚本永治:日植病報 20(2-3):115, 1955

††††

Phyllosticta styracina Miura

三浦密成:秋田農試報 8:31, 1957

ハクウンボク(白雲木)

Fragrant snowball

Styrax obassia Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Erysiphe togashiana (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu var. *togashiana* [*Uncinula togashiana* U. Braun var. *togashiana*, *Uncinula geniculata* auct Jap. non Gerard]

安田 篤:植物学各論隠花部:368, 1911(明44) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):362, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):253, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012

褐斑病 kappan-byo

Cercospora fukuokaensis Chupp

小林享夫:新版緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:282, 1983

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum styracinum Hiratsuka

出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明 34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 12:31, 1898(明 31)

[備考] コハクウンボクにも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

セプトチス葉枯病 *Septotis*-hagare-byo Septotis leaf blight

Septotis sp.

原田幸雄ら:日植病報 75(1):57, 2009

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:7, 1949

[備考] コハクウンボク (*S. shiraiana*)。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

ハイノキ科 Symplocaceae

クロキ(ナカハラクロキ)(黒木)
(Symplocos)
Symplocos lucida Sieb. & Zucc.
(広葉樹)

がんしゅ細菌病 ganshu-saikin-byo Gall

Burkholderia sp.

大宜見朝栄:第11回植物細菌病談話会講演要旨集 p.8, 1981; 大宜見朝栄:平成元,2年度文部省科学研究費補助金研究成果報告書 研究種目 一般研究(C), 1991; 楠元智子・瀧川雄一:日植病報 65(3):360, 1999

いぼ黒点病 ibo-kokuten-byo

Dermatodothis japonica Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):261, 1983

枝黒点病 eda-kokuten-byo

Muyocopron ovatisporum Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 27(1):1, 1986

[備考] 属名 *Mycocopron* は *Muyocopron* と訂正 (Dictionary of Fungi, 8th ed., 1995)

黒やに病 kuroyani-byo (黒脂病)

Trochila symploci Hennings

松村任三:帝国植物名鑑(上):177, 1904(明 37); 安田 篤:植物学各論隠花部:351, 1911(明 44)

[備考] 病原菌の検討を要する

黒点病 kokuten-byo

Leiosphaerella dicalycis Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(1):40, 1981

斑葉病 han'yo-byo Tar spot

Phyllachora symploci Patouillard

松村任三:帝国植物名鑑(上):160, 1904(明 37); 安田 篤:植物学各論隠花部:385, 1911(明 44)

[備考] 調査を要する

もち病 mochi-byo Leaf and bud gall

(1) *Exobasidium symploci-japonicae* Kusano & Tokubuchi

草野俊助:植物学雑 21(244):138, 1907(明 40)

(2) *Exobasidium symploci-japonicae* Kusano & Tokubuchi var. *carpogenum* Nagao & S. Ogawa

Nagao, H. et al.:Mycoscience 44(5):369, 2003

輪状黒点病 rinjo-kokuten-byo

Hyponectria dicalycis Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(1):40, 1981

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:203, 1977

すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold
Meliola symplocacearum W. Yamamoto
山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):57, 1941(昭 16)
[備考] 台湾

ハイノキ(灰木)
(Symplocos)
Symplocos myrtacea Sieb. & Zucc.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)
Erysiphe nomurae (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera nomurae* U. Braun, *Microsphaera divaricata* auct. Jap. non Léveillé]
平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973 ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):387, 1937(昭 12) ; 丹田誠之助:東農大農学集報 27(3):219, 1983 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012
[備考] サワフタギ・タンナサワフタギ (*S. coreana*) に発生

褐斑病 kappan-byo (斑葉病)
Septoria sydowii Hennings & Saccardo
富樫浩吾:札幌農林学会報 36(1):51, 1943(昭 18) ; 白井光太郎:植物病理学(下):258, 1900(明 33)
[備考] サワフタギにも発生

黒点病 kokuten-byo
Dermatodothis zeylanica Sydow [*Trematosphaeria yakushimensis* Tak. Kobayashi]
小林享夫:科博専報 9:91, 1976 ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):259, 1983
[備考] カンザブロウノキ (*S. theophrastaefolia*) ・ ミミズバイ (*S. glauca*)

小円星病 ko-maruhoshi-byo
Aulographum symplocacearum I. Hino & Katumoto
Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:25, 1977 ; Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 9:909, 1958
[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

すす病* susu-byo
Meliola tanakaeana I. Hino & Katumoto
Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 8:642, 1957
[備考] ヒロハノミミズバイ (*S. tanakaeana*)

すす病* susu-byo Black mildew
Meliola symploci W. Yamamoto
山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):422, 1940(昭 15)
[備考] 台湾。ビワバハイノキ (*S. eriobotryaefolia*)

斑紋病 hammon-byo (角斑病)
Pseudocercospora symploci (Sawada ex Katsuki & Tak. Kobayashi) Deighton [*Cercospora symploci* Sawada ex Katsuki & Tak. Kobayashi]
Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(1):10, 1975 ; 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):122, 1943(昭 18) ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992
[備考] クロバイ (*S. prunifolia*) ・ サワフタギ (*S. chinensis* f. *pilosa*)

円斑病 maruhan-byo

Septoria palurae Sawada

澤田兼吉:林試研報 105:63, 1958

[備考] サワフタギ

もち病 mochi-byo Gall

Exobasidium sakataniense S. Hirata

平田正一:日菌報 22(1):61, 1981

[備考] カンザブロウノキ

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

[備考] ミミズバイ

†紫褐角斑病 shikatsu-kakuhan-byo

Phloeospora symploci Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):60, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。タイワンサワフタギ (*Symplocos crataegoides* var. *chinensis*)

††††

Phaeospora symplocicola (Hara) Hara [*Leptosphaerella symplocicola* Hara]

原 攝祐:病虫雑 5(10):805, 1918(大 7) ; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3 版):255, 1927(昭 2)

[備考] サワフタギ

††††

Physalospora symplocicola Hara

原 攝祐:病虫雑 5(10):806, 1918(大 7)

[備考] サワフタギ

イチイ科 Taxaceae

イチイ(欒, 一位)

Japanese Yew

Taxus cuspidata Sieb. & Zucc.

(針葉樹)

キャラボク(伽羅木) Japanese yew *Taxus cuspidata* var. *nana* Hort. ex Rehder

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight

Racodium therryanum Thümen

佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] イチイ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66:265, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold

Asteridiella pitya (Saccardo) Hansford [*Irenina taxi* Sawada non Stevens]

澤田兼吉:林試研報 46:137, 1950 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:24, 1973

[備考] イチイ

根腐病 negusare-byo Phytophthora root rot

Phytophthora cinnamomi Rands

小玉孝司ら:関西病虫研報 22:58, 1980

[備考] キャラボク

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

[昭和 52 年 11~12 月の森林病虫害等被害発生状況]:森林防疫 27:19, 1978

[備考] イチイ。病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Paratrichodorus porosus (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

カヤ(榧)

Kaya, Japanese Torreya

Torreya nucifera (L.) Sieb. & Zucc.

(針葉樹)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66:265, 1984

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

伊藤一雄:林試研報 43:3, 1949

[備考] 病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

蓮根腐病* renkon-gusare-byo

Laurilia taxodii (Lentz & H.H. McKay) Parmasto [*Stereum sulcatum* Burt, *Stereum taxodii* Lentz & H.H. McKay]

カサウロコタケ

安田 篤:植物学雑 31(362):40, 1917(大 6) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑 II:168, 1989

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌より検出

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 上記種との異同は不明

++++溝腐病 mizogusare-byo

病原未詳

今関六也:緑化樹木の樹勢診断と手当:56, 1974

スギ科 Taxodiaceae

リュウサン(柳杉)

(Cryptomeria)

Cryptomeria fortunei Hooibrenk ex Otto

(針葉樹)

赤枯病 akagare-byo Needle blight

Cercospora sequoiae Ellis & Everhart

小林享夫:日植病報 48:135, 1982

[備考] 人工接種。国内自然発生未記録。病菌の所属についてはスギ赤枯病参照

スギ(杉)

Japanese cedar, Cryptomeria

Cryptomeria japonica (Linn.fil.) D. Don

(針葉樹)

赤枯病 akagare-byo Needle blight (焦茶赤枯病, 苗赤枯病, 溝腐病, 造林木溝腐病)

Cercospora sequoiae Ellis & Everhart [*Cercospora cryptomeriae* Shirai]

川村清一:山林公報 5:57, 1912(明 45); 北島君三:林試報 14:31, 1916(大 6); 伊藤一雄:植物防疫 6:176, 1953;

Ito, K. *et al.*:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:73, 1967

[備考] 本病原菌を *Asperisporium* 属に転属[*A. sequoiae* (Ellis & Everhart) Sutton & Hodges]する見解がある (Sutton, B. C. & Hodges, C. S.:Mycologia 82:314, 1990)

暗色枝枯病 anshoku-edagare-byo Guignardia dieback (幹腐病, 苗垂葉病, 灰色枝枯病)

Guignardia cryptomeriae Sawada [不完全世代: *Macrophoma sugi* Hara]

澤田兼吉:林試研報 45:27, 1950 ; 原 攝祐:樹病学各論:219, 1923(大 12) ; 小林享夫:日林誌 38:16, 1956

[備考] 完全世代は *Botryosphaeria*, 不完全世代は *Dothiorella* に所属すると考えられているが(小林享夫: 今月の農業 32(2):78, 1988), 転属処理は行われていない

暗色芽枯病 anshoku-megare-byo

Siroligniella cryptomeriae Sawada

澤田兼吉:林試研報 45:44, 1950

暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight

Racodium therryanum Thümen

伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:219, 1957 ; 佐藤邦彦:林試秋田支場研究時報 1:1, 1955 ; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960

[備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照

うす黒赤枯病 usuguro-akagare-byo (薄黒赤枯病)

Fusicoccum cryptomeriae Sawada

澤田兼吉:林試研報 45:38, 1950

枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo Sclerotial dieback disease (菌核病)

Sclerotium sp.

佐藤邦彦:森林防疫ニュース 8:37, 1952 ; 澤田兼吉:林試研報 45:48, 1950 ; 窪野高德・市原 優:日林誌 86(2):164, 2004

[備考] 窪野・市原(2004)は褐点枝枯病菌と枝枯菌核病菌が同一である可能性を指摘している

枝枯病 edagare-byo (疎黒点枝枯病)

(1) *Hysterium thujopsidis* Sawada

澤田兼吉:林試研報 53:152, 1952

(2) *Massalongiella cryptomeriae* Sawada

澤田兼吉:青森局第2回造林技術分担研究発表会記録第2輯:119, 1949; 澤田兼吉:林試研報 45:32, 1950

表黒点病* omote-kokuten-byo (黒点病)

Microthyrium cryptomeriae Sawada

澤田兼吉:林試研報 45:33, 1950

かいがら状枝枯病 kaigarajo-edagare-byo (介殻状枝枯病)

Halbania cryptomeriae Sawada

澤田兼吉:林試研報 45:30, 1950

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo *Plectosphaera* needle blight

Plectosphaera cryptomeriae (Hara) Tak. Kobayashi [*Physalospora cryptomeriae* Hara]

伊藤一雄:図説林木病害診断法:21, 1961; 原 攝祐:病虫雑 5:805, 1918(大7); Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 11:62, 1970

褐点枝枯病 katten-edagare-byo *Scolecosprium* dieback (スコレコスポリウム枝枯病, 褐色粒枝枯病)

Scolecosprium sp.

伊藤一雄:図説林木病害診断法:57, 1961; 佐藤邦彦・庄司次男:69回日林講:363, 1959; 窪野高德・市原 優:日林誌 86(2):164, 2004

[備考] 窪野・市原(2004)は褐点枝枯病菌と枝枯菌核病菌が同一である可能性を指摘している

かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot

Trametes versicolor (Linnaeus) Pilát [*Coriolus versicolor* (Linnaeus) Quélet, *Polystictus versicolor* Fries var. *nigricans* Saccardo] カワラタケ

北島君三:樹病学及木材腐朽論:455, 1933(昭8); 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):235, 1994

がんしゅ病* ganshu-byo *Nectria* canker

Nectria galligena Bresàdola

原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大2)

[備考] スギの瘤に寄生する

キトスポラ胴枯病 *Cytospora*-dogare-byo *Cytospora* canker (苗木がんしゅ病)

Valsa abietis Fries [*Valsa cryptomeriae* Hara, *Valsa cryptomeriae* Kitajima, *Valsa cryptomeriaeicola* Hara, *Valsa sugifolia* Hara, 不完全世代: *Cytospora abietis* Saccardo]

小林享夫・浜 武人:日林誌 51:12, 1969; 北島君三:山林公報(1):8, 1918(大7); Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:109, 1970

菌核病 kinkaku-byo Sclerotial disease (苗木菌核病, 雪腐病)

Sclerotinia kitajimana Kaz. Ito & Hosaka

笠井幹夫:病虫雑 4:23, 1917(大6); 伊藤一雄・保坂義行:林試研報 51:1, 1951

くもの巣病 kumonosu-byo Web blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

伊藤一雄:樹病学概論:67, 1960

[備考] 本病菌の完全世代 *Thanatephorus cucumeris* はスギでは未記録

黒あざ枝枯病 kuroaza-edagare-byo

Botryosphaeria sp.

小林享夫:森林防疫ニュース 6:102, 1957

黒粒葉枯病 kurotsubu-hagare-byo Chloroscypha needle blight (黒粒枝枯病)

(1) *Chloroscypha seaveri* (Rehm) Seaver [*Chloroscypha cryptomeriae* Terrier, *Mollisia cryptomeriae* Sawada]

伊藤一雄:山林 809:16, 1951 ; 北島君三:林学会雑 9:24, 1927(昭2) ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 176:62, 1965

(2) *Chloroscypha thujopsidis* (Sawada) Kobayashi

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 176:67, 1965

[備考] スギでの発生は稀である。病菌の異名はアスナロ黒粒葉枯病参照

ケイチア葉枯病* Keithia-hagare-byo Didymascella needle blight

Didymascella sp.

徳重陽山:日植病報 35:362, 1969

黒点枝枯病 kokuten-edagare-byo Twig blight

Stromatinia cryptomeriae Kubono & Hosoya [不完全世代: *Gloeosporidina cryptomeriae* Kubono]

伊藤一雄:森林防疫ニュース 4:239, 1954 ; Kubono, T. & Hosoya, T.:Mycoscience 35:283, 1994

黒点病 kokuten-byo (雄花鱗片黒点病, 芽枯病)

Leptosphaerulina japonica Kasai [*Leptosphaerulina cryptomeriae* Sawada]

笠井幹夫:病虫雑 4:26, 1917(大6) ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 11:57, 1970

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ(キウラサルノコシカケ)

梅村甚太郎:植物学雑 28(332):357, 1914(大3) ; 今関六也:植研雑 17:177, 1941(昭16)

[備考] 病菌のその他の異名はトドマツこふきたけ病参照

こぶ病 kobu-byo Gall (瘤状天狗巣病)

Botryosphaeria sp. [*Nitschkia tuberculifera* Kusano]

草野俊助:植物学雑 17(197):147, 1903(明36) ; 草野俊助:植物学雑 18(213):212, 1904(明37) ; 福田健二・鈴木和夫:日林誌 68(11):462, 1986 ; 安藤裕萌ら:日菌報 54(1):15, 2013

[備考] 安藤ら(2013)は, 本菌が *Phyllostica* 属の一新種である可能性が高いとした

白絹病 shirakinu-byo Rolfs' blight, Southern Sclerotium rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne]

澤田兼吉:台湾農事報 49:12, 1910(明43) ; 遠藤 茂:宮崎高農学術報 10:77, 1938(昭13)

白葉枯病 shirahagare-byo

Isothea imazekii Kobayashi

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 13:23, 1972

白粒腐敗病 shirotsubu-fuhai-byo

Cylindrocarpon destructans (Zinssmeister) Scholten

佐藤邦彦・庄司次男:79 回日林講:233, 1968

[備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツ白粒腐敗病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡辺文吉郎:農林水産技会指定試験(病虫害) 3:6, 1963

[備考] 病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照

軸枯病 jikugare-byo (疎黒粒病, 疎黒点病)

Wegelia cryptomeriae Sawada [不完全世代: *Pleurochaeta cryptomeriae* Sawada]

澤田兼吉:林試研報 45:36, 1950 ; 澤田兼吉:青森局第 2 回造林技術分担研究発表会記録第 2 輯:121, 1949

水耕苗根腐病* suikona-negusare-byo

Pythium sp.

小林享夫・佐々木克彦:日植病報 36:369, 1970

大粒菌核病 dairyu-kinkaku-byo Sclerotial disease (リバーチアナ菌核病)

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

伊藤一雄:図説林木病害診断法:14, 1961 ; 小林享夫:日林誌 38:450, 1956

ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease

Thelephora terrestris Ehrhart チャイボタケ

伊藤一雄:図説苗木病害診断法(前):44, 1959 ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:653, 1917(大 6)

[備考] 病菌の異名はモミ類ちやいぼたけ病参照

つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot

Rhizina undulata Fries ツチクラゲ

佐藤邦彦ら:林試研報 268:22, 1974

[備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツつちくらげ病参照

床替苗根腐病 tokogaenae-negusare-byo Root rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:図説苗木病害診断法(前):59, 1959

(2) *Fusarium* spp.

伊藤一雄:図説苗木病害診断法(前):59, 1959

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (苗腐敗病, 腰折病, 倒靡病, 子苗立枯病, 腐敗病)

(1) *Cylindrocarpon* sp.

周藤靖雄:島根林試報 24:6, 1974

(2) *Cylindrocladium scoparium* Morgan

佐藤邦彦:76 回日林講:349, 1965

(3) *Fusarium lateritium* Nees

千葉 修ら:74 回日林講:311, 1963

(4) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

伊藤一雄:林業技術シリーズ 1:16, 1949 ; 藤黒與三郎:植物学雑 28(333):395, 1914(大 3)

[備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツ苗立枯病参照

(5) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:林業技術シリーズ 1:付図 VB, 1949 ; 伊藤一雄:林業技術シリーズ 1:(改訂版)付図 IA, 1950

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

伊藤一雄:樹病:52, 1952 ; 西門義一:農学研究 36:339, 1944(昭 19)

[備考] スギでは生物学的種の検討は行われていない

根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot

(1) *Bondarzewia mesenterica* (Schaeffer) Kreisel [*Bondarzewia montana* (Quélet) Singer] ミヤマトンビマイ
タケ

青島清雄ら:75 回日林講:397, 1964 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):259, 1994

(2) *Ganoderma valesiacum* Boudier [*Ganoderma tsugae* Murrill] ツガノマンネンタケ

今関六也:東京科博研報 1:41, 1939(昭 14) ; 青島清雄:日菌報 15:443, 1974

(3) *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilbertson & Ryvarden [*Tyromyces balsameus* (Peck) Murrill] レンゲタケ
(トドマツオオウズラタケ)

青島清雄ら:75 回日林講:397, 1964 ; 今関六也ら:日本のきのこ (山溪カラー名鑑):463, 1988

(4) *Perenniporia subacida* (Peck) Donk [*Poria subacida* (Peck) Saccardo] キンイロアナタケ

青島清雄ら:75 回日林講:397, 1964 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):586, 1992

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (雪腐病)

Botrytis cinerea Persoon

伊藤一雄・保坂義行:林試研報 51:1, 1951

灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo Mycosphaerella needle blight

Mycosphaerella cryptomeriae Shirai & Hara

澤田兼吉:林試研報 45:34, 1950 ; 原 攝祐:病虫雑 5:462, 1918(大 7)

灰褐赤枯病 haikatsu-akagare-byo

Sphaerulina iwatensis Sawada

澤田兼吉:林試研報 45:36, 1950

灰褐葉枯病 haikatsu-hagare-byo Stagonospora needle blight

Stagonospora cryptomeriae Sawada

伊藤一雄:図説林木病害診断法:23, 1961 ; 澤田兼吉:林試研報 45:44, 1950

白点赤枯病 hakuten-akagare-byo Sphaeropsis needle blight (白点病)

Sphaeropsis cryptomeriae Sawada

澤田兼吉:青森局第 2 回造林技術分担研究発表会記録第 2 輯:121, 1949 ; 澤田兼吉:林試研報 45:27, 1950

白点枝枯病 hakuten-edagare-byo

Cyclodermis cryptomeriae Sawada

澤田兼吉:林試研報 45:43, 1950

はちかみ病 hachikami-byo

Cephalosporium sp.

安盛 博・山本昌木:70 回日林講:344, 1960 ; 安盛 博・山本昌木:島根農大研報 7(A):74, 1959

斑点病 hanten-byo (汚点病)

Phorcyia cryptomeriae Uyeda & Shirai

安田 篤:植物学各論隠花部:392, 1911(明 44)

非赤枯性溝腐病 hi-akagaresei-mizogusare-byo

(1) *Fomitiporia torreyae* Y.C. Dai & B.K. Cui [*Fuscoporia punctata* (Fries) G. Cunningham, *Phellinus punctatus* (Fries) Pilát, *Poria punctata* (Fries) P. Karsten] チャアナタケモドキ

今関六也:森林防疫ニュース 9:230, 1960 ; 青島清雄ら:75 回日林講:394, 1964 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):265, 1994 ; 金子洋平ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Ota, Y. *et al.*:Mycologia 106(1):66, 2014

(2) *Phellinus hartigii* (Allescher & Schnabl) Patouillard モミサルノコシカケ

佐藤邦彦:森林防疫 18:56, 1969

[備考] 病菌の異名はトドマツ溝腐病参照

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot (苗裾腐病)

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidànich

伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:170, 1957

[備考] 病菌の異名はモミ類微粒菌核病参照

フオマ葉枯病 Phoma-hagare-byo Phoma blight (苗赤枯病, 赤枯病)

Discochora sawadae (Tak. Kobayashi) Bissett & M.E. Palm [*Guignardia sawadae* Tak. Kobayashi, 不完全世代: *Phoma cryptomeriae* Kawamura, *Phyllosticta cryptomeriae* Kawamura]

伊藤一雄:図説林木病害診断法:25, 1961 ; 川村清一:林試報 10:91, 1913(大 2) ; Kobayashi, T. & Sasaki, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16:230, 1975 ; Bissett, J. & Palm, M.:Can. J. Bot. 67:3378, 1989

フオモプシス枝枯病 Phomopsis-edagare-byo Phomopsis dieback (枝枯病)

Diaporthe conorum (Desmazières) Niessl [不完全世代: *Phomopsis cephalotaxi* Sawada, 不完全世代: *Phomopsis cryptomeriae* Kitajima & Kamei]

小林享夫:林試研報 107:1, 1958 ; 北島君三:林試報 26:147, 1925(大 14)

変形菌病* henkeikin-byo (粘菌病)

Tubifera ferruginosa (Batsch) Gmelin [*Tubulina cylindrica* (Bulliard) de Candolle] クダホコリ

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):36, 1959 ; 安田 篤:植物学雑 35(414):146, 1921(大 10)

[備考] 他の変形菌も観察されているが、種類は未同定

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis foedans* (Saccardo & Ellis) Steyaert [*Pestalotia aomoriensis* Sawada, *Pestalotia breviseta* sensu Hino non Saccardo, *Pestalotia funerea* sensu Ito non Desmazières, *Pestalotia funerea* sensu Shirai non Desmazières, *Pestalotia shiraiana* Hennings]

白井光太郎:大日本山林会報 253:6, 1903(明 36) ; Hennings, P.:Engler's Bot. Jahrb. 37:164, 1906 ; 澤田兼吉:林試研報 45:39, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993

(2) *Pestalotiopsis glandicola* (Castagne) Steyaert [*Pestalotia cryptomeriicola* Sawada, *Pestalotia cycadis* sensu Hino non Allescher, *Pestalotia laricina* Sawada]

澤田兼吉:林試研報:45:40, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993

(3) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert

北島君三:樹病学及び木材腐朽論:73, 1933(昭 8) ; 澤田兼吉:林試研報 45:27, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Gloeophyllum subferrugineum* (Berkeley) Bondartsev & Singer [*Lenzites subferruginea* Berkeley] ヒロハノキカイガラタケ

北島君三:鹿児島高農 25 周年記念論文集:166, 1934(昭 9) ; 永友 勇・高木幹子:京都学芸大報 B 10:41, 1957
 (2) *Gloeophyllum trabeum* (Persoon) Murrill キチリメンタケ
 Yasuda, A.:Bot. Mag. Tokyo 36(432):155, 1922(大 11)
 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照
 (3) *Rigidoporus ulmarius* (Sowerby) Imazeki [*Fomes ulmarius* sensu Hemmi non Gillet, *Rigidoporus geotropus* (Cooke) Imazeki] オオシロサルノコシカケ
 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:23, 1952 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):350, 1992
 (4) *Veluticeps abietina* (Persoon) Hjortstam & Telleria マツノウロコタケ
 逸見武雄ら:植物学雑誌 43(516):657, 1929(昭 4) ; Imazeki, R.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 57:117, 1952 ; 阿部恭久:
 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):350, 1992
 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot
Phlebiopsis gigantea (Fries) Jülich [*Corticium giganteum* Fries, *Peniophora gigantea* (Fries) Massee] カミカ
 ワタケ
 北島君三:樹病学及木材腐朽論:436, 1933(昭 8) ; 今関六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):422, 1988

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋葉病)
Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka
 出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明 44) ; 白井光太郎:最近植物病理学:354, 1903(明 36)
 [備考] 病菌の異名はヒノキ紫紋羽病参照

芽枯病 megare-byo Bud blight
 (1) *Mycosphaerella sugicola* Kobayashi [*Pseudosphaerella cryptomeriae* Sawada]
 澤田兼吉:林試研報 45:35, 1950 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):581, 1992
 (2) *Phyllosticta japonica* Sawada non Thümen
 澤田兼吉:林試研報 45:43, 1950
 [備考] 本菌に対して *Phyllosticta sawadae* Hara(原 攝祐:植物防疫 6(11):9, 1952)が提案されたが, 正式の
 手続きがなされていない
 (3) *Alternaria* sp.
 澤田兼吉:林試研報 45:45, 1950

芽腐病 megusare-byo Bud rot
Trichothecium roseum (Persoon) Link [*Cephalothecium roseum* Corda]
 伊藤一雄・林 弘子:日林誌 42:118, 1960

林地根腐病 rinchi-negusare-byo
 (1) *Pythium* sp.
 佐藤邦彦:森林防疫ニュース 4:157, 1955
 (2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn
 佐藤邦彦:森林防疫ニュース 4:157, 1955

列いぼ病 retsu-ibo-byo (一列多疣病)
Cercospora cryptomeriaeicola Sawada
 伊藤一雄:図説林木病害診断法:32, 1961 ; 澤田兼吉:林試研報 45:47, 1950

蓮根腐病* renkon-gusare-byo
Laurilia taxodii (Lentz & H.H. McKay) Parmasto [*Stereum taxodii* Lentz & H.H. McKay] カサウロコタケ
 青島清雄ら:75 回日林講:397, 1964 ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑 II:110, 1989

ロゼリニア暗色かび病 *Rosellinia-anshokukabi-byo* (黒色果粒病)

Rosellinia herpotrichioides Hepting & R.W. Davidson

佐藤邦彦:森林防疫 18:57, 1969 ; 佐藤邦彦:日林誌 41:167, 1959

萎縮線虫病 *ishuku-senchu-byo* Stunt

(1) *Tylenchorhynchus claytoni* Steiner ナミイシユクセンチュウ

橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961 ; 橋本平一:日林誌 44:248, 1962 ; 橋本平一:福岡林試時報 16:154, 1963

(2) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの1種

山田栄一・周藤靖雄:島根林試研報 14:1, 1966

[備考] 上記種との異同は不明

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの1種

橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961 ; 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 小口健夫:北方林業 18:70, 1966

[備考] 根圏土壌から検出

(2) *Aphelenchus avenae* Bastian ニセネグサレセンチュウ

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Aphelenchus* sp. ニセネグサレセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

[備考] 根圏土壌より検出

(4) *Criconema* sp. [*Lobocriconema* sp.] ワセンチュウの1種

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌より検出, 上記種との異同は不明

(5) *Criconemella macrodora* (Taylor) Luc & Raski [*Xenocriconema macrodora* Taylor] ワセンチュウの1種

穴田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987

[備考] 根圏土壌より検出

(6) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

[備考] 根圏土壌より検出。属名は再検討を要する

(7) *Ditylenchus* sp. クキシセンチュウの1種

横川登代司:72 回日林講:365, 1964 ; 小口健夫:北方林業 18(3):70, 1966

[備考] 根圏土壌より検出

(8) *Helicotylenchus dihystera* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963

(9) *Helicotylenchus erythrinae* (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ

真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

[備考] 根圏土壌からの検出

(10) *Hirschmanniella oryzae* (van Breda de Haan) Luc & Goodey イネネモグリセンチュウ

真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

[備考] 根圏土壌より検出。1968 年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある

(11) *Ogma octozonale* (Momota & Ohshima) Siddiqi [*Crossonema octozonale* Momota & Ohshima] スギトゲワセンチュウ

Momota, Y. & Ohshima, Y.:Jpn. J. Nematol. 4:47, 1974

[備考] 根圏土壌より検出

(12) *Pararotylenchus pini* (Mamiya) Baldwin & Bell [*Rotylenchus pini* Mamiya] マツラセンセンチュウ

- Mamiya, Y.:Proc. helminthol. Soc. Wash. 35(1):38, 1968
 (13) *Paratrichodorus minor* (Colbran) Siddiqi [*Trichodorus minor* Colbran] ヒメユミハリセンチュウ
 Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967
 (14) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi [*Trichodorus porosus* Allen] ナガイモユミハリセンチュウ
 Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967
 [備考] 接種試験の結果
 (15) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの1種
 横川登代司:75 回日林講:365, 1964
 [備考] 根圏土壌より検出
 (16) *Rotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種
 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963
 [備考] 根圏土壌から検出
 (17) *Scutellonema brachyurum* (Steiner) Andrassy フトラセンセンチュウ
 真宮靖治:77 回日林講:295, 1966
 (18) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ
 Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967
 (19) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種
 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 横川登代司:72 回日林講:365, 1964 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974
 (20) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの1種
 横川登代司:75 回日林講:365, 1964
 [備考] 根圏土壌より検出
 (21) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ
 伊藤弘康:新潟林試研報 11:34, 1965
 [備考] 種名は再検討を要する
 (22) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ
 Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983
 [備考] 根圏土壌より検出

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

- (1) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ
 横川登代司:72 回日林講:263, 1962 ; 真宮靖治:77 回日林講:295, 1966 ; 小口健夫:北方林業 18:70, 1966
 (2) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
 真宮靖治:77 回日林講:295, 1966
 (3) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
 真宮靖治:77 回日林講:295, 1966

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

- (1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ
 横川登代司:72 回日林講:263, 1962 ; 橋本平一:福岡林試時報 16:154, 1963 ; 真宮靖治・末永 健:森林防疫 18:5, 1969
 (2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
 橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961 ; 横川登代司:72 回日林講:263, 1962

さし木苗ぼうしゅ病 sasikinae-boshu-byo Wound-overgrowth of cutting (さし木苗根頭がんしゅ病) 生理障害

- 伊藤一雄:林業実務叢書保護編:309, 1952
 [備考] 本病は根頭がんしゅ病細菌 *Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend) Conn によるものとされたが、本病とは無関係

心腐病 shingusare-byo Heart rot

病因未詳

北島君三:樹病学及木材腐朽論:81, 1933(昭 8)

針葉赤変病 shin'yo-sekihen-byo (苦土欠乏症)

マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency)

伊藤一雄:図説樹病講義:14, 1955; 佐藤邦彦:森林防疫ニュース 29:329, 1954; 宮崎 榊ら:日林東北支誌 7:92, 1956

帯化病 taika-byo Fasciation

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 10:234, 1961

多芽性そうか病 tagasei-soka-byo

生理病 (芽条変異?)

佐藤邦彦:森林防疫 21:25, 1972

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 13:204, 1964

苗がんしゅ(癌腫)病 nae-ganshu-byo Canker

病因不明

北島君三:山林公報 1:8, 1918(大 7)

[備考] *Valsa cryptomeriae* Kitajima が病原菌とされていたが、これは本病と直接の関係はない

非伝染性こぶ病 hi-densensei-kobu-byo

病因不明

佐藤邦彦:森林防疫ニュース 15:32, 1966

ほうき病 hoki-byo (クマスギのほうき病)

生理障害

浜 武人:森林防疫ニュース 10:26, 1961

†††† 苗疫病* nae-eki-byo Damping-off (苗立枯病)

†† *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter [*Phytophthora omnivora* de Bary]

新島善直:新編森林保護学(下):442, 1925(大 14)

[備考] スギでは国内発生に疑問

††††

Amylostereum laevigatum (Fries) Boidin

Tabata, M.:Mycoscience 38:421, 1997

[備考] 接種試験記載有り。材の変色に関与

††††

Dimeriellopsis cryptomeriae Sawada

澤田兼吉:林試研報 45:29, 1950

††††

Massariella cryptomeriae Uyeda & Shirai

出田 新:続日本植物病理学(上):272, 1925(大 14)

††††

Metasphaeria sp.

富樫浩吾:日植病報 13(1-2):61, 1948

††††

Sarea resinae (Fries) Kuntze

Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3):332, 1985

††††

Strumella griseola Höhnelt

Tubaki, K.:Journ. Hattori Bot. Lab. 20:174, 1958

††††

Teichospora sp.

安盛 博:群馬林試報 6:106, 1966

[備考] 黒点病菌(*Leptosphaerulina japonica* Kasai)との異同について検討を要する

コウヨウザン(広葉杉)

Chinese fir

Cunninghamia lanceolata (Lamb.) Hook.

(針葉樹)

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo

Bartalinia cunninghamiicola Tak. Kobayashi & J.Z. Zhao

Kobayashi, T. & Zhao, J.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(3):294, 1987

ならたけもどき病 naratakemodoki-byo

Armillaria tabescens (Scopoli) Emel ナラタケモドキ

金子周平・小河誠司:森林防疫 47:164, 1998

葉枯病 hagare-byo

Lophiosphaera orientalis I. Hino & Katumoto

Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Agri. Yamaguchi Univ. 15:522, 1964

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis foedans* (Saccardo & Ellis) Steyaert

澤田兼吉:林試研報 45:41, 1950

[備考] 病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

(2) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert

周藤靖雄・小林享夫:日菌報 34:324, 1993

[備考] 病菌の異名はヒノキ・ペスタロチア病参照

列状黒点葉枯病 retsujo-kokuten-hagare-byo (葉枯病)

Soleella cunninghamiicola (Ogimi & Korf) Saho & Zinno [*Bifusella cunninghamiicola* Ogimi & Korf, *Soleella*

cunninghamiae Saho & Zinno]

佐保春芳・陳野好之:日林誌 57:164, 1975 ; Ogimi, C. & Kolf, R. P.:Phytologia 23:155, 1972

††††葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial needle blight

†*Pseudomonas syringae* pv. *cunninghamiae* He & Goto 1995

何 学友・後藤正夫:日植病報 61:38, 1995 ; 何 学友ら:森林防疫 44:203, 1995

[備考] 中国

††††

Discosia pini Heald

Kobayashi, T. & Zhao, J.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28:291, 1987

スイショウ(水松)

Chinese swamp cypress, Shui Song

Glyptostrobus pensilis K. Koch

(針葉樹)

赤枯病 akagare-byo Needle blight

Cercospora sequoiae Ellis & Everhart

小林享夫:日植病報 48:135, 1982

[備考] 病菌の所属についてはスギ赤枯病参照

メタセコイア(アケボノスギ)

Dawn red-wood

Metasequoia glyptostroboides Hu & Cheng

(針葉樹)

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義)

長沢栄史:平 2 科研費研究成果報:1, 1991 ; Ota, Y. *et al.*:Plant Disease 82:537, 1998

[備考] メタセコイアからの菌株は長沢による E 型に属し, 狭義の種名についてはさらに検討を要する

斑点病 hanten-byo

Macrosporium sp.

大田繁則:採集と飼育 16:146, 1954

微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo Black root rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidanich

佐藤邦彦・庄司次男:林試研報 111:52, 1959

[備考] 病菌の異名はヒノキ微粒菌核病参照

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

(1) *Pestalotiopsis foedans* (Saccardo & Ellis) Steyaert

Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:334, 1993

[備考] 病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照

(2) *Pestalotiopsis neglecta* (Thümen) Steyaert

水上武幸・済木卯一郎:佐賀大農彙報 9:91, 1959 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:324,

1993

[備考] 病菌の異名はヒノキ・ペスタロチア病参照

††††

Phomatospora sp.

安盛 博:群馬林試報 5:157, 1965

セコイア(センペルセコイア)

Redwood

Sequoia sempervirens Endl.

(針葉樹)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (雪腐病)

Botrytis cinerea Persoon

佐藤邦彦・太田 昇:林試秋田支場研究時報 4:31, 1952

葉枯病 hagare-byo Needle blight

Pseudocercospora exosporioides (Bubák) B. Sutton & Hodges [*Cercospora exosporioides* Bubák]

橋本平一:九病虫研会報 3:94, 1957 ; Sutton, B. C. & Hodges, C. S.:Mycologia 82:320, 1990

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis sp. [*Pestalotia* sp.]

小林享夫:林業と薬剤 45:1, 1973 ; 周藤靖雄・小林享夫:森林防疫 44:70, 1995

[備考] 病徴の記載のみで病原菌の詳細は不明

††††

Phyllosticta sequoiae Naito

内藤 喬:鹿大理研報 1:74, 1952

セコイアデンドロン(ギガントセコイア)

Giant sequoia, Big-Tree, Giant redwood

Sequoiadendron giganteum Buch.

(針葉樹)

赤枯病 akagare-byo Needle blight

Cercospora sequoiae Ellis & Everhart

伊藤一雄ら:日林誌 40:407, 1958 ; Ito, K. *et al.*:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:1, 1967

[備考] 病菌の所属についてはスギ赤枯病参照

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小林享夫:林業と薬剤 45:2, 1973

針葉赤変病* shin'yo-sekihen-byo

マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency)

佐藤邦彦:青森林友 267:32, 1970

††††

Pestalotiopsis palmarum (Cooke) Steyaert [*Pestalotia palmarum* Cooke]
Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:108, 1975

ラクウショウ(ヌマスギ)(落羽松)

Bald cypress

Taxodium distichum (L.) Rich.
(針葉樹)

赤枯病 akagare-byo Needle blight

Cercospora sequoiae Ellis & Everhart

Jinno, Y.:J. Jap. For. Soc. 51:183, 1969

[備考] 病菌の所属についてはスギ赤枯病参照

ツバキ科 Theaceae

ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶)

Camellia

Camellia japonica L.

(広葉樹)

斑葉病 han'yo-byo Yellow mottle leaf

Camellia yellow mottle leaf virus# (CYMLV) ツバキ斑葉ウイルス

明日山秀文・飯田俊武編:日本作物ウイルス病総覧:323, 1967 ; 井上忠男:日植病報 48(1):117, 1982

[備考] 粒子未発見。ツバキからツバキ・サザンカへの接木伝染確認, 福士貞吉 (日植病報 21(1):1, (1956))
は 1965 年以前に本病が我国に存在したことを推論している

輪紋病 rimmon-byo

病因未詳

井上忠男・井上成信:日植病報 40(2):133, 1974 ; 小林享夫・楠木 学:農業及園芸 57(5):巻頭口絵解説, 1982

[備考] 接木伝染は不成功だが, 病葉からはウイルス様粒子が観察される

暗色褐斑病 anshoku-kappan-byo *Phyllosticta* leaf spot

Phyllosticta camelliae Westendorp

伊藤一雄:樹病学大系 3:248, 1974 ; 三浦密成:秋田農試報 8:25, 1957

褐色こうやく病* kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

三浦密成:秋田農試報 8:23, 1957

[備考] 病原菌の異名はボプラ類褐色こうやく病参照

黄色紋羽病 kiiro-mompa-byo Yellow root rot

Sclerotium sp.

小林享夫:林業と薬剤 54:3, 1975

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

河辺祐嗣ら:日林九支研論 38:179, 1985 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

菌核病 kinkaku-byo Flower blight, Sclerotial blight (花焼病)

Ciborinia camelliae L.M. Kohn [*Sclerotinia camelliae* Hara, *Sclerotinia camelliae* Hara f. *macrospora* Yoshima]

原 攝祐:園芸之友 15(6):385, 1919(大 8) ; Kohn, L. M. & Nagasawa, E.:Trans. Mycol Soc. Japan 25(2):149, 1984

黒あざ病 kuroaza-byo *Coccochorina* leaf spot (黒痣病)

Clypeosphaeria japonica (Hara) Hara [*Coccochorina japonica* Hara]

原 攝祐:病虫雑 8(10):493, 1921(大 10) ; 原 攝祐:病虫害宝典:344, 1948 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):142, 1992

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease

Nectria cinnabarina (Tode) Fries [*Tubercularia vulgaris* Tode]

小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:183, 1977

黒斑病 kokuhan-byo Black leaf spot

Leptothyrium camelliae Henning

安田 篤:植物学各論隠花部:544, 1911(明 44); 吉永虎馬:植物学雑 19(217):31, 1905(明 38)

黒毛斑点病 kokumo-hanten-byo Hairy leaf spot (斑点病)

Graphiothecium kusanoi Ogawa

伊藤一雄:樹病学大系 3:291, 1974; 小川 隆:日植病報 10(2-3):269, 1940(昭 15)

粉もち病 konamochi-byo Leaf blister

Exobasidium nudum (Shirai) S. Ito [*Exobasidium camelliae* Shirai var. *nudo* Shirai, *Exobasidium* sp.]

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):48, 1955; 白井光太郎:農業国 5(7):23, 1911(明 44); 江塚昭典:日菌報 31(3):380, 1990

さめ肌病 samehada-byo (さめはだ病, 鮫肌病)

Berlesiella theae (Hara) Hara [*Sillia theae* Hara]

原 攝祐:樹病学各論:135, 1923(大 12); 原 攝祐:茶樹の病害:127, 1932(昭 7)

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

すすかび病 susukabi-byo Cercospora blight

Cercospora sp.

伊藤一雄:植物防疫 9(11):436, 1955

すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew

(1) *Asterina camelliae* Sydow, P. Sydow & E.J. Butler [*Asterina theae* W. Yamamoto, *Asterina cincta* sensu Tanaka non Berkeley]

安田 篤:植物学各論隠花部:372, 1911(明 44); 白井光太郎:日本菌類目録:11, 1905(明 38); Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:73, 1975

(2) *Hypocapnodium camelliae* (Hara) W. Yamamoto non Sawada [*Aithaloderma camelliae* Hara]

白井光太郎:植物病理学(下):176, 1894(明 27); 原 攝祐:菌類 1(2):19, 1931(昭 6); 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 4(1):18, 1959

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐色葉枯病)

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Guignardia camelliae* (Cooke) E.J. Butler, *Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

伊藤一雄:植物防疫 9(11):437, 1955; 伊藤一雄:樹病学大系 2:68, 1973

[備考] ユキツバキ (*C. rusticana*) にも発生

根腐疫病* negusare-eki-byo Phytophthora root rot

Phytophthora cinnamomi Rands

萩原 廣・竹内昭士郎:日植病報 44(3):376, 1978

白斑病 hakuhan-byo Macrophoma leaf spot (斑点病, マクロホマ斑点病)

Macrophoma japonica Passerini

豊田太吉:病虫雑 1(3):281, 1914(大 3); 安田 篤:植物学各論隠花部:537, 1911(明 44)

白紋病* hakumon-byo Mollisia leaf spot (白斑病)

Mollisia albidomaculans Sydow & P. Sydow

原 攝祐:実験樹木病害篇:255, 1927(昭 2); 原 攝祐:植物学雑 27(313):66, 1913(大 2)

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Physalospora japonica* Togashi]
原 攝祐:実験樹木病害篇:257, 1927(昭 2) ; 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:18, 1926(大 15)

ふくろもち病 fukuro-mochi-byo Giant gall (ふくろ餅病)

Exobasidium giganteum S. Hirata

Hirata, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(4):393, 1981

ペスタロチア病 *Pestalotia*-byo Pestalotia disease (灰色葉枯病, 葉枯病)

Pestalotiopsis guepinii (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia guepinii* Desmazières]

伊藤一雄ら:林試研報 70:103, 1976 ; 鈴木誠一:病虫雑 3(5):362, 1916(大 5) ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

もち病 mochi-byo Leaf and stem gall (餅病)

Exobasidium camelliae Shirai

白井光太郎:植物学雑 10(113):228, 1896(明 29) ; 江塚昭典:日菌報 31(3):380, 1990

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

周藤靖雄:森林防疫 26(4):49, 1977

粉藻病 konamo-byo Algal powdery spot

Phycopeltis epiphyton Millardet

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (白藻病)

Cephaleuros virescens Kunze

鶴田章逸:病虫害雑 1:164, 1914(大 3)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(2) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(3) *Helicotylenchus erythrinae* (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ

相原孝雄ら:日線虫研誌 12:33, 1983

(4) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 上記種との異同は不明

(5) *Hemicriconemoides chitwoodi* Esser サヤワセンチュウの 1 種

相原孝雄ら:日線虫研誌 12:33, 1983

(6) *Ogma japonicum* (Minagawa) Siddiqi [*Pseudocriconema japonicum* Minagawa] トゲワセンチュウの 1 種

Minagawa, N.:Appl. Entomol. Zool. 19:374, 1984

(7) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(8) *Pratylenchus penetrans* (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎:日線虫研誌 9:49, 1979

(9) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961 ; 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 上記種との異同は不明

(10) *Sphaeronema camelliae* Aihara ツバキマルセンチュウ

Aihara, T.:Jpn. J. Nematol. 15:41, 1985

(11) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(12) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne camelliae* Golden ツバキネコブセンチュウ

相原孝雄ら:日線虫研誌 10:8, 1981

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961

(3) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 上記種との異同は不明

††††萎黄病 io-byo

病原ウイルス未確認

小河誠司:森林防疫 25(9):131, 1976

[備考] チャ萎黄病穂木からの接木で伝染発病

††花枯病 hanagare-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

伊藤一雄:植物防疫 9(11):436, 1955

[備考] ツバキでは国内未発生

††モノカエチア斑点病 *Monochaetia*-hanten-byo

Monochaetia camelliae Miles

伊藤一雄:樹病学大系 3:269, 1974

[備考] 国内未発生

††††

Atichia millardetii Raciborski

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 15:555, 1964

††††

Corynespora polyphragmia (Sydow) M.B. Ellis [*Helminthosporium polyphragmium* Sydow]

原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大2)

††††

Cryptovalsa camelliae Sydow & P. Sydow

原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大2)

††††

Dothidasteromella sepulta (Berkeley & M.A. Curtis) Höhnelt [*Asterina sepulta* Berkeley & M.A. Curtis]

保 虎太郎:病虫雑 23(11):864, 1936(昭11)

[備考] ツバキでの発生に疑問

††††

Eutypa falcata Sydow & P. Sydow

原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大 2)

††††

Lophodermium hysterioides (Persoon) Saccardo

原 攝祐:植物学雑 27(314):124, 1913(大 2)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

[備考] ヤマツバキ

サザンカ(山茶花, 茶梅)

Sasanqua camellia

Camellia sasanqua Thunb.

(広葉樹)

萎黄病 io-byo

病原ウイルス未確認

吉田勝正・牛島慶一郎:佐賀農試研報 12:201, 1972

[備考] 自然発病木よりチャに接木伝染性確認

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

遠藤 茂:農業及園芸 8(6):1540, 1933(昭 8)

黄色紋羽病 kiiro-mompa-byo Yellow root rot

Sclerotium sp.

小林享夫:林業と薬剤 54:3, 1975

菌核病 kinkaku-byo Flower blight

Ciborinia camelliae L.M. Kohn [*Sclerotinia camelliae* Hara]

原 攝祐:大日本山会会報 436:29, 1919(大 8) ; 長沢栄史:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):152, 1992

黒あざ病 kuroaza-byo Coccochorina spot (黒痣病)

Clypeosphaeria japonica (Hara) Hara [*Coccochorina japonica* Hara]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:196, 1933(昭 8) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992

さめ肌病 samehada-byo (さめはだ病, 鮫肌病)

Berlesiella theae (Hara) Hara [*Sillia theae* Hara]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:195, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はツバキサめ肌病参照。病原菌の分類学的検討を要する

すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Fumago vagans* Persoon

安田 篤:植物学各論隠花部:571, 1911(明 44)

[備考] 病原菌の分類学的検討を要する

(2) *Hypocapnodium camelliae* (Hara) W. Yamamoto

三宅市郎:植物学雑誌 27(314):38, 1913(大 2) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 4(1):18, 1959

[備考] 病原菌の異名はツバキすす病参照。病原菌の分類学的所属は検討を要する

†すす病 susu-byo Sooty mold

(1) *Aithaloderma clavatisporum* Sydow & P. Sydow emend. W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):44, 1953 ; Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):169, 1956

[備考] 台湾

(2) *Meliola camelliicola* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31:53, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。シンコウサザンカ (*C. shinkoensis*)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 5(1):2, 1961

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium theae-sinensis I. Miyake

Miyake, I.:Bot. Mag. Japan 27(315):51, 1913(大 6)

[備考] 中国。サザンカでは国内未発生。チャ炭疽病では病原は *Discula theae-sinensis* (I. Miyake) Moriwaki & Toy. Sato と転属された

平もち病 hiramochi-byo Exobasidium leaf blister

Exobasidium sasangua Hara & Ezuka

江塚昭典・原 攝祐:農業及園芸 34(9):1352, 1959 ; 江塚昭典:日菌報 31(3), 385, 1990

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease (褐色葉枯病, 黒色実腐病)

Pestalotiopsis guepinii (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia guepinii* Desmazières]

伊藤一雄:樹病学大系 3:176, 1974 ; 南部信方:病虫雑誌 1(3):346, 1914(大 3) ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

もち病 mochi-byo Leaf and stem gall (餅病)

Exobasidium gracile (Shirai) Sydow & P. Sydow [*Exobasidium camelliae* Shirai var. *gracile* Shirai, *Exobasidium camelliae-oleiferae* Sawada]

白井光太郎:植物学雑誌 10(113):228, 1896(明 29) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):49, 1955 ; 江塚昭典:日菌報 31(3), 382, 1990

[備考] オオシマサザンカにも発生

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未詳

周藤靖雄:森林防疫 27(10):167, 1978

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

鶴田章逸:病虫雑誌 1:164, 1914(大 3)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(3) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

(4) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌から検出

(5) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 種名は再検討を要する

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne camelliae* Golden ツバキネコブセンチュウ

相原孝雄ら:日線虫研誌 10:8, 1981

(2) *Meloidogyne* sp. ネコブセンチュウの1種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 上記種との異同は不明

††ウイルス病 virus-byo Virus

病原ウイルス未確認

伊藤一雄:樹病学大系 1:235, 1971

[備考] 接木伝染性

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Brown sooty mold

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2-3):256, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照

††††

Macrophoma camelliaeicola Hara

原 攝祐:静岡県農会報 278, 付録 13, 1920(大 9) ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:254, 1974

[備考] ツバキ白斑病菌 (*M. japonica* Passerini)との異同につき検討を要する

チャ(茶)

Tea

Camellia sinensis (L.) Kuntze

(特用作物)

萎黄病 io-byo Yellows

病原未確認

竜 克己:茶技協講要:24, 1952 ; 江塚昭典ら:茶技協講要:29, 1958 ; 江塚昭典ら:茶研報 40:20, 1973

[備考] 接ぎ木伝染性

モザイク病 mosaic-byo

病原未確認

原 攝祐:茶樹の病害:113, 1931(昭 6)

[備考] 調査を要する。萎黄病とは関係ないと思われる

赤焼病 akayake-byo Bacterial shoot blight

Pseudomonas syringae pv. *theae* (Hori 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Pseudomonas theae* (Hori) Okabe & Goto]

堀 正太郎:病虫雑 1(3):217, 1914(大 3); 堀 正太郎:病虫雑 2(1):247, 1914; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:96, 1955

[備考] 初めに本病原とされた *Bacillus theae* Hori & Bokura と *Pseudomonas theae* (Hori) Okabe & Goto との同一性には疑義がある (西山:日本産植物病原細菌病の病原と病原細菌の学名 p.21, 1997)

かいよう病 kaiyo-byo Canker (かいよう症状)

Xanthomonas theicola (Uehara, Arai, Nonaka & Sano 1980) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [*Xanthomonas campestris* pv. *theicola* Uehara & Arai, *Xanthomonas campestris* pv. *theicola* Uehara & Arai]

野中寿之・植原一雄:日植病報 39(2):144, 1973; 植原一雄ら:鹿大農学術報告 30:17, 1980

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根瘤病)

Agrobacterium tumefaciens (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [*Pseudomonas tumefaciens* Smith & Townsend]

原 攝祐:茶樹の病害:81, 1956; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015

[備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を *Rhizobium* 属へと読み替えることはできない

てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病)

病原細菌種名未定

植原一雄ら:日植病報 35(5):362, 1969; 植原一雄・野中寿之:植物防疫 27(1):7, 1973

[備考] 植原一雄ら (鹿大農学術報告 29:63, 1979) が報告した病原細菌 *Pseudomonas tashirensis* Uehara & Nonaka は 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial spot

Acidovorax valerianellae Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003

富濱 毅ら:日植病報 72(4):185, 2006

赤葉枯病 akahagare-byo Brown blight, Copper blight (赤星病, 灰色葉枯病)

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum camelliae* Masee, *Guignardia camelliae* (Cooke) E.J. Butler]

吉野毅一:大日本農会報:294:18, 1905(明 38); 卜蔵梅之丞:病虫雑 2(8, 付録):45, 1915(大 4); 河野又四:近畿大食品科学研特報 1:1, 1965

網もち病 ami-mochi-byo Net blister blight, Japanese exobasidium blight (網餅病, 茶裏網病, 白黴病, 網焼病, あみめ病)

Exobasidium reticulatum S. Ito & Sawada

伊藤誠哉・澤田兼吉:植物学雑 26(308):237, 1912(大 1); 原 攝祐:実用作物病理学:163, 1925(大 14)

荒皮病 arakawa-byo Canker

Patellaria theae Hara

原 攝祐:病虫雑 6(4):292, 1919(大 8); 原 攝祐:茶樹の病害:125, 1931(昭 6)

[備考] 発生および病原菌について検討を要する

褐色あざ病 kasshoku-aza-byo Brown spot (褐色瘰病)

Hysteriopsis theae Hara

原 攝祐:茶業界 14(7):11, 1919(大 8) ; 原 攝祐:茶樹の病害:121, 1931(昭 6)

[備考] 接種試験未了

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大 5) ; 原 攝祐:茶樹の病害:146, 1931(昭 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):13, 1955

[備考] 病原菌の異名はクワ褐色こうやく病参照

褐色根朽病 kasshoku-nekuchi-byo Root rot (立枯病)

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Cryptoderma lamaense* (Murrill) Imazeki, *Fomes lamaensis* (Murrill) Saccardo & Trotter]

原 攝祐:実験作物病理学:351, 1930(昭 5) ; 原 攝祐:茶樹の病害:171, 1931(昭 6)

褐色円星病 kasshoku-maruhoshi-byo Brown round spot (円赤星病, 緑斑病)

(1) *Pseudocercospora ocellata* (Deighton) Deighton [*Puccinia theae* (Cavara) Deighton, *Cercospora theae* (Cavara) Breda de Haan, *Cercospora theaecola* Hara, *Cercosporina theae* (Breda de Haan) Hara, *Cercoseptoria theae* (Cavara) Curzi]

澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):17, 1913(大 2) ; 広川 敢:茶研報 7:95, 1971 ; 福田徳治:茶技研 54:44, 1978

(2) *Cercospora chae* Hara ex Yamamoto & Maeda [*Cercospora chae* Hara]

原 攝祐:茶樹の病害:35, 1956 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):49, 1960

[備考] 原 攝祐 (茶樹の病害:36, 1956) は褐色円星病に *Cercospora theaecola* Hara を充て, 円赤星病に *C. theae* Hara を充てている

褐色輪紋病 kasshoku-rimmon-byo Brown zonate leaf blight

Ceuthospora lauri (Greville) Greville

安藤康雄ら:日植病報 55(4):391, 1989

株枯病 kabugare-byo (立枯病)

Cryptospora theae Hara

原 攝祐:茶業界 14(6):5, 1919(大 8) ; 原 攝祐:実験作物病理学:350, 1930(昭 5)

[備考] 枯死部からは *Metasphaeria theaevara* Hara (原 攝祐:茶業界 14(6):5, 1919) も検出されるが, いずれの菌も病原性については検討を要する

髪 of 毛病 kaminoke-byo Marasmius disease, Horse hair blight

Marasmius crinis-equi F. Müller & Kalchbrenner [*Marasmius equicrinis* F. Müller ex Berkeley, *Marasmius sarmentosus* Berkeley] ヤマウバノカミノケ

原 攝祐:茶業界 16(7):15, 1921(大 10) ; 阿部卓爾・河野又四:日植病報 22(1):50, 1957 ; 阿部卓爾・河野又四:西京大学報農 9:41, 1957

絹糸病 kinuito-byo Thread blight

Marasmius tenuissimus (Jungkuhn) Singer

濱屋悦次ら:日植病報 51(1):93, 1985 ; 鬼木正臣ら:日植病報 56(1):149, 1990

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight (大粒白絹病)

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

原 攝祐:茶樹の病害:72, 1956

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

黒あざ病 kuroaza-byo Scurf (黒瘰病)

Clypeosphaeria hottai (Hara) Hara [*Coccochorina hottai* Hara, *Leptosphaeria hottai* Hara]

原 攝祐:病虫雑 6(4):292, 1919(大 8); 原 攝祐:病虫害宝典:166, 1952

[備考] 病原菌の分類学的所属および病原性について検討を要する

黒こぶ病 kurokobu-byo Black gall (黒瘤病)

Ustulina deusta (Hoffmann) Lind [*Ustulina vulgaris* Tulasne & C. Tulasne, *Ustulina maxima* (Haller) Schröter]

オオミコブタケ

原 攝祐:茶樹の病害:154, 1931(昭 6); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):146, 1992

[備考] 病原性について検討を要する

黒葉腐病 kuro-hagusare-byo Black rot

Ceratobasidium sp. [*Rhizoctonia* sp., *Pellicularia* sp.]

江塚昭典:植物防疫 11(3):93, 1957; 江塚昭典ら:茶研報 39:20, 1973; 鬼木正臣ら:茶技研 66:7, 1984

[備考] *Corticium theae* Bernard, *C. invisum* Petch に極めて類似するが、これらの菌との異同についてはなお検討を要する

黒星病 kurohoshi-byo Black spot

Fusicladium theae Hara

原 攝祐:茶業界 14(4):12, 1920(大 8); 原 攝祐:茶樹の病害:99, 1931(昭 6)

[備考] 接種試験未了

毛紋羽病 ke-mompa-byo

Septobasidium pilosum Boedijn & B.A. Steinmann

伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):13, 1955; 原 攝祐:茶樹の病害:70, 1956

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo (癌腫病, 紅斑性癌腫病, 紅斑がんしゅ病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

原 攝祐:茶業界 14(10):12, 1919(大 8); 原 攝祐:茶樹の病害:62, 1956

[備考] 原 攝祐 (茶樹の病害:63, 1956) は *N. bolbophylli* Hennings, *N. theae* Hara も本菌と同様チャを侵し枝枯れを起こすとしているが、これらを含めて病原性について検討を要する

さめ肌病 samehada-byo Goose skin (鮫肌病)

Berlesiella theae (Hara) Hara [*Sillia theae* Hara]

原 攝祐:病虫雑 6(4):292, 1919(大 8); 原 攝祐:茶樹の病害:127, 1931(昭 6)

[備考] 発生および菌の病原性について検討を要する

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:植物学雑 26(305):125, 1912(大 1); 原 攝祐:茶樹の病害:71, 1956

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白星病 shirahoshi-byo White scab (点々星病, 斑点病, 瘡痂病)

Elsinoë leucospila Bitancourt & Jenkins [*Sphaceloma theae* Kurosawa]

飯田栄太郎:大日本農会報 319:75, 1908(明 41); 黒澤英一:日植病報 9(2):130, 1939(昭 14); 香月繁孝:植物防疫 11(9):398, 1957; 広川 敢:茶技研 30:31, 1965

[備考] 白星病菌として原 攝祐 (茶樹の病害:72, 1930) が記載した *Phyllosticta theaeifolia* Hara は病原性

がない

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot (根朽病)

Rosellinia necatrix Prillieux

野村彦太郎:農商務省農試報告 18:93, 1901(明 34) ; 堀 正太郎:農作物病害:265, 1903

[備考] わが国のチャ白紋羽病のすべてを *Rosellinia necatrix* とすることに対し疑問があるとする意見がある (江塚昭典ら:茶研報 40:26, 1973)

せん孔病 senko-byo Shot-hole (穿孔病)

Macrophoma abeensis Hara

原 攝祐:茶業界 16(3):15, 1921(大 10)

[備考] 発生および菌の病原性について検討を要する

立枯病 tachigare-byo Thorny stem blight (株枯病)

Tunstallia aculeata (Petch) Agnihothrudu [*Ophiovalsa theae* (Hara) Tak. Kobayashi, *Cryptospora theae* Hara]

原 攝祐:茶業界 14(6):5, 1919(大 8) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):136, 1992 ; 江塚昭典・安藤康雄:チャの病害:304, 1994

[備考] 原 攝祐 (1919) は *Metasphaeria theaevara* Hara による立枯病を報告したが, 調査を要する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐斑病)

Discula theae-sinensis (I. Miyake) Moriwaki & Toy. Sato [*Gloeosporium theae-sinensis* I. Miyake, *Colletotrichum theae-sinensis* (Miyake) Yamamoto]

三宅市郎:植物学雑誌 21(242):53, 1907(明 40) ; 原 攝祐:茶業界 14(7):11, 1919(大 8) ; 山本和太郎:植物防疫 14(2):52, 1960 ; Moriwaki, J. & Sato, T.:J. Gen. Plant Pathol. 75(5):359, 2009

鳥眼病 torime-byo

Leptosphaeria theae-sinensis Hara

原 攝祐:茶樹の病害:267, 1930(昭 5)

[備考] 調査を要する

胴枯病 dogare-byo Branch canker (枝枯病)

Macrophoma theicola Petch

原 攝祐:茶業界 15(4):22, 1920(大 9) ; 原 攝祐:茶樹の病害:119, 1931(昭 6)

[備考] 病原性については検討を要する

胴朽病 dokuchi-byo

(1) *Diaporthe eres* Nitschke [*Diaporthe theae* Hara]

原 攝祐:茶業界 15(3):22, 1920(大 9) ; 原 攝祐:茶樹の病害:55, 1956 ; 小林享夫:林試研報 226:67, 1970

(2) *Stagonospora theae* Hara

原 攝祐:茶業界 14(7):14, 1919(大 8) ; Tanaka, T.:Mycologia 13(6):324, 1921(大 10)

[備考] いずれも病原性については検討を要する

苗根腐病 nae-negusare-byo Seedling root rot, Damping-off

(1) *Pythium* spp.

(2) *Cylindrocladium canadense* J.C. Kang, Crous & C.L. Schoch [*Cylindrocladium* sp.]

原 攝祐:茶樹の病害:67, 1956 ; 笠井久三:日植病報 34(5):370, 1968 ; 外側正之:日植病報 81(3):212, 2015

ならたけ病* naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten, *Agaricus melleus* Vahl]

原 攝祐:茶樹の病害:80, 1956

[備考] 病原菌の異名はクワならたけ病参照

濃色すす病 noshoku-susu-byo Sooty mold (濃色煤病, 煤病)

Neocapnodium theae (Hara) Hara [*Capnodium theae* Hara, *Capnodaria theae* (Hara) Hara]

原 攝祐:茶樹の病害:106, 1931(昭 6)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

濱屋悦次ら:日植病報 48(1):84, 1982 ; 濱屋悦次ら:茶技研 62:14, 1982

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt, Velvet blight (灰色膏薬病)

Septobasidium bogoriense Patouillard

原 攝祐:茶樹の病害:143, 1931(昭 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):11, 1955

[備考] 病原菌の異名はクワ灰色こうやく病参照

灰色小円星病 haiiro-komaruhoshi-byo Gray round spot

Leptosphaeria theae Hara

原 攝祐:茶業界 14(6):5, 1919(大 8)

[備考] 接種試験未了

灰星病 haiboshi-byo Gray spot

Septoria theaecola Hara

原 攝祐:茶業界 14(6):5, 1919(大 8)

[備考] 接種試験未了

白斑病 hakuhan-byo White rot

Leptothyrium theae Hara

原 攝祐:静岡県農会報 281(特別付録):25, 1921(大 10) ; 原 攝祐:茶業界 16(6):27, 1921(大 10) ; 原 攝祐:茶樹の病害:103, 1931(昭 6)

ほう芽病 hoga-byo (萌芽病, 崩芽病, 贅芽病)

(1) *Phomopsis theae* Hara

堀田雅三:茶業界 10(5):19, 1915(大 4) ; 原 攝祐:茶樹の病害:136, 1931(昭 6)

(2) *Fusarium theae* Hara

堀田雅三:茶業界 10(5):19, 1915(大 4) ; 原 攝祐:茶樹の病害:137, 1931(昭 6)

(3) *Herpotrichia rhodosticta* (Berkeley & Broome) Saccardo [*Neopectia rhodosticta* (Berkeley & Broome) Saccardo]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:393, 1917(大 6) ; 原 攝祐:茶樹の病害:139, 1931(昭 6)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

原 攝祐:茶樹の病害:160, 1931(昭 6)

もち病 mochi-byo Blister blight (餅病, 腫萎病, 葉腫病, 腫葉病)

Exobasidium vexans Masee

川上瀧弥:静岡県農会報 150:37, 1910(明 43) ; 原 攝祐:茶業界 14(12):23, 1919(大 8)

葉斑病 yohan-byo

Mycosphaerella theae Hara

原 攝祐:茶業界 14(5):9, 1919(大 8)

[備考] 病原性については確認を要する

輪斑病 rinhan-byo Gray blight

(1) *Pestalotiopsis longiseta* (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [*Pestalotia longiseta* Spegazzini]

臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990 ; 臺 喜吉ら:横浜植防調報 26:4, 1990

(2) *Pestalotiopsis theae* (Sawada) Steyaert [*Pestalotia theae* Sawada, *Pestalozzia theae* Sawada]

澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):13, 1913(大 2) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

野中寿之・植原一雄:日植病報 40(2):130, 1974 ; 野中寿之:茶研報 46:38, 1977

白藻病 shiromo-byo White blight, Red rust, Algal leaf spot (白苔病, ミコイデア病)

Cephaleuros virescens Kunze

鶴田章逸:病虫雑 1(2):162, 1914(大 3) ; 江塚昭典・木伏秀夫:茶技研 15:11, 1956

さや輪線虫病 sayawa-senchu-byo

Hemicriconemoides kanayaensis Nakasono & Ichinohe [*Hemicriconemoides ureshinoensis* Yokoo] カナヤサヤ
ワセンチュウ

Nakasono, K. & Ichinohe, M.:Appl. Entomol. Zool. 5(4):273, 1961 ; Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 16:31, 1963

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Helicotylenchus dihystera* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963

(2) *Helicotylenchus erythrinae* (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963

(3) *Paratylenchus curvatus* van der Linde チャピンセンセンチュウ

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963

(4) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(5) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種

岡本信義:農及園 39(8):1255, 1964

[備考] 上記種との異同は不明

(6) *Tylenchorhynchus nudus* Allen フタワイシユクセンチュウ

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963

(7) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

[備考] 種名は再検討を要する

(8) *Xiphinema insigne* Loos ヤマユリオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

(9) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの 1 種

岡本信義:農及園 39(8):1255, 1964

[備考] 上記種との異同は不明

根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 病原線虫は *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus loosi* Loof チャネグサレセンチュウ

三枝敏郎・野崎 仁:日植病報 21(1):42, 1956 ; 横尾多美男:九病虫研会報 8:47, 1962

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ

原 攝祐:茶樹の病害:74, 1931(昭 6) ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

[備考] 病原線虫の異名等はサツマイモの根こぶ線虫病を参照

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

立枯症 tachigare-sho

生理障害

高屋茂雄・広川 敢:茶技研 40:41, 1970 ; 青木 智・鳥屋尾忠之:茶研報 58:1, 1983

[備考] 病変部からは *Cylindrocarpon* sp., *Fusarium* sp., *Pythium* sp., *Rhizoctonia* sp. など分離されるが, 発病には品種, 土壌, 剪枝等の関与が大きい (広川 敢ら:日植病報 33(2):87, 1967 ; 広川 敢・高屋茂雄:茶技研 36:32, 1968 ; 江塚昭典・安藤康雄:チャの病害:423, 1994)

芽枯れ症 megare-sho Copper deficiency

銅欠乏

矢野 清ら:茶研報 64:13, 1986 ; 矢野 清:茶研報 64:21, 1986

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

原 攝祐:茶樹の病害:152, 1931(昭 6) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾。病原菌はわが国にも分布するが, チャでは未記録

†雲紋病 ummon-byo

Pestalotiopsis palmarum (Cooke) Steyaert [*Pestalotia palmarum* Cooke]

澤田兼吉:台湾博物学会報 9:13, 1913(大 2)

[備考] 台湾。病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):540, 1992 を参照

†枝枯病 edagare-byo Twig blight (台湾茶樹枝枯病)

Cryptomyces theae Sawada

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):204, 1919(大 8)

[備考] 台湾

†褐色すす病 kasshoku-susu-byo Sooty mold

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:日植病報 10(2, 3):258, 1940(昭 15)

[備考] 台湾

†褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Gray blight

Pestalotiopsis guepinii (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia guepinii* Desmazières]

川上瀧弥・鈴木力彌:台湾農試報 1:32, 1908(明 41)

[備考] 台湾。病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992 を参照

†††栗色紋羽病 kuriiro-mompa-byo Violet root rot

††*Helicobasidium purpureum* (Tulasne) Patouillard [*Rhizoctonia violacea* (Tulasne) Eriksson]

原 攝祐:茶業界 15(6):15, 1920(大 9)

[備考] 国内での発生に疑問

†毛すす病 ke-susu-byo Sooty mold

Scorias capitata Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):3, 1913(大 2) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):202, 1919(大 8)

[備考] 台湾

†黒褐色すす病 kokukasshoku-susu-byo Sooty mold (煤病)

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto [*Chaetothyrium spinigerum* (Höhnelt) W. Yamamoto]

山本和太郎:日植病報 21(4):168, 1956

[備考] 台湾

†粉すす病 kona-susu-byo Sooty mold

Chaetoscorias vulgaris W. Yamamoto [*Capnodium footii* Berkeley & Desmazières]

澤田兼吉:台湾農試特報 11:125, 1915(大 4) ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):4, 1954

[備考] 台湾

†心枯病 shingare-byo Heart rot

Phoma camelliae Cooke

澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):11, 1913(大 2) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 19:531, 1919(大 8)

[備考] 台湾。なお原 攝祐 (茶樹の病害:68, 1956) は本病に *Phoma cha* Hara を充てたが、その所属と病原性について検討を要する

†すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

(1) *Hypocapnodium setosum* (Zimmermann) Spegazzini [*Zukalia theae* Sawada, *Chaetothyrium theae* (Sawada) Hara]

澤田兼吉:台湾農試特報 11:122, 1915(大 4) ; 山本和太郎:日植病報 21(4):168, 1956

[備考] 台湾

(2) *Limacinia oblongispora* Sawada & W. Yamamoto

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] :40, 1959

[備考] 台湾

†たばこいろうやく病 tabakoiro-koyaku-byo Brown lepra (煙草色膏藥病, 褐色膏藥病, 膏藥病)

Septobasidium acaciae Sawada

澤田兼吉:台湾農試特別報告 2:101, 1911(明 44) ; 原 攝祐:茶樹の病害:143, 1930(昭 5)

[備考] 台湾

†ネオティオスポラ病 *Neottiospora*-byo (一毛子擬球殻菌病, *Neottiospora* 病)

Neottiospora theae Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):11, 1913(大 2) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 11:133, 1915(大 4)

[備考] 台湾

†星すす病 hoshi-susu-byo Sooty mold (星煤病, 煤病)

Dimerina nantoensis (Sawada) W. Yamamoto [*Zukalia nantoensis* Sawada]

澤田兼吉:台湾農試特報 11:123, 1915(大 4); 澤田兼吉:台湾農試報特報 19(台湾菌類調査報告 1):193, 1919(大 8); 山本和太郎:兵庫農大研報, 農生編 4(1):18, 1959

[備考] 台湾

††††

†*Exosporella theae* Sawada

Sawada, K.:Natl. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11]:230, 1959

[備考] 台湾

サカキ(榊)

(*Cleyera*)

Cleyera japonica Thunb.

(広葉樹)

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭 15); Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993

[備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭ら:九病虫研会報 60:53, 2014

すす病 susu-byo Sooty mold

Hypocapnodium japonicum (Hara) W. Yamamoto

原 攝祐:日菌報 3(1-6):108, 1962; 原 攝祐:菌類 1(2):14, 1931(昭 6); 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 4(1):19, 1959

[備考] 病原菌の異名はカシ類すす病参照。病原菌の分類学的所属は検討を要する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Gloeosporium euryae Fukui

福井武治:観賞植物病害調査報告 4:4, 1940(昭 15)

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

円斑病 maruhan-byo

Mycosphaerella cleverae Tak. Kobayashi

小林享夫:科博専報 9:87, 1976

†円斑病 maruhan-byo

Physalospora cleverae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):29, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。マルバサカキ (*Cleyera japonica* var. *morii*)

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

Trametes gibbosa (Persoon) Fries オオチリメンタケ

逸見武雄・池屋重吉:日植病報 2(6):563, 1933(昭 8) ; 今関六也:科博研報 6:73, 1943(昭 18)
[備考] 病原菌の異名はボブラ類幹辺材腐朽病参照

粉藻病 konamo-byo Algal powdery spot
Phycopeltis epiphyton Millardet
末松四郎:植物学雑 70(831):280, 1957

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (斑葉病)
Cephaleuros virescens Kunze
鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大 3)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979
(2) *Trichodorus tricaulatus* Shishida ユミハリセンチュウの 1 種
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979
(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ
Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983
[備考] 根圏土壌より検出

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne camelliae Golden ツバキネコブセンチュウ
相原孝雄ら:日線虫研誌 10:8, 1981

††††
Atichia millardetii Raciborski
Katamoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 15:555, 1964

ハマヒサカキ(浜柃)
(Eurya)
Eurya emarginata (Thunb.) Makino
(広葉樹)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981
[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight
病原菌所属未詳
村本正博ら:森林防疫 35(11):204, 1986

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot
Cephaleuros virescens Kunze
保 虎太郎:病虫雑 23(12):956, 1936(昭 11)

ヒサカキ(野茶, 柃)

(Eurya)
Eurya japonica Thunb.
(広葉樹)

褐紋病 katsumon-byo Brown leaf spot (黒癰病)

Aulographum euryae Sydow & P. Sydow

原 攝祐:樹病学各論:56, 1923(大 12); 松村任三:帝国植物名鑑(上):132, 1904(明 37); 勝本 謙:植物病原菌類
図説(小林享夫ら編):194, 1992

絹皮病 kinukawa-byo White stem blight

Cylindrobasidium argenteum (Kobayasi) N. Maekawa [*Corticium argenteum* Y. Kobayasi]

伊藤達次郎:東大農演報 8:79, 1951; 小林義雄:日菌報 12(2):70, 1971; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol Inst.
Japan 31:8, 1993

[備考] 病菌の異名はシデ類絹皮病参照

すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf spot

Cercospora sp.

小林享夫・堀江博道:日植病報 46(3):376, 1980

すす病* susu-byo Sooty mold

Hypocapnodium japonicum (Hara) W. Yamamoto

原 攝祐:菌類 1(2):15, 1931(昭 6); 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 4(1):19, 1959

[備考] 病原菌の異名はカシ類すす病参照。病菌の分類学的所属は検討を要する

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp.

伊藤一雄:森林防疫 27(4):58, 1978

[備考] 台湾で報告された毛炭疽病菌 *Colletotrichum euryae* Sawada (澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類
調査報告 10):65, 1944;伊藤一雄:樹病学大系 2:72, 1973) との異同, 分類学的所属は検討を要する

ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease

Pestalotia sp.

奥野孝夫ら:原色樹木病虫害図鑑:183, 1977

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

星形すす病 hoshigata-susu-byo Black mildew

Chaetopeltaster japonicus Katumoto

Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:98, 1975

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:6, 1949

[備考] 病菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未詳

野中寿之・植原一雄:九州農業研究 36:115, 1974

粉藻病* konamo-byo Algal powdery spot

Phycopeltis epiphyton Millardet

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大 3)

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

††††落葉病 rakuyo-byo Leaf fall

病原菌所属不明

勝 善鋼:森林防疫 23(5):90, 1974

††††

Phyllosticta sp.

山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):182, 1960

††††

Plectosphaera euryae I. Hino & Katumoto

Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 40(7):195, 1965

タイワンツバキ

(*Gordonia*)

Gordonia axillaris Dietr.

(広葉樹)

†こうやく病 koyaku-byo

Helicobasidium cinereum Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 4(15):71, 1914(大 3); 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):400, 1919(大 8)

[備考] 台湾。病原菌の分類学的所属については再検討を要する

†小星病 kohoshi-byo

Phyllosticta gordonicola Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):62, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

†もち病 mochi-byo (腫萎病)

Exobasidium monosporum Sawada

澤田兼吉:台湾博物学会報 11(54):86, 1921(大 10); 澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告 2):108, 1922(大 11)

[備考] 台湾

††††

†*Graphium gordoniae* Sawada

澤田兼吉:台湾大農專刊 8(台湾産菌類調査報告 11):233, 1957

[備考] 台湾

ヒメツバキ

(Schima)

Schima wallichii (DC.) Korthals subsp. *mertensiana* (Sieb. & Zucc.) Bloem.

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] ムニンヒメツバキ。接種試験未了

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum sp.

山中智博ら:日植病報 83(1):42, 2017

[備考] *Colletotrichum gloeosporioides* 種複合体の *Colletotrichum henanense* F. Liu & L. Cai に近縁

†炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

陳野好之:日林東北支誌 34:114, 1982

[備考] インドネシア。セル

†苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium* spp.

(2) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

陳野好之:森林防疫 32(7):122, 1983

[備考] インドネシア。セル (*S. bancana*)

††††

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

Ito, S. & Imai, S.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soci. 16(3):125, 1940(昭 15)

[備考] ムニンヒメツバキ (*S. boninensis*)

††††

†*Meliola schimicola* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物会報 30(206/207):421, 1940(昭 15)

[備考] 台湾。マルバヒメツバキ (*S. kankaoensis*)

††††

Polyporus schimae S. Ito & S. Imai ヒメツバキタケ

Ito, S. & Imai, S.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soci. 16(3):121, 1940(昭 15)

[備考] ムニンヒメツバキ。実体不明

ヒメシャラ(姫沙羅)

Stewartia

Stewartia monadelphpha Sieb. & Zucc.
(広葉樹)

紅斑病 kohan-byo Scarlet leaf spot

Ramularia sp.

小林享夫・高橋幸吉:日植病報 67(2):170, 2001 ; 小林享夫・高橋幸吉:樹木医学研究 6(1):13, 2002

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum yoshinagai Hiratsuka, f.

伊藤一雄:樹病学大系 3:70, 1974 ; Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 27(4):111, 1952

[備考] イチブサヒメシヤラ (*S. serrata* f. *epitricha*) にも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Antrodia malicola (Berkeley & M.A. Curtis) Donk [*Trametes malicola* Berkeley & M.A. Curtis] ニオイヒメアミタケ

今関六也:植研雑 15(7):446, 1939(昭 14) ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.1:136, 1986

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属未詳

堀江博道:日植病報 46(1):111, 1980 ; 堀江博道:東京農試研報 13:63, 1980 ; 堀江博道:森林防疫 31:27, 1982
[備考] ヒコサンヒメシヤラ (*S. serrata*) にも発生

ナツツバキ(夏椿)
Japanese stewartia
Stewartia pseudo-camellia Maxim.
(広葉樹)

紅斑病 kohan-byo Scarlet leaf spot

Ramularia sp.

小林享夫・高橋幸吉:日植病報 67(2):170, 2001 ; 小林享夫・高橋幸吉:樹木医学研究 6(1):13, 2002

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum yoshinagai Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):247, 1931(昭 6)

すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf spot

Cercospora sp.

小河誠司:日林九支講 33:159, 1980

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum acutatum J.H. Simmonds

金子 繁ら:樹木医学研究 2(1):17, 1998

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

小林享夫:日植病報 50(1):91, 1984 ; 小林享夫:日植病報 50(4):528, 1984

[備考] 完全世代 *Botryotinia fuckeliana* (de Bary) Whetzel はナツツバキでは未記録

葉枯病 hagare-byo Monochaetia leaf blight

Monochaetia sp.

佐々木克彦・小林享夫:日植病報 41(1):117, 1975

縁葉枯病 fuchi-hagare-byo Fusicoccum leaf blight

Fusicoccum aesculi Corda

宮坂裕美ら:日植病報 72(4):206, 2006

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

Nasu, H. & Kunoh H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987

モッコク(木斛)

(*Ternstroemia*)

Ternstroemia gymnanthera (Wright & Arn.) Beddome

(広葉樹)

すす病 susu-byo Sooty mold

病因未詳

埼玉県内務部:病虫雑 21(3):224, 1934(昭 9)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Glomerella cingulata (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Colletotrichum gloeosporioides* (Penzig) Penzig & Saccardo]

小林享夫・佐々木克彦:日菌報 16(3):241, 1975

葉焼病 hayake-byo Leaf blight

Guignardia sp.

楠木 学ら:日植病報 41(1):116, 1975

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis guepinii (Desmazières) Steyaert [*Pestalotia guepinii* Desmazières]

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):419, 1917(大 6) ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

ヒサカキサザンカ

(Tutcheria)

Tutcheria virgata (Koidz.) Nakai

(広葉樹)

さび病* sabi-byo Rust

Aecidium raphiolepidis H. Sydow

Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 8:121, 1961 ; 平塚直秀:日菌報 6(2):51, 1965

[備考] シャリンバイ さび病菌の宿主の一つである

シノブゴケ科 Thuidiaceae

ヒメシノブゴケ

Thuidium cymbifolium (Dozy & Molk.) Dozy & Molk.
(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田 昭:日植病報 79(1):69, 2013 ; 森田 昭:九病虫研会報 59:25, 2013

ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae

ジンチョウゲ(沈丁花)

Daphne

Daphne odora Thunb.

(広葉樹)

ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) *Alfalfa mosaic virus* (AMV) アルファルファモザイクウイルス

土崎常男ら:植物防疫 23(1):6, 1969

[備考] 原株はモザイク症状

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):78, 1955

(3) *Daphne virus S* (DVS) ジンチョウゲ S ウイルス

楠木 学ら:日植病報 42(1):105, 1976

[備考] 原株はモザイク症状

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cycas necrotic stunt virus* (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス

楠木 学ら:日植病報 45(4):571, 1979

[備考] 戻し接種なし

(2) *Tobacco mosaic virus* (TMV) タバコモザイクウイルス

奥山 哲・杉崎光明:茨大農学術報 21:7, 1973

[備考] 戻し接種なし

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

疫病 eki-byo Phytophthora wilt

(1) *Phytophthora* sp.

御園生 尹・梅本清作:日植病報 40(2):153, 1974

(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan var. *parasitica* (Dastur) G.M. Waterhouse

鈴木孝仁・小林享夫:日植病報 57(3):394, 1991

黄色紋羽病 kiiro-mompa-byo Yellow root rot

Sclerotium sp.

小林享夫:林業と薬剤 54:3, 1975

菌核病 kinkaku-byo Sclerotial disease

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

御園生 尹・深津量栄:日植病報 36(5):369, 1970

黒点病 kokuten-byo

Marssonina daphnes (Desmazières & Roberge) Magnus

日野隆之ら:植物防疫 31(4):165, 1977

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

御園生 尹・深津量栄:日植病報 38(3):193, 1972

[備考] 病原菌の異名はキミガヨラン白絹病参照。完全世代 *Corticium rolfsii* Curzi はジンチョウゲでは未記録

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

大野啓一郎:森林防疫 24(12):242, 1975

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

(1) *Colletotrichum daphnicola* Miura

三浦密成:秋田農試報 13:14, 1962

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

(2) *Gloeosporium* sp.

安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:134, 1973

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

(3) *Glomerella* sp.

小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:184, 1977

[備考] 寺下降喜代 (林試研報 252:18, 1973) は生葉組織分離株中に *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & Schrenk の成熟子のう殻を観察している

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

江塚昭典・木伏秀夫:茶葉技術研究 15:12, 1956

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Pratylenchus penetrans (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ

近岡一郎:日線虫研誌 9:49, 1979

ナニワズ

Spike winter hazel

Daphne pseudo-mezereum A. Gray subsp. *jezoensis* (Maxim.) Hamaya
(広葉樹)

ウイルス病 virus-byo Virus disease

ウイルス (未同定)

土崎常男ら:植物防疫 23(1):7, 1969

[備考] オニシバリ (*D. pseudo-mezereum*) にも発生。原株はモザイク症状

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Uredo daphnicola Dietel [*Melampsora daphnicola* Jørstad, *Uredo daphnes* Nagai & Shimamura]

永井政次・島村光太郎:札幌農林学会報 25(114):85, 1933(昭 8) ; Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 13(4):247, 1937(昭 12) ; Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan(2):11, 1959

[備考] オニシバリ

白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):279, 1957

[備考] コシウノキ (*D. kiusiana*)

ミツマタ(三桠)

Paper-bush

Edgeworthia chrysantha Lindl.

[*Edgeworthia papyrifera* Sieb. & Zucc.]

(特用作物)

立枯細菌病* tachigare-saikin-byo (立枯病, 立枯性細菌病, 細菌性立枯病)

病原細菌種名未定

ト蔵梅之丞:病虫雑 2(付録):47, 1915(大 4); 出田 新:続日本植物病理学(上):32, 1923(大 12)

[備考] 病原菌名 *Erwinia edgeworthiae* (Hori & Bokura) Magrou [*Bacillus edgeworthiae* Hori & Bokura] は 1980 年 1 月 1 日の国際細菌命名規約の適用により失効した

疫病 eki-byo Phytophthora rot

Phytophthora sp.

粕山新二・井上幸次:岡山農試研報 26:43, 2008

菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

内藤中人・木村俊彦:植物防疫 8(9):401, 1954

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:180, 1960

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight, Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

堀 正太郎:農業世界 3(2):44, 1908(明 41); 瀧元清透:植物防疫 4(7):224, 1950

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡邊龍雄:繊維作物病学:213, 1947

胴枯病 dogare-byo Die back

(1) *Dothidea edgeworthiae* Sydow & P. Sydow

Sydow, H. & Sydow, P.:Ann. Mycol. 11:267, 1913; 渡邊龍雄:繊維作物病学:215, 1947

(2) *Dothidea sambuci* (Persoon) Fries

原 攝祐:植物学雑 27(314):124, 1913(大 2)

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora edgeworthiae Hori

原 攝祐:病虫雑 6(4):294, 1919(大 8)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (もんぱ病, 紋羽病)

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

出田 新:実用植物病理学:205, 1901(明 34) ; 農商務省農試:農試要報 11(農作物の病害):34, 1902(明 35)

[備考] 病原菌の異名はクワ紫紋羽病参照

ムニンアオガンピ

(Wikstroemia)

Wikstroemia pseudoretusa Koidz.

(広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

ガンピ(雁皮, 雁鼻)

Paper bush (Ganpi)

Wikstroemia sikokiana Franch. & Savat.

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Melampsora yoshinagai Hennings [*Melampsora wikstroemiae* Hennings]

安田 篤:植物学各論隠花部:425, 1911(明 44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:52, 1905(明 38)

[備考] キガンピ (*W. trichotoma*)・ミヤマガンピ (*W. albiflora*)・シマサクラガンピ (*W. yakusimensis*)・イヌガンピ・インドガンピ・オオシマガンピにも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] キガンピにも発生

帯化病 taika-byo

生理障害

松村義敏:植研雑 16(2), 113, 1940(昭 15)

†裏すす病 ura-susu-byo (裏煤病)

Heterosporium wikstroemiae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):77, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。インドガンピ

†円星病 maruhoshi-byo (楕円星病)

Phyllosticta wikstroemiae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):52, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。インドガンピ (*Wikstroemia indica*)

シナノキ科 Tiliaceae

ツナソ(黄麻, ジュート)

Jute

Corchorus capsularis L.

(特用作物)

斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 斑点性細菌病)

病原細菌種名未定

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):44, 1928(昭3); 瀧元清透:病虫雑 18(4):232, 1931(昭6); 岡部徳夫:熱帯農学会誌 5:161, 1933(昭8)

[備考] 病原細菌名 *Xanthomonas nakatae* (Okabe) Dowson は国際細菌命名規約により 1980年1月1日をもって失効した

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病)

Sphaerotheca fuliginea non Pollacci sensu Homma-pro parte [*Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):150, 1919(大8); 原 攝祐:病虫雑 12(3):148, 1925(大14)

菌核病 kinkaku-byo Sclerotial rot

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

原 攝祐:病虫雑 12(3):146, 1925(大14)

[備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照

白絹病 shirakinu-byo Stem rot

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):450, 1919(大8); 明日山秀文ら:作物病虫害ハンドブック:316, 1955

[備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照

立枯病 tachigare-byo Stem rot

Macrophoma corchori Sawada

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):537, 1919(大8); 渡邊龍雄:繊維作物病学:138, 1947

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (毛炭疽病)

Colletotrichum corchori Ikata & I. Tanaka

田中彰一:病虫雑 27(3):175, 1940(昭15); 鑄方末彦・吉田政治:日植病報 10(2-3):141, 1940(昭15); 澤田兼吉:台湾農試報告 87(台湾菌類調査報告 10):85, 1944(昭19)

[備考] 本菌は初め *C. corchorum* とされたが, 澤田 (1944) は鑄方氏に話して *C. corchori* と変更した

胴枯病 dogare-byo Canker

Ascochyta corchori Hara

原 攝祐:病虫雑 12(3):147, 1925(大14)

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (灰色黴病)

Botrytis cinerea Persoon

渡邊龍雄:繊維作物病学:142, 1947

葉枯病 hagare-byo Leaf blight

Corynespora corchorum (T. Watanabe & Hara) Goto [*Helminthosporium corchorum* Watanabe & Hara]
渡邊龍雄:繊維作物病学:142, 1947 ; 後藤和夫:日植病報 15(1):34, 1950

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Phyllosticta corchori Sawada

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):526, 1919(大 8) ; 渡邊龍雄:繊維作物病学 138, 1947

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病)

Meloidogyne sp. [*Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの 1 種

渡邊龍雄:繊維作物病学:143, 1947 ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

†眼点病 ganten-byo

Hymenula nigra Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 120:16, 1916(大 5)

[備考] 台湾

††††苗枯病 naegare-byo Seedling blight (腰折病)

†*Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

澤田兼吉:台湾農試出版 107, 1916(大 5)

[備考] 台湾

モロヘイヤ(タイワンツナソ)

Jew's marrow

Corchorus olitorius L.

(野菜)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe caucasica* Simonian var. *corchori* Tanda

Tanada, S.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 43(3):152, 1998

(2) *Oidium* sp.

我孫子和雄・萩原 廣:日植病報 64(4):438, 1998 ; 我孫子和雄・萩原 廣:日植病報 65(2):204, 1999

[備考] *Sphaerotheca fuliginea* 型

(3) *Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer

Tanada, S.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 43(3):152, 1998

黒枯病 kurogare-byo Black band

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc

佐藤豊三ら:日植病報 68(2):186, 2002 ; Sato, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 74(1):91, 2008

黒星病 kurohoshi-byo Black spot

Cercospora corchori Sawada [*Cercospora* sp.]

三上哲壮ら:日植病報 59(3):290, 1993 ; 三上哲壮:日本植物病害大事典(岸 國平編):435, 1998

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

河原崎秀志:日植病報 79(3):190, 2013

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum fiorinae (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]
本多哲也ら:日植病報 61(6):605, 1995 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

竹内 純ら:関東病虫研報 42:143, 1995 ; 佐藤裕子ら:日菌報 38(1):87, 1997

[備考] 佐藤ら(1997)は菌糸融合群 AG-2-1 を報告した

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold

Botrytis cinerea Persoon

竹内 純ら:関東病虫研報 42:105, 1995

葉ぶくれ病 habukure-byo Leaf blister

Taphridium sp.

酒井和彦・長尾英幸:日植病報 62(3):262, 1996

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

菅野博英・堀内誠三:北日本病虫研報 50:120, 1999

変形菌病 henkeikin-byo Slime mold

Physarum gyrosum Rostafinsky

堀江博道ら:関東病虫研報 41:127, 1994

ウオトリギ

Grewia biloba G. Don var. *parviflora* Hand.-Mazz.

(広葉樹)

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Uredo grewiae Patouillard & Hariot

平塚直秀:植物学雑 55(654):272, 1941(昭 16)

[備考] 台湾

フィリピンファルサ(カムリン)

(Microcos)

Microcos stylocarpa (Warb.) Burr.

(広葉樹)

†褐斑病 kappan-byo Leaf spot

Phyllosticta microcosi Tak. Kobayashi & E.D. Guzmán

Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:117, 1988

[備考] フィリピン

シナノキ(椴)

Japanese linden
Tilia japonica (Miq.) Simonkai
(広葉樹)

赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

川島祐介:群馬林試研報 1:20, 1992 ; Nomi, C. *et al.*:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 44(4):255, 2000

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe oleosa (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) var. *oleosa* [*Uncinula clintonii* Peck, *Uncinula miyabei* (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow, *Uncinula oleosa* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *oleosa*]

澤田兼吉:台湾農試特別報 19 (台湾産菌類調査報告 1):175, 1919(大 8) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):344, 1937(昭 12) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):365, 1937(昭 12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:18, 1973 ; 和田久美子:菌蕈研報 10:493, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:93, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012

毛さび病 kesabi-byo Rust

Cronartium orientale S. Kaneko [*Cronartium quercuum* (Berkeley) Miyabe ex Shirai]

Kaneko, S.:Mycoscience 41(2):115, 2000

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 紅斑性癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries [*Tubercularia vulgaris* Tode]

伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962 ; 出田 新:日本植物病理学(上):232, 1909(明 42)

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum tiliae Miyabe

出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明 34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):47, 1897(明 30)

[備考] アムールシナノキ・マンシュウシナノキ・ヘラノキ(*T. kiusiana*)・オウシュウオオバシナノキ *T. platyphlla* にも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf spot

Cercospora microsora Saccardo [*Cercospora* sp.]

小河誠司:日林九支研論 36:275, 1983 ; 堀江博道・小林享夫:東京農試研報 13:79, 1980 ; 堀江博道・小林享夫:東京農試研報 16:218, 1983

[備考] ヘラノキ・オウシュウオオバシナノキ・*T. tomentosa*

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:373, 1910(明 43)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類すす病参照

そうか病 soka-byo Spot anthracnose

Sphaceloma sp.

戸口誠仁ら:日植病報 79(3):186, 2013

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

原田幸雄・村田和俊:日植病報 60(6):757, 1994 ; 原田幸雄ら:日植病報 63(4):345, 1997

斑紋病* hammon-byo (斑点病)

Mycosphaerella maculiformis (Persoon) J. Schröter

白井光太郎:植物病理学(下):191, 1894(明 27) ; 原 攝祐:実験樹木病害編:187, 1927(昭 2)

[備考] 病原菌の異名はシデ類斑点病参照

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

(1) *Fomes fomentarius* (Linnaeus) J. Kickx f. ツリガネタケ

亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959

[備考] 病菌の異名はボブラ類心腐病参照

(2) *Pycnoporus coccineus* (Fries) Bondartsev & Singer [*Trametes sanguinea* (Linnaeus) Lloyd] ヒイロタケ

安田 篤:植研雑 6(7):221, 1929(昭 4) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):150, 1989

[備考] 病原菌の異名はシデ類幹心腐病参照

††††がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker

††*Nectria galligena* Bresàdola

白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明 27)

[備考] シナノキにおける国内発生に疑問

††††

†*Coniothyrium tiliae* I. Miyake

Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):50, 1914(大 3)

[備考] 中国

††††

†*Phyllosticta vogelii* (Sydow) Diedicke

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:422, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部。アムールシナノキ (*T. murensis*)

††††

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎:植物防疫 40(2):77, 1986

オオバボダイジュ(大葉菩提樹)

(*Tilia*)

Tilia maximowicziana Shirasawa

(広葉樹)

モイワボダイジュ *T. maximowicziana* Shirasawa var. *yesoana* (Nakai) Tatewaki

ボダイジュ(菩提樹) *T. miqueliana* Maxim.

ヨウシュボダイジュ *T. platyphyllos* Scop.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe oleosa* (R.Y. Zhang & G.Q.Chen) U. Braun & S. Takamatsu var. *zhengii* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula oleosa* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *zhengii* U. Braun, *Uncinula miyabei* auct. Jap. non Saccardo & P. Sydow, *Uncinula salicis* var. *miyabei* E.S. Salmon]

出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明 34) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明 44) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):365, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):242, 1988 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):109, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012

[備考] オオバボダイジュ・モイワボダイジュに発生

(2) *Erysiphe tiliae* (Eliade) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera tiliae* Eliade]

野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:124, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:61, 2012

[備考] オオバボダイジュに発生

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Pucciniastrum tiliae Miyabe

出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明 34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):47, 1897(明 30)

[備考] オオバボダイジュ・マンシュウボダイジュ・アメリカボダイジュ

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

[備考] ボダイジュ

すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf spot

Cercospora microsora Saccardo

堀江博道・小林享夫:95 回日林論:443, 1984

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

安田 篤:植物学各論隠花部:371, 1911(明 44) ; 白井光太郎:植物病理学(下):178, 1894(明 27)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類すす病参照

幹心腐病* miki-shingusare-byo

Phellinus igniarius (Linnaeus) Quélet キコブタケ

千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:33, 1952

[備考] オオバボダイジュ。病原菌の異名はポプラ類幹心腐病参照

ビロード病 birodo-byo Erineum gall

Eriophyes tiliae (Pagenstecher)

伊藤一雄:樹病学大系 3:355, 1974

††††

††*Leptosphaeria vagabunda* Sawada

北島君三:樹病学及木材腐朽論:316, 1933(昭 8)

[備考] 国内発生に疑問

キシメジ科 Tricholomataceae

エノキタケ(榎茸)

Winter mushroom, Velvet foot

Flammulina velutipes (Curtis) Singer

(きのこ)

ウイルス病 virus-byo Virus disease

virus like particles (ウイルス様粒子)

Magae, Y. & Hayashi, N.:FEMS Microbiology Letters 180:331, 1999

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown soft-rot

Erwinia sp.

土屋健一ら:日植病報 51:344, 1985

[備考] 子実体に発生

黒腐細菌病* kurogusare-saikin-byo Bacterial blotch, Black blotch, Bacterial black rot

Pseudomonas tolaasii Paine 1919

矢沢敏美ら:日植病報 53:72, 1987 ; 陶山一雄・藤井 溥:東京農大農学集報 38:35, 1993

黒斑病 kokuhan-byo

Pseudomonas sp.

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック:172, 1986

[備考] 黒腐細菌病の一病徴型と考えられる。病原菌の分類学的所属の検討を要する

軟腐病 nampu-byo Soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

伊阪実人・岡本 博:日植病報 58:595, 1992 ; Okamoto, H. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(4):460, 1999

根腐病 negusare-byo

病原不明

有田郁夫:1986 年版きのこ年鑑:104, 1985 ; 山中勝次・柿本陽一:きのこ生育診断 ヒラタケ・エノキタケ 篇:87, 1991

[備考] 被害部に細菌の存在を認める。根腐病の病徴は黒腐細菌病に類似する

放線菌病* hosenkin-byo

Actinomycetes

山中勝次:1994 年度日本菌学会ワークショップ「栽培きのこ害菌の分離・同定の基礎」 p7, 1994 ; 中村公義:98 年版きのこ年鑑:171, 1997

[備考] 菌床表面に発生して原基形成を阻害する。「しろかび」 または 「おしろいかび」 と俗称される

菌床トリコデルマ病* kinsho-*Trichoderma*-byo

Trichoderma spp.

山中勝次・柿本陽一:きのこ生育診断 ヒラタケ・エノキタケ 篇:87, 1991

立枯病 tachigare-byo (根腐れ病)

Cladobotryum sp. [*Diplocladium* sp.]

古川久彦・野淵 輝:栽培きのこの害虫・害菌ハンドブック:172, 1986

[備考] 子実体に発生

桃色かび立枯病 momoirokabi-tachigare-byo Pink mould damping-off

Spicellum roseum Nicot & Roquebert

中村公義ら:長野県野菜花き試報 9:55, 1996 ; Okada, G. *et al.*:Proceedings of 6th International Symposium of Mycological Society of Japan 66, 1998

[備考] 子実体に発生。本病は最初中村ら (1996) により *Sporothrix* sp. として発表された。長野県のエノキタケ生産地では「ピンク」と称している

わたかび病* watakabi-byo (株枯病, クラドボトリウム病)

Cladobotryum varium Nees

有田郁夫:1986 年版きのこ年鑑:104, 1986 ; 山中勝次・柿本陽一:きのこ生育診断 ヒラタケ・エノキタケ 篇:107, 1991

[備考] 子実体に発生。本菌は子実体の柄下部表面を覆うが、枯れることはない。長野県の実地では「こうじ」または「こうじかび」と称している

芯腐病 singusare-byo

病因不明

有田郁夫:1986 年版きのこ年鑑:104, 1985

ブナシメジ(ブナ占地, ブナ, 標茅茸, 玉茸)

Beech mushroom

Hypsizygus marmoreus (Peck) Bigelow

(きのこ)

菌床トリコデルマ病* kinsho-*Trichoderma*-byo

Trichoderma spp.

山中勝次:1994 年度日本菌学会ワークショップ「栽培きのこ害菌の分離・同定の基礎」 p8, 1994

わたかび病* watakabi-byo (クラドボトリウム病)

Cladobotryum varium Nees

山中勝次:1994 年度日本菌学会ワークショップ「栽培きのこ害菌の分離・同定の基礎」 p7, 1994 ; 山中勝次:日本応用きのこ学会第 1 回ワークショップ講義テキスト p10, 1997

[備考] 子実体に発生。生産者は「ふわふわ病」とも称している

奇形線虫病* kikei-senchu-byo (奇形病)

Rhabditis sp. [*Rhabditella* sp.]

清原友也ら:平 7 日林大会講要:340, 1995 ; 中村公義ら:長野県野菜花き試報 9:49, 1996

[備考] ビン栽培の子実体に発生

ヤマグルマ科 Trochodendraceae

ヤマグルマ(山車)

(Trochodendron)

Trochodendron aralioides Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Oidium sp.

和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:82, 1977

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

ペスタロチア病* *Pestalotia*-byo Pestalotia disease

Pestalotiopsis breviseta (Saccardo) Steyaert [*Pestalotia breviseta* Saccardo]

日野隆之:採集と飼育 26(9):265, 1964 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992

ノウゼンハレン科 Tropaeolaceae

キンレンカ(ナスターチウム, ノウゼンハレン)

Nasturtium

Tropaeolum majus L.

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

病原不明

日野 巖:宮崎高農学報 5:101, 1933(昭 8)

斑点細菌病 hanten-saikin-byo

Pseudomonas sp.

成田武四:北海道における農作物病害:205, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:689, 1998

[備考] 接種試験未了。岡部徳夫 (植物細菌病学:347, 1949) は *Pseudomonas syringae* pv. *aptata* (Brown & Jamieson 1913) Young, Dye & Wilkie 1978 [*Bacterium aptatum* Brown & Jamieson] による斑点細菌病 (斑点性細菌病) を紹介したが, 国内発生未詳

株腐病 kabugusare-byo Foot rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

蓑島綾華ら:関東病虫研報 63:44, 2016

[備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 HG-1

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

成田武四:北海道における農作物病害:205, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:689, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Acroconidiella tropaeoli (T.E.T. Bond) J.C. Lindquist & Alippi

忠 英一ら:日植病報 74(3):184, 2008

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970

††青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Bacterium solanacearum* (Smith) Chester]

岡部徳夫:植物細菌病学:347, 1949

[備考] キンレンカでは国内発生未確認

ガマ科 Typhaceae

ガマ

Broadleaf cattail

Typha latifolia L.

(野草)

植物寄生性線虫* shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Hirschmanniella diversa Sher レンコンネモグリセンチュウ

高木素紀ら:関東病虫研報 63:98, 2016

[備考] ガマに発生

ニレ科 Ulmaceae

ムクノキ(樺樹, 棕木)

Aphananthe

Aphananthe aspera (Thunb.) Planch.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Erysiphe aphananthes (Jaczewski) U. Braun [*Uncinula kusanoi* Sydow & P. Sydow var. *aphananthes* U. Braun, *Uncinula clintonii* auct. Jap. non Peck]

新島善直:新編森林保護学(下):482, 1925(大 14) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):344, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):239, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012

裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew

Pleochaeta shiraiana (Hennings) Kimbrough & Korf [*Uncinulopsis shiraiana* (Hennings) Hara]

出田 新:日本植物病理学(上):214, 1909(明 42) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):265, 1988

[備考] 病原菌の異名はエノキ裏うどんこ病参照

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann

天野孝之:森林防疫 33(6):102, 1984

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

天野孝之:奈良林試研報 14:14, 1984

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:4, 1949

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

エノキ(榎)

Chinese hackberry

Celtis sinensis Pers. var. *japonica* (Planch.) Nakai

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (うどん病, 粉病, 白渋病)

Erysiphe kusanoi (Sydow) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula kusanoi* Sydow & P. Sydow var. *kusanoi*, *Uncinula clintonii* auct. Jap. non Peck]

新島善直:新編森林保護学(下):482, 1925(大 14) ; 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:191, 1900(明 33) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):344, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):238, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012

裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (うどんこ病, 白渋病, 裏白渋病)

Pleochaeta shiraiana (Hennings) Kimbrough & Korf [*Uncinulopsis shiraiana* (Hennings) Hara, *Uncinula shiraiana* Hennings, *Phyllactinia subspiralis* Sawada, *Uncinulopsis subspiralis* Sawada]

出田 新:日本植物病理学(上):214, 1909(明 42) ; 原 攝祐:樹病学各論:26, 1923(大 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):265, 1988

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall]

周藤靖雄:日植病報 42(3):353, 1976 ; 周藤靖雄:植物防疫 30(12):497, 1976

黒粒枝枯病 kurotsubu-edagare-byo

Melanconium celtidis Ellis & Everhart

小林享夫:林業と薬剤 47:3, 1974 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(1):3, 1968

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

Ito, S. & Imai, S.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 16(3):125, 1940(昭 15)

[備考] ムニンエノキ (*C. boninensis*)。病原菌の異名はボプラ類こふきたけ病参照

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984

すす病* susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

三浦密成:秋田農試報 8:8, 1957

[備考] 病原菌の異名はボプラ類すす病参照

斑葉病 han'yo-byo (黒斑病)

Sirosporium celtidis (Bivona-Bernardi ex Sprengel) M.B. Ellis [*Gyroceras celtidis* Montagne & Cesati f. *fulvescens* Sydow]

安田 篤:植物学各論隠花部:564, 1911(明 44)

べと病 beto-byo Downy mildew

Pseudoperonospora celtidis (Waite) G.W. Wilson [*Peronoplasmopara celtidis* (Waite) Clinton]

原 攝祐:樹病学各論:4, 1923(大 12) ; Miyabe, K. & Takahashi, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 1:153, 1905(明 38)

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot

Coriolopsis polyzona (Persoon) Ryvarden [*Coriolus polygonus* (Persoon ex Quélet) Imazeki] キツネカワラタケ

安田 篤:植物学雑 35(410):46, 1921(大 10) ; Ryvarden, L. & Johansen, I.:A preliminary polypore flora of East Africa:291, 1980

[備考] 病原菌の異名はシイノキ幹心腐病参照。本種は熱帯系の種で、日本産のものは誤同定の可能性がある

幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot

Trametes gibbosa (Persoon) Fries オオチリメンタケ

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録(再版):659, 1917(大 6) ; 逸見武雄・池屋重吉:日植病報 2(6):563, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹辺材腐朽病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

澤田兼吉:台湾農事報 129:609, 1917(大 6)

[備考] 病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

輪斑病 rinhan-byo Zonate leaf spot

Acrospormium viticola Ikata [*Gonatophragmium mori* (Sawada) Deighton]

Takahashi, K. & Teramine, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 52(3):406, 1986

白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot

Cephaleuros virescens Kunze

末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950

てんぐ(天狗)巢病 tengusu-byo Witches' broom

Eriophyes sp. エノキテングスフシダニ

浜 武人:森林防疫ニュース 12(8):173, 1963 ; 山下修一ら:日植病報 53(1):74, 1987

[備考] エゾエノキ (*C. fessoensis*) にも発生

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

†裏すす病 ura-susu-byo (裏煤病)

Cercospora celtidis Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):100, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

ウラジロエノキ

(Trema)

Trema orientalis (L.) Bl.

(広葉樹)

こぶ病 kobu-byo Bacterial gall

Pseudomonas tremae Gardan, Shafik, Belouin, Broch, Grimont & Grimont 1999 [*Pseudomonas syringae* pv. *tremae*

Ogimi, Higuchi & Takikawa 1988]

大宜見朝栄ら:日林九支研論 34:203, 1981 ; 大宜見朝栄ら:日林試 70(10):441, 1988

すす点病 susuten-byo

Capnodiastrum guaraniticum Spegazzini

Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):423, 1979

[備考] 台湾で沢田 (台湾菌調:10, 1944) が記載した小円すす病 (*Phaeodiscula tremae* Sawada) と同一病害で, 病原菌は転属により *C. sawadae* が提案されている (小林ら:38 回日菌講:32, 1994)

すす病* susu-byo Black mildew

Asterina sponiae Raciborski

Katsuki, S.:Journ. Jap. Bot. 31(12):370, 1956 ; Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:80, 1975

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythricium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭 3) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編) 316, 1992

[備考] 台湾

†表すす病 omote-susu-byo

Wageria tremae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報:87(台湾産菌類調査報告 10):4, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

†角斑病 kakuhan-byo

Cercospora tremae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):89, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

†角斑病 kakuhan-byo

Pucciniospora tremae Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):55, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。前項か本項のいずれかの病名変更が必要である

†褐斑病 kappan-byo

Spondylocadium tremae Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報 (台湾産菌類調査報告 5):114, 1931(昭 6)

[備考] 台湾。病原菌の分類学的所属は *Gonatophragmium mori* との異同を含めて再検討を要する

††††

Botryosphaeria sp.

小河誠司:日林九支研論 31:219, 1978

[備考] キリエノキ (*T. cannabina*)

††††

Melanconis sp. [*Melanconium* sp.]

小河誠司:日林九支研論 31:219, 1978

[備考] キリエノキ

††††

†*Phragmocapnias betle* (Sydow & P. Sydow) Theissen & Sydow [*Scorias communis* W. Yamamoto]

山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):34, 1957 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):572, 1992

[備考] 台湾

ニレ類(楡)

(*Ulmus*)

Ulmus spp.

(広葉樹)

ハルニレ(春楡) *U. davidiana* Planch. var. *japonica* (Rehd.) Nakai

オヒョウ *U. laciniata* (Trautv.) Mayr

アキニレ(秋楡) *U. parvifolia* Jacq.

うどんこ病 *udonko-byo* Powdery mildew

(1) *Erysiphe ulmi* Castagne var. *ulmi* [*Uncinula clandestina* (Bivona-Bernardi) J. Schröter] (白渋病, うどん病)
白井光太郎:最近植物病理学:397, 1903(明 36); 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:192, 1900(明 33); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):347, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012

[備考] ハルニレ・アキニレ・ノニレ・コブニレ(*U. davidiana* f. *suberosa*)・オヒョウに発生

(2) *Podosphaera spiralis* Miyabe

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:367, 1910(明 43); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):317, 1937(昭 12)

[備考] ハルニレに発生

†うどんこ病* *udonko-byo*

Uncinula kenjiana Homma [*Uncinula clandestina* sensu Miura]

Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):1172, 1930(昭 5)

[備考] 中国東北部。ノニレ

紅粒がんしゅ病 *koryu-ganshu-byo* Coral spot disease (癌腫病)

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962 ; 出田 新:日本植物病理学(上):232, 1909(明 42)

黒斑病 *kokuhan-byo* (斑葉病)

Stegophora oharana (Y. Nisikado & H. Matsumoto) Petrak [*Gnomonia oharana* Y. Nisikado & H. Matsumoto, *Melasmia ulmicola* Berkeley & M.A. Curtis]

西門義一・松本弘義:農学研究 13:329, 1929(昭 4); 安田 篤:植物学各論隠花部:545, 1911(明 44); Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:150, 1970

[備考] ニレ (*U. pumila*)・ハルニレ・アキニレ・オヒョウ

白粒葉枯病 *shirotsubu-hagare-byo* Frosty mildew

病原菌未同定

原田幸雄ら:日植病報 80(1):69, 2014

[備考] 病原菌は *Mycopappus* の一種とみられる

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
Rosellinia necatrix Prillieux
伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66(7):265, 1984
[備考] アキニレ・ハルニレ

すすかび病* susukabi-byo (斑点病)
Cercospora sphaeriiformis Cooke
Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65:24, 1952
[備考] アキニレ

すす病 susu-byo Sooty mold
Capnodium salicinum Montagne
白井光太郎:植物病理学(下):178, 1894(明 27)
[備考] 病原菌の異名はボプラ類すす病参照

灰斑病 haihan-byo
Hypodermopsis ulmi Saccardo
澤田兼吉:林試研報 53:152, 1952

又枯病 matagare-byo (また枯病, 叉枯病, 枝枯病)
Stigmina compacta (Saccardo) M.B. Ellis [*Thyrostroma compactum* (Saccardo) Höhnelt]
伊藤誠哉・赤塚耕三:札幌農林学会報 32(157):55, 1940(昭 15) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):599, 1992
[備考] ニレ

円斑病* maruhan-byo (表円斑病)
Gnomoniella ulmi Sawada
澤田兼吉:林試研報 53:169, 1952
[備考] テリハニレ

幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot
Fomes fomentarius (Linnaeus) J. Kickx f. ツリガネタケ
白井光太郎:植物病理学(下):154, 1900(明 33) ; 出田 新:日本植物病理学(下):611, 1911(明 44)
[備考] 病原菌の異名はボプラ類幹心腐病参照

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot
Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka
Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:4, 1949
[備考] ノニレ。病原菌の異名はボプラ類紫紋羽病参照

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot
Meloidogyne suginamiensis Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ
樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979
[備考] ハルニレ。 *M. mali* Itoh *et al.* リンゴネコブセンチュウとして記録されたが、後に本種に訂正された (Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984)

ナウイルス病 virus-byo Virus disease
ウイルス (未同定)
伊藤一雄:樹病学大系 1:229, 1971

††斑入病 fuiri-byo Mottled leaf

ウイルス (未同定)

伊藤一雄:樹病:8, 1952

††しかんえそ病 shikan-eso-byo Yellows (Phloem necrosis) (篩管壊疽病)

Phytoplasma ファイトプラズマ

伊藤一雄:樹病学概論:11, 1960

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病)

Phyllachora sp.

田中 潔:森林防疫 36(7):126, 1987

[備考] オーストリア

††立枯病 tachigare-byo Dutch elm disease, Graphium wilt of elm (オランダ病)

Ophiostoma ulmi (Buisman) Nannfeldt [*Ceratocystis ulmi* (Buisman) C. Moreau, *Ceratostomella ulmi* Buisman]

伊藤一雄:林木の耐病性:118, 1959

[備考] 国内未発見

†斑点病 hanten-byo Septoria leaf spot

Septoria yokokawai Hara

原 攝祐:実験樹木病害篇:221, 1927(昭 2)

[備考] 中国東北部。ハルニレ

†斑葉病 han'yo-byo

Phyllosticta ulmicola Saccardo

原 攝祐:東亜菌類誌:36, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部。ノニレ・ハルニレ・チョウセンニレ (*U. macrocarpa*)

††††

†*Dothidella ulmi* (C.-J. Duval) G. Winter [*Euryachora ulmi* (Duval) J. Schröter]

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:155, 1928(昭 3); 三浦密成:秋田農試報 8:8, 1597

[備考] 中国東北部。ニレ・ノニレ・ハルニレ。病原菌は *Platychocha ulmi* (Schleicher) Petrak とされている (Petrak, F.:Ann. Mycol. 23:103, 1925)

ケヤキ(欒)

Japanese zelkova

Zelkova serrata (Thunb.) Makino

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病)

Erysiphe zelkowae (Henning) U. Braun & R.T.A. Cook [*Uncinula kusanoi* Sydow & P. Sydow var. *zelkowae* (Hennings) U. Braun, *Uncinula zelkowae* Hennings]

白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:91, 1900(明 33); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. 38(3):346, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):239, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012

褐斑病 kappan-byo (白斑点病, 白斑病, 白星病)

Cercospora zelkovae Hori

伊藤一雄・陳野好之:林試研報 134:33, 1961 ; 南部信方:病虫雑 8(10):492, 1921(大 10)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead

鷺尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

[備考] 病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照

紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease

Nectria cinnabarina (Tode) Fries

伊藤一雄:図説樹病新講:334:1962

こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot

Ganoderma applanatum (Persoon) Patouillard コフキタケ

松村任三:帝国植物名鑑(上):143, 1904(明 37)

[備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参照

白星病 shirahoshi-byo Septoria leaf spot

Septoria abeliceae Hirayama

Ito, K. & Hosaka, Y.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 57:163, 1952 ; Hirayama, S.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 13(3):33, 1931

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

北島君三:樹病学及木材朽論:242, 1933(昭 8)

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

とうそう病 toso-byo Spot anthracnose (そうか病)

Sphaceloma zelkovae Kurosawa & Katsuki

Kurosawa, E. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 69(817/818):318, 1956

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

(2) *Pythium debaryanum* R. Hesse

(3) *Rhizoctonia solani* J.G. Kühn

伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):138, 1959

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten] ナラタケ

伊藤一雄:樹病:53, 1952

[備考] 病原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照。狭義の種については未検討

灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease

Septobasidium bogoriense Patouillard

塩原右治ら:群馬林試報 12:129, 1973

[備考] 病原菌の異名はポプラ類灰色こうやく病参照

腐らん病 furan-byo

Valsa kitajimana Tak. Kobayashi

小林享夫:山林 1093:32, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:102, 1970

べっこうたけ病 bekkotake-byo Butt rot

Perenniporia fraxinea (Bulliard) Ryvarden [*Fomitopsis cytisina* (Berkeley) Bondartsev & Singer] ベッコウタケ

伊藤一雄:樹病:51, 1952 ; 高橋旨象:きのこ木材:129, 1989

[備考] 病原菌の異名はカシ類のべっこうたけ病参照

円星病 maruhoshi-byo

Mycochaetophora japonica Hara & Ogawa

原 攝祐:日本害菌学:312, 1936(昭 11) ; 原 攝祐:菌類 1(3):112, 1931(昭 6)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:4, 1949

[備考] 病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

堀江博道:日植病報 46(1):111, 1980 ; 堀江博道:東京農試研報 13:63, 1980

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌より検出

(3) *Longiodorus martini* Merny クワナガハリセンチュウ

平田賢司・湯原 巖:27 回応動昆大会講要:157, 1983

(4) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

(5) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(6) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 根圏土壌より検出。上記種との異同は不明

(7) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978

[備考] 種名は再検討を要する

(8) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

††††

Griphosphaerioma zelkovicola Yas. Ono & Tak. Kobayashi [不完全世代: *Sarcostroma zelkovicola* Yas. Ono & Tak. Kobayashi]

Ono, T. & Kobayashi, T.:Mycoscience 44:109, 2003

[備考] 接種試験未了

††††

Mycosphaerella zelkowae Sydow & Hara

白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):385, 1917(大 6); 原 攝祐:樹病学各論:111, 1923(大 12)

イラクサ科 Urticaceae

チョマ(カラムシ, マオ, ラミー, 苧麻)

Ramie, China grass

Boehmeria nivea (L.) Gaud. var. *tenacissima* (Gaud.) Miq.
(特用作物)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

(1) *Erysiphe cichoracearum* de Candolle

野村幸彦:日菌報 15(1):73, 1974

(2) *Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte [*Sphaerotheca fuliginea* (Schlechtendal) Pollacci]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):151, 1919(大 8); 平田幸治:日植病報 21(2-3):89, 1956

疫病 eki-byo Phytophthora blight

Phytophthora boehmeriae Sawada

澤田兼吉:台湾中研農業部報告 27(台湾菌類調査報告 3):10, 1927(昭 2); 渡邊龍雄:纖維作物病学:123, 1947

角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot (斑点病, ケルコスボラ病)

Pseudocercospora boehmeriae (Peck) Y.L. Guo & X.J. Liu [*Cercospora boehmeriae* Peck, *Cercospora boehmeriae* Fukui, *Cercospora fukuii* W. Yamamoto]

福井武治:病虫雑 5(9):733, 1918(大 7); 渡邊龍雄:纖維作物病学:128, 1947

褐斑病 kappan-byo Brown spot, Leaf spot

Ascochyta boehmeriae T. Watanabe

渡邊龍雄:病虫雑 20(5):368, 1933(昭 8)

黒斑病 kokuhan-byo Black spot

Phyllosticta boehmeriae Fukui

福井武治:三重博物 5:14, 1942(昭 17)

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

渡邊龍雄:病虫雑 25(10):761, 1938(昭 13)

立枯病 tachigare-byo Stem rot

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

富樫浩吾ら:岩手農試彙報 11:15, 1946

[備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑点病)

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum boehmeriae* Sawada]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):571, 1919(大 8); 出田 新:続日本植物病理学(下):776, 1926(大 15)

[備考] 山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960

根腐病 negusare-byo Root rot

Ramularia boehmeriae Fujiwara

藤原新太郎:札幌博物会報 6(2):159, 1916(大 5)

紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

渡邊龍雄:繊維作物病学:129, 1947

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

††††菌核病 kinkaku-byo Sclerotial rot

†*Sclerotinia sclerotiorum* (Libert) de Bary

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):223, 1919(大 8)

[備考] 台湾。病原菌の異名はダイズ菌核病参照

††††白絹病 shirakinu-byo Stem rot

†*Sclerotium rolfsii* Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農試報 19(台湾菌類調査報告 1):450, 1919(大 8)

[備考] 台湾。病原菌の異名はイネ白絹病参照

ミズ類
(Pilea)
Pilea spp.
(野草)

ミズ *Pilea hamaoi* Makino

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne arenaria (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

[備考] ミズ

オオバヒメマオ
(Pouzolzia)
Pouzolzia zeilanica (L.) J. Benn.
(広葉樹)

††††

†*Cercospora pouzolziae* Sawada [*Cercospora pouzolziae* Sawada]

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):86, 1944(昭 19); 澤田兼吉:台湾大農専刊 8(台湾産菌類調査報告 11):192, 1959

[備考] 台湾。 *P. zeilanica* var. *alienata*

††††

†*Kmetia pouzolziae* Sawada

澤田兼吉:台湾大農專刊 8(台湾産菌類調査報告 11):228, 1959

[備考] 台湾。 *P. zeilanica* var. *alienata*

イワガネ

(*Villebrunea*)

Villebrunea frutescens (Thunb.) Blume

(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust

Uredo pipturi (H. Sydow) Hiratsuka, f.

Kakishima, M. & Kobayashi, T.:Mycoscience 35(2):125, 1994

オミナエシ科 Valerianaceae

オミナエシ

Dahurian patrinia

Patrinia scabiosifolia Fisch. *Patrinia scabiosifolia* Fisch. ex Trevir.
(草花)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Euoidium* sp.

Hoshi, H. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 79(2):89, 2013

(2) *Oidium* sp.

星 秀男ら: 日植病報 74(1):33, 2008

[備考] *Reticuloidium* 亜属

褐斑病 kappan-byo

Septoria sp.

道立中央農試: 北海道における農作物および観賞植物の病害誌: 690, 1998

[備考] 接種試験未了

さび病 sabi-byo

(1) *Puccinia hemerocallidis* Thümen

Hiratsuka, N. *et al.*: The Rust Flora of Japan: 710, 1992

[備考] オミナエシ, オトコエシ, キンレイカ, マルバキンレイカ上に精子・さび胞子世代が, キスゲ, カンゾウ類に夏・冬胞子世代が寄生する

(2) *Puccinia patriniae* Hennings

伊藤誠哉: 日本菌類誌 2(3):307, 1950 ; 平塚直秀: 日本植物銹菌学研究: 326, 1955

[備考] 接種試験未了

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

星 秀男ら: 関東病虫研報 50:109, 2003

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum destructivum O'Gara [*Colletotrichum coccodes* (Wallroth) S. Hughes]

富岡啓介ら: 日植病報 66(2):91, 2000 ; Moriwaki, J. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 68:307, 2002 ; 富岡啓介: 近中四農研センター研報 5:91, 2005

[備考] 富岡啓介ら(2000)は本病原を *C. coccodes* (Wallroth) S. Hughes としたが, Moriwaki *et al.* (2002) はこれを *C. destructivum* と再同定した

苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

窪田昌春ら: 日植病報 75(2):116, 2009 ; 窪田昌春ら: 関西病虫研報 51:123, 2009

[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

竹内 純・堀江博道: 日植病報 61(3):220, 1995

[備考] 病原型は B 群

斑点病 hanten-byo

Cercospora sp.

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:690, 1998

[備考] 接種試験未了

オトコエシ

White patrinia

Patrinia villosa Juss.

(草花)

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

星 秀男ら:関東病虫研報 50:109, 2003

カノコソウ

Valeriana fauriei Briq.

(草花)

ウイルス病* virus-byo Virus

(1) *Broad bean wilt virus 2* (BBWV-2) ソラマメウイルトウイルス 2

一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017

[備考] 戻し接種なし

(2) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017

[備考] 戻し接種なし

(3) *Ligustrum necrotic ringspot virus* (LNRV) ネズミモチえそ輪紋ウイルス

一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017

[備考] 戻し接種なし

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田琴子ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 森田琴子ら:関東病虫研報 62:93, 2015

葉枯病 hagare-byo

Stagonosporopsis valerianellae (Gindrat, Semecnik & Bolay) Aveskamp, Gruyter & Verkley

利根川千枝ら:日植病報 83(3):186, 2017

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

(1) *Gibellulopsis nigrescens* (Pethybridge) Zare, W. Gams & Summerbell

小松 勉:日植病報 80(4):251, 2014

[備考] rDNA-ITS 領域の相同性による同定。形態の記載不十分

(2) *Verticillium dahliae* Klebahn

小松 勉:日植病報 80(4):251, 2014

[備考] 形態の記載不十分

マーシュ

Corn salad
Valerianella olitoria Pollich
(野菜)

根腐病 negusare-byo Root rot

Pythium sp.

草刈眞一ら:日植病報 61(3):220, 1995

[備考] 接種試験未了。水耕栽培で発生

クマツヅラ科 Verbenaceae

ムラサキシキブ(紫式部)

Beautyberry

Callicarpa japonica Thunb.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病)

(1) *Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973 ; 澤田兼吉:林試研報 50:117, 1951

[備考] ヤブムラサキにも発生。種名の検討を要する

(2) *Podosphaera callicarpae* (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca callicarpae* Tanda & Y. Nomura]

Tanda, S. & Nomura, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):307, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):167, 1988 ; 高松進:三重大生資紀要 38:14, 2012

角斑病 kakuhan-byo

Pseudocercospora callicarpae (Cooke) Y.L. Guo & W.X. Zhao [*Cercospora callicarpae* Cooke, *Cercospora callicarpicola* N. Naito, *Cercospora callicarpicola* Sawada]

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):100, 1943(昭 18) ; Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:49, 1940(昭 15) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):48, 1960 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

[備考] ヤブムラサキ (*C. mollis*)・ホウライムラサキ (*C. formosana*) にも発生

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora ryukyuensis Tak. Kobayashi & Y. Kawabe [*Cercospora* sp.]

小林享夫・河辺祐嗣:森林防疫 40(12):223, 1991 ; 小林享夫・河辺祐嗣:熱帯農業 36(3):198, 1992

[備考] オオムラサキシキブ (*C. japonica* var. *luxurians* Rehd.)

小すす病 kosusu-byo Sooty mold

Meliola butleri Sydow & P. Sydow [*Meliola amphitricha* Fries]

北島君三:樹病学及木材腐朽論:315, 1933(昭 8) ; 出田 新:日本植物病理学(上):224, 1909(明 42)

[備考] 病原菌の異名はホオノキ小すす病参照

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Kuehneola callicarpae* Sydow

Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 12(11):811, 1936(昭 11)

[備考] オオムラサキシキブ (*C. japonica* var. *luxurians*)・ヤブムラサキ・オオシマムラサキ (*C. oshimensis*)・イリオモテムラサキ (*C. oshimensis* var. *iriomotensis*) にも発生

(2) *Uromyces callicarpae* Fujikuro [*Uredo callicarpae* Petch]

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):389, 1919(大 8) ; 澤田兼吉・藤黒與三郎:台湾博物学会報 4(18):236, 1914(大 3) ; 平塚直秀:植研雑 13(8):589, 1937(昭 12)

[備考] ホウライムラサキ・オニヤブムラサキ (*C. kochiana*)にも発生

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

小林享夫ら:森林防疫 30(9):153, 1981

[備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952

[備考] 病原菌の異名はボプラ類すす病参照

†すす病* susu-byo Sooty mold, Black mildew

(1) *Asteridiella formosensis* (W. Yamamoto) Hansford [*Irene formosensis* W. Yamamoto]

山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):14, 1941(昭 16); 澤田兼吉:台湾農試報 83(台湾産菌類調査報告 7):10, 1942(昭 17)

[備考] 台湾。ハウライムラサキ

(2) *Meliola callicarpae* Sydow & P. Sydow

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):30, 1959

[備考] 台湾。ハウライムラサキ

(3) *Meliola callicarpicola* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 31(212):226, 1941(昭 16)

[備考] 台湾。ハウライムラサキ・オニヤブムラサキ (*C. longiloba*)

粉藻病* konamo-byo Algal powdery spot

Phycopeltis epiphyton Millardet

Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(830):280, 1957

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Paratrichodorus porosus* (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(2) *Trichodorus cedarus* Yokoo スギユミハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 9:28, 1979

(3) *Xiphinema incognitum* Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ

Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983

[備考] 根圏土壌より検出

†黒褐色すす病* kokukasshoku-susu-byo Black sooty mold

Triposporiopsis spinigera (Höhnelt) W. Yamamoto

Yamamoto, W.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):168, 1956

[備考] 台湾。ハウライムラサキ(*Callicarpa formosana*)。病原菌の異名はクチナシ†黒褐色すす病参照

††††

Anthostomella callicarpae Katumoto

Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(2):171, 1984

[備考] ヤブムラサキ

††††

Diatrypella verruciformis (Ehrenberg) Fries

原 攝祐:日本害菌学:222, 1936(昭 11)

††††

†*Dimerium clemensiae* Sydow

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):37, 1959

[備考] 台湾。ハウライムラサキ。すす病菌の重複寄生菌と思われる

クサギ(臭木)
Glorybower
Clerodendron trichotomum Thunb.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病)

Podospheera intermedia (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Sphaerotheca intermedia* U. Braun, *Sphaerotheca humuli* auct. Jap. non (de Candolle) Burrill]

平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973; 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:7, 1934(昭9); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

(1) *Aecidium clerodendri* Hennings (腫銹病)

澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):121, 1943(昭18); 藤黒與三郎:台湾博物会報 4(19):12, 1914(大3); Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Univ. Ryukyus 1:41, 1954

[備考] ヤエザキクサギ (*C. fragrans*)・マキバクサギ・リュウセンカ (*C. paniculatum*) にも発生

(2) *Coleosporium clerodendri* Dietel

原 攝祐:実験樹木病害篇:305, 1927(昭2); 吉永虎馬:植物学雑誌 16(179):2, 1902(明35); Kaneko, S.:Rept Tottori Mycol Inst. Japan:118, 1981

[備考] マキバクサギ・ヤエザキクサギ・ショウロウクサギ (*C. trichotomum* var. *esculentum*)・アマクサギ (*C. trichotomum* var. *yakusimense*) にも発生

(3) *Puccinia erebia* P. Sydow & Sydow [*Uredo clerodendricola* Hennings]

澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾産菌類調査報告 6):52, 1933(昭8); Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(641):163, 1940(昭15)

[備考] イボタクサギ (*C. nerifolium*)

すす病 susu-byo Sooty mold (煤病)

Meliola clerodendricola Hennings [*Meliola sakawensis* Hennings]

原 攝祐:実験樹木病害篇:303, 1927(昭2); 吉永虎馬:植物学雑誌 19(217):32, 1905(明38); 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):31, 1959; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992

[備考] ヤエザキクサギ(台湾でも発生)・リュウセンカにも発生

すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold

(1) *Balladynastrum clerodendri* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):25, 1959

[備考] 台湾。マキバクサギ (*C. cryptophyllum*)・ヤエザキクサギ

(2) *Dimerina citricola* Sawada & W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):37, 1959

[備考] 台湾。ヤエザキクサギ

(3) *Meliola clerodendri* W. Yamamoto

山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):418, 1940(昭15)

[備考] 台湾。マキバクサギ・ヤエザキクサギにも発生

斑点病 hanten-byo (角斑病)

Pseudocercospora clerodendri (J. Miyake) Deighton [*Cercospora clerodendri* I. Miyake, *Cercospora clerodendri* Sawada]

原 攝祐:実験樹木病害篇:304, 1927(昭2); Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(315):53, 1913(大2); 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992

[備考] マキバクサギ (*C. cyrtophyllum*) にも発生

斑葉病 han'yo-byo

Septoria phlyctaenoides Berkeley & M.A. Curtis

安田 篤:植物学各論隠花部:541, 1911(明 44)

帯化病 taika-byo Fasciation

生理障害

久内清孝:植研雑 5(8):304, 1928(昭 3)

†うす円星病 usu-maruhoshi-byo

Cercospora kashotoensis W. Yamamoto

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):111, 1943(昭 18) ; 山本和太郎:台湾博物学会報 26(154):282, 1936(昭 11)

[備考] 台湾。イボタクサギ (*C. inerme*)

†裏角斑病 ura-kakuhan-byo

Ramularia clerodendri Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):71, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。ヤエザキクサギ

†褐色すす病* kasshoku-susu-byo Brown sooty mold

Phaeosaccardinula javanica (Zimmermann) W. Yamamoto

山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):44, 1957

[備考] 台湾。ヤエザキクサギ (*Clerodendron fragrans*)。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照

†白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農事報 49:12, 1910(明 43)

[備考] 台湾。ヤエザキクサギ。病原菌の異名はユッカ白絹病参照

†円斑病 maruhan-byo

Cercospora bakeri Sydow

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):80, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。ヤエザキクサギ

タイワンレンギョウ(ハリマツリ)

(*Durantha*)

Durantha plumieri Jacq.

(広葉樹)

†赤衣病 akagoromo-byo Pink disease

Erythriconium salmonicolor (Berkeley & Broome) Burdsall [*Corticium salmonicolor* Berkeley & Broome]

澤田兼吉:台湾農事報 80:3, 1913(大 2) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992

[備考] 台湾

†白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi]

澤田兼吉:台湾農事報 49:12, 1910(明 43)

[備考] 台湾

†立枯病 tachigare-byo

Phellinus lamaensis (Murrill) R. Heim [*Fomes lamaensis* (Murrill) Saccardo & Trotter]

澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査報告 4):86, 1928(昭 3)

[備考] 台湾。*Phellinus noxius* (Corner) Cunningham との異同の検討を要する

ヤマネ(メリナ)

Yemane

Gmelina arborea L.

(広葉樹)

†褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Cercospora gmelinae J.M. Yen & Gilles

小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(1):8, 1986

[備考] フィリピン

†すす病 susu-byo Sooty mold

Meliola clerodendricola Hennings var. *micromera* (Sydow & P. Sydow) Hansford

小林享夫:熱帯林業 50:25, 1978 ; 小林享夫ら:熱帯農研集報 43:193, 1982 ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3) 288, 1985

[備考] フィリピン

†灰斑病 haihan-byo Gray leaf spot

Guignardia gmelinae Tak. Kobayashi [*Phyllosticta gmelinae* Tak. Kobayashi]

Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21(3):314, 1980

[備考] フィリピン

ランタナ類

Lantana

Lantana spp.

(草花)

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot

Pseudocercospora guianensis (F. Stevens & Solheim) Deighton

中島千晴ら:日植病報 64(4):430, 1998 ; Nishikawa, J. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):281, 2001

[備考] ランタナ *L. camara* L, コバノランタナ *L. montevidensis* (Spreng.) Briq. に発生

イワダレソウ

Lippia nodiflora L.

(草花)

そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma sp.

梶谷裕二:日植病報 78(3):189, 2012

ハマクサギ
(Premna)
Premna japonica Miq.
(広葉樹)

さび病 sabi-byo Rust

(1) *Crossopora premnae* (Petch) Sydow & P. Sydow [*Cronartium premnae* Petch]

Hiratsuka, N.: Bot. Mag. Tokyo 55(654):268, 1941(昭 16) ; Hiratsuka, N. *et al.*: Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:22, 1955

(2) *Puccinia premnae* Hennings

吉永虎馬: 植物学雑 18(204):34, 1904(明 37) ; 伊藤誠哉: 日本菌類誌 2(3):295, 1950

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Cercospora premnae Castellani

Katsuki, S.: Journ. Jap. Bot. 28(9):287, 1953 ; 山本和太郎・前田巳之助: 兵庫農大研報 農生編 4(2):70, 1960

輪斑病 rinhan-byo Zonate leaf spot

Gonatophragmium mori (Sawada) Deighton

Takahashi, K. & Teramine, T.: Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 52(3):406, 1986

††††

Hymenochaete sallei Berkeley & M.A. Curtis コガネウロコタケ

今関六也: 東京科博研報 2:11, 1940(昭 15)

ホナガソウ
(Stachytarpheta)
Stachytarpheta jamaicensis (L.) Vahl
(草花)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot

Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ

島田律子ら: 小笠原研究年報 36:71, 2013

[備考] 接種試験未了

チーク
Teak
Tectona grandis Linn.
(広葉樹)

†うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe tectonae* (E. S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu

Kom-un, S. *et al.*: Jpn. J. Phytopathol. 69(1):59, 2003

[備考] タイ。接種試験未了

(2) *Uncinula tectonae* E.S. Salmon

田中 潔: 森林防疫 35(2):26, 1986

[備考] タイ

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Olivea tectonae (T. S. Ramakrishnan & K. Ramakrishnan) J.L. Mulder [*Uredo tectonae* Raciborski, *Chaconia tectonae* T. S. Ramakrishnan & K. Ramakrishnan]

澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾産菌類調査報告 5):56, 1931(昭 6) ; 小林享夫:熱帯林業 49:21, 1978

[備考] 台湾・フィリピン・タイ

†すす病 susu-byo Sooty mold

病因未詳

小林享夫:熱帯林業 49:22, 1978

[備考] フィリピン

††††

†*Cercospora tectonae* F. Stevens

山本和太郎:台湾博物学会報 26(154):285, 1936(昭 11)

[備考] 台湾

††††

†*Cladosporium tectonae* Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):92, 1943(昭 18)

[備考] 台湾

バーベナ(ビジョザクラ)

Verbena

Verbena × hybrida Voss

(草花)

ヒメビジョザクラ (Verbena) *V. tenera* Spreng.

シュッコンバーベナ *V. rigida* Spreng.

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

Tomato spotted wilt virus (TSWV) トマト黄化えそウイルス

河野敏郎ら:日植病報 65(6):651, 1999

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Oidium* sp.

丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999

[備考] ヒメビジョザクラ・シュッコンバーベナに発生

(2) *Podosphaera xanthii* (Castagne) U. Braun & Shishkoff [*Sphaerotheca fusca* (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte, *Sphaerotheca fuliginea* non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte]

平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012

[備考] 平田(1956)は寄主植物名リスト

菌核病 kinkaku-byo

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 43:67, 1996

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

舘 彩香ら:関東病虫研報 61:103, 2014

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum acutatum J.H. Simmonds

菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:675, 1998

[備考] 接種試験未了

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:675, 1998

[備考] 接種試験未了

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne javanica (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植物寄生性線虫とその調査法(千葉県):1, 1958 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

(1) *Aphelenchoides ritzemabosi* (Schwartz) Steiner & Buhrer ハガレセンチュウ

河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957

(2) *Aphelenchoides* sp. ハガレセンチュウの1種

河村貞之助・寺田伊斗子・柄内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955

[備考] 上記種との異同は不明

クマツヅラ類

(Verbena)

Verbena spp.

(野草)

アレチハナガサ *V. brasiliensis* Vell.

クマツヅラ *V. officinalis* L.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

Podosphaera xanthii (Castagne) U. Braun & Shishkoff

Meeboon, J. & Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 56:243, 2015

[備考] 接種試験未了。アレチハナガサに発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

森田琴子ら:日植病報 81(1):51, 2015 ; 森田琴子ら:関東病虫研報 62:93, 2015

[備考] クマツヅラに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67,

1961

[備考] クマツヅラに発生

ニンジンボク(人參木)

(Vitex)

Vitex negundo L. var. *cannabifolia* (Sieb. & Zucc.) Hand.-Mazz.

(広葉樹)

褐斑病 kappan-byo (角斑病)

Cercospora viticis Ellis & Everhart [*Cercospora viticis* Sawada]

小林享夫:森林防疫 25(1):3, 1976 ; 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):90, 1944(昭 19) ;

Kastsuki, S.:Trans. Mycol Soc. Japan (Append.) 1:67, 1965

さび病* sabi-byo Rust (銹病)

Uredo clemensiae (Arthur & Cummins) Hiratsuka, f. [*Pucciniastrum clemensiae* Arthur & Cummins]

Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 14(1):33, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 1(5):4, 1957

†円星病 maruhoshi-byo

Ramularia viticis Sydow

澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):72, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。タイワンニンジンボク (*Vitex negundo*)

スミレ科 Violaceae

スミレ類 (草花)

パンジー(サンシキスミレ・ビオラ) Garden pansy *V. × wittrockiana* Gams

ビオラ・コルヌータ Horned violet *V. cornuta* L.

ニオイスマイレ Sweet violet *V. odorata* L.

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Euoidium violae* (Passerini) U. Braun & R.T.A. Cook [*Oidium violae* Passerini]

丹田誠之助・須賀里絵:東農大農学集報 47(3):141, 2002 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:37, 2012

[備考] パンジーに発生

(2) *Oidium* sp.

伊藤陽子ら:日植病報 69(3):258, 2003

[備考] *Fibroidium* 亜属と思われる。パンジー (*Viola × wittrockiana*) に発生

疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) *Phytophthora cactorum* (Lebert & Cohn) J. Schröter

竹内 純・堀江博道:日植病報 64(4):433, 1998

[備考] パンジー (*Viola × wittrockiana* Gams) に発生

(2) *Phytophthora nicotianae* Breda de Haan

竹内 純・堀江博道:日植病報 64(4):433, 1998

[備考] ビオラ (*Viola cornuta*) に発生

黒かび病* kurokabi-byo Leaf spot (黒腐病, 黒色黴病, 斑点病, 円星病)

Cercospora violae Saccardo

今井四郎:病虫雑 2(4):345, 1915(大 4) ; 南部信方:病虫雑 8(6):286, 1921(大 10)

[備考] 南部 (1921) の報告は解説書。接種試験未了

黒穂病* kuroho-byo Leaf and stem smut

Urocystis violae (Sowerby) E. Fischer [*Tubercinia violae* (Sowerby) Liro]

白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:695, 1917(大 6) ; 柿畠 眞:筑波大農林研究 1:75, 1982

[備考] タチツボスミレ (*Viola grypoceras*) に寄生。柿畠(1982)は接種試験未了。白井・三宅(1917)は寄主植物リスト(欧州)

黒点病 kokuten-byo Leaf spot

Mycocentrospora acerina (R. Hartig) Deighton

高野喜八郎:日植病報 62(3):226, 1996

[備考] ビオラ (パンジー *Viola × wittrockiana* Gams) に発生

黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot (斑点病)

Alternaria violae L.D. Galloway & Dorsett

南部信方:日園雑 25(2):30, 1913(大 2) ; 今井四郎:病虫雑 2(4):343, 1915(大 4)

[備考] いずれも解説書。南部(1913)の報告では接種試験未了

さび病 sabi-byo Rust

Puccinia violae (Schumacher) de Candolle

南部信方:病虫雑 2(4):387, 1915(大 4)

[備考] ニオイスマレ (*Viola odorata*) に発生。接種試験未了

そうか病 soka-byo Scab

Sphaceloma violae Jenkins

黒沢英一・香月繁孝:植物学雑 70(827):135, 1957 ; 常谷幸雄・端山重男:日植病報 25(1):46, 1960

立枯病 tachigare-byo Root rot

Pythium violae Chesters & Hickman

岡田清嗣ら:日植病報 62(3):265, 1996

[備考] パンジーで発生

炭疽病 tanso-byo Anthracnose

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [*Colletotrichum violae-tricoloris* R.E. Smith]

南部信方:病虫雑 2(4):387, 1915(大 4)

[備考] パンジーに発生。解説書のため詳細は不明

根腐病 negusare-byo Root rot

Thielaviopsis basicola (Berkeley & Broome) Ferraris [*Thielavia basicola* Zopf, *Chalara elegans* Nag Raj & W.B. Kendrick]

南部信方:病虫雑 3(5):419, 1916(大 5) ; 粕山新二・井上幸次:日植病報 62(6):630, 1996 ; 堀田治邦・大上大輔:北農 82(4):385, 2015

[備考] 粕山・井上(1996)はパンジーでの報告。堀田・大上(2015)はビオラ・コルヌータでの報告

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold (鼠黴病)

Botrytis cinerea Persoon

瀧元清透:花卉及温室作物の病害:116, 1939(昭 14) ; 原 攝祐:日本菌類目録:35, 1954

[備考] 瀧元(1939) は解説書。原(1954) は寄主植物名リスト

葉枯病 hagare-byo Leaf spot

(1) *Stemphylium lycopersici* (Enjoji) W. Yamamoto

(2) *Stemphylium vesicarium* (Wallroth) E.G. Simmons

高野喜八郎:北陸病虫研報 47:55, 1999

[備考] パンジー・ビオラ

葉腐病 hagusare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

伊藤誠哉:大日本菌類誌 I:20, 1936 ; 成田武四:北海道における農作物病害:207, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:697, 1998

[備考] 接種試験未了

斑点病 hanten-byo Leaf spot

Septoria violae Westendorp

今井四郎:病虫雑 2(4):344, 1915(大 4)

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Peronospora violae de Bary

南部信方:病虫雑 2(4):385, 1915(大 4)

[備考] パンジー・野生スミレ類。接種試験未了

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ

後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964

[備考] 本線虫は, *P. pratensis* (de Man) Filipjev とされたことがある

(2) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病, 根瘤線虫病)

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

一戸 稔:北農 23(5):178, 1956

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(5) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radiculicola* (Greeff) Müller, *Heterodera marioni* (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28)

[備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照

葉枯線虫病 hagare-senchu-byo

Aphelenchoides fragariae (Ritzema Bos) Christie [*Aphelenchoides olesistus* Ritzema Bos] イチゴセンチュウ

横尾多美男:土壤線虫:441, 1959

††軟腐病 nampu-byo Soft rot

Pectobacterium carotovorum (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [*Bacillus carotovorus* Jones, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]

岡部徳夫:植物細菌病学:346, 1949

[備考] スミレでは国内発生未確認

†白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne]

澤田兼吉:台湾農試特別報告 4:71, 1912(明 45)

[備考] 台湾においてニオイスマレ (*Viola odorata*) に発生。澤田 (1912) は寄主植物リスト

ブドウ科 Vitaceae

ノブドウ

Ampelopsis

Ampelopsis brevipedunculata (Max.) Trautv.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病)

(1) *Erysiphe necator* Schweinitz var. *necator* [*Uncinula necator* (Schweinitz) Burrill, *Oidium tuckeri* Berkeley]
Homma, Y.: Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):243, 1988 ;
井上幸次ら: 日植病報 68(3):258, 2003 ; Nomura, Y. et al.: Mycoscience 44:157, 2003 ; Takamatsu, S. et al.:
Mycoscience 45(1):68, 2005

(2) *Ovulariopsis ampelopsidis-ciliatae* Sawada

澤田兼吉: 台湾中研農業報 49:48, 1930(昭 15) ; 和田久美子・平田幸治: 新潟大農研報 29:94, 1977

(3) *Phyllactinia ampelopsidis* Y.N. Yu & Y.Q. Lai [*Ovulariopsis ampelopsidis-heterophyllae* Sawada]

澤田兼吉: 台湾中研農業報 49:47, 1930(昭 15) ; 和田久美子・平田幸治: 新潟大農研報 29:94, 1977 ; 高松 進:
三重大生資紀要 38:26, 2012

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (白葉枯病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall, *Sclerotium cinnamomi* Sawada]

周藤靖雄: 植物防疫 30(12):497, 1976 ; 伊藤武夫: 森林防疫ニュース 10(9):178, 1961

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Physopella ampelopsidis (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [*Phakopsora ampelopsidis* Dietel & P. Sydow,
Phakopsora vitis (Thümen) P. Sydow, *Uredo vialae* Lagerheim, *Uredo vitis* Thümen]

南部信方: 病虫雑 2(2):193, 1915(大 4) ; Hiratsuka, N.: Bot. Mag. Tokyo 14(161):89, 1900(明 33) ; 伊藤誠哉: 日
本菌類誌 2(2):146, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N. et al.: Rust flora of Japan:335, 1992

[備考] テリハノブドウ・ケノブドウ・ウドカズラにも寄生

†さび病 sabi-byo Rust (銹病)

†*Pucciniostele hashiokai* (Hiratsuka, f.) Cummins [*Cerotelium hashiokai* Hiratsuka, f., *Pucciniostele ampelopsidis*
Sawada]

澤田兼吉: 台湾農事報 38(9):703, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N.: Journ. Jap. Bot. 13(4):248, 1937(昭 12) ; Hiratsuka,
N.: Journ. Jap. Bot. 27(4):112, 1952

[備考] 台湾。タイワンウドカズラ (*Ampelopsis cantoniensis*)

小角斑病 sho-kakuhan-byo

Kmetia ampelopsidis Sawada

澤田兼吉: 台湾農試報 85:126, 1943(昭 18) ; Katsuki, S.: Journ. Jap. Bot. 28(9):288, 1953

すす点病 susuten-byo Greasy spot, Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason

那須英夫・藤井新太郎: 植物防疫 40(2):77, 1986

斑点病 hanten-byo

Cercospora vitis-heterophyllae Hennings

山本和太郎・前田巳之助: 兵庫農大研報農生編 4(2):78, 1960 ; Hennings, P.: Engler's Bot. Jahrb. 37:166, 1906(明
39)

べと病* beto-byo Downy mildew

Plasmopara viticola (Berkeley & M.A. Curtis) Berlese & De Toni

田中延次郎:植物学雑誌 4:380, 1890(明 23)

[備考] 病名未提案

輪斑病 rinhan-byo Zonate leaf spot

Acrospermum viticola Ikata [*Gonatophragmium mori* (Sawada) Deighton]

高橋幸吉・寺峰 孜:日植病報 50(3):413, 1984 ; 高橋幸吉・寺峰 孜:日植病報 52(3):406, 1986

†葉枯病 hagare-byo

Dendrodochium ampelopsidis Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87:93, 1944(昭 19)

[備考] 台湾

†葉脈紡錘病 yomyaku-bosui-byo

Colletotrichum ampelopsidis Sawada

澤田兼吉:台湾農試報 87:64, 1944(昭 19)

[備考] 台湾。ケノブドウ。病原菌の分類学的所属は再検討を要する

††††

Coniothyrium fuckelii Saccardo

白井光太郎:植物病理学(下):238, 1894(明 27)

[備考] 病原菌の分類学的所属について再検討を要する

††††

†*Septoria ampelopsidis-heterophyllae* Miura

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:457, 1928(昭 3)

[備考] 中国東北部

ヤブガラシ類

(Cayratia)

Cayratia spp.

(野草)

ヤブガラシ *C. japonica* (Thunb.) Gagn.

ヒイラギヤブガラシ *C. tenuifolia* (Wight & Arn.) Gagn.

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑点性細菌病)

Pseudomonas cissicola (Takimoto 1939) Burkholder 1948

瀧元清透:日植病報 9(1):41, 1939(昭 14) ; 後藤正夫・牧野孝宏:日植病報 43(1):40, 1977

白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot

Rosellinia necatrix Prillieux

河原崎秀志ら:日植病報 81(3):225, 2015

[備考] ヤブガラシに発生

炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot

Macrophomina phaseolina (Tassi) Goidánich

大城 篤ら:日植病報 77(3):143, 2011

[備考] ヒイラギヤブガラシに発生

根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(2) *Meloidogyne suginamiensis* Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ

樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979

[備考] 接種試験の結果。 *M. mali* Itoh *et al.* リンゴネコブセンチュウとして報告されたが、後に本種に訂正された (Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984)

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo

Aphelenchoides ritzemabosi (Schwartz) Steiner & Buhner ハガレセンチュウ

河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福土両教授還暦記念論文集:36, 1955

[備考] ヤブガラシ

ツタ(蔦, 地錦)

Boston ivy

Parthenocissus tricuspidata (Sieb. & Zucc.) Planch.

(広葉樹)

褐色円斑病* kasshoku-maruhan-byo *Phyllosticta* leaf spot (褐斑病)

Phyllosticta ampellicida (Engelmann) Aa

小林享夫・佐々木克彦:日植病報 41(1):117, 1975 ; Yokoyama, T.:IFO Res. Comm. 8:81, 1977 ; 堀江博道・小林享夫:東京農試研報 16:195, 1983

[備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する

褐斑病 kappan-byo *Cercospora* leaf spot

Pseudocercospora riachueli (Spegazzini) Deighton [*Cercospora riachuelli* Spegazzini, *Cercospora horiana* Togashi & Katsuki]

山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):72, 1960 ; 富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大研報 II, 1:4, 1952 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992

黒枯病 kurogare-byo

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc

鶴屋健太ら:九病虫研会報 56:113, 2010

[備考] シュガーバイン (*Parthenocissus* sp.) に発生。宿主の学名については検討を要する

さび病 sabi-byo Rust (銹病)

Physopella ampelopsidis (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [*Phakopsora ampelopsidis* Dietel & P. Sydow, *Phakopsora vitis* (Thümen) P. Sydow, *Uredo vitis* Thümen, *Uredo vialae* Lagerheim]

南部信方:病虫雑 2(2):193, 1915(大 4) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 14(161):89, 1900(明 33)

すす病 susu-byo Sooty mold

Capnodium salicinum Montagne

澤田兼吉:林試研報 53:154, 1952

[備考] 病原菌の異名はポプラ類すす病参照

灰色かび病 haiiro-kabi-byo

Botrytis cinerea Persoon

森田 儔ら:関東東山病虫研報 32:151, 1985

べと病* beto-byo Downy mildew (露菌病)

Plasmopara viticola (Berkeley & M.A. Curtis) Berlese & De Toni

原 攝祐:実用作物病理学:347, 1925(大 14)

輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight

病原菌所属不明

野中寿之・植原一雄:九州農業研究 36:115, 1974

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Criconeoides* sp. ワセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

[備考] 属名は再検討を要する

(2) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種

中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974

エビヅル

(*Vitis*)

Vitis thunbergii Sieb. & Zucc.

(広葉樹)

晩腐病 osogusare-byo Ripe rot

Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo

畑本 求:岡山農試研報 15:31, 1997

[備考] 接種試験未了

さび病 sabi-byo Rust

Phakopsora montana Y. Ono & Chatasiri

Ono, Y. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012

[備考] 本病菌の精子・さび孢子世代はミヤマハハソに生じる。他の *Vitis* 属の宿主はブドウさび病の項を参照

輪紋病 rimmon-byo Ring spot

Marssonina viticola (Miyake) F.L. Tai

畑本 求:岡山農試研報 15:31, 1997

[備考] 接種試験未了

ブドウ(葡萄)

Grapes

Vitis spp.

(果樹)

アメリカブドウ Fox grape *V. labrusca* L.

ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape *V. vinifera* L.

黄色斑点病* oshoku-hanten-byo Yellow speckle, Latent infection (潜在感染)

Grapevine yellow speckle viroid 1 (GYSVd-1) ブドウ黄色斑点ウイロイド 1

Sano, T. *et al.*: J. Gen. Plant Pathol. 66(1):68, 2000

[備考] Sano *et al.* (2000)の報告では無病徴

味無果病 ajinashika-byo Ajinashika disease

病原未確認

難波成任ら:日植病報 43(3):375, 1977; 矢野 龍・寺井康夫:日植病報 45(4):568, 1979; 寺井康夫・矢野 龍:日植病報 54(3):397, 1988

[備考] 接ぎ木伝染性。リーフロール病とフレックの病原の接ぎ木接種により味無果の再現に成功。なお難波らは *Grapevine ajinashika-associated virus#* (GAaV ブドウ味無果随伴ウイルス) を報告しているが、戻し接種未成功

萎縮病 ishuku-byo Stunt

病原未確認

難波成任ら:日植病報 47(1):137, 1981; 畑本 求ら:日植病報 48(3):396, 1982; 畑本 求ら:日植病報 50(1):85, 1984; 畑本 求:岡山農試臨報 C 79:1, 1989

[備考] 接ぎ木および虫媒 (フタテンヒメヨコバイ) 伝染性。難波らは *Grapevine stunt virus#* (GSV ブドウ萎縮ウイルス) を報告しているが、戻し接種未成功

ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) Corky bark

田中彰一・大竹啓子:日植病報 34(3):204, 1968; 田中寛康:果樹試報 A12:125, 1985

[備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染

(2) Fleck

寺井康夫・矢野 龍:日植病報 45(4):568, 1979

[備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染。外国で *Grapevine fleck virus* が報告されている

(3) Potyvirus#

今田 準・家城洋之:日植病報 54(3):397, 1988

[備考] 新葉のモザイク症状及び葉脈の黄化発現樹から分離, 病原性確認

(4) Rugose wood

今田 準・浅利 覚:日植病報 62(6):627, 1996; 今田 準ら:日植病報 64(4):423, 1998

[備考] stem pitting 発生樹から rugose wood complex 関連のウイルスとして *Grapevine virus A* (GVA ブドウ A ウイルス)と *Grapevine virus B* (GVB ブドウ B ウイルス)を検出

(5) Tobacco necrosis virus#

今田 準・家城洋之:日植病報 54(3):397, 1988

[備考] 新葉のモザイク症状及び奇形発現樹から分離。TNV チューリップ株病抗血清と強く反応。病原性確認

†††ウイルス病 virus-byo Virus disease

(1) *Arabidopsis mosaic virus* (ArMV) アラビシモザイクウイルス

小林敏郎ら:日植病報 44(3):389, 1978

[備考] 生産国フランス

(2) *Tomato ringspot virus* (ToRSV) トマト輪点ウイルス

後藤正昭:植物防疫 42(7):24, 1988

[備考] 生産国アメリカ

えそ果病 esoka-byo *Grapevine berry inner necrosis* (モザイク病)

Grapevine berry inner necrosis virus (GINV) ブドウえそ果ウイルス

田中寛康:日植病報 50(1):133, 1984 ; 西島 隆ら:日植病報 50(3):433, 1984 ; 寺井康夫・柳瀬春夫:日植病報 58(4):617, 1992

エネーション病 *enation-byo* Enation

病原未確認

田中彰一・大竹啓子:日植病報 32(2):84, 1966 ; 畑本 求・渡辺義明:日植病報 52(1):127, 1986

[備考] 接ぎ木伝染性。畑本・渡辺は *Grapevine enation virus* # と記載しているが、ウイルス粒子は現在なお未確認である

ファンリーフ病* *fanleaf-byo* Fanleaf, Fanleaf degeneration

Grapevine fanleaf virus (GFLV) ブドウファンリーフウイルス

田中寛康ら:日植病報 40(3):216, 1974 ; Tanaka, H. & Kugoh, T.:Proc. 6th Conf. ICVG, Monografia INIA, 18:69, 1978

ベインモザイク病 *vein mosaic-byo* Vein mosaic

病原未確認

渡辺義明・畑本 求:日植病報 56(1):128, 1990

[備考] 接ぎ木伝染性

リーフロール病* *leafroll-byo* Leafroll (葉巻病)

病原未確認

田中彰一・大竹啓子:日植病報 32(2):84, 1966 ; 田中彰一:日植病報 42(2):192, 1976

[備考] 接ぎ木伝染性。難波成任ら (日植病報 45(4):497, 1979) は *Grapevine leafroll-associated virus* (GLRaV) を報告しているが、戻し接種未成功。しかし最近7種類の GLRaV のうち3種類 (GLRaV-1, 3, 7) が病原である証拠が得られたと報告されている (Martelli, G. P.:Grapevine virology highlight 1994-97 in Report in 12th ICGV Meeting, 1997)。Ito *et al.*:Arch. Virol. 158:273 (2013)は GLRaV-4 と 7, Ito & Nakaune:Arch. Virol. 161:2555 (2016) は GLRaV-13 を報告し、接ぎ木伝染を確認したが病徴への関与は不明

根頭がんしゅ病 *konto-ganshu-byo* Crown gall (根頭癌腫病, 癌腫病)

(1) *Rhizobium radiobacter* (Beijerinck & van Delden 1902) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium tumefaciens* biovar 1 (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942]

川口 章・井上幸次:日植病報 74(3):253, 2008 ; Kawaguchi, A. & Inoue, K.:J. Gen. Plant Pathol. 75(3):205, 2009

(2) *Rhizobium vitis* (Ophel & Kerr 1990) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [*Agrobacterium vitis* Ophel & Kerr 1990, *Agrobacterium tumefaciens* (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, *Bacterium tumefaciens* Smith & Townsend 1907, *Pseudomonas tumefaciens* (Smith & Townsend) Duggar] 原 攝祐:果樹病害論:345, 1916(大 5) ; 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933 (昭 8) ; 澤田宏之:日植病報 56(2):199, 1990 ; 澤田宏之:果樹試報特別報告 5:1, 1994 ; 澤田宏之ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014

つる割細菌病 *tsuruware-saikin-byo* Bacterial blight

Xylophilus ampelinus (Panagopoulos 1969) Willems, Gillis, Kersters, Van den Broecke, & De Ley 1987

新村昭徳ら:日植病報 78(1):60, 2012

斑点細菌病 *hanten-saikin-byo* Bacterial spot

Xanthomonas arboricola Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995

澤田宏之ら:日植病報 76(3):175, 2010 ; 澤田宏之ら:日植病報 77(1):7, 2011 ; 澤田宏之ら:植物防疫 66(1):24, 2012

赤枯病 akagare-byo Light brown leaf spot

Dendrophoma sp.

斉藤司朗ら:栃木農試研報 23:85, 1977

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 白黴病, 白粉病, 粉病)

Erysiphe necator Schweinitz var. *necator* [*Uncinula necator* (Schweinitz) Burrill, *Oidium tuckeri* Berkeley]

白井光太郎:植物学雑 5(56):341, 1891(明 24) ; 出田 新:農作物病理学:94, 1901(明 34) ; 井上幸次ら:日植病報 69(3):258, 2003 ; Nomura, Y. *et al.*:Mycoscience 44:157, 2003 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012

[備考] ヤマブドウ・エビヅルにも発生。村田壽太郎 (病虫雑 2(4):352, 1915) は白渋病の病原として *U. spiralis* Berkeley & Curtis を挙げ, 野村幸彦 (日菌報 22:333, 1981) は本病原菌の分生子世代と海外の *U. necator* のそれとは形態が異なるとしており, 分類学的検討を要する

枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo Sclerotinia shoot blight (菌核病, 枝枯性菌核病)

Sclerotinia sclerotiorum (Libert) de Bary [*Sclerotinia libertiana* Fuckel]

鑄方末彦:病虫雑 11(9):510, 1924(大 13) ; 原 攝祐:実験作物病理学:617, 1930(昭 5) ; 広間勝巳:今月の農薬 32(1):81, 1988

枝枯病 edagare-byo Shoot blight

Botryosphaeria sp.

斎藤司朗ら:日植病報 47(3):376, 1981

[備考] 原 攝祐 (中央園芸 566:23, 1952) は枝枯病として *Mycosphaerella vitis* Fuckel を記載している

枝膨病 edabukure-byo Swelling arm

Diaporthe kyushuensis Kajitani & Kanematsu [*Diaporthe* sp., *Phomopsis* sp.]

大和浩国:日植病報 48(1):118, 1982; 御厨秀樹:果樹種苗 24:5, 1986; 梶谷裕二・山中正博:日植病報 59(1):56, 1993 ; Kajitani, Y. & Kanematsu, S.:Mycoscience 41:111, 2000

大房枯病 ofusagare-byo (ペスタロッチア病)

Pestalotiopsis uvicola (Spegazzini) Bissett [*Pestalotia uvicola* Spegazzini]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:113, 1911(明 44) ; 原 攝祐:実験作物病理学:625, 1930(昭 5)

[備考] 許 玲ら (日植病報 63(6):517, 1997) は収穫後の腐敗を起因すると報告している

晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病)

(1) *Colletotrichum aenigma* B.S. Weir & P.R. Johnston

佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017

(2) *Colletotrichum fiorinae* (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [*Colletotrichum acutatum* J.H. Simmonds]

山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013

(3) *Colletotrichum nymphaeae* (Passerini) Aa

綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017

(4) *Colletotrichum siamense* Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde

三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017

(5) *Colletotrichum viniferum* L.J. Peng, L. Cai, K.D. Hyde & Zi Y. Ying

三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017

(6) *Glomerella cingulata* (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [*Gloeosporium fructigenum* Berkeley, *Glomerella rufomaculans* (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk]

出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀正太郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40)

[備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は *Gloeosporium ampelophagum* Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として *Colletotrichum amphilinum* Cavara を記載した。また、石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病の類似症状から *Phoma* sp. を分離した

こうじかび病 koji-kabi-byo *Aspergillus* rot

Aspergillus spp.

永島 進・上野 誠:日植病報 83(1):66, 2017

[備考] 胞子の形態が異なる2種の *Aspergillus* 属菌が検出された

果実腐敗 kajitsu-fuhai Fruit rot

(1) *Pestalotiopsis menezesiana* (Bresàdola & Torrend) Bissett

許 玲ら:日植病報 65(3):305, 1999

[備考] 市場病害。本菌はペスタロチアつる枯病菌

(2) *Pestalotiopsis uvicola* (Spegazzini) Bissett

許 玲ら:日植病報 65(3):305, 1999

[備考] 市場病害。本菌は大房枯病菌

褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Felt (膏薬病, 褐色膏薬病)

Septobasidium tanakae (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [*Helicobasidium tanakae* Miyabe]

原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭 5)

褐点病 katten-byo Brown spot (臍黒病)

(1) *Cladosporium cladosporioides* (Fresenius) G.A. de Vries

(2) *Cladosporium herbarum* (Persoon) Link

鑄方末彦:果物月報 344:8, 1940(昭 15) ; 大内成志ら:日植病報 42(3):349, 1976 ; 大内成志ら:岡山大農報 48:17, 1976

褐斑葉枯病 kappan-hagare-byo Brown zonate spot, Leaf blotch

Briosia ampelophaga Cavara

那須英夫・畑本 求:日植病報 60(3):338, 1994 ; 那須英夫ら:日植病報 60(5):608, 1994

褐斑病 kappan-byo Isariopsis leaf spot, Leaf blight (斑点病, 葉斑病, 褐点病, 黒斑病, 汚斑病, 白腐病, 黒星病)

Pseudocercospora vitis (Léveillé) Spegazzini [*Cercospora viticola* (Cesati) Saccardo, *Cercospora vitis* (Léveillé)

Lindau, *Isariopsis clavispora* (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo, *Phaeoisariopsis vitis* (Léveillé) Sawada]

白井光太郎:植物病理学(下):260, 1984(明 27) ; 園 孝次郎:農薬園 3(10):16, 1909(明 42) ; 香月繁孝:日菌報別冊 1:76, 1965

[備考] 出田 新 (日本植物病理学 上巻 64, 1909) は同名の病害の病原菌として *Plasmodiophora vitis* Viala & Sauvageau (*Pseudocommis vitis* De Bary) を記載しているが、国内発生は不明。海外では病原菌の完全世代 *Mycosphaerella personata* Higgins が記載されているが、国内未確認

環紋葉枯病* kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (褐色葉枯病)

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall]

畑本 求・藤井新太郎:日植病報 40(3):177, 1974 ; 畑本 求・藤井新太郎:植物防疫 28(9):349, 1974 ; 畑本 求:岡山農試臨報 C 79:1, 1989

[備考] 鷲尾貞夫ら (青森畑園試研報 4:45, 1981) はブドウの他にノブドウ (*Ampelopsis brevipedunculata*)・ヤマブドウ (*Vitis coignetiae*)・エビヅル (*V. thunbergii*) にも発生を確認

黒かび病* kurokabi-byo Rhizopus rot (白点症状)

Rhizopus sp.

斎藤司朗ら:日植病報 40(3):176, 1974

[備考] 海外では病原菌として *R. arrhizus* Teshner, *R. stolonifer* (Ehrenberg) Vuillemin var. *stolonifer* が知られている

黒腐病 kurogusare-byo Black rot (硬化病, 腐敗病)

Guignardia bidwellii (Ellis) Viala & Ravaz [*Phoma uvicola* Berkeley & M.A. Curtis, *Phyllosticta ampellicida* (Engelmann) Aa]

出田 新:日本植物病理学:268, 1909(明 42); 田中彰一ら:日植病報 39(2):176, 1973

黒星病 kurohoshi-byo (くすぶり病, 紅点病)

Cladosporium viticolum Cesati

白井光太郎:植物病理学(下):257, 1894(明 27); 白井光太郎:最近植物病理学:467, 1907(明 40); 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:98, 1911(明 44)

黒とう病 kokuto-byo Anthracnose, Bird's eye rot (腐敗病, 痘瘡病, 炭疽病, 黒焼病, 発疹痘瘡病, 褐斑病, 黒腐病, 黒点病, 疱瘡病, 黒斑病, 黒痘病, 焦黒病)

Elsinoë ampelina (de Bary) Shear [*Sphaceloma ampelinum* de Bary]

白井光太郎:最近植物病理学:456, 1903(明 36); 堀正太郎:農業世界 1(8):60, 1906(明 39); 原 攝祐:日本害菌学:303, 1936(昭 11)

[備考] 完全世代は国内未発見

さび病 sabi-byo Rust, Leaf rust (赤渋病, 赤銹病, 銹病)

(1) *Phakopsora meliosmae-myrianthae* (Hennings & Shirai) Y. Ono

Ono, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012

[備考] ヤマブドウ・ブドウ。本病菌の精子・さび胞子世代はアワブキに生じる

(2) *Phakopsora montana* Y. Ono & Chatasiri

Ono, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012

[備考] ヤマブドウ(*V. coignetiae*)・ブドウ・アムールブドウ(*V. amurensis*)・エビヅル。本病菌の精子・さび胞子世代はミヤマハハソに生じる

(3) *Physopella ampelopsidis* (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [*Aecidium meliosmae-myrianthae* Hennings & Shirai, *Phakopsora ampelopsidis* Dietel & P. Sydow]

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 14(161):87, 1900; 吉永虎馬:植物学雑誌 18(204):27, 1904(明 37); 鶴田章逸:果樹 145:34, 1915(大 4); 工藤 晟・金子 繁:日植病報 43(3):322, 1977; Hiratsuka, N.:The rust flora of Japan:335, 1992

[備考] ノブドウ・ツタ (*Vitis inconstans*)・ヤマブドウ (*Vitis coignetiae*) にも発生

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo [*Corticium rolfsii* Curzi, *Hypochnus centrifugus* (Léveillé) Tulasne, *Hypochnus solani* Prillieux & Delacroix]

原 攝祐:果樹病害論:504, 1916(大 5); 藤黒與三郎:植物学雑誌 32(384):358, 1918(大 7); 原 攝祐:実験樹木病害篇:282, 1927(昭 2)

白腐病 shirogusare-byo White rot

(1) *Coniella castaneicola* (Ellis & Everhart) B. Sutton

大和浩国:日植病報 61(6):635, 1995

(2) *Coniella fragariae* (Oudemans) B. Sutton [*Charrinia diplodiella* (Spegazzini) Viala & Ravaz, *Coniella diplodiella* (Spegazzini) Petrak & Sydow, *Coniothyrium diplodiella* (Spegazzini) Saccardo]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:97, 1911(明 44); 西門義一:病虫雑誌 4(1):61, 1917(大 6); 大和浩国:日植病報

61(6):635, 1995 ; 西脇由恵・竹内 徹:日植病報 62(6):654, 1996

白紋羽病 shiro-mompa-byo Dematophora root rot, Rosellinia root rot, White root rot (根朽病)

Rosellinia necatrix Prillieux

野村彦太郎:農事試報 18:93, 1901(明 34) ; 出田 新:日本植物病理学:303, 1903(明 36)

[備考] 海外では英名の由来として不完全世代の *Dematophora necatrix* Hartig が記載されてる (APS:Compendium of Grape Diseases:38, 1988)

新梢萎縮病 sinsho-ishuku-byo

Phoma sp.

矢野 龍・寺井康夫:日植病報 38(3):188, 1972

すす点病 susuten-byo Fly speck

Zygophiala jamaicensis E.W. Mason [*Leptothyrium pomi* (Montagne & Fries) Saccardo]

北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:164, 1962(昭 37) ; 那須英夫ら:日植病報 47(3):375, 1981

[備考] ノブドウにも発生

立枯病 tachigare-byo

Verticillium sp.

小菅喜久弥:関東病虫研報 23:64, 1976

脱粒病 datsuryu-byo Berry drop

(1) *Diaporthe melonis* Beraha & M.J. O'Brien var. *brevistylispora* Tak. Kobayashi & Tak. Ohsawa

(2) *Phomopsis* sp.

衣川 勝ら:日植病報 74(4):346, 2008

つる割病 tsuruware-byo Dead arm, Phomopsis cane and leaf spot (茎腐病, 根頸焼病, 蔓枯病, 茎枯病, 蔓割病)

Phomopsis viticola (Saccardo) Saccardo [*Fusicoccum viticolum* Reddick]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:95, 1911(明 44) ; ト蔵梅之丞:園芸之友 10(1):42, 1914(大 3)

[備考] 鶴田章逸 (病虫雑 3(1):30, 1916) の記載した *Rhabdospora ampelina* (Thümen) Saccardo による蔓枯病は本病と同じであると思われる

胴枯病 dogare-byo Valsa canker

Eutypella aequilinaris (Schweinitz) Starbäck [*Cytospora vitis* Montagne, *Valsa vitis* (Schweinitz) Fuckel]

石川滝太郎:園芸之友 13(10):901, 1917(大 6)

[備考] Urban (Rozprawy Ceskoslovenske Akademie Ved 68(12):58, 1958) は本菌を *Valsa ceratosperma* (Tode) Maire の異名としている

ならたけ病* naratake-byo Armillaria root rot (根朽病)

Armillaria mellea (Vahl) P. Kummer [*Agaricus melleus* Vahl, *Armillariella mellea* (Vahl) P. Karsten]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:107, 1911(明 44)

苦腐病 nigagusare-byo Bitter rot (晩腐病, 腐敗病)

Greeneria uvicola (Berkeley & M.A. Curtis) Punithalingam [*Gnomoniella* sp., *Melanconium fuligineum* (Scribner & Viala) Cavara]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:99, 1911(明 44) ; 会田 薫ら:日植病報 41(1):98, 1975 ; 工藤 晟・田中寛康:日植病報 52(3):537, 1986

[備考] 病原菌の学名は工藤 晟:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):412, 1992 参照

根朽病 nekuchi-byo

Roesleria pallida (Persoon) Saccardo

澤田兼吉:林試研報 53:143, 1952

[備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):147, 1894) は *Roesleria hypogaea* Thümen & Passerini による根腐敗を記載しているが、それとの異同は不明

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold, Botrytis bunch rot and cane blight (菌核病, 灰色腐敗病, ボトリチス病, 鼠毛病, 欧州菌核病, 鼠黴病)

Botrytis cinerea Persoon

出田 新:実用植物病理学:177, 1902(明 35); 富樫浩吾:果樹病学:237, 1950(昭 25)

[備考] 出田は病原菌として完全世代の *Sclerotinia fuckeliana* (de Bary) Fuckel をあてているが調査を要する

灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, モニリア病)

Monilinia fructigena (Aderhold & Ruhland) Honey [*Monilia fructigena* Persoon, *Sclerotinia fructigena* (Persoon) J. Schröter]

原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大 5); 原 攝祐:実験果樹 486:345, 1930(昭 5)

[備考] 永田英明 (日植病報 50(1):137, 1984) は巨峰の腐敗果から *M. fructicola* (Winter) Honey を分離している

半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt

Verticillium dahliae Klebahn

広田耕作:日植病報 54(1):107, 1988

ばら色かび病 barairo-kabi-byo Pink-mold rot

Trichothecium roseum (Persoon) Link

梶谷裕二:日植病報 60(6):737, 1994

房枯病 fusagare-byo (軸枯病, 穂枯病, スボ枯病, 黒腐病)

(1) *Botryosphaeria* sp. [*Guignardia baccae* (Cavara) Jacewski, *Guignardia reniformis* Prillieux & Delacroix, *Macrophoma reniformis* Cavara, *Phoma reniformis* Viala & Ravaz, *Physalospora baccae* Cavara, *Physalospora baccae* sensu Nishikado non Cavara]

西門義一:日植病報 1(4):20, 1917(大 6); 原 攝祐:日本害菌学:198, 1936(昭 11); 田中彰一・高梨真二:日植病報 43(3):322, 1977

(2) *Fusicoccum aesculi* Corda

那須英夫・井上幸次:岡山県農試研報 25:11, 2007

[備考] *Botryosphaeria* sp. との異同は要検討

Brown skin spot

Cadophora luteo-olivacea (J.F.H. Beyma) T.C. Harrington & McNew

Nakaune, R. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 82(2):116, 2016

[備考] 収穫後の果実に発生

べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病)

Plasmopara viticola (Berkeley & M.A. Curtis) Berlese & De Toni

田中延次郎:植物学雑誌 4(44):380, 1890(明 23); 出田 新:農作物病理学:90, 1901(明 34)

ペスタロチアつる枯病 Pestalotia-tsurugare-byo (ペスタロチア蔓枯病)

Pestalotiopsis menezesiana (Bresàdola & Torrend) Bissett [*Pestalotia menezesiana* Bresàdola & Torrend]

横木国臣:中国農業研究 26:53, 1963 ; 尾添 茂ら:島根農試研報 8:1, 1967

[備考] 許 玲ら (日植病報 63(6):517, 1997) は収穫後の腐敗を起因すると報告している

ペスタロチア病 *Pestalotia-byo* Pestalotia disease

Pestalotia affinis Saccardo & Voglino

出田 新:日本植物病理学 (下):710, 1911(明 44) ; 横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:51, 1939(昭 14)

ホモプシス腐敗病 *Phomopsis-fuhai-byo* Phomopsis rot

Phomopsis sp.

粕山新二ら:日植病報 46(3):374, 1980 ; 畑本 求:岡山農試臨報 C 79:1, 1989

紫紋羽病 *murasaki-mompa-byo* Violet root rot

Helicobasidium mompa Nobuj. Tanaka

Suematsu, N.:Syokubutu-byôrigaku:196, 1926

芽枯病 *megare-byo* Bud blight

Diaporthe medusaea Nitschke

深谷雅子ら:日植病報 52(3):538, 1986 ; 深谷雅子ら:植物防疫 41(4):174, 1987

汚果病 *yogoreka-byo* Fruit stain

(1) *Cladosporium* sp.

(2) *Hyalodendron* sp.

那須英夫・井上幸次:岡山県農試研報 19:19, 2001

汚葉病 *yogoreha-byo* (粉斑病)

病原未確認

原 攝祐:果樹病害論:368, 1916(大 5) ; 原 攝祐:日植病報 10(4):360, 1941(昭 16)

ラシオディプロディア房枯病 *Lasiodiplodia-fusagare-byo* Lasiodiplodia cluster rot

Lasiodiplodia theobromae (Patouillard) Griffon & Maublanc

井上幸次・那須英夫:日植病報 74(1):68, 2008

輪斑病 *rimpan-byo* Acrosporum leaf spot

Acrosporum viticola Ikata

鑄方末彦:果物月報 210:7, 1929(昭 4) ; 鑄方末彦・人見 剛:日植病報 2(4):357, 1931(昭 6)

輪紋病 *rimmon-byo* Ring spot

Marssonina viticola (Miyake) Pape

西門義一・青木嘉夫:日植病報 22(1):53, 1957 ; 畑本 求:岡山農試臨報 C 79:1, 1989 ; 畑本 求・勝本 謙:植物防疫 49(5):202, 1995

毛せん病 *mosen-byo* Grape erineum mite (毛氈病)

Colomerus vitis Pagenstecher [*Calepitrimerus vitis* Nalepa, *Erineum vitis* Lew., *Eriophyes vitis* Nalepa] ブドウ

ハモグリダニ

中田覺五郎:朝鮮農会報 9(8):14, 1914(大 3) ; 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5) ; 江原昭三:日本ダニ類図説:289, 1980 ; 日本植物防疫協会:農林害虫名鑑:13, 1980

植物寄生性線虫 *shokubutsu-kiseisei-senchu* Plant parasitic nematode

- (1) *Criconemoides* sp. ワセンチュウの 1 種
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
[備考] 属名は再検討を要する
- (2) *Cryphodera* sp. [*Meloidodera* sp.] ニセシストセンチュウの 1 種
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 ; 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 ; 田中福三郎:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):322, 1992
- (3) *Ditylenchus dipsaci* (Kühn) Filipjev ナミクキセンチュウ
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (4) *Helicotylenchus dihystera* (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (5) *Helicotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (6) *Paratylenchus curvatus* van der Linde チャピンセンチュウ
一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967
- (7) *Paratylenchus elachistus* Steiner ヒメピンセンチュウ
田中福三郎:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):322, 1992
- (8) *Paratylenchus* sp. ピンセンチュウの 1 種
一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964
[備考] 上記種との異同は不明
- (9) *Pratylenchus coffeae* (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 ; 阿倍 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970
- (10) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 ; 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 ; 後藤 昭:九農試報 17(2):139, 1974
- (11) *Pratylenchus zaei* Graham モロコシネグサレセンチュウ
後藤 昭:九農試報 17(2):139, 1974
- (12) *Pratylenchus* sp. ネグサレセンチュウの 1 種
湯原 巖ら:北日本病虫研報 13:133, 1962
[備考] 上記(9), (10) 及び (11) との異同は不明
- (13) *Rotylenchus* sp. ラセンセンチュウの 1 種
安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970
- (14) *Trichodorus* sp. ユミハリセンチュウの 1 種
安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970
- (15) *Tylenchorhynchus* sp. イシユクセンチュウの 1 種
安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970
- (16) *Tylenchulus semipenetrans* Cobb ミカンネセンチュウ
一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964
- (17) *Tylenchus* sp. ハリセンチュウの 1 種
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
- (18) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
[備考] 種名は再検討を要する
- (19) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの 1 種
吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病, 節根病)

- (1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
- (2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

後藤 昭:九州農試研究資料 54:22, 1976

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood [*Meloidogyne incognita* (Kofoid & White) Chitwood var. *acrita* Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 ; 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支報 12:14, 1970

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 ; 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支報 12:14, 1970

(5) *Meloidogyne mali* Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ

伊藤喜隆:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):142, 1992

(6) *Meloidogyne* sp. [*Heterodera radicola* (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種

小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1985(明 28)

[備考] 病原線虫の異名等はナシの根こぶ線虫病を参照

亜鉛欠乏症* aen-ketsubo-sho Little leaf, Zinc deficiency

亜鉛欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):224, 1956

ゴム点病 gomuten-byo

生理障害

中川昌一:大阪府農林部特産課調査研究報告 3:1, 1962

縮果病 shukka-byo Drought spot (日焼病)

生理障害

中川昌一:農及園 25(11):1033, 1950 ; 中川昌一:果樹の生理障害と対策(鳥潟博高編):310, 1977

[備考] 水分欠乏が関係していると考えられる

焼死病 shoshi-byo (実の焼死)

生理障害

白井光太郎:植物病理学(上):182, 1893(明 26) ; 原 攝祐:果樹病害論:364, 1916(大 5)

[備考] 高温障害と思われる

そう枝病 soshi-byo (雙枝病)

生理障害

白井光太郎:植物病理学(上):125, 1893(明 26) ; 原 攝祐:果樹病害論:366, 1916(大 5)

[備考] 肥料過多による過栄養生長

白変病 hakuhen-byo (白化病)

生理障害

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:119, 1911(明 44)

[備考] アルカリ土壌の害

花落病 hanaochi-byo (落花病)

生理障害

白井光太郎:植物病理学(上):120, 1893(明 26)

[備考] 日照不足。ちっ素肥料過多

ほう素欠乏症 hoso-ketsubo-sho Boron deficiency (エビ, シヤツポン)

ほう素欠乏

千野知長ら:園学雑 21(2):87, 1952

マグネシウム欠乏症 *magnesium-ketsubo-sho* Magnesium deficiency (苦土欠乏症)

マグネシウム欠乏

杉山直儀:園学雑 21(3):161, 1952

マンガン欠乏症* *mangan-ketsubo-sho* Manganese deficiency

マンガン欠乏

佐藤公一:農及園 31(1):223, 1956

露核病 *rokaku-byo* (実の露核病)

生理障害

白井光太郎:植物病理学(上):183, 1893(明 26) ; 原 攝祐:果樹病害論:365, 1916(大 5)

[備考] 水および直射日光の害

††萎凋細菌病 *icho-saikin-byo* Bacterial wilt, Bacteriosis (萎凋性細菌病, 細菌病)

病原細菌種名不明

上田栄次郎:病虫雑 1(1):20, 1914(大 3) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:250, 1949

[備考] イタリア。病原細菌名 *Bacterium uvae* Cugini & Macchiati [*Bacillus uvae* Kruse, *B. uvae* Macchiati] は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日に失効した

††ゴム病 *gomu-byo*

病原未詳

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:113, 1911(明 44)

[備考] 細菌によると思われるが, 病原についての詳細は不明

††††葉脈腐敗症 *yomyaku-fuhai-sho* Bacterial vein rot

細菌の 1 種

森田 昭:九病虫研会報 50:19, 2004

††††角斑病 *kakuhan-byo*

††*Phyllosticta pilispora* Speschnew

鶴田章逸:静岡県農会報 226:17, 1916(大 5)

[備考] 国内発生は不明

††黄腐病 *kigusare-byo*

Gloeosporium bicolor McAlpine

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:101, 1911(明 44)

††††衰弱枯死 *suijaku-koshi* Clitocybe root rot

Armillariella tabescens (Scopoli) Singer ナラタケモドキ

藤井新太郎・畑本 求:植物防疫 28(6):219, 1974 ; 井上幸次ら:日植病報 69(1):63, 2003

[備考] 接種試験未了

††藻菌病 *sokin-byo*

Chytridium viticolum Prunet

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:102, 1911(明 44)

††卒中病 *socchu-byo* Apoplexy, Stem heart rot

Phellinus igniarius (Linnaeus) Quélet [*Polyporus igniarius* Fries] キコブタケ
西田藤次:果樹 86:29, 1910(明 43) ; 今関六也:東京科博研報 6:104, 1943(昭 18)
[備考] ヨーロッパ地中海地方

††††根腐敗 ne-fuhai
††*Roesleria hypogaea* Thümen & Passerini
白井光太郎:植物病理学(下):147, 1894(明 27)
[備考] 国内発生は不明

††葉枯病 hagate-byo
Septosporium heterosporum Ellis & Galloway
西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:100, 1911(明 44)

††††白色綿雪症 hakushoku-watayuki-sh
病原菌未同定
須崎浩一ら:日植病報 82(3):232, 2016
[備考] 病名未定案。 *Cystidiodontia laminifera* (Berkeley & M.A. Curtis) Hjortstam に近縁。接種試験未了

†早腐病 hayagusare-byo
Phoma sp.
中田覺五郎:朝鮮農会報 9(11):16, 1914(大 3)
[備考] 朝鮮半島

††カリフォルニア病 California-byo Black measles, California vine disease
病原未詳
出田 新:日本植物病理学(上):65, 1909(明 42)
[備考] 出田は Black measles, California vine disease の病原として *Plasmodiophora californica* Viala & Sauvageau または土壌、気象条件によるとしているが、発生地のカリフォルニアでは現在の Pierce's disease (*Xylella fastidiosa* Wells *et al.*) としている

††††がんしゅ病 ganshu-byo (癌腫病)
病原未詳
白井光太郎:植物病理学(上):169, 1893(明 26)
[備考] 霜害または根頭がんしゅ病の可能性はある

††††すす病 susu-byo
病原未詳
吉川 宏:日園雑 34(10):23, 1922(大 11)
[備考] ガラス室栽培で確認

††††日焼病 hiyake-byo
病原不明
西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:117, 1911(明 44) ; 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5)

††††
Aspergillus niger Tieghem
真山真理:日植病報 53(1):103, 1987
[備考] 市場病害の腐敗果から検出

††††

††*Cryptosporella viticola* Shear

中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):141, 1928(昭 3)

[備考] 茎枯病と記載されているが, つる割病菌の完全世代である

††††

Geotrichum candidum Link

真山真理:日植病報 53(1):103, 1987

[備考] 市場病害の腐敗果から検出

††††

††*Gloeosporium ampelophagum* (Passerini) Saccardo

藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大 3)

[備考] 台湾

††††

Penicillium adametzioides S. Abe & G. Smith

獅山慈孝ら:日植病報 62(3):268, 1996

[備考] 市場病害の腐敗果から分離。病原性確認

††††

Penicillium janthinellum Biourge

獅山慈孝ら:日植病報 62(3):268, 1996

[備考] 市場病害の腐敗果から分離。病原性確認

ショウガ科 Zingiberaceae

ゲットウ

Shell ginger, Dropping ginger, Shellflower
Alpinia zerumbet (Pers.) B. L. Burtt & R. M. Sm.
[*A. speciosa* (J. C. Wendl.) K. Schum.]
(特用作物)

輪紋病 rimmon-byo Leaf spot

Phoma sp.

高江洲和子ら:日植病報 67(2):168, 2001

クルクマ

Lotus ginger Curcuma
Curcuma spp.
(草花)

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [*Pseudomonas solanacearum* (Smith) Smith]

森田泰彰ら:四国植防 31:1, 1996

[備考] *Curcuma alismatifolia* での報告

茎腐病 kukigusare-byo Stem rot

binucleate *Rhizoctonia*

鈴木幹彦ら:日植病報 75(1):72, 2009

[備考] 菌糸融合群 AG-G。この他 ITS 配列は AG-F と類似する 2 核 *Rhizoctonia* が分離されている

さび斑病 sabihan-byo Bract and leaf spot

Plectosporium tabacinum (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg [*Acremonium* sp.]

竹内 純ら:日植病報 60:747, 1994 ; 佐藤豊三:植物防疫 62:491, 2008

[備考] 竹内ら (1994) は本病菌を *Acremonium* 属としたが, 佐藤 (2008) はこれを *P. tabacinum* と再同定した

立枯病 tachigare-byo Root rot

Pythium myriotylum Drechsler

鈴木幹彦ら:日植病報 74(3):178, 2008

[備考] クルクマ (品種 シャローム, ホワイト)

ウコン・キョウオウ類

(*Curcuma*)

Curcuma spp.

(特用作物)

キョウオウ(春ウコン) *Curcuma*, Wild turmeric *C. aromatica* Salisb.

ターメリック(秋ウコン) Turmeric *C. longa* L.

ガジュツ (紫ウコン) *C. zedoaria* (Christm.) Roscoe

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

安次富 厚ら:日植病報 81(3):299, 2015 ; Ajitomi A. *et al.*:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):315, 2015

[備考] キョウオウ、ターメリック、ガジュツに発生

立枯病 tachigare-byo Damping-off

Pythium myriotylum Drechsler

小野 剛ら:関東病虫研報 58:61, 2011

[備考] キョウオウに発生

ジンジア(シュクシャ)

Ginger lily

Hedychium coronarium J. Koenig

(草花)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

平田正一:植物ウイルスの分類学的研究:178, 1964

[備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne sp. ネコブセンチュウの1種

森田 儔・深沢永光:改定新版花の病害虫と新防除:301, 1973 ; 上住 泰・西村十郎:原色花の病害虫:359, 1975

†††植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Radopholus similis (Cobb) Thorne バナナネモグリセンチュウ

三枝敏郎:植物防疫 21(5):181, 1967 ; 三枝敏郎ら:植防研報 6:41, 1968

[備考] 生産地ハワイ

ミョウガ(囊荷)

Mioga

Zingiber mioga (Thunb.) Rosc.

(野菜)

モザイク病 mosaic-byo Mosaic

(1) *Cucumber mosaic virus* (CMV) キュウリモザイクウイルス

小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 大越一雄ら:関東病虫研報 37:107, 1990

[備考] 戻し接種なし

(2) *Tobacco rattle virus* (TRV) タバコ茎えそウイルス

大越一雄ら:関東病虫研報 37:107, 1990

[備考] 戻し接種なし

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

矢野和孝ら:日植病報 68(1):94, 2002

軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot

Dickeya sp. [*Erwinia chrysanthemi* Burkholder, McFadden & Dimock 1953]

甲杞理恵・森田泰彰:四国植防 46:10 ; Gappa-Adachi, R. & Morita, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):270, 2013
[備考] subdivision IV, biovar 3。病名は仮称

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia zingiberis Y. Nisikado

白井光太郎:植物学雑 29(217):27, 1915(大 4) ; 末松直次:病虫雑 5(1):33, 1918(大 7)

環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot

Cristulariella moricola (I. Hino) Redhead [*Cristulariella pyramidalis* Waterman & R.P. Marshall]

鷺尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981 ; 鷺尾貞夫ら:青森畑園試研報 4:45, 1981

根茎腐敗病 konkei-fuhai-byo Root rot

Pythium zingiberis M. Takahashi

桂 琦一・谷岡義春:関西病虫研報 9:49, 1967

葉枯病 hagare-byo Leaf spot

Mycosphaerella zingiberis Shirai & Hara

白井光太郎・原 攝祐:植物学雑 25(290):69, 1911(明 44) ; 原 攝祐:中央園芸:344, 1931(昭 6)

斑葉病 han'yo-byo (角斑病)

Cercospora zingiberis Togashi & Katsuki

富樫浩吾・香月繁孝:植物学雑 65(763-764):25, 1952 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):79, 1960

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

Tylenchorhynchus nudus Allen フタワイシユクセンチュウ

金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

Meloidogyne incognita (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

日焼症 hiyake-sho

生理的 (日焼けによって起こる)

本間宏基ら:関東病虫研報 23:47, 1976

ショウガ(生姜, 薑)

Ginger

Zingiber officinale (Willd.) Rosc.

(野菜)

モザイク病* mosaic-byo Mosaic

Cucumber mosaic virus (CMV) キュウリモザイクウイルス

大木 理ら:植物防疫 35(7):306, 1981 ; 坂口壮一ら:九病虫研会報 29:21, 1983 ; 西野敏勝ら:長崎総農林試研報 (農業部門) 14:61, 1986

[備考] ウイルス (未同定) による萎縮病の記載は, 河合一郎:園芸病害編:253, 1954

青枯病 aogare-byo Bacterial wilt

Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996

土屋健一ら:日植病報 65(3):363, 1999 ; 矢野和孝ら:日植病報 71(3):179, 2005

腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (舞病)

(1) *Pectobacterium carotovorum* (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003
[*Bacillus carotovorus* Jones, *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora* (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]

中沢雅典・加藤喜重郎:植物防疫 7(2):87, 1953

(2) *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* (Brown 1918) Stevens 1925

富永時任・土屋行夫:日植病報 24(1):39, 1959

[備考] モヤシシヨウガに発生

(3) 病原細菌種名未定

上田栄次郎:農事試報 35:105, 1908(明 41) ; 今井三子:園藝植物の病蟲害 109, 1932(昭 7) [石井勇義編:實際園藝叢書 第5編, 改版, 誠文堂]

[備考] 病原細菌名 *Pseudomonas zingiberi* Uyeda 1908 は国際細菌命名規約により 1980 年 1 月 1 日をもって失効した

いもち病 imochi-byo Blast

Pyricularia zingiberis Y. Nisikado

原 攝祐:日園雑 29(12):9, 1916(大 5)

疫病 eki-byo Soft rot, Phytophthora rot

(1) *Phytophthora citrophthora* (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian

山崎睦子ら:日植病報 75(1):72, 2009 ; 山崎睦子ら:日植病報 75(3):184, 2009 ; 山崎睦子ら:日植病報 77(4):299, 2011

(2) *Phytophthora* sp.

小林達男・松岡弘明:日植病報 65(6):679, 1999

紅色根茎腐敗病 koshoku-konkei-fuhai-byo Pink rhizome rot

Pyrenochaeta terrestris (H.N. Hansen) Gorenz, J.C. Walker & Larson

矢野和孝・川田洋一:四国植防 39:11, 2004

根茎暗斑病 konkei-anhan-byo Myrothecium rhizome spot

Myrothecium verrucaria (Albertini & Schweinitz) Ditmar

山崎睦子・森田泰彰:四国植防 46:9, 2012 ; 山崎睦子ら:日植病報 80(1):11, 2014

根茎腐敗病 konkei-fuhai-byo Root rot

(1) *Pythium ultimum* Trow var. *ultimum*

一谷多喜郎・新須利則:日植病報 43(3):337, 1997

(2) *Pythium myriotylum* Drechsler [*Pythium zingiberis* M. Takahashi]

高橋 実:日植病報 18(3-4):113, 1954 ; 桂 琦一・谷岡義春:関西病虫研報 9:49, 1967 ; 鈴木幹彦ら:日植病報 77(3):201, 2011

[備考] 鈴木幹彦ら(2011)は *P. zingiberis* を *P. myriotylum* と同一種とした

白絹病 shirakinu-byo Southern blight

Sclerotium rolfsii Saccardo

飯浜春奈ら:関東病虫研報 60:45, 2013

白星病 shirahoshi-byo Leaf spot (白斑病, 葉枯病)

Phyllosticta zingiberis Hori

ト蔵梅之丞:病虫雑 2(5):467, 1915(大 4)

立枯病 tachigare-byo Rhizome rot

(1) *Fusarium oxysporum* Schlechtendal

田中彰一:蔬菜病害防除論:296, 1948 ; 新須利則:九病虫研会報 13:40, 1967

(2) *Fusarium solani* (Martius) Saccardo

田中彰一:蔬菜病害防除論:296, 1948 ; 新須利則:九病虫研会報 13:40, 1967

貯蔵根茎腐敗病 chozo-konkei-fuhai-byo Storage rhizome rot

Pythium spinosum Sawada

山崎睦子ら:日植病報 81(3):215, 2015

葉枯病 hagare-byo Leaf spot

Mycosphaerella zingiberis Shirai & Hara

白井光太郎・原 攝祐:植物学雑 25(290):70, 1911(明 44) ; 原 攝祐:実用作物病理学:225, 1925(大 14)

紋枯病 mongare-byo

Rhizoctonia solani J.G. Kühn

加藤喜重郎・広田耕作:日植病報 37(3):169, 1971

[備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode

(1) *Pratylenchus vulnus* Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ

近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970

[備考] 接種試験の結果

(2) *Xiphinema americanum* Cobb アメリカオオハリセンチュウ

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

[備考] 種名は再検討を要する

(3) *Xiphinema* sp. オオハリセンチュウの 1 種

三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot

(1) *Meloidogyne arenaria* (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ

三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969

(2) *Meloidogyne hapla* Chitwood キタネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(3) *Meloidogyne incognita* (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ

Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961

(4) *Meloidogyne javanica* (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ

小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964

†††† いや地病 iyachi-byo Soil-sickness

生理障害

日本植物病名目録(初版):265, 2000 ; 同目録(第 2 版):1523, 2012 ; 同目録(2015 年版):1578, 2015

[備考] 日本植物病名目録(初版, 第2版および2015年版)では、本病とハウレンソウいや地病の出典が同じ「堀 正太郎:園芸病虫害:303, 1929(昭4)」とされているが、ショウガいや地病については、これに記載なく、他に係る文献は見出せていない

2018 年（平成 30 年）7 月 18 日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2018年版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名，病原追加，病名・学名変更，文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤豊三

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 安次富 厚ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; Ajitomi, A. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 84(1):70, 2018 (注)文献追加	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 安次富 厚ら:日植病報 83(3):184, 2017
バンレイシ科 Annonaceae アテモヤ Atemoya <i>Annona × atemoya</i> Hort. & Wester (果樹) 果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc 高野 翔ら:九病虫研会報 63:123, 2017 (注)新病名	バンレイシ科 Annonaceae アテモヤ Atemoya <i>Annona × atemoya</i> Hort. & Wester (果樹)
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.]	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.]

(特用作物) †††† <i>Phoma</i> sp. 川部眞登ら:日植病報 82(3):231, 2016 [備考] 斑点症状。病名未提案。根腐病との異同は検討を要する (注)宿主学名異名の「&」の後のピリオド削除と備考訂正。	(特用作物) †††† <i>Phoma</i> sp. 川部眞登ら:日植病報 82(3):231, 2016 [備考] 斑点症状。病名未定案。根腐病との異同は検討を要する
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ブプレウルム (Bupleurum) <i>Bupleurum</i> spp. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 68:10, 2017 [備考] <i>B. rotundifolium</i> L. に発生 (注)新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ブプレウルム (Bupleurum) <i>Bupleurum</i> spp. (草花)
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 疫病 eki-byo Soft rot (1) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan 金城衣恵ら:日植病報 75(3):185, 2009 (2) <i>Phytophthora</i> sp. 小玉孝司・芳岡昭夫:関西病虫研報 13:60, 1971 (3) <i>Phytophthora</i> sp. 築尾嘉章ら:北陸病虫研報 66:40, 2017 [備考] 病原(2)と(3)は異なる (注)病原追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. var. <i>sativus</i> Hoffm. (野菜) 疫病 eki-byo Soft rot (1) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan 金城衣恵ら:日植病報 75(3):185, 2009 (2) <i>Phytophthora</i> sp. 小玉孝司・芳岡昭夫:関西病虫研報 13:60, 1971
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot

<i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 乾腐病 kampu-byo Dry rot (1)～(2)は同じ (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. <i>radicicola</i> (Wollenweber) W.C. Snyder & H.N. Hansen 清水節夫ら:日植病報 51(3):333, 1985 (注)病原学名訂正	<i>Daucus carota</i> L. var. <i>sativus</i> Hoffm. (野菜) 乾腐病 kampu-byo Dry rot (1)～(2)は省略 (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 清水節夫ら:日植病報 51(3):333, 1985
サトイモ科 Araceae コンニャク(蒟蒻) Konnyaku, Elephant foot <i>Amorphophallus konjac</i> Koch (特用作物) 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Pythium aristosporum</i> Vanterpool 山本 磐ら:日植病報 33(5):329, 1967 ; 祝迫親志・渡 辺文吉郎:関東病虫研報 17:131, 1970 (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 田中淳和ら:日植病報 84(1):33, 2018 (注)病原追加	サトイモ科 Araceae コンニャク(蒟蒻) Konnyaku, Elephant foot <i>Amorphophallus konjac</i> Koch (特用作物) 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Pythium aristosporum</i> Vanterpool 山本 磐ら:日植病報 33(5):329, 1967 ; 祝迫親志・渡 辺文吉郎:関東病虫研報 17:131, 1970
キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 疫病 eki-byo Phytophthora wilt, Stem blight <i>Phytophthora pseudolactuca</i> M.Z. Rahman, S. Uematsu, Kanto, Kusunoki, Y. Ishiguro, H. Suga & Kageyama 神頭武嗣ら:日植病報 71(1):74, 2005 ; Rahman, M.Z. et al.:日植病報 80(4):241, 2014 ; Rahman,	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (longiflora group) 疫病 eki-byo Photophthora wilt, Stem blight <i>Phytophthora pseudolactuca</i> M.Z. Rahman, S. Uematsu, T. Kanto, M. Kusunoki, Y. Ishiguro, H. Suga & K. Kageyama 神頭武嗣ら:日植病報 71(1):74:2005 ; Rahman, M.Z. et al.:日植病報 80(4):241, 2014 ; Rahman, M.Z. et

M.Z. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:419, 2015 (注)文献年前のコロンをカンマと半角スペースに修正	<i>al.</i>:Mycoscience 56:419, 2015
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium megalacanthum</i> de Bary 楠 幹生・窪田昌春:日植病報 82(1):55, 2016 ; 窪田昌春・楠 幹生:関東病虫研報 64:35, 2017 (2)は同じ (注)文献追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium megalacanthum</i> de Bary 楠 幹生・窪田昌春:日植病報 82(1):55, 2016 (2)は省略
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) 黄葉病* oyo-byo Brassica yellows virus# (BrYV) アブラナ萎黄ウイルス 田邊 晃・佐野義孝:日植病報 76(3):221, 2010 ; 相崎 健・佐野義孝:日植病報 80(4):296, 2014 [備考] トウナに発生。プチベールからも分離された(いずれの植物へも戻し接種なし) (注)人名に半角スペース挿入	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) 黄葉病* oyo-byo Brassica yellows virus# (BrYV) アブラナ萎黄ウイルス 田邊 晃・佐野義孝:日植病報 76(3):221, 2010 ; 相崎健・佐野義孝:日植病報 80(4):296, 2014 [備考] トウナに発生。プチベールからも分離された(いずれの植物へも戻し接種なし)
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナズナ類 (Capsella) <i>Capsella</i> spp. (野草)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナズナ類 (Capsella) <i>Capsella</i> spp. (野草)

ナズナ <i>C. bursa-pastoris</i> Medik. オオナズナ <i>C. bursa-pastoris</i> Medik. var. <i>pinnata</i> Makino べと病 beto-byo Downy mildew <i>Hyaloperonospora parasitica</i> (Persoon) Constantinescu 山内智史・佐藤 衛:関東病虫研報 64:47, 2017 (注)新病名	ナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. オオナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. var. <i>pinnata</i> Makino
パイナップル科 Bromeliaceae パイナップル(パインアップル)(鳳梨) Pineapple <i>Ananas comosus</i> Merrill (果樹) 小果腐敗病 shoka-fuhai-byo Fruitlet core rot (1) <i>Fusarium ananatum</i> A. Jacobs, Marasas & P.S. van Wyk 新崎千江美ら:日植病報 81(3):266, 2015 (2) <i>Talaromyces amestolkiae</i> N. Yilmaz, Houbraken, Frisvad & Samson 山城麻希ら:日植病報 84(1):67, 2018 (3) <i>Talaromyces stollii</i> N. Yilmaz, Houbraken, Frisvad & Samson 山城麻希ら:日植病報 84(1):67, 2018 (注)病原追加	パイナップル科 Bromeliaceae パイナップル(パインアップル)(鳳梨) Pineapple <i>Ananas comosus</i> Merrill (果樹) 小果腐敗病 shoka-fuhai-byo Fruitlet core rot <i>Fusarium ananatum</i> A. Jacobs, Marasas & P.S. van Wyk 新崎千江美ら:日植病報 81(3):266, 2015
アカザ科 Chenopodiaceae ハウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) †††† オルピディウム症 <i>Olpidium-sho</i> Olpidium syndrome <i>Olpidium virulentus</i> (Sahtiyanci) Karling 村元靖典ら:日植病報 79(3):184, 2013 [備考] 養液栽培特有の症状。西村幸芳ら(日植病報 84(1):33, 2018)は, 本病菌と, <i>Pythium</i> 属菌との共感染の可能性を示唆した (注)備考追加	

ヒルガオ科 Convolvulaceae アサガオ(朝顔) Japanese morning glory <i>Pharbitis nil</i> Choisy [<i>Ipomoea nil</i> (L.) Roth] (草花) セイヨウアサガオ Royal morning-glory <i>Pharbitis nil</i> Choisy [<i>Ipomoea tricolor</i> Cav.] 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 佐藤 衛・山内智史:関東病虫研報 64:63, 2017 [備考] 菌糸融合群 AG2-2 培養型 IIIB (注)新病名	ヒルガオ科 Convolvulaceae アサガオ(朝顔) Morning glory <i>Pharbitis nil</i> (L.) Choisy [<i>Ipomoea nil</i> L.] (草花) セイヨウアサガオ Royal morning-glory <i>Pharbitis nil</i> (L.) Choisy [<i>Ipomoea tricolor</i> Cav.]
ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp. <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Phytophthium helicoides</i> (Drechsler) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生 (2) <i>Phytophthium vexans</i> (de Bary) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生 (3) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生 (4) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生 (5) <i>Pythium ultimum</i> Trow 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生	ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp. <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花)

(注)新病名	
ウリ科 Cucurbitaceae スイカ(西瓜) Watermelon <i>Citrullus lanatus</i> (Thunb.) Matsum. & Nakai (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum orbiculare</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx, <i>Colletotrichum lagenarium</i> (Passerini) Ellis & Halsted] 逸見武雄:植物治病学汎論:156, 1926(大 15); 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273-280, 1996 (注)病原追加、病原学名命名者変更	ウリ科 Cucurbitaceae スイカ(西瓜) Watermelon <i>Citrullus lanatus</i> (Thunb.) Matsum. & Nakai (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx [<i>Colletotrichum lagenarium</i> (Passerini) Ellis & Halsted] 逸見武雄:植物治病学汎論:156, 1926(大 15); 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273-280, 1996
ホルトノキ科 Elaeocarpaceae ホルトノキ (Elaeocarpus) <i>Elaeocarpus sylvestris</i> (Lour.) Poir. var. <i>ellipticus</i> (Thunb.) Hara (広葉樹) 萎黄病 io-byo Yellows Phytoplasma ファイトプラズマ 河辺祐嗣ら:日植病報 65(6):654, 1999 ; 遠藤 藍ら:日植病報 83(3):232, 2017 ; Iwabuchi, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):160, 2018 [備考] 戻し接種試験未了。Candidatus Phytoplasma malaysianum タイプ系統 (MaPV) と同種異系統 (注)文献追加	ホルトノキ科 Elaeocarpaceae ホルトノキ (Elaeocarpus) <i>Elaeocarpus sylvestris</i> (Lour.) Poir. var. <i>ellipticus</i> (Thunb.) Hara (広葉樹) 萎黄病 io-byo Yellows Phytoplasma ファイトプラズマ 河辺祐嗣ら:日植病報 65(6):654, 1999 ; 遠藤 藍ら:日植病報 83(3):232, 2017 [備考] 戻し接種試験未了。Candidatus Phytoplasma malaysianum タイプ系統 (MaPV) と同種異系統
トウダイグサ科 Euphorbiaceae ナンヨウアブラギリ Barbados nut <i>Jatropha curcas</i> L. (特用作物)	トウダイグサ科 Euphorbiaceae

枝枯病 edagare-byo Dieback <i>Lasiodiplodia</i> sp. 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 [備考] <i>Lasiodiplodia hormozganensis</i> の近縁種 (注)新病名、新規宿主	
トウダイグサ科 Euphorbiaceae キャッサバ Cassava, Tapioca <i>Manihot utilissima</i> Pohl (特用作物) †青枯病 aogare-byo Bacterial wilt <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [<i>Pseudomonas</i> <i>solanacearum</i> (Smith) Smith] Nishiyama, K. <i>et al.</i> :Cont. Cent. Res. Inst. Agric. Bogor No.59:1, 1980 ; 西山幸司ら:日植病報 47(1):92, 1981 [備考] インドネシア (注)文献順変更	トウダイグサ科 Euphorbiaceae キャッサバ Cassava, Tapioca <i>Manihot utilissima</i> Pohl (特用作物) †青枯病 aogare-byo Bacterial wilt <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [<i>Pseudomonas</i> <i>solanacearum</i> (Smith) Smith] 西山幸司ら:日植病報 47(1):92, 1981 ; Nishiyama, K. <i>et al.</i> :Cont. Cent. Res. Inst. Agric. Bogor No.59:1, 1980 [備考] インドネシア
マメ科 Fabaceae, Leguminosae デイゴ(梯梧) East indian coral tree <i>Erythrina variegata</i> L. var. <i>orientalis</i> (L.) Merr. (広葉樹) †††† <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 黒田慶子ら:日植病報 83(3):192, 2017 ; Kuroda, K. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 83(6):344, 2017 [備考] 衰退枯死。病原は <i>F. solani</i> 種複合体の clade 3 に属する (注)文献追加、備考修正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae デイゴ(梯梧) East indian coral tree <i>Erythrina variegata</i> L. var. <i>orientalis</i> (L.) Merr. (広葉樹) †††† <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 黒田慶子ら:日植病報 83(3):192, 2017 [備考] 衰退枯死。 <i>F. solani</i> 種複合体の clade 3 に 属する。病名未提案
マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ類 (Glycine) <i>Glycine</i> spp. (野草) ツルマメ <i>G. ussuriensis</i> Regel & Maack	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ類 (Glycine) <i>Glycine</i> spp. (野草) ツルマメ <i>G. ussuriensis</i> Regel & Maack

ウイルス病 virus-byo Virus (1) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス 大貫正俊:九病虫研会報 63:30, 2017 [備考] 戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014 [備考] 戻し接種なし (3) <i>Soybean mosaic virus</i> (SMV) ダイズモザイクウイルス 大貫正俊:九病虫研会報 63:30, 2017 [備考] 戻し接種なし。海外では Orellana <i>et al.</i>: <i>Phytopathology</i> 73:1156, 1983 が戻し接種によりモザイク症状が引き起こされることを報告 (4) <i>Soybean yellow common mosaic virus</i> (SYCMV) ダイズ黄斑モザイクウイルス 大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014 [備考] 戻し接種なし。病原体の種同定には全ゲノム解析が必要 (注)病原追加	ウイルス病 virus-byo Virus (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014 [備考] 戻し接種なし (2) <i>Soybean yellow common mosaic virus</i> (SYCMV) ダイズ黄斑モザイクウイルス 大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014 [備考] 戻し接種なし。病原体の種同定には全ゲノム解析が必要
マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 葉焼病 hayake-byo Bacterial pustule (小斑点病, 小斑点性葉焼病, 細菌性斑点病, 発疹性細菌病) <i>Xanthomonas axonopodis</i> pv. <i>glycines</i> (Nakano 1919) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Pseudomonas glycines</i> Nakano, <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>glycines</i> (Nakano 1919) Dye 1978] 中野勝喜:病虫雑 6(3):217, 1919(大 8); 西山幸司ら:日植病報 49(1):130, 1983	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 葉焼病 hayake-byo Bacterial pustule (小斑点病, 小斑点性葉焼病, 細菌性斑点病, 発疹性細菌病) <i>Xanthomonas axonopodis</i> pv. <i>glycinea</i> (Nakano 1919) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Pseudomonas glycines</i> Nakano, <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>glycinea</i> (Nakano 1919) Dye 1978] 中野勝喜:病虫雑 6(3):217, 1919(大 8); 西山幸司ら:日植病報 49(1):130, 1983
マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice

<i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>G. echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>G. glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>G. uralensis</i> Fisher 株枯病 kabugare-byo Base and stolon rot <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 [備考]ウラルカンゾウに発生 (注)新病名	<i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>G. echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>G. glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>G. uralensis</i> Fisher
マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic (壊疽モザイク病) (1)は同じ (2) Broad bean necrotic mosaic virus# (BBNMV) ソラマメネクロティックモザイクウイルス 富高保弘ら:日植病報 80(1):16, 2014 ; 中村茂雄ら:日植病報 82(3):253, 2016 ; 富高保弘ら:第94回九州病虫研講要 ; 富高保弘ら:日植病報 84(1):69, 2018 [備考] 富高ら(2014)と中村ら(2016)が報告したウイルスの異同は不明。土壌伝染性。富高ら(2014)は症状を呈する株から <i>Polymyxa graminis</i> を検出した (注)文献追加	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic (壊疽モザイク病) (1)は省略 (2) Broad bean necrotic mosaic virus# (BBNMV) ソラマメネクロティックモザイクウイルス 富高保弘ら:日植病報 80(1):16, 2014 ; 中村茂雄ら:日植病報 82(3):253, 2016 ; 富高保弘ら:第94回九州病虫研講要 [備考] 富高ら(2014)と中村ら(2016)が報告したウイルスの異同は不明。土壌伝染性。富高ら(2014)は症状を呈する株から <i>Polymyxa graminis</i> を検出した
ブナ科 Fagaceae ブナ類(山毛櫨) Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>F. crenata</i> Blume イヌブナ <i>F. japonica</i> Maxim. 黄色胴枯病* oshoku-dogare-byo Endothia	ブナ科 Fagaceae ブナ類(山毛櫨) Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>F. crenata</i> Blume イヌブナ <i>F. japonica</i> Maxim. 黄色胴枯病* oshoku-dogare-byo Endothia

canker <i>Cryphonectria radicalis</i> (Schweinitz) M.E. Barr [<i>Endothia radicalis</i> (Schweinitz) Cesati & De Notaris] 小林享夫:日植病報 19(3-4):189, 1955 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:136, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992 [備考] イヌブナ(<i>F. japonica</i>)にも発生。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照 (注)文献号数訂正	canker <i>Cryphonectria radicalis</i> (Schweinitz) M.E. Barr [<i>Endothia radicalis</i> (Schweinitz) Cesati & De Notaris] 小林享夫:日植病報 19(2-3):189, 1955 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:136, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992 [備考] イヌブナ(<i>F. japonica</i>)にも発生。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照
ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Q. acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Q. gilva</i> Blume アラカシ <i>Q. glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Q. myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Q. phillyraeoides</i> A. Gray ウラジログシ(裏白櫛) <i>Q. salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Q. sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Q. suber</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (表白渋病, 白渋病, 表うどんこ病) (1), (3), (4), (6)は同じ (2) <i>Erysiphe gracilis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>gracilis</i> [<i>Erysiphe hiratae</i> U. Braun] Braun, U.:Mycotaxon 18(1):128, 1983 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012 ; Siahaan, S.A.S. et al.:Mycoscience 59(2):110, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジログシに発生 (5) <i>Erysiphe quercicola</i> S. Takamatsu & U. Braun Takamatsu, S. & U. Braun:Mycol. Res. 111:819, 2007 ; 高松 進ら:日植病報 83(3):187, 2017 ; Takamatsu, S. et al.:Mycoscience 59(2):105, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジログシ・ウバメガシに発生。接種試験未了 (注)文献追加、備考変更	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Q. acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Q. gilva</i> Blume アラカシ <i>Q. glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Q. myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Q. phillyraeoides</i> A. Gray ウラジログシ(裏白櫛) <i>Q. salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Q. sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Q. suber</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (表白渋病, 白渋病, 表うどんこ病) (1), (3), (4), (6)は省略 (2) <i>Erysiphe gracilis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>gracilis</i> [<i>Erysiphe hiratae</i> U. Braun] Braun, U.:Mycotaxon 18(1):128, 1983 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012 [備考] アラカシに発生 (5) <i>Erysiphe quercicola</i> S. Takamatsu & U. Braun Takamatsu, S. & U. Braun:Mycol. Res. 111:819, 2007 ; 高松 進ら:日植病報 83(3):187, 2017 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジログシ・ウバメガシに発生。接種試験未了

リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) ウイルス病 virus-byo Virus (1) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウイルトウイルス 2 酒井淳一ら:九病虫研会報 47:46, 2001 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004 ; 藤永真史ら:日植病報 78(1):58, 2012 (2) <i>Broad bean wilt virus</i># 長尾記明ら:九病虫研会報 24:180, 1978 ; 善林六朗ら:関東病虫研報 36:124, 1989 (3) ウイルス (未同定) 藤崎恒喜ら:日植病報 84(1):51, 2018 [備考] 新種のトンプスウイルス (注)病原追加	リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) ウイルス病 virus-byo Virus (1) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウイルトウイルス 2 酒井淳一ら:九病虫研会報 47:46, 2001 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004 ; 藤永真史ら:日植病報 78(1):58, 2012 (2) <i>Broad bean wilt virus</i># 長尾記明ら:九病虫研会報 24:180, 1978 ; 善林六朗ら:関東病虫研報 36:124, 1989
リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 近藤 亨:日植病報 84(1):54, 2018 [備考] 茎枯病の症状とは異なる (2) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 山城 都ら:日植病報 79(3):181, 2013 ; 山城 都ら:日植病報 81(1):43, 2015 [備考] <i>F. solani</i> complex Clade 3に属する。山城ら(2013)は本病を株腐病と提案したが、のちに本病とした (注)病原追加	リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 山城 都ら:日植病報 79(3):181, 2013 ; 山城 都ら:日植病報 81(1):43, 2015 [備考] <i>F. solani</i> complex Clade 3に属する。山城ら(2013)は本病を株腐病と提案したが、のちに本病とした
イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass	イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass

<i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>A. gigantea</i> Roth[<i>A. alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>A. canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>A. stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>A. tenuis</i> Sibth. 褐変病 kappen-byo Bacterial browning <i>Pantoea ananatis</i> (Serrano 1928) Mergaert, Verdonck & Kersters 1993 東 経行ら:日植病報 84(1):64, 2018 [備考]クリーピングベントグラスに発生 (注)新病名	<i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth[<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth.
イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1), (3)は同じ (2) <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ 山田英一:牧草と園芸:44(7):17, 1996 (注)文献著者訂正・ページ追加	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1), (3)は省略 (2) <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ 山田栄一:牧草と園芸:44(7), 1996
イネ科 Gramineae, Poaceae ライムギ(ライ, 黒麦) Rye <i>Secale cereale</i> L. (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林学会報 36(3):62, 1944(昭 19)	イネ科 Gramineae, Poaceae ライムギ(ライ, 黒麦) Rye <i>Secale cereale</i> L. (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):1944(昭 19)

(注)文献修正、ページ数追加

シソ科 Labiatae, Lamiaceae エゴマ(荳胡麻) Perilla <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>japonica</i> (Hassk.) Hara (特用作物) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 福間貴寿:日植病報 84(1):32, 2018 (注)新病名	シソ科 Labiatae, Lamiaceae エゴマ(荳胡麻) Perilla <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>japonica</i> (Hassk.) Hara (特用作物)
アケビ科 Lardizabalaceae アケビ(通草, 山女)類 Akebia <i>Akebia</i> spp. (果樹) アケビ <i>Akebia A. quinata</i> Decaisne ミツバアケビ <i>A. trifoliata</i> Koidzumi 白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950 [備考] ミツバアケビに発生 (注)文献名の後のコロンを半角スペースに置換	アケビ科 Lardizabalaceae アケビ(通草, 山女)類 Akebia <i>Akebia</i> spp. (果樹) アケビ <i>Akebia A. quinata</i> Decaisne ミツバアケビ <i>A. trifoliata</i> Koidzumi 白藻病* shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学:1:93, 1950 [備考] ミツバアケビに発生
クスノキ科 Lauraceae アブラチャン (Lindera) <i>Parabenzoin praecox</i> (Sieb. & Zucc.) Nakai (広葉樹) うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe linderae</i> Abasova & S. Takamatsu Abasova, L.V. <i>et al.</i>:Mycoscience 59(2):181, 2018 (注)新病名	クスノキ科 Lauraceae アブラチャン (Lindera) <i>Parabenzoin praecox</i> (Sieb. & Zucc.) Nakai (広葉樹)

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) りん片腐敗病 rimpen-fuhai-byo Scale rot*, Center rot (鱗茎腐敗症) (1) <i>Burkholderia gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 [<i>Pseudomonas gladioli</i> Severini 1913] 田中民夫・青田盾彦:日植病報 56(3):393, 1990 [備考] 病原細菌の pathovar は未決定 (2)は同じ (注)病名英名の「*」の前のスペース削除	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) りん片腐敗病 rimpen-fuhai-byo Scale rot *, Center rot (鱗茎腐敗症) (1) <i>Burkholderia gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 [<i>Pseudomonas gladioli</i> Severini] 田中民夫・青田盾彦:日植病報 56(3):393, 1990 [備考] 病原細菌の pathovar は未決定 (2)は省略
ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 葉枯病 hagare-byo Leaf spot, Leaf blight (1) <i>Stemphylium</i> sp. 系統群 C2 [<i>Pleospora allii</i> (Rabenhorst) Cesati & De Notaris, <i>Stemphylium</i> <i>vesicarium</i> (Wallroth) E.G. Simmons] 柴田 智ら:北日本病害虫研究会報 51:62, 2000 ; Kurose, D. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 ; 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 (2) <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons [<i>Pleospora</i> <i>herbarum</i> (Persoon) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris, <i>Stemphylium botryosum</i> non Wallroth sensu auct. pl., <i>Stemphylium botryosum</i> Wallroth] 出田 新:日本植物病理学:772, 1911(明 44);吉井 甫: 病虫雑 16(8):469, 1929(昭 4);三澤知央ら:日植病報 77(1):73, 2011 ; Kurose, D. et al.: J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 (注)病原学名変更、文献追加、病原(3)削除	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (porrum group) (野菜) 葉枯病 hagare-byo Leaf spot, Leaf blight (1) <i>Pleospora allii</i> (Rabenhorst) Cesati & De Notaris [<i>Stemphylium vesicarium</i> (Wallroth) E.G. Simmons] 柴田 智ら:北日本病害虫研究会報 51:62, 2000 (2) <i>Pleospora herbarum</i> (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [<i>Stemphylium botryosum</i> non Wallroth sensu auct. pl., <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons] 出田 新:日本植物病理学:772, 1911(明 44);吉井 甫: 病虫雑 16(8):469, 1929(昭 4);三澤知央ら:日植病報 77(1):73, 2011 [備考] リーキおよびタマネギ葉枯病参照 (3) <i>Stemphylium botryosum</i> Wallroth 三澤知央ら:日植病報 77(1):73, 2011
ユリ科 Liliaceae ニラ(韭) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler ex Spreng.	ユリ科 Liliaceae ニラ(韭) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler

(野菜) 白斑葉枯病 hakuhan-hagare-byo Leaf blight (1)～(2)は同じ) (3) <i>Botrytis squamosa</i> J.C. Walker 高桑 亮ら:北農集報 29:1, 1974 ; 三澤知央:日植病報 77(1):73, 2011 ; 三澤知央:北日本病虫研報 68:81, 2017 [備考] 三澤(2011)は <i>B. cinerea</i> および <i>B. squamosa</i> の病原性を確認し, 三澤(2017)は, 葉鞘腐敗症状を報告した (注)文献・備考追加	(野菜) 白斑葉枯病 hakuhan-hagare-byo Leaf blight (1)～(2)は省略) (3) <i>Botrytis squamosa</i> J.C. Walker 高桑 亮ら:北農集報 29:1, 1974 ; 三澤知央:日植病報 77(1):73, 2011 [備考] 三澤(2011)は <i>B. cinerea</i> および <i>B. squamosa</i> の病原性を確認した
ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森田康彰・川田洋一:日植病報 68(1):78, 2002 ; 森田康彰ら:四国植物防疫 38:15, 2003 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(6):406, 2017 [備考] 森田・川田(2002)および森田ら(2003)は菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA, 菅原(2010)および菅原ら(2011)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II, Misawa(2017)は菌糸融合群 AG-11 を報告した (注)文献追加、備考変更	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森田康彰・川田洋一:日植病報 68(1):78, 2002 ; 森田康彰ら:四国植物防疫 38:15, 2003 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(3):168, 2011 [備考] 森田・川田(2002)および森田ら(2003)は菌糸融合群AG-4 培養型IIIA, 菅原(2010)および菅原ら(2011)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II を報告した
ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root	ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root

<i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) ((1), (3)~(9)は同じ) (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):131, 1943(昭 18); 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭 18); 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961 [備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生 (注)文献表記修正	<i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) ((1), (3)~(9)は省略) (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告)9:131, 1943(昭 18); 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭 18); 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961 [備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生
クワ科 Moraceae コウゾ(楮) Paper mulberry <i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb. (特用作物) †さび病 sabi-byo ((1)は同じ) (2) <i>Uredo broussonetiae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):134, 1943(昭 18) [備考] 台湾。カジノキ (注)文献年挿入	クワ科 Moraceae コウゾ(楮) Paper mulberry <i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb. (特用作物) †さび病 sabi-byo ((1)は省略) (2) <i>Uredo broussonetiae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):134(昭 18) [備考] 台湾。カジノキ
クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) 疫病 eki-byo White powdery rot (白腐病) (1) <i>Phytophthora palmivora</i> (E.J. Butler) E.J. Butler [<i>Phytophthora carica</i> (Hara) Hori, <i>Phytophthora fici</i> Hori] 原 攝祐:農業国 9(3):24, 1915(大 4); 堀正太郎:病虫雑 2(11):930, 1915(大 4); 桂 琦一・山本弘平:京府大学報・農 21:24, 1969; 武山桂子ら:日植病報 84(1):34, 2018 [備考] 桂・山本(1969)は葉と果実の被害, 武山ら(2018)は幹の腐敗を報告した (2) <i>Phytophthora</i> sp.	クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) 疫病 eki-byo White powdery rot (白腐病) <i>Phytophthora palmivora</i> (E.J. Butler) E.J. Butler [<i>Phytophthora carica</i> (Hara) Hori, <i>Phytophthora fici</i> Hori] 原 攝祐:農業国 9(3):24, 1915(大 4); 堀正太郎:病虫雑 2(11):930, 1915(大 4); 桂 琦一・山本弘平:京府大学報・農 21:24, 1969

外側正之ら:静岡柑試研報 28:51, 1999 [備考] 幹の軟腐 (注)病原・文献・備考追加	
クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>M. acidosa</i> Griff., <i>M. australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>M. alba</i> L. ヤマグワ <i>M. bombycis</i> Koidz. ログワ <i>M. latifolia</i> Poir. †根腐病 negusare-byo Root rot (1)～(2)は同じ (3) <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini 1913] Boonnab, L. & Ishijima, T.:Bul. Thai Seri. Res. and Train. Centre 10:148, 1980 ; 高橋幸吉ら:日蚕関東講 要 53:22, 1983 [備考] タイ (注)病原学名に年号挿入	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>M. acidosa</i> Griff., <i>M. australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>M. alba</i> L. ヤマグワ <i>M. bombycis</i> Koidz. ログワ <i>M. latifolia</i> Poir. †根腐病 negusare-byo Root rot (1)～(2)は省略 (3) <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini] Boonnab, L. & Ishijima, T.:Bul. Thai Seri. Res. and Train. Centre 10:148, 1980 ; 高橋幸吉ら:日蚕関東講 要 53:22, 1983 [備考] タイ
バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) パナマ病 Panama-byo Fusarium wilt, Panama disease, Banana wilt (萎ちょう病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 二谷貴夫ら:日植病報 83(3):185, 2017 ; Nitani, T. <i>et</i> <i>al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):165, 2018 [備考] 島バナナ(<i>Musa × paradisiaca</i>)に発生 (2)は同じ (注)文献・備考追加	バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) パナマ病 Panama-byo Fusarium wilt, Panama disease, Banana wilt (萎ちょう病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 二谷貴夫ら:日植病報 83(3):185, 2017 ((2)は省略)

フトモモ科 Myrtaceae ジャボチカバ Jabuticaba <i>Myrciaria cauliflora</i> (Mart.) O. Berg (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 玉城優太ら:日植病報 84(1):64, 2018 (注)新病名、新規宿主	
ラン科 Orchidaceae カトレア Cattleya (草花) カトレア及び種間, 属間雑種 Cattleya Cattleya spp. 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini 1913] 木嶋利男ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987 [備考] ブラウナラ (× <i>Cattleya</i> × <i>Broughtonia</i> × <i>Diacrium</i>) に発生 (注)病原学名に年号挿入	ラン科 Orchidaceae カトレア Cattleya (草花) カトレア及び種間, 属間雑種 Cattleya Cattleya spp. 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini] 木嶋利男ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987 [備考] ブラウナラ (× <i>Cattleya</i> × <i>Broughtonia</i> × <i>Diacrium</i>) に発生
ラン科 Orchidaceae ビルステケラ <i>Cochlioda</i> × <i>Miltonia</i> × <i>Odontoglossum</i> 属間雑種 (草花) 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini 1913]	ラン科 Orchidaceae ビルステケラ <i>Cochlioda</i> × <i>Miltonia</i> × <i>Odontoglossum</i> 属間雑種 (草花) 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini]

木嶋利男ら:日植病報 49(1):129, 1983 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987 (注)病原学名に年号挿入	木嶋利男ら:日植病報 49(1):129, 1983 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987
ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シンビジウム, スルガラン Cymbidium Cymbidium spp. (草花) 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini 1913] 木嶋利男ら:日植病報 49(1):129, 1983 ; 畔上耕児ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987 (注)病原学名に年号挿入	ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シンビジウム, スルガラン Cymbidium Cymbidium spp. (草花) 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini] 木嶋利男ら:日植病報 49(1):129, 1983 ; 畔上耕児ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:50, 1987
ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シンビジウム, スルガラン Cymbidium Cymbidium spp. (草花) 黒葉枯病 kuro-hagare-byo Black leaf blight <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 鈴木俊希ら:日植病報 84(1):42, 2018 [備考]シンビジウムに発生 (注)新病名	ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シンビジウム, スルガラン Cymbidium Cymbidium spp. (草花)
ラン科 Orchidaceae デンドロビウム類 Dendrobium Dendrobium spp. 及び種間雑種	ラン科 Orchidaceae デンドロビウム類 Dendrobium Dendrobium spp. 及び種間雑種

(草花) セッコク Mohl's dendrobium <i>D. moniliforme</i> (L.) Swartz 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini 1913] 木嶋利男ら:日植病報 51(1):96, 1985 ; 木嶋利男:栃 木農試研報 34:50, 1987 (注)病原学名に年号挿入	(草花) セッコク Mohl's dendrobium <i>D. moniliforme</i> (L.) Swartz 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini] 木嶋利男ら:日植病報 51(1):96, 1985 ; 木嶋利男:栃 木農試研報 34:50, 1987
---	--

ラン科 Orchidaceae ミルトニア Pansy-orchid <i>Miltonia</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini 1913] 木嶋利男ら:日植病報 52(1):92, 1986 ; 木嶋利男:栃 木農試研報 34:50, 1987 (注)病原学名に年号挿入	ラン科 Orchidaceae ミルトニア Pansy-orchid <i>Miltonia</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini] 木嶋利男ら:日植病報 52(1):92, 1986 ; 木嶋利男:栃 木農試研報 34:50, 1987
---	--

ラン科 Orchidaceae バンダ Vanda <i>Vanda</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini 1913] 木嶋利男ら:日植病報 52(1):151, 1986 ; 木嶋利男:栃	ラン科 Orchidaceae バンダ Vanda <i>Vanda</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini] 木嶋利男ら:日植病報 52(1):151, 1986 ; 木嶋利男:栃
---	--

木農試研報 34:50, 1987 (注)病原学名に年号挿入	木農試研報 34:50, 1987
カタバミ科 Oxalidaceae カタバミ類 (Oxalis) <i>Oxalis</i> spp. (野草) フシネハナカタバミ <i>O. articulata</i> Savigny カタバミ <i>O. corniculata</i> L. アカカタバミ <i>O. corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> Hara ムラサキカタバミ <i>O. corymbosa</i> DC. エゾタチカタバミ <i>O. fontana</i> Bunge ウイルス病* <i>virus-byo</i> Virus <i>Tomato yellow leaf curl virus</i> (TYLCV) トマト黄化 葉巻ウイルス 大城 篤ら:日植病報 81(1):96, 2015 [備考] ムラサキカタバミに発生 (注)新病名	カタバミ科 Oxalidaceae カタバミ類 (Oxalis) <i>Oxalis</i> spp. (野草) フシネハナカタバミ <i>Oxalis articulata</i> Savigny カタバミ <i>Oxalis corniculata</i> L. アカカタバミ <i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> Hara ムラサキカタバミ <i>Oxalis corymbosa</i> DC. エゾタチカタバミ <i>Oxalis fontana</i> Bunge
キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>A. carmichaeli</i> Debeaux[<i>A. chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>A. japonicum</i> Debeaux 白絹病 <i>shirakinu-byo</i> Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 岩舘康哉・菅 広和:日植病報 84(1):54, 2018 [備考] オクトリカブトに発生 (注)新病名	キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux[<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux
キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp.	キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp.

(草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>A. carmichaeli</i> Debeaux[<i>A. chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>A. japonicum</i> Debeaux 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot (1) binucleate <i>Rhizoctonia</i> 森 万菜実ら:日植病報 84(1):59, 2018 [備考] ハナトリカブト, オクトリカブトに発生。 菌糸融合群 AG-F, AG-I, AG-U。接種試験未了 (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森 万菜実ら:日植病報 84(1):59, 2018 [備考] オクトリカブトに発生。菌糸融合群 AG-5 (注)新病名	(草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux[<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux
---	--

キンポウゲ科 Ranunculaceae オダマキ Fan columbine <i>Aquilegia</i> spp. (草花) オダマキ Fan columbine <i>A. flabellata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウオダマキ European columbine, Common columbine <i>A. vulgaris</i> L. 紫斑病 shihan-byo Leaf spot (1) <i>Stemphylium lancipes</i> (Ellis & Everhart) E.G. Simmons 佐藤 衛ら:日植病報 80(4):250, 2014 ; 佐藤 衛ら:関東病虫研報 64:65, 2017 ((2)は同じ) (注)文献追加	キンポウゲ科 Ranunculaceae オダマキ Fan columbine <i>Aquilegia</i> spp. (草花) オダマキ Fan columbine <i>Aquilegia flabellata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウオダマキ European columbine, Common columbine <i>Aquilegia vulgaris</i> L. 紫斑病 shihan-byo Leaf spot (1) <i>Stemphylium lancipes</i> (Ellis & Everhart) E.G. Simmons 佐藤 衛ら:日植病報 80(4):250, 2014 ((2)は省略)
--	--

バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) がんしゅ病 ganshu-byo Canker, Bud blight	バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) がんしゅ病 ganshu-byo Canker, Bud blight
--	--

(癌腫病, 潰瘍病, 芽枯病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>eriobotryae</i> (Takimoto 1931) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacillus eriobotryae</i> Hori & Bokura, <i>Bacillus eriobotryae</i> Miyake & Muko, <i>Bacterium eriobotryae</i> Takimoto, <i>Pseudomonas eriobotryae</i> (Takimoto) Dowson] 原 攝祐:果樹病害論:457, 1916(大 5) ; 三宅市郎・向 秀夫:病虫雑 17(1):47, 1930(昭 5) ; 瀧元清透:病虫雑 18:349, 1931(昭 6) ; 向 秀夫:農技研報 C1:1, 1952 ; 岡部徳夫:静大農研報 5:100, 1955 (注)文献修正	(癌腫病, 潰瘍病, 芽枯病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>eriobotryae</i> (Takimoto 1931) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacillus eriobotryae</i> Hori & Bokura, <i>Bacillus eriobotryae</i> Miyake & Muko, <i>Bacterium eriobotryae</i> Takimoto, <i>Pseudomonas eriobotryae</i> (Takimoto) Dowson] 原 攝祐:果樹病害論:457, 1916(大 5) ; 三宅市郎・向 秀夫:病虫(1):47, 1930 ; 瀧元清透:病虫雑 18:349, 1931(昭 6) ; 向 秀夫:農技研報 C1:1, 1952 ; 岡部徳夫:静大農研報 5:100, 1955
--	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 炭疽病 tanso-byo Bitter rot (苦腐病, 腐敗病, 熱腐病, 晩腐病, 炭そ病) (1)~(3)は同じ (4) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 飯島章彦:関東病虫研報 41:123, 1994 ; 佐藤豊三ら:日 菌 報 39:35, 1998 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (6) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (7) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák, <i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley] 出田 新:日本植物病理学:358, 1903(明 36) ; 三宅市郎・原 攝祐:日園雑 22(12):31, 1910(明 43) (注)病原追加	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 炭疽病 tanso-byo Bitter rot (苦腐病, 腐敗病, 熱腐病, 晩腐病, 炭そ病) (1)~(3)は省略 (4) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 飯島章彦:関東病虫研報 41:123, 1994 ; 佐藤豊三ら:日 菌 報 39:35, 1998 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (5) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (6) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák, <i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley] 出田 新:日本植物病理学:358, 1903(明 36) ; 三宅市郎・原 攝祐:日園雑 22(12):31, 1910(明 43)
--	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider
--	--

(果樹) †††† <i>Phlyctema</i> spp. 佐藤 裕:植物防疫 71(12):772, 2017 ; 平山和幸ら: 日植病報 84(1):53, 2018 [備考] 果実の黒斑症状。平山ら(2018)は <i>Phlyctema</i> 属菌 2 種の関与を示唆した (注)新病害	(果樹)
バラ科 Rosaceae テマリシモツケ Amur ninebark <i>Physocarpus amurensis</i> Maxim. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Pseudocercospora spiraeicola</i> (A.S. Muller & Chupp) X.J. Liu & Y.L. Guo [<i>Cercospora spiraeicola</i> A.S. Muller & Chupp] Katsuki, S.:Trans. Myco. Soc. Japan (Extra Issue) 1:56, 1965 ; 小林享夫:森林防疫 20(12):264, 1971 ; Kobayashi, T. & Sato, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 42(2):138, 1976 ; Guo, Y. L. & Hsierh, W. H.:Genus <i>Pseudocercospora</i> in China:286, 1995 [備考] ケアメリカシモツケ (<i>P. opulifolius</i>) にも発 生。但し本病菌は接種では <i>Spiraea</i> 属には病原性を 示さなかった (注)文献名の後のコロンを半角スペースに置換	バラ科 Rosaceae テマリシモツケ Amur ninebark <i>Physocarpus amurensis</i> Maxim. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Pseudocercospora spiraeicola</i> (A.S. Muller & Chupp) X.J. Liu & Y.L. Guo [<i>Cercospora spiraeicola</i> A.S. Muller & Chupp] Katsuki, S.:Trans. Myco. Soc. Japan (Extra Issue):1:56, 1965 ; 小林享夫:森林防疫 20(12):264, 1971 ; Kobayashi, T. & Sato, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 42(2):138, 1976 ; Guo, Y. L. & Hsierh, W. H.:Genus <i>Pseudocercospora</i> in China:286, 1995 [備考] ケアメリカシモツケ (<i>P. opulifolius</i>) にも発 生。但し本病菌は接種では <i>Spiraea</i> 属には病原性を 示さなかった
バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 葉縁えそ病 yoen-eso-byo Leaf-edge necrosis (茶がす病) (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 栗原 潤ら:日植病報 61(6):603, 1995 [備考]栗原ら(1995)は、本病が病原(1)と(4)の重複 感染によることを報告。戻し接種による単独感染 では、葉脈透化症状を引き起こす	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 葉縁えそ病 yoen-eso-byo Leaf-edge necrosis (茶がす病) (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス

(2) <i>Little cherry virus 2</i> (LChV-2) リトルチェリーウイルス 2 沼口孝司ら:日植病報 82(3):286, 2016 ; Nakaune, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(3):202, 2018 [備考] Nakaune <i>et al.</i>(2018)は, 症状と検出されるウイルスとの関連から本病を提案 (3) <i>Plum bark necrosis stem pitting-associated virus</i> (PBNSPaV) スモモ樹皮えそステムピットティング随伴ウイルス 中畝良二ら:日植病報 81(3):272, 2015 ; 武田知明・中畝良二:日植病報 81(3):272, 2015 ; Nakaune, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(3):202, 2018 [備考] Nakaune <i>et al.</i>(2018)は, 症状と検出されるウイルスとの関連から本病を提案 (4) <i>Prunus necrotic ringspot virus</i> (PNRSV) プルムスえそ輪点ウイルス 栗原 潤ら:日植病報 61(6):603, 1995 [備考] 家村浩海ら(日植病報 61(6):631, 1995)は, 接ぎ木感染の報告。栗原ら(1995)は, 本病が病原(1)と(4)の重複感染によることを報告。戻し接種による単独感染では, モザイク症状を引き起こす (注)病原・文献追加、備考変更	(2) <i>Prunus necrotic ringspot virus</i> (PNRSV) プルムスえそ輪点ウイルス 栗原 潤ら:日植病報 61(6):603, 1995 ; 家村浩海ら:日植病報 61(6):631, 1995 ; 中畝良二ら:日植病報 81(3):272, 2015 ; 武田知明・中畝良二:日植病報 81(3):272, 2015 ; 沼口孝司ら:日植病報 82(3):286, 2016 [備考] 2 病原の重複感染による発病。中畝ら(2015)と武田・中畝(2015)は, <i>Plum bark necrosis stem pitting-associated virus</i> (PBNSPaV) が関与している可能性があるとし, 沼口ら(2016)は, <i>Little cherry virus 2</i> (LChV-2)も関与している可能性があるとした
バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>P. avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>P. cerasus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose ((1)は同じ) (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 末松直次・鍬塚喜久治:農商務省病菌害虫彙報 8:1, 1920(大 9)	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose ((1)は省略) (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 末松直次・鍬塚喜久治:農商務省病菌害虫彙報 8:1, 1920(大 9)

(注)病原追加

バラ科 Rosaceae
スモモ(李)
Plums
Prunus spp.
(果樹)
ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum,
Prune *P. domestica* L.
ニホンスモモ Japanese plum *P. salicina*
Lindley

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G.
Shivas & Y.P. Tan
Sato, T. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170,
1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113,
2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013
(2)~(3)は同じ

(注)イタリック修正

バラ科 Rosaceae
スモモ(李)
Plums
Prunus spp.
(果樹)
ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum,
Prune *Prunus domestica* L.
ニホンスモモ Japanese plum *Prunus salicina*
Lindley

炭疽病 tanso-byo Anthracnose
(1) *Colletotrichum fioriniae* (Marcelino & Gouli) R.G.
Shivas & Y.P. Tan
Sato, T. *et al.*:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170,
1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113,
2013 ; Sato, T. *et al.*:JARQ 47:295, 2013
(2)~(3)は省略

ミカン科 Rutaceae
カンキツ(柑橘)類
Citrus
Citrus spp. 等
(果樹)
カンキツ(柑橘) Citrus *Citrus* spp.
キンカン(金柑) Kumquats *Fortunella* spp.
カラタチ(枳殻) Trifoliate orange *Poncirus*
trifoliata (L.) Raf.

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot
(1) *Rhizopus oryzae* Went & Prinsen Geerligs
田代暢哉ら:日植病報 84(1):66, 2018
[備考] 施設栽培ミカンに発生
(2) *Rhizopus stolonifer* (Ehrenberg) Vuillemin var.
stolonifer
田代暢哉ら:日植病報 68(1):47, 2002
[備考] 中晩性カンキツ(不知火)・温州ミカン(貯蔵
中)に発生

(注)病原追加

ミカン科 Rutaceae
カンキツ(柑橘)類
Citrus
Citrus spp. 等
(果樹)
カンキツ(柑橘) Citrus *Citrus* spp.
キンカン(金柑) Kumquats *Fortunella* spp.
カラタチ(枳殻) Trifoliate orange *Poncirus*
trifoliata (L.) Raf.

黒かび病 kurokabi-byo Rhizopus rot

Rhizopus stolonifer (Ehrenberg) Vuillemin var.
stolonifer
田代暢哉ら:日植病報 68(1):47, 2002
[備考] 中晩性カンキツ(不知火)・温州ミカン(貯蔵
中)に発生

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus Citrus spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus Citrus spp. キンカン(金柑) Kumquats Fortunella spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange Poncirus trifoliata (L.) Raf. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (Anthracnose tear stain) (さび果病 sabika-byo, 落葉病, 葉枯病) (1)は同じ (2) Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [Gloeosporium foliicolum Nishida] 堀正太郎:果樹 123:20, 1913(大2); 山田駿一・山本省二:日植病報 28(2):74, 1963; 間佐古将則ら:日植病報 73(3):181, 2007; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 堀の記載した葉枯病の病原菌 <i>G. citricolum</i> Massee は <i>G. foliicolum</i> の誤りである (西田藤次:柑橘病害と予防法:111, 1914)。佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>を報告した (3) Colletotrichum siamense Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 (4) Colletotrichum truncatum (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 [備考] 安部ら(2017)は病原(3)(4)によるキンカンの葉枯を報告した (注)病原追加、備考移動	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus Citrus spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus Citrus spp. キンカン(金柑) Kumquats Fortunella spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange Poncirus trifoliata (L.) Raf. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (Anthracnose tear stain) (さび果病 sabika-byo, 落葉病, 葉枯病) (1)は省略 (2) Colletotrichum gloeosporioides (Penzig) Penzig & Saccardo [Gloeosporium foliicolum Nishida] 堀正太郎:果樹 123:20, 1913(大2); 山田駿一・山本省二:日植病報 28(2):74, 1963; 間佐古将則ら:日植病報 73(3):181, 2007; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 堀の記載した葉枯病の病原菌 <i>G. citricolum</i> Massee は <i>G. foliicolum</i> の誤りである (西田藤次:柑橘病害と予防法:111, 1914)。佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>を報告した
ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia Hydrangea spp. (広葉樹) タマアジサイ Hydrangea H. involucrata Sieb. ヤマアジサイ H. macrophylla Ser. var. acuminata Makino ベニガクアジサイ H. macrophylla Ser. var. serrata Makino f. japonica Makino コアマチャ H. macrophylla Ser. var. serrata Makino f. thunbergii Makino	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia Hydrangea spp. (広葉樹) タマアジサイ Hydrangea H. involucrata Sieb. ヤマアジサイ H. macrophylla Ser. var. acuminata Makino ベニガクアジサイ H. macrophylla Ser. var. serrata Makino f. japonica Makino コアマチャ H. macrophylla Ser. var. serrata Makino f. thunbergii Makino

エゾアジサイ <i>H. serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 荒井治喜:北陸病虫研報 39:111, 1991 ; 荒井治喜:日 植病報 59(6):730, 1993 ; 荒井治喜:日植病報 62(1):87, 1996 ; 永島 進・塚本俊秀:日植病報 84(1):33, 2018 [備考]永島・塚本(2018)は, 花芽の腐敗症状の報告 (注)文献・備考追加	エゾアジサイ <i>H. serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 荒井治喜:北陸病虫研報 39:111, 1991 ; 荒井治喜:日 植病報 59(6):730, 1993 ; 荒井治喜:日植病報 62(1):87, 1996
ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>R.</i> <i>grossularia</i> L., <i>R. hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>R. nigrum</i> L., <i>R. vulgare</i> Lamarck など †††† <i>Neofusicoccum</i> sp. 佐藤 裕・照井 真:日植病報 84(1):54, 2018 [備考] フサスグリに落葉や葉の褐斑・黄変が発 生 (注)新病名	ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>R.</i> <i>grossularia</i> L., <i>R. hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>R. nigrum</i> L., <i>R. vulgare</i> Lamarck など
ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker (潰 瘍性萎凋病) <i>Clavibacter michiganensis</i> subsp. <i>michiganensis</i> (Smith 1910) Davis, Gillaspie, Vidaver & Harris 1984 [<i>Aplanobacter michiganense</i> (Smith) Smith 1914, <i>Corynebacterium michiganense</i> (Smith) Jensen 1934] 松岡喜惣治:病虫雑 18(8):438, 1931(昭 6) ; 成田武 四・馬場徹代:農及園 34(11):1701, 1959 ; Wakimoto, S. <i>et al.</i>:Bull. Nat. Inst. Agr. Sci. C22:269,	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker (潰 瘍性萎凋病) <i>Clavibacter michiganensis</i> subsp. <i>michiganensis</i> (Smith 1910) Davis, Gillaspie, Vidaver & Harris 1984 [<i>Aplanobacter michiganense</i> (Smith) Smith, <i>Corynebacterium michiganense</i> (Smith) Jensen] 松岡喜惣治:病虫雑 18(8):438, 1931(昭 6) ; 成田武 四・馬場徹代:農及園 34(11):1701, 1959 ; Wakimoto S. <i>et al.</i>:Bull. Nat. Inst. Agr. Sci. C22:269,

1968 (注)英語著者名の後にカンマ挿入	1968
ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) ホモプシス茎枯病 <i>Phomopsis-kukigare-byo</i> Phomopsis stem blight <i>Phomopsis</i> sp. 山崎淳紀ら:日植病報 84(1):32, 2018 (注)新病名	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜)
ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) えそ萎縮病 <i>eso-ishuku-byo</i> Necrotic dwarf <i>Tobacco necrotic dwarf virus</i> (TNDV) タバコえそ萎縮ウイルス 久保 進ら:葉たばこ研究 73:49, 1976 ; 久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB Descriptons of Plant Viruses No.234, 1981 (注)文献号数の前のカンマ削除	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) えそ萎縮病 <i>eso-ishuku-byo</i> Necrotic dwarf <i>Tobacco necrotic dwarf virus</i> (TNDV) タバコえそ萎縮ウイルス 久保 進ら:葉たばこ研究 73:49, 1976 ; 久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB Descriptons of Plant Viruses, No.234, 1981
ナス科 Solanaceae ホオズキ(酸漿) Chinese lanternplant <i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Masters) Hort. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic ((1)は同じ) (2) <i>Tobacco mild green mosaic virus</i> (TMGMV) タバ	ナス科 Solanaceae ホオズキ(酸漿) Chinese lanternplant <i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Masters) Hort. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic ((1)は省略)

コ微斑モザイクウイルス 岡本 潤ら:九病虫研会報 49:130, 2003 ; 米田恵美:九病虫研会報 63:23, 2017 ; 米田恵美:九病虫研会報 63:122, 2017 (3) <i>Tomato mosaic virus</i> (ToMV) トマトモザイクウイルス [Tobacco mosaic virus-T#] 大沢高志ら:日植病報 52(3):562, 1986 ; 夏秋啓子ら:関東病虫研報 39:161, 1992 (注)病原追加	(2) <i>Tomato mosaic virus</i> (ToMV) トマトモザイクウイルス [Tobacco mosaic virus-T#] 大沢高志ら:日植病報 52(3):562, 1986 ; 夏秋啓子ら:関東病虫研報 39:161, 1992
---	---

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 84(1):61, 2018 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):124, 2018 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違いは明確でない (2) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39(4):351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (3) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41(3):280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 (4) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i>	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39:351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (2) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41:280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 (3) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i>
---	---

(Duarte, De Boer, Ward and de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss and Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto <i>et al.</i> : Plant Dis. 101(1):241, 2017 (注)病原学名変更、文献号数挿入	(Duarte, De Boer, Ward and de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss and Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto <i>et al.</i> : Plant Dis. 101(1):241, 2017 (4) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違いは明確でない
---	---

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial stem rot (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] Suharjo, R. <i>et al.</i> :日植病報 75(3):272, 2009 (2) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫・馬場徹代:日植病報 37(3):183, 1971 ; 谷井昭夫・馬場徹代:北海道立農試集報 24:1, 1971 ; 富永時任・小笠原賢亮:日植病報 45(4):474, 1979 [備考] Suharjo, R. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 80:237, 2014 は富永・小笠原(1979)の菌株を <i>Dickeya</i> 属の新種とした (注)病原追加、文献号数挿入 (注)萎凋細菌病に統合し、削除	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 萎凋細菌病 icho-saikin-byo <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫・馬場徹代:日植病報 37(3):183, 1971 ; 谷井昭夫・馬場徹代:北海道立農試集報 24:1, 1971 ; 富永時任・小笠原賢亮:日植病報 45:474, 1979 [備考] 病原菌の pathovar は未決定。旧第 1 巻第 3 版 p.68 にある pv. <i>chrysanthemi</i> は 1980 年の読み替えによる自動生成名で不適切 ††††Bacterial stem rot <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Saux, Achouak & Gardan 2005 Suharjo, R. <i>et al.</i> :Jpn. J. Phytopathol. 75(3):272, 2009
--	---

エゴノキ科 Styracaceae ハクウンボク(白雲木) Fragrant snowball <i>Styrax obassia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 環紋病 kammon-byo Brown zonate leaf spot 病原菌未同定	エゴノキ科 Styracaceae ハクウンボク(白雲木) Fragrant snowball <i>Styrax obassia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹)
---	---

橋本 陽ら:日植病報 84(1):53, 2018 [備考]ミコスファエレラ科の新属・新種と考えられる (注)新病名	
スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease (1), (3)は同じ) (2) <i>Pestalotiopsis glandicola</i> (Castagne) Steyaert [<i>Pestalotia cryptomeriicola</i> Sawada, <i>Pestalotia cycadis</i> sensu Hino non Allescher, <i>Pestalotia laricina</i> Sawada] 澤田 兼吉:林試研報 45:40, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993 (注)文献名の後のコロンを半角スペースに置換	スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease (1), (3)は省略) (2) <i>Pestalotiopsis glandicola</i> (Castagne) Steyaert [<i>Pestalotia cryptomeriicola</i> Sawada, <i>Pestalotia cycadis</i> sensu Hino non Allescher, <i>Pestalotia laricina</i> Sawada] 澤田 兼吉:林試研報 :45:40, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993
ニレ科 Ulmaceae ウラジロエノキ (Trema) <i>Trema orientalis</i> (L.) Bl. (広葉樹) †表すす病 omote-susu-byo <i>Wageria tremae</i> Sawada 澤田 兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):4, 1944(昭 19) [備考] 台湾 (注)文献名の後のコロンを半角スペースに置換	ニレ科 Ulmaceae ウラジロエノキ (Trema) <i>Trema orientalis</i> (L.) Bl. (広葉樹) †表すす病 omote-susu-byo <i>Wageria tremae</i> Sawada 澤田 兼吉:台湾農試報 :87(台湾産菌類調査報告 10):4, 1944(昭 19) [備考] 台湾
ニレ科 Ulmaceae ウラジロエノキ (Trema) <i>Trema orientalis</i> (L.) Bl. (広葉樹) こぶ病 kobu-byo Bacterial gall <i>Pseudomonas tremae</i> Gardan, Shafik, Belouin, Broch,	ニレ科 Ulmaceae ウラジロエノキ (Trema) <i>Trema orientalis</i> (L.) Bl. (広葉樹) こぶ病 kobu-byo Bacterial gall <i>Pseudomonas tremae</i> Gardan, Shafik, Belouin, Broch,

Grimont & Grimont 1999 [<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>tremae</i> Ogimi, Higuchi & Takikawa 1988] 大宜見朝榮ら:日林九支研論 34:203, 1981 ; 大宜見朝榮ら:日林誌 70(10):441, 1988 (注)文献名訂正	Grimont & Grimont 1999 [<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>tremae</i> Ogimi, Higuchi & Takikawa 1988] 大宜見朝榮ら:日林九支研論 34:203, 1981 ; 大宜見朝榮ら:日林誌 70(10):441, 1988
ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) 紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease <i>Nectria cinnabarina</i> (Tode) Fries 伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962 (注)文献年前のコロンをカンマと半角スペースに置換	ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) 紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease <i>Nectria cinnabarina</i> (Tode) Fries 伊藤一雄:図説樹病新講:334:1962
オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) ウイルス病* virus-byo Virus (1) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウイルストウイルス 2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] 戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] 戻し接種なし (3) <i>Ligustrum necrotic ringspot virus</i> (LNRV) ネズミモチえそ輪紋ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] 戻し接種なし (4) <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 山本明日香ら:北日本病虫研報 68:263, 2017 [備考] 戻し接種なし (注)病原追加	オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) ウイルス病* virus-byo Virus (1) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウイルストウイルス 2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] 戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] 戻し接種なし (3) <i>Ligustrum necrotic ringspot virus</i> (LNRV) ネズミモチえそ輪紋ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] 戻し接種なし

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>V. labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>V. vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) ((1)~(2), (4)~(6)は同じ) (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子ら:日植病報 84(1):3, 2018 (注)文献追加	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>V. labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>V. vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) ((1)~(2), (4)~(6)は省略) (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017
ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>V. labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>V. vinifera</i> L. ++++白色綿雪症 hakushoku-watayuki-sho 病原菌未同定 須崎浩一ら:日植病報 82(3):232, 2016 [備考] 病名未提案。 <i>Cystidiodontia laminifera</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Hjortstam に近縁。接種試験未了 (注)病名ローマ字と、備考訂正	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>V. labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>V. vinifera</i> L. ++++白色綿雪症 hakushoku-watayuki-sh 病原菌未同定 須崎浩一ら:日植病報 82(3):232, 2016 [備考] 病名未定案。 <i>Cystidiodontia laminifera</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Hjortstam に近縁。接種試験未了
キク科 Asteraceae, Compositae タンポポ類 (Taraxacum) <i>Taraxacum</i> spp. (野草) シロバナタンポポ <i>T. albidum</i> Dahlst. エゾタンポポ <i>T. hondoense</i> Nakai, ex Koidz. アカミタンポポ <i>T. laevigatum</i> DC.	キク科 Asteraceae, Compositae タンポポ類 (Taraxacum) <i>Taraxacum</i> spp. (野草) シロバナタンポポ <i>T. albidum</i> Dahlst. エゾタンポポ <i>T. hondoense</i> Nakai, ex Koidz. アカミタンポポ <i>T. laevigatum</i> DC.

ヒロハタンポポ <i>T. longeappendiculatum</i> Nakai セイヨウタンポポ <i>T. officinale</i> Weber タンポポ, カントウタンポポ <i>T. platycarpum</i> Dahlst. (注)2017 年版新旧対照表・うどんこ病類の宿主和名に統一	ヒロハタンポポ <i>T. longeappendiculatum</i> Nakai セイヨウタンポポ <i>T. officinale</i> Weber タンポポ, セイヨウタンポポ <i>T. platycarpum</i> Dahlst. (2018 年版)
スイカズラ科 Caprifoliaceae ツクバネウツギ(アベリア)(衝羽根空木) Abelia <i>Abelia</i> spp. (広葉樹) タイワンツクバネウツギ(シナツクバネウツギ) <i>A. chinensis</i> R.Br. var. <i>ionandra</i> (Hayata) Masam. ハナゾノツクバネウツギ(アベリア) <i>Abelia</i>×<i>grandiflora</i> (Andrée) Rehder ツクバネウツギ <i>A. spathulata</i> Siebold & Zucc. ウゴツクバネウツギ <i>A. spathulata</i> Siebold & Zucc. var. <i>stenophylla</i> Honda オオツクバネウツギ <i>A. tetrasepala</i> (Koidz.) H. Hara & S. Kuros. (注)2017 年版新旧対照表・うどんこ病類に合わせ、spp.とする	スイカズラ科 Caprifoliaceae ツクバネウツギ(アベリア)(衝羽根空木) Abelia <i>Abelia spathulata</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) タイワンツクバネウツギ(シナツクバネウツギ) <i>A. chinensis</i> R.Br. var. <i>ionandra</i> (Hayata) Masam. ハナゾノツクバネウツギ(アベリア) <i>Abelia</i>×<i>grandiflora</i> (Andrée) Rehder ツクバネウツギ <i>A. spathulata</i> Siebold & Zucc. ウゴツクバネウツギ <i>A. spathulata</i> Siebold & Zucc. var. <i>stenophylla</i> Honda オオツクバネウツギ <i>A. tetrasepala</i> (Koidz.) H. Hara & S. Kuros. (2018 年版)
<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte (注)2017 年版新旧対照表のフクオウソウ類うどんこ病菌の学名に合わせて、2018 年版収録の右記病原学名 21 件に「U.」を追加	<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte (2018 年版に以下の 21 件あり) p.136: ゴボウうどんこ病 p.142: ユウゼンギクうどんこ病(2) p.143: シオンうどんこ病(2) p.146: キンセンカうどんこ病(2) p.159: アザミ類うどんこ病(2) p.160: ハルシャギクうどんこ病 p.161: コスモスうどんこ病 p.164: ダリアうどんこ病(2) p.176: ガーベラうどんこ病 p.180: ヒマワリうどんこ病(4) p.182: キクイモうどんこ病 p.186: リュウゼツサイうどんこ病(1) p.193: ツワブキ・メタカラコウ類うどんこ病(2) p.197: シネラリアうどんこ病

	p.198: フキうどんこ病 p.211: ジニアうどんこ病(2) p.364: クレオメうどんこ病(2) p.420: アマチャヅルうどんこ病 p.1437: トレニアうどんこ病(3) p.1469: ペチュニアうどんこ病(2) p.1581: バーベナうどんこ病(2)
トウダイグサ類 Milkweed, Spurge <i>Euphorbia</i> spp. (野草) トウダイグサ <i>E. helioscopia</i> L. ニシキソウ <i>E. pseudochamaesyce</i> Fisch., Mey. & Lallem. タカトウダイ <i>E. pekinensis</i> Rupr. コニシキソウ <i>E. supina</i> Rafin. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera euphorbiae-helioscopiae</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Sphaerotheca euphorbiae-helioscopiae</i> Tanda & Y. Nomura] Tanda, S. & Nomura, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 27:17, 1986 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012 [備考] トウダイグサに発生 (注)文献修正	トウダイグサ類 Milkweed, Spurge <i>Euphorbia</i> spp. (野草) トウダイグサ <i>E. helioscopia</i> L. ニシキソウ <i>E. pseudochamaesyce</i> Fisch., Mey. & Lallem. タカトウダイ <i>E. pekinensis</i> Rupr. コニシキソウ <i>E. supina</i> Rafin. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera euphorbiae-helioscopiae</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Sphaerotheca euphorbiae-helioscopiae</i> Tanda & Y. Nomura] Tanda, S. and Nomura, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 27:17, 1986 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012 [備考] トウダイグサに発生 (2018 年版)
ツリフネソウ類 <i>Impatiens</i> spp. (野草) キツリフネ ツリフネソウ うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera balsaminae</i> (Wallroth) U. Braun & S. Takamatsu 高松 進:三重大生資紀要 38:14, 2012 [備考] キツリフネ, ツリフネソウに発生 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Oidium balsaminae</i> Rajderkar] 丹田誠之助:東農大農学集報 42:176, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 [備考] ニューギニア・インパチエンス (<i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i>) に発生	ツリフネソウ類 <i>Impatiens</i> spp. (野草) キツリフネ ツリフネソウ うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium balsaminae</i> Rajderkar 丹田誠之助:東農大農学集報 42:176, 1997 [備考] ニューギニア・インパチエンス (<i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i>) に発生

シナノキ科 Tiliaceae
 オオバボダイジュ(大葉菩提樹)
 (Tilia)
Tilia maximowicziana Shirasawa
 (広葉樹)
 モイワボダイジュ *T. maximowicziana* Shirasawa
 var. *yesoana* (Nakai) Tatewaki
 ボダイジュ(菩提樹) *T. miqueliana* Maxim.
 ヨウシュボダイジュ *T. platyphyllos* Scop.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
 (1) *Erysiphe oleosa* (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) U. Braun & S. Takamatsu var. *zhengii* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula oleosa* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *zhengii* U. Braun, *Uncinula miyabei* auct. Jap. non Saccardo & P. Sydow, *Uncinula salicis* var. *miyabei* E.S. Salmon]
 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明 34); 安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明 44); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):365, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):242, 1988; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):109, 1996; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012
 [備考] オオバボダイジュ・モイワボダイジュに発生
 ((2)は同じ)

(注)命名者名のミスタイプ訂正

シナノキ科 Tiliaceae
 オオバボダイジュ(大葉菩提樹)
 (Tilia)
Tilia maximowicziana Shirasawa
 (広葉樹)
 モイワボダイジュ *T. maximowicziana* Shirasawa
 var. *yesoana* (Nakai) Tatewaki
 ボダイジュ(菩提樹) *T. miqueliana* Maxim.
 ヨウシュボダイジュ *T. platyphyllos* Scop.

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
 (1) *Erysiphe oleosa* (R.Y. Zhang & G.Q. Chen) U. Braun & S. Takamatsu var. *zhengii* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Uncinula oleosa* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *zhengii* U. Braun, *Uncinula miyabei* auct. Jap. non Saccardo & P. Sydow, *Uncinula salicis* var. *miyabei* E.S. Salmon]
 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明 34); 安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明 44); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):365, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):242, 1988; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):109, 1996; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012
 [備考] オオバボダイジュ・モイワボダイジュに発生
 ((2)は省略)

(2018 年版)

シナノキ科 Tiliaceae
 シナノキ(椴)
 Japanese linden
Tilia japonica (Miq.) Simonkai
 (広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白
 渋病)
Erysiphe oleosa (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) **U. Braun & S. Takamatsu** var. *oleosa* [*Uncinula clintonii* Peck, *Uncinula miyabei* (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow, *Uncinula oleosa* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *oleosa*]
 澤田兼吉:台湾農試特別報 19 (台湾産菌類調査報告 1):175, 1919(大 8); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr.

シナノキ科 Tiliaceae
 シナノキ(椴)
 Japanese linden
Tilia japonica (Miq.) Simonkai
 (広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白
 渋病)
Erysiphe oleosa (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) var. *oleosa* [*Uncinula clintonii* Peck, *Uncinula miyabei* (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow, *Uncinula oleosa* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *oleosa*]
 澤田兼吉:台湾農試特別報 19 (台湾産菌類調査報告 1):175, 1919(大 8); Homma, Y.:Jour. Fac. Agr.

Hokkaido Imp. Univ. 38(3):344, 1937(昭 12) ;
Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ.
38(3):365, 1937(昭 12) ; 伊藤一雄:樹病学大系
2:18, 1973 ; 和田久美子:菌蕈研報 10:493, 1973 ;
野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:93,
1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012

(注)命名者名訂正

バラ科 Rosaceae
イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓)
Strawberry
Fragaria × *ananassa* Duchesne
(野菜)
うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白渋病)
Podosphaera aphanis (Wallroth) U. Braun & S.
Takamatsu var. *aphanis* [*Sphaerotheca aphanis*
(Wallroth) U. Braun var. *aphanis*, *Sphaerotheca*
humuli (de Candolle) **Burrill**]
本間ヤス:北大農紀 38:298, 1937(昭 12) ;
Nakazawa, Y. & Uchida, K.:Ann. Phytopathol. Soc.
Jpn. 64(2):121, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要
38:13, 2012
[備考] 堀 正太郎:実地園芸 12(6):502, 1932(昭 7)
によりうどんこ病の記録があるが, 菌の詳細は不
明

(注) 命名者名訂正

バラ科 Rosaceae
モモ(桃)
Peaches
Prunus spp.
(果樹)
モモ Peach *P. persica* Batsch var. *vulgaris*
Maximowicz
ネクタリン(油桃) Nectarine *P. persica* Batsch
var. *nucipersica* Schneider

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白渋病)
(1)~(2)は同じ
(3) *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary
[*Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary var.
tridactyla, *Podosphaera oxyacanthae* (de Candolle) de

Hokkaido Imp. Univ. 38(3):344, 1937(昭 12) ;
Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ.
38(3):365, 1937(昭 12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:18,
1973 ; 和田久美子:菌蕈研報 10:493, 1973 ; 野村幸
彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:93, 1997 ;
高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012

(2018 年版)

バラ科 Rosaceae
イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓)
Strawberry
Fragaria × *ananassa* Duchesne
(野菜)
うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白渋病)
Podosphaera aphanis (Wallroth) U. Braun & S.
Takamatsu var. *aphanis* [*Sphaerotheca aphanis*
(Wallroth) U. Braun var. *aphanis*, *Sphaerotheca*
humuli (de Candolle) **U. Burrill**]
本間ヤス:北大農紀 38:298, 1937(昭 12) ;
Nakazawa, Y. & Uchida, K.:Ann. Phytopathol. Soc.
Jpn. 64(2):121, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要
38:13, 2012
[備考] 堀 正太郎:実地園芸 12(6):502, 1932(昭 7)
によりうどんこ病の記録があるが, 菌の詳細は不
明

(2018 年版)

バラ科 Rosaceae
モモ(桃)
Peaches
Prunus spp.
(果樹)
モモ Peach *P. persica* Batsch var. *vulgaris*
Maximowicz
ネクタリン(油桃) Nectarine *P. persica* Batsch
var. *nucipersica* Schneider

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白渋病)
(1)~(2)は省略
(3) *Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary
[*Podosphaera tridactyla* (Wallroth) de Bary var.
tridactyla, *Podosphaera oxyacanthae* (de Candolle) de

Bary]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明 44) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:12, 2012

[備考] (2)は主に果実を, (3)は主に葉を侵す

(注)備考の最後の句点削除

Bary]

西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明 44) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:12, 2012

[備考] (2)は主に果実を, (3)は主に葉を侵す。

(2018 年版)

バラ科 Rosaceae

バラ(薔薇)類

Rose

Rosa spp.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白渋病, 粉病, うどん病)

(1) *Erysiphe simulans* (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. *simulans* [*Uncinuliella simulans* (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *simulans*, *Uncinula simulans* E.S. Salmon]

白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):403, 1927(昭 2) ; 丹田誠之助・佐藤志美雄:東農大農学集報 23(1):88, 1978 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):256, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012

[備考] ノイバラに発生

(2)は同じ)

(注)文献順修正

バラ科 Rosaceae

バラ(薔薇)類

Rose

Rosa spp.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白渋病, 粉病, うどん病)

(1) *Erysiphe simulans* (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. *simulans* [*Uncinuliella simulans* (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *simulans*, *Uncinula simulans* E.S. Salmon]

丹田誠之助・佐藤志美雄:東農大農学集報 23(1):88, 1978 ; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):403, 1927(昭 2) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):256, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012

[備考] ノイバラに発生

(2)は省略)

(2018 年版)

ヤナギ科 Salicaceae

ヤナギ類(柳)

Willow

Salix spp. *Chosenia* spp.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白渋病, 粉病)

(1) *Erysiphe adunca* (Wallroth) Fries var. *adunca* [*Uncinula adunca* (Wallroth) Léveillé var. *adunca*, *Uncinula longispora* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *minor* R.Y. Zheng & G.Q. Chen]

白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:191, 1900(明 33) ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):356, 1937(昭 12) ; Braun, U.:Mycotaxon 15:145, 1982 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):246,

ヤナギ科 Salicaceae

ヤナギ類(柳)

Willow

Salix spp. *Chosenia* spp.

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白渋病, 粉病)

(1) *Erysiphe adunca* (Wallroth: Fries var. *adunca* [*Uncinula adunca* (Wallroth) Léveillé var. *adunca*, *Uncinula longispora* R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. *minor* R.Y. Zheng & G.Q. Chen]

白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:191, 1900(明 33) ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):356, 1937(昭 12) ; Braun, U.:Mycotaxon 15:145, 1982 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):246,

1988 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):252, 1988 ; 高松進:三重大生資紀要 38:64, 2012 [備考] バッコヤナギ・ナガバヤナギ・ネコヤナギ (<i>S. gracilistyla</i>)・ヤマヤナギ・オノエヤナギ・カワヤナギ・キツネヤナギ・オオネコヤナギ・キシヤナギ・ダイセンヤナギ・エゾノカワヤナギに発生 (2)は同じ (注)学名誤植修正	1988 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):252, 1988 ; 高松進:三重大生資紀要 38:64, 2012 [備考] バッコヤナギ・ナガバヤナギ・ネコヤナギ (<i>S. gracilistyla</i>)・ヤマヤナギ・オノエヤナギ・カワヤナギ・キツネヤナギ・オオネコヤナギ・キシヤナギ・ダイセンヤナギ・エゾノカワヤナギに発生 (2)は省略 (2018 年版)
ユキノシタ科 Saxifragaceae クロクモソウ (<i>Micranthes</i>) <i>Micranthes fusca</i> (Maxim.) S. Akiyama & H. Ohba var. <i>kikubuki</i> (Ohwi) S. Akiyama & H. Ohba (野草) (注)宿主英名追加	ユキノシタ科 Saxifragaceae クロクモソウ <i>Micranthes fusca</i> (Maxim.) S. Akiyama & H. Ohba var. <i>kikubuki</i> (Ohwi) S. Akiyama & H. Ohba (野草) (2018 年版)
ユキノシタ科 Saxifragaceae ヤマハナソウ (<i>Micranthes</i>) <i>Micranthes sachalinensis</i> (F. Schmidt) S. Akiyama & H. Ohba (野草) (注)宿主英名追加	ユキノシタ科 Saxifragaceae ヤマハナソウ <i>Micranthes sachalinensis</i> (F. Schmidt) S. Akiyama & H. Ohba (野草) (2018 年版)
ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae コシオガマ (<i>Phtheirospermum</i>) <i>Phtheirospermum japonicum</i> (Thunb.) Kanitz (野草) (注)宿主英名追加	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae コシオガマ <i>Phtheirospermum japonicum</i> (Thunb.) Kanitz (野草) (2018 年版)
ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae クガイソウ (<i>Veronicastrum</i>) <i>Veronicastrum japonicum</i> (Nakai) T. Yamaz. (野草)	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae クガイソウ <i>Veronicastrum japonicum</i> (Nakai) T. Yamaz. (野草)

(注)宿主英名追加

ニガキ科 Simaroubaceae
ニガキ(苦木)
Bitter wood, Nigaki
Picrasma quassioides (D. Don) Benn.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(1)~(3)は同じ
(4) *Phyllactinia guttata* (Wallroth) Léveillé
[*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten sensu Homma] (白渋病, 裏白渋病)
新島善直:新編森林保護学(下):471, 1925(大 14) ;
Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ.
38(3):404, 1937(昭 12) ; 和田久美子・平田幸治:新
潟大農研報 29:92, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌
3(2):260, 1988

(注)文献順修正

(2018 年版)

ニガキ科 Simaroubaceae
ニガキ(苦木)
Bitter wood, Nigaki
Picrasma quassioides (D. Don) Benn.
(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(1)~(3)は省略
(4) *Phyllactinia guttata* (Wallroth) Léveillé
[*Phyllactinia corylea* (Persoon) P. Karsten sensu Homma] (白渋病, 裏白渋病)
Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ.
38(3):404, 1937(昭 12) ; 和田久美子・平田幸治:新
潟大農研報 29:92, 1977 ; 新島善直:新編森林保護
学(下):471, 1925(大 14) ; 大谷吉雄:日本菌類誌
3(2):260, 1988

(2018 年版)

ナス科 Solanaceae
トマト(蕃茄)
Tomato
Lycopersicon esculentum Mill.
(野菜)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白粉病, 白渋病)
(1) *Leveillula taurica* (Léveillé) G. Arnaud [*Oidiopsis sicula* Scalia]
斉藤 正・倉田宗良:日植病報 40(3):171, 1974 ; 高
松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012
[備考] 完全世代は未記録
(2)~(3)は同じ

(注)病原学名訂正

ナス科 Solanaceae
トマト(蕃茄)
Tomato
Lycopersicon esculentum Mill.
(野菜)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
(白粉病, 白渋病)
(1) *Leveillula taurica* (Léveillé) G. Arnaud [*Oidiopsis sicula* Scalia]
斉藤 正・倉田宗良:日植病報 40(3):171, 1974 ; 高
松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012
[備考] 完全世代は未記録
(2)~(3)は省略

(2018 年版)

マメ科 Fabaceae, Leguminosae
ソラマメ(蚕豆)
Broad bean
Vicia faba L.
(食用作物)

マメ科 Fabaceae, Leguminosae
ソラマメ(蚕豆)
Broad bean
Vicia faba L.
(食用作物)

ウイルス病 virus-byo Virus (1), (3)は同じ) (2) <i>Pomovirus</i>属ウイルス 中村茂雄ら:日植病報 72(1):54, 2006 ; 中村茂雄ら: 日植病報73(3):227, 2007 [備考] えそ症状を示す。土壌伝染性。ウイルス ゲノムの解析によりソラマメえそモザイクウイル スとは別種の<i>Pomovirus</i>属ウイルスが関与してい る可能性が高い (注)2017 年版に合わせてイタリック体に修正	ウイルス病 virus-byo Virus (1), (3)は省略) (2) <i>Pomovirus</i>属ウイルス 中村茂雄ら:日植病報 72(1):54, 2006 ; 中村茂雄ら: 日植病報73(3):227, 2007 [備考] えそ症状を示す。土壌伝染性。ウイルスゲ ノムの解析によりソラマメえそモザイクウイルス とは別種の<i>Pomovirus</i>属ウイルスが関与している 可能性が高い (2018 年版)
キク科 Asteraceae, Compositae センダングサ類 Tickseed, Beggar's, Stick-tight, Bur-Marigold, Pitchforks, Spanish Needles <i>Bidens</i> spp. (野草) コバノセンダングサ <i>B. bipinnata</i> L. センダングサ <i>B. biternata</i> (Lour.) Merrill & Sherff アメリカセンダングサ <i>B. frondosa</i> L. コシロノセンダングサ(シロバナセンダングサ) <i>B. pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff コセンダングサ <i>B. pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i> タウコギ <i>B. tripartita</i> L. うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012 [備考] コバノセンダングサ, センダングサ, アメ リカセンダングサ, シロバナセンダングサ, コセ ンダングサ, タウコギに発生 (注)新病名、宿主学名修正、宿主名追加	キク科 Asteraceae, Compositae センダングサ類 Tickseed, Beggar's, Stick-tight, Bur-Marigold, Pitchforks, Spanish Needles <i>Bidens</i> spp. (野草) センダングサ <i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merrill & Sherff コシロノセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> L.
キク科 Asteraceae, Compositae アザミ類 (<i>Cirsium</i>) <i>Cirsium</i> spp. (野草) エゾヤマアザミ <i>C. albrechtii</i> (Maxim.) Kudô マルバヒレアザミ <i>C. grayanum</i> (Maxim.) Nakai	キク科 Asteraceae, Compositae アザミ類 (<i>Cirsium</i>) <i>Cirsium</i> spp. (野草) ノアザミ(ドイツアザミ) <i>C. japonicum</i> DC. ミネアザミ <i>C. inundatum</i> Makino var. <i>alpicolum</i>

ミネアザミ <i>C. inundatum</i> Makino var. <i>alpicolum</i> (Nakai) Ohwi ノアザミ(ドイツアザミ) <i>C. japonicum</i> DC. カガノアザミ <i>C. kagamontanum</i> Nakai チシマアザミ(エゾアザミ) <i>C. kamtschaticum</i> Ledeb. ex DC. ナンプアザミ <i>C. makinoi</i> Kadota トネアザミ(タイアザミ) <i>C. nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam. ex Ohwi ノハラアザミ <i>C. oligophyllum</i> (Franch. & Sav.) Matsum. タカアザミ <i>C. pendulum</i> Fisch. ex DC. ヤチアザミ <i>C. shinanense</i> Shimizu ホソエノアザミ <i>C. tenuipedunculatum</i> Kadota サワアザミ <i>C. yezoense</i> (Maxim.) Makino うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe mayorii</i> var. <i>japonica</i> U. Braun & Y. Nomura Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了。トネアザミ、ヤチアザミに発生 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte] 丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000 ; 高松進:三重大生資紀要 38:22, 2012 [備考] エゾヤマアザミ、カガノアザミ、チシマアザミ(エゾアザミ)、ナンプアザミ、タイアザミ、ノハラアザミ、タカアザミ、ホソエノアザミ、サワアザミ、マルバヒレアザミに発生 (注)宿主名追加、病原学名変更、備考修正・追加	(Nakai) Ohwi トネアザミ <i>C. nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam. ex Ohwi ヤチアザミ <i>C. shinanense</i> Shimizu うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe mayorii</i> var. <i>japonica</i> U. Braun & Y. Nomura Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了。トネアザミ、ヤチアザミに発生 (2) <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. Braun-pro parte 丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000
キク科 Asteraceae, Compositae ウスベニニガナ類 (Emilia) <i>Emilia</i> spp. (野草) ウスベニニガナ <i>E. sonchifolia</i> (L.) DC.	キク科 Asteraceae, Compositae ウスベニニガナ類 (Emilia) <i>Emilia</i> spp. (野草) ウスベニニガナ <i>Emilia sonchifolia</i> (L.) DC.

うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012 [備考] ウスベニニガナに発生 (注)新病名	
キク科 Asteraceae, Compositae ニガナ類 (Ixeris) <i>Ixeris</i> spp. (野草) オオジシバリ <i>I. debilis</i> A. Gray ニガナ <i>I. dentata</i> (Thunb.) Nakai ジシバリ(イワニガナ) <i>I. stolonifera</i> A. Gray うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012 [備考] ニガナに発生 (注)新病名	キク科 Asteraceae, Compositae ニガナ類 (Ixeris) <i>Ixeris</i> spp. (野草) オオジシバリ <i>Ixeris debilis</i> A. Gray ニガナ <i>Ixeris dentata</i> (Thunb.) Nakai ジシバリ(イワニガナ) <i>Ixeris stolonifera</i> A. Gray
キク科 Asteraceae, Compositae ヨメナ類 (Kalimeris) <i>Kalimeris</i> spp. (野草) コヨメナ <i>K. indica</i> (L.) Sch.-Bip. ヨメナ <i>K. yomena</i> Kitam. うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012 [備考] ヨメナに発生 (注)新病名、宿主名修正・追加	キク科 Asteraceae, Compositae ヨメナ類 (Kalimeris) <i>Kalimeris</i> spp. (野草) ヨメナ <i>Kalimeris indica</i> (L.) Sch.-Bip.
キク科 Asteraceae, Compositae メナモミ類	キク科 Asteraceae, Compositae メナモミ類

(Siegesbeckia) <i>Siegesbeckia</i> spp. (野草) コメナモミ <i>S. glabrescens</i> (Makino) Makino メナモミ <i>S. orientalis</i> L. subsp. <i>pubescens</i> (Makino) Makino うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012 [備考] コメナモミ, メナモミに発生 (注)新病名	(Siegesbeckia) <i>Siegesbeckia</i> spp. (野草) コメナモミ <i>Siegesbeckia glabrescens</i> (Makino) Makino メナモミ <i>Siegesbeckia orientalis</i> L. subsp. <i>pubescens</i> (Makino) Makino
キク科 Asteraceae, Compositae ノゲシ類 (Sonchus) <i>Sonchus</i> spp. (野草) ハチジョウナ <i>S. brachyotis</i> DC. ノゲシ <i>S. oleraceus</i> L. うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012 [備考] ノゲシに発生 (注)新病名	キク科 Asteraceae, Compositae ノゲシ類 (Sonchus) <i>Sonchus</i> spp. (野草) ハチジョウナ <i>Sonchus brachyotis</i> DC. ノゲシ <i>Sonchus oleraceus</i> L.
ウリ科 Cucurbitaceae スズメウリ類 (Melothria) <i>Melothria</i> spp. (野草) スズメウリ <i>M. japonica</i> (Thunb.) Maxim. ex Cogn. クロミオキナワスズメウリ <i>M. liukiuensis</i> Nakai うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012	ウリ科 Cucurbitaceae スズメウリ類 (Melothria) <i>Melothria</i> spp. (野草) クロミオキナワスズメウリ <i>Melothria liukiuensis</i> Nakai

[備考] スズメウリに発生 (注)新病名、宿主名追加	
マメ科 Fabaceae, Leguminosae ササゲ(豇豆) Cowpea, Asparagus bean <i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp. [<i>Vigna sinensis</i> Endl.] (食用作物) ハタササゲ Catjang bean <i>V. unguiculata</i> subsp. <i>cylindrica</i> (L.) Eseltine ジュウロクササゲ <i>V. unguiculata</i> subsp. <i>sesquipedalis</i> (L.) Verdc. うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle 本間ヤス:北大農紀要 38(3):323, 1937(昭 12) (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> non Pollacci sensu Homma-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci] 白井光太郎:植物病理学:399, 1903(明 36); 平田幸治: 日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 高松 進:三重大生資紀 要 38:22, 2012 [備考] ジュウロクササゲに発生 (注)病原学名変更、文献・備考追加	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ササゲ(豇豆) Cowpea, Asparagus bean <i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp. [<i>Vigna sinensis</i> Endl.] (食用作物) ハタササゲ Catjang bean <i>Vigna unguiculata</i> subsp. <i>cylindrica</i> (L.) Eseltine ジュウロクササゲ <i>Vigna unguiculata</i> subsp. <i>sesquipedalis</i> (L.) Verdc. うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle 本間ヤス:北大農紀要 38(3):323, 1937(昭 12) (2) <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non Pollacci sensu Homma- pro parte [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci] 白井光太郎:植物病理学:399, 1903(明 36); 平田幸治: 日植病報 21(2-3):88, 1956
イワタバコ科 Gesneriaceae セントポーリア(アフリカスミレ) Saintpaulia, African violet <i>Saintpaulia ionantha</i> H. Wendl. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1)<i>Oidium</i> sp. 佐藤 衛ら:北日本病虫研報 53:149, 2002 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun &	イワタバコ科 Gesneriaceae セントポーリア(アフリカスミレ) Saintpaulia, African violet <i>Saintpaulia ionantha</i> H. Wendl. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 佐藤 衛ら:北日本病虫研報 53:149, 2002 [備考] 接種試験未了

Shishkoff 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012 (注)病原追加	
シソ科 Labiatae, Lamiaceae シロネ類 (Lycopus) <i>Lycopus</i> spp. (野草) シロネ <i>L. lucidus</i> Turcz. ex Benth. うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Neorysiphe galeopsidis</i> (de Candolle) U. Braun [<i>Erysiphe galeopsidis</i> de Candolle] Amano, K.:Host range and geographical distribution of the powdery mildes fungi:407, 1986 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:40, 2012 [備考] シロネに発生 (注)新病名、宿主名追加	シソ科 Labiatae, Lamiaceae シロネ類 (Lycopus) <i>Lycopus</i> spp. (野草)
ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:335, 1937(昭 12) [備考] ナス上の本種については検討を要する (2) <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis sicula</i> Scalia] 斉藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975 ; 高松	ナス科 Solanaceae 「」 ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:335, 1937(昭 12) [備考] ナス上の本種については検討を要する (2) <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis sicula</i> Scalia] 斉藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975 ; 高松

進:三重大生資紀要 38:24, 2012 [備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録 (3) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci] 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:133, 1968 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012 [備考] 病原菌のナス上での完全世代は我が国では未記録 (注) 病原学名変更、文献追加	進:三重大生資紀要 38:24, 2012 [備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録 (3) <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:133, 1968 [備考] 病原菌のナス上での完全世代は我が国では未記録
イラクサ科 Urticaceae チョマ(カラムシ, マオ, ラミー, 苧麻) Ramie, China grass <i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaud. var. <i>tenacissima</i> (Gaud.) Miq. (特用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle 野村幸彦:日菌報 15(1):73, 1974 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci] 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):151, 1919(大 8) ; 平田幸治:日植病報 21(2-3):89, 1956 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012 (注)病原学名変更、文献追加	イラクサ科 Urticaceae チョマ(カラムシ, マオ, ラミー, 苧麻) Ramie, China grass <i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaud. var. <i>tenacissima</i> (Gaud.) Miq. (特用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle 野村幸彦:日菌報 15(1):73, 1974 (2) <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci] 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):151, 1919(大 8) ; 平田幸治:日植病報 21(2-3):89, 1956

2018年（平成30年）7月30日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2018年版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が黒穂病について新たに審査終了した新病名、病原追加、病名・学名変更、文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤豊三

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

レンブクソウ科 Adoxaceae レンブクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花) †††† <i>Melanotaenium adoxae</i> (Brefeld) S. Ito 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:43, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考]レンブクソウに発生。接種試験未了 (注)新病害	レンブクソウ科 Adoxaceae レンブクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花)
オモダカ科 Alismataceae ヘラオモダカ類 (Alisma) <i>Alisma</i> spp. (野草) ヘラオモダカ <i>A. canaliculatum</i> A.Br. & Bouché サジオモダカ <i>A. plantago-aquatica</i> L. var. <i>orientale</i> Samuels. †††† <i>Doassansia alismatis</i> (Nees ex Fries) Cornu 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:32, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考]サジオモダカに発生。接種試験未了	オモダカ科 Alismataceae ヘラオモダカ類 (Alisma) <i>Alisma</i> spp. (野草) ヘラオモダカ <i>A. canaliculatum</i> A.Br. & Bouché サジオモダカ <i>A. plantago-aquatica</i> L. var. <i>orientale</i> Samuels.

(注)新病害	
オモダカ科 Alismataceae クワイ(慈姑) Arrowhead <i>Sagittaria trifolia</i> L. var. <i>edulis</i> (Sieb.) Ohwi (野菜) 火ぶくれ病 hibukure-byo Leaf smut, Blister smut <i>Doassansiopsis deformans</i> (Setchell) Dietel [<i>Doassansia horiana</i> Hennings, <i>Doassansia tokinensis</i> Hennings, <i>Doassansiopsis horiana</i> Nisikado] 出田 新:日本植物病理学:418, 1903(明 36); 西門義一・松本弘義:病虫雑 24(1):11, 1937(昭 12); 柿寫眞:筑波大学農林学研究 1:33, 1982; 我孫子和雄・折原詳子:日植病報 60(3):340, 1994; 柿寫眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 我孫子・折原 (1994) は, 本菌によって球茎にこぶ及びかさぶた症状が発生するとしている (注)病原学名変更	オモダカ科 Alismataceae クワイ(慈姑) Arrowhead <i>Sagittaria trifolia</i> L. var. <i>edulis</i> (Sieb.) Ohwi (野菜) 火ぶくれ病 hibukure-byo Leaf smut, Blister smut <i>Doassansia horiana</i> Hennings [<i>Doassansia tokinensis</i> Hennings, <i>Doassansiopsis horiana</i> Nisikado] 出田 新:日本植物病理学:418, 1903(明 36); 西門義一・松本弘義:病虫雑 24(1):11, 1937(昭 12); 我孫子和雄・折原詳子:日植病報 60(3):340, 1994 [備考] 我孫子・折原 (1994) は, 本菌によって球茎にこぶ及びかさぶた症状が発生するとしている
オモダカ科 Alismataceae オモダカ類 (<i>Sagittaria</i>) <i>Sagittaria</i> spp. (野草) アギナシ <i>S. aginashi</i> Makino オモダカ <i>S. trifolia</i> L. アオクワイ <i>S. trifolia</i> L. var. <i>edulis</i> (Siebold ex Miq.) Ohwi 黒穂病 kuroho-byo Smut (1) <i>Doassansia opaca</i> Setchell [<i>Doassansia disticha</i> S. Ito] 柿寫眞:筑波大学農林学研究 1:33, 1982; 柿寫眞:日本植物病害大事典(岸 國平編):1208, 1998; 柿寫眞:日菌報 57:107, 2016 [備考] オモダカに発生 (2) <i>Doassansia horiana</i> Hennings Tanimoto, T. & Kusakari, S.:J. Gen. Plant Pathol. 66(4):289, 2000 [備考] オモダカ, アオクワイに発生 (注)宿主追加、病原学名・備考変更	オモダカ科 Alismataceae オモダカ類 (<i>Sagittaria</i>) <i>Sagittaria</i> spp. (野草) アギナシ <i>Sagittaria aginashi</i> Makino オモダカ <i>Sagittaria trifolia</i> L. 黒穂病 kuroho-byo Smut (1) <i>Doassansia distica</i> S. Ito 柿寫眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:33, 1982; 柿寫眞:日本植物病害大事典(岸 國平編):1208, 1998 [備考] オモダカ (2) <i>Doassansia horiana</i> Hennings Tanimoto, T. & Kusakari, S.:J. Gen. Plant Pathol. 66(4):289, 2000 [備考] オモダカ <i>S. latifolia</i> L. アオクワイ <i>S. trifolia</i> var. <i>edulis</i> に発生

ウコギ科 Araliaceae ハリギリ(センノキ)(刺楸) (Kalopanax) <i>Kalopanax pictus</i> (Thunb.) Nakai (広葉樹) 黒穂病 kuroho-byo Smut (1) <i>Mundkurella japonica</i> Denchev & Kakishima Denchev, C.M. & Kakishima, M.:Mycotaxon 102:9, 2007 ; 柿 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Mundkurella kalopanax</i> Vánky 塚田晴朗ら:日植病報 60(3):338, 1994 [備考] 接種試験未了 (注)病原追加	ウコギ科 Araliaceae ハリギリ(センノキ)(刺楸) (Kalopanax) <i>Kalopanax pictus</i> (Thunb.) Nakai (広葉樹) 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Mundkurella kalopanax</i> Vánky 塚田晴朗ら:日植病報 60(3):338, 1994 [備考] 接種試験未了
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ブタクサ類 (Ambrosia) <i>Ambrosia</i> spp. (野草) ブタクサ <i>A. artemisiifolia</i> L. var. <i>elator</i> (L.) Descourt. オオブタクサ <i>A. trifida</i> L. †††† <i>Entyloma polysporum</i> (Peck) Farlow 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:39, 1982 ; 柿 眞: 日菌報 57:107, 2016 [備考]ブタクサに発生。接種試験未了 (注)新病害	キク科 Asteraceae, Compositae ブタクサ類 (Ambrosia) <i>Ambrosia</i> spp. (野草) ブタクサ <i>Ambrosia artemisiifolia</i> L. var. <i>elator</i> (L.) Descourt. オオブタクサ <i>A. trifida</i> L.
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae コウゾリナ類 (Picris) <i>Picris</i> spp. (野草) コウゾリナ <i>P. hieracioides</i> L. var. <i>glabrescens</i> (Regel) Ohwi	キク科 Asteraceae, Compositae コウゾリナ類 (Picris) <i>Picris</i> spp. (野草) コウゾリナ <i>Picris hieracioides</i> L. var. <i>glabrescens</i> (Regel) Ohwi
--	--

†††† <i>Entyloma picridis</i> Rostrup 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:38, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考]コウゾリナに発生。接種試験未了 (注)新病害	
キク科 Asteraceae, Compositae トウヒレン類 (Saussurea) <i>Saussurea</i> spp. (野草) カラフトアザミ <i>S. acuminata</i> Turcz. ex Fisch. & C.A. Mey. var. <i>sachalinensis</i> (F. Schmidt) Herder エゾトウヒレン <i>S. riederi</i> Herder subsp. <i>yezoensis</i> (Maxim.) Kitam. var. <i>elongata</i> Kitam. †††† <i>Thecaphora trailii</i> Cooke 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:57, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考]カラフトアザミ, エゾトウヒレンに発生。接 種試験未了 (注)新病害、新規宿主	キク科 Asteraceae, Compositae
キク科 Asteraceae, Compositae フタナミソウ (Scorzonera) <i>Scorzonera rebunensis</i> Tatewaki & Kitamura (草花) †††† <i>Microbotryum scorzonerae</i> (Albertini & Schweinitz) G. Deml & Prillinger [<i>Ustilago scorzonerae</i> (Albertini & Schweinitz) J. Schröter] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:90, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:111-112, 2016 [備考] フタナミソウに発生。接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	キク科 Asteraceae, Compositae

キキョウ科 Campanulaceae タニギキョウ (Peracarpa) <i>Peracarpa carnosus</i> (Wall.) Hook. f. & Thomon var. <i>circaeoides</i> (Fr. Schm.) Makino (野草) †††† <i>Melanotaenium tochinaianum</i> S. Ito 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:44, 1982 ; 柿 眞: 日 菌 報 57:110, 2016 [備考] タニギキョウに発生。接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	キキョウ科 Campanulaceae
ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>D. caryophyllus</i> L. セキチク <i>D. chinensis</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. カワラナデシコ <i>D. superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams †††† <i>Microbotryum dianthorum</i> (Liro) H. Scholz & I. Scholz [<i>Ustilago superba</i> Liro] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:97, 1982 ; 柿 眞: 日 菌 報 57:111, 2016 [備考] カワラナデシコに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主名追加、宿主学名順変更	ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>Dianthus caryophyllus</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. セキチク <i>Dianthus chinensis</i> L.
ナデシコ科 Caryophyllaceae オオヤマフスマ類 (Moehringia) <i>Moehringia</i> spp. (草花) オオヤマフスマ <i>M. lateriflora</i> (L.) Fenzl タチハコベ <i>M. trinervia</i> (L.) Clairv. var.	ナデシコ科 Caryophyllaceae

<i>plastysperma</i> (Maxim.) Makino †††† <i>Microbotryum duriaeanum</i> (Tulasne & C. Tulasne) Vánk 柿 寫 眞:日 菌 報 57:111, 2016 [備考] オオヤマフスマ, タチハコベに発生。接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	
ツユクサ科 Commelinaceae ツユクサ類 (Commelina) <i>Commelina</i> spp. (野草) マルバツユクサ <i>C. benghalensis</i> L. ツユクサ <i>C. communis</i> L. †††† <i>Bauerago commelinae</i> (Komarov) Denchev [<i>Ustilago commelinae</i> (Komarov) Zundel] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:80, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:111, 2016 [備考] ツユクサに発生。接種試験未了 (注)新病害	ツユクサ科 Commelinaceae ツユクサ類 (Commelina) <i>Commelina</i> spp. (野草) マルバツユクサ <i>Commelina benghalensis</i> L. ツユクサ <i>Commelina communis</i> L.
ヒルガオ科 Convolvulaceae ヒルガオ類 (Calystegia) <i>Calystegia</i> spp. (野草) ヒルガオ <i>C. japonica</i> Chois. コヒルガオ <i>C. hederacea</i> Wallich †††† <i>Thecaphora seminis-convolvuli</i> (Desmazières) S. Ito 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:56, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:110, 2016 [備考] ヒルガオに発生。接種試験未了 (注)新病害	ヒルガオ科 Convolvulaceae ヒルガオ類 (Calystegia) <i>Calystegia</i> spp. (野草) ヒルガオ <i>Calystegia japonica</i> Chois. コヒルガオ <i>Calystegia hederacea</i> Wallich

カヤツリグサ科 Cyperaceae ハタガヤ類 (<i>Bulbostylis</i>) <i>Bulbostylis</i> spp. (野草) ハタガヤ <i>B. barbata</i> (Rottb.) C.B. Clarke †††† <i>Ustanciosporium kuwanoanum</i> (Togashi & Y. Maki) Vánky [<i>Cintractia kuwanoanum</i> K. Togashi & Y. Maki] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:48, 1982 ; 柿 寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ハタガヤに発生。接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	カヤツリグサ科 Cyperaceae
カヤツリグサ科 Cyperaceae スゲ類* (<i>Carex</i>) <i>Carex</i> spp. (野草) カサスゲ <i>C. amplifolia</i> Boott subsp. <i>dispalata</i> (Boott ex Gray) Koyama & Calder クロカワズスゲ <i>C. arenicola</i> F. Schmidt ショウジョウスゲ <i>C. blepharicarpa</i> Franch. コゴメスゲ <i>C. brunnea</i> Thunb. タルマイスゲ <i>C. buxbaumii</i> Wahlenb. ケタガネソウ <i>C. ciliatmarginata</i> Nakai ケスゲ <i>C. duvaliana</i> Franch. & Sav. ビロードスゲ <i>C. fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> (Franch.) T. Koyama イトスゲ <i>C. fernaldiana</i> H. Lév. & Vaniot オクノカンスゲ <i>C. foliosissima</i> F. Schmidt トナカイスゲ <i>C. globularis</i> L. ネムロスゲ <i>C. gmelinii</i> Hook. & Arn. ヒナスゲ <i>C. grallatoria</i> Maxim. var. <i>grallatoria</i> テキリスゲ <i>C. kiotensis</i> Franch. & Savat. ヒカゲスゲ <i>C. lanceolata</i> Boott ヤチスゲ <i>C. limosa</i> L. ヒエスゲ <i>C. longirostrata</i> C.A. Mey. イワカンスゲ <i>C. makinoensis</i> Franch.	カヤツリグサ科 Cyperaceae スゲ類 (<i>Carex</i>) <i>Carex</i> spp. (野草) カサスゲ <i>Carex amplifolia</i> Boott subsp. <i>dispalata</i> (Boott ex Gray) Koyama & Calder テキリスゲ <i>Carex kiotensis</i> Franch. & Savat. ビロードスゲ <i>Carex fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> (Franch.) T. Koyama

ミタケスゲ <i>C. michauxiana</i> Boeck. subsp. <i>asiatica</i> Hultén チャシバスゲ <i>C. microtricha</i> Franch. ノゲヌカスゲ <i>C. mitrata</i> Franch. var. <i>aristata</i> Ohwi カンスゲ <i>C. morrowii</i> Boott シバスゲ <i>C. nervata</i> Franch. & Sav. カワズスゲ <i>C. omiana</i> Franch. & Sav. var. <i>monticola</i> Ohwi ヒメスゲ <i>C. oxyandra</i> (Franch. & Sav.) Kudô サップロスゲ <i>C. pilosa</i> Scop. コウボウシバ <i>C. pumila</i> Thunb. オオイトスゲ(シロイトスゲ) <i>C. sachalinensis</i> F. Schmidt var. <i>alterniflora</i> (Franch.) Ohwi シオクグ <i>C. scabrifolia</i> Steud. タガネソウ <i>C. siderosticta</i> Hance ミチノクホンモンジスゲ <i>C. stenostachys</i> Franch. & Sav. var. <i>cuneata</i> (Ohwi) Ohwi & T. Koyama ツルカミカワスゲ <i>C. subebracteata</i> (Kük.) Ohwi オノエスゲ <i>C. tenuiformis</i> H. Lév. & Vaniot ツルナシオオイトスゲ <i>C. tenuinervis</i> Ohwi オニナルコスゲ <i>C. vesicaria</i> L. ヒゲスゲ <i>C. wahuensis</i> C.A. Mey. var. <i>bongardii</i> (Boott) Franch. & Sav. (注)宿主名追加	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea blepharicarpae</i> Denchev, T. Denchev & Kakishima 柿 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ショウジョウスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照)	

†††† <i>Anthracoidea buxbaumii</i> Kukkonen 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:26, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]タルマイスゲ, ネムロスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea capillaris</i> Kukkonen 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]オノエスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea caricis</i> (Persoon) Brefeld 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:26, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]ヒメスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea caricis-grallatoriae</i> T. Denchev, Denchev & Kakishima 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]ヒナスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) ††††	

<i>Anthracoidea caryophylleae</i> Kukkonen 柿寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考] オクノカンスゲ, チャシバスゲ, ノゲスカ スゲ, カンスゲ, シバスゲ, ツルカミカワスゲに 発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea dispalatae</i> Denchev, T. Denchev & Kakishima 柿寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]カサスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea globularis</i> Kukkonen 柿寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]トナカイスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea humilis</i> Vánky 柿寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ヒカゲスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea irregularis</i> (Liro) Boidol & Poelt 柿寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ヒカゲスゲに発生。接種試験未了	

(注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea japonica</i> (Sydow) Denchev, T. Denchev & Kakishima 柿 寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ヒナスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea kariii</i> (Liro) Nannfeldt 柿 寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]カワズスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害(文献ではカワズスゲの学名にヤチカワズスゲと和名をあてている)	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea limosa</i> (Sydow) Kukkonen 柿 寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ヤチスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea michelii</i> Vánky 柿 寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ヒエスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	

(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea microsora</i> (Sydow) Kukkonen 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:28, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ケスゲ, イトスゲ, オオイトスゲ(シロイト スゲ), ミチノクホンモンジスゲ, ツルナシオオイ トスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea pilosae</i> Vánky 柿畠 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]サッポロスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea sempervirentis</i> Vánky 柿畠 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]イワカンスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea siderostictae</i> Kukkonen 柿畠 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ケタガネソウ, タガネソウに発生。接種試 験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照)	

†††† <i>Anthracoidea subinclusa</i> (Körnicke) Brefeld 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]ビロードスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea variabilis</i> (S. Ito) Kakishima 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:29, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]クロカワズスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Anthracoidea obovoidea</i> (Togashi & Y. Maki) Kakishima 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:28, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]イトスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Farysia fukushiana</i> S. Ito & Homma 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:41, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]コウボウシバ, オニナルコスゲ, ヒゲスゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) ††††	

<i>Farysia nakanishikii</i> (Hennings) Sydow & P. Sydow 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:41, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]コゴメスゲ(ナキリスゲ)に発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Farysia thuemenii</i> (A.A. Fischer Waldheim) Nannfeldt [<i>Farysia caricis</i> (de Candolle) Liro] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:40, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考] カサスゲ, ミタケスゲ, シオクグに発生。接種試験未了 (注)新病害	
(宿主は上記の「スゲ類*」を参照) †††† <i>Schizonella melanogramma</i> (de Candolle) J. Schröter 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考]オオイトスゲ(シロイトスゲ)に発生。接種試験未了 (注)新病害	
カヤツリグサ科 Cyperaceae テンツキ類 (Fimbristylis) <i>Fimbristylis</i> spp. (野草) テンツキ <i>F. dichotoma</i> (L.) Vahl オテンツキ(チクシテンツキ) <i>F. dichotoma</i> (L.) Vahl var. <i>tikushiensis</i> (Hayata) T. Koyama ハハジマテンツキ <i>F. longispica</i> Steud. var. <i>hahajimensis</i> Ohwi ヒデリコ <i>F. miliacea</i> (L.) Vahl	カヤツリグサ科 Cyperaceae テンツキ類 (Fimbristylis) <i>Fimbristylis</i> spp. (野草) ヒデリコ <i>Fimbristylis miliacea</i> (L.) Vahl

†††† <i>Cintractia axicola</i> (Berkeley) Cornu 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:29, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考] テンツキ, オテンツキ(チクシテンツキ)に発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主名追加	
カヤツリグサ科 Cyperaceae テンツキ類 (Fimbristylis) <i>Fimbristylis</i> spp. (野草) テンツキ <i>F. dichotoma</i> (L.) Vahl オテンツキ(チクシテンツキ) <i>F. dichotoma</i> (L.) Vahl var. <i>tikushiensis</i> (Hayata) T. Koyama ハハジマテンツキ <i>F. longispica</i> Steud. var. <i>hahajimensis</i> Ohwi ヒデリコ <i>F. miliacea</i> (L.) Vahl †††† <i>Cintractia fimbristylidis-miliaceae</i> (Hennings) S. Ito [<i>Cintractia pulchra</i> S. Ito] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:30, 1982 ; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:109, 2016 [備考] ヒデリコに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主名追加	カヤツリグサ科 Cyperaceae テンツキ類 (Fimbristylis) <i>Fimbristylis</i> spp. (野草) ヒデリコ <i>Fimbristylis miliacea</i> (L.) Vahl
カヤツリグサ科 Cyperaceae テンツキ類 (Fimbristylis) <i>Fimbristylis</i> spp. (野草) テンツキ <i>F. dichotoma</i> (L.) Vahl オテンツキ(チクシテンツキ) <i>F. dichotoma</i> (L.) Vahl var. <i>tikushiensis</i> (Hayata) T. Koyama ハハジマテンツキ <i>F. longispica</i> Steud. var.	カヤツリグサ科 Cyperaceae テンツキ類 (Fimbristylis) <i>Fimbristylis</i> spp. (野草)

<i>hahajimensis</i> Ohwi ヒデリコ <i>F. miliacea</i> (L.) Vahl †††† <i>Moreaua mauritiana</i> (Sydow) Vánky 柿 寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考] ハハジマテンツキに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主名追加	ヒデリコ <i>Fimbristylis miliacea</i> (L.) Vahl
カヤツリグサ科 Cyperaceae ミカヅキグサ類 <i>Rhynchospora</i> spp. (<i>Rhynchospora</i>) (野草) ミカヅキグサ <i>R. alba</i> (L.) Vahl ヤエヤマアブラガヤ <i>R. corymbosa</i> (L.) Britt. オオイヌノハナヒゲ <i>R. fauriei</i> Franch. †††† <i>Leucocintractia scleriae</i> (de Candolle) M. Piepenbring, Begerow & Oberwinkler 柿 寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ヤエヤマアブラガヤに発生。接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	カヤツリグサ科 Cyperaceae
カヤツリグサ科 Cyperaceae ミカヅキグサ類 <i>Rhynchospora</i> spp. (<i>Rhynchospora</i>) (野草) ミカヅキグサ <i>R. alba</i> (L.) Vahl ヤエヤマアブラガヤ <i>R. corymbosa</i> (L.) Britt. オオイヌノハナヒゲ <i>R. fauriei</i> Franch. †††† <i>Ustanciosporium majus</i> (Desmazières) M. Piepenbring [<i>Cintractia taubertiana</i> (Hennings) Clinton] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:31, 1982 ; 柿 寫 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考]ミカヅキグサに発生。接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	カヤツリグサ科 Cyperaceae

カヤツリグサ科 Cyperaceae ミカヅキグサ類 <i>Rhynchospora</i> spp. (Rhynchospora) (野草) ミカヅキグサ <i>R. alba</i> (L.) Vahl ヤエヤマアブラガヤ <i>R. corymbosa</i> (L.) Britt. オオイヌノハナヒゲ <i>R. fauriei</i> Franch. †††† <i>Ustanciosporium montagnei</i> (Tulasne & C. Tulasne) M. Piepenbring, Begerow & Oberwinkler [<i>Cintractia montagnei</i> (Tulasne & C. Tulasne) Magnus] 柿 真:筑波大学農林学研究 1:31, 1982 ; 柿 真:日菌報 57:109, 2016 [備考]ミカヅキグサ, オオイヌノハナヒゲに発生。接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	カヤツリグサ科 Cyperaceae
ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>D. alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>D. batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>D. bulbifera</i> L. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>D. japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>D. opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>D. tokoro</i> Makino †††† <i>Urocystis dioscoreae</i> Sydow & P. Sydow 柿 真:筑波大学農林学研究 1:71, 1982 ; 柿 真:日菌報 57:108, 2016 [備考]オニドコロに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主名追加、宿主名順変更	ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea bulbifera</i> L.
マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ類 (Vicia) <i>Vicia</i> spp.	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ類 (Vicia) <i>Vicia</i> spp.

(野草) ツルフジバカマ <i>V. amoena</i> Fisch. ナンテンハギ <i>V. unijuga</i> A. Br. 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Thecaphora viciae</i> Bubák [<i>Thecaphora viciae-amoenae</i> Y. Harada] Harada, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 24:300, 1983 ; 柿 嶋 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] ツルフジバカマに発生 (注)病原学名変更、文献追加、備考変更	(野草) ツルフジバカマ <i>Vicia amoena</i> Fisch. ナンテンハギ <i>Vicia unijuga</i> A. Br. 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Thecaphora viciae-amoenae</i> Y. Harada Harada, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 24:300, 1983 [備考] ツルフジバカマ
イネ科 Gramineae, Poaceae カモジグサ類 Drooping wheatgrass <i>Agropyron</i> spp. (野草) アオカモジグサ <i>A. ciliare</i> Franch var. <i>pilosum</i> Honda ヒメカモジグサ <i>A. repens</i> (L.) Beauv. カモジグサ <i>A. tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi †††† <i>Ustilago serpens</i> (P. Karsten) B. Lindeberg 柿嶋 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考]アオカモジグサに発生。接種試験未了 (注)新病害	イネ科 Gramineae, Poaceae カモジグサ類 Drooping wheatgrass <i>Agropyron</i> spp. (野草) アオカモジグサ <i>A. ciliare</i> Franch var. <i>pilosum</i> Honda ヒメカモジグサ <i>A. repens</i> (L.) Beauv. カモジグサ <i>A. tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi
イネ科 Gramineae, Poaceae ヌカボ類 (Agrostis) <i>Agrostis</i> spp.	イネ科 Gramineae, Poaceae ヌカボ類 (Agrostis) <i>Agrostis</i> spp. (野草) ヤマヌカボ <i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>clavata</i> ヌカボ <i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>matsumurae</i>

(野草) ヤマヌカボ <i>A. clavata</i> Trin. subsp. <i>clavata</i> ヌカボ <i>A. clavata</i> Trin. subsp. <i>matsumurae</i> Tateoka コヌカグサ <i>A. palustris</i> Huds. †††† <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl 柿 嶌 眞:筑波大学農林学研究 1:92, 1982 ; 柿 嶌 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考]ヌカボに発生。接種試験未了 (注)新病害	Tateoka コヌカグサ <i>Agrostis palustris</i> Huds.
イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノテッポウ類 Foxtail <i>Alopecurus</i> spp. (野草) スズメノテッポウ <i>A. equalis</i> Sobol. var. <i>amurensis</i> (Komar.) Ohwi セトガヤ <i>A. japonicus</i> Steud. なまぐさ黒穂病* namagusa-kuroho-byo Bunt (1)<i>Tilletia alopecuri</i> (Sawada) L. Ling 柿 嶌 眞:筑波大学農林学研究 1:58, 1982 ; 柿 嶌 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):254, 1992 [備考] スズメノテッポウに発生。病名提案なし (2)<i>Tilletia japonica</i> (Vánky) Denchev 柿 嶌 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考] セトガヤおよび <i>Alopecurus geniculatus</i> L.に発生。接種試験未了, 病名提案なし (注)病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノテッポウ類 Foxtail <i>Alopecurus</i> spp. (野草) スズメノテッポウ <i>Alopecurus aequalis</i> Sobol. var. <i>amurensis</i> (Komar.) Ohwi セトガヤ <i>Alopecurus japonicus</i> Steud. なまぐさ黒穂病* namagusa-kuroho-byo Bunt <i>Tilletia alopecuri</i> (Sawada) L. Ling 柿 嶌 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:58, 1982 ; 柿 嶌 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):254, 1992 [備考] スズメノテッポウに発生。病名提案なし
イネ科 Gramineae, Poaceae トールオートグラス(オオカニツリグサ) Tall oatgrass	イネ科 Gramineae, Poaceae トールオートグラス(オオカニツリグサ) Tall oatgrass

<i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Beauv. ex J. & C. Presl (牧草・芝草) 裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (黒穂病) <i>Ustilago avenae</i> (Persoon) Rostrup [<i>Ustilago perennans</i> Rostrup] 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):15, 1936(昭 11) ; 成田武四:北海道立農試集報 7:71, 1961 ; 柿 真:筑波大学農林学研究 1:78, 1982 ; 柿 真:日 菌 報 57:110, 2016 (注) 病原学名変更	<i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Beauv. ex J. & C. Presl (牧草・芝草) 裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut <i>Ustilago perennans</i> Rostrup 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):15, 1936(昭 11) ; 成田武四:北海道立農試集報 7:71, 1961
イネ科 Gramineae, Poaceae トダシバ類 (Arundinella) <i>Arundinella</i> spp. (野草) トダシバ <i>A. hirta</i> (Thunb.) Tanaka †††† <i>Sporisorium kusanoi</i> (Sydow & P. Sydow) Vánky [<i>Ustilago kusanoi</i> Sydow & P. Sydow] 柿 真:筑波大学農林学研究 1:85, 1982 ; 柿 真:日 菌 報 57:110, 2016 [備考]トダシバに発生。接種試験未了 (注)新病害	イネ科 Gramineae, Poaceae トダシバ類 (Arundinella) <i>Arundinella</i> spp. (野草) トダシバ <i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka
イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>A. fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>A. strigosa</i> Schreb. 裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (黒穂病) <i>Ustilago avenae</i> (Persoon) Rostrup 出田 新:日本植物病理学(下):361, 1911(明 44); 柿 真	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (黒穂病) <i>Ustilago avenae</i> (Persoon) Rostrup

眞:筑波大学農林学研究 1:78, 1982 ; 柿嶌 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考]エンバク, カラスムギに発生 (注)文献追加、宿主名追加	出田 新:日本植物病理学(下):361, 1911(明 44)
イネ科 Gramineae, Poaceae ノガリヤス類 Small-reed <i>Calamagrostis</i> spp. (野草) ノガリヤス <i>C. arundinacea</i> (L.) Roth var. <i>brachytricha</i> (Steud.) Hack. ヤマアワ <i>C. epigeios</i> Roth ヒメノガリヤス <i>C. hakonensis</i> Franch. & Savat. イワノガリヤス <i>C. langsдорffii</i> (Link.) Trin. ホッスガヤ <i>C. pseudo-phragmites</i> Koel. †††† <i>Ustilago calamagrostidis</i> (Fuckel) G.P. Clinton 柿嶌 眞:筑波大学農林学研究 1:80, 1982 ; 柿嶌 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] ヤマアワに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae ノガリヤス類 Small-reed <i>Calamagrostis</i> spp. (野草) ノガリヤス <i>Calamagrostis arundinacea</i> (L.) Roth var. <i>brachytricha</i> (Steud.) Hack. ヤマアワ <i>Calamagrostis epigeios</i> Roth ヒメノガリヤス <i>Calamagrostis hakonensis</i> Franch. & Savat. ホッスガヤ <i>Calamagrostis pseudo-phragmites</i> Koel.
イネ科 Gramineae, Poaceae ノガリヤス類 Small-reed <i>Calamagrostis</i> spp. (野草) ノガリヤス <i>C. arundinacea</i> (L.) Roth var. <i>brachytricha</i> (Steud.) Hack. ヤマアワ <i>C. epigeios</i> Roth ヒメノガリヤス <i>C. hakonensis</i> Franch. & Savat. イワノガリヤス <i>C. langsдорffii</i> (Link.) Trin. ホッスガヤ <i>C. pseudo-phragmites</i> Koel. †††† <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl	イネ科 Gramineae, Poaceae ノガリヤス類 Small-reed <i>Calamagrostis</i> spp. (野草) ノガリヤス <i>Calamagrostis arundinacea</i> (L.) Roth var. <i>brachytricha</i> (Steud.) Hack. ヤマアワ <i>Calamagrostis epigeios</i> Roth ヒメノガリヤス <i>Calamagrostis hakonensis</i> Franch. & Savat. ホッスガヤ <i>Calamagrostis pseudo-phragmites</i> Koel.

柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:92, 1982 ; 柿寫眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] イワノガリヤスに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主名追加	
イネ科 Gramineae, Poaceae ハトムギ(慧苳) Job's tears <i>Coix lacryma-jobi</i> L. var. <i>ma-yuen</i> (Roman.) Stapf [<i>Coix lacryma-jobi</i> var. <i>frumentacea</i> Makino] (食用作物) 黒穂病 kuroho-byo Head smut (1) <i>Ustilago coicis</i> Brefeld 出田 新:続日本植物病理学(下):399, 1926(大 15) ; 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:80, 1982 (2) <i>Franzpetrakia okudairae</i> (Miyabe) L. Guo, Vánky & Mordue [<i>Ustilago okudairae</i> Miyabe] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:88, 1982 ; 柿寫眞:日菌報 57:110, 2016 [備考]病原(2)については接種試験未了 (注)病原追加、文献追加	イネ科 Gramineae, Poaceae ハトムギ(慧苳) Job's tears <i>Coix lacryma-jobi</i> L. var. <i>ma-yuen</i> (Roman.) Stapf [<i>Coix lacryma-jobi</i> var. <i>frumentacea</i> Makino] (食用作物) 黒穂病 kuroho-byo Head smut <i>Ustilago coicis</i> Brefeld 出田 新:続日本植物病理学(下):399, 1926(大 15)
イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草) すじ黒穂病 suji-kuroho-byo Stripe smut <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):32, 1936(昭 11) ; 成田武四:北海道立農試集報 2:45, 1958 ; 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:92, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 (注)文献追加、備考削除	イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草) すじ黒穂病 suji-kuroho-byo Stripe smut <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):32, 1936(昭 11) ; 成田武四:北海道立農試集報 2:45, 1958 [備考] 病原菌の異名はレッドトップすじ黒穂病参照

イネ科 Gramineae, Poaceae メヒシバ類 Southern crabgrass <i>Digitaria</i> spp. (野草) メヒシバ <i>D. ciliaris</i> (Retz.) Koel. イヌメヒシバ <i>D. microbachne</i> Henrard アキメヒシバ <i>D. violascens</i> Link †††† <i>Ustilago syntherismae</i> (Schweinitz) Peck 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:94, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考]メヒシバ, アキメヒシバに発生。接種試験 未了 (注)新病害	イネ科 Gramineae, Poaceae メヒシバ類 Southern crabgrass <i>Digitaria</i> spp. (野草) メヒシバ <i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koel. イヌメヒシバ <i>Digitaria microbachne</i> Henrard アキメヒシバ <i>Digitaria violascens</i> Link
イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>E. crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> †††† <i>Ustilago trichophora</i> (Link) Kunze [<i>Ustilago sphaerogena</i> Burrill, <i>Ustilago crus-galli</i> Tracy & Earle] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:92, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考]イヌビエに発生。 接種試験未了 (注)新病害(黒穂病と別にした)	イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>E. crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i>
イネ科 Gramineae, Poaceae ハマニンニク類 (Elymus) <i>Elymus</i> spp. (野草) ハマニンニク(テンキグサ) <i>E. mollis</i> Trin.	イネ科 Gramineae, Poaceae ハマニンニク類 (Elymus) <i>Elymus</i> spp. (野草) ハマニンニク <i>Elymus mollis</i> Trin.

黒穂病* kuroho-byo Bunt <i>Urocystis agropyri</i> (Preuss) A.A. Fischer Waldheim 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:67, 1982 ; 柿畠 眞: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):256, 1992 ; 柿畠 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] ハマニンニクに発生。病名提案なし (注)文献追加、宿主和名追加	黒穂病* kuroho-byo Bunt <i>Urocystis agropyri</i> (Preuss) A.A. Fischer Waldheim 柿畠 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:67, 1982 ; 柿畠 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):256, 1992 [備考] ハマニンニクに発生。病名提案なし
イネ科 Gramineae, Poaceae カゼクサ類 (Eragrostis) <i>Eragrostis</i> spp. (野草) スズメガヤ <i>E. cilianensis</i> (Allioni) Vignolo-Lutati カゼクサ <i>E. ferruginea</i> (Thunb.) Beauvois コゴメカゼクサ <i>E. japonica</i> Thunb. ニワホコリ <i>E. multicaulis</i> Steud. †††† <i>Macalpinomyces spermophorus</i> (Berkeley & M.A. Curtis ex de Toni) Vánky [<i>Ustilago spermophora</i> Berkeley & M.A. Curtis] 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:91, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] カゼクサ, コゴメカゼクサに発生。接種試 験未了 (注)新病害	イネ科 Gramineae, Poaceae カゼクサ類 (Eragrostis) <i>Eragrostis</i> spp. (野草) スズメガヤ <i>Eragrostis cilianensis</i> (Allioni) Vignolo-Lutati カゼクサ <i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) Beauvois コゴメカゼクサ <i>Eragrostis japonica</i> Thunb. ニワホコリ <i>Eragrostis multicaulis</i> Steud.
イネ科 Gramineae, Poaceae ウシノシツペイ (Hemarthria) <i>Hemarthria sibirica</i> (Gandog.) Ohwi (野草) †††† <i>Sporisorium lepturi</i> (Thümen) Vánky [<i>Sphacelotheca rottboelliae</i> (Sydow, P. Sydow & E.J. Butler) Mundkur] 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:54, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:110, 2016	イネ科 Gramineae, Poaceae

[備考]接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	
イネ科 Gramineae, Poaceae セイヨウコウボウ (Hierochloe) <i>Hierochloe odorata</i> (L.) Beauv. (野草) †††† <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:92, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考]セイヨウコウボウに発生。接種試験未了 (注)新病害、新規宿主、宿主和名は柿 眞(2016)によると宿主和名「コウボウ」だが、<i>Hierochloe odorata</i> は「セイヨウコウボウ」の学名	イネ科 Gramineae, Poaceae
イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 堅黒穂病 kata-kuroho-byo Covered smut (かたまりくろぼ) <i>Ustilago hordei</i> (Persoon) Lagerheim 農商務省農試:農事試験成績 8(1):117, 1895(明28) ; 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:83, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:111, 2016 (注)文献追加	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 堅黒穂病 kata-kuroho-byo Covered smut (かたまりくろぼ) <i>Ustilago hordei</i> (Persoon) Lagerheim 農商務省農試:農事試験成績 8(1):117, 1895(明28)
イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley

<i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (コナクロボ, 麦奴) <i>Ustilago nuda</i> (C.N. Jensen) Kellerman & Swingle [<i>Ustilago nuda</i> (C.N. Jensen) Rostrup] 農商務省農試:農事試験成績 10(1):60, 1896(明 29); 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:88, 1982; 柿 寫 眞: 日 菌 報 57:111, 2016 (注)病原学名変更	<i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (コナクロボ, 麦奴) <i>Ustilago nuda</i> (C.N. Jensen) Rostrup 農商務省農試:農事試験成績 10(1):60, 1896(明 29)
イネ科 Gramineae, Poaceae カモノハシ類 (<i>Ischaemum</i>) <i>Ischaemum</i> spp. (野草) ケカモノハシ <i>I. antheophoroides</i> (Steud.) Miq. 台湾カモノハシ <i>I. aristatum</i> L. var. <i>aristatum</i> †††† <i>Sporisorium flagellatum</i> (Sydow, P. Sydow & E.J. Butler) Vánky [<i>Sorosporium flagellatum</i> Sydow, P. Sydow ex E.J. Butler] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:47, 1982; 柿 寫 眞:日 菌 報 57:110, 2016 [備考] 台湾カモノハシに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae カモノハシ類 (<i>Ischaemum</i>) <i>Ischaemum</i> spp. (野草) ケカモノハシ <i>Ischaemum antheophoroides</i> (Steud.) Miq.
イネ科 Gramineae, Poaceae カモノハシ類 (<i>Ischaemum</i>) <i>Ischaemum</i> spp. (野草) ケカモノハシ <i>I. antheophoroides</i> (Steud.) Miq. 台湾カモノハシ <i>I. aristatum</i> L. var. <i>aristatum</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae カモノハシ類 (<i>Ischaemum</i>) <i>Ischaemum</i> spp. (野草) ケカモノハシ <i>Ischaemum antheophoroides</i> (Steud.) Miq.

†††† <i>Sporisorium ischaemi-anthephoroidis</i> (S. Ito) Vánky & Kakishima [<i>Ustilago ischaemi-anthephoroidis</i> S. Ito] 柿 唄 眞:筑波大学農林学研究 1:84, 1982 ; 柿 唄 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考]ケカモノハシに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主名追加	
イネ科 Gramineae, Poaceae コメガヤ類 (Melica) <i>Melica</i> spp. (野草) コメガヤ <i>M. nutans</i> L. 黒穂病 kuroho-byo Bunt (1) <i>Urocystis agropyri</i> (Preuss) A.A. Fischer Waldheim 柿 唄 眞:筑波大学農林学研究 1:67, 1982 ; 柿 唄 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):256, 1992 (2) <i>Urocystis melicae</i> (Lagerheim & Liro) Zundel 原田幸雄:日本植物病害大事典(岸 國平編):1215, 1998 ; 柿 唄 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] コメガヤに発生 (注)文献追加、備考変更	イネ科 Gramineae, Poaceae コメガヤ類 (Melica) <i>Melica</i> spp. (野草) コメガヤ <i>Melica nutans</i> L. 黒穂病 kuroho-byo Bunt (1) <i>Urocystis agropyri</i> (Preuss) A.A. Fischer Waldheim 柿 唄 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:67, 1982 ; 柿 唄 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):256, 1992 (2) <i>Urocystis melicae</i> (Lagerheim & Liro) Zundel 原田幸雄:日本植物病害大事典(岸 國平編):1215, 1998 [備考] コメガヤ
イネ科 Gramineae, Poaceae ススキ類 Silvergrass <i>Miscanthus</i> spp. (野草) トキワススキ <i>M. floridulus</i> (Labill.) Warb. ex. K. Schum. & Lauterb. カリヤスモドキ <i>M. oligostachyus</i> Stapf オギ <i>M. sacchariflorus</i> (Maxim.) Hack. ハチジョウススキ <i>M. sinensis</i> Anderss. var. <i>condensatus</i> (Hack.) Makino ススキ <i>M. sinensis</i> Anderss. var. <i>sinensis</i> ムラサキススキ <i>M. sinensis</i> Anderss. f. <i>purpurascens</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae ススキ類 Silvergrass <i>Miscanthus</i> spp. (野草) トキワススキ <i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb. ex. K. Schum. & Lauterb. カリヤスモドキ <i>Miscanthus oligostachyus</i> Stapf ハチジョウススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>condensatus</i> (Hack.) Makino ススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>sinensis</i> ムラサキススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. f. <i>purpurascens</i>

黒穂病 kuroho-byo Smut (1) <i>Naemacyclus culmigenus</i> Ellis & Langlois Hosoya, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 54(6):433, 2013 ; Suzuki, R.O. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:42, 2015 (2) <i>Sporisorium kusanoi</i> (Sydow & P. Sydow) Vánky [<i>Ustilago kusanoi</i> Sydow & P. Sydow] Suzuki, R.O. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:42, 2015 ; 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:85, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] ススキ, オギに発生。接種試験未了 (注)病原異名追加、宿主名追加、備考変更	黒穂病 kuroho-byo Smut (1) <i>Naemacyclus culmigenus</i> Ellis & Langlois Hosoya, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 54(6):433, 2013 ; Suzuki, R.O. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:42, 2015 (2) <i>Sporisorium kusanoi</i> (Sydow & P. Sydow) Vánky Suzuki, R.O. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:42, 2015 [備考] ススキ。病原性未確認
イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Ustilago shiraiana</i> Hennings Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. 1(1):73, 1905 ; Hennings, P.:Engler's Bot. Jahrb. 28:260, 1900 ; 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:91, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:111, 2016	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Ustilago shiraiana</i> Hennings Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. 1(1):73, 1905 ; Hennings, P.:Engler's Bot. Jahrb. 28:260, 1900 ; 柿 眞:筑波大農林研究 1:91, 1982 [備考] 病菌の異名はマダケ黒穂病参照

[備考]ネマガリダケ, ミヤマスズ, ミヤコザサ, クマイザサ, クマザサ, アズマザサ, スズタケでの発生 (注) 宿主追加、文献追加、備考変更	
イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 墨黒穂病 sumi-kuroho-byo Kernel smut <i>Tilletia horrida</i> Takahashi [<i>Tilletia barclayana</i> (Brefeld) Saccardo & P. Sydow, <i>Neovossia horrida</i> (Takahashi) Padwick & A. Kahn, <i>Neovossia barclayana</i> Brefeld] 堀 正太郎:植物学雑 10(108):62, 1896(明 29) ; 高橋良直:植物学雑 10(109):16, 1896(明 29) ; 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:58, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:107, 2016 (注)病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 墨黒穂病 sumi-kuroho-byo Kernel smut <i>Tilletia barclayana</i> (Brefeld) Saccardo & P. Sydow [<i>Tilletia horrida</i> Takahashi, <i>Neovossia horrida</i> (Takahashi) Padwick & A. Kahn, <i>Neovossia barclayana</i> Brefeld] 堀 正太郎:植物学雑 10(108):62, 1896(明 29) ; 高橋良直:植物学雑 10(109):16, 1896(明 29) ; 柿畠 眞:筑波大農林研究 1:59, 1982
イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 黒しゅ病 kokushu-byo Leaf smut (黒腫病, 胡麻葉病) <i>Eballistra oryzae</i> (Sydow & P. Sydow) R. Bauer, Begerow, A. Nagler & Oberwinkler [<i>Entyloma oryzae</i> Sydow & P. Sydow, <i>Entyloma dactylidis</i> (Passerini) Ciferri, <i>Ectostroma oryzae</i> Sawada, <i>Sclerotium phyllachoroides</i> Hara] 原 攝祐:病虫雑 2(11):948, 1915(大 4) ; 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:35, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:107, 2016 (注)病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 黒しゅ病 kokushu-byo Leaf smut (黒腫病, 胡麻葉病) <i>Entyloma dactylidis</i> (Passerini) Ciferri [<i>Entyloma oryzae</i> Sydow & P. Sydow, <i>Ectostroma oryzae</i> Sawada, <i>Sclerotium phyllachoroides</i> Hara] 原 攝祐:病虫雑 2(11):948, 1915(大 4) ; 柿畠 眞:筑波大農林研究 1:36, 1982

イネ科 Gramineae, Poaceae キビ(黍) Common millet, Millet, Proso millet <i>Panicum miliaceum</i> L. (食用作物) 黒穂病 kuroho-byo Smut (黒穂) <i>Anthracystis destruens</i> (Schlechtendal) Brefeld [<i>Sporisorium destruens</i> (Schlechtendal) Vánky, <i>Sorosporium manchuricum</i> S. Ito, <i>Sorosporium panici-miliacei</i> (Persoon) Takahashi, <i>Sphacelotheca destruens</i> (Schlechtendal) J.A. Stevenson & Aar. G. Johnson] 高橋良直:植物学雑誌 16(189):247, 1902(明 35) ; 柿 眞: 筑波大学農林学研究 1:50, 1982 ; 柿 眞:植物 病原菌類図説(小林享夫ら編):587, 1992 ; 柿 眞: 日菌報 57:110, 2016 (注)病原学名変更、病原異名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae キビ(黍) Common millet, Millet, Proso millet <i>Panicum miliaceum</i> L. (食用作物) 黒穂病 kuroho-byo Smut (黒穂) <i>Sporisorium destruens</i> (Schlechtendal) Vánky, [<i>Sorosporium panici-miliacei</i> (Persoon) Takahashi, <i>Sphacelotheca destruens</i> (Schlechtendal) J.A. Stevenson & Aar.G. Johnson] 高橋良直:植物学雑誌 16(189):247, 1902(明 35) ; 柿 眞: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):587, 1992
イネ科 Gramineae, Poaceae キビ類 (Panicum) <i>Panicum</i> spp. (野草) ヌカキビ <i>P. bispulatum</i> Thunb. ハイキビ <i>P. repens</i> L. †††† <i>Anthracystis formosana</i> (Sawada) McTaggart & R.G. Shivas [<i>Sorosporium formosanum</i> (Sawada) Sawada] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:47, 1982 ; 柿 眞: 日菌報 57:110, 2016 [備考]ハイキビに発生。接種試験未了 (注)新病害	イネ科 Gramineae, Poaceae キビ類 (Panicum) <i>Panicum</i> spp. (野草) ヌカキビ <i>Panicum bispulatum</i> Thunb. ハイキビ <i>Panicum repens</i> L.
イネ科 Gramineae, Poaceae キビ類 (Panicum) <i>Panicum</i> spp. (野草)	イネ科 Gramineae, Poaceae キビ類 (Panicum) <i>Panicum</i> spp. (野草)

ヌカキビ <i>P. bisculatum</i> Thunb. ハイキビ <i>P. repens</i> L. †††† <i>Microbotryum hodsonii</i> (Zundel) Vánky 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考]オオクサキビに発生。接種試験未了 (注)新病害(<i>Microbotryum hodsonii</i> は Index Fungorum に未掲載)	ヌカキビ <i>Panicum bisculatum</i> Thunb. ハイキビ <i>Panicum repens</i> L.
イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノヒエ類 (Paspalum) <i>Paspalum</i> spp. (野草) スズメノヒエ <i>P. thunbergii</i> Kunth ex Steud. スズメノコビエ <i>P. orbiculare</i> Forst. †††† <i>Anthracystis paspali-thunbergii</i> (Hennings) McTaggart & R.G. Shivas [<i>Sorosporium paspali-thunbergii</i> (Hennings) S. Ito] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:48, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] スズメノヒエ, スズメノコビエに発生。接種試験未了 (注)新病害	イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノヒエ類 (Paspalum) <i>Paspalum</i> spp. (野草) スズメノヒエ <i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud. スズメノコビエ <i>Paspalum orbiculare</i> Forst.
イネ科 Gramineae, Poaceae チカラシバ類 (Pennisetum) <i>Pennisetum</i> spp. (野草) チカラシバ <i>P. alopecuroides</i> (L.) Spreng. †††† <i>Sporisorium penniseti-japonici</i> (Hennings) Vánky 柿寫 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考]チカラシバに発生。接種試験未了	イネ科 Gramineae, Poaceae チカラシバ類 (Pennisetum) <i>Pennisetum</i> spp. (野草) チカラシバ <i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.

(注)新病害	
イネ科 Gramineae, Poaceae チカラシバ類 (Pennisetum) <i>Pennisetum</i> spp. (野草) チカラシバ <i>P. alopecuroides</i> (L.) Spreng. †††† <i>Tilletia barclayana</i> (Brefeld) Saccardo & P. Sydow 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:58, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考]チカラシバに発生。接種試験未了 (注)新病害	イネ科 Gramineae, Poaceae チカラシバ類 (Pennisetum) <i>Pennisetum</i> spp. (野草) チカラシバ <i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.
イネ科 Gramineae, Poaceae リードカナリーグラス(クサヨシ) Reed canarygrass, Harding grass <i>Phalaris arundinacea</i> L. <i>Phalaris stenoptera</i> Hack. (牧草・芝草) なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt <i>Tilletia menieri</i> Hariot & Patouillard [<i>Tilletia decipiens</i> (Persoon) Körnicker] 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):91, 1936(昭 11) ; 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:61, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考] 柿 眞 (2016)は <i>T. decipiens</i> を国内産種から除外した (注)病原学名変更、備考追加	イネ科 Gramineae, Poaceae リードカナリーグラス(クサヨシ) Reed canarygrass, Harding grass <i>Phalaris arundinacea</i> L. <i>Phalaris stenoptera</i> Hack. (牧草・芝草) なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt <i>Tilletia decipiens</i> (Persoon) Körnicker [<i>Tilletia menieri</i> Hariot & Patouillard] 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):91, 1936(昭 11) ; 柿 眞:筑波大農林研究 1:61, 1982
イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy <i>Phleum pratense</i> L. (牧草・芝草) すじ黒穂病* suji-kuroho-byo Stripe smut <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl	イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy

成田武四:北海道立農試集報 2:57, 1958 ; 柿 嶌 眞: 筑波大学農林学研究 1:92, 1982 ; 柿 嶌 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考]チモシーに発生。接種試験未了, 病名提案なし (注)文献追加、備考変更	<i>Phleum pratense</i> L (牧草・芝草) すじ黒穂病 suji-kuroho-byo Stripe smut <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl 成田武四:北海道立農試集報 2:57, 1958 [備考] 病原菌の異名はレッドトップすじ黒穂病参照
イネ科 Gramineae, Poaceae ヨシ類 Common reed <i>Phragmites</i> spp. (野草) ヨシ <i>P. communis</i> Trin. ツルヨシ <i>P. japonica</i> Steud. なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt <i>Neovossia molinae</i> (Thümen) Körnicke [<i>Neovossia danubialis</i> Sâvulescu] Terui, M. & Harada, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 15:215-217, 1974 ; 柿 嶌 眞:筑波大学農林学研究 1:45, 1982 ; 柿 嶌 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考] ヨシ (注)病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ヨシ類 Common reed <i>Phragmites</i> spp. (野草) ヨシ <i>Phragmites communis</i> Trin. ツルヨシ <i>Phragmites japonica</i> Steud. なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt <i>Neovossia danubialis</i> Sâvulescu Terui, M. & Harada, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 15:215-217, 1974 [備考] ヨシ
イネ科 Gramineae, Poaceae ヨシ類 Common reed <i>Phragmites</i> spp. (野草) ヨシ <i>P. communis</i> Trin. ツルヨシ <i>P. japonica</i> Steud. †††† <i>Ustilago grandis</i> Fries 柿 嶌 眞:筑波大学農林学研究 1:83, 1982 ; 柿 嶌 眞: 日菌報 57:111, 2016 [備考]ヨシに発生。接種試験未了	イネ科 Gramineae, Poaceae ヨシ類 Common reed <i>Phragmites</i> spp. (野草) ヨシ <i>Phragmites communis</i> Trin. ツルヨシ <i>Phragmites japonica</i> Steud.

(注)新病害

イネ科 Gramineae, Poaceae

マダケ類

(*Phyllostachys*)

Phyllostachys spp.

(竹笹類)

ホテイチク(布袋竹) *P. aurea* (Sieb.) Carr.

マダケ(苦竹) *P. bambusoides* Sieb. & Zucc.[*P. reticulata* K. Koch]

キッコウチク *P. heterocycla* (Carr.) Mitf.

モウソウチク(孟宗竹) *P. heterocycla* (Carr.) Mitf.
var. *pubescens* (Mazel) Ohwi

ヒメハチク *P. humilis* Makino

タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) *P. makinoi*
Hayata

クロチク(黒竹) *P. nigra* (Lodd.) Munro

ハチク(淡竹) *P. nigra* (Lodd.) Munro var. *henonis*
(Bean) Stapf

黒穂病 kuroho-byo Smut

Ustilago shiraiana Hennings [*Cintractia bambusae*
Miyake & Hori]

Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. 1(1):73,
1905(明 38) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):183,
1904(明 37) ; 柿 瀧 眞:筑波大学農林学研究 1:91,
1982

[備考] コモウソウチク, マダケ, ハチク, ホテ
イチク, キッコウチク, タイワンマダケ, モウソ
ウチクに発生

(注)宿主、宿主学名追加

イネ科 Gramineae, Poaceae

マダケ類

(竹笹類)

ホテイチク(布袋竹) *Phyllostachys aurea* (Sieb.)
Carr.

マダケ(苦竹) *Phyllostachys bambusoides* Sieb. &
Zucc.[*Phyllostachys reticulata* K. Koch]

モウソウチク(孟宗竹) *Phyllostachys heterocycla*
(Carr.) Mitf. var. *pubescens* (Mazel) Ohwi

ヒメハチク *Phyllostachys humilis* Makino

タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) *Phyllostachys*
makinoi Hayata

クロチク(黒竹) *Phyllostachys nigra* (Lodd.)
Munro

ハチク(淡竹) *Phyllostachys nigra* (Lodd.) Munro
var. *henonis* (Bean) Stapf

黒穂病 kuroho-byo Smut

Ustilago shiraiana Hennings [*Cintractia bambusae*
Miyake & Hori]

Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. 1(1):73,
1905(明 38) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):183,
1904(明 37) ; 柿 瀧 眞:筑波大農林学研究 1:91,
1982

[備考] コモウソウチク・マダケ・ハチク・ホテ
イチク・キッコウチク(*P. heterocycla*)・タイワンマ
ダケ

イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (<i>Pleiblastus</i>) <i>Pleiblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Ustilago shiraiana</i> Hennings Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. 1(1):73, 1905 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):183, 1904(明 37) ; 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:91, 1982 ; 柿 眞:日 菌 報 57:111, 2016 [備考] アズマネザサ, メダケ, ハコネダケに発生 (注)宿主学名追加、文献追加	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleiblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleiblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleiblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino カンザンチク <i>Pleiblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleiblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleiblastus simonii</i> (Carr.) Nakai 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Ustilago shiraiana</i> Hennings Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. 1(1):73, 1905 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):183, 1904(明 37) [備考] メダケ・ハコネダケ。病菌の異名はマダケ黒穂病参照
イネ科 Gramineae, Poaceae イチゴツナギ類 (Poa) <i>Poa</i> spp. (野草) ミゾイチゴツナギ <i>P. acroleuca</i> Steud. スズメノカタビラ <i>P. annua</i> L. 黒穂病* kuroho-byo Bunt (1) <i>Urocystis agropyri</i> (Preuss) A.A. Fischer Waldheim 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:67, 1982 ; 柿 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):256, 1992 [備考] ミゾイチゴツナギに発生。病名提案なし (2) <i>Urocystis poae</i> (Liro) Padwick & A. Khan 柿 眞:日 菌 報 57:108, 2016 [備考] ミゾイチゴツナギに発生。接種試験未了, 病名提案なし	イネ科 Gramineae, Poaceae イチゴツナギ類 (Poa) <i>Poa</i> spp. (野草) ミゾイチゴツナギ <i>Poa acroleuca</i> Steud. スズメノカタビラ <i>Poa annua</i> L. 黒穂病* kuroho-byo Bunt <i>Urocystis agropyri</i> (Preuss) A.A. Fischer Waldheim 柿 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:67, 1982 ; 柿 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):256, 1992 [備考] ミゾイチゴツナギに発生。病名提案なし

(注)病原追加	
イネ科 Gramineae, Poaceae イチゴツナギ類 (Poa) <i>Poa</i> spp. (野草) ミゾイチゴツナギ <i>P. acroleuca</i> Steud. スズメノカタビラ <i>P. annua</i> L. †††† <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:92, 1982 ; 柿 眞: 日菌報 57:111, 2016 [備考]スズメノカタビラに発生。接種試験未了 (注)新病害、黒穂病と別にした	イネ科 Gramineae, Poaceae イチゴツナギ類 (Poa) <i>Poa</i> spp. (野草) ミゾイチゴツナギ <i>Poa acroleuca</i> Steud. スズメノカタビラ <i>Poa annua</i> L.
イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>P. compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>P. pratensis</i> L. 黒しゅ病* kokushu-byo Pale leaf smut <i>Jamesdicksonia irregularis</i> (Johanson) R. Bauer, Begerow, A. Nagler & Oberwinkler [<i>Entyloma irregulare</i> Johanson] 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):98, 1936(昭 11) ; 柿 眞:日菌報 57:107, 2016 (注)病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L. 黒しゅ病* kokushu-byo Pale leaf smut <i>Entyloma irregulare</i> Johanson 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):98, 1936(昭 11)
イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada	イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada

bluegrass <i>P. compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>P. pratensis</i> L. すじ黒穂病 suji-kuroho-byo Stripe smut <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):33, 1936(昭 11) ; 成田 武四:北海道における農作物病害:216, 1977 ; 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:92, 1982 ; 柿眞 眞:日菌 報 57:111, 2016 (注)文献追加、備考削除	bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L. すじ黒穂病 suji-kuroho-byo Stripe smut <i>Ustilago striiformis</i> (Westendorp) Niessl 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):33, 1936(昭 11) ; 成田 武四:北海道における農作物病害:216, 1977 [備考] 病原菌の異名はレッドトップすじ黒穂病参 照
イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>P. compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>P. pratensis</i> L. †††† <i>Urocystis poae</i> (Liro) Padwick & A. Khan 柿眞 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害	イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L.
イネ科 Gramineae, Poaceae ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類) ヤシャダケ(夜叉竹) <i>S. yashadake</i> (Makino) Makino ††††	イネ科 Gramineae, Poaceae ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類) ヤシャダケ(夜叉竹) <i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino

<i>Ustilago shiraiana</i> Hennings 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:91, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] ヤシダダケに発生。接種試験未了 (注)新病害	
イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet オオアワ <i>Setaria italica</i> Beauv. コアワ <i>Setaria italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. (食用作物) 黒穂病 kuroho-byo Smut, Head smut (1) <i>Macalpinomyces tanakae</i> (S. Ito) Vánky [<i>Ustilago tanakae</i> S. Ito] 出田 新:農作物病理学:51, 1901(明 34) ; 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:95, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:110, 2016 (2) <i>Ustilago crameri</i> Körnicke 出田 新:農作物病理学:51, 1901(明 34) ; 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:81, 1982 (注)病原学名変更、宿主学名・和名位置修正、コアワ学名のフォント修正	イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet <i>Setaria italica</i> Beauv. (オオアワ) <i>Setaria italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. (コアワ) (食用作物) 黒穂病 kuroho-byo Smut, Head smut (1) <i>Ustilago crameri</i> Körnicke (2) <i>Ustilago tanakae</i> S. Ito 出田 新:農作物病理学:51, 1901(明 34)
イネ科 Gramineae, Poaceae エノコログサ類 Green bristlegrass <i>Setaria</i> spp. (野草) アキノエノコログサ <i>S. faberii</i> Herrm. キンエノコロ <i>S. glauca</i> (L.) Beauv. エノコログサ <i>S. viridis</i> (L.) Beauv. †††† <i>Macalpinomyces neglectus</i> (Niessl) Vánky [<i>Ustilago neglecta</i> Niessl] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:87, 1982 ; 柿 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] キンエノコロに発生。接種試験未了	イネ科 Gramineae, Poaceae エノコログサ類 Green bristlegrass <i>Setaria</i> spp. (野草) アキノエノコログサ <i>Setaria faberii</i> Herrm. キンエノコロ <i>Setaria glauca</i> (L.) Beauv. エノコログサ <i>Setaria viridis</i> (L.) Beauv.

(注)新病害(既報のなまぐさ黒穂病と別にした)、
病原学名異名スペルは [Index Fungorum](#) に合わせた

イネ科 Gramineae, Poaceae
モロコシ(ソルガム)
Sorghum, Great millet, Grain sorghum
Sorghum vulgare L.
(食用作物)

小黒穂病 ko-kuroho-byo
Sporisorium sorghi Ehrenberg ex Link [*Sphacelotheca sorghi* (Link) G.P. Clinton, *Sphacelotheca sorghicola* (Spegazzini) Zundel, *Ustilago sorghicola* Spegazzini]
澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):335, 1919(大 8) ; 柿 唄 眞:筑波大学農林学研究 1:55, 1982 ; 柿 唄 眞:日菌報 57: 110, 2016
[備考] 粒黒穂病との関係は検討を要する

粒 黒 穂 病 tsubu-kuroho-byo Grain smut,
Covered kernel smut (堅黒穂病, 黒穂病, 紫囊黒穂病)
Sporisorium sorghi Ehrenberg ex Link [*Sphacelotheca sorghi* (Link) G.P. Clinton, *Ustilago sorghi* (Link) Passerini]
三浦道哉・赤石行雄:満鉄農試彙報 23:1, 1926(大 15) ; 柿 唄 眞:筑波大学農林学研究 1:55, 1982 ; 柿 唄 眞:日菌報 57:110, 2016

(注)病原学名変更

イネ科 Gramineae, Poaceae
モロコシ(ソルガム)
Sorghum, Great millet, Grain sorghum
Sorghum vulgare L.
(食用作物)

小黒穂病 ko-kuroho-byo
Sphacelotheca sorghi (Link) G.P. Clinton [*Sphacelotheca sorghicola* (Spegazzini) Zundel, *Ustilago sorghicola* Spegazzini]
澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):335, 1919(大 8) ; 柿 唄 眞:筑波大農林研究 1:55, 1982
[備考] 粒黒穂病との関係検討を要する

粒 黒 穂 病 tsubu-kuroho-byo Grain smut,
Covered kernel smut (堅黒穂病, 黒穂病, 紫囊黒穂病)
Sphacelotheca sorghi (Link) G.P. Clinton [*Ustilago sorghi* (Link) Passerini]
三浦道哉・赤石行雄:満鉄農試彙報 23:1, 1926(大 15)

イネ科 Gramineae, Poaceae
モロコシ(ソルガム)
Sorghum, Great millet, Grain sorghum
Sorghum vulgare L.
(食用作物)

††††
Sporisorium ehrenbergii (J.G. Kühn) Vánky
[*Sorosporium andropogonis-sorghii* S. Ito]
伊藤誠哉:札幌博物会報 14(2):93, 1935(昭 10); 柿 唄 眞:筑波大学農林学研究 1:46, 1982 ; 柿 唄 眞:日菌報 57:110, 2016

イネ科 Gramineae, Poaceae
モロコシ(ソルガム)
Sorghum, Great millet, Grain sorghum
Sorghum vulgare L.
(食用作物)

††††
Sorosporium andropogonis-sorghii S. Ito
伊藤誠哉:札幌博物会報 14(2):93, 1935(昭 10)

(注)病原学名変更	
イネ科 Gramineae, Poaceae モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) 糸黒穂病 ito-kuroho-byo Head smut (線黒穂病, 糸黒穂病, 黒穂病) <i>Sporisorium reilianum</i> (J.G. Kühn) Langdon & Fullerton [<i>Sporisorium holci-sorghii</i> (Rivolta) Vánky, <i>Sphacelotheca reiliana</i> (J.G. Kühn) G.P. Clinton, <i>Sorosporium reilianum</i> (J.G. Kühn) McAlpine] 出田 新:実用植物病理学:103, 1902(明 35) ; 三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):47, 1921(大 10) ; 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:53, 1982 ; 柿畠 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):587, 1992 ; 柿畠 眞:日菌報 57:110, 2016 (注)病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) 糸黒穂病 ito-kuroho-byo Head smut (線黒穂病, 糸黒穂病, 黒穂病) <i>Sporisorium holci-sorghii</i> (Rivolta) Vánky [<i>Sphacelotheca reiliana</i> (J.G. Kühn) G.P. Clinton, <i>Sorosporium reilianum</i> (J.G. Kühn) McAlpine] 出田 新:実用植物病理学:103, 1902(明 35)
イネ科 Gramineae, Poaceae オオアブラススキ類 (Spodiopogon) <i>Spodiopogon</i> spp. (野草) オオアブラススキ <i>S. sibiricus</i> Trin. var. <i>sibiricus</i> †††† <i>Anthracycystis abramoviana</i> (Lavrov) McTaggart & R.G. Shivas [<i>Sorosporium abramovianum</i> Lavrov] 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:45, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害	イネ科 Gramineae, Poaceae オオアブラススキ類 (Spodiopogon) <i>Spodiopogon</i> spp. (野草) オオアブラススキ <i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin. var. <i>sibiricus</i>
イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦)	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦)

Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) から黒穂病 kara-kuroho-byo Flag smut (稈黒穂病, すじくろぼ, 条黒穂病) (1) <i>Urocystis agropyri</i> (Preuss) A.A. Fischer Waldheim, [<i>Tubercinia tritici</i> Liro] 堀 正太郎:農商務省農試報告 18:6, 1901(明 34) ; 柿 嶌 眞:日菌報 57:108, 2016 (2) <i>Urocystis tritici</i> Körnicke 堀 正太郎:農商務省農試報告 18:6, 1901(明 34) ; 柿 嶌 眞:日菌報 57:108, 2016 (注)病原追加	Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) から黒穂病 kara-kuroho-byo Flag smut (稈黒穂病, すじくろぼ, 条黒穂病) <i>Urocystis agropyri</i> (Preuss) A.A. Fischer Waldheim [<i>Urocystis tritici</i> Körnicke, <i>Tubercinia tritici</i> Liro] 堀 正太郎:農商務省農試報告 18:6, 1901(明 34)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt, Stinking smut (腥黒穂病, 黒粒病, ふすべ, ふすべ病, 臭奴, くろこむぎ) (1) <i>Tilletia caries</i> (de Candolle) L.R. Tulasne & C. Tulasne [<i>Tilletia tritici</i> (Bjerkander) Winter] (網なまぐさ黒穂菌) (2) <i>Tilletia laevis</i> J.G. Kühn [<i>Tilletia foetida</i> (Bauer) Liro, <i>Tilletia foetens</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Schroeter] (丸なまぐさ黒穂病) 佐々木忠次郎・上田栄次郎:作物病虫害教科書:25, 1903(明 36) ; 柿 嶌 眞:筑波大学農林学研究 1:61, 1982 ; 柿 嶌 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考] 病原によって区別するときは各病原末尾の病名を用いる (注)病原学名変更、備考変更	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt, Stinking smut (腥黒穂病, 黒粒病, ふすべ, ふすべ病, 臭奴, くろこむぎ) (1) <i>Tilletia caries</i> (de Candolle) L.R. Tulasne & C. Tulasne [<i>Tilletia tritici</i> (Bjerkander) Winter] (網なまぐさ黒穂菌) (2) <i>Tilletia foetida</i> (Bauer) Liro [<i>Tilletia foetens</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Schroeter] (丸なまぐさ黒穂病) 佐々木忠次郎・上田栄次郎:作物病虫害教科書:25, 1903(明 36) [備考] 病原によって区別するときは (1) を網なまぐさ黒穂病, (2) を丸なまぐさ黒穂病と呼ぶ
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L.	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L.
---	---

[<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) 裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (麦奴, こなくろぼ病) <i>Ustilago tritici</i> (Persoon) Rostrup [<i>Ustilago nuda</i> (C.N. Jensen) Rostrup] 出田 新:日本植物病理学(下):370, 1911(明 44); 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:88, 1982; 柿寫 眞: 日菌報 57:111, 2016 (注)病原学名変更、文献追加	[<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) 裸黒穂病 hadaka-kuroho-byo Loose smut (麦奴, こなくろぼ病) <i>Ustilago nuda</i> (C.N. Jensen) Rostrup [<i>Ustilago tritici</i> (Persoon) Rostrup] 出田 新:日本植物病理学(下):370, 1911(明 44); 柿 寫 眞:筑波大農林研究 1:88, 1982
イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 黒穂病 kuroho-byo Smut (おぼけ) <i>Ustilago maydis</i> (de Candolle) Corda [<i>Ustilago zeae</i> (Beckmann) Unger] 田中延次郎:植物学雑 4(44):387, 1890(明 23); 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:86, 1982; 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 (注)文献追加	イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 黒穂病 kuroho-byo Smut (おぼけ) <i>Ustilago maydis</i> (de Candolle) Corda [<i>Ustilago zeae</i> (Beckmann) Unger] 田中延次郎:植物学雑 4(44):387, 1890(明 23)
イネ科 Gramineae, Poaceae マコモ類 Manchurian wild rice <i>Zizania</i> spp. (野草) マコモ Manchurian wild rice <i>Z. latifolia</i> (Griseb.) Stapf アメリカマコモ(ワイルドライス) <i>Z. palustris</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae マコモ類 Manchurian wild rice <i>Zizania</i> spp. (野草) マコモ Manchurian wild rice <i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Stapf アメリカマコモ(ワイルドライス) <i>Zizania</i>

L. 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Ustilago esculenta</i> Hennings 澤田兼吉:台湾産菌類調査報告 1:319, 1919 ; 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:82, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] マコモに発生 (注)文献追加	<i>palustris</i> L. 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Ustilago esculenta</i> Hennings 澤田兼吉:台湾産菌類調査報告 1:319, 1919 ; 柿畠 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:82, 1982 [備考] マコモ
アヤメ科 Iridaceae グラジオラス <i>Gladiolus</i> <i>Gladiolus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) アシダンセラ Peacock orchid <i>Gladiolus</i> spp. 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Urocystis gladiolicola</i> Ainsworth [<i>Urocystis gladioli</i> (Requien) W.G. Smith, <i>Tubercinia gladioli</i> (Requien) Liro] 南部信方:病虫雑 2(5):480, 1915(大 4) ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):116, 1936(昭 11) ; 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:72, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:108, 2016 (注)病原学名変更	アヤメ科 Iridaceae グラジオラス <i>Gladiolus</i> <i>Gladiolus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) アシダンセラ Peacock orchid <i>Gladiolus</i> spp. 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Urocystis gladioli</i> (Requien) W.G. Smith [<i>Tubercinia gladioli</i> (Requien) Liro] 南部信方:病虫雑 2(5):480, 1915(大 4) ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):116, 1936(昭 11) ; 柿畠 眞:筑波大農林研究 1:72, 1982
ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Urocystis magica</i> Passerini [<i>Urocystis cepulae</i> Frost, <i>Tubercinia cepulae</i> (Frost) Liro] 出田 新:実用植物病理学:108, 1902(明 35) ; 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:70, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:108, 2016 (注)病原学名変更	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Urocystis cepulae</i> Frost [<i>Tubercinia cepulae</i> (Frost) Liro] 出田 新:実用植物病理学:108, 1902(明 35); 柿畠 眞:筑波大農林研 1:70, 1982

ユリ科 Liliaceae ツバメオモト (Clintonia) <i>Clintonia udensis</i> Trautv. & Mey. (草花) †††† <i>Urocystis clintoniae</i> (Komarov) Vánky [<i>Tuburcinia clintoniae</i> Komarov] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:64, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病名、新規宿主	ユリ科 Liliaceae
ユリ科 Liliaceae キバナノアマナ (Gagea) <i>Gagea lutea</i> (L.) Ker Gawl. (草花) †††† <i>Vankya ornithogali</i> (J.C. Schmidt & Kunze) Ershad [<i>Ustilago ornithogali</i> (Schmidt & Kunze) Magnus] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:88, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	ユリ科 Liliaceae
ユリ科 Liliaceae ツクバネソウ類 (Paris) <i>Paris</i> spp. (草花) ツクバネソウ <i>P. tetraphylla</i> A. Gray クルマバツクバネソウ <i>P. verticillata</i> M. Bieb. †††† <i>Urocystis paridis</i> (Unger) Thümen [<i>Tuburcinia paridis</i> (Unger) Vestergren] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:64, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考]ツクバネソウ, クルマバツクバネソウに発生。接種試験未了	ユリ科 Liliaceae

(注)新病名、新規宿主	
ユリ科 Liliaceae アマドコロ <i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi (草花) †††† <i>Urocystis miyabeana</i> Togashi & Onuma 柿 嶋 眞:筑波大学農林学研究 1:72, 1982 ; 柿 嶋 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害	ユリ科 Liliaceae アマドコロ <i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi (草花)
ユリ科 Liliaceae ツルボ類 (Scilla) <i>Scilla</i> spp. (野草) ツルボ <i>S. scilloides</i> (Lindl.) Druce †††† <i>Antherospora scillae</i> (Ciferri) R. Bauer, M. Lutz, Begerow, Piatek & Vánky 柿 嶋 眞:日菌報 57:109, 2016 [備考] ツルボに発生。接種試験未了 (注)新病害	ユリ科 Liliaceae ツルボ類 (Scilla) <i>Scilla</i> spp. (野草) ツルボ <i>Scilla scilloides</i> (Lindl.) Druce
ユリ科 Liliaceae ツルボ類 (Scilla) <i>Scilla</i> spp. (野草) ツルボ <i>S. scilloides</i> (Lindl.) Druce †††† <i>Urocystis scilloides</i> Denchev & Kakishima	ユリ科 Liliaceae ツルボ類 (Scilla) <i>Scilla</i> spp. (野草) ツルボ <i>Scilla scilloides</i> (Lindl.) Druce

柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] ツルボに発生。接種試験未了 (注)新病害	
ユリ科 Liliaceae タケシマラン (Streptopus) <i>Streptopus streptopoides</i> (Ledeb.) Frye & Rigg. var. <i>japonicus</i> (Maxim.) Fassett (草花) †††† <i>Urocystis clintoniae</i> (Komarov) Vánky [<i>Tubercinia clintoniae</i> Komarov] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:64, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病名、新規宿主	ユリ科 Liliaceae
ユリ科 Liliaceae エンレイソウ類 (Trillium) <i>Trillium</i> spp. (野草) オオバナノエンレイソウ(オオバナエンレイソウ) <i>T. camschatcense</i> Ker Gawl. エンレイソウ <i>T. smallii</i> Maximowicz ミヤマエンレイソウ(シロバナエンレイソウ) <i>T. tschonoskii</i> Maximowicz †††† <i>Urocystis trillii</i> H.S. Jackson [<i>Tubercinia trillii</i> (H.S. Jackson) Miyabe] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:74, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考]エンレイソウ, オオバナノエンレイソウに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主和名変更	ユリ科 Liliaceae エンレイソウ類 (Trillium) <i>Trillium</i> spp. (野草) オオバナエンレイソウ <i>T. camschatcense</i> Ker Gawl. エンレイソウ <i>T. smallii</i> Maximowicz ミヤマエンレイソウ(シロバナエンレイソウ) <i>T. tschonoskii</i> Maximowicz

カタバミ科 Oxalidaceae カタバミ類 (Oxalis) <i>Oxalis</i> spp. (野草) フシネハナカタバミ <i>O. articulata</i> Savigny カタバミ <i>O. corniculata</i> L. アカカタバミ <i>O. corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> Hara ムラサキカタバミ <i>O. corymbosa</i> DC. エゾタチカタバミ <i>O. fontana</i> Bunge †††† <i>Thecaphora oxalidis</i> (Ellis & Tracy) M. Lutz, R. Bauer & Piatek [<i>Ustilago oxalidis</i> Ellis & Tracy] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:90, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] カタバミに発生。接種試験未了 (注)新病害、病原学名の命名者名は Index Fungorum に従った。	カタバミ科 Oxalidaceae カタバミ類 (Oxalis) <i>Oxalis</i> spp. (野草) フシネハナカタバミ <i>Oxalis articulata</i> Savigny カタバミ <i>Oxalis corniculata</i> L. アカカタバミ <i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> Hara ムラサキカタバミ <i>Oxalis corymbosa</i> DC. エゾタチカタバミ <i>Oxalis fontana</i> Bunge
ケシ科 Papaveraceae ケシ類 Poppy <i>Papaver</i> spp. (草花) アイスランドポピー Iceland poppy <i>P. nudicaule</i> L. ヒナゲシ(虞美人草) Corn poppy <i>P. rhoeas</i> L. †††† <i>Entyloma fuscum</i> J. Schröter 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:38, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考] ヒナゲシに発生。接種試験未了 (注)新病害、宿主学名追加	ケシ科 Papaveraceae ケシ類 Poppy (草花) アイスランドポピー Iceland poppy <i>Papaver nudicaule</i> L. ヒナゲシ(虞美人草) Corn poppy <i>Papaver rhoeas</i> L.

タデ科 Polygonaceae ジンヨウスイバ (Mountain sorrel) <i>Oxyria digyna</i> (L.) Hill. (草花) †††† <i>Microbotryum vinosum</i> (Tulasne & C. Tulasne) Denchev [<i>Ustilago vinosa</i> (Berkeley) Tulasne & C. Tulasne] 柿 嶋 眞:筑波大学農林学研究 1:97, 1982 ; 柿 嶋 眞:日菌報 57:112, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	タデ科 Polygonaceae
タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum) <i>Polygonum</i> spp. (野草) イブキトラノオ <i>P. bistorta</i> auct. non L. ツルソバ <i>P. chinense</i> L. イタドリ <i>P. cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルタデ <i>P. dumetorum</i> L. ミズヒキ <i>P. filiforme</i> Thunb. ヤナギタデ <i>P. hydropiper</i> L. サナエタデ <i>P. lapathifolia</i> L. オオイヌタデ <i>P. lapathifolium</i> L. subsp. <i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>P. longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>P. nepalensis</i> Meisn. オオケタデ <i>P. orientalis</i> L. イシミカワ <i>P. perfoliatum</i> L. ハナタデ <i>P. posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i> (Meisn.) Ohwi ママコノシリヌグイ <i>P. senticosum</i> (Meisn.) Franch.	タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum) <i>Polygonum</i> spp. (野草) イタドリ <i>P. cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルソバ <i>P. chinense</i> L. ミズヒキ <i>P. filiforme</i> Thunb. オオイヌタデ <i>P. lapathifolium</i> L. subsp. <i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>P. longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>P. nepalensis</i> Meisn. ハナタデ <i>P. posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i>

& Sav.

アキノウナギツカミ *P. sieboldii* Meisn.

ミゾソバ *P. thunbergii* Sieb. & Zucc.

ムカゴトラノオ *P. viviparum* L.

黒穂病 kuroho-byo Smut

(1) *Farysia emodensis* (Berkeley) P. Sydow & Sydow
澤田兼吉:台湾産菌類調査報告 1:314, 1919; 伊藤誠
哉:大日本菌類誌 2(1):61, 1936

[備考] ツルソバに発生

(2) *Melanopsichium pennsylvanicum* Hirschhorn

柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:42, 1982; 柿畠

眞:日菌報 57:110, 2016

[備考] サナエタデ, イヌタデ, オオケタデ, イシ
ミカワ, ママコノシリヌグイに発生

(3) *Microbotryum anomalum* (J. Kunze ex G. Winter)
Vánky

柿畠 眞:日菌報 57:111, 2016

[備考] ツルタデに発生

(4) *Microbotryum bistortarum* (de Candolle) Vánky

柿畠 眞:日菌報 57:111, 2016

[備考] ムカゴトラノオに発生

(5) *Microbotryum cordae* (Liro) G. Deml & Prillinger

柿畠 眞:日菌報 57:111, 2016

[備考] イヌタデに発生

(6) *Microbotryum himalense* (Kakishima & Y. Ono)
Vánky

柿畠 眞:日菌報 57:111, 2016

[備考] イブキトラノオに発生

(7) *Microbotryum nepalense* (Liro) Vánky

[*Ustilago nepalensis* Liro]

柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:87, 1982; 柿畠

眞:日菌報 57:111, 2016

[備考] タニソバに発生

(8) *Microbotryum reticulatum* (Liro) R. Bauer &
Oberwinkler [*Ustilago utriculosa* (Nees) Tulasne & C.
Tulasne]

柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:95, 1982; 柿畠

眞:日菌報 57:111, 2016

[備考] サナエタデに発生

(9) *Sphacelotheca hydropiperis* (Schumacher) de Bary

柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:51, 1982; 柿畠

眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992;

柿畠 眞:日菌報 57:112, 2016

[備考] イヌタデ, ハナタデ, ミズヒキ, ヤナギタ
デ, イシミカワ, ママコノシリヌグイ, アキノウ

(Meisn.) Ohwi

黒穂病 kuroho-byo Smut

(1) *Farysia emodensis* (Berkeley) P. Sydow & Sydow
澤田兼吉:台湾産菌類調査報告 1:314, 1919; 伊藤誠
哉:大日本菌類誌 2(1):61, 1936

[備考] ツルソバに発生

(2) *Sphacelotheca hydropiperis* (Schumacher) de Bary
柿畠 眞:日本産黒穂菌類の分類学的研究:51, 1982;
柿畠 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248,
1992

[備考] イヌタデ・ハナタデなどタデ類に発生

ナギツカミ, ミゾソバに発生 (注)病原追加、宿主名追加	
タデ科 Polygonaceae ギシギシ類 (Rumex) <i>Rumex</i> spp. (野草) スイバ <i>R. acetosa</i> L. ヒメスイバ <i>R. acetosella</i> L. ギシギシ <i>R. crispus</i> L. subsp. <i>japonicus</i> (Houtt.) Kitam. エゾノギシギシ <i>R. obtusifolius</i> L. †††† <i>Microbotryum kuehneanum</i> (R. Wolff) Vánky [<i>Ustilago kuehneana</i> R. Wolff] 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:85, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] スイバに発生。接種試験未了 (注)新病害	タデ科 Polygonaceae ギシギシ類 (Rumex) <i>Rumex</i> spp. (野草) ヒメスイバ <i>R. acetosella</i> L. ギシギシ <i>R. crispus</i> L. subsp. <i>japonicus</i> (Houtt.) Kitam. エゾノギシギシ <i>R. obtusifolius</i> L.
サクラソウ科 Primulaceae プリムラ類(サクラソウ) Primrose <i>Primula</i> spp. (草花) 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Urocystis tranzscheliana</i> (Lavrov) Zundel Kakishima, M. <i>et al.</i>:Mycoscience 36(2):239, 1995 ; 柿畠 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)文献追加	サクラソウ科 Primulaceae プリムラ類(サクラソウ) Primrose <i>Primula</i> spp. (草花) 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Urocystis tranzscheliana</i> (Lavrov) Zundel Kakishima, M. <i>et al.</i>:Mycoscience 36(2):239, 1995 [備考] 接種試験未了

サクラソウ科 Primulaceae ツマトリソウ (<i>Trientalis</i>) <i>Trientalis europaea</i> L. (草花) †††† <i>Urocystis trientalis</i> (Berkeley & Broome) B. Lindeberg [<i>Tuburcinia trientalis</i> Berkeley & Broome] 柿 嶋 眞:筑波大学農林学研究 1:65, 1982 ; 柿 嶋 眞:日 菌 報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病名、新規宿主	サクラソウ科 Primulaceae
キンポウゲ科 Ranunculaceae ニリンソウ(二輪草, ガシヨウソウ) (<i>Anemone</i>) <i>Anemone flaccida</i> Fr. Schm. (草花) 黒穂病 kuroho-byo Smut (1) <i>Urocystis anemones</i> (Persoon) Rostrup [<i>Tuburcinia anemones</i> (Persoon) Liro] 南部信方:病虫雑 2(3):297, 1915(大 4) ; 柿 嶋 眞:筑波大学農林学研究 1: 69, 1982 (2) <i>Urocystis pseudoanemones</i> Denchev, Kakishima & Y. Harada Denchev, C.M. <i>et al.</i>:Mycoscience 41:449, 2000 ; 柿 嶋 眞:日 菌 報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)病原追加	キンポウゲ科 Ranunculaceae ニリンソウ(二輪草, ガシヨウソウ) (<i>Anemone</i>) <i>Anemone flaccida</i> Fr. Schm. (草花) 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Urocystis anemones</i> (Persoon) Rostrup [<i>Tuburcinia anemones</i> (Persoon) Liro] 南部信方:病虫雑 2(3):297, 1915(大 4) ; 柿 嶋 眞:筑波大農林研究 1:69, 1982
キンポウゲ科 Ranunculaceae シュウメイギク(キブネギク) Japanese anemone <i>Anemone hupehensis</i> Lemoime var. <i>japonica</i> (Thunb. ex Murray) Bowles & Stearn (草花) †††† <i>Urocystis japonica</i> (Hennings) L. Ling 柿 嶋 眞:筑波大学農林学研究 1:72, 1982 ; 柿 嶋 眞:	キンポウゲ科 Ranunculaceae シュウメイギク(キブネギク) Japanese anemone <i>Anemone hupehensis</i> Lemoime var. <i>japonica</i> (Thunb. ex Murray) Bowles & Stearn (草花)

眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害	
キンポウゲ科 Ranunculaceae キクザキイチゲ (Anemone) <i>Anemone pseudoaltaica</i> H. Hara (草花) †††† <i>Urocystis anemones</i> (Persoon) Rostrup 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:69, 1982 ; 柿畠 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	キンポウゲ科 Ranunculaceae
キンポウゲ科 Ranunculaceae アズマイチゲ(東一華) (Anemone) <i>Anemone raddeana</i> Regel (草花) †††† <i>Urocystis pseudoanemones</i> Denchev, Kakishima & Y. Harada Denchev, C.M. <i>et al.</i>:Mycoscience 41:449, 2000 ; 柿畠 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	キンポウゲ科 Ranunculaceae
キンポウゲ科 Ranunculaceae サンリンソウ(三輪草) (Anemone) <i>Anemone stolonifera</i> Maxim. (草花) †††† <i>Urocystis pseudoanemones</i> Denchev, Kakishima &	キンポウゲ科 Ranunculaceae

Y. Harada Denchey, C.M. <i>et al.</i>:Mycoscience 41:449, 2000 ; 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	
キンポウゲ科 Ranunculaceae サラシナショウマ (Cimicifuga) <i>Cimicifuga simplex</i> (de Candolle) Wormsk. ex Turcz. (野草) †††† <i>Urocystis carcinodes</i> (Berkeley & M.A. Curtis) E. Fischer 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	キンポウゲ科 Ranunculaceae
キンポウゲ科 Ranunculaceae ラナンキュラス(キンポウゲ類) Butter cup <i>Ranunculus</i> spp. (草花) ミヤマキンポウゲ <i>R. acris</i> L. var. <i>nipponicus</i> H. Hara キツネノボタン <i>R. silerifolius</i> H. Lev †††† <i>Entyloma ranunculi-repentis</i> Sternon 柿寫 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考]ミヤマキンポウゲに発生。接種試験未了 (注)新病害	キンポウゲ科 Ranunculaceae ラナンキュラス(キンポウゲ類) Butter cup <i>Ranunculus</i> spp. (草花)
キンポウゲ科 Ranunculaceae ラナンキュラス(キンポウゲ類) Butter cup <i>Ranunculus</i> spp.	キンポウゲ科 Ranunculaceae ラナンキュラス(キンポウゲ類) Butter cup <i>Ranunculus</i> spp.

(草花) ミヤマキンポウゲ <i>R. acris</i> L. var. <i>nipponicus</i> H. Hara キツネノボタン <i>R. silerifolius</i> H. Lev †††† <i>Urocystis ranunculi</i> (Lib.) Moesz 柿 嶋 眞:筑波大学農林学研究 1:73, 1982 ; 柿 嶋 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考]ミヤマキンポウゲ, キツネノボタンに発生。 接種試験未了 (注)新病害	(草花)
--	------

キンポウゲ科 Ranunculaceae カラマツソウ類 (Thalictrum) <i>Thalictrum</i> spp. (野草) アキカラマツ <i>T. minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Sieb. & Zucc.) Miq. ノカラマツ <i>T. simplex</i> var. <i>brevipes</i> Hara エゾアキカラマツ <i>T. thunbergii</i> DC. var. <i>majus</i> Nakai ミヤマカラマツ <i>T. tuberiferum</i> Maxim. †††† <i>Entyloma thalictri</i> J. Schröter 柿 嶋 眞:筑波大学農林学研究 1:39, 1982 ; 柿 嶋 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考]エゾアキカラマツに発生。接種試験未了 (注)新病害	キンポウゲ科 Ranunculaceae カラマツソウ類 (Thalictrum) <i>Thalictrum</i> spp. (野草) アキカラマツ <i>T. minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Sieb. & Zucc.) Miq. ミヤマカラマツ <i>T. tuberiferum</i> Maxim.
---	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae カラマツソウ類 (Thalictrum) <i>Thalictrum</i> spp. (野草) アキカラマツ <i>T. minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Sieb.	キンポウゲ科 Ranunculaceae カラマツソウ類 (Thalictrum) <i>Thalictrum</i> spp. (野草) アキカラマツ <i>T. minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Sieb.
--	--

& Zucc.) Miq. ノカラマツ <i>T. simplex</i> var. <i>brevipes</i> Hara エゾアキカラマツ <i>T. thunbergii</i> DC. var. <i>majus</i> Nakai ミヤマカラマツ <i>T. tuberiferum</i> Maxim. †††† <i>Urocystis sorosporioides</i> Körnicke ex Fuckel 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:74, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考]アキカラマツ, ノカラマツに発生。接種試験未了 (注)新病害	& Zucc.) Miq. ミヤマカラマツ <i>T. tuberiferum</i> Maxim.
バラ科 Rosaceae コキンバイ (<i>Waldsteinia</i>) <i>Waldsteinia ternata</i> (Stephan) Fritsch (草花) †††† <i>Ustacystis waldsteiniae</i> (Peck) Zundel 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:76, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考]接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	バラ科 Rosaceae
アカネ科 Rubiaceae クルマバソウ (<i>Asperul</i>) <i>Asperula odorata</i> L. (野草) †††† <i>Melanotaenium endogenum</i> (Unger) de Bary 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:44, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考]接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	アカネ科 Rubiaceae

ユキノシタ科 Saxifragaceae ヤグルマソウ (Rodgersia) <i>Rodgersia podophylla</i> A.Gray (草花) †††† <i>Urocystis rodgersiae</i> (Miyabe ex S. Ito) Zundel [Urocystis rodgersiae Miyabe] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:73, 1982 ; Denchev, C.M. & Kakishima, M.:Mycotaxon 75:215, 2000 ; 柿寫 眞:日菌報 57:108, 2016 [備考]接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	
ユキノシタ科 Saxifragaceae ネコノメソウ類 (<i>Chrysosplenium</i>) <i>Chrysosplenium</i> spp. (草花) ツルネコノメソウ Man jin yao <i>C. flagelliferum</i> F.Schmidt. †††† <i>Entyloma chrysosplenii</i> J. Schröter 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:35, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考]ツルネコノメソウに発生。接種試験未了 (注)新病害、新規宿主	ユキノシタ科 Saxifragaceae
ナス科 Solanaceae ホオズキ(酸漿) Chinese lanternplant <i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Masters) Hort. (草花) †††† <i>Entyloma australe</i> Spegazzini 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:34, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考] 接種試験未了 (注)新病害	ナス科 Solanaceae ホオズキ(酸漿) Chinese lanternplant <i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Masters) Hort. (草花)

2019年（平成31年）1月22日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2018年版)の正誤情報，ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名，病原追加，病名・学名変更，文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤豊三

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [A. <i>chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi A. <i>chinensis</i> Planch. †††† <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 岡 かこ ら:日植病報 84(3):204, 2018 [備考] 分離例の報告。実施済み接種試験では病徴は再現されていない (注) 新規分離源	マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [A. <i>chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi A. <i>chinensis</i> Planch.
ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot (1) <i>Diaporthe pseudophoenicicola</i> R.R. Gomes, Glienke & Crous 澤岬哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 (2) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc [<i>Lasiodiplodia theobromae</i> sensu stricto] 澤岬哲也ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):15, 2013 (3) <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels)	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot (1) <i>Diaporthe pseudophoenicicola</i> R.R. Gomes, Glienke & Crous 澤岬哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 (2) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc [<i>Lasiodiplodia theobromae</i> sensu stricto] 澤岬哲也ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):15, 2013 (3) <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels)

Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 ; 澤峠哲也ら: 日植病報 83(2):102, 2017 (4) <i>Neofusicoccum</i> sp. 北沢優悟ら:日植病報 82(3):218, 2016 ; Hara, S. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 82(6):314, 2016 [備考] <i>Neofusicoccum</i> sp. Karanda に近縁。フィリピン産輸入果実に発生 (注) 備考追加	Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 ; 澤峠哲也ら: 日植病報 83(2):102, 2017 (4) <i>Neofusicoccum</i> sp. 北沢優悟ら:日植病報 82(3):218, 2016 ; Hara, S. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 82(6):314, 2016 [備考] <i>Neofusicoccum</i> sp. Karanda に近縁
ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:Australas. Plant Dis. Notes 10:33, 2015 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹)
ウルシ科 Anacardiaceae ハゼノキ(黄櫨) Wax tree <i>Rhus succedanea</i> L. (特用作物) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	ウルシ科 Anacardiaceae ハゼノキ(黄櫨) Wax tree <i>Rhus succedanea</i> L. (特用作物)
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba

<i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) †††† (1) ウイルス(未同定) 宮田朋枝ら:日植病報 77(3):228, 2011 ; 坂本 彩ら: 日植病報 84(3):198, 2018 [備考] モザイクおよび輪紋症状。宮田ら(2011)は, ウイルス粒子の形態および外被タンパク質(CP) 領域のアミノ酸配列から <i>Potyvirus</i> 属ウイルスと 報告した。坂本ら(2018)は同種と推定されるウ イルスの戻し接種により病原性を確認した (2) <i>Konjac mosaic virus</i> (KoMV) [Japanese honewort mosaic virus] コンニャクモザイクウイルス 坂本 彩ら:日植病報 84(3):198, 2018 [備考] RT-PCR による検出。戻し接種なし (注) 新宿主	<i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜)
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 葉腐病 hagusare-byo Leaf blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森 万菜実ら:日植病報 84(3):206, 2018 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜)
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Winter rot (1) <i>Typhula japonica</i> Terui 池田幸子ら:日植病報 78(1):61, 2012 ; 池田幸子ら: 日植病報 81(3):210, 2015 ; Ikeda, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(5):286, 2016 ; 池田幸子ら:植物防疫 72(6):356, 2018 (2) <i>Typhula variabilis</i> Riess	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Winter rot (1) <i>Typhula japonica</i> Terui 池田幸子ら:日植病報 78(1):61, 2012 ; 池田幸子ら: 日植病報 81(3):210, 2015 ; Ikeda, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(5):286, 2016 (2) <i>Typhula variabilis</i> Riess

池田幸子ら:日植病報 78(1):61, 2012 ; 池田幸子ら:日植病報 81(3):210, 2015 ; Ikeda, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(5):286, 2016 ; 池田幸子ら:植物防疫 72(6):356, 2018 (注) 文献追加	池田幸子ら:日植病報 78(1):61, 2012 ; 池田幸子ら:日植病報 81(3):210, 2015 ; Ikeda, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(5):286, 2016
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ハマボウフウ Hama-bohu <i>Glehnia littoralis</i> Fr. Schm. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Rhizopus rot <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs 福岡貴寿:日植病報 84(3):206, 2018 (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ハマボウフウ Hama-bohu <i>Glehnia littoralis</i> Fr. Schm. (野菜)
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ノチドメ (野血止) (Hydrocotyle) <i>Hydrocotyle maritima</i> Honda (野草) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 岡 かこ ら:日植病報 84(3):204, 2018 (注) 新病名、新規宿主	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae
キョウチクトウ科 Apocynaceae ミフクラギ(オキナワキョウチクトウ) Sea mango <i>Cerbera manghas</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了	キョウチクトウ科 Apocynaceae

(注) 新病名、新規宿主	
キョウチクトウ科 Apocynaceae テイカカズラ(定家葛) Yellow star jasmine, Japanese star jasmine <i>Trachelospermum asiaticum</i> (Sieb. & Zucc.) Nakai (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:Australas. Plant Dis. Notes 10:33, 2015 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	キョウチクトウ科 Apocynaceae テイカカズラ(定家葛) Yellow star jasmine, Japanese star jasmine <i>Trachelospermum asiaticum</i> (Sieb. & Zucc.) Nakai (広葉樹)
モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵝木) <i>I. integra</i> Thunb. タラヨウ <i>I. latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>I. mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>I. pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>I. rotunda</i> Thunb. 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:Australas. Plant Dis. Notes 10:33, 2015 [備考] クロガネモチ・シマモチに発生。接種試験未了 (注) 宿主名追加、新病名	モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵝木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb.

ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹)
ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参, オタネニンジン) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物) 苗腐病 naegusare-byo Seedling rot <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 佐藤豊三ら:日植病報 84(3):209, 2018 (注) 新病名、宿主和名異名追加	ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物)
ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参, オタネニンジン) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 佐藤豊三ら:日植病報 84(3):209, 2018 (注) 新病名、宿主和名異名追加	ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物)

ヤシ科 Arecaceae, Palmae ビンロウ(檳榔、檳榔) Areca nut palm <i>Areca catechu</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 小林享夫・亀山統一:森林防疫 49(8):144, 2000 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	ヤシ科 Arecaceae, Palmae ビンロウ(檳榔、檳榔) Areca nut palm <i>Areca catechu</i> L. (広葉樹)
キク科 Asteraceae, Compositae シュンギク(キクナ, 茼蒿) Garland chrysanthemum <i>Chrysanthemum coronarium</i> L. var. <i>spatiosum</i> L. H. Bailey (野菜) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 岡山健夫ら:関西病虫研報 37:66, 1995 [備考] 病原菌の記載不十分 (注) 欠落病名の再掲載 (2011/12/1 の正誤表に備考以外の追加指示あり)	キク科 Asteraceae, Compositae シュンギク(キクナ, 茼蒿) Garland chrysanthemum <i>Chrysanthemum coronarium</i> L. var. <i>spatiosum</i> L. H. Bailey (野菜)
キク科 Asteraceae, Compositae ヤグルマギク(矢車草、ヤグルマソウ) Cornflower <i>Centaurea cyanus</i> L. (草花) ヤマヤグルマギク Perennial cornflower C. <i>montana</i> L. 疫病 eki-byo Phytophthora blight <i>Phytophthora tentaculata</i> Kröber & Marwitz 植松清次ら:日植病報 84(3):209, 2018 (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae ヤグルマギク(矢車草、ヤグルマソウ) Cornflower <i>Centaurea cyanus</i> L. (草花) ヤマヤグルマギク Perennial cornflower <i>Centaurea montana</i> L.

キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄:日植病報 32(3):115, 1966 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種無し (2) <i>Dahlia common mosaic virus</i># (DCMV) ダリアコモンモザイクウイルス 煉谷 裕太郎ら:日植病報 84(3):236, 2018 [備考] 塩基配列解析による同定。戻し接種なし。 ダリア内在性ウイルス様配列 <i>Dahlia variabilis endogenous plant pararetroviral sequence</i> (DvEPRS)も検出された (3) <i>Dahlia mosaic virus</i> (DMV) ダリアモザイクウイルス 高橋 実ら:植物ウイルスの分類学的研究 昭和 37 年度成績:101, 1963 ; 土居養二ら:日植病報 33(2):95, 1967 [備考] ウイルス(未同定)によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8) (注) 病原追加	キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄:日植病報 32(3):115, 1966 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種無し (2) <i>Dahlia mosaic virus</i> (DMV) ダリアモザイクウイルス 高橋 実ら:植物ウイルスの分類学的研究 昭和 37 年度成績:101, 1963 ; 土居養二ら:日植病報 33(2):95, 1967 [備考] ウイルス(未同定)によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭 8)
キク科 Asteraceae, Compositae ディモルフォセカ (アフリカキンセンカ) (<i>Dimorphotheca</i>) <i>Dimorphotheca sinuata</i> DC. (草花) 疫病 <i>eki-byo</i> <i>Phytophthora blight</i> <i>Phytophthora tentaculata</i> Kröber & Marwitz 植松清次ら:日植病報 84(3):209, 2018 (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae
キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L.	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L.

(野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (longiflora group) 黒根病 kurone-byo Black root rot <i>Thielaviopsis basicola</i> (Berkeley & Broome) Ferraris 中根 麗ら:日植病報 84(3):207, 2018 (注) 新病名	(野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (longiflora group)
---	---

メギ科 Berberidaceae ナンテン(南天竹) Nandina <i>Nandina domestica</i> Thunb. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	メギ科 Berberidaceae ナンテン(南天竹) Nandina <i>Nandina domestica</i> Thunb. (広葉樹)
--	--

パンヤ科 Bombacaceae トックリキワタ Floss silk tree <i>Ceiba speciosa</i> (A.St.-Hil.) Ravenna (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 小林享夫・河辺祐嗣:日植病報 57(1):76, 1991 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名、新規宿主	パンヤ科 Bombacaceae
---	-------------------------

ムラサキ科 Boraginaceae チシャノキ (Ehretia) <i>Ehretia ovalifolia</i> Hassk. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] リュウキュウチシャノキ(<i>E. philippinensis</i> A. DC., Sahashi <i>et al.</i> 2012 では <i>E. dichotoma</i> を使用)に発生。接種試験未了 (注) 新病名	ムラサキ科 Boraginaceae チシャノキ (Ehretia) <i>Ehretia ovalifolia</i> Hassk. (広葉樹)
ムラサキ科 Boraginaceae モンパノキ (Messerschmidia) <i>Messerschmidia argentea</i> (Linn. f.) Johnston (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了 (注) 宿主学名訂正、新病名	ムラサキ科 Boraginaceae モンパノキ (Messerschmidia) <i>Messerschmidia argentea</i> (Linn. f.) Johnston (広葉樹)
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ケール Kale <i>Brassica oleracea</i> L. Acephala Group (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 佐々木大介ら: 日植病報 84(3):158, 2018 [備考] 菌糸融合群 AG-4 亜群 HG-I (注) 新病名、新規宿主。(ハボタン(草花)と同じ学名だが、ケールは野菜。掲載順はハボタンの	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae

前)	
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) <i>Hyaloperonospora brassicae</i> (Gäumann) Göker, Voglmayr, Riethmüller, Weiss & Oberwinkler [<i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries, <i>Peronospora brassicae</i> Gäumann] 原 攝祐:農及園 1(1):48, 1926(大 15) ; 川口真穂ら: 日植病報 84(3):257, 2018 (注) 病原学名変更	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) <i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries [<i>Peronospora brassicae</i> Gäumann] 原 攝祐:農及園 1(1):48, 1926(大 15)
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 花蕾腐敗病 karai-fuhai-byo Head rot (1) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (2) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 (3) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 海野志帆ら:日植病報 84(3):204, 2018 (4) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (5) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (注) 病原追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 花蕾腐敗病 karai-fuhai-byo Head rot (1) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (2) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 (3) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (4) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>B. napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>B. rapa</i> L. Pekinensis Group 根こぶ病 nekobu-byo Clubroot <i>Plasmodiophora brassicae</i> Woronin 柴戸靖志ら:福岡農総試研報 20:53, 2001 [備考] ナバナ (<i>B. napus</i>) に発生 (注) 新病名	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>B. napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>B. rapa</i> L. Pekinensis Group
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ハクサイ(白菜), 不結球ハクサイ[サントウサイ(山東菜), シロナ] Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group (野菜) べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) <i>Hyaloperonospora brassicae</i> (Gäumann) Göker, Voglmayr, Riethmüller, Weiss & Oberwinkler [<i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries, <i>Peronospora brassicae</i> Gäumann] 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):77, 1928(昭3); Hiura, M. & Kanae, H.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):125, 1934(昭9); 川口真穂ら:日植病報 84(3):257, 2018 (注) 病原学名変更	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ハクサイ(白菜), 不結球ハクサイ[サントウサイ(山東菜), シロナ] Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group (野菜) べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) <i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries [<i>Peronospora brassicae</i> Gäumann] 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研究報告 15(朝鮮作物病害目録):77, 1928(昭3); Hiura, M. & Kanae, H.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):125, 1934(昭9)
ツゲ科 Buxaceae ツゲ(黄楊) Japanese box <i>Buxus microphylla</i> Sieb. & Zucc. var. <i>japonica</i> (Muell. Arg. ex Miq.) Rehd. & Wils. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. et al.:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] カラヒメツゲ(<i>B. bodinieri</i> H. Lév.)に発生。	ツゲ科 Buxaceae ツゲ(黄楊) Japanese box <i>Buxus microphylla</i> Sieb. & Zucc. var. <i>japonica</i> (Muell. Arg. ex Miq.) Rehd. & Wils. (広葉樹)

接種試験未了 (注) 新病名	
モクマオウ科 Casuarinaceae モクマオウ Beefwood tree <i>Casuarina equisetifolia</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham [<i>Phellinus lamaensis</i> sensu Yasuda] シマサルノコシカケ 河辺祐嗣ら:日植病報 56(3):387, 1990 ; 小林享夫 ら:日植病報 55(4):490, 1989 ; Abe, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:Plant Dis. 94(3):358, 2010 (注) 病名英名追加、文献追加	モクマオウ科 Casuarinaceae モクマオウ Beefwood tree <i>Casuarina equisetifolia</i> Forst. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham [<i>Phellinus lamaensis</i> sensu Yasuda] 河辺祐嗣ら:日植病報 56(3):387, 1990 ; 小林享夫 ら:日植病報 55(4):490, 1989 ; Abe, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995
ニシキギ科 Celastraceae ヒメマサキ (Euonymus) <i>Euonymus boninensis</i> Koidz. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:Australas. Plant Dis. Notes 10:33, 2015 [備考] 接種試験未了 (注) 新規宿主、新病名	ニシキギ科 Celastraceae
ニシキギ科 Celastraceae ハリツルマサキ Heart tree <i>Gymnosporia diversifolia</i> Maxim. (広葉樹)	ニシキギ科 Celastraceae

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名、新規宿主	
アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) ウイルス病 virus-byo Virus (1) <i>Beet western yellows virus</i> (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス 大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977 ; Kojima, M. <i>et al.</i>:Bull. Facul Agric. Niigata Univ. 47:35, 1995 ; 吉田直人・玉田哲男:日植病報 84(3):198, 2018 [備考] 吉田・玉田(2018)は, 宿主範囲と塩基配列解析により供試ウイルス株を BWYV の JP 系統 (BWYV-JP)とした (2) <i>Beet yellows virus</i> (BYV) ビート萎黄ウイルス 杉本利哉ら:てん菜研報 8:1, 1970 ; 大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977 (3) <i>Lettuce mosaic virus</i> (LMV) レタスモザイクウイルス 与那覇哲義ら:日植病報 59:715, 1993 (4) <i>Spinach temperate virus</i> (SpTV) ホウレンソウ潜伏ウイルス 夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英ら:日植病報 49(5):709, 1983 ; 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984 (5) <i>Tobacco necrotic dwarf virus</i> (TNDV) タバコエソ萎縮ウイルス 久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses No.234, 1981 (注) 文献・備考追加	アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) ウイルス病 virus-byo Virus (1) <i>Beet western yellows virus</i> (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス 大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977 ; Kojima, M. <i>et al.</i>:Bull. Facul Agric. Niigata Univ. 47:35, 1995 (2) <i>Beet yellows virus</i> (BYV) ビート萎黄ウイルス 杉本利哉ら:てん菜研報 8:1, 1970 ; 大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977 (3) <i>Lettuce mosaic virus</i> (LMV) レタスモザイクウイルス 与那覇哲義ら:日植病報 59:715, 1993 (4) <i>Spinach temperate virus</i> (SpTV) ホウレンソウ潜伏ウイルス 夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英ら:日植病報 49(5):709, 1983 ; 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984 (5) <i>Tobacco necrotic dwarf virus</i> (TNDV) タバコエソ萎縮ウイルス 久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses No.234, 1981
フウチョウソウ科 Cleomaceae クレオメ(フウチョウソウ) Spiny spiderflower	フウチョウソウ科 Cleomaceae クレオメ(フウチョウソウ) Spiny spiderflower

<i>Cleome spinosa</i> Jacq. (草花) べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) (1) <i>Hyaloperonospora brassicae</i> (Gäumann) Göker, Voglmayr, Riethmüller, Weiss & Oberwinkler 川口真穂ら:日植病報 84(3):257, 2018 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Peronospora capparidis</i> Sawada 岩田吉人:日植病報 7(2):146, 1937(昭 12) ; 澤田兼 吉:台湾博物会報 32(225):247, 1942(昭 17) (注) 病原追加	<i>Cleome spinosa</i> Jacq. (草花) べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) <i>Peronospora capparidis</i> Sawada 岩田吉人:日植病報 7(2):146, 1937(昭 12) ; 澤田兼 吉:台湾博物会報 32(225):247, 1942(昭 17)
--	--

フクギ科 Clusiaceae, Guttiferae テリハボク Alexandrian laurel <i>Calophyllum inophyllum</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Southern root rot,Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサ ルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ) 小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; Abe, Y. <i>et</i> <i>al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:Plant Dis. 94(3):358, 2010 ; 島田律 子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 (注) 文献追加	フクギ科 Clusiaceae, Guttiferae テリハボク Alexandrian laurel <i>Calophyllum inophyllum</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Southern root rot, Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサ ルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ) 小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; Abe, Y. <i>et</i> <i>al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995 ; 島 田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013
---	---

フクギ科 Clusiaceae, Guttiferae フクギ (Garcinia) <i>Garcinia subelliptica</i> Merr. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Southern root rot,Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサ ルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ) 小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; Abe, Y. <i>et</i>	フクギ科 Clusiaceae, Guttiferae フクギ (Garcinia) <i>Garcinia subelliptica</i> Merr. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Southern root rot, Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサ ルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ) 小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; Abe, Y. <i>et</i>
--	---

<i>al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:Plant Dis. 94(3):358, 2010 (注) 文献追加	<i>al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995
シクンシ科 Combretaceae モモタマナ(コバテイシ) Indian almond <i>Terminalia catappa</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:Australas. Plant Dis. Notes 10:33, 2015 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	シクンシ科 Combretaceae モモタマナ(コバテイシ) Indian almond <i>Terminalia catappa</i> L. (広葉樹)
ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt (1) Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化えそウイルス [Melon spotted wilt virus#] 竹内繁治ら:日植病報 62(3):325, 1996 ; 竹内繁治ら:日植病報 67(1):46, 2001 (2) <i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス 外間数男・渡嘉敷唯助:九病虫研会報 33:39, 1987 ; 外間数男・Mondel, S.N.:九病虫研会報 34:21, 1988 ; 眞岡哲夫・宇杉富雄:九病虫研会報 37:42, 1991 ; 島田涼子ら:日植病報 84(3):199, 2018 [備考] 以前は, <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された。島田ら	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) ウイルス病 virus-byo Virus <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 眞岡哲夫・宇杉富雄:九病虫研会報 37:42, 1991 黄化えそ病* oka-eso-byo Spotted wilt (1) Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化えそウイルス [Melon spotted wilt virus#] 竹内繁治ら:日植病報 62(3):325, 1996 ; 竹内繁治ら:日植病報 67(1):46, 2001 (2) <i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス 外間数男・渡嘉敷唯助:九病虫研会報 33:39, 1987 ; 外間数男・Mondel, S. N.:九病虫研会報 34:21, 1988 [備考] <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された

(2018)は病原ウイルスの単離と戻し接種を行い、病原性を確認し、黄化えそ病と病名を再提案した (注) 病名統合、病名再提案 (ウイルス病を削除)。病名のアスタリスク削除。	
カキノキ科 Ebenaceae ヤエヤマコクタン(リュウキュウコクタン) Black ebony <i>Diospyros egbert-walkeri</i> Kosterm. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了。Sahashi <i>et al.</i> (2012)は宿主学名を <i>Diospyros ferrea</i> var. <i>buxifolia</i> として報告 (注) 新病名、新規宿主	カキノキ科 Ebenaceae
カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>D. kaki</i> Linne, f., <i>D. kaki</i> Thunberg, <i>D. kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Date plum <i>D. lotus</i> L. †††† (1) <i>Luteovirus</i> 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 (2) Persimmon latent viroid (PLVd) [Persimmon viroid (PVd)] カキ潜在ウイロイド 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 (3) <i>Plum bark necrosis stem pitting-associated virus</i> (PBNPaV) スモモ樹皮えそステムピットティング随伴ウイルス 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 (4) <i>Waikavirus</i> 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 [備考] 矮化症状。上記の病原の単独または混合	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>D. kaki</i> Linne, f., <i>D. kaki</i> Thunberg, <i>D. kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Date plum <i>D. lotus</i> L.

感染による可能性が示唆された (注) 新宿主	
ホルトノキ科 Elaeocarpaceae ホルトノキ (Elaeocarpus) <i>Elaeocarpus zollingeri</i> K. Koch (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	ホルトノキ科 Elaeocarpaceae ホルトノキ (Elaeocarpus) <i>Elaeocarpus sylvestris</i> (Lour.) Poir. var. <i>ellipticus</i> (Thunb.) Hara (広葉樹)
ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia</i>-byo Pestalotia disease (葉枯病) (1) <i>Pestalotiopsis guepinii</i> (Desmazières) Steyaert [<i>Pestalotia guepinii</i> Desmazières] 鈴木誠一:病虫雑 3(5):363, 1916(大5); 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992 (2) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. [<i>Pestalotia rhododendri</i> Guba] 日野隆之:採集と飼育 26(12):354, 1964; 千葉桃子ら:日植病報 84(3):201, 2018 [備考] ヤマツツジ・ミツバツツジに発生。千葉ら(2018)は基部葉枯れ症状を報告し、分子系統解析の結果、本病原菌には、複数種が含まれる可能性があるとした (注) 病原学名変更、備考変更	ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia</i>-byo Pestalotia disease (葉枯病) (1) <i>Pestalotiopsis guepinii</i> (Desmazières) Steyaert [<i>Pestalotia guepinii</i> Desmazières] 鈴木誠一:病虫雑 3(5):363, 1916(大5); 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992 (2) <i>Pestalotia rhododendri</i> Guba 日野隆之:採集と飼育 26(12):354, 1964 [備考] ヤマツツジ・ミツバツツジ。病原菌の分類学的所属は検討を要する

ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹) 根腐疫病 negusare-eki-byo Root rot <i>Phytophthora cinnamomi</i> Rands 保坂若南ら:日植病報 84(3):209, 2018 (注) 新病名	ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹)
トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカギ Javanese bishopwood <i>Bischofia javanica</i> Bl. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:Plant Dis. 94(3):358, 2010 ; 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 (注) 文献追加、備考削除	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカギ Javanese bishopwood <i>Bischofia javanica</i> Bl. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] 接種試験未了
トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹)

トウダイグサ科 Euphorbiaceae テイキンザクラ (Jatropha) <i>Jatropha integerrima</i> Jacq. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 小林享夫・亀山統一:森林防疫 49(8):144, 2000 ; 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] 接種試験未了 (注) 文献追加	トウダイグサ科 Euphorbiaceae テイキンザクラ (Jatropha) <i>Jatropha integerrima</i> Jacq. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] 接種試験未了
トウダイグサ科 Euphorbiaceae オオバギ (Macaranga) <i>Macaranga tanarius</i> (L.) Muell.-Arg. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	トウダイグサ科 Euphorbiaceae オオバギ (Macaranga) <i>Macaranga tanarius</i> (L.) Muell.-Arg. (広葉樹)
トウダイグサ科 Euphorbiaceae キャッサバ Cassava, Tapioca <i>Manihot utilissima</i> Pohl (特用作物) †††† ‘<i>Candidatus Phytoplasma pruni</i>’ Koinuma, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(4):300, 2018 [備考] 戻し接種に成功していない。無病徴感染の可能性あり (注) 新宿主	トウダイグサ科 Euphorbiaceae キャッサバ Cassava, Tapioca <i>Manihot utilissima</i> Pohl (特用作物)

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヨウテイボク Mountain ebony <i>Bauhinia racemosa</i> Lam. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ) 小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 24(135):456, 1934(昭 9) ; Abe, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995 ; 小林享夫・亀山統一:森林防疫 49(8):144, 2000 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] ヨウテイボク・モクワンジュ (<i>Bauhinia acuminata</i>)・フイリソシンカ (<i>Bauhinia variegata</i>)に発生。接種試験未了 (注) 文献・備考追加	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヨウテイボク Mountain ebony <i>Bauhinia racemosa</i> Lam. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ(キコロシサルノコシカケ) 小林享夫ら:林業と薬剤 118:4, 1991 ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 24(135):456, 1934(昭 9) ; Abe, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995
マメ科 Fabaceae, Leguminosae ギンネム(イピル・イピル)(銀合歡) Leedtree, Ipil-ipil <i>Leucaena leucocephala</i> (Lam.) de Wit (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 河辺祐嗣ら:森林防疫 42(9):176, 1993 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 ; 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] 接種試験未了 (注) 文献追加	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ギンネム(イピル・イピル)(銀合歡) Leedtree, Ipil-ipil <i>Leucaena leucocephala</i> (Lam.) de Wit (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] 接種試験未了
ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>C. crenata</i> Sieb. & Zucc.	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>C. crenata</i> Sieb. & Zucc.

チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>C. mollissima</i> Blume など 実腐病 migusare-byo Chestnut rot <i>Gnomoniopsis</i> sp. 西村武祥ら:日植病報 84(3):201, 2018 [備考] 病原菌は罹病果実が確認された樹のクリ タマバチ虫瘻からも高率に分離された (注) 新病名	チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>C. mollissima</i> Blume など
イネ科 Gramineae, Poaceae カモジグサ類 Drooping wheatgrass <i>Agropyron</i> spp. (野草) アオカモジグサ <i>A. ciliare</i> Franch var. <i>pilosum</i> Honda ヒメカモジグサ <i>A. repens</i> (L.) Beauv. カモジグサ <i>A. tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi 黄萎病 oi-byo Yellow dwarf Barley yellow dwarf virus# (BYDV) オオムギ黄萎ウイルス 鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):35, 1972 [備考] カモジグサ (注) 病原学名略号・和名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae カモジグサ類 Drooping wheatgrass <i>Agropyron</i> spp. (野草) アオカモジグサ <i>A. ciliare</i> Franch var. <i>pilosum</i> Honda ヒメカモジグサ <i>A. repens</i> (L.) Beauv. カモジグサ <i>A. tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi 黄萎病 oi-byo Yellow dwarf Barley yellow dwarf virus# 鳥山重光・與良 清:イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究(東大出版会):35, 1972 [備考] カモジグサ
イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>A. gigantea</i> Roth [<i>A. alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>A. canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>A. stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>A. tenuis</i> Sibth. フザリウム病 <i>Fusarium</i>-byo Fusarium blight	イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>A. gigantea</i> Roth [<i>A. alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>A. canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>A. stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>A. tenuis</i> Sibth. フザリウム病 <i>Fusarium</i>-byo

(1) <i>Fusarium acuminatum</i> Ellis & Everhart 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (2) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser 前田一行ら:日植病報 84(3):202, 2018 (3) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (4) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (5) <i>Fusarium tricinctum</i> (Corda) Saccardo 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (注) 病原・備考追加、病名英名追加	(1) <i>Fusarium acuminatum</i> Ellis & Everhart (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo (3) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal (4) <i>Fusarium tricinctum</i> (Corda) Saccardo 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌同定記載不十分
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>A. fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>A. strigosa</i> Schreb. レッドリーフ病 <i>red leaf-byo</i> Red leaf (1) Barley yellow dwarf virus# (BYDV) オオムギ黄萎ウイルス 鳥山重光ら:日植病報 34(5):374, 1968 [備考] PAV, RMV などとの異同の検討を要する (2) <i>Wheat yellow leaf virus</i> (WYLV) コムギ黄葉ウイルス 井上忠男ら:農学研究 55(1):1, 1973 (注) 病原学名略号・和名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>A. fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>A. strigosa</i> Schreb. レッドリーフ病 <i>red leaf-byo</i> Red leaf (1) Barley yellow dwarf virus# 鳥山重光ら:日植病報 34(5):374, 1968 [備考] PAV, RMV などとの異同の検討を要する (2) <i>Wheat yellow leaf virus</i> (WYLV) コムギ黄葉ウイルス 井上忠男ら:農学研究 55(1):1, 1973
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae テオシント(ブタモロコシ) Teosinte <i>Euchlaena mexicana</i> Schrad. (牧草・芝草) 黄化病 <i>oka-byo</i> Yellows	イネ科 Gramineae, Poaceae テオシント(ブタモロコシ) Teosinte <i>Euchlaena mexicana</i> Schrad. (牧草・芝草) 黄化病 <i>oka-byo</i> Yellows
--	--

Barley yellow dwarf virus# (BYDV) オオムギ黄萎ウイルス 范 永堅ら:日植病報 60(1):725, 1994 (注) 病原学名をローマン体に修正。病原学名略号・和名追加	Barley yellow dwarf virus# 范 永堅ら:日植病報 60(1):725, 1994
イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>F. arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>F. longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch ナギナタガヤ Rat's tail <i>F. myuros</i> L. シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>F. ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>F. pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>F. rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ) Creeping red fescue <i>F. rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i> †††† <i>Rice stripe virus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス 奥田 充ら:日植病報 84(3):239, 2018 [備考] DAS-ELISA 法による検出 (注) 新宿主、宿主名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>Festuca arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>Festuca longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>Festuca ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>Festuca pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ) Creeping red fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i>
イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) †††† <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 川口 章ら:日植病報 84(3):256, 2018 [備考] 分離例の報告。種子が赤色～ピンク色になる。接種試験未了	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物)

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (苗いちょう病, ムレ病, 急性萎凋症, 萎凋性立枯病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 山本賢一郎ら:日植病報 84(3):201, 2018 (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (4) <i>Rhizopus chinensis</i> Saito (5) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs [<i>Rhizopus nodosus</i> Namyslawski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa] (6) <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer (7) <i>Rhizopus javanicus</i> Y. Takeda 茨木忠雄:日植病報 39(2):141, 1973 ; 矢尾板恒雄ら:北陸病虫研報 24:60, 1976 ; 郷 直俊ら:北陸病虫研報 26:90, 1978 [備考] <i>R. chinensis</i> は <i>R. microsporus</i> v. Tieghem var. <i>chinensis</i> (Saito) Schipper & Sapers の異名。<i>R. arrhizus</i>, <i>R. javanicus</i> は <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geeligs の異名とする報告がある (Schipper, M.A.A:Stud. Mycol. 25:1-34, 1984) (8) <i>Trichoderma viride</i> Persoon ex S.F. Gray 茨木忠雄:日植病報 40(3):189, 1974 (9) <i>Mucor fragilis</i> Bainier 茨木忠雄:日植病報 42(3):332, 1976 ; 青木孝之:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):72, 1992 [備考] Schipper, M.A.A.(Stud.Mycol. 12:37, 1976) は本菌を疑問種にあげており, 分類学的検討を要する (10) <i>Phoma</i> sp. 茨木忠雄:日植病報 43(3):316, 1977	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (苗いちょう病, ムレ病, 急性萎凋症, 萎凋性立枯病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] (2) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (3) <i>Rhizopus chinensis</i> Saito (4) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs [<i>Rhizopus nodosus</i> Namyslawski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa] (5) <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer (6) <i>Rhizopus javanicus</i> Y. Takeda 茨木忠雄:日植病報 39(2):141, 1973 ; 矢尾板恒雄ら:北陸病虫研報 24:60, 1976 ; 郷 直俊ら:北陸病虫研報 26:90, 1978 [備考] <i>R. chinensis</i> は <i>R. microsporus</i> v. Tieghem var. <i>chinensis</i> (Saito) Schipper & Sapers の異名。<i>R. arrhizus</i>, <i>R. javanicus</i> は <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geeligs の異名とする報告がある (Schipper, M.A.A:Stud. Mycol. 25:1-34, 1984) (7) <i>Trichoderma viride</i> Persoon ex S.F. Gray 茨木忠雄:日植病報 40(3):189, 1974 (8) <i>Mucor fragilis</i> Bainier 茨木忠雄:日植病報 42(3):332, 1976 ; 青木孝之:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):72, 1992 [備考] Schipper, M.A.A.(Stud.Mycol. 12:37, 1976) は本菌を疑問種にあげており, 分類学的検討を要する (9) <i>Phoma</i> sp. 茨木忠雄:日植病報 43(3):316, 1977
--	--

(11) <i>Pythium arrhenomanes</i> Drechsler 戸田 武ら:日植病報 75(3):236, 2009 ; 松浦昌平ら: 日植病報 78(4):301, 2012 (12) <i>Pythium catenulatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 201 6 (13) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (14) <i>Pythium graminicola</i> Subramanian 梅原吉廣ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら: 日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:植物防疫 38:218, 1984 (15) <i>Pythium inflatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (16) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (17) <i>Pythium marsipium</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (18) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (19) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (20) <i>Phytopythium litorale</i> (Nechwatal.) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 [備考] <i>Pythium inflatum</i>, <i>P. torulosum</i>, <i>P. aristosporum</i> も関与しているとの報告がある (遠藤頼嗣・茨木 忠雄:北日本病虫研報 37:189, 1986) (注) 病原追加	(10) <i>Pythium arrhenomanes</i> Drechsler 戸田 武ら:日植病報 75(3):236, 2009 ; 松浦昌平ら: 日植病報 78(4):301, 2012 (11) <i>Pythium catenulatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 201 6 (12) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (13) <i>Pythium graminicola</i> Subramanian 梅原吉廣ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら: 日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:植物防疫 38:218, 1984 (14) <i>Pythium inflatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (15) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (16) <i>Pythium marsipium</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (17) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (18) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (19) <i>Phytopythium litorale</i> (Nechwatal.) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 [備考] <i>Pythium inflatum</i>, <i>P. torulosum</i>, <i>P. aristosporum</i> も関与しているとの報告がある (遠藤頼嗣・茨木 忠雄:北日本病虫研報 37:189, 1986)
イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) ウイルス病 <i>Oryza sativa endornavirus</i> (OsEV) イネエンドル ナウイルス Moriyama <i>et al.</i>: Molecular & General Genetics 248: 364, 1995 ; Moriyama <i>et al.</i>: Plant Molecular Biology 31(4): 713, 1996 ; 井村友英ら:日植病報 84(3):236, 2018 [備考] 長期保存時の発芽率の低下, 草丈の伸長抑 制, 出穂時期の遅延 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物)

イネ科 Gramineae, Poaceae ライムギ(ライ, 黒麦) Rye <i>Secale cereale</i> L. (食用作物) 黄萎病 oi-byo Yellow dwarf Barley yellow dwarf virus# (BYDV) オオムギ黄萎ウイルス 范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994 (注) 病原学名をローマン体に修正。病原学名略号・和名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae ライムギ(ライ, 黒麦) Rye <i>Secale cereale</i> L. (食用作物) 黄萎病 oi-byo Yellow dwarf Barley yellow dwarf virus# 范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994
イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet オオアワ <i>Setaria italica</i> Beauv. コアワ <i>S. italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. (食用作物) 黄化病 oka-byo Yellows Barley yellow dwarf virus# (BYDV) オオムギ黄萎ウイルス 范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994 (注) 病原学名をローマン体に修正。病原学名略号・和名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet オオアワ <i>Setaria italica</i> Beauv. コアワ <i>Setaria italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. (食用作物) 黄化病 oka-byo Yellows Barley yellow dwarf virus# 范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994
イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>T. sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>T. durum</i> Desf. 黄萎病 oi-byo Yellow dwarf (1)Barley yellow dwarf virus# (BYDV) オオムギ黄萎ウイルス 范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994 (2) Barley yellow dwarf virus-PAV (BYDV-PAV) オオムギ黄萎 PAV ウイルス 野見山孝司ら:日植病報 84(3):198, 2018	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) 黄萎病 oi-byo Yellow dwarf Barley yellow dwarf virus# 范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994

(3) <i>Cereal yellow dwarf virus-RPS</i> (CYDV-RPS) ムギ類黄萎 RPS ウイルス 野見山孝司ら:日植病報 84(3):198, 2018 [備考] 野見山ら(2018)は, RT-PCR により, パンコムギへの病原(2)と(3)の重複感染およびマカロニコムギへの(3)の感染を報告した。戻し接種なし (注) 宿主・病原追加。病原学名略号追加・ローマン体に修正。	
イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 黄化病 oka-byo Yellows Barley yellow dwarf virus# (BYDV) オオムギ黄萎ウイルス 范 永堅ら:日植病報 50(1):131, 1984 ; 范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994 (注) 病原学名略号・和名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 黄化病 oka-byo Yellows Barley yellow dwarf virus# 范 永堅ら:日植病報 50(1):131, 1984 ; 范 永堅ら:日植病報 60(6):725, 1994
マンサク科 Hamamelidaceae イスノキ(柞樹) (Distylium) <i>Distylium racemosum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	マンサク科 Hamamelidaceae イスノキ(柞樹) (Distylium) <i>Distylium racemosum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹)
ハスノハギリ科 Hernandiaceae ハスノハギリ (Hernandia) <i>Hernandia nymphaeifolia</i> (Presl) Kubitzki (広葉樹)	ハスノハギリ科 Hernandiaceae ハスノハギリ (Hernandia) <i>Hernandia nymphaeifolia</i> (Presl) Kubitzki (広葉樹)

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	
クスノキ科 Lauraceae シバニッケイ (Cinnamomum) <i>Cinnamomum doederleinii</i> Engl. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了 (注) 宿主名追加、新病名	クスノキ科 Lauraceae
クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天笠桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) 角もち病 tsunomochi-byo Horn gall (もち病 Gall) <i>Laurobasidium hachijoense</i> (Y. Otani, Kakishima & Iijima) Kakishima, Nagao & Denchev [<i>Exobasidium hachijoense</i> Y. Otani, Kakishima & Iijima] 飯嶋 勉ら:日植病報 51(1):94, 1985 ; 飯嶋 勉ら:日菌報 26(2):166, 1985 ; 柴田紗帆ら:日植病報 84(3):208, 2018 [備考] 柴田ら(2018)は、もち病から角もち病へ病名を変更した (注)病名・病原学名変更、文献・備考追加	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天笠桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum japonicum</i> Sieb. ex Nakai (広葉樹) もち病 mochi-byo Gall <i>Exobasidium hachijoense</i> Y. Otani, Kakishima & Iijima 飯嶋 勉ら:日植病報 51(1):94, 1985 ; 飯嶋 勉ら:日菌報 26(2):166, 1985

クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:Plant Dis. 94(3):358, 2010 (注) 新病名、宿主学名変更	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum japonicum</i> Sieb. ex Nakai (広葉樹)
クスノキ科 Lauraceae コヤブニッケイ (<i>Cinnamomum</i>) <i>Cinnamomum pseudopedunculatum</i> Hayata (広葉樹) 角もち病 tsunomochi-byo Horn gall <i>Laurobasidium</i> sp. 柴田紗帆ら:日植病報 84(3):208, 2018 [備考] 接種試験未了。本病原菌は、ヤブニッケイ 角もち病菌 <i>Laurobasidium hachijoense</i> に近縁 (注) 新病名	クスノキ科 Lauraceae コヤブニッケイ (<i>Cinnamomum</i>) <i>Cinnamomum pseudopedunculatum</i> Hayata (広葉樹)
クスノキ科 Lauraceae ハマビワ(浜枇杷) (<i>Litsea</i>) <i>Litsea japonica</i> (Thuub.) Juss. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	クスノキ科 Lauraceae ハマビワ(浜枇杷) (<i>Litsea</i>) <i>Litsea japonica</i> (Thuub.) Juss. (広葉樹)

クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉楠, 青檜) <i>M. japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>M. kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) <i>Red laurel M. thunbergii</i> Sieb. & Zucc. 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:Plant Dis. 94(3):358, 2010 ; 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] Sahashi <i>et al.</i> (2007), Sahashi <i>et al.</i> (2010) はタブノキ, 島田ら(2013)はコブガシ(接種試験未了)で発生 (注) 新病名	クスノキ科 Lauraceae タブノキ <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹)
ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>allii</i>fistulosi Tsuji & Takikawa 2018 [<i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902] Goto, M.:Plant Dis. Rept. 56:490, 1972 ; 後藤正夫ら:植物防疫 35(6):270, 1981 ; Tsuji, M. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 84(5):343, 2018 (注) 病原学名変更、備考削除	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902 Goto, M.:Plant Dis. Rept. 56:490, 1972 ; 後藤正夫ら:植物防疫 35(6):270, 1981 [備考] 病原細菌の pathovar は未決定
ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L.	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L.

(野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 [備考] 達・永坂 (2018)は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (5) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (6) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (注) 病原・文献・備考追加	(野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 (2) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (3) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983
ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメン	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメン

ト, コネチカットキング等)	ト, コネチカットキング等)
†††† <i>Lily virus X</i> (LVX) ユリ X ウイルス 木村 茂ら:植防研報 26:79, 1990 [備考] 病徴は確認されない (注) 新宿主	

ミソハギ科 Lythraceae サルスベリ(百日紅) Crape myrtle, Indian lilac <i>Lagerstroemia indica</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i> :For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] シマサルスベリ (<i>L. subcostata</i> Koehne)に発生。接種試験未了 (注) 新病名	ミソハギ科 Lythraceae サルスベリ(百日紅) Crape myrtle, Indian lilac <i>Lagerstroemia indica</i> L. (広葉樹)
---	---

キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia glabra</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 澤岬哲也ら:日植病報 84(3):200, 2018 (注) 新病名	キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia emarginata</i> DC. (果樹)
---	---

アオイ科 Malvaceae オクラ(アメリカネリ, 黄蜀葵) Okra <i>Abelmoschus esculentus</i> (L.) Moench	アオイ科 Malvaceae オクラ(アメリカネリ, 黄蜀葵) Okra <i>Abelmoschus esculentus</i> (L.) Moench
---	---

(野菜) 立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt (1) <i>Fusarium buharicum</i> Jacz. ex Babajan & Teterovn.-Babajan 小谷優奈ら:日植病報 84(3):201, 2018 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>vasinfectum</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium malvacearum</i> Taubenhaus] 原 攝祐:実験作物病理学:854, 1930(昭 5); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992 (注) 病原追加	(野菜) 立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>vasinfectum</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium malvacearum</i> Taubenhaus] 原 攝祐:実験作物病理学:854, 1930(昭 5); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992
--	--

アオイ科 Malvaceae ヒビスカス (ブッソウゲ) Shoeffler <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 河辺祐嗣ら:森林防疫 42(9):176, 1993 ; Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	アオイ科 Malvaceae ブッソウゲ Shoeffler <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L. (広葉樹)
---	--

アオイ科 Malvaceae オオハマボウ Mahoe, Coast cotton tree <i>Hibiscus tiliaceus</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	アオイ科 Malvaceae オオハマボウ Mahoe, Coast cotton tree <i>Hibiscus tiliaceus</i> L. (広葉樹)
--	--

アオイ科 Malvaceae ハイビスカス Hibiscus <i>Hibiscus</i> spp. (広葉樹) †††† Hibiscus latent Singapore virus# (HLSV) 吉田哲也ら:日植病報 84(3):199, 2018 [備考] 塩基配列解析による同定。吉田ら(2018)は, Hibiscus latent Singapore virus 日本分離株 (HLSV-J)と命名。戻し接種なし (注) 新宿主	アオイ科 Malvaceae ハイビスカス Hibiscus <i>Hibiscus</i> spp. (広葉樹)
センダン科 Meliaceae センダン(梅檀, 棟) Chinaberry <i>Melia azedarach</i> L. var. <i>subtripinnata</i> Miq. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:Plant Dis. 94(3):358, 2010 ; 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 (注) 文献追加、備考削除	センダン科 Meliaceae センダン(梅檀, 棟) Chinaberry <i>Melia azedarach</i> L. var. <i>subtripinnata</i> Miq. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] 接種試験未了
クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>F. microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>F. superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイヌビワ <i>F. virgata</i> Reinw. ex Blume 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot	クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq.

<i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] ガジュマル・ハマイヌビワに発生。接種試験未了 (注) 宿主名追加、新病名	
クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シماغワ Mulberry <i>M. acidosa</i> Griff., <i>M. australis</i> Poir. カラヤماغワ <i>M. alba</i> L. ヤماغワ <i>M. bombycis</i> Koidz. ログワ <i>M. latifolia</i> Poir. 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 ; 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] シماغワ(<i>M. australis</i>)に発生。接種試験未了 (注) 文献追加	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シماغワ Mulberry <i>M. acidosa</i> Griff., <i>M. australis</i> Poir. カラヤماغワ <i>M. alba</i> L. ヤماغワ <i>M. bombycis</i> Koidz. ログワ <i>M. latifolia</i> Poir. 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] シماغワ(<i>M. australis</i>)。接種試験未了
ヤブコウジ科 Myrsinaceae モクタチバナ (Ardisia) <i>Ardisia sieboldii</i> Miquel (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 ; 島田	ヤブコウジ科 Moraceae モクタチバナ (Ardisia) <i>Ardisia sieboldii</i> Miquel (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013

律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] 接種試験未了 (注) 文献追加	[備考] 接種試験未了
フトモモ科 Myrtaceae ユーカリ類(有加利) Gum <i>Eucalyptus</i> spp. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 小林享夫・亀山統一:森林防疫 49(8):144, 2000 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	フトモモ科 Myrtaceae ユーカリ類(有加利) Gum <i>Eucalyptus</i> spp. (広葉樹)
フトモモ科 Myrtaceae フトモモ類 (<i>Eugenia</i>) <i>Eugenia</i> spp. (果樹) フトモモ(ローズアップル) Rose apple <i>E. jambos</i> L. レンブ(ジャワフトモモ, オオフトモモ) Wax jambu, Java apple <i>E. javanica</i> Lamarck マレイフトモモ Malay apple <i>E. malaccensis</i> L. <i>タチバナアデク(ピタンガ) Surinam Cherry E. uniflora</i> L. 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] タチバナアデクに発生。接種試験未了	フトモモ科 Myrtaceae フトモモ類 (<i>Eugenia</i>) <i>Eugenia</i> spp. (果樹) フトモモ(ローズアップル) Rose apple <i>Eugenia jambos</i> L. マレイフトモモ Malay apple <i>Eugenia malaccensis</i> L. レンブ(ジャワフトモモ, オオフトモモ) Wax jambu, Java apple <i>Eugenia javanica</i> Lamarck

(注) 新病名、宿主名追加

モクセイ科 Oleaceae
ネズミモチ(鼠薔, 玉椿)
Japanese privet
Ligustrum japonicum Thunb.
(広葉樹)
トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet
L. lucidum Ait.

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot
Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ
Sahashi, N. *et al.*:For. Pathol. 37(3):167, 2007 ; 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013
[備考] **ネズミモチ**・ムニンネズミモチに発生。
接種試験未了

(注) 文献追加・備考変更

モクセイ科 Oleaceae
ネズミモチ(鼠薔, 玉椿)
Japanese privet
Ligustrum japonicum Thunb.
(広葉樹)
トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet
L. lucidum Ait.

南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot
Phellinus noxius (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ
島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013
[備考] ムニンネズミモチ。接種試験未了

モクセイ科 Oleaceae
オリーブ
Olive
Olea europaea L.
(果樹)

立枯病 tachigare-byo Bacterial wilt
Ralstonia solanacearum (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996
吉本翔二ら:日植病報 84(3):204, 2018
[備考] マルチプレックス PCR から biovar 3, phylotype 1 であると判定した

(注) 新病名

モクセイ科 Oleaceae
オリーブ
Olive
Olea europaea L.
(果樹)

ヒメハギ科 Olygolaceae
イトヒメハギ
Chinese senega
***Polygala tenuifolia* Willd.**
(特用作物)

ヒメハギ科 Olygolaceae

根腐病 negusare-byo Root rot <i>Calonectria</i> sp. 川部眞登ら:日植病報 84(3):208, 2018 (注) 新病名、新規宿主	
アカバナ科 Onagraceae フクシャ(ボクシャ, ヒョウタンソウ) Common garden fuchsia <i>Fuchsia hybrida</i> Voss (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:623, 1998 (注) 文献削除	アカバナ科 Onagraceae フクシャ(ボクシャ, ヒョウタンソウ) Common garden fuchsia <i>Fuchsia hybrida</i> Voss (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977; 我孫子和雄ら:関西病研報 62(6):630, 1996; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:623, 1998
トベラ科 Pittosporaceae トベラ(海桐花) Japanese pittosporum <i>Pittosporum tobira</i> (Thunb. ex Murray) Ait. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	トベラ科 Pittosporaceae トベラ(海桐花) Japanese pittosporum <i>Pittosporum tobira</i> (Thunb. ex Murray) Ait. (広葉樹)
キンポウゲ科 Ranunculaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) †††† <i>Cycas necrotic stunt virus</i> (CNSV) ソテツえそ萎	キンポウゲ科 Ranunculaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花)

縮ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] モザイク症状。遺伝子解析による検出, 戻し接種なし (注) 新宿主	
バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 黄色網斑病* oshoku-amihan-byo <i>American plum line pattern virus</i> (APLPV) アメリカ スモモ黄色網斑ウイルス 田中大地・鍵和田 聡:日植病報 84(3):199, 2018 [備考] ソメイヨシノに発生。RT-PCR と塩基配列 解析による同定 (注) 新病名	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹)
バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) ウイルス病 virus-byo Virus disease (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 岸 國平ら:日植病報 39(4):297, 1973 [備考] ソメイヨシノ (<i>P. yedoensis</i>) に発生 (2) Little cherry virus# Tanaka, S. & Hirose, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 32(1):23, 1966 [備考] サトザクラ (<i>P. lannesiana</i>)・オオシマザク ラ (<i>P. lannesiana</i> var. <i>speciosa</i>) に発生 (注) 病原(2)に#追加・備考変更	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) ウイルス病 virus-byo Virus disease (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 岸 國平ら:日植病報 39(4):297, 1973 [備考] ソメイヨシノ (<i>P. yedoensis</i>) (2) Little cherry virus Tanaka, S. & Hirose, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 32(1):23, 1966 [備考] サトザクラ (<i>P. lannesiana</i>)・オオシマザク ラ (<i>P. lannesiana</i> var. <i>speciosa</i>)
バラ科 Rosaceae サクラ類(桜)	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜)

Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] カンヒザクラに発生。接種試験未了 (注) 新病名	Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹)
バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>P. persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>P. persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Podosphaera leucotricha</i> (Ellis & Everhart) E.S. Salmon 横澤志織ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé, <i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>persicae</i> Woronichin] 白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905(明 38) ; 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明 44) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 (3) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary [<i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i>, <i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明 44) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:12, 2012 [備考] (2)は主に果実を, (3)は主に葉を侵す (注) 文献著者名スペル訂正(Homma)。Homma, Y.	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>P. persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>P. persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Podosphaera leucotricha</i> (Ellis & Everhart) E.S. Salmon 横澤志織ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé, <i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>persicae</i> Woronichin] 白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905(明 38) ; 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明 44) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 (3) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary [<i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i>, <i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明 44) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:12, 2012 [備考] (2)は主に果実を, (3)は主に葉を侵す

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>P. persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>P. persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>P. persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>P. persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider
--	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>P. betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>P. serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>P. ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi えそ斑点病* eso-hanten-byo Necrotic spot (褐斑病) 病原未確認 三浦小四郎・山田喜和:農及園 32(1):57, 1957; 野田健男ら:千葉農試研報 3:73, 1959; 岸 國平ら:園試報 A11:139, 1972; 大崎秀樹ら:日植病報 84(3):195, 2018 [備考] 接ぎ木伝染性。RT-PCR により, 病原は <i>Apple stem pitting virus</i> (ASPV リンゴステムピッティングウイルス) および近縁の <i>Apple green crinkle associaed virus#</i> (AGCAV)の1系統と考えられる	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>P. betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>P. serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>P. ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi えそ斑点病* eso-hanten-byo Necrotic spot (褐斑病) 病原未確認 三浦小四郎・山田喜和:農及園 32(1):57, 1957; 野田健男ら:千葉農試研報 3:73, 1959; 岸 國平ら:園試報 A11:139, 1972 [備考] 接ぎ木伝染性
--	---

(注) 文献・備考追加	
バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>P. betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>P. serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>P. ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† 病原未詳 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じるモザイク症状。ニセナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT-PCR により, エマラウイルス様配列が検出された (注) 未同定病原の検出	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>P. betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>P. serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>P. ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi
バラ科 Rosaceae シャリンバイ(車輪梅) Yeddo hawthorn <i>Rhaphiolepis indica</i> (L.) Lindl. ex Ker var. <i>umbellata</i> (Thunb. ex Murray) Ohashi (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. et al.:For. Pathol. 37(3):167, 2007 ; Sahashi, N. et al.:Plant Dis. 94(3):358, 2010 ; 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 (注) 文献追加、備考削除	バラ科 Rosaceae シャリンバイ(車輪梅) Yeddo hawthorn <i>Rhaphiolepis indica</i> (L.) Lindl. ex Ker var. <i>umbellata</i> (Thunb. ex Murray) Ohashi (果樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ 島田律子ら:小笠原研究年報 36:71, 2013 [備考] 接種試験未了
バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類

Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹) ウイルス病 virus-byo Virus <i>Rose yellow mosaic virus</i> (RoYMV) バラ黄斑モザイクウイルス 大畑悠汰ら:日植病報 84(3):197, 2018 [備考] 黄色モザイク症状。RT-PCR による検出 (注) 新病名	Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹)
ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) <i>Kumquats</i> <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) <i>Trifoliate orange</i> <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (Anthracnose tear stain) (さび果病 sabika-byo, 落葉病, 葉枯病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 田代暢哉ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; Tashiro, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(5):381, 2018 [備考] 収穫後のウンシュウミカン果実に発生 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida] 堀正太郎:果樹 123:20, 1913(大2) ; 山田峻一・山本省二:日植病報 28(2):74, 1963 ; 間佐古将則ら:日植病報 73(3):181, 2007 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 堀の記載した葉枯病の病原菌 <i>G. citricolum</i> Massee は <i>G. foliicolum</i> の誤りである (西田藤次:柑橘病害と予防法:111, 1914)。佐藤ら(2017)は狭義の <i>C. gloeosporioides</i> を報告した (3) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 安部睦実ら:九病虫研究会報 63:122, 2017 (4) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 安部睦実ら:九病虫研究会報 63:122, 2017 [備考] 安部ら(2017)は病原(3)(4)によるキンカン	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) <i>Kumquats</i> <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) <i>Trifoliate orange</i> <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (Anthracnose tear stain) (さび果病 sabika-byo, 落葉病, 葉枯病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 田代暢哉ら:日植病報 83(3):184, 2017 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida] 堀正太郎:果樹 123:20, 1913(大2) ; 山田峻一・山本省二:日植病報 28(2):74, 1963 ; 間佐古将則ら:日植病報 73(3):181, 2007 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 堀の記載した葉枯病の病原菌 <i>G. citricolum</i> Massee は <i>G. foliicolum</i> の誤りである (西田藤次:柑橘病害と予防法:111, 1914)。佐藤ら(2017)は狭義の <i>C. gloeosporioides</i> を報告した (3) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 安部睦実ら:九病虫研究会報 63:122, 2017 (4) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 安部睦実ら:九病虫研究会報 63:122, 2017

の 葉枯を報告した (注) 文献・備考追加	[備考] 安部ら(2017)は病原(3)(4)によるキンカンの 葉枯を報告した
ミカン科 Rutaceae ゲッキツ Orange Jasmine <i>Murraya paniculata</i> (L.) Jack (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 37(3):167, 2007 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	ミカン科 Rutaceae ゲッキツ Orange Jasmine <i>Murraya paniculata</i> (L.) Jack (広葉樹)
ムクロジ科 Sapindaceae レイシ(ライチー)(荔枝) Litchi, Lychee, Lichee <i>Litchi chinensis</i> Sonnerat (果樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	ムクロジ科 Sapindaceae レイシ(ライチー)(荔枝) Litchi, Lychee, Lichee <i>Litchi chinensis</i> Sonnerat (果樹)
ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>R. glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>R. glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var.	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>R. glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>R. glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var.

<i>hueichingensis</i> Chao & Schih モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic (1) <i>Amazon lily mild mottle virus</i> (ALiMMV) アマゾンユリ微斑ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウイルトウイルス2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 (3) <i>Citrus leaf blotch virus</i> (CLBV) カンキツ斑点ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (4) <i>Cnidium vein yellowing virus</i> (CVYV) センキュウ葉脈黄化ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (5) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 (6) <i>Plantago asiatica mosaic virus</i> (PiAMV) オオバコモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。戻し接種なし (7) <i>Youcai mosaic virus</i> (YoMV) アブラナモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。戻し接種なし。複数種のウイルスにより引き起こされる (注) 新病名	<i>hueichingensis</i> Chao & Schih
ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae トレニア(ハナウリクサ) Blue torenia <i>Torenia fournieri</i> Linden ex E.Fourm. (草花) †††† ウイルス (未同定) 高田亜由美・夏秋啓子:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] 斑入りトレニアに発生。塩基配列解析に	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae トレニア(ハナウリクサ) Blue torenia <i>Torenia fournieri</i> Linden ex E.Fourm. (草花)

より <i>Begomovirus</i> 属の新種とされる。戻し接種なし (注) 未同定病原の検出	
ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Black-dot root-rot <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes [<i>Colletotrichum atramentarium</i> (Berkeley & Broome) Taubenhaus] 岸 國平・岩田 勉:日植病報 39(3):202, 1973 ; 白井佳代ら:日植病報 84(3):200, 2018 [備考] 白井ら(2018)は果実腐敗を報告した (注) 文献・備考追加	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Black-dot root-rot <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes [<i>Colletotrichum atramentarium</i> (Berkeley & Broome) Taubenhaus] 岸 國平・岩田 勉:日植病報 39(3):202, 1973
ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown leaf spot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn] 小玉孝司ら:日植病報 48(3):356, 1982 ; 堀本圭一・小玉孝司:奈良農試研報 14:66, 1983 ; 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 54(3):352, 1988 [備考] 小玉ら(1982)および堀本・小玉(1983)の病原は菌糸融合群 AG-3 培養型 IV, 堀江らの病原菌は菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IV (注) 病名英名・文献・備考追加	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn] 小玉孝司ら:日植病報 48(3):356, 1982 ; 堀本圭一・小玉孝司:奈良農試研報 14:66, 1983
ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L.	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L.

(食用作物) †††† (1) <i>Bacillus altitudinis</i> Shivaji, Chaturvedi, Suresh, Reddy, Dutt, Wainwright, Narlikar & Bhargava 2006 (2) <i>Bacillus safensis</i> Satomi, La Duc & Venkateswaran 2006 (3) <i>Bacillus</i> spp. 秋野聖之ら:日植病報 84(3):255, 2018 [備考] 疫病菌に感染後の細菌性腐敗の可能性あり (注) 腐敗の報告。	
ツバキ科 Theaceae ツバキ (ヤブツバキ) (椿, 山茶) <i>Camellia</i> <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) もち病 mochi-byo Leaf and stem gall (餅病) (1) <i>Exobasidium camelliae</i> Shirai 白井光太郎:植物学雑 10(113):228, 1896(明 29) ; 江塚昭典:日菌報 31(3):380, 1990 (2) <i>Exobasidium gracile</i> (Shirai) Sydow & P. Sydow 山田憲吾:日植病報 84(3):208, 2018 [備考] チャツバキ(<i>C. sinensis</i> × <i>C. japonica</i>) で発生。接種試験未了 (注) 新病名、新規宿主	ツバキ科 Theaceae ツバキ (ヤブツバキ) (椿, 山茶) <i>Camellia</i> <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) もち病 mochi-byo Leaf and stem gall (餅病) <i>Exobasidium camelliae</i> Shirai 白井光太郎:植物学雑 10(113):228, 1896(明 29) ; 江塚昭典:日菌報 31(3):380, 1990
シナノキ科 Tiliaceae モロヘイヤ(タイワンツナソ) Jew's marrow <i>Corchorus olitorius</i> L. (野菜) 茎枯細菌病 kukigare-saikin-byo Stem blight <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 海野志帆ら:日植病報 84(3):204, 2018 (注) 新病名	シナノキ科 Tiliaceae モロヘイヤ(タイワンツナソ) Jew's marrow <i>Corchorus olitorius</i> L. (野菜)

ニレ科 Ulmaceae エノキ(榎) Chinese hackberry <i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:Australas. Plant Dis. Notes 10:33, 2015 [備考] クワノハエノキ (ムニンエノキ, <i>C. boninensis</i>) に発生。接種試験未了 (注) 新病名	ニレ科 Ulmaceae エノキ(榎) Chinese hackberry <i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai (広葉樹)
ニレ科 Ulmaceae エノキ(榎) Chinese hackberry <i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai (広葉樹) こぶ病 kobu-byo Bacterial gall <i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902 畔上耕児ら:関東病虫研報 52:122, 2005 [備考] 本病原の pathovar は未決定 (注) 新病名	ニレ科 Ulmaceae エノキ(榎) Chinese hackberry <i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai (広葉樹)
オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) ウイルス病* virus-byo Virus (1) <i>Asparagus virus 2</i> (AV-2) アスパラガスウイルス 2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] 塩基配列解析による同定。戻し接種なし (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウイルス 2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (3) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ	オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) ウイルス病* virus-byo Virus (1) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウイルス 2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] 戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ

イクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (4) <i>Gaillardia latent virus</i> (GaLV) ガイラルディア潜在ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] 塩基配列解析により同定。戻し接種なし (5) <i>Ligustrum necrotic ringspot virus</i> (LNRSV) ネズミモチえそ輪紋ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (6) <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 山本明日香ら:北日本病虫研報 68:263, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (注) 病原・文献追加、備考削除、病原(5)の病原学名略号訂正、宿主英名追加	イクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] 戻し接種なし (3) <i>Ligustrum necrotic ringspot virus</i> (LNRV) ネズミモチえそ輪紋ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] 戻し接種なし (4) <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 山本明日香ら:北日本病虫研報 68:263, 2017
クマツヅラ科 Verbenaceae ムラサキシキブ(紫式部) Beautyberry <i>Callicarpa japonica</i> Thunb. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012 [備考] オオムラサキシキブに発生。接種試験未了 (注) 新病名	クマツヅラ科 Verbenaceae ムラサキシキブ(紫式部) Beautyberry <i>Callicarpa japonica</i> Thunb. (広葉樹)
クマツヅラ科 Verbenaceae デュランタ(タイワンレンギョウ, ハリマツリ) (Durantha) <i>Duranta erecta</i> L. (広葉樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham シマサルノコシカケ Sahashi, N. <i>et al.</i>:For. Pathol. 42(5):353, 2012	クマツヅラ科 Verbenaceae タイワンレンギョウ(ハリマツリ) (Durantha) <i>Duranta plumieri</i> Jacq. (広葉樹)

[備考] 接種試験未了 (注) 新病名	
レンプクソウ科 Adoxaceae レンプクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia argentata</i> (Schultz) G. Winter [<i>Puccinia nolitangeris</i> Corda] Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 749, 1992 [備考] レンプクソウ・ツリフネソウ(<i>Impatiens textoriv</i>)・キツリフネソウ(<i>Impatiens mali-tangere</i>)に発生 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の表記に合わせて修正。本表に掲載のない「The Rust Flora of Japan」と「The Rust flora of Japan」についても、すべて「The rust flora of Japan」に統一する	レンプクソウ科 Adoxaceae レンプクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia argentata</i> (Schultz) G. Winter [<i>Puccinia nolitangeris</i> Corda] Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: Rust Flora of Japan 749, 1992 [備考] レンプクソウ・ツリフネソウ(<i>Impatiens textoriv</i>)・キツリフネソウ(<i>Impatiens mali-tangere</i>)に発生
メギ科 Berberidaceae ナンテン(南天竹) Nandina <i>Nandina domestica</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Phoma nandinae</i> Tassi 塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(1):27, 1959 (注) 文献ページ訂正	メギ科 Berberidaceae ナンテン(南天竹) Nandina <i>Nandina domestica</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Phoma nandinae</i> Tassi 塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(1):127, 1959
カバノキ科 Betulaceae ハシバミ類 Hazelnut <i>Corylus</i> spp. (広葉樹) オオハシバミ(大榛) Chinese hazel, Japanese hazel <i>C. heterophylla</i> Fischer ハシバミ(榛) <i>C. heterophylla</i> Fischer ex Besser	カバノキ科 Betulaceae ハシバミ類 Hazelnut <i>Corylus</i> spp. (広葉樹) オオハシバミ(大榛) Chinese hazel, Japanese hazel <i>C. heterophylla</i> Fischer ハシバミ(榛) <i>C. heterophylla</i> Fischer ex Besser

var. <i>thunbergii</i> Blume ツノハシバミ(角榛) <i>C. sieboldiana</i> Blume オオツノハシバミ(大角榛) <i>C. sieboldiana</i> var. <i>mandshurica</i> (Maxim.) C. K. Schn. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病) (1) <i>Erysiphe corylacearum</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon, <i>Microsphaera</i> <i>hommae</i> U. Braun] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:230, 1933(昭 8); 出 田 新:実用植物病理学:162, 1901(明 34); Braun, U.:Mycotaxon 15:124, 1982; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):225, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:53, 2012 [備考] ツノハシバミ・オオハシバミ・オオツノハ シバミに発生 (2) <i>Microsphaera coryli</i> Homma 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:389, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):211, 1988 [備考] ハシバミ・ツノハシバミ・オオハシバミ・ オオツノハシバミ・セイヨウハシバミ (<i>C.</i> <i>avellana</i>)に発生 (注) 文献号数訂正	var. <i>thunbergii</i> Blume ツノハシバミ(角榛) <i>C. sieboldiana</i> Blume オオツノハシバミ(大角榛) <i>C. sieboldiana</i> var. <i>mandshurica</i> (Maxim.) C. K. Schn. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病) (1) <i>Erysiphe corylacearum</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon, <i>Microsphaera</i> <i>hommae</i> U. Braun] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:230, 1933(昭 8); 出 田 新:実用植物病理学:162, 1901(明 34); Braun, U.:Mycotaxon 15:124, 1982; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(4):225, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:53, 2012 [備考] ツノハシバミ・オオハシバミ・オオツノハ シバミに発生 (2) <i>Microsphaera coryli</i> Homma 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:389, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):211, 1988 [備考] ハシバミ・ツノハシバミ・オオハシバミ・ オオツノハシバミ・セイヨウハシバミ (<i>C.</i> <i>avellana</i>)に発生
ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>C. lawsoniana</i> (A. Murray) Parl. くもの巣病 kumonosu-byo Web blight (リ ゾクトニア病, 苗腐敗病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 藍野祐久・伊藤一雄:原色病虫害図鑑VI 樹木篇:75, 1958; 野原勇太:御料林 93:37, 1936(昭 11) [備考] 本病原菌の完全世代 <i>Thanatephorus</i> <i>cucumeris</i> (Frank) Donk はヒノキでは未記録 (注) 文献名訂正	ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>Chamaecyparis lawsoniana</i> (A. Murray) Parl. くもの巣病 kumonosu-byo Web blight (リ ゾクトニア病, 苗腐敗病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 藍野祐久・伊藤一雄:原色林木病虫害図鑑:75, 1958; 野原勇太:御料林 93:37, 1936(昭 11) [備考] 本病原菌の完全世代 <i>Thanatephorus</i> <i>cucumeris</i> (Frank) Donk はヒノキでは未記録

ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>C. lawsoniana</i> (A. Murray) Parl. ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu stricto ナ ラタケ 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13); 北島君三:樹病学及木材腐朽論:141, 1933(昭8); Ota, Y. <i>et al.</i>:Plant Dis. 82:537, 1998 (注) 文献名訂正、宿主学名属名省略。	ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>Chamaecyparis lawsoniana</i> (A. Murray) Parl. ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu stricto ナ ラタケ 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13); 北島君三:樹病学及木材腐朽論:141, 1933(昭8); Ota, Y. <i>et al.</i>:Plant Diseases 82:537, 1998
---	---

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹) 根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion (1) <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ 上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害 :123, 1975 (2) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネグ サレセンチュウ 林 勇ら:関東病虫研報 18:124, 1971 (3) <i>Pratylenchus</i> sp. ネグサレセンチュウの1種 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 [備考] 上記種との異同は不明 (注) 文献名を2018年版の多数派に合わせて修 正。宿主バラ類(野草)と宿主統合する	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹) 根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion (1) <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ 上住 泰・西村十郎:原色花の病虫害 :123, 1975 (2) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネグ サレセンチュウ 林 勇ら:関東東山病虫研報 18:124, 1971 (3) <i>Pratylenchus</i> sp. ネグサレセンチュウの1種 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 [備考] 上記種との異同は不明
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, <i>Calendula</i> <i>Calendula officinalis</i> L. (草花) 萎黄病 io-byo Phytoplasma ファイトプラズマ	キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, <i>Calendula</i> <i>Calendula officinalis</i> L. (草花) 萎黄病 io-byo Phytoplasma ファイトプラズマ
---	---

成田武四:北海道における農作物病害:197, 1977 ; 福士貞吉:札幌博物学会報 12(3):34, 1932(昭 7) ; 福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭 7) ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:663, 1998 [備考] 接種試験未了 (注) 文献名を 2018 年版の最多数派「札幌博物学会報」に修正。「札幌博物会報」も多いが、統一する	成田武四:北海道における農作物病害:197, 1977 ; 福士貞吉:札幌博物学会報 12(3):34, 1932(昭 7) ; 福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭 7) ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:663, 1998 [備考] 接種試験未了
キク科 Asteraceae, Compositae ヘリクリサム(ムギワラギク) Strawflower, Helichrysum <i>Helichrysum bracteatum</i> (Vent.) Andrews <i>Helichrysum bracteatum</i> Willd. (草花) べと病 beto-byo <i>Peronospora helichrysi</i> Togashi & Egami 伊藤誠哉:大日本菌類誌 I:219, 1936 ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物学会報 14:30, 1935 ; 成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977 (注) 文献名を 2018 年版の最多数派「札幌博物学会報」に修正。「札幌博物会報」も多いが、統一する？	キク科 Asteraceae, Compositae ヘリクリサム(ムギワラギク) Strawflower, Helichrysum <i>Helichrysum bracteatum</i> (Vent.) Andrews <i>Helichrysum bracteatum</i> Willd. (草花) べと病 beto-byo <i>Peronospora helichrysi</i> Togashi & Egami 伊藤誠哉:大日本菌類誌 I:219, 1936 ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物学会報 14:30, 1935 ; 成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977
アカザ科 Chenopodiaceae ハウキギ (コキア, ニワクサ) Kochia <i>Kochia</i> spp. (草花) べと病 beto-byo <i>Peronospora kochiae</i> Gäumann 照井陸奥生:札幌博物学会報 11:157, 1930 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 I:196, 1936 ; 成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977 [備考] 接種試験未了 (注) 文献名を 2018 年版の最多数派「札幌博物学会報」に修正。「札幌博物会報」も多いが、統一する？	アカザ科 Chenopodiaceae コキア(ハウキギ, ニワクサ) Kochia <i>Kochia</i> spp. (草花) べと病 beto-byo <i>Peronospora kochiae</i> Gäumann 照井陸奥生:札幌博物学会報 11:157, 1930 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 I:196, 1936 ; 成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977 [備考] 接種試験未了

ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp. <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia benkei</i> Kusano Yamaoka, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(5):563, 1994 [備考] 人工接種によりヒダカミセバヤ (<i>Sedum caucicum</i>) に発生。病名の提案なし (2) <i>Puccinia umbilici</i> Guépin & Duby 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977; 伊藤誠哉:日本菌類誌 II(3):255, 1950; 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 19:5, 1950 [備考] 接種試験未了 (注) 文献名を 2018 年版の最多数派「札幌博物学会報」に修正。「札幌博物会報」も多いが、統一する?	ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp. <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia benkei</i> Kusano Yamaoka, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(5):563, 1994 [備考] 人工接種によりヒダカミセバヤ (<i>Sedum caucicum</i>) に発生。病名の提案なし (2) <i>Puccinia umbilici</i> Guépin & Duby 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977; 伊藤誠哉:日本菌類誌 II(3):255, 1950; 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 19:5, 1950 [備考] 接種試験未了
ヒノキ科 Cupressaceae サワラ(榎) Sawara cypress <i>Chamaecyparis pisifera</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) 葉裏黒点病 haura-kokuten-byo <i>Stilbospora chamaecyparidis</i> Sawada 澤田兼吉:林試研報 46:123, 1950 (注) 文献年訂正	ヒノキ科 Cupressaceae サワラ(榎) Sawara cypress <i>Chamaecyparis pisifera</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) 葉裏黒点病 haura-kokuten-byo <i>Stilbospora chamaecyparidis</i> Sawada 澤田兼吉:林試研報 46:123, 1949
カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>D. kaki</i> Linne, f., <i>D. kaki</i> Thunberg, <i>D. kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>D. kaki</i> Linne, f., <i>D. kaki</i> Thunberg, <i>D. kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino

マメガキ Date plum <i>D. lotus</i> L. 黒あざ病 kuroaza-byo (黒痣病) 病原不明 大石俊雄:病虫雑 22(4):274, 1935(昭 10) (注) 文献年和暦の数字「1」を修正(おそらくエルの小文字が入力されていた)	マメガキ Date plum <i>D. lotus</i> L. 黒あざ病 kuroaza-byo (黒痣病) 病原不明 大石俊雄:病虫雑 22(4):274, 1935(昭 10)
ユリ科 Liliaceae ムスカリ Muscari <i>Muscari</i> spp. (草花) ウイルス病 virus-byo 病原不明 福士貞吉:札幌博物学会報 12(3):37, 1932 (注) 文献名を 2018 年版の最多数派「札幌博物学会報」に修正。「札幌博物会報」も多いが、統一する？	ユリ科 Liliaceae ムスカリ Muscari <i>Muscari</i> spp. (草花) ウイルス病 virus-byo 病原不明 福士貞吉:札幌博物学会報 12(3):37, 1932
マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>A. firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>A. homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森樅松, 大白樅) <i>A. mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白樅)) <i>A. veitchii</i> Lindl. 葉さび病* hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Calyptospora goeppertiana</i> J.G. Kühn [<i>Pucciniastrum goeppertianum</i> (Kühn) Klebahn] 白井光太郎:植物病理学(下):135, 1900(明 33) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:32, 1992 [備考] シラベ・ウラジロモミ。冬孢子世代は	マツ科 Pinaceae モミ類 Fir (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森樅松, 大白樅) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白樅)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. 葉さび病* hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Calyptospora goeppertiana</i> J.G. Kühn [<i>Pucciniastrum goeppertianum</i> (Kühn) Klebahn] 白井光太郎:植物病理学(下):135, 1900(明 33) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:32, 1992 [備考] シラベ・ウラジロモミ。冬孢子世代は

Vaccinium 属(コケモモ)に寄生

(2) *Melampsora abietis-populi* S. Imai

平塚直秀:王子製紙林木育種研テクニカルノート 76:22, 1969 ; 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969

[備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生し、葉さび病をおこす

(3) *Melampsora laricis-populina* Klebahn

平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969

[備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生し、葉さび病をおこす

(4) *Milesina exigua* Faull [*Milesina vogesiaca* sensu Kamei non P. Sydow & Sydow]

亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭 5) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:73, 1992

[備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Ctenites* 属(カツモウイノデ他), *Dennstaedia* 属(コバノイシカグマ), *Hypolepis* 属(イワヒメワラビ), *Lastrea* 属(ヒメワラビ他), *Microlepia* 属(イシカグマ), *Polystichum* 属(イノデ他)

(5) *Milesina vogesiaca* Sydow

亀井専次:札幌博物会報 11(3):141, 1930(昭 5)

[備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(イタチシダ他)に寄生

(6) *Pucciniastrum boehmeriae* (Dietel) Sydow & P. Sydow

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:104, 1992 ; 金子 繁・平塚直秀:日林誌 66:283, 1984

[備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は *Begonia* 属(ベゴニア), *Boehmeria* 属(ヤブマオ他)に寄生し、さび病をおこす

(7) *Pucciniastrum corni* Dietel

Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:82, 1976 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:113, 1992

[備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は

Vaccinium 属(コケモモ)に寄生

(2) *Melampsora abietis-populi* S. Imai

平塚直秀:王子製紙林木育種研テクニカルノート 76:22, 1969 ; 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969

[備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生し、葉さび病をおこす

(3) *Melampsora laricis-populina* Klebahn

平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969

[備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生し、葉さび病をおこす

(4) *Milesina exigua* Faull [*Milesina vogesiaca* sensu Kamei non P. Sydow & Sydow]

亀井専次:札幌農林学会報 11(3):141, 1930(昭 5) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:73, 1992

[備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Ctenites* 属(カツモウイノデ他), *Dennstaedia* 属(コバノイシカグマ), *Hypolepis* 属(イワヒメワラビ), *Lastrea* 属(ヒメワラビ他), *Microlepia* 属(イシカグマ), *Polystichum* 属(イノデ他)

(5) *Milesina vogesiaca* Sydow

亀井専次:札幌博物会報 11(3):141, 1930(昭 5)

[備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(イタチシダ他)に寄生

(6) *Pucciniastrum boehmeriae* (Dietel) Sydow & P. Sydow

Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:104, 1992 ; 金子 繁・平塚直秀:日林誌 66:283, 1984

[備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は *Begonia* 属(ベゴニア), *Boehmeria* 属(ヤブマオ他)に寄生し、さび病をおこす

(7) *Pucciniastrum corni* Dietel

Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:82, 1976 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:113, 1992

[備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は

Cornus 属(サンシュユ他)にさび病をおこす

(8) *Pucciniastrum coryli* Komarov

Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:222, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:113, 1992

[備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Corylus* 属(ハシバミ他)にさび病をおこす

(9) *Pucciniastrum tiliae* Miyabe

Saho, H.:Plant Dis. Rept. 46:35, 1962 ; 平塚直秀:王子製紙林木育種研テクニカルノート 76:15, 1969

[備考] コンコロールモミ, 他に人工接種でオオシロモミ(*A. grandis*)。夏孢子・冬孢子世代は *Tilia* 属(シナノキ他)に寄生しさび病をおこす

(10) *Uredinopsis filicina* (Niessl) Magnus

Hiratsuka, N.:J. Jap. Bot. 27(4):111, 1952 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:162, 1992

[備考] シラベ・ウラジロモミ。夏孢子・冬孢子世代は *Phegopteris* 属(ミヤマワラビ)に寄生

(11) *Uredinopsis kameiana* Faull [*Uredinopsis pteridis* Kamei non Dietel & Holway]

亀井専次:日植病報 2:207, 1930(昭 5) ; 亀井専次:北大農紀要 47:33, 1940(昭 15) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:168, 1992

[備考] バルサムモミ(*A. balsamea*)・ウラジロモミ・チョウセンモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Pteridium* 属(ワラビ)に寄生

(12) *Uredinopsis komagatakensis* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 6:47, 1965 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:170, 1992

[備考] シラベ。夏孢子・冬孢子世代は *Athyrium* 属(ヘビノネゴザ)に寄生

(13) *Uredinopsis ossiformis* (*ossaeiformis*) Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:28, 1958 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:172, 1992

Cornus 属(サンシュユ他)にさび病をおこす

(8) *Pucciniastrum coryli* Komarov

Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:222, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:113, 1992

[備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Corylus* 属(ハシバミ他)にさび病をおこす

(9) *Pucciniastrum tiliae* Miyabe

Saho, H.:Plant Dis. Rept. 46:35, 1962 ; 平塚直秀:王子製紙林木育種研テクニカルノート 76:15, 1969

[備考] コンコロールモミ, 他に人工接種でオオシロモミ(*A. grandis*)。夏孢子・冬孢子世代は *Tilia* 属(シナノキ他)に寄生しさび病をおこす

(10) *Uredinopsis filicina* (Niessl) Magnus

Hiratsuka, N.:J. Jap. Bot. 27(4):111, 1952 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:162, 1992

[備考] シラベ・ウラジロモミ。夏孢子・冬孢子世代は *Phegopteris* 属(ミヤマワラビ)に寄生

(11) *Uredinopsis kameiana* Faull [*Uredinopsis pteridis* Kamei non Dietel & Holway]

亀井専次:日植病報 2:207, 1930(昭 5) ; 亀井専次:北大農紀要 47:33, 1940(昭 15) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:168, 1992

[備考] バルサムモミ(*A. balsamea*)・ウラジロモミ・チョウセンモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Pteridium* 属(ワラビ)に寄生

(12) *Uredinopsis komagatakensis* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 6:47, 1965 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:170, 1992

[備考] シラベ。夏孢子・冬孢子世代は *Athyrium* 属(ヘビノネゴザ)に寄生

(13) *Uredinopsis ossiformis* (*ossaeiformis*) Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:28, 1958 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:172, 1992

[備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i> 属(シラネウラボヒ他)に寄生 (14) <i>Uredinopsis struthiopteridis</i> F.C.M. Störmer ex Dietel Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936 ; 亀井専次:北大農紀要 47:40, 1940(昭 15) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:11, 1958 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:176, 1992 [備考] モミ・バルサムモミ・オウシュウシロモミ(<i>A. alba</i>), いずれも人工接種。夏孢子・冬孢子世代は <i>Matteuccia</i> 属(クサソテツ)に寄生 (注) 宿主学名追加・属名省略、文献訂正(札幌博物学会報)、文献名を 2018 年版最多数派の表記に合わせて修正(The rust flora of Japan)	[備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i> 属(シラネウラボヒ他)に寄生 (14) <i>Uredinopsis struthiopteridis</i> F.C.M. Störmer ex Dietel Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936 ; 亀井専次:北大農紀要 47:40, 1940(昭 15) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:11, 1958 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The Rust Flora of Japan:176, 1992 [備考] モミ・バルサムモミ・オウシュウシロモミ(<i>A. alba</i>), いずれも人工接種。夏孢子・冬孢子世代は <i>Matteuccia</i> 属(クサソテツ)に寄生
--	---

マツ科 Pinaceae トウヒ(唐檜) Hondo spruce <i>Picea jezoensis</i> subsp. <i>hondoensis</i> (Mayr) P.A. Schmidt (針葉樹) ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (1) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義) 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13) ; 新島善直:新編森林保護学(下):458, 1925(大 14) ; 池上八郎ら:新編植物病原菌類解説:135, 1996 [備考] 広義のナラタケとしての記録。ヤツガタケトウヒにも発生 (2) <i>Armillaria ostoyae</i> (Romagnesi) Herink オニナラタケ(ツバナナラタケ) Ota, Y. <i>et al.</i>:Plant Dis. 82:537, 1998 ; 太田祐子:森林防疫 48:47, 1999 (注) 文献名訂正	マツ科 Pinaceae トウヒ(唐檜) Hondo spruce <i>Picea jezoensis</i> subsp. <i>hondoensis</i> (Mayr) P.A. Schmidt (針葉樹) ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (1) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義) 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13) ; 新島善直:新編森林保護学(下):458, 1925(大 14) ; 池上八郎ら:新編植物病原菌類解説:135, 1996 [備考] 広義のナラタケとしての記録。ヤツガタケトウヒにも発生 (2) <i>Armillaria ostoyae</i> (Romagnesi) Herink オニナラタケ(ツバナナラタケ) Ota, Y. <i>et al.</i>:Plant Diseases 82:537, 1998 ; 太田祐子:森林防疫 48:47, 1999
---	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus</i>	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus</i>
---	---

<i>densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>P. thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>P. luchuensis</i> Mayer 黄化病 oka-byo Yellow tip (苦土欠乏症) マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency) 藍野祐久・伊藤一雄:原色病虫害図鑑VI 樹木篇:65, 1958 [備考] リュウキュウマツにも発生 (注) 文献名訂正	<i>densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 黄化病 oka-byo Yellow tip (苦土欠乏症) マグネシウム欠乏 (Magnesium deficiency) 藍野祐久・伊藤一雄:原色林木病虫害図鑑:65, 1958 [備考] リュウキュウマツにも発生
コショウ科 Piperaceae ペペロミア Peperomia <i>Peperomia</i> spp. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 明日山秀文ら:農作物ウイルスの同定に関する研究:1, 1966 [備考] 戻し接種なし (注) 他の病名の同じ文献に合わせて、文献名訂正	コショウ科 Piperaceae ペペロミア Peperomia <i>Peperomia</i> spp. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 明日山秀文ら:農作物の同定に関する研究:1, 1966 [備考] 戻し接種なし
ヒラタケ科 Pleurotaceae ヒラタケ(平茸) Oyster mushroom <i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacquin) Kummer (きのこ) 紫褐色斑紋病 shikasshoku-hammon-byo <i>Pseudomonas</i> sp. 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック:168, 1986 [備考] 病原菌の性質不詳。調査を要する (注) 文献名訂正。	ヒラタケ科 Pleurotaceae ヒラタケ(平茸) Oyster mushroom <i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacquin) Kummer (きのこ) 紫褐色斑紋病 shikasshoku-hammon-byo <i>Pseudomonas</i> sp. 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック増補改訂版:168, 1986 [備考] 病原菌の性質不詳。調査を要する
ヒラタケ科 Pleurotaceae ヒラタケ(平茸)	ヒラタケ科 Pleurotaceae ヒラタケ(平茸)

Oyster mushroom <i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacquin) Kummer (きのこ) 白こぶ病 shirokobu-byo Gill-knot <i>Itonchium unguatum</i> Aihara ヒラタケヒダコブ センチュウ Aihara, T.:Jpn. J. Nematol. 31(1-2):1, 2001 ; 田中 寛 ら:関西病虫研報 44:47, 2002 [備考] ナミトモナガキノコバエ <i>Allodiopsis</i> <i>domestica</i> (Meigen) が本線虫のベクター (注) 文献巻数訂正	Oyster mushroom <i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacquin) Kummer (きのこ) 白こぶ病 shirokobu-byo Gill-knot <i>Itonchium unguatum</i> Aihara ヒラタケヒダコブ センチュウ Aihara, T.:Jpn. J. Nematol. 31(1-2):1, 2001 ; 田中 寛 ら:関西病虫研報 42:47, 2002 [備考] ナミトモナガキノコバエ <i>Allodiopsis</i> <i>domestica</i> (Meigen) が本線虫のベクター
--	--

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹) 疫病 eki-byo Phytophthora disease (1) <i>Phytophthora nagaii</i> M.Z. Rahman, S. Uematsu, Toru Takeuchi, K. Shirai & Kageyama [<i>Phytophthora</i> <i>megasperma</i> Drechsler] 長井雄治ら:日植病報 41(3):254, 1975 ; Rahman, M.Z. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 80(4):348, 2014 ; 植松 清次ら:植物防疫特別増刊号 17:118, 2015 (2) <i>Phytophthora</i> sp. 渡辺秀樹ら:日植病報 69(3):273, 2003 [備考] 病原は <i>P. citricola</i> のクレードに属する。ミ ニバラに発生 (注) 病原学名命名者名修正、文献著者名イニシ ヤル中のスペース削除	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹) 疫病 eki-byo Phytophthora disease (1) <i>Phytophthora nagaii</i> M. Z. Rahman, S. Uematsu, T. Takeuchi, K. Shirai & K. Kageyama [<i>Phytophthora</i> <i>megasperma</i> Drechsler] 長井雄治ら:日植病報 41(3):254, 1975 ; Rahman, M. Z. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 80(4):348, 2014 ; 植松清 次ら:植物防疫特別増刊号 17:118, 2015 (2) <i>Phytophthora</i> sp. 渡辺秀樹ら:日植病報 69(3):273, 2003 [備考] 病原は <i>P. citricola</i> のクレードに属する。ミ ニバラに発生
--	---

バラ科 Rosaceae ワレモコウ類 Burnet bloodwort, Great burnet <i>Sanguisorba</i> spp. (草花) シロバナトウウチソウ <i>S. albiflora</i> (Makino) Makino ワレモコウ Great Burnet <i>S. officinalis</i> L. ナガボノシロワレモコウ <i>S. tenuifolia</i> Fischer var. <i>alba</i> Trautv. & Mey.	バラ科 Rosaceae ワレモコウ類 Burnet bloodwort, Great burnet <i>Sanguisorba</i> spp. (草花) シロバナトウウチソウ <i>S. albiflora</i> (Makino) Makino ワレモコウ Great Burnet <i>S. officinalis</i> L. ナガボノシロワレモコウ <i>S. tenuifolia</i> Fischer var. <i>alba</i> Trautv. & Mey.
--	--

さび病 sabi-byo <i>Xenodochus carbonarius</i> Schlechtendal 平塚直秀・本間ヤス:札幌農林学会報 19:278, 1927; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955 ; Sato, T. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:411, 1980 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	さび病 sabi-byo <i>Xenodochus carbonarius</i> Schlechtendal 平塚直秀・本間ヤス:札幌農林学会報 19:278, 1927 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955 ; Sato, T. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:411, 1980
ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キリ(桐) Paulownia, Princess tree <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud. (広葉樹) 灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (灰色紋羽病, 樹癩, 灰色膏薬病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 原 攝祐:茶樹の病害:149, 1932(昭 7) [備考] 病原菌の異名はポプラ類灰色こうやく病 参照 (注) 文献名訂正。	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キリ(桐) Paulownia, Princess tree <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud. (広葉樹) 灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (灰色紋羽病, 樹癩, 灰色膏薬病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 原 攝祐:茶病の病害:149, 1932(昭 7) [備考] 病原菌の異名はポプラ類灰色こうやく病参 照
ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>V. labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>V. vinifera</i> L. 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナ リアネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood キタネコブセン チュウ 後藤 昭:九州農試研究資料 54:22, 1976 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood var. <i>acrita</i> Chitwood] サツマイモネコブセンチュ ウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 ; 安部	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>V. labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>V. vinifera</i> L. 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナ リアネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood キタネコブセン チュウ 後藤 昭:九州農試研究資料 54:22, 1976 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood var. <i>acrita</i> Chitwood] サツマイモネコブセンチュ ウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 ; 安部

浩・広沢敬之:応動昆中国支報 12:14, 1970 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969; 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支報 12:14, 1970 (5) <i>Meloidogyne mali</i> Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ 伊藤喜隆:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):142, 1992 (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明 28) [備考] 病原線虫の異名等はナシの根こぶ線虫病を参照 (注) 文献年訂正	浩・広沢敬之:応動昆中国支報 12:14, 1970 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969; 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支報 12:14, 1970 (5) <i>Meloidogyne mali</i> Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ 伊藤喜隆:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):142, 1992 (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1985(明 28) [備考] 病原線虫の異名等はナシの根こぶ線虫病を参照
---	--

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>P. domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>P. salicina</i> Lindley †† 樹脂細菌病 jushi-saikin-byo Bacterial canker, Bacterial gummosis, Resinosis <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 [<i>Bacterium cerasi</i> (Griffin) Elliott] 瀬戸房太郎:日植病報 5:91, 1935(昭 10); 岡部徳夫:植物細菌病学:239, 1949 (注) 文献年訂正	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>P. domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>P. salicina</i> Lindley †† 樹脂細菌病 jushi-saikin-byo Bacterial canker, Bacterial gummosis, Resinosis <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 [<i>Bacterium cerasi</i> (Griffin) Elliott] 瀬戸房太郎:日植病報 5:91, 19(昭 5); 岡部徳夫:植物細菌病学:239, 1949
--	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑葉細菌病)	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑葉細菌病)
---	---

<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>aceris</i> (Ark 1939) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas aceris</i> (Ark) Burkholder, <i>Bacterium aceris</i> (Ark) Isiyama & Muko] 瀧川雄一ら:日植病報 51(1):53, 1985 ; 石山信一・向秀夫:植物病原細菌誌:661, 1941(昭 16) ; Takikawa, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 57(5):724, 1991 [備考] トウカエデ (<i>A. buergerianum</i>)に発生 (注) 文献名の後の半角スペースを半角コロンに置換	<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>aceris</i> (Ark 1939) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas aceris</i> (Ark) Burkholder, <i>Bacterium aceris</i> (Ark) Isiyama & Muko] 瀧川雄一ら:日植病報 51(1):53, 1985 ; 石山信一・向秀夫:植物病原細菌誌 661, 1941(昭 16) ; Takikawa, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 57(5):724, 1991 [備考] トウカエデ (<i>A. buergerianum</i>)に発生
ウリノキ科 Alangiaceae ウリノキ (Alangium) <i>Alangium platanifolium</i> (Sieb. & Zucc.) Harms var. <i>trilobum</i> Nakai (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia miyakei</i> H. Sydow & P. Sydow [<i>Aecidium alangii</i> Hiratsuka, f. & Yoshinaga] 平塚直秀・吉永虎馬:鳥取高農学術報 3(2):329, 1935(昭 10) ; Ono, Y.:Nova Hedwigia 60:157, 1995 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:1038, 1992 [備考] 夏孢子・冬孢子世代はタガネソウに寄生する (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の表記に合わせて修正	ウリノキ科 Alangiaceae ウリノキ (Alangium) <i>Alangium platanifolium</i> (Sieb. & Zucc.) Harms var. <i>trilobum</i> Nakai (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia miyakei</i> H. Sydow & P. Sydow [<i>Aecidium alangii</i> Hiratsuka, f. & Yoshinaga] 平塚直秀・吉永虎馬:鳥取高農学術報 3(2):329, 1935(昭 10) ; Ono, Y.:Nova Hedwigia 60:157, 1995 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust flora of Japan:1038, 1992 [備考] 夏孢子・冬孢子世代はタガネソウに寄生する
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ホワイトレースフラワー White lace flower <i>Ammi majus</i> L. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 菅野博英・大久保博人:日植病報 64(6):611, 1998 ; 菅野博英・大久保博人:北日本病虫研報 50:115, 1999 (注) 文献名修正(スペースを削除)	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ホワイトレースフラワー White lace flower <i>Ammi majus</i> L. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 菅野博英・大久保博人:日植病報 64(6):611, 1998 ; 菅野博英・大久保博人:北日本病虫研報 50:115, 1999

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) †††† <i>Potyvirus</i> 属ウイルス 宮田朋枝ら:日植病報 77(3):228, 2011 [備考] モザイクおよび輪紋症状 (注) 病原学名をイタリック体に修正	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) †††† <i>Potyvirus</i> 属ウイルス 宮田朋枝ら:日植病報 77(3):228, 2011 [備考] モザイクおよび輪紋症状
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae セリ(水芹) Water dropwort <i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC. (野菜) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 高橋智恵子・月星隆雄:北日本病虫研報 63:78, 2012 (注) 文献年前に半角スペース挿入	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae セリ(水芹) Water dropwort <i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC. (野菜) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 高橋智恵子・月星隆雄:北日本病虫研報 63:78, 2012
モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵝木) <i>I. integra</i> Thunb. タラヨウ <i>I. latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>I. mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>I. pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>I. rotunda</i> Thunb. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大 11) ; 西田藤次:柑 橘病害と予防法:173, 1914(大 3) [備考] モチノキ・クロガネモチ (注) 宿主名追加、文献名訂正、宿主学名属名省略	モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵝木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大 11) ; 西田藤次:柑 橘病害と予防法:173, 1914(大 3) [備考] モチノキ・クロガネモチ

ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹) ウイルス病 virus-byo Virus disease ウイルス (未同定) 奥山 哲・坂 ひとみ:関東病虫研報 25:83, 1978 [備考] 原株は輪紋症状 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹) ウイルス病 virus-byo Virus disease ウイルス (未同定) 奥山 哲・坂 ひとみ:関東東山病虫研報 25:83, 1978 [備考] 原株は輪紋症状
ウコギ科 Araliaceae キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>H. canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>H. helix</i> L. 疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora citrophthora</i> (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 [備考] カナリーキヅタ (2) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan emend. G. Hall 竹内 純・堀江博道:日植病報 62(3):267, 1996 [備考] セイヨウキヅタ (3) <i>Phytophthora niederhauserii</i> Z.G. Abad & J.A. Abad [<i>Phytophthora drechsleri</i> Tucker] 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 ; Abad, Z.G. <i>et al.</i>:Mycologia, 106: 431, 2014 [備考] セイヨウキヅタ。植松ら(1998)は本病原菌を <i>Phytophthora drechsleri</i> と報告したが, Abad <i>et al.</i>(2014)は <i>P. niederhauserii</i> と再同定した (注) 文献著者名の <i>et al.</i>の前に半角スペース挿入。文献名の前の半角スペースを削除、宿主学名属名省略	ウコギ科 Araliaceae キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>Hedera canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>Hedera helix</i> L. 疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora citrophthora</i> (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 [備考] カナリーキヅタ (2) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan emend. G. Hall 竹内 純・堀江博道:日植病報 62(3):267, 1996 [備考] セイヨウキヅタ (3) <i>Phytophthora niederhauserii</i> Z.G. Abad & J.A. Abad [<i>Phytophthora drechsleri</i> Tucker] 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 ; Abad, Z.G. <i>et al.</i>:Mycologia 106: 431, 2014 [備考] セイヨウキヅタ。植松ら(1998)は本病原菌を <i>Phytophthora drechsleri</i> と報告したが, Abad <i>et al.</i>(2014)は <i>P. niederhauserii</i> と再同定した
キク科 Asteraceae, Compositae ルリタマアザミ Small globe thistle, Blue ball, Steel globe thistle	キク科 Asteraceae, Compositae ルリタマアザミ Small globe thistle, Blue ball, Steel globe thistle

<i>Echinops ritro</i> L. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia</i> sp. 菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬: 山形農試特別研報 2, 2010 [備考] rDNA ITS 領域による系統解析では <i>S. minor</i> とは異なるが, <i>S. minor</i> による茎腐小粒菌核病と 比較検討を要する (注) 備考中のイタリック、2 か所修正	<i>Echinops ritro</i> L. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia</i> sp. 菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬: 山形農試特別研報 2, 2010 [備考] rDNA ITS 領域による系統解析では <i>S. minor</i> とは異なるが, <i>S. minor</i> による茎腐小粒菌核病と 比較検討を要する
ツリフネソウ科 Balsaminaceae ハウセンカ(鳳仙花) Garden balsam <i>Impatiens balsamina</i> L. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Cercospora fukushiana</i> (Matsuura) W. Yamamoto [<i>Cercosporina fukushiana</i> Matsuura] 松浦 勇:病虫雑 14(12):699, 1927(昭 2) ; 山本和太 郎:熱帯農学会誌 6:601, 1934(昭 9) [備考] 山本 (1934) は接種試験未了 (注) 文献名訂正	ツリフネソウ科 Balsaminaceae ハウセンカ(鳳仙花) Garden balsam <i>Impatiens balsamina</i> L. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Cercospora fukushiana</i> (Matsuura) W. Yamamoto [<i>Cercosporina fukushiana</i> Matsuura] 松浦 勇:病虫雑 14(12):699, 1927(昭 2) ; 山本和太 郎:熱帯農学会報 6:601, 1934(昭 9) [備考] 山本 (1934) は接種試験未了
カバノキ科 Betulaceae シデ類 Hornbeam <i>Carpinus</i> spp. (広葉樹) サワシバ (<i>Carpinus</i>) <i>C. cordata</i> Blume クマシデ <i>C. japonica</i> Blume アカシデ <i>C. laxiflora</i> (Sieb. & Zucc.) Blume イヌシデ <i>C. tschonoskii</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe carpinicola</i> (Hara) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpinicola</i> (Hara) Hara, <i>Uncinula geniculata</i> W.R. Gerard var. <i>carpinicola</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大 4) ; 原 攝 祐:樹病学各論:16, 1923(大 12) ; 高松 進:三重大生	カバノキ科 Betulaceae シデ類 Hornbeam <i>Carpinus</i> spp. (広葉樹) サワシバ (<i>Carpinus</i>) <i>C. cordata</i> Blume クマシデ <i>C. japonica</i> Blume アカシデ <i>C. laxiflora</i> (Sieb. & Zucc.) Blume イヌシデ <i>C. tschonoskii</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe carpinicola</i> (Hara) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpinicola</i> (Hara) Hara, <i>Uncinula geniculata</i> W.R. Gerard var. <i>carpinicola</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大 4) ; 原 攝 祐:樹病学各論:16, 1923(大 12) ; 高松 進:三重大生

資紀要 38:66, 2012 [備考] アカシデ・イヌシデ・クマシデに発生 (2) <i>Erysiphe carpini-cordatae</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpini-cordatae</i> Tanda & Nomura, <i>Uncinula pseudocarpinicola</i> Y. Nomura & Tanda] Tanda, S. & Nomura, Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):117, 1994 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:76, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 [備考] サワシバに発生 (3) <i>Erysiphe fimbriate</i> S. Takamatsu, Masuya & Y. Nomura Takamatsu, S. <i>et al.</i>: Mycoscience 49(3):188, 2008 [備考] アカシデに発生 (4) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973 [備考] サワシバ・イヌシデに発生 (5) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) L��veill�� [<i>Phyllactinia</i> sp.] 和田久美子・平田幸治:新潟農研報 29:79, 1977 ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):268, 1995 [備考] サワシバ・イヌシデに発生 (注) 文献著者名訂正(Nomura の後にカンマを挿入)	資紀要 38:66, 2012 [備考] アカシデ・イヌシデ・クマシデに発生 (2) <i>Erysiphe carpini-cordatae</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpini-cordatae</i> Tanda & Nomura, <i>Uncinula pseudocarpinicola</i> Y. Nomura & Tanda] Tanda, S. & Nomura Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):117, 1994 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:76, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 [備考] サワシバに発生 (3) <i>Erysiphe fimbriate</i> S. Takamatsu, Masuya & Y. Nomura Takamatsu, S. <i>et al.</i>: Mycoscience 49(3):188, 2008 [備考] アカシデに発生 (4) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973 [備考] サワシバ・イヌシデに発生 (5) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) L��veill�� [<i>Phyllactinia</i> sp.] 和田久美子・平田幸治:新潟農研報 29:79, 1977 ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):268, 1995 [備考] サワシバ・イヌシデに発生
--	--

カバノキ科 Betulaceae アサダ Japanese hop hornbeam <i>Ostrya japonica</i> Sarg. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:79, 1977 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12) (2) <i>Phyllactinia ostryae</i> U. Braun [<i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten] 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:79, 1977 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:30, 2012 (注) 文献著者名の後の半角セミコロンを半角コ	カバノキ科 Betulaceae アサダ Japanese hop hornbeam <i>Ostrya japonica</i> Sarg. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:79, 1977 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭 12) (2) <i>Phyllactinia ostryae</i> U. Braun [<i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten] 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:79, 1977 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭 12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:30, 2012
--	---

ロンに置換	
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries [<i>Peronospora brassicae</i> Gäumann] 佐藤 衛ら:関西病虫研報 33:67, 1991 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries [<i>Peronospora brassicae</i> Gäumann] 佐藤 衛ら:関西虫研報 33:67, 1991
ツゲ科 Buxaceae ツゲ(黄楊) Japanese box <i>Buxus microphylla</i> Sieb. & Zucc. var. <i>japonica</i> (Muell. Arg. ex Miq.) Rehd. & Wils. (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo <i>Macrophoma candollei</i> (Berkeley & Broome) Berlese & Voglino 高野喜八郎:北陸病虫研報 26:45, 1979 ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):37, 1943(昭 18) [備考] ヒメツゲ (<i>B. microphylla</i>) ・ チョウセンヒメツゲ(<i>B. koreana</i>) に発生 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正、備考変更	ツゲ科 Buxaceae ツゲ(黄楊) Japanese box <i>Buxus microphylla</i> Sieb. & Zucc. var. <i>japonica</i> (Muell. Arg. ex Miq.) Rehd. & Wils. (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo <i>Macrophoma candollei</i> (Berkeley & Broome) Berlese & Voglino 高野喜八郎:北陸病虫害研報 26:45, 1979 ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):37, 1943(昭 18) [備考] ヒメツゲ (<i>B. microphylla</i>) ・ チョウセンヒメツゲ(<i>B. koreana</i>)
スイカズラ科 Caprifoliaceae ウグイスカグラ(鶯神楽) Honeysuckle <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> Miq. (広葉樹) 褐色輪斑病 kasshoku-rinhan-byo <i>Kabatia mirabilis</i> Bubák Sato, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 18(4):343, 1977 [備考] キンギンボク (<i>L. morrowii</i>) に発生	スイカズラ科 Caprifoliaceae ウグイスカグラ(鶯神楽) Honeysuckle <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> Miq. (広葉樹) 褐色輪斑病 kasshoku-rinhan-byo <i>Kabatia mirabilis</i> Bubák Sato, K.:Trans. Mycol Soc. Japan 18(4):343, 1977 [備考] キンギンボク (<i>L. morrowii</i>)

(注) 文献名訂正 (Mycol の後にピリオド挿入)、備考変更

リョウブ科 Clethraceae リョウブ(令法) (Clethra) <i>Clethra barbinervis</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot <i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 宇田川 晃ら:関東病虫研報 24:85, 1977 [備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	リョウブ科 Clethraceae リョウブ(令法) (Clethra) <i>Clethra barbinervis</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot <i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 宇田川 晃ら:関東東山病虫研報 24:85, 1977 [備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照
---	--

ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot Virus <i>Aucuba ringspot virus</i># (AuRV) アオキ輪紋ウイルス 楠木 学:日植病報 46(3):414, 1980 ; 奥山 哲・坂 ひとみ:関東病虫研報 25:83, 1978 ; 山下修一ら:日植病報 48(3):395, 1982 [備考] 接木伝染性。旧目録第 5 巻第 2 版では輪紋病とウイルス病にわけられていたが、病徴の記載から両者は同一病害と考えられる (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot Virus <i>Aucuba ringspot virus</i># (AuRV) アオキ輪紋ウイルス 楠木 学:日植病報 46(3):414, 1980 ; 奥山 哲・坂 ひとみ:関東東山病虫研報 25:83, 1978 ; 山下修一ら:日植病報 48(3):395, 1982 [備考] 接木伝染性。旧目録第 5 巻第 2 版では輪紋病とウイルス病にわけられていたが、病徴の記載から両者は同一病害と考えられる
--	---

ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (斑点病) <i>Phyllosticta harai</i> Togashi [<i>Phyllosticta aucubae</i> Hara, <i>Phyllosticta</i> sp.]	ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (斑点病) <i>Phyllosticta harai</i> Togashi [<i>Phyllosticta aucubae</i> Hara,
---	--

原 攝祐:樹病学各論:221, 1923(大 12) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:228, 1927(昭 2) ; Togashi, K.:Bull. Imp. Coll. Agr. For. Morioka 22, 37, 1936(昭 11) (注) 文献名訂正	<i>Phyllosticta</i> sp.] 原 攝祐:樹病学名論:221, 1923(大 12) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:228, 1927(昭 2) ; Togashi, K.:Bull. Imp. Coll. Agr. For. Morioka 22, 37, 1936(昭 11)
ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Benthamidia</i> spp. <i>Cornus</i> spp. <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>B. florida</i> (L.) Spach ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>B. kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>C. officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>S. controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>S. macrophylla</i> (Wall.) Sojak うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe pulchra</i> (Cooke & Peck) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera pulchra</i> Cooke & Peck var. <i>japonica</i> (Hennings) U. Braun, <i>Microsphaera japonica</i> Hennings, <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte] (粉病, 白渋病) 安田 篤:植物学各論隠花部 366, 1911(明 44) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):378, 1937(昭 12) ; Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):255, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012 [備考] ミズキ・クマノミズキ・タカネミズキ・ハナミズキ・ヤマボウシ・ヒマラヤヤマボウシ・シナヤマボウシ (<i>C. kousa</i> var. <i>chinensis</i>)に発生 (2) <i>Oidium</i> sp. 佐藤幸生:富山技術短大研報 13:112, 1980 [備考] クマノミズキに発生 (3) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 高松 進ら:日菌報 19(1):70, 1978 [備考] サンシュユに発生 (4) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) L��veill�� Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 (注) 文献名訂正	ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Benthamidia</i> spp. <i>Cornus</i> spp. <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>B. florida</i> (L.) Spach ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>B. kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>C. officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>S. controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>S. macrophylla</i> (Wall.) Sojak うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe pulchra</i> (Cooke & Peck) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera pulchra</i> Cooke & Peck var. <i>japonica</i> (Hennings) U. Braun, <i>Microsphaera japonica</i> Hennings, <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte] (粉病, 白渋病) 安田 篤:植物病学各論隠花部 366, 1911(明 44) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):378, 1937(昭 12) ; Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):255, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012 [備考] ミズキ・クマノミズキ・タカネミズキ・ハナミズキ・ヤマボウシ・ヒマラヤヤマボウシ・シナヤマボウシ (<i>C. kousa</i> var. <i>chinensis</i>)に発生 (2) <i>Oidium</i> sp. 佐藤幸生:富山技術短大研報 13:112, 1980 [備考] クマノミズキに発生 (3) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 高松 進ら:日菌報 19(1):70, 1978 [備考] サンシュユに発生 (4) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) L��veill�� Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986

ヒノキ科 Cupressaceae ネズ(ムロ, ネズミサシ)(杜松) Needle juniper <i>Juniperus rigida</i> Sieb. & Zucc. (針葉樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Gymnosporangium amelanchieris</i> E. Fischer [<i>Gymnosporangium idetae</i> G. Yamada] 原 攝祐:果樹病害論:90, 1916(大 5); 平塚直秀:植物学雑 50:213, 1936(昭 11); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:959, 1992 [備考] さび胞子世代の宿主はザイフリボク (<i>Amelanchier asiatica</i>) (2) <i>Gymnosporangium clavariaeforme</i> (Jacquin) de Candolle 白井光太郎:植物病理学(下):116, 1894(明 27) [備考] リシリビャクシン(<i>J. communis</i> var. <i>montana</i>)にも発生 (3) <i>Gymnosporangium cornutum</i> Arthur ex F. Kern [<i>Gymnosporangium alpinum</i> G. Yamada, <i>Gymnosporangium juniperi</i> Link] 伊藤誠哉:札幌農林学会報 9(39):48, 1917(大 6); 松尾綾男:日菌報 6:20, 1965; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:464, 1992 [備考] リシリビャクシン・ハイネズ(<i>J. conferta</i>)・ミヤマネズ(<i>J. communis</i> var. <i>nipponica</i>)にも発生。さび胞子世代の宿主は <i>Sorbus</i> 属(ナナカマド・タカネナナカマド) (4) <i>Gymnosporangium shiraianum</i> Hara 原 攝祐:病虫雑 6(8):681, 1919(大 8); 松尾綾男:日菌報 6:20, 1965 [備考] ハイネズにも発生。さび胞子世代の宿主はナシ(<i>Pyrus serotina</i> var. <i>culta</i>) (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の表記に合わせて修正	ヒノキ科 Cupressaceae ネズ(ムロ, ネズミサシ)(杜松) Needle juniper <i>Juniperus rigida</i> Sieb. & Zucc. (針葉樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Gymnosporangium amelanchieris</i> E. Fischer [<i>Gymnosporangium idetae</i> G. Yamada] 原 攝祐:果樹病害論:90, 1916(大 5); 平塚直秀:植物学雑 50:213, 1936(昭 11); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The Rust Flora of Japan:959, 1992 [備考] さび胞子世代の宿主はザイフリボク (<i>Amelanchier asiatica</i>) (2) <i>Gymnosporangium clavariaeforme</i> (Jacquin) de Candolle 白井光太郎:植物病理学(下):116, 1894(明 27) [備考] リシリビャクシン(<i>J. communis</i> var. <i>montana</i>)にも発生 (3) <i>Gymnosporangium cornutum</i> Arthur ex F. Kern [<i>Gymnosporangium alpinum</i> G. Yamada, <i>Gymnosporangium juniperi</i> Link] 伊藤誠哉:札幌農林学会報 9(39):48, 1917(大 6); 松尾綾男:日菌報 6:20, 1965; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The Rust Flora of Japan:464, 1992 [備考] リシリビャクシン・ハイネズ(<i>J. conferta</i>)・ミヤマネズ(<i>J. communis</i> var. <i>nipponica</i>)にも発生。さび胞子世代の宿主は <i>Sorbus</i> 属(ナナカマド・タカネナナカマド) (4) <i>Gymnosporangium shiraianum</i> Hara 原 攝祐:病虫雑 6(8):681, 1919(大 8); 松尾綾男:日菌報 6:20, 1965 [備考] ハイネズにも発生。さび胞子世代の宿主はナシ(<i>Pyrus serotina</i> var. <i>culta</i>)
ヒノキ科 Cupressaceae ネズ(ムロ, ネズミサシ)(杜松) Needle juniper <i>Juniperus rigida</i> Sieb. & Zucc. (針葉樹) †††† <i>Exosporium juniperi</i> Hara	ヒノキ科 Cupressaceae ネズ(ムロ, ネズミサシ)(杜松) Needle juniper <i>Juniperus rigida</i> Sieb. & Zucc. (針葉樹) †††† <i>Exosporium juniperi</i> Hara

原 攝祐:日本害菌学:331, 1936(昭 11) (注) 文献名の後の半角スペースを半角コロンに置換	原 攝祐:日本害菌学 331, 1936(昭 11)
ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>D. alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>D. batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>D. bulbifera</i> L. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>D. japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>D. opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>D. tokoro</i> Makino 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 蔓枯病) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium pestis</i> Masee] 後藤和夫:熱帯農学会誌 1(3):301, 1929(昭 4); 中田覺五郎:作物病害図編:454, 1934(昭 9); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:591, 1992 [備考] 原 攝祐 (実験作物病理学:748, 1930) の報告した炭疽病は, 調査を要する (注) 文献名訂正	ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>D. alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>D. batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>D. bulbifera</i> L. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>D. japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>D. opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>D. tokoro</i> Makino 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 蔓枯病) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium pestis</i> Masee] 後藤和夫:熱帯農学会報 1(3):301, 1929(昭 4); 中田覺五郎:作物病害図編:454, 1934(昭 9); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:591, 1992 [備考] 原 攝祐 (実験作物病理学:748, 1930) の報告した炭疽病は, 調査を要する
グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) 微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo <i>Macrophomina phaseolina</i> (Tassi) Goidánich [<i>Sclerotium bataticola</i> Taubenhaus] 佐藤邦彦・庄司次男:北日本病虫研報 10:91, 1959; 佐藤邦彦・庄司次男:林試研報 111:51, 1959 (注) 文献名訂正	グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) 微粒菌核病 biryu-kinkaku-byo <i>Macrophomina phaseolina</i> (Tassi) Goidánich [<i>Sclerotium bataticola</i> Taubenhaus] 佐藤邦彦・庄司次男:北日本病虫研報 10:91, 1959; 佐藤邦彦・庄司次男:林研試報 111:51, 1959

グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) 円星病 maruhoshi-byo <i>Phaeosphaeria elaeagni</i> Sawada 澤田兼吉:林試研報 53:167, 1952 (注) 文献名訂正	グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) 円星病 maruhoshi-byo <i>Phaeosphaeria elaeagni</i> Sawada 澤田兼吉:林試研報 53:167, 1952
ツツジ科 Ericaceae ホロムイツツジ (Chamaedaphne) <i>Chamaedaphne calyculata</i> (L.) Moench (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Chrysomyxa ledi</i> de Bary var. <i>cassandrae</i> (Peck & G.P. Clinton) Savile [<i>Chrysomyxa cassandrae</i> (Peck & Clinton) Tranzschel] 平塚直秀:北大農紀 21(1):33, 1927(昭 2) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:189, 1992 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の表記に合わせて修正	ツツジ科 Ericaceae ホロムイツツジ (Chamaedaphne) <i>Chamaedaphne calyculata</i> (L.) Moench (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Chrysomyxa ledi</i> de Bary var. <i>cassandrae</i> (Peck & G.P. Clinton) Savile [<i>Chrysomyxa cassandrae</i> (Peck & Clinton) Tranzschel] 平塚直秀:北大農紀 21(1):33, 1927(昭 2) ; Hiratsuka, N. et al.:Rust flora of Japan:189, 1992
ツツジ科 Ericaceae イソツツジ Marsh tea, Wild rosemary <i>Ledum palustre</i> var. <i>diversipilosum</i> Nakai (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Chrysomyxa ledi</i> de Bary var. <i>ledi</i> 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:283, 1910(明 42) ; 平塚直秀:北大農紀 21:34, 1927(昭 2) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:187, 1992 [備考] カラフトイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>dilatatum</i>)・ホソバイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>minor</i>) にも発生 (2) <i>Chrysomyxa ledicola</i> (Peck) Lagerheim 平塚直秀:北大農紀要 21:35, 1927(昭 2) [備考] ヒメイソツツジ (<i>L. palustre</i> var.	ツツジ科 Ericaceae イソツツジ Marsh tea, Wild rosemary <i>Ledum palustre</i> var. <i>diversipilosum</i> Nakai (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Chrysomyxa ledi</i> de Bary var. <i>ledi</i> 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:283, 1910(明 42) ; 平塚直秀:北大農紀 21:34, 1927(昭 2) ; Hiratsuka, N. et al.:Rust flora of Japan:187, 1992 [備考] カラフトイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>dilatatum</i>)・ホソバイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>minor</i>) にも発生 (2) <i>Chrysomyxa ledicola</i> (Peck) Lagerheim 平塚直秀:北大農紀要 21:35, 1927(昭 2) [備考] ヒメイソツツジ (<i>L. palustre</i> var.

<i>procumbens</i>)・ホソバイソツツジに発生 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の表記に合わせて修正。備考変更	<i>procumbens</i>)・ホソバイソツツジ
ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Chrysomyxa ledi</i> de Bary var. <i>rhododendri</i> (de Bary) Savile [<i>Chrysomyxa rhododendri</i> de Bary] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:283, 1910(明 43) ; 白井光太郎:植物病理学(下):124, 1894(明 27) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:190, 1992 [備考] ヤマツツジ・ゲンカイツツジ(<i>R. mucronulatum</i> var. <i>ciliatum</i>)・ウンゼンツツジ(<i>R. serpyllifolium</i>)・サツキ・キンモウツツジ(<i>R. oldhamii</i>)・ミヤマキリシマ(<i>R. kiusianum</i>)・ゴヨウツツジ(<i>R. quinquefolium</i>)・サカイツツジ(<i>R. parvifolium</i>)・エゾムラサキツツジ(<i>R. dauricum</i>)に発生 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の表記に合わせて修正、備考変更	ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Chrysomyxa ledi</i> de Bary var. <i>rhododendri</i> (de Bary) Savile [<i>Chrysomyxa rhododendri</i> de Bary] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:283, 1910(明 43) ; 白井光太郎:植物病理学(下):124, 1894(明 27) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust Flora of Japan:190, 1992 [備考] ヤマツツジ・ゲンカイツツジ(<i>R. mucronulatum</i> var. <i>ciliatum</i>)・ウンゼンツツジ(<i>R. serpyllifolium</i>)・サツキ・キンモウツツジ(<i>R. oldhamii</i>)・ミヤマキリシマ(<i>R. kiusianum</i>)・ゴヨウツツジ(<i>R. quinquefolium</i>)・サカイツツジ(<i>R. parvifolium</i>)・エゾムラサキツツジ(<i>R. dauricum</i>)
トウダイグサ科 Euphorbiaceae ポインセチア(ユーホルビア, ユーホルビア・フルゲンス) <i>Poinsettia</i> <i>Euphorbia</i> spp. (草花) ポインセチア <i>E. puicherrima</i> Willd. 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot, Damping-off (苗立枯病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 植松清次ら:関東病虫研報 40:85, 1993 ; 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:183, 1997 [備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA。 <i>Euphorbia fulgens</i>。植松ら(1993)は苗立枯病として報告した (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ポインセチア(ユーホルビア, ユーホルビア・フルゲンス) <i>Poinsettia</i> <i>Euphorbia</i> spp. (草花) ポインセチア <i>E. puicherrima</i> Willd. 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot, Damping-off (苗立枯病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 植松清次ら:関東病虫研報 40:85, 1993 ; 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:183, 1997 [備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA。 <i>Euphorbia fulgens</i>。植松ら(1993)は苗立枯病として報告した

トウダイグサ科 Euphorbiaceae オキナワジンコウ (Excoecaria) <i>Excoecaria agallocha</i> L. var. <i>genuina</i> Muell.-Arg. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Skierka agallocha</i> Raciborski 平塚直秀:植物学雑 54(646):373, 1940(昭 15) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:1031, 1992 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の 表記に合わせて修正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae オキナワジンコウ (Excoecaria) <i>Excoecaria agallocha</i> L. var. <i>genuina</i> Muell.-Arg. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Skierka agallocha</i> Raciborski 平塚直秀:植物学雑 54(646):373, 1940(昭 15) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust flora of Japan:1031, 1992
トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Phakopsora glochidii</i> (P. Sydow & Sydow) Arthur [<i>Bubakia glochidii</i> Dietel, <i>Schroeteriaster glochidii</i> P. Sydow & Sydow] 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:10, 1914(大 3) ; 澤 田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):350, 1919(大 8) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 2:21, 1955 [備考] カキバカンコノキ。台湾ではカンコノキ・ キイルンカンコノキ(<i>G. lanceolatum</i>)・アカカンコ (<i>G. dasyphyllum</i>)にも記録 (2) <i>Phakopsora formosana</i> Sydow & P. Sydow [<i>Phakopsora innata</i> (Sydow, P. Sydow & Butler) Sawada, <i>Aecidium innatum</i> Sydow, P. Sydow & E.J. Butler] 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:10, 1914(大 3) ; 澤 田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):348, 1919(大 8) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 2:21, 1955 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:324, 1992 [備考] カキバカンコノキ・ヒラミカンコノキ(<i>G.</i> <i>fortunei</i>)・ウラジロカンコノキ・キイルンカンコ ノキにも発生。台湾ではケカンコノキ(<i>G. album</i>) にも記録 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の	トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Phakopsora glochidii</i> (P. Sydow & Sydow) Arthur [<i>Bubakia glochidii</i> Dietel, <i>Schroeteriaster glochidii</i> P. Sydow & Sydow] 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:10, 1914(大 3) ; 澤 田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):350, 1919(大 8) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 2:21, 1955 [備考] カキバカンコノキ。台湾ではカンコノキ・ キイルンカンコノキ(<i>G. lanceolatum</i>)・アカカンコ (<i>G. dasyphyllum</i>)にも記録 (2) <i>Phakopsora formosana</i> Sydow & P. Sydow [<i>Phakopsora innata</i> (Sydow, P. Sydow & Butler) Sawada, <i>Aecidium innatum</i> Sydow, P. Sydow & E.J. Butler] 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:10, 1914(大 3) ; 澤 田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):348, 1919(大 8) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 2:21, 1955 ; Hiratsuka, N. <i>et</i> <i>al.</i>:Rust flora of Japan:324, 1992 [備考] カキバカンコノキ・ヒラミカンコノキ(<i>G.</i> <i>fortunei</i>)・ウラジロカンコノキ・キイルンカンコ ノキにも発生。台湾ではケカンコノキ(<i>G. album</i>)にも 記録

トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (Mallotus) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Crossopsora malloti</i> (Raciborski) Cummins Katsuki, S.: Jour. Jap. Bot. 28(9):281, 1953 [備考] ヤンバルアカメガシワにも発生 (2) <i>Phakopsora malloti</i> Cummins [<i>Pucciniastrum malloti</i> Hiratsuka, f.] 澤田兼吉: 台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):100, 1943(昭 18); Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.: Bot. Mag. Tokyo 49(577):23, 1935(昭 10) (3) <i>Uredo malloti</i> Hennings 澤田兼吉: 台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):143, 1943(昭 18); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan:1118, 1992 [備考] ヤンバルアカメガシワにも発生 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の表記に合わせて修正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (Mallotus) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Crossopsora malloti</i> (Raciborski) Cummins Katsuki, S.: Jour. Jap. Bot. 28(9):281, 1953 [備考] ヤンバルアカメガシワにも発生 (2) <i>Phakopsora malloti</i> Cummins [<i>Pucciniastrum malloti</i> Hiratsuka, f.] 澤田兼吉: 台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):100, 1943(昭 18); Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.: Bot. Mag. Tokyo 49(577):23, 1935(昭 10) (3) <i>Uredo malloti</i> Hennings 澤田兼吉: 台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):143, 1943(昭 18); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: Rust flora of Japan:1118, 1992 [備考] ヤンバルアカメガシワにも発生
トウダイグサ科 Euphorbiaceae ナンキンハゼ(南京黄櫨) Chinese tallow tree <i>Sapium sebiferum</i> (L.) Roxb. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 本間善久: 四国植防 14:53, 1979 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ナンキンハゼ(南京黄櫨) Chinese tallow tree <i>Sapium sebiferum</i> (L.) Roxb. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 本間善久: 四国植防 研究 14:53, 1979
トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒトツバハギ (Securinega) <i>Securinega suffruticosa</i> var. <i>japonica</i> (Muell. Arg.) Hurusawa (広葉樹)	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒトツバハギ (Securinega) <i>Securinega suffruticosa</i> var. <i>japonica</i> (Muell. Arg.) Hurusawa (広葉樹)

†††† <i>Pseudocercospora securinegae</i> (Togashi & Katsuki) Deighton [<i>Cercospora securinegae</i> Togashi & Katsuki] 香月繁孝:日植病報 17:7, 1952 ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Extra Issue) 1:32, 1965 (注) 文献名訂正(Trans のあとにピリオド挿入)	†††† <i>Pseudocercospora securinegae</i> (Togashi & Katsuki) Deighton [<i>Cercospora securinegae</i> Togashi & Katsuki] 香月繁孝:日植病報 17:7, 1952 ; Katsuki, S.:Trans Mycol. Soc. Japan (Extra Issue) 1:32, 1965
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソウシジュ(相思樹) Taiwan acacia <i>Acacia confusa</i> Merr. (広葉樹) †すす病* susu-byo Sooty mold (小すす病) <i>Meliola koae</i> F. Stevens [<i>Meliola acaciae-confusae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾中研農報 51(台湾産菌類調査報告 5):16, 1931(昭 6) ; 山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):154, 1940(昭 15) ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3):290, 1985 [備考] 台湾 (注) 文献名訂正 (Japan の後のピリオド削除)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソウシジュ(相思樹) Taiwan acacia <i>Acacia confusa</i> Merr. (広葉樹) †すす病* susu-byo Sooty mold (小すす病) <i>Meliola koae</i> F. Stevens [<i>Meliola acaciae-confusae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾中研農報 51(台湾産菌類調査報告 5):16, 1931(昭 6) ; 山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):154, 1940(昭 15) ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan . 26(3):290, 1985 [備考] 台湾
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヤブマメ類 (Amphicarpaea) <i>Amphicarpaea</i> spp. (野草) ヤブマメ <i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fern. subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) Ohashi var. <i>japonica</i> (Oliv.) Ohashi うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe glycines</i> F.L. Tai emend. Zheng var. <i>glycines</i> [<i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle, <i>Erysiphe pisi</i> auct. non de Candolle sensu Homma pro parte] 白井光太郎:訂正増補日本菌類目録第 2 版:225, 1917(大 6) ; 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):201, 1988 [備考] ヤブマメに発生。ヤブハギ, ケヤブハギ, ヌスビトハギ, マルバナヌスビトハギ, ケハギにも 発生するとされる (大谷 1988) (注) 文献名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヤブマメ類 (Amphicarpaea) <i>Amphicarpaea</i> spp. (野草) ヤブマメ <i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fern. subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) Ohashi var. <i>japonica</i> (Oliv.) Ohashi うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe glycines</i> F.L. Tai emend. Zheng var. <i>glycines</i> [<i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle, <i>Erysiphe pisi</i> auct. non de Candolle sensu Homma pro parte] 白井光太郎:改訂増補日本菌類目録第 2 版:225, 1917(大 6) ; 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):201, 1988 [備考] ヤブマメに発生。ヤブハギ, ケヤブハギ, ヌ スビトハギ, マルバナヌスビトハギ, ケハギにも発 生するとされる (大谷 1988)
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae シツソノキ Sissoo, Zigzag-rosewood <i>Dalbergia sissoo</i> Roxb. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Maravalia achroa</i> (Sydow) Arthur & Cummins [<i>Uromyces achrous</i> Sydow & P. Sydow] Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 14(1):34, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 1:16, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:352, 1992, (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の 表記に合わせて修正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae シツソノキ Sissoo, Zigzag-rosewood <i>Dalbergia sissoo</i> Roxb. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Maravalia achroa</i> (Sydow) Arthur & Cummins [<i>Uromyces achrous</i> Sydow & P. Sydow] Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 14(1):34, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 1:16, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust flora of Japan:352, 1992
マメ科 Fabaceae, Leguminosae トバ(デリス) Tuba <i>Derris elliptica</i> Benth. (特用作物) †††† †<i>Hapalophragmium derridis</i> Sydow & P. Sydow Lohsomboon, P. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29:230, 1988 [備考] タイ (注) 文献名訂正 (Mycol の後にピリオド挿入)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae トバ(デリス) Tuba <i>Derris elliptica</i> Benth. (特用作物) †††† †<i>Hapalophragmium derridis</i> Sydow & P. Sydow Lohsomboon, P. & Kakishima, M.:Trans. Mycol Soc. Japan 29:230, 1988 [備考] タイ
マメ科 Fabaceae, Leguminosae ナツフジ(夏藤) Japanese millettia <i>Millettia japonica</i> (Sieb. & Zucc.) A. Gray (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 本間善久:四国植防 11:134, 1976 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ナツフジ(夏藤) Japanese millettia <i>Millettia japonica</i> (Sieb. & Zucc.) A. Gray (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 本間善久:四国植防研究 11:134, 1976

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Alternaria tenuissima</i> (Nees) Wiltshire Rahman, M. Z. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(1):31, 2002 (注) 文献著者名のイニシャル間のスペース削除	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Alternaria tenuissima</i> (Nees) Wiltshire Rahman, M. Z. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(1):31, 2002
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae フジ(藤) Japanese wistaria <i>Wistaria floribunda</i> (Willd.) DC. (広葉樹) 絹皮病 kinukawa-byo <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:11, 1938(昭 13) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12:70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993 [備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照 (注) 文献名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae フジ(藤) Japanese wistaria <i>Wistaria floribunda</i> (Willd.) DC. (広葉樹) 絹皮病 kinukawa-byo <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 帝室林野林試:森林病虫害図説病害篇 1:11, 1938(昭 13) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12:70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 31:8, 1993 [備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照
--	---

ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (Castanopsis) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>C. cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky スダジイ(イタジイ) <i>C. sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba 絹皮病 kinukawa-byo White stem blight <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:11, 1938(昭 13) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst.	ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (Castanopsis) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky スダジイ(イタジイ) <i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba 絹皮病 kinukawa-byo White stem blight <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:11, 1938(昭 13) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst.
--	--

Japan 31:8, 1993 [備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照 (注) 文献名訂正、宿主学名属名省略	Japan 31:8, 1993 [備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照
ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(櫟) Japanese chestnut oak <i>Q. acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Q. alba</i> L. ナラガシワ <i>Q. aliena</i> Blume ミズナラ(水櫟、カラフトガシワ、モンゴリナラ) <i>Q. crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Q. crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(栂) <i>Q. dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Q. robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Q. rubra</i> L. コナラ(小櫟) <i>Q. serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Q. variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i>×<i>major</i> Nakai 裏 う どん こ 病 ura-udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe japonica</i> (S. Ito & Hara) C.T. Wei [<i>Typhulochaeta japonica</i> S. Ito & Hara] (粉病, 白 渋病, うどんこ病, 裏白渋病) Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 29(338):20, 1915 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):181, 1988; 高松 進: 三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] コナラ・ミズナラ・ナラガシワに発生 (2) <i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma 本間善久:四国植防 11:132, 1976 [備考] アベマキに発生 (3) <i>Phyllactinia roboris</i> (Gachet) S. Blumer [<i>Phyllactinia quercus</i> (Mérat) Homma] (うどんこ 病) Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):414, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):263, 1988 [備考] コナラ・アベマキに発生 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修 正。宿主和名の括弧を半角にして、宿主和名と学	ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(櫟) Japanese chestnut oak <i>Q. acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ (ホワイトオーク) <i>Q. alba</i> L. ナラガシワ <i>Q. aliena</i> Blume ミズナラ(水櫟、カラフトガシワ、モンゴリナラ) <i>Q. crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Q. crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(栂) <i>Q. dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ (ヨーロッパナラ) <i>Q. robur</i> L. アメリカアカナラ (レッドオーク) <i>Q. rubra</i> L. コナラ(小櫟) <i>Q. serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Q. variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i>×<i>major</i> Nakai 裏 う どん こ 病 ura-udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe japonica</i> (S. Ito & Hara) C.T. Wei [<i>Typhulochaeta japonica</i> S. Ito & Hara] (粉病, 白 渋病, うどんこ病, 裏白渋病) Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 29(338):20, 1915 ; Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):181, 1988; 高松 進: 三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] コナラ・ミズナラ・ナラガシワに発生 (2) <i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma 本間善久:四国植 物防疫研究 11:132, 1976 [備考] アベマキに発生 (3) <i>Phyllactinia roboris</i> (Gachet) S. Blumer [<i>Phyllactinia quercus</i> (Mérat) Homma] (うどんこ 病) Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):414, 1937(昭 12); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):263, 1988 [備考] コナラ・アベマキに発生

名の間に半角スペース 3 つずつ入れて揃えた。

ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Q. acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Q. alba</i> L. ナラガシワ <i>Q. aliena</i> Blume ミズナラ(水櫟、カラフトガシワ、モンゴリナラ) <i>Q. crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Q. crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(栲) <i>Q. dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Q. robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Q. rubra</i> L. コナラ(小櫟) <i>Q. serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Q. variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i>×<i>major</i> Nakai 葉枯病 hagare-byo Monochaetia leaf blight (1) <i>Monochaetia dimorphospora</i> T. Yokoyama Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:126, 1980 [備考] クヌギに発生 (2) <i>Monochaetia monochaeta</i> (Desmazières) Allescher [<i>Monochaetia</i> sp., <i>Monochaetia pachyspora</i> Bubák, <i>Monochaetia desmaytia</i> Saccardo] 小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; Fujioka, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 3:64, 1962 ; Kaneko S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:124, 1980 [備考] クヌギ・アベマキ・コナラ・オウシュウアカナラ(<i>Q. robur</i>) に発生 (注) 文献名訂正 (Japan の後のピリオド削除)、備考変更。宿主和名の括弧を半角にして、宿主和名と学名の間に半角スペース 3 つずつ入れて揃えた。	ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Q. acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ (ホワイトオーク) <i>Q. alba</i> L. ナラガシワ <i>Q. aliena</i> Blume ミズナラ(水櫟、カラフトガシワ、モンゴリナラ) <i>Q. crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Q. crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(栲) <i>Q. dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ (ヨーロッパナラ) <i>Q. robur</i> L. アメリカアカナラ (レッドオーク) <i>Q. rubra</i> L. コナラ(小櫟) <i>Q. serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Q. variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i>×<i>major</i> Nakai 葉枯病 hagare-byo Monochaetia leaf blight (1) <i>Monochaetia dimorphospora</i> T. Yokoyama Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:126, 1980 [備考] クヌギ (2) <i>Monochaetia monochaeta</i> (Desmazières) Allescher [<i>Monochaetia</i> sp., <i>Monochaetia pachyspora</i> Bubák, <i>Monochaetia desmaytia</i> Saccardo] 小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; Fujioka, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan. 3:64, 1962 ; Kaneko S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 18:124, 1980 [備考] クヌギ・アベマキ・コナラ・オウシュウアカナラ(<i>Q. robur</i>)
リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種	リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種

(草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナ リアネコブセンチュウ Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood キタネコブセン チュウ 森田 儔・深沢永光:改訂新版花の病虫害と新防 除:221, 1973 (3) <i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 [備考] 上記種との異同は不明 (注) 文献名訂正	(草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナ リアネコブセンチュウ Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood キタネコブセン チュウ 森田 儔・深沢永光:改定新版花の病虫害と新防 除:221, 1973 (3) <i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 [備考] 上記種との異同は不明
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ハウライチク類 (竹笹類) ハウライチク <i>B. multiplex</i> (Lour.) Raeusch ハウオウチク <i>B. multiplex</i> var. <i>elegans</i> (Koidz.) Muroi ダイサンチク <i>B. vulgaris</i> Schrad. †††† <i>Phomachora punctulata</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:243, 1961 [備考] ハウライチク (注) 文献名訂正、宿主属名省略。日野 巖の1961 年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	イネ科 Gramineae, Poaceae ハウライチク類 (竹笹類) ハウライチク <i>Bambusa multiplex</i> (Lour.) Raeusch ハウオウチク <i>Bambusa multiplex</i> var. <i>elegans</i> (Koidz.) Muroi ダイサンチク <i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. †††† <i>Phomachora punctulata</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:243, 1961 [備考] ハウライチク
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegarss <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>L. multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>L. perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegarss <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>L. multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>L. perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種
---	---

モザイク病 <i>mosaic-byo</i> <i>Ryegrass mosaic virus</i> (RGMV) ライグラスモザイクウイルス 御子柴義郎ら:日植病報 48(1):79, 1982 ; 井上 興ら:日植病報 59(1):66, 1993 ; 井上 興ら:日植病報 59(3):326, 1993 [備考] 英国のライグラスモザイクウイルスの抗血清と陽性の反応が認められる (注) 文献名訂正	モザイク病 <i>mosaic-byo</i> <i>Ryegrass mosaic virus</i> (RGMV) ライグラスモザイクウイルス 御子柴義郎ら:日植病報 48(1):79, 1982 ; 井上 興ら:日植病報 59(1):66, 1993 ; 井上 興ら:日食病報 59(3):326, 1993 [備考] 英国のライグラスモザイクウイルスの抗血清と陽性の反応が認められる
イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehd. クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Leptosphaeria minoensis</i> Hara Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:175, 1961 [備考] カワカムリヤダケ (注) 文献名訂正。日野 巖の 1961 年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehd. クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Leptosphaeria minoensis</i> Hara Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:175, 1961 [備考] カワカムリヤダケ

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Massarina yezoensis</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:188, 1961 [備考] チシマザサ (注) 文献名訂正。日野 巖の 1961 年の著書は正式には「Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum」	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Massarina yezoensis</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:188, 1961 [備考] チシマザサ
イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P.</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P.</i>

<i>reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (朱病, 赤 渋病, 竹蓐病, すずめのたまご) <i>Stereostatum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson 安田 篤:植物学雑 31(364):95, 1917(大 6); 吉永虎 馬:植物学雑 19(217):34, 1905(明 38); Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:272, 1961 [備考] モウソウチク・マダケ・ハチク・キンケイ チク。病菌の異名はカンチク赤衣病参照 (注) 文献ページの前の半角スペースを半角コロ ンに置換	<i>reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (朱病, 赤 渋病, 竹蓐病, すずめのたまご) <i>Stereostatum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson 安田 篤:植物学雑 31(364):95, 1917(大 6); 吉永虎 馬:植物学雑 19(217):34, 1905(明 38); Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 272, 1961 [備考] モウソウチク・マダケ・ハチク・キンケイ チク。病菌の異名はカンチク赤衣病参照
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P.</i> <i>reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P.</i> <i>reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i>
--	--

(Bean) Stapf たけのこ立枯病 takenoko-tachigare-byo Fusarium rot of bamboo-shoot (1) <i>Fusarium bambusicola</i> Hara 原 攝祐:植物学雑 27(317):255, 1913(大 2) [備考] マダケに発生 (2) <i>Fusarium</i> sp. 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 5:7, 1944(昭 19) [備考] モウソウチクに発生 (注) 文献名訂正、備考変更	(Bean) Stapf たけのこ立枯病 takenoko-tachigare-byo Fusarium rot of bamboo-shoot (1) <i>Fusarium bambusicola</i> Hara 原 攝祐:植物学雑 27(317):255, 1913(大 2) [備考] マダケ (2) <i>Fusarium</i> sp. 帝室林野林試:森林病虫害図説病害篇 5:7, 1944(昭 19) [備考] モウソウチク
イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Hidakaea tumidula</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:217, 1961 [備考] マダケに発生 (注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の 1961 年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Hidakaea tumidula</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:217, 1961 [備考] マダケ

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Massarinula gloeospora</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:190, 1961 [備考] マダケに発生 (注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の1961年の著書は正式には「Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum」	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Massarinula gloeospora</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:190, 1961 [備考] マダケ
イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf.	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf.

var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Melchioria philippinensis</i> (Rehm) I. Hino & Katumoto [Gibbera philippinensis Rehm] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:136, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 43(1):29, 1968 [備考] タイワンマダケに発生 (注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の1961年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Melchioria philippinensis</i> (Rehm) I. Hino & Katumoto [Gibbera philippinensis Rehm] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:136, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 43(1):29, 1968 [備考] タイワンマダケ
イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Ophiomassaria haraeana</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:191, 1961 [備考] マダケに発生	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Ophiomassaria haraeana</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:191, 1961 [備考] マダケ

(注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の 1961 年の著書は正式には「Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum」	
イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Pleospora punctulata</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:181, 1961 [備考] マダケ・ハチクに発生 (注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の 1961 年の著書は正式には「Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum」	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>P. aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>P. bambusoides</i> Sieb. & Zucc.[<i>P. reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>P. heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>P. humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>P. makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>P. nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Pleospora punctulata</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan.:181, 1961 [備考] マダケ・ハチク
イネ科 Gramineae, Poaceae タケ・ササ類の稈 Bamboo culm <i>Phyllostachys</i> spp. & others (竹笹類) さび竹 <i>sabi-take</i> <i>Stereostatum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson	イネ科 Gramineae, Poaceae タケ・ササ類の稈 Bamboo culm <i>Phyllostachys</i> spp. & others (竹笹類) さび竹 <i>sabi-take</i> <i>Stereostatum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:272, 1961 [備考] 本菌は竹笹類(マダケ・メダケなど)の赤衣病菌である。本菌の異名はカンチク赤衣病参照 (注) 文献名修正。文献ページの前の半角スペースを半角コロンに置換。日野 巖の 1961 年の著書は正式には「Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum」	Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan 272, 1961 [備考] 本菌は竹笹類(マダケ・メダケなど)の赤衣病菌である。本菌の異名はカンチク赤衣病参照
イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai 黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病, 斑葉病) (1) <i>Phragmocarpella japonica</i> Hara Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:203, 1961 [備考] メダケに発生 (2) <i>Phyllachora shiraiana</i> P. Sydow 澤田兼吉:林試研報 53:161, 1952 ; 出田 新:日本植物病理学(上):251, 1909(明 42) [備考] メダケ・アズマネザサ・メダケ上に記録された <i>Phyllachora graminis</i> (Persoon) Fuckel(吉野毅一:植物学雑 19(224):208, 1905)も本種であると考えられる (3) <i>Telimenia haraeana</i> I. Hino & Katumoto [<i>Telimenia arundinariae</i> Hara non Doidge] 原 攝祐:実験樹木病害篇:350, 1927(昭 2); 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:915, 1958 [備考] メダケに発生 (4) <i>Telimenia pleioblasti</i> I. Hino & Katumoto 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:274, 1956	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai 黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病, 斑葉病) (1) <i>Phragmocarpella japonica</i> Hara Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 203, 1961 [備考] メダケ (2) <i>Phyllachora shiraiana</i> P. Sydow 澤田兼吉:林試研報 53:161, 1952 ; 出田 新:日本植物病理学(上):251, 1909(明 42) [備考] メダケ・アズマネザサ・メダケ上に記録された <i>Phyllachora graminis</i> (Persoon) Fuckel(吉野毅一:植物学雑 19(224):208, 1905)も本種であると考えられる (3) <i>Telimenia haraeana</i> I. Hino & Katumoto [<i>Telimenia arundinariae</i> Hara non Doidge] 原 攝祐:実験樹木病害篇:350, 1927(昭 2); 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:915, 1958 [備考] メダケ (4) <i>Telimenia pleioblasti</i> I. Hino & Katumoto 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 7:274, 1956

[備考] メダケに発生 (注) 文献ページの前の半角スペースを半角コロンに置換、備考変更	[備考] メダケ
イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai すす病* susu-byo Sooty mold (1) <i>Dimerina arundinariae</i> I. Hino & Katumoto 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:213, 1954 [備考] ネザサに発生 (2) <i>Dimerosporium arundinariae</i> I. Hino & Katumoto [<i>Dimerosporina arundinariae</i> (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto] 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:214, 1954 ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:102, 1961 [備考] メダケ・ネザサに発生 (3) <i>Hinoa bambusicola</i> (I. Hino & Katumoto) Hara & I. Hino [<i>Haraea bambusicola</i> I. Hino & Katumoto, <i>Haraella bambusicola</i> (I. Hino & Katumoto) Hara & I. Hino] 原 攝祐:日菌報 1(3):3, 1957 ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:137, 1961 [備考] ネザサ・イガネザサ (<i>Pleioblastus kongosanensis</i> var. <i>protrusus</i>)にも発生 (4) <i>Hinoa sasae</i> (Hara & I. Hino) Hara & I. Hino [<i>Haraella sasae</i> Hara & I. Hino] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:138, 1961 [備考] メダケに発生 (5) <i>Limacinia bambusicola</i> I. Hino & Katumoto	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai すす病* susu-byo Sooty mold (1) <i>Dimerina arundinariae</i> I. Hino & Katumoto 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:213, 1954 [備考] ネザサ (2) <i>Dimerosporium arundinariae</i> I. Hino & Katumoto [<i>Dimerosporina arundinariae</i> (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto] 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:214, 1954 ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 102, 1961 [備考] メダケ・ネザサ (3) <i>Hinoa bambusicola</i> (I. Hino & Katumoto) Hara & I. Hino [<i>Haraea bambusicola</i> I. Hino & Katumoto, <i>Haraella bambusicola</i> (I. Hino & Katumoto) Hara & I. Hino] 原 攝祐:日菌報 1(3):3, 1957 ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 137, 1961 [備考] ネザサ・イガネザサ (<i>Pleioblastus kongosanensis</i> var. <i>protrusus</i>)にも発生 (4) <i>Hinoa sasae</i> (Hara & I. Hino) Hara & I. Hino [<i>Haraella sasae</i> Hara & I. Hino] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 138, 1961 [備考] メダケ (5) <i>Limacinia bambusicola</i> I. Hino & Katumoto

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:216, 1954 [備考] メダケに発生 (6) <i>Triposporiopsis spinigera</i> (Höhnelt) W. Yamamoto 原 攝祐:菌類 1(2):18, 1931 (昭 6) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 1(1):46, 1953 [備考] メダケに発生。病菌の異名はマダケ類すす病参照 (注) 文献ページの前の半角スペースを半角コロンに置換(3 件)、備考変更	日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:216, 1954 [備考] メダケ (6) <i>Triposporiopsis spinigera</i> (Höhnelt) W. Yamamoto 原 攝祐:菌類 1(2):18, 1931 (昭 6) ; 山本和太郎:兵庫農大研報 1(1):46, 1953 [備考] メダケ。病菌の異名はマダケ類すす病参照
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Collodiscula japonica</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:134, 1961 [備考] メダケ・ネザサ・シブヤザサに発生 (注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の 1961 年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Collodiscula japonica</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:134, 1961 [備考] メダケ・ネザサ・シブヤザサ
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp.	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp.
---	---

(竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Hymenochaete muroiana</i> I. Hino & Katumoto ササ ウロコタケ Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:237, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:宇部短大学術報 3:111, 1963 [備考] メダケ・リュウキュウチクに発生 (注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の1961年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	(竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Hymenochaete muroiana</i> I. Hino & Katumoto ササ ウロコタケ Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:237, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:宇部短大学術報 3:111, 1963 [備考] メダケ・リュウキュウチク
イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Sphaerocolla pleioblasti</i> I. Hino & Katumoto	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Sphaerocolla pleioblasti</i> I. Hino & Katumoto

Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:266, 1961 [備考] カタハタネザサ(<i>P. chino</i> var. <i>semihirtus</i>)に発生 (注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の1961年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:266, 1961 [備考] カタハタネザサ(<i>P. chino</i> var. <i>semihirtus</i>)
イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Sphaeropsis verrucosa</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:245, 1961 [備考] ケネザサに発生 (注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の1961年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Sphaeropsis verrucosa</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:245, 1961 [備考] ケネザサ
イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel)	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>P. argenteostriatus</i> (Regel)

Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Tubercularia maeshimana</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:267, 1961 [備考] メダケ・ネザサ・カムロザサ(<i>P. vividistriatus</i>) に発生 (注) 文献名訂正、備考変更。日野 巖の1961年の著書は正式には「Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum」	Nakai ネザサ <i>P. argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>P. chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>P. hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>P. linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>P. simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Tubercularia maeshimana</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:267, 1961 [備考] メダケ・ネザサ・カムロザサ(<i>P. vividistriatus</i>)
イネ科 Gramineae, Poaceae ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類) ヤシャダケ(夜叉竹) <i>S. yashadake</i> (Makino) Makino 褐斑病* kappan-byo Brown leaf spot <i>Phaeosphaeria bambusae</i> I. Miyake & Hara [<i>Leptosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) Hara, <i>Leptosphaeria bambusae</i> (I. Miyake & Hara) Saccardo, <i>Phaeospora bambusae</i> (Miyake & Hara) Hara, <i>Trematosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto, <i>Trematosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:160, 1961 [備考] ケナシナリヒラに発生 (注) 文献名訂正文献ページの前の半角スペースを半角コロンに置換、備考変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類) ヤシャダケ(夜叉竹) <i>S. yashadake</i> (Makino) Makino 褐斑病* kappan-byo Brown leaf spot <i>Phaeosphaeria bambusae</i> I. Miyake & Hara [<i>Leptosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) Hara, <i>Leptosphaeria bambusae</i> (I. Miyake & Hara) Saccardo, <i>Phaeospora bambusae</i> (Miyake & Hara) Hara, <i>Trematosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto, <i>Trematosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 160, 1961 [備考] ケナシナリヒラ

イネ科 Gramineae, Poaceae オカメザサ(ブンゴザサ, 豊後笹) (Shibataea) <i>Shibataea kumasaca</i> (Zollinger) Makino (竹笹類) ごま竹病* gomatake-byo (1) <i>Scirrhiella curvispora</i> Spegazzini 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:49, 1955 (2) <i>Scyphospora phyllostachydis</i> L.A. Kantschaweli Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:259, 1961 (注) 文献名訂正文献ページの前の半角スペース を半角コロンに置換	イネ科 Gramineae, Poaceae オカメザサ(ブンゴザサ, 豊後笹) (Shibataea) <i>Shibataea kumasaca</i> (Zollinger) Makino (竹笹類) ごま竹病* gomatake-byo (1) <i>Scirrhiella curvispora</i> Spegazzini 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 6:49, 1955 (2) <i>Scyphospora phyllostachydis</i> L.A. Kantschaweli Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon. 259, 1961
イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) 黒色立枯病* kokushoku-tachigare-byo Black culm rot <i>Glomerella hsienjenchang</i> (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa [<i>Gnomonia hsienjenchang</i> I. Hino & Katumoto, 不完全世代: <i>Colletotrichum</i> <i>hsienjenchang</i> Hino & Hidaka] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:182, 1961 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012 (注) 文献名訂正。日野 巖の 1961 年の著書は正 式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum</i> <i>Japonicorum</i>」	イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) 黒色立枯病* kokushoku-tachigare-byo Black culm rot <i>Glomerella hsienjenchang</i> (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa [<i>Gnomonia hsienjenchang</i> I. Hino & Katumoto, 不完全世代: <i>Colletotrichum</i> <i>hsienjenchang</i> Hino & Hidaka] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:182, 1961 ; Sato, T. <i>et</i> <i>al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012
イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) †††† <i>Astrocystis mirabilis</i> Berkeley & Broome [<i>Anthostomella mirabilis</i> (Berkeley & Broome) Höhnelt] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:146, 1961	イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) †††† <i>Astrocystis mirabilis</i> Berkeley & Broome [<i>Anthostomella mirabilis</i> (Berkeley & Broome) Höhnelt] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:146, 1961

(注) 文献名訂正。日野 巖の 1961 年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	
イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) †††† <i>Koorchaloma okamurae</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:265, 1961 (注) 文献名訂正。日野 巖の 1961 年の著書は正式には「<i>Icones fungorum bambusicolorum Japonicorum</i>」	イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) †††† <i>Koorchaloma okamurae</i> I. Hino & Katumoto Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japan:265, 1961
マンサク科 Hamamelidaceae イスノキ(柞樹) (Distylium) <i>Distylium racemosum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia sakamotoi</i> Hiratsuka, f. & Yoshinaga [<i>Xenostele sakamotoi</i> (Hiratsuka, f. & Yoshinaga) S. Ito & Murayama] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):377, 1942(昭 17) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(314):170, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:788, 1992 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の表記に合わせて修正	マンサク科 Hamamelidaceae イスノキ(柞樹) (Distylium) <i>Distylium racemosum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia sakamotoi</i> Hiratsuka, f. & Yoshinaga [<i>Xenostele sakamotoi</i> (Hiratsuka, f. & Yoshinaga) S. Ito & Murayama] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):377, 1942(昭 17) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(314):170, 1943(昭 18) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust flora of Japan:788, 1992
トチノキ科 Hippocastanaceae トチノキ(七葉樹) Japanese horse chestnut <i>Aesculus turbinata</i> Blume (広葉樹) インドトチノキ <i>A. indica</i> (Wall. ex Cambess.) Hook.	トチノキ科 Hippocastanaceae トチノキ(七葉樹) Japanese horse chestnut <i>Aesculus turbinata</i> Blume (広葉樹) インドトチノキ <i>Aesculus indica</i> (Wall. ex Cambess.) Hook. 大形輪紋病 ogata-rimmon-byo Large

大形輪紋病 ogata-rimmon-byo Large concentric leaf spot <i>Mycodidymella aesculi</i> C.Z. Wei, Y. Harada & Katumoto [<i>Didymella</i> sp.] 原田幸雄・椿 啓介:日植病報 59(3):293, 1993 ; Wei, C.Z. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(6):642, 1995 ; Wei, C.Z. et al.:Mycologia 90(2):336, 1998 (注) 病原学名命名者名訂正、宿主学名属名省略、文献著者名イニシャル中のスペース削除 2 件	concentric leaf spot <i>Mycodidymella aesculi</i> C.Z. Wei, Y. Harada & Katumoto [<i>Didymella</i> sp.] 原田幸雄・椿 啓介:日植病報 59(3):293, 1993 ; Wei, C. Z. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(6):642, 1995 ; Wei, C. Z. et al.:Mycologia 90(2):336, 1998
オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花, 広葉樹) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>H. androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>H. calycinum</i> L オトギリソウ(弟切草) <i>H. erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>H. monogynum</i> L. [<i>H. salicifolium</i> Sieb. & Zucc., <i>H. chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>H. patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>H. perforatum</i> L. (注) 根腐疫病の後の余分な一行を削除	オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花, 広葉樹) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>H. androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>H. calycinum</i> L オトギリソウ(弟切草) <i>H. erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>H. monogynum</i> L. [<i>H. salicifolium</i> Sieb. & Zucc., <i>H. chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>H. patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>H. perforatum</i> L.
シキミ科 Illiciaceae シキミ(榊) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) ウイルス病 virus-byo Virus <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 福本文良・前野昭人:関東病虫研報 41:181, 1994 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	シキミ科 Illiciaceae シキミ(榊) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) ウイルス病 virus-byo Virus <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 福本文良・前野昭人:関東東山病虫研報 41:181, 1994

クルミ科 Juglandaceae ノグルミ(野胡桃) (Platycarya) <i>Platycarya strobilacea</i> Siebold & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Phyllactinia juglandis</i> J.F. Tao & J.Z. Quin [<i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma] 本間善久:四国植防 11:132, 1976 ; 大谷吉雄:日本 菌類誌 3(2):264, 1988 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	クルミ科 Juglandaceae ノグルミ(野胡桃) (Platycarya) <i>Platycarya strobilacea</i> Siebold & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Phyllactinia juglandis</i> J.F. Tao & J.Z. Quin [<i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma] 本間善久:四国植防 研 11:132, 1976 ; 大谷吉雄:日 本菌類誌 3(2):264, 1988
--	---

クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum japonicum</i> Sieb. ex Nakai (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Monosporidium machili</i> (Hennings) T. Sato [<i>Endophyllum machili</i> (Hennings) F. Stevens] Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 8:119, 1961 ; 佐藤豊三:植物病 原菌類図説(小林享夫ら編):585, 1992 [備考] 病原菌の異名はタブノキサビ病参照 (2) <i>Puccinia litseae</i> (Patouillard) Dietel & Hennings [<i>Xenostele litseae</i> (Patouillard) Sydow & P. Sydow] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):375, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:775, 1992 [備考] 病原菌の異名はシロダモさび病参照 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の 表記に合わせて修正	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum japonicum</i> Sieb. ex Nakai (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Monosporidium machili</i> (Hennings) T. Sato [<i>Endophyllum machili</i> (Hennings) F. Stevens] Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 8:119, 1961 ; 佐藤豊三:植物病 原菌類図説(小林享夫ら編):585, 1992 [備考] 病原菌の異名はタブノキサビ病参照 (2) <i>Puccinia litseae</i> (Patouillard) Dietel & Hennings [<i>Xenostele litseae</i> (Patouillard) Sydow & P. Sydow] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):375, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust flora of Japan:775, 1992 [備考] 病原菌の異名はシロダモさび病参照
---	--

クスノキ科 Lauraceae バリバリノキ (Litsea) <i>Litsea acuminata</i> (Bl.) Kurata (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 本間善久:四国植防 16:46, 1981	クスノキ科 Lauraceae バリバリノキ (Litsea) <i>Litsea acuminata</i> (Bl.) Kurata (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 本間善久:四国植防 研究 16:46, 1981
--	---

[備考] カゴノキ (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	[備考] カゴノキ
クスノキ科 Lauraceae バリバリノキ (Litsea) <i>Litsea acuminata</i> (Bl.) Kurata (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia takakumensis</i> (Hiratsuka) Hiratsuka [<i>Xenostele takakumensis</i> Hiratsuka, f.] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):376, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:776, 1992 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の 表記に合わせて修正	クスノキ科 Lauraceae バリバリノキ (Litsea) <i>Litsea acuminata</i> (Bl.) Kurata (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia takakumensis</i> (Hiratsuka) Hiratsuka [<i>Xenostele takakumensis</i> Hiratsuka, f.] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):376, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust flora of Japan:776, 1992
クスノキ科 Lauraceae シロダモ(五爪楠) (Neolitsea) <i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia litseae</i> (Patouillard) Dietel & Hennings [<i>Xenostele litseae</i> (Patouillard) Sydow & P. Sydow, <i>Aecidium litseae</i> Patouillard, <i>Puccinia nakanoi</i> Kusano & Yoshinaga, <i>Xenostele nakanoi</i> Hiratsuka, f. & Yoshinaga] 松村任三:帝国植物名鑑(上):168, 1904(明 37) ; 伊藤 誠哉:日本菌類誌 2(3):344, 1950 ; Hiratsuka, N. <i>et</i> <i>al.</i>:The rust flora of Japan:776, 1992 [備考] イヌガシ・コバノシロダモ (<i>N.</i> <i>acuminatissima</i>) にも発生 (注) 文献名訂正、さらに 2018 年版で最多数派の 表記に合わせて修正	クスノキ科 Lauraceae シロダモ(五爪楠) (Neolitsea) <i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia litseae</i> (Patouillard) Dietel & Hennings [<i>Xenostele litseae</i> (Patouillard) Sydow & P. Sydow, <i>Aecidium litseae</i> Patouillard, <i>Puccinia nakanoi</i> Kusano & Yoshinaga, <i>Xenostele nakanoi</i> Hiratsuka, f. & Yoshinaga] 松村任三:帝国植物名鑑(上):168, 1904(明 37) ; 伊藤 誠哉:日本菌類誌 2(3):344, 1950 ; Hiratsuka, N. <i>et</i> <i>al.</i>:Rust flora of Japan:776, 1992 [備考] イヌガシ・コバノシロダモ (<i>N.</i> <i>acuminatissima</i>) にも発生
ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (porrum group)	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (porrum group)

(野菜) 葉枯病 hagare-byo Leaf spot, Leaf blight (1) <i>Stemphylium</i> sp. 系統群 C2 [<i>Pleospora allii</i> (Rabenhorst) Cesati & De Notaris, <i>Stemphylium vesicarium</i> (Wallroth) E.G. Simmons] 柴田智ら:北日本病虫研報 51:62, 2000 ; Kurose, D. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 ; 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 (2) <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons [<i>Pleospora herbarum</i> (Persoon) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris, <i>Stemphylium botryosum</i> non Wallroth sensu auct. pl., <i>Stemphylium botryosum</i> Wallroth] 出田新:日本植物病理学:772, 1911(明 44) ; 吉井 甫:病虫雑 16(8):469, 1929(昭 4) ; 三澤知央ら:日植病報 77(1):73, 2011 ; Kurose, D. et al.: J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	(野菜) 葉枯病 hagare-byo Leaf spot, Leaf blight (1) <i>Stemphylium</i> sp. 系統群 C2 [<i>Pleospora allii</i> (Rabenhorst) Cesati & De Notaris, <i>Stemphylium vesicarium</i> (Wallroth) E.G. Simmons] 柴田智ら:北日本病害虫研究会報 51:62, 2000 ; Kurose, D. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 ; 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 (2) <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons [<i>Pleospora herbarum</i> (Persoon) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris, <i>Stemphylium botryosum</i> non Wallroth sensu auct. pl., <i>Stemphylium botryosum</i> Wallroth] 出田新:日本植物病理学:772, 1911(明 44) ; 吉井 甫:病虫雑 16(8):469, 1929(昭 4) ; 三澤知央ら:日植病報 77(1):73, 2011 ; Kurose, D. et al.: J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015
--	--

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 疫病 eki-byo Blight (茎腐疫病) (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 田杉平司・熊澤正武:日植病報 4(1-2):95, 1934(昭 9) ; 田杉平司・熊澤正武:農事試験報 3(2):207, 1938(昭 13) ; 桂 琦一:植物の疫病:86, 1971 (2) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 田杉平司・熊澤正武:日植病報 4(1-2):95, 1934(昭 9) ; 田杉平司・熊澤正武:農事試験報 3(2):207, 1938(昭 13) ; 桂 琦一:植物の疫病:86, 1971	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 疫病 eki-byo Blight (茎腐疫病) (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 田杉平司・熊澤正武:日植病報 4(1-2):95, 1934(昭 9) ; 田杉平司・熊澤正武:農事試験報 3(2):207, 1938(昭 13) ; 桂 琦一:植物の疫病:86, 1971 (2) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 田杉平司・熊澤正武:日植病報 4(1-2):95, 1934(昭 9) ; 田杉平司・熊澤正武:農事試験報 3(2):207, 1938(昭 13) ; 桂 琦一:植物の疫病:86, 1971
--	--

(3) <i>Phytophthora lilii</i> M.Z. Rahman, S. Uematsu, K. Motohashi, E. Kimishima, H. Suga & K. Kageyama 君島悦夫ら:日植病報 54(1):68, 1988 ; 君島悦夫ら: 日植病報 54(4):427, 1988 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>:日植 病 報 80(1):35, 2014 ; Rahman, M.Z. <i>et</i> <i>al.</i>:Mycoscience 56:419, 2015 [備考] 君島悦夫ら(1988)は, 病原を<i>Phytophthora</i> <i>megasperma</i>と 同 定 し た が, Rahman, M.Z. <i>et al.</i> (2015)は, <i>P. lilii</i>と再同定した (注) 文献著者名のイニシャル間のスペース削除	(3) <i>Phytophthora lilii</i> M.Z. Rahman, S. Uematsu, K. Motohashi, E. Kimishima, H. Suga & K. Kageyama 君島悦夫ら:日植病報 54(1):68, 1988 ; 君島悦夫ら: 日植病報 54(4):427, 1988 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>:日植 病 報 80(1):35, 2014 ; Rahman, M. Z. <i>et</i> <i>al.</i>:Mycoscience 56:419, 2015 [備考] 君島悦夫ら(1988)は, 病原を<i>Phytophthora</i> <i>megasperma</i>と 同 定 し た が, Rahman, M.Z. <i>et al.</i> (2015)は, <i>P. lilii</i>と再同定した
---	---

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユ リ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポ ウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユ リ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オ ニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメン ト, コネチカットキング等) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森田康彰・川田洋一:日植病報 68(1):78, 2002 ; 森田 康彰ら:四国植防 38:15, 2003 ; 菅原 敬:山形農試特 別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(6):406, 2017 [備考] 森田・川田(2002)および森田ら(2003)は菌糸 融合群 AG-4 培養型 IIIA, 菅原(2010)および菅原 ら(2011)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型II, Misawaら (2017) は菌糸融合群AG-11を報告した (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユ リ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポ ウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユ リ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オ ニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメン ト, コネチカットキング等) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森田康彰・川田洋一:日植病報 68(1):78, 2002 ; 森田 康彰ら:四国植物防疫 38:15, 2003 ; 菅原 敬:山形農 試 特 別 研 報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(6):406, 2017 [備考] 森田・川田(2002)および森田ら(2003)は菌糸 融合群 AG-4 培養型 IIIA, 菅原(2010)および菅原 ら(2011)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型II, Misawaら (2017) は菌糸融合群AG-11を報告した
---	--

ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip	ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip
---	---

<i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 疫病 eki-byo Tulip blossom blight (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 向畠博行ら:日植病報 49(3):391, 1983 ; 向畠博行ら:日植病報 51(1):77, 1985 ; 向畠博行ら:日植病報 53(3):291, 1987 (2) <i>Phytophthora hedraiaandra</i> De Cock & Man in 't Veld 向畠博行ら:日植病報 53(3):291, 1987 ; Rahman, M. Z. <i>et al.</i>:Mycoscience 55:314, 2014, Rahman, M. Z. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:443, 2015 [備考] Rahman <i>et al.</i> (2014, 2015)は, 向畠ら(1987)が<i>P. cactorum</i>とした1菌株を<i>P. hedraiaandra</i>と再同定した (注) 文献著者名のイニシャル間のスペース削除	<i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 疫病 eki-byo Tulip blossom blight (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 向畠博行ら:日植病報 49(3):391, 1983 ; 向畠博行ら:日植病報 51(1):77, 1985 ; 向畠博行ら:日植病報 53(3):291, 1987 (2) <i>Phytophthora hedraiaandra</i> De Cock & Man in 't Veld 向畠博行ら:日植病報 53(3):291, 1987 ; Rahman, M. Z. <i>et al.</i>:Mycoscience 55:314, 2014, Rahman, M. Z. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:443, 2015 [備考] Rahman <i>et al.</i> (2014, 2015)は, 向畠ら(1987)が<i>P. cactorum</i>とした1菌株を<i>P. hedraiaandra</i>と再同定した
ツヅラフジ科 Menispermaceae ハスノハカズラ (Stephania) <i>Stephania japonica</i> (Thunb.) Miers (広葉樹) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal emend. Snyder & Hansen 鍵渡徳次:関東病虫研報 33:163, 1986 [備考] タマザキツヅラフジ(<i>S. cepharantha</i>) に発生 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	ツヅラフジ科 Menispermaceae ハスノハカズラ (Stephania) <i>Stephania japonica</i> (Thunb.) Miers (広葉樹) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal emend. Snyder & Hansen 鍵渡徳次:関東東山病虫研報 33:163, 1986 [備考] タマザキツヅラフジ(<i>S. cepharantha</i>)
モクセイ科 Oleaceae レンギョウ(連翹) Weeping forsythia <i>Forsythia suspensa</i> (Thunb.) Vahl (広葉樹) 枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 向 秀夫ら:日植病報 43(3):327, 1977	モクセイ科 Oleaceae レンギョウ(連翹) Weeping forsythia <i>Forsythia suspensa</i> (Thunb.) Vahl (広葉樹) 枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 向 秀夫ら:目植病報 43(3):327, 1977

(注) 文献名訂正	
モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹) †††† †††<i>Penicillium</i> sp. 主要病菌害虫発見記録:植物防疫 5(7):261, 1951 [備考] 生産地香港 (注) 文献訂正	モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹) †††† †††<i>Penicillium</i> sp. 主要病原菌害虫発生記録:植物防疫 5(7):261, 1951 [備考] 生産地香港
カタバミ科 Oxalidaceae カタバミ類 (Oxalis) <i>Oxalis</i> spp. (野草) フシネハナカタバミ <i>O. articulata</i> Savigny カタバミ <i>O. corniculata</i> L. アカカタバミ <i>O. corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> Hara ムラサキカタバミ <i>O. corymbosa</i> DC. エゾタチカタバミ <i>O. fontana</i> Bunge さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium oxalidis</i> Thümen 原田幸雄:北日本病虫研報 35:41, 1984 ; 原田幸雄: 日本植物病害大事典(岸 國平編):1209, 1998 [備考] カタバミ・アカカタバミ・エゾタチカタバ ミ。トウモロコシさび病菌 <i>Puccinia sorghi</i> Schweinitz のさび胞子世代 (2) <i>Puccinia oxalidis</i> Dietel & Ellis 平塚直秀:日菌報 14:177, 1973 ; 堀江博道:日本植物 病害大事典(岸 國平編):1208, 1998 [備考] ムラサキカタバミ (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	カタバミ科 Oxalidaceae カタバミ類 (Oxalis) <i>Oxalis</i> spp. (野草) フシネハナカタバミ <i>O. articulata</i> Savigny カタバミ <i>O. corniculata</i> L. アカカタバミ <i>O. corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> Hara ムラサキカタバミ <i>O. corymbosa</i> DC. エゾタチカタバミ <i>O. fontana</i> Bunge さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium oxalidis</i> Thümen 原田幸雄:北日本病害虫研報 35:41, 1984 ; 原田幸 雄:日本植物病害大事典(岸 國平編):1209, 1998 [備考] カタバミ・アカカタバミ・エゾタチカタバ ミ。トウモロコシさび病菌 <i>Puccinia sorghi</i> Schweinitz のさび胞子世代 (2) <i>Puccinia oxalidis</i> Dietel & Ellis 平塚直秀:日菌報 14:177, 1973 ; 堀江博道:日本植物 病害大事典(岸 國平編):1208, 1998 [備考] ムラサキカタバミ
マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast.	マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir (針葉樹) アカトドマツ(赤榎松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr.

(針葉樹)

アカトドマツ(赤楡松) *A. sachalinensis* (Fr. Schm.) Mast. var. *sachalinensis*

アオトドマツ(青楡松) *A. sachalinensis* var. *mayriana* Miyabe & Kudo

葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病)

(1) *Calypsotheca goeppertiana* J.G. Kühn

松村任三:帝国植物名鑑(上):133, 1904(明 37) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:35, 1992

[備考] アカトドマツ。病菌の異名および冬胞子世代の宿主はモミ類葉さび病参照

(2) *Hyalopsora aculeata* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):124, 1932(昭 7)

[備考] アオトドマツ。夏胞子・冬胞子世代は *Blechnum* 属(シシガシラ)に寄生

(3) *Melampsora abietis-populi* S. Imai

亀井専次:日林北支講 7:85, 1958 ; 今井三子:日植病報 12(1):68, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:271, 1992

[備考] アオトドマツのほか人工接種でアカトドマツに発生。夏胞子・冬胞子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす

(4) *Melampsora laricis-populina* Klebahn

平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:291, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす

(5) *Milesina dryopteridis* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):171, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:69, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は *Dryopteris* 属(リョウメンシダ)に寄生

(6) *Milesina exigua* Faull

亀井専次:札幌博物学会報 11:146, 1930(昭 5) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:73, 1992

[備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏胞子・冬胞子世代はモミ類さび病参照

(7) *Milesina itoana* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 14(2):97, 1935(昭 10) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:81, 1992

[備考] アカトドマツ・アオトドマツ。夏胞子・冬胞子世代は *Dryopteris* 属(オシダ他)に寄生

(8) *Milesina jezoënsis* Kamei & Hiratsuka

亀井専次:札幌博物学会報 12:32, 1931(昭 6) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:83, 1992

Schm.) Mast.

アオトドマツ(青楡松) *Abies sachalinensis* var. *mayriana* Miyabe & Kudo

葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病)

(1) *Calypsotheca goeppertiana* J.G. Kühn

松村任三:帝国植物名鑑(上):133, 1904(明 37) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:35, 1992

[備考] アカトドマツ。病菌の異名および冬胞子世代の宿主はモミ類葉さび病参照

(2) *Hyalopsora aculeata* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):124, 1932(昭 7)

[備考] アオトドマツ。夏胞子・冬胞子世代は *Blechnum* 属(シシガシラ)に寄生

(3) *Melampsora abietis-populi* S. Imai

亀井専次:日林北支講 7:85, 1958 ; 今井三子:日植病報 12(1):68, 1942(昭 17) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:271, 1992

[備考] アオトドマツのほか人工接種でアカトドマツに発生。夏胞子・冬胞子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす

(4) *Melampsora laricis-populina* Klebahn

平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:291, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は *Populus* 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす

(5) *Milesina dryopteridis* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):171, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:69, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は *Dryopteris* 属(リョウメンシダ)に寄生

(6) *Milesina exigua* Faull

亀井専次:札幌博物学会報 11:146, 1930(昭 5) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:73, 1992

[備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏胞子・冬胞子世代はモミ類さび病参照

(7) *Milesina itoana* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 14(2):97, 1935(昭 10) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:81, 1992

[備考] アカトドマツ・アオトドマツ。夏胞子・冬胞子世代は *Dryopteris* 属(オシダ他)に寄生

(8) *Milesina jezoënsis* Kamei & Hiratsuka

亀井専次:札幌博物学会報 12:32, 1931(昭 6) ; Hiratsuka, N. et al.:The Rust Flora of Japan:83, 1992

[備考] アオトドマツ。夏胞子・冬胞子は *Polypodium* 属(エゾデンダ)に寄生

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子は *Polypodium* 属(エゾデングダ)に寄生

(9) *Milesina miyabei* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):169, 1932(昭 7) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:88, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(オシダ他)に寄生

(10) *Milesina sublevis* (Faull) Hiratsuka [*Milesina scolopendrii* Jaap]

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 3:313, 1927(昭 2) ; 亀井

専次:札幌農林学会報 24:364, 1933(昭 8) ; Hiratsuka,

N. *et al.*:The rust flora of Japan:93, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Scolopendrium* 属(コタニワタリ)に寄生

(11) *Milesina vogesiaca* Sydow

亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭 5) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:96, 1992

[備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(イタチシダ他)に寄生

(12) *Pucciniastrum epilobii* G.H. Otth

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(1):3, 1932(昭 7) ; 平塚

直秀:札幌農林学会報 18(81):84, 1926(大 15) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:116, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Epilobium* 属(ヤナギラン他)に寄生してさび病をおこす

(13) *Pucciniastrum kusanoi* Dietel

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 47(562):713, 1933(昭

8) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:121, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Clethra* 属(リョウブ)に寄生しさび病をおこす

(14) *Pucciniastrum miyabeanaum* Hiratsuka

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(2):22, 1932(昭 7)

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Viburnum* 属(ムシカリ他)に寄生してさび病をおこす

(15) *Pucciniastrum styracinum* Hiratsuka

亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭 7) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:128, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Pterostyrax* 属(アサガラ他)および *Styrax* 属(エゴノキ他)に寄生してさび病をおこす

(16) *Pucciniastrum tiliae* Miyabe

亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭 7) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:130, 1992

[備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は *Tilia* 属(シナノキ

(9) *Milesina miyabei* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):169, 1932(昭 7) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:88, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(オシダ他)に寄生

(10) *Milesina sublevis* (Faull) Hiratsuka [*Milesina scolopendrii* Jaap]

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 3:313, 1927(昭 2) ; 亀井

専次:札幌農林学会報 24:364, 1933(昭 8) ; Hiratsuka,

N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:93, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Scolopendrium* 属(コタニワタリ)に寄生

(11) *Milesina vogesiaca* Sydow

亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭 5) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:96, 1992

[備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Dryopteris* 属(イタチシダ他)に寄生

(12) *Pucciniastrum epilobii* G.H. Otth

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(1):3, 1932(昭 7) ; 平塚

直秀:札幌農林学会報 18(81):84, 1926(大 15) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:116, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Epilobium* 属(ヤナギラン他)に寄生してさび病をおこす

(13) *Pucciniastrum kusanoi* Dietel

Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 47(562):713, 1933(昭

8) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:121, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Clethra* 属(リョウブ)に寄生しさび病をおこす

(14) *Pucciniastrum miyabeanaum* Hiratsuka

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(2):22, 1932(昭 7)

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Viburnum* 属(ムシカリ他)に寄生してさび病をおこす

(15) *Pucciniastrum styracinum* Hiratsuka

亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭 7) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:128, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Pterostyrax* 属(アサガラ他)および *Styrax* 属(エゴノキ他)に寄生してさび病をおこす

(16) *Pucciniastrum tiliae* Miyabe

亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭 7) ;

Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:130, 1992

[備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は *Tilia* 属(シナノキ他)にさび病をおこす

他)にさび病をおこす

(17) *Uredinopsis adianti* Komarov

Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:78, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:156, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Adiantum* 属(クジャクシダ)に寄生

(18) *Uredinopsis athyrii* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):163, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:158, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Athyrium* 属(メシダ他)に寄生

(19) *Uredinopsis filicina* (Niessl) Magnus

Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:50, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:162, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(20) *Uredinopsis hirosakiensis* Kamei & Hiratsuka

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):164, 1932(昭7) ; 亀井専次:札幌博物学会報 13(3):153, 1934(昭9) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:164, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Lastrea* 属(ヒメシダ)に寄生

(21) *Uredinopsis intermedia* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):166, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:166, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Athyrium* 属(ミヤマシケシダ他)に寄生

(22) *Uredinopsis kameiana* Faull

亀井専次:日植病報 2:228, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:168, 1992

[備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。病菌の異名, 夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(23) *Uredinopsis ossaeiformis* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 5:28, 1958

[備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(24) *Uredinopsis pteridis* Dietel & Holway

亀井専次:日植病報 2:208, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:174, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Pteridium* 属(ワラビ)に寄生

(25) *Uredinopsis struthiopteridis* F.C.M. Störmer ex

(17) *Uredinopsis adianti* Komarov

Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:78, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:156, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Adiantum* 属(クジャクシダ)に寄生

(18) *Uredinopsis athyrii* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):163, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:158, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Athyrium* 属(メシダ他)に寄生

(19) *Uredinopsis filicina* (Niessl) Magnus

Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:50, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:162, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(20) *Uredinopsis hirosakiensis* Kamei & Hiratsuka

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):164, 1932(昭7) ; 亀井専次:札幌博物学会報 13(3):153, 1934(昭9) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:164, 1992

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は *Lastrea* 属(ヒメシダ)に寄生

(21) *Uredinopsis intermedia* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):166, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:166, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Athyrium* 属(ミヤマシケシダ他)に寄生

(22) *Uredinopsis kameiana* Faull

亀井専次:日植病報 2:228, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:168, 1992

[備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。病菌の異名, 夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(23) *Uredinopsis ossaeiformis* Kamei

亀井専次:札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 5:28, 1958

[備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照

(24) *Uredinopsis pteridis* Dietel & Holway

亀井専次:日植病報 2:208, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:174, 1992

[備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Pteridium* 属(ワラビ)に寄生

(25) *Uredinopsis struthiopteridis* F.C.M. Störmer ex Dietel

Dietel Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:176, 1992 [備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (26) <i>Uredinopsis woodsiae</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):162, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:176, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Woodsia</i> 属(イワデンダ他)に寄生 (注) 病原(13)の文献名訂正、宿主学名属名省略。 The rust flora Japan は、2018 年版最多数派の表記に合わせた	Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The Rust Flora of Japan:176, 1992 [備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (26) <i>Uredinopsis woodsiae</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):162, 1932(昭 7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The Rust Flora of Japan:176, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Woodsia</i> 属(イワデンダ他)に寄生
---	--

マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>P. jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義) 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭13) ; 新島善直:日本森林保護学(下):476, 1912(明 45) [備考] 病菌の異名はモミ類ならたけ病参照 (注) 文献名訂正、宿主学名属名省略	マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義) 帝室林野林試:森林病虫害図説病害篇 1:7, 1938(昭13) ; 新島善直:日本森林保護学(下):476, 1912(明 45) [備考] 病菌の異名はモミ類ならたけ病参照
--	---

マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>P. koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>P. parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>P. parviflora</i> var.	マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var.
---	--

<i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>P. pumila</i> (Pallas) Regel 発しん(疹)さび病 <i>hasshin-sabi-byo</i> Blister rust (そうほう病, 茎さび病) (1) <i>Cronartium ribicola</i> J.C. Fischer [<i>Cronartium kamtschaticum</i> Jørstad, <i>Peridermium kurilense</i> Dietel] 平塚直秀:札幌農林学会報 19(88):567, 1928(昭3); 伊藤一雄・魚住 正:日菌報 17(3-4):534, 1976; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:255, 1992 [備考] チョウセンゴヨウ・ハイマツに発生。夏胞子・冬胞子世代は <i>Pedicularis</i> 属(ヨツバシオガマ・エゾシオガマほか)・<i>Ribes</i> 属(マルスグリ・コマガタケスグリ・エゾスグリ・トカチスグリ・フサスグリ・トガスグリ・アカスグリ・スグリ)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Endocronartium sahoanum</i> Imazu & Kakishima var. <i>sahoanum</i> Imazu, M. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 30:301, 1989; Kaneko, S. & Harada, Y.:Proc. 4th IUFRO Rusts of Pines Working Party Conf. Tsukuba:95, 1995 [備考] ハイマツに発生 (3) <i>Endocronartium sahoanum</i> Imazu & Kakishima var. <i>hokkaidoense</i> Imazu & Kakishima Imazu, M. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33:167, 1992 [備考] ハイマツに発生 (4) <i>Endocronartium yamabense</i> (Saho & Takahashi) Paclt [<i>Peridermium yamabense</i> Saho & I. Takahashi] Saho, H. & Takahashi, I.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:27, 1981; Imazu, M. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 32:371, 1991 [備考] ハイマツに発生 (注) 文献名訂正、備考変更、宿主学名属名省略	<i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel 発しん(疹)さび病 <i>hasshin-sabi-byo</i> Blister rust (そうほう病, 茎さび病) (1) <i>Cronartium ribicola</i> J.C. Fischer [<i>Cronartium kamtschaticum</i> Jørstad, <i>Peridermium kurilense</i> Dietel] 平塚直秀:札幌農林学会報 19(88):567, 1928(昭3); 伊藤一雄・魚住 正:日菌報 17(3-4):534, 1976; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The Rust Flora of Japan:255, 1992 [備考] チョウセンゴヨウ・ハイマツ。夏胞子・冬胞子世代は <i>Pedicularis</i> 属(ヨツバシオガマ・エゾシオガマほか)・<i>Ribes</i> 属(マルスグリ・コマガタケスグリ・エゾスグリ・トカチスグリ・フサスグリ・トガスグリ・アカスグリ・スグリ)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Endocronartium sahoanum</i> Imazu & Kakishima var. <i>sahoanum</i> Imazu, M. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 30:301, 1989; Kaneko, S. & Harada, Y.:Proc. 4th IUFRO Rusts of Pines Working Party Conf. Tsukuba:95, 1995 [備考] ハイマツ (3) <i>Endocronartium sahoanum</i> Imazu & Kakishima var. <i>hokkaidoense</i> Imazu & Kakishima Imazu, M. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33:167, 1992 [備考] ハイマツ (4) <i>Endocronartium yamabense</i> (Saho & Takahashi) Paclt [<i>Peridermium yamabense</i> Saho & I. Takahashi] Saho, H. & Takahashi, I.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:27, 1981; Imazu, M. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 32:371, 1991 [備考] ハイマツ
マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>P. thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>P. luchuensis</i> Mayer	マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer

葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病, 葉膜さび病, 袋銹病)

(1) *Coleosporium asterum* (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 48:463, 1943 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:40, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:204, 1992

[備考] アカマツ。冬胞子世代は *Aster* 属(ノコンギク等)・*Kalimeris* 属(ヨメナ等)に寄生してさび病を起こす

(2) *Coleosporium bletiae* Dietel

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 16:37, 1978 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:206, 1992

[備考] 人工接種でアカマツ・リュウキュウマツ・フランスカイガンショウ・ラジアタマツ・クロマツに発生。夏胞子・冬胞子世代は *Bletilla* 属(シラン等)・*Calanthe* 属(エビネ等)・*Oreorchis* 属(コケイラン)・*Phaius* 属(カクラン)に寄生してさび病を起こす

(3) *Coleosporium clematidis* Barclay

平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):27(4):140, 1954 ; Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:211, 1992

[備考] アカマツ。人工接種でリュウキュウマツ・ラジアタマツにも寄生。夏胞子・冬胞子世代は *Clematis* 属(テッセン・クサボタン等)に寄生してさび病を起こす

(4) *Coleosporium clematidis-apiifoliae* Dietel

平塚直秀ら:日植病報 18:140, 1954 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:216, 1992

[備考] アカマツ。クロマツは人工接種。夏胞子・冬胞子世代は *Clematis* 属(ボタンヅル等)に寄生してさび病を起こす

(5) *Coleosporium horianum* Hennings [*Coleosporium campanumoeae* Dietel]

Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:81, 1976 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:220, 1992

[備考] アカマツ。夏胞子・冬胞子世代は *Campanumoea* 属(ツルギキョウ等)に寄生

(6) *Coleosporium lycopi* Sydow & P. Sydow [*Coleosporium campanulae* auct. jap. non Tulasne, *Coleosporium hiratsukanum* S. Kaneko]

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:54, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:222, 1992

[備考] アカマツ。ほかに人工接種でオウシュウアカマツ・クロマツ。夏胞子・冬胞子世代は *Adenophora* 属(ソバナ等), *Phyteuma* 属(シデシヤジン), *Wahlenbergia* 属(ヒナギキョウ)に寄生してさび

葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病, 葉膜さび病, 袋銹病)

(1) *Coleosporium asterum* (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 48:463, 1943 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:40, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:204, 1992

[備考] アカマツ。冬胞子世代は *Aster* 属(ノコンギク等)・*Kalimeris* 属(ヨメナ等)に寄生してさび病を起こす

(2) *Coleosporium bletiae* Dietel

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 16:37, 1978 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:206, 1992

[備考] 人工接種でアカマツ・リュウキュウマツ・フランスカイガンショウ・ラジアタマツ・クロマツに発生。夏胞子・冬胞子世代は *Bletilla* 属(シラン等)・*Calanthe* 属(エビネ等)・*Oreorchis* 属(コケイラン)・*Phaius* 属(カクラン)に寄生してさび病を起こす

(3) *Coleosporium clematidis* Barclay

平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):27(4):140, 1954 ; Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:211, 1992

[備考] アカマツ。人工接種でリュウキュウマツ・ラジアタマツにも寄生。夏胞子・冬胞子世代は *Clematis* 属(テッセン・クサボタン等)に寄生してさび病を起こす

(4) *Coleosporium clematidis-apiifoliae* Dietel

平塚直秀ら:日植病報 18:140, 1954 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:216, 1992

[備考] アカマツ。クロマツは人工接種。夏胞子・冬胞子世代は *Clematis* 属(ボタンヅル等)に寄生してさび病を起こす

(5) *Coleosporium horianum* Hennings [*Coleosporium campanumoeae* Dietel]

Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:81, 1976 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:220, 1992

[備考] アカマツ。夏胞子・冬胞子世代は *Campanumoea* 属(ツルギキョウ等)に寄生

(6) *Coleosporium lycopi* Sydow & P. Sydow [*Coleosporium campanulae* auct. jap. non Tulasne, *Coleosporium hiratsukanum* S. Kaneko]

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:54, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:222, 1992

[備考] アカマツ。ほかに人工接種でオウシュウアカマツ・クロマツ。夏胞子・冬胞子世代は *Adenophora* 属(ソバナ等), *Phyteuma* 属(シデシヤジン), *Wahlenbergia* 属(ヒナギキョウ)に寄生してさび

病を起こす

(7) *Coleosporium pedunculatum* S. Kaneko

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:13, 1977 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:230, 1992

[備考] アカマツ・リュウキュウマツ・クロマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Saussurea* 属(ミヤコアザミ・ツクシトウヒレン等)に寄生してさび病を起こす

(8) *Coleosporium phellodendri* Komarov

千葉 修:森林防疫ニュース 6:142, 1957 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):196, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:232, 1992

[備考] バンクスマツ・アカマツ・モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ。ほかに人工接種でコントルタマツ・コルシカマツ・レジノザマツ・パラシアナマツ(*P. pallasiana*)・ボンデローザマツ・マンシュウアカマツ(*P. tabulaeformis*)にも発生する。夏孢子・冬孢子世代は *Phellodendron* 属(キハダ等)に寄生してさび病を起こす

(9) *Coleosporium pini-asteris* Orishimo

南部信方:病虫雑 4(8):599, 1917(大 6) ; Orishimo, Y.:Bot. Mag. Tokyo 24(276):4, 1910(明 43) ; Kaneko, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:35, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:234, 1992

[備考] アカマツ・リュウキュウマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Aster* 属(シラヤマギク)に寄生

(10) *Coleosporium pini-densiflorae* Zinno & Kaneko

Jinno, Y. & Kaneko, S.:J. Jpn. For. Soc. 66:462, 1984

[備考] アカマツ。冬孢子世代のみ

(11) *Coleosporium plectranthi* Barclay

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:126, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:238, 1992

[備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Elsholtzia* 属(ナギナタコウジュ)・*Keiskea* 属(シモバシラ)・*Mosla* 属(イヌコウジュ等)・*Perilla* 属(シソ等)・*Plectranthus* 属(ヤマハッカ等)に寄生してさび病を起こす

(12) *Coleosporium tussilaginis* (Persoon) Lévillé

[*Coleosporium senecionis* Fries, *Coleosporium melampyri* (Rebentisch) P. Karsten]

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:62, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:243, 1992

[備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Melampyrum* 属(ママコナ等)・*Senecio* 属(サワオグルマ)に寄生してさび病を起こす

(13) *Coleosporium xanthoxyli* Dietel & P. Sydow

陳野好之:日林誌 57:369, 1975 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The rust flora of Japan:245, 1992

病を起こす

(7) *Coleosporium pedunculatum* S. Kaneko

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:13, 1977 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:230, 1992

[備考] アカマツ・リュウキュウマツ・クロマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Saussurea* 属(ミヤコアザミ・ツクシトウヒレン等)に寄生してさび病を起こす

(8) *Coleosporium phellodendri* Komarov

千葉 修:森林防疫ニュース 6:142, 1957 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):196, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:232, 1992

[備考] バンクスマツ・アカマツ・モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ。ほかに人工接種でコントルタマツ・コルシカマツ・レジノザマツ・パラシアナマツ(*P. pallasiana*)・ボンデローザマツ・マンシュウアカマツ(*P. tabulaeformis*)にも発生する。夏孢子・冬孢子世代は *Phellodendron* 属(キハダ等)に寄生してさび病を起こす

(9) *Coleosporium pini-asteris* Orishimo

南部信方:病虫雑 4(8):599, 1917(大 6) ; Orishimo, Y.:Bot. Mag. Tokyo 24(276):4, 1910(明 43) ; Kaneko, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:35, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:234, 1992

[備考] アカマツ・リュウキュウマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Aster* 属(シラヤマギク)に寄生

(10) *Coleosporium pini-densiflorae* Zinno & Kaneko

Jinno, Y. & Kaneko, S.:J. Jpn. For. Soc. 66:462, 1984

[備考] アカマツ。冬孢子世代のみ

(11) *Coleosporium plectranthi* Barclay

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:126, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:238, 1992

[備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Elsholtzia* 属(ナギナタコウジュ)・*Keiskea* 属(シモバシラ)・*Mosla* 属(イヌコウジュ等)・*Perilla* 属(シソ等)・*Plectranthus* 属(ヤマハッカ等)に寄生してさび病を起こす

(12) *Coleosporium tussilaginis* (Persoon) Lévillé

[*Coleosporium senecionis* Fries, *Coleosporium melampyri* (Rebentisch) P. Karsten]

Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:62, 1981 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:243, 1992

[備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は *Melampyrum* 属(ママコナ等)・*Senecio* 属(サワオグルマ)に寄生してさび病を起こす

(13) *Coleosporium xanthoxyli* Dietel & P. Sydow

陳野好之:日林誌 57:369, 1975 ; Hiratsuka, N. *et al.*:The Rust Flora of Japan:245, 1992

[備考] クロマツ。人工接種ではリュウキュウマツ・フランスカイガンショウにも発生。夏孢子・冬孢子世代は <i>Zanthoxylum</i> 属(カラスザンショウ・サンショウ等)に寄生してさび病を起こす (14) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 [備考] アカマツ・ポンドローザマツ・ラジアタマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はカラムツ葉さび病参照 (注) 文献名訂正、宿主学名属名	[備考] クロマツ。人工接種ではリュウキュウマツ・フランスカイガンショウにも発生。夏孢子・冬孢子世代は <i>Zanthoxylum</i> 属(カラスザンショウ・サンショウ等)に寄生してさび病を起こす (14) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 [備考] アカマツ・ポンドローザマツ・ラジアタマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はカラムツ葉さび病参照
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>P. densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>P. thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>P. luchuensis</i> Mayer 幹辺材腐朽病 miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot <i>Trichaptum abietinum</i> (Dickson) Ryvarden シハイタケ 北島君三:樹病学及木材腐朽論:457, 1933(昭 8) ; 今関六也:植研雑 20(6-7):286, 1944(昭 19) ; 今関六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):476, 1988 [備考] 病菌の異名はモミ類幹辺材腐朽病参照 (注) 文献名訂正、宿主属名省略	マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 幹辺材腐朽病 miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot <i>Trichaptum abietinum</i> (Dickson) Ryvarden シハイタケ 北島君三:樹病学及木材腐朽論:457, 1933(昭 8) ; 今関六也:植研雑 20(6-7):286, 1944(昭 19) ; 今関六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):476, 1988 [備考] 病菌の異名はモミ類幹辺材腐朽病参照
---	--

ヒラタケ科 Pleurotaceae ヒラタケ(平茸) Oyster mushroom <i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacquin) Kummer (きのこ) ひだこぶ線虫病* hidakobu-senchu-byo (ひだこぶ病, こぶ病, 白こぶ病) <i>Iotonchium</i> sp. 有田郁夫ら:菌学会 27 回大会講要:14, 1983 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック:166, 1986 ; 金子周平:森林防疫 32(11):12, 1993 ; 相原孝雄:昆虫応動昆合同大会講要 156:1993 ; 中村	ヒラタケ科 Pleurotaceae ヒラタケ(平茸) Oyster mushroom <i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacquin) Kummer (きのこ) ひだこぶ線虫病* hidakobu-senchu-byo (ひだこぶ病, こぶ病, 白こぶ病) <i>Iotonchium</i> sp. 有田郁夫ら:菌学会 27 回大会講要:14, 1983 ; 金子周平:森林防疫 32(11):12, 1993 ; 相原孝雄:昆虫応動昆合同大会講要 156:1993 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこの害菌・害虫ハンドブック:166, 1986 ; 中村
---	--

公義ら:長野野菜花き試報 9:49, 1996 [備考] 原木栽培の子実体に発生 (注) 文献名訂正、文献順修正	公義ら:長野野菜花き試報 9:49, 1996 [備考] 原木栽培の子実体に発生
クロウメモドキ科 Rhamnaceae ケンポナシ(玄圃梨) Japanese raisin-tree <i>Hovenia dulcis</i> Thunb. (広葉樹) うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病) (1) <i>Erysiphe yamadae</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera yamadae</i> (E.S. Salmon) Sydow & P. Sydow, <i>Microsphaera alni</i> (DC.) G. Winter var. <i>yamadai</i> E.S. Salmon, <i>Microsphaera penicillata</i> (Wakkrit) Léveillé var. <i>yamadai</i> Saccardo] 出田 新:日本植物病理学(上):205, 1909(明 42) ; 原攝祐:樹病学各論:12, 1923(大 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):213, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 (2) <i>Microsphaera</i> sp. 高松 進ら:日菌報 19(1):70, 1978 [備考] ケケンポナシに発生 (注) 文献名訂正	クロウメモドキ科 Rhamnaceae ケンポナシ(玄圃梨) Japanese raisin-tree <i>Hovenia dulcis</i> Thunb. (広葉樹) うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病) (1) <i>Erysiphe yamadae</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera yamadae</i> (E.S. Salmon) Sydow & P. Sydow, <i>Microsphaera alni</i> (DC.) G. Winter var. <i>yamadai</i> E.S. Salmon, <i>Microsphaera penicillata</i> (Wakkrit) Léveillé var. <i>yamadai</i> Saccardo] 出田 新:日本植物病理学(上):205, 1909(明 42) ; 原攝祐:樹病学名論:12, 1923(大 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):213, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 (2) <i>Microsphaera</i> sp. 高松 進ら:日菌報 19(1):70, 1978 [備考] ケケンポナシに発生
クロウメモドキ科 Rhamnaceae ハマナツメ Christ's-thorn <i>Paliurus ramosissimus</i> (Lour.) Poir. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Phakopsora zizyphi-vulgaris</i> Dietel [<i>Uredo zizyphi-vulgaris</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 41:21, 1902(明 35) ; 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:10, 1914(大 3) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:333, 1992 ; 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):93, 1943(昭 18) (注) 文献名訂正	クロウメモドキ科 Rhamnaceae ハマナツメ Christ's-thorn <i>Paliurus ramosissimus</i> (Lour.) Poir. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Phakopsora zizyphi-vulgaris</i> Dietel [<i>Uredo zizyphi-vulgaris</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 41:21, 1902(明 35) ; 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:10, 1914(大 3) ; Hiratsuka, N. et al.:Rust flora of Japan:333, 1992 ; 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):93, 1943(昭 18)

クロウメモドキ科 Rhamnaceae クマヤナギ (Berchemia) <i>Berchemia racemosa</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病) <i>Puccinia coronata</i> Corda var. <i>coronata</i> [<i>Aecidium pulcherrimum</i> Ravenel] 吉永虎馬:植物学雑 15(171):95, 1901 (明 34) ; Kakishima, M. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(1):41, 1979 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:524, 1992 [備考] ヨコグラノキ (<i>B. berchemiaefolia</i>) にも発 生 (注) 文献名訂正	クロウメモドキ科 Rhamnaceae クマヤナギ (Berchemia) <i>Berchemia racemosa</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病) <i>Puccinia coronata</i> Corda var. <i>coronata</i> [<i>Aecidium pulcherrimum</i> Ravenel] 吉永虎馬:植物学雑 15(171):95, 1901 (明 34) ; Kakishima, M. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(1):41, 1979 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust flora of Japan:524, 1992 [備考] ヨコグラノキ (<i>B. berchemiaefolia</i>) にも発 生
--	---

バラ科 Rosaceae ザイフリボク(扶移) June berry <i>Amelanchier asiatica</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. ex Walp. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Ochropsora ariae</i> (Fuckel) P. Sydow & Sydow Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 27(4):112, 1952 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:354, 1992 (注) 文献名訂正	バラ科 Rosaceae ザイフリボク(扶移) June berry <i>Amelanchier asiatica</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. ex Walp. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Ochropsora ariae</i> (Fuckel) P. Sydow & Sydow Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 27(4):112, 1952 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust Flora of Japan:354, 1992
---	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria × ananassa</i> Duchesne (野菜) 疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 石川成寿ら:日植病報 56(1):147, 1990 [備考] 果実にのみ病原性を有する <i>P. cactorum</i> に 酷似した菌種も報告されている (高橋 実・前田篤 実:日植病報 25(1):56, 1960 ; 桂 琦一:植物の疫病 46, 1971) (2) <i>Phytophthora fragariaefolia</i> M.Z. Rahman, S. Uematsu, T. Takeuchi, K. Shirai & K. Kageyama	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria × ananassa</i> Duchesne (野菜) 疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 石川成寿ら:日植病報 56(1):147, 1990 [備考] 果実にのみ病原性を有する <i>P. cactorum</i> に 酷似した菌種も報告されている (高橋 実・前田篤 実:日植病報 25(1):56, 1960 ; 桂 琦一:植物の疫病 46, 1971) (2) <i>Phytophthora fragariaefolia</i> M. Z. Rahman, S. Uematsu, T. Takeuchi, K. Shirai & K. Kageyama
--	---

[<i>Phytophthora</i> sp.] 白井佳代ら:日植病報 72(4):207, 2006 ; Rahman, M. Z. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(4):348, 2014 ; 植松清次ら:植物防疫特別増刊号 17:118, 2015 (3) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 松崎正文ら:日植病報 45(4):528, 1979 ; 鈴井孝仁ら:日植病報 45(4):528, 1979 ; Suzui, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 46(2):169, 1980 ; 松崎正文ら:日植病報 46(2):179, 1980 (4) <i>Phytophthora</i> sp. 鈴井孝仁・牧野秋雄:日植病報 46(1):64, 1980 [備考] <i>P. citricola</i> に酷似する (注) 病原学名命名者名のイニシャル間のスペース削除	[<i>Phytophthora</i> sp.] 白井佳代ら:日植病報 72(4):207, 2006 ; Rahman, M. Z. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(4):348, 2014 ; 植松清次ら:植物防疫特別増刊号 17:118, 2015 (3) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 松崎正文ら:日植病報 45(4):528, 1979 ; 鈴井孝仁ら:日植病報 45(4):528, 1979 ; Suzui, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 46(2):169, 1980 ; 松崎正文ら:日植病報 46(2):179, 1980 (4) <i>Phytophthora</i> sp. 鈴井孝仁・牧野秋雄:日植病報 46(1):64, 1980 [備考] <i>P. citricola</i> に酷似する
--	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †枝枯病 edagare-byo <i>Stagonospora mali</i> Delacroix 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5) ; 中田覺五郎・瀧元清透:朝鮮勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):116, 1928(昭 3) [備考] 朝鮮半島 (注) 文献名訂正	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †枝枯病 edagare-byo <i>Stagonospora mali</i> Delacroix 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大 5) ; 中田覺五郎・瀧元清透:朝鮮勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):116, 1928(昭 3) [備考] 朝鮮半島
--	---

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) <i>Rhizobium rhizogenes</i> (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium</i>	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) <i>Rhizobium rhizogenes</i> (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium</i>
---	---

<i>tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:51, 1927(昭 2); 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭 8); 菱池政志:和歌山県農林水技セ研報 13:57, 2012; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015 (注) 文献年を挿入	<i>tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:51, 1927(昭 2); 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭 8); 菱池政志:和歌山県農林水技セ研報 13:57; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015
--	--

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>persicae</i> Woronichin] 北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:138, 1962; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 (2) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i> [<i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary] 吉野毅一:植物学雑 19(224):199, 1905(明 38); Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937(昭 12) (注) 文献名訂正、文献年に和暦追加	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>persicae</i> Woronichin] 北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:138, 1962; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 (2) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i> [<i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary] 吉野毅一:植物学雑 19(224):199, 1905(明 38); Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937
--	--

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>P. persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>P. persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 白さび病 shirosabi-byo White rust, <i>Leucotelium</i> white rust (白葉渋病, 白色銹病, 白銹病, 白渋病) <i>Sorataea pruni-persicae</i> (Hori) Cummins & Y. Hiratsuka [<i>Leucotelium pruni-persicae</i> (Hori) Tranzschel, <i>Puccinia pruni-persicae</i> Hori] 堀正太郎:農業世界 6(5):58, 1911(明 44); 富樫浩吾:果樹病学:276, 1950; 平塚直秀:植物研究雑誌	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>P. persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>P. persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 白さび病 shirosabi-byo White rust, <i>Leucotelium</i> white rust (白葉渋病, 白色銹病, 白銹病, 白渋病) <i>Sorataea pruni-persicae</i> (Hori) Cummins & Y. Hiratsuka [<i>Leucotelium pruni-persicae</i> (Hori) Tranzschel, <i>Puccinia pruni-persicae</i> Hori] 堀正太郎:農業世界 6(5):58, 1911(明 44); 富樫浩吾:果樹病害:276, 1950; 平塚直秀:植物研究雑誌
---	---

27(8):229, 1952 [備考] 病原菌の学名は, 柿 島 眞:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):587, 1992 を参照 (注) 文献名訂正	27(8):229, 1952 [備考] 病原菌の学名は, 柿 島 眞:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):587, 1992 を参照
バラ科 Rosaceae ハマナス(浜梨) Rugosa rose <i>Rosa rugosa</i> Thunb. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Phragmidium montivagum</i> Arthur [<i>Phragmidium americanum</i> sensu Kasai non Dietel, <i>Phragmidium yezoense</i> Kasai] Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3(1):30, 1910(明 43) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 49(579):148, 1935(昭 10) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:418, 1992 [備考] ヤマハマナス (<i>R. davurica</i>)・カラフトイバラ (<i>R. marretii</i>)にも発生 (2) <i>Phragmidium rosae-rugosae</i> Kasai 澤田兼吉:林試研報 57:33, 1952 ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3(1):33, 1910(明 43) (注) 文献名訂正	バラ科 Rosaceae ハマナス(浜梨) Rugosa rose <i>Rosa rugosa</i> Thunb. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Phragmidium montivagum</i> Arthur [<i>Phragmidium americanum</i> sensu Kasai non Dietel, <i>Phragmidium yezoense</i> Kasai] Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3(1):30, 1910(明 43) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 49(579):148, 1935(昭 10) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust Flora of Japan:418, 1992 [備考] ヤマハマナス (<i>R. davurica</i>)・カラフトイバラ (<i>R. marretii</i>)にも発生 (2) <i>Phragmidium rosae-rugosae</i> Kasai 澤田兼吉:林試研報 57:33, 1952 ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3(1):33, 1910(明 43)
バラ科 Rosaceae バラ類 (Rosa) <i>Rosa</i> spp. (野草) ヤマハマナス <i>R. davurica</i> Pallas ノイバラ <i>R. multiflora</i> Thunb. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>simulans</i> [<i>Uncinuliella simulans</i> (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>simulans</i>, <i>Uncinula simulans</i> E.S. Salmon] 白井光太郎:訂正増補日本菌類目録第 2 版:679, 1917(大 6) ; 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):256, 1988; 丹田誠之助:東農大農学集報 41:113, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] ヤマハマナスに発生	バラ科 Rosaceae バラ類 (Rosa) <i>Rosa</i> spp. (野草) ヤマハマナス <i>R. davurica</i> Pallas ノイバラ <i>R. multiflora</i> Thunb. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>simulans</i> [<i>Uncinuliella simulans</i> (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>simulans</i>, <i>Uncinula simulans</i> E.S. Salmon] 白井光太郎:改訂増補日本菌類目録第 2 版:679, 1917(大 6) ; 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):256, 1988; 丹田誠之助:東農大農学集報 41:113, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] ヤマハマナスに発生

(2) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>tandae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinuliella simulans</i> (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>tandae</i> U. Braun] 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):256, 1988 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 41:113, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] ノイバラに発生 (3) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé] 白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905(明 38) ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):311, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):166, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 [備考] ノイバラに発生。本邦ではまだ閉子のう殻世代は確認されていない。栽培バラ品種にも発生する (大谷 1988) (注) 文献訂正	(2) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>tandae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinuliella simulans</i> (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>tandae</i> U. Braun] 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):256, 1988 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 41:113, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] ノイバラに発生 (3) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé] 白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905(明 38) ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):311, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):166, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 [備考] ノイバラに発生。本邦ではまだ閉子のう殻世代は確認されていない。栽培バラ品種にも発生する (大谷 1988)
--	--

バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>R. idaeus</i> L., <i>R. occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>R. allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>R. procumbens</i> Muhlenberg など さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Arthuriomyces peckianus</i> (Howe) Cummins & Y. Hiratsuka [<i>Gymnoconia peckiana</i> (Howe) Trotter] 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):13, 1950 [備考] ヒメゴヨウイチゴ (<i>Rubus pseudo-japonicus</i>, <i>R. japonicus</i> Auctor) (2) <i>Gerwasia rubi</i> Raciborski [<i>Uredo constellata</i> Berkeley & M.A. Curtis] Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):665, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):6, 1950 [備考] フユイチゴ (<i>Rubus buergeri</i>) (3) <i>Hamaspora acutissima</i> Sydow & P. Sydow 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:8, 1914(大 3) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):22, 1950	バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>R. idaeus</i> L., <i>R. occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>R. allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>R. procumbens</i> Muhlenberg など さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Arthuriomyces peckianus</i> (Howe) Cummins & Y. Hiratsuka [<i>Gymnoconia peckiana</i> (Howe) Trotter] 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):13, 1950 [備考] ヒメゴヨウイチゴ (<i>Rubus pseudo-japonicus</i>, <i>R. japonicus</i> Auctor) (2) <i>Gerwasia rubi</i> Raciborski [<i>Uredo constellata</i> Berkeley & M.A. Curtis] Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):665, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):6, 1950 [備考] フユイチゴ (<i>Rubus buergeri</i>) (3) <i>Hamaspora acutissima</i> Sydow & P. Sydow 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:8, 1914(大 3) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):22, 1950
--	--

[備考] クワノハイチゴ (*Rubus nesiotetes*)
 (4) *Hamaspora okinawensis* Hiratsuka, f.
 Hiratsuka, N. & Simabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 1:15, 1954 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955
 [備考] ホザキイチゴ (*Rubus utchinensis*) に発生
 (5) *Hamaspora ozeensis* Hiratsuka, f.
 平塚直秀:植物研究雑誌 26(3):76, 1951 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955
 [備考] コバノフユイチゴ (*Rubus pectinellus*) に発生
 (6) *Hamaspora rubi-sieboldii* (Kawagoe) Dietel
 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:156, 1927(昭 2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):21, 1950
 [備考] ホウロクイチゴ (*Rubus sieboldii*) に発生
 (7) *Kuehneola uredinis* (Link) Arthur [*Kuehneola albida* (J.G. Kühn) Magnus]
 Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 12(11):809, 1936 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:231, 1955
 [備考] ブラックベリーの 1 種 (*Rubus* sp., 栽培種) に発生
 (8) *Phragmidium alpinum* Hiratsuka, f.
 Hiratsuka, N.:Annales Mycologici 28:280, 1930 ; Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950
 [備考] コガネイチゴ (*Rubus pedatus*) に発生
 (9) *Phragmidium griseum* Dietel [*Phragmidium yoshinagai* Dietel]
 白井光太郎:日本菌類目録:66, 1905(明 38) ; 南部信方:植物学雑誌 23(270):309, 1909(明 42) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:41, 1910 ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:439, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950
 [備考] コジキイチゴ (*Rubus asper*, *R. sorbifolius*)・エゾクマイチゴ・コバノニガイチゴ (*R. microphyllus*, *R. incisus* var. *geifolius*)・ニガイチゴ (アズキイチゴ)(*R. incisus*, *R. microphyllus* var. *incisus*)・リュウキュウバライチゴ (*R. rosaefolius* var. *maximowiczii*)・オオバライチゴ (*R. rosaefolius* var. *tropicus* f. *genuinus*)・クマイチゴ (*R. morifolius*, *R. wrightii*)
 (10) *Phragmidium heterosporum* Dietel
 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:435, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950
 [備考] カジイチゴ (*R. trifidus*)
 (11) *Phragmidium miyakeanum* Hiratsuka
 Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950

[備考] クワノハイチゴ (*Rubus nesiotetes*)
 (4) *Hamaspora okinawensis* Hiratsuka, f.
 Hiratsuka, N. & Simabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 1:15, 1954 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955
 [備考] ホザキイチゴ (*Rubus utchinensis*) に発生
 (5) *Hamaspora ozeensis* Hiratsuka, f.
 平塚直秀:植物研究雑誌 26(3):76, 1951 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955
 [備考] コバノフユイチゴ (*Rubus pectinellus*) に発生
 (6) *Hamaspora rubi-sieboldii* (Kawagoe) Dietel
 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:156, 1927(昭 2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):21, 1950
 [備考] ホウロクイチゴ (*Rubus sieboldii*) に発生
 (7) *Kuehneola uredinis* (Link) Arthur [*Kuehneola albida* (J.G. Kühn) Magnus]
 Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 12(11):809, 1936 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:231, 1955
 [備考] ブラックベリーの 1 種 (*Rubus* sp., 栽培種) に発生
 (8) *Phragmidium alpinum* Hiratsuka, f.
 Hiratsuka, N.:Annales Mycologici 28:280, 1930 ; Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950
 [備考] コガネイチゴ (*Rubus pedatus*) に発生
 (9) *Phragmidium griseum* Dietel [*Phragmidium yoshinagai* Dietel]
 白井光太郎:日本菌類目録:66, 1905(明 38) ; 南部信方:植物学雑誌 23(270):309, 1909(明 42) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:41, 1910 ; 白井光太郎・三宅市郎:改訂増補日本菌類目録:439, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950
 [備考] コジキイチゴ (*Rubus asper*, *R. sorbifolius*)・エゾクマイチゴ・コバノニガイチゴ (*R. microphyllus*, *R. incisus* var. *geifolius*)・ニガイチゴ (アズキイチゴ)(*R. incisus*, *R. microphyllus* var. *incisus*)・リュウキュウバライチゴ (*R. rosaefolius* var. *maximowiczii*)・オオバライチゴ (*R. rosaefolius* var. *tropicus* f. *genuinus*)・クマイチゴ (*R. morifolius*, *R. wrightii*)
 (10) *Phragmidium heterosporum* Dietel
 白井光太郎・三宅市郎:改訂増補日本菌類目録:435, 1917(大 6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950
 [備考] カジイチゴ (*R. trifidus*)
 (11) *Phragmidium miyakeanum* Hiratsuka
 Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950

[備考] クロイチゴ (*Rubus kinashii*, *R. occidentalis* var. *exsuccus*)

(12) *Phragmidium nambuianum* Dietel

南部信方:植物学雑 23(270):309, 1909(明 42) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950

[備考] クロイチゴ (*Rubus occidentalis*) に発生

(13) *Phragmidium pauciloculare* (Dietel) P. Sydow & Sydow [*Phragmidium barnardii* Plowright & G. Winter var. *pauciloculare* Dietel]

白井光太郎:日本菌類目録 66, 1905(明 38) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:36, 1910 ; 平塚直秀:鳥取農学会報 4:38, 1932(昭 7) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):43, 1950

[備考] アオナワシロイチゴ (*Rubus parvifolius* var. *concolor*) ・ ナワシロイチゴ (*R. parvifolius* var. *triphyllus*, *R. triphyllus*) ・ ウラジロイチゴ (エビガライチゴ)(*R. phoenicolasius*)

(14) *Phragmidium rubi-fraxinifolii* P. Sydow & Sydow
伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):44, 1950

[備考] ミヤマニガイチゴ (ナガバモミジイチゴ)(*Rubus palmatoides*)

(15) *Phragmidium rubi-idaei* (de Candolle) P. Karsten
Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:39, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):37, 1950

[備考] オオミヤマウラジロイチゴ (ウラジロエゾイチゴ)(*Rubus idaeus* var. *strigosus*, *R. idaeus* subsp. *melanolasius*, *R. idaeus* subsp. *sachalinensis*, *R. strigosus*) ・ チョウセンキイチゴ(*Rubus idaeus* var. *concolor*)

(16) *Phragmidium rubi-japonici* Kasai

Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):36, 1950

[備考] ゴヨウイチゴ (*Rubus japonicus*) ・ ヒメゴヨウイチゴに発生

(17) *Phragmidium rubi-oldhami* Togashi & Y. Maki
Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc.13:134, 1934 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):38, 1950

[備考] サナギイチゴ (*Rubus oldhami*, *R. pungens* var. *oldhami*)に発生

(18) *Phragmidium rubi-thunbergii* Kusano

Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 18:148, 1904 ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950

[備考] クサイチゴ (*Rubus hirsutus*, *R. thunbergii*)

(19) *Phragmidium yamadanum* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot. 7(3-4):242, 1935 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):40, 1950

[備考] ゴヨウイチゴ (*Rubus ikenoensis*, *R.*

[備考] クロイチゴ (*Rubus kinashii*, *R. occidentalis* var. *exsuccus*)

(12) *Phragmidium nambuianum* Dietel

南部信方:植物学雑 23(270):309, 1909(明 42) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950

[備考] クロイチゴ (*Rubus occidentalis*) に発生

(13) *Phragmidium pauciloculare* (Dietel) P. Sydow & Sydow [*Phragmidium barnardii* Plowright & G. Winter var. *pauciloculare* Dietel]

白井光太郎:日本菌類目録 66, 1905(明 38) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:36, 1910 ; 平塚直秀:鳥取農学会報 4:38, 1932(昭 7) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):43, 1950

[備考] アオナワシロイチゴ (*Rubus parvifolius* var. *concolor*) ・ ナワシロイチゴ (*R. parvifolius* var. *triphyllus*, *R. triphyllus*) ・ ウラジロイチゴ (エビガライチゴ)(*R. phoenicolasius*)

(14) *Phragmidium rubi-fraxinifolii* P. Sydow & Sydow
伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):44, 1950

[備考] ミヤマニガイチゴ (ナガバモミジイチゴ)(*Rubus palmatoides*)

(15) *Phragmidium rubi-idaei* (de Candolle) P. Karsten
Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:39, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):37, 1950

[備考] オオミヤマウラジロイチゴ (ウラジロエゾイチゴ)(*Rubus idaeus* var. *strigosus*, *R. idaeus* subsp. *melanolasius*, *R. idaeus* subsp. *sachalinensis*, *R. strigosus*) ・ チョウセンキイチゴ(*Rubus idaeus* var. *concolor*)

(16) *Phragmidium rubi-japonici* Kasai

Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):36, 1950

[備考] ゴヨウイチゴ (*Rubus japonicus*) ・ ヒメゴヨウイチゴに発生

(17) *Phragmidium rubi-oldhami* Togashi & Y. Maki
Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc.13:134, 1934 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):38, 1950

[備考] サナギイチゴ (*Rubus oldhami*, *R. pungens* var. *oldhami*)に発生

(18) *Phragmidium rubi-thunbergii* Kusano

Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 18:148, 1904 ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950

[備考] クサイチゴ (*Rubus hirsutus*, *R. thunbergii*)

(19) *Phragmidium yamadanum* Hiratsuka, f.

Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot. 7(3-4):242, 1935 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):40, 1950

[備考] ゴヨウイチゴ (*Rubus ikenoensis*, *R.*

japonicus) に発生 (注) 文献訂正	japonicus) に発生
バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>R. idaeus</i> L., <i>R. occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>R. allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>R. procumbens</i> Muhlenberg など すす病 susu-byo Sooty mold <i>Appendiculella calostroma</i> (Desmazières) Höhnelt [<i>Meliola rubicola</i> Hennings] 吉永虎馬:植物学雑 19(217):32, 1905(明 38) ; Katamoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):284, 1976 ; 小林享夫ら:茨城病虫研報 22:19, 1983 [備考] ヒメバライチゴ (<i>Rubus rosaefolius</i> var. <i>tropicus</i> f. <i>minor</i>) ・ ナガバモミジイチゴ (<i>R. palmatus</i>) ・ モミジイチゴ (<i>R. palmatus</i> var. <i>coptophyllus</i>) ・ ニガイイチゴに発生 (注) 文献著者名修正	バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>R. idaeus</i> L., <i>R. occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>R. allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>R. procumbens</i> Muhlenberg など すす病 susu-byo Sooty mold <i>Appendiculella calostroma</i> (Desmazières) Höhnelt [<i>Meliola rubicola</i> Hennings] 吉永虎馬:植物学雑 19(217):32, 1905(明 38) ; Katamoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):284, 1976 ; 小林享夫ら:茨城病虫研報 22:19, 1983 [備考] ヒメバライチゴ (<i>Rubus rosaefolius</i> var. <i>tropicus</i> f. <i>minor</i>) ・ ナガバモミジイチゴ (<i>R. palmatus</i>) ・ モミジイチゴ (<i>R. palmatus</i> var. <i>coptophyllus</i>) ・ ニガイイチゴに発生
バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>R. idaeus</i> L., <i>R. occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>R. allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>R. procumbens</i> Muhlenberg など †††† ††<i>Phragmidium heterosporum</i> Dietel 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:435, 1917(大 6) [備考] タイワンイチゴ (<i>Rubus taiwanianus</i>) ・ トネ	バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>R. idaeus</i> L., <i>R. occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>R. allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>R. procumbens</i> Muhlenberg など †††† ††<i>Phragmidium heterosporum</i> Dietel 白井光太郎・三宅市郎:改訂増補日本菌類目録:435, 1917(大 6) [備考] タイワンイチゴ (<i>Rubus taiwanianus</i>) ・ トネ

リコバノイチゴ (<i>R. fraxinifolius</i>) に発生。発生地不詳 (注) 文献訂正	リコバノイチゴ (<i>R. fraxinifolius</i>) に発生。発生地不詳
バラ科 Rosaceae ユキヤナギ(噴雪花, 雪柳) Spiraea <i>Spiraea thunbergii</i> Sieb. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病) <i>Podosphaera spiraeae</i> (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Sphaerotheca spiraeae</i> Sawada, <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill pro parte] 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:137, 1939(昭 14) ; 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):7, 1949 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):163, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012 (注) 文献著者名の後のコロンを半角にする	バラ科 Rosaceae ユキヤナギ(噴雪花, 雪柳) Spiraea <i>Spiraea thunbergii</i> Sieb. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病) <i>Podosphaera spiraeae</i> (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Sphaerotheca spiraeae</i> Sawada, <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill pro parte] 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:137, 1939(昭 14) ; 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):7, 1949 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):163, 1988 ; 高松 進 : 三重大生資紀要 38:20, 2012
バラ科 Rosaceae ユキヤナギ(噴雪花, 雪柳) Spiraea <i>Spiraea thunbergii</i> Sieb. (広葉樹) 斑点落葉病 hanten-rakuyo-byo <i>Cladosporium</i> sp. 小出仁士ら:関西病虫研報 18:104, 1976 ; 小出仁士ら:日植病報 43(3):327, 1977 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	バラ科 Rosaceae ユキヤナギ(噴雪花, 雪柳) Spiraea <i>Spiraea thunbergii</i> Sieb. (広葉樹) 斑点落葉病 hanten-rakuyo-byo <i>Cladosporium</i> sp. 小出仁士ら:関西病虫会報 18:104, 1976 ; 小出仁士ら:日植病報 43(3):327, 1977
アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) ††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome]	アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) ††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome]

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:141, 1977 [備考] 病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	渡邊龍雄:熱帯果樹と作物の病害:141, 1977 [備考] 病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照
アカネ科 Rubiaceae ハクチョウゲ(白丁花) Serisse <i>Serissa japonica</i> (Thunb.) Thunb. (広葉樹) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV) タバコモザイクウイルス 奥山 哲・仲田 誠:関東病虫研報 20:79, 1973 [備考] 病徴再現未確認 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	アカネ科 Rubiaceae ハクチョウゲ(白丁花) Serisse <i>Serissa japonica</i> (Thunb.) Thunb. (広葉樹) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV) タバコモザイクウイルス 奥山 哲・仲田 誠:関東東山病虫研報 20:79, 1973 [備考] 病徴再現未確認
ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. ウイロイド病 viroid-byo Viroid disease (1) <i>Citrus bark cracking viroid</i> (CBCVd) [Citrus IV viroid] カンキツバーククラッキングウイロイド (2) <i>Citrus bent leaf viroid</i> (CBLVd) [Citrus I viroid#] カンキツベントリーフウイロイド (3) <i>Citrus dwarfing viroid</i> (CDVd) [Citrus III viroid] カンキツ矮化ウイロイド Sano, T. <i>et al.</i>:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. <i>et al.</i>:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997 ; 畑谷達児:日植病報 79(1):68, 2013 (4) <i>Citrus viroid V</i> (CVd-V) カンキツウイロイド V 伊藤隆男ら:日植病報 76(3):223, 2010 ; Ito, T. & Ohta, S.:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):348, 2010	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. ウイロイド病 viroid-byo Viroid disease (1) <i>Citrus bark cracking viroid</i> (CBCVd) [Citrus IV viroid] カンキツバーククラッキングウイロイド (2) <i>Citrus bent leaf viroid</i> (CBLVd) [Citrus I viroid#] カンキツベントリーフウイロイド (3) <i>Citrus dwarfing viroid</i> (CDVd) [Citrus III viroid] カンキツ矮化ウイロイド Sano, T. <i>et al.</i>:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. <i>et al.</i>:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997 ; 畑谷達児:日植病報 79(1):68, 2013 (4) <i>Citrus viroid V</i> (CVd-V) カンキツウイロイド V 伊藤隆男ら:日植病報 76(3):223, 2010 ; Ito, T. &

[備考] カンキツ樹に発生 (5) <i>Hop stunt viroid</i> (HpSVd) [Citrus II viroid#] ホップ矮化ウイルス Sano, T. <i>et al.</i>:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. <i>et al.</i>:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997 (6) F10 citrus viroid# (7) OS citrus viroid# 伊藤隆男ら:日植病報 63(6):484, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 64(4):425, 1998 [備考] ウィロイド (1) ~ (3) は単独あるいは混合感染でカラタチ台バレンシアオレンジ樹にわい化などの症状を現すことが知られている (Roistacher, N. <i>et al.</i>:Proc. 12th Conf. IOCV:173, 1993)。 (6), (7) は仮称である (注) (1)の後の空白の一行を削除	Ohta, S.:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):348, 2010 [備考] カンキツ樹に発生 (5) <i>Hop stunt viroid</i> (HpSVd) [Citrus II viroid#] ホップ矮化ウイルス Sano, T. <i>et al.</i>:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. <i>et al.</i>:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997 (6) F10 citrus viroid# (7) OS citrus viroid# 伊藤隆男ら:日植病報 63(6):484, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 64(4):425, 1998 [備考] ウィロイド (1) ~ (3) は単独あるいは混合感染でカラタチ台バレンシアオレンジ樹にわい化などの症状を現すことが知られている (Roistacher, N. <i>et al.</i>:Proc. 12th Conf. IOCV:173, 1993)。 (6), (7) は仮称である
ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 黒いぼ病 kuroibo-byo (1) <i>Dothidea sambuci</i> (Persoon) Fries 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:213, 1917(大 6) [備考] カラタチに発生 (2) <i>Stylodothis puccinioides</i> (de Candolle) Arx & E. Müller [<i>Dothidea puccinioides</i> (de Candolle) Fries, <i>Dothidea sambuci</i> non (Persoon) Fries sensu Imazeki] 原 攝祐:植物学雑誌 27(314):123, 1913(大 2) ; 安田篤:植物学雑誌 37(434):67, 1923(大 12) ; 今関六也:隠花植物図鑑(朝比奈泰彦編):238, 1939(昭 14) ; 勝本謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):574, 1992 [備考] カラタチに発生 (注) 文献訂正	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 黒いぼ病 kuroibo-byo (1) <i>Dothidea sambuci</i> (Persoon) Fries 白井光太郎・三宅市郎:改訂増補日本菌類目録:213, 1917(大 6) [備考] カラタチに発生 (2) <i>Stylodothis puccinioides</i> (de Candolle) Arx & E. Müller [<i>Dothidea puccinioides</i> (de Candolle) Fries, <i>Dothidea sambuci</i> non (Persoon) Fries sensu Imazeki] 原 攝祐:植物学雑誌 27(314):123, 1913(大 2) ; 安田篤:植物学雑誌 37(434):67, 1923(大 12) ; 今関六也:隠花植物図鑑(朝比奈泰彦編):238, 1939(昭 14) ; 勝本謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):574, 1992 [備考] カラタチに発生

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus Citrus spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus Citrus spp. キンカン(金柑) Kumquats Fortunella spp. カラタチ(枳殼) Trifoliate orange Poncirus trifoliata (L.) Raf.	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus Citrus spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus Citrus spp. キンカン(金柑) Kumquats Fortunella spp. カラタチ(枳殼) Trifoliate orange Poncirus trifoliata (L.) Raf.
すす病 susu-byo Sooty mold (黒黴病, 小煤病, 淡色煤病, 灰色煤病, 文旦の煤病, 褐色煤病, 多色茸煤病, 煤病) (1) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne 原 攝祐:果樹病害論:231, 1916(大 5); 原 攝祐:日菌報 3(1-6):104, 1962 [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (2) <i>Capnophaeum fuliginoides</i> (Rehm) W. Yamamoto [<i>Capnodium fuliginodes</i> Rehm, <i>Capnophaeum nipponicum</i> Ikata] 山本和太郎:兵庫農大紀要 1(2):15, 1951; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 (3) <i>Hypocapnodium japonicum</i> (Hara) W. Yamamoto [<i>Limacinia japonica</i> Hara] (灰色煤病) 原 攝祐:実験作物病理学:559, 1930(昭 5); 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 4(1):19, 1959 [備考] <i>Hypocapnodium</i> は現在 <i>Aithaloderma</i> とされている (4) <i>Limacinia harai</i> W. Yamamoto [<i>Aithaloderma japonica</i> Hara] 原 攝祐:菌類 1(2):20, 1931(昭 6); 山本和太郎:兵庫農大研報農業生物学編 4(1):19, 1959 (5) <i>Limacinula javanica</i> (Zimmermann) Höhnelt [<i>Capnophaeum citrivorum</i> (Hara) Sawada, <i>Meliola citricola</i> Hara, <i>Meliola harana</i> Trotter, <i>Phaeosaccardinula citrivora</i> (Hara) Hara, <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto, <i>Zukaliopsis gardeniae</i> Sawada] (褐色すす病・淡色煤病 Brownish sooty mold) 原 攝祐:静岡県農会報 262:5, 1919 (大 8); 山本和太郎:日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15) [備考] 本病菌による病害は他の樹種ではすべて褐色すす病として独立されている (6) <i>Meliola butleri</i> Sydow & P. Sydow [<i>Meliola amphitricha</i> sensu Sawada non Fries, <i>Meliola citricola</i> Sydow & P. Sydow] (小煤病) 藤黒與三郎:植物学雑 32(384):358, 1918(大 7); 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告	すす病 susu-byo Sooty mold (黒黴病, 小煤病, 淡色煤病, 灰色煤病, 文旦の煤病, 褐色煤病, 多色茸煤病, 煤病) (1) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne 原 攝祐:果樹病害論:231, 1916(大 5); 原 攝祐:日菌報 3(1-6):104, 1962 [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (2) <i>Capnophaeum fuliginoides</i> (Rehm) W. Yamamoto [<i>Capnodium fuliginodes</i> Rehm, <i>Capnophaeum nipponicum</i> Ikata] 山本和太郎:兵庫農大紀要 1(2):15, 1951; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 (3) <i>Hypocapnodium japonicum</i> (Hara) W. Yamamoto [<i>Limacinia japonica</i> Hara] (灰色煤病) 原 攝祐:実験作物病理学:559, 1930(昭 5); 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 4(1):19, 1959 [備考] <i>Hypocapnodium</i> は現在 <i>Aithaloderma</i> とされている (4) <i>Limacinia harai</i> W. Yamamoto [<i>Aithaloderma japonica</i> Hara] 原 攝祐:菌類 1(2):20, 1931(昭 6); 山本和太郎:兵庫農大研報農業生物学編 4(1):19, 1959 (5) <i>Limacinula javanica</i> (Zimmermann) Höhnelt [<i>Capnophaeum citrivorum</i> (Hara) Sawada, <i>Meliola citricola</i> Hara, <i>Meliola harana</i> Trotter, <i>Phaeosaccardinula citrivora</i> (Hara) Hara, <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto, <i>Zukaliopsis gardeniae</i> Sawada] (褐色すす病・淡色煤病 Brownish sooty mold) 原 攝祐:静岡県農会報 262:5, 1919 (大 8); 山本和太郎:日植病報 10(2-3):254, 1940(昭 15) [備考] 本病菌による病害は他の樹種ではすべて褐色すす病として独立されている (6) <i>Meliola butleri</i> Sydow & P. Sydow [<i>Meliola amphitricha</i> sensu Sawada non Fries, <i>Meliola citricola</i> Sydow & P. Sydow] (小煤病) 藤黒與三郎:植物学雑 32(384):358, 1918(大 7); 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告

1):196, 1919(大 8); 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):248, 1929(昭 4); 原 攝祐:実験作物病理学:560, 1930(昭 5)

(7) *Meliola citri* (Briosi & Passerini) Saccardo [*Capnodium citri* Berkeley & Desmazières, *Limacinia citri* (Briosi & Passerini) Saccardo]
出田 新:農作物病理学:100, 1901(明 34); 安田 篤:植物学各論隠花部:36, 1911(明 44); 西田藤次:柑橘病害と予防法:6, 1914(大 3)
[備考] 原 攝祐 (果樹 200:19, 1919) が *Meliola citri* にあてた菌はのちに原によって *Hypocapnodium mikanum* Hara とされた

(8) *Phaeosaccardinula penzigii* (Saccardo) W. Yamamoto [*Limacinia penzigii* (Saccardo) Saccardo, *Limacinula penzigii* (Saccardo) Sawada, *Meliola penzigii* Saccardo]
出田 新:農作物病理学:100, 1901(明 34); 西田藤次:柑橘病害と予防法:6, 1914(大 3); 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):259, 1929(昭 4); 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):46, 1957

(9) *Phragmocapnias betle* (Sydow, P. Sydow & E.J. Butler) Theissen & Sydow [*Antennella citri* Sawada, *Antennellopsis vulgaris* (W. Yamamoto) Batista & Ciferri, *Capnodaria tanakae* (Shirai & Hara) Sawada, *Capnodium footii* sensu Sawada non Berkeley & Desmazières, *Capnodium tanakae* Shirai & Hara, *Chaetoscorias vulgaris* W. Yamamoto, *Neocapnodium tanakae* (Shirai & Hara) W. Yamamoto, *Scorias communis* W. Yamamoto] (文旦の煤病)
原 攝祐:果樹病害論:231, 1916(大 5); 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):261, 1929(昭 4); 山本和太郎:兵庫農大研報農学篇 1(1):43, 1953; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954

(10) *Scorias citrina* (Hara) W. Yamamoto [*Antennella citrina* Hara]
原 攝祐:菌類 1(2):20, 1931(昭 6); 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 4(1):20, 1959

(11) *Triposporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto [*Aithaloderma phyllostachydis* Hara, *Chaetothyrium spinigerum* (Höhnelt) W. Yamamoto, *Hypocapnodium citri* Sawada, *Hypocapnodium mikanum* Hara, *Hypocapnodium quercifolium* Hara, *Limacinia spinigera* Höhnelt, *Meliola citri* sensu Hara non Saccardo, *Meliola morifolia* Y. Endo, *Meliola stomata* Hara, *Triposporium juglandis* Thümen]
原 攝祐:実験作物病理学:556, 1930(昭 5); 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953
[備考] 病原菌の学名は *Trichomerium*

1):196, 1919(大 8); 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):248, 1929(昭 4); 原 攝祐:実験作物病理学:560, 1930(昭 5)

(7) *Meliola citri* (Briosi & Passerini) Saccardo [*Capnodium citri* Berkeley & Desmazières, *Limacinia citri* (Briosi & Passerini) Saccardo]
出田 新:農作物病理学:100, 1901(明 34); 安田 篤:植物学各論 隠花部:36, 1911(明 44); 西田藤次:柑橘病害と予防法:6, 1914(大 3)
[備考] 原 攝祐 (果樹 200:19, 1919) が *Meliola citri* にあてた菌はのちに原によって *Hypocapnodium mikanum* Hara とされた

(8) *Phaeosaccardinula penzigii* (Saccardo) W. Yamamoto [*Limacinia penzigii* (Saccardo) Saccardo, *Limacinula penzigii* (Saccardo) Sawada, *Meliola penzigii* Saccardo]
出田 新:農作物病理学:100, 1901(明 34); 西田藤次:柑橘病害と予防法:6, 1914(大 3); 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):259, 1929(昭 4); 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):46, 1957

(9) *Phragmocapnias betle* (Sydow, P. Sydow & E.J. Butler) Theissen & Sydow [*Antennella citri* Sawada, *Antennellopsis vulgaris* (W. Yamamoto) Batista & Ciferri, *Capnodaria tanakae* (Shirai & Hara) Sawada, *Capnodium footii* sensu Sawada non Berkeley & Desmazières, *Capnodium tanakae* Shirai & Hara, *Chaetoscorias vulgaris* W. Yamamoto, *Neocapnodium tanakae* (Shirai & Hara) W. Yamamoto, *Scorias communis* W. Yamamoto] (文旦の煤病)
原 攝祐:果樹病害論:231, 1916(大 5); 澤田兼吉:柑橘研究 3(2):261, 1929(昭 4); 山本和太郎:兵庫農大研報農学篇 1(1):43, 1953; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954

(10) *Scorias citrina* (Hara) W. Yamamoto [*Antennella citrina* Hara]
原 攝祐:菌類 1(2):20, 1931(昭 6); 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 4(1):20, 1959

(11) *Triposporiopsis spinigera* (Höhnelt) W. Yamamoto [*Aithaloderma phyllostachydis* Hara, *Chaetothyrium spinigerum* (Höhnelt) W. Yamamoto, *Hypocapnodium citri* Sawada, *Hypocapnodium mikanum* Hara, *Hypocapnodium quercifolium* Hara, *Limacinia spinigera* Höhnelt, *Meliola citri* sensu Hara non Saccardo, *Meliola morifolia* Y. Endo, *Meliola stomata* Hara, *Triposporium juglandis* Thümen]
原 攝祐:実験作物病理学:556, 1930(昭 5); 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953
[備考] 病原菌の学名は *Trichomerium*

<i>grandisporum</i> (Ellis & Martin) Batista & Ciferri とされている (12) 病原未記載 長崎 常:農学会報 35:107, 1897(明 30) (注)他の病名の 同じ文献の書式に合わせてスペース削除	<i>grandisporum</i> (Ellis & Martin) Batista & Ciferri とされている (12) 病原未記載 長崎 常:農学会報 35:107, 1897(明 30)
---	--

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 根腐線虫病* negusare-senchu-byo Root lesion (1) <i>Pratylenchus coffeae</i> (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ 後藤 昭・大島康臣:応動昆 7(3):187, 1963 ; 後藤 昭:九農試報 17(2):139, 1974 (2) <i>Pratylenchus loosi</i> Loof チャネグサレセンチュウ (根腐衰弱病) 金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963 ; 宮川経邦:植物防疫 25(2):70, 1971 (注) 文献著者の名前が一文字なので、姓名の間に半角スペースを挿入	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 根腐線虫病* negusare-senchu-byo Root lesion (1) <i>Pratylenchus coffeae</i> (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ 後藤 昭・大島康臣:応動昆 7(3):187, 1963 ; 後藤昭:九農試報 17(2):139, 1974 (2) <i>Pratylenchus loosi</i> Loof チャネグサレセンチュウ (根腐衰弱病) 金子 武・一戸 稔:応動昆 7(3):165, 1963 ; 宮川経邦:植物防疫 25(2):70, 1971
---	---

ミカン科 Rutaceae サルカケミカン Wild orange tree <i>Toddalia asiatica</i> (L.) Lam. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Didymopsorella lemanensis</i> (Doidge) Hiratsuka [<i>Skierka toddaliae</i> (Sydow & P. Sydow) Hiratsuka, <i>Ctenoderma toddaliae</i> Sydow & P. Sydow] 平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):21, 1941(昭 16); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):3, 1950 ; Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 1:14, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of	ミカン科 Rutaceae サルカケミカン Wild orange tree <i>Toddalia asiatica</i> (L.) Lam. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Didymopsorella lemanensis</i> (Doidge) Hiratsuka [<i>Skierka toddaliae</i> (Sydow & P. Sydow) Hiratsuka, <i>Ctenoderma toddaliae</i> Sydow & P. Sydow] 平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):21, 1941(昭 16); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):3, 1950 ; Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 1:14, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust Flora of Japan:361,
---	--

Japan:361, 1992 (注) 文献名訂正	1992
アワブキ科 Sabiaceae アワブキ(泡吹) (Meliosma) <i>Meliosma myriantha</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium hornotinum</i> Cummins Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:14, 1955 [備考] リュウキュウアワブキ (<i>M. oldhami</i>) (2) <i>Aecidium meliosmae-pungentis</i> Hennings & Shirai 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明 37) [備考] ヤマビワ (<i>M. rigida</i>)に発生。柿島・佐藤 (25 回日菌講:61, 1981) は本病原菌が <i>Phakopsora meliosmae</i> Kusano のさび胞子世代であることを口頭発表した, 論文としての発表はない (3) <i>Phakopsora meliosmae-myrianthae</i> (Hennings & Shirai) Y. Ono [<i>Phakopsora euvitis</i> Y. Ono, <i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai] 工藤 晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978 ; Ono, Y.:Mycologia 92:154, 2000 ; Ono, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] <i>Vitis</i> 属の宿主はブドウさび病の項を参照 (4) <i>Phakopsora montana</i> Y. Ono & Chatasiri Ono, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] ミヤマハハソ (<i>M. tenuis</i>)に発生。<i>Vitis</i> 属の宿主はブドウさび病の項を参照 (5) <i>Physopella ampelopsidis</i> (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [<i>Phakopsora ampelopsidis</i> Dietel & P. Sydow, <i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai, <i>Aecidium meliosmae</i> Dietel] 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明 37) ; 工藤 晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978 [備考] ミヤマハハソ (<i>M. tenuis</i>) にも発生 (6) <i>Physopella meliosmae</i> (Kusano) Cummins & Ramachar [<i>Phakopsora meliosmae</i> Kusano, <i>Aecidium meliosmae-pungentis</i> Hennings & Shirai] 安田 篤:植物学各論隠花部:427, 1911(明 44) ; Kusano, S.:Bot. Mag. 18(214):148, 1904(明 37) ; Kakishima, M. et al.:Trans. Br. Mycol. Soc. 80:77,	アワブキ科 Sabiaceae アワブキ(泡吹) (Meliosma) <i>Meliosma myriantha</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium hornotinum</i> Cummins Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:14, 1955 [備考] リュウキュウアワブキ (<i>M. oldhami</i>) (2) <i>Aecidium meliosmae-pungentis</i> Hennings & Shirai 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明 37) [備考] ヤマビワ (<i>M. rigida</i>)。柿島・佐藤 (25 回日菌講:61, 1981) は本病原菌が <i>Phakopsora meliosmae</i> Kusano のさび胞子世代であることを口頭発表した, 論文としての発表はない (3) <i>Phakopsora meliosmae-myrianthae</i> (Hennings & Shirai) Y. Ono [<i>Phakopsora euvitis</i> Y. Ono, <i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai] 工藤 晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978 ; Ono, Y.:Mycologia 92:154, 2000 ; Ono, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] <i>Vitis</i> 属の宿主はブドウさび病の項を参照 (4) <i>Phakopsora montana</i> Y. Ono & Chatasiri Ono, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] ミヤマハハソ (<i>M. tenuis</i>)。<i>Vitis</i> 属の宿主はブドウさび病の項を参照 (5) <i>Physopella ampelopsidis</i> (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [<i>Phakopsora ampelopsidis</i> Dietel & P. Sydow, <i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai, <i>Aecidium meliosmae</i> Dietel] 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明 44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明 37) ; 工藤 晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978 [備考] ミヤマハハソ (<i>M. tenuis</i>) にも発生 (6) <i>Physopella meliosmae</i> (Kusano) Cummins & Ramachar [<i>Phakopsora meliosmae</i> Kusano, <i>Aecidium meliosmae-pungentis</i> Hennings & Shirai] 安田 篤:植物学各論隠花部:427, 1911(明 44) ; Kusano, S.:Bot. Mag. 18(214):148, 1904(明 37) ; Kakishima, M. et al.:Trans. Br. Mycol. Soc. 80:77,

1983 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:337, 1992 [備考] リュウキュウアワブキ・ミヤマハハソ・ヤマビワ (<i>M. rigida</i>)に発生 (注) 文献名訂正、備考変更	1983 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust flora of Japan:337, 1992 [備考] リュウキュウアワブキ・ミヤマハハソ・ヤマビワ (<i>M. rigida</i>)
ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp. <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) †角斑病 kakuhan-byo (1) <i>Cercospora babylonicae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告10):79, 1944(昭19) [備考] 台湾。シダレヤナギ (<i>S. babylonica</i>) に発生 (2) <i>Cercospora salicicola</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告10):87, 1944(昭19) [備考] 台湾。タカサゴアカメヤナギ (<i>S. glandulosa</i> var. <i>warburgii</i>) に発生 (3) <i>Cercospora salicina</i> Ellis & Everhart 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編4(2):173, 1960 ; 山本和太郎:熱帯農学会誌 6(3):606, 1934(昭9) [備考] 台湾。シダレヤナギに発生 (注) 文献名訂正、備考変更	ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp. <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) †角斑病 kakuhan-byo (1) <i>Cercospora babylonicae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告10):79, 1944(昭19) [備考] 台湾。シダレヤナギ (<i>S. babylonica</i>) (2) <i>Cercospora salicicola</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告10):87, 1944(昭19) [備考] 台湾。タカサゴアカメヤナギ (<i>S. glandulosa</i> var. <i>warburgii</i>) (3) <i>Cercospora salicina</i> Ellis & Everhart 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編4(2):173, 1960 ; 山本和太郎:熱帯農学会報 6(3):606, 1934(昭9) [備考] 台湾。シダレヤナギ
ムクロジ科 Sapindaceae リュウガン(龍眼, 亜荔枝) Longan <i>Euphoria longana</i> Lamarck (果樹) †††† †††<i>Thielaviopsis paradoxa</i> (De Seynes) Höhnelt 横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:55, 1939(昭14) [備考] 台湾・フィリピン・北米 (注) 文献名訂正	ムクロジ科 Sapindaceae リュウガン(龍眼, 亜荔枝) Longan <i>Euphoria longana</i> Lamarck (果樹) †††† †††<i>Thielaviopsis paradoxa</i> (De Seynes) Höhnelt 横浜税関:輸移入物病菌害虫目録:55, 1939(昭14) [備考] 台湾・フィリピン・北米

ムクロジ科 Sapindaceae メリコッカ (Melicocca) <i>Melicocca piderpetala</i> (広葉樹) †褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot <i>Cercospora malicoccae</i> Kobayashi 小林享夫:森林防疫 33(12):217, 1984 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(3):267, 1984 [備考] パラグアイ (注) 文献名訂正 (Trans の後にピリオド挿入、M を大文字に変換、Japan の後のピリオド削除)	ムクロジ科 Sapindaceae メリコッカ (Melicocca) <i>Melicocca piderpetala</i> (広葉樹) †褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot <i>Cercospora malicoccae</i> Kobayashi 小林享夫:森林防疫 33(12):217, 1984 ; Kobayashi, T.:Trans mycol. Soc. Japan. 25(3):267, 1984 [備考] パラグアイ
ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>R.</i> <i>grossularia</i> L., <i>R. hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>R. nigrum</i> L., <i>R. vulgare</i> Lamarck など さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Cronartium ribicola</i> J.C. Fischer (White pine blister rust, 毛銹病) 出田 新:日本植物病理学 下巻:439, 1911(明 44) ; 伊 藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):156, 1938(昭 13) [備考] アカスグリ (フサスグリ)・トガスグリ (<i>Ribes sachalinensis</i>) (2) <i>Puccinia parkerae</i> Dietel & Holway [<i>Puccinia ribis-</i> <i>japonici</i> Hennings] 松村任三:帝国植物名鑑(上):169, 1904(明 37) ; 平塚 直秀:鳥取農学会報 3:239, 1931(昭 6) ; 伊藤誠哉:日 本菌類誌 2(3):258, 1950 ; Hiratsuka, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:22, 1976 [備考] コマガタスグリ (<i>Ribes japonicum</i>)・トガス グリ・スグリの 1 種 (<i>Ribes</i> sp.) に発生 (3) <i>Puccinia pringsheimiana</i> Klebahn 原 攝祐:果樹病害論:421, 1916(大 5) ; 伊藤誠哉:日 本菌類誌 2(3):184, 1950 [備考] グーズベリーに発生 (4) <i>Puccinia ribis</i> de Candolle Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 1(2):71, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):257, 1950	ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>R.</i> <i>grossularia</i> L., <i>R. hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>R. nigrum</i> L., <i>R. vulgare</i> Lamarck など さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Cronartium ribicola</i> J.C. Fischer (White pine blister rust, 毛銹病) 出田 新:日本植物病理学 下巻:439, 1911(明 44) ; 伊 藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):156, 1938(昭 13) [備考] アカスグリ (フサスグリ)・トガスグリ (<i>Ribes sachalinensis</i>) (2) <i>Puccinia parkerae</i> Dietel & Holway [<i>Puccinia ribis-</i> <i>japonici</i> Hennings] 松村任三:帝国植物名鑑(上) 169, 1904(明 37) ; 平塚 直秀:鳥取農学会報 3:239, 1931(昭 6) ; 伊藤誠哉:日 本菌類誌 2(3):258, 1950 ; Hiratsuka, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:22, 1976 [備考] コマガタスグリ (<i>Ribes japonicum</i>)・トガス グリ・スグリの 1 種 (<i>Ribes</i> sp.) に発生 (3) <i>Puccinia pringsheimiana</i> Klebahn 原 攝祐:果樹病害論:421, 1916(大 5) ; 伊藤誠哉:日 本菌類誌 2(3):184, 1950 [備考] グーズベリーに発生 (4) <i>Puccinia ribis</i> de Candolle Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 1(2):71, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):257, 1950

[備考] エゾスグリ (<i>Ribes latifolium</i>)・チシマスグリ (<i>R. triste</i>) に発生 (注) 文献名の後の半角スペースを半角コロンに置換	[備考] エゾスグリ (<i>Ribes latifolium</i>)・チシマスグリ (<i>R. triste</i>) に発生
--	---

キブシ科 Stachyuraceae キブシ(木付子, 木五倍子) (<i>Stachyurus</i>) <i>Stachyurus praecox</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) ハチジョウキブシ <i>S. praecox</i> var. <i>matsuzakii</i> (Nakai) Makino うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Oidium</i> sp. 本間善久:四国植防 11:135, 1976 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:141, 1968 [備考] ケキブシにも発生 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	キブシ科 Stachyuraceae キブシ(木付子, 木五倍子) (<i>Stachyurus</i>) <i>Stachyurus praecox</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) ハチジョウキブシ <i>S. praecox</i> var. <i>matsuzakii</i> (Nakai) Makino うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Oidium</i> sp. 本間善久:四国植物防疫研究 11:135, 1976 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:141, 1968 [備考] ケキブシにも発生
--	---

モエギタケ科 Strophariaceae ナメコ(滑子) Nameko mushroom, Viscid mushroom <i>Pholiota nameko</i> (T. Ito) S. Ito & Imai in Imai (きのこ) 菌床トリコデルマ病* kinsho-<i>Trichoderma</i>-byo <i>Trichoderma</i> spp. [<i>Hypocrea</i> spp.] 小松光雄:菌茸研報 7:78, 1969 ; 篠田 茂・本間広之:新潟県林試報 27:45, 1985 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこの害菌・害虫ハンドブック:146, 1986 [備考] 菌床に発生。本病について, 篠田 茂・本間広之 (新潟県林試報 27:45, 1985) は <i>Trichoderma aureoviride</i>, <i>T. koningii</i>, <i>T. viride</i>, <i>Hypocrea luteovirens</i>, <i>H. nigricans</i>, <i>H. tawa</i> f. <i>microspora</i> がナメコに対して抗菌性があるとしている。古川久彦・野淵 輝 (栽培きのこの害菌・害虫ハンドブック, 1986) はトリコデルマ・コニンジイ病として, <i>T. koningii</i>, ヒポクレア・ムロイアーナ病として, <i>H. muroiana</i>, ヒポクレア・パキバシオイデス病として, <i>H. pachybasioides</i>, ヒポクレア・シュワイニッチイ病として, <i>H. schweinitzii</i> [<i>T. longibrachiatum</i>] を記載し, 小松光雄 (菌茸研報 7:78, 1969) は <i>T. viride</i>	モエギタケ科 Strophariaceae ナメコ(滑子) Nameko mushroom, Viscid mushroom <i>Pholiota nameko</i> (T. Ito) S. Ito & Imai in Imai (きのこ) 菌床トリコデルマ病* kinsho-<i>Trichoderma</i>-byo <i>Trichoderma</i> spp. [<i>Hypocrea</i> spp.] 小松光雄:菌茸研報 7:78, 1969 ; 篠田 茂・本間広之:新潟県林試報 27:45, 1985 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこの害菌・害虫ハンドブック:146, 1986 [備考] 菌床に発生。本病について, 篠田 茂・本間広之 (新潟県林試報 27:45, 1985) は <i>Trichoderma aureoviride</i>, <i>T. koningii</i>, <i>T. viride</i>, <i>Hypocrea luteovirens</i>, <i>H. nigricans</i>, <i>H. tawa</i> f. <i>microspora</i> がナメコに対して抗菌性があるとしている。古川久彦・野淵 輝 (栽培きのこの害菌・害虫ハンドブック, 1986) はトリコデルマ・コニンジイ病として, <i>T. koningii</i>, ヒポクレア・ムロイアーナ病として, <i>H. muroiana</i>, ヒポクレア・パキバシオイデス病として, <i>H. pachybasioides</i>, ヒポクレア・シュワイニッチイ病として, <i>H. schweinitzii</i> [<i>T. longibrachiatum</i>] を記載し, 小松光雄 (菌茸研報 7:78, 1969) は <i>T. viride</i>
--	--

はナメコを侵害するとしている (注) 文献名訂正	はナメコを侵害するとしている
スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, Cryptomeria <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia-byo</i> Pestalotia disease (1) <i>Pestalotiopsis foedans</i> (Saccardo & Ellis) Steyaert [<i>Pestalotia aomoriensis</i> Sawada, <i>Pestalotia breviseta</i> sensu Hino non Saccardo, <i>Pestalotia funerea</i> sensu Ito non Desmazières, <i>Pestalotia funerea</i> sensu Shirai non Desmazières, <i>Pestalotia shiraiana</i> Hennings] 白井光太郎:大日本山林会報 253:6, 1903(明 36) ; Hennings, P.:Engler's Bot. Jahrb. 37:164, 1906 ; 澤田兼吉:林試研報 45:39, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993 (2) <i>Pestalotiopsis glandicola</i> (Castagne) Steyaert [<i>Pestalotia cryptomeriicola</i> Sawada, <i>Pestalotia cycadis</i> sensu Hino non Allescher, <i>Pestalotia laricina</i> Sawada] 澤田兼吉:林試研報 :45:40, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993 (3) <i>Pestalotiopsis neglecta</i> (Thümen) Steyaert 北島君三:樹病学及木材腐朽論:73, 1933(昭 8) ; 澤田兼吉:林試研報 45:27, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993 (注) 文献名訂正	スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, Cryptomeria <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia-byo</i> Pestalotia disease (1) <i>Pestalotiopsis foedans</i> (Saccardo & Ellis) Steyaert [<i>Pestalotia aomoriensis</i> Sawada, <i>Pestalotia breviseta</i> sensu Hino non Saccardo, <i>Pestalotia funerea</i> sensu Ito non Desmazières, <i>Pestalotia funerea</i> sensu Shirai non Desmazières, <i>Pestalotia shiraiana</i> Hennings] 白井光太郎:大日本山林会報 253:6, 1903(明 36) ; Hennings, P.:Engler's Bot. Jahrb. 37:164, 1906 ; 澤田兼吉:林試研報 45:39, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993 (2) <i>Pestalotiopsis glandicola</i> (Castagne) Steyaert [<i>Pestalotia cryptomeriicola</i> Sawada, <i>Pestalotia cycadis</i> sensu Hino non Allescher, <i>Pestalotia laricina</i> Sawada] 澤田兼吉:林試研報 :45:40, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993 (3) <i>Pestalotiopsis neglecta</i> (Thümen) Steyaert 北島君三:樹病学及び木材腐朽論:73, 1933(昭 8) ; 澤田兼吉:林試研報 45:27, 1950 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:326, 1993
ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 菌核病 kinkaku-byo Flower blight, Sclerotial blight (花焼病) <i>Ciborinia camelliae</i> L.M. Kohn [<i>Sclerotinia camelliae</i> Hara, <i>Sclerotinia camelliae</i> Hara f. <i>macrospora</i> Yoshima] 原 攝祐:園芸之友 15(6):385, 1919(大 8) ; Kohn, L. M. & Nagasawa, E.:Trans. Mycol. Soc. Japan	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 菌核病 kinkaku-byo Flower blight, Sclerotial blight (花焼病) <i>Ciborinia camelliae</i> L.M. Kohn [<i>Sclerotinia camelliae</i> Hara, <i>Sclerotinia camelliae</i> Hara f. <i>macrospora</i> Yoshima] 原 攝祐:園芸之友 15(6):385, 1919(大 8) ; Kohn, L. M. & Nagasawa, E.:Trans. Mycol Soc. Japan 25(2):149,

25(2):149, 1984 (注) 文献名訂正 (Mycol の後にピリオド挿入)	1984
キシメジ科 Tricholomataceae エノキタケ(榎茸) Winter mushroom, Velvet foot <i>Flammulina velutipes</i> (Curtis) Singer (きのこ) 立枯病 tachigare-byo (根腐れ病) <i>Cladobotryum</i> sp. [<i>Diplocladium</i> sp.] 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害菌・害虫ハンドブック:172, 1986 [備考] 子実体に発生 (注) 文献名訂正	キシメジ科 Tricholomataceae エノキタケ(榎茸) Winter mushroom, Velvet foot <i>Flammulina velutipes</i> (Curtis) Singer (きのこ) 立枯病 tachigare-byo (根腐れ病) <i>Cladobotryum</i> sp. [<i>Diplocladium</i> sp.] 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこの害虫・害菌ハンドブック:172, 1986 [備考] 子実体に発生
イラクサ科 Urticaceae チョマ(カラムシ, マオ, ラミー, 苧麻) Ramie, China grass <i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaud. var. <i>tenacissima</i> (Gaud.) Miq. (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Brown spot, Leaf spot <i>Ascochyta boehmeriae</i> T. Watanabe 渡邊龍雄:病虫雑 20(5):368, 1933(昭 8) (注) 病原学名の命名者名の前に半角スペース挿入	イラクサ科 Urticaceae チョマ(カラムシ, マオ, ラミー, 苧麻) Ramie, China grass <i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaud. var. <i>tenacissima</i> (Gaud.) Miq. (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Brown spot, Leaf spot <i>Ascochyta boehmeriae</i>T. Watanabe 渡邊龍雄:病虫雑 20(5):368, 1933(昭 8)
クマツヅラ科 Verbenaceae ニンジンボク(人参木) (Vitex) <i>Vitex negundo</i> L. var. <i>cannabifolia</i> (Sieb. & Zucc.) Hand.-Mazz. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (角斑病) <i>Cercospora viticis</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora viticis</i> Sawada] 小林享夫:森林防疫 25(1):3, 1976 ; 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):90, 1944(昭 19) ; Kastsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Append.) 1:67,	クマツヅラ科 Verbenaceae ニンジンボク(人参木) (Vitex) <i>Vitex negundo</i> L. var. <i>cannabifolia</i> (Sieb. & Zucc.) Hand.-Mazz. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (角斑病) <i>Cercospora viticis</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora viticis</i> Sawada] 小林享夫:森林防疫 25(1):3, 1976 ; 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):90, 1944(昭 19) ; Kastsuki, S.:Trans. Mycol Soc. Japan (Append.) 1:67,

1965	1965
(注) 文献名訂正 (Mycol の後にピリオド挿入)	
ブドウ科 Vitaceae ノブドウ Ampelopsis <i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Max.) Trautv. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Physopella ampelopsidis</i> (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [<i>Phakopsora ampelopsidis</i> Dietel & P. Sydow, <i>Phakopsora vitis</i> (Thümen) P. Sydow, <i>Uredo vialae</i> Lagerheim, <i>Uredo vitis</i> Thümen] 南部信方:病虫雑 2(2):193, 1915(大 4) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 14(161):89, 1900(明 33) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(2):146, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:335, 1992 [備考] テリハノブドウ・ケノブドウ・ウドカズラにも寄生 (注) 文献名訂正	ブドウ科 Vitaceae ノブドウ Ampelopsis <i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Max.) Trautv. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Physopella ampelopsidis</i> (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [<i>Phakopsora ampelopsidis</i> Dietel & P. Sydow, <i>Phakopsora vitis</i> (Thümen) P. Sydow, <i>Uredo vialae</i> Lagerheim, <i>Uredo vitis</i> Thümen] 南部信方:病虫雑 2(2):193, 1915(大 4) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 14(161):89, 1900(明 33) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(2):146, 1938(昭 13) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:Rust flora of Japan:335, 1992 [備考] テリハノブドウ・ケノブドウ・ウドカズラにも寄生
ブドウ科 Vitaceae ツタ(蔦, 地錦) Boston ivy <i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Sieb. & Zucc.) Planch. (広葉樹) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 森田 壽ら:関東病虫研報 32:151, 1985 (注) 文献名を 2018 年版の多数派に合わせて修正	ブドウ科 Vitaceae ツタ(蔦, 地錦) Boston ivy <i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Sieb. & Zucc.) Planch. (広葉樹) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 森田 壽ら:関東東山病虫研報 32:151, 1985
ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>V. labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>V. vinifera</i> L.	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>V. labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>V. vinifera</i> L.

さび病 sabi-byo Rust, Leaf rust (赤渋病, 赤錆病, 銹病) (1) <i>Phakopsora meliosmae-myrianthae</i> (Hennings & Shirai) Y. Ono Ono, Y. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] ヤマブドウ・ブドウ。本病菌の精子・さび胞子世代はアワブキに生じる (2) <i>Phakopsora montana</i> Y. Ono & Chatasiri Ono, Y. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] ヤマブドウ(<i>V. coignetiae</i>)・ブドウ・アムールブドウ(<i>V. amurensis</i>)・エビヅル。本病菌の精子・さび胞子世代はミヤマハハソに生じる (3) <i>Physopella ampelopsidis</i> (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [<i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai, <i>Phakopsora ampelopsidis</i> Dietel & P. Sydow] Hiratsuka, N.: Bot. Mag. Tokyo 14(161):87, 1900 ; 吉永虎馬: 植物学雑誌 18(204):27, 1904(明 37) ; 鶴田章逸: 果樹 145:34, 1915(大 4) ; 工藤 晟・金子 繁: 日植病報 43(3):322, 1977 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan:335, 1992 [備考] ノブドウ・ツタ (<i>V. inconstans</i>)・ヤマブドウ (<i>V. coignetiae</i>) にも発生 (注) 文献著者名訂正、備考中の宿主学名属名省略	さび病 sabi-byo Rust, Leaf rust (赤渋病, 赤錆病, 銹病) (1) <i>Phakopsora meliosmae-myrianthae</i> (Hennings & Shirai) Y. Ono Ono, Y. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] ヤマブドウ・ブドウ。本病菌の精子・さび胞子世代はアワブキに生じる (2) <i>Phakopsora montana</i> Y. Ono & Chatasiri Ono, Y. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] ヤマブドウ(<i>V. coignetiae</i>)・ブドウ・アムールブドウ(<i>V. amurensis</i>)・エビヅル。本病菌の精子・さび胞子世代はミヤマハハソに生じる (3) <i>Physopella ampelopsidis</i> (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [<i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai, <i>Phakopsora ampelopsidis</i> Dietel & P. Sydow] Hiratsuka, N.: Bot. Mag. Tokyo 14(161):87, 1900 ; 吉永虎馬: 植物学雑誌 18(204):27, 1904(明 37) ; 鶴田章逸: 果樹 145:34, 1915(大 4) ; 工藤 晟・金子 繁: 日植病報 43(3):322, 1977 ; Hiratsuka, N.: The rust flora of Japan:335, 1992 [備考] ノブドウ・ツタ (<i>Vitis inconstans</i>)・ヤマブドウ (<i>Vitis coignetiae</i>) にも発生
ショウガ科 Zingiberaceae ジンジャ(シュクシャ) Ginger lily <i>Hedychium coronarium</i> J. Koenig (草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種 森田 儔・深沢永光: 改訂新版花の病害虫と新防除:301, 1973 ; 上住 泰・西村十郎: 原色花の病害虫:359, 1975 (注) 文献名訂正	ショウガ科 Zingiberaceae ジンジャ(シュクシャ) Ginger lily <i>Hedychium coronarium</i> J. Koenig (草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種 森田 儔・深沢永光: 改定新版花の病害虫と新防除:301, 1973 ; 上住 泰・西村十郎: 原色花の病害虫:359, 1975
モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種	モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe syringae* Schweinitz

Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 57(5):349, 2016

(2) *Erysiphe syringae-japonicae* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon, *Microsphaera syringae-japonicae* U. Braun]

川村幹雄:日園雑 34(5):16, 1922(大 11) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明 27) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):222, 1988 ; Tanda, N. *et al.*:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):266, 1995 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012

[備考] ハシドイ ・ハンガリーハシドイ・タチハシドイ・ウスゲハシドイ・ワタゲハシドイ・ハハシドイ・ウスゲシナハシドイも宿主として記録されている

(注) 文献年訂正

(広葉樹)

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew

(1) *Erysiphe syringae* Schweinitz

Takamatsu, S. *et al.*:Mycoscience 57(5):349, 2016

(2) *Erysiphe syringae-japonicae* (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [*Microsphaera alni* (Wallroth) Salmon, *Microsphaera syringae-japonicae* U. Braun]

川村幹雄:日園雑 34(5):16, 1922(大 11) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1984(明 27) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):222, 1988 ; Tanda, N. *et al.*:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):266, 1995 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012

[備考] ハシドイ ・ハンガリーハシドイ・タチハシドイ・ウスゲハシドイ・ワタゲハシドイ・ハハシドイ・ウスゲシナハシドイも宿主として記録されている

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2019年4月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名，病原追加，病名・学名変更，文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤豊三

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) ++++ <i>Oryza sativa endornavirus</i> (OsEV) イネエンドル ナウイルス Moriyama, H. <i>et al.</i>:Molecular & General Genetics 248:364, 1995 ; Moriyama, H. <i>et al.</i>:Plant Molecular Biology 31(4):713, 1996 ; 井村友英ら:日植病報 84(3):236, 2018 [備考] ウイルス病とされていた。長期保存時の 発芽率の低下，草丈の伸長抑制，出穂時期の遅延 (注) 病名削除、備考追加	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) ウイルス病 virus-byo <i>Oryza sativa endornavirus</i> (OsEV) イネエンドル ナウイルス Moriyama, H. <i>et al.</i>:Molecular & General Genetics 248:364, 1995 ; Moriyama, H. <i>et al.</i>:Plant Molecular Biology 31(4):713, 1996 ; 井村友英ら:日植病報 84(3):236, 2018 [備考] 長期保存時の発芽率の低下，草丈の伸長 抑制，出穂時期の遅延
キンポウゲ科 Ranunculaceae アネモネ Anemone <i>Anemone coronaria</i> L. (草花) ++++ +++<i>Raspberry ringspot virus</i> 西尾 健ら:日植病報 44(3):397, 1978 [備考] ウイルス病とされていた。オランダから の輸入隔離検疫で確認 (注) 病名削除、備考追加	キンポウゲ科 Ranunculaceae アネモネ Anemone <i>Anemone coronaria</i> L. (草花) +++ウイルス病 virus-byo <i>Raspberry ringspot virus</i> 西尾 健ら:日植病報 44(3):397, 1978
ツヅラフジ科 Menispermaceae アオツヅラフジ(カミエビ) Snailseed, Moonseed <i>Cocculus trilobus</i> (Thunb.) DC.	ツヅラフジ科 Menispermaceae アオツヅラフジ(カミエビ) Snailseed, Moonseed <i>Cocculus trilobus</i> (Thunb.) DC.

(特用作物) ++++ ウイルス (未同定) 土崎常男ら:植物防疫 23(1):6, 1969 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (注) 病名削除、備考追加 イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹) Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) ++++ ウイルス (未同定) 土崎常男ら:植物防疫 23(1):7, 1969 [備考] ウイルス病とされていた。調査を要する (注) 病名削除、備考追加	(特用作物) ウイルス病 virus-byo Virus ウイルス (未同定) 土崎常男ら:植物防疫 23(1):6, 1969 イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹) Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) ++++ウイルス病 virus-byo ウイルス (未同定) 土崎常男ら:植物防疫 23(1):7, 1969 [備考] 調査を要する
ウリ科 Cucurbitaceae カラスウリ類 <i>Trichosanthes</i> spp. カラスウリ <i>T. cucumeroides</i> (Ser.) Maxim. (野草) ++++ (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた (2) <i>Kyuri green mottle mosaic virus</i> (KGMMV) キュウリ緑斑モザイクウイルス [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた (3) <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた (4) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス キム オッキョン・夏秋啓子:日植病報 76(3):221, 2010 [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた。カラスウリから検出。<i>Papaya leaf distortion mosaic virus</i> に類似するウイルスも検出	ウリ科 Cucurbitaceae カラスウリ類 <i>Trichosanthes</i> spp. カラスウリ <i>T. cucumeroides</i> (Ser.) Maxim. (野草) ++++ウイルス病症状 Virus-byo-shojo Virus (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス (2) <i>Kyuri green mottle mosaic virus</i> (KGMMV) キュウリ緑斑モザイクウイルス (3) <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス (4) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス キム オッキョン・夏秋啓子:日植病報 76(3):221, 2010 [備考] カラスウリから検出。<i>Papaya leaf distortion mosaic virus</i> に類似するウイルスも検出

(注) 病名削除、備考追加

クワ科 Moraceae

クワ(桑)

Mulberry

Morus spp.

(特用作物)

シマグワ Mulberry *M. acidosa* Griff., *M. australis* Poir.

カラヤマグワ *M. alba* L.

ヤマグワ *M. bombycis* Koidz.

ログワ *M. latifolia* Poir.

††††

Mulberry latent virus (MLV) クワ潜在ウイルス
土崎常男:日植病報 42(3):304, 1976

[備考] ウイルス病(Virus)とされていた

(注) 病名削除、備考追加

これらのほか、以下の「ウイルス病」についても同様に病名を削除し備考を追加する。

アカクロバ、アズキ、アスパラガス、アラビス、アリウム類、アルストロメリア、アルファルファ、アンズ、イチゴ、イチジク、イヌガラシ類、イヌビワ、イリス類、インパチエンス類、ウメ、エゴマ、エノキタケ、エビネ、オウトウ、オクラ、カーネーション、ガーベラ、カカオ、カキ、カタバミ類、カトレア、カノコソウ、カブ、カラシナ、カンキツ、キイチゴ、キウイフルーツ、キク、キンモクセイ、グラジオラス、クリスマスローズ類、クロッカス、クロユリ、コショウ、ゴボウ、コマツナ、コルマナラ、サギソウ、サクラ類、ササゲ、サザンカ、サツマイモ、ジオウ、シカクマメ、ジギタリス、シキミ、シソ、ジャガイモ、シュンギク、シロクロバ、ジンチョウゲ、スイセン、スターチス、スモモ、セイヨウナシ、セリ、セロジネ、その他のアブラナ科類、ソラマメ、ダイコン、タイサイ類、ダイズ、ダイズ、ダイズ類、ダリア、チャイブ、チューリップ、ツルナ、デルフィニウム、テンサイ、トウガラシ、トウキ、トケイソウ、トベラ、トマト、ナシ、ナニワズ、ニガウリ、ニホンハッカ、ニラ、ニレ類、ニワトコ、ニンジン、ニンニク、ネギ、ノビル、ハクサイ、不結球ハクサイ、パチョリ、パニカム、パフィオペディルム、バラ類、パンダ、ヒアシンス、ヒオウギ、ファレノプシス、フキ、フダンソウ、ブドウ (病原: Corky bark など、および *Arabis mosaic virus* (ArMV) など)、フロックス、ベゴニア、ヘチマ、ペチュニア、ハウレンソウ、ホップ、マーガレット、マダケ類、ミシマサイコ、ムスカリ、モモ、モルセラ、ヤツデ、ユリ類、ラッカセイ、ラッキ

クワ科 Moraceae

クワ(桑)

Mulberry

Morus spp.

(特用作物)

シマグワ Mulberry *M. acidosa* Griff., *M. australis* Poir.

カラヤマグワ *M. alba* L.

ヤマグワ *M. bombycis* Koidz.

ログワ *M. latifolia* Poir.

ウイルス病* virus-byo Virus

Mulberry latent virus (MLV) クワ潜在ウイルス
土崎常男:日植病報 42(3):304, 1976

ヨウ、ラナンキュラス、リーキ、リョクトウ、
リンゴ、リンドウ、ルドベキア、ワケギ、ワサ
ビ、導入トウヒ類

マタタビ科 Actinidiaceae マタタビ(木天蓼)類 Silver vine <i>Actinidia</i> spp. (果樹) マタタビ Silver vine <i>Actinidia polygama</i> Maximowicz ミヤママタタビ Kolomikta vine <i>Actinidia</i> <i>kolomikta</i> Maximowicz サルナシ Tara vine, Bower actinidia <i>Actinidia</i> <i>arguta</i> Planchon かいよう病* kaiyo-byo Bacterial canker (斑点細菌病) (1) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>actinidiae</i> Takikawa, Serizawa, Ichikawa, Tsuyumu & Goto 1989 牛山欽司ら:日植病報 58(3):476, 1992 ; 野口真弓 ら:九病虫研会報 64:110, 2018 [備考] 陶山一雄ら (日植病報 54(3):378, 1988) が報告した <i>P. syringae</i> pv. <i>morsprunorum</i> は上記 と同一種である (キウイフルーツかいよう病参 照)。野口ら(2018)は、シマサルナシへの感染を確 認した (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 陶山一雄ら:日植病報 54(3):378, 1988 [備考] サルナシ (注)文献・備考追加、病原(3)を(2)に修正	マタタビ科 Actinidiaceae マタタビ(木天蓼)類 Silver vine <i>Actinidia</i> spp. (果樹) マタタビ Silver vine <i>Actinidia polygama</i> Maximowicz ミヤママタタビ Kolomikta vine <i>Actinidia</i> <i>kolomikta</i> Maximowicz サルナシ Tara vine, Bower actinidia <i>Actinidia</i> <i>arguta</i> Planchon かいよう病* kaiyo-byo Bacterial canker (斑点細菌病) (1) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>actinidiae</i> Takikawa, Serizawa, Ichikawa, Tsuyumu & Goto 1989 牛山欽司ら:日植病報 58(3):476, 1992 [備考] 陶山一雄ら (日植病報 54(3):378, 1988) が報告した <i>P. syringae</i> pv. <i>morsprunorum</i> は上記 と同一種である (キウイフルーツかいよう病参 照) (3) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 陶山一雄ら:日植病報 54(3):378, 1988 [備考] サルナシ
--	---

ハラタケ科 Agaricaceae ツクリタケ(マッシュルーム) White button mushroom, Button mushroom,	ハラタケ科 Agaricaceae ツクリタケ(マッシュルーム) White button mushroom, Button mushroom,
---	---

Cultivated mushroom <i>Agaricus bisporus</i> (J. Lange) Imbach (きのこ) 褐変病 kappen-byo Brown blotch (細菌性ハンテン病) <i>Pseudomonas tolaasii</i> Paine 1919 浦山隆司:マッシュルーム -つくり方と売り方-(改訂新版):106, 1979 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982 ; 陶山一雄・藤井 溥:東京農大農学集報 38:35, 1993 (注) 1970年の初版とはページ数が全く合わず、タイトルも一文字違う(初版は「マッシュルーム-つくり方売り方-」)ので1979年の改訂新版と思われる。同じ理由で病名目録中、宿主ツクリタケに掲載されるマミー病、ウェットバブル病、褐色石こうかび病、褐斑病、トラフル病、白色石こうかび病、++++せん孔細菌病*、++++フロック病に出てくる同書籍の文献年を1979年にすべて修正	Cultivated mushroom <i>Agaricus bisporus</i> (J. Lange) Imbach (きのこ) 褐変病 kappen-byo Brown blotch <i>Pseudomonas tolaasii</i> Paine 1919 浦山隆司:マッシュルーム -つくり方と売り方-106, 1970 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982 ; 陶山一雄・藤井 溥:東京農大農学集報 38:35, 1993
--	--

ハラタケ科 Agaricaceae ツクリタケ(マッシュルーム) White button mushroom, Button mushroom, Cultivated mushroom <i>Agaricus bisporus</i> (J. Lange) Imbach (きのこ) マミー病 mummy-byo Mummy disease <i>Pseudomonas</i> sp. 浦山隆司:マッシュルーム -つくり方と売り方-(改訂新版):107, 1979 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982 ; 橋本一哉:マッシュルーム栽培法:235, 1987 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害虫・害虫ハンドブック増補改訂版:260, 1996 [備考] 国内発生はまれであり、調査を要する	ハラタケ科 Agaricaceae ツクリタケ(マッシュルーム) White button mushroom, Button mushroom, Cultivated mushroom <i>Agaricus bisporus</i> (J. Lange) Imbach (きのこ) マミー病 mummy-byo Mummy disease <i>Pseudomonas</i> sp. 浦山隆司:マッシュルーム -つくり方と売り方-106, 1970 ; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982 ; 橋本一哉:マッシュルーム栽培法:235, 1987 ; 古川久彦・野淵 輝:栽培きのこ害虫・害虫ハンドブック増補改訂版:260, 1996 [備考] 国内発生はまれであり、調査を要する
---	--

(注) 文献タイトル・文献年・文献ページ修正	
------------------------	--

ハラタケ科 Agaricaceae ツクリタケ(マッシュルーム) White button mushroom, Button mushroom, Cultivated mushroom <i>Agaricus bisporus</i> (J. Lange) Imbach (きのこ) ウェットバブル病 <i>wet-bubble-byo</i> Bubble, Wet bubble (ミコゴン病) <i>Mycogone perniciosa</i> (Magnus) Delacroix 高亀格三:日本園芸雑誌 47(3):28, 1935(昭10); 浦 山隆司:マッシュルーム -つくり方と売り方-(改訂 新版):104, 1979; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書 店:420, 1982 (注) 文献名・文献年修正。病名目録中、宿主ツ クリタケの褐色石こうかび病、褐斑病、トラフ ル病、白色石こうかび病、+++フロック病に出 てくる同文献のタイトルも同様に修正	ハラタケ科 Agaricaceae ツクリタケ(マッシュルーム) White button mushroom, Button mushroom, Cultivated mushroom <i>Agaricus bisporus</i> (J. Lange) Imbach (きのこ) ウェットバブル病 <i>wet-bubble-byo</i> Bubble, Wet bubble (ミコゴン病) <i>Mycogone perniciosa</i> Magnus 高亀格三:日本園芸雑誌 47(3):28, 1935(昭10); 浦 山隆司:マッシュルーム -つくりかたと売り方- 104, 197; 中村克哉:キノコの事典 朝倉書店:420, 1982
---	---

ヒユ科 Amaranthaceae ケイトウ(鶏頭, 鶏冠) Feather cockscomb <i>Celosia cristata</i> L. (草花) ピシウム立枯病 <i>Pythium-tachigare-byo</i> Pythium blight <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 折原紀子ら:日植病報 85(1):55, 2019 [備考]フサケイトウ (<i>C. cristata</i> var. <i>plumosa</i>) (注) 新病名	ヒユ科 Amaranthaceae ケイトウ(鶏頭, 鶏冠) Feather cockscomb <i>Celosia cristata</i> L. (草花)
---	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot blight (1) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 Febryani, N. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 81(3):300, 2015 (2) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 宮平奈央ら:日植病報 74(3):253, 2008 (3) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 櫛間義幸ら:日植病報 85(1):94, 2019 (注) 病原追加、病原学名修正	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot blight (1) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan Febryani, N. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 81(3):300, 2015 (2) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 宮平奈央ら:日植病報 74(3):253, 2008
ウルシ科 Anacardiaceae ウルシ(漆) Varnish tree, Lacquer tree <i>Rhus verniciflua</i> Stokes (特用作物) 胴枯病 dogare-byo Canker <i>Diaporthe toxicodendri</i> Y. Ando, Masuya & Tabata 田端雅道ら:日植病報 85(1):43, 2019 (注) 新病名	ウルシ科 Anacardiaceae ウルシ(漆) Varnish tree, Lacquer tree <i>Rhus verniciflua</i> Stokes (特用作物)
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica)	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica)

<i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Didymella</i> sp. [<i>Phoma</i> sp.] 川部眞登ら:日植病報 82(3):231, 2016 ; 利根川千枝ら:日植病報 85(1):54, 2019 [備考] 利根川ら(2019)は, 川部ら(2016)の報告した<i>Phoma</i> sp.による斑点症状に本病名を提案した (注) 新病名。††††<i>Phoma</i> sp.の項目は削除	<i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) †††† <i>Phoma</i> sp. 川部眞登ら:日植病報 82(3):231, 2016 [備考] 斑点症状。病名未提案。根腐病との異同は検討を要する
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) 根朽病 nekuchi-byo Root rot <i>Didymella</i> sp. 廣岡裕吏ら:日植病報 85(1):54, 2019 (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物)
--	---

キョウチクトウ科 Apocynaceae インドジャボク Snake-root devil-pepper <i>Rauvolfia serpentina</i> (L.) Benth. ex Kurz (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 本澤克幸ら:日植病報 85(1):54, 2019	キョウチクトウ科 Apocynaceae
--	-----------------------------

(注) 新病名、新規宿主	
--------------	--

ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参, オタネニンジン) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物) 黄化病* oka-byo Yellowing <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス Uehara-Ichiki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(2):155, 2019 (注) 新病名	ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参, オタネニンジン) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物)
--	---

ガガイモ科 Asclepiadaceae トウワタ Milk weed <i>Asclepias curassavica</i> L. (草花) オオトウワタ <i>Asclepias syriaca</i> L. †††† Lychnis mottle virus (LycMoV) センノウ斑紋ウイルス 藤本祐司ら:日植病報 85(1):50, 2019 [備考] オオトウワタに発生。戻し接種なし (注) 新宿主	ガガイモ科 Asclepiadaceae トウワタ Milk weed <i>Asclepias curassavica</i> L. (草花) オオトウワタ <i>Asclepias syriaca</i> L.
--	---

キジカクシ科 Asparagaceae ギボウシ類 Plantain lily	キジカクシ科 Asparagaceae ギボウシ類 Plantain lily
--	--

<i>Hosta</i> spp. (草花) 褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf blight <i>Botrytis squamosa</i> J.C. Walker 塚本俊秀:島根病虫研報 25:15, 2000 ; 塚本俊秀:日植病報 66(2):92, 2000 (注) 文献追加(島根病虫研報25号は2000年3月発行)	<i>Hosta</i> spp. (草花) 褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Leaf blight <i>Botrytis squamosa</i> J.C. Walker 塚本俊秀:日植病報 66(2):92, 2000
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae チコリー(キクニガナ) Chicory <i>Cichorium intybus</i> L. (野菜) 萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt (1) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 酒井和彦:関東病虫研報 42:55, 1995 [備考] 病原細菌の pathovar は未決定 (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>odoriferum</i> (Gallois, Samson, Ageron & Grimont 1992) Hauben, Moore, Vauterin, Steenackers, Mergaert, Verdonck & Swings 1999 Lan, W. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 78(3):273, 2012 ; Lan, W. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(3):182, 2013 [備考] <i>Cichorium intybus</i> var. <i>sativum</i>に発生 (注) 病原学名命名者名スペルアウト。病原学名の「and」を「&」に置換。	キク科 Asteraceae, Compositae チコリー(キクニガナ) Chicory <i>Cichorium intybus</i> L. (野菜) 萎凋細菌病 icho-saikin-byo Bacterial wilt (1) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 酒井和彦:関東病虫研報 42:55, 1995 [備考] 病原細菌の pathovar は未決定 (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>odoriferum</i> (Gallois <i>at al.</i> 1992) Hauben, Moore, Vauterin, Steenackers, Mergaert, Verdonck <i>and</i> Swings 1999 Lan, W. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 78(3):273, 2012 ; Lan, W. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(3):182, 2013 [備考] <i>Cichorium intybus</i> var. <i>sativum</i>に発生
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) <i>Chrysanthemum</i>	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) <i>Chrysanthemum</i>
--	--

<i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) べと病 beto-byo Downy mildew (1) <i>Paraperonospora minor</i> (Săvulescu & Rayss) Constantinescu 川口真穂ら:日植病報 85(1):55, 2019 (2) <i>Peronospora danica</i> Gäumann 坂口壮一ら:九病虫研会報 26:70, 1980 ; 坂口壮一: 新しい病害虫:1981 [備考] 接種試験未了 (注) 病原学名変更、備考追加	<i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora danica</i> Gäumann 坂口壮一ら:九病虫研会報 26:70, 1980 ; 坂口壮一: 新しい病害虫:1981 [備考] 接種試験未了
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ガーベラ Gerbera <i>Gerbera</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 株枯病 kabugare-byo Haematonectria blight, Crown and root rot, Nectria blight (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>radicis-lycopersici</i> Jarvis & Shoemaker 内橋嘉一ら:日植病報 82(1):58, 2016 (2) <i>Haematonectria ipomoeae</i> (Halsted) Samuels & Nirenberg [<i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo, <i>Fusarium striatum</i> Sherbakoff, <i>Nectria haematococca</i> Berkeley & Broome] 大嶋聡子・多賀正節:日植病報 57(3):396, 1991 ; 高橋智恵子ら:北日本病虫研報 50:108, 1999 ; 多賀正節ら:日植病報 72(4):206, 2006 [備考] 水耕栽培で発生。A.Y. Rossman <i>et al.</i> (Studies in Mycology 42:134, 1999) は, <i>Nectria haematococca</i> complex を <i>Haematonectria</i> 属に帰属させるとともに, ホモタリックな菌群を狭義の	キク科 Asteraceae, Compositae ガーベラ Gerbera <i>Gerbera</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 株枯病 kabugare-byo Haematonectria blight, Crown and root rot, Nectria blight (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>radicis-lycopersici</i> Jarvis & Shoemaker 内橋嘉一ら:日植病報 82(1):58, 2016 (2) <i>Haematonectria ipomoeae</i> (Halsted) Samuels & Nirenberg [<i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo, <i>Fusarium striatum</i> Sherbakoff, <i>Nectria haematococca</i> Berkeley & Broome] 大嶋聡子・多賀正節:日植病報 57(3):396, 1991 ; 高橋智恵子ら:北日本病虫研報 50:108, 1999 ; 多賀正節ら:日植病報 72(4):206, 2006 [備考] 水耕栽培で発生。A.Y. Rossman <i>et al.</i> (Studies in Mycology 42:134, 1999) は, <i>Nectria haematococca</i> complex を <i>Haematonectria</i> 属に帰属させるとともに, ホモタリックな菌群を狭義の
---	---

<i>H. haematococca</i> とは別種の <i>H. ipomoeae</i> とした (注) 備考中の病原学名修正。	<i>H. heamatococca</i> とは別種の <i>H. ipomoeae</i> とした
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae スイゼンジナ(キンジソウ) Gynura <i>Gynura bicolor</i> (Roxb. ex Willd.) DC. (野菜) 軟腐病 nampu-byo <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 玉代勢優奈ら:九病虫研会報 64:92, 2018 (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae スイゼンジナ(キンジソウ) Gynura <i>Gynura bicolor</i> (Roxb. ex Willd.) DC. (野菜)
--	---

パイナップル科 Bromeliaceae パイナップル(パインアップル)(鳳梨) Pineapple <i>Ananas comosus</i> Merrill (果樹) 小果腐敗病 shoka-fuhai-byo Fruitlet core rot (1) <i>Fusarium ananatum</i> A. Jacobs, Marasas & P.S. van Wyk 新崎千江美ら:日植病報 81(3):266, 2015 ; 山城麻希ら:日植病報 85(1):25, 2019 (2) <i>Talaromyces amestolkiae</i> N. Yilmaz, Houbraken, Frisvad & Samson 山城麻希ら:日植病報 84(1):67, 2018 (3) <i>Talaromyces stollii</i> N. Yilmaz, Houbraken, Frisvad & Samson 山城麻希ら:日植病報 84(1):67, 2018	パイナップル科 Bromeliaceae パイナップル(パインアップル)(鳳梨) Pineapple <i>Ananas comosus</i> Merrill (果樹) 小果腐敗病 shoka-fuhai-byo Fruitlet core rot (1) <i>Fusarium ananatum</i> A. Jacobs, Marasas & P.S. van Wyk 新崎千江美ら:日植病報 81(3):266, 2015 (2) <i>Talaromyces amestolkiae</i> N. Yilmaz, Houbraken, Frisvad & Samson 山城麻希ら:日植病報 84(1):67, 2018 (3) <i>Talaromyces stollii</i> N. Yilmaz, Houbraken, Frisvad & Samson 山城麻希ら:日植病報 84(1):67, 2018
--	--

(注) 文献追加	
----------	--

ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>D. caryophyllus</i> L. セキチク <i>D. chinensis</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. カワラナデシコ <i>D. superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams 紫斑病 shihan-byo Purple leaf spot (1) <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons Misawa, T. <i>et al.</i>:New Disease Reports 38:12, 2018 [備考] カーネーションに発生 (2) <i>Stemphylium lycopersici</i> (Enjoji) W. Yamamoto Misawa, T. <i>et al.</i>:New Disease Reports 38:12, 2018 [備考] カーネーションに発生 (注) 新病名	ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>Dianthus</i> <i>caryophyllus</i> L. セキチク <i>Dianthus chinensis</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. カワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams
---	---

ナデシコ科 Caryophyllaceae シュッコンカスミソウ(コゴメナデシコ) Baby's-breath <i>Gypsophila paniculata</i> L. (草花) 根部がんしゅ病 kombu-ganshu-byo Bacterial stem gall (こぶ病) <i>Pantoea agglomerans</i> pv. <i>gypsophilae</i> (Brown 1934) Bull, De Boer, Denny, Firrao, Fischer-Le Saux, Saddler, Scortichini, Stead & Takikawa 2010 [<i>Bacterium gypsophilae</i> Brown 1934, <i>Erwinia</i>	ナデシコ科 Caryophyllaceae シュッコンカスミソウ(コゴメナデシコ) Baby's-breath <i>Gypsophila paniculata</i> L. (草花) こぶ病 kobu-byo Bacterial stem gall <i>Pantoea agglomerans</i> pv. <i>gypsophilae</i> (Brown 1934) Bull, DeBoer, Firrao, Fescher-Le Saux, Saddler, Scortichini Stead & Takikawa [<i>Erwinia herbicola</i> pv. <i>gypsophilae</i> (Brown 1934) Miller, Quinn & Graham 1981]
--	--

<i>herbicola</i> pv. <i>gypsophilae</i> (Brown 1934) Miller, Quinn & Graham 1981] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:554, 1941(昭16) ; 木嶋利男ら:日植病報 51(3):344, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:144, 1987 [備考] 石山・向(1941)は, 本菌の接種による他のナデシコ科植物での発病も紹介した (注) 病名変更、文献・備考追加、病原学名命名者名修正	木嶋利男ら:日植病報 51(3):344, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:144, 1987
---	--

アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) オルピディウム根腐病 <i>Olpidium-negusare-byo</i> Olpidium root rot <i>Olpidium virulentus</i> (Sahtiyanci) Karling 村元靖典ら:日植病報 79(3):184, 2013 ; 西村幸芳ら:日植病報 85(1):72, 2019 [備考] 養液栽培特有の症状 (注) 病名変更	アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) ++++オルピディウム症 <i>Olpidium-sho</i> Olpidium syndrome <i>Olpidium virulentus</i> (Sahtiyanci) Karling 村元靖典ら:日植病報 79(3):184, 2013 [備考] 養液栽培特有の症状。西村幸芳ら(日植病報 84(1):33, 2018)は, 本病菌と, <i>Pythium</i>属菌との共感染の可能性を示唆した
---	---

フウチョウソウ科 Cleomaceae クレオメ(フウチョウソウ) Spiny spiderflower <i>Cleome spinosa</i> Jacq. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 沖 友香・岡田知之:日植病報 82(3):231, 2016 ; 沖友香・岡田知之:四国植防 50:11, 2016	フウチョウソウ科 Cleomaceae クレオメ(フウチョウソウ) Spiny spiderflower <i>Cleome spinosa</i> Jacq. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 沖 友香・岡田知之:日植病報 82(3):231, 2016
---	---

(注) 文献追加	
ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 基腐病* motogusare-byo Foot rot 病原未詳 [備考] 前田 藍ら(2019)は九州病虫害研究会第97 回研究発表会で病原菌を<i>Phomopsis destruens</i>とし た (注) 新病名。緊急を要するため採録。	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物)
ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) †††† <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 小林有紀・小林 晃:九病虫研会報 64:107, 2018 [備考] 本病原はクレード3に属し、立枯病類似症 状を起こす (注) 新宿主	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物)
ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹)	ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹)

†††† <i>Pestalotiopsis</i> sp. 土屋健一ら:日植病報 85(1):93, 2019 [備考] 葉枯症状。周縁が暗褐色で淡褐色の病斑から分離された。接種試験未了 (注) 新宿主	
---	--

ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹) †††† <i>Leptothyrium</i> sp. 土屋健一ら:日植病報 85(1):93, 2019 [備考] 葉枯症状。灰白色の病斑から分離された。接種試験未了 (注) 新宿主	ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹)
--	---

コバノイシカグマ科 Dennstaedtiaceae オウレンシダ (Dennstaedtia) <i>Dennstaedtia wilfordii</i> (moore) Christ (野草) †††† <i>Herpobasidium filicinum</i> (Rostrup) Lind Kasuya, T. & Ono, Y.:Mycoscience 59(6):443, 2018 [備考] 接種試験未了。病名未提案 (注) 新規宿主、新規科、新宿主	
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L. (食用作物) 黄化えそ病 oka-eso-byo <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 福本文良ら:日植病報 49(1):81, 1983 ; 奥田 充ら: 関東病虫研報 65:146, 2018 [備考] 福本ら(1983)は, タイでの発生報告。ウイルス病とされていたが, 奥田らは本病名を提案した †††† † <i>Peanut mottle virus</i> (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス 福本文良ら:日植病報 49(1):81, 1983 [備考] ウイルス病とされていた。タイ (注) ウイルス病から病原(2)を削除し, 黄化えそ病とした。さらにウイルス病は病名を削除し, 備考を追加。(ウイルス病については, 本新旧対照表の最初の項を参照のこと。)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L. (食用作物) †ウイルス病 virus-byo (1) <i>Peanut mottle virus</i> (PeMoV) (2) <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) 福本文良ら:日植病報 49(1):81, 1983 [備考] タイ
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 株枯病 kabugare-byo Base and stolon rot	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 株枯病 kabugare-byo Base and stolon rot
---	---

<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 ; 佐藤豊三 ら:関東病虫研報 65:61, 2018 [備考] ウラルカンゾウに発生 (注) 文献追加	<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 [備考] ウラルカンゾウに発生
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher さび病 sabi-byo Rust <i>Uromyces glycyrrhizae</i> (Rabenhorst) Magnus 佐藤豊三ら:日植病報 85(1):55, 2019 [備考] ウラルカンゾウに発生 (注) 新病名	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 佐藤豊三ら:関東病虫研報 65:146, 2018 [備考] ウラルカンゾウに発生	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher
--	--

(注) 新病名	
---------	--

リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) べと病 beto-byo Downy mildew (1) <i>Peronospora chlorae</i> de Bary 長浜 恵ら:日植病報 85(1):82, 2019 (2) <i>Peronospora</i> sp. 菅原 敬ら:日植病報 85(1):43, 2019 (注) 新病名	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花)
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>Avena fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 条斑細菌病 johan-saikin-byo Bacterial stripe <i>Burkholderia andropogonis</i> (Smith 1911) Gillis, Van Van, Bardin, Goor, Hebbar, Willems, Segers, Kerstens, Heulin & Fernandez 1995 川上 顕ら:九病虫研会報 64:109, 2018 [備考] セイヨウチャヒキに発生 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>Avena fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb.
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類	イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類
---------------------------------------	---------------------------------------

(Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>E. crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Moesziomyces bullatus</i> (J. Schröter) Vánky [<i>Tolyposporium bullatum</i> J. Schröter] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:63, 1982 ; 柿 寫 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992 ; 田中英爾:北陸病虫研報 67:33, 2018 [備考] イヌビエに発生。田中(2018)は本病原菌の無性世代 <i>Pseudozyma antarctica</i> (Goto, Sugiyama & Iizuka) Boekhout を明らかにした (注) 文献、備考追加	(Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Moesziomyces bullatus</i> (J. Schröter) Vánky [<i>Tolyposporium bullatum</i> J. Schröter] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:63, 1982 ; 柿 寫 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992 [備考] イヌビエに発生
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae カゼクサ類 (Eragrostis) <i>Eragrostis</i> spp. (野草) スズメガヤ <i>E. cilianensis</i> (Allioni) Vignolo-Lutati カゼクサ <i>E. ferruginea</i> (Thunb.) Beauvois コゴメカゼクサ <i>E. japonica</i> Thunb. ニワホコリ <i>E. multicaulis</i> Steud. †††† <i>Macalpinomyces spermophorus</i> (Berkeley & M.A. Curtis ex de Toni) Vánky [<i>Ustilago spermophora</i> Berkeley & M.A. Curtis] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:91, 1982 ; 柿 寫 眞:日菌報 57:110, 2016 ; 田中英爾:北陸病虫研報 67:33, 2018 [備考] カゼクサ, コゴメカゼクサに発生。接種試験未了。田中(2018)は本病原菌の無性世代	イネ科 Gramineae, Poaceae カゼクサ類 (Eragrostis) <i>Eragrostis</i> spp. (野草) スズメガヤ <i>Eragrostis cilianensis</i> (Allioni) Vignolo-Lutati カゼクサ <i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) Beauvois コゴメカゼクサ <i>Eragrostis japonica</i> Thunb. ニワホコリ <i>Eragrostis multicaulis</i> Steud. †††† <i>Macalpinomyces spermophorus</i> (Berkeley & M.A. Curtis ex de Toni) Vánky [<i>Ustilago spermophora</i> Berkeley & M.A. Curtis] 柿 寫 眞:筑波大学農林学研究 1:91, 1982 ; 柿 寫 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] カゼクサ, コゴメカゼクサに発生。接種試験未了
---	--

<i>Pseudozyma tsukubaensis</i> (Onishi) Boekhout を明らかにした (注) 文献、備考追加	
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L.[<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt, Stinking smut (腥黒穂病, 黒粒病, ふすべ, ふすべ病, 臭奴, くろこむぎ) (1) <i>Tilletia caries</i> (de Candolle) L.R. Tulasne & C. Tulasne [<i>Tilletia tritici</i> (Bjerkander) Winter] (網なまぐさ黒穂菌) (2) <i>Tilletia controversa</i> J.G. Kühn 新村昭憲・小澤 徹:日植病報 85(1):85, 2019 (3) <i>Tilletia laevis</i> J.G. Kühn [<i>Tilletia foetida</i> (Bauer) Liro, <i>Tilletia foetens</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Schroeter] (丸なまぐさ黒穂病) 佐々木忠次郎・上田栄次郎:作物病虫害教科書:25, 1903(明 36); 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:61, 1982; 柿畠 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考] 病原によって区別するときは各病原末尾の病名を用いる (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L.[<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. なまぐさ黒穂病 namagusa-kuroho-byo Bunt, Stinking smut (腥黒穂病, 黒粒病, ふすべ, ふすべ病, 臭奴, くろこむぎ) (1) <i>Tilletia caries</i> (de Candolle) L.R. Tulasne & C. Tulasne [<i>Tilletia tritici</i> (Bjerkander) Winter] (網なまぐさ黒穂菌) (2) <i>Tilletia laevis</i> J.G. Kühn [<i>Tilletia foetida</i> (Bauer) Liro, <i>Tilletia foetens</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Schroeter] (丸なまぐさ黒穂病) 佐々木忠次郎・上田栄次郎:作物病虫害教科書:25, 1903(明36); 柿畠 眞:筑波大学農林学研究 1:61, 1982; 柿畠 眞:日菌報 57:107, 2016 [備考] 病原によって区別するときは各病原末尾の病名を用いる
--	---

アヤメ科 Iridaceae アシダンセラ(アキダンテラ) Peacock orchid <i>Acidanthera bicolor</i> Hochst.	アヤメ科 Iridaceae グラジオラス Gladiolus <i>Gladiolus</i> spp. 及び種間雑種
--	---

(草花) 赤斑病 sekihan-byo <i>Curvularia trifolii</i> (Kauffman) Boedijn f. sp. <i>gladioli</i> Parmelee & Luttrell 高野喜八郎:日植病報 56(3):388, 1990 [備考] 病菌の学名として <i>Curvularia gladioli</i> が提唱されている (Boerema, G. H. & Hamers, M. E. C., Neth. J. Pl. Pathol. Suppl. 95(3):10, 1980) アヤメ科 Iridaceae グラジオラス <i>Gladiolus</i> <i>Gladiolus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 赤斑病 sekihan-byo <i>Curvularia gladioli</i> Boerema & Hamers [<i>Curvularia lunata</i> (Wakker) Boedijn sensu Naito & Ouchi] 内藤中人・大内成志:香川大農学報 7(2):135, 1956 ; 堀田治邦:日植病報 61(6):646, 1995 (注) 第1版の正誤表(学会HP掲載の20111201版)に従い、病原(2)をアシダンセラ赤斑病として独立させた	(草花) アシダンセラ Peacock orchid <i>Gladiolus</i> spp. 赤斑病 sekihan-byo (1) <i>Curvularia gladioli</i> Boerema & Hamers [<i>Curvularia lunata</i> (Wakker) Boedijn sensu Naito & Ouchi] 内藤中人・大内成志:香川大農学報 7(2):135, 1956 ; 堀田治邦:日植病報 61(6):646, 1995 (2) <i>Curvularia trifolii</i> (Kauffman) Boedijn f. sp. <i>gladioli</i> Parmelee & Luttrell 高野喜八郎:日植病報 56(3):388, 1990 [備考] 病菌の学名として <i>Curvularia gladioli</i> が提唱されている (Boerema, G. H. & Hamers, M. E. C., Neth. J. Pl. Pathol. Suppl. 95(3):10, 1980)。アシダンセラ <i>Acidanthera bicola</i> Hochst. に発生
--	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae ニホンハッカ(日本薄荷) Japanese mint <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinvand (特用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces biocellatus</i> (Ehrenberg) Hetula 高村拳士郎ら:日植病報 85(1):53, 2019	シソ科 Labiatae, Lamiaceae ニホンハッカ(日本薄荷) Japanese mint <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinvand (特用作物)
---	---

(注) 新病名	
---------	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae エゴマ(荳胡麻) Perilla <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>japonica</i> (Hassk.) Hara (特用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 福間貴寿:日植病報 85(1):72, 2019 (注) 新病名	シソ科 Labiatae, Lamiaceae エゴマ(荳胡麻) Perilla <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>japonica</i> (Hassk.) Hara (特用作物)
---	---

ユリ科 Liliaceae クサスギカズラ(アスパラガス)類 (Asparagus) <i>Asparagus</i> spp. (草花) スマイラックス <i>A. asparagoides</i> (L.) W. F. Wight ハマタマボウキ <i>A. kiusianus</i> Makino タチテンモンドウ <i>A. pygmaeus</i> (Makino) Makino †††† Stem spot <i>Alternaria</i> spp. 大迫佳奈ら:日植病報 85(1):90, 2019 [備考] ハマタマボウキに発生。主茎部に黒色から褐色の斑点性病斑を呈する (注) 新宿主	ユリ科 Liliaceae クサスギカズラ(アスパラガス)類 (Asparagus) <i>Asparagus</i> spp. (草花) スマイラックス <i>Asparagus asparagoides</i> (L.) W. F. Wight ハマタマボウキ <i>Asparagus kiusianus</i> Makino タチテンモンドウ <i>Asparagus pygmaeus</i> (Makino) Makino
---	---

ユリ科 Liliaceae ヘメロカリス(ワスレグサ, ヤブカンゾウ, カン	ユリ科 Liliaceae ヘメロカリス(ワスレグサ, ヤブカンゾウ, カン
--	--

ゾウ, ナンバンカンゾウ) Tawny daylily <i>Hemerocallis</i> spp. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot (1) <i>Botrytis polyblastis</i> Dowson 塚本俊秀・磯田 淳:島根病虫研報 27:41, 2002 ; 塚本俊秀・磯田 淳:日植病報 68(2):183, 2002 [備考] ヤブカンゾウ (<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel) に発生 (2) <i>Botrytis</i> sp. 塚本俊秀・磯田 淳:日植病報 74(3):184, 2008 [備考] ヤブカンゾウ (<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel) に発生 (注) 文献追加(島根病虫研報27号は2002年3月発行)	ゾウ, ナンバンカンゾウ) Tawny daylily <i>Hemerocallis</i> spp. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot (1) <i>Botrytis polyblastis</i> Dowson 塚本俊秀・磯田 淳:日植病報 68(2):183, 2002 [備考] ヤブカンゾウ (<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel) に発生 (2) <i>Botrytis</i> sp. 塚本俊秀・磯田 淳:日植病報 74(3):184, 2008 [備考] ヤブカンゾウ (<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel) に発生
---	--

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 腐敗病 fuhai-byo Bulb rot (軟腐病) (1) <i>Rhizopus necans</i> Massee 出田 新:日本植物病理学:127, 1903(明 36) ; 永田利美ら:植防研報 1:15, 1961	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 腐敗病 fuhai-byo Bulb rot (軟腐病) (1) <i>Rhizopus necans</i> Massee
--	--

[備考] 病原の分類学的所属について検討を要する (2) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs 古谷真二・斉藤 正:日植病報 42(1):76, 1976 (3) <i>Rhizopus stolonifer</i> (Ehrenberg) Vuillemin [<i>Rhizopus nigricans</i> Ehrenberg] 出田 新:日本植物病理学:127, 1903(明 36) ; 永田利美ら:植防研報 1:15, 1961 (4) <i>Rhizopus</i> sp. 山口吉博ら:日植病報 65(3):407, 1999 ; 星 秀男・堀江博道:関東病虫研報 50:95, 2003 [備考] 茎腐れ症状 (注) 病原学名・備考追加。病原順変更。文献著者名訂正。	[備考] 病原の分類学的所属について検討を要する (2) <i>Rhizopus stolonifer</i> (Ehrenberg) Vuillemin [<i>Rhizopus nigricans</i> Ehrenberg] 出田 新:日本植物病理学:127, 1903(明36) ; 永田利美ら:植防研報 1:15, 1961 ; 古屋真二・斉藤 正:日植病報 42(1):76, 1976 (3) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs
---	---

ユリ科 Liliaceae ナルコユリ (Polygonatum) <i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray (草花) 赤色斑点病 sekishoku-hanten-byo Red spot <i>Botrytis elliptica</i> (Berkeley) Cooke 塚本俊秀:島根病虫研報 36:7, 2011 (注) 新病名	ユリ科 Liliaceae ナルコユリ (Polygonatum) <i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray (草花)
---	---

ユリ科 Liliaceae サンダーソニア Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) 乾腐病 kampu-byo Bulb rot (1) †††<i>Fusarium anguioides</i> Sherbakoff 迫田琢也ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011	ユリ科 Liliaceae サンダーソニア Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) †††乾腐病 kampu-byo Bulb rot (1) <i>Fusarium anguioides</i> Sherbakoff 迫田琢也ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; Sakoda, T. <i>et al.</i>: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011
---	--

(2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 久保周子ら:日植病報 85(1):55, 2019 (3) †††<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium avenaceum</i> species complex) Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド (注) 病原追加	(2) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium avenaceum</i> species complex) Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド
--	---

キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia glabra</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 澤峠哲也ら:日植病報 84(3):200, 2018 ; 澤峠哲也 ら:日植病報 84(4):282, 2018 (注) 文献追加	キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia glabra</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 澤峠哲也ら:日植病報 84(3):200, 2018
---	---

クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) 落葉病 rakuyo-byo Leaf fall <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc 齊藤紀子ら:九病虫研会報 64:7, 2018 (注) 新病名	クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹)
---	---

モクセイ科 Oleaceae ソケイ(ジャスミン)(素馨) Jasmine <i>Jasminum officinale</i> L. f. <i>grandiflorum</i> (L.) Kobuski (広葉樹) キシケイ <i>J. humile</i> L. var. <i>revolutum</i> (Sims) Stokes ハゴロモジャスミン <i>Jasminum polyanthum</i> Franch. アラビアジャスミン <i>Jasminum sambac</i> (L.) Aiton 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 梶谷裕二ら:日植病報 75(3):186, 2009 [備考] ハゴロモジャスミンに発生 (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 近藤まり ら:関東病虫研報 62:101, 2015 ; 市之瀬 玲美ら:日植病報 82(1):25, 2016 [備考] アラビアジャスミンに発生 (注) 宿主学名訂正。備考変更。病名読み・病名 英名のフォントを訂正。	モクセイ科 Oleaceae ソケイ(ジャスミン)(素馨) Jasmine <i>Jasminum officinale</i> L. f. <i>grandiflorum</i> (L.) Kobuski (広葉樹) キシケイ <i>Jasminum humile</i> var. <i>revolutum</i> ハゴロモジャスミン <i>Jasminum polyanthum</i> Franch. アラビアジャスミン <i>Jasminum sambac</i> (L.) Aiton 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 梶谷裕二ら:日植病報 75(3):186, 2009 [備考] ハゴロモジャスミンに発生 (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 近藤まり ら:関東病虫研報 62:101, 2015 ; 市之瀬 玲美ら:日植病報 82(1):25, 2016 [備考] アラビアジャスミン(<i>Jasminum sambac</i>)に 発生
---	---

モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種 (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe syringae</i> Schweinitz Takamatsu, S. et al.:Mycoscience 57(5):349, 2016 (2) <i>Erysiphe syringae-japonicae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth)]	モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種 (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe syringae</i> Schweinitz Takamatsu, S. et al.:Mycoscience 57(5):349, 2016 (2) <i>Erysiphe syringae-japonicae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth)]
--	--

Salmon, <i>Microsphaera syringae-japonicae</i> U. Braun] 川村幹雄:日園雑 34(5):16, 1922(大11) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):222, 1988 ; Tanda, N. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):266, 1995 ; 高松進:三重大生資紀要 38:60, 2012 [備考] ハシドイ・ハンガリーハシドイ・タチハシドイ・ウスゲハシドイ・ワタゲハシドイ・ウスゲシナハシドイも宿主として記録されている (注) 備考のハハシドイは文献に掲載なく、ハシドイの誤植の可能性あり。	Salmon, <i>Microsphaera syringae-japonicae</i> U. Braun] 川村幹雄:日園雑 34(5):16, 1922(大11) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):222, 1988 ; Tanda, N. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):266, 1995 ; 高松進:三重大生資紀要 38:60, 2012 [備考] ハシドイ・ハンガリーハシドイ・タチハシドイ・ウスゲハシドイ・ワタゲハシドイ・ハハシドイ・ウスゲシナハシドイも宿主として記録されている
--	---

トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) ウッディネス病 woodiness-byo Woodiness (1) <i>East Asian Passiflora virus</i> (EAPV) トケイソウ東アジアウイルス 大森 拓ら:日植病報 58(4):619, 1992 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(5):459, 1996 ; 岩井 久ら:日植病報 72(4):302, 2006 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 151:811, 2006 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 151:1457, 2006 [備考] Iwai <i>et al.</i> (1996)は本ウイルスをPassionfruit woodiness virusとしたが, 岩井ら (2006) および Iwai <i>et al.</i> (2006)が <i>East Asian Passiflora virus</i>(EAPV)に訂正した (2) <i>East Asian Passiflora distortion virus</i># (EAPDV) トケイソウ東アジア奇形ウイルス 犬童奏実ら:日植病報 83(3):215, 2017 ; Riska <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(3):221, 2019 [備考] 果実に奇形を起こす	トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) ウッディネス病 woodiness-byo Woodiness (1) <i>East Asian Passiflora virus</i> (EAPV) 大森 拓ら:日植病報 58(4):619, 1992 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(5):459, 1996 ; 岩井 久ら:日植病報 72(4):302, 2006 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 151:811, 2006 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 151:1457, 2006 [備考] Iwai <i>et al.</i> (1996)は本ウイルスをPassionfruit woodiness virusとしたが, 岩井ら (2006) および Iwai <i>et al.</i> (2006)が <i>East Asian Passiflora virus</i>(EAPV)に訂正した (2) <i>East Asian passiflora distortion virus</i># (EAPDV) 犬童奏実ら:日植病報 83(3):215, 2017 [備考] 果実に奇形を起こす
---	---

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病, 葉膜さび病, 袋銹病) (1) <i>Coleosporium asterum</i> (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 48:463, 1943 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:40, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:204, 1992 [備考] アカマツ。冬孢子世代は<i>Aster</i>属(ノコンギク等)・<i>Kalimeris</i>属(ヨメナ等)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Coleosporium bletiae</i> Dietel Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 16:37, 1978 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:206, 1992 [備考] 人工接種でアカマツ・リュウキュウマツ・フランスカイガンショウ・ラジアタマツ・クロマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Bletilla</i>属(シラン等)・<i>Calanthe</i>属(エビネ等)・<i>Oreorchis</i>属(コケイラン)・<i>Phaius</i>属(カクラン)に寄生してさび病を起こす (3) <i>Coleosporium clematidis</i> Barclay Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952 ; 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:211, 1992 [備考] アカマツ。人工接種でリュウキュウマツ・ラジアタマツにも寄生。夏孢子・冬孢子世	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病, 葉膜さび病, 袋銹病) (1) <i>Coleosporium asterum</i> (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 48:463, 1943 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:40, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:204, 1992 [備考] アカマツ。冬孢子世代は<i>Aster</i>属(ノコンギク等)・<i>Kalimeris</i>属(ヨメナ等)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Coleosporium bletiae</i> Dietel Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 16:37, 1978 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:206, 1992 [備考] 人工接種でアカマツ・リュウキュウマツ・フランスカイガンショウ・ラジアタマツ・クロマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Bletilla</i>属(シラン等)・<i>Calanthe</i>属(エビネ等)・<i>Oreorchis</i>属(コケイラン)・<i>Phaius</i>属(カクラン)に寄生してさび病を起こす (3) <i>Coleosporium clematidis</i> Barclay 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):27(4):140, 1954 ; Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:211, 1992 [備考] アカマツ。人工接種でリュウキュウマツ・ラジアタマツにも寄生。夏孢子・冬孢子世
--	--

代は<i>Clematis</i>属(テッセン・クサボタン等)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium clematidis-apiifoliae</i> Dietel 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:216, 1992 [備考] アカマツ。クロマツは人工接種。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(ボタンヅル等)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium horianum</i> Hennings [<i>Coleosporium campanumoeae</i> Dietel] Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:81, 1976 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:220, 1992 [備考] アカマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Campanumoea</i>属(ツルギキョウ等)に寄生 (6) <i>Coleosporium lycopodis</i> Sydow & P. Sydow [<i>Coleosporium campanulae</i> auct. jap. non Tulasne, <i>Coleosporium hiratsukanum</i> S. Kaneko] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:54, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:222, 1992 [備考] アカマツ。ほかに人工接種でオウシュウアカマツ・クロマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Adenophora</i>属(ソバナ等), <i>Phyteuma</i>属(シデシヤジン), <i>Wahlenbergia</i>属(ヒナギキョウ)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium pedunculatum</i> S. Kaneko Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:13, 1977 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:230, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ・クロマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Saussurea</i>属(ミヤコアザミ・ツクシトウヒレン等)に寄生してさび病を起こす (8) <i>Coleosporium phellodendri</i> Komarov 千葉 修:森林防疫ニュース 6:142, 1957 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):196, 1938(昭13) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:232, 1992 [備考] バンクスマツ・アカマツ・モンタナマ	代は<i>Clematis</i>属(テッセン・クサボタン等)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium clematidis-apiifoliae</i> Dietel 平塚直秀ら:日植病報 18:140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:216, 1992 [備考] アカマツ。クロマツは人工接種。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(ボタンヅル等)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium horianum</i> Hennings [<i>Coleosporium campanumoeae</i> Dietel] Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:81, 1976 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:220, 1992 [備考] アカマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Campanumoea</i>属(ツルギキョウ等)に寄生 (6) <i>Coleosporium lycopi</i> Sydow & P. Sydow [<i>Coleosporium campanulae</i> auct. jap. non Tulasne, <i>Coleosporium hiratsukanum</i> S. Kaneko] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:54, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:222, 1992 [備考] アカマツ。ほかに人工接種でオウシュウアカマツ・クロマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Adenophora</i>属(ソバナ等), <i>Phyteuma</i>属(シデシヤジン), <i>Wahlenbergia</i>属(ヒナギキョウ)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium pedunculatum</i> S. Kaneko Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:13, 1977 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:230, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ・クロマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Saussurea</i>属(ミヤコアザミ・ツクシトウヒレン等)に寄生してさび病を起こす (8) <i>Coleosporium phellodendri</i> Komarov 千葉 修:森林防疫ニュース 6:142, 1957 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):196, 1938(昭13) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:232, 1992 [備考] バンクスマツ・アカマツ・モンタナマ
--	--

ツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ。ほかに人工接種でコントルタマツ・コルシカマツ・レジノザマツ・パラシアナマツ(<i>P. pallasiana</i>)・ポンデローザマツ・マンシュウアカマツ(<i>P. tabulaeformis</i>)にも発生する。夏孢子・冬孢子世代は<i>Phellodendron</i>属(キハダ等)に寄生してさび病を起こす (9) <i>Coleosporium pini-asteris</i> Orishimo 南部信方:病虫雑 4(8):599, 1917(大6) ; Orishimo, Y.:Bot. Mag. Tokyo 24(276):4, 1910(明43) ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:35, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:234, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Aster</i>属(シラヤマギク)に寄生 (10) <i>Coleosporium pini-densiflorae</i> Zinno & Kaneko Jinno, Y. & Kaneko, S.:J. Jpn. For. Soc. 66:462, 1984 [備考] アカマツ。冬孢子世代のみ (11) <i>Coleosporium plectranthi</i> Barclay Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:126, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:238, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Elsholtzia</i>属(ナギナタコウジュ)・<i>Keiskea</i>属(シモバシラ)・<i>Mosla</i>属(イヌコウジュ等)・<i>Perilla</i>属(シソ等)・<i>Plectranthus</i>属(ヤマハッカ等)に寄生してさび病を起こす (12) <i>Coleosporium tussilaginis</i> (Persoon) Lévillé [<i>Coleosporium senecionis</i> Fries, <i>Coleosporium melampyri</i> (Rebentisch) P. Karsten] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:62, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:243, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Melampyrum</i>属(ママコナ等)・<i>Senecio</i>属(サワオグルマ)に寄生してさび病を起こす (13) <i>Coleosporium zanthoxyli</i> Dietel & P. Sydow 陳野好之:日林誌 57:369, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:245, 1992	ツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ。ほかに人工接種でコントルタマツ・コルシカマツ・レジノザマツ・パラシアナマツ(<i>P. pallasiana</i>)・ポンデローザマツ・マンシュウアカマツ(<i>P. tabulaeformis</i>)にも発生する。夏孢子・冬孢子世代は<i>Phellodendron</i>属(キハダ等)に寄生してさび病を起こす (9) <i>Coleosporium pini-asteris</i> Orishimo 南部信方:病虫雑 4(8):599, 1917(大6) ; Orishimo, Y.:Bot. Mag. Tokyo 24(276):4, 1910(明43) ; Kaneko, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:35, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:234, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Aster</i>属(シラヤマギク)に寄生 (10) <i>Coleosporium pini-densiflorae</i> Zinno & Kaneko Jinno, Y. & Kaneko, S.:J. Jpn. For. Soc. 66:462, 1984 [備考] アカマツ。冬孢子世代のみ (11) <i>Coleosporium plectranthi</i> Barclay Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:126, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:238, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Elsholtzia</i>属(ナギナタコウジュ)・<i>Keiskea</i>属(シモバシラ)・<i>Mosla</i>属(イヌコウジュ等)・<i>Perilla</i>属(シソ等)・<i>Plectranthus</i>属(ヤマハッカ等)に寄生してさび病を起こす (12) <i>Coleosporium tussilaginis</i> (Persoon) Lévillé [<i>Coleosporium senecionis</i> Fries, <i>Coleosporium melampyri</i> (Rebentisch) P. Karsten] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:62, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:243, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Melampyrum</i>属(ママコナ等)・<i>Senecio</i>属(サワオグルマ)に寄生してさび病を起こす (13) <i>Coleosporium xanthoxyli</i> Dietel & P. Sydow 陳野好之:日林誌 57:369, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:245, 1992
---	---

[備考] クロマツ。人工接種ではリュウキュウマツ・フランスカイガンショウにも発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Zanthoxylum</i>属(カラスザンショウ・サンショウ等)に寄生してさび病を起こす (14) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 [備考] アカマツ・ボンデローザマツ・ラジアタマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はカラマツ葉さび病参照 (注) 病原学名訂正。病原(3)の文献順変更、文献の不要な巻号削除。病原(4)の日植病報の巻号挿入。27(4)は「Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952」の巻号。病原(9)の文献著者名訂正。	[備考] クロマツ。人工接種ではリュウキュウマツ・フランスカイガンショウにも発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Zanthoxylum</i>属(カラスザンショウ・サンショウ等)に寄生してさび病を起こす (14) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 [備考] アカマツ・ボンデローザマツ・ラジアタマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はカラマツ葉さび病参照
---	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux [<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 岩館康哉・菅 広和:日植病報 84(1):54, 2018 ; 岩館康哉ら:北日本病虫研報 69:55, 2018 [備考] オクトリカブトに発生 (注)文献追加。	キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux [<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 岩館康哉・菅 広和:日植病報 84(1):54, 2018 [備考] オクトリカブトに発生
---	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple
---	---

<i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ††††急性衰弱症 kyusei-suijaku-sho <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 藤川貴史 ら:日植病報 85(1):46, 2019 [備考] 病名未提案 (注) 文献追加・備考変更	<i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ††††急性衰弱症 kyusei-suijaku-sho <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 [備考] 病名未提案。数年生リンゴ樹への接種試 験は成功していない
--	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 黄腐病 kigusare-byo Bull's-eye-rot (1) <i>Gloeosporium</i> sp. 福井白志:農林省農改資料 152:186, 1940(昭15) (2) <i>Phlyctema</i> spp. 佐藤 裕:植物防疫 71(12):772, 2017 ; 平山和幸ら: 日植病報 84(1):53, 2018 ; 佐藤 裕ら:日植病報 85(1):43, 2019 [備考] 佐藤(2017)は本病の果実小黑斑4症状を報 告したが、その内の「ひび黒」症状については未 解明 (注) 病原・病名英名・備考追加。†††† <i>Phlyctema</i> spp.の項目は削除。	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 黄腐病 kigusare-byo <i>Gloeosporium</i> sp. 福井白志:農林省農改資料 152:186, 1940(昭15) †††† <i>Phlyctema</i> spp. 佐藤 裕:植物防疫 71(12):772, 2017 ; 平山和幸ら: 日植病報 84(1):53, 2018 [備考] 果実の小黑斑症状。平山ら(2018)は <i>Phlyctema</i>属菌2種の関与を示唆した
---	---

バラ科 Rosaceae ウメ(梅)	バラ科 Rosaceae ウメ(梅)
----------------------------------	----------------------------------

Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 葉縁えそ病 yoen-eso-byo Leaf-edge necrosis (茶がす病) (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 栗原 潤ら:日植病報 61(6):603, 1995 [備考] 栗原ら(1995)は, 本病が病原(1)と(4)の重複感染によることを報告。戻し接種による単独感染では, 葉脈透化症状を引き起こす (2) <i>Little cherry virus 2</i> (LChV-2) リトルチェリーウイルス2 沼口孝司ら:日植病報 82(3):286, 2016 ; Nakaune, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(3):202, 2018 ; Numaguchi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(2):116, 2019 [備考] Nakaune <i>et al.</i>(2018)は, 症状と検出されるウイルスとの関連から本病を提案 (3) <i>Plum bark necrosis stem pitting-associated virus</i> (PBNPaV) モモ樹皮えそステムピットイング随伴ウイルス 中畝良二ら:日植病報 81(3):272, 2015 ; 武田知明・中畝良二:日植病報 81(3):272, 2015 ; Nakaune, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(3):202, 2018 ; Numaguchi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(2):116, 2019 [備考] Nakaune <i>et al.</i>(2018)は, 症状と検出されるウイルスとの関連から本病を提案 (4) <i>Prunus necrotic ringspot virus</i> (PNRSV) プルナスえそ輪点ウイルス 栗原 潤ら:日植病報 61(6):603, 1995 ; [備考] 家村浩海ら(日植病報 61(6):631, 1995)は, 接ぎ木感染の報告。栗原ら(1995)は, 本病が病原(1)と(4)の重複感染によることを報告。戻し接種による単独感染では, モザイク症状を引き起こす	Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 葉縁えそ病 yoen-eso-byo Leaf-edge necrosis (茶がす病) (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) 栗原 潤ら:日植病報 61(6):603, 1995 [備考] 栗原ら(1995)は, 本病が病原(1)と(4)の重複感染によることを報告。戻し接種による単独感染では, 葉脈透化症状を引き起こす (2) <i>Little cherry virus 2</i> (LChV-2) 沼口孝司ら:日植病報 82(3):286, 2016 ; Nakaune, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(3):202, 2018 [備考] Nakaune <i>et al.</i>(2018)は, 症状と検出されるウイルスとの関連から本病を提案 (3) <i>Plum bark necrosis stem pitting-associated virus</i> (PBNPaV) 中畝良二ら:日植病報 81(3):272, 2015 ; 武田知明・中畝良二:日植病報 81(3):272, 2015 ; Nakaune, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(3):202, 2018 [備考] Nakaune <i>et al.</i>(2018)は, 症状と検出されるウイルスとの関連から本病を提案 (4) <i>Prunus necrotic ringspot virus</i> (PNRSV) 栗原 潤ら:日植病報 61(6):603, 1995 ; [備考] 家村浩海ら(日植病報 61(6):631, 1995)は, 接ぎ木感染の報告。栗原ら(1995)は, 本病が病原(1)と(4)の重複感染によることを報告。戻し接種による単独感染では, モザイク症状を引き起こす
---	---

(注) 文献追加	
----------	--

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider せん孔病 senko-byo Shot hole, Cercospora leaf spot (穿孔病) (1) <i>Leptosphaeria michotii</i> (Westendorp) Saccardo [<i>Leptosphaeria iwamotoi</i> I. Miyake] 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6); 原 攝祐:実用作物病理学:309, 1925(大14) (2) <i>Leptosphaeria yulan</i> Saccardo [<i>Leptosphaeria pomona</i> Saccardo] 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:29, 1911(明44); 原 攝祐:実用作物病理学:309, 1925(大14); 原 攝祐:実験作物病理学:548, 1930(昭5) (3) <i>Mycosphaerella irina</i> Auerswald [<i>Mycosphaerella shiraiana</i> I. Miyake] 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6) (4) <i>Pseudocercospora circumscissa</i> (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [<i>Cercospora circumscissa</i> Saccardo] 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:29, 1911(明44); 原 攝祐:果樹病害論:446, 1916(大5) [備考] 病原菌の学名は, 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):596, 1992 を参照 (注) 文献名訂正。実用作物病理学548ページに本病の記載がないのでページを削除。548は、病原(2)の実験作物病理学のページ。病原(4)の文献は	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider せん孔病 senko-byo Shot hole, Cercospora leaf spot (穿孔病) (1) <i>Leptosphaeria michotii</i> Westendorp & Saccardo [<i>Leptosphaeria iwamotoi</i> I. Miyake] 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6); 原 攝祐:実用作物病理学:309, 548, 1925(大14) (2) <i>Leptosphaeria yulan</i> Saccardo [<i>Leptosphaeria pomona</i> Saccardo] 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:29, 1911(明44); 原 攝祐:実用作物病理学:309, 548, 1925(大14); 原 攝祐:実験作物病理学:548, 1930(昭5) (3) <i>Mycosphaerella irina</i> Auerswald [<i>Mycosphaerella shiraiana</i> I. Miyake] 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6) (4) <i>Pseudocercospora circumscissa</i> (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [<i>Cercospora circumscissa</i> Saccardo] 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:29, 30, 1911(明44); 原 攝祐:果樹病害論:446, 1916(大5) [備考] 病原菌の学名は, 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説 (小林享夫ら編):596, 1992 を参照
---	--

29ページから続く記事なので「30」を省略。

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider †††急性枯死症 kyusei-koshi-sho Quick death <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 菅野英二ら:北日本病虫研報 53:137, 2002 ; 舟久保太一ら:関東病虫研報 57:41, 2010 ; 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 [備考] モモに発生。病名未提案 (注) 新病害	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider
--	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi さび色胴枯病 sabi-ro-dogare-byo <i>Erwinia</i>	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi さび色胴枯病 sabi-ro-dogare-byo <i>Erwinia</i>
--	--

rusty canker (1) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 大田将慎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 (2) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> pv. <i>chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953, <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 ; 唐津達彦ら:日植病報 85(1):71, 2019 [備考] 唐津ら(2019)は, カメムシの加害により本病原が果実を腐敗させることを報告した (3) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 (注) 病原追加、病原順変更、文献・備考追加	rusty canker (1) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] (2) <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Erwinia chrysanthemi</i> pv. <i>chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987
---	---

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>R. davurica</i> Pallas ノイバラ <i>R. multiflora</i> Thunb. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病, うどん病) (1) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>simulans</i> [<i>Uncinuliella simulans</i> (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>simulans</i>, <i>Uncinula simulans</i> E.S. Salmon] 白井光太郎:訂正増補日本菌類目録(2版):679, 1917(大6) ; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):403, 1927(昭2) ; 丹田誠之助・佐藤志美雄:東農大農学集報 23(1):88, 1978 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):256, 1988 ; 丹田誠之助:東農	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病, うどん病) (1) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>simulans</i> [<i>Uncinuliella simulans</i> (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>simulans</i>,
--	--

大農学集報 41:113, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] ヤマハマナス, ノイバラに発生 (2) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé, <i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>rosae</i> Woronichin] 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:190, 1900(明33) ; 出田 新:日本植物病理学:270, 1903(明36) ; 白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905(明38) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):311, 1937(昭12) ; 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):166, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 [備考] サクラバラ (<i>R. multiflora</i> var. <i>platyphylla</i>)・コウシンバラ・オオタカネイバラ・ヤエヤマノイバラ・サンショウバラ・タカネイバラ・テリハノイバラ・ノイバラに発生。本邦ではまだ閉子のう殻世代は確認されていない。栽培バラ品種にも発生する (大谷 1988)	<i>Uncinula simulans</i> E.S. Salmon] 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):403, 1927(昭2) ; 丹田誠之助・佐藤志美雄:東農大農学集報 23(1):88, 1978 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):256, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] ノイバラに発生 (2) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé, <i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>rosae</i> Woronichin] 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:190, 1900(明33) ; 出田 新:日本植物病理学:270, 1903(明36) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):311, 1937(昭12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 [備考] サクラバラ (<i>R. multiflora</i> var. <i>platyphylla</i>)・コウシンバラ・オオタカネイバラ・ヤエヤマノイバラ・サンショウバラ・タカネイバラ・テリハノイバラ・ノイバラに発生
バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>R. davurica</i> Pallas ノイバラ <i>R. multiflora</i> Thunb. †うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病) (1) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>simulans</i> [<i>Oidium rosae-indicae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾産菌類調査報告 6):82, 1933(昭8) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] 台湾。コウシンバラ (<i>R. indica</i> var. <i>formosana</i>)に発生 (2) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca rosae</i> (Jaczewski) Z.Y. Zhao Sato, Y. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(3):193, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 [備考] 中国。ノイバラに発生 (注) 宿主統合による病名統合。†うどんこ病はそのままとした。(野草の宿主バラ類は削除、バラ類(野草)うどんこ病も削除。)	バラ科 Rosaceae バラ類 (Rosa) <i>Rosa</i> spp. (野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>simulans</i> [<i>Uncinuliella simulans</i> (E.S.

	Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>simulans</i>, <i>Uncinula simulans</i> E.S. Salmon] 白井光太郎:訂正増補日本菌類目録第2版:679, 1917(大6); 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):256, 1988; 丹田誠之助:東農大農学集報 41:113, 1996; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] ヤマハマナスに発生 (2) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>tandae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinuliella simulans</i> (E.S. Salmon) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>tandae</i> U. Braun] 大谷吉雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):256, 1988; 丹田誠之助:東農大農学集報 41:113, 1996; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] ノイバラに発生 (3) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Léveillé] 白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905(明38); 本間ヤ ス:北大農紀要 38(3):311, 1937(昭12); 大谷吉 雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):166, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 [備考] ノイバラに発生。本邦ではまだ閉子のう 殻世代は確認されていない。栽培バラ品種にも 発生する (大谷 1988)
	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹) †うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病) (1) <i>Erysiphe simulans</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>simulans</i> [<i>Oidium rosae-indicae</i> Sawada]

	澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾産菌類調査報告 6):82, 1933(昭8) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 [備考] 台湾。コウシンバラ (<i>R. indica</i> var. <i>formosana</i>)に発生 (2) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca rosae</i> (Jaczewski) Z.Y. Zhao] Sato, Y. et al.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(3):193, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 [備考] 中国。ノイバラに発生
--	--

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>R. davurica</i> Pallas ノイバラ <i>R. multiflora</i> Thunb. さび病 sabi-byo Rust (葉渋病, 赤錆病, 銹病) (1) <i>Kuehneola japonica</i> (Dietel) Dietel [<i>Phragmidium japonicum</i> Dietel, <i>Kuehneola rosae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):376, 1919(大 8) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):3, 1902(明 35) ; 澤田兼吉:台湾中研農業報 35(台湾産菌類調査報告 4):72, 1928(昭 3) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:398, 1992 [備考] テリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i>)・トックリイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>ampullicarpa</i>)・リュウキュウテリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>glandulifera</i>)・コウシンバラ (<i>R. chinensis</i>)・フジイバラ (<i>R. fujisanensis</i>)・オオサクライバラ(<i>R. luciae</i>)・モッコウバラ (<i>R. banksiae</i>)・ヤエヤマイバラ (<i>R. bracteata</i>)・ヤブイバラ (<i>R. onoei</i>)・タイワンノイバラ (<i>R. taiwaniana</i>)・ナニワイバラ (<i>R. laevigata</i>)・ノイバラに発生 (2) <i>Phragmidium fusiforme</i> J. Schröter [<i>Phragmidium rosae-acicularis</i> Liro] 笠井幹夫:札幌博物学会報 3(1):31, 1910(明 43) [備考] タカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>nipponensis</i>)・オオタカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>gmelinii</i>)に発生 (3) <i>Phragmidium montivagum</i> Arthur Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:418, 1992 [備考] ヤマハマナスに発生 (4) <i>Phragmidium mucronatum</i> (Persoon)	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (葉渋病, 赤錆病, 銹病) (1) <i>Kuehneola japonica</i> (Dietel) Dietel [<i>Phragmidium japonicum</i> Dietel, <i>Kuehneola rosae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):376, 1919(大8) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):3, 1902(明35) ; 澤田兼吉:台湾中研農業報 35(台湾産菌類調査報告 4):72, 1928(昭3) [備考] テリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i>)・トックリイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>ampullicarpa</i>)・リュウキュウテリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>glandulifera</i>)・コウシンバラ (<i>R. chinensis</i>)・フジイバラ (<i>R. fujisanensis</i>)・オオサクライバラ(<i>R. luciae</i>)・モッコウバラ (<i>R. banksiae</i>)・ヤエヤマイバラ (<i>R. bracteata</i>)・ヤブイバラ (<i>R. onoei</i>)・タイワンノイバラ (<i>R. taiwaniana</i>)・ナニワイバラ (<i>R. laevigata</i>)
--	---

Schlechtendal [<i>Phragmidium subcorticium</i> (Schrank) G. Winter] 出田 新:実用植物病理学:128, 1902(明 35) ; Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot, (日植輯報) 7(3-4):249, 1935(昭 10) (5) <i>Phragmidium rosae-multiflorae</i> Dietel [<i>Phragmidium rosae-laevigatae</i> Fujikuro] 南部信方:病虫雑 4(8):597, 1917(大 6) ; 笠井幹夫: 札幌博物学会報 3(1):32, 1910(明 43) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:429, 1992 [備考] テリハノイバラ・トックリイバラ・ナニ ワイバラ・ツクシイバラ (<i>R. multiflora</i> var. <i>adenochaeta</i>)・サンショウバラ(<i>R. hirtula</i>)・ツル ノイバラ (<i>R. spinosissima</i> var. <i>mandshurica</i>) ・ノ イバラに発生	(2) <i>Phragmidium fusiforme</i> J. Schröter [<i>Phragmidium rosae-acicularis</i> Liro] 笠井幹夫:札幌博物学会報 3(1):31, 1910(明43) [備考] タカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>nipponensis</i>)・オオタカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>gmelinii</i>)
バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>Rose davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rose multiflora</i> Thunb. †さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Phragmidium hashiokai</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):238, 1935(昭 10) [備考] 台湾。ニイタカモリイバラ (<i>R.</i> <i>transmorisonensis</i>)に発生 (注) 宿主統合による病名統合。†さび病*はその ままとした(野草の宿主バラ類は削除、バラ類(野 草)さび病も削除。)	(3) <i>Phragmidium mucronatum</i> (Persoon) Schlechtendal [<i>Phragmidium subcorticium</i> (Schrank) G. Winter] 出田 新:実用植物病理学:128, 1902(明35) ; Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot, (日植輯報) 7(3-4):249, 1935(昭10) (4) <i>Phragmidium rosae-multiflorae</i> Dietel [<i>Phragmidium rosae-laevigatae</i> Fujikuro] 南部信方:病虫雑 4(8):597, 1917(大6) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3(1):32, 1910(明 43) [備考] テリハノイバラ・トックリイバラ・ナニ ワイバラ・ツクシイバラ (<i>R. multiflora</i> var. <i>adenochaeta</i>)・サンショウバラ(<i>R. hirtula</i>)・ツル ノイバラ (<i>R. spinosissima</i> var. <i>mandshurica</i>)
	バラ科 Rosaceae バラ類 (Rosa) <i>Rosa</i> spp. (野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. さび病* sabi-byo Rust (1) <i>Kuehneola japonica</i> (Dietel) Dietel Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:398, 1992 [備考] ノイバラ

	(2) <i>Phragmidium montivagum</i> Arthur Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:418, 1992 [備考] ヤマハマナス (3) <i>Phragmidium rosae-multiflorae</i> Dietel Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:429, 1992 [備考] ノイバラバラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹) †さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Phragmidium hashiokai</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):238, 1935(昭10) [備考] 台湾。ニイタカモリイバラ (<i>Rosa transmorisonensis</i>)
--	---

ムクロジ科 Sapindaceae リュウガン(龍眼, 亜荔枝) Longan <i>Euphoria longana</i> Lamarck (果樹) (注) 病名削除	ムクロジ科 Sapindaceae リュウガン(龍眼, 亜荔枝) Longan <i>Euphoria longana</i> Lamarck (果樹) †††† †††<i>Thielaviopsis paradoxa</i> (De Seynes) Höhnelt 横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:55, 1939(昭14) [備考] 台湾・フィリピン・北米
---	--

アカテツ科 Sapotaceae カニステル Canistel <i>Pouteria campechiana</i> Baehni (果樹)	アカテツ科 Sapotaceae
--	-------------------------

葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 藤森沙羅ら:日植病報 85(1):90, 2019 (注) 新病名、新規宿主	
---	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑葉病, 炭そ病) (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 佐藤 裕・照井 真:北日本病虫研報 69:205, 2018 [備考] フサスグリに発生 (2) <i>Gloeosporidiella ribis</i> (Libert) Petrak [<i>Gloeosporium ribis</i> (Libert) Montagne & Desmazières, <i>Pseudopeziza ribis</i> Klebahn] 出田 新:日本植物病理学 下巻:676, 1911(明 44) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(4):352, 1915(大 4)¥ (注) 宿主学名追加(新旧対照表2017年版前期の反映漏れ修正)。病原追加。	ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑葉病, 炭そ病) <i>Gloeosporidiella ribis</i> (Libert) Petrak [<i>Gloeosporium ribis</i> (Libert) Montagne & Desmazières, <i>Pseudopeziza ribis</i> Klebahn] 出田 新:日本植物病理学 下巻:676, 1911(明 44) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(4):352, 1915(大 4)
--	--

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) <i>Rehmannia</i> plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia</i>	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) <i>Rehmannia</i> plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia</i>
---	---

<i>glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Athelia rolfsii</i> (Curzi) C.C. Tu & Kimbrough 佐藤豊三ら:関東病虫研報 65:146, 2018 [備考] アカヤジオウに発生 (注) 新病名	<i>glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih
---	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. †††† ‘Candidatus Phytoplasma solani’ 下元祥史ら:日植病報 85(1):71, 2019 [備考] シシトウガラシに発生。病原同定不十分。16S rDNAによる推定 (注) 新宿主	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.
--	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ringspot disease Watermelon silver mottle tospovirus (WSMoV) スイ カ灰白色斑紋ウイルス	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.
--	--

具志堅優也ら:日植病報 85(1):91, 2019 (注) 新病名	
---	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 立枯病 tachigare-byo Nectria blight <i>Haematonectria ipomoeae</i> (Halsted) Samuels & Nirenberg [<i>Fusarium striatum</i> Sherbakoff, <i>Nectria haematococca</i> Berkeley & Broome] 森田泰彰ら:日植病報 60(6):776, 1994 ; 多賀正節ら:日植病報 72(4):206, 2006 [備考] シシトウガラシに発生。A.Y. Rossman <i>et al.</i> (Studies in Mycology 42:134, 1999) は, <i>Nectria haematococca</i> complex を <i>Haematonectria</i> 属に帰属させるとともに, ホモタリックな菌群を狭義の <i>H. haematococca</i> とは別種の <i>H. ipomoeae</i> とした (注) 備考中の病原学名修正	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 立枯病 tachigare-byo Nectria blight <i>Haematonectria ipomoeae</i> (Halsted) Samuels & Nirenberg [<i>Fusarium striatum</i> Sherbakoff, <i>Nectria haematococca</i> Berkeley & Broome] 森田泰彰ら:日植病報 60(6):776, 1994 ; 多賀正節ら:日植病報 72(4):206, 2006 [備考] シシトウガラシに発生。A.Y. Rossman <i>et al.</i> (Studies in Mycology 42:134, 1999) は, <i>Nectria haematococca</i> complex を <i>Haematonectria</i> 属に帰属させるとともに, ホモタリックな菌群を狭義の <i>H. haematococca</i> とは別種の <i>H. ipomoeae</i> とした
---	---

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あざ病 kuroaza-byo Black scurf (黒痣病, 根部及茎部腐敗病, 肉芽病, 菌核病) (1) <i>Rhizoctonia</i> sp. (binucleate <i>Rhizoctonia</i>) Misawa, T. & Kurose, D.:New Dis. Rep. 38:24, 2018 [備考] 菌糸融合群 AG-U。塊茎の黒あざ症状(菌核形成)を引き起こす (2) <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn] 出田 新:日本植物病理学:313, 1903(明 36) ; 阿部	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あざ病 kuroaza-byo Black scurf (黒痣病, 根部及茎部腐敗病, 肉芽病, 菌核病)
---	---

秀夫・坪木和男:北海道立農試集報 40:61, 1978 ; 生越 明:日植病報 38(2):117, 1972 ; K uninaga S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 66(1):2, 2000 [備考] 菌糸融合群 AG-3 PTおよびAG-5。出田 (1903)は塊茎の黒あざ症状(菌核形成)を確認し, 阿部・坪木(1978)はこれに加え, 茎およびストロンの病斑を確認した。生越(1972)は本病原の菌糸融合群をAG-3とし, K uninaga <i>et al.</i>(2000)はAG-3 PTと再同定した。阿部・坪木(1978)は茎病斑からAG-5を分離した (注) 病原・文献追加、備考変更	<i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn] 出田 新:日本植物病理学:313, 1903(明36) [備考] 菌糸融合群 AG-3 培養型 IV。病原菌の異名はイネ紋枯病参照
---	---

エゴノキ科 Styracaceae ハクウンボク(白雲木) Fragrant snowball <i>Styrax obassia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) †††† Leaf blotch <i>Tenuignomonina styracis</i> Minoshima, D.M. Walker & Hirooka Minoshima, A. <i>et al.</i>:Mycoscience 60(1):31, 2019 (注) 新病原	エゴノキ科 Styracaceae ハクウンボク(白雲木) Fragrant snowball <i>Styrax obassia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹)
--	--

ヒユ科 Amaranthaceae アルターナンセラ(モヨウビユ, テランセラ, アキランサス) Alternanthera <i>Alternanthera ficoidea</i> (L.) R.B. ex Roem. & Schult. 及び種間雑種 (草花) (注) 宿主和名訂正	ヒユ科 Amaranthaceae アルターナンセラ(モヨウビユ, テランセラ, アキランサス) Alternanthera <i>Alternanthera ficoidea</i> (L.) R.B. ex Roem. & Schult. 及び種間雑種 (草花)
--	--

ガガイモ科 Asclepiadaceae オオカモメヅル (Tylophora) <i>Tylophora aristolochioides</i> Miq. (野草) (注) 宿主学名をイタリックに訂正、宿主英名がないので属名をカッコして追加。	ガガイモ科 Asclepiadaceae オオカモメヅル <i>Tylophora aristolochioides</i> Miq. (野草)
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae スイートサルタン(ニオイヤグルマ) Sweet sultan <i>Centaurea moschata</i> L. (草花) イエローサルタン(キバナニオイヤグルマ) Yellow sultan <i>Centaurea suaveolens</i> Willd. (注) 宿主和名訂正	キク科 Asteraceae, Compositae スイートサルタン(ニオイヤグルマ) Sweet sultan <i>Centaurea moschata</i> L. (草花) エローサルタン(キバナニオイヤグルマ) Yellow sultan <i>Centaurea suaveolens</i> Willd.
--	---

ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp. <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak (注) 2017 年前期新旧対照表の反映漏れ。2016 年版ではヤマボウシ学名は、<i>B. japonica</i> (<i>C. kousa</i> のシノニム)であり、<i>B. kousa</i> は誤り。宿主学名	ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Benthamedia</i> spp. <i>Cornus</i> spp. <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Benthamedia florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Benthamedia kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak
---	--

変更により、目録掲載順が変わります。	
--------------------	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae レンゲ(ゲンゲ, 紫雲英, 蓮華草) Milk vetch <i>Astragalus sinicus</i> L. (牧草・芝草) (注) 宿主和名内で改行しない(PDFにした時の見出しがおかしくなります)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae レンゲ (ゲンゲ, 紫雲英, 蓮華草) Milk vetch <i>Astragalus sinicus</i> L. (牧草・芝草)
--	---

クスノキ科 Lauraceae ハマビワ(浜枇杷) (Litsea) <i>Litsea japonica</i> (Thunb.) Juss. (広葉樹) (注) 宿主学名訂正	クスノキ科 Lauraceae ハマビワ(浜枇杷) (Litsea) <i>Litsea japonica</i> (Thunb.) Juss. (広葉樹)
---	---

バラ科 Rosaceae アズキナシ(小豆梨) (Aria) <i>Aria alnifolia</i> (Siebold & Zucc.) Decne. [<i>Sorbus alnifolia</i> (Sieb. & Zucc.) C. Koch.] (広葉樹) (注)括弧書きの学名属名修正。	バラ科 Rosaceae アズキナシ(小豆梨) (Sorbus) <i>Aria alnifolia</i> (Siebold & Zucc.) Decne. [<i>Sorbus alnifolia</i> (Sieb. & Zucc.) C. Koch.] (広葉樹)
---	--

バラ科 Rosaceae ヤマブキショウマ (Aruncus) <i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H.Hara (広葉樹)	バラ科 Rosaceae ヤマブキショウマ <i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H.Hara (広葉樹)
---	--

(注) 英名がないので、属名を括弧で括る。	
-----------------------	--

バラ科 Rosaceae サンザシ類 (Crataegus) <i>Crataegus</i> spp. (広葉樹) サンザシ(山査子) <i>Crataegus cuneata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウサンザシ(西洋山査子) Hawthorn <i>Crataegus oxyacantha</i> Linn. クロミサンザシ <i>Crataegus chlorosarca</i> Maxim. エゾサンザシ <i>Crataegus jozana</i> C.K. Schn. (注) 2017年うどんこ病類新旧対照表の反映漏れ修正(宿主和名と宿主英名削除)、英名がなくなったので、属名を括弧で括る。Spp.のピリオドを一つ削除。	バラ科 Rosaceae サンザシ類(山査子) Hawthorn <i>Crataegus</i> spp.. (広葉樹) サンザシ(山査子) <i>Crataegus cuneata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウサンザシ(西洋山査子) Hawthorn <i>Crataegus oxyacantha</i> Linn. クロミサンザシ <i>Crataegus chlorosarca</i> Maxim. エゾサンザシ <i>Crataegus jozana</i> C.K. Schn.
--	---

バラ科 Rosaceae シジミバナ (Spiraea) <i>Spiraea prunifolia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) (注) 宿主英名がないので、括弧書きの宿主学名属名を挿入。	バラ科 Rosaceae シジミバナ <i>Spiraea prunifolia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹)
--	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae ネコノメソウ類 (Chrysosplenium) <i>Chrysosplenium</i> spp. (草花) ツルネコノメソウ Man jin yao <i>Chrysosplenium flagelliferum</i> F.Schmidt. (注) 括弧の中の宿主属名を立体に修正	ユキノシタ科 Saxifragaceae ネコノメソウ類 (Chrysosplenium) <i>Chrysosplenium</i> spp. (草花) ツルネコノメソウ Man jin yao <i>Chrysosplenium flagelliferum</i> F.Schmidt.
--	---

ナス科 Solanaceae ナス類 Eggplant <i>Solanum</i> spp. (野草) アメリカイヌホオズキ <i>Solanum americanum</i> Mill. ワルナスビ <i>Solanum carolinense</i> L. イヌホ オ ズキ <i>Solanum nigrum</i> L. ハリナスビ <i>Solanum sisymbriifolium</i> Lam. ニシキハリナスビ(キンギンナスビ) <i>Solanum xanthocarpum</i> Schrad. & J.C.Wendl. (注) 宿主和名訂正	ナス科 Solanaceae ナス類 Eggplant <i>Solanum</i> spp. (野草) アメリカイヌホオズキ <i>Solanum americanum</i> Mill. ワルナスビ <i>Solanum carolinense</i> L. イヌホ ウ ズキ <i>Solanum nigrum</i> L. ハリナスビ <i>Solanum sisymbriifolium</i> Lam. ニシキハリナスビ(キンギンナスビ) <i>Solanum xanthocarpum</i> Schrad. & J.C.Wendl.
--	--

アカテツ科 Sapotaceae ムニンノキ (Pouteria) <i>Pouteria boninensis</i> (Nakai) Ba eh ni (広葉樹) (注) 宿主学名訂正	アカテツ科 Sapotaceae ムニンノキ (Pouteria) <i>Pouteria boninensis</i> (Nakai) Ba ch ni (広葉樹)
--	--

クマツヅラ科 Verbenaceae デュランタ(タイワンレンギョウ, ハリマツリ) (Duranta) <i>Duranta erecta</i> L. (広葉樹) (注) 括弧書きの宿主属名のスペルを修正。	クマツヅラ科 Verbenaceae デュランタ(タイワンレンギョウ, ハリマツリ) (Dura n hta) <i>Duranta erecta</i> L. (広葉樹)
--	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples
--	--

<i>Acer</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe ljobarskii</i> (Golovin) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ljobarskii</i> [<i>Uncinula ljobarskii</i> Golovin var. <i>ljobarskii</i>, <i>Uncinula aduncoides</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen, <i>Uncinula</i> sp.] 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):198, 1983 ; Braun, U.:Mycotaxon 20:487, 1984 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012 [備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・オオイタヤマメイツ・ハウチワカエデに発生 (2) <i>Sawadaea bicornis</i> (Wallroth) Homma [<i>Uncinula aceris</i> (de Candolle) Saccardo] (白渋病, 粉病) 白井光太郎:最近植物病理学:397, 1903(明36) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 9:50, 1914(大3) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] ミツデカエデ (<i>A. cissifolium</i>)・エンコウカエデ・ウリカエデ (<i>A. crataegifolium</i>)・ウラゲエンコウカエデ・トネリコバノカエデ・イタヤカエデ・ツタモミジ・ヤマモミジ・オニイタヤに発生 (3) <i>Sawadaea bifida</i> Heluta [<i>Sawadaea zhengii</i> Y. Nomura] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:106, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] エンコウカエデに発生 (4) <i>Sawadaea negundinis</i> Homma Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):375, 1937(昭12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:14, 1973 [備考] トネリコバノカエデに発生 (5) <i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q.	<i>Acer</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe ljobarskii</i> (Golovin) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ljobarskii</i> [<i>Uncinula ljobarskii</i> Golovin var. <i>ljobarskii</i>, <i>Uncinula aduncoides</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen, <i>Uncinula</i> sp.] 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):198, 1983 ; Braun, U.:Mycotaxon 20:487, 1984 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012 [備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・オオイタヤマメイツ・ハウチワカエデに発生 (2) <i>Sawadaea bicornis</i> (Wallroth) Homma [<i>Uncinula aceris</i> (de Candolle) Saccardo] (白渋病, 粉病) 白井光太郎:最近植物病理学:397, 1903(明36) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 9:50, 1914(大3) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] ミツデカエデ (<i>A. cissifolium</i>)・エンコウカエデ・ウリカエデ (<i>A. crataegifolium</i>)・ウラゲエンコウカエデ・トネリコバノカエデ・イタヤカエデ・ツタモミジ・ヤマモミジ・オニイタヤに発生 (3) <i>Sawadaea bifida</i> Heluta [<i>Sawadaea zhengii</i> Y. Nomura] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:106, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] エンコウカエデに発生 (4) <i>Sawadaea negundinis</i> Homma Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):375, 1937(昭12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:14, 1973 [備考] トネリコバノカエデに発生 (5) <i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q.
--	--

Chen [<i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>japonica</i> U. Braun & Tanda, <i>Sawadaea tulasnei</i> sensu auct. Jap. non (Fuckel) Homma] Braun, U.:Mycotaxon 22:93, 1985 ; Meeboon, J. <i>et al.</i>:Mycoscience 56(6):590, 2015 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] イロハモミジ・ヒナウチワカエデ・コハウチワカエデ・ヤマモミジ・ナンゴクミネカエデ(<i>A. australe</i>)に発生 (6) <i>Sawadaea tulasnei</i> (Fuckel) Homma [<i>Uncinula aceris</i> auct. non Saccardo, <i>Sawadaea aceris</i> Miyabe ex Sawada, <i>Uncinula aceris</i> Saccardo var. <i>tulasnei</i> E.S. Salmon] (粉病, 白渋病) 新島善直:新編森林保護学(下):494, 1925(大14) ; 南部信方:植物学雑誌 18(203):2, 1904(明37) [備考] ヤマモミジ・イタヤカエデ・クロビイタヤ・ウリカエデ・オガラバナ (<i>A. ukurunduense</i>)・オニイタヤ・ウリハダカエデ・ベニイタヤ・マンシュウイタヤカエデに発生 (7) <i>Sawadaea</i> sp. (白渋病) 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973 [備考] オオモミジ・ヒロハモミジ・ウラジロイタヤ・テツカエデ・ミネカエデ・エンコウカエデ・ウリハダカエデ・チドリノキ (<i>A. carpinifolium</i>)・オオイタヤメイゲツ・ハウチワカエデに発生 (注) 病原(5)の文献著者名にカンマを挿入。ナラ類うどんこ病病原(5)の同じ文献にも同じ修正を行う。	Chen [<i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>japonica</i> U. Braun & Tanda, <i>Sawadaea tulasnei</i> sensu auct. Jap. non (Fuckel) Homma] Braun, U.:Mycotaxon 22:93, 1985 ; Meeboon J. <i>et al.</i>:Mycoscience 56(6):590, 2015 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] イロハモミジ・ヒナウチワカエデ・コハウチワカエデ・ヤマモミジ・ナンゴクミネカエデ(<i>A. australe</i>)に発生 (6) <i>Sawadaea tulasnei</i> (Fuckel) Homma [<i>Uncinula aceris</i> auct. non Saccardo, <i>Sawadaea aceris</i> Miyabe ex Sawada, <i>Uncinula aceris</i> Saccardo var. <i>tulasnei</i> E.S. Salmon] (粉病, 白渋病) 新島善直:新編森林保護学(下):494, 1925(大14) ; 南部信方:植物学雑誌 18(203):2, 1904(明37) [備考] ヤマモミジ・イタヤカエデ・クロビイタヤ・ウリカエデ・オガラバナ (<i>A. ukurunduense</i>)・オニイタヤ・ウリハダカエデ・ベニイタヤ・マンシュウイタヤカエデに発生 (7) <i>Sawadaea</i> sp. (白渋病) 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973 [備考] オオモミジ・ヒロハモミジ・ウラジロイタヤ・テツカエデ・ミネカエデ・エンコウカエデ・ウリハダカエデ・チドリノキ (<i>A. carpinifolium</i>)・オオイタヤメイゲツ・ハウチワカエデに発生
---	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp.	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp.
---	---

(広葉樹) 裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病) (1) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 新島善直:新編森林保護学(下):471, 1925(大14) ; 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 359):10, 1927(昭2) [備考] トネリコバノカエデに発生 (2) <i>Phyllactinia</i> sp. 平田幸治ら:新潟農林研究 16:92, 1963 [備考] カラコギカエデに発生 (注) 備考の宿主和名訂正	(広葉樹) 裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病) (1) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 新島善直:新編森林保護学(下):471, 1925(大14) ; 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 359):10, 1927(昭2) [備考] トネリコバノカエデに発生 (2) <i>Phyllactinia</i> sp. 平田幸治ら:新潟農林研究 16:92, 1963 [備考] カラコキカエデに発生
--	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 黒点病 kokuten-byo <i>Triposporium acerinum</i> Sydow 安田 篤:植物学各論隠花部:574, 1911(明44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:101, 1905(明38) ; Hughes, S. J.:Mycol. Pap. 46:10, 1951 (注) 病原学名正名と重複する病原学名異名を削除。	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 黒点病 kokuten-byo <i>Triposporium acerinum</i> Sydow [<i>Triposporium acerinum</i> Sydow] 安田 篤:植物学各論隠花部:574, 1911(明 44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:101, 1905(明 38) ; Hughes, S. J.:Mycol. Pap. 46:10, 1951
---	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹)	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹)
---	---

††††苗疫病 nae-eki-byo Phytophthora rot (立枯病) ††<i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大12) ; 白井光太郎: 植物病理学(下):80, 1900(明33) ; Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. Japan 1:153, 1907(明40) [備考] カエデでの国内発生に疑問 (注) 文献名を他病名の同文献の表記と統一した	††††苗疫病 nae-eki-byo Phytophthora rot (立枯病) ††<i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大12) ; 白井光太郎: 植物病理学(下):80, 1900(明33) ; Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agric. Expt. Sta. Japan 1:153, 1907(明40) [備考] カエデでの国内発生に疑問
---	---

マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>A. chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (1) <i>Rhizobium vitis</i> (Ophel & Kerr 1990) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium vitis</i> Ophel & Kerr 1990 (Ti), <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942] (2) <i>Rhizobium</i> sp. (Ti) [<i>Agrobacterium</i> sp. (Ti)] 澤田宏之:果樹試特別報 5:1, 1994 ; Sawada, H. & Ieki, H.:Plant Dis. 76:212, 1992 (注) 文献名を、他病名の同文献の表記と統一し た。パキラ茎腐病、スイカ灰白色斑紋病、モミ 類ならたけ病、トドマツならたけ病(2か所)、オ ダマキ灰色かび病、カンキツグリーンング病、 メタセコイアならたけ病についても同様の修正	マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>A. chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (1) <i>Rhizobium vitis</i> (Ophel & Kerr 1990) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium vitis</i> Ophel & Kerr 1990 (Ti), <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942] (2) <i>Rhizobium</i> sp. (Ti) [<i>Agrobacterium</i> sp. (Ti)] 澤田宏之:果樹試特別報 5:1, 1994 ; Sawada, H. & Ieki, H.:Plant Disease 76:212, 1992
--	--

を行う。	
------	--

オモダカ科 Alismataceae ヘラオモダカ類 (Alisma) <i>Alisma</i> spp. (野草) ヘラオモダカ <i>Alisma canaliculatum</i> A.Br. & Bouché サジオモダカ <i>Alisma plantago-aquatica</i> L. var. <i>orientale</i> Samuels. さび斑病 sabihan-byo Leaf spot <i>Plectosphaerella alismatis</i> (Oudemans) A.J.L. Phillips, Carlucci & M.L. Raimondo 柴田 葵ら:日植病報 82(1):25, 2016 [備考] サジオモダカに発生 (注) 病原学名の命名者名をスペルアウトした。	オモダカ科 Alismataceae ヘラオモダカ類 (Alisma) <i>Alisma</i> spp. (野草) ヘラオモダカ <i>Alisma canaliculatum</i> A.Br. & Bouché サジオモダカ <i>Alisma plantago-aquatica</i> L. var. <i>orientale</i> Samuels. さび斑病 sabihan-byo Leaf spot <i>Plectosphaerella alismatis</i> (Oudem.) A.J.L. Phillips, Carlucci & M.L. Raimondo 柴田 葵ら:日植病報 82(1):25, 2016 [備考] サジオモダカに発生
---	--

ヒユ科 Amaranthaceae センニチコウ(千日紅, センニチソウ) Globe amaranth <i>Gomphrena globosa</i> L. (草花) 立枯病 tachigare-byo Damping-off <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 梶谷 裕二ら:九病虫研会報 55:186, 2009 (注) 文献著者名訂正	ヒユ科 Amaranthaceae センニチコウ(千日紅, センニチソウ) Globe amaranth <i>Gomphrena globosa</i> L. (草花) 立枯病 tachigare-byo Damping-off <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 梶谷 祐二ら:九病虫研会報 55:186, 2009
---	--

ヒガンバナ科 Amaryllidaceae スイセン(水仙) Narcissus, Daffodil <i>Narcissus</i> spp. 及び種間雑種 (草花)	ヒガンバナ科 Amaryllidaceae スイセン(水仙) Narcissus, Daffodil
---	---

ニホンスイセン Grand emperor, New year lily, Chinese grand emperor, Sacred ohinese lily <i>Narcissus tazetta</i> L. ラッパスイセン <i>Narcissus pseudonarcissus</i> L. †††† (1) <i>Arabid mosaic virus</i> (ArMV) 岩木満朗:日植病報 37(5):402, 1971 ; 岩木満朗・ 小室康雄:日植病報 40(4):344, 1974 [備考] ウイルス病とされていた (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] 岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(2):137, 1972 ; 小 林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004 [備考] ウイルス病とされていた (3) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(2):137, 1972 [備考] 戻し接種なし [備考] ウイルス病とされていた (4) <i>Lily symptomless virus</i> (LSV) 井上成信:遺伝 38(11):201, 1984 [備考] 総説のため詳細は不明 [備考] ウイルス病とされていた (5) <i>Narcissus degeneration virus</i> (NDV) スイセン 退緑ウイルス 野見山玲衣ら:九病虫研会報 60:104, 2014 [備考] ウイルス病とされていた。RT-PCR と塩基 配列解析による同定。スイセンへの戻し接種によ り検出済みだが、ウイルスフリースイセンに接種 することができないため、真の病徴は不明 (6) <i>Narcissus latent virus</i> (NLV) 井上成信:遺伝 38(11):201, 1984 [備考] ウイルス病とされていた。総説のため詳細 は不明 (7) <i>Narcissus late season yellows virus</i> (NLSYV) 野見山玲衣ら:九病虫研会報 60:104, 2014 [備考] ウイルス病とされていた。RT-PCR と塩基 配列解析による同定。スイセンへの戻し接種によ り検出済みだが、ウイルスフリースイセンに接種 することができないため、真の病徴は不明 (8) <i>Narcissus mosaic virus</i> (NMV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 33(5):345, 1967 ; 岩 木満朗・小室康雄:日植病報 36(2):81, 1970 [備考] ウイルス病とされていた (9) <i>Narcissus yellow stripe virus</i> (NYSV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(3):210, 1972 [備考] ウイルス病とされていた	<i>Narcissus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) ニホンスイセン Grand emperor, New year lily, Chinese grand emperor, Sacred ohinese lily <i>Narcissus tazetta</i> L. ラッパスイセン <i>Narcissus pseudonarcissus</i> L. ウイルス病 virus-byo (1) <i>Arabid mosaic virus</i> (ArMV) 岩木満朗:日植病報 37(5):402, 1971 ; 岩木満朗・ 小室康雄:日植病報 40(4):344, 1974 (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] 岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(2):137, 1972 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004 (3) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(2):137, 1972 [備考] 戻し接種なし (4) <i>Lily symptomless virus</i> (LSV) 井上成信:遺伝 38(11):201, 1984 [備考] 総説のため詳細は不明 (5) <i>Narcissus degeneration virus</i> (NDV) スイセン 潜在ウイルス 野見山玲衣ら:九病虫研会報 60:104, 2014 [備考] RT-PCRと塩基配列解析による同定。スイ センへの戻し接種により検出済みだが、ウイルス フリースイセンに接種することができないため、 真の病徴は不明 (6) <i>Narcissus latent virus</i> (NLV) 井上成信:遺伝 38(11):201, 1984 [備考] 総説のため詳細は不明
---	--

(10) <i>Tobacco rattle virus</i> (TRV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(2):137, 1972 ; 山本孝猗ら:北陸病虫研報 38:60, 1990 [備考] ウイルス病とされていた (11) <i>Tomato black ring virus</i> (TBRV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 39(4):279, 1973 [備考] ウイルス病とされていた (12) <i>Tomato ringspot virus</i> (ToRSV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 37(2):108, 1971 [備考] ウイルス病とされていた (13) <i>Vallota speciosa virus</i> (VSV) [<i>Cyrtanthus elatus virus A</i>] 野見山玲衣ら:九病虫研会報 60:104, 2014 [備考] ウイルス病とされていた。RT-PCR と塩基配列解析による同定。戻し接種なし (注) 病原(5)の病原和名訂正。ウイルス病の病名削除については、2019年前期の新旧対照表の最初の項目を参照のこと。	(7) <i>Narcissus late season yellows virus</i> (NLSYV) 野見山玲衣ら:九病虫研会報 60:104, 2014 [備考] RT-PCRと塩基配列解析による同定。スイセンへの戻し接種により検出済みだが、ウイルスフリースイセンに接種することができないため、真の病徴は不明 (8) <i>Narcissus mosaic virus</i> (NMV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 33(5):345, 1967 ; 岩木満朗・小室康雄:日植病報 36(2):81, 1970 (9) <i>Narcissus yellow stripe virus</i> (NYSV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(3):210, 1972 (10) <i>Tobacco rattle virus</i> (TRV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 38(2):137, 1972 ; 山本孝猗ら:北陸病虫研報 38:60, 1990 (11) <i>Tomato black ring virus</i> (TBRV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 39(4):279, 1973 (12) <i>Tomato ringspot virus</i> (ToRSV) 岩木満朗・小室康雄:日植病報 37(2):108, 1971 (13) <i>Vallota speciosa virus</i> (VSV) [<i>Cyrtanthus elatus virus A</i>] 野見山玲衣ら:九病虫研会報 60:104, 2014 [備考] RT-PCRと塩基配列解析による同定。戻し接種なし
--	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹)	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹)
--	--

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤峠哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した	炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤峠哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した
--	--

(6) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤峠哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (8) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (注) 病原(5)の文献著者名訂正	(6) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤峠哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (8) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017
---	--

バンレイシ科 Annonaceae バンレイシ類 (Annona) <i>Annona</i> spp. (果樹) バンレイシ(シャカトウ, シュガーアップル)(蕃荔枝, 釈迦頭) Sugar apple, Sweet sop, Castard apple of India <i>Annona squamosa</i> L. トゲバンレイシ(刺蕃荔枝, オランダドリアン)(刺蕃荔枝) Soursop, Guanabana <i>Annona muricata</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum theobromicola</i> Delacroix [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo]	バンレイシ科 Annonaceae バンレイシ類 (Annona) <i>Annona</i> spp. (果樹) バンレイシ(シャカトウ, シュガーアップル)(蕃荔枝, 釈迦頭) Sugar apple, Sweet sop, Castard apple of India <i>Annona squamosa</i> L. トゲバンレイシ(刺蕃荔枝, オランダドリアン)(刺蕃荔枝) Soursop, Guanabana <i>Annona muricata</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum theobromicola</i> Delacroix [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo]
---	---

佐藤豊三:東京農試研報 20:26, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] バンレイシ・トゲバンレイシに発生 (注) 病原学名の書体を修正	佐藤豊三:東京農試研報 20:26, 1987 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] バンレイシ・トゲバンレイシに発生
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae セルリー(セロリー, オランダミツバ, 塘蒿) Celery <i>Apium graveolens</i> L. (野菜) ジベルロプシス腐敗病 <i>Gibellulopsis-fuhai-byo</i> <i>Gibellulopsis rot</i> <i>Gibellulopsis nigrescens</i> (Pethybridge) Zare, W. Gams & Summerbell 宇佐見俊行・片桐春奈:日植病報 81(3):216, 2015 (注) 文献著者名訂正。レタス(チシャ, 萵苣) のプレクトスフェレラ腐敗病とジベルロプシス腐敗病も同様の修正を行う。	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae セルリー(セロリー, オランダミツバ, 塘蒿) Celery <i>Apium graveolens</i> L. (野菜) ジベルロプシス腐敗病 <i>Gibellulopsis-fuhai-byo</i> <i>Gibellulopsis rot</i> <i>Gibellulopsis nigrescens</i> (Pethybridge) Zare, W. Gams & Summerbell 宇佐美俊行・片桐春奈:日植病報 81(3):216, 2015
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 黄化病 oka-byo Yellows (1) <i>Carrot mottle mimic virus</i> (CMoMV) 山城 都ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015 (2) <i>Carrot mottle virus</i> (CMoV) 吉田直人ら:日植病報 81(3):279, 2015 (3) <i>Carrot red leaf virus</i> (CtRLV)	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 黄化病 oka-byo Yellows (1) <i>Carrot mottle mimic virus</i> (CMoMV) 山城 都ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015 (2) <i>Carrot mottle virus</i> (CMoV) 吉田直人ら:日植病報 81(3):279, 2015 (3) <i>Carrot red leaf virus</i> (CtRLV)
---	---

小室康雄・山下 功:日植病報 20(4):155, 1956 ; 岩木満朗・小室康雄:日植病報 33(5):317, 1967 ; 大木 理ら:日植病報 45(1):74, 1979 ; 山城 都ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015 (注) 文献著者名訂正	小室康雄・山下 功:日植病報 20(4):155, 1956 ; 岩木満朗・小室康雄:日植病報 33(5):317, 1967 ; 大木 理ら:日植病報 45(1):74, 1979 ; 山城 郁ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 黒色根腐病 kokushoku-negusare-byo <i>Mycocentrospora acerina</i> (R. Hartig) Deighton [<i>Scytalidium</i> sp.] 桑田博隆ら:日植病報 49(3):404, 1983 ; 及川 健 ら:北日本病虫研報 38:54, 1987 (注) 文献年訂正	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 黒色根腐病 kokushoku-negusare-byo <i>Mycocentrospora acerina</i> (R. Hartig) Deighton [<i>Scytalidium</i> sp.] 桑田博隆ら:日植病報 49(3):404, 1983 ; 及川 健 ら:北日本病虫研報 38:54, 198
--	--

キョウチクトウ科 Apocynaceae ツルニチニチソウ(蔓日々草) Bigleaf periwinkle <i>Vinca major</i> L. (草花) 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純ら:関東病虫研報 51:75, 2004 [備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA (注) 半角スペース挿入	キョウチクトウ科 Apocynaceae ツルニチニチソウ(蔓日々草) Bigleaf periwinkle <i>Vinca major</i> L. (草花) 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純ら:関東病虫研報 51:75, 2004 [備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型IIIA
--	---

モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵜木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>Ilex mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb. 斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot (1) <i>Cercospora ilicicola</i> Maublanc [<i>Cercosporina ilicicola</i> (Maublanc) Saccardo] Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Extra issue) 1:10, 1965 ; Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:50, 1940(昭15) [備考] モチノキ (2) <i>Cercospora naitoi</i> Togashi [<i>Cercospora mate</i> sensu Naito non Spegazzini] 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):65, 1960 ; Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:49, 1940(昭15) ; 富樫浩吾:札幌博物学会報 17:101, 1942(昭17) [備考] ナナミノキ (3) <i>Cercospora</i> sp. 小河誠司:森林防疫 27(3):49, 1978 [備考] クロガネモチ (注) 文献著者名訂正	モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵜木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>Ilex mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb. 斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot (1) <i>Cercospora ilicicola</i> Maublanc [<i>Cercosporina ilicicola</i> (Maublanc) Saccardo] Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Extra issue) 1:10, 1965 ; Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:50, 1940(昭15) [備考] モチノキ (2) <i>Cercospora naitoi</i> Togashi [<i>Cercospora mate</i> sensu Naito non Spegazzini] 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):65, 1960 ; Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:49, 1940(昭15) ; 富樫浩吾:札幌博物学会報 17:101, 1942(昭17) [備考] ナナミノキ (3) <i>Cercospora</i> sp. 小河誠司:森林防疫 27(3):49, 1978 [備考] クロガネモチ
--	---

サトイモ科 Araceae サトイモ(芋, 芋頭) Taro, Dasheen <i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott (野菜)	サトイモ科 Araceae サトイモ(芋, 芋頭) Taro, Dasheen <i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott (野菜)
--	--

黒斑病 kokuhan-byo Black rot <i>Ceratocystis</i> sp. [<i>Endoconidiophora</i> sp.] 河合一郎:農作物病害編:342, 1948 ; 水上武幸:九大農学芸雑誌 12(1):5, 1950 ; 木村貞夫:日植病報 38(3):185, 1972 ; 孫工弥寿雄:植物防疫 30(7):269, 1976 [備考] 木場三朗 (作物病害の診断と防除:334, 1952) によれば, 本病はいもに被害を及ぼし, 葉に斑点を生ずることがある (注) 備考中の人名訂正	黒斑病 kokuhan-byo Black rot <i>Ceratocystis</i> sp. [<i>Endoconidiophora</i> sp.] 河合一郎:農作物病害編:342, 1948 ; 水上武幸:九大農学芸雑誌 12(1):5, 1950 ; 木村貞夫:日植病報 38(3):185, 1972 ; 孫工弥寿雄:植物防疫 30(7):269, 1976 [備考] 木場三郎 (作物病害の診断と防除:334, 1952) によれば, 本病はいもに被害を及ぼし, 葉に斑点を生ずることがある
--	--

ウコギ科 Araliaceae ウド(土当帰) Udo <i>Aralia cordata</i> Thunb. (野菜) そうか病 soka-byo Scab <i>Elsinoë araliae</i> S. Yamamoto [<i>Sphaceloma araliae</i> Jenkins] 山本和太郎:日植病報:20(4):180, 1956 ; 山本和太郎:植物防疫 10(2):69, 1956 ; 常谷幸雄・端山重男:日植病報 34(3):183, 1968 ; 端山重男・常谷幸雄:東農大農学集報 特別号:35, 1971 (注) 文献誌名の後のスペースをコロンに置換	ウコギ科 Araliaceae ウド(土当帰) Udo <i>Aralia cordata</i> Thunb. (野菜) そうか病 soka-byo Scab <i>Elsinoë araliae</i> S. Yamamoto [<i>Sphaceloma araliae</i> Jenkins] 山本和太郎:日植病報:20(4):180, 1956 ; 山本和太郎:植物防疫 10(2):69, 1956 ; 常谷幸雄・端山重男:日植病報 34(3):183, 1968 ; 端山重男・常谷幸雄:東農大農学集報 特別号 35, 1971
--	--

ウコギ科 Araliaceae キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>Hedera canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>Hedera helix</i> L.	ウコギ科 Araliaceae キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>Hedera canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>Hedera helix</i> L.
---	---

疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora citrophthora</i> (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 [備考] カナリーキヅタ (2) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan emend. G. Hall 竹内 純・堀江博道:日植病報 62(3):267, 1996 [備考] セイヨウキヅタ (3) <i>Phytophthora niederhauserii</i> Z.G. Abad & J.A. Abad [<i>Phytophthora drechsleri</i> Tucker] 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 ; Abad, Z.G. <i>et al.</i>:Mycologia 106:431, 2014 [備考] セイヨウキヅタ。植松ら(1998)は本病原菌を <i>Phytophthora drechsleri</i> と報告したが, Abad <i>et al.</i>(2014)は <i>P. niederhauserii</i> と再同定した (注) 文献名とページの前のスペース削除	疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora citrophthora</i> (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 [備考] カナリーキヅタ (2) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan emend. G. Hall 竹内 純・堀江博道:日植病報 62(3):267, 1996 [備考] セイヨウキヅタ (3) <i>Phytophthora niederhauserii</i> Z.G. Abad & J.A. Abad [<i>Phytophthora drechsleri</i> Tucker] 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 ; Abad, Z.G. <i>et al.</i>: Mycologia 106: 431, 2014 [備考] セイヨウキヅタ。植松ら(1998)は本病原菌を <i>Phytophthora drechsleri</i> と報告したが, Abad <i>et al.</i>(2014)は <i>P. niederhauserii</i> と再同定した
---	---

ウコギ科 Araliaceae キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>Hedera canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>Hedera helix</i> L. そうか病 soka-byo Spot anthracnose (瘡癩病) <i>Sphaceloma araliae</i> Jenkins 常谷幸雄・端山重男:日植病報 24(1):20, 1959 ; 常谷幸雄・端山重男:東農大一般教育学術集報 3:16, 1965 [備考] 病原菌の完全世代 <i>Elsinoë araliae</i> Yamamoto はキヅタでは未記録 (注) 文献著者名訂正	ウコギ科 Araliaceae キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>Hedera canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>Hedera helix</i> L. そうか病 soka-byo Spot anthracnose (瘡癩病) <i>Sphaceloma araliae</i> Jenkins 常谷幸雄・端山重雄:日植病報 24(1):20, 1959 ; 常谷幸雄・端山重雄:東農大一般教育学術集報 3:16, 1965 [備考] 病原菌の完全世代 <i>Elsinoë araliae</i> Yamamoto はキヅタでは未記録
--	---

ウコギ科 Araliaceae ハリギリ(センノキ)(刺楸) (Kalopanax) <i>Kalopanax pictus</i> (Thunb.) Nakai (広葉樹) †††† <i>Zygophiala jamaicensis</i> E.W. Mason Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987 (注) 文献著者名訂正。ユーカリ††††<i>Zygophiala jamaicensis</i>、トチノキ††††<i>Zygophiala jamaicensis</i>も同様の修正を行う。	ウコギ科 Araliaceae ハリギリ(センノキ)(刺楸) (Kalopanax) <i>Kalopanax pictus</i> (Thunb.) Nakai (広葉樹) †††† <i>Zygophiala jamaicensis</i> E.W. Mason Nasu, H. & Konoh H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):211, 1987
--	--

ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参, オタネニンジン) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物) 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Cylindrocarpon destructans</i> (Zinssmeister) Scholten f. sp. <i>panacis</i> Matuo & Miyazawa [<i>Cylindrocarpon panacis</i> Matuo & Miyazawa, <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>panacis</i> Matuo & Miyazawa, <i>Ramularia destructans</i> Zinssmeister, <i>Ramularia panacicola</i> Zinssmeister] 松尾卓見・宮沢洋一:日植病報 33(5):346, 1967 ; Matuo, T. & Miyazawa, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9:109, 1969 ; Matuo, T. & Miyazawa, Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 50(5):649, 1984 (注) 文献著名訂正(カンマをピリオドに置換)	ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参, オタネニンジン) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物) 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Cylindrocarpon destructans</i> (Zinssmeister) Scholten f. sp. <i>panacis</i> Matuo & Miyazawa [<i>Cylindrocarpon panacis</i> Matuo & Miyazawa, <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>panacis</i> Matuo & Miyazawa, <i>Ramularia destructans</i> Zinssmeister, <i>Ramularia panacicola</i> Zinssmeister] 松尾卓見・宮沢洋一:日植病報 33(5):346, 1967 ; Matuo, T. & Miyazawa, Y.:Trans. Mycol, Soc. Japan 9:109, 1969 ; Matuo, T. & Miyazawa, Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 50(5):649, 1984
--	---

ヤシ科 Arecaceae, Palmae ビロウ(蒲葵) Livistona palm <i>Livistona chinensis</i> (N.J. Jacq.) K. Br. ex Martius var. <i>subglobosa</i> (Hassk.) Martius (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo <i>Pestalotia</i> sp. 渡邊龍雄:繊維作物病学:177, 1947 (注) 文献名訂正	ヤシ科 Arecaceae, Palmae ビロウ(蒲葵) Livistona palm <i>Livistona chinensis</i> (N.J. Jacq.) K. Br. ex Martius var. <i>subglobosa</i> (Hassk.) Martius (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo <i>Pestalotia</i> sp. 渡邊龍雄:繊維作物学:177, 1947
--	--

ヤシ科 Arecaceae, Palmae シュロ(棕櫚) Chinese coir <i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H. Wendl. (広葉樹) †††† <i>Melanographium citri</i> (González Fragoso & Ciferri) M.B. Ellis [<i>Melanographium trachycarpi</i> I. Hino & Katamoto] Katamoto, K.:Journ. Jap. Bot. 37(10):298, 1962 ; Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:94, 1975 (注) 文献名修正	ヤシ科 Arecaceae, Palmae シュロ(棕櫚) Chinese coir <i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H. Wendl. (広葉樹) †††† <i>Melanographium citri</i> (González Fragoso & Ciferri) M.B. Ellis [<i>Melanographium trachycarpi</i> I. Hino & Katamoto] Katamoto, K.:Journ. Jap. Bot. 37(10):298, 1962 ; Matsushima, T.:Icon. Microfung. Matsushima Lect.:94, 1975
---	--

チャセンシダ科 Aspleniaceae チャセンシダ類 (Asplenium) <i>Asplenium</i> spp. (草花) 葉腐病 hagusare-byo Leaf blight (くもの巣)	チャンセンシダ科 Aspleniaceae チャセンシダ類 (Asplenium) <i>Asplenium</i> spp. (草花) 葉腐病 hagusare-byo Leaf blight (くもの巣)
---	---

病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 吉田政博ら:九病虫研会報 50:97, 2004 ; 吉田政博ら:日植病報 82(4):318, 2016 [備考] シマオオタニワタリ (<i>A. nidus</i> L.) に発生。菌糸融合群 AG-1 培養型 IB。吉田ら(2004)は本病をくもの巣病としたが, 吉田ら(2016)は葉腐病と改めた (注) 科名訂正。備考中の不要な改行を削除	病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 吉田政博ら:九病虫研会報 50:97, 2004 ; 吉田政博ら:日植病報 82(4):318, 2016 [備考] シマオオタニワタリ (<i>A. nidus</i> L.) に発生。菌糸融合群 AG-1 培養型 IB。吉田ら(2004)は本病をくもの巣病としたが, 吉田ら(2016)は葉腐病と改めた
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 竹内 純ら:関東病虫研報 42:143, 1995 ; 星 秀男ら:関東病虫研報 50:109, 2003 [備考] オオバナオケラ (<i>Atractylodes ovata</i> DC.) ・シナオケラ(<i>A. lancea</i> DC. var. <i>chinensis</i> Kitam.) (注) 備考中の宿主学名命名者名訂正	キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 竹内 純ら:関東病虫研報 42:143, 1995 ; 星 秀男ら:関東病虫研報 50:109, 2003 [備考] オオバナオケラ (<i>Atractylodes ovata</i> D.C.) ・シナオケラ(<i>A. lancea</i> DC. var. <i>chinensis</i> Kitam.)
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae アスター(エゾギク, 翠菊) China aster <i>Callistephus chinensis</i> (L.) Nees (草花) 萎黄病 io-byo Phytoplasma ファイトプラズマ 福士貞吉:農及園 5:557, 1930 ; 福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭7) ; 福士貞吉・根本正康:日植病	キク科 Asteraceae, Compositae アスター(エゾギク, 翠菊) China aster <i>Callistephus chinensis</i> (L.) Nees (草花) 萎黄病 io-byo Phytoplasma ファイトプラズマ 福士貞吉:農及園 5:557, 1930 ; 福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭7) ; 福士貞吉・根本正康:日植病
--	--

報 18(3-4):146, 1954 ; 村山大記ら:日植病報 28(5):306, 1963 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:653, 1998 [備考] 接種試験未了 (注) 文献号数挿入(日植病報)	報 18:146, 1954 ; 村山大記ら:日植病報 28(5):306, 1963 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:653, 1998 [備考] 接種試験未了
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia calcitrapae</i> de Candolle var. <i>centaureae</i> (de Candolle) Cummins [<i>Puccinia carthami</i> Corda] 出田 新:日本植物病理学:544, 1911(明44) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:868, 1992 [備考] Hiratsuka (1992) は接種試験未了。出田 (1911) は寄主植物リスト (注) 文献誌名の後にコロンを挿入	キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia calcitrapae</i> de Candolle var. <i>centaureae</i> (de Candolle) Cummins [<i>Puccinia carthami</i> Corda] 出田 新:日本植物病理学:544, 1911(明44) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan 868, 1992 [備考] Hiratsuka (1992) は接種試験未了。出田 (1911) は寄主植物リスト
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166, 1916(大5) ; 逸見武雄:日	キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166, 1916(大5) ; 逸見武雄:日
--	--

植病報 1(2):1, 1919(大8) ; 上田郁子・梶原敏宏: 日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Colletotrichum</i> <i>simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan, <i>Gloeosporium</i> <i>carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina</i> <i>carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166, 1916(大5) ; 逸見武雄:日 植病報 1(2):1, 1919(大8) ; 上田郁子・梶原敏宏: 日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫: 67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i> を<i>C.</i> <i>gloeosporioides</i> の異名とする説 (Arx, 1957)を紹介 したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C.</i> <i>carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し、 さらにUematsu <i>et al.</i> (2012)は分子系統解析により これらを<i>C. carthami</i> としたが, Sato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および<i>C.</i> <i>chrysanthemi</i>と再同定した (注) 文献の「<i>et al.</i>」の書体を修正	植病報 1(2):1, 1919(大8) ; 上田郁子・梶原敏宏: 日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Colletotrichum</i> <i>simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan, <i>Gloeosporium</i> <i>carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina</i> <i>carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166, 1916(大5) ; 逸見武雄:日 植病報 1(2):1, 1919(大8) ; 上田郁子・梶原敏宏: 日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i> を<i>C.</i> <i>gloeosporioides</i> の異名とする説 (Arx, 1957)を紹介 したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C.</i> <i>carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し、 さらにUematsu <i>et al.</i> (2012)は分子系統解析により これらを<i>C. carthami</i> としたが, Sato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および<i>C.</i> <i>chrysanthemi</i>と再同定した
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae チコリー(キクニガナ) Chicory	キク科 Asteraceae, Compositae チコリー(キクニガナ) Chicory
---	---

<i>Cichorium intybus</i> L. (野菜) Bacterial soft rot (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 Lan, W. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 78(3):273, 2012 (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>carotovorum</i> (Jones 1901) Hauben, Moore, Vauterin, Steenackers, Mergaert, Verdonck & Swings 1999 [<i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] Lan, W. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 78(3):273, 2012 (注) 文献漏れ修正(第2版の追録20130901の反映修正)。病原学名「&」の表記修正。	<i>Cichorium intybus</i> L. (野菜) Bacterial soft rot (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>carotovorum</i> (Jones 1901) Hauben, Moore, Vauterin, Steenackers, Mergaert, Verdonck and Swings 1999 [<i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003]
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 疫病 eki-byo Phytophthora rot, Phytophthora blight (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 陶山一雄ら:日植病報 39(3):196, 1973 ; 鍵渡徳次:東京農大農学集報 30(3):176, 1986 (2) <i>Phytophthora chrysanthemi</i> Naher, Hid. Watan., Chikuo & Kageyama [<i>Phytophthora</i> sp.] 渡辺秀樹ら:日植病報 73(1):60, 2007 ; 築尾嘉章ら:日植病報 73(3):180, 2007 ; Naher, M. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 74(3):182, 2008 ; Naher, M. <i>et al.</i>:Mycol. Progress 10:21, 2011 ; 渡辺秀樹:植物防疫 67(10):577, 2013	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 疫病 eki-byo Phytophthora rot, Phytophthora blight (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 陶山一雄ら:日植病報 39(3):196, 1973 ; 鍵渡徳次:東京農大農学集報 30(3):176, 1986 (2) <i>Phytophthora chrysanthemi</i> Naher, Hid. Watan., Chikuo & Kageyama [<i>Phytophthora</i> sp.] 渡辺秀樹ら:日植病報 73(1):60, 2007 ; 築尾嘉章ら:日植病報 73(3):180, 2007 ; Naher, M. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 74(3):182, 2008 ; Naher, M. <i>et al.</i>:Mycol. Progress 10:21, 2011 ; 渡辺秀樹:植物防疫 67(10):577, 2013
--	--

(注) ピリオド抜け修正	
--------------	--

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 花腐病 hanagusare-byo Ray blight, Stem canker (腐敗病, 葉腐病) <i>Ascochyta chrysanthemi</i> F. Stevens 草野俊助:植物学雑 21(251):338, 1907(明40) ; 河 村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:100, 1950 [備考] 病原菌の完全世代 <i>Didymella chrysanthemi</i> [<i>Didymella liglicola</i>, <i>Mycosphaerella ligulicola</i>] の わが国における記録はない。草野 (1907) は米国の 紹介記事。河村・高橋 (1950) は解説書。小林 (1992) は学名について検討。本邦での発生につ いて調査を要する (注) 昭和20年以降の和暦を削除。ヒエ植物寄生 性線虫、トウガラシ軟腐病*、トウガラシ斑点細 菌病*、サツマイモ黒星病、メロンべと病、タマ ネギ白絹病、バナナ††青枯病、バナナ斑葉病、 ホオズキ円星病、ブドウ灰色かび病、ダリア灰 色かび病、ボウマ†炭疽病、トウガラシ灰色かび 病、エンドウさび病、マンゴー未提案、スグリ 茎枯病*(2か所)、チョウセンニンジン†あめ色軟 化病、ニガウリ斑点病、クリのコリネウム枝枯 病、シバザクラ未提案、カンキツ枝枯病*、カ ンキツ††††褐斑落葉病、カンキツやに果症、ア カエゾマツ黄かび病、ブドウすす点病、エンバ クかさ枯病、モモウイルス病(2件)、モモ菌核 病、イネ穀粒シェイドモス米、イチジク軟腐	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 花腐病 hanagusare-byo Ray blight, Stem canker (腐敗病, 葉腐病) <i>Ascochyta chrysanthemi</i> F. Stevens 草野俊助:植物学雑 21(251):338, 1907(明40) ; 河 村貞之助・高橋雄一:花の病害虫と防除:100, 1950(昭25) [備考] 病原菌の完全世代 <i>Didymella chrysanthemi</i> [<i>Didymella liglicola</i>, <i>Mycosphaerella ligulicola</i>] の わが国における記録はない。草野 (1907) は米国の 紹介記事。河村・高橋 (1950) は解説書。小林 (1992) は学名について検討。本邦での発生につ いて調査を要する
--	--

病、オーチャードグラスうどんこ病、トマト根腐萎凋病、カンナ††芽腐細菌病、パッションフルーツ††根頭がんしゅ病、パッションフルーツ††細菌病、ココヤシ††疫病、コスモス半身萎凋病、スモモ環紋葉枯病、ハルシャギクうどんこ病も同様の修正を行う。	
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ガーベラ Gerbera <i>Gerbera</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 根腐病 negusare-byo Foot rot (1) <i>Phytophthora cryptogea</i> Pethybridge & Lafferty 森田 壽:日植病報 35(2):105, 1969 ; 君島悦夫・後藤正昭:日植病報 57(1):76, 1991 (2) <i>Phytophthora megasperma</i> Drechsler 植松清次ら:日植病報 63(3):203, 1997 (注) 文献巻号修正	キク科 Asteraceae, Compositae ガーベラ Gerbera <i>Gerbera</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 根腐病 negusare-byo Foot rot (1) <i>Phytophthora cryptogea</i> Pethybridge & Lafferty 森田 壽:日植病報 35(2):105, 1969 ; 君島悦夫・後藤正昭:日植病報 57(1):76, 1991 (2) <i>Phytophthora megasperma</i> Drechsler 植松清次ら:日植病報 41:203, 1997
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ヤーコン Yakon <i>Polymnia sonchifolia</i> Poepp. & Endl. (野菜) 立枯病 tachigare-byo Stem and foliage blight, Rhizoctonia blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 富岡啓介ら:四国植防 35:53, 2000 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(1):103, 2002 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB	キク科 Asteraceae, Compositae ヤーコン Yakon <i>Polymnia sonchifolia</i> Poepp. & Endl. (野菜) 立枯病 tachigare-byo Stem and foliage blight, Rhizoctonia blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 富岡啓介ら:四国植防 35:53, 2000 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Pant Pathol. 68(1):103, 2002 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB
--	---

(注) 文献名訂正	
-----------	--

シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア Begonia <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>Begonia</i> <i>evansiana</i> Andrews 白星病 shirahoshi-byo Leaf spot <i>Cercospora begoniae</i> Hori 堀 正太郎:園芸之友 10(13):262, 1914(大3) ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan, Extra Issue 1:14, 1965 [備考] 堀 (1914) は解説書。Katsuki (1965) は接 種試験未了 (注) 文献著者名のカンマ抜きを修正	シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア Begonia <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>Begonia</i> <i>evansiana</i> Andrews 白星病 shirahoshi-byo Leaf spot <i>Cercospora begoniae</i> Hori 堀 正太郎:園芸之友 10(13):262, 1914(大3) ; Katsuki S.:Trans. Mycol. Soc. Japan, Extra Issue 1:14, 1965 [備考] 堀 (1914) は解説書。Katsuki (1965) は接 種試験未了
---	--

メギ科 Berberidaceae メギ(目木) Japanese barberry <i>Berberis thunbergii</i> DC. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia graminis</i> Persoon [<i>Puccinia culmicola</i> Dietel, <i>Aecidium berberidis-thunbergii</i> Hennings] 南部信方:病虫雑 8(6):286, 1921(大10) ; 出田 新: 実用植物病理学:116, 1901(明34) ; 明日山秀文:日 植病報 5(1):24, 1935(昭10) [備考] トリトマラズ・ヒロハノヘビノボラズ (<i>B.</i> <i>amurensis</i> var. <i>japonica</i>) にも発生	メギ科 Berberidaceae メギ(目木) Japanese barberry <i>Berberis thunbergii</i> DC. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia graminis</i> Persoon [<i>Puccinia culmicola</i> Dietel, <i>Aecidium berberidis-thunbergii</i> Hennings] 南部信方:病虫雑 8(6):286, 1921(大10) ; 出田 新: 実用植物病理学:116, 1901(明34) ; 明日山秀文:日 植病報 5:24, 1935(昭10) [備考] トリトマラズ・ヒロハノヘビノボラズ (<i>B.</i> <i>amurensis</i> var. <i>japonica</i>) にも発生
---	--

(注) 文献巻号挿入(日植病報)	
------------------	--

メギ科 Berberidaceae ホソバヒイラギナンテン Chinese mahonia <i>Mahonia fortunei</i> (Lindl.) Fedde (広葉樹) ヒイラギナンテン <i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC. †††さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) †<i>Gambleola cornuta</i> Masee 平塚直秀:植研雑 10(1):5, 1934(昭9); 橋岡良夫:植物及動物 5(10):1922, 1937(昭12) [備考] 台湾。アリサンヒイラギナンテン (<i>Mahonia lomarifolia</i>) (2) †††<i>Cumminsella sanguinea</i> (Peck) Arthur 横浜税関:輸移入植物病菌害虫目録:27, 1939(昭14) [備考] 生産国アメリカ (注) 文献名訂正	メギ科 Berberidaceae ホソバヒイラギナンテン Chinese mahonia <i>Mahonia fortunei</i> (Lindl.) Fedde (広葉樹) ヒイラギナンテン <i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC. †††さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) †<i>Gambleola cornuta</i> Masee 平塚直秀:植研雑 10(1):5, 1934(昭9); 橋岡良夫:植物及動物 5(10):1922, 1937(昭12) [備考] 台湾。アリサンヒイラギナンテン (<i>Mahonia lomarifolia</i>) (2) †††<i>Cumminsella sanguinea</i> (Peck) Arthur 横浜税関:輸移入植物病原菌害虫目録:27, 1939(昭14) [備考] 生産国アメリカ
--	--

カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシヤブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシヤブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier オオバヤシヤブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum.	カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシヤブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシヤブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier オオバヤシヤブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum.
--	--

さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Melampsoridium alni</i> (Thümen) Dietel [<i>Melampsora alni</i> Thümen, <i>Melampsora alni-pendulae</i> Hiratsuka, <i>Melampsora alni-firmae</i> Hiratsuka] 出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):46, 1897(明30) ; 南部信方:植物学雑誌 18(203):2, 1904(明37) [備考] ヤシャブシ・ヒメヤシャブシ・ヤマハンノキ・ミヤマハンノキ・オウシュウミヤマハンノキ・カラフトミヤマハンノキ・オオバミネバリ (2) <i>Melampsoridium hiratsukanum</i> S. Ito ex Hiratsuka, f. 澤田兼吉:林試研報 57:18, 1952 ; 平塚直秀:札幌農林学会報 18:306, 1926(大15) [備考] ヤマハンノキ・コバノヤマハンノキ・ケヤマハンノキ・ヤハズハンノキ (<i>A. matsumurae</i>)・ハンノキ・オウシ ユ ウクロハンノキ・イタリヤハンノキ (<i>A. cordata</i>)・オウシュウシロハンノキ (<i>A. rhombifolia</i>) (注) 文献号数後のカンマをスペースに置換。備考中の宿主和名訂正	さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Melampsoridium alni</i> (Thümen) Dietel [<i>Melampsora alni</i> Thümen, <i>Melampsora alni-pendulae</i> Hiratsuka, <i>Melampsora alni-firmae</i> Hiratsuka] 出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):46, 1897(明30) ; 南部信方:植物学雑誌 18(203):2, 1904(明37) [備考] ヤシャブシ・ヒメヤシャブシ・ヤマハンノキ・ミヤマハンノキ・オウシュウミヤマハンノキ・カラフトミヤマハンノキ・オオバミネバリ (2) <i>Melampsoridium hiratsukanum</i> S. Ito ex Hiratsuka, f. 澤田兼吉:林試研報 57:18, 1952 ; 平塚直秀:札幌農林学会報 18, 306, 1926(大15) [備考] ヤマハンノキ・コバノヤマハンノキ・ケヤマハンノキ・ヤハズハンノキ (<i>A. matsumurae</i>)・ハンノキ・オウシ ユ ウクロハンノキ・イタリヤハンノキ (<i>A. cordata</i>)・オウシュウシロハンノキ (<i>A. rhombifolia</i>)
---	--

カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシャブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシャブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier	カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシャブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシャブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier
--	--

オオバヤシャブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum. 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot <i>Phellinus igniarius</i> (Linnaeus) Quélet キコブタケ (ニセホクチタケ) 白井光太郎:植物病理学(下):154, 1900(明33) ; 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:25, 1952 [備考] ケヤマハンノキ・ハンノキ。病原菌の異名はポプラ類の幹心腐病参照 (注) 文献著者名訂正。アサダ幹辺材腐朽病*、アカエゾマツ幹心腐病*病原(6)、マツ類葉ふるい病原(4)、ストローブマツ葉さび病病原(4)、スギ幹心腐病*病原(3)も同様の訂正を行う。	オオバヤシャブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum. 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot <i>Phellinus igniarius</i> (Linnaeus) Quélet キコブタケ (ニセホクチタケ) 白井光太郎:植物病理学(下):154, 1900(明33) ; 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:25, 1952 [備考] ケヤマハンノキ・ハンノキ。病原菌の異名はポプラ類の幹心腐病参照
--	--

カバノキ科 Betulaceae ハシバミ類 Hazelnut <i>Corylus</i> spp. (広葉樹) オオハシバミ(大榛) Chinese hazel, Japanese hazel <i>Corylus heterophylla</i> Fischer ハシバミ(榛) <i>Corylus heterophylla</i> Fischer ex Besser var. <i>thunbergii</i> Blume ツノハシバミ(角榛) <i>Corylus sieboldiana</i> Blume オオツノハシバミ(大角榛) <i>Corylus sieboldiana</i> var. <i>mandshurica</i> (Maxim.) C. K. Schn. グノモニア葉枯病* <i>Gnomonia</i>-hagare-byo (黒斑病) <i>Gnomonia setacea</i> (Persoon) Cesati & De Notaris 富樫浩吾:盛岡高農学術報 22:9, 1936(昭11) ; 富樫浩吾・雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):63, 1937(昭12) [備考] ハシバミ・ツノハシバミ (注) 文献著者間のコロンを黒に修正	カバノキ科 Betulaceae ハシバミ類 Hazelnut <i>Corylus</i> spp. (広葉樹) オオハシバミ(大榛) Chinese hazel, Japanese hazel <i>Corylus heterophylla</i> Fischer ハシバミ(榛) <i>Corylus heterophylla</i> Fischer ex Besser var. <i>thunbergii</i> Blume ツノハシバミ(角榛) <i>Corylus sieboldiana</i> Blume オオツノハシバミ(大角榛) <i>Corylus sieboldiana</i> var. <i>mandshurica</i> (Maxim.) C. K. Schn. グノモニア葉枯病* <i>Gnomonia</i>-hagare-byo (黒斑病) <i>Gnomonia setacea</i> (Persoon) Cesati & De Notaris 富樫浩吾:盛岡高農学術報 22:9, 1936(昭11) ; 富樫浩吾:雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):63, 1937(昭12) [備考] ハシバミ・ツノハシバミ
---	---

パンヤ科 Bombacaceae ドリアン Durian <i>Durio zibethinus</i> Murray (果樹) ††葉斑病 yohan-byo Leaf spot (1) <i>Botryodiplodia</i> sp. (2) <i>Gloeosporium</i> sp. (3) <i>Pestalotia</i> sp. (4) <i>Phyllosticta durionis</i> Zimmermann (5) <i>Rhizoctonia</i> sp. 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:39, 1977 [備考] タイ (注) 文献著者名訂正。マンゴスチン†炭疽病、マンゴスチン†葉枯病、マンゴスチン†葉斑病。シクラメン灰色かび病、シクラメン斑点病も同様の訂正を行う。	パンヤ科 Bombacaceae ドリアン Durian <i>Durio zibethinus</i> Murray (果樹) ††葉斑病 yohan-byo Leaf spot (1) <i>Botryodiplodia</i> sp. (2) <i>Gloeosporium</i> sp. (3) <i>Pestalotia</i> sp. (4) <i>Phyllosticta durionis</i> Zimmermann (5) <i>Rhizoctonia</i> sp. 渡辺龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:39, 1977 [備考] タイ
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial blight (細菌性黒斑病, 斑点病) (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 [<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>alisalensis</i> Cintas, Koike & Bull 2002] 高橋冬実・瀧川雄一:日植病報 78(3):274, 2012 ; Takahashi, F. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):260, 2013	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial blight (細菌性黒斑病, 斑点病) (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 [<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>alisalensis</i> Cintas, Koike & Bull 2002] 高橋冬実・瀧川雄一:日植病報 78(3):274, 2012 ; Takahashi, F. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):260, 2013
---	---

(2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas maculicolum</i> (McCulloch) Stevens] 村田壽太郎:病虫雑 2(11):975, 1915(大4) ; 中田覺 五郎:作物病害図編:424, 1934(昭9) ; 中田覺五郎 ら:作物病害図編:279, 1957 (注) 病原学名修正	(2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas maculicolum</i> (McCulloch) Stevens] 村田壽太郎:病虫雑 2(11):975, 1915(大4) ; 中田覺 五郎:作物病害図編:424, 1934(昭9) ; 中田覺五郎 ら:作物病害図編:279, 1957
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 花蕾腐敗病 karai-fuhai-byo Head rot (1) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (2) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 (3) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 海野志帆ら:日植病報 84(3):204, 2018 (4) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (5) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (注) 病原学名修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 花蕾腐敗病 karai-fuhai-byo Head rot (1) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (2) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 (3) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 海野志帆ら:日植病報 84(3):204, 2018 (4) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (5) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) ††††黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 Ishiyama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):155, 2013 ; 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 [備考] 病徴, 病名および病原同定についての明確な記載は見出だせないが, 実態として本病の存在は既知と判断する (注) 病原学名修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) ††††黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 Ishiyama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):155, 2013 ; 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 [備考] 病徴, 病名および病原同定についての明確な記載は見出だせないが, 実態として本病の存在は既知と判断する
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 黒腐病 kurogusare-byo Black rot <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939 [<i>Pseudomonas campestris</i> (Pammel) Smith] 白井光太郎:最近植物病理学:259, 1903(明36) (注) 文献名訂正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 黒腐病 kurogusare-byo Black rot <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939 [<i>Pseudomonas campestris</i> (Pammel) Smith] 白井光太郎:細菌植物病理学:259, 1903(明36)
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae
--------------------------------	--------------------------------

ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency (硼素欠乏) ほう素欠乏 中田覺五郎:最新改訂作物病害図編:564, 1957 (注) 文献名・文献年訂正	ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency (硼素欠乏) ほう素欠乏 中田覺五郎:改訂作物病害図編:564, 1967
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ハクサイ(白菜), 不結球ハクサイ[サントウサイ(山東菜), シロナ] Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group (野菜) 黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial blight (細菌性黒斑病, 黒竹病, 黒斑性細菌病) (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 [<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>alisalensis</i> Cintas, Koike & Bull 2002] 高橋冬実・瀧川雄一:日植病報 78(3):274, 2012 ; Takahashi, F. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):260, 2013 (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacterium maculicolum</i> var. <i>japonicum</i> Takimoto, <i>Pseudomonas maculicolum</i> (McCulloch) Stevens] 瀧元清透:農及園 6(8):1233, 1931(昭6) ; 岡部徳	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ハクサイ(白菜), 不結球ハクサイ[サントウサイ(山東菜), シロナ] Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group (野菜) 黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial blight (細菌性黒斑病, 黒竹病, 黒斑性細菌病) (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 [<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>alisalensis</i> Cintas, Koike & Bull 2002] 高橋冬実・瀧川雄一:日植病報 78(3):274, 2012 ; Takahashi, F. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):260, 2013 (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacterium maculicolum</i> var. <i>japonicum</i> Takimoto, <i>Pseudomonas maculicolum</i> (McCulloch) Stevens] 瀧元清透:農及園 6(8):1233, 1931(昭6) ; 岡部徳
--	--

夫・後藤正夫:静岡大農研報 6:5, 1956 (注) 病原学名修正	夫・後藤正夫:静岡大農研報 6:5, 1956
---	-------------------------

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) 黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 折原紀子ら:日植病報 82(1):28, 2016 (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 折原紀子ら:関東病虫研報 63:131, 2016 (注) 病原学名修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) 黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 折原紀子ら:日植病報 82(1):28, 2016 (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 折原紀子ら:関東病虫研報 63:131, 2016
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) 白斑病 hakuhan-byo <i>Pseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Deighton 石井正義:日本植物病害大事典:351, 1998 ; 栢森美如・堀田治邦:北日本病虫研報 64:57, 2013	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) 白斑病 hakuhan-byo <i>Pseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Deighton 石井正義:日本病害大事典:351, 1998 ; 栢森美如・堀田治邦:北日本病虫研報 64:57, 2013
--	--

(注) 文献名訂正。ページの後の全角カンマを半角カンマと半角スペースに修正	
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae アリッサム(ニワナズナ) Alyssum <i>Lobularia maritima</i> (L.) Desv. [<i>Alyssum maritimum</i> L.] (草花) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Hyaloperonospora lobulariae</i> (Ubrizsy & Vörös) Göker, Voglmayr & Oberwinkler 佐藤 衛ら:日植病報 79(3):182, 2013 ; Satou, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(1):83, 2015 (注) 文献著者名訂正。	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae アリッサム(ニワナズナ) Alyssum <i>Lobularia maritima</i> (L.) Desv. [<i>Alyssum maritimum</i> L.] (草花) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Hyaloperonospora lobulariae</i> (Ubrizsy & Vörös) Göker, Voglmayr & Oberwinkler 佐藤 衛ら:日植病報 79(3):182, 2013 ; Sato, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(1):83, 2015
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>R. sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) 黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial blight (黒斑性細菌病, 細菌性黒斑病, 黒点性細菌病) (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 [<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>alisalensis</i> Cintas, Koike & Bull 2002] 高橋冬実・瀧川雄一:日植病報 78(3):274, 2012 ; Takahashi, F. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):260, 2013 (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacterium maculicola</i> McCulloch, <i>Pseudomonas maculicolum</i> (McCulloch) Stevens]	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>R. sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) 黒斑細菌病* kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial blight (黒斑性細菌病, 細菌性黒斑病, 黒点性細菌病) (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike and Bull 2000) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer and Fischer-Le Saux 2010 [<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>alisalensis</i> Cintas, Koike & Bull 2002] 高橋冬実・瀧川雄一:日植病報 78(3):274, 2012 ; Takahashi, F. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):260, 2013 (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacterium maculicola</i> McCulloch, <i>Pseudomonas maculicolum</i> (McCulloch) Stevens]

原 攝祐:実験作物病理学:715, 1930(昭5) ; 瀧元清透:九大農学芸雑誌 4(5):545, 1931(昭6) ; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 6:5, 1956 (注) 病原学名修正	原 攝祐:実験作物病理学:715, 1930(昭5) ; 瀧元清透:九大農学芸雑誌 4(5):545, 1931(昭6) ; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 6:5, 1956
--	--

キキョウ科 Campanulaceae キキョウ(桔梗) Balloon flower <i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC. (草花) 立枯病 tachigare-byo Root rot <i>Rhizoctonia</i> sp. 河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病虫害:151, 1976 [備考] 解説書のため詳細不明。茎腐病との異同について検討を要する (注) 文献名訂正。シネラリア苗立枯病、ペチュニアのモザイク病、も同様の訂正を行う。	キキョウ科 Campanulaceae キキョウ(桔梗) Balloon flower <i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC. (草花) 立枯病 tachigare-byo Root rot <i>Rhizoctonia</i> sp. 河村貞之助ら:原色図説 花と花木の病虫害:151, 1976 [備考] 解説書のため詳細不明。茎腐病との異同について検討を要する
--	--

パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) †††† †<i>Cercospora mamaonis</i> Viégas & Chupp [<i>Cercospora papayae</i> Viégas & Chupp] Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:12, 1978 [備考] ブラジル。葉の斑点から検出 (注) 文献号数訂正。文献名を他病名の同文献に	パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) †††† †<i>Cercospora mamaonis</i> Viégas & Chupp [<i>Cercospora papayae</i> Viégas & Chupp] Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC II:12, 1978 [備考] ブラジル。葉の斑点から検出
---	--

統一。	
-----	--

パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood var. <i>acrita</i> Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961 ; 照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971 (注) 文献名修正	パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood var. <i>acrita</i> Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. Ryukyu Is. 1:67, 1961 ; 照屋林宏:植物防疫 25(11):458, 1971
---	---

ナデシコ科 Caryophyllaceae オオヤマフスマ類 (Moehringia) <i>Moehringia</i> spp. (草花) オオヤマフスマ <i>M. lateriflora</i> (L.) Fenzl タチハコベ <i>M. trinervia</i> (L.) Clairv. var. <i>plastysperma</i> (Maxim.) Makino †††† <i>Microbotryum duriaeanum</i> (Tulasne & C. Tulasne) Vánky 柿瀧 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] オオヤマフスマ, タチハコベに発生。接種試験未了 (注) 病原学名訂正	ナデシコ科 Caryophyllaceae オオヤマフスマ類 (Moehringia) <i>Moehringia</i> spp. (草花) オオヤマフスマ <i>M. lateriflora</i> (L.) Fenzl タチハコベ <i>M. trinervia</i> (L.) Clairv. var. <i>plastysperma</i> (Maxim.) Makino †††† <i>Microbotryum duriaeanum</i> (Tulasne & C. Tulasne) Vánk 柿瀧 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] オオヤマフスマ, タチハコベに発生。接種試験未了
--	---

イヌガヤ科 Cephalotaxaceae イヌガヤ(犬榧) Plum-yew <i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight) K.Koch (針葉樹) チョウセンマキ Japanese plum yew <i>Cephalotaxus harringtonia</i> f. <i>fastigiata</i> (Carriere) Rehder ハイイヌガヤ Plum-yew <i>Cephalotaxus harringtonia</i> var. <i>nana</i> (Nakai) Rehder †††† <i>Phyllosticta cephalotaxi</i> Tsukamoto & Katsuki 塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(1):27, 1959 [備考] チョウセンマキ(<i>Cephalotaxus harringtonia</i> f. <i>fastigiata</i>) (注) 文献号数挿入(日植病報)	イヌガヤ科 Cephalotaxaceae イヌガヤ(犬榧) Plum-yew <i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight) K.Koch (針葉樹) チョウセンマキ Japanese plum yew <i>Cephalotaxus harringtonia</i> f. <i>fastigiata</i> (Carriere) Rehder ハイイヌガヤ Plum-yew <i>Cephalotaxus harringtonia</i> var. <i>nana</i> (Nakai) Rehder †††† <i>Phyllosticta cephalotaxi</i> Tsukamoto & Katsuki 塚本永治・香月繁孝:日植病報 24:27, 1959 [備考] チョウセンマキ(<i>Cephalotaxus harringtonia</i> f. <i>fastigiata</i>)
--	---

カツラ科 Cercidiphyllaceae カツラ(桂) Katsura tree <i>Cercidiphyllum japonicum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Oidium</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:136, 1968 (2) <i>Podosphaera cercidiphylli</i> Tanda & Y. Nomura Tanda, S. & Nomura, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 27(1):26, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):176, 1988 [備考] ヒロハカツラ (<i>C. magnifici</i>) にも発生	カツラ科 Cercidiphyllaceae カツラ(桂) Katsura tree <i>Cercidiphyllum japonicum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Oidium</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:136, 1968 (2) <i>Podosphaera cercidiphylli</i> Tanda & Y. Nomura Tanda, S. & Nomura Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 27(1):26, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):176, 1988 [備考] ヒロハカツラ (<i>C. magnifici</i>) にも発生
--	---

(注) 文献著者名にカンマを挿入	
------------------	--

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>saccharifera</i> Alef. (特用作物) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (白腐病, 心ぐされ病) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [Bacillus betivorus Takimoto, <i>Erwinia betivora</i>, <i>Bacterium destructans</i> (Pottera) Nakata, Nakajima & Takimoto, <i>Erwinia aroideae</i> (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, <i>Erwinia</i> <i>carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:58, 1922(大11) ; 瀧元清透:日植病報 2(4):350, 1931(昭6) ; 富永時 任ら:日植病報 25(5):218, 1960 [備考] 心腐病との関係を明らかにする必要がある。 出田 新 (日本植物病理学:314, 1903) は <i>Mycosphaerella tabifica</i> Prillieux & Delacroix [<i>Phoma betae?</i>] による腐敗病を紹介したが, 国内 発生未詳 (注) 文献著者訂正、文献号数挿入(日植病報)	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>saccharifera</i> Alef. (特用作物) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (白腐病, 心ぐされ病) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [Bacillus betivorus Takimoto, <i>Erwinia betivora</i>, <i>Bacterium destructans</i> (Pottera) Nakata, Nakajima & Takimoto, <i>Erwinia aroideae</i> (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, <i>Erwinia</i> <i>carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:58, 1922(大11) ; 瀧元清透:日植病報 2(4):350, 1931(昭6) ; 富永時 任:日植病報 25:218, 1960 [備考] 心腐病との関係を明らかにする必要がある。 出田 新 (日本植物病理学:314, 1903) は <i>Mycosphaerella tabifica</i> Prillieux & Delacroix [<i>Phoma betae?</i>] による腐敗病を紹介したが, 国内 発生未詳
--	---

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>saccharifera</i> Alef. (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot (斑)	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>saccharifera</i> Alef. (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot (斑)
--	--

点病) <i>Cercospora beticola</i> Saccardo [<i>Cercosporina beticola</i> (Saccardo) Nakata, T. Nakajima & S. Takimoto] 宮部金吾:北海之殖産 35:1, 1893(明26) ; 出田 新: 日本植物病理学:401, 1903(明36) ; 中田覺五郎:病虫雑 2(2):117, 1915(大4) (注) 文献名訂正	点病) <i>Cercospora beticola</i> Saccardo [<i>Cercosporina beticola</i> (Saccardo) Nakata, T. Nakajima & S. Takimoto] 宮部金吾:北海道之殖産 35:1, 1893(明26) ; 出田 新: 日本植物病理学:401, 1903(明36) ; 中田覺五郎:病虫雑 2(2):117, 1915(大4)
--	--

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>saccharifera</i> Alef. (特用作物) ステンフィリウム斑点病 <i>Stemphylium</i> -hanten-byo <i>Stemphylium botryosum</i> Wallroth 内野浩克・神沢克一:日植病報 50(1):101, 1984 (注) 病名読みの書体を修正	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>saccharifera</i> Alef. (特用作物) ステンフィリウム斑点病 <i>Stemphylium</i> -hanten-byo <i>Stemphylium botryosum</i> Wallroth 内野浩克・神沢克一:日植病報 50(1):101, 1984
--	--

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>saccharifera</i> Alef. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉黒枯病, 心葉黒葉枯病) <i>Colletotrichum spinaciae</i> Ellis & Halsted [<i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove f. <i>spinaciae</i> (Ellis & Halsted) Arx, <i>Colletotrichum omnivorum</i> Halsted] 築尾嘉章ら:日植病報 50(1):46, 1984 [備考] 心葉黒葉枯病は築尾らにより炭疽病と改	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>saccharifera</i> Alef. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉黒枯病, 心葉黒葉枯病) <i>Colletotrichum spinaciae</i> Ellis & Halsted [<i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove f. <i>spinaciae</i> (Ellis & Halsted) Arx, <i>Colletotrichum omnivorum</i> Halsted] 築尾嘉章ら:日植病報 50(1):46, 1984 [備考] 心葉黒葉枯病は築尾らにより炭疽病と改
--	--

名された。Sutton (1992), Arx (1987) は <i>C. spinaciae</i> を独立した種として採用した (Sutton, B.C. in Bailey, J.A. & Jeger, M.J. ed.: <i>Colletotrichum: Biology, Pathology and Control</i>:1, 1992 ; Arx, J. A. von: <i>Plant Pathogenic Fungi</i>:219, 1987) (注) 備考中の文献著者名訂正	名された。Sutton (1992), Arx (1987) は <i>C. spinaciae</i> を独立した種として採用した (Sutton, B. C. in Bayley, J. A. & Jeger, M. J. ed. : <i>Colletotrichum: Biology, Pathology and Control</i>:1, 1992 ; Arx, J. A. von: <i>Plant Pathogenic Fungi</i>:219, 1987)
--	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 葉巻病 hamaki-byo Leaf curl <i>Sweet potato leaf curl virus</i> (SPLCV) 新海 昭ら:かんしょ葉巻症状に関する調査報告 (農林水産技術会議事務局), 1978 ; 尾崎武司ら:日植病報 55(1):102, 1989 ; Osaki, T. & Inouye, T.:Bull. Univ. Osaka Pref., Ser. B. 43:11, 1991 (注) 文献著者名修正(スペース挿入)と訂正	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 葉巻病 hamaki-byo Leaf curl <i>Sweet potato leaf curl virus</i> (SPLCV) 新海昭ら:かんしょ葉巻症状に関する調査報告(農林水産技術会議事務局), 1978 ; 尾崎武司ら:日植病報 55(1):102, 1989 ; Osaki, T. & Inoue, T.:Bull. Univ. Osaka Pref., Ser. B. 43:11, 1991
---	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 乾腐病 kampu-byo Dry rot (腐敗病, 尻腐病) <i>Diaporthe batatatis</i> Harter & E.C. Field [<i>Phomopsis batatae</i> (Ellis & Halsted) Harter & E.C. Field] 出田 新:大日本農会報 285:13, 1905(明38)	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 乾腐病 kampu-byo Dry rot (腐敗病, 尻腐病) <i>Diaporthe batatatis</i> Harter & E.C. Field [<i>Phomopsis batatae</i> (Ellis & Halsted) Harter & E.C. Field] 出田 新:大日本農会報 285号, 1905(明38)
---	---

(注) 文献ページ挿入	
-------------	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 黒斑病 kokuhan-byo Black rot (黒腐病) <i>Ceratocystis fimbriata</i> Ellis & Halsted [<i>Ceratostomella fimbriata</i> (Ellis & Halsted) J.A. Elliott, <i>Endoconidiophora fimbriata</i> (Ellis & Halsted) R.W. Davidson] 出田 新:大日本農会報 290:14, 1905(明38) (注) 文献ページ挿入	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 黒斑病 kokuhan-byo Black rot (黒腐病) <i>Ceratocystis fimbriata</i> Ellis & Halsted [<i>Ceratostomella fimbriata</i> (Ellis & Halsted) J.A. Elliott, <i>Endoconidiophora fimbriata</i> (Ellis & Halsted) R.W. Davidson] 出田 新:大日本農会報 290号, 1905(明38)
--	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka 堀 正太郎:農作物病学:224, 1903(明36) (注) 文献名訂正。アワしらが病についても同様の修正を行う。	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka 堀 正太郎:農作物病害:224, 1903(明36)
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae スイカ(西瓜) Watermelon <i>Citrullus lanatus</i> (Thunb.) Matsum. & Nakai (野菜)	ウリ科 Cucurbitaceae スイカ(西瓜) Watermelon <i>Citrullus lanatus</i> (Thunb.) Matsum. & Nakai (野菜)
--	--

えそ斑点病 eso-hanten-byo Necrotic spot <i>Melon necrotic spot virus</i> (MNSV) 佐古 勇ら:日植病報 62(3):324, 1996 ; 松尾和敏 ら:日植病報 73(1):29, 2007 (注) 文献号数挿入(日植病報)	えそ斑点病 eso-hanten-byo Necrotic spot <i>Melon necrotic spot virus</i> (MNSV) 佐古 勇ら:日植病報 62:324, 1996 ; 松尾和敏ら:日 植病報 73(1):29, 2007
---	--

ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis</i> <i>melo</i> L. Inodorus Group モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber green mottle mosaic virus</i> (CGMMV) [Cucumber green mottle mosaic virus-W#] 古木市重郎・小室康雄:日植病報 39(3):218, 1973 [備考] 血清反応による同定。戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) 小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 岸 國平:日植病報 26(2):70, 1961 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし (3) <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV) 相原弘和ら:日植病報 61(3):285, 1995 (4) <i>Squash mosaic virus</i> (SqMV) 根本正康ら:日植病報 40(2):117, 1974 ; 吉田幸二 ら:日植病報 46(3):349, 1980 (5) <i>Tomato ringspot virus</i> (ToRSV) 吉田幸二ら:日植病報 37(5):409, 1971 ; 吉田幸二 ら:日植病報 46(3):339, 1980	ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis</i> <i>melo</i> L. Inodorus Group モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber green mottle mosaic virus</i> (CGMMV) [Cucumber green mottle mosaic virus-W#] 古木市重郎・小室康雄:日植病報 39(3):218, 1973 [備考] 血清反応による同定。戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) 小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 岸 國平:日植病報 26(2):70, 1961 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし (3) <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV) 相原弘和ら:日植病報 61:285, 1995 (4) <i>Squash mosaic virus</i> (SqMV) 根本正康ら:日植病報 40(2):117, 1974 ; 吉田幸二 ら:日植病報 46(3):349, 1980 (5) <i>Tomato ringspot virus</i> (ToRSV) 吉田幸二ら:日植病報 37(5):409, 1971 ; 吉田幸二 ら:日植病報 46(3):339, 1980
---	--

(6) Potyvirus# 岸 國平:日植病報 26(5):242, 1961 [備考] <i>Papaya ringspot virus</i>, <i>Watermelon mosaic virus</i>, <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり。 (7) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) 土井 誠ら:関東病虫研報 48:53, 2001 [備考] ネットメロン (<i>C. melo</i> L. <i>Reticulatus</i> Group) に発生 (8) ウイルス (未同定) 福士貞吉:札幌博物学会報 12(2-3):130, 1932(昭7) (注) 文献号数挿入(日植病報)	(6) Potyvirus# 岸 國平:日植病報 26(5):242, 1961 [備考] <i>Papaya ringspot virus</i>, <i>Watermelon mosaic virus</i>, <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり。 (7) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) 土井 誠ら:関東病虫研報 48:53, 2001 [備考] ネットメロン (<i>C. melo</i> L. <i>Reticulatus</i> Group) に発生 (8) ウイルス (未同定) 福士貞吉:札幌博物学会報 12(2-3):130, 1932(昭7)
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae ウリ類 Cucurbitaceae (野菜) ††††斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Ascochyta cucumis</i> Fautrey & Roumeguère 原 攝祐:実験作物病理学:800, 1930(昭5) [備考] 病原菌は現在ウリ類つる枯病菌の不完全世代 <i>Phoma cucurbitacearum</i> の異名とされているので, 調査を要する (注) 文献名訂正	ウリ科 Cucurbitaceae ウリ類 Cucurbitaceae (野菜) ††††斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Ascochyta cucumis</i> Fautrey & Roumeguère 原 攝祐:実験作物病理学:800, 1930(昭5) [備考] 病原菌は現在ウリ類つる枯病菌の不完全世代 <i>Phoma cucurbitacearum</i> の異名とされているので, 調査を要する
--	---

ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>Chamaecyparis lawsoniana</i> (A. Murray) Parl.	ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>Chamaecyparis lawsoniana</i> (A. Murray) Parl.
--	--

まっ香腐病 makko-gusare-byo (心腐病) <i>Veluticeps berkeleyi</i> (Berkeley & Curtis) Cooke [Fomes angularis Lloyd, <i>Stereum medicum</i> Currey, <i>Veluticeps angularis</i> (Lloyd) Aoshima & Furukawa, <i>Veluticeps medicum</i> (Currey) Cooke] チズガタサルノコシカケ 山本和太郎・伊藤武夫:日植病報 5(4):293, 1936(昭11); 青島清雄ら:72回日林講:309, 1962; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):589, 1992 (注) 文献号数挿入(日植病報)	まっ香腐病 makko-gusare-byo (心腐病) <i>Veluticeps berkeleyi</i> (Berkeley & Curtis) Cooke [Fomes angularis Lloyd, <i>Stereum medicum</i> Currey, <i>Veluticeps angularis</i> (Lloyd) Aoshima & Furukawa, <i>Veluticeps medicum</i> (Currey) Cooke] チズガタサルノコシカケ 山本和太郎・伊藤武夫:日植病報 5:293, 1936(昭 11); 青島清雄ら:72回日林講:309, 1962; 阿部恭 久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):589, 1992
---	---

ヒノキ科 Cupressaceae サワラ(榎) Sawara cypress <i>Chamaecyparis pisifera</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) 根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot (1) <i>Heterobasidion annosum</i> (Fries) Brefeld マツ ノネクチタケ 青島清雄ら:72回日林講:309, 1962 [備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照 (2) <i>Oligoporus balsameus</i> (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ (トドマツオオウズラタ ケ) 青島清雄・林 康夫:72回日林講:308, 1962; 今関 六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):463, 1988 [備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照 (3) <i>Phellinus weirii</i> (Murrill) Gilbertson エゾノサ ビイロアナタケ 青島清雄ら:72回日林講:308, 1962; Gilbertson, R.L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol. 2:621, 1989 [備考] 病菌の異名はヒノキ根株心腐病参照	ヒノキ科 Cupressaceae サワラ(榎) Sawara cypress <i>Chamaecyparis pisifera</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) 根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot (1) <i>Heterobasidion annosum</i> (Fries) Brefeld マツ ノネクチタケ 青島清雄ら:72回日林講:309, 1962 [備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照 (2) <i>Oligoporus balsameus</i> (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ (トドマツオオウズラタ ケ) 青島清雄・林 康夫:72回日林講:308, 1962; 今関 六也ら:日本のきのこ(山溪カラー名鑑):463, 1988 [備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照 (3) <i>Phellinus weirii</i> (Murrill) Gilbertson エゾノサ ビイロアナタケ 青島清雄ら:72回日林講:308, 1962; Gilbertson, R.L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol. 2:621, 1989 [備考] 病菌の異名はヒノキ根株心腐病参照
--	--

ヒノキ科 Cupressaceae ビャクシン(カイヅカイブキ) Chinese juniper <i>Juniperus chinensis</i> L. (針葉樹) さび病 sabi-byo Rust (葉赤さび病, 茎銹病, 茎丸赤銹病) (1) <i>Gymnosporangium asiaticum</i> Miyabe ex G. Yamada [<i>Gymnosporangium haraeae</i> Sydow & P. Sydow, <i>Roestelia koreaensis</i> Hennings] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:303, 1904(明37); 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明36); 平塚直秀:日菌報 16:91, 1975; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:461, 1992 [備考] ミヤマビャクシン (<i>J. chinensis</i> var. <i>sargentii</i>)・<i>J. horizontalis</i>・<i>J. media</i>・ハイビャクシン・<i>J. sabina</i>・<i>J. scopulorum</i>・<i>J. squamata</i>・エンピツビャクシンにも発生。さび胞子世代は <i>Chaenomeles</i>属(ヒボケ・シロボケ・ボケ・クサボケ・カリン)・<i>Cydonia</i>属(マルメロ)・<i>Pyrus</i>属(マンシュウマメナシ・セイヨウナシ・ナシ・チュウゴクナシ)・<i>Pourthiaea</i>属(オオカマツカ)に寄生して赤星病を起こす (2) <i>Gymnosporangium hemisphaericum</i> Hara 原 攝祐:大日本山林会報 419:13, 1917(大6); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:466, 1992 [備考] ミヤマビャクシンにも発生。さび胞子世代はオオウラジロノキ(<i>Malus tschonoskii</i>)に発生して赤星病を起こす (3) <i>Gymnosporangium japonicum</i> P. Sydow 白井光太郎:植物病理学(下)(再版):125, 1900(明33); 伊藤誠哉:植物学雑 27(323):220, 1913(大2); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:468, 1992 [備考] ハイビャクシンにも発生。さび胞子世代	ヒノキ科 Cupressaceae ビャクシン(カイヅカイブキ) Chinese juniper <i>Juniperus chinensis</i> L. (針葉樹) さび病 sabi-byo Rust (葉赤さび病, 茎銹病, 茎丸赤銹病) (1) <i>Gymnosporangium asiaticum</i> Miyabe ex G. Yamada [<i>Gymnosporangium haraeae</i> Sydow & P. Sydow, <i>Roestelia koreaensis</i> Hennings] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:303, 1904(明37); 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明36); 平塚直秀:日菌報 16:91, 1975; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:461, 1992 [備考] ミヤマビャクシン (<i>J. chinensis</i> var. <i>sargentii</i>)・<i>J. horizontalis</i>・<i>J. media</i>・ハイビャクシン・<i>J. sabina</i>・<i>J. scopulorum</i>・<i>J. squamata</i>・エンピツビャクシンにも発生。さび胞子世代は <i>Chaenomeles</i>属(ヒボケ・シロボケ・ボケ・クサボケ・カリン)・<i>Cydonia</i>属(マルメロ)・<i>Pyrus</i>属(マンシュウマメナシ・セイヨウナシ・ナシ・チュウゴクナシ)・<i>Pourthiaea</i>属(オオカマツカ)に寄生して赤星病を起こす (2) <i>Gymnosporangium hemisphaericum</i> Hara 原 攝祐:大日本山林会報 419:13, 1917(大6); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:466, 1992 [備考] ミヤマビャクシンにも発生。さび胞子世代はオオウラジロノキ(<i>Malus tschonoskii</i>)に発生して赤星病を起こす (3) <i>Gymnosporangium japonicum</i> P. Sydow 白井光太郎:植物病理学(下)(再版):125, 1900(明33); 伊藤誠哉:植物学雑 27(323):220, 1913(大2); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan 468, 1992 [備考] ハイビャクシンにも発生。さび胞子世代
--	--

は<i>Pourthiaea</i>属(オオカマツカ・カマツカ)に発生して赤星病を起こす (4) <i>Gymnosporangium nipponicum</i> G. Yamada 澤田兼吉:林試研報 57:37, 1952 ; 平塚直秀:鳥取高農学術報 3:143, 1935(昭10) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:472, 1992 [備考] ミヤマビャクシン。さび孢子世代は<i>Sorbus</i>属(ナナカマド・タカネナナカマド・ミヤマナナカマド)に発生して赤星病を起こす (5) <i>Gymnosporangium yamadae</i> Miyabe ex G. Yamada 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1904(明37) ; 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明36) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:475, 1992 [備考] ハイビャクシン・ミヤマビャクシン・<i>J. squamata</i> にも発生。さび孢子世代の宿主は<i>Malus</i>属(ワリンゴ・エゾノコリンゴ・カイドウ・ミカイドウ・イヌリンゴ・セイヨウリンゴ・ズミ・ノカイドウ・<i>Malus platycarpa</i>・<i>M. scheideckeri</i>・<i>M. theifera</i>・<i>M. transitoria</i>・<i>M. yunnanensis</i>) に寄生して赤星病を起こす (注) 病原(3)の文献誌名の後にコロンを挿入	は<i>Pourthiaea</i>属(オオカマツカ・カマツカ)に発生して赤星病を起こす (4) <i>Gymnosporangium nipponicum</i> G. Yamada 澤田兼吉:林試研報 57:37, 1952 ; 平塚直秀:鳥取高農学術報 3:143, 1935(昭10) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:472, 1992 [備考] ミヤマビャクシン。さび孢子世代は<i>Sorbus</i>属(ナナカマド・タカネナナカマド・ミヤマナナカマド)に発生して赤星病を起こす (5) <i>Gymnosporangium yamadae</i> Miyabe ex G. Yamada 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1904(明37) ; 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明36) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:475, 1992 [備考] ハイビャクシン・ミヤマビャクシン・<i>J. squamata</i> にも発生。さび孢子世代の宿主は<i>Malus</i>属(ワリンゴ・エゾノコリンゴ・カイドウ・ミカイドウ・イヌリンゴ・セイヨウリンゴ・ズミ・ノカイドウ・<i>Malus platycarpa</i>・<i>M. scheideckeri</i>・<i>M. theifera</i>・<i>M. transitoria</i>・<i>M. yunnanensis</i>) に寄生して赤星病を起こす
---	--

ヒノキ科 Cupressaceae アスナロ(ヒバ)(羅漢柏) Hiba, Japanese thuja <i>Thujopsis dolabrata</i> Sieb. & Zucc. (針葉樹) 樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Seiridium canker <i>Seiridium unicorne</i> (Cooke & Ellis) B. Sutton 田端雅進:日植病報 56(1):148, 1990 [備考] 病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照 (注) 文献号数挿入(日植病報)	ヒノキ科 Cupressaceae アスナロ(ヒバ)(羅漢柏) Hiba, Japanese thuja <i>Thujopsis dolabrata</i> Sieb. & Zucc. (針葉樹) 樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Seiridium canker <i>Seiridium unicorne</i> (Cooke & Ellis) B. Sutton 田端雅進:日植病報 56:148, 1990 [備考] 病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照
---	--

ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹) えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic stunt disease <i>Cycas necrotic stunt virus</i> (CNSV) 楠木 学ら:日植病報 41(3):285, 1975 ; 楠木 学ら: 日植病報 45(4):571, 1979 ; Kusunoki, M. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 52(2):302, 1986 (注) 文献号数挿入(日植病報)	ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹) えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic stunt disease <i>Cycas necrotic stunt virus</i> (CNSV) 楠木 学ら:日植病報 41:285, 1975 ; 楠木 学ら:日 植病報 45:571, 1979 ; Kusunoki, M. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 52:302, 1986
---	--

ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹) 赤葉枯病 akahagare-byo <i>Ascochyta</i> sp. 楠木 学ら:日植病報 42(1):68, 1976 [備考] <i>Ascochyta cycadina</i> Scalia (内藤 喬:鹿児島 農専学術報 15:33, 1949) との異同について検討 を要する (注) 文献号数挿入(日植病報)	ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹) 赤葉枯病 akahagare-byo <i>Ascochyta</i> sp. 楠木 学ら:日植病報 42:68, 1976 [備考] <i>Ascochyta cycadina</i> Scalia (内藤 喬:鹿児島 農専学術報 15:33, 1949) との異同について検討 を要する
---	--

ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹)	ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹)
---	---

根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 三枝敏郎ら:植物防疫 14:309, 1960 (2) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (注) 文献年修正	根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 三枝敏郎ら:植物防疫 14:309, 1960 (2) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 196
--	--

カヤツリグサ科 Cyperaceae ハリイ類 Spikerushes <i>Eleocharis</i> spp. (野草) ハリイ <i>Eleocharis congesta</i> D. Don クログワイ <i>Eleocharis kuroguwai</i> Ohwi †††† <i>Epicoccosorus nematosporus</i> (?) 鈴木穂積・中村 拓:日植病報 53(3):374, 1987 [備考] クログワイに発生。病原菌の学名は横山 竜夫らにより上記のように発表されたが、後に取 り消された (注) 文献号数挿入(日植病報)	カヤツリグサ科 Cyperaceae ハリイ類 Spikerushes <i>Eleocharis</i> spp. (野草) ハリイ <i>Eleocharis congesta</i> D. Don クログワイ <i>Eleocharis kuroguwai</i> Ohwi †††† <i>Epicoccosorus nematosporus</i> (?) 鈴木穂積・中村 拓:日植病報 53:374, 1987 [備考] クログワイに発生。病原菌の学名は横山 竜夫らにより上記のように発表されたが、後に取 り消された
--	---

ユズリハ科 Daphniphyllaceae ユズリハ(交譲木) Sloumi <i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq. (広葉樹) ヒメユズリハ(姫交譲木) <i>Daphniphyllum</i> <i>teijsmannii</i> Zoll. ex Kurz さび病 sabi-byo Rust (銹病)	ユズリハ科 Daphniphyllaceae ユズリハ(交譲木) Sloumi <i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq. (広葉樹) ヒメユズリハ(姫交譲木) <i>Daphniphyllum</i> <i>teijsmannii</i> Zoll. ex Kurz さび病 sabi-byo Rust (銹病)
---	---

<i>Uredo daphniphylli</i> Kakishima & Tak. Kobayashi Kakishima, M. & Kobayashi, T.:Mycoscience 35(2):125, 1994 ; 小林享夫ら:森林防疫 39(7):137, 1990 [備考] ヒメユズリハ (注) 文献著者名訂正	<i>Uredo daphniphylli</i> Kakishima & Tak. Kobayashi Kakishima, M. & Kobayashi, T.:Mycoscience 35(2):125, 1994 ; 小林享夫ら:森林防疫 39(7):137, 1990 [備考] ヒメユズリハ
---	--

ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea</i> <i>bulbifera</i> L. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea</i> <i>japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea</i> <i>opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 小粒菌核腐敗病 kotubu-kinkaku-fuhai-byo Typhula rot <i>Typhula ishikariensis</i> S. Imai 原田幸雄ら:日植病報 61(3):217, 1995 [備考] ナガイモ (<i>Dioscorea batatas</i>) に発生 (注) 文献著者修正、文献号数挿入(日植病報)	ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea</i> <i>bulbifera</i> L. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea</i> <i>japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea</i> <i>opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 小粒菌核腐敗病 kotubu-kinkaku-fuhai-byo Typhula rot <i>Typhula ishikariensis</i> S. Imai 原田幸雄:日植病報 61:217, 1995 [備考] ナガイモ (<i>Dioscorea batatas</i>) に発生
--	---

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp.	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp.
---	---

(果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 角斑落葉病 kakuhan-rakuyo-byo Angular leaf spot (角斑性落葉病, 落葉病, 斑点病, 角斑点病, 角斑病) <i>Cercospora kaki</i> Ellis & Everhart 吉野毅一:果樹 31:3, 1905(明38) ; 中田覺五郎:作物病害図編:324, 1934(昭9) [備考] マメガキにも発生 (注) 文献号数の文字を修正	(果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 角斑落葉病 kakuhan-rakuyo-byo Angular leaf spot (角斑性落葉病, 落葉病, 斑点病, 角斑点病, 角斑病) <i>Cercospora kaki</i> Ellis & Everhart 吉野毅一:果樹 31:3, 1905(明38) ; 中田覺五郎:作物病害図編:324, 1934(昭9) [備考] マメガキにも発生
---	---

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 斑点病 hanten-byo <i>Septogloeum kaki</i> (Sydow & P. Sydow) Hara [Cylindrosporium kaki Sydow] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:189, 1917(大6) ; 原 攝祐:果樹 220:21, 1925(大10) [備考] マメガキに発生 (注) 文献年の前にカンマを挿入	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 斑点病 hanten-byo <i>Septogloeum kaki</i> (Sydow & P. Sydow) Hara [Cylindrosporium kaki Sydow] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:189 1917(大6) ; 原 攝祐:果樹 220:21, 1925(大10) [備考] マメガキに発生
--	---

グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) †††† <i>Phyllosticta argyrea</i> Spegazzini Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:45, 1940 [備考] ナワシログミ。葉から検出 (注) 文献名の省略のピリオド抜けを修正	グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) †††† <i>Phyllosticta argyrea</i> Spegazzini Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ 47:45, 1940 [備考] ナワシログミ。葉から検出
---	--

ツツジ科 Ericaceae ドウダンツツジ(満天星) (Enkianthus) <i>Enkianthus perulatus</i> (Miq.) Schneid. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 原田美貴子ら:日植病報 71(1):33, 2005 ; Harada, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):341, 2008 [備考] サラサドウダン (<i>E. campanulatus</i>) に発生 (注) 文献年の前にカンマを挿入	ツツジ科 Ericaceae ドウダンツツジ(満天星) (Enkianthus) <i>Enkianthus perulatus</i> (Miq.) Schneid. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 原田美貴子ら:日植病報 71(1):33, 2005 ; Harada, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 74(4):341 2008 [備考] サラサドウダン (<i>E. campanulatus</i>) に発生
---	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (Mallotus) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (Mallotus) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf
---	---

spot (細菌性斑点病, 斑点性細菌病) <i>Erwinia mallotivora</i> Goto 1976 瀧元清透:病虫雑 17(8):513, 1930 ; Goto, M.:Int. J. Syst. Bacteriol. 26:467, 1976 [備考] 病名の異同については西山幸司:日本植物細菌病の病名と病原細菌の学名p.91(1997)を参照 (注) 文献名を他病名の同文献に合わせて統一	spot (細菌性斑点病, 斑点性細菌病) <i>Erwinia mallotivora</i> Goto 1976 瀧元清透:病虫雑 17(8):513, 1930 ; Goto, M.:Intern, J. Syst. Bact. 26:467, 1976 [備考] 病名の異同については西山幸司:日本植物細菌病の病名と病原細菌の学名p.91(1997)を参照
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae レンゲ(ゲンゲ, 紫雲英, 蓮華草) Milk vetch <i>Astragalus sinicus</i> L. (牧草・芝草) 褐斑病 kappan-byo <i>Cercospora astragali</i> Woronichin 富樫浩吾・香月繁孝:Sci. Rept. Yokohama Nat. Univ. Sect. II 1:1, 1952 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):45, 1960 ; 斉藤 正:北陸農試報告 5:11, 1963 (注) 文献表記中の不要なカンマを削除	マメ科 Fabaceae, Leguminosae レンゲ(ゲンゲ, 紫雲英, 蓮華草) Milk vetch <i>Astragalus sinicus</i> L. (牧草・芝草) 褐斑病 kappan-byo <i>Cercospora astragali</i> Woronichin 富樫浩吾・香月繁孝:Sci. Rept. Yokohama Nat. Univ. Sect. II, 1:1, 1952 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):45, 1960 ; 斉藤 正:北陸農試報告 5:11, 1963
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae レンゲ(ゲンゲ, 紫雲英, 蓮華草) Milk vetch <i>Astragalus sinicus</i> L. (牧草・芝草) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Stemphylium astragali</i> (Yoshii) Yoshii [<i>Thyrospora astragali</i> Yoshii] 吉井 甫:病虫雑 16(9):533, 1929(昭4) ; 中田覺五郎:改訂作物病害図編:644, 1957 ; 山本和太郎:日菌報 2(5):92, 1960	マメ科 Fabaceae, Leguminosae レンゲ(ゲンゲ, 紫雲英, 蓮華草) Milk vetch <i>Astragalus sinicus</i> L. (牧草・芝草) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Stemphylium astragali</i> (Yoshii) Yoshii [<i>Thyrospora astragali</i> Yoshii] 吉井 甫:病虫雑 16(9):533, 1929(昭4) ; 中田覺五郎:改著作物病害図編:644, 1957 ; 山本和太郎:日菌報 2(5):92, 1960
--	--

[備考] 本病菌の子のう世代 <i>Pleospora</i> sp. が確認されているが、その種名は未決定 (西原夏樹:日植病報 25(1):50, 1960) (注) 文献名訂正。テオシント黒穂病も同様の修正を行う。	[備考] 本病菌の子のう世代 <i>Pleospora</i> sp. が確認されているが、その種名は未決定 (西原夏樹:日植病報 25(1):50, 1960)
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヨウテイボク Mountain ebony <i>Bauhinia racemosa</i> Lam. (広葉樹) †††† †<i>Cercospora bauhiniae</i> Sydow & P. Sydow Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:51, 1978 [備考] ブラジル。 <i>Bauhinia variegata</i> (注) 文献名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヨウテイボク Mountain ebony <i>Bauhinia racemosa</i> Lam. (広葉樹) †††† †<i>Cercospora bauhiniae</i> Sydow & P. Sydow Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC. Bull. 11:51, 1978 [備考] ブラジル。 <i>Bauhinia variegata</i>
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ムレスズメ(群雀, 金雀花) Chinese pea tree <i>Caragana sinica</i> (Buc'hoz) Rehder (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Uromyces laburni</i> (de Candolle) G.H. Otth [<i>Uromyces caraganicola</i> Hennings, <i>Uromyces genistae-tinctoriae</i> (Persoon) G. Winter] 吉永虎馬:植物学雑 16(179):7, 1902(明35) ; 白井光太郎:日本菌類目録 107, 1905(明38) ; Hiratsuka, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:45, 1973 [備考] コムレスズメ(<i>C. rosea</i>)にも発生	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ムレスズメ(群雀, 金雀花) Chinese pea tree <i>Caragana sinica</i> (Buc'hoz) Rehder (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Uromyces laburni</i> (de Candolle) G.H. Otth [<i>Uromyces caraganicola</i> Hennings, <i>Uromyces genistae-tinctoriae</i> (Persoon) G. Winter] 吉永虎馬:植物学雑 16(179):7, 1902(明35) ; 白井光太郎:日本菌類目録 107, 1905(明38) ; Hiratsuka, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. Japan 10:45, 1973 [備考] コムレスズメ(<i>C. rosea</i>)にも発生
---	---

(注) 文献名統一。以下の病名についても同様の修正を行う。アスターさび病、テイカカズラ絹皮病、ヤツデのペスタロチア病*、ビロウ黒やに病、カンバ類ゴドロニア胴枯病、シデ類絹皮病、カンボク小褐斑病、コウヤボウキさび病、アオキ絹皮病、ミズキ類さび病、ネジキ絹皮病、アセビ絹皮病、ナンキンハゼ黒色角斑病、シイノキ類絹皮病、ナラ類葉枯病(2か所)、ナラ類絹皮病、ナラ類ペスタロチア病、イスノキ絹皮病、ヤブニッケイ絹皮病、クロモジ絹皮病、タブノキ類さび病、シロダモ絹皮病、ムレスズメさび病、フジキさび病、デイゴ裏角斑病、ハギさび病、フジ絹皮病、ノボタン黒点病、ヒイラギ絹皮病、スズカケノキペスタロチア病*、クリのペスタロチア病、オオバヒルギ褐斑病、ハマナスてんぐ巣病、ヤナギ類葉さび病(4か所)、ウツギ絹皮病、ミツバウツギ絹皮病、ツバキ絹皮病、サカキ絹皮病、カシ類絹皮病、カシ類ペスタロチア病、マンサクさび病。	
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae サイカチ Japanese honey locust <i>Gleditsia japonica</i> Miq. (広葉樹) 褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease <i>Septobasidium tanakae</i> (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [<i>Helicobasidium tanakae</i> Miyabe] 堀 正太郎:病虫雑 5(5):333, 1918(大7) (注) 文献号数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae サイカチ Japanese honey locust <i>Gleditsia japonica</i> Miq. (広葉樹) 褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease <i>Septobasidium tanakae</i> (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann [<i>Helicobasidium tanakae</i> Miyabe] 堀 正太郎:病虫雑 5(4):333, 1918(大7)
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae サイカチ	マメ科 Fabaceae, Leguminosae サイカチ
---	---

Japanese honey locust <i>Gleditsia japonica</i> Miq. (広葉樹) 灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Gray flet disease (膏薬病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard [<i>Septobasidium pedicellatum</i> (Schweinitz) Patouillard] 堀 正太郎:病虫雑 5(5):333, 1918(大 7) [備考] 接種試験未了。病原菌の形態の記述なし (注) 文献名を多数派に合わせて修正	Japanese honey locust <i>Gleditsia japonica</i> Miq. (広葉樹) 灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Gray flet disease (膏薬病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard [<i>Septobasidium pedicellatum</i> (Schweinitz) Patouillard] 堀 正太郎:病蟲害雑誌 5(5):333, 1918(大 7) [備考] 接種試験未了。病原菌の形態の記述なし
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe glycines</i> F.L. Tai Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 43(4):333, 2002 (2) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle 澤田宏之ら:日植病報 48(1):136, 1982 (3) <i>Oidium</i> spp. 佐藤幸生ら:日植病報 65(3):398, 1999 ; 挟間 渉・加藤徳弘:日植病報 65(3):399, 1999 ; 挟間 渉・加藤徳弘:九病虫研会報 46:18, 2000 ; Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 43(4):333, 2002 [備考] <i>Oidium</i> sp. (<i>E. polygoni</i>型, <i>Pseudoidium</i>亜属) は北米で発生する<i>Erysiphe diffusa</i> (Cooke & Peck) U. Braun & S. Takam. の不完全世代と考えられるが、わが国では完全世代は未確認。接種試験未了 (注) 文献著者名訂正。イチゴ萎凋細菌病*、シソ斑点病、デルフィニウム軟腐病(2件)についても同様の修正を行う。	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe glycines</i> F.L. Tai Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 43(4):333, 2002 (2) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle 澤田宏之ら:日植病報 48(1):136, 1982 (3) <i>Oidium</i> spp. 佐藤幸生ら:日植病報 65(3):398, 1999 ; 挟間 渉・加藤徳弘:日植病報 65(3):399, 1999 ; 挟間 渉・加藤徳弘:九病虫研会報 46:18, 2000 ; Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 43(4):333, 2002 [備考] <i>Oidium</i> sp. (<i>E. polygoni</i>型, <i>Pseudoidium</i>亜属) は北米で発生する<i>Erysiphe diffusa</i> (Cooke & Peck) U. Braun & S. Takam. の不完全世代と考えられるが、わが国では完全世代は未確認。接種試験未了
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) †急性枯死症 kyusei-koshi-sho Sudden death syndrome (1) <i>Fusarium brasiliense</i> T. Aoki & O'Donnell Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:162, 2005 ; Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] ブラジル (2) <i>Fusarium crassistipitatum</i> Scandiani, T. Aoki & O'Donnell Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] アルゼンチン・ブラジル (3) <i>Fusarium cuneirostrum</i> O'Donnell & T. Aoki Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:162, 2005 ; Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] ブラジル (4) <i>Fusarium tucumaniae</i> T. Aoki, O'Donnell, Yosh. Homma & Lattanzi Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycologia 95:660, 2003 ; 青木孝之ら:日植病報 70(3):220, 2004 ; Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:162, 2005 ; Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] アルゼンチン・ブラジル (5) <i>Fusarium virguliforme</i> O'Donnell & T. Aoki Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycologia 95:660, 2003 ; 青木孝之ら:日植病報 70(3):220, 2004 ; Aoki, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] アメリカ合衆国・アルゼンチン (注) 文献著者名にカンマを挿入(10か所)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) †急性枯死症 kyusei-koshi-sho Sudden death syndrome (1) <i>Fusarium brasiliense</i> T. Aoki & O'Donnell Aoki T. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:162, 2005 ; Aoki T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] ブラジル (2) <i>Fusarium crassistipitatum</i> Scandiani, T. Aoki & O'Donnell Aoki T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] アルゼンチン・ブラジル (3) <i>Fusarium cuneirostrum</i> O'Donnell & T. Aoki Aoki T. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:162, 2005 ; Aoki T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] ブラジル (4) <i>Fusarium tucumaniae</i> T. Aoki, O'Donnell, Yosh. Homma & Lattanzi Aoki T. <i>et al.</i>:Mycologia 95:660, 2003 ; 青木孝之ら:日植病報 70(3):220, 2004 ; Aoki T. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:162, 2005 ; Aoki T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] アルゼンチン・ブラジル (5) <i>Fusarium virguliforme</i> O'Donnell & T. Aoki Aoki T. <i>et al.</i>:Mycologia 95:660, 2003 ; 青木孝之ら:日植病報 70(3):220, 2004 ; Aoki T. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:167, 2012 [備考] アメリカ合衆国・アルゼンチン
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae	マメ科 Fabaceae, Leguminosae
---------------------------	---------------------------

ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot, Frog-eye disease (褐斑病) <i>Cercosporidium sojinum</i> (Hara) X.J. Liu & Y.L. Guo [<i>Cercospora sojina</i> Hara, <i>Cercospora daizu</i> Miura, <i>Cercosporina sojina</i> Hara] 原 攝祐:農業国 9(10):18, 1915(大4); 三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):25, 1921(大10) (注) 文献のページ挿入	ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot, Frog-eye disease (褐斑病) <i>Cercosporidium sojinum</i> (Hara) X.J. Liu & Y.L. Guo [<i>Cercospora sojina</i> Hara, <i>Cercospora daizu</i> Miura, <i>Cercosporina sojina</i> Hara] 原 攝祐:農業国 9(10), 1915(大4); 三浦道哉:満鉄農試彙報 11(満州主要農作物の病害):25, 1921(大10)
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ギンネム(イピル・イピル)(銀合歡) Leedtree, Ipil-ipil <i>Leucaena leucocephala</i> (Lam.) de Wit (広葉樹) †炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:150, 1988 [備考] フィリピン (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Kobayashi, T. & Jinno, Y.:J. Jap. For. Soc. 66(3):113, 1984; Kobayashi, T. & Jinno, Y.:Abst. 3rd. Intern. Mycol. Congr. (Tokyo):506, 1983 [備考] フィリピン (注) 備考の国名表記統一。文献著者名のカンマ抜けを修正。	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ギンネム(イピル・イピル)(銀合歡) Leedtree, Ipil-ipil <i>Leucaena leucocephala</i> (Lam.) de Wit (広葉樹) †炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:150, 1988 [備考] フィリピン (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Kobayashi, T. & Jinno, Y.:J. Jap. For. Soc. 66(3):113, 1984; Kobayashi, T. & Jinno, Y.:Abst. 3rd. Intern. Mycol. Congr. (Tokyo):506, 1983 [備考] フィリッピン
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium irregulare</i> Buisman (2) <i>Pythium mamillatum</i> Meurs (3) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler (4) <i>Pythium spinosum</i> Sawada (5) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 的場百合香ら:日植病報 70(3):214, 2004 ; Matoba, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 74(1):81, 2008 (注) 文献情報訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium irregulare</i> Buisman (2) <i>Pythium mamillatum</i> Meurs (3) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler (4) <i>Pythium spinosum</i> Sawada (5) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 的場百合香ら:日植病報 70(3):214, 2004 ; Matoba, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol.
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae クズ(葛) Kudzu <i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi (牧草・芝草) 疫病 eki-byo Phytophthora blight, Leaf and stem blight <i>Phytophthora asiatica</i> M.Z. Rahman, H. Mukobata & K. Kageyama 向畠博行・関原順子:日植病報 72(1):71, 2006 ; 向 畠博行ら:日植病報 72(4):207, 2006 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>: Mycol. Progress 13(3):759, 2014 ; 向畠 博行・Rahman, M.Z.:植物防疫特別増刊号 17:123, 2015 (注) 文献名の省略のピリオドを挿入	マメ科 Fabaceae, Leguminosae クズ(葛) Kudzu <i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi (牧草・芝草) 疫病 eki-byo Phytophthora blight, Leaf and stem blight <i>Phytophthora asiatica</i> M.Z. Rahman, H. Mukobata & K. Kageyama 向畠博行・関原順子:日植病報 72(1):71, 2006 ; 向 畠博行ら:日植病報 72(4):207, 2006 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>: Mycol Progress 13(3):759, 2014 ; 向畠博 行・Rahman, M.Z.:植物防疫特別増刊号 17:123, 2015
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):170, 1930(昭5) ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:90, 1977 [備考] 病原菌の異名はハンノキ類うどんこ病参照 (2) <i>Erysiphe palczewskii</i> (Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera robiniae</i> F.L. Tai, <i>Microsphaera baeumleri</i> non Magnus sensu Homma-pro parte, <i>Ischnochaeta baeumleri</i> (Magnus) Sawada] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):399, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):214, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012 (注) 病原学名命名者名をスペルアウト	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):170, 1930(昭5) ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:90, 1977 [備考] 病原菌の異名はハンノキ類うどんこ病参照 (2) <i>Erysiphe palczewskii</i> (Jacz.) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera robiniae</i> F.L. Tai, <i>Microsphaera baeumleri</i> non Magnus sensu Homma-pro parte, <i>Ischnochaeta baeumleri</i> (Magnus) Sawada] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):399, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):214, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) さび病 sabi-byo Rust <i>Uromyces fallens</i> (Arthur) Bartholomew [<i>Uromyces trifolii</i> auct., <i>Uromyces trifolii</i> (R. Hedwing) Lévillé var. <i>fallens</i> (Desmazières) Arthur] 村山大記:日植病報 13(1-2):47, 1948 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:39, 1973	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) さび病 sabi-byo Rust <i>Uromyces fallens</i> (Arthur) Bartholomew [<i>Uromyces fallens</i> (Arthur) Bartholomew, <i>Uromyces trifolii</i> auct., <i>Uromyces trifolii</i> (R. Hedwing) Lévillé var. <i>fallens</i> (Desmazières) Arthur] 村山大記:日植病報 13(1-2):47, 1948 ; 平塚直秀:菌
---	--

(注) 病原学名正名と重複する病原学名異名を削除。	蕁研報 10:39, 1973
---------------------------	-----------------

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) 炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot <i>Macrophomina phaseolina</i> (Tassi) Goidánich 西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害I):11, 1961 [備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照 (注) 文献著者名挿入	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) 炭腐病 sumigusare-byo Charcoal rot <i>Macrophomina phaseolina</i> (Tassi) Goidánich 西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960 ; 千葉農試資料 1(牧草の病害I):11, 1961 [備考] 病原菌の異名はサツマイモ炭腐病参照
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) 疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>nicotianae</i>] 瀧元清透:日植病報 7(3-4):240, 1938(昭13) ; 桂 琦一:植物の疫病:83, 1971 [備考] 病原菌の異名はタバコ疫病参照 (注) 病原学名異名と重複する病原学名異名を削除。	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) 疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>nicotianae</i>, <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>nicotianae</i>] 瀧元清透:日植病報 7(3-4):240, 1938(昭13) ; 桂 琦一:植物の疫病:83, 1971 [備考] 病原菌の異名はタバコ疫病参照
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 細菌病 saikin-byo <i>Xanthomonas axonopodis</i> pv. <i>phaseoli</i> (Smith 1897) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Pseudomonas phaseoli</i> Smith, <i>Bacillus phaseoli</i> Smith, <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>phaseoli</i> (Smith 1897) Dye 1978] 半澤 洵:北海道農会報 ; 半澤 洵:興農雑誌 14(134):173, 1906(明39) ; 出田 新:日本植物病理学(上):94, 1909(明42) (注) 文献情報を分離した。北海道農会報の詳細は不明。	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 細菌病 saikin-byo <i>Xanthomonas axonopodis</i> pv. <i>phaseoli</i> (Smith 1897) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Pseudomonas phaseoli</i> Smith, <i>Bacillus phaseoli</i> Smith, <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>phaseoli</i> (Smith 1897) Dye 1978] 半澤 洵:北海道農会報及興農雑誌 134号 ; 出田 新:日本植物病理学(上):94, 1909(明42)
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐紋病, 褐斑病) <i>Colletotrichum phaseolorum</i> S. Takimoto 角田鷹次郎:病虫雑 3(11):866, 1916(大5) ; 瀧元清透:日植病報 4(1-2):21, 1934(昭9) ; 鏑方末彦:食用作物病学(上):199, 1949 [備考] 本病菌を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [子のう時代 <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding &	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐紋病, 褐斑病) <i>Colletotrichum phaseolorum</i> S. Takimoto 角田鷹次郎:病虫雑 3(11):866, 1916(大5) ; 瀧元清透:日植病報 4(1-2):21, 1934(昭9) ; 鏑方末彦:食用作物病理学(上):199, 1949 [備考] 本病菌を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [子のう時代 <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding &
---	--

Schrenk] の異名とする意見もある (山本和太郎: 植物防疫 14:49, 1960) (注) 文献名訂正	Schrenk] の異名とする意見もある (山本和太郎: 植物防疫 14:49, 1960)
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ササゲ(豇豆) Cowpea, Asparagus bean <i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp. [<i>Vigna sinensis</i> Endl.] (食用作物) ハタササゲ Catjang bean <i>Vigna unguiculata</i> subsp. <i>cylindrica</i> (L.) Eseltine ジュウロクササゲ <i>Vigna unguiculata</i> subsp. <i>sesquipedalis</i> (L.) Verdc. モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) [Azuki bean mosaic virus#, Blackeye cowpea mosaic virus#, Asparagus bean mosaic virus#] 日野稔彦:日植病報 25(4):178, 1960 ; 土崎常男ら: 日植病報 50(4):461, 1984 (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) 井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968 (3) Broad bean wilt virus# [Subclover mottle virus#, Pea dwarf mosaic virus#] 土崎常男ら:日植病報 36(2):112, 1970 [備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は河村栄吉:日植病報 11(3):155, 1941(昭16) (注) 文献号数挿入(日植病報)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ササゲ(豇豆) Cowpea, Asparagus bean <i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp. [<i>Vigna sinensis</i> Endl.] (食用作物) ハタササゲ Catjang bean <i>Vigna unguiculata</i> subsp. <i>cylindrica</i> (L.) Eseltine ジュウロクササゲ <i>Vigna unguiculata</i> subsp. <i>sesquipedalis</i> (L.) Verdc. モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) [Azuki bean mosaic virus#, Blackeye cowpea mosaic virus#, Asparagus bean mosaic virus#] 日野稔彦:日植病報 25(4):178, 1960 ; 土崎常男ら: 日植病報 50(4):461, 1984 (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) 井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968 (3) Broad bean wilt virus# [Subclover mottle virus#, Pea dwarf mosaic virus#] 土崎常男ら:日植病報 36(2):112, 1970 [備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は河村栄吉:日植病報 11:155, 1941(昭16)
--	---

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts
---	---

<i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (冠瘻病, 根瘻病, 根頭癌腫病) <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [<i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907, <i>Pseudomonas tumefaciens</i> Smith & Townsend] 鶴田章逸:果樹 143:42, 1915(大4); 原 攝祐:実用作物病理学:368, 1925(大14); 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭8); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015 [備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を<i>Rhizobium</i>属へと読み替えることはできない (注) 文献年の前にカンマを挿入	<i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (冠瘻病, 根瘻病, 根頭癌腫病) <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [<i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907, <i>Pseudomonas tumefaciens</i> Smith & Townsend] 鶴田章逸:果樹 143:42, 1915(大4); 原 攝祐:実用作物病理学:368, 1925(大14); 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭8); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015 [備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を<i>Rhizobium</i>属へと読み替えることはできない
---	---

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など †††† <i>Peniophora quercina</i> (Fries) Cooke イワハタケ 松村任三:帝国植物名鑑(上):158, 1904(明37); Ito, T.:Bot. Mag. 43(514):515, 1929	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など †††† <i>Peniophora quercina</i> (Fries) Cooke イワハタケ 松村任三:帝国植物名鑑(上):158, 1904(明37); Ito, T.:Bot. Mag. 43(514):515, 1929
--	--

[備考] 樹皮, 木部に発生 (注) 文献著者名にカンマを挿入。文献巻号の間のスペース削除	[備考] 樹皮, 木部に発生
---	-----------------------

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病) <i>Phyllactinia roboris</i> (Gachet) S. Blumer [<i>Phyllactinia quercus</i> (Mérat) Homma] Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):414, 1937 ; 富樫浩吾:果樹病学:359, 1950 (注) 文献名表記を他病名の同文献と統一した	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病) <i>Phyllactinia roboris</i> (Gachet) S. Blumer [<i>Phyllactinia quercus</i> (Mérat) Homma] Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Uni. 38(3):414, 1937 ; 富樫浩吾:果樹病学:359, 1950
--	---

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 黒粒枝枯病 kurotsubu-edagare-byo Melanconis canker, Melanconis shoot blight	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 黒粒枝枯病 kurotsubu-edagare-byo Melanconis canker, Melanconis shoot blight
--	--

<i>Melanconis microspora</i> Tak. Kobayashi [Melanconium gourdaeforme Tak. Kobayashi] Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(1):1, 1968 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970 ; 小林享夫:日林誌 53(3):57, 1971 (注) 文献著者名訂正	<i>Melanconis microspora</i> Tak. Kobayashi [Melanconium gourdaeforme Tak. Kobayashi] Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(1):1, 1968 ; Kobayash, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:1, 1970 ; 小林享夫:日林誌 53(3):57, 1971
---	---

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea</i> <i>crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea</i> <i>mollissima</i> Blume など 黒根立枯病 kurone-tachigare-byo Black root rot (立枯病) (1) <i>Didymosporium radicola</i> Tak. Kobayashi & C. Oishi (2) <i>Diaporthopsis</i> sp. [<i>Macrophoma castaneicola</i> Tak. Kobayashi & C. Oishi] 大石親男・八木敏江:日植病報 40(3):176, 1974 ; 大石親男ら:日植病報 45(4):546, 1979 ; Kobayashi, T. & Oishi, C.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):429, 1979 ; 大石親男ら:日植病報 52(3):538, 1986 (注) 文献著者名訂正・文献号数挿入(他病名の同 文献に合わせた)クリ黒色実腐病も同様の修正を 行う。	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea</i> <i>crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea</i> <i>mollissima</i> Blume など 黒根立枯病 kurone-tachigare-byo Black root rot (立枯病) (1) <i>Didymosporium radicola</i> Tak. Kobayashi & C. Oishi (2) <i>Diaporthopsis</i> sp. [<i>Macrophoma castaneicola</i> Tak. Kobayashi & C. Oishi] 大石親男・八木敏江:日植病報 40(3):176, 1974 ; 大石親男ら:日植病報 45(4):546, 1979 ; Kobayashi, T. & Ohishi, C.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20:429, 1979 ; 大石親男ら:日植病報 52(3):538, 1986
---	--

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts
---	---

<i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 黒斑胴枯病 kokuhan-dogare-byo <i>Cryptodiaporthe japonica</i> Tak. Kobayashi & C. Oishi [<i>Catinula japonica</i> Tak. Kobayashi & C. Oishi] Kobayashi, T. & Oishi, C.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):429, 1979 (注) 文献著者名訂正	<i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 黒斑胴枯病 kokuhan-dogare-byo <i>Cryptodiaporthe japonica</i> Tak. Kobayashi & C. Oishi [<i>Catinula japonica</i> Tak. Kobayashi & C. Oishi] Kobayashi, T. & Oishi, C.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):429, 1979
--	---

ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (<i>Castanopsis</i>) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky スダジイ(イタジイ) <i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease <i>Pestalotiopsis distincta</i> (Guba) K. Yokoyama [<i>Pestalotia distincta</i> Guba] Yokoyama, T.:IFO Res. Commun. 7:124, 1975 ; 宇 田川俊一ら:菌類図鑑(下):1188, 1978 (注) 文献名表記を他病名の同文献に合わせて統一した。タコノキ類†††<i>Lasiodiplodia theobromae</i>、ツタ褐色円斑病*も同様の修正を行う。	ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (<i>Castanopsis</i>) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky スダジイ(イタジイ) <i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease <i>Pestalotiopsis distincta</i> (Guba) K. Yokoyama [<i>Pestalotia distincta</i> Guba] Yokoyama, T.:IFO Res. Comm. 7:124, 1975 ; 宇田 川俊一ら:菌類図鑑(下):1188, 1978
---	--

ブナ科 Fagaceae	ブナ科 Fagaceae
--------------	--------------

ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病) (1) <i>Erysiphe wadae</i> S. Takamatsu & Y. Sato Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 44(3):165, 2003 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Parauncinula curvispora</i> (Hara) S. Takam. & U. Braun [<i>Uncinula curvispora</i> Hara, <i>Uncinula septata</i> E.S. Salmon var. <i>curvispora</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大4) ; 原 攝祐:樹病学各論:21, 1923(大12) ; Takamatsu, S. <i>et</i> <i>al.</i>:Mycoscience 46(1):15, 2005 [備考] イヌブナに発生 (3) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 出田 新:実用植物病理学:164, 1901(明34) (注) 文献名訂正	ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病) (1) <i>Erysiphe wadae</i> S. Takamatsu & Y. Sato Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 44(3):165, 2003 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Parauncinula curvispora</i> (Hara) S. Takam. & U. Braun [<i>Uncinula curvispora</i> Hara, <i>Uncinula septata</i> E.S. Salmon var. <i>curvispora</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大4) ; 原 攝祐:樹病学各論:21, 1923(大12) ; Takamatsu, S. <i>et</i> <i>al.</i>:Mycoscience 46(1):15, 2005 [備考] イヌブナに発生 (3) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 出田 新:実用植物病理学:164, 1901(明34)
---	--

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 槲) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus</i> <i>myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 槲) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus</i> <i>myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray
--	--

ウラジロガシ(裏白櫨) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot blight <i>Xanthomonas arboricola</i> Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Xanthomonas campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939] 石原 誠ら:日植病報 62(3):304, 1996 ; 石原 誠ら:日植病報 66(2):130, 2000 ; Ishihara, M. <i>et al.</i>:For. Pathol. 45(6):459, 2015 [備考] シラカシに発生。Ishihara <i>et al.</i> (2015) は、石原ら (2000) が <i>X. campestris</i> とした本菌を再同定した (注) 文献名表記を他病名の同文献名に合わせて統一した。	ウラジロガシ(裏白櫨) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot blight <i>Xanthomonas arboricola</i> Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Xanthomonas campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939] 石原 誠ら:日植病報 62(3):304, 1996 ; 石原 誠ら:日植病報 66(2):130, 2000 ; Ishihara, M. <i>et al.</i>:Forest Pathol. 45(6):459, 2015 [備考] シラカシに発生。Ishihara <i>et al.</i> (2015) は、石原ら (2000) が <i>X. campestris</i> とした本菌を再同定した
---	---

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫨, 櫨) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫨) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫨) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫨, クロガシ黒櫨) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫨) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫨) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫨, 櫨) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫨) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫨) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫨, クロガシ黒櫨) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫨) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫨) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
--	--

(表白渋病, 白渋病, 表うどんこ病) (1) <i>Erysiphe alphitoides</i> (Griffon & Maublanc) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera quercus</i> Sawada, <i>Microsphaera alphitoides</i> auct. non Griffon & Maublanc] 原 攝祐:大日本山林会報 392:60, 1915(大4); 澤田兼吉:林試研報 50:122, 1951; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):227, 1988; 堀江博道ら:日植病報 65(6):657, 1999; 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012 [備考] アカガシ・アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・イチイガシ・ツクバネガシ・ウバメガシ・コルクガシに発生 (2) <i>Erysiphe gracilis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>gracilis</i> [<i>Erysiphe hiratae</i> U. Braun] Braun, U.:Mycotaxon 18(1):128, 1983; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012; Siahaan, S.A.S. <i>et al.</i>:Mycoscience 59(2):110, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシに発生 (3) <i>Erysiphe gracilis</i> RY. Zheng & G.Q. Chen var. <i>longissima</i> Y. Nomuura 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:204, 1997 [備考] アカガシ・ツクバネガシに発生 (4) <i>Erysiphe heraclei</i> de Candolle [<i>Microsphaera polygoni</i> (de Candolle) Sawada] 原 攝祐:樹病学各論:13, 1923(大12); Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):324, 1937(昭12) [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ツクバネガシ・アカガシ・ウバメガシに発生 (5) <i>Erysiphe quercicola</i> S. Takamatsu & U. Braun Takamatsu, S. & Braun, U.:Mycol. Res. 111:819, 2007; 高松 進ら:日植病報 83(3):187, 2017; Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 59(2):105, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ウ	(表白渋病, 白渋病, 表うどんこ病) (1) <i>Erysiphe alphitoides</i> (Griffon & Maublanc) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera quercus</i> Sawada, <i>Microsphaera alphitoides</i> auct. non Griffon & Maublanc] 原 攝祐:大日本山林会報 392:60, 1915(大4); 澤田兼吉:林試研報 50:122, 1951; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):227, 1988; 堀江博道ら:日植病報 65(6):657, 1999; 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012 [備考] アカガシ・アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・イチイガシ・ツクバネガシ・ウバメガシ・コルクガシに発生 (2) <i>Erysiphe gracilis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>gracilis</i> [<i>Erysiphe hiratae</i> U. Braun] Braun, U.:Mycotaxon 18(1):128, 1983; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012; Siahaan, S.A.S. <i>et al.</i>:Mycoscience 59(2):110, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシに発生 (3) <i>Erysiphe gracilis</i> RY. Zheng & G.Q. Chen var. <i>longissima</i> Y. Nomuura 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:204, 1997 [備考] アカガシ・ツクバネガシに発生 (4) <i>Erysiphe heraclei</i> de Candolle [<i>Microsphaera polygoni</i> (de Candolle) Sawada] 原 攝祐:樹病学各論:13, 1923(大12); Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):324, 1937(昭12) [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ツクバネガシ・アカガシ・ウバメガシに発生 (5) <i>Erysiphe quercicola</i> S. Takamatsu & U. Braun Takamatsu, S. & U. Braun.:Mycol. Res. 111:819, 2007; 高松 進ら:日植病報 83(3):187, 2017; Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 59(2):105, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ウ
--	--

バメガシに発生。接種試験未了 (6) <i>Uncinula</i> sp. 佐藤幸生ら:日植病報 61(3):222, 1995 [備考] アカガシに発生 (注) 文著者名訂正	バメガシに発生。接種試験未了 (6) <i>Uncinula</i> sp. 佐藤幸生ら:日植病報 61(3):222, 1995 [備考] アカガシに発生
--	--

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病) <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka 出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明44) ; 出田 新:実用植物病理学:205, 1901(明34) [備考] アカガシ・シラカシ・イチイガシ。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照 (注) 文著者名訂正。ポプラ類紫紋羽病も同様の修正を行う。	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病) <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka 出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明44) ; 出田 新:実用植物病理学:205, 1901(明34) [備考] アカガシ・シラカシ・イチイガシ。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照
---	--

ブナ科 Fagaceae	ブナ科 Fagaceae
--------------	--------------

ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫟, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫟) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai 葉枯病 hagare-byo Monochaetia leaf blight (1) <i>Monochaetia dimorphospora</i> T. Yokoyama Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:126, 1980 [備考] クヌギに発生 (2) <i>Monochaetia monochaeta</i> (Desmazières) Allescher [<i>Monochaetia</i> sp., <i>Monochaetia pachyspora</i> Bubák, <i>Monochaetia desmaytia</i> Saccardo] 小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; Fujioka, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 3:64, 1962 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:124, 1980 [備考] クヌギ・アベマキ・コナラ・オウシュウアカナラ(<i>Q. robur</i>)に発生 (注) 文著者名にカンマを挿入	ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫟, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫟) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai 葉枯病 hagare-byo Monochaetia leaf blight (1) <i>Monochaetia dimorphospora</i> T. Yokoyama Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:126, 1980 [備考] クヌギに発生 (2) <i>Monochaetia monochaeta</i> (Desmazières) Allescher [<i>Monochaetia</i> sp., <i>Monochaetia pachyspora</i> Bubák, <i>Monochaetia desmaytia</i> Saccardo] 小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; Fujioka, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 3:64, 1962 ; Kaneko S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:124, 1980 [備考] クヌギ・アベマキ・コナラ・オウシュウアカナラ(<i>Q. robur</i>)に発生
---	---

イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹) Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) すす斑病 susuhan-byo <i>Gonatobotryum apiculatum</i> (Peck) S. Hughes [<i>Gonatobotryum</i> sp.] 堀江博道ら:森林防疫 24:71, 1975 ; 堀江博道・小林享夫:日植病報 48(1):135, 1982 (注) 文献号数挿入(日植病報)	イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹) Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) すす斑病 susuhan-byo <i>Gonatobotryum apiculatum</i> (Peck) S. Hughes [<i>Gonatobotryum</i> sp.] 堀江博道ら:森林防疫 24:71, 1975 ; 堀江博道・小林享夫:日植病報 48:135, 1982
--	---

イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹) Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botryotinia fuckeliana</i> (de Bary) Whetzel [不完全世代: <i>Botrytis cinerea</i> Persoon] 高野喜八郎:日植病報 53(1):103, 1987 (注) 文献号数挿入(日植病報)	イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹) Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botryotinia fuckeliana</i> (de Bary) Whetzel [不完全世代: <i>Botrytis cinerea</i> Persoon] 高野喜八郎:日植病報 53:103, 1987
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 褐斑細菌病* kappan-saikin-byo Bacterial brown spot	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 褐斑細菌病* kappan-saikin-byo Bacterial brown spot
---	---

<i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 [<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>alisalensis</i> Cintas, Koike & Bull 2002] 石山佳幸ら:日植病報 78(3):239, 2012 ; Ishiyama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):155, 2013 [備考] セイヨウチャヒキ (注) 病原学名変更	<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>alisalensis</i> Cintas, Koike & Bull 2002 石山佳幸ら:日植病報 78(3):239, 2012 ; Ishiyama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):155, 2013 [備考] セイヨウチャヒキ
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae オガルカヤ類 (Cymbopogon) <i>Cymbopogon</i> spp. 及び種間雑種 (特用作物) コウスイガヤ <i>Cymbopogon nardus</i> Rendle †葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Curvularia andropogonis</i> (Zimmermann) Boedijn Sato, T. & Ohkubo, H.:JARQ 23:170, 1990 [備考] フィリピンで発生 (注) 病原学名の命名者名をスペルアウトした。	イネ科 Gramineae, Poaceae オガルカヤ類 (Cymbopogon) <i>Cymbopogon</i> spp. 及び種間雑種 (特用作物) コウスイガヤ <i>Cymbopogon nardus</i> Rendle †葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Curvularia andropogonis</i> (Zimm.) Boedijn Sato, T. & Ohkubo, H.:JARQ 23:170, 1990 [備考] フィリピンで発生
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae サヤヌカグサ類 (Leersia) <i>Leersia</i> spp. (野草) アシカキ <i>Leersia japonica</i> Makino エゾノサヤヌカグサ <i>Leersia oryzoides</i> (L.) Swartz サヤヌカグサ <i>Leersia oryzoides</i> (L.) Swartz var. <i>sayanuka</i> (Ohwi) Koyama 白葉枯病 shirahagare-byo	イネ科 Gramineae, Poaceae サヤヌカグサ類 (Leersia) <i>Leersia</i> spp. (野草) アシカキ <i>Leersia japonica</i> Makino エゾノサヤヌカグサ <i>Leersia oryzoides</i> (L.) Swartz サヤヌカグサ <i>Leersia oryzoides</i> (L.) Swartz var. <i>sayanuka</i> (Ohwi) Koyama 白葉枯病 shirahagare-byo
---	---

<i>Xanthomonas oryzae</i> pv. <i>oryzae</i> (Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [<i>Xanthomonas oryzae</i> (Uyeda & Ishiyama) Dowson] 後藤和夫ら:農及園 28:207, 1953 ; 吉村彰治ら:日 植病報 24(1):6, 1959 [備考] アシカキ・エゾノサヤヌカグサ・サヤヌ カグサ (注) 文献号数挿入(日植病報)	<i>Xanthomonas oryzae</i> pv. <i>oryzae</i> (Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [<i>Xanthomonas oryzae</i> (Uyeda & Ishiyama) Dowson] 後藤和夫ら:農及園 28:207, 1953 ; 吉村彰治ら:日 植病報 24:6, 1959 [備考] アシカキ・エゾノサヤヌカグサ・サヤヌ カグサ
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegarss <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種 蛇紋病 jamon-byo Leaf blotch (褐斑病) <i>Ascochyta desmazieri</i> Cavara 西原夏樹:農林省畜試研報 10:27, 1966 ; 西原夏樹: 植物防疫 25(12):489, 1971 [備考] 山本勉ら (中国農試報告A 9:140, 1963) の 報告した <i>Ascochyta</i> sp. は本菌と思われる (注) 病原学名正名と重複する病原学名異名を削 除。	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegarss <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種 蛇紋病 jamon-byo Leaf blotch (褐斑病) <i>Ascochyta desmazieri</i> Cavara [<i>Ascochyta desmazieri</i> Cavara] 西原夏樹:農林省畜試研報 10:27, 1966 ; 西原夏樹: 植物防疫 25(12):489, 1971 [備考] 山本勉ら (中国農試報告A 9:140, 1963) の 報告した <i>Ascochyta</i> sp. は本菌と思われる
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice
--	--

<i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 萎縮病 ishuku-byo Dwarf, Stunt <i>Rice dwarf virus</i> (RDV) 高田鑑三:大日本農会報 171:1, 1895(明28) ; Fukushi, T.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc.:35, 1931(昭6) ; Fukushi, T.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 37:41, 1934(昭9) ; 新海 昭:日植病報 26(2):68, 1961 (注) 文献名を他病名の同文献に合わせて統一	<i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 萎縮病 ishuku-byo Dwarf, Stunt <i>Rice dwarf virus</i> (RDV) 高田鑑三:大日本農会報 171:1, 1895(明28) ; Fukushi, T.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc.:35, 1931(昭6) ; Fukushi, T.:J. Fac. Agric. Hokkaido Imp. Univ. 37:41, 1934(昭9) ; 新海 昭:日植病報 26(2):68, 1961
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) †赤条斑病 seki-jyohan-byo Red stripe <i>Microbacterium</i> sp. 加来久敏ら:日植病報 66(2):131, 2000 ; Kaku, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 66(2):149, 2000 ; Dhitikiattipong, R. ・ 加来久敏:日植病報 70(3):283, 2004 [備考] タイ, インドネシア (注) 文献著者名訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) †赤条斑病 seki-jyohan-byo Red stripe <i>Microbacterium</i> sp. 加来久敏ら:日植病報 66(2):131, 2000 ; Kaku, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 66(2):149, 2000 ; Dhitikianttipong, R. ・ 加来久敏:日植病報 70(3):283, 2004 [備考] タイ, インドネシア
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯細菌病 nae-tachigare-saikin-byo	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯細菌病 nae-tachigare-saikin-byo
---	---

Bacterial seedling blight <i>Burkholderia plantarii</i> (Azegami, Nishiyama, Watanabe, Kadota, Ohuchi & Fukazawa 1987) Urakami, Ito-Yoshida, Araki, Kijima, Suzuki & Komagata 1994 [<i>Pseudomonas plantarii</i> Azegami, Nishiyama, Watanabe, Kadota, Ohuchi & Fukazawa] 畔上耕児ら:日植病報 52(1):91, 1986 ; 門田育生・大内 昭:日植病報 52(1):92, 1986 ; Azegami, K. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Bacteriol. 37(2):144, 1987 (注) 文献名を他病名の同文献の表記と統一した	Bacterial seedling blight <i>Burkholderia plantarii</i> (Azegami, Nishiyama, Watanabe, Kadota, Ohuchi & Fukazawa 1987) Urakami, Ito-Yoshida, Araki, Kijima, Suzuki & Komagata 1994 [<i>Pseudomonas plantarii</i> Azegami, Nishiyama, Watanabe, Kadota, Ohuchi & Fukazawa] 畔上耕児ら:日植病報 52(1):91, 1986 ; 門田育生・大内 昭:日植病報 52(1):92, 1986 ; Azegami, K. <i>et al.</i>:Intern. J. Syst. Bacteriol. 37(2):144, 1987
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) いもち病 imochi-byo Blast, Neck-rot (稲熱病) <i>Pyricularia oryzae</i> Cavara [<i>Pyricularia grisea</i> (Cooke) Saccardo, <i>Piricularia oryzae</i> Cavara, <i>Dactylaria oryzae</i> (Cavara) Sawada] 白井光太郎:植物学雑 10(109):69, 1896(明29) ; 西門義一:病菌害虫彙報 15:1, 1926(大15) ; 山中 達:日植病報 48(3):245, 1982 ; Murata, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):66, 2014 [備考] 本菌の完全時代を <i>Magnaporthe grisea</i> (Hebert) Barr とする意見が多いが (加藤 肇・山口富夫:日植病報 45(1):121, 1979 ; 八重樫博志:植物防疫 35:521, 1981), 自然界ではイネ上で確認されていない (注) 文献号数挿入(日植病報)	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) いもち病 imochi-byo Blast, Neck-rot (稲熱病) <i>Pyricularia oryzae</i> Cavara [<i>Pyricularia grisea</i> (Cooke) Saccardo, <i>Piricularia oryzae</i> Cavara, <i>Dactylaria oryzae</i> (Cavara) Sawada] 白井光太郎:植物学雑 10(109):69, 1896(明29) ; 西門義一:病菌害虫彙報 15:1, 1926(大15) ; 山中 達:日植病報 48:245, 1982 ; Murata, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):66, 2014 [備考] 本菌の完全時代を <i>Magnaporthe grisea</i> (Hebert) Barr とする意見が多いが (加藤 肇・山口富夫:日植病報 45(1):121, 1979 ; 八重樫博志:植物防疫 35:521, 1981), 自然界ではイネ上で確認されていない
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae	イネ科 Gramineae, Poaceae
------------------------	------------------------

イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 褐色菌核病 kasshoku-kinkaku-byo Brown sclerotium disease <i>Ceratobasidium setariae</i> (Sawada) Oniki, Ogoshi & T. Araki [<i>Sclerotium oryzae-sativae</i> Sawada, <i>Rhizoctonia oryzae-sativae</i> (Sawada) Mordue, <i>Hypochnus setariae</i> Sawada] 遠藤 茂:植物病害研究 1:126, 1931(昭6) ; 中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:64, 1939(昭14) ; 鬼木正臣・荒木隆男:日菌報 27:147, 1986 [備考] 本菌を <i>Ceratobasidium oryzae-sativae</i> Gunnell & Webster とする説もある (Gunnell, P.S. & Webster, R.K.:Mycologia 79:731, 1987 ; Sneh, B., Burpee, L. & Ogoshi, A.:Identification of <i>Rhizoctonia</i> species 133p., 1989) (注) 備考中の文献著者名訂正。文献誌名前のスペース削除。	イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 褐色菌核病 kasshoku-kinkaku-byo Brown sclerotium disease <i>Ceratobasidium setariae</i> (Sawada) Oniki, Ogoshi & T. Araki [<i>Sclerotium oryzae-sativae</i> Sawada, <i>Rhizoctonia oryzae-sativae</i> (Sawada) Mordue, <i>Hypochnus setariae</i> Sawada] 遠藤 茂:植物病害研究 1:126, 1931(昭6) ; 中田覺五郎・河村栄吉:農改資 139:64, 1939(昭14) ; 鬼木正臣・荒木隆男:日菌報 27:147, 1986 [備考] 本菌を <i>Ceratobasidium oryzae-sativae</i> Gunnell & Webster とする説もある (Gunnell, P.S. & Webster, P.K.:Mycologia 79:731, 1987 ; Sneh, B., Burpee, L. & Ogoshi, A ; Identification of <i>Rhizoctonia</i> species 133p., 1989)
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 球状菌核病 kyujo-kinkaku-byo Globular sclerotial disease <i>Sclerotium hydrophilum</i> Saccardo [<i>Sclerotium sphaeroides</i> Nakata] 原 攝祐:実験作物病理学:165, 1930(昭5) ; Widyastuti, S.M. et al.:Bull. Fac. Agr., Saga Univ. 61:81, 1986 [備考] 原 攝祐 (稲の病害:45, 1959) は本菌に	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 球状菌核病 kyujo-kinkaku-byo Globular sclerotial disease <i>Sclerotium hydrophilum</i> Saccardo [<i>Sclerotium sphaeroides</i> Nakata] 原 攝祐:実験作物病理学:165, 1930(昭5) ; Widyastuti et al.:Bull. Fac. Agr., Saga Univ. 61:81, 1986 [備考] 原 攝祐 (稲の病害:45, 1959) は本菌に
--	--

<i>Rhizoctonia microsclerotia</i> Matz を充てた (注) 文献著者名訂正。イネ灰色菌核病も同様の修正を行う。	<i>Rhizoctonia microsclerotia</i> Matz を充てた
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (苗いちょう病, ムレ病, 急性萎凋症, 萎凋性立枯病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 山本賢一郎ら:日植病報 84(3):201, 2018 (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (4) <i>Rhizopus chinensis</i> Saito (5) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs [<i>Rhizopus nodosus</i> Namyslowski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa] (6) <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer (7) <i>Rhizopus javanicus</i> Y. Takeda 茨木忠雄:日植病報 39(2):141, 1973 ; 矢尾板恒雄ら:北陸病虫研報 24:60, 1976 ; 郷 直俊ら:北陸病虫研報 26:90, 1978 [備考] <i>R. chinensis</i> は <i>R. microsporus</i> v. Tieghem	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (苗いちょう病, ムレ病, 急性萎凋症, 萎凋性立枯病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 山本賢一郎ら:日植病報 84(3):201, 2018 (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (4) <i>Rhizopus chinensis</i> Saito (5) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs [<i>Rhizopus nodosus</i> Namyslowski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa] (6) <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer (7) <i>Rhizopus javanicus</i> Y. Takeda 茨木忠雄:日植病報 39(2):141, 1973 ; 矢尾板恒雄ら:北陸病虫研報 24:60, 1976 ; 郷 直俊ら:北陸病虫研報 26:90, 1978 [備考] <i>R. chinensis</i> は <i>R. microsporus</i> v. Tieghem
--	--

var. <i>chinensis</i> (Saito) Schipper & Sapers の異名。 <i>R. arrhizus</i>, <i>R. javanicus</i> は <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geeligs の異名とする報告がある (Schipper, M.A.A:Stud. Mycol. 25:1-34, 1984) (8) <i>Trichoderma viride</i> Persoon ex S.F. Gray 茨木忠雄:日植病報 40(3):189, 1974 (9) <i>Mucor fragilis</i> Bainier 茨木忠雄:日植病報 42(3):332, 1976 ; 青木孝之:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):72, 1992 [備考] Schipper, M.A.A.(Stud.Mycol. 12:37, 1976) は本菌を疑問種にあげており, 分類学的検討を要する (10) <i>Phoma</i> sp. 茨木忠雄:日植病報 43(3):316, 1977 (11) <i>Pythium arrhenomanes</i> Drechsler 戸田 武ら:日植病報 75(3):236, 2009 ; 松浦昌平ら:日植病報 78(4):301, 2012 (12) <i>Pythium catenulatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (13) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (14) <i>Pythium graminicola</i> Subramanian 梅原吉廣ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:植物防疫 38:218, 1984 (15) <i>Pythium inflatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (16) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (17) <i>Pythium marsipium</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (18) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (19) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (20) <i>Phytopythium litorale</i> (Nechwatal) Abad, de	var. <i>chinensis</i> (Saito) Schipper & Sapers の異名。 <i>R. arrhizus</i>, <i>R. javanicus</i> は <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geeligs の異名とする報告がある (Schipper, M.A.A:Stud. Mycol. 25:1-34, 1984) (8) <i>Trichoderma viride</i> Persoon ex S.F. Gray 茨木忠雄:日植病報 40(3):189, 1974 (9) <i>Mucor fragilis</i> Bainier 茨木忠雄:日植病報 42(3):332, 1976 ; 青木孝之:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):72, 1992 [備考] Schipper, M.A.A.(Stud.Mycol. 12:37, 1976) は本菌を疑問種にあげており, 分類学的検討を要する (10) <i>Phoma</i> sp. 茨木忠雄:日植病報 43(3):316, 1977 (11) <i>Pythium arrhenomanes</i> Drechsler 戸田 武ら:日植病報 75(3):236, 2009 ; 松浦昌平ら:日植病報 78(4):301, 2012 (12) <i>Pythium catenulatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (13) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (14) <i>Pythium graminicola</i> Subramanian 梅原吉廣ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:植物防疫 38:218, 1984 (15) <i>Pythium inflatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (16) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (17) <i>Pythium marsipium</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (18) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (19) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (20) <i>Phytopythium litorale</i> (Nechwatal) Abad, de
--	--

Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 [備考] <i>Py. torulosum</i>, <i>Py. aristosporum</i> も関与しているとの報告がある (遠藤頼嗣・茨木忠雄:北日本病虫研報 37:189, 1986) (注) 2016年新旧対照表後期(20170410)の反映漏れを修正。<i>Pythium inflatum</i>は, 病原として追加済。	Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 [備考] <i>Pythium inflatum</i>, <i>P. torulosum</i>, <i>P. aristosporum</i> も関与しているとの報告がある (遠藤頼嗣・茨木忠雄:北日本病虫研報 37:189, 1986)
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae キビ類 (Panicum) <i>Panicum</i> spp. (野草) ヌカキビ <i>Panicum bisculatum</i> Thunb. ハイキビ <i>Panicum repens</i> L. いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 山中 達・西原夏樹:日植病報 42(1):74, 1976 [備考] ヌカキビ・ハイキビ (注) 文献号数挿入(日植病報)	イネ科 Gramineae, Poaceae キビ類 (Panicum) <i>Panicum</i> spp. (野草) ヌカキビ <i>Panicum bisculatum</i> Thunb. ハイキビ <i>Panicum repens</i> L. いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 山中 達・西原夏樹:日植病報 42:74, 1976 [備考] ヌカキビ・ハイキビ
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノヒエ類 (Paspalum) <i>Paspalum</i> spp. (野草) スズメノヒエ <i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud. スズメノコビエ <i>Paspalum orbiculare</i> Forst. いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 山中 達:日植病報 48(3):245, 1982	イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノヒエ類 (Paspalum) <i>Paspalum</i> spp. (野草) スズメノヒエ <i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud. スズメノコビエ <i>Paspalum orbiculare</i> Forst. いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 山中 達:日植病報 48:245, 1982
--	---

[備考] <i>Paspalum</i> sp. に発生 (注) 文献号数挿入(日植病報)	[備考] <i>Paspalum</i> sp. に発生
---	-------------------------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae クサヨシ類 (Phalaris) <i>Phalaris</i> spp. (野草) クサヨシ <i>Phalaris arundinacea</i> L. シマクサヨシ <i>Phalaris arundinacea</i> L. var. <i>picta</i> L. 白葉枯病 shirahagare-byo <i>Xanthomonas oryzae</i> pv. <i>oryzae</i> (ex Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [<i>Xanthomonas oryzae</i> (Uyeda & Ishiyama) Dowson] 吉村彰治ら:日植病報 24(1):6, 1959 [備考] クサヨシ (注) 文献号数挿入(日植病報)	イネ科 Gramineae, Poaceae クサヨシ類 (Phalaris) <i>Phalaris</i> spp. (野草) クサヨシ <i>Phalaris arundinacea</i> L. シマクサヨシ <i>Phalaris arundinacea</i> L. var. <i>picta</i> L. 白葉枯病 shirahagare-byo <i>Xanthomonas oryzae</i> pv. <i>oryzae</i> (ex Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [<i>Xanthomonas oryzae</i> (Uyeda & Ishiyama) Dowson] 吉村彰治ら:日植病報 24:6, 1959 [備考] クサヨシ
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi
---	---

ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Guignardia bambusina</i> Rehm 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:19, 1960 [備考] マダケ (注) 文献年訂正	ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Guignardia bambusina</i> Rehm 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 11:19, 1965 [備考] マダケ
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf ††††	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf ††††
---	---

<i>Hypomyces bambusicola</i> Hara 原 攝祐:日菌報 1(4):4, 1957 [備考] モウソウチク・マダケ (注) 文献ページ挿入	<i>Hypomyces bambusicola</i> Hara 原 攝祐:日菌報 1(4), 1957 [備考] モウソウチク・マダケ
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 糸井節美ら:日植病報 44(3):346, 1978 [備考] マダケ・ハチク・クロチク (注) 文献号数挿入(日植病報)	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 糸井節美ら:日植病報 44:346, 1978 [備考] マダケ・ハチク・クロチク
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類
---	---

(Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocyclus</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocyclus</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (1) <i>Chaetothyrium echinulatum</i> W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956 [備考] 台湾。タイワンマダケ (2) <i>Meliola phyllostachydis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):26, 1941(昭16) [備考] 台湾。タイワンマダケ・モウソウチク (3) <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2-3):262, 1940(昭15) [備考] 台湾。タイワンマダケ (4) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957 [備考] 台湾。タイワンマダケ (注) 文献号数挿入(日植病報)	(Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocyclus</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocyclus</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (1) <i>Chaetothyrium echinulatum</i> W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 21:167, 1956 [備考] 台湾。タイワンマダケ (2) <i>Meliola phyllostachydis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):26, 1941(昭16) [備考] 台湾。タイワンマダケ・モウソウチク (3) <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2-3):262, 1940(昭15) [備考] 台湾。タイワンマダケ (4) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957 [備考] 台湾。タイワンマダケ
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada	イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada
---	---

bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L. フェアリーリング病 <i>fairy ring</i>-byo Fairy rings (1) <i>Bovista dermoxantha</i> (Vittadini) de Toni [<i>Bovista pusilla</i> (Batsch) Persoon, <i>Lycoperdon pusillum</i> Batsch ss. Hollós non Batsch] チビホコリタケ (2) <i>Conocybe lactea</i> (J.E. Lange) Métrod キコガサタケ (3) <i>Vascellum curtisii</i> (Berkeley) Kreisel [<i>Lycoperdon curtisii</i> Berkeley & Curtis, <i>Lycoperdon wrightii</i> Berkeley & M.A. Curtis] ヒダホコリタケ Terashima, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 45:251, 2004 [備考] 接種試験未了。ケンタッキーブルーグラス (注) 備考の修正(新旧対照表の反映ミス)	bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L. フェアリーリング病 <i>fairy ring</i>-byo Fairy rings (1) <i>Bovista dermoxantha</i> (Vittadini) de Toni [<i>Bovista pusilla</i> (Batsch) Persoon, <i>Lycoperdon pusillum</i> Batsch ss. Hollós non Batsch] チビホコリタケ (2) <i>Conocybe lactea</i> (J.E. Lange) Métrod キコガサタケ (3) <i>Vascellum curtisii</i> (Berkeley) Kreisel [<i>Lycoperdon curtisii</i> Berkeley & Curtis, <i>Lycoperdon wrightii</i> Berkeley & M.A. Curtis] ヒダホコリタケ Terashima, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 45:251, 2004 [備考] 接種試験未了。ケンタッキーブルーグラス ブルーグラス
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder
--	--

クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Cladosporium cerophilum</i> (Tubaki) Matsushima [<i>Acrotheca cerophila</i> Tubaki] 椿 啓介:服部植物研報 20:143, 1958 ; Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:34, 1975 [備考] <i>Sasa</i> sp.。病菌の学名は<i>Ramichloridium</i> <i>cerophlunm</i> (Tubaki) de Hoogとされている (注) 文献著者名訂正	クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Cladosporium cerophilum</i> (Tubaki) Matsushima [<i>Acrotheca cerophila</i> Tubaki] 椿 啓介:服部植物研報 20:143, 1958 ; Matsuhima, I.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:34, 1975 [備考] <i>Sasa</i> sp.。病菌の学名は<i>Ramichloridium</i> <i>cerophlunm</i> (Tubaki) de Hoogとされている
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa</i> <i>sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Dicellomyces</i> sp. 原田幸雄:日植病報 58(1):120, 1992 [備考] チシマザサ・アズマネザサ	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa</i> <i>sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Dicellomyces</i> sp. 原田幸雄:日植病報 58:120, 1992 [備考] チシマザサ・アズマネザサ
---	--

(注) 文献号数挿入(日植病報)	
------------------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 糸井節美ら:日植病報 44(2):209, 1978 [備考] ジョウボウザサ(<i>Sasaella bitchuensis</i>) (注) 文献号数挿入(日植病報)	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 糸井節美ら:日植病報 44:209, 1978 [備考] ジョウボウザサ(<i>Sasaella bitchuensis</i>)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb.	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb.
---	---

& Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino さび病 <i>sabi-byo</i> Rust (葉さび病) (1) <i>Puccinia hikawaensis</i> Hiratsuka, f. & S. Uchida [<i>Aecidium philadelphi</i> Dietel] 内田正之助:目白学園女短大紀要 2:24, 1965 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:599, 1992 [備考] スズ・ケスズ(<i>Sasamorpha mollis</i>)。さび胞子世代はバイカウツギ(<i>Philadelphus satsumi</i>)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Puccinia kusanoi</i> Dietel 原 攝祐:樹病学各論:172, 1923(大12) ; 吉永虎馬:植物学雑 15(171):97, 1901(明34) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:602, 1992 [備考] センダイムラサキシノ(<i>Arundinaria atropurpurea</i>)・ヒロハアズマササ(<i>A. okadana</i>)・アズマザサ・スエコザサ(<i>A. suwekoana</i>)・カムロザサ・(<i>A. viridistriana</i>)・ミヤコザサ・チュウゴクザサ(<i>Sasa tyugokuensis</i>)。病菌の異名及びさび胞子世代はナリヒラダケさび病参照 (3) <i>Puccinia longicornis</i> Patouillard & Hariot 原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大12) ; 草野俊助:東大農紀要 8:4, 1908(明41) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:603, 1992 [備考] ヤダケ・スズ・チシマザサ・ミヤコザ	& Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino さび病 <i>sabi-byo</i> Rust (葉さび病) (1) <i>Puccinia hikawaensis</i> Hiratsuka, f. & S. Uchida [<i>Aecidium philadelphi</i> Dietel] 内田正之助:目白学園女短大紀要 2:24, 196 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:599, 1992 [備考] スズ・ケスズ(<i>Sasamorpha mollis</i>)。さび胞子世代はバイカウツギ(<i>Philadelphus satsumi</i>)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Puccinia kusanoi</i> Dietel 原 攝祐:樹病学各論:172, 1923(大12) ; 吉永虎馬:植物学雑 15(171):97, 1901(明34) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:602, 1992 [備考] センダイムラサキシノ(<i>Arundinaria atropurpurea</i>)・ヒロハアズマササ(<i>A. okadana</i>)・アズマザサ・スエコザサ(<i>A. suwekoana</i>)・カムロザサ・(<i>A. viridistriana</i>)・ミヤコザサ・チュウゴクザサ(<i>Sasa tyugokuensis</i>)。病菌の異名及びさび胞子世代はナリヒラダケさび病参照 (3) <i>Puccinia longicornis</i> Patouillard & Hariot 原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大12) ; 草野俊助:東大農紀要 8:4, 1908(明41) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:603, 1992 [備考] ヤダケ・スズ・チシマザサ・ミヤコザ
--	---

サ・チマキザサ・ シャコタンチク(<i>Sasa paniculata</i> var. <i>ontakensis</i>)・ミヤマザサ(<i>S. septentrionalis</i>)。さび胞子世代は <i>Deutzia</i>属(ウツギ・コウツギ・ツクシウツギ・マルバウツギ)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Puccinia mitriformis</i> S. Ito [<i>Aecidium hamamelidis</i> Dietel] 原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大12); 伊藤誠哉:東北帝大農紀要 3(2):233, 1909(明42); 平塚直秀・佐藤昭二:菌蕈研報 8:39, 1970; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:605, 1992 [備考] スズ・ヨシノナンブスズ(<i>Sasa kohzegawana</i>)・キンタイザサ(<i>S. paniculata</i> var. <i>nobilis</i>)・チシマザサ・オクミヤコザサ。さび胞子世代は<i>Hamamelis</i>属(マンサク・マルバマンサク・ウラジロマルバマンサク)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Puccinia sasae</i> Kusano 原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大12); 草野俊助:東大農紀要 8:9, 1908(明41) [備考] スズ・チュウコクザサ (6) <i>Puccinia sasicola</i> Hara ex Hino & Katumoto 原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大12) [備考] スズ・ニッコウザサ。さび胞子世代はトサミズキ属(<i>Corylopsis spicata</i>)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Puccinia suzutake</i> Kakishima & S. Sato [<i>Aecidium hydrangiicola</i> Hennings] Kakishima, M. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(3):321, 1981 [備考] スズ。さび胞子世代は<i>Hydrangea</i>属(コアジサイ・ナガバアジサイ・アマチャ・ヤマアジサイ)に寄生してさび病を起こす (注) 文献年訂正	サ・チマキザサ・ シャコタンチク(<i>Sasa paniculata</i> var. <i>ontakensis</i>)・ミヤマザサ(<i>S. septentrionalis</i>)。さび胞子世代は <i>Deutzia</i>属(ウツギ・コウツギ・ツクシウツギ・マルバウツギ)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Puccinia mitriformis</i> S. Ito [<i>Aecidium hamamelidis</i> Dietel] 原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大12); 伊藤誠哉:東北帝大農紀要 3(2):233, 1909(明42); 平塚直秀・佐藤昭二:菌蕈研報 8:39, 1970; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:605, 1992 [備考] スズ・ヨシノナンブスズ(<i>Sasa kohzegawana</i>)・キンタイザサ(<i>S. paniculata</i> var. <i>nobilis</i>)・チシマザサ・オクミヤコザサ。さび胞子世代は<i>Hamamelis</i>属(マンサク・マルバマンサク・ウラジロマルバマンサク)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Puccinia sasae</i> Kusano 原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大12); 草野俊助:東大農紀要 8:9, 1908(明41) [備考] スズ・チュウコクザサ (6) <i>Puccinia sasicola</i> Hara ex Hino & Katumoto 原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大12) [備考] スズ・ニッコウザサ。さび胞子世代はトサミズキ属(<i>Corylopsis spicata</i>)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Puccinia suzutake</i> Kakishima & S. Sato [<i>Aecidium hydrangiicola</i> Hennings] Kakishima, M. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(3):321, 1981 [備考] スズ。さび胞子世代は<i>Hydrangea</i>属(コアジサイ・ナガバアジサイ・アマチャ・ヤマアジサイ)に寄生してさび病を起こす
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae	イネ科 Gramineae, Poaceae
------------------------	------------------------

ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類) ヤシヤダケ(夜叉竹) <i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 糸井節美ら:日植病報 44(1):84, 1978 [備考] アオナリヒラ(<i>S. fastuosa</i> var. <i>viridis</i>)・ケナ シナリヒラ(<i>S. tatebeana</i>) (注) 文献号数挿入(日植病報)	ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類) ヤシヤダケ(夜叉竹) <i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 糸井節美ら:日植病報 44:84, 1978 [備考] アオナリヒラ(<i>S. fastuosa</i> var. <i>viridis</i>)・ケナ シナリヒラ(<i>S. tatebeana</i>)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類) ヤシヤダケ(夜叉竹) <i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino 褐斑病* kappan-byo Brown leaf spot <i>Phaeosphaeria bambusae</i> I. Miyake & Hara [<i>Leptosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) Hara, <i>Leptosphaeria bambusae</i> (I. Miyake & Hara) Saccardo, <i>Phaeospora bambusae</i> (Miyake & Hara) Hara, <i>Trematosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:160, 1961 [備考] ケナシナリヒラに発生 (注) 重複する病原学名異名的一方を削除。	イネ科 Gramineae, Poaceae ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類) ヤシヤダケ(夜叉竹) <i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino 褐斑病* kappan-byo Brown leaf spot <i>Phaeosphaeria bambusae</i> I. Miyake & Hara [<i>Leptosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) Hara, <i>Leptosphaeria bambusae</i> (I. Miyake & Hara) Saccardo, <i>Phaeospora bambusae</i> (Miyake & Hara) Hara, <i>Trematosphaerella bambusae</i> (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto, <i>Trematosphaerella</i> <i>bambusae</i> (I. Miyake & Hara) I. Hino & Katumoto] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:160, 1961 [備考] ケナシナリヒラに発生
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet (食用作物) オオアワ <i>Setaria italica</i> Beauv. コアワ <i>Setaria italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. ばか穂病 bakaho-byo (馬鹿穂病) 病原未記載 堀 正太郎:農作物病学:187, 1903(明36) [備考] 原因不明。調査を要する (注) 文献名訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet (食用作物) オオアワ <i>Setaria italica</i> Beauv. コアワ <i>Setaria italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. ばか穂病 bakaho-byo (馬鹿穂病) 病原未記載 堀 正太郎:農作物学:187, 1903(明36) [備考] 原因不明。調査を要する
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae オカメザサ(ブンゴザサ, 豊後笹) (Shibataea) <i>Shibataea kumasaca</i> (Zollinger) Makino (竹笹類) いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 糸井節美ら:日植病報 44(2):209, 1978 (注) 文献号数挿入(日植病報)	イネ科 Gramineae, Poaceae オカメザサ(ブンゴザサ, 豊後笹) (Shibataea) <i>Shibataea kumasaca</i> (Zollinger) Makino (竹笹類) いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 糸井節美ら:日植病報 44:209, 1978
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae カンチク(寒竹) (Chimonobambusa) <i>Chimonobambusa marmorea</i> (Mitford) Makino (竹笹類) シホウチク(シカクダケ)(四方竹, 四角竹) <i>Tetragonocalamus quadrangularis</i> (Fenzi) Nakai いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp.	イネ科 Gramineae, Poaceae カンチク(寒竹) (Chimonobambusa) <i>Chimonobambusa marmorea</i> (Mitford) Makino (竹笹類) シホウチク(シカクダケ)(四方竹, 四角竹) <i>Tetragonocalamus quadrangularis</i> (Fenzi) Nakai いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp.
--	--

糸井節美ら:日植病報 44(2):209, 1978 [備考] シホウチク (注) 文献号数挿入(日植病報)	糸井節美ら:日植病報 44:209, 1978 [備考] シホウチク
--	---------------------------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 赤かび病 akakabi-byo Gibberella ear rot, Kernel rot, Stalk rot (赤黴病) (1) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser Kawakami, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):324, 2015 (2) <i>Fusarium concentricum</i> Nirenberg & O'Donnell 月星隆雄ら:日植病報 78(3):187, 2012 (3) <i>Fusarium fujikuroi</i> Nirenberg (4) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 月星隆雄ら:日植病報 77(3):203, 2011 (5) <i>Fusarium verticillioides</i> (Saccardo) Nirenberg 岡部郁子ら:日植病報 74(1):35, 2008 (6) <i>Gibberella zeae</i> (Schweinitz) Petch [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (7) <i>Gibberella fujikuroi</i> (Sawada) S. Ito [<i>Gibberella moniliformis</i> Wineland, <i>Fusarium moniliforme</i> J. Sheldon] 出田 新:日本植物病理学(下):785, 1909(明42) ; 西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959 (注) 文献著者名にカンマを挿入	イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 赤かび病 akakabi-byo Gibberella ear rot, Kernel rot, Stalk rot (赤黴病) (1) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser Kawakami A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):324, 2015 (2) <i>Fusarium concentricum</i> Nirenberg & O'Donnell 月星隆雄ら:日植病報 78(3):187, 2012 (3) <i>Fusarium fujikuroi</i> Nirenberg (4) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 月星隆雄ら:日植病報 77(3):203, 2011 (5) <i>Fusarium verticillioides</i> (Saccardo) Nirenberg 岡部郁子ら:日植病報 74(1):35, 2008 (6) <i>Gibberella zeae</i> (Schweinitz) Petch [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (7) <i>Gibberella fujikuroi</i> (Sawada) S. Ito [<i>Gibberella moniliformis</i> Wineland, <i>Fusarium moniliforme</i> J. Sheldon] 出田 新:日本植物病理学(下):785, 1909(明42) ; 西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae	イネ科 Gramineae, Poaceae
------------------------	------------------------

トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) †べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) (1) <i>Peronosclerospora maydis</i> (Raciborski) C.G. Shaw [<i>Sclerospora javanica</i> Palm, <i>Peronospora maydis</i> Raciborski, <i>Sclerospora maydis</i> E.J. Butler] (2) <i>Peronosclerospora sacchari</i> (T. Miyake) Shirai & Hara [<i>Sclerospora sacchari</i> T. Miyake] 村田寿太郎:病虫雑 2(5):445, 1915(大4); 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):98, 1919(大8); 御子柴晴夫:熱帯農業 14(4):213, 1971; Shaw, C. G.:Mycologia 70:594, 1978 [備考] 台湾 (注) 病原学名正名と重複する病原学名異名を削除。	トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) †べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) (1) <i>Peronosclerospora maydis</i> (Raciborski) C.G. Shaw [<i>Sclerospora javanica</i> Palm, <i>Peronospora maydis</i> Raciborski, <i>Sclerospora maydis</i> E.J. Butler] (2) <i>Peronosclerospora sacchari</i> (T. Miyake) Shirai & Hara [<i>Peronosclerospora sacchari</i> (T. Miyake) Shirai & Hara, <i>Sclerospora sacchari</i> T. Miyake] 村田寿太郎:病虫雑 2(5):445, 1915(大4); 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):98, 1919(大8); 御子柴晴夫:熱帯農業 14(4):213, 1971; Shaw, C. G.:Mycologia 70:594, 1978 [備考] 台湾
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae マコモ類 Manchurian wild rice <i>Zizania</i> spp. (野草) マコモ Manchurian wild rice <i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Stapf アメリカマコモ(ワイルドライス) <i>Zizania palustris</i> L. 白葉枯病 shirahagare-byo <i>Xanthomonas oryzae</i> pv. <i>oryzae</i> (ex Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [<i>Xanthomonas oryzae</i> (Uyeda & Ishiyama) Dowson] 後藤和夫ら:農及園 28:207, 1953; 吉村彰治ら:日	イネ科 Gramineae, Poaceae マコモ類 Manchurian wild rice <i>Zizania</i> spp. (野草) マコモ Manchurian wild rice <i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Stapf アメリカマコモ(ワイルドライス) <i>Zizania palustris</i> L. 白葉枯病 shirahagare-byo <i>Xanthomonas oryzae</i> pv. <i>oryzae</i> (ex Ishiyama 1922) Swings, Van den Mooter, Vauterin, Hoste, Gillis, Mew & Kersters 1990 [<i>Xanthomonas oryzae</i> (Uyeda & Ishiyama) Dowson] 後藤和夫ら:農及園 28:207, 1953; 吉村彰治ら:日
---	---

植病報 24(1):6, 1959 [備考] マコモ (注) 文献号数挿入(日植病報)	植病報 24:6, 1959 [備考] マコモ
--	---------------------------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae マコモ類 Manchurian wild rice <i>Zizania</i> spp. (野草) マコモ Manchurian wild rice <i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Stapf アメリカマコモ(ワイルドライス) <i>Zizania palustris</i> L. いもち病 imochi-byo Blast (1) <i>Pyricularia grisea</i> (Cooke) Saccardo [<i>Pyricularia oryzae</i> Cavara] 生井恒雄ら:日植病報 62(3):247, 1996 [備考] アメリカマコモ。病原菌の学名は Rossman, A.Y. <i>et al.</i>:Mycologia 82:509, 1990を参照 (2) <i>Pyricularia zizaniaecola</i> Hashioka [<i>Pyricularia zizaniae</i> Hara] 原 攝祐:日本園芸雑誌 28(12):9, 1916 ; 後藤和夫ら:日植病報 18(3-4):160, 1954 ; Hashioka, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 14:256, 1973 [備考] マコモ (注) 文献号数挿入(日植病報)	イネ科 Gramineae, Poaceae マコモ類 Manchurian wild rice <i>Zizania</i> spp. (野草) マコモ Manchurian wild rice <i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Stapf アメリカマコモ(ワイルドライス) <i>Zizania palustris</i> L. いもち病 imochi-byo Blast (1) <i>Pyricularia grisea</i> (Cooke) Saccardo [<i>Pyricularia oryzae</i> Cavara] 生井恒雄ら:日植病報 62(3):247, 1996 [備考] アメリカマコモ。病原菌の学名は Rossman, A.Y. <i>et al.</i>:Mycologia 82:509, 1990を参照 (2) <i>Pyricularia zizaniaecola</i> Hashioka [<i>Pyricularia zizaniae</i> Hara] 原 攝祐:日本園芸雑誌 28(12):9, 1916 ; 後藤和夫ら:日植病報 18:160, 1954 ; Hashioka, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 14:256, 1973 [備考] マコモ
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae タケ Bambusoideae (竹笹類) ††††	イネ科 Gramineae, Poaceae タケ Bambusoideae (竹笹類) ††††
--	--

<i>Arthrinium phaeospermum</i> (Corda) M.B. Ellis 横山竜夫・椿 啓介:日植病報 37(3):158, 1971 (注) 文献号数挿入(日植病報)	<i>Arthrinium phaeospermum</i> (Corda) M.B. Ellis 横山竜夫・椿 啓介:日植病報 37:158, 1971
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae タケ Bambusoideae (竹笹類) †††† <i>Arthrinium sphaerospermum</i> Fuckel 横山竜夫・椿 啓介:日植病報 37(3):158, 1971 (注) 文献号数挿入(日植病報)	イネ科 Gramineae, Poaceae タケ Bambusoideae (竹笹類) †††† <i>Arthrinium sphaerospermum</i> Fuckel 横山竜夫・椿 啓介:日植病報 37:158, 1971
--	---

オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc., <i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. 褐紋病 katsumon-byo Diploceras brown leaf	オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc., <i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. 褐紋病 katsumon-byo Diploceras brown leaf
--	--

spot <i>Diploceras hypericinum</i> (Cesati) Diedicke 竹内 純ら:日植病報 72(4):208, 2006 [備考] コボウズオトギリに発生 (注) 文献年の前のピリオドをカンマに修正	spot <i>Diploceras hypericinum</i> (Cesati) Diedicke 竹内 純ら:日植病報 72(4):208, 2006 [備考] コボウズオトギリに発生
---	--

オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc., <i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Melampsora hypericorum</i> (de Candolle) J. Schröter 堀江博道ら:関東病虫研報 50:117, 2003 ; 堀江博道ら:関東病虫研報 51:87, 2004 [備考] コボウズオトギリ, ビヨウヤナギおよびセイヨウキンシバイに発生 (2) <i>Melampsora</i> sp. 堀江博道ら:日植病報 61(6):604, 1995 ; 中川茂子:47回日林関東支論:93, 1995 [備考] セイヨウキンシバイに発生。冬胞子世代	オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc., <i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Melampsora hypericorum</i> (de Candolle) J. Schröter 堀江博道ら:関東病虫研報 50:117, 2003 ; 堀江博道ら:関東病虫研報 51:87, 2004 [備考] コボウズオトギリ, ビヨウヤナギおよびセイヨウキンシバイに発生 (2) <i>Melampsora</i> sp. 堀江博道ら:日植病報 61:604, 1995 ; 中川茂子:47回日林関東支論:93, 1995 [備考] セイヨウキンシバイに発生。冬胞子世代
--	---

は未確認 (注) 文献号数挿入(日植病報)	は未確認
-------------------------------------	-------------

シキミ科 Illiciaceae シキミ(楸) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) 絹皮病 kinukawa-byo White stem blight <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭15) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 31:8, 1993 [備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照 (注) 文献名のピリオド抜けを修正	シキミ科 Illiciaceae シキミ(楸) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) 絹皮病 kinukawa-byo White stem blight <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭15) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol Inst. 31:8, 1993 [備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照
---	--

アヤメ科 Iridaceae クロッカス(サフラン, 洎夫藍) Crocus <i>Crocus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) クロッカス <i>Crocus</i> <i>Crocus sieberi</i> J. Gay サフラン <i>Crocus sativus</i> L. 菌核病 kinkaku-byo Dry rot (乾腐病) <i>Stromatinia gladioli</i> (Drayton) Whetzel [<i>Sclerotinia gladioli</i> Drayton] 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:61, 1939(昭14) ; Darva, S.J.M.:Phytophylactica 16:255, 1984 (注) 文献著者名のカンマ抜けを修正	アヤメ科 Iridaceae クロッカス(サフラン, 洎夫藍) Crocus <i>Crocus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) クロッカス <i>Crocus</i> <i>Crocus sieberi</i> J. Gay サフラン <i>Crocus sativus</i> L. 菌核病 kinkaku-byo Dry rot (乾腐病) <i>Stromatinia gladioli</i> (Drayton) Whetzel [<i>Sclerotinia gladioli</i> Drayton] 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:61, 1939(昭14) ; Darva S.J.M.:Phytophylactica 16:255, 1984
---	---

アヤメ科 Iridaceae グラジオラス Gladiolus Gladiolus spp. 及び種間雑種 (草花) アシダンセラ Peacock orchid Gladiolus spp. ++++ (1) <i>Bean yellow mosaic virus</i> (BYMV) 高橋 実ら:日植病報 30(5):301, 1965 ; 福本文良ら: 日植病報 48(1):68, 1982 [備考] ウイルス病とされていた (2) <i>Cycas necrotic stunt virus</i> (CNSV) 福本文良ら:日植病報 53(1):64, 1987 ; Hanada, K. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 72(6):383, 2006 [備考] ウイルス病とされていた (3) <i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV) 福本文良ら:日植病報 48(1):68, 1982 [備考] ウイルス病とされていた (4) <i>Tobacco ringspot virus</i> (TRSV) 福本文良・栃原比呂志:日植病報 42(3):384, 1976 ; 福本文良ら:日植病報 48(1):68, 1982 [備考] ウイルス病とされていた (注) 病原(2)の文献名訂正。ウイルス病の病名削 除については、2019年前期の新旧対照表の最初 の項目を参照のこと。	アヤメ科 Iridaceae グラジオラス Gladiolus Gladiolus spp. 及び種間雑種 (草花) アシダンセラ Peacock orchid Gladiolus spp. ウイルス病 virus-byo (1) <i>Bean yellow mosaic virus</i> (BYMV) 高橋 実ら:日植病報 30(5):301, 1965 ; 福本文良 ら:日植病報 48(1):68, 1982 (2) <i>Cycas necrotic stunt virus</i> (CNSV) 福本文良ら:日植病報 53(1):64, 1987 ; Hanada, K. et al.:J. Gen. Plan Pathol. 72(6):383, 2006 (3) <i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV) 福本文良ら:日植病報 48(1):68, 1982 (4) <i>Tobacco ringspot virus</i> (TRSV) 福本文良・栃原比呂志:日植病報 42(3):384, 1976 ; 福本文良ら:日植病報 48(1):68, 1982
---	---

アヤメ科 Iridaceae グラジオラス Gladiolus Gladiolus spp. 及び種間雑種 (草花) アシダンセラ Peacock orchid Gladiolus spp. 首腐病 kubigusare-byo Bacterial scab, Neck rot (細菌病, 軟腐性細菌病) <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Bacterium gladioli</i> (Severini) Elliott, <i>Bacterium marginatum</i> McCulloch] 瀧元清透:病虫雑 10(4):212, 1923(大12) ; 堀 正太 郎:実際園芸 3(6):659, 1927(昭2) ; 石山信一・向	アヤメ科 Iridaceae グラジオラス Gladiolus Gladiolus spp. 及び種間雑種 (草花) アシダンセラ Peacock orchid Gladiolus spp. 首腐病 kubigusare-byo Bacterial scab, Neck rot (細菌病, 軟腐性細菌病) <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Bacterium gladioli</i> (Severini) Elliott, <i>Bacterium marginatum</i> McCulloch] 瀧元清透:病虫雑 10(4):212, 1923(大12) ; 堀 正太 郎:実際園芸 3(6):659, 1927(昭2) ; 石山信一・向
---	---

秀夫:植物病原細菌誌:550, 1941 ; 岡部徳夫:植物細菌病学:354, 1949	秀夫:植物病原細菌誌:550, 1941 ; 岡部徳夫:植物病原細菌学:354, 1947
(注) 文献名・文献年訂正	

アヤメ科 Iridaceae グラジオラス Gladiolus <i>Gladiolus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) アシダンセラ Peacock orchid <i>Gladiolus</i> spp. †††さび病 sabi-byo Rust <i>Uredo transversalis</i> Thümen Motokura, Y. <i>et al.</i>:Bull. Pl. Prot. Japan 36:47, 2000 [備考] イタリ^ア。 <i>Uromyces transversalis</i> (Thümen) Winter の夏胞子世代と考えられる (注) 国名表記を他の項目と統一した	アヤメ科 Iridaceae グラジオラス Gladiolus <i>Gladiolus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) アシダンセラ Peacock orchid <i>Gladiolus</i> spp. †††さび病 sabi-byo Rust <i>Uredo transversalis</i> Thümen Motokura, Y. <i>et al.</i>:Bull. Pl. Prot. Japan 36:47, 2000 [備考] イタリ^ー。 <i>Uromyces transversalis</i> (Thümen) Winter の夏胞子世代と考えられる
--	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae コリウス Coleus <i>Coleus blumei</i> Benth. (草花) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora belbahrii</i> Thines 伊藤陽子ら:日植病報 74(1):34, 2008 ; Ito, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):328, 2015 (注) 文献著者名のカンマ抜けを修正	シソ科 Labiatae, Lamiaceae コリウス Coleus <i>Coleus blumei</i> Benth. (草花) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora belbahrii</i> Thines 伊藤陽子ら:日植病報 74(1):34, 2008 ; Ito Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):328, 2015
--	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae メボウキ(バジル)	シソ科 Labiatae, Lamiaceae メボウキ(バジル)
--------------------------------------	--------------------------------------

Sweet basil <i>Ocimum basilicum</i> L. (野菜) 黒あし病 kuroashi-byo Black stem and root rot <i>Corynespora citricola</i> M. B. Ellis 田場 聡ら:日植病報 68(1):43, 2002 (注) 文献年の前のピリオドをカンマに修正	Sweet basil <i>Ocimum basilicum</i> L. (野菜) 黒あし病 kuroashi-byo Black stem and root rot <i>Corynespora citricola</i> M. B. Ellis 田場 聡ら:日植病報 68(1):43. 2002
--	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae エゴマ(荳胡麻) Perilla <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>japonica</i> (Hassk.) Hara (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Brown spot <i>Septoria perillae</i> I. Miyake [<i>Septoria kishitai</i> Fukui] 三宅市郎:植物学雑 28(327):52, 1914(大3) ; 逸見 武雄:病虫雑 3(7):506, 1916(大5) (注) 文献名訂正	シソ科 Labiatae, Lamiaceae エゴマ(荳胡麻) Perilla <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>japonica</i> (Hassk.) Hara (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Brown spot <i>Septoria perillae</i> I. Miyake [<i>Septoria kishitai</i> Fukui] 三宅市郎:植物学雑 28(327):52, 1914(大3) ; 逸見 武雄:病 3(7):506, 1916(大5)
--	---

クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠) Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) †立枯病 tachigare-byo <i>Phellinus lamaensis</i> (Murrill) R. Heim [<i>Cryptoderma lamaense</i> (Murrill) Imazeki, <i>Fomes lamaensis</i> (Murrill) Saccardo & Trotter] 澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾菌類調査報告 4):86, 1928(昭3)	クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠) Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) †立枯病 tachigare-byo <i>Phellinus lamaensis</i> (Murrill) R. Heim [<i>Cryptoderma lamaense</i> (Murrill) Imazeki, <i>Fomes lamaensis</i> (Murrill) Saccardo & Trotter] 澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾菌類調査報告 4):86, 1928(昭3)
--	--

[備考] 台湾。阿部らは <i>Phellinus noxius</i> (Corner) Cunningham の和名をシマサルノコシカケとし、<i>P. lamaensis</i> を別種とした (Abe, Y. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995)。学名は Heim, R.:Ann. Crypt. Exot. 7(1):21, 1934 を参照 (注) 文献著者名修正、文献名訂正	[備考] 台湾。阿部らは <i>Phellinus noxius</i> (Corner) Cunningham の和名をシマサルノコシカケとし、<i>P. lamaensis</i> を別種とした (Abe et al.:Ann. Phytopath. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995)。学名は Heim, R.:Ann. Crypt. Exot. 7(1):21, 1934 を参照
---	--

クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) †††† <i>Ellisiopsis gallsiae</i> Batista & Nascimento Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:67, 1975 (注) 文献著者名修正、文献名訂正	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) †††† <i>Ellisiopsis gallsiae</i> Batista & Nascimento Matsushima, T.:Icon. Microfung. Matsushima lect.:67, 1975
--	---

クスノキ科 Lauraceae アボカド(酪梨) Avocado <i>Persea americana</i> Miller (果樹) †褐紋病 katsumon-byo Brown spot, Pseudocercospora blotch, Pseudocercospora spot <i>Pseudocercospora purpurea</i> (Cooke) Deighton [<i>Cercospora purpurea</i> Cooke] 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:50, 1977 ; Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:50, 1978 [備考] ブラジル・フィリピン	クスノキ科 Lauraceae アボカド(酪梨) Avocado <i>Persea americana</i> Miller (果樹) †褐紋病 katsumon-byo Brown spot, Pseudocercospora blotch, Pseudocercospora spot <i>Pseudocercospora purpurea</i> (Cooke) Deighton [<i>Cercospora purpurea</i> Cooke] 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:50, 1977 ; Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC 11:50, 1978 [備考] ブラジル・フィリピン
--	--

(注) 文献表記を他病名の同文献に合わせて修正	
-------------------------	--

ユリ科 Liliaceae ニラ(菰) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler ex Spreng. (野菜) 乾腐病 kampu-byo Basal rot (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>cepae</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal] 木嶋利男ら:日植病報 49(1):78, 1983 ; 山崎睦子 ら:日植病報 79(3):182, 2013 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 山崎睦子ら:日植病報 78(3):186, 2012 ; Yamazaki, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(6):431, 2013 (注) 文献著者名の「<i>et al.</i>」の前に半角スペース 挿入	ユリ科 Liliaceae ニラ(菰) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler ex Spreng. (野菜) 乾腐病 kampu-byo Basal rot (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>cepae</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal] 木嶋利男ら:日植病報 49(1):78, 1983 ; 山崎睦子 ら:日植病報 79(3):182, 2013 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 山崎睦子ら:日植病報 78(3):186, 2012 ; Yamazaki, M.<i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(6):431, 2013
---	--

ユリ科 Liliaceae トリトマ(ツルボラン) Red-hot poker <i>Kniphofia × hybrida</i> Hort. (草花) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 窪田昌春ら:関西病虫研報 41:83, 1999 (注) 文献年訂正	ユリ科 Liliaceae トリトマ(ツルボラン) Red-hot poker <i>Kniphofia × hybrida</i> Hort. (草花) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 窪田昌春ら:関西病虫研報 41:83, 199
---	--

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 立枯病 tachigare-byo (萎縮病, 腐敗病, 細菌病) 病原細菌種名未定 上田栄次郎:園芸之友 1(8):31, 1905(明38); 堀 正太郎:農業世界 2(9):55, 1907(明40); ト蔵梅之丞:日植病報 1(2):36, 1919(大8); 出田 新:続日本植物病理学(上):34, 1923(大12) [備考] 病原細菌名 <i>Erwinia lilii</i> (Uyeda 1911) Magrou 1937 は国際細菌命名規約により1980年1月1日をもって失効した (注) 文献ページ挿入	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 立枯病 tachigare-byo (萎縮病, 腐敗病, 細菌病) 病原細菌種名未定 上田栄次郎:園芸之友 1(8), 1905(明38); 堀 正太郎:農業世界 2(9):55, 1907(明40); ト蔵梅之丞:日植病報 1(2):36, 1919(大8); 出田 新:続日本植物病理学(上):34, 1923(大12) [備考] 病原細菌名 <i>Erwinia lilii</i> (Uyeda 1911) Magrou 1937 は国際細菌命名規約により1980年1月1日をもって失効した
---	---

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ)	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ)
--	--

リ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 乾腐病 kampu-byo Bulb, root and stem rot <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>lilii</i> Imle 田中文夫ら:日植病報 54(1):118, 1988 ; 田中文夫ら:日植病報 55(4):501, 1989 ; 田中文夫ら:日植病報 57(3):395, 1991 [備考] 食用ユリ (<i>Lilium auratum</i>)。 <i>Fusarium</i> sp. による鱗片腐敗は森本徳右衛門 (日植病報 19(3-4):159, 1955 ; 高知大学術研報 4(7):1, 1955) が最初に記載した (注) 文献著者名訂正	リ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 乾腐病 kampu-byo Bulb, root and stem rot <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>lilii</i> Imle 田中文雄ら:日植病報 54(1):118, 1988 ; 田中文雄ら:日植病報 55(4):501, 1989 ; 田中文雄ら:日植病報 57(3):395, 1991 [備考] 食用ユリ (<i>Lilium auratum</i>)。 <i>Fusarium</i> sp. による鱗片腐敗は森本徳右衛門 (日植病報 19(3-4):159, 1955 ; 高知大学術研報 4(7):1, 1955) が最初に記載した
--	---

ユリ科 Liliaceae オーニソガラム Ornithogalum, Star of Bethlehem <i>Ornithogalum</i> spp. (草花) えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic <i>Ornithogalum virus 3</i> (OrV-3) [<i>Ornithogalum necrotic mosaic virus</i>] Fuji, S. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 148:613, 2003 ; Matsumoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 74(1):76, 2008 (注) 病名読みのハイフンを半角に修正。文献の表記を他病名の同文献と統一した(ピリオド挿入)。	ユリ科 Liliaceae オーニソガラム Ornithogalum, Star of Bethlehem <i>Ornithogalum</i> spp. (草花) えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic <i>Ornithogalum virus 3</i> (OrV-3) [<i>Ornithogalum necrotic mosaic virus</i>] Fuji, S. <i>et al.</i>:Arch Virol 148:613, 2003 ; Matsumoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 74(1):76, 2008
--	---

ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) †††† <i>Zygophiala jamaicensis</i> E.W. Mason Nasu, H. & Kunoh, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 28(2):212, 1987 (注) 文献を他病名の同文献に合わせて英語表記とした(英文献)。	ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) †††† <i>Zygophiala jamaicensis</i> E.W. Mason 那須英夫・久能 均:日菌報 28(2):1987
--	---

ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium smilacis</i> Schweinitz Dietel, P.:Hedwigia 37:212, 1898(明30) ; 吉永虎馬: 植物学雑 15(171):95, 1901(明33) [備考] ヤマガシユウ (<i>S. sieboldii</i>) にも発生 (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):131, 1943(昭18) ; 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭18) ; 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961 [備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生 (3) <i>Blastospora itoana</i> Togashi & Onuma 富樫浩吾・大沼総治:植物学雑 45(529):6, 1931(昭 6) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・ラ ンダイサンキライ (<i>S. randaiensis</i>) (4) <i>Blastospora smilacis</i> Dietel [<i>Caeoma makinoi</i>	ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium smilacis</i> Schweinitz Dietel, P.:Hedwigia 37:212, 1898(明30) ; 吉永虎馬: 植物学雑 15(171):95, 1901(明33) [備考] ヤマガシユウ (<i>S. sieboldii</i>) にも発生 (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):131, 1943(昭18) ; 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭18) ; 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961 [備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生 (3) <i>Blastospora itoana</i> Togashi & Onuma 富樫浩吾・大沼総治:植物学雑 45(529):6, 1931(昭 6) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・ラ ンダイサンキライ (<i>S. randaiensis</i>) (4) <i>Blastospora smilacis</i> Dietel [<i>Caeoma makinoi</i>
---	---

Kusano] Dietel, P.:Ann. Mycol. (6):223, 1908(明41) ; 吉永虎馬・平塚直秀:植物学雑 44(528):633, 1930(昭5) ; Ono, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 78(2):253, 1986 [備考] シオデ・ヤマガシュウ (5) <i>Puccinia caricis-blepharicarpae</i> Hiratsuka, f. 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18(3-4):87, 1949 ; 平塚直秀:東教大農紀要 1:58, 1952 (6) <i>Puccinia citrina</i> P. Sydow & Sydow Sydow, P. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 12:107, 1914(大3) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告) 1:366, 1919(大9) ; 平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):26, 1941(昭16) [備考] サツマサンキライ (<i>S.bracteata</i>)・カラスキバサンキライ (<i>S.japonica</i>)・ナメラサンキライ (<i>S.glabra</i>)・ランダイサンキライにも発生 (7) <i>Puccinia ferruginea</i> Lévillé ex Vaillant [<i>Puccinia smilacis-chinae</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 40:125, 1901(明34) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):5, 1902(明35) ; 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:20, 1926(大15) [備考] シオデ・タチシオデ・サツマサンキライ・カラスキバサンキライ・マルバサンキライ (<i>S.stans</i>)・ヤクシマカカラ (<i>S.china</i> var. <i>yakushimensis</i>) にも発生 (8) <i>Puccinia iriensis</i> Morimoto 森本泰二:植研雑 37(1):1, 1962 (9) <i>Puccinia smilacis-sieboldii</i> Hiratsuka, f. [<i>Puccinia henryana</i> P. Sydow & Sydow, <i>Puccinia smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacis-chinae</i> Hiratsuka] Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37(1):99, 1905(明38) ; 平塚直秀:植物学雑 56(668):377, 1942(昭17) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシュウ・マルバサンキライ・ササバサンキライ (<i>S.nervo-marginata</i>)・オキナワサルトリイバラ (<i>S.china</i> var. <i>kuru</i>) にも発生	Kusano] Dietel, P.:Ann. Mycol. (3):223, 1908(明41) ; 吉永虎馬・平塚直秀:植物学雑 44(528):633, 1930(昭5) ; Ono, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 78(2):253, 1986 [備考] シオデ・ヤマガシュウ (5) <i>Puccinia caricis-blepharicarpae</i> Hiratsuka, f. 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18(3-4):87, 1949 ; 平塚直秀:東教大農紀要 1:58, 1952 (6) <i>Puccinia citrina</i> P. Sydow & Sydow Sydow, P. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 12:107, 1914(大3) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告) 1:366, 1919(大9) ; 平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):26, 1941(昭16) [備考] サツマサンキライ (<i>S.bracteata</i>)・カラスキバサンキライ (<i>S.japonica</i>)・ナメラサンキライ (<i>S.glabra</i>)・ランダイサンキライにも発生 (7) <i>Puccinia ferruginea</i> Lévillé ex Vaillant [<i>Puccinia smilacis-chinae</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 40:125, 1901(明34) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):5, 1902(明35) ; 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:20, 1926(大15) [備考] シオデ・タチシオデ・サツマサンキライ・カラスキバサンキライ・マルバサンキライ (<i>S.stans</i>)・ヤクシマカカラ (<i>S.china</i> var. <i>yakushimensis</i>) にも発生 (8) <i>Puccinia iriensis</i> Morimoto 森本泰二:植研雑 37(1):1, 1962 (9) <i>Puccinia smilacis-sieboldii</i> Hiratsuka, f. [<i>Puccinia henryana</i> P. Sydow & Sydow, <i>Puccinia smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacis-chinae</i> Hiratsuka] Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37(1):99, 1905(明38) ; 平塚直秀:植物学雑 56(668):377, 1942(昭17) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシュウ・マルバサンキライ・ササバサンキライ (<i>S.nervo-marginata</i>)・オキナワサルトリイバラ (<i>S.china</i> var. <i>kuru</i>) にも発生
--	--

(注) 文献号数訂正	
------------	--

ミソハギ科 Lythraceae サルスベリ(百日紅) Crape myrtle, Indian lilac <i>Lagerstroemia indica</i> L. (広葉樹) 絹皮病 kinukawa-byo White stem blight <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭15) ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 31:8, 1993 [備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照: (注) 文献名の省略のピリオド抜けを修正	ミソハギ科 Lythraceae サルスベリ(百日紅) Crape myrtle, Indian lilac <i>Lagerstroemia indica</i> L. (広葉樹) 絹皮病 kinukawa-byo White stem blight <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭15) ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol Inst. 31:8, 1993 [備考] 病原菌の異名はシデ類絹皮病参照:
--	---

アオイ科 Malvaceae ワタ(棉) Cotton <i>Gossypium</i> spp. (特用作物) ††さく腐敗病* saku-fuhai-byo Boll rot (球 蒴腐敗病) (1) 病原細菌種名未定 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:128, 1941(昭 16) [備考] 国内発生未詳。病原細菌名 <i>Bacillus</i> <i>gossypina</i> Stedman は国際細菌命名規約により 1980年1月1日をもって失効した (2) <i>Eremothecium cymbalariae</i> Borzi 渡邊龍雄:繊維作物病学 111, 1947 [備考] 国内発生未詳 (3) <i>Nematospora coryli</i> Peglion	アオイ科 Malvaceae ワタ(棉) Cotton <i>Gossypium</i> spp. (特用作物) ††さく腐敗病* saku-fuhai-byo Boll rot (球 蒴腐敗病) (1) 病原細菌種名未定 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:128, 1941(昭 16) [備考] 国内発生未詳。病原細菌名 <i>Bacillus</i> <i>gossypina</i> Stedman は国際細菌命名規約により 1980年1月1日をもって失効した (2) <i>Eremothecium cymbalariae</i> Borzi 渡邊龍雄:繊維作物病学 111, 1947 [備考] 国内発生未詳 (3) <i>Nematospora coryli</i> Peglion
---	---

渡邊龍雄:繊維作物病学 111, 1947 ; 木場三朗:作物病害の診断と防除 374, 1952 [備考] 国内発生未詳 (注) 文献名訂正	渡邊龍雄:繊維作物病学 111, 1947 ; 木場三朗:作物病害の診断防除 374, 1952 [備考] 国内発生未詳
--	--

アオイ科 Malvaceae ワタ(棉) Cotton <i>Gossypium</i> spp. (特用作物) ††黒化病 kokka-byo Diplodia ball rot <i>Botryosphaeria rhodina</i> (Cooke) Arx [<i>Physalospora rhodina</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Cooke, <i>Diplodia gossypina</i> Cooke] 渡邊龍雄:繊維作物病学 110, 1947 ; 河合一郎:改著作物病害編 568, 1961 [備考] 国内発生未詳 (注) 文献名訂正	アオイ科 Malvaceae ワタ(棉) Cotton <i>Gossypium</i> spp. (特用作物) ††黒化病 kokka-byo Diplodia ball rot <i>Botryosphaeria rhodina</i> (Cooke) Arx [<i>Physalospora rhodina</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Cooke, <i>Diplodia gossypina</i> Cooke] 渡邊龍雄:繊維作物病学 110, 1947 ; 河合一郎:改善作物病害編 568, 1961 [備考] 国内発生未詳
--	---

アオイ科 Malvaceae フヨウ(芙蓉) Cotton rosemallow <i>Hibiscus mutabilis</i> Linn. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Cercospora malayensis</i> F. Stevens & Solheim [<i>Cercosporina hibisci</i> Fukui non Tracy & Earle, <i>Cercospora fukuii</i> Hara] 福井武治:三重大学芸研究紀要 6:117, 1951 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):64, 1960 [備考] ハマボウ(<i>H. tiliaceus</i>)にも発生	アオイ科 Malvaceae フヨウ(芙蓉) Cotton rosemallow <i>Hibiscus mutabilis</i> Linn. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Cercospora malayensis</i> F. Stevens & Solheim [<i>Cercosporina hibisci</i> Fukui non Tracy & Earle, <i>Cercospora fukuii</i> Hara] 福井武治:三重大学芸研究紀要 6:117, 1951 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫大農研報農生編 4(2):64, 1960 [備考] ハマボウ(<i>H. tiliaceus</i>)にも発生
--	--

(注) 文献名訂正	
-----------	--

クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [<i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907, <i>Pseudomonas tumefaciens</i> (Smith & Townsend) Duggar] 原 攝祐:果樹病害論:345, 1916(大5); 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:51, 1927(昭2); 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭8); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015 [備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を<i>Rhizobium</i>属へと読み替えることはできない (注) 文献名訂正	クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [<i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907, <i>Pseudomonas tumefaciens</i> (Smith & Townsend) Duggar] 原 攝祐:果樹病概論:345, 1916(大5); 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:51, 1927(昭2); 高木三郎:日園雑 45(12):37, 1933(昭8); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015 [備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を<i>Rhizobium</i>属へと読み替えることはできない
--	---

クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) ††細菌病 saikin-byo Bacterial disease <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>fici</i> (Cavara 1905) Dye 1978 [<i>Bacterium fici</i> Cavara] 西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明44); 石山	クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) ††細菌病 saikin-byo Bacterial disease <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>fici</i> (Cavara 1905) Dye 1978 [<i>Bacterium fici</i> Cavara, <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>fici</i> (Cavara 1905) Dye 1978] 西田藤次:園芸之友 7(12):879, 1911(明44); 石山
--	--

信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:541, 1941(昭16) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:250, 1949 [備考] イタリア (注) 病原学名正名と重複する病原学名異名を削除。	信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:541, 1941(昭16) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:250, 1949 [備考] イタリア
--	---

クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイヌビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas ficuserectae</i> Goto 1983 後藤正夫ら:植物防疫 35:272, 1981 ; 市川一行ら: 日植病報 47(1):134, 1981 ; Goto, M.:Int. J. Syst. Bacteriol. 33:546, 1983 [備考] イヌビワ (注) 文献名訂正	クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイヌビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas ficuserectae</i> Goto 1983 後藤正夫ら:植物防疫 35:272, 1981 ; 市川一行ら: 日植病報 47(1):134, 1981 ; Goto, M.:Int. Syst. Bacteriol. 33:546, 1983 [備考] イヌビワ
--	--

クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイヌビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume	クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイヌビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume
---	---

†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot <i>Phyllachora spinifera</i> (P. Karsten & Hariot) Höhnelt Kobayashi, T. & de Guzman, E.D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:170, 1988 [備考] フィリピン。 <i>F. odorata</i> (注) 文献名の省略のピリオド抜けを修正	†黒やに病 kuroyani-byo Tar spot <i>Phyllachora spinifera</i> (P. Karsten & Hariot) Höhnelt Kobayashi, T. & de Guzman, E.D.:Bull. For. & For. Prod. Res Inst. 351:170, 1988 [備考] フィリピン。 <i>F. odorata</i>
---	--

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シماغワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤماغワ <i>Morus alba</i> L. ヤماغワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Plaster (灰色膏薬病, 膏薬病, 癩, 癩病, 黒色膏薬病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard [<i>Septobasidium</i> <i>pedicellatum</i> auct. jap. non Patouillard] 白井光太郎:最近植物病理学:356, 1903(明36) ; 澤 田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):416, 1919(大8) (注) 文献名訂正	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シماغワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤماغワ <i>Morus alba</i> L. ヤماغワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Plaster (灰色膏薬病, 膏薬病, 癩, 癩病, 黒色膏薬病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard [<i>Septobasidium</i> <i>pedicellatum</i> auct. jap. non Patouillard] 白井光太郎:最新植物病理学:356, 1903(明36) ; 澤 田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):416, 1919(大8)
--	---

モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹)	モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹)
---	---

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Cercospora fraxinites</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora</i> sp.] 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):191, 1959 ; Katsuki, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:564, 1973 (注)文献名訂正	褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Cercospora fraxinites</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora</i> sp.] 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):191, 1959 ; Katsuki, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:564, 1973
--	--

モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹) 紫斑病 shihan-byo Fruit and leaf spot <i>Mycocentrospora cladosporioides</i> (Saccardo) M.E.A. Costa ex Deighton [<i>Cercospora cladosporioides</i> Saccardo] 渡邊龍雄:植物病学:293, 1957 (注) 文献著者名修正	モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹) 紫斑病 shihan-byo Fruit and leaf spot <i>Mycocentrospora cladosporioides</i> (Saccardo) M.E.A. Costa ex Deighton [<i>Cercospora cladosporioides</i> Saccardo] 渡辺竜雄:植物病学:293, 1957
---	--

モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹) 梢枯病 shoko-byo <i>Coleophoma oleae</i> (de Candolle) Petrak & Sydow [<i>Macrophoma oleae</i> (de Candolle) Berlese & Voglino] 原 攝祐:植物防疫 12(8):369, 1958 (注) 病名読みの隣の括弧を削除	モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹) 梢枯病 shoko-byo () <i>Coleophoma oleae</i> (de Candolle) Petrak & Sydow [<i>Macrophoma oleae</i> (de Candolle) Berlese & Voglino] 原 攝祐:植物防疫 12(8):369, 1958
---	---

モクセイ科 Oleaceae キンモクセイ(金木犀) Sweetolive <i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino (広葉樹) ギンモクセイ(銀木犀) Sweetolive <i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>fragrans</i> 褐斑病 kappan-byo <i>Phyllosticta osmanthicola</i> Trinchieri 西^門義一・宮脇雪夫:農学研究 33:445, 1942(昭17) [備考] ギンモクセイ (注) 文献著者名訂正	モクセイ科 Oleaceae キンモクセイ(金木犀) Sweetolive <i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino (広葉樹) ギンモクセイ(銀木犀) Sweetolive <i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>fragrans</i> 褐斑病 kappan-byo <i>Phyllosticta osmanthicola</i> Trinchieri 西^内義一・宮脇雪夫:農学研究 33:445, 1942(昭17) [備考] ギンモクセイ
--	---

ラン科 Orchidaceae エビネ Japanese calanthe <i>Calanthe</i> spp. (草花) エビネ <i>Calanthe discolor</i> Lindl. 微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mosaic <i>Calanthe mild mosaic virus</i> (CalMMV) Gara, I.W. et al.:J. Phytopathol. 146(7):357, 1998 (注) 文献著者名にカンマを挿入	ラン科 Orchidaceae エビネ Japanese calanthe <i>Calanthe</i> spp. (草花) エビネ <i>Calanthe discolor</i> Lindl. 微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mosaic <i>Calanthe mild mosaic virus</i> (CalMMV) Gara I.W. et al.:J. Phytopathol. 146(7):357, 1998
--	--

ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シン ビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp. (草花)	ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シン ビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp. (草花)
--	--

褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf blight <i>Fusarium subglutinans</i> (Wollenweber & Reinking) P.E. Nelson, Toussoun & Marasas 本多哲也ら:日植病報 61(3):221, 1995 (注) 文献著者名修正	褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf blight <i>Fusarium subglutinans</i> (Wollenweber & Reinking) P.E. Nelson, Toussoun & Marasas 本多哲也:日植病報 61(3):221, 1995
---	---

カタバミ科 Oxalidaceae カタバミ類 (Oxalis) <i>Oxalis</i> spp. (野草) フシネハナカタバミ <i>Oxalis articulata</i> Savigny カタバミ <i>Oxalis corniculata</i> L. アカカタバミ <i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> Hara ムラサキカタバミ <i>Oxalis corymbosa</i> DC. エゾタチカタバミ <i>Oxalis fontana</i> Bunge 褐斑病 kappan-byo Brown spot <i>Pseudocercospora oxalidis</i> (Goh & S.Y. Hsieh) U. Braun 今泉英理夏ら:43回日菌講 44, 1999 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 [備考] ムラサキカタバミ <i>O. corymbosa</i> DC. に発生 (注) 備考中の宿主学名にピリオドを挿入	カタバミ科 Oxalidaceae カタバミ類 (Oxalis) <i>Oxalis</i> spp. (野草) フシネハナカタバミ <i>Oxalis articulata</i> Savigny カタバミ <i>Oxalis corniculata</i> L. アカカタバミ <i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> Hara ムラサキカタバミ <i>Oxalis corymbosa</i> DC. エゾタチカタバミ <i>Oxalis fontana</i> Bunge 褐斑病 kappan-byo Brown spot <i>Pseudocercospora oxalidis</i> (Goh & S.Y. Hsieh) U. Braun 今泉英理夏ら:43回日菌講 44, 1999 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 [備考] ムラサキカタバミ <i>O. corymbosa</i> DC に発生
---	--

タコノキ科 Pandanaceae タコノキ類 (Pandanus) <i>Pandanus</i> spp. (広葉樹)	タコノキ科 Pandanaceae タコノキ類 (Pandanus) <i>Pandanus</i> spp. (広葉樹)
---	---

タコノキ(蛸の木) Screw-Pine <i>Pandanus boninensis</i> Warb. アダン <i>Pandanus odoratissimus</i> L. 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961 (注) 文献名を他病名の同文献の表記と統一した	タコノキ(蛸の木) Screw-Pine <i>Pandanus boninensis</i> Warb. アダン <i>Pandanus odoratissimus</i> L. 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rept. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961
--	--

ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) 青枯病* aogare-byo Bacterial wilt (立枯病, 黒枯病) <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [<i>Bacterium solanacearum</i> (Smith) Chester] 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):70, 1928(昭3) ; 鋤塚喜久治:日植病報 2(4):396, 1931 (注) 文献号数挿入(日植病報)	ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) 青枯病* aogare-byo Bacterial wilt (立枯病, 黒枯病) <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [<i>Bacterium solanacearum</i> (Smith) Chester] 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):70, 1928(昭3) ; 鋤塚喜久治:日植病報 2:396, 1931
--	---

マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr.	マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr.
--	--

Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青椴松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo チンパニス枝枯病* <i>Tympanis-edagare-byo</i> Tympanis canker <i>Tympanis laricina</i> (Fuckel) Saccardo [<i>Tympanis abietina</i> J.W. Groves] 佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 50:338, 1968 ; Ouellette, G.B. & Pirozynski, K.A.:Can. J. Bot. 52(8):1899, 1974 [備考] アカトドマツ (注) 文献著者名訂正	Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青椴松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo チンパニス枝枯病* <i>Tympanis-edagare-byo</i> Tympanis canker <i>Tympanis laricina</i> (Fuckel) Saccardo [<i>Tympanis abietina</i> J.W. Groves] 佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 50:338, 1968 ; Ouellette & Pirozynski:Can. J. Bot. 52(8):1899, 1974 [備考] アカトドマツ
---	---

マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤椴松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青椴松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo 胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker <i>Diaporthe conorum</i> (Desmazières) Niessl [不完全世 代: <i>Phomopsis occulta</i> Traverso] 亀井専次:日植病報 11(1):53, 1941(昭16) (注) 文献号数挿入(日植病報)	マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤椴松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青椴松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo 胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker <i>Diaporthe conorum</i> (Desmazières) Niessl [不完全世 代: <i>Phomopsis occulta</i> Traverso] 亀井専次:日植病報 11:53, 1941(昭16)
--	---

マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast.	マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast.
--	--

(針葉樹) アカトドマツ(赤楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青楡松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (腐敗病, 倒伏病, 腰折病) (1) <i>Cylindrocladium scoparium</i> Morgan 伊藤一雄・小野 馨:63回日林講:202, 1954 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 大谷吉雄ら:日植病報 22(1):63, 1957 (3) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link] 千葉 修ら:75回日林講:376, 1964 ; Matuo, T. & Chiba, O.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 32:14, 1966 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992 (4) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 伊藤一雄:林業技術シリーズ 1:付図IB, 1949 ; 伊藤一雄:林業技術シリーズ(改訂版):付図IIIC, 1950 (注) 文献号数挿入(日植病報)。文献著者名訂正。	(針葉樹) アカトドマツ(赤楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青楡松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (腐敗病, 倒伏病, 腰折病) (1) <i>Cylindrocladium scoparium</i> Morgan 伊藤一雄・小野 馨:63回日林講:202, 1954 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 大谷吉雄ら:日植病報 22:63, 1957 (3) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link] 千葉 修ら:75回日林講:376, 1964 ; Matsuo, T. & Chiba, O.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 32:14, 1966 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992 (4) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 伊藤一雄:林業技術シリーズ 1:付図IB, 1949 ; 伊藤一雄:林業技術シリーズ(改訂版):付図IIIC, 1950
--	---

マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青楡松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Calyptospora goeppertiana</i> J.G. Kühn 松村任三:帝国植物名鑑(上):133, 1904(明37) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:35, 1992	マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青楡松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Calyptospora goeppertiana</i> J.G. Kühn 松村任三:帝国植物名鑑(上):133, 1904(明37) ; Hiratsuka, N. et al.:The rust flora of Japan:35, 1992
---	---

[備考] アカトドマツ。病菌の異名および冬孢子世代の宿主はモミ類葉さび病参照 (2) <i>Hyalopsora aculeata</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):124, 1932(昭7) [備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Blechnum</i> 属(シシガシラ)に寄生 (3) <i>Melampsora abietis-populi</i> S. Imai 亀井専次:日林北支講 7:85, 1958 ; 今井三子:日植病報 12(1):68, 1942(昭17) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:271, 1992 [備考] アオトドマツのほか人工接種でアカトドマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は <i>Populus</i> 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす (4) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:291, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Populus</i> 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす (5) <i>Milesina dryopteridis</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):171, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:69, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i> 属(リョウメンシダ)に寄生 (6) <i>Milesina exigua</i> Faull 亀井専次:札幌博物学会報 11:146, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:73, 1992 [備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏孢子・冬孢子世代はモミ類さび病参照 (7) <i>Milesina itoana</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 14(2):97, 1935(昭10) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:81, 1992 [備考] アカトドマツ・アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i> 属(オシダ他)に寄生 (8) <i>Milesina jezoënsis</i> Kamei & Hiratsuka	[備考] アカトドマツ。病菌の異名および冬孢子世代の宿主はモミ類葉さび病参照 (2) <i>Hyalopsora aculeata</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):124, 1932(昭7) [備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Blechnum</i> 属(シシガシラ)に寄生 (3) <i>Melampsora abietis-populi</i> S. Imai 亀井専次:日林北支講 7:85, 1958 ; 今井三子:日植病報 12(1):68, 1942(昭17) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:271, 1992 [備考] アオトドマツのほか人工接種でアカトドマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は <i>Populus</i> 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす (4) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:291, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Populus</i> 属(ドロノキ他)に寄生して葉さび病をおこす (5) <i>Milesina dryopteridis</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):171, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:69, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i> 属(リョウメンシダ)に寄生 (6) <i>Milesina exigua</i> Faull 亀井専次:札幌博物学会報 11:146, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:73, 1992 [備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏孢子・冬孢子世代はモミ類さび病参照 (7) <i>Milesina itoana</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 14(2):97, 1935(昭10) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:81, 1992 [備考] アカトドマツ・アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i> 属(オシダ他)に寄生 (8) <i>Milesina jezoënsis</i> Kamei & Hiratsuka
--	--

亀井専次:札幌博物学会報 12:32, 1931(昭6) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:83, 1992 [備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子は <i>Polypodium</i>属(エゾデンドラ)に寄生 (9) <i>Milesina miyabei</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):169, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:88, 1992 [備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i>属(オシダ他)に寄生 (10) <i>Milesina sublevis</i> (Faull) Hiratsuka [<i>Milesina scolopendrii</i> Jaap] Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 3:313, 1927(昭2) ; 亀井 専次:札幌農林学会報 24:364, 1933(昭8) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:93, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子 世代は<i>Scolopendrium</i>属(コタニワタリ)に寄生 (11) <i>Milesina vogesiaca</i> Sydow 亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:96, 1992 [備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人 工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Dryopteris</i>属(イ タチシダ他)に寄生 (12) <i>Pucciniastrum epilobii</i> G.H. Otth Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(1):3, 1932(昭7) ; 平塚 直秀:札幌農林学会報 18(81):84, 1926(大15) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:116, 1992 [備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Epilobium</i>属(ヤナギラン他)に寄生してさび病をお こす (13) <i>Pucciniastrum kusanoi</i> Dietel Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 47(562):713, 1933(昭 8) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:121, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子 世代は<i>Clethra</i>属(リョウブ)に寄生しさび病をおこ す (14) <i>Pucciniastrum miyabeianum</i> Hiratsuka	亀井専次:札幌博物学会報 12:32, 1931(昭6) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:83, 1992 [備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子は <i>Polypodium</i>属(エゾデンドラ)に寄生 (9) <i>Milesina miyabei</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):169, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:88, 1992 [備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i>属(オシダ他)に寄生 (10) <i>Milesina sublevis</i> (Faull) Hiratsuka [<i>Milesina scolopendrii</i> Jaap] Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 3:313, 1927(昭2) ; 亀井 専次:札幌農林学会報 24:364, 1933(昭8) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:93, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子 世代は<i>Scolopendrium</i>属(コタニワタリ)に寄生 (11) <i>Milesina vogesiaca</i> Sydow 亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:96, 1992 [備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人 工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Dryopteris</i>属(イ タチシダ他)に寄生 (12) <i>Pucciniastrum epilobii</i> G.H. Otth Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(1):3, 1932(昭7) ; 平塚 直秀:札幌農林学会報 18(81):84, 1926(大15) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:116, 1992 [備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Epilobium</i>属(ヤナギラン他)に寄生してさび病をお こす (13) <i>Pucciniastrum kusanoi</i> Dietel Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 47(562):713, 1933(昭 8) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:121, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子 世代は<i>Clethra</i>属(リョウブ)に寄生しさび病をおこ す (14) <i>Pucciniastrum miyabeianum</i> Hiratsuka
--	--

Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(2):22, 1932(昭7) [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Viburnum</i>属(ムシカリ他)に寄生してさび病をおこす (15) <i>Pucciniastrum styracinum</i> Hiratsuka 亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:128, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Pterostyrax</i>属(アサガラ他)および<i>Styrax</i>属(エゴノキ他)に寄生してさび病をおこす (16) <i>Pucciniastrum tiliae</i> Miyabe 亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:130, 1992 [備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Tilia</i>属(シナノキ他)にさび病をおこす (17) <i>Uredinopsis adianti</i> Komarov Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:78, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:156, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Adiantum</i>属(クジャクシダ)に寄生 (18) <i>Uredinopsis athyrii</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):163, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:158, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Athyrium</i>属(メシダ他)に寄生 (19) <i>Uredinopsis filicina</i> (Niessl) Magnus Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:50, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:162, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (20) <i>Uredinopsis hirosakiensis</i> Kamei & Hiratsuka 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):164, 1932(昭7) ; 亀井専次:札幌博物学会報 13(3):153, 1934(昭9) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:164, 1992	Hiratsuka, N.:Jpn. Jour. Bot. 6(2):22, 1932(昭7) [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Viburnum</i>属(ムシカリ他)に寄生してさび病をおこす (15) <i>Pucciniastrum styracinum</i> Hiratsuka 亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:128, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Pterostyrax</i>属(アサガラ他)および<i>Styrax</i>属(エゴノキ他)に寄生してさび病をおこす (16) <i>Pucciniastrum tiliae</i> Miyabe 亀井専次:札幌博物学会報 12:161, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:130, 1992 [備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Tilia</i>属(シナノキ他)にさび病をおこす (17) <i>Uredinopsis adianti</i> Komarov Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:78, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:156, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Adiantum</i>属(クジャクシダ)に寄生 (18) <i>Uredinopsis athyrii</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):163, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:158, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Athyrium</i>属(メシダ他)に寄生 (19) <i>Uredinopsis filicina</i> (Niessl) Magnus Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:50, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:162, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (20) <i>Uredinopsis hirosakiensis</i> Kamei & Hiratsuka 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):164, 1932(昭7) ; 亀井専次:札幌博物学会報 13(3):153, 1934(昭9) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:164, 1992
---	---

[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Lastrea</i> 属(ヒメシダ)に寄生 (21) <i>Uredinopsis intermedia</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):166, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:166, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Athyrium</i> 属(ミヤマシケシダ他)に寄生 (22) <i>Uredinopsis kameiana</i> Faull 亀井専次:日植病報 2(3):228, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:168, 1992 [備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。病菌の異名, 夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (23) <i>Uredinopsis ossaeiformis</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 5:28, 1958 [備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (24) <i>Uredinopsis pteridis</i> Dietel & Holway 亀井専次:日植病報 2(3):208, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:174, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Pteridium</i> 属(ワラビ)に寄生 (25) <i>Uredinopsis struthiopteridis</i> F.C.M. Störmer ex Dietel Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:176, 1992 [備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (26) <i>Uredinopsis woodsiae</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):162, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:176, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子	[備考] アオトドマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Lastrea</i> 属(ヒメシダ)に寄生 (21) <i>Uredinopsis intermedia</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):166, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:166, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Athyrium</i> 属(ミヤマシケシダ他)に寄生 (22) <i>Uredinopsis kameiana</i> Faull 亀井専次:日植病報 2:228, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:168, 1992 [備考] アカトドマツ。人工接種ではアオトドマツにも発生。病菌の異名, 夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (23) <i>Uredinopsis ossaeiformis</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 5:28, 1958 [備考] アカトドマツ・アオトドマツ(いずれも人工接種)。病菌の夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (24) <i>Uredinopsis pteridis</i> Dietel & Holway 亀井専次:日植病報 2:208, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:174, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Pteridium</i> 属(ワラビ)に寄生 (25) <i>Uredinopsis struthiopteridis</i> F.C.M. Störmer ex Dietel Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936(昭11) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:176, 1992 [備考] アオトドマツ・アカトドマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はモミ類葉さび病参照 (26) <i>Uredinopsis woodsiae</i> Kamei 亀井専次:札幌博物学会報 12(3):162, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:176, 1992 [備考] アオトドマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子
---	---

世代は<i>Woodsia</i>属(イワデンダ他)に寄生 (注) 病原(22)と病原(24)の文献号数挿入(日植病報)	世代は<i>Woodsia</i>属(イワデンダ他)に寄生
--	--------------------------------------

マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤榎松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青榎松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo 変形菌病* henkeikin-byo Slime mold (粘菌病) 変形菌の1種 伊藤一雄:図説 菌 畑病害診断法(前):36, 1959 (注) 文献名訂正	マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤榎松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青榎松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo 変形菌病* henkeikin-byo Slime mold (粘菌病) 変形菌の1種 伊藤一雄:図説 菌 畑病害診断法(前):36, 1959
---	--

マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森榎松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. デルメア枝枯病* <i>Dermea</i>-edagare-byo Dermea canker	マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森榎松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. デルメア枝枯病* <i>Dermea</i>-edagare-byo Dermea canker
--	--

<i>Dermea balsamea</i> (Peck) Seaver Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:705, 1973 [備考] コンコロールモミ (注) 文献名の省略のピリオド抜けを修正	<i>Dermea balsamea</i> (Peck) Seaver Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst 10:705, 1973 [備考] コンコロールモミ
--	---

マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森榎松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. 葉さび病* hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Calyptospora goeppertiana</i> J.G. Kühn [<i>Pucciniastrum goeppertianum</i> (Kühn) Klebahn] 白井光太郎:植物病理学(下):135, 1900(明33) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:32, 1992 [備考] シラベ・ウラジロモミ。冬孢子世代は <i>Vaccinium</i> 属(コケモモ)に寄生 (2) <i>Melampsora abietis-populi</i> S. Imai 平塚直秀:王子製紙林木育種研テクニカルノート 76:22, 1969 ; 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969 [備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Populus</i> 属(ドロノキ他)に寄生し, 葉さび病をおこす (3) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969 [備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人	マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森榎松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. 葉さび病* hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Calyptospora goeppertiana</i> J.G. Kühn [<i>Pucciniastrum goeppertianum</i> (Kühn) Klebahn] 白井光太郎:植物病理学(下):135, 1900(明33) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:32, 1992 [備考] シラベ・ウラジロモミ。冬孢子世代は <i>Vaccinium</i> 属(コケモモ)に寄生 (2) <i>Melampsora abietis-populi</i> S. Imai 平塚直秀:王子製紙林木育種研テクニカルノート 76:22, 1969 ; 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969 [備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Populus</i> 属(ドロノキ他)に寄生し, 葉さび病をおこす (3) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子短大紀要 6:31, 1969 [備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人
--	--

工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Populus</i>属(ドロノキ他)に寄生し、葉さび病をおこす (4) <i>Milesina exigua</i> Faull [<i>Milesina vogesiaca</i> sensu Kamei non P. Sydow & Sydow] 亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:73, 1992 [備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Ctenites</i>属(カツモウイノデ他), <i>Dennstaedia</i>属(コバノイシカグマ), <i>Hypolepis</i>属(イワヒメワラビ), <i>Lastrea</i>属(ヒメワラビ他), <i>Microlepia</i>属(イシカグマ), <i>Polystichum</i>属(イノデ他) (5) <i>Milesina vogesiaca</i> Sydow 亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭5) [備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Dryopteris</i>属(イタチシダ他)に寄生 (6) <i>Pucciniastrum boehmeriae</i> (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:104, 1992 ; 金子 繁・平塚直秀:日林誌 66:283, 1984 [備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Begonia</i>属(ベゴニア), <i>Boehmeria</i>属(ヤブマオ他)に寄生しさび病をおこす (7) <i>Pucciniastrum corni</i> Dietel Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:82, 1976 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:113, 1992 [備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Cornus</i>属(サンシュユ他)にさび病をおこす (8) <i>Pucciniastrum coryli</i> Komarov Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:222, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:113, 1992 [備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Corylus</i>属(ハシバミ他)にさび病をおこす (9) <i>Pucciniastrum tiliae</i> Miyabe Saho, H.:Plant Dis. Rept. 46:35, 1962 ; 平塚直秀:王	工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Populus</i>属(ドロノキ他)に寄生し、葉さび病をおこす (4) <i>Milesina exigua</i> Faull [<i>Milesina vogesiaca</i> sensu Kamei non P. Sydow & Sydow] 亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:73, 1992 [備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Ctenites</i>属(カツモウイノデ他), <i>Dennstaedia</i>属(コバノイシカグマ), <i>Hypolepis</i>属(イワヒメワラビ), <i>Lastrea</i>属(ヒメワラビ他), <i>Microlepia</i>属(イシカグマ), <i>Polystichum</i>属(イノデ他) (5) <i>Milesina vogesiaca</i> Sydow 亀井専次:札幌博物学会報 11(3):141, 1930(昭5) [備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Dryopteris</i>属(イタチシダ他)に寄生 (6) <i>Pucciniastrum boehmeriae</i> (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:104, 1992 ; 金子 繁・平塚直秀:日林誌 66:283, 1984 [備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Begonia</i>属(ベゴニア), <i>Boehmeria</i>属(ヤブマオ他)に寄生しさび病をおこす (7) <i>Pucciniastrum corni</i> Dietel Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:82, 1976 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:113, 1992 [備考] モミ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Cornus</i>属(サンシュユ他)にさび病をおこす (8) <i>Pucciniastrum coryli</i> Komarov Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:222, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:113, 1992 [備考] モミ・ウラジロモミ・シラベ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Corylus</i>属(ハシバミ他)にさび病をおこす (9) <i>Pucciniastrum tiliae</i> Miyabe Saho, H.:Plant Dis. Rept. 46:35, 1962 ; 平塚直秀:王
---	---

子製紙林木育種研テクニカルノート 76:15, 1969 [備考] コンコロールモミ, 他に人工接種でオオシロモミ (<i>A. grandis</i>)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Tilia</i> 属 (シナノキ他) に寄生しさび病をおこす (10) <i>Uredinopsis filicina</i> (Niessl) Magnus Hiratsuka, N.: J. Jap. Bot. 27(4):111, 1952 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 162, 1992 [備考] シラベ・ウラジロモミ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Phegopteris</i> 属 (ミヤマワラビ) に寄生 (11) <i>Uredinopsis kameiana</i> Faull [<i>Uredinopsis pteridis</i> Kamei non Dietel & Holway] 亀井専次: 日植病報 2(3):207, 1930(昭5) ; 亀井専次: 北大農紀要 47:33, 1940(昭15) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 168, 1992 [備考] バルサムモミ (<i>A. balsamea</i>) ・ウラジロモミ・チョウセンモミ・シラベ (いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Pteridium</i> 属 (ワラビ) に寄生 (12) <i>Uredinopsis komagatakensis</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.: Trans. Mycol. Soc. Japan 6:47, 1965 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 170, 1992 [備考] シラベ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Athyrium</i> 属 (ヘビノネゴザ) に寄生 (13) <i>Uredinopsis ossiformis</i> (<i>ossaeiformis</i>) Kamei 亀井専次: 札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N.: Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:28, 1958 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 172, 1992 [備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i> 属 (シラネワラビ他) に寄生 (14) <i>Uredinopsis struthiopteridis</i> F.C.M. Störmer ex Dietel Hiratsuka, N.: Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936 ; 亀井専次: 北大農紀要 47:40, 1940(昭15) ; Hiratsuka, N.: Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:11, 1958 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 176, 1992 [備考] モミ・バルサムモミ・オウシュウシロモ	子製紙林木育種研テクニカルノート 76:15, 1969 [備考] コンコロールモミ, 他に人工接種でオオシロモミ (<i>A. grandis</i>)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Tilia</i> 属 (シナノキ他) に寄生しさび病をおこす (10) <i>Uredinopsis filicina</i> (Niessl) Magnus Hiratsuka, N.: J. Jap. Bot. 27(4):111, 1952 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 162, 1992 [備考] シラベ・ウラジロモミ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Phegopteris</i> 属 (ミヤマワラビ) に寄生 (11) <i>Uredinopsis kameiana</i> Faull [<i>Uredinopsis pteridis</i> Kamei non Dietel & Holway] 亀井専次: 日植病報 2:207, 1930(昭5) ; 亀井専次: 北大農紀要 47:33, 1940(昭15) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 168, 1992 [備考] バルサムモミ (<i>A. balsamea</i>) ・ウラジロモミ・チョウセンモミ・シラベ (いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Pteridium</i> 属 (ワラビ) に寄生 (12) <i>Uredinopsis komagatakensis</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.: Trans. Mycol. Soc. Japan 6:47, 1965 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 170, 1992 [備考] シラベ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Athyrium</i> 属 (ヘビノネゴザ) に寄生 (13) <i>Uredinopsis ossiformis</i> (<i>ossaeiformis</i>) Kamei 亀井専次: 札幌博物学会報 12(3):167, 1932(昭7) ; Hiratsuka, N.: Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:28, 1958 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 172, 1992 [備考] モミ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Dryopteris</i> 属 (シラネワラビ他) に寄生 (14) <i>Uredinopsis struthiopteridis</i> F.C.M. Störmer ex Dietel Hiratsuka, N.: Mem. Tottori Agr. Coll. 4:58, 1936 ; 亀井専次: 北大農紀要 47:40, 1940(昭15) ; Hiratsuka, N.: Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Educ. 5:11, 1958 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan: 176, 1992 [備考] モミ・バルサムモミ・オウシュウシロモ
--	---

ミ(<i>A. alba</i>), いずれも人工接種。夏孢子・冬孢子世代は<i>Matteuccia</i>属(クサソテツ)に寄生 (注) 病原(11)の文献号数挿入(日植病報)	ミ(<i>A. alba</i>), いずれも人工接種。夏孢子・冬孢子世代は<i>Matteuccia</i>属(クサソテツ)に寄生
--	---

マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森榎松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Antrodia heteromorpha</i> (Fries) Donk [<i>Coriolellus heteromorphus</i> (Fries) Bondartsev & Singer, <i>Daedalea heteromorpha</i> Fries, <i>Trametes heteromorpha</i> (Fries) Lloyd] ミヤマシロアマタケ 青島清雄:森林防疫ニュース 7:161, 1958 ; 高橋旨象:きのこ木材:130, 1989 [備考] アオモリトドマツ・シラベ (2) <i>Antrodia xantha</i> (Fries) Ryvarden [<i>Poria xantha</i> (Fries) Cooke] チョークアナタケ 青島清雄:林試研報 46:155, 1950 ; 高橋旨象:きのこ木材:126, 1989 [備考] モミ (3) <i>Echinodontium tsugicola</i> (Hennings & Shirai) Imazeki [<i>Hydnofomes tsugicola</i> Hennings & Shirai] マンネンハリタケ 今関六也:植研雑 11(7):517, 1935(昭10) [備考] モミ (4) <i>Fomitopsis officinalis</i> (Villars) Bondartsev &	マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森榎松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Antrodia heteromorpha</i> (Fries) Donk [<i>Coriolellus heteromorphus</i> (Fries) Bondartsev & Singer, <i>Daedalea heteromorpha</i> Fries, <i>Trametes heteromorpha</i> (Fries) Lloyd] ミヤマシロアマタケ 青島清雄:森林防疫ニュース 7:161, 1958 ; 高橋旨象:きのこ木材:130, 1989 [備考] アオモリトドマツ・シラベ (2) <i>Antrodia xantha</i> (Fries) Ryvarden [<i>Poria xantha</i> (Fries) Cooke] チョークアナタケ 青島清雄:林試研報 46:155, 1950 ; 高橋旨象:きのこ木材:126, 1989 [備考] モミ (3) <i>Echinodontium tsugicola</i> (Hennings & Shirai) Imazeki [<i>Hydnofomes tsugicola</i> Hennings & Shirai] マンネンハリタケ 今関六也:植研雑 11(7):517, 1935(昭10) [備考] モミ (4) <i>Fomitopsis officinalis</i> (Villars) Bondartsev &
---	---

Singer [<i>Fomes laricis</i> Murrill, <i>Polyporus officinalis</i> Fries] エブリコ 朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:449, 1939(昭14) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):301, 1955 (5) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten [<i>Fomes pinicola</i> (Swartz) Cooke] ツガサルノコシカケ (ツガタケ) 出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明44) ; 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭18) (6) <i>Laetiporus sulphureus</i> (Bulliard) Murrill [<i>Polyporus sulphureus</i> Fries] アイカワタケ 白井光太郎:植物病理学(下):155, 1894(明27) ; 今関六也:東京科博研報 6:88, 1943(昭18) (7) <i>Phellinus pini</i> (Brotero) Ames [<i>Cryptoderma yamanoi</i> Imazeki, <i>Cryptoderma yezoensis</i> (Tochinai & Kamei) Imazeki, <i>Daedalea jezoensis</i> Yamano, <i>Fomes jezoëns</i> Tochinai & Kamei, <i>Porodaedalea pini</i> (Brotero) Murrill, <i>Trametes pini</i> Yamano] マツノカタワタケ (エゾサルノコシカケ, エゾノコシカケ) 白井光太郎:植物病理学(下):152, 1894(明27) ; 今関六也:東京科博研報 6:107, 1943(昭18) ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 (8) <i>Stereum sanguinolentum</i> (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ 今関六也・青島清雄:日植病報 16(2):88, 1952 [備考] シラベ (注) 病原(8)の文献号数挿入(日植病報)	Singer [<i>Fomes laricis</i> Murrill, <i>Polyporus officinalis</i> Fries] エブリコ 朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:449, 1939(昭14) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):301, 1955 (5) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten [<i>Fomes pinicola</i> (Swartz) Cooke] ツガサルノコシカケ (ツガタケ) 出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明44) ; 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭18) (6) <i>Laetiporus sulphureus</i> (Bulliard) Murrill [<i>Polyporus sulphureus</i> Fries] アイカワタケ 白井光太郎:植物病理学(下):155, 1894(明27) ; 今関六也:東京科博研報 6:88, 1943(昭18) (7) <i>Phellinus pini</i> (Brotero) Ames [<i>Cryptoderma yamanoi</i> Imazeki, <i>Cryptoderma yezoensis</i> (Tochinai & Kamei) Imazeki, <i>Daedalea jezoensis</i> Yamano, <i>Fomes jezoëns</i> Tochinai & Kamei, <i>Porodaedalea pini</i> (Brotero) Murrill, <i>Trametes pini</i> Yamano] マツノカタワタケ (エゾサルノコシカケ, エゾノコシカケ) 白井光太郎:植物病理学(下):152, 1894(明27) ; 今関六也:東京科博研報 6:107, 1943(昭18) ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 (8) <i>Stereum sanguinolentum</i> (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ 今関六也・青島清雄:日植病報 16:88, 1952 [備考] シラベ
---	--

マツ科 Pinaceae カラマツ Larch <i>Larix</i> spp. (針葉樹) チョウセンカラマツ(朝鮮落葉松) <i>Larix</i>	マツ科 Pinaceae カラマツ Larch <i>Larix</i> spp. (針葉樹) チョウセンカラマツ(朝鮮落葉松) <i>Larix</i>
---	---

<i>dahurica</i> var. <i>koreana</i> Nakai オウシュウカラマツ European larch <i>Larix decidua</i> Mill. グイマツ Kurile larch <i>Larix gmelini</i> var. <i>japonica</i> (Maxim.) Pilger カラマツ(落葉松) Japanese larch <i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carriere 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (幹腐病, 心腐病) (1) <i>Antrodia heteromorpha</i> (Fries) Donk ミヤマシロアミタケ 青島清雄:森林防疫ニュース 7:161, 1958 ; 青島清雄ら:日林誌 45:125, 1963 ; 高橋旨象:きのこ木材:130, 1989 [備考] カラマツ。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (2) <i>Fomitopsis officinalis</i> (Villars) Bondartsev & Singer エブリコ 白井光太郎:植物病理学(下):137, 1894(明27) ; 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭18) [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (3) <i>Laetiporus sulphureus</i> (Bulliard) Murrill アイカワタケ 白井光太郎:植物病理学(下):155, 1894(明27) ; 青島清雄・林 康夫:72回日林講:308, 1962 [備考] カラマツ。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (4) <i>Phellinus chrysoloma</i> (Fries) Donk [<i>Porodaedalea chrysoloma</i> (Fries) Fiasson & Niemelä, <i>Porodaedalea chrysoloma</i> (Fries) Imazeki] カラマツカタワタケ (マツノカタワタケ) 中牟田五郎:森林保護学:107, 1894(明27) ; 今関六也:逸見博士還暦記念論文集:176, 1951 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] カラマツ (5) <i>Stereum sanguinolentum</i> (Albertini & Schweinitz)	<i>dahurica</i> var. <i>koreana</i> Nakai オウシュウカラマツ European larch <i>Larix decidua</i> Mill. グイマツ Kurile larch <i>Larix gmelini</i> var. <i>japonica</i> (Maxim.) Pilger カラマツ(落葉松) Japanese larch <i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carriere 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (幹腐病, 心腐病) (1) <i>Antrodia heteromorpha</i> (Fries) Donk ミヤマシロアミタケ 青島清雄:森林防疫ニュース 7:161, 1958 ; 青島清雄ら:日林誌 45:125, 1963 ; 高橋旨象:きのこ木材:130, 1989 [備考] カラマツ。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (2) <i>Fomitopsis officinalis</i> (Villars) Bondartsev & Singer エブリコ 白井光太郎:植物病理学(下):137, 1894(明27) ; 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭18) [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (3) <i>Laetiporus sulphureus</i> (Bulliard) Murrill アイカワタケ 白井光太郎:植物病理学(下):155, 1894(明27) ; 青島清雄・林 康夫:72回日林講:308, 1962 [備考] カラマツ。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (4) <i>Phellinus chrysoloma</i> (Fries) Donk [<i>Porodaedalea chrysoloma</i> (Fries) Fiasson & Niemelä, <i>Porodaedalea chrysoloma</i> (Fries) Imazeki] カラマツカタワタケ (マツノカタワタケ) 中牟田五郎:森林保護学:107, 1894(明27) ; 今関六也:逸見博士還暦記念論文集:176, 1951 ; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] カラマツ (5) <i>Stereum sanguinolentum</i> (Albertini & Schweinitz)
--	--

Fries チウロコタケモドキ 今関六也・青島清雄:日植病報 16(2):88, 1952 [備考] カラマツ (注) 病原(5)の文献号数挿入(日植病報)	Fries チウロコタケモドキ 今関六也・青島清雄:日植病報 16:88, 1952 [備考] カラマツ
--	---

マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. チンパニス枝枯病* <i>Tympanis-edagare-byo</i> Tympanis canker <i>Tympanis tsugae</i> J.W. Groves [<i>Tympanis piceae</i> J.W. Groves] 佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 55:253, 1973 ; Ouellette, G.B. & Pirozynski, K.A.:Can. J. Bot. 52(8):1904, 1974 (注) 文献著者名修正、文献年訂正	マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. チンパニス枝枯病* <i>Tympanis-edagare-byo</i> Tympanis canker <i>Tympanis tsugae</i> J.W. Groves [<i>Tympanis piceae</i> J.W. Groves] 佐保春芳・高橋郁雄:日林誌 55:253, 1973 ; Ouellette & Pirozynski:Can. J. Bot. 52(8):1904, 1974
--	---

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 褐斑葉枯病 kappan-hagare-byo Brown spot needle blight, Brown spot (褐斑病)	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 褐斑葉枯病 kappan-hagare-byo Brown spot needle blight, Brown spot (褐斑病)
--	--

<i>Lecanosticta acicola</i> (Thümen) H. Sydow [<i>Septoria acicola</i> (Thümen) Saccardo] 周藤靖雄・扇 大輔:森林防疫 46:201, 1997 ; 吉井啓・曾川重夫:日植病報 20(2-3): 116, 1955 ; Suto, Y. & Ougi, D.:Mycoscience 39:319, 1998 [備考] クロマツ。北島君三 (樹病学及木材腐朽論:126, 1993)の記事は外国文献の紹介。病菌の完全世代 <i>Mycosphaerella dearnesii</i> Evans はわが国では未記録 (注) 文献号数挿入(日植病報)	<i>Lecanosticta acicola</i> (Thümen) H. Sydow [<i>Septoria acicola</i> (Thümen) Saccardo] 周藤靖雄・扇 大輔:森林防疫 46:201, 1997 ; 吉井啓・曾川重夫:日植病報 20:116, 1955 ; Suto, Y. & Ougi, D.:Mycoscience 39:319, 1998 [備考] クロマツ。北島君三 (樹病学及木材腐朽論:126, 1993)の記事は外国文献の紹介。病菌の完全世代 <i>Mycosphaerella dearnesii</i> Evans はわが国では未記録
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer †黒線葉枯病 kokusen-hagare-byo Needle blight <i>Volutella pini-caribaeae</i> Tak. Kobayashi Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:318, 1980 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E.D.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 351:196, 1988 [備考] フィリピン。カリビアマツ (注) 文献著者名訂正	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer †黒線葉枯病 kokusen-hagare-byo Needle blight <i>Volutella pini-caribaeae</i> Tak. Kobayashi Kobayahsi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:318, 1980 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E.D.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 351:196, 1988 [備考] フィリピン。カリビアマツ
---	---

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹)	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹)
---	---

アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ケナングウム葉枯病 <i>Cenangium-hagare-byo</i> Cenangium needle blight <i>Cenangium acuum</i> Cooke & Peck 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 20:222, 1971 [備考] バンクスマツ(<i>P. banksiana</i>)・ジェフリーマツ(<i>P. jeffreyi</i>)・モンタナマツ(<i>P. montana</i>)・オウシュウクロマツ(<i>P. nigra</i>)・リギダマツ(<i>P. rigida</i>)・プンゲンスマツ(<i>P. pungens</i>)・オウシュウアカマツ(<i>P. sylvestris</i>)・バージニアマツ(<i>P. virginiana</i>)に発生 (注) 備考中の宿主和名を他病名備考中の同宿主和名と統一した	アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ケナングウム葉枯病 <i>Cenangium-hagare-byo</i> Cenangium needle blight <i>Cenangium acuum</i> Cooke & Peck 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 20:222, 1971 [備考] バンクスマツ(<i>P. banksiana</i>)・ジェフレイマツ(<i>P. jeffreyi</i>)・モンタナマツ(<i>P. montana</i>)・オウシュウクロマツ(<i>P. nigra</i>)・リギダマツ(<i>P. rigida</i>)・プンゲンスマツ(<i>P. pungens</i>)・オウシュウアカマツ(<i>P. sylvestris</i>)・バージニアマツ(<i>P. virginiana</i>)に発生
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer こぶ病 kobu-byo Gall rust, Asian pine-oak gall rust (木癭病, 瘤癭病, 癌腫病) <i>Cronartium orientale</i> S. Kaneko [<i>Cronartium quercuum</i> (Berkeley) Miyabe ex Shirai, <i>Peridermium giganteum</i> (Mayr) Tubeuf] 白井光太郎:最近植物病理学:342, 1903(明36) ; 中牟田五郎:森林保護学:100, 1894(明27) ; 近藤秀明:	マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer こぶ病 kobu-byo Gall rust, Asian pine-oak gall rust (木癭病, 瘤癭病, 癌腫病) <i>Cronartium orientale</i> S. Kaneko [<i>Cronartium quercuum</i> (Berkeley) Miyabe ex Shirai, <i>Peridermium giganteum</i> (Mayr) Tubeuf] 白井光太郎:最近植物病理学:342, 1903(明36) ; 中牟田五郎:森林保護学:100, 1894(明36) ; 近藤秀明:
--	--

茨城林試研報 8:1, 1975 ; Kaneko, S.:Mycoscience 41(2):115, 2000 [備考] モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ・バンクスマツ・フランスカイガンショウ・マンシュウクロマツ・アカマツ・クロマツにも発生 (注) 文献和暦訂正	茨城林試研報 8:1, 1975 ; Kaneko, S.:Mycoscience 41(2):115, 2000 [備考] モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ・バンクスマツ・フランスカイガンショウ・マンシュウクロマツ・アカマツ・クロマツにも発生
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot <i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:414, 1910(明43); 伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66:265, 1984 [備考] アカマツ。病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照 (注) 文献名の後のコロン抜けを修正	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot <i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 大森順造・山田玄太郎:植物病理学 414, 1910(明43); 伊藤進一郎・中村宣子:日林誌 66:265, 1984 [備考] アカマツ。病菌の異名はイヌガヤ白紋羽病参照
---	---

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl.	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl.
--	--

リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 水耕苗根腐病 suikonae-negusare-byo Root rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 小林享夫・佐々木克彦:日植病報 36(5):369, 1970 (注) 文献号数挿入(日植病報)	リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 水耕苗根腐病 suikonae-negusare-byo Root rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 小林享夫・佐々木克彦:日植病報 36:369, 1970
--	---

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer すす葉枯病 susu-hagare-byo Rhizosphaera needle blight <i>Rhizosphaera kalkhoffii</i> Bubák [<i>Rhizophoma</i> sp., <i>Rhizosphaera</i> sp.] 千葉 修:森林防疫ニュース 14:256, 1965 ; 周藤靖雄:森林防疫ニュース 13:224, 1964 ; 小林享夫:日植病報 32(5):315, 1966 [備考] ジェフリーマツ・ダイオウショウ・ポンデローザマツ・テーダマツにも発生 (注) 文献号数挿入(日植病報)	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer すす葉枯病 susu-hagare-byo Rhizosphaera needle blight <i>Rhizosphaera kalkhoffii</i> Bubák [<i>Rhizophoma</i> sp., <i>Rhizosphaera</i> sp.] 千葉 修:森林防疫ニュース 14:256, 1965 ; 周藤靖雄:森林防疫ニュース 13:224, 1964 ; 小林享夫:日植病報 32:315, 1966 [備考] ジェフリーマツ・ダイオウショウ・ポンデローザマツ・テーダマツにも発生
---	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc.	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc.
--	--

クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease <i>Thelephora terrestris</i> Ehrhart チャイボタケ 伊藤一雄:図説苗畑病^害診断法(前):44, 1959 ; 安田篤:植物学雑 31(366):144, 1917(大6) [備考] オウシュウアカマツ・テーダマツにも発生。病菌の異名はモミ類ちやいぼたけ病参照 (注) 文献名訂正	クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ちやいぼたけ病 chaibotake-byo Smothering disease <i>Thelephora terrestris</i> Ehrhart チャイボタケ 伊藤一雄:図説苗畑病^害診断法(前):44, 1959 ; 安田篤:植物学雑 31(366):144, 1917(大6) [備考] オウシュウアカマツ・テーダマツにも発生。病菌の異名はモミ類ちやいぼたけ病参照
---	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ディスコシア葉枯病 <i>Discosia</i>-hagare-byo <i>Discosia</i> needle blight <i>Discosia pini</i> Heald 周藤靖雄:日植病報 41(3):256, 1975 ; 周藤靖雄:森林防疫ニュース 17:76, 1968 (注) 文献号数挿入(日植病報)	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ディスコシア葉枯病 <i>Discosia</i>-hagare-byo <i>Discosia</i> needle blight <i>Discosia pini</i> Heald 周藤靖雄:日植病報 41:256, 1975 ; 周藤靖雄:森林防疫ニュース 17:76, 1968
---	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹)	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹)
---	---

アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) (1) <i>Armillaria gallica</i> Marxmüller & Romagnesi ワタゲナラタケ (ヤワナラタケ) 本郷次雄ら:青森のきのこ:56, 1988 [備考] アカマツ (2) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義) 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938 ; 北島君三:山林公報 4:354, 1918(大7) [備考] バンクスマツ・レジノザマツ・リギダマツ・オウシュウアカマツにも発生。病菌の異名はモミ類ならたけ病参照。クロマツには狭義(sensu stricto) のナラタケが確認されている (Ota, Y. et al.:Plant Dis. 82:537, 1998) (3) <i>Armillaria ostoyae</i> (Romagnesi) Herink オニナラタケ(ツバナナラタケ) 寺下隆喜代・沢口勝則:森林防疫 40(10):178, 1991 ; 太田祐子:森林防疫 48:47, 1999 [備考] アカマツ (注) 備考中の文献名と巻数の間に半角スペース挿入	アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) (1) <i>Armillaria gallica</i> Marxmüller & Romagnesi ワタゲナラタケ (ヤワナラタケ) 本郷次雄ら:青森のきのこ:56, 1988 [備考] アカマツ (2) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu lato ナラタケ(広義) 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938 ; 北島君三:山林公報 4:354, 1918(大7) [備考] バンクスマツ・レジノザマツ・リギダマツ・オウシュウアカマツにも発生。病菌の異名はモミ類ならたけ病参照。クロマツには狭義(sensu stricto) のナラタケが確認されている (Ota, Y. et al.:Plant Dis.82:537, 1998) (3) <i>Armillaria ostoyae</i> (Romagnesi) Herink オニナラタケ(ツバナナラタケ) 寺下隆喜代・沢口勝則:森林防疫 40(10):178, 1991 ; 太田祐子:森林防疫 48:47, 1999 [備考] アカマツ
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus</i>	マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus</i>
--	--

<i>thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病, 葉膜さび病, 袋銹病) (1) <i>Coleosporium asterum</i> (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 48:463, 1943 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:40, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:204, 1992 [備考] アカマツ。冬孢子世代は<i>Aster</i>属(ノコンギク等)・<i>Kalimeris</i>属(ヨメナ等)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Coleosporium bletiae</i> Dietel Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 16:37, 1978 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:206, 1992 [備考] 人工接種でアカマツ・リュウキュウマツ・フランスカイガンショウ・ラジアタマツ・クロマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Bletilla</i>属(シラン等)・<i>Calanthe</i>属(エビネ等)・<i>Oreorchis</i>属(コケイラン)・<i>Phaius</i>属(カクラン)に寄生してさび病を起こす (3) <i>Coleosporium clematidis</i> Barclay Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952 ; 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:211, 1992 [備考] アカマツ。人工接種でリュウキュウマツ・ラジアタマツにも寄生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(テッセン・クサボタン等)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium clematidis-apiifoliae</i> Dietel 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:216, 1992 [備考] アカマツ。クロマツは人工接種。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(ボタンヅル等)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium horianum</i> Hennings [<i>Coleosporium</i>	<i>thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病, 葉膜さび病, 袋銹病) (1) <i>Coleosporium asterum</i> (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 48:463, 1943 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:40, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:204, 1992 [備考] アカマツ。冬孢子世代は<i>Aster</i>属(ノコンギク等)・<i>Kalimeris</i>属(ヨメナ等)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Coleosporium bletiae</i> Dietel Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 16:37, 1978 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:206, 1992 [備考] 人工接種でアカマツ・リュウキュウマツ・フランスカイガンショウ・ラジアタマツ・クロマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Bletilla</i>属(シラン等)・<i>Calanthe</i>属(エビネ等)・<i>Oreorchis</i>属(コケイラン)・<i>Phaius</i>属(カクラン)に寄生してさび病を起こす (3) <i>Coleosporium clematidis</i> Barclay 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):140, 1954 ; Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:211, 1992 [備考] アカマツ。人工接種でリュウキュウマツ・ラジアタマツにも寄生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(テッセン・クサボタン等)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium clematidis-apiifoliae</i> Dietel 平塚直秀ら:日植病報 18:140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:216, 1992 [備考] アカマツ。クロマツは人工接種。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(ボタンヅル等)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium horianum</i> Hennings [<i>Coleosporium</i>
---	--

<i>campanumae</i> Dietel] Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:81, 1976 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:220, 1992 [備考] アカマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Campanumoea</i>属(ツルギキョウ等)に寄生 (6) <i>Coleosporium lycopi</i> Sydow & P. Sydow [<i>Coleosporium campanulae</i> auct. jap. non Tulasne, <i>Coleosporium hiratsukanum</i> S. Kaneko] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:54, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:222, 1992 [備考] アカマツ。ほかに人工接種でオウシュウアカマツ・クロマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Adenophora</i>属(ソバナ等), <i>Phyteuma</i>属(シデシヤジン), <i>Wahlenbergia</i>属(ヒナギキョウ)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium pedunculatum</i> S. Kaneko Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:13, 1977 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:230, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ・クロマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Saussurea</i>属(ミヤコアザミ・ツクシトウヒレン等)に寄生してさび病を起こす (8) <i>Coleosporium phellodendri</i> Komarov 千葉 修:森林防疫ニュース 6:142, 1957 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):196, 1938(昭13) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:232, 1992 [備考] バンクスマツ・アカマツ・モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ。ほかに人工接種でコントロールタマツ・コルシカマツ・レジノザマツ・パラシアナマツ(<i>P. pallasiana</i>)・ポンデローザマツ・マンシュウアカマツ(<i>P. tabulaeformis</i>)にも発生する。夏孢子・冬孢子世代は <i>Phellodendron</i>属(キハダ等)に寄生してさび病を起こす (9) <i>Coleosporium pini-asteris</i> Orishimo 南部信方:病虫雑 4(8):599, 1917(大6) ; Orishimo,	<i>campanumae</i> Dietel] Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:81, 1976 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:220, 1992 [備考] アカマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Campanumoea</i>属(ツルギキョウ等)に寄生 (6) <i>Coleosporium lycopi</i> Sydow & P. Sydow [<i>Coleosporium campanulae</i> auct. jap. non Tulasne, <i>Coleosporium hiratsukanum</i> S. Kaneko] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:54, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:222, 1992 [備考] アカマツ。ほかに人工接種でオウシュウアカマツ・クロマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Adenophora</i>属(ソバナ等), <i>Phyteuma</i>属(シデシヤジン), <i>Wahlenbergia</i>属(ヒナギキョウ)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium pedunculatum</i> S. Kaneko Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:13, 1977 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:230, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ・クロマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Saussurea</i>属(ミヤコアザミ・ツクシトウヒレン等)に寄生してさび病を起こす (8) <i>Coleosporium phellodendri</i> Komarov 千葉 修:森林防疫ニュース 6:142, 1957 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):196, 1938(昭13) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:232, 1992 [備考] バンクスマツ・アカマツ・モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ。ほかに人工接種でコントロールタマツ・コルシカマツ・レジノザマツ・パラシアナマツ(<i>P. pallasiana</i>)・ポンデローザマツ・マンシュウアカマツ(<i>P. tabulaeformis</i>)にも発生する。夏孢子・冬孢子世代は <i>Phellodendron</i>属(キハダ等)に寄生してさび病を起こす (9) <i>Coleosporium pini-asteris</i> Orishimo 南部信方:病虫雑 4(8):599, 1917(大6) ; Orishimo,
--	--

Y.:Bot. Mag. Tokyo 24(276):4, 1910(明43) ; Kaneko, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:35, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:234, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Aster</i>属(シラヤマギク)に寄生 (10) <i>Coleosporium pini-densiflorae</i> Zinno & Kaneko Jinno, Y. & Kaneko, S.:J. Jpn. For. Soc. 66:462, 1984 [備考] アカマツ。冬孢子世代のみ (11) <i>Coleosporium plectranthi</i> Barclay Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:126, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:238, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Elsholtzia</i>属(ナギナタコウジュ)・<i>Keiskea</i>属(シモバシラ)・<i>Mosla</i>属(イヌコウジュ等)・<i>Perilla</i>属(シソ等)・<i>Plectranthus</i>属(ヤマハッカ等)に寄生してさび病を起こす (12) <i>Coleosporium tussilaginis</i> (Persoon) Léveillé [<i>Coleosporium senecionis</i> Fries, <i>Coleosporium melampyri</i> (Rebentisch) P. Karsten] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:62, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:243, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Melampyrum</i>属(ママコナ等)・<i>Senecio</i>属(サワオグルマ)に寄生してさび病を起こす (13) <i>Coleosporium zanthoxyli</i> Dietel & P. Sydow 陳野好之:日林誌 57:369, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:245, 1992 [備考] クロマツ。人工接種ではリュウキュウマツ・フランスカイガンショウにも発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Zanthoxylum</i>属(カラスザンショウ・サンショウ等)に寄生してさび病を起こす (14) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 [備考] アカマツ・ポンデローザマツ・ラジアタマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はカラマツ葉さび病参照	Y.:Bot. Mag. Tokyo 24(276):4, 1910(明43) ; Kaneko, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:35, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:234, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Aster</i>属(シラヤマギク)に寄生 (10) <i>Coleosporium pini-densiflorae</i> Zinno & Kaneko Jinno, Y. & Kaneko, S.:J. Jpn. For. Soc. 66:462, 1984 [備考] アカマツ。冬孢子世代のみ (11) <i>Coleosporium plectranthi</i> Barclay Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:126, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:238, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Elsholtzia</i>属(ナギナタコウジュ)・<i>Keiskea</i>属(シモバシラ)・<i>Mosla</i>属(イヌコウジュ等)・<i>Perilla</i>属(シソ等)・<i>Plectranthus</i>属(ヤマハッカ等)に寄生してさび病を起こす (12) <i>Coleosporium tussilaginis</i> (Persoon) Léveillé [<i>Coleosporium senecionis</i> Fries, <i>Coleosporium melampyri</i> (Rebentisch) P. Karsten] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:62, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:243, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Melampyrum</i>属(ママコナ等)・<i>Senecio</i>属(サワオグルマ)に寄生してさび病を起こす (13) <i>Coleosporium zanthoxyli</i> Dietel & P. Sydow 陳野好之:日林誌 57:369, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:245, 1992 [備考] クロマツ。人工接種ではリュウキュウマツ・フランスカイガンショウにも発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Zanthoxylum</i>属(カラスザンショウ・サンショウ等)に寄生してさび病を起こす (14) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn 平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 [備考] アカマツ・ポンデローザマツ・ラジアタマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はカラマツ葉さび病参照
--	--

(注) 病原(3)の文献順修正・不要な巻号削除。病原(4)の文献に号数挿入(日植病報)。	
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 漏脂胴枯病 roshi-dogare-byo Pitch canker (1) <i>Cosmospora</i> sp. 廣岡裕吏・小林享夫:日植病報 70(3):221, 2004 [備考] アナモルフは <i>Fusarium</i> 属菌 (2) <i>Fusarium circinatum</i> Nirenberg & O'Donnell [<i>Fusarium subglutinans</i> (Wollenweber & Reinking) P.E. Nelson, Toussoun & Marasas, <i>Fusarium moniliforme</i> J. Sheldon var. <i>subglutinans</i> Wollenweber & Reinking] 小林享夫・村本正博:森林防疫 38:173, 1989 ; 青木孝之・O'Donnell, K.:日植病報 67(2):169, 2001 [備考] リュウキュウマツ。小林・村本らにより <i>F. moniliforme</i> var. <i>subglutinans</i> とされていた原因菌の再同定の結果である (注) シンビジウム褐色葉枯病の記事である文献を削除	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 漏脂胴枯病 roshi-dogare-byo Pitch canker (1) <i>Cosmospora</i> sp. 廣岡裕吏・小林享夫:日植病報 70(3):221, 2004 [備考] アナモルフは <i>Fusarium</i> 属菌 (2) <i>Fusarium circinatum</i> Nirenberg & O'Donnell [<i>Fusarium subglutinans</i> (Wollenweber & Reinking) P.E. Nelson, Toussoun & Marasas, <i>Fusarium moniliforme</i> J. Sheldon var. <i>subglutinans</i> Wollenweber & Reinking] 小林享夫・村本正博:森林防疫 38:173, 1989 ; 本多哲也:日植病報 61:221, 1995 ; 青木孝之・O'Donnell, K.:日植病報 67(2):169, 2001 [備考] リュウキュウマツ。小林・村本らにより <i>F. moniliforme</i> var. <i>subglutinans</i> とされていた原因菌の再同定の結果である
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹)	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹)
---	---

アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ワルトニア枝枯病 <i>Waltonia-edagare-byo</i> Waltonia twig blight <i>Waltonia pinicola</i> Saho 佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:87, 1968 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Trans. Mycol. Soc. Japan 11:3, 1970 [備考] バンクスマツ・コントルタマツ・オウシ ユウクロマツ・レジノサマツ・オウシュウアカ マツ・バージニアマツにも発生 (注) 文献年訂正。備考中の宿主和名表記修正	アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer ワルトニア枝枯病 <i>Waltonia-edagare-byo</i> Waltonia twig blight <i>Waltonia pinicola</i> Saho 佐保春芳・高橋郁雄:日林北支講 17:87, 1969 ; Saho, H. & Takahashi, I.:Trans. Mycol. Soc. Japan 11:3, 1970 [備考] バンクスマツ・コントルタマツ・オウシ ユウクロマツ・レジノサマツ・オウシュウアカ マツ・バージニアマツにも発生
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer マンガン欠乏症 mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency 病原未記載 佐藤邦彦:青森林友 267:29, 1970 [備考] アカマツ (注) 病名英名スペル訂正。ブドウのマンガン欠乏症も同様の修正を行う	マツ科 Pinaceae マツ類(二、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer マンガン欠乏症 mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency 病原未記載 佐藤邦彦:青森林友 267:29, 1970 [備考] アカマツ
--	--

マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel 枝枯病 edagare-byo Twig blight <i>Phomopsis</i> sp. 楠木 学:日植病報 62(6):606, 1996 [備考] ヒメコマツ(五葉松)に発生 (注) 文献号数挿入(日植病報)	マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel 枝枯病 edagare-byo Twig blight <i>Phomopsis</i> sp. 楠木 学:日植病報 62:606, 1996 [備考] ヒメコマツ(五葉松)に発生
--	---

マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas)	マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas)
---	---

Regel 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Coleosporium cimicifugatum</i> Thümen [<i>Coleosporium actaeae</i> P. Karsten] 佐保春芳:77回日林講:316, 1966 ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8(2):73, 1967 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:209, 1992 [備考] ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・シベリアマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Actaea</i>属(ルイヨウショウマ:人工接種)・<i>Cimicifuga</i>属(サラシナショウマ)ほかに寄生してさび病を起こす (2) <i>Coleosporium eupatorii</i> Arthur 平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Nat. Hist. Soc. 9(2):221, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:99, 1981 [備考] シベリアマツ・チョウセンゴヨウ・キタゴヨウ。人工接種ではヒマラヤゴヨウ・シベリヤマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は <i>Eupatorium</i>属(ヒヨドリバナほか)に寄生してさび病を起こす (3) <i>Coleosporium fauriae</i> P. Sydow & Sydow Kaneko, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(2):128, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:219, 1992 [備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Fauria</i>属(イワイチョウ)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium neocacaliae</i> Saho [<i>Coleosporium cacaliae</i> auct., <i>Coleosporium neosenecionis</i> Saho] 平塚直秀:病虫雑 17(6):361, 1930(昭5) ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 7(2-3):58, 1966 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:224, 1992 [備考] シベリヤマツ・ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・ヒメコマツ・ハイマツ・バルカンマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Cacalia</i>属(コウモリソウほか)・<i>Senecio</i>属(ハンゴンソウほか)に寄生	Regel 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Coleosporium cimicifugatum</i> Thümen [<i>Coleosporium actaeae</i> P. Karsten] 佐保春芳:77回日林講:316, 1966 ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8(2):73, 1967 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:209, 1992 [備考] ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・シベリアマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Actaea</i>属(ルイヨウショウマ:人工接種)・<i>Cimicifuga</i>属(サラシナショウマ)ほかに寄生してさび病を起こす (2) <i>Coleosporium eupatorii</i> Arthur 平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Nat. Hist. Soc. 9(2):221, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:99, 1981 [備考] シベリアマツ・チョウセンゴヨウ・キタゴヨウ。人工接種ではヒマラヤゴヨウ・シベリヤマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は <i>Eupatorium</i>属(ヒヨドリバナほか)に寄生してさび病を起こす (3) <i>Coleosporium fauriae</i> P. Sydow & Sydow Kaneko, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(2):128, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:219, 1992 [備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Fauria</i>属(イワイチョウ)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium neocacaliae</i> Saho [<i>Coleosporium cacaliae</i> auct., <i>Coleosporium neosenecionis</i> Saho] 平塚直秀:病虫雑 17(6):361, 1930(昭5) ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 7(2-3):58, 1966 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:224, 1992 [備考] シベリヤマツ・ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・ヒメコマツ・ハイマツ・バルカンマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Cacalia</i>属(コウモリソウほか)・<i>Senecio</i>属(ハンゴンソウほか)に寄生
---	---

してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium paederiae</i> Dietel ex Hiratsuka, f. 千葉 修:森林防疫ニュース 8:150, 1959 ; 千葉 修・陳野好之:日植病報 25(1):38, 1960 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:226, 1992 [備考] アマミゴヨウ・ヒマラヤゴヨウ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Paederia</i>属(ヘクソカズラほか)に寄生してさび病を起こす (6) <i>Coleosporium saussureae</i> Thümen [<i>Coleosporium taisetsuense</i> S. Ito & Homma, <i>Coleosporium ligulariae</i> auct. non Thümen] 平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 9(2):222, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:122, 1981 [備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Ligularia</i>属(オタカラコウほか)・<i>Saussurea</i>属(シラネアザミほか)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium yamabense</i> (Saho) Hiratsuka, f. [<i>Coleosporium petasitis</i> auct., <i>Coleosporium petasitis</i> de Bary var. <i>yamabense</i> Saho, <i>Coleosporium neopetasitis</i> Saho] 佐保春芳:70回日林講:338, 1960 ; 平塚直秀:北海道林試研報 6:6, 1968 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:247, 1992 [備考] チョウセンゴヨウ・シベリヤマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Petasites</i>属(フキほか)に寄生してさび病を起こす (注) 病原(5)文献号数挿入(日植病報)	してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium paederiae</i> Dietel ex Hiratsuka, f. 千葉 修:森林防疫ニュース 8:150, 1959 ; 千葉 修・陳野好之:日植病報 25:38, 1960 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:226, 1992 [備考] アマミゴヨウ・ヒマラヤゴヨウ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Paederia</i>属(ヘクソカズラほか)に寄生してさび病を起こす (6) <i>Coleosporium saussureae</i> Thümen [<i>Coleosporium taisetsuense</i> S. Ito & Homma, <i>Coleosporium ligulariae</i> auct. non Thümen] 平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 9(2):222, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:122, 1981 [備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Ligularia</i>属(オタカラコウほか)・<i>Saussurea</i>属(シラネアザミほか)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium yamabense</i> (Saho) Hiratsuka, f. [<i>Coleosporium petasitis</i> auct., <i>Coleosporium petasitis</i> de Bary var. <i>yamabense</i> Saho, <i>Coleosporium neopetasitis</i> Saho] 佐保春芳:70回日林講:338, 1960 ; 平塚直秀:北海道林試研報 6:6, 1968 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:247, 1992 [備考] チョウセンゴヨウ・シベリヤマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Petasites</i>属(フキほか)に寄生してさび病を起こす
---	---

マツ科 Pinaceae ツガ類 Hemlock <i>Tsuga</i> spp. (針葉樹) コメツガ(米杵) Japanese northern hemlock <i>Tsuga diversifolia</i> (Maxim.) Mast.	マツ科 Pinaceae ツガ類 Hemlock <i>Tsuga</i> spp. (針葉樹) コメツガ(米杵) Japanese northern hemlock <i>Tsuga diversifolia</i> (Maxim.) Mast.
---	---

ツガ(栂) Japanese hemlock <i>Tsuga sieboldii</i> Carr. 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (1) <i>Naohidemycetes fujisanensis</i> S. Sato, Katsuya & Y. Hiratsuka Sato, S. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:54, 1993 [備考] コメツガ。人工接種ではツガにも発生。 夏孢子・冬孢子世代は<i>Vaccinium</i>属(ウスノキ他)にさび病をおこす (2) <i>Naohidemycetes vaccinii</i> (Jørstad) S. Sato, Katsuya & Y. Hiratsuka (nom. inval.) [<i>Thekopsora myrtillina</i> P. Karsten, <i>Thekopsora vaccinii</i> (Jørstad) Hiratsuka, f.] 平塚直秀:鳥取高農学術報 4:309, 1936(昭11); 平塚直秀:植物銹菌学研究:260, 1955; Sato, S. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:48, 1993 [備考] コメツガ。人工接種ではツガにも発生。 夏孢子・冬孢子世代は<i>Hugeria</i>属(アクシバ), <i>Lyonia</i>属(ネジキ), <i>Vaccinium</i>属(ナツハゼ, ウスノキ他)にさび病をおこす (3) <i>Pucciniastrum fagi</i> G. Yamada ex Hiratsuka Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:420, 1980; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:117, 1992 [備考] ツガ・コメツガ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Fagus</i>属(ブナ他)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Thekopsora hakkodensis</i> S. Ito & Hiratsuka, f. 平塚直秀・佐藤昭二:日植病報 27(2):70, 1962; 平塚直秀:北大農紀要 21:21, 1927(昭2); Sato, S. & Katsuya, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20:1, 1979; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:142, 1992 [備考] コメツガ。人工接種ではツガにも発生。 夏孢子・冬孢子世代は<i>Leucothoe</i>属(ハナヒリノキ他)に寄生してさび病を起こす	ツガ(栂) Japanese hemlock <i>Tsuga sieboldii</i> Carr. 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (1) <i>Naohidemycetes fujisanensis</i> S. Sato, Katsuya & Y. Hiratsuka Sato, S. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:54, 1993 [備考] コメツガ。人工接種ではツガにも発生。 夏孢子・冬孢子世代は<i>Vaccinium</i>属(ウスノキ他)にさび病をおこす (2) <i>Naohidemycetes vaccinii</i> (Jørstad) S. Sato, Katsuya & Y. Hiratsuka (nom. inval.) [<i>Thekopsora myrtillina</i> P. Karsten, <i>Thekopsora vaccinii</i> (Jørstad) Hiratsuka, f.] 平塚直秀:鳥取高農学術報 4:309, 1936(昭11); 平塚直秀:植物銹菌学研究:260, 1955; Sato, S. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:48, 1993 [備考] コメツガ。人工接種ではツガにも発生。 夏孢子・冬孢子世代は<i>Hugeria</i>属(アクシバ), <i>Lyonia</i>属(ネジキ), <i>Vaccinium</i>属(ナツハゼ, ウスノキ他)にさび病をおこす (3) <i>Pucciniastrum fagi</i> G. Yamada ex Hiratsuka Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:420, 1980; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:117, 1992 [備考] ツガ・コメツガ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は<i>Fagus</i>属(ブナ他)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Thekopsora hakkodensis</i> S. Ito & Hiratsuka, f. 平塚直秀・佐藤昭二:日植病報 27:70, 1962; 平塚直秀:北大農紀要 21:21, 1927(昭2); Sato, S. & Katsuya, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20:1, 1979; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:142, 1992 [備考] コメツガ。人工接種ではツガにも発生。 夏孢子・冬孢子世代は<i>Leucothoe</i>属(ハナヒリノキ他)に寄生してさび病を起こす
--	---

(注) 病原(4)文献号数挿入(日植病報)	
-----------------------	--

マツ科 Pinaceae ツガ類 Hemlock <i>Tsuga</i> spp. (針葉樹) コメツガ(米栂) Japanese northern hemlock <i>Tsuga diversifolia</i> (Maxim.) Mast. ツガ(栂) Japanese hemlock <i>Tsuga sieboldii</i> Carr. 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Antrodia xantha</i> (Fries) Ryvarden チョークアナタケ 今関六也・青島清雄:日植病報 16(2):88, 1952 ; 高橋旨象:きのこ木材:126, 1989 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (2) <i>Echinodontium tsugicola</i> (Hennings & Shirai) Imazeki マンネンハリタケ 白井光太郎:植物病理学(下):150, 1894(明27) ; 今関六也:植研雑 11(7):517, 1935(昭10) [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (3) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ (ツガタケ) 松村任三:帝国植物名鑑(上):145, 1904(明37) ; 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭18) [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (4) <i>Gloeophyllum subferrugineum</i> (Berkeley) Bondartsev & Singer [<i>Lenzites subferruginea</i> Berkeley] ヒロハノキカイガラタケ 北島君三:樹病学及木材腐朽論:462, 1933(昭8) (5) <i>Lenzites betulina</i> (Linnaeus) Fries カイガラタケ 北島君三:樹病学及木材腐朽論:464, 1933(昭8) (6) <i>Stereum sanguinolentum</i> (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ	マツ科 Pinaceae ツガ類 Hemlock <i>Tsuga</i> spp. (針葉樹) コメツガ(米栂) Japanese northern hemlock <i>Tsuga diversifolia</i> (Maxim.) Mast. ツガ(栂) Japanese hemlock <i>Tsuga sieboldii</i> Carr. 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Antrodia xantha</i> (Fries) Ryvarden チョークアナタケ 今関六也・青島清雄:日植病報 16:88, 1952 ; 高橋旨象:きのこ木材:126, 1989 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (2) <i>Echinodontium tsugicola</i> (Hennings & Shirai) Imazeki マンネンハリタケ 白井光太郎:植物病理学(下):150, 1894(明27) ; 今関六也:植研雑 11(7):517, 1935(昭10) [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (3) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ (ツガタケ) 松村任三:帝国植物名鑑(上):145, 1904(明37) ; 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭18) [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (4) <i>Gloeophyllum subferrugineum</i> (Berkeley) Bondartsev & Singer [<i>Lenzites subferruginea</i> Berkeley] ヒロハノキカイガラタケ 北島君三:樹病学及木材腐朽論:462, 1933(昭8) (5) <i>Lenzites betulina</i> (Linnaeus) Fries カイガラタケ 北島君三:樹病学及木材腐朽論:464, 1933(昭8) (6) <i>Stereum sanguinolentum</i> (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ
---	--

青島清雄:林試研報 46:155, 1950 ; 高橋旨象:きのこ木材:126, 1989 (7) <i>Veluticeps abietina</i> (Persoon) Hjortstam & Tellería マツノウロコタケ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:23, 1952 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):350, 1992 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照 (注) 病原(1)文献号数挿入(日植病報)	青島清雄:林試研報 46:155, 1950 ; 高橋旨象:きのこ木材:126, 1989 (7) <i>Veluticeps abietina</i> (Persoon) Hjortstam & Tellería マツノウロコタケ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:23, 1952 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):350, 1992 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照
---	--

ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ) 腐敗病* fuhai-byo Brown rot <i>Ewingella americana</i> Grimont, Farmer, Grimont, Asbury, Brenner & Deval 1984 有馬 忍ら:日林九支研論 50:171, 1997 ; 有馬 忍・陶山一雄:日植病報 63(3):198, 1997 ; 有馬 忍ら:日本きのこ学会誌 18(4):139-144, 2010 (注) 病原学名表記修正	ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ) 腐敗病* fuhai-byo Brown rot <i>Ewingella americana</i> Grimont, Farmer, Grimont, Asbury, Brenner and Deval 1984 有馬 忍ら:日林九支研論 50:171, 1997 ; 有馬 忍・陶山一雄:日植病報 63(3):198, 1997 ; 有馬 忍ら:日本きのこ学会誌 18(4):139-144, 2010
--	--

ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ) 白色トリコデルマ病* hakushoku-<i>Trichoderma</i>-byo Trichoderma disease <i>Trichoderma polysporum</i> (Link ex Persoon) Rifai aggr. [<i>Hypocrea pachybasioides</i> Yoshim. Doi]	ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ) 白色トリコデルマ病* hakushoku-<i>trichoderma</i>-byo Trichoderma disease <i>Trichoderma polysporum</i> (Link ex Persoon) Rifai aggr. [<i>Hypocrea pachybasioides</i> Yoshim. Doi]
---	---

小松光雄:菌蕈研報 7:27, 1969 ; 有田郁夫:菌蕈研報 9:36, 1971 ; 小松光雄:菌蕈研報 13:1, 1976 [備考] ほだ木に発生。小松光雄・橋岡良夫 (菌蕈研報 5:1, 1966) の報告した <i>Pachybasium</i> sp. は <i>Trichoderma polysporum</i> と同一種 (注) 病名読みの表記を修正	小松光雄:菌蕈研報 7:27, 1969 ; 有田郁夫:菌蕈研報 9:36, 1971 ; 小松光雄:菌蕈研報 13:1, 1976 [備考] ほだ木に発生。小松光雄・橋岡良夫 (菌蕈研報 5:1, 1966) の報告した <i>Pachybasium</i> sp. は <i>Trichoderma polysporum</i> と同一種
---	---

ヒラタケ科 Pleurotaceae エリンギ Eryngi, The King Oyster, Boletus of the steppes, Umbel oyster mushroom <i>Pleurotus eryngii</i> (de Candolle) Quélet (きのこ) わたかび病* watakabi-byo Cladobotryum white mould (白色かび病) <i>Cladobotryum varium</i> Nees 有馬 忍・陶山一雄:日植病報 64(4):430, 1998 ; 有馬 忍・陶山一雄:日本応用きのこ学会誌 8(1):13-20, 2000 [備考] 子実体に発生 (注) 文献巻数訂正	ヒラタケ科 Pleurotaceae エリンギ Eryngi, The King Oyster, Boletus of the steppes, Umbel oyster mushroom <i>Pleurotus eryngii</i> (de Candolle) Quélet (きのこ) わたかび病* watakabi-byo Cladobotryum white mould (白色かび病) <i>Cladobotryum varium</i> Nees 有馬 忍・陶山一雄:日植病報 64(4):430, 1998 ; 有馬 忍・陶山一雄:日本応用きのこ学会誌 18(1):13-20, 2000 [備考] 子実体に発生
---	--

ヒラタケ科 Pleurotaceae ヒラタケ(平茸) Oyster mushroom <i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacquin) Kummer (きのこ) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]	ヒラタケ科 Pleurotaceae ヒラタケ(平茸) Oyster mushroom <i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacquin) Kummer (きのこ) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923]
--	--

伊阪実人・岡本 博:日植病報 58(4):595, 1992 ; Okamoto, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(4):460, 1999 (注) 文献号数挿入(日植病報)	伊阪実人・岡本 博:日植病報 58:595, 1992 ; Okamoto, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(4):460, 1999
---	--

マキ科 Podocarpaceae イヌマキ(狗槨, 羅漢松) Longleaf podocarpus <i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don (針葉樹) ラカンマキ(羅漢槨) <i>Podocarpus macrophylla</i> D.Don var. <i>maki</i> Sieb. 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham [<i>Phellinus lamaensis</i> sensu Yasuda] 小林享夫ら:日植病報 55(4):490, 1989 ; 阿部恭久 ら:日植病報 56(3):387, 1990 ; Abe, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61(5):425, 1995 (注) 文献順変更。文献号数挿入(日植病報・ JGPP)。文献ページ訂正	マキ科 Podocarpaceae イヌマキ(狗槨, 羅漢松) Longleaf podocarpus <i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don (針葉樹) ラカンマキ(羅漢槨) <i>Podocarpus macrophylla</i> D.Don var. <i>maki</i> Sieb. 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham [<i>Phellinus lamaensis</i> sensu Yasuda] 阿部恭久ら:日植病報 56:387, 1990 ; 小林享夫ら: 日植病報 55:490, 1989 ; Abe, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 61:245, 1995
---	--

ハナシノブ科 Polemoniaceae フロックス(キキョウナデシコ) Drummond Phlox <i>Phlox drummondii</i> Hook. (草花) オイランソウ(クサキョウチクトウ) Summer perennial phlox <i>Phlox paniculata</i> L. 褐斑病 kappan-byo Leaf spot <i>Passalora omphacodes</i> (Ellis & Holway) Crous & U. Braun [<i>Cercospora omphacodes</i> Ellis & Holway] Togashi, K. & Katsuki, S.:Sci. Rept. Yokohama Nat.	ハナシノブ科 Polemoniaceae フロックス(キキョウナデシコ) Drummond Phlox <i>Phlox drummondii</i> Hook. (草花) オイランソウ(クサキョウチクトウ) Summer perennial phlox <i>Phlox paniculata</i> L. 褐斑病 kappan-byo Leaf spot <i>Passalora omphacodes</i> (Ellis & Holway) Crous & U. Braun [<i>Cercospora omphacodes</i> Ellis & Holway] Togashi, K. & Katsuki, S.:Sci. Rept. Yokohama Nat.
--	--

Univ. Sect. II 1:6, 1952 ; 山本和太郎・前田巳之助: 兵庫農大研報 4(2):66, 1960 [備考] いずれも接種試験未了。Togashi & Katsuki は <i>Cercospora omphacodes</i> としたが, Crous, P.W. & Braun, U. (Mycotaxon 57: 288, 1996) により <i>Passalora omphacodes</i> に移されている (注) 文献名修正。備考変更	Univ. Sci. 1:6, 1952 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵 庫農大研報 4(2):66, 1960 [備考] いずれも接種試験未了。Togashi <i>et al.</i> は <i>Cercospora omphacodes</i> としたが, Crous, P.W. & Braun, U. (Mycotaxon 57: 288, 1996) により <i>Passalora omphacodes</i> に移されている
--	--

ハナシノブ科 Polemoniaceae シバザクラ(ハナツメクサ, モスフロックス) Moss phlox <i>Phlox subulata</i> L. (草花) 茎線虫病 kuki-senchu-byo Dieback <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev ナミクキセ ンチュウ 河原崎秀志ら:日植病報 83(1):67, 2017 (注) 病原和名抜け修正	ハナシノブ科 Polemoniaceae シバザクラ(ハナツメクサ, モスフロックス) Moss phlox <i>Phlox subulata</i> L. (草花) 茎線虫病 kuki-senchu-byo Dieback <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev 河原崎秀志ら:日植病報 83(1):67, 2017
--	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae センニンソウ類 (Clematis) <i>Clematis</i> spp. (野草) リュウキュウボタンヅル <i>Clematis grata</i> Wallich var. <i>ryukyuensis</i> Tamura ハンショウヅル <i>Clematis japonica</i> Thunb. ムニンセンニンソウ <i>Clematis terniflora</i> var. <i>boninensis</i> (Hayata) Tamura さび病* sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia exhausta</i> Dietel Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:764, 1992	キンポウゲ科 Ranunculaceae センニンソウ類 (Clematis) <i>Clematis</i> spp. (野草) リュウキュウボタンヅル <i>Clematis grata</i> Wallich var. <i>ryukyuensis</i> Tamura ハンショウヅル <i>Clematis japonica</i> Thunb. ムニンセンニンソウ <i>Clematis terniflora</i> var. <i>boninensis</i> (Hayata) Tamura さび病* sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia exhausta</i> Dietel Hiratsuka <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:764, 1992
---	---

(2) <i>Puccinia moriokaensis</i> S. Ito Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:562, 1992 (3) <i>Puccinia okatamaensis</i> S. Ito Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:566, 1992 (4) <i>Puccinia recondita</i> Roberge ex Desmazières Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:582, 1992 (注) 文献著者名修正	(2) <i>Puccinia moriokaensis</i> S. Ito Hiratsuka <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:562, 1992 (3) <i>Puccinia okatamaensis</i> S. Ito Hiratsuka <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:566, 1992 (4) <i>Puccinia recondita</i> Roberge ex Desmazières Hiratsuka <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:582, 1992
--	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae デルフィニウム(ヒエンソウ, オオヒエンソウ) Larkspur <i>Delphinium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) †††† <i>Aconitum latent virus</i> (AcLV) Fuji, S. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 147:865, 2002 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (注) 文献名修正。ウイルス病の病名削除については、2019年前期の新旧対照表の最初の項目を参照のこと。	キンポウゲ科 Ranunculaceae デルフィニウム(ヒエンソウ, オオヒエンソウ) Larkspur <i>Delphinium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) ウイルス病 virus-byo Virus <i>Aconitum latent virus</i> (AcLV) Fuji, S. <i>et al.</i>:Arch Virol 147:865, 2002
---	--

キンポウゲ科 Ranunculaceae ラナンキュラス(キンポウゲ類) Butter cup <i>Ranunculus</i> spp. (草花) ミヤマキンポウゲ <i>Ranunculus acris</i> L. var. <i>nipponicus</i> H. Hara キツネノボタン <i>Ranunculus silerifolius</i> H. Lev †††† <i>Urocystis ranunculi</i> (Libert) Moesz 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:73, 1982 ; 柿 眞	キンポウゲ科 Ranunculaceae ラナンキュラス(キンポウゲ類) Butter cup <i>Ranunculus</i> spp. (草花) ミヤマキンポウゲ <i>Ranunculus acris</i> L. var. <i>nipponicus</i> H. Hara キツネノボタン <i>Ranunculus silerifolius</i> H. Lev †††† <i>Urocystis ranunculi</i> (Lib.) Moesz 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:73, 1982 ; 柿 眞
--	--

眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] ミヤマキンポウゲ, キツネノボタンに発生。接種試験未了 (注) 病原学名の命名者名をスペルアウトした	眞:日菌報 57:108, 2016 [備考] ミヤマキンポウゲ, キツネノボタンに発生。接種試験未了
---	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae キンバイソウ (Trollius) <i>Trollius hondoensis</i> Nakai (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe aquilegiae</i> de Candolle Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了 (注) 病原学名の命名者名をスペルアウトした	キンポウゲ科 Ranunculaceae キンバイソウ (Trollius) <i>Trollius hondoensis</i> Nakai (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe aquilegiae</i> DC. Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了
---	---

クロウメモドキ科 Rhamnaceae クマヤナギ (Berchemia) <i>Berchemia racemosa</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病) <i>Erysiphe berchemiae</i> (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon, <i>Microsphaera berchemiae</i> Sawada] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12); 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):6, 1949; 澤田兼吉:林試研報 50:118, 1951; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973; 丹田誠之助・野村幸彦:東農大農学集報 23(1):25,	クロウメモドキ科 Rhamnaceae クマヤナギ (Berchemia) <i>Berchemia racemosa</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病) <i>Erysiphe berchemiae</i> (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon, <i>Microsphaera berchemiae</i> Sawada] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12); 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):6, 1949; 澤田兼吉:林試研報 50:118, 1951; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973; 丹田誠之助・野村幸彦:東農大農学集報 23(1):25,
--	--

1978 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:52, 2012 [備考] ミヤマクマヤナギ (<i>B. pauciflora</i>) ・ ホナガクマヤナギ(<i>B. longeracemosa</i>) ・ ヨコグラノキ(<i>B. berchemiaefolia</i>)にも発生 (注) 備考中の宿主学名属名と種小名の間に半角スペース挿入。	1978 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:52, 2012 [備考] ミヤマクマヤナギ (<i>B. pauciflora</i>) ・ ホナガクマヤナギ(<i>B. longeracemosa</i>) ・ ヨコグラノキ(<i>B. berchemiaefolia</i>)にも発生
--	--

クロウメモドキ科 Rhamnaceae ケンポナシ(玄圃梨) Japanese raisin-tree <i>Hovenia dulcis</i> Thunb. (広葉樹) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Pseudocercospora udagawana</i> (Katsuki) X.J. Liu & Y.L. Guo [<i>Cercospora udagawana</i> Katsuki] 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):77, 1960 ; Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 20:72, 1955 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992 (注) 文献名訂正。エキソコルダ褐斑病、イチゴのグノモニア輪斑病、タイトウウルシ†赤衣病、フカノキ†褐色すす病、ヘチマ尻腐病、ダイズ†††† <i>Pleospora glycines-hispidae</i> も同様の修正を行う。	クロウメモドキ科 Rhamnaceae ケンポナシ(玄圃梨) Japanese raisin-tree <i>Hovenia dulcis</i> Thunb. (広葉樹) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Pseudocercospora udagawana</i> (Katsuki) X.J. Liu & Y.L. Guo [<i>Cercospora udagawana</i> Katsuki] 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):77, 1960 ; Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 20:72, 1955 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):598, 1992
--	--

バラ科 Rosaceae アズキナシ(小豆梨) (Aria) <i>Aria alnifolia</i> (Siebold & Zucc.) Decne. [<i>Sorbus alnifolia</i> (Sieb. & Zucc.) C. Koch.] (広葉樹) うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Phyllactinia pyri-serotinae</i> Sawada Meeboon, J. <i>et al.</i>:Mycoscience 56(6):590, 2015	バラ科 Rosaceae アズキナシ(小豆梨) (Aria) <i>Aria alnifolia</i> (Siebold & Zucc.) Decne. [<i>Sorbus alnifolia</i> (Sieb. & Zucc.) C. Koch.] (広葉樹) うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Phyllactinia pyri-serotinae</i> Sawada Meeboon J. <i>et al.</i>:Mycoscience 56(6):590, 2015
---	--

(2) <i>Phyllactinia</i> sp. 高松 進:北陸病虫研報 30:98, 1982 ; 三室元気・佐藤幸生:日植病報 68(2):188, 2002 (3) <i>Podosphaera curvispora</i> Y. Nomura 三室元気・佐藤幸生:日植病報 68(2):188, 2002 (4) <i>Podosphaera</i> sp. 高松 進:北陸病虫研報 30:98, 1982 (注) 文献著者名のカンマ抜けを修正	(2) <i>Phyllactinia</i> sp. 高松 進:北陸病虫研報 30:98, 1982 ; 三室元気・佐藤幸生:日植病報 68(2):188, 2002 (3) <i>Podosphaera curvispora</i> Y. Nomura 三室元気・佐藤幸生:日植病報 68(2):188, 2002 (4) <i>Podosphaera</i> sp. 高松 進:北陸病虫研報 30:98, 1982
---	---

バラ科 Rosaceae アロニア (Aronia) <i>Aronia</i> sp. (果樹) 灰星病 haiboshi-byo Brown rot <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey Okada, T. et al.:The 2nd Circular for the 2nd Korea-Japan Joint Symposium:167, 2012 ; 栢森美如ら:北日本病虫研報 66:88, 2015 [備考] <i>A. melanocarpa</i> に発生 (注) 文献著者名の表記修正	バラ科 Rosaceae アロニア (Aronia) <i>Aronia</i> sp. (果樹) 灰星病 haiboshi-byo Brown rot <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey Takashi Okada et al.:The 2nd Circular for the 2nd Korea-Japan Joint Symposium:167, 2012 ; 栢森美如ら:北日本病虫研報 66:88, 2015 [備考] <i>A. melanocarpa</i> に発生
--	--

バラ科 Rosaceae ヤマブキショウマ <i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H.Hara (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera ferruginea</i> (Schlechtendal) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ferruginea</i> [<i>Sphaerotheca ferruginea</i> (Schlechtendal) L. Junell var. <i>ferruginea</i>] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:37,	バラ科 Rosaceae ヤマブキショウマ <i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H.Hara (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera ferruginea</i> (Schlechtendal) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ferruginea</i> [<i>Sphaerotheca ferruginea</i> (Schlechtendal) L. Junell var. <i>ferruginea</i>] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:37,
--	--

1997 ; Braun, U. & Takamatsu, S.:Schlechtendalia 4:29, 2000 [備考] 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012では宿主として未記載 (注) 文献著者名の表記を修正	1997 ; Braun, U. and Takamatsu, S.:Schlechtendalia 4:29, 2000 [備考] 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012では宿主として未記載
--	---

バラ科 Rosaceae カリン(榎櫨, 花梨, 木瓜) Chinese quince <i>Chaenomeles sinensis</i> Koehne (果樹) ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot, Fabraea leaf spot and fruit rot <i>Entomosporium mespili</i> (de Candolle) Saccardo [<i>Diplocarpon mespili</i> (Sorauer) B. Sutton, <i>Entomosporium maculatum</i> L��veill��, <i>Fabraea maculata</i> G.F. Atkinson] 山口忠義:第29回日林関東支講:17, 1977 ; 山口忠義:森林防疫 28(9):163, 1979 ; Horie, H. & Kobayashi, T.:Eur. J. For. Pathol. 9:366, 1979 (注) 文献表記を他病名の同文献に合わせて統一	バラ科 Rosaceae カリン(榎櫨, 花梨, 木瓜) Chinese quince <i>Chaenomeles sinensis</i> Koehne (果樹) ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot, Fabraea leaf spot and fruit rot <i>Entomosporium mespili</i> (de Candolle) Saccardo [<i>Diplocarpon mespili</i> (Sorauer) B. Sutton, <i>Entomosporium maculatum</i> L��veill��, <i>Fabraea maculata</i> G.F. Atkinson] 山口忠義:第29回日林関東支講:17, 1977 ; 山口忠義:森林防疫 28(9):163, 1979 ; Horie, H. & Kobayashi, T.:Eur. J. For. Path. 9:366, 1979
--	---

バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot (円星病) <i>Pseudocercospora eriobotryae</i> (Enjoji) Goh & W.H. Hsieh [<i>Cercospora eriobotryae</i> (Enjoji) Sawada,	バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot (円星病) <i>Pseudocercospora eriobotryae</i> (Enjoji) Goh & W.H. Hsieh [<i>Cercospora eriobotryae</i> (Enjoji) Sawada,
--	--

<i>Cercosporina eriobotryae</i> Enjoji] 円城寺定男:病虫雑 18(5):329, 1931(昭6); 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 61(台湾産菌類調査報告 6):94, 1933(昭8) (注) 文献著者名訂正	<i>Cercosporina eriobotryae</i> Enjoji] 円城寺定雄:病虫雑 18(5):329, 1931(昭6); 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 61(台湾産菌類調査報告 6):94, 1933(昭8)
---	--

バラ科 Rosaceae ハナカイドウ類(カイドウ)(海棠) Flowering crab apple, Kaido crab apple (広葉樹) ハナカイドウ Flowering crab-apple <i>Malus halliana</i> Koehne ミカイドウ <i>Malus micromalus</i> Makino 腐らん病 furan-byo Cytospora canker <i>Valsa ceratosperma</i> (Tode) Maire 田村 修ら:農薬の進歩(北海三共) 15(2):3, 1975 ; 成田武四:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:633, 1998 [備考] 病原菌の異名はポプラ類腐らん病参照。接種試験未了 (注) 備考中の病名修正	バラ科 Rosaceae ハナカイドウ類(カイドウ)(海棠) Flowering crab apple, Kaido crab apple (広葉樹) ハナカイドウ Flowering crab-apple <i>Malus halliana</i> Koehne ミカイドウ <i>Malus micromalus</i> Makino 腐らん病 furan-byo Cytospora canker <i>Valsa ceratosperma</i> (Tode) Maire 田村 修ら:農薬の進歩(北海三共) 15(2):3, 1975 ; 成田武四:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:633, 1998 [備考] 病原菌の異名はポプラ類ふらん病参照。接種試験未了
---	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †††† (1) Apple latent spherical virus (ALSV) 小金澤碩城ら:日植病報 51(3):363, 1985 ; Li, C. et al.:J. Gen. Virol. 81:541, 2000 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (2) Apple russet ring A virus# 伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 60(6):762, 1994 ; 伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 63(6):487, 1997 ; 李 春	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ウイルス病 virus-byo Virus (1) Apple latent spherical virus (ALSV) 小金澤碩城ら:日植病報 51(3):363, 1985 ; Li, C. et al.:J. Gen Virol 81:541, 2000
--	---

江ら:日植病報 63(6):487, 1997 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。本ウイルスは輪状さび果罹病リンゴ樹から分離されたが、本病とは関係がないのでウイルス名の変更が必要 (3) Platycarpa scaly bark virus# (PSBV) 澤村健三・長田 茂:日植病報 41(1):91, 1975 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染 (注) 病原(1)文献表記のピリオド抜け修正。ウイルス病の病名削除については、2019年前期の新旧対照表の最初の項目を参照のこと。	(2) Apple russet ring A virus# 伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 60(6):762, 1994 ; 伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 63(6):487, 1997 ; 李春江ら:日植病報 63(6):487, 1997 [備考] 本ウイルスは輪状さび果罹病リンゴ樹から分離されたが、本病とは関係がないのでウイルス名の変更が必要 (3) Platycarpa scaly bark virus# (PSBV) 澤村健三・長田 茂:日植病報 41(1):91, 1975 [備考] 病原未確認。接ぎ木伝染性。潜在感染
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo <i>Entomosporium</i> leaf spot, <i>Fabraea</i> leaf spot <i>Entomosporium mespili</i> (de Candolle) Saccardo [<i>Entomosporium maculatum</i> Lévillé, <i>Stigmatea mespili</i> Sorauer] Horie, H. & Kobayashi, T.:Eur. J. For. Pathol. 9(6):366, 1979 ; 堀江博道:日植病報 50(1):136, 1984 [備考] 海外では完全世代として <i>Diplocarpon mespili</i> (Sorauer) Sutton が発見されている (注) 文献著者名訂正	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo <i>Entomosporium</i> leaf spot, <i>Fabraea</i> leaf spot <i>Entomosporium mespili</i> (de Candolle) Saccardo [<i>Entomosporium maculatum</i> Lévillé, <i>Stigmatea mespili</i> Sorauer] Horie, H. & Kobayasi, T.:Eur. J. For. Pathol. 9(6):366, 1979 ; 堀江博道:日植病報 50(1):136, 1984 [備考] 海外では完全世代として <i>Diplocarpon mespili</i> (Sorauer) Sutton が発見されている
--	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider
---	---

(果樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring rot (<i>Physalospora canker</i>) (いぼ皮病 <i>ibokawa-byo</i>, 粗皮病) <i>Botryosphaeria kuwatsukai</i> (Hara) G.Y. Sun & E. Tanaka [<i>Botryosphaeria berengeriana</i> De Notaris f. sp. <i>pyricola</i> Koganezawa & Sakuma, <i>Guignardia pyricola</i> (Nose) W. Yamamoto, <i>Macrophoma kuwatsukai</i> Hara, <i>Macrosporium pyrorum</i> Cooke, <i>Physalospora pyricola</i> Nose] 鉢塚喜久治:園芸の研究 17:190, 1921(大10); 平良木武ら:日植病報 47(3):373, 1981; 野瀬直毅:朝鮮総督府農事試験場彙報 7(2):156, 1933; 小金澤碩城・佐久間 勉:果樹試報C 11:58, 1984; Ogata, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 41(4):331, 2000; Xu, C. <i>et al.</i>:Fungal Divers. 71:215, 2015 (注) 病原学名表記修正、文献著者名カンマ抜け修正	(果樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring rot (<i>Physalospora canker</i>) (いぼ皮病 <i>ibokawa-byo</i>, 粗皮病) <i>Botryosphaeria kuwatsukai</i> (Hara) G.Y. Sun and E. Tanaka [<i>Botryosphaeria berengeriana</i> De Notaris f. sp. <i>pyricola</i> Koganezawa & Sakuma, <i>Guignardia pyricola</i> (Nose) W. Yamamoto, <i>Macrophoma kuwatsukai</i> Hara, <i>Macrosporium pyrorum</i> Cooke, <i>Physalospora pyricola</i> Nose] 鉢塚喜久治:園芸の研究 17:190, 1921(大10); 平良木武ら:日植病報 47(3):373, 1981; 野瀬直毅:朝鮮総督府農事試験場彙報 7(2):156, 1933; 小金澤碩城・佐久間 勉:果樹試報C 11:58, 1984; Ogata, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 41(4):331, 2000; Xu C. <i>et al.</i>:Fungal Divers. 71:215, 2015
--	--

バラ科 Rosaceae アンズ(杏) Apricot <i>Prunus armeniaca</i> L. (果樹) 環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot <i>Grovesinia pruni</i> Y. Harada & Noro [不完全世代: <i>Hinomyces pruni</i> (Y. Harada & Noro) Narumi-Saito & Y. Harada, <i>Cristulariella</i> sp.] 鷺尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981; 野呂俊一ら:日植病報 48(3):365, 1982; Harada, Y. & Noro, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(1):85, 1988; Narumi-Saito, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:351, 2006 (注) 文献著者名訂正	バラ科 Rosaceae アンズ(杏) Apricot <i>Prunus armeniaca</i> L. (果樹) 環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot <i>Grovesinia pruni</i> Y. Harada & Noro [不完全世代: <i>Hinomyces pruni</i> (Y. Harada & Noro) Narumi-Saito & Y. Harada, <i>Cristulariella</i> sp.] 鷺尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981; 野呂俊一ら:日植病報 48(3):365, 1982; Harada, Y. & Noroi, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(1):85, 1988; Narumi-Saito, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:351, 2006
---	---

バラ科 Rosaceae アンズ(杏) Apricot <i>Prunus armeniaca</i> L. (果樹) 灰星病* haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom and twig blight and fruit rot (菌核病, 熟 果菌核病, モニリア病) (1) <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey [<i>Sclerotinia cinerea</i> (Bonorden) J. Schröter] 西田藤次・前原最蔵:作物病害教科書:136, 1923(大12); 原 攝祐:実用作物病理学:376, 1925(大14); 照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32(5):291, 1966 (2) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) (3) <i>Monilinia laxa</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia laxa</i> (Ehrenberg) Saccardo & Voglino, <i>Sclerotinia laxa</i> (Ehrenberg) Aderhold & Ruhland] 半澤 洵:札幌博物学会報 1:97, 1906(明39); 西田 藤次・前原最蔵:作物病害教科書:136, 1923(大 12); 原 攝祐:実験作物病理学:675, 1930(昭5); 山 本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959 (注) 文献号数挿入(日植病報)	バラ科 Rosaceae アンズ(杏) Apricot <i>Prunus armeniaca</i> L. (果樹) 灰星病* haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom and twig blight and fruit rot (菌核病, 熟 果菌核病, モニリア病) (1) <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey [<i>Sclerotinia cinerea</i> (Bonorden) J. Schröter] 西田藤次・前原最蔵:作物病害教科書:136, 1923(大12); 原 攝祐:実用作物病理学:376, 1925(大14); 照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32:291, 1966 (2) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) (3) <i>Monilinia laxa</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia laxa</i> (Ehrenberg) Saccardo & Voglino, <i>Sclerotinia laxa</i> (Ehrenberg) Aderhold & Ruhland] 半澤 洵:札幌博物学会報 1:97, 1906(明39); 西田 藤次・前原最蔵:作物病害教科書:136, 1923(大 12); 原 攝祐:実験作物病理学:675, 1930(昭5); 山 本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959
バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウト ウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L.	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウト ウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L.

サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency ほう素欠乏 佐藤公一:原色図解作物の要素欠乏—診断と対策 (三井進午・今泉吉郎監修):216, 1958 (注) 文献表記のコロンを中黒に置換	サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. ほう素欠乏症* hoso-ketsubo-sho Boron deficiency ほう素欠乏 佐藤公一:原色図解作物の要素欠乏—診断と対策 (三井進午:今泉吉郎監修):216, 1958
--	--

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 疫病 eki-byo Phytophthora fruit rot, Phytophthora rot <i>Phytophthora</i> spp. 桂 琦一ら:関西病虫研報 16:127, 1974 ; 福田明美 ら:日植病報 82(3):235, 2016 [備考] 福田ら(2016)の病原は果実に病原性がない 点で桂ら(1974)と異なる。<i>Phytophthora syringae</i> (Klebahn) Klebahnに近縁 (注) 病名英名追加(新旧対照表20170411の反映漏 れ修正)	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 疫病 eki-byo Phytophthora fruit rot <i>Phytophthora</i> spp. 桂 琦一ら:関西病虫研報 16:127, 1974 ; 福田明美 ら:日植病報 82(3):235, 2016 [備考] 福田ら(2016)の病原は果実に病原性がない 点で桂ら(1974)と異なる。<i>Phytophthora syringae</i> (Klebahn) Klebahnに近縁
--	--

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 縮葉病 shukuyo-byo Leaf curl (膨葉病, ふ	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 縮葉病 shukuyo-byo Leaf curl (膨葉病, ふ
---	---

くれば病) <i>Taphrina mume</i> Nishida 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:349, 1904(明37); 原 攝祐:果樹病害論:406, 1916(大5); 鏑方末彦:果樹病害篇:374, 1927(昭2) (注) 文献年訂正	くれば病) <i>Taphrina mume</i> Nishida 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:349, 1904(明37); 原 攝祐:果樹病害論:406, 1916(大5); 鏑方末彦:果樹病害篇:374, 1928(昭2)
--	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 潜在モザイク病* senzai-mosaic-byo Latent mosaic <i>Peach latent mosaic viroid</i> (PLMVd) 大崎秀樹ら:日植病報 64(4):426, 1998 [備考] 大崎 (1998)の報告では無病徴。病原はスモモ, アンズ, ウメおよびオウトウからも低率ながら検出された (注) 文献著者名訂正	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 潜在モザイク病* senzai-mosaic-byo Latent mosaic <i>Peach latent mosaic viroid</i> (PLMVd) 大崎秀樹ら:日植病報 64(4):426, 1998 [備考] 大崎(1998)の報告では無病徴。病原はスモモ, アンズ, ウメおよびオウトウからも低率ながら検出された
--	--

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i>
--	---

†††† (1) <i>Apple chlorotic leaf spot virus</i> (ACLSV) 小林敏郎ら:日植病報 46(3):416, 1980 [備考] ウイルス病(Virus disease)とされていた。潜在感染 (2) <i>Prunus necrotic ringspot virus</i> (PNRSV) 岸 國平ら:日植病報 32(2):84, 1966 [備考] ウイルス病(Virus disease)とされていた。潜在感染 (注) 病名目録凡例に従い、昭和20年以降の文献年の和暦を削除。(目録全体にも反映させる) ウイルス病の病名削除については、2019年前期の新旧対照表の最初の項目を参照のこと。	Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider ウイルス病 virus-byo Virus disease (1) <i>Apple chlorotic leaf spot virus</i> (ACLSV) 小林敏郎ら:日植病報 46(3):416, 1980(昭55) [備考] 潜在感染 (2) <i>Prunus necrotic ringspot virus</i> (PNRSV) 岸 國平ら:日植病報 32(2):84, 1966(昭41) [備考] 潜在感染
--	--

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 灰星病 haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病, モニリア病, 黒腐病, 褐色腐敗病, 硬化病) (1) <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey [<i>Monilia fructicola</i> L.R. Batra, <i>Sclerotinia cinerea</i> (Bonorden) J. Schröter] 西田藤次:果樹 42:22, 1906(明39) ; 富樫浩吾:果樹病学:296, 1950 ; 照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32(5):291, 1966 (2) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon]	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 灰星病 haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病, モニリア病, 黒腐病, 褐色腐敗病, 硬化病) (1) <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey [<i>Monilia fructicola</i> L.R. Batra, <i>Sclerotinia cinerea</i> (Bonorden) J. Schröter] 西田藤次:果樹 42:22, 1906(明39) ; 富樫浩吾:果樹病学:296, 1950 ; 照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32:291, 1966 (2) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon]
---	--

白井光太郎:植物病理学(下) 267, 1894(明27) ; 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) ; 山本和太郎:日 菌報 2(2):3, 1959 [備考] 落合政文 (福島園試報 2:9, 1970) は腐敗 果から <i>Monilinia laxa</i> (Aderhold & Ruhland) Honey を分離しているが, 病原性は未確認 (注) 文献号数挿入(日植病報)	白井光太郎:植物病理学(下) 267, 1894(明27) ; 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) ; 山本和太郎:日 菌報 2(2):3, 1959 [備考] 落合政文 (福島園試報 2:9, 1970) は腐敗 果から <i>Monilinia laxa</i> (Aderhold & Ruhland) Honey を分離しているが, 病原性は未確認
---	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 斑点病 hanten-byo Leaf spot (果実斑点病, 穿孔病) (1) <i>Macrophoma collabens</i> (Cooke) Berlese & Voglino 原 攝祐:実用作物病理学:309, 1925(大14) ; 原 攝 祐:実験作物病理学:551, 1930(昭5) (2) <i>Mycosphaerella pachyasca</i> (Rostrup) Vestergren 原 攝祐:静岡県農会報 280:22, 1921(大10) ; 原 攝 祐:実験作物病理学:551, 1930(昭5) (3) <i>Phyllosticta maculiformis</i> Saccardo 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6) ; 原 攝祐:実 験作物病理学:551, 1930(昭5) (4) <i>Phyllosticta persicae</i> Saccardo 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:29, 30, 1911(明 44) ; 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6) ; 原 攝 祐:実験作物病理学:551, 1930(昭5) (5) <i>Phyllosticta prunicola</i> (Opiz) Saccardo 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):12, 1916(大5) ; 原	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 斑点病 hanten-byo Leaf spot (果実斑点病, 穿孔病) (1) <i>Macrophoma collabens</i> (Cooke) Berlese & Voglino 原 攝祐:実用作物病理学:309, 1925(大14) ; 原 攝祐: 実験作物病理学:551, 1930(昭5) (2) <i>Mycosphaerella pachyasca</i> (Rostrup) Vestergren 原 攝祐:静岡県農会報 280:22, 1921(大10) ; 原 攝 祐:実験作物病理学:551, 1930(昭5) (3) <i>Phyllosticta maculiformis</i> Saccardo 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6) ; 原 攝祐:実 験作物病理学:551, 1930(昭5) (4) <i>Phyllosticta persicae</i> Saccardo 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:29, 30, 1911(明 44) ; 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6) ; 原 攝 祐:実験作物病理学:551, 1930(昭5) (5) <i>Phyllosticta prunicola</i> (Opiz) Saccardo 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):12, 1916(大5) ; 原
---	---

攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6) (6) <i>Stigmina carpophila</i> (Léveillé) M.B. Ellis [<i>Coryneum beyerinckii</i> Oudemans] 原 攝祐:果樹病害論:444, 1916(大5) (注) 文献名訂正	攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6) (6) <i>Stigmina carpophila</i> (Léveillé) M.B. Ellis [<i>Coryneum beyerinckii</i> Oudemans] 原 攝祐:果樹病害論:444, 1916(大5)
---	--

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 石川元一:関東病虫研報 11:98, 1964 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood キタネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. PL. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood var. <i>acrita</i> Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. PL. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 石川元一:関東病虫研報 11:98, 1964 (4) <i>Meloidogyne mali</i> Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ 果樹試栽培1研:研究成果シリーズ 98:131, 1977 ; 伊藤喜隆:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):142,	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 石川元一:関東病虫研報 11:98, 1964 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood キタネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood var. <i>acrita</i> Chitwood] サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Prot. Japan 1:84, 1961 ; 石川元一:関東病虫研報 11:98, 1964 (4) <i>Meloidogyne mali</i> Itoh, Ohshima & Ichinohe リンゴネコブセンチュウ 果樹試栽培1研:研究成果シリーズ 98:131, 1977 ; 伊藤喜隆:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):142, 1992 (5) <i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種
---	--

1992 (5) <i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種 河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957 [備考] 上記の種との異同は不明 (注) 文献名訂正	河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957 [備考] 上記の種との異同は不明
---	--

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley ††樹脂細菌病 jushi-saikin-byo Bacterial canker, Bacterial gummosis, Resinosis <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 [Bacterium cerasi (Griffin) Elliott] 瀬戸房太郎:日植病報 5(1):91, 1935(昭10) ; 岡部 徳夫:植物細菌病学:239, 1949 (注) 文献号数挿入(日植病報)	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley ††樹脂細菌病 jushi-saikin-byo Bacterial canker, Bacterial gummosis, Resinosis <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 [Bacterium cerasi (Griffin) Elliott] 瀬戸房太郎:日植病報 5:91, 1935(昭10) ; 岡部徳 夫:植物細菌病学:239, 1949
---	--

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley
--	--

†††† <i>Hysterium photiniae</i> Naito Naito, T.:Trans. Nat. Hist. Soc. Kagoshima Coll. Agr. For. 3(12):4, 1933 (注) 文献のピリオド抜け修正	†††† <i>Hysterium photiniae</i> Naito Naito, T.: Trans Nat. Hist. Soc. Kagoshima Coll. Agr. For. 3(12):4, 1933
--	--

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley せん孔病 senko-byo Shot hole (穿孔病) <i>Pseudocercospora circumscissa</i> (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [<i>Cercospora circumscissa</i> Saccardo] 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明27) ; 富 樫浩吾:果樹病学:305, 1950 [備考] 病原菌の学名は勝本 謙・小林享夫:植物 病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 参照 (注) 文献年訂正	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley せん孔病 senko-byo Shot hole (穿孔病) <i>Pseudocercospora circumscissa</i> (Saccardo) Y.L. Guo & X.J. Liu [<i>Cercospora circumscissa</i> Saccardo] 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1984(明27) ; 富 樫浩吾:果樹病学:305, 1950 [備考] 病原菌の学名は勝本 謙・小林享夫:植物 病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 参照
--	---

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley
--	--

灰星病 haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病, モニリア病) (1) <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey [<i>Monilia fructicola</i> L.R. Batra, <i>Sclerotinia cinerea</i> (Bonorden) J. Schröter] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:355, 1904(明37); 原 攝祐:果樹病害論:401, 1916(大5); 照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32(5):291, 1966 (2) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 白井光太郎:植物病理学(下):267, 1894(明27); 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5); 原 攝祐:実験作物病理学:486, 1930(昭5) [備考] 半澤 洵 (札幌博物会報 1:97, 1906) は菌核病の病原 <i>S. cinerea</i> のシノニムとして <i>Monilia cinerea</i> Bonorden, <i>M. kusanoi</i> Hennings を記載している。また、海外では <i>Monilinia laxa</i> (Aderhold & Ruhland) Honey も病原とされている (注) 文献年訂正。文献号数挿入。	灰星病 haiboshi-byo Brown rot, Brown rot blossom blight and fruit rot (菌核病, モニリア病) (1) <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey [<i>Monilia fructicola</i> L.R. Batra, <i>Sclerotinia cinerea</i> (Bonorden) J. Schröter] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:355, 1904(明37); 原 攝祐:果樹病害論:401, 1916(大5); 照井陸奥生・原田幸雄:日植病報 32:291, 1966 (2) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 白井光太郎:植物病理学(下):267, 1984(明27); 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5); 原 攝祐:実験作物病理学:486, 1930(昭5) [備考] 半澤 洵 (札幌博物会報 1:97, 1906) は菌核病の病原 <i>S. cinerea</i> のシノニムとして <i>Monilia cinerea</i> Bonorden, <i>M. kusanoi</i> Hennings を記載している。また、海外では <i>Monilinia laxa</i> (Aderhold & Ruhland) Honey も病原とされている
--	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 葉腐病 hagusare-byo <i>Monilinia ssiori</i> Y. Harada, M. Sasaki & T. Sano [不完全世代: <i>Monilia ssiori</i> Y. Harada, M. Sasaki & T. Sano, <i>Monilia</i> sp.] 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 53(3):378, 1987; 原田幸雄:日植病報 51(3):324, 1985; 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 56(1):112, 1990; Harada, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:376, 2005	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 葉腐病 hagusare-byo <i>Monilinia ssiori</i> Y. Harada, M. Sasaki & T. Sano [不完全世代: <i>Monilia ssiori</i> Y. Harada, M. Sasaki & T. Sano, <i>Monilia</i> sp.] 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 53(3):378, 1987; 原田幸雄:日植病報 51(3):324, 1985; 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 56:112, 1990; Harada, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:376, 2005
---	--

[備考] シウリザクラ (<i>P. ssiori</i> Fr. Schm.) に発生 (注) 文献号数挿入(日植病報)	[備考] シウリザクラ (<i>P. ssiori</i> Fr. Schm.) に発生
---	---

バラ科 Rosaceae セイヨウナシ(ヨウナシ)(西洋梨) Pear, European pear <i>Pyrus communis</i> L. var. <i>sativa</i> de Candolle (果樹) くぼみ果病 kubomika-byo Dimple pit 病原未確認 大沼幸男ら:日植病報 54(1):87, 1988 ; 大沼幸男 ら:植物防疫 42(9):447, 1988 [備考] 接ぎ木伝染性。Sano, T. <i>et al.</i> (Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(2):89, 1997) は <i>Pear blister canker viroid</i> を検出している (注) 備考中の文献名修正。セイヨウナシ粗皮病* も同様の修正を行う。	バラ科 Rosaceae セイヨウナシ(ヨウナシ)(西洋梨) Pear, European pear <i>Pyrus communis</i> L. var. <i>sativa</i> de Candolle (果樹) くぼみ果病 kubomika-byo Dimple pit 病原未確認 大沼幸男ら:日植病報 54(1):87, 1988 ; 大沼幸男 ら:植物防疫 42(9):447, 1988 [備考] 接ぎ木伝染性。Sano, T. <i>et al.</i> (Ann. Phytopath. Soc. Jpn. 63(2):89, 1997) は <i>Pear blister canker viroid</i> を検出している
--	---

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 奇形果病 kikeika-byo Friut dimple (果実く ぼみ症) <i>Apple scar skin viroid</i> (ASSVd)	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 奇形果病 kikeika-byo Friut dimple (果実く ぼみ症) <i>Apple scar skin viroid</i> (ASSVd)
--	--

大津善弘ら:日植病報 56(1):101, 1990 ; 大崎秀樹ら:日植病報 56(1):101, 1990 ; Osaki, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(4):379, 1996 (注) 文献著者名訂正	大津善弘ら:日植病報 56(1):101, 1990 ; 大崎秀樹ら:日植病報 56(1):101, 1990 ; Osaki, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(4):379, 1996
---	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (葉炭疽病, 葉の炭疽病, 果の炭疽病, 苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 深谷雅子ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 深谷雅子:日植病報 70(3):184, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák] 黒澤良平:植物学雑 26(311):359, 1912(大1) ; 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 原 攝祐:果樹病害論:107, 1916(大5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:54, 1927(昭2) [備考] 葉炭疽病を統合した	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (葉炭疽病, 葉の炭疽病, 果の炭疽病, 苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 深谷雅子ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 深谷雅子:日植病報 70(3):184, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák] 黒澤良平:植物学雑 26(311):359, 1912(大1) ; 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 原 攝祐:果樹病害論:107, 1916(大5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:54, 1927(昭2) [備考] 葉炭疽病を統合した
---	---

(注) 病名異名に半角スペース挿入	
-------------------	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 汚果病 yogoreka-byo Fruit stain (尻黒, 汚れ果) (1) <i>Acaromyces ingoldii</i> Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg [<i>Hyalodendron</i> sp.] 那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997 ; 安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊ら:日植病報 71(4):156, 2005 ; Yasuda, F. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:36, 2006 ; 安田文俊ら:日植病報 73(3):166, 2007 [備考] ニホンナシに発生 (2) <i>Alternaria</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 (3) <i>Meira geulakonigii</i> Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg 安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006 (4) <i>Meira nashicola</i> F. Yasuda & H. Otani 安田文俊ら:日植病報 71(3):156, 2005 ; Yasuda, F. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:36, 2006 [備考] ニホンナシに発生 (5) <i>Meira</i> sp.	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 汚果病 yogoreka-byo Fruit stain (尻黒, 汚れ果) (1) <i>Acaromyces ingoldii</i> Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg [<i>Hyalodendron</i> sp.] 那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997 ; 安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊ら:日植病報 71(4):156, 2005 ; Yasuda, F. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:36, 2006 ; 安田文俊ら:日植病報 73:166, 2007 [備考] ニホンナシに発生 (2) <i>Alternaria</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 (3) <i>Meira geulakonigii</i> Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg 安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006 (4) <i>Meira nashicola</i> F. Yasuda & H. Otani 安田文俊ら:日植病報 71:156, 2005 ; Yasuda, F. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:36, 2006 [備考] ニホンナシに発生 (5) <i>Meira</i> sp.
---	---

安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊ら:日植病報 71(4):156, 2005 (6) <i>Phomopsis</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 (7) <i>Pseudozyma aphidis</i> (Henninger & Windisch) Boekhout 安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006 (8) <i>Stenella</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 ; 那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997 [備考] 野口保弘・田中澄人 (九病虫研会報 26:73, 1980) は類似の症状として尻腐症を報告している (注) 病原(1)・病原(4)文献号数挿入(日植病報)	安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊ら:日植病報 71(4):156, 2005 (6) <i>Phomopsis</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 (7) <i>Pseudozyma aphidis</i> (Henninger & Windisch) Boekhout 安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006 (8) <i>Stenella</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 ; 那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997 [備考] 野口保弘・田中澄人 (九病虫研会報 26:73, 1980) は類似の症状として尻腐症を報告している
---	--

バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など †††† †<i>Phragmidium rubi</i> G. Winter Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:39, 1910 [備考] サハリン。チシマイチゴに発生	バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など †††† †<i>Phragmidium rubi</i> G. Winter Kasai, M.:Trans Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:39, 1910 [備考] サハリン。チシマイチゴに発生
---	---

(注) 文献名のピリオド抜け修正	
------------------	--

バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus</i> <i>allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など †黒さび病 kurosabi-byo (銹病, 黒銹病) <i>Phragmidium okianum</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 362:31, 1927(昭2); 原 攝祐:実験作物病理学:702, 1930(昭5); Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot. 7:282, 1935 [備考] 中国東北部。キイチゴの一種 (<i>Rubus</i> sp.) に発生 (注) 病原学名正名と重複する病原学名異名を削除。	バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus</i> <i>allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など †黒さび病 kurosabi-byo (銹病, 黒銹病) <i>Phragmidium okianum</i> Hara [<i>Phragmidium okianum</i> Hara] 原 攝祐:静岡県農会報 362:31, 1927(昭2); 原 攝祐:実験作物病理学:702, 1930(昭5); Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot. 7:282, 1935 [備考] 中国東北部。キイチゴの一種 (<i>Rubus</i> sp.) に発生
---	--

バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus</i> <i>allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i>	バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus</i> <i>allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i>
---	---

Muhlenberg など さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Arthuriomyces peckianus</i> (Howe) Cummins & Y. Hiratsuka [<i>Gymnoconia peckiana</i> (Howe) Trotter] 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):13, 1950 [備考] ヒメゴヨウイチゴ (<i>Rubus pseudo-japonicus</i>, <i>R. japonicus</i> Auctor) (2) <i>Gerwasia rubi</i> Raciborski [<i>Uredo constellata</i> Berkeley & M.A. Curtis] Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):665, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):6, 1950 [備考] フユイチゴ (<i>Rubus buergeri</i>) (3) <i>Hamasporea acutissima</i> Sydow & P. Sydow 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:8, 1914(大3) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):22, 1950 [備考] クワノハイチゴ (<i>Rubus nesiotis</i>) (4) <i>Hamasporea okinawensis</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 1:15, 1954 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955 [備考] ホザキイチゴ (<i>Rubus utchinensis</i>) に発生 (5) <i>Hamasporea ozeensis</i> Hiratsuka, f. 平塚直秀:植物研究雑誌 26(3):76, 1951 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955 [備考] コバノフユイチゴ (<i>Rubus pectinellus</i>) に発生 (6) <i>Hamasporea rubi-sieboldii</i> (Kawagoe) Dietel 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:156, 1927(昭2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):21, 1950 [備考] ホウロクイチゴ (<i>Rubus sieboldii</i>) に発生 (7) <i>Kuehneola uredinis</i> (Link) Arthur [<i>Kuehneola albida</i> (J.G. Kühn) Magnus] Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 12(11):809, 1936 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:231, 1955 [備考] ブラックベリーの1種 (<i>Rubus</i> sp., 栽培種)	Muhlenberg など さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Arthuriomyces peckianus</i> (Howe) Cummins & Y. Hiratsuka [<i>Gymnoconia peckiana</i> (Howe) Trotter] 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):13, 1950 [備考] ヒメゴヨウイチゴ (<i>Rubus pseudo-japonicus</i>, <i>R. japonicus</i> Auctor) (2) <i>Gerwasia rubi</i> Raciborski [<i>Uredo constellata</i> Berkeley & M.A. Curtis] Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):665, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):6, 1950 [備考] フユイチゴ (<i>Rubus buergeri</i>) (3) <i>Hamasporea acutissima</i> Sydow & P. Sydow 藤黒與三郎:台湾博物学会報 19:8, 1914(大3) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):22, 1950 [備考] クワノハイチゴ (<i>Rubus nesiotis</i>) (4) <i>Hamasporea okinawensis</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Simabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus 1:15, 1954 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955 [備考] ホザキイチゴ (<i>Rubus utchinensis</i>) に発生 (5) <i>Hamasporea ozeensis</i> Hiratsuka, f. 平塚直秀:植物研究雑誌 26(3):76, 1951 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955 [備考] コバノフユイチゴ (<i>Rubus pectinellus</i>) に発生 (6) <i>Hamasporea rubi-sieboldii</i> (Kawagoe) Dietel 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:156, 1927(昭2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):21, 1950 [備考] ホウロクイチゴ (<i>Rubus sieboldii</i>) に発生 (7) <i>Kuehneola uredinis</i> (Link) Arthur [<i>Kuehneola albida</i> (J.G. Kühn) Magnus] Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 12(11):809, 1936 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:231, 1955 [備考] ブラックベリーの1種 (<i>Rubus</i> sp., 栽培種)
---	--

に発生 (8) <i>Phragmidium alpinum</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Annales Mycol. 28:280, 1930 ; Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950 [備考] コガネイチゴ (<i>Rubus pedatus</i>) に発生 (9) <i>Phragmidium griseum</i> Dietel [<i>Phragmidium yoshinagai</i> Dietel] 白井光太郎:日本菌類目録:66, 1905(明38) ; 南部信方:植物学雑 23(270):309, 1909(明42) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:41, 1910 ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:439, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950 [備考] コジキイチゴ (<i>Rubus asper</i>, <i>R. sorbifolius</i>)・エゾクマイチゴ・コバノニガイチゴ (<i>R. microphyllus</i>, <i>R. incisus</i> var. <i>geifolius</i>)・ニガイチゴ (アズキイチゴ)(<i>R. incisus</i>, <i>R. microphyllus</i> var. <i>incisus</i>)・リュウキュウバライチゴ (<i>R. rosaefolius</i> var. <i>maximowiczii</i>)・オオバライチゴ (<i>R. rosaefolius</i> var. <i>tropicus</i> f. <i>genuinus</i>)・クマイチゴ (<i>R. morifolius</i>, <i>R. wrightii</i>) (10) <i>Phragmidium heterosporum</i> Dietel 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:435, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950 [備考] カジイチゴ (<i>R. trifidus</i>) (11) <i>Phragmidium miyakeanum</i> Hiratsuka Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950 [備考] クロイチゴ (<i>Rubus kinashii</i>, <i>R. occidentalis</i> var. <i>exsuccus</i>) (12) <i>Phragmidium nambuanum</i> Dietel 南部信方:植物学雑 23(270):309, 1909(明42) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950 [備考] クロイチゴ (<i>Rubus occidentalis</i>) に発生 (13) <i>Phragmidium pauciloculare</i> (Dietel) P. Sydow & Sydow [<i>Phragmidium barnardii</i> Plowright & G.	に発生 (8) <i>Phragmidium alpinum</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Annales Mycol. 28:280, 1930 ; Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950 [備考] コガネイチゴ (<i>Rubus pedatus</i>) に発生 (9) <i>Phragmidium griseum</i> Dietel [<i>Phragmidium yoshinagai</i> Dietel] 白井光太郎:日本菌類目録:66, 1905(明38) ; 南部信方:植物学雑 23(270):309, 1909(明42) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:41, 1910 ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:439, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950 [備考] コジキイチゴ (<i>Rubus asper</i>, <i>R. sorbifolius</i>)・エゾクマイチゴ・コバノニガイチゴ (<i>R. microphyllus</i>, <i>R. incisus</i> var. <i>geifolius</i>)・ニガイチゴ (アズキイチゴ)(<i>R. incisus</i>, <i>R. microphyllus</i> var. <i>incisus</i>)・リュウキュウバライチゴ (<i>R. rosaefolius</i> var. <i>maximowiczii</i>)・オオバライチゴ (<i>R. rosaefolius</i> var. <i>tropicus</i> f. <i>genuinus</i>)・クマイチゴ (<i>R. morifolius</i>, <i>R. wrightii</i>) (10) <i>Phragmidium heterosporum</i> Dietel 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:435, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):41, 1950 [備考] カジイチゴ (<i>R. trifidus</i>) (11) <i>Phragmidium miyakeanum</i> Hiratsuka Hiratsuka, N.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 2(3):242, 1931 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950 [備考] クロイチゴ (<i>Rubus kinashii</i>, <i>R. occidentalis</i> var. <i>exsuccus</i>) (12) <i>Phragmidium nambuanum</i> Dietel 南部信方:植物学雑 23(270):309, 1909(明42) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):39, 1950 [備考] クロイチゴ (<i>Rubus occidentalis</i>) に発生 (13) <i>Phragmidium pauciloculare</i> (Dietel) P. Sydow & Sydow [<i>Phragmidium barnardii</i> Plowright & G.
--	--

Winter var. <i>pauciloculare</i> Dietel] 白井光太郎:日本菌類目録:66, 1905(明38) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:36, 1910 ; 平塚直秀:鳥取農学会報 4:38, 1932(昭7) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):43, 1950 [備考] アオナワシロイチゴ (<i>Rubus parvifolius</i> var. <i>concolor</i>) ・ ナワシロイチゴ (<i>R. parvifolius</i> var. <i>triphyllus</i>, <i>R. triphyllus</i>) ・ ウラジロイチゴ (エビガライチゴ)(<i>R. phoenicolasius</i>) (14) <i>Phragmidium rubi-fraxinifolii</i> P. Sydow & Sydow 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):44, 1950 [備考] ミヤマニガイチゴ (ナガバモミジイチゴ)(<i>Rubus palmatoides</i>) (15) <i>Phragmidium rubi-idaei</i> (de Candolle) P. Karsten Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:39, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):37, 1950 [備考] オオミヤマウラジロイチゴ (ウラジロエゾイチゴ)(<i>Rubus idaeus</i> var. <i>strigosus</i>, <i>R. idaeus</i> subsp. <i>melanolasius</i>, <i>R. idaeus</i> subsp. <i>sachalinensis</i>, <i>R. strigosus</i>) ・ チョウセンキイチゴ(<i>Rubus idaeus</i> var. <i>concolor</i>) (16) <i>Phragmidium rubi-japonici</i> Kasai Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):36, 1950 [備考] ゴヨウイチゴ (<i>Rubus japonicus</i>) ・ ヒメゴヨウイチゴに発生 (17) <i>Phragmidium rubi-oldhami</i> Togashi & Y. Maki Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13:134, 1934 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):38, 1950 [備考] サナギイチゴ (<i>Rubus oldhami</i>, <i>R. pungens</i> var. <i>oldhami</i>)に発生 (18) <i>Phragmidium rubi-thunbergii</i> Kusano Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 18:148, 1904 ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950 [備考] クサイチゴ (<i>Rubus hirsutus</i>, <i>R. thunbergii</i>)	Winter var. <i>pauciloculare</i> Dietel] 白井光太郎:日本菌類目録 66, 1905(明38) ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:36, 1910 ; 平塚直秀:鳥取農学会報 4:38, 1932(昭7) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):43, 1950 [備考] アオナワシロイチゴ (<i>Rubus parvifolius</i> var. <i>concolor</i>) ・ ナワシロイチゴ (<i>R. parvifolius</i> var. <i>triphyllus</i>, <i>R. triphyllus</i>) ・ ウラジロイチゴ (エビガライチゴ)(<i>R. phoenicolasius</i>) (14) <i>Phragmidium rubi-fraxinifolii</i> P. Sydow & Sydow 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):44, 1950 [備考] ミヤマニガイチゴ (ナガバモミジイチゴ)(<i>Rubus palmatoides</i>) (15) <i>Phragmidium rubi-idaei</i> (de Candolle) P. Karsten Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:39, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):37, 1950 [備考] オオミヤマウラジロイチゴ (ウラジロエゾイチゴ)(<i>Rubus idaeus</i> var. <i>strigosus</i>, <i>R. idaeus</i> subsp. <i>melanolasius</i>, <i>R. idaeus</i> subsp. <i>sachalinensis</i>, <i>R. strigosus</i>) ・ チョウセンキイチゴ(<i>Rubus idaeus</i> var. <i>concolor</i>) (16) <i>Phragmidium rubi-japonici</i> Kasai Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):36, 1950 [備考] ゴヨウイチゴ (<i>Rubus japonicus</i>) ・ ヒメゴヨウイチゴに発生 (17) <i>Phragmidium rubi-oldhami</i> Togashi & Y. Maki Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13:134, 1934 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):38, 1950 [備考] サナギイチゴ (<i>Rubus oldhami</i>, <i>R. pungens</i> var. <i>oldhami</i>)に発生 (18) <i>Phragmidium rubi-thunbergii</i> Kusano Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 18:148, 1904 ; Kasai, M.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 3:40, 1910 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):42, 1950 [備考] クサイチゴ (<i>Rubus hirsutus</i>, <i>R. thunbergii</i>)
---	---

(19) <i>Phragmidium yamadanum</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot. 7(3-4):242, 1935 ; 伊藤 誠哉:日本菌類誌 2(3):40, 1950 [備考] ゴヨウイチゴ (<i>Rubus ikenoensis</i>, <i>R.</i> <i>japonicus</i>) に発生 (注) 病原(4)著者名訂正。病原(13)文献名とペー ジの間の半角スペースをコロンに置換。	(19) <i>Phragmidium yamadanum</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot. 7(3-4):242, 1935 ; 伊藤 誠哉:日本菌類誌 2(3):40, 1950 [備考] ゴヨウイチゴ (<i>Rubus ikenoensis</i>, <i>R.</i> <i>japonicus</i>) に発生
---	---

バラ科 Rosaceae シモツケ類(木下野) Spiraea <i>Spiraea</i> spp. (広葉樹) 塊割病 kaiware-byo <i>Rhabdospora</i> sp. 永野 健:農芸作物病害の研究と防除:118, 1935(昭 10) ; 原 攝祐:病虫雑 24(8):589, 1937(昭12) [備考] コデマリ (<i>S. cantoniensis</i>) (注) 文献ページ挿入	バラ科 Rosaceae シモツケ類(木下野) Spiraea <i>Spiraea</i> spp. (広葉樹) 塊割病 kaiware-byo <i>Rhabdospora</i> sp. 永野 健:農芸作物病害の研究と防除:1935(昭10) ; 原 攝祐:病虫雑 24(8):589, 1937(昭12) [備考] コデマリ (<i>S. cantoniensis</i>)
--	---

アカネ科 Rubiaceae コーヒーノキ(珈琲) Coffee tree <i>Coffea</i> spp. (<i>C. arabica</i> L. など) (特用作物) †立枯病 tachigare-byo <i>Fomes noxius</i> Corner キコロシサルノコシカケ 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):149, 1943(昭18) [備考] 台湾。アラビアコーヒー (注) 文献名訂正	アカネ科 Rubiaceae コーヒーノキ(珈琲) Coffee tree <i>Coffea</i> spp. (<i>C. arabica</i> L. など) (特用作物) †立枯病 tachigare-byo <i>Fomes noxius</i> Corner キコロシサルノコシカケ 澤田兼吉:台湾農誌報 86(台湾菌類調査報告 9):149, 1943(昭18) [備考] 台湾。アラビアコーヒー
--	---

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (Anthracnose tear stain) (さび果病 sabika-byo, 落葉病, 葉枯病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 田代暢哉ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; Tashiro, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(5):381, 2018 [備考] 収穫後のウンシュウミカン果実に発生 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida] 堀 正太郎:果樹 123:20, 1913(大2) ; 山田峻一・山本省二:日植病報 28(2):74, 1963 ; 間佐古将則ら:日植病報 73(3):181, 2007 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 堀の記載した葉枯病の病原菌 <i>G. citricolum</i> Masee は <i>G. foliicolum</i> の誤りである(西田藤次:柑橘病害と予防法:111, 1914)。佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>を報告した (3) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 (4) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 [備考] 安部ら(2017)は病原(3)(4)によるキンカンの葉枯を報告した	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (Anthracnose tear stain) (さび果病 sabika-byo, 落葉病, 葉枯病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 田代暢哉ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; Tashiro, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(5):381, 2018 [備考] 収穫後のウンシュウミカン果実に発生 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida] 堀 正太郎:果樹 123:20, 1913(大2) ; 山田峻一・山本省二:日植病報 28(2):74, 1963 ; 間佐古将則ら:日植病報 73(3):181, 2007 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 堀の記載した葉枯病の病原菌 <i>G. citricolum</i> Masee は <i>G. foliicolum</i> の誤りである(西田藤次:柑橘病害と予防法:111, 1914)。佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>を報告した (3) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 (4) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 [備考] 安部ら(2017)は病原(3)(4)によるキンカンの葉枯を報告した
--	--

(注) 病原(2)文献著者名の苗字が一文字なので、 苗字の後に半角スペース挿入	
--	--

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. にせ黄斑病* nise-ohan-byo Pseudo-greasy spot, Pseudogreasy spot (黄斑症) (1) <i>Aureobasidium</i> sp. 禧久 保・河野通昭:九病虫研会報 18:138, 1972 ; 小泉銘冊・久原重松:日植病報 51(1):51, 1985 (2) <i>Sporobolomyces corallinus</i> N. Furuya & M. Takashima (3) <i>Sporobolomyces productus</i> N. Furuya & M. Takashima 小泉銘冊・久原重松:日植病報 51(1):51, 1985 ; Koizumi, M.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 52:758, 1986 ; Furuya, N. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:261, 2012 [備考] Koizumi(1986)が報告した病原<i>S. roseus</i> を, Furuya <i>et al.</i>(2012)が<i>S. corallinus</i>と<i>S. productus</i>に再 同定した (注) 文献名修正。病原(2)と病原(3)の間の行間を 詰める	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. にせ黄斑病* nise-ohan-byo Pseudo-greasy spot, Pseudogreasy spot (黄斑症) (1) <i>Aureobasidium</i> sp. 禧久 保・河野通昭:九病虫研会報 18:138, 1972 ; 小泉銘冊・久原重松:日植病報 51(1):51, 1985 (2) <i>Sporobolomyces corallinus</i> N. Furuya & M. Takashima (3) <i>Sporobolomyces productus</i> N. Furuya & M. Takashima 小泉銘冊・久原重松:日植病報 51(1):51, 1985 ; Koizumi, M.:Ann. Phytopath. Soc. Jpn. 52:758, 1986 ; Furuya, N. <i>et al.</i>:Mycoscience 53:261, 2012 [備考] Koizumi(1986)が報告した病原<i>S. roseus</i> を, Furuya <i>et al.</i>(2012)が<i>S. corallinus</i>と<i>S. productus</i>に再 同定した
---	--

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus
---	---

<i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) <i>Kumquats</i> <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) <i>Trifoliate orange</i> <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. マンガン欠乏症 mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency (萎黄病?) マンガン欠乏 田中彰一:病虫雑 27(1):61, 1940(昭15) ; 田中彰一:病虫雑 27(2):140, 1940(昭15) [備考] 西田藤次 (柑橘 1(7), 1903) の記載した萎黄病はマンガン欠乏症と思われる (注) 文献情報を分離。備考中の文献巻数が「エル」の小文字なので、数字に修正。備考中の病名修正(当該文献と病名異名を参照のこと)。	<i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) <i>Kumquats</i> <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) <i>Trifoliate orange</i> <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. マンガン欠乏症 mangan-ketsubo-sho Manganese deficiency (萎黄病?) マンガン欠乏 田中彰一:病虫雑 27(1):61, 同 27(2):140, 1940(昭15) [備考] 西田藤次 (柑橘 1(7), 1903) の記載した萎縮病はマンガン欠乏症と思われる
---	---

ミカン科 <i>Rutaceae</i> カンキツ(柑橘)類 <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) <i>Kumquats</i> <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) <i>Trifoliate orange</i> <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. コンケーブガム病* <i>concave gum-byo</i> Concave gum 病原未確認 家城洋之ら:日植病報 59(3):335, 1993 ; Ieki, H. et al.:Proc. 13th IOCV Conf.:346, 1996 [備考] 接ぎ木伝染性 (注) 文献著者修正。	ミカン科 <i>Rutaceae</i> カンキツ(柑橘)類 <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) <i>Kumquats</i> <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) <i>Trifoliate orange</i> <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. コンケーブガム病* <i>concave gum-byo</i> Concave gum 病原未確認 家城洋之:日植病報 59(3):335, 1993 ; Ieki, H. et al.:Proc. 13th IOCV Conf.:346, 1996 [備考] 接ぎ木伝染性
---	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten, <i>Agaricus melleus</i> Vahl] ナラタケ 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭13); 北島君三:樹病学及木材腐朽論:260, 1933(昭8) [備考] 病原菌の狭義の種については未検討 (注) 病原学名正名と重複する病原学名異名を削除。	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten, <i>Agaricus melleus</i> Vahl, <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer] ナラタケ 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭13); 北島君三:樹病学及木材腐朽論:260, 1933(昭8) [備考] 病原菌の狭義の種については未検討
---	---

ビャクダン科 Santalaceae ツクバネ (Buckleya) <i>Buckleya lanceolata</i> (Sieb. & Zucc.) Miq. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe buckleyae</i> (Y. Nomura & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula buckleyae</i> Y. Nomura & Tanda, <i>Erysiphe heraclei</i> auct. Jap. non de Candolle] Nomura, Y. & Tanda, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan	ビャクダン科 Santalaceae ツクバネ (Buckleya) <i>Buckleya lanceolata</i> (Sieb. & Zucc.) Miq. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe buckleyae</i> (Y. Nomura & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula buckleyae</i> Y. Nomura & Tanda, <i>Erysiphe heraclei</i> auct. Jap. non de Candolle] Nomura, Y. & Tanda, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan
--	--

26(2):120, 1985 ; 丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):125, 1973 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 (2) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 [備考] 病原菌の形態が不明であり, 分類学的所 属については再検討を要する (注) 文献号数挿入(日植病報)	26(2):120, 1985 ; 丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):125, 1973 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 (2) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21:91, 1956 [備考] 病原菌の形態が不明であり, 分類学的所 属については再検討を要する
--	---

ムクロジ科 Sapindaceae レイシ(ライチー)(荔枝) Litchi, Lychee, Lichee <i>Litchi chinensis</i> Sonnerat (果樹) さび病 sabi-byo Rust <i>Skierka nephelii</i> (Sawada) S. Ito & Murayama [<i>Uredo nephelii</i> Sawada, <i>Uredo nephelii</i> (S. Ito & Murayama) Hiratsuka, f.] 澤田兼吉:台湾博物学会報 33(233):30, 1943(昭 18) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(3-4):165, 1943 (注) 文献名のピリオド抜け修正	ムクロジ科 Sapindaceae レイシ(ライチー)(荔枝) Litchi, Lychee, Lichee <i>Litchi chinensis</i> Sonnerat (果樹) さび病 sabi-byo Rust <i>Skierka nephelii</i> (Sawada) S. Ito & Murayama [<i>Uredo nephelii</i> Sawada, <i>Uredo nephelii</i> (S. Ito & Murayama) Hiratsuka, f.] 澤田兼吉:台湾博物学会報 33(233):30, 1943(昭 18) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(3-4):165, 1943
---	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea</i> <i>involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser.	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea</i> <i>involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser.
---	---

var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 葉化病 yoka-byo Phyllody (1) ‘<i>Candidatus Phytoplasma asteris</i>’ 滝波祐輔ら:日植病報 78(1):25, 2012 ; Takinami, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(3):209, 2013 (2) ‘<i>Candidatus Phytoplasma japonicum</i>’ 堀越紀夫ら:日植病報 61(6):611, 1995 ; 兼平 勉 ら:日植病報 62(5):537, 1996 ; 澤柳利実ら:日植病 報 63(3):196, 1997 ; 澤柳利実ら:日植病報 65(3):368, 1999 [備考] 媒介虫は未確認。星 朱香ら(日植病報 73(1):40, 2007)は‘<i>Candidatus P. ziziphi</i>’ を検出 (注) 文献著者名のカンマ抜け修正	var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 葉化病 yoka-byo Phyllody (1) ‘<i>Candidatus Phytoplasma asteris</i>’ 滝波祐輔ら:日植病報 78(1):25, 2012 ; Takinami Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(3):209, 2013 (2) ‘<i>Candidatus Phytoplasma japonicum</i>’ 堀越紀夫ら:日植病報 61(6):611, 1995 ; 兼平 勉 ら:日植病報 62(5):537, 1996 ; 澤柳利実ら:日植病 報 63(3):196, 1997 ; 澤柳利実ら:日植病報 65(3):368, 1999 [備考] 媒介虫は未確認。星 朱香ら(日植病報 73(1):40, 2007)は‘<i>Candidatus P. ziziphi</i>’ を検出
ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea</i> <i>involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminate</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba すすかび病* susukabi-byo (斑点病)	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea</i> <i>involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminate</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba すすかび病* susukabi-byo (斑点病)

<i>Cercospora yakushimensis</i> Togashi & Katsuki Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):25, 1952 [備考] トカラアジサイ (<i>H. kawagoeana</i>) (注) 文献著者名のカンマ抜け修正	<i>Cercospora yakushimensis</i> Togashi & Katsuki Togashi, K. & Katsuki S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):25, 1952 [備考] トカラアジサイ (<i>H. kawagoeana</i>)
--	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [<i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 鑄方末彦:実験果樹病害篇:48, 1927(昭2); 埼玉県内務部:病虫雑 21(2):150, 1934(昭9); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015 [備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を <i>Rhizobium</i> 属へと読み替えることはできない (注) 文献名訂正	ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942 [<i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 鑄方末彦:実験果樹病害論:48, 1927(昭2); 埼玉県内務部:病虫雑 21(2):150, 1934(昭9); 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015 [備考] 澤田ら(2015)によれば, 情報不足のため, 本病原細菌の学名を <i>Rhizobium</i> 属へと読み替えることはできない
---	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹)	ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹)
--	--

グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など †††† <i>Cryptoderma ribis</i> (Schumacher) Imazeki スグリ タケ Imazeki, R.:Bull. Tokyo Sci. Mus. 6:107, 1943 (注) 文献名を他病名の同文献の表記と統一した	グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など †††† <i>Cryptoderma ribis</i> (Schumacher) Imazeki スグリ タケ Imazeki, R.:Bull. Tokyo Sci. Museum 6:107, 1943
---	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 茎枯病* kukigare-byo <i>Macrophoma hyalina</i> (Berkeley & Broome) Berlese & Voglino 塚本永治:日植病報 22(1):22, 1957(昭32) ; 塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(3):145, 1959(昭34) [備考] アカスグリ (フサスグリ)(<i>Ribes rubrum</i>) に発生 (注) 病名と同名の病名異名を削除	ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 茎枯病* kukigare-byo (茎枯病) <i>Macrophoma hyalina</i> (Berkeley & Broome) Berlese & Voglino 塚本永治:日植病報 22(1):22, 1957(昭32) ; 塚本永治・香月繁孝:日植病報 24(3):145, 1959(昭34) [備考] アカスグリ (フサスグリ)(<i>Ribes rubrum</i>) に発生
--	---

コウヤマキ科 Sciadopityaceae コウヤマキ(高野槇) Japanese umbrella pine <i>Sciadopitys verticillata</i> (Thunb.) Sieb. & Zucc.	コウヤマキ科 Sciadopityaceae コウヤマキ(高野槇) Japanese umbrella pine <i>Sciadopitys verticillata</i> (Thunb.) Sieb. & Zucc.
---	---

(針葉樹) 黄葉病 oyo-byo <i>Cercospora</i> sp. 小林享夫・堀江博道:日植病報 46(3):376, 1980 (注) 文献号数挿入(日植病報)	(針葉樹) 黄葉病 oyo-byo <i>Cercospora</i> sp. 小林享夫・堀江博道:日植病報 46:376, 1980
---	--

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キンギョソウ(金魚草, アンテリナム) Snapdragon <i>Antirrhinum majus</i> L. (草花) 褐斑病 kappan-byo Cercospora blight <i>Cercospora</i> sp. 植松清次ら:日植病報 62(3):267, 1996 [備考] 病原菌の所属について検討が必要 (注) 文献号数挿入(日植病報)	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キンギョソウ(金魚草, アンテリナム) Snapdragon <i>Antirrhinum majus</i> L. (草花) 褐斑病 kappan-byo Cercospora blight <i>Cercospora</i> sp. 植松清次ら:日植病報 62:267, 1996 [備考] 病原菌の所属について検討が必要
---	--

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キンギョソウ(金魚草, アンテリナム) Snapdragon <i>Antirrhinum majus</i> L. (草花) 茎腐病 kukigusare-byo Stem rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 外側正之ら:日植病報 61(3):219, 1995 (注) 文献号数挿入(日植病報)	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キンギョソウ(金魚草, アンテリナム) Snapdragon <i>Antirrhinum majus</i> L. (草花) 茎腐病 kukigusare-byo Stem rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 外側正之ら:日植病報 61:219, 1995
--	---

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キンギョソウ(金魚草, アンテリナム)	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キンギョソウ(金魚草, アンテリナム)
--	--

Snapdragon <i>Antirrhinum majus</i> L. (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot (苗腐病) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 澤田兼吉・陳 其昌:台灣博物會報 16:199, 1926(大15) ; 松尾和敏:日植病報 59(1):51, 1993 [備考] 澤田・陳 (1926) は台湾で発生した報告 (注) 病原学名正名と重複する病原学名異名を削除。	Snapdragon <i>Antirrhinum majus</i> L. (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot (苗腐病) <i>Pythium spinosum</i> Sawada [<i>Pythium spinosum</i> Sawada] 澤田兼吉・陳 其昌:台灣博物會報 16:199, 1926(大15) ; 松尾和敏:日植病報 59(1):51, 1993 [備考] 澤田・陳 (1926) は台湾で発生した報告
--	--

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キリ(桐) Paulownia, Princesstree <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud. (広葉樹) 根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot <i>Rigidoporus lineatus</i> (Persoon) Ryvar den [<i>Rigidoporus zonalis</i> (Berkeley) Imazeki] スルメ タケ 小林 正:林試研報 246:69, 1972 ; Gilbertson, R. L. & Ryvar den, L.:North American Polypores Vol.2:695, 1987 (注) 文献名訂正	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キリ(桐) Paulownia, Princesstree <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud. (広葉樹) 根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot <i>Rigidoporus lineatus</i> (Persoon) Ryvar den [<i>Rigidoporus zonalis</i> (Berkeley) Imazeki] スルメ タケ 小林 正:林試研報 246:69, 1972 ; Gilbertson, R. L. & Ryvar den, L.:North American Popypores Vol.2:695, 1987
---	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜)	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜)
--	--

黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Yellow dwarf (1) <i>Eupatorium yellow vein virus</i> (EpYVV) 大貫正俊・上田重文:日植病報 75(1):42, 2009 (2) <i>Honeysuckle yellow vein mosaic virus</i> (HYVMV) (3) <i>Tobacco leaf curl Japan virus</i> (TbLCJV) Shimizu, S. & Ikegami, M.:Microbiol. Immunol. 43:989, 1999 ; Fauquet, C. M. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 148:405, 2003 ; Ogawa, T. <i>et al.</i>:Virus Res. 137:235, 2008 ; Kitamura, K. <i>et al.</i>:Plant Pathol. 57:391, 2008 (4) <i>Geminiviridae</i> 久保田健嗣ら:日植病報 77(3):189, 2011 [備考] <i>Geminiviridae</i>科新規ウイルス (5) Tobacco leaf curl virus 尾崎武司ら:日植病報 42(1):82, 1976 ; 尾崎武司ら:植物防疫 30(11):458, 1976 ; 尾崎武司・井上忠男:日植病報 44(2):167, 1978 ; Osaki, T. & Inouye, T.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses 232, 1981 (6) <i>Tomato yellow leaf curl virus</i> (TYLCV) 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 [備考] RT-PCRによる検出。Kato <i>et al.</i> (1998)は病名として黄化葉巻病を提案 (注) 病原(3)の文献名修正。病原(6)の文献著者名のカンマ抜け修正および備考変更。	黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Yellow dwarf (1) <i>Eupatorium yellow vein virus</i> (EpYVV) 大貫正俊・上田重文:日植病報 75(1):42, 2009 (2) <i>Honeysuckle yellow vein mosaic virus</i> (HYVMV) (3) <i>Tobacco leaf curl Japan virus</i> (TbLCJV) Shimizu, S. & Ikegami, M.:Microbiol. Immunol. 43:989, 1999 ; Fauquet, C. M. <i>et al.</i>:Arch. Virolo. 148:405, 2003 ; Ogawa, T. <i>et al.</i>:Virus Res. 137:235, 2008 ; Kitamura, K. <i>et al.</i>:Plant Pathol. 57:391, 2008 (4) <i>Geminiviridae</i> 久保田健嗣ら:日植病報 77(3):189, 2011 [備考] <i>Geminiviridae</i>科新規ウイルス (5) Tobacco leaf curl virus 尾崎武司ら:日植病報 42(1):82, 1976 ; 尾崎武司ら:植物防疫 30(11):458, 1976 ; 尾崎武司・井上忠男:日植病報 44(2):167, 1978 ; Osaki, T. & Inouye, T.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses 232, 1981 (6) <i>Tomato yellow leaf curl virus</i> (TYLCV) 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 [備考] RT-PCRによる検出。Kato らは病名として黄化葉巻病を提案
---	--

ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 舞病 mai-byo Damping-off, Bed rot (苗立枯病) (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick (2) <i>Pythium debaryanum</i> R. Hesse 中村寿夫:病虫雑 19(8):589, 1932(昭7) ; 千葉信	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 舞病 mai-byo Damping-off, Bed rot (苗立枯病) (1) <i>Pythium debaryanum</i> R. Hesse (2) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 中村寿夫:病虫雑 19(8):589, 1932(昭7) ; 千葉信
--	--

一・魚住哲郎:盛岡たばこ試報告 12:93, 1977 [備考] (2) の分類学的所属については疑問種とする意見がある (Plaats-Niterink:Studies in Mycology 21:1-242, 1981) (注) 病原順変更	一・魚住哲郎:盛岡たばこ試報告 12:93, 1977 [備考] (1) の分類学的所属については疑問種とする意見がある (Plaats-Niterink:Studies in Mycology 21:1-242, 1981)
--	---

ナス科 Solanaceae ペチュニア(ツクバネアサガオ) Petunia <i>Petunia</i> × hybrida Vilm. (草花) †††† Tomato chlorotic dwarf viroid (TCDVd) Shiraishi, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 79(3):214, 2013 [備考] 無病徴 (注) 文献著者名のカンマ抜きを修正	ナス科 Solanaceae ペチュニア(ツクバネアサガオ) Petunia <i>Petunia</i> × hybrida Vilm. (草花) †††† Tomato chlorotic dwarf viroid (TCDVd) Shiraishi T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 79(3):214, 2013 [備考] 無病徴
--	---

ナス科 Solanaceae ペチュニア(ツクバネアサガオ) Petunia <i>Petunia</i> × hybrida Vilm. (草花) ††††てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom ††Phytoplasma ファイトプラズマ 河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:189, 1976 [備考] 解説書のため詳細は不明。発生は未確認 (注) 文献名を他病名の同文献の表記と統一した	ナス科 Solanaceae ペチュニア(ツクバネアサガオ) Petunia <i>Petunia</i> × hybrida Vilm. (草花) ††††てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom ††Phytoplasma ファイトプラズマ 河村貞之助ら:原色花と花木の病害虫:189, 1976 [備考] 解説書のため詳細は不明。発生は未確認
--	---

ナス科 Solanaceae ツノナス Nipplefruit <i>Solanum mammosum</i> L. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Alfalfa mosaic virus</i> (AMV) 李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1995 (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) 李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1995 (3) <i>Grapevine Algerian latent virus</i> (GALV) 藤澤一郎ら:日植病報 60(3):396, 1994 ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 72(2):119, 2006 (4) <i>Tomato bushy stunt virus</i> (TBSV) 藤澤一郎ら:日植病報 61(6):602, 1995 ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(1):74, 2005 (注) 文献年訂正	ナス科 Solanaceae ツノナス Nipplefruit <i>Solanum mammosum</i> L. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Alfalfa mosaic virus</i> (AMV) 李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1995 (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) 李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1995 (3) <i>Grapevine Algerian latent virus</i> (GALV) 藤澤一郎ら:日植病報 60(3):396, 1994¹ ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 72(2):119, 2006 (4) <i>Tomato bushy stunt virus</i> (TBSV) 藤澤一郎ら:日植病報 61(6):602, 1995 ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(1):74, 2005
ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐斑病 kappan-byo Early blight, Leaf spot (葉枯病, 葉黒斑病) <i>Alternaria solani</i> Sorauer [<i>Macrosporium solani</i> Ellis & G. Martin] 田中彰一:蔬菜病害防除論:159, 1948 (注) 文献名訂正	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐斑病 kappan-byo Early blight, Leaf spot (葉枯病, 葉黒斑病) <i>Alternaria solani</i> Sorauer [<i>Macrosporium solani</i> Ellis & G. Martin] 田中彰一:蔬菜園芸防除論:159, 1948
ナス科 Solanaceae ナス(茄)	ナス科 Solanaceae ナス(茄)

Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 黒枯病 kurogare-byo Black blight <i>Corynespora cassiicola</i> (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei [<i>Corynespora melongenae</i> Takimoto, <i>Helminthosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 25(4):281, 1938 ; 瀧元清透:花卉 及温室作物の病害:155, 1939(昭14) ; 瀧元清透:最 新改訂作物病害図編 185, 1957 ; 下元祥史ら:日植 病報 77(2):105, 2011 [備考] 本病菌により果実の水ほう症 (Pimples) が生じる。瀧元(1957)は本病菌を<i>C. melongenae</i> として報告したが, 下元ら(2011)は<i>C. cassiicola</i> と再同定した (注) 文献名訂正	Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 黒枯病 kurogare-byo Black blight <i>Corynespora cassiicola</i> (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei [<i>Corynespora melongenae</i> Takimoto, <i>Helminthosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 25(4):281, 1938 ; 瀧元清透:花卉 及温室作物の病害:155, 1939(昭14) ; 瀧元清透:最 新改訂作物病害図譜 185, 1957 ; 下元祥史ら:日植 病報 77(2):105, 2011 [備考] 本病菌により果実の水ほう症 (Pimples) が生じる。瀧元(1957)は本病菌を<i>C. melongenae</i> として報告したが, 下元ら(2011)は<i>C. cassiicola</i> と再同定した
--	---

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人 ら:日植病報 84(1):61, 2018 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):124, 2018 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違い は明確でない (2) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus</i>	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人 ら:日植病報 84(1):61, 2018 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):124, 2018 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違い は明確でない (2) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus</i>
---	---

<i>phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39(4):351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (3) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41(3):280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 [備考] (4) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss & Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto, T. et al.:Plant Dis. 101(1):241, 2017 (注) 病原学名表記・文献著者名修正	<i>phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39(4):351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (3) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41(3):280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 [備考] (4) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward and de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss and Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto, et al.:Plant Dis. 101(1):241, 2017
--	---

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) †††† <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 池谷美奈子ら:日植病報 79(1):63, 2013 [備考] 腰折症状。菌糸融合群AG-2-2 IV	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) †††† <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 池谷美奈子ら:日植病報 79(1):63, 2013 [備考] 腰折症状。菌糸融合群AG-2-2 IV
---	---

(注) 備考中のフォントの修正	
-----------------	--

アオギリ科 Sterculiaceae アオギリ(梧桐, 青桐) Chinese parasoltree <i>Firmiana simplex</i> (L.) W. F. Wight (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe clintoniopsis</i> (R.Y. Zheng & G.O. Chen) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula clintoniopsis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen] Braun, U.:Mycotaxon 20(2):487, 1984 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):252, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 (2) <i>Erysiphe nishidana</i> (Homma) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula nishidana</i> Homma] 伊藤一雄:樹病学大系 2:19, 1973 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012 (注) 文献年抜けを修正	アオギリ科 Sterculiaceae アオギリ(梧桐, 青桐) Chinese parasoltree <i>Firmiana simplex</i> (L.) W. F. Wight (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe clintoniopsis</i> (R.Y. Zheng & G.O. Chen) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula clintoniopsis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen] Braun, U.:Mycotaxon 20(2):487 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):252, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 (2) <i>Erysiphe nishidana</i> (Homma) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula nishidana</i> Homma] 伊藤一雄:樹病学大系 2:19, 1973 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012
---	---

モエギタケ科 Strophariaceae ナメコ(滑子) Nameko mushroom, Viscid mushroom <i>Pholiota nameko</i> (T. Ito) S. Ito & Imai in Imai (きのこ) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Hunttoon 1923]	モエギタケ科 Strophariaceae ナメコ(滑子) Nameko mushroom, Viscid mushroom <i>Pholiota nameko</i> (T. Ito) S. Ito & Imai in Imai (きのこ) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Hunttoon 1923]
--	--

伊阪実人・岡本 博:日植病報 58(4):595, 1992 (注) 文献号数挿入(日植病報)	伊阪実人・岡本 博:日植病報 58:595, 1992
--	-----------------------------

エゴノキ科 Styracaceae エゴノキ Snowbell <i>Styrax japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) オオバエゴノキ <i>Styrax japonica</i> Sieb. & Zucc. var. <i>jippeikawamurae</i> (Yanagita) Harao うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe miyabeana</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera miyabeana</i> U. Braun, <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon sensu Homma- pro parte] 安田 篤:植物学各論隠花部:366, 1911(明44) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):231, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012 (注) 文献名を他病名の同文献の表記と統一した	エゴノキ科 Styracaceae エゴノキ Snowbell <i>Styrax japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) オオバエゴノキ <i>Styrax japonica</i> Sieb. & Zucc. var. <i>jippeikawamurae</i> (Yanagita) Harao うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe miyabeana</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera miyabeana</i> U. Braun, <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon sensu Homma- pro parte] 安田 篤:植物学各論隠花部:366, 1911(明44) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):231, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012
---	---

スギ科 Taxodiaceae リュウサン(柳杉) (Cryptomeria) <i>Cryptomeria fortunei</i> Hooibrenk ex Otto (針葉樹) 赤枯病 akagare-byo Needle blight <i>Cercospora sequoiae</i> Ellis & Everhart 小林享夫:日植病報 48(1):135, 1982 [備考] 人工接種。国内自然発生未記録。病菌の 所属についてはスギ赤枯病参照	スギ科 Taxodiaceae リュウサン(柳杉) (Cryptomeria) <i>Cryptomeria fortunei</i> Hooibrenk ex Otto (針葉樹) 赤枯病 akagare-byo Needle blight <i>Cercospora sequoiae</i> Ellis & Everhart 小林享夫:日植病報 48:135, 1982 [備考] 人工接種。国内自然発生未記録。病菌の 所属についてはスギ赤枯病参照
--	---

(注) 文献号数挿入(日植病報)	
------------------	--

スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) 水耕苗根腐病* suikonae-negusare-byo <i>Pythium</i> sp. 小林享夫・佐々木克彦:日植病報 36(5):369, 1970 (注) 文献号数挿入(日植病報)	スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) 水耕苗根腐病* suikonae-negusare-byo <i>Pythium</i> sp. 小林享夫・佐々木克彦:日植病報 36:369, 1970
---	--

スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Aphelenchoides</i> sp. ハガレセンチュウの1種 橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961 ; 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 小口健夫:北方林業 18:70, 1966 [備考] 根圏土壌から検出 (2) <i>Aphelenchus avenae</i> Bastian ニセネグサレセンチュウ 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌より検出 (3) <i>Aphelenchus</i> sp. ニセネグサレセンチュウの1種 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 [備考] 根圏土壌より検出	スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Aphelenchoides</i> sp. ハガレセンチュウの1種 橋本平一:森林防疫ニュース 10:76, 1961 ; 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 小口健夫:北方林業 18:70, 1966 [備考] 根圏土壌から検出 (2) <i>Aphelenchus avenae</i> Bastian ニセネグサレセンチュウ 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌より検出 (3) <i>Aphelenchus</i> sp. ニセネグサレセンチュウの1種 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 [備考] 根圏土壌より検出
---	---

(4) <i>Criconema</i> sp. [<i>Lobocriconema</i> sp.] ワセンチュウの1種 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌より検出, 上記種との異同は不明 (5) <i>Criconemella macrodora</i> (Taylor) Luc & Raski [<i>Xenocriconema macrodora</i> Taylor] ワセンチュウの1種 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌より検出 (6) <i>Criconemoides</i> sp. ワセンチュウの1種 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 真宮靖治:77回日林講:295, 1966 [備考] 根圏土壌より検出。属名は再検討を要する (7) <i>Ditylenchus</i> sp. クキセンチュウの1種 横川登代司:75回日林講:365, 1964 ; 小口健夫:北方林業 18(3):70, 1966 [備考] 根圏土壌より検出 (8) <i>Helicotylenchus dihystra</i> (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 (9) <i>Helicotylenchus erythrinae</i> (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ 真宮靖治:77回日林講:295, 1966 [備考] 根圏土壌からの検出 (10) <i>Hirschmanniella oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey イネネモグリセンチュウ 真宮靖治:77回日林講:295, 1966 [備考] 根圏土壌より検出。1968年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある (11) <i>Ogma octozonale</i> (Momota & Ohshima) Siddiqi [<i>Crossonema octozonale</i> Momota & Ohshima] スギトゲワセンチュウ Momota, Y. & Ohshima, Y.:Jpn. J. Nematol. 4:47, 1974 [備考] 根圏土壌より検出	(4) <i>Criconema</i> sp. [<i>Lobocriconema</i> sp.] ワセンチュウの1種 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌より検出, 上記種との異同は不明 (5) <i>Criconemella macrodora</i> (Taylor) Luc & Raski [<i>Xenocriconema macrodora</i> Taylor] ワセンチュウの1種 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌より検出 (6) <i>Criconemoides</i> sp. ワセンチュウの1種 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 真宮靖治:77回日林講:295, 1966 [備考] 根圏土壌より検出。属名は再検討を要する (7) <i>Ditylenchus</i> sp. クキセンチュウの1種 横川登代司:72回日林講:365, 1964 ; 小口健夫:北方林業 18(3):70, 1966 [備考] 根圏土壌より検出 (8) <i>Helicotylenchus dihystra</i> (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 (9) <i>Helicotylenchus erythrinae</i> (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ 真宮靖治:77回日林講:295, 1966 [備考] 根圏土壌からの検出 (10) <i>Hirschmanniella oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey イネネモグリセンチュウ 真宮靖治:77回日林講:295, 1966 [備考] 根圏土壌より検出。1968年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性がある (11) <i>Ogma octozonale</i> (Momota & Ohshima) Siddiqi [<i>Crossonema octozonale</i> Momota & Ohshima] スギトゲワセンチュウ Momota, Y. & Ohshima, Y.:Jpn. J. Nematol. 4:47, 1974 [備考] 根圏土壌より検出
---	---

(12) <i>Pararotylelenchus pini</i> (Mamiya) Baldwin & Bell [<i>Rotylelenchus pini</i> Mamiya] マツラセンセンチュウ Mamiya, Y.:Proc. Helminthol. Soc. Wash. 35(1):38, 1968 (13) <i>Paratrachodoros minor</i> (Colbran) Siddiqi [<i>Trichodoros minor</i> Colbran] ヒメユミハリセンチュウ Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967 (14) <i>Paratrachodoros porosus</i> (Allen) Siddiqi [<i>Trichodoros porosus</i> Allen] ナガイモユミハリセンチュウ Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967 [備考] 接種試験の結果 (15) <i>Paratylenchus</i> sp. ヨコオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) 横川登代司:75回日林講:365, 1964 [備考] 根圏土壌より検出 (16) <i>Rotylelenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 [備考] 根圏土壌から検出 (17) <i>Scutellonema brachyurum</i> (Steiner) Andrassy フトラセンセンチュウ 真宮靖治:77回日林講:295, 1966 (18) <i>Trichodoros cedarus</i> Yokoo スギユミハリセンチュウ Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967 (19) <i>Trichodoros</i> sp. ユミハリセンチュウの1種 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 横川登代司:75回日林講:365, 1964 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 (20) <i>Tylenchus</i> sp. ハリセンチュウの1種 横川登代司:75回日林講:365, 1964 [備考] 根圏土壌より検出 (21) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオハリセンチュウ 伊藤弘康:新潟林試研報 11:34, 1965	(12) <i>Pararotylelenchus pini</i> (Mamiya) Baldwin & Bell [<i>Rotylelenchus pini</i> Mamiya] マツラセンセンチュウ Mamiya, Y.:Proc. helminthol. Soc. Wash. 35(1):38, 1968 (13) <i>Paratrachodoros minor</i> (Colbran) Siddiqi [<i>Trichodoros minor</i> Colbran] ヒメユミハリセンチュウ Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967 (14) <i>Paratrachodoros porosus</i> (Allen) Siddiqi [<i>Trichodoros porosus</i> Allen] ナガイモユミハリセンチュウ Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967 [備考] 接種試験の結果 (15) <i>Paratylenchus</i> sp. ヨコオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) 横川登代司:75回日林講:365, 1964 [備考] 根圏土壌より検出 (16) <i>Rotylelenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 [備考] 根圏土壌から検出 (17) <i>Scutellonema brachyurum</i> (Steiner) Andrassy フトラセンセンチュウ 真宮靖治:77回日林講:295, 1966 (18) <i>Trichodoros cedarus</i> Yokoo スギユミハリセンチュウ Mamiya, Y.:Appl. Entomol. Zool. 2(2):61, 1967 (19) <i>Trichodoros</i> sp. ユミハリセンチュウの1種 橋本平一:福岡林試時報 16:153, 1963 ; 横川登代司:72回日林講:365, 1964 ; 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 (20) <i>Tylenchus</i> sp. ハリセンチュウの1種 横川登代司:75回日林講:365, 1964 [備考] 根圏土壌より検出 (21) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオハリセンチュウ 伊藤弘康:新潟林試研報 11:34, 1965
---	---

[備考] 種名は再検討を要する (22) <i>Xiphinema incognitum</i> Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983 [備考] 根圏土壌より検出 (注) 病原(7)(12)(19)の文献名訂正	[備考] 種名は再検討を要する (22) <i>Xiphinema incognitum</i> Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ Shishida, Y.:Jpn. J. Nematol. 12:1, 1983 [備考] 根圏土壌より検出
--	---

スギ科 Taxodiaceae コウヨウザン(広葉杉) Chinese fir <i>Cunninghamia lanceolata</i> (Lamb.) Hook. (針葉樹) ††††葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial needle blight †<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>cunninghamiae</i> He & Goto 1995 何 学友・後藤正夫:日植病報 61(1):38, 1995 ; 何 学友ら:森林防疫 44:203, 1995 [備考] 中国 (注) 文献号数挿入(日植病報)	スギ科 Taxodiaceae コウヨウザン(広葉杉) Chinese fir <i>Cunninghamia lanceolata</i> (Lamb.) Hook. (針葉樹) ††††葉枯細菌病 hagare-saikin-byo Bacterial needle blight †<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>cunninghamiae</i> He & Goto 1995 何 学友・後藤正夫:日植病報 61:38, 1995 ; 何 学 友ら:森林防疫 44:203, 1995 [備考] 中国
---	---

スギ科 Taxodiaceae スイショウ(水松) Chinese swamp cypress, Shui Song <i>Glyptostrobus pensilis</i> K. Koch (針葉樹) 赤枯病 akagare-byo Needle blight <i>Cercospora sequoiae</i> Ellis & Everhart 小林享夫:日植病報 48(1):135, 1982 [備考] 病菌の所属についてはスギ赤枯病参照 (注) 文献号数挿入(日植病報)	スギ科 Taxodiaceae スイショウ(水松) Chinese swamp cypress, Shui Song <i>Glyptostrobus pensilis</i> K. Koch (針葉樹) 赤枯病 akagare-byo Needle blight <i>Cercospora sequoiae</i> Ellis & Everhart 小林享夫:日植病報 48:135, 1982 [備考] 病菌の所属についてはスギ赤枯病参照
---	--

スギ科 Taxodiaceae セコイア(センペルセコイア) Redwood <i>Sequoia sempervirens</i> Endl. (針葉樹) †††† <i>Phyllosticta sequoiae</i> Naito 内藤 喬:鹿大理科報 1:74, 1952 (注) 文献名訂正	スギ科 Taxodiaceae セコイア(センペルセコイア) Redwood <i>Sequoia sempervirens</i> Endl. (針葉樹) †††† <i>Phyllosticta sequoiae</i> Naito 内藤 喬:鹿大理研報 1:74, 1952
--	---

ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 黒あざ病 kuroaza-byo Coccochorina leaf spot (黒痣病) <i>Clypeosphaeria japonica</i> (Hara) Hara [<i>Coccochorina japonica</i> Hara] 原 攝祐:病虫雑 8(10):493, 1921(大10) ; 原 攝祐: 病虫害宝典:344, 1948 ; 小林享夫:植物病原菌類図 説(小林享夫ら編):142, 1992 (注) 文献名訂正	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 黒あざ病 kuroaza-byo Coccochorina leaf spot (黒痣病) <i>Clypeosphaeria japonica</i> (Hara) Hara [<i>Coccochorina japonica</i> Hara] 原 攝祐:病虫雑 8(10):493, 1921(大10) ; 原 攝祐: 病虫害宝典:344, 1948 ; 小林享夫:植物病原菌類図 説(小林享夫ら編):142, 1992
--	---

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) かいよう病 kaiyo-byo Canker (かいよう症)	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) かいよう病 kaiyo-byo Canker (かいよう症)
---	---

状) <i>Xanthomonas theicola</i> (Uehara, Arai, Nonaka & Sano 1980) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>theicola</i> Uehara & Arai] 野中寿之・植原一雄:日植病報 39(2):144, 1973 ; 植原一雄ら:鹿大農学術報告 30:17, 1980 (注) 重複する病原学名異名の一方を削除。	状) <i>Xanthomonas theicola</i> (Uehara, Arai, Nonaka & Sano 1980) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>theicola</i> Uehara & Arai, <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>theicola</i> Uehara & Arai] 野中寿之・植原一雄:日植病報 39(2):144, 1973 ; 植原一雄ら:鹿大農学術報告 30:17, 1980
--	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 髪のも病 kaminoke-byo Marasmius disease, Horse hair blight <i>Marasmius crinis-equi</i> F. Müller & Kalchbrenner [<i>Marasmius equicrinis</i> F. Müller ex Berkeley, <i>Marasmius sarmentosus</i> Berkeley] ヤマウバノカ ミノケ 原 攝祐:茶業界 16(7):15, 1921(大10) ; 安部卓 爾・河野又四:日植病報 22(1):50, 1957 ; 安部卓 爾・河野又四:西京大学報農 9:41, 1957 (注) 文献著者名訂正	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 髪のも病 kaminoke-byo Marasmius disease, Horse hair blight <i>Marasmius crinis-equi</i> F. Müller & Kalchbrenner [<i>Marasmius equicrinis</i> F. Müller ex Berkeley, <i>Marasmius sarmentosus</i> Berkeley] ヤマウバノカ ミノケ 原 攝祐:茶業界 16(7):15, 1921(大10) ; 阿部卓 爾・河野又四:日植病報 22(1):50, 1957 ; 阿部卓 爾・河野又四:西京大学報農 9:41, 1957
---	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot (根朽病)	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot (根朽病)
--	--

<i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 野村彦太郎:農商務省農試報告 18:93, 1901(明34) ; 堀 正太郎:農作物病学:265, 1903(明36) [備考] わが国のチャ白紋羽病のすべてを <i>Rosellinia necatrix</i> とすることに対し疑問があるとする意見がある (江塚昭典ら:茶研報 40:26, 1973) (注) 文献名訂正、和暦追加	<i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 野村彦太郎:農商務省農試報告 18:93, 1901(明34) ; 堀 正太郎:農作物病害:265, 1903 [備考] わが国のチャ白紋羽病のすべてを <i>Rosellinia necatrix</i> とすることに対し疑問があるとする意見がある (江塚昭典ら:茶研報 40:26, 1973)
--	---

ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae ジンチョウゲ(沈丁花) Daphne <i>Daphne odora</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶葉技術研究 15:12, 1956 (注) 文献名訂正	ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae ジンチョウゲ(沈丁花) Daphne <i>Daphne odora</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶葉技術研究 15:12, 1956
--	---

キシメジ科 Tricholomataceae エノキタケ(榎茸) Winter mushroom, Velvet foot <i>Flammulina velutipes</i> (Curtis) Singer (きのこ) 黒腐細菌病* kurogusare-saikin-byo Bacterial blotch, Black blotch, Bacterial black rot <i>Pseudomonas tolaasii</i> Paine 1919 矢沢敏美ら:日植病報 53(1):72, 1987 ; 陶山一雄・藤井 溥:東京農大農学集報 38:35, 1993 (注) 文献号数挿入(日植病報)	キシメジ科 Tricholomataceae エノキタケ(榎茸) Winter mushroom, Velvet foot <i>Flammulina velutipes</i> (Curtis) Singer (きのこ) 黒腐細菌病* kurogusare-saikin-byo Bacterial blotch, Black blotch, Bacterial black rot <i>Pseudomonas tolaasii</i> Paine 1919 矢沢敏美ら:日植病報 53:72, 1987 ; 陶山一雄・藤井 溥:東京農大農学集報 38:35, 1993
--	---

キシメジ科 Tricholomataceae エノキタケ(榎茸) Winter mushroom, Velvet foot <i>Flammulina velutipes</i> (Curtis) Singer (きのこ) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 伊阪実人・岡本 博:日植病報 58(4):595, 1992 ; Okamoto, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(4):460, 1999 (注) 文献号数挿入(日植病報)	キシメジ科 Tricholomataceae エノキタケ(榎茸) Winter mushroom, Velvet foot <i>Flammulina velutipes</i> (Curtis) Singer (きのこ) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 伊阪実人・岡本 博:日植病報 58:595, 1992 ; Okamoto, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(4):460, 1999
---	--

ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病) <i>Erysiphe zelkowae</i> (Henning) U. Braun & R.T.A. Cook [<i>Uncinula kusanoi</i> Sydow & P. Sydow var. <i>zelkowae</i> (Hennings) U. Braun, <i>Uncinula zelkowae</i> Hennings] 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:91, 1900(明 33) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):346, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類 誌 3(2):239, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012 (注) 文献名を他病名の同文献の表記に合わせた	ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病) <i>Erysiphe zelkowae</i> (Henning) U. Braun & R.T.A. Cook [<i>Uncinula kusanoi</i> Sydow & P. Sydow var. <i>zelkowae</i> (Hennings) U. Braun, <i>Uncinula zelkowae</i> Hennings] 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:91, 1900(明 33) ; Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. 38(3):346, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):239, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012
---	---

ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot <i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 北島君三:樹病学及木材腐朽論:242, 1933(昭8) [備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照 (注) 文献名訂正	ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot <i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 北島君三:樹病学及木材朽論:242, 1933(昭8) [備考] 病原菌の異名はセンリョウ白紋羽病参照
--	--

クマツヅラ科 Verbenaceae クサギ(臭木) Glorybower <i>Clerodendron trichotomum</i> Thunb. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium clerodendri</i> Hennings (腫銹病) 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):121, 1943(昭18); 藤黒與三郎:台湾博物会報 4(19):12, 1914(大3); Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Univ. Ryukyus 1:41, 1954 [備考] ヤエザキクサギ (<i>C. fragrans</i>)・マキバク サギ・リュウセンカ (<i>C. paniculatum</i>) にも発生 (2) <i>Coleosporium clerodendri</i> Dietel 原 攝祐:実験樹木病害篇:305, 1927(昭2); 吉永虎 馬:植物学雑 16(179):2, 1902(明35); Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:118, 1981 [備考] マキバクサギ・ヤエザキクサギ・ショウ ロウクサギ (<i>C. trichotomum</i> var. <i>esculentum</i>)・ア マクサギ (<i>C. trichotomum</i> var. <i>yakusimense</i>) にも 発生 (3) <i>Puccinia erebia</i> P. Sydow & Sydow [<i>Uredo</i> <i>clerodendricola</i> Hennings]	クマツヅラ科 Verbenaceae クサギ(臭木) Glorybower <i>Clerodendron trichotomum</i> Thunb. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium clerodendri</i> Hennings (腫銹病) 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):121, 1943(昭18); 藤黒與三郎:台湾博物会報 4(19):12, 1914(大3); Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Univ. Ryukyus 1:41, 1954 [備考] ヤエザキクサギ (<i>C. fragrans</i>)・マキバク サギ・リュウセンカ (<i>C. paniculatum</i>) にも発生 (2) <i>Coleosporium clerodendri</i> Dietel 原 攝祐:実験樹木病害篇:305, 1927(昭2); 吉永虎 馬:植物学雑 16(179):2, 1902(明35); Kaneko, S.:Rept Tottori Mycol Inst.:118, 1981 [備考] マキバクサギ・ヤエザキクサギ・ショウ ロウクサギ (<i>C. trichotomum</i> var. <i>esculentum</i>)・ア マクサギ (<i>C. trichotomum</i> var. <i>yakusimense</i>) にも 発生 (3) <i>Puccinia erebia</i> P. Sydow & Sydow [<i>Uredo</i> <i>clerodendricola</i> Hennings]
---	--

澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾産菌類調査報告 6):52, 1933(昭8) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(641):163, 1940(昭15) [備考] イボタクサギ (<i>C. neriifolium</i>) (注) 文献名のピリオド抜け修正、文献巻数追加	澤田兼吉:台湾中研農業報 61(台湾産菌類調査報告 6):52, 1933(昭8) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(641):163, 1940(昭15) [備考] イボタクサギ (<i>C. neriifolium</i>)
---	--

クマツヅラ科 Verbenaceae ニンジンボク(人參木) (Vitex) <i>Vitex negundo</i> L. var. <i>cannabifolia</i> (Sieb. & Zucc.) Hand.-Mazz. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (角斑病) <i>Cercospora viticis</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora viticis</i> Sawada] 小林享夫:森林防疫 25(1):3, 1976 ; 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):90, 1944(昭19) ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Append.) 1:67, 1965 (注) 文献著者名訂正	クマツヅラ科 Verbenaceae ニンジンボク(人參木) (Vitex) <i>Vitex negundo</i> L. var. <i>cannabifolia</i> (Sieb. & Zucc.) Hand.-Mazz. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (角斑病) <i>Cercospora viticis</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora viticis</i> Sawada] 小林享夫:森林防疫 25(1):3, 1976 ; 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):90, 1944(昭19) ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Append.) 1:67, 1965
---	--

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 褐斑病 kappan-byo Isariopsis leaf spot, Leaf blight (斑点病, 葉斑病, 褐点病, 黒斑病, 汚斑病, 白腐病, 黒星病)	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 褐斑病 kappan-byo Isariopsis leaf spot, Leaf blight (斑点病, 葉斑病, 褐点病, 黒斑病, 汚斑病, 白腐病, 黒星病)
--	--

<i>Pseudocercospora vitis</i> (Léveillé) Spegazzini [<i>Cercospora viticola</i> (Cesati) Saccardo, <i>Cercospora vitis</i> (Léveillé) Lindau, <i>Isariopsis clavispora</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo, <i>Phaeoisariopsis vitis</i> (Léveillé) Sawada] 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明27) ; 園孝次郎:農業園 3(10):16, 1909(明42) ; 香月繁孝:日菌報別冊 1:76, 1965 [備考] 出田 新 (日本植物病理学 上巻 64, 1909) は同名の病害の病原菌として <i>Plasmodiophora vitis</i> Viala & Sauvageau (<i>Pseudocommis vitis</i> De Bary) を記載しているが, 国内発生は不明。海外では病原菌の完全世代 <i>Mycosphaerella personata</i> Higgins が記載されているが, 国内未確認 (注) 文献年訂正	<i>Pseudocercospora vitis</i> (Léveillé) Spegazzini [<i>Cercospora viticola</i> (Cesati) Saccardo, <i>Cercospora vitis</i> (Léveillé) Lindau, <i>Isariopsis clavispora</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo, <i>Phaeoisariopsis vitis</i> (Léveillé) Sawada] 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1984(明27) ; 園孝次郎:農業園 3(10):16, 1909(明42) ; 香月繁孝:日菌報別冊 1:76, 1965 [備考] 出田 新 (日本植物病理学 上巻 64, 1909) は同名の病害の病原菌として <i>Plasmodiophora vitis</i> Viala & Sauvageau (<i>Pseudocommis vitis</i> De Bary) を記載しているが, 国内発生は不明。海外では病原菌の完全世代 <i>Mycosphaerella personata</i> Higgins が記載されているが, 国内未確認
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Criconemoides</i> sp. ワセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 [備考] 属名は再検討を要する (2) <i>Cryphodera</i> sp. [<i>Meloidodera</i> sp.] ニセシストセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 ; 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 ; 田中福三郎:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):322, 1992 (3) <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev ナミクキ	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Criconemoides</i> sp. ワセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 [備考] 属名は再検討を要する (2) <i>Cryphodera</i> sp. [<i>Meloidodera</i> sp.] ニセシストセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 ; 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 ; 田中福三郎:線虫研究の歩み(日本線虫研究会):322, 1992 (3) <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev ナミクキ
--	--

センチュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (4) <i>Helicotylenchus dihystera</i> (Cobb) Sher ナミラ センセンチュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (5) <i>Helicotylenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (6) <i>Paratylenchus curvatus</i> van der Linde チャピ ンセンチュウ 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 (7) <i>Paratylenchus elachistus</i> Steiner ヒメピンセ ンチュウ 田中福三郎:線虫研究の歩み(日本線虫研究 会):322, 1992 (8) <i>Paratylenchus</i> sp. ヨコオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) 一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964 [備考] 上記種との異同は不明 (9) <i>Pratylenchus coffeae</i> (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチ ュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 ; 安部 浩・広 沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 (10) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミ ネグサレセンチュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 ; 安部 浩・広 沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 ; 後藤 昭:九 農試報 17(2):139, 1974 (11) <i>Pratylenchus zae</i> Graham モロコシネグサ レセンチュウ 後藤 昭:九農試報 17(2):139, 1974 (12) <i>Pratylenchus</i> sp. ネグサレセンチュウの1種 湯原 巖ら:北日本病虫研報 13:133, 1962 [備考] 上記(9), (10) 及び (11) との異同は不明 (13) <i>Rotylenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 (14) <i>Trichodorus</i> sp. ユミハリセンチュウの1種	センチュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (4) <i>Helicotylenchus dihystera</i> (Cobb) Sher ナミラ センセンチュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (5) <i>Helicotylenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (6) <i>Paratylenchus curvatus</i> van der Linde チャピ ンセンチュウ 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 (7) <i>Paratylenchus elachistus</i> Steiner ヒメピンセ ンチュウ 田中福三郎:線虫研究の歩み(日本線虫研究 会):322, 1992 (8) <i>Paratylenchus</i> sp. ヨコオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) 一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964 [備考] 上記種との異同は不明 (9) <i>Pratylenchus coffeae</i> (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチ ュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 ; 阿倍 浩・広 沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 (10) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミ ネグサレセンチュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 ; 安部 浩・広 沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 ; 後藤 昭:九 農試報 17(2):139, 1974 (11) <i>Pratylenchus zae</i> Graham モロコシネグサ レセンチュウ 後藤 昭:九農試報 17(2):139, 1974 (12) <i>Pratylenchus</i> sp. ネグサレセンチュウの1種 湯原 巖ら:北日本病虫研報 13:133, 1962 [備考] 上記(9), (10) 及び (11) との異同は不明 (13) <i>Rotylenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 (14) <i>Trichodorus</i> sp. ユミハリセンチュウの1種
--	--

安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 (15) <i>Tylenchorhynchus</i> sp. イシユクセンチュウの1種 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 (16) <i>Tylenchulus semipenetrans</i> Cobb ミカンネセンチュウ (ミカンネグサレセンチュウ) 一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964 (17) <i>Tylenchus</i> sp. ハリセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (18) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオハリセンチュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 [備考] 種名は再検討を要する (19) <i>Xiphinema</i> sp. オオハリセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (注) 文献著者名訂正	安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 (15) <i>Tylenchorhynchus</i> sp. イシユクセンチュウの1種 安部 浩・広沢敬之:応動昆中国支部 12:14, 1970 (16) <i>Tylenchulus semipenetrans</i> Cobb ミカンネセンチュウ (ミカンネグサレセンチュウ) 一戸 稔:農業技術 19(8):351, 1964 (17) <i>Tylenchus</i> sp. ハリセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (18) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオハリセンチュウ 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 [備考] 種名は再検討を要する (19) <i>Xiphinema</i> sp. オオハリセンチュウの1種 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967
---	--

ショウガ科 Zingiberaceae ウコン・キョウオウ類 (Curcuma) <i>Curcuma</i> spp. (特用作物) キョウオウ(春ウコン) <i>Curcuma</i>, Wild turmeric <i>Curcuma aromatica</i> Salisb. ターメリック(秋ウコン) <i>Turmeric</i> <i>Curcuma</i> <i>longa</i> L. ガジュツ(紫ウコン) <i>Curcuma zedoaria</i> (Christm.) Roscoe 青枯病 aogare-byo Bacterial wilt <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 安次富 厚ら:日植病報 81(3):299, 2015 ; Ajitomi, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):315, 2015 [備考] キョウオウ, ターメリック, ガジュツに発生	ショウガ科 Zingiberaceae ウコン・キョウオウ類 (Curcuma) <i>Curcuma</i> spp. (特用作物) キョウオウ(春ウコン) <i>Curcuma</i>, Wild turmeric <i>Curcuma aromatica</i> Salisb. ターメリック(秋ウコン) <i>Turmeric</i> <i>Curcuma</i> <i>longa</i> L. ガジュツ(紫ウコン) <i>Curcuma zedoaria</i> (Christm.) Roscoe 青枯病 aogare-byo Bacterial wilt <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 安次富 厚ら:日植病報 81(3):299, 2015 ; Ajitomi A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(4):315, 2015 [備考] キョウオウ, ターメリック, ガジュツに発生
--	---

(注) 文献著者名のカンマ抜け修正	
-------------------	--

シヨウガ科 Zingiberaceae ミヨウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 甲杞理恵・森田泰彰:四国植防 46:10, 2012 ; Gappa-Adachi, R. & Morita, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):270, 2013 [備考] 病原はsubdivision IV, biovar 3。病名は仮称 (注) 文献年抜け訂正。備考のフォント修正。	シヨウガ科 Zingiberaceae ミヨウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 甲杞理恵・森田泰彰:四国植防 46:10 ; Gappa- Adachi, R. & Morita, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):270, 2013 [備考] subdivision IV, biovar 3。病名は仮称
---	---

2019年（令和元年）8月26日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2019年4月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が植物ウイルス学名の更新について新たに審査終了した情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤豊三

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 退緑斑紋病 tairyoku-hammon-byo Chlorosis <i>Capsicum chlorosis orthospovirus</i> (CaCV) トウ ガラシ退緑ウイルス [Capsicum chlorosis virus (CaCV)] 奥田 充ら:日植病報 71(3):235, 2005 (注) 病原学名変更	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 退緑斑紋病 tairyoku-hammon-byo Chlorosis <i>Capsicum chlorosis virus</i> (CaCV) トウガラシ退緑 ウイルス 奥田 充ら:日植病報 71(3):235, 2005
ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 退緑斑紋病 tairyoku-hammon-byo Chlorosis <i>Capsicum chlorosis orthospovirus</i> (CaCV) トウ ガラシ退緑ウイルス [Capsicum chlorosis virus (CaCV)] 福田 充ら:日植病報 75(3):219, 2009 (注) 病原学名変更	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 退緑斑紋病 tairyoku-hammon-byo Chlorosis <i>Capsicum chlorosis virus</i> (CaCV) トウガラシ退緑 ウイルス 福田 充ら:日植病報 75(3):219, 2009

キク科 Asteraceae, Compositae アスター(エゾギク, 翠菊) China aster <i>Callistephus chinensis</i> (L.) Nees (草花) 茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis <i>Chrysanthemum stem necrosis orthospovirus</i> (CSNV) キク茎えそウイルス [Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV)] 桃井千巳ら:日植病報 76(3):190, 2010 ; Momonoi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(2):142, 2011 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae アスター(エゾギク, 翠菊) China aster <i>Callistephus chinensis</i> (L.) Nees (草花) 茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク 茎えそウイルス 桃井千巳ら:日植病報 76(3):190, 2010 ; Momonoi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(2):142, 2011
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis <i>Chrysanthemum stem necrosis orthospovirus</i> (CSNV) キク茎えそウイルス [Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV)] 松浦昌平ら:日植病報 73(1):68, 2007 ; 奥田 充ら: 日植病報 73(3):223, 2007 ; Matsuura, S. <i>et al.</i>:Plant Dis. 91:468, 2007 [備考] RT-PCR による検出。接種試験未了 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク 茎えそウイルス 松浦昌平ら:日植病報 73(1):68, 2007 ; 奥田 充ら: 日植病報 73(3):223, 2007 ; Matsuura, S. <i>et al.</i>:Plant Dis. 91:468, 2007 [備考] RT-PCR による検出。接種試験未了
--	---

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. えそ輪点病* eso-rinten-byo Necrotic ringspot <i>Chrysanthemum stem necrosis orthospovirus</i> (CSNV) キク茎えそウイルス [Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV)] 沼田慎一ら:日植病報 77(1):41, 2011 [備考] ピーマンに発生	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. えそ輪点病* eso-rinten-byo Necrotic ringspot Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク 茎えそウイルス 沼田慎一ら:日植病報 77(1):41, 2011 [備考] ピーマンに発生
---	--

(注) 病原学名変更

ナス科 Solanaceae
トマト(蕃茄)
Tomato
Lycopersicon esculentum Mill.
(野菜)

茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis
Chrysanthemum stem necrosis orthospovirus
(CSNV) キク茎えそウイルス [Chrysanthemum
stem necrosis virus (CSNV)]
桑原克也・酒井宏:日植病報 74(3):225, 200

(注) 病原学名変更

ナス科 Solanaceae
トマト(蕃茄)
Tomato
Lycopersicon esculentum Mill.
(野菜)

茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis
Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク
茎えそウイルス
桑原克也・酒井宏:日植病報 74(3):225, 2008

リンドウ科 Gentianaceae
トルコギキョウ
Russell prairie gentian
Eustoma grandiflorum (Raf.) Shinn.
(草花)

茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis
Chrysanthemum stem necrosis orthospovirus
(CSNV) キク茎えそウイルス [Chrysanthemum
stem necrosis virus (CSNV)]
桃井千巳ら:日植病報 76(3):190, 2010 ; Momonoi,
K. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 77(2):142, 2011

(注) 病原学名変更

リンドウ科 Gentianaceae
トルコギキョウ
Russell prairie gentian
Eustoma grandiflorum (Raf.) Shinn.
(草花)

茎えそ病 kuki-eso-byo Stem necrosis
Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV) キク
茎えそウイルス
桃井千巳ら:日植病報 76(3):190, 2010 ; Momonoi,
K. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 77(2):142, 2011

ウリ科 Cucurbitaceae
キュウリ(胡瓜, 黄瓜)
Cucumber
Cucumis sativus L.
(野菜)

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt
(1) *Melon yellow spot orthospovirus* (MYSV) メロ
ン黄化えそウイルス [Melon yellow spot virus
(MYSV), Melon spotted wilt virus#]
竹内繁治ら:日植病報 62(3):325, 1996 ; 竹内繁治
ら:日植病報 67(1):46, 2001
(2) *Watermelon silver mottle virus* (WSMoV) スイ

ウリ科 Cucurbitaceae
キュウリ(胡瓜, 黄瓜)
Cucumber
Cucumis sativus L.
(野菜)

黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt
(1) Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化え
そウイルス [Melon spotted wilt virus#]
竹内繁治ら:日植病報 62(3):325, 1996 ; 竹内繁治
ら:日植病報 67(1):46, 2001
(2) *Watermelon silver mottle virus* (WSMoV) スイ

カ灰白色斑紋ウイルス 外間数男・渡嘉敷唯助:九病虫研会報 33:39, 1987 ; 外間数男・Mondel, S.N.:九病虫研会報 34:21, 1988 ; 眞岡哲夫・宇杉富雄:九病虫研会報 37:42, 1991 ; 島田涼子ら:日植病報 84(3):199, 2018 [備考] 以前は, <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された。島 田ら(2018)は病原ウイルスの単離と戻し接種を行 い, 病原性を確認し, 黄化えそ病と病名を再提案 した (注) 病原学名変更	カ灰白色斑紋ウイルス 外間数男・渡嘉敷唯助:九病虫研会報 33:39, 1987 ; 外間数男・Mondel, S.N.:九病虫研会報 34:21, 1988 ; 眞岡哲夫・宇杉富雄:九病虫研会報 37:42, 1991 ; 島田涼子ら:日植病報 84(3):199, 2018 [備考] 以前は, <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された。島 田ら(2018)は病原ウイルスの単離と戻し接種を行 い, 病原性を確認し, 黄化えそ病と病名を再提案 した
ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) 黄化えそ病* oka-eso-byo Spotted wilt <i>Melon yellow spot orthospovirus</i> (MYSV) メロン 黄化えそウイルス [<i>Melon yellow spot virus</i> (MYSV), Melon spotted wilt virus#] Takeuchi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):154, 2009 (注) 病原学名変更	ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) 黄化えそ病* oka-eso-byo Spotted wilt Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化えそウ イルス [Melon spotted wilt virus#] Takeuchi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):154, 2009
ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>C. melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>C. melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>C. melo</i> L. Inodorus Group その他の雑種を含む 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Melon yellow spot orthospovirus</i> (MYSV) メロン 黄化えそウイルス [<i>Melon yellow spot virus</i> (MYSV), Melon spotted wilt virus#] 加藤公彦ら:日植病報 60:397, 1994 ; Kato, K. <i>et</i>	ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>C. melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>C. melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>C. melo</i> L. Inodorus Group その他の雑種を含む 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化えそウ イルス [Melon spotted wilt virus#] 加藤公彦ら:日植病報 60:397, 1994 ; Kato, K. <i>et</i>

al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(6):624, 1999 (注) 病原学名変更	al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(6):624, 1999
ツリフネソウ科 Balsaminaceae インパチエンス(アフリカハウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカハウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort. えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot tospovirus</i> (INSV) インパ チエンスえそ斑点ウイルス [<i>Impatiens necrotic</i> <i>spot virus</i> (INSV)] 谷名光治ら:日植病報 66(2):147, 2000 ; 谷名光治 ら:日植病報 67(1):42, 2001 (注) 病原学名変更	ツリフネソウ科 Balsaminaceae インパチエンス(アフリカハウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカハウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort. えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV) インパチエ ンスえそ斑点ウイルス 谷名光治ら:日植病報 66(2):147, 2000 ; 谷名光治 ら:日植病報 67(1):42, 2001
リンドウ科 Gentianaceae エキザカム(ベニヒメリンドウ) German violet <i>Exacum affine</i> Balf.fil. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot tospovirus</i> (INSV) インパ チエンスえそ斑点ウイルス [<i>Impatiens necrotic</i> <i>spot virus</i> (INSV)] 後藤知昭ら:日植病報 67(2):173, 2001 ; 後藤知昭 ら:関東病虫研報 48:97, 2001 [備考] 戻し接種なし (注) 病原学名変更	リンドウ科 Gentianaceae エキザカム(ベニヒメリンドウ) German violet <i>Exacum affine</i> Balf.fil. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV) インパチエ ンスえそ斑点ウイルス 後藤知昭ら:日植病報 67(2):173, 2001 ; 後藤知昭 ら:関東病虫研報 48:97, 2001 [備考] 戻し接種なし
キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花)	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花)

えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot tospovirus</i> (INSV) インパ チエンスえそ斑点ウイルス [<i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV)] 近藤 亨ら:日植病報 76(1):49, 2010 ; Kondo, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):263, 2011 (注) 病原学名変更	えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV) インパチエ ンスえそ斑点ウイルス 近藤 亨ら:日植病報 76(1):49, 2010 ; Kondo, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):263, 2011
サクラソウ科 Primulaceae シクラメン Cyclamen <i>Cyclamen persicum</i> Mill. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot tospovirus</i> (INSV) インパ チエンスえそ斑点ウイルス [<i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV)] 後藤知昭ら:日植病報 67(2):173, 2001 ; 後藤知昭 ら:関東病虫研報 48:97, 2001 [備考] 戻し接種なし (注) 病原学名変更	サクラソウ科 Primulaceae シクラメン Cyclamen <i>Cyclamen persicum</i> Mill. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV) インパチエ ンスえそ斑点ウイルス 後藤知昭ら:日植病報 67(2):173, 2001 ; 後藤知昭 ら:関東病虫研報 48:97, 2001 [備考] 戻し接種なし
キク科 Asteraceae, Compositae シネラリア(サイネリア, フウキギク) Cineraria <i>Pericallis</i> × <i>hybrida</i> B. Nord. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot tospovirus</i> (INSV) インパ チエンスえそ斑点ウイルス [<i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV)] 谷名光治ら:日植病報 66(2):147, 2000 ; 谷名光治 ら:日植病報 67(1):42, 2001 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae シネラリア(サイネリア, フウキギク) Cineraria <i>Pericallis</i> × <i>hybrida</i> B. Nord. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV) インパチエ ンスえそ斑点ウイルス 谷名光治ら:日植病報 66(2):147, 2000 ; 谷名光治 ら:日植病報 67(1):42, 2001
ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i>	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i>

(野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. えそ斑紋病* eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot tospovirus</i> (INSV) インパ チエンスえそ斑点ウイルス [<i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV)] 若林秀忠ら:関東病虫研報 55:185, 2008 [備考] パプリカに発生 (注) 病原学名変更	(野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. えそ斑紋病* eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV) インパチエ ンスえそ斑点ウイルス 若林秀忠ら:関東病虫研報 55:185, 2008 [備考] パプリカに発生
リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot tospovirus</i> (INSV) インパ チエンスえそ斑点ウイルス [<i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV)] 土井 誠・加藤公彦:日植病報 68(2):231, 2002 ; 土 井 誠・加藤公彦:関東病虫研報 50:83, 2003 (注) 病原学名変更	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic spot <i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV) インパチエ ンスえそ斑点ウイルス 土井 誠・加藤公彦:日植病報 68(2):231, 2002 ; 土 井 誠・加藤公彦:関東病虫研報 50:83, 2003
シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア Begonia <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>B. evansiana</i> Andrews えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic mottle <i>Impatiens necrotic spot tospovirus</i> (INSV) インパ チエンスえそ斑点ウイルス [<i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV)] 黒川恵美ら:日植病報 69(1):67, 2003 [備考] 戻し接種なし。ベゴニアに発生 (注) 病原学名変更	シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア Begonia <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>B. evansiana</i> Andrews えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic mottle <i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV) インパチエ ンスえそ斑点ウイルス 黒川恵美ら:日植病報 69(1):67, 2003 [備考] 戻し接種なし。ベゴニアに発生
リンドウ科 Gentianaceae	リンドウ科 Gentianaceae

リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic mottle <i>Impatiens necrotic spot tospovirus</i> (INSV) インパ チエンスえそ斑点ウイルス [<i>Impatiens necrotic</i> <i>spot virus</i> (INSV)] 猫塚修一ら:日植病報 71(3):183, 2005 (注) 病原学名変更	リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Necrotic mottle <i>Impatiens necrotic spot virus</i> (INSV) インパチエ ンスえそ斑点ウイルス 猫塚修一ら:日植病報 71(3):183, 2005
ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 条えそ病 suji-eso-byo Necrotic streaks <i>Iris yellow spot tospovirus</i> (IYSV) アイリス黄斑 ウイルス [<i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV)] 花田 薫ら:日植病報 66(3):259, 2000 ; 奥田 充ら: 日植病報 71(2):119, 2005 (注) 病原学名変更	ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 条えそ病 suji-eso-byo Necrotic streaks <i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイ ルス 花田 薫ら:日植病報 66(3):259, 2000 ; 奥田 充ら: 日植病報 71(2):119, 2005
ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) えそ条斑病 eso-johan-byo Straw bleaching <i>Iris yellow spot tospovirus</i> (IYSV) アイリス黄斑 ウイルス [<i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV)] 善 正二郎ら:九州農業研究 65:91, 2003 [備考] 戻し接種なし (注) 病原学名変更	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) えそ条斑病 eso-johan-byo Straw bleaching <i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイ ルス 善 正二郎ら:九州農業研究 65:91, 2003 [備考] 戻し接種なし
リンドウ科 Gentianaceae	リンドウ科 Gentianaceae

トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ringspot (1) <i>Iris yellow spot tospovirus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス [<i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV)] 土井 誠・加藤公彦:日植病報 68(2):231, 2002 ; 花田 薫ら:日植病報 68(2):234, 2002 ; 岡本 潤ら:日植病報 69(1):22, 2003 ; 岡本 潤ら:九州農業研究 65:92, 2003 ; 土井 誠ら:日植病報 69(3):181, 2003 (2) <i>Lisianthus necrotic ringspot virus</i># (LNRV) トルコギキョウえそ輪紋ウイルス 下元祥史ら:日植病報 77(3):189, 2011 ; Shimomoto, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(2):169, 2014 [備考] 病原は<i>Tospovirus</i>属の一種 (注) 病原学名変更	トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ringspot (1) <i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス 土井 誠・加藤公彦:日植病報 68(2):231, 2002 ; 花田 薫ら:日植病報 68(2):234, 2002 ; 岡本 潤ら:日植病報 69(1):22, 2003 ; 岡本 潤ら:九州農業研究 65:92, 2003 ; 土井 誠ら:日植病報 69(3):181, 2003 (2) <i>Lisianthus necrotic ringspot virus</i># (LNRV) トルコギキョウえそ輪紋ウイルス 下元祥史ら:日植病報 77(3):189, 2011 ; Shimomoto, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(2):169, 2014 [備考] 病原は<i>Tospovirus</i>属の一種
ユリ科 Liliaceae ニラ(菰) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler (野菜) えそ条斑病 eso-johan-byo Necrotic streak <i>Iris yellow spot tospovirus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス [<i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV)] 福田 充ら:日植病報 72(4):277, 2006;福田 充ら:日植病報 73(4):311, 2007 (注) 病原学名変更	ユリ科 Liliaceae ニラ(菰) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler (野菜) えそ条斑病 eso-johan-byo Necrotic streak <i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス 福田 充ら:日植病報 72(4):277, 2006;福田 充ら:日植病報 73(4):311, 2007
ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (porrum group) (野菜) えそ条斑病 eso-johan-byo Necrotic streaks <i>Iris yellow spot tospovirus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス [<i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV)] 植草秀敏ら:関東病虫研報 52:31, 2005 ; 福田 充・中山喜一:関東病虫研報 54:39, 2007	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (porrum group) (野菜) えそ条斑病 eso-johan-byo Necrotic streaks <i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス 植草秀敏ら:関東病虫研報 52:31, 2005 ; 福田 充・中山喜一:関東病虫研報 54:39, 2007

(注) 病原学名変更	
ユリ科 Liliaceae ラッキョウ(薤) Rakkyo, Scallion <i>Allium chinense</i> G. Don (野菜) えそ条斑病 eso-johan-byo Necrotic streak <i>Iris yellow spot tospovirus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス [<i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV)] 安田文俊ら:日植病報 76(3):190, 2010 (注) 病原学名変更	ユリ科 Liliaceae ラッキョウ(薤) Rakkyo, Scallion <i>Allium chinense</i> G. Don (野菜) えそ条斑病 eso-johan-byo Necrotic streak <i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス 安田文俊ら:日植病報 76(3):190, 2010
ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 高橋義行ら:関東病虫研報 45:105, 1998 ; 高橋義行ら:関東病虫研報 46:77, 1999 (注) 病原学名変更	ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 高橋義行ら:関東病虫研報 45:105, 1998 ; 高橋義行ら:関東病虫研報 46:77, 1999
ツリフネソウ科 Balsaminaceae インパチエンス(アフリカハウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカハウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort. 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 河野敏郎ら:日植病報 65(6):651, 1999 [備考] ニューギニア・インパチエンス (<i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i>) に発生	ツリフネソウ科 Balsaminaceae インパチエンス(アフリカハウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカハウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort. 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 河野敏郎ら:日植病報 65(6):651, 1999 [備考] ニューギニア・インパチエンス (<i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i>) に発生

× <i>hybridus</i>) に発生 (注) 病原学名変更	
キク科 Asteraceae, Compositae ガーベラ Gerbera Gerbera spp. 及び種間雑種 (草花) えそ輪紋病 eso-rimmon-byo <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄 化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 加藤公彦ら:日植病報 62(6):614, 1996 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae ガーベラ Gerbera Gerbera spp. 及び種間雑種 (草花) えそ輪紋病 eso-rimmon-byo <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化え そウイルス 加藤公彦ら:日植病報 62(6):614, 1996
オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) ウイルス病* virus-byo Virus (1) <i>Asparagus virus 2</i> (AV-2) アスパラガスウイ ルス 2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] 塩基配列解析による同定。戻し接種なし (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウイ ルトウイルス 2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木 (植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (3) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木 (植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (4) <i>Gaillardia latent virus</i> (GalLV) ガイラルディア 潜在ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] 塩基配列解析により同定。戻し接種なし (5) <i>Ligustrum necrotic ringspot virus</i> (LNRSV) ネズ ミモチえそ輪紋ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木 (植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (6) <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト	オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) ウイルス病* virus-byo Virus (1) <i>Asparagus virus 2</i> (AV-2) アスパラガスウイ ルス 2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] 塩基配列解析による同定。戻し接種なし (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウイ ルトウイルス 2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木 (植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (3) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木 (植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (4) <i>Gaillardia latent virus</i> (GalLV) ガイラルディア 潜在ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] 塩基配列解析により同定。戻し接種なし (5) <i>Ligustrum necrotic ringspot virus</i> (LNRSV) ネズ ミモチえそ輪紋ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木 (植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (6) <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化

黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 山本明日香ら:北日本病虫研報 68:263, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 (注) 病原学名変更	えそウイルス 山本明日香ら:北日本病虫研報 68:263, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018
キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) えそ病* eso-byo Necrosis <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 加藤公彦ら:日植病報 61(3):274, 1995 ; 守川俊幸ら:北陸病虫研報 45:11, 1997 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) えそ病* eso-byo Necrosis <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 加藤公彦ら:日植病報 61(3):274, 1995 ; 守川俊幸ら:北陸病虫研報 45:11, 1997
キク科 Asteraceae, Compositae シネラリア(サイネリア, フウキギク) Cineraria <i>Pericallis × hybrida</i> B. Nord. (草花) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 河野敏郎ら:日植病報 64(6):597, 1998 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae シネラリア(サイネリア, フウキギク) Cineraria <i>Pericallis × hybrida</i> B. Nord. (草花) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 河野敏郎ら:日植病報 64(6):597, 1998
ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) えそ病 eso-byo Necrosis <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) えそ病 eso-byo Necrosis <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化え

化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 松尾和敏ら:日植病報 69(3):342, 2003 (注) 病原学名変更	そウイルス 松尾和敏ら:日植病報 69(3):342, 2003
ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄 化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 都丸敬一ら:日植病報 42(3):382, 1976 ; 都丸敬一 ら:日植病報 48(3):336, 1982 (注) 病原学名変更	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化え そウイルス 都丸敬一ら:日植病報 42(3):382, 1976 ; 都丸敬一 ら:日植病報 48(3):336, 1982
キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄 化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 井上忠男・井上成信:日植病報 36(5):357, 1970 ; 井上忠男・井上成信:農学研究 54:79, 1972 [備考] ウイルス (未同定) による輪紋病の最初の 記載は, 河村貞之助:農薬 3(8):48, 1956 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化え そウイルス 井上忠男・井上成信:日植病報 36(5):357, 1970 ; 井上忠男・井上成信:農学研究 54:79, 1972 [備考] ウイルス (未同定) による輪紋病の最初の 記載は, 河村貞之助:農薬 3(8):48, 1956
ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.

黄化えそ病 oka-eso-byo (ウイルス病) <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 坂本 庵・松尾綾男:日植病報 41(1):95, 1975 ; 米山伸吾・栃原比呂志:日植病報 45(4):565, 1979 ; 米山伸吾:植物防疫 34(4):151, 1980 (注) 病原学名変更	黄化えそ病 oka-eso-byo (ウイルス病) <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 坂本 庵・松尾綾男:日植病報 41(1):95, 1975 ; 米山伸吾・栃原比呂志:日植病報 45(4):565, 1979 ; 米山伸吾:植物防疫 34(4):151, 1980
ウリ科 Cucurbitaceae トウガン(カモウリ, トウガ, 冬瓜) Wax gourd, White gourd <i>Benincasa cerifera</i> Savi (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) Potyvirus# 小室康雄:日植病報 22(4-5):220, 1957 [備考] 汁液接種検定による同定。 <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), <i>Watermelon mosaic virus</i> (WMV スイカモザイクウイルス), <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり (2) <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 鳥越博明・亀谷満朗:日植病報 58(1):113, 1992 (3) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス 大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988 ; 福本文良ら:関東病虫研報 40:101, 1993 [備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:101, 1933(昭8) (注) 病原学名変更	ウリ科 Cucurbitaceae トウガン(カモウリ, トウガ, 冬瓜) Wax gourd, White gourd <i>Benincasa cerifera</i> Savi (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) Potyvirus# 小室康雄:日植病報 22(4-5):220, 1957 [備考] 汁液接種検定による同定。 <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), <i>Watermelon mosaic virus</i> (WMV スイカモザイクウイルス), <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり (2) <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 鳥越博明・亀谷満朗:日植病報 58(1):113, 1992 (3) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス 大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988 ; 福本文良ら:関東病虫研報 40:101, 1993 [備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 日野 巖:宮崎高農学報 5:101, 1933(昭8)
ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

<i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 小島博文:日植病報 39(3):217, 1973 ; 小島博文ら:日植病報 42(3):287, 1976 [備考] 匠原監一郎ら (日植病報 70(3):276, 2004) はパラグアイでの発生を報告したが, DAS-ELISA 法と RIPA 法で <i>Tomato chlorotic spot virus</i> および <i>Groundnut ringspot virus</i> 抗体にも弱く陽性反応を認めた (注) 病原学名変更	<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 小島博文:日植病報 39(3):217, 1973 ; 小島博文ら:日植病報 42(3):287, 1976 [備考] 匠原監一郎ら (日植病報 70(3):276, 2004) はパラグアイでの発生を報告したが, DAS-ELISA 法と RIPA 法で <i>Tomato chlorotic spot virus</i> および <i>Groundnut ringspot virus</i> 抗体にも弱く陽性反応を認めた
リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 勝部和則ら:日植病報 64(3):402, 1998 ; 黒田智久ら:日植病報 65(4):490, 1999 (注) 病原学名変更	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 勝部和則ら:日植病報 64(3):402, 1998 ; 黒田智久ら:日植病報 65(4):490, 1999
ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 河野敏郎ら:日植病報 64(6):597, 1998 (注) 病原学名変更	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 河野敏郎ら:日植病報 64(6):597, 1998
キョウチクトウ科 Apocynaceae ニチニチソウ(ビンカ) Madagascar periwinkle	キョウチクトウ科 Apocynaceae ニチニチソウ(ビンカ) Madagascar periwinkle

<i>Catharanthus roseus</i> (L.) G. Don (草花) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 河野敏郎ら:日植病報 65(6):651, 1999 (注) 病原学名変更	<i>Catharanthus roseus</i> (L.) G. Don (草花) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 河野敏郎ら:日植病報 65(6):651, 1999
ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (porrum group) (野菜) ウイルス病 virus-byo Virus (1) Chinese chive dwarf virus# 中曽根 渡ら:日植病報 54(1):108, 1988 [備考] Garlic latent virus#, <i>Shallot latent virus</i> (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する (2) Garlic latent virus# 佐古 勇ら:日植病報 53(1):108, 1987 ; 深見正信ら:関東病虫研報 34:79, 1987 [備考] Chinese chive dwarf virus#, <i>Shallot latent virus</i> (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する (3) <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 荒城雅昭ら:日植病報 46(3):414, 1980 [備考] 戻し接種なし (注) 病原学名変更	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (porrum group) (野菜) ウイルス病 virus-byo Virus (1) Chinese chive dwarf virus# 中曽根 渡ら:日植病報 54(1):108, 1988 [備考] Garlic latent virus#, <i>Shallot latent virus</i> (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する (2) Garlic latent virus# 佐古 勇ら:日植病報 53(1):108, 1987 ; 深見正信ら:関東病虫研報 34:79, 1987 [備考] Chinese chive dwarf virus#, <i>Shallot latent virus</i> (SLV シャロット潜在ウイルス)との異同の検討を要する (3) <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 荒城雅昭ら:日植病報 46(3):414, 1980 [備考] 戻し接種なし
クマツヅラ科 Verbenaceae バーベナ(ビジョザクラ) Verbena <i>Verbena × hybrida</i> Voss (草花) ヒメビジョザクラ (Verbena) <i>V. tenera</i> Spreng. シュッコンバーベナ <i>V. rigida</i> Spreng. 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt	クマツヅラ科 Verbenaceae バーベナ(ビジョザクラ) Verbena <i>Verbena × hybrida</i> Voss (草花) ヒメビジョザクラ (Verbena) <i>V. tenera</i> Spreng. シュッコンバーベナ <i>V. rigida</i> Spreng. 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt

<i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 河野敏郎ら:日植病報 65(6):651, 1999 (注) 病原学名変更	<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 河野敏郎ら:日植病報 65(6):651, 1999
アヤメ科 Iridaceae ヒオウギ Blackberry lily <i>Belamcanda chinensis</i> (L.) DC. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 山本孝弐・大畑貫一:日植病報 42(1):81, 1976 ; 山本孝弐・大畑貫一:四国農試報 30:39, 1977 [備考] 戻し接種なし (注) 病原学名変更	アヤメ科 Iridaceae ヒオウギ Blackberry lily <i>Belamcanda chinensis</i> (L.) DC. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 山本孝弐・大畑貫一:日植病報 42(1):81, 1976 ; 山本孝弐・大畑貫一:四国農試報 30:39, 1977 [備考] 戻し接種なし
キク科 Asteraceae, Compositae マリーゴールド Marigold キク (草花) アフリカン・マリーゴールド African marigold <i>Tagetes erecta</i> L. フレンチ・マリーゴールド French marigold <i>Tagetes patula</i> L. 黄化えそ病 <i>oka-eso-byo</i> Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 河野敏郎ら:日植病報 64(6):597, 1998 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae マリーゴールド Marigold キク (草花) アフリカン・マリーゴールド African marigold <i>Tagetes erecta</i> L. フレンチ・マリーゴールド French marigold <i>Tagetes patula</i> L. 黄化えそ病 <i>oka-eso-byo</i> Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 河野敏郎ら:日植病報 64(6):597, 1998
マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L.	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L.

(食用作物) †ウイルス病 virus-byo (1) <i>Peanut mottle virus</i> (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス (2) <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 福本文良ら:日植病報 49(1):81, 1983 [備考] タイ (注) 病原学名変更	(食用作物) †ウイルス病 virus-byo (1) <i>Peanut mottle virus</i> (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス (2) <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 福本文良ら:日植病報 49(1):81, 1983 [備考] タイ
リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ringspot <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)] 森島正二ら:日植病報 79(3):241, 2013 ; 森島正二ら:関東病虫研報 61:119, 2014 (注) 病原学名変更	リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ringspot <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 森島正二ら:日植病報 79(3):241, 2013 ; 森島正二ら:関東病虫研報 61:119, 2014
キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (longiflora group) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV)]	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (longiflora group) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス

(TSWV)] 守川俊幸ら:北陸病虫研報 45:11, 1997 (注) 病原学名変更	守川俊幸ら:北陸病虫研報 45:11, 1997
ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt (1) Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化えそウイルス [Melon spotted wilt virus#] 竹内繁治ら:日植病報 62(3):325, 1996 ; 竹内繁治ら:日植病報 67(1):46, 2001 (2) <i>Watermelon silver mottle tospovirus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス [<i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV)] 外間数男・渡嘉敷唯助:九病虫研会報 33:39, 1987 ; 外間数男・Mondel, S.N.:九病虫研会報 34:21, 1988 ; 眞岡哲夫・宇杉富雄:九病虫研会報 37:42, 1991 ; 島田涼子ら:日植病報 84(3):199, 2018 [備考] 以前は, <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された。島田ら(2018)は病原ウイルスの単離と戻し接種を行い, 病原性を確認し, 黄化えそ病と病名を再提案した (注) 病原学名変更	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt (1) Melon yellow spot virus (MYSV) メロン黄化えそウイルス [Melon spotted wilt virus#] 竹内繁治ら:日植病報 62(3):325, 1996 ; 竹内繁治ら:日植病報 67(1):46, 2001 (2) <i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス 外間数男・渡嘉敷唯助:九病虫研会報 33:39, 1987 ; 外間数男・Mondel, S.N.:九病虫研会報 34:21, 1988 ; 眞岡哲夫・宇杉富雄:九病虫研会報 37:42, 1991 ; 島田涼子ら:日植病報 84(3):199, 2018 [備考] 以前は, <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された。島田ら(2018)は病原ウイルスの単離と戻し接種を行い, 病原性を確認し, 黄化えそ病と病名を再提案した
ウリ科 Cucurbitaceae スイカ(西瓜) Watermelon <i>Citrullus lanatus</i> (Thunb.) Matsum. & Nakai (野菜) 灰白色斑紋病 haihakushoku-hammon-byo Silver mottle <i>Watermelon silver mottle tospovirus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス [<i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV)] 与那覇哲義ら:日植病報 49(3):406, 1983 ; Iwaki, M. <i>et al.</i>:Plant Disease 68(11):1006, 1984 ; Tsuda, S. <i>et al.</i>:Acta Hort. 431:176, 1996	ウリ科 Cucurbitaceae スイカ(西瓜) Watermelon <i>Citrullus lanatus</i> (Thunb.) Matsum. & Nakai (野菜) 灰白色斑紋病 haihakushoku-hammon-byo Silver mottle <i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス 与那覇哲義ら:日植病報 49(3):406, 1983 ; Iwaki, M. <i>et al.</i>:Plant Disease 68(11):1006, 1984 ; Tsuda, S. <i>et al.</i>:Acta Hort. 431:176, 1996

(注) 病原学名変更	
ツルナ(ハマミズナ)科 Aizoaceae ツルナ(ハマヂシャ, 蔓菜, 番杏) New Zealand spinach <i>Tetragonia tetragonoides</i> (Pall.) Kuntze (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Necrotic yellow disease <i>Watermelon silver mottle tospovirus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス [<i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV)] 田場 聡ら:日植病報 66(2):146, 2000 (注) 病原学名変更	ツルナ(ハマミズナ)科 Aizoaceae ツルナ(ハマヂシャ, 蔓菜, 番杏) New Zealand spinach <i>Tetragonia tetragonoides</i> (Pall.) Kuntze (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Necrotic yellow disease <i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス 田場 聡ら:日植病報 66(2):146, 2000
ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 高見圭司ら:日植病報 72(1):28, 2006 ; Takahashi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 72(6):391, 2006 (2) <i>Watermelon silver mottle tospovirus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス [<i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV)] 渡嘉敷唯助・安田慶次:植物防疫 45(3):128, 1991 [備考] <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された (3) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ブッキーニ黄斑モザイクウイルス 大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988 ; 福本文良ら:関東病虫研報 40:101, 1993 (注) 病原学名変更	ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 高見圭司ら:日植病報 72(1):28, 2006 ; Takahashi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 72(6):391, 2006 (2) <i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス 渡嘉敷唯助・安田慶次:植物防疫 45(3):128, 1991 [備考] <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV トマト黄化えそウイルス)として報告された (3) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ブッキーニ黄斑モザイクウイルス 大津善弘:日植病報 54(1):76, 1988 ; 福本文良ら:関東病虫研報 40:101, 1993
ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等

(果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. ソローシス病 <i>psorosis-byo</i> Psorosis (ソローシス病) <i>Citrus psorosis ophiovirus</i> (CPsV) カンキツソローシスウイルス [<i>Citrus psorosis virus</i> (CPsV)] 伊藤隆男ら:日植病報 73(3):225, 2007 ; Ito, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):257, 2011 ; 伊藤隆男:植物防疫 66(4):96, 2012 [備考] Tanaka <i>et al.</i> (Agrochemicals Japan 67:23, 1995)および田中寛康(農林業協力専門家通信 18(6):37, 1998)はソローシス病として海外での発生を報告した。伊藤ら(2007)および Ito <i>et al.</i> (2011)は国内発生を報告し、本病をソローシス病とした (注) 病原学名変更	(果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. ソローシス病 <i>psorosis-byo</i> Psorosis (ソローシス病) <i>Citrus psorosis virus</i> (CPsV) カンキツソローシスウイルス 伊藤隆男ら:日植病報 73(3):225, 2007 ; Ito, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):257, 2011 ; 伊藤隆男:植物防疫 66(4):96, 2012 [備考] Tanaka <i>et al.</i> (Agrochemicals Japan 67:23, 1995)および田中寛康(農林業協力専門家通信 18(6):37, 1998)はソローシス病として海外での発生を報告した。伊藤ら(2007)および Ito <i>et al.</i> (2011)は国内発生を報告し、本病をソローシス病とした
キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (longiflora group) ビッグベイン病 <i>big vein-byo</i> <i>Mirafiori lettuce big-vein ophiovirus</i> (MLBVV) レタスビッグベインミラフィオリウイルス [<i>Mirafiori lettuce big-vein virus</i> (MLBVV), <i>Mirafiori lettuce virus</i>] 岩木満朗ら:日植病報 43(1):76, 1977 ; 中野昭信・家村浩海:関西病虫研報 19:132, 1977 ; 桑田 茂ら:日植病報 49(2):246, 1983 ; 夏秋啓子ら:日植病報 68(3):309, 2002 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (longiflora group) ビッグベイン病 <i>big vein-byo</i> <i>Mirafiori lettuce big-vein virus</i> (MiLBVV) レタスビッグベインミラフィオリウイルス [Mirafiori lettuce virus] 岩木満朗ら:日植病報 43(1):76, 1977 ; 中野昭信・家村浩海:関西病虫研報 19:132, 1977 ; 桑田 茂ら:日植病報 49(2):246, 1983 ; 夏秋啓子ら:日植病報 68(3):309, 2002

ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mottle mosaic <i>Tulip mild mottle mosaic ophiovirus</i> (TMMMV) チューリップ微斑モザイクウイルス [<i>Tulip mild mottle mosaic virus</i> (TMMMV)] 守川俊幸ら:富山農技セ研報 16:55, 1995 ; 守川俊幸ら:日植病報 61(6):578, 1995 ; 守川俊幸ら:日植病報 63(6):504, 1997 (注) 病原学名変更	ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mottle mosaic <i>Tulip mild mottle mosaic virus</i> (TMMMV) チューリップ微斑モザイクウイルス 守川俊幸ら:富山農技セ研報 16:55, 1995 ; 守川俊幸ら:日植病報 61(6):578, 1995 ; 守川俊幸ら:日植病報 63(6):504, 1997
イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet <i>Setaria italica</i> Beauv. (オオアワ) <i>Setaria italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. (コアワ) (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic cytorhabdovirus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス [<i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV)] 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19) (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet <i>Setaria italica</i> Beauv. (オオアワ) <i>Setaria italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. (コアワ) (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19)
イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic cytorhabdovirus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス [<i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV)] 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62,	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62,

1944(昭 19) (注) 病原学名変更	1944(昭 19)
イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic cytorhabdovirus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス [<i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV)] 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19) (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV) ムギ北地モ ザイクウイルス 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19)
イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic cytorhabdovirus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス [<i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV)] 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19) (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV) ムギ北地モ ザイクウイルス 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林会報 36(3):62, 1944(昭 19)
イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>L. multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>L. perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>L. multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>L. perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種

間交雑種 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo <i>Northern cereal mosaic cytorhabdovirus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス [<i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV)] 御子柴義郎ら:日植病報 50(1):108, 1982 (注) 病原学名変更	間交雑種 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo <i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス 御子柴義郎ら:日植病報 50(1):108, 1982
イネ科 Gramineae, Poaceae ライムギ(ライ, 黒麦) Rye <i>Secale cereale</i> L. (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic cytorhabdovirus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス [<i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV)] 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林学会報 36(3):62, 1944(昭 19) (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ライムギ(ライ, 黒麦) Rye <i>Secale cereale</i> L. (食用作物) 北地モザイク病 hokuchi-mosaic-byo Mosaic <i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス 伊藤誠哉・福士貞吉:札幌農林学会報 36(3):62, 1944(昭 19)
バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria × ananassa</i> Duchesne (野菜) ウイルス病 virus-byo Virus (1) <i>Soybean dwarf virus</i> (SbDV) ダイズ矮化ウイルス [<i>Strawberry mild yellow edge virus</i> (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス] 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964 [備考] 接木検定による同定。戻し接種なし (2) <i>Strawberry crinkle cytorhabdovirus</i> (SCV) イチゴクリンクルウイルス [<i>Strawberry crinkle virus</i> (SCV)] 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969 [備考] 接木検定による同定。戻し接種なし (3) <i>Strawberry latent C virus</i># (SLCV) イチゴ潜在Cウイルス	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria × ananassa</i> Duchesne (野菜) ウイルス病 virus-byo Virus (1) <i>Soybean dwarf virus</i> (SbDV) ダイズ矮化ウイルス [<i>Strawberry mild yellow edge virus</i> (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス] 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964 [備考] 接木検定による同定。戻し接種なし (2) <i>Strawberry crinkle virus</i> (SCV) イチゴクリンクルウイルス 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969 [備考] 接木検定による同定。戻し接種なし (3) <i>Strawberry latent C virus</i># (SLCV) イチゴ潜在Cウイルス

吉川信幸ら:日植病報 51(1):82, 1985 ; 吉川信幸・井上忠男:日植病報 52(3):437, 1986 [備考] 戻し接種なし (4) <i>Strawberry mild yellow edge virus</i> (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス [Strawberry mild yellow edge-associated virus#] 鈴木 健ら:日植病報 64(4):427, 1988 [備考] RT-PCR による同定。戻し接種なし (5) <i>Strawberry mottle virus</i> (SMoV) イチゴ斑紋ウイルス 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964 [備考] 接木検定による同定。戻し接種なし (6) <i>Strawberry pseudo mild yellow edge virus</i> (SPMYEV) イチゴシュードマイルドイエローエッジウイルス 吉川信幸・井上忠男:日植病報 51(3):354, 1985 ; 吉川信幸・井上忠男:日植病報 52(4):643, 1986 (7) <i>Strawberry vein banding virus</i> (SVBV) イチゴベインバンディングウイルス 高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969 [備考] 接木検定による同定。戻し接種なし (8) <i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV) タバコモザイクウイルス 要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973 [備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし (9) <i>Olive latent virus 1</i> (OLV-1) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ潜在ウイルス 1 小室康雄ら:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋一ら:日植病報 77(3):227, 2011 [備考] 戻し接種なし。藤ら(2011)は、Tobacco necrosis virus#とされていた小室ら(1973)の株を OLV-1 と再同定した。小室ら(1973)は Tobacco necrosis satellite virus (STNV タバコえそサテライトウイルス)も検出した (10) <i>Olive mild mosaic virus</i> (OMMV) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ微斑ウイルス 要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋一ら:日植病報 77(3):227, 2011 [備考] 藤ら(2011)は、Tobacco necrosis virus#とされていた要・岸(1973) の株を OMMV と再同定した (注) 病原学名変更	吉川信幸ら:日植病報 51(1):82, 1985 ; 吉川信幸・井上忠男:日植病報 52(3):437, 1986 [備考] 戻し接種なし (4) <i>Strawberry mild yellow edge virus</i> (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス [Strawberry mild yellow edge-associated virus#] 鈴木 健ら:日植病報 64(4):427, 1988 [備考] RT-PCR による同定。戻し接種なし (5) <i>Strawberry mottle virus</i> (SMoV) イチゴ斑紋ウイルス 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964 [備考] 接木検定による同定。戻し接種なし (6) <i>Strawberry pseudo mild yellow edge virus</i> (SPMYEV) イチゴシュードマイルドイエローエッジウイルス 吉川信幸・井上忠男:日植病報 51(3):354, 1985 ; 吉川信幸・井上忠男:日植病報 52(4):643, 1986 (7) <i>Strawberry vein banding virus</i> (SVBV) イチゴベインバンディングウイルス 高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969 [備考] 接木検定による同定。戻し接種なし (8) <i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV) タバコモザイクウイルス 要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973 [備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし (9) <i>Olive latent virus 1</i> (OLV-1) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ潜在ウイルス 1 小室康雄ら:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋一ら:日植病報 77(3):227, 2011 [備考] 戻し接種なし。藤ら(2011)は、Tobacco necrosis virus#とされていた小室ら(1973)の株を OLV-1 と再同定した。小室ら(1973)は Tobacco necrosis satellite virus (STNV タバコえそサテライトウイルス)も検出した (10) <i>Olive mild mosaic virus</i> (OMMV) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ微斑ウイルス 要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋一ら:日植病報 77(3):227, 2011 [備考] 藤ら(2011)は、Tobacco necrosis virus#とされていた要・岸(1973) の株を OMMV と再同定した
イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲)	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲)

Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) グラッシースタント病 <i>grassy stunt-byo</i> Grassy stunt (褐穂黄化病) <i>Rice grassy stunt tenuivirus</i> (RGSV) イネグラッシースタントウイルス [<i>Rice grassy stunt virus</i> (RGSV)] 岩崎真人・新海 昭:日植病報 45(5):741, 1979 ; 日比野啓行ら:日植病報 48(3):388, 1982 ; 和泉勝一:九病虫研会報 29:175, 1983 (注) 病原学名変更	Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) グラッシースタント病 <i>grassy stunt-byo</i> Grassy stunt (褐穂黄化病) <i>Rice grassy stunt virus</i> (RGSV) イネグラッシースタントウイルス 岩崎真人・新海 昭:日植病報 45(5):741, 1979 ; 日比野啓行ら:日植病報 48(3):388, 1982 ; 和泉勝一:九病虫研会報 29:175, 1983
イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet <i>Setaria italica</i> Beauv. (オオアワ) <i>Setaria italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. (コアワ) (食用作物) 縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe <i>Rice stripe tenuivirus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス [<i>Rice stripe virus</i> (RSV)] 河合一郎:病虫雑 21(3):208, 1934(昭 9) (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae アワ(粟) Foxtail millet, Italian millet <i>Setaria italica</i> Beauv. (オオアワ) <i>Setaria italica</i> var. <i>germanica</i> Trin. (コアワ) (食用作物) 縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe <i>Rice stripe virus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス 河合一郎:病虫雑 21(3):208, 1934(昭 9)
イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe (幽霊病, 縞枯病, 捻葉病) <i>Rice stripe tenuivirus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス [<i>Rice stripe virus</i> (RSV)] 上田栄次郎:農商務省農試事務功程(大 2-4 年度):41, 1917(大 6) ; 小金澤碩城ら:日植病報 41(2):148, 1975 (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe (幽霊病, 縞枯病, 捻葉病) <i>Rice stripe virus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス 上田栄次郎:農商務省農試事務功程(大 2-4 年度):41, 1917(大 6) ; 小金澤碩城ら:日植病報 41(2):148, 1975

コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) 縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe <i>Rice stripe tenuivirus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス [<i>Rice stripe virus</i> (RSV)] 天野悦平:病虫雑 22(10):785, 1935(昭 10) ; 安 正 純:日本作物ウイルス病総覧(明日山秀文・飯田俊 武編):85, 1967 (注) 病原学名変更	コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) 縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe <i>Rice stripe virus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス 天野悦平:病虫雑 22(10):785, 1935(昭 10) ; 安 正 純:日本作物ウイルス病総覧(明日山秀文・飯田俊 武編):85, 1967
トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe <i>Rice stripe tenuivirus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス [<i>Rice stripe virus</i> (RSV)] 新海 昭:植物ウイルス病(日高 醇ら編):257, 1960 ; 安 正純:日本作物ウイルス病総覧(明日山秀 文・飯田俊武編):85, 1967 (注) 病原学名変更	トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 縞葉枯病 shima-hagare-byo Stripe <i>Rice stripe virus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス 新海 昭:植物ウイルス病(日高 醇ら編):257, 1960 ; 安 正純:日本作物ウイルス病総覧(明日山秀 文・飯田俊武編):85, 1967
イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>F. arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>F. longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch ナギナタガヤ Rat's tail <i>F. myuros</i> L. シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>F. ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>F. pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>F.</i> <i>rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ)	イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>F. arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>F. longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch ナギナタガヤ Rat's tail <i>F. myuros</i> L. シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>F. ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>F. pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>F.</i> <i>rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ)

Creeping red fescue <i>F. rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i> †††† <i>Rice stripe tenuivirus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス [<i>Rice stripe virus</i> (RSV)] 奥田 充ら:日植病報 84(3):239, 2018 [備考] DAS-ELISA 法による検出 (注) 病原学名変更	Creeping red fescue <i>F. rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i> †††† <i>Rice stripe virus</i> (RSV) イネ縞葉枯ウイルス 奥田 充ら:日植病報 84(3):239, 2018 [備考] DAS-ELISA 法による検出
クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic <i>Fig mosaic emaravirus</i> (FMV) イチジクモザイクウイルス [<i>Fig mosaic virus</i> (FMV)] 小室康雄:植物防疫 16(6):255, 1962 ; 土崎常男ら: 日植病報 32(5):319, 1966 ; 難波成任ら:日植病報 45(1):85, 1979 ; Ishikawa, K. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 78(2):136, 2012 [備考] 接ぎ木伝染性。戻し接種は未成功 (注) 病原学名変更	クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic <i>Fig mosaic virus</i> (FMV) イチジクモザイクウイルス 小室康雄:植物防疫 16(6):255, 1962 ; 土崎常男ら: 日植病報 32(5):319, 1966 ; 難波成任ら:日植病報 45(1):85, 1979 ; Ishikawa, K. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 78(2):136, 2012 [備考] 接ぎ木伝染性。戻し接種は未成功
ラン科 Orchidaceae エビネ Japanese calanthe <i>Calanthe spp.</i> (草花) エビネ <i>C. discolor</i> Lindl. 黄色斑紋モザイク病 <i>oshoku-hammon-mosaic-byo</i> Yellow mosaic <i>Orchid fleck dichorhavirus</i> (OFV) ランえそ斑紋ウイルス [<i>Orchid fleck virus</i> (OFV)] 井上成信ら:日植病報 60(6):785, 1994 (注) 病原学名変更	ラン科 Orchidaceae エビネ Japanese calanthe <i>Calanthe spp.</i> (草花) エビネ <i>C. discolor</i> Lindl. 黄色斑紋モザイク病 <i>oshoku-hammon-mosaic-byo</i> Yellow mosaic <i>Orchid fleck virus</i> (OFV) ランえそ斑紋ウイルス 井上成信ら:日植病報 60(6):785, 1994
ラン科 Orchidaceae オドントグロッサム	ラン科 Orchidaceae オドントグロッサム

(<i>Odontoglossum</i>) <i>Odontoglossum</i> spp. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo <i>Orchid fleck dichorhavirus</i> (OFV) ランえそ斑紋ウイルス [<i>Orchid fleck virus</i> (OFV)] 張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976 (注) 病原学名変更	(<i>Odontoglossum</i>) <i>Odontoglossum</i> spp. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Orchid fleck virus (OFV) ランえそ斑紋ウイルス 張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976
ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シンビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo <i>Orchid fleck dichorhavirus</i> (OFV) ランえそ斑紋ウイルス [<i>Orchid fleck virus</i> (OFV)] 張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976 ; 近藤秀樹ら:岡大資生研報 3(2):151, 1995 (注) 病原学名変更	ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シンビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp. (草花) えそ斑紋病 eso-hammon-byo Orchid fleck virus (OFV) ランえそ斑紋ウイルス 張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976 ; 近藤秀樹ら:岡大資生研報 3(2):151, 1995
ラン科 Orchidaceae デンドロビウム類 Dendrobium <i>Dendrobium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) セッコク Mohl's dendrobium <i>D. moniliforme</i> (L.) Swartz えそ斑紋病 eso-hammon-byo <i>Orchid fleck dichorhavirus</i> (OFV) ランえそ斑紋ウイルス [<i>Orchid fleck virus</i> (OFV)] 張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976 (注) 病原学名変更	ラン科 Orchidaceae デンドロビウム類 Dendrobium <i>Dendrobium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) セッコク Mohl's dendrobium <i>D. moniliforme</i> (L.) Swartz えそ斑紋病 eso-hammon-byo Orchid fleck virus (OFV) ランえそ斑紋ウイルス 張 茂雄ら:日植病報 42(2):156, 1976

2020年（令和2年）1月16日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2019年9月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名, 病原追加, 病名・学名変更, 文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤豊三

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

マタタビ科 Actinidiaceae タカサゴシラタマ (Saurauia) <i>Saurauia tristyla</i> DC. var. <i>oldhamii</i> (Hemsl.) Finet & Gagnep. (広葉樹) (注) 宿主学名修正	マタタビ科 Actinidiaceae タカサゴシラタマ (Saurania) <i>Saurania tristyla</i> var. <i>oldhami</i> (Hemsl.) Finet & Gagnep (広葉樹)
ウルシ科 Anacardiaceae ヌルデ(フシノキ)(白膠木, 五倍子樹) Japanese sumac, Chinese nutgalls <i>Rhus javanica</i> L. var. <i>chinensis</i> (Mill.) T. Yamaz. (広葉樹) (注) 宿主学名修正	ウルシ科 Anacardiaceae ヌルデ(フシノキ)(白膠木, 五倍子樹) Japanese sumac, Chinese nutgalls <i>Rhus javanica</i> L. var. <i>roxburg</i> (DC.) Rehder & Wils. (広葉樹)
キョウチクトウ科 Apocynaceae カリッサ Christ's thorn <i>Carissa carandas</i> L. (広葉樹) (注) 宿主学名修正	キョウチクトウ科 Apocynaceae カリッサ Christ's thorn <i>Carissa carandua</i> L. (広葉樹)

キョウチクトウ科 Apocynaceae サンユウカ Adam's apple <i>Tabernaemontana divaricata</i> (L.) R.Br. ex Roem. & Schult. [<i>Ervatamia coronaria</i> Stapf] (広葉樹) (注) 宿主学名修正	キョウチクトウ科 Apocynaceae サンユウカ Adam's apple <i>Tabernaemontana coronaria</i> Willd. [<i>Ervatamia coronata</i> Rapf] (広葉樹)
--	--

ヤシ科 Arecaceae, Palmae トウ(籐) Rattan <i>Calamus formosanus</i> Becc. (広葉樹) (注) 宿主学名修正	ヤシ科 Arecaceae, Palmae トウ(籐) Rattan <i>Calamus formosana</i> Becc. (広葉樹)
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ヤマジノギク(アレチノギク) <i>Aster hispidus</i> Thunb. var. <i>hispidus</i> (草花) (注) 宿主学名修正	キク科 Asteraceae, Compositae ヤマジノギク(アレチノギク) <i>Aster hispidus</i> L. (草花)
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae アザミ類 (Cirsium) <i>Cirsium</i> spp. (野草) エゾヤマアザミ <i>Cirsium albrechtii</i> (Maxim.) Kudô マルバヒレアザミ <i>Cirsium grayanum</i> (Maxim.) Nakai ミネアザミ <i>Cirsium inundatum</i> Makino var.	キク科 Asteraceae, Compositae アザミ類 (Cirsium) <i>Cirsium</i> spp. (野草) エゾヤマアザミ <i>Cirsium albrechtii</i> (Maxim.) Kudô マルバヒレアザミ <i>Cirsium grayanum</i> (Maxim.) Nakai ミネアザミ <i>Cirsium inundatum</i> Makino var.
---	---

<i>alpicola</i> (Nakai) Ohwi ノアザミ(ドイツアザミ) <i>Cirsium japonicum</i> DC. カガノアザミ <i>Cirsium kagamontanum</i> Nakai チシマアザミ(エゾアザミ) <i>Cirsium kamtschaticum</i> Ledeb. ex DC. ナンブアザミ <i>Cirsium makinoi</i> Kadota トネアザミ(タイアザミ) <i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam. ex Ohwi ノハラアザミ <i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. & Sav.) Matsum. タカアザミ <i>Cirsium pendulum</i> Fisch. ex DC. ヤチアザミ <i>Cirsium shinanense</i> Shimizu ホソエノアザミ <i>Cirsium tenuipedunculatum</i> Kadota サワアザミ <i>Cirsium yezoense</i> (Maxim.) Makino (注) 宿主学名修正	<i>alpicolum</i> (Nakai) Ohwi ノアザミ(ドイツアザミ) <i>Cirsium japonicum</i> DC. カガノアザミ <i>Cirsium kagamontanum</i> Nakai チシマアザミ(エゾアザミ) <i>Cirsium kamtschaticum</i> Ledeb. ex DC. ナンブアザミ <i>Cirsium makinoi</i> Kadota トネアザミ(タイアザミ) <i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam. ex Ohwi ノハラアザミ <i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. & Sav.) Matsum. タカアザミ <i>Cirsium pendulum</i> Fisch. ex DC. ヤチアザミ <i>Cirsium shinanense</i> Shimizu ホソエノアザミ <i>Cirsium tenuipedunculatum</i> Kadota サワアザミ <i>Cirsium yezoense</i> (Maxim.) Makino
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) <i>Cosmos</i> <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. (注) 宿主学名修正	キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) <i>Cosmos</i> <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav.
---	--

ノウゼンカズラ科 Bignoniaceae パウダルコ(紫イペ) Pau d'arco <i>Tabebuia avellanedae</i> Lorentz (広葉樹) (注) 宿主学名修正	ノウゼンカズラ科 Bignoniaceae ラパチョ(イペーロッショ) Lapacho <i>Tabebuia avellanedae</i> Lorenz (広葉樹)
--	---

スイカズラ科 Caprifoliaceae シンフォリカルポス Snowberry <i>Symphoricarpos albus</i> (L.) S. F. Blake (広葉樹) (注) 宿主英名追加	スイカズラ科 Caprifoliaceae シンフォリカルポス <i>Symphoricarpos albus</i> (L.) S. F. Blake (広葉樹)
---	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae ヨウサイ(アサガオナ, エンサイ, 甕菜) Water convolvulus <i>Ipomoea aquatica</i> Forssk. (野菜) (注) 宿主英名・学名修正。学名の「s」は重ねなくても間違いではないが、省略のピリオドは必要。	ヒルガオ科 Convolvulaceae ヨウサイ(アサガオナ, エンサイ, 甕菜) Water convolvulus <i>Ipomoea aquatica</i> Forsk (野菜)
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae スイートクローバ Sweet clover <i>Melilotus</i> spp. (牧草・芝草) ホワイトスイートクローバ(シロバナシナガワハギ, コゴメハギ) White sweet clover <i>Melilotus alba</i> Medik. イエロースイートクローバ Yellow sweet clover	マメ科 Fabaceae, Leguminosae スイートクローバ Sweet clover <i>Melilotus</i> spp. (牧草・芝草) ホワイトスイートクローバ(シロバナシナガワハギ, コゴメハギ) White sweet clover <i>Melilotus alfa</i> Medik. イエロースイートクローバ Yellow sweet clover
---	---

<i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pallas (注) 宿主学名修正	<i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pallas
---	---

アカネ科 Rubiaceae シラタマカズラ (<i>Psychotria</i>) <i>Psychotria serpens</i> L. (広葉樹) (注) ツツジ科からアカネ科に修正。星形すす病の文献に<i>Psychotria serpens</i> で掲載されている(山口大学農学部学術報告26号の87ページ)	ツツジ科 Ericaceae シラタマカズラ (<i>Gaultheria</i>) <i>Gaultheria serpens</i> L. (広葉樹)
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae クパン Kupang <i>Parkia roxburghii</i> G. Don (広葉樹) (注) 宿主学名修正。「†黒やに病」の文献(日菌報20(3)の307ページ)にある同学名も誤りの可能性あり。	マメ科 Fabaceae, Leguminosae クパン Kupang <i>Parkia roxburghii</i> G. Don (広葉樹)
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae リボングラス(オオカニツリ) Ribbon-grass <i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) P. Beauv. ex J. & C. Presl (草花) (注) 宿主学名修正	イネ科 Gramineae, Poaceae リボングラス(オオカニツリ) Ribbon-grass <i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Persl. (草花)
---	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango
--	--

<i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot (1) <i>Diaporthe pseudophoenicicola</i> R.R. Gomes, Glienke & Crous 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 (2) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc [<i>Lasiodiplodia theobromae</i> sensu stricto] 澤峠哲也ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):15, 2013 (3) <i>Lasiodiplodia</i> spp. 服部友香子ら:日植病報 85(3):226, 2019 [備考] 宮古島産およびフィリピン産マンゴーから<i>Lasiodiplodia</i>属の複数の未知種を検出した。接種試験未了 (4) <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 ; 澤峠哲也ら:日植病報 83(2):102, 2017 (5) <i>Neofusicoccum</i> sp. 北沢優悟ら:日植病報 82(3):218, 2016 ; Hara, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(6):314, 2016 [備考] <i>Neofusicoccum</i> sp. Karanda に近縁。フィリピン産輸入果実に発生 (注) 病原追加	<i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot (1) <i>Diaporthe pseudophoenicicola</i> R.R. Gomes, Glienke & Crous 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 (2) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc [<i>Lasiodiplodia theobromae</i> sensu stricto] 澤峠哲也ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):15, 2013 (3) <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 ; 澤峠哲也ら:日植病報 83(2):102, 2017 (4) <i>Neofusicoccum</i> sp. 北沢優悟ら:日植病報 82(3):218, 2016 ; Hara, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(6):314, 2016 [備考] <i>Neofusicoccum</i> sp. Karanda に近縁。フィリピン産輸入果実に発生
---	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Pyrrhoderma noxium</i> (Corner) L.W. Zhou & Y.C. Dai	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 南根腐病 minami-negusare-byo Brown root rot <i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham
---	--

[<i>Phellinus noxius</i> (Corner) G. Cunningham] シマサルノコシカケ (キコロシサルノコシカケ) Sahashi, N. <i>et al.</i>:Australas. Plant Dis. Notes 10:33, 2015 ; 野口亜衣ら:日植病報 85(3):225, 2019 (注)病原学名変更、備考削除	シマサルノコシカケ (キコロシサルノコシカケ) Sahashi, N. <i>et al.</i>:Australas. Plant Dis. Notes 10:33, 2015 [備考] 接種試験未了
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) 立枯病 tachigare-byo Root and basal rot <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 椎葉駿輔ら:日植病報 85(3):224, 2019 [備考] 狭義の <i>F. solani</i> および <i>F. falciforme</i> の近縁種 (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物)
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Plasmopara</i> sp. 栢森美如ら:日植病報 85(3):256, 2019 (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物)
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae
----------------------------	----------------------------

アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) †††† <i>Carrot torradovirus 1</i> (CaTV1) 徳田遼佑ら:日植病報 85(3):257, 2019 [備考] 輪紋症状。戻し接種なし (注) 新宿主	アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜)
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) 根腐病 negusare-byo Fusarium root rot <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 椎葉駿輔ら:日植病報 85(3):224, 2019 [備考] 狭義の<i>F. solani</i> (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物)
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Plasmopara</i> sp. 栢森美如ら:日植病報 85(3):256, 2019 (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物)
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物) †††† Cnidium virus X (CnVX) センキュウウイルスX 本間大士ら:日植病報 85(3):278, 2019 ; Honma, H. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 164 (7):1931, 2019 [備考] RT-PCRにより全塩基配列を解析して同 定。モザイク症状。戻し接種なし (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物)
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae フェンネル(ウイキョウ) Fennel <i>Foeniculum vulgare</i> Mill. (特用作物) スイートフェンネル Sweet fennel <i>Foeniculum vulgare</i> var. <i>dulce</i> (Mill.) Batt. & Trab. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 竹内 純ら:日植病報 71(1):33, 2005 [備考] スイートフェンネルに発生。 <i>Pseudoidium</i> 亜属 (注) 宿主学名の位置にある宿主英名に合う宿主 名追加、備考変更	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae フェンネル(ウイキョウ) Fennel <i>Foeniculum vulgare</i> P. Mill. Sweet fennel (特用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 竹内 純ら:日植病報 71(1):33, 2005 [備考] <i>Pseudoidium</i> 亜属
--	---

サトイモ科 Araceae コンニャク(蒟蒻) Konnyaku, Elephant foot <i>Amorphophallus konjac</i> Koch (特用作物)	サトイモ科 Araceae コンニャク(蒟蒻) Konnyaku, Elephant foot <i>Amorphophallus konjac</i> Koch (特用作物)
---	---

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 古澤安紀子ら:日植病報 85(3):256, 2019 (2) <i>Gloeosporium conjac</i> Hara 原 攝祐:実用作物病理学:204, 1925(大14) (注) 病原追加	炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Gloeosporium conjac</i> Hara 原 攝祐:実用作物病理学:204, 1925(大14)
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae カッコウアザミ(アゲラタム) Mexican ageratum <i>Ageratum conyzoides</i> L. (草花) 青枯病 aogare-byo Bacterial wilt <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 河野伸二ら:日植病報 85(3):258, 2019 (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae カッコウアザミ(アゲラタム) Mexican ageratum <i>Ageratum conyzoides</i> L. (草花)
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae アスター(エゾギク, 翠菊) China aster <i>Callistephus chinensis</i> (L.) Nees (草花) リゾクトニア立枯病 <i>Rhizoctonia</i> -tachigare-byo Rhizoctonia stem and root rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 伊藤陽子ら:日植病報 72(4):204, 2006 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] 伊藤ら(2006)の病原AG-2-2 培養型 IIIBを Misawa & Kurose(2019)がAG-4 HG-Iと再同定した	キク科 Asteraceae, Compositae アスター(エゾギク, 翠菊) China aster <i>Callistephus chinensis</i> (L.) Nees (草花) リゾクトニア立枯病 <i>Rhizoctonia</i> -tachigare-byo Rhizoctonia stem and root rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 伊藤陽子ら:日植病報 72(4):204, 2006 [備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB
---	--

(注) 備考変更	
----------	--

キク科 Asteraceae, Compositae シュンギク(キクナ, 茼蒿) Garland chrysanthemum <i>Chrysanthemum coronarium</i> L. var. <i>spatiosum</i> L. H. Bailey (野菜) 根頭がんしゅ病 koto-ganshu-byo Crown gall <i>Rhizobium radiobacter</i> (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) 矢尾幸世ら:日植病報 85(3):306, 2019 (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae シュンギク(キクナ, 茼蒿) Garland chrysanthemum <i>Chrysanthemum coronarium</i> L. var. <i>spatiosum</i> L. H. Bailey (野菜)
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 黒根病 kurone-byo Black root rot <i>Berkeleyomyces rouxiae</i> W.J. Nel, Z.W. de Beer, T.A. Duong & M.J. Wingfield [<i>Thielaviopsis basicola</i> (Berkeley & Broome) Ferraris]	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 黒根病 kurone-byo Black root rot <i>Thielaviopsis basicola</i> (Berkeley & Broome) Ferraris 中根 麗ら:日植病報 84(3):207, 2018
---	---

中根 麗ら:日植病報 84(3):207, 2018 ; 三木静恵 ら:日植病報 84(3):207, 2018 ; 中根 麗ら:植物防 疫 73(7):425, 2019 ; 中根 麗ら:日植病報 85(3):253, 2019 ; Nakane, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(6):436, 2019 (注) 病原学名変更, 文献追加	
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium megalacanthum</i> de Bary 窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 63(3):203, 1997 ; 窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 64(4):323, 1998 (2) <i>Pythium zingiberis</i> M. Takahashi 窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 42:52, 2000 (3) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 岸 國平:野菜の病害虫:252, 1976 ; 佐山 玲:北日本 病虫研報 51:54, 2000 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] 岸(1976)の病原は菌糸融合群 AG-4 培養 型 IIIA, 佐山(2000)はAG-2-2 培養型 IIIB, Misawa & Kurose(2019)はAG-4 HG-I (注) 備考変更	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (株腐れ) (1) <i>Pythium megalacanthum</i> de Bary 窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 63(3):203, 1997 ; 窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 64(4):323, 1998 (2) <i>Pythium zingiberis</i> M. Takahashi 窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 42:52, 2000 (3) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 向 秀夫ら:日植病報 41(1):82, 1975 ; 岸 國平:野 菜の病害虫:252, 1976 ; 佐山 玲:北日本病虫研報 51:54, 2000 [備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.)
--	--

L.) (野菜) 株腐病 kabugusare-byo Head rot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn] 向 秀夫ら:日植病報 41(1):82, 1975 ; 星 秀男ら:日植病報 61(3):218, 1995 ; 星 秀男ら:東京農試研報 27:17, 1997 ; 三澤知央・青木元彦:日植病報 83(1):71, 2017 ; Misawa, T. & Aoki, M.:New Dis. Rep. 36:12, 2017 [備考] 向ら(1975)と星ら(1995)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, 星ら(1997)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II, 三澤・青木(2017)と Misawa & Aoki (2017)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IC (注) 病原学名命名者名修正	(野菜) 株腐病 kabugusare-byo Head rot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn] 星 秀男ら:日植病報 61(3):218, 1995 ; 星 秀男ら:東京農試研報 27:17, 1997 ; 三澤知央・青木元彦:日植病報 83(1):71, 2017 ; Misawa, T. & Aoki, M.:New Dis. Rep. 36:12, 2017 [備考] 星ら(1995)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, 星ら(1997)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型 IIを報告した。三澤・青木(2017)と Misawa & Aoki (2017)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IC
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae タイサイ類(パクチョイ, シャクシナ, チンゲンサイ) Pak choi, Chinese mustard <i>Brassica rapa</i> L. Chinensis Group (野菜) 萎黄病 io-byo Yellows <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> Enya, Togawa, T. Takeuchi & Arie [<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 竹内妙子・香川晴彦:日植病報 60(6):748, 1994 ; Enya, J. <i>et al.</i>:Phytopathology 98:475, 2008 [備考] パクチョイ・チンゲンサイに発生 (注) 病原学名命名者名修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae タイサイ類(パクチョイ, シャクシナ, チンゲンサイ) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Chinensis Group (野菜) 萎黄病 io-byo Yellows <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> J. Enya, M. Togawa, T. Takeuchi & T. Arie 竹内妙子・香川晴彦:日植病報 60(6):748, 1994 ; Enya, J. <i>et al.</i>:Phytopathology 98:475, 2008 [備考] パクチョイ・チンゲンサイ (<i>B. rapa</i> Chinensis Group)
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 金田真人ら:日植病報 78(3):186, 2012 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 金田真人ら:日植病報 78(3):186, 2012 (3) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> Enya, Togawa, T. Takeuchi & Arie 田中弘毅ら:関東病虫研報 65:146, 2018 (注) 病原追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 金田真人ら:日植病報 78(3):186, 2012
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Hyaloperonospora brassicae</i> (Gäumann) Göker, Voglmayr, Riethmüller, Weiss & Oberwinkler 山内智史・吉田重信:日植病報 85(3):258, 2019 (注) 新病名	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜)
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(臺菜) Spinach mustard, Tendergreen mustard <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(臺菜) Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜)
--	---

萎黄病 io-byo Yellows <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> Enya, Togawa, T. Takeuchi & Arie [<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 阿部善三郎・堀江博道:日植病報 54(3):352, 1988 ; 阿部善三郎・堀江博道:東京農試研報 26:23, 1995 ; Enya, J. <i>et al.</i>:Phytopathology 98:475, 2008 [備考] コマツナに発生 (注) 病原学名命名者名修正	萎黄病 io-byo Yellows <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> J. Enya, M. Togawa, T. Takeuchi & T. Arie [<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 阿部善三郎・堀江博道:日植病報 54(3):352, 1988 ; 阿部善三郎・堀江博道:東京農試研報 26:23, 1995 ; Enya, J. <i>et al.</i>:Phytopathology 98:475, 2008 [備考] コマツナに発生
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カブ(蕪菁) Turnip <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot <i>Pseudomonas grimontii</i> Baida, Yazourh, Singer & Izard 2002 [<i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925] 堀田治邦ら:日植病報 80(1):57, 2014 ; 澤田宏之ら:日植病報 85(3):305, 2019 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(6):413, 2019 [備考] 澤田ら(2019) およびSawada <i>et al.</i>(2019)は病原を<i>P. grimontii</i>と再同定した (注) 病原学名変更、備考追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カブ(蕪菁) Turnip <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 堀田治邦ら:日植病報 80(1):57, 2014
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カブ(蕪菁) Turnip <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group (野菜)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カブ(蕪菁) Turnip <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group (野菜)
---	---

萎黄病 io-byo Yellows (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> Enya, Togawa, T. Takeuchi & Arie [<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 竹内妙子・香川晴彦:日植病報 60(6):748, 1994 ; Enya, J. <i>et al.</i>:Phytopathology 98:475, 2008 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>raphani</i> J.B. Kendrick & W.C. Snyder 萩原 廣・竹内昭士郎:野菜試報A 6:161, 1979 (注) 病原学名命名者名修正。病原(2)と同じ学名のダイコン萎黄病の病原学名も同様に修正。	萎黄病 io-byo Yellows (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> J. Enya, M. Togawa, T. Takeuchi & T. Arie [<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 竹内妙子・香川晴彦:日植病報 60(6):748, 1994 ; Enya, J. <i>et al.</i>:Phytopathology 98:475, 2008 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>raphani</i> W.B. Kendrick & W.C. Snyder 萩原 廣・竹内昭士郎:野菜試報A 6:161, 1979
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キサラギナ(ターサイ) Broad-beaked mustard <i>Brassica rapa</i> L. Narinosa Group (野菜) 萎黄病 io-byo Yellows <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> Enya, Togawa, T. Takeuchi & Arie 竹内妙子・香川晴彦:日植病報 60(6):748, 1994 ; 外側正之:日植病報 72(4):205, 2006 ; Enya, J. <i>et al.</i>:Phytopathology 98:475, 2008 [備考] ターサイに発生 (注) 病原学名命名者名修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キサラギナ(ターサイ) Broad-beaked mustard <i>Brassica rapa</i> var. <i>rosularis</i> (野菜) 萎黄病 io-byo Yellows <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> J. Enya, M. Togawa, T. Takeuchi & T. Arie 竹内妙子・香川晴彦:日植病報 60(6):748, 1994 ; 外側正之:日植病報 72(4):205, 2006 ; Enya, J. <i>et al.</i>:Phytopathology 98:475, 2008 [備考] ターサイに発生
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ルッコラ Arugula, Garden rocket, Rocket-salad <i>Eruca vesicaria</i> ssp. <i>sativa</i> (野菜)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ルッコラ Arugula, Garden rocket, Rocket-salad <i>Eruca vesicaria</i> ssp. <i>sativa</i> (野菜)
--	--

立枯病 tachigare-byo Stem and root rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:65, 2006 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] 竹内・堀江(2006)の病原は, 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA。Misawa & Kurose(2019)の病 原は, AG-4 HG-I (注) 備考変更	立枯病 tachigare-byo Stem and root rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:65, 2006 [備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ワサビ(山葵) Wasabi <i>Wasabia japonica</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora drechsleri</i> Tucker 簗島綾華ら:日植病報 82(1):27, 2016 ; Minoshima, A. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(2):113, 2017 (2) <i>Phytophthora pseudocryptogea</i> Safaiefarahani, Mostowfizadeh-Ghahamfarsa, G.E. Hardy & T.I. Burgess 小暮璃沙ら:日植病報 85(3):257, 2019 (注) 病原追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ワサビ(山葵) Wasabi <i>Eutrema japonica</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora drechsleri</i> Tucker 簗島綾華ら:日植病報 82(1):27, 2016 ; Minoshima, A. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(2):113, 2017
--	--

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Aphanomyces cochlioides</i> Drechsler 石塚喜一:札幌農林会報 27(130):484, 1936(昭 11)	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>saccharifera</i> Alef. (特用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Aphanomyces cochlioides</i> Drechsler 石塚喜一:札幌農林会報 27(130):484, 1936(昭 11)
---	---

(2) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove 遠藤利光・佐々木正人:日植病報 48(3):363, 1982 (3) <i>Fusarium</i> sp. 宇井格生・中村重治:甜菜研究会研報 3:78, 1963 (4) <i>Phoma betae</i> A.B. Frank 成田武四:日植病報 10(4):341, 1941(昭 16) (5) <i>Pythium debaryanum</i> R. Hesse 成田武四:日植病報 10(4):341, 1941(昭 16) (6) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 三澤知央・高濱雅幹:日植病報 79(1):63, 2013 [備考] 本病罹病テンサイからは上記のほか次の <i>Pythium</i> 属 菌 が 分 離 さ れ て い る 。 <i>P.</i> <i>aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick, <i>P. spinosum</i> Sawada, <i>P. betae</i> Takahashi, <i>Pythium</i> spp. (高橋 實ら: 日植病報 38:306, 1972) (7) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 成田武四:日植病報 10(4):341, 1941(昭 16) ; 関口博 之ら:日植病報 80(4):239, 2014 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] 異名はイネ紋枯病参照。関口ら(2014)の病 原は, Misawa & Kurose (2019)により菌糸融合群 AG-4 HG-IIIと 同 定 さ れ た (注) 備考追加	(2) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove 遠藤利光・佐々木正人:日植病報 48(3):363, 1982 (3) <i>Fusarium</i> sp. 宇井格生・中村重治:甜菜研究会研報 3:78, 1963 (4) <i>Phoma betae</i> A.B. Frank 成田武四:日植病報 10(4):341, 1941(昭 16) (5) <i>Pythium debaryanum</i> R. Hesse 成田武四:日植病報 10(4):341, 1941(昭 16) (6) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 三澤知央・高濱雅幹:日植病報 79(1):63, 2013 [備考] 本病罹病テンサイからは上記のほか次の <i>Pythium</i> 属 菌 が 分 離 さ れ て い る 。 <i>P.</i> <i>aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick, <i>P. spinosum</i> Sawada, <i>P. betae</i> Takahashi, <i>Pythium</i> spp. (高橋 實ら: 日植病報 38:306, 1972) (7) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 成田武四:日植病報 10(4):341, 1941(昭 16) ; 関口博 之ら:日植病報 80(4):239, 2014 [備考] 異名はイネ紋枯病参照。関口ら(2014)の菌 は,菌糸融合群 AG-4
---	--

アカザ科 Chenopodiaceae ハウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 河合一郎:園芸病害編:272, 1954 ; 奥田純一郎・古 田 力:日植病報 29(2):89, 1964 ; Naiki, T. & Kanoh, M.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 44(5):554, 1978 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 67:94, 2016 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。Naiki,	アカザ科 Chenopodiaceae ハウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 河合一郎:園芸病害編:272, 1954 ; 奥田純一郎・古 田 力:日植病報 29(2):89, 1964 ; Naiki, T. & Kanoh, M.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 44(5):554, 1978 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 67:94, 2016 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。Naiki,
---	---

T. & Kanoh(1978)の病原は, 菌糸融合群 AG-1, 2-1, 2-2, 4, 三澤ら(2016)の病原は, 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, AG-4 HG-I, Misawa & Kurose (2019) の病原は, AG-4 HG-III (注) 備考変更	T. & Kanoh(1978)の病原は, 菌糸融合群 AG-1, 2-1, 2-2, 4, 三澤ら(2016)の病原は, 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, AG-4 HG-I
--	---

アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) 立枯病 tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick [<i>Pythium butleri</i> Subramaniam] 草刈眞一ら:日植病報 45(2):268, 1979 ; 小嶋博文ら:関西病虫研報 21:46, 1979; 内記 隆:土と微生物 25:9, 1983 ; 内記 隆ら:日植病報 52(5):772, 1986 (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 東條元昭ら:関西病虫研報 37:43, 1995 [備考] group F に属する <i>Pythium</i> も同様の症状を起こす (3) <i>Pythium paroecandrum</i> Drechsler 内記 隆:土と微生物 25:9, 1983; 内記 隆ら:日植病報 52(5):772, 1986 (4) <i>Pythium</i> sp. 増中 章ら:日植病報 85(3):226, 2019 (5) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 一谷多喜郎・福西 務:関西病虫研報 21:44, 1979 [備考] 河合 一郎 (園芸病害編:271, 1954) は <i>Pythium</i> sp. を病原として立枯病を最初に記載した (注) 病原追加	アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) 立枯病 tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick [<i>Pythium butleri</i> Subramaniam] 草刈眞一ら:日植病報 45(2):268, 1979 ; 小嶋博文ら:関西病虫研報 21:46, 1979; 内記 隆:土と微生物 25:9, 1983 ; 内記 隆ら:日植病報 52(5):772, 1986 (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 東條元昭ら:関西病虫研報 37:43, 1995 [備考] group F に属する <i>Pythium</i> も同様の症状を起こす (3) <i>Pythium paroecandrum</i> Drechsler 内記 隆:土と微生物 25:9, 1983; 内記 隆ら:日植病報 52(5):772, 1986 (4) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 一谷多喜郎・福西 務:関西病虫研報 21:44, 1979 [備考] 河合 一郎 (園芸病害編:271, 1954) は <i>Pythium</i> sp. を病原として立枯病を最初に記載した
---	---

センリョウ科 Chloranthaceae センリョウ(千両) (Chloranthus) <i>Sarcandra glabra</i> (Thunb.) Nakai	センリョウ科 Chloranthaceae センリョウ(千両) (Chloranthus) <i>Sarcandra glaber</i> (Thunb.) Nakai
--	--

(広葉樹) 根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ 安田智昭ら:日植病報 85(3):256, 2019 (注) 新病名	(広葉樹)
---	--------------

ツユクサ科 Commelinaceae ツユクサ類 (Commelina) <i>Commelina</i> spp. (野草) マルバツユクサ <i>Commelina benghalensis</i> L. ツユクサ <i>Commelina communis</i> L. 白斑病 hakuhan-byo Leaf blight <i>Kordyana</i> sp. 柴田紗帆ら:日植病報 85(3):229, 2019 [備考] ツユクサに発生。接種試験未了 (注) 新病名	ツユクサ科 Commelinaceae ツユクサ類 (Commelina) <i>Commelina</i> spp. (野草) マルバツユクサ <i>Commelina benghalensis</i> L. ツユクサ <i>Commelina communis</i> L.
--	--

オオホザキアヤメ科 Costaceae スパイラルジンジャー Spiral ginger <i>Costus barbatus</i> Suess. (草花) 青枯病 aogare-byo Bacterial wilt <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 河野伸二ら:日植病報 85(3):258, 2019 [備考] 接種試験未了 (注) 新規科の新規宿主	
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae トウガン(カモウリ, トウガ, 冬瓜) Wax gourd, White gourd <i>Benincasa hispida</i> (Thunb.) Cogn. (野菜) 白斑病 hakuhan-byo Plectosporium blight <i>Plectosphaerella cucumerina</i> (Lindfors) W. Gams 宮田穂波ら:日植病報 85(3):228, 2019 (注) 新病名	ウリ科 Cucurbitaceae トウガン(カモウリ, トウガ, 冬瓜) Wax gourd, White gourd <i>Benincasa cerifera</i> Savi (野菜)
--	---

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt (1) <i>Melon yellow spot orthotospovirus</i> (MYSV) [Melon yellow spot virus (MYSV), Melon spotted wilt virus#] メロン黄化えそウイルス 竹内繁治ら:日植病報 62(3):325, 1996 ; 竹内繁治ら:日植病報 67(1):46, 2001 (2) <i>Watermelon silver mottle tospovirus</i> (WSMoV) [<i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV)] スイカ灰白色斑紋ウイルス 外間数男・渡嘉敷唯助:九病虫研会報 33:39, 1987 ; 外間数男・Mondal, S.N.:九病虫研会報 34:21, 1988 ; 眞岡哲夫・宇杉富雄:九病虫研会報 37:42, 1991 ; 島田涼子ら:日植病報 84(3):199, 2018 ; 島田涼子ら:日植病報 85(2):108, 2019 [備考] 以前は, <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) として報告された。島田ら(2018)は病原ウイルスの単離と戻し接種を行い, 病原性を確認し, 黄化えそ病と病名を再提案した。島田ら(2019)は果実	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt (1) <i>Melon yellow spot orthotospovirus</i> (MYSV) [Melon yellow spot virus (MYSV), Melon spotted wilt virus#] 竹内繁治ら:日植病報 62(3):325, 1996 ; 竹内繁治ら:日植病報 67(1):46, 2001 (2) <i>Watermelon silver mottle tospovirus</i> (WSMoV) [<i>Watermelon silver mottle virus</i> (WSMoV)] 外間数男・渡嘉敷唯助:九病虫研会報 33:39, 1987 ; 外間数男・Mondal, S.N.:九病虫研会報 34:21, 1988 ; 眞岡哲夫・宇杉富雄:九病虫研会報 37:42, 1991 ; 島田涼子ら:日植病報 84(3):199, 2018 [備考] 以前は, <i>Tomato spotted wilt virus</i> (TSWV) として報告された。島田ら(2018)は病原ウイルスの単離と戻し接種を行い, 病原性を確認し, 黄化えそ病と病名を再提案した
--	---

の奇形の病徴を報告した (注) 備考追加、文献著者名訂正	
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>C. ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>C. maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>C. maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>C. moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>C. pepo</i> Linn. 白斑病 hakuhan-byo Plectosporium blight (1) <i>Plectosphaerella sinensis</i> Lei Su & Y.C. Niu 宮田穂波ら:日植病報 85(3):228, 2019 [備考] ニホンカボチャに発生 (2) <i>Plectosporium tabacinum</i> (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg 稲葉忠興ら:日植病報 52(3):521, 1986 ; 松田鋤男ら:日植病報 52(3):533, 1986 ; 佐藤豊三ら:日植病報 66(2):91, 2000 ; Sato, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):127, 2005 [備考] 稲葉ら(1986)が報告した <i>Cephalosporiopsis cucurbitae</i> Hamaya & Inabaは無効名。ザッシュカボチャに発生 (注) 病原追加	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. 白斑病 hakuhan-byo Plectosporium blight <i>Plectosporium tabacinum</i> (J.F.H. Beyma) M.E. Palm, W. Gams & Nirenberg 稲葉忠興ら:日植病報 52(3):521, 1986 ; 松田鋤男ら:日植病報 52(3):533, 1986 ; 佐藤豊三ら:日植病報 66(2):91, 2000 ; Sato, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(2):127, 2005 [備考] 稲葉ら(1986)が報告した <i>Cephalosporiopsis cucurbitae</i> Hamaya & Inaba, nomen invalidum の再同定。ザッシュカボチャに発生
--	---

ウリ科 Cucurbitaceae スズメウリ類 (Melothria) <i>Melothria</i> spp. (野草) スズメウリ <i>Melothria japonica</i> (Thunb.) Maxim. ex Cogn. クロミ ノ オキナワスズメウリ <i>Melothria</i> <i>liukuensis</i> Nakai 斑紋病 hammon-byo Mottle Melothria mottle virus# (MeMoV) スズメウリ斑 紋ウイルス 与那覇哲義ら:日植病報 59(1):52, 1993 [備考] クロミ ノ オキナワスズメウリ (注) 宿主和名訂正	ウリ科 Cucurbitaceae スズメウリ類 (Melothria) <i>Melothria</i> spp. (野草) スズメウリ <i>Melothria japonica</i> (Thunb.) Maxim. ex Cogn. クロミ オキナワスズメウリ <i>Melothria</i> <i>liukuensis</i> Nakai 斑紋病 hammon-byo Mottle Melothria mottle virus# (MeMoV) 与那覇哲義ら:日植病報 59(1):52, 1993 [備考] クロミ オキナワスズメウリ
--	---

ウリ科 Cucurbitaceae カラスウリ類 <i>Trichosanthes</i> spp. (野草) カラスウリ <i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim. 白斑病 hakuhan-byo Plectosporium blight <i>Plectosphaerella cucumerina</i> (Lindfors) W. Gams 宮田穂波ら:日植病報 85(3):228, 2019 (注) 新病名	ウリ科 Cucurbitaceae カラスウリ類 <i>Trichosanthes</i> spp. (野草) カラスウリ <i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim.
---	---

ヒノキ科 Cupressaceae ビャクシン(カイヅカイブキ) Chinese juniper <i>Juniperus chinensis</i> L.	ヒノキ科 Cupressaceae ビャクシン(カイヅカイブキ) Chinese juniper <i>Juniperus chinensis</i> L.
--	--

(針葉樹) くもの巣病 kumonosu-byo Web blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 小林享夫:新版緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:111, 1983 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] ハイビャクシン(<i>J. procumbens</i>)。本病菌の完全世代<i>Thanatephorus cucumeris</i> (Frank) Donkはビャクシン類の上では未記録。Misawa & Kurose(2019)の宿主は<i>Juniperus</i> sp., 病原は菌糸融合群 AG-R (注) 備考変更	(針葉樹) くもの巣病 kumonosu-byo Web blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 小林享夫:新版緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:111, 1983 [備考] ハイビャクシン(<i>J. procumbens</i>)。本病菌の完全世代<i>Thanatephorus cucumeris</i> (Frank) Donkはビャクシン類の上では未記録
--	---

カヤツリグサ科 Cyperaceae カヤツリグサ類 (Cyperus) <i>Cyperus</i> spp. (野草) シュロガヤツリ <i>Cyperus alternifolius</i> L. タマガヤツリ <i>Cyperus difformis</i> L. アゼガヤツリ <i>Cyperus globosus</i> All. ヌマガヤツリ <i>Cyperus glomeratus</i> L. カヤツリグサ <i>Cyperus microiria</i> Steud. ミズガヤツリ <i>Cyperus serotinus</i> Rottb. 灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo Gray leaf blight <i>Ascochyta papyricola</i> Tassi Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 [備考] シュロガヤツリ <i>C. alternifolius</i> L.に発生 (注) 宿主和名訂正。シロカヤツリグサとシュロガヤツリは別の植物。	カヤツリグサ科 Cyperaceae カヤツリグサ類 (Cyperus) <i>Cyperus</i> spp. (野草) シロカヤツリグサ <i>Cyperus alternifolius</i> L. タマガヤツリ <i>Cyperus difformis</i> L. アゼガヤツリ <i>Cyperus globosus</i> All. ヌマガヤツリ <i>Cyperus glomeratus</i> L. カヤツリグサ <i>Cyperus microiria</i> Steud. ミズガヤツリ <i>Cyperus serotinus</i> Rottb. 灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo Gray leaf blight <i>Ascochyta papyricola</i> Tassi Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 [備考] シロカヤツリグサ <i>C. alternifolius</i> L.に発生
--	---

ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) 平もち病 hiramochi-byo Exobasidium leaf blister (1) <i>Exobasidium butleri</i> Sydow & P. Sydow 澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):98, 1950 [備考] バイカツツジ(<i>R. semibarbatum</i>)に発生。調査を要する (2) <i>Exobasidium dubium</i> Raciborski [<i>Exobasidium magnusii</i> Woronichin] 澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):99, 1950 ; Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 44(1):1, 2003 [備考] ヨドガワツツジ (<i>R. yedoense</i>)に発生 (3) <i>Exobasidium kawanense</i> Ezuka [<i>Exobasidium</i> sp.] 江塚昭典:日植病報 40(3):186, 1974 ; 江塚昭典:日菌報 31(4):452, 1990 [備考] モチツツジに発生 (4) <i>Exobasidium miyabei</i> Nagao, Akimoto & Kishi Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 44(1):1, 2003 [備考] エゾムラサキツツジ (<i>R. dauricum</i> L.) に発生 (5) <i>Exobasidium yoshinagae</i> Hennings (餅病) 吉永虎馬:植物学雑 16(179):2, 1902(明35) ; 江塚昭典:日植病報 40(2):147, 1974 ; 柴田紗帆ら:日植病報 85(3):229, 2019 [備考] ミツバツツジ (<i>R. dilatatum</i>)・キヨスミミツバツツジ (<i>R. kiyosumense</i>)・コバノミツバツツジ (<i>R. reticulatum</i>)・トウゴクミツバツツジ (<i>R. wadanum</i>)・タカクマミツバツツジ (<i>R. viscistylum</i>)・ウラジロミツバツツジ (<i>R. viscistylum</i> var. <i>glaucum</i>)・ツクシアカツツジ (<i>R. weyrichii</i>), ユキグニミツバツツジ(<i>R. lagopus</i> var. <i>niphophilum</i>)に発生。原記載の宿主は<i>R. tosaense</i>	ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) 平もち病 hiramochi-byo Exobasidium leaf blister (1) <i>Exobasidium butleri</i> Sydow & P. Sydow 澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):98, 1950 [備考] バイカツツジ(<i>R. semibarbatum</i>)に発生。調査を要する (2) <i>Exobasidium dubium</i> Raciborski [<i>Exobasidium magnusii</i> Woronichin] 澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):99, 1950 ; Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 44(1):1, 2003 [備考] ヨドガワツツジ (<i>R. yedoense</i>)に発生 (3) <i>Exobasidium kawanense</i> Ezuka [<i>Exobasidium</i> sp.] 江塚昭典:日植病報 40(3):186, 1974 ; 江塚昭典:日菌報 31(4):451, 1990 [備考] モチツツジに発生 (4) <i>Exobasidium miyabei</i> Nagao, Akimoto & Kishi Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 44(1):1, 2003 [備考] エゾムラサキツツジ (<i>R. dauricum</i> L.) に発生 (5) <i>Exobasidium yoshinagai</i> Hennings (餅病) 吉永虎馬:植物学雑 16(179):2, 1902(明35) ; 江塚昭典:日植病報 40(2):147, 1974 [備考] ミツバツツジ (<i>R. dilatatum</i>)・キヨスミミツバツツジ (<i>R. kiyosumense</i>)・コバノミツバツツジ (<i>R. reticulatum</i>)・トウゴクミツバツツジ (<i>R. wadanum</i>)・タカクマミツバツツジ (<i>R. viscistylum</i>)・ウラジロミツバツツジ (<i>R. viscistylum</i> var. <i>glaucum</i>)・ツクシアカツツジ (<i>R. weyrichii</i>)に発生。原記載の宿主は<i>R. tosaense</i> (フジツツジ) になっているが、同定に疑問がある
---	--

(フジツツジ) になっているが、同定に疑問がある (6) <i>Exobasidium</i> sp. 江塚昭典:日植病報 40(3):186, 1974 [備考] モチツツジに発生 (注) 備考変更、病原学名訂正	(6) <i>Exobasidium</i> sp. 江塚昭典:日植病報 40(3):186, 1974 [備考] モチツツジに発生
--	---

ツツジ科 Ericaceae スノキ類 (<i>Vaccinium</i>) <i>Vaccinium</i> spp. (広葉樹) 平もち病 hiramochi-byo Leaf blister (1) <i>Exobasidium bisporum</i> Sawada ex Ezuka 澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):97, 1950 ; 江塚昭典:日菌報 32(2):176, 1991 [備考] ナツハゼ (<i>V. oldhamii</i>)・クロウスゴ (<i>V. ovalifolium</i>)に発生 (2) <i>Exobasidium inconspicuum</i> Nagao & Ezuka [<i>Exobasidium</i> sp.] 江塚昭典:日菌報 32(2):172, 1991 ; Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 47(5):277, 2006 [備考] ウスノキ (<i>V. hirtum</i> var. <i>pubescens</i>) に発生 (3) <i>Exobasidium</i> sp. 柴田紗帆ら:日植病報 85(3):229, 2019 [備考] アクシバ (<i>V. japonicum</i>) に発生 (注) 病原追加	ツツジ科 Ericaceae スノキ類 (<i>Vaccinium</i>) <i>Vaccinium</i> spp. (広葉樹) 平もち病 hiramochi-byo Leaf blister (1) <i>Exobasidium bisporum</i> Sawada ex Ezuka 澤田兼吉:東北生物研究 1(3-4):97, 1950 ; 江塚昭典:日菌報 32(2):176, 1991 [備考] ナツハゼ (<i>V. oldhamii</i>)・クロウスゴ (<i>V. ovalifolium</i>)に発生 (2) <i>Exobasidium inconspicuum</i> Nagao & Ezuka [<i>Exobasidium</i> sp.] 江塚昭典:日菌報 32(2):176, 1991 ; Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 47(5):277, 2006 [備考] ウスノキ (<i>V. hirtum</i> var. <i>pubescens</i>) に発生
--	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae ポインセチア(ユーホルビア, ユーホルビア・フルゲンス) Poinsettia <i>Euphorbia</i> spp. (草花) ポインセチア <i>Euphorbia pulcherrima</i> Willd. てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom '<i>Candidatus Phytoplasma pruni</i>' Neriya, Y. <i>et al.</i>:FEMS Microbiology Letters 324:38, 2011 ; 煉谷裕太郎ら:日植病報 78(3):278, 2012 [備考] 罹病ポインセチアにファイトプラズマ特異的PCRを行い, 得られたPCR産物の塩基配列解析により種を同定した (注) 新病名	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ポインセチア(ユーホルビア, ユーホルビア・フルゲンス) Poinsettia <i>Euphorbia</i> spp. (草花) ポインセチア <i>Euphorbia puicherrima</i> Willd.
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ジャケツイバラ (<i>Caesalpinia</i>) <i>Caesalpinia japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) †黒いぼ病 kuroibo-byo (黒疣病) <i>Cladosporium caesalpiniae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):91, 1943(昭18) [備考] 台湾。ナンテンカズラ (<i>Caesalpinia nuga</i>) (注) 宿主学名訂正(備考にもあり)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ジャケツイバラ (<i>Caesalpina</i>) <i>Caesalpina japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) †黒いぼ病 kuroibo-byo (黒疣病) <i>Cladosporium caesalpiniae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):91, 1943(昭18) [備考] 台湾。ナンテンカズラ (<i>Caesalpina nuga</i>)
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr.	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr.
--	--

(食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 尤 暁東・東條元昭:日植病報 85(3):257, 2019 (2) <i>Pythium coloratum</i> Vaartaja 尤 暁東・東條元昭:日植病報 85(3):257, 2019 (3) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 尤 暁東・東條元昭:日植病報 85(3):257, 2019 (4) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 富岡啓介ら:日植病報 79(1):52, 2013 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):162, 2013 (5) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 児玉不二雄ら:日植病報 76(1):78, 2010 (6) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 児玉不二雄ら:日植病報 76(1):78, 2010 (注) 病原追加	(食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 富岡啓介ら:日植病報 79(1):52, 2013 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):162, 2013 (2) <i>Pythium spinosum</i> Sawada (3) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 児玉不二雄ら:日植病報 76(1):78, 2010
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Diaporthe</i> sp. 蓑島綾華ら:日植病報 85(3):227, 2019 [備考] ウラルカンゾウに発生 (注) 新病名	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae	マメ科 Fabaceae, Leguminosae
------------------------------	------------------------------

アルファルファ(ルーサン, ムラサキウマゴヤシ) Alfalfa, Lucerne <i>Medicago sativa</i> L. [<i>Medicago media</i> Persoon] (牧草・芝草) 葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (苗立枯病, くもの巣病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害I):14, 1961 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照。Misawa & Kurose(2019)の病原は, 菌糸融合群 AG-1 培養 型 IB (注) 備考変更	アルファルファ(ルーサン, ムラサキウマゴヤシ) Alfalfa, Lucerne <i>Medicago sativa</i> L. [<i>Medicago media</i> Persoon] (牧草・芝草) 葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (苗立枯病, くもの巣病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害I):14, 1961 [備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae その他のクローバ (Trifolium) <i>Trifolium</i> spp. (牧草・芝草) エジプトチアンクローバ, バーシム Egyptian clover, Berseem clover, Alexandrian clover <i>Trifolium alexandrinum</i> L. スモールホップクローバ(コメツブツメクサ) Small hop clover <i>Trifolium dubium</i> Sibth. ストロベリークローバ(ツメクサダマシ) Strawberry clover <i>Trifolium fragiferum</i> L. ローズクローバ(ビロードアカツメクサ) Rose clover <i>Trifolium hirtum</i> All. ペルシヤンクローバ(シャフタル, ヒナツメクサ) Persian clover, Reversed clover, shaftal clover <i>Trifolium resupinatum</i> L. 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root rot and	マメ科 Fabaceae, Leguminosae その他のクローバ (Trifolium) <i>Trifolium</i> spp. (牧草・芝草) エジプトチアンクローバ, バーシム Egyptian clover, Berseem clover, Alexandrian clover <i>Trifolium alexandrinum</i> L. スモールホップクローバ(コメツブツメクサ) Small hop clover <i>Trifolium dubium</i> Sibth. ストロベリークローバ(ツメクサダマシ) Strawberry clover <i>Trifolium fragiferum</i> L. ローズクローバ(ビロードアカツメクサ) Rose clover <i>Trifolium hirtum</i> All. ペルシヤンクローバ(シャットア, ヒナメツメク サ) Persian clover, Reversed clover <i>Trifolium</i> <i>resupinarum</i> L. 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia root rot and
--	---

crown rot, Clover rot <i>Sclerotinia trifoliorum</i> Eriksson 富永時任:農技研報C 25:197, 1971 [備考] スモールホップクローバ (イエローサックリングクローバ) に発生 (注) 宿主和名訂正(備考を合わせて3件)、宿主英名追加、宿主学名訂正	crown rot, Clover rot <i>Sclerotinia trifoliorum</i> Eriksson 富永時任:農技研報C 25:197, 1971 [備考] スモールホップクローバ (エローサックリングクローバ) に発生
---	---

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など †††† <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 佐々木厚子ら:日植病報 85(3):232, 2019 [備考] 品種ぼろたんの収穫直後の腐敗果から検出。接種試験未了 (注) 新宿主	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など
--	---

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea</i>	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea</i>
---	---

<i>mollissima</i> Blume など †††† <i>Phomopsis</i> spp. 佐々木厚子ら:日植病報 85(3):232, 2019 [備考] 品種ぼろたんの貯蔵果実の腐敗果から検出。接種試験未了 (注) 新宿主	<i>mollissima</i> Blume など
---	-----------------------------------

イイギリ科 Flacourtiaceae イイギリ(飯桐) <i>Flacourtia indica</i> <i>Idesia polycarpa</i> Maxim. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Melampsora idesiae</i> Miyabe ex Hiratsuka 出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):45, 1897(明30) ; 山岡裕一・岡根 泉:日菌報 60(1):15, 2019 [備考] 山岡・岡根(2019)は、本病菌の精子・さび胞子世代は、ムラサキケマンに生じると報告した (注) 備考追加	イイギリ科 Flacourtiaceae イイギリ(飯桐) <i>Flacourtia indica</i> <i>Idesia polycarpa</i> Maxim. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Melampsora idesiae</i> Miyabe ex Hiratsuka 出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):45, 1897(明30)
---	---

リンドウ科 Gentianaceae リンドウ <i>Gentian</i> <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) †††† <i>Chrysanthemum stem necrosis orthotospovirus</i> (CSNV) [<i>Chrysanthemum stem necrosis virus</i>	リンドウ科 Gentianaceae リンドウ <i>Gentian</i> <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花)
---	---

(CSNV)] キク茎えそウイルス キク茎えそウイルス 中村太紀:日植病報 85(3):280, 2019 [備考] 葉の退緑・えそ輪紋症状。戻し接種なし (注) 新宿主	
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae アブラススキ類 (Eccoilopus) <i>Eccoilopus</i> spp. (野草) アブラススキ <i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.) Camus さび病* sabi-byo Rust <i>Puccinia miyoshiana</i> Dietel Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:559, 1992 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 [備考] アブラススキ <i>E. cotulifer</i> に発生 (注) 宿主学名訂正(備考にもあり)	イネ科 Gramineae, Poaceae アブラススキ類 (Eccoilopus) <i>Eccoilopus</i> spp. (野草) アブラススキ <i>Eccoilopus citulifer</i> (Thunb.) Camus さび病* sabi-byo Rust <i>Puccinia miyoshiana</i> Dietel Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:559, 1992 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 [備考] アブラススキ <i>E. citulifer</i> に発生
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ラブグラス Lovegrass <i>Eragrostis</i> spp. (牧草・芝草) ウイーピングラブグラス(シナダレスズメガヤ) Weeping lovegrass <i>Eragrostis curvula</i> (Schrad.) Nees レーマンラブグラス Lehmann lovegrass <i>Eragrostis lehmanniana</i> Nees 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu	イネ科 Gramineae, Poaceae ラブグラス Lovegrass <i>Eragrostis</i> spp. (牧草・芝草) ウイーピングラブグラス(シナダレスズメガヤ) Weeping lovegrass <i>Eragrostis curvula</i> (Schrad.) Nees レーマンラブグラス Lehmann lovegrass <i>Eragrostis lehmanniana</i> Nees 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu
---	---

Plant parasitic nematode <i>Helicotylenchus dihystera</i> (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ 一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963 [備考] ウィーピングラブグラス。根圏土壌より検出 (注) 宿主和名表記を備考に合わせて修正	Plant parasitic nematode <i>Helicotylenchus dihystera</i> (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ 一戸 稔ら:植物防疫 17(11):449, 1963 [備考] ウィーピングラブグラス。根圏土壌より検出
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 赤色粒 sekishoku-ryu Pink seed <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 川口 章ら:日植病報 84(3):256, 2018 ; 川口 章ら:日植病報 85(3):307, 2019 [備考] 種子が赤色～ピンク色になる (注) 新病名、備考変更	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) †††† <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 川口 章ら:日植病報 84(3):256, 2018 [備考] 分離例の報告。種子が赤色～ピンク色になる。接種試験未了
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種 葉腐病 hagusare-byo Summer blight,	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種 葉腐病 hagusare-byo Summer blight,
---	---

Rhizoctonia rot, Brown patch (紋枯病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):172, 1962 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] 完全世代 <i>Thanatephorus cucumeris</i> (Frank) Donk は未確認。Misawa & Kurose(2019)の病原は、菌糸融合群 AG-4 HG-I (注) 備考変更	Rhizoctonia rot, Brown patch (紋枯病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):172, 1962 [備考] 完全世代 <i>Thanatephorus cucumeris</i> (Frank) Donk は未確認
--	--

シキミ科 Illiciaceae シキミ(榊) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot Emaravirus-like virus# 山下修一:植物防疫 57(9):13, 2003 ; 山下修一:日植病報 69(1):47, 2003 ; 下元祥史ら:日植病報 85(3):278, 2019 [備考] 病原はフシダニ(<i>Eriophyes</i> spp.)とされていたが、RT-PCRおよび塩基配列の解析により新規エマラウイルスによる可能性が高いとされた (注) 病原・備考変更	シキミ科 Illiciaceae シキミ(榊) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot <i>Eriophyes</i> spp. フシダニ 山下修一:植物防疫 57(9):13, 2003 ; 山下修一:日植病報 69(1):47, 2003 [備考] 病原フシダニ(Eriophyid mites)の3タイプの種は未同定
---	--

ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 斑点病 hanten-byo Stemphylium leaf spot (1) <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons	ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 斑点病 hanten-byo Stemphylium leaf spot <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons
---	---

[<i>Stemphylium botryosum</i> Wallroth] 鈴木孝仁・鑑谷大節:日植病報 26(5):233, 1961 ; 鈴木孝仁:日植病報 39(2):152, 1973 ; 鈴木孝仁:日植病報 39(4):364, 1973 ; 黒瀬大介ら:日植病報 81(1):100, 2015 ; Kurose, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 (2) <i>Stemphylium lycopersici</i> (Enjoji) W. Yamamoto 富岡啓介ら:日植病報 85(3):227, 2019 (注) 病原追加	鈴木孝仁・鑑谷大節:日植病報 26(5):233, 1961 ; 鈴木孝仁:日植病報 39(2):152, 1973 ; 鈴木孝仁:日植病報 39(4):364, 1973 ; 黒瀬大介ら:日植病報 81(1):100, 2015 ; Kurose, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 [備考] 鈴木(1973)は本病菌を<i>S. botryosum</i>と同定したが, 黒瀬ら(2015)[Kurose <i>et al.</i> (2015)]が <i>S. herbarum</i>と再同定した
--	--

ユリ科 Liliaceae サンダーソニア Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) 乾腐病 kampu-byo Bulb rot (1) †††<i>Fusarium anguioides</i> Sherbakoff 迫田琢也ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; Sakoda, T. <i>et al.</i>: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 久保周子ら:日植病報 85(1):55, 2019 (3) †††<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium avenaceum</i> species complex) Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド (注) 備考追加	ユリ科 Liliaceae サンダーソニア Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) 乾腐病 kampu-byo Bulb rot (1) †††<i>Fusarium anguioides</i> Sherbakoff 迫田琢也ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; Sakoda, T. <i>et al.</i>: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 久保周子ら:日植病報 85(1):55, 2019 (3) †††<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium avenaceum</i> species complex) Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド
---	---

クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L.	クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L.
---	---

(果樹) †††† <i>Pseudomonas</i> spp. 足立龍弥ら:日植病報 85(3):306, 2019 [備考] 葉にハローを伴う褐色の斑点症状。病名未提案 (注) 新宿主	(果樹)
---	-------------

モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) 疫病 eki-byo Phytophthora disease <i>Phytophthora</i> sp. 植松清次ら:日植病報 85(3):255, 2019 [備考] シオジ (<i>F. platypoda</i>) に発生。<i>Phytophthora</i> 属菌の新種と考えられる。トネリコ類苗疫病の病原追加とすべきか検討を要する (注) 新病名	モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹)
---	--

アカバナ科 Onagraceae フクシア(ボクシャ, ヒョウタンソウ) Common garden fuchsia <i>Fuchsia hybrida</i> Voss (草花)	アカバナ科 Onagraceae フクシア(ボクシャ, ヒョウタンソウ) Common garden fuchsia <i>Fuchsia hybrida</i> Voss (草花) 立枯病 tachigare-byo Foot rot <i>Pythium</i> sp. 大久保博人・佐藤豊三:日植病報 61(3):221, 1995 [備考] 病原は <i>P. ultimum</i> var. <i>ultimum</i> に近似 (注) 文献はゴデチア立枯病の病名提案であり、
--	---

トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) †††† Potyvirus 属ウイルス# 中里晃太ら:日植病報 85(3):313, 2019 [備考] RT-PCRにより検出された2種はUria mosaic virus, およびPassiflora foetida virus Yと高 い相同性を示す (注) 新宿主	トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹)
---	--

マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森樅松, 大 白樺) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白樺)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. すす病 susu-byo Sooty mold (葉裏黒点病) (1) <i>Antennatula katumotoi</i> Sugiyama & Hosoya Sugiyama, J. & Hosoya, T.:Mycoscience 60(5):302, 2019 (2) <i>Apiosporium pinophilum</i> Fuckel 白井光太郎:植物病理学(下):174, 1894(明 27) [備考] 病原菌の検討を要する (3) <i>Capnobotrys neesii</i> S. Hughes Sugiyama, J. & Amano, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan	マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森樅松, 大 白樺) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白樺)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. すす病 susu-byo Sooty mold (葉裏黒点病) (1) <i>Apiosporium pinophilum</i> Fuckel 白井光太郎:植物病理学(下):174, 1894(明 27) [備考] 病原菌の検討を要する (2) <i>Capnobotrys neesii</i> S. Hughes Sugiyama, J. & Amano, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 25(1):49, 1984 [備考] シラベ (3) <i>Epipolaeum abietis</i> (Dearness) Shoemaker [<i>Dimerium abietis-mariesii</i> Sawada]
---	---

25(1):49, 1984 [備考] シラベ (4) <i>Epipolaeum abietis</i> (Dearness) Shoemaker [<i>Dimerium abietis-mariesii</i> Sawada] 伊藤一雄:樹病学大系 2:24, 1973 ; 澤田兼吉:林試研報 46:114, 1950 ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):282, 1976 [備考] アオモリトドマツ。重複寄生菌 (注) 病原追加。	伊藤一雄:樹病学大系 2:24, 1973 ; 澤田兼吉:林試研報 46:114, 1950 ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):282, 1976 [備考] アオモリトドマツ。重複寄生菌
--	--

ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ) †††† Mymonavirus# 近藤秀樹ら:日植病報 85(3):287, 2019 [備考] 栽培シイタケに発生。Mymonavirus属の新種。RT-PCRによる同定 (注) 新宿主	ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ)
---	--

イソマツ科 Plumbaginaceae スターチス(ハナハマザシ, イソマツ類, リモニウム) Statice, Wide leaf sea lavender <i>Limonium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) †††† <i>Sikte waterborne virus</i> (SWBV) シクテウォーターボーンウイルス 藤永真史ら:日植病報 85(3):281, 2019 [備考] 茎葉の褐色小斑点, 黄化および萎縮症状	イソマツ科 Plumbaginaceae スターチス(ハナハマザシ, イソマツ類, リモニウム) Statice, Wide leaf sea lavender <i>Limonium</i> spp. 及び種間雑種 (草花)
--	--

(注) 新宿主	
---------	--

サルノコシカケ科 Polyporaceae マイタケ(舞茸) Hen-of-the-woods, Sheep's-head <i>Grifola frondosa</i> (Dickson) S.F. Gray (きのこ) †††† <i>Grifola frondosa</i> partitivirus 1 (GfPV1) Komatsu, A. <i>et al.</i> :Mycoscience 60(4):211, 2019 [備考] 人工接種によりコロニー形態と子実体の 発達に影響を与えないことを確認 (注) 新宿主	サルノコシカケ科 Polyporaceae マイタケ(舞茸) Hen-of-the-woods, Sheep's-head <i>Grifola frondosa</i> (Dickson) S.F. Gray (きのこ)
--	---

サクラソウ科 Primulaceae シクラメン Cyclamen <i>Cyclamen persicum</i> Mill. (草花) †††† <i>Chrysanthemum stem necrosis orthotospovirus</i> (CSNV) キク茎えそウイルス [Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV)] 浅野峻介ら:日植病報 85(3):281, 2019 [備考] 葉の輪紋・えそ輪紋症状。戻し接種なし (注) 新宿主	サクラソウ科 Primulaceae シクラメン Cyclamen <i>Cyclamen persicum</i> Mill. (草花)
---	---

ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas	キンポウゲ科 Ranunculaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas
--	--

(草花) 株枯病 kabugare-byo Stem rot <i>Lasiodiplodia</i> sp. 石橋 望ら:日植病報 85(3):228, 2019 (注) 新病名	(草花)
---	------

ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) 茎枯病 kukigare-byo Stem blight <i>Botryosphaeria</i> sp. 佐藤豊三ら:日植病報 85(3):226, 2019 [備考] 病原は, <i>Botryosphaeria</i> 属の未記載種 (注) 新病名	キンポウゲ科 Ranunculaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花)
---	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ++++急性衰弱症 kyusei-suijaku-sho <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 藤川貴史 ら:日植病報 85(1):46, 2019 ; Fujikawa, T. <i>et al.</i> : <i>J.</i> <i>Gen. Plant Pathol.</i> 85(4):314, 2019 [備考] 病名未提案 (注) 文献追加	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ++++急性衰弱症 kyusei-suijaku-sho <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 藤川貴史 ら:日植病報 85(1):46, 2019 [備考] 病名未提案
---	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 奇形果病 kikeika-byo Green crinkle (伝染性さび果) <i>Apple stem pitting virus (ASPV)</i> リンゴステムピットティングウイルス 木村甚弥:病虫雑 21(3):201, 1934(昭9); 澤村健三:園試報 C3:25, 1965; 八重樫 元ら:日植病報 85(3):279, 2019 [備考] 八重樫ら(2019)は戻し接種によりリンゴ実生に感染することを報告した。本病の再現は未了 (注) 病原同定	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 奇形果病 kikeika-byo Green crinkle (伝染性さび果) 病原未確認 木村甚弥:病虫雑 21(3):201, 1934(昭9); 澤村健三:園試報 C3:25, 1965 [備考] 接ぎ木伝染性
---	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 輪状さび果病 rinjo-sabika-byo Russet ring <i>Apple chlorotic leaf spot virus (ACLSV)</i> リンゴクロティックリーフスポットウイルス 柳瀬春夫・山口 昭:日植病報 43(3):376, 1977; 柳瀬春夫:植物防疫 31(10):408, 1977; 伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 63(6):487, 1997; 伊藤 伝ら:日植病報 85(3):278, 2019; 李 春江ら:日植病報 85(3):279, 2019 [備考] 接ぎ木伝染性。伊藤ら(2019)は戻し接種により本病を再現し、李ら(2019)はその発病リンゴ由来ウイルスを ACLSVの配列変異株と同定した	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 輪状さび果病 rinjo-sabika-byo Russet ring 病原未確認 柳瀬春夫・山口 昭:日植病報 43(3):376, 1977; 柳瀬春夫:植物防疫 31(10):408, 1977; 伊藤 伝・吉田幸二:日植病報 63(6):487, 1997 [備考] 接ぎ木伝染性。被害樹から <i>Apple chlorotic leaf spot virus</i> が検出されている
--	---

(注) 病原同定、備考変更	
---------------	--

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. †††† <i>Rose yellow mosaic virus</i> (RoYMV) バラ黄斑モザイクウイルス 大畑悠汰ら:日植病報 84(3):197, 2018 ; 大畑悠汰ら:日植病報 85(3):282, 2019 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。黄色モザイク症状。RT-PCRにより全ゲノム配列を確認。戻し接種なし (注) 文献追加	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. †††† <i>Rose yellow mosaic virus</i> (RoYMV) バラ黄斑モザイクウイルス 大畑悠汰ら:日植病報 84(3):197, 2018 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。黄色モザイク症状。RT-PCRによる検出
--	---

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹・野草) ヤマハマナス <i>R. davurica</i> Pallas ノイバラ <i>R. multiflora</i> Thunb. さび病 <i>sabi-byo</i> Rust (葉渋病, 赤錆病, 錆病) (1) <i>Kuehneola japonica</i> (Dietel) Dietel [<i>Phragmidium japonicum</i> Dietel, <i>Kuehneola rosae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):376, 1919(大8) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):3, 1902(明35) ; 澤田兼吉:台湾中研農業報	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹・野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. さび病 <i>sabi-byo</i> Rust (葉渋病, 赤錆病, 錆病) (1) <i>Kuehneola japonica</i> (Dietel) Dietel [<i>Phragmidium japonicum</i> Dietel, <i>Kuehneola rosae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):376, 1919(大8) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):3, 1902(明35) ; 澤田兼吉:台湾中研農業報
---	---

35(台湾産菌類調査報告 4):72, 1928(昭3) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:398, 1992 [備考] テリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i>)・トック リイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>ampullicarpa</i>)・リュ ウキュウテリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>glandulifera</i>)・コウシンバラ (<i>R. chinensis</i>)・フジ イバラ (<i>R. fujisanensis</i>)・オオサクライバラ(<i>R.</i> <i>luciae</i>)・モッコウバラ (<i>R. banksiae</i>)・ヤエヤマ イバラ (<i>R. bracteata</i>)・ヤブイバラ (<i>R. onoei</i>)・タイ ワンノイバラ (<i>R. taiwaniana</i>)・ナニワイバラ (<i>R.</i> <i>laevigata</i>)・ノイバラに発生 (2) <i>Phragmidium fusiforme</i> J. Schröter [<i>Phragmidium</i> <i>rosae-acicularis</i> Liro] 笠井幹夫:札幌博物学会報 3(1):31, 1910(明43) [備考] タカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>nipponensis</i>)・オオタカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>gmelinii</i>)に発生 (3) <i>Phragmidium montivagum</i> Arthur Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:418, 1992 [備考] ヤマハマナスに発生 (4) <i>Phragmidium mucronatum</i> (Persoon) Schlechtendal [<i>Phragmidium subcorticium</i> (Schrack) G. Winter] 出田 新:実用植物病理学:128, 1902(明35) ; Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot, (日植輯報) 7(3-4):249, 1935(昭10) (5) <i>Phragmidium rosae-multiflorae</i> Dietel [<i>Phragmidium rosae-laevigatae</i> Fujikuro] 南部信方:病虫雑 4(8):597, 1917(大6 ; 笠井幹夫:札 幌博物学会報3(1):32, 1910(明43) ; Hiratsuka, N. <i>et</i> <i>al.</i>:The rust flora of Japan:429, 1992 [備考] テリハノイバラ・トックリイバラ・ナニ ワイバラ・ツクシイバラ (<i>R. multiflora</i> var. <i>adenochaeta</i>)・サンショウバラ(<i>R. hirtula</i>)・ツル ノイバラ (<i>R. spinosissima</i> var. <i>mandshurica</i>)・ノイ バラに発生 (6) <i>Phragmidium satoanum</i> Y. Ono	35(台湾産菌類調査報告 4):72, 1928(昭3) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:398, 1992 [備考] テリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i>)・トック リイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>ampullicarpa</i>)・リュ ウキュウテリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>glandulifera</i>)・コウシンバラ (<i>R. chinensis</i>)・フジ イバラ (<i>R. fujisanensis</i>)・オオサクライバラ(<i>R.</i> <i>luciae</i>)・モッコウバラ (<i>R. banksiae</i>)・ヤエヤマ イバラ (<i>R. bracteata</i>)・ヤブイバラ (<i>R. onoei</i>)・タイ ワンノイバラ (<i>R. taiwaniana</i>)・ナニワイバラ (<i>R.</i> <i>laevigata</i>)・ノイバラに発生 (2) <i>Phragmidium fusiforme</i> J. Schröter [<i>Phragmidium</i> <i>rosae-acicularis</i> Liro] 笠井幹夫:札幌博物学会報 3(1):31, 1910(明43) [備考] タカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>nipponensis</i>)・オオタカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>gmelinii</i>)に発生 (3) <i>Phragmidium montivagum</i> Arthur Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:418, 1992 [備考] ヤマハマナスに発生 (4) <i>Phragmidium mucronatum</i> (Persoon) Schlechtendal [<i>Phragmidium subcorticium</i> (Schrack) G. Winter] 出田 新:実用植物病理学:128, 1902(明35) ; Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot, (日植輯報) 7(3-4):249, 1935(昭10) (5) <i>Phragmidium rosae-multiflorae</i> Dietel [<i>Phragmidium rosae-laevigatae</i> Fujikuro] 南部信方:病虫雑 4(8):597, 1917(大6 ; 笠井幹夫:札 幌博物学会報3(1):32, 1910(明43) ; Hiratsuka, N. <i>et</i> <i>al.</i>:The rust flora of Japan:429, 1992 [備考] テリハノイバラ・トックリイバラ・ナニ ワイバラ・ツクシイバラ (<i>R. multiflora</i> var. <i>adenochaeta</i>)・サンショウバラ(<i>R. hirtula</i>)・ツル ノイバラ (<i>R. spinosissima</i> var. <i>mandshurica</i>)・ノイ バラに発生
--	--

Ono, Y. & Wahyuno, D.:Mycoscience 60(4):237, 2019 [備考] サンショウバラに発生 (注) 病原追加	
---	--

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 黒点病 kokuten-byo Melanose (Phomopsis stem-end rot) (軸腐病 jikugusare-byo, 枝腐病, 枝枯病, メラノーズ) (1) <i>Diaporthe citri</i> (H.S. Fawcett) F.A. Wolf [<i>Phomopsis citri</i> H.S. Fawcett] 西田藤次:柑橘 1(8):8, 1903(明36) ; 大和浩国:日植病報 37(5):355, 1971 (2) <i>Diaporthe</i> spp. 長野眞依ら:日植病報 85(3):257, 2019 [備考] 2種の<i>Diaporthe</i>属菌を報告した (注) 病原追加	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 黒点病 kokuten-byo Melanose (Phomopsis stem-end rot) (軸腐病 jikugusare-byo, 枝腐病, 枝枯病, メラノーズ) <i>Diaporthe citri</i> F.A. Wolf [<i>Phomopsis citri</i> H.S. Fawcett] 西田藤次:柑橘 1(8):8, 1903(明36) ; 大和浩国:日植病報 37(5):355, 1971
--	--

イラクサ科 Urticaceae チョマ(カラムシ, マオ, ラミー, 苧麻) Ramie, China grass <i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaud. var. <i>tenacissima</i> (Gaud.) Miq. (特用作物) 疫病 eki-byo Phytophthora blight	イラクサ科 Urticaceae チョマ(カラムシ, マオ, ラミー, 苧麻) Ramie, China grass <i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaud. var. <i>tenacissima</i> (Gaud.) Miq. (特用作物) 疫病 eki-byo Phytophthora blight
---	---

(1) <i>Phytophthora boehmeriae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 27(台湾菌類調査報告 3):10, 1927(昭 2) ; 渡邊龍雄:纖維作物病学:123, 1947 (2) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 植松清次ら:日植病報 85(3):255, 2019 [備考] カラムシに発生 (注) 病原追加	<i>Phytophthora boehmeriae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 27(台湾菌類調査報告 3):10, 1927(昭 2) ; 渡邊龍雄:纖維作物病学:123, 1947
---	---

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. †††† ‘<i>Candidatus</i> Phytoplasma solani’ 下元祥史ら:日植病報 85(1):71, 2019 [備考] シシトウガラシに発生。病原同定不十分。16S rDNAによる推定 (注) 病原学名書体修正	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. †††† ‘<i>Candidatus</i> Phytoplasma solani’ 下元祥史ら:日植病報 85(1):71, 2019 [備考] シシトウガラシに発生。病原同定不十分。16S rDNAによる推定
--	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒色炭疽病, 黒斑性炭疽病, 鮭肉色炭疽病, 肉色炭疽病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒色炭疽病, 黒斑性炭疽病, 鮭肉色炭疽病, 肉色炭疽病)
---	--

Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (2) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 64(4):432, 1998 [備考] ピーマンに発生 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 正司和之ら:日植病報 80(4):235, 2014 ; Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] ピーマン, トウガラシに発生 (4) <i>Colletotrichum jiangxiense</i> F. Liu & L. Cai Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (5) <i>Colletotrichum karsti</i> Y.L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (6) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, <i>Glomerella piperata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, <i>Gloeosporium piperatum</i> Ellis & Everhart] 堀 正太郎:病虫雑 2(10):835, 1915(大4) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992 ; Bailey, J. A. & Jeger, M. J.:<i>Colletotrichum</i> Biology, Pathology and Control 19, 1992 (7) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 神頭武嗣ら:日植病報 76(3):157, 2010 ; 塚本俊秀ら:日植病報 76(3):200, 2010 ; 植松清次ら:関東病虫研報 57:136, 2010 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・	(1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 64(4):432, 1998 [備考] ピーマンに発生 (2) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 正司和之ら:日植病報 80(4):235, 2014 [備考] ピーマンに発生 (3) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, <i>Glomerella piperata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, <i>Gloeosporium piperatum</i> Ellis & Everhart] 堀 正太郎:病虫雑 2(10):835, 1915(大4) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992 ; Bayley, J. A. & Jeger, M. J.:<i>Colletotrichum</i> Biology, Pathology and Control 19, 1992 (4) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 神頭武嗣ら:日植病報 76(3):157, 2010 ; 塚本俊秀ら:日植病報 76(3):200, 2010 ; 植松清次ら:関東病虫研報 57:136, 2010 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・
--	--

森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 ; Kanto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):73, 2014 ; Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] ピーマン, トウガラシに発生 (8) <i>Colletotrichum sojae</i> Damm & Alizadeh Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (9) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (注) 病原追加、備考追加	森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 ; Kanto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):73, 2014 [備考] ピーマンに発生。神頭ら(2010)の病原菌は <i>C. acutatum</i> から独立した <i>C. simmondsii</i> とされたが、塚本ら(2010)および植松ら(2010)の病原とともに, Sato & Moriwaki(2013)は <i>C. scovillei</i> と再同定した
--	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Black-dot root-rot <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes [<i>Colletotrichum atramentarium</i> (Berkeley & Broome) Taubenhau] 岸 國平・岩田 勉:日植病報 39(3):202, 1973 (注) 文献削除し, トマト炭疽病へ移動させる。 備考を削除	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黒点根腐病 kokuten-negusare-byo Black-dot root-rot <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes [<i>Colletotrichum atramentarium</i> (Berkeley & Broome) Taubenhau] 岸 國平・岩田 勉:日植病報 39(3):202, 1973 ; 白井佳代ら:日植病報 84(3):200, 2018 [備考] 白井ら(2018)は果実腐敗を報告した
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill.	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill.
--	--

(野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実炭疽病, 鮭肉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 末永寛子ら:日植病報 74(1):68, 2008 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum phomoides</i> (Saccardo) Chester] 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1053, 1915(大4); 金野敬三:園芸之友 14(9):662, 1918(昭7); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992 (3) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted [<i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes] 白井佳代ら:日植病報 84(3):200, 2018; 白井佳代ら:日植病報 85(3):227, 2019 [備考] 果実の腐敗症状 (注) 病原追加	(野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実炭疽病, 鮭肉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 末永寛子ら:日植病報 74(1):68, 2008 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum phomoides</i> (Saccardo) Chester] 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1053, 1915(大4); 金野敬三:園芸之友 14(9):662, 1918(昭7); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992
---	--

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown leaf spot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn] 小玉孝司ら:日植病報 48(3):356, 1982; 堀本圭一・小玉孝司:奈良農試研報 14:66, 1983; 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 54(3):352, 1988; 岩館康哉・佐々木陽菜:日植病報 85(3):233, 2019 [備考] 小玉ら(1982)および堀本・小玉(1983)の病原は菌糸融合群 AG-3 培養型 IV, 堀江らの病原菌は菌糸融合群AG-2-2 培養型 IV。岩館・佐々	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown leaf spot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn] 小玉孝司ら:日植病報 48(3):356, 1982; 堀本圭一・小玉孝司:奈良農試研報 14:66, 1983; 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 54(3):352, 1988 [備考] 小玉ら(1982)および堀本・小玉(1983)の病原は菌糸融合群 AG-3 培養型 IV, 堀江らの病原菌は菌糸融合群AG-2-2 培養型 IV
---	--

木(2019)は、本病原が果実の小陥没症を引き起こす可能性を示唆した (注) 備考追加	
---	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 84(1):61, 2018 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):124, 2018 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違いは明確でない (2) <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤本岳人ら:日植病報 85(3):312, 2019 (3) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39(4):351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (4) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901)	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 84(1):61, 2018 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):124, 2018 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違いは明確でない (2) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39(4):351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (3) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901)
---	---

Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41(3):280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 (5) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss & Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:Plant Dis. 101(1):241, 2017 (注) 病原追加	Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41(3):280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 (4) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss & Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:Plant Dis. 101(1):241, 2017
---	---

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪斑病 rinhan-byo Gray blight (1) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. 野澤俊介ら:日植病報 85(3):255, 2019 [備考] 病原(2)との異同について検討を要する (2) <i>Pestalotiopsis longiseta</i> (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [<i>Pestalotia longiseta</i> Spegazzini] 臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990 ; 臺 喜吉ら:横浜植防調報 26:4, 1990 (3) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia theae</i> Sawada, <i>Pestalozzia theae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):13, 1913(大2) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978 (注) 病原追加	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪斑病 rinhan-byo Gray blight (1) <i>Pestalotiopsis longiseta</i> (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [<i>Pestalotia longiseta</i> Spegazzini] 臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990 ; 臺 喜吉ら:横浜植防調報 26:4, 1990 (2) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia theae</i> Sawada, <i>Pestalozzia theae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):13, 1913(大2) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978
---	--

オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces orontii</i> (Castagne) V.P. Heluta 本澤克幸ら:日植病報 85(3):258, 2019 (注) 新病名	オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花)
--	---

オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 本澤克幸ら:日植病報 85(3):258, 2019 (注) 新病名	オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花)
---	---

オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 本澤克幸ら:日植病報 85(3):258, 2019 (注) 新病名	オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花)
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† <i>Grapevine asteroid mosaic-associated virus</i> (GAMaV) Nakaune, R. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 74(2):156, 2008 [備考] RT-PCRにより検出。Fleckの病原の一つと 考えられている (注) 新宿主	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
--	--

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 果実すえひろたけ病 kajitsu-suehirotake-byo <i>Schizophyllum felt</i> <i>Schizophyllum commune</i> Fries 須崎浩一・中村 仁: 日植病報 85(3):255, 2019 (注) 新病名	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
---	--

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 綿房病 watafusa-byo Cottony bunch (白色綿雪症) <i>Basidiomycota</i> sp. (コウヤクタケ類の一種) 須崎浩一ら:日植病報 82(3):232, 2016 ; 綿打享子ら:日植病報 85(3):254, 2019 [備考] 病原菌の所属不明。暫定的にコウヤクタケ類の一種とした (注) 新病名、備考変更	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. ††††白色綿雪症 hakushoku-watayuki-sho 病原菌未同定 須崎浩一ら:日植病報 82(3):232, 2016 [備考] 病名未提案。<i>Cystiodontia laminifera</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Hjortstamに近縁。接種試験未了
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† <i>Australian grapevine viroid</i> (AGVd) 千秋祐也ら:日植病報 85(3):291, 2019 [備考] 次世代シーケンサーにより検出 (注) 新宿主	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
--	--

ブドウ科 Vitaceae	ブドウ科 Vitaceae
---------------	---------------

ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† <i>Cucumber green mottle mosaic virus</i> (CGMMV) スイカ緑斑モザイクウイルス 千秋祐也ら:日植病報 85(3):291, 2019 [備考] 次世代シーケンサーにより検出 (注) 新宿主	ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
---	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† <i>Grapevine rupestris vein feathering virus</i> (GRVFFV) 千秋祐也ら:日植病報 85(3):291, 2019 (注) 新宿主	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
---	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹)	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹)
---	---

アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† <i>Grapevine Syrah virus 1</i> (GSyV-1) 千秋祐也ら:日植病報 85(3):291, 2019 [備考] 次世代シーケンサーにより検出 (注) 新宿主	アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† <i>Grapevine virus T</i> (GVT) 千秋祐也ら:日植病報 85(3):291, 2019 [備考] 次世代シーケンサーにより検出 (注) 新宿主	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
---	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
---	---

†††† <i>Grapevine yellow speckle viroid 2</i> (GYSVd-2) 千秋祐也ら:日植病報 85(3):291, 2019 (注) 新宿主	
---	--

ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 甲杞理恵・森田泰彰:四国植防 46:10, 2012 ; Gappa-Adachi, R. & Morita, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):270, 2013 [備考] 病原はsubdivision IV, biovar 3 (注) 備考変更	ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 甲杞理恵・森田泰彰:四国植防 46:10, 2012 ; Gappa-Adachi, R. & Morita, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 79(4):270, 2013 [備考] 病原はsubdivision IV, biovar 3。病名は仮称
---	---

レンプクソウ科 Adoxaceae レンプクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia argentata</i> (Schultz) G. Winter [<i>Puccinia nolitangeris</i> Corda] Hiratsuka, N. <i>et al.</i> :The rust flora of Japan 749, 1992 [備考] レンプクソウ・ツリフネソウ(<i>Impatiens textorii</i>)・キツリフネソウ(<i>Impatiens noli-tangere</i>) に発生	レンプクソウ科 Adoxaceae レンプクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia argentata</i> (Schultz) G. Winter [<i>Puccinia nolitangeris</i> Corda] Hiratsuka, N. <i>et al.</i> :The rust flora of Japan 749, 1992 [備考] レンプクソウ・ツリフネソウ(<i>Impatiens textori</i> v)・キツリフネソウ(<i>Impatiens mali-tangere</i>) に発生
---	---

(注) 備考の宿主学名訂正	
---------------	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) ††††腐敗病 fuhai-byo ††<i>Rhizopus reflexus</i> Bainier, <i>Rhizopus pseudochinensis</i> M. Yamazaki, <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs, <i>Rhizopus nodosus</i> Namyslowski, <i>Rhizopus artocarp</i>i Raciborski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa, <i>Rhizopus chinensis</i> Saito, <i>Rhizopus maydis</i> Bruderlein, <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer, <i>Rhizopus nigricans</i> Ehrenberg, <i>Rhizopus tritici</i> Saito, <i>Mucor racemosus</i> Fresenius f. <i>racemosus</i> 富樫浩吾:農及園 10(2):472, 1935(昭10) ; 富樫浩吾:農及園 10(3):729, 1935(昭10) [備考] 国内発生不詳。病原菌について再検討を要する (注) 文献情報を2つに分離した	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) ††††腐敗病 fuhai-byo ††<i>Rhizopus reflexus</i> Bainier, <i>Rhizopus pseudochinensis</i> M. Yamazaki, <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs, <i>Rhizopus nodosus</i> Namyslowski, <i>Rhizopus artocarp</i>i Raciborski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa, <i>Rhizopus chinensis</i> Saito, <i>Rhizopus maydis</i> Bruderlein, <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer, <i>Rhizopus nigricans</i> Ehrenberg, <i>Rhizopus tritici</i> Saito, <i>Mucor racemosus</i> Fresenius f. <i>racemosus</i> 富樫浩吾:農及園 10(2):472, 10(3):729, 1935(昭10) [備考] 国内発生不詳。病原菌について再検討を要する
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae コモンベッチ(オオカラスノエンドウ, オオヤハズエンドウ, ザートウィッケン) Common vetch <i>Vicia sativa</i> L. (牧草・芝草) さび病 sabi-byo Rust <i>Uromyces ervi</i> Westendorp 平塚直秀・吉田政治:病虫雑 17(9):571, 1930(昭5) ; 平塚直秀・吉田政治:病虫雑 17(10):635, 1930(昭5) ; 平塚直秀・吉田政治:病虫雑 17	マメ科 Fabaceae, Leguminosae コモンベッチ(オオカラスノエンドウ, オオヤハズエンドウ, ザートウィッケン) Common vetch <i>Vicia sativa</i> L. (牧草・芝草) さび病 sabi-byo Rust <i>Uromyces ervi</i> Westendorp 平塚直秀・吉田政治:病虫雑 17(9):571, (10):635, (11):716, 1930(昭5) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):106, 1950 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:24, 1973
---	---

(11):716, 1930(昭5) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):106, 1950 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:24, 1973 (注) 文献情報を3つに分離した	
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) ひょう紋病 hyomon-byo Zonate leaf spot (豹紋病) <i>Helminthosporium zonatum</i> Ikata 鑄方末彦・吉川政治:病虫雑 30(7):209, 1943(昭 18) ; 鑄方末彦・吉川政治:病虫雑 30(8):247, 1943(昭18) [備考] 病原菌の学名については再検討を要する (注) 文献情報を2つに分離した	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) ひょう紋病 hyomon-byo Zonate leaf spot (豹紋病) <i>Helminthosporium zonatum</i> Ikata 鑄方末彦・吉川政治:病虫雑 30(7):209, (8):247, 1943(昭18) [備考] 病原菌の学名については再検討を要する
--	---

アヤメ科 Iridaceae アシダンセラ(アキダンテラ) Peacock orchid <i>Acidanthera bicolor</i> Hochst. (草花) 赤斑病 sekihan-byo <i>Curvularia trifolii</i> (Kauffman) Boedijn f. sp. <i>gladioli</i> Parmelee & Luttrell 高野喜八郎:日植病報 56(3):388, 1990 [備考] 病菌の学名として <i>Curvularia gladioli</i> が 提唱されている (Boerema, G. H. & Hamers, M. E. C.:Neth. J. Pl. Pathol. Suppl. 95(3):10, 1980) (注) 備考修正	アヤメ科 Iridaceae アシダンセラ(アキダンテラ) Peacock orchid <i>Acidanthera bicolor</i> Hochst. (草花) 赤斑病 sekihan-byo <i>Curvularia trifolii</i> (Kauffman) Boedijn f. sp. <i>gladioli</i> Parmelee & Luttrell 高野喜八郎:日植病報 56(3):388, 1990 [備考] 病菌の学名として <i>Curvularia gladioli</i> が 提唱されている (Boerema, G. H. & Hamers, M. E. C., Neth. J. Pl. Pathol. Suppl. 95(3):10, 1980)
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 疫病 eki-byo Crown rot, Collar rot, Phytophthora fruit rot (根頸疫病) (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 瀧元清透:病虫雑 6(8):687, 1919(大8) ; 瀧元清透: 病虫雑 6(9):756, 1919(大8) ; 柳瀬春夫・佐久間 勉:果樹試報C 6:105, 1979 (2) <i>Phytophthora cambivora</i> (Petri) Buisman 鈴井孝仁・星野好博:日植病報 45(1):81, 1979 ; Suzui, T. & Hoshino, Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 45(3):344, 1979 (3) <i>Phytophthora syringae</i> (Klebahn) Klebahn 藤田孝二ら:日植病報 58(1):121, 1992 ; 藤田孝二 ら:日植病報 60(6):717, 1994 (注) 文献情報を2つに分離した	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 疫病 eki-byo Crown rot, Collar rot, Phytophthora fruit rot (根頸疫病) (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 瀧元清透:病虫雑 6(8):687, 6(9):756, 1919(大8) ; 柳 瀬春夫・佐久間 勉:果樹試報C 6:105, 1979 (2) <i>Phytophthora cambivora</i> (Petri) Buisman 鈴井孝仁・星野好博:日植病報 45(1):81, 1979 ; Suzui, T. & Hoshino, Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 45(3):344, 1979 (3) <i>Phytophthora syringae</i> (Klebahn) Klebahn 藤田孝二ら:日植病報 58(1):121, 1992 ; 藤田孝二 ら:日植病報 60(6):717, 1994
---	---

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 斑点病 hanten-byo (穿孔性褐斑病) <i>Cercospora prunicola</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora</i> <i>pruni-yedoensis</i> Sawada] 原 攝祐:静岡県農会報:277, 特別付録:9, 1920(大 9) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 33(233):32, 1943(昭18) [備考] ソメイヨシノ・ヒガンザクラ・ヤマザク	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 斑点病 hanten-byo (穿孔性褐斑病) <i>Cercospora prunicola</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora</i> <i>pruni-yedoensis</i> Sawada] 原 攝祐:静岡県農会報:277, 特別付録:9, 1920(大 9) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 33(233):32, 1943(昭18) [備考] ソメイヨシノ・ヒガンザクラ・ヤマザク
---	---

ラ・カンヒザクラ (<i>P. campanulata</i>) (注) 文献表記修正	ラ・カンヒザクラ (<i>P. campanulata</i>)
--	------------------------------------

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 三方赤星病 mikata-akahoshi-byo Rust <i>Gymnosporangium shiraianum</i> Hara [Gymnosporangium juniperi Link] 原 攝祐:病虫雑 6(8):681, 1919(大8) ; 原 攝祐:病虫雑 6(9):751, 1919(大8) ; 松尾綾男:日菌報 6(1):20, 1965 (注) 文献情報を 2 つに分離した	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 三方赤星病 mikata-akahoshi-byo Rust <i>Gymnosporangium shiraianum</i> Hara [Gymnosporangium juniperi Link] 原 攝祐:病虫雑 6(8):681, 6(9):751, 1919(大8) ; 松尾綾男:日菌報 6(1):20, 1965
--	--

ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 生理的斑点病 seiriteki-hanten-byo Weather fleck, Physiological leaf spot (白色斑点病, 痘瘡病) 生理障害 中村寿夫:病虫雑 19(7):516, 1932(昭7) ; 中田覺五	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 生理的斑点病 seiriteki-hanten-byo Weather fleck, Physiological leaf spot (白色斑点病, 痘瘡病) 生理障害 中村寿夫:病虫雑 19(7):516, 1932(昭7) ; 中田覺五
--	--

郎:華北産研調査報告 1(北支蒙疆農園芸作物病害調査報告):3, 1941(昭16) ; 都丸敬一:葉たばこ研究 44:43, 1967 ; 福田三千夫ら:岡山たばこ試報告 33:1, 1973 ; 福田三千夫ら:岡山たばこ試報告 35:1, 1975 (注) 文献情報を 2 つに分離した	郎:華北産研調査報告 1(北支蒙疆農園芸作物病害調査報告):3, 1941(昭16) ; 都丸敬一:葉たばこ研究 44:43, 1967 ; 福田三千夫ら:岡山たばこ試報告 33:1, 1973, 35:1, 1975
---	--

2020年（令和2年）8月25日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2020年1月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名、病原追加、病名・学名変更、文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 窪田昌春

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

イネ科 Gramineae, Poaceae ススキ類 Silvergrass <i>Miscanthus</i> spp. (野草) トキワススキ <i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb. ex. K. Schum. & Lauterb. カリヤスモドキ <i>Miscanthus oligostachyus</i> Stapf オギ <i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Hack. ハチジョウススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>condensatus</i> (Hack.) Makino ススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>sinensis</i> ムラサキススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. f. <i>purpurascens</i> 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Sporisorium kusanoi</i> (Sydow & P. Sydow) Vánky [<i>Ustilago kusanoi</i> Sydow & P. Sydow] Suzuki, R.O. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:42, 2015 ; 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:85, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] ススキ、オギに発生。接種試験未了 赤色葉枯病 sekishoku-hagare-byo Leaf blight <i>Naemacyclus culmigenus</i> Ellis & Langlois Hosoya, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 54(6):433, 2013 ; Suzuki, R.O. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:42, 2015 [備考] ススキ。病原性未確認 (注) <i>N. culmigenus</i>について病名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ススキ類 Silvergrass <i>Miscanthus</i> spp. (野草) トキワススキ <i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb. ex. K. Schum. & Lauterb. カリヤスモドキ <i>Miscanthus oligostachyus</i> Stapf オギ <i>M. sacchariflorus</i> (Maxim.) Hack. ハチジョウススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>condensatus</i> (Hack.) Makino ススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>sinensis</i> ムラサキススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. f. <i>purpurascens</i> 黒穂病 kuroho-byo Smut (1) <i>Naemacyclus culmigenus</i> Ellis & Langlois Hosoya, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 54(6):433, 2013 ; Suzuki, R.O. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:42, 2015 (2) <i>Sporisorium kusanoi</i> (Sydow & P. Sydow) Vánky [<i>Ustilago kusanoi</i> Sydow & P. Sydow] Suzuki, R.O. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:42, 2015 ; 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:85, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] ススキ、オギに発生。接種試験未了
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae カモジグサ類 Drooping wheatgrass <i>Agropyron</i> spp. (野草) アオカモジグサ <i>Agropyron ciliare</i> Franch var. <i>pilosum</i> Honda シバムギ(ヒメカモジグサ) <i>Agropyron repens</i> (L.) Beauv. カモジグサ <i>Agropyron tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi から黒穂病 karakuroho-byo Smut <i>Urocystis agropyri</i> (Preuss) A.A. Fischer Waldheim 月星隆雄:関東雑草研報 23:19, 2012 [備考] シバムギに発生。接種試験なし (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae カモジグサ類 Drooping wheatgrass <i>Agropyron</i> spp. (野草) アオカモジグサ <i>A. ciliare</i> Franch var. <i>pilosum</i> Honda ヒメカモジグサ <i>A. repens</i> (L.) Beauv. カモジグサ <i>A. tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae パニカム <i>Panicum</i> <i>Panicum</i> spp. (牧草・芝草) ブルーパニック, ジャイアントパニック Blue panic, Giant panic <i>Panicum antidiotale</i> Retz. バルブパニック, テキサスグラス Blub panic, Texas grass <i>Panicum bulbosum</i> H.B.K. カラードギニアグラス, クライングラス Coloured guinea grass, Kleingrass <i>Panicum</i> <i>coloratum</i> L. カブラブラグラス Kabulabula grass <i>Panicum</i> <i>coloratum</i> L. Kabulabula type マカリカリグラス Makarikari grass <i>Panicum</i> <i>coloratum</i> L. var. <i>makarikariense</i> Goossens オオクサキビ Fall panicum <i>Panicum</i> <i>dichotomiflorum</i> Michx. ギニアグラス Guinea grass <i>Panicum maximum</i> Jacq. グリーンパニック Green panic <i>Panicum</i> <i>maximum</i> Jacq. var. <i>trichoglume</i> Erbas バインモスキート Vine mosquito <i>Panicum</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae パニカム <i>Panicum</i> <i>Panicum</i> spp. (牧草・芝草) ブルーパニック, ジャイアントパニック Blue panic, Giant panic <i>Panicum antidiotale</i> Retz. バルブパニック, テキサスグラス Blub panic, Texas grass <i>Panicum bulbosum</i> H.B.K. カラードギニアグラス, クライングラス Coloured guinea grass, Kleingrass <i>Panicum</i> <i>coloratum</i> L. カブラブラグラス Kabulabula grass <i>Panicum</i> <i>coloratum</i> L. Kabulabula type マカリカリグラス Makarikari grass <i>Panicum</i> <i>coloratum</i> L. var. <i>makarikariense</i> Goossens オオクサキビ Fall panicum <i>Panicum</i> <i>dichotomiflorum</i> Michx. ギニアグラス Guinea grass <i>Panicum maximum</i> Jacq. グリーンパニック Green panic <i>Panicum</i> <i>maximum</i> Jacq. var. <i>trichoglume</i> Erbas バインモスキート Vine mosquito <i>Panicum</i>
--	--

<i>obtusum</i> H.B.K. クーラーグラス (Panicum) <i>Panicum prolatum</i> F.V.M. スイッチグラス Switchgrass <i>Panicum</i> <i>virgatum</i> L. 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Conidiosporomyces ayresii</i> (Berkeley) Vánky & R. Bauer Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:Plant Dis. 96(1):143, 2012 [備考] ギニアグラスに発生 (注) 新病名	<i>obtusum</i> H.B.K. クーラーグラス (Panicum) <i>Panicum prolatum</i> F.V.M. スイッチグラス Switchgrass <i>Panicum</i> <i>virgatum</i> L.
---	---

ユリ科 Liliaceae リーキ(参照:アリウム類) Leek <i>Allium ampeloprasum</i> L. (野菜) 白斑葉枯病 hakuhan-hagare-byo Botrytis leaf blight <i>Botrytis porri</i> N.F. Buchwald 三澤知央・植野玲一郎:日植病報 81(1):89, 2015 ; <i>Misawa, T. et al.</i>:New Dis. Rep. 41:19, 2020 (注) 病原学名訂正。文献追加	ユリ科 Liliaceae リーキ(参照:アリウム類) Leek <i>Allium ampeloprasum</i> L. (野菜) 白斑葉枯病 hakuhan-hagare-byo Botrytis leaf blight <i>Botrytis</i> sp. 三澤知央・植野玲一郎:日植病報 81(1):89, 2015
--	--

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (porrum group) (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(5):3018, 2020 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら: 日植病報 49(3):415, 1983	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (porrum group) (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら: 日植病報 49(3):415, 1983 (2) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013
--	---

(3) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013 (注) 病原追加	
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae キングサリ(金鎖) Goldenchain, Bean tree <i>Laburnum vulgare</i> Bercht. & J. Presl (広葉樹) 胴枯病 dogare-byo Canker <i>Diaporthe eres</i> Nitschke Takemoto, S. <i>et al.</i>:Tree and Forest Health 23(4):203, 2019 (注) 新病名	マメ科 Fabaceae, Leguminosae キングサリ(金鎖) Goldenchain, Bean tree <i>Laburnum vulgare</i> Bercht. & J. Presl (広葉樹)
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae コリアンダー(コエンドロ, 香菜, シャンサイ) Coriander <i>Coriandrum sativum</i> L. (野菜) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>coriandricola</i> Toben & Rudolph 1996 菊池明日香ら:日植病報 83(1):61, 2017; Kikuchi, A. <i>et al.</i>:Plant Dis. 103(11):2942, 2019 (注) 文献追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae コリアンダー(コエンドロ, 香菜, シャンサイ) Coriander <i>Coriandrum sativum</i> L. (野菜) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>coriandricola</i> Toben & Rudolph 1996 菊池明日香ら:日植病報 83(1):61, 2017
--	--

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜)	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 幼果黒変症状 yoka-kokuhen-shojo <i>Pseudomonas</i> sp. 村田明夫・沼田 巖:日植病報 35(5):355, 1969
---	--

(注) トマト幼果黒変症状の文献であり、誤掲載なので削除する。	
--	--

ヒガンバナ科 Amaryllidaceae スイセン(水仙) Narcissus, Daffodil <i>Narcissus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) ニホンズイセン Grand emperor, New year lily, Chinese grand emperor, Chinese sacred lily <i>Narcissus tazetta</i> L. ラッパスイセン <i>Narcissus pseudonarcissus</i> L. (注) 宿主英名訂正	ヒガンバナ科 Amaryllidaceae スイセン(水仙) Narcissus, Daffodil <i>Narcissus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) ニホンスイセン Grand emperor, New year lily, Chinese grand emperor, Sacred ohinese lily <i>Narcissus tazetta</i> L. ラッパスイセン <i>Narcissus pseudonarcissus</i> L.
--	--

ヤシ科 Arecaceae, Palmae トックリヤシモドキ Spindle palm <i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey [Hyophorbe verschaffeltii H. Wendl.] (広葉樹) (注) 宿主英名訂正。Pignut palmは、トックリヤシ(病名目録では、ボトルヤシ Bottle Palm)の英名	ヤシ科 Arecaceae, Palmae トックリヤシモドキ Pignut palm <i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey [Hyophorbe verschaffeltii H. Wendl.] (広葉樹)
---	---

ベニノキ科 Bixaceae ベニノキ Lipstick tree, Anatto tree <i>Bixa orellana</i> L. (広葉樹)	ベニノキ科 Bixaceae ベニノキ Orelean tree, Anatto tree <i>Bixa orellana</i> L. (広葉樹)
---	--

(注) 宿主英名訂正	
------------	--

アオイ科 Malvaceae トロロアオイ(黄蜀葵) Sunset musk mallow, Sunset hibiscus <i>Abelmoschus manihot</i> (L.) Medik. [<i>Hibiscus manihot</i> L.] (特用作物) (注) 宿主英名訂正	アオイ科 Malvaceae トロロアオイ(黄蜀葵) Mask mallow, Sunset hibiscus <i>Abelmoschus manihot</i> (L.) Medik. [<i>Hibiscus manihot</i> L.] (特用作物)
---	--

スズカケノキ科 Platanaceae スズカケノキ(プラタナス)類 Platanus <i>Platanus</i> spp. (広葉樹) モミジバスズカケノキ(プラタナス) London plane tree, London plane <i>Platanus</i> × <i>hispanica</i> Muench. [<i>Platanus</i> × <i>acerifolia</i> (Aiton) Willd.] アメリカスズカケノキ <i>Platanus occidentalis</i> L. スズカケノキ <i>Platanus orientalis</i> L. (注) 宿主学名異名訂正	スズカケノキ科 Platanaceae スズカケノキ(プラタナス)類 Platanus <i>Platanus</i> spp. (広葉樹) モミジバスズカケノキ(プラタナス) London plane tree, London plane <i>Platanus</i> × <i>hispanica</i> Muench. [<i>Platanus</i> × <i>acerifolia</i> (Aiton) Willd.] アメリカスズカケノキ <i>Platanus occidentalis</i> L. スズカケノキ <i>Platanus orientalis</i> L.
--	--

アカネ科 Rubiaceae ハクチョウゲ(白丁花) Tree of a thousand stars <i>Serissa japonica</i> (Thunb.) Thunb. (広葉樹) (注) 宿主英名変更。またはSerissa。	アカネ科 Rubiaceae ハクチョウゲ(白丁花) Serissa <i>Serissa japonica</i> (Thunb.) Thunb. (広葉樹)
--	--

ミカン科 Rutaceae サザンクロス Small crowea <i>Crowea exalata</i> F. Muell. (広葉樹) (注) 宿主英名訂正	ミカン科 Rutaceae サザンクロス Cypress <i>Crowea exalata</i> F. Muell. (広葉樹)
--	---

アカテツ科 Sapotaceae ミムソプス (Mimusops) <i>Mimusops indica</i> A. DC. (広葉樹) (注) 宿主学名訂正	アカテツ科 Sapotaceae ミムソプス (Mimusops) <i>Mimusops indica</i> DC. (広葉樹)
--	---

イワヒバ科 Selaginellaceae イワヒバ(イワマツ) Little club moss <i>Selaginella tamariscina</i> (Beauv.) Spring (草花) (注) 宿主英名修正	イワヒバ科 Selaginellaceae イワヒバ(イワマツ) Club moss <i>Selaginella tamariscina</i> (Beauv.) Spring (草花)
--	---

マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 斑葉細菌病 han'yo-saikin-byo Bacterial leaf	マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch.
--	--

speck <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 岡 かこ ら:日植病報 84(3):204, 2018 ; 吉村拓真 ら:日植病報 86(1):57, 2020 (注) 新病名。備考削除	†††† <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 岡 かこ ら:日植病報 84(3):204, 2018 [備考] 分離例の報告。実施済み接種試験では病徴は再現されていない
--	---

マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. †††† <i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902 阿部加奈恵ら:日植病報 86(1):57, 2020 [備考] <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>theae</i>に近縁。接種試験に成功していない (注) 新宿主	マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch.
---	--

ツルナ(ハマミズナ)科 Aizoaceae ツルナ(ハマヂシャ, 蔓菜, 番杏) New Zealand spinach <i>Tetragonia tetragonoides</i> (Pall.) Kuntze (野菜) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 坂本 彩ら:関東病虫研報 66:28, 2019 (注) 新病名	ツルナ(ハマミズナ)科 Aizoaceae ツルナ(ハマヂシャ, 蔓菜, 番杏) New Zealand spinach <i>Tetragonia tetragonoides</i> (Pall.) Kuntze (野菜)
---	---

ヒユ科 Amaranthaceae ハゲイトウ Joseph's coat amaranth <i>Amaranthus tricolor</i> L. (草花) 茎枯病 kukigare-byo Stem blight <i>Diaporthe amaranthophila</i> (Inácio, Dianese & Carlos) Rossman & Udayanga 蓑島綾華ら:日植病報 82(3):219, 2016 ; <i>Minoshima, A. et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):70, 2020 [備考] 蓑島らが <i>Diaporthe sp.</i>(アナモルフ: <i>Phomopsis sp.</i>)と報告した病原を, <i>Minoshima et al.</i> が同定した (注) 病原同定、備考変更	ヒユ科 Amaranthaceae ハゲイトウ Joseph's coat amaranth <i>Amaranthus tricolor</i> L. (草花) 茎枯病 kukigare-byo Stem blight <i>Diaporthe sp.</i> 蓑島綾華ら:日植病報 82(3):219, 2016 [備考] アナモルフ:<i>Phomopsis sp.</i>
--	---

ヒユ科 Amaranthaceae センニチコウ(千日紅, センニチソウ) Globe amaranth <i>Gomphrena globosa</i> L. (草花) †††† <i>Chrysanthemum stem necrosis orthotospovirus</i> (CSNV) キク茎えそウイルス 平山喜彦ら:日植病報 86(1):59, 2020 [備考] RT-PCRによる検出。軽度のえそ輪紋。戻 し接種なし (注) 新宿主	ヒユ科 Amaranthaceae センニチコウ(千日紅, センニチソウ) Globe amaranth <i>Gomphrena globosa</i> L. (草花)
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa
---	---

[<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 前川和正・相野公孝:日植病報 65(3):409, 1999 ; 前川和正ら:関西病虫研報 46:43, 2004 ; 栢森美如 ら:日植病報 86(1):31, 2020 [備考] 前川・相野(1999)および前川ら(2004)は, 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA, 栢森ら(2020)は, AG-1 IB, AG-1 IC を報告した (注) 備考変更、文献ページ訂正	[<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 前川和正・相野公孝:日植病報 65(3):408, 1999 ; 前川和正ら:関西病虫研報 46:43, 2004 [備考] 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) 根腐病 negusare-byo <i>Didymella</i> sp. [<i>Phoma</i> sp.] 阿部秀夫ら:日植病報 46(1):102, 1980 ; 利根川千 枝ら:日植病報 85(1):54, 2019 (注) 病原学名変更	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) 根腐病 negusare-byo <i>Phoma</i> sp. 阿部秀夫ら:日植病報 46(1):102, 1980
--	---

サトイモ科 Araceae アンスリウム (Anthurium) <i>Anthurium</i> spp. (草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood	サトイモ科 Araceae アンスリウム (Anthurium) <i>Anthurium</i> spp. (草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood
---	---

サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970 [備考] オオベニウチワ (<i>A. andreanum</i>) に発生 (注) 備考訂正	サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970 [備考] オオベニウチワ (<i>A. androeanum</i>) に発生
--	---

サトイモ科 Araceae サトイモ(芋, 芋頭) Taro, Dasheen <i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott (野菜) 乾腐病* kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 日焼病, 赤紅病) (1) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo Masi, S. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 86(1):40, 2020 [備考] Masi <i>et al.</i> (2020)は乾腐病発生圃場の土壌から分離した<i>F. solani</i>の接種による発病を確認した (2) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 倉田忠良:病虫雑 18(6):288, 1931(昭6) ; Nishimura, N. & Kudo, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(4):448, 1994 [備考] Nishimura & Kudo(1994)は<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>colocasiae</i>による乾腐病を萎凋病として区別した (3) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal Masi, S. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 86(1):40, 2020 [備考] Masi <i>et al.</i> (2020)は乾腐病発生圃場の土壌から分離した<i>F. oxysporum</i>の接種による発病を確認した (注) 病原追加	サトイモ科 Araceae サトイモ(芋, 芋頭) Taro, Dasheen <i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott (野菜) 乾腐病* kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 日焼病, 赤紅病) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 倉田忠良:病虫雑 18(6):288, 1931(昭6) ; Nishimura, N. & Kudo, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(4):448, 1994 [備考] Nishimura & Kudo(1994)は<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>colocasiae</i>による乾腐病を萎凋病として区別した
---	--

ウコギ科 Araliaceae	ウコギ科 Araliaceae
-----------------	-----------------

キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>Hedera canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>Hedera helix</i> L. 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Xanthomonas hortorum</i> pv. <i>hederae</i> (Arnaud 1920) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>hederae</i> (Arnaud 1920) Dye 1978] 瀧川雄一ら:日植病報 63(3):198, 1997 ; Suzuki, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):398, 2002 [備考] カナリーキヅタ・セイヨウキヅタに発生 (注) 備考修正。文献には2種しか記載されていない。 イヨウキヅタはセイヨウキヅタの誤植と思われる	キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>Hedera canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>Hedera helix</i> L. 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Xanthomonas hortorum</i> pv. <i>hederae</i> (Arnaud 1920) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>hederae</i> (Arnaud 1920) Dye 1978] 瀧川雄一ら:日植病報 63(3):198, 1997 ; Suzuki, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):398, 2002 [備考] カナリーキヅタ・イヨウキヅタ・セイヨウキヅタに発生
---	--

ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参, オタネニンジン) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物) 苗腐病 naegusare-byo Seedling rot <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 佐藤豊三ら:日植病報 84(3):209, 2018 ; Uzuhashi, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(2):154, 2020 (注) 文献追加	ウコギ科 Araliaceae チョウセンニンジン(朝鮮人参, 薬用人参, オタネニンジン) Ginseng <i>Panax ginseng</i> Meyer (特用作物) 苗腐病 naegusare-byo Seedling rot <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 佐藤豊三ら:日植病報 84(3):209, 2018
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae	キク科 Asteraceae, Compositae
-----------------------------------	-----------------------------------

ノコギリソウ(ハゴロモソウ) Siberian yarrow <i>Achillea alpina</i> L. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Golovinomyces cichoracearum</i> (de Candolle) Geljuta var. <i>cichoracearum</i> 星 秀男ら:日植病報 74(3):178, 2008 [備考] オオバナノコギリソウ <i>A. ptarmica</i> (2) <i>Oidium asteris-punicei</i> Peck 丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999 [備考] ノコギリソウモドキ <i>A. stricta</i> Schle. & Gremli (3) <i>Oidium</i> sp. 佐藤 衛ら:関西病虫研報 36:91, 1994 [備考] 発芽管は <i>Erysiphe cichoracearum</i> 型 (注) 病原(1)および(2)の備考修正	ノコギリソウ(ハゴロモソウ) Siberian yarrow <i>Achillea alpina</i> L. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Golovinomyces cichoracearum</i> (de Candolle) Geljuta var. <i>cichoracearum</i> 星 秀男ら:日植病報 74(3):178, 2008 [備考] オオバノコギリソウ <i>A. ptarmica</i> (2) <i>Oidium asteris-punicei</i> Peck 丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999 [備考] ノコギリソウモドキ <i>A. stricta</i> Schle & Gromli (3) <i>Oidium</i> sp. 佐藤 衛ら:関西病虫研報 36:91, 1994 [備考] 発芽管は <i>Erysiphe cichoracearum</i> 型
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae セイヨウノコギリソウ Yarrow <i>Achillea millefolium</i> L. (草花) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia cnici-oleracei</i> Persoon ex Desmazières [<i>Puccinia ptarmicae</i> P. Karsten] 我孫子和雄ら:関西病虫研報 32:78, 1990 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:870, 1992 [備考] 接種試験未了。我孫子は <i>A. millefolium</i> を, Hiratsuka <i>et al.</i> はエゾノコギリソウ <i>A. ptarmica</i> var. <i>macrocephala</i> について記載 (注) 備考訂正。カミツレモドキはセイヨウノコギリソウとは属が異なるので削除し、新病名と	キク科 Asteraceae, Compositae セイヨウノコギリソウ Yarrow <i>Achillea millefolium</i> L. (草花) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia cnici-oleracei</i> Persoon ex Desmazières [<i>Puccinia ptarmicae</i> P. Karsten] 我孫子和雄ら:関西病虫研報 32:78, 1990 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:870, 1992 [備考] 接種試験未了。我孫子は <i>A. millefolium</i> を, Hiratsuka <i>et al.</i> はエゾノコギリソウ <i>A. ptarmica</i> var. <i>macrocephala</i>, カミツレモドキ <i>A. cotula</i> について記載
--	--

して独立させる キク科 Asteraceae, Compositae カミツレモドキ Stinking Chamomile <i>Anthemis cotula</i> L. (草花) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia cnici-oleracei</i> Persoon ex Desmazières [Puccinia ptarmicae P. Karsten] Hiratsuka, N. <i>et al.</i>: The rust flora of Japan:870, 1992 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名、新規宿主	
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae センダングサ類 Tickseed, Beggar ticks, Stick-tight, Bur-Marigold, Pitchforks, Spanish Needles <i>Bidens</i> spp. (野草) コバノセンダングサ <i>Bidens bipinnata</i> L. センダングサ <i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merrill & Sherff アメリカセンダングサ <i>Bidens frondosa</i> L. コシロノセンダングサ(シロバナセンダングサ) <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff コセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i> タウコギ <i>Bidens tripartita</i> L. 白絹病 shiraku-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 竹内 純ら:関東病虫研報 45:127, 1998 [備考] ウィンターコスモス(キクザキセンダング サ <i>B. laevis</i> (L.) B.S.P.) に発生	キク科 Asteraceae, Compositae センダングサ類 Tickseed, Beggar's, Stick-tight, Bur-Marigold, Pitchforks, Spanish Needles <i>Bidens</i> spp. (野草) コバノセンダングサ <i>Bidens bipinnata</i> L. センダングサ <i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merrill & Sherff アメリカセンダングサ <i>Bidens frondosa</i> L. コシロノセンダングサ(シロバナセンダングサ) <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff コセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i> タウコギ <i>Bidens tripartita</i> L. 白絹病 shiraku-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 竹内 純ら:関東病虫研報 45:126, 1998 [備考] ウィンターコスモス(キクセンダングサ <i>B.</i> <i>laevis</i> (L.) B.S.P.) に発生
--	--

(注) 宿主英名・備考訂正。文献ページ訂正(126ページは白紙ページ)	
-------------------------------------	--

キク科 Asteraceae, Compositae センダングサ類 Tickseed, Beggar ticks, Stick-tight, Bur-Marigold, Pitchforks, Spanish Needles <i>Bidens</i> spp. (野草) コバノセンダングサ <i>Bidens bipinnata</i> L. センダングサ <i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merrill & Sherff アメリカセンダングサ <i>Bidens frondosa</i> L. コシロノセンダングサ(シロバナセンダングサ) <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff コセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i> タウコギ <i>Bidens tripartita</i> L. そうか病 soka-byo Scab <i>Sphaceloma bidentis</i> Bitancourt & Jenkins 今井 彩ら:日植病報 75(3):235, 2009 [備考] ウィンターコスモス (キク ザキセンダングサ <i>B. laevis</i>) に発生 (注) 宿主英名・備考訂正	キク科 Asteraceae, Compositae センダングサ類 Tickseed, Beggar's, Stick-tight, Bur-Marigold, Pitchforks, Spanish Needles <i>Bidens</i> spp. (野草) コバノセンダングサ <i>Bidens bipinnata</i> L. センダングサ <i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merrill & Sherff アメリカセンダングサ <i>Bidens frondosa</i> L. コシロノセンダングサ(シロバナセンダングサ) <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff コセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i> タウコギ <i>Bidens tripartita</i> L. そうか病 soka-byo Scab <i>Sphaceloma bidentis</i> Bitancourt & Jenkins 今井 彩ら:日植病報 75(3):235, 2009 [備考] ウィンターコスモス (キクセンダングサ <i>B. leavis</i>) に発生
--	---

シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア <i>Begonia</i> <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>Begonia evansiana</i> Andrews †††† <i>Chrysanthemum stem necrosis orthospovirus</i>	シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア <i>Begonia</i> <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>Begonia evansiana</i> Andrews
--	---

(CSNV) キク茎えそウイルス 平山喜彦ら:日植病報 86(1):59, 2020 [備考] 遺伝子解析による検出 (注) 新宿主。元ウイルス病とは別項目とした	
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カラシナ(芥菜) Leaf mustard <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. Cernua Group (野菜) タカナ Brown mustard <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. Integlifolia Group 葉腐病 hagusare-byo Foliar rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn Yang, Gen-Hua <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(5):377, 2005 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 70:42, 2019 [備考] 三澤らは、菌糸融合群 AG-2-1を報告した。 Yang <i>et al.</i>は、中国・雲南省にて、Chinese mustard (<i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. var. <i>rugosa</i>) で、 菌糸融合群 AG-1Bを報告した (注) 病名ダガー削除。備考変更	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カラシナ(芥菜) Leaf mustard <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. Cernua Group (野菜) タカナ Brown mustard <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. Integlifolia Group ++++葉腐病 hagusare-byo Foliar rot †<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn Yang, Gen-Hua <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(5):377, 2005 [備考] 菌糸融合群 AG-1B。Chinese mustard (<i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. var. <i>rugosa</i>) に発生。中 国・雲南省
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キサラギナ(ターサイ, ヌキナ) Broad-beaked mustard <i>Brassica rapa</i> L. Narinosa Group (野菜) リゾクトニア病 <i>Rhizoctonia</i>-byo <i>Rhizoctonia</i> disease <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 三澤知央ら:北日本病虫研報 70:42, 2019 [備考] ヌキナ。菌糸融合群 AG-2-1	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キサラギナ(ターサイ) Broad-beaked mustard <i>Brassica rapa</i> L. Narinosa Group (野菜)
--	--

(注) 新病名、新規宿主。病名英名を確認してください。	
-----------------------------	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 黒腐病 kurogusare-byo Black rot <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939 [<i>Pseudomonas campestris</i> (Pammel) Smith] 白井光太郎:最近植物病理学:259, 1903(明36) ; 山口修平ら:関東病虫研報 66:18, 2019 [備考] 山口ら(2019)は, ノラボウナでの報告 (注) 備考追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 黒腐病 kurogusare-byo Black rot <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939 [<i>Pseudomonas campestris</i> (Pammel) Smith] 白井光太郎:最近植物病理学:259, 1903(明36)
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 立枯病 tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 窪田昌春ら:日植病報 75(3):170, 2009 ; 窪田昌春ら:日植病報 75(3):238, 2009 ; 三澤知央ら:北日本	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 立枯病 tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 窪田昌春ら:日植病報 75(3):170, 2009 ; 窪田昌春ら:日植病報 75(3):238, 2009
---	---

病虫研報 70:42, 2019 [備考] ナバナ。菌糸融合群 AG-2-1 培養型II。 三澤らは, ノラボウナでの報告 (注) 備考追加	[備考] ナバナ。菌糸融合群 AG-2-1 培養型II
--	------------------------------------

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜) Spinach mustard, Tendergreen mustard <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) 黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 折原紀子ら:日植病報 82(1):28, 2016 ; 折原紀子ら:関東病虫研報 66:14, 2019 (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 折原紀子ら:関東病虫研報 63:131, 2016 ; 折原紀子ら:関東病虫研報 66:14, 2019 (注) 文献追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜) Spinach mustard, Tendergreen mustard <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) 黒斑細菌病 kokuhan-saikin-byo Bacterial leaf spot (1) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 折原紀子ら:日植病報 82(1):28, 2016 (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>maculicola</i> (McCulloch 1911) Young, Dye & Wilkie 1978 折原紀子ら:関東病虫研報 63:131, 2016
--	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 基腐病* motogusare-byo Foot rot <i>Phomopsis destruens</i> (Harter) Boerema, Loerakker & Hamers	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 基腐病* motogusare-byo Foot rot 病原未詳 [備考] 前田 藍ら(2019)は九州病害虫研究会第97
---	--

前田 藍ら:九病虫研究会報 65:105, 2019 (注) 病原同定、文献追加、備考削除	回研究発表会で病原菌を<i>Phomopsis destruens</i>とした
---	---

ベンケイソウ科 Crassulaceae グラプトペタラム (Graptopetalum) <i>Graptopetalum</i> spp. (草花) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 富樫二郎・生井恒雄:日植病報 66(3):266, 2000 ; 富樫二郎・生井恒雄:山形大紀要農 13(4):307, 2001 [備考] <i>G. paraguayense</i> (N. E. Br.) E. Walth. (園芸 名・おぼろつき) に発生 (注) 文献追加、備考訂正	ベンケイソウ科 Crassulaceae グラプトペタラム (Graptopetalum) <i>Graptopetalum</i> spp. (草花) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 富樫二郎・生井恒雄:日植病報 66(3):266, 2000 [備考] <i>G. paraguayense</i> (N. E. Br.) E. Walth. (園芸 名・おぼろつき) に発生
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 退緑黄化病* tairyoku-oka-byo Chlorotic yellows Cucurbit chlorotic yellows virus (CCYV) 久野公子ら:日植病報 74(3):218, 2008 ; 古田明子 ら:日植病報 74(3):218, 2008 ; 山崎修一ら:日植病 報 74(3):218, 2008 ; 奥田 充:日植病報 75(3):182, 2009	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 退緑黄化病* tairyoku-oka-byo Chlorotic yellows Cucurbit chlorotic yellows virus (CCYV) 久野公子ら:日植病報 74(3):218, 2008 ; 古田明子 ら:日植病報 74(3):218, 2008 ; 岡崎真一郎ら:日植 病報 74(3):218, 2008 ; 奥田 充:日植病報 75(3):182, 2009
---	--

(注) 日植病報 75(3)と同時に送付された訂正表に従う	
-------------------------------	--

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 斑点病 hanten-byo Leaf blotch <i>Cercospora citrullina</i> Cooke [<i>Cercospora cucurbitae</i> Ellis & Everhart] 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960 [備考] 原 攝祐 (静岡県農会報363:39, 1928) は <i>Ascochyta cucumis</i> Fautrey & Roumeguère (ウリ類 する枯病菌の不完全世代<i>Phoma cucurbitacearum</i> の異名) による病害を斑点病として報告した (注) 備考訂正	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 斑点病 hanten-byo Leaf blotch <i>Cercospora citrullina</i> Cooke [<i>Cercospora cucurbitae</i> Ellis & Everhart] 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960 [備考] 原 攝祐 (静岡県農会報363:39, 1928) は <i>Ascochyta cucumis</i> Fautrey & Roumeguère (ウリ類 する枯病菌の不完全世代<i>Phoma cucurubitarum</i> の異名) による病害を斑点病として報告した
--	--

ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea bulbifera</i> L. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb.	ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea bulbifera</i> L. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb.
---	---

オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion (1) <i>Pratylenchus coffeae</i> (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ 後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964 ; 大井田 寛ら:関東病虫研報 66:89, 2019 [備考] 病原線虫は, <i>P. pratensis</i> (de Man) Filipjev とされたことがある。大井田ら(2019)は, ミナミネグサレセンチュウA型を報告した (2) <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ 十勝農試・(株)雪印種苗:北農 65(2):189, 1998 (3) <i>Pratylenchus</i> sp. ネグサレセンチュウの1種 及川 健ら:北日本病虫研報 42:182, 1991 [備考] 上記種との異同は不明 (注) 備考追加	オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion (1) <i>Pratylenchus coffeae</i> (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ 後藤重喜:九農研 7:71, 1950 ; 後藤重喜:宮崎農試研報 5:1, 1964 [備考] 病原線虫は, <i>P. pratensis</i> (de Man) Filipjev とされたことがある (2) <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ 十勝農試・(株)雪印種苗:北農 65(2):189, 1998 (3) <i>Pratylenchus</i> sp. ネグサレセンチュウの1種 及川 健ら:北日本病虫研報 42:182, 1991 [備考] 上記種との異同は不明
--	---

ツツジ科 Ericaceae ハナヒリノキ (<i>Leucothoe</i>) <i>Leucothoe grayana</i> Maxim. var. <i>oblongifolia</i> (Miq.) Ohwi (広葉樹) ††††うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:97, 1977 [備考] コシノハナヒリノキ (<i>Leucothoe grayana</i> var. <i>hypoleuca</i>)。病原菌の形態記載なし (注) 備考中の宿主和名と宿主学名属名を訂正し、宿主を既登録宿主のハナヒリノキへ変更す	ツツジ科 Ericaceae イソツツジ Marsh tea, Wild rosemary <i>Ledum palustre</i> var. <i>diversipilosum</i> Nakai (広葉樹) ††††うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:97, 1977 [備考] コバノハナヒリノキ (<i>Ledum grayana</i> var. <i>hypoleuca</i>)。病原菌の形態記載なし
--	--

る	
---	--

ツツジ科 Ericaceae アセビ(馬酔木) Japanese andromeda <i>Pieris japonica</i> (Thunb.) D. Don (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo Pestalotiopsis leaf rot (1) <i>Neopestalotiopsis</i> sp. 野澤俊介・渡辺京子:日植病報 82(3):218, 2016 ; Nozawa, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 85(6):449, 2019 (2) <i>Pestalotiopsis chamaeropsis</i> Maharachchikumbura, K.D. Hyde & Crous 野澤俊介ら:日植病報 82(1):25, 2016 ; Nozawa, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 85(6):449, 2019 (注) 文献追加	ツツジ科 Ericaceae アセビ(馬酔木) Japanese andromeda <i>Pieris japonica</i> (Thunb.) D. Don (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo Pestalotiopsis leaf rot (1) <i>Neopestalotiopsis</i> sp. 野澤俊介・渡辺京子:日植病報 82(3):218, 2016 (2) <i>Pestalotiopsis chamaeropsis</i> Maharachchikumbura, K.D. Hyde & Crous 野澤俊介ら:日植病報 82(1):25, 2016
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 黄化葉巻病 oka-hamaki-byo Leaf curling and yellowing <i>Ageratum yellow vein virus</i> (AYVV) カッコウアザミ葉脈黄化ウイルス 富高保弘ら:日植病報 86(1):75, 2020 ; Tomitaka, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):227, 2020 (注) 新病名	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物)
--	--

ブナ科 Fagaceae ナラ類(檜) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水檜, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小檜) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai 褐色円星病* kasshoku-maruhoshi-byo (円星病) <i>Marssonina martini</i> (Saccardo & Ellis) Magnus [<i>Marssonina martini</i> Saccardo & Ellis] Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(327):53, 1914(大3) ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):37, 1943(昭18) ; 丹田誠之助:東農大農学集報 27(3):229, 1983 [備考] ミズナラ・ナラガシワ・アオナラガシワ (<i>Q. aliena</i> var. <i>pellucida</i>) (注) 備考訂正、文献ページ訂正	ブナ科 Fagaceae ナラ類(檜) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水檜, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小檜) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai 褐色円星病* kasshoku-maruhoshi-byo (円星病) <i>Marssonina martini</i> (Saccardo & Ellis) Magnus [<i>Marssonina martini</i> Saccardo & Ellis] Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 28(237):53, 1914(大3) ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):37, 1943(昭18) ; 丹田誠之助:東農大農学集報 27(3):229, 1983 [備考] ミズナラ・ナラガシワ・オオナラガシワ (<i>Q. aliena</i> var. <i>pellucida</i>)
--	--

リンドウ科 Gentianaceae リンドウ	リンドウ科 Gentianaceae リンドウ
------------------------------------	------------------------------------

Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) †††† <i>Sikte waterborne virus</i> (SWBV) シクテウオーター ボーンウイルス 藤崎恒喜ら:日植病報 86(1):71, 2020 (注) 新宿主。元ウイルス病とは別項目とした	Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花)
--	--

リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 近藤 亨:日植病報 84(1):54, 2018 ; Kondo, T.:J. Gen. Plant Pathol. 85(6):440, 2019 [備考] 茎枯病の症状とは異なる (2) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 山城 都ら:日植病報 79(3):181, 2013 ; 山城 都ら: 日植病報 81(1):43, 2015 [備考] <i>F. solani</i> complex Clade 3に属する。山城ら (2013)は本病を株腐病と提案したが、のちに本病 とした (注) 文献追加	リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 近藤 亨:日植病報 84(1):54, 2018 [備考] 茎枯病の症状とは異なる (2) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 山城 都ら:日植病報 79(3):181, 2013 ; 山城 都ら: 日植病報 81(1):43, 2015 [備考] <i>F. solani</i> complex Clade 3に属する。山城ら (2013)は本病を株腐病と提案したが、のちに本病 とした
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ハトムギ(慧苡)	イネ科 Gramineae, Poaceae ハトムギ(慧苡)
---	---

Job's tears <i>Coix lacryma-jobi</i> L. var. <i>ma-yuen</i> (Roman.) Stapf [<i>Coix lacryma-jobi</i> var. <i>frumentacea</i> Makino] (食用作物) 立枯病 tachigare-byo Damping off <i>Phoma</i> sp. 築尾嘉章ら:北陸病虫研報 68:55, 2019 (注) 新病名	Job's tears <i>Coix lacryma-jobi</i> L. var. <i>ma-yuen</i> (Roman.) Stapf [<i>Coix lacryma-jobi</i> var. <i>frumentacea</i> Makino] (食用作物)
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling damping-off (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 清 多佳子ら:日植病報 86(1):41, 2020 (2) <i>Pythium periilum</i> Drechsler 清 多佳子ら:日植病報 86(1):41, 2020 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類)	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類)
--	--

ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (朱病, 赤渋病, 竹蓐病, すずめのたまご) <i>Stereostium corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson 安田 篤:植物学雑 31(364):95, 1917(大6); 吉永虎馬:植物学雑 19(217):34, 1905(明38); Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:272, 1961 [備考] モウソウチク・マダケ・ハチク・キンメイチク。病菌の異名はカンチク赤衣病参照 (注) 備考訂正。第1版ではキンメイチクとなっている	ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (朱病, 赤渋病, 竹蓐病, すずめのたまご) <i>Stereostium corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson 安田 篤:植物学雑 31(364):95, 1917(大6); 吉永虎馬:植物学雑 19(217):34, 1905(明38); Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:272, 1961 [備考] モウソウチク・マダケ・ハチク・キンケイチク。病菌の異名はカンチク赤衣病参照
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (<i>Phyllostachys</i>) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. &	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (<i>Phyllostachys</i>) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. &
--	--

Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys</i> <i>makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 赤だんご病 akadango-byo Reddish bamboo- apple <i>Shiraia bambusicola</i> Hennings 原 攝祐:岐阜県農会雑 21(4):25, 1909(明42); 出 田 新:日本植物病理学(上):239, 1909(明42) [備考] マダケ・ハチク・コウチク(<i>P. nidularia</i>)・ キンメイチク(<i>P. bambusoides</i> f. <i>castillonis</i>) (注) 備考訂正	Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys</i> <i>makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 赤だんご病 akadango-byo Reddish bamboo- apple <i>Shiraia bambusicola</i> Hennings 原 攝祐:岐阜県農会雑 21(4):25, 1909(明42); 出 田 新:日本植物病理学(上):239, 1909(明42) [備考] マダケ・ハチク・コウチク(<i>P. nidularia</i>)・ キンメイチク(<i>P. bambusoides</i> f. <i>castillonis</i>)
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino
--	--

タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Crucibulum vulgare</i> (Hudson) Kambly ツネノチャダイゴケ 原 攝祐:植物学雑 27(317):256, 1913(大2) [備考] マダケ (注) 病原和名訂正	タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf †††† <i>Crucibulum vulgare</i> Tulasne & C. Tulasne キツネノチャダイゴケ 原 攝祐:植物学雑 27(317):256, 1913(大2) [備考] マダケ
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Chaetopatella setulosa</i> (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [<i>Heteropatella setulosa</i> I. Hino & Katumoto]	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Chaetopatella setulosa</i> (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [<i>Heteropatella setulosa</i> I. Hino & Katumoto]
--	--

日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:234, 1954 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 33(8):239, 1958 [備考] メダケ。病菌は<i>Pseudolachnea scolecospora</i> Teng & C.I. Chen と同一種とされている (注) 備考訂正	日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 5:234, 1954 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 33(8):239, 1958 [備考] メダケ。病菌は<i>Pseudolachnea scolecospora</i> Teng & Shen と同一種とされている
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Chaetopatella setulosa</i> (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [<i>Heteropatella setulosa</i> I. Hino & Katumoto] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:252, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 33(8):239, 1958 [備考] スズタケ・チトセザサ(<i>Sasa takizawana</i> var. <i>lasioclada</i>)。病菌は<i>Pseudolachnea scolecospora</i> Teng & C.I. Chenと同一種とされている	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Chaetopatella setulosa</i> (I. Hino & Katumoto) I. Hino & Katumoto [<i>Heteropatella setulosa</i> I. Hino & Katumoto] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:252, 1961 ; 日野 巖・勝本 謙:植研雑 33(8):239, 1958 [備考] スズタケ・チトセザサ(<i>Sasa takizawana</i> var. <i>lasioclada</i>)。病菌は<i>Pseudolachnea scolecospora</i> Teng & Shenと同一種とされている
--	---

(注) 備考訂正

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight (赤黴病, 黒点病, 赤麴病) (1) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser 富岡啓介ら:日植病報 86(1):58, 2020 [備考] マカロニコムギに発生 (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 栃内吉彦・杉本利哉:日植病報 17(3-49):182, 1953 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (3) <i>Fusarium crookwellense</i> L.W. Burgess, P.E. Nelson & Toussoun Sugiura, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 35(1):77, 1994 (4) <i>Fusarium culmorum</i> (W.G. Smith) Saccardo 小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (5) <i>Gibberella zeae</i> (Schweinitz) Petch 出田 新:実用植物病理学 196, 1902(明 35); 西門義一:農業改良技術資料 97:10, 1958 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (6) <i>Microdochium majus</i> (Wollenweber) Glynn & S.G. Edwards Hayashi, Y. <i>et al.</i>:Eur. J. Plant Pathol. 140(4):787, 2014 (7) <i>Microdochium nivale</i> (Fries) Samuels & I.C. Hallett [<i>Monographella nivalis</i> (Schaffnit) E. Müller, <i>Fusarium nivale</i> Cesati ex Berlese & Voglino] 小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983 ; Hayashi,	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight (赤黴病, 黒点病, 赤麴病) (1) <i>Gibberella zeae</i> (Schweinitz) Petch 出田 新:実用植物病理学 196, 1902(明35) ; 西門義一:農業改良技術資料 97:10, 1958 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 栃内吉彦・杉本利哉:日植病報 17(3-49):182, 1953 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (3) <i>Fusarium culmorum</i> (W.G. Smith) Saccardo 小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (4) <i>Fusarium crookwellense</i> L.W. Burgess, P.E. Nelson & Toussoun Sugiura, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 35(1):77, 1994 (5) <i>Monographella nivalis</i> (Schaffnit) E. Müller [<i>Microdochium nivale</i> (Fries) Samuels & I.C. Hallett] 小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983
---	--

<i>Y. et al.</i>:Eur. J. Plant Pathol. 140(4):787, 2014 [備考] 病原菌の異名と使用種名, 文献についての解説はオオムギ赤かび病参照 (注) 病原追加、病原順変更	[備考] 病原菌の異名と使用種名, 文献についての解説はオオムギ赤かび病参照
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. †††† <i>Fusarium</i> sp. 池田幸子・角野晶大:日植病報 86(1):31, 2020 [備考] 株腐症状。海外で発生している<i>Fusarium</i> foot rotと考えられる (注) 新宿主	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf.
--	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae メボウキ(バジル) Sweet basil <i>Ocimum basilicum</i> L. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Phytophthium helicoides</i> (Drechsler) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 芳田侃大ら:日植病報 86(1):58, 2020 (注) 新病名	シソ科 Labiatae, Lamiaceae メボウキ(バジル) Sweet basil <i>Ocimum basilicum</i> L. (野菜)
--	--

クスノキ科 Lauraceae シロダモ(五爪楠)	クスノキ科 Lauraceae シロダモ(五爪楠)
---	---

(Neolitsea) <i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz. (広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (痣病, 煤病) (1) <i>Armatella litseae</i> (Hennings) Theissen & Sydow 安田 篤:植物学各論隠花部:369, 1911(明44); 松村 任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明37); Hemmi, T.:Bot. Mag. Tokyo 30(358):341, 1916(大5) [備考] コバノシロダモ・ニイタカシロダモ(<i>N. acutotrineria</i>)にも発生。病原菌の異名はヤブニ ッケイすす病参照 (2) <i>Micropeltis fusoma</i> I. Hino & Katumoto Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 8:640, 1957 [備考] イヌガシ [備考] 備考訂正	(Neolitsea) <i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz. (広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (痣病, 煤病) (1) <i>Armatella litseae</i> (Hennings) Theissen & Sydow 安田 篤:植物学各論隠花部:369, 1911(明44); 松村 任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明37); Hemmi, T.:Bot. Mag. Tokyo 30(358):341, 1916(大5) [備考] コバノシロダモ・ニイタカシロダモ(<i>N. acutotrineria</i>)にも発生。病原菌の異名はヤブニ ッケイすす病参照 (2) <i>Micropeltis fusoma</i> I. Hino & Katumoto Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 8:640, 1957 [備考] イヌガシ
---	--

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto,	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto,
--	--

Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 [備考] 達・永坂 (2018)は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (5) <i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (注) 病原追加	Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 [備考] 達・永坂 (2018)は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (5) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (6) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983
---	--

ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) †††† (1) <i>Garlic virus A</i> (GarV-A) ニンニク A ウイルス (2) <i>Garlic virus B</i> (GarV-B) ニンニク B ウイルス (3) <i>Garlic virus C</i> (GarV-C) ニンニク C ウイルス (4) <i>Garlic virus D</i> (GarV-D) ニンニク D ウイルス Sumi, S. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 144:1819, 1999 ; 佐々木 純ら:日植病報 86(1):30, 2020 [備考] RT-PCR による検出	ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜)
--	--

(注) 新宿主。元ウイルス病とは別項目とした	
------------------------	--

ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 春腐病 harugusare-byo (1) <i>Erwinia</i> sp. 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (2) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (3) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 杉山 悟ら:日植病報 47(3):396, 1981 ; 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (4) <i>Pseudomonas salomonii</i> Gardan, Bella, Meyer, Christen, Rott, Achouak & Samson 2002 Sawada, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):180, 2020 (注) 病原追加、病原順変更	ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 春腐病 harugusare-byo (1) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 杉山 悟ら:日植病報 47(3):396, 1981 ; 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (2) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (3) <i>Erwinia</i> sp. 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982
---	---

ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 葉枯病 hagare-byo Tip blight (1) <i>Pleospora herbarum</i> (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [<i>Stemphylium botryosum</i> non Wallroth sensu auct. pl., <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons]	ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 葉枯病 hagare-byo Tip blight <i>Pleospora herbarum</i> (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [<i>Stemphylium botryosum</i> non Wallroth sensu auct. pl., <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons]
--	--

福西 務ら:日植病報 43(1):86, 1977 ; 杉山 悟・松 中謙次郎:日植病報 50(1):110, 1984 [備考] タマネギ葉枯病参照 (2) <i>Stemphylium</i> sp. 三澤知央ら:北日本病虫研報 70:62, 2019 [備考] <i>Stemphylium</i> sp. 系統群 C2 (注) 病原追加	福西 務ら:日植病報 43(1):86, 1977 ; 杉山 悟・松 中謙次郎:日植病報 50(1):110, 1984 [備考] タマネギ葉枯病参照
--	---

ユリ科 Liliaceae ハラン(バラン, 葉蘭) Aspidistra <i>Aspidistra elatior</i> Blume (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum liliacearum</i> (Schweinitz) Ferraris [<i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove, <i>Colletotrichum omnivorum</i> Halsted] 豊田太吉:病虫雑 1(2):160, 1914(大3) ; 小林享夫 ら:植物病原菌類図説:590, 1992 (2) <i>Colletotrichum liriopes</i> Damm, P.F. Cannon & Crous 高田美輝ら:日植病報 86(1):39, 2020 (注) 病原追加	ユリ科 Liliaceae ハラン(バラン, 葉蘭) Aspidistra <i>Aspidistra elatior</i> Blume (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum liliacearum</i> (Schweinitz) Ferraris [<i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove, <i>Colletotrichum omnivorum</i> Halsted] 豊田太吉:病虫雑 1(2):160, 1914(大3) ; 小林享夫 ら:植物病原菌類図説:590, 1992
--	---

ユリ科 Liliaceae キキョウラン Blue flax lily <i>Dianella ensifolia</i> (L.) DC. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 坂本 彩ら:関東病虫研報 66:28, 2019 (注) 新病名	ユリ科 Liliaceae キキョウラン Blue flax lily <i>Dianella ensifolia</i> (L.) DC. (草花)
--	--

ユリ科 Liliaceae サンダーソニア Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) 乾腐病 kampu-byo Bulb rot (1) †††<i>Fusarium anguioides</i> Sherbakoff 迫田琢也ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; Sakoda, T. <i>et al.</i>: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 久保周子ら:日植病報 85(1):55, 2019 ; 久保周子 ら:関東病虫研報 66:32, 2019 (3) †††<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium avenaceum</i> species complex) Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド (注) 文献追加	ユリ科 Liliaceae サンダーソニア Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) 乾腐病 kampu-byo Bulb rot (1) †††<i>Fusarium anguioides</i> Sherbakoff 迫田琢也ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; Sakoda, T. <i>et al.</i>: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 久保周子ら:日植病報 85(1):55, 2019 (3) †††<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium avenaceum</i> species complex) Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド
--	--

ユリ科 Liliaceae トリテレイア (<i>Triteleia</i>) <i>Triteleia</i> spp. (草花) 疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora</i> sp. 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 60(6):747, 1994 [備考] <i>Triteleia</i> × <i>tubergenii</i> に発生 (注) 備考訂正。文献は「<i>thubergenii</i>」だが、ミス スペルと思われる	ユリ科 Liliaceae トリテレイア (<i>Triteleia</i>) <i>Triteleia</i> spp. (草花) 疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora</i> sp. 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 60(6):747, 1994 [備考] <i>Triteleia</i> × <i>thumbergenii</i> に発生
---	---

キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia glabra</i> L. (果樹) 実腐病 migusare-byo Fruit rot <i>Gilbertella persicaria</i> (E.D. Eddy) Hesseltine 澤峠 哲也ら:日植病報 86(1):77, 2020 (注) 新病名	キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia glabra</i> L. (果樹)
--	--

アオイ科 Malvaceae ヒビスカス(ブッソウゲ) Shoeflower <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L. (広葉樹) 黄斑病 ohan-byo Yellow mosaic Hibiscus yellow mosaic virus# (HYMV) 柏崎 哲ら:日植病報 48(3):395, 1982 (注) 宿主を既登録宿主のヒビスカスへ変更する。備考削除	アオイ科 Malvaceae ハイビスカス Hibiscus <i>Hibiscus</i> spp. (広葉樹) 黄斑病 ohan-byo Yellow mosaic Hibiscus yellow mosaic virus# (HYMV) 柏崎 哲ら:日植病報 48(3):395, 1982 [備考] <i>H. rosa-sinensis</i> に発生
--	--

アオイ科 Malvaceae ヒビスカス(ブッソウゲ) Shoeflower <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L. (広葉樹) 退緑斑病 tairyokuhan-byo Chlorotic ring spot <i>Hibiscus chlorotic ringspot virus</i> (HCRSV) 柏崎 哲ら:日植病報 48(3):395, 1982	アオイ科 Malvaceae ハイビスカス Hibiscus <i>Hibiscus</i> spp. (広葉樹) 退緑斑病 tairyokuhan-byo Chlorotic ring spot <i>Hibiscus chlorotic ringspot virus</i> (HCRSV) 柏崎 哲ら:日植病報 48(3):395, 1982 [備考] <i>H. rosa-sinensis</i> に発生
--	--

(注) 宿主を既登録宿主のヒビスカスへ変更する。備考削除	
------------------------------	--

クズウコン科 Marantaceae カラテア <i>Calathea</i> <i>Calathea</i> spp. (草花) 円斑病 maruhan-byo Bipolaris leaf spot <i>Bipolaris</i> sp. 竹内 純ら:関東病虫研報 48:75, 2001 [備考] <i>Calathea louisae</i> Gagnep. および <i>C. zebrina</i> (Sims) Lindl. に発生 (注) 備考訂正	クズウコン科 Marantaceae カラテア <i>Calathea</i> <i>Calathea</i> spp. (草花) 円斑病 maruhan-byo Bipolaris leaf spot <i>Bipolaris</i> sp. 竹内 純ら:関東病虫研報 48:75, 2001 [備考] <i>Calathea louise</i> Gagnep. および <i>C. zebrina</i> (Sims) Lindl. に発生
--	---

ツヅラフジ科 Menispermaceae タマザキツヅラフジ (Stephania) <i>Stephania cephalantha</i> Hayata (特用作物) †褐斑病 kappan-byo Brown leat spot <i>Phyllosticta kotoensis</i> Sawada 澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):112, 1943(昭18) [備考] 台湾。コウトウツヅラフジ (<i>Stephania sasakii</i>) (注) 備考訂正	ツヅラフジ科 Menispermaceae タマザキツヅラフジ (Stephania) <i>Stephania cephalantha</i> Hayata (特用作物) †褐斑病 kappan-byo Brown leat spot <i>Phyllosticta kotoensis</i> Sawada 澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):112, 1943(昭18) [備考] 台湾。コウトウツヅラフジ (<i>Sinomenium sasakii</i>)
---	--

ツヅラフジ科 Menispermaceae タマザキツヅラフジ (Stephania) <i>Stephania cephalantha</i> Hayata	ツヅラフジ科 Menispermaceae ハスノハカズラ (Stephania) <i>Stephania japonica</i> (Thunb.) Miers
--	---

(特用作物) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal emend. Snyder & Hansen 鍵渡徳次:関東病虫研報 33:163, 1986 (注) 宿主を既登録宿主のタマザキツヅラフジへ変更する。備考削除	(広葉樹) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal emend. Snyder & Hansen 鍵渡徳次:関東病虫研報 33:163, 1986 [備考] タマザキツヅラフジ(<i>S. cepharantha</i>)に発生
---	--

ツヅラフジ科 Menispermaceae タマザキツヅラフジ (Stephania) <i>Stephania cephalantha</i> Hayata (特用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe stephaniae</i> Tanda & Tas. Fukuda Tanda, S.:Mycoscience 35(1):49, 1994 ; 丹田誠之助: 日菌報 35(1):74, 1994 ----- ツヅラフジ科 Menispermaceae ハスノハカズラ (Stephania) <i>Stephania japonica</i> (Thunb.) Miers (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 高松 進ら:日菌報 19(1):67, 1978 (注) タマザキツヅラフジとハスノハカズラのうどんこ病の宿主を入れ替える。各備考を削除	ツヅラフジ科 Menispermaceae ハスノハカズラ (Stephania) <i>Stephania japonica</i> (Thunb.) Miers (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe stephaniae</i> Tanda & Tas. Fukuda Tanda, S.:Mycoscience 35(1):49, 1994 ; 丹田誠之助: 日菌報 35(1):74, 1994 [備考] タマザキツヅラフジ ----- ツヅラフジ科 Menispermaceae タマザキツヅラフジ (Stephania) <i>Stephania cephalantha</i> Hayata (特用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 高松 進ら:日菌報 19(1):67, 1978 [備考] ハスノハカズラ (<i>S. japonica</i>)
---	---

クワ科 Moraceae カカツガユ	クワ科 Moraceae ハリグワ
--------------------------------	-------------------------------

Cockspur thorn <i>Cudrania cochinchinensis</i> Kudo & Masam. var. <i>gerontogea</i> Kudo & Masam. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Uredo sinensis</i> Trotter Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:15, 1955 (注) 宿主を既登録宿主のカカツガユへ変更す る。備考削除、宿主英名追加	Osage orange <i>Cudrania tricuspidata</i> (Carr.) Bur. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Uredo sinensis</i> Trotter Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:15, 1955 [備考] カカツガユ(<i>Cudrania cochinchinensis</i> var. <i>gerontogea</i>)
--	--

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Criconema mutabile</i> (Taylor) Raski & Luc [<i>Nothocriconema mutabile</i> (Taylor) de Grise & Loof, <i>Nothocriconemella mutabilis</i> (Taylor) Ebsary] ワ センチュウの1種 Toida, Y. & Momota, Y.:Jpn. J. Nematol. 10:27, 1981 ; 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984 (2) <i>Criconemella xenoplax</i> (Raski) Raski & Luc [<i>Macroposthonia xenoplax</i> (Raski) de Grise & Loof] ワセンチュウの1種 Toida, Y. & Momota, Y.:Jpn. J. Nematol. 10:27, 1981 ; 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Criconema mutabile</i> (Taylor) Raski & Luc [<i>Nothocriconema mutabile</i> (Taylor) de Grise & Loof, <i>Nothocriconemella mutabilis</i> (Taylor) Ebsary] ワ センチュウの1種 Toida, Y. & Momota, Y.:Jpn. J. Nematol. 10:27, 1981 ; 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984 (2) <i>Criconemella xenoplax</i> (Raski) Raski & Luc [<i>Macroposthonia xenoplax</i> (Raski) de Grise & Loof] ワセンチュウの1種 Toida, Y. & Momota, Y.:Jpn. J. Nematol. 10:27, 1981 ; 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984
--	--

(3) <i>Cryphodera</i> sp. ニセシストセンチュウの1種 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 ; 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971 ; 吉野治男ら:東京蚕指要報 18:11, 1984 [備考] 本線虫は, <i>Meloidodera</i> sp. とされたことがある (4) <i>Gracilacus yokooi</i> Toida, Ohshima & Hirata ヨ コオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 30:1, 1970 ; Toida, Y. <i>et al.</i>:Jpn. J. Nematol. 12:15, 1983 ; 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984 [備考] 本線虫は, <i>Paratylenchus aciculus</i> Brown とされたことがある (5) <i>Helicotylenchus dihystra</i> (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ 樋田幸夫ら:蚕試報 27(3):370, 1978 (6) <i>Helicotylenchus erythrinae</i> (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 (7) <i>Longiodorus martini</i> Merny クワナガハリセンチュウ 八木田秀幸・小室康雄:日植病報 38(4):275, 1972 ; 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971 ; 八木田秀幸:日線虫研誌 5:10, 1975 [備考] クワ輪紋病 (<i>Mulberry ringspot virus</i>) を伝搬する (八木田秀幸・小室康雄 (1972)) (8) <i>Ogma coffeae</i> (Edward, Misra & Rai) Andrassy クワトゲワセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984 (9) <i>Ogma querci</i> (Choi & Geraert) Andrassy [<i>Variasquamata querci</i> (Choi & Geraert) Khan, Chawla & Saha] ワセンチュウの1種 樋田幸夫ら:蚕試報 27(3):370, 1978 (10) <i>Paratrachodorus porosus</i> (Allen) Siddiqi [<i>Trichodorus porosus</i> Allen] ナガイモユミハリセンチュウ 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971	(3) <i>Cryphodera</i> sp. ニセシストセンチュウの1種 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 ; 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971 ; 吉野治男ら:東京蚕指要報 18:11, 1984 [備考] 本線虫は, <i>Meloidodera</i> sp. とされたことがある (4) <i>Gracilacus yokooi</i> Toida, Ohshima & Hirata ヨ コオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 30:1, 1970 ; Toida, Y. <i>et al.</i>:Jpn. J. Nematol. 12:15, 1983 ; 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984 [備考] 本線虫は, <i>Paratylenchus aciculus</i> Brown とされたことがある (5) <i>Helicotylenchus dihystra</i> (Cobb) Sher ナミラセンセンチュウ 樋田幸夫ら:蚕試報 27(3):370, 1978 (6) <i>Helicotylenchus erythrinae</i> (Zimmermann) Golden チャラセンセンチュウ 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 (7) <i>Longiodorus martini</i> Merny クワナガハリセンチュウ 八木田秀幸・小室康雄:日植病報 38(4):275, 1972 ; 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971 ; 八木田秀幸:日線虫研誌 5:10, 1975 [備考] クワ輪紋病 (<i>Mulberry ringspot virus</i>) を伝搬する (八木田秀幸・小室康雄 (1972)) (8) <i>Ogma coffeae</i> (Edward, Misra & Rai) Andrassy クワトゲワセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 14:20, 1984 (9) <i>Ogma querci</i> (Choi & Geraert) Andrassy [<i>Variasquamata querci</i> (Choi & Geraert) Khan, Chawla & Saha] ワセンチュウの1種 樋田幸夫ら:蚕試報 27(3):370, 1978 (10) <i>Paratrachodorus porosus</i> (Allen) Siddiqi [<i>Trichodorus porosus</i> Allen] ナガイモユミハリセンチュウ 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971
--	--

(11) <i>Paratylenchus elachistus</i> Steiner ヒメピンセンチュウ 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 (12) <i>Paratylenchus morius</i> Yokoo ヨコオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 30:1, 1970 (13) <i>Pratylenchus</i> sp. ネグサレセンチュウの1種 橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961 (14) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオハリセンチュウ 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971 [備考] 種名は再検討を要する (15) <i>Xiphinema bakeri</i> Williams クワオオハリセンチュウ 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971 (16) <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 (17) <i>Xiphinema</i> sp. オオハリセンチュウの1種 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 [備考] <i>Xiphinema mammillatum</i> 近縁種 (注) (17)病原追加、(14)(15)病原順変更	(11) <i>Paratylenchus elachistus</i> Steiner ヒメピンセンチュウ 一戸 稔:植物防疫 21(10):405, 1967 (12) <i>Paratylenchus morius</i> Yokoo ヨコオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) Yokoo, T.:Agr. Bull. Saga Univ. 30:1, 1970 (13) <i>Pratylenchus</i> sp. ネグサレセンチュウの1種 橋本平一:森林防疫ニュース 10(4):76, 1961 (14) <i>Xiphinema bakeri</i> Williams クワオオハリセンチュウ 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971 (15) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオハリセンチュウ 平田明由:群馬蚕試報 44:1, 1971 [備考] 種名は再検討を要する (16) <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971
--	--

バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) †茎腐病 kukigusare-byo <i>Marasmiellus rot Marasmius semiustus</i> Berkeley & M.A. Curtis 澤田兼吉:台湾博物学会報 11(54):92, 1921(大10); 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告 2):110, 1922(大11) [備考] 台湾 (注) 備考修正	バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) †茎腐病 kukigusare-byo <i>Marasmiellus rot Marasmius semiustus</i> Berkeley & M.A. Curtis 澤田兼吉:台湾博物学会報 11(54):92, 1921(大10); 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告 2):110, 1922(大11) [備考] 台湾。海外では <i>Marasmiella inoderma</i> (Berkeley) Singer とされている
---	---

フトモモ科 Myrtaceae ジャボチカバ Jaboticaba <i>Myrciaria cauliflora</i> (Mart.) O. Berg (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 玉城優太ら:日植病報 84(1):64, 2018 ; Toba, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):65, 2020 (注) 文献追加	フトモモ科 Myrtaceae ジャボチカバ Jabuticaba <i>Myrciaria cauliflora</i> (Mart.) O. Berg (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 玉城優太ら:日植病報 84(1):64, 2018
---	--

モクセイ科 Oleaceae キンモクセイ(金木犀) Sweetolive <i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino (広葉樹) ギンモクセイ(銀木犀) Sweetolive <i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>fragrans</i> さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Zaghouania phillyreae</i> Patouillard [<i>Aecidium sizuokaensis</i> Hara] 伊藤一雄:樹病学大系 3:76, 1974 ; 平塚直秀:植研雑 10(1):6, 1934(昭9) [備考] ギンモクセイ・キンモクセイ・シマモクセイ(ナタオレノキ <i>O. insularis</i>) (注) 備考修正。シマモクセイの別名はナタオレノキまたはサツマモクセイ	モクセイ科 Oleaceae キンモクセイ(金木犀) Sweetolive <i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino (広葉樹) ギンモクセイ(銀木犀) Sweetolive <i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>fragrans</i> さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Zaghouania phillyreae</i> Patouillard [<i>Aecidium sizuokaensis</i> Hara] 伊藤一雄:樹病学大系 3:76, 1974 ; 平塚直秀:植研雑 10(1):6, 1934(昭9) [備考] ギンモクセイ・キンモクセイ・シマモクセイ・ナタオレサツマモクセイ (<i>O. insularis</i>)
---	--

ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony	ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬)
---	---------------------------------------

<i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) 褐紋病 katsumon-byo Leaf spot <i>Pilidium concavum</i> (Desmazières) Höhnelt 福岡貴寿・近藤亜美:日植病報 86(1):58, 2020 (注) 新病名	Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花)
--	--

ケシ科 Papaveraceae タケニグサ類 <i>Macleaya</i> spp. (野草) タケニグサ <i>Macleaya cordata</i> R. Br. 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 辻本明佳ら:日植病報 74(3):255, 2008 (注) 日植病報 75(3)と同時に送付された訂正表に従う	ケシ科 Papaveraceae タケニグサ類 <i>Macleaya</i> spp. (野草) タケニグサ <i>Macleaya cordata</i> R. Br. 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 瀧川雄一ら:日植病報 74(3):255, 2008
---	--

キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux [<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot (1) binucleate <i>Rhizoctonia</i>	キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux [<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot (1) binucleate <i>Rhizoctonia</i>
--	--

森 万菜実ら:日植病報 84(1):59, 2018 ; Mori, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):224, 2020 [備考] ハナトリカブト, オクトリカブトに発生。菌糸融合群 AG-F, AG-I, AG-U。菌糸融合群 AG-F, AG-Iは接種試験未了 (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森 万菜実ら:日植病報 84(1):59, 2018 ; Mori, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):224, 2020 [備考] オクトリカブトに発生。菌糸融合群 AG-5 (注) 文献追加	森 万菜実ら:日植病報 84(1):59, 2018 [備考] ハナトリカブト, オクトリカブトに発生。菌糸融合群 AG-F, AG-I, AG-U。接種試験未了 (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森 万菜実ら:日植病報 84(1):59, 2018 [備考] オクトリカブトに発生。菌糸融合群 AG-5
---	--

キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux [<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux †††† <i>Aconitum latent virus</i> (AcLV) トリカブト潜在ウイルス 本間大士ら:日植病報 86(1):72, 2020 [備考] 壊疽症状のトリカブトから検出された。戻し接種なし (注) 新宿主	キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux [<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux
---	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus)	キンポウゲ科 Ranunculaceae クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus)
---	---

<i>Helleborus</i> spp. (草花) 疫病 eki-byo Phytophthora blight <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan 鐘ヶ江良彦ら:日植病報 81(3):214, 2015 ; 鐘ヶ江良彦ら:関東病虫研報 66:36, 2019 (注) 文献追加	<i>Helleborus</i> spp. (草花) 疫病 eki-byo Phytophthora blight <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan 鐘ヶ江良彦ら:日植病報 81(3):214, 2015
---	---

バラ科 Rosaceae サンザシ類 (Crataegus) <i>Crataegus</i> spp. (広葉樹) サンザシ(山査子) <i>Crataegus cuneata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウサンザシ(西洋山査子) Hawthorn <i>Crataegus oxyacantha</i> Linn. クロミサンザシ <i>Crataegus chlorosarca</i> Maxim. エゾサンザシ <i>Crataegus jozana</i> C.K. Schn. すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf spot <i>Cercospora crataegi</i> Saccardo & C. Massalongo [<i>Cercospora</i> sp.] 小河誠司:日林九支研論集 29:252, 1976 ; 小河誠司・小林享夫:森林防疫 26(6):92, 1977 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23(1):48, 1982 [備考] セイヨウサンザシ・ヒトツブサンザシ (<i>C. monogyna</i>)・カラタチサンザシ (<i>C. crus-galli</i>) (注) 文献順変更、備考訂正	バラ科 Rosaceae サンザシ類 (Crataegus) <i>Crataegus</i> spp. (広葉樹) サンザシ(山査子) <i>Crataegus cuneata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウサンザシ(西洋山査子) Hawthorn <i>Crataegus oxyacantha</i> Linn. クロミサンザシ <i>Crataegus chlorosarca</i> Maxim. エゾサンザシ <i>Crataegus jozana</i> C.K. Schn. すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf spot <i>Cercospora crataegi</i> Saccardo & C. Massalongo [<i>Cercospora</i> sp.] 小河誠司・小林享夫:森林防疫 26(6):92, 1977 ; 小河誠司:日林九支研論集 29:252, 1976 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23(1):48, 1982 [備考] セイヨウサンザシ・ヒトツバサンザシ (<i>C. monogyna</i>)・カラタチサンザシ (<i>C. crusgalli</i>)
--	---

バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷)	バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷)
--------------------------------	--------------------------------

Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 灰斑病 haihan-byo Gray leaf spot (斑点病) (1) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. 野澤俊介ら:日植病報 83(1):42, 2017 ; 野澤俊介 ら:日植病報 83(3):185, 2017 ; Nozawa, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):173, 2020 [備考] 病原は未記載の複数種と<i>Neopestalotiopsis</i> 属に転属すべき<i>Pestalotia rhododendri</i>および <i>Pestalotiopsis sydowiana</i>。収穫後の果実腐敗も引 き起こす (2) <i>Pestalotia eriobotrifolia</i> Guba 野島秀伸ら:日植病報 62(3):265, 1996 [備考] 本病菌は<i>Pestalotiopsis eriobotrifolia</i> と報 告されたが、この組み合わせ名は正式発表されて いないため旧学名を挙げるに留めた (3) <i>Pestalotiopsis funerea</i> (Desmazières) Steyaert [<i>Pestalotia eriobotryae</i> McAlpine] 原 攝祐:果樹病害論:455, 1916(大5) ; 宇田川俊一 ら:菌類図鑑(下):1189, 1978 [備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図 説 (小林享夫ら編):600, 1992 参照 (4) <i>Pestalotiopsis neglecta</i> (Thümen) Steyaert [<i>Pestalotia funerea</i> auct. jap. non Desmazières] 野島秀伸ら:日植病報 62(3):265, 1996 (5) <i>Seiridium</i> sp. 佐藤豊三ら:日植病報 73(3):181, 2007 Fruit rot <i>Pestalotiopsis sensu stricto</i> Nozawa, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):173, 2020 [備考] 収穫後の果実に発生する。灰斑病菌 <i>Neopestalotiopsis</i> spp.も収穫後の果実腐敗を起こ す (注) 新病名、文献・備考追加	Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 灰斑病 haihan-byo Gray leaf spot (斑点病) (1) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. 野澤俊介ら:日植病報 83(1):42, 2017 ; 野澤俊介 ら:日植病報 83(3):185, 2017 [備考] 病原は未記載の複数種と<i>Neopestalotiopsis</i> 属に転属すべき<i>Pestalotia rhododendri</i>および <i>Pestalotiopsis sydowiana</i> (2) <i>Pestalotia eriobotrifolia</i> Guba 野島秀伸ら:日植病報 62(3):265, 1996 [備考] 本病菌は<i>Pestalotiopsis eriobotrifolia</i> と報 告されたが、この組み合わせ名は正式発表されて いないため旧学名を挙げるに留めた (3) <i>Pestalotiopsis funerea</i> (Desmazières) Steyaert [<i>Pestalotia eriobotryae</i> McAlpine] 原 攝祐:果樹病害論:455, 1916(大5) ; 宇田川俊一 ら:菌類図鑑(下):1189, 1978 [備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図 説 (小林享夫ら編):600, 1992 参照 (4) <i>Pestalotiopsis neglecta</i> (Thümen) Steyaert [<i>Pestalotia funerea</i> auct. jap. non Desmazières] 野島秀伸ら:日植病報 62(3):265, 1996 (5) <i>Seiridium</i> sp. 佐藤豊三ら:日植病報 73(3):181, 2007
--	---

バラ科 Rosaceae	バラ科 Rosaceae
--------------	--------------

イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria × ananassa</i> Duchesne (野菜) 芽枯病 megare-byo <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 橋本 保・関沢 博:日植病報 29(2):65, 1964 ; 富永 時任ら:植物防疫 20(4):168, 1966 ; 三澤知央・黒 瀬大介:日植病報 86(1):31, 2020 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。三 澤・黒瀬は, 菌糸融合群 AG-2-1 Subset 3を報告 した (注) 備考追加	イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria × ananassa</i> Duchesne (野菜) 芽枯病 megare-byo <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 橋本 保・関沢 博:日植病報 29(2):65, 1964 ; 富永 時任ら:植物防疫 20(4):168, 1966 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 輪状さび果病 rinjo-sabika-byo Russet ring <i>Apple chlorotic leaf spot virus</i> (ACLSV) 柳瀬春夫・山口 昭:日植病報 43(3):376, 1977 ; 柳 瀬春夫:植物防疫 31(10):408, 1977 ; 伊藤 伝・吉 田幸二:日植病報 63(6):487, 1997 ; 伊藤 伝ら:日 植病報 85(3):278, 2019 ; 李 春江ら:日植病報 85(3):279, 2019 ; 李 春江ら:日植病報 86(1):70, 2020 [備考] 接ぎ木伝染性。伊藤ら(2019)は戻し接種に より本病を再現し, 季ら(2019)はその発病リンゴ 由来ウイルスをACLSVの配列変異株と同定し た。季ら(2020)は, リンゴ実生苗での接種試験に 成功した (注) 文献・備考追加	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 輪状さび果病 rinjo-sabika-byo Russet ring <i>Apple chlorotic leaf spot virus</i> (ACLSV) 柳瀬春夫・山口 昭:日植病報 43(3):376, 1977 ; 柳 瀬春夫:植物防疫 31(10):408, 1977 ; 伊藤 伝・吉 田幸二:日植病報 63(6):487, 1997 ; 伊藤 伝ら:日 植病報 85(3):278, 2019 ; 李 春江ら:日植病報 85(3):279, 2019 [備考] 接ぎ木伝染性。伊藤ら(2019)は戻し接種に より本病を再現し, 季ら(2019)はその発病リンゴ 由来ウイルスをACLSVの配列変異株と同定した
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ††††急性衰弱症 kyusei-suijaku-sho Bacterial quick decline <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 藤川貴史ら:日植病報 85(1):46, 2019 ; Fujikawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):314, 2019 [備考] 病名未提案 (注) 病名英名追加	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ††††急性衰弱症 kyusei-suijaku-sho <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 藤川貴史ら:日植病報 85(1):46, 2019 ; Fujikawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):314, 2019 [備考] 病名未提案
---	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 黄腐病 kigusare-byo Bull's-eye-rot (1) <i>Gloeosporium</i> sp. 福井白志:農林省農改資料 152:186, 1940(昭15) (2) <i>Phlyctema</i> spp. 佐藤 裕:植物防疫 71(12):772, 2017 ; 平山和幸ら:日植病報 84(1):53, 2018 ; 佐藤 裕ら:日植病報 85(1):43, 2019 ; 佐藤 裕:北日本病虫研報 70:204, 2019 [備考] 佐藤(2017)は本病の果実小黑斑4症状を報告したが, その内の「ひび黒」症状については未解明。佐藤 (2019)は本病原による黄色系リンゴの赤色斑を報告した	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 黄腐病 kigusare-byo Bull's-eye-rot (1) <i>Gloeosporium</i> sp. 福井白志:農林省農改資料 152:186, 1940(昭15) (2) <i>Phlyctema</i> spp. 佐藤 裕:植物防疫 71(12):772, 2017 ; 平山和幸ら:日植病報 84(1):53, 2018 ; 佐藤 裕ら:日植病報 85(1):43, 2019 [備考] 佐藤(2017)は本病の果実小黑斑4症状を報告したが, その内の「ひび黒」症状については未解明
---	---

(注) 備考追加	
----------	--

バラ科 Rosaceae アーモンド(扁桃) Almond <i>Prunus amygdalus</i> Batsch (果樹) ††††ロゼット rozetto-byo (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用作物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理病と考えられている (注) 病名読み訂正 (第1版も「rozetto」)。ロゼットは英語のrosetteではない? モモおよびスモモのロゼット病(rosette-byo)と合わせて要確認	バラ科 Rosaceae アーモンド(扁桃) Almond <i>Prunus amygdalus</i> Batsch (果樹) ††††ロゼット rozzeto (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用作物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理病と考えられている
---	--

バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 芽枯病 megare-byo Bud blight (1) Apple chlorotic leaf spot virus (ACLSV) リンゴクロロティックリーフスポットウイルス (2) Cherry green ring mottle virus (CGRMV) チェリー緑色輪紋ウイルス (3) Cherry necrotic rusty mottle virus (CNRMV) チェリーえそさび斑ウイルス (4) Cherry virus A (CVA) チェリーAウイルス (5) Cherry virus B (ChVB) チェリーBウイルス	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 芽枯病 megare-byo Bud blight (1) Apple chlorotic leaf spot virus (ACLSV) (2) Cherry green ring mottle virus (CGRMV) (3) Cherry necrotic rusty mottle virus (CNRMV) (4) Cherry virus A (CVA) (5) Cherry virus B (ChVB) (6) Little cherry virus 1 (LChV-1) (7) Little cherry virus 2 (LChV-2) (8) Prune dwarf virus (PDV)
---	--

(6) <i>Little cherry virus 1</i> (LChV-1) リトルチェリーウイルス1 (7) <i>Little cherry virus 2</i> (LChV-2) リトルチェリーウイルス2 (8) <i>Prune dwarf virus</i> (PDV) プルーン萎縮ウイルス 吉川信幸ら:日植病報 80(4):333, 2014 ; Yaegashi, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(2):134, 2020 [備考] 病原(1)～(8)の多重感染の可能性 (9) 病原未確認 菊地繁美ら:日植病報 60(6):760, 1994 ; 菊地繁美ら:日植病報 61(6):637, 1995 [備考] 接ぎ木伝染性 (注) 文献・備考追加	吉川信幸ら:日植病報 80(4):333, 2014 [備考] 病原(1)～(8)の多重感染の可能性 (10) 病原未確認 菊地繁美ら:日植病報 60(6):760, 1994 ; 菊地繁美ら:日植病報 61(6):637, 1995 [備考] 接ぎ木伝染性
--	--

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider ††ロゼット病 <i>rosetto</i>-byo (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用作物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理的と考えられている (注) 病名読み訂正(第1版も<i>rosette</i>-byo)。アーモンドの††††ロゼットと合わせて要確認	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider ††ロゼット病 <i>rosetto</i>-byo (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用作物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理的と考えられている
--	---

バラ科 Rosaceae スモモ(李)	バラ科 Rosaceae スモモ(李)
-----------------------------------	-----------------------------------

Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley ††††ロゼット病 rozetto-byo (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用植物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理病と考えられている (注) 病名読み訂正(第1版も <i>rosette</i> -byo)。アーモ ンドの††††ロゼットと合わせて要確認	Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley ††††ロゼット病 rosetto-byo (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用植物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理病と考えられている
---	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 絹皮病 kinukawa-byo White stem blight <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭15) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 31:8, 1993 [備考] ヤマザクラ・リンボク (<i>P. spinulosa</i>)。病 原菌の異名はシデ類絹皮病参照 (注) 備考訂正	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 絹皮病 kinukawa-byo White stem blight <i>Cylindrobasidium argenteum</i> (Kobayasi) N. Maekawa [<i>Corticium argenteum</i> Y. Kobayasi] 小川 隆:教育農芸 9:615, 1940(昭15) ; Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 12(2):70, 1971 ; Maekawa, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 31:8, 1993 [備考] ヤマザクラ・リンボク (<i>P. sepiculosa</i>)。病 原菌の異名はシデ類絹皮病参照
--	---

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry
-----------------------------------	-----------------------------------

<i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 黒点病 kokuten-byo (1) <i>Coccodiella kawagooi</i> (Hara) Hara [<i>Polystomella kawagooi</i> Hara] 原 攝祐:日本害菌学:169, 1936(昭11); 原 攝祐:植物学雑 29(338):53, 1915(大4) [備考] リンボク (<i>P. spinulosa</i>)・バクチノキ (<i>P. zippeliana</i>) (2) <i>Microcyclus kawagooi</i> (Hara) M.E. Barr [<i>Coccodiella spinulosae</i> (Hennings) Hara, <i>Diplodia spinulosae</i> Hennings, <i>Coccoidea tsurudai</i> Hara, <i>Coccodiella tsurudai</i> (Hara) Hara] 原 攝祐:日本害菌学:169, 1936(昭11); Barr, M. E.:Mycotaxon 60:438, 1996; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):30, 1905(明38) [備考] リンボク (注) 病原学名スペル・備考中の宿主学名訂正	<i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 黒点病 kokuten-byo (1) <i>Coccodiella kawagooi</i> (Hara) Hara [<i>Polystomella kawagooi</i> Hara] 原 攝祐:日本害菌学:169, 1936(昭11); 原 攝祐:植物学雑 29(338):53, 1915(大4) [備考] リンボク (<i>P. spinulosa</i>)・バクチノキ (<i>P. zippeliana</i>) (2) <i>Microcyclus kawagooi</i> (Hara) M.E. Barr [<i>Coccodiella spinulosae</i> (Hennings) Hara, <i>Diplodia spinulosae</i> Hennings, <i>Coccoidea tsurudai</i> Hara, <i>Coccodiella tsurudai</i> (Hara) Hara] 原 攝祐:日本害菌学:169, 1936(昭11); Barr, M. E.:Mycotaxon 60:438, 1996; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):30, 1905(明38) [備考] リンボク
---	---

バラ科 Rosaceae セイヨウナシ(ヨウナシ)(西洋梨) Pear, European pear <i>Pyrus communis</i> L. var. <i>sativa</i> de Candolle (果樹) 褐斑病 kappan-byo Brown blotch, Mycosphaerella leaf spot <i>Mycosphaerella pyri</i> (Auerswald) Boerema [<i>Mycosphaerella sentina</i> (Fries) J. Schröter] 鑄方末彦:実験果樹病害篇:74, 1927(昭2) [備考] 村田壽太郎 (病虫雑 3(12):958, 1916) は褐斑病としてアメリカニュージャージー州における <i>Macrosporium sydowianum</i> Farneti について紹介しているが、本病との関係は不明	バラ科 Rosaceae セイヨウナシ(ヨウナシ)(西洋梨) Pear, European pear <i>Pyrus communis</i> L. var. <i>sativa</i> de Candolle (果樹) 褐斑病 kappan-byo Brown blotch, Mycosphaerella leaf spot <i>Mycosphaerella pyri</i> (Auerswald) Boerema [<i>Mycosphaerella sentina</i> (Fries) J. Schröter] 鑄方末彦:実験果樹病害篇:74, 1927(昭2) [備考] 村田壽太郎 (病虫雑 3(12):958, 1916) は褐斑病としてアメリカニュージャージー州における <i>Macrosporium sydowianum</i> Farneti について紹介しているが、本病との関係は不明
---	---

(注) 備考訂正	
----------	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaeifolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot, Fabraea leaf spot and fruit spot <i>Entomosporium mespili</i> (de Candolle) Saccardo [<i>Diplocarpon mespili</i> (Sorauer) B. Sutton, <i>Entomosporium maculatum</i> L��veill��, <i>Fabraea maculata</i> G.F. Atkinson] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:217, 1917(大6) ; 工藤 晟・高梨和雄:果樹試報 A3:53, 1976 ; 堀江博道:日植病報 50(1):136, 1984 [備考] 原 攝祐 (日本菌類目録:355, 1954) が褐斑病として記載した <i>Stigmatea mespili</i> Sorauer は本病原菌の完全世代 <i>Diplocarpon mespili</i> (Sorauer) Sutton の異名であるが, 完全世代の国内発生は不明 (注) 備考訂正(2か所)	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaeifolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi ごま色斑点病 gomairo-hanten-byo Entomosporium leaf spot, Fabraea leaf spot and fruit spot <i>Entomosporium mespili</i> (de Candolle) Saccardo [<i>Diplocarpon mespili</i> (Sorauer) B. Sutton, <i>Entomosporium maculatum</i> L��veill��, <i>Fabraea maculata</i> G.F. Atkinson] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:217, 1917(大6) ; 工藤 晟・高梨和雄:果樹試報 A3:53, 1976 ; 堀江博道:日植病報 50(1):136, 1984 [備考] 原 攝祐 (日本菌類目録:355, 1954) が褐斑病として記載した <i>Stigmatea mespili</i> Sorauer は本病原菌の完全世代 <i>Diplocarpon mespili</i> (Sorauer) Sutton の異名であるが, 完全世代の国内発生は不明
--	---

ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp.	ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp.
--	--

(広葉樹) 葉さび病 hasabi-byo Leaf rust (銹病, 葉銹病) (1) <i>Caeoma salicis-miyabeana</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:28, 1982 [備考] エゾノカワヤナギ (<i>S. miyabeana</i>) (2) <i>Melampsora arctica</i> Rostrup Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 13(8):593, 1937(昭12) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952 [備考] チシマヤナギ・ジンヨウチシマヤナギ・マルバヤナギ(<i>S. yezoalpina</i>)・ミヤマヤナギ (<i>S. reinii</i>) (3) <i>Melampsora chelidonii-pierotii</i> Tak. Matsumoto 松本 巍:植物学雑 40(470):46, 1926 (大15) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952 ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):221, 1981 ; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012 [備考] オオタチヤナギ・タチヤナギ (<i>S. subfragilis</i>)・アカメヤナギ (マルバヤナギ <i>S. chaenomeloides</i>)・オオシロヤナギ(ジャヤナギ <i>S. eriocarpa</i>)。本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じる (4) <i>Melampsora coleosporioides</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904 (明37) ; Okane, I. <i>et al.</i>:Mycoscience 55:431, 2014 [備考] シダレヤナギ (<i>S. babylonica</i>)・コウシンヤナギ・タチヤナギ・ウンリュウヤナギ (<i>S. matsudana</i> f. <i>tortuosa</i>)。Okane <i>et al.</i> (2014)によれば, 本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じるが, シダレヤナギ上で越冬もできる (5) <i>Melampsora dimorphospora</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst.	(広葉樹) 葉さび病 hasabi-byo Leaf rust (銹病, 葉銹病) (1) <i>Caeoma salicis-miyabeana</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:28, 1982 [備考] エゾノカワヤナギ (<i>S. miyabeana</i>) (2) <i>Melampsora arctica</i> Rostrup Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 13(8):593, 1937(昭12) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952 [備考] チシマヤナギ・ジンヨウチシマヤナギ・マルバヤナギ(<i>S. yezoalpina</i>)・ミヤマヤナギ (<i>S. reinii</i>) (3) <i>Melampsora chelidonii-pierotii</i> Tak. Matsumoto 松本 巍:植物学雑 40(470):46, 1926 (大15) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952 ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):221, 1981 ; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012 [備考] オオタチヤナギ・タチヤナギ (<i>S. subfragilis</i>)・アカメヤナギ (<i>S. chaenomeloides</i>)・オオシロヤナギ(<i>S. eriocarpa</i>)・マルバヤナギ・ジャヤナギ (<i>S. eriocarpa</i>)。本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じる (4) <i>Melampsora coleosporioides</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904 (明37) ; Okane, I. <i>et al.</i>:Mycoscience 55:431, 2014 [備考] シダレヤナギ (<i>S. babylonica</i>)・コウシンヤナギ・タチヤナギ・ウンリュウヤナギ (<i>S. matsudana</i> f. <i>tortuosa</i>)。Okane <i>et al.</i> (2014)によれば, 本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じるが, シダレヤナギ上で越冬もできる (5) <i>Melampsora dimorphospora</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst.
--	---

20:6, 1982 [備考] コリヤナギ (<i>S. koriyanagi</i>) (6) <i>Melampsora epiphylla</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43); 草野俊助:植物学雑 16(187):204, 1902(明35); Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):219, 1981 [備考] オノエヤナギ (<i>S. sachalinensis</i>) (7) <i>Melampsora humilis</i> Dietel [<i>Melampsora ribesii-purpureae</i> sensu Dietel non Klebahn] 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明37); 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43); 安田 篤:植物学各論隠花部:441, 1911(明44); 平塚直秀:鳥取高農校友会誌 11:97, 1932(昭7); 内藤 喬:鹿児島高農博物同志会報 3(11):25, 1933(昭8) [備考] コリヤナギ・イヌコリヤナギ (<i>S. integra</i>)・ホソバコリヤナギ・サルコヤナギ (8) <i>Melampsora kamikotica</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:3, 1982 [備考] ケシヨウヤナギ (<i>Chosenia arbutifolia</i>) (9) <i>Melampsora kiusiana</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 57(680):281, 1943(昭18) [備考] ヒメヤナギ (10) <i>Melampsora laricis-caprearum</i> Klebahn [<i>Melampsora farinosa</i> (Persoon) J. Schröter, <i>Melampsora hartigii</i> Thümen] 澤田兼吉:林試研報 57:21, 1952; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明37) [備考] バッコヤナギ (<i>S. bakko</i>)・コウライバッコヤナギ・サルヤナギ (11) <i>Melampsora laricis-epitea</i> Klebahn [<i>Melampsora larici-miyabeana</i> Miyabe & Matsumoto, <i>Melampsora larici-opaca</i> Miyabe & Matsumoto, <i>Melampsora laricis-daphnoidis</i> Klebahn]	20:6, 1982 [備考] コリヤナギ (<i>S. koriyanagi</i>) (6) <i>Melampsora epiphylla</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43); 草野俊助:植物学雑 16(187):204, 1902(明35); Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):219, 1981 [備考] オノエヤナギ (<i>S. sachalinensis</i>) (7) <i>Melampsora humilis</i> Dietel [<i>Melampsora ribesii-purpureae</i> sensu Dietel non Klebahn] 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明37); 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43); 安田 篤:植物学各論隠花部:441, 1911(明44); 平塚直秀:鳥取高農校友会誌 11:97, 1932(昭7); 内藤 喬:鹿児島高農博物同志会報 3(11):25, 1933(昭8) [備考] コリヤナギ・イヌコリヤナギ (<i>S. integra</i>)・ホソバコリヤナギ・サルコヤナギ (8) <i>Melampsora kamikotica</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:3, 1982 [備考] ケシヨウヤナギ (<i>Chosenia arbutifolia</i>) (9) <i>Melampsora kiusiana</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 57(680):281, 1943(昭18) [備考] ヒメヤナギ (10) <i>Melampsora laricis-caprearum</i> Klebahn [<i>Melampsora farinosa</i> (Persoon) J. Schröter, <i>Melampsora hartigii</i> Thümen] 澤田兼吉:林試研報 57:21, 1952; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明37) [備考] バッコヤナギ (<i>S. bakko</i>)・コウライバッコヤナギ・サルヤナギ (11) <i>Melampsora laricis-epitea</i> Klebahn [<i>Melampsora larici-miyabeana</i> Miyabe & Matsumoto, <i>Melampsora larici-opaca</i> Miyabe & Matsumoto, <i>Melampsora laricis-daphnoidis</i> Klebahn]
---	---

安田 篤:植物学各論隠花部:424, 1911(明44) ; 松本 巍:札幌博物学会報 6(1):32, 1915(大4) [備考] エゾヤナギ (<i>S. rorida</i>)・エゾカワヤナギ (<i>S. miyabeana</i>)・サルヤナギ・キヌヤナギ (<i>S. kinuyanagi</i>)・ナガバヤナギ (12) <i>Melampsora microsora</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):153, 1904 (明37) [備考] タチヤナギ (13) <i>Melampsora salicis-warburgii</i> Sawada Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:8, 1982 [備考] ジャヤナギ (<i>S. pierotii</i>)・タチヤナギ (14) <i>Melampsora yezoensis</i> Miyabe & T. Matsumoto 松本 巍:札幌博物学会報 6(1):29, 1915(大4) ; Kondo, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 38:163, 1997 ; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012 [備考] シロヤナギ (<i>S. jessoensis</i>)・オオシロヤナギ (<i>S. eriocarpa</i>)・オオタチヤナギ (<i>S. pierotii</i>)・コゴメヤナギ (<i>S. serissaefolia</i>)。人工接種でジャヤナギ, オオタチヤナギ, ヨシノヤナギ (<i>S. yoshinoi</i>), ロッカクヤナギ (<i>S. babylonica</i> f. <i>rokkaku</i>)にも寄生性を有す。本病菌の精子・さび胞子世代はヤマエンゴサク・ミヤマキケマン・クサノオウ・ムラサキケマン・エゾノエンゴサクおよびナガミツルキケマンに生じる。南部信方 (病虫雑 8(8):400, 1921) は<i>Melampsora albertensis</i> Arthur によるさび病を紹介したが国内未発生 (注) 病原(3)と病原(13)の備考修正。(3)について、マルバヤナギはアカメヤナギの別名。(13)について、ジャヤナギ学名がオオタチヤナギ学名になっているが、文献がそうになっている	安田 篤:植物学各論隠花部:424, 1911(明44) ; 松本 巍:札幌博物学会報 6(1):32, 1915(大4) [備考] エゾヤナギ (<i>S. rorida</i>)・エゾカワヤナギ (<i>S. miyabeana</i>)・サルヤナギ・キヌヤナギ (<i>S. kinuyanagi</i>)・ナガバヤナギ (12) <i>Melampsora microsora</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):153, 1904 (明37) [備考] タチヤナギ (13) <i>Melampsora salicis-warburgii</i> Sawada Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:8, 1982 [備考] ジャヤナギ (<i>S. pierotii</i>)・タチヤナギ (14) <i>Melampsora yezoensis</i> Miyabe & T. Matsumoto 松本 巍:札幌博物学会報 6(1):29, 1915(大4) ; Kondo, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 38:163, 1997 ; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012 [備考] シロヤナギ (<i>S. jessoensis</i>)・オオシロヤナギ (<i>S. eriocarpa</i>)・オオタチヤナギ (<i>S. pierotii</i>)・コゴメヤナギ (<i>S. serissaefolia</i>)。人工接種でジャヤナギ, オオタチヤナギ, ヨシノヤナギ (<i>S. yoshinoi</i>), ロッカクヤナギ (<i>S. babylonica</i> f. <i>rokkaku</i>)にも寄生性を有す。本病菌の精子・さび胞子世代はヤマエンゴサク・ミヤマキケマン・クサノオウ・ムラサキケマン・エゾノエンゴサクおよびナガミツルキケマンに生じる。南部信方 (病虫雑 8(8):400, 1921) は<i>Melampsora albertensis</i> Arthur によるさび病を紹介したが国内未発生
--	--

アカテツ科 Sapotaceae ミラクルフルーツ	アカテツ科 Sapotaceae
---	-------------------------

Miracle fruit <i>Synsepalum dulcificum</i> (Schumach. & Thonn.) Daniell (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 果実腐敗症状 (2) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉枯症状 (3) <i>Colletotrichum karstii</i> Y.L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉の斑点症状 (注) 新病名、新規宿主	
---	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea</i> <i>Hydrangea</i> <i>involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea</i> <i>Hydrangea</i> <i>involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba
--	--

斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 辻本明佳ら:日植病報 74(3):255, 2008 (注) 日植病報 75(3)と同時に送付された訂正表に従う	斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 瀧川雄一ら:日植病報 74(3):255, 2008
---	--

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae トレニア(ハナウリクサ) Blue torenia <i>Torenia fournieri</i> Linden ex E.Fourm. (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Pythium heterothallicum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 林 美希ら:日植病報 86(1):58, 2020 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 林 美希ら:日植病報 86(1):58, 2020 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 林 美希ら:日植病報 86(1):58, 2020 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae トレニア(ハナウリクサ) Blue torenia <i>Torenia fournieri</i> Linden ex E.Fourm. (草花)
---	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.
--	--

†††† ‘ <i>Candidatus Phytoplasma solani</i> ’ 下元祥史ら:日植病報 85(1):71, 2019 ; Shimomoto Y. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 86(1):76, 2020 [備考] シシトウガラシに発生。病原同定不十分。16S rDNAによる推定 (注) 文献追加	†††† ‘ <i>Candidatus Phytoplasma solani</i> ’ 下元祥史ら:日植病報 85(1):71, 2019 [備考] シシトウガラシに発生。病原同定不十分。16S rDNAによる推定
--	--

ナス科 Solanaceae ペチュニア(ツクバネアサガオ) Petunia <i>Petunia</i> × hybrida Vilm. (草花) 帯化病 taika-byo Bacterial fasciation <i>Rhodococcus fascians</i> (Tilford 1936) Goodfellow 1984 上松 寛ら:日植病報 74(3):252, 2008 (注) 日植病報 75(3)と同時に送付された訂正表に従う	ナス科 Solanaceae ペチュニア(ツクバネアサガオ) Petunia <i>Petunia</i> × hybrida Vilm. (草花) 帯化病 taika-byo Bacterial fasciation <i>Rhodococcus fascians</i> (Tilford 1936) Goodfellow 1984 清水慶明ら:日植病報 74(3):252, 2008
--	---

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown leaf spot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [Rhizoctonia solani J.G. Kühn] 小玉孝司ら:日植病報 48(3):356, 1982 ; 堀本圭一・小玉孝司:奈良農試研報 14:66, 1983 ; 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 54(3):352, 1988 ; 岩舘康	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown leaf spot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [Rhizoctonia solani J.G. Kühn] 小玉孝司ら:日植病報 48(3):356, 1982 ; 堀本圭一・小玉孝司:奈良農試研報 14:66, 1983 ; 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 54(3):352, 1988 ; 岩舘康
---	---

哉・佐々木陽菜:日植病報 85(3):233, 2019 ; 岩館康哉・佐々木陽菜:北日本病虫研報 70:76, 2019 ; 岩館康哉:植物防疫 73(4):153, 2020 [備考] 小玉ら(1982)および堀本・小玉(1983)の病原は菌糸融合群 AG-3 培養型 IV, 堀江らの病原菌は菌糸融合群AG-2-2 培養型 IV。岩館・佐々木(日植病報 2019, 北日本病虫研報 2019, 植物防疫 2020)は, 本病原が果実の小陥没症を引き起こす可能性を示唆した (注) 文献追加、備考変更	哉・佐々木陽菜:日植病報 85(3):233, 2019 [備考] 小玉ら(1982)および堀本・小玉(1983)の病原は菌糸融合群 AG-3 培養型 IV, 堀江らの病原菌は菌糸融合群AG-2-2 培養型 IV。岩館・佐々木(2019)は, 本病原が果実の小陥没症を引き起こす可能性を示唆した
---	---

ミツバウツギ科 Staphyleaceae ミツバウツギ(三葉空木) Japanese bladdernut <i>Staphylea bumalda</i> (Thunb.) DC. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust <i>Ochropsora staphyleae</i> Y. Ono, Chatasiri & E. Tanaka Ono, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 61(2):62, 2020 (注) 新病名	ミツバウツギ科 Staphyleaceae ミツバウツギ(三葉空木) Japanese bladdernut <i>Staphylea bumalda</i> (Thunb.) DC. (広葉樹)
---	---

ツバキ科 Theaceae ヒメツバキ (Schima) <i>Schima wallichii</i> (DC.) Korthals subsp. <i>mertensiana</i> (Sieb. & Zucc.) Bloem. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum</i> sp. 山中智博ら:日植病報 83(1):42, 2017 ; Truong, H.H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):233, 2020	ツバキ科 Theaceae ヒメツバキ (Schima) <i>Schima wallichii</i> (DC.) Korthals subsp. <i>mertensiana</i> (Sieb. & Zucc.) Bloem. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum</i> sp. 山中智博ら:日植病報 83(1):42, 2017
---	--

[備考] <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> 種複合体の <i>Colletotrichum henanense</i> F. Liu & L. Cai に近縁 (注) 文献追加	[備考] <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> 種複合体の <i>Colletotrichum henanense</i> F. Liu & L. Cai に近縁
---	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fruticola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides sensu stricto</i> Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 [備考] 狭義の<i>C. gloeosporioides</i> (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子ら:日植病報 84(1):3, 2018	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子ら:日植病報 84(1):3, 2018
--	--

(6) <i>Colletotrichum perseae</i> G. Sharma & S. Freeman Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (8) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D. Hyde & Zi Y. Ying 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀正太 郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40) [備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphelinum</i> Cavara を記載した。ま た, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病 の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した (注) 病原追加	(4) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (5) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D. Hyde & Zi Y. Ying 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (6) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀正太 郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40) [備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphelinum</i> Cavara を記載した。ま た, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病 の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† (1) <i>Grapevine fabavirus</i> (GfabV) ブドウファバウイ ルス (2) Grapevine geminivirus A (GGVA) ブドウジェ	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
--	--

ミニウイルスA (3) <i>Grapevine yellow speckle viroid 1</i> (GYSVd-1) ブドウ黄色斑点ウイロイド1 (4) <i>Hop stunt viroid</i> (HpSVd) ホップ矮化ウイロイド Chiaki, Y. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 86(1):34, 2020 [備考] シャインマスカットに発生。RT-PCRによる検出。台木からの病原(1)～(4)の感染により、矮化および葉の奇形の症状を引き起こす (注) 新宿主	
--	--

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† <i>Apscaviroid</i> 千秋祐也・伊藤隆男:日植病報 86(1):75, 2020 [備考] アプスカウイロイド属の新種。次世代シーケンサーによる解析 (注) 新宿主	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
--	---

ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 赤枯病 akagare-byo Phytoplasma ファイトプラズマ	ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜)
---	--

帆足美伸:農業および園芸 94(12):1036, 2019 (注) 新病名	
---	--

ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネ グサレセンチュウ 近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970 [備考] 接種試験の結果 (2) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオ ハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 [備考] 種名は再検討を要する (注) 文献に記載なく、誤登録なので病原削除	ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネ グサレセンチュウ 近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970 [備考] 接種試験の結果 (2) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオ ハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 [備考] 種名は再検討を要する (3) <i>Xiphinema</i> sp. オオハリセンチュウの1種 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971
---	---

ナス科 Solanaceae ゴシキトウガラシ Cherry pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>cerasiforme</i> Bailey (草花) (注) 宿主学名訂正	ナス科 Solanaceae ゴシキトウガラシ Cherry pepper <i>Capsium annuum</i> L. var. <i>ceraciforme</i> Bailey (草花)
--	---

モチノキ科 Aquifoliaceae イヌツゲ(犬黄楊)	モチノキ科 Aquifoliaceae イヌツゲ(犬黄楊)
--	--

Japanese holly <i>Ilex crenata</i> Thunb. (広葉樹) すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Asterina ilicicola</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):24, 1957 [備考] 台湾。ケイヌツゲ (<i>Ilex pubescens</i>) (2) <i>Asterina lobulata</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):24, 1957 [備考] 台湾。病名未提案。サカキバイヌツゲ (<i>I. cochinchinensis</i>) (3) <i>Asterina scrobiculata</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):25, 1957 [備考] 台湾。サカキバイヌツゲ (注) 備考訂正	Japanese holly <i>Ilex crenata</i> Thunb. (広葉樹) すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Asterina ilicicola</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):24, 1957 [備考] 台湾。ケイヌツゲ (<i>Ilex pubescens</i>) (2) <i>Asterina lobulata</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):24, 1957 [備考] 台湾。病名未提案。サカキバイヌツゲ (<i>I. ardisioides</i>) (3) <i>Asterina scrobiculata</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):25, 1957 [備考] 台湾。サカキバイヌツゲ
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae カッコウアザミ(アゲラタム) Mexican ageratum <i>Ageratum conyzoides</i> L. (草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961 [備考] カッコウアザミ・ムラサキカッコウアザミ (<i>A. houstonianum</i>) (2) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照	キク科 Asteraceae, Compositae カッコウアザミ(アゲラタム) Mexican ageratum <i>Ageratum conyzoides</i> L. (草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961 [備考] カッコウアザミ・ムラサキカッコウアザミ (<i>A. housonnum</i>) (2) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
--	---

(注) 備考訂正	
----------	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 乾腐病 kampu-byo Dry rot (腐敗病, 尻腐病) <i>Diaporthe batatas</i> Harter & E.C. Field [<i>Phoma batatas</i> Ellis & Halsted] 出田 新:大日本農会報 285:13, 1905(明38) [備考] <i>Phoma batatae</i> (出田, 1905)は誤り (注) 病原学名訂正。備考追加	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 乾腐病 kampu-byo Dry rot (腐敗病, 尻腐病) <i>Diaporthe batatatis</i> Harter & E.C. Field [<i>Phomopsis batatae</i> (Ellis & Halsted) Harter & E.C. Field] 出田 新:大日本農会報 285:13, 1905(明38)
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヘヤリーベッチ(サンドベッチ, ビロードクサフジ) Hairy vetch, Winter vetch, Sand vetch <i>Vicia villosa</i> Roth (牧草・芝草) 褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight <i>Pythium</i> spp. 斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):184, 1957 ; 飯田 格・斉藤 正:北陸農業研究 3(2):41, 1958 [備考] 病原菌の種名等はアカクローバ褐色雪腐病参照。本病はビッグフラワーベッチ (<i>Vicia grandiflora</i>) やウイラメッドベッチにも発生 (斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヘヤリーベッチ(サンドベッチ, ビロードクサフジ) Hairy vetch, Winter vetch, Sand vetch <i>Vicia villosa</i> Roth (牧草・芝草) 褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight <i>Pythium</i> spp. 斉藤 正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):184, 1957 ; 飯田 格・斉藤 正:北陸農業研究 3(2):41, 1958 [備考] 病原菌の種名等はアカクローバ褐色雪腐病参照。本病はビッグフラワーベッチ (<i>Vicia glandiflora</i>) やウイラメッドベッチにも発生 (斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960)
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ホウライチク類 (竹笹類) ホウライチク <i>Bambusa multiplex</i> (Lour.) Raeusch ホウオウチク <i>Bambusa multiplex</i> var. <i>elegans</i> (Koidz.) Muroi ダイサンチク <i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (1) <i>Dimeriella dendrocalami</i> Sawada & W. Yamamoto Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:37, 1959 [備考] 台湾。マチク (2) <i>Meliola ischurochloae</i> Sawada & Yamamoto Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8 (台 湾産菌類調査報告 11):36, 1959 [備考] 台湾。シチク (3) <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭16) [備考] 台湾。マチク・チョウシチク(<i>Bambusa dolichoclada</i>) (4) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 19(1):3, 1954 ; 山本和太郎: 兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957 [備考] 台湾。マチク (5) <i>Triposporiopsis spinigera</i> (Höhnelt) W. Yamamoto 山本和太郎:熱帯農学会誌 13:213, 1941(昭16) ; 山 本和太郎:日植病報 21(4):168, 1956 [備考] 台湾。マチク・リョクチク。病菌の異名 はマダケすす病参照	イネ科 Gramineae, Poaceae ホウライチク類 (竹笹類) ホウライチク <i>Bambusa multiplex</i> (Lour.) Raeusch ホウオウチク <i>Bambusa multiplex</i> var. <i>elegans</i> (Koidz.) Muroi ダイサンチク <i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (1) <i>Dimeriella dendrocalami</i> Sawada & W. Yamamoto Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:37, 1959 [備考] 台湾。マチク (2) <i>Meliola ischurochloae</i> Sawada & Yamamoto Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8 (台 湾産菌類調査報告 11):36, 1959 [備考] 台湾。シチク (3) <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭16) [備考] 台湾。マチク・チョウシチク(<i>Bambusa dolicholada</i>) (4) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 19(1):3, 1954 ; 山本和太郎: 兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957 [備考] 台湾。マチク (5) <i>Triposporiopsis spinigera</i> (Höhnelt) W. Yamamoto 山本和太郎:熱帯農学会誌 13:213, 1941(昭16) ; 山 本和太郎:日植病報 21(4):168, 1956 [備考] 台湾。マチク・リョクチク。病菌の異名 はマダケすす病参照
--	---

(注) 備考訂正	
----------	--

マンサク科 Hamamelidaceae フウ(楓) Formosan gum <i>Liquidambar formosana</i> Hance (広葉樹) 樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Botryosphaeria canker <i>Botryosphaeria</i> sp. [<i>Dothiorella</i> sp.] 周藤靖雄:森林防疫 24(3):61, 1975 ; 周藤靖雄:森 林防疫 23(3):47, 1974 [備考] モミジバフウ(<i>L. styraciflua</i>) (注) 備考訂正	マンサク科 Hamamelidaceae フウ(楓) Formosan gum <i>Liquidambar formosana</i> Hance (広葉樹) 樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Botryosphaeria canker <i>Botryosphaeria</i> sp. [<i>Dothiorella</i> sp.] 周藤靖雄:森林防疫 24(3):61, 1975 ; 周藤靖雄:森 林防疫 23(3):47, 1974 [備考] モミジバフウ(<i>L. styraciflua</i>)
---	---

クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠) Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) †粉実病 konami-byo <i>Exobasidium sawadae</i> G. Yamada [<i>Glomerularia</i> <i>cinnamomi</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):431, 1919(大8) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(19):215, 1914(大3) [備考] 台湾。クスノキダマシ (<i>C. camphora</i> var. <i>nominale</i>), オオバクスノキ (<i>C. micranthum</i>) にも 発生 (注) 備考訂正	クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠) Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) †粉実病 konami-byo <i>Exobasidium sawadae</i> G. Yamada [<i>Glomerularia</i> <i>cinnamomi</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾菌類調査報告 1):431, 1919(大8) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(19):215, 1914(大3) [備考] 台湾。クスノキダマシ (<i>C. camphora</i> var. <i>nominale</i>), オオバクスノキ (<i>C. micranthum</i>) にも 発生
--	--

バラ科 Rosaceae ズミ(栂, 棠梨) Toringo crabapple <i>Malus toringo</i> (Sieb.) Sieb. ex Vriese (広葉樹) 赤星病 akahoshi-byo Rust (1) <i>Gymnosporangium hemisphaericum</i> Hara 原 攝祐:大日本山林会報 419:13, 1917(大6) [備考] オオズミ (<i>M. sieboldii</i> var. <i>zumi</i>)・オオウ ラジロノキ(<i>M. tschonoskii</i>) (2) <i>Gymnosporangium miyabei</i> G. Yamada & I. Miyake [<i>Roestelia solitaria</i> Miyabe] 平塚直秀:植物学雑 10(10):618, 1934(昭9) (3) <i>Gymnosporangium yamadae</i> Miyabe ex G. Yamada (銹病, 毛銹病) 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1910(明 43); 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明36); 平塚直秀:日菌報 16(1):91, 1975 [備考] エゾノコリンゴ (<i>M. baccata</i> var. <i>mandshurica</i>)・カラフトズミ (<i>M. baccata</i>)にも発 生 (注) 宿主学名・備考訂正	バラ科 Rosaceae ズミ(栂, 棠梨) Toringo crabapple <i>Malus toringo</i> (Sieb.) Sieb. ex Vriese (広葉樹) 赤星病 akahoshi-byo Rust (1) <i>Gymnosporangium hemisphaericum</i> Hara 原 攝祐:大日本山林会報 419:13, 1917(大6) [備考] オオズミ (<i>M. sieboldii</i> var. <i>zumi</i>)・オオウ ラジロノキ(<i>M. tschonoskii</i>) (2) <i>Gymnosporangium miyabei</i> G. Yamada & I. Miyake [<i>Roestelia solitaria</i> Miyabe] 平塚直秀:植物学雑 10(10):618, 1934(昭9) (3) <i>Gymnosporangium yamadae</i> Miyabe ex G. Yamada (銹病, 毛銹病) 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1910(明 43); 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明36); 平塚直秀:日菌報 16(1):91, 1975 [備考] エゾノコリンゴ (<i>M. baccata</i> var. <i>mandshurica</i>)・カラフトズミ (<i>M. baccata</i>)にも発 生
--	---

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode
---	---

(1) <i>Criconemella xenoplax</i> (Raski) Raski & Luc 　　ワ センチュウの1種 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌から検出 (2) <i>Criconemoides</i> sp. 　　ワセンチュウの1種 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978 [備考] ベニバスモモ (<i>Prunus cerasifera</i> Ehrhart var. <i>atropurpurea</i> Dipp.). 属名は再検討を要する (3) <i>Hemicriconemoides</i> sp. 　　サヤワセンチュウの1 種 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌から検出 (4) <i>Paratylenchus</i> sp. 　　ヨコオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978 [備考] ベニバスモモ (5) <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven 　　キタネグサレセンチュ ウ 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978 [備考] ベニバスモモ (6) <i>Xiphinema incognitum</i> Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌から検出 (注) 病原(2)の備考訂正	(1) <i>Criconemella xenoplax</i> (Raski) Raski & Luc 　　ワ センチュウの1種 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌から検出 (2) <i>Criconemoides</i> sp. 　　ワセンチュウの1種 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978 [備考] ベニバスモモ (<i>Prunus certacifera</i> Ehrhart var. <i>stropurpurea</i> Dipp.). 属名は再検討を要する (3) <i>Hemicriconemoides</i> sp. 　　サヤワセンチュウの1 種 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌から検出 (4) <i>Paratylenchus</i> sp. 　　ヨコオピンセンチュウ (ピンセンチュウの1種) 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978 [備考] ベニバスモモ (5) <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven 　　キタネグサレセンチュ ウ 三枝敏郎・相原孝雄:植防研報 15:51, 1978 [備考] ベニバスモモ (6) <i>Xiphinema incognitum</i> Lamberti & Bleve-Zacheo ボンサイオオハリセンチュウ 宍田幸男:関東病虫研報 34:186, 1987 [備考] 根圏土壌から検出
---	--

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. †さび病* sabi-byo Rust (銹病)	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. †さび病* sabi-byo Rust (銹病)
---	---

<i>Phragmidium hashiokai</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):238, 1935(昭10) [備考] 台湾。ニイタカモリイバラ (<i>Rosa transmorrisonensis</i>) (注) 備考訂正	<i>Phragmidium hashiokai</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):238, 1935(昭10) [備考] 台湾。ニイタカモリイバラ (<i>Rosa transmorrisonensis</i>)
---	---

バラ科 Rosaceae ハマナス(浜梨) Rugosa rose <i>Rosa rugosa</i> Thunb. (広葉樹) †††† †<i>Coryneum rosaecola</i> Miura 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:484, 1928(昭3) [備考] 中国東北部。キバナハマナス (<i>R. xanthioides</i>) (注) 備考訂正	バラ科 Rosaceae ハマナス(浜梨) Rugosa rose <i>Rosa rugosa</i> Thunb. (広葉樹) †††† †<i>Coryneum rosaecola</i> Miura 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:484, 1928(昭3) [備考] 中国東北部。キバナハマナス (<i>R. xanthioides</i>)
--	--

バラ科 Rosaceae シモツケ類(木下野) Spiraea <i>Spiraea</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera clandestina</i> (Wallroth) L��veill�� var. <i>clandestina</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 原 攝祐:果樹病害論:175, 1916(大5) ; Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):177, 1988	バラ科 Rosaceae シモツケ類(木下野) Spiraea <i>Spiraea</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera clandestina</i> (Wallroth) L��veill�� var. <i>clandestina</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 原 攝祐:果樹病害論:175, 1916(大5) ; Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):177, 1988
---	---

[備考] トサシモツケ・マルバシモツケ・ホザキシモツケ (<i>S. salicifolia</i>)・ホソバシモツケ (<i>S. pubescens</i>)に発生 (2) <i>Podosphaera filipendulae</i> (Z.Y. Zhao) T.Z. Liu & U. Braun [<i>Sphaerotheca filipendulae</i> Z.Y. Zhao, <i>Sphaerotheca spiraeae</i> Sawada-pro parte, <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill sensu Homma-pro parte] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):296, 1937(昭12) ; 佐藤幸生・望月正己:北陸病虫研報 37:67, 1989 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:35, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:17, 2012 [備考] オニシモツケ・キョウガノコに発生 (3) <i>Podosphaera</i> sp. 丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):124, 1973 [備考] シモツケ (<i>S. japonica</i>)・トサシモツケ (<i>S. nipponica</i> var. <i>tosaensis</i>)・イワシモツケ (<i>S. nipponica</i>)・エゾシモツケ (<i>S. media</i> var. <i>sericea</i>)に発生 (注) 備考訂正	[備考] トサシモツケ・マルバシモツケ・ホザキシモツケ (<i>S. salicifolia</i>)・ホソバシモツケ (<i>S. pubescens</i>)に発生 (2) <i>Podosphaera filipendulae</i> (Z.Y. Zhao) T.Z. Liu & U. Braun [<i>Sphaerotheca filipendulae</i> Z.Y. Zhao, <i>Sphaerotheca spiraeae</i> Sawada-pro parte, <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill sensu Homma-pro parte] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):296, 1937(昭12) ; 佐藤幸生・望月正己:北陸病虫研報 37:67, 1989 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:35, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:17, 2012 [備考] オニシモツケ・キョウガノコに発生 (3) <i>Podosphaera</i> sp. 丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):124, 1973 [備考] シモツケ (<i>S. japonica</i>)・トサシモツケ (<i>S. nipponica</i> var. <i>tosaensis</i>)・イワシモツケ (<i>S. nipponica</i>)・エゾシモツケ (<i>S. media</i> var. <i>vericea</i>)に発生
---	---

アカネ科 Rubiaceae ミサオノキ (Randia) <i>Randia cochinchinensis</i> (Lour.) Merrill (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Endophyllum griffithiae</i> (Hennings) Raciborski Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:14, 1955 [備考] ヒジハリノキ (<i>R. sinensis</i>)・シマミサオノキ(<i>R. canthioides</i>) (注) 備考訂正	アカネ科 Rubiaceae ミサオノキ (Randia) <i>Randia cochinchinensis</i> (Lour.) Merrill (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Endophyllum griffithiae</i> (Hennings) Raciborski Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:14, 1955 [備考] ヒジハリノキ (<i>R. sinensis</i>)・シマミサオノキ(<i>R. canthoides</i>)
---	--

ミカン科 Rutaceae キハダ(黄蘗) Amur cork-tree <i>Phellodendron amurense</i> Rupr. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Coleosporium phellodendri</i> Komarov 松村任三:帝国植物名鑑(上):136, 1904(明37) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:449, 1911(明44) [備考] チュウゴクキハダ・ヒロハノキハダ (<i>P. amurense</i> var. <i>sachalinense</i>) にも発生 (注) 備考訂正、文献順変更	ミカン科 Rutaceae キハダ(黄蘗) Amur cork-tree <i>Phellodendron amurense</i> Rupr. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Coleosporium phellodendri</i> Komarov 安田 篤:植物学各論隠花部:449, 1911(明44) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):136, 1904(明37) [備考] チュウゴクキハダ・ヒロハノキハダ (<i>P. amurense</i> var. <i>sachalinensis</i>) にも発生
---	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 円紋病 emmon-byo Phoma leaf spot, Stem and fruit rot (茎腐病, 実腐病, 輪状斑点病) (1) <i>Phoma destructiva</i> Plowright [<i>Phyllosticta lycopersici</i> Peck] 原 攝祐:実験作物病理学:821, 1930(昭5) ; 瀧元清透:病虫雑 18(6):280, 1931(昭6) ; 中田覺五郎:作物病害図編:546, 1934(昭9) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:595, 1992 [備考] Morgan-Jones, G & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:253, 1988) は <i>Phyllosticta lycopersici</i> を <i>Phoma destructiva</i> の異名とした (2) <i>Phoma exigua</i> Desmazières [<i>Ascochyta phaseolorum</i> Saccardo] 成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973 ; 成田武四・伊藤 仁:北日本病虫研報 24:6, 1973	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 円紋病 emmon-byo Phoma leaf spot, Stem and fruit rot (茎腐病, 実腐病, 輪状斑点病) (1) <i>Phoma destructiva</i> Plowright [<i>Phyllosticta lycopersici</i> Peck] 原 攝祐:実験作物病理学:821, 1930(昭5) ; 瀧元清透:病虫雑 18(6):280, 1931(昭6) ; 中田覺五郎:作物病害図編:546, 1934(昭9) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:595, 1992 [備考] Morgan-Jones, G & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:253, 1988) は <i>Phyllosticta lycopersici</i> を <i>Phoma destructiva</i> の異名とした (2) <i>Phoma exigua</i> Desmazières [<i>Ascochyta phaseolorum</i> Saccardo] 成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973 ; 成田武四・伊藤 仁:北日本病虫研報 24:6, 1973
--	--

[備考] Morgan-Jones, G. & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:484, 1988) は <i>Ascochyta phaseolorum</i> を <i>Phoma exigua</i> の異名とした (3) <i>Phoma lycopersici</i> Cooke [<i>Didymella lycopersici</i> Klebahn, <i>Diplodina lycopersici</i> Hollós] 成田武四ら:北農 36(7):41, 1969 ; 窪田昌春ら:日植病報 66(1):12, 2000 [備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:510, 1925) は本菌の不完全世代 <i>Phoma lycopersici</i> Cooke をトマト斑点病の病原菌として記録している。トマトの <i>Phoma</i> 菌による病害を統一し、円紋病とする。なお,<i>Phoma lycopersici</i> の有性世代 <i>Didymella lycopersici</i> Klebahn は国内未確認 (注) 病原(3)の備考訂正	[備考] Morgan-Jones, G. & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:484, 1988) は <i>Ascochyta phaseolorum</i> を <i>Phoma exigua</i> の異名とした (3) <i>Phoma lycopersici</i> Cooke [<i>Didymella lycopersici</i> Klebahn, <i>Diplodina lycopersici</i> Hollós] 成田武四ら:北農 36(7):41, 1969 ; 窪田昌春ら:日植病報 66(1):12, 2000 [備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:510, 1925) は本菌の不完全世代 <i>Phoma lycopersici</i> Cooke をトマト斑点病の病原菌として記録している。トマトの <i>Phoma</i> 菌による病害を統一し、円紋病とする。なお,<i>Phoma lycopersici</i> の有性世代 <i>Didymella lycopersici</i> Klebahn は国内未確認
---	---

ニレ科 Ulmaceae エノキ(榎) Chinese hackberry <i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai (広葉樹) てんぐ(天狗)巢病 tengusu-byo Witches' broom <i>Eriophyes</i> sp. エノキテングスフシダニ 浜 武人:森林防疫ニュース 12(8):173, 1963 ; 山下修一ら:日植病報 53(1):74, 1987 [備考] エゾエノキ (<i>C. jessoensis</i>) にも発生 (注) 備考訂正	ニレ科 Ulmaceae エノキ(榎) Chinese hackberry <i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai (広葉樹) てんぐ(天狗)巢病 tengusu-byo Witches' broom <i>Eriophyes</i> sp. エノキテングスフシダニ 浜 武人:森林防疫ニュース 12(8):173, 1963 ; 山下修一ら:日植病報 53(1):74, 1987 [備考] エゾエノキ (<i>C. fessoensis</i>) にも発生
--	--

2020年（令和2年）8月25日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2020年1月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が白藻病，粉藻病，裏藻病について新たに審査終了した新病名，病原追加，病名・学名変更，文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 窪田昌春

左段：修正案 / 右段：現行データ

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓，槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):228, 2009 [備考] タカオカエデ(イロハモミジ)に発生 (注) 新病名	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓，槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹)
--	---

キョウチクトウ科 Apocynaceae テイカカズラ(定家葛) Yellow star jasmine, Japanese star jasmine <i>Trachelospermum asiaticum</i> (Sieb. & Zucc.) Nakai (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑1:164, 1914(大3)；周藤靖雄ら:関東病虫研報 66:40, 2019 [備考] 周藤ら(2019)は，オキナワテイカカズラ・チョウジカズラにも発生したと報告した	キョウチクトウ科 Apocynaceae テイカカズラ(定家葛) Yellow star jasmine, Japanese star jasmine <i>Trachelospermum asiaticum</i> (Sieb. & Zucc.) Nakai (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大3)
--	--

(注) 宿主名追加、備考追加	
モチノキ科 Aquifoliaceae セイヨウヒイラギ(西洋柊) English holly <i>Ilex aquifolium</i> L. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (注) 新病名	モチノキ科 Aquifoliaceae セイヨウヒイラギ(西洋柊) English holly <i>Ilex aquifolium</i> L. (広葉樹)
モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵜木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>Ilex mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 [備考] モチノキ・ソヨゴ・クロガネモチに発生 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11) ; 西田藤次: 柑橘病害と予防法:173, 1914(大3) ; Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):213, 2009 [備考] モチノキ・ソヨゴ・クロガネモチに発生 (注) 病原追加	モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵜木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>Ilex mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11) ; 西田藤次: 柑橘病害と予防法:173, 1914(大3) [備考] モチノキ・クロガネモチ

モチノキ科 Aquifoliaceae イヌツゲ(犬黄楊) Japanese holly <i>Ilex crenata</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 小林享夫:新版緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:224, 1983 (注) 病原追加	モチノキ科 Aquifoliaceae イヌツゲ(犬黄楊) Japanese holly <i>Ilex crenata</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 小林享夫:新版緑化樹木の病害虫(上)病害とその防除:224, 1983
--	---

ウコギ科 Araliaceae コシアブラ(金漆樹) (Acanthopanax) <i>Acanthopanax sciadophylloides</i> Franch. & Savat. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):228, 2009 (注) 新病名	ウコギ科 Araliaceae コシアブラ(金漆樹) (Acanthopanax) <i>Acanthopanax sciadophylloides</i> Franch. & Savat. (広葉樹)
--	--

ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze	ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹)
---	---

Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):230, 2009 (注) 新病名	
スイカズラ科 Caprifoliaceae ウグイスカグラ(鶯神楽) Honeysuckle <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> Miq. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (注) 新病名	スイカズラ科 Caprifoliaceae ウグイスカグラ(鶯神楽) Honeysuckle <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> Miq. (広葉樹)
ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros aucubae</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):215, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, 接種試験に成功した (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950 (注) 病原追加	ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950
ユズリハ科 Daphniphyllaceae	ユズリハ科 Daphniphyllaceae

ユズリハ(交譲木) Sloumi <i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq. (広葉樹) ヒメユズリハ(姫交譲木) <i>Daphniphyllum teijsmannii</i> Zoll. ex Kurz 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):228, 2009 [備考] ユズリハ, ヒメユズリハに発生 (注) 新病名	ユズリハ(交譲木) Sloumi <i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq. (広葉樹) ヒメユズリハ(姫交譲木) <i>Daphniphyllum teijsmannii</i> Zoll. ex Kurz
--	--

ツツジ科 Ericaceae アセビ(馬酔木) Japanese andromeda <i>Pieris japonica</i> (Thunb.) D. Don (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (注) 新病名	ツツジ科 Ericaceae アセビ(馬酔木) Japanese andromeda <i>Pieris japonica</i> (Thunb.) D. Don (広葉樹)
--	--

ツツジ科 Ericaceae シャクナゲ類(石楠花) Rhododendron <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):232, 2009	ツツジ科 Ericaceae シャクナゲ類(石楠花) Rhododendron <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹)
--	---

(注) 新病名	
---------	--

ツツジ科 Ericaceae シャシャンボ(南燭) (Vaccinium) <i>Vaccinium bracteatum</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 (注) 病原追加	ツツジ科 Ericaceae シャシャンボ(南燭) (Vaccinium) <i>Vaccinium bracteatum</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956
--	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカギ Javanese bishopwood <i>Bischofia javanica</i> Bl. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):228, 2009 (注) 新病名	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカギ Javanese bishopwood <i>Bischofia javanica</i> Bl. (広葉樹)
--	--

ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (Castanopsis) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky	ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (Castanopsis) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky
--	--

スダジイ(イタジイ) <i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros biolophus</i> Thompson & Wujek Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):218, 2009 [備考] スダジイに発生 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950 ; 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:11, 1956 [備考] スダジイ, ツブラジイに発生 (注) 病原追加, 文献追加, 備考追加	スダジイ(イタジイ) <i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:11, 1956
--	---

ブナ科 Fagaceae マテバシイ (Lithocarpus) <i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai (広葉樹) シリブカガシ(尻深樫) <i>Lithocarpus glabra</i> (Thunb. ex Murray) Nakai 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros biolophus</i> Thompson & Wujek Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):218, 2009 [備考] マテバシイに発生 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):231, 2009 [備考] マテバシイに発生 (注) 新病名	ブナ科 Fagaceae マテバシイ (Lithocarpus) <i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai (広葉樹) シリブカガシ(尻深樫) <i>Lithocarpus glabra</i> (Thunb. ex Murray) Nakai
--	---

ブナ科 Fagaceae カシ類(樫, 櫨) Oak	ブナ科 Fagaceae カシ類(樫, 櫨) Oak
---	---

<i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤檜) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros biolophus</i> Thompson & Wujek Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):218, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] アラカシ, ウバメガシ, ウラジロガシ, シラカシに発生。周藤・大谷(2011)は, ウバメガシでの接種試験に成功した (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950 ; Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):232, 2009 [備考] アラカシ, アマミシラカシ, イチイガシ, ウバメガシ, ウラジロガシ, シラカシに発生 (注) 病原追加	<i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤檜) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950
--	---

クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹)	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹)
--	--

粉藻病 konamo-byo Algal powdery spot <i>Phycopeltis epiphyton</i> Millardet 周藤靖雄ら:関東病虫研報 66:43, 2019 (注) 新病名	
---	--

クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950 (注) 病原追加	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950
---	---

クスノキ科 Lauraceae ゲッケイジュ(月桂樹) Laurel, Sweet bay <i>Laurus nobilis</i> L. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 小河誠司:日林九支所論集 29:251, 1976 (注) 病原追加、宿主英名訂正	クスノキ科 Lauraceae ゲッケイジュ(月桂樹) Laurel, Sweetbey <i>Laurus nobilis</i> L. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 小河誠司:日林九支所論集 29:251, 1976
--	--

クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):213, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, タブノキでの接種試験に成功した (2) <i>Cephaleuros microcellularis</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):213, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, タブノキでの接種試験に成功した (3) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11) ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, タブノキでの接種試験に成功した (注) 病原追加、備考追加	クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11)
--	---

ヤマモモ科 Myricaceae ヤマモモ(楊梅) Wax myrtle <i>Myrica rubra</i> Sieb. & Zucc. (果樹)	ヤマモモ科 Myricaceae ヤマモモ(楊梅) Wax myrtle <i>Myrica rubra</i> Sieb. & Zucc. (果樹)
--	--

白藻病 shiromo-byo Algal spot (1) <i>Cephaleuros biolophus</i> Thompson & Wujek Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):218, 2009 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 青柳寅雄:日園雑 45(2):13, 1933(昭8) (注) 病原追加	白藻病 shiromo-byo Algal spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 青柳寅雄:日園雑 45(2):13, 1933(昭8)
---	---

モクセイ科 Oleaceae ネズミモチ(胤鷲, 玉椿) Japanese privet <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. (広葉樹) トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet <i>Ligustrum lucidum</i> Ait. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 [備考] ネズミモチに発生 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 (注) 病原追加	モクセイ科 Oleaceae ネズミモチ(胤鷲, 玉椿) Japanese privet <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. (広葉樹) トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet <i>Ligustrum lucidum</i> Ait. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956
---	---

モクセイ科 Oleaceae イボタノキ(水臘木) Ibota Privet <i>Ligustrum obtusifolium</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani 周藤靖雄ら:関東病虫研報 66:40, 2019 [備考] オオバイボタに発生	モクセイ科 Oleaceae イボタノキ(水臘木) Ibota Privet <i>Ligustrum obtusifolium</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11)
---	--

(2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11) (注) 病原追加	
---	--

マキ科 Podocarpaceae イヌマキ(狗槨, 羅漢松) Longleaf podocarpus <i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don (針葉樹) ラカンマキ(羅漢槨) <i>Podocarpus macrophyllus</i> D.Don var. <i>maki</i> Sieb. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 [備考] イヌマキに発生 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950 (注) 病原追加、宿主英名訂正	マキ科 Podocarpaceae イヌマキ(狗槨, 羅漢松) Longleaf podocarpus <i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don (針葉樹) ラカンマキ(羅漢槨) <i>Podocarpus macrophylla</i> D.Don var. <i>maki</i> Sieb. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:93, 1950
---	--

アカネ科 Rubiaceae コーヒーノキ(珈琲) Coffee tree <i>Coffea</i> spp. (<i>C. arabica</i> L. など) (特用作物) 粉藻病 konamo-byo Algal powdery spot (1) <i>Phycopeltis epiphyton</i> Millardet 周藤靖雄ら:関東病虫研報 66:43, 2019 (2) <i>Phycopeltis</i> sp. 周藤靖雄ら:関東病虫研報 66:43, 2019 (注) 新病名	アカネ科 Rubiaceae コーヒーノキ(珈琲) Coffee tree <i>Coffea</i> spp. (<i>C. arabica</i> L. など) (特用作物)
--	--

ハイノキ科 Symplocaceae クロキ(ナカハラクロキ)(黒木) (Symplocos) <i>Symplocos lucida</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は、接種試験に成功した (2) <i>Cephaleuros microcellularis</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):228, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は、接種試験に成功した (3) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防 除:203, 1977 (注) 病原追加	ハイノキ科 Symplocaceae クロキ(ナカハラクロキ)(黒木) (Symplocos) <i>Symplocos lucida</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 小林享夫:緑化樹木の病害虫(上)病害とその防 除:203, 1977
---	---

ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):223, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol.: (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は、接種試験に成功した (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫害雑 1:164, 1914(大3)	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (白藻病) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫害雑 1:164, 1914(大3)
---	---

(注) 病原追加、病名と同一である病名異名を削除	
--------------------------	--

ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大3) (注) 病原追加	ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大3)
---	---

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 白藻病 shiromo-byo White blight, Red rust, Algal leaf spot (白苔病, ミコイデア病) (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1(2):162, 1914(大3) ; 江塚昭 典・木伏秀夫:茶技研 15:11, 1956 ; 周藤靖雄・大 谷修二:Jpn. J. Phycol.: (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, 接種試験に成功した (注) 病原追加、備考追加	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 白藻病 shiromo-byo White blight, Red rust, Algal leaf spot (白苔病, ミコイデア病) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1(2):162, 1914(大3) ; 江塚昭 典・木伏秀夫:茶技研 15:11, 1956
--	---

ツバキ科 Theaceae サカキ(榊) (Cleyera) <i>Cleyera japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (斑葉病) (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大3) (注) 病原追加	ツバキ科 Theaceae サカキ(榊) (Cleyera) <i>Cleyera japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (斑葉病) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大3)
---	---

ツバキ科 Theaceae ヒサカキ(野茶, 枹) (Eurya) <i>Eurya japonica</i> Thunb. (広葉樹) 裏藻病 uramo-byo <i>Stomatochroon</i> sp. 周藤靖雄ら:関東病虫研報 66:43, 2019 (注) 新病名	ツバキ科 Theaceae ヒサカキ(野茶, 枹) (Eurya) <i>Eurya japonica</i> Thunb. (広葉樹)
---	--

ツバキ科 Theaceae ヒサカキ(野茶, 枹) (Eurya) <i>Eurya japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009	ツバキ科 Theaceae ヒサカキ(野茶, 枹) (Eurya) <i>Eurya japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大3)
--	--

(2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大3) (注) 病原追加	
ツバキ科 Theaceae モッコク(木斛) (Ternstroemia) <i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wright & Arn.) Beddome (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950 (注) 病原追加	ツバキ科 Theaceae モッコク(木斛) (Ternstroemia) <i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wright & Arn.) Beddome (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 江塚昭典・木伏秀夫:茶業技術研究 15:12, 1956 ; 末松四郎:和歌山大学芸研究, 自然科学 1:94, 1950
ブドウ科 Vitaceae ツタ(蔦, 地錦) Boston ivy <i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Sieb. & Zucc.) Planch. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 (注) 新病名	ブドウ科 Vitaceae ツタ(蔦, 地錦) Boston ivy <i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Sieb. & Zucc.) Planch. (広葉樹)

2021年（令和3年）3月22日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2020年8月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名、病原追加、病名・学名変更、文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 窪田昌春

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑葉細菌病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>aceris</i> (Ark 1939) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas aceris</i> (Ark) Burkholder, <i>Bacterium aceris</i> (Ark) Isiyama & Muko] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:661, 1941(昭16) ; 瀧川雄一ら:日植病報 51(1):53, 1985 ; Takikawa, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 57(5):724, 1991 [備考] トウカエデ (<i>A. buergerianum</i>)に発生 (注) 文献順変更	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (斑葉細菌病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>aceris</i> (Ark 1939) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas aceris</i> (Ark) Burkholder, <i>Bacterium aceris</i> (Ark) Isiyama & Muko] 瀧川雄一ら:日植病報 51(1):53, 1985 ; 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:661, 1941(昭16) ; Takikawa, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 57(5):724, 1991 [備考] トウカエデ (<i>A. buergerianum</i>)に発生
--	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe ljubarskii</i> (Golovin) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ljubarskii</i> [<i>Uncinula ljubarskii</i>	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe ljubarskii</i> (Golovin) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ljubarskii</i> [<i>Uncinula ljubarskii</i>
---	---

Golovin var. <i>ljubarskii</i>, <i>Uncinula aduncoides</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen, <i>Uncinula</i> sp.] 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):198, 1983 ; Braun, U.:Mycotaxon 20:487, 1984 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012 [備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・オオイタヤマメイツ・ハウチワカエデに発生 (2) <i>Sawadaea bicornis</i> (Wallroth) Homma [<i>Uncinula aceris</i> (de Candolle) Saccardo] (白渋病, 粉病) 白井光太郎:最近植物病理学:397, 1903(明36) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 9:50, 1914(大3) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] ミツデカエデ (<i>A. cissifolium</i>)・エンコウカエデ・ウリカエデ (<i>A. crataegifolium</i>)・ウラゲエンコウカエデ・トネリコバノカエデ・イタヤカエデ・ツタモミジ・ヤマモミジ・オニイタヤに発生 (3) <i>Sawadaea bifida</i> Heluta [<i>Sawadaea zhengii</i> Y. Nomura] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:106, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] エンコウカエデに発生 (4) <i>Sawadaea negundinis</i> Homma Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):375, 1937(昭12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:14, 1973 [備考] トネリコバノカエデに発生 (5) <i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [<i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>japonica</i> U. Braun & Tanda, <i>Sawadaea tulasnei</i> sensu auct. Jap. non (Fuckel) Homma] Braun, U.:Mycotaxon 22:93, 1985 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 ; Meeboon, J. et	Golovin var. <i>ljubarskii</i>, <i>Uncinula aduncoides</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen, <i>Uncinula</i> sp.] 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):198, 1983 ; Braun, U.:Mycotaxon 20:487, 1984 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012 [備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・オオイタヤマメイツ・ハウチワカエデに発生 (2) <i>Sawadaea bicornis</i> (Wallroth) Homma [<i>Uncinula aceris</i> (de Candolle) Saccardo] (白渋病, 粉病) 白井光太郎:最近植物病理学:397, 1903(明36) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 9:50, 1914(大3) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] ミツデカエデ (<i>A. cissifolium</i>)・エンコウカエデ・ウリカエデ (<i>A. crataegifolium</i>)・ウラゲエンコウカエデ・トネリコバノカエデ・イタヤカエデ・ツタモミジ・ヤマモミジ・オニイタヤに発生 (3) <i>Sawadaea bifida</i> Heluta [<i>Sawadaea zhengii</i> Y. Nomura] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:106, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] エンコウカエデに発生 (4) <i>Sawadaea negundinis</i> Homma Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):375, 1937(昭12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:14, 1973 [備考] トネリコバノカエデに発生 (5) <i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [<i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>japonica</i> U. Braun & Tanda, <i>Sawadaea tulasnei</i> sensu auct. Jap. non (Fuckel) Homma] Braun, U.:Mycotaxon 22:93, 1985 ; Meeboon, J. et al.:Mycoscience 56(6):590, 2015 ; 高松 進:三重大
---	---

al.:Mycoscience 56(6):590, 2015 [備考] イロハモミジ・ヒナウチワカエデ・コハウチワカエデ・ヤマモミジ・ナンゴクミネカエデ(<i>A. australe</i>)に発生 (6) <i>Sawadaea tulasnei</i> (Fuckel) Homma [<i>Uncinula aceris</i> auct. non Saccardo, <i>Sawadaea aceris</i> Miyabe ex Sawada, <i>Uncinula aceris</i> Saccardo var. <i>tulasnei</i> E.S. Salmon] (粉病, 白渋病) 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明37) ; 新島善直:新編森林保護学(下):494, 1925(大14) [備考] ヤマモミジ・イタヤカエデ・クロビイタヤ・ウリカエデ・オガラバナ (<i>A. ukurunduense</i>)・オニイタヤ・ウリハダカエデ・ベニイタヤ・マンシュウイタヤカエデに発生 (7) <i>Sawadaea</i> sp. (白渋病) 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973 [備考] オオモミジ・ヒロハモミジ・ウラジロイタヤ・テツカエデ・ミネカエデ・エンコウカエデ・ウリハダカエデ・チドリノキ (<i>A. carpinifolium</i>)・オオイタヤメイゲツ・ハウチワカエデに発生 (注) 文献順変更	生資紀要 38:23, 2012 [備考] イロハモミジ・ヒナウチワカエデ・コハウチワカエデ・ヤマモミジ・ナンゴクミネカエデ(<i>A. australe</i>)に発生 (6) <i>Sawadaea tulasnei</i> (Fuckel) Homma [<i>Uncinula aceris</i> auct. non Saccardo, <i>Sawadaea aceris</i> Miyabe ex Sawada, <i>Uncinula aceris</i> Saccardo var. <i>tulasnei</i> E.S. Salmon] (粉病, 白渋病) 新島善直:新編森林保護学(下):494, 1925(大14) ; 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明37) [備考] ヤマモミジ・イタヤカエデ・クロビイタヤ・ウリカエデ・オガラバナ (<i>A. ukurunduense</i>)・オニイタヤ・ウリハダカエデ・ベニイタヤ・マンシュウイタヤカエデに発生 (7) <i>Sawadaea</i> sp. (白渋病) 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973 [備考] オオモミジ・ヒロハモミジ・ウラジロイタヤ・テツカエデ・ミネカエデ・エンコウカエデ・ウリハダカエデ・チドリノキ (<i>A. carpinifolium</i>)・オオイタヤメイゲツ・ハウチワカエデに発生
--	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 枝枯病* edagare-byo Twig blight <i>Macrophoma haraeana</i> Sydow 原 攝祐:植物学雑 27(314):125, 1913(大2) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:228, 1927(昭2) (注) 文献順変更	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 枝枯病* edagare-byo Twig blight <i>Macrophoma haraeana</i> Sydow 原 攝祐:実験樹木病害篇:228, 1927(昭2) ; 原 攝祐:植物学雑 27(314):125, 1913(大2)
--	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot (褐点病) <i>Phyllosticta platanoides</i> Saccardo 富樫浩吾:日本植物学輯報 2(2):95, 1924(大13) ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):39, 1943(昭18) [備考] イタヤカエデ (<i>A. mono</i>)・イトマキイタヤ・クロビイタヤ(<i>A. miyabei</i>)・マンシュウイタヤに発生 (注) 文献順変更	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot (褐点病) <i>Phyllosticta platanoides</i> Saccardo 逸見武雄:植物分類地理 13(1):39, 1943(昭18) ; 富樫浩吾:日本植物学輯報 2(2):95, 1924(大13) [備考] イタヤカエデ (<i>A. mono</i>)・イトマキイタヤ・クロビイタヤ(<i>A. miyabei</i>)・マンシュウイタヤに発生
---	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 紅斑性癌腫病, 紅粒癌腫病) <i>Nectria cinnabarina</i> (Tode) Fries 白井光太郎:植物病理学(下):209, 1894(明27) ; 伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962 (注) 文献順変更	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 紅斑性癌腫病, 紅粒癌腫病) <i>Nectria cinnabarina</i> (Tode) Fries 伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962 ; 白井光太郎:植物病理学(下):209, 1894(明27)
---	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp.	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp.
--	--

(広葉樹) 黒点病 kokuten-byo <i>Triposporium acerinum</i> Sydow 白井光太郎:日本菌類目録:101, 1905(明38) ; 安田篤:植物学各論隠花部:574, 1911(明44) ; Hughes, S. J.:Mycol. Pap. 46:10, 1951 (注) 文献順変更	(広葉樹) 黒点病 kokuten-byo <i>Triposporium acerinum</i> Sydow 安田 篤:植物学各論隠花部:574, 1911(明44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:101, 1905(明38) ; Hughes, S. J.:Mycol. Pap. 46:10, 1951
---	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 黒斑病 kokuhan-byo Black leaf spot <i>Pilidium acerinum</i> Kunze [<i>Leptothyrium acerinum</i> (Kunze) Corda] 吉永虎馬:植物学雑 19(217):31, 1905(明38) ; 安田篤:植物学各論隠花部:544, 1911(明44) [備考] イタヤカエデ・ヤマモミジに発生 (注) 文献順変更	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 黒斑病 kokuhan-byo Black leaf spot <i>Pilidium acerinum</i> Kunze [<i>Leptothyrium acerinum</i> (Kunze) Corda] 安田 篤:植物学各論隠花部:544, 1911(明44) ; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):31, 1905(明38) [備考] イタヤカエデ・ヤマモミジに発生
--	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 黒紋病 kokumon-byo Tar spot (皸裂黒点病, 黒斑病, 黒かび病, 黒脂病) <i>Rhytisma acerinum</i> (Persoon ex St. Amans) Fries 田中延次郎:植物学雑 4(42):299, 1890(明23) ; 出田 新:日本植物病理学(上):304, 1909(明42)	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 黒紋病 kokumon-byo Tar spot (皸裂黒点病, 黒斑病, 黒かび病, 黒脂病) <i>Rhytisma acerinum</i> (Persoon ex St. Amans) Fries 出田 新:日本植物病理学(上):304, 1909(明42) ; 田中延次郎:植物学雑 4(42):299, 1890(明23)
---	---

[備考] イタヤカエデ・ヤマモミジ・オオモミジ・ハウチワカエデ (<i>A. japonicum</i>)・トキワカエデ・テツカエデ(<i>A. nipponicum</i>)に発生 (注) 文献順変更	[備考] イタヤカエデ・ヤマモミジ・オオモミジ・ハウチワカエデ (<i>A. japonicum</i>)・トキワカエデ・テツカエデ(<i>A. nipponicum</i>)に発生
---	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot <i>Ganoderma applanatum</i> (Persoon) Patouillard コ フキタケ (コフキサルノコシカケ, キウラサルノコシカケ) 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:27, 1952 [備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参照 (注) 文献著者名訂正	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot <i>Ganoderma applanatum</i> (Persoon) Patouillard コ フキタケ (コフキサルノコシカケ, キウラサルノコシカケ) 千葉 修・佐々木敏雄:東大農演報 43:26, 1952 [備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参照
---	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 小黒紋病 sho-kokumon-byo Small tar spot (黒星病, 破裂黒点病, 斑葉病, 小黒やに病) <i>Rhytisma punctatum</i> (Persoon) Fries [<i>Rhytisma acerinum</i> (Persoon ex St. Amans) Fries f. <i>punctatum</i> Naumov, <i>Melasmia punctata</i> Saccardo & Roumeguère] 白井光太郎:植物病理学(下):160, 1894(明27) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:235, 1933(昭8)	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 小黒紋病 sho-kokumon-byo Small tar spot (黒星病, 破裂黒点病, 斑葉病, 小黒やに病) <i>Rhytisma punctatum</i> (Persoon) Fries [<i>Rhytisma acerinum</i> (Persoon ex St. Amans) Fries f. <i>punctatum</i> Naumov, <i>Melasmia punctata</i> Saccardo & Roumeguère] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:235, 1933(昭8) ; 白井光太郎:植物病理学(下):160, 1894(明27)
--	--

[備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・シマウリカエデ・クスノハカエデ・ミネカエデ・コミネカエデ・メイゲツカエデ・カラコギカエデ・ハウチワカエデ・メグスリノキに発生 (注) 文献順変更	[備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・シマウリカエデ・クスノハカエデ・ミネカエデ・コミネカエデ・メイゲツカエデ・カラコギカエデ・ハウチワカエデ・メグスリノキに発生
--	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker (フオモプシス胴枯病) (1) <i>Diaporthe dubia</i> Nitschke [<i>Diaporthe moriokaensis</i> Sawada] 澤田兼吉:林試研報 53:172, 1952 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:87, 1970 ; 周藤靖雄:森林防疫 24(3):62, 1975 [備考] イロハモミジ (<i>A. palmatum</i>)に発生 (2) <i>Diaporthe pustulata</i> (Desmazières) Saccardo Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta.226:89, 1970 ; 周藤靖雄:森林防疫 24(3):62, 1975 [備考] ヤマモミジ・オオモミジ (<i>A. palmatum</i> var. <i>amoenum</i>)に発生 (3) <i>Diaporthe varians</i> (Currey) Saccardo Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:88, 1970 ; 周藤靖雄:森林防疫 24(3):62, 1975 [備考] オオモミジに発生 (注) 文献順変更	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker (フオモプシス胴枯病) (1) <i>Diaporthe dubia</i> Nitschke [<i>Diaporthe moriokaensis</i> Sawada] 周藤靖雄:森林防疫 24(3):62, 1975 ; 澤田兼吉:林試研報 53:172, 1952 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:87, 1970 [備考] イロハモミジ (<i>A. palmatum</i>)に発生 (2) <i>Diaporthe pustulata</i> (Desmazières) Saccardo 周藤靖雄:森林防疫 24(3):62, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:87, 1970 [備考] ヤマモミジ・オオモミジ (<i>A. palmatum</i> var. <i>amoenum</i>)に発生 (3) <i>Diaporthe varians</i> (Currey) Saccardo 周藤靖雄:森林防疫 24(3):62, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:88, 1970 [備考] オオモミジに発生
---	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples
---	---

<i>Acer</i> spp. (広葉樹) ††††苗疫病 nae-eki-byo Phytophthora rot (立枯病) ††<i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 白井光太郎:植物病理学(下):80, 1900(明33) ; Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. Japan 1:153, 1907(明40) ; 原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大12) [備考] カエデでの国内発生に疑問 (注) 文献順変更	<i>Acer</i> spp. (広葉樹) ††††苗疫病 nae-eki-byo Phytophthora rot (立枯病) ††<i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大12) ; 白井光太郎:植物病理学(下):80, 1900(明33) ; Hori, S.:Bull. Imp. Cent. Agr. Exp. Sta. Japan 1:153, 1907(明40) [備考] カエデでの国内発生に疑問
--	---

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 白点胴枯病 hakuten-dogare-byo <i>Cryptodiaporthe acerinum</i> J. Reid & Cain Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:57, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:35, 1975 (注) 文献順変更	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 白点胴枯病 hakuten-dogare-byo <i>Cryptodiaporthe acerinum</i> J. Reid & Cain 小林享夫:山林 1093:35, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:57, 1970
---	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Mycocentrospora acerina</i> (R. Hartig) Deighton [<i>Centrospora acerina</i> (R. Hartig) A.G. Newhall,	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Mycocentrospora acerina</i> (R. Hartig) Deighton [<i>Centrospora acerina</i> (R. Hartig) A.G. Newhall,
---	---

<i>Cercospora acerina</i> R. Hartig] 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明27) ; 南部信方:病虫雑 4(12):921, 1917(大6) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):888, 1978 ; 及川 健ら:北日本病虫研報 38:55, 1978 (注) 文献順変更	<i>Cercospora acerina</i> R. Hartig] 南部信方:病虫雑 4(12):921, 1917(大6) ; 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明27) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):888, 1978 ; 及川 健ら:北日本病虫研報 38:55, 1978
---	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 腐らん病 furan-byo <i>Valsa ceratosperma</i> (Tode) Maire Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:106, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:35, 1975 [備考] オオモミジに発生。病原菌の異名はポプラ類腐らん病参照 (注) 文献順変更	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 腐らん病 furan-byo <i>Valsa ceratosperma</i> (Tode) Maire 小林享夫:山林 1093:35, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:107, 1970 [備考] オオモミジに発生。病原菌の異名はポプラ類腐らん病参照
---	--

マタタビ科 Actinidiaceae マタタビ(木天蓼)類 Silver vine <i>Actinidia</i> spp. (果樹) マタタビ Silver vine <i>Actinidia polygama</i> Maximowicz ミヤママタタビ Kolomikta vine <i>Actinidia kolomikta</i> Maximowicz サルナシ Tara vine, Bower actinidia <i>Actinidia arguta</i> Planchon うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew	マタタビ科 Actinidiaceae マタタビ(木天蓼)類 Silver vine <i>Actinidia</i> spp. (果樹) マタタビ Silver vine <i>Actinidia polygama</i> Maximowicz ミヤママタタビ Kolomikta vine <i>Actinidia kolomikta</i> Maximowicz サルナシ Tara vine, Bower actinidia <i>Actinidia arguta</i> Planchon うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew
--	--

(白渋病, 粉病, 裏白渋病) (1) <i>Erysiphe actinidiae</i> (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>actinidiae</i> [<i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski var. <i>actinidiae</i>, <i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski, <i>Uncinula necator</i> (Schweinitz) Burrill var. <i>actinidiae</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大4) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:81, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] マタタビ・ミヤママタタビ・サルナシに発生 (2) <i>Erysiphe actinidiae</i> (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>argutae</i> [<i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski var. <i>argutae</i> Y. Nomura] 原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大4) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:82, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] マタタビ・サルナシに発生 (注) 文献順変更	(白渋病, 粉病, 裏白渋病) (1) <i>Erysiphe actinidiae</i> (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>actinidiae</i> [<i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski var. <i>actinidiae</i>, <i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski, <i>Uncinula necator</i> (Schweinitz) Burrill var. <i>actinidiae</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大4) ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:81, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] マタタビ・ミヤママタタビ・サルナシに発生 (2) <i>Erysiphe actinidiae</i> (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>argutae</i> [<i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski var. <i>argutae</i> Y. Nomura] 原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大4) ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:82, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] マタタビ・サルナシに発生
---	--

マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch.	マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch.
--	--

根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (1) <i>Rhizobium vitis</i> (Ophel & Kerr 1990) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium vitis</i> Ophel & Kerr 1990 (Ti), <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942] (2) <i>Rhizobium</i> sp. (Ti) [<i>Agrobacterium</i> sp. (Ti)] Sawada, H. & Ieki, H.:Plant Dis. 76:212, 1992 ; 澤田宏之:果樹試特別報 5:1, 1994 (注) 文献順変更	根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (1) <i>Rhizobium vitis</i> (Ophel & Kerr 1990) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium vitis</i> Ophel & Kerr 1990 (Ti), <i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942] (2) <i>Rhizobium</i> sp. (Ti) [<i>Agrobacterium</i> sp. (Ti)] 澤田宏之:果樹試特別報 5:1, 1994 ; Sawada, H. & Ieki, H.:Plant Dis. 76:212, 1992
---	--

リュウゼツラン科 Agavaceae マオラン(ニューサイラン) New Zealand flax <i>Phormium tenax</i> J. R. & G. Forst. (草花) 条斑細菌病 johan-saikin-byo <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>phormiicola</i> (Takimoto 1933) Dye 1978 [<i>Bacterium phormicola</i> Takimoto, <i>Xanthomonas phormicola</i> (Takimoto) Dowson] 瀧元清透:病虫雑 20(10):774, 1933(昭8) ; 牧野孝宏ら:日植病報 42(1):61, 1976 (注) 文献名略称を多数派に合わせる	リュウゼツラン科 Agavaceae マオラン(ニューサイラン) New Zealand flax <i>Phormium tenax</i> J. R. & G. Forst. (草花) 条斑細菌病 johan-saikin-byo <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>phormiicola</i> (Takimoto 1933) Dye 1978 [<i>Bacterium phormicola</i> Takimoto, <i>Xanthomonas phormicola</i> (Takimoto) Dowson] 瀧元清透:病害雑 20(10):774, 1933(昭8) ; 牧野孝宏ら:日植病報 42(1):61, 1976
---	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe quercicola</i> S. Takamatsu & U. Braun	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe quercicola</i> S. Takamatsu & U. Braun
--	--

澤峠哲也ら:日植病報 80(4):238, 2014 ; Ajitomi, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(4):316, 2020 (2) ††<i>Oidium mangiferae</i> Berthet 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:33, 1977 [備考] 台湾 (注) 文献追加	澤峠哲也ら:日植病報 80(4):238, 2014 (2) ††<i>Oidium mangiferae</i> Berthet 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:33, 1977 [備考] 台湾
---	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot (1) <i>Diaporthe pseudophoenicicola</i> R.R. Gomes, Glienke & Crous 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 (2) <i>Diaporthe</i> spp. Ajitomi, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(4):237, 2020 [備考] Clade I と Clade II (3) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc [<i>Lasiodiplodia theobromae</i> sensu stricto] 澤峠哲也ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):15, 2013 (4) <i>Lasiodiplodia</i> spp. 服部友香子ら:日植病報 85(3):226, 2019 [備考] 宮古島産およびフィリピン産マンゴーから<i>Lasiodiplodia</i>属の複数の未知種を検出した。接種試験未了 (5) <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 ; 澤峠哲也ら:日植病報 83(2):102, 2017 (6) <i>Neofusicoccum</i> sp. 北沢優悟ら:日植病報 82(3):218, 2016 ; Hara, S. <i>et</i>	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot (1) <i>Diaporthe pseudophoenicicola</i> R.R. Gomes, Glienke & Crous 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 (2) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc [<i>Lasiodiplodia theobromae</i> sensu stricto] 澤峠哲也ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):15, 2013 (3) <i>Lasiodiplodia</i> spp. 服部友香子ら:日植病報 85(3):226, 2019 [備考] 宮古島産およびフィリピン産マンゴーから<i>Lasiodiplodia</i>属の複数の未知種を検出した。接種試験未了 (4) <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 澤峠哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 ; 澤峠哲也ら:日植病報 83(2):102, 2017 (5) <i>Neofusicoccum</i> sp. 北沢優悟ら:日植病報 82(3):218, 2016 ; Hara, S. <i>et</i>
---	--

<i>al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(6):314, 2016 [備考] <i>Neofusicoccum</i> sp. Karanda に近縁。フィリピン産輸入果実に発生 (注) 病原追加	<i>al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(6):314, 2016 [備考] <i>Neofusicoccum</i> sp. Karanda に近縁。フィリピン産輸入果実に発生
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ヨロイグサ (<i>Angelica</i>) <i>Angelica dahurica</i> (Hoffm.) Benth. & Hook.f. ex Franch. & Sav. (特用作物) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Didymella</i> sp. 加藤誠司ら:日植病報 86(3):166, 2020 (注) 新規宿主、新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae
---	--------------------------------------

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) †††† ウイルス (未同定) 宮田朋枝ら:日植病報 77(3):228, 2011 ; 坂本 彩ら:日植病報 84(3):198, 2018 [備考] モザイクおよび輪紋症状。宮田ら(2011)は、ウイルス粒子の形態および外被タンパク質(CP)領域のアミノ酸配列から<i>Potyvirus</i>属ウイルスと報告した。坂本ら(2018)は同種と推定されるウイルスの戻し接種により病原性を確認した (注) (2)を削除して輪紋病として独立させ、文献	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) †††† (1) ウイルス (未同定) 宮田朋枝ら:日植病報 77(3):228, 2011 ; 坂本 彩ら:日植病報 84(3):198, 2018 [備考] モザイクおよび輪紋症状。宮田ら(2011)は、ウイルス粒子の形態および外被タンパク質(CP)領域のアミノ酸配列から<i>Potyvirus</i>属ウイルスと報告した。坂本ら(2018)は同種と推定されるウイルスの戻し接種により病原性を確認した (2) <i>Konjac mosaic virus</i> (KoMV) [Japanese honewort mosaic virus] コンニャクモザイクウイルス
---	---

追加 輪紋病 rimmon-byo Ring spot disease <i>Konjac mosaic virus</i> (KoMV) [Japanese honewort mosaic virus] コンニャクモザイクウイルス 坂本 彩ら:日植病報 84(3):198, 2018 ; 坂本 彩ら: 日植病報 86(3):151, 2020 (注) 新病名、備考削除	坂本 彩ら:日植病報 84(3):198, 2018 [備考] RT-PCRによる検出。戻し接種なし
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) †††† <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 江口 賢ら:日植病報 71(1):31, 2005 (注) 新宿主	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜)
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 疫病 eki-byo (1) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 55(4):494, 1989 (2) <i>Phytophthora primulae</i> J.A. Tomlinson 小野 剛ら:関東病虫研報 63:123, 2016	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 疫病 eki-byo (1) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 55(4):494, 1989 (2) <i>Phytophthora primulae</i> J.A. Tomlinson 小野 剛ら:関東病虫研報 63:123, 2016
--	--

(3) <i>Phytophthora taxon parsley</i> 坂本 彩ら:日植病報 86(3):165, 2020 (注) 病原追加	
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) †††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 李 準璋ら:日植病報 47(1):137, 1981 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。病徴未記載 (2) <i>Panax virus Y</i> (PanVY) サンシチニンジンYウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。葉の凹凸や黄化症状。戻し接種なし (注) 文献ページ挿入	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) †††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 李 準璋ら:日植病報 47(1), 1981 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。病徴未記載 (2) <i>Panax virus Y</i> (PanVY) サンシチニンジンYウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。葉の凹凸や黄化症状。戻し接種なし
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) ピシウム根腐病 <i>Pythium-negusare-byo</i> Pythium root rot <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 椿 幹生ら:日植病報 86(3):190, 2020	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物)
--	---

(注) 新病名	
---------	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae コリアンダー(コエンドロ, 香菜, シャンサイ) Coriander <i>Coriandrum sativum</i> L. (野菜) 株枯病 kabugare-byo Stem rot <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 外側正之ら:日植病報 64(4):435, 1998 ; 加藤有紀 子ら:日植病報 86(3):168, 2020 [備考] 加藤らは, f. <i>sp. apii</i> とは異なる分化型を 報告した (注) 備考追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae コリアンダー(コエンドロ, 香菜, シャンサイ) Coriander <i>Coriandrum sativum</i> L. (野菜) 株枯病 kabugare-byo Stem rot <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 外側正之ら:日植病報 64(4):435, 1998
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミツバ(野蜀葵, 鴨兒芹) Japanese honeywort <i>Cryptotaenia japonica</i> Hassk. (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし (2) <i>Konjac mosaic virus</i> (KoMV) [Japanese honewort mosaic virus] コンニャクモザイクウイルス Okuno, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 69(2):138, 2003 [備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最 初の記載は, 河合一郎:園芸病害編:280, 1954	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミツバ(野蜀葵, 鴨兒芹) Japanese honeywort <i>Cryptotaenia japonica</i> Hassk. (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種な し。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初 の記載は, 河合一郎:園芸病害編:280, 1954 (2) <i>Konjac mosaic virus</i> (KoMV) [Japanese honewort mosaic virus] コンニャクモザイクウイルス Okuno, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 69(2):138, 2003
---	---

(注) 備考移動	
----------	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミツバ(野蜀葵, 鴨児芹) Japanese honeywort <i>Cryptotaenia japonica</i> Hassk. (野菜) 株枯病 kabugare-byo <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>apii</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 白浜賢一ら:土壌病害の手引 I:8, 1962 ; 加藤有紀 子ら:日植病報 86(3):168, 2020 [備考] 加藤らは, f. sp. <i>apii</i> とは異なる分化型を 報告した (注) 備考追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミツバ(野蜀葵, 鴨児芹) Japanese honeywort <i>Cryptotaenia japonica</i> Hassk. (野菜) 株枯病 kabugare-byo <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>apii</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 白浜賢一ら:土壌病害の手引 I:8, 1962
--	---

キョウチクトウ科 Apocynaceae ヒメツルニチニチソウ Common periwinkle <i>Vinca minor</i> L. (草花) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium delphinii</i> Welch 植松清次ら:関東病虫研報 56:137, 2009 [備考] 植松ら(2009)は<i>S. rolfii</i> var. <i>delphinii</i> を提 案した (注) 備考中の病原学名属名をイタリックにする	キョウチクトウ科 Apocynaceae ヒメツルニチニチソウ Common periwinkle <i>Vinca minor</i> L. (草花) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium delphinii</i> Welch 植松清次ら:関東病虫研報 56:137, 2009 [備考] 植松ら(2009)は<i>S. rolfii</i> var. <i>delphinii</i> を提 案した
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, <i>Calendula</i>	キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, <i>Calendula</i>
--	--

<i>Calendula officinalis</i> L. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:227, 1917(大6) [備考] 寄主植物名リスト (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:371, 1927(昭 2) ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討が 必要。白井・原 (1927), 平田 (1964) は寄主植物 名リスト (注) (1)の書籍名とページの間に半角コロン挿入	<i>Calendula officinalis</i> L. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録 227, 1917(大6) [備考] 寄主植物名リスト (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:371, 1927(昭 2) ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討が 必要。白井・原 (1927), 平田 (1964) は寄主植物 名リスト
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナボロギク (<i>Crassocephalum</i>) <i>Crassocephalum crepidioides</i> (Benth.) S. Moore (草花) 青枯病 aogare-byo Bacterial wilt <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 山城真希ら:日植病報 86(3):231, 2020 (注) 新規宿主、新病名	キク科 Asteraceae, Compositae
--	-----------------------------------

キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン)	キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン)
--	--

Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) 暗紋病 ammon-byo Leaf spot <i>Phyllosticta dahliaecola</i> Brunaud 原 攝祐:病虫雑 16(3):159, 1929(昭4) ; 原 攝祐:実験作物病理学:858, 1930(昭5) [備考] 解説書。接種試験未了 (注) 文献名略称を多数派に合わせ、ページを挿入	Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) 暗紋病 ammon-byo Leaf spot <i>Phyllosticta dahliaecola</i> Brunaud 原 攝祐:病虫雑誌 16(3), 1929(昭4) ; 原 攝祐:実験作物病理学:858, 1930(昭5) [備考] 解説書。接種試験未了
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ムカシヨモギ類 (Erigeron) <i>Erigeron</i> spp. (野草) アズマギク <i>Erigeron thunbergii</i> A. Gray ヒメジョオン <i>Erigeron annuus</i> L. [<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.] ハルジオン <i>Erigeron philadelphicus</i> L. ヒメムカシヨモギ <i>Erigeron canadensis</i> L. 円星病 maruhoshi-byo Circular leaf spot <i>Septoria erigerontis</i> Berkeley & M.A. Curtis Hirayama, S.:Mem. Coll. Agr., Kyoto Imp. Univ. 13(3):37, 1931 ; 澤田兼吉:林試研報 105:58, 1958 ; 小川久美子ら:日植病報 69(3):261, 2003 [備考] ヒメジョオン・ハルジオン。病原性は酒井ら(2000)により確認 (注) 文献著者名・文献名訂正	キク科 Asteraceae, Compositae ムカシヨモギ類 (Erigeron) <i>Erigeron</i> spp. (野草) アズマギク <i>Erigeron thunbergii</i> A. Gray ヒメジョオン <i>Erigeron annuus</i> L. [<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.] ハルジオン <i>Erigeron philadelphicus</i> L. ヒメムカシヨモギ <i>Erigeron canadensis</i> L. 円星病 maruhoshi-byo Circular leaf spot <i>Septoria erigerontis</i> Berkeley & M.A. Curtis Hirayama, T.:Mem. Fac. Agr., Kyoto Imp. Univ. 13(3):37, 1931 ; 澤田兼吉:林試研報 105:58, 1958 ; 小川久美子ら:日植病報 69(3):261, 2003 [備考] ヒメジョオン・ハルジオン。病原性は酒井ら(2000)により確認
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae ヒマワリ(向日葵, ヒグルマ)	キク科 Asteraceae, Compositae ヒマワリ(向日葵, ヒグルマ)
---	---

Sunflower <i>Helianthus annuus</i> L. (草花) コヒマワリ (Helianthus) <i>Helianthus decapelatus</i> var. <i>multiflorus</i> うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:221, 1917(大6) (2) <i>Oidium latisporum</i> U. Braun 丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999 [備考] シロタエヒマワリ <i>H. argophyllus</i> Torr. & A. Gray に発生 (3) <i>Oidium</i> sp. (subsp. <i>Reticuloidium</i> sp.) 神谷敏広ら:日植病報 70(3):213, 2004 [備考] ヒマワリ・コヒマワリに発生。接種試験 未了 (4) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 本間ヤス:北大農紀 38:305, 1937(昭12) ; 大谷吉 雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生 資紀要 38:21, 2012 [備考] 白井・三宅 (1917) 寄主植物名リスト (注) (1)の書籍名とページの間に半角コロン挿入	Sunflower <i>Helianthus annuus</i> L. (草花) コヒマワリ (Helianthus) <i>Helianthus decapelatus</i> var. <i>multiflorus</i> うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録 221, 1917(大6) (2) <i>Oidium latisporum</i> U. Braun 丹田誠之助ら:東農大農学集報 44(3):115, 1999 [備考] シロタエヒマワリ <i>H. argophyllus</i> Torr. & A. Gray に発生 (3) <i>Oidium</i> sp. (subsp. <i>Reticuloidium</i> sp.) 神谷敏広ら:日植病報 70(3):213, 2004 [備考] ヒマワリ・コヒマワリに発生。接種試験 未了 (4) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 本間ヤス:北大農紀 38:305, 1937(昭12) ; 大谷吉 雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生 資紀要 38:21, 2012 [備考] 白井・三宅 (1917) 寄主植物名リスト
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf
---	---

lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) コルキールート病 <i>Corky root-byo</i> Corky root <i>Rhizorhapis suberifaciens</i> (van Bruggen, Jochimsen, & Brown 1990) Francis, Jochimsen, De Vos, & van Bruggen 2014 石山佳幸ら:日植病報 86(3):232, 2020 (注) 新病名	lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group)
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 立枯病 <i>tachigare-byo</i> Damping-off (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 山内智史・窪田昌春:日植病報 81(1):50, 2015 ; 山内智史・窪田昌春:関東病虫研報 63:25, 2016 [備考] リーフレタスに発生 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012 (3) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 立枯病 <i>tachigare-byo</i> Damping-off (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 山内智史・窪田昌春:日植病報 81(1):50, 2015 ; 山内智史・窪田昌春:関東病虫研報 63:25, 2016 [備考] リーフレタスに発生 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012 (3) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012
---	---

篠崎智子ら:日植病報 86(3):192, 2020 [備考] 植物工場栽培レタスに潜在感染していたことを報告 (4) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012 (5) <i>Pythium uncinulatum</i> Plaäts-Niterink & I. Blok 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012 (注) 新病原	(4) <i>Pythium uncinulatum</i> Plaäts-Niterink & I. Blok 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) リゾクトニア立枯病 <i>Rhizoctonia-tachigare-byo</i> Rhizoctonia damping off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 香川綾香ら:日植病報 86(3):165, 2020 [備考] 菌糸融合群 AG2-2 培養型 IIIB (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group)
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae フキ(蔞) Japanese butterbur	キク科 Asteraceae, Compositae フキ(蔞) Japanese butterbur
--	--

<i>Petasites japonicus</i> (Sieb. & Zucc.) Maxim. (野菜) 褐斑病 kappan-byo Leaf spot (斑点病) <i>Cercospora petasitis</i> Shirai & Sono 園 孝次郎:農業国 3(6):29, 1909(明42) (注) 文献ページを挿入	<i>Petasites japonicus</i> (Sieb. & Zucc.) Maxim. (野菜) 褐斑病 kappan-byo Leaf spot (斑点病) <i>Cercospora petasitis</i> Shirai & Sono 園 孝次郎:農業国 3(6), 1909(明42)
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ヤーコン Yakon <i>Polymnia sonchifolia</i> Poepp. & Endl. (野菜) 半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt <i>Verticillium dahliae</i> Klebahn 角野晶大:北日本病虫研報 50:233, 1999 (注) 文献ページ訂正	キク科 Asteraceae, Compositae ヤーコン Yakon <i>Polymnia sonchifolia</i> Poepp. & Endl. (野菜) 半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt <i>Verticillium dahliae</i> Klebahn 角野晶大:北日本病虫研報 50:223, 1999
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae マリーゴールド Marigold (草花) アフリカン・マリーゴールド African marigold <i>Tagetes erecta</i> L. フレンチ・マリーゴールド French marigold <i>Tagetes patula</i> L. 萎黄病 io-byo Phytoplasma ファイトプラズマ 成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977 ; 福士貞吉:病虫雑 20:22, 1933 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:666, 1998	キク科 Asteraceae, Compositae マリーゴールド Marigold (草花) アフリカン・マリーゴールド African marigold <i>Tagetes erecta</i> L. フレンチ・マリーゴールド French marigold <i>Tagetes patula</i> L. 萎黄病 io-byo Phytoplasma ファイトプラズマ 成田武四:北海道における農作物病害:198, 1977 ; 福士貞吉:病虫害雑誌 20:22, 1933 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞植物の病害誌:666, 1998
--	--

[備考] 接種試験未了 (注) 文献名略称を多数派に合わせる	[備考] 接種試験未了
--	--------------------

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ハボタン Flowering cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Acephala Group (草花) ピシウム腐敗病 <i>Pythium-fuhai-byo</i> Pythium rot (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 菱池正志:関西病虫研報 62:141, 2020 (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 菱池正志:関西病虫研報 62:141, 2020 (注) 新病名	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ハボタン Flowering cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Acephala Group (草花)
---	--

アブラナ科 Brassicaceae ブロッコリー broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 花蕾腐敗病 karai-fuhai-byo Head rot (1) <i>Pseudomonas brassicae</i> Sawada, Fujikawa & Horita 2020 Sawada, H. et al.: Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(10):5319, 2020 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 坂本恵子ら:日植病報 64(4):374, 1998 ; 堀田治邦:第 21 回植物細菌病談話会講演要旨集:15, 2001 (3) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (4) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong,	アブラナ科 Brassicaceae ブロッコリー broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 花蕾腐敗病 karai-fuhai-byo Head rot (1) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (2) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas,) Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong,, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 (3) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 海野志帆ら:日植病報 84(3):204, 2018 (4) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000
---	---

Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 (5) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 海野志帆ら:日植病報 84(3):204, 2018 (6) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (7) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (注) 病原追加	(5) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) ピシウム腐敗病 <i>Pythium-fuhai-byo</i> Pythium rot (1) <i>Phytophthium helicoides</i> Drechsler 楠 幹生:四国植防 52:38, 2018 (2) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生:四国植防 52:38, 2018 (3) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 窪田昌春ら:日植病報 60(6):776, 1994 (注) 病原追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) ピシウム腐敗病 <i>Pythium-fuhai-byo</i> Pythium rot <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 窪田昌春ら:日植病報 60(6):776, 1994
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt
--	--

(1) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg f. sp. <i>rapae</i> [<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> Enya, Togawa, T. Takeuchi & Arie] 田中弘毅ら:関東病虫研報 65:146, 2018 ; 酒井美沙ら:日植病報 86(3):167, 2020 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 金田真人ら:日植病報 78(3):186, 2012 (3) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 金田真人ら:日植病報 78(3):186, 2012 (注) 病原名変更	(1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 金田真人ら:日植病報 78(3):186, 2012 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 金田真人ら:日植病報 78(3):186, 2012 (3) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>rapae</i> Enya, Togawa, T. Takeuchi & Arie 田中弘毅ら:関東病虫研報 65:146, 2018
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group, <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L., <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group, <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 褐斑病 kappan-byo Brown spot (褐紋病, 脱疽病) <i>Ovularia brassica</i> Bresàdola & Allescher var. <i>oblongispora</i> Sano & Shirai 園 孝次郎:農業国 3(5):18, 1909(明42) ; 出田 新:宮部記念植物学襍説:127, 1912(大1) ; 新家積蔵:病虫雑 5(4):271, 1918(大7) (注) 文献ページを挿入	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group, <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L., <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group, <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 褐斑病 kappan-byo Brown spot (褐紋病, 脱疽病) <i>Ovularia brassica</i> Bresàdola & Allescher var. <i>oblongispora</i> Sano & Shirai 園 孝次郎:農業国 3(5), 1909(明42) ; 出田 新:宮部記念植物学襍説:127, 1912(大1) ; 新家積蔵:病虫雑 5(4):271, 1918(大7)
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナズナ類 (Capsella) <i>Capsella</i> spp. (野草) ナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. オオナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. var. <i>pinnata</i> Makino 白斑病 hakuhan-byo White leaf spot <i>Pseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Deighton 横田秀海ら:日植病報 86(3):166, 2020 (注) 新病名	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナズナ類 (Capsella) <i>Capsella</i> spp. (野草) ナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. オオナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. var. <i>pinnata</i> Makino
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ワサビ(山葵) Wasabi <i>Wasabia japonica</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora drechsleri</i> Tucker 蓑島綾華ら:日植病報 82(1):27, 2016 ; Minoshima, A. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(2):113, 2017 (2) <i>Phytophthora pseudocryptogea</i> Safaiefarahani, Mostowfizadeh-Ghahamfarsa, G.E. Hardy & T.I. Burgess 小暮璃沙ら:日植病報 85(3):257, 2019 (注) 文献著者名訂正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ワサビ(山葵) Wasabi <i>Wasabia japonica</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora drechsleri</i> Tucker 蓑島綾華ら:日植病報 82(1):27, 2016 ; Minoshima, A. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(2):113, 2017 (2) <i>Phytophthora pseudocryptogea</i> Safaiefarahani, Mostowfizadeh-Ghahamfarsa, G.E. Hardy & T.I. Burgess 小暮璃沙ら:日植病報 85(3):257, 2019
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish
--	--

<i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>R. sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) バーティシリウム黒点病 <i>Verticillium-kokuten-byo</i> <i>Verticillium</i> black spot (1) <i>Verticillium albo-atrum</i> Reinke & Berthold 角野晶大ら:日植病報 63(3):203, 1997 (2) <i>Verticillium dahliae</i> Klebahn 北沢健治ら:日植病報 44(3):370, 1978 ; 北沢健治・鈴井孝仁:日植病報 46(2):271, 1980 (注) 文献著者名訂正	<i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>R. sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) バーティシリウム黒点病 <i>Verticillium-kokuten-byo</i> <i>Verticillium</i> black spot (1) <i>Verticillium albo-atrum</i> Reinke & Berthold 角田晶大:日植病報 63(3):203, 1997 (2) <i>Verticillium dahliae</i> Klebahn 北沢健治ら:日植病報 44(3):370, 1978 ; 北沢健治・鈴井孝仁:日植病報 46(2):271, 1980
パイナップル科 Bromeliaceae チランジア <i>Tillandsia</i> <i>Tillandsia</i> sp. (野草) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum</i> sp. 汲田幸平ら:日植病報 86(3):190, 2020 (注) 新規宿主、新病名	パイナップル科 Bromeliaceae
キキョウ科 Campanulaceae キキョウ(桔梗) Balloon flower <i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Septoria platycodonis</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:617, 1917(大6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:900, 1930(昭	キキョウ科 Campanulaceae キキョウ(桔梗) Balloon flower <i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Septoria platycodonis</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:617, 1917(大6) ; 原 攝祐:実験作物病理学:900, 1930(昭

5) [備考] 白井・三宅 (1917) は寄主植物リスト。原 (1930) は Sydow H. & P. が記載した「Ein Beiträg zur Kenntnis der parasitischen Pilzflora des Nördlichen Japans. Ann. myc. 11(2), 1913」を引用している。接種試験未了 (注) 備考中の文献名訂正	5) [備考] 白井・三宅 (1917) は寄主植物リスト。原 (1930) は Sydow H. & P. が記載した「Ein Beiträg zur Kenntnis der parasitischen Pilzflora des Nördlichen Japan Ann. myc. 11(2), (1913)」を引用している。接種試験未了
--	--

スイカズラ科 Caprifoliaceae タイワンソクズ (Ebulus) <i>Ebulus formosana</i> Nakai (広葉樹) †すす病 susu-byo Sooty mold <i>Asteridiella ebuli</i> (W. Yamamoto) Hansford [<i>Irenina ebuli</i> W. Yamamoto] 山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):16, 1941(昭16) ; Hansford, C. G.:Sydowia Beih. 2:612, 1961 [備考] 台湾 (注) 文献著者名訂正	スイカズラ科 Caprifoliaceae タイワンソクズ (Ebulus) <i>Ebulus formosana</i> Nakai (広葉樹) †すす病 susu-byo Sooty mold <i>Asteridiella ebuli</i> (W. Yamamoto) Hansford [<i>Irenina ebuli</i> W. Yamamoto] 山本和太郎:台湾博物学会報 31(208):16, 1941(昭16) ; Hansfold, C. G.:Sydowia Beih. 2:612, 1961 [備考] 台湾
--	---

ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>Dianthus caryophyllus</i> L. セキチク <i>Dianthus chinensis</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. カワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams	ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>Dianthus caryophyllus</i> L. セキチク <i>Dianthus chinensis</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. カワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams
--	--

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium dianthi</i> Jacz. 高橋尚之・高松 進:日植病報 69(1):59, 2003 [備考] <i>Erysiphe buhrii</i> U. Braun は未確認。カーネーション <i>D. caryophyllus</i> L. に発生。接種試験未了 (注) 備考中のU. Braunの後のピリオドを削除	うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium dianthi</i> Jacz. 高橋尚之・高松 進:日植病報 69(1):59, 2003 [備考] <i>Erysiphe buhrii</i> U. Braun. は未確認。カーネーション <i>D. caryophyllus</i> L. に発生。接種試験未了
--	---

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (白腐病, 心ぐされ病) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus betivorus</i> Takimoto, <i>Erwinia betivora</i>, <i>Bacterium destructans</i> (Potter) Nakata, Nakajima & Takimoto, <i>Erwinia aroideae</i> (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, <i>Erwinia</i> <i>carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:58, 1922(大11) ; 瀧元清透:日植病報 2(4):350, 1931(昭6) ; 富永時 任ら:日植病報 25(5):218, 1960 [備考] 心腐病との関係を明らかにする必要がある。 出田 新 (日本植物病理学:314, 1903) は <i>Mycosphaerella tabifica</i> Prillieux & Delacroix [<i>Phoma betae</i>?] による腐敗病を紹介したが, 国内 発生未詳 (注) 病原学名異名の命名者名訂正	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (白腐病, 心ぐされ病) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus betivorus</i> Takimoto, <i>Erwinia betivora</i>, <i>Bacterium destructans</i> (Pottera) Nakata, Nakajima & Takimoto, <i>Erwinia aroideae</i> (Townsend) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon, <i>Erwinia</i> <i>carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 中田覺五郎ら:勸業模範場研報 6:58, 1922(大11) ; 瀧元清透:日植病報 2(4):350, 1931(昭6) ; 富永時 任ら:日植病報 25(5):218, 1960 [備考] 心腐病との関係を明らかにする必要がある。 出田 新 (日本植物病理学:314, 1903) は <i>Mycosphaerella tabifica</i> Prillieux & Delacroix [<i>Phoma betae</i>?] による腐敗病を紹介したが, 国内 発生未詳
---	---

フウチョウソウ科 Cleomaceae クレオメ(フウチョウソウ) Spiny spiderflower <i>Cleome spinosa</i> Jacq. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞 植物の病害誌:647, 1998 [備考] 接種試験未了 (注) 書籍名とページの間に半角コロン挿入	フウチョウソウ科 Cleomaceae クレオメ(フウチョウソウ) Spiny spiderflower <i>Cleome spinosa</i> Jacq. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 道立中央農試:北海道における農作物および観賞 植物の病害誌 647, 1998 [備考] 接種試験未了
--	---

ツユクサ科 Commelinaceae イボクサ類 Marsh Dewflower <i>Murdannia</i> spp. (野草) イボクサ <i>Murdannia keisak</i> (Hassk.) Hand.-Mazz. にせ黒穂病 nise-kuroho-byo False smut <i>Commelinaceomyces aneilematis</i> (S. Ito) E. Tanaka 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):38, 1936(昭11) ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Mycologia 112:649, 2020 [備考] イボクサ。接種試験未了 (注) 新規宿主、新病名	ツユクサ科 Commelinaceae
--	----------------------------

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物)	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物)
--	--

基腐病* motogusare-byo Foot rot <i>Diaporthe</i> sp. 前田 藍ら:九病虫研会報 65:105, 2019 ; 蓑島綾華 ら:日植病報 86(3):167, 2020 [備考] 前田らが <i>Phomopsis destruens</i> と報告した 病原を, 蓑島らが <i>Diaporthe</i>属へ転属すべきとし た (注) 病原学名変更、備考追加	基腐病* motogusare-byo Foot rot <i>Phomopsis destruens</i> (Harter) Boerema, Loerakker & Hamers 前田 藍ら:九病虫研会報 65:105, 2019
ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot Virus <i>Aucuba ringspot virus</i># (AuRV) アオキ輪紋ウイ ルス 楠木 学:日植病報 46(3):414, 1980 ; 奥山 哲・坂 ひとみ:関東病虫研報 25:83, 1978 ; 山下修一ら:日 植病報 48(3):395, 1982 [備考] 接木伝染性。旧目録第5巻第2版では輪紋 病とウイルス病に分けられていたが, 病徴の記載 から両者は同一病害と考えられる (注) 備考変更	ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot Virus <i>Aucuba ringspot virus</i># (AuRV) アオキ輪紋ウイ ルス 楠木 学:日植病報 46(3):414, 1980 ; 奥山 哲・坂 ひとみ:関東病虫研報 25:83, 1978 ; 山下修一ら:日 植病報 48(3):395, 1982 [備考] 接木伝染性。旧目録第5巻第2版では輪紋 病とウイルス病にわけていたが, 病徴の記載 から両者は同一病害と考えられる
ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i>	ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i>

(Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak 輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight <i>Haradamyces foliicola</i> Masuya, Kusunoki, Kosaka & Aikawa 堀江博道:日植病報 44(3):376, 1978 ; 堀江博道:東京農試研報 13:63, 1980 ; Masuya, H. <i>et al.</i>:Mycol. Res. 113:173, 2009 [備考] ミズキ・ハナミズキ・ヤマボウシ (注) 病原同定	(Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak 輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight 病原菌所属不明 堀江博道:日植病報 44(3):376, 1978 ; 堀江博道:東京農試研報 13:63, 1980 [備考] ミズキ・ハナミズキ・ヤマボウシ
--	--

ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp., <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 平田幸治:千葉高園学術報告 5:34, 1942(昭17) [備考] 病菌の分類学的所属については再検討が必要。ミセバヤ (タマノオトモ) は平田幸治:千葉園芸学術報告 5:35, 1942(昭17)に記載なし (2) <i>Erysiphe sedi</i> U. Braun [<i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle] 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):328, 1937 ; 大谷吉雄:	ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp., <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 平田幸治:千葉高園学術報告 5:34, 1942(昭17) [備考] 病菌の分類学的所属については再検討が必要。ミセバヤ (タマノオトモ) は平田幸治:千葉園芸学術報告 5:35, 1942(昭17)に記載なし (2) <i>Erysiphe sedi</i> U. Braun [<i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle] 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):328, 1937 ; 大谷吉雄:
---	---

日本菌類誌 3(2):194, 1988 [備考] 接種試験未了 (注) 文献巻数を同じ文献の多数派の表記に合わせた	日本菌類誌III(2):194, 1988 [備考] 接種試験未了
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザンシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight <i>Didymella bryoniae</i> (Auerswald) Rehm [Mycosphaerella melonis (Passerini) W.F. Chiu & J.C. Walker, <i>Mycosphaerella citrullina</i> Grossenbacher, <i>Ascochyta cucumis</i> Fautrey & Roumeguère] 原 攝祐:実用作物病理学:492, 1925(大14) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992 ; 清水遥人・松本直幸:日植病報 86(3):173, 2020 [備考] 清水・松本(2020)は収穫後の植物体から分離, 果実への病原性確認 (注) 文献、備考追加 †††† (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 清水遥人・松本直幸:日植病報 86(3):173, 2020 [備考] 収穫後の植物体から分離, 果実に弱い病	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザンシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. つる枯病 tsurugare-byo Gummy stem blight <i>Didymella bryoniae</i> (Auerswald) Rehm [Mycosphaerella melonis (Passerini) W.F. Chiu & J.C. Walker, <i>Mycosphaerella citrullina</i> Grossenbacher, <i>Ascochyta cucumis</i> Fautrey & Roumeguère] 原 攝祐:実用作物病理学:492, 1925(大14) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992
---	---

原性確認 (2) <i>Fusarium verticillioides</i> (Saccardo) Nirenberg 清水遥人・松本直幸:日植病報 86(3):173, 2020 [備考] 収穫後の植物体から分離, 果実に弱い病 原性確認 (注) 新宿主	
---	--

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 氏家章雄・楠 幹生:四国植防 52:37, 2018 [備考] 本病原は, 綿腐病の病原でもある (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 氏家章雄・楠 幹生:四国植防 52:37, 2018 (注) 新病名 綿腐病 watagusare-byo <i>Pythium</i> fruit rot <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠元 司:日植病報 15(1):17, 1950 [備考] 本病原は, 根腐病の病原でもある	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. 綿腐病 watagusare-byo <i>Pythium</i> fruit rot <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠元 司:日植病報 15(1):17, 1950
---	---

(注) 備考追加	
----------	--

ウリ科 Cucurbitaceae スズメウリ類 (Melothria) <i>Melothria</i> spp. (野草) スズメウリ <i>Melothria japonica</i> (Thunb.) Maxim. ex Cogn. クロミノオキナワスズメウリ <i>Melothria</i> <i>liukiuensis</i> Nakai 斑紋病 hammon-byo Mottle <i>Melothria mottle virus</i># (MeMoV) スズメウリ斑紋 ウイルス 与那覇哲義ら:日植病報 59(1):52, 1993 ; 大西弘也 ら:日植病報 86(3):218, 2020 [備考] クロミノオキナワスズメウリ。大西らは、 報告した分離株を本ウイルスの基準株とすること を提案した (注) 備考追加	ウリ科 Cucurbitaceae スズメウリ類 (Melothria) <i>Melothria</i> spp. (野草) スズメウリ <i>Melothria japonica</i> (Thunb.) Maxim. ex Cogn. クロミノオキナワスズメウリ <i>Melothria</i> <i>liukiuensis</i> Nakai 斑紋病 hammon-byo Mottle <i>Melothria mottle virus</i># (MeMoV) スズメウリ斑紋 ウイルス 与那覇哲義ら:日植病報 59(1):52, 1993 [備考] クロミノオキナワスズメウリ
--	--

オシダ科 Dryopteridaceae レザーファン(レザーリーフファン) Leather leaf, Leather leaf fern <i>Rumohra adiantiformis</i> (G. Forst. f.) Ching (草花) 変形菌病 henkeikin-byo Slime mold <i>Diderma effusum</i> (Schweinitz) Morgan var. <i>effusum</i> 堀江博道ら:関東病虫研報 41:127, 1994 ; 堀江博 道:日本植物病害大事典(岸 國平編):553, 1998 [備考] 堀江(1998)は、本病原に再同定した	オシダ科 Dryopteridaceae レザーファン(レザーリーフファン) Leather leaf, Leather leaf fern <i>Rumohra adiantiformis</i> (G. Forst. f.) Ching (草花) 変形菌病 henkeikin-byo Slime mold <i>Diderma effusum</i> (Schweinitz) Morgan var. <i>effusum</i> 堀江博道ら:関東病虫研報 41:127, 1994 ; 堀江博 道:日本植物病害大事典(岸 國平編) 553, 1998 [備考] 堀江(1998)は、本病原に再同定した
--	--

(注) 書籍名とページの間に半角コロン挿入	
-----------------------	--

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 黒点病 kokuten-byo Phoma spot <i>Phoma kakivora</i> Hara [<i>Pleospora</i> sp.] 小島銀吉:作物病害篇:118, 1892(明25) ; 原 攝祐: 実験作物病理学:650, 1930(昭5) (注) 文献著者名訂正	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 黒点病 kokuten-byo Phoma spot <i>Phoma kakivora</i> Hara [<i>Pleospora</i> sp.] 小島銀次:作物病害篇:118, 1892(明25) ; 原 攝祐: 実験作物病理学:650, 1930(昭5)
--	---

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>D. kaki</i> Linne, f., <i>D. kaki</i> Thunberg, <i>D. kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Date plum <i>D. lotus</i> L. †††† (1) Persimmon ampelovirus# (PAmpV) カキアンペロウイルス [<i>Plum bark necrosis stem pitting-associated virus</i> (PBNSPaV) スモモ樹皮えそステムピットティング随伴ウイルス] 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 ; Ito, T. & Sato, A.:Eur. J. Plant Pathol. 158:163, 2020 (2) Persimmon latent viroid# (PLVd) [Persimmon viroid (PVD)] カキ潜在ウイロイド 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 ; Ito, T. & Sato, A.:Eur. J. Plant Pathol. 158:163, 2020 (3) Persimmon polerovirus# (PPoIV) カキポレロウイルス 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 ; Ito, T. & Sato, A.:Eur. J. Plant Pathol. 158:163, 2020 (4) Persimmon waikavirus# (PWaiV) カキワイカウイルス	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>D. kaki</i> Linne, f., <i>D. kaki</i> Thunberg, <i>D. kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Date plum <i>D. lotus</i> L. †††† (1) <i>Luteovirus</i> 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 (2) Persimmon latent viroid (PLVd) [Persimmon viroid (PVD)] カキ潜在ウイロイド 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 (3) <i>Plum bark necrosis stem pitting-associated virus</i> (PBNSPaV) スモモ樹皮えそステムピットティング随伴ウイルス 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 (4) <i>Waikavirus</i> 伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 [備考] 矮化症状。上記の病原の単独または混合感染による可能性が示唆された
---	---

伊藤隆男・佐藤明彦:日植病報 84(3):195, 2018 ; Ito, T. & Sato, A.:Eur. J. Plant Pathol. 158:163, 2020 [備考] (1)～(3)の単独または混合感染により，特定の品種に矮化症状が生じる可能性が示唆された。わい化病（接ぎ木伝染性，病原未確認）との関連は不明。Ito & Sato (2020)は(3)について，スモモ樹皮えそシステムピッチング随伴ウイルスとは分類基準に基づいて別種とした。(4)は次世代シーケンスによる検出で病徴への関与は不明 (注) 病原名・備考変更	
カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>D. kaki</i> Linne, f., <i>D. kaki</i> Thunberg, <i>D. kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Date plum <i>D. lotus</i> L. †††† (1) Persimmon latent virus# (PeLV) カキ潜在ウイルス Ito, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Virol. 94:1917, 2013 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。果実異常樹から次世代シーケンスにより検出。接ぎ木伝染は確認されたが，病徴への関与は不明 (2) Persimmon virus A# (PeVA) カキAウイルス Ito, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Virol. 94:1917, 2013 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。果実異常。接ぎ木伝染 (注) 備考変更	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>D. kaki</i> Linne, f., <i>D. kaki</i> Thunberg, <i>D. kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Date plum <i>D. lotus</i> L. †††† (1) Persimmon latent virus# (PeLV) カキ潜在ウイルス Ito, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Virol. 94:1917, 2013 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接ぎ木伝染 (2) Persimmon virus A# (PeVA) カキAウイルス Ito, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Virol. 94:1917, 2013 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接ぎ木伝染。Ito, T. <i>et al.</i>:Virus Genes 51:105 (2015) はアメリカガキ (<i>D. virginiana</i>) で <i>Persimmon virus B</i> の接ぎ木伝染を確認したが病徴への関与は不明
グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium minoense</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:8, 1927(昭2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):373, 1950 [備考] マルバグミ (<i>Elaeagnus macrophylla</i>) ・ナツ	グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium minoense</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:8, 1927(昭2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):373, 1950 [備考] マルバグミ (<i>Elaeagnus macrophylla</i>) ・ナツ

グミ (<i>E. multiflora</i>) (2) <i>Aecidium quintum</i> Sydow & P. Sydow [<i>Aecidium elaeagni-umbellata</i> non Dietel] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(647):427, 1940 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950 [備考] アキグミ (<i>Elaeagnus umbellata</i>) (3) <i>Ceraceopsora elaeagni</i> Kakishima, T. Sato & S. Sato Kakishima, M. <i>et al.</i>:Mycologia 76(6):969, 1984 ; Kakishima, M. & Sato, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 22:171, 1984 (4) <i>Ochropsora nambuana</i> (Hennings) Dietel [<i>Coleosporium nambuanum</i> Hennings] 松村任三:帝国植物名鑑(上) 136, 1904(明37) ; 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明37) ; Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):659, 1930 [備考] アキグミ・マルバグミ (5) <i>Puccinia achroa</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:503, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):269, 1950 [備考] マルバグミ (6) <i>Puccinia elaeagni</i> Yoshinaga ex Dietel Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):638, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):270, 1950 [備考] ナワシログミ (<i>Elaeagnus pungens</i>) (7) <i>Puccinia nigrolinearis</i> Okane & Kakishima [<i>Aecidium elaeagni-umbellatae</i> Dietel] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:11, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950 ; Okane, I. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(4):497, 1992 [備考] アキグミ・マルバグミ (オオバグミ) 。本病菌の冬孢子世代はミヤマカンスゲ (<i>Carex dolichostachya</i> subsp. <i>multifolia</i>) に生じる	グミ (<i>E. multiflora</i>) (2) <i>Aecidium quintum</i> Sydow & P. Sydow [<i>Aecidium elaeagni-umbellata</i> non Dietel] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(647):427, 1940 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950 [備考] アキグミ (<i>Elaeagnus umbellata</i>) (3) <i>Ceraceopsora elaeagni</i> Kakishima, T. Sato & S. Sato Kakishima, M. <i>et al.</i>:Mycologia 76(6):969, 1984 ; Kakishima, M. & Sato, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 22:171, 1984 (4) <i>Ochropsora nambuana</i> (Hennings) Dietel [<i>Coleosporium nambuanum</i> Hennings] 松村任三:帝国植物名鑑(上) 136, 1904(明37) ; 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明37) ; Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Japan 44(528):659, 1930 [備考] アキグミ・マルバグミ (5) <i>Puccinia achroa</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:503, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):269, 1950 [備考] マルバグミ (6) <i>Puccinia elaeagni</i> Yoshinaga ex Dietel Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Japan 44(528):627, 1930 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):270, 1950 [備考] ナワシログミ (<i>Elaeagnus pungens</i>) (7) <i>Puccinia nigrolinearis</i> Okane & Kakishima [<i>Aecidium elaeagni-umbellatae</i> Dietel] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:11, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950 ; Okane, I. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(4):497, 1992 [備考] アキグミ・マルバグミ (オオバグミ) 。本病菌の冬孢子世代はミヤマカンスゲ (<i>Carex dolichostachya</i> subsp. <i>multifolia</i>) に生じる
--	--

(8) <i>Puccinia velutina</i> Kakishima & S. Sato [<i>Aecidium elaeagni</i> Dietel] 草野俊助:植物学雑 16(187):201, 1902(明35) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:315, 1904(明37) ; 柿畠 眞ら:日植病報 46(3):371, 1980 [備考] アキグミ・タカサゴグミ (<i>Elaeagnus oldhami</i>)・ツルグミ (<i>E. glabra</i>)・ナツグミ・ナワシログミ (注) 文献名と文献ページ修正	(8) <i>Puccinia velutina</i> Kakishima & S. Sato [<i>Aecidium elaeagni</i> Dietel] 草野俊助:植物学雑 16(187):201, 1902(明35) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:315, 1904(明37) ; 柿畠 眞ら:日植病報 46(3):371, 1980 [備考] アキグミ・タカサゴグミ (<i>Elaeagnus oldhami</i>)・ツルグミ (<i>E. glabra</i>)・ナツグミ・ナワシログミ
--	---

トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカギ Javanese bishopwood <i>Bischofia javanica</i> Bl. (広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold <i>Phaeosaccardinula penzigii</i> (Saccardo) W. Yamamoto [<i>Limacinia penzigii</i> (Saccardo) Saccardo, <i>Limacinia penzigii</i> (Saccardo) Sawada, <i>Meliola penzigii</i> Saccardo] 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(4):46, 1957 [備考] 台湾。病原菌の分類学的所属については検討を要する (注) 文献表記を多数派の表記に合わせた	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカギ Javanese bishopwood <i>Bischofia javanica</i> Bl. (広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold <i>Phaeosaccardinula penzigii</i> (Saccardo) W. Yamamoto [<i>Limacinia penzigii</i> (Saccardo) Saccardo, <i>Limacinia penzigii</i> (Saccardo) Sawada, <i>Meliola penzigii</i> Saccardo] 山本和太郎:兵庫農大研報, 農生編 3(4):46, 1957 [備考] 台湾。病原菌の分類学的所属については検討を要する
---	---

トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒマ(トウゴマ, 蓖麻) Castor bean <i>Ricinus communis</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella ricini</i> Hemmi & Matuo [<i>Gloeosporium</i>	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒマ(トウゴマ, 蓖麻) Castor bean <i>Ricinus communis</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella ricini</i> Hemmi & Matuo [<i>Gloeosporium</i>
---	---

<i>ricini</i> Maublanc] 逸見武雄・松尾卓見:農及園 19(10):891, 1944(昭19) ; 渡邊龍雄:工芸作物病害編:106, 1948 [備考] 本病菌の子のう時代を <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenk, 分生孢子時代を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960) (注) 文献名訂正	<i>ricini</i> Maublanc] 逸見武雄・松尾卓見:農及園 19(10):891, 1944(昭19) ; 渡邊龍雄:工芸作物病学:106, 1948 [備考] 本病菌の子のう時代を <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenk, 分生孢子時代を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960)
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソウシジュ(相思樹) Taiwan acacia <i>Acacia confusa</i> Merr. (広葉樹) †褐色すす病 kasshoku-susu-byo <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭15) [備考] 台湾。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照 (注) 文献名とページの間の半角カンマを半角コロンに置換	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソウシジュ(相思樹) Taiwan acacia <i>Acacia confusa</i> Merr. (広葉樹) †褐色すす病 kasshoku-susu-byo <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2-3), 259, 1940(昭15) [備考] 台湾。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ジャケツイバラ (Caesalpinia) <i>Caesalpinia japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Lévillé [<i>Phyllactinia</i>	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ジャケツイバラ (Caesalpinia) <i>Caesalpinia japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Lévillé [<i>Phyllactinia</i>
--	--

<i>corylea</i> sensu Homma non (Persoon) Karsten] 南部信方:病虫雑 8(4):200, 1921(大10) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):402, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988 (注) 文献名略称を多数派に合わせる	<i>corylea</i> sensu Homma non (Persoon) Karsten] 南部信方:病害雑 8(4):200, 1921(大10) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):402, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ムレスズメ(群雀, 金雀花) Chinese pea tree <i>Caragana sinica</i> (Buc'hoz) Rehder (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Uromyces laburni</i> (de Candolle) G.H. Otth [<i>Uromyces</i> <i>caraganicola</i> Hennings, <i>Uromyces genistae-tinctoriae</i> (Persoon) G. Winter] 吉永虎馬:植物学雑 16(179):7, 1902(明35) ; 白井 光太郎:日本菌類目録:107, 1905(明38) ; Hiratsuka, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:45, 1973 [備考] コムレスズメ(<i>C. rosea</i>)にも発生 (注) 書籍名とページの間に半角コロン挿入	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ムレスズメ(群雀, 金雀花) Chinese pea tree <i>Caragana sinica</i> (Buc'hoz) Rehder (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Uromyces laburni</i> (de Candolle) G.H. Otth [<i>Uromyces</i> <i>caraganicola</i> Hennings, <i>Uromyces genistae-tinctoriae</i> (Persoon) G. Winter] 吉永虎馬:植物学雑 16(179):7, 1902(明35) ; 白井 光太郎:日本菌類目録 107, 1905(明38) ; Hiratsuka, N.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:45, 1973 [備考] コムレスズメ(<i>C. rosea</i>)にも発生
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハナズオウ(紫荊) Juda's tree, Redbud <i>Cercis chinensis</i> Bunge (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Phaeosphaerella japonica</i> Shirai & Hara 原 攝祐:樹病学各論:113, 1923(大12) ; Shirai, M. & Hara, K.:Bot. Mag. Tokyo 25(290):72, 1911(明44) (注) 文献著者名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハナズオウ(紫荊) Juda's tree, Redbud <i>Cercis chinensis</i> Bunge (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Phaeosphaerella japonica</i> Shirai & Hara 原 攝祐:樹病学各論:113, 1923(大12) ; Shirai, K. & Hara, K.:Bot. Mag. Tokyo 25(290):72, 1911(明44)
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 赤かび病 akakabi-byo Fusarium blight, Fusarium pod-rot (赤黴病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link] (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 原 攝祐:農業国 12(7):18, 1918(大7); 松尾卓見・桜井善雄:日植病報 27(5):246, 1962 (注) 文献ページ挿入	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 赤かび病 akakabi-byo Fusarium blight, Fusarium pod-rot (赤黴病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link] (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 原 攝祐:農業国 12(7), 1918(大7); 松尾卓見・桜井善雄:日植病報 27(5):246, 1962
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Diaporthe</i> sp. 養島綾華ら:日植病報 85(3):227, 2019 [備考] ウラルカンゾウに発生 (注) 文献著者名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Diaporthe</i> sp. 養島綾華ら:日植病報 85(3):227, 2019 [備考] ウラルカンゾウに発生
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae キングサリ(金鎖) Goldenchain, Bean tree	マメ科 Fabaceae, Leguminosae キングサリ(金鎖) Goldenchain, Bean tree
---	---

<i>Laburnum vulgare</i> Bercht. & J. Presl (広葉樹) 銀葉病 gin'yo-byo Silver leaf disease <i>Chondrostereum purpureum</i> (Persoon) Pouzar [<i>Stereum purpureum</i> Persoon] ムラサキウロコタケ 西田藤次:病虫雑 9(7):341, 1922(大11) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):100, 1989 (注) 文献号数訂正	<i>Laburnum vulgare</i> Bercht. & J. Presl (広葉樹) 銀葉病 gin'yo-byo Silver leaf disease <i>Chondrostereum purpureum</i> (Persoon) Pouzar [<i>Stereum purpureum</i> Persoon] ムラサキウロコタケ 西田藤次:病虫雑 9(71):341, 1922(大11) ; 今関六也・本郷次雄:原色日本新菌類図鑑(II):100, 1989
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Alfalfa mosaic virus</i> (AMV) アルファアルファモザイクウイルス 山下一夫ら:日植病報 83(3):218, 2017 (2) <i>Bean yellow mosaic virus</i> (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス 井上忠男:農学研究 52:11, 1968 (3) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#, Pea dwarf mosaic virus#] ソラマメウィルトウイルス2 井上忠男・井上成信:文部省科研総合研究, 昭和39・40年成績資料:30, 1966 ; 井上忠男:農学研究 52:11, 1968 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004 [備考] 本ウイルスによるものを萎縮モザイク病と呼んだことがある (4) <i>Clover yellow vein virus</i> (CIYVV) [Bean yellow mosaic virus-N#] クローバ葉脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#]	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Alfalfa mosaic virus</i> (AMV) アルファアルファモザイクウイルス 山下一夫ら:日植病報 83(3):218, 2017 (2) <i>Bean yellow mosaic virus</i> (BYMV) インゲンマメ黄斑モザイクウイルス 井上忠男:農学研究 52:11, 1968 (3) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#, Pea dwarf mosaic virus#] ソラマメウィルトウイルス2 井上忠男・井上成信:文部省科研総合研究, 昭和39・40年成績資料:30, 1966 ; 井上忠男:農学研究 52:11, 1968 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004 [備考] 本ウイルスによるものを萎縮モザイク病と呼んだことがある (4) <i>Clover yellow vein virus</i> (CIYVV) [Bean yellow mosaic virus-N#] クローバ葉脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#]
---	---

井上忠男:農学研究 52:11, 1968 (5) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 日野稔彦:九病虫研究会報 7:84, 1961 (6) <i>Lettuce mosaic virus</i> (LMV) レタスモザイクウイルス 杭田 要・井上忠男:日植病報 38(3):209, 1972 (7) <i>Pea seed-borne mosaic virus</i> (PSbMV) エンドウ種子伝染モザイクウイルス 井上忠男:日植病報 33(1):38, 1967 (8) <i>Peanut mottle virus</i> (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス 井上忠男:農学研究 52:159, 1969 (9) <i>Peanut stunt virus</i> (PSV) ラッカセイ矮化ウイルス 吉田幸二ら:日植病報 47(1):101, 1981 (10) <i>Watermelon mosaic virus</i> (WMV) [Watermelon mosaic virus 2#] スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス Watermelon mosaic virus 2#] Inouye, T.:Berichte Ohara Inst. 12:133, 1964 (11) <i>White clover mosaic virus</i> (WCIMV) シロクロローバモザイクウイルス 井上忠男:農学研究 51:1, 1965 [備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:札幌農林会報 29(139):189, 1937 (注) (4)の備考を最後の病原に移動	井上忠男:農学研究 52:11, 1968 [備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉 (札幌農林会報 29(139):189, 1937 (5) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 日野稔彦:九病虫研究会報 7:84, 1961 (6) <i>Lettuce mosaic virus</i> (LMV) レタスモザイクウイルス 杭田 要・井上忠男:日植病報 38(3):209, 1972 (7) <i>Pea seed-borne mosaic virus</i> (PSbMV) エンドウ種子伝染モザイクウイルス 井上忠男:日植病報 33(1):38, 1967 (8) <i>Peanut mottle virus</i> (PeMoV) ラッカセイ斑紋ウイルス 井上忠男:農学研究 52:159, 1969 (9) <i>Peanut stunt virus</i> (PSV) ラッカセイ矮化ウイルス 吉田幸二ら:日植病報 47(1):101, 1981 (10) <i>Watermelon mosaic virus</i> (WMV) [Watermelon mosaic virus 2#] スイカモザイクウイルス [カボチャモザイクウイルス Watermelon mosaic virus 2#] Inouye, T.:Berichte Ohara Inst. 12:133, 1964 (11) <i>White clover mosaic virus</i> (WCIMV) シロクロローバモザイクウイルス 井上忠男:農学研究 51:1, 1965
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アルサイククローバ(タチオランダゲンゲ) Alsike clover <i>Trifolium hybridum</i> L.	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アルサイククローバ(タチオランダゲンゲ) Alsike clover <i>Trifolium hybridum</i> L.
---	---

(牧草・芝草) 黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch <i>Rhizoctonia leguminicola</i> Gough & E.S. Elliott 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害I):86, 1961 ; 西原夏樹:日草誌 11(3):186, 1965 (注) 文献ページ訂正	(牧草・芝草) 黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch <i>Rhizoctonia leguminicola</i> Gough & E.S. Elliott 西原夏樹:千葉農試資料 1(牧草の病害I):86, 1961 ; 西原夏樹:日草誌 11(3):168, 1965
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae クリムソンクローバ(ベニバナツメクサ) Crimson clover <i>Trifolium incarnatum</i> L. (牧草・芝草) 黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch <i>Rhizoctonia leguminicola</i> Gough & E.S. Elliott 西原夏樹:日草誌 11(3):186, 1965 (注) 文献ページ訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae クリムソンクローバ(ベニバナツメクサ) Crimson clover <i>Trifolium incarnatum</i> L. (牧草・芝草) 黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch <i>Rhizoctonia leguminicola</i> Gough & E.S. Elliott 西原夏樹:日草誌 11(3):168, 1965
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae クリムソンクローバ(ベニバナツメクサ) Crimson clover <i>Trifolium incarnatum</i> L. (牧草・芝草) すす点病 susuten-byo Sooty blotch, Black blotch <i>Cymadothea trifolii</i> (Persoon) F.A. Wolf 成田武四:農業の進歩 8(3):15, 1962 [備考] 病原菌の異名はアカクローバすす点病参照	マメ科 Fabaceae, Leguminosae クリムソンクローバ(ベニバナツメクサ) Crimson clover <i>Trifolium incarnatum</i> L. (牧草・芝草) すす点病 susuten-byo Sooty blotch, Black blotch <i>Cymadothea trifolii</i> (Persoon) F.A. Wolf 成田武四:農業の進歩 8(3):15, 1962 [備考] 病原菌の異名はアカクローバすす点病参照
---	---

(注) 文献名訂正	
マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) 黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch <i>Rhizoctonia leguminicola</i> Gough & E.S. Elliott 西原夏樹:日草誌 11(3):186, 1965 (注) 文献ページ挿入	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) 黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch <i>Rhizoctonia leguminicola</i> Gough & E.S. Elliott 西原夏樹:日草誌 11(3), 1965
マメ科 Fabaceae, Leguminosae シロクローバ(白クローバ, ホワイトクローバ, シロツメクサ, オランダゲンゲ) White clover <i>Trifolium repens</i> L. (牧草・芝草) 黒葉枯病 kuro-hagare-byo <i>Leptotrochila trifolii</i> Narita 成田武四:農業技術 16(11):522, 1961 ; 成田武四ら:日植病報 34(5):363, 1968 [備考] アカクローバ黒葉枯病参照 (注) 文献年訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae シロクローバ(白クローバ, ホワイトクローバ, シロツメクサ, オランダゲンゲ) White clover <i>Trifolium repens</i> L. (牧草・芝草) 黒葉枯病 kuro-hagare-byo <i>Leptotrochila trifolii</i> Narita 成田武四:農業技術 16(11):522, 1962 ; 成田武四ら:日植病報 34(5):363, 1968 [備考] アカクローバ黒葉枯病参照
マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハマアズキ(ハマササゲ) <i>Vigna marina</i> <i>Vigna marina</i> (Burm.) Merr.	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハマアズキ(ハマササゲ) <i>Vigna marina</i> <i>Vigna marina</i> (Burm.) Merr.

(野草) †††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 (2) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 [備考] 次世代シーケンスとRT-PCRによる検出。戻し接種不成功 (注) 新宿主	(野草)
---	-------------

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヒナアズキ (<i>Vigna</i>) <i>Vigna riukiensis</i> (Ohwi) Ohwi & H. Ohashi (野草) †††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 (2) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 [備考] 次世代シーケンスとRT-PCRによる検出。戻し接種不成功 (注) 新規宿主、新宿主	マメ科 Fabaceae, Leguminosae
---	----------------------------------

ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume	ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume
---	---

イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. さび病 <i>sabi-byo</i> Rust (銹病) <i>Pucciniastrum fagi</i> G. Yamada ex Hiratsuka 平塚直秀:植物学雑 44(521):280, 1930(昭5) ; 澤田 兼吉:林試研報 57:16, 1952 ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21(4):417, 1980 (注) 文献順変更	イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. さび病 <i>sabi-byo</i> Rust (銹病) <i>Pucciniastrum fagi</i> G. Yamada ex Hiratsuka 澤田兼吉:林試研報 57:16, 1952 ; 平塚直秀:植物学 雑 44(521):280, 1930(昭5) ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21(4):417, 1980
---	--

ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. 青変病 <i>seihen-byo</i> Blue stain (1) <i>Ophiostoma piceae</i> (Münch) Sydow & P. Sydow [<i>Ceratocystis piceae</i> (Münch) B.K. Bakshi, <i>Ceratostomella piceae</i> Münch] 西門義一・山内己酉:植物及動物 3(2):365, 1935 ; 青島清雄・林 康夫:日林誌 35:268, 1953 ; 伊藤一 雄:樹病学大系 2:29, 1973 (2) <i>Ophiostoma pluriannulatum</i> (Hedgcock) Sydow & P. Sydow [<i>Ceratocystis pluriannulata</i> (Hedgcock) C. Moreau] 青島清雄・林 康夫:日植病報 20(2-3):115, 1955 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:29, 1973 (3) <i>Ophiostoma stenoceras</i> (Robak) Melin & Nannfeldt [<i>Ceratocystis stenoceras</i> (Robak) C. Moreau] 青島清雄・林 康夫:日林誌 38:151, 1956 ; 伊藤一 雄:樹病学大系 2:29, 1973 (4) <i>Leptographium</i> sp.	ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. 青変病 <i>seihen-byo</i> Blue stain (1) <i>Ophiostoma piceae</i> (Münch) Sydow & P. Sydow [<i>Ceratocystis piceae</i> (Münch) B.K. Bakshi, <i>Ceratostomella piceae</i> Münch] 西門義一・山内己酉:植物及動物 3(2):365, 1935 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:29, 1973 ; 青島清雄・林 康夫:日林誌 35:268, 1953 (2) <i>Ophiostoma pluriannulatum</i> (Hedgcock) Sydow & P. Sydow [<i>Ceratocystis pluriannulata</i> (Hedgcock) C. Moreau] 青島清雄・林 康夫:日植病報 20(2-3):115, 1955 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:29, 1973 (3) <i>Ophiostoma stenoceras</i> (Robak) Melin & Nannfeldt [<i>Ceratocystis stenoceras</i> (Robak) C. Moreau] 青島清雄・林 康夫:日林誌 38:151, 1956 ; 伊藤一 雄:樹病学大系 2:29, 1973 (4) <i>Leptographium</i> sp.
---	--

青島清雄・林 康夫:日植病報 25(1):48, 1960 (注) 文献順変更	青島清雄・林 康夫:日植病報 25(1):48, 1960
--	-------------------------------

ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. ††††苗疫病 nae-eki-byo Damping-off (苗立枯病) ††<i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter [<i>Phytophthora omnivora</i> de Bary, <i>Phytophthora fagi</i> R. Hartig] 白井光太郎:最近植物病理学:287, 1903(明36) ; 原攝祐:樹病学各論:3, 1923(大12) [備考] 国内発生に疑問 (注) 文献順変更	ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. ††††苗疫病 nae-eki-byo Damping-off (苗立枯病) ††<i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter [<i>Phytophthora omnivora</i> de Bary, <i>Phytophthora fagi</i> R. Hartig] 原 攝祐:樹病学各論:3, 1923(大12) ; 白井光太郎:最近植物病理学:287, 1903(明36) [備考] 国内発生に疑問
--	--

ブナ科 Fagaceae マテバシイ (Lithocarpus) <i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai (広葉樹) シリブカガシ(尻深櫨) <i>Lithocarpus glabra</i> (Thunb. ex Murray) Nakai 裏黒点病 ura-kokuten-byo <i>Coccoidea quercicola</i> Hennings & Shirai 吉永虎馬:植物学雑 19(217):30, 1905(明38) ; 原攝祐:樹病学各論:80, 1923(大12) [備考] シリブカガシ。病原菌の異名はカシ類裏	ブナ科 Fagaceae マテバシイ (Lithocarpus) <i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai (広葉樹) シリブカガシ(尻深櫨) <i>Lithocarpus glabra</i> (Thunb. ex Murray) Nakai 裏黒点病 ura-kokuten-byo <i>Coccoidea quercicola</i> Hennings & Shirai 原 攝祐:樹病学各論:80, 1923(大12) ; 吉永虎馬:植物学雑 19(217):30, 1905(明38) [備考] シリブカガシ。病原菌の異名はカシ類裏
---	--

黒点病参照 (注) 文献順変更	黒点病参照
------------------------	-------

ブナ科 Fagaceae マテバシイ (Lithocarpus) <i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai (広葉樹) シリブカガシ(尻深櫟) <i>Lithocarpus glabra</i> (Thunb. ex Murray) Nakai 斑葉病 han'yo-byo <i>Coccochorella quercicola</i> (Hennings) Höhnelt 吉永虎馬:植物学雑誌 19(217):30, 1905(明38) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:384, 1911(明44) [備考] シリブカガシ (注) 文献順変更	ブナ科 Fagaceae マテバシイ (Lithocarpus) <i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai (広葉樹) シリブカガシ(尻深櫟) <i>Lithocarpus glabra</i> (Thunb. ex Murray) Nakai 斑葉病 han'yo-byo <i>Coccochorella quercicola</i> (Hennings) Höhnelt 安田 篤:植物学各論隠花部:384, 1911(明44) ; 吉永 虎馬:植物学雑誌 19(217):30, 1905(明38) [備考] シリブカガシ
---	---

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 槲) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus</i> <i>myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫟) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L.	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 槲) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus</i> <i>myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫟) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L.
---	---

裏黒点病 ura-kokuten-byo <i>Coccoidea quercicola</i> Hennings & Shirai [Coccodiscus quercicola Hennings] 松村任三:帝国植物名鑑(上):135, 1904(明37) ; 原 攝祐:樹病学各論:80, 1923(大12) (注) 文献順変更	裏黒点病 ura-kokuten-byo <i>Coccoidea quercicola</i> Hennings & Shirai [Coccodiscus quercicola Hennings] 原 攝祐:樹病学各論:80, 1923(大12) ; 松村任三:帝 国植物名鑑(上):135, 1904(明37)
---	---

ブナ科 Fagaceae ナラ類(檜)* Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus</i> <i>acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus</i> <i>alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水檜, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus</i> <i>robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus</i> <i>rubra</i> L. コナラ(小檜) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai 黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo Endothia canker (1) <i>Cryphonectria havanensis</i> (Bruner) M.E. Barr [<i>Endothia havanensis</i> Bruner, <i>Endothia tropicalis</i> Shear & N.E. Stevens]	ブナ科 Fagaceae ナラ類(檜) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus</i> <i>acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus</i> <i>alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水檜, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus</i> <i>robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus</i> <i>rubra</i> L. コナラ(小檜) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai 黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo Endothia canker (1) <i>Cryphonectria havanensis</i> (Bruner) M.E. Barr [<i>Endothia havanensis</i> Bruner, <i>Endothia tropicalis</i> Shear & N.E. Stevens]
---	--

Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:139, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992 [備考] コナラ・アベマキ・カシワ (2) <i>Cryphonectria nitschkei</i> (G.H. Otth) M.E. Barr [<i>Endothia nitschkei</i> G.H. Otth] Kobayashi, T. & Ito, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):151, 1956 ; 小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992 [備考] コナラ・ミズナラ・クヌギ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照 (3) <i>Cryphonectria radicalis</i> (Schweinitz) M.E. Barr [<i>Endothia radicalis</i> (Schweinitz) Cesati & De Notaris] (萎縮病) 原 攝祐:樹病学各論:131, 1923 (大12) ; 小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992 [備考] コナラ・アベマキ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照 (4) <i>Endothia singularis</i> Shear & N.E. Stevens [<i>Endothiella singularis</i> (Sydow) Shear & Stevens] 小林享夫:日植病報 19(3-4):189, 1955 ; 小林享夫:山林 1093:29, 1975 [備考] コナラ・クヌギ (注) 文献順変更	小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:139, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992 [備考] コナラ・アベマキ・カシワ (2) <i>Cryphonectria nitschkei</i> (G.H. Otth) M.E. Barr [<i>Endothia nitschkei</i> G.H. Otth] 小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; Kobayashi, T. & Ito, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 21(4):151, 1956 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992 [備考] コナラ・ミズナラ・クヌギ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照 (3) <i>Cryphonectria radicalis</i> (Schweinitz) M.E. Barr [<i>Endothia radicalis</i> (Schweinitz) Cesati & De Notaris] (萎縮病) 小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; 原 攝祐:樹病学各論:131, 1923 (大12) ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992 [備考] コナラ・アベマキ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照 (4) <i>Endothia singularis</i> Shear & N.E. Stevens [<i>Endothiella singularis</i> (Sydow) Shear & Stevens] 小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; 小林享夫:日植病報 19(3-4):189, 1955 [備考] コナラ・クヌギ
--	---

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker (こぶ病, 癌腫病) <i>Nectria galligena</i> Bresàdola 白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明27) ; 新島善直:日本森林保護学(下):504, 1912(明45) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:229, 1973 [備考] 病原菌の異名はポプラ類がんしゅ病参照	がんしゅ病 ganshu-byo Nectria canker (こぶ病, 癌腫病) <i>Nectria galligena</i> Bresàdola 新島善直:日本森林保護学(下):504, 1912(明45) ; 白井光太郎:植物病理学(下):208, 1894(明27) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:229, 1973 [備考] 病原菌の異名はポプラ類がんしゅ病参照
---	---

(注) 文献順変更	
-----------	--

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) 毛さび病 kesabi-byo Rust (銹病, 毛銹病) <i>Cronartium orientale</i> S. Kaneko [<i>Cronartium quercuum</i> (Berkeley) Miyabe ex Shirai] Shirai, M.:Bot. Mag. Tokyo 13(148):74, 1899 ; 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):165, 1959 ; Kaneko, S.:Mycoscience 41(2):115, 2000 [備考] コナラ・アベマキ・クヌギ・カシワ・ミズナラ・アカガシワ・モンゴリナラ・ナラガシワ・オオバコナラ(<i>Q. major</i>)・アオナラガシワ(<i>Q. neostuxbugii</i>)・チョウセンカシワ。病原菌の異名はブナ毛さび病参照 (注) 文献順変更	毛さび病 kesabi-byo Rust (銹病, 毛銹病) <i>Cronartium orientale</i> S. Kaneko [<i>Cronartium quercuum</i> (Berkeley) Miyabe ex Shirai] 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):165, 1959 ; Shirai, M.:Bot. Mag. Tokyo 13(148):74, 1899 ; Kaneko, S.:Mycoscience 41(2):115, 2000 [備考] コナラ・アベマキ・クヌギ・カシワ・ミズナラ・アカガシワ・モンゴリナラ・ナラガシワ・オオバコナラ(<i>Q. major</i>)・アオナラガシワ(<i>Q. neostuxbugii</i>)・チョウセンカシワ。病原菌の異名はブナ毛さび病参照
--	---

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) 紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 紅斑性癌腫病) <i>Nectria cinnabarina</i> (Tode) Fries 原 攝祐:樹病学各論:65, 1923(大12) ; 伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962 [備考] コナラ・クヌギ。病原菌の異名はハシバミ類紅粒がんしゅ病参照 (注) 文献順変更	紅粒がんしゅ病 koryu-ganshu-byo Coral spot disease (癌腫病, 紅斑性癌腫病) <i>Nectria cinnabarina</i> (Tode) Fries 伊藤一雄:図説樹病新講:334, 1962 ; 原 攝祐:樹病学各論:65, 1923(大12) [備考] コナラ・クヌギ。病原菌の異名はハシバミ類紅粒がんしゅ病参照
--	---

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten] ナラタケ 堀 正太郎:病虫雑 5(5):336, 1918(大 7) ; 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13) [備考] クヌギ・コナラ・ミズナラ・カシワ。病	ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten] ナラタケ 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7,
---	--

原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照。狭義の種名は未検討 (注) 文献順変更	1938(昭13) ; 堀 正太郎:病虫雑 5(5):336, 1918(大7) [備考] クヌギ・コナラ・ミズナラ・カシワ。病原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照。狭義の種名は未検討
---	---

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) にせ炭疽病 nise-tanso-byo Gnomonia leaf spot <i>Gnomonia setacea</i> (Persoon) Cesati & De Notaris [<i>Discogloeum</i> sp.] 原 攝祐:植物学雑 27(316):226, 1913(大2) ; 金子繁:日植病報 48(3):367, 1982 [備考] クヌギ・アベマキ・カシワ・コナラ (注) 文献順変更	にせ炭疽病 nise-tanso-byo Gnomonia leaf spot <i>Gnomonia setacea</i> (Persoon) Cesati & De Notaris [<i>Discogloeum</i> sp.] 金子 繁:日植病報 48(3):367, 1982 ; 原 攝祐:植物学雑 27(316):226, 1913(大2) [備考] クヌギ・アベマキ・カシワ・コナラ
---	---

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) 葉枯病 hagare-byo Monochaetia leaf blight (1) <i>Monochaetia dimorphospora</i> T. Yokoyama Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:126, 1980 [備考] クヌギに発生 (2) <i>Monochaetia monochaeta</i> (Desmazières) Allescher [<i>Monochaetia</i> sp., <i>Monochaetia pachyspora</i> Bubák, <i>Monochaetia desmaytia</i> Saccardo] Fujioka, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 3:64, 1962 ; 小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:124, 1980 [備考] クヌギ・アベマキ・コナラ・オウシュウアカナラ(<i>Q. robur</i>)に発生 (注) 文献順変更	葉枯病 hagare-byo Monochaetia leaf blight (1) <i>Monochaetia dimorphospora</i> T. Yokoyama Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:126, 1980 [備考] クヌギに発生 (2) <i>Monochaetia monochaeta</i> (Desmazières) Allescher [<i>Monochaetia</i> sp., <i>Monochaetia pachyspora</i> Bubák, <i>Monochaetia desmaytia</i> Saccardo] 小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; Fujioka, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 3:64, 1962 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:124, 1980 [備考] クヌギ・アベマキ・コナラ・オウシュウアカナラ(<i>Q. robur</i>)に発生
---	--

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照)	
-----------------------------	--

白点胴枯病 hakuten-dogare-byo <i>Amphiporthe raveneliana</i> (Thümen & Rehm) M.E. Barr [<i>Cryptodiaporthe raveneliana</i> (Thümen & Rehm) Tak. Kobayashi] Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:54, 1970 ; 小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992 [備考] コナラ・ミズナラ・カシワ (注) 文献順変更	白点胴枯病 hakuten-dogare-byo <i>Amphiporthe raveneliana</i> (Thümen & Rehm) M.E. Barr [<i>Cryptodiaporthe raveneliana</i> (Thümen & Rehm) Tak. Kobayashi] 小林享夫:林業と薬剤 44:4, 1973 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:54, 1970 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992 [備考] コナラ・ミズナラ・カシワ
--	---

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) 斑葉病 han'yo-byo <i>Dothiorella phomiformis</i> (Saccardo) Petrak & Sydow [<i>Gloeosporium shiraianum</i> Sydow] 白井光太郎:日本菌類目録:38, 1905(明 38) ; 安田篤:植物学各論隠花部:549, 1911(明 44) ; von Arx, J. A.:Revision der zu <i>Gloeosporium</i> gestellten Pilze:135, 1957 [備考] コナラ (注) 文献順変更	斑葉病 han'yo-byo <i>Dothiorella phomiformis</i> (Saccardo) Petrak & Sydow [<i>Gloeosporium shiraianum</i> Sydow] 安田 篤:植物学各論隠花部:549, 1911(明44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:38, 1905(明38) ; von Arx, J. A.:Revision der zu <i>Gloeosporium</i> gestellten Pilze:135, 1957 [備考] コナラ
---	---

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) 腐らん病 furan-byo Cytospora canker <i>Valsa ceratosperma</i> (Tode) Maire Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:106, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:34, 1975 [備考] ミズナラ。病原菌の異名はポプラ類腐らん病参照 (注) 文献順変更	腐らん病 furan-byo Cytospora canker <i>Valsa ceratosperma</i> (Tode) Maire 小林享夫:山林 1093:34, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:106, 1970 [備考] ミズナラ。病原菌の異名はポプラ類腐らん病参照
---	--

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease (1) <i>Pestalotiopsis acaciae</i> (Thümen) K. Yokoyama &	ペスタロチア病 Pestalotia-byo Pestalotia disease
--	--

S. Kaneko Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:122, 1980 [備考] コナラ・クヌギ・ナラガシワ (2) <i>Pestalotiopsis montellica</i> (Saccardo & Voglino) Tak. Kobayashi (黒汁葉枯病) 澤田兼吉:林試研報 105:78, 1958 ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:174, 1974 [備考] カシワ。病原菌の異名はズミ褐斑病参照 (注) 文献順変更	(1) <i>Pestalotiopsis acaciae</i> (Thümen) K. Yokoyama & S. Kaneko Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:122, 1980 [備考] コナラ・クヌギ・ナラガシワ (2) <i>Pestalotiopsis montellica</i> (Saccardo & Voglino) Tak. Kobayashi (黒汁葉枯病) 伊藤一雄:樹病学大系 3:174, 1974 ; 澤田兼吉:林試研報 105:78, 1958 [備考] カシワ。病原菌の異名はズミ褐斑病参照
(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) 円星病 maruhoshi-byo <i>Macrophoma</i> leaf spot (斑紋病, マクロフオマ円星病) <i>Macrophoma quercicola</i> Togashi Togashi, K.:Bull. Imp. Coll. Agr. For. Morioka 22:36, 1936 ; 澤田兼吉:林試研報 105:46, 1958 [備考] コナラ・ミズナラ (注) 文献順変更	円星病 maruhoshi-byo <i>Macrophoma</i> leaf spot (斑紋病, マクロフオマ円星病) <i>Macrophoma quercicola</i> Togashi 澤田兼吉:林試研報 105:46, 1958 ; Togashi, K.:Bull. Imp. Coll. Agr. For. Morioka 22:36, 1936 [備考] コナラ・ミズナラ
(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) 紫かび病 murasaki-kabi-byo (うどんこ病, 粉病, 白粉病, 白渋病, 裏うどんこ病, 褐斑病, 紫黴病) <i>Cystotheca lanestris</i> (Harkness) Miyabe [<i>Sphaerotheca lanestris</i> Harkness, <i>Sphaerotheca kusanoi</i> Hennings & Shirai, <i>Cystotheca kusanoi</i> (Hennings & Shirai) Miyabe & Takahashi, <i>Cystotheca tenuis</i> Miyabe & Shirai] 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:190, 1900(明33) ; 出田 新:日本植物病理学(上):226, 1909(明42) ; 原 攝祐:東亜菌類誌 静岡県農会報 359:5, 1927(昭2) [備考] コナラ・ミズナラ・カシワ・クヌギ・ナラガシワ・オオバコナラ	紫かび病 murasaki-kabi-byo (うどんこ病, 粉病, 白粉病, 白渋病, 裏うどんこ病, 褐斑病, 紫黴病) <i>Cystotheca lanestris</i> (Harkness) Miyabe [<i>Sphaerotheca lanestris</i> Harkness, <i>Sphaerotheca kusanoi</i> Hennings & Shirai, <i>Cystotheca kusanoi</i> (Hennings & Shirai) Miyabe & Takahashi, <i>Cystotheca tenuis</i> Miyabe & Shirai] 原 攝祐:東亜菌類誌 静岡県農会報 359:5, 1927(昭2) ; 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:190, 1900(明33) ; 出田 新:日本植物病理学(上):226, 1909(明42) [備考] コナラ・ミズナラ・カシワ・クヌギ・ナラガシワ・オオバコナラ

(注) 文献順変更	
-----------	--

(宿主は上記の「ナラ類(檜)*」を参照) 紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病) <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka 出田 新:実用植物病理学:205, 1901(明 34) ; 出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明 44) [備考] コナラ・クスギ。病原菌の異名はポプラ類 紫紋羽病参照 (注) 文献順変更	紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病) <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka 出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明44) ; 出 田 新:実用植物病理学:205, 1901(明34) [備考] コナラ・クスギ。病原菌の異名はポプラ 類紫紋羽病参照
---	---

イイギリ科 Flacourtiaceae イイギリ(飯桐) <i>Flacourtia indica</i> <i>Idesia polycarpa</i> Maxim. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Melampsora idesiae</i> Miyabe ex Hiratsuka Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):45, 1897(明 30) ; 出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明34) ; 山岡裕一・岡根 泉:日菌報 60(1):15, 2019 [備考] 山岡・岡根(2019)は, 本病菌の精子・さび 胞子世代は, ムラサキケマンに生じると報告した (注) 文献順変更	イイギリ科 Flacourtiaceae イイギリ(飯桐) <i>Flacourtia indica</i> <i>Idesia polycarpa</i> Maxim. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Melampsora idesiae</i> Miyabe ex Hiratsuka 出田 新:実用植物病理学:146, 1901(明34) ; Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 11(126):45, 1897(明 30) ; 山岡裕一・岡根 泉:日菌報 60(1):15, 2019 [備考] 山岡・岡根(2019)は, 本病菌の精子・さび 胞子世代は, ムラサキケマンに生じると報告した
---	--

リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花)	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花)
---	---

えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ringspot (1) <i>Iris yellow spot orthotospovirus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス [Iris yellow spot virus (IYSV)] 土井 誠・加藤公彦:日植病報 68(2):231, 2002 ; 花田 薫ら:日植病報 68(2):234, 2002 ; 岡本 潤ら:日植病報 69(1):22, 2003 ; 岡本 潤ら:九州農業研究 65:92, 2003 ; 土井 誠ら:日植病報 69(3):181, 2003 (2) <i>Lisianthus necrotic ringspot virus#</i> (LNRV) トルコギキョウえそ輪紋ウイルス 下元祥史ら:日植病報 77(3):189, 2011 ; Shimomoto, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(2):169, 2014 [備考] 病原は <i>Tospovirus</i>属の一種 (注) 病原名変更、文献著者名訂正	えそ輪紋病 eso-rimmon-byo Necrotic ringspot (1) <i>Iris yellow spot tospovirus</i> (IYSV) アイリス黄斑ウイルス [Iris yellow spot virus (IYSV)] 土井 誠・加藤公彦:日植病報 68(2):231, 2002 ; 花田 薫ら:日植病報 68(2):234, 2002 ; 岡本 潤ら:日植病報 69(1):22, 2003 ; 岡本 潤ら:九州農業研究 65:92, 2003 ; 土井 誠ら:日植病報 69(3):181, 2003 (2) <i>Lisianthus necrotic ringspot virus#</i> (LNRV) トルコギキョウえそ輪紋ウイルス 下元祥史ら:日植病報 77(3):189, 2011 ; Shimomoto, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(2):169, 2014 [備考] 病原は <i>Tospovirus</i>属の一種
--	--

フウロソウ科 Geraniaceae ゼラニウム Geranium <i>Pelargonium</i> × <i>hortorum</i> L.H.Bailey (草花) ペラルゴニウム(モンテンジクアオイ) Regal pelargonium <i>Pelargonium</i> × <i>domesticum</i> L.H.Bailey アイビーゼラニウム <i>Pelargonium peltatum</i> (L.) L'Hér. ex Aiton ニオイゼラニウム <i>Pelargonium graveolens</i> L'Hér. 茎腐病 kukigusare-byo Pythium blackleg (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 植松清次ら:関東病虫研報 38:111, 1991 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 渡辺秀樹ら:日植病報 72(1):72, 2006 (3) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 浜田佳代子ら:四国植防 52:38, 2018	フウロソウ科 Geraniaceae ゼラニウム Geranium <i>Pelargonium</i> × <i>hortorum</i> L.H.Bailey (草花) ペラルゴニウム(モンテンジクアオイ) Regal pelargonium <i>Pelargonium</i> × <i>domesticum</i> L.H.Bailey アイビーゼラニウム <i>Pelargonium peltatum</i> (L.) L'Hér. ex Aiton ニオイゼラニウム <i>Pelargonium graveolens</i> L'Hér. 茎腐病 kukigusare-byo Pythium blackleg (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 植松清次ら:関東病虫研報 38:111, 1991 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 渡辺秀樹ら:日植病報 72(1):72, 2006
---	---

(4) <i>Pythium splendens</i> Hans Braun 植松清次ら:関東病虫研報 38:111, 1991 (5) <i>Pythium</i> sp. 我孫子和雄ら:関西病虫研報 32:78, 1990 [備考] 富樫浩吾 (農及園 10(3):745, 1935) は <i>Pythium debaryanum</i> R. Hesse var. <i>pelargonii</i> Hans Braun による茎腐病を紹介したが, 国内発生未詳 (注) 病原追加、備考変更	(3) <i>Pythium splendens</i> Hans Braun 植松清次ら:関東病虫研報 38:111, 1991 (4) <i>Pythium</i> sp. 我孫子和雄ら:関西病虫研報 32:78, 1990 [備考] 富樫浩吾 (農及園 10(3):745, 1935) は<i>P.</i> <i>splendens</i> および <i>Pythium debaryanum</i> R. Hesse var. <i>pelargonii</i> Hans Braun による茎腐病を紹介し たが, 国内発生未詳
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis</i> <i>gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. フザリウム病 <i>Fusarium</i>-byo Fusarium blight (1) <i>Fusarium acuminatum</i> Ellis & Everhart 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (2) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser 前田一行ら:日植病報 84(3):202, 2018 (3) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (4) <i>Fusarium culmorum</i> (W.G. Smith) Saccardo 前田一行ら:日植病報 86(3):167, 2020 [備考] 接種試験未了。種子に潜在感染または随	イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis</i> <i>gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. フザリウム病 <i>Fusarium</i>-byo Fusarium blight (1) <i>Fusarium acuminatum</i> Ellis & Everhart 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (2) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser 前田一行ら:日植病報 84(3):202, 2018 (3) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分
--	--

伴 (5) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (6) <i>Fusarium tricinctum</i> (Corda) Saccardo 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (注) 病原追加	(4) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分 (5) <i>Fusarium tricinctum</i> (Corda) Saccardo 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 23(1):73, 1994 [備考] 病原菌の同定に関する記載不十分
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ハウライチク類 (竹笹類) ハウライチク <i>Bambusa multiplex</i> (Lour.) Raeusch ハウオウチク <i>Bambusa multiplex</i> var. <i>elegans</i> (Koidz.) Muroi ダイサンチク <i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. 赤衣病* akagoromo-byo Culm rust <i>Puccinia corticioides</i> Berkeley & Broome [<i>Stereostromum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson] 平塚直秀:東教大農紀要 1:41, 1952 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:902, 1992 ; Okane, I. <i>et al.</i>:Mycoscience 61(4):172, 2020 [備考] ダイサンチク (注) 病原名・備考変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ハウライチク類 (竹笹類) ハウライチク <i>Bambusa multiplex</i> (Lour.) Raeusch ハウオウチク <i>Bambusa multiplex</i> var. <i>elegans</i> (Koidz.) Muroi ダイサンチク <i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. 赤衣病* akagoromo-byo Culm rust <i>Stereostromum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson 平塚直秀:東教大農紀要 1:41, 1952 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:902, 1992 [備考] ダイサンチク。病菌の異名はカンチク赤衣病参照
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae オヒシバ類 Goosegrass <i>Eleusine</i> spp. (野草)	イネ科 Gramineae, Poaceae オヒシバ類 Goosegrass <i>Eleusine</i> spp. (野草)
--	--

オヒシバ <i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertn. いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 大畑貫一:四国植防 9:61, 1974 [備考] オヒシバ (注) 文献著者名訂正	オヒシバ <i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertn. いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 大畑貫一ら:四国植防 9:61, 1974 [備考] オヒシバ
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) いもち病 imochi-byo Blast (稲熱病) <i>Pyricularia grisea</i> (Cooke) Saccardo [<i>Pyricularia oryzae</i> Cavara] 原 攝祐:病虫雑 3(9):693, 1916(大5) ; 原 攝祐:日本菌類目録:274, 1954 [備考] 病原菌の学名は Rossman, A.Y. <i>et al.</i>:Mycologia 82:509, 1990 を参照 (注) 書籍名とページの間に半角コロン挿入	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) いもち病 imochi-byo Blast (稲熱病) <i>Pyricularia grisea</i> (Cooke) Saccardo [<i>Pyricularia oryzae</i> Cavara] 原 攝祐:病虫雑 3(9):693, 1916(大5) ; 原 攝祐:日本菌類目録 274, 1954 [備考] 病原菌の学名は Rossman, A.Y. <i>et al.</i>:Mycologia 82:509, 1990 を参照
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) ひょう紋病 hyomon-byo Zonate leaf spot (豹紋病) <i>Helminthosporium zonatum</i> Ikata 鑄方末彦・吉田政治:病虫雑 30(7):209, 1943(昭18) ; 鑄方末彦・吉田政治:病虫雑 30(8):247,	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) ひょう紋病 hyomon-byo Zonate leaf spot (豹紋病) <i>Helminthosporium zonatum</i> Ikata 鑄方末彦・吉川政治:病虫雑 30(7):209, 1943(昭18) ; 鑄方末彦・吉川政治:病虫雑 30(8):247,
---	---

1943(昭18) [備考] 病原菌の学名については再検討を要する (注) 文献著者名訂正	1943(昭18) [備考] 病原菌の学名については再検討を要する
---	--------------------------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust <i>Puccinia corticioides</i> Berkeley & Broome [<i>Stereostrium corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson] 堀 正太郎:植物学雑 6(64):211, 1892(明25); 松村 任三:帝国植物名鑑(上):166, 1904(明37); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:902, 1992; Okane, I. <i>et al.</i>:Mycoscience 61(4):172, 2020 [備考] ヤダケ・クマザサ・チュウゴクザサ(<i>Sasa veitchii</i> var. <i>hirsuta</i>)–	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust <i>Stereostrium corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson 堀 正太郎:植物学雑 6(64):211, 1892(明25); 松村 任三:帝国植物名鑑(上):166, 1904(明37); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:902, 1992 [備考] ヤダケ・クマザサ・チュウゴクザサ(<i>Sasa veitchii</i> var. <i>hirsuta</i>)。病菌の異名はカンチク赤衣病参照
--	---

(注) 病原名・備考変更	
--------------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 立枯病 tachigare-byo Take-all <i>Gaeumannomyces graminis</i> (Saccardo) Arx & D.L. Olivier var. <i>graminis</i> 原 攝祐:農業国 10(1):39, 1916(大5) ; 宇田川俊一 ら:菌類図鑑(上):595, 1978 [備考] 病原菌の異名はオオムギ立枯病参照 (注) 文献ページ挿入	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 立枯病 tachigare-byo Take-all <i>Gaeumannomyces graminis</i> (Saccardo) Arx & D.L. Olivier var. <i>graminis</i> 原 攝祐:農業国 10(1), 1916(大5) ; 宇田川俊一ら: 菌類図鑑(上):595, 1978 [備考] 病原菌の異名はオオムギ立枯病参照
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys</i> <i>makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys</i> <i>makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro
---	---

var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (朱病, 赤渋病, 竹蓐病, すずめのたまご) <i>Puccinia corticioides</i> Berkeley & Broome [<i>Stereostратum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson] 吉永虎馬:植物学雑誌 19(217):34, 1905(明38) ; 安田篤:植物学雑誌 31(364):95, 1917(大6) ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:272, 1961 ; Okane, I. <i>et al.</i>:Mycoscience 61(4):172, 2020 [備考] モウソウチク・マダケ・ハチク・キンメイチク。精子・さび胞子世代は, チャンチンモドキ(<i>Choerospondias axillaris</i>)に発生 (注) 備考変更、文献順・病原名変更	var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (朱病, 赤渋病, 竹蓐病, すずめのたまご) <i>Stereostратum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson 安田 篤:植物学雑誌 31(364):95, 1917(大6) ; 吉永虎馬:植物学雑誌 19(217):34, 1905(明38) ; Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:272, 1961 [備考] モウソウチク・マダケ・ハチク・キンメイチク。病菌の異名はカンチク赤衣病参照
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae タケ・ササ類の稈 Bamboo culm <i>Phyllostachys</i> spp. & others (竹笹類) さび竹 sabi-take <i>Puccinia corticioides</i> Berkeley & Broome [<i>Stereostратum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:272, 1961 ; Okane, I. <i>et al.</i>:Mycoscience 61(4):172, 2020 [備考] 本菌は竹笹類(マダケ・メダケなど)の赤衣病菌である。精子・さび胞子世代は, チャンチンモドキ(<i>Choerospondias axillaris</i>)に発生 (注) 備考変更、病原名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae タケ・ササ類の稈 Bamboo culm <i>Phyllostachys</i> spp. & others (竹笹類) さび竹 sabi-take <i>Stereostратum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:272, 1961 [備考] 本菌は竹笹類(マダケ・メダケなど)の赤衣病菌である。本菌の異名はカンチク赤衣病参照
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae	イネ科 Gramineae, Poaceae
------------------------	------------------------

メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (さび病, 竹蓐病, すずめのたまご) <i>Puccinia corticioides</i> Berkeley & Broome [<i>Stereostrium corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson] 堀 正太郎:植物学雑 5(50):135, 1891(明24) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:902, 1992 ; Okane, I. <i>et al.</i>:<i>Mycoscience</i> 61(4):172, 2020 [備考] メダケ・ネザサ・ハコネダケ(<i>Pleioblastus vaginatus</i>)・ヒゴメダケ(<i>P. kozumae</i>)・リュウキュウチクにも発生。精子・さび胞子世代は, チャンチンモドキ(<i>Choerospondias axillaris</i>)に発生 (注) 備考変更、病原名変更	メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust (さび病, 竹蓐病, すずめのたまご) <i>Stereostrium corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson 堀 正太郎:植物学雑 5(50):135, 1891(明24) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:902, 1992 [備考] メダケ・ネザサ・ハコネダケ(<i>Pleioblastus vaginatus</i>)・ヒゴメダケ(<i>P. kozumae</i>)・リュウキュウチクにも発生。病菌の異名はカンチク赤衣病参照
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類)	イネ科 Gramineae, Poaceae ナリヒラダケ(業平竹) (Semiarundinaria) <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino (竹笹類)
--	--

ヤシヤダケ(夜叉竹) <i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust <i>Puccinia corticioides</i> Berkeley & Broome [<i>Stereostratum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson] 白井光太郎:日本菌類目録:79, 1905(明38) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:303, 1910(明43) ; Okane, I. <i>et al.</i>:Mycoscience 61(4):172, 2020 [備考] 精子・さび胞子世代は, チャンチンモドキ(<i>Choerospondias axillaris</i>)に発生 (注) 備考変更、文献順・病原名変更	ヤシヤダケ(夜叉竹) <i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino 赤衣病 akagoromo-byo Culm rust <i>Stereostratum corticioides</i> (Berkeley & Broome) H. Magnusson 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:303, 1910(明43) ; 白井光太郎:日本菌類目録:79, 1905(明38) [備考] 病菌の異名はカンチク赤衣病参照
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. ††ねん葉細菌病* nen'yo-saikin-byo (捻葉性細菌病) <i>Rathayibacter tritici</i> (Carlson & Vidaver 1982) Zgurskaya, Evtshenko, Akimov & Kalakoutskii 1993 [<i>Bacterium tritici</i> (Hutchinson 1917) Elliott] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:640, 1941(昭16) [備考] 国内発生未詳 (注) 文献著者名訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. ††ねん葉細菌病* nen'yo-saikin-byo (捻葉性細菌病) <i>Rathayibacter tritici</i> (Carlson & Vidaver 1982) Zgurskaya, Evtshenko, Akimov & Kalakoutskii 1993 [<i>Bacterium tritici</i> (Hutchinson 1917) Elliott] 石川信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:640, 1941(昭16) [備考] 国内発生未詳
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat
---	---

<i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight, Snow-rot (菌核病, 冬枯病, 雪腐菌核病) (1) <i>Typhula incarnata</i> Lasch (2) <i>Typhula ishikariensis</i> S. Imai var. <i>ishikariensis</i> ト蔵梅之丞:病虫雑 13(8):476, 1926(大15); 村田寿太郎:大日本農会報 554:40, 1927(昭2); 富山宏平:北海道農試報告 47:1, 1955; 宇井格生監修:北海道畑作物の土壤病害:291, 1983 [備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照。病原によって区別するときは (1) を雪腐褐色小粒菌核病, (2) を雪腐黒色小粒菌核病という。また <i>Myriosclerotinia borealis</i>, <i>Calonectria graminicola</i>, <i>Pythium</i> spp. によるものを含め雪腐病と総称することがある (注) 書籍名とページの間に半角コロン挿入	<i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight, Snow-rot (菌核病, 冬枯病, 雪腐菌核病) (1) <i>Typhula incarnata</i> Lasch (2) <i>Typhula ishikariensis</i> S. Imai var. <i>ishikariensis</i> ト蔵梅之丞:病虫雑 13(8):476, 1926(大15); 村田寿太郎:大日本農会報 554:40, 1927(昭2); 富山宏平:北海道農試報告 47:1, 1955; 宇井格生監修:北海道畑作物の土壤病害 291, 1983 [備考] 病原菌の異名はオオムギ雪腐小粒菌核病参照。病原によって区別するときは (1) を雪腐褐色小粒菌核病, (2) を雪腐黒色小粒菌核病という。また <i>Myriosclerotinia borealis</i>, <i>Calonectria graminicola</i>, <i>Pythium</i> spp. によるものを含め雪腐病と総称することがある
イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. †††† Barley virus G# (BVG) 大木健広・松中 仁:日植病報 86(3):222, 2020 [備考] 葉の黄化, 萎縮症状。戻し接種なし (注) 新宿主	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf.

マンサク科 Hamamelidaceae フウ(楓) Formosan gum <i>Liquidambar formosana</i> Hance (広葉樹) 樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Botryosphaeria canker <i>Botryosphaeria</i> sp. [<i>Dothiorella</i> sp.] 周藤靖雄:森林防疫 23(3):47, 1974 ; 周藤靖雄:森 林防疫 24(3):61, 1975 [備考] モミジバフウ(<i>L. styraciflua</i>) (注) 文献順修正	マンサク科 Hamamelidaceae フウ(楓) Formosan gum <i>Liquidambar formosana</i> Hance (広葉樹) 樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Botryosphaeria canker <i>Botryosphaeria</i> sp. [<i>Dothiorella</i> sp.] 周藤靖雄:森林防疫 24(3):61, 1975 ; 周藤靖雄:森 林防疫 23(3):47, 1974 [備考] モミジバフウ(<i>L. styraciflua</i>)
---	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae シロネ類 (<i>Lycopus</i>) <i>Lycopus</i> spp. (野草) シロネ <i>Lycopus lucidus</i> Turcz. ex Benth. うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Neovrysiphe galeopsidis</i> (de Candolle) U. Braun [<i>Erysiphe galeopsidis</i> de Candolle] Amano, K.:Host range and geographical distribution of the powdery mildew fungi:407, 1986 ; 高松 進:三 重大生資紀要 38:40, 2012 [備考] シロネに発生 (注) 文献名訂正	シソ科 Labiatae, Lamiaceae シロネ類 (<i>Lycopus</i>) <i>Lycopus</i> spp. (野草) シロネ <i>Lycopus lucidus</i> Turcz. ex Benth. うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew <i>Neovrysiphe galeopsidis</i> (de Candolle) U. Braun [<i>Erysiphe galeopsidis</i> de Candolle] Amano, K.:Host range and geographical distribution of the powdery mildew fungi:407, 1986 ; 高松 進:三 重大生資紀要 38:40, 2012 [備考] シロネに発生
---	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae サルビア(ヒゴロモソウ) Scarlet sage <i>Salvia splendens</i> Sellow ex Roem. & Schult.	シソ科 Labiatae, Lamiaceae サルビア(ヒゴロモソウ) Scarlet sage <i>Salvia splendens</i> Sellow ex Roem. & Schult.
--	--

(草花) 疫病 eki-byo Blight <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>nicotianae</i>] 瀧元清透:日植病報 7(3-4):243, 1938(昭13); 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:70, 1939(昭14); 桂 琦一:植物の疫病:88, 1971 [備考] 瀧元 (1939) は解説書。病徴のみ記載。桂 (1971) は病徴記載のみ (注) 文献号数とページを修正	(草花) 疫病 eki-byo Blight <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>nicotianae</i>] 瀧元清透:日植病報 7(3):240, 1938(昭13); 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:70, 1939(昭14); 桂 琦一:植物の疫病:88, 1971 [備考] 瀧元 (1939) は解説書。病徴のみ記載。桂 (1971) は病徴記載のみ
--	---

クスノキ科 Lauraceae テンダイウヤク(天台烏薬) Evergreen linder <i>Lindera aggregata</i> (Sims) Kosterm. (広葉樹) 縁葉枯病 fuchi-hagare-byo Leaf bright <i>Neofusicoccum</i> sp. 佐藤里香ら:日植病報 86(3):166, 2020 (注) 新規宿主、新病名 ----- クスノキ科 Lauraceae テンダイウヤク(天台烏薬) Evergreen linder <i>Lindera aggregata</i> (Sims) Kosterm. (広葉樹) †††† †<i>Asterina sepulta</i> Berkeley & M.A. Curtis Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):41, 1913(大 2) [備考] 中国。病原菌は調査を要する	クスノキ科 Lauraceae ----- クスノキ科 Lauraceae クロモジ(黒文字, 烏樟) Kuromoji <i>Lindera umbellata</i> Thunb. (広葉樹) †††† †<i>Asterina sepulta</i> Berkeley & M.A. Curtis Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):41, 1913(大 2) [備考] 中国。テンダイウヤク (<i>L. strychnifolia</i>)。病原菌は調査を要する
--	--

(注) 新規宿主に宿主変更、備考変更	
--------------------	--

クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. †褐色すす病 kasshoku-susu-byo Sooty mold <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭15) [備考] 台湾。ニオイタブ (<i>M. zuihoensis</i>) (注) 備考中の宿主学名属名を見出し宿主に合わせた	クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. †褐色すす病 kasshoku-susu-byo Sooty mold <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭15) [備考] 台湾。ニオイタブ (<i>P. zuihoensis</i>)
---	--

クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. †がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo <i>Exobasidium machili</i> Sawada	クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. †がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo <i>Exobasidium machili</i> Sawada
--	--

澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):422, 1919(大9) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 9(41):66, 1919(大9) [備考] 台湾。アオクスモドキ(<i>M. pseudolongifolia</i>) (注) 備考中の宿主学名属名を見出し宿主に合わせた	澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):422, 1919(大9) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 9(41):66, 1919(大9) [備考] 台湾。アオクスモドキ(<i>Persea pseudolongifolia</i>)
--	---

クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (<i>Machilus</i>) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉楠, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. †灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Gray felt disease <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):98, 1959 [備考] 台湾。オオバタブ (<i>M. kusanoi</i>)。病原菌の異名は灰色こうやく病参照 (注) 備考中の宿主学名属名を見出し宿主に合わせた	クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (<i>Machilus</i>) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉楠, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. †灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Gray felt disease <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):98, 1959 [備考] 台湾。オオバタブ (<i>P. kusanoi</i>)。病原菌の異名は灰色こうやく病参照
---	--

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜)	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜)
--	--

腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuiji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuiji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuiji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 [備考] 遼・永坂 (2018), Tsuiji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuiji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuiji, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuiji et al. (2020)は病原学名を <i>Erwinia persicinus</i> としたが, Euzéby (J. Sys. Evol.	腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 [備考] 遼・永坂 (2018)は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 (5) <i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 Tsuiji, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020
--	--

Microbiol. 48:1073, 1998) によって <i>Erwinia persicina</i> とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (注) 文献追加	(6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983
ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) ††††ボトリチス立枯症 <i>Botrytis-tachigare-sho</i> <i>Botrytis damping-off</i> <i>Botrytis byssoidea</i> J.C. Walker 池田幸子・安岡眞二:日植病報 86(3):191, 2020 [備考] 移植タマネギに発生。菌糸腐敗病の病原でもある (注) 新症状 菌糸腐敗病* kinshi-fuhai-byo Mycelial neck rot (菌糸性腐敗病) <i>Botrytis byssoidea</i> J.C. Walker 逸見武雄:農及園 10(1):308, 1935(昭 10) ; 逸見武雄・丹羽静子:日植病報 8(4):309, 1939(昭 14) [備考] 灰色腐敗病の備考参照。本病原は††††ボトリチス立枯症の病原でもある (注) 備考追加	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 菌糸腐敗病* kinshi-fuhai-byo Mycelial neck rot (菌糸性腐敗病) <i>Botrytis byssoidea</i> J.C. Walker 逸見武雄:農及園 10(1):308, 1935(昭 10) ; 逸見武雄・丹羽静子:日植病報 8(4):309, 1939(昭 14) [備考] 灰色腐敗病の備考参照

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(5):3018, 2020 : 澤田宏之ら:日植病報 86(3):232, 2020 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら:日植病報 49(3):415, 1983 (3) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013 (注) 文献追加	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(5):3018, 2020 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら:日植病報 49(3):415, 1983 (3) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013
---	--

ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 春腐病 harugusare-byo Spring roll (1) <i>Erwinia</i> sp. 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (2) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (3) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 杉山 悟ら:日植病報 47(3):396, 1981 ; 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982	ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 春腐病 harugusare-byo (1) <i>Erwinia</i> sp. 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (2) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (3) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 杉山 悟ら:日植病報 47(3):396, 1981 ; 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982
--	---

(4) <i>Pseudomonas salomonii</i> Gardan, Bella, Meyer, Christen, Rott, Achouak & Samson 2002 Sawada, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):180, 2020 (注) 病名英名追加	(4) <i>Pseudomonas salomonii</i> Gardan, Bella, Meyer, Christen, Rott, Achouak & Samson 2002 Sawada, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):180, 2020
--	--

ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) †††† (1) <i>Garlic virus A</i> (GarV-A) ニンニクAウイルス (2) <i>Garlic virus B</i> (GarV-B) ニンニクBウイルス (3) <i>Garlic virus C</i> (GarV-C) ニンニクCウイルス (4) <i>Garlic virus D</i> (GarV-D) ニンニクDウイルス Sumi, S. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 144:1819, 1999 ; 佐々木純ら:日植病報 86(1):30, 2020 ; 佐々木 純ら:日植病報 86(3):222, 2020 [備考] RT-PCRによる検出 (注) 文献追加	ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) †††† (1) <i>Garlic virus A</i> (GarV-A) ニンニクAウイルス (2) <i>Garlic virus B</i> (GarV-B) ニンニクBウイルス (3) <i>Garlic virus C</i> (GarV-C) ニンニクCウイルス (4) <i>Garlic virus D</i> (GarV-D) ニンニクDウイルス Sumi, S. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 144:1819, 1999 ; 佐々木純ら:日植病報 86(1):30, 2020 [備考] RT-PCRによる検出
---	---

ユリ科 Liliaceae ニラ(韭) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler ex Spreng. (野菜) 褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf blight (1) <i>Pleospora herbarum</i> (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [<i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons] 三澤知央:日植病報 75(1):87, 2009 ; 黒瀬大介ら:	ユリ科 Liliaceae ニラ(韭) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler ex Spreng. (野菜) 褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Brown leaf blight (1) <i>Pleospora herbarum</i> (Fries) Rabenhorst ex Cesati & De Notaris [<i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons] 三澤知央:日植病報 75(1):87, 2009 ; 黒瀬大介ら:
--	--

日植病報 81(1):100, 2015 ; Kurose, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:New Dis. Rpt. 34:5, 2016 [備考] 三澤(2009)は本病菌を<i>S. botryosum</i>と同定したが, 黒瀬ら(2015) [Kurose <i>et al.</i>(2015)]が<i>S. herbarum</i> と再同定し, さらに Misawa <i>et al.</i>(2016) がその完全世代を<i>P. herbarum</i>とした (2) <i>Stemphylium lycopersici</i> (Enjoji) W. Yamamoto 山崎睦子・森田泰彰:日植病報 82(3):231, 2016 (注) 備考中の著者名訂正	日植病報 81(1):100, 2015 ; Kurose, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:New Dis. Rpt. 34:5, 2016 [備考] 三澤(2009)は本病菌を<i>S. botryosum</i>と同定したが, 黒瀬ら(2015) [Kurose <i>et al.</i>(2015)]が<i>S. herbarum</i> と再同定し, さらに Misawara <i>et al.</i>がその完全世代を<i>P. herbarum</i>とした (2) <i>Stemphylium lycopersici</i> (Enjoji) W. Yamamoto 山崎睦子・森田泰彰:日植病報 82(3):231, 2016
---	---

ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous 森脇丈治・渡辺慎一:日植病報 86(3):166, 2020 (2) <i>Colletotrichum</i> sp. [<i>Gloeosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 2(3):224, 1915(大4) ; 瀧元清透: 園芸之友 17(3):145, 1921(大10) (注) 病原追加	ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum</i> sp. [<i>Gloeosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 2(3):224, 1915(大4) ; 瀧元清透: 園芸之友 17(3):145, 1921(大10)
---	--

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等)	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等)
--	--

オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森田泰彰・川田洋一:日植病報 68(1):78, 2002 ; 森田泰彰ら:四国植防 38:15, 2003 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(6):406, 2017 [備考] 森田・川田(2002)および森田ら(2003)は菌糸融合群AG-4 培養型IIIA, 菅原(2010)および菅原ら(2011)は菌糸融合群AG-2-1 培養型II, Misawa <i>et al.</i>(2017)は菌糸融合群AG-11を報告した (注) 文献著者名訂正	オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森田康彰・川田洋一:日植病報 68(1):78, 2002 ; 森田康彰ら:四国植防 38:15, 2003 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(6):406, 2017 [備考] 森田・川田(2002)および森田ら(2003)は菌糸融合群AG-4 培養型IIIA, 菅原(2010)および菅原ら(2011)は菌糸融合群AG-2-1 培養型II, Misawa(2017)は菌糸融合群AG-11を報告した
---	--

ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium smilacis</i> Schweinitz Dietel, P.:Hedwigia 37:212, 1898(明31) ; 吉永虎馬:植物学雑 15(171):95, 1901(明34) [備考] ヤマガシユウ (<i>S. sieboldii</i>) にも発生 (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):131, 1943(昭18) ; 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭18) ; 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961	ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium smilacis</i> Schweinitz Dietel, P.:Hedwigia 37:212, 1898(明30) ; 吉永虎馬:植物学雑 15(171):95, 1901(明33) [備考] ヤマガシユウ (<i>S. sieboldii</i>) にも発生 (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):131, 1943(昭18) ; 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭18) ; 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961
--	--

[備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生 (3) <i>Blastospora itoana</i> Togashi & Onuma 富樫浩吾・大沼総治:植物学雑 45(529):6, 1931(昭6) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・ランダイサンキライ (<i>S. randaiensis</i>) (4) <i>Blastospora smilacis</i> Dietel [<i>Caeoma makinoi</i> Kusano] Dietel, P.:Ann. Mycol. (6):223, 1908(明41); 吉永虎馬・平塚直秀:植物学雑 44(528):633, 1930(昭5); Ono, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 78(2):253, 1986 [備考] シオデ・ヤマガシユウ (5) <i>Puccinia caricis-blepharicarpae</i> Hiratsuka, f. 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18(3-4):87, 1949; 平塚直秀:東教大農紀要 1:58, 1952 (6) <i>Puccinia citrina</i> P. Sydow & Sydow Sydow, P. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 12:107, 1914(大3); 澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告) 1:366, 1919(大9); 平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):26, 1941(昭16) [備考] サツマサンキライ (<i>S. bracteata</i>)・カラスキバサンキライ (<i>S. japonica</i>)・ナメラサンキライ (<i>S. glabra</i>)・ランダイサンキライにも発生 (7) <i>Puccinia ferruginea</i> Léveillé ex Vaillant [<i>Puccinia smilacis-chinae</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 40:125, 1901(明34); 吉永虎馬:植物学雑 16(179):5, 1902(明35); 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:20, 1926(大15) [備考] シオデ・タチシオデ・サツマサンキライ・カラスキバサンキライ・マルバサンキライ (<i>S. stans</i>)・ヤクシマカカラ (<i>S. china</i> var. <i>yakushimensis</i>) にも発生 (8) <i>Puccinia iriensis</i> Morimoto 森本泰二:植研雑 37(1):1, 1962 (9) <i>Puccinia smilacis-sieboldii</i> Hiratsuka, f. [<i>Puccinia henryana</i> P. Sydow & Sydow, <i>Puccinia smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacis-</i>	[備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生 (3) <i>Blastospora itoana</i> Togashi & Onuma 富樫浩吾・大沼総治:植物学雑 45(529):6, 1931(昭6) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・ランダイサンキライ (<i>S. randaiensis</i>) (4) <i>Blastospora smilacis</i> Dietel [<i>Caeoma makinoi</i> Kusano] Dietel, P.:Ann. Mycol. (6):223, 1908(明41); 吉永虎馬・平塚直秀:植物学雑 44(528):633, 1930(昭5); Ono, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 78(2):253, 1986 [備考] シオデ・ヤマガシユウ (5) <i>Puccinia caricis-blepharicarpae</i> Hiratsuka, f. 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18(3-4):87, 1949; 平塚直秀:東教大農紀要 1:58, 1952 (6) <i>Puccinia citrina</i> P. Sydow & Sydow Sydow, P. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 12:107, 1914(大3); 澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告) 1:366, 1919(大9); 平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):26, 1941(昭16) [備考] サツマサンキライ (<i>S. bracteata</i>)・カラスキバサンキライ (<i>S. japonica</i>)・ナメラサンキライ (<i>S. glabra</i>)・ランダイサンキライにも発生 (7) <i>Puccinia ferruginea</i> Léveillé ex Vaillant [<i>Puccinia smilacis-chinae</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 40:125, 1901(明34); 吉永虎馬:植物学雑 16(179):5, 1902(明35); 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:20, 1926(大15) [備考] シオデ・タチシオデ・サツマサンキライ・カラスキバサンキライ・マルバサンキライ (<i>S. stans</i>)・ヤクシマカカラ (<i>S. china</i> var. <i>yakushimensis</i>) にも発生 (8) <i>Puccinia iriensis</i> Morimoto 森本泰二:植研雑 37(1):1, 1962 (9) <i>Puccinia smilacis-sieboldii</i> Hiratsuka, f. [<i>Puccinia henryana</i> P. Sydow & Sydow, <i>Puccinia smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacis-</i>
--	--

<i>chinae</i> Hiratsuka] Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37(1):99, 1905(明38) ; 平塚直秀:植物学雑 56(668):377, 1942(昭17) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・マルバサンキライ・ササバサンキライ (<i>S. nervo-marginata</i>)・オキナワサルトリイバラ (<i>S. china</i> var. <i>kuru</i>) にも発生 (注) (1)の文献年訂正	<i>chinae</i> Hiratsuka] Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37(1):99, 1905(明38) ; 平塚直秀:植物学雑 56(668):377, 1942(昭17) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・マルバサンキライ・ササバサンキライ (<i>S. nervo-marginata</i>)・オキナワサルトリイバラ (<i>S. china</i> var. <i>kuru</i>) にも発生
--	---

キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia glabra</i> L. (果樹) 実腐病 migusare-byo Fruit rot <i>Gilbertella persicaria</i> (E.D. Eddy) Hesseltine 澤峠哲也ら:日植病報 86(1):77, 2020 ; 澤峠哲也ら:日植病報 86(2):102, 2020 (注) 文献追加	キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia glabra</i> L. (果樹) 実腐病 migusare-byo Fruit rot <i>Gilbertella persicaria</i> (E.D. Eddy) Hesseltine 澤峠哲也ら:日植病報 86(1):77, 2020
---	--

アオイ科 Malvaceae トロロアオイ(黄蜀葵) Sunset musk mallow, Sunset hibiscus <i>Abelmoschus manihot</i> (L.) Medik. [<i>Hibiscus manihot</i> L.] (特用作物) 斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot <i>Pseudocercospora abelmoschi</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora abelmoschi</i> Ellis & Everhart] 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):47, 1928(昭3) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):42, 1960	アオイ科 Malvaceae トロロアオイ(黄蜀葵) Sunset musk mallow, Sunset hibiscus <i>Abelmoschus manihot</i> (L.) Medik. [<i>Hibiscus manihot</i> L.] (特用作物) 斑点病 hanten-byo Cercospora leaf spot <i>Pseudocercospora abelmoschi</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora abelmoschi</i> Ellis & Everhart] 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):47, 1928(昭3) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):42, 1960
---	---

[備考] 病原菌の異名はケナフ葉すす病参照 (注) 文献名変更、文献名の括弧が閉じていないので訂正	[備考] 病原菌の異名はケナフ葉すす病参照
---	------------------------------

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 褐色さび病* kasshoku-sabi-byo (褐色銹病) <i>Uredo morifolia</i> Sawada ex Ito & Murayama 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):392, 1919(大8); 島袋俊一:琉球大農家政工 学術報告 8:115, 1961; 平塚直秀ら:菌蕈研報 12:66, 1975; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:1120, 1992 (注) 文献表記を他に合わせた	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 褐色さび病* kasshoku-sabi-byo (褐色銹病) <i>Uredo morifolia</i> Sawada ex Ito & Murayama 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):392, 1919(大8); 島袋俊一:琉球大農家政工 学術報告 8:115, 1961; 平塚直秀ら:菌蕈研報 12:66, 1975; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>, (ed.):The rust flora of Japan:1120, 1992
--	--

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir.	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir.
--	--

さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Uredo moricola</i> Hennings 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):396, 1919(大8) ; 島袋俊一:琉球大農家政工 学術報告 8:115, 1961 ; 平塚直秀ら:菌蕈研報 12:66, 1975 (注) 文献号数とページの間のカンマを半角コロ ンに置換	さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Uredo moricola</i> Hennings 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):396, 1919(大8) ; 島袋俊一:琉球大農家政工 学術報告 8, 115, 1961 ; 平塚直秀ら:菌蕈研報 12:66, 1975
---	--

ヤブコウジ科 Myrsinaceae イズセンリョウ (Maesa) <i>Maesa japonica</i> (Thunb.) Moritzi (広葉樹) †立枯病 tachigare-byo <i>Phellinus lamaensis</i> (Murrill) R. Heim [<i>Cryptoderma lamaense</i> (Murrill) Imazeki, <i>Fomes lamaensis</i> (Murrill) Saccardo & Trotter] 澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査 報告 4):86, 1928(昭3) ; Ryvarden, L. & Johansen, I.:A preliminary polypore flora of East Africa:178, 1980 [備考] 台湾。タイワンセンリョウ。 <i>Pyrhoderma noxium</i> (Corner) L.W. Zhou & Y.C. Dai [<i>Phellinus noxius</i> (Corner) Cunningham, <i>Fomes lamaensis</i> sensu Yasuda] との異同について検討を要する (注) 備考中の病原学名訂正	ヤブコウジ科 Myrsinaceae イズセンリョウ (Maesa) <i>Maesa japonica</i> (Thunb.) Moritzi (広葉樹) †立枯病 tachigare-byo <i>Phellinus lamaensis</i> (Murrill) R. Heim [<i>Cryptoderma lamaense</i> (Murrill) Imazeki, <i>Fomes lamaensis</i> (Murrill) Saccardo & Trotter] 澤田兼吉:台湾中研農業部報 35(台湾産菌類調査 報告 4):86, 1928(昭3) ; Ryvarden, L. & Johansen, I.:A preliminary polypore flora of East Africa:178, 1980 [備考] 台湾。タイワンセンリョウ。 <i>Phellinus noxius</i> (Cunningham) Corner [<i>Fomes lamaensis</i> sensu Yasuda] との異同について検討を要する
---	---

モクセイ科 Oleaceae レンギョウ(連翹) Weeping forsythia <i>Forsythia suspensa</i> (Thunb.) Vahl	モクセイ科 Oleaceae レンギョウ(連翹) Weeping forsythia <i>Forsythia suspensa</i> (Thunb.) Vahl
--	--

(広葉樹) 枝枯病* edagare-byo <i>Macrophoma forsythiae</i> Togashi & Tsukamoto Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17(3-4):122, 1953 (注) 文献著者名訂正	(広葉樹) 枝枯病* edagare-byo <i>Macrophoma forsythiae</i> Togashi & Tsukamoto Tsukamoto, N.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17(3-4):122, 1953
--	---

モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot <i>Antrodia heteromorpha</i> (Fries) Donk [<i>Daedalea heteromorpha</i> Fries] ミヤマシロアミタケ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:30, 1952 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.1:132, 1986 [備考] ヤチグモ。病原菌の異名はブナ幹心腐病参照 (注) 文献号数訂正	モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot <i>Antrodia heteromorpha</i> (Fries) Donk [<i>Daedalea heteromorpha</i> Fries] ミヤマシロアミタケ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 34:30, 1952 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.1:132, 1986 [備考] ヤチグモ。病原菌の異名はブナ幹心腐病参照
---	---

モクセイ科 Oleaceae ネズミモチ(卍藟, 玉椿) Japanese privet <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. (広葉樹) トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet <i>Ligustrum lucidum</i> Ait. すす病 susu-byo Black mildew (1) <i>Asterina ligustri</i> Hennings	モクセイ科 Oleaceae ネズミモチ(卍藟, 玉椿) Japanese privet <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. (広葉樹) トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet <i>Ligustrum lucidum</i> Ait. すす病 susu-byo Black mildew (1) <i>Asterina ligustri</i> Hennings
---	---

安田 篤:植物学各論隠花部:372, 1911(明44) ; 吉永 虎馬:植物学雑 18(204):29, 1904(明37) (2) <i>Meliola osmanthi</i> Sydow & P. Sydow [<i>Meliola osmanthi-aquifolii</i> Hara] Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 36(11):376, 1961 (注) 文献ページ挿入	安田 篤:植物学各論隠花部:372, 1911(明44) ; 吉永 虎馬:植物学雑 18(204), 1904(明37) (2) <i>Meliola osmanthi</i> Sydow & P. Sydow [<i>Meliola osmanthi-aquifolii</i> Hara] Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 36(11):376, 1961
--	--

モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種 (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe syringae</i> Schweinitz Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 57(5):349, 2016 (2) <i>Erysiphe syringae-japonicae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon, <i>Microsphaera syringae-japonicae</i> U. Braun] 川村幹雄:日園雑 34(5):16, 1922(大11) ; 白井光太 郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 大谷吉雄:日 本菌類誌 3(2):222, 1988 ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):266, 1995 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012 [備考] ハシドイ・ハンガリーハシドイ・タチハ シドイ・ウスゲハシドイ・ワタゲハシドイ・ウ スゲシナハシドイも宿主として記録されている (注) 文献著者名訂正	モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種 (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe syringae</i> Schweinitz Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 57(5):349, 2016 (2) <i>Erysiphe syringae-japonicae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon, <i>Microsphaera syringae-japonicae</i> U. Braun] 川村幹雄:日園雑 34(5):16, 1922(大11) ; 白井光太 郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 大谷吉雄:日 本菌類誌 3(2):222, 1988 ; Tanda, N. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):266, 1995 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012 [備考] ハシドイ・ハンガリーハシドイ・タチハ シドイ・ウスゲハシドイ・ワタゲハシドイ・ウ スゲシナハシドイも宿主として記録されている
---	--

ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シン ビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp.	ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シン ビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp.
---	---

(草花) 退緑斑病* tairyokuhan-byo Chlorotic mosaic Cymbidium chlorotic mosaic virus# (CyCMV) シ ュンラン退緑斑ウイルス 近藤秀樹ら:日植病報 60(3):396, 1994 [備考] シュンラン (<i>Cymbidium goeringii</i>) に発生 (注) 著者名訂正	(草花) 退緑斑病* tairyokuhan-byo Chlorotic mosaic Cymbidium chlorotic mosaic virus# (CyCMV) シ ュンラン退緑斑ウイルス 近藤英樹ら:日植病報 60(3):396, 1994 [備考] シュンラン (<i>Cymbidium goeringii</i>) に発生
ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) 株腐病 kabugusare-byo Basal rot <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 川部眞登ら:日植病報 86(3):191, 2020 [備考] 薬用シャクヤクに発生 (注) 新病名	ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花)
トケイソウ科 Passifloraceae トケイソウ(参照:パッションフルーツ) Blue-crown passionflower <i>Passiflora caerulea</i> L. (草花) ††††菌核病* kinkaku-byo †<i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary [<i>Sclerotinia libertiana</i> Fuckel] 藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大3) [備考] 台湾 (注) 文献年和暦訂正	トケイソウ科 Passifloraceae トケイソウ(参照:パッションフルーツ) Blue-crown passionflower <i>Passiflora caerulea</i> L. (草花) ††††菌核病* kinkaku-byo †<i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary [<i>Sclerotinia libertiana</i> Fuckel] 藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大14) [備考] 台湾

トケイソウ科 Passifloraceae トケイソウ(参照:パッションフルーツ) Blue-crown passionflower <i>Passiflora caerulea</i> L. (草花) ††††白絹病* shirakinu-byo †<i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Hypochnus centrifugus</i> (Léveillé) Tulasne] 藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大3) [備考] 台湾 (注) 文献年和暦訂正	トケイソウ科 Passifloraceae トケイソウ(参照:パッションフルーツ) Blue-crown passionflower <i>Passiflora caerulea</i> L. (草花) ††††白絹病* shirakinu-byo †<i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Hypochnus centrifugus</i> (Léveillé) Tulasne] 藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大14) [備考] 台湾
---	---

トケイソウ科 Passifloraceae トケイソウ(参照:パッションフルーツ) Blue-crown passionflower <i>Passiflora caerulea</i> L. (草花) ††††灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold †<i>Botrytis cinerea</i> Persoon 藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大3) [備考] 台湾 (注) 文献年和暦訂正	トケイソウ科 Passifloraceae トケイソウ(参照:パッションフルーツ) Blue-crown passionflower <i>Passiflora caerulea</i> L. (草花) ††††灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold †<i>Botrytis cinerea</i> Persoon 藤黒與三郎:植物学雑 28(335):481, 1914(大14) [備考] 台湾
--	--

トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) 微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mosaic <i>Passiflora latent virus</i> (PLV) トケイソウ潜在ウィ	トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) 微斑モザイク病 bihan-mosaic-byo Mild mosaic <i>Passiflora latent virus</i> (PLV) トケイソウ潜在ウィ
--	--

ルス 渡邊正男ら:日植病報 63(3):194, 1997 ; 斎藤明莉ら:日植病報 86(3):224, 2020 (注) 文献追加	ルス 渡邊正男ら:日植病報 63(3):194, 1997
トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) 実腐病 migusare-byo Fruit rot <i>Diaporthe fructicola</i> Minoshima, T. Ono & Hirooka 蓑島綾華ら:日植病報 83(3):185, 2017 ; 蓑島綾華ら:日植病報 86(2):97, 2020 [備考] 収穫後の<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i> に発生 (注) 病原同定, 著者名訂正	トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) 実腐病 migusare-byo Fruit rot <i>Diaporthe</i> sp. 蓑島綾華ら:日植病報 83(3):185, 2017 [備考] 収穫後の<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i> に発生
トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) †††† (1) <i>Passiflora foetida</i> virus Y# (PfVY) 中里晃太ら:日植病報 85(3):313, 2019 ; Nakasato, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):401, 2020 [備考] 微斑モザイクを引き起こす可能性があるが, 戻し接種なし (2) <i>Uraria mosaic virus</i># (UMV) 中里晃太ら:日植病報 85(3):313, 2019 ; Nakasato, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):401, 2020	トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) †††† <i>Potyvirus</i>属ウイルス# 中里晃太ら:日植病報 85(3):313, 2019 [備考] RT-PCRにより検出された2種は<i>Uraria mosaic virus</i>, および<i>Passiflora foetida</i> virus Yと高い相同性を示す

[備考] 微斑モザイクを引き起こす可能性があるが、戻し接種なし (注) 病原同定	
ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) 蛇の目病* janome-byo Cercospora leaf spot (蛇の眼病, 蛇眼病, 斑点病, 葉枯病) <i>Cercospora sesami</i> Zimmermann [<i>Cercosporina sesami</i> (Zimmermann) Hara] 園 孝次郎:農事雑報 139:46, 1909(明42) (注) 文献号数とページ訂正	ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) 蛇の目病* janome-byo Cercospora leaf spot (蛇の眼病, 蛇眼病, 斑点病, 葉枯病) <i>Cercospora sesami</i> Zimmermann [<i>Cercosporina sesami</i> (Zimmermann) Hara] 園 孝次郎:農事雑報 12:139, 1909(明42)
ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 黒枯性細菌病) (1) <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 福元智博ら:日植病報 86(3):232, 2020 (2) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>sesami</i> (Malkoff 1906) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacterium sesamicola</i> Takimoto] 瀧元清透:病虫雑 14(8):433, 1927(昭2) (3) <i>Xanthomonas</i> sp. 福元智博ら:日植病報 86(3):232, 2020	ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 黒枯性細菌病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>sesami</i> (Malkoff 1906) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacterium sesamicola</i> Takimoto] 瀧元清透:病虫雑 14(8):433, 1927(昭2)

(注) 病原追加	
----------	--

マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. 根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot (1) <i>Ganoderma valesiacum</i> Boudier ツガノマン ネンタケ 朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:445, 1939(昭 14); 青島清雄:日菌報 15:443, 1974; 小林享夫ら: 植物病原菌類図説:525, 1992 [備考] 病菌の異名はモミ類心腐病参照 (2) <i>Gloeophyllum odoratum</i> (Wulfen) Imazeki ニ オイアミタケ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:30, 1952 [備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照 (3) <i>Heterobasidion annosum</i> (Fries) Brefeld マツ ノネクチタケ 亀井専次:日植病報 13(1-2):58, 1948; 青島清雄ら: 石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977 [備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照 (4) <i>Heterobasidion insulare</i> (Murrill) Ryvarden レ ンガタケ 亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956; 青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977 [備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照 (5) <i>Inonotus tomentosus</i> (Fries) Teng ニセカイメ ンタケ 山野義雄:林学会誌 15:67, 1933(昭8); 千葉 修・ 寺本敏雄:東大農演報 43:33, 1952; 本郷次雄ら:き	マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. 根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot (1) <i>Ganoderma valesiacum</i> Boudier ツガノマン ネンタケ 朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:445, 1939(昭 14); 青島清雄:日菌報 15:443, 1974; 小林享夫ら: 植物病原菌類図説:525, 1992 [備考] 病菌の異名はモミ類心腐病参照 (2) <i>Gloeophyllum odoratum</i> (Wulfen) Imazeki ニ オイアミタケ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 34:30, 1952 [備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照 (3) <i>Heterobasidion annosum</i> (Fries) Brefeld マツ ノネクチタケ 亀井専次:日植病報 13(1-2):58, 1948; 青島清雄ら: 石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977 [備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照 (4) <i>Heterobasidion insulare</i> (Murrill) Ryvarden レ ンガタケ 亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956; 青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977 [備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照 (5) <i>Inonotus tomentosus</i> (Fries) Teng ニセカイメ ンタケ 山野義雄:林学会誌 15:67, 1933(昭8); 千葉 修・ 寺本敏雄:東大農演報 43:33, 1952; 本郷次雄ら:き
---	---

のこ(山溪フィールドブックス 10):263, 1994 [備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照 (6) <i>Oligoporus balsameus</i> (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ (トドマツオオウズラタケ) 亀井専次:北大農演報 15:159, 1951 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):286, 1955 ; 今関六也ら:山溪カラー名鑑・日本のきのこ:463, 1988 [備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照 (7) <i>Perenniporia subacida</i> (Peck) Donk [<i>Poria subacida</i> (Peck) Saccardo] キンイロアナタケ 青島清雄:林試研報 46:157, 1950 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):586, 1992 (8) <i>Phaeolus schweinitzii</i> (Fries) Patouillard カイメンタケ 新島善直:新編森林保護学(下):447, 1925(大14) ; 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:33, 1952 [備考] 病菌の異名はカラマツ腐心病参照 (9) <i>Phellinus weirii</i> (Murrill) Gilbertson エゾノサビイロアナタケ 青島清雄:林試研報 59:61, 1953 [備考] 病菌の異名はヒノキ根株心腐病参照 (10) <i>Sparassis crispa</i> (Wulfen) Fries ハナビラタケ 亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956 (注) (2)の文献号数訂正	のこ(山溪フィールドブックス 10):263, 1994 [備考] 病菌の異名はトドマツ根株心腐病参照 (6) <i>Oligoporus balsameus</i> (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ (トドマツオオウズラタケ) 亀井専次:北大農演報 15:159, 1951 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):286, 1955 ; 今関六也ら:山溪カラー名鑑・日本のきのこ:463, 1988 [備考] 病菌の異名はモミ類根株心腐病参照 (7) <i>Perenniporia subacida</i> (Peck) Donk [<i>Poria subacida</i> (Peck) Saccardo] キンイロアナタケ 青島清雄:林試研報 46:157, 1950 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):586, 1992 (8) <i>Phaeolus schweinitzii</i> (Fries) Patouillard カイメンタケ 新島善直:新編森林保護学(下):447, 1925(大14) ; 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:33, 1952 [備考] 病菌の異名はカラマツ腐心病参照 (9) <i>Phellinus weirii</i> (Murrill) Gilbertson エゾノサビイロアナタケ 青島清雄:林試研報 59:61, 1953 [備考] 病菌の異名はヒノキ根株心腐病参照 (10) <i>Sparassis crispa</i> (Wulfen) Fries ハナビラタケ 亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus</i>	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus</i>
--	--

<i>thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 材線虫病 zai-senchu-byo Wilt <i>Bursaphelenchus xylophilus</i> (Steiner & Buhrer) Nickle [<i>Bursaphelenchus lignicolus</i> Mamiya & Kiyohara] マツノザイセンチュウ 徳重陽山・清原友也:日林誌 51:193, 1969 ; Mamiya, Y. & Kiyohara, T.:Nematologica 18:120, 1972 ; 真宮靖治:森林防疫 31:104, 1982 [備考] スラッシュマツ・リュウキュウマツ・タイワンアカマツ・シロマツ (<i>P. bungeana</i>)・フランスカイガンショウ・リギダマツ・ストローブマツ・テーダマツにも発生 (注) 文献号数とページの間のカンマを半角コロンの置換	<i>thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 材線虫病 zai-senchu-byo Wilt <i>Bursaphelenchus xylophilus</i> (Steiner & Buhrer) Nickle [<i>Bursaphelenchus lignicolus</i> Mamiya & Kiyohara] マツノザイセンチュウ 徳重陽山・清原友也:日林誌 51, 193, 1969 ; Mamiya, Y. & Kiyohara, T.:Nematologica 18:120, 1972 ; 真宮靖治:森林防疫 31:104, 1982 [備考] スラッシュマツ・リュウキュウマツ・タイワンアカマツ・シロマツ (<i>P. bungeana</i>)・フランスカイガンショウ・リギダマツ・ストローブマツ・テーダマツにも発生
--	--

マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel かさぶたがんしゅ病 kasabuta-ganshu-byo Scab canker	マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel かさぶたがんしゅ病 kasabuta-ganshu-byo Scab canker
---	---

<i>Scolecostigmina</i> sp. 山田利博ら:日植病報 72(1):50, 2006 ; 中島千晴ら:日植病報 72(1):50, 2006 [備考] ヒメコマツ・ストローブマツ・キタゴヨウ・マケドニアゴヨウ・メキシコシロマツ・ヒマラヤゴヨウ・<i>P. fenzeliana</i> Handel-Mazzetti (注) 備考中の宿主学名訂正	<i>Scolecostigmina</i> sp. 山田利博ら:日植病報 72(1):50, 2006 ; 中島千晴ら:日植病報 72(1):50, 2006 [備考] ヒメコマツ・ストローブマツ・キタゴヨウ・マケドニアゴヨウ・メキシコシロマツ・ヒマラヤゴヨウ・<i>P. fenzeliana</i> Hande-Mazzetti
---	--

ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ) †††† Lentinula edodes negative-strand RNA virus 2# (LeNSRV-2) 藤田美貴ら:日植病報 86(3):216, 2020 [備考] 栽培シイタケに発生 (注) 新宿主	ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ)
--	--

タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum) <i>Polygonum</i> spp. (野草) イブキトラノオ <i>Polygonum bistorta</i> auct. non L. ツルソバ <i>Polygonum chinense</i> L. イタドリ <i>Polygonum cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルタデ <i>Polygonum dumetorum</i> L. ミズヒキ <i>Polygonum filiforme</i> Thunb. ヤナギタデ <i>Polygonum hydropiper</i> L. サナエタデ <i>Polygonum lapathifolia</i> L. オオイヌタデ <i>Polygonum lapathifolium</i> L. subsp.	タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum) <i>Polygonum</i> spp. (野草) イブキトラノオ <i>Polygonum bistorta</i> auct. non L. ツルソバ <i>Polygonum chinense</i> L. イタドリ <i>Polygonum cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルタデ <i>Polygonum dumetorum</i> L. ミズヒキ <i>Polygonum filiforme</i> Thunb. ヤナギタデ <i>Polygonum hydropiper</i> L. サナエタデ <i>Polygonum lapathifolia</i> L. オオイヌタデ <i>Polygonum lapathifolium</i> L. subsp.
--	--

<i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>Polygonum longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>Polygonum nepalensis</i> Meisn. オオケタデ <i>Polygonum orientalis</i> L. イシミカワ <i>Polygonum perfoliatum</i> L. ハナタデ <i>Polygonum posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i> (Meisn.) Ohwi ママコノシリヌグイ <i>Polygonum senticosum</i> (Meisn.) Franch. & Sav. アキノウナギツカミ <i>Polygonum sieboldii</i> Meisn. ミゾソバ <i>Polygonum thunbergii</i> Sieb. & Zucc. ムカゴトラノオ <i>Polygonum viviparum</i> L. 黒穂病 kuroho-byo Smut (1) <i>Farysia emodensis</i> (Berkeley) P. Sydow & Sydow 澤田兼吉:台湾産菌類調査報告 1:314, 1919 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):61, 1936 [備考] ツルソバに発生 (2) <i>Melanopsichium pennsylvanicum</i> Hirschhorn 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:42, 1982 ; 柿寫眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] サナエタデ, イヌタデ, オオケタデ, イシミカワ, ママコノシリヌグイに発生 (3) <i>Microbotryum anomalum</i> (J. Kunze ex G. Winter) Vánky 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] ツルタデに発生 (4) <i>Microbotryum bistortarum</i> (de Candolle) Vánky 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] ムカゴトラノオに発生 (5) <i>Microbotryum cordae</i> (Liro) G. Deml & Prillinger 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] イヌタデに発生 (6) <i>Microbotryum himalense</i> (Kakishima & Y. Ono) Vánky 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] イブキトラノオに発生	<i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>Polygonum longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>Polygonum nepalensis</i> Meisn. オオケタデ <i>Polygonum orientalis</i> L. イシミカワ <i>Polygonum perfoliatum</i> L. ハナタデ <i>Polygonum posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i> (Meisn.) Ohwi ママコノシリヌグイ <i>Polygonum senticosum</i> (Meisn.) Franch. & Sav. アキノウナギツカミ <i>Polygonum sieboldii</i> Meisn. ミゾソバ <i>Polygonum thunbergii</i> Sieb. & Zucc. ムカゴトラノオ <i>Polygonum viviparum</i> L. 黒穂病 kuroho-byo Smut (1) <i>Farysia emodensis</i> (Berkeley) P. Sydow & Sydow 澤田兼吉:台湾産菌類調査報告 1:314, 1919 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(1):61, 1936 [備考] ツルソバに発生 (2) <i>Melanopsichium pennsylvanicum</i> Hirschhorn 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:42, 1982 ; 柿寫眞:日菌報 57:110, 2016 [備考] サナエタデ, イヌタデ, オオケタデ, イシミカワ, ママコノシリヌグイに発生 (3) <i>Microbotryum anomalum</i> (J. Kunze ex G. Winter) Vánky 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] ツルタデに発生 (4) <i>Microbotryum bistortarum</i> (de Candolle) Vánky 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] ムカゴトラノオに発生 (5) <i>Microbotryum cordae</i> (Liro) G. Deml & Prillinger 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] イヌタデに発生 (6) <i>Microbotryum himalense</i> (Kakishima & Y. Ono) Vánky 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] イブキトラノオに発生
---	---

(7) <i>Microbotryum nepalense</i> (Liro) Vánky [<i>Ustilago nepalensis</i> Liro] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:87, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] タニソバに発生 (8) <i>Microbotryum reticulatum</i> (Liro) R. Bauer & Oberwinkler [<i>Ustilago utriculosa</i> (Nees) Tulasne & C. Tulasne] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:95, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] サナエタデに発生 (9) <i>Sphacelotheca hydropiperis</i> (Schumacher) de Bary 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:51, 1982 ; 柿寫 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992 ; 柿寫 眞:日菌報 57:112, 2016 [備考] イヌタデ, ハナタデ, ミズヒキ, ヤナギタデ, イシミカワ, ママコノシリヌグイ, アキノウナギツカミ, ミゾソバに発生 (注) (9)の文献に号数挿入	(7) <i>Microbotryum nepalense</i> (Liro) Vánky [<i>Ustilago nepalensis</i> Liro] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:87, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] タニソバに発生 (8) <i>Microbotryum reticulatum</i> (Liro) R. Bauer & Oberwinkler [<i>Ustilago utriculosa</i> (Nees) Tulasne & C. Tulasne] 柿寫 眞:筑波大学農林学研究 1:95, 1982 ; 柿寫 眞:日菌報 57:111, 2016 [備考] サナエタデに発生 (9) <i>Sphacelotheca hydropiperis</i> (Schumacher) de Bary 柿寫 眞:筑波大学農林学研究:51, 1982 ; 柿寫 眞:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992 ; 柿寫 眞:日菌報 57:112, 2016 [備考] イヌタデ, ハナタデ, ミズヒキ, ヤナギタデ, イシミカワ, ママコノシリヌグイ, アキノウナギツカミ, ミゾソバに発生
--	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux [<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux †††† Red clover vein mosaic virus (RCVMV) 本間大士ら:日植病報 86(3):221, 2020 [備考] RT-PCRによる検出	キンポウゲ科 Ranunculaceae トリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum</i> spp. (草花) ハナトリカブト Chinese monkshood <i>Aconitum carmichaeli</i> Debeaux [<i>Aconitum chinense</i> Sieb.] オクトリカブト Japanese monkshood <i>Aconitum japonicum</i> Debeaux
---	---

(注) 新宿主	
---------	--

バラ科 Rosaceae サンザシ類 (Crataegus) <i>Crataegus</i> spp. (広葉樹) サンザシ(山査子) <i>Crataegus cuneata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウサンザシ(西洋山査子) Hawthorn <i>Crataegus oxyacantha</i> Linn. クロミサンザシ <i>Crataegus chlorosarca</i> Maxim. エゾサンザシ <i>Crataegus jozana</i> C.K. Schn. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera clandestina</i> (Wallroth) Lévillé var. <i>clandestina</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 白井光太郎:植物病理学(下):172, 1894(明27) ; 出田 新:日本植物病理学(上):197, 1909(明42) ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):318, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):177, 1988 (注) 文献削除、追加、順変更	バラ科 Rosaceae サンザシ類 (Crataegus) <i>Crataegus</i> spp. (広葉樹) サンザシ(山査子) <i>Crataegus cuneata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウサンザシ(西洋山査子) Hawthorn <i>Crataegus oxyacantha</i> Linn. クロミサンザシ <i>Crataegus chlorosarca</i> Maxim. エゾサンザシ <i>Crataegus jozana</i> C.K. Schn. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera clandestina</i> (Wallroth) Lévillé var. <i>clandestina</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 出田 新:日本植物病理学(上):197, 1909(明42) ; 白井光太郎:植物病理学(下):172, 1894(明27) ; Tanda, N. et al.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):177, 1988
---	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria × ananassa</i> Duchesne (野菜) ススホコリ病 susu-hokori-byo Dog vomit smile mold <i>Fuligo septica</i> (L.) F.H. Wiggers 郷間秀夫・石川成寿:日植病報 86(3):165, 2020 [備考] 弱い生育抑制症状	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria × ananassa</i> Duchesne (野菜)
--	--

(注) 新病名	
---------	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev [<i>Tylenchus dipsaci</i> (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ 鏑木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) (2) <i>Helicotylenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 (3) <i>Paratrichodorus porosus</i> (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975 [備考] 接種試験の結果 (4) <i>Tylenchorhynchus</i> sp. イシュクセンチュウの1種 上住 泰・中西喜徳:奈良農試研報 5:76, 1973 (注) 文献号数訂正	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev [<i>Tylenchus dipsaci</i> (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ 鏑木外岐雄:実際園芸 15(増4):302, 1932(昭7) (2) <i>Helicotylenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 中野満夫ら:植防研報 12:69, 1974 (3) <i>Paratrichodorus porosus</i> (Allen) Siddiqi ナガイモユミハリセンチュウ Nishizawa, T.:Jpn. J. Nematol. 5:26, 1975 [備考] 接種試験の結果 (4) <i>Tylenchorhynchus</i> sp. イシュクセンチュウの1種 上住 泰・中西喜徳:奈良農試研報 5:76, 1973
--	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤病, 根線虫病, 根瘤線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤病, 根線虫病, 根瘤線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ
--	--

後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 (4) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 鍋木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) 文献号数訂正	後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 (4) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 鍋木外岐雄:実際園芸 15(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
---	---

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 苺) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 葉枯線虫病 hagare-senchu-byo Spring dwarf (crimp), Summer dwarf (crimp) (線虫性葉枯病, 葉枯性線虫病, 線虫病, 夏萎縮, 春萎縮) (1) <i>Aphelenchoides besseyi</i> Christie イネシンガレセンチュウ 小林義明:日線虫研誌 6:80, 1976 (2) <i>Aphelenchoides fragariae</i> (Ritzema Bos) Christie [<i>Aphelenchus fragariae</i> Ritzema Bos] イチゴセンチュウ	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 苺) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 葉枯線虫病 hagare-senchu-byo Spring dwarf (crimp), Summer dwarf (crimp) (線虫性葉枯病, 葉枯性線虫病, 線虫病, 夏萎縮, 春萎縮) (1) <i>Aphelenchoides besseyi</i> Christie イネシンガレセンチュウ 小林義明:日線虫研誌 6:80, 1976 (2) <i>Aphelenchoides fragariae</i> (Ritzema Bos) Christie [<i>Aphelenchus fragariae</i> Ritzema Bos] イチゴセンチュウ
---	---

鐈木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 彌富喜三・西澤 務:静岡農試研報 1:106, 1951 (3) <i>Aphelenchoides ritzemabosi</i> (Schwartz) Steiner & Buhner ハガレセンチュウ 稲垣春郎:北日本病虫研報 20:113, 1969 [備考] 英病名の Spring dwarf はイチゴセンチュウ (<i>A. fragariae</i>) またはハガレセンチュウ (<i>A. ritzemabosi</i>), Summer dwarf はイネシンガレセンチュウ (<i>A. besseyi</i>) の引き起こす病害に対応する (注) 文献号数訂正、病原和名挿入	鐈木外岐雄:実際園芸 15(4):302, 1932(昭7) ; 彌富喜三・西澤 務:静岡農試研報 1:106, 1951 (3) <i>Aphelenchoides ritzemabosi</i> (Schwartz) Steiner & Buhner 稲垣春郎:北日本病虫研報 20:113, 1969 [備考] 英病名の Spring dwarf はイチゴセンチュウ (<i>A. fragariae</i>) またはハガレセンチュウ (<i>A. ritzemabosi</i>), Summer dwarf はイネシンガレセンチュウ (<i>A. besseyi</i>) の引き起こす病害に対応する
--	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 奇形果病 kikeika-byo Green crinkle (伝染性さび果) <i>Apple stem pitting virus</i> (ASPV) リンゴステムピットティングウイルス 木村甚弥:病虫雑 21(3):201, 1934(昭9) ; 澤村健三:園試報 C3:25, 1965 ; 八重樫 元ら:日植病報 85(3):279, 2019 ; 李 春江ら:日植病報 86(3):218, 2020 [備考] 八重樫ら(2019)は戻し接種によりリンゴ実生に感染することを報告した。李ら(2020)は、戻し接種により奇形果症状を再現し、ASPVの配列変異株(ASPV-SV)を病原の一つとした (注) 備考変更	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 奇形果病 kikeika-byo Green crinkle (伝染性さび果) <i>Apple stem pitting virus</i> (ASPV) リンゴステムピットティングウイルス 木村甚弥:病虫雑 21(3):201, 1934(昭9) ; 澤村健三:園試報 C3:25, 1965 ; 八重樫 元ら:日植病報 85(3):279, 2019 [備考] 八重樫ら(2019)は戻し接種によりリンゴ実生に感染することを報告した。本病の再現は未了
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple
---	---

<i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 高接病 takatsugi-byo Topworking disease (1) <i>Apple chlorotic leaf spot virus</i> (ACLSV) リンゴクロロティックリーフスポットウイルス (2) <i>Apple stem grooving virus</i> (ASGV) リンゴステムグルービングウイルス (3) <i>Apple stem pitting virus</i> (ASPV) リンゴステムピットティングウイルス 須佐寅三郎:農及園 13(2):581, 1938(昭13) ; 飯森三男・後沢憲志:園学要旨 昭28春:2, 1953 ; 柳瀬春夫:果樹試報 C1:47, 1974 ; Yanase, H.:Acta Hort. 130:117, 1982 ; 八重樫 元ら:日植病報 85(3):279, 2019 ; 伊藤 伝ら:日植病報 86(3):218, 2020 [備考] 八重樫ら(2019)は, 戻し接種によりリンゴ実生に感染することを報告し, 伊藤ら(2020)は, 高接病病原ウイルス検定用の木本指標植物への ASPV の芽接ぎ接種により, 本病を再現した (注) 備考変更	<i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 高接病 takatsugi-byo Topworking disease (1) <i>Apple chlorotic leaf spot virus</i> (ACLSV) リンゴクロロティックリーフスポットウイルス (2) <i>Apple stem grooving virus</i> (ASGV) リンゴステムグルービングウイルス (3) <i>Apple stem pitting virus</i> (ASPV) リンゴステムピットティングウイルス 須佐寅三郎:農及園 13(2):581, 1938(昭13) ; 飯森三男・後沢憲志:園学要旨 昭28春:2, 1953 ; 柳瀬春夫:果樹試報 C1:47, 1974 ; Yanase, H.:Acta Hort. 130:117, 1982 [備考] (3) は病原性未確認
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 胴枯細菌病 dogare-saikin- byo Bacterial canker <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 藤川貴史ら:日植病報 85(1):46, 2019 ; Fujikawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):314, 2019 ; 藤川貴史・大田将禎:日植病報 86(3):232, 2020	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †††急性衰弱症 kyusei-suijaku-sho Bacterial quick decline <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 藤川貴史ら:日植病報 85(1):46, 2019 ; Fujikawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):314, 2019 [備考] 病名未提案
---	--

(注) 新病名, 備考削除	
---------------	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ††火傷病 kasho-byo Fire blight (腐爛病, 火焼病) <i>Erwinia amylovora</i> (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [<i>Bacillus amylovorus</i> (Burrill) Trevisan] 上田栄次郎:日本農会報 260:1, 1903(明36); 山田玄太郎:植物病理学:186, 1904(明37); 村田寿太郎:病虫雑 2(2):163, 1915(大4); 岡部徳夫:植物細菌病学:235, 1949 [備考] アメリカ・ヨーロッパ (注) 文献巻数挿入, 文献順変更	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ††火傷病 kasho-byo Fire blight (腐爛病, 火焼病) <i>Erwinia amylovora</i> (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [<i>Bacillus amylovorus</i> (Burrill) Trevisan] 上田栄次郎:日本農会報 260:1, 1903(明36); 山田玄太郎:植物病理学:186, 1904(明37); 岡部徳夫:植物細菌病学:235, 1949; 村田寿太郎:病虫雑(2):163, 1915(大4) [備考] アメリカ・ヨーロッパ
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †大星病 oboshi-byo <i>Pestalotia malicola</i> Hori 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) [備考] 朝鮮半島。永井政次・高橋公毅 (日植病報 30(5):278, 1965) は国内での調査で斑点落葉病菌の1種として報告しているが、その後の記録は見当たらない (注) 備考中の文献年訂正	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †大星病 oboshi-byo <i>Pestalotia malicola</i> Hori 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) [備考] 朝鮮半島。永井政次・高橋公毅 (日植病報 30(5):278, 1963) は国内での調査で斑点落葉病菌の1種として報告しているが、その後の記録は見当たらない
---	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 灰色斑点病 haiiro-hanten-byo Leaf spot (1) <i>Leptosphaeria mandshurica</i> Miura 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:175, 1928(昭3); 原 攝祐:実験作物病理学:527, 1930(昭 5); 三浦密成:秋田農試 8:11, 1957 (2) <i>Phyllosticta pyrina</i> Saccardo 中田覺五郎:朝鮮農会報 10(4):23, 1915(大4); 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6); 原 攝祐:静岡県 農会報 363:付録37, 1928(昭3) [備考] 永井政次・高橋公毅 (日植病報 30(5):278, 1965) は (1)を斑点落葉病の病原菌の1種として 報告している。三浦密成 (三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:416, 1928), 原 攝祐 (実験作 物病理学:525, 1930), 北島 博 (果樹病害各論:175, 1989) は朝鮮半島の <i>Phyllosticta trunanensis</i> Miura [<i>Phyllosticta minutissima</i> Kabát & Bubák] による灰 色斑点病を紹介した (注) 備考中の文献年訂正	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 灰色斑点病 haiiro-hanten-byo Leaf spot (1) <i>Leptosphaeria mandshurica</i> Miura 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:175, 1928(昭3); 原 攝祐:実験作物病理学:527, 1930(昭 5); 三浦密成:秋田農試 8:11, 1957 (2) <i>Phyllosticta pyrina</i> Saccardo 中田覺五郎:朝鮮農会報 10(4):23, 1915(大4); 原 攝祐:日園雑 29(10):1, 1917(大6); 原 攝祐:静岡県 農会報 363:付録37, 1928(昭3) [備考] 永井政次・高橋公毅 (日植病報 30(5):278, 1963) は (1)を斑点落葉病の病原菌の1種として 報告している。三浦密成 (三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:416, 1928), 原 攝祐 (実験作 物病理学:525, 1930), 北島 博 (果樹病害各論:175, 1989) は朝鮮半島の <i>Phyllosticta trunanensis</i> Miura [<i>Phyllosticta minutissima</i> Kabát & Bubák] による灰 色斑点病を紹介した
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring rot (<i>Physalospora</i> canker) (いぼ皮病 ibokawa-byo, 粗皮病) <i>Botryosphaeria kuwatsukai</i> (Hara) G.Y. Sun & E. Tanaka [<i>Botryosphaeria berengeriana</i> De Notaris f.	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring rot (<i>Physalospora</i> canker) (いぼ皮病 ibokawa-byo, 粗皮病) <i>Botryosphaeria kuwatsukai</i> (Hara) G.Y. Sun & E. Tanaka [<i>Botryosphaeria berengeriana</i> De Notaris f.
--	--

sp. <i>pyricola</i> Koganezawa & Sakuma, <i>Guignardia pyricola</i> (Nose) W. Yamamoto, <i>Macrophoma kuwatsukai</i> Hara, <i>Macrosporium pyrorum</i> Cooke, <i>Physalospora pyricola</i> Nose] 鉋塚喜久治:園芸の研究 17:190, 1921(大10) ; 野瀬直毅:朝鮮総督府農事試験場彙報 7(2):156, 1933 ; 平良木武ら:日植病報 47(3):373, 1981 ; 小金澤碩城・佐久間 勉:果樹試報C 11:58, 1984 ; Ogata, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 41(4):331, 2000 ; Xu, C. <i>et al.</i>:Fungal Divers. 71:215, 2015 (注) 文献順変更	sp. <i>pyricola</i> Koganezawa & Sakuma, <i>Guignardia pyricola</i> (Nose) W. Yamamoto, <i>Macrophoma kuwatsukai</i> Hara, <i>Macrosporium pyrorum</i> Cooke, <i>Physalospora pyricola</i> Nose] 鉋塚喜久治:園芸の研究 17:190, 1921(大10) ; 平良木武ら:日植病報 47(3):373, 1981 ; 野瀬直毅:朝鮮総督府農事試験場彙報 7(2):156, 1933 ; 小金澤碩城・佐久間 勉:果樹試報C 11:58, 1984 ; Ogata, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 41(4):331, 2000 ; Xu, C. <i>et al.</i>:Fungal Divers. 71:215, 2015
--	---

バラ科 Rosaceae テマリシモツケ Amur ninebark <i>Physocarpus amurensis</i> Maxim. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Pseudocercospora spiraeicola</i> (A.S. Muller & Chupp) X.J. Liu & Y.L. Guo [<i>Cercospora spiraeicola</i> A.S. Muller & Chupp] Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Extra Issue) 1:56, 1965 ; 小林享夫:森林防疫 20(12):264, 1971 ; Kobayashi, T. & Sato, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 42(2):138, 1976 ; Guo, Y. L. & Hsieh, W. H.:Genus <i>Pseudocercospora</i> in China:286, 1995 [備考] ケアメリカシモツケ (<i>P. opulifolius</i>) にも発生。但し本病菌は接種では<i>Spiraea</i>属には病原性を示さなかった (注) 文献名表記を他に合わせた。文献著者名訂正	バラ科 Rosaceae テマリシモツケ Amur ninebark <i>Physocarpus amurensis</i> Maxim. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Pseudocercospora spiraeicola</i> (A.S. Muller & Chupp) X.J. Liu & Y.L. Guo [<i>Cercospora spiraeicola</i> A.S. Muller & Chupp] Katsuki, S.:Trans. Myco. Soc. Japan (Extra Issue) 1:56, 1965 ; 小林享夫:森林防疫 20(12):264, 1971 ; Kobayashi, T. & Sato, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 42(2):138, 1976 ; Guo, Y. L. & Hsieh, W. H.:Genus <i>Pseudocercospora</i> in China:286, 1995 [備考] ケアメリカシモツケ (<i>P. opulifolius</i>) にも発生。但し本病菌は接種では<i>Spiraea</i>属には病原性を示さなかった
--	---

バラ科 Rosaceae	バラ科 Rosaceae
--------------	--------------

アーモンド(扁桃) Almond <i>Prunus amygdalus</i> Batsch (果樹) ††††ロゼット病 rozetto-byo (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用作物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理病と考えられている (注) 病名訂正	アーモンド(扁桃) Almond <i>Prunus amygdalus</i> Batsch (果樹) ††††ロゼット rozetto-byo (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用作物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理病と考えられている
--	---

バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary, <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary] 原 攝祐:実験樹木病害篇:130, 1927(昭2); 鏑方末彦:実験果樹病害篇:371, 1927(昭2) [備考] 白井光太郎・三宅市郎 (訂正増補日本菌類目録:443, 1917) は<i>Phyllactina corylea</i> (Persoon) Karstenを記載しているが, 国内発生は不明 (注) 備考中の文献著者名訂正	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary, <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary] 原 攝祐:実験樹木病害篇:130, 1927(昭2); 鏑方末彦:実験果樹病害篇:371, 1927(昭2) [備考] 白井光太郎・三宅一郎 (訂正増補日本菌類目録:443, 1917) は<i>Phyllactina corylea</i> (Persoon) Karstenを記載しているが, 国内発生は不明
--	---

バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃)	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃)
-------------------------------------	-------------------------------------

Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 実割病 miware-byo 生理障害 大石俊雄:病虫雑 16(6):347, 1929(昭4) ; 澤田英吉:農及園 6(6):865, 1931(昭6) [備考] 降雨による過剰吸水 (注) 文献年訂正	Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 実割病 miware-byo 生理障害 大石俊雄:病虫雑 16(6):347, 1931(昭6) ; 澤田英吉:農及園 6(6):865, 1931(昭6) [備考] 降雨による過剰吸水
---	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病) (1) <i>Podosphaera longiseta</i> Sawada 野村幸彦:日菌報 20(3):389, 1979 ; 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):6, 1949 ; 澤田兼吉:林試研報 50:105, 1951 [備考] ウワミズザクラに発生 (2) <i>Podosphaera prunigena</i> Meeboon, S. Takamatsu & U. Braun 白水 貴ら:日菌報 61:33, 2020 [備考] クマノザクラに発生 (3) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (Wallroth) de Bary] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:219, 1933(昭8) ; 澤	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病) (1) <i>Podosphaera longiseta</i> Sawada 野村幸彦:日菌報 20(3):389, 1979 ; 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):6, 1949 ; 澤田兼吉:林試研報 50:105, 1951 [備考] ウワミズザクラ (2) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (Wallroth) de Bary] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:219, 1933(昭8) ; 澤
---	--

田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾菌類調査報告 1):162, 1919(大8) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):179, 1988 [備考] ウワミズザクラ・エゾノウワミズザクラ・イヌザクラ・ソメイヨシノ・サトザクラ・ヤマザクラ・コヒガンザクラ・ウバヒガン・シウリザクラ・ヤエザクラ・エドヒガン・オオシマザクラ・カスミザクラに発生 (4) <i>Podosphaera</i> sp. 丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000 [備考] チョウジサクラ (<i>P. apetala</i> (Sieb. & Zucc.) Fr. & Sav.) に発生 (注) 病原追加、備考変更	田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾菌類調査報告 1):162, 1919(大8) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):179, 1988 [備考] ウワミズザクラ・エゾノウワミズザクラ・イヌザクラ・ソメイヨシノ・サトザクラ・ヤマザクラ・コヒガンザクラ・ウバヒガン・シウリザクラ・ヤエザクラ・エドヒガン・オオシマザクラ・カスミザクラ (3) <i>Podosphaera</i> sp. 丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000 [備考] チョウジサクラ (<i>P. apetala</i> (Sieb. & Zucc.) Fr. & Sav.) に発生
---	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 胴枯細菌病 dogare-saikin- byo Bacterial canker <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 菅野英二ら:北日本病虫研報 53:137, 2002 ; 舟久保太一ら:関東病虫研報 57:41, 2010 ; 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 ; 藤川貴史・大田将禎:日植病報 86(3):232, 2020 [備考] モモに発生 (注) 新病名、備考変更	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 急性枯死症 kyusei-koshi-sho Quick death <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 菅野英二ら:北日本病虫研報 53:137, 2002 ; 舟久保太一ら:関東病虫研報 57:41, 2010 ; 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 [備考] モモに発生。病名未提案
--	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 胴枯細菌病 dogare-saikin- byo Bacterial canker (さび色胴枯病) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 ; 藤川貴史・大田将禎:日植病報 86(3):232, 2020 [備考] 藤川・大田は、本病原によるさび色胴枯病を本病へ変更した (注) 病原<i>Dickeya dadantii</i>による病名を胴枯細菌病に変更 さび色胴枯病 sabi-ro-dogare-byo Erwinia rusty canker (1) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> pv. <i>chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953, <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 ; 唐津達彦ら:日植病報 85(1):71, 2019 [備考] 唐津ら(2019)は、カメムシの加害により本病原が果実を腐敗させることを報告した (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi さび色胴枯病 sabi-ro-dogare-byo Erwinia rusty canker (1) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 (2) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> pv. <i>chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953, <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 ; 唐津達彦ら:日植病報 85(1):71, 2019 [備考] 唐津ら(2019)は、カメムシの加害により本病原が果実を腐敗させることを報告した (3) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Hunttoon 1923] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987
---	--

1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶 山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 (注) 他の2つの病原はそのまま, さび色胴枯病と して残す。文献追加	
---	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV) ニホンナシ退緑斑点随伴ウイルス 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健 嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植 病報 86(3):221, 2020 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセ ナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT- PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田らは, JPCSaVと名付けた。神山らは, 果梗 の裂傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を 示唆した。戻し接種なし (注) 備考変更	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† 病原未詳 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じるモザイ ク症状。ニセナシサビダニによる吸汁害とされ てきたが, RT-PCRにより, エマラウイルス様配列 が検出された
--	--

バラ科 Rosaceae シャリンバイ(車輪梅) Yeddo hawthorn <i>Rhaphiolepis indica</i> (L.) Lindl. ex Ker var. <i>umbellata</i> (Thunb. ex Murray) Ohashi (広葉樹) すす病 susu-byo Black mildew <i>Asteridiella raphiolepidis</i> (W. Yamamoto) Hansford [<i>Irenina raphiolepidis</i> W. Yamamoto] Katamoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):412, 1979 ; 山本和太郎:台湾博物学術報 31(209):50, 1941(昭16) [備考] シマシャリンバイ・モツコクモドキ (<i>R. indica</i> var. <i>tashiroi</i>) (注) 備考中の宿主和名修正	バラ科 Rosaceae シャリンバイ(車輪梅) Yeddo hawthorn <i>Rhaphiolepis indica</i> (L.) Lindl. ex Ker var. <i>umbellata</i> (Thunb. ex Murray) Ohashi (広葉樹) すす病 susu-byo Black mildew <i>Asteridiella raphiolepidis</i> (W. Yamamoto) Hansford [<i>Irenina raphiolepidis</i> W. Yamamoto] Katamoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):412, 1979 ; 山本和太郎:台湾博物学術報 31(209):50, 1941(昭16) [備考] シマシャリンバイ・モツコクモドキ (<i>R. indica</i> var. <i>tashiroi</i>)
---	---

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 果頂部腐敗病 kachobu-fuhai-byo Botryosphaeria rot <i>Botryosphaeria dothidea</i> (Mougeot) Cesati & De Notaris 三好孝典ら:日植病報 86(3):171, 2020 (注) 新病名	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.
---	--

ミカン科 Rutaceae ミヤマシキミ(深山檜) Skimmie <i>Skimmia japonica</i> Thunb. (広葉樹) 裏褐斑病 ura-kappan-byo Beloniella leaf spot <i>Beloniella skimmiae</i> T. Miyabe & Togashi 宮部金吾・富樫浩吾:札幌博物学会報 9(1):71, 1924(大13) ; 澤田兼吉:林試研報 53:148, 1952 (注) 文献順変更	ミカン科 Rutaceae ミヤマシキミ(深山檜) Skimmie <i>Skimmia japonica</i> Thunb. (広葉樹) 裏褐斑病 ura-kappan-byo Beloniella leaf spot <i>Beloniella skimmiae</i> T. Miyabe & Togashi 澤田兼吉:林試研報 53:148, 1952 ; 宮部金吾・富 樫浩吾:札幌博物学会報 9(1):71, 1924(大13)
---	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar そうか病 soka-byo Spot anthracnose (とう そう病, 黒痘病, 瘡痂病) <i>Sphaceloma populi</i> (Saccardo) Jenkins 千葉 修・小林享夫:日林誌 39(2):75, 1957 ; 伊藤 一雄:林業技術 181:32, 1957 (注) 文献号数訂正	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar そうか病 soka-byo Spot anthracnose (とう そう病, 黒痘病, 瘡痂病) <i>Sphaceloma populi</i> (Saccardo) Jenkins 千葉 修・小林享夫:日林誌 39(2):75, 1957 ; 伊藤 一雄:林業技術 81:32, 1957
--	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹)	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹)
--	--

ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar フォモプシス胴枯病 <i>Phomopsis-dogare-byo</i> Phomopsis canker (フォモプシス枝枯病) (1) <i>Diaporthe medusaea</i> Nitschke [<i>Phomopsis</i> sp.] 伊藤一雄:林業技術 181:32, 1957 ; 千葉 修・小林 享夫:日林誌 41(6):246, 1959 (2) <i>Diaporthe santonenensis</i> Saccardo [<i>Phomopsis</i> <i>macrospora</i> Kobayashi & Chiba] Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 130:29, 1961 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:79, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:30, 1975 (注) 文献著者名訂正、文献順変更	ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar フォモプシス胴枯病 <i>Phomopsis-dogare-byo</i> Phomopsis canker (フォモプシス枝枯病) (1) <i>Diaporthe medusaea</i> Nitschke [<i>Phomopsis</i> sp.] 伊藤一雄:林業技術 181:32, 1957 ; 千葉 修・小林 享夫:日林誌 41(6):246, 1959 (2) <i>Diaporthe santonenensis</i> Saccardo [<i>Phomopsis</i> <i>macrospora</i> Kobayashi & Chiba] 小林享夫:山林 1093:30, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 130:29, 1961 ; Kobayashi, Y.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:79, 1970
--	---

ヤナギ科 Salicaceae オオバヤナギ(大葉柳) (Toisusu) <i>Toisusu urbaniana</i> (Seemen) Kimura (広葉樹) さび病 <i>sabi-byo</i> Rust (銹病) <i>Melampsora laricis-urbaniana</i> Matsumoto 澤田兼吉:林試研報 57:21, 1952 ; Matsumoto, T.:Ann. Misso. Bot. Gard. 6:311, 1919(大8) ; 平塚直 秀:札幌農林学会報 19:183, 1927(昭2) (注) 文献名訂正	ヤナギ科 Salicaceae オオバヤナギ(大葉柳) (Toisusu) <i>Toisusu urbaniana</i> (Seemen) Kimura (広葉樹) さび病 <i>sabi-byo</i> Rust (銹病) <i>Melampsora laricis-urbaniana</i> Matsumoto 澤田兼吉:林試研報 57:21, 1952 ; Matsumoto, T.:Ann. Misso. Bot. Gard. 6:311, 1919(大8) ; 平塚直 秀:札幌農林学会報 19:183, 1927(昭2)
---	--

アカテツ科 Sapotaceae ミラクルフルーツ Miracle fruit <i>Synsepalum dulcificum</i> (Schumach. & Thonn.)	アカテツ科 Sapotaceae ミラクルフルーツ Miracle fruit <i>Synsepalum dulcificum</i> (Schumach. & Thonn.)
--	--

Daniell (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 果実腐敗症状 (2) <i>Colletotrichum karstii</i> Y.L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉の斑点症状 (3) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉枯症状 (注) 病原順変更。	Daniell (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 果実腐敗症状 (2) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉枯症状 (3) <i>Colletotrichum karstii</i> Y.L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉の斑点症状
---	---

ユキノシタ科 Saxifragaceae ウツギ(空木, 卯木) Japanese snowflower <i>Deutzia crenata</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe deutziae</i> (Bunkina) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera deutziae</i> Bunkina, <i>Microsphaera abeliae</i> sensu Nomura & Tanda non Homma] 野村幸彦・丹田誠之助:東農大農学集報 24(2):157, 1979 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):201, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):214, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:53, 2012 (2) <i>Erysiphe</i> sp. 神谷敏^広・佐藤幸生:日植病報 69(1):59, 2003	ユキノシタ科 Saxifragaceae ウツギ(空木, 卯木) Japanese snowflower <i>Deutzia crenata</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe deutziae</i> (Bunkina) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera deutziae</i> Bunkina, <i>Microsphaera abeliae</i> sensu Nomura & Tanda non Homma] 野村幸彦・丹田誠之助:東農大農学集報 24(2):157, 1979 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):201, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):214, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:53, 2012 (2) <i>Erysiphe</i> sp. 神谷敏^宏・佐藤幸生:日植病報 69(1):59, 2003
---	---

[備考] 本菌は <i>Uncinula</i> 節に属する (3) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 (4) <i>Microsphaera</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:489, 1973 ; 高松 進ら:日菌報 19(1):68, 1978 [備考] ヒメウツギ・マルバウツギにも発生 (注) 文献著者名訂正	[備考] 本菌は <i>Uncinula</i> 節に属する (3) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 (4) <i>Microsphaera</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:489, 1973 ; 高松 進ら:日菌報 19(1):68, 1978 [備考] ヒメウツギ・マルバウツギにも発生
--	---

マツブサ科 Schisandraceae マツブサ (Schisandra) <i>Schisandra repanda</i> (Sieb. & Zucc.) Radlk. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Erysiphe schizandrae</i> (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera schizandrae</i> Sawada, <i>Microsphaera alni</i> auct. Jap. non Wallroth, <i>Microsphaera schizandrae</i> Sawada f. <i>breviseta</i> Tanda & Y. Nomura] 原 攝祐:果樹病害論:477, 1916(大5) ; Homma, Y.:Journ. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):6, 1949 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):230, 1988 ; Nomura, Y. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(2):219, 1992 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:59, 2012 [備考] マツブサ・チョウセンゴミシ(<i>S. chinensis</i>) に発生 (注) 文献巻号訂正	マツブサ科 Schisandraceae マツブサ (Schisandra) <i>Schisandra repanda</i> (Sieb. & Zucc.) Radlk. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Erysiphe schizandrae</i> (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera schizandrae</i> Sawada, <i>Microsphaera alni</i> auct. Jap. non Wallroth, <i>Microsphaera schizandrae</i> Sawada f. <i>breviseta</i> Tanda & Y. Nomura] 原 攝祐:果樹病害論:477, 1916(大5) ; Homma, Y.:Journ. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 澤田兼吉:東北生物研究 1(1):6, 1949 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 2(3):230, 1988 ; Nomura, Y. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(2):219, 1992 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:59, 2012 [備考] マツブサ・チョウセンゴミシ(<i>S. chinensis</i>) に発生
---	---

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae
--------------------------	--------------------------

キンギョソウ(金魚草, アンテリナム) Snapdragon <i>Antirrhinum majus</i> L. (草花) 疫病 eki-byo Blight <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 瀧元清透:日植病報 7(3-4):242, 1938(昭13) (注) 文献号数訂正	キンギョソウ(金魚草, アンテリナム) Snapdragon <i>Antirrhinum majus</i> L. (草花) 疫病 eki-byo Blight <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 瀧元清透:日植病報 7(3):242, 1938(昭13)
---	---

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae へーべ Hebe Hebe sp. (広葉樹) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Stemphylium lycopersici</i> (Enjoji) W. Yamamoto 菅原 敬ら:日植病報 86(3):165, 2020 (注) 新規宿主、新病名	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae
--	---------------------------------

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae へーべ Hebe Hebe sp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 菅原 敬ら:日植病報 86(3):165, 2020	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae
---	---------------------------------

(注) 新規宿主、新病名	
--------------	--

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Amazon lily mild mottle virus</i> (ALiMMV) アマゾンユリ微斑ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウルトウイルス2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 (3) <i>Citrus leaf blotch virus</i> (CLBV) カンキツ斑点ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (4) <i>Cnidium vein yellowing virus</i> (CVYV) センキュウ葉脈黄化ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (5) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出 (6) <i>Plantago asiatica mosaic virus</i> (PiAMV) オオバコモザイクウイルス	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Amazon lily mild mottle virus</i> (ALiMMV) アマゾンユリ微斑ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) [Broad bean wilt virus#] ソラマメウルトウイルス2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 (3) <i>Citrus leaf blotch virus</i> (CLBV) カンキツ斑点ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (4) <i>Cnidium vein yellowing virus</i> (CVYV) センキュウ葉脈黄化ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (5) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 (6) <i>Plantago asiatica mosaic virus</i> (PiAMV) オオバコモザイクウイルス
---	--

一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出 (7) <i>Youcai mosaic virus</i> (YoMV) アブラナモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出 (注) 備考修正	一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。戻し接種なし (7) <i>Youcai mosaic virus</i> (YoMV) アブラナモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出。戻し接種なし。複数種のウイルスにより引き起こされる
--	---

ニガキ科 Simaroubaceae ニガキ(苦木) Bitter wood, Nigaki <i>Picrasma quassioides</i> (D. Don) Benn. (広葉樹) 角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot <i>Prathigada picrasmae</i> (Togashi & Katsuki) X.J. Liu & Y.Z. Liao [<i>Cercospora picrasmae</i> Togashi & Katsuki] 澤田兼吉:林試研報 105:110, 1958 ; Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763-764):24, 1952 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 (注) 文献著者名訂正	ニガキ科 Simaroubaceae ニガキ(苦木) Bitter wood, Nigaki <i>Picrasma quassioides</i> (D. Don) Benn. (広葉樹) 角斑病 kakuhan-byo Angular leaf spot <i>Prathigada picrasmae</i> (Togashi & Katsuki) X.J. Liu & Y.Z. Liao [<i>Cercospora picrasmae</i> Togashi & Katsuki] 澤田兼吉:林試研報 105:110, 1958 ; Togashi, S. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763-764):24, 1952 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992
--	---

ニガキ科 Simaroubaceae ニガキ(苦木) Bitter wood, Nigaki <i>Picrasma quassioides</i> (D. Don) Benn. (広葉樹) とうそう病 toso-byo Spot anthracnose <i>Sphaceloma picrasmae</i> Kurosawa & Katsuki Kurosawa, E. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo	ニガキ科 Simaroubaceae ニガキ(苦木) Bitter wood, Nigaki <i>Picrasma quassioides</i> (D. Don) Benn. (広葉樹) とうそう病 toso-byo Spot anthracnose <i>Sphaceloma picrasmae</i> Kurosawa & Katsuki Kurosawa, E. & Katsuki, E.:Bot. Mag. Tokyo
---	---

69(817/818):317, 1956 (注) 文献著者名訂正	69(817/818):317, 1956
--	-----------------------

ナス科 Solanaceae カリブラコア <i>Calibrachoa</i> <i>Calibrachoa</i> sp. (草花) 立枯病 tachigare-byo Damping-off <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 浜田佳代子ら:四国植防 52:38, 2018 (注) 新規宿主、新病名	ナス科 Solanaceae
---	----------------

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 早野敬大ら:日植病報 86(3):191, 2020 [備考] ピーマンに発生 (注) 新病名	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.
--	---

ナス科 Solanaceae クコ(枸杞) Chinese boxthorn <i>Lycium chinense</i> Mill. (広葉樹)	ナス科 Solanaceae クコ(枸杞) Chinese boxthorn <i>Lycium chinense</i> Mill. (広葉樹)
---	---

斑点病 hanten-byo <i>Pseudocercospora chengtuensis</i> (F.L. Tai) Deighton [<i>Cercospora chengtuensis</i> F.L. Tai] Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):19, 1952 ; 山本和太郎・前田巳之助: 兵庫農大研報農生編 4(2):50, 1960 ; 勝本 謙・小 林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 (注) 文献順変更	斑点病 hanten-byo <i>Pseudocercospora chengtuensis</i> (F.L. Tai) Deighton [<i>Cercospora chengtuensis</i> F.L. Tai] 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):50, 1960 ; Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):19, 1952 ; 勝本 謙・小林享夫: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992
ナス科 Solanaceae クコ(枸杞) Chinese boxthorn <i>Lycium chinense</i> Mill. (広葉樹) ビロード病 birodo-byo Erineum gall <i>Eriophyes kuko</i> Kishida 岸田久吉:東亜蜘蛛学会誌 2(1):6, 1937(昭12) ; 伊 藤一雄:樹病学大系 3:355, 1974 (注) 文献順変更	ナス科 Solanaceae クコ(枸杞) Chinese boxthorn <i>Lycium chinense</i> Mill. (広葉樹) ビロード病 birodo-byo Erineum gall <i>Eriophyes kuko</i> Kishida 伊藤一雄:樹病学大系 3:355, 1974 ; 岸田久吉:東亜 蜘蛛学会誌 2(1):6, 1937(昭12)
ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根腐病 negusare-byo (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生ら:日植病報 86(3):190, 2020 [備考] 綿腐病の病原でもある (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根腐病 negusare-byo

草刈眞一ら:日植病報 47(3):387, 1981 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 (3) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 48(3):349, 1982 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 [備考] 養液栽培で発生 (注) 病原追加, 備考変更 綿腐病 watagusare-byo Cottony leak <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠元 司:日植病報 15(1):17, 1950 [備考] 根腐病菌でもある (注) 備考追加	(1) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 47(3):387, 1981 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 (2) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 48(3):349, 1982 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 [備考] 養液栽培で発生。綿腐病菌 (<i>Pythium aphanidermatum</i>) によって根腐れを起こすことがある 綿腐病 watagusare-byo Cottony leak <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠元 司:日植病報 15(1):17, 1950
--	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病, 根こぶ病, 線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病, 根こぶ病, 線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
--	--

(3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 近藤鶴彦:植物防疫 6(9-10):352, 1952 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。 <i>M. mali</i> として報告されたが、本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 村田壽太郎:園芸之友 11(12):1372, 1915(大4) ; 鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) (6)の文献ページ訂正	(3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 近藤鶴彦:植物防疫 6(9-10):352, 1952 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。 <i>M. mali</i> として報告されたが、本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 村田壽太郎:園芸之友 11(12):137, 1915(大4) ; 鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照
--	--

ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 黒かび病 kurokabi-byo (黒黴病) <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler [<i>Alternaria tenuis</i> Nees] 中村寿夫:専売局中央研資料 28(内外産煙草病害目録):26, 1932(昭7) ; 中村寿夫:煙草植物病学:68, 1949	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 黒かび病 kurokabi-byo (黒黴病) <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler [<i>Alternaria tenuis</i> Nees] 中村寿夫:専売局中央研資料 28(内外産煙草病害目録), 1932(昭7) ; 中村寿夫:煙草植物病学:68, 1949
--	---

[備考] <i>Alternaria</i> sp. はわが国でも発生するが、本病の発生不詳 (注) 文献ページ挿入	[備考] <i>Alternaria</i> sp. はわが国でも発生するが、本病の発生不詳
--	---

ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) すす病 susu-byo Sooty mold (煤病) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne [<i>Apiosporium salicinum</i> Persoon] 中村寿夫:専売局中央研研究資料 28(内外産煙草病害目録):33, 1932(昭7) (注) 文献ページ挿入	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) すす病 susu-byo Sooty mold (煤病) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne [<i>Apiosporium salicinum</i> Persoon] 中村寿夫:専売局中央研研究資料 28(内外産煙草病害目録), 1932(昭7)
---	---

ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫病, 根瘤病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood キタネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 大橋雄司ら:葉たばこ研究 60:80, 1972 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoed & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller]	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫病, 根瘤病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood キタネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 大橋雄司ら:葉たばこ研究 60:80, 1972 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoed & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller]
---	---

サツマイモネコブセンチュウ 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 中村寿夫:本邦煙草病害論:105, 1934(昭9) ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 横尾多美男:たばこ線虫病に関する調査研究(鹿児島たばこ試参考資料):66, 1961 (注) (3)書籍名とページの間のカンマを半角コロンの置換	サツマイモネコブセンチュウ 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 中村寿夫:本邦煙草病害論 105, 1934(昭9) ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 横尾多美男:たばこ線虫病に関する調査研究(鹿児島たばこ試参考資料):66, 1961
--	---

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 青枯病 aogare-byo Bacterial wilt (舞病) <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [<i>Pseudomonas solanacearum</i> (Smith) Smith, <i>Bacillus solanacearum</i> Smith] 堀 正太郎:日園雑 84:15, 1898(明31) (注) 文献ページ挿入	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 青枯病 aogare-byo Bacterial wilt (舞病) <i>Ralstonia solanacearum</i> (Smith 1896) Yabuuchi, Kosako, Yano, Hotta & Nishiuchi 1996 [<i>Pseudomonas solanacearum</i> (Smith) Smith, <i>Bacillus solanacearum</i> Smith] 堀 正太郎:日園雑 84, 1898(明31)
--	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物)	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物)
--	--

黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 84(1):61, 2018 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):124, 2018 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違いは明確でない (2) <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤本岳人ら:日植病報 85(3):312, 2019 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):423, 2020 (3) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39(4):351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (4) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41(3):280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 (5) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan,	黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 84(1):61, 2018 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):124, 2018 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違いは明確でない (2) <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤本岳人ら:日植病報 85(3):312, 2019 (3) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39(4):351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (4) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41(3):280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 (5) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan,
--	--

De Boer, Maiss & Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:Plant Dis. 101(1):241, 2017 (注) 文献追加	De Boer, Maiss & Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:Plant Dis. 101(1):241, 2017
アオギリ科 Sterculiaceae カカオ Cacao <i>Theobroma cacao</i> L. (特用作物) ††炭疽病 tanso-byo Anthracnose* <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum theobromae</i> K.R. Appel & Strunk] 栃内吉彦:南洋諸島(自然と資源):418, 1940(昭15) [備考] 病原菌の学名は von Arx, J.A.:Phytopath. Z. 29:433, 1957 を参照 (注) 書籍名とページの間に半角コロン挿入	アオギリ科 Sterculiaceae カカオ Cacao <i>Theobroma cacao</i> L. (特用作物) ††炭疽病 tanso-byo Anthracnose* <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum theobromae</i> K.R. Appel & Strunk] 栃内吉彦:南洋諸島(自然と資源) 418, 1940(昭15) [備考] 病原菌の学名は von Arx, J.A.:Phytopath. Z. 29:433, 1957 を参照
ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):223, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol.: (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, 接種試験に成功した (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫雑 1:164, 1914(大3)	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):223, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol.: (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, 接種試験に成功した (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 鶴田章逸:病虫害雑 1:164, 1914(大3)

(注) 文献名の略を多数派に合わせた	
--------------------	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight <i>Haradamyces foliicola</i> Masuya, Kusunoki, Kosaka & Aikawa 野中寿之・植原一雄:日植病報 40(2):130, 1974 ; 野中寿之:茶研報 46:38, 1977 ; 山田憲吾・羽野愛理:日植病報 86(3):193, 2020 (注) 病原同定	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight 病原菌所属不明 野中寿之・植原一雄:日植病報 40(2):130, 1974 ; 野中寿之:茶研報 46:38, 1977
---	---

ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) <i>Sasanqua camellia</i> <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 平もち病 hiramochi-byo Exobasidium leaf blister <i>Exobasidium sasanqua</i> Hara & Ezuka 江塚昭典・原 攝祐:農及園 34(9):1352, 1959 ; 江塚昭典:日菌報 31(3), 385, 1990 (注) 文献名を多数派に合わせて修正	ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) <i>Sasanqua camellia</i> <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 平もち病 hiramochi-byo Exobasidium leaf blister <i>Exobasidium sasanqua</i> Hara & Ezuka 江塚昭典・原 攝祐:農業及園芸 34(9):1352, 1959 ; 江塚昭典:日菌報 31(3), 385, 1990
--	--

ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅)	ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅)
--------------------------------	--------------------------------

Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) もち病 mochi-byo Leaf and stem gall (餅病) <i>Exobasidium gracile</i> (Shirai) Sydow & P. Sydow [<i>Exobasidium camelliae</i> Shirai var. <i>gracile</i> Shirai, <i>Exobasidium camelliae-oleiferae</i> Sawada] 白井光太郎:植物学雑 10(113):228, 1896(明29) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):49, 1955 ; 江塚昭典:日 菌報 31(3):382, 1990 [備考] オオシマサザンカにも発生 (注) 文献号数とページの間のカンマを半角コロ ンに置換	Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) もち病 mochi-byo Leaf and stem gall (餅病) <i>Exobasidium gracile</i> (Shirai) Sydow & P. Sydow [<i>Exobasidium camelliae</i> Shirai var. <i>gracile</i> Shirai, <i>Exobasidium camelliae-oleiferae</i> Sawada] 白井光太郎:植物学雑 10(113):228, 1896(明29) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):49, 1955 ; 江塚昭典:日 菌報 31(3):382, 1990 [備考] オオシマサザンカにも発生
--	---

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) †星すす病 hoshi-susu-byo Sooty mold (星 煤病, 煤病) <i>Dimerina nantoensis</i> (Sawada) W. Yamamoto [<i>Zukalia nantoensis</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特報 11:123, 1915(大4) ; 澤田 兼吉:台湾農試報特報 19(台湾菌類調査報告 1):193, 1919(大8) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生 編 4(1):18, 1959 [備考] 台湾 (注) 文献名の略を多数派に合わせた	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) †星すす病 hoshi-susu-byo Sooty mold (星 煤病, 煤病) <i>Dimerina nantoensis</i> (Sawada) W. Yamamoto [<i>Zukalia nantoensis</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特報 11:123, 1915(大4) ; 澤田 兼吉:台湾農試報特報 19(台湾菌類調査報告 1):193, 1919(大8) ; 山本和太郎:兵庫農大研報, 農 生編 4(1):18, 1959 [備考] 台湾
--	--

ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae	ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae
--------------------------	--------------------------

ナニワズ Spike winter hazel <i>Daphne pseudo-mezereum</i> A. Gray subsp. <i>jezoensis</i> (Maxim.) Hamaya (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Uredo daphnicola</i> Dietel [<i>Melampsora daphnicola</i> Jørstad, <i>Uredo daphnes</i> Nagai & Shimamura] 永井政次・島村光太郎:札幌農林学会報 25(114):85, 1933(昭8) ; Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 13(4):247, 1937(昭12) ; Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 2(2):11, 1959 [備考] オニシバリ (注) 文献巻数挿入	ナニワズ Spike winter hazel <i>Daphne pseudo-mezereum</i> A. Gray subsp. <i>jezoensis</i> (Maxim.) Hamaya (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Uredo daphnicola</i> Dietel [<i>Melampsora daphnicola</i> Jørstad, <i>Uredo daphnes</i> Nagai & Shimamura] 永井政次・島村光太郎:札幌農林学会報 25(114):85, 1933(昭8) ; Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 13(4):247, 1937(昭12) ; Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan(2):11, 1959 [備考] オニシバリ
--	--

ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae ジンチョウゲ(沈丁花) <i>Daphne</i> <i>Daphne odora</i> Thunb. (広葉樹) †††† (1) <i>Apple stem grooving virus</i> (ASGV) リンゴス テムグルーピングウイルス (2) <i>Badnavirus</i> (3) <i>Carlavirus</i> (4) <i>Cnidium vein yellowing virus</i># (CVYV) センキ ユウ葉脈黄化ウイルス (5) <i>Citrus leaf blotch virus</i> (CLBV) カンキツ斑点 ウイルス (6) <i>Daphne mosaic virus</i># (DapMV) 山本一成ら:日植病報 86(3):220, 2020 [備考] 次世代シーケンスによる検出 (注) 新宿主	ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae ジンチョウゲ(沈丁花) <i>Daphne</i> <i>Daphne odora</i> Thunb. (広葉樹)
--	--

シナノキ科 Tiliaceae モロヘイヤ(タイワンツナソ) Jew's marrow <i>Corchorus olitorius</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe caucasica</i> Simonian var. <i>corchori</i> Tanda Tanda, S.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 43(3):152, 1998 (2) <i>Oidium</i> sp. 我孫子和雄・萩原 廣:日植病報 64(4):438, 1998 ; 我孫子和雄・萩原 廣:日植病報 65(2):204, 1999 [備考] <i>Sphaerothec fuliginea</i> 型 (3) <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer Tanda, S.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 43(3):152, 1998 (注) 文献著者名訂正	シナノキ科 Tiliaceae モロヘイヤ(タイワンツナソ) Jew's marrow <i>Corchorus olitorius</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe caucasica</i> Simonian var. <i>corchori</i> Tanda Tanada, S.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 43(3):152, 1998 (2) <i>Oidium</i> sp. 我孫子和雄・萩原 廣:日植病報 64(4):438, 1998 ; 我孫子和雄・萩原 廣:日植病報 65(2):204, 1999 [備考] <i>Sphaerothec fuliginea</i> 型 (3) <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer Tanada, S.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 43(3):152, 1998
ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欐) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) †††† <i>Griphosphaerioma zelkovicola</i> Yas. Ono & Tak. Kobayashi [不完全世代: <i>Sarcostroma zelkovicola</i> Yas. Ono & Tak. Kobayashi] Ono, Y. & Kobayashi, T.:Mycoscience 44:109, 2003 [備考] 接種試験未了 (注) 文献著者名訂正	ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欐) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) †††† <i>Griphosphaerioma zelkovicola</i> Yas. Ono & Tak. Kobayashi [不完全世代: <i>Sarcostroma zelkovicola</i> Yas. Ono & Tak. Kobayashi] Ono, T. & Kobayashi, T.:Mycoscience 44:109, 2003 [備考] 接種試験未了
オミナエシ科 Valerianaceae	オミナエシ科 Valerianaceae

カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) †††† (1) <i>Asparagus virus 2</i> (AV-2) アスパラガスウイルス2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 ; <i>Uehara-Ichiki, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol.</i> 86(4):310, 2020 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。セイヨウカノコソウ (<i>V. officinalis</i>) にCMVと混合接種で発病 (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 ; <i>Uehara-Ichiki, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol.</i> 86(4):310, 2020 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (3) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 ; <i>Uehara-Ichiki, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol.</i> 86(4):310, 2020 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (4) <i>Gaillardia latent virus</i> (GalLV) ガイラルディア潜在ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 ; <i>Uehara-Ichiki, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol.</i> 86(4):310, 2020 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。セイヨウカノコソウ (<i>V. officinalis</i>) にCMVと混合接種で発病 (5) <i>Ligustrum necrotic ringspot virus</i> (LNRSV) ネ	カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) †††† (1) <i>Asparagus virus 2</i> (AV-2) アスパラガスウイルス2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (3) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (4) <i>Gaillardia latent virus</i> (GalLV) ガイラルディア潜在ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。塩基配列解析により同定。戻し接種なし
---	---

ズミモチえそ輪紋ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 ; Uehara-Ichiki, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(4):310, 2020 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (6) <i>Tomato spotted wilt orthospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [Tomato spotted wilt virus (TSWV)] 山本明日香ら:北日本病虫研報 68:263, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 ; Uehara-Ichiki, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(4):310, 2020 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。セイヨウカノコソウ (<i>V. officinalis</i>) にCMVと混合接種で発病 (注) 備考修正、文献追加	(5) <i>Ligustrum necrotic ringspot virus</i> (LNRSV) ネズミモチえそ輪紋ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 83(3):218, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (6) <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [Tomato spotted wilt virus (TSWV)] 山本明日香ら:北日本病虫研報 68:263, 2017 ; 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた
--	---

オミナエシ科 Valerianaceae マーシュ Corn salad <i>Valerianella olitoria</i> Pollich (野菜) †††† <i>Acidovorax valerianellae</i> Gardan, Stead, Dauga & Gillis 2003 吉村拓真・瀧川雄一:日植病報 86(3):233, 2020 (注) 新宿主	オミナエシ科 Valerianaceae マーシュ Corn salad <i>Valerianella olitoria</i> Pollich (野菜)
--	---

クマツヅラ科 Verbenaceae ヤマネ(メリナ) Yemane <i>Gmelina arborea</i> L.	クマツヅラ科 Verbenaceae ヤマネ(メリナ) Yemane <i>Gmelina arborea</i> L.
---	---

(広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold <i>Meliola clerodendricola</i> Hennings var. <i>micromera</i> (Sydow & P. Sydow) Hansford 小林享夫:熱帯林業 50:25, 1978 ; 小林享夫ら:熱帯 農研集報 43:193, 1982 ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3):288, 1985 [備考] フィリピン (注) 文献号数とページの間に半角コロン挿入	(広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold <i>Meliola clerodendricola</i> Hennings var. <i>micromera</i> (Sydow & P. Sydow) Hansford 小林享夫:熱帯林業 50:25, 1978 ; 小林享夫ら:熱帯 農研集報 43:193, 1982 ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3) 288, 1985 [備考] フィリピン
---	---

クマツヅラ科 Verbenaceae ニンジンボク(人參木) (Vitex) <i>Vitex negundo</i> L. var. <i>cannabifolia</i> (Sieb. & Zucc.) Hand.-Mazz. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (角斑病) <i>Cercospora viticis</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora</i> <i>viticis</i> Sawada] 小林享夫:森林防疫 25(1):3, 1976 ; 澤田兼吉:台湾 農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):90, 1944(昭 19) ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Extra issue) 1:67, 1965 (注) 文献表記を本誌に合わせた	クマツヅラ科 Verbenaceae ニンジンボク(人參木) (Vitex) <i>Vitex negundo</i> L. var. <i>cannabifolia</i> (Sieb. & Zucc.) Hand.-Mazz. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (角斑病) <i>Cercospora viticis</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora</i> <i>viticis</i> Sawada] 小林享夫:森林防疫 25(1):3, 1976 ; 澤田兼吉:台湾 農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):90, 1944(昭 19) ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan (Append.) 1:67, 1965
--	--

ブドウ科 Vitaceae ツタ(蔦, 地錦) Boston ivy <i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Sieb. & Zucc.) Planch. (広葉樹) 褐色円斑病* kasshoku-maruhan-byo Phyllosticta leaf spot (褐斑病) <i>Phyllosticta ampellicida</i> (Engelmann) Aa	ブドウ科 Vitaceae ツタ(蔦, 地錦) Boston ivy <i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Sieb. & Zucc.) Planch. (広葉樹) 褐色円斑病* kasshoku-maruhan-byo Phyllosticta leaf spot (褐斑病) <i>Phyllosticta ampellicida</i> (Engelmann) Aa
---	---

小林享夫・佐々木克彦:日植病報 41(1):117, 1975 ; Yokoyama, T.:IFO Res. Comm. 8:81, 1977 ; 堀江博道・小林享夫:東京農試研報 16:195, 1983 [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (注) 病名英名訂正	小林享夫・佐々木克彦:日植病報 41(1):117, 1975 ; Yokoyama, T.:IFO Res. Comm. 8:81, 1977 ; 堀江博道・小林享夫:東京農試研報 16:195, 1983 [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する
--	--

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. つる割細菌病 tsuruware-saikin-byo Bacterial blight <i>Xylophilus ampelinus</i> (Panagopoulos 1969) Willems, Gillis, Kersters, Van den Broecke, & De Ley 1987 新村昭憲ら:日植病報 78(1):60, 2012 (注) 文献著者名訂正	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. つる割細菌病 tsuruware-saikin-byo Bacterial blight <i>Xylophilus ampelinus</i> (Panagopoulos 1969) Willems, Gillis, Kersters, Van den Broecke, & De Ley 1987 新村昭徳ら:日植病報 78(1):60, 2012
---	--

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 褐斑病 kappan-byo Isariopsis leaf spot, Leaf blight (斑点病, 葉斑病, 褐点病, 黒斑病, 汚斑病, 白腐病, 黒星病) <i>Pseudocercospora vitis</i> (Léveillé) Spegazzini	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 褐斑病 kappan-byo Isariopsis leaf spot, Leaf blight (斑点病, 葉斑病, 褐点病, 黒斑病, 汚斑病, 白腐病, 黒星病) <i>Pseudocercospora vitis</i> (Léveillé) Spegazzini
--	--

[<i>Cercospora viticola</i> (Cesati) Saccardo, <i>Cercospora vitis</i> (Léveillé) Lindau, <i>Isariopsis clavispora</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo, <i>Phaeoisariopsis vitis</i> (Léveillé) Sawada] 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明27) ; 園孝次郎:農業園 3(10):16, 1909(明42) ; 香月繁孝:日菌報別冊 1:76, 1965 [備考] 出田 新 (日本植物病理学 上巻 64, 1909) は同名の病害の病原菌として <i>Plasmodiophora vitis</i> Viala & Sauvageau (<i>Pseudocommis vitis</i> De Bary) を記載しているが, 国内発生は不明。海外では病原菌の完全世代 <i>Mycosphaerella personata</i> Higgins が記載されているが, 国内未確認 (注) 文献名訂正	[<i>Cercospora viticola</i> (Cesati) Saccardo, <i>Cercospora vitis</i> (Léveillé) Lindau, <i>Isariopsis clavispora</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo, <i>Phaeoisariopsis vitis</i> (Léveillé) Sawada] 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明27) ; 園孝次郎:農業園 3(10):16, 1909(明42) ; 香月繁孝:日菌報別冊 1:76, 1965 [備考] 出田 新 (日本植物病理学 上巻 64, 1909) は同名の病害の病原菌として <i>Plasmodiophora vitis</i> Viala & Sauvageau (<i>Pseudocommis vitis</i> De Bary) を記載しているが, 国内発生は不明。海外では病原菌の完全世代 <i>Mycosphaerella personata</i> Higgins が記載されているが, 国内未確認
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, モニリア病) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) ; 原 攝祐:実験果樹 486:345, 1930(昭5) [備考] 永田英明ら (日植病報 50(1):137, 1984) は巨峰の腐敗果から <i>M. fructicola</i> (Winter) Honey を分離している (注) 備考修正	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, モニリア病) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) ; 原 攝祐:実験果樹 486:345, 1930(昭5) [備考] 永田英明 (日植病報 50(1):137, 1984) は巨峰の腐敗果から <i>M. fructicola</i> (Winter) Honey を分離している
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† (1) <i>Grapevine fabavirus</i> (GfabV) ブドウファバウイルス (2) <i>Grapevine geminivirus A#</i> (GGVA) ブドウジェミニウイルスA (3) <i>Grapevine yellow speckle viroid 1</i> (GYSVd-1) ブドウ黄色斑点ウイロイド1 (4) <i>Hop stunt viroid</i> (HpSVd) ホップ矮化ウイロイド Chiaki, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):34, 2020 ; 伊藤隆男ら:日植病報 86(3):217, 2020 [備考] シャインマスカットに発生。RT-PCRによる検出。台木からの病原(1)～(4)の感染により、矮化および葉の奇形の症状を引き起こす (注) 文献追加、(2)病原学名に#をつける	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† (1) <i>Grapevine fabavirus</i> (GfabV) ブドウファバウイルス (2) <i>Grapevine geminivirus A</i> (GGVA) ブドウジェミニウイルスA (3) <i>Grapevine yellow speckle viroid 1</i> (GYSVd-1) ブドウ黄色斑点ウイロイド1 (4) <i>Hop stunt viroid</i> (HpSVd) ホップ矮化ウイロイド Chiaki, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):34, 2020 [備考] シャインマスカットに発生。RT-PCRによる検出。台木からの病原(1)～(4)の感染により、矮化および葉の奇形の症状を引き起こす
--	--

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦
--	--

腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> sensu stricto Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 [備考] 狭義の<i>C. gloeosporioides</i> (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子ら:日植病報 84(1):3, 2018 (6) <i>Colletotrichum perseae</i> G. Sharma & S. Freeman Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (8) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D. Hyde & Z.Y. Liu 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀正太郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40)	腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> sensu stricto Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 [備考] 狭義の<i>C. gloeosporioides</i> (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子ら:日植病報 84(1):3, 2018 (6) <i>Colletotrichum perseae</i> G. Sharma & S. Freeman Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (8) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D. Hyde & Zi Y. Ying 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀正太郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40)
---	---

[備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphilinum</i> Cavara を記載した。また, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した (注) (8)の病原学名命名者名を修正	[備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphilinum</i> Cavara を記載した。また, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した
---	--

ショウガ科 Zingiberaceae クロウコン(黒ウコン, クラチャイダム) Black ginger <i>Kaempferia parviflora</i> Wall. (特用作物) 立枯病 tachigare-byo Damping-off <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 中嶋香織ら:日植病報 86(3):154, 2020 (注) 新規宿主、新病名	ショウガ科 Zingiberaceae
--	----------------------------

ショウガ科 Zingiberaceae ウコン・キョウオウ類 (Curcuma) <i>Curcuma</i> spp. (特用作物) キョウオウ(春ウコン) Curcuma, Wild turmeric <i>Curcuma aromatica</i> Salisb. ターメリック(秋ウコン) Turmeric <i>Curcuma longa</i> L. ガジュツ(紫ウコン) <i>Curcuma zedoaria</i> (Christm.) Roscoe 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003	ショウガ科 Zingiberaceae ウコン・キョウオウ類 (Curcuma) <i>Curcuma</i> spp. (特用作物) キョウオウ(春ウコン) Curcuma, Wild turmeric <i>Curcuma aromatica</i> Salisb. ターメリック(秋ウコン) Turmeric <i>Curcuma longa</i> L. ガジュツ(紫ウコン) <i>Curcuma zedoaria</i> (Christm.) Roscoe
---	---

山城真希ら:日植病報 86(3):231, 2020 (注) 新病名	
シヨウガ科 Zingiberaceae ミヨウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 葉鞘腐敗病 yosho-fuhai-byo Sheath rot <i>Ophiosphaerella</i> sp. 沖 友香ら:日植病報 86(3):191, 2020 (注) 新病名	シヨウガ科 Zingiberaceae ミヨウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜)
シヨウガ科 Zingiberaceae シヨウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 芯腐細菌病 singusare-saikin-byo Bacterial shoot rot <i>Dickeya</i> sp. 菱池正志:関西病虫研報 62:145, 2020 (注) 新病名	シヨウガ科 Zingiberaceae シヨウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜)

2021年（令和3年）9月2日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2021年3月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名，病原追加，病名・学名変更，文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 窪田昌春

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

キツネノマゴ科 Acanthaceae リュウキュウアイ(琉球藍) (<i>Strobilanthes</i>) <i>Strobilanthes cusia</i> (Nees) Kuntze (特用作物) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Corynespora cassicola</i> (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei Yamagishi, H. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 87(3):192, 2021 (注) 新病名、新規宿主	キツネノマゴ科 Acanthaceae
カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 首垂細菌病* kubitare-saikin-byo Shoot drooping disease (新梢首垂病) (1) <i>Erwinia</i> sp. 瀧川雄一ら: 日植病報 49(1):128, 1983 (2) <i>Pseudomonas</i> sp. 小川 隆: 日植病報 7(2):125, 1937(昭12) ; 林 弘子ら: 日植病報 48(1):78, 1982 ; 林 弘子: 森林防疫	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 首垂細菌病* kubitare-saikin-byo Shoot drooping disease (新梢首垂病) (1) <i>Erwinia</i> sp. 瀧川雄一ら: 日植病報 49(1):128, 1983 (2) <i>Pseudomonas</i> sp. 小川 隆: 日植病報 7(2):125, 1937(昭12) ; 林 弘子ら: 日植病報 48(1):78, 1982 ; 林 弘子: 森林防疫

32(5):78, 1983 [備考] トウカエデに発生。病原細菌名 <i>Xanthomonas acernea</i> (Ogawa) Burkholder [<i>Pseudomonas acerneum</i> Ogawa, <i>Bacterium acerneum</i> (Ogawa) Isiyama & Muko] は1980年1月1日の国際細菌命名規約の適用により失効した (注) 備考中の学名の命名者名を修正	32(5):78, 1983 [備考] トウカエデに発生。病原細菌名 <i>Xanthomonas acernea</i> (Ogawa) Burkholder [<i>Pseudomonas acerneum</i> Ogawa, <i>Bacterium acerneum</i> (Ogawa) Ishiyama & Muko] は1980年1月1日の国際細菌命名規約の適用により失効した
---	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (1) <i>Cristulariella depraedans</i> (Cooke) Höhnelt 原田幸雄:日植病報 59(1):60, 1993 ; 鳴海智子・原田幸雄:日植病報 65(6):663, 1999 [備考] ハウチワカエデに発生 (2) <i>Cristulariella moricola</i> (I. Hino) Redhead 周藤靖雄:日植病報 42(3):353, 1976 ; 周藤靖雄:植物防疫 30(12):497, 1976 [備考] トネリコバノカエデ (<i>A. negundo</i>)・イタヤカエデ・タタリアンカエデ (<i>A. tataricum</i>)に発生。病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照 (注) 文献年訂正	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot (1) <i>Cristulariella depraedans</i> (Cooke) Höhnelt 原田幸雄:日植病報 59(1):60, 1990 ; 鳴海智子・原田幸雄:日植病報 65(6):663, 1999 [備考] ハウチワカエデに発生 (2) <i>Cristulariella moricola</i> (I. Hino) Redhead 周藤靖雄:日植病報 42(3):353, 1976 ; 周藤靖雄:植物防疫 30(12):497, 1976 [備考] トネリコバノカエデ (<i>A. negundo</i>)・イタヤカエデ・タタリアンカエデ (<i>A. tataricum</i>)に発生。病原菌の異名はエノキ環紋葉枯病参照
---	--

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹)	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹)
--	--

斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Mycocentrospora acerina</i> (R. Hartig) Deighton [<i>Centrospora acerina</i> (R. Hartig) A.G. Newhall, <i>Cercospora acerina</i> R. Hartig] 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明27) ; 南部信方:病虫雑 4(12):921, 1917(大6) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):888, 1978 ; 及川 健ら:北日本病虫研報 38:55, 1987 (注) 文献年訂正	斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Mycocentrospora acerina</i> (R. Hartig) Deighton [<i>Centrospora acerina</i> (R. Hartig) A.G. Newhall, <i>Cercospora acerina</i> R. Hartig] 白井光太郎:植物病理学(下):260, 1894(明27) ; 南部信方:病虫雑 4(12):921, 1917(大6) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):888, 1978 ; 及川 健ら:北日本病虫研報 38:55, 1978
---	--

リュウゼツラン科 Agavaceae リュウゼツラン(マンネンラン) Century plant <i>Agave americana</i> L. (草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 関 節朗・中里筆二:関東病虫研報 27:163, 1980 (注) 文献年訂正	リュウゼツラン科 Agavaceae リュウゼツラン(マンネンラン) Century plant <i>Agave americana</i> L. (草花) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 関 節朗・中里筆二:関東病虫研報 27:163, 1960
---	--

アロエ科 Aloaceae アロエ Aloe <i>Aloe</i> spp. (草花) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Fusarium dimerum</i> Penzig var. <i>dimerum</i> 本橋慶一ら:日植病報 64(4):435, 1998 ; 本橋慶一ら:日植病報 73(4):304, 2007 (注) 文献号数訂正	アロエ科 Aloaceae アロエ Aloe <i>Aloe</i> spp. (草花) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Fusarium dimerum</i> Penzig var. <i>dimerum</i> 本橋慶一ら:日植病報 64(4):435, 1998 ; 本橋慶一ら:日植病報 74(4):304, 2007
---	---

ヒユ科 Amaranthaceae ケイトウ(鶏頭, 鶏冠) Feather cockscomb <i>Celosia cristata</i> L. (草花) ピシウム立枯病 <i>Pythium-tachigare-byo</i> Pythium blight <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 折原紀子ら:日植病報 85(1):55, 2019 ; 折原紀子 ら:関東病虫研報 67:19, 2020 [備考] フサケイトウ (<i>C. cristata</i> var. <i>plumosa</i>) (注) 文献追加	ヒユ科 Amaranthaceae ケイトウ(鶏頭, 鶏冠) Feather cockscomb <i>Celosia cristata</i> L. (草花) ピシウム立枯病 <i>Pythium-tachigare-byo</i> Pythium blight <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 折原紀子ら:日植病報 85(1):55, 2019 [備考] フサケイトウ (<i>C. cristata</i> var. <i>plumosa</i>)
---	---

ウルシ科 Anacardiaceae ウルシ(漆) Varnish tree, Lacquer tree <i>Rhus verniciflua</i> Stokes (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichum rhoinum</i> sensu Fukui non Tassi, <i>Myxosporium rhois</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo] 福井武治:病虫雑 5(8):630, 1918(大7) ; 伊藤一 雄・小林享夫:日林誌 41(10):407, 1959 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (2) <i>Colletotrichum rhoinum</i> Tassi 伊藤一雄・小林享夫:日林誌 41(10):408, 1959 (注) 文献和暦訂正	ウルシ科 Anacardiaceae ウルシ(漆) Varnish tree, Lacquer tree <i>Rhus verniciflua</i> Stokes (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichum rhoinum</i> sensu Fukui non Tassi, <i>Myxosporium rhois</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo] 福井武治:病虫雑 5(8):630, 1918(大8) ; 伊藤一 雄・小林享夫:日林誌 41(10):407, 1959 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (2) <i>Colletotrichum rhoinum</i> Tassi 伊藤一雄・小林享夫:日林誌 41(10):408, 1959
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic Ashitaba mosaic virus# (AshMV) アシタバモザイクウイルス Sakamoto, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(2):87, 2021 (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜)
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 栄森弘己ら:関東病虫研報 42:141, 1995 (注) 文献著者修正	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 栄森弘己:関東病虫研報 42:141, 1995
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae コリアンダー(コエンドロ, 香菜, シャンサイ) Coriander <i>Coriandrum sativum</i> L. (野菜) 褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Alternaria dauci</i> (J.G. Kühn) J.W. Groves & Skolko 岡本 潤・田中啓二郎:九病虫研究会報 66:75,	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae コリアンダー(コエンドロ, 香菜, シャンサイ) Coriander <i>Coriandrum sativum</i> L. (野菜)
--	---

2020 ; 浅野千春ら:北日本病虫研報 71:200, 2020 (注) 新病名	
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 黄化病 oka-byo Yellows (1) <i>Carrot mottle mimic virus</i> (CMoMV) ニンジン斑紋ミミックウイルス 山城 都ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015 (2) <i>Carrot mottle virus</i> (CMoV) ニンジン斑紋ウイルス 吉田直人ら:日植病報 81(3):279, 2015 (3) <i>Carrot red leaf virus</i> (CtRLV) ニンジン黄化ウイルス 小室康雄・山下 功:日植病報 20(4):155, 1956 ; 岩木満朗・小室康雄:日植病報 33(5):317, 1967 ; 大木 理ら:日植病報 45(1):74, 1979 ; 山城 都ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; Yoshida, N.:Plant Pathol. 69(7):1379, 2020 [備考] 王 蔚芹ら(2015)は, Carrot motley dwarf (CMD) diseaseに類似した黄化および赤化を示すニンジン葉においてCtRLVとCMoMVの混合感染を確認している (注) 文献追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 黄化病 oka-byo Yellows (1) <i>Carrot mottle mimic virus</i> (CMoMV) ニンジン斑紋ミミックウイルス 山城 都ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015 (2) <i>Carrot mottle virus</i> (CMoV) ニンジン斑紋ウイルス 吉田直人ら:日植病報 81(3):279, 2015 (3) <i>Carrot red leaf virus</i> (CtRLV) ニンジン黄化ウイルス 小室康雄・山下 功:日植病報 20(4):155, 1956 ; 岩木満朗・小室康雄:日植病報 33(5):317, 1967 ; 大木 理ら:日植病報 45(1):74, 1979 ; 山城 都ら:日植病報 81(3):279, 2015 ; 王 蔚芹ら:日植病報 81(3):279, 2015
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot
---	---

<i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 斑紋萎縮病 hammon-ishuku-byo Motley dwarf (1) <i>Carrot red leaf virus</i> (CtRLV) ニンジン黄化ウイルス (2) <i>Carrot mottle virus</i> (CMoV) ニンジン斑紋ウイルス (3) Carrot red leaf virus-associated RNA (CtRLVaRNA) ニンジン黄化ウイルス随伴RNA 吉田直人ら:日植病報 86(3):213, 2020 ; Yoshida, N.:Plant Pathol. 69(7):1379, 2020 [備考] (1)~(3)の三重感染時の特異な症状。 CMoVおよびCtRLVaRNAは, CtRLVとの共存下でニンジンフタオアブラムシによって媒介される (注) 新病名	<i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜)
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人參, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 黒すす病 kurosusu-byo (1) <i>Thielaviopsis basicola</i> (Berkeley & Broome) Ferraris [<i>Chalara elegans</i> Nag Raj & W.B. Kendrick] 大上大輔:日植病報 61(6):650, 1995 ; 堀田治邦・大上大輔:北農 82(4):385, 2015 (2) <i>Thielaviopsis thielavioides</i> (Peyronel) A.E. Paulin, T.C. Harrington & McNew [<i>Chalara thielavioides</i> (Peyronel) Nag Raj & W.B. Kendrick, <i>Chalaropsis thielavioides</i> Peyronel] 堀田治邦ら:日植病報 55(1):111, 1989 ; 堀田治邦・大上大輔:北農 82(4):385, 2015 (注) 病原学名訂正	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人參, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 黒すす病 kurosusu-byo (1) <i>Thielaviopsis basicola</i> (Berkeley & Broome) Ferraris [<i>Chalara elegans</i> Nag Raj & W.B. Kendrick] 大上大輔:日植病報 61(6):650, 1995 ; 堀田治邦・大上大輔:北農 82(4):385, 2015 (2) <i>Thielaviopsis thielavioides</i> (Peyronel) A.E. Paulin, T.C. Harrington & McNew [<i>Chalara thielavioides</i> (Peyronel) Nag Raj & W.B. Kendrick, <i>Chalaropsis thielavioides</i> Peyronel] 堀田治邦ら:日植病報 55(1):111, 1989 ; 堀田治邦・大上大輔:北農 82(4):385, 2015
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) しみ腐病 shimigusare-byo Brown blotted root rot <i>Pythium sulcatum</i> R.G. Pratt & J.E. Mitchell 長井雄治ら:日植病報 50(3):393, 1984 ; 渡辺恒雄ら:日植病報 52(2):287, 1986 [備考] Suffert, F. & J.-M. Lucas (J. Gen. Plant Pathol. 74(4):296, 2008) はフランスで<i>Pythium violae</i> Chesters & Hickmanによるしみ腐病を紹介した (注) 備考訂正	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) しみ腐病 shimigusare-byo Brown blotted root rot <i>Pythium sulcatum</i> R.G. Pratt & J.E. Mitchell 長井雄治ら:日植病報 50(3):393, 1984 ; 渡辺恒雄ら:日植病報 52(2):287, 1986 [備考] Suffert, F. and J.-M. Kycas (J. Gen. Plant Pathol. 74(4):296, 2008) はフランスで<i>Pythium violae</i> Chesters & Hickmanによるしみ腐病を紹介した
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 葉腐病 hagusare-byo Leaf blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森 万菜実ら:日植病報 84(3):206, 2018 ; Mori, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):42, 2021 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB (注) 文献追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) 葉腐病 hagusare-byo Leaf blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森 万菜実ら:日植病報 84(3):206, 2018 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang.	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang.
--	--

(野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 指根病, 根線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ ナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radicicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュ ウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9); 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] サツマイモネコブセンチュウ 近藤鶴彦:植物防疫 6(9-10):352, 1952; 一戸 稔:応 動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。 <i>M. mali</i> として報告され たが, 本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radicicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネ コブセンチュウの1種 堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭3); 鐺木外岐 雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照	(野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 指根病, 根線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ ナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radicicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュ ウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9); 一戸 稔:応 動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] サツマイモネコブセンチュウ 近藤鶴彦:植物防疫 6(910):352, 1952; 一戸 稔:応 動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。 <i>M. mali</i> として報告され たが, 本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radicicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネ コブセンチュウの1種 堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭3); 鐺木外岐 雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照
---	--

(注) (2)の文献巻号頁、(3)の文献号数訂正	
--------------------------	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> Nym. (野菜) アルターナリア病 <i>Alternaria</i>-byo <i>Alternaria</i> disease <i>Alternaria petroselini</i> (Neergaard) E.G. Simmons Nishikawa, J. & Nakashima, C.:J. Phytopathol. 161(9):604, 2013 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 87(3):196, 2021 [備考] Nishikawa & Nakashima (2013)は葉身部の 褐変斑点症状を報告。Misawa & Kurose (2021) は 葉柄基部の腐敗症状を報告 (注) 新病名。備考変更。	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> Nym. (野菜) †††† <i>Alternaria petroselini</i> (Neergaard) E.G. Simmons Nishikawa, J. & Nakashima, C.:J. Phytopathol. 161(9):604, 2013 [備考] 病名未提案。接種試験により葉柄基部の 腐敗褐変および葉身部の褐変斑点症状を呈す
---	---

モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵝木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>Ilex mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 [備考] モチノキ・ソヨゴ・クロガネモチに発生	モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵝木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>Ilex mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):225, 2009 [備考] モチノキ・ソヨゴ・クロガネモチに発生
---	---

(2) <i>Cephaeleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大12) ; 西田藤次: 柑橘病害と予防法:173, 1914(大3) ; Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):213, 2009 [備考] モチノキ・ソヨゴ・クロガネモチに発生 (注) 文献和暦訂正	(2) <i>Cephaeleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11) ; 西田藤次: 柑橘病害と予防法:173, 1914(大3) ; Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):213, 2009 [備考] モチノキ・ソヨゴ・クロガネモチに発生
--	--

モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵝木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>Ilex mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb. †††† <i>Phyllosticta haynaldi</i> Roumeguère & Saccardo 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3 版):269, 1927(昭2) [備考] タラヨウ (注) 文献和暦訂正	モチノキ科 Aquifoliaceae ナナミノキ (Ilex) <i>Ilex chinensis</i> Sims (広葉樹) モチノキ(鵝木) <i>Ilex integra</i> Thunb. タラヨウ <i>Ilex latifolia</i> Thunb. シマモチ <i>Ilex mertensii</i> Maxim. ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i> Miq. クロガネモチ <i>Ilex rotunda</i> Thunb. †††† <i>Phyllosticta haynaldi</i> Roumeguère & Saccardo 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3 版):269, 1927(昭3) [備考] タラヨウ
---	---

ウコギ科 Araliaceae ウド(土当帰) Udo <i>Aralia cordata</i> Thunb. (野菜) †††† ウイルス (未同定) 澤登芳秋ら:関東病虫研報 67:90, 2020	ウコギ科 Araliaceae ウド(土当帰) Udo <i>Aralia cordata</i> Thunb. (野菜)
--	--

[備考] ウドのモザイク症状から検出されたトングスウイルス科に属するウイルス。戻し接種なし (注) 新宿主	
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:365, 1904(明37) ; 本間ヤス:北大農紀 38:305, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):174, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 (注) 文献著者修正	キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 山田玄太郎・大森順造:植物病理学:365, 1904(明37) ; 本間ヤス:北大農紀 38:305, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):174, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 指根病, 趾跟病, 根線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964	キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 指根病, 趾跟病, 根線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964
--	--

[備考] 接種試験の結果 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964 [備考] 接種試験の結果 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。 <i>M. mali</i> として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭3) ; 鐔木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) (2)の文献巻号頁訂正	[備考] 接種試験の結果 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 後藤重喜ら:宮崎農試研報 3:37, 1964 [備考] 接種試験の結果 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。 <i>M. mali</i> として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 堀 正太郎:農及園 3(3):292, 1928(昭3) ; 鐔木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae マーガレット(モクシュンギク) Marguerite <i>Argyranthemum frutescens</i> (L.) Schultz-Bip. (草花)	キク科 Asteraceae, Compositae マーガレット(モクシュンギク) Marguerite <i>Argyranthemum frutescens</i> (L.) Schultz-Bip. (草花)
---	---

さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia cnici-oleracei</i> Persoon ex Desmazières 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):320, 1950 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:871, 1992 ; 外側正之:関東病虫研報 42:127, 1995 [備考] 接種試験未了 (注) 文献巻号挿入	さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia cnici-oleracei</i> Persoon ex Desmazières 伊藤誠哉:日本菌類誌:320, 1950 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:871, 1992 ; 外側正之:関東病虫研報 42:127, 1995 [備考] 接種試験未了
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae アスター(エゾギク, 翠菊) China aster <i>Callistephus chinensis</i> (L.) Nees (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Pythium polymastum</i> Drechsler 楠 幹生・景山幸二:日植病報 87(1):28, 2021 (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae アスター(エゾギク, 翠菊) China aster <i>Callistephus chinensis</i> (L.) Nees (草花)
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, Calendula <i>Calendula officinalis</i> L. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi] 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki,	キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, Calendula <i>Calendula officinalis</i> L. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi] 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki,
--	---

J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki (2013)は本病原を狭義<i>C. carthami</i>とした (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i>を<i>C. gloeosporioides</i> の異名とする説(Arx, 1957)を紹介したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C. carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し, さらにSato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および<i>C. chrysanthemi</i>と再同定した (注) 文献号数挿入(2か所)	J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki (2013)は本病原を狭義<i>C. carthami</i>とした (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i>を<i>C. gloeosporioides</i> の異名とする説(Arx, 1957)を紹介したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C. carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し, さらにSato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および<i>C. chrysanthemi</i>と再同定した
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui]	キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui]
---	---

福井武治:農学会報:166, 1916(大5) ; 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大8) ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166, 1916(大5) ; 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大8) ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i> を<i>C. gloeosporioides</i> の異名とする説 (Arx, 1957)を紹介したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C. carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し, さらにUematsu <i>et al.</i> (2012)は分子系統解析によりこれらを<i>C. carthami</i> としたが, Sato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および<i>C. chrysanthemi</i>と再同定した (注) 文献号数挿入(2か所)	福井武治:農学会報:166, 1916(大5) ; 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大8) ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166, 1916(大5) ; 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大8) ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004 ; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78:316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i> を<i>C. gloeosporioides</i> の異名とする説 (Arx, 1957)を紹介したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C. carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し, さらにUematsu <i>et al.</i> (2012)は分子系統解析によりこれらを<i>C. carthami</i> としたが, Sato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および<i>C. chrysanthemi</i>と再同定した
キク科 Asteraceae, Compositae アザミ類	キク科 Asteraceae, Compositae アザミ類

(Cirsium) <i>Cirsium</i> spp. (野草) エゾヤマアザミ <i>Cirsium albrechtii</i> (Maxim.) Kudô マルバヒレアザミ <i>Cirsium grayanum</i> (Maxim.) Nakai ミネアザミ <i>Cirsium inundatum</i> Makino var. <i>alpicola</i> (Nakai) Ohwi ノアザミ(ドイツアザミ) <i>Cirsium japonicum</i> DC. カガノアザミ <i>Cirsium kagamontanum</i> Nakai チシマアザミ(エゾアザミ) <i>Cirsium</i> <i>kamtschaticum</i> Ledeb. ex DC. ナンブアザミ <i>Cirsium makinoi</i> Kadota トネアザミ(タイアザミ) <i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam. ex Ohwi ノハラアザミ <i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. & Sav.) Matsum. タカアザミ <i>Cirsium pendulum</i> Fisch. ex DC. ヤチアザミ <i>Cirsium shinanense</i> Shimizu ホソエノアザミ <i>Cirsium tenuipedunculatum</i> Kadota サワアザミ <i>Cirsium yezoense</i> (Maxim.) Makino うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe mayorii</i> var. <i>japonica</i> U. Braun & Y. Nomura Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了。トネアザミ, ヤチアザミ に発生 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte] 丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000 ; 高 松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012	(Cirsium) <i>Cirsium</i> spp. (野草) エゾヤマアザミ <i>Cirsium albrechtii</i> (Maxim.) Kudô マルバヒレアザミ <i>Cirsium grayanum</i> (Maxim.) Nakai ミネアザミ <i>Cirsium inundatum</i> Makino var. <i>alpicola</i> (Nakai) Ohwi ノアザミ(ドイツアザミ) <i>Cirsium japonicum</i> DC. カガノアザミ <i>Cirsium kagamontanum</i> Nakai チシマアザミ(エゾアザミ) <i>Cirsium</i> <i>kamtschaticum</i> Ledeb. ex DC. ナンブアザミ <i>Cirsium makinoi</i> Kadota トネアザミ(タイアザミ) <i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam. ex Ohwi ノハラアザミ <i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. & Sav.) Matsum. タカアザミ <i>Cirsium pendulum</i> Fisch. ex DC. ヤチアザミ <i>Cirsium shinanense</i> Shimizu ホソエノアザミ <i>Cirsium tenuipedunculatum</i> Kadota サワアザミ <i>Cirsium yezoense</i> (Maxim.) Makino うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe mayorii</i> var. <i>japonica</i> U. Braun & Y. Nomura Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了。トネアザミ, ヤチアザミ に発生 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte] 丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000 ; 高 松 進:三重大生資紀要 38:22, 2012
--	--

[備考] エゾヤマアザミ, カガノアザミ, チシマアザミ(エゾアザミ), ナンブアザミ, タイアザミ, ノハラアザミ, タカアザミ, ホソエノアザミ, サワアザミ, マルバヒレアザミに発生 (注) 文献著者修正	[備考] エゾヤマアザミ, カガノアザミ, チシマアザミ(エゾアザミ), ナンブアザミ, タイアザミ, ノハラアザミ, タカアザミ, ホソエノアザミ, サワアザミ, マルバヒレアザミに発生
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. 茎枯病 kukigare-byo Stem blight <i>Phomopsis arctii</i> (Lasch) Traverso 小林享夫・高橋幸吉:日植病報 66(2):91, 2000 (注) 文献年・文献号数訂正	キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. 茎枯病 kukigare-byo Stem blight <i>Phomopsis arctii</i> (Lasch) Traverso 小林享夫・高橋幸吉:日植病報 66(1):91, 2002
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Alternaria tenuissima</i> (Kunze) Wiltshire 高野喜八郎:日植病報 72(1):73, 2006	キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Alternaria tenuissima</i> (Kunze) Wiltshire 高野喜八郎:日植病報 71(1):73, 2006
--	--

[備考] コスモス・キバナコスモスに発生 (注) 文献号数訂正	[備考] コスモス・キバナコスモスに発生
---	-----------------------------

キク科 Asteraceae, Compositae ジョチュウギク(ムシヨケギク, 除虫菊) Pyrethrum <i>Chrysanthemum cinerariaefolium</i> (Trev.) Bocc. (特用作物) 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9); 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (注) 文献巻号頁訂正	キク科 Asteraceae, Compositae ジョチュウギク(ムシヨケギク, 除虫菊) Pyrethrum <i>Chrysanthemum cinerariaefolium</i> (Trev.) Bocc. (特用作物) 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9); 一戸 稔:北 農 23(5):178, 1956 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) ピシウム立枯病 <i>Pythium-tachigare-byo</i> Pythium blight, Pythium root and stem rot (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 築尾嘉章ら:日植病報 74(3):177, 2008 (2) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler (3) <i>Pythium helicoides</i> Drechsler (4) <i>Pythium oedochilum</i> Drechsler (5) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F.	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) ピシウム立枯病 <i>Pythium-tachigare-byo</i> Pythium blight, Pythium root and stem rot (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 築尾嘉章ら:日植病報 74(3):177, 2008 (2) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler (3) <i>Pythium helicoides</i> Drechsler (4) <i>Pythium oedochilum</i> Drechsler (5) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F.
---	---

Hendrix (6) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 月星隆雄ら:日植病報 71(1):32, 2005 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 73(4):293, 2007 (注) 文献年訂正	Hendrix (6) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 月星隆雄ら:日植病報 71(1):32, 2004 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 73(4):293, 2007
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ツワブキ・メタカラコウ類 Leopard plant <i>Farfugium</i> spp., <i>Ligularia</i> spp. (草花) ツワブキ <i>Farfugium japonicum</i> (L.) Kitam. [<i>Ligularia tussilaginea</i> (Burm.f.) Makino] 黒斑病 kokuhan-byo Black leaf spot <i>Phoma</i> sp. Furukawa, T. & Kishi, K.:J. Gen. Plant Pathol. 70(5):292, 2004 [備考] ツワブキに発生 (注) 文献号数挿入	キク科 Asteraceae, Compositae ツワブキ・メタカラコウ類 Leopard plant <i>Farfugium</i> spp., <i>Ligularia</i> spp. (草花) ツワブキ <i>Farfugium japonicum</i> (L.) Kitam. [<i>Ligularia tussilaginea</i> (Burm.f.) Makino] 黒斑病 kokuhan-byo Black leaf spot <i>Phoma</i> sp. Furukawa, T. & Kishi, K.:J. Gen. Plant Pathol. 70:292, 2004 [備考] ツワブキに発生
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae スイゼンジナ(キンジソウ) Gynura <i>Gynura bicolor</i> (Roxb. ex Willd.) DC. (野菜) すす斑病 susuhan-byo Sooty blotch <i>Zasmidium</i> sp. 會澤雅夫ら:日植病報 87(1):28, 2021 (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae スイゼンジナ(キンジソウ) Gynura <i>Gynura bicolor</i> (Roxb. ex Willd.) DC. (野菜)
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae	キク科 Asteraceae, Compositae
----------------------------	----------------------------

キクイモ(菊芋) Jerusalem artichoke, Girasole <i>Helianthus tuberosus</i> L. (牧草・芝草) 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot <i>Cercospora helianthicola</i> Chupp & Viégas [<i>Cercospora helianthicola</i> Hara, <i>Cercosporina helianthi</i> Fukui] 福井武治:三重大学芸研究紀要 6:117, 1951 ; 原 攝祐:日本菌類目録:51, 1954 ; 山本和太郎・前田 巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):59, 1960 (注) 文献著者、文献年訂正、文献名修正	キクイモ(菊芋) Jerusalem artichoke, Girasole <i>Helianthus tuberosus</i> L. (牧草・芝草) 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot <i>Cercospora helianthicola</i> Chupp & Viégas [<i>Cercospora helianthicola</i> Hara, <i>Cercosporina helianthi</i> Fukui] 福井武治:三重大学芸研究紀要 6:117, 1951 ; 原 攝祐:日本菌類目録:51, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農 大研報 4(2):59, 1961
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) コルキールート病 Corky root-byo Corky root <i>Rhizorhapis suberifaciens</i> (van Bruggen, Jochimsen & Brown 1990) Francis, Jochimsen, De Vos & van Bruggen 2014 石山佳幸ら:日植病報 86(3):232, 2020 (注) 病原学名の&の前のカンマを削除(2か所)	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) コルキールート病 Corky root-byo Corky root <i>Rhizorhapis suberifaciens</i> (van Bruggen, Jochimsen, & Brown 1990) Francis, Jochimsen, De Vos, & van Bruggen 2014 石山佳幸ら:日植病報 86(3):232, 2020
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae シネラリア(サイネリア, フウキギク) Cineraria <i>Pericallis</i> × <i>hybrida</i> B. Nord. (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Pythium polymastum</i> Drechsler 楠 幹生・景山幸二:日植病報 87(1):28, 2021 (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae シネラリア(サイネリア, フウキギク) Cineraria <i>Pericallis</i> × <i>hybrida</i> B. Nord. (草花)
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae アキノキリンソウ類 (Solidago) <i>Solidago</i> spp. (野草) アキノキリンソウ <i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> Kitam. セイタカアワダチソウ Tall goldenrod <i>Solidago altissima</i> L. ソリダゴ <i>Solidago</i> spp. 及び種間雑種 白粉病 hakufun-byo Frosty mildew <i>Cercospora virgaureae</i> (Thümen) Allesher 澤田兼吉:林試研報 105:93, 1958 ; 小川久美子ら: 日植病報 69(3):261, 2003 [備考] 多角斑病を白粉病に改名する。ムカシヨ モギ類白粉病の備考欄を参照。<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> Kitam. ex Hara に発生 (注) 澤田氏の文献2件は同じ文献であるので1件 削除。片方が号数間違いで論文中の記載ページ, もう片方が発行年間違いで論文開始ページで採 録されていた	キク科 Asteraceae, Compositae アキノキリンソウ類 (Solidago) <i>Solidago</i> spp. (野草) アキノキリンソウ <i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> Kitam. セイタカアワダチソウ Tall goldenrod <i>Solidago altissima</i> L. ソリダゴ <i>Canada goldenrod</i> × <i>Solidago</i> <i>canadensis</i> L. 及び種間雑種 白粉病 hakufun-byo Frosty mildew <i>Cercospora virgaureae</i> (Thümen) Allesher 澤田兼吉:林試研報 102:93, 1958 ; 澤田兼吉:林試 研報 105:35, 1961 ; 小川久美子ら:日植病報 69(3):261, 2003 [備考] 多角斑病を白粉病に改名する。ムカシヨ モギ類白粉病の備考欄を参照。<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> Kitou に発生
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae マリーゴールド Marigold (草花) アフリカン・マリーゴールド African marigold <i>Tagetes erecta</i> L. フレンチ・マリーゴールド French marigold <i>Tagetes patula</i> L. 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Alternaria tagetica</i> S.K. Shome & Mustafee 富岡啓介ら:日植病報 65(3):406, 1999 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 66(4):294, 2000 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005 (注) 文献年訂正	キク科 Asteraceae, Compositae マリーゴールド Marigold (草花) アフリカン・マリーゴールド African marigold <i>Tagetes erecta</i> L. フレンチ・マリーゴールド French marigold <i>Tagetes patula</i> L. 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Alternaria tagetica</i> S.K. Shome & Mustafee 富岡啓介ら:日植病報 65(3):406, 2000 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 66(4):294, 2000 ; 富岡啓介:近中四農研センター研報 5:91, 2005
---	--

ツリフネソウ科 Balsaminaceae インパチエンス(アフリカハウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカハウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium balsaminae</i> Rajderkar 丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997 [備考] ニューギニア・インパチエンス (<i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i>) に発生 (注) 文献号数訂正	ツリフネソウ科 Balsaminaceae インパチエンス(アフリカハウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカハウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium balsaminae</i> Rajderkar 丹田誠之助:東農大農学集報 43(3):173, 1997 [備考] ニューギニア・インパチエンス (<i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i>) に発生
--	--

ツリフネソウ科 Balsaminaceae	ツリフネソウ科 Balsaminaceae
-----------------------	-----------------------

インパチエンス(アフリカホウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカホウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort. 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 佐藤 衛ら:関東病虫研報 40:151, 1993 (注) 文献名訂正	インパチエンス(アフリカホウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカホウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort. 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 佐藤 衛ら:関西病虫研報 40:151, 1993
--	---

メギ科 Berberidaceae ナンテン(南天竹) <i>Nandina</i> <i>Nandina domestica</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Citrus leaf blotch virus</i> (CLBV) カンキツ斑点ウ イルス Kamitani, M. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 87(2):113, 2021 (注) 新宿主	メギ科 Berberidaceae ナンテン(南天竹) <i>Nandina</i> <i>Nandina domestica</i> Thunb. (広葉樹)
--	--

カバノキ科 Betulaceae カンバ類(樺) Birch <i>Betula</i> spp. (広葉樹) ダケカンバ(岳樺) Erman's birch <i>Betula</i> <i>ermanii</i> Cham. ヨグソミネバリ(ミズメ)(水芽) <i>Betula grossa</i>	カバノキ科 Betulaceae カンバ類(樺) Birch <i>Betula</i> spp. (広葉樹) ダケカンバ(岳樺) Erman's birch <i>Betula</i> <i>ermanii</i> Cham. ヨグソミネバリ(ミズメ)(水芽) <i>Betula grossa</i>
---	---

Sieb. & Zucc. ウダイカンバ <i>Betula maximowicziana</i> Regel シラカンバ(白樺) <i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.) Hara 胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker (フオ モプシス胴枯病) (1) <i>Diaporthe alleghaniensis</i> R.H. Arnold 小林享夫:植物防疫 27(1):30, 1973 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:92, 1970 [備考] オウシュウシラカンバ (<i>B. pendula</i>) (2) <i>Diaporthe eres</i> Nitschke Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:67, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:30, 1975 [備考] ウダイカンバ・シラカンバ・ダケカン バ・レンタカンバ(<i>B. lenta</i>)・ヨーロッパダケカン バ(<i>B. pubescens</i>) (3) <i>Diaporthe melanocarpa</i> Dearness Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:93, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:34, 1975 [備考] シラカンバ (注) (1)文献ページ追加、(2)備考変更、(3)文献ペ ージ修正	Sieb. & Zucc. ウダイカンバ <i>Betula maximowicziana</i> Regel シラカンバ(白樺) <i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.) Hara 胴枯病 dogare-byo Phomopsis canker (フオ モプシス胴枯病) (1) <i>Diaporthe alleghaniensis</i> R.H. Arnold 小林享夫:植物防疫 27(1):30, 1973 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226, 1970 [備考] オウシュウシラカンバ (<i>B. pendula</i>) (2) <i>Diaporthe eres</i> Nitschke Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:67, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:30, 1975 [備考] ウダイカンバ・シラカンバ (3) <i>Diaporthe melanocarpa</i> Dearness Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:67, 1970 ; 小林享夫:山林 1093:34, 1975 [備考] シラカンバ
---	---

ムラサキ科 Boraginaceae チシャノキ (Ehretia) <i>Ehretia ovalifolia</i> Hassk. (広葉樹) すすかび斑点病 susukabi-hanten-byo (斑点 病) <i>Cercospora ehretiae</i> Togashi & Katsuki Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):20, 1952	ムラサキ科 Boraginaceae チシャノキ (Ehretia) <i>Ehretia ovalifolia</i> Hassk. (広葉樹) すすかび斑点病 susukabi-hanten-byo (斑点 病) <i>Cercospora ehretiae</i> Togashi & Katsuki Togashi, K. & Katsuki, S.:Bot. Mag. Tokyo 65(763/764):20, 1945
--	--

(注) 文献年訂正	
-----------	--

ムラサキ科 Boraginaceae キュウリグサ (Trigonotis) <i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) Benth. ex Hemsl. (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Euoidium</i> sp. Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56(3):243, 2015 [備考] 接種試験未了 (注) 文献著者訂正	ムラサキ科 Boraginaceae キュウリグサ (Trigonotis) <i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) Benth. ex Hemsl. (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Euoidium</i> sp. Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:243, 2015 [備考] 接種試験未了
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カラシナ(芥菜) Leaf mustard <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. Cernua Group (野菜) タカナ Brown mustard <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. Integlifolia Group べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries 佐藤 衛ら:関東病虫研報 51:21, 2004 ; 佐藤 衛ら: 日植病報 70(3):214, 2004 [備考] レッドアジアンマスタード (<i>Brassica juncea</i>) に発生 (注) 文献名訂正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カラシナ(芥菜) Leaf mustard <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. Cernua Group (野菜) タカナ Brown mustard <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. Integlifolia Group べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries 佐藤 衛ら:北日本病虫研報 51:21, 2004 ; 佐藤 衛 ら:日植病報 70(3):214, 2004 [備考] レッドアジアンマスタード (<i>Brassica juncea</i>) に発生
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍)
--	--

Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 黒腐病 kurogusare-byo Black rot (黒色腐敗病, 腐敗病) <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939 [<i>Pseudomonas campestris</i> (Pammel) Smith] 半沢 洵:北海道農会報 1(9):1, 1901(明34) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:193, 1904(明37) (注) 文献著者修正	Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 黒腐病 kurogusare-byo Black rot (黒色腐敗病, 腐敗病) <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939 [<i>Pseudomonas campestris</i> (Pammel) Smith] 半沢 洵:北海道農会報 1(9):1, 1901(明34) ; 山田玄太郎・大森順造:植物病理学:193, 1904(明37)
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) ††子苗立枯病 konae-tachigare-byo Damping-off (立枯病, 苗立枯病) <i>Olpidium brassicae</i> (Woronin) P.A. Dangeard 白井光太郎:植物病理学(下):56, 1894(明27) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:200, 1904(明37) [備考] 国内発生未詳 (注) 文献著者修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) ††子苗立枯病 konae-tachigare-byo Damping-off (立枯病, 苗立枯病) <i>Olpidium brassicae</i> (Woronin) P.A. Dangeard 白井光太郎:植物病理学(下):56, 1894(明27) ; 山田玄太郎・大森順造:植物病理学:200, 1904(明37) [備考] 国内発生未詳
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜)
--	--

花蕾腐敗病 karai-fuhai-byo Head rot (1) <i>Pseudomonas brassicae</i> Sawada, Fujikawa & Horita 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(10):005319, 2020 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 坂本恵子ら:日植病報 64(4):374, 1998 ; 堀田治邦:第21回植物細菌病談話会講演要旨集:15, 2001 (3) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (4) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas, Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 (5) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 海野志帆ら:日植病報 84(3):204, 2018 (6) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (7) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (注) (3)病原学名異名抜け訂正。(4)病原学名修正	花蕾腐敗病 karai-fuhai-byo Head rot (1) <i>Pseudomonas brassicae</i> Sawada, Fujikawa & Horita 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(10):5319, 2020 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 坂本恵子ら:日植病報 64(4):374, 1998 ; 堀田治邦:第21回植物細菌病談話会講演要旨集:15, 2001 (3) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (4) <i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> (Cintas,) Koike & Bull 2002) Bull, Manceau, Lydon, Kong,, Vinatzer & Fischer-Le Saux 2010 石山佳幸ら:関東病虫研報 63:131, 2016 (5) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 海野志帆ら:日植病報 84(3):204, 2018 (6) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000 (7) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 堀田治邦ら:日植病報 66(3):306, 2000
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) ピシウム腐敗病 <i>Pythium-fuhai-byo</i> Pythium	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) ピシウム腐敗病 <i>Pythium-fuhai-byo</i> Pythium
---	---

rot (1) <i>Phytophthium helicoides</i> (Drechsler) Abad, de Cock, Bala, Robideau, A.M. Lodhi & Lévesque 楠 幹生:四国植防 52:38, 2018 (2) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生:四国植防 52:38, 2018 (3) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 窪田昌春ら:日植病報 60(6):776, 1994 (注) 病原学名訂正	rot (1) <i>Phytophthium helicoides</i> Drechsler 楠 幹生:四国植防 52:38, 2018 (2) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生:四国植防 52:38, 2018 (3) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 窪田昌春ら:日植病報 60(6):776, 1994
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) リゾクトニア病 <i>Rhizoctonia</i>-byo <i>Rhizoctonia</i> blight (尻腐病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 栄森弘己・竹内 純:関東病虫研報 51:61, 2004 ; 瓦谷光男ら:日植病報 73(1):21, 2007 ; 三澤知央・泉 咲子:日植病報 78(1):61, 2012 ; 三澤知央・泉 咲子:北日本病虫研報 63:87, 2012 [備考] 菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II (栄森ら, 2004), およびAG-1 IC (瓦谷ら, 2007)。三澤・泉 (2012) は尻腐病からリゾクトニア病に病名変更 (注) 文献著者訂正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) リゾクトニア病 <i>Rhizoctonia</i>-byo <i>Rhizoctonia</i> blight (尻腐病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 栄森弘己・竹内 純:関東病虫研報 51:61, 2004 ; 瓦谷光男ら:日植病報 73(1):21, 2007 ; 三澤知央・泉 咲子:日植病報 78(1):61, 2012 ; 三澤知央:北日本病虫研報 63:87, 2012 [備考] 菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II (栄森ら, 2004), およびAG-1 IC (瓦谷ら, 2007)。三澤・泉 (2012) は尻腐病からリゾクトニア病に病名変更
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica) <i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica) <i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard
---	---

<i>Brassica rapa</i> L. ハクラン <i>Brassica</i> × <i>napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) <i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries [<i>Peronospora brassicae</i> Gäumann] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:223, 1904(明37) ; Hiura, M. & Kanae, H.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):125, 1934(昭9) (注) 文献著者修正	<i>Brassica rapa</i> L. ハクラン <i>Brassica</i> × <i>napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group べと病 beto-byo Downy mildew (露菌病) <i>Peronospora parasitica</i> (Persoon) Fries [<i>Peronospora brassicae</i> Gäumann] 山田玄太郎・大森順造:植物病理学:223, 1904(明37) ; Hiura, M. & Kanae, H.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):125, 1934(昭9)
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae クレソン(オランダガラシ, ミズガラシ, ウォータークレス) Watercress <i>Nasturtium officinale</i> R. Br. (野菜) 斑点病 hanten-byo <i>Cercospora nasturtii</i> Passerini 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):65, 1960 ; 香月繁孝:日植病報 20(2-3):72, 1955 ; 香月繁孝:日菌報別冊 1:26, 1965 (注) 文献巻数、文献ページ訂正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae クレソン(オランダガラシ, ミズガラシ, ウォータークレス) Watercress <i>Nasturtium officinale</i> R. Br. (野菜) 斑点病 hanten-byo <i>Cercospora nasturtii</i> Passerini 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):65, 1960 ; 香月繁孝:日植病報 20(2-3):72, 1955 ; 香月繁孝:日菌報別冊:126, 1965
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)]	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)]
---	---

(野菜) 萎黄病 io-byo Yellows (褐色心腐病) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>raphani</i> J.B. Kendrick & W.C. Snyder 片山貞吾・片野恒雄:日植病報 20(2-3):113, 1955 ; 片野恒雄:日植病報 23(1):20, 1958 ; 中野昭信・片野恒雄:和歌山農試研報 2:1, 1967 [備考] 片野 (1958) は病原菌に <i>Fusarium oxysporum</i> f.sp. <i>conglutinans</i> をあてた (注) 文献誌名・ページ訂正	(野菜) 萎黄病 io-byo Yellows (褐色心腐病) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>raphani</i> J.B. Kendrick & W.C. Snyder 片山貞吾・片野恒雄:日植病報 20(2-3):113, 1955 ; 片野恒雄:植物防疫 23(1):19, 1958 ; 中野昭信・片野恒雄:和歌山農試研報 2:1, 1967 [備考] 片野 (1958) は病原菌に <i>Fusarium oxysporum</i> f.sp. <i>conglutinans</i> をあてた
--	--

フジウツギ科 Buddlejaceae ブッドレア(フジウツギ) Butterfly bush <i>Buddleja japonica</i> Hemsl. (広葉樹) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄:農及園 37(10):1667, 1962 ; 土崎常男ら:植物防疫 23(1):6, 1969 [備考] チチブフジウツギ (<i>B. shimidzuana</i>)・ウラジロフジウツギ (<i>B. venenifera</i>)にも発生 (注) 文献誌名を多数派に合わせた	フジウツギ科 Buddlejaceae ブッドレア(フジウツギ) Butterfly bush <i>Buddleja japonica</i> Hemsl. (広葉樹) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄:農業及園芸 37(10):1667, 1962 ; 土崎常男ら:植物防疫 23(1):6, 1969 [備考] チチブフジウツギ (<i>B. shimidzuana</i>)・ウラジロフジウツギ (<i>B. venenifera</i>)にも発生
---	--

キキョウ科 Campanulaceae キキョウ(桔梗) Balloon flower <i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC. (草花) 茎腐病 kukigusare-byo Stem blight	キキョウ科 Campanulaceae キキョウ(桔梗) Balloon flower <i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC. (草花) 茎腐病 kukigusare-byo Stem blight
--	--

<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(4):215, 1990 ; 植松清次ら:関東病虫研報 40:85, 1993 [備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型IIIB型 (注) 文献著者訂正	<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(4):215, 1990 ; 植松清次:関東病虫研報 40:85, 1993 [備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型IIIB型
--	---

アサ科 Cannabaceae タイマ(アサ, 大麻) Hemp <i>Cannabis sativa</i> L. (特用作物) 白星病 shirahoshi-byo Leaf spot (斑点病) <i>Septoria cannabis</i> (Lasch) Saccardo 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:397, 1904(明37) ; 原 攝祐:実用作物病理学:195, 1925(大14) (注) 文献著者修正	アサ科 Cannabaceae タイマ(アサ, 大麻) Hemp <i>Cannabis sativa</i> L. (特用作物) 白星病 shirahoshi-byo Leaf spot (斑点病) <i>Septoria cannabis</i> (Lasch) Saccardo 山田玄太郎・大森順造:植物病理学:397, 1904(明37) ; 原 攝祐:実用作物病理学:195, 1925(大14)
---	---

スイカズラ科 Caprifoliaceae ウグイスカグラ(鶯神楽) Honeysuckle <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> Miq. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysipne erlangshanensis</i> (Y.N. Yu) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera erlangshanensis</i> Y.N. Yu, <i>Microsphaera</i> sp.] 丹田誠之助ら:東農大農学集報 22(1):21, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):218, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:54, 2012 [備考] ヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i>) ・ ミヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i> var. <i>glandulosa</i>)	スイカズラ科 Caprifoliaceae ウグイスカグラ(鶯神楽) Honeysuckle <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> Miq. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysipne erlangshanensis</i> (Y.N. Yu) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera erlangshanensis</i> Y.N. Yu, <i>Microsphaera</i> sp.] 丹田誠之助ら:東農大農学集報 21(1):21, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):218, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:54, 2012 [備考] ヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i>) ・ ミヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i> var. <i>glandulosa</i>)
--	--

に発生 (2) <i>Erysiphe lonicerae</i> de Candolle var. <i>lonicerae</i> [<i>Microsphaera lonicerae</i> (de Candolle) G. Winter var. <i>lonicerae</i>, <i>Microsphaera lonicerae</i> (de Candolle) G. Winter] 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:103, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):219, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012 [備考] ヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i>) にも発生 (3) <i>Erysiphe lonicerae-ramosissimae</i> (Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera lonicerae-ramosissimae</i> Tanda] Tanda, S.:Mycoscience 41(2):155, 2000 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012 [備考] コウグイスカグラ (<i>L. ramosissima</i> Franch. & Savat.)に発生 (4) <i>Erysiphe miurae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera miurae</i> U. Braun, <i>Microsphaera alni</i> auct. Jap. non (Wallroth) Salmon] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):114, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012 [備考] キンギンボク・チシマヒョウタンボク (<i>L. orientalis</i>)・ハナヒョウタンボク (<i>L. ciliata</i>)・オニヒョウタンボクに発生 (注) (1)文献巻数訂正	に発生 (2) <i>Erysiphe lonicerae</i> de Candolle var. <i>lonicerae</i> [<i>Microsphaera lonicerae</i> (de Candolle) G. Winter var. <i>lonicerae</i>, <i>Microsphaera lonicerae</i> (de Candolle) G. Winter] 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:103, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):219, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012 [備考] ヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i>) にも発生 (3) <i>Erysiphe lonicerae-ramosissimae</i> (Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera lonicerae-ramosissimae</i> Tanda] Tanda, S.:Mycoscience 41(2):155, 2000 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012 [備考] コウグイスカグラ (<i>L. ramosissima</i> Franch. & Savat.)に発生 (4) <i>Erysiphe miurae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera miurae</i> U. Braun, <i>Microsphaera alni</i> auct. Jap. non (Wallroth) Salmon] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):114, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012 [備考] キンギンボク・チシマヒョウタンボク (<i>L. orientalis</i>)・ハナヒョウタンボク (<i>L. ciliata</i>)・オニヒョウタンボクに発生
---	--

スイカズラ科 Caprifoliaceae ニワトコ(接骨木) Japanese elder <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara	スイカズラ科 Caprifoliaceae ニワトコ(接骨木) Japanese elder <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara
---	---

(広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):38, 1913(大2) ; 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学術報 17:6, 1934(昭9) (2) <i>Erysiphe vanbruntiana</i> (Gerard) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>sambuci-racemosae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera vanbruntiana</i> Gerard var. <i>sambuci-racemosae</i> U. Braun, <i>Microsphaera grossulariae</i> auct. Jap. non L��veill��, <i>Microsphaera sambucicola</i> Hennings] 白井光太郎:植物病理学(下):192, 1900(明33) ; 丹 田誠之助ら:東農大農学集報 30(3):257, 1986 ; 大 谷吉雄:日本菌類誌 3(2):216, 1988 ; 高松 進:三重 大生資紀要 38:62, 2012 [備考] エゾニワトコ・ホソバニワトコ (<i>S.</i> <i>sieboldiana</i> f. <i>stenophylla</i>)・オオニワトコ(<i>S.</i> <i>sieboldiana</i> var. <i>major</i>)にも発生 (注) (1)文献著者名訂正	(広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):38, 1913(大2) ; 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:6, 1934(昭9) (2) <i>Erysiphe vanbruntiana</i> (Gerard) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>sambuci-racemosae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera vanbruntiana</i> Gerard var. <i>sambuci-racemosae</i> U. Braun, <i>Microsphaera grossulariae</i> auct. Jap. non L��veill��, <i>Microsphaera sambucicola</i> Hennings] 白井光太郎:植物病理学(下):192, 1900(明33) ; 丹 田誠之助ら:東農大農学集報 30(3):257, 1986 ; 大 谷吉雄:日本菌類誌 3(2):216, 1988 ; 高松 進:三重 大生資紀要 38:62, 2012 [備考] エゾニワトコ・ホソバニワトコ (<i>S.</i> <i>sieboldiana</i> f. <i>stenophylla</i>)・オオニワトコ(<i>S.</i> <i>sieboldiana</i> var. <i>major</i>)にも発生
--	--

ニシキギ科 Celastraceae マサキ(柾) Japanese spindletree <i>Euonymus japonicus</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大12) ; 南部信方: 園芸之友 10(9), 1914(大3) (注) 文献年和暦訂正	ニシキギ科 Celastraceae マサキ(柾) Japanese spindletree <i>Euonymus japonicus</i> Thunb. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11) ; 南部信方: 園芸之友 10(9), 1914(大3)
--	---

カツラ科 Cercidiphyllaceae カツラ(桂) Katsura tree <i>Cercidiphyllum japonicum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902 小林真樹ら:日植病報 71(1):38, 2005 ; 小林真樹ら:日植病報 72(1):46, 2006 [備考] 病原細菌のpathovarは未確定 (注) 文献巻数訂正	カツラ科 Cercidiphyllaceae カツラ(桂) Katsura tree <i>Cercidiphyllum japonicum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902 小林真樹ら:日植病報 71(1):38, 2005 ; 小林真樹ら:日植病報 71(1):46, 2006 [備考] 病原細菌のpathovarは未確定
---	---

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫病, 線虫根瘤病, 趾跟病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ;	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫病, 線虫根瘤病, 趾跟病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ;
--	---

Yokoo, T. & Gyotoku, H.:Agr. Bull. Saga Univ. 11:65, 1960 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (注) (2)文献巻号頁訂正	Yokoo, T. & Gyotoku, H.:Agr. Bull. Saga Univ. 11:65, 1960 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969
---	---

センリョウ科 Chloranthaceae センリョウ(千両) (Chloranthus) <i>Sarcandra glabra</i> (Thunb.) Nakai (広葉樹) 根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ 安田智昭ら:日植病報 85(3):256, 2019 ; 安田智昭ら:関東病虫研報 67:84, 2020 (注) 文献追加	センリョウ科 Chloranthaceae センリョウ(千両) (Chloranthus) <i>Sarcandra glabra</i> (Thunb.) Nakai (広葉樹) 根腐線虫病 negusare-senchu-byo Root lesion <i>Pratylenchus penetrans</i> (Cobb) Filipjev & Schuurmans Stekhoven キタネグサレセンチュウ 安田智昭ら:日植病報 85(3):256, 2019
---	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 斑紋モザイク病 hammon-mosaic-byo Internal cork <i>Sweet potato feathery mottle virus</i> (SPFMV) サツマイモ斑紋モザイクウイルス 田上義也:日植病報 15(3-4):135, 1951 ; 小尾充	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 斑紋モザイク病 hammon-mosaic-byo Internal cork <i>Sweet potato feathery mottle virus</i> (SPFMV) 田上義也:日植病報 15(3):135, 1951 ; 小尾充雄・森 寛一:日植病報 24(1):47, 1959 ; 山崎修一ら:日
---	---

雄・森 寛一:日植病報 24(1):47, 1959 ; 山崎修一 ら:日植病報 75(3):156, 2009 [備考] Ordinary strain による。山崎ら(2009)は Sweet potato feathery mottle virus-common系統 (SPFMV-C) がsevere系統 (SPFMV-S) と重複感染 していることを報告したが, SPFMV-Sによる病徴 への影響はなく, SPFMV-C単独感染の場合には無 病徴感染であった (注) 文献号数訂正	植病報 75(3):156, 2009 [備考] Ordinary strain による。山崎ら(2009)は Sweet potato feathery mottle virus-common系統 (SPFMV-C) がsevere系統 (SPFMV-S) と重複感染 していることを報告したが, SPFMV-Sによる病徴 への影響はなく, SPFMV-C単独感染の場合には無 病徴感染であった
---	--

ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum crassipes</i> (Spegazzini) Arx [<i>Gloeosporium kiotoense</i> Hemmi & Nojima] 逸見武雄・野島友雄:京大農紀 3:28, 1927(昭2) ; 山本和太郎:植物防疫 14(2):51, 1960 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum pollaccii</i> Magnus, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella</i> sp.] 逸見武雄:病虫雑 8(11):535, 1921(大10) ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):262, 1976 (注) (1)文献年訂正	ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum crassipes</i> (Spegazzini) Arx [<i>Gloeosporium kiotoense</i> Hemmi & Nojima] 逸見武雄・野島友雄:京大農紀 3:28, 1927(昭2) ; 山本和太郎:植物防疫 14(2):51, 1969 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum pollaccii</i> Magnus, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella</i> sp.] 逸見武雄:病虫雑 8(11):535, 1921(大10) ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):262, 1976
---	---

ベンケイソウ科 Crassulaceae クラッスラ Campfire crassula <i>Crassula capitella</i> subsp. <i>thyrsifolia</i> (Thunb.) Toelken	ベンケイソウ科 Crassulaceae
--	-----------------------------

(草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Pseudoidium</i> sp. 佐藤 衛:関東病虫研報 67:17, 2020 (注) 新病名、新規宿主	
---	--

ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp., <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 平田幸治:千葉高園学術報告 5:34, 1942(昭17) [備考] 病菌の分類学的所属については再検討が必要。ミセバヤ (タマノオ) は平田幸治:千葉園芸学術報告 5:35, 1942(昭17)に記載なし (2) <i>Erysiphe sedi</i> U. Braun [<i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle] 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):328, 1937 ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):194, 1988 [備考] 接種試験未了 (注) (1)備考訂正。「タマノオともいう」と書きたかったか。	ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp., <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 平田幸治:千葉高園学術報告 5:34, 1942(昭17) [備考] 病菌の分類学的所属については再検討が必要。ミセバヤ (タマノオトモ) は平田幸治:千葉園芸学術報告 5:35, 1942(昭17)に記載なし (2) <i>Erysiphe sedi</i> U. Braun [<i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle] 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 本間ヤス:北大農紀要 38(3):328, 1937 ; 大谷吉雄: 日本菌類誌 3(2):194, 1988 [備考] 接種試験未了
--	---

ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリン	ベンケイソウ科 Crassulaceae ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリン
---	---

ソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp., <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia benkei</i> Kusano Yamaoka, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(5):563, 1994 [備考] 人工接種によりヒダカミセバヤ (<i>Sedum caudicolum</i>) に発生。病名の提案なし (2) <i>Puccinia umbilici</i> Guépin & Duby 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):255, 1950 ; 伊藤誠哉・ 村山大記:札幌博物学会報 19:5, 1950 [備考] 接種試験未了 (注) 文献巻数表記を同文献の多数派に合わせた	ソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Sedum</i> spp., <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba (草花) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia benkei</i> Kusano Yamaoka, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(5):563, 1994 [備考] 人工接種によりヒダカミセバヤ (<i>Sedum caudicolum</i>) に発生。病名の提案なし (2) <i>Puccinia umbilici</i> Guépin & Duby 成田武四:北海道における農作物病害:189, 1977 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 II(3):255, 1950 ; 伊藤誠 哉・村山大記:札幌博物学会報 19:5, 1950 [備考] 接種試験未了
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae トウガン(カモウリ, トウガ, 冬瓜) Wax gourd, White gourd <i>Benincasa hispida</i> (Thunb.) Cogn. (野菜) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss & Wydra 2012 [<i>Pectobacterium</i> sp., <i>Erwinia carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 澤岬哲也ら:日植病報 75(3):271, 2009 ; 澤岬哲也 ら:九病虫研究会報 66:26, 2020 (注) 新病名	ウリ科 Cucurbitaceae トウガン(カモウリ, トウガ, 冬瓜) Wax gourd, White gourd <i>Benincasa hispida</i> (Thunb.) Cogn. (野菜) ††††果実軟腐症 kajitsu-nampu-sho Soft rot <i>Pectobacterium</i> sp. [<i>Erwinia carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 澤岬哲也ら:日植病報 75(3):271, 2009
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae スイカ(西瓜) Watermelon <i>Citrullus lanatus</i> (Thunb.) Matsum. & Nakai (野菜) ††††退緑えそ病 tairyoku-eso-byo Necrotic yellows Cucurbit chlorotic yellows virus (CCYV) ウリ類退緑黄化ウイルス 森山美穂・行徳 裕:日植病報 76(1):31, 2010 ; 森山美穂・行徳 裕:日植病報 77(1):34, 2011 [備考] 接種病徴であり, 自然病徴の記載なし (注) 文献年訂正	ウリ科 Cucurbitaceae スイカ(西瓜) Watermelon <i>Citrullus lanatus</i> (Thunb.) Matsum. & Nakai (野菜) ††††退緑えそ病 tairyoku-eso-byo Necrotic yellows Cucurbit chlorotic yellows virus (CCYV) 森山美穂・行徳 裕:日植病報 76(1):31, 2011 ; 森山美穂・行徳 裕:日植病報 77(1):34, 2011 [備考] 接種病徴であり, 自然病徴の記載なし
---	--

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病, 根瘤線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (節根病, 根瘤線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
---	--

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。<i>M. mali</i> として報告されたが、本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:268, 1895(明28) ; 鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) (2)文献巻号頁訂正	三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。<i>M. mali</i> として報告されたが、本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:268, 1895(明28) ; 鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) †††† Tomato spotted wilt tospovirus (TSWV) トマト黄化えそウイルス 大竹裕規・藤 晋一:北日本病虫研報 71:197, 2020 (注) 新宿主	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜)
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Oidium</i> sp. 丹田誠之助・野村幸彦:東農大農学集報 27(3):207, 1983 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 澤岬哲也ら:日植病報 79(3):187, 2013 ; 澤岬哲 也・新崎千代美:日植病報 86(4):273, 2020 (注) (2)文献追加、備考削除	ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Oidium</i> sp. 丹田誠之助・野村幸彦:東農大農学集報 27(3):207, 1983 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 澤岬哲也ら:日植病報 79(3):187, 2013 [備考] ニガウリへの接種試験無し
--	---

ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea</i> <i>bulbifera</i> L. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea</i> <i>japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea</i> <i>opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 葉渋病 hashibu-byo (炭疽病, 葉枯病, 白斑 病, 斑紋病, 褐紋病) <i>Cylindrosporium dioscoreae</i> Miyabe & S. Ito 原 攝祐:日園雑 30(5):21, 1918(大7) ; 田中彰一:病	ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ(大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea</i> <i>bulbifera</i> L. ジネンジョ(自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea</i> <i>japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea</i> <i>opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 葉渋病 hashibu-byo (炭疽病, 葉枯病, 白斑 病, 斑紋病, 褐紋病) <i>Cylindrosporium dioscoreae</i> Miyabe & S. Ito 原 攝祐:日園雑 30(5):21, 1918(大7) ; 田中彰一:病
---	---

虫雑 11(2):93, 1924(大13) (注) 文献年和暦訂正	虫雑 11(2):93, 1924(大3)
---	-----------------------

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 斑点病 hanten-byo <i>Septogloeum kaki</i> (Sydow & P. Sydow) Hara [<i>Cylindrosporium kaki</i> Sydow] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:189, 1917(大6); 原 攝祐:果樹 220:21, 1921(大10) [備考] マメガキに発生 (注) 文献年訂正	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 斑点病 hanten-byo <i>Septogloeum kaki</i> (Sydow & P. Sydow) Hara [<i>Cylindrosporium kaki</i> Sydow] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:189, 1917(大6); 原 攝祐:果樹 220:21, 1925(大10) [備考] マメガキに発生
--	---

ツツジ科 Ericaceae ウラシマツツジ (Arctous) <i>Arctous alpinus</i> Niedenzu var. <i>japonicus</i> (Nakai) Ohwi (広葉樹) †††† <i>Diplodia arbuticola</i> (Fries) Berkeley 富樫浩吾・大沼 綵次:盛岡高農学術報 17:37, 1934(昭9)	ツツジ科 Ericaceae ウラシマツツジ (Arctous) <i>Arctous alpinus</i> Niedenzu var. <i>japonicus</i> (Nakai) Ohwi (広葉樹) †††† <i>Diplodia arbuticola</i> (Fries) Berkeley 富樫浩吾・大沼 房次:盛岡高農学術報 17:37, 1934(昭9)
---	---

(注) 文献著者名訂正	
-------------	--

ツツジ科 Ericaceae イソツツジ Marsh tea, Wild rosemary <i>Ledum palustre</i> var. <i>diversipilosum</i> Nakai (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Chrysomyxa ledi</i> de Bary var. <i>ledi</i> 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:283, 1904(明37); 平塚直秀:北大農紀 21:34, 1927(昭2); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:187, 1992 [備考] カラフトイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>dilatatum</i>)・ホソバイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>minor</i>) にも発生 (2) <i>Chrysomyxa ledicola</i> (Peck) Lagerheim 平塚直秀:北大農紀要 21:35, 1927(昭2) [備考] ヒメイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>procumbens</i>)・ホソバイソツツジに発生 (注) 文献年訂正	ツツジ科 Ericaceae イソツツジ Marsh tea, Wild rosemary <i>Ledum palustre</i> var. <i>diversipilosum</i> Nakai (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Chrysomyxa ledi</i> de Bary var. <i>ledi</i> 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:283, 1910(明42); 平塚直秀:北大農紀 21:34, 1927(昭2); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:187, 1992 [備考] カラフトイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>dilatatum</i>)・ホソバイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>minor</i>) にも発生 (2) <i>Chrysomyxa ledicola</i> (Peck) Lagerheim 平塚直秀:北大農紀要 21:35, 1927(昭2) [備考] ヒメイソツツジ (<i>L. palustre</i> var. <i>procumbens</i>)・ホソバイソツツジに発生
---	--

ツツジ科 Ericaceae ヨウラクツツジ(璦珞躑躅) <i>Menziesia</i> <i>Menziesia purpurea</i> Maxim. (広葉樹) 黒紋病* kokumon-byo Tar spot (1) <i>Melasmia menziesiae</i> Dearness & Bartholomew 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学術報 17:45, 1934(昭9) [備考] コヨウラクツツジ (<i>M. pentandra</i>) (2) <i>Melasmia menziesiae</i> Sawada non Dearness & Bertholomew (黒脂病)	ツツジ科 Ericaceae ヨウラクツツジ(璦珞躑躅) <i>Menziesia</i> <i>Menziesia purpurea</i> Maxim. (広葉樹) 黒紋病* kokumon-byo Tar spot (1) <i>Melasmia menziesiae</i> Dearness & Bartholomew 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:45, 1934(昭9) [備考] コヨウラクツツジ (<i>M. pentandra</i>) (2) <i>Melasmia menziesiae</i> Sawada non Dearness & Bertholomew (黒脂病)
---	---

澤田兼吉:林試研報 105:70, 1958 [備考] ウスギヨウラク (<i>M. ciliicalyx</i>)・ウラジロヨウラク(<i>M. multiflora</i>)・コヨウラクツツジ。前種との異同の検討を要する (3) <i>Melasmia therorhodii</i> Sawada (黒脂病) 澤田兼吉:林試研報 105:71, 1958 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):374, 1992 (注) 文献著者名訂正	澤田兼吉:林試研報 105:70, 1958 [備考] ウスギヨウラク (<i>M. ciliicalyx</i>)・ウラジロヨウラク(<i>M. multiflora</i>)・コヨウラクツツジ。前種との異同の検討を要する (3) <i>Melasmia therorhodii</i> Sawada (黒脂病) 澤田兼吉:林試研報 105:71, 1958 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):374, 1992
---	--

ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) †すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Antennatula shawiae</i> S. Hughes Sugiyama, J. & Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:65, 1980 [備考] パプア・ニューギニア (2) <i>Asteridiella rhododendri</i> (W. Yamamoto) Hansford [<i>Irenina rhododendri</i> W. Yamamoto] Yamamoto, W.:Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa 31(208):17, 1941(昭16) [備考] 台湾。キンモウツツジ (注) 文献訂正	ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) †すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Antennatula shawiae</i> S. Hughes Sugiyama, J. & Kobayasi, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:65, 1980 [備考] パプア・ニューギニア (2) <i>Asteridiella rhododendri</i> (W. Yamamoto) Hansford [<i>Irenina rhododendri</i> W. Yamamoto] 山本和太郎:台湾博物学会報 31:17, 1941(昭16) [備考] 台湾。キンモウツツジ
---	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカギ Javanese bishopwood <i>Bischofia javanica</i> Bl. (広葉樹) †すす病 susu-byo Sooty mold	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカギ Javanese bishopwood <i>Bischofia javanica</i> Bl. (広葉樹) †すす病 susu-byo Sooty mold
--	--

<i>Phaeosaccardinula penzigii</i> (Saccardo) W. Yamamoto [<i>Limacinia penzigii</i> (Saccardo) Saccardo, <i>Limacinia penzigii</i> (Saccardo) Sawada, <i>Meliola penzigii</i> Saccardo] Yamamoto, W.:Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric. Series Agric. Biol. 3(1):46, 1957 [備考] 台湾。病原菌の分類学的所属については検討を要する (注) 文献訂正	<i>Phaeosaccardinula penzigii</i> (Saccardo) W. Yamamoto [<i>Limacinia penzigii</i> (Saccardo) Saccardo, <i>Limacinia penzigii</i> (Saccardo) Sawada, <i>Meliola penzigii</i> Saccardo] 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(4):46, 1957 [備考] 台湾。病原菌の分類学的所属については検討を要する
--	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) †褐斑病 kappan-byo <i>Phyllosticta glochidii</i> Sawada 澤田兼吉:台湾博物学会報 8(35):49, 1918(大7) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):526, 1919(大8) [備考] 台湾。カキバカンコノキ・ヒラミカンコノキにも発生 (注) 文献年和暦訂正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) †褐斑病 kappan-byo <i>Phyllosticta glochidii</i> Sawada 澤田兼吉:台湾博物学会報 8(35):49, 1918(大8) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):526, 1919(大8) [備考] 台湾。カキバカンコノキ・ヒラミカンコノキにも発生
--	---

トウダイグサ科 Euphorbiaceae パラゴムノキ Para rubber tree <i>Hevea brasiliensis</i> Muell. & Arg. (特用作物) ††ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease, Damping-off (苗木立枯病) <i>Pestalotiopsis palmarum</i> (Cooke) Steyaert [<i>Pestalotia</i>	トウダイグサ科 Euphorbiaceae パラゴムノキ Para rubber tree <i>Hevea brasiliensis</i> Muell. & Arg. (特用作物) ††ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease, Damping-off (苗木立枯病) <i>Pestalotiopsis palmarum</i> (Cooke) Steyaert [<i>Pestalotia</i>
---	---

<i>palmarum</i> Cooke] 栃内吉彦:農及園 17(10):1256, 1942(昭17) [備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):540, 1992 を参照 (注) 文献年和暦訂正	<i>palmarum</i> Cooke] 栃内吉彦:農及園 17(10):1256, 1942(昭10) [備考] 病原菌の学名は小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):540, 1992 を参照
--	---

トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (<i>Mallotus</i>) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) 赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 遠藤 茂:農及園 8(6):1540, 1933(昭8) (注) 文献誌名表記を多数派に合わせた	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (<i>Mallotus</i>) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) 赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 遠藤 茂:農業及園芸 8(6):1540, 1933(昭8)
---	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (<i>Mallotus</i>) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Asterina malloti</i> Sawada & W. Yamamoto 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):44, 1959 [備考] 台湾。ツルアカメガシワ (2) <i>Balladynastrum malloti</i> Sawada & W. Yamamoto 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):25, 1959 [備考] 台湾。ヤンバルアカメガシワ	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (<i>Mallotus</i>) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) すす病* susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Asterina malloti</i> Sawada & W. Yamamoto 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):44, 1959 [備考] 台湾。ツルアカメガシワ (2) <i>Balladynastrum malloti</i> Sawada & W. Yamamoto 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):25, 1959 [備考] 台湾。ヤンバルアカメガシワ
---	---

(3) <i>Dimerina citricola</i> Sawada & W. Yamamoto 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):37, 1959 [備考] 台湾。ヤンバルアカメガシワ (4) <i>Irenina mallotica</i> W. Yamamoto Yamamoto, W.:Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa 30(206/207):415, 1940(昭15) [備考] 台湾。ウラジロアカメガシワにも発生 (5) <i>Irenina subapoda</i> (Sydow & P. Sydow) F. Stevens Yamamoto, W.:Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa 30(200/201):149, 1940(昭15) [備考] 台湾。クスノハガシワ (<i>M. philippinensis</i>) (6) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto Yamamoto, W.:Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric. Series Agric. Biol. 3(1):34, 1957 [備考] 台湾 (注) 文献訂正	(3) <i>Dimerina citricola</i> Sawada & W. Yamamoto 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):37, 1959 [備考] 台湾。ヤンバルアカメガシワ (4) <i>Irenina mallotica</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):415, 1941(昭16) [備考] 台湾。ウラジロアカメガシワにも発生 (5) <i>Irenina subapoda</i> (Sydow & P. Sydow) F. Stevens 山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):149, 1940(昭15) [備考] 台湾。クスノハガシワ (<i>M. philippinensis</i>) (6) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957 [備考] 台湾
--	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒマ(トウゴマ, 蓖麻) Castor bean <i>Ricinus communis</i> L. (特用作物) 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Alternaria ricini</i> (Yoshii) Hansford [<i>Macrosporium ricini</i> Yoshii] 吉井 甫:九大農学芸雑誌 3(4):327, 1929(昭4) (注) 文献年訂正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒマ(トウゴマ, 蓖麻) Castor bean <i>Ricinus communis</i> L. (特用作物) 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Alternaria ricini</i> (Yoshii) Hansford [<i>Macrosporium ricini</i> Yoshii] 吉井 甫:九大農学芸雑誌 3(4):327, 1919(昭4)
---	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒトツバハギ (Securinega) <i>Securinega suffruticosa</i> var. <i>japonica</i> (Muell. Arg.)	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒトツバハギ (Securinega) <i>Securinega suffruticosa</i> var. <i>japonica</i> (Muell. Arg.)
--	--

Hurusawa (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe securinegae</i> (F.L. Tai & C.T. Wei) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera securinegae</i> F.L. Tai & C.T. Wei, <i>Microsphaera euphorbiae</i> sensu Salmon non (Peck) Berkeley & M.A. Curtis] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):391, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):210, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012 (注) 文献年表記修正	Hurusawa (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe securinegae</i> (F.L. Tai & C.T. Wei) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera securinegae</i> F.L. Tai & C.T. Wei, <i>Microsphaera euphorbiae</i> sensu Salmon non (Peck) Berkeley & M.A. Curtis] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:391, 1937(12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):210, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:60, 2012
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソウシジュ(相思樹) Taiwan acacia <i>Acacia confusa</i> Merr. (広葉樹) †褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo <i>Septobasidium acaciae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):410, 1919(大8) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 2:101, 1911(明44) [備考] 台湾 (注) 文献年和暦訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソウシジュ(相思樹) Taiwan acacia <i>Acacia confusa</i> Merr. (広葉樹) †褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo <i>Septobasidium acaciae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):410, 1919(大9) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 2:101, 1911(明44) [備考] 台湾
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i>	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i>
---	---

Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd. †††† <i>Cylindrocladium camelliae</i> Venkataramani & C.S.Venkata Ram Terashita, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(3):115, 1969 [備考] フサアカシア (注) 文献ページ訂正	Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd. †††† <i>Cylindrocladium camelliae</i> Venkataramani & C.S.Venkata Ram Terashita, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 9(3):15, 1969 [備考] フサアカシア
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハナズオウ(紫荊) Juda's tree, Redbud <i>Cercis chinensis</i> Bunge (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997 (注) 文献巻数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハナズオウ(紫荊) Juda's tree, Redbud <i>Cercis chinensis</i> Bunge (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 丹田誠之助:東農大農学集報 43(3):173, 1997
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エニシダ(金雀枝) Scotch broom <i>Cytisus scoparius</i> (L.) Link (広葉樹)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エニシダ(金雀枝) Scotch broom <i>Cytisus scoparius</i> (L.) Link (広葉樹)
---	---

疫病 eki-byo Phytophthora disease <i>Phytophthora megasperma</i> Drechsler [<i>Phytophthora</i> sp.] 那須英夫ら:日植病報 46(1):87, 1980 ; 那須英夫ら:近畿中国農研 74:32, 1987 (注) 文献年訂正	疫病 eki-byo Phytophthora disease <i>Phytophthora megasperma</i> Drechsler [<i>Phytophthora</i> sp.] 那須英夫ら:日植病報 46(1):87, 1979 ; 那須英夫ら:近畿中国農研 74:32, 1987
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病, 節根病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi
--	---

スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] <i>Meloidogyne mali</i> Itoh <i>et al.</i> として報告されたが、本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 鏑木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) (2)文献巻号頁訂正	スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] <i>Meloidogyne mali</i> Itoh <i>et al.</i> として報告されたが、本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 鏑木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こぶ線虫病を参照
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae トレフォイル Trefoil <i>Lotus</i> spp. (牧草・芝草) バーズフットトレフォイル Bird's foot trefoil <i>Lotus corniculatus</i> L. ビッグトレフォイル Big trefoil <i>Lotus major</i> Scop. 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Haematonectria ipomoeae</i> (Halsted) Samuels & Nirenberg [不完全世代: <i>Fusarium striatum</i> Sherbakoff] Takeuchi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73(5):336, 2007 ; 富岡啓介ら:四国植防 44:44, 2009 [備考] ミヤコグサに発生 (注) 文献号数挿入	マメ科 Fabaceae, Leguminosae トレフォイル Trefoil <i>Lotus</i> spp. (牧草・芝草) バーズフットトレフォイル Bird's foot trefoil <i>Lotus corniculatus</i> L. ビッグトレフォイル Big trefoil <i>Lotus major</i> Scop. 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Haematonectria ipomoeae</i> (Halsted) Samuels & Nirenberg [不完全世代: <i>Fusarium striatum</i> Sherbakoff] Takeuchi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73:336, 2007 ; 富岡啓介ら:四国植防 44:44, 2009 [備考] ミヤコグサに発生
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae	マメ科 Fabaceae, Leguminosae
---------------------------	---------------------------

ライマメ(月豆) Lima bean <i>Phaseolus lunatus</i> L. [<i>Phaseolus lunatus</i> L.var. <i>macrocarpus</i> Benth., <i>Phaseolus limensis</i> Macf.] (食用作物) †††褐斑病 kappan-byo Pod blight <i>Diaporthe phaseolorum</i> (Cooke & Ellis) Saccardo 金野敬三:病虫雑 5(6):463, 1918(大7) [備考] 国内発生未詳 (注) 文献年訂正	ライマメ(月豆) Lima bean <i>Phaseolus lunatus</i> L. [<i>Phaseolus lunatus</i> L.var. <i>macrocarpus</i> Benth., <i>Phaseolus limensis</i> Macf.] (食用作物) †††褐斑病 kappan-byo Pod blight <i>Diaporthe phaseolorum</i> (Cooke & Ellis) Saccardo 金野敬三:病虫雑 5(6):463, 1928(大7) [備考] 国内発生未詳
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 根腐病 negusare-byo Fusarium root-rot <i>Fusarium cuneirostrum</i> O'Donnell & T. Aoki [<i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>phaseoli</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 田中一郎・北沢健治:日植病報 22(1):57, 1957 ; 青 木孝之:日植病報 73(3):175, 2007 (注) 文献年訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 根腐病 negusare-byo Fusarium root-rot <i>Fusarium cuneirostrum</i> O'Donnell & T. Aoki [<i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>phaseoli</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 田中一郎・北沢健治:日植病報 22(1):57, 1958 ; 青 木孝之:日植病報 73(3):175, 2007
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病, 節根病)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病, 節根病)
--	--

(1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Toida, Y. <i>et al.</i>:Jpn. J. Nematol. 23(2):90, 1993 [備考] Toida <i>et al.</i> (1993)はタイでの発生報告 (5) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) (2)文献巻号頁訂正	(1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Toida, Y. <i>et al.</i>:Jpn. J. Nematol. 23(2):90, 1993 [備考] Toida <i>et al.</i> (1993)はタイでの発生報告 (5) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ
--	--

ウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 (3) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種 鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) (1)文献巻号頁訂正	ウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoed & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 (3) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種 鏑木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae キンキジュ Madras thorn, Manila tamarind <i>Pithecellobium dulce</i> Benth. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大8) ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照 (注) 文献年和暦訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae キンキジュ Madras thorn, Manila tamarind <i>Pithecellobium dulce</i> Benth. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大9) ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae	マメ科 Fabaceae, Leguminosae
---------------------------	---------------------------

クズ(葛) Kudzu <i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi (牧草・芝草) かさ枯病 kasagare-byo Bacterial halo spot (斑点細菌病) <i>Pseudomonas savastanoi</i> pv. <i>phaseolicola</i> (Burkholder 1926) Gardan, Bollet, Abu Ghorrah, Grimont & Grimont 1992 [<i>Pseudomonas phaseolicola</i> (Burkholder) Dowson, <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>phaseolicola</i> (Burkholder 1926) Young, Dye & Wilkie 1978] 岡部徳夫:植物細菌病学:217, 1949 ; 谷井昭夫ら:十 勝農試資料 6:14, 1976 ; 後藤正夫ら:植物防疫 35(6):270, 1981 ; 市川一行ら:日植病報 47(1):134, 1981 (注) 文献号数訂正	クズ(葛) Kudzu <i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi (牧草・芝草) かさ枯病 kasagare-byo Bacterial halo spot (斑点細菌病) <i>Pseudomonas savastanoi</i> pv. <i>phaseolicola</i> (Burkholder 1926) Gardan, Bollet, Abu Ghorrah, Grimont & Grimont 1992 [<i>Pseudomonas phaseolicola</i> (Burkholder) Dowson, <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>phaseolicola</i> (Burkholder 1926) Young, Dye & Wilkie 1978] 岡部徳夫:植物細菌病学:217, 1949 ; 谷井昭夫ら:十 勝農試資料 6:14, 1976 ; 後藤正夫ら:植物防疫 35(6):270, 1981 ; 市川一行ら:日植病報 47(3):134, 1981
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンジュ(槐) Japanese pagoda tree <i>Sophora japonica</i> L. (広葉樹) †††† <i>Melanconis sophorae</i> (Kobayashi) Otani [<i>Ditopellopsis sophorae</i> Tak. Kobayashi] Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:48, 1970 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):236, 1988 (注) 文献名修正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンジュ(槐) Japanese pagoda tree <i>Sophora japonica</i> L. (広葉樹) †††† <i>Melanconis sophorae</i> (Kobayashi) Otani [<i>Ditopellopsis sophorae</i> Tak. Kobayashi] Kobayashi, T.:Gov. For. Exp. Sta. 226:48, 1970 ; 大 谷吉雄:日本菌類誌 3(2):236, 1988
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ム	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ム
---	---

ラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) 雪腐小粒菌核病 yukigusare-kotsubu-kinkaku-byo Typhula snow blight <i>Typhula ishikariensis</i> S. Imai Imai, S:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(2):74, 1930 ; 松本直幸:北海道農試研報 152:119, 1989 (注) 新病名	ラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草)
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ム ラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ ナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radicicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュ ウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ム ラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ ナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radicicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュ ウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応 動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ
--	--

小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964 (注) (2)文献巻号頁訂正	小宮書之助・工藤 馨:関東病虫研報 11:97, 1964
---	-------------------------------

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Bean yellow mosaic virus</i> (BYMV) インゲンマ メ黄斑モザイクウイルス 井上忠男:農学研究 52:11, 1968 (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウ イルトウイルス2 [Broad bean wilt virus#, Pea dwarf mosaic virus#] 笹谷孝英ら:日植病報 58(1):134, 1992 ; 小林有紀 ら:関東病虫研報 51:43, 2004 (3) <i>Broad bean wilt virus</i># [Pea dwarf mosaic virus#] 井上忠男・井上成信:文部省科研総合研究, 昭和 39・40年成績資料:30, 1966 ; 井上忠男:農学研究 52:11, 1968 [備考] 本ウイルスによるものを萎縮モザイク病 と呼んだことがある (4) <i>Clover yellow vein virus</i> (CIYVV) クローバ葉脈 黄化ウイルス 笹谷孝英ら:四国植防 29:7, 1994 ; 中村茂雄・本 藏良三:北日本病虫研報 48:80, 1997 (5) <i>Pea seed-borne mosaic virus</i> (PSbMV) エンドウ 種子伝染モザイクウイルス 井上忠男:日植病報 33(1):38, 1967 (6) <i>Watermelon mosaic virus</i> (WMV) スイカモザイ クウイルス [カボチャモザイクウイルス Watermelon mosaic virus 2#] 田中 寛ら:大阪農技センター研報 10:77, 1973 [備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Bean yellow mosaic virus</i> (BYMV) インゲンマ メ黄斑モザイクウイルス 井上忠男:農学研究 52:11, 1968 (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウ イルトウイルス2 [Broad bean wilt virus#, Pea dwarf mosaic virus#] 笹谷孝英ら:日植病報 58(1):134, 1992 ; 小林有紀 ら:関東病虫研報 51:43, 2004 (3) <i>Broad bean wilt virus</i># [Pea dwarf mosaic virus#] 井上忠男・井上成信:文部省科研総合研究, 昭和 39・40年成績資料:30, 1966 ; 井上忠男・井上成 信:農学研究 52:11, 1968 [備考] 本ウイルスによるものを萎縮モザイク病 と呼んだことがある (4) <i>Clover yellow vein virus</i> (CIYVV) クローバ葉脈 黄化ウイルス 笹谷孝英ら:四国植防 29:7, 1994 ; 中村茂雄・本 藏良三:北日本病虫研報 48:80, 1997 (5) <i>Pea seed-borne mosaic virus</i> (PSbMV) エンドウ 種子伝染モザイクウイルス 井上忠男:日植病報 33(1):38, 1967 (6) <i>Watermelon mosaic virus</i> (WMV) スイカモザイ クウイルス [カボチャモザイクウイルス Watermelon mosaic virus 2#] 田中 寛ら:大阪農技センター研報 10:77, 1973 [備考] ウイルス (未同定) によるモザイク病の最
---	---

初の記載は、福士貞吉:病虫雑 17:707, 1930(昭5) (注) 文献著者修正	初の記載は、福士貞吉:病虫雑 17:707, 1930(昭5)
---	---------------------------------

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヘヤリーベッチ(サンドベッチ, ビロードクサフジ) Hairy vetch, Winter vetch, Sand vetch <i>Vicia villosa</i> Roth (牧草・芝草) 葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (根腐病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 斉藤 正:植物防疫 8(11):478, 1954 ; 斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960 [備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照 (注) 文献名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヘヤリーベッチ(サンドベッチ, ビロードクサフジ) Hairy vetch, Winter vetch, Sand vetch <i>Vicia villosa</i> Roth (牧草・芝草) 葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (根腐病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 斉藤 正:日植病報 8(11):478, 1954 ; 斉藤 正:農業技術 15(5):206, 1960 [備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae コモンベッチ(オオカラスノエンドウ, オオヤハズエンドウ, ザートウィッケン) Common vetch <i>Vicia sativa</i> L. (牧草・芝草) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照	マメ科 Fabaceae, Leguminosae コモンベッチ(オオカラスノエンドウ, オオヤハズエンドウ, ザートウィッケン) Common vetch <i>Vicia sativa</i> L. (牧草・芝草) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 岩田健一:北農 5(11):553, 1938 ; 一戸 稔:北農 23(5):178, 1956 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
--	---

(注) 文献巻号頁訂正	
-------------	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) ピシウム苗立枯病 <i>Pythium-nae-tachigare-byo</i> Pythium damping-off (1) <i>Pythium mamillatum</i> Meurs 岡田 貴ら:日植病報 69(1):75, 2003 (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 岡田 貴ら:日植病報 69(1):75, 2003 (3) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 岡田 貴ら:日植病報 68(1):105, 2002 ; 岡田 貴ら: 日植病報 69(1):75, 2003 [備考] 岡田ら(2002)は腐敗病を提案したが, 標記 病名に変更する (注) 文献年訂正(2か所)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) ピシウム苗立枯病 <i>Pythium-nae-tachigare-byo</i> Pythium damping-off (1) <i>Pythium mamillatum</i> Meurs 岡田 貴ら:日植病報 65(1):75, 2003 (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 岡田 貴ら:日植病報 65(1):75, 2003 (3) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 岡田 貴ら:日植病報 68(1):105, 2002 ; 岡田 貴ら: 日植病報 69(1):75, 2003 [備考] 岡田ら(2002)は腐敗病を提案したが, 標記 病名に変更する
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) シスト線虫病 <i>cyst-senchu-byo</i> <i>Heterodera glycines</i> Ichinohe [<i>Heterodera schachtii</i> Schmidt] ダイズシストセンチュウ Fujita, K. & Miura, O.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):359, 1934(昭9) ; 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) シスト線虫病 <i>cyst-senchu-byo</i> <i>Heterodera glycines</i> Ichinohe [<i>Heterodera schachtii</i> Schmidt] ダイズシストセンチュウ Fujita, K. & Miura, O.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13(3):359, 1934(昭9) ; 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9)
--	---

(注) 文献巻号頁訂正

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ ナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9); 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (5) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネ コブセンチュウの1種 鏑木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7); 池 田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ ナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9); 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (5) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネ コブセンチュウの1種 鏑木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7); 池 田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照
---	--

(注) (2)文献巻号頁訂正	
----------------	--

ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (<i>Castanopsis</i>) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky スダジイ(イタジイ) <i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba †灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):416, 1919(大8) [備考] 台湾 (注) 文献年和暦訂正	ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (<i>Castanopsis</i>) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky スダジイ(イタジイ) <i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba †灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):416, 1919(大9) [備考] 台湾
--	---

ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot <i>Ganoderma applanatum</i> (Persoon) Patouillard コ フキタケ (コフキサルノコシカケ, キウラサルノ コシカケ) 出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明44) ; 横 木国臣:農及園 5(6):739, 1930(昭5) [備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参	ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot <i>Ganoderma applanatum</i> (Persoon) Patouillard コ フキタケ (コフキサルノコシカケ, キウラサルノ コシカケ) 出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明44) ; 横 木国臣:農業及園芸 5(6):739, 1930(昭5) [備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参
--	--

照	照
(注) 文献誌名表記を多数派に合わせた	

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (煤病) (1) <i>Capnodium quercinum</i> Berkeley & Desmazières [<i>Apiosporium quercinum</i> (Berkeley & Desmazières) Lindau] 南部信方:植物学雑 18(203):3, 1904(明37) [備考] アラカシ (2) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:373, 1910(明43) [備考] 病原菌の異名はポプラ類すす病参照 (3) <i>Hypocapnodium japonicum</i> (Hara) W. Yamamoto [<i>Limacinia japonica</i> Hara] 原 攝祐:日菌報 3(1-6):108, 1962 ; 原 攝祐:菌類 1(2):14, 1931(昭6) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 4(1):19, 1959	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (煤病) (1) <i>Capnodium quercinum</i> Berkeley & Desmazières [<i>Apiosporium quercinum</i> (Berkeley & Desmazières) Lindau] 南部信方:植物学雑 18(203):3, 1904(明37) [備考] アラカシ (2) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:373, 1910(明43) [備考] 病原菌の異名はポプラ類すす病参照 (3) <i>Hypocapnodium japonicum</i> (Hara) W. Yamamoto [<i>Limacinia japonica</i> Hara] 原 攝祐:日菌報 3(1-6):108, 1962 ; 原 攝祐:菌類 1(2):14, 1931(昭6) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 4(1):19, 1959
---	---

[備考] アラカシ (4) <i>Limacinia harai</i> W. Yamamoto [<i>Aithaloderma japonica</i> Hara] 原 攝祐:菌類 1(2):20, 1931(昭6) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 4(1):19, 1959 [備考] アラカシ (5) <i>Meliola cyclobalanopsina</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学報 31:130, 1941(昭16) ; Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 38(1):23, 1963 [備考] アラカシ・シラカシ・ナガバシラカシ(<i>Q. longinux</i>)・ホソバシラカシ(<i>Q. pseudomyrsinaefolia</i>) (6) <i>Meliola taityuensis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学報 31(210):131, 1941(昭16) ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):257, 1983 [備考] アラカシ・アカガシ (7) <i>Treubiomyces japonicus</i> Hara 原 攝祐:菌類 1(2):22, 1931(昭6) [備考] アラカシ (注) (4)文献年訂正	[備考] アラカシ (4) <i>Limacinia harai</i> W. Yamamoto [<i>Aithaloderma japonica</i> Hara] 原 攝祐:菌類 1(2):20, 1930(昭6) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 4(1):19, 1959 [備考] アラカシ (5) <i>Meliola cyclobalanopsina</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学報 31:130, 1941(昭16) ; Katumoto, K.:Journ. Jap. Bot. 38(1):23, 1963 [備考] アラカシ・シラカシ・ナガバシラカシ(<i>Q. longinux</i>)・ホソバシラカシ(<i>Q. pseudomyrsinaefolia</i>) (6) <i>Meliola taityuensis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学報 31(210):131, 1941(昭16) ; Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):257, 1983 [備考] アラカシ・アカガシ (7) <i>Treubiomyces japonicus</i> Hara 原 攝祐:菌類 1(2):22, 1931(昭6) [備考] アラカシ
--	--

ブナ科 Fagaceae ナラ類(檜) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水檜, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba	ブナ科 Fagaceae ナラ類(檜) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水檜, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba
--	--

カシワ(栂) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot <i>Ganoderma applanatum</i> (Persoon) Patouillard コ フキタケ (コフキサルノコシカケ, キウラサルノ コシカケ) 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:338, 1910(明 43); 横木国臣:農及園 5(6):739, 1930(昭5) [備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参 照 (注) 文献誌名表記を多数派に合わせた	カシワ(栂) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai こふきたけ病* kofukitake-byo Stem heart rot <i>Ganoderma applanatum</i> (Persoon) Patouillard コ フキタケ (コフキサルノコシカケ, キウラサルノ コシカケ) 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:338, 1910(明 43); 横木国臣:農業及園芸 5(6):739, 1930(昭5) [備考] 病原菌の異名はポプラ類こふきたけ病参 照
--	---

ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫨) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫨, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(栂) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L.	ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫨) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫨, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(栂) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L.
--	--

アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai すす点病 susuten-byo Fly speck <i>Zygophiala jamaicensis</i> E.W. Mason 那須英夫ら:日植病報 51(3):324, 1985 [備考] カシワ・ミズナラ・クヌギ・アベマキ・ナラガシワ (注) 文献号数修正	アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai すす点病 susuten-byo Fly speck <i>Zygophiala jamaicensis</i> E.W. Mason 那須英夫ら:日植病報 53(1):324, 1985 [備考] カシワ・ミズナラ・クヌギ・アベマキ・ナラガシワ
--	--

リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic stunt (1) <i>Lisianthus necrotic stunt virus</i># (LiNSV) トルコギキョウえそ萎縮ウイルス Ibrahim, M. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 72(1):41, 2006 ; 藤永真史ら:日植病報 72(2):109, 2006 ; 伊山幸秀ら:北陸病虫研報 58:19, 2009 (2) <i>Moroccan pepper virus</i> (MPV) トウガラシモロッコウイルス 大木健広ら:日植病報 78(3):253, 2012 ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):90, 2014 (3) <i>Tomato bushy stunt virus</i> (TBSV) トマトブッシュスタントウイルス 藤永真史ら:日植病報 71(3):233, 2005 ; 善正二郎・藤 晋一:日植病報 72(1):28, 2006 ; 藤永真史ら:日植病報 72(2):109, 2006 (注) 文献著者名訂正	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic stunt (1) <i>Lisianthus necrotic stunt virus</i># (LiNSV) トルコギキョウえそ萎縮ウイルス Ibrahim, M. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 72(1):41, 2006 ; 藤永真史ら:日植病報 72(2):109, 2006 ; 伊山幸秀ら:北陸病虫研報 58:19, 2009 (2) <i>Moroccan pepper virus</i> (MPV) トウガラシモロッコウイルス 大木建広ら:日植病報 78(3):253, 2012 ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):90, 2014 (3) <i>Tomato bushy stunt virus</i> (TBSV) トマトブッシュスタントウイルス 藤永真史ら:日植病報 71(3):233, 2005 ; 善正二郎・藤 晋一:日植病報 72(1):28, 2006 ; 藤永真史ら:日植病報 72(2):109, 2006
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. 茎黒腐病 kuki-kurogusare-byo Stem black rot <i>Candidacolonium</i> sp. 堀田佳祐ら:日植病報 87(1):28, 2021 [備考] 茎・葉鞘の黒変腐敗症状。クリーピングベントグラスに発生 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth.
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth.	イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth.
--	--

ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot (1) <i>Clarireedia jacksonii</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch (2) <i>Clarireedia monteithiana</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch (3) <i>Clarireedia</i> sp. [<i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett, <i>Rhizoctonia monteithianum</i> F.T. Bennett] 吉川 功・朝倉鍊太郎:グリーン研報集 9:43, 1965 ; 反保宏之ら:芝草研究 17(2):156, 1989 ; 月星隆雄ら:日植病報 87(1):15, 2021 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 49(2):71, 2021 [備考] Tsukiboshi <i>et al.</i> (2021)は <i>S. homoeocarpa</i> を <i>Clarireedia</i> 属菌に再同定した (注) 病原学名変更	ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot <i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett [<i>Rhizoctonia monteithianum</i> F.T. Bennett] 吉川 功・朝倉鍊太郎:グリーン研報集 9:43, 1965 ; 反保宏之ら:芝草研究 17(2):156, 1989
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ハウライチク類 (竹笹類) ハウライチク <i>Bambusa multiplex</i> (Lour.) Raeusch ハウオウチク <i>Bambusa multiplex</i> var. <i>elegans</i> (Koidz.) Muroi ダイサンチク <i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. †すす病 <i>susu</i>-byo Sooty mold, Black mildew (1) <i>Dimeriella dendrocalami</i> Sawada & W. Yamamoto Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:37, 1959 [備考] 台湾。マチク (2) <i>Meliola ischurochloae</i> Sawada & Yamamoto Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8 (台湾産菌類調査報告 11):36, 1959 [備考] 台湾。シチク (3) <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto	イネ科 Gramineae, Poaceae ハウライチク類 (竹笹類) ハウライチク <i>Bambusa multiplex</i> (Lour.) Raeusch ハウオウチク <i>Bambusa multiplex</i> var. <i>elegans</i> (Koidz.) Muroi ダイサンチク <i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. †すす病 <i>susu</i>-byo Sooty mold, Black mildew (1) <i>Dimeriella dendrocalami</i> Sawada & W. Yamamoto Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8:37, 1959 [備考] 台湾。マチク (2) <i>Meliola ischurochloae</i> Sawada & Yamamoto Sawada, K.:Spec. Bull. Fac. Agr. Taiwan Univ. 8 (台湾産菌類調査報告 11):36, 1959 [備考] 台湾。シチク (3) <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto
---	---

山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭15) [備考] 台湾。マチク・チョウシチク(<i>Bambusa dolichoclada</i>) (4) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957 [備考] 台湾。マチク (5) <i>Triposporiopsis spinigera</i> (Höhnelt) W. Yamamoto 山本和太郎:熱帯農学会誌 13:213, 1941(昭16) ; 山本和太郎:日植病報 21(4):168, 1956 [備考] 台湾。マチク・リョクチク。病菌の異名はマダケすす病参照 (注) (3)文献年和暦訂正、(4)文献号数訂正	山本和太郎:日植病報 10(2-3):259, 1940(昭16) [備考] 台湾。マチク・チョウシチク(<i>Bambusa dolichoclada</i>) (4) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 19(1):3, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957 [備考] 台湾。マチク (5) <i>Triposporiopsis spinigera</i> (Höhnelt) W. Yamamoto 山本和太郎:熱帯農学会誌 13:213, 1941(昭16) ; 山本和太郎:日植病報 21(4):168, 1956 [備考] 台湾。マチク・リョクチク。病菌の異名はマダケすす病参照
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ブロムグラス(スズメノチャヒキ) Brome grass <i>Bromus</i> spp. (牧草・芝草) スムースブロムグラス, オーンレスブロムグラス(コスズメノチャヒキ) Smooth brome <i>Bromus inermis</i> Leyss. マウンテンブロムグラス Mountain brome <i>Bromus marginatus</i> Nees ex Steud. ノゲイヌムギ <i>Bromus sitchensis</i> Trin. レスクグラス, プレーリーグラス(イヌムギ) Rescue grass <i>Bromus unioloides</i> H.B.K. [<i>Bromus catharticus</i> Vahl] 立枯病 tachigare-byo <i>Gaeumannomyces graminis</i> (Saccardo) Arx & D.L. Olivier var. <i>tritici</i> J. Walker 宮島邦之:農及園 60(7):903, 1985 ; 宮島邦之ら:日植病報 52(1):141, 1986 [備考] スムースブロムグラスとマウンテンブロムグラスに発生。病原菌の異名はコムギ立枯病	イネ科 Gramineae, Poaceae ブロムグラス(スズメノチャヒキ) Brome grass <i>Bromus</i> spp. (牧草・芝草) スムースブロムグラス, オーンレスブロムグラス(コスズメノチャヒキ) Smooth brome <i>Bromus inermis</i> Leyss. マウンテンブロムグラス Mountain brome <i>Bromus marginatus</i> Nees ex Steud. ノゲイヌムギ <i>Bromus sitchensis</i> Trin. レスクグラス, プレーリーグラス(イヌムギ) Rescue grass <i>Bromus unioloides</i> H.B.K. [<i>Bromus catharticus</i> Vahl] 立枯病 tachigare-byo <i>Gaeumannomyces graminis</i> (Saccardo) Arx & D.L. Olivier var. <i>tritici</i> J. Walker 宮島邦之:農及園 60(7):903, 1985 ; 宮島邦之ら:日植病報 52(1):141, 1981 [備考] スムースブロムグラスとマウンテンブロムグラスに発生。病原菌の異名はコムギ立枯病
--	--

参照 (注) 文献年訂正	参照
---------------------	----

イネ科 Gramineae, Poaceae バミューダグラス(ギョウギシバ) Bermuda grass <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers. (牧草・芝草) 改良バミューダグラス <i>Cynodon dactylon</i> × <i>Cynodon transvaalensis</i> ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot <i>Clarireedia monteithiana</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch [<i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett] 谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993 ; 月星隆雄ら:日植病報 87(1):15, 2021 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 49(2):71, 2021 [備考] Tsukiboshi <i>et al.</i> (2021)は <i>S. homoeocarpa</i> を <i>Clarireedia</i> 属菌に再同定した (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae バミューダグラス(ギョウギシバ) Bermuda grass <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers. (牧草・芝草) 改良バミューダグラス <i>Cynodon dactylon</i> × <i>Cynodon transvaalensis</i> ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot <i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett 谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草) 斑点病 hanten-byo Eye spot <i>Mastigosporium rubricosum</i> (Dearness & Bartholomew) Nannfeldt 北海道農試牧草3研:北農 38(1):21, 1971 ; 成田武四:北日本病虫研報 24:65, 1973 (注) 文献年訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草) 斑点病 hanten-byo Eye spot <i>Mastigosporium rubricosum</i> (Dearness & Bartholomew) Nannfeldt 北海道農試牧草3研:北農 38(1):21, 1971 ; 成田武四:北日本病虫研報 24:65, 1974
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae センチピードグラス Centipedegrass <i>Eremochloa ophiuroides</i> (Munro) Hack. (牧草・芝草) ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot <i>Clarireedia jacksonii</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch [<i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett] 月星隆雄ら:日植病報 76(3):198, 2010 ; 月星隆雄ら:日植病報 87(1):15, 2021 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 49(2):71, 2021 [備考] Tsukiboshi <i>et al.</i> (2021)は <i>S. homoeocarpa</i> を <i>Clarireedia</i> 属菌に再同定した (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae センチピードグラス Centipedegrass <i>Eremochloa ophiuroides</i> (Munro) Hack. (牧草・芝草) ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot <i>Sclerotinia homoeocarpa</i> Bennett 月星隆雄ら:日植病報 76(3):198, 2010
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>Festuca arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>Festuca longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch ナギナタガヤ Rat's tail <i>Festuca myuros</i> L. シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>Festuca ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>Festuca pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ) Creeping red fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>Festuca arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>Festuca longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch ナギナタガヤ Rat's tail <i>Festuca myuros</i> L. シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>Festuca ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>Festuca pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ) Creeping red fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i>
--	--

かさ枯病 kasagare-byo Halo blight <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>atropurpurea</i> (Reddy & Godkin 1923) Young, Dye & Wilkie 1978 舟山広治ら:北日本病虫研報 13:76, 1962 ; 富永時任:日植病報 34(4):242, 1968 ; 富永時任:農技研報 C 25:244, 1971 [備考] 病原細菌の異名はブロムグラスかさ枯病参照 (注) 文献著者修正	かさ枯病 kasagare-byo Halo blight <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>atropurpurea</i> (Reddy & Godkin 1923) Young, Dye & Wilkie 1978 舟山広治:北日本病虫研報 13:76, 1962 ; 富永時任:日植病報 34(4):242, 1968 ; 富永時任:農技研報C 25:244, 1971 [備考] 病原細菌の異名はブロムグラスかさ枯病参照
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>Festuca arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>Festuca longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch ナギナタガヤ Rat's tail <i>Festuca myuros</i> L. シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>Festuca ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>Festuca pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ) Creeping red fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i> 縁枯病 fuchigare-byo <i>Drechslera nobleae</i> McKenzie & D. Matthews 西原夏樹:日植病報 49(3):404, 1983 (注) 文献年訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>Festuca arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>Festuca longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch ナギナタガヤ Rat's tail <i>Festuca myuros</i> L. シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>Festuca ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>Festuca pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ) Creeping red fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i> 縁枯病 fuchigare-byo <i>Drechslera nobleae</i> McKenzie & D. Matthews 西原夏樹:日植病報 49(3):404, 1984
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 株腐病 kabugusare-byo Foot-rot, Rhizoctoniose (紋枯病, 株腐菌核病, 菌核病) (1) <i>Ceratobasidium cereale</i> D.I. Murray & Burpee Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(2):110, 2021 (2) <i>Ceratobasidium gramineum</i> (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki [<i>Corticium gramineum</i> Ikata & T. Matsuura, <i>Rhizoctonia cerealis</i> E.P. Hoeven] 横木国臣:日植病報 2(4):385, 1931(昭6); 松浦 義: 病虫雑 17(7):448, 1930(昭5); 鬼木正臣ら:日菌報 27(2):147, 1986; 高松 進:福井農試特別報 9:9, 1989 [備考] 本菌は積雪下で雪腐症状を起こすことが ある (高松 進:日植病報 52(1):121, 1986) (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 株腐病 kabugusare-byo Foot-rot, Rhizoctoniose (紋枯病, 株腐菌核病, 菌核病) <i>Ceratobasidium gramineum</i> (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki [<i>Corticium gramineum</i> Ikata & T. Matsuura, <i>Rhizoctonia cerealis</i> E.P. Hoeven] 横木国臣:日植病報 2(4):385, 1931(昭6); 松浦 義: 病虫雑 17(7):448, 1930(昭5); 鬼木正臣ら:日菌報 27(2):147, 1986; 高松 進:福井農試特別報 9:9, 1989 [備考] 本菌は積雪下で雪腐症状を起こすことが ある (高松 進:日植病報 52(1):121, 1986)
イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 赤色粒 sekishoku-ryu Pink seed <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 川口 章ら:日植病報 84(3):256, 2018 ; 川口 章ら: 日植病報 85(3):307, 2019 ; Kawaguchi, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(2):106, 2021 [備考] 種子が赤色～ピンク色になる (注) 病原再同定	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 赤色粒 sekishoku-ryu Pink seed <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 川口 章ら:日植病報 84(3):256, 2018 ; 川口 章ら: 日植病報 85(3):307, 2019 [備考] 種子が赤色～ピンク色になる

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種 ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot (1) <i>Clarireedia jacksonii</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch (2) <i>Clarireedia</i> sp. [<i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett] 谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993 ; 月星隆雄ら:日植病報 87(1):15, 2021 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 49(2):71, 2021 [備考] Tsukiboshi <i>et al.</i> (2021)は <i>S. homoeocarpa</i> を <i>Clarireedia</i> 属菌に再同定した (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種 ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot <i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett 谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種 北地モザイク病 <i>hokuchi-mosaic</i>-byo	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種 北地モザイク病 <i>hokuchi-mosaic</i>-byo
---	---

<i>Northern cereal mosaic cytorhabdovirus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス [<i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV)] 御子柴義郎ら:日植病報 50(1):108, 1984 (注) 文献年訂正	<i>Northern cereal mosaic cytorhabdovirus</i> (NCMV) ムギ北地モザイクウイルス [<i>Northern cereal mosaic virus</i> (NCMV)] 御子柴義郎ら:日植病報 50(1):108, 1982
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 葉しょう網斑病 yosho-amihan-byo Sheath net-blotch (葉鞘網斑病) (1) <i>Cylindrocladium scoparium</i> Morgan 松浦 義:病虫雑 29(6):286, 1942(昭17) ; 青柳和雄: 日植病報 27(3):147, 1962 (2) <i>Meira</i> sp. 磯田 淳・近藤亜美:日植病報 87(1):29, 2021 (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 葉しょう網斑病 yosho-amihan-byo Sheath net-blotch (葉鞘網斑病) <i>Cylindrocladium scoparium</i> Morgan 松浦 義:病虫雑 29(6):286, 1942(昭17) ; 青柳和雄: 日植病報 27(3):147, 1962
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ穀粒 Rice grain <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 褐色米 kasshoku-mai Discoloured rice grains (黒色米, 暗色米, 茶米, 濃茶米, 淡茶米, 褐点米) (1) <i>Curvularia intermedia</i> Boedijn, <i>Curvularia clavata</i> B.L. Jain, <i>Curvularia inaequalis</i> (Shear) Boedijn, <i>Curvularia lunata</i> (Wakker) Boedijn, <i>Curvularia ovoidea</i> (Hiroe & N. Watanabe) Muntañola-Cvetković	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ穀粒 Rice grain <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 褐色米 kasshoku-mai Discoloured rice grains (黒色米, 暗色米, 茶米, 濃茶米, 淡茶米, 褐点米) (1) <i>Curvularia intermedia</i> Boedijn, <i>Curvularia clavata</i> B.L. Jain, <i>Curvularia inaequalis</i> (Shear) Boedijn, <i>Curvularia lunata</i> (Wakker) Boedijn, <i>Curvularia ovoidea</i> (Hiroe & N. Watanabe) Muntañola-Cvetković
---	---

伊藤誠哉・石山哲爾:札幌農林学会報 21(96):218, 1929(昭4); 竹谷宏二ら:日植病報 45(1):98, 1979; 梅原吉廣・中川俊昭:日植病報 46(3):369, 1980 (2) <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler, <i>Alternaria oryzae</i> Hara, <i>Alternaria</i> spp. 伊藤誠哉・石山哲爾:札幌農林学会報 21(96):218, 1929(昭4); 梅原吉廣・中川俊昭:日植病報 46(3):369, 1980 (3) <i>Sarocladium oryzae</i> (Sawada) W. Gams & D. Hawksworth [<i>Sarocladium attenuatum</i> W. Gams & D. Hawksworth] 那須英夫ら:日植病報 50(3):386, 1984; 那須英夫:日植病報 70(2):106, 2004 [備考] 本病原はイネ葉鞘腐敗病菌である (4) <i>Phoma</i> spp. 那須英夫ら:日植病報 48(1):100, 1982 [備考] 内穎褐変病細菌, ごま葉枯菌病, 斑点病菌, 腹黒米菌, 紅変米菌によって褐色米が発生することがある。<i>Curvularia lunata</i> の異名はイネにせいもち病参照 (注) 備考中の注書きを削除。編集後の消し忘れか。	伊藤誠哉・石山哲爾:札幌農林学会報 21(96):218, 1929(昭4); 竹谷宏二ら:日植病報 45(1):98, 1979; 梅原吉廣・中川俊昭:日植病報 46(3):369, 1980 (2) <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler, <i>Alternaria oryzae</i> Hara, <i>Alternaria</i> spp. 伊藤誠哉・石山哲爾:札幌農林学会報 21(96):218, 1929(昭4); 梅原吉廣・中川俊昭:日植病報 46(3):369, 1980 (3) <i>Sarocladium oryzae</i> (Sawada) W. Gams & D. Hawksworth [<i>Sarocladium attenuatum</i> W. Gams & D. Hawksworth] 那須英夫ら:日植病報 50(3):386, 1984; 那須英夫:日植病報 70(2):106, 2004 [備考] 本病原はイネ葉鞘腐敗病菌である。(注)これにより <i>Cephalosporium</i> sp. は削除する (4) <i>Phoma</i> spp. 那須英夫ら:日植病報 48(1):100, 1982 [備考] 内穎褐変病細菌, ごま葉枯菌病, 斑点病菌, 腹黒米菌, 紅変米菌によって褐色米が発生することがある。<i>Curvularia lunata</i> の異名はイネにせいもち病参照
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae パスパルム(スズメノヒエ) <i>Paspalum</i> <i>Paspalum</i> spp. (牧草・芝草) ダリスグラス(シマスズメノヒエ) <i>Dallisgrass</i> <i>Paspalum dilatatum</i> Poir. キシウスズメノヒエ(カリマタスズメノヒエ) Knotgrass <i>Paspalum distichum</i> L. バヒアグラス(アメリカスズメノヒエ) Bahiagrass <i>Paspalum notatum</i> Flügge	イネ科 Gramineae, Poaceae パスパルム(スズメノヒエ) <i>Paspalum</i> <i>Paspalum</i> spp. (牧草・芝草) ダリスグラス(シマスズメノヒエ) <i>Dallisgrass</i> <i>Paspalum dilatatum</i> Poir. キシウスズメノヒエ(カリマタスズメノヒエ) Knotgrass <i>Paspalum distichum</i> L. バヒアグラス(アメリカスズメノヒエ) Bahiagrass <i>Paspalum notatum</i> Flügge
--	--

ベージグラス(タチスズメノヒエ) Vaseygrass <i>Paspalum urvillei</i> Steud. ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot <i>Clarireedia monteithiana</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 49(2):71, 2021 [備考] シーショアパスパルム(サワスズメノヒエ, <i>P. vaginatum</i> Swartz.)に発生。接種試験なし (注) 新病名	ベージグラス(タチスズメノヒエ) Vaseygrass <i>Paspalum urvillei</i> Steud.
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae パスパルム(スズメノヒエ) Paspalum <i>Paspalum</i> spp. (牧草・芝草) ダリスグラス(シマスズメノヒエ) Dallisgrass <i>Paspalum dilatatum</i> Poir. キシュウスズメノヒエ(カリマタスズメノヒエ) Knotgrass <i>Paspalum distichum</i> L. バヒアグラス(アメリカスズメノヒエ) Bahia grass <i>Paspalum notatum</i> Flügge ベージグラス(タチスズメノヒエ) Vaseygrass <i>Paspalum urvillei</i> Steud. ++++斑点性病害 hantensei-byogai 病原未記載 寺中理明ら:九病虫研会報 15:19, 1969 [備考] ダリスグラス。病原菌未同定 (注) 文献年訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae パスパルム(スズメノヒエ) Paspalum <i>Paspalum</i> spp. (牧草・芝草) ダリスグラス(シマスズメノヒエ) Dallisgrass <i>Paspalum dilatatum</i> Poir. キシュウスズメノヒエ(カリマタスズメノヒエ) Knotgrass <i>Paspalum distichum</i> L. バヒアグラス(アメリカスズメノヒエ) Bahia grass <i>Paspalum notatum</i> Flügge ベージグラス(タチスズメノヒエ) Vaseygrass <i>Paspalum urvillei</i> Steud. ++++斑点性病害 hantensei-byogai 病原未記載 寺中理明ら:九病虫研会報 15:19, 1970 [備考] ダリスグラス。病原菌未同定
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy <i>Phleum pratense</i> L.	イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy <i>Phleum pratense</i> L.
---	---

(牧草・芝草) 冠さび病 kansabi-byo Crown rust <i>Puccinia coronata</i> Corda var. <i>coronata</i> 寺中理明ら:九病虫研会報 15:19, 1969 (注) 文献年訂正	(牧草・芝草) 冠さび病 kansabi-byo Crown rust <i>Puccinia coronata</i> Corda var. <i>coronata</i> 寺中理明ら:九病虫研会報 15:19, 1970
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus</i> <i>argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Eutypa kusanoi</i> Hennings 日野 巖・勝本 謙:宇部短大学術年報 3:106, 1963 [備考] リュウキュウチク (注) 文献名修正	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus</i> <i>argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Eutypa kusanoi</i> Hennings 日野 巖・勝本 謙:宇部短大研報 3:106, 1963 [備考] リュウキュウチク
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass	イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass
--	--

<i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L. ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot <i>Claviceptis jacksonii</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 49(2):71, 2021 [備考] ケンタッキーブルーグラスとラフストーク メドウグラス(オオスズメノカタビラ, <i>P.</i> <i>trivialis</i> L.)に発生。接種試験未了 (注) 新病名	<i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L.
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae サトウキビ(甘蔗) Sugar cane <i>Saccharum officinarum</i> L. (特用作物) 眼点病* ganten-byo Eye spot (眼状斑点病, ヘルミントスポリウム病) <i>Bipolaris sacchari</i> (E.J. Butler) Shoemaker [<i>Cercospora sacchari</i> Breda de Haan, <i>Helminthosporium sacchari</i> (Breda de Haan) E.J. Butler, <i>Helminthosporium ocellum</i> Faris] 川上瀧弥:甘蔗病害論 1:75, 1908(明41) ; 西門義 一:農学研究 7:163, 1925(大14) (注) 文献年訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae サトウキビ(甘蔗) Sugar cane <i>Saccharum officinarum</i> L. (特用作物) 眼点病* ganten-byo Eye spot (眼状斑点病, ヘルミントスポリウム病) <i>Bipolaris sacchari</i> (E.J. Butler) Shoemaker [<i>Cercospora sacchari</i> Breda de Haan, <i>Helminthosporium sacchari</i> (Breda de Haan) E.J. Butler, <i>Helminthosporium ocellum</i> Faris] 川上瀧弥:甘蔗病害論 1:75, 1908(明41) ; 西門義 一:農学研究 7:163, 1921(大10)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae	イネ科 Gramineae, Poaceae
------------------------	------------------------

コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight (赤黴病, 黒点病, 赤麴病) (1) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser 富岡啓介ら:日植病報 86(1):58, 2020 ; Tomioka, K. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):39, 2021 [備考] マカロニコムギに発生 (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 栃内吉彦・杉本利哉:日植病報 17(3-4):182, 1953 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (3) <i>Fusarium crookwellense</i> L.W. Burgess, P.E. Nelson & Toussoun Sugiura, Y. et al.:Mycoscience 35(1):77, 1994 (4) <i>Fusarium culmorum</i> (W.G. Smith) Saccardo 小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (5) <i>Gibberella zeae</i> (Schweinitz) Petch 出田 新:実用植物病理学 196, 1902(明35) ; 西門義一:農業改良技術資料 97:10, 1958 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (6) <i>Microdochium majus</i> (Wollenweber) Glynn & S.G. Edwards Hayashi, Y. et al.:Eur. J. Plant Pathol. 140(4):787, 2014 (7) <i>Microdochium nivale</i> (Fries) Samuels & I.C. Hallett [<i>Monographella nivalis</i> (Schaffnit) E. Müller, <i>Fusarium nivale</i> Cesati ex Berlese & Voglino] 小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983 ; Hayashi, Y. et al.:Eur. J. Plant Pathol. 140(4):787, 2014 [備考] 病原菌の異名と使用種名, 文献についての解説はオオムギ赤かび病参照	コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 赤かび病 akakabi-byo Scab, Fusarium blight (赤黴病, 黒点病, 赤麴病) (1) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser 富岡啓介ら:日植病報 86(1):58, 2020 [備考] マカロニコムギに発生 (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 栃内吉彦・杉本利哉:日植病報 17(3-49):182, 1953 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (3) <i>Fusarium crookwellense</i> L.W. Burgess, P.E. Nelson & Toussoun Sugiura, Y. et al.:Mycoscience 35(1):77, 1994 (4) <i>Fusarium culmorum</i> (W.G. Smith) Saccardo 小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (5) <i>Gibberella zeae</i> (Schweinitz) Petch 出田 新:実用植物病理学 196, 1902(明35) ; 西門義一:農業改良技術資料 97:10, 1958 [備考] 病原菌の異名はオオムギ赤かび病参照 (6) <i>Microdochium majus</i> (Wollenweber) Glynn & S.G. Edwards Hayashi, Y. et al.:Eur. J. Plant Pathol. 140(4):787, 2014 (7) <i>Microdochium nivale</i> (Fries) Samuels & I.C. Hallett [<i>Monographella nivalis</i> (Schaffnit) E. Müller, <i>Fusarium nivale</i> Cesati ex Berlese & Voglino] 小泉信三ら:日植病報 49(3):396, 1983 ; Hayashi, Y. et al.:Eur. J. Plant Pathol. 140(4):787, 2014 [備考] 病原菌の異名と使用種名, 文献についての解説はオオムギ赤かび病参照
--	---

(注) (1)文献追加、(2)文献号数訂正	
-----------------------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 株腐病 kabugusare-byo Foot-rot, Rhizoctoniose (紋枯病, 株腐菌核病, 菌核病) (1) <i>Ceratobasidium cereale</i> D.I. Murray & Burpee Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(2):110, 2021 [備考] パンコムギ, マカロニコムギに発生 (2) <i>Ceratobasidium gramineum</i> (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki 横木国臣:日植病報 2(4):385, 1931(昭 6); 松浦 義: 病虫雑 17(7):448, 1930(昭 5); 鬼木正臣ら:日菌報 27(2):147, 1986; 高松 進:福井農試特別報 9:9, 1989 [備考] 病原菌の異名および積雪下の症状につい てはオオムギ株腐病参照 (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 株腐病 kabugusare-byo Foot-rot, Rhizoctoniose (紋枯病, 株腐菌核病, 菌核病) <i>Ceratobasidium gramineum</i> (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki 横木国臣:日植病報 2(4):385, 1931(昭 6); 松浦 義: 病虫雑 17(7):448, 1930(昭 5); 鬼木正臣ら:日菌報 27(2):147, 1986; 高松 進:福井農試特別報 9:9, 1989 [備考] 病原菌の異名および積雪下の症状につい てはオオムギ株腐病参照
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 眼紋病 gammon-byo Eyespot (1) <i>Oculimacula acufiformis</i> (Boerema, R. Pieters & Hamers) Crous & W. Gams [<i>Pseudocercospora</i> <i>herpotrichoides</i> (Fron) Deighton] 古屋廣光:日植病報 50(1):77, 1984 ; 竹内 徹ら:日	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 眼紋病 gammon-byo Eye spot <i>Pseudocercospora herpotrichoides</i> (Fron) Deighton 古屋廣光:日植病報 50(1):77, 1984
---	---

植病報 84(4):275, 2018 ; 竹内 徹:道総研農試集報 104:59, 2020 [備考] 竹内ら(2018)と竹内(2020)は学名変更を提案し, 病原性を確認した (2) <i>Oculimacula yallundae</i> (Wallwork & Spooner) Crous & W. Gams [<i>Pseudocercospora herpotrichoides</i> (Fron) Deighton] 古屋廣光:日植病報 50(1):77, 1984 ; 竹内 徹ら:日植病報 84(4):275, 2018 ; 竹内 徹:道総研農試集報 104:59, 2020 [備考] 竹内ら(2018)と竹内(2020)は学名変更を提案し, 病原性を確認した (注) 病原学名変更、病名英名を1単語に変更	
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. †††† binucleate <i>Rhizoctonia</i> 三澤知央:日植病報 87(1):26, 2021 [備考] 葉鞘腐敗症状。菌糸融合群 AG-DI (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf.
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) Zoysia grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud.	イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) Zoysia grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud.
--	--

ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot (1) <i>Clarireedia jacksonii</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch (2) <i>Clarireedia monteithiana</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch [<i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett] 谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993 ; 月星隆雄ら:日植病報 87(1):15, 2021 ; Tsukiboshi, T. et al.:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 49(2):71, 2021 [備考] ノシバとコウライシバに発生。Tsukiboshi et al. (2021)は <i>S. homoeocarpa</i> を <i>Clarireedia</i> 属菌に再同定した (注) 病原学名変更、備考変更	ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot <i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett 谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993 [備考] コウライシバに発生。本菌は <i>Sclerotinia</i> 属の種ではないとされるが所属未定 (Kohn, L.:Mycotaxon 9:413, 1979)
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) <i>Zoysia</i> grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne graminis</i> (Sledge & Golden) Whitehead シバネコブセンチュウ 西澤 務:今月の農薬 29(9):26, 1985 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ	イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) <i>Zoysia</i> grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (1) <i>Meloidogyne graminis</i> (Sledge & Golden) Whitehead シバネコブセンチュウ 西澤 務:今月の農薬 29(9):26, 1985 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ
---	---

一戸 稔:農及園 40(6):973, 196⁵ ; Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970 (3) <i>Meloidogyne marylandi</i> Jepson 荒城雅昭:日線虫研誌 22:49, 1992 (注) 文献年訂正	一戸 稔:農及園 40(6):973, 196³ ; Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970 (3) <i>Meloidogyne marylandi</i> Jepson 荒城雅昭:日線虫研誌 22:49, 1992
---	--

トチノキ科 Hippocastanaceae トチノキ(七葉樹) Japanese horse chestnut <i>Aesculus turbinata</i> Blume (広葉樹) インドトチノキ <i>Aesculus indica</i> (Wall. ex Cambess.) Hook. 白かび病 shirokabi-byo (褐斑病, 白黴病) <i>Septocylindrium aesculi</i> Togashi & Egami 江川利夫:病虫雑 18(12):722, 1931(昭6) ; 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学術報 17:53, 1934(昭9) (注) 文献著者名訂正	トチノキ科 Hippocastanaceae トチノキ(七葉樹) Japanese horse chestnut <i>Aesculus turbinata</i> Blume (広葉樹) インドトチノキ <i>Aesculus indica</i> (Wall. ex Cambess.) Hook. 白かび病 shirokabi-byo (褐斑病, 白黴病) <i>Septocylindrium aesculi</i> Togashi & Egami 江川利夫:病虫雑 18(12):722, 1931(昭6) ; 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:53, 1934(昭9)
---	--

オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura, <i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc.]	オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura, <i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc.]
--	--

キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 43(4):253, 1999 [備考] 丹田(1999)の病害はビヨウヤナギに発生 (注) 文献巻数訂正	キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 42(4):253, 1999 [備考] 丹田(1999)の病害はビヨウヤナギに発生
---	---

アヤメ科 Iridaceae クロッカス(サフラン, 洎夫藍) <i>Crocus</i> <i>Crocus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) クロッカス <i>Crocus</i> <i>Crocus sieberi</i> J. Gay サフラン <i>Crocus sativus</i> L. モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Tobacco rattle virus</i> (TRV) タバコ茎えそウイルス 井上成信ら:日植病報 47(3):410, 1981 ; 井上成信 ら:農学研究 61:105, 1986 [備考] 戻し接種なし。ウイルス (未同定) による モザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭7) (注) 文献年訂正	アヤメ科 Iridaceae クロッカス(サフラン, 洎夫藍) <i>Crocus</i> <i>Crocus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) クロッカス <i>Crocus</i> <i>Crocus sieberi</i> J. Gay サフラン <i>Crocus sativus</i> L. モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Tobacco rattle virus</i> (TRV) タバコ茎えそウイルス 井上成信ら:日植病報 47(3):410, 1971 ; 井上成信 ら:農学研究 61:105, 1986 [備考] 戻し接種なし。ウイルス (未同定) による モザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実際園芸 13(4):83, 1932(昭7)
---	--

アヤメ科 Iridaceae イリス類 <i>Iris</i> <i>Iris</i> spp. (草花)	アヤメ科 Iridaceae イリス類 <i>Iris</i> <i>Iris</i> spp. (草花)
--	--

ダッチアイリス Dutch iris <i>Iris</i> Dutch Group ジャーマンアイリス German iris <i>Iris</i> <i>germanica</i> L. アヤメ <i>Iris sanguinea</i> Hornem. ex Donn カキツバタ Rabbitear iris <i>Iris laevigata</i> Fisch. ハナシヨウブ Japanese water iris <i>Iris ensata</i> Thunb. シャガ <i>Iris japonica</i> Thunb. さび病 sabi-byo Rust (赤渋病) <i>Puccinia iridis</i> Rabenhorst [<i>Puccinia iridis</i> Wallroth] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:297, 1904(明 37); 平塚直秀・長谷部早百合:菌蕈研報 16:26, 1978 (注) 文献著者修正	ダッチアイリス Dutch iris <i>Iris</i> Dutch Group ジャーマンアイリス German iris <i>Iris</i> <i>germanica</i> L. アヤメ <i>Iris sanguinea</i> Hornem. ex Donn カキツバタ Rabbitear iris <i>Iris laevigata</i> Fisch. ハナシヨウブ Japanese water iris <i>Iris ensata</i> Thunb. シャガ <i>Iris japonica</i> Thunb. さび病 sabi-byo Rust (赤渋病) <i>Puccinia iridis</i> Rabenhorst [<i>Puccinia iridis</i> Wallroth] 山田玄太郎・大森順造:植物病理学:297, 1904(明 37); 平塚直秀・長谷部早百合:菌蕈研報 16:26, 1978
---	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae アジュガ(セイヨウキランソウ, セイヨウジュウ ニヒトエ, ニシキゴロモ, キンランソウ) (Ajuga) <i>Ajuga</i> spp. (草花) 雪腐病 yukigusare-byo <i>Sclerotinia nivalis</i> I. Saito Saito, I.:Mycoscience 38:227, 1997 ; 齊藤 泉:日菌 報 38(2):97, 1997 [備考] 接種試験未了。<i>A. reptans</i> に発生 (注) 文献年訂正	シソ科 Labiatae, Lamiaceae アジュガ(セイヨウキランソウ, セイヨウジュウ ニヒトエ, ニシキゴロモ, キンランソウ) (Ajuga) <i>Ajuga</i> spp. (草花) 雪腐病 yukigusare-byo <i>Sclerotinia nivalis</i> I. Saito Saito, I.:Mycoscience 38:227, 1997 ; 齊藤 泉:日菌 報 38(2):97, 1977 [備考] 接種試験未了。<i>A. reptans</i> に発生
---	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae ヤマハッカ類 (Isodon) <i>Isodon</i> spp.	シソ科 Labiatae, Lamiaceae ヤマハッカ類 (Isodon) <i>Isodon</i> spp.
--	--

(野草) ヤマハッカ(オオバヤマハッカ) <i>Isodon inflexus</i> (Thunb.) Kudô ヒキオコシ <i>Isodon japonica</i> (Burm.f.) Hara タイリンヤマハッカ(カメバヒキオコシ) <i>Isodon umbrosus</i> (Maxim.) H. Hara うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe huayinensis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了。タイリンヤマハッカに発生 (2) <i>Erysiphe plectranthi</i> H.D. Shin & Y.J. La 丹田誠之助:東農大農学集報 41:203, 1997 [備考] ヤマハッカ・タイリンヤマハッカに発生 (注) 文献著者修正	(野草) ヤマハッカ(オオバヤマハッカ) <i>Isodon inflexus</i> (Thunb.) Kudô ヒキオコシ <i>Isodon japonica</i> (Burm.f.) Hara タイリンヤマハッカ(カメバヒキオコシ) <i>Isodon umbrosus</i> (Maxim.) H. Hara うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe huayinensis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了。タイリンヤマハッカに発生 (2) <i>Erysiphe plectranthi</i> H.D. Shin & Y.J. La 丹田誠之助:東農大農学集報 41:203, 1997 [備考] ヤマハッカ・タイリンヤマハッカに発生
---	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae ニホンハッカ(日本薄荷) Japanese mint <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinvand (特用作物) 黒腐病 kurogusare-byo (立枯病, 根腐病, 種根腐敗病, 地下茎腐敗病, 黒枯病, 葉黒腐病, 種茎腐敗病, 茎腐病) <i>Phoma strasseri</i> Moesz 真野 豊ら:日植病報 29(2):91, 1964 ; 成田武四:北海道における農作物病害:136, 1977 ; 成田武四:北海道農作物病害総覧:286, 1980 (注) 文献年訂正	シソ科 Labiatae, Lamiaceae ニホンハッカ(日本薄荷) Japanese mint <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinvand (特用作物) 黒腐病 kurogusare-byo (立枯病, 根腐病, 種根腐敗病, 地下茎腐敗病, 黒枯病, 葉黒腐病, 種茎腐敗病, 茎腐病) <i>Phoma strasseri</i> Moesz 真野 豊ら:日植病報 24(2):91, 1964 ; 成田武四:北海道における農作物病害:136, 1977 ; 成田武四:北海道農作物病害総覧:286, 1980
--	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae	シソ科 Labiatae, Lamiaceae
-------------------------	-------------------------

ニホンハッカ(日本薄荷) Japanese mint <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinvand (特用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ ナリアネコブセンチュウ 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera</i> <i>radicicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュ ウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等はサツマイモの根こぶ 線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] ヒメハッカ。病原線虫の異名等はサツマ イモの根こぶ線虫病を参照 (注) (2)文献巻号頁訂正	ニホンハッカ(日本薄荷) Japanese mint <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinvand (特用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ ナリアネコブセンチュウ 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera</i> <i>radicicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュ ウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応 動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等はサツマイモの根こぶ 線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] ヒメハッカ。病原線虫の異名等はサツマ イモの根こぶ線虫病を参照
--	--

クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠) Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 黒 点病) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella cinnamomi</i> Yoshino, <i>Guignardia cinnamomi</i> (Yoshino) Hara] 吉野毅一:植物学雑 21(248):229, 1907(明40) ; 伊	クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠) Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 黒 点病) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella cinnamomi</i> Yoshino, <i>Guignardia cinnamomi</i> (Yoshino) Hara] 吉野毅一:植物学雑 21(248):229, 1907(明40) ; 伊
--	--

藤一雄・林 弘子:林試研報 135:1, 1962 (注) 文献号数訂正	藤一雄・林 弘子:林試研報 195:1, 1962
--	----------------------------------

クスノキ科 Lauraceae クロモジ(黒文字, 鳥樟) Kuromoji <i>Lindera umbellata</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Phyllosticta linderae</i> Ellis & Everhart 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学術報 17:40, 1934(昭9) [備考] クロモジ・ダンコウバイ (注) 文献著者名修正	クスノキ科 Lauraceae クロモジ(黒文字, 鳥樟) Kuromoji <i>Lindera umbellata</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Phyllosticta linderae</i> Ellis & Everhart 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:40, 1934(昭9) [備考] クロモジ・ダンコウバイ
---	--

クスノキ科 Lauraceae クロモジ(黒文字, 鳥樟) Kuromoji <i>Lindera umbellata</i> Thunb. (広葉樹) †††† †<i>Cercospora lindericola</i> W. Yamamoto 山本和太郎:熱帯農学会誌 6(3):603, 1934(昭9) [備考] 台湾。オオバコウバシ (<i>L. oldhamii</i>) (注) 文献表記を多数派と合わせた	クスノキ科 Lauraceae クロモジ(黒文字, 鳥樟) Kuromoji <i>Lindera umbellata</i> Thunb. (広葉樹) †††† †<i>Cercospora lindericola</i> W. Yamamoto 山本和太郎:熱帯農学 6(3):603, 1934(昭9) [備考] 台湾。オオバコウバシ (<i>L. oldhamii</i>)
--	---

クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp.	クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp.
--	--

(広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉楠, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. †がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo <i>Exobasidium machili</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):422, 1919(大8); 澤田兼吉:台湾博物学会報 9(41):66, 1919(大8) [備考] 台湾。アオクスモドキ(<i>M. pseudolongifolia</i>) (注) 文献年和暦修正	(広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉楠, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. †がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo <i>Exobasidium machili</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):422, 1919(大9); 澤田兼吉:台湾博物学会報 9(41):66, 1919(大9) [備考] 台湾。アオクスモドキ(<i>M. pseudolongifolia</i>)
--	---

クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (<i>Machilus</i>) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉楠, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):213, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, タブノキでの接種試験に成功した (2) <i>Cephaleuros microcellularis</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):213, 2009 ;	クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (<i>Machilus</i>) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉楠, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):213, 2009 ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, タブノキでの接種試験に成功した (2) <i>Cephaleuros microcellularis</i> Y. Suto & S. Ohtani Suto, Y. & Ohtani, S.:Phycologia 48(4):213, 2009 ;
--	--

周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, タブノキでの接種試験に成功した (3) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大12) ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, タブノキでの接種試験に成功した (注) (3)文献年和暦修正	周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, タブノキでの接種試験に成功した (3) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11) ; 周藤靖雄・大谷修二:Jpn. J. Phycol. (Sorui) 59:131, 2011 [備考] 周藤・大谷(2011)は, タブノキでの接種試験に成功した
---	---

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203,	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203,
--	--

2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(1):004582, 2021 (8) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (注) 病原追加	2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983
---	--

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱)	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱)
--	--

Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 白色疫病 shiroiro-eki-byo <i>Phytophthora porri</i> Foister 横山佐太正・吉田桂輔:九病虫研会報 13:35, 1967 ; 横山佐太正ら:日植病報 34(3):167, 1968 ; 桂 琦一ら:日植病報 35(1):55, 1969 ; 桂 琦一:関 西病虫研報 11:71, 1969 ; 横山佐太正:福岡農試特 報 22:1, 1976 (注) 文献巻数訂正	Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 白色疫病 shiroiro-eki-byo <i>Phytophthora porri</i> Foister 横山佐太正・吉田桂輔:九病虫研会報 13:35, 1967 ; 横山佐太正ら:日植病報 3(3):167, 1968 ; 桂 琦一ら:日植病報 35(1):55, 1969 ; 桂 琦一:関西病 虫研報 11:71, 1969 ; 横山佐太正:福岡農試特報 22:1, 1976
--	--

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 灰色腐敗病 haiiro-fuhai-byo Gray-mold neck rot (菌核性腐敗病, 白斑葉枯病) (1) <i>Botrytis aclada</i> Fresenius 野津あゆみ・児玉不二雄:日植病報 80(1):62, 2014 ; Notsu, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):9, 2021 (2) <i>Botrytis allii</i> Munn 逸見武雄:農及園 10(1):308, 1935(昭10) [備考] <i>Botrytis allii</i>, <i>B. byssoidea</i>, <i>B. squamosa</i>, <i>B.</i> <i>tulipae</i> によって葉身の斑点, 葉枯れ症状を起こ すことが知られている (高桑 亮ら:日植病報 37(3):167, 1971 ; 松尾綾男ら:兵庫農試研報 19:85, 1971 ; 高桑 亮ら:北農集報 29:1, 1974) (注) 文献追加	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 灰色腐敗病 haiiro-fuhai-byo Gray-mold neck rot (菌核性腐敗病, 白斑葉枯病) (1) <i>Botrytis aclada</i> Fresenius 野津あゆみ・児玉不二雄:日植病報 80(1):62, 2014 (2) <i>Botrytis allii</i> Munn 逸見武雄:農及園 10(1):308, 1935(昭10) [備考] <i>Botrytis allii</i>, <i>B. byssoidea</i>, <i>B. squamosa</i>, <i>B.</i> <i>tulipae</i> によって葉身の斑点, 葉枯れ症状を起こ すことが知られている (高桑 亮ら:日植病報 37(3):167, 1971 ; 松尾綾男ら:兵庫農試研報 19:85, 1971 ; 高桑 亮ら:北農集報 29:1, 1974)
--	--

ユリ科 Liliaceae ラッキョウ(薤) Rakkyo, Scallion <i>Allium chinense</i> G. Don (野菜) 乾腐病 kampu-byo Fusarium basal rot (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>allii</i> Matuo, Tooyama & Isaka 遠山 明・油本武義:日植病報 41(1):97, 1975 ; 伊 阪実人:植物防疫 30(9):365, 1976 ; 伊阪実人・岡 本 博:福井短大紀要 2:19, 1977 ; 松尾卓見ら:日植 病報 44(1):105, 1978 (2) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 遠山 明・松尾卓見:日植病報 43(3):340, 1977 ; 遠 山 明・松尾卓見:日植病報 46(3):394, 1980 [備考] 松尾ら (日植病報 26(5):239, 1961) は本病 原菌として <i>F. oxysporum</i> f.sp. <i>gladioli</i>, f.sp. <i>tulipae</i> 及び <i>F. moniliforme</i> をあげたが, 上記の菌の発 見, 著しい病原性の確認によってこれらを除外し た (注) 文献表記を多数派に合わせた	ユリ科 Liliaceae ラッキョウ(薤) Rakkyo, Scallion <i>Allium chinense</i> G. Don (野菜) 乾腐病 kampu-byo Fusarium basal rot (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>allii</i> Matuo, Tooyama & Isaka 遠山 明・油本武義:日植病報 41(1):97, 1975 ; 伊 阪実人:植物防疫 30(9):365, 1976 ; 伊阪実人・岡 本 博:福井短大研紀 2:19, 1977 ; 松尾卓見ら:日植 病報 44(1):105, 1978 (2) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 遠山 明・松尾卓見:日植病報 43(3):340, 1977 ; 遠 山 明・松尾卓見:日植病報 46(3):394, 1980 [備考] 松尾ら (日植病報 26(5):239, 1961) は本病 原菌として <i>F. oxysporum</i> f.sp. <i>gladioli</i>, f.sp. <i>tulipae</i> 及び <i>F. moniliforme</i> をあげたが, 上記の菌の発 見, 著しい病原性の確認によってこれらを除外し た
---	--

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 Sawada, H. et al.:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(5):003018, 2020 ; 澤田宏之ら:日植病報 86(3):232, 2020	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 Sawada, H. et al.:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(5):3018, 2020 ; 澤田宏之ら:日植病報 86(3):232, 2020
---	---

(2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら:日植病報 49(3):415, 1983 (3) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013 (注) 文献間のコロンをセミコロンに変更	(2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら:日植病報 49(3):415, 1983 (3) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013
--	--

ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) †††† (1) <i>Alstroemeria mosaic virus</i> (AlMV) アルストロメリアモザイクウイルス 井上成信ら:日植病報 58(1):135, 1992 ; 安田 茂・夏秋啓子:日植病報 61(6):603, 1995 ; 安田 茂ら:熱帯農業 42:85, 1998 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (2) <i>Alstroemeria virus X</i> Fuji, S. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 150:2377, 2005 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。 <i>Alstroemeria ligtu</i> への戻し接種は無病徴(全身感染, RT-PCRによる確認) (3) <i>Arabid mosaic virus</i> (ArMV) アラビシモザイクウイルス 井上成信ら:日植病報 58(1):135, 1992 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (4) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス 2 Fuji, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73(3):216, 2007 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接	ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) †††† (1) <i>Alstroemeria mosaic virus</i> (AlMV) アルストロメリアモザイクウイルス 井上成信ら:日植病報 58(1):135, 1992 ; 安田 茂・夏秋啓子:日植病報 61(6):603, 1995 ; 安田 茂ら:熱帯農業 42:85, 1998 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (2) <i>Alstroemeria virus X</i> Fuji, S. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 150:2377, 2005 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。 <i>Alstroemeria ligtu</i> への戻し接種は無病徴(全身感染, RT-PCRによる確認) (3) <i>Arabid mosaic virus</i> (ArMV) アラビシモザイクウイルス 井上成信ら:日植病報 58(1):135, 1992 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (4) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス 2 Fuji, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73(3):216, 2007 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接
---	---

種なし (5) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 塩田あづさ ら:関東病虫研報 44:149, 1997 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (6) <i>Grapevine Algerian latent virus</i> (GALV) 富高保弘ら:日植病報 82(3):250, 2016 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (7) <i>Lily symptomless virus</i> (LSV) ユリ潜在ウイルス 藤田 隆ら:日植病報 63(6):486, 1997 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。同定の記載不十分。戻し接種なし (8) Potyvirus# 塩田あづさ ら:関東病虫研報 44:149, 1997 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (9) <i>Youcai mosaic virus</i> (YoMV) アブラナモザイクウイルス 藤田 隆ら:日植病報 63(6):486, 1997 ; Fuji, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73(3):216, 2007 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし。藤田ら(1997)は<i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV タバコモザイクウイルス)と報告し、同定の記載不十分 (注) (7)(9)文献年訂正(備考含めて3か所)	種なし (5) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 塩田あづさ ら:関東病虫研報 44:149, 1997 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (6) <i>Grapevine Algerian latent virus</i> (GALV) 富高保弘ら:日植病報 82(3):250, 2016 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (7) <i>Lily symptomless virus</i> (LSV) ユリ潜在ウイルス 藤田 隆ら:日植病報 63(6):486, 1996 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。同定の記載不十分。戻し接種なし (8) Potyvirus# 塩田あづさ ら:関東病虫研報 44:149, 1997 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (9) <i>Youcai mosaic virus</i> (YoMV) アブラナモザイクウイルス 藤田 隆ら:日植病報 63(6):486, 1996 ; Fuji, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 73(3):216, 2007 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし。藤田ら(1996)は<i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV タバコモザイクウイルス)と報告し、同定の記載不十分
---	--

ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) <i>Asparagus</i> <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig &	ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) <i>Asparagus</i> <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose
--	---

Saccardo 宮島邦之:日植病報59(6):768, 1993 (2) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous 森脇丈治・渡辺慎一:日植病報 86(3):166, 2020 (3) <i>Colletotrichum</i> sp. [<i>Gloeosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 2(3):224, 1915(大4) ; 瀧元清透: 園芸之友 17(3):145, 1921(大10) [備考] 宮島(1993)の<i>C. gloeosporioides</i>との異同は 不明 (注) 病原追加、備考追加	(1) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous 森脇丈治・渡辺慎一:日植病報 86(3):166, 2020 (2) <i>Colletotrichum</i> sp. [<i>Gloeosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 2(3):224, 1915(大4) ; 瀧元清透: 園芸之友 17(3):145, 1921(大10)
--	--

ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 斑点病 hanten-byo Stemphylium leaf spot (1) <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons [<i>Stemphylium botryosum</i> Wallroth] 鈴井孝仁・鑑谷大節:日植病報 26(5):233, 1961 ; 鈴井孝仁:日植病報 39(2):152, 1973 ; 鈴井孝仁:日 植病報 39(4):364, 1973 ; 黒瀬大介ら:日植病報 81(1):100, 2015 ; Kurose, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 (2) <i>Stemphylium lycopersici</i> (Enjoji) W. Yamamoto 富岡啓介ら:日植病報 85(3):227, 2019 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):51, 2021 (注) 文献追加	ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 斑点病 hanten-byo Stemphylium leaf spot (1) <i>Stemphylium herbarum</i> E.G. Simmons [<i>Stemphylium botryosum</i> Wallroth] 鈴井孝仁・鑑谷大節:日植病報 26(5):233, 1961 ; 鈴井孝仁:日植病報 39(2):152, 1973 ; 鈴井孝仁:日 植病報 39(4):364, 1973 ; 黒瀬大介ら:日植病報 81(1):100, 2015 ; Kurose, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 81(5):358, 2015 (2) <i>Stemphylium lycopersici</i> (Enjoji) W. Yamamoto 富岡啓介ら:日植病報 85(3):227, 2019
--	--

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily
---	---

<i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 黒腐菌核病 kurogusare-kinkaku-byo Bulb black rot (1) <i>Sclerotium cepivorum</i> Berkeley var. <i>tulipae</i> Desmazières 若井田正義ら:日植病報 36(3):166, 1970 ; 若井田正義ら:宇都宮大農学報 8(1):7, 1971 [備考] ヤマユリ (<i>Lilium auratum</i>) に発生 (2) <i>Sclerotium denigrans</i> H. Pape Ikeda, S. & Hosoya, T.:J. Gen. Plant Pathol. 87(3):138, 2021 [備考] コオニユリ (<i>Lilium leichtlinii</i> var. <i>tigrinum</i>) に発生 (注) 病原追加	<i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 黒腐菌核病 kurogusare-kinkaku-byo Bulb black rot <i>Sclerotium cepivorum</i> Berkeley var. <i>tulipae</i> Desmazières 若井田正義ら:日植病報 36(3):166, 1970 ; 若井田正義ら:宇都宮大農学報 8(1):7, 1971 [備考] ヤマユリ (<i>Lilium auratum</i>) に発生
---	--

ユリ科 Liliaceae マイヅルソウ(マイズルソウ, 舞鶴草) False lily of the valley <i>Maianthemum dilatatum</i> Nels. & Macbr. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia majanthemi</i> Dietel 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):217, 1950 ; 平塚直秀:日本植物銹菌学研究:321, 1955	ユリ科 Liliaceae マイヅルソウ(マイズルソウ, 舞鶴草) False lily of the valley <i>Maianthemum dilatatum</i> Nels. & Macbr. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia majanthemi</i> Dietel 伊藤誠哉:日本菌類誌 II(3):217, 1950 ; 平塚直秀:日本植物銹菌学研究:321, 1955
--	---

(注) 文献巻数表記を多数派に合わせた	
ユリ科 Liliaceae サンダーソニア Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 竹内 純ら:関東病虫研報 42:143, 1995 ; 植松清次 ら:関東病虫研報 42:137, 1995 (注) 文献ページ訂正	ユリ科 Liliaceae サンダーソニア Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 竹内 純ら:関東病虫研報 42:43, 1995 ; 植松清次 ら:関東病虫研報 42:137, 1995
ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium smilacis</i> Schweinitz Dietel, P.:Hedwigia 37:212, 1898(明31) ; 吉永虎馬: 植物学雑 15(171):95, 1901(明34) [備考] ヤマガシユウ (<i>S. sieboldii</i>) にも発生 (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):131, 1943(昭18) ; 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭18) ; 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961 [備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生 (3) <i>Blastospora itoana</i> Togashi & Onuma 富樫浩吾・大沼総次:植物学雑 45(529):6, 1931(昭 6)	ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium smilacis</i> Schweinitz Dietel, P.:Hedwigia 37:212, 1898(明31) ; 吉永虎馬: 植物学雑 15(171):95, 1901(明34) [備考] ヤマガシユウ (<i>S. sieboldii</i>) にも発生 (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):131, 1943(昭18) ; 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭18) ; 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961 [備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生 (3) <i>Blastospora itoana</i> Togashi & Onuma 富樫浩吾・大沼総治:植物学雑 45(529):6, 1931(昭 6)

[備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシュウ・ランダイサンキライ (<i>S. randaiensis</i>) (4) <i>Blastospora smilacis</i> Dietel [<i>Caeoma makinoi</i> Kusano] Dietel, P.:Ann. Mycol. (6):223, 1908(明41) ; 吉永虎馬・平塚直秀:植物学雑 44(528):633, 1930(昭5) ; Ono, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 78(2):253, 1986 [備考] シオデ・ヤマガシュウ (5) <i>Puccinia caricis-blepharicarpae</i> Hiratsuka, f. 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18(3-4):87, 1949 ; 平塚直秀:東教大農紀要 1:58, 1952 (6) <i>Puccinia citrina</i> P. Sydow & Sydow Sydow, P. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 12:107, 1914(大3) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告) 1:366, 1919(大9) ; 平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):26, 1941(昭16) [備考] サツマサンキライ (<i>S. bracteata</i>)・カラスキバサンキライ (<i>S. japonica</i>)・ナメラサンキライ (<i>S. glabra</i>)・ランダイサンキライにも発生 (7) <i>Puccinia ferruginea</i> Lévillé ex Vaillant [<i>Puccinia smilacis-chinae</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 40:125, 1901(明34) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):5, 1902(明35) ; 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:20, 1926(大15) [備考] シオデ・タチシオデ・サツマサンキライ・カラスキバサンキライ・マルバサンキライ (<i>S. stans</i>)・ヤクシマカカラ (<i>S. china</i> var. <i>yakushimensis</i>) にも発生 (8) <i>Puccinia iriensis</i> Morimoto 森本泰二:植研雑 37(1):1, 1962 (9) <i>Puccinia smilacis-sieboldii</i> Hiratsuka, f. [<i>Puccinia henryana</i> P. Sydow & Sydow, <i>Puccinia smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacis-chinae</i> Hiratsuka] Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37(1):99, 1905(明38) ; 平塚直秀:植物学雑 56(668):377, 1942(昭17) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシュウ・マ	[備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシュウ・ランダイサンキライ (<i>S. randaiensis</i>) (4) <i>Blastospora smilacis</i> Dietel [<i>Caeoma makinoi</i> Kusano] Dietel, P.:Ann. Mycol. (6):223, 1908(明41) ; 吉永虎馬・平塚直秀:植物学雑 44(528):633, 1930(昭5) ; Ono, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 78(2):253, 1986 [備考] シオデ・ヤマガシュウ (5) <i>Puccinia caricis-blepharicarpae</i> Hiratsuka, f. 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18(3-4):87, 1949 ; 平塚直秀:東教大農紀要 1:58, 1952 (6) <i>Puccinia citrina</i> P. Sydow & Sydow Sydow, P. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 12:107, 1914(大3) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告) 1:366, 1919(大9) ; 平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):26, 1941(昭16) [備考] サツマサンキライ (<i>S. bracteata</i>)・カラスキバサンキライ (<i>S. japonica</i>)・ナメラサンキライ (<i>S. glabra</i>)・ランダイサンキライにも発生 (7) <i>Puccinia ferruginea</i> Lévillé ex Vaillant [<i>Puccinia smilacis-chinae</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 40:125, 1901(明34) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):5, 1902(明35) ; 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:20, 1926(大15) [備考] シオデ・タチシオデ・サツマサンキライ・カラスキバサンキライ・マルバサンキライ (<i>S. stans</i>)・ヤクシマカカラ (<i>S. china</i> var. <i>yakushimensis</i>) にも発生 (8) <i>Puccinia iriensis</i> Morimoto 森本泰二:植研雑 37(1):1, 1962 (9) <i>Puccinia smilacis-sieboldii</i> Hiratsuka, f. [<i>Puccinia henryana</i> P. Sydow & Sydow, <i>Puccinia smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacis-chinae</i> Hiratsuka] Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37(1):99, 1905(明38) ; 平塚直秀:植物学雑 56(668):377, 1942(昭17) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシュウ・マ
--	--

ルバサンキライ・ササバサンキライ (<i>S. nervo-marginata</i>)・オキナワサルトリイバラ (<i>S. china</i> var. <i>kuru</i>) にも発生 (注) (3)文献著者名修正	ルバサンキライ・ササバサンキライ (<i>S. nervo-marginata</i>)・オキナワサルトリイバラ (<i>S. china</i> var. <i>kuru</i>) にも発生
---	---

ユリ科 Liliaceae ホトトギス Toad lily <i>Tricyrtis hirta</i> (Thunb.) Hook. (草花) 葉枯病 hagare-byo Botrytis blight <i>Botrytis elliptica</i> (Berkeley) Cooke Furukawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(1):95, 2005 [備考] タイワンホトトギス (<i>T. formosana</i> Bak., Taiwanese toad lily)。葉片への接種試験 (注) 文献号数挿入	ユリ科 Liliaceae ホトトギス Toad lily <i>Tricyrtis hirta</i> (Thunb.) Hook. (草花) 葉枯病 hagare-byo Botrytis blight <i>Botrytis elliptica</i> (Berkeley) Cooke Furukawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71:95, 2005 [備考] タイワンホトトギス (<i>T. formosana</i> Bak., Taiwanese toad lily)。葉片への接種試験
---	--

アマ科 Linaceae アマ(亜麻) Flax <i>Linum usitatissimum</i> L. (特用作物) 立枯病 tachigare-byo Wilt (1) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 原 松次:帝織研究所時報 3:10, 1946 ; 原 松次:日植病報 16(1):27, 1952 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>lini</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium lini</i> Bolley] 平塚直治:北海之殖産 7:365, 1897(明30) (注) 文献年訂正	アマ科 Linaceae アマ(亜麻) Flax <i>Linum usitatissimum</i> L. (特用作物) 立枯病 tachigare-byo Wilt (1) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 原 松次:帝織研究所時報 3:10, 1946 ; 原 松次:日植病報 16(1):27, 1953 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>lini</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium lini</i> Bolley] 平塚直治:北海之殖産 7:365, 1897(明30)
--	---

アマ科 Linaceae アマ(亜麻) Flax <i>Linum usitatissimum</i> L. (特用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 (3) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (注) (1)文献巻号頁訂正	アマ科 Linaceae アマ(亜麻) Flax <i>Linum usitatissimum</i> L. (特用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫根瘤病) (1) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 (3) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958
---	--

キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia glabra</i> L. (果樹) 果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Diaporthe fruit rot <i>Diaporthe</i> sp. 澤岬哲也ら:日植病報 87(1):54, 2021	キントラノオ科 Malpighiaceae アセロラ Acerola <i>Malpighia glabra</i> L. (果樹)
---	---

(注) 新病名	
---------	--

アオイ科 Malvaceae カラスノゴマ (Corchoropsis) <i>Corchoropsis tomentosa</i> (Thunb.) Makino (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Pseudoidium</i> cf. <i>neolycopersici</i> (L. Kiss) L. Kiss Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了 (注) 文献著者修正	アオイ科 Malvaceae カラスノゴマ (Corchoropsis) <i>Corchoropsis tomentosa</i> (Thunb.) Makino (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Pseudoidium</i> cf. <i>neolycopersici</i> (L. Kiss) L. Kiss Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了
---	---

クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根腐病) (1) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood var. <i>acrita</i> Chitwood] サツマイモネコ ブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:86, 1961 ; 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (2) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970 (3) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi	クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot (根腐病) (1) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood var. <i>acrita</i> Chitwood] サツマイモネコ ブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:86, 1961 ; 吉田 猛:植物防疫 21(10):422, 1967 (2) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャ ワネコブセンチュウ Saigusa, T. & Yamamoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 8:63, 1970 (3) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi
---	---

スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] <i>Meloidogyne mali</i> Itoh <i>et al.</i> として報告されたが、本書の記載に際し訂正された (4) <i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種 河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957 ; 大島康臣ら:九病虫研会報 9:69, 1963 [備考] 上記の種との異同は不明 (注) (4)文献著者修正	スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] <i>Meloidogyne mali</i> Itoh <i>et al.</i> として報告されたが、本書の記載に際し訂正された (4) <i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種 河村貞之助:園芸新知識 12(11):4, 1957 ; 大島康臣:九病虫研会報 9:69, 1963 [備考] 上記の種との異同は不明
--	--

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo Sclerotiose (枝枯病, 桑条の菌核病, 菌核, 枝菌核病) <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 岩淵平介:桑樹病理学 42, 1901(明34) ; ト蔵梅之丞:病虫雑 2(6):567, 1915(大4) [備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照 (注) 文献巻数挿入	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo Sclerotiose (枝枯病, 桑条の菌核病, 菌核, 枝菌核病) <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 岩淵平介:桑樹病理学 42, 1901(明34) ; ト蔵梅之丞:病虫雑 (6):567, 1915(大4) [備考] 病原菌の異名はダイズ菌核病参照
--	---

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp.	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp.
---	---

(特用作物) シマグワ <i>Mulberry</i> <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. すす斑病 susuhan-byo (煤斑病) <i>Pseudocercospora mori</i> (Hara) Deighton [<i>Cercospora mori</i> Hara] 原 攝祐:大日本蚕糸会報 27(314):227, 1918(大7) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):65, 1960 [備考] Deighton, F.C.:Mycol. Pap. 140:148, 1976 (注) 文献著者名訂正	(特用作物) シマグワ <i>Mulberry</i> <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. すす斑病 susuhan-byo (煤斑病) <i>Pseudocercospora mori</i> (Hara) Deighton [<i>Cercospora mori</i> Hara] 原 攝祐:大日本蚕糸会報 27(314):227, 1918(大7) ; 山本和太郎・田巳之助:兵庫農大研報 4(2):65, 1960 [備考] Deighton, F.C.:Mycol. Pap. 140:148, 1976
--	--

バショウ科 <i>Musaceae</i> バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum musae</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Arx [<i>Gloeosporium musarum</i> Cooke & Masee, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 川上瀧彌・鈴木力弥:台湾農試報 1:47, 1908(明41) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告 1):561, 1919(大8) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 [備考] 本菌は軸腐病, 果実落下病の病原でもある (注) 文献年訂正	バショウ科 <i>Musaceae</i> バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum musae</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Arx [<i>Gloeosporium musarum</i> Cooke & Masee, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 川上瀧彌・鈴木力弥:台湾農試報 1:47, 1908(明41) ; 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類調査報告 1):561, 1914(大8) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 [備考] 本菌は軸腐病, 果実落下病の病原でもある
--	---

フトモモ科 Myrtaceae グアバ(バンジロウ)(蕃石榴) Guava <i>Psidium guajava</i> L. (果樹) 斑葉病 han'yo-byo Leaf spot (斑点病, 眼点病) <i>Cercospora sawadae</i> W. Yamamoto [<i>Cercospora psidii</i> Sawada non Rangel] 澤田兼吉:台湾博物学会報 11(52):42, 1921 (大10) ; 山本和太郎:熱帯農学会誌 6:607, 1934(昭9) ; 保 虎太郎:病虫雑 23(12):952, 1936(昭11) (注) 文献名訂正	フトモモ科 Myrtaceae グアバ(バンジロウ)(蕃石榴) Guava <i>Psidium guajava</i> L. (果樹) 斑葉病 han'yo-byo Leaf spot (斑点病, 眼点病) <i>Cercospora sawadae</i> W. Yamamoto [<i>Cercospora psidii</i> Sawada non Rangel] 澤田兼吉:台湾博物学会報 11(52):42, 1921 (大10) ; 山本和太郎:熱帯農業 6:607, 1934(昭9) ; 保虎太郎:病虫雑 23(12):952, 1936(昭11)
--	--

モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe fraxinea</i> Y. Yamaguchi, Meeboon & S. Takamatsu Yamaguchi, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(2):115, 2021 [備考]アオダモ・ミヤマアオダモに発生 (2) <i>Erysiphe fraxinicola</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula fraxini</i> Miyabe] (白渋病) 安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明44) ; 出田新:実用植物病理学:161, 1901(明34) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 ; Yamaguchi, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(2):115, 2021 [備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・マルバアオダモ・ヤマトアオダモに発生 (3) <i>Erysiphe salmonii</i> (Sydow & P. Sydow) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula salmonii</i> Sydow & P.	モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe fraxinicola</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula fraxini</i> Miyabe] (白渋病) 安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明44) ; 出田新:実用植物病理学:161, 1901(明35) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 [備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・マルバアオダモに発生 (2) <i>Erysiphe salmonii</i> (Sydow & P. Sydow) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula salmonii</i> Sydow & P.
---	---

Sydow] (白渋病) 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973 ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):679, 1917(大6) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):352, 1937(昭12) ; 堀野龍介ら:日植病報 79(1):33, 2013 [備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・アラゲアオダモ・マルバアオダモ・マンシュウトネリコ・ビロードトネリコ(<i>Fraxinus pennsylvanica</i>)に発生 (4) <i>Typhulochaeta japonica</i> S. Ito & Hara 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:98, 1977 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):369, 1937(昭12) [備考] トネリコに発生 (注) 病原追加、(2)の文献追加・和暦訂正	Sydow] (白渋病) 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973 ; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):679, 1917(大6) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):352, 1937(昭12) ; 堀野龍介ら:日植病報 79(1):33, 2013 [備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・アラゲアオダモ・マルバアオダモ・マンシュウトネリコ・ビロードトネリコ(<i>Fraxinus pennsylvanica</i>)に発生 (3) <i>Typhulochaeta japonica</i> S. Ito & Hara 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:98, 1977 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):369, 1937(昭12) [備考] トネリコに発生
--	--

モクセイ科 Oleaceae ソケイ(ジャスミン)(素馨) Jasmine <i>Jasminum officinale</i> L. f. <i>grandiflorum</i> (L.) Kobuski (広葉樹) キソケイ <i>Jasminum humile</i> L. var. <i>revolutum</i> (Sims) Stokes ハゴロモジャスミン <i>Jasminum polyanthum</i> Franch. アラビアジャスミン <i>Jasminum sambac</i> (L.) Aiton †枝枯病 edagare-byo <i>Phoma jasmini-sambactis</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):536, 1919(大8) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(16):139, 1914(大3) [備考] 台湾。マツリカ (<i>Jasminum sambac</i>)	モクセイ科 Oleaceae ソケイ(ジャスミン)(素馨) Jasmine <i>Jasminum officinale</i> L. f. <i>grandiflorum</i> (L.) Kobuski (広葉樹) キソケイ <i>Jasminum humile</i> L. var. <i>revolutum</i> (Sims) Stokes ハゴロモジャスミン <i>Jasminum polyanthum</i> Franch. アラビアジャスミン <i>Jasminum sambac</i> (L.) Aiton †枝枯病 edagare-byo <i>Phoma jasmini-sambactis</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):536, 1919(大9) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(16):139, 1914(大3) [備考] 台湾。マツリカ (<i>Jasminum sambac</i>)
--	--

(注) 文献年和暦訂正	
モクセイ科 Oleaceae イボタノキ(水臘木) Ibota Privet <i>Ligustrum obtusifolium</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani 周藤靖雄ら:関東病虫研報 66:40, 2019 [備考] オオバイボタに発生 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大12) (注) 文献年和暦訂正	モクセイ科 Oleaceae イボタノキ(水臘木) Ibota Privet <i>Ligustrum obtusifolium</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 白藻病 shiromo-byo Algal leaf spot (1) <i>Cephaleuros japonicus</i> Y. Suto & S. Ohtani 周藤靖雄ら:関東病虫研報 66:40, 2019 [備考] オオバイボタに発生 (2) <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 原 攝祐:樹病学各論:257, 1923(大11)
モクセイ科 Oleaceae ヒイラギ(柃) Holly osmanthus <i>Osmanthus heterophyllus</i> (G. Don) P. S. Green (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Zaghouania phillyrae</i> Patouillard 原 攝祐:実験樹木病害篇:307, 1927(昭2) ; 平塚直秀:農及園 4(9):1027, 1929(昭4) [備考] ヒイラギモクセイにも発生。病原菌の異名はモクセイさび病参照 (注) 文献誌名表記を多数派に合わせた	モクセイ科 Oleaceae ヒイラギ(柃) Holly osmanthus <i>Osmanthus heterophyllus</i> (G. Don) P. S. Green (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Zaghouania phillyrae</i> Patouillard 原 攝祐:実験樹木病害篇:307, 1927(昭2) ; 平塚直秀:農業及園芸 4(9):1027, 1929(昭4) [備考] ヒイラギモクセイにも発生。病原菌の異名はモクセイさび病参照
ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony	ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony

<i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) †††† <i>Cycas necrotic stunt virus</i> (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 ; 一木(植原)珠樹ら:関東病虫研報 67:30, 2021 [備考] モザイク症状。遺伝子解析による検出, 戻し接種なし (注) 文献追加	<i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) †††† <i>Cycas necrotic stunt virus</i> (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018 [備考] モザイク症状。遺伝子解析による検出, 戻し接種なし
---	--

ケシ科 Papaveraceae ケシ類 Poppy <i>Papaver</i> spp. (草花) アイスランドポピー Iceland poppy <i>Papaver nudicaule</i> L. ヒナゲシ(虞美人草) Corn poppy <i>Papaver rhoeas</i> L. モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) Broad bean wilt virus# 與良 清ら:本邦における未記録ウイルスの検定と 同定:1, 1972 [備考] ヒナゲシに発生。戻し接種なし。汁液接種検定による同定 (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄:日植病報 23(1):34, 1958 [備考] ヒナゲシに発生。戻し接種なし。汁液接種検定による同定 (3) <i>Turnip mosaic virus</i> (TuMV) カブモザイクウイルス 亀谷満朗ら:日植病報 59(1):37, 1993	ケシ科 Papaveraceae ケシ類 Poppy <i>Papaver</i> spp. (草花) アイスランドポピー Iceland poppy <i>Papaver nudicaule</i> L. ヒナゲシ(虞美人草) Corn poppy <i>Papaver rhoeas</i> L. モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) Broad bean wilt virus# 與良 清ら:本邦における未記録ウイルスの検定と 同定:1, 1972 [備考] ヒナゲシに発生。戻し接種なし。汁液接種検定による同定 (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄:日植病報 23(1):34, 1955 [備考] ヒナゲシに発生。戻し接種なし。汁液接種検定による同定 (3) <i>Turnip mosaic virus</i> (TuMV) カブモザイクウイルス 亀谷満朗ら:日植病報 59(1):37, 1993
--	--

[備考] アイスランドポピーに発生 (注) 文献年訂正	[備考] アイスランドポピーに発生
---	--------------------------

ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) †褐斑病 kappan-byo Brown spot <i>Macrophoma sesami</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業報 2(台湾菌類調査報告 2):118, 1922(大11) [備考] 台湾 (注) 文献年訂正	ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) †褐斑病 kappan-byo Brown spot <i>Macrophoma sesami</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業報 2(台湾菌類調査報告 2):118, 1932(大11) [備考] 台湾
--	---

マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森榎松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. すす葉枯病 susu-hagare-byo Rhizosphaera needle blight (1) <i>Rhizosphaera pini</i> (Corda) Maublanc Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:99, 1967 [備考] シラベ (2) <i>Rhizosphaera kobayashii</i> (M. Morelet) M. Morelet	マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森榎松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. すす葉枯病 susu-hagare-byo Rhizosphaera needle blight (1) <i>Rhizosphaera pini</i> (Corda) Maublanc Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:99, 1967 [備考] シラベ (2) <i>Rhizosphaera kobayashii</i> (M. Morelet) M. Morelet
--	--

[<i>Rhizosphaera</i> sp., <i>Rhizosphaera pini</i> (Corda) Maublanc var. <i>kobayashii</i> M. Morelet] Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:103, 1967 [備考] アオモリトドマツ (注) 文献名訂正	[<i>Rhizosphaera</i> sp., <i>Rhizosphaera pini</i> (Corda) Maublanc var. <i>kobayashii</i> M. Morelet] Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. Japan 204:103, 1967 [備考] アオモリトドマツ
--	--

マツ科 Pinaceae カラマツ Larch <i>Larix</i> spp. (針葉樹) チョウセンカラマツ(朝鮮落葉松) <i>Larix dahurica</i> var. <i>koreana</i> Nakai オウシュウカラマツ European larch <i>Larix decidua</i> Mill. グイマツ Kurile larch <i>Larix gmelini</i> var. <i>japonica</i> (Maxim.) Pilger カラマツ(落葉松) Japanese larch <i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carriere 床替苗根腐病 tokogaenae-negusare-byo Root rot (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):59, 1959 (2) <i>Fusarium</i> sp. 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(前):59, 1959 [備考] いずれもカラマツ (注) 文献名修正	マツ科 Pinaceae カラマツ Larch <i>Larix</i> spp. (針葉樹) チョウセンカラマツ(朝鮮落葉松) <i>Larix dahurica</i> var. <i>koreana</i> Nakai オウシュウカラマツ European larch <i>Larix decidua</i> Mill. グイマツ Kurile larch <i>Larix gmelini</i> var. <i>japonica</i> (Maxim.) Pilger カラマツ(落葉松) Japanese larch <i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carriere 床替苗根腐病 tokogaenae-negusare-byo Root rot (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法:59, 1959 (2) <i>Fusarium</i> sp. 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法:59, 1959 [備考] いずれもカラマツ
--	---

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines
---	---

(針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病, 葉膜さび病, 袋銹病) (1) <i>Coleosporium asterum</i> (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 48:463, 1934 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:40, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:204, 1992 [備考] アカマツ。冬孢子世代は<i>Aster</i>属(ノコンギク等)・<i>Kalimeris</i>属(ヨメナ等)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Coleosporium bletiae</i> Dietel Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 16:37, 1978 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:206, 1992 [備考] 人工接種でアカマツ・リュウキュウマツ・フランスカイガンショウ・ラジアタマツ・クロマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Bletilla</i>属(シラン等)・<i>Calanthe</i>属(エビネ等)・<i>Oreorchis</i>属(コケイラン)・<i>Phaius</i>属(カクラン)に寄生してさび病を起こす (3) <i>Coleosporium clematidis</i> Barclay Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952 ; 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:211, 1992 [備考] アカマツ。人工接種でリュウキュウマツ・ラジアタマツにも寄生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(テッセン・クサボタン等)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium clematidis-apiifoliae</i> Dietel 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:216, 1992	(針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病, 葉膜さび病, 袋銹病) (1) <i>Coleosporium asterum</i> (Dietel) Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 48:463, 1943 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:40, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:204, 1992 [備考] アカマツ。冬孢子世代は<i>Aster</i>属(ノコンギク等)・<i>Kalimeris</i>属(ヨメナ等)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Coleosporium bletiae</i> Dietel Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 16:37, 1978 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:206, 1992 [備考] 人工接種でアカマツ・リュウキュウマツ・フランスカイガンショウ・ラジアタマツ・クロマツに発生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Bletilla</i>属(シラン等)・<i>Calanthe</i>属(エビネ等)・<i>Oreorchis</i>属(コケイラン)・<i>Phaius</i>属(カクラン)に寄生してさび病を起こす (3) <i>Coleosporium clematidis</i> Barclay Hiratsuka, N.:J. Jpn. Bot. 27(4):112, 1952 ; 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:211, 1992 [備考] アカマツ。人工接種でリュウキュウマツ・ラジアタマツにも寄生。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(テッセン・クサボタン等)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium clematidis-apiifoliae</i> Dietel 平塚直秀ら:日植病報 18(3-4):140, 1954 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:216, 1992
--	--

[備考] アカマツ。クロマツは人工接種。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(ボタンヅル等)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium horianum</i> Hennings [<i>Coleosporium campanumoeae</i> Dietel] Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:81, 1976 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:220, 1992 [備考] アカマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Campanumoea</i>属(ツルギキョウ等)に寄生 (6) <i>Coleosporium lycopodis</i> Sydow & P. Sydow [<i>Coleosporium campanulae</i> auct. jap. non Tulasne, <i>Coleosporium hiratsukanum</i> S. Kaneko] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:54, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:222, 1992 [備考] アカマツ。ほかに人工接種でオウシュウアカマツ・クロマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Adenophora</i>属(ソバナ等), <i>Phyteuma</i>属(シデシヤジン), <i>Wahlenbergia</i>属(ヒナギキョウ)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium pedunculatum</i> S. Kaneko Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:13, 1977 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:230, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ・クロマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Saussurea</i>属(ミヤコアザミ・ツクシトウヒレン等)に寄生してさび病を起こす (8) <i>Coleosporium phellodendri</i> Komarov 千葉 修:森林防疫ニュース 6:142, 1957 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):196, 1938(昭13) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:232, 1992 [備考] バンクスマツ・アカマツ・モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ。ほかに人工接種でコントルタマツ・コルシカマツ・レジノザマツ・パラシアナマツ(<i>P. pallasiana</i>)・ポンデローザマツ・マンシュウアカマツ(<i>P. tabulaeformis</i>)にも発生する。夏孢子・冬	[備考] アカマツ。クロマツは人工接種。夏孢子・冬孢子世代は<i>Clematis</i>属(ボタンヅル等)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium horianum</i> Hennings [<i>Coleosporium campanumoeae</i> Dietel] Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:81, 1976 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:220, 1992 [備考] アカマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Campanumoea</i>属(ツルギキョウ等)に寄生 (6) <i>Coleosporium lycopodis</i> Sydow & P. Sydow [<i>Coleosporium campanulae</i> auct. jap. non Tulasne, <i>Coleosporium hiratsukanum</i> S. Kaneko] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:54, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:222, 1992 [備考] アカマツ。ほかに人工接種でオウシュウアカマツ・クロマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Adenophora</i>属(ソバナ等), <i>Phyteuma</i>属(シデシヤジン), <i>Wahlenbergia</i>属(ヒナギキョウ)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium pedunculatum</i> S. Kaneko Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:13, 1977 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:230, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ・クロマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Saussurea</i>属(ミヤコアザミ・ツクシトウヒレン等)に寄生してさび病を起こす (8) <i>Coleosporium phellodendri</i> Komarov 千葉 修:森林防疫ニュース 6:142, 1957 ; 伊藤誠哉:大日本菌類誌 2(2):196, 1938(昭13) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:232, 1992 [備考] バンクスマツ・アカマツ・モンタナマツ・オウシュウクロマツ・オウシュウアカマツ。ほかに人工接種でコントルタマツ・コルシカマツ・レジノザマツ・パラシアナマツ(<i>P. pallasiana</i>)・ポンデローザマツ・マンシュウアカマツ(<i>P. tabulaeformis</i>)にも発生する。夏孢子・冬
---	---

胞子世代は<i>Phellodendron</i>属(キハダ等)に寄生してさび病を起こす (9) <i>Coleosporium pini-asteris</i> Orishimo 南部信方:病虫雑 4(8):599, 1917(大6) ; Orishimo, Y.:Bot. Mag. Tokyo 24(276):4, 1910(明43) ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:35, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:234, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は<i>Aster</i>属(シラヤマギク)に寄生 (10) <i>Coleosporium pini-densiflorae</i> Zinno & Kaneko Jinno, Y. & Kaneko, S.:J. Jpn. For. Soc. 66:462, 1984 [備考] アカマツ。冬胞子世代のみ (11) <i>Coleosporium plectranthi</i> Barclay Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:126, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:238, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は<i>Elsholtzia</i>属(ナギナタコウジュ)・<i>Keiskea</i>属(シモバシラ)・<i>Mosla</i>属(イヌコウジュ等)・<i>Perilla</i>属(シソ等)・<i>Plectranthus</i>属(ヤマハッカ等)に寄生してさび病を起こす (12) <i>Coleosporium tussilaginis</i> (Persoon) Lévillé [<i>Coleosporium senecionis</i> Fries, <i>Coleosporium melampyri</i> (Rebentisch) P. Karsten] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:62, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:243, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は<i>Melampyrum</i>属(ママコナ等)・<i>Senecio</i>属(サワオグルマ)に寄生してさび病を起こす (13) <i>Coleosporium zanthoxyli</i> Dietel & P. Sydow 陳野好之:日林誌 57:369, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:245, 1992 [備考] クロマツ。人工接種ではリュウキュウマツ・フランスカイガンショウにも発生。夏胞子・冬胞子世代は<i>Zanthoxylum</i>属(カラスザンショウ・サンショウ等)に寄生してさび病を起こす (14) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn	胞子世代は<i>Phellodendron</i>属(キハダ等)に寄生してさび病を起こす (9) <i>Coleosporium pini-asteris</i> Orishimo 南部信方:病虫雑 4(8):599, 1917(大6) ; Orishimo, Y.:Bot. Mag. Tokyo 24(276):4, 1910(明43) ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:35, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:234, 1992 [備考] アカマツ・リュウキュウマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は<i>Aster</i>属(シラヤマギク)に寄生 (10) <i>Coleosporium pini-densiflorae</i> Zinno & Kaneko Jinno, Y. & Kaneko, S.:J. Jpn. For. Soc. 66:462, 1984 [備考] アカマツ。冬胞子世代のみ (11) <i>Coleosporium plectranthi</i> Barclay Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:126, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:238, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は<i>Elsholtzia</i>属(ナギナタコウジュ)・<i>Keiskea</i>属(シモバシラ)・<i>Mosla</i>属(イヌコウジュ等)・<i>Perilla</i>属(シソ等)・<i>Plectranthus</i>属(ヤマハッカ等)に寄生してさび病を起こす (12) <i>Coleosporium tussilaginis</i> (Persoon) Lévillé [<i>Coleosporium senecionis</i> Fries, <i>Coleosporium melampyri</i> (Rebentisch) P. Karsten] Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:62, 1981 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:243, 1992 [備考] アカマツ(人工接種)。夏胞子・冬胞子世代は<i>Melampyrum</i>属(ママコナ等)・<i>Senecio</i>属(サワオグルマ)に寄生してさび病を起こす (13) <i>Coleosporium zanthoxyli</i> Dietel & P. Sydow 陳野好之:日林誌 57:369, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:245, 1992 [備考] クロマツ。人工接種ではリュウキュウマツ・フランスカイガンショウにも発生。夏胞子・冬胞子世代は<i>Zanthoxylum</i>属(カラスザンショウ・サンショウ等)に寄生してさび病を起こす (14) <i>Melampsora laricis-populina</i> Klebahn
---	---

平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 [備考] アカマツ・ポンドローザマツ・ラジアタマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はカラマツ葉さび病参照 (注) (1)文献年訂正	平塚直秀・軽部愷子:杉野女子大紀要 6:42, 1969 [備考] アカマツ・ポンドローザマツ・ラジアタマツ(いずれも人工接種)。夏孢子・冬孢子世代はカラマツ葉さび病参照
--	--

タデ科 Polygonaceae ソバ(蕎麦) Buckwheat <i>Fagopyrum esculentum</i> Moench (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤線虫病) (1) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (3) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) (1)文献巻号頁訂正	タデ科 Polygonaceae ソバ(蕎麦) Buckwheat <i>Fagopyrum esculentum</i> Moench (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤線虫病) (1) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (3) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 池田克文:総合農学 2(3):124, 1954 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
---	--

タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum)	タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum)
---	---

<i>Polygonum</i> spp. (野草) イブキトラノオ <i>Polygonum bistorta</i> auct. non L. ツルソバ <i>Polygonum chinense</i> L. イタドリ <i>Polygonum cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルタデ <i>Polygonum dumetorum</i> L. ミズヒキ <i>Polygonum filiforme</i> Thunb. ヤナギタデ <i>Polygonum hydropiper</i> L. サナエタデ <i>Polygonum lapathifolia</i> L. オオイヌタデ <i>Polygonum lapathifolium</i> L. subsp. <i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>Polygonum longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>Polygonum nepalensis</i> Meisn. オオケタデ <i>Polygonum orientalis</i> L. イシミカワ <i>Polygonum perfoliatum</i> L. ハナタデ <i>Polygonum posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i> (Meisn.) Ohwi ママコノシリヌグイ <i>Polygonum senticosum</i> (Meisn.) Franch. & Sav. アキノウナギツカミ <i>Polygonum sieboldii</i> Meisn. ミゾソバ <i>Polygonum thunbergii</i> Sieb. & Zucc. ムカゴトラノオ <i>Polygonum viviparum</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 野村幸彦ら:東農大農学集報 22(3-4):301, 1978 ; 丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平 編):1206, 1998 [備考] イヌタデ・オオイヌタデに発生 (注) 文献年訂正、文献号数挿入	<i>Polygonum</i> spp. (野草) イブキトラノオ <i>Polygonum bistorta</i> auct. non L. ツルソバ <i>Polygonum chinense</i> L. イタドリ <i>Polygonum cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルタデ <i>Polygonum dumetorum</i> L. ミズヒキ <i>Polygonum filiforme</i> Thunb. ヤナギタデ <i>Polygonum hydropiper</i> L. サナエタデ <i>Polygonum lapathifolia</i> L. オオイヌタデ <i>Polygonum lapathifolium</i> L. subsp. <i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>Polygonum longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>Polygonum nepalensis</i> Meisn. オオケタデ <i>Polygonum orientalis</i> L. イシミカワ <i>Polygonum perfoliatum</i> L. ハナタデ <i>Polygonum posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i> (Meisn.) Ohwi ママコノシリヌグイ <i>Polygonum senticosum</i> (Meisn.) Franch. & Sav. アキノウナギツカミ <i>Polygonum sieboldii</i> Meisn. ミゾソバ <i>Polygonum thunbergii</i> Sieb. & Zucc. ムカゴトラノオ <i>Polygonum viviparum</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 野村幸彦ら:東農大農学集報 22:301, 1977 ; 丹田 誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平編):1206, 1998 [備考] イヌタデ・オオイヌタデに発生
---	--

サクラソウ科 Primulaceae シクラメン Cyclamen <i>Cyclamen persicum</i> Mill. (草花)	サクラソウ科 Primulaceae シクラメン Cyclamen <i>Cyclamen persicum</i> Mill. (草花)
--	--

芽腐細菌病 megusare-saikin-byo Bacterial bud blight (1) <i>Pseudomonas cyclaminis</i> Sawada, Fujikawa, Osada & Satou 2021 長田 茂・三浦喜夫:日植病報 50(3):421, 1984 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(3):004723, 2021 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 木嶋利男・峯岸長利:栃木農試研報 31:89, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:38, 1987 (注) 病原学名変更	芽腐細菌病 megusare-saikin-byo Bacterial bud blight <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 長田 茂・三浦喜夫:日植病報 50(3):421, 1984 ; 木嶋利男・峯岸長利:栃木農試研報 31:89, 1985 ; 木嶋利男:栃木農試研報 34:38, 1987
---	---

サクラソウ科 Primulaceae プリムラ類(サクラソウ) Primrose <i>Primula</i> spp. (草花) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純ら:関東病虫研報 42:119, 1995 [備考] プリムラ・マラコイデス (<i>Primula malacoides</i>) に発生。菌糸融合群AG-4 培養型 IIIA型 (注) 文献年、号数、ページ数訂正	サクラソウ科 Primulaceae プリムラ類(サクラソウ) Primrose <i>Primula</i> spp. (草花) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純ら:関東病虫研報 41:135, 1994 [備考] プリムラ・マラコイデス (<i>Primula malacoides</i>) に発生。菌糸融合群AG-4 培養型 IIIA型
--	---

イノモトソウ科 Pteridaceae イノモトソウ類 (Pteris) <i>Pteris</i> spp. (野草) オオバイノモトソウ <i>Pteris cretica</i> L.	イノモトソウ科 Pteridaceae イノモトソウ類 (Pteris) <i>Pteris</i> spp. (野草) オオバイノモトソウ <i>Pteris cretica</i> L.
---	---

葉枯線虫病* hagare-senchu-byo <i>Aphelenchoides fragariae</i> (Ritzema Bos) Christie [<i>Aphelenchus olesistus</i> Ritzema Bos] イチゴセンチュウ 堀 正太郎:実際園芸 13(増4):140, 1932(昭7) ; 河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955 [備考] オオバイノモトソウ (注) 文献年和暦、文献号数訂正	葉枯線虫病* hagare-senchu-byo <i>Aphelenchoides fragariae</i> (Ritzema Bos) Christie [<i>Aphelenchus olesistus</i> Ritzema Bos] イチゴセンチュウ 堀 正太郎:実際園芸 23(増4):140, 1932(昭9) ; 河村貞之助・寺田伊斗子:栃内・福士両教授還暦記念論文集:36, 1955 [備考] オオバイノモトソウ
--	--

キンポウゲ科 Ranunculaceae カワチブシ (Aconitum) <i>Aconitum grossedentatum</i> (Nakai) Nakai (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe</i> cf. <i>aquilegiae</i> de Candolle Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了 (注) 文献著者修正	キンポウゲ科 Ranunculaceae カワチブシ (Aconitum) <i>Aconitum grossedentatum</i> (Nakai) Nakai (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe</i> cf. <i>aquilegiae</i> de Candolle Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:257, 2015 [備考] 接種試験未了
--	--

キンポウゲ科 Ranunculaceae キンバイソウ (Trollius) <i>Trollius hondoensis</i> Nakai (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe aquilegiae</i> de Candolle Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:257, 2015	キンポウゲ科 Ranunculaceae キンバイソウ (Trollius) <i>Trollius hondoensis</i> Nakai (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe aquilegiae</i> de Candolle Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:257, 2015
---	---

[備考] 接種試験未了 (注) 文献著者修正	[備考] 接種試験未了
--------------------------------------	--------------------

バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 赤衣病 akagoromo-byo Pink disease, Rubellosis <i>Erythriscium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow] 鑄方末彦:実験果樹病害篇:270, 1927(昭2) ; 原 攝祐:日本害菌学:274, 1936(昭11) (注) 文献年和暦訂正	バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 赤衣病 akagoromo-byo Pink disease, Rubellosis <i>Erythriscium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow] 鑄方末彦:実験果樹病害篇:270, 1927(昭2) ; 原 攝祐:日本害菌学:274, 1936(昭5)
--	--

バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 黒腐病 kurogusare-byo Black rot (1) <i>Dothiorella</i> sp. (2) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc 矢口行雄ら:日植病報 65(3):408, 1999 (注) 文献巻数訂正	バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 黒腐病 kurogusare-byo Black rot (1) <i>Dothiorella</i> sp. (2) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc 矢口行雄ら:日植病報 56(3):408, 1999
---	---

バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) Fruit rot <i>Pestalotiopsis</i> sensu stricto Nozawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):173, 2020 ; 野澤俊介ら:日植病報 87(1):15, 2021 [備考] 収穫後の果実に発生する。灰斑病菌 <i>Neopestalotiopsis</i> spp.も収穫後の果実腐敗を起こす。 狭義の<i>Pestalotiopsis</i>属菌の一部は、葉に内生している (注) 備考変更	バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) Fruit rot <i>Pestalotiopsis</i> sensu stricto Nozawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):173, 2020 [備考] 収穫後の果実に発生する。灰斑病菌 <i>Neopestalotiopsis</i> spp.も収穫後の果実腐敗を起こす
--	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) ススホコリ病 susu-hokori-byo Dog vomit slime mold <i>Fuligo septica</i> (L.) F.H. Wiggers 郷間秀夫・石川成寿:日植病報 86(3):165, 2020 [備考] 弱い生育抑制症状 (注) 病名英名修正	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) ススホコリ病 susu-hokori-byo Dog vomit smile mold <i>Fuligo septica</i> (L.) F.H. Wiggers 郷間秀夫・石川成寿:日植病報 86(3):165, 2020 [備考] 弱い生育抑制症状
---	---

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜)	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜)
---	---

芽枯病 megare-byo <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 橋本 保・関沢 博:日植病報 29(2):65, 1964 ; 富永 時任ら:植物防疫 20(4):168, 1966 ; 三澤知央・黒 瀬大介:日植病報 86(1):31, 2020 ; 三澤知央・黒瀬 大介:北日本病虫研報 71:74, 2020 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。三 澤・黒瀬(日植病報 2020 ; 北日本病虫研報 2020) は, 菌糸融合群 AG-2-1 Subset 3を報告した (注) 文献追加	芽枯病 megare-byo <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 橋本 保・関沢 博:日植病報 29(2):65, 1964 ; 富永 時任ら:植物防疫 20(4):168, 1966 ; 三澤知央・黒 瀬大介:日植病報 86(1):31, 2020 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。三 澤・黒瀬は, 菌糸融合群 AG-2-1 Subset 3を報告 した
---	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) †††† (1) <i>Soybean dwarf virus</i> (SbDV) ダイズ矮化ウイ ルス [<i>Strawberry mild yellow edge virus</i> (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス] 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接木検 定による同定。戻し接種なし (2) <i>Strawberry crinkle cytorhabdovirus</i> (SCV) イチ ゴクリンクルウイルス [<i>Strawberry crinkle virus</i> (SCV)] 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接木検 定による同定。戻し接種なし (3) <i>Strawberry latent C virus</i># (SLCV) イチゴ潜在 Cウイルス 吉川信幸ら:日植病報 51(1):82, 1985 ; 吉川信幸・	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) †††† (1) <i>Soybean dwarf virus</i> (SbDV) ダイズ矮化ウイ ルス [<i>Strawberry mild yellow edge virus</i> (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス] 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接木検 定による同定。戻し接種なし (2) <i>Strawberry crinkle cytorhabdovirus</i> (SCV) イチ ゴクリンクルウイルス [<i>Strawberry crinkle virus</i> (SCV)] 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接木検 定による同定。戻し接種なし (3) <i>Strawberry latent C virus</i># (SLCV) イチゴ潜在 Cウイルス 吉川信幸ら:日植病報 51(1):82, 1985 ; 吉川信幸・
--	--

井上忠男:日植病報 52(3):437, 1986 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (4) <i>Strawberry mild yellow edge virus</i> (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス [Strawberry mild yellow edge-associated virus#] 鈴木 健ら:日植病報 64(4):427, 1988 ; Takamura, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(6):503, 2020 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。Takamura et al.(2020)は, SMYEVのクローンを用いた接種試験に成功し, 微弱な黄化症状を引き起こした (5) <i>Strawberry mottle virus</i> (SMoV) イチゴ斑紋ウイルス 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接木検定による同定。戻し接種なし (6) <i>Strawberry pseudo mild yellow edge virus</i> (SPMYEV) イチゴシュードマイルドイエローエッジウイルス 吉川信幸・井上忠男:日植病報 51(3):354, 1985 ; 吉川信幸・井上忠男:日植病報 52(4):643, 1986 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (7) <i>Strawberry vein banding virus</i> (SVBV) イチゴベインバンディングウイルス 高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969 ; Takamura, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(6):503, 2020 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接木検定による同定。戻し接種なし (8) <i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV) タバコモザイクウイルス 要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。同定の記載不十分。戻し接種なし (9) <i>Olive latent virus 1</i> (OLV-1) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ潜在ウイルス1	井上忠男:日植病報 52(3):437, 1986 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (4) <i>Strawberry mild yellow edge virus</i> (SMYEV) イチゴマイルドイエローエッジウイルス [Strawberry mild yellow edge-associated virus#] 鈴木 健ら:日植病報 64(4):427, 1988 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。RT-PCRによる同定。戻し接種なし (5) <i>Strawberry mottle virus</i> (SMoV) イチゴ斑紋ウイルス 阿部定夫・山川邦夫:農及園 34(10):1505, 1959 ; 近藤 章:日植病報 29(2):81, 1964 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接木検定による同定。戻し接種なし (6) <i>Strawberry pseudo mild yellow edge virus</i> (SPMYEV) イチゴシュードマイルドイエローエッジウイルス 吉川信幸・井上忠男:日植病報 51(3):354, 1985 ; 吉川信幸・井上忠男:日植病報 52(4):643, 1986 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (7) <i>Strawberry vein banding virus</i> (SVBV) イチゴベインバンディングウイルス 高井隆次:日植病報 35(2):120, 1969 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。接木検定による同定。戻し接種なし (8) <i>Tobacco mosaic virus</i> (TMV) タバコモザイクウイルス 要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。同定の記載不十分。戻し接種なし (9) <i>Olive latent virus 1</i> (OLV-1) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ潜在ウイルス1
--	--

小室康雄ら:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋一 ら:日植病報 77(3):227, 2011 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接 種なし。藤ら(2011)は, Tobacco necrosis virus#と されていた小室ら(1973)の株をOLV-1と再同定し た。小室ら(1973)は Tobacco necrosis satellite virus(STNV)も検出した (10) <i>Olive mild mosaic virus</i> (OMMV) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ微斑ウイルス 要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋 一ら:日植病報 77(3):227, 2011 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。藤ら (2011)は, Tobacco necrosis virus#とされていた 要・岸(1973) の株をOMMVと再同定した (注) (4)備考変更	小室康雄ら:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋一 ら:日植病報 77(3):227, 2011 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接 種なし。藤ら(2011)は, Tobacco necrosis virus#と されていた小室ら(1973)の株をOLV-1と再同定し た。小室ら(1973)は Tobacco necrosis satellite virus(STNV)も検出した (10) <i>Olive mild mosaic virus</i> (OMMV) [Tobacco necrosis virus#] オリーブ微斑ウイルス 要 司・岸 國平:日植病報 39(2):134, 1973 ; 藤 晋 一ら:日植病報 77(3):227, 2011 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。藤ら (2011)は, Tobacco necrosis virus#とされていた 要・岸(1973) の株をOMMVと再同定した
---	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 胴枯細菌病 dogare-saikin-byo Bacterial canker <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 藤川貴史 ら:日植病報 85(1):46, 2019 ; Fujikawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):314, 2019 ; 藤川貴史・大 田将禎:日植病報 86(3):232, 2020 (注) 病名読み修正	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 胴枯細菌病 dogare-saikin- byo Bacterial canker <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤川貴史ら:日植病報 83(3):235, 2017 ; 藤川貴史 ら:日植病報 85(1):46, 2019 ; Fujikawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):314, 2019 ; 藤川貴史・大 田将禎:日植病報 86(3):232, 2020
---	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple
---	---

<i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ††火傷病 kasho-byo Fire blight (腐爛病, 火焼病) <i>Erwinia amylovora</i> (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [<i>Bacillus amylovorus</i> (Burrill) Trevisan] 上田栄次郎:日本農会報 260:1, 1903(明36); 大森 順造・山田玄太郎:植物病理学:186, 1904(明37); 村田寿太郎:病虫雑 2(2):163, 1915(大4); 岡部徳 夫:植物細菌病学:235, 1949 [備考] アメリカ・ヨーロッパ (注) 文献著者修正	<i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) ††火傷病 kasho-byo Fire blight (腐爛病, 火焼病) <i>Erwinia amylovora</i> (Burrill 1882) Winslow, Broadhurst, Buchanan, Krumwiede, Rogers & Smith 1920 [<i>Bacillus amylovorus</i> (Burrill) Trevisan] 上田栄次郎:日本農会報 260:1, 1903(明36); 山田 玄太郎:植物病理学:186, 1904(明37); 村田寿太郎: 病虫雑 2(2):163, 1915(大4); 岡部徳夫:植物細菌 病学:235, 1949 [備考] アメリカ・ヨーロッパ
--	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †††† <i>Nummularia discreta</i> (Schweinitz) Tulasne & C. Tulasne 小宮康平:日植病報 48(3):365, 1982 [備考] 海外では Nailhead canker の病原である <i>Biscogniauxia marginata</i> (Fries) Pouzar のシノニム とされている (APS: Compendium of Apple and Pear Diseases:41, 1990) (注) 文献年訂正	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †††† <i>Nummularia discreta</i> (Schweinitz) Tulasne & C. Tulasne 小宮康平:日植病報 48(3):365, 1983 [備考] 海外では Nailhead canker の病原である <i>Biscogniauxia marginata</i> (Fries) Pouzar のシノニム とされている (APS: Compendium of Apple and Pear Diseases:41, 1990)
---	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry
--	--

<i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病) <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka 出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明44) ; 原 攝祐:果樹病害論:61, 1916(大5) [備考] サトザクラ・オオシマザクラ・ウワミズ ザクラ。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照 (注) 文献年訂正	<i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot (紋羽病) <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka 出田 新:日本植物病理学(下):589, 1911(明44) ; 原 攝祐:果樹病害論:61, 1911(大5) [備考] サトザクラ・オオシマザクラ・ウワミズ ザクラ。病原菌の異名はポプラ類紫紋羽病参照
---	--

バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウト ウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 本多哲也ら:日植病報 63(6):494, 1997 [備考] カプリチェリー (<i>Prunus capuli</i>) に発生 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 末松直次・鋤塚喜久治:農商務省病菌害虫彙報 8:1, 1920(大9) (注) (1)文献年訂正、文献著者修正	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウト ウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 本多哲也:日植病報 63(6):494, 1996 [備考] カプリチェリー (<i>Prunus capuli</i>) に発生 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 末松直次・鋤塚喜久治:農商務省病菌害虫彙報 8:1, 1920(大9)
---	---

バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. †††† American plum line pattern virus (APLPV) アメリカスモモ黄色網斑ウイルス 佐藤 裕ら:日植病報 87(1):19, 2021 [備考] えそ斑点症状と黄色網斑症状 (注) 新宿主	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L.
---	---

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker (癌腫性細菌病, 潰瘍性細菌病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>morsprunorum</i> (Wormald 1931) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacterium morsprunorum</i> (Wormald) Isiyama & Muko, <i>Pseudomonas morsprunorum</i> Wormald] 高梨和雄:日植病報 50(3):416, 1984 ; 高梨和雄:果樹試報 A15:117, 1988 [備考] 石山信一・向 秀夫 (植物病原細菌誌:358,	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley かいよう病 kaiyo-byo Bacterial canker (癌腫性細菌病, 潰瘍性細菌病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>morsprunorum</i> (Wormald 1931) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Bacterium morsprunorum</i> (Wormald) Ishiyama & Muko, <i>Pseudomonas morsprunorum</i> Wormald] 高梨和雄:日植病報 50(3):416, 1984 ; 高梨和雄:果樹試報 A15:117, 1988 [備考] 石山信一・向 秀夫 (植物病原細菌誌:358,
--	---

1941) の瘤腫性細菌病は本病と同じものと思われる (注) 病原学名命名者名修正	1941) の瘤腫性細菌病は本病と同じものと思われる
--	----------------------------

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Podosphaera leucotricha</i> (Ellis & Everhart) E.S. Salmon 横澤志織ら:日植病報 83(1):43, 2017 ; 横澤志織ら:日植病報 86(4):267, 2020 (2) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Lévillé, <i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Lévillé var. <i>persicae</i> Woronichin] 白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905(明38) ; 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明44) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 (3) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary [<i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i>, <i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明44) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:12, 2012 [備考] (2)は主に果実を, (3)は主に葉を侵す	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Podosphaera leucotricha</i> (Ellis & Everhart) E.S. Salmon 横澤志織ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Podosphaera pannosa</i> (Wallroth) de Bary [<i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Lévillé, <i>Sphaerotheca pannosa</i> (Wallroth) Lévillé var. <i>persicae</i> Woronichin] 白井光太郎:日本菌類目録:94, 1905(明38) ; 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明44) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 (3) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary [<i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i>, <i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 西田藤次:桃・葡萄・柿の病害:23, 1911(明44) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):315, 1937 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:12, 2012 [備考] (2)は主に果実を, (3)は主に葉を侵す
--	---

(注) (1)文献追加	
-------------	--

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 胴枯細菌病 dogare-saikin-byo Bacterial canker <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 菅野英二ら:北日本病虫研報 53:137, 2002 ; 舟久保太一ら:関東病虫研報 57:41, 2010 ; 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 ; 藤川貴史・大田将禎:日植病報 86(3):232, 2020 [備考] モモに発生 (注) 病名読み修正	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 胴枯細菌病 dogare-saikin- byo Bacterial canker <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 菅野英二ら:北日本病虫研報 53:137, 2002 ; 舟久保太一ら:関東病虫研報 57:41, 2010 ; 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 ; 藤川貴史・大田将禎:日植病報 86(3):232, 2020 [備考] モモに発生
---	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi
---	---

さび色胴枯病 sabi-ro-dogare-byo <i>Erwinia</i> rusty canker (1) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> pv. <i>chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953, <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶 山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 ; 唐津達彦ら: 日植病報 85(1):71, 2019 ; 唐津達彦ら:山口農林総 技セ研報 12:30, 2021 [備考] 唐津ら(2019 ; 2021)は, カメムシの加害に より 本病原が果実を腐敗させることを報告した (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶 山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 (注) (1)文献追加	さび色胴枯病 sabi-ro-dogare-byo <i>Erwinia</i> rusty canker (1) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> pv. <i>chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953, <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶 山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 ; 唐津達彦ら: 日植病報 85(1):71, 2019 [備考] 唐津ら(2019)は, カメムシの加害により 本病原が果実を腐敗させることを報告した (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶 山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987
--	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus</i> <i>betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus</i> <i>ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 胴枯細菌病 dogare-saikin-byo Bacterial canker (さび色胴枯病) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen,	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus</i> <i>betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus</i> <i>ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 胴枯細菌病 dogare-saikin-byo Bacterial canker (さび色胴枯病) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen,
--	---

Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 ; 藤川貴史・大田将禎:日植病報 86(3):232, 2020 [備考] 藤川・大田は, 本病原によるさび色胴枯病を本病へ変更した (注) 病名読み修正	Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 ; 藤川貴史・大田将禎:日植病報 86(3):232, 2020 [備考] 藤川・大田は, 本病原によるさび色胴枯病を本病へ変更した
--	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† Pear chlorotic leaf spot-associated virus# (PCLSaV) ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス [Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV)] 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 竹山さわな ら:日植病報 87(1):7, 2021 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT-PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田ら(2020)は, JPCSaVと名付けた。その後, 竹山ら(2021)は, 本ウイルスがPCLSaVと同種であることを報告した。神山ら(2020)は, 果梗の裂傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆した。戻し接種なし	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV) ニホンナシ退緑斑点随伴ウイルス 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植病報 86(3):221, 2020 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT-PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田らは, JPCSaVと名付けた。神山らは, 果梗の裂傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆した。戻し接種なし
--	--

(注) 病原学名・病原和名変更	
-----------------	--

バラ科 Rosaceae シャリンバイ(車輪梅) Yeddo hawthorn <i>Raphiolepis indica</i> (L.) Lindl. ex Ker var. <i>umbellata</i> (Thunb. ex Murray) Ohashi (広葉樹) すす病 susu-byo Black mildew <i>Asteridiella raphiolepidis</i> (W. Yamamoto) Hansford [<i>Irenina raphiolepidis</i> W. Yamamoto] Katamoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):412, 1979 ; 山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):50, 1941(昭16) [備考] シマシャリンバイ・モッコクモドキ (<i>R. indica</i> var. <i>tashiroi</i>) (注) 文献名修正	バラ科 Rosaceae シャリンバイ(車輪梅) Yeddo hawthorn <i>Raphiolepis indica</i> (L.) Lindl. ex Ker var. <i>umbellata</i> (Thunb. ex Murray) Ohashi (広葉樹) すす病 susu-byo Black mildew <i>Asteridiella raphiolepidis</i> (W. Yamamoto) Hansford [<i>Irenina raphiolepidis</i> W. Yamamoto] Katamoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):412, 1979 ; 山本和太郎:台湾博物学術報 31(209):50, 1941(昭16) [備考] シマシャリンバイ・モッコクモドキ (<i>R. indica</i> var. <i>tashiroi</i>)
--	---

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. さび病 sabi-byo Rust (葉渋病, 赤錆病, 錆病) (1) <i>Kuehneola japonica</i> (Dietel) Dietel [<i>Phragmidium japonicum</i> Dietel, <i>Kuehneola rosae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):376, 1919(大8) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):3, 1902(明35) ; 澤田兼吉:台湾中研農業報 35(台湾産菌類調査報告 4):72, 1928(昭3) ;	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. さび病 sabi-byo Rust (葉渋病, 赤錆病, 錆病) (1) <i>Kuehneola japonica</i> (Dietel) Dietel [<i>Phragmidium japonicum</i> Dietel, <i>Kuehneola rosae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):376, 1919(大8) ; 吉永虎馬:植物学雑 16(179):3, 1902(明35) ; 澤田兼吉:台湾中研農業報 35(台湾産菌類調査報告 4):72, 1928(昭3) ;
---	---

Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:398, 1992 [備考] テリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i>)・トック リイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>ampullicarpa</i>)・リュ ウキュウテリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>glandulifera</i>)・コウシンバラ (<i>R. chinensis</i>)・フジ イバラ (<i>R. fujisanensis</i>)・オオサクライバラ(<i>R.</i> <i>luciae</i>)・モッコウバラ (<i>R. banksiae</i>)・ヤエヤマ イバラ (<i>R. bracteata</i>)・ヤブイバラ (<i>R. onoei</i>)・タイ ワンノイバラ (<i>R. taiwaniana</i>)・ナニワイバラ (<i>R.</i> <i>laevigata</i>)・ノイバラに発生 (2) <i>Phragmidium fusiforme</i> J. Schröter [<i>Phragmidium</i> <i>rosae-acicularis</i> Liro] 笠井幹夫:札幌博物学会報 3(1):31, 1910(明43) [備考] タカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>nipponensis</i>)・オオタカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>gmelinii</i>)に発生 (3) <i>Phragmidium montivagum</i> Arthur Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:418, 1992 [備考] ヤマハマナスに発生 (4) <i>Phragmidium mucronatum</i> (Persoon) Schlechtendal [<i>Phragmidium subcorticium</i> (Schrank) G. Winter] 出田 新:実用植物病理学:128, 1902(明35) ; Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot, (日植輯報) 7(3-4):249, 1935(昭10) (5) <i>Phragmidium rosae-multiflorae</i> Dietel [<i>Phragmidium rosae-laevigatae</i> Fujikuro] 南部信方:病虫雑 4(8):597, 1917(大6) ; 笠井幹夫: 札幌博物学会報3(1):32, 1910(明43) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:429, 1992 [備考] テリハノイバラ・トックリイバラ・ナニ ワイバラ・ツクシイバラ (<i>R. multiflora</i> var. <i>adenochaeta</i>)・サンショウバラ(<i>R. hirtula</i>)・ツル ノイバラ (<i>R. spinosissima</i> var. <i>mandshurica</i>)・ノイ バラに発生 (6) <i>Phragmidium satoanum</i> Y. Ono Ono, Y. & Wahyuno, D.:Mycoscience 60(4):237,	Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:398, 1992 [備考] テリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i>)・トック リイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>ampullicarpa</i>)・リュ ウキュウテリハノイバラ (<i>R. wichuraiana</i> var. <i>glandulifera</i>)・コウシンバラ (<i>R. chinensis</i>)・フジ イバラ (<i>R. fujisanensis</i>)・オオサクライバラ(<i>R.</i> <i>luciae</i>)・モッコウバラ (<i>R. banksiae</i>)・ヤエヤマ イバラ (<i>R. bracteata</i>)・ヤブイバラ (<i>R. onoei</i>)・タイ ワンノイバラ (<i>R. taiwaniana</i>)・ナニワイバラ (<i>R.</i> <i>laevigata</i>)・ノイバラに発生 (2) <i>Phragmidium fusiforme</i> J. Schröter [<i>Phragmidium</i> <i>rosae-acicularis</i> Liro] 笠井幹夫:札幌博物学会報 3(1):31, 1910(明43) [備考] タカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>nipponensis</i>)・オオタカネイバラ (<i>R. acicularis</i> var. <i>gmelinii</i>)に発生 (3) <i>Phragmidium montivagum</i> Arthur Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:418, 1992 [備考] ヤマハマナスに発生 (4) <i>Phragmidium mucronatum</i> (Persoon) Schlechtendal [<i>Phragmidium subcorticium</i> (Schrank) G. Winter] 出田 新:実用植物病理学:128, 1902(明35) ; Hiratsuka, N.:Jap. Jour. Bot, (日植輯報) 7(3-4):249, 1935(昭10) (5) <i>Phragmidium rosae-multiflorae</i> Dietel [<i>Phragmidium rosae-laevigatae</i> Fujikuro] 南部信方:病虫雑 4(8):597, 1917(大6) ; 笠井幹夫:札幌 博物学会報3(1):32, 1910(明43) ; Hiratsuka, N. <i>et</i> <i>al.</i>:The rust flora of Japan:429, 1992 [備考] テリハノイバラ・トックリイバラ・ナニ ワイバラ・ツクシイバラ (<i>R. multiflora</i> var. <i>adenochaeta</i>)・サンショウバラ(<i>R. hirtula</i>)・ツル ノイバラ (<i>R. spinosissima</i> var. <i>mandshurica</i>)・ノイ バラに発生 (6) <i>Phragmidium satoanum</i> Y. Ono Ono, Y. & Wahyuno, D.:Mycoscience 60(4):237,
--	---

2019 [備考] サンショウバラに発生 (注) (5)文献年の和暦のカッコを閉じる	2019 [備考] サンショウバラに発生
--	-------------------------

バラ科 Rosaceae シモツケ類(木下野) Spiraea <i>Spiraea</i> spp. (広葉樹) 枝黒膜病 eda-kuromaku-byo <i>Dendryphion spiraeae</i> Sawada 澤田兼吉:林試研報 105:100, 1958 ; 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学術報 17:59, 1934(昭9) [備考] マルバシモツケ (<i>S. betulifolia</i>) (注) 文献著者名訂正	バラ科 Rosaceae シモツケ類(木下野) Spiraea <i>Spiraea</i> spp. (広葉樹) 枝黒膜病 eda-kuromaku-byo <i>Dendryphion spiraeae</i> Sawada 澤田兼吉:林試研報 105:100, 1958 ; 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:59, 1934(昭9) [備考] マルバシモツケ (<i>S. betulifolia</i>)
--	---

バラ科 Rosaceae ストランベisia Chinese stranvaesia <i>Stranvaesia davidiana</i> Decne. (広葉樹) †すす病 susu-byo Sooty mold <i>Irene stranvaesiicola</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):415, 1940(昭15) [備考] 台湾。ニイタカカマツカ (<i>Stranvaesia niitakayamensis</i>) (注) 文献年訂正	バラ科 Rosaceae ストランベisia Chinese stranvaesia <i>Stranvaesia davidiana</i> Decne. (広葉樹) †すす病 susu-byo Sooty mold <i>Irene stranvaesiicola</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学会報 30(206/207):415, 1941(昭15) [備考] 台湾。ニイタカカマツカ (<i>Stranvaesia niitakayamensis</i>)
--	---

アカネ科 Rubiaceae	アカネ科 Rubiaceae
----------------	----------------

キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) †すす病 susu-byo (1) <i>Chaetoscorias vulgaris</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954 ; 山本和太 郎:兵庫農大研報農生編 3(1):36, 1957 [備考] 台湾。病名未提案 (2) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 ; 山本和太 郎:兵庫農大研報農生編 3(1):33, 1957 [備考] 台湾 (3) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953 [備考] 台湾 (注) 文献順修正、文献号数挿入	キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) †すす病 susu-byo (1) <i>Chaetoscorias vulgaris</i> W. Yamamoto 山本和太郎:日植病報 19:3, 1954 ; 山本和太郎:兵 庫農大研報農生編 3(1):36, 1957 ; 山本和太郎:兵 庫農大研報農生編 1(1):44, 1953 [備考] 台湾。病名未提案 (2) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19:1, 1954 ; 山本和太郎:兵 庫農大研報農生編 3(1):33, 1957 [備考] 台湾 (3) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953 [備考] 台湾
--	---

アカネ科 Rubiaceae クルマムグラ <i>Galium trifloriforme</i> Komar. var. <i>nipponicum</i> (Makino) Nakai (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces riedlianus</i> (Speer) V.P. Heluta Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:243, 2015 [備考] 接種試験未了 (注) 文献著者修正	アカネ科 Rubiaceae クルマムグラ <i>Galium trifloriforme</i> Komar. var. <i>nipponicum</i> (Makino) Nakai (野草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces riedlianus</i> (Speer) V.P. Heluta Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:243, 2015 [備考] 接種試験未了
--	--

アカネ科 Rubiaceae クチナシ(梔子) Cape-jasmine <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大8) ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照 (注) 文献年和暦訂正、文献号数挿入	アカネ科 Rubiaceae クチナシ(梔子) Cape-jasmine <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大9) ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照
--	---

アカネ科 Rubiaceae ハナガサノキ (Morinda) <i>Morinda umbellata</i> L. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Uredo morindae</i> Y. Morimoto Morimoto, Y.:<i>Journ. Jap. Bot.</i> 31(2):41, 1956 (注) 文献名訂正、ページ修正	アカネ科 Rubiaceae ハナガサノキ (Morinda) <i>Morinda umbellata</i> L. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Uredo morindae</i> Y. Morimoto Morimoto, Y.:<i>Bot. Mag. Tokyo</i> 31(2):40, 1956
---	---

ミカン科 Rutaceae キハダ(黄蘗) Amur cork-tree <i>Phellodendron amurense</i> Rupr. (広葉樹)	ミカン科 Rutaceae キハダ(黄蘗) Amur cork-tree <i>Phellodendron amurense</i> Rupr. (広葉樹)
---	---

すす病 susu-byo Sooty mold 病原菌未詳 天野孝之ら:森林防疫 33(10):182, 1984 (注) 文献号数訂正	すす病 susu-byo Sooty mold 病原菌未詳 天野孝之ら:森林防疫 33(8):182, 1984
---	--

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 銀皮病 gimpi-byo Silver scurf, Black scurf (銀衣病) <i>Coniothecium scabrum</i> McAlpine 西田藤次:柑橘病害と予防法:100, 1914(大3) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:281, 1927(昭2) ; 保 虎太郎:病虫雑 23(12):952, 1936(昭11) [備考] 海外では本病菌が主原因であるが, 虫害や機械的障害も関係あるらしいとされている (注) 文献和暦訂正	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 銀皮病 gimpi-byo Silver scurf, Black scurf (銀衣病) <i>Coniothecium scabrum</i> McAlpine 西田藤次:柑橘病害と予防法:100, 1914(大3) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:281, 1927(昭2) ; 保 虎太郎:病虫雑 23(12):952, 1936(昭1) [備考] 海外では本病菌が主原因であるが, 虫害や機械的障害も関係あるらしいとされている
---	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar
--	--

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病) <i>Uncinula adunca</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>mandshurica</i> (Miura) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [<i>Uncinula salicis</i> auct. Jap. non Winter, <i>Uncinula mandshurica</i> Miura] 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:127, 1928(昭3) ; 伊藤一雄:日本におけるポプラの寄生 性病害 :2, 1959 ; 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明34) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):356, 1937 (昭12) ; 大谷 吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988 [備考] ドロノキ・ヤマナラシ。三浦 (1928) は中 国東北部の<i>U. mandshurica</i> によるテリハドロウ どんこ病を報告した (注) 文献年和暦訂正	うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病) <i>Uncinula adunca</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>mandshurica</i> (Miura) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [<i>Uncinula salicis</i> auct. Jap. non Winter, <i>Uncinula mandshurica</i> Miura] 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:127, 1928(昭3) ; 伊藤一雄:日本におけるポプラの寄生 性病害 :2, 1959 ; 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明30) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):356, 1937 (昭12) ; 大谷 吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988 [備考] ドロノキ・ヤマナラシ。三浦 (1928) は中 国東北部の<i>U. mandshurica</i> によるテリハドロウ どんこ病を報告した
--	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar すす病 susu-byo Sooty mold (1) <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler [<i>Alternaria tenuis</i> Nees] 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1139, 1978 (2) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne [<i>Apiosporium salicinum</i> (Persoon) Kunze] 白井光太郎:植物病理学(下):176, 1894(明27) ; 出	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar すす病 susu-byo Sooty mold (1) <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler [<i>Alternaria tenuis</i> Nees] 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1139, 1978 (2) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne [<i>Apiosporium salicinum</i> (Persoon) Kunze] 白井光太郎:植物病理学(下):176, 1894(明27) ; 出
---	---

田 新:日本植物病理学(上):225, 190⁹(明42) [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (3) <i>Cladosporium cladosporioides</i> (Fresenius) G.A. de Vries 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 (4) <i>Cladosporium herbarum</i> (Persoon) Link 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 (5) <i>Curvularia lunata</i> (Wakker) Boedijn 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 (6) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto [<i>Capnodium tanakae</i> Shirai & Hara, <i>Capnodaria tanakae</i> (Shirai & Hara) Sawada, <i>Antennella citri</i> Sawada] 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 (注) 文献年訂正	田 新:日本植物病理学(上):225, 190⁶(明42) [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (3) <i>Cladosporium cladosporioides</i> (Fresenius) G.A. de Vries 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 (4) <i>Cladosporium herbarum</i> (Persoon) Link 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 (5) <i>Curvularia lunata</i> (Wakker) Boedijn 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961 (6) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto [<i>Capnodium tanakae</i> Shirai & Hara, <i>Capnodaria tanakae</i> (Shirai & Hara) Sawada, <i>Antennella citri</i> Sawada] 山本和太郎・前田巳之助:日植病報 26(2):61, 1961
---	--

ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) †褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease <i>Septobasidium acaciae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):410, 1919(大⁸) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(19):217, 1914(大3) [備考] 台湾。タイワンヤナギ (注) 文献年和暦訂正	ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) †褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease <i>Septobasidium acaciae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):410, 1919(大⁹) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 4(19):217, 1914(大3) [備考] 台湾。タイワンヤナギ
---	--

ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow	ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow
---	---

<i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot <i>Trametes versicolor</i> (Linnaeus) Pilát [<i>Coriolus versicolor</i> (Linnaeus) Quélet] カワラタケ (クロクモタケ) 安田 篤:植物学雑 22(261):373, 1908(明41) ; 今関六也:東京科博研報 6:81, 1943(昭18) [備考] 病原菌の異名はポプラ類かわらたけ病参照 (注) 文献年和暦訂正	<i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) かわらたけ病* kawaratake-byo Stem sap rot <i>Trametes versicolor</i> (Linnaeus) Pilát [<i>Coriolus versicolor</i> (Linnaeus) Quélet] カワラタケ (クロクモタケ) 安田 篤:植物学雑 22(261):373, 1908(明41) ; 今関六也:東京科博研報 6:81, 1943(昭13) [備考] 病原菌の異名はポプラ類かわらたけ病参照
--	---

ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) <i>Hortensia</i> <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 茎疫病 kuki-eki-byo Stem rot <i>Phytophthora hedraiaandra</i> De Cock & Man in 't Veld Yosilia, R. et al.:Jpn. J. Phytopathol. 83(3):183, 2017 ; Yosilia, R. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 86(6):507, 2020 (注) 文献追加	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) <i>Hortensia</i> <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 茎疫病 kuki-eki-byo Stem rot <i>Phytophthora hedraiaandra</i> De Cock & Man in 't Veld Yosilia, R. et al.:Jpn. J. Phytopathol. 83(3):183, 2017
--	---

ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 茎根腐病 kukinegusare-byo Stem and root rot (1) <i>Globisporangium spinosum</i> (Sawada) Uzuhashi, Tojo & Kakishima [<i>Pythium spinosum</i> Sawada] 永島 進ら:日植病報 83(3):183, 2017 ; 永島 進ら:日植病報 87(1):29, 2021 ; Nagashima, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 87(3):148, 2021 (2) <i>Globisporangium splendens</i> (Hans Braun) Uzuhashi, Tojo & Kakishima [<i>Pythium splendens</i> Hans Braun] 永島 進ら:日植病報 83(3):183, 2017 ; 永島 進ら:日植病報 87(1):29, 2021 ; Nagashima, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 87(3):148, 2021 (3) <i>Globisporangium</i> sp. [<i>Pythium intermedium</i> de Bary] 永島 進ら:日植病報 82(1):55, 2016 ; 永島 進ら:日植病報 87(1):29, 2021 ; Nagashima, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 87(3):148, 2021 (4) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 永島 進ら:日植病報 83(3):183, 2017 ; Nagashima, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 87(3):148, 2021	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 茎根腐病 kukinegusare-byo Stem and root rot (1) <i>Pythium intermedium</i> de Bary 永島 進ら:日植病報 82(1):55, 2016 (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 永島 進ら:日植病報 83(3):183, 2017 (3) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 永島 進ら:日植病報 83(3):183, 2017 (4) <i>Pythium splendens</i> Hans Braun 永島 進ら:日植病報 83(3):183, 2017
---	---

(注) 病原学名変更、文献追加	
-----------------	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba †††† <i>Discosia atrocreas</i> (Tode) Fries 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学術報 17:45, 1934(昭9) [備考] ゴトウヅル (<i>H. petiolaris</i> var. <i>cordifolia</i>) (注) 文献著者名訂正	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba †††† <i>Discosia atrocreas</i> (Tode) Fries 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:45, 1934(昭9) [備考] ゴトウヅル (<i>H. petiolaris</i> var. <i>cordifolia</i>)
--	---

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キリ(桐) Paulownia, Princesstree <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud. (広葉樹) フオモプシス枝枯病 <i>Phomopsis-edagare-byo</i> Phomopsis twig blight <i>Diaporthe eres</i> Nitschke [<i>Phoma imperialis</i> Saccardo]	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キリ(桐) Paulownia, Princesstree <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud. (広葉樹) フオモプシス枝枯病 <i>Phomopsis-edagare-byo</i> Phomopsis twig blight <i>Diaporthe eres</i> Nitschke [<i>Phoma imperialis</i> Saccardo]
--	--

& Roumeguère, <i>Phomopsis</i> sp., <i>Phomopsis imperialis</i> Saccardo & Roumeguère] 伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:25, 1960 ; 原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大2) ; 小林享夫・伊藤一雄:林試研報 103:57, 1957 (注) 文献号数訂正	& Roumeguère, <i>Phomopsis</i> sp., <i>Phomopsis imperialis</i> Saccardo & Roumeguère] 伊藤一雄:図説特用樹病害診断法:25, 1960 ; 原 攝祐:植物学雑 27(313):67, 1913(大2) ; 小林享夫・伊藤一雄:林試研報 105:57, 1957
---	---

ナス科 Solanaceae ベラドンナ Belladonna <i>Atropa belladonna</i> L. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 李 準璋ら:日植病報 47(1):137, 1981 [備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし (2) ウイルス (未同定) 宮本雄一ら:日植病報 30(5):301, 1965 [備考] <i>Tobacco rattle virus</i> (TRV タバコ茎えそウイルス) [Belladonna mosaic virus#] に類似。戻し接種なし (注) 文献年訂正	ナス科 Solanaceae ベラドンナ Belladonna <i>Atropa belladonna</i> L. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 李 準璋ら:日植病報 47(1):137, 1987 [備考] 同定の記載不十分。戻し接種なし (2) ウイルス (未同定) 宮本雄一ら:日植病報 30(5):301, 1965 [備考] <i>Tobacco rattle virus</i> [(TRV タバコ茎えそウイルス) [Belladonna mosaic virus#] に類似。戻し接種なし
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 腐敗細菌病* fuhai-saikin-byo Bacterial rot (腐敗病) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 腐敗細菌病* fuhai-saikin-byo Bacterial rot (腐敗病) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown)
---	--

2020 [<i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925] 唐津達彦ら:近畿中国農業研究 89:9, 1995 ; 澤田宏之:植物防疫 75(3):135, 2021 (注) 病原学名変更	1918) Stevens 1925 唐津達彦ら:近畿中国農業研究 89:9, 1995
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 白かび病 shirokabi-byo Watery-rot <i>Geotrichum candidum</i> Link 高野喜八郎:日植病報 50(1):117, 1984 (注) 文献号数訂正	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 白かび病 shirokabi-byo Watery-rot <i>Geotrichum candidum</i> Link 高野喜八郎:日植病報 59(1):117, 1984
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実炭疽病, 鮭肉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 末永寛子ら:日植病報 74(1):68, 2008 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum phomoides</i> (Saccardo) Chester] 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1053, 1915(大4) ; 金野敬三:園芸之友 14(9):662, 1918(大7) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992 (3) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実炭疽病, 鮭肉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 末永寛子ら:日植病報 74(1):68, 2008 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum phomoides</i> (Saccardo) Chester] 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1053, 1915(大4) ; 金野敬三:園芸之友 14(9):662, 1918(昭7) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992 (3) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted
--	--

[<i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes] 白井佳代ら:日植病報 84(3):200, 2018 ; 白井佳代ら:日植病報 85(3):227, 2019 [備考] 果実の腐敗症状 (注) 文献年元号修正	[<i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes] 白井佳代ら:日植病報 84(3):200, 2018 ; 白井佳代ら:日植病報 85(3):227, 2019 [備考] 果実の腐敗症状
--	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生ら:日植病報 86(3):190, 2020 [備考] 綿腐病の病原でもある (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 47(3):387, 1981 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 (3) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 48(3):349, 1982 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 [備考] 養液栽培で発生 (注) 病名英名追加	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根腐病 negusare-byo (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生ら:日植病報 86(3):190, 2020 [備考] 綿腐病の病原でもある (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 47(3):387, 1981 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 (3) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 48(3):349, 1982 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 [備考] 養液栽培で発生
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病, 根こぶ病, 線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 節根病)	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根線虫病, 根こぶ病, 線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 節根病)
--	--

(1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 近藤鶴彦:植物防疫 6(9-10):352, 1952 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。 <i>M. mali</i> として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 村田壽太郎:園芸之友 11(12):1372, 1915(大4) ; 楠木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) (2)文献巻号頁訂正	(1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 近藤鶴彦:植物防疫 6(9-10):352, 1952 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。 <i>M. mali</i> として報告されたが, 本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 村田壽太郎:園芸之友 11(12):1372, 1915(大4) ; 楠木外岐雄:実地園芸 13(増4):302, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
--	---

ナス科 Solanaceae	ナス科 Solanaceae
----------------	----------------

トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) ††††茎えそ症状 kukieso-shojo (1) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 久我ゆかりら:日植病報 51(1):105, 1985 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 佐久間晴彦ら:日植病報 50(1):140, 1984 ; 久我ゆかりら:日植病報 51(1):105, 1985 (注) 文献年訂正	トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) ††††茎えそ症状 kukieso-shojo (1) <i>Pseudomonas fluorescens</i> (Trevisan 1889) Migula 1895 久我ゆかりら:日植病報 51(1):105, 1985 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 佐久間晴彦ら:日植病報 50(1):140, 1985 ; 久我ゆかりら:日植病報 51(1):105, 1985
---	--

ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 脈緑モザイク病 myakuryoku-mosaic-byo Vein banding mosaic <i>Tobacco vein banding mosaic virus</i> (TVBMV) タバコ脈緑モザイクウイルス 久保 進:葉たばこ研究 76:37, 1977 ; 久保 進・桑田 茂:日植病報 43(3):373, 1977 (注) 文献著者修正	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 脈緑モザイク病 myakuryoku-mosaic-byo Vein banding mosaic <i>Tobacco vein banding mosaic virus</i> (TVBMV) タバコ脈緑モザイクウイルス 久保 進:葉たばこ研究 76:37, 1977 ; 久保 進:日植病報 43(3):373, 1977
--	---

ナス科 Solanaceae ツノナス Nipplefruit <i>Solanum mammosum</i> L. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Alfalfa mosaic virus</i> (AMV) アルファルファモザイクウイルス 李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1993 (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1993 (3) <i>Grapevine Algerian latent virus</i> (GALV) ブドウアルジェリア潜在ウイルス 藤澤一郎ら:日植病報 60(3):396, 1994 ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 72(2):119, 2006 (4) <i>Tomato bushy stunt virus</i> (TBSV) トマトブッシースタントウイルス 藤澤一郎ら:日植病報 61(6):602, 1995 ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(1):74, 2005 (注) 文献年訂正	ナス科 Solanaceae ツノナス Nipplefruit <i>Solanum mammosum</i> L. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Alfalfa mosaic virus</i> (AMV) アルファルファモザイクウイルス 李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1995 (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 李 今姫ら:日植病報 59(1):95, 1995 (3) <i>Grapevine Algerian latent virus</i> (GALV) ブドウアルジェリア潜在ウイルス 藤澤一郎ら:日植病報 60(3):396, 1994 ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 72(2):119, 2006 (4) <i>Tomato bushy stunt virus</i> (TBSV) トマトブッシースタントウイルス 藤澤一郎ら:日植病報 61(6):602, 1995 ; Ohki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(1):74, 2005
--	---

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜)	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜)
褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown leaf spot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [Rhizoctonia solani J.G. Kühn] 小玉孝司ら:日植病報 48(3):356, 1982 ; 堀本圭一・小玉孝司:奈良農試研報 14:66, 1983 ; 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 54(3):352, 1988 ; 岩舘康哉・佐々木陽菜:日植病報 85(3):233, 2019 ; 岩舘康哉・佐々木陽菜:北日本病虫研報 70:76, 2019 ; 岩舘康哉:植物防疫 73(4):153, 2020 ; 岩舘康哉:日植病報 87(1):17, 2021 ; Misawa, T. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 87(2):123, 2021 [備考] 小玉ら(1982)および堀本・小玉(1983)の病原は菌糸融合群 AG-3 培養型 IV。Misawa <i>et al.</i> (2021)は, 堀江ら(1988)が菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IVとした病原をAG-3 TMと再同定し, 葉の褐色輪紋症状を報告した。岩舘(2021)はAG-3 TMによる果実の小陥没症を報告した (注) 備考変更	褐色斑点病 kasshoku-hanten-byo Brown leaf spot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [Rhizoctonia solani J.G. Kühn] 小玉孝司ら:日植病報 48(3):356, 1982 ; 堀本圭一・小玉孝司:奈良農試研報 14:66, 1983 ; 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 54(3):352, 1988 ; 岩舘康哉・佐々木陽菜:日植病報 85(3):233, 2019 ; 岩舘康哉・佐々木陽菜:北日本病虫研報 70:76, 2019 ; 岩舘康哉:植物防疫 73(4):153, 2020 [備考] 小玉ら(1982)および堀本・小玉(1983)の病原は菌糸融合群 AG-3 培養型 IV, 堀江らの病原菌は菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IV。岩舘・佐々木(日植病報 2019, 北日本病虫研報 2019, 植物防疫 2020)は, 本病原が果実の小陥没症を引き起こす可能性を示唆した

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜)	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜)
根腐疫病 negusare-eki-byo Phytophthora root rot (根腐萎凋症) (1) <i>Phytophthora gloveri</i> Z.G. Abad & Shew 伊達寛敬ら:日植病報 49(3):390, 1983 ; 伊達寛敬	根腐疫病 negusare-eki-byo Phytophthora root rot (根腐萎凋症) (1) <i>Phytophthora glovera</i> A.Z. Abad & Shew 伊達寛敬ら:日植病報 49(3):390, 1983 ; 伊達寛敬

ら:日植病報 50(3):392, 1984 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 81(3):215, 2015 [備考] 伊達ら(1984)は, 病原を <i>Phytophthora boehmeriae</i> と同定したが, Rahman <i>et al.</i>(2015)が <i>P. glovera</i> と再同定した (2) <i>Phytophthora</i> sp. 新須利則・木曾 皓:九病虫研会報 21:70, 1975 (注) (1)病原学名訂正(Index Fungorumによる)	ら:日植病報 50(3):392, 1984 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 81(3):215, 2015 [備考] 伊達ら(1984)は, 病原を <i>Phytophthora boehmeriae</i> と同定したが, Rahman <i>et al.</i>(2015)が <i>P. glovera</i> と再同定した (2) <i>Phytophthora</i> sp. 新須利則・木曾 皓:九病虫研会報 21:70, 1975
--	--

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 節根病, 根線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ 近藤鶴彦:植物防疫 6(9-10):352, 1952 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤線虫病, 節根病, 根線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] サツマイモネコブセンチュウ 近藤鶴彦:植物防疫 6(9-10):352, 1952 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ
---	--

三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎: 植防研報 7:75, 1969 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。<i>M. mali</i> として報告され たが、本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radicola</i> (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 田 杉平司:実地園芸 13(増4):91, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照 (注) (2)文献巻号頁訂正	三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎: 植防研報 7:75, 1969 (5) <i>Meloidogyne suginamiensis</i> Toida & Yaegashi スギナミネコブセンチュウ 樋田幸夫:日線虫研誌 9:20, 1979 ; Toida, Y. & Yaegashi, T.:Jpn. J. Nematol. 14:49, 1984 [備考] 接種試験の結果。<i>M. mali</i> として報告され たが、本種の記載に際し訂正された (6) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radicola</i> (Greeff) Müller] ネコブセンチュウの1種 小貫信太郎:大日本農会報 161:7, 1895(明28) ; 田 杉平司:実地園芸 13(増4):91, 1932(昭7) [備考] 病原線虫の異名等は、サツマイモの根こ ぶ線虫病を参照
---	---

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) †††† <i>Mycovellosiella tarrii</i> Deighton [<i>Cercospora</i> <i>deightonii</i> Chupp] 香月繁孝:日菌報 別冊 1:62, 1965 ; 小林享夫ら:植 物病原菌類図説:594, 1992 (注) 文献号数、ページ訂正	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) †††† <i>Mycovellosiella tarrii</i> Deighton [<i>Cercospora</i> <i>deightonii</i> Chupp] 香月繁孝:日菌報 別冊:162, 1965 ; 小林享夫ら:植 物病原菌類図説:594, 1992
---	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物)	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物)
--	--

モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 松涛美文ら:日植病報 36(5):374, 1970 (2) <i>Potato virus A</i> (PVA) ジャガイモAウイルス 松涛美文・末次哲雄:日植病報 34(3):199, 1968 ; 松涛美文・末次哲雄:植防調査研報 8:13, 1970 (3) <i>Potato virus M</i> (PVM) ジャガイモMウイルス 堀尾英弘ら:日植病報 34(5):374, 1968 ; 堀尾英弘ら:日植病報 35(1):47, 1969 (4) <i>Potato virus S</i> (PVS) ジャガイモSウイルス 行本峰子ら:日植病報 25(5):216, 1960 (5) <i>Potato virus X</i> (PVX) ジャガイモXウイルス [Potato mottle virus#, Latent potato virus#, Healthy potato virus#, Potato simple mosaic virus#, Solanum virus 1#, Annulus dubius#] 田中一郎ら:北海道農試報告 49:1, 1956 (6) <i>Potato virus Y</i> (PVY) ジャガイモYウイルス [Potato streak virus#, Potato leaf drop streak virus#, Potato vein-banding virus#, Potato acropetal necrosis virus#, Solanum virus 2#, Marmor epsilon#] 日高 醇:微生物学ハンドブック:554, 1957 [備考] 主として <i>Potato virus X</i> (PVX ジャガイモXウイルス) によっておこるモザイク病に対し, 単純モザイク病, 微斑モザイク病, 潜在モザイク病, 擬黒斑モザイク病などの病名が, また主として <i>Potato virus Y</i> (PVY ジャガイモYウイルス) によっておこるモザイク病に漣葉モザイク病, 漣葉性モザイク病, クリンクルモザイク, 縮葉モザイク病, 縮葉萎縮病, 縮葉性萎縮病, 縮葉病, モザイク性萎縮病, ルゴースモザイク, 箆工萎縮病, 萎縮性モザイク病, 壊疽モザイク病, 条斑モザイク病, 壊疽萎縮病, 条斑萎縮病, 黒斑モザイク病, ストリーク, 萎縮病, などの病名が用いられたこともある	モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 松涛美文ら:日植病報 36(5):374, 1970 (2) <i>Potato virus A</i> (PVA) ジャガイモAウイルス 松涛美文・末次哲雄:日植病報 34(3):199, 1968 ; 松涛美文・末次哲雄:植防調査研報 8:13, 1970 (3) <i>Potato virus M</i> (PVM) ジャガイモMウイルス 堀尾英弘ら:日植病報 34(5):374, 1968 ; 堀尾英弘ら:日植病報 35(1):47, 1969 (4) <i>Potato virus S</i> (PVS) ジャガイモSウイルス 行本峰子ら:日植病報 28(5):307, 1960 (5) <i>Potato virus X</i> (PVX) ジャガイモXウイルス [Potato mottle virus#, Latent potato virus#, Healthy potato virus#, Potato simple mosaic virus#, Solanum virus 1#, Annulus dubius#] 田中一郎ら:北海道農試報告 49:1, 1956 (6) <i>Potato virus Y</i> (PVY) ジャガイモYウイルス [Potato streak virus#, Potato leaf drop streak virus#, Potato vein-banding virus#, Potato acropetal necrosis virus#, Solanum virus 2#, Marmor epsilon#] 日高 醇:微生物学ハンドブック:554, 1957 [備考] 主として <i>Potato virus X</i> (PVX ジャガイモXウイルス) によっておこるモザイク病に対し, 単純モザイク病, 微斑モザイク病, 潜在モザイク病, 擬黒斑モザイク病などの病名が, また主として <i>Potato virus Y</i> (PVY ジャガイモYウイルス) によっておこるモザイク病に漣葉モザイク病, 漣葉性モザイク病, クリンクルモザイク, 縮葉モザイク病, 縮葉萎縮病, 縮葉性萎縮病, 縮葉病, モザイク性萎縮病, ルゴースモザイク, 箆工萎縮病, 萎縮性モザイク病, 壊疽モザイク病, 条斑モザイク病, 壊疽萎縮病, 条斑萎縮病, 黒斑モザイク病, ストリーク, 萎縮病, などの病名が用いられたこともある
---	---

(注) (4)文献号数・ページ訂正	
ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 紫染萎黄病 shisen-io-byo Purple-top Phytoplasma ファイトプラズマ 塩田弘行ら:日植病報 25(5):235, 1960 ; 土居養二 ら:日植病報 33(4):259, 1967 (注) 文献巻数訂正	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 紫染萎黄病 shisen-io-byo Purple-top Phytoplasma ファイトプラズマ 塩田弘行ら:日植病報 25(5):235, 1960 ; 土居養二 ら:日植病報 38(4):259, 1967
ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病, 叢生萎縮病) Phytoplasma ファイトプラズマ 福士貞吉:病虫雑 25(1):37, 1938(昭13) ; 土居養二 ら:日植病報 33(4):259, 1967 (注) 文献巻数訂正	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巢病, 叢生萎縮病) Phytoplasma ファイトプラズマ 福士貞吉:病虫雑 25(1):37, 1938(昭13) ; 土居養二 ら:日植病報 38(4):259, 1967
ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物)	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物)

乾腐病 kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 乾朽病, 乾燥病, 腐敗病, フザリウム病) (1) <i>Fusarium acuminatum</i> Ellis & Everhart Osawa, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):46, 2021 (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (3) <i>Fusarium caeruleum</i> Libert ex Saccardo [<i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo var. <i>caeruleum</i> (Libert ex Saccardo) C. Booth] 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (4) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg Osawa, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):46, 2021 (5) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大3) (6) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 陶山一雄ら:日植病報 52(3):520, 1986 ; 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (7) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>eumartii</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 荒木隆男・坪木和男:日植病報 41(1):123, 1975 (8) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium radicicola</i> Wollenweber] ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大3) (注) 病原追加	乾腐病 kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 乾朽病, 乾燥病, 腐敗病, フザリウム病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (2) <i>Fusarium caeruleum</i> Libert ex Saccardo [<i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo var. <i>caeruleum</i> (Libert ex Saccardo) C. Booth] 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (3) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大3) (4) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 陶山一雄ら:日植病報 52(3):520, 1986 ; 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (5) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>eumartii</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 荒木隆男・坪木和男:日植病報 41(1):123, 1975 (6) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium radicicola</i> Wollenweber] ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大3)
--	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤病, 根線虫病, 根瘤線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (線虫根瘤病, 根瘤病, 根線虫病, 根瘤線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレ
--	--

ナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 伊藤誠哉:北海道庁農事彙報 32:15, 1930 ; 藤田勝正:北農 1(3):149, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (5) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 田中彰一:蔬菜病害防除論:69, 1948 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (注) (2)文献巻号頁訂正	ナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne hapla</i> Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller] キタネコブセンチュウ 伊藤誠哉:北海道庁農事彙報 32:15, 1930 ; 藤田勝正:北農 13(3):359, 1934(昭9) ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照 (3) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 ; 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 (4) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (5) <i>Meloidogyne</i> sp. [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] ネコブセンチュウの1種 鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) ; 田中彰一:蔬菜病害防除論:69, 1948 [備考] 病原線虫の異名等は, サツマイモの根こぶ線虫病を参照
--	---

ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo 病因未詳	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo 病因未詳
---	---

井上忠男・井上成信:日植病報 40(2):133, 1974 ; 小林享夫・楠木 学:農及園 57(5):巻頭口絵解説, 1982 [備考] 接木伝染は不成功だが, 病葉からはウィ ルス様粒子が観察される (注) 文献誌名表記を多数派に合わせた	井上忠男・井上成信:日植病報 40(2):133, 1974 ; 小林享夫・楠木 学:農業及園芸 57(5):巻頭口絵解 説, 1982 [備考] 接木伝染は不成功だが, 病葉からはウィ ルス様粒子が観察される
--	--

ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 遠藤 茂:農及園 8(6):1540, 1933(昭8) (注) 文献誌名表記を多数派に合わせた	ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 遠藤 茂:農業及園芸 8(6):1540, 1933(昭8)
--	---

ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) †炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Gloeosporium theae-sinensis</i> I. Miyake Miyake, I.:Bot. Mag. Japan 27(315):51, 1913(大2) [備考] 中国。サザンカでは国内未発生。チャ炭 疽病では病原は<i>Discula theae-sinensis</i> (I. Miyake) Moriwaki & Toy. Satoと転属された (注) 文献年和暦訂正	ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) †炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Gloeosporium theae-sinensis</i> I. Miyake Miyake, I.:Bot. Mag. Japan 27(315):51, 1913(大6) [備考] 中国。サザンカでは国内未発生。チャ炭 疽病では病原は<i>Discula theae-sinensis</i> (I. Miyake) Moriwaki & Toy. Satoと転属された
---	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 黒星病 kurohoshi-byo Black spot <i>Fusicladium theae</i> Hara 原 攝祐:茶業界 14(4):12, 1919(大8) ; 原 攝祐:茶 樹の病害:99, 1931(昭6) [備考] 接種試験未了 (注) 文献年訂正	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 黒星病 kurohoshi-byo Black spot <i>Fusicladium theae</i> Hara 原 攝祐:茶業界 14(4):12, 1920(大8) ; 原 攝祐:茶 樹の病害:99, 1931(昭6) [備考] 接種試験未了
---	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight <i>Haradamyces foliicola</i> Masuya, Kusunoki, Kosaka & Aikawa 野中寿之・植原一雄:日植病報 40(2):130, 1974 ; 野中寿之・植原一雄:茶研報 46:38, 1977 ; 山田憲 吾・羽野愛理:日植病報 86(3):193, 2020 (注) 文献著者修正	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪紋葉枯病 rimmon-hagare-byo Zonate leaf blight <i>Haradamyces foliicola</i> Masuya, Kusunoki, Kosaka & Aikawa 野中寿之・植原一雄:日植病報 40(2):130, 1974 ; 野中寿之:茶研報 46:38, 1977 ; 山田憲吾・羽野愛 理:日植病報 86(3):193, 2020
---	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物)	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物)
---	---

芽枯れ症 megare-sho Copper deficiency 銅欠乏 矢野 清ら:茶研報 64:13, 1986 ; 矢野 清ら:茶研報 64:21, 1986 (注) 文献著者修正	芽枯れ症 megare-sho Copper deficiency 銅欠乏 矢野 清ら:茶研報 64:13, 1986 ; 矢野 清:茶研報 64:21, 1986
--	---

ツバキ科 Theaceae サカキ(榊) (Cleyera) <i>Cleyera japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白絹病 shiraku-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 森田 昭:九病虫研会報 60:53, 2014 (注) 文献著者修正	ツバキ科 Theaceae サカキ(榊) (Cleyera) <i>Cleyera japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白絹病 shiraku-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 森田 昭ら:九病虫研会報 60:53, 2014
---	--

シナノキ科 Tiliaceae モロヘイヤ(タイワンツナソ) Jew's marrow <i>Corchorus olitorius</i> L. (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純ら:関東病虫研報 42:119, 1995 ; 佐藤裕子ら:日菌報 38(1):87, 1997 [備考] 佐藤ら(1997)は菌糸融合群AG-2-1を報告した (注) 文献ページ訂正	シナノキ科 Tiliaceae モロヘイヤ(タイワンツナソ) Jew's marrow <i>Corchorus olitorius</i> L. (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純ら:関東病虫研報 42:143, 1995 ; 佐藤裕子ら:日菌報 38(1):87, 1997 [備考] 佐藤ら(1997)は菌糸融合群AG-2-1を報告した
--	---

オミナエシ科 Valerianaceae オミナエシ Dahurian patrinia <i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch., <i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch. ex Trevir. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara [<i>Colletotrichum</i> <i>coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes] 富岡啓介ら:日植病報 66(2):91, 2000 ; Moriwaki, J. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 ; 富岡啓 介:近中四農研センター研報 5:91, 2005 [備考] 富岡啓介ら(2000)は本病原を <i>C. coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes としたが, Moriwaki <i>et al.</i> (2002) はこれを <i>C. destructivum</i> と再同定した (注) 文献号数挿入	オミナエシ科 Valerianaceae オミナエシ Dahurian patrinia <i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch., <i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch. ex Trevir. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara [<i>Colletotrichum</i> <i>coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes] 富岡啓介ら:日植病報 66(2):91, 2000 ; Moriwaki, J. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68:307, 2002 ; 富岡啓介: 近中四農研センター研報 5:91, 2005 [備考] 富岡啓介ら(2000)は本病原を <i>C. coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes としたが, Moriwaki <i>et al.</i> (2002) はこれを <i>C. destructivum</i> と再同定した
---	--

オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 柴田紗帆ら:日植病報 87(1):15, 2021 (注) 新病名	オミナエシ科 Valerianaceae カノコソウ (Valeriana) <i>Valeriana fauriei</i> Briq. (草花)
---	---

クマツヅラ科 Verbenaceae ムラサキシキブ(紫式部) Beautyberry <i>Callicarpa japonica</i> Thunb. (広葉樹)	クマツヅラ科 Verbenaceae ムラサキシキブ(紫式部) Beautyberry <i>Callicarpa japonica</i> Thunb. (広葉樹)
--	--

粉藻病* konamo-byo Algal powdery spot <i>Phycopeltis epiphyton</i> Millardet Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(831):280, 1957 (注) 文献号数訂正	粉藻病* konamo-byo Algal powdery spot <i>Phycopeltis epiphyton</i> Millardet Suematsu, S.:Bot. Mag. Tokyo 70(830):280, 1957
---	---

クマツヅラ科 Verbenaceae クサギ(臭木) Glorybower <i>Clerodendron trichotomum</i> Thunb. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Podosphaera intermedia</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Sphaerotheca intermedia</i> U. Braun, <i>Sphaerotheca humuli</i> auct. Jap. non (de Candolle) Burrill] 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973 ; 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学術報 17:7, 1934(昭9) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012 (注) 文献著者名訂正	クマツヅラ科 Verbenaceae クサギ(臭木) Glorybower <i>Clerodendron trichotomum</i> Thunb. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Podosphaera intermedia</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Sphaerotheca intermedia</i> U. Braun, <i>Sphaerotheca humuli</i> auct. Jap. non (de Candolle) Burrill] 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973 ; 富樫浩吾・大沼総治:盛岡高農学術報 17:7, 1934(昭9) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:18, 2012
--	---

クマツヅラ科 Verbenaceae クマツヅラ類 (Verbena) <i>Verbena</i> spp. (野草) アレチハナガサ <i>Verbena brasiliensis</i> Vell. クマツヅラ <i>Verbena officinalis</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun &	クマツヅラ科 Verbenaceae クマツヅラ類 (Verbena) <i>Verbena</i> spp. (野草) アレチハナガサ <i>Verbena brasiliensis</i> Vell. クマツヅラ <i>Verbena officinalis</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun &
--	--

Shishkoff Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:243, 2015 [備考] 接種試験未了。アレチハナガサに発生 (注) 文献著者修正	Shishkoff Meeboon, J. & Takamatsu, S. <i>et al.</i> :Mycoscience 56:243, 2015 [備考] 接種試験未了。アレチハナガサに発生
---	--

ブドウ科 Vitaceae ノブドウ Ampelopsis <i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Max.) Trautv. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病) (1) <i>Erysiphe necator</i> Schweinitz var. <i>necator</i> [<i>Uncinula necator</i> (Schweinitz) Burrill, <i>Oidium tuckeri</i> Berkeley] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):243, 1988 ; 井上幸次ら:日植病報 69(3):258, 2003 ; Nomura, Y. <i>et al.</i> :Mycoscience 44:157, 2003 ; Takamatsu, S. <i>et al.</i> :Mycoscience 45(1):68, 2005 (2) <i>Ovulariopsis ampelopsidis-ciliatae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業報 49:48, 1930(昭5) ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:94, 1977 (3) <i>Phyllactinia ampelopsidis</i> Y.N. Yu & Y.Q. Lai [<i>Ovulariopsis ampelopsidis-heterophyllae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾中研農業報 49:47, 1930(昭5) ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:94, 1977 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:26, 2012 (注) (1)文献号数訂正、(2)(3)文献年和暦訂正	ブドウ科 Vitaceae ノブドウ Ampelopsis <i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Max.) Trautv. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病) (1) <i>Erysiphe necator</i> Schweinitz var. <i>necator</i> [<i>Uncinula necator</i> (Schweinitz) Burrill, <i>Oidium tuckeri</i> Berkeley] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):243, 1988 ; 井上幸次ら:日植病報 68(3):258, 2003 ; Nomura, Y. <i>et al.</i> :Mycoscience 44:157, 2003 ; Takamatsu, S. <i>et al.</i> :Mycoscience 45(1):68, 2005 (2) <i>Ovulariopsis ampelopsidis-ciliatae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業報 49:48, 1930(昭15) ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:94, 1977 (3) <i>Phyllactinia ampelopsidis</i> Y.N. Yu & Y.Q. Lai [<i>Ovulariopsis ampelopsidis-heterophyllae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾中研農業報 49:47, 1930(昭15) ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:94, 1977 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:26, 2012
---	--

ブドウ科 Vitaceae	ブドウ科 Vitaceae
---------------	---------------

ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 房枯病 fusagare-byo (軸枯病, 穂枯病, スボ枯病, 黒腐病) (1) <i>Botryosphaeria</i> sp. [<i>Guignardia baccae</i> (Cavara) Jaczewski, <i>Guignardia reniformis</i> Prillieux & Delacroix, <i>Macrophoma reniformis</i> Cavara, <i>Phoma reniformis</i> Viala & Ravaz, <i>Physalospora baccae</i> Cavara, <i>Physalospora baccae</i> sensu Nishikado non Cavara] 西門義一:日植病報 1(4):20, 1921(大10); 原 攝祐:日本害菌学:198, 1936(昭11); 田中彰一・高梨真二:日植病報 43(3):322, 1977 (2) <i>Fusicoccum aesculi</i> Corda 那須英夫・井上幸次:岡山県農試研報 25:11, 2007 [備考] <i>Botryosphaeria</i> sp. との異同は要検討 (注) 文献年訂正	ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 房枯病 fusagare-byo (軸枯病, 穂枯病, スボ枯病, 黒腐病) (1) <i>Botryosphaeria</i> sp. [<i>Guignardia baccae</i> (Cavara) Jaczewski, <i>Guignardia reniformis</i> Prillieux & Delacroix, <i>Macrophoma reniformis</i> Cavara, <i>Phoma reniformis</i> Viala & Ravaz, <i>Physalospora baccae</i> Cavara, <i>Physalospora baccae</i> sensu Nishikado non Cavara] 西門義一:日植病報 1(4):20, 1917(大6); 原 攝祐:日本害菌学:198, 1936(昭11); 田中彰一・高梨真二:日植病報 43(3):322, 1977 (2) <i>Fusicoccum aesculi</i> Corda 那須英夫・井上幸次:岡山県農試研報 25:11, 2007 [備考] <i>Botryosphaeria</i> sp. との異同は要検討
ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 赤枯病 akagare-byo Phytoplasma ファイトプラズマ 帆足美伸:農及園 94(12):1036, 2019 (注) 文献誌名表記を多数派に合わせた	ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 赤枯病 akagare-byo Phytoplasma ファイトプラズマ 帆足美伸:農業および園芸 94(12):1036, 2019

ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 褐色しみ病 kasshoku-shimi-byo Brown blotted root rot <i>Plectosphaerella</i> sp. 林 一沙・矢野和孝:日植病報 87(1):28, 2021 (注) 新病名	ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜)
---	--

ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Pratylenchus coffeae</i> (Zimmermann) Filipjev & Schuurmans Stekhoven ミナミネグサレセンチュウ 帆足美伸:農及園 96(3):202, 2021 (2) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネ グサレセンチュウ 近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970 [備考] 接種試験の結果 (3) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオ ハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 [備考] 種名は再検討を要する (注) 病原追加	ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネ グサレセンチュウ 近岡一郎:神奈川総農研研報 109:61, 1970 [備考] 接種試験の結果 (2) <i>Xiphinema americanum</i> Cobb アメリカオオ ハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 [備考] 種名は再検討を要する
--	--

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2021年9月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名, 病原追加, 病名・学名変更, 文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 窪田昌春

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病) (1) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 新島善直:新編森林保護学(下):471, 1925(大14) ; 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 359):10, 1927(昭2) [備考] トネリコバノカエデに発生 (2) <i>Phyllactinia</i> sp. 平田幸治ら:新潟農林研究 16:92, 1964 [備考] カラコギカエデに発生 (注) (2)文献年訂正	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病) (1) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 新島善直:新編森林保護学(下):471, 1925(大14) ; 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 359):10, 1927(昭2) [備考] トネリコバノカエデに発生 (2) <i>Phyllactinia</i> sp. 平田幸治ら:新潟農林研究 16:92, 1963 [備考] カラコギカエデに発生
マタタビ科 Actinidiaceae マタタビ(木天蓼)類 Silver vine <i>Actinidia</i> spp. (果樹) マタタビ Silver vine <i>Actinidia polygama</i>	マタタビ科 Actinidiaceae マタタビ(木天蓼)類 Silver vine <i>Actinidia</i> spp. (果樹) マタタビ Silver vine <i>Actinidia polygama</i>

Maximowicz ミヤママタタビ Kolomikta vine <i>Actinidia kolomikta</i> Maximowicz サルナシ Tara vine, Bower actinidia <i>Actinidia arguta</i> Planchon うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病, 裏白渋病) (1) <i>Erysiphe actinidiae</i> (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>actinidiae</i> [<i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski var. <i>actinidiae</i>, <i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski, <i>Uncinula necator</i> (Schweinitz) Burrill var. <i>actinidiae</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大4) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:81, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] マタタビ・ミヤママタタビ・サルナシに発生 (2) <i>Erysiphe actinidiae</i> (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>argutae</i> [<i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski var. <i>argutae</i> Y. Nomura] 原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大4) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:82, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] マタタビ・サルナシに発生 (3) <i>Erysiphe actinidiicola</i> Meeboon & S. Takamatsu Meeboon, J. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(3):198, 2021 [備考] マタタビに発生 (注) 病原追加	Maximowicz ミヤママタタビ Kolomikta vine <i>Actinidia kolomikta</i> Maximowicz サルナシ Tara vine, Bower actinidia <i>Actinidia arguta</i> Planchon うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病, 裏白渋病) (1) <i>Erysiphe actinidiae</i> (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>actinidiae</i> [<i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski var. <i>actinidiae</i>, <i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski, <i>Uncinula necator</i> (Schweinitz) Burrill var. <i>actinidiae</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大4) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:81, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] マタタビ・ミヤママタタビ・サルナシに発生 (2) <i>Erysiphe actinidiae</i> (Miyabe ex Jaczewski) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>argutae</i> [<i>Uncinula actinidiae</i> Miyabe ex Jaczewski var. <i>argutae</i> Y. Nomura] 原 攝祐:大日本山林会報 392:63, 1915(大4) ; Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):353, 1937 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:488, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:82, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:63, 2012 [備考] マタタビ・サルナシに発生
--	--

マタタビ科 Actinidiaceae マタタビ(木天蓼)類 Silver vine <i>Actinidia</i> spp. (果樹) マタタビ Silver vine <i>Actinidia polygama</i> Maximowicz ミヤママタタビ Kolomikta vine <i>Actinidia</i> <i>kolomikta</i> Maximowicz サルナシ Tara vine, Bower actinidia <i>Actinidia</i> <i>arguta</i> Planchon さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium actinidiae</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:5, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950 (2) <i>Pucciniastrum actinidiae</i> Hiratsuka, f. ex Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:279, 1936 ; 澤田兼吉:台湾農試報 86 (台湾産菌類調査報告 9):98, 1943(昭18) ; Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 27(4):111, 1952 [備考] マタタビ・サルナシ・タイワンサルナシ (<i>Actinidia formosana</i>) (注) (2)文献年訂正	マタタビ科 Actinidiaceae マタタビ(木天蓼)類 Silver vine <i>Actinidia</i> spp. (果樹) マタタビ Silver vine <i>Actinidia polygama</i> Maximowicz ミヤママタタビ Kolomikta vine <i>Actinidia</i> <i>kolomikta</i> Maximowicz サルナシ Tara vine, Bower actinidia <i>Actinidia</i> <i>arguta</i> Planchon さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium actinidiae</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:5, 1917(大6) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950 (2) <i>Pucciniastrum actinidiae</i> Hiratsuka, f. ex Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Mem. Tottori Agr. Coll. 4:279, 1936 ; 澤田兼吉:台湾農試報 86 (台湾産菌類調査報告 9):98, 1943(昭18) ; Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 27(4):111, 1951 [備考] マタタビ・サルナシ・タイワンサルナシ (<i>Actinidia formosa</i>)
--	--

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman)	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman)
---	---

Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大 15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤岷 哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i> と再同定した (6) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 81(3):206, 2015	Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大 15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤岷 哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i> と再同定した (6) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 81(3):206, 2015
--	--

(7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (8) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (9) <i>Colletotrichum</i> sp. (Clade Q) 澤岷哲也ら:日植病報 87(3):150, 2021 (注) 病原追加	(7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (8) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017
--	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo Gray leaf blight <i>Phomopsis mangiferae</i> S. Ahmad Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 (注) 文献巻数訂正	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 灰色葉枯病 haiiro-hagare-byo Gray leaf blight <i>Phomopsis mangiferae</i> S. Ahmad Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 43(3):89, 2003
--	--

ガガイモ科 Asclepiadaceae ガガイモ <i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino (野草)	ガガイモ科 Asclepiadaceae ガガイモ <i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino (野草)
---	---

†††† ウイルス (未同定) 徳田遼佑ら:日植病報 87(3):169, 2021 [備考] 新種のポレロウイルス。葉に黄色斑点症状。戻し接種なし (注) 新宿主	
--	--

キジカクシ科 Asparagaceae ギボウシ類 Plantain lily <i>Hosta</i> spp. (草花) 斑紋病 hammon-byo Leaf spot <i>Phyllosticta yanagawana</i> Togashi 富樫浩吾:札幌博物学会報 14(4):283, 1936(昭11) ; 富樫浩吾・雪ノ浦参之助:馬の築川病に関連する築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):118, 1937(昭12) (注) 文献号数挿入、文献年訂正	キジカクシ科 Asparagaceae ギボウシ類 Plantain lily <i>Hosta</i> spp. (草花) 斑紋病 hammon-byo Leaf spot <i>Phyllosticta yanagawana</i> Togashi 富樫浩吾:札幌博物学会報 14:283, 1925(大14) ; 富樫浩吾・雪ノ浦参之助:馬の築川病に関連する築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):118, 1937(昭12)
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, <i>Calendula</i> <i>Calendula officinalis</i> L. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:227, 1917(大6) [備考] 寄主植物名リスト (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun &	キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, <i>Calendula</i> <i>Calendula officinalis</i> L. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:227, 1917(大6) [備考] 寄主植物名リスト (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun &
--	--

Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:371, 1927(昭2) ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:9³, 1964 ; 高松進:三重大生資紀要 38:21, 2012 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討が必要。白井・原 (1927), 平田 (1964) は寄主植物名リスト (注) (2)文献ページ訂正	Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:371, 1927(昭2) ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:9¹, 1964 ; 高松進:三重大生資紀要 38:21, 2012 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討が必要。白井・原 (1927), 平田 (1964) は寄主植物名リスト
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Cercospora grandissima</i> Rangel [<i>Cercospora dahliae</i> Hara, <i>Cercosporina dahliae</i> Hara] 原 攝祐:病虫雑 16(3):159, 1929(昭4) ; Katsuki, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan, Extra Issue 1:22, 1965 [備考] 原 (1929), Katsuki (1965) は接種試験未了 (注) 文献著者名訂正	キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Cercospora grandissima</i> Rangel [<i>Cercospora dahliae</i> Hara, <i>Cercosporina dahliae</i> Hara] 原 攝祐:病虫雑 16(3):159, 1929(昭4) ; Kagetsu, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan, Extra Issue 1:22, 1965 [備考] 原 (1929), Katsuki (1965) は接種試験未了
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) ピシウム立枯病 <i>Pythium-tachigare-byo</i> Pythium blight, Pythium root and stem rot	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) ピシウム立枯病 <i>Pythium-tachigare-byo</i> Pythium blight, Pythium root and stem rot
--	--

(1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 築尾嘉章ら:日植病報 74(3):177, 2008 (2) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler (3) <i>Pythium helicoides</i> Drechsler (4) <i>Pythium oedochilum</i> Drechsler Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73(4):293, 2007 (5) <i>Pythium polymastum</i> Drechsler 楠 幹生・景山幸二:日植病報 87(3):151, 2021 (6) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73(4):293, 2007 (7) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 月星隆雄ら:日植病報 71(1):32, 2005 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73(4):293, 2007 (注) 病原追加	(1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 築尾嘉章ら:日植病報 74(3):177, 2008 (2) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler (3) <i>Pythium helicoides</i> Drechsler (4) <i>Pythium oedochilum</i> Drechsler (5) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix (6) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 月星隆雄ら:日植病報 71(1):32, 2005 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73(4):293, 2007
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 土屋行夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 向 秀夫ら:日植病報 43(1):123, 1977 ; 土屋行夫ら:農技研	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 土屋行夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 向 秀夫ら:日植病報 43(1):123, 1977 ; 土屋行夫ら:農技研
---	---

報C 33:77, 1979 (2) <i>Pseudomonas lactucae</i> Sawada, Fujikawa & Satou 2021 [<i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925] 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(7):004917, 2021 (3) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:関東病虫研報 7:33, 1960 ; 孫工弥寿雄ら:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 (4) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 長井雄治・梅本清作:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 (注) 病原追加	報C 33:77, 1979 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:関東病虫研報 7:33, 1960 ; 孫工弥寿雄ら:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 (3) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 長井雄治・梅本清作:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae コウヤボウキ (Pertya) <i>Pertya scandens</i> (Thunb.) Sch. Bip. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病) (1) <i>Uredo pertyae</i> (Miura ex S. Ito & Murayama) S. Kaneko [<i>Coleosporium pertyae</i> Miura ex S. Ito & Murayama] 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(2):218, 1938(昭13) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17:165, 1943(昭18) ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:137, 1981 [備考] ナガバノコウヤボウキ・クルマバハグマ。冬孢子世代未確認 (2) <i>Puccinia seijoensis</i> Hiratsuka, f. & S. Sato [<i>Aecidium pertyae</i> Hennings]	キク科 Asteraceae, Compositae コウヤボウキ (Pertya) <i>Pertya scandens</i> (Thunb.) Sch. Bip. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (腫銹病, 銹病) (1) <i>Uredo pertyae</i> (Miura ex S. Ito & Murayama) S. Kaneko [<i>Coleosporium pertyae</i> Miura ex S. Ito & Murayama] 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(2):218, 1938(昭13) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17:165, 1943(昭18) ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:137, 1981 [備考] ナガバノコウヤボウキ・クルマバハグマ。冬孢子世代未確認 (2) <i>Puccinia seijoensis</i> Hiratsuka, f. & S. Sato [<i>Aecidium pertyae</i> Hennings]
--	--

Dietel, P.:Engler's Bot. Jahrb. 27:571, 1899(明32) ; Hiratsuka, N.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 7:270, 1960 [備考] ナガバノコウヤボウキにも発生。夏胞 子・冬孢子世代はヒメカンスゲ (<i>Carex conica</i>) に寄生 (注) 文献著者訂正	Dietel, P.:Engler's Bot. Jahrb. 27:571, 1899(明32) ; Hiratsuka, N. & Sato, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 7:270, 1960 [備考] ナガバノコウヤボウキにも発生。夏胞 子・冬孢子世代はヒメカンスゲ (<i>Carex conica</i>) に寄生
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae フキ(蓴) Japanese butterbur <i>Petasites japonicus</i> (Sieb. & Zucc.) Maxim. (野菜) さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, 秋銹病) (1) <i>Coleosporium yamabense</i> (Saho) Hiratsuka, f. [<i>Coleosporium petasitis</i> non Léveillé, <i>Coleosporium</i> <i>neopetasitis</i> Saho] 堀 正太郎:農業世界 5(6):58, 1910(明43) ; 原 攝 祐:実用作物病理学:482, 1925(大14) ; 佐保春芳:日 菌報 2(3):8, 1960 ; 平塚直秀:北海道林試報 6:6, 1968 [備考] 本病菌の柄子, さび孢子世代はマツ属 (五 葉マツ類) に形成される (2) <i>Puccinia caricis-petasitidis</i> Y. Harada 原田幸雄:日菌報 18(2):170, 1977 (3) <i>Puccinia conglomerata</i> (F. Strauss) Rohling [<i>Puccinia glomerata</i> auct. non Greville, <i>Puccinia</i> <i>expansa</i> sensu Ito non Link] 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):333, 1950 ; 平塚直秀: 菌蕈研報 14:59, 1976 ; 平塚直秀:菌蕈研報 18:44, 1980 [備考] <i>Puccinia expansa</i> は北海道に分布し, フキ に寄生する (伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):333, 1950) が, 主に山地の野性のフキを侵す	キク科 Asteraceae, Compositae フキ(蓴) Japanese butterbur <i>Petasites japonicus</i> (Sieb. & Zucc.) Maxim. (野菜) さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, 秋銹病) (1) <i>Coleosporium yamabense</i> (Saho) Hiratsuka, f. [<i>Coleosporium petasitis</i> non Léveillé, <i>Coleosporium</i> <i>neopetasitis</i> Saho] 堀 正太郎:農業世界 5(6):58, 1910(明43) ; 原 攝 祐:実用作物病理学:482, 1925(大14) ; 佐保春芳:日 菌報 2(3):8, 1960 ; 平塚直秀:北海道林試報 6:6, 1969 [備考] 本病菌の柄子, さび孢子世代はマツ属 (五 葉マツ類) に形成される (2) <i>Puccinia caricis-petasitidis</i> Y. Harada 原田幸雄:日菌報 18(2):170, 1977 (3) <i>Puccinia conglomerata</i> (F. Strauss) Rohling [<i>Puccinia glomerata</i> auct. non Greville, <i>Puccinia</i> <i>expansa</i> sensu Ito non Link] 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):333, 1950 ; 平塚直秀: 菌蕈研報 14:59, 1976 ; 平塚直秀:菌蕈研報 18:44, 1980 [備考] <i>Puccinia expansa</i> は北海道に分布し, フキ に寄生する (伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):333, 1950) が, 主に山地の野性のフキを侵す
--	--

(注) (1)文献年訂正	
--------------	--

キク科 Asteraceae, Compositae アキノキリンソウ類 (Solidago) <i>Solidago</i> spp. (野草) アキノキリンソウ <i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> Kitam. セイタカアワダチソウ Tall goldenrod <i>Solidago altissima</i> L. ソリダゴ <i>Solidago</i> spp. 及び種間雑種 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>solidagae</i> Sato, Watanabe & Sato 2001 [<i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902] 佐藤 守ら:日植病報 65(3):360, 1999 ; Sato, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):303, 2001 [備考] セイタカアワダチソウに発生 (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae アキノキリンソウ類 (Solidago) <i>Solidago</i> spp. (野草) アキノキリンソウ <i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> Kitam. セイタカアワダチソウ Tall goldenrod <i>Solidago altissima</i> L. ソリダゴ <i>Solidago</i> spp. 及び種間雑種 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902 佐藤 守ら:日植病報 65(3):360, 1999 [備考] セイタカアワダチソウに発生
---	---

カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシャブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシャブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier オオバヤシャブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum.	カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシャブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシャブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier オオバヤシャブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum.
--	--

ギグナルディア胴枯病 <i>Guignardia-dogare-byo</i> Guignardia canker, Bud blight (芽枯病) <i>Botryosphaeria</i> sp. (the <i>Botryosphaeria dothidea</i> species complex) [<i>Guignardia alnigena</i> Y. Nisikado & Watanabe, <i>Macrophoma alnigena</i> Y. Nisikado & Watanabe] 佐藤邦彦:コバノヤマハンノキの主要病害(林試東北支場):5, 1962 ; 西門義一ら:日植病報 22(1):26, 1957 ; 服部友香子ら:日菌報 62(1):1, 2021 (注) 病原学名変更	ギグナルディア胴枯病 <i>Guignardia-dogare-byo</i> Guignardia canker, Bud blight (芽枯病) <i>Guignardia alnigena</i> Y. Nisikado & Watanabe [<i>Macrophoma alnigena</i> Y. Nisikado & Watanabe] 佐藤邦彦:コバノヤマハンノキの主要病害(林試東北支場):5, 1962 ; 西門義一ら:日植病報 22(1):26, 1957
--	--

カバノキ科 Betulaceae カンバ類(樺) Birch <i>Betula</i> spp. (広葉樹) ダケカンバ(岳樺) Erman's birch <i>Betula ermanii</i> Cham. ヨグソミネバリ(ミズメ)(水芽) <i>Betula grossa</i> Sieb. & Zucc. ウダイカンバ <i>Betula maximowicziana</i> Regel シラカンバ(白樺) <i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.) Hara うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe betulina</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula betulae</i> Homma] (白渋病) 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:362, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 [備考] ダケカンバ・アカカンバ (<i>B. ermanii</i> var. <i>subcordata</i>)・シラカンバ・ウダイカンバ・ヨグソミネバリに発生	カバノキ科 Betulaceae カンバ類(樺) Birch <i>Betula</i> spp. (広葉樹) ダケカンバ(岳樺) Erman's birch <i>Betula ermanii</i> Cham. ヨグソミネバリ(ミズメ)(水芽) <i>Betula grossa</i> Sieb. & Zucc. ウダイカンバ <i>Betula maximowicziana</i> Regel シラカンバ(白樺) <i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.) Hara うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe betulina</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula betulae</i> Homma] (白渋病) 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:362, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 [備考] ダケカンバ・アカカンバ (<i>B. ermanii</i> var. <i>subcordata</i>)・シラカンバ・ウダイカンバ・ヨグソミネバリに発生
---	---

(2) <i>Erysiphe ornata</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ornata</i> 丹田誠之助:日菌報 47(2):33, 2006 [備考] 接種試験未了。シラカンバに発生 (3) <i>Phyllactinia alni</i> Y.N. Yu & S.J. Han 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:236, 1997 [備考] シラカンバ・ダケカンバ・ヨグソミネバ リに発生 (4) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Lévillé [<i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten sensu Homma, <i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma] (白渋病・裏白渋病) 出田 新:日本植物病理学(上):215, 1909(明42) ; 野 村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):35, 1976 ; 本間ヤ ス:札幌博物学会報 11(3):174, 1930(昭5) ; 大谷吉 雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988 [備考] ダケカンバ・シラカンバ・コオノオレ・ ヨグソミネバに発生 (5) <i>Phyllactinia</i> sp. 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 [備考] ダケカンバ・ウダイカンバに発生 (注) (4)文献年訂正	(2) <i>Erysiphe ornata</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ornata</i> 丹田誠之助:日菌報 47(2):33, 2006 [備考] 接種試験未了。シラカンバに発生 (3) <i>Phyllactinia alni</i> Y.N. Yu & S.J. Han 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研 究:236, 1997 [備考] シラカンバ・ダケカンバ・ヨグソミネバ リに発生 (4) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Lévillé [<i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten sensu Homma, <i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma] (白渋病・裏白渋病) 出田 新:日本植物病理学(上):215, 1909(明42) ; 野 村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):35, 1976 ; 本間ヤ ス:札幌博物学会報 11(3):174, 1930(昭5) ; 大谷吉 雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988 [備考] ダケカンバ・シラカンバ・コオノオレ・ ヨグソミネバに発生 (5) <i>Phyllactinia</i> sp. 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1963 [備考] ダケカンバ・ウダイカンバに発生
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial spot (斑点性細菌病, 細菌性斑点 病) <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>raphani</i> (White 1930) Dye 1978 [<i>Bacterium vesicatorium</i> var. <i>raphani</i>]	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot, Bacterial spot (斑点性細菌病, 細菌性斑点 病) <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>raphani</i> (White 1930) Dye 1978 [<i>Bacterium vesicatorium</i> var. <i>raphani</i>]
--	--

White] 瀧元清透:農及園 2(8-9):843, 967, 1927(昭2) ; 田村勝徳ら:日植病報 53(1):121, 1987 ; 田村勝徳ら:日植病報 60(3):281, 1994 ; 國友映理子ら:日植病報 87(3):183, 2021 [備考] 國友ら(2021)は, 根部表面の黒点症状を報告した (注) 備考追加	White] 瀧元清透:農及園 2(8-9):843, 967, 1927(昭2) ; 田村勝徳ら:日植病報 53(1):121, 1987 ; 田村勝徳ら:日植病報 60(3):281, 1994
--	---

パイナップル科 Bromeliaceae チランジア Tillandsia <i>Tillandsia</i> sp. (野草) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum</i> sp. 汲田幸平ら:日植病報 86(3):190, 2020 ; Kumita, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(4):254, 2021 (注) 文献追加	パイナップル科 Bromeliaceae チランジア Tillandsia <i>Tillandsia</i> sp. (野草) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum</i> sp. 汲田幸平ら:日植病報 86(3):190, 2020
--	---

ツゲ科 Buxaceae ツゲ(黄楊) Japanese box <i>Buxus microphylla</i> Sieb. & Zucc. var. <i>japonica</i> (Muell. Arg. ex Miq.) Rehd. & Wils. (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo <i>Macrophoma candollei</i> (Berkeley & Broome) Berlese & Voglino 高野喜八郎:北陸病虫研報 26:45, 1978 ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):37, 1943(昭18) [備考] ヒメツゲ(<i>B. microphylla</i>)・チョウセンヒメ	ツゲ科 Buxaceae ツゲ(黄楊) Japanese box <i>Buxus microphylla</i> Sieb. & Zucc. var. <i>japonica</i> (Muell. Arg. ex Miq.) Rehd. & Wils. (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo <i>Macrophoma candollei</i> (Berkeley & Broome) Berlese & Voglino 高野喜八郎:北陸病虫研報 26:45, 1979 ; 逸見武雄:植物分類地理 13(1):37, 1943(昭18) [備考] ヒメツゲ(<i>B. microphylla</i>)・チョウセンヒメ
---	---

ツゲ(<i>B. koreana</i>)に発生 (注) 文献年訂正	ツゲ(<i>B. koreana</i>)に発生
---	----------------------------

カンナ科 Cannaceae カンナ(ハナカンナ) Canna <i>Canna</i> × <i>generalis</i> L.H. Bailey (草花) 黄色斑紋病 oshoku-hammon-byo <i>Canna yellow mottle virus</i> (CaYMV) カンナ黄色斑紋ウイルス 山下修一ら:日植病報 45(1):85, 1979 ; 山下修一 ら:日植病報 51(5):642, 1985 [備考] 戻し接種なし (注) 文献著者訂正	カンナ科 Cannaceae カンナ(ハナカンナ) Canna <i>Canna</i> × <i>generalis</i> L.H. Bailey (草花) 黄色斑紋病 oshoku-hammon-byo <i>Canna yellow mottle virus</i> (CaYMV) カンナ黄色斑紋ウイルス 山下修一ら:日植病報 45(1):85, 1979 ; 山下修一: 日植病報 51(5):642, 1985 [備考] 戻し接種なし
--	---

スイカズラ科 Caprifoliaceae ツクバネウツギ(アベリア)(衝羽根空木) Abelia <i>Abelia</i> spp. (広葉樹) タイワンツクバネウツギ(シナツクバネウツギ) <i>Abelia chinensis</i> R.Br. var. <i>ionandra</i> (Hayata) Masam. ハナゾノツクバネウツギ(アベリア) <i>Abelia</i> × <i>grandiflora</i> (Andrée) Rehder ツクバネウツギ <i>Abelia spathulata</i> Siebold & Zucc. ウゴツクバネウツギ <i>Abelia spathulata</i> Siebold & Zucc. var. <i>stenophylla</i> Honda オオツクバネウツギ <i>Abelia tetrasepala</i> (Koidz.) H. Hara & S. Kuros.	スイカズラ科 Caprifoliaceae ツクバネウツギ(アベリア)(衝羽根空木) Abelia <i>Abelia</i> spp. (広葉樹) タイワンツクバネウツギ(シナツクバネウツギ) <i>Abelia chinensis</i> R.Br. var. <i>ionandra</i> (Hayata) Masam. ハナゾノツクバネウツギ(アベリア) <i>Abelia</i> × <i>grandiflora</i> (Andrée) Rehder ツクバネウツギ <i>Abelia spathulata</i> Siebold & Zucc. ウゴツクバネウツギ <i>Abelia spathulata</i> Siebold & Zucc. var. <i>stenophylla</i> Honda オオツクバネウツギ <i>Abelia tetrasepala</i> (Koidz.) H. Hara & S. Kuros.
---	---

斑点病 hanten-byo <i>Cercospora abeliae</i> Katsuki 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):42, 1960 ; Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 20(2-3):71, 1955 [備考] ハナヅノツクバネウツギ (<i>A. glandiflora</i>)・シナツクバネウツギ (<i>A. chinensis</i>) (注) 文献号数訂正	斑点病 hanten-byo <i>Cercospora abeliae</i> Katsuki 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):42, 1960 ; Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 20(1):71, 1955 [備考] ハナヅノツクバネウツギ (<i>A. glandiflora</i>)・シナツクバネウツギ (<i>A. chinensis</i>)
--	--

スイカズラ科 Caprifoliaceae ガマズミ(アラゲガマズミ)(莢蒾) Linden viburnum <i>Viburnum dilatatum</i> Thunb. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (斑点病) <i>Stigminta tinea</i> (Saccardo) M.B. Ellis [<i>Cercospora tinea</i> Saccardo] 小林享夫:森林防疫 22(12):275, 1973 ; Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 20(2-3):72, 1955 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):599, 1992 [備考] コバノガマズミ (<i>V. erosum</i>)・ヤブデマリ (<i>V. plicatum</i> var. <i>tomentosum</i>)・ゴマギ (<i>V. sieboldii</i>)・ゴモジュ (<i>V. suspensum</i>)にも発生 (注) 文献号数訂正	スイカズラ科 Caprifoliaceae ガマズミ(アラゲガマズミ)(莢蒾) Linden viburnum <i>Viburnum dilatatum</i> Thunb. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo (斑点病) <i>Stigminta tinea</i> (Saccardo) M.B. Ellis [<i>Cercospora tinea</i> Saccardo] 小林享夫:森林防疫 22(12):275, 1973 ; Katsuki, S.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 20(7):72, 1955 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):599, 1992 [備考] コバノガマズミ (<i>V. erosum</i>)・ヤブデマリ (<i>V. plicatum</i> var. <i>tomentosum</i>)・ゴマギ (<i>V. sieboldii</i>)・ゴモジュ (<i>V. suspensum</i>)にも発生
---	---

スイカズラ科 Caprifoliaceae サンゴジュ(珊瑚樹) Japanese viburnum <i>Viburnum odoratissimum</i> Ker-Gawler var. <i>awabuki</i> (K. Koch) Zabel (広葉樹)	スイカズラ科 Caprifoliaceae サンゴジュ(珊瑚樹) Japanese viburnum <i>Viburnum odoratissimum</i> Ker-Gawler var. <i>awabuki</i> (K. Koch) Zabel (広葉樹)
--	--

すず病 susu-byo Sooty mold <i>Asteridiella viburni</i> (Sydow) Hansford [<i>Irenina viburni</i> (Sydow) F. Stevens] Katsuki, S.:Journ. Jap. Bot. 28(9):279, 1953 (注) 文献号数訂正	すず病 susu-byo Sooty mold <i>Asteridiella viburni</i> (Sydow) Hansford [<i>Irenina viburni</i> (Sydow) F. Stevens] Katsuki, S.:Journ. Jap. Bot. 28(8):279, 1953
--	--

スイカズラ科 Caprifoliaceae ハコネウツギ(錦帯花) Weigela <i>Weigela coraeensis</i> Thunb. (広葉樹) 黒いぼ病 kuroibo-byo Dothidea die-back (黒疣病) <i>Stylodothis puccinioides</i> (de Candolle) Arx & E. Müller [<i>Dothidea puccinioides</i> (de Candolle) Fries] 安田 篤:植物学雑 37(434):67, 1923(大12) ; 今関六也:隠花植物図鑑(朝比奈泰彦編):283, 1939(昭14) [備考] タニウツギ (注) 文献年訂正	スイカズラ科 Caprifoliaceae ハコネウツギ(錦帯花) Weigela <i>Weigela coraeensis</i> Thunb. (広葉樹) 黒いぼ病 kuroibo-byo Dothidea die-back (黒疣病) <i>Stylodothis puccinioides</i> (de Candolle) Arx & E. Müller [<i>Dothidea puccinioides</i> (de Candolle) Fries] 安田 篤:植物学雑 37(434):67, 1923(大12) ; 今関六也:隠花植物図鑑(朝比奈泰彦編):283, 1989 [備考] タニウツギ
---	---

スイカズラ科 Caprifoliaceae ハコネウツギ(錦帯花) Weigela <i>Weigela coraeensis</i> Thunb. (広葉樹) 灰斑病 haihan-byo <i>Pseudocercospora weigeliae</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora weigeliae</i> Ellis & Everhart] 福井武治:三重高農学術報 3(3):17, 1933(昭8) ; 小林享夫:森林防疫 24(2):28, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23(1):42,	スイカズラ科 Caprifoliaceae ハコネウツギ(錦帯花) Weigela <i>Weigela coraeensis</i> Thunb. (広葉樹) 灰斑病 haihan-byo <i>Pseudocercospora weigeliae</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora weigeliae</i> Ellis & Everhart] 福井武治:三重高農学術報 3(3):17, 1933(昭8) ; 小林享夫:森林防疫 24(2):28, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 23(1):42,
---	---

1982 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):599, 1992 [備考] タニウツギ (<i>W. hortensis</i>)・ベニウツギ (<i>W. decora</i> var. <i>rosea</i>) にも発生 (注) 半角スペース挿入	1982 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):599, 1992 [備考] タニウツギ (<i>W. hortensis</i>)・ベニウツギ (<i>W. decora</i> var. <i>rosea</i>) にも発生
--	--

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) ††結核病 kekaku-byo Tuberculosis (癭瘤病, 空洞性細菌病) 病原細菌種名未定 上田栄次郎:農学会報 116:52, 1912(明45) [備考] 国内発生未詳。病原細菌名 <i>Xanthomonas beticola</i> (Smith, Brown & Townsend) Sávulescu [<i>Bacterium beticolum</i> Smith, Brown & Townsend] は国際細菌命名規約により1980年1月1日をもって失効した (注) 備考中の病原学名修正	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) ††結核病 kekaku-byo Tuberculosis (癭瘤病, 空洞性細菌病) 病原細菌種名未定 上田栄次郎:農学会報 116:52, 1912(明45) [備考] 国内発生未詳。病原細菌名 <i>Xanthomonas beticola</i> (Smith, Brown & Townsend) Sávulescu [<i>Bacterium beticolum</i> Smith, Brown & Townsend] は国際細菌命名規約により1980年1月1日をもって失効した
---	---

リョウブ科 Clethraceae リョウブ(令法) (Clethra) <i>Clethra barbinervis</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Microsphaera</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:93, 1964	リョウブ科 Clethraceae リョウブ(令法) (Clethra) <i>Clethra barbinervis</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Microsphaera</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:92, 1963
---	---

[備考] Braun (Mycotaxon 15:121, 1982) が日本産とした<i>Microsphaera clethrae</i> Braun との異同について検討を要する (注) 文献年訂正、文献ページ修正	[備考] Braun (Mycotaxon 15:121, 1982) が日本産とした<i>Microsphaera clethrae</i> Braun との異同について検討を要する
--	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae アオイゴケ(ダイカンドラ) <i>Dichondra</i> <i>Dichondra micrantha</i> Urb. (野草) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 川部眞登・中村 仁:日植病報 87(3):150, 2021 (注) 新病名、新規宿主	ヒルガオ科 Convolvulaceae
--	-----------------------------

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 基腐病* motogusare-byo Foot rot <i>Diaporthe destruens</i> (Harter) Hirooka, Minoshima & Rossman [<i>Diaporthe</i> sp.] 前田 藍ら:九病虫研会報 65:105, 2019 ; 蓑島綾華ら:日植病報 86(3):167, 2020 [備考] 前田ら(2019)が <i>Phomopsis destruens</i> と報告した病原を, 蓑島ら(2020)が <i>Diaporthe</i>属へ転属すべきとした (注) 病原学名変更	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 基腐病* motogusare-byo Foot rot <i>Diaporthe</i> sp. 前田 藍ら:九病虫研会報 65:105, 2019 ; 蓑島綾華ら:日植病報 86(3):167, 2020 [備考] 前田らが <i>Phomopsis destruens</i> と報告した病原を, 蓑島らが <i>Diaporthe</i>属へ転属すべきとした
---	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] サツマイモネコブセンチュウ 後藤和夫:日植病報 11(4):204, 1942(昭17) ; 田中彰一:蔬菜病害防除論:45, 1948 ; 近藤鶴彦:甘藷馬鈴薯の病虫害 第一号:153, 1947 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] <i>Meloidogyne</i> 属が再確認されて複数種に分けられ (Chitwood, B.G.:Proc. Helminth. Soc. Wash. 16(2):90, 1949), わが国で最初にこれに従った一戸の上記報告が行われるまで, ネコブセンチュウは一種として扱われ, 学名として <i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Muller あるいは <i>H. marioni</i> (Cornu) Goodey が使用されていた。これらを使用した種を特定できないネコブセンチュウの報告は「<i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種」, 該当種が特定できる場合はその種として採録し, これらの名称を異名として示した (3) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 [備考] 1995年以前のジャワネコブセンチュウの同定には疑問があり, アレナリアネコブセンチュウ	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 根こぶ線虫病 nekobu-senchu-byo Root knot (根瘤線虫病, 線虫病) (1) <i>Meloidogyne arenaria</i> (Neal) Chitwood アレナリアネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 三枝敏郎:植防研報 7:75, 1969 (2) <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood [<i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Müller, <i>Heterodera marioni</i> (Cornu) Goodey] サツマイモネコブセンチュウ 後藤和夫:日植病報 11(4):204, 1942(昭17) ; 田中彰一:蔬菜病害防除論:45, 1948 ; 近藤鶴彦:甘藷馬鈴薯の病虫害 第一号:153, 1947 ; 一戸 稔:応動 20(1-2):75, 1955 [備考] <i>Meloidogyne</i> 属が再確認されて複数種に分けられ (Chitwood, B.G.:Proc. helminth. Soc. Wash. 16(2):90, 1949), わが国で最初にこれに従った一戸の上記報告が行われるまで, ネコブセンチュウは一種として扱われ, 学名として <i>Heterodera radiculicola</i> (Greeff) Muller あるいは <i>H. marioni</i> (Cornu) Goodey が使用されていた。これらを使用した種を特定できないネコブセンチュウの報告は「<i>Meloidogyne</i> sp. ネコブセンチュウの1種」, 該当種が特定できる場合はその種として採録し, これらの名称を異名として示した (3) <i>Meloidogyne javanica</i> (Treub) Chitwood ジャワネコブセンチュウ 三枝敏郎:今月の農薬 2(12):45, 1958 ; 一戸 稔:農及園 40(6):973, 1965 [備考] 1995年以前のジャワネコブセンチュウの同定には疑問があり, アレナリアネコブセンチュウ
---	---

ウである可能性が高い (奈良部 孝:関東病虫研報 42:9, 1995) (注) 備考修正	ウである可能性が高い (奈良部 孝:関東病虫研報 42:9, 1995)
---	---

ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe pulchra</i> (Cooke & Peck) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera pulchra</i> Cooke & Peck var. <i>japonica</i> (Hennings) U. Braun, <i>Microsphaera japonica</i> Hennings, <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte] (粉病, 白渋病) 安田 篤:植物学各論隠花部 366, 1911(明44) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):255, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012 [備考] ミズキ・クマノミズキ・タカネミズキ・ハナミズキ・ヤマボウシ・ヒマラヤヤマボウシ・シナヤマボウシ (<i>C. kousa</i> var. <i>chinensis</i>)に発生 (2) <i>Oidium</i> sp.	ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe pulchra</i> (Cooke & Peck) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera pulchra</i> Cooke & Peck var. <i>japonica</i> (Hennings) U. Braun, <i>Microsphaera japonica</i> Hennings, <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte] (粉病, 白渋病) 安田 篤:植物学各論隠花部 366, 1911(明44) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):378, 1937(昭12) ; Tanda, S. et al.:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):255, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012 [備考] ミズキ・クマノミズキ・タカネミズキ・ハナミズキ・ヤマボウシ・ヒマラヤヤマボウシ・シナヤマボウシ (<i>C. kousa</i> var. <i>chinensis</i>)に発生 (2) <i>Oidium</i> sp.
--	--

佐藤幸生:富山技術短大研報 13:112, 1980 [備考] クマノミズキに発生 (3) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 高松 進ら:日菌報 19(1):70, 1978 [備考] サンシュユに発生 (4) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Lévillé Tanda, S. <i>et al.</i> :J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 (注) 文献号数訂正	佐藤幸生:富山技術短大研報 13:112, 1980 [備考] クマノミズキに発生 (3) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 高松 進ら:日菌報 19(1):70, 1978 [備考] サンシュユに発生 (4) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Lévillé Tanda, S. <i>et al.</i> :J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986
--	--

ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aplopsora corni</i> Y. Ono & Y. Harada Ono, Y. & Harada, Y.:Mycoscience 35(2):181, 1994 (2) <i>Pucciniastrum corni</i> Dietel 澤田兼吉:林試研報 57:15, 1952 ; 白井光太郎:日本 菌類目録:85, 1905(明38) ; Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:83, 1976 [備考] クマノミズキ・サンシュユ・ヤマボウ シ・ハナミズキ (注) 文献巻数訂正	ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aplopsora corni</i> Y. Ono & Y. Harada Ono, Y. & Harada, Y.:Mycoscience 35(2):181, 1994 (2) <i>Pucciniastrum corni</i> Dietel 澤田兼吉:林試研報 57:15, 1952 ; 白井光太郎:日本 菌類目録:85, 1905(明38) ; Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 15:83, 1976 [備考] クマノミズキ・サンシュユ・ヤマボウ シ・ハナミズキ
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) えそ斑点病 eso-hanten-byo <i>Tomato spotted wilt orthotospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス [<i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV)] 大竹裕規・藤 晋一:北日本病虫研報 71:197, 2020 ; 渡邊理子ら:日植病報 87(3):169, 2021 (注) 新病名	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) †††† <i>Tomato spotted wilt tospovirus</i> (TSWV) トマト黄化えそウイルス 大竹裕規・藤 晋一:北日本病虫研報 71:197, 2020
--	---

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザンシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. フザリウム果実腐敗病 <i>Fusarium-kajitsu-fuhai</i>-byo Fusarium fruit rot (1) <i>Fusarium graminearum</i> Schwabe 栢森美如ら:日植病報 79(1):64, 2013 (2) <i>Fusarium</i> sp.	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザンシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. フザリウム果実腐敗病 <i>Fusarium-kajitsu-fuhai</i>-byo Fusarium fruit rot (1) <i>Fusarium graminearum</i> Schwabe 栢森美如ら:日植病報 79(1):64, 2013 (2) <i>Fusarium</i> sp.
--	--

迫田琢也ら:日植病報 69(1):48, 2003 [備考] <i>F. sambucinum</i> に似る。ニュージーランド産果実で発見 (3) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 北林奨也ら:日植病報 87(3):208, 2021 [備考] 川上 顕ら(日植病報 87(3):208, 2021)は, 本病を発症したカボチャから, <i>Fusarium incarnatum-equiseti</i> species complex haplotype 1, 同8, 同29, <i>F. graminearum</i>, <i>F. sporotrichioides</i>, <i>F. cerealis</i>, <i>F. avenaceum</i>, <i>F. tricinctum</i>, <i>F. acuminatum</i>, を分離した (注) 病原追加	迫田琢也ら:日植病報 69(1):48, 2003 [備考] <i>F. sambucinum</i> に似る。ニュージーランド産果実で発見
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) †††† Watermelon silver mottle orthospovirus (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス 関根健太郎ら:日植病報 87(3):170, 2021 [備考] 中指異常症(仮称)を示すニガウリから遺伝子解析により同定。戻し接種に成功していない (注) 新宿主	ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜)
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae カラスウリ類 (Trichosanthes) <i>Trichosanthes</i> spp. (野草) カラスウリ <i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim.	ウリ科 Cucurbitaceae カラスウリ類 (Trichosanthes) <i>Trichosanthes</i> spp. (野草) カラスウリ <i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim.
---	---

†††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた (2) <i>Kyuri green mottle mosaic virus</i> (KGMMV) キュウリ緑斑モザイクウイルス [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた (3) <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた (4) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ブッキーニ黄斑モザイクウイルス キム オッキョン・夏秋啓子:日植病報 76(3):221, 2010 [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた。カラスウリから検出。<i>Papaya leaf distortion mosaic virus</i> に類似するウイルスも検出。小林浩平ら(日植病報 87(3):173, 2021)は, Potyvirus#と<i>Kyuri green mottle mosaic virus</i> (KGMMV)の混合感染を報告した (注) 備考追加	†††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた (2) <i>Kyuri green mottle mosaic virus</i> (KGMMV) キュウリ緑斑モザイクウイルス [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた (3) <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた (4) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ブッキーニ黄斑モザイクウイルス キム オッキョン・夏秋啓子:日植病報 76(3):221, 2010 [備考] ウイルス病症状(Virus)とされていた。カラスウリから検出。<i>Papaya leaf distortion mosaic virus</i> に類似するウイルスも検出
---	---

カヤツリグサ科 Cyperaceae テンツキ類 (Fimbristylis) <i>Fimbristylis</i> spp. (野草) テンツキ <i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl オテンツキ(チクシテンツキ) <i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl var. <i>tikushiensis</i> (Hayata) T. Koyama ハハジマテンツキ <i>Fimbristylis longispica</i> Steud. var. <i>hahajimensis</i> Ohwi ヒデリコ <i>Fimbristylis miliacea</i> (L.) Vahl 黒穂病* kuroho-byo Smut	カヤツリグサ科 Cyperaceae テンツキ類 (Fimbristylis) <i>Fimbristylis</i> spp. (野草) テンツキ <i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl オテンツキ(チクシテンツキ) <i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl var. <i>tikushiensis</i> (Hayata) T. Koyama ハハジマテンツキ <i>Fimbristylis longispica</i> Steud. var. <i>hahajimensis</i> Ohwi ヒデリコ <i>Fimbristylis miliacea</i> (L.) Vahl
---	---

<i>Pilocintractia fimbristylidicola</i> (Pavgi & Mundkur) Vánky 田中栄爾:日菌報 62(1):58, 2021 [備考] ヒデリコに発生。接種試験未了 (注) 新病名	
---	--

ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe elevata</i> (Burrill) U. Braun & S. Takamatsu 森岡花梨ら:日植病報 87(3):209, 2021 (注) 新病名	ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹)
---	--

ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹) バルデンシア葉枯病 <i>Valdensia</i>-hagare-byo Valdensia leaf blight <i>Valdensinia heterodoxa</i> Peyronel [<i>Valdensia heterodoxa</i> Peyronel] 猫塚修一ら:日植病報 73(3):180, 2007 ; Nekoduka, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(3):151, 2012 [備考] Highbush blueberry (<i>V. corymbosum</i> L.) (注) 病原学名変更	ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹) バルデンシア葉枯病 <i>Valdensia</i>-hagare-byo Valdensia leaf blight <i>Valdensia heterodoxa</i> Peyronel 猫塚修一ら:日植病報 73(3):180, 2007 ; Nekoduka, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(3):151, 2012 [備考] Highbush blueberry (<i>V. corymbosum</i> L.)
---	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae アブラギリ(油桐) Japanese tung-oil tree <i>Aleurites cordata</i> (Thunb.) R. Br. ex Steud. (特用作物) シナアブラギリ(支那油桐) <i>Aleurites fordii</i> Hemsley すす病 susu-byo Sooty mold <i>Asterina punctiformis</i> Lévillé Katamoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3):287, 1985 [備考] フィリピン。フィリピンアブラギリ (バ ギルンバン, <i>A. trisperma</i>) (注) 文献号数訂正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アブラギリ(油桐) Japanese tung-oil tree <i>Aleurites cordata</i> (Thunb.) R. Br. ex Steud. (特用作物) シナアブラギリ(支那油桐) <i>Aleurites fordii</i> Hemsley すす病 susu-byo Sooty mold <i>Asterina punctiformis</i> Lévillé Katamoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(2):287, 1985 [備考] フィリピン。フィリピンアブラギリ (バ ギルンバン, <i>A. trisperma</i>)
--	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae ナンキンハゼ(南京黄櫨) Chinese tallow tree <i>Sapium sebiferum</i> (L.) Roxb. (広葉樹) 黒色角斑病 kokushoku-kakuhan-byo <i>Stigmata sapii</i> (I. Miyake) M.B. Ellis [<i>Helminthosporium sapii</i> I. Miyake, <i>Cercospora</i> <i>micromera</i> Sydow] 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):122, 1943(昭18) ; 小林享夫ら:森林防疫 39(7):141, 1990 ; Kobayashi, T. & Onuki, M.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 28:166, 1990 (注) 文献年訂正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ナンキンハゼ(南京黄櫨) Chinese tallow tree <i>Sapium sebiferum</i> (L.) Roxb. (広葉樹) 黒色角斑病 kokushoku-kakuhan-byo <i>Stigmata sapii</i> (J. Miyake) M.B. Ellis [<i>Helminthosporium sapii</i> I. Miyake, <i>Cercospora</i> <i>micromera</i> Sydow] 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):122, 1943(昭18) ; 小林享夫ら:森林防疫 39(7):141, 1990 ; Kobayashi, T. & Onuki, M.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 28:166, 1996
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae モルッカネム(モルッカソウ)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae モルッカネム(モルッカソウ)
---	---

Albizzia <i>Albizzia falcataria</i> (L.) Fosberg (広葉樹) †黄葉病 oyo-byo Yellow leaf disease <i>Camptomeris albizziae</i> (Petch) E.W. Mason [<i>Exosporium albizziae</i> Tak. Kobayashi] Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 19(4):375, 1978 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:126, 1988 [備考] フィリピン (注) 文献年訂正	Albizzia <i>Albizzia falcataria</i> (L.) Fosberg (広葉樹) †黄葉病 oyo-byo Yellow leaf disease <i>Camptomeris albizziae</i> (Petch) E.W. Mason [<i>Exosporium albizziae</i> Tak. Kobayashi] Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 19(4):375, 1987 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:126, 1988 [備考] フィリピン
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ジャケツイバラ (Caesalpinia) <i>Caesalpinia japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Léveillé [<i>Phyllactinia corylea</i> sensu Homma non (Persoon) Karsten] 南部信方:病虫雑 8(4):200, 1921(大10) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988 (注) 文献号数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ジャケツイバラ (Caesalpinia) <i>Caesalpinia japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Léveillé [<i>Phyllactinia corylea</i> sensu Homma non (Persoon) Karsten] 南部信方:病虫雑 8(4):200, 1921(大10) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):402, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae クロタラリア Crotalaria <i>Crotalaria</i> spp. (特用作物)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae クロタラリア Crotalaria <i>Crotalaria</i> spp. (特用作物)
--	--

白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Athelia rolfsii</i> (Curzi) C.C. Tu & Kimbrough 陳 沙里奈ら:日植病報 87(3):151, 2021 (注) 新病名	
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae トバ(デリス) Tuba <i>Derris elliptica</i> Benth. (特用作物) †††† †<i>Hapalophragmium derridis</i> Sydow & P. Sydow Lohsomboon, P. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 29:230, 1988 [備考] タイ (注) 文献著者修正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae トバ(デリス) Tuba <i>Derris elliptica</i> Benth. (特用作物) †††† †<i>Hapalophragmium derridis</i> Sydow & P. Sydow Lohsomboon, P. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29:230, 1988 [備考] タイ
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae サイカチ Japanese honey locust <i>Gleditsia japonica</i> Miq. (広葉樹) べっこうたけ病 bekkotake-byo Root rot <i>Perenniporia fraxinea</i> (Bulliard) Ryvarden ベッコ ウタケ 池本三郎:森林防疫 46(2):28, 1997 [備考] 接種試験未了 (注) 文献巻数・ページ数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae サイカチ Japanese honey locust <i>Gleditsia japonica</i> Miq. (広葉樹) べっこうたけ病 bekkotake-byo Root rot <i>Perenniporia fraxinea</i> (Bulliard) Ryvarden ベッコ ウタケ 池本三郎:森林防疫 42(2):26, 1997 [備考] 接種試験未了
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae	マメ科 Fabaceae, Leguminosae
---------------------------	---------------------------

ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 萎黄病 io-byo Yellow dwarf (シスト線虫病, 月夜病, 嫌地病, 虫癭病) <i>Heterodera glycines</i> Ichinohe ダイズシストセンチュウ 堀 正太郎:病虫雑 2(11):927, 1915(大4) ; Katsufuji, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(2):12, 1919 ; Ichinohe, M.:Jap. J. Appl. Zool. 17(1-2):1, 1952 [備考] 病名の初出は水上笑作:大日本農会報 15:20, 1882 (明15)。本線虫は Ichinohe (1952) の記載以前には <i>H. schachtii</i> Schmidt とされた (注) 備考訂正	ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 萎黄病 io-byo Yellow dwarf (シスト線虫病, 月夜病, 嫌地病, 虫癭病) <i>Heterodera glycines</i> Ichinohe ダイズシストセンチュウ 堀 正太郎:病虫雑 2(11):927, 1915(大4) ; Katsufuji, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(2):12, 1919 ; Ichinohe, M.:Jap. J. Appl. Zool. 17(1-2):1, 1952 [備考] 病名の初出は水上笑作:大日本農会報 15:20, 1882 (明15)。本線虫は Ichiohe (1952) の記載以前には <i>H. schachtii</i> Schmidt とされた
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae コマツナギ (Indigofera) <i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> Matsumura (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. [<i>Erysiphe pisi</i> auct. non de Candolle sensu Homma pro parte] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):321, 1937(昭12) ; Sato, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 31(3):289, 1990 (注) 文献号数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae コマツナギ (Indigofera) <i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> Matsumura (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. [<i>Erysiphe pisi</i> auct. non de Candolle sensu Homma pro parte] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(8):321, 1937(昭12) ; Sato, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 31(3):289, 1990
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハギ(萩) Bush clover	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハギ(萩) Bush clover
--	--

<i>Lespedeza</i> spp. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo <i>Phyllosticta lespedezae</i> Togashi 富樫浩吾:札幌博物学会報 14(4):283, 1936(昭11) ; 富樫浩吾・雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):77, 1937(昭12) [備考] ヤマハギ (注) 文献年訂正・文献順変更	<i>Lespedeza</i> spp. (広葉樹) 褐斑病 kappan-byo <i>Phyllosticta lespedezae</i> Togashi 富樫浩吾・雪ノ浦参之助:築川村放牧地の植物学的調査(岩手県):77, 1937(昭12) ; 富樫浩吾:札幌博物学会報 14(4):283, 1935(昭10) [備考] ヤマハギ
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハギ(萩) Bush clover <i>Lespedeza</i> spp. (広葉樹) †††† <i>Phyllosticta lespedezae</i> Togashi 富樫浩吾:札幌博物学会報 14(4):283, 1936(昭11) [備考] ヤマハギ (注) 文献号数・文献年訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハギ(萩) Bush clover <i>Lespedeza</i> spp. (広葉樹) †††† <i>Phyllosticta lespedezae</i> Togashi 富樫浩吾:札幌博物学会報 14(2):283, 1935(昭10) [備考] ヤマハギ
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Uromyces viciae-fabae</i> (Persoon) J. Schröter var. <i>viciae-fabae</i> [<i>Uromyces fabae</i> (Persoon) de Bary, <i>Uromyces pisi</i> Winter] (2) <i>Uromyces hidakaensis</i> Murayama & Takeuchi	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Uromyces viciae-fabae</i> (Persoon) J. Schröter var. <i>viciae-fabae</i> [<i>Uromyces fabae</i> (Persoon) de Bary, <i>Uromyces pisi</i> Winter] (2) <i>Uromyces hidakaensis</i> Murayama & Takeuchi
--	--

出田 新:実用植物病理学:127, 1902(明35) ; 村山大記・竹内昭士郎:日植病報 19(3-4):137, 1955 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:27, 1973 (注) 文献ページ修正	出田 新:実用植物病理学:127, 1902(明35) ; 村山大記・竹内昭士郎:日植病報 19(3-4):137, 1955 ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:27-487, 1973
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae クロヨナ Pongam oil tree <i>Pongamia pinnata</i> (L.) Merrill (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Ravenelia hobsonii</i> Cooke [<i>Haploravenelia hobsonii</i> (Cooke) S. Ito] 平塚直秀:植物学雑 54(641):160, 1940(昭15) ; 平塚直秀:銹菌学研究:225, 1955 (注) 文献巻数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae クロヨナ Pongam oil tree <i>Pongamia pinnata</i> (L.) Merrill (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Ravenelia hobsonii</i> Cooke [<i>Haploravenelia hobsonii</i> (Cooke) S. Ito] 平塚直秀:植物学雑 53(641):160, 1940(昭15) ; 平塚直秀:銹菌学研究:225, 1955
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インドシタン(ナラ) Narra <i>Pterocarpus indicus</i> Willd. (広葉樹) †汚斑病 ohan-byo Leaf blotch <i>Ellisiopsis gallsiae</i> Batista & Nascimento Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20:302, 1979 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:302, 1988 [備考] フィリピン (注) 文献巻数訂正、文献順変更	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インドシタン(ナラ) Narra <i>Pterocarpus indicus</i> Willd. (広葉樹) †汚斑病 ohan-byo Leaf blotch <i>Ellisiopsis gallsiae</i> Batista & Nascimento Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:302, 1988 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:302, 1979 [備考] フィリピン
--	--

ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. 根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot <i>Daedalea dickinsii</i> Yasuda [<i>Trametes dickinsii</i> Berkeley] ホウロクタケ 梅村甚太郎:植物学雑 28(328):196, 1914(大3) ; Yasuda, A.:Bot. Mag. Tokyo 36:128, 1922 ; Aoshima, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:2, 1967 (注) 文献年の元号訂正	ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. 根株心腐病* nekabu-shingusare-byo Butt rot <i>Daedalea dickinsii</i> Yasuda [<i>Trametes dickinsii</i> Berkeley] ホウロクタケ 梅村甚太郎:植物学雑 28(328):196, 1914(昭3) ; Yasuda, A.:Bot. Mag. Tokyo 36:128, 1922 ; Aoshima, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8:2, 1967
--	--

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 槲) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫟) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo Endothia canker (1) <i>Cryphonectria macrospora</i> (Tak. Kobayashi &	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 槲) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫟) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 黄色胴枯病 oshoku-dogare-byo Endothia canker (1) <i>Cryphonectria macrospora</i> (Tak. Kobayashi &
---	---

Kaz. Ito) M.E. Barr [<i>Endothia macrospora</i> Tak. Kobayashi & Kaz. Ito] Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:8, 1977 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992 [備考] ウラジロガシ (2) <i>Cryphonectria nitschkei</i> (G.H. Otth) M.E. Barr [<i>Endothia nitschkei</i> G.H. Otth] 小林享夫:山林 1093:32, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:8, 1977 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992 [備考] シラカシ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照 (3) <i>Cryphonectria radicalis</i> (Schweinitz) M.E. Barr [<i>Endothia radicalis</i> (Schweinitz) Cesati & De Notaris] 小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:136, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992 [備考] ウラジロガシ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照 (注) (3)の文献巻数とページの間のカンマをコロ ンに置換	Kaz. Ito) M.E. Barr [<i>Endothia macrospora</i> Tak. Kobayashi & Kaz. Ito] Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:8, 1977 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992 [備考] ウラジロガシ (2) <i>Cryphonectria nitschkei</i> (G.H. Otth) M.E. Barr [<i>Endothia nitschkei</i> G.H. Otth] 小林享夫:山林 1093:32, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:8, 1977 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):578, 1992 [備考] シラカシ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照 (3) <i>Cryphonectria radicalis</i> (Schweinitz) M.E. Barr [<i>Endothia radicalis</i> (Schweinitz) Cesati & De Notaris] 小林享夫:山林 1093:29, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:136, 1970 ; 小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):579, 1992 [備考] ウラジロガシ。病原菌の異名はシデ類黄色胴枯病参照
---	---

ブナ科 Fagaceae カシ類(樫, 櫨) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤樫) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫨) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫨, クロガシ黒櫨) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫨) <i>Quercus phillyraeoides</i> A.	ブナ科 Fagaceae カシ類(樫, 櫨) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤樫) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫨) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫨, クロガシ黒櫨) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫨) <i>Quercus phillyraeoides</i> A.
---	---

Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 黒斑病 kokuhan-byo <i>Dermatodothis quercicola</i> Katumoto Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):262, 1983 [備考] アラカシ・シラカシ (注) 文献ページ訂正	Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 黒斑病 kokuhan-byo <i>Dermatodothis quercicola</i> Katumoto Katumoto, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):26, 1983 [備考] アラカシ・シラカシ
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. 褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight (1) <i>Pythium vanterpoolii</i> V. Kouyeas & H. Kouyeas 佐々木伸浩ら:日植病報 78(3):195, 2012 [備考] クリーピングベントグラス (2) <i>Pythium volutum</i> Vanterpool & Truscott 佐々木伸浩ら:日植病報 78(3):195, 2012 [備考] クリーピングベントグラス (3) <i>Pythium</i> spp. 荒木隆男:芝草研究 5(1):18, 1976	イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベットベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. 褐色雪腐病 kasshoku-yukigusare-byo Pythium snow blight (1) <i>Pythium vanterpoolii</i> V. Kouyeas & H. Kouyeas 佐々木伸浩:日植病報 78(3):195, 2012 [備考] クリーピングベントグラス (2) <i>Pythium volutum</i> Vanterpool & Truscott 佐々木伸浩:日植病報 78(3):195, 2012 [備考] クリーピングベントグラス (3) <i>Pythium</i> spp. 荒木隆男:芝草研究 5(1):18, 1976
--	--

[備考] 病原菌の種名等はオオムギ褐色雪腐病参照 (注) 文献著者修正	[備考] 病原菌の種名等はオオムギ褐色雪腐病参照
---	---------------------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae トダシバ類 (Arundinella) <i>Arundinella</i> spp. (野草) トダシバ <i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka 黒穂病* kuroho-byo Smut <i>Tilletia arundinellae</i> L. Ling 田中栄爾:日菌報 62(1):59, 2021 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae トダシバ類 (Arundinella) <i>Arundinella</i> spp. (野草) トダシバ <i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>A. fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>A. strigosa</i> Schreb. †††† <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss & Wydra 2012 青野桂之ら:日植病報 87(3):184, 2021 [備考] エンバク野生種に発生 (注) 新宿主	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>A. fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>A. strigosa</i> Schreb.
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae バミューダグラス(ギョウギシバ) Bermuda grass <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers. (牧草・芝草) 改良バミューダグラス <i>Cynodon dactylon</i> × <i>Cynodon transvaalensis</i> ネクロティックリングスポット病 <i>necrotic ring spot-byo</i> Necrotic ring spot (1) <i>Ophiosphaerella korrae</i> (J. Walker & A.M. Smith bis) Shoemaker & C.E. Babcock (2) <i>Ophiosphaerella</i> spp. 佐々木伸浩ら:日植病報 76(3):158, 2010 [備考] <i>Ophiosphaerella</i> spp.の1種は<i>O. herpotricha</i> と推定 (注) 病原学名修正	イネ科 Gramineae, Poaceae バミューダグラス(ギョウギシバ) Bermuda grass <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers. (牧草・芝草) 改良バミューダグラス <i>Cynodon dactylon</i> × <i>Cynodon transvaalensis</i> ネクロティックリングスポット病 <i>necrotic ring spot-byo</i> Necrotic ring spot (1) <i>Ophiosphaerella korrae</i> (J. Walker & A.M. Smith) Shoemaker & C.E. Babcock (2) <i>Ophiosphaerella</i> spp. 佐々木伸浩ら:日植病報 76(3):158, 2010 [備考] <i>Ophiosphaerella</i> spp.の1種は<i>O. herpotricha</i> と推定
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Moesziomyces antarcticus</i> (Goto, Sugiyama & Iizuka) Q.M. Wang, Begerow, F.Y. Bai & Boekhout [<i>Moesziomyces bullatus</i> (J. Schröter) Vánky, <i>Tolyposporium bullatum</i> J. Schröter] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:63, 1982 ; 柿 眞: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992 ; 田中英爾:北陸病虫研報 67:33, 2018 ; Tanaka, E. et al.:Antonie van Leeuwenhoek 112(4):599, 2019 [備考] イヌビエに発生。Tanaka et al. (2019)は<i>M.</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> 黒穂病 kuroho-byo Smut <i>Moesziomyces bullatus</i> (J. Schröter) Vánky [<i>Tolyposporium bullatum</i> J. Schröter] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:63, 1982 ; 柿 眞: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992 ; 田中英爾:北陸病虫研報 67:33, 2018 [備考] イヌビエに発生。田中(2018)は本病原菌の 無性世代<i>Pseudozyma antarctica</i> (Goto, Sugiyama & Iizuka) Boekhoutを明らかにした
---	--

<i>bullatus</i>保存株を<i>M. antarcticus</i>と再同定した (注) 病原学名変更	
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> Leaf spot <i>Exserohilum oryzaicola</i> Sivanesan Tomioaka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(5):281, 2021 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i>
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Hirschmanniella diversa</i> Sher レンコンネモグリセンチュウ 高木素紀ら:Nematological Research 41:53, 2011 ; 植松 繁ら:北陸病虫研報 64:15, 2015 ; 高木素紀ら:関東病虫研報 63:98, 2016 [備考] 高木ら(2011)はイヌビエ, 植松ら(2015)はタイヌビエ, 高木ら(2016)はケイヌビエでの報告	イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Hirschmanniella diversa</i> Sher レンコンネモグリセンチュウ 高木素紀ら:Nematological Research 41:53, 2011 ; 植松 繁ら:北陸病虫研報 64:15, 2015 ; 高木素紀ら:関東病虫研報 63:98, 2016 [備考] 高木ら(2011)はイヌビエ, 植松ら(2015)はタイヌビエ, 高木ら(2016)はケイヌビエでの報告
--	--

(2) <i>Hirschmanniella oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey [<i>Hirschmannia oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ 川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963 [備考] イヌビエに発生。1968年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性はある (注) (1)文献誌名訂正	(2) <i>Hirschmanniella oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey [<i>Hirschmannia oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ 川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963 [備考] イヌビエに発生。1968年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性はある
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種 褐条病 katsujo-byo Brown stripe <i>Acidovorax avenae</i> subsp. <i>avenae</i> (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 根津 修ら:日植病報 87(3):181, 2021 [備考] ペレニアルライグラスに発生 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian
--	--

ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種 網斑病 amihan-byo Net blotch <i>Drechslera andersenii</i> A. Lam [<i>Drechslera dictyoides</i> (Drechsler) Shoemaker f. sp. <i>perennis</i> Shoemaker] 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):59, 1962 ; 西原夏樹:草地試研究資料 2:29, 1991 [備考] Sivanesan, A.:Mycological papers 158:185, 1987 (注) 備考中のコロンと誌名の間のスペース削 除、文献誌名訂正	ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種 網斑病 amihan-byo Net blotch <i>Drechslera andersenii</i> A. Lam [<i>Drechslera dictyoides</i> (Drechsler) Shoemaker f. sp. <i>perennis</i> Shoemaker] 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):59, 1962 ; 西原夏樹:草地試研究資料 2:29, 1991 [備考] Sivanesan, A.: Mycological paper 158:185, 1987
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種 ピシウム病 <i>Pythium</i> -byo Pythium blight (1) <i>Pythium aristosporum</i> Vanterpool Ge, L.P. et al.:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 24(1):7, 1995 (2) <i>Pythium spinosum</i> Sawada (3) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix (4) <i>Pythium vanterpoolii</i> V. Kouyeas & H. Kouyeas	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種 ピシウム病 <i>Pythium</i> -byo Pythium blight (1) <i>Pythium aristosporum</i> Vanterpool Lam-ping Gel ら:芝草研究 24(1):5, 1995 (2) <i>Pythium spinosum</i> Sawada (3) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix (4) <i>Pythium vanterpoolii</i> V. Kouyeas & H. Kouyeas 月星隆雄ら:日植病報 74(1):35, 2008
--	--

月星隆雄ら:日植病報 74(1):35, 2008 [備考] イタリアンライグラスに発生 (注) 文献訂正	[備考] イタリアンライグラスに発生
--	---------------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (1) <i>Aciculosporium sasicola</i> Oguchi Oguchi, T.:Mycoscience 42:217, 2001 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(3):166, 2021 [備考] クマイザサ(Oguchi, 2001), チマキザサ(Tanaka <i>et al.</i>, 2021)に発生 (2) <i>Heteroepichloë sasae</i> (Hara) E. Tanaka, C. Tanaka, Gafur & Tsuda [<i>Epichloë sasae</i> Hara] 原 攝祐:静岡県農会報 300:40, 1922(大 11) ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Mycoscience 43(2):87, 2002 (注) 文献追加、備考変更、病原名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino てんぐ巢病 tengusu-byo Witches' broom (1) <i>Aciculosporium sasicola</i> Oguchi Oguchi, T.:Mycoscience 42:217, 2001 [備考] クマイザサに発生 (2) <i>Epichloë sasae</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 300:40, 1922(大11)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae	イネ科 Gramineae, Poaceae
------------------------	------------------------

チヂミザサ類 (<i>Oplismenus</i>) <i>Oplismenus</i> spp. (野草) チヂミザサ Wavyleaf basketgrass <i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. & Schult. †††† <i>Aciculosporium oplismeni</i> E. Tanaka Tanaka, E. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(3):166, 2021 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主、新規宿主	
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae チヂミザサ類 (<i>Oplismenus</i>) <i>Oplismenus</i> spp. (野草) チヂミザサ Wavyleaf basketgrass <i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. & Schult. 黒穂病* kuroho-byo Smut <i>Tilletia vittata</i> (Berkeley) Mundkur 田中栄爾:日菌報 62(1):60, 2021 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名、新規宿主	イネ科 Gramineae, Poaceae
--	-------------------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight
--	--

(苗いちょう病, ムレ病, 急性萎凋症, 萎凋性立枯病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 山本賢一郎ら:日植病報 84(3):201, 2018 (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (4) <i>Rhizopus chinensis</i> Saito (5) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs [<i>Rhizopus nodosus</i> Namyslowski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa] (6) <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer (7) <i>Rhizopus javanicus</i> Y. Takeda 茨木忠雄:日植病報 39(2):141, 1973 ; 矢尾板恒雄ら:北陸病虫研報 24:60, 1976 ; 郷 直俊ら:北陸病虫研報 26:90, 1978 [備考] <i>R. chinensis</i> は <i>R. microsporus</i> v. Tieghem var. <i>chinensis</i> (Saito) Schipper & Stalpers の異名。 <i>R. arrhizus</i>, <i>R. javanicus</i> は <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs の異名とする報告がある (Schipper, M.A.A:Stud. Mycol. 25:1-34, 1984) (8) <i>Trichoderma viride</i> Persoon ex S.F. Gray 茨木忠雄:日植病報 40(3):189, 1974 (9) <i>Mucor fragilis</i> Bainier 茨木忠雄:日植病報 42(3):332, 1976 ; 青木孝之:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):72, 1992 [備考] Schipper, M.A.A.(Stud.Mycol. 12:37, 1976) は本菌を疑問種にあげており, 分類学的検討を要する	(苗いちょう病, ムレ病, 急性萎凋症, 萎凋性立枯病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 山本賢一郎ら:日植病報 84(3):201, 2018 (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (4) <i>Rhizopus chinensis</i> Saito (5) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs [<i>Rhizopus nodosus</i> Namyslowski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa] (6) <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer (7) <i>Rhizopus javanicus</i> Y. Takeda 茨木忠雄:日植病報 39(2):141, 1973 ; 矢尾板恒雄ら:北陸病虫研報 24:60, 1976 ; 郷 直俊ら:北陸病虫研報 26:90, 1978 [備考] <i>R. chinensis</i> は <i>R. microsporus</i> v. Tieghem var. <i>chinensis</i> (Saito) Schipper & Sapers の異名。 <i>R. arrhizus</i>, <i>R. javanicus</i> は <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs の異名とする報告がある (Schipper, M.A.A:Stud. Mycol. 25:1-34, 1984) (8) <i>Trichoderma viride</i> Persoon ex S.F. Gray 茨木忠雄:日植病報 40(3):189, 1974 (9) <i>Mucor fragilis</i> Bainier 茨木忠雄:日植病報 42(3):332, 1976 ; 青木孝之:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):72, 1992 [備考] Schipper, M.A.A.(Stud.Mycol. 12:37, 1976) は本菌を疑問種にあげており, 分類学的検討を要する
--	--

(10) <i>Phoma</i> sp. 茨木忠雄:日植病報 43(3):316, 1977 (11) <i>Pythium arrhenomanes</i> Drechsler 戸田 武ら:日植病報 75(3):236, 2009 ; 松浦昌平 ら:日植病報 78(4):301, 2012 (12) <i>Pythium catenulatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (13) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (14) <i>Pythium graminicola</i> Subramanian 梅原吉廣ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美 ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:植物防 疫 38:218, 1984 (15) <i>Pythium inflatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (16) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (17) <i>Pythium marsipium</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (18) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (19) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (20) <i>Phytophthium litorale</i> (Nechwatal) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 [備考] <i>Py. torulosum</i>, <i>Py. aristosporum</i> も関与して いるとの報告がある (遠藤頼嗣・茨木忠雄:北日 本病虫研報 37:189, 1986) (注) (7)備考修正	(10) <i>Phoma</i> sp. 茨木忠雄:日植病報 43(3):316, 1977 (11) <i>Pythium arrhenomanes</i> Drechsler 戸田 武ら:日植病報 75(3):236, 2009 ; 松浦昌平 ら:日植病報 78(4):301, 2012 (12) <i>Pythium catenulatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (13) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (14) <i>Pythium graminicola</i> Subramanian 梅原吉廣ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美 ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:植物防 疫 38:218, 1984 (15) <i>Pythium inflatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (16) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (17) <i>Pythium marsipium</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (18) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (19) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (20) <i>Phytophthium litorale</i> (Nechwatal) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 [備考] <i>Py. torulosum</i>, <i>Py. aristosporum</i> も関与して いるとの報告がある (遠藤頼嗣・茨木忠雄:北日 本病虫研報 37:189, 1986)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ヨシ類 Common reed <i>Phragmites</i> spp.	イネ科 Gramineae, Poaceae ヨシ類 Common reed <i>Phragmites</i> spp.
---	---

(野草) ヨシ <i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud. ツルヨシ <i>Phragmites japonica</i> Steud. 黒穂病* kuroho-byo Smut <i>Ustilago phragmitis</i> L. Ling 田中栄爾:日菌報 62(1):61, 2021 [備考] 接種試験未了 (注) 新病名	(野草) ヨシ <i>Phragmites communis</i> Trin. ツルヨシ <i>Phragmites japonica</i> Steud.
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 水枯病 mizugare-byo Water-pool disease (貯水病) 生理障害 北島君三:林学雑 22:20, 1924(大13) [備考] マダケ	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 水枯病 mizugare-byo Water-pool disease (貯水病) 生理障害 北島君三:日林誌 25:1, 1924(大13) [備考] マダケ。病原として <i>Cylindrosporium</i>
---	---

(注) 文献訂正、備考修正	<i>bambusae</i> Miyake & Hara, <i>Gibberella phyllostachydicola</i> Yamamoto, <i>Stereostroma corticioides</i> (Berkeley & Broom) Magnusがあげられたことがあるが、いずれも確認されていない
---------------	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L. ネクロティックリングスポット病 <i>necrotic ring spot</i>-byo Necrotic ring spot <i>Ophiosphaerella korrae</i> (J. Walker & A.M. Smith bis) Shoemaker & C.E. Babcock [<i>Leptosphaeria korrae</i> J. Walker & A.M. Smith bis] 早川敏広ら:芝草研究 33(別 1):24, 2004 [備考] ケンタッキーブルーグラス <i>P. pratensis</i> に発生 (注) 病原学名修正	イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L. ネクロティックリングスポット病 <i>necrotic ring spot</i>-byo Necrotic ring spot <i>Ophiosphaerella korrae</i> (J. Walker & A.M. Smith) Shoemaker & C.E. Babcock [<i>Leptosphaeria korrae</i> J. Walker & A.M. Sm. Bis] 早川敏広ら:芝草研究 33(別 1):24, 2004 [備考] ケンタッキーブルーグラス <i>P. pratensis</i> に発生
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ハイヌメリ (<i>Sacciolepis</i>) <i>Sacciolepis indica</i> (L.) Chase (野草) 黒穂病* kuroho-byo Smut <i>Sporisorium manilense</i> (Sydow & P. Sydow) Vánky 田中栄爾:日菌報 62(1):59, 2021 [備考] 接種試験未了	イネ科 Gramineae, Poaceae
--	-------------------------------

(注) 新病名、新規宿主	
--------------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 萎縮病 ishuku-byo Rosette, Green mosaic (1) <i>Chinese wheat mosaic virus</i> (CWMV) コムギ モザイクウイルス 白子幸男・前島秀和:日植病報 74(3): 223, 2008 (2) <i>Japanese soil-borne wheat mosaic virus</i> (JSBWMV) ムギ類萎縮ウイルス 白子幸男ら:日植病報 78(1):32, 2012 (3) <i>Soil-borne wheat mosaic virus</i> (SBWMV) コムギ萎縮ウイルス [Wheat rosette virus#, Wheat green mosaic virus#] 静岡農試:病虫雑 3(12):937, 1916(大5) (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 萎縮病 ishuku-byo Rosette, Green mosaic <i>Soil-borne wheat mosaic virus</i> (SBWMV) コムギ萎縮ウイルス [Wheat rosette virus#, Wheat green mosaic virus#] 静岡農試:病虫雑 3(12):937, 1916(大5)
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 早枯病 hayagare-byo Early dead ripe <i>Ophiosphaerella korrae</i> (J. Walker & A.M. Smith bis) Shoemaker & C.E. Babcock Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(5):273,	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf.
--	---

2021	
(注) 新病名	

イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (1) <i>Achlya klebsiana</i> Pieters 菅原幸哉・月星隆雄:日植病報 87(3):151, 2021 (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 島田昌一:日植病報 10(4):334, 1941(昭16) (3) <i>Penicillium</i> sp. 西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959 ; 田中文夫ら:北日本病虫研報 40:37, 1989 (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 島田昌一:日植病報 10(4):334, 1941(昭16) (2) <i>Penicillium</i> sp. 西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959 ; 田中文夫ら:北日本病虫研報 40:37, 1989
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) <i>Zoysia</i> grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot	イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) <i>Zoysia</i> grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele ダラースポット病 <i>dollar spot</i>-byo Dollar spot
---	---

(1) <i>Clarireedia jacksonii</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch (2) <i>Clarireedia monteithiana</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch [<i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett] 谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993 ; 月星隆雄ら:日植病報 87(1):15, 2021 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 49(2):71, 2021 [備考] ノシバとコウライシバに発生。Tsukiboshi <i>et al.</i> (2021)は <i>S. homoeocarpa</i> を <i>Clarireedia</i> 属菌に再同定した (注) 誤植削除	<i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett (1) <i>Clarireedia jacksonii</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch (2) <i>Clarireedia monteithiana</i> C. Salgado, L.A. Beirn, B.B. Clarke & J.A. Crouch [<i>Sclerotinia homoeocarpa</i> F.T. Bennett] 谷 利一ら:四国植防 27:31, 1992 ; 谷 利一・桑原智徳:芝草研究 21(2):243, 1993 ; 月星隆雄ら:日植病報 87(1):15, 2021 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:J. Jpn. Soc. Turfgrass Sci. 49(2):71, 2021 [備考] ノシバとコウライシバに発生。Tsukiboshi <i>et al.</i> (2021)は <i>S. homoeocarpa</i> を <i>Clarireedia</i> 属菌に再同定した
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) <i>Zoysia</i> grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele ネクロティックリングスポット病 <i>necrotic ring spot</i>-byo Necrotic ring spot <i>Ophiosphaerella korrae</i> (J. Walker & A.M. Smith bis) Shoemaker & C.E. Babcock [<i>Leptosphaeria korrae</i> J. Walker & A.M. Smith bis] 早川敏広ら:芝草研究 33(別 1):24, 2004 [備考] ノシバ<i>Z. japonica</i> およびハリシバ <i>Z. matrella</i> に発生 (注) 病原学名修正	イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) <i>Zoysia</i> grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele ネクロティックリングスポット病 <i>necrotic ring spot</i>-byo Necrotic ring spot <i>Ophiosphaerella korrae</i> (J. Walker & A.M. Smith) Shoemaker & C.E. Babcock [<i>Leptosphaeria korrae</i> J. Walker & A.M. Sm. Bis] 早川敏広ら:芝草研究 33(別 1):24, 2004 [備考] ノシバ<i>Z. japonica</i> およびハリシバ <i>Z. matrella</i> に発生
--	---

マンサク科 Hamamelidaceae イスノキ(柞樹) (Distylium) <i>Distylium racemosum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia sakamotoi</i> Hiratsuka, f. & Yoshinaga [<i>Xenostele sakamotoi</i> (Hiratsuka, f. & Yoshinaga) S. Ito & Murayama] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):377, 1942(昭 17) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(3-4):170, 1943(昭18) ; Hiratsuka, N. <i>et</i> <i>al.</i>:The rust flora of Japan:788, 1992 (注) 文献号数訂正	マンサク科 Hamamelidaceae イスノキ(柞樹) (Distylium) <i>Distylium racemosum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia sakamotoi</i> Hiratsuka, f. & Yoshinaga [<i>Xenostele sakamotoi</i> (Hiratsuka, f. & Yoshinaga) S. Ito & Murayama] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):377, 1942(昭 17) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(314):170, 1943(昭18) ; Hiratsuka, N. <i>et</i> <i>al.</i>:The rust flora of Japan:788, 1992
---	---

マンサク科 Hamamelidaceae マンサク(金縷梅) Japanese witch-hazel <i>Hamamelis japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia mitriformis</i> S. Ito [<i>Aecidium hamamelidis</i> Dietel] 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911 (明44) ; 松 村任三:帝国植物名鑑(上):128, 1904(明37) ; Hiratsuka, N. & Sato, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 8:39, 1970 [備考] マルバマンサク・ウラジロマルバマンサ ク(<i>H. obtusata</i> var. <i>discolor</i>)にも発生 (注) 文献ページ訂正	マンサク科 Hamamelidaceae マンサク(金縷梅) Japanese witch-hazel <i>Hamamelis japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Puccinia mitriformis</i> S. Ito [<i>Aecidium hamamelidis</i> Dietel] 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911 (明44) ; 松 村任三:帝国植物名鑑(上):128, 1904(明37) ; Hiratsuka, N. & Sato, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 8:9, 1970 [備考] マルバマンサク・ウラジロマルバマンサ ク(<i>H. obtusata</i> var. <i>discolor</i>)にも発生
--	--

クルミ科 Juglandaceae	クルミ科 Juglandaceae
-------------------	-------------------

クルミ(胡桃)類 Walnuts <i>Juglans</i> spp. (果樹) 褐色枝枯病 kashoku-edagare-byo Brown blight <i>Botryosphaeria</i> sp. (the <i>Botryosphaeria dothidea</i> species complex) [<i>Guignardia juglandis</i> (Sydow & Hara) Ito, <i>Macrophoma juglandis</i> Matuo & Sakurai, <i>Physalospora juglandis</i> Sydow & Hara] 出田 新:続日本植物病理学 上巻:308, 1925 (大14); 松尾卓見・桜井善雄:信大繊維学研報 4:9, 1954; 伊藤一雄:樹病学大系 2:276, 1973; 服部友香子ら:日菌報 62(1):1, 2021 [備考] テウチグルミ (<i>Juglans regia</i> L. var. <i>orientis</i>) ・オニグルミ。(白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:451, 1917; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:274, 1927)。Theissen (Ann. Mycol. 14:263, 1916) は本種を <i>Botryosphaeria xanthocephala</i> var. <i>jugrandis</i> (Sydow & Butler) Theissen の異名同種としている (注) 病原学名変更	クルミ(胡桃)類 Walnuts <i>Juglans</i> spp. (果樹) 褐色枝枯病 kashoku-edagare-byo Brown blight <i>Guignardia juglandis</i> (Sydow & Hara) Ito [<i>Macrophoma juglandis</i> Matuo & Sakurai, <i>Physalospora juglandis</i> Sydow & Hara] 出田 新:続日本植物病理学 上巻:308, 1925 (大14); 松尾卓見・桜井善雄:信大繊維学研報 4:9, 1954; 伊藤一雄:樹病学大系 2:276, 1973 [備考] テウチグルミ (<i>Juglans regia</i> L. var. <i>orientis</i>) ・オニグルミ。(白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:451, 1917; 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録:274, 1927)。Theissen (Ann. Mycol. 14:263, 1916) は本種を <i>Botryosphaeria xanthocephala</i> var. <i>jugrandis</i> (Sydow & Butler) Theissen の異名同種としている
シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) <i>Perilla</i> <i>Perilla ocymoides</i> L. (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 川澄留佳ら:日植病報 87(3):152, 2021 (注) 新病名	シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) <i>Perilla</i> <i>Perilla ocymoides</i> L. (野菜)

クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) すす病* susu-byo Sooty mold (1) <i>Armatella litseae</i> (Hennings) Theissen & Sydow [<i>Dimerosporium litseae</i> Hennings] Hemmi, T.:Bot. Mag. Tokyo 30(358):341, 1916(大5) ; Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 13:295, 1962 (2) <i>Armatella litseae</i> (Hennings) Theissen & Sydow var. <i>boninensis</i> Katumoto & Y. Harada Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):411, 1979 [備考] オガサワラヤブニッケイ (<i>C. pseudo pedunculatus</i>) (3) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne 保 虎太郎:病虫雑 23(11):862, 1936(昭11) [備考] 病原菌の異名はポプラ類すす病参照 (4) <i>Dothidasteromella sepulta</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Höhnelt [<i>Asterina sepulta</i> Berkeley & M.A. Curtis] 原 攝祐:日本菌類目録:111, 1954 ; 原 攝祐:樹病学各論:91, 1923(大12) (注) 文献年訂正	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) すす病* susu-byo Sooty mold (1) <i>Armatella litseae</i> (Hennings) Theissen & Sydow [<i>Dimerosporium litseae</i> Hennings] Hemmi, T.:Bot. Mag. Tokyo 30(358):341, 1916(大5) ; Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 13:295, 1974 (2) <i>Armatella litseae</i> (Hennings) Theissen & Sydow var. <i>boninensis</i> Katumoto & Y. Harada Katumoto, K. & Harada, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 20(4):411, 1979 [備考] オガサワラヤブニッケイ (<i>C. pseudo pedunculatus</i>) (3) <i>Capnodium salicinum</i> Montagne 保 虎太郎:病虫雑 23(11):862, 1936(昭11) [備考] 病原菌の異名はポプラ類すす病参照 (4) <i>Dothidasteromella sepulta</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Höhnelt [<i>Asterina sepulta</i> Berkeley & M.A. Curtis] 原 攝祐:日本菌類目録:111, 1954 ; 原 攝祐:樹病学各論:91, 1923(大12)
---	--

クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) 角もち病 tsunomochi-byo Horn gall (もち病 Gall)	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) 角もち病 tsunomochi-byo Horn gall (もち病 Gall)
--	--

<i>Laurobasidium hachijoense</i> (Y. Otani, Kakishima & Iijima) Kakishima, Nagao & Denchev [<i>Exobasidium hachijoense</i> Y. Otani, Kakishima & Iijima] 飯嶋 勉ら:日植病報 51(1):94, 1985 ; 飯嶋 勉ら:日菌報 26(2):166, 1985 ; 柴田紗帆ら:日植病報 84(3):208, 2018 ; Shibata, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(5):322, 2021 [備考] ヤブニッケイ, コヤブニッケイ (<i>Cinnamomum pseudopedunculatam</i> Hayata) に発生。柴田ら(2018)は, もち病から角もち病へ病名を変更した (注) 文献追加、備考変更	<i>Laurobasidium hachijoense</i> (Y. Otani, Kakishima & Iijima) Kakishima, Nagao & Denchev [<i>Exobasidium hachijoense</i> Y. Otani, Kakishima & Iijima] 飯嶋 勉ら:日植病報 51(1):94, 1985 ; 飯嶋 勉ら:日菌報 26(2):166, 1985 ; 柴田紗帆ら:日植病報 84(3):208, 2018 [備考] 柴田ら(2018)は, もち病から角もち病へ病名を変更した
--	---

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa,	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa,
--	--

N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(1):004582, 2021 (8) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (9) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 達 瑞枝・藤 晋一:日植病報 87(3):180, 2021 ; Tsuji,	N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(1):004582, 2021 (8) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983
--	---

M. & Fuji, S.:Plant Dis. 105(10):3288, 2021 (注) 病原追加	
--	--

ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 宮島邦之:日植病報 59(6):768, 1993 (2) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous 森脇丈治・渡辺慎一:日植病報 86(3):166, 2020 ; 森脇丈治・渡辺慎一:日植病報 87(3):148, 2021 (3) <i>Colletotrichum</i> sp. [<i>Gloeosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 2(3):224, 1915(大4) ; 瀧元清透: 園芸之友 17(3):145, 1921(大10) [備考] 宮島(1993)の<i>C. gloeosporioides</i>との異同は 不明 (注) 文献追加	ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 宮島邦之:日植病報 59(6):768, 1993 (2) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous 森脇丈治・渡辺慎一:日植病報 86(3):166, 2020 (3) <i>Colletotrichum</i> sp. [<i>Gloeosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 2(3):224, 1915(大4) ; 瀧元清透: 園芸之友 17(3):145, 1921(大10) [備考] 宮島(1993)の<i>C. gloeosporioides</i>との異同は 不明
---	--

ユリ科 Liliaceae ナルコユリ (Polygonatum) <i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray (草花) †††† <i>Stromatinia rapulum</i> (Bulliard) Boudier ナルコユ リチャワンタケ 中井 実ら:日菌報 62(1):52, 2021	ユリ科 Liliaceae ナルコユリ (Polygonatum) <i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray (草花)
---	---

[備考] ナルコユリに発生 (注) 新宿主	
-------------------------------------	--

ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 条斑病 johan-byo Streak Tulip streak virus# (TuSV) チューリップ条斑ウイルス 山本孝彦:日植病報 55(1):101, 1989 ; 守川俊幸・多賀由美子:日植病報 68(2):239, 2002 ; 守川俊幸ら:日植病報 70(1):77, 2004 ; 煉谷裕太郎ら:日植病報 87(3):168, 2021 ; Neriya, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Virol. 102: 001525, 2021 [備考] 病原は <i>Olpidium brassicae</i> の非アブラナ科系によって伝搬される。Neriya, Y. <i>et al.</i> (2021) は, TuSVがブニヤウイルス目の新規ウイルスであるとした (注) 文献追加	ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 条斑病 johan-byo Streak 未定 山本孝彦:日植病報 55(1):101, 1989 ; 守川俊幸・多賀由美子:日植病報 68(2):239, 2002 ; 守川俊幸ら:日植病報 70(1):77, 2004 [備考] 病原として条斑ウイルス <i>Tulip streak virus</i> (TuSV) を提案。病原は <i>Olpidium brassicae</i> の非アブラナ科系によって伝搬される
---	---

アオイ科 Malvaceae ムクゲ(木槿) Rose of sharon <i>Hibiscus syriacus</i> L. (広葉樹) †††† <i>Phomopsis malvacearum</i> (Westendorp) Diedicke Petrak, F. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 34:240, 1936(昭11)	アオイ科 Malvaceae ムクゲ(木槿) Rose of sharon <i>Hibiscus syriacus</i> L. (広葉樹) †††† <i>Phomopsis malvacearum</i> (Westendorp) Diedicke Petrak, F.:Ann. Mycol. 34:240, 1936(昭11)
--	--

モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe fraxinea</i> Y. Yamaguchi, Meeboon & S. Takamatsu Yamaguchi, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(2):115, 2021 [備考] アオダモ・ミヤマアオダモに発生 (2) <i>Erysiphe fraxinicola</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula fraxini</i> Miyabe] (白渋病) 安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明44); 出田 新:実用植物病理学:161, 1901(明34); 高松 進:三 重大生資紀要 38:66, 2012; Yamaguchi, Y. <i>et</i> <i>al.</i>:Mycoscience 62(2):115, 2021 [備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・マルバ アオダモ・ヤマトアオダモに発生 (3) <i>Erysiphe salmonii</i> (Sydow & P. Sydow) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula salmonii</i> Sydow & P. Sydow] (白渋病) 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):679, 1917(大6); Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):352, 1937(昭12); 堀野 龍介ら:日植病報 79(1):33, 2013 [備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・アラゲ アオダモ・マルバアオダモ・マンシュウトネリ コ・ビロードトネリコ(<i>Fraxinus pennsylvanica</i>)に 発生 (4) <i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Fuss Maeda, M. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(4):270, 2021 [備考] ヤチダモに発生 (5) <i>Phyllactinia fraxinicola</i> U. Braun & H.D. Shin	モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe fraxinea</i> Y. Yamaguchi, Meeboon & S. Takamatsu Yamaguchi, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(2):115, 2021 [備考] アオダモ・ミヤマアオダモに発生 (2) <i>Erysiphe fraxinicola</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula fraxini</i> Miyabe] (白渋病) 安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明44); 出田 新:実用植物病理学:161, 1901(明34); 高松 進:三 重大生資紀要 38:66, 2012; Yamaguchi, Y. <i>et</i> <i>al.</i>:Mycoscience 62(2):115, 2021 [備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・マルバ アオダモ・ヤマトアオダモに発生 (3) <i>Erysiphe salmonii</i> (Sydow & P. Sydow) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula salmonii</i> Sydow & P. Sydow] (白渋病) 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:495, 1973; 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):679, 1917(大6); Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):352, 1937(昭12); 堀野 龍介ら:日植病報 79(1):33, 2013 [備考] トネリコ・ヤチダモ・アオダモ・アラゲ アオダモ・マルバアオダモ・マンシュウトネリ コ・ビロードトネリコ(<i>Fraxinus pennsylvanica</i>)に 発生
---	--

Maeda, M. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(4):273, 2021 [備考] トネリコに発生 (6) <i>Phyllactinia fraxini-longicuspis</i> M. Maeda, Meeboon & S. Takamatsu Maeda, M. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(4):275, 2021 [備考] ヤマトアオダモに発生 (7) <i>Phyllactinia japonica</i> M. Maeda, Meeboon & S. Takamatsu Maeda, M. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(4):273, 2021 [備考] アオダモ・マルバアオダモに発生 (8) <i>Typhulochaeta japonica</i> S. Ito & Hara 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:98, 1977 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):369, 1937(昭12) [備考] トネリコに発生 (注) 病原追加	(4) <i>Typhulochaeta japonica</i> S. Ito & Hara 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:98, 1977 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):369, 1937(昭12) [備考] トネリコに発生
--	---

マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. かさぶた状葉さび病 kasabutajo-hasabi-byo Needle cushion rust (さび病, 葉さび病) <i>Chrysomyxa abietis</i> (Wallroth) Unger 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22(11):258, 1973 ; 平塚直秀:北大農紀要 21(1):32, 1927 (昭2) (注) 文献巻数訂正	マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. かさぶた状葉さび病 kasabutajo-hasabi-byo Needle cushion rust (さび病, 葉さび病) <i>Chrysomyxa abietis</i> (Wallroth) Unger 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 23(11):258, 1973 ; 平塚直秀:北大農紀要 21(1):32, 1927 (昭2)
--	--

マツ科 Pinaceae トウヒ(唐檜)	マツ科 Pinaceae トウヒ(唐檜)
----------------------------------	----------------------------------

Hondo spruce <i>Picea jezoensis</i> subsp. <i>hondoensis</i> (Mayr) P.A. Schmidt (針葉樹) かさぶた状葉さび病 kasabutajo-hasabi-byo Needle cushion rust (銹病) <i>Chrysomyxa abietis</i> (Wallroth) Unger 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22(11):258, 1973 ; 白井光太郎:植物病理学(下):122, 1894(明27) [備考] ヤツガタケトウヒ(<i>P. koyamae</i>), ヒメマツ ハダ(<i>P. koyamae</i> var. <i>acicularis</i>) (注) 文献号数挿入	Hondo spruce <i>Picea jezoensis</i> subsp. <i>hondoensis</i> (Mayr) P.A. Schmidt (針葉樹) かさぶた状葉さび病 kasabutajo-hasabi-byo Needle cushion rust (銹病) <i>Chrysomyxa abietis</i> (Wallroth) Unger 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22:258, 1973 ; 白 井光太郎:植物病理学(下):122, 1894(明27) [備考] ヤツガタケトウヒ(<i>P. koyamae</i>), ヒメマツ ハダ(<i>P. koyamae</i> var. <i>acicularis</i>)
---	--

マツ科 Pinaceae 導入トウヒ類 <i>Picea</i> spp. (針葉樹) かさぶた状葉さび病 kasabutajo-hasabi-byo Needle cushion rust (銹病) <i>Chrysomyxa abietis</i> (Wallroth) Unger 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22(11):258, 1973 ; 白井光太郎:植物病理学(下):122, 1894(明27) [備考] オウシュウトウヒ・エンゲルマントウ ヒ・オモリカトウヒ(<i>P. omorika</i>)・プンゲンス トウヒ・アカトウヒ (注) 文献号数訂正	マツ科 Pinaceae 導入トウヒ類 <i>Picea</i> spp. (針葉樹) かさぶた状葉さび病 kasabutajo-hasabi-byo Needle cushion rust (銹病) <i>Chrysomyxa abietis</i> (Wallroth) Unger 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22(1):258, 1973 ; 白井光太郎:植物病理学(下):122, 1894(明27) [備考] オウシュウトウヒ・エンゲルマントウ ヒ・オモリカトウヒ(<i>P. omorika</i>)・プンゲンス トウヒ・アカトウヒ
---	--

マツ科 Pinaceae 導入トウヒ類 <i>Picea</i> spp. (針葉樹)	マツ科 Pinaceae 導入トウヒ類 <i>Picea</i> spp. (針葉樹)
---	---

変形葉さび病 henkei-hasabi-byo (葉さび病) <i>Chrysomyxa deformans</i> (Dietel) Jaczewski 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22(11):259, 1973 ; 平塚直秀:植研雑 13(8):594, 1937(昭12) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:184, 1992 [備考] オウシュウトウヒ・カナダトウヒ・エンゲルマントウヒ(<i>P. engelmannii</i>)・ブンゲンストウヒ・アカトウヒ(<i>P. rubens</i>)。病菌の異名はエゾマツ変形葉さび病参照 (注) 文献号数挿入	変形葉さび病 henkei-hasabi-byo (葉さび病) <i>Chrysomyxa deformans</i> (Dietel) Jaczewski 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 22:259, 1973 ; 平塚直秀:植研雑 13(8):594, 1937(昭12) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:184, 1992 [備考] オウシュウトウヒ・カナダトウヒ・エンゲルマントウヒ(<i>P. engelmannii</i>)・ブンゲンストウヒ・アカトウヒ(<i>P. rubens</i>)。病菌の異名はエゾマツ変形葉さび病参照
---	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 青変病 seihen-byo Blue stain (1) <i>Leptographium lundbergii</i> Lagerberg & Melin 青島清雄・林 康夫:日植病報 17(3-4):164, 1953 (2) <i>Ophiostoma ips</i> (Rumbold) Nannfeldt [<i>Ceratostomella ips</i> Rumbold, <i>Ceratocystis ips</i> (Rumbold) C. Moreau] 西門義一:病虫雑 19(12):877, 1932(昭7) ; 山岡裕一ら:森林防疫 48:7, 1999 [備考] リュウキュウマツにも発生 (3) <i>Ophiostoma minus</i> (Hedgcock) Sydow & P. Sydow [<i>Ceratostomella pini</i> Münch, <i>Ceratocystis minor</i> (Hedgcock) J. Hunt] 西門義一・山内己西:農学研究 23:352, 1934(昭9) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:26, 1973 ; 山岡裕一ら:森林防疫 48:7, 1999	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer 青変病 seihen-byo Blue stain (1) <i>Leptographium lundbergii</i> Lagerberg & Melin 青島清雄・林 康夫:日植病報 17(3-4):164, 1953 (2) <i>Ophiostoma ips</i> (Rumbold) Nannfeldt [<i>Ceratostomella ips</i> Rumbold, <i>Ceratocystis ips</i> (Rumbold) C. Moreau] 西門義一:病虫雑 19(12):877, 1932(昭7) ; 山岡裕一:森林防疫 48:7, 1999 [備考] リュウキュウマツにも発生 (3) <i>Ophiostoma minus</i> (Hedgcock) Sydow & P. Sydow [<i>Ceratostomella pini</i> Münch, <i>Ceratocystis minor</i> (Hedgcock) J. Hunt] 西門義一・山内己西:農学研究 23:352, 1934(昭9) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:26, 1973 ; 山岡裕一:森林防疫 48:7, 1999
---	---

(4) <i>Ophiostoma piceae</i> (Münch) Sydow & P. Sydow 西門義一・山内己酉:植物及動物 3(2):365, 1935(昭10); 伊藤一雄:樹病学大系 2:26, 1973; 山 岡裕一ら:森林防疫 48:8, 1999 [備考] 病菌の異名はエゾマツ青変病参照 (5) <i>Ophiostoma piliferum</i> (Fries) Sydow & P. Sydow [<i>Ceratocystis pilifera</i> (Fries) C. Moreau, <i>Ceratostomella pilifera</i> (Fries) G. Winter, <i>Ophiostoma coeruleum</i> (Münch) Sydow & P. Sydow] 笠井幹夫:鉄道院総裁官房研究所業研資料 5(5):1, 1917(大6); 伊藤一雄:樹病学大系 2:26, 1973; 山 岡裕一ら:森林防疫 48:8, 1999 [備考] 北島君三 (樹病学及木材腐朽論:349, 1933) は<i>Ceratocystis schrenkiana</i> (Hedgcock) C. Moreau によるエチナタマツの青変病を紹介したが, 国内 未発生 (6) <i>Ophiostoma pluriannulatum</i> (Hedgcock) Sydow & P. Sydow 青島清雄・林 康夫:日植病報 20(2-3):115, 1955; 山岡裕一ら:森林防疫 48:8, 1999 [備考] 病菌の異名はモミ類青変病参照 (注) 文献著者修正	(4) <i>Ophiostoma piceae</i> (Münch) Sydow & P. Sydow 西門義一・山内己酉:植物及動物 3(2):365, 1935(昭10); 伊藤一雄:樹病学大系 2:26, 1973; 山 岡裕一:森林防疫 48:8, 1999 [備考] 病菌の異名はエゾマツ青変病参照 (5) <i>Ophiostoma piliferum</i> (Fries) Sydow & P. Sydow [<i>Ceratocystis pilifera</i> (Fries) C. Moreau, <i>Ceratostomella pilifera</i> (Fries) G. Winter, <i>Ophiostoma coeruleum</i> (Münch) Sydow & P. Sydow] 笠井幹夫:鉄道院総裁官房研究所業研資料 5(5):1, 1917(大6); 伊藤一雄:樹病学大系 2:26, 1973; 山 岡裕一:森林防疫 48:8, 1999 [備考] 北島君三 (樹病学及木材腐朽論:349, 1933) は<i>Ceratocystis schrenkiana</i> (Hedgcock) C. Moreau によるエチナタマツの青変病を紹介したが, 国内 未発生 (6) <i>Ophiostoma pluriannulatum</i> (Hedgcock) Sydow & P. Sydow 青島清雄・林 康夫:日植病報 20(2-3):115, 1955; 山岡裕一:森林防疫 48:8, 1999 [備考] 病菌の異名はモミ類青変病参照
---	--

マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久 種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus</i> <i>koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus</i> <i>parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry	マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久 種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus</i> <i>koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus</i> <i>parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry
--	--

ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo Lachnellula canker (ラクネルラがんしゅ病) (1) <i>Lachnellula calyciformis</i> (Willdenow) Dharne 浜 武人:80回日林講:310, 1969 ; Oguchi, T.:J. Jpn. For. Soc. 61:216, 1979 [備考] ハイマツ・ヒメコマツ。病菌の異名はモミ類がんしゅ病参照 (2) <i>Lachnellula microspora</i> Ellis & Everhart Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973 [備考] ハイマツ (3) <i>Lachnellula pini</i> (Brunchorst) Dennis [<i>Lachnellula fuscanguinea</i> sensu Saho & Takahashi non Dennis] 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 21:210, 1972 ; 高橋郁雄・佐保春芳:日林北支講 22:101, 1973 [備考] ハイマツ (4) <i>Lachnellula subtilissima</i> (Cooke) Dennis Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973 [備考] ハイマツ (5) <i>Lachnellula suecica</i> (de Bary) Nannfeldt 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 21:210, 1972 [備考] ハイマツ (注) (3)文献ページ訂正	ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel がんしゅ(癌腫)病 ganshu-byo Lachnellula canker (ラクネルラがんしゅ病) (1) <i>Lachnellula calyciformis</i> (Willdenow) Dharne 浜 武人:80回日林講:310, 1969 ; Oguchi, T.:J. Jpn. For. Soc. 61:216, 1979 [備考] ハイマツ・ヒメコマツ。病菌の異名はモミ類がんしゅ病参照 (2) <i>Lachnellula microspora</i> Ellis & Everhart Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973 [備考] ハイマツ (3) <i>Lachnellula pini</i> (Brunchorst) Dennis [<i>Lachnellula fuscanguinea</i> sensu Saho & Takahashi non Dennis] 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 21:210, 1972 ; 高橋郁雄・佐保春芳:日林北支講 22:106, 1973 [備考] ハイマツ (4) <i>Lachnellula subtilissima</i> (Cooke) Dennis Saho, H. & Takahashi, I.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 10:706, 1973 [備考] ハイマツ (5) <i>Lachnellula suecica</i> (de Bary) Nannfeldt 佐保春芳・高橋郁雄:森林防疫 21:210, 1972 [備考] ハイマツ
---	---

マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus</i>	マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus</i>
---	---

<i>koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel 根株心腐病 nekabu-shingusare-byo Butt rot (1) <i>Perenniporia subacida</i> (Peck) Donk キンイロアナタケ 亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 6:39, 1957 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):340, 1992 [備考] ヒメコマツ。病菌の異名はモミ類根株心腐病参照 (2) <i>Oligoporus balsameus</i> (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ (トドマツオオウズラタケ) 亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):338, 1992 [備考] キタゴヨウ。病菌の異名はモミ類根株心腐病参照 (注) (1)文献巻数訂正	<i>koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel 根株心腐病 nekabu-shingusare-byo Butt rot (1) <i>Perenniporia subacida</i> (Peck) Donk キンイロアナタケ 亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 7:39, 1957 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):340, 1992 [備考] ヒメコマツ。病菌の異名はモミ類根株心腐病参照 (2) <i>Oligoporus balsameus</i> (Peck) Gilbertson & Ryvarden レンゲタケ (トドマツオオウズラタケ) 亀井専次・五十嵐恒夫:日植病報 21(2-3):120, 1956 ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):338, 1992 [備考] キタゴヨウ。病菌の異名はモミ類根株心腐病参照
--	---

マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus</i>	マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var. <i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チョウセンゴヨウ(紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴヨウマツ(五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus</i>
---	---

<i>parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Coleosporium cimicifugatum</i> Thümen [<i>Coleosporium actaeae</i> P. Karsten] 佐保春芳:77回日林講:316, 1966 ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8(2):73, 1967 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:209, 1992 [備考] ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・シベリアマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Actaea</i>属(ルイヨウショウマ:人工接種)・ <i>Cimicifuga</i>属(サラシナショウマ)ほかに寄生して さび病を起こす (2) <i>Coleosporium eupatorii</i> Arthur 平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 9(2):221, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:99, 1981 [備考] シベリアマツ・チョウセンゴヨウ・キタ ゴヨウ。人工接種ではヒマラヤゴヨウ・シベリ ヤマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は <i>Eupatorium</i>属(ヒヨドリバナほか)に寄生してさび 病を起こす (3) <i>Coleosporium fauriae</i> P. Sydow & Sydow Kaneko, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(2):128, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:219, 1992 [備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Fauria</i> 属(イワイチョウ)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium neocacaliae</i> Saho [<i>Coleosporium</i> <i>cacaliae</i> auct., <i>Coleosporium neosenecionis</i> Saho] 平塚直秀:病虫雑 17(6):361, 1930(昭5) ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 7(2-3):58, 1966 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:224, 1992	<i>parviflora</i> Sieb. & Zucc. キタゴヨウ(北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハイマツ(這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel 葉さび病 hasabi-byo Needle rust (銹病) (1) <i>Coleosporium cimicifugatum</i> Thümen [<i>Coleosporium actaeae</i> P. Karsten] 佐保春芳:77回日林講:316, 1966 ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 8(2):73, 1967 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:209, 1992 [備考] ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・シベリアマツ(人工接種)。夏孢子・冬孢子世代は <i>Actaea</i>属(ルイヨウショウマ:人工接種)・ <i>Cimicifuga</i>属(サラシナショウマ)ほかに寄生して さび病を起こす (2) <i>Coleosporium eupatorii</i> Arthur 平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Nat. Hist. Soc. 9(2):221, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:99, 1981 [備考] シベリアマツ・チョウセンゴヨウ・キタ ゴヨウ。人工接種ではヒマラヤゴヨウ・シベリ ヤマツにも発生。夏孢子・冬孢子世代は <i>Eupatorium</i>属(ヒヨドリバナほか)に寄生してさび 病を起こす (3) <i>Coleosporium fauriae</i> P. Sydow & Sydow Kaneko, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(2):128, 1975 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:219, 1992 [備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Fauria</i> 属(イワイチョウ)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Coleosporium neocacaliae</i> Saho [<i>Coleosporium</i> <i>cacaliae</i> auct., <i>Coleosporium neosenecionis</i> Saho] 平塚直秀:病虫雑 17(6):361, 1930(昭5) ; Saho, H.:Trans. Mycol. Soc. Japan 7(2-3):58, 1966 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:224, 1992
---	---

[備考] シベリヤマツ・ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・ヒメコマツ・ハイマツ・バルカンマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Cacalia</i>属(コウモリソウほか)・<i>Senecio</i>属(ハンゴンソウほか)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium paederiae</i> Dietel ex Hiratsuka, f. 千葉 修:森林防疫ニュース 8:150, 1959 ; 千葉 修・陳野好之:日植病報 25(1):38, 1960 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:226, 1992 [備考] アマミゴヨウ・ヒマラヤゴヨウ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Paederia</i>属(ヘクソカズラほか)に寄生してさび病を起こす (6) <i>Coleosporium saussureae</i> Thümen [<i>Coleosporium taisetsuense</i> S. Ito & Homma, <i>Coleosporium ligulariae</i> auct. non Thümen] 平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 9(2):222, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:122, 1981 [備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Ligularia</i>属(オタカラコウほか)・<i>Saussurea</i>属(シラネアザミほか)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium yamabense</i> (Saho) Hiratsuka, f. [<i>Coleosporium petasitis</i> auct., <i>Coleosporium petasitis</i> de Bary var. <i>yamabense</i> Saho, <i>Coleosporium neopetasitis</i> Saho] 佐保春芳:70回日林講:338, 1960 ; 平塚直秀:北海道林試研報 6:6, 1968 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:247, 1992 [備考] チョウセンゴヨウ・シベリヤマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Petasites</i>属(フキほか)に寄生してさび病を起こす (注) (2)文献誌名訂正	[備考] シベリヤマツ・ヒマラヤゴヨウ・チョウセンゴヨウ・ヒメコマツ・ハイマツ・バルカンマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Cacalia</i>属(コウモリソウほか)・<i>Senecio</i>属(ハンゴンソウほか)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Coleosporium paederiae</i> Dietel ex Hiratsuka, f. 千葉 修:森林防疫ニュース 8:150, 1959 ; 千葉 修・陳野好之:日植病報 25(1):38, 1960 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:226, 1992 [備考] アマミゴヨウ・ヒマラヤゴヨウ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Paederia</i>属(ヘクソカズラほか)に寄生してさび病を起こす (6) <i>Coleosporium saussureae</i> Thümen [<i>Coleosporium taisetsuense</i> S. Ito & Homma, <i>Coleosporium ligulariae</i> auct. non Thümen] 平塚直秀:病虫雑 17:364, 1930(昭5) ; Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 9(2):222, 1927 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 19:122, 1981 [備考] ハイマツ。夏孢子・冬孢子世代は <i>Ligularia</i>属(オタカラコウほか)・<i>Saussurea</i>属(シラネアザミほか)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Coleosporium yamabense</i> (Saho) Hiratsuka, f. [<i>Coleosporium petasitis</i> auct., <i>Coleosporium petasitis</i> de Bary var. <i>yamabense</i> Saho, <i>Coleosporium neopetasitis</i> Saho] 佐保春芳:70回日林講:338, 1960 ; 平塚直秀:北海道林試研報 6:6, 1968 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:247, 1992 [備考] チョウセンゴヨウ・シベリヤマツ。夏孢子・冬孢子世代は<i>Petasites</i>属(フキほか)に寄生してさび病を起こす
---	--

マツ科 Pinaceae ダグラスモミ(ダグラスファー, オレゴンパイン)(米松)	マツ科 Pinaceae ダグラスモミ(ダグラスファー, オレゴンパイン)(米松)
---	---

Douglas fir <i>Pseudotsuga menziesii</i> (Mirb.) Franco (針葉樹) ディプロディア病 <i>Diplodia-byo</i> <i>Diplodia</i> needle and tip blight <i>Sphaeropsis sapinea</i> (Fries) Dyko & B. Sutton 佐藤邦彦・庄司次男:森林防疫ニュース 15:75, 1966 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:599, 1992 [備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツディプロ ロディア病参照 (注) 文献年訂正	Douglas fir <i>Pseudotsuga menziesii</i> (Mirb.) Franco (針葉樹) ディプロディア病 <i>Diplodia-byo</i> <i>Diplodia</i> needle and tip blight <i>Sphaeropsis sapinea</i> (Fries) Dyko & B. Sutton 佐藤邦彦・庄司次男:森林防疫ニュース 15:75, 1965 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:599, 1992 [備考] 病菌の異名はアカマツ・クロマツディプロ ロディア病参照
--	---

イソマツ科 <i>Plumbaginaceae</i> スターチス(ハナハマサジ, イソマツ類, リモニ ウム) Statice, Wide leaf sea lavender <i>Limonium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) うどんこ病 <i>udonko-byo</i> Powdery mildew (1) <i>Erysiphe</i> sp. Meeboon, J. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(3):201, 2021 [備考] ハマサジに発生 (2) <i>Oidium</i> sp. 萩原 廣ら:日植病報 64(5):506, 1998 [備考] 宿根性スターチス (<i>L. latifolium</i> × <i>L.</i> <i>bellidifolium</i>) 。発芽管の形態は <i>Erysiphe polygoni</i> 型 (注) 病原追加	イソマツ科 <i>Plumbaginaceae</i> スターチス(ハナハマザシ, イソマツ類, リモニ ウム) Statice, Wide leaf sea lavender <i>Limonium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) うどんこ病 <i>udonko-byo</i> Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 萩原 廣ら:日植病報 64(5):506, 1998 [備考] 宿根性スターチス (<i>L. latifolium</i> × <i>L.</i> <i>bellidifolium</i>) 。発芽管の形態は <i>Erysiphe polygoni</i> 型
--	---

タデ科 <i>Polygonaceae</i> ギシギシ類 (Rumex)	タデ科 <i>Polygonaceae</i> ギシギシ類 (Rumex)
--	--

<i>Rumex</i> spp. (野草) スイバ <i>R. acetosa</i> L. ヒメスイバ <i>R. acetosella</i> L. ギシギシ <i>R. crispus</i> L. subsp. <i>japonicus</i> (Houtt.) Kitam. エゾノギシギシ <i>R. obtusifolius</i> L. †††† <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss & Wydra 2012 青野桂之ら:日植病報 87(3):184, 2021 [備考] エゾノギシギシに発生 (注) 新宿主	<i>Rumex</i> spp. (野草) スイバ <i>R. acetosa</i> L. ヒメスイバ <i>R. acetosella</i> L. ギシギシ <i>R. crispus</i> L. subsp. <i>japonicus</i> (Houtt.) Kitam. エゾノギシギシ <i>R. obtusifolius</i> L.
---	--

ミズアオイ科 Pontederiaceae ミズアオイ Pickerel weed <i>Monochoria korsakowii</i> Regel & Maack (野草) 植物寄生性線虫* shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Hirschmanniella diversa</i> Sher レンコンネモグリ センチュウ 高木素紀ら:Nematological Research 41:53, 2011 (注) 文献誌名訂正	ミズアオイ科 Pontederiaceae ミズアオイ Pickerel weed <i>Monochoria korsakowii</i> Regel & Maack (野草) 植物寄生性線虫* shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Hirschmanniella diversa</i> Sher レンコンネモグリ センチュウ 高木素紀ら:Nematological Research 41:53, 2011
--	--

クロウメモドキ科 Rhamnaceae ケンポナシ(玄圃梨) Japanese raisin-tree <i>Hovenia dulcis</i> Thunb. (広葉樹)	クロウメモドキ科 Rhamnaceae ケンポナシ(玄圃梨) Japanese raisin-tree <i>Hovenia dulcis</i> Thunb. (広葉樹)
---	---

†††† <i>Diplodia hoveniae</i> Petrak Petrak, F. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 34:247, 1936(昭11) (注) 文献著者訂正	†††† <i>Diplodia hoveniae</i> Petrak Petrak, F.:Ann. Mycol. 34:247, 1936(昭11)
---	---

バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, 銹病) <i>Coleopucciniella simplex</i> (Dietel) Hara ex Hiratsuka [<i>Coleopuccinia simplex</i> Dietel] 堀正太郎:農業世界 7(10):41, 1912(大1) ; Hiratsuka, N.:Jour. Jap. Bot. 13(4):244, 1937 (注) 文献ページ挿入	バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) さび病 sabi-byo Rust (赤渋病, 銹病) <i>Coleopucciniella simplex</i> (Dietel) Hara ex Hiratsuka [<i>Coleopuccinia simplex</i> Dietel] 堀正太郎:農業世界 7(10):1912(大1) ; Hiratsuka, N.:Jour. Jap. Bot. 13(4):244, 1937
---	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Fomes fomentarius</i> (Linnaeus) J. Kickx f. ツリ ガネタケ 新島善直:新編森林保護学(下):469, 1925(大14) [備考] 病原菌の異名はポプラ類幹心腐病参照 (2) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten [<i>Fomes</i> <i>pinicola</i> (Swartz) Cooke] ツガサルノコシカケ (ツガタケ)	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Fomes fomentarius</i> (Linnaeus) J. Kickx f. ツリ ガネタケ 新島善直:新編森林保護学(下):469, 1925(大14) [備考] 病原菌の異名はポプラ類幹心腐病参照 (2) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten [<i>Fomes</i> <i>pinicola</i> (Swartz) Cooke] ツガサルノコシカケ (ツガタケ)
--	--

栃内吉彦:病虫雑 29(1):11, 1942(昭17) ; 小口健夫:森林防疫 23(12):242, 1974 [備考] エゾヤマザクラ (3) <i>Inonotus mikadoi</i> (Lloyd) Gilbertson & Ryvardeen [<i>Inonotus cuticularis</i> sensu Imazeki non P. Karsten, <i>Polyporus mikadoi</i> Lloyd] カワウソタケ 梅村甚太郎:植物学雑 28(332):356, 1914(大3) ; 今関六也:科博研報 6:105, 1943(昭18) ; 服部 力:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):585, 1992 [備考] ミヤマザクラ・シダレヒガン (4) <i>Laetiporus sulphureus</i> (Bulliard) Murrill アイカワタケ 新島善直:新編森林保護学(下):477, 1925(大14) [備考] 病原菌の異名はポプラ類幹心腐病参照 (5) <i>Laetiporus versisporus</i> (Lloyd) Imazeki [<i>Polyporus versisporus</i> Lloyd, <i>Calvatia versisporus</i> Lloyd] ヒラフスベ 安田 篤:植物学雑 29(344):263, 1915(大4) ; 安田 篤:植物学雑 37:203, 1923(大12) ; 今関六也:植研雑 16(5):269, 1940(昭15) (6) <i>Phellinus igniarius</i> (Linnaeus) Quélet キコブタケ (ニセホクチタケ) 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:25, 1952 [備考] エゾヤマザクラ。病原菌の異名はポプラ類幹心腐病参照 (注) (2)文献巻数訂正	栃内吉彦:病虫雑 29(1):11, 1942(昭17) ; 小口健夫:森林防疫 25(12):242, 1974 [備考] エゾヤマザクラ (3) <i>Inonotus mikadoi</i> (Lloyd) Gilbertson & Ryvardeen [<i>Inonotus cuticularis</i> sensu Imazeki non P. Karsten, <i>Polyporus mikadoi</i> Lloyd] カワウソタケ 梅村甚太郎:植物学雑 28(332):356, 1914(大3) ; 今関六也:科博研報 6:105, 1943(昭18) ; 服部 力:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):585, 1992 [備考] ミヤマザクラ・シダレヒガン (4) <i>Laetiporus sulphureus</i> (Bulliard) Murrill アイカワタケ 新島善直:新編森林保護学(下):477, 1925(大14) [備考] 病原菌の異名はポプラ類幹心腐病参照 (5) <i>Laetiporus versisporus</i> (Lloyd) Imazeki [<i>Polyporus versisporus</i> Lloyd, <i>Calvatia versisporus</i> Lloyd] ヒラフスベ 安田 篤:植物学雑 29(344):263, 1915(大4) ; 安田 篤:植物学雑 37:203, 1923(大12) ; 今関六也:植研雑 16(5):269, 1940(昭15) (6) <i>Phellinus igniarius</i> (Linnaeus) Quélet キコブタケ (ニセホクチタケ) 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:25, 1952 [備考] エゾヤマザクラ。病原菌の異名はポプラ類幹心腐病参照
---	--

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider
--	--

くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 高田真里ら:日植病報 87(3):209, 2021 [備考] 菌糸融合群 AG-1, IB (注) 新病名	
---	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi ヒボキシロン幹腐病 <i>Hypoxyton-mikigusare-byo</i> Hypoxyton heart wood rot (1) <i>Hypoxyton serpens</i> (Persoon) Kickx 佐久間 勉ら:日植病報 56(3):388, 1990 ; 佐久間 勉ら:果樹試報 24:45, 1993 (2) <i>Nemania diffusa</i> (Sowerby) Gray 山田高之ら:日植病報 87(3):150, 2021 (注) 病原追加	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi ヒボキシロン幹腐病 <i>Hypoxyton-mikigusare-byo</i> Hypoxyton heart wood rot <i>Hypoxyton serpens</i> (Persoon) Kickx 佐久間 勉ら:日植病報 56(3):388, 1990 ; 佐久間 勉ら:果樹試報 24:45, 1993
---	--

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas
---	---

ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. †††† <i>Rose yellow mosaic virus</i> (RoYMV) バラ黄斑モザイクウイルス 大畑悠汰ら:日植病報 84(3):197, 2018 ; 大畑悠汰ら:日植病報 85(3):282, 2019 ; Ohata, Y. <i>et al.</i>:<i>J. Gen. Plant Pathol.</i> 87(5):295, 2021 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。黄色モザイク症状。RT-PCRにより全ゲノム配列を確認。戻し接種なし (注) 文献追加	ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. †††† <i>Rose yellow mosaic virus</i> (RoYMV) バラ黄斑モザイクウイルス 大畑悠汰ら:日植病報 84(3):197, 2018 ; 大畑悠汰ら:日植病報 85(3):282, 2019 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。黄色モザイク症状。RT-PCRにより全ゲノム配列を確認。戻し接種なし
---	--

バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など †††† (1) Black raspberry necrosis virus# (BRNV) (2) Rubus yellow net virus# (RYNV) 青木秀道ら:日植病報 87(3):170, 2021 [備考] 低分子RNAの解析による検出 (注) 新宿主	バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など
---	---

バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類	バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類
--------------------------------------	--------------------------------------

Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus</i> <i>allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など †††† †<i>Phragmidium arisanense</i> Hiratsuka, f. & Hashioka Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13:137, 1934(昭9) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):40, 1950 [備考] 台湾。アリサンミヤマウラジロイチゴ (<i>Rubus rarissimus</i>)に発生 (注) 文献年、文献ページ訂正	Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus</i> <i>allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など †††† †<i>Phragmidium arisanense</i> Hiratsuka, f. & Hashioka Hiratsuka, N.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13:134, 1943 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):40, 1950 [備考] 台湾。アリサンミヤマウラジロイチゴ (<i>Rubus rarissimus</i>)に発生
--	---

アカネ科 Rubiaceae キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) †疫病 eki-byo <i>Phytophthora cinchonae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農事報 32(5):1, 1936(昭11) [備考] 台湾。ボリビアキナノキ(<i>C. ledgeriana</i>) にも発生 (注) 備考修正	アカネ科 Rubiaceae キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) †疫病 eki-byo <i>Phytophthora cinchonae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農事報 32(5):1, 1936(昭11) [備考] 台湾。ボリビアキナ (<i>C. ledgerana</i>) にも発生
---	---

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus
---	---

<i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) <i>Kumquats</i> <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) <i>Trifoliate orange</i> <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. フザリウム軸腐病 <i>Fusarium-jikugusare-byo</i> <i>Fusarium</i> stem end rot <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 今井健司:日植病報 87(3):209, 2021 (注) 新病名	<i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) <i>Citrus</i> <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) <i>Kumquats</i> <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) <i>Trifoliate orange</i> <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.
---	---

ミカン科 <i>Rutaceae</i> ハマセンダン(浜梅檀, 棟) <i>Evodia meliifolia</i> (Hance) Benth. (広葉樹) さび病 <i>sabi-byo</i> <i>Rust</i> (銹病) <i>Coleosporium telioevodiae</i> L. Guo [<i>Coleosporium evodiae</i> Dietel ex Hiratsuka] 藤黒與三郎:台湾博物学会報 4(19):9, 1914(大3) ; Hiratsuka, N.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin., Univ. Ryukyus 7:213, 1960 ; Guo, L.:Fungi and Lichens of Shennongjia:112, 1989 (注) 文献誌名(カンマ追加)、文献巻数訂正	ミカン科 <i>Rutaceae</i> ハマセンダン(浜梅檀, 棟) <i>Evodia meliifolia</i> (Hance) Benth. (広葉樹) さび病 <i>sabi-byo</i> <i>Rust</i> (銹病) <i>Coleosporium telioevodiae</i> L. Guo [<i>Coleosporium evodiae</i> Dietel ex Hiratsuka] 藤黒與三郎:台湾博物学会報 4(19):9, 1914(大3) ; Hiratsuka, N.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 6:213, 1960 ; Guo, L.:Fungi and Lichens of Shennongjia:112, 1989
--	---

ヤナギ科 <i>Salicaceae</i> ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) 葉さび病 <i>hasabi-byo</i> <i>Leaf rust</i> (銹病, 葉銹)	ヤナギ科 <i>Salicaceae</i> ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) 葉さび病 <i>hasabi-byo</i> <i>Leaf rust</i> (銹病, 葉銹)
--	--

病) (1) <i>Caeoma salicis-miyabeana</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:28, 1982 [備考] エゾノカワヤナギ (<i>S. miyabeana</i>) (2) <i>Melampsora arctica</i> Rostrup Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 13(8):593, 1937(昭12) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952 [備考] チシマヤナギ・ジンヨウチシマヤナギ・マルバヤナギ(<i>S. yezoalpina</i>)・ミヤマヤナギ (<i>S. reinii</i>) (3) <i>Melampsora chelidonii-pierotii</i> Tak. Matsumoto 松本 巍:植物学雑 40(470):46, 1926 (大15) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952 ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):221, 1981 ; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012 [備考] オオタチヤナギ・タチヤナギ (<i>S. subfragilis</i>)・アカメヤナギ (マルバヤナギ <i>S. chaenomeloides</i>)・オオシロヤナギ(ジャヤナギ <i>S. eriocarpa</i>)。本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じる (4) <i>Melampsora coleosporioides</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904 (明37) ; Okane, I. <i>et al.</i>:Mycoscience 55:431, 2014 [備考] シダレヤナギ (<i>S. babylonica</i>)・コウシンヤナギ・タチヤナギ・ウンリュウヤナギ (<i>S. matsudana</i> f. <i>tortuosa</i>)。Okane <i>et al.</i> (2014)によれば, 本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じるが, シダレヤナギ上で越冬もできる (5) <i>Melampsora dimorphospora</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:6, 1982 [備考] コリヤナギ (<i>S. koriyanagi</i>) (6) <i>Melampsora epiphylla</i> Dietel	病) (1) <i>Caeoma salicis-miyabeana</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:28, 1982 [備考] エゾノカワヤナギ (<i>S. miyabeana</i>) (2) <i>Melampsora arctica</i> Rostrup Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 13(8):593, 1937(昭12) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952 [備考] チシマヤナギ・ジンヨウチシマヤナギ・マルバヤナギ(<i>S. yezoalpina</i>)・ミヤマヤナギ (<i>S. reinii</i>) (3) <i>Melampsora chelidonii-pierotii</i> Tak. Matsumoto 松本 巍:植物学雑 40(470):46, 1926 (大15) ; 澤田兼吉:林試研報 57:19, 1952 ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):221, 1981 ; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012 [備考] オオタチヤナギ・タチヤナギ (<i>S. subfragilis</i>)・アカメヤナギ (マルバヤナギ <i>S. chaenomeloides</i>)・オオシロヤナギ(ジャヤナギ <i>S. eriocarpa</i>)。本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じる (4) <i>Melampsora coleosporioides</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904 (明37) ; Okane, I. <i>et al.</i>:Mycoscience 55:431, 2014 [備考] シダレヤナギ (<i>S. babylonica</i>)・コウシンヤナギ・タチヤナギ・ウンリュウヤナギ (<i>S. matsudana</i> f. <i>tortuosa</i>)。Okane <i>et al.</i> (2014)によれば, 本病菌の精子・さび胞子世代はムラサキケマンに生じるが, シダレヤナギ上で越冬もできる (5) <i>Melampsora dimorphospora</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:6, 1982 [備考] コリヤナギ (<i>S. koriyanagi</i>) (6) <i>Melampsora epiphylla</i> Dietel
---	---

大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 草野俊助:植物学雑 16(187):204, 1902(明35) ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):219, 1981 [備考] オノエヤナギ (<i>S. sachalinensis</i>) (7) <i>Melampsora humilis</i> Dietel [<i>Melampsora ribesii-purpureae</i> sensu Dietel non Klebahn] 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明37) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:441, 1911(明44) ; 平塚直秀:鳥取高農校友会誌 11:97, 1932(昭7) ; 内藤 喬:鹿児島高農博物同志会報 3(11):25, 1933(昭8) [備考] コリヤナギ・イヌコリヤナギ (<i>S. integra</i>)・ホソバコリヤナギ・サルコヤナギ (8) <i>Melampsora kamikotica</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:3, 1982 [備考] ケショウヤナギ (<i>Chosenia arbutifolia</i>) (9) <i>Melampsora kiusiana</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 57(680):281, 1943(昭18) [備考] ヒメヤナギ (10) <i>Melampsora laricis-caprearum</i> Klebahn [<i>Melampsora farinosa</i> (Persoon) J. Schröter, <i>Melampsora hartigii</i> Thümen] 澤田兼吉:林試研報 57:21, 1952 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明37) [備考] バッコヤナギ (<i>S. bakko</i>)・コウライバッコヤナギ・サルヤナギ (11) <i>Melampsora laricis-epitea</i> Klebahn [<i>Melampsora larici-miyabeana</i> Miyabe & Matsumoto, <i>Melampsora larici-opaca</i> Miyabe & Matsumoto, <i>Melampsora laricis-daphnoidis</i> Klebahn] 安田 篤:植物学各論隠花部:424, 1911(明44) ; 松本 巍:札幌博物学会報 6(1):32, 1915(大4) [備考] エゾヤナギ (<i>S. rorida</i>)・エゾカワヤナギ	大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 草野俊助:植物学雑 16(187):204, 1902(明35) ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(2):219, 1981 [備考] オノエヤナギ (<i>S. sachalinensis</i>) (7) <i>Melampsora humilis</i> Dietel [<i>Melampsora ribesii-purpureae</i> sensu Dietel non Klebahn] 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明37) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:441, 1911(明44) ; 平塚直秀:鳥取高農校友会誌 11:97, 1932(昭7) ; 内藤 喬:鹿児島高農博物同志会報 3(11):25, 1933(昭8) [備考] コリヤナギ・イヌコリヤナギ (<i>S. integra</i>)・ホソバコリヤナギ・サルコヤナギ (8) <i>Melampsora kamikotica</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:3, 1982 [備考] ケショウヤナギ (<i>Chosenia arbutifolia</i>) (9) <i>Melampsora kiusiana</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N.:Journ. Jap. Bot. 57(680):281, 1943(昭18) [備考] ヒメヤナギ (10) <i>Melampsora laricis-caprearum</i> Klebahn [<i>Melampsora farinosa</i> (Persoon) J. Schröter, <i>Melampsora hartigii</i> Thümen] 澤田兼吉:林試研報 57:21, 1952 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):152, 1904(明37) [備考] バッコヤナギ (<i>S. bakko</i>)・コウライバッコヤナギ・サルヤナギ (11) <i>Melampsora laricis-epitea</i> Klebahn [<i>Melampsora larici-miyabeana</i> Miyabe & Matsumoto, <i>Melampsora larici-opaca</i> Miyabe & Matsumoto, <i>Melampsora laricis-daphnoidis</i> Klebahn] 安田 篤:植物学各論隠花部:424, 1911(明44) ; 松本 巍:札幌博物学会報 6(1):32, 1915(大4) [備考] エゾヤナギ (<i>S. rorida</i>)・エゾカワヤナギ
---	--

(<i>S. miyabeana</i>)・サルヤナギ・キヌヤナギ (<i>S. kinuyanagi</i>)・ナガバヤナギ (12) <i>Melampsora microsora</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):153, 1904 (明37) [備考] タチヤナギ (13) <i>Melampsora salicis-warburgii</i> Sawada Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:8, 1982 [備考] ジャヤナギ (<i>S. pierotii</i>)・タチヤナギ (14) <i>Melampsora yezoensis</i> Miyabe & T. Matsumoto 松本 巍:札幌博物学会報 6(1):29, 1915(大4) ; Kondo, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 38:163, 1997 ; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012 [備考] シロヤナギ (<i>S. jessoensis</i>)・オオシロヤナギ (<i>S. eriocarpa</i>)・オオタチヤナギ (<i>S. pierotii</i>)・コゴメヤナギ (<i>S. serissaefolia</i>)。人工接種でジャヤナギ, オオタチヤナギ, ヨシノヤナギ (<i>S. yoshinoi</i>), ロッカクヤナギ (<i>S. babylonica</i> f. <i>rokkaku</i>)にも寄生性を有す。本病菌の精子・さび胞子世代はヤマエンゴサク・ミヤマキケマン・クサノオウ・ムラサキケマン・エゾノエンゴサクおよびナガミツルキケマンに生じる。南部信方 (病虫雑 8(8):400, 1921) は<i>Melampsora albertensis</i> Arthur によるさび病を紹介したが国内未発生 (注) (9)文献誌名訂正	(<i>S. miyabeana</i>)・サルヤナギ・キヌヤナギ (<i>S. kinuyanagi</i>)・ナガバヤナギ (12) <i>Melampsora microsora</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:269, 1910(明43) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):153, 1904 (明37) [備考] タチヤナギ (13) <i>Melampsora salicis-warburgii</i> Sawada Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 20:8, 1982 [備考] ジャヤナギ (<i>S. pierotii</i>)・タチヤナギ (14) <i>Melampsora yezoensis</i> Miyabe & T. Matsumoto 松本 巍:札幌博物学会報 6(1):29, 1915(大4) ; Kondo, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 38:163, 1997 ; 新山雪絵・山岡裕一:日菌報 53:15, 2012 [備考] シロヤナギ (<i>S. jessoensis</i>)・オオシロヤナギ (<i>S. eriocarpa</i>)・オオタチヤナギ (<i>S. pierotii</i>)・コゴメヤナギ (<i>S. serissaefolia</i>)。人工接種でジャヤナギ, オオタチヤナギ, ヨシノヤナギ (<i>S. yoshinoi</i>), ロッカクヤナギ (<i>S. babylonica</i> f. <i>rokkaku</i>)にも寄生性を有す。本病菌の精子・さび胞子世代はヤマエンゴサク・ミヤマキケマン・クサノオウ・ムラサキケマン・エゾノエンゴサクおよびナガミツルキケマンに生じる。南部信方 (病虫雑 8(8):400, 1921) は<i>Melampsora albertensis</i> Arthur によるさび病を紹介したが国内未発生
--	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen
--	--

ギンドロ類 White poplar レウコストマ胴枯病 <i>Leucostoma-dogare-byo</i> Leucostoma canker <i>Leucostoma niveum</i> (Persoon) Höhnelt [<i>Valsa nivea</i> (Persoon) Fries, <i>Leucocytophora nivea</i> (Hoffmann) Tak. Kobayashi, <i>Cytospora nivea</i> (Hoffmann) Saccardo] 伊藤一雄:図説苗木病害診断法(後):296, 1959 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:127, 1970 (注) 文献誌名訂正	ギンドロ類 White poplar レウコストマ胴枯病 <i>Leucostoma-dogare-byo</i> Leucostoma canker <i>Leucostoma niveum</i> (Persoon) Höhnelt [<i>Valsa nivea</i> (Persoon) Fries, <i>Leucocytophora nivea</i> (Hoffmann) Tak. Kobayashi, <i>Cytospora nivea</i> (Hoffmann) Saccardo] 伊藤一雄:図説苗木病害診断法(後):296, 1959 ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 226:127, 1970
---	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar †フィロスチクタ斑点病 <i>Phyllosticta-hanten-byo</i> <i>Phyllosticta populea</i> Saccardo 伊藤一雄:林業技術 181:34, 1957 ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:409, 1928(昭3) [備考] 中国東北部 (注) 文献ページ、文献年訂正	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar †フィロスチクタ斑点病 <i>Phyllosticta-hanten-byo</i> <i>Phyllosticta populea</i> Saccardo 伊藤一雄:林業技術 181:32, 1959 ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:409, 1928(昭3) [備考] 中国東北部
--	---

ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp.	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp.
--	--

(広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold, Flower bud rot <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 荒井治喜:北陸病虫研報 39:111, 1991 ; 荒井治喜:日植病報 59(6):730, 1993 ; 荒井治喜:日植病報 62(1):87, 1996 ; 永島 進・塚本俊秀:日植病報 84(1):33, 2018 ; Nagashima, S. et al.:Ann. Rept. Kansai Pl. Prot. 63:81, 2021 [備考] 永島・塚本(2018), Nagashima et al.(2021) は, 花芽の腐敗症状の報告 (注) 病名英名追加、備考変更	(広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 荒井治喜:北陸病虫研報 39:111, 1991 ; 荒井治喜:日植病報 59(6):730, 1993 ; 荒井治喜:日植病報 62(1):87, 1996 ; 永島 進・塚本俊秀:日植病報 84(1):33, 2018 [備考] 永島・塚本(2018)は, 花芽の腐敗症状の報告
---	---

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih 疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih 疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan
---	---

[<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 伊阪実人ら:日植病報 43(3):325, 1977 ; 岡本 博・伊阪実人:福井短大紀要 8:25, 1983 (注) 文献巻数のカッコを削除	[<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 伊阪実人ら:日植病報 43(3):325, 1977 ; 岡本 博・伊阪実人:福井短大紀要 (8):25, 1983
--	---

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih †††† <i>Rehmannia mosaic virus</i> (ReMV) ジオウモザイクウイルス 小宮山修生ら:日植病報 87(3):173, 2021 [備考] アカヤジオウにアブラナモザイクウイルス(YoMV), タバコモザイクウイルス(TMV)との混合感染。無病徴感染 (注) 新宿主	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih
--	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fruit rot, Internal fruit rot	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fruit rot (1) <i>Fusarium lactis</i> Pirota
---	---

(1) <i>Fusarium lactis</i> Pirotta 関口博之ら:日植病報 80(1):50, 2014 ; Sekiguchi, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(5):326, 2021 [備考] ピーマンに発生 (2) <i>Fusicoccum aesculi</i> Corda 富岡啓介:近中四農研センター 研報 5:91, 2005 (3) <i>Phomopsis</i> sp. 富岡啓介:近中四農研センター 研報 5:91, 2005 [備考] ピーマン <i>C. annuum</i> L. var. <i>grossum</i> Sendtner に発生。富岡(2005)は病原(3)を <i>P. phomoides</i> (Saccardo) Arx としたが, 本学名は <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallr.) S. Hughes のシノニムのため, 現状 <i>Phomopsis</i> sp. とする (注) 文献・病名英名追加	関口博之ら:日植病報 80(1):50, 2014 (2) <i>Fusicoccum aesculi</i> Corda 富岡啓介:近中四農研センター 研報 5:91, 2005 (3) <i>Phomopsis</i> sp. 富岡啓介:近中四農研センター 研報 5:91, 2005 [備考] ピーマン <i>C. annuum</i> L. var. <i>grossum</i> Sendtner に発生。富岡(2005)は病原(3)を <i>P. phomoides</i> (Saccardo) Arx としたが, 本学名は <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallr.) S. Hughes のシノニムのため, 現状 <i>Phomopsis</i> sp. とする
--	---

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒色炭疽病, 黒斑性炭疽病, 鮭肉色炭疽病, 肉色炭疽病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (2) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 64(4):432, 1998 [備考] ピーマンに発生 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 正司和之ら:日植病報 80(4):235, 2014 ; Truong	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒色炭疽病, 黒斑性炭疽病, 鮭肉色炭疽病, 肉色炭疽病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (2) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 64(4):432, 1998 [備考] ピーマンに発生 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 正司和之ら:日植病報 80(4):235, 2014 ; Truong
---	---

H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] ピーマン, トウガラシに発生 (4) <i>Colletotrichum jiangxiense</i> F. Liu & L. Cai Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (5) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (6) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, <i>Glomerella piperata</i> (Ellis & Everhart) Spaulding & H. Schrenk, <i>Gloeosporium piperatum</i> Ellis & Everhart] 堀 正太郎:病虫雑 2(10):835, 1915(大4) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992 ; Bailey, J. A. & Jeger, M. J.:<i>Colletotrichum</i> Biology, Pathology and Control 19, 1992 (7) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 神頭武嗣ら:日植病報 76(3):157, 2010 ; 塚本俊秀ら:日植病報 76(3):200, 2010 ; 植松清次ら:関東病虫研報 57:136, 2010 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 ; Kanto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):73, 2014 ; Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] ピーマン, トウガラシに発生 (8) <i>Colletotrichum sojae</i> Damm & Alizadeh Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (9) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore	H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] ピーマン, トウガラシに発生 (4) <i>Colletotrichum jiangxiense</i> F. Liu & L. Cai Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (5) <i>Colletotrichum karsti</i> Y.L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (6) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, <i>Glomerella piperata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, <i>Gloeosporium piperatum</i> Ellis & Everhart] 堀 正太郎:病虫雑 2(10):835, 1915(大4) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:579, 1992 ; Bailey, J. A. & Jeger, M. J.:<i>Colletotrichum</i> Biology, Pathology and Control 19, 1992 (7) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 神頭武嗣ら:日植病報 76(3):157, 2010 ; 塚本俊秀ら:日植病報 76(3):200, 2010 ; 植松清次ら:関東病虫研報 57:136, 2010 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 ; Kanto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 80(1):73, 2014 ; Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] ピーマン, トウガラシに発生 (8) <i>Colletotrichum sojae</i> Damm & Alizadeh Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (9) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore
---	--

Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生 (注) (5)病原学名修正、(6)病原学名異名訂正	Truong H.H. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 85(3):226, 2019 [備考] トウガラシに発生
---	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 早野敬大ら:日植病報 86(3):191, 2020 ; 早野敬大ら:日植病報 87(2):80, 2021 [備考] ピーマンに発生 (注) 文献追加	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 早野敬大ら:日植病報 86(3):191, 2020 [備考] ピーマンに発生
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) すそ腐病 susogusare-byo Foot rot <i>Fusarium</i> sp. 中島 賢ら:日植病報 87(3):209, 2021 (注) 新病名	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜)
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄)	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄)
-----------------------------------	-----------------------------------

Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 葉腐病 hagusare-byo Leaf blight (1) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn Misawa, T. & Kuninaga, S.:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):310, 2010 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(6):457, 2020 [備考] 菌糸融合群 AG-3 TM。 Misawa, T. <i>et al.</i> (2020) は本病菌を<i>R. solani</i> AG-3 TMと同定し, Misawa & Kuninaga (2010)はトマト葉に対する病 原性を確認した (2) <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk 伊達寛敬ら:日植病報 50(3):399, 1984 ; 伊達寛敬 ら:近畿中国農研 76:12, 1988 [備考] 菌糸融合群AG-3 培養型IV (注) 病原追加、(2)備考追加・文献著者修正	Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 葉腐病 hagusare-byo <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk 伊達寛敬ら:日植病報 50(3):399, 1984 ; 伊達寛敬: 近畿中国農研 76:12, 1988
--	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 輪紋病 rimmon-byo Early blight (夏疫病, 褐斑病, 黒黴病) (1) <i>Alternaria linariae</i> (Neergaard) E.G. Simmons 森万菜実ら:日植病報 87(3):150, 2021 (2) <i>Alternaria solani</i> Sorauer [<i>Macrosporium solani</i> Ellis & G. Martin] 円城寺定男:病虫雑 17(12):798, 1930(昭5) (注) 病原追加	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 輪紋病 rimmon-byo Early blight (夏疫病, 褐斑病, 黒黴病) <i>Alternaria solani</i> Sorauer [<i>Macrosporium solani</i> Ellis & G. Martin] 円城寺定男:病虫雑 17(12):798, 1930(昭5)
--	--

ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic dwarf <i>Tobacco necrotic dwarf virus</i> (TNDV) タバコえそ萎縮ウイルス 久保 進ら:葉たばこ研究 73:49, 1976 ; 久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses No.234, 1981 (注) 文献誌名訂正	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) えそ萎縮病 eso-ishuku-byo Necrotic dwarf <i>Tobacco necrotic dwarf virus</i> (TNDV) タバコえそ萎縮ウイルス 久保 進ら:葉たばこ研究 73:49, 1976 ; 久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses No.234, 1981
---	---

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) すすかび病 susukabi-byo Leaf mold <i>Mycovellosiella nattrassii</i> Deighton 斉藤 正ら:日植病報 39(3):201, 1973 ; 佐藤 徹・松本省平:九病虫研会報 19:28, 1973 ; 斉藤 正ら:高知農林研報 61, 1974 ; Deighton, F. C.:Mycological papers 137:17, 1974 (注) 文献誌名訂正	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) すすかび病 susukabi-byo Leaf mold <i>Mycovellosiella nattrassii</i> Deighton 斉藤 正ら:日植病報 39(3):201, 1973 ; 佐藤 徹・松本省平:九病虫研会報 19:28, 1973 ; 斉藤 正ら:高知農林研報 61, 1974 ; Deighton, F. C.:Mycological paper 137:17, 1974
--	---

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物)	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物)
--	--

陥没病* kambotsu-byo Pit rot <i>Fusarium graminearum</i> s.str. 中山尊登ら:日植病報 87(3):208, 2021 (注) 新病名	
---	--

スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) 枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo Sclerotial dieback disease (菌核病) <i>Sclerotium</i> sp. 澤田兼吉:林試研報 45:48, 1950 ; 佐藤邦彦:森林防疫ニュース 8:37, 1952 ; 窪野高德・市原 優:日林誌 86(2):164, 2004 [備考] 窪野・市原(2004)は褐点枝枯病菌と枝枯菌核病菌が同一である可能性を指摘している (注) 文献順変更	スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹) 枝枯菌核病 edagare-kinkaku-byo Sclerotial dieback disease (菌核病) <i>Sclerotium</i> sp. 佐藤邦彦:森林防疫ニュース 8:37, 1952 ; 澤田兼吉:林試研報 45:48, 1950 ; 窪野高德・市原 優:日林誌 86(2):164, 2004 [備考] 窪野・市原(2004)は褐点枝枯病菌と枝枯菌核病菌が同一である可能性を指摘している
--	---

ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) <i>Camellia</i> <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease (灰色葉枯病, 葉枯病) <i>Pestalotiopsis guepinii</i> (Desmazières) Steyaert [<i>Pestalotia guepinii</i> Desmazières] 鈴木誠一:病虫雑 3(5):362, 1916(大5) ; 伊藤一雄ら:林試研報 70:103, 1954 ; 小林享夫・勝本 謙:植	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) <i>Camellia</i> <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease (灰色葉枯病, 葉枯病) <i>Pestalotiopsis guepinii</i> (Desmazières) Steyaert [<i>Pestalotia guepinii</i> Desmazières] 伊藤一雄ら:林試研報 70:103, 1976 ; 鈴木誠一:病虫雑 3(5):362, 1916(大5) ; 小林享夫・勝本 謙:植
--	--

物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992 (注) 文献順変更、文献年訂正	物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992
---	----------------------------------

ニレ科 Ulmaceae ニレ類(榆) (Ulmus) <i>Ulmus</i> spp. (広葉樹) ハルニレ(春榆) <i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehd.) Nakai オヒョウ <i>Ulmus laciniata</i> (Trautv.) Mayr アキニレ(秋榆) <i>Ulmus parvifolia</i> Jacq. †うどんこ病* udonko-byo <i>Uncinula kenjiana</i> Homma [<i>Uncinula clandestina</i> sensu Miura] Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):172, 1930(昭5) [備考] 中国東北部。ノニレ (注) 文献ページ訂正	ニレ科 Ulmaceae ニレ類(榆) (Ulmus) <i>Ulmus</i> spp. (広葉樹) ハルニレ(春榆) <i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehd.) Nakai オヒョウ <i>Ulmus laciniata</i> (Trautv.) Mayr アキニレ(秋榆) <i>Ulmus parvifolia</i> Jacq. †うどんこ病* udonko-byo <i>Uncinula kenjiana</i> Homma [<i>Uncinula clandestina</i> sensu Miura] Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):1172, 1930(昭5) [備考] 中国東北部。ノニレ
---	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† (1) <i>Grapevine leafroll-associated virus 3</i> (GLRaV) ブドウ葉巻随伴ウイルス3 (2) <i>Grapevine rupestris stem pitting-associated</i>	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
--	--

<i>virus</i> (GRSPaV) ブドウステムピッチング随 伴ウイルス (3) <i>Grapevine virus B</i> (GVB) ブドウBウイルス 千秋祐也・伊藤隆男:日植病報 87(3):171, 2021 [備考] 遺伝子解析による検出。戻し接種なし (注) 新宿主	
---	--

2022 年（令和 4 年）8 月 1 日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2022年2月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名, 病原追加, 病名・学名変更, 文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤 衛

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

リュウゼツラン科 Agavaceae センネンボク(コルジリーネ) Common dracaena <i>Cordyline terminalis</i> Kunth (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(1):21, 1989 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	リュウゼツラン科 Agavaceae センネンボク(コルジリーネ) Common dracaena <i>Cordyline terminalis</i> Kunth (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(1):21, 1989
リュウゼツラン科 Agavaceae ドラセナ Dracaena <i>Dracaena</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(1):21, 1989	リュウゼツラン科 Agavaceae ドラセナ Dracaena <i>Dracaena</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(1):21, 1989

(注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	
-------------------------------	--

ウルシ科 Anacardiaceae カシュー Cashew, Cashew-nut <i>Anacardium occidentale</i> L. (特用作物) ††炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:55, 1977 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ウルシ科 Anacardiaceae カシュー Cashew, Cashew-nut <i>Anacardium occidentale</i> L. (特用作物) ††炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:55, 1977
---	---

ウルシ科 Anacardiaceae ハグマノキ(スモークツリー) Smoke tree <i>Cotinus coggygia</i> Scop. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅原 敬ら:日植病報 74(1):51, 2008 ; 菅原 敬ら:日植病報 75(2):119, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:13, 2010 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 奈尾雅浩:四国植防 39:1, 2004 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	ウルシ科 Anacardiaceae ハグマノキ(スモークツリー) Smoke tree <i>Cotinus coggygia</i> Scop. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅原 敬ら:日植病報 74(1):51, 2008 ; 菅原 敬ら:日植病報 75(2):119, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 奈尾雅浩:四国植防 39:1, 2004
--	---

ウルシ科 Anacardiaceae ハグマノキ(スモークツリー) Smoke tree <i>Cotinus coggygria</i> Scop. (広葉樹) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 59:82, 2008 ; 菅原 敬: 山形農業特研報 2:14, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	ウルシ科 Anacardiaceae ハグマノキ(スモークツリー) Smoke tree <i>Cotinus coggygria</i> Scop. (広葉樹) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 59:82, 2008 ; 菅原 敬: 山形農試特別研報 2, 2010
---	--

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i>	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i>
--	--

J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤峠哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した (6) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤峠哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (8) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病	J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤峠哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した (6) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤峠哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (8) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 澤峠哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤峠哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病
---	---

報 83(1):81, 2017 (9) <i>Colletotrichum</i> sp. (Clade Q) 澤峠哲也ら:日植病報 87(3):150, 2021 (注) (1)(2)(4)(5)(7)(8)病原学名異名修正(Index Fungorumによる)	報 83(1):81, 2017 (9) <i>Colletotrichum</i> sp. (Clade Q) 澤峠哲也ら:日植病報 87(3):150, 2021
--	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 安次富 厚ら:日植病報 88(1):62, 2022 (注) 新病名	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹)
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 疫病 eki-byo Phytophthora rot (1) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 55(4):494, 1989 (2) <i>Phytophthora primulae</i> J.A. Tomlinson 小野 剛ら:関東病虫研報 63:123, 2016 (3) <i>Phytophthora</i> sp. [<i>Phytophthora</i> taxon parsley] 坂本 彩ら:日植病報 86(3):165, 2020 ; 坂本 彩ら: 日植病報 87(4):231, 2021 [備考] hybrid type 1	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 疫病 eki-byo (1) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse] 堀江博道・飯嶋 勉:日植病報 55(4):494, 1989 (2) <i>Phytophthora primulae</i> J.A. Tomlinson 小野 剛ら:関東病虫研報 63:123, 2016 (3) <i>Phytophthora</i> taxon parsley 坂本 彩ら:日植病報 86(3):165, 2020
--	---

(注) 病原学名変更、備考追加、病名英名追加	
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada 佐藤豊三ら:日植病報 88(1):79, 2022 (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物)
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> Nym. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 森 充隆ら:四国植防 30:85, 1995 (2) <i>Pythium mastophorum</i> Drechsler 楠 幹生ら:日植病報 88(1):63, 2022 (注) 病原追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> Nym. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 森 充隆ら:四国植防 30:85, 1995
キョウチクトウ科 Apocynaceae キョウチクトウ(来竹桃) Sweet-scented oleander <i>Nerium indicum</i> Mill. (広葉樹)	キョウチクトウ科 Apocynaceae キョウチクトウ(来竹桃) Sweet-scented oleander <i>Nerium indicum</i> Mill. (広葉樹)

炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, <i>Gloeosporium oleandri</i> Saccardo] Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):269, 1976 ; 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):177, 1959 ; 安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:136, 1973 (注) 病原学名異名修正(Index Fungorumによる)	炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk, <i>Gloeosporium oleandri</i> Saccardo] Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):269, 1976 ; 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):177, 1959 ; 安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:136, 1973
--	--

サトイモ科 Araceae ディーフェンバキア Tuftroot <i>Dieffenbachia maculata</i> G. Don (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 28:49, 1986 ; 手塚信夫・森田 壽:関東病虫研報 33:159, 1986 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	サトイモ科 Araceae ディーフェンバキア Tuftroot <i>Dieffenbachia maculata</i> G. Don (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 28:49, 1986 ; 手塚信夫・森田 壽:関東病虫研報 33:159, 1986
---	---

サトイモ科 Araceae モンステラ (Monstera) <i>Monstera</i> spp. (草花) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia paullula</i> Sydow & P. Sydow	サトイモ科 Araceae モンステラ (Monstera) <i>Monstera</i> spp. (草花)
---	---

坂本 彩ら:日植病報 88(1):41, 2022 (注) 新病名	
--	--

サトイモ科 Araceae ポトス Solomon Islands ivy arum <i>Pothos</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 手塚信夫ら:関東病虫研報 36:117, 1989 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	サトイモ科 Araceae ポトス Solomon Islands ivy arum <i>Pothos</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 手塚信夫ら:関東病虫研報 36:117, 1989
---	---

ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 鍵渡徳次・小菅喜久弥:関東病虫研報 34:91, 1987 [備考] 完全世代 <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenkはタラノキでは未記録 (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 鍵渡徳次・小菅喜久弥:関東病虫研報 34:91, 1987 [備考] 完全世代 <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenkはタラノキでは未記録
--	---

ウコギ科 Araliaceae	ウコギ科 Araliaceae
-----------------	-----------------

ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 小河誠司:日林九支研論集 45:125, 1992 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Gloeosporium yatsude</i> Fukui 福井武治:新植物病原菌報告:3, 1933(昭8) [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (注) (1)病原学名修正(Index Fungorumによる)	ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 小河誠司:日林九支研論集 45:125, 1992 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Gloeosporium yatsude</i> Fukui 福井武治:新植物病原菌報告:3, 1933(昭8) [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する
---	--

ヤシ科 Arecaceae, Palmae シュロ(棕櫚) Chinese coir <i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H. Wendl. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 伊藤一雄:樹病学大系 2:70, 1973 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ヤシ科 Arecaceae, Palmae シュロ(棕櫚) Chinese coir <i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H. Wendl. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 伊藤一雄:樹病学大系 2:70, 1973
--	--

ガガイモ科 Asclepiadaceae サクララン(桜蘭) Wax plant <i>Hoya carnosa</i> (L.f.) R.Br. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose	ガガイモ科 Asclepiadaceae サクララン(桜蘭) Wax plant <i>Hoya carnosa</i> (L.f.) R.Br. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose
--	--

(1) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium hoyae</i> Sydow & P. Sydow] 中村重正:日植病報 34(5):349, 1968 ; 中村重正:農学集報 16(3-4):173, 1972 (2) <i>Gloeosporium</i> sp. 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:115, 1939 (昭14) [備考] 中村重正 (日植病報 34(5):349, 1968, 農学集報 16(3-4):173, 1972) はサクラランから得た菌の完全世代を <i>Glomerella cingulata</i>, 不完全世代を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (<i>Gloeosporium hoyae</i>) と同定した。ただし、瀧元が報告した菌との異同は明らかでない。瀧元 (1939) と中村 (1968, 1972) が報告した菌は同一種である可能性がある。瀧元 (1939) は解説書につき詳細不明 (注) (1)病原学名修正(Index Fungorumによる)	(1) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium hoyae</i> Sydow & P. Sydow] 中村重正:日植病報 34(5):349, 1968 ; 中村重正:農学集報 16(3-4):173, 1972 (2) <i>Gloeosporium</i> sp. 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:115, 1939 (昭14) [備考] 中村重正 (日植病報 34(5):349, 1968, 農学集報 16(3-4):173, 1972) はサクラランから得た菌の完全世代を <i>Glomerella cingulata</i>, 不完全世代を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (<i>Gloeosporium hoyae</i>) と同定した。ただし、瀧元が報告した菌との異同は明らかでない。瀧元 (1939) と中村 (1968, 1972) が報告した菌は同一種である可能性がある。瀧元 (1939) は解説書につき詳細不明
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Alternaria leaf spot <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler 菅原 敬:山形農業特研報 2:25, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Alternaria leaf spot <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物)	キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物)
---	---

円星病 maruhoshi-byo <i>Stemphylium</i> sp. 菅原 敬:山形農業特研報 2:26, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	円星病 maruhoshi-byo <i>Stemphylium</i> sp. 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 51:119, 2000 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:27, 2010 [備考] キバナコスモスに発生 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 51:119, 2000 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 [備考] キバナコスモスに発生
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ルリタマアザミ Small globe thistle, Blue ball, Steel globe thistle <i>Echinops ritro</i> L. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia</i> sp. 菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:28, 2010 [備考] rDNA ITS領域による系統解析では<i>S. minor</i>	キク科 Asteraceae, Compositae ルリタマアザミ Small globe thistle, Blue ball, Steel globe thistle <i>Echinops ritro</i> L. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia</i> sp. 菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 [備考] rDNA ITS領域による系統解析では<i>S. minor</i>
--	--

とは異なるが, <i>S. minor</i> による茎腐小粒菌核病と比較検討を要する (注) 文献名訂正、文献ページ追加	とは異なるが, <i>S. minor</i> による茎腐小粒菌核病と比較検討を要する
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ルリタマアザミ Small globe thistle, Blue ball, Steel globe thistle <i>Echinops ritro</i> L. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:29, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	キク科 Asteraceae, Compositae ルリタマアザミ Small globe thistle, Blue ball, Steel globe thistle <i>Echinops ritro</i> L. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ルリタマアザミ Small globe thistle, Blue ball, Steel globe thistle <i>Echinops ritro</i> L. (草花) 葉腐病 hagusare-byo Leaf rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:30, 2010 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB。AG-2-1による立枯病との比較検討を要する (注) 文献名訂正、文献ページ追加	キク科 Asteraceae, Compositae ルリタマアザミ Small globe thistle, Blue ball, Steel globe thistle <i>Echinops ritro</i> L. (草花) 葉腐病 hagusare-byo Leaf rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 菅原 敬ら:北日本病虫研報 60:112, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB。AG-2-1による立枯病との比較検討を要する
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae スイゼンジナ(キンジソウ)	キク科 Asteraceae, Compositae スイゼンジナ(キンジソウ)
---	---

Gynura <i>Gynura bicolor</i> (Roxb. ex Willd.) DC. (野菜) すす斑病 susuhan-byo Sooty blotch <i>Zasmidium gynurae</i> (Sawada & Katsuki) W.H. Hsieh, Y.L. Guo & F.Y. Zhai 會澤雅夫ら:日植病報 87(1):28, 2021 ; 曾澤雅夫ら:日植病報 88(1):31, 2022 (注) 病原同定	Gynura <i>Gynura bicolor</i> (Roxb. ex Willd.) DC. (野菜) すす斑病 susuhan-byo Sooty blotch <i>Zasmidium</i> sp. 會澤雅夫ら:日植病報 87(1):28, 2021
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae リュウゼツサイ(竜舌菜, 劍菜) (Lactuca) <i>Lactuca indica</i> L. var. <i>dracoglossa</i> Kitamura (牧草・芝草) うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 (2) <i>Sphaerotheca intermedia</i> U. Braun [<i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill, <i>Sphaerotheca humuli</i> non (de Candolle) Burrill sensu Homma-pro parte] 本間ヤス:北大農紀 38(3):296, 1937(昭 12) (注) (1)病原学名訂正	キク科 Asteraceae, Compositae リュウゼツサイ(竜舌菜, 劍菜) (Lactuca) <i>Lactuca indica</i> L. var. <i>dracoglossa</i> Kitamura (牧草・芝草) うどんこ病* udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 平田幸治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 (2) <i>Sphaerotheca intermedia</i> U. Braun [<i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill, <i>Sphaerotheca humuli</i> non (de Candolle) Burrill sensu Homma-pro parte] 本間ヤス:北大農紀 38(3):296, 1937(昭 12)
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜)	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜)
--	--

結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) コルキールート病 <i>corky root-byo</i> Corky root <i>Rhizorhapis suberifaciens</i> (van Bruggen, Jochimsen & Brown 1990) Francis, Jochimsen, De Vos & van Bruggen 2014 石山佳幸ら:日植病報 86(3):232, 2020 ; <i>Ishiyama, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 88(2):150, 2022</i> (注) 文献追加、病名読み修正	結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) コルキールート病 <i>Corky root-byo</i> Corky root <i>Rhizorhapis suberifaciens</i> (van Bruggen, Jochimsen & Brown 1990) Francis, Jochimsen, De Vos & van Bruggen 2014 石山佳幸ら:日植病報 86(3):232, 2020
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae ロイカンセマム・パルドサム(園芸品種; ノースポール) Swamp chrysanthemum <i>Leucanthemum paludosum</i> (Poir.) Bonnet & Barratte [<i>Chrysanthemum paludosum</i> Poir.] (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 51:119, 2000 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:31, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	キク科 Asteraceae, Compositae ロイカンセマム・パルドサム(園芸品種; ノースポール) Swamp chrysanthemum <i>Leucanthemum paludosum</i> (Poir.) Bonnet & Barratte [<i>Chrysanthemum paludosum</i> Poir.] (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 51:119, 2000 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae メランポジウム Gold medallion flower	キク科 Asteraceae, Compositae メランポジウム Gold medallion flower
---	---

<i>Melampodium paludosum</i> L. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 59:82, 2008 ; 菅原 敬: 山形農業特研報 2:31, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	<i>Melampodium paludosum</i> L. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 59:82, 2008 ; 菅原 敬: 山形農試特別研報 2, 2010
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae オステオスペルマム Blue and white daisybush, Freeway daisy <i>Osteospermum ecklonis</i> (de Candolle) Norlindh [<i>Osteospermum</i> × <i>hybridum</i>] (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 菅原 敬ら:日植病報 72(1):54, 2006 ; 菅原 敬:山 形農業特研報 2:32, 2010 [備考] <i>Osteospermum</i> × <i>hybridum</i> に発生 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	キク科 Asteraceae, Compositae オステオスペルマム Blue and white daisybush, Freeway daisy <i>Osteospermum ecklonis</i> (de Candolle) Norlindh [<i>Osteospermum</i> × <i>hybridum</i>] (草花) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 菅原 敬ら:日植病報 72(1):54, 2006 ; 菅原 敬:山 形農試特別研報 2, 2010 [備考] <i>Osteospermum</i> × <i>hybridum</i> に発生
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae オステオスペルマム Blue and white daisybush, Freeway daisy <i>Osteospermum ecklonis</i> (de Candolle) Norlindh [<i>Osteospermum</i> × <i>hybridum</i>] (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 51:119, 2000 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:32, 2010	キク科 Asteraceae, Compositae オステオスペルマム Blue and white daisybush, Freeway daisy <i>Osteospermum ecklonis</i> (de Candolle) Norlindh [<i>Osteospermum</i> × <i>hybridum</i>] (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 51:119, 2000 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	--

[備考] <i>O. hybridum</i> に発生 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	[備考] <i>O. hybridum</i> に発生
---	------------------------------------

キク科 Asteraceae, Compositae キオン類 (Senecio) <i>Senecio</i> spp. (野草) ハンゴンソウ <i>S. cannabifolius</i> Less. キオン <i>S. nemorensis</i> L. サワオグルマ <i>S. pierotii</i> Miq. エゾオグルマ <i>S. pseudoarnica</i> Less. ノボロギク <i>S. vulgaris</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Golovinomyces ambrosiae</i> (Schweinitz) U. Braun & R.T.A. Cook [<i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle var. <i>cichoracearum</i>] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:178, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:32, 2012 [備考] ハンゴンソウに発生 (2) <i>Oidium</i> sp. 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:41, 1997 [備考] サワオグルマ, ノボロギクに発生 (3) <i>Podosphaera senecionis</i> U. Braun [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:22, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012 [備考] キオンに発生 (注) (3)病原学名異名のemendの後にピリオド挿入	キク科 Asteraceae, Compositae キオン類 (Senecio) <i>Senecio</i> spp. (野草) ハンゴンソウ <i>S. cannabifolius</i> Less. キオン <i>S. nemorensis</i> L. サワオグルマ <i>S. pierotii</i> Miq. エゾオグルマ <i>S. pseudoarnica</i> Less. ノボロギク <i>S. vulgaris</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Golovinomyces ambrosiae</i> (Schweinitz) U. Braun & R.T.A. Cook [<i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle var. <i>cichoracearum</i>] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:178, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:32, 2012 [備考] ハンゴンソウに発生 (2) <i>Oidium</i> sp. 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:41, 1997 [備考] サワオグルマ, ノボロギクに発生 (3) <i>Podosphaera senecionis</i> U. Braun [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend U. Braun] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:22, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:20, 2012 [備考] キオンに発生
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae チトニア(メキシコヒマワリ) Mexican sunflower <i>Tithonia rotundifolia</i> (Mill.) S. F. Blake (草花) 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot	キク科 Asteraceae, Compositae チトニア(メキシコヒマワリ) Mexican sunflower <i>Tithonia rotundifolia</i> (Mill.) S. F. Blake (草花) 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot
---	---

<i>Alternaria</i> sp. 菅原 敬:山形農業特研報 2:34, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	<i>Alternaria</i> sp. 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア Begonia <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>B. evansiana</i> Andrews うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe begoniicola</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Pseudoidium macrosporum</i> (A.A. Mendonça & de Sequeira) U. Braun & R.T.A. Cook, <i>Oidium begoniae</i> Puttemans var. <i>macrosporum</i> de A.A. Mendonça & de Sequeira] 野村幸彦ら:東京農大農学集報 21(1):36, 1976 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997 ; 高松進:三重大生資紀要 38:52, 2012 [備考] シュウカイドウに発生 (注) 病原学名訂正	シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア Begonia <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>B. evansiana</i> Andrews うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe begoniicola</i> U. Braun & S. Takamatsu [<i>Pseudoidium macrosporum</i> (A.A. Mendonça & de Sequeir) U. Braun & R.T.A. Cook, <i>Oidium begoniae</i> Puttemans var. <i>macrosporum</i> de A.A. Mendonça & de Sequeira] 野村幸彦ら:東京農大農学集報 21(1):36, 1976 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 42(3):173, 1997 ; 高松進:三重大生資紀要 38:52, 2012 [備考] シュウカイドウに発生
--	---

シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア Begonia <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>Begonia evansiana</i> Andrews 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary	シュウカイドウ科 Begoniaceae ベゴニア Begonia <i>Begonia</i> spp. (草花) シュウカイドウ Hardy begonia <i>Begonia evansiana</i> Andrews 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary
--	--

菅原 敬ら:日植病報 72(1):54, 2006 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:10, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	菅原 敬ら:日植病報 72(1):54, 2006 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

メギ科 Berberidaceae メギ(目木) Japanese barberry <i>Berberis thunbergii</i> DC. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo (白渋病) (1) <i>Erysiphe berberidicola</i> (F.L. Tai) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera berberidicola</i> F.L. Tai, <i>Microsphaera alni</i> var. <i>divaricata</i> Salmon] 野村幸彦・丹田誠之助:東農大農学集報 24(2):155, 1979 ; Braun, U.:Mycotaxon 18(1):115, 1983 ; 高松進:三重大生資紀要 38:52, 2012 (2) <i>Erysiphe berberidis</i> de Candolle var. <i>asiatica</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera berberidis</i> (de Candolle) Léveillé var. <i>asiatica</i> U. Braun, <i>Microsphaera berberidis</i> sensu Sawada in Homma] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:315, 1933(昭8) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):216, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:52, 2012 [備考] オオバメギ (<i>B. tschonoskyana</i>)・トウメギ・ヘビノボラズ (<i>B. sieboldii</i>)・ヒロハノヘビノボラズ・マルバヘビノボラズ (<i>B. amurensis</i> f. <i>brevifolia</i>)・オオトリトマラズにも発生 (3) <i>Erysiphe multappendicis</i> (Z.Y. Zhao & Y.N. Yu) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera multappendicis</i> Z.Y. Zhao & Y.N. Yu] Braun, U.:Mycotaxon 18(1):115, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):269, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012	メギ科 Berberidaceae メギ(目木) Japanese barberry <i>Berberis thunbergii</i> DC. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo (白渋病) (1) <i>Erysiphe berberidicola</i> (F.L. Tai) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera berberidicola</i> F.L. Tai, <i>Microsphaera alni</i> var. <i>divaricata</i> Salmon] 野村幸彦・丹田誠之助:東農大農学集報 24(2):155, 1979 ; Braun, U.:Mycotaxon 18(1):115, 1983 ; 高松進:三重大生資紀要 38:52, 2012 (2) <i>Erysiphe berberidis</i> de Candolle var. <i>asiatica</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera berberidis</i> (de Candolle) Léveillé var. <i>asiatica</i> U. Braun, <i>Microsphaera berberidis</i> sensu Sawada in Homma] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:315, 1933(昭8) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):216, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:52, 2012 [備考] オオバメギ (<i>B. tschonoskyana</i>)・トウメギ・ヘビノボラズ (<i>B. sieboldii</i>)・ヒロハノヘビノボラズ・マルバヘビノボラズ (<i>B. amurensis</i> f. <i>brevifolia</i>)・オオトリトマラズにも発生 (3) <i>Erysiphe multiappendicis</i> (Z.Y. Zhao & Y.N. Yu) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera multiappendicis</i> Z.Y. Zhao & Y.N. Yu] Braun, U.:Mycotaxon 18(1):115, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):269, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012
---	---

[備考] ヒロハノヘビノボラズに発生 (注) (3)病原学名および病原学名異名訂正	[備考] ヒロハノヘビノボラズに発生
--	--------------------

メギ科 Berberidaceae ホソバヒイラギナンテン Chinese mahonia <i>Mahonia fortunei</i> (Lindl.) Fedde (広葉樹) ヒイラギナンテン <i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium japonicum</i> Hemmi] Hemmi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(3):13, 1920(大9) ; 小林享夫・河辺祐嗣:日植病報 46(1):110, 1980 [備考] ヒイラギナンテン (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	メギ科 Berberidaceae ホソバヒイラギナンテン Chinese mahonia <i>Mahonia fortunei</i> (Lindl.) Fedde (広葉樹) ヒイラギナンテン <i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium japonicum</i> Hemmi] Hemmi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(3):13, 1920(大9) ; 小林享夫・河辺祐嗣:日植病報 46(1):110, 1980 [備考] ヒイラギナンテン
--	--

カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシヤブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシヤブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier	カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシヤブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシヤブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier
--	--

オオバヤシャブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe amanoi</i> (Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula amanoi</i> Y. Nomura, <i>Erysiphe aquilegiae</i> de Candolle, <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle, <i>Ischnochaeta pisi</i> (de Candolle) Sawada] (粉病) Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):330, 1937(昭12) ; 澤田兼吉:林試研報 50:114, 1951 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:78, 1977 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:69, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 [備考] ヒメヤシャブシに発生 (2) <i>Erysiphe miyabei</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula miyabei</i> (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow, <i>Uncinula salicis</i> var. <i>miyabei</i> E.S. Salmon] 原 攝祐:実験樹木病害編:199, 1927(昭2) ; 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明34) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):249, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・エゾハンノキ・ケヤマハンノキ・ミヤマカワラハンノキ・カワラハンノキ・サクラバハンノキ・コバノヤマハンノキ・ヤシャブシ・ヒメヤシャブシ・オオバヤシャブシに発生 (3) <i>Erysiphe penicillata</i> (Wallroth) Fries [<i>Microsphaera penicillata</i> (Wakkrit) Léveillé, <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon in Homma-pro parte] 安田 篤:植物学各論隠花部:1089, 1911(明44) ; 出田 新:実用植物病理学:162, 1901(明34) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):222, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・ケヤマハンノキに発生	オオバヤシャブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe amanoi</i> (Y. Nomura) U. Breun & S. Takamatsu [<i>Uncinula amanoi</i> Y. Nomura, <i>Erysiphe aquilegiae</i> de Candolle, <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle, <i>Ischnochaeta pisi</i> (de Candolle) Sawada] (粉病) Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):330, 1937(昭12) ; 澤田兼吉:林試研報 50:114, 1951 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:78, 1977 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:69, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 [備考] ヒメヤシャブシに発生 (2) <i>Erysiphe miyabei</i> (E.S. Salmon) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula miyabei</i> (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow, <i>Uncinula salicis</i> var. <i>miyabei</i> E.S. Salmon] 原 攝祐:実験樹木病害編:199, 1927(昭2) ; 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明34) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):249, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・エゾハンノキ・ケヤマハンノキ・ミヤマカワラハンノキ・カワラハンノキ・サクラバハンノキ・コバノヤマハンノキ・ヤシャブシ・ヒメヤシャブシ・オオバヤシャブシに発生 (3) <i>Erysiphe penicillata</i> (Wallroth) Fries [<i>Microsphaera penicillata</i> (Wakkrit) Léveillé, <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon in Homma-pro parte] 安田 篤:植物学各論隠花部:1089, 1911(明44) ; 出田 新:実用植物病理学:162, 1901(明34) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):222, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:57, 2012 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・ケヤマハンノキに発生
--	--

(4) <i>Phyllactinia alni</i> Y.N. Yu & S.J. Han 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:236, 1997 [備考] ミヤマカワラハンノキ・ヤシャブシ・ケヤマハンノキ・タニガワハンノキ・ハンノキ・エゾハンノキ・ヒロハケヤマハンノキ・ヤハズハンノキ・ミヤマハンノキ・カワラハンノキ・オオバヤシャブシ・サクラバハンノキに発生 (5) <i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma (白渋病, 裏白渋病) Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:409, 1937(昭12); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・コバノヤマハンノキ・ミヤマカワラハンノキ・ケヤマハンノキ・ヒロハケヤマハンノキ・エゾハンノキ・サクラバハンノキ (<i>A. trabeculosa</i>)・ヒメヤシャブシ・オオバヤシャブシ・ミヤマハンノキ・カワラハンノキに発生 (6) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Léveillé [<i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten sensu Homma, <i>Phyllactinia suffulta</i> (Rebentisch) Saccardo] (白渋病, 裏白渋病) 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:371, 1910(明43); 白井光太郎:植物病理学(下):191, 1900(明33); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・タイワンハンノキ・エゾハンノキ・ケヤマハンノキ・カワラハンノキに発生 (7) <i>Uncinula miyabei</i> (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow var. <i>hermaphroditica</i> Tanda & Y. Nomura Tanda, S. & Nomura, Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):122, 1994 [備考] ヒメヤシャブシに発生 (注) (1)病原学名訂正	(4) <i>Phyllactinia alni</i> Y.N. Yu & S.J. Han 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:236, 1997 [備考] ミヤマカワラハンノキ・ヤシャブシ・ケヤマハンノキ・タニガワハンノキ・ハンノキ・エゾハンノキ・ヒロハケヤマハンノキ・ヤハズハンノキ・ミヤマハンノキ・カワラハンノキ・オオバヤシャブシ・サクラバハンノキに発生 (5) <i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma (白渋病, 裏白渋病) Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:409, 1937(昭12); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・コバノヤマハンノキ・ミヤマカワラハンノキ・ケヤマハンノキ・ヒロハケヤマハンノキ・エゾハンノキ・サクラバハンノキ (<i>A. trabeculosa</i>)・ヒメヤシャブシ・オオバヤシャブシ・ミヤマハンノキ・カワラハンノキに発生 (6) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Léveillé [<i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten sensu Homma, <i>Phyllactinia suffulta</i> (Rebentisch) Saccardo] (白渋病, 裏白渋病) 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:371, 1910(明43); 白井光太郎:植物病理学(下):191, 1900(明33); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):260, 1988 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・タイワンハンノキ・エゾハンノキ・ケヤマハンノキ・カワラハンノキに発生 (7) <i>Uncinula miyabei</i> (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow var. <i>hermaphroditica</i> Tanda & Y. Nomura Tanda, S. & Nomura, Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):122, 1994 [備考] ヒメヤシャブシに発生
---	--

イグチ科 Boletaceae コシウイグチ Peppery bolete <i>Chalciporus piperatus</i> (Bull.) Bataille (きのこ) †††† <i>Sepedonium chalcipori</i> Helfer 常盤俊之ら:日菌報 62(2):113, 2021 (注) 新宿主、新規宿主、新規科名	
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ワサビ(山葵) Wasabi <i>Eutrema japonicum</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot (茎腐病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 横木国臣:病虫雑 19(11):814, 1932(昭7) ; 野津六兵衛・横木国臣:農及園 17(11):1435, 1942 [備考] 森 万菜実ら(北日本病虫研報 72:19, 2021)は、茎腐病から本病名への変更を提案した (注) 病名変更。さらに、茎腐病を株腐病と苗立枯病に分けた。文献・備考変更 ----- 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 鈴木春夫:植物防疫 30:374, 1976 ; 竹内 純ら:関東病虫研報 55:39, 2008 ; 森 万菜実ら:北日本病虫研報 72:19, 2021 [備考] 竹内ら(2008)の病原は菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA。森ら(2021)の病原は菌糸融合群 AG-2-1 Subset 2 および AG-2-1 clade HK	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ワサビ(山葵) Wasabi <i>Wasabia japonica</i> (Miq.) Koidz. (野菜) 茎腐病 kukigusare-byo Stem rot (株腐病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 横木国臣:病虫雑 19(11):814, 1932(昭7) ; 竹内 純ら:関東病虫研報 55:39, 2008 [備考] 本病菌によって苗立枯れをおこすことがある (鈴木春夫:植物防疫 30(9):374, 1976)。菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA
---	---

(注) 新病名。茎腐病を株腐病と苗立枯病に分けた。備考変更、文献追加	
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 黒すす病 kurosusu-byo Alternaria sooty spot (1) <i>Alternaria brassicae</i> (Berkeley) Saccardo 森 万菜実・西脇由恵:日植病報 88(1):71, 2022 (2) <i>Alternaria brassicicola</i> (Schweinitz) Wiltshire 漆原寿彦・酒井 宏:日植病報 72(1):52, 2006 (注) 病原追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 黒すす病 kurosusu-byo Alternaria sooty spot <i>Alternaria brassicicola</i> (Schweinitz) Wiltshire 漆原寿彦・酒井 宏:日植病報 72(1):52, 2006
アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium megalacanthum</i> de Bary 楠 幹生・窪田昌春:日植病報 82(1):55, 2016 ; 窪田昌春・楠 幹生:関東病虫研報 64:35, 2017 (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 39:33, 1997 ; 窪田昌春ら:関西病虫研報 51:27, 2009 ; 窪田昌春ら:日植病報 75(3):238, 2009 ; 山内智史ら:北日本病虫研報 60:105, 2009 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 64:60, 2013 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(6):387, 2018 ; 森 万菜実:北日本病虫研報 72:25, 2021 [備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB。窪田ら	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ブロッコリー Broccoli <i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium megalacanthum</i> de Bary 楠 幹生・窪田昌春:日植病報 82(1):55, 2016 ; 窪田昌春・楠 幹生:関東病虫研報 64:35, 2017 (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 39:33, 1997 ; 窪田昌春ら:関西病虫研報 51:27, 2009 ; 窪田昌春ら:日植病報 75(3):238, 2009 ; 山内智史ら:北日本病虫研報 60:105, 2009 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 64:60, 2013 [備考] 菌糸融合群 AG-2-2 培養型 IIIB。窪田ら(2009)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IC。山内ら(2009)の病原は菌糸融合群 AG-4, 亜群HG-

(2009)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IC。山内ら(2009)の病原は菌糸融合群 AG-4, 亜群HG-I。三澤ら(2013)と Misawa <i>et al.</i>(2018)の病原は菌糸融合群 AG-2-1 Subset 1および2。森(2021)の病原は菌糸融合群 AG-2-1 Subset 1 および AG-2-2 IV (注) 病原追加、備考変更	I。三澤ら(2013)の病原は菌糸融合群 AG-2-1
---	------------------------------------

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica) <i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard <i>Brassica rapa</i> L. ハクラン <i>Brassica × napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group †††† <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス Hnin, A.T. <i>et al.</i>: 日植病報 88(1):73, 2022 [備考] ヒロシマナに発生 (注) 新宿主	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica) <i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard <i>Brassica rapa</i> L. ハクラン <i>Brassica × napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group
---	--

キキョウ科 Campanulaceae イソトマ Rock isotoma <i>Laurentia axillaris</i> (Lindley) Wimmer (草花)	キキョウ科 Campanulaceae イソトマ Rock isotoma <i>Laurentia axillaris</i> (Lindley) Wimmer (草花)
---	---

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2, 2010 (2) <i>Colletotrichum lineola</i> Corda 菅原 敬:山形農業特研報 2:19, 2010 ; Sato, T. <i>et al.</i> :JARQ 49(4):351, 2015 [備考] 菅原ら(2010)が <i>Colletotrichum</i> sp.とした病原菌をSato <i>et al.</i> (2015)は, <i>C. lineola</i> と再同定した (注) (2)病原学名変更、備考追加、文献誌名訂正、文献ページ追加	炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 (2) <i>Colletotrichum</i> sp. 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

キキョウ科 Campanulaceae イソトマ Rock isotoma <i>Laurentia axillaris</i> (Lindley) Wimmer (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 53:152, 2002 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:18, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	キキョウ科 Campanulaceae イソトマ Rock isotoma <i>Laurentia axillaris</i> (Lindley) Wimmer (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 53:152, 2002 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
---	--

アサ科 Cannabaceae ホップ(忽布) Hop <i>Humulus lupulus</i> L. (特用作物) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 岩舘康哉ら:日植病報 88(1):64, 2022	アサ科 Cannabaceae ホップ(忽布) Hop <i>Humulus lupulus</i> L. (特用作物)
---	--

[備考] 菌糸融合群 AG-2-1 Subset 1 (注) 新病名	
--	--

スイカズラ科 Caprifoliaceae ウグイスカグラ(鶯神楽) Honeysuckle <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> Miq. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe erlangshanensis</i> (Y.N. Yu) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera erlangshanensis</i> Y.N. Yu, <i>Microsphaera</i> sp.] 丹田誠之助ら:東農大農学集報 22(1):21, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):218, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:54, 2012 [備考] ヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i>) ・ ミヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i> var. <i>glandulosa</i>) に発生 (2) <i>Erysiphe lonicerae</i> de Candolle var. <i>lonicerae</i> [<i>Microsphaera lonicerae</i> (de Candolle) G. Winter var. <i>lonicerae</i>, <i>Microsphaera lonicerae</i> (de Candolle) G. Winter] 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:103, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):219, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012 [備考] ヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i>) にも発生 (3) <i>Erysiphe lonicerae-ramosissimae</i> (Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera lonicerae-ramosissimae</i> Tanda] Tanda, S.:Mycoscience 41(2):155, 2000 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012 [備考] コウグイスカグラ (<i>L. ramosissima</i> Franch.	スイカズラ科 Caprifoliaceae ウグイスカグラ(鶯神楽) Honeysuckle <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> Miq. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe erlangshanensis</i> (Y.N. Yu) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera erlangshanensis</i> Y.N. Yu, <i>Microsphaera</i> sp.] 丹田誠之助ら:東農大農学集報 22(1):21, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):218, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:54, 2012 [備考] ヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i>) ・ ミヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i> var. <i>glandulosa</i>) に発生 (2) <i>Erysiphe lonicerae</i> de Candolle var. <i>lonicerae</i> [<i>Microsphaera lonicerae</i> (de Candolle) G. Winter var. <i>lonicerae</i>, <i>Microsphaera lonicerae</i> (de Candolle) G. Winter] 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:103, 1977 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):219, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012 [備考] ヤマウグイスカグラ (<i>L. gracilipes</i>) にも発生 (3) <i>Erysiphe lonicerae-ramosissimae</i> (Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera lonicerae-ramosissimae</i> Tanda] Tanda, S.:Mycoscience 41(2):155, 2000 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012 [備考] コウグイスカグラ (<i>L. ramosissima</i> Franch.
---	---

& Savat.)に発生 (4) <i>Erysiphe miurae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera miurae</i> U. Braun, <i>Microsphaera alni</i> auct. Jap. non (Wallroth) Salmon] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):114, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012 [備考] キンギンボク・チシマヒョウタンボク (<i>L. orientalis</i>)・ハナヒョウタンボク (<i>L. ciliata</i>)・オニヒョウタンボクに発生 (注) (1)病原学名訂正	& Savat.)に発生 (4) <i>Erysiphe miurae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera miurae</i> U. Braun, <i>Microsphaera alni</i> auct. Jap. non (Wallroth) Salmon] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):224, 1988 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(3):114, 1996 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:56, 2012 [備考] キンギンボク・チシマヒョウタンボク (<i>L. orientalis</i>)・ハナヒョウタンボク (<i>L. ciliata</i>)・オニヒョウタンボクに発生
---	--

スイカズラ科 Caprifoliaceae シンフォリカルポス Snowberry <i>Symphoricarpos albus</i> (L.) S. F. Blake (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 菅原 敬ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:23, 2010 (注) (2)文献名訂正・文献ページ追加、(2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	スイカズラ科 Caprifoliaceae シンフォリカルポス Snowberry <i>Symphoricarpos albus</i> (L.) S. F. Blake (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 菅原 敬ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	--

スイカズラ科 Caprifoliaceae シンフォリカルポス Snowberry <i>Symphoricarpos albus</i> (L.) S. F. Blake (広葉樹)	スイカズラ科 Caprifoliaceae シンフォリカルポス Snowberry <i>Symphoricarpos albus</i> (L.) S. F. Blake (広葉樹)
---	---

灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:24, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

スイカズラ科 Caprifoliaceae シンフォリカルポス Snowberry <i>Symphoricarpos albus</i> (L.) S. F. Blake (広葉樹) 実腐病 migusare-byo Fruit rot <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler 菅原 敬ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:21, 2010 [備考] 日本植物病理学会報訂正記事(76(1):80, 2010)による (注) 文献名訂正、文献ページ追加	スイカズラ科 Caprifoliaceae シンフォリカルポス Snowberry <i>Symphoricarpos albus</i> (L.) S. F. Blake (広葉樹) 実腐病 migusare-byo Fruit rot <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler 菅原 敬ら:日植病報 75(3):189, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 [備考] 日本植物病理学会報訂正記事(76(1):80, 2010)による
---	--

パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 61(3):222, 1995 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum caricae</i> F. Stevens & J.G. Hall, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig)	パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 61(3):222, 1995 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum caricae</i> F. Stevens & J.G. Hall, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig
---	---

Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium papayae</i> Hennings] 逸見武雄:病虫雑 8(6):274, 1921(大10) ; 中村重正 ら:日植病報 45(4):545, 1979 (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	& Saccardo, <i>Gloeosporium papayae</i> Hennings] 逸見武雄:病虫雑 8(6):274, 1921(大10) ; 中村重正 ら:日植病報 45(4):545, 1979
--	--

ニシキギ科 Celastraceae マサキ(柎) Japanese spindletree <i>Euonymus japonicus</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Gloeosporium euonymicola</i> Hemmi Hemmi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(1):9, 1920(大9) [備考] ツルマサキ (<i>E. fortunei</i>) にも発生。本病 原菌を <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenkの不完全世代 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> Penzigの異名とする 意見があるが (山本和太郎:植物防疫 14(2):150, 1960) 実証に欠け, 再検討を要する (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	ニシキギ科 Celastraceae マサキ(柎) Japanese spindletree <i>Euonymus japonicus</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Gloeosporium euonymicola</i> Hemmi Hemmi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(1):9, 1920(大9) [備考] ツルマサキ (<i>E. fortunei</i>) にも発生。本病 原菌を <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenkの不完全世代 <i>Colletotrichum</i> <i>gloeosporioides</i> Penzigの異名とする意見があるが (山本和太郎:植物防疫 14(2):150, 1960) 実証に欠 け, 再検討を要する
--	--

アカザ科 Chenopodiaceae ホウキギ(コキア, ニワクサ) <i>Kochia</i> <i>Kochia</i> spp. (草花, 野草) ホウキギ(ハハキギ) <i>Kochia scoparia</i> (L.) Schrad. べと病 beto-byo <i>Peronospora kochiae</i> Gäumann 照井陸奥生:札幌博物学会報 11:157, 1930 ; 伊藤	アカザ科 Chenopodiaceae ホウキギ(コキア, ニワクサ) <i>Kochia</i> <i>Kochia</i> spp. (草花) べと病 beto-byo <i>Peronospora kochiae</i> Gäumann 照井陸奥生:札幌博物学会報 11:157, 1930 ; 伊藤
--	--

誠哉:大日本菌類誌 I:196, 1936 ; 成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977 [備考] 接種試験未了 (注) 宿主ハウキギ類 (←登録されているのは、根こぶ線虫病*のみ) と宿主統合した アカザ科 Chenopodiaceae ハウキギ(コキア, ニワクサ) (Kochia) <i>Kochia</i> spp. (草花, 野草) ハウキギ(ハハキギ) <i>Kochia scoparia</i> (L.) Schrad. 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 [備考] ハウキギ (注) 宿主ハウキギ(コキア, ニワクサ) (←登録されているのは、べと病のみ) と宿主統合した	誠哉:大日本菌類誌 I:196, 1936 ; 成田武四:北海道における農作物病害:186, 1977 [備考] 接種試験未了 アカザ科 Chenopodiaceae ハウキギ類 (Kochia) <i>Kochia</i> spp. (野草) ハウキギ(ハハキギ) <i>Kochia scoparia</i> (L.) Schrad. 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 [備考] ハウキギ
---	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 基腐病* motogusare-byo Foot rot <i>Diaporthe destruens</i> (Harter) Hirooka, Minoshima & Rossman [<i>Diaporthe</i> sp.] 前田 藍ら:九病虫研会報 65:105, 2019 ; 蓑島綾華ら:日植病報 86(3):167, 2020 ; Maeda, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(1):33, 2022 [備考] 前田ら(2019)が <i>Phomopsis destruens</i> と報	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 基腐病* motogusare-byo Foot rot <i>Diaporthe destruens</i> (Harter) Hirooka, Minoshima & Rossman [<i>Diaporthe</i> sp.] 前田 藍ら:九病虫研会報 65:105, 2019 ; 蓑島綾華ら:日植病報 86(3):167, 2020 [備考] 前田ら(2019)が <i>Phomopsis destruens</i> と報告した病原を, 蓑島ら(2020)が <i>Diaporthe</i>属へ転
---	--

告した病原を，蓑島ら(2020)が <i>Diaporthe</i>属へ転属すべきとした (注) 文献追加	属すべきとした
---	----------------

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) †††† (1) <i>Fusarium bataticola</i> (Sandoval-Denis & Crous) O'Donnell, Geiser, Kasson & T. Aoki 小林有紀・小林 晃:九病虫研会報 64:107, 2018 ; 小林有紀ら:日植病報 88(1):77, 2022 [備考] 地上茎に黒変や割れ症状，株元が黒変し株が枯死することもあり，塊根内部まで腐敗症状を起こす (2) <i>Fusarium falciforme</i> (Carrión) Summerbell & Schroers 小林有紀・小林 晃:九病虫研会報 64:107, 2018 ; 小林有紀ら:日植病報 88(1):77, 2022 [備考] 塊根にのみ浅い病斑を形成する (3) <i>Fusarium solani-melongenae</i> O'Donnell, Geiser, Kasson & T. Aoki 小林有紀・小林 晃:九病虫研会報 64:107, 2018 ; 小林有紀ら:日植病報 88(1):77, 2022 [備考] 地上茎に黒変や割れ症状，株元が黒変し株が枯死することもあり，塊根内部まで腐敗症状を起こし，地際の病変部に橙色の子のう殻を形成する (注) 病原同定、備考変更	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) †††† <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 小林有紀・小林 晃:九病虫研会報 64:107, 2018 [備考] 本病原はクレード3に属し，立枯病類似症状を起こす
--	--

ミズキ科 Cornaceae	ミズキ科 Cornaceae
-----------------------	-----------------------

アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum crassipes</i> (Spegazzini) Arx [<i>Gloeosporium kiotoense</i> Hemmi & Nojima] 逸見武雄・野島友雄:京大農紀 3:28, 1927(昭2) ; 山本和太郎:植物防疫 14(2):51, 1960 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum pollaccii</i> Magnus, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella</i> sp.] 逸見武雄:病虫雑 8(11):535, 1921(大10) ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):262, 1976 (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum crassipes</i> (Spegazzini) Arx [<i>Gloeosporium kiotoense</i> Hemmi & Nojima] 逸見武雄・野島友雄:京大農紀 3:28, 1927(昭2) ; 山本和太郎:植物防疫 14(2):51, 1960 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum pollaccii</i> Magnus, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella</i> sp.] 逸見武雄:病虫雑 8(11):535, 1921(大10) ; Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):262, 1976
--	---

ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D.	ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum karstii</i> Y.L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D.
---	--

Hyde & L. Cai 市之瀬玲美ら:関東病虫研報 63:123, 2016 [備考] ヤマボウシに発生 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	Hyde & L. Cai 市之瀬玲美ら:関東病虫研報 63:123, 2016 [備考] ヤマボウシに発生
---	--

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Golovinomyces cucurbitacearum</i> (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) Vakalounakis & Klironomou [<i>Golovinomyces orontii</i> (Castagne) V.P. Heluta, <i>Oidium</i> sp., <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle] 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:227, 1917(大6); 佐藤幸生ら:日植病報 62(6):630, 1996; 内田景子・宗和弘:日植病報 69(1):40, 2003; Uchida, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):92, 2009; 佐藤幸生ら:日植病報 79(3):187, 2013; 高松 進:三重大生資紀要 38:34, 2012 [備考] 佐藤ら (2013) により富山県と東京都で報告された <i>Oidium</i> 属 <i>Reticuloidium</i> 亜属 (<i>Euoidium</i> 属) 菌は <i>G. orontii</i> とされた (2) <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis sicula</i> Scalia] 斉藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975; 高松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012 [備考] 完全世代は我が国では未記録 (3) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca cucurbitae</i> (Jaczewski) Z.Y. Zhao, <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 出田 新:日本植物病理学:205, 1903(明 36); Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:304, 1937(昭 12); 魚住哲郎・吉井 甫:日植病報 16(3-4):123, 1952; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:30, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Golovinomyces cucurbitacearum</i> (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) Vakalounakis & Klironomou [<i>Golovinomyces orontii</i> (Castagne) V.P. Heluta, <i>Oidium</i> sp., <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle] 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:227, 1917(大6); 佐藤幸生ら:日植病報 62(6):630, 1996; 内田景子・宗和弘:日植病報 69(1):40, 2003; Uchida, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):92, 2009; 佐藤幸生ら:日植病報 79(3):187, 2013; 高松 進:三重大生資紀要 38:34, 2012 [備考] 佐藤ら (2013) により富山県と東京都で報告された <i>Oidium</i> 属 <i>Reticuloidium</i> 亜属 (<i>Euoidium</i> 属) 菌は <i>G. orontii</i> とされた (2) <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis sicula</i> Scalia] 斉藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975; 高松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012 [備考] 完全世代は我が国では未記録 (3) <i>Podosphaera xanthii</i> (Catagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca cucurbitae</i> (Jaczewski) Z.Y. Zhao, <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 出田 新:日本植物病理学:205, 1903(明 36); Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38:304, 1937(昭 12); 魚住哲郎・吉井 甫:日植病報 16(3-4):123, 1952; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:30, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012
--	---

(注) (3)病原学名訂正	
ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した (3) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx 菅野博英・森脇丈治:日植病報 64(4):432, 1998 ; 菅野博英・森脇丈治:日植病報 66(2):85, 2000 [備考] ネットメロンに発生 (注) (1)(2)病原学名異名修正(Index Fungorumによる)	ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した (3) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx 菅野博英・森脇丈治:日植病報 64(4):432, 1998 ; 菅野博英・森脇丈治:日植病報 66(2):85, 2000 [備考] ネットメロンに発生

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. フザリウム果実腐敗病 <i>Fusarium-kajitsu-fuhai</i>-byo Fusarium fruit rot (1) <i>Fusarium citri</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai 北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 (2) <i>Fusarium cerealis</i> (Cooke) Saccardo 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (3) <i>Fusarium graminearum</i> Schwabe 栢森美如ら:日植病報 79(1):64, 2013 (4) <i>Fusarium ipomoeae</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai 北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 (5) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 北林奨也ら:日植病報 87(3):208, 2021 ; Kitabayashi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(3):207, 2022 (6) <i>Fusarium sporotrichioides</i> Sherbakoff 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (7) <i>Fusarium</i> sp. 迫田琢也ら:日植病報 69(1):48, 2003 [備考] <i>F. sambucinum</i> に似る。ニュージーランド産果実で発見	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. フザリウム果実腐敗病 <i>Fusarium-kajitsu-fuhai</i>-byo Fusarium fruit rot (1) <i>Fusarium graminearum</i> Schwabe 栢森美如ら:日植病報 79(1):64, 2013 (2) <i>Fusarium</i> sp. 迫田琢也ら:日植病報 69(1):48, 2003 [備考] <i>F. sambucinum</i> に似る。ニュージーランド産果実で発見 (3) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 北林奨也ら:日植病報 87(3):208, 2021 [備考] 川上 顕ら(日植病報 87(3):208, 2021)は、本病を発症したカボチャから、<i>Fusarium incarnatum-equiseti</i> species complex haplotype 1, 同 8, 同29, <i>F. graminearum</i>, <i>F. sporotrichioides</i>, <i>F. cerealis</i>, <i>F. avenaceum</i>, <i>F. tricinctum</i>, <i>F. acuminatum</i> を分離した
---	--

(注) 病原追加、病原順変更、(5)文献追加、(5)備考削除	
--------------------------------	--

ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ (大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea polystachya</i> Turcz. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea bulbifera</i> L. ジネンジョ (自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 腐敗細菌病 fuhai-saikin-byo Bacterial rot <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2021 本多 学ら:日植病報 88(1):64, 2022 [備考] ナガイモに発生 (注) 新病名	ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ (大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea batatas</i> Decne. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea bulbifera</i> L. ジネンジョ (自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino
---	--

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino
--	--

マメガキ <i>Dateplum Diospyros lotus L.</i> 汚染果(黒点型)病* osenka(kokuten-gata)-byo (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 唐津達彦ら:日植病報 68(1):80, 2002 [備考] カキ (<i>D. kaki</i> Thunberg. var. <i>domesteica</i> Makino) に発生 (2) <i>Colletotrichum</i> spp. 田中寛康:植物防疫 30(11):448, 1976 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 唐津達彦ら:日植病報 69(1):64, 2003 (4) <i>Glomerella</i> sp. 小田道宏ら:日植病報 40(2):139, 1974 [備考] 小田道宏・小玉孝司 (日植病報 42(1):80, 1976) はさらに病原菌として <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler, <i>Botrytis cinerea</i> Persoon, <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal, <i>Sclerotinia</i> sp. の4種を報告している。なお、雲型、破線型、緑斑型は生理的原因によるものと考えられている (注) (3)病原学名修正(<i>Index Fungorum</i>による)	マメガキ <i>Dateplum Diospyros lotus L.</i> 汚染果(黒点型)病* osenka(kokuten-gata)-byo (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 唐津達彦ら:日植病報 68(1):80, 2002 [備考] カキ (<i>D. kaki</i> Thunberg. var. <i>domesteica</i> Makino) に発生 (2) <i>Colletotrichum</i> spp. 田中寛康:植物防疫 30(11):448, 1976 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 唐津達彦ら:日植病報 69(1):64, 2003 (4) <i>Glomerella</i> sp. 小田道宏ら:日植病報 40(2):139, 1974 [備考] 小田道宏・小玉孝司 (日植病報 42(1):80, 1976) はさらに病原菌として <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler, <i>Botrytis cinerea</i> Persoon, <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal, <i>Sclerotinia</i> sp. の4種を報告している。なお、雲型、破線型、緑斑型は生理的原因によるものと考えられている
---	---

カキノキ科 <i>Ebenaceae</i> カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ <i>Dateplum Diospyros lotus L.</i> 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 腐敗病, 葉炭疽病) <i>Colletotrichum horii</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding &	カキノキ科 <i>Ebenaceae</i> カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ <i>Dateplum Diospyros lotus L.</i> 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 腐敗病, 葉炭疽病) <i>Colletotrichum horii</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H.
--	--

H. Schrenk, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium kaki</i> Hori] 吉野毅一:果樹 34:18, 1906(明39) ; 堀正太郎:園芸之友 6(2):21, 1910(明43) ; Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 25(296):197, 1911(明44) ; 鑄方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:102, 1942(昭17) ; 佐藤豊三ら:日植病報 80(4):235, 2014 [備考] 葉炭疽病を統合した (注) 病原学名異名修正(Index Fungorumによる)	Schrenk, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium kaki</i> Hori] 吉野毅一:果樹 34:18, 1906(明39) ; 堀正太郎:園芸之友 6(2):21, 1910(明43) ; Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 25(296):197, 1911(明44) ; 鑄方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:102, 1942(昭17) ; 佐藤豊三ら:日植病報 80(4):235, 2014 [備考] 葉炭疽病を統合した
---	---

ツツジ科 Ericaceae イソツツジ Marsh tea, Wild rosemary <i>Ledum palustre</i> var. <i>diversipilosum</i> Nakai (広葉樹) もち病 mochi-byo Leaf gall <i>Exobasidium vaccinii</i> (Fuckel) Woronin 白井光太郎:植物病理学(下):131, 1894(明27) [備考] 白井光太郎・三宅市郎 (訂正増補日本菌類目録:233, 1917), 出田 新 (続日本植物病理学(下):573, 1926) は<i>Exobasidium hexasporium</i> Kusano によるもち病を紹介したが, 同菌の正式な記載文が見当たらず調査を要する (注) 文献著者訂正	ツツジ科 Ericaceae イソツツジ Marsh tea, Wild rosemary <i>Ledum palustre</i> var. <i>diversipilosum</i> Nakai (広葉樹) もち病 mochi-byo Leaf gall <i>Exobasidium vaccinii</i> (Fuckel) Woronin 白井光太郎:植物病理学(下):131, 1894(明27) [備考] 白井光太郎・宮家市郎 (訂正増補日本菌類目録:233, 1917), 出田 新 (続日本植物病理学(下):573, 1926) は<i>Exobasidium hexasporium</i> Kusano によるもち病を紹介したが, 同菌の正式な記載文が見当たらず調査を要する
---	---

ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) もち病 mochi-byo Leaf gall (餅病)	ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) もち病 mochi-byo Leaf gall (餅病)
--	--

(1) <i>Exobasidium cylindrosporium</i> Ezuka [<i>Exobasidium</i> sp.] 江塚昭典:日植病報 40(3):185, 1974 ; 江塚昭典:日菌報 31(4):451, 1990 [備考] モチツツジ・ムラサキリュウキュウ・シロリュウキュウ・オオムラサキ (2) <i>Exobasidium japonicum</i> Shirai [<i>Exobasidium rhododendri</i> C.E. Cramer] 白井光太郎:植物学雑 10(113):229, 1896(明29) ; 小林享夫:日本産樹木寄生菌目録:278, 2007 ; 柴田紗帆ら:日植病報 88(1):42, 2022 [備考] 白井(1896)の報告は, ツツジ・サツキ(<i>R. indicum</i>)。小林(2007)は, 寄主植物のリスト。柴田ら(2022)の報告は, ウラジロヨウラク, ガクウラジロヨウラク, アカヤシオ, オオヤマツツジ (3) <i>Exobasidium sakishimaense</i> Otani Otani, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):355, 1976 [備考] サキシマツツジ(<i>R. amanoi</i>) (4) <i>Exobasidium</i> sp. 江塚昭典:日植病報 40(3):185, 1974 [備考] モチツツジ・ムラサキリュウキュウ・シロリュウキュウ・オオムラサキ (注) 文献追加、備考変更	(1) <i>Exobasidium cylindrosporium</i> Ezuka [<i>Exobasidium</i> sp.] 江塚昭典:日植病報 40(3):185, 1974 ; 江塚昭典:日菌報 31(4):451, 1990 [備考] モチツツジ・ムラサキリュウキュウ・シロリュウキュウ・オオムラサキ (2) <i>Exobasidium japonicum</i> Shirai [<i>Exobasidium rhododendri</i> C.E. Cramer] 白井光太郎:植物学雑 10(113):229, 1896(明29) [備考] ヤマツツジ・サツキ・モチツツジ・キリシマツツジ・ムラサキヤシオツツジ (<i>R. albrechtii</i>) (3) <i>Exobasidium sakishimaense</i> Otani Otani, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):355, 1976 [備考] サキシマツツジ(<i>R. amanoi</i>) (4) <i>Exobasidium</i> sp. 江塚昭典:日植病報 40(3):185, 1974 [備考] モチツツジ・ムラサキリュウキュウ・シロリュウキュウ・オオムラサキ
--	--

ツツジ科 Ericaceae シャクナゲ類(石楠花) Rhododendron <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum azaleae</i> Ellis & Everhart] 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:134, 1939(昭14) ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:5, 1977	ツツジ科 Ericaceae シャクナゲ類(石楠花) Rhododendron <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum azaleae</i> Ellis & Everhart] 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:134, 1939(昭14) ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 292:5, 1977
---	---

[備考] シャクナゲ・ヤクシマシャクナゲ。完全世代<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenkはシャクナゲ類では未記録 (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	[備考] シャクナゲ・ヤクシマシャクナゲ。完全世代<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenkはシャクナゲ類では未記録
---	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae トウダイグサ類 Milkweed, Spurge <i>Euphorbia</i> spp. (野草) トウダイグサ <i>Euphorbia helioscopia</i> L. ニシキソウ <i>Euphorbia pseudochamaesyce</i> Fisch., Mey. & Lallem. タカトウダイ <i>Euphorbia pekinensis</i> Rupr. コニシキソウ <i>Euphorbia supina</i> Rafin. ハナキリン <i>Euphorbia milii</i> Des Moul. †††† (1) <i>Poinsettia mosaic virus</i> (PnMV) ポインセチアモザイクウイルス 金井勇樹ら:日植病報 88(1):36, 2022 [備考] ハナキリンから検出 (2) <i>Poinsettia latent virus</i> (PnLV) 金井勇樹ら:日植病報 88(1):36, 2022 [備考] ハナキリンから検出 (注) 新宿主、宿主名追加	トウダイグサ科 Euphorbiaceae トウダイグサ類 Milkweed, Spurge <i>Euphorbia</i> spp. (野草) トウダイグサ <i>Euphorbia helioscopia</i> L. ニシキソウ <i>Euphorbia pseudochamaesyce</i> Fisch., Mey. & Lallem. タカトウダイ <i>Euphorbia pekinensis</i> Rupr. コニシキソウ <i>Euphorbia supina</i> Rafin.
--	---

トウダイグサ科 Euphorbiaceae ポインセチア(ユーホルビア, ユーホルビア・フルゲンス) <i>Poinsettia</i> <i>Euphorbia</i> spp. (草花) ポインセチア <i>Euphorbia pulcherrima</i> Willd.	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ポインセチア(ユーホルビア, ユーホルビア・フルゲンス) <i>Poinsettia</i> <i>Euphorbia</i> spp. (草花) ポインセチア <i>Euphorbia pulcherrima</i> Willd.
---	---

モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic <i>Poinsettia mosaic virus</i> (PnMV) ポインセチアモザイクウイルス 難波成任ら:日植病報 53(3):422, 1987 (注) 病原学名をイタリックにする	モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic <i>Poinsettia mosaic virus</i> (PnMV) ポインセチアモザイクウイルス 難波成任ら:日植病報 53(3):422, 1987
--	---

トウダイグサ科 Euphorbiaceae コバンノキ(小判木) (<i>Phyllanthus</i>) <i>Phyllanthus flexuosus</i> (Sieb. & Zucc.) Muell. (広葉樹) うどんこ病 <i>udonko-byo</i> Powdery mildew <i>Erysiphe phyllanthi</i> (Tanda & U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera phyllanthi</i> Tanda & U. Braun, <i>Microsphaera</i> sp.] 高松 進ら:日菌報 19(1):69, 1978 ; Tanda, S. & Braun, U.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3):317, 1985 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):220, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012 (注) 病原学名訂正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae コバンノキ(小判木) (<i>Phyllanthus</i>) <i>Phyllanthus flexuosus</i> (Sieb. & Zucc.) Muell. (広葉樹) うどんこ病 <i>udonko-byo</i> Powdery mildew <i>Erysiphe phyllanthi</i> (U. Braun & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera phyllanthi</i> Tanda & U. Braun, <i>Microsphaera</i> sp.] 高松 進ら:日菌報 19(1):69, 1978 ; Tanda, S. & Braun, U.:Trans. Mycol. Soc. Japan 26(3):317, 1985 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):220, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:58, 2012
--	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒマ(トウゴマ, 蓖麻) Castor bean <i>Ricinus communis</i> L. (特用作物) 炭疽病 <i>tanso-byo</i> Anthracnose <i>Glomerella ricini</i> Hemmi & Matuo [<i>Gloeosporium ricini</i> Maublanc] 逸見武雄・松尾卓見:農及園 19(10):891, 1944(昭19) ; 渡邊龍雄:工芸作物病害編:106, 1948	トウダイグサ科 Euphorbiaceae ヒマ(トウゴマ, 蓖麻) Castor bean <i>Ricinus communis</i> L. (特用作物) 炭疽病 <i>tanso-byo</i> Anthracnose <i>Glomerella ricini</i> Hemmi & Matuo [<i>Gloeosporium ricini</i> Maublanc] 逸見武雄・松尾卓見:農及園 19(10):891, 1944(昭19) ; 渡邊龍雄:工芸作物病害編:106, 1948
---	---

[備考] 本病菌の子のう時代を <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, 分生孢子時代を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960) (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	[備考] 本病菌の子のう時代を <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenk, 分生孢子時代を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960)
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i> Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Physalospora acaciae</i> Kaz. Ito & Shibukawa, <i>Glomerella acaciae</i> (Kaz. Ito & Shibukawa) W. Yamamoto & Kaz. Ito, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 伊藤一雄・渋川浩三:64回日林講:237, 1955 ; 伊藤一雄・渋川浩三:林試研報 92:51, 1956 ; 寺下隆喜代:林試研報 155:1, 1963 ; 陳野好之:日林東北支誌 34:114, 1982 [備考] フサアカシア・モリシマアカシア・メラノキシロンアカシアに発生。陣野 (1982) はイン	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i> Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Physalospora acaciae</i> Kaz. Ito & Shibukawa, <i>Glomerella acaciae</i> (Kaz. Ito & Shibukawa) W. Yamamoto & Kaz. Ito, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 伊藤一雄・渋川浩三:64回日林講:237, 1955 ; 伊藤一雄・渋川浩三:林試研報 92:51, 1956 ; 寺下隆喜代:林試研報 155:1, 1963 ; 陳野好之:日林東北支誌 34:114, 1982 [備考] フサアカシア・モリシマアカシア・メラノキシロンアカシアに発生。陣野 (1982) はイン
--	---

ドネシアのカマバアカシアに本病を確認 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ドネシアのカマバアカシアに本病を確認
---	--------------------

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ネムノキ(合歓木) Silktree <i>Albizia julibrissin</i> Durazz. (広葉樹) †††† <i>Camptomeris albiziae</i> (Petch) E.W. Mason [<i>Heterosporium albiziae</i> (Petch) N. Naito] Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:51, 1940(昭15) ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:126, 1988 (注) 病原学名修正2件(Index Fungorumによる)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ネムノキ(合歓木) Silktree <i>Albizia julibrissin</i> Durazz. (広葉樹) †††† <i>Camptomeris albizziae</i> (Petch) E.W. Mason [<i>Heterosporium albizziae</i> (Petch) N. Naito] Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:51, 1940(昭15) ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:127, 1988
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L. (食用作物) 大菌核病 o-kinkaku-byo Large sclerotinia rot (菌核病, 大粒菌核病) (1) <i>Sclerotinia miyabeana</i> Hanzawa 半澤 洵:宮部記念植物学集説:213, 1912(大1) ; 出 田 新:続日本植物病理学(上):164, 1923(大12) (2) <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 熊 燿傑ら:日植病報 88(1):71, 2022 (注) 病原追加	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L. (食用作物) 大菌核病 o-kinkaku-byo Large sclerotinia rot (菌核病, 大粒菌核病) <i>Sclerotinia miyabeana</i> Hanzawa 半澤 洵:宮部記念植物学集説:213, 1912(大1) ; 出 田 新:続日本植物病理学(上):164, 1923(大12)
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エニシダ(金雀枝) Scotch broom <i>Cytisus scoparius</i> (L.) Link (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 高橋 晃ら:日植病報 59(1):99, 1993 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エニシダ(金雀枝) Scotch broom <i>Cytisus scoparius</i> (L.) Link (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 高橋 晃ら:日植病報 59(1):99, 1993
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae スイートピー Sweet pea <i>Lathyrus odoratus</i> L. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 竹内 純・堀江博道:日植病報 68(1):66, 2002 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 南部信方:病虫雑 2(8):742, 1915(大4) [備考] 病徴の記載 (注) (3)病原学名修正(Index Fungorumによる)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae スイートピー Sweet pea <i>Lathyrus odoratus</i> L. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 竹内 純・堀江博道:日植病報 68(1):66, 2002 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 南部信方:病虫雑 2(8):742, 1915(大4) [備考] 病徴の記載
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハギ(萩) Bush clover <i>Lespedeza</i> spp.	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハギ(萩) Bush clover <i>Lespedeza</i> spp.
---	---

(広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe lespedezae</i> R.Y. Zheng & U. Braun [Erysiphe pisi de Candolle] Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):321, 1937(昭12) ; 野村幸彦:植研雑 35(2):58, 1960 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:47, 2012 [備考] ヤマハギ・メドハギ(<i>L. cuneata</i>)・イヌハ ギ (<i>L. tomentosa</i>)・ネコハギ・マキエハギ(<i>L.</i> <i>vingata</i>)・マルバハギ・キハギ・ケハギ・ツルメ ドハギ(<i>L. intermixta</i>) に発生 (注) 病原学名訂正	(広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe lespedezae</i> R.Y. Zhang & U. Braun [Erysiphe pisi de Candolle] Homma, Y.:Jour. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):321, 1937(昭12) ; 野村幸彦:植研雑 35(2):58, 1960 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:47, 2012 [備考] ヤマハギ・メドハギ(<i>L. cuneata</i>)・イヌハ ギ (<i>L. tomentosa</i>)・ネコハギ・マキエハギ(<i>L.</i> <i>vingata</i>)・マルバハギ・キハギ・ケハギ・ツルメ ドハギ(<i>L. intermixta</i>) に発生
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958 (2) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 山岸菜穂ら:日植病報 81(3):205, 2015 ; Yamagishi, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(3):174, 2016 (3) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [<i>Colletotrichum glycines</i> Hori] 伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小 林享夫:林試研報 108:1, 1958 (4) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Guignardia robiniae</i> Kaz. Ito & Tak. Kobayashi, <i>Glomerella robiniae</i> (Kaz. Ito & Tak. Kobayashi) W. Yamamoto & Kaz. Ito, <i>Colletotrichum</i> <i>revolutum</i> (Ellis & Everhart) Kaz. Ito & Tak. Kobayashi]	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958 (2) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 山岸菜穂ら:日植病報 81(3):205, 2015 ; Yamagishi, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(3):174, 2016 (3) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [<i>Colletotrichum glycines</i> Hori] 伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小 林享夫:林試研報 108:1, 1958 (4) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Guignardia robiniae</i> Kaz. Ito & Tak. Kobayashi, <i>Glomerella robiniae</i> (Kaz. Ito & Tak. Kobayashi) W. Yamamoto & Kaz. Ito, <i>Colletotrichum</i> <i>revolutum</i> (Ellis & Everhart) Kaz. Ito & Tak. Kobayashi]
--	---

伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958	伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958
(注) (4)病原学名修正(Index Fungorumによる)	

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe trifoliorum</i> (Wallroth) U. Braun [<i>Microsphaera trifolii</i> (Greville) U. Braun, <i>Erysiphe trifolii</i> Greville] 成田武四:北海道における農作物病害:237, 1977 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:91, 1977 ; 佐藤幸生ら:日植病報 51(3):370, 1985 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:61, 2012 [備考] 西原夏樹 (農業技術 15(10):446, 1960) がクローバのうどんこ病として記載したものは草種名を欠くが, これはシロクローバとクリムソンクローバであった (注) 病原学名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L. (牧草・芝草) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe torifoliorum</i> (Eliade) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera trifolii</i> (Greville) U. Braun, <i>Erysiphe trifolii</i> Greville] 成田武四:北海道における農作物病害:237, 1977 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:91, 1977 ; 佐藤幸生ら:日植病報 51(3):370, 1985 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:61, 2012 [備考] 西原夏樹 (農業技術 15(10):446, 1960) がクローバのうどんこ病として記載したものは草種名を欠くが, これはシロクローバとクリムソンクローバであった
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle
--	--

本間ヤス:北大農紀要 38(3):323, 1937(昭12) (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca phaseoli</i> (Z.Y. Zhao) U. Braun, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 出田 新:続日本植物病理学(上):210, 1922(大11) ; 本間ヤス:北大農紀 38(3):304, 1937(昭12) ; 高松進:三重大生資紀要 38:21, 2012 (注) (2)病原学名訂正	本間ヤス:北大農紀要 38(3):323, 1937(昭12) (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castgne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca phaseoli</i> (Z.Y. Zhao) U. Braun, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 出田 新:続日本植物病理学(上):210, 1922(大11) ; 本間ヤス:北大農紀 38(3):304, 1937(昭12) ; 高松進:三重大生資紀要 38:21, 2012
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐紋病, 褐斑病) <i>Colletotrichum phaseolorum</i> S. Takimoto 角田鷹次郎:病虫雑 3(11):866, 1916(大5) ; 瀧元清透:日植病報 4(1-2):21, 1934(昭9) ; 鑄方末彦:食用作物病学(上):199, 1949 [備考] 本病菌を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [子のう時代 <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] の異名とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960) (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐紋病, 褐斑病) <i>Colletotrichum phaseolorum</i> S. Takimoto 角田鷹次郎:病虫雑 3(11):866, 1916(大5) ; 瀧元清透:日植病報 4(1-2):21, 1934(昭9) ; 鑄方末彦:食用作物病学(上):199, 1949 [備考] 本病菌を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [子のう時代 <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenk] の異名とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960)
--	---

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts
---	---

<i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実腐病, 実炭疽病) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 内田和馬:関東病虫研報 11:51, 1964 ; 小林享夫:森林防疫ニュース 17(7):142, 1968 ; 寺下隆喜代:林試研報 252:1, 1973 ; 小林享夫・内田和馬:植物防疫 37(2):50, 1983 [備考] 完全世代の <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk は国内未発見 (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	<i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実腐病, 実炭疽病) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 内田和馬:関東病虫研報 11:51, 1964 ; 小林享夫:森林防疫ニュース 17(7):142, 1968 ; 寺下隆喜代:林試研報 252:1, 1973 ; 小林享夫・内田和馬:植物防疫 37(2):50, 1983 [備考] 完全世代の <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenk は国内未発見
--	---

ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病) (1) <i>Erysiphe wadae</i> S. Takamatsu & Y. Sato Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 44(3):165, 2003 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Parauncinula curvispora</i> (Hara) S. Takamatsu & U. Braun [<i>Uncinula curvispora</i> Hara, <i>Uncinula septata</i> E.S. Salmon var. <i>curvispora</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大4) ; 原	ブナ科 Fagaceae ブナ類 Beech <i>Fagus</i> spp. (広葉樹) ブナ(山毛櫨) <i>Fagus crenata</i> Blume イヌブナ <i>Fagus japonica</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 裏白渋病) (1) <i>Erysiphe wadae</i> S. Takamatsu & Y. Sato Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 44(3):165, 2003 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Parauncinula curvispora</i> (Hara) S. Takam. & U. Braun [<i>Uncinula curvispora</i> Hara, <i>Uncinula septata</i> E.S. Salmon var. <i>curvispora</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大4) ; 原
---	--

攝祐:樹病学各論:21, 1923(大12) ; Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 46(1):15, 2005 [備考] イヌブナに発生 (3) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 出田 新:実用植物病理学:164, 1901(明34) (注) (2)病原学名修正	攝祐:樹病学各論:21, 1923(大12) ; Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 46(1):15, 2005 [備考] イヌブナに発生 (3) <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten 出田 新:実用植物病理学:164, 1901(明34)
--	---

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (表白渋病, 白渋病, 表うどんこ病) (1) <i>Erysiphe alphitoides</i> (Griffon & Maublanc) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera querci</i> Sawada, <i>Microsphaera alphitoides</i> auct. non Griffon & Maublanc] 原 攝祐:大日本山林会報 392:60, 1915(大4) ; 澤田兼吉:林試研報 50:122, 1951 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):227, 1988 ; 堀江博道ら:日植病報 65(6):657, 1999 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012 [備考] アカガシ・アラカシ・シラカシ・ウラジ	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (表白渋病, 白渋病, 表うどんこ病) (1) <i>Erysiphe alphitoides</i> (Griffon & Maublanc) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera querci</i> Sawada, <i>Microsphaera alphitoides</i> auct. non Griffon & Maublanc] 原 攝祐:大日本山林会報 392:60, 1915(大4) ; 澤田兼吉:林試研報 50:122, 1951 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):227, 1988 ; 堀江博道ら:日植病報 65(6):657, 1999 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012 [備考] アカガシ・アラカシ・シラカシ・ウラジ
---	---

ロガシ・イチイガシ・ツクバネガシ・ウバメガシ・コルクガシに発生 (2) <i>Erysiphe gracilis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>gracilis</i> [<i>Erysiphe hiratae</i> U. Braun] Braun, U.:Mycotaxon 18(1):128, 1983 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012 ; Siahaan, S.A.S. <i>et al.</i>:Mycoscience 59(2):110, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシに発生 (3) <i>Erysiphe gracilis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>longissima</i> Y. Nomura 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:204, 1997 [備考] アカガシ・ツクバネガシに発生 (4) <i>Erysiphe heraclei</i> de Candolle [<i>Microsphaera polygoni</i> (de Candolle) Sawada] 原 攝祐:樹病学各論:13, 1923(大12) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):324, 1937(昭12) [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ツクバネガシ・アカガシ・ウバメガシに発生 (5) <i>Erysiphe quercicola</i> S. Takamatsu & U. Braun Takamatsu, S. & Braun, U.:Mycol. Res. 111:819, 2007 ; 高松 進ら:日植病報 83(3):187, 2017 ; Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 59(2):105, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ウバメガシに発生。接種試験未了 (6) <i>Uncinula</i> sp. 佐藤幸生ら:日植病報 61(3):222, 1995 [備考] アカガシに発生 (注) (3)病原学名訂正	ロガシ・イチイガシ・ツクバネガシ・ウバメガシ・コルクガシに発生 (2) <i>Erysiphe gracilis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>gracilis</i> [<i>Erysiphe hiratae</i> U. Braun] Braun, U.:Mycotaxon 18(1):128, 1983 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012 ; Siahaan, S.A.S. <i>et al.</i>:Mycoscience 59(2):110, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシに発生 (3) <i>Erysiphe gracilis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>longissima</i> Y. Nomura 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:204, 1997 [備考] アカガシ・ツクバネガシに発生 (4) <i>Erysiphe heraclei</i> de Candolle [<i>Microsphaera polygoni</i> (de Candolle) Sawada] 原 攝祐:樹病学各論:13, 1923(大12) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):324, 1937(昭12) [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ツクバネガシ・アカガシ・ウバメガシに発生 (5) <i>Erysiphe quercicola</i> S. Takamatsu & U. Braun Takamatsu, S. & Braun, U.:Mycol. Res. 111:819, 2007 ; 高松 進ら:日植病報 83(3):187, 2017 ; Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 59(2):105, 2018 [備考] アラカシ・シラカシ・ウラジロガシ・ウバメガシに発生。接種試験未了 (6) <i>Uncinula</i> sp. 佐藤幸生ら:日植病報 61(3):222, 1995 [備考] アカガシに発生
--	---

リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn.	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn.
--	--

(草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 佐藤豊三ら:日植病報 58(4):544, 1992 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 菅原 敬ら:日植病報 75(1):57, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:15, 2010 (注) (2)文献名訂正・文献ページ追加、(2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	(草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 佐藤豊三ら:日植病報 58(4):544, 1992 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 菅原 敬ら:日植病報 75(1):57, 2009 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
---	---

リンドウ科 Gentianaceae センブリ (Swertia) <i>Swertia japonica</i> (Schult.) Makino (特用作物) †††† (1) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 88(1):36, 2022 (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 88(1):36, 2022 (注) 新宿主	リンドウ科 Gentianaceae センブリ (Swertia) <i>Swertia japonica</i> (Schult.) Makino (特用作物)
--	---

イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹)	イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹)
--	--

Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 矢口行雄ら:日植病報 70(3):218, 2004 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 矢口行雄ら:日植病報 70(3):218, 2004
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>Avena fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. ひょう紋病 hyomon-byo Zonate leaf spot <i>Gloeocercospora sorghi</i> D.C. Bain & Edgerton ex Deighton 月星隆雄ら:日草誌 58(別):142, 2012 ; 月星隆雄: 植物防疫 75(10):532, 2021 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>Avena fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb.
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> 黒穂病 kuroho-byo Smut	イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ類 (Echinochloa) <i>Echinochloa</i> spp. (野草) イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i> 黒穂病 kuroho-byo Smut
--	--

<i>Moesziomyces antarcticus</i> (Goto, Sugiyama & Iizuka) Q.M. Wang, Begerow, F.Y. Bai & Boekhout [<i>Moesziomyces bullatus</i> (J. Schröter) Vánky, <i>Tolyposporium bullatum</i> J. Schröter] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:63, 1982 ; 柿 眞: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992 ; 田中 栄爾:北陸病虫研報 67:33, 2018 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>: Antonie van Leeuwenhoek 112(4):599, 2019 [備考] イヌビエに発生。Tanaka <i>et al.</i> (2019)は<i>M. bullatus</i>保存株を<i>M. antarcticus</i>と再同定した (注) 文献著者名訂正	<i>Moesziomyces antarcticus</i> (Goto, Sugiyama & Iizuka) Q.M. Wang, Begerow, F.Y. Bai & Boekhout [<i>Moesziomyces bullatus</i> (J. Schröter) Vánky, <i>Tolyposporium bullatum</i> J. Schröter] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:63, 1982 ; 柿 眞: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):248, 1992 ; 田中 英爾:北陸病虫研報 67:33, 2018 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>: Antonie van Leeuwenhoek 112(4):599, 2019 [備考] イヌビエに発生。Tanaka <i>et al.</i> (2019)は<i>M. bullatus</i>保存株を<i>M. antarcticus</i>と再同定した
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae カゼクサ類 (Eragrostis) <i>Eragrostis</i> spp. (野草) スズメガヤ <i>Eragrostis cilianensis</i> (Allioni) Vignolo-Lutati カゼクサ <i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) Beauvois コゴメカゼクサ <i>Eragrostis japonica</i> Thunb. ニワホコリ <i>Eragrostis multicaulis</i> Steud. †††† <i>Macalpinomyces spermophorus</i> (Berkeley & M.A. Curtis ex de Toni) Vánky [<i>Ustilago spermophora</i> Berkeley & M.A. Curtis] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:91, 1982 ; 柿 眞: 日菌報 57:110, 2016 ; 田中 栄爾:北陸病虫研報 67:33, 2018 [備考] カゼクサ, コゴメカゼクサに発生。接種試験未了。田中(2018)は本病原菌の無性世代 <i>Pseudozyma tsukubaensis</i> (Onishi) Boekhoutを明らかにした	イネ科 Gramineae, Poaceae カゼクサ類 (Eragrostis) <i>Eragrostis</i> spp. (野草) スズメガヤ <i>Eragrostis cilianensis</i> (Allioni) Vignolo-Lutati カゼクサ <i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) Beauvois コゴメカゼクサ <i>Eragrostis japonica</i> Thunb. ニワホコリ <i>Eragrostis multicaulis</i> Steud. †††† <i>Macalpinomyces spermophorus</i> (Berkeley & M.A. Curtis ex de Toni) Vánky [<i>Ustilago spermophora</i> Berkeley & M.A. Curtis] 柿 眞:筑波大学農林学研究 1:91, 1982 ; 柿 眞: 日菌報 57:110, 2016 ; 田中 英爾:北陸病虫研報 67:33, 2018 [備考] カゼクサ, コゴメカゼクサに発生。接種試験未了。田中(2018)は本病原菌の無性世代 <i>Pseudozyma tsukubaensis</i> (Onishi) Boekhoutを明らかにした
--	--

(注) 文献著者名訂正	
イネ科 Gramineae, Poaceae ススキ類 Silvergrass <i>Miscanthus</i> spp. (野草) トキワススキ <i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb. ex. K. Schum. & Lauterb. カリヤスモドキ <i>Miscanthus oligostachyus</i> Stapf オギ <i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Hack. ハチジョウススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>condensatus</i> (Hack.) Makino ススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>sinensis</i> ムラサキススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. f. <i>purpurascens</i> さび病* sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia daisenensis</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:532, 1992 [備考] トキワススキ・ススキ (2) <i>Puccinia erythropus</i> Dietel [<i>Aecidium vincetoxici</i> Hennings & Shirai] Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:536, 1992 ; Ono, Y. & Azbukina, M. Z.:Mycoscience 38:281, 1997 [備考] トキワススキ・ススキ・ハチジョウスス キ。精子・さび胞子世代をコバノカモメヅル (<i>Vincetoxicum sub lanceolatum</i> var. <i>sub lanceolatum</i>) 上に形成 (3) <i>Puccinia miscanthi</i> Miura Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:557, 1992 [備考] トキワススキ・ススキ・ハチジョウスス キ (注) (2)備考修正	イネ科 Gramineae, Poaceae ススキ類 Silvergrass <i>Miscanthus</i> spp. (野草) トキワススキ <i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb. ex. K. Schum. & Lauterb. カリヤスモドキ <i>Miscanthus oligostachyus</i> Stapf オギ <i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Hack. ハチジョウススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>condensatus</i> (Hack.) Makino ススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>sinensis</i> ムラサキススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. f. <i>purpurascens</i> さび病* sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia daisenensis</i> Hiratsuka, f. Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:532, 1992 [備考] トキワススキ・ススキ (2) <i>Puccinia erythropus</i> Dietel [<i>Aecidium vincetoxici</i> Hennings & Shirai] Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:536, 1992 ; Ono, Y. & Azbukina, M. Z.:Mycoscience 38:281, 1997 [備考] トキワススキ・ススキ・ハチジョウスス キ。精子・さび胞子世代をコバノカモメズル (<i>Cynanchum sub lanceolatum</i> var. <i>obtusum</i>) 上に形 成 (3) <i>Puccinia miscanthi</i> Miura Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:557, 1992 [備考] トキワススキ・ススキ・ハチジョウスス キ

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino さび病 sabi-byo Rust (葉さび病) (1) <i>Puccinia hikawaensis</i> Hiratsuka, f. & S. Uchida [Aecidium philadelphi Dietel] 内田正之助:目白学園女短大紀要 2:24, 1965 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:599, 1992 [備考] スズ・ケスズ(<i>Sasamorpha mollis</i>)。さび胞子世代はバイカウツギ(<i>Philadelphus satsumi</i>)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Puccinia kusanoi</i> Dietel 原 攝祐:樹病学各論:172, 1923(大12) ; 吉永虎馬:植物学雑 15(171):97, 1901(明34) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:602, 1992 [備考] センダイムラサキシノ(<i>Arundinaria atropurpurea</i>)・ヒロハアズマササ(<i>A. okadana</i>)・アズマザサ・スエコザサ(<i>A. suwekoana</i>)・カムロザサ・(<i>A. viridistriana</i>)・ミヤコザサ・チュウゴクザサ(<i>Sasa tyugokuensis</i>)。病菌の異名及びさび胞	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino さび病 sabi-byo Rust (葉さび病) (1) <i>Puccinia hikawaensis</i> Hiratsuka, f. & S. Uchida [Aecidium philadelphi Dietel] 内田正之助:目白学園女短大紀要 2:24, 1965 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:599, 1992 [備考] スズ・ケスズ(<i>Sasamorpha mollis</i>)。さび胞子世代はバイカウツギ(<i>Philadelphus satsumi</i>)に寄生してさび病を起こす (2) <i>Puccinia kusanoi</i> Dietel 原 攝祐:樹病学各論:172, 1923(大12) ; 吉永虎馬:植物学雑 15(171):97, 1901(明34) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:602, 1992 [備考] センダイムラサキシノ(<i>Arundinaria atropurpurea</i>)・ヒロハアズマササ(<i>A. okadana</i>)・アズマザサ・スエコザサ(<i>A. suwekoana</i>)・カムロザサ・(<i>A. viridistriana</i>)・ミヤコザサ・チュウゴクザサ(<i>Sasa tyugokuensis</i>)。病菌の異名及びさび胞
--	--

子世代はナリヒラダケさび病参照 (3) <i>Puccinia longicornis</i> Patouillard & Hariot 原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大12); 草野俊助: 東大農紀要 8:4, 1908(明41); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:603, 1992 [備考] ヤダケ・スズ・チシマザサ・ミヤコザサ・チマキザサ・シャコタンチク(<i>Sasa paniculata</i> var. <i>ontakensis</i>)・ミヤマザサ(<i>S. septentrionalis</i>)。さび胞子世代は <i>Deutzia</i>属(ウツギ・コウツギ・ツクシウツギ・マルバウツギ)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Puccinia mitriformis</i> S. Ito [<i>Aecidium hamamelidis</i> Dietel] 原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大12); 伊藤誠哉: 東北帝大農紀要 3(2):233, 1909(明42); 平塚直秀・佐藤昭二:菌蕈研報 8:39, 1970; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:605, 1992 [備考] スズ・ヨシノナンブスズ(<i>Sasa kohzegawana</i>)・キンタイザサ(<i>S. paniculata</i> var. <i>nobilis</i>)・チシマザサ・オクミヤコザサ。さび胞子世代は<i>Hamamelis</i>属(マンサク・マルバマンサク・ウラジロマルバマンサク)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Puccinia sasae</i> Kusano 原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大12); 草野俊助: 東大農紀要 8:9, 1908(明41) [備考] スズ・チュウコクザサ (6) <i>Puccinia sasicola</i> Hara ex Hino & Katumoto 原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大12) [備考] スズ・ニッコウザサ。さび胞子世代はトサミズキ属(<i>Corylopsis spicata</i>)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Puccinia suzutake</i> Kakishima & S. Sato [<i>Aecidium hydrangiicola</i> Hennings] Kakishima, M. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(3):321, 1981 [備考] スズ。さび胞子世代は<i>Hydrangea</i>属(コア	子世代はナリヒラダケさび病参照 (3) <i>Puccinia longicornis</i> Patouillard & Hariot 原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大12); 草野俊助: 東大農紀要 8:4, 1908(明41); Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:603, 1992 [備考] ヤダケ・スズ・チシマザサ・ミヤコザサ・チマキザサ・シャコタンチク(<i>Sasa paniculata</i> var. <i>ontakensis</i>)・ミヤマザサ(<i>S. septentrionalis</i>)。さび胞子世代は <i>Deutzia</i>属(ウツギ・コウツギ・ツクシウツギ・マルバウツギ)に寄生してさび病を起こす (4) <i>Puccinia mitriformis</i> S. Ito [<i>Aecidium hamamelidis</i> Dietel] 原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大12); 伊藤誠哉: 東北帝大農紀要 3(2):233, 1909(明42); 平塚直秀・佐藤昭二:菌蕈研報 8:39, 1970; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:605, 1992 [備考] スズ・ヨシノナンブスズ(<i>Sasa kohzegawana</i>)・キンタイザサ(<i>S. paniculata</i> var. <i>nobilis</i>)・チシマザサ・オクミヤコザサ。さび胞子世代は<i>Hamamelis</i>属(マンサク・マルバマンサク・ウラジロマルバマンサク)に寄生してさび病を起こす (5) <i>Puccinia sasae</i> Kusano 原 攝祐:樹病学各論:173, 1923(大12); 草野俊助: 東大農紀要 8:9, 1908(明41) [備考] スズ・チュウコクザサ (6) <i>Puccinia sasicola</i> Hara ex Hino & Katumoto 原 攝祐:樹病学各論:174, 1923(大12) [備考] スズ・ニッコウザサ。さび胞子世代はトサミズキ属(<i>Corylopsis spicata</i>)に寄生してさび病を起こす (7) <i>Puccinia suzutake</i> Kakishima & S. Sato [<i>Aecidium hydrangiicola</i> Hennings] Kakishima, M. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22(3):321, 1981 [備考] スズ。さび胞子世代は<i>Hydrangea</i>属(コア
---	---

ジサイ・ナガバアジサイ・アマチャ・ヤマアジサイ)に寄生してさび病を起こす (注) (7)の備考修正(アマチャの前のスペース削除)	ジサイ・ナガバアジサイ・ アマチャ・ヤマアジサイ)に寄生してさび病を起こす
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Cladosporium cerophilum</i> (Tubaki) Matsushima [<i>Acrotheca cerophila</i> Tubaki] 椿 啓介:服部植物研報 20:143, 1958 ; Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:34, 1975 [備考] <i>Sasa</i> sp.。病菌の学名は<i>Ramichloridium cerophilum</i> (Tubaki) de Hoogとされている (注) 備考修正	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino †††† <i>Cladosporium cerophilum</i> (Tubaki) Matsushima [<i>Acrotheca cerophila</i> Tubaki] 椿 啓介:服部植物研報 20:143, 1958 ; Matsushima, T.:Icon. microfung. a Matsushima lect.:34, 1975 [備考] <i>Sasa</i> sp.。病菌の学名は<i>Ramichloridium cerophlum</i> (Tubaki) de Hoogとされている
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae チヂミザサ類 (Oplismenus) <i>Oplismenus</i> spp. (野草) ケチヂミザサ, チヂミザサ Wavyleaf basketgrass <i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. & Schult. (注) 宿主情報の統合。宿主和名・宿主英名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae チヂミザサ類 (Oplismenus) <i>Oplismenus</i> spp. (野草) ケチヂミザサ <i>Oplismenus undulatifolius</i> (Arduino) Roem. & Schult. (注) 2022年2月版より前に掲載されていたデータ イネ科 Gramineae, Poaceae チヂミザサ類 (Oplismenus) <i>Oplismenus</i> spp. (野草) チヂミザサ Wavyleaf basketgrass <i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. & Schult. (注) 2022年2月版で新規宿主として掲載されたデータ
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy <i>Phleum pratense</i> L. (牧草・芝草) 葉枯菌核病 hagare-kinkaku-byo Leaf rot <i>Sclerotium rhizodes</i> Auerswald 月星隆雄ら:日草誌 58(別):142, 2012 ; 月星隆雄: 植物防疫 75(10):533, 2021 [備考] 病原菌は<i>Ceratorhiza rhizodes</i> (Auerswald) Z.H. Xu, T.C. Harrington, M.L. Gleason & Batzerと 再分類された(Xu <i>et al.</i>:Mycologia 102:337, 2010) (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy <i>Phleum pratense</i> L. (牧草・芝草)
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleiblastus) <i>Pleiblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleiblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleiblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleiblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleiblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginated</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleiblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleiblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleiblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †黒やに病 kuroyani-byo Tar spot <i>Phyllachora indocalami</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 85:25, 1943(昭18) [備考] 台湾。ニイタカメダケ(<i>Indocalamus niitakayamensis</i>) (注) 備考修正	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleiblastus) <i>Pleiblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleiblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleiblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleiblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleiblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginated</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleiblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleiblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleiblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †黒やに病 kuroyani-byo Tar spot <i>Phyllachora indocalami</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 85:25, 1943(昭18) [備考] 台湾。ニイタカメダケ(<i>Indocalamus niitakayamensis</i>)
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae セントオーガスチングラス(イヌシバ) St. Augustine grass <i>Stenotaphrum secundatum</i> (Walt.) Kuntze (牧草・芝草) いもち病* imochi-byo Blast (1) <i>Pyricularia oryzae</i> Cavara 月星隆雄ら:芝草研究 42:74, 2013 ; 月星隆雄:植物防疫 75(10):534, 2021	イネ科 Gramineae, Poaceae セントオーガスチングラス(イヌシバ) St. Augustine grass <i>Stenotaphrum secundatum</i> (Walt.) Kuntze (牧草・芝草) いもち病* imochi-byo Blast <i>Pyricularia</i> sp. 八重樫博志:日植病報 44(1):67, 1978 [備考] セントオーガスチングラスから分離し、供試しているが詳細は未報告
---	--

[備考] <i>Pyricularia</i> sp.との異同は不明 (2) <i>Pyricularia</i> sp. 八重樫博志:日植病報 44(1):67, 1978 [備考] セントオーガスチングラスから分離し、 供試しているが詳細は未報告 (注) 病原追加	
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 株腐病 kabugusare-byo Foot-rot, Rhizoctoniose (紋枯病, 株腐菌核病, 菌核病) (1) <i>Ceratobasidium cereale</i> D.I. Murray & Burpee Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(2):110, 2021 [備考] パンコムギ, マカロニコムギに発生 (2) <i>Ceratobasidium gramineum</i> (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki 横木国臣:日植病報 2(4):385, 1931(昭6); 松浦 義: 病虫雑 17(7):448, 1930(昭5); 鬼木正臣ら:日菌報 27(2):147, 1986; 高松 進:福井農試特別報 9:9, 1989 [備考] 病原菌の異名および積雪下の症状につい てはオオムギ株腐病参照 (3) binucleate <i>Rhizoctonia</i> 三澤知央:北日本病虫研報 72:73, 2021 [備考] 菌糸融合群 AG-DI (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 株腐病 kabugusare-byo Foot-rot, Rhizoctoniose (紋枯病, 株腐菌核病, 菌核病) (1) <i>Ceratobasidium cereale</i> D.I. Murray & Burpee Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(2):110, 2021 [備考] パンコムギ, マカロニコムギに発生 (2) <i>Ceratobasidium gramineum</i> (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki 横木国臣:日植病報 2(4):385, 1931(昭6); 松浦 義: 病虫雑 17(7):448, 1930(昭5); 鬼木正臣ら:日菌報 27(2):147, 1986; 高松 進:福井農試特別報 9:9, 1989 [備考] 病原菌の異名および積雪下の症状につい てはオオムギ株腐病参照
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝)	イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝)
--	--

Zoysia grass Zoysia spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ Zoysia, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele ††††カッパースポット <i>copper spot</i> Copper spot <i>Gloeocercospora sorghi</i> D.C. Bain & Edgerton ex Deighton 飯田 格:芝草研究 4(1):71, 1975 [備考] 病名不適當 (注) 病名読み修正	Zoysia grass Zoysia spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ Zoysia, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele ††††カッパースポット <i>kappa-supotto</i> Copper spot <i>Gloeocercospora sorghi</i> D.C. Bain & Edgerton ex Deighton 飯田 格:芝草研究 4(1):71, 1975 [備考] 病名不適當
--	--

シキミ科 Illiciaceae シキミ(榊) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot Japanese star anise ringspot-associated virus# (JSARaV) 山下修一:植物防疫 57(9):13, 2003 ; 山下修一:日植病報 69(1):47, 2003 ; 下元祥史ら:日植病報 85(3):278, 2019 ; Shimomoto, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(1):69, 2022 [備考] 病原はフシダニ(<i>Eriophyes</i> spp.)とされていたが, RT-PCRおよび塩基配列の解析により病原を同定 (注) 病原同定	シキミ科 Illiciaceae シキミ(榊) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot Emaravirus-like virus# 山下修一:植物防疫 57(9):13, 2003 ; 山下修一:日植病報 69(1):47, 2003 ; 下元祥史ら:日植病報 85(3):278, 2019 [備考] 病原はフシダニ(<i>Eriophyes</i> spp.)とされていたが, RT-PCRおよび塩基配列の解析により新規エマラウイルスによる可能性が高いとされた
---	---

クルミ科 Juglandaceae クルミ(胡桃)類 Walnuts <i>Juglans</i> spp. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑点病, 炭そ病) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Gloeosporium juglandis</i> (Libert) Montagne, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 南部信方:病虫雑 9(2):81, 1922(大11); 伊藤一雄・小林享夫:日林東北支講 8:39, 1957; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] シナノグルミ (注) 病原学名異名修正(Index Fungorumによる)	クルミ科 Juglandaceae クルミ(胡桃)類 Walnuts <i>Juglans</i> spp. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑点病, 炭そ病) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Gloeosporium juglandis</i> (Libert) Montagne, <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 南部信方:病虫雑 9(2):81, 1922(大11); 伊藤一雄・小林享夫:日林東北支講 8:39, 1957; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] シナノグルミ
---	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae モルセラ Bells of Ireland <i>Moluccella laevis</i> L. (草花) 褐斑病 kappan-byo Leaf spot <i>Cercospora apii</i> sensu lato 菅原 敬:山形農業特研報 2:18, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	シソ科 Labiatae, Lamiaceae モルセラ Bells of Ireland <i>Moluccella laevis</i> L. (草花) 褐斑病 kappan-byo Leaf spot <i>Cercospora apii</i> sensu lato 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠)	クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠)
---	---

Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 黒点病) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella cinnamomi</i> Yoshino, <i>Guignardia cinnamomi</i> (Yoshino) Hara] 吉野毅一:植物学雑 21(248):229, 1907(明40) ; 伊藤一雄・林 弘子:林試研報 135:1, 1962 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 黒点病) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella cinnamomi</i> Yoshino, <i>Guignardia cinnamomi</i> (Yoshino) Hara] 吉野毅一:植物学雑 21(248):229, 1907(明40) ; 伊藤一雄・林 弘子:林試研報 135:1, 1962
--	--

クスノキ科 Lauraceae ゲッケイジュ(月桂樹) Laurel, Sweet bay <i>Laurus nobilis</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973 [備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	クスノキ科 Lauraceae ゲッケイジュ(月桂樹) Laurel, Sweet bay <i>Laurus nobilis</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973 [備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定
---	---

クスノキ科 Lauraceae テンダイウヤク(天台烏薬) Evergreen lindera <i>Lindera aggregata</i> (Sims) Kosterm. (広葉樹) 縁葉枯病 fuchi-hagare-byo Leaf blight <i>Neofusicoccum</i> sp.	クスノキ科 Lauraceae テンダイウヤク(天台烏薬) Evergreen lindera <i>Lindera aggregata</i> (Sims) Kosterm. (広葉樹) 縁葉枯病 fuchi-hagare-byo Leaf bright <i>Neofusicoccum</i> sp.
--	--

佐藤里香ら:日植病報 86(3):166, 2020 (注) 病名英名訂正	佐藤里香ら:日植病報 86(3):166, 2020
--	----------------------------

クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973 [備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (Machilus) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973 [備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定
---	---

クスノキ科 Lauraceae アボカド(酪梨) Avocado <i>Persea americana</i> Miller (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 樋口あやこら:日植病報 63(6):494, 1997 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida]	クスノキ科 Lauraceae アボカド(酪梨) Avocado <i>Persea americana</i> Miller (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 樋口あやこら:日植病報 63(6):494, 1997 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida]
--	---

渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:48, 1977 ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987	渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:48, 1977 ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987
(注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller &	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller &
--	--

Balandreau 1998 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2021¹ Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(1):004582, 2021 (8) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (9) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 遼 瑞枝・藤 晋一:日植病報 87(3):180, 2021 ; Tsuji, M. & Fuji, S.:Plant Dis. 105(10):3288, 2021 (注) (7)病原学名訂正	Balandreau 1998 遼 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2020⁰ Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(1):004582, 2021 (8) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (9) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 遼 瑞枝・藤 晋一:日植病報 87(3):180, 2021 ; Tsuji, M. & Fuji, S.:Plant Dis. 105(10):3288, 2021
---	--

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L.	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L.
--	--

(野菜) 黒かび病 kurokabi-byo Black mold (1) <i>Aspergillus niger</i> Tieghem 遠藤 茂:病虫雑 18(6):284, 1931(昭6) ; 川島耕一: 実際園芸臨時増刊 園芸植物の病害虫:115, 1932(昭7) (2) <i>Aspergillus tubingensis</i> Mosseray 福岡貴寿:日植病報 88(1):63, 2022 (注) 病原追加、病名英名追加	(野菜) 黒かび病 kurokabi-byo <i>Aspergillus niger</i> Tieghem 遠藤 茂:病虫雑 18(6):284, 1931(昭6) ; 川島耕一: 実際園芸臨時増刊 園芸植物の病害虫:115, 1932(昭7)
--	--

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) リゾクトニア葉鞘腐敗病 <i>Rhizoctonia-yosho-fuhai-byo</i> Rhizoctonia leaf sheath rot (1) binucleate <i>Rhizoctonia</i> 三澤知央:日植病報 80(1):61, 2014 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(3):121, 2017 ; 岩館康哉 ら:北日本病虫研報 72:1, 2021 [備考] 菌糸融合群 AG-U, AG-A (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 三澤知央・國永史朗:日植病報 75(1):87, 2009 ; 三澤知央:北日本病虫研報 62:208, 2011 ; 三澤知央: 日植病報 81(3):214, 2015 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(3):121, 2017 [備考] 菌糸融合群 (および培養型) AG-1 IB, AG-1 IC, AG-2-1, AG-2-2 IIIB, AG-4 HG-I, AG4 HG-II, AG-4 HG-I+II h.s., AG-5 (3) <i>Waitea circinata</i> Warcup & P.H.B. Talbot 岩館康哉ら:北日本病虫研報 72:1, 2021 (注) (1)備考変更、(3)病原追加	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) リゾクトニア葉鞘腐敗病 <i>Rhizoctonia-yosho-fuhai-byo</i> Rhizoctonia leaf sheath rot (1) binucleate <i>Rhizoctonia</i> 三澤知央:日植病報 80(1):61, 2014 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(3):121, 2017 [備考] 菌糸融合群 AG-U (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 三澤知央・國永史朗:日植病報 75(1):87, 2009 ; 三澤知央:北日本病虫研報 62:208, 2011 ; 三澤知央: 日植病報 81(3):214, 2015 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(3):121, 2017 [備考] 菌糸融合群 (および培養型) AG-1 IB, AG-1 IC, AG-2-1, AG-2-2 IIIB, AG-4 HG-I, AG4 HG-II, AG-4 HG-I+II h.s., AG-5
--	--

ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 春腐病 harugusare-byo Spring rot (1) <i>Erwinia</i> sp. 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (2) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (3) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 杉山 悟ら:日植病報 47(3):396, 1981 ; 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (4) <i>Pseudomonas salomonii</i> Gardan, Bella, Meyer, Christen, Rott, Achouak & Samson 2002 Sawada, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):180, 2020 (注) 病名英名訂正	ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 春腐病 harugusare-byo Spring roll (1) <i>Erwinia</i> sp. 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (2) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (3) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 杉山 悟ら:日植病報 47(3):396, 1981 ; 木村俊夫・橋本 保:日植病報 48(1):97, 1982 (4) <i>Pseudomonas salomonii</i> Gardan, Bella, Meyer, Christen, Rott, Achouak & Samson 2002 Sawada, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):180, 2020
--	---

ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 褐斑病 kappan-byo Alternaria leaf spot <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler 菅原 敬:山形農業特研報 2:36, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 褐斑病 kappan-byo Alternaria leaf spot <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
---	--

ユリ科 Liliaceae	ユリ科 Liliaceae
---------------	---------------

アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 株腐病 kabugusare-byo Stem and root rot (1) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 菅原 敬:山形農業特研報 2:38, 2010 ; 菅原 敬ら: 日植病報 77(1):50, 2011 [備考] 菌糸融合群 AG-4 亜群HG-1 培養型 IIIA (2) binucleate <i>Rhizoctonia</i> 菅原 敬:山形農業特研報 2:38, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 株腐病 kabugusare-byo Stem and root rot (1) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら: 日植病報 77(1):50, 2011 [備考] 菌糸融合群 AG-4 亜群HG-1 培養型 IIIA (2) binucleate <i>Rhizoctonia</i> 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 根茎腐敗病 konkei-fuhai-byo Pythium rot (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 竹内 純・堀江博道:日植病報 65(3):410, 1999 (2) <i>Pythium helicoides</i> Drechsler (3) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 菅原 敬ら:日植病報 76(1):44, 2010 ; 菅原 敬:山 形農業特研報 2:34, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 根茎腐敗病 konkei-fuhai-byo Pythium rot (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 竹内 純・堀江博道:日植病報 65(3):410, 1999 (2) <i>Pythium helicoides</i> Drechsler (3) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 菅原 敬ら:日植病報 76(1):44, 2010 ; 菅原 敬:山 形農試特別研報 2, 2010
---	--

ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花)	ユリ科 Liliaceae アルストロメリア Alstroemeria <i>Alstroemeria</i> spp. 及び種間雑種 (草花)
---	---

花腐病 hanagusare-byo <i>Fusarium</i> sp. 菅原 敬:山形農業特研報 2:35, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	花腐病 hanagusare-byo <i>Fusarium</i> sp. 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森田泰彰・川田洋一:日植病報 68(1):78, 2002 ; 森田泰彰ら:四国植防 38:15, 2003 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:40, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(6):406, 2017 [備考] 森田・川田(2002)および森田ら(2003)は菌糸融合群AG-4 培養型IIIA, 菅原(2010)および菅原ら(2011)は菌糸融合群AG-2-1 培養型II, Misawa <i>et al.</i>(2017)は菌糸融合群AG-11を報告した (注) 文献名訂正、文献ページ追加	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森田泰彰・川田洋一:日植病報 68(1):78, 2002 ; 森田泰彰ら:四国植防 38:15, 2003 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Misawa, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(6):406, 2017 [備考] 森田・川田(2002)および森田ら(2003)は菌糸融合群AG-4 培養型IIIA, 菅原(2010)および菅原ら(2011)は菌糸融合群AG-2-1 培養型II, Misawa <i>et al.</i>(2017)は菌糸融合群AG-11を報告した
--	---

ユリ科 Liliaceae ヤブラン Big blue lilyturf <i>Liriope platyphylla</i> Wang & Tang (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove [<i>Colletotrichum omnivorum</i> Halsted] 岩田吉人:日植病報 11(2):92, 1941(昭16) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 陳 忠和・小林享夫:日植病報 61(6):604, 1995 ; Kobayashi, T. & Chen, C.-H.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(1):38, 1998 (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	ユリ科 Liliaceae ヤブラン Big blue lilyturf <i>Liriope platyphylla</i> Wang & Tang (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove [<i>Colletotrichum omnivorum</i> Halsted] 岩田吉人:日植病報 11(2):92, 1941(昭16) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 陳 忠和・小林享夫:日植病報 61(6):604, 1995 ; Kobayashi, T. & Chen, C.-H.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(1):38, 1998
---	--

ユリ科 Liliaceae オーニソガラム Ornithogalum, Star of Bethlehem <i>Ornithogalum</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum tofieldiae</i> (Patouillard) Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove] 菅原 敬:山形農業特研報 2:39, 2010 ; 菅原 敬ら:北日本病虫研報 61:270, 2010 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 [備考] 菅原(2010)が<i>C. dematium</i>, 菅原ら(2010)が<i>Colletotrichum</i> sp.とした病原菌をSato <i>et al.</i>(2015)は, <i>C. tofieldiae</i>と再同定した (注) 病原学名変更、文献誌名訂正、文献ページ	ユリ科 Liliaceae オーニソガラム Ornithogalum, Star of Bethlehem <i>Ornithogalum</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010 ; 菅原 敬ら:北日本病虫研報 61:270, 2010
---	---

追加、文献追加	
---------	--

モクレン科 Magnoliaceae ユリノキ(ハンテンボク) Yellow-poplar, Tuliptree <i>Liriodendron tulipifera</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium liriodendri</i> Ellis & Everhart] 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 146:1, 1962 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	モクレン科 Magnoliaceae ユリノキ(ハンテンボク) Yellow-poplar, Tuliptree <i>Liriodendron tulipifera</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium liriodendri</i> Ellis & Everhart] 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 146:1, 1962
--	--

モクレン科 Magnoliaceae ホオノキ(厚朴) Japanese white bark magnolia <i>Magnolia obovata</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Pyrenopeziza protrusa</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo Itagaki, H. & Hosoya, T.:Mycoscience 62(6):373, 2021 [備考] ホオノキ上のDNA解析 (注) 新宿主	モクレン科 Magnoliaceae ホオノキ(厚朴) Japanese white bark magnolia <i>Magnolia obovata</i> Thunb. (広葉樹)
---	--

アオイ科 Malvaceae オクラ(アメリカネリ, 黄蜀葵) Okra <i>Abelmoschus esculentus</i> (L.) Moench (野菜)	アオイ科 Malvaceae オクラ(アメリカネリ, 黄蜀葵) Okra <i>Abelmoschus esculentus</i> (L.) Moench (野菜)
--	--

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis taurica</i> (Léveillé) E.S. Salmon] 斉藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975 [備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 澤岬 哲也ら:日植病報 88(1):27, 2022 ; 澤岬 哲也ら:日植病報 88(1):78, 2022 (注) 病原追加	うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis taurica</i> (Léveillé) E.S. Salmon] 斉藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975 [備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録
---	--

アオイ科 Malvaceae ケナフ(洋麻) Ambari hemp, Kenaf <i>Hibiscus cannabinus</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum hibisci</i> Pollacci 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):579, 1919(大8) [備考] 本病菌を <i>C. gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [子のう時代 <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] の異名とする意見がある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960) (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	アオイ科 Malvaceae ケナフ(洋麻) Ambari hemp, Kenaf <i>Hibiscus cannabinus</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum hibisci</i> Pollacci 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):579, 1919(大8) [備考] 本病菌を <i>C. gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [子のう時代 <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenk] の異名とする意見がある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960)
---	--

アオイ科 Malvaceae ムクゲ(木槿) Rose of sharon <i>Hibiscus syriacus</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose	アオイ科 Malvaceae ムクゲ(木槿) Rose of sharon <i>Hibiscus syriacus</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose
---	---

<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 伊藤一雄:森林防疫 27(4):59, 1978 [備考] 完全世代は<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenkだがムクゲでは未記録 (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 伊藤一雄:森林防疫 27(4):59, 1978 [備考] 完全世代は<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenkだがムクゲでは未記録
--	---

ゼニゴケ科 Marchantiaceae ゼニゴケ Liverwort <i>Marchantia polymorpha</i> L. subsp. <i>ruderalis</i> Bischl. & Boissel.-Dub. (草花) †††† <i>Octospora ithacaensis</i> (Rehm) K.B. Khare ゼニゴケツブチャワಂತケ 細野天智ら:日菌報 62(2):83, 2021 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主、新規宿主、新規科名	
---	--

クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum caricae</i> F. Stevens & J.G. Hall, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk]	クワ科 Moraceae イチジク(無花果) Fig <i>Ficus carica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum caricae</i> F. Stevens & J.G. Hall, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk]
---	--

徳淵永治郎:島根農会報 140:9, 1909(明42) ; 堀正太郎:日園雑 22(10):34, 1910(明43) ; 今井四郎:日園雑 25(8):34, 1913(大2) ; 逸見武雄:北大農紀要 9:1, 1920(大9) (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	徳淵永治郎:島根農会報 140:9, 1909(明42) ; 堀正太郎:日園雑 22(10):34, 1910(明43) ; 今井四郎:日園雑 25(8):34, 1913(大2) ; 逸見武雄:北大農紀要 9:1, 1920(大9)
---	--

クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイヌビワ <i>F. virgata</i> Reinw. ex Blume †褐色円斑病 kasshoku-maruhan-byo (褐色円星病) <i>Glomerella fici-beecheyanae</i> (Sawada) Yamamoto [<i>Guignardia fici-beecheyanae</i> Sawada] 澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):123, 1943(昭18) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生篇 5(1):4, 1961 [備考] 台湾。ケイヌビワ (<i>F. beecheyana</i>) (注) 備考の最後のカッコをイタリック体からローマン体に修正	クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイヌビワ <i>F. virgata</i> Reinw. ex Blume †褐色円斑病 kasshoku-maruhan-byo (褐色円星病) <i>Glomerella fici-beecheyanae</i> (Sawada) Yamamoto [<i>Guignardia fici-beecheyanae</i> Sawada] 澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):123, 1943(昭18) ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生篇 5(1):4, 1961 [備考] 台湾。ケイヌビワ (<i>F. beecheyana</i>)
---	---

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L.	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L.
---	---

ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (赤葉枯病) (1) <i>Colletotrichum boninense</i> sensu lato [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病報 81(3):205, 2015 [備考] 子のう胞子形成が確認されている (2) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove [<i>Colletotrichum morifolium</i> Hara] 原 攝祐:実用作物病理学:148, 1925 ; 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 [備考] 本病菌に <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove f. <i>morifolium</i> (Hara) Yamamoto を充てる意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:51, 1960) (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum morina</i> Hara 原 攝祐:日本菌類目録:400, 1954 (5) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (注) (1)(5)病原学名異名修正(Index Fungorumによる)	ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (赤葉枯病) (1) <i>Colletotrichum boninense</i> sensu lato [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病報 81(3):205, 2015 [備考] 子のう胞子形成が確認されている (2) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove [<i>Colletotrichum morifolium</i> Hara] 原 攝祐:実用作物病理学:148, 1925 ; 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 [備考] 本病菌に <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove f. <i>morifolium</i> (Hara) Yamamoto を充てる意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:51, 1960) (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum morina</i> Hara 原 攝祐:日本菌類目録:400, 1954 (5) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017
--	---

ヤマモモ科 Myricaceae ヤマモモ(楊梅) Wax myrtle <i>Myrica rubra</i> Sieb. & Zucc. (果樹) †††† <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:1, 1973 [備考] 潜在感染 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ヤマモモ科 Myricaceae ヤマモモ(楊梅) Wax myrtle <i>Myrica rubra</i> Sieb. & Zucc. (果樹) †††† <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:1, 1973 [備考] 潜在感染
--	--

モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum</i> sp.] 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):191, 1959 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:71, 1973 [備考] 完全世代は<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenkであるがトネリコ類では未記録 (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum</i> sp.] 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):191, 1959 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:71, 1973 [備考] 完全世代は<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenkであるがトネリコ類では未記録
---	--

モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹)	モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹)
---	---

バーティシリウム立枯病 <i>Verticillium-tachigare</i>-byo <i>Verticillium</i> wilt <i>Verticillium dahliae</i> Klebahn 中沖美優ら:日植病報 88(1):42, 2022 (注) 新病名	
--	--

モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種 (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 鍵渡徳次ら:日植病報 53(1):119, 1987 [備考] 切枝。完全世代 <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk はライラックでは未記録 (注) 備考修正(Index Fungorumによる)	モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種 (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 鍵渡徳次ら:日植病報 53(1):119, 1987 [備考] 切枝。完全世代 <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenk はライラックでは未記録
---	--

ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シンビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 森田 儔ら:原色花の病害虫防除:96, 1978 ; 鍵渡徳次ら:関東病虫研報 33:161, 1986	ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シンビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 森田 儔ら:原色花の病害虫防除:96, 1978 ; 鍵渡徳次ら:関東病虫研報 33:161, 1986
--	---

(注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	
-------------------------------	--

ラン科 Orchidaceae ファレノプシス Moth orchid <i>Phalaenopsis</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 徳永芳雄・柿畠 眞:日植病報 40(4):377, 1974 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ラン科 Orchidaceae ファレノプシス Moth orchid <i>Phalaenopsis</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 徳永芳雄・柿畠 眞:日植病報 40(4):377, 1974 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991
---	---

ケシ科 Papaveraceae ケシ類 Poppy <i>Papaver</i> spp. (草花) アイスランドポピー Iceland poppy <i>Papaver nudicaule</i> L. ヒナゲシ(虞美人草) Corn poppy <i>Papaver rhoeas</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 逸見武雄・野島友雄:京大農紀 3(2):25, 1927(昭2) (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ケシ科 Papaveraceae ケシ類 Poppy <i>Papaver</i> spp. (草花) アイスランドポピー Iceland poppy <i>Papaver nudicaule</i> L. ヒナゲシ(虞美人草) Corn poppy <i>Papaver rhoeas</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 逸見武雄・野島友雄:京大農紀 3(2):25, 1927(昭2)
--	--

トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) †††† (1) <i>Passiflora foetida</i> virus Y# (PfVY) クサトケイ ソウウイルスY 中里晃太ら:日植病報 85(3):313, 2019 ; Nakasato, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):401, 2020 ; Nakasato, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(2):160, 2022 [備考] 微斑モザイクを引き起こす可能性がある が, 戻し接種なし (2) <i>Uraria mosaic</i> virus# (UMV) フジボグサモザ イクウイルス 中里晃太ら:日植病報 85(3):313, 2019 ; Nakasato, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):401, 2020 ; Nakasato, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(2):160, 2022 [備考] 微斑モザイクを引き起こす可能性がある が, 戻し接種なし (注) 文献追加、ウイルス和名追加	トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) †††† (1) <i>Passiflora foetida</i> virus Y# (PfVY) 中里晃太ら:日植病報 85(3):313, 2019 ; Nakasato, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):401, 2020 [備考] 微斑モザイクを引き起こす可能性がある が, 戻し接種なし (2) <i>Uraria mosaic</i> virus# (UMV) 中里晃太ら:日植病報 85(3):313, 2019 ; Nakasato, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):401, 2020 [備考] 微斑モザイクを引き起こす可能性がある が, 戻し接種なし
--	--

ヤマゴボウ科 Phytolaccaceae ヤマゴボウ類 (Phytolacca) <i>Phytolacca</i> spp. (野草) ヨウシュヤマゴボウ <i>Phytolacca americana</i> L. 縮葉モザイク病 shukuyo-mosaic-byo Crinkle mosaic Mirabilis crinkle mosaic virus# (MiCMV) 鈴木拓海ら:日植病報 88(1):36, 2022	ヤマゴボウ科 Phytolaccaceae ヤマゴボウ類 (Phytolacca) <i>Phytolacca</i> spp. (野草) ヨウシュヤマゴボウ <i>Phytolacca americana</i> L.
---	--

[備考] ヨウシュヤマゴボウに発生 (注) 新病名	
---	--

マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森蝦松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl. †††† <i>Auricularia americana</i> Parmasto & I. Parmasto ex Audet, Boulet & Sirard sensu stricto キタキクラゲ 白水 貴ら:日菌報 62(2):128, 2021 (注) 新宿主	マツ科 Pinaceae モミ類 Fir <i>Abies</i> spp. (針葉樹) モミ(樅) <i>Abies firma</i> Sieb. & Zucc. ウラジロモミ(裏白樅, 日光樅) <i>Abies homolepis</i> Sieb. & Zucc. オオシラビソ(アオモリトドマツ)(青森蝦松, 大白檜) <i>Abies mariesii</i> Mast. シラビソ(シラベ(白檜)) <i>Abies veitchii</i> Lindl.
---	---

マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. 暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病, 雪枯病) <i>Racodium therryanum</i> Thümen 伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:218, 1957 ; 伊藤一雄:林業技術 117:6, 1951 ; 佐藤邦彦ら:林試研報	マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. 暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病, 雪枯病) <i>Racodium therryanum</i> Thümen 伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:218, 1957 ; 伊藤一雄:林業技術 117:6, 1951 ; 佐藤邦彦ら:林試研報
---	---

124:41, 1960 ; Iwakiri, A. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(6):406, 2021 [備考] 病菌の異名はイチイ暗色雪腐病参照。 Iwakiri <i>et al.</i>(2021)は、本病菌は系統的には <i>Herpotrichia juniperi</i>と同種であると報告した (注) 備考追加	124:41, 1960 [備考] 病菌の異名はイチイ暗色雪腐病参照
--	--

マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer †炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. Exp. Sta. 351:150, 1988 [備考] フィリピン。カリビアマツ。日本ではマツ類では未記録 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	マツ科 Pinaceae マツ類(ニ、三葉マツ) Two-needle and three-needle pines (針葉樹) アカマツ(赤松) Japanese red pine <i>Pinus densiflora</i> Sieb. & Zucc. クロマツ(黒松) Japanese black pine <i>Pinus thunbergii</i> Parl. リュウキュウマツ <i>Pinus luchuensis</i> Mayer †炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭そ病) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. Exp. Sta. 351:150, 1988 [備考] フィリピン。カリビアマツ。日本ではマツ類では未記録
---	---

コショウ科 Piperaceae ペペロミア <i>Peperomia</i> <i>Peperomia</i> spp. (草花) 白絹病 shiraku-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo	コショウ科 Piperaceae ペペロミア <i>Peperomia</i> <i>Peperomia</i> spp. (草花) 白絹病 shiraku-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo
---	---

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 40:163, 1993 [備考] チヂミ バペペロミア (チヂミバシマアオイソウ) <i>Peperomia caperata</i> (注) 備考訂正	竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 40:163, 1993 [備考] チヂミペペロミア (チヂミバシマアオイソウ) <i>Peperomia caperata</i>
--	---

イソマツ科 Plumbaginaceae アルメリア(ハマカンザシ, マツバカンザシ) Thrift <i>Armeria maritima</i> (Mill.) Willd. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose* <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove [<i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore] 菅原 敬ら:日植病報 71(1):50, 2005 ; Sato, T. et al.:JARQ 49(4):351, 2015 [備考] 菅原ら(2005)が<i>C. truncatum</i>と報告した病原菌をSato et al.(2015)は、狭義の<i>C. dematium</i>と再同定した (注) 病原学名変更	イソマツ科 Plumbaginaceae アルメリア(ハマカンザシ, マツバカンザシ) Thrift <i>Armeria maritima</i> (Mill.) Willd. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose* <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 菅原 敬ら:日植病報 71(1):50, 2005
--	--

イソマツ科 Plumbaginaceae スターチス(ハナハマサジ, イソマツ類, リモニウム) Statice, Wide leaf sea lavender <i>Limonium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 野島秀伸・矢口行雄:日植病報 63(3):199, 1997 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding	イソマツ科 Plumbaginaceae スターチス(ハナハマサジ, イソマツ類, リモニウム) Statice, Wide leaf sea lavender <i>Limonium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 野島秀伸・矢口行雄:日植病報 63(3):199, 1997 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H.
--	--

& H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 31(2):101, 1986 ; 手 塚信夫・中村秀雄:関東病虫研報 34:117, 1987 (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 31(2):101, 1986 ; 手 塚信夫・中村秀雄:関東病虫研報 34:117, 1987
--	---

マキ科 Podocarpaceae イヌマキ(狗槨, 羅漢松) Longleaf podocarpus <i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don (針葉樹) ラカンマキ(羅漢槨) <i>Podocarpus macrophyllus</i> D.Don var. <i>maki</i> Sieb. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 都崎芳久:四国植防 33:29, 1998 [備考] イヌマキに発生 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	マキ科 Podocarpaceae イヌマキ(狗槨, 羅漢松) Longleaf podocarpus <i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don (針葉樹) ラカンマキ(羅漢槨) <i>Podocarpus macrophyllus</i> D.Don var. <i>maki</i> Sieb. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 都崎芳久:四国植防 33:29, 1998 [備考] イヌマキに発生
--	--

ハナシノブ科 Polemoniaceae シバザクラ(ハナツメクサ, モスフロックス) Moss phlox <i>Phlox subulata</i> L. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 河原崎秀志・加藤孝太郎:日植病報 88(1):63, 2022 (注) 新病名	ハナシノブ科 Polemoniaceae シバザクラ(ハナツメクサ, モスフロックス) Moss phlox <i>Phlox subulata</i> L. (草花)
--	--

タデ科 Polygonaceae ソバ(蕎麦) Buckwheat <i>Fagopyrum esculentum</i> Moench (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove 森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999 (注) (1)病原学名異名修正(Index Fungorumによる)	タデ科 Polygonaceae ソバ(蕎麦) Buckwheat <i>Fagopyrum esculentum</i> Moench (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk] 森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove 森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999
スギゴケ科 Polytrichaceae ナミガタタチゴケ <i>Atrichum moss</i> <i>Atrichum undulatum</i> (Hedw.) P. Beauv. (草花) †††† <i>Neottiella albocincta</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Saccardo アラゲタチゴケチャワнтаケ 細野天智ら:日菌報 62(2):81, 2021 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主、新規宿主	スギゴケ科 Polytrichaceae

キンポウゲ科 Ranunculaceae デルフィニウム(ヒエンソウ, オオヒエンソウ) Larkspur <i>Delphinium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora</i> sp. 近藤 亨ら:日植病報 82(3):232, 2016 ; <i>Kondo, T. et al.:</i>J. Gen. Plant Pathol. 88(2):145, 2022 [備考] <i>Delphinium elatum</i> に発生。病原菌は<i>P. cryptogea species complex</i>の一つである<i>P. sp. kelmania</i>とされた (注) 文献追加	キンポウゲ科 Ranunculaceae デルフィニウム(ヒエンソウ, オオヒエンソウ) Larkspur <i>Delphinium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora</i> sp. 近藤 亨ら:日植病報 82(3):232, 2016 [備考] <i>Delphinium elatum</i> に発生
--	--

キンポウゲ科 Ranunculaceae クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus) <i>Helleborus</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum lineola</i> Corda 菅原 敬ら:日植病報 74(3):181, 2008 ; Sugawara, K. <i>et al.:</i>J. Gen. Plant Pathol. 75(2):163, 2009 ; <i>Sato, T. et al.:</i>JARQ 49(4):351, 2015 [備考] クリスマスローズ <i>H. niger</i> に発生。菅原ら(2008)が<i>C. truncatum</i>, Sugawara <i>et al.</i>(2009)が<i>Colletotrichum</i> sp.とした病原菌株をSato <i>et al.</i>(2015)は, <i>C. lineola</i>と再同定した (注) 病原再同定、備考変更	キンポウゲ科 Ranunculaceae クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus) <i>Helleborus</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum</i> sp. 菅原 敬ら:日植病報 74(3):181, 2008 ; Sugawara, K. <i>et al.:</i>J. Gen. Plant Pathol. 75(2):163, 2009 [備考] クリスマスローズ <i>H. niger</i> に発生。ITS配列から <i>C. dematium</i> または <i>C. truncatum</i> と近縁とした
---	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae	キンポウゲ科 Ranunculaceae
----------------------	----------------------

クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus) <i>Helleborus</i> spp. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 53:152, 2002 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:5, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus) <i>Helleborus</i> spp. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:北日本病虫研報 53:152, 2002 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	--

キンポウゲ科 Ranunculaceae クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus) <i>Helleborus</i> spp. (草花) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora pulveracea</i> Fuckel 菅原 敬ら:日植病報 74(3):181, 2008 ; 菅原 敬:山 形農業特研報 2:4, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	キンポウゲ科 Ranunculaceae クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus) <i>Helleborus</i> spp. (草花) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora pulveracea</i> Fuckel 菅原 敬ら:日植病報 74(3):181, 2008 ; 菅原 敬:山 形農試特別研報 2, 2010
---	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae カラマツソウ類 (Thalictrum) <i>Thalictrum</i> spp. (野草) アキカラマツ <i>Thalictrum minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Sieb. & Zucc.) Miq. ノカラマツ <i>Thalictrum simplex</i> var. <i>brevipes</i> Hara エゾアキカラマツ <i>Thalictrum thunbergii</i> DC. var. <i>majus</i> Nakai ミヤマカラマツ <i>Thalictrum tuberiferum</i> Maxim.	キンポウゲ科 Ranunculaceae カラマツソウ類 (Thalictrum) <i>Thalictrum</i> spp. (野草) アキカラマツ <i>Thalictrum minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Sieb. & Zucc.) Miq. ノカラマツ <i>Thalictrum simplex</i> var. <i>brevipes</i> Hara エゾアキカラマツ <i>Thalictrum thunbergii</i> DC. var. <i>majus</i> Nakai ミヤマカラマツ <i>Thalictrum tuberiferum</i> Maxim.
--	--

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe aquilegiae</i> de Candolle Meeboon, J. & Takamatsu, S.: Mycoscience 56:257, 2015 [備考] ミヤマカラマツに発生。接種試験未了 (2) <i>Erysiphe aquilegiae</i> de Candolle var. <i>ranunculi</i> (Greville) R.Y. Zheng & G.Q. Chen 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:194, 1997 [備考] カラマツソウ(<i>T. aquilegiifolium</i> var. <i>intermedium</i> Nakai), エゾカラマツ(<i>T. sachalinense</i> Lecoyer)にも発生 (注) (2)備考修正	うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe aquilegiae</i> de Candolle Meeboon, J. & Takamatsu, S.: Mycoscience 56:257, 2015 [備考] ミヤマカラマツに発生。接種試験未了 (2) <i>Erysiphe aquilegiae</i> de Candolle var. <i>ranunculi</i> (Greville) R.Y. Zheng & G.Q. Chen 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:194, 1997 [備考] カラマツソウ(<i>T. aquilegiifolium</i> var. <i>intermedium</i> Nakai), エゾカラマツ(<i>T. sachalinense</i> Lecover)にも発生
--	---

バラ科 Rosaceae ヤマブキショウマ (Aruncus) <i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H.Hara (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera spiraeae</i> (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu Liu, S.-Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(6):390, 2021 (注) 新病名	バラ科 Rosaceae ヤマブキショウマ (Aruncus) <i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H.Hara (広葉樹)
--	--

バラ科 Rosaceae マルメロ(楡棹) Quince <i>Cydonia oblonga</i> Miller (果樹)	バラ科 Rosaceae マルメロ(楡棹) Quince <i>Cydonia oblonga</i> Miller (果樹)
--	--

炭疽病* tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 江口直樹・萩原保身:日植病報 68(2):186, 2002 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 今井四郎:日園雑 25(8):34, 1913(大2) (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	炭疽病* tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 江口直樹・萩原保身:日植病報 68(2):186, 2002 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 今井四郎:日園雑 25(8):34, 1913(大2)
--	---

バラ科 Rosaceae シモツケソウ類 (Filipendula) <i>Filipendula</i> spp. (野草) シモツケソウ <i>Filipendula multijuga</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe ulmariae</i> Damazières 丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平 編):1216, 1998 [備考] シモツケソウに発生 (2) <i>Podosphaera filipendulae</i> (Z.Y. Zhao) T.Z. Liu & U. Braun Liu, S.-Y. <i>et al.</i> :Mycoscience 62(6):390, 2021 [備考] コシジシモツケソウ(<i>F. auriculata</i>), オニシ モツケ(<i>F. camtschatica</i>), シモツケソウ(<i>F.</i> <i>multijuga</i>), ウラジロシモツケソウ(<i>F. palmata</i>), キョウガノコ(<i>F. purpurea</i>)に発生 (注) 病原追加	バラ科 Rosaceae シモツケソウ類 (Filipendula) <i>Filipendula</i> spp. (野草) シモツケソウ <i>Filipendula multijuga</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe ulmariae</i> Damazières 丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平 編):1216, 1998 [備考] シモツケソウ
--	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne
---	---

(野菜) 黒色根腐病* kokushoku-negusare-byo Black root rot (根腐症) (1) <i>binucleate Rhizoctonia</i> 山城 都ら:関東病虫研報 68:10, 2021 [備考] 菌糸融合群 AG-A, AG-G (2) <i>Rhizoctonia fragariae</i> S.S. Husain & W.E. McKeen [<i>Rhizoctonia candida</i> W. Yamamoto, <i>Ceratobasidium</i> sp.] 山本和太郎:日菌報 3(1-6):118, 1962 ; 小玉孝司ら:日植病報 40(2):136, 1974 ; Kohmoto, K. <i>et al.</i>:J. Fac. Agric., Tottori Univ. 16:1, 1981 (注) 病原追加、文献訂正	(野菜) 黒色根腐病* kokushoku-negusare-byo Black root rot (根腐症) <i>Rhizoctonia fragariae</i> S.S. Husain & W.E. McKeen [<i>Rhizoctonia candida</i> W. Yamamoto, <i>Ceratobasidium</i> sp.] 山本和太郎:日菌報 3(1-6):118, 1962 ; 小玉孝司ら:日植病報 40(2):136, 1974 ; 甲元啓介ら:鳥取大農学術報 16:1, 1981
--	---

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 炭疽病 tanso-byo Crown rot, Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds [<i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato] Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki(2013)は果実から分離された菌株を暫定的に系統群A2-Sとした (2) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i>	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 炭疽病 tanso-byo Crown rot, Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds [<i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato] Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki(2013)は果実から分離された菌株を暫定的に系統群A2-Sとした (2) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i>
---	---

J.H. Simmonds] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum fragariae</i> A.N. Brooks 山本 勉・福西 務:日植病報 36(3):165, 1970 ; 山本 勉:植物防疫 25(2):61, 1971 ; 岡山健夫:奈良農試研報 20:79, 1989 [備考] Weir, B.S. <i>et al.</i> (Stud. Mycol. 73:115, 2012) は, <i>C. fragariae</i> を <i>C. theobromicola</i> の異名としている (5) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; Hirayama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(4):186, 2016 (6) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 (8) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 岡山健夫:植物防疫 42(12):5, 1988 ; 岡山健夫・辻本 昭:日植病報 60(5):617, 1994 (注) (8)病原学名修正(Index Fungorumによる)	J.H. Simmonds] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum fragariae</i> A.N. Brooks 山本 勉・福西 務:日植病報 36(3):165, 1970 ; 山本 勉:植物防疫 25(2):61, 1971 ; 岡山健夫:奈良農試研報 20:79, 1989 [備考] Weir, B.S. <i>et al.</i> (Stud. Mycol. 73:115, 2012) は, <i>C. fragariae</i> を <i>C. theobromicola</i> の異名としている (5) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; Hirayama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(4):186, 2016 (6) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 (8) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 岡山健夫:植物防疫 42(12):5, 1988 ; 岡山健夫・辻本 昭:日植病報 60(5):617, 1994
---	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果)	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果)
------------------------------------	------------------------------------

Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 炭疽病 tanso-byo Bitter rot (苦腐病, 腐敗病, 熱腐病, 晚腐病, 炭そ病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (2) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (4) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 飯島章彦:関東病虫研報 41:123, 1994 ; 佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (6) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (7) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák, <i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley] 出田 新:日本植物病理学:358, 1903(明36) ; 三宅市郎・原 攝祐:日園雑 22(12):31, 1910(明43) (注) (7)病原学名修正(Index Fungorumによる)	Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 炭疽病 tanso-byo Bitter rot (苦腐病, 腐敗病, 熱腐病, 晚腐病, 炭そ病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (2) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (4) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 飯島章彦:関東病虫研報 41:123, 1994 ; 佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (6) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (7) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák, <i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley] 出田 新:日本植物病理学:358, 1903(明36) ; 三宅市郎・原 攝祐:日園雑 22(12):31, 1910(明43)
--	---

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum mume</i> Hori, <i>Glomerella mume</i> (Hori) Hemmi] 堀正太郎:園芸之友 10(1):33, 1914(大3) ; 逸見武雄:北大農紀要 9(1):39, 1920(大9) ; 北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:137, 1962 [備考] 葉炭疽病を統合した (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum mume</i> Hori, <i>Glomerella mume</i> (Hori) Hemmi] 堀正太郎:園芸之友 10(1):33, 1914(大3) ; 逸見武雄:北大農紀要 9(1):39, 1920(大9) ; 北島 博・梶原敏宏:原色作物病害図説:137, 1962 [備考] 葉炭疽病を統合した
--	---

バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 本多哲也ら:日植病報 63(6):494, 1997	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 本多哲也ら:日植病報 63(6):494, 1997
---	---

[備考] カプリチェリー (<i>Prunus capuli</i>) に発生 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 末松直次・鋤塚喜久治:農商務省病菌害虫彙報 8:1, 1920(大9) (注) (3)病原学名修正(Index Fungorumによる)	[備考] カプリチェリー (<i>Prunus capuli</i>) に発生 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 末松直次・鋤塚喜久治:農商務省病菌害虫彙報 8:1, 1920(大9)
--	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 赤かび病 akakabi-byo Fusarium rot (赤黴 病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal [<i>Fusarium</i> <i>orthoceras</i> Appel & Wallenweber] 逸見武雄・瀬戸房太郎:病虫雑 28:83, 1941(昭16) (2) <i>Gibberella zeae</i> (Schweinitz) Petch [<i>Gibberella</i> <i>saubinetii</i> (Montagne) Saccardo] 原 攝祐:果樹病害論:220, 1916(大5) [備考] 海外では病原菌として <i>G. avenacea</i> R.J. Cook が挙げられている (注) (2)備考修正	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 赤かび病 akakabi-byo Fusarium rot (赤黴 病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal [<i>Fusarium</i> <i>orthoceras</i> Appel & Wallenweber] 逸見武雄・瀬戸房太郎:病虫雑 28:83, 1941(昭16) (2) <i>Gibberella zeae</i> (Schweinitz) Petch [<i>Gibberella</i> <i>saubinetii</i> (Montagne) Saccardo] 原 攝祐:果樹病害論:220, 1916(大5) [備考] 海外では病原菌として <i>G. avenacea</i> R.J.Cooke が挙げられている
--	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃)	バラ科 Rosaceae モモ(桃)
-------------------------------	-------------------------------

Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 枝折病 edaore-byo Fusicoccum canker <i>Fusicoccum amygdali</i> (Delacroix) Tuset & Portilla [<i>Fusicoccum</i> sp.] 原田俊男・鍵渡徳次:桃の新病害枝折病に関する研究, 神奈川県農林部:1, 1951 ; Kanematsu, S. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(5):531, 1999 (注) 備考削除。木村勘二 (日植病報 8(1):74, 1938)は、桜の萎凋病についての文献	Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 枝折病 edaore-byo Fusicoccum canker <i>Fusicoccum amygdali</i> (Delacroix) Tuset & Portilla [<i>Fusicoccum</i> sp.] 原田俊男・鍵渡徳次:桃の新病害枝折病に関する研究, 神奈川県農林部:1, 1951 ; Kanematsu, S. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(5):531, 1999 [備考] 木村勘二 (日植病報 8(1):74, 1936) は萎凋病として <i>Fusicoccum pruni</i> Potebnia を記載しているが、本病との関係は不明
--	--

バラ科 Rosaceae セイヨウナシ(ヨウナシ)(西洋梨) Pear, European pear <i>Pyrus communis</i> L. var. <i>sativa</i> de Candolle (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley]	バラ科 Rosaceae セイヨウナシ(ヨウナシ)(西洋梨) Pear, European pear <i>Pyrus communis</i> L. var. <i>sativa</i> de Candolle (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley]
---	---

鑄方末彦:実験果樹病害篇:76, 1927(昭2) ; 深谷雅子・加藤作美:北日本病虫研報 43:80, 1992 ; 菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999 (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	鑄方末彦:実験果樹病害篇:76, 1927(昭2) ; 深谷雅子・加藤作美:北日本病虫研報 43:80, 1992 ; 菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999
---	---

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaeifolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi さび色胴枯病 <i>sabi-ro-dogare-byo</i> <i>Erwinia</i> rusty canker (1) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> pv. <i>chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953, <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 ; 唐津達彦ら:日植病報 85(1):71, 2019 ; 唐津達彦ら:山口農林総技セ研報 12:30, 2021 ; 唐津達彦ら:植物防疫 75(11):604, 2021 [備考] 唐津ら(2019 ; 山口農林総技セ研報 2021 ; 植物防疫 2021)は, カメムシの加害により本病原が果実を腐敗させることを報告した (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923]	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaeifolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi さび色胴枯病 <i>sabi-ro-dogare-byo</i> <i>Erwinia</i> rusty canker (1) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> pv. <i>chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953, <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 ; 唐津達彦ら:日植病報 85(1):71, 2019 ; 唐津達彦ら:山口農林総技セ研報 12:30, 2021 [備考] 唐津ら(2019 ; 2021)は, カメムシの加害により本病原が果実を腐敗させることを報告した (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987
---	--

梅本清作・長井雄治:日植病報 50(1):83, 1984 ; 陶山一雄ら:日植病報 53(1):71, 1987 (注) 文献追加、備考変更	
---	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaeolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (葉炭疽病, 葉の炭疽病, 果の炭疽病, 苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 深谷雅子ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 深谷雅子:日植病報 70(3):184, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák] 黒澤良平:植物学雑 26(311):359, 1912(大1) ; 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 原 攝祐:果樹病害論:107, 1916(大5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:54, 1927(昭2) [備考] 葉炭疽病を統合した	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaeolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (葉炭疽病, 葉の炭疽病, 果の炭疽病, 苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 深谷雅子ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 深谷雅子:日植病報 70(3):184, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák] 黒澤良平:植物学雑 26(311):359, 1912(大1) ; 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 原 攝祐:果樹病害論:107, 1916(大5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:54, 1927(昭2) [備考] 葉炭疽病を統合した
---	--

(注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	
バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† Pear chlorotic leaf spot-associated virus# (PCLSaV) ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス [Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV)] 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 竹山さわな ら:日植病報 87(1):7, 2021 ; 竹山さわな ら:日植病報 88(1):1, 2022 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT-PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田ら(2020)は, JPCSaVと名付けた。その後, 竹山ら(2021)は, 本ウイルスがPCLSaVと同種であることを報告した。神山ら(2020)は, 果梗の裂傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆した。戻し接種なし (注) 文献追加	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† Pear chlorotic leaf spot-associated virus# (PCLSaV) ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス [Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV)] 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 竹山さわな ら:日植病報 87(1):7, 2021 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT-PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田ら(2020)は, JPCSaVと名付けた。その後, 竹山ら(2021)は, 本ウイルスがPCLSaVと同種であることを報告した。神山ら(2020)は, 果梗の裂傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆した。戻し接種なし
バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類

Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted 保 虎太郎:病虫雑 23(12):952, 1936(昭11) [備考] 調査を要する (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 神頭武嗣ら:日植病報 77(3):164, 2011 (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	Rose <i>Rosa</i> spp. (広葉樹, 野草) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted 保 虎太郎:病虫雑 23(12):952, 1936(昭11) [備考] 調査を要する (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 神頭武嗣ら:日植病報 77(3):164, 2011
--	---

アカテツ科 Sapotaceae ミラクルフルーツ Miracle fruit <i>Synsepalum dulcificum</i> (Schumach. & Thonn.) Daniell (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 果実腐敗症状 (2) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉の斑点症状 (3) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉枯症状	アカテツ科 Sapotaceae ミラクルフルーツ Miracle fruit <i>Synsepalum dulcificum</i> (Schumach. & Thonn.) Daniell (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 果実腐敗症状 (2) <i>Colletotrichum karstii</i> Y.L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉の斑点症状 (3) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Truong, H.H. <i>et al.</i>:Int. J. Phytopathol. 7(3):89, 2018 [備考] 葉枯症状
--	---

(注) (2)病原学名修正 (Index Fungorumによる)	
サラセニア科 Sarraceniaceae サラセニア (Sarracenia) <i>Sarracenia</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum cigarro</i> (B.S. Weir & P.R. Johnston) A. Cabral & P. Talhinhos 西平守司ら:日植病報 88(1):76, 2022 (注) 新病名	サラセニア科 Sarraceniaceae サラセニア (Sarracenia) <i>Sarracenia</i> spp. (草花)
ユキノシタ科 Saxifragaceae ツボサンゴ Coral bell <i>Heuchera sanguinea</i> Engelm. (草花) ペスタロチア葉枯病 <i>Pestalotia-hagare-byo</i> <i>Pestalotiopsis</i> sp. 菅原 敬:山形農業特研報 2:12, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	ユキノシタ科 Saxifragaceae ツボサンゴ Coral bell <i>Heuchera sanguinea</i> Engelm. (草花) ペスタロチア葉枯病 <i>Pestalotia-hagare-byo</i> <i>Pestalotiopsis</i> sp. 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea</i> <i>involuta</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea</i> <i>involuta</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino

ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (円星病) (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003 [備考] アジサイ由来の <i>C. sp.</i> は <i>C. destructivum</i> である (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum ajisai</i> Miura, <i>Colletotrichum hydrangeae</i> Sawada] 中村重正ら:日植病報 32(2):64, 1966 ; 澤田兼吉: 台湾農試報 85:82, 1943(昭18) ; 中村重正:東農大 農学集報 14(3-4):190, 1970 [備考] アジサイ・ガクアジサイ・ヤマアジサ イ・ツルアジサイ・ガクウツギ・カラコンテリ ギ (<i>H. chinensis</i>) (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)。(2) 備考の最後のカッコをイタリック体からローマ ン体にする	ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (円星病) (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003 [備考] アジサイ由来の <i>C. sp.</i> は <i>C. destructivum</i> である (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum ajisai</i> Miura, <i>Colletotrichum</i> <i>hydrangeae</i> Sawada] 中村重正ら:日植病報 32(2):64, 1966 ; 澤田兼吉: 台湾農試報 85:82, 1943(昭18) ; 中村重正:東農大 農学集報 14(3-4):190, 1970 [備考] アジサイ・ガクアジサイ・ヤマアジサ イ・ツルアジサイ・ガクウツギ・カラコンテリ ギ (<i>H. chinensis</i>)
---	---

ユキノシタ科 Saxifragaceae イワガラミ Japanese hydrangea vine <i>Schizophragma hydrangeoides</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe schizophragmatis</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula</i> <i>schizophragmatis</i> Tanda & Y. Nomura]	ユキノシタ科 Saxifragaceae イワガラミ Japanese hydrangea vine <i>Schizophragma hydrangeoides</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe schizophrangmatis</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula</i> <i>schizophragmatis</i> Tanda & Y. Nomura]
--	---

Nomura, Y. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(2):212, 1992 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 (2) <i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Fuss [<i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma p.p.] Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):409, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):264, 1988 (注) (1)病原学名訂正	Nomura, Y. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(2):212, 1992 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 (2) <i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Fuss [<i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma p.p.] Homma, Y.:J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):409, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):264, 1988
---	--

ナス科 Solanaceae ブロワリア Browallia <i>Browallia speciosa</i> Hook. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:日植病報 73(3):177, 2007 ; 菅原 敬:山 形農業特研報 2:16, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	ナス科 Solanaceae ブロワリア Browallia <i>Browallia speciosa</i> Hook. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 菅原 敬ら:日植病報 73(3):177, 2007 ; 菅原 敬:山 形農試特別研報 2, 2010
--	---

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis</i> <i>sicula</i> Scalia] 斉藤 正・平田幸治:植物防疫 21(1):8, 1967 ; 斉藤 正:高知農林特研報 1:1, 1979 ; 高松 進:三重大生	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis</i> <i>sicula</i> Scalia] 斉藤 正・平田幸治:植物防疫 21(1):8, 1967 ; 斉藤 正:高知農林特研報 1:1, 1979 ; 高松 進:三重大生
---	---

資紀要 38:24, 2012 [備考] 病原菌の完全世代は我が国では未確認 (注) 病原学名訂正	資紀要 38:24, 2012 [備考] 病原菌の完全世代は我が国では未確認
--	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 立枯病 tachigare-byo Nectria blight <i>Fusarium solani-melongenae</i> O'Donnell, Geiser, Kasson & T. Aoki [<i>Fusarium striatum</i> Sherbakoff, <i>Neocosmospora ipomoeae</i> (Halsted) L. Lombard & Crous, <i>Haematonectria ipomoeae</i> (Halsted) Samuels & Nirenberg, <i>Nectria ipomoeae</i> Halsted, <i>Nectria haematococca</i> Berkeley & Broome] 森田泰彰ら:日植病報 60(6):776, 1994 ; 多賀正節ら:日植病報 72(4):206, 2006 ; 富田有理ら:関東病虫研報 68:5, 2021 [備考] シシトウガラシに発生。Rossman <i>et al.</i> (Stud. Mycol. 42:134, 1999) は, <i>Nectria haematococca</i> complex を <i>Haematonectria</i> 属に帰属させるとともに, ホモタリックな菌群を狭義の <i>H. haematococca</i> とは別種の <i>H. ipomoeae</i> とした。富田ら(2021)は, <i>Neocosmospora ipomoeae</i> (<i>H. ipomoeae</i>の異名)によるパプリカの茎枯れ症状を報告。<i>Nectria ipomoeae</i>を, Lombard <i>et al.</i> (Stud. Mycol. 80:227, 2015)が<i>Neocosmospora</i>属に転属, さらにAoki <i>et al.</i> (Index Fungorum 440:4, 2020)が<i>F. solani-melongenae</i>とした(O'Donnell <i>et al.</i>:Plant Dis. 106:1603, 2022) (注) 病原学名変更・備考追加	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 立枯病 tachigare-byo Nectria blight <i>Haematonectria ipomoeae</i> (Halsted) Samuels & Nirenberg [<i>Fusarium striatum</i> Sherbakoff, <i>Nectria haematococca</i> Berkeley & Broome] 森田泰彰ら:日植病報 60(6):776, 1994 ; 多賀正節ら:日植病報 72(4):206, 2006 [備考] シシトウガラシに発生。A.Y. Rossman <i>et al.</i> (Studies in Mycology 42:134, 1999) は, <i>Nectria haematococca</i> complex を <i>Haematonectria</i> 属に帰属させるとともに, ホモタリックな菌群を狭義の <i>H. haematococca</i> とは別種の <i>H. ipomoeae</i> とした
---	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 腐敗細菌病* fuhai-saikin-byo Bacterial rot (腐敗病) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2021 [<i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925] 唐津達彦ら:近畿中国農業研究 89:9, 1995 ; 澤田 宏之:植物防疫 75(3):135, 2021 (注) 病原学名修正	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 腐敗細菌病* fuhai-saikin-byo Bacterial rot (腐敗病) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2020 [<i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925] 唐津達彦ら:近畿中国農業研究 89:9, 1995 ; 澤田 宏之:植物防疫 75(3):135, 2021
---	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白粉病, 白渋病) (1) <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis</i> <i>sicula</i> Scalia] 斉藤 正・倉田宗良:日植病報 40(3):171, 1974 ; 高 松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012 [備考] 完全世代は未記録 (2) <i>Oidium</i> sp. [<i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle] 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1055, 1915 ; 平田幸 治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 和田久美子・平田 幸治:新潟大農研報 29:77, 1977 ; Matsuda, Y. <i>et</i> <i>al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 67(4):294, 2001 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討を 要する。完全世代は未記録。 <i>Erysiphe polygoni</i> 型 (3) <i>Pseudoidium neolycopersici</i> (L. Kiss) L. Kiss	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白粉病, 白渋病) (1) <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis</i> <i>sicula</i> Scalia] 斉藤 正・倉田宗良:日植病報 40(3):171, 1974 ; 高 松 進:三重大生資紀要 38:24, 2012 [備考] 完全世代は未記録 (2) <i>Oidium</i> sp. [<i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle] 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1055, 1915 ; 平田幸 治:日植病報 21(2-3):88, 1956 ; 和田久美子・平田 幸治:新潟大農研報 29:77, 1977 ; Matsuda, Y. <i>et</i> <i>al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 67(4):294, 2001 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討を 要する。完全世代は未記録。 <i>Erysiphe polygoni</i> 型 (3) <i>Pseudoidium neolycopersici</i> (Levente Kiss)
---	--

[<i>Oidium neolycopersici</i> L. Kiss] Kashimoto, K. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 69(3):176, 2003 ; Takamatsu, S. <i>et al.</i>: Mycoscience 45(1):71, 2005 (注) (3)病原学名および病原学名異名修正	Levente Kiss [<i>Oidium neolycopersici</i> Levente Kiss] Kashimoto, K. <i>et al.</i>: J. Gen. Plant Pathol. 69(3):176, 2003 ; Takamatsu, S. <i>et al.</i>: Mycoscience 45(1):71, 2005
--	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 円紋病 emmon-byo Phoma leaf spot, Stem and fruit rot (茎腐病, 実腐病, 輪状斑点病) (1) <i>Phoma destructiva</i> Plowright [<i>Phyllosticta lycopersici</i> Peck] 原 攝祐:実験作物病理学:821, 1930(昭5); 瀧元清透:病虫雑 18(6):280, 1931(昭6); 中田覺五郎:作物病害図編:546, 1934(昭9); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:595, 1992 [備考] Morgan-Jones, G. & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:253, 1988) は <i>Phyllosticta lycopersici</i> を <i>Phoma destructiva</i> の異名とした (2) <i>Phoma exigua</i> Desmazières [<i>Ascochyta phaseolorum</i> Saccardo] 成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973 ; 成田武四・伊藤 仁:北日本病虫研報 24:6, 1973 [備考] Morgan-Jones, G. & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:484, 1988) は <i>Ascochyta phaseolorum</i> を <i>Phoma exigua</i> の異名とした (3) <i>Phoma lycopersici</i> Cooke [<i>Didymella lycopersici</i> Klebahn, <i>Diplodina lycopersici</i> Hollós] 成田武四ら:北農 36(7):41, 1969 ; 窪田昌春ら:日植病報 66(1):12, 2000 [備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:510, 1925) は本菌の不完全世代 <i>Phoma lycopersici</i> Cooke をトマ	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 円紋病 emmon-byo Phoma leaf spot, Stem and fruit rot (茎腐病, 実腐病, 輪状斑点病) (1) <i>Phoma destructiva</i> Plowright [<i>Phyllosticta lycopersici</i> Peck] 原 攝祐:実験作物病理学:821, 1930(昭5); 瀧元清透:病虫雑 18(6):280, 1931(昭6); 中田覺五郎:作物病害図編:546, 1934(昭9); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:595, 1992 [備考] Morgan-Jones, G & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:253, 1988) は <i>Phyllosticta lycopersici</i> を <i>Phoma destructiva</i> の異名とした (2) <i>Phoma exigua</i> Desmazières [<i>Ascochyta phaseolorum</i> Saccardo] 成田武四・伊藤 仁:日植病報 39(2):153, 1973 ; 成田武四・伊藤 仁:北日本病虫研報 24:6, 1973 [備考] Morgan-Jones, G. & Burch, K.B. (Mycotaxon 32:484, 1988) は <i>Ascochyta phaseolorum</i> を <i>Phoma exigua</i> の異名とした (3) <i>Phoma lycopersici</i> Cooke [<i>Didymella lycopersici</i> Klebahn, <i>Diplodina lycopersici</i> Hollós] 成田武四ら:北農 36(7):41, 1969 ; 窪田昌春ら:日植病報 66(1):12, 2000 [備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:510, 1925) は本菌の不完全世代 <i>Phoma lycopersici</i> Cooke をトマ
--	---

ト斑点病の病原菌として記録している。トマトの <i>Phoma</i> 菌による病害を統一し、円紋病とする。なお、<i>Phoma lycopersici</i> の有性世代 <i>Didymella lycopersici</i> Klebahn は国内未確認 (注) (1)備考修正	ト斑点病の病原菌として記録している。トマトの <i>Phoma</i> 菌による病害を統一し、円紋病とする。なお、<i>Phoma lycopersici</i> の有性世代 <i>Didymella lycopersici</i> Klebahn は国内未確認
---	--

ナス科 Solanaceae ホオズキ(酸漿) Chinese lanternplant <i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Masters) Hort. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara [<i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes] 中村宏子ら:日植病報 64(4):432, 1998 ; 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003 [備考] これにより、ホオズキ由来の <i>C. coccodes</i> は <i>C. destructivum</i> に統合される (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 外側正之ら:日植病報 64(6):600, 1998 (注) (2)病原学名修正(Index Fungorumによる)	ナス科 Solanaceae ホオズキ(酸漿) Chinese lanternplant <i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Masters) Hort. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara [<i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes] 中村宏子ら:日植病報 64(4):432, 1998 ; 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003 [備考] これにより、ホオズキ由来の <i>C. coccodes</i> は <i>C. destructivum</i> に統合される (2) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk 外側正之ら:日植病報 64(6):600, 1998
---	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 陥没病* kambotsu-byo Pit rot <i>Fusarium graminearum</i> sensu stricto 中山尊登ら:日植病報 87(3):208, 2021	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 陥没病* kambotsu-byo Pit rot <i>Fusarium graminearum</i> s. str. 中山尊登ら:日植病報 87(3):208, 2021
--	--

(注) 病原学名修正。sensu strictoの表記を他と揃えた	
-----------------------------------	--

アオギリ科 Sterculiaceae アオギリ(梧桐, 青桐) Chinese parasoltree <i>Firmiana simplex</i> (L.) W. F. Wight (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe clintoniopsis</i> (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula clintoniopsis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen] Braun, U.:Mycotaxon 20(2):487, 1984 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):252, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 (2) <i>Erysiphe nishidana</i> (Homma) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula nishidana</i> Homma] 伊藤一雄:樹病学大系 2:19, 1973 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012 (注) 病原学名訂正	アオギリ科 Sterculiaceae アオギリ(梧桐, 青桐) Chinese parasoltree <i>Firmiana simplex</i> (L.) W. F. Wight (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe clintoniopsis</i> (R.Y. Zheng & G.O. Chen) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula clintoniopsis</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen] Braun, U.:Mycotaxon 20(2):487, 1984 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):252, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 (2) <i>Erysiphe nishidana</i> (Homma) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula nishidana</i> Homma] 伊藤一雄:樹病学大系 2:19, 1973 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):367, 1937(昭12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012
---	---

ヌメリイグチ科 Suillaceae ヌメリイグチ属 (Suillus) <i>Suillus</i> spp. (きのこ) †††† <i>Sepedonium laevigatum</i> Sahr & Ammer 常盤 俊之ら:日菌報 62(2):113, 2021 (注) 新宿主、新規宿主、新規科名	
---	--

ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐色葉枯病) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Guignardia camelliae</i> (Cooke) E.J. Butler, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 伊藤一雄:植物防疫 9(11):437, 1955 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:68, 1973 [備考] ユキツバキ (<i>C. rusticana</i>) にも発生 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐色葉枯病) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Guignardia camelliae</i> (Cooke) E.J. Butler, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 伊藤一雄:植物防疫 9(11):437, 1955 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:68, 1973 [備考] ユキツバキ (<i>C. rusticana</i>) にも発生
---	---

ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Physalospora japonica</i> Togashi] 原 攝祐:実験樹木病害篇:257, 1927(昭2) ; 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:18, 1926(大15) (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Physalospora japonica</i> Togashi] 原 攝祐:実験樹木病害篇:257, 1927(昭2) ; 富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:18, 1926(大15)
---	---

ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) <i>Sasanqua camellia</i>	ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) <i>Sasanqua camellia</i>
---	---

<i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 5(1):2, 1961 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	<i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 5(1):2, 1961
--	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 赤葉枯病 akahagare-byo Brown blight, Copper blight (赤星病, 灰色葉枯病) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum camelliae</i> Massee, <i>Guignardia camelliae</i> (Cooke) E.J. Butler] 吉野毅一:大日本農会報 294:18, 1905(明38) ; ト蔵梅之丞:病虫雑 2(8, 付録):45, 1915(大4) ; 河野又四:近畿大食品科学研特報 1:1, 1965 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 赤葉枯病 akahagare-byo Brown blight, Copper blight (赤星病, 灰色葉枯病) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum camelliae</i> Massee, <i>Guignardia camelliae</i> (Cooke) E.J. Butler] 吉野毅一:大日本農会報 294:18, 1905(明38) ; ト蔵梅之丞:病虫雑 2(8, 付録):45, 1915(大4) ; 河野又四:近畿大食品科学研特報 1:1, 1965
--	--

ツバキ科 Theaceae サカキ(榊) (Cleyera) <i>Cleyera japonica</i> Thunb. (広葉樹) †††† 糸状菌の1種	ツバキ科 Theaceae サカキ(榊) (Cleyera) <i>Cleyera japonica</i> Thunb. (広葉樹)
--	---

椎根敏弘ら:日植病報 88(1):54, 2022 [備考] 葉枯れ症状を起こす (注) 新宿主	
---	--

ツバキ科 Theaceae モッコク(木斛) (Ternstroemia) <i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wright & Arn.) Beddome (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 小林享夫・佐々木克彦:日菌報 16(3):241, 1975 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)	ツバキ科 Theaceae モッコク(木斛) (Ternstroemia) <i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wright & Arn.) Beddome (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 小林享夫・佐々木克彦:日菌報 16(3):241, 1975
--	--

ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae ジンチョウゲ(沈丁花) Daphne <i>Daphne odora</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum daphnicola</i> Miura 三浦密成:秋田農試報 13:14, 1962 [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (2) <i>Gloeosporium</i> sp. 安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:134, 1973 [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (3) <i>Glomerella</i> sp. 小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:184, 1977 [備考] 寺下隆喜代 (林試研報 252:18, 1973) は生	ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae ジンチョウゲ(沈丁花) Daphne <i>Daphne odora</i> Thunb. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum daphnicola</i> Miura 三浦密成:秋田農試報 13:14, 1962 [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (2) <i>Gloeosporium</i> sp. 安盛 博・山口忠義:群馬林試報 12:134, 1973 [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (3) <i>Glomerella</i> sp. 小林享夫:緑化樹木の病虫害(上)病害とその防除:184, 1977 [備考] 寺下隆喜代 (林試研報 252:18, 1973) は生
--	--

葉組織分離株中に<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenkの成熟子のう殻を観察している (注) (3)備考修正(Index Fungorumによる)、文献著者名訂正	葉組織分離株中に<i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenkの成熟子のう殻を観察している
---	--

ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病) <i>Erysiphe zelkovae</i> (Henningss) U. Braun [<i>Uncinula kusanoi</i> Sydow & P. Sydow var. <i>zelkovae</i> (Hennings) U. Braun, <i>Uncinula zelkovae</i> Hennings] 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:91, 1900(明33) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):346, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):239, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012 (注) 病原学名訂正	ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒) Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病, 白渋病) <i>Erysiphe zelkowae</i> (Henning) U. Braun & R.T.A. Cook [<i>Uncinula kusanoi</i> Sydow & P. Sydow var. <i>zelkowae</i> (Hennings) U. Braun, <i>Uncinula zelkowae</i> Hennings] 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:91, 1900(明33) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):346, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):239, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:70, 2012
--	---

クマツヅラ科 Verbenaceae バーベナ(ビジョザクラ) Verbena <i>Verbena × hybrida</i> Voss (草花) ヒメビジョザクラ (Verbena) <i>Verbena tenera</i> Spreng. シュツコンバーベナ <i>Verbena rigida</i> Spreng. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose	クマツヅラ科 Verbenaceae バーベナ(ビジョザクラ) Verbena <i>Verbena × hybrida</i> Voss (草花) ヒメビジョザクラ (Verbena) <i>Verbena tenera</i> Spreng. シュツコンバーベナ <i>Verbena rigida</i> Spreng. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose
---	---

<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:17, 2010 (注) 文献名訂正、文献ページ追加	<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004 ; 菅原 敬:山形農試特別研報 2, 2010
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> sensu stricto Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 [備考] 狭義の<i>C. gloeosporioides</i> (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> sensu stricto Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 [備考] 狭義の<i>C. gloeosporioides</i> (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子
--	--

ら:日植病報 84(1):3, 2018 (6) <i>Colletotrichum perseae</i> G. Sharma & S. Freeman Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (8) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D. Hyde & Z.Y. Liu 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀正太 郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40) [備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphilinum</i> Cavara を記載した。ま た, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病 の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した (注) (9)病原学名修正(Index Fungorumによる)	ら:日植病報 84(1):3, 2018 (6) <i>Colletotrichum perseae</i> G. Sharma & S. Freeman Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (8) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D. Hyde & Z.Y. Liu 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀正太 郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40) [備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphilinum</i> Cavara を記載した。ま た, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病 の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† (1) <i>Grapevine leafroll-associated virus 3</i> (GLRaV-3) ブドウ葉巻随伴ウイルス3	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† (1) <i>Grapevine leafroll-associated virus 3</i> (GLRaV) ブドウ葉巻随伴ウイルス3
--	---

(2) <i>Grapevine rupestris stem pitting-associated virus</i> (GRSPaV) ブドウステムピットティング随伴ウイルス (3) <i>Grapevine virus B</i> (GVB) ブドウBウイルス 千秋祐也・伊藤隆男:日植病報 87(3):171, 2021 [備考] 遺伝子解析による検出。戻し接種なし (注) (1)病原学名略号修正	(2) <i>Grapevine rupestris stem pitting-associated virus</i> (GRSPaV) ブドウステムピットティング随伴ウイルス (3) <i>Grapevine virus B</i> (GVB) ブドウBウイルス 千秋祐也・伊藤隆男:日植病報 87(3):171, 2021 [備考] 遺伝子解析による検出。戻し接種なし
--	---

アズマゼニゴケ科 Wiesnerellaceae ケゼニゴケ Dumortier's liverwort <i>Dumortiera hirsuta</i> (Sw.) Nees subsp. <i>hirsuta</i> (草花) †††† <i>Octosporopsis erinacea</i> Egertová & Döbbeler ケゼ ニゴケニセチャワントケ 細野天智ら:日菌報 62(2):85, 2021 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主、新規宿主、新規科名	
--	--

ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 葉鞘腐敗病 yosho-fuhai-byo Sheath rot <i>Ophiosphaerella agrostidis</i> Dernoeden, M.P.S. Câmara, N.R. O'Neill, Berkum & M.E. Palm [<i>Ophiosphaerella</i> sp.] 沖 友香ら:日植病報 86(3):191, 2020 ; Oki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(3):173, 2022	ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 葉鞘腐敗病 yosho-fuhai-byo Sheath rot <i>Ophiosphaerella</i> sp. 沖 友香ら:日植病報 86(3):191, 2020
--	---

(注) 病原学名変更、文献追加	
-----------------	--

2023 年（令和 5 年）2 月 14 日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2022年8月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名, 病原追加, 病名・学名変更, 文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤 衛

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe ljabarskii</i> (Golovin) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ljabarskii</i> [<i>Uncinula ljabarskii</i> Golovin var. <i>ljabarskii</i>, <i>Uncinula aduncoides</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen, <i>Uncinula</i> sp.] 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):198, 1983 ; Braun, U.:Mycotaxon 20:487, 1984 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012 [備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・オオイタヤマメイゲツ・ハウチワカエデに発生 (2) <i>Sawadaea bicornis</i> (Wallroth) Homma [<i>Uncinula aceris</i> (de Candolle) Saccardo] (白渋病, 粉病) 白井光太郎:最近植物病理学:397, 1903(明36) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 9:50, 1914(大3) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] ミツデカエデ (<i>A. cissifolium</i>)・エンコウカエデ・ウリカエデ (<i>A. crataegifolium</i>)・ウラゲエンコウカエデ・トネリコバナカエデ・イタヤカエデ・ツタモミジ・ヤマモミジ・オニイタヤに	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe ljabarskii</i> (Golovin) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ljabarskii</i> [<i>Uncinula ljabarskii</i> Golovin var. <i>ljabarskii</i>, <i>Uncinula aduncoides</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen, <i>Uncinula</i> sp.] 野村幸彦ら:東農大農学集報 21(1):29, 1976 ; 野村幸彦・丹田誠之助:日菌報 24(2):198, 1983 ; Braun, U.:Mycotaxon 20:487, 1984 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012 [備考] ヤマモミジ・イロハモミジ・オオイタヤマメイゲツ・ハウチワカエデに発生 (2) <i>Sawadaea bicornis</i> (Wallroth) Homma [<i>Uncinula aceris</i> (de Candolle) Saccardo] (白渋病, 粉病) 白井光太郎:最近植物病理学:397, 1903(明36) ; 白井光太郎:植物病理学(下):173, 1894(明27) ; 澤田兼吉:台湾農試特報 9:50, 1914(大3) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] ミツデカエデ (<i>A. cissifolium</i>)・エンコウカエデ・ウリカエデ (<i>A. crataegifolium</i>)・ウラゲエンコウカエデ・トネリコバナカエデ・イタヤカエデ・ツタモミジ・ヤマモミジ・オニイタヤに
--	--

発生 (3) <i>Sawadaea bifida</i> V.P. Heluta [<i>Sawadaea zhengii</i> Y. Nomura, <i>Sawadaea</i> sp.] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:106, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] エンコウカエデに発生 (4) <i>Sawadaea negundinis</i> Homma Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):375, 1937(昭12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:14, 1973 [備考] トネリコバノカエデに発生 (5) <i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [<i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>japonica</i> U. Braun & Tanda, <i>Sawadaea tulasnei</i> sensu auct. Jap. non (Fuckel) Homma] Braun, U.:Mycotaxon 22:93, 1985 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 ; Meeboon, J. et al.:Mycoscience 56(6):590, 2015 [備考] イロハモミジ・ヒナウチワカエデ・コハウチワカエデ・ヤマモミジ・ナンゴクミネカエデ(<i>A. australe</i>)に発生 (6) <i>Sawadaea tulasnei</i> (Fuckel) Homma [<i>Uncinula aceris</i> auct. non Saccardo, <i>Sawadaea aceris</i> Miyabe ex Sawada, <i>Uncinula aceris</i> Saccardo var. <i>tulasnei</i> E.S. Salmon] (粉病, 白渋病) 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明37) ; 新島善直:新編森林保護学(下):494, 1925(大14) [備考] ヤマモミジ・イタヤカエデ・クロビイタヤ・ウリカエデ・オガラバナ (<i>A. ukurunduense</i>)・オニイタヤ・ウリハダカエデ・ベニイタヤ・マンシュウイタヤカエデに発生 (7) <i>Sawadaea</i> sp. (白渋病) 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973 [備考] オオモミジ・ヒロハモミジ・ウラジロイ	発生 (3) <i>Sawadaea bifida</i> Heluta [<i>Sawadaea zhengii</i> Y. Nomura] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:106, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 [備考] エンコウカエデに発生 (4) <i>Sawadaea negundinis</i> Homma Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):375, 1937(昭12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:14, 1973 [備考] トネリコバノカエデに発生 (5) <i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [<i>Sawadaea polyfida</i> (C.T. Wei) R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>japonica</i> U. Braun & Tanda, <i>Sawadaea tulasnei</i> sensu auct. Jap. non (Fuckel) Homma] Braun, U.:Mycotaxon 22:93, 1985 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:23, 2012 ; Meeboon, J. et al.:Mycoscience 56(6):590, 2015 [備考] イロハモミジ・ヒナウチワカエデ・コハウチワカエデ・ヤマモミジ・ナンゴクミネカエデ(<i>A. australe</i>)に発生 (6) <i>Sawadaea tulasnei</i> (Fuckel) Homma [<i>Uncinula aceris</i> auct. non Saccardo, <i>Sawadaea aceris</i> Miyabe ex Sawada, <i>Uncinula aceris</i> Saccardo var. <i>tulasnei</i> E.S. Salmon] (粉病, 白渋病) 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明37) ; 新島善直:新編森林保護学(下):494, 1925(大14) [備考] ヤマモミジ・イタヤカエデ・クロビイタヤ・ウリカエデ・オガラバナ (<i>A. ukurunduense</i>)・オニイタヤ・ウリハダカエデ・ベニイタヤ・マンシュウイタヤカエデに発生 (7) <i>Sawadaea</i> sp. (白渋病) 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:492, 1973 [備考] オオモミジ・ヒロハモミジ・ウラジロイ
---	---

タヤ・テツカエデ・ミネカエデ・エンコウカエデ・ウリハダカエデ・チドリノキ (<i>A. carpinifolium</i>)・オオイタヤメイゲツ・ハウチワカエデに発生 (注) (3)病原学名修正。病原学名異名の掲載漏れ修正(2018年版に掲載あり、その後の新旧対照表から漏れている)	タヤ・テツカエデ・ミネカエデ・エンコウカエデ・ウリハダカエデ・チドリノキ (<i>A. carpinifolium</i>)・オオイタヤメイゲツ・ハウチワカエデに発生
---	--

マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐斑) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 生咲 巖ら:日植病報 88(3):231, 2022 [備考] 同時に分離された<i>C. karsti</i>, <i>C. siamense</i>については, 接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病	マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐斑) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司
--	---

報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i> と再同定した (注) 病原追加	ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i> と再同定した
---	---

ツルナ(ハマミズナ)科 Aizoaceae メセンブリアンテマ(メセン)類 (<i>Mesembryanthemum</i>) <i>Mesembryanthemum</i> spp. (野菜) アイスプラント <i>Mesembryanthemum crystallinum</i> L. 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick You, X.D. <i>et al.</i>:<i>New Dis. Rep.</i> 32:36, 2015 ; 尤 暁東ら:日植病報 82(1):61, 2016 [備考] 養液栽培アイスプラントに発生 (注) 文献追加	ツルナ(ハマミズナ)科 Aizoaceae メセンブリアンテマ(メセン)類 (<i>Mesembryanthemum</i>) <i>Mesembryanthemum</i> spp. (野菜) アイスプラント <i>Mesembryanthemum crystallinum</i> L. 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 尤 暁東ら:日植病報 82(1):61, 2016 [備考] 養液栽培アイスプラントに発生
---	--

ヒユ科 Amaranthaceae ケイトウ(鶏頭, 鶏冠) Feather cockscomb <i>Celosia cristata</i> L. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot (黒斑病) (1) <i>Cercospora celosiae</i> Sydow 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:66, 1939(昭14) ; 香月繁孝:福岡県農改課学術報告 1:7, 1949 (2) <i>Pseudocercospora celosiarum</i> (A.K. Kar & M. Mandal) Deighton Nakashima, C. <i>et al.</i>:<i>Mycoscience</i> 43:95, 2002	ヒユ科 Amaranthaceae ケイトウ(鶏頭, 鶏冠) Feather cockscomb <i>Celosia cristata</i> L. (草花) 斑点病 hanten-byo Leaf spot (黒斑病) (1) <i>Cercospora celosiae</i> Sydow 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:66, 1939(昭14) ; 香月繁孝:福岡県農改課学術報告 1:7, 1949 (2) <i>Pseudocercospora celosiarum</i> (A.K. Kar & M. Mandal) Deighton Nakashima, C. <i>et al.</i>:<i>Mycoscience</i> 43:95, 2002
---	---

[備考] Katsuki (1965)は福岡県産標本を用いて <i>Cercospora celosiae</i> Sydow と同定したが, 再検討の結果, 誤同定で <i>P. celosiarum</i> が正しい。(1)の瀧元(1939)が記載した <i>C. celosiae</i> が正しいかは不明 (注) 備考修正。日本植物病名目録第一版追録での文言がそのままになっていた	[備考] Katsuki (1965)は福岡県産標本を用いて <i>Cercospora celosiae</i> Sydow と同定したが, 再検討の結果, 誤同定で <i>P. celosiarum</i> が正しい。日本植物病名目録p.279の瀧元(1939)が記載した <i>C. celosiae</i> が正しいかは不明
--	---

ヒガンバナ科 Amaryllidaceae リコリス(ヒガンバナ, ショウキラン, ナツズイセンなど) Lycoris <i>Lycoris</i> spp. (草花) ヒガンバナ Cluster amaryllis <i>Lycoris radiata</i> (L'Herit) Herb. (注) 宿主和名訂正	ヒガンバナ科 Amaryllidaceae リコリス(ヒガンバナ, ショウキラン, ナツズイセンなど) Lycoris <i>Lycoris</i> spp. (草花) ヒガンバナ Cluster amaryllis <i>Lycoris radiata</i> (L'Herit) Herb.
--	--

ヒガンバナ科 Amaryllidaceae タマスダレ(玉簾) Zephyr lily <i>Zephyranthes candida</i> (Lindl.) Herb. (草花) †白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 澤田兼吉:台湾農試特別報告 2:1, 1911(明44) [備考] 台湾。タマスダレでは国内発生未確認 (注) 文献年訂正	ヒガンバナ科 Amaryllidaceae タマスダレ(玉簾) Zephyr lily <i>Zephyranthes candida</i> (Lindl.) Herb. (草花) †白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo 澤田兼吉:台湾農試特別報告 2:1, 1917(大6) [備考] 台湾。タマスダレでは国内発生未確認
--	--

ウルシ科 Anacardiaceae タイトウルシ	ウルシ科 Anacardiaceae タイトウルシ
--------------------------------------	--------------------------------------

(Semecarpus) <i>Semecarpus longifolia</i> Blume (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾 (注) 文献号数訂正	(Semecarpus) <i>Semecarpus longifolia</i> Blume (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic Ashitaba mosaic virus# (AshMV) アシタバモザイクウイルス Sakamoto, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(2):87, 2021 ; 坂本 彩:植物防疫 76(4):198, 2022 (注) 文献追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae アシタバ Ashitaba <i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz. (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic Ashitaba mosaic virus# (AshMV) アシタバモザイクウイルス Sakamoto, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(2):87, 2021
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae セルリー(セロリー, オランダミツバ, 塘蒿) Celery <i>Apium graveolens</i> L. (野菜) 疫病 eki-byo Phytophthora blight <i>Phytophthora tentaculata</i> Kröber & Marwitz	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae セルリー(セロリー, オランダミツバ, 塘蒿) Celery <i>Apium graveolens</i> L. (野菜)
--	--

藤永真史ら:日植病報 88(3):223, 2022 ; Fujinaga, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(5):336, 2022 (注) 新病名	
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> Nym. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot <i>Pseudomonas petroselini</i> Sawada, Fujikawa, Osada & Satou 2022 [<i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925] 長田 茂:北日本病虫研報 45:80, 1994 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 72(6):005424, 2022 [備考] 長田(1994)の12菌株のうち4菌株がSawada <i>et al.</i>(2022)により再分類された (注) 病原学名変更	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> Nym. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 長田 茂:北日本病虫研報 45:80, 1994
---	---

キョウチクトウ科 Apocynaceae カリッサ Christ's thorn <i>Carissa carandas</i> L. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾	キョウチクトウ科 Apocynaceae カリッサ Christ's thorn <i>Carissa carandas</i> L. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) ; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾
---	---

(注) 文献号数訂正	
キョウチクトウ科 Apocynaceae キョウチクトウ(來竹桃) Sweet-scented oleander <i>Nerium indicum</i> Mill. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3); 藤黒與三郎:植物学雑誌 32(384):362, 1918(大7) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照 (注) 文献号数訂正	キョウチクトウ科 Apocynaceae キョウチクトウ(來竹桃) Sweet-scented oleander <i>Nerium indicum</i> Mill. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3); 藤黒與三郎:植物学雑誌 32(384):362, 1918(大7) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照
キョウチクトウ科 Apocynaceae サンユウカ Adam's apple <i>Tabernaemontana divaricata</i> (L.) R.Br. ex Roem. & Schult. [<i>Ervatamia coronaria</i> Stapf] (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾 (注) 文献号数挿入	キョウチクトウ科 Apocynaceae サンユウカ Adam's apple <i>Tabernaemontana divaricata</i> (L.) R.Br. ex Roem. & Schult. [<i>Ervatamia coronaria</i> Stapf] (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2:266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾

キョウチクトウ科 Apocynaceae キバナキョウチクトウ (Thevetia) <i>Thevetia neriifolia</i> Juss. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3); 阿部恭 久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾 (注) 文献号数訂正	キョウチクトウ科 Apocynaceae キバナキョウチクトウ (Thevetia) <i>Thevetia neriifolia</i> Juss. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3); 阿部恭 久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾
---	---

ウコギ科 Araliaceae ウド(土当帰) Udo <i>Aralia cordata</i> Thunb. (野菜) †††† ウイルス (未同定) 澤登芳秋ら:関東病虫研報 67:90, 2020 ; 山村ゆり 奈ら:日植病報 88(3):188, 2022 [備考] ウドのモザイク症状から検出されたトン ブスウイルス科に属する新種のウイルス。戻し 接種なし (注) 文献追加、備考変更	ウコギ科 Araliaceae ウド(土当帰) Udo <i>Aralia cordata</i> Thunb. (野菜) †††† ウイルス (未同定) 澤登芳秋ら:関東病虫研報 67:90, 2020 [備考] ウドのモザイク症状から検出されたトン ブスウイルス科に属するウイルス。戻し接種な し
---	---

ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch.	ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch.
--	--

(広葉樹) †††† Fatsia japonica ringspot-associated virus# (FjRSaV) ヤツデ輪紋随伴ウイルス 鈴木拓海ら:日植病報 88(3):187, 2022 [備考] 二名法では, <i>Orthospovirus fatsiae</i>を提唱した。戻し接種不成功 (注) 新宿主	(広葉樹)
--	--------------

ヤシ科 Arecaceae, Palmae アブラヤシ(油椰子) African oil palm <i>Elaeis guineensis</i> Jacq. (特用作物) ††樹幹腐敗病 jukan-fuhai-byo Trunk rot disease, Basal stem rot <i>Ganoderma lucidum</i> (Leysser) P. Karsten マンネンタケ 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:159, 1977 (注) 病名英名間のカンマ位置修正	ヤシ科 Arecaceae, Palmae アブラヤシ(油椰子) African oil palm <i>Elaeis guineensis</i> Jacq. (特用作物) ††樹幹腐敗病 jukan-fuhai-byo Trunk rot disease, Basal stem rot <i>Ganoderma lucidum</i> (Leysser) P. Karsten マンネンタケ 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:159, 1977
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ヨモギ類 (Artemisia) <i>Artemisia</i> spp. (野草) オトコヨモギ <i>Artemisia japonica</i> Thunb. イヌヨモギ <i>Artemisia keiskeana</i> Miq. オオワタヨモギ <i>Artemisia koidzumii</i> Nakai オオヨモギ <i>Artemisia montana</i> (Nakai) Pampan. ヨモギ <i>Artemisia princeps</i> Pampan. チシマヨモギ <i>Artemisia unalaskensis</i> Rydb.	キク科 Asteraceae, Compositae ヨモギ類 (Artemisia) <i>Artemisia</i> spp. (野草) オトコヨモギ <i>Artemisia japonica</i> Thunb. イヌヨモギ <i>Artemisia keiskeana</i> Miq. オオワタヨモギ <i>Artemisia koidzumii</i> Nakai オオヨモギ <i>Artemisia montana</i> (Nakai) Pampan. ヨモギ <i>Artemisia princeps</i> Pampan. チシマヨモギ <i>Artemisia unalaskensis</i> Rydb.
--	--

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces artemisiae</i> (Greville) V.P. Heluta [Erysiphe artemisiae Greville, <i>Erysiphe cichoracearum</i> sensu lat. auct. non de Candolle] 白井光太郎:日本菌類目録:31, 1905(明38)；本間ヤ ス:北大農紀要 38(3):335, 1937(昭12)；大谷吉 雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):190, 1988； Matsuda, S. & Takamatsu, S.:Mol. Phylogenet. Evol. 27:314, 2003 [備考] オトコヨモギ・イヌヨモギ・オオワタヨ モギ・オオヨモギ・ヨモギ・チシマヨモギに発 生 (注) 病原学名修正、文献名の前のスペース削除	うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces artemisiae</i> (Greville) Heluta [Erysiphe artemisiae Greville, <i>Erysiphe cichoracearum</i> sensu lat. auct. non de Candolle] 白井光太郎:日本菌類目録:31, 1905(明38)；本間ヤ ス:北大農紀要 38(3):335, 1937(昭12)；大谷吉 雄・伊藤誠哉:日本菌類誌 3(2):190, 1988； Matsuda, S. & Takamatsu, S.: Mol. Phylogenet. Evol. 27:314, 2003 [備考] オトコヨモギ・イヌヨモギ・オオワタヨ モギ・オオヨモギ・ヨモギ・チシマヨモギに発 生
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 小室康雄:日植病報 32(3):115, 1966 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種無し (2) <i>Dahlia common mosaic virus</i># (DCMV) ダリ アコモンモザイクウイルス 煉谷 裕太朗ら:日植病報 84(3):236, 2018；山本大 稀ら:日植病報 88(3):199, 2022 [備考] 塩基配列解析による同定。山本ら(2022) は、感染性クローンでの接種試験に成功した。ダ リア内在性ウイルス様配列 <i>Dahlia variabilis</i> endogenous plant pararetroviral sequence (DvEPRS) も検出された (3) <i>Dahlia mosaic virus</i> (DMV) ダリアモザイク	キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 小室康雄:日植病報 32(3):115, 1966 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種無し (2) <i>Dahlia common mosaic virus</i># (DCMV) ダリ アコモンモザイクウイルス 煉谷 裕太朗ら:日植病報 84(3):236, 2018 [備考] 塩基配列解析による同定。戻し接種な し。ダリア内在性ウイルス様配列 <i>Dahlia</i> <i>variabilis</i> endogenous plant pararetroviral sequence (DvEPRS)も検出された (3) <i>Dahlia mosaic virus</i> (DMV) ダリアモザイク
--	--

ウイルス 高橋 実ら:植物ウイルスの分類学的研究 昭和37年度成績:101, 1963 ; 土居養二ら:日植病報 33(2):95, 1967 ; 山本大稀ら:日植病報 88(3):199, 2022 [備考] 山本ら(2022)は、感染性クローンでの接種試験に成功した。ウイルス(未同定)によるモザイク病の最初の記載は、日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭8) (注) 文献追加、備考変更	ウイルス 高橋 実ら:植物ウイルスの分類学的研究 昭和37年度成績:101, 1963 ; 土居養二ら:日植病報 33(2):95, 1967 [備考] ウイルス(未同定)によるモザイク病の最初の記載は、日野 巖:宮崎高農学報 5:97, 1933(昭8)
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) <i>Dahlia</i> <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) わい化病 waika-byo Stunt <i>Chrysanthemum stunt viroid</i> (CSVd) キク矮化ウイルス Nakashima, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73(3):225, 2007 ; Asano, S. <i>et al.</i>:J. Phytopathol. 170(9):643, 2022 (注) 文献追加、備考削除	キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) <i>Dahlia</i> <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) わい化病 waika-byo Stunt <i>Chrysanthemum stunt viroid</i> (CSVd) キク矮化ウイルス Nakashima, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 73(3):225, 2007 [備考] 罹病植物には他の数種ウイルスも混在しており、わい化が本ウイルスによってのみ生じるか否かさらなる検討を要する
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) <i>Chrysanthemum</i> <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces artemisiae</i> (Greville) V.P. Heluta [<i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle var. <i>cichoracearum</i>, <i>Oidium asteris-punicea</i> Peck, <i>Oidium</i>	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) <i>Chrysanthemum</i> <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces artemisiae</i> (Greville) Heluta [<i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle var. <i>cichoracearum</i>, <i>Oidium asteris-punicea</i> Peck, <i>Oidium</i>
---	--

<i>chrysanthemi</i> Rabenhorst] 原 攝祐:実用作物病理学:545, 1925(大14)；本間ヤス:北大農紀 38:339, 1937(昭12)；大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):188, 1988；Matsuda, S. & Takamatsu, S.:Mol. Phylogenet. Evol. 27:314, 2003 [備考] 原(1925)は解説書。本間ヤス(1937)は寄主植物リスト (注) 病原学名修正, 文献名の前のスペース削除	<i>chrysanthemi</i> Rabenhorst] 原 攝祐:実用作物病理学:545, 1925(大14)；本間ヤス:北大農紀 38:339, 1937(昭12)；大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):188, 1988；Matsuda, S. & Takamatsu, S.: Mol. Phylogenet. Evol. 27:314, 2003 [備考] 原(1925)は解説書。本間ヤス(1937)は寄主植物リスト
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 立枯病 tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 山内智史・窪田昌春:日植病報 81(1):50, 2015；山内智史・窪田昌春:関東病虫研報 63:25, 2016 [備考] リーフレタスに発生 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009；楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012 (3) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 篠崎智子ら:日植病報 86(3):192, 2020 [備考] 植物工場栽培レタスに潜在感染していたことを報告 (4) <i>Pythium polymastum</i> Drechsler	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 立枯病 tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 山内智史・窪田昌春:日植病報 81(1):50, 2015；山内智史・窪田昌春:関東病虫研報 63:25, 2016 [備考] リーフレタスに発生 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009；楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012 (3) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 篠崎智子ら:日植病報 86(3):192, 2020 [備考] 植物工場栽培レタスに潜在感染していたことを報告
--	---

楠 幹生ら:日植病報 88(3):183, 2022 (5) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012 (6) <i>Pythium uncinulatum</i> Plaäts-Niterink & I. Blok 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012 [備考] 本病原は、ピシウム萎凋病の病原でもある (注) 病原追加、備考追加	(4) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012 (5) <i>Pythium uncinulatum</i> Plaäts-Niterink & I. Blok 楠 幹生ら:日植病報 75(3):185, 2009 ; 楠 幹生:植物防疫 66(2):96, 2012
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) ピシウム萎凋病 <i>Pythium-icho-byo</i> Pythium wilt <i>Pythium uncinulatum</i> Plaäts-Niterink & I. Blok 松浦克成ら:日植病報 74(1):67, 2008 ; Matsuura, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):320, 2010 [備考] 本病原は、立枯病の病原でもある (注) 備考追加	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) ピシウム萎凋病 <i>Pythium-icho-byo</i> Pythium wilt <i>Pythium uncinulatum</i> Plaäts-Niterink & I. Blok 松浦克成ら:日植病報 74(1):67, 2008 ; Matsuura, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):320, 2010
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae	キク科 Asteraceae, Compositae
----------------------------	----------------------------

レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) (注) 病名削除。2017年4月の新旧対照表の病名削除指示(すそ枯病へ統合のため)が2018年版へ反映されず、その反映漏れの修正	レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 瓦谷光男ら:日植病報 73(1):21, 2007 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IC
--	---

キクラゲ科 Auriculariaceae アラゲキクラゲ(粗毛木耳) Ear fungus <i>Auricularia polytricha</i> (Montagne) Saccardo (きのこ) 綿腐病 watagusare-byo Cottony leak <i>Hypomyces pseudocorticiicola</i> Tokiwa & Okuda 奥田康仁ら:菌蕈研報 46:23, 2016 (注) 新病名	キクラゲ科 Auriculariaceae アラゲキクラゲ(粗毛木耳) Ear fungus <i>Auricularia polytricha</i> (Montagne) Saccardo (きのこ)
--	---

カバノキ科 Betulaceae シデ類 Hornbeam	カバノキ科 Betulaceae シデ類 Hornbeam
--	--

<i>Carpinus</i> spp. (広葉樹) サワシバ (Carpinus) <i>Carpinus cordata</i> Blume クマシデ <i>Carpinus japonica</i> Blume アカシデ <i>Carpinus laxiflora</i> (Sieb. & Zucc.) Blume イヌシデ <i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe carpinicola</i> (Hara) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpinicola</i> (Hara) Hara, <i>Uncinula geniculata</i> W.R. Gerard var. <i>carpinicola</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大4); 原 攝祐:樹病学各論:16, 1923(大12); 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 [備考] アカシデ・イヌシデ・クマシデに発生 (2) <i>Erysiphe carpin-cordatae</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpin-cordatae</i> Tanda & Nomura, <i>Uncinula pseudocarpinicola</i> Y. Nomura & Tanda] Tanda, S. & Nomura, Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):117, 1994; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:76, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 [備考] サワシバに発生 (3) <i>Erysiphe fimbriata</i> S. Takamatsu, Masuya & Y. Nomura Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 49(3):188, 2008 [備考] アカシデに発生 (4) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973 [備考] サワシバ・イヌシデに発生 (5) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Lévillé [<i>Phyllactinia</i> sp.]	<i>Carpinus</i> spp. (広葉樹) サワシバ (Carpinus) <i>Carpinus cordata</i> Blume クマシデ <i>Carpinus japonica</i> Blume アカシデ <i>Carpinus laxiflora</i> (Sieb. & Zucc.) Blume イヌシデ <i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe carpinicola</i> (Hara) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpinicola</i> (Hara) Hara, <i>Uncinula geniculata</i> W.R. Gerard var. <i>carpinicola</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大4); 原 攝祐:樹病学各論:16, 1923(大12); 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 [備考] アカシデ・イヌシデ・クマシデに発生 (2) <i>Erysiphe carpin-cordatae</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpin-cordatae</i> Tanda & Nomura, <i>Uncinula pseudocarpinicola</i> Y. Nomura & Tanda] Tanda, S. & Nomura, Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):117, 1994; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:76, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 [備考] サワシバに発生 (3) <i>Erysiphe fimbriata</i> S. Takamatsu, Masuya & Y. Nomura Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 49(3):188, 2008 [備考] アカシデに発生 (4) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973 [備考] サワシバ・イヌシデに発生 (5) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Lévillé [<i>Phyllactinia</i> sp.]
--	--

和田久美子・平田幸治:新潟農研報 29:79, 1977 ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):268, 1995 [備考] サワシバ・イヌシデに発生 (注) (3)病原学名修正	和田久美子・平田幸治:新潟農研報 29:79, 1977 ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):268, 1995 [備考] サワシバ・イヌシデに発生
--	---

パンヤ科 Bombacaceae キワタ Cotton tree <i>Bombax malabaricum</i> de Candolle (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) ; 藤黒與 三郎:植物学雑 32(384):359, 1918(大7) ; 阿部恭久: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾 (注) 文献号数訂正	パンヤ科 Bombacaceae キワタ Cotton tree <i>Bombax malabaricum</i> de Candolle (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) ; 藤黒與 三郎:植物学雑 32(384):359, 1918(大7) ; 阿部恭久: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カリフラワー(ハナヤサイ, 花椰菜) Cauliflower <i>Brassica oleracea</i> L. Botrytis Group (野菜) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary [<i>Sclerotinia</i> <i>libertiana</i> Fuckel] 澤田兼吉:台湾農試特別報告 4:83, 1912(明45) ; 亀代	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カリフラワー(ハナヤサイ, 花椰菜) Cauliflower <i>Brassica oleracea</i> L. Botrytis Group (野菜)
---	--

美香ら:四国植防 47:72, 2013 (注) 新病名	
-------------------------------------	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カリフラワー(ハナヤサイ, 花椰菜) Cauliflower <i>Brassica oleracea</i> L. Botrytis Group (野菜) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 亀代美香ら:四国植防 47:72, 2013 (注) 新病名	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カリフラワー(ハナヤサイ, 花椰菜) Cauliflower <i>Brassica oleracea</i> L. Botrytis Group (野菜)
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary [<i>Sclerotinia libertiana</i> Fuckel] 澤田兼吉:台湾農試特別報告 4:83, 1912(明45) (注) 文献修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary [<i>Sclerotinia libertiana</i> Fuckel] 澤田兼吉:台湾農試特別報告:483, 1912(大1)
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 芸苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物・野菜)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 芸苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group, <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group
--	--

ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle 本間ヤス:北大農紀 38:338, 1937(昭12); 澤村健三:日植病報 22(3):166, 1957 [備考] 澤村の報告は洋種ナタネでの発生 (2) <i>Oidium matthiolae</i> Rayss [<i>Erysiphe cruciferarum</i> Opiz ex L. Junell, <i>Erysiphe polygoni</i> auct. p. p.] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:218, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012 (注) (2)病原学名異名イタリック修正。2021年3月の新旧対照表の宿主学名の重複を修正	(特用作物・野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L., <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group, <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle 本間ヤス:北大農紀 38:338, 1937(昭12); 澤村健三:日植病報 22(3):166, 1957 [備考] 澤村の報告は洋種ナタネでの発生 (2) <i>Oidium matthiolae</i> Rayss [<i>Erysiphe cruciferarum</i> Opiz ex L. Junell, <i>Erysiphe polygoni</i> auct. p. p.] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:218, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:44, 2012
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica) <i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard <i>Brassica rapa</i> L. ハクラン <i>Brassica × napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group †††† <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス Hnin, A.T. et al.: <i>Jpn. J. Phytopathol.</i> 88(1):73, 2022 [備考] ヒロシマナに発生	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica) <i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard <i>Brassica rapa</i> L. ハクラン <i>Brassica × napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group †††† <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス Hnin, A.T. et al.: <i>日植病報</i> 88(1):73, 2022 [備考] ヒロシマナに発生
--	--

(注) 文献名修正	
-----------	--

キキョウ科 Campanulaceae イソトマ Rock isotoma <i>Laurentia axillaris</i> (Lindley) Wimmer (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004；菅原 敬:山形農業特研報 2:19, 2010 (2) <i>Colletotrichum lineola</i> Corda 菅原 敬:山形農業特研報 2:19, 2010；Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 [備考] 菅原ら(2010)が<i>Colletotrichum</i> sp.とした病原菌をSato <i>et al.</i>(2015)は, <i>C. lineola</i>と再同定した (注) (1)文献ページ追加	キキョウ科 Campanulaceae イソトマ Rock isotoma <i>Laurentia axillaris</i> (Lindley) Wimmer (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004；菅原 敬:山形農業特研報 2, 2010 (2) <i>Colletotrichum lineola</i> Corda 菅原 敬:山形農業特研報 2:19, 2010；Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 [備考] 菅原ら(2010)が<i>Colletotrichum</i> sp.とした病原菌をSato <i>et al.</i>(2015)は, <i>C. lineola</i>と再同定した
---	--

スイカズラ科 Caprifoliaceae ツクバネウツギ(アベリア)(衝羽根空木) Abelia <i>Abelia</i> spp. (広葉樹) タイワンツクバネウツギ(シナツクバネウツギ) <i>Abelia chinensis</i> R.Br. var. <i>ionandra</i> (Hayata) Masam. ハナゾノツクバネウツギ(アベリア) <i>Abelia</i> × <i>grandiflora</i> (André) Rehder ツクバネウツギ <i>Abelia spathulata</i> Siebold & Zucc. ウゴツクバネウツギ <i>Abelia spathulata</i> Siebold & Zucc. var. <i>stenophylla</i> Honda	スイカズラ科 Caprifoliaceae ツクバネウツギ(アベリア)(衝羽根空木) Abelia <i>Abelia</i> spp. (広葉樹) タイワンツクバネウツギ(シナツクバネウツギ) <i>Abelia chinensis</i> R.Br. var. <i>ionandra</i> (Hayata) Masam. ハナゾノツクバネウツギ(アベリア) <i>Abelia</i> × <i>grandiflora</i> (André) Rehder ツクバネウツギ <i>Abelia spathulata</i> Siebold & Zucc. ウゴツクバネウツギ <i>Abelia spathulata</i> Siebold & Zucc. var. <i>stenophylla</i> Honda
---	---

オオツクバネウツギ <i>Abelia tetrasepala</i> (Koidz.) H. Hara & S. Kuros. (注) 宿主学名訂正	オオツクバネウツギ <i>Abelia tetrasepala</i> (Koidz.) H. Hara & S. Kuros.
---	---

スイカズラ科 Caprifoliaceae ニワトコ(接骨木) Japanese elder <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):38, 1913(大2) ; 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学術報 17:6, 1934(昭9) (2) <i>Erysiphe vanbruntiana</i> (W.R. Gerard) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>sambuci-racemosae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera vanbruntiana</i> W.R. Gerard var. <i>sambuci-racemosae</i> U. Braun, <i>Microsphaera grossulariae</i> auct. Jap. non Léveillé, <i>Microsphaera sambucicola</i> Hennings] 白井光太郎:植物病理学(下):192, 1900(明33) ; 丹 田誠之助ら:東農大農学集報 30(3):257, 1986 ; 大 谷吉雄:日本菌類誌 3(2):216, 1988 ; 高松 進:三重 大生資紀要 38:62, 2012 [備考] エゾニワトコ・ホソバニワトコ (<i>S.</i> <i>sieboldiana</i> f. <i>stenophylla</i>)・オオニワトコ(<i>S.</i> <i>sieboldiana</i> var. <i>major</i>)にも発生 (注) (2)病原学名・病原学名異名修正	スイカズラ科 Caprifoliaceae ニワトコ(接骨木) Japanese elder <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):38, 1913(大2) ; 富樫浩吾・大沼総次:盛岡高農学術報 17:6, 1934(昭9) (2) <i>Erysiphe vanbruntiana</i> (Gerard) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>sambuci-racemosae</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera vanbruntiana</i> Gerard var. <i>sambuci-racemosae</i> U. Braun, <i>Microsphaera grossulariae</i> auct. Jap. non Léveillé, <i>Microsphaera sambucicola</i> Hennings] 白井光太郎:植物病理学(下):192, 1900(明33) ; 丹 田誠之助ら:東農大農学集報 30(3):257, 1986 ; 大 谷吉雄:日本菌類誌 3(2):216, 1988 ; 高松 進:三重 大生資紀要 38:62, 2012 [備考] エゾニワトコ・ホソバニワトコ (<i>S.</i> <i>sieboldiana</i> f. <i>stenophylla</i>)・オオニワトコ(<i>S.</i> <i>sieboldiana</i> var. <i>major</i>)にも発生
---	---

スイカズラ科 Caprifoliaceae ハコネウツギ(錦帯花) Weigela	スイカズラ科 Caprifoliaceae ハコネウツギ(錦帯花) Weigela
--	--

<i>Weigela coraeensis</i> Thunb. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe diervillae</i> Miyabe ex U. Braun var. <i>diervillae</i> [<i>Erysiphe pisi</i> auct. Jap. non de Candolle] 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:497, 1973 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):321, 1937(昭12) ; Braun, U.:Mycotaxon 18(1):119, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):185, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012 [備考] タニウツギ・ニシキウツギ (<i>W. decora</i>)・ヤブウツギ (<i>W. floribunda</i>) にも発生 (2) <i>Erysiphe diervillae</i> Miyabe ex U. Braun var. <i>weigela</i> (Zhi X. Chen & S.B. Luo) V.P. Heluta [<i>Erysiphe weigela</i> Zhi X. Chen & S.B. Luo] 佐藤幸生ら:日植病報 66(3):304, 2000 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 47(4):290, 2003 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012 [備考] オオベニウツギ <i>W. florida</i> (Bunge) de Candolle・タニウツギに発生 (3) <i>Erysiphe lata</i> (Y. Nomura & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula lata</i> Y. Nomura & Tanda] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:73, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012 [備考] ニシキウツギに発生 (4) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 [備考] カリヨセウツギ (<i>W. kariyosensis</i>) にも発生 (注) (2)病原学名・病原学名異名修正、備考中のスペース削除	<i>Weigela coraeensis</i> Thunb. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe diervillae</i> Miyabe ex U. Braun var. <i>diervillae</i> [<i>Erysiphe pisi</i> auct. Jap. non de Candolle] 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:497, 1973 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):321, 1937(昭12) ; Braun, U.:Mycotaxon 18(1):119, 1983 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):185, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012 [備考] タニウツギ・ニシキウツギ (<i>W. decora</i>)・ヤブウツギ (<i>W. floribunda</i>) にも発生 (2) <i>Erysiphe diervillae</i> Miyabe ex U. Braun var. <i>weigela</i> (Z.X. Chen & S.B. Luo) Heluta [<i>Erysiphe weigela</i> Z.X. Chen & S.B. Luo] 佐藤幸生ら:日植病報 66(3):304, 2000 ; 丹田誠之助:東農大農学集報 47(4):290, 2003 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:45, 2012 [備考] オオベニウツギ <i>W. florida</i> (Bunge) de Candolle・タニウツギに発生 (3) <i>Erysiphe lata</i> (Y. Nomura & Tanda) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula lata</i> Y. Nomura & Tanda] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:73, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:67, 2012 [備考] ニシキウツギに発生 (4) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 [備考] カリヨセウツギ (<i>W. kariyosensis</i>) にも発生
---	---

パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜)	パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜)
---	---

Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 苗立枯病 nae-tachigare-byo (1) <i>Phytophthora palmivora</i> (E.J. Butler) E.J. Butler 亀川 藍ら:日植病報 76(1):29, 2010 [備考] 亀川ら(2010)は本菌が軟腐病も引き起こすとした (2) <i>Phytophthora</i> sp. 佐藤豊三:東京農試研報 20:21, 1987；佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987 (注) 備考修正	Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 苗立枯病 nae-tachigare-byo (1) <i>Phytophthora palmivora</i> (E.J. Butler) E.J. Butler 亀川 藍ら:日植病報 76(1):29, 2010 [備考] 亀川ら(2009)は本菌が軟腐病も引き起こすとした (2) <i>Phytophthora</i> sp. 佐藤豊三:東京農試研報 20:21, 1987；佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987
--	--

フウチヨウソウ科 Cleomaceae クレオメ(フウチヨウソウ) Spiny spiderflower <i>Cleome spinosa</i> Jacq. (草花) 立枯病 tachigare-byo Stem blight <i>Neocosmospora ipomoeae</i> (Halsted) L. Lombard & Crous 大塚峻祐ら:日植病報 88(3):182, 2022 (注) 新病名	フウチヨウソウ科 Cleomaceae クレオメ(フウチヨウソウ) Spiny spiderflower <i>Cleome spinosa</i> Jacq. (草花)
--	---

フクギ科 Clusiaceae, Guttiferae フクギ (Garcinia) <i>Garcinia subelliptica</i> Merr. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome)	フクギ科 Clusiaceae, Guttiferae フクギ (Garcinia) <i>Garcinia subelliptica</i> Merr. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome)
---	---

Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾。タイワンフクギ (<i>G.multiflora</i>) (注) 文献号数訂正	Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾。タイワンフクギ (<i>G.multiflora</i>)
---	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 青かび病 aokabi-byo Blue mold (青黴病) (1) <i>Penicillium brevicompactum</i> Dierckx 鬼頭英樹ら:日植病報 88(3):224, 2022 (2) <i>Penicillium citrinum</i> Thom 鬼頭英樹ら:日植病報 88(3):224, 2022 (3) <i>Penicillium expansum</i> Link またはその近縁種 西門義一ら:農学綜報 2:18, 1947 (4) <i>Penicillium guanacastense</i> K.G. Rivera, M. Urb & Seifert 鬼頭英樹ら:日植病報 88(3):224, 2022 (5) <i>Penicillium piscarium</i> Westling 鬼頭英樹ら:日植病報 88(3):224, 2022 (6) <i>Penicillium sclerotiorum</i> J.F.H. Beyma 鬼頭英樹ら:日植病報 88(3):224, 2022 (7) <i>Penicillium simplicissimum</i> (Oudemans) Thom [<i>Penicillium cremeogriseum</i> Chalabuda] 鬼頭英樹ら:日植病報 88(3):224, 2022 (注) 病原追加	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 青かび病 aokabi-byo Blue mold (青黴病) <i>Penicillium expansum</i> Link またはその近縁種 西門義一ら:農学綜報 2:18, 1947
---	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷)	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷)
--	--

Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 軟腐病 nampu-byo Soft rot (軟化病, 腐敗病, 毛黴病, 黒黴病) (1) <i>Rhizopus koreanus</i> Hyang B. Lee & T.T.T. Nguyen 鬼頭英樹ら:日植病報 88(3):224, 2022 (2) <i>Rhizopus stolonifer</i> (Ehrenberg) Vuillemin var. <i>stolonifer</i> [<i>Rhizopus nigricans</i> Ehrenberg] Schipper, M. A. A.:Stud. Mycol. 25:9, 1984 (3) <i>Rhizopus tritici</i> Saito ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大3) [備考] <i>R. tritici</i> を <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geeligs の異名とする意見がある (Schipper, M.A.A.:Stud. Mycol. 25:13, 1984) (注) 病原追加	Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 軟腐病 nampu-byo Soft rot (軟化病, 腐敗病, 毛黴病, 黒黴病) (1) <i>Rhizopus stolonifer</i> (Ehrenberg) Vuillemin var. <i>stolonifer</i> [<i>Rhizopus nigricans</i> Ehrenberg] Schipper, M. A. A.:Stud. Mycol. 25:9, 1984 (2) <i>Rhizopus tritici</i> Saito ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大3) [備考] <i>R. tritici</i> を <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geeligs の異名とする意見がある (Schipper, M.A.A.: Stud. Mycol. 25:13, 1984)
--	---

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. フザリウム果実腐敗病 <i>Fusarium-kajitsu-fuhai-</i>	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. フザリウム果実腐敗病 <i>Fusarium-kajitsu-fuhai-</i>
---	---

byo Fusarium fruit rot (1) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser 川上 顕ら:日植病報 88(3):224, 2022 (2) <i>Fusarium citri</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai 北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 (3) <i>Fusarium cerealis</i> (Cooke) Saccardo 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (4) <i>Fusarium graminearum</i> Schwabe 栢森美如ら:日植病報 79(1):64, 2013 (5) <i>Fusarium ipomoeae</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai 北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 (6) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 北林奨也ら:日植病報 87(3):208, 2021 ; Kitabayashi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(3):207, 2022 (7) <i>Fusarium sporotrichioides</i> Sherbakoff 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (8) <i>Fusarium</i> sp. 迫田琢也ら:日植病報 69(1):48, 2003 [備考] <i>F. sambucinum</i> に似る。ニュージーランド産果実で発見 (注) 病原追加	byo Fusarium fruit rot (1) <i>Fusarium citri</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai 北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 (2) <i>Fusarium cerealis</i> (Cooke) Saccardo 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (3) <i>Fusarium graminearum</i> Schwabe 栢森美如ら:日植病報 79(1):64, 2013 (4) <i>Fusarium ipomoeae</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai 北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 (5) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 北林奨也ら:日植病報 87(3):208, 2021 ; Kitabayashi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(3):207, 2022 (6) <i>Fusarium sporotrichioides</i> Sherbakoff 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (7) <i>Fusarium</i> sp. 迫田琢也ら:日植病報 69(1):48, 2003 [備考] <i>F. sambucinum</i> に似る。ニュージーランド産果実で発見
--	--

ヒノキ科 Cupressaceae タイワンシヨウナン(シヨウナンボク) Taiwan Incense-cedar <i>Calocedrus formosana</i> (Florin) Florin [<i>Libocedrus formosana</i> Florin] (針葉樹) ††††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease †<i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome]	ヒノキ科 Cupressaceae タイワンシヨウナン(シヨウナンボク) Taiwan Incense-cedar <i>Calocedrus formosana</i> (Florin) Florin [<i>Libocedrus formosana</i> Florin] (針葉樹) ††††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease †<i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome]
---	---

澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾 (注) 文献号数挿入	澤田兼吉:柑橘研究 2:266, 1928(昭3) [備考] 台湾
---	--

ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>Chamaecyparis lawsoniana</i> (A. Murray) Parl. †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。ベニヒ (注) 文献号数挿入	ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>Chamaecyparis lawsoniana</i> (A. Murray) Parl. †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2:266, 1928(昭3) [備考] 台湾。ベニヒ
---	--

ヒノキ科 Cupressaceae サワラ(榎) Sawara cypress <i>Chamaecyparis pisifera</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) 暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病) <i>Racodium therryanum</i> Thümen 佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959；佐藤邦彦:林試秋 田支研究時報 1:1, 1955；佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960 [備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照	ヒノキ科 Cupressaceae サワラ(榎) Sawara cypress <i>Chamaecyparis pisifera</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) 暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病) <i>Racodium therryanum</i> Thümen 佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959；佐藤邦彦:林試秋 田支研究時報 1:1, 1955；佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960 [備考] 病菌の異名はイチイ暗色雪腐病参照
---	---

(注) 備考修正(イチイ暗色雪腐病には病菌の異名がない)

カヤツリグサ科 Cyperaceae スゲ類 (Carex) Carex spp. (野草) カサスゲ <i>Carex amplifolia</i> Boott subsp. <i>dispalata</i> (Boott ex Gray) Koyama & Calder クロカワズスゲ <i>Carex arenicola</i> F. Schmidt ショウジョウスゲ <i>Carex blepharicarpa</i> Franch. コゴメスゲ <i>Carex brunnea</i> Thunb. タルマイスゲ <i>Carex buxbaumii</i> Wahlenb. ケタガネソウ <i>Carex ciliatomarginata</i> Nakai ケスゲ <i>Carex duvaliana</i> Franch. & Sav. ビロードスゲ <i>Carex fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> (Franch.) T. Koyama イトスゲ <i>Carex fernaldiana</i> H. Lév. & Vaniot ハマアオスゲ <i>Carex fibrillosa</i> Franch. et Sav. オクノカンスゲ <i>Carex foliosissima</i> F. Schmidt トナカイスゲ <i>Carex globularis</i> L. ネムロスゲ <i>Carex gmelinii</i> Hook. & Arn. ヒナスゲ <i>Carex grallatoria</i> Maxim. var. <i>grallatoria</i> テキリスゲ <i>Carex kiotensis</i> Franch. & Savat. ヒカゲスゲ <i>Carex lanceolata</i> Boott ヤチスゲ <i>Carex limosa</i> L. ヒエスゲ <i>Carex longirostrata</i> C.A. Mey. イワカンスゲ <i>Carex makinoensis</i> Franch. ミタケスゲ <i>Carex michauxiana</i> Boeck. subsp. <i>asiatica</i> Hultén チャシバスゲ <i>Carex microtricha</i> Franch. ノゲヌカスゲ <i>Carex mitrata</i> Franch. var. <i>aristata</i> Ohwi カンスゲ <i>Carex morrowii</i> Boott シバスゲ <i>Carex nervata</i> Franch. & Sav.	カヤツリグサ科 Cyperaceae スゲ類 (Carex) Carex spp. (野草) カサスゲ <i>Carex amplifolia</i> Boott subsp. <i>dispalata</i> (Boott ex Gray) Koyama & Calder クロカワズスゲ <i>Carex arenicola</i> F. Schmidt ショウジョウスゲ <i>Carex blepharicarpa</i> Franch. コゴメスゲ <i>Carex brunnea</i> Thunb. タルマイスゲ <i>Carex buxbaumii</i> Wahlenb. ケタガネソウ <i>Carex ciliatomarginata</i> Nakai ケスゲ <i>Carex duvaliana</i> Franch. & Sav. ビロードスゲ <i>Carex fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> (Franch.) T. Koyama イトスゲ <i>Carex fernaldiana</i> H. Lév. & Vaniot オクノカンスゲ <i>Carex foliosissima</i> F. Schmidt トナカイスゲ <i>Carex globularis</i> L. ネムロスゲ <i>Carex gmelinii</i> Hook. & Arn. ヒナスゲ <i>Carex grallatoria</i> Maxim. var. <i>grallatoria</i> テキリスゲ <i>Carex kiotensis</i> Franch. & Savat. ヒカゲスゲ <i>Carex lanceolata</i> Boott ヤチスゲ <i>Carex limosa</i> L. ヒエスゲ <i>Carex longirostrata</i> C.A. Mey. イワカンスゲ <i>Carex makinoensis</i> Franch. ミタケスゲ <i>Carex michauxiana</i> Boeck. subsp. <i>asiatica</i> Hultén チャシバスゲ <i>Carex microtricha</i> Franch. ノゲヌカスゲ <i>Carex mitrata</i> Franch. var. <i>aristata</i> Ohwi カンスゲ <i>Carex morrowii</i> Boott シバスゲ <i>Carex nervata</i> Franch. & Sav.
--	--

カワズスゲ <i>Carex omiana</i> Franch. & Sav. var. <i>monticola</i> Ohwi ヒメスゲ <i>Carex oxyandra</i> (Franch. & Sav.) Kudô サッポロスゲ <i>Carex pilosa</i> Scop. コウボウシバ <i>Carex pumila</i> Thunb. オオイトスゲ(シロイトスゲ) <i>Carex sachalinensis</i> F. Schmidt var. <i>alterniflora</i> (Franch.) Ohwi シオクグ <i>Carex scabrifolia</i> Steud. タガネソウ <i>Carex siderosticta</i> Hance ミチノクホンモンジスゲ <i>Carex stenostachys</i> Franch. & Sav. var. <i>cuneata</i> (Ohwi) Ohwi & T. Koyama ツルカミカワスゲ <i>Carex subebracteata</i> (Kük.) Ohwi オノエスゲ <i>Carex tenuiformis</i> H. Lév. & Vaniot ツルナシオオイトスゲ <i>Carex tenuinervis</i> Ohwi オニナルコスゲ <i>Carex vesicaria</i> L. ヒゲスゲ <i>Carex wahuensis</i> C.A. Mey. var. <i>bongardii</i> (Boott) Franch. & Sav. さび病* <i>sabi-byo</i> Rust (1) <i>Puccinia caricis</i> Rebentisch Ito, S.:Mycological Flora of Japan 2(3):183, 1950 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:619, 1992 ; Harada, Y.:Mycoscience 35:195, 1994 [備考] ビロードスゲに発生 (2) <i>Puccinia caricis-molliculae</i> Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:639, 1992 [備考] カサスゲ (3) <i>Puccinia caricis-smilacis</i> T. Kasuya, K. Hosaka & Kakishima Kasuya, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 63(5):235, 2022 [備考] 夏孢子・冬孢子世代がハマアオスゲに寄生し、精子・さび孢子世代はサルトリイバラに寄生する	カワズスゲ <i>Carex omiana</i> Franch. & Sav. var. <i>monticola</i> Ohwi ヒメスゲ <i>Carex oxyandra</i> (Franch. & Sav.) Kudô サッポロスゲ <i>Carex pilosa</i> Scop. コウボウシバ <i>Carex pumila</i> Thunb. オオイトスゲ(シロイトスゲ) <i>Carex sachalinensis</i> F. Schmidt var. <i>alterniflora</i> (Franch.) Ohwi シオクグ <i>Carex scabrifolia</i> Steud. タガネソウ <i>Carex siderosticta</i> Hance ミチノクホンモンジスゲ <i>Carex stenostachys</i> Franch. & Sav. var. <i>cuneata</i> (Ohwi) Ohwi & T. Koyama ツルカミカワスゲ <i>Carex subebracteata</i> (Kük.) Ohwi オノエスゲ <i>Carex tenuiformis</i> H. Lév. & Vaniot ツルナシオオイトスゲ <i>Carex tenuinervis</i> Ohwi オニナルコスゲ <i>Carex vesicaria</i> L. ヒゲスゲ <i>Carex wahuensis</i> C.A. Mey. var. <i>bongardii</i> (Boott) Franch. & Sav. さび病* <i>sabi-byo</i> Rust (1) <i>Puccinia caricis</i> Rebentisch Ito, S.:Mycological Flora of Japan 2(3):183, 1950 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:619, 1992 ; Harada, Y.:Mycoscience 35:195, 1994 [備考] ビロードスゲに発生 (2) <i>Puccinia caricis-molliculae</i> Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:639, 1992 [備考] カサスゲ
---	--

(注) 病原追加、宿主名追加	
----------------	--

ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ (大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea polystachya</i> Turcz. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea bulbifera</i> L. ジネンジョ (自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 腐敗細菌病 fuhai-saikin-byo Bacterial rot <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2021 本多 学ら:日植病報 88(1):64, 2022 ; Honda, M. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 88(5):325, 2022 [備考] ナガイモに発生 (注) 文献追加	ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ (大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea polystachya</i> Turcz. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea bulbifera</i> L. ジネンジョ (自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 腐敗細菌病 fuhai-saikin-byo Bacterial rot <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2021 本多 学ら:日植病報 88(1):64, 2022 [備考] ナガイモに発生
---	--

ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ (大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea polystachya</i> Turcz. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea</i>	ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ (大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea polystachya</i> Turcz. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea</i>
---	---

<i>bulbifera</i> L. ジネンジョ (自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ (薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 青かび病 aokabi-byo Blue mold (1) <i>Penicillium albocoremium</i> (Frisvad) Frisvad Uy, R. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 88(3):184, 2022 [備考] ナガイモに発生 (2) <i>Penicillium polonicum</i> K.W. Zaleski Uy, R. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 88(3):184, 2022 [備考] ナガイモに発生 (3) <i>Penicillium sclerotigenum</i> T. Yamamoto 吉谷啓作:日植病報 18(3-4):180, 1954 ; 山本和太郎ら:兵庫農大研報 2(1):69, 1955 (4) <i>Penicillium</i> sp. 岩田 勉ら:日植病報 45(1):115, 1979 (注) 病原追加	<i>bulbifera</i> L. ジネンジョ (自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ (薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 青かび病 aokabi-byo Blue mold (1) <i>Penicillium sclerotigenum</i> T. Yamamoto 吉谷啓作:日植病報 18(3-4):180, 1954 ; 山本和太郎ら:兵庫農大研報 2(1):69, 1955 (2) <i>Penicillium</i> sp. 岩田 勉ら:日植病報 45(1):115, 1979
--	---

コカノキ科 Erythroxylaceae コカ Coca, Cocainbush <i>Erythroxylum coca</i> Lam. (特用作物) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease (紅斑病) <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 を参照	コカノキ科 Erythroxylaceae コカ Coca, Cocainbush <i>Erythroxylum coca</i> Lam. (特用作物) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease (紅斑病) <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 を参照
---	---

(注) 文献号数訂正	
------------	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae オオバギ (Macaranga) <i>Macaranga tanarius</i> (L.) Muell.-Arg. (広葉樹) †裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew <i>Ovulariopsis macarangae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業部報 49:44, 1930(昭5); 澤田兼吉:台湾中研農業部報 61(台湾産菌類調査報告 6):88, 1933(昭8); 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:92, 1977 [備考] 台湾 (注) 文献年訂正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae オオバギ (Macaranga) <i>Macaranga tanarius</i> (L.) Muell.-Arg. (広葉樹) †裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew <i>Ovulariopsis macarangae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業部報 49:44, 1930(昭5); 澤田兼吉:台湾中研農業部報 61(台湾産菌類調査報告 6):88, 1931(昭6); 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:92, 1977 [備考] 台湾
---	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae オオバギ (Macaranga) <i>Macaranga tanarius</i> (L.) Muell.-Arg. (広葉樹) †葉枯病 hagare-byo <i>Pseudocercospora macarangae</i> (Sydow & P. Sydow) Deighton [<i>Cercospora macarangae</i> Sydow & P. Sydow] 澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾産菌類調査報告 5):130, 1931(昭6); Deighton, F. C.:Mycol. Pap. 140:47, 1976 [備考] 台湾 (注) 文献号数訂正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae オオバギ (Macaranga) <i>Macaranga tanarius</i> (L.) Muell.-Arg. (広葉樹) †葉枯病 hagare-byo <i>Pseudocercospora macarangae</i> (Sydow & P. Sydow) Deighton [<i>Cercospora macarangae</i> Sydow & P. Sydow] 澤田兼吉:台湾中研農業部報 5(台湾産菌類調査報告 5):130, 1931(昭6); Deighton, F. C.:Mycol. Pap. 140:47, 1976 [備考] 台湾
--	---

トウダイグサ科 Euphorbiaceae キャッサバ Cassava, Tapioca <i>Manihot utilissima</i> Pohl (特用作物) †斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Cercosporidium henningsii</i> (Allescher) Deighton [<i>Cercospora henningsii</i> Allescher, <i>Cercospora cassavae</i> Ellis & Everhart] 川上瀧弥・鈴木力治:台湾農試報 1(台湾農作物病害目録 1):37, 1908(明41) ; Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:32, 1978 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(1):9, 1986 [備考] 台湾, ブラジル, フィリピン。セアラゴムノキ (<i>M. glaziovii</i>) にも発生 (注) 文献名を多数派に合わせた	トウダイグサ科 Euphorbiaceae キャッサバ Cassava, Tapioca <i>Manihot utilissima</i> Pohl (特用作物) †斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Cercosporidium henningsii</i> (Allescher) Deighton [<i>Cercospora henningsii</i> Allescher, <i>Cercospora cassavae</i> Ellis & Everhart] 川上瀧弥・鈴木力治:台湾農事報 1:37, 1908(明41) ; Hino, T. & Tokeshi, H.:Tech. Bull. TARC(熱帯農研) 11:32, 1978 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(1):9, 1986 [備考] 台湾, ブラジル, フィリピン。セアラゴムノキ (<i>M. glaziovii</i>) にも発生
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソウシジュ(相思樹) Taiwan acacia <i>Acacia confusa</i> Merr. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農事報 80:3, 1913 ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照 (注) 文献号数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソウシジュ(相思樹) Taiwan acacia <i>Acacia confusa</i> Merr. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農事報 80:3, 1913 ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ネムノキ(合歓木) Silktree <i>Albizia julibrissin</i> Durazz. (広葉樹) †††† <i>Camptomeris albiziae</i> (Petch) E.W. Mason [<i>Heterosporium albiziae</i> (Petch) N. Naito] Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:51, 1940(昭15) ; Kobayashi, T. & de Guzman, E.D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:126, 1988	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ネムノキ(合歓木) Silktree <i>Albizia julibrissin</i> Durazz. (広葉樹) †††† <i>Camptomeris albiziae</i> (Petch) E.W. Mason [<i>Heterosporium albiziae</i> (Petch) N. Naito] Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:51, 1940(昭15) ; Kobayashi, T. & de Guzman, E.D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:126, 1988
(削除) (注) 下の項目は、上の項目に含まれるので、統合する	†††† <i>Heterosporium albizziae</i> (Petch) N. Naito Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:51, 1940(昭15)

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ビルマネム Lebbek <i>Albizia lebbek</i> (L.) Benth. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ビルマネム Lebbek <i>Albizia lebbek</i> (L.) Benth. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 (1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照
--	---

(注) 文献巻号訂正	
------------	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ホウオウボク Royal poinciana <i>Delonix regia</i> (Bojer) Raf. (広葉樹) †††† †<i>Ganoderma tropicum</i> (Junghuhn) Bresàdola ネット タイマンネンタケ 澤田兼吉:台湾農試報 83(台湾産菌類調査報告 7):108, 1942(昭17) [備考] 台湾 (注) 文献号数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ホウオウボク Royal poinciana <i>Delonix regia</i> (Bojer) Raf. (広葉樹) †††† †<i>Ganoderma tropicum</i> (Junghuhn) Bresàdola ネット タイマンネンタケ 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 7):108, 1942(昭17) [備考] 台湾
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae デイゴ(梯梧) East indian coral tree <i>Erythrina variegata</i> L. var. <i>orientalis</i> (L.) Merr. (広葉樹) †根株心腐病 nekabu-shingusare-byo Butt rot <i>Daedalea dickinsii</i> Yasuda [<i>Trametes dickinsii</i> Berkeley] ホウロクタケ 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):113, 1959 [備考] 台湾 (注) 文献中のカッコを閉じる	マメ科 Fabaceae, Leguminosae デイゴ(梯梧) East indian coral tree <i>Erythrina variegata</i> L. var. <i>orientalis</i> (L.) Merr. (広葉樹) †根株心腐病 nekabu-shingusare-byo Butt rot <i>Daedalea dickinsii</i> Yasuda [<i>Trametes dickinsii</i> Berkeley] ホウロクタケ 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):113, 1959 [備考] 台湾
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean
--	--

<i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 黒根腐病 kuro-negusare-byo Root necrosis, Red crown rot (根腐病) <i>Calonectria ilicicola</i> Boedijn & Reitsma [<i>Calonectria crotalariae</i> (Loos) D.K. Bell & Sobers, <i>Cylindrocladium crotalariae</i> D.K. Bell & Sobers] 御園生 尹・深津量栄:日植病報 35(2):107, 1969 ; 御園生 尹:植物防疫 27(2):77, 1973 ; Ochi, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):232, 2022 ; 越智 直ら:日植病報 88(3):231, 2022 [備考] Ochi et al.(2022)および越智ら(2022)は, 黒根腐病の発生により収量が減少し, しわ粒も増えることを報告した (注) 病名英名・文献・備考追加	<i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 黒根腐病 kuro-negusare-byo Root necrosis (根腐病) <i>Calonectria ilicicola</i> Boedijn & Reitsma [<i>Calonectria crotalariae</i> (Loos) D.K. Bell & Sobers, <i>Cylindrocladium crotalariae</i> D.K. Bell & Sobers] 御園生 尹・深津量栄:日植病報 35(2):107, 1969 ; 御園生 尹:植物防疫 27(2):77, 1973
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 株枯病 kabugare-byo Base and stolon rot (1) <i>Fusarium vanettenii</i> O'Donnell, Geiser, Kasson & T. Aoki 佐藤豊三ら:日植病報 88(3):223, 2022 [備考] スペインカンゾウに発生 (2) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 ; 佐藤豊三ら:関東病虫研報 65:61, 2018 [備考] ウラルカンゾウに発生	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 株枯病 kabugare-byo Base and stolon rot <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 ; 佐藤豊三ら:関東病虫研報 65:61, 2018 [備考] ウラルカンゾウに発生
--	--

(注) 病原追加	
----------	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae コマツナギ (Indigofera) <i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> Matsumura (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow] 澤田兼吉:台湾農事報 80:3, 1913(大2); 澤田兼吉: 柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病 原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾。ナタールコマツナギ (<i>Indigofera arrecta</i>) (注) 文献号数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae コマツナギ (Indigofera) <i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> Matsumura (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow] 澤田兼吉:台湾農事報 80:3, 1913(大2); 澤田兼吉: 柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病 原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾。ナタールコマツナギ (<i>Indigofera arrecta</i>)
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae コマツナギ (Indigofera) <i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> Matsumura (広葉樹) †白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi, <i>Hypochnus centrifugus</i> (Léveillé) Tulasne] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):257, 1928(昭3) [備考] 台湾。ナタールコマツナギ (注) 文献号数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae コマツナギ (Indigofera) <i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> Matsumura (広葉樹) †白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi, <i>Hypochnus centrifugus</i> (Léveillé) Tulasne] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):257, 1928(昭3) [備考] 台湾。ナタールコマツナギ
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae キングサリ(金鎖) Goldenchain, Bean tree <i>Laburnum vulgare</i> Bercht. & J. Presl (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Pleiochaeta setosa</i> (Kirchner) S. Hughes 加藤誠司ら:日植病報 88(3):182, 2022 (注) 新病名	マメ科 Fabaceae, Leguminosae キングサリ(金鎖) Goldenchain, Bean tree <i>Laburnum vulgare</i> Bercht. & J. Presl (広葉樹)
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae キンキジュ Madras thorn, Manila tamarind <i>Pithecellobium dulce</i> Benth. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大8); 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照 (注) 文献号数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae キンキジュ Madras thorn, Manila tamarind <i>Pithecellobium dulce</i> Benth. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大8); 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L.	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカクローバ(赤クローバ, レッドクローバ, ムラサキツメクサ, アカツメクサ) Red clover <i>Trifolium pratense</i> L.
---	---

(牧草・芝草) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 [<i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902] 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:66, 195⁵ ; 富永時任:植物防疫 17(10):411, 1963 (注) 文献年訂正	(牧草・芝草) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 [<i>Pseudomonas syringae</i> van Hall 1902] 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:66, 195¹ ; 富永時任:植物防疫 17(10):411, 1963
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae シロクローバ(白クローバ, ホワイトクローバ, シロツメクサ, オランダゲンゲ) White clover <i>Trifolium repens</i> L. (牧草・芝草) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:66, 195⁵ ; 富永時任:植物防疫 17(10):411, 1963 (注) 文献年訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae シロクローバ(白クローバ, ホワイトクローバ, シロツメクサ, オランダゲンゲ) White clover <i>Trifolium repens</i> L. (牧草・芝草) 斑点細菌病 hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:66, 195¹ ; 富永時任:植物防疫 17(10):411, 1963
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハマアズキ(ハマササゲ) <i>Vigna marina</i> <i>Vigna marina</i> (Burm.) Merr. (野草) †††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 ;	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ハマアズキ(ハマササゲ) <i>Vigna marina</i> <i>Vigna marina</i> (Burm.) Merr. (野草) †††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020
---	---

Ariga, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(5):340, 2022 (2) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) インゲン マメモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; Ariga, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(5):340, 2022 [備考] 次世代シーケンスとRT-PCRによる検出 (注) 文献追加、備考変更	(2) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) インゲン マメモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 [備考] 次世代シーケンスとRT-PCRによる検出。 戻し接種不成功
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヒナアズキ (Vigna) <i>Vigna riukiuensis</i> (Ohwi) Ohwi & H. Ohashi (野草) †††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; Ariga, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(5):340, 2022 (2) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) インゲン マメモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; Ariga, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(5):340, 2022 [備考] 次世代シーケンスとRT-PCRによる検出 (注) 文献追加、備考変更	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ヒナアズキ (Vigna) <i>Vigna riukiuensis</i> (Ohwi) Ohwi & H. Ohashi (野草) †††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザ イクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 (2) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) インゲン マメモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 86(3):221, 2020 [備考] 次世代シーケンスとRT-PCRによる検出。 戻し接種不成功
--	--

ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(櫟) Japanese chestnut oak <i>Quercus</i> <i>acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus</i>	ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(櫟) Japanese chestnut oak <i>Quercus</i> <i>acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus</i>
---	---

<i>alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫨, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(栂) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus × major</i> Nakai うどんこ病 <i>udonko-byo</i> Powdery mildew (1) <i>Erysiphe alphitoides</i> (Griffon & Maublanc) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alphitoides</i> Griffon & Maublanc, <i>Microsphaera alni</i> auct. non (Wallroth) Salmon, <i>Microsphaera alni</i> (de Candolle) G. Winter f. <i>quercus-glandulifera</i> Hara, <i>Microsphaera quercu</i> Sawada, <i>Microsphaera alphitoides</i> auct. non Griffon & Maublanc, <i>Microsphaera alni</i> auct. non Salmon sensu Sawada, <i>Microsphaera quercina</i> (Schweinitz) Burrill] (白渋病, 粉病) 出田 新:実用植物病理学:162, 1901(明34); 安田 篤:植物学各論隠花部:1089, 1911(明44); Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):171, 1930(昭5); Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):383, 1937(昭12); 澤田兼吉:林試研報 50:122, 1951; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:80, 1977; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):227, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012 [備考] コナラ・ミズナラ・カシワ・オウシュウナラ・クヌギ・アメリカアカナラ・アメリカシロナラ・ミヤマナラに発生	<i>alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫨, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(栂) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus × major</i> Nakai うどんこ病 <i>udonko-byo</i> Powdery mildew (1) <i>Erysiphe alphitoides</i> (Griffon & Maublanc) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alphitoides</i> Griffon & Maublanc, <i>Microsphaera alni</i> auct. non (Wallroth) Salmon, <i>Microsphaera alni</i> (de Candolle) G. Winter f. <i>quercus-glandulifera</i> Hara, <i>Microsphaera quercu</i> Sawada, <i>Microsphaera alphitoides</i> auct. non Griffon & Maublanc, <i>Microsphaera alni</i> auct. non Salmon sensu Sawada, <i>Microsphaera quercina</i> (Schweinitz) Burrill] (白渋病, 粉病) 出田 新:実用植物病理学:162, 1901(明34); 安田 篤:植物学各論隠花部:1089, 1911(明44); Homma, Y.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11(3):171, 1930(昭5); Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):383, 1937(昭12); 澤田兼吉:林試研報 50:122, 1951; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:80, 1977; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):227, 1988; 高松 進:三重大生資紀要 38:51, 2012 [備考] コナラ・ミズナラ・カシワ・オウシュウナラ・クヌギ・アメリカアカナラ・アメリカシロナラ・ミヤマナラに発生
---	---

(2) <i>Erysiphe bifurcata</i> (Homma) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula bifurcata</i> Homma] (白渋病) Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):349, 1937(昭12)；平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973；大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):242, 1988；高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 [備考] コナラに発生 (3) <i>Erysiphe epigena</i> S. Takamatsu & U. Braun [<i>Microsphaera alphitoides</i> auct p.p.] Takamatsu, S. et al.:Mycol. Res. 111(7):821, 2007 [備考] クヌギ・アベマキに発生 (4) <i>Microsphaera calocladophora</i> G.F. Atkinson Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):382, 1937(昭12)；和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:80, 1977 [備考] アメリカシロナラに発生 (5) <i>Parauncinula septata</i> (E.S. Salmon) S. Takamatsu & U. Braun [<i>Uncinula septata</i> E.S. Salmon] 松村任三:帝国植物名鑑(上):179, 1904(明37)；安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明44)； Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):361, 1937(昭12)；大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):245, 1988；Takamatsu, S. et al.:Mycoscience 46(1):14, 2005；Meeboon, J. et al.:Mycoscience 56(6):590, 2015 [備考] コナラ・カシワ・アベマキ・ヨーロッパナラに発生 (注) (2)(5)病原学名修正	(2) <i>Erysiphe bifurcate</i> (Homma) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula bifurcata</i> Homma] (白渋病) Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):349, 1937(昭12)；平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973；大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):242, 1988；高松 進:三重大生資紀要 38:65, 2012 [備考] コナラに発生 (3) <i>Erysiphe epigena</i> S. Takamatsu & U. Braun [<i>Microsphaera alphitoides</i> auct p.p.] Takamatsu, S. et al.:Mycol. Res. 111(7):821, 2007 [備考] クヌギ・アベマキに発生 (4) <i>Microsphaera calocladophora</i> G.F. Atkinson Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):382, 1937(昭12)；和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:80, 1977 [備考] アメリカシロナラに発生 (5) <i>Parauncinula septate</i> (E.S. Salmon) S. Takamatsu & U. Braun [<i>Uncinula septata</i> E.S. Salmon] 松村任三:帝国植物名鑑(上):179, 1904(明37)；安田 篤:植物学各論隠花部:367, 1911(明44)； Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):361, 1937(昭12)；大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):245, 1988；Takamatsu, S. et al.:Mycoscience 46(1):14, 2005；Meeboon, J. et al.:Mycoscience 56(6):590, 2015 [備考] コナラ・カシワ・アベマキ・ヨーロッパナラに発生
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>Avena fatua</i> L.	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>Avena fatua</i> L.
---	---

セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 葉枯病 hagare-byo Leaf blight (斑葉病 Leaf stripe) (1) <i>Pyrenophora avenicola</i> Y. Marín & Crous 菅原幸哉ら:日植病報 88(3):229, 2022 [備考] セイヨウチャヒキに発生 (2) <i>Pyrenophora chaetomioides</i> Spegazzini [<i>Pyrenophora avenae</i> S. Ito & Kuribayashi, <i>Drechslera avenacea</i> (M.A. Curtis ex Cooke) Shoemaker, <i>Helminthosporium avenae</i> Eidam] 西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物 のヘルミントスポリウム病に関する研究):82, 1928(昭3); 上山昭則ら:植物防疫 32(9):361, 1978 (注) 病原追加、病名英名変更	セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 葉枯病 hagare-byo Leaf stripe (斑葉病) <i>Pyrenophora chaetomioides</i> Spegazzini [<i>Pyrenophora avenae</i> S. Ito & Kuribayashi, <i>Drechslera avenacea</i> (M.A. Curtis ex Cooke) Shoemaker, <i>Helminthosporium avenae</i> Eidam] 西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物 のヘルミントスポリウム病に関する研究):82, 1928(昭3); 上山昭則ら:植物防疫 32(9):361, 1978
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗腐病 naegusare-byo Seed and seedling rot (苗腐敗病, 粃種腐敗病, 苗綿腐敗病, 猫毛病) (1) <i>Achlya americana</i> Humphrey 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) (2) <i>Achlya flagellata</i> Coker 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6); 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):232, 1978 (3) <i>Achlya klebsiana</i> Pieters 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):233, 1978 (4) <i>binucleate Rhizoctonia</i> 戸田 武ら:日植病報 88(3):229, 2022 [備考] 菌糸融合群 AG-B, AG-C, AG-F。水稻直 播栽培での報告 (5) <i>Dictyuchus sterilis</i> Coker	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗腐病 naegusare-byo Seed and seedling rot (苗腐敗病, 粃種腐敗病, 苗綿腐敗病, 猫毛病) (1) <i>Achlya americana</i> Humphrey 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) (2) <i>Achlya flagellata</i> Coker 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6); 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):232, 1978 (3) <i>Achlya klebsiana</i> Pieters 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):233, 1978 (4) <i>Dictyuchus sterilis</i> Coker
--	--

(6) <i>Pythiomorpha miyabeana</i> S. Ito & Nagai [備考] <i>Phytophthora megasperma</i> Drechslerの異名 (7) <i>Pythiomorpha oryzae</i> S. Ito & Nagai 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) [備考] <i>Phytophthora japonica</i> G.M. Waterh.の異名 (8) <i>Pythium</i> spp. 高橋勝太郎:病虫雑 5(5):357, 1918(大7); 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6); 伊藤誠哉・徳永芳雄:北大農紀 32:201, 1933(昭8) (9) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 戸田 武ら:日植病報 88(3):229, 2022 [備考] 菌糸融合群 AG-11。水稻直播栽培での報告 (注) 病原追加	(5) <i>Pythiomorpha miyabeana</i> S. Ito & Nagai [備考] <i>Phytophthora megasperma</i> Drechslerの異名 (6) <i>Pythiomorpha oryzae</i> S. Ito & Nagai 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) [備考] <i>Phytophthora japonica</i> G.M. Waterh.の異名 (7) <i>Pythium</i> spp. 高橋勝太郎:病虫雑 5(5):357, 1918(大7); 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6); 伊藤誠哉・徳永芳雄:北大農紀 32:201, 1933(昭8)
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 穂黒粒病 ho-kokuryu-byo <i>Epicoccum hyalopes</i> I. Miyake 三宅市郎:東大農紀 2(4):264, 1910(明43); 澤田兼吉:林試研報 105:115, 1958; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):964, 1978 (注) 文献名を多数派に合わせた	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 穂黒粒病 ho-kokuryu-byo <i>Epicoccum hyalopes</i> I. Miyake 三宅市郎:東大農紀 2(4):264, 1910(明43); 澤田兼吉:林試研報 105:115, 1958; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):964, 1978
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ(稗) Barnyard millet, Japanese millet <i>Panicum crus-galli</i> var. <i>frumentaceum</i> Hook. [<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>frumentaceum</i> Hook.] (食用作物)	イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエ(稗) Barnyard millet, Japanese millet <i>Panicum crus-galli</i> var. <i>frumentaceum</i> Hook. [<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>frumentaceum</i> Hook.] (食用作物)
---	---

†粘穂病 nensui-byo <i>Balansia andropogonis</i> Sydow 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾菌類調査報告 10):6, 1944(昭19) [備考] 台湾 (注) 文献の号数訂正(小文字の「エル」を数字の 「1」に訂正)	†粘穂病 nensui-byo <i>Balansia andropogonis</i> Sydow 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾菌類調査報告 10):6, 1944(昭19) [備考] 台湾
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹筴類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus</i> <i>argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Didymobotryum kusanoi</i> Hennings 松村任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明37) [備考] メダケ。 <i>Didymobotryum rigidum</i> (Berkeley & Broome) Saccardoとの異同について検討を要す る (椿啓介:発酵研報 7:116, 1975) (注) 備考中の病原学名にスペース挿入	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (Pleioblastus) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹筴類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus</i> <i>argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Didymobotryum kusanoi</i> Hennings 松村任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明37) [備考] メダケ。 <i>Didymobotryum rigidum</i> (Berkeley & Broome) Saccardoとの異同について検討を要す る (椿啓介:発酵研報 7:116, 1975)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. †††† ウイルス (未同定) 近藤秀樹ら:日植病報 88(3):187, 2022 [備考] 近藤ら(2022)は, 病原はベータフレキシウイルス科に属する新種のウイルスであるとし, コムギQウイルス(WVQ) と仮称した (注) 新宿主	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf.
--	---

シキミ科 Illiciaceae シキミ(榊) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot Japanese star anise ringspot-associated virus# (JSARaV) シキミ輪紋随伴ウイルス 山下修一:植物防疫 57(9):13, 2003 ; 山下修一:日植病報 69(1):47, 2003 ; 下元祥史ら:日植病報 85(3):278, 2019 ; Shimomoto, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(1):69, 2022 [備考] 病原はフシダニ(<i>Eriophyes</i> spp.)とされていたが, RT-PCRおよび塩基配列の解析により病原を同定 (注) ウイルス和名追加	シキミ科 Illiciaceae シキミ(榊) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot Japanese star anise ringspot-associated virus# (JSARaV) 山下修一:植物防疫 57(9):13, 2003 ; 山下修一:日植病報 69(1):47, 2003 ; 下元祥史ら:日植病報 85(3):278, 2019 ; Shimomoto, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(1):69, 2022 [備考] 病原はフシダニ(<i>Eriophyes</i> spp.)とされていたが, RT-PCRおよび塩基配列の解析により病原を同定
--	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae	シソ科 Labiatae, Lamiaceae
-------------------------	-------------------------

ニホンハッカ(日本薄荷) Japanese mint <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinvand (特用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces biocellatus</i> (Ehrenberg) V.P. Hetula 高村拳士郎ら:日植病報 85(1):53, 2019 (注) 病原学名修正	ニホンハッカ(日本薄荷) Japanese mint <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinvand (特用作物) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces biocellatus</i> (Ehrenberg) Hetula 高村拳士郎ら:日植病報 85(1):53, 2019
---	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae ヤグルマハッカ(モナルダ)類 (Monarda) <i>Monarda</i> spp. (野草) タイマツバナ <i>Monarda didyma</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces biocellatus</i> (Ehrenberg) V.P. Hetula [<i>Erysiphe biocellata</i> Ehrenberg var. <i>monardae</i> (G.S. Nagy) U. Braun] 丹田誠之助:東農大農学集報 41:209, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:33, 2012 [備考] タイマツバナに発生 (注) 病原学名修正	シソ科 Labiatae, Lamiaceae ヤグルマハッカ(モナルダ)類 (Monarda) <i>Monarda</i> spp. (野草) タイマツバナ <i>Monarda didyma</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Golovinomyces biocellatus</i> (Ehrenberg) Hetula [<i>Erysiphe biocellata</i> Ehrenberg var. <i>monardae</i> (G.S. Nagy) U. Braun] 丹田誠之助:東農大農学集報 41:209, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:33, 2012 [備考] タイマツバナに発生
---	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) <i>Perilla</i> <i>Perilla frutescens</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum shisoi</i> P. Gan, A. Tsushima,	シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) <i>Perilla</i> <i>Perilla ocymoides</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara
---	--

Kawaradani, Damm & K. Shirasu [<i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara] 瓦谷光男ら:日植病報 74(4):335, 2008 ; Gan, P. <i>et al.</i>:Scientific Reports 9:13349, 2019 (注) 病原学名変更、宿主学名変更	瓦谷光男ら:日植病報 74(4):335, 2008
--	-----------------------------------

シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) Perilla <i>Perilla frutescens</i> L. (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 川澄留佳ら:日植病報 87(3):152, 2021 ; Kawasumi, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):275, 2022 (注) 文献追加、宿主学名変更	シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) Perilla <i>Perilla ocymoides</i> L. (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 川澄留佳ら:日植病報 87(3):152, 2021
--	---

シソ科 Labiatae, Lamiaceae ローズマリー(マンネンロウ) Rosemary <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (特用作物) 疫病 eki-byo Phytophthora basal stem and root rot <i>Phytophthora kelmanii</i> Z.G. Abad, J.A. Abad, T.I. Burgess & Mostowfizadeh-Ghalemfarsa 植松清次ら:日植病報 88(3):183, 2022 (注) 新病名	シソ科 Labiatae, Lamiaceae ローズマリー(マンネンロウ) Rosemary <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (特用作物)
---	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae	シソ科 Labiatae, Lamiaceae
-------------------------	-------------------------

セージ(セイヨウサルビア) Common sage, Sage <i>Salvia officinalis</i> L. (特用作物) 疫病 eki-byo Phytophthora basal stem and root rot <i>Phytophthora kelmanii</i> Z.G. Abad, J.A. Abad, T.I. Burgess & Mostowfizadeh-Ghalemfarsa 植松清次ら:日植病報 88(3):183, 2022 (注) 新病名	セージ(セイヨウサルビア) Common sage, Sage <i>Salvia officinalis</i> L. (特用作物)
---	--

クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠) Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) †こうやく病 koyaku-byo Felt disease (膏薬病) <i>Septobasidium albidum</i> Patouillard 澤田兼吉:台湾農試特報 2:85, 1911(明44) [備考] 台湾 (注) 文献年訂正	クスノキ科 Lauraceae クスノキ(樟・楠) Camphor tree <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl (特用作物) †こうやく病 koyaku-byo Felt disease (膏薬病) <i>Septobasidium albidum</i> Patouillard 澤田兼吉:台湾農試特報 2:85, 1911(明45) [備考] 台湾
--	---

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020
--	---

2003 達 瑞枝ら:日植病報 88(3):200, 2022 (2) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 達 瑞枝ら:日植病報 88(3):200, 2022 (3) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝ら:日植病報 88(3):200, 2022 [備考] <i>Pantoea ananatis</i> も分離されたが単独接種では病原性なし。<i>Burkholderia cepacia</i> complex (Bcc) 細菌との混合接種ではBcc単独よりも激しい病徴となる (4) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(5):003018, 2020 ; 澤田宏之ら:日植病報 86(3):232, 2020 (5) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら:日植病報 49(3):415, 1983 (6) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013 (注) 病原追加	Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(5):003018, 2020 ; 澤田宏之ら:日植病報 86(3):232, 2020 (2) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら:日植病報 49(3):415, 1983 (3) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013
--	---

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Pythium irregulare</i> Buisman
--	--

清水佐知子・東條元昭:日植病報 76(3):157, 2010；清水佐知子ら:日植病報 78(3):191, 2012 [備考] 有性器官未確認 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 佐古 勇ら:日植病報 63(3):203, 1997 (3) <i>Pythium</i> sp. (Clade A) Shimizu, S. & Tojo, M.:Asian Res. J. Agric. 15(4):86, 2022 (4) <i>Pythium</i> sp. (Cluster B1d) Shimizu, S. & Tojo, M.:Asian Res. J. Agric. 15(4):86, 2022 (5) <i>Pythium</i> sp. (Cluster B2a) Shimizu, S. & Tojo, M.:Plant Dis. 106(1):336, 2022 [備考] 有性器官未確認 (注) 病原追加、病原順変更	佐古 勇ら:日植病報 63(3):203, 1997 (2) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 清水佐知子・東條元昭:日植病報 76(3):157, 2010；清水佐知子ら:日植病報 78(3):191, 2012 [備考] 有性器官未確認
---	---

ユリ科 Liliaceae ニラ(菰) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler ex Spreng. (野菜) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia allii</i> (de Candolle) F. Rudolphi 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):214, 1950；平塚直秀: 植物銹菌学研究:301, 1955 (2) <i>Puccinia tuberosa</i> Jing X. Ji & Kakishima 埋橋志穂美ら:日植病報 88(3):183, 2022； Uzuhashi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(1):12, 2023 (注) 病原追加	ユリ科 Liliaceae ニラ(菰) Chinese chive <i>Allium tuberosum</i> Rottler ex Spreng. (野菜) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia allii</i> (de Candolle) F. Rudolphi 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):214, 1950；平塚直秀: 植物銹菌学研究:301, 1955
--	---

ユリ科 Liliaceae アマドコロ	ユリ科 Liliaceae アマドコロ
--------------------------------	--------------------------------

<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi (草花) 角斑病 kakuhan-byo <i>Cercospora polygonati-maximowiczii</i> Togashi 富樫浩吾:植物輯報 2(2):100, 1924(大13); 澤田兼吉:林試研報 105:110, 1958 (注) 文献年訂正、文献名修正	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi (草花) 角斑病 kakuhan-byo <i>Cercospora polygonati-maximowiczii</i> Togashi 富樫浩吾:植物輯報 2(2):100, 1924(大13); 澤田兼吉:林試報告 105:110, 1976
---	--

ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium smilacis</i> Schweinitz Dietel, P.:Hedwigia 37:212, 1898(明31); 吉永虎馬:植物学雑 15(171):95, 1901(明34) [備考] ヤマガシユウ (<i>S. sieboldii</i>) にも発生 (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):131, 1943(昭18); 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭18); 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961 [備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生 (3) <i>Blastospora itoana</i> Togashi & Onuma 富樫浩吾・大沼総次:植物学雑 45(529):6, 1931(昭6) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・ランダイサンキライ (<i>S. randaiensis</i>) (4) <i>Blastospora smilacis</i> Dietel [<i>Caeoma makinoi</i> Kusano] Dietel, P.:Ann. Mycol. (6):223, 1908(明41); 吉永虎馬・平塚直秀:植物学雑 44(528):633, 1930(昭5);	ユリ科 Liliaceae サルトリイバラ China root <i>Smilax china</i> L. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium smilacis</i> Schweinitz Dietel, P.:Hedwigia 37:212, 1898(明31); 吉永虎馬:植物学雑 15(171):95, 1901(明34) [備考] ヤマガシユウ (<i>S. sieboldii</i>) にも発生 (2) <i>Aecidium smilacis-chinae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾菌類調査報告 9):131, 1943(昭18); 澤田兼吉:台湾博物会報 33:98, 1943(昭18); 島袋俊一:琉大農家政学術報 8:122, 1961 [備考] トゲナシカズラ (<i>S. sebeana</i>) にも発生 (3) <i>Blastospora itoana</i> Togashi & Onuma 富樫浩吾・大沼総次:植物学雑 45(529):6, 1931(昭6) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシユウ・ランダイサンキライ (<i>S. randaiensis</i>) (4) <i>Blastospora smilacis</i> Dietel [<i>Caeoma makinoi</i> Kusano] Dietel, P.:Ann. Mycol. (6):223, 1908(明41); 吉永虎馬・平塚直秀:植物学雑 44(528):633, 1930(昭5);
---	---

Ono, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 78(2):253, 1986 [備考] シオデ・ヤマガシュウ (5) <i>Puccinia caricis-blepharicarpae</i> Hiratsuka, f. 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18(3-4):87, 1949；平塚直秀:東教大農紀要 1:58, 1952 (6) <i>Puccinia caricis-smilacis</i> T. Kasuya, K. Hosaka & Kakishima Kasuya, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 63(5):235, 2022 [備考] 精子・さび胞子世代がサルトリイバラに寄生し、夏胞子・冬胞子世代はハマアオスゲに寄生する (7) <i>Puccinia citrina</i> P. Sydow & Sydow Sydow, P. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 12:107, 1914(大3)；澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):366, 1919(大8)；平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):26, 1941(昭16) [備考] サツマサンキライ (<i>S. bracteata</i>)・カラスキバサンキライ (<i>S. japonica</i>)・ナメラサンキライ (<i>S. glabra</i>)・ランダイサンキライにも発生 (8) <i>Puccinia ferruginea</i> Lévillé ex Vaillant [<i>Puccinia smilacis-chinae</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 40:125, 1901(明34)；吉永虎馬:植物学雑 16(179):5, 1902(明35)；富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:20, 1926(大15) [備考] シオデ・タチシオデ・サツマサンキライ・カラスキバサンキライ・マルバサンキライ (<i>S. stans</i>)・ヤクシマカカラ (<i>S. china</i> var. <i>yakushimensis</i>) にも発生 (9) <i>Puccinia iriensis</i> Morimoto 森本泰二:植研雑 37(1):1, 1962 (10) <i>Puccinia smilacis-sieboldii</i> Hiratsuka, f. [<i>Puccinia henryana</i> P. Sydow & Sydow, <i>Puccinia smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacis-chinae</i> Hiratsuka] Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37(1):99, 1905(明38)；平塚直秀:植物学雑 56(668):377, 1942(昭17) [備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシュウ・マ	Ono, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 78(2):253, 1986 [備考] シオデ・ヤマガシュウ (5) <i>Puccinia caricis-blepharicarpae</i> Hiratsuka, f. 伊藤誠哉・村山大記:札幌博物学会報 18(3-4):87, 1949；平塚直秀:東教大農紀要 1:58, 1952 (6) <i>Puccinia citrina</i> P. Sydow & Sydow Sydow, P. & Sydow, H.:Ann. Mycol. 12:107, 1914(大3)；澤田兼吉:台湾農試特別報(台湾産菌類調査報告 1):366, 1919(大9)；平塚直秀:札幌博物学会報 17(1):26, 1941(昭16) [備考] サツマサンキライ (<i>S. bracteata</i>)・カラスキバサンキライ (<i>S. japonica</i>)・ナメラサンキライ (<i>S. glabra</i>)・ランダイサンキライにも発生 (7) <i>Puccinia ferruginea</i> Lévillé ex Vaillant [<i>Puccinia smilacis-chinae</i> Hennings] Hennings, P.:Hedwigia 40:125, 1901(明34)；吉永虎馬:植物学雑 16(179):5, 1902(明35)；富樫浩吾:盛岡高農学術報 9:20, 1926(大15) [備考] シオデ・タチシオデ・サツマサンキライ・カラスキバサンキライ・マルバサンキライ (<i>S. stans</i>)・ヤクシマカカラ (<i>S. china</i> var. <i>yakushimensis</i>) にも発生 (8) <i>Puccinia iriensis</i> Morimoto 森本泰二:植研雑 37(1):1, 1962 (9) <i>Puccinia smilacis-sieboldii</i> Hiratsuka, f. [<i>Puccinia henryana</i> P. Sydow & Sydow, <i>Puccinia smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacicola</i> Sawada, <i>Uredo smilacis-chinae</i> Hiratsuka] Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 37(1):99, 1905(明38)；平塚直秀:植物学雑 56(668):377, 1942(昭17)
--	---

ルバサンキライ・ササバサンキライ (<i>S. nervo-marginata</i>)・オキナワサルトリイバラ (<i>S. china</i> var. <i>kuru</i>) にも発生 (注) (6)病原追加、(7)文献号数・文献年訂正	[備考] シオデ・タチシオデ・ヤマガシュウ・マルバサンキライ・ササバサンキライ (<i>S. nervo-marginata</i>)・オキナワサルトリイバラ (<i>S. china</i> var. <i>kuru</i>) にも発生
--	--

モクレン科 Magnoliaceae コブシ(辛夷) <i>Kobus magnolia</i> <i>Magnolia kobus</i> DC. (広葉樹) 裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, 白渋病, うどんこ病) <i>Phyllactinia magnoliae</i> Y.N. Yu & Y.Q. Lai [<i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma p.p.] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):409, 1937(昭12); 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:243, 1997 [備考] キタコブシ(<i>M. kobus</i> var. <i>borealis</i>)・シデコブシ・ヒメシデコブシ(<i>M. stellata</i> var. <i>keiskei</i>)・ハクモクレンにも発生 (注) 病原学名修正、宿主学名変更	モクレン科 Magnoliaceae コブシ(辛夷) <i>Kobus magnolia</i> <i>Magnolia praecocissima</i> Koidz. (広葉樹) 裏うどんこ病* ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, 白渋病, うどんこ病) <i>Phyllactinia magnoliae</i> Y.N. Yu & S.J. Lai [<i>Phyllactinia fraxini</i> (de Candolle) Homma p.p.] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):409, 1937(昭12); 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:243, 1997 [備考] キタコブシ(<i>M. kobus</i> DC. var. <i>borealis</i> Sarg.)・シデコブシ・ヒメシデコブシ(<i>M. stellata</i> var. <i>keiskei</i>)・ハクモクレンにも発生
---	---

モクレン科 Magnoliaceae カラタネオガタマ(トウオガタマ) (Michelia) <i>Michelia fuscata</i> Blume (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow]	モクレン科 Magnoliaceae カラタネオガタマ(トウオガタマ) (Michelia) <i>Michelia fuscata</i> Blume (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow]
--	--

澤田兼吉:台湾農事報 80:9, 1913(大2); 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾 (注) 文献号数訂正	澤田兼吉:台湾農事報 80:9, 1913(大2); 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3); 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾
---	---

アオイ科 Malvaceae オクラ(アメリカネリ, 黄蜀葵) Okra <i>Abelmoschus esculentus</i> (L.) Moench (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis taurica</i> (Léveillé) E.S. Salmon] 齊藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975 [備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 澤岬 哲也ら:日植病報 88(1):27, 2022; 澤岬 哲也ら:日植病報 88(1):78, 2022; 澤岬哲也:植物防疫 76(8):440, 2022 (注) 文献追加	アオイ科 Malvaceae オクラ(アメリカネリ, 黄蜀葵) Okra <i>Abelmoschus esculentus</i> (L.) Moench (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Leveillula taurica</i> (Léveillé) G. Arnaud [<i>Oidiopsis taurica</i> (Léveillé) E.S. Salmon] 齊藤 正・倉田宗良:日植病報 41(3):269, 1975 [備考] 病原菌の完全世代は我が国では未記録 (2) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff 澤岬 哲也ら:日植病報 88(1):27, 2022; 澤岬 哲也ら:日植病報 88(1):78, 2022
---	--

アオイ科 Malvaceae ヒビスカス(ブッソウゲ) Shoefflower <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome]	アオイ科 Malvaceae ヒビスカス(ブッソウゲ) Shoefflower <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome]
--	--

澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照 (注) 文献号数訂正	澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照
--	--

アオイ科 Malvaceae ボンテンカ Cadillo, Caesarweed, Rose Mallow <i>Urena sinuata</i> L. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3)；阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾。オオバボンテンカ (<i>U. lobata</i> var. <i>tomentosa</i>) (注) 文献号数訂正	アオイ科 Malvaceae ボンテンカ Cadillo, Caesarweed, Rose Mallow <i>Urena sinuata</i> L. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3)；阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾。オオバボンテンカ (<i>U. lobata</i> var. <i>tomentosa</i>)
---	---

センダン科 Meliaceae チャンチン(香椿) Chinese toom <i>Cedrela sinensis</i> Juss. (広葉樹) 白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):257, 1928(昭3) [備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照 (注) 文献号数訂正	センダン科 Meliaceae チャンチン(香椿) Chinese toom <i>Cedrela sinensis</i> Juss. (広葉樹) 白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):257, 1928(昭3) [備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照
--	--

センダン科 Meliaceae センダン(梅檀, 棟) Chinaberry <i>Melia azedarach</i> L. var. <i>subtripinnata</i> Miq. (広葉樹) 白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):257, 1928(昭3) [備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照 (注) 文献号数訂正	センダン科 Meliaceae センダン(梅檀, 棟) Chinaberry <i>Melia azedarach</i> L. var. <i>subtripinnata</i> Miq. (広葉樹) 白絹病 shirakinu-byo Southern sclerotium blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):257, 1928(昭3) [備考] 病原菌の異名はユッカ白絹病参照
---	---

センダン科 Meliaceae センダン(梅檀, 棟) Chinaberry <i>Melia azedarach</i> L. var. <i>subtripinnata</i> Miq. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照 (注) 文献号数訂正	センダン科 Meliaceae センダン(梅檀, 棟) Chinaberry <i>Melia azedarach</i> L. var. <i>subtripinnata</i> Miq. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ†赤衣病参照
--	--

クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹)	クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹)
--	--

ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイスビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。ガジュマル (注) 文献号数訂正	ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイスビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome, <i>Corticium zimmermannii</i> Saccardo & P. Sydow] 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。ガジュマル
---	---

クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイスビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume †角斑病 kakuhan-byo (1) <i>Cercospora cladophora</i> Sawada 澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):118, 1943(昭18) [備考] 台湾。トキワイヌビワ (<i>F. septica</i>) (2) <i>Cercospora fici-harlandii</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):106, 1943(昭18) [備考] 台湾。テリハイヌビワ (<i>F. harlandii</i>) (注) 文献年訂正	クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイスビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume †角斑病 kakuhan-byo (1) <i>Cercospora cladophora</i> Sawada 澤田兼吉:台中農林学会報 7(2):118, 1943(昭18) [備考] 台湾。トキワイヌビワ (<i>F. septica</i>) (2) <i>Cercospora fici-harlandii</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):106, 1948(昭18) [備考] 台湾。テリハイヌビワ (<i>F. harlandii</i>)
--	---

クワ科 Moraceae イタビカズラ(崖石榴) (Ficus) <i>Ficus nipponica</i> Franch. & Savat. (広葉樹) †黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病) <i>Phyllachora fici-pumilae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):55, 1959 [備考] 台湾。オオイタビ (<i>F. pumila</i>) (注) 文献号数訂正	クワ科 Moraceae イタビカズラ(崖石榴) (Ficus) <i>Ficus nipponica</i> Franch. & Savat. (広葉樹) †黒やに病 kuroyani-byo Tar spot (黒脂病) <i>Phyllachora fici-pumilae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 1):55, 1959 [備考] 台湾。オオイタビ (<i>F. pumila</i>)
--	---

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 表うどんこ病 omote-udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 表白渋病, 粉病, うどんこ病) <i>Erysiphe mori</i> (I. Miyake) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula mori</i> I. Miyake] 三宅市郎:植物学雑 21(240):1, 1907(明40); 三宅 市郎:蚕試報 1(5):307, 1916(大5); 高松 進:三重大 生資紀要 38:68, 2012 (注) 病原学名修正	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 表うどんこ病 omote-udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 表白渋病, 粉病, うどんこ病) <i>Erysiphe mori</i> (Miyake) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula mori</i> I. Miyake] 三宅市郎:植物学雑 21(240):1, 1907(明40); 三宅 市郎:蚕試報 1(5):307, 1916(大5); 高松 進:三重大 生資紀要 38:68, 2012
---	--

バショウ科 Musaceae	バショウ科 Musaceae
----------------	----------------

バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum musae</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Arx [<i>Gloeosporium musarum</i> Cooke & Masee, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 川上瀧彌・鈴木力治:台湾農試報(台湾農作物病害 目録 1):47, 1908(明41); 澤田兼吉:台湾農試特別 報告 19(台湾産菌類調査報告 1):561, 1919(大8); 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 [備考] 本菌は軸腐病, 果実落下病の病原でもある (注) 文献修正	バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum musae</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Arx [<i>Gloeosporium musarum</i> Cooke & Masee, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 川上瀧彌・鈴木力弥:台湾農試報 1:47, 1908(明 41); 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾産菌類 調査報告 1):561, 1919(大8); 中村重正ら:日植病 報 45(4):545, 1979 [備考] 本菌は軸腐病, 果実落下病の病原でもある
---	--

バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) 斑葉病 han'yo-byo Banana leaf spot, Sigatoka disease, Sigatoka leaf disease (黒点葉枯病, シガ トカ病) (1) <i>Mycosphaerella minima</i> Stahel (2) <i>Mycosphaerella musae</i> (Spegazzini) Sydow & P. Sydow (3) <i>Mycosphaerella musicola</i> J.L. Mulder [<i>Cercospora musae</i> Zimmermann, <i>Metasphaeria</i> <i>musae</i> (Zimmermann) Sawada] 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):221, 1959; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病 害:11, 1977	バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) 斑葉病 han'yo-byo Banana leaf spot, Sigatoka disease, Sigatoka leaf disease (黒点葉枯病, シガ トカ病) (1) <i>Mycosphaerella minima</i> Stahel (2) <i>Mycosphaerella musae</i> (Spegazzini) Sydow & P. Sydow (3) <i>Mycosphaerella musicola</i> J.L. Mulder [<i>Cercospora musae</i> Zimmermann, <i>Metasphaeria</i> <i>musae</i> (Zimmermann) Sawada] 澤田兼吉:台湾大農特別別報 8(台湾産菌類調査報 告 11):221, 1959; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の 病害:11, 1977
---	---

[備考] 台湾ではサンジャクバナナ (テイキャクミバシヨウ <i>Musa cavendishii</i> L.) ・バナナの1種 (<i>Musa</i> sp.) (注) 文献名修正	[備考] 台湾ではサンジャクバナナ (テイキャクミバシヨウ <i>Musa cavendishii</i> L.) ・バナナの1種 (<i>Musa</i> sp.)
---	--

バシヨウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) †輪斑病 rimpan-byo Brown blotch <i>Pestalotia leprogena</i> Spegazzini 澤田兼吉:台湾博物学会報 32(227):289, 1942(昭17) [備考] 台湾。サンジャクバナナ・バナナの1種。 病原菌は現在 <i>Pestalotiopsis leprogena</i> (Spegazzini) Steyaertとされている (注) 文献号数訂正	バシヨウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) †輪斑病 rimpan-byo Brown blotch <i>Pestalotia leprogena</i> Spegazzini 澤田兼吉:台湾博物学会報 32(327):289, 1942(昭17) [備考] 台湾。サンジャクバナナ・バナナの1種。 病原菌は現在 <i>Pestalotiopsis leprogena</i> (Spegazzini) Steyaertとされている
--	--

モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹) ピーコック黒星病 Peacock-kurohoshi-byo Peacock leaf spot <i>Venturia oleaginea</i> (Castagne) Rossman & Crous 氏家章雄ら:日植病報 88(3):230, 2022 (注) 新病名	モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹)
--	---

マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. 暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病, 雪枯病) <i>Racodium therryanum</i> Thümen 伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:218, 1957; 伊藤一雄:林業技術 117:6, 1951; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960; Iwakiri, A. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(6):406, 2021 [備考] 病菌の異名は ヒノキ 暗色雪腐病参照。 Iwakiri <i>et al.</i>(2021)は, 本病菌は系統的には <i>Herpotrichia juniperi</i>と同種であると報告した (注) 備考修正(イチイ暗色雪腐病には病菌の異名がない)	マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. 暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight (雪腐病, 雪枯病) <i>Racodium therryanum</i> Thümen 伊藤一雄:森林防疫ニュース 6:218, 1957; 伊藤一雄:林業技術 117:6, 1951; 佐藤邦彦ら:林試研報 124:41, 1960; Iwakiri, A. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(6):406, 2021 [備考] 病菌の異名は イチイ 暗色雪腐病参照。 Iwakiri <i>et al.</i>(2021)は, 本病菌は系統的には <i>Herpotrichia juniperi</i>と同種であると報告した
---	--

マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Climacocystis borealis</i> (Fries) Kotlaba & Pouzar エゾタケ 亀井専次:日林北支講 2:45, 1953; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):584, 1992 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照 (2) <i>Fomitopsis officinalis</i> (Villars) Bondartsev &	マツ科 Pinaceae アカエゾマツ(赤蝦夷松) Saghalin spruce <i>Picea glehnii</i> Mast. (針葉樹) エゾマツ(クロエゾマツ)(蝦夷松) <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. & Zucc.) Carr. 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Climacocystis borealis</i> (Fries) Kotlaba & Pouzar エゾタケ 亀井専次:日林北支講 2:45, 1953; 阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):584, 1992 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照 (2) <i>Fomitopsis officinalis</i> (Villars) Bondartsev &
---	---

Singer エブリコ 白井光太郎:植物病理学(下):137, 1894(明27) [備考] エゾマツ類の国内記録は疑問。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (3) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ (ツガタケ) 逸見武雄:病虫雑 15:4, 1928(昭3); 亀井専次:日林北支講 2:45, 1953 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (4) <i>Gloeophyllum trabeum</i> (Persoon) Murrill キチリメンタケ 青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照 (5) <i>Phellinus chrysoloma</i> (Fries) Donk カラマツカタワタケ (マツノカタワタケ) 中牟田五郎:森林保護学:107, 1894(明27); 今関六也:東京科博研報 6:107, 1943 (昭18); 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はカラマツ幹心腐病参照 (6) <i>Phellinus pini</i> (Brotero) Ames マツノカタワタケ (エゾサルノコシカケ, エゾノコシカケ) 山野義雄:御料林 25:69, 1930(昭5); 今関六也:植物病害研究 4:176, 1951; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (7) <i>Stereum sanguinolentum</i> (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:29, 1952 (8) <i>Veluticeps abietina</i> (Persoon) Hjortstam & Tellería マツノウロコタケ 亀井専次・五十嵐恒夫:68回日林講:264, 1958; 山口岳広:日本植物病害大事典 (岸 國平編):1160, 1998 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照 (注) (6)病原和名間の読点をカンマに修正	Singer エブリコ 白井光太郎:植物病理学(下):137, 1894(明27) [備考] エゾマツ類の国内記録は疑問。病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (3) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ (ツガタケ) 逸見武雄:病虫雑 15:4, 1928(昭3); 亀井専次:日林北支講 2:45, 1953 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (4) <i>Gloeophyllum trabeum</i> (Persoon) Murrill キチリメンタケ 青島清雄ら:石狩川源流森林総合調査報告 2:146, 1977 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照 (5) <i>Phellinus chrysoloma</i> (Fries) Donk カラマツカタワタケ (マツノカタワタケ) 中牟田五郎:森林保護学:107, 1894(明27); 今関六也:東京科博研報 6:107, 1943 (昭18); 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はカラマツ幹心腐病参照 (6) <i>Phellinus pini</i> (Brotero) Ames マツノカタワタケ (エゾサルノコシカケ, エゾノコシカケ) 山野義雄:御料林 25:69, 1930(昭5); 今関六也:植物病害研究 4:176, 1951; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (7) <i>Stereum sanguinolentum</i> (Albertini & Schweinitz) Fries チウロコタケモドキ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:29, 1952 (8) <i>Veluticeps abietina</i> (Persoon) Hjortstam & Tellería マツノウロコタケ 亀井専次・五十嵐恒夫:68回日林講:264, 1958; 山口岳広:日本植物病害大事典 (岸 國平編):1160, 1998 [備考] 病菌の異名はトドマツ幹心腐病参照
--	--

マツ科 Pinaceae トウヒ(唐檜) Hondo spruce <i>Picea jezoensis</i> subsp. <i>hondoensis</i> (Mayr) P.A. Schmidt (針葉樹) 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ (ツガタケ) 出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明44); 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭18) [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (2) <i>Phellinus chrysoloma</i> (Fries) Donk カラマツカタワタケ (マツノカタワタケ) 白井光太郎:植物病理学(下):152, 1894(明27); 今関六也:東京科博研報 6:107, 1943(昭18); 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はカラマツ幹心腐病参照 (3) <i>Phellinus pini</i> (Brotero) Ames マツノカタワタケ (エゾサルノコシカケ, エゾノコシカケ) 青島清雄:日植病報 14(3-4):106, 1950; 今関六也・本郷次雄:原色新菌類図鑑(II):192, 1989; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (注) (3)病原和名間の読点をカンマに修正	マツ科 Pinaceae トウヒ(唐檜) Hondo spruce <i>Picea jezoensis</i> subsp. <i>hondoensis</i> (Mayr) P.A. Schmidt (針葉樹) 幹心腐病* miki-shingusare-byo Stem heart rot (1) <i>Fomitopsis pinicola</i> (Swartz) P. Karsten ツガサルノコシカケ (ツガタケ) 出田 新:日本植物病理学(下):614, 1911(明44); 今関六也:東京科博研報 6:92, 1943(昭18) [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (2) <i>Phellinus chrysoloma</i> (Fries) Donk カラマツカタワタケ (マツノカタワタケ) 白井光太郎:植物病理学(下):152, 1894(明27); 今関六也:東京科博研報 6:107, 1943(昭18); 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はカラマツ幹心腐病参照 (3) <i>Phellinus pini</i> (Brotero) Ames マツノカタワタケ (エゾサルノコシカケ, エゾノコシカケ) 青島清雄:日植病報 14(3-4):106, 1950; 今関六也・本郷次雄:原色新菌類図鑑(II):192, 1989; 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照
---	---

マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var.	マツ科 Pinaceae ゴヨウマツ Five-needle pine (針葉樹) アマミゴヨウ(ヤクタネゴヨウ)(奄美五葉, 屋久種子五葉松) <i>Pinus armandii</i> Franch. var.
---	---

<i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チ ョ ウ セ ン ゴ ヨ ウ (紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴ ヨ ウ マ ツ (五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キ タ ゴ ヨ ウ (北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハ イ マ ツ (這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel 幹心腐病 miki-shingusare-byo Stem heart rot <i>Phellinus pini</i> (Brotero) Ames マツノカタワタケ (エゾサルノコシカケ, エゾノコシカケ) 中牟田五郎:森林保護学:107, 1894(明27); 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照 (注) 病原和名間の読点をカンマに修正	<i>amamiana</i> (Koidz.) Hatusima チ ョ ウ セ ン ゴ ヨ ウ (紅松, 朝鮮五葉松) <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. & Zucc. ゴ ヨ ウ マ ツ (五葉松, ヒメコマツ) <i>Pinus parviflora</i> Sieb. & Zucc. キ タ ゴ ヨ ウ (北五葉松) <i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) Henry ハ イ マ ツ (這松, 偃松) <i>Pinus pumila</i> (Pallas) Regel 幹心腐病 miki-shingusare-byo Stem heart rot <i>Phellinus pini</i> (Brotero) Ames マツノカタワタケ (エゾサルノコシカケ, エゾノコシカケ) 中牟田五郎:森林保護学:107, 1894(明27); 本郷次雄ら:きのこ(山溪フィールドブックス 10):267, 1994 [備考] 病菌の異名はモミ類幹心腐病参照
--	---

ハナシノブ科 Polemoniaceae フロックス(キキョウナデシコ) Drummond Phlox <i>Phlox drummondii</i> Hook. (草花) オイランソウ(クサキョウチクトウ) Summer perennial phlox <i>Phlox paniculata</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Golovinomyces magnicellulatus</i> (U. Braun) V.P. Heluta var. <i>magnicellulatus</i> [<i>Erysiphe magnicellulata</i> U. Braun var. <i>magnicellulata</i>, <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle] 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:223, 1917(大6); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973; 高松 進ら:日菌報 19(1):65, 1978; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(4):202, 1997; 高	ハナシノブ科 Polemoniaceae フロックス(キキョウナデシコ) Drummond Phlox <i>Phlox drummondii</i> Hook. (草花) オイランソウ(クサキョウチクトウ) Summer perennial phlox <i>Phlox paniculata</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Golovinomyces magnicellulatus</i> (U. Braun) Heluta var. <i>magnicellulatus</i> [<i>Erysiphe magnicellulata</i> U. Braun var. <i>magnicellulata</i>, <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle] 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:223, 1917(大6); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973; 高松 進ら:日菌報 19(1):65, 1978; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(4):202, 1997; 高
---	---

松 進:三重大生資紀要 38:36, 2012 [備考] 白井・三宅 (1917), 平田・和田 (1973), 高松 (1978) は寄主植物リスト。接種試験未了 (2) <i>Oidium</i> sp. 野村幸彦:日菌報 17(3, 4):338, 1977 [備考] 分生子の発芽管の形状は <i>Sphaerotheca fuliginea</i> 型である。寄主植物リスト。接種試験未了 (3) <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill 野村幸彦:日菌報 15(1):72, 1974 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討が必要。寄主植物リスト。接種試験未了 (注) 病原学名修正	松 進:三重大生資紀要 38:36, 2012 [備考] 白井・三宅 (1917), 平田・和田 (1973), 高松 (1978) は寄主植物リスト。接種試験未了 (2) <i>Oidium</i> sp. 野村幸彦:日菌報 17(3, 4):338, 1977 [備考] 分生子の発芽管の形状は <i>Sphaerotheca fuliginea</i> 型である。寄主植物リスト。接種試験未了 (3) <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill 野村幸彦:日菌報 15(1):72, 1974 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討が必要。寄主植物リスト。接種試験未了
---	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae オダマキ Fan columbine <i>Aquilegia</i> spp. (草花) オダマキ Fan columbine <i>Aquilegia flabellata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウオダマキ European columbine, Common columbine <i>Aquilegia vulgaris</i> L. えそモザイク病 eso-mosaic-byo <i>Aquilegia necrotic mosaic virus</i># (ANMV) オダマ キえそモザイクウイルス 李 準璋ら:日植病報 49(1):83, 1983 [備考] 戻し接種なし (注) 病原学名に#を付与、文献著者名訂正	キンポウゲ科 Ranunculaceae オダマキ Fan columbine <i>Aquilegia</i> spp. (草花) オダマキ Fan columbine <i>Aquilegia flabellata</i> Sieb. & Zucc. セイヨウオダマキ European columbine, Common columbine <i>Aquilegia vulgaris</i> L. えそモザイク病 eso-mosaic-byo <i>Aquilegia necrotic mosaic virus</i> (ANMV) オダマ キえそモザイクウイルス 李 準璋ら:日植病報 49(1):83, 1983 [備考] 戻し接種なし
--	--

クロウメモドキ科 Rhamnaceae ヨコグラノキ (Berchemiella)	クロウメモドキ科 Rhamnaceae
--	----------------------------

<i>Berchemiella berchemiifolia</i> (Makino) Nakai (広葉樹) †††† <i>Fulvifomes imazekii</i> T. Hattori, Y. Ota & Sotome Hattori, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 63(3):131, 2022 [備考] 接種試験未了 (注) 新規宿主、新宿主	
--	--

バラ科 Rosaceae ヤマブキショウマ (Aruncus) <i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H.Hara (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera ferruginea</i> (Schlechtendal) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ferruginea</i> [<i>Sphaerotheca</i> <i>ferruginea</i> (Schlechtendal) L. Junell var. <i>ferruginea</i>] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:37, 1997 ; Braun, U. & Takamatsu, S.:Schlechtendalia 4:29, 2000 [備考] 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012では 宿主として未記載 (2) <i>Podosphaera spiraeae</i> (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu Liu, S.-Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 62(6):390, 2021 (注) 2022年8月の新旧対照表でヤマブキショウマ うどんこ病が新病名となっているが、既登録病 名であったため、病原追加とする	バラ科 Rosaceae ヤマブキショウマ (Aruncus) <i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H.Hara (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera ferruginea</i> (Schlechtendal) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>ferruginea</i> [<i>Sphaerotheca</i> <i>ferruginea</i> (Schlechtendal) L. Junell var. <i>ferruginea</i>] 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:37, 1997 ; Braun, U. & Takamatsu, S.:Schlechtendalia 4:29, 2000 [備考] 高松 進:三重大生資紀要 38:16, 2012では 宿主として未記載
--	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓)	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓)
--	--

Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 葉枯病 hagare-byo <i>Marssonina fragariae</i> (Libert) Klebahn [<i>Marssonina potentillae</i> (Desmazières) Fischer] 澤田兼吉:台灣農試特別報告 19(台灣菌類調查報告 1):586, 1919(大8)；小林享夫ら:植物病原菌類図説:593, 1992 (注) 文献名修正	Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 葉枯病 hagare-byo <i>Marssonina fragariae</i> (Libert) Klebahn [<i>Marssonina potentillae</i> (Desmazières) Fischer] 澤田兼吉:台灣農試特別報告 19(台灣菌類調查目錄 1):586, 1919(大8)；小林享夫ら:植物病原菌類図説:593, 1992
--	---

バラ科 Rosaceae ポテンティラ <i>Potentilla</i> <i>Potentilla</i> spp. (草花) ベニバナロウゲ <i>Potentilla nepalensis</i> Hook. さび病 sabi-byo rust <i>Phragmidium duchesneae</i> (Arthur) P. Sydow & Sydow Uzuhashi, S. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 88(4):278, 2022 [備考] ヤブヘビイチゴ(<i>Potentilla indica</i>)に発生 (注) 新病名	バラ科 Rosaceae ポテンティラ <i>Potentilla</i> <i>Potentilla</i> spp. (草花) ベニバナロウゲ <i>Potentilla nepalensis</i> Hook.
---	--

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 灰星病 haiboshi-byo Brown rot (灰色菌核)	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 灰星病 haiboshi-byo Brown rot (灰色菌核)
--	--

病, 熟果菌核病, 菌核病) (1) <i>Monilinia mumeicola</i> (Y. Harada, Y. Sasaki & T. Sano) Sandoval-Denis & Crous [<i>Monilia mumecola</i> Y. Harada, Y. Sasaki & T. Sano, <i>Monilia</i> sp.] 原田幸雄ら:日植病報 56(3):387, 1990 ; Harada, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):297, 2004 (2) <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey [<i>Monilia fructicola</i> Bonorden, <i>Sclerotinia cinerea</i> (Bonorden) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977 [備考] 半澤 洵 (札幌博物学会報 1:97, 1906) は病原菌のシノニムとして <i>Monilia cinerea</i> Bonorden, <i>M. kusanoi</i> Henningsを記載している (3) <i>Monilinia laxa</i> (Aderhold & Ruhland) Honey 山本和太郎:日菌報 2(2):2, 1959 ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977 (注) (1)病原学名変更。Index Fungorumによる	病, 熟果菌核病, 菌核病) (1) <i>Monilia mumecola</i> Y. Harada, Y. Sasaki & T. Sano [<i>Monilia</i> sp.] 原田幸雄ら:日植病報 56(3):387, 1990 ; Harada, Y. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):297, 2004 (2) <i>Monilinia fructicola</i> (G. Winter) Honey [<i>Monilia fructicola</i> Bonorden, <i>Sclerotinia cinerea</i> (Bonorden) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977 [備考] 半澤 洵 (札幌博物学会報 1:97, 1906) は病原菌のシノニムとして <i>Monilia cinerea</i> Bonorden, <i>M. kusanoi</i> Henningsを記載している (3) <i>Monilinia laxa</i> (Aderhold & Ruhland) Honey 山本和太郎:日菌報 2(2):2, 1959 ; 原田幸雄:弘大農報 27:30, 1977
--	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 枝折病 edaore-byo Fusicoccum canker <i>Phomopsis amygdali</i> (Delacroix) Tuset & Portilla [<i>Fusicoccum</i> sp.] 原田俊男・鍵渡徳次:桃の新病害枝折病に関する研究, 神奈川県農林部:1, 1951 ; Kanematsu, S. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(5):531, 1999	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 枝折病 edaore-byo Fusicoccum canker <i>Fusicoccum amygdali</i> (Delacroix) Tuset & Portilla [<i>Fusicoccum</i> sp.] 原田俊男・鍵渡徳次:桃の新病害枝折病に関する研究, 神奈川県農林部:1, 1951 ; Kanematsu, S. et al.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(5):531, 1999
--	---

(注) 病原学名修正	
------------	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (葉炭疽病, 葉の炭疽病, 果の炭疽病, 苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 深谷雅子ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 深谷雅子:日植病報 70(3):184, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 菊原賢次:日植病報 88(3):185, 2022 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák] 黒澤良平:植物学雑 26(311):359, 1912(大1) ; 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 原 攝祐:果樹病害論:107, 1916(大5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:54, 1927(昭2) [備考] 葉炭疽病を統合した	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (葉炭疽病, 葉の炭疽病, 果の炭疽病, 苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 深谷雅子ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 深谷雅子:日植病報 70(3):184, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák] 黒澤良平:植物学雑 26(311):359, 1912(大1) ; 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 原 攝祐:果樹病害論:107, 1916(大5) ; 鑄方末彦:実験果樹病害篇:54, 1927(昭2) [備考] 葉炭疽病を統合した
---	---

(注) 病原追加	
----------	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 汚果病 yogoreka-byo Fruit stain (尻黒, 汚れ果) (1) <i>Acaromyces ingoldii</i> Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg [<i>Hyalodendron</i> sp.] 那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997 ; 安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊ら:日植病報 71(4):156, 2005 ; Yasuda, F. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:36, 2006 ; 安田文俊ら:日植病報 73(3):166, 2007 [備考] ニホンナシに発生 (2) <i>Alternaria</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 (3) <i>Meira geulakonigii</i> Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg 安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006 (4) <i>Meira nashicola</i> F. Yasuda & H. Otani 安田文俊ら:日植病報 71(3):156, 2005 ; Yasuda, F. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:36, 2006 [備考] ニホンナシに発生 (5) <i>Meira</i> sp. 安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 汚果病 yogoreka-byo Fruit stain (尻黒, 汚れ果) (1) <i>Acaromyces ingoldii</i> Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg [<i>Hyalodendron</i> sp.] 那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997 ; 安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊ら:日植病報 71(4):156, 2005 ; Yasuda, F. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:36, 2006 ; 安田文俊ら:日植病報 73(3):166, 2007 [備考] ニホンナシに発生 (2) <i>Alternaria</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 (3) <i>Meira geulakonigii</i> Boekhout, Scorzetti, Gerson & Szejnberg 安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006 (4) <i>Meira nashicola</i> F. Yasuda & H. Otani 安田文俊ら:日植病報 71(3):156, 2005 ; Yasuda, F. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:36, 2006 [備考] ニホンナシに発生 (5) <i>Meira</i> sp. 安田文俊ら:日植病報 71(1):75, 2005 ; 安田文俊
---	---

ら:日植病報 71(4):156, 2005 (6) <i>Phomopsis</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 (7) <i>Pseudozyma aphidis</i> (Henninger & Windisch) Boekhout 安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006 (8) <i>Stenella</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 ; 那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997 [備考] 野口保弘・田中澄人 (九病虫研会報 26:73, 1980) は類似の症状として尻腐症を報告している (9) <i>Zasmidium</i> sp. 柴田紗帆ら:日植病報 88(3):183, 2022 [備考] ニホンナシに発生。(8)と類似した形態で, 分類学的異同は不明 (注) 病原追加	ら:日植病報 71(4):156, 2005 (6) <i>Phomopsis</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 (7) <i>Pseudozyma aphidis</i> (Henninger & Windisch) Boekhout 安田文俊ら:日植病報 72(1):73, 2006 (8) <i>Stenella</i> sp. 大崎 守・松尾 平:園学要旨 昭33秋:10, 1958 ; 貞松光男:日植病報 44(3):373, 1978 ; 那須英夫ら:日植病報 58(4):539, 1992 ; 那須英夫・中桐 昭:岡山農試研報 15:25, 1997 [備考] 野口保弘・田中澄人 (九病虫研会報 26:73, 1980) は類似の症状として尻腐症を報告している
--	--

アカネ科 Rubiaceae クチナシ(梔子) Cape-jasmine <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大8) ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参	アカネ科 Rubiaceae クチナシ(梔子) Cape-jasmine <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾産菌類調査報告 1):495, 1919(大8) ; 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):266, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参
---	---

照	照
(注) 文献号数訂正	

アカネ科 Rubiaceae クチナシ(梔子) Cape-jasmine <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis (広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold (煤病) <i>Balladyna velutina</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Höhnelt [<i>Dimerosporium gardeniicola</i> Hennings] 安田 篤:植物学各論隠花部:369, 1911(明44); 松村 任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明37); 山本和 太郎:日菌報 1(10):8, 1959 [備考] タイワンクチナシ (<i>G. angustifolia</i>) にも発 生 (注) 文献巻号訂正	アカネ科 Rubiaceae クチナシ(梔子) Cape-jasmine <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis (広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold (煤病) <i>Balladyna velutina</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Höhnelt [<i>Dimerosporium gardeniicola</i> Hennings] 安田 篤:植物学各論隠花部:369, 1911(明44); 松村 任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明37); 山本和 太郎:日菌報 10:8, 1959 [備考] タイワンクチナシ (<i>G. angustifolia</i>) にも発 生
---	--

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus</i> <i>trifoliata</i> (L.) Raf. 緑かび病 midori-kabi-byo Common green mold, Green mold (腐敗病, 萌黄黴病, 緑黴病) <i>Penicillium digitatum</i> (Persoon) Saccardo [<i>Penicillium olivaceum</i> Wehmer] 和田歌吉:日園雑 21(6):19, 1909(明42); 鶴田章逸:	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus</i> <i>trifoliata</i> (L.) Raf. 緑かび病 midori-kabi-byo Common green mold, Green mold (腐敗病, 萌黄黴病, 緑黴病) <i>Penicillium digitatum</i> (Persoon) Saccardo [<i>Penicillium olivaceum</i> Wehmer] 和田歌吉:日園雑 21(6):19, 1909(明42); 鶴田章逸:
--	--

果樹 168:24, 1917(大6)；澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告 2):130, 1922(大11) (注) 文献年訂正	果樹 168:24, 1917(大6)；澤田兼吉:台湾中研農業部報告 2(台湾産菌類調査報告2):130, 1923(大12)
--	--

ミカン科 Rutaceae ゲッキツ Orange Jasmine <i>Murraya paniculata</i> (L.) Jack (広葉樹) †疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora murrayae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾博物学会報 32(223):176, 1942(昭17)；澤田兼吉:台湾農試報 85 (台湾産菌類調査報告 8):9, 1943(昭18) [備考] 台湾 (注) 文献号数訂正	ミカン科 Rutaceae ゲッキツ Orange Jasmine <i>Murraya paniculata</i> (L.) Jack (広葉樹) †疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora murrayae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾博物学会報 32(2239):176, 1942(昭17)；澤田兼吉:台湾農試報 85 (台湾産菌類調査報告 8):9, 1943(昭18) [備考] 台湾
---	--

ムクロジ科 Sapindaceae ムクロジ(無患子) Ritha tree, Soapnut-tree <i>Sapindus mukorossi</i> Gaertn. (広葉樹) †角斑病 kakuhan-byo <i>Isariopsis sapindi</i> Sawada 澤田兼吉:台湾博物学会報 32(225):249, 1942(昭17)；澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):129, 1943(昭18) [備考] 台湾 (注) 文献年・文献ページ訂正、文献順修正	ムクロジ科 Sapindaceae ムクロジ(無患子) Ritha tree, Soapnut-tree <i>Sapindus mukorossi</i> Gaertn. (広葉樹) †角斑病 kakuhan-byo <i>Isariopsis sapindi</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):130, 1942(昭17)；澤田兼吉:台湾博物学会報 32(225):249, 1942(昭17) [備考] 台湾
---	--

サラセニア科 Sarraceniaceae サラセニア (Sarracenia) <i>Sarracenia</i> spp. (草花) ムラサキヘイシソウ <i>Sarracenia purpurea</i> L. subsp. <i>purpurea</i> f. <i>heterophylla</i> 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum cigarro</i> (B.S. Weir & P.R. Johnston) A. Cabral & P. Talhinhos 西平守司ら:日植病報 88(1):76, 2022 ; <i>Taba, S. et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):270, 2022 [備考] ムラサキヘイシソウに発生 (注) 文献追加、宿主名追加	サラセニア科 Sarraceniaceae サラセニア (Sarracenia) <i>Sarracenia</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum cigarro</i> (B.S. Weir & P.R. Johnston) A. Cabral & P. Talhinhos 西平守司ら:日植病報 88(1):76, 2022
--	--

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ヘーベ Hebe <i>Hebe</i> sp. (広葉樹) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora grisea</i> Rabenhorst 菅原 敬ら:日植病報 88(3):224, 2022 (注) 新病名	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ヘーベ Hebe <i>Hebe</i> sp. (広葉樹)
--	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.
--	--

えそ環紋病 eso-kammon-byo Leaf necrosis <i>Tomato zonate spot orthospovirus</i> (TZSV) トマト環紋ウイルス 島田涼子・岡本昌広:日植病報 88(3):187, 2022 [備考] ピーマンに発生 (注) 新病名	
---	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fruit rot, Internal fruit rot (1) <i>Fusarium lactis</i> Pirotta 関口博之ら:日植病報 80(1):50, 2014 ; Sekiguchi, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(5):326, 2021 ; 関口博之:植物防疫 76(5):232, 2022 [備考] ピーマンに発生 (2) <i>Fusicoccum aesculi</i> Corda 富岡啓介:近中四農研報 5:91, 2005 (3) <i>Phomopsis</i> sp. 富岡啓介:近中四農研報 5:91, 2005 [備考] ピーマン <i>C. annuum</i> L. var. <i>grossum</i> Sendtner に発生。富岡(2005)は病原(3)を<i>P. phomoides</i> (Saccardo) Arxとしたが, 本学名は <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallr.) S. Hughesのシノニムのため, 現状<i>Phomopsis</i> sp.とする (注) 文献追加	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. 果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fruit rot, Internal fruit rot (1) <i>Fusarium lactis</i> Pirotta 関口博之ら:日植病報 80(1):50, 2014 ; Sekiguchi, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(5):326, 2021 [備考] ピーマンに発生 (2) <i>Fusicoccum aesculi</i> Corda 富岡啓介:近中四農研センター 研報 5:91, 2005 (3) <i>Phomopsis</i> sp. 富岡啓介:近中四農研センター 研報 5:91, 2005 [備考] ピーマン <i>C. annuum</i> L. var. <i>grossum</i> Sendtner に発生。富岡(2005)は病原(3)を<i>P. phomoides</i> (Saccardo) Arxとしたが, 本学名は <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallr.) S. Hughesのシノニムのため, 現状<i>Phomopsis</i> sp.とする
---	---

ナス科 Solanaceae タバコ(煙草)	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草)
---	---

Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) †秦野タバコ疫病 hatano-tabako-eki-byo (秦野煙草疫病, 秦野疫病) <i>Phytophthora tabaci</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 27(台湾産菌類調査報告 3):35, 1927(昭2) [備考] 台湾。病原菌記載不十分であるが, <i>Phytophthora nicotianae</i> van Breda de Haan [<i>P. nicotianae</i> van Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) Waterhouse] であろうといわれる (桂 琦一:植物の疫病:40, 1971) (注) 文献年訂正	Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) †秦野タバコ疫病 hatano-tabako-eki-byo (秦野煙草疫病, 秦野疫病) <i>Phytophthora tabaci</i> Sawada 澤田兼吉:台湾中研農業部報告 27(台湾産菌類調査報告 3):35, 1928(昭3) [備考] 台湾。病原菌記載不十分であるが, <i>Phytophthora nicotianae</i> van Breda de Haan [<i>P. nicotianae</i> van Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) Waterhouse] であろうといわれる (桂 琦一:植物の疫病:40, 1971)
--	---

ナス科 Solanaceae ホオズキ類 (Physalis) <i>Physalis</i> spp. (野草) センナリホオズキ <i>Physalis angulata</i> L. シヨクヨウホオズキ <i>Physalis pruinosa</i> L. すす斑病 Sooty spot susuhan-byo <i>Cladosporium tenuissimum</i> Cooke Miyake, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):282, 2022 [備考] ショクヨウホオズキの熟した萼に発生 (注) 新病名	ナス科 Solanaceae ホオズキ類 (Physalis) <i>Physalis</i> spp. (野草) センナリホオズキ <i>Physalis angulata</i> L. シヨクヨウホオズキ <i>Physalis pruinosa</i> L.
---	---

ナス科 Solanaceae ハシリドコロ Japanese belladonna	ナス科 Solanaceae
--	-----------------------

<i>Scopolia japonica</i> Maxim. (特用作物) †††† Scopolia mild mottle virus# (SMMoV) ハシリド コロ微斑ウイルス 一本(植原)珠樹ら:日植病報 88(3):186, 2022 ; Uehara-Ichiki, T. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 167:947, 2022 (注) 新規宿主、新宿主	
--	--

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐紋病 katsumon-byo Brown spot, Phomopsis blight (褐点病, 斑紋病, 焼病, 輪紋病, 斑葉病, 葉枯病) <i>Phomopsis vexans</i> (Saccardo & P. Sydow) Harter 高橋良直:北海道農試報告:92, 1903(明36) ; 原 攝 祐:農業世界 5(6):222, 1910(明43) (注) 病名和名間のカンマ位置修正	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 褐紋病 katsumon-byo Brown spot, Phomopsis blight (褐点病, 斑紋病, 焼病, 輪紋病, 斑葉病, 葉枯病) <i>Phomopsis vexans</i> (Saccardo & P. Sydow) Harter 高橋良直:北海道農試報告:92, 1903(明36) ; 原 攝 祐:農業世界 5(6):222, 1910(明43)
--	---

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 夏疫病 natsu-eki-byo Early blight (輪紋病, 腐敗病, 葉炎病, 葉枯病, 輪斑病, 褐斑病) <i>Alternaria solani</i> (Ellis & Martin) Sorauer [<i>Macrosporium solani</i> Ellis & G. Martin, <i>Alternaria</i>	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 夏疫病 natsu-eki-byo Early blight (輪紋病, 腐敗病, 葉炎病, 葉枯病, 輪斑病, 褐斑病) <i>Alternaria solani</i> (Ellis & Martin) Sorauer [<i>Macrosporium solani</i> Ellis & G. Martin, <i>Alternaria</i>
--	--

<i>americana</i> Sawada] 出田 新:実用植物病理学:188, 1902(明35); 山本和太郎:日菌報 2(5):91, 1960; 白井佳代・三澤知央:日植病報 77(3):165, 2011 (注) 文献巻号訂正	<i>americana</i> Sawada] 出田 新:実用植物病理学:188, 1902(明35); 山本和太郎:日菌報 (5):91, 1960; 白井佳代・三澤知央:日植病報 77(3):165, 2011
---	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病, 湿性腐敗病, 湿腐病) (1) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [Bacillus aroideae Townsend, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 瀧元清透:農及園 2(8, 9):843, 967, 1927(昭2); 中田覺五郎:作物病害図編:526, 1934(昭9) (2) <i>Pectobacterium brasiliense</i> Portier, Pédrón, Taghouti, Fischer-Le Saux, Caullireau, Bertrand, Laurent, Chawki, Oulgazi, Moumni, Andrivon, Dutrieux, Faure, Hélias & Barny 2019 藤本岳人ら:日植病報 88(3):200, 2022 (3) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 藤本岳人ら:日植病報 88(3):200, 2022 (注) 病原追加	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (腐敗病, 湿性腐敗病, 湿腐病) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [Bacillus aroideae Townsend, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 瀧元清透:農及園 2(8, 9):843, 967, 1927(昭2); 中田覺五郎:作物病害図編:526, 1934(昭9)
--	---

エゴノキ科 Styracaceae エゴノキ Snowbell	エゴノキ科 Styracaceae エゴノキ Snowbell
--	--

<i>Styrax japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) オオバエゴノキ <i>Styrax japonica</i> Sieb. & Zucc. var. <i>jippeikawamurae</i> (Yanagita) Harao †灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Gray felt disease <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 澤田兼吉:柑橘研究 2(1):106, 1928(昭3)；澤田兼 吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):98, 1959 [備考] 台湾。タイワンエゴノキ (<i>Styrax formosana</i>)。病原菌の異名はポプラ類灰色こうや く病参照 (注) 文献ページ訂正、文献順修正	<i>Styrax japonica</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) オオバエゴノキ <i>Styrax japonica</i> Sieb. & Zucc. var. <i>jippeikawamurae</i> (Yanagita) Harao †灰色こうやく病* haiiro-koyaku-byo Gray felt disease <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):98, 1959；澤田兼吉:柑橘研究 2(1):166, 1928(昭3) [備考] 台湾。タイワンエゴノキ (<i>Styrax formosana</i>)。病原菌の異名はポプラ類灰色こうや く病参照
--	--

エゴノキ科 Styracaceae ハクウンボク(白雲木) Fragrant snowball <i>Styrax obassia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe togashiana</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>togashiana</i> [<i>Uncinula togashiana</i> U. Braun var. <i>togashiana</i>, <i>Uncinula geniculata</i> auct Jap. non W.R. Gerard] 安田 篤:植物学各論隠花部:368, 1911(明44)； Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):362, 1937(昭12)；大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):253, 1988；高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012 (注) 病原学名修正	エゴノキ科 Styracaceae ハクウンボク(白雲木) Fragrant snowball <i>Styrax obassia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe togashiana</i> (U. Braun) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>togashiana</i> [<i>Uncinula togashiana</i> U. Braun var. <i>togashiana</i>, <i>Uncinula geniculata</i> auct Jap. non Gerard] 安田 篤:植物学各論隠花部:368, 1911(明44)； Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):362, 1937(昭12)；大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):253, 1988；高松 進:三重大生資紀要 38:69, 2012
--	---

ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 斑葉病 han'yo-byo Yellow mottle leaf Camellia yellow mottle leaf virus# (CYMLV) ツバキ斑葉ウイルス 明日山秀文・飯田俊武編:日本作物ウイルス病総覧:323, 1967; 井上忠男:日植病報 48(1):117, 1982 [備考] 粒子未発見。ツバキからツバキ・サザンカへの接木伝染確認, 福士貞吉 (日植病報 21(1):1, 1956) は1965年以前に本病が我国に存在したことを推論している (注) 備考訂正	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 斑葉病 han'yo-byo Yellow mottle leaf Camellia yellow mottle leaf virus# (CYMLV) ツバキ斑葉ウイルス 明日山秀文・飯田俊武編:日本作物ウイルス病総覧:323, 1967; 井上忠男:日植病報 48(1):117, 1982 [備考] 粒子未発見。ツバキからツバキ・サザンカへの接木伝染確認, 福士貞吉 (日植病報 21(1):1, (1956)) は1965年以前に本病が我国に存在したことを推論している
--	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪斑病 rinhan-byo Gray blight (1) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. 野澤俊介ら:日植病報 85(3):255, 2019 ; Nozawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(5):293, 2022 [備考] 病原(2)との異同について検討を要する (2) <i>Pestalotiopsis longiseta</i> (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [<i>Pestalotia longiseta</i> Spegazzini] 臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990 ; 臺 喜吉ら:横浜植防調報 26:4, 1990 (3) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia theae</i> Sawada, <i>Pestalozzia theae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):13, 1913(大2); 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪斑病 rinhan-byo Gray blight (1) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. 野澤俊介ら:日植病報 85(3):255, 2019 [備考] 病原(2)との異同について検討を要する (2) <i>Pestalotiopsis longiseta</i> (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [<i>Pestalotia longiseta</i> Spegazzini] 臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990 ; 臺 喜吉ら:横浜植防調報 26:4, 1990 (3) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia theae</i> Sawada, <i>Pestalozzia theae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):13, 1913(大2); 宇田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978
---	--

(注) 文献追加	
----------	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) †褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Gray blight <i>Pestalotiopsis guepinii</i> (Desmazières) Steyaert [<i>Pestalotia guepinii</i> Desmazières] 川上瀧弥・鈴木力治:台湾農試報(台湾農作物病害 目録 1):32, 1908(明 41) [備考] 台湾。病原菌の学名は小林享夫:植物病原 菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992を参照 (注) 文献修正	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) †褐色葉枯病 kasshoku-hagare-byo Gray blight <i>Pestalotiopsis guepinii</i> (Desmazières) Steyaert [<i>Pestalotia guepinii</i> Desmazières] 川上瀧弥・鈴木力彌:台湾農試報 1:32, 1908(明 41) [備考] 台湾。病原菌の学名は小林享夫:植物病原 菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992を参照
---	---

ツバキ科 Theaceae タイワンツバキ (Gordonia) <i>Gordonia axillaris</i> Dietr. (広葉樹) †††† † <i>Graphium gordoniae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾大農特別報 8(台湾産菌類調査報告 11):233, 1959 [備考] 台湾 (注) 文献年訂正、文献名を多数派に合わせた	ツバキ科 Theaceae タイワンツバキ (Gordonia) <i>Gordonia axillaris</i> Dietr. (広葉樹) †††† † <i>Graphium gordoniae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾大農専刊 8(台湾産菌類調査報告 11):233, 1957 [備考] 台湾
---	--

ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒)	ニレ科 Ulmaceae ケヤキ(欒)
------------------------	------------------------

Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) †††† <i>Mycosphaerella zelkovae</i> Sydow, P. Sydow & Hara 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):385, 1917(大6)；原 攝祐:樹病学各論:111, 1923(大12) (注) 病原学名修正	Japanese zelkova <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino (広葉樹) †††† <i>Mycosphaerella zelkowae</i> Sydow & Hara 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):385, 1917(大6)；原 攝祐:樹病学各論:111, 1923(大12)
--	---

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2023年2月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名, 病原追加, 病名・学名変更, 文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤 衛

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐斑) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Gan, P. <i>et al.</i>:Environ. Microbiol. 23:6004, 2021 ; 生咲 巖ら:日植病報 88(3):231, 2022 ; Poti, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(2):84, 2023 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] Gan <i>et al.</i>(2021), 佐藤ら(2023)は, トルコ産菌による報告	マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐斑) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 生咲 巖ら:日植病報 88(3):231, 2022 [備考] 同時に分離された<i>C. karsti</i>, <i>C. siamense</i>については, 接種試験未了
---	---

(3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した (4) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Poti, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(2):84, 2023 (5) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Poti, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(2):84, 2023 (注) 病原追加、文献追加、備考変更、病原学名変更	(3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 牛山欽司ら:日植病報 59(3):289, 1993 ; 牛山欽司ら:日植病報 60(6):749, 1994 ; 牛山欽司ら:日植病報 62(1):61, 1996 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した
---	---

レンプクソウ科 Adoxaceae レンプクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia argentata</i> (Schultz) G. Winter [<i>Puccinia nolitangeris</i> Corda] Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan 794, 1992 [備考] レンプクソウ・ツリフネソウ(<i>Impatiens textorii</i>)・キツリフネソウ(<i>Impatiens noli-tangere</i>)に発生 (注) 文献ページ訂正	レンプクソウ科 Adoxaceae レンプクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia argentata</i> (Schultz) G. Winter [<i>Puccinia nolitangeris</i> Corda] Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan 749, 1992 [備考] レンプクソウ・ツリフネソウ(<i>Impatiens textorii</i>)・キツリフネソウ(<i>Impatiens noli-tangere</i>)に発生
---	--

リュウゼツラン科 Agavaceae リュウゼツラン(マンネンラン)	リュウゼツラン科 Agavaceae リュウゼツラン(マンネンラン)
--	--

Century plant <i>Agave americana</i> L. (草花) †††軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Dickeya zeae</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher- Le Saux, Achouak & Gardan 2005 岩本 健ら:日植病報 89(1):10, 2023 [備考] <i>Agave</i> sp. に発生。輸入検疫で発見された 病害 (注) 新病名	Century plant <i>Agave americana</i> L. (草花)
---	---

リュウゼツラン科 Agavaceae シザルアサ(サイザルアサ) Sisal hemp <i>Agave sisalana</i> Perr. [<i>Agave rigida</i> Miller] (特用作物) †††† <i>Lasiodiplodia hormozganensis</i> Abdollahzadeh, Zare & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	リュウゼツラン科 Agavaceae シザルアサ(サイザルアサ) Sisal hemp <i>Agave sisalana</i> Perr. [<i>Agave rigida</i> Miller] (特用作物)
--	--

リュウゼツラン科 Agavaceae ドラセナ Dracaena <i>Dracaena</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i>	リュウゼツラン科 Agavaceae ドラセナ Dracaena <i>Dracaena</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig)
--	---

(Penzig) Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(1):21, 1989 (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 景山幸二:IFO Res. Comm. 24:117, 2010 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] <i>Dracaena sanderiana</i> Mast. に発生。接種試 験未了 (注) 病原追加	Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 34(1):21, 1989
---	--

リュウゼツラン科 Agavaceae サンセベリア(チトセラン) Snake sansevieria <i>Sansevieria trifasciata</i> hort. ex Prain. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum sansevieriae</i> M. Nakamura & M. Ohzono Nakamura, M. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 72(4):253, 2006 (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Sato, T. <i>et al.</i> :JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	リュウゼツラン科 Agavaceae サンセベリア(チトセラン) Snake sansevieria <i>Sansevieria trifasciata</i> hort. ex Prain. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum sansevieriae</i> M. Nakamura & M. Ohzono Nakamura, M. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 72(4):253, 2006
--	--

アロエ科 Aloaceae アロエ Aloe <i>Aloe</i> spp. (草花)	アロエ科 Aloaceae アロエ Aloe <i>Aloe</i> spp. (草花)
--	--

†††† <i>Lasiodiplodia hormozganensis</i> Abdollahzadeh, Zare & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i> :Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] アロエベラ(<i>Aloe vera</i>)に発生。接種試験未了 (注) 新宿主	
--	--

ヒガンバナ科 Amaryllidaceae ハマオモト(ハマユウ, 浜木綿) Grand crinum <i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Baker (草花) オオハマオモト Chinese cricum <i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>sinicum</i> Baker インドハマユウ <i>Crinum latifolium</i> L. クリナムパウエリー <i>Crinum × powellii</i> Baker 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum boninense</i> Moriwaki, Toy. Sato & Tsukiboshi <i>sensu stricto</i> [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium crini</i> Saccardo] 原 攝祐:静岡県農会報 34(12):51, 1930(昭5) ; 堀江博道ら:菌蕈研報 28:274, 1990 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991 ; Moriwaki, J. <i>et al.</i> :Mycoscience 44(1):47, 2003 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] ハマオモト, オオハマオモト (<i>Crinum asiaticum</i> var. <i>sinicum</i>) に発生。接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 景山幸二:IFO Res. Comm. 24:117, 2010 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了	ヒガンバナ科 Amaryllidaceae ハマオモト(ハマユウ, 浜木綿) Grand crinum <i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Baker (草花) オオハマオモト Chinese cricum <i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>sinicum</i> Baker インドハマユウ <i>Crinum latifolium</i> L. クリナムパウエリー <i>Crinum × powellii</i> Baker 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium crini</i> Saccardo] 原 攝祐:静岡県農会報 34(397):51, 1937(昭12) ; 堀江博道ら:菌蕈研報 28:274, 1990 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991 [備考] オオハマオモト (<i>Crinum asiaticum</i> var. <i>sinicum</i>) にも発生
---	---

(3) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012 [備考] インドハマユウに発生。接種試験未了 (注) 病原学名変更、病原追加、文献追加	
--	--

ヒガンバナ科 Amaryllidaceae ハマオモト(ハマユウ, 浜木綿) Grand crinum <i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Baker (草花) オオハマオモト Chinese cricum <i>Crinum</i> <i>asiaticum</i> L. var. <i>sinicum</i> Baker インドハマユウ <i>Crinum latifolium</i> L. クリナムパウエリー <i>Crinum</i> × <i>powellii</i> Baker †††† <i>Lasiodiplodia</i> sp. Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):80, 2023 [備考] <i>Crinum asiaticum</i> に発生。接種試験未了 (注) 新宿主	ヒガンバナ科 Amaryllidaceae ハマオモト(ハマユウ, 浜木綿) Grand crinum <i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Baker (草花) オオハマオモト Chinese cricum <i>Crinum</i> <i>asiaticum</i> L. var. <i>sinicum</i> Baker インドハマユウ <i>Crinum latifolium</i> L. クリナムパウエリー <i>Crinum</i> × <i>powellii</i> Baker
--	---

ヒガンバナ科 Amaryllidaceae アマリリス Amaryllis <i>Hippeastrum</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Leaf spot (1) <i>Colletotrichum crassipes</i> (Spegazzini) Arx 高野喜八郎:日植病報 59(1):73, 1993 (2) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu,	ヒガンバナ科 Amaryllidaceae アマリリス Amaryllis <i>Hippeastrum</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Leaf spot <i>Colletotrichum crassipes</i> (Spegazzini) Arx 高野喜八郎:日植病報 59(1):73, 1993
--	--

K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三ら:日微資学誌 32:163, 2016 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	
---	--

ウルシ科 Anacardiaceae ハグマノキ(スモークツリー) Smoke tree <i>Cotinus coggygia</i> Scop. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅原 敬ら:日植病報 74(1):51, 2008 ; 菅原 敬ら: 日植病報 75(2):119, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研 報 2:13, 2010 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 奈尾雅浩:四国植防 39:1, 2004 (注) 病原学名変更	ウルシ科 Anacardiaceae ハグマノキ(スモークツリー) Smoke tree <i>Cotinus coggygia</i> Scop. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅原 敬ら:日植病報 74(1):51, 2008 ; 菅原 敬ら: 日植病報 75(2):119, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研 報 2:13, 2010 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 奈尾雅浩:四国植防 39:1, 2004
--	--

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango
--	--

<i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot (1) <i>Diaporthe pseudophoenicicola</i> R.R. Gomes, Glienke & Crous 澤岬哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 (2) <i>Diaporthe</i> spp. Ajitomi, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(4):237, 2020 ; 安次富 厚ら:日植病報 89(1):58, 2023 [備考] Clade I と Clade II (3) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc [<i>Lasiodiplodia theobromae</i> sensu stricto] 澤岬哲也ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):15, 2013 (4) <i>Lasiodiplodia brasiliensis</i> M.S.B. Netto, M.W. Marques & A.J.L. Phillips 服部友香子ら:日植病報 85(3):226, 2019 ; Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (5) <i>Lasiodiplodia thailandica</i> T. Trakunyingcharoen, L. Lombard & Crous 服部友香子ら:日植病報 85(3):226, 2019 ; Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):79, 2023 [備考] 接種試験未了 (6) <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 澤岬哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 ; 澤岬哲也ら:日植病報 83(2):102, 2017 (7) <i>Neofusicoccum</i> sp. 北沢優悟ら:日植病報 82(3):218, 2016 ; Hara, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(6):314, 2016 [備考] <i>Neofusicoccum</i> sp. Karanda に近縁。フィリピン産輸入果実に発生。前上門ら(日植病報 89:54, 2023)は、マンゴーの葉から分離した <i>Botryosphaeria ramosa</i> および <i>Diaporthe</i> sp. をマンゴー果実へ接種すると、本病に類似した症状を	<i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 軸腐病 jikugusare-byo Stem-end rot (1) <i>Diaporthe pseudophoenicicola</i> R.R. Gomes, Glienke & Crous 澤岬哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 (2) <i>Diaporthe</i> spp. Ajitomi, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(4):237, 2020 [備考] Clade I と Clade II (3) <i>Lasiodiplodia theobromae</i> (Patouillard) Griffon & Maublanc [<i>Lasiodiplodia theobromae</i> sensu stricto] 澤岬哲也ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):15, 2013 (4) <i>Lasiodiplodia</i> spp. 服部友香子ら:日植病報 85(3):226, 2019 [備考] 宮古島産およびフィリピン産マンゴーから <i>Lasiodiplodia</i> 属の複数の未知種を検出した。接種試験未了 (5) <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 澤岬哲也ら:日植病報 82(1):81, 2016 ; 澤岬哲也ら:日植病報 83(2):102, 2017 (6) <i>Neofusicoccum</i> sp. 北沢優悟ら:日植病報 82(3):218, 2016 ; Hara, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(6):314, 2016 [備考] <i>Neofusicoccum</i> sp. Karanda に近縁。フィリピン産輸入果実に発生
--	--

起こすと報告した (注) 病原学名変更、病原追加、備考追加。 Hattori, Y. <i>et al.</i>(2023)の報告では, <i>Lasiodiplodia</i> sp. も検出されたとされるが, ジーンバンクHPにて MAFF241893の分離源はマンゴーではなく淡水となっている	
--	--

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岬哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk]	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岬哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F.
---	--

澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大 15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤岷 哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i> と再同定した (6) <i>Colletotrichum queenslandicum</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(5):291, 2017 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (7) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 81(3):206, 2015 (8) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (9) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (10) <i>Colletotrichum</i> sp. (Clade Q)	Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大 15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤岷 哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i> と再同定した (6) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岷哲也ら:日 植病報 81(3):206, 2015 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017 (8) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也 ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病 報 83(1):81, 2017
--	--

澤峠哲也ら:日植病報 87(3):150, 2021 (注) 病原追加、(3)病原学名変更	(9) <i>Colletotrichum</i> sp. (Clade Q) 澤峠哲也ら:日植病報 87(3):150, 2021
---	--

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) †††† <i>Botryosphaeria ramosa</i> (Pavlic, T.I. Burgess & M.J. Wingfield) A.J.L. Phillips & A. Alves 前上門 陽ら:日植病報 89(1):54, 2023 [備考] 葉への接種で炭疽病に酷似した症状, 果実への接種で軸腐病に類似した症状を起こす (注) 新宿主	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹)
--	--

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) †††† <i>Diaporthe</i> sp. 前上門 陽ら:日植病報 89(1):54, 2023 [備考] 葉への接種で炭疽病に酷似した症状, 果実への接種で軸腐病に類似した症状を起こす (注) 新症状	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹)
---	--

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果)	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果)
---	---

Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) †††† <i>Neofusicoccum mangiferae</i> (Sydow & P. Sydow) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 前上門 陽ら:日植病報 89(1):54, 2023 [備考] 葉への接種で炭疽病に酷似した症状を起こす (注) 新宿主	Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹)
--	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(欒果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) †††† <i>Neopestalotiopsis</i> sp. 前上門 陽ら:日植病報 89(1):54, 2023 [備考] 黒色小斑点を伴った淡褐色または褐色症状を呈する。葉上における本菌と炭疽病菌との同時接種において、炭疽病の症状に白から淡褐色症状を付加する (注) 新宿主	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(欒果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹)
---	---

バンレイシ科 Annonaceae バンレイシ類 (Annona) <i>Annona</i> spp. (果樹) バンレイシ(シャカトウ, シュガーアップル)(蕃荔枝, 釈迦頭) Sugar apple, Sweet sop, Castard	バンレイシ科 Annonaceae バンレイシ類 (Annona) <i>Annona</i> spp. (果樹) バンレイシ(シャカトウ, シュガーアップル)(蕃荔枝, 釈迦頭) Sugar apple, Sweet sop, Castard
---	---

apple of India <i>Annona squamosa</i> L. トゲバンレイシ(刺蕃荔枝, オランダドリ ン)(刺蕃荔枝) Soursop, Guanabana <i>Annona</i> <i>muricata</i> L. †††† <i>Lasiodiplodia brasiliensis</i> M.S.B. Netto, M.W. Marques & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] バンレイシに発生。接種試験未了 (注) 新宿主	apple of India <i>Annona squamosa</i> L. トゲバンレイシ(刺蕃荔枝, オランダドリ ン)(刺蕃荔枝) Soursop, Guanabana <i>Annona</i> <i>muricata</i> L.
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae セルリー(セロリー, オランダミツバ, 塘蒿) Celery <i>Apium graveolens</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 竹内 純ら:日植病報 66(2):92, 2000 ; 藤永真史ら: 日植病報 77(1):39, 2011 ; Fujinaga, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):243, 2011 ; 佐藤豊三・森脇 丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et</i> <i>al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (注) 病原学名変更	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae セルリー(セロリー, オランダミツバ, 塘蒿) Celery <i>Apium graveolens</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 竹内 純ら:日植病報 66(2):92, 2000 ; 藤永真史ら: 日植病報 77(1):39, 2011 ; Fujinaga, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(4):243, 2011 ; 佐藤豊三・森脇 丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et</i> <i>al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013
--	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物)	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物)
---	---

炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada 佐藤豊三ら:日植病報 88(1):79, 2022 ; 佐藤豊三 ら:日植病報 88(4):254, 2022 (注) 文献追加	炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada 佐藤豊三ら:日植病報 88(1):79, 2022
---	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人參, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) †††† <i>Carrot torradovirus 1</i> (CaTV1) ニンジントラド ウイルス1 吉田直人:日植病報 89(1):51, 2023 (注) 新宿主	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人參, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜)
---	--

キョウチクトウ科 Apocynaceae サカキカズラ (Anodendron) <i>Anodendron affine</i> (Hook. & Arn.) Druce (広葉樹) †††† <i>Lasiodiplodia</i> sp. Hattori, Y. <i>et al.</i> :Mycoscience 64(2):80, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	キョウチクトウ科 Apocynaceae
---	----------------------

キョウチクトウ科 Apocynaceae	キョウチクトウ科 Apocynaceae
-------------------------	-------------------------

ニチニチソウ(ビンカ) Madagascar periwinkle <i>Catharanthus roseus</i> (L.) G. Don (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum</i> sp. (the <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> species complex), <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 31(3):156, 1987 ; 富岡啓介ら:日植病報 73(3):178, 2007 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(5):374, 2013 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] 鍵渡(1987)による記載病原の特徴は <i>C. gloeosporioides</i> と判断しがたい。当該病害の根拠(病原)を再提示する。Tomioka <i>et al.</i>(2013)は、本病菌が<i>C. gloeosporioides</i>種複合体に含まれるとし、佐藤ら(植物防疫, 2023・日植病報, 2023)によれば、本病の根拠菌株は <i>C. siamense</i> と同定された (注) 病原学名変更、備考変更	ニチニチソウ(ビンカ) Madagascar periwinkle <i>Catharanthus roseus</i> (L.) G. Don (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum</i> sp. (the <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> species complex) [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 鍵渡徳次:東京農大農学集報 31(3):156, 1987 ; 富岡啓介ら:日植病報 73(3):178, 2007 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(5):374, 2013 [備考] 鍵渡(1987)による記載病原の特徴は <i>C. gloeosporioides</i> と判断しがたい。当該病害の根拠(病原)を再提示する。Tomioka <i>et al.</i>(2013)は、本病菌が<i>C. gloeosporioides</i>種複合体に含まれることを報告
---	---

キョウチクトウ科 Apocynaceae ハウライカガミ (<i>Parsonsia</i>) <i>Parsonsia alboflavescens</i> (Dennst.) Mabb. (野草) †††† <i>Lasiodiplodia hormozganensis</i> Abdollahzadeh, Zare & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了	キョウチクトウ科 Apocynaceae
--	-----------------------------

(注) 新宿主	
---------	--

サトイモ科 Araceae コンニャク(蒟蒻) Konnyaku, Elephant foot <i>Amorphophallus konjac</i> Koch (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum plurivorum</i> Damm, Alizadeh & Toy. Sato Damm, U. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 92:1, 2019 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 古澤安紀子ら:日植病報 85(3):256, 2019 (3) <i>Gloeosporium conjac</i> Hara 原 攝祐:実用作物病理学:204, 1925(大14) (注) 病原追加	サトイモ科 Araceae コンニャク(蒟蒻) Konnyaku, Elephant foot <i>Amorphophallus konjac</i> Koch (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 古澤安紀子ら:日植病報 85(3):256, 2019 (2) <i>Gloeosporium conjac</i> Hara 原 攝祐:実用作物病理学:204, 1925(大14)
--	---

サトイモ科 Araceae サトイモ(芋, 芋頭) Taro, Dasheen <i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott (野菜) 乾腐病* kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 日焼病, 赤紅病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal Masi, S. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 86(1):40, 2020 ; Sireli, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(1):16, 2023 [備考] Masi <i>et al.</i> (2020)は乾腐病発生圃場の土壌 から分離した<i>F. oxysporum</i>の接種による発病を確認した	サトイモ科 Araceae サトイモ(芋, 芋頭) Taro, Dasheen <i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott (野菜) 乾腐病* kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 日焼病, 赤紅病) (1) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo Masi, S. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 86(1):40, 2020 [備考] Masi <i>et al.</i> (2020)は乾腐病発生圃場の土壌 から分離した<i>F. solani</i>の接種による発病を確認した (2) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp.
--	--

(2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg Sireli, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(1):16, 2023 (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo Masi, S. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 86(1):40, 2020 [備考] Masi <i>et al.</i> (2020)は乾腐病発生圃場の土壌から分離した<i>F. solani</i>の接種による発病を確認した (4) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> (Wollenweber) W.C. Snyder & H.N. Hansen 倉田忠良:病虫雑 18(6):288, 1931(昭6) ; Sireli, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(1):16, 2023 [備考] Masi <i>et al.</i> (2020)の<i>F. solani</i>との異同は不明 (注) 病原追加、病原順変更、備考変更	<i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 倉田忠良:病虫雑 18(6):288, 1931(昭6) ; Nishimura, N. & Kudo, K.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 60(4):448, 1994 [備考] Nishimura & Kudo(1994)は<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>colocasiae</i>による乾腐病を萎凋病として区別した (3) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal Masi, S. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 86(1):40, 2020 [備考] Masi <i>et al.</i> (2020)は乾腐病発生圃場の土壌から分離した<i>F. oxysporum</i>の接種による発病を確認した
---	--

サトイモ科 Araceae ディーフェンバキア Tuftroot <i>Dieffenbachia maculata</i> G. Don (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Moriwaki <i>et al.</i>:Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 28:49, 1986 ; 手塚信夫・森田 壽:関東病虫研報 33:159, 1986	サトイモ科 Araceae ディーフェンバキア Tuftroot <i>Dieffenbachia maculata</i> G. Don (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 28:49, 1986 ; 手塚信夫・森田 壽:関東病虫研報 33:159, 1986
--	--

(注) 病原追加	
----------	--

サトイモ科 Araceae ポトス <i>Pothos</i>, Solomon Islands ivy arum <i>Epipremnum</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三ら:日微資学誌 32:163, 2016 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 手塚信夫ら:関東病虫研報 36:117, 1989 (注) 病原追加、宿主学名変更	サトイモ科 Araceae ポトス Solomon Islands ivy arum <i>Pothos</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 手塚信夫ら:関東病虫研報 36:117, 1989
---	--

サトイモ科 Araceae モンステラ (Monstera) <i>Monstera</i> spp. (草花) †††† <i>Lasiodiplodia hormozganensis</i> Abdollahzadeh, Zare & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	サトイモ科 Araceae モンステラ (Monstera) <i>Monstera</i> spp. (草花)
---	---

サトイモ科 Araceae シンゴニウム (Syngonium) <i>Syngonium</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 景山幸二:IFO Res. Comm. 24:117, 2010 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 高野喜八郎:日植病報 69(1):63, 2003 [備考] <i>S. podophyllum</i> Schott に発生 (注) 病原追加	サトイモ科 Araceae シンゴニウム (Syngonium) <i>Syngonium</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 高野喜八郎:日植病報 69(1):63, 2003 [備考] <i>S. podophyllum</i> Schott に発生
---	--

ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum cigarro</i> (B.S. Weir & P.R. Johnston) A. Cabral & P. Talhinas 佐藤豊三ら:日微資学誌 32(2):163, 2016 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] ムニンヤツデ(<i>Fatsia oligocarpella</i> Koidz.) に発生。接種試験未了 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 小河誠司:日林九支研論集 45:125, 1992 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Gloeosporium yatsude</i> Fukui	ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 小河誠司:日林九支研論集 45:125, 1992 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Gloeosporium yatsude</i> Fukui 福井武治:新植物病原菌報告:3, 1933(昭8) [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する
--	--

福井武治:新植物病原菌報告:3, 1933(昭8) [備考] 病原菌の分類学的所属は検討を要する (注) 病原追加	
---	--

ウコギ科 Araliaceae キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>Hedera canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>Hedera helix</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gigasporum</i> Rakotoniriana & Munaut Liu, F. <i>et al.</i> :Persoonia 33:83, 2014 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum trichellum</i> (Fries) Duke Kobayashi, T. & Sasaki, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(3):237, 1975 (注) 病原追加	ウコギ科 Araliaceae キヅタ(木蔦, 常春藤) Japanese ivy <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean (広葉樹) カナリーキヅタ <i>Hedera canariensis</i> Willd. セイヨウキヅタ <i>Hedera helix</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum trichellum</i> (Fries) Duke Kobayashi, T. & Sasaki, K.:Trans. Mycol. Soc. Japan 16(3):237, 1975
--	--

ウコギ科 Araliaceae フカノキ (Schefflera) <i>Schefflera octophylla</i> (Lour.) Harms (広葉樹) ヤドリフカノキ <i>Schefflera arboricola</i> (Hayata) Merr シェフレラ <i>Schefflera arboricola</i> 'Hong Kong' 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig &	ウコギ科 Araliaceae フカノキ (Schefflera) <i>Schefflera octophylla</i> (Lour.) Harms (広葉樹) シェフレラ <i>Schefflera arboricola</i> 'Hong Kong' 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 鈴木幹彦ら:日植病報 76(1):65, 2010
--	--

Saccardo 鈴木幹彦ら:日植病報 76(1):65, 2010 [備考] シェフレラ (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] ヤドリフカノキに発生。接種試験未了 (注) 病原追加、宿主名追加	[備考] シェフレラ
--	-------------------

ヤシ科 Arecaceae, Palmae ココヤシ(古古椰子) Coconut palm <i>Cocos nucifera</i> L. (果樹) †††† <i>Lasiodiplodia hormozganensis</i> Abdollahzadeh, Zare & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	ヤシ科 Arecaceae, Palmae ココヤシ(古古椰子) Coconut palm <i>Cocos nucifera</i> L. (果樹)
---	--

ヤシ科 Arecaceae, Palmae ビロウ(蒲葵) Chinese fan palm, Livistona palm <i>Livistona chinensis</i> (N.J. Jacq.) K. Br. ex Martius var. <i>subglobosa</i> (Hassk.) Martius (広葉樹) †††† 原因不明 青山実樹ら:日植病報 89(1):53, 2023 [備考] 生育異常(展開葉に異常をきたす)	ヤシ科 Arecaceae, Palmae ビロウ(蒲葵) Livistona palm <i>Livistona chinensis</i> (N.J. Jacq.) K. Br. ex Martius var. <i>subglobosa</i> (Hassk.) Martius (広葉樹)
---	---

(注) 新項目、宿主英名追加	
----------------	--

ヤシ科 Arecaceae, Palmae フェニックス類 (Phoenix) <i>Phoenix</i> spp. (広葉樹) カナリーヤシ Canary date palm <i>Phoenix canariensis</i> Chabaud シンノウヤシ(フェニックス・ロベレニー) Roebelen date palm <i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien [<i>Phoenix humilis</i> Royle var. <i>loureirii</i> Becc.] †††† <i>Lasiodiplodia</i> sp. Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):80, 2023 [備考] シンノウヤシに発生。接種試験未了 (注) 新宿主	ヤシ科 Arecaceae, Palmae フェニックス類 (Phoenix) <i>Phoenix</i> spp. (広葉樹) カナリーヤシ Canary date palm <i>Phoenix canariensis</i> Chabaud シンノウヤシ(フェニックス・ロベレニー) Roebelen date palm <i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien [<i>Phoenix humilis</i> Royle var. <i>loureirii</i> Becc.]
---	--

キジカクシ科 Asparagaceae ギボウシ類 Plantain lily <i>Hosta</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum lilacearum</i> (Schweinitz) Ferraris [<i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove] 竹内 純・堀江博道:日植病報 62(3):267, 1996 [備考] コバギボウシ (<i>Hosta sieboldii</i>) に発生 (2) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] トウギボウシ, オオバギボウシに発生。	キジカクシ科 Asparagaceae ギボウシ類 Plantain lily <i>Hosta</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum lilacearum</i> (Schweinitz) Ferraris [<i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove] 竹内 純・堀江博道:日植病報 62(3):267, 1996 [備考] コバギボウシ (<i>Hosta sieboldii</i>) に発生
--	--

接種試験未了 (注) 病原追加	
-------------------------------	--

キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. 炭疽病* tanso-byo Anthracnose (花枯炭そ病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 矢口行雄ら:日植病報 59(3):291, 1993 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Gloeosporium</i> sp. 沼田 巖・西原夏樹:日植病報 24(1):25, 1959 [備考] 本病原については分類学的検討を要する (注) 病原学名変更	キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. 炭疽病* tanso-byo Anthracnose (花枯炭そ病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 矢口行雄ら:日植病報 59(3):291, 1993 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Gloeosporium</i> sp. 沼田 巖・西原夏樹:日植病報 24(1):25, 1959 [備考] 本病原については分類学的検討を要する
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee	キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜)
--	--

1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 坂本美沙:九病虫研会報 68:44, 2022 (注) 新病名	
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 黒あざ病 kuroaza-byo (ヤケ) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 松田 明ら:日植病報 39(3):200, 1973 ; 角野晶大 ら:日植病報 59(1):88, 1993 ; 三澤知央・角野晶 大:日植病報 89(1):50, 2023 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。松田 ら(1973)の病原は, 菌糸融合群 AG-2-2 IIIB, 三 澤・角野(2023)は, AG-2-2 IIIBおよび角野ら(1993) の病原をAG-2-2 IVと再同定した (注) 備考追加	キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 黒あざ病 kuroaza-byo (ヤケ) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 松田 明ら:日植病報 39(3):200, 1973 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物) ホソバオケラ <i>Atractylodes lancea</i> (Thunb.) DC. 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot <i>Alternaria</i> sp. section <i>Alternata</i> 河下美都里・櫻井美希:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] ホソバオケラに発生 (注) 新病名、宿主名追加	キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物)
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物) ホソバオケラ <i>Atractylodes lancea</i> (Thunb.) DC. 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot (1) <i>binucleate Rhizoctonia</i> 森 万菜実ら:日植病報 89(1):50, 2023 [備考] 菌糸融合群 AG-A。ホソバオケラに発生 (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森 万菜実ら:日植病報 89(1):50, 2023 [備考] 菌糸融合群 AG-2-2 IV。ホソバオケラに発生 (注) 新病名、宿主名追加	キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物)
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, <i>Calendula</i> <i>Calendula officinalis</i> L. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi] 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki (2013)は本病原を狭義C.	キク科 Asteraceae, Compositae キンセンカ(金盞花, トウキンセン) Pot marigold, <i>Calendula</i> <i>Calendula officinalis</i> L. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi] 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki (2013)は本病原を狭義C.
--	--

<i>carthami</i>とした (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Gloeosporium</i> <i>carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・ 梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら: 日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・ 森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i>を<i>C.</i> <i>gloeosporioides</i> の異名とする説(Arx, 1957)を紹介 したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C.</i> <i>carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し、 さらにSato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および <i>C. chrysanthemi</i>と再同定した (3) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	<i>carthami</i>とした (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Gloeosporium</i> <i>carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 ; 上田郁子・ 梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968 ; 植松清次ら: 日植病報 70(1):47, 2004 ; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・ 森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i>を<i>C.</i> <i>gloeosporioides</i> の異名とする説(Arx, 1957)を紹介 したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C.</i> <i>carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し、 さらにSato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および <i>C. chrysanthemi</i>と再同定した
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ジョチュウギク(ムシヨケギク, 除虫菊) Pyrethrum <i>Chrysanthemum cinerariaefolium</i> (Trev.) Bocc. (特用作物) †大粒白絹病 tairyu-shirakinu-byo <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk 岩垂 悟ら:満州国農試報告 45(満州国農作物病害 目録):108, 1943(昭18)	キク科 Asteraceae, Compositae ジョチュウギク(ムシヨケギク, 除虫菊) Pyrethrum <i>Chrysanthemum cinerariaefolium</i> (Trev.) Bocc. (特用作物) †大粒白絹病 tairyu-shirakinu-byo <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk 岩垂 悟ら:満州国農試報告 45(満州国農作物病害 調査報告):108, 1943(昭18)
--	--

[備考] 中国東北部。病原菌の異名はイネ紋枯病参照 (注) 文献誌名訂正	[備考] 中国東北部。病原菌の異名はイネ紋枯病参照
--	----------------------------------

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt, Wilt (1) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg 鈴木啓太ら:日植病報 89(1):42, 2023 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 有江 力ら:日植病報 52(1):100, 1986 (3) <i>Fusarium torulosum</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Nirenberg 鈴木啓太ら:日植病報 89(1):42, 2023 (注) 病原追加	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt, Wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 有江 力ら:日植病報 52(1):100, 1986
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 63(3):199, 1997 (2) <i>Colletotrichum gigasporum</i> Rakotoniriana &	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 63(3):199, 1997
---	--

Munaut Liu, F. <i>et al.</i>:Persoonia 33:83, 2014 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ツワブキ・メタカラコウ類 Leopard plant <i>Farfugium</i> spp., <i>Ligularia</i> spp. (草花) ツワブキ <i>Farfugium japonicum</i> (L.) Kitam. [<i>Ligularia tussilaginea</i> (Burm.f.) Makino] 褐斑病 kappan-byo <i>Phyllosticta petasitidis</i> Ellis & Everhart 福井武治:三重高農学報 3:11, 1933(昭8) [備考] ツワブキに発生 (注) 文献号数訂正	キク科 Asteraceae, Compositae ツワブキ・メタカラコウ類 Leopard plant <i>Farfugium</i> spp., <i>Ligularia</i> spp. (草花) ツワブキ <i>Farfugium japonicum</i> (L.) Kitam. [<i>Ligularia tussilaginea</i> (Burm.f.) Makino] 褐斑病 kappan-byo <i>Phyllosticta petasitidis</i> Ellis & Everhart 福井武治:三重高農学報 2:11, 1933(昭8) [備考] ツワブキに発生
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group)	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group)
--	--

ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) コルキールート病 <i>corky root-byo</i> Corky root <i>Rhizorhapis suberifaciens</i> (van Bruggen, Jochimsen & Brown 1990) Francis, Jochimsen, De Vos & van Bruggen 2014 石山佳幸ら:日植病報 86(3):232, 2020 ; Ishiyama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(2):150, 2022 ; 石山佳幸・小木曾秀紀:植物防疫 77(2):91, 2023 (注) 文献追加	ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) コルキールート病 <i>corky root-byo</i> Corky root <i>Rhizorhapis suberifaciens</i> (van Bruggen, Jochimsen & Brown 1990) Francis, Jochimsen, De Vos & van Bruggen 2014 石山佳幸ら:日植病報 86(3):232, 2020 ; Ishiyama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(2):150, 2022
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 斑点細菌病* <i>hanten-saikin-byo</i> Bacterial spot (細菌性斑点病, 細菌性斑葉病, 細菌病) <i>Xanthomonas axonopodis</i> pv. <i>vitians</i> (Brown 1918) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Bacterium vitians</i> Brown, <i>Xanthomonas vitians</i> (Brown) Dowson, <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>vitians</i> (Brown 1918) Dye 1978] 瀧元清透:病虫雑 22(11):836, 1935(昭10) ; 家村浩	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 斑点細菌病* <i>hanten-saikin-byo</i> Bacterial spot (細菌性斑点病, 細菌性斑葉病, 細菌病) <i>Xanthomonas axonopodis</i> pv. <i>vitians</i> (Brown 1918) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995 [<i>Bacterium vitians</i> Brown, <i>Xanthomonas vitians</i> (Brown) Dowson, <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>vitians</i> (Brown 1918) Dye 1978] 瀧元清透:病虫雑 22(11):836, 1937(昭12) ; 家村浩
---	---

海ら:日植病報 42(3):364, 1976 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 (注) 文献年訂正	海ら:日植病報 42(3):364, 1976 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas aegrilactucae</i> Sawada, Fujikawa & Satou 2022 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 72(11):005599, 2022 (2) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 土屋行夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 向 秀夫ら:日植病報 43(1):123, 1977 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 (3) <i>Pseudomonas lactucae</i> Sawada, Fujikawa & Satou 2021 [<i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925] 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(7):004917, 2021 (4) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:関東病虫研報 7:33, 1960 ; 孫工弥寿雄ら:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 土屋行夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 向 秀夫ら:日植病報 43(1):123, 1977 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 (2) <i>Pseudomonas lactucae</i> Sawada, Fujikawa & Satou 2021 [<i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925] 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(7):004917, 2021 (3) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:関東病虫研報 7:33, 1960 ;
---	--

夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 (5) <i>Pseudomonas morbosilactuca</i> Sawada, Fujikawa & Satou 2022 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 72(11):005599, 2022 (6) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 長井雄治・梅本清作:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 (注) 病原追加。 <i>Pseudomonas marginalis</i>と同定されていたレタス腐敗病の原因菌のうち、その一部は新種に相当することが分かり、Sawada, H. <i>et al.</i>(2022)は、それらを <i>Pseudomonas aegrilactuca</i> および <i>Pseudomonas morbosilactuca</i> と命名した。	孫工弥寿雄ら:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行夫ら:日植病報 42(3):365, 1976 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979 (4) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 長井雄治・梅本清作:日植病報 41(3):277, 1975 ; 土屋行夫ら:農技研報C 33:77, 1979
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae タンポポ類 (Taraxacum) <i>Taraxacum</i> spp. (野草) シロバナタンポポ <i>Taraxacum albidum</i> Dahlst. エゾタンポポ <i>Taraxacum hondoense</i> Nakai, ex Koidz. アカミタンポポ <i>Taraxacum laevigatum</i> DC. ヒロハタンポポ <i>Taraxacum longeappendiculatum</i> Nakai セイヨウタンポポ <i>Taraxacum officinale</i> Weber タンポポ, カントウタンポポ <i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlst. †††† <i>Gaillardia latent virus</i> (GalLV) ガイラルディア潜在ウイルス 山口拓真ら:日植病報 89(1):11, 2023	キク科 Asteraceae, Compositae タンポポ類 (Taraxacum) <i>Taraxacum</i> spp. (野草) シロバナタンポポ <i>Taraxacum albidum</i> Dahlst. エゾタンポポ <i>Taraxacum hondoense</i> Nakai, ex Koidz. アカミタンポポ <i>Taraxacum laevigatum</i> DC. ヒロハタンポポ <i>Taraxacum longeappendiculatum</i> Nakai セイヨウタンポポ <i>Taraxacum officinale</i> Weber タンポポ, カントウタンポポ <i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlst.
--	---

[備考] 3種のキク科植物に無病徴感染する (注) 新宿主	
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ネコノシタ (Wedelia) <i>Wollastonia dentata</i> (H.Lév. & Vaniot) Orchard (草花) †††† <i>Lasiodiplodia</i> sp. Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):80, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	キク科 Asteraceae, Compositae
---	-----------------------------------

メギ科 Berberidaceae ホソバヒイラギナンテン Chinese mahonia <i>Mahonia fortunei</i> (Lindl.) Fedde (広葉樹) ヒイラギナンテン <i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Ishii, H. <i>et al.</i>:Pestic. Biochem. Physiol. 182:105049, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] ヒイラギナンテンに発生。接種試験未了 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium japonicum</i> Hemmi] Hemmi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(3):13,	メギ科 Berberidaceae ホソバヒイラギナンテン Chinese mahonia <i>Mahonia fortunei</i> (Lindl.) Fedde (広葉樹) ヒイラギナンテン <i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium japonicum</i> Hemmi] Hemmi, T.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(3):13, 1920(大9) ; 小林享夫・河辺祐嗣:日植病報 46(1):110, 1980 [備考] ヒイラギナンテン
---	--

1920(大9) ; 小林享夫・河辺祐嗣:日植病報 46(1):110, 1980 [備考] ヒイラギナンテンに発生 (注) 病原追加、備考変更	
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 株腐病 kabugusare-byo Head rot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [Rhizoctonia solani J.G. Kühn] 向 秀夫ら:日植病報 41(1):82, 1975 ; 星 秀男ら: 日植病報 61(3):218, 1995 ; 星 秀男ら:東京農試研 報 27:17, 1997 ; 三澤知央・青木元彦:日植病報 83(1):71, 2017 ; Misawa, T. & Aoki, M.:New Dis. Rep. 36:12, 2017 ; 三澤知央:北日本病虫研報 73:23, 2022 [備考] 向ら(1975)と星ら(1995)の病原は菌糸融合 群 AG-1 培養型 IB, 星ら(1997)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II, 三澤・青木(2017)と Misawa & Aoki (2017)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IC, 三澤(2022)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IA (注) 備考追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 株腐病 kabugusare-byo Head rot <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [Rhizoctonia solani J.G. Kühn] 向 秀夫ら:日植病報 41(1):82, 1975 ; 星 秀男ら: 日植病報 61(3):218, 1995 ; 星 秀男ら:東京農試研 報 27:17, 1997 ; 三澤知央・青木元彦:日植病報 83(1):71, 2017 ; Misawa, T. & Aoki, M.:New Dis. Rep. 36:12, 2017 [備考] 向ら(1975)と星ら(1995)の病原は菌糸融合 群 AG-1 培養型 IB, 星ら(1997)は菌糸融合群 AG-2-1 培養型 II, 三澤・青木(2017)と Misawa & Aoki (2017)の病原は菌糸融合群 AG-1 培養型 IC
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.)
--	--

(野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium megalacanthum</i> de Bary 窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 63(3):203, 1997；窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 64(4):323, 1998 (2) <i>Pythium zingiberis</i> M. Takahashi 窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 42:52, 2000 (3) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 岸 國平:野菜の病害虫:252, 1976；窪田昌春・我 孫子和雄:関西病虫研報 40:55, 1998；佐山 玲:北 日本病虫研報 51:54, 2000；Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019；岩館康哉 ら:北日本病虫研報 73:26, 2022 [備考] 岸(1976)の病原は菌糸融合群 AG-4 培養 型 IIIA, 窪田・我孫子(1998)は, 菌糸融合群 AG- 1 培養型 IA, 佐山(2000)はAG-2-2 培養型 IIIB, Misawa & Kurose(2019)はAG-4 HG-I, 岩館ら (2022)はAG-2-1, AG-2-2 IV (注) 備考追加	(野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Pythium megalacanthum</i> de Bary 窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 63(3):203, 1997；窪田昌春・我孫子和雄:日植病報 64(4):323, 1998 (2) <i>Pythium zingiberis</i> M. Takahashi 窪田昌春・我孫子和雄:関西病虫研報 42:52, 2000 (3) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 岸 國平:野菜の病害虫:252, 1976；佐山 玲:北日本 病虫研報 51:54, 2000；Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] 岸(1976)の病原は菌糸融合群 AG-4 培養 型 IIIA, 佐山(2000)はAG-2-2 培養型 IIIB, Misawa & Kurose(2019)はAG-4 HG-I
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 石灰欠乏症 sekkai-ketsubo-sho Calcium deficiency カルシウム欠乏 堀 裕ら:園芸学雑 27(4):221, 1958；堀 裕ら:園芸 学雑 28(4):267, 1959 (注) 文献号数訂正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 石灰欠乏症 sekkai-ketsubo-sho Calcium deficiency カルシウム欠乏 堀 裕ら:園芸学雑 27(4):221, 1958；堀 裕ら:園芸 学雑 2(4):267, 1959
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae タイサイ類(パクチョイ, シャクシナ, チンゲンサイ) Pak choi, Chinese mustard <i>Brassica rapa</i> L. Chinensis Group (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 佐藤豊三:農業技術 46(11):489, 1991 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] チンゲンサイに発生。接種試験未了 (注) 病原同定、備考変更、ダガー削除、病名英名追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae タイサイ類(パクチョイ, シャクシナ, チンゲンサイ) Pak choi, Chinese mustard <i>Brassica rapa</i> L. Chinensis Group (野菜) ++++炭疽病 tanso-byo 病原種名未定 佐藤豊三:農業技術 46(11):489, 1991 [備考] チンゲンサイに発生。病名のみで、病原菌の同定不十分
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Hyaloperonospora brassicae</i> (Gäumann) Göker, Voglmayr, Riethmüller, Weiss & Oberwinkler 山内智史・吉田重信:日植病報 85(3):258, 2019 ; 山内智史・吉田重信:関東病虫研報 69:9, 2022 (注) 文献追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) べと病 beto-byo Downy mildew <i>Hyaloperonospora brassicae</i> (Gäumann) Göker, Voglmayr, Riethmüller, Weiss & Oberwinkler 山内智史・吉田重信:日植病報 85(3):258, 2019
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(蔓菜)
--	--

Spinach mustard, Tendergreen mustard <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) 黒斑病 kokuhan-byo Black spot <i>Alternaria brassicicola</i> (Schweinitz) Wiltshire 森 万菜実・長濱 恵:日植病報 89(1):50, 2023 (注) 新病名	Spinach mustard, Tendergreen mustard <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜)
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カブ(蕪菁) Turnip <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉斑病) (1) <i>Colletotrichum higginsianum</i> Saccardo 中田覺五郎:病虫雑 4(11):855, 1917(大6) ; 鑄方末彦・斉藤太一:病虫雑 12(7):379, 1925(大14) ; 堀江博道ら:日植病報 61(3):218, 1995 (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Sato, T. <i>et al.</i> :JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カブ(蕪菁) Turnip <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉斑病) <i>Colletotrichum higginsianum</i> Saccardo 中田覺五郎:病虫雑 4(11):855, 1917(大6) ; 鑄方末彦・斉藤太一:病虫雑 12(7):379, 1925(大14) ; 堀江博道ら:日植病報 61(3):218, 1995
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica) <i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard <i>Brassica rapa</i> L.	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica) <i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard <i>Brassica rapa</i> L.
---	---

ハクラン <i>Brassica × napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Heterodera schachtii</i> A. Schmidt テンサイシ ストセンチュウ Narabu, T. <i>et al.</i>: Plant dis. 103(6):1433, 2019 (2) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネ グサレセンチュウ 横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962 [備考] ツケナ。接種試験の結果 (注) 病原追加	ハクラン <i>Brassica × napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネグ サレセンチュウ 横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962 [備考] ツケナ。接種試験の結果
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae イヌナズナ Woodland draba <i>Draba nemorosa</i> L. (野草) 白斑病 hakuhan-byo White leaf spot <i>Neopseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Videira & Crous 横田秀海ら:関東病虫研報 69:100, 2022 (注) 新規宿主、新病名	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae
--	---------------------------------------

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae マメグンバイナズナ Common peppergrass <i>Lepidium virginicum</i> L. (野草)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae
---	---------------------------------------

斑点病 hanten-byo <i>Septoria lepidicola</i> Ellis & G. Martin 矢崎裕真ら:関東病虫研報 69:99, 2022 (注) 新規宿主、新病名、病名英名なし	
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ストック(アラセイトウ) Stock <i>Matthiola incana</i> (L.) R. Br. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum higginsianum</i> Saccardo [<i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara] 森脇丈治ら:日植病報 63(5):395, 1997 ; 森脇丈治 ら:日植病報 69(3):259, 2003 ; 佐藤豊三ら:植物防 疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 (2) <i>Colletotrichum</i> sp. 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958 (注) 病原学名変更	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ストック(アラセイトウ) Stock <i>Matthiola incana</i> (L.) R. Br. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003 (2) <i>Colletotrichum</i> sp. 沼田 巖ら:日植病報 23(1):21, 1958
---	--

サボテン科 Cactaceae ピタヤ(サンカクサボテン, ドラゴンフルーツ) Pitaya <i>Hylocereus undatus</i> Britton & Rose [<i>Cereus</i> <i>triangularis</i> Haworth] (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 田場 聡ら:日植病報 72(1):25, 2006	サボテン科 Cactaceae ピタヤ(サンカクサボテン, ドラゴンフルーツ) Pitaya <i>Hylocereus undatus</i> Britton & Rose [<i>Cereus</i> <i>triangularis</i> Haworth] (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 田場 聡ら:日植病報 72(1):25, 2006
---	---

(2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	
---	--

キキョウ科 Campanulaceae イソトマ Rock isotoma <i>Laurentia axillaris</i> (Lindley) Wimmer (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:19, 2010 (2) <i>Colletotrichum lineola</i> Corda 菅原 敬:山形農業特研報 2:19, 2010 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 菅原ら(2010)が<i>Colletotrichum</i> sp.とした病原菌をSato <i>et al.</i>(2015)は, <i>C. lineola</i>と再同定した (注) 文献追加	キキョウ科 Campanulaceae イソトマ Rock isotoma <i>Laurentia axillaris</i> (Lindley) Wimmer (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 菅原 敬・築尾嘉章:北日本病虫研報 55:78, 2004 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:19, 2010 (2) <i>Colletotrichum lineola</i> Corda 菅原 敬:山形農業特研報 2:19, 2010 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 [備考] 菅原ら(2010)が<i>Colletotrichum</i> sp.とした病原菌をSato <i>et al.</i>(2015)は, <i>C. lineola</i>と再同定した
--	--

キキョウ科 Campanulaceae キキョウ(桔梗) Balloon flower <i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC. (草花) 半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt <i>Verticillium dahliae</i> Klebahn	キキョウ科 Campanulaceae キキョウ(桔梗) Balloon flower <i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC. (草花) 半身萎凋病 hanshin-icho-byo Verticillium wilt <i>Verticillium dahliae</i> Klebahn
---	---

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 43:125, 1996 (注) 文献年訂正	竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 43:125, 1966
--	-------------------------------

スイカズラ科 Caprifoliaceae ガマズミ(アラゲガマズミ)(莢蒾) Linden viburnum <i>Viburnum dilatatum</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Phyllosticta akaisiana</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(11):付録56, 1930(昭5) [備考] オオカメノキ (注) 文献ページ訂正	スイカズラ科 Caprifoliaceae ガマズミ(アラゲガマズミ)(莢蒾) Linden viburnum <i>Viburnum dilatatum</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Phyllosticta akaisiana</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(11):560, 1930(昭5) [備考] オオカメノキ
---	---

スイカズラ科 Caprifoliaceae タニウツギ (Weigela) <i>Weigela hortensis</i> (Sieb. & Zucc.) K. Koch (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe diervillae</i> Miyabe ex U. Braun [<i>Erysiphe pisi</i> de Candolle] (2) <i>Erysiphe weigela</i> Zhi X. Chen & S.B. Luo 佐藤幸生ら:日植病報 66(3):304, 2000 [備考] (1) <i>E. diervillae</i> と(2) <i>E. weigela</i> は同種との報告もある(佐藤幸生ら:日植病報 66(3):304, 2000) (注) 病原学名変更。Index Fungorumによる	スイカズラ科 Caprifoliaceae タニウツギ (Weigela) <i>Weigela hortensis</i> (Sieb. & Zucc.) K. Koch (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe diervillae</i> Miyabe ex U. Braun [<i>Erysiphe pisi</i> de Candolle] (2) <i>Erysiphe weigela</i> Z.X. Chen & S.B. Luo 佐藤幸生ら:日植病報 66(3):304, 2000 [備考] (1) <i>E. diervillae</i> と(2) <i>E. weigela</i> は同種との報告もある(佐藤幸生ら:日植病報 66(3):304, 2000)
---	---

パパイヤ科 Caricaceae	パパイヤ科 Caricaceae
------------------	------------------

パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 黒腐病 kurogusare-byo Black rot <i>Erwinia</i> sp. 篠原弘亮ら:日植病報 70(3):282, 2004 ; Hanagasaki, T. <i>et al.</i>:Plant Pathol. 70:932, 2021 ; Hanagasaki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(3):178, 2022 ; 花ヶ崎 敬資:植物防疫 77(1):41, 2023 [備考] 花ヶ崎(2023)は, 外国で報告のある <i>E. mallotivora</i>, <i>E. papayae</i>, <i>E. psidii</i>, <i>E. cypripedii</i>とは別種であることを示唆した (注) 備考変更	パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 黒腐病 kurogusare-byo Black rot <i>Erwinia</i> sp. 篠原弘亮ら:日植病報 70(3):282, 2004 [備考] 外国で報告のある <i>Erwinia papayae</i> による bacterial canker との異同について調査を要する
---	---

パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 61(3):222, 1995 (2) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Gan, P. <i>et al.</i>:Environ. Microbiol. 23:6004, 2021 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo sensu stricto Moriwaki, J. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了	パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜) Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 61(3):222, 1995 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum caricae</i> F. Stevens & J.G. Hall, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium papayae</i> Hennings] 逸見武雄:病虫雑 8(6):274, 1921(大10) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979
---	---

(4) <i>Colletotrichum okinawense</i> Damm & Toy. Sato Damm, U. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 92:1, 2019 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (5) <i>Colletotrichum plurivorum</i> Damm, Alizadeh & Toy. Sato Damm, U. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 92:1, 2019 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (6) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 堀江博道ら:菌蕈研報 28:267, 1990 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (7) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels Moriwaki, J. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (8) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum caricae</i> F. Stevens & J.G. Hall, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium papayae</i> Hennings] 逸見武雄:病虫雑 8(6):274, 1921(大10) ; 中村重正 ら:日植病報 45(4):545, 1979 (注) 病原追加	
---	--

パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜)	パパイヤ科 Caricaceae パパイヤ(モクカ)(木瓜)
---	---

Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹) †††† <i>Lasiodiplodia brasiliensis</i> M.S.B. Netto, M.W. Marques & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	Papaya <i>Carica papaya</i> L. (果樹)
--	--

ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>Dianthus caryophyllus</i> L. セキチク <i>Dianthus chinensis</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. カワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams ††炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum lineola</i> Corda Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] ナデシコ属に発生。接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] セキチクに発生。接種試験未了 (3) <i>Gloeosporium dianthi</i> Cooke 今井四郎:病虫雑 1(1):78, 1914(大3) [備考] 病原菌の分類学的所属について検討が必	ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>Dianthus caryophyllus</i> L. セキチク <i>Dianthus chinensis</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. カワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams ††炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Gloeosporium dianthi</i> Cooke 今井四郎:病虫雑 1(1):78, 1914(大3) [備考] 病原菌の分類学的所属について検討が必
---	---

要	
(注) 病原追加	

ニシキギ科 Celastraceae マサキ(柾) Japanese spindletree <i>Euonymus japonicus</i> Thunb. (広葉樹) そうか病* soka-byo Spot anthracnose (褐色 円星病, 穿孔病, とうそう病, 瘡痂病) <i>Elsinoë euonymi-japonici</i> Jenkins & Bitancourt [<i>Sphaceloma euonymi-japonici</i> Kurosawa & Katsuki, <i>Fusicladium euonymi-japonici</i> Hori] 堀 正太郎:園芸之友 9(12):1094, 1913(大2) ; 香月 繁孝:植物防疫 11(9):397, 1957 (注) 文献ページ挿入	ニシキギ科 Celastraceae マサキ(柾) Japanese spindletree <i>Euonymus japonicus</i> Thunb. (広葉樹) そうか病* soka-byo Spot anthracnose (褐色 円星病, 穿孔病, とうそう病, 瘡痂病) <i>Elsinoë euonymi-japonici</i> Jenkins & Bitancourt [<i>Sphaceloma euonymi-japonici</i> Kurosawa & Katsuki, <i>Fusicladium euonymi-japonici</i> Hori] 堀 正太郎:園芸之友 9(12), 1913(大2) ; 香月繁孝: 植物防疫 11(9):397, 1957
--	--

フクギ科 Clusiaceae, Guttiferae フクギ (Garcinia) <i>Garcinia subelliptica</i> Merr. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) ; 阿部恭 久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾。タイワンフクギ (<i>G. multiflora</i>) (注) 備考中の宿主学名にスペース挿入	フクギ科 Clusiaceae, Guttiferae フクギ (Garcinia) <i>Garcinia subelliptica</i> Merr. (広葉樹) †赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 澤田兼吉:柑橘研究 2(2):266, 1928(昭3) ; 阿部恭 久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 [備考] 台湾。タイワンフクギ (<i>G. multiflora</i>)
--	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 褐色乾腐病 kasshoku-kampu-byo Fusarium root rot, Trichoderma rot (1) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 大城 篤ら:日植病報 66(3):258, 2000 (2) <i>Trichoderma</i> sp. 瀧元清透:日植病報 8(3):247, 1938(昭13) (注) 文献誌名訂正	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 褐色乾腐病 kasshoku-kampu-byo Fusarium root rot, Trichoderma rot (1) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 大城 篤ら:日植病報 66(3):258, 2000 (2) <i>Trichoderma</i> sp. 瀧元清透:病虫雑 8(3):247, 1938(昭13)
--	---

ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Marasmius aucubae</i> Neda アオキオチバタケ 大坪(小出) 奏ら:日本菌学会第55回大会講要:C31, 2011 (注) 新宿主	ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹)
--	---

ベンケイソウ科 Crassulaceae セイロンベンケイ (Bryophyllum) <i>Bryophyllum pinnatum</i> (Lam.) Oken (草花) †††† <i>Lasiodiplodia thailandica</i> T. Trakunyingcharoen, L.	ベンケイソウ科 Crassulaceae セイロンベンケイ (Bryophyllum) <i>Bryophyllum pinnatum</i> (Lam.) Oken (草花)
--	---

Lombard & Crous Hattori, Y. <i>et al.</i> :Mycoscience 64(2):79, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae マクワウリ(甜瓜) Oriental melon <i>Cucumis melo</i> L. var. <i>makuwa</i> Makino (Makuwa Group) (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黄紋病) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx [<i>Colletotrichum lagenarium</i> (Passerini) Ellis & Halsted] 吉野毅一:農商務省農試報告 34:101, 1907(明40) ; 原 攝祐:実用作物病理学:484, 1925(大14) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273-280, 1996 (注) 文献誌名訂正	ウリ科 Cucurbitaceae マクワウリ(甜瓜) Oriental melon <i>Cucumis melo</i> L. var. <i>makuwa</i> Makino (Makuwa Group) (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黄紋病) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx [<i>Colletotrichum lagenarium</i> (Passerini) Ellis & Halsted] 吉野毅一:農商務省農試報告 34:101, 1907(明40) ; 原 攝祐:実用作物病理学:484, 1925(大14) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273-280, 1996
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae マクワウリ(甜瓜) Oriental melon <i>Cucumis melo</i> L. var. <i>makuwa</i> Makino (Makuwa Group) (野菜) つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>melonis</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 原 攝祐:実用作物病理学:490, 1925(大14) ; 河合一郎ら:静岡農試研報 3:49, 1958	ウリ科 Cucurbitaceae マクワウリ(甜瓜) Oriental melon <i>Cucumis melo</i> L. var. <i>makuwa</i> Makino (Makuwa Group) (野菜) つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>melonis</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 原 攝祐:実用作物病理学:490, 1925(大14) ; 河合一郎ら:静岡農試研報 3:49, 1958
--	--

(注) 文献誌名訂正	
------------	--

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黄紋病) (1) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx [<i>Colletotrichum lagenarium</i> (Passerini) Ellis & Halsted] 出田 新:日本植物病理学:691, 1903(明36); 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273, 1996 (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黄紋病) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx [<i>Colletotrichum lagenarium</i> (Passerini) Ellis & Halsted] 出田 新:日本植物病理学:691, 1903(明36); 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273, 1996
---	--

ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber green mottle mosaic virus</i> (CGMMV)	ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber green mottle mosaic virus</i> (CGMMV)
--	--

スイカ緑斑モザイクウイルス [Cucumber green mottle mosaic virus-W#] 古木市重郎・小室康雄:日植病報 39(3):218, 1973 [備考] 血清反応による同定。戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 岸 國平:日植病報 26(2):70, 1961 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし (3) <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス 相原弘和ら:日植病報 61(3):285, 1995 (4) <i>Squash mosaic virus</i> (SqMV) スカッシュモザイクウイルス 根本正康ら:日植病報 40(2):117, 1974 ; 吉田幸二ら:日植病報 46(3):349, 1980 (5) <i>Tomato ringspot virus</i> (ToRSV) トマト輪点ウイルス 吉田幸二ら:日植病報 37(5):409, 1971 ; 吉田幸二ら:日植病報 46(3):339, 1980 (6) Potyvirus# 岸 國平:日植病報 26(5):242, 1961 [備考] <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), <i>Watermelon mosaic virus</i> (WMV スイカモザイクウイルス), <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり (7) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス 土井 誠ら:関東病虫研報 48:53, 2001 [備考] ネットメロン (<i>C. melo</i> L. <i>Reticulatus</i> Group) に発生 (8) ウイルス (未同定) 福士貞吉:札幌博物学会報 12(2-3):130, 1932(昭7) (注) (6)備考文末の句点を削除	スイカ緑斑モザイクウイルス [Cucumber green mottle mosaic virus-W#] 古木市重郎・小室康雄:日植病報 39(3):218, 1973 [備考] 血清反応による同定。戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):77, 1955 ; 岸 國平:日植病報 26(2):70, 1961 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし (3) <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV) パパイヤ輪点ウイルス 相原弘和ら:日植病報 61(3):285, 1995 (4) <i>Squash mosaic virus</i> (SqMV) スカッシュモザイクウイルス 根本正康ら:日植病報 40(2):117, 1974 ; 吉田幸二ら:日植病報 46(3):349, 1980 (5) <i>Tomato ringspot virus</i> (ToRSV) トマト輪点ウイルス 吉田幸二ら:日植病報 37(5):409, 1971 ; 吉田幸二ら:日植病報 46(3):339, 1980 (6) Potyvirus# 岸 國平:日植病報 26(5):242, 1961 [備考] <i>Papaya ringspot virus</i> (PRSV パパイヤ輪点ウイルス), <i>Watermelon mosaic virus</i> (WMV スイカモザイクウイルス), <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> のいずれか, あるいはそれらの混合の可能性あり。 (7) <i>Zucchini yellow mosaic virus</i> (ZYMV) ズッキーニ黄斑モザイクウイルス 土井 誠ら:関東病虫研報 48:53, 2001 [備考] ネットメロン (<i>C. melo</i> L. <i>Reticulatus</i> Group) に発生 (8) ウイルス (未同定) 福士貞吉:札幌博物学会報 12(2-3):130, 1932(昭7)
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三 ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三 ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と 再同定した (3) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Damm, U. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 73:1, 2012 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (4) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx 菅野博英・森脇丈治:日植病報 64(4):432, 1998 ; 菅野博英・森脇丈治:日植病報 66(2):85, 2000 [備考] ネットメロンに発生 (注) 病原追加	ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三 ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 三上哲壮ら:日植病報 63(6):526, 1997 ; 佐藤豊三 ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 佐藤ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と 再同定した (3) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx 菅野博英・森脇丈治:日植病報 64(4):432, 1998 ; 菅野博英・森脇丈治:日植病報 66(2):85, 2000 [備考] ネットメロンに発生
---	--

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. アルタナリア腐敗病 <i>Alternaria-fuhai-byo</i> <i>Alternaria</i> rot <i>Alternaria</i> sp. 清水遥人ら:北日本病虫研報 73:32, 2022 [備考] 貯蔵果実腐敗 (注) 新病名	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn.
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch.	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch.
---	---

ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. 貯蔵果実腐敗病* chozo-kajitsu-fuhai-byo (1) <i>Arthrimum arundinis</i> (Corda) Dyko & B. Sutton 清水遥人ら:北日本病虫研報 73:32, 2022 [備考] 貯蔵果実腐敗 (2) <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 清水遥人ら:北日本病虫研報 73:32, 2022 [備考] 貯蔵果実腐敗 (注) 新病名、病名英名提案なし	ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn.
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシユカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. 軟化腐敗病 nanka-fuhai-byo (1) <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer 清水遥人ら:北日本病虫研報 73:32, 2022 [備考] 貯蔵果実腐敗 (2) <i>Rhizopus stolonifer</i> (Ehrenberg) Vuillemin var. <i>stolonifer</i> 清水遥人ら:北日本病虫研報 73:32, 2022 [備考] 貯蔵果実腐敗	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシユカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn.
---	--

(注) 新病名、病名英名提案なし

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザシユカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. フザリウム果実腐敗病 <i>Fusarium-kajitsu-fuhai</i>-byo Fusarium fruit rot (1) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser 川上 顕ら:日植病報 88(3):224, 2022 ; 川上 顕ら:日植病報 89(1):49, 2023 [備考] 開花期に感染し、貯蔵後に発病することを報告した (2) <i>Fusarium cerealis</i> (Cooke) Saccardo 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (3) <i>Fusarium citri</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai 北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 ; Kitabayashi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(1):61, 2023 (4) <i>Fusarium graminearum</i> Schwabe 栢森美如ら:日植病報 79(1):64, 2013 (5) <i>Fusarium ipomoeae</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai 北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 ; Kitabayashi,	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザシユカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. フザリウム果実腐敗病 <i>Fusarium-kajitsu-fuhai</i>-byo Fusarium fruit rot (1) <i>Fusarium asiaticum</i> O'Donnell, T. Aoki, Kistler & Geiser 川上 顕ら:日植病報 88(3):224, 2022 (2) <i>Fusarium citri</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai 北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 (3) <i>Fusarium cerealis</i> (Cooke) Saccardo 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (4) <i>Fusarium graminearum</i> Schwabe 栢森美如ら:日植病報 79(1):64, 2013 (5) <i>Fusarium ipomoeae</i> M.M. Wang, Qian Chen & L. Cai
---	--

<i>S. et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(1):61, 2023 (6) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 北林奨也ら:日植病報 87(3):208, 2021 ; Kitabayashi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(3):207, 2022 (7) <i>Fusarium sporotrichioides</i> Sherbakoff 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (8) <i>Fusarium</i> sp. 迫田琢也ら:日植病報 69(1):48, 2003 [備考] <i>F. sambucinum</i> に似る。ニュージーランド産果実で発見 (注) 備考追加、文献追加、病原順変更	北林奨也ら:日植病報 88(1):71, 2022 (6) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 北林奨也ら:日植病報 87(3):208, 2021 ; Kitabayashi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(3):207, 2022 (7) <i>Fusarium sporotrichioides</i> Sherbakoff 川上 顕ら:日植病報 88(1):71, 2022 (8) <i>Fusarium</i> sp. 迫田琢也ら:日植病報 69(1):48, 2003 [備考] <i>F. sambucinum</i> に似る。ニュージーランド産果実で発見
---	--

ウリ科 Cucurbitaceae ヘチマ(糸瓜) Sponge gourd, Loofah <i>Luffa aegyptiaca</i> Mill. (野菜) 尻腐病 shirigusare-byo Fruit end rot (しり腐病, 黒腐病) <i>Fusarium lagenariae</i> sensu Hara non (Schweinitz) Saccardo 原 攝祐:実験作物病理学:465, 1930(昭5) [備考] 病原<i>Fusarium</i> 属菌の所属については再検討を要する (小林享夫ら編:植物病原菌類図説 592, 1992) (注) 文献誌名訂正	ウリ科 Cucurbitaceae ヘチマ(糸瓜) Sponge gourd, Loofah <i>Luffa aegyptiaca</i> Mill. (野菜) 尻腐病 shirigusare-byo Fruit end rot (しり腐病, 黒腐病) <i>Fusarium lagenariae</i> sensu Hara non (Schweinitz) Saccardo 原 攝祐:実用作物病理学:465, 1930(昭5) [備考] 病原<i>Fusarium</i> 属菌の所属については再検討を要する (小林享夫ら編:植物病原菌類図説 592, 1992)
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae ヘチマ(糸瓜) Sponge gourd, Loofah <i>Luffa aegyptiaca</i> Mill. (野菜)	ウリ科 Cucurbitaceae ヘチマ(糸瓜) Sponge gourd, Loofah <i>Luffa aegyptiaca</i> Mill. (野菜)
--	--

斑点病* hanten-byo Leaf spot (白星病) <i>Cercospora citrullina</i> Cooke [<i>Cercosporina luffae</i> Hara] 原 攝祐:実験作物病理学:465, 1930(昭5); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960 (注) 文献誌名訂正	斑点病* hanten-byo Leaf spot (白星病) <i>Cercospora citrullina</i> Cooke [<i>Cercosporina luffae</i> Hara] 原 攝祐:実用作物病理学:465, 1930(昭5); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Cercospora citrullina</i> Cooke [<i>Cercosporina elaterii</i> Passerini] 原 攝祐:実験作物病理学:803, 1930(昭5); 佐々木綱紀:病虫雑 17(2):112, 1930(昭5); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960 (注) 文献誌名訂正	ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Cercospora citrullina</i> Cooke [<i>Cercosporina elaterii</i> Passerini] 原 攝祐:実用作物病理学:803, 1930(昭5); 佐々木綱紀:病虫雑 17(2):112, 1930(昭5); 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 農生編 4(2):51, 1960
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) †††† Watermelon silver mottle orthospovirus (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス 関根健太郎ら:日植病報 87(3):170, 2021 ; 関根健太郎ら:日植病報 89(1):57, 2023	ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) †††† Watermelon silver mottle orthospovirus (WSMoV) スイカ灰白色斑紋ウイルス 関根健太郎ら:日植病報 87(3):170, 2021 [備考] 中指異常症(仮称)を示すニガウリから遺伝
---	---

[備考] 中指異常症(仮称)を示すニガウリから遺伝子解析により同定 (注) 備考変更	子解析により同定。戻し接種に成功していない
--	------------------------------

ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>Chamaecyparis lawsoniana</i> (A. Murray) Parl. 漏脂病 roshi-byo Resinous stem canker, Pitch canker (1) <i>Cistella japonica</i> Y. Suto & Tak. Kobayashi 北島君三:林学会雑 9(8):34, 1927(昭2) ; 周藤靖雄:102回日林論:317, 1991 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33:433, 1992 (2) <i>Pezicula livida</i> (Berkeley & Broome) Rehm [<i>Cryptosporiopsis abietina</i> Petrak] 北島君三:林学会雑 9(8):34, 1927(昭2) ; 小林享夫ら:森林総研研報 357:51, 1990 ; 金子 繁ら:日林東北支誌 37:221, 1985 (注) 文献著者名修正	ヒノキ科 Cupressaceae ヒノキ(檜) Japanese cypress <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. & Zucc.) Endl. (針葉樹) ローソンヒノキ <i>Chamaecyparis lawsoniana</i> (A. Murray) Parl. 漏脂病 roshi-byo Resinous stem canker, Pitch canker (1) <i>Cistella japonica</i> Y. Suto & Tak. Kobayashi 北島君三:林学会雑 9(8):34, 1927(昭2) ; 周藤靖雄:102回日林論:317, 1991 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33:433, 1992 (2) <i>Pezicula livida</i> (Berkeley & Broome) Rehm [<i>Cryptosporiopsis abietina</i> Petrak] 北島君三:林学会雑 9(8):34, 1927(昭2) ; 小林享夫:森林総研研報 357:51, 1990 ; 金子 繁ら:日林東北支誌 37:221, 1985
--	--

ヒノキ科 Cupressaceae ビャクシン(カイツカイブキ) Chinese juniper <i>Juniperus chinensis</i> L. (針葉樹) つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot <i>Rhizina undulata</i> Fries	ヒノキ科 Cupressaceae ビャクシン(カイツカイブキ) Chinese juniper <i>Juniperus chinensis</i> L. (針葉樹) つちくらげ病 tsuchikurage-byo Rhizina root rot <i>Rhizina undulata</i> Fries
--	--

佐藤邦彦ら:81回日林講:249, 1970 [備考] ハマハイビャクシン(<i>J. chinensis</i> var. <i>pacifica</i>)・ハイビャクシン。病菌の異名はアカマツ・クロマツ類つちくらげ病参照 (注) 文献ページ訂正	佐藤邦彦ら:81回日林講:149, 1970 [備考] ハマハイビャクシン(<i>J. chinensis</i> var. <i>pacifica</i>)・ハイビャクシン。病菌の異名はアカマツ・クロマツ類つちくらげ病参照
--	---

ヒノキ科 Cupressaceae アスナロ(ヒバ)(羅漢柏) Hiba, Japanese thuja <i>Thujopsis dolabrata</i> (L.f.) Siebold & Zucc. var. <i>dolabrata</i> (針葉樹) ヒノキアスナロ <i>Thujopsis dolabrata</i> (L.f.) Siebold & Zucc. var. <i>hondae</i> Makino 幹辺材腐朽病 miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot <i>Fomitiporia punctata</i> (Pilát) Murrill 市原 優ら:森林防疫 71(5):131, 2022 [備考] ヒノキアスナロの挿木品種の一つに発生 (注) 新病名、宿主学名追加、宿主学名修正	ヒノキ科 Cupressaceae アスナロ(ヒバ)(羅漢柏) Hiba, Japanese thuja <i>Thujopsis dolabrata</i> Sieb. & Zucc. (針葉樹)
---	---

カヤツリグサ科 Cyperaceae スゲ類 (Carex) <i>Carex</i> spp. (野草) カサスゲ <i>Carex amplifolia</i> Boott subsp. <i>dispalata</i> (Boott ex Gray) Koyama & Calder クロカワズスゲ <i>Carex arenicola</i> F. Schmidt ショウジョウスゲ <i>Carex blepharicarpa</i> Franch. コゴメスゲ <i>Carex brunnea</i> Thunb. タルマイスゲ <i>Carex buxbaumii</i> Wahlenb. ケタガネソウ <i>Carex ciliatomarginata</i> Nakai	カヤツリグサ科 Cyperaceae スゲ類 (Carex) <i>Carex</i> spp. (野草) カサスゲ <i>Carex amplifolia</i> Boott subsp. <i>dispalata</i> (Boott ex Gray) Koyama & Calder クロカワズスゲ <i>Carex arenicola</i> F. Schmidt ショウジョウスゲ <i>Carex blepharicarpa</i> Franch. コゴメスゲ <i>Carex brunnea</i> Thunb. タルマイスゲ <i>Carex buxbaumii</i> Wahlenb. ケタガネソウ <i>Carex ciliatomarginata</i> Nakai
--	--

ケスゲ <i>Carex duvaliana</i> Franch. & Sav.	ケスゲ <i>Carex duvaliana</i> Franch. & Sav.
ビロードスゲ <i>Carex fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> (Franch.) T. Koyama	ビロードスゲ <i>Carex fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> (Franch.) T. Koyama
イトスゲ <i>Carex fernaldiana</i> H. Lév. & Vaniot	イトスゲ <i>Carex fernaldiana</i> H. Lév. & Vaniot
ハマアオスゲ <i>Carex fibrillosa</i> Franch. & Sav.	ハマアオスゲ <i>Carex fibrillosa</i> Franch. et Sav.
オクノカンスゲ <i>Carex foliosissima</i> F. Schmidt	オクノカンスゲ <i>Carex foliosissima</i> F. Schmidt
トナカイスゲ <i>Carex globularis</i> L.	トナカイスゲ <i>Carex globularis</i> L.
ネムロスゲ <i>Carex gmelinii</i> Hook. & Arn.	ネムロスゲ <i>Carex gmelinii</i> Hook. & Arn.
ヒナスゲ <i>Carex grallatoria</i> Maxim. var. <i>grallatoria</i>	ヒナスゲ <i>Carex grallatoria</i> Maxim. var. <i>grallatoria</i>
テキリスゲ <i>Carex kiotensis</i> Franch. & Savat.	テキリスゲ <i>Carex kiotensis</i> Franch. & Savat.
ヒカゲスゲ <i>Carex lanceolata</i> Boott	ヒカゲスゲ <i>Carex lanceolata</i> Boott
ヤチスゲ <i>Carex limosa</i> L.	ヤチスゲ <i>Carex limosa</i> L.
ヒエスゲ <i>Carex longirostrata</i> C.A. Mey.	ヒエスゲ <i>Carex longirostrata</i> C.A. Mey.
イワカンスゲ <i>Carex makinoensis</i> Franch.	イワカンスゲ <i>Carex makinoensis</i> Franch.
ミタケスゲ <i>Carex michauxiana</i> Boeck. subsp. <i>asiatica</i> Hultén	ミタケスゲ <i>Carex michauxiana</i> Boeck. subsp. <i>asiatica</i> Hultén
チャシバスゲ <i>Carex microtricha</i> Franch.	チャシバスゲ <i>Carex microtricha</i> Franch.
ノゲヌカスゲ <i>Carex mitrata</i> Franch. var. <i>aristata</i>	ノゲヌカスゲ <i>Carex mitrata</i> Franch. var. <i>aristata</i>
Ohwi	Ohwi
カンスゲ <i>Carex morrowii</i> Boott	カンスゲ <i>Carex morrowii</i> Boott
シバスゲ <i>Carex nervata</i> Franch. & Sav.	シバスゲ <i>Carex nervata</i> Franch. & Sav.
カワズスゲ <i>Carex omiana</i> Franch. & Sav. var. <i>monticola</i> Ohwi	カワズスゲ <i>Carex omiana</i> Franch. & Sav. var. <i>monticola</i> Ohwi
ヒメスゲ <i>Carex oxyandra</i> (Franch. & Sav.) Kudô	ヒメスゲ <i>Carex oxyandra</i> (Franch. & Sav.) Kudô
サツボロスゲ <i>Carex pilosa</i> Scop.	サツボロスゲ <i>Carex pilosa</i> Scop.
コウボウシバ <i>Carex pumila</i> Thunb.	コウボウシバ <i>Carex pumila</i> Thunb.
オオイトスゲ(シロイトスゲ) <i>Carex sachalinensis</i> F. Schmidt var. <i>alterniflora</i> (Franch.) Ohwi	オオイトスゲ(シロイトスゲ) <i>Carex sachalinensis</i> F. Schmidt var. <i>alterniflora</i> (Franch.) Ohwi
シオクグ <i>Carex scabrifolia</i> Steud.	シオクグ <i>Carex scabrifolia</i> Steud.
タガネソウ <i>Carex siderosticta</i> Hance	タガネソウ <i>Carex siderosticta</i> Hance
ミチノクホンモンジスゲ <i>Carex stenostachys</i> Franch. & Sav. var. <i>cuneata</i> (Ohwi) Ohwi & T. Koyama	ミチノクホンモンジスゲ <i>Carex stenostachys</i> Franch. & Sav. var. <i>cuneata</i> (Ohwi) Ohwi & T. Koyama
ツルカミカワスゲ <i>Carex subebracteata</i> (Kük.) Ohwi	ツルカミカワスゲ <i>Carex subebracteata</i> (Kük.) Ohwi

オノエスゲ <i>Carex tenuiformis</i> H. Lév. & Vaniot ツルナシオオイトスゲ <i>Carex tenuinervis</i> Ohwi オニナルコスゲ <i>Carex vesicaria</i> L. ヒゲスゲ <i>Carex wahuensis</i> C.A. Mey. var. <i>bongardii</i> (Boott) Franch. & Sav. (注) 宿主ハマアオスゲの学名修正	オノエスゲ <i>Carex tenuiformis</i> H. Lév. & Vaniot ツルナシオオイトスゲ <i>Carex tenuinervis</i> Ohwi オニナルコスゲ <i>Carex vesicaria</i> L. ヒゲスゲ <i>Carex wahuensis</i> C.A. Mey. var. <i>bongardii</i> (Boott) Franch. & Sav.
---	--

ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ (大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea polystachya</i> Turcz. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea bulbifera</i> L. ジネンジョ (自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 青かび病 aokabi-byo Blue mold (1) <i>Penicillium albocoremium</i> (Frisvad) Frisvad Uy, R. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 88(3):184, 2022 ; Uy, R. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(1):15, 2023 [備考] ナガイモに発生 (2) <i>Penicillium polonicum</i> K.W. Zaleski Uy, R. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 88(3):184, 2022 ; Uy, R. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(1):16, 2023 [備考] ナガイモに発生 (3) <i>Penicillium sclerotigenum</i> T. Yamamoto 吉谷啓作:日植病報 18(3-4):180, 1954 ; 山本和太郎ら:兵庫農大研報 2(1):69, 1955 ; Uy, R. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(1):16, 2023	ヤマノイモ科 Dioscoreaceae ヤマノイモ White yam, Chinese yam, Japanese yam <i>Dioscorea</i> spp. (野菜) ダイジョ (大薯) White yam <i>Dioscorea alata</i> L. ナガイモ Chinese yam <i>Dioscorea polystachya</i> Turcz. カシュウイモ(ニガカシュウ) <i>Dioscorea bulbifera</i> L. ジネンジョ (自然薯) Japanese yam <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. ヤマノイモ(薯蕷) Chinese yam <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i> Makino 青かび病 aokabi-byo Blue mold (1) <i>Penicillium albocoremium</i> (Frisvad) Frisvad Uy, R. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 88(3):184, 2022 [備考] ナガイモに発生 (2) <i>Penicillium polonicum</i> K.W. Zaleski Uy, R. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 88(3):184, 2022 [備考] ナガイモに発生 (3) <i>Penicillium sclerotigenum</i> T. Yamamoto 吉谷啓作:日植病報 18(3-4):180, 1954 ; 山本和太郎ら:兵庫農大研報 2(1):69, 1955 (4) <i>Penicillium</i> sp.
---	---

(4) <i>Penicillium</i> sp. 岩田 勉ら:日植病報 45(1):115, 1979 (注) 文献追加	岩田 勉ら:日植病報 45(1):115, 1979
---	-----------------------------------

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 褐紋病 katsumon-byo <i>Macrophoma kaki</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 277:付録11, 1920(大9) ; 原 攝祐:果樹 220:21, 1921(大10) (注) 文献号数・ページ訂正	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 褐紋病 katsumon-byo <i>Macrophoma kaki</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 227:付録9, 1920(大9) ; 原 攝祐:果樹 220:21, 1921(大10)
---	--

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 腐敗病, 葉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 腐敗病, 葉炭疽病) <i>Colletotrichum horii</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding &
---	--

Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum gigasporum</i> Rakotoniriana & Munaut Liu, F. <i>et al.</i>:Persoonia 33:83, 2014 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum horii</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [Glomerella cingulata (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium kaki</i> Hori] 吉野毅一:果樹 34:18, 1906(明39) ; 堀正太郎:園芸之友 6(2):21, 1910(明43) ; Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 25(296):197, 1911(明44) ; 鑄方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:102, 1942(昭17) ; 佐藤豊三ら:日植病報 80(4):235, 2014 [備考] 葉炭疽病を統合した (4) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (5) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 佐藤豊三ら:日菌報 39(2):35, 1998 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 果実に病原性あり (注) 病原追加	H. Schrenk, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium kaki</i> Hori] 吉野毅一:果樹 34:18, 1906(明39) ; 堀正太郎:園芸之友 6(2):21, 1910(明43) ; Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 25(296):197, 1911(明44) ; 鑄方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:102, 1942(昭17) ; 佐藤豊三ら:日植病報 80(4):235, 2014 [備考] 葉炭疽病を統合した
---	--

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp.	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp.
--	--

(果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. †††† ウイルス (未同定) 藤田尚子ら:日植病報 89(1):40, 2023 [備考] オス品種‘久目丸’に発生。次世代シーケンサーにより検出。マラフィウイルス属の新種 (注) 新宿主	(果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L.
---	--

グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium minoense</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:8, 1927(昭2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):373, 1950 [備考] マルバグミ (<i>Elaeagnus macrophylla</i>)・ナツグミ (<i>E. multiflora</i>) (2) <i>Aecidium quintum</i> Sydow & P. Sydow [<i>Aecidium elaeagni-umbellata</i> non Dietel] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(647):427, 1940 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950 [備考] アキグミ (<i>Elaeagnus umbellata</i>) (3) <i>Ceraceopsora elaeagni</i> Kakishima, T. Sato & S. Sato Kakishima, M. et al.:Mycologia 76(6):969, 1984 ; Kakishima, M. & Sato, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 22:171, 1984 (4) <i>Ochropsora nambuana</i> (Hennings) Dietel	グミ科 Elaeagnaceae グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium minoense</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・原 攝祐:日本菌類目録:8, 1927(昭2) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):373, 1950 [備考] マルバグミ (<i>Elaeagnus macrophylla</i>)・ナツグミ (<i>E. multiflora</i>) (2) <i>Aecidium quintum</i> Sydow & P. Sydow [<i>Aecidium elaeagni-umbellata</i> non Dietel] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 54(647):427, 1940 ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950 [備考] アキグミ (<i>Elaeagnus umbellata</i>) (3) <i>Ceraceopsora elaeagni</i> Kakishima, T. Sato & S. Sato Kakishima, M. et al.:Mycologia 76(6):969, 1984 ; Kakishima, M. & Sato, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 22:171, 1984 (4) <i>Ochropsora nambuana</i> (Hennings) Dietel
--	--

[<i>Coleosporium nambuanum</i> Hennings] 松村任三:帝国植物名鑑(上):136, 1904(明37); 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明37); Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):659, 1930 [備考] アキグミ・マルバグミ (5) <i>Puccinia achroa</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:503, 1917(大6); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):269, 1950 [備考] マルバグミ (6) <i>Puccinia elaeagni</i> Yoshinaga ex Dietel Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):638, 1930; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):270, 1950 [備考] ナワシログミ (<i>Elaeagnus pungens</i>) (7) <i>Puccinia nigrolinearis</i> Okane & Kakishima [<i>Aecidium elaeagni-umbellatae</i> Dietel] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:11, 1917(大6); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950; Okane, I. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(4):497, 1992 [備考] アキグミ・マルバグミ (オオバグミ)。本病菌の冬孢子世代はミヤマカンスゲ (<i>Carex dolichostachya</i> subsp. <i>multifolia</i>) に生じる (8) <i>Puccinia velutina</i> Kakishima & S. Sato [<i>Aecidium elaeagni</i> Dietel] 草野俊助:植物学雑 16(187):201, 1902(明35); 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:315, 1904(明37); 柿瀧 眞ら:日植病報 46(3):371, 1980 [備考] アキグミ・タカサゴグミ (<i>Elaeagnus oldhami</i>)・ツルグミ (<i>E. glabra</i>)・ナツグミ・ナワシログミ (注) (4)文献名とページの間にコロン挿入	[<i>Coleosporium nambuanum</i> Hennings] 松村任三:帝国植物名鑑(上) 136, 1904(明37); 南部信方:植物学雑 18(203):2, 1904(明37); Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):659, 1930 [備考] アキグミ・マルバグミ (5) <i>Puccinia achroa</i> Sydow & P. Sydow 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:503, 1917(大6); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):269, 1950 [備考] マルバグミ (6) <i>Puccinia elaeagni</i> Yoshinaga ex Dietel Yoshinaga, T. & Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 44(528):638, 1930; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):270, 1950 [備考] ナワシログミ (<i>Elaeagnus pungens</i>) (7) <i>Puccinia nigrolinearis</i> Okane & Kakishima [<i>Aecidium elaeagni-umbellatae</i> Dietel] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:11, 1917(大6); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):372, 1950; Okane, I. & Kakishima, M.:Trans. Mycol. Soc. Japan 33(4):497, 1992 [備考] アキグミ・マルバグミ (オオバグミ)。本病菌の冬孢子世代はミヤマカンスゲ (<i>Carex dolichostachya</i> subsp. <i>multifolia</i>) に生じる (8) <i>Puccinia velutina</i> Kakishima & S. Sato [<i>Aecidium elaeagni</i> Dietel] 草野俊助:植物学雑 16(187):201, 1902(明35); 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:315, 1904(明37); 柿瀧 眞ら:日植病報 46(3):371, 1980 [備考] アキグミ・タカサゴグミ (<i>Elaeagnus oldhami</i>)・ツルグミ (<i>E. glabra</i>)・ナツグミ・ナワシログミ
---	---

グミ科 Elaeagnaceae	グミ科 Elaeagnaceae
------------------	------------------

グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) 灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, モニリア病) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5); 原 攝祐:実験作物病理学:486, 1930(昭5) (注) 文献誌名訂正	グミ(茱萸) Gumis <i>Elaeagnus</i> spp. (果樹) 灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, モニリア病) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5); 原 攝祐:実験果樹病理学:486, 1930(昭5)
---	---

ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (てんぐ巣もち病, 天狗巣病) (1) <i>Exobasidium nobeyamense</i> Nagao & Ezuka Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 42(6):549, 2001 [備考] トウゴクミツバツツジ (<i>R. wadanum</i> Makino) に発生 (2) <i>Exobasidium pentasporium</i> Shirai [<i>Microstroma pentasporium</i> Shirai] 白井光太郎:植物学雑 10(113):228, 1896(明29); Shirai, M.:Bot. Mag. Tokyo 10(113):en53, 1896(明29); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):52, 1955; Shibata, S. & Hirooka, Y.:Mycoscience 63(6):248, 2022 [備考] ヤマツツジ・コメツツジ・ホツツジ (<i>Tripetaleia paniculata</i>)・モチツツジ。Shibata & Hirooka (2022)は, Shirai (1896)が宿主として報告したサツキは誤りで, 正しくはヤマツツジである	ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (てんぐ巣もち病, 天狗巣病) (1) <i>Exobasidium nobeyamense</i> Nagao & Ezuka Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 42(6):549, 2001 [備考] トウゴクミツバツツジ (<i>R. wadanum</i> Makino) に発生 (2) <i>Exobasidium pentasporium</i> Shirai [<i>Microstroma pentasporium</i> Shirai] 白井光太郎:植物学雑 10(113):228, 1896(明29); 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):52, 1955 [備考] ヤマツツジ・サツキ・コメツツジ・ホツツジ (<i>Tripetaleia paniculata</i>)・モチツツジ
---	---

とし、伊藤(1955)が報告したホツツジについても誤同定の可能性があるとした (注) 文献追加, 備考変更	
--	--

ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] Yoshida, S. & Tsukiboshi, T.:J. Gen. Plant Pathol. 68(3):246, 2002 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 [備考] ハイブッシュブルーベリー(Highbush Blueberry, <i>V. corymbosum</i> L.) に発生 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 北澤 健ら:日植病報 76(1):67, 2010 (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 三澤知央ら:日植病報 81(1):89, 2015 (注) 病原学名変更	ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] Yoshida, S. & Tsukiboshi, T.:J. Gen. Plant Pathol. 68(3):246, 2002 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 [備考] ハイブッシュブルーベリー(Highbush Blueberry, <i>V. corymbosum</i> L.) に発生 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 北澤 健ら:日植病報 76(1):67, 2010 (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 三澤知央ら:日植病報 81(1):89, 2015
---	--

ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹) ††††	ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹)
--	--

ウイルス (未同定) 磯貝雅道ら:日植病報 89(1):41, 2023 [備考] 低分子RNA解析を行い, コードされるアミノ酸配列から推定すると, Red clover-associated virusのP2タンパク質と72%の同一性を示した (注) 新宿主	
---	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae クロトンノキ Croton <i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum soraueriana</i> (Allescher) Hori] 堀 正太郎:園芸之友 9(10):885, 1913(大2) ; 山本和太郎:植物防疫 14(2):50, 1960 (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 佐藤豊三:微探収報 15:1, 2003 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	トウダイグサ科 Euphorbiaceae クロトンノキ Croton <i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum soraueriana</i> (Allescher) Hori] 堀 正太郎:園芸之友 9(10):885, 1913(大2) ; 山本和太郎:植物防疫 14(2):50, 1960
--	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 円星病 maruhoshi-byo <i>Cercospora taihokuensis</i> Sawada ex Goh & W.H.	トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) 円星病 maruhoshi-byo <i>Cercospora taihokuensis</i> Sawada ex Goh & W.H.
--	--

Hsieh 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):13, 1943(昭18) ; 香月繁孝:植研雑 30:373, 1955 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):75, 1960 ; Hsieh, W. H. & Goh, T. K.:<i>Cercospora</i> and similar fungi from Taiwan:114, 1990 [備考] カキバカンコノキ (注) 文献ページ修正	Hsieh 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):13, 1943(昭18) ; 香月繁孝:植研雑 30:373, 1955 ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):25, 1960 ; Hsieh, W. H. & Goh, T. K.:<i>Cercospora</i> and similar fungi from Taiwan:114, 1990 [備考] カキバカンコノキ
--	---

トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) †††† <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	トウダイグサ科 Euphorbiaceae カンコノキ (Glochidion) <i>Glochidion obovatum</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹)
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i> Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia</i>	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i> Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia</i>
--	--

<i>melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, <i>Physalospora acaciae</i> Kaz. Ito & Shibukawa, <i>Glomerella acaciae</i> (Kaz. Ito & Shibukawa) W. Yamamoto & Kaz. Ito, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 伊藤一雄・渋川浩三:64回日林講:237, 1955 ; 伊藤 一雄・渋川浩三:林試研報 92:51, 1956 ; 寺下隆喜 代:林試研報 155:1, 1963 ; 陳野好之:日林東北支誌 34:114, 1982 ; Gan, P. <i>et al.</i>:<i>Environ. Microbiol.</i> 23:6004, 2021 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] フサアカシア・モリシマアカシア・メラ ノキシロンアカシアに発生。陣野 (1982) はイン ドネシアのカマバアカシアに本病を確認 (注) 病原学名変更	<i>melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Physalospora acaciae</i> Kaz. Ito & Shibukawa, <i>Glomerella acaciae</i> (Kaz. Ito & Shibukawa) W. Yamamoto & Kaz. Ito, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 伊藤一雄・渋川浩三:64回日林講:237, 1955 ; 伊藤 一雄・渋川浩三:林試研報 92:51, 1956 ; 寺下隆喜 代:林試研報 155:1, 1963 ; 陳野好之:日林東北支誌 34:114, 1982 [備考] フサアカシア・モリシマアカシア・メラ ノキシロンアカシアに発生。陣野 (1982) はイン ドネシアのカマバアカシアに本病を確認
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae デイゴ(梯梧) East indian coral tree <i>Erythrina variegata</i> L. var. <i>orientalis</i> (L.) Merr. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 小林享夫ら:日植病報 56(3):378, 1990 (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner	マメ科 Fabaceae, Leguminosae デイゴ(梯梧) East indian coral tree <i>Erythrina variegata</i> L. var. <i>orientalis</i> (L.) Merr. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo Kobayashi, T. <i>et al.</i>:<i>Ann. Phytopathol. Soc. Jpn.</i> 56(3):378, 1990
--	--

& Samuels 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加, (1)文献表記修正	
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 黒根腐病 kuro-negusare-byo Root necrosis, Red crown rot (根腐病) <i>Calonectria ilicicola</i> Boedijn & Reitsma [<i>Calonectria crotalariae</i> (Loos) D.K. Bell & Sobers, <i>Cylindrocladium crotalariae</i> D.K. Bell & Sobers] 御園生 尹・深津量栄:日植病報 35(2):107, 1969 ; 御園生 尹:植物防疫 27(2):77, 1973 ; Ochi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):232, 2022 ; 越智 直ら:日植病報 88(3):231, 2022 ; 越智 直ら:植物防疫 77(1):16, 2023 [備考] Ochi <i>et al.</i>(2022), 越智ら(2022), 越智ら(2023)は, 黒根腐病の発生により収量が減少し, しわ粒も増えることを報告した (注) 文献追加、備考変更	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 黒根腐病 kuro-negusare-byo Root necrosis, Red crown rot (根腐病) <i>Calonectria ilicicola</i> Boedijn & Reitsma [<i>Calonectria crotalariae</i> (Loos) D.K. Bell & Sobers, <i>Cylindrocladium crotalariae</i> D.K. Bell & Sobers] 御園生 尹・深津量栄:日植病報 35(2):107, 1969 ; 御園生 尹:植物防疫 27(2):77, 1973 ; Ochi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):232, 2022 ; 越智 直ら:日植病報 88(3):231, 2022 [備考] Ochi <i>et al.</i>(2022)および越智ら(2022)は, 黒根腐病の発生により収量が減少し, しわ粒も増えることを報告した
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose
--	--

(1) <i>Colletotrichum glycines</i> Hori ex Hemmi [<i>Glomerella glycines</i> (Hori) Lehman & Wolf] 出田 新:続日本植物病理学(下):785, 1926(大15) ; 倉田 浩:農技研報C 12:68, 1960 ; 佐藤豊三ら:植物 防疫 77(2):76, 2023 (2) <i>Colletotrichum plurivorum</i> Damm, Alizadeh & Toy. Sato Damm, U. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 92:1, 2019 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum trifolii</i> Bain (4) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [<i>Colletotrichum glycines</i> Hori, <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove f. <i>truncatum</i> (Schweinitz) Arx] (5) <i>Gloeosporium</i> sp. 出田 新:続日本植物病理学(下):785, 1926(大15) ; 倉田 浩:農技研報C 12:68, 1960 [備考] <i>Colletotrichum truncatum</i> が最も重要な菌で ある (倉田, 1960) (注) Index Fungorumによる病原学名変更と病原順 変更	(1) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [<i>Colletotrichum glycines</i> Hori, <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove f. <i>truncatum</i> (Schweinitz) Arx] (2) <i>Colletotrichum trifolii</i> Bain (3) <i>Glomerella glycines</i> (Hori) Lehman & Wolf (4) <i>Gloeosporium</i> sp. 出田 新:続日本植物病理学(下):785, 1926(大15) ; 倉田 浩:農技研報C 12:68, 1960 [備考] <i>Colletotrichum truncatum</i> が最も重要な菌で ある (倉田, 1960)
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Phoma</i> sp. 菊池健太郎ら:日植病報 82(3):233, 2016 [備考] ウラルカンゾウ, スペインカンゾウに発	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 斑点病 hanten-byo Leaf spot 菊池健太郎ら:日植病報 82(3):233, 2016 [備考] ウラルカンゾウ, スペインカンゾウに発 生
---	--

生	
(注) 病原学名抜きの修正。2017年4月の新旧対照表には掲載されている病原学名が、同年9月発行の2017年版にはない。	

マメ科 Fabaceae, Leguminosae キングサリ(金鎖) Goldenchain, Bean tree <i>Laburnum anagyroides</i> Medik. [<i>Laburnum vulgare</i> Bercht. & J. Presl] (広葉樹) †††† <i>Lasiodiplodia</i> sp. Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):80, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	マメ科 Fabaceae, Leguminosae キングサリ(金鎖) Goldenchain, Bean tree <i>Laburnum vulgare</i> Bercht. & J. Presl (広葉樹)
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) アフアノマイセス根腐病 <i>Aphanomyces-negusare-byo</i> <i>Aphanomyces</i> root rot <i>Aphanomyces euteiches</i> Drechsler f. sp. <i>phaseoli</i> W.F. Pfender & D.J. Hagedorn 堀田治邦・谷井昭夫:日植病報 56(3):385, 1990 ; 堀田治邦・谷井昭夫:植物防疫 44(12):545, 1990 (注) 病名読み修正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) アフアノマイセス根腐病 <i>Aphanomyces-negusare-byo</i> <i>Aphanomyces</i> root rot <i>Aphanomyces euteiches</i> Drechsler f. sp. <i>phaseoli</i> W.F. Pfender & D.J. Hagedorn 堀田治邦・谷井昭夫:日植病報 56(3):385, 1990 ; 堀田治邦・谷井昭夫:植物防疫 44(12):545, 1990
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (とびくさり病, 斑紋病, 斑紋病, 斑点病) (1) <i>Colletotrichum lindemuthianum</i> (Saccardo & Magnus) Briosi & Cavara 白井光太郎:最近植物病理学:456, 1903(明36); 堀正太郎:農作物病学教科書:103, 1921(大10) (2) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted Moriwaki, J. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了。Moriwaki <i>et al.</i> (2002)は<i>C. coccodes</i>としたが, 佐藤ら(2023)は<i>C. nigrum</i>と再同定した (注) 病原追加	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (とびくさり病, 斑紋病, 斑紋病, 斑点病) <i>Colletotrichum lindemuthianum</i> (Saccardo & Magnus) Briosi & Cavara 白井光太郎:最近植物病理学:456, 1903(明36); 堀正太郎:農作物病学教科書:103, 1921(大10)
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae クズ(葛) Kudzu <i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi (牧草・芝草) すす病 susu-byo <i>Meliola banosensis</i> Sydow & P. Sydow 山本和太郎:台湾博物会報 30:150, 1940(昭15); 澤田兼吉:台湾農試報 83(台湾菌類調査報告 7):17, 1942(昭17); 田盛正雄ら:琉球大農学報 44:109, 1997 (注) † 削除。文献追加、備考削除	マメ科 Fabaceae, Leguminosae クズ(葛) Kudzu <i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi (牧草・芝草) †すす病 susu-byo <i>Meliola banosensis</i> Sydow 山本和太郎:台湾博物会報 30:150, 1940(昭15); 澤田兼吉:台湾農試報 83(台湾菌類調査報告 7):17, 1942(昭17) [備考] 台湾
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo sensu stricto [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, <i>Guignardia robiniae</i> Kaz. Ito & Tak. Kobayashi, <i>Glomerella robiniae</i> (Kaz. Ito & Tak. Kobayashi) W. Yamamoto & Kaz. Ito] 伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958 ; Yokosawa, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 83(5):291, 2017 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 山岸菜穂ら:日植病報 81(3):205, 2015 ; Yamagishi, N. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 82(3):174, 2016 (4) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [<i>Colletotrichum glycines</i> Hori] 伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958 (5) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum revolutum</i> (Ellis & Everhart) Kaz. Ito & Tak. Kobayashi] 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958 ; 小野光明ら:関東病虫研報 43:109, 1996 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 (注) 病原学名変更, 病原追加, 病原順変更	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958 (2) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 山岸菜穂ら:日植病報 81(3):205, 2015 ; Yamagishi, N. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 82(3):174, 2016 (3) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [<i>Colletotrichum glycines</i> Hori] 伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958 (4) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Guignardia robiniae</i> Kaz. Ito & Tak. Kobayashi, <i>Glomerella robiniae</i> (Kaz. Ito & Tak. Kobayashi) W. Yamamoto & Kaz. Ito, <i>Colletotrichum revolutum</i> (Ellis & Everhart) Kaz. Ito & Tak. Kobayashi] 伊藤一雄:図説樹病講義:187, 1955 ; 伊藤一雄・小林享夫:林試研報 108:1, 1958
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae シロクローバ(白クローバ, ホワイトクローバ, シロツメクサ, オランダゲンゲ) White clover <i>Trifolium repens</i> L. (牧草・芝草) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Bean yellow mosaic virus</i> (BYMV) インゲンマ メ黄斑モザイクウイルス 小室康雄:植物防疫 17(10):413, 1963 (2) <i>Clover yellow mosaic virus</i> (CIYMV) クローバ 黄化モザイクウイルス 鈴木誠人ら:日植病報 89(1):11, 2023 (3) <i>Clover yellow vein virus</i> (CIYVV) クローバ葉 脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#] 井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968 ; 笹谷孝英:四 国農試報 63:1, 1998 (4) <i>White clover mosaic virus</i> (WCIMV) シロクロ ーバモザイクウイルス 越水幸男・飯塚典男:日植病報 21(2-3):127, 1956 ; 飯塚典男・飯田 格:北日本病虫研報 12:58, 1961 ; 飯塚典男・飯田 格:日植病報 30(1):46, 1965 (5) ウイルス (未同定) 小室康雄:植物防疫 17(10):420, 1963 [備考] ウイルスの種類は明らかでないが, シロ クローバのモザイク病は福士貞吉 (札幌博物会報 12(2-3):132, 1932), 村山大記 (札幌農林会報 34(1):47, 1941) の報告がある (注) 病原追加	マメ科 Fabaceae, Leguminosae シロクローバ(白クローバ, ホワイトクローバ, シロツメクサ, オランダゲンゲ) White clover <i>Trifolium repens</i> L. (牧草・芝草) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Bean yellow mosaic virus</i> (BYMV) インゲンマ メ黄斑モザイクウイルス 小室康雄:植物防疫 17(10):413, 1963 (2) <i>Clover yellow vein virus</i> (CIYVV) クローバ葉 脈黄化ウイルス [Bean yellow mosaic virus-N#] 井上忠男:農学研究 52(1):11, 1968 ; 笹谷孝英:四 国農試報 63:1, 1998 (3) <i>White clover mosaic virus</i> (WCIMV) シロクロ ーバモザイクウイルス 越水幸男・飯塚典男:日植病報 21(2-3):127, 1956 ; 飯塚典男・飯田 格:北日本病虫研報 12:58, 1961 ; 飯塚典男・飯田 格:日植病報 30(1):46, 1965 (4) ウイルス (未同定) 小室康雄:植物防疫 17(10):420, 1963 [備考] ウイルスの種類は明らかでないが, シロ クローバのモザイク病は福士貞吉 (札幌博物会報 12(2-3):132, 1932), 村山大記 (札幌農林会報 34(1):47, 1941) の報告がある
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae サブタレニアンクローバ(サブクローバ, ジモグ リツメクサ) Subterranean clover, Sub clover	マメ科 Fabaceae, Leguminosae サブタレニアンクローバ(サブクローバ, ジモグ リツメクサ) Subterranean clover, Sub clover
---	---

<i>Trifolium subterraneum</i> L. (牧草・芝草) 黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch <i>Rhizoctonia leguminicola</i> Gough & E.S. Elliott 富永時任:日菌報 4(1):15, 1962 ; 富永時任:農技研 報C 25:197, 1971 (注) 文献ページ挿入	<i>Trifolium subterraneum</i> L. (牧草・芝草) 黒かび病 kurokabi-byo Black patch disease, Blackpatch <i>Rhizoctonia leguminicola</i> Gough & E.S. Elliott 富永時任:日菌報 4(1):15, 1962 ; 富永時任:農技研 報C 25:1971
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic (壊疽モザイク病) (1) <i>Broad bean necrosis virus</i> (BBNV) ソラマメえ そモザイクウイルス 深野 弘・横山佐太正:九州農業研究 10:133, 1952 ; 井上忠男・麻谷正義:日植病報 34(5):317, 1968 (2) <i>Broad bean necrotic mosaic virus</i># (BBNMV) ソ ラマメネクロティックモザイクウイルス 富高保弘ら:日植病報 80(1):16, 2014 ; 中村茂雄 ら:日植病報 82(3):253, 2016 ; 富高保弘ら:第94回 九州病虫研講要, 2017 ; 富高保弘ら:日植病報 84(1):69, 2018 [備考] 富高ら(2014)と中村ら(2016)が報告したウ イルスの異同は不明。土壌伝染性。富高ら(2014) は症状を呈する株から<i>Polymyxa graminis</i>を検出し た (注) 文献年挿入	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) えそモザイク病 eso-mosaic-byo Necrotic mosaic (壊疽モザイク病) (1) <i>Broad bean necrosis virus</i> (BBNV) ソラマメえ そモザイクウイルス 深野 弘・横山佐太正:九州農業研究 10:133, 1952 ; 井上忠男・麻谷正義:日植病報 34(5):317, 1968 (2) <i>Broad bean necrotic mosaic virus</i># (BBNMV) ソ ラマメネクロティックモザイクウイルス 富高保弘ら:日植病報 80(1):16, 2014 ; 中村茂雄 ら:日植病報 82(3):253, 2016 ; 富高保弘ら:第94回 九州病虫研講要 ; 富高保弘ら:日植病報 84(1):69, 2018 [備考] 富高ら(2014)と中村ら(2016)が報告したウ イルスの異同は不明。土壌伝染性。富高ら(2014) は症状を呈する株から<i>Polymyxa graminis</i>を検出し た
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae コモンベッチ(オオカラスノエンドウ, オオヤハズエンドウ, ザートウィッケン) Common vetch <i>Vicia sativa</i> L. (牧草・芝草) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum glycines</i> Hori ex Hemmi [<i>Glomerella glycines</i> (Hori) Lehman & Wolf, <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara, <i>Colletotrichum sativum</i> N.L. Horn] 飯田 格・斉藤 正:北陸農業研究 3(2):35, 1958 ; 西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害III):4, 1963 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] Sawada (Coll. Agric. Natl. Taiwan Univ. Spec. Publ. No.8:175, 1959) は台湾で <i>Vicia sativa</i> から <i>Colletotrichum viciae-sativae</i> Sawada を記載したが, これと 本種 の相違はなお検討を要する (注) 病原学名・備考変更。Index Fungorumによる	マメ科 Fabaceae, Leguminosae コモンベッチ(オオカラスノエンドウ, オオヤハズエンドウ, ザートウィッケン) Common vetch <i>Vicia sativa</i> L. (牧草・芝草) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella glycines</i> (Hori) Lehman & Wolf [<i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara, <i>Colletotrichum sativum</i> N.L. Horn] 飯田 格・斉藤 正:北陸農業研究 3(2):35, 1958 ; 西原夏樹:千葉農試資料 3(牧草の病害III):4, 1963 [備考] Sawada (Coll. Agric. Natl. Taiwan Univ. Spec. Publ. No.8:175, 1959) は台湾で <i>Vicia sativa</i> から <i>Colletotrichum viciae-sativae</i> Sawada を記載したが, これと <i>C. destructivum</i> の相違はなお検討を要する
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 茎腐細菌病 kukigusare-saikin-byo Bacterial stem rot <i>Pseudomonas amygdali</i> pv. <i>adzukicola</i> Todai, Takahashi, Yasuoka, Sato, Abe, Takikawa & Kondo 2022 [<i>Pseudomonas</i> sp.] 谷井昭夫ら:日植病報 39(2):151, 1973 ; 谷井昭夫・馬場徹代:日植病報 40(3):202, 1974 ; 谷井昭夫・馬場徹代:北海道立農試集報 42:29, 1979 ; 東	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 茎腐細菌病 kukigusare-saikin-byo Bacterial stem rot <i>Pseudomonas</i> sp. 谷井昭夫ら:日植病報 39(2):151, 1973 ; 谷井昭夫・馬場徹代:日植病報 40(3):202, 1974 ; 谷井昭夫・馬場徹代:北海道立農試集報 42:29, 1979 ; 東岱孝司ら:日植病報 77(3):246, 2011
---	---

岱孝司ら:日植病報 77(3):246, 2011 ; <i>Todai, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 88(6):358, 2022</i> [備考] 本病の病原細菌の種名 <i>Pseudomonas adzukicola</i> Tanii & Babaは国際細菌命名規約により失効した。<i>Todai et al. (2022)</i>は <i>Pseudomonas amygdali</i> の新病原型と同定した (注) 病原同定	[備考] 本病の病原細菌の種名 <i>Pseudomonas adzukicola</i> Tanii & Babaは国際細菌命名規約により失効したが, 東岱ら(2011)は<i>Pseudomonas syringae</i>群と推定した
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐紋病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum lineola</i> Corda Sato, T. et al.:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum phaseolorum</i> S. Takimoto 角田鷹次郎:病虫雑 3(11):866, 1916(大5) ; 瀧元清透:日植病報 4(1-2):21, 1934(昭9) ; 鑄方末彦:食用作物病学(上):199, 1949 (注) 病原追加、備考削除	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐紋病, 褐斑病) <i>Colletotrichum phaseolorum</i> S. Takimoto 角田鷹次郎:病虫雑 3(11):866, 1916(大5) ; 瀧元清透:日植病報 4(1-2):21, 1934(昭9) ; 鑄方末彦:食用作物病学(上):199, 1949 [備考] 本病菌を <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [子のう時代 <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] の異名とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960)
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物)
--	--

マイコセントロスポーラ斑点病 <i>Mycocentrospora-hanten-byo</i> <i>Mycocentrospora</i> leaf spot <i>Mycocentrospora acerina</i> (R. Hartig) Deighton 岸 広太ら:日植病報 89(1):50, 2023 (注) 新病名	
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae リョクトウ(マングビーン) Mung bean, Green gram <i>Vigna radiata</i> (L.) R. Wilczek (食用作物) †††† <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal sensu lato 石田千樹ら:日植病報 89(1):49, 2023 [備考] 萎凋症状 (注) 新宿主	マメ科 Fabaceae, Leguminosae リョクトウ(マングビーン) Mung bean, Green gram <i>Vigna radiata</i> (L.) R. Wilczek (食用作物)
--	---

ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (Castanopsis) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky スダジイ(イタジイ) <i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds]	ブナ科 Fagaceae シイノキ類(椎) (Castanopsis) <i>Castanopsis</i> spp. (広葉樹) ツブラジイ(コジイ) <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb. ex Murray) Schottky スダジイ(イタジイ) <i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatusima ex Yamazaki & Mashiba 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds]
--	--

竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:175, 1997 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (注) 病原学名変更	竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 44:175, 1997 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013
---	---

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 汚点病 oten-byo (黒斑病) <i>Coccochora kusanoi</i> (Hennings) Höhnelt [<i>Dothidella kusanoi</i> Hennings] 原 攝祐:大日本山林会報 402:46, 1916(大5) ; 安田篤:植物学各論隠花部:385, 1911(明44) [備考] シラカシ・アラカシ (注) 文献ページ訂正	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫛) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫛, クロガシ黒櫛) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫛) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫛) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 汚点病 oten-byo (黒斑病) <i>Coccochora kusanoi</i> (Hennings) Höhnelt [<i>Dothidella kusanoi</i> Hennings] 原 攝祐:大日本山林会報 420:46, 1916(大5) ; 安田篤:植物学各論隠花部:385, 1911(明44) [備考] シラカシ・アラカシ
--	---

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp.	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 櫛) Oak <i>Quercus</i> spp.
---	---

(広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジログシ(裏白櫟) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i>: Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] シラカシに発生。接種試験未了 (2) <i>Gloeosporium sessifoliae</i> Kitajima 北島君三:林試彙報 5:29, 1921(大10) [備考] ツクバネガシ。病原菌の分類学的所属は再検討を要する (注) 病原追加	(広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジログシ(裏白櫟) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Gloeosporium sessifoliae</i> Kitajima 北島君三:林試彙報 5:29, 1921(大10) [備考] ツクバネガシ。病原菌の分類学的所属は再検討を要する
--	--

イイギリ科 Flacourtiaceae クスドイゲ (Xylosma) <i>Xylosma congestum</i> (Lour.) Merr. (広葉樹) †††† <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 末松四郎:和歌山大学芸学術報, 自然科学 1:94, 1950	イイギリ科 Flacourtiaceae クスドイゲ (Xylosma) <i>Xylosma congestum</i> (Lour.) Merr. (広葉樹) †††† <i>Cephaleuros virescens</i> Kunze 末松四郎:和歌山大学芸学術報, 自然科学 1:94, 1951
--	--

(注) 文献年訂正	
-----------	--

リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 佐藤豊三ら:日植病報 58(4):544, 1992 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 菅原 敬ら:日植病報 75(1):57, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:15, 2010 (注) 病原学名変更	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 佐藤豊三ら:日植病報 58(4):544, 1992 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 菅原 敬ら:日植病報 75(1):57, 2009 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:15, 2010
---	--

リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 中山喜一ら:関東病虫研報 51:101, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013	リンドウ科 Gentianaceae リンドウ Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 中山喜一ら:関東病虫研報 51:101, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T.
---	---

(2) <i>Colletotrichum kahawae</i> J.M. Waller & Bridge [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 中山喜一ら:関東病虫研報 51:101, 2004 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 中山喜一ら:関東病虫研報 51:101, 2004 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (注) 病原学名変更2件、病原順変更	<i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 中山喜一ら:関東病虫研報 51:101, 2004 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 中山喜一ら:関東病虫研報 51:101, 2004
--	--

イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹) Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 矢口行雄ら:日植病報 70(3):218, 2004 (2) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Ishii, H. <i>et al.</i>:Pestic. Biochem. Physiol. 182:105049, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	イチョウ科 Ginkgoaceae イチョウ(銀杏, 公孫樹) Ginkgo, Maidenhair Tree <i>Ginkgo biloba</i> L. (針葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 矢口行雄ら:日植病報 70(3):218, 2004
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス	イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス
--	--

Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベッコベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum cereale</i> Manns [<i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson] Moriwaki, J. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了。Crouch <i>et al.</i> (Phytopathology 96:46, 2006)による再分類 (2) <i>Colletotrichum</i> sp. 矢口重治・岡村誠之:芝草研究 21(2):243, 1993 (注) 病原学名変更、備考変更	Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベッコベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson Moriwaki, J. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 [備考] 接種試験未了。Crouch <i>et al.</i> (Phytopathology 96:46, 2006) は本病菌を <i>C. cereale</i> Manns とした (2) <i>Colletotrichum</i> sp. 矢口重治・岡村誠之:芝草研究 21(2):243, 1993
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae トールオートグラス(オオカニツリグサ) Tall oatgrass <i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Beauv. ex J. & C. Presl (牧草・芝草) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum cereale</i> Manns [<i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson] 西原夏樹:日草誌 18(3):209, 1972 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] Damm, U. <i>et al.</i> (Fungal divers. 39:45, 2009)	イネ科 Gramineae, Poaceae トールオートグラス(オオカニツリグサ) Tall oatgrass <i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Beauv. ex J. & C. Presl (牧草・芝草) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson 西原夏樹:日草誌 18(3):209, 1972
---	--

による再分類	
(注) 病原学名変更、備考追加	

イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>Avena fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum cereale</i> Manns [<i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson] 中田覺五郎・明日山秀文:満州産業部資料 32(満州国主要農作物病害調査報告):51, 1939(昭 14) ; 西原夏樹:日植病報 25(1):48, 1960 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] Crouch, J.A. <i>et al.</i> (Mycologia 101:717, 2009) による再分類 (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae エンバク(燕麦, カラスムギ) Oat <i>Avena sativa</i> L. (食用作物) カラスムギ <i>Avena fatua</i> L. セイヨウチャヒキ <i>Avena strigosa</i> Schreb. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson 中田覺五郎・明日山秀文:満州産業部資料 32(満州国主要農作物病害調査報告):51, 1939(昭 14) ; 西原夏樹:日植病報 25(1):48, 1960
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ローズグラス Rhodes grass, Rhodesgrass <i>Chloris gayana</i> Kunth (牧草・芝草) いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia penniseticola</i> Klaubauf, M.-H. Lebrun & Crous Tsukiboshi, T.:JARQ 56(4):313, 2022 [備考] 接種試験未了	イネ科 Gramineae, Poaceae ローズグラス Rhodes grass, Rhodesgrass <i>Chloris gayana</i> Kunth (牧草・芝草)
---	--

(注) 新病名	
---------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae バミューダグラス(ギョウギシバ) Bermuda grass <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers. (牧草・芝草) 改良バミューダグラス <i>Cynodon dactylon</i> × <i>Cynodon transvaalensis</i> フェアリーリング病* <i>fairy ring-byo</i> Fairy rings <i>Lycoperdon perlatum</i> Persoon ホコリタケ 田盛正雄ら:琉球大農学報 44:110, 1997 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae バミューダグラス(ギョウギシバ) Bermuda grass <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers. (牧草・芝草) 改良バミューダグラス <i>Cynodon dactylon</i> × <i>Cynodon transvaalensis</i>
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草) いもち病 <i>imochi-byo</i> Blast <i>Pyricularia oryzae</i> Cavara Tsukiboshi, T.:JARQ 56(4):313, 2022 [備考] 特殊環境下(温室内)での発生 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草)
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草)	イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草)
--	--

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒点葉枯病) <i>Colletotrichum cereale</i> Manns [<i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson] 西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):19, 1962 ; Moriwaki, J. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 (注) 病原学名変更	炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒点葉枯病) <i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson 西原夏樹:日植病報 24(1):45, 1959 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):19, 1962
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae メヒシバ類 Southern crabgrass <i>Digitaria</i> spp. (野草) メヒシバ <i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koel. ヘンリーメヒシバ <i>Digitaria henryi</i> Rendle イヌメヒシバ <i>Digitaria microbachne</i> Henrard コメヒシバ <i>Digitaria timorensis</i> (Kunth) Balansa アキメヒシバ <i>Digitaria violascens</i> Link さび病* sabi-byo Rust (1) <i>Puccinia levis</i> (Saccardo & Bizzozero) Magnus 田盛正雄ら:琉球大農学報 44:111, 1997 [備考] メヒシバ, コメヒシバ, ヘンリーメヒシバに発生 (2) <i>Puccinia oahuensis</i> Ellis & Everhart Hiratsuka, N. <i>et al.</i> :The rust flora of Japan:565, 1992 ; 田盛正雄ら:琉球大農学報 44:111, 1997 [備考] メヒシバ, コメヒシバ, ヘンリーメヒシバ, アキメヒシバに発生 (注) 病原追加、備考変更、宿主名追加	イネ科 Gramineae, Poaceae メヒシバ類 Southern crabgrass <i>Digitaria</i> spp. (野草) メヒシバ <i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koel. イヌメヒシバ <i>Digitaria microbachne</i> Henrard アキメヒシバ <i>Digitaria violascens</i> Link さび病* sabi-byo Rust <i>Puccinia oahuensis</i> Ellis & Everhart Hiratsuka, N. <i>et al.</i> :The rust flora of Japan:565, 1992 [備考] アキメヒシバ
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) いもち病 imochi-byo Blast (稲熱病) <i>Pyricularia oryzae</i> Cavares [Pyricularia grisea (Cooke) Saccardo] 原 攝祐:病虫雑 3(9):693, 1916(大5) ; 原 攝祐:日本菌類目録:274, 1954 ; Tsukiboshi, T.:JARQ 56(4):313, 2022 (注) 病原学名変更、備考削除	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) いもち病 imochi-byo Blast (稲熱病) <i>Pyricularia grisea</i> (Cooke) Saccardo [<i>Pyricularia oryzae</i> Cavares] 原 攝祐:病虫雑 3(9):693, 1916(大5) ; 原 攝祐:日本菌類目録 274, 1954 [備考] 病原菌の学名は Rossman, A.Y. et al.:Mycologia 82:509, 1990 を参照
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種 褐条病 katsujo-byo Brown stripe <i>Acidovorax avenae</i> subsp. <i>avenae</i> (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 根津 修ら:日植病報 87(3):181, 2021 ; Netsu, O. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 88(6):399, 2022 [備考] ペレニアルライグラスに発生 (注) 文献追加	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種間交雑種 褐条病 katsujo-byo Brown stripe <i>Acidovorax avenae</i> subsp. <i>avenae</i> (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 根津 修ら:日植病報 87(3):181, 2021 [備考] ペレニアルライグラスに発生
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 紋枯病 mongare-byo Sheath blight (大粒白絹病, 大粒菌核病, 雲形病, 紋枯褐色菌核病) <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn, <i>Pellicularia sasakii</i> (Shirai) S. Ito, <i>Hypochnus sasakii</i> Shirai, <i>Corticium sasakii</i> (Shirai) H. Matsumoto, <i>Sclerotium irregulare</i> I. Miyake] 鶴田章逸:病虫雑 3(3):192, 1916(大5) ; 鬼木正臣ら:日植病報 46(3):391, 1980 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IA。渡辺文吉郎 (1977) は <i>T. cucumeris</i> f. sp. <i>sasakii</i> を用いた (日植病報 43:240) (注) 文献年訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 紋枯病 mongare-byo Sheath blight (大粒白絹病, 大粒菌核病, 雲形病, 紋枯褐色菌核病) <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn, <i>Pellicularia sasakii</i> (Shirai) S. Ito, <i>Hypochnus sasakii</i> Shirai, <i>Corticium sasakii</i> (Shirai) H. Matsumoto, <i>Sclerotium irregulare</i> I. Miyake] 鶴田章逸:病虫雑 3(3):192, 1916(大6) ; 鬼木正臣ら:日植病報 46(3):391, 1980 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型 IA。渡辺文吉郎 (1977) は <i>T. cucumeris</i> f. sp. <i>sasakii</i> を用いた (日植病報 43:240)
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae キビ(黍) Common millet, Millet, Proso millet <i>Panicum miliaceum</i> L. (食用作物) 長斑点病 naga-hanten-byo (葉枯病, 長形斑点病) <i>Bipolaris panici-miliacei</i> (Y. Nisikado) Shoemaker [<i>Helminthosporium panici-miliacei</i> Y. Nisikado] 西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究):113, 1928(昭3) ; 西門義一:病虫雑 16(1):1, 1929(昭4) ; 原 攝祐:実験作物病理学:257, 1930(昭5)	イネ科 Gramineae, Poaceae キビ(黍) Common millet, Millet, Proso millet <i>Panicum miliaceum</i> L. (食用作物) 長斑点病 naga-hanten-byo (葉枯病, 長形斑点病) <i>Bipolaris panici-miliacei</i> (Y. Nisikado) Shoemaker [<i>Helminthosporium panici-miliacei</i> Y. Nisikado] 原 攝祐:実験作物病理学:593, 1925(大14) ; 西門義一:大原農研特別報告 4(日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究):113, 1928(昭3) ; 西門義一:病虫雑 16(1):1, 1929(昭4)
---	--

(注) 文献順・ページ・発行年修正。593ページは
カンキツ類の記事。

イネ科 Gramineae, Poaceae パニカム Panicum <i>Panicum</i> spp. (牧草・芝草) ブルーパニック, ジャイアントパニック Blue panic, Giant panic <i>Panicum antidiotale</i> Retz. バルブパニック, テキサスグラス Blub panic, Texas grass <i>Panicum bulbosum</i> H.B.K. カラードギニアグラス, クライングラス Coloured guinea grass, Kleingrass <i>Panicum coloratum</i> L. カブラブラグラス Kabulabula grass <i>Panicum coloratum</i> L. Kabulabula type マカリカリグラス Makarikari grass <i>Panicum coloratum</i> L. var. <i>makarikariense</i> Goossens オオクサキビ Fall panicum <i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx. ギニアグラス Guinea grass <i>Panicum maximum</i> Jacq. グリーンパニック Green panic <i>Panicum maximum</i> Jacq. var. <i>trichoglume</i> Erlas バインモスキート Vine mosquito <i>Panicum obtusum</i> H.B.K. クーラーグラス (Panicum) <i>Panicum prolutum</i> F.V.M. スイッチグラス Switchgrass <i>Panicum virgatum</i> L. いもち病* imochi-byo Blast (1) <i>Pyricularia urashimae</i> Castroagudín, J.L.N. Maciel, Crous & Ceresini 井上 興ら:九病虫研会報 45:131, 1999 ; 月星隆雄 ら:日草誌 49(別):324, 2003 ; Tsukiboshi, T. et	イネ科 Gramineae, Poaceae パニカム Panicum <i>Panicum</i> spp. (牧草・芝草) ブルーパニック, ジャイアントパニック Blue panic, Giant panic <i>Panicum antidiotale</i> Retz. バルブパニック, テキサスグラス Blub panic, Texas grass <i>Panicum bulbosum</i> H.B.K. カラードギニアグラス, クライングラス Coloured guinea grass, Kleingrass <i>Panicum coloratum</i> L. カブラブラグラス Kabulabula grass <i>Panicum coloratum</i> L. Kabulabula type マカリカリグラス Makarikari grass <i>Panicum coloratum</i> L. var. <i>makarikariense</i> Goossens オオクサキビ Fall panicum <i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx. ギニアグラス Guinea grass <i>Panicum maximum</i> Jacq. グリーンパニック Green panic <i>Panicum maximum</i> Jacq. var. <i>trichoglume</i> Erlas バインモスキート Vine mosquito <i>Panicum obtusum</i> H.B.K. クーラーグラス (Panicum) <i>Panicum prolutum</i> F.V.M. スイッチグラス Switchgrass <i>Panicum virgatum</i> L. いもち病* imochi-byo Blast (1) <i>Pyricularia</i> sp. (LS-group) 井上 興ら:九病虫研会報 45:131, 1999 ; 月星隆雄 ら:日草誌 49(別):324, 2003 ; Tsukiboshi, T. et al.:Plant Dis. 93(12):1350, 2009
--	--

<i>al.</i>:Plant Dis. 93(12):1350, 2009 ; Tsukiboshi, T.:JARQ 56(4):313, 2022 [備考] ギニアグラス。月星ら(2003)は本病菌を<i>P. grisea</i> としたが, Tsukiboshi (2022)は, <i>P. urashimae</i> に訂正した (2) <i>Pyricularia</i> sp. 八重樫博志・浅賀宏一:日植病報 46(3):364, 1980 [備考] クーラーグラスに発生 (注) 病原学名変更、備考変更	[備考] ギニアグラス <i>P. maximum</i>。月星ら(2003)は本病菌を<i>P. grisea</i> としたが, <i>Pyricularia</i> sp.(LS-group)に訂正した(Tsukiboshi, et al., 2009) (2) <i>Pyricularia</i> sp. 八重樫博志・浅賀宏一:日植病報 46(3):364, 1980 [備考] クーラーグラスに発生
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae パスパルム(スズメノヒエ) <i>Paspalum</i> <i>Paspalum</i> spp. (牧草・芝草) ダリスグラス(シマスズメノヒエ) Dallisgrass <i>Paspalum dilatatum</i> Poir. キシウスズメノヒエ(カリマタスズメノヒエ) Knotgrass <i>Paspalum distichum</i> L. バヒアグラス(アメリカスズメノヒエ) Bahiagrass <i>Paspalum notatum</i> Flügge ベージーグラス(タチスズメノヒエ) Vaseygrass <i>Paspalum urvillei</i> Steud. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):125, 1962 ; 岡田 大ら:日植病報 41(1):109, 1975 ; 岡田 大ら:九州農業研究 37:96, 1975 [備考] 西原 (1962) はダリスグラスで, 岡田ら (1975) はバヒアグラスで記載。本種は分割種であるため, 学名は再調査を要する (2) <i>Colletotrichum nicholsonii</i> J.A. Crouch, B.B. Clarke, J.F. White & B.I. Hillman Crouch, J.A. et al.:Mycologia 101:717, 2009 ; 佐藤 豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023	イネ科 Gramineae, Poaceae パスパルム(スズメノヒエ) <i>Paspalum</i> <i>Paspalum</i> spp. (牧草・芝草) ダリスグラス(シマスズメノヒエ) Dallisgrass <i>Paspalum dilatatum</i> Poir. キシウスズメノヒエ(カリマタスズメノヒエ) Knotgrass <i>Paspalum distichum</i> L. バヒアグラス(アメリカスズメノヒエ) Bahiagrass <i>Paspalum notatum</i> Flügge ベージーグラス(タチスズメノヒエ) Vaseygrass <i>Paspalum urvillei</i> Steud. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum graminicola</i> (Cesati) G.W. Wilson 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):125, 1962 ; 岡田 大ら:日植病報 41(1):109, 1975 ; 岡田 大ら:九州農業研究 37:96, 1975 [備考] 西原 (1962) はダリスグラスで, 岡田ら (1975) はバヒアグラスで記載
--	---

[備考] ダリスグラスに発生 (3) <i>Colletotrichum paspali</i> J.A. Crouch, B.B. Clarke, J.F. White & B.I. Hillman Crouch, J.A. <i>et al.</i>:Mycologia 101:717, 2009 ; 佐藤 豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] バヒアグラスに発生 (注) 病原追加、備考変更	
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae パールミレット(トウジンビエ, 唐人稗) Pearl millet <i>Pennisetum americanum</i> (L.) Leeke [<i>Pennisetum typhoides</i> (Burm.) Stapf & Hubb.] (牧草・芝草) ネピアグラス(ペルーグラス) Napier grass, Elephant grass <i>Pennisetum purpureum</i> Schumach. いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia pennisetigena</i> Klaubauf, M.-H. Lebrun & Crous Tsukiboshi, T.:JARQ 56(4):313, 2022 [備考] ネピアグラスに発生。接種試験未了 (注) 新病名	イネ科 Gramineae, Poaceae パールミレット(トウジンビエ, 唐人稗) Pearl millet <i>Pennisetum americanum</i> (L.) Leeke [<i>Pennisetum typhoides</i> (Burm.) Stapf & Hubb.] (牧草・芝草) ネピアグラス(ペルーグラス) Napier grass, Elephant grass <i>Pennisetum purpureum</i> Schumach.
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.)	イネ科 Gramineae, Poaceae マダケ類 (Phyllostachys) <i>Phyllostachys</i> spp. (竹笹類) ホテイチク(布袋竹) <i>Phyllostachys aurea</i> (Sieb.) Carr. マダケ(苦竹) <i>Phyllostachys bambusoides</i> Sieb. & Zucc. [<i>Phyllostachys reticulata</i> K. Koch] キッコウチク <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.)
--	--

Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys</i> <i>makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 黒色立枯病 kokushoku-tachigare-byo Black culm rot <i>Colletotrichum hsienjenchang</i> I. Hino & Hidaka [<i>Glomerella hsienjenchang</i> (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa, <i>Gnomonia hsienjenchang</i> I. Hino & Katumoto] 日野 巖・日高 醇:宮崎高農学術報 6:93, 1934(昭 9); 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:896, 1958; Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] マダケ・ハチクに発生 (注) 病原学名変更	Mitf. モウソウチク(孟宗竹) <i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carr.) Mitf. var. <i>pubescens</i> (Mazel) Ohwi ヒメハチク <i>Phyllostachys humilis</i> Makino タイワンマダケ(ケイチク)(桂竹) <i>Phyllostachys</i> <i>makinoi</i> Hayata クロチク(黒竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro ハチク(淡竹) <i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf 黒色立枯病 kokushoku-tachigare-byo Black culm rot <i>Glomerella hsienjenchang</i> (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa [<i>Gnomonia hsienjenchang</i> I. Hino & Katumoto, 不完全世代: <i>Colletotrichum</i> <i>hsienjenchang</i> Hino & Hidaka] 日野 巖・日高 醇:宮崎高農学術報 6:93, 1934(昭 9); 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:896, 1958; Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012 [備考] マダケ・ハチクに発生
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae タケ・ササ類の稈 Bamboo culm <i>Phyllostachys</i> spp. & others (竹笹類) 仙人杖 sen'ninjo (黒色立枯病) <i>Colletotrichum hsienjenchang</i> I. Hino & Hidaka [<i>Glomerella hsienjenchang</i> (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa, <i>Gnomonia hsienjenchang</i> I. Hino & Katumoto] 日野 巖・日高 醇:宮崎高農学術報 6:93, 1934(昭	イネ科 Gramineae, Poaceae タケ・ササ類の稈 Bamboo culm <i>Phyllostachys</i> spp. & others (竹笹類) 仙人杖 sen'ninjo (黒色立枯病) <i>Glomerella hsienjenchang</i> (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa [<i>Gnomonia hsienjenchang</i> I. Hino & Katumoto, <i>Colletotrichum hsienjenchang</i> Hino & <i>Hidaka</i>] 日野 巖・日高 醇:宮崎高農学術報 6:93, 1934(昭
---	---

9) ; 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:896, 1958 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] マダケ・ハチク・トウチクに発生 (注) 病原学名変更	9) ; 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 9:896, 1958 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012 [備考] マダケ・ハチク・トウチクに発生
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae タケ・ササ類の稈 Bamboo culm <i>Phyllostachys</i> spp. & others (竹笹類) 祖母斑竹 sobo-hanchiku <i>Chaetosphaeria yosie-hidakai</i> I. Hino 日野 巖:植物及動物 5(11):2014, 1937(昭12) ; 日野 巖:宮崎高農学術報 10:61, 1938(昭13) [備考] スズ (注) 文献表記を他と合わせた	イネ科 Gramineae, Poaceae タケ・ササ類の稈 Bamboo culm <i>Phyllostachys</i> spp. & others (竹笹類) 祖母斑竹 sobo-hanchiku <i>Chaetosphaeria yosie-hidakai</i> I. Hino 日野 巖:植物及動物 5(11):2014, 1937(昭12) ; 日野 巖:宮崎農学術報 10:61, 1938(昭13) [備考] スズ
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (<i>Pleioblastus</i>) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel)	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (<i>Pleioblastus</i>) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel)
--	--

Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai 炭疽病* tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum metake</i> Saccardo 日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:68, 1958 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012 ; Marin-Felix, Y.:Stud. Mycol. 86:99, 2017 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] メダケ (注) 文献追加、備考削除	Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai 炭疽病* tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum metake</i> Saccardo 日野 巖・勝本 謙:富士竹園報 3:68, 1958 [備考] メダケ。病菌の分類学的所属は検討を要する
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (<i>Pleioblastus</i>) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Didymobotryum kusanoi</i> Hennings 松村任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明37) [備考] メダケ。<i>Didymobotryum rigidum</i> (Berkeley & Broome) Saccardoとの異同について検討を要する (椿 啓介:発酵研報 7:116, 1975)	イネ科 Gramineae, Poaceae メダケ類 (<i>Pleioblastus</i>) <i>Pleioblastus</i> spp. (竹笹類) ゴキダケ(イヨスダレ) <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino ハコネダケ <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. & Savat.) Makino f. <i>vaginatus</i> (Hack.) Muroi & H. Okamura カンザンチク <i>Pleioblastus hindsii</i> (Munro) Nakai リュウキュウチク <i>Pleioblastus linearis</i> (Hackel) Nakai メダケ(女竹) <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai †††† <i>Didymobotryum kusanoi</i> Hennings 松村任三:帝国植物名鑑(上):140, 1904(明37) [備考] メダケ。<i>Didymobotryum rigidum</i> (Berkeley & Broome) Saccardoとの異同について検討を要する (椿啓介:発酵研報 7:116, 1975)
---	--

(注) 備考中の文献著者名にスペース挿入	
----------------------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae サトウキビ(甘蔗) Sugar cane <i>Saccharum officinarum</i> L. (特用作物) 赤腐病 akagusare-byo Red rot (茎赤腐病) <i>Colletotrichum falcatum</i> Went [<i>Glomerella tucumanensis</i> (Spegazzini) Arx & E. Müller, <i>Physalospora tucumanensis</i> Spegazzini] 川上瀧弥:甘蔗病害論 1:29, 1908(明41) ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] Crouch, J.A. <i>et al.</i> (Mycologia 101:717, 2009) による再分類 (注) 病原学名変更、備考変更	イネ科 Gramineae, Poaceae サトウキビ(甘蔗) Sugar cane <i>Saccharum officinarum</i> L. (特用作物) 赤腐病 akagusare-byo Red rot (茎赤腐病) <i>Glomerella tucumanensis</i> (Spegazzini) Arx & E. Müller [<i>Physalospora tucumanensis</i> Spegazzini, <i>Colletotrichum falcatum</i> Went] 川上瀧弥:甘蔗病害論 1:29, 1908(明41) [備考] 本病菌の分生孢子時代 <i>Colletotrichum falcatum</i> を <i>C. graminicola</i> (Cesati) Wilson の異名とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:51, 1960)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) 黒色立枯病* kokushoku-tachigare-byo Black culm rot <i>Colletotrichum hsienjenchang</i> I. Hino & Hidaka [<i>Glomerella hsienjenchang</i> (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa, <i>Gnomonia hsienjenchang</i> I. Hino & Katumoto] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:182, 1961 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023	イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) 黒色立枯病* kokushoku-tachigare-byo Black culm rot <i>Glomerella hsienjenchang</i> (I. Hino & Katumoto) Toy. Sato & Y. Degawa [<i>Gnomonia hsienjenchang</i> I. Hino & Katumoto, 不完全世代: <i>Colletotrichum hsienjenchang</i> Hino & Hidaka] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:182, 1961 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012
--	--

(注) 病原学名変更	
------------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒点葉枯病) <i>Colletotrichum sublineola</i> Hennings ex Saccardo & Trotter [<i>Colletotrichum sublineolum</i> Hennings, <i>Colletotrichum lineola</i> Corda] 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):580, 1919(大8) ; Moriwaki, J. & Tsukiboshi, T.:Mycoscience 50(4):273, 2009 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒点葉枯病) <i>Colletotrichum sublineolum</i> Hennings [<i>Colletotrichum lineola</i> Corda] 澤田兼吉:台湾農試特別報告 19(台湾菌類調査報告 1):580, 1919(大8)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 黒点病 kokuten-byo Glume spot (斑点病) <i>Epicoccum nigrum</i> Link [<i>Epicoccum purpurascens</i> Ehrenberg ex Schlechtendal, <i>Epicoccum tritici</i> Hennings] 原 攝祐:実用作物病理学:92, 1925(大14) ; 富永時任ら:日植病報 24(1):36, 1959 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):502, 1992 (注) 文献誌名修正	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 黒点病 kokuten-byo Glume spot (斑点病) <i>Epicoccum nigrum</i> Link [<i>Epicoccum purpurascens</i> Ehrenberg ex Schlechtendal, <i>Epicoccum tritici</i> Hennings] 原 攝祐:作物病理学:92, 1925(大14) ; 富永時任ら:日植病報 24(1):36, 1959 ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):502, 1992
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) ごま葉枯病 goma-hagare-byo Leaf spot, Southern leaf spot, Southern leaf blight (胡麻葉枯 病, 斑点病) <i>Cochliobolus heterostrophus</i> (Drechsler) Drechsler [<i>Ophiobolus heterostrophus</i> Drechsler, <i>Drechslera</i> <i>maydis</i> (Y. Nisikado & C. Miyake) Subramanian & B.L. Jain, <i>Helminthosporium maydis</i> Y. Nisikado & C. Miyake, <i>Bipolaris maydis</i> (Y. Nisikado & C. Miyake) Shoemaker] 西門義一・三宅忠一:農学研究 8:161, 1926(大 15) ; 原 攝祐:実験作物病理学:246, 1930(昭5) (注) 文献追加、文献誌名・ページ・発行年修正	イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) ごま葉枯病 goma-hagare-byo Leaf spot, Southern leaf spot, Southern leaf blight (胡麻葉枯 病, 斑点病) <i>Cochliobolus heterostrophus</i> (Drechsler) Drechsler [<i>Ophiobolus heterostrophus</i> Drechsler, <i>Drechslera</i> <i>maydis</i> (Y. Nisikado & C. Miyake) Subramanian & B.L. Jain, <i>Helminthosporium maydis</i> Y. Nisikado & C. Miyake, <i>Bipolaris maydis</i> (Y. Nisikado & C. Miyake) Shoemaker] 原 攝祐:実用作物病理学:593, 1925(大14)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae マコモ類 Manchurian wild rice <i>Zizania</i> spp. (野草) マコモ Manchurian wild rice <i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Stapf アメリカマコモ(ワイルドライス) <i>Zizania</i> <i>palustris</i> L. いもち病 imochi-byo Blast (1) <i>Pyricularia grisea</i> (Cooke) Saccardo [<i>Pyricularia</i> <i>oryzae</i> Cavara] 生井恒雄ら:日植病報 62(3):247, 1996 [備考] アメリカマコモ。病原菌の学名は Rossman, A.Y. <i>et al.</i>:Mycologia 82:509, 1990を参照	イネ科 Gramineae, Poaceae マコモ類 Manchurian wild rice <i>Zizania</i> spp. (野草) マコモ Manchurian wild rice <i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Stapf アメリカマコモ(ワイルドライス) <i>Zizania</i> <i>palustris</i> L. いもち病 imochi-byo Blast (1) <i>Pyricularia grisea</i> (Cooke) Saccardo [<i>Pyricularia</i> <i>oryzae</i> Cavara] 生井恒雄ら:日植病報 62(3):247, 1996 [備考] アメリカマコモ。病原菌の学名は Rossman, A.Y. <i>et al.</i>:Mycologia 82:509, 1990を参照
--	--

(2) <i>Pyricularia zizaniae</i> Hara [<i>Pyricularia zizaniaecola</i> Hashioka] 原 攝祐:静岡県農会報 336:29, 1925(大14) ; 後藤和夫ら:日植病報 18(3-4):160, 1954 ; Hashioka, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 14:256, 1973 [備考] マコモ (注) 病原学名・文献変更。「原 攝祐:日本園芸雑誌 28(12):9, 1916」は、ショウガイもち病の文献。	(2) <i>Pyricularia zizaniaecola</i> Hashioka [<i>Pyricularia zizaniae</i> Hara] 原 攝祐:日本園芸雑誌 28(12):9, 1916 ; 後藤和夫ら:日植病報 18(3-4):160, 1954 ; Hashioka, Y.:Trans. mycol. Soc. Japan 14:256, 1973 [備考] マコモ
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) Zoysia grass Zoysia spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ Zoysia, Japanese lawngrass Zoysia japonica Steud. ハリシバ Manila grass Zoysia matrella (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass Zoysia tenuifolia Willd. ex Thiele 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum zoysiae</i> J.A. Crouch [<i>Colletotrichum caudatum</i> (Peck ex Saccardo) Peck] 田中明美ら:芝草研究 28 (別1):70, 1999 ; 大久保博人ら:日植病報 70(3):218, 2004 ; Crouch, J.A.:IMA Fungus 5:17, 2014 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] ハリシバ・シバ(ノシバ)・コウライシバに発生 (注) 病原学名変更、備考変更	イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) Zoysia grass Zoysia spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ Zoysia, Japanese lawngrass Zoysia japonica Steud. ハリシバ Manila grass Zoysia matrella (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass Zoysia tenuifolia Willd. ex Thiele 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum caudatum</i> (Peck ex Saccardo) Peck 田中明美ら:芝草研究 28 (別1):70, 1999 ; 大久保博人ら:日植病報 70(3):218, 2004 [備考] ハリシバ <i>Z. matrella</i>・シバ(ノシバ) <i>Z. japonica</i>
--	---

ハスノハギリ科 Hernandiaceae ハスノハギリ (Hernandia) <i>Hernandia nymphaeolia</i> (Presl) Kubitzki (広葉樹) †††† <i>Lasiodiplodia hormozganensis</i> Abdollahzadeh, Zare & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 (注) 新宿主	ハスノハギリ科 Hernandiaceae ハスノハギリ (Hernandia) <i>Hernandia nymphaeolia</i> (Presl) Kubitzki (広葉樹)
--	--

オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花, 広葉樹) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura, <i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc.] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo Leaf spot <i>Pestalotiopsis microspora</i> (Spegazzini) G. C. Zhao & N. Li Zhang, M. <i>et al.</i>:Plant dis. 94(8):1064, 2010 [備考] キンシバイに発生	オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花, 広葉樹) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb. ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura, <i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc.] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo Leaf spot <i>Pestalotiopsis microspora</i> (Spegazzini) G. C. Zhao & N. Li Zhang, M. <i>et al.</i>:Plant dis. 94(8):1064, 2010 [備考] キンシバイに発生
--	--

(注) 病名読み修正	
------------	--

アヤメ科 Iridaceae グラジオラス Gladiolus <i>Gladiolus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 角斑病 kakuhan-byo Bacterial blight (立枯性細菌病) <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>gummisudans</i> (McCulloch 1924) Dye 1978 [<i>Bacterium gummisudans</i> var. <i>japonicum</i> Mukoo & Kusaba] 堀 正太郎:実際園芸 3(6):659, 1927(昭2); 向 秀夫・草葉敏彦:日植病報 16(3-4):180, 1952 (注) 文献著者名訂正	アヤメ科 Iridaceae グラジオラス Gladiolus <i>Gladiolus</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 角斑病 kakuhan-byo Bacterial blight (立枯性細菌病) <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>gummisudans</i> (McCulloch 1924) Dye 1978 [<i>Bacterium gummisudans</i> var. <i>japonicum</i> Mukoo & Kusaba] 堀 正太郎:実際園芸 3(6):659, 1927(昭2); 向 秀夫・草葉俊彦:日植病報 16(3-4):180, 1952
---	--

アヤメ科 Iridaceae イリス類 Iris <i>Iris</i> spp. (草花) ダッチアイリス Dutch iris <i>Iris</i> Dutch Group ジャーマンアイリス German iris <i>Iris germanica</i> L. アヤメ <i>Iris sanguinea</i> Hornem. ex Donn カキツバタ Rabbitear iris <i>Iris laevigata</i> Fisch. ハナショウブ Japanese water iris <i>Iris ensata</i> Thunb. シャガ <i>Iris japonica</i> Thunb. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous	アヤメ科 Iridaceae イリス類 Iris <i>Iris</i> spp. (草花) ダッチアイリス Dutch iris <i>Iris</i> Dutch Group ジャーマンアイリス German iris <i>Iris germanica</i> L. アヤメ <i>Iris sanguinea</i> Hornem. ex Donn カキツバタ Rabbitear iris <i>Iris laevigata</i> Fisch. ハナショウブ Japanese water iris <i>Iris ensata</i> Thunb. シャガ <i>Iris japonica</i> Thunb. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum</i> sp. 米田浩美ら:日植病報 77(3):203, 2011
---	--

Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] ジャーマンアイリスに発生。接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum</i> sp. 米田浩美ら:日植病報 77(3):203, 2011 [備考] イチハツ(<i>Iris tectorum</i>)に発生 (注) 病原追加	[備考] イチハツ(<i>Iris tectorum</i>)に発生
---	---

クルミ科 Juglandaceae クルミ(胡桃)類 Walnuts <i>Juglans</i> spp. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑点病, 炭そ病) (1) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 伊藤一雄・小林享夫:日林誌 38(11):452, 1956 ; Gan, P. <i>et al.</i>:Environ. Microbiol. 23:6004, 2021 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] テウチグルミ, オニグルミに発生。有性世代あり (2) <i>Colletotrichum kahawae</i> J.M. Waller & Bridge [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 伊藤一雄・小林享夫:日林誌 38(11):452, 1956 ; Gan, P. <i>et al.</i>:Environ. Microbiol. 23:6004, 2021 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] オニグルミに発生。有性世代なし (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Gloeosporium juglandis</i> (Libert) Montagne, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H.	クルミ科 Juglandaceae クルミ(胡桃)類 Walnuts <i>Juglans</i> spp. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑点病, 炭そ病) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Gloeosporium juglandis</i> (Libert) Montagne, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 南部信方:病虫雑 9(2):81, 1922(大11) ; 伊藤一雄・小林享夫:日林東北支講 8:39, 1957 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] シナノグルミ
---	---

Schrenk] 南部信方:病虫雑 9(2):81, 1922(大11) ; 伊藤一雄・小林享夫:日林誌 38(11):452, 1956 ; 伊藤一雄・小林享夫:日林東北支講 8:39, 1957 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] シナノグルミに発生 (注) 病原追加、備考追加	
---	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) Perilla <i>Perilla frutescens</i> L. (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Perilla mosaic virus</i> (PerMV) シソモザイクウイルス 富高保弘ら:日植病報 79(3):242, 2013 ; 久保田健嗣ら:日植病報 80(4):301, 2014 [備考] オオバ(青シソ) (注) 病原学名をイタリックに修正。病原の略号を修正。	シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) Perilla <i>Perilla frutescens</i> L. (野菜) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Perilla mosaic virus</i> (PMoV) シソモザイクウイルス 富高保弘ら:日植病報 79(3):242, 2013 ; 久保田健嗣ら:日植病報 80(4):301, 2014 [備考] オオバ(青シソ)
--	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) Perilla <i>Perilla frutescens</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum shisoi</i> P. Gan, A. Tsushima, Kawaradani, Damm & K. Shirasu [<i>Colletotrichum</i>	シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) Perilla <i>Perilla frutescens</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum shisoi</i> P. Gan, A. Tsushima, Kawaradani, Damm & K. Shirasu [<i>Colletotrichum</i>
--	--

<i>destructivum</i> O'Gara] 瓦谷光男ら:日植病報 74(4):335, 2008 ; Gan, P. <i>et al.</i>:Scientific Reports 9:13349, 2019 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 (注) 文献追加	<i>destructivum</i> O'Gara] 瓦谷光男ら:日植病報 74(4):335, 2008 ; Gan, P. <i>et al.</i>:Scientific Reports 9:13349, 2019
---	---

アケビ科 Lardizabalaceae アケビ(通草, 山女)類 Akebia <i>Akebia</i> spp. (果樹) アケビ Akebia <i>Akebia quinata</i> Decaisne ミツバアケビ <i>Akebia trifoliata</i> Koidzumi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds Kobayashi, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 70(5):295, 2004 [備考] ミツバアケビに発生 (2) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	アケビ科 Lardizabalaceae アケビ(通草, 山女)類 Akebia <i>Akebia</i> spp. (果樹) アケビ Akebia <i>Akebia quinata</i> Decaisne ミツバアケビ <i>Akebia trifoliata</i> Koidzumi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds Kobayashi, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 70(5):295, 2004 [備考] ミツバアケビに発生
--	--

クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig &	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig &
--	--

Saccardo 料所聖児ら:日植病報 74(1):28, 2008 (2) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Gan, P. <i>et al.</i>:Environ. Microbiol. 23:6004, 2021 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	Saccardo 料所聖児ら:日植病報 74(1):28, 2008
---	--

クスノキ科 Lauraceae ゲッケイジュ(月桂樹) Laurel, Sweet bay <i>Laurus nobilis</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973 [備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定 (注) 病原追加	クスノキ科 Lauraceae ゲッケイジュ(月桂樹) Laurel, Sweet bay <i>Laurus nobilis</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973 [備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定
---	--

クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (<i>Machilus</i>) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] タブノキに発生。接種試験未了 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973 [備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定 (注) 病原追加	クスノキ科 Lauraceae タブノキ類 (<i>Machilus</i>) <i>Machilus</i> spp. (広葉樹) ホソバタブ(アオガシ)(細葉榊, 青檜) <i>Machilus japonica</i> Sieb. & Zucc. コブガシ <i>Machilus kobu</i> Maxim. タブノキ(イヌグス)(楠) Red laurel <i>Machilus thunbergii</i> Sieb. & Zucc. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 寺下隆喜代:林試研報 252:9, 1973 [備考] 生葉分離株培地上の子実体による同定
--	--

クスノキ科 Lauraceae アブラチャン (<i>Lindera</i>) <i>Parabenzoin praecox</i> (Siebold & Zucc.) Nakai (広葉樹) †††† <i>Rosellinia affinis</i> Saccardo [<i>Astrocystis affinis</i> (Saccardo) Hara] 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):345, 1927(昭2)	クスノキ科 Lauraceae クロモジ(黒文字, 鳥樟) Kuromoji <i>Lindera umbellata</i> Thunb. (広葉樹) †††† <i>Rosellinia affinis</i> Saccardo [<i>Astrocystis affinis</i> (Saccardo) Hara] 白井光太郎・原 攝祐:訂正増補日本菌類目録(3版):345, 1927(昭2) [備考] アブラチャン (<i>L. praecox</i>)
---	---

(注) 宿主をクロモジからアブラチャンへ変更、備考削除。アブラチャン学名の命名者名「Sieb.」を「Siebold」へ修正	
--	--

クスノキ科 Lauraceae アボカド(酪梨) Avocado <i>Persea americana</i> Miller (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 樋口あやこら:日植病報 63(6):494, 1997 (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(5):291, 2017 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida] 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:48, 1977 ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987 (注) 病原追加	クスノキ科 Lauraceae アボカド(酪梨) Avocado <i>Persea americana</i> Miller (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 樋口あやこら:日植病報 63(6):494, 1997 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida] 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:48, 1977 ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 佐藤豊三:植物防疫 41(12):588, 1987
---	---

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜)	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜)
---	---

炭疽病 tanso-byo Smudge (1) <i>Colletotrichum circinans</i> (Berkeley) Voglino 近藤 章・逸見武雄:滋賀農短大学術報 3:19, 1953 ; 鍵渡徳次:東京農大農学集報 29(4):343, 1985 (2) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous Sato, T. <i>et al.</i> :JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	炭疽病 tanso-byo Smudge <i>Colletotrichum circinans</i> (Berkeley) Voglino 近藤 章・逸見武雄:滋賀農短大学術報 3:19, 1953 ; 鍵渡徳次:東京農大農学集報 29(4):343, 1985
---	---

ユリ科 Liliaceae パイナップルリリー Pineapple lily <i>Eucomis autumnalis</i> (Mill.) Chitt. (草花) †††† <i>Ornithogalum virus 3</i> (OrV-3) オーニソガラムえそ モザイクウイルス 富高保弘ら:日植病報 89(1):57, 2023 [備考] モザイク症状を呈するユーコムス属植物 から検出。RT-PCR産物および次世代シーケンサ ーによる塩基配列より同定 (注) 新宿主	ユリ科 Liliaceae パイナップルリリー Pineapple lily <i>Eucomis autumnalis</i> (Mill.) Chitt. (草花)
---	---

ユリ科 Liliaceae オモト(万年青)	ユリ科 Liliaceae オモト(万年青)
------------------------------	------------------------------

Omoto Nippon lily <i>Rohdea japonica</i> (Thunb.) Roth (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum lilii</i> Plakidas ex Boerema & Hamers 高野喜八郎:日植病報 63(6):526, 1997 (3) <i>Colletotrichum liriopes</i> Damm, P.F. Cannon & Crous Sato, T. <i>et al.</i>:Microbiol. Cult. Coll. 28(2):121, 2012 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊 三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (4) <i>Colletotrichum</i> spp. 山中 達・内海洋子:日植病報 41(1):89, 1975 (注) 病原追加、文献追加	Omoto Nippon lily <i>Rohdea japonica</i> (Thunb.) Roth (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum lilii</i> Plakidas ex Boerema & Hamers 高野喜八郎:日植病報 63(6):526, 1997 (2) <i>Colletotrichum</i> spp. 山中 達・内海洋子:日植病報 41(1):89, 1975
--	---

ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook 森脇丈治:日植病報 79(1):52, 2013 [備考] <i>Tulipa gesneriana</i> L.。品種ラッキーストラ イク, フラメンコ	ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 森脇丈治:日植病報 79(1):52, 2013 [備考] <i>Tulipa gesneriana</i> L.。品種ラッキーストラ イク, フラメンコ
---	--

(注) 病原学名変更	
------------	--

アオイ科 Malvaceae オクラ(アメリカネリ, 黄蜀葵) Okra <i>Abelmoschus esculentus</i> (L.) Moench (野菜) 立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt (1) <i>Fusarium buharicum</i> Jaczewski ex Babajan & Teterevnikova-Babajan 小谷優奈ら:日植病報 84(3):201, 2018 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>vasinfectum</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium malvacearum</i> Taubenhaus] 原 攝祐:実験作物病理学:854, 1930(昭5); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992 (注) 病原学名修正	アオイ科 Malvaceae オクラ(アメリカネリ, 黄蜀葵) Okra <i>Abelmoschus esculentus</i> (L.) Moench (野菜) 立枯病 tachigare-byo Fusarium wilt (1) <i>Fusarium buharicum</i> Jacz. ex Babajan & Teterevn.-Babajan 小谷優奈ら:日植病報 84(3):201, 2018 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>vasinfectum</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium malvacearum</i> Taubenhaus] 原 攝祐:実験作物病理学:854, 1930(昭5); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:592, 1992
---	---

アオイ科 Malvaceae ワタ(棉) Cotton <i>Gossypium</i> spp. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭色腐敗病) (1) <i>Colletotrichum gossypii</i> Southworth [<i>Glomerella gossypii</i> Edgerton] (2) <i>Colletotrichum indicum</i> Dastur 出田 新:日本植物病理学(下):699, 1911(明44); 瀧元清透:日植病報 8(1):43, 1938(昭13); 安部卓爾:日植病報 11(1):43, 1941(昭16); 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 瀧元 (1938) によれば <i>Colletotrichum</i>	アオイ科 Malvaceae ワタ(棉) Cotton <i>Gossypium</i> spp. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (炭色腐敗病) (1) <i>Glomerella gossypii</i> Edgerton [<i>Colletotrichum gossypii</i> Southworth] (2) <i>Colletotrichum indicum</i> Dastur 出田 新:日本植物病理学(下):699, 1911(明44); 瀧元清透:日植病報 8(1):43, 1938(昭13); 安部卓爾:日植病報 11(1):43, 1941(昭16) [備考] <i>Glomerella gossypii</i> Edgerton が普通である。瀧元 (1938) によれば <i>Colletotrichum indicum</i>
--	---

<i>indicum</i> は子苗を侵して立枯を起こし、また、蒴、綿絮を侵すが成葉、茎は侵さない (注) 病原学名変更。IndexFungorumによる。備考変更	は子苗を侵して立枯を起こし、また、蒴、綿絮を侵すが成葉、茎は侵さない。<i>Glomerella gossypii</i> を <i>G. cingulata</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenk, その分生孢子時代 <i>Colletotrichum gossypii</i> を <i>C. gloeosporioides</i> Penzig の異名とし、また <i>C. indicum</i> を <i>C. dematium</i> (Persoon) Grove の異名とする意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:49, 1960)
--	--

アオイ科 Malvaceae ヒビスカス(ブッソウゲ) Shoeflower <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L. (広葉樹) †††† <i>Lasiodiplodia hormozganensis</i> Abdollahzadeh, Zare & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 (注) 新宿主	アオイ科 Malvaceae ヒビスカス(ブッソウゲ) Shoeflower <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L. (広葉樹)
--	--

アオイ科 Malvaceae ハイビスカス Hibiscus <i>Hibiscus</i> spp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 63(3):199, 1997 (2) <i>Colletotrichum theobromicola</i> Delacroix 佐藤豊三:微採取報 2:1, 1990 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:	アオイ科 Malvaceae ハイビスカス Hibiscus <i>Hibiscus</i> spp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby 矢口行雄ら:日植病報 63(3):199, 1997
--	--

植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	
---	--

クワ科 Moraceae コウゾ(楮) Paper mulberry <i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb. (特用作物) 褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏薬病) <i>Septobasidium tanakae</i> (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann 原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大5); 山本和太郎・三宅 昌:植物防疫 10(3):110, 1956 [備考] カジノキにも発生。病原菌の異名はクワ褐色こうやく病参照 (注) 文献著者名訂正	クワ科 Moraceae コウゾ(楮) Paper mulberry <i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb. (特用作物) 褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏薬病) <i>Septobasidium tanakae</i> (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann 原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大5); 山本和太郎・三宅 晶:植物防疫 10(3):110, 1956 [備考] カジノキにも発生。病原菌の異名はクワ褐色こうやく病参照
---	--

クワ科 Moraceae コウゾ(楮) Paper mulberry <i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb. (特用作物) 灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (膏薬病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:325, 1910(明43); 山本和太郎・三宅 昌:植物防疫 10(3):110, 1956 [備考] カジノキにも発生。病原菌の異名はクワ灰色こうやく病参照	クワ科 Moraceae コウゾ(楮) Paper mulberry <i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb. (特用作物) 灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Gray felt disease (膏薬病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:325, 1910(明43); 山本和太郎・三宅 晶:植物防疫 10(3):110, 1956 [備考] カジノキにも発生。病原菌の異名はクワ灰色こうやく病参照
---	---

(注) 文献著者名訂正	
-------------	--

クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイヌビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 27:47, 1985 [備考] シロガジュマル(<i>F. benjamina</i>) (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 佐藤豊三:微探収報 15:1, 2003 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] ガジュマル, オオバイヌビワ (<i>F. septica</i>) に発生。接種試験未了 (3) <i>Gloeosporium</i> sp. 逸見武雄:札幌農林学会報 11(50):291, 1919(大8) [備考] イヌビワ, ハマイヌビワ。澤田兼吉 (台中農林学会報 7(2):113, 1943) は台湾で <i>Gloeosporium fici-septicae</i> Sawada によるトキワイヌビワ炭疽病 (円斑病) を報告したが, 分類学的所属は検討を要する (注) 病原追加	クワ科 Moraceae イヌビワ(犬枇杷, 天仙果) Wild fig <i>Ficus erecta</i> Thunb. (広葉樹) ガジュマル(榕樹) <i>Ficus microcarpa</i> L. fil. アコウ(榕樹) <i>Ficus superba</i> (Miq.) Miq. var. <i>japonica</i> Miq. ハマイヌビワ <i>Ficus virgata</i> Reinw. ex Blume 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 我孫子和雄・石井正義:関西病虫研報 27:47, 1985 [備考] シロガジュマル(<i>F. benjamina</i>) (2) <i>Gloeosporium</i> sp. 逸見武雄:札幌農林学会報 11(50):291, 1919(大8) [備考] イヌビワ・ハマイヌビワ。澤田兼吉 (台中農林学会報 7(2):113, 1943) は台湾で <i>Gloeosporium fici-septicae</i> Sawada によるトキワイヌビワ炭疽病 (円斑病) を報告したが, 分類学的所属は検討を要する
---	---

クワ科 Moraceae クワ(桑)	クワ科 Moraceae クワ(桑)
--------------------------------	--------------------------------

Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ <i>Mulberry Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (赤葉枯病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 堀江博道ら:菌蕈研報 28:267, 1990 ; 佐藤豊三:微 探収報 2:1, 1990 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] シマグワに発生。接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove [<i>Colletotrichum morifolium</i> Hara] 原 攝祐:実用作物病理学:148, 1925 ; 吉田重信ら: 日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 [備考] 本病菌に <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove f. <i>morifolium</i> (Hara) Yamamoto を 充てる意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:51, 1960) (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信 ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三・森脇丈 治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai [<i>Colletotrichum boninense</i> sensu lato, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信	Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ <i>Mulberry Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (赤葉枯病) (1) <i>Colletotrichum boninense</i> sensu lato [<i>Glomerella</i> <i>cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信 ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病 報 81(3):205, 2015 [備考] 子のう胞子形成が確認されている (2) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove [<i>Colletotrichum morifolium</i> Hara] 原 攝祐:実用作物病理学:148, 1925 ; 吉田重信ら: 日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 [備考] 本病菌に <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove f. <i>morifolium</i> (Hara) Yamamoto を 充てる意見もある (山本和太郎:植物防疫 14:51, 1960) (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信 ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三・森脇丈 治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum morina</i> Hara 原 攝祐:日本菌類目録:400, 1954 (5) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk]
---	---

ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病報 81(3):205, 2015 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] 子のう胞子形成が確認されている (5) <i>Colletotrichum morina</i> Hara 原 攝祐:日本菌類目録:400, 1954 (6) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (注) 病原追加、病原学名変更とそれに伴う病原順変更	吉田重信ら:日植病報 59(6):729, 1993 ; 吉田重信ら:日植病報 61(1):75, 1995 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017
---	---

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 巻枯病 makigare-byo Leaf burn (葉枯病, 捲枯病) <i>Hormodendrum mori</i> Y. Endo 遠藤保太郎:大日本蚕糸会報 335:6, 1919(大8) ; 原攝祐:実験作物病理学:328, 1930(昭5) (注) 文献ページ・発行年訂正	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 巻枯病 makigare-byo Leaf burn (葉枯病, 捲枯病) <i>Hormodendrum mori</i> Y. Endo 遠藤保太郎:大日本蚕糸会報 335:6, 1919(大8) ; 原攝祐:実験作物病理学:329, 1925(大14)
--	--

バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum musae</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Arx [<i>Gloeosporium musarum</i> Cooke & Massee, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 川上瀧彌・鈴木力治:台湾農試報(台湾農作物病害 目録 1):47, 1908(明41); 澤田兼吉:台湾農試特別 報告 19(台湾産菌類調査報告 1):561, 1919(大8); 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 [備考] 本菌は軸腐病, 果実落下病の病原でもある (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum musae</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Arx [<i>Gloeosporium musarum</i> Cooke & Massee, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 川上瀧彌・鈴木力治:台湾農試報(台湾農作物病害 目録 1):47, 1908(明41); 澤田兼吉:台湾農試特別 報告 19(台湾産菌類調査報告 1):561, 1919(大8); 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 [備考] 本菌は軸腐病, 果実落下病の病原でもある
--	--

バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) パナマ病 Panama-byo Fusarium wilt, Panama disease, Banana wilt (萎ちょう病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 二谷貴夫ら:日植病報 83(3):185, 2017; Nitani, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):165, 2018 [備考] 島バナナ(<i>Musa × paradisiaca</i>)に発生	バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) パナマ病 Panama-byo Fusarium wilt, Panama disease, Banana wilt (萎ちょう病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 二谷貴夫ら:日植病報 83(3):185, 2017; Nitani, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):165, 2018 [備考] 島バナナ(<i>Musa × paradisiaca</i>)に発生
--	--

(2) †<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>cubense</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 中村重正ら:日植病報 37(3):172, 1971 ; 渡邊龍雄: 熱帯の果樹と作物の病害:10, 1977 [備考] 台湾・中南米・フィリピン (3) <i>Fusarium</i> sp. 野澤俊介ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] 新種の<i>Fusarium</i> 属菌。品種 “キャベンデ イッシュ” (注) 病原追加	(2) †<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>cubense</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 中村重正ら:日植病報 37(3):172, 1971 ; 渡邊龍雄: 熱帯の果樹と作物の病害:10, 1977 [備考] 台湾・中南米・フィリピン
--	--

ヤブコウジ科 Myrsinaceae イズセンリョウ (Maesa) <i>Maesa japonica</i> (Thunb.) Moritzi (広葉樹) †††† †<i>Amazonia peregrina</i> (Sydow & P. Sydow) Sydow & P. Sydow 山本和太郎:台湾博物会報 30(200/201):148, 1940(昭15) ; 香月繁孝:植研雑 31(12):370, 1956 ; Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 7:259, 1956 [備考] タイワンセンリョウ・シマイズセンリョ ウ (<i>M. perlarius</i>) (注) 文献著者名訂正	ヤブコウジ科 Myrsinaceae イズセンリョウ (Maesa) <i>Maesa japonica</i> (Thunb.) Moritzi (広葉樹) †††† †<i>Amazonia peregrina</i> (Sydow & P. Sydow) Sydow & P. Sydow 山本和太郎:台湾博物会報 30(200/201):148, 1940(昭15) ; 香川繁孝:植研雑 31(12):370, 1956 ; Hino, I. & Katumoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 7:259, 1956 [備考] タイワンセンリョウ・シマイズセンリョ ウ (<i>M. perlarius</i>)
--	---

フトモモ科 Myrtaceae ギンバイカ Myrtle <i>Myrtus communis</i> L. (広葉樹)	フトモモ科 Myrtaceae
---	------------------------

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Calonectria pauciramosa</i> C.L. Schoch & Crous 尾崎梨花ら:関東病虫研報 69:44, 2022 (注) 新規宿主、新病名	
---	--

スイレン科 Nymphaeaceae ハス(蓮) East Indian lotus <i>Nelumbo nucifera</i> Gaertn. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Rhizome rot (1) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg 出穂美和ら:日植病報 83(3):164, 2017 ; Watanabe, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(3):170, 2023 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>nelumbinicola</i> W.L. Gordon [<i>Fusarium bulbigenum</i> Cooke & Massee var. <i>nelumbinicola</i> Y. Nisikado & Kyoto Watanabe] 西門義一・渡辺清志:日植病報 16(3-4):158, 1952 ; 西門義一・渡辺清志:植物防疫 7(10):345, 1953 [備考] <i>F. commune</i>との異同は不明 (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo (4) <i>Pythium afertile</i> Kanouse & T. Humphrey 堀 正太郎:農業世界 2(4):52, 1907 ; 西沢正洋:九州農試彙報 6(1):1, 1960 (5) <i>Pythium helicoides</i> Drechsler 米本謙悟ら:日植病報 79(3):183, 2013 [備考] 高橋 実・大内 昭 (日植病報 30(4):186, 1965) によれば腐敗株から <i>Pythium</i> spp. が分離されている (注) 病原追加、備考変更	スイレン科 Nymphaeaceae ハス(蓮) East Indian lotus <i>Nelumbo nucifera</i> Gaertn. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Rhizome rot (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>nelumbinicola</i> W.L. Gordon [<i>Fusarium bulbigenum</i> Cooke & Massee var. <i>nelumbinicola</i> Y. Nisikado & Kyoto Watanabe] 西門義一・渡辺清志:日植病報 16(3-4):158, 1952 ; 西門義一・渡辺清志:植物防疫 7(10):345, 1953 (2) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo (3) <i>Pythium afertile</i> Kanouse & T. Humphrey 堀 正太郎:農業世界 2(4):52, 1907 ; 西沢正洋:九州農試彙報 6(1):1, 1960 (4) <i>Pythium helicoides</i> Drechsler 米本謙悟ら:日植病報 79(3):183, 2013 [備考] 堀 正太郎 (農事試報 34:95, 1907(明40)) が腐敗病菌としてあてた <i>Bacillus nelumbii</i> Uyeda 1907 (1980年1月1日をもって失効した) は記載不十分で現在存否不明。高橋 実・大内 昭 (日植病報 30(4):186, 1965) によれば腐敗株から <i>Pythium</i> spp. が分離されている
--	--

ラン科 Orchidaceae カトレア Cattleya (草花) カトレア及び種間, 属間雑種 Cattleya Cattleya spp. 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini 1913] 木嶋利男ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 木嶋利男: 栃木農試研報 34:50, 1987 [備考] ブラウナラ (<i>Cattleya</i> × <i>Broughtonia</i> × <i>Diacrium</i>) に発生 (注) 備考中の宿主学名訂正	ラン科 Orchidaceae カトレア Cattleya (草花) カトレア及び種間, 属間雑種 Cattleya Cattleya spp. 褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown rot <i>Burkholderia gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> (Severini 1913) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1992 [<i>Pseudomonas gladioli</i> pv. <i>gladioli</i> Severini 1913] 木嶋利男ら:日植病報 51(3):343, 1985 ; 木嶋利男: 栃木農試研報 34:50, 1987 [備考] ブラウナラ (× <i>Cattleya</i> × <i>Broughtonia</i> × <i>Diacrium</i>) に発生
---	---

ラン科 Orchidaceae カトレア Cattleya (草花) カトレア及び種間, 属間雑種 Cattleya Cattleya spp. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 徳永芳雄・柿畠 眞:日植病報 40(4):377, 1974 ; 小 林享夫ら:植物病原菌類図説:534, 1992 (2) <i>Colletotrichum cattleyicola</i> Damm & Toy. Sato Damm, U. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 92:1, 2019 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了	ラン科 Orchidaceae カトレア Cattleya (草花) カトレア及び種間, 属間雑種 Cattleya Cattleya spp. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 徳永芳雄・柿畠 眞:日植病報 40(4):377, 1974 ; 小 林享夫ら:植物病原菌類図説:534, 1992
--	--

(注) 病原追加	
----------	--

ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シン ビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum cymbidiicola</i> Damm, P.F. Cannon, Crous, P.R. Johnston & B.S. Weir Damm, U. <i>et al.</i>: Stud. Mycol. 73:1, 2012 ; 佐藤豊三: 微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤 豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 森田 壽ら:原色花の病害虫防除:96, 1978 ; 鍵渡徳 次ら:関東病虫研報 33:161, 1986 (注) 病原追加	ラン科 Orchidaceae カンラン, キンリョウヘン, シュンラン, シン ビジウム, スルガラン Cymbidium <i>Cymbidium</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 森田 壽ら:原色花の病害虫防除:96, 1978 ; 鍵渡徳 次ら:関東病虫研報 33:161, 1986
--	--

ラン科 Orchidaceae デンドロビウム類 Dendrobium <i>Dendrobium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) セッコク Mohl's dendrobium <i>Dendrobium</i> <i>moniliforme</i> (L.) Swartz 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:265, 1976 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:534, 1992	ラン科 Orchidaceae デンドロビウム類 Dendrobium <i>Dendrobium</i> spp. 及び種間雑種 (草花) セッコク Mohl's dendrobium <i>Dendrobium</i> <i>moniliforme</i> (L.) Swartz 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 河村貞之助ら:原色図説花と花木の病害虫:265, 1976 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:534, 1992
--	--

(2) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] <i>Dendrobium chrysotoxum</i> Lindl. に発生。接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum orchidearum</i> Allescher Damm, U. et al.:Stud. Mycol. 92:1, 2019 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] <i>Dendrobium phalaenopsis</i> Fitzg. (デンファレ) に発生。接種試験未了 (4) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] <i>Dendrobium chrysotoxum</i> Lindl. に発生。接種試験未了 (注) 病原追加	
---	--

ラン科 Orchidaceae ファレノプシス Moth orchid <i>Phalaenopsis</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (1) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus carotovorus</i> Jones, <i>Bacillus carotovorus</i> var. <i>phalaenopsidis</i> Okabe, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 松本 巍・岡部徳夫:熱帯農学会誌 3:117, 1931(昭6) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:369, 1949 ; 向 秀夫ら:日植病報 42(1):114, 1976 (2) <i>Dickeya fangzhongdai</i> Tian, Zhao, Yuan, Yi, Fan, Xu, Hu, De Boer & Li 2016 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock	ラン科 Orchidaceae ファレノプシス Moth orchid <i>Phalaenopsis</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (1) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus carotovorus</i> Jones, <i>Bacillus carotovorus</i> var. <i>phalaenopsidis</i> Okabe, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 松本 巍・岡部徳夫:熱帯農学会誌 3:117, 1931(昭6) ; 岡部徳夫:植物細菌病学:369, 1949 ; 向 秀夫ら:日植病報 42(1):114, 1976 (2) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953]
---	---

1953] 伊藤泰信ら:日植病報 56(1):98, 1990 ; 西口 徹ら: 日植病報 89(1):10, 2023 (注) 病原学名変更	伊藤泰信ら:日植病報 56(1):98, 1990 [備考] 病原細菌の pathovar は未決定
--	---

ラン科 Orchidaceae ファレノプシス Moth orchid <i>Phalaenopsis</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum orchidearum</i> Allescher [<i>Glomerella</i> <i>cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 徳永芳雄・柿嶌 眞:日植病報 40(4):377, 1974 ; 佐 藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991 ; Damm, U. <i>et</i> <i>al.</i> :Stud. Mycol. 92:1, 2019 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 (注) 病原学名変更	ラン科 Orchidaceae ファレノプシス Moth orchid <i>Phalaenopsis</i> spp. 及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 徳永芳雄・柿嶌 眞:日植病報 40(4):377, 1974 ; 佐 藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991
--	--

ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:衛試報 110:60, 1992 ; Moriwaki, J. <i>et</i>	ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Gloeosporium</i> sp. [<i>Colletotrichum</i> sp.] 山口義雄:病虫雑 11(7):379, 1924(大13) [備考] 病原菌の分類学的所属について検討が必
--	---

<i>al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 ; 佐藤豊三 ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Gloeosporium</i> sp. [<i>Colletotrichum</i> sp.] 山口義雄:病虫雑 11(7):379, 1924(大13) [備考] 病原菌の分類学的所属について検討が必要 (注) 病原追加	要
---	---

ボタン科 Paeoniaceae ボタン(牡丹) Tree peony <i>Paeonia suffruticosa</i> Andr. (広葉樹) すすかび病 susukabi-byo (葉枯病) <i>Cladosporium paeoniae</i> Passerini 富樫浩吾・川村正三:岩手農試彙報 8:25, 1942(昭17) ; 堀正太郎:日植病報 1(4):66, 1921(大10) ; 岩垂 悟ら:満洲農試報 45(満州国農作物病害目録):182, 1943(昭18) (注) 文献修正	ボタン科 Paeoniaceae ボタン(牡丹) Tree peony <i>Paeonia suffruticosa</i> Andr. (広葉樹) すすかび病 susukabi-byo (葉枯病) <i>Cladosporium paeoniae</i> Passerini 富樫浩吾・川村正三:岩手農試彙報 8:25, 1942(昭17) ; 堀正太郎:日植病報 1(4):66, 1921(大10) ; 岩垂 悟ら:満洲農試報 45:182, 1942(昭17)
---	---

タコノキ科 Pandanaceae タコノキ類 (Pandanus) <i>Pandanus</i> spp. (広葉樹) タコノキ(蛸の木) Screw-Pine <i>Pandanus boninensis</i> Warb. アダン <i>Pandanus odoratissimus</i> L. 果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fruit rot (1) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D.	タコノキ科 Pandanaceae タコノキ類 (Pandanus) <i>Pandanus</i> spp. (広葉樹) タコノキ(蛸の木) Screw-Pine <i>Pandanus boninensis</i> Warb. アダン <i>Pandanus odoratissimus</i> L. 果実腐敗病 kajitsu-fuhai-byo Fruit rot (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig &
--	---

トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) ウッドイネス病 woodiness-byo Woodiness (1) <i>East Asian Passiflora virus</i> (EAPV) トケイソウ 東アジアウイルス 大森 拓ら:日植病報 58(4):619, 1992 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(5):459, 1996 ; 岩井 久ら:日植病報 72(4):302, 2006 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 151:811, 2006 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 151:1457, 2006 [備考] Iwai <i>et al.</i>(1996)は本ウイルスをPassionfruit woodiness virusとしたが, 岩井ら(2006)および Iwai <i>et al.</i>(2006)が <i>East Asian Passiflora virus</i>(EAPV トケイソウ東アジアウイルス)に訂正した (2) <i>East Asian Passiflora distortion virus</i># (EAPDV) トケイソウ東アジア奇形ウイルス 犬童奏実ら:日植病報 83(3):215, 2017 ; Riska <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(3):221, 2019 [備考] 果実に奇形を起こす (注) 文献誌名修正。他と合わせた。	トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) ウッドイネス病 woodiness-byo Woodiness (1) <i>East Asian Passiflora virus</i> (EAPV) トケイソウ 東アジアウイルス 大森 拓ら:日植病報 58(4):619, 1992 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(5):459, 1996 ; 岩井 久ら:日植病報 72(4):302, 2006 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 151:811, 2006 ; Iwai, H. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 151:1457, 2006 [備考] Iwai <i>et al.</i>(1996)は本ウイルスをPassionfruit woodiness virusとしたが, 岩井ら(2006)および Iwai <i>et al.</i>(2006)が <i>East Asian Passiflora virus</i>(EAPV トケイソウ東アジアウイルス)に訂正した (2) <i>East Asian Passiflora distortion virus</i># (EAPDV) トケイソウ東アジア奇形ウイルス 犬童奏実ら:日植病報 83(3):215, 2017 ; Riska <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 85(3):221, 2019 [備考] 果実に奇形を起こす
--	--

トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023	トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ) Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig &
---	---

[備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E.J. Butler & Bisby (3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 (4) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Damm, U. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 73:1, 2012 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (5) <i>Colletotrichum plurivorum</i> Damm, Alizadeh & Toy. Sato Damm, U. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 92:1, 2019 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (6) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Moriwaki, J. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (7) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 景山幸二:IFO Res. Comm. 24:117, 2010 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (8) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	Saccardo Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003
---	--

トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ)	トケイソウ科 Passifloraceae パッションフルーツ(クダモノトケイ)
--	--

Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹) †††† <i>Lasiodiplodia</i> sp. Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):80, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	Passion fruit <i>Passiflora edulis</i> Sims (果樹)
---	---

マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤榎松) <i>Abies sachalinensis</i> (F. Schmidt) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青榎松) <i>Abies sachalinensis</i> (F. Schmidt) Mast. var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo †††† <i>Auricularia americana</i> Parmasto & I. Parmasto ex Audet, Boulet & Sirard sensu stricto キタキクラゲ 白水 貴ら:日菌報 62(2):125, 2021 (注) 新宿主、宿主学名修正。モミ類については採録済み。	マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤榎松) <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青榎松) <i>Abies sachalinensis</i> var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo
---	--

スズカケノキ科 Platanaceae スズカケノキ(プラタナス)類 Platanus <i>Platanus</i> spp. (広葉樹) モミジバスズカケノキ(プラタナス) London plane tree, London plane <i>Platanus</i> × <i>hispanica</i>	スズカケノキ科 Platanaceae スズカケノキ(プラタナス)類 Platanus <i>Platanus</i> spp. (広葉樹) モミジバスズカケノキ(プラタナス) London plane tree, London plane <i>Platanus</i> × <i>hispanica</i>
---	---

Muench. [<i>Platanus × acerifolia</i> (Aiton) Willd.] アメリカスズカケノキ <i>Platanus occidentalis</i> L. スズカケノキ <i>Platanus orientalis</i> L. がんしゅ病 ganshu-byo Diatrypella Canker <i>Diatrypella japonica</i> H. Higuchi, Y. Nikaido & Y. Hattori 樋口裕仁ら:樹木医学研究 23(3):148, 2019 [備考] モミジバスズカケノキに発生 (注) 新病名	Muench. [<i>Platanus × acerifolia</i> (Aiton) Willd.] アメリカスズカケノキ <i>Platanus occidentalis</i> L. スズカケノキ <i>Platanus orientalis</i> L.
---	--

スズカケノキ科 Platanaceae スズカケノキ(プラタナス)類 Platanus <i>Platanus</i> spp. (広葉樹) モミジバスズカケノキ(プラタナス) London plane tree, London plane <i>Platanus × hispanica</i> Muench. [<i>Platanus × acerifolia</i> (Aiton) Willd.] アメリカスズカケノキ <i>Platanus occidentalis</i> L. スズカケノキ <i>Platanus orientalis</i> L. 胴枯病 dogare-byo Neofusicoccum Canker <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips 本橋慶一ら:樹木医学研究 20(4):187, 2016 [備考] モミジバスズカケノキに発生 (注) 新病名	スズカケノキ科 Platanaceae スズカケノキ(プラタナス)類 Platanus <i>Platanus</i> spp. (広葉樹) モミジバスズカケノキ(プラタナス) London plane tree, London plane <i>Platanus × hispanica</i> Muench. [<i>Platanus × acerifolia</i> (Aiton) Willd.] アメリカスズカケノキ <i>Platanus occidentalis</i> L. スズカケノキ <i>Platanus orientalis</i> L.
--	--

イソマツ科 Plumbaginaceae アルメリア(ハマカンザシ, マツバカンザシ) Thrift <i>Armeria maritima</i> (Mill.) Willd. (草花)	イソマツ科 Plumbaginaceae アルメリア(ハマカンザシ, マツバカンザシ) Thrift <i>Armeria maritima</i> (Mill.) Willd. (草花)
---	---

炭疽病 tanso-byo Anthracnose* <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove sensu stricto [<i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore] 菅原 敬ら:日植病報 71(1):50, 2005 ; 菅原 敬:山形農業特研報 2:8, 2010 ; Sato, T. et al.:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] 菅原ら(2005)が<i>C. truncatum</i>と報告した病原菌をSato et al.(2015)は, 狭義の<i>C. dematium</i>と再同定した (注) 病原学名変更、文献追加	炭疽病 tanso-byo Anthracnose* <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove [<i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore] 菅原 敬ら:日植病報 71(1):50, 2005 ; Sato, T. et al.:JARQ 49(4):351, 2015 [備考] 菅原ら(2005)が<i>C. truncatum</i>と報告した病原菌をSato et al.(2015)は, 狭義の<i>C. dematium</i>と再同定した
--	---

タデ科 Polygonaceae ソバ(蕎麦) Buckwheat <i>Fagopyrum esculentum</i> Moench (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore [<i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove] 森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999 ; Sato, T. et al.:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 (注) 病原学名変更	タデ科 Polygonaceae ソバ(蕎麦) Buckwheat <i>Fagopyrum esculentum</i> Moench (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum dematium</i> (Persoon) Grove 森脇丈治・月星隆雄:日植病報 65(3):398, 1999
--	---

キンポウゲ科 Ranunculaceae クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus) <i>Helleborus</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum lineola</i> Corda 菅原 敬ら:日植病報 74(3):181, 2008 ; Sugawara, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):163, 2009 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] クリスマスローズ <i>H. niger</i> に発生。菅原ら(2008)が<i>C. truncatum</i>, Sugawara <i>et al.</i>(2009)が<i>Colletotrichum</i> sp.とした病原菌株をSato <i>et al.</i>(2015)は, <i>C. lineola</i>と再同定した (注) 文献追加	キンポウゲ科 Ranunculaceae クリスマスローズ類(ヘレボルス) (Helleborus) <i>Helleborus</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum lineola</i> Corda 菅原 敬ら:日植病報 74(3):181, 2008 ; Sugawara, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 75(2):163, 2009 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 [備考] クリスマスローズ <i>H. niger</i> に発生。菅原ら(2008)が<i>C. truncatum</i>, Sugawara <i>et al.</i>(2009)が<i>Colletotrichum</i> sp.とした病原菌株をSato <i>et al.</i>(2015)は, <i>C. lineola</i>と再同定した
--	--

バラ科 Rosaceae マルメロ(楡棗) Quince <i>Cydonia oblonga</i> Miller (果樹) 炭疽病* tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 江口直樹・萩原保身:日植病報 68(2):186, 2002 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 今井四郎:日園雑 25(8):34, 1913(大2)	バラ科 Rosaceae マルメロ(楡棗) Quince <i>Cydonia oblonga</i> Miller (果樹) 炭疽病* tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 江口直樹・萩原保身:日植病報 68(2):186, 2002 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 今井四郎:日園雑 25(8):34, 1913(大2)
---	--

(注) 病原追加	
----------	--

バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 佐藤豊三ら:日植病報 60(3):339, 1994 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997 (2) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium eriobotryae</i> Spegazzini] Hemmi, T.:Journ. Coll. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 9(1):15, 1920 ; 原 攝祐:実験作物病理学:686, 1930(昭5) (注) 病原学名変更	バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 佐藤豊三ら:日植病報 60(3):339, 1994 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997 (2) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium eriobotryae</i> Spegazzini] Hemmi, T.:Journ. Coll. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 9(1):15, 1920 ; 原 攝祐:実験作物病理学:686, 1930(昭5)
---	--

バラ科 Rosaceae キョウガノコ(キョウカノコ) Japanese meadowsweet <i>Filipendula purpurea</i> Maxim. var. <i>purpurea</i> (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera filipendulae</i> (Z.Y. Zhao) T.Z. Liu & U. Braun [<i>Sphaerotheca filipendulae</i> Z.Y. Zhao]	バラ科 Rosaceae キョウガノコ(キョウカノコ) Japanese meadowsweet <i>Filipendula purpurea</i> Maxim. var. <i>purpurea</i> (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Sphaerotheca filipendulae</i> Z.Y. Zhao 佐藤幸生・望月正己:北陸病虫研報 37:67, 1989
---	---

佐藤幸生・望月正己:北陸病虫研報 37:67, 1989 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:17, 2012 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill 平田幸治:新潟大農学報 7:30, 1955 [備考] 分生子による同定 (注) 病原学名変更、文献追加	[備考] 接種試験未了 (2) <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill 平田幸治:新潟大農学報 7:30, 1955 [備考] 分生子による同定
--	---

バラ科 Rosaceae シモツケソウ類 (Filipendula) <i>Filipendula</i> spp. (野草) シモツケソウ <i>Filipendula multijuga</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe ulmariae</i> Damazières 丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平 編):1216, 1998 [備考] シモツケソウに発生 (2) <i>Podosphaera filipendulae</i> (Z.Y. Zhao) T.Z. Liu & U. Braun [<i>Sphaerotheca filipendulae</i> Z.Y. Zhao, <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):296, 1937(昭12) ; 野村幸彦:日本産ウドンコ 菌科の分類学的研究:35, 1997 ; 高松 進:三重大生 資紀要 38:17, 2012 ; Liu, S.-Y. et al.:Mycoscience 62(6):390, 2021 [備考] アカバナシモツケ(<i>F. multijuga</i>), コシジシ モツケソウ(<i>F. auriculata</i>), オニシモツケ(<i>F.</i> <i>camtschatica</i>), シモツケソウ(<i>F. multijuga</i>), ウラジ ロシモツケソウ(<i>F. palmata</i>)に発生 (注) (2)病原異名追加、文献追加(シモツケ類うど んこ病から移動)、備考変更	バラ科 Rosaceae シモツケソウ類 (Filipendula) <i>Filipendula</i> spp. (野草) シモツケソウ <i>Filipendula multijuga</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe ulmariae</i> Damazières 丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平 編):1216, 1998 [備考] シモツケソウに発生 (2) <i>Podosphaera filipendulae</i> (Z.Y. Zhao) T.Z. Liu & U. Braun Liu, S.-Y. et al.:Mycoscience 62(6):390, 2021 [備考] コシジシモツケソウ(<i>F. auriculata</i>), オニシ モツケ(<i>F. camtschatica</i>), シモツケソウ(<i>F.</i> <i>multijuga</i>), ウラジロシモツケソウ(<i>F. palmata</i>), キ ヨウガノコ(<i>F. purpurea</i>)に発生
---	---

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 炭疽病 tanso-byo Crown rot, Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds [<i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato] Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki(2013)は果実から分離され た菌株を暫定的に系統群A2-Sとした (2) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; 佐藤豊三 ら:日植病報 83(1):43, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉 章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; 佐藤豊三・森脇 丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et</i> <i>al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum fragariae</i> A.N. Brooks 山本 勉・福西 務:日植病報 36(3):165, 1970 ; 山 本 勉:植物防疫 25(2):61, 1971 ; 岡山健夫:奈良農 試研報 20:79, 1989 [備考] Weir, B.S. <i>et al.</i> (Stud. Mycol. 73:115, 2012) は, <i>C. fragariae</i> を <i>C. theobromicola</i> の異名とし ている (5) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; Hirayama,	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 炭疽病 tanso-byo Crown rot, Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds [<i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato] Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki(2013)は果実から分離され た菌株を暫定的に系統群A2-Sとした (2) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; 佐藤豊三 ら:日植病報 83(1):43, 2017 (3) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉 章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; 佐藤豊三・森脇 丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et</i> <i>al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum fragariae</i> A.N. Brooks 山本 勉・福西 務:日植病報 36(3):165, 1970 ; 山 本 勉:植物防疫 25(2):61, 1971 ; 岡山健夫:奈良農 試研報 20:79, 1989 [備考] Weir, B.S. <i>et al.</i> (Stud. Mycol. 73:115, 2012) は, <i>C. fragariae</i> を <i>C. theobromicola</i> の異名とし ている (5) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; Hirayama,
--	---

Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(4):186, 2016 (6) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉 章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 (8) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 岡山健夫:植物防疫 42(12):5, 1988 ; 岡山健夫・辻 本 昭:日植病報 60(5):617, 1994 (注) 病原学名変更	Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(4):186, 2016 (6) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉 章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 (8) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 岡山健夫:植物防疫 42(12):5, 1988 ; 岡山健夫・辻 本 昭:日植病報 60(5):617, 1994
--	--

バラ科 Rosaceae ヤマブキ(山吹) Globeflower <i>Kerria japonica</i> (L.) DC. (広葉樹) 褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏藥病) <i>Septobasidium tanakae</i> (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann 原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大5) [備考] 病原菌の異名はボプラ類褐色こうやく病 参照 (注) 備考修正	バラ科 Rosaceae ヤマブキ(山吹) Globeflower <i>Kerria japonica</i> (L.) DC. (広葉樹) 褐色こうやく病 kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏藥病) <i>Septobasidium tanakae</i> (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann 原 攝祐:果樹病害論:110, 1916(大5) [備考] 病原菌の異名はサクラ類褐色こうやく病 参照
--	--

バラ科 Rosaceae	バラ科 Rosaceae
--------------	--------------

リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Podosphaera leucotricha</i> (Ellis & Everhart) E.S. Salmon [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> de Bary, <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary] 出田 新:日本植物病理学:269, 1903(明36); 原 攝 祐:果樹病害論:175, 1916(大5); 原 攝祐:実用作物 病理学:285, 1925(大14); Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):314, 1937 ; 仲谷房 治:北日本病虫研報 73:85, 2022 [備考] 仲谷(2022)は, 品種“ふじ”にて, うどんこ 病菌が原因と思われる褐色斑点症状について報 告した (注) 備考追加	リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Podosphaera leucotricha</i> (Ellis & Everhart) E.S. Salmon [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> de Bary, <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary] 出田 新:日本植物病理学:269, 1903(明36); 原 攝 祐:果樹病害論:175, 1916(大5); 原 攝祐:実用作物 病理学:285, 1925(大14); Homma, Y.:Jour. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):314, 1937
---	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 炭疽病 tanso-byo Bitter rot (苦腐病, 腐敗 病, 熱腐病, 晩腐病, 炭そ病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (2) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook 佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998 ; 佐藤豊三・森脇 丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et</i> <i>al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 炭疽病 tanso-byo Bitter rot (苦腐病, 腐敗 病, 熱腐病, 晩腐病, 炭そ病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (2) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998 ; 佐藤豊三・森脇 丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et</i> <i>al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013
--	---

(3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (4) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 69:88, 2018 (5) <i>Colletotrichum kahawae</i> J.M. Waller & Bridge Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(5):291, 2017 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (6) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 飯島章彦:関東病虫研報 41:123, 1994 ; 佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (8) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák, <i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley] 出田 新:日本植物病理学:358, 1903(明36) ; 三宅市郎・原 攝祐:日園雑 22(12):31, 1910(明43) (注) 病原追加、(2)病原学名変更、(4)文献追加	(3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (4) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 飯島章彦:関東病虫研報 41:123, 1994 ; 佐藤豊三ら:日菌報 39:35, 1998 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (6) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 平山和幸・赤平知也:日植病報 82(3):236, 2016 (7) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák, <i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley] 出田 新:日本植物病理学:358, 1903(明36) ; 三宅市郎・原 攝祐:日園雑 22(12):31, 1910(明43)
---	--

バラ科 Rosaceae ポテンティラ <i>Potentilla</i> <i>Potentilla</i> spp. (草花) ベニバナロウゲ <i>Potentilla nepalensis</i> Hook. さび病 sabi-byo Rust <i>Phragmidium duchesneae</i> (Arthur) P. Sydow &	バラ科 Rosaceae ポテンティラ <i>Potentilla</i> <i>Potentilla</i> spp. (草花) ベニバナロウゲ <i>Potentilla nepalensis</i> Hook. さび病 sabi-byo rust <i>Phragmidium duchesneae</i> (Arthur) P. Sydow &
--	--

Sydow Uzuhashi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):278, 2022 [備考] ヤブヘビイチゴ(<i>Potentilla indica</i>)に発生 (注) 病名英名修正	Sydow Uzuhashi, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):278, 2022 [備考] ヤブヘビイチゴ(<i>Potentilla indica</i>)に発生
---	---

バラ科 Rosaceae アンズ(杏) Apricot <i>Prunus armeniaca</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Gloeosporium</i> sp. 原 攝祐・松浦理太郎:中央園芸 259:26, 1924(大13) [備考] 白井光太郎・原 攝祐 (訂正増補日本菌類目録:143, 1927) は<i>Gloeosporium cerasi</i> Lindauを記載しているが, 本病原菌との異同は明らかでない (注) 病原学名変更	バラ科 Rosaceae アンズ(杏) Apricot <i>Prunus armeniaca</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Gloeosporium</i> sp. 原 攝祐・松浦理太郎:中央園芸 259:26, 1924(大13) [備考] 白井光太郎・原 攝祐 (訂正増補日本菌類目録:143, 1927) は<i>Gloeosporium cerasi</i> Lindauを記載しているが, 本病原菌との異同は明らかでない
---	--

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot
--	--

<i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 宮本久美・山本省 二:植物防疫 38(9):426, 1984 (注) 文献著者名訂正	<i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux 宮本久美・山本省 三:植物防疫 38(9):426, 1984
--	---

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999 ; 佐藤豊 三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum mume</i> Hori, <i>Glomerella mume</i> (Hori) Hemmi] 堀 正太郎:園芸之友 10(1):33, 1914(大3) ; 逸見武 雄:北大農紀要 9(1):39, 1920(大9) ; 北島 博・梶 原敏宏:原色作物病害図説:137, 1962 [備考] 葉炭疽病を統合した (注) 病原学名変更	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (葉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 菅野博英ら:日植病報 65(6):661, 1999 ; 佐藤豊 三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum mume</i> Hori, <i>Glomerella mume</i> (Hori) Hemmi] 堀 正太郎:園芸之友 10(1):33, 1914(大3) ; 逸見武 雄:北大農紀要 9(1):39, 1920(大9) ; 北島 博・梶 原敏宏:原色作物病害図説:137, 1962 [備考] 葉炭疽病を統合した
--	---

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 円星病 maruhoshi-byo Circular leaf spot (大	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 円星病 maruhoshi-byo Circular leaf spot (大
---	---

形円星病) <i>Phyllosticta mume</i> Hara 原 攝祐:日園雑 29(10):5, 1917(大6) ; 原 攝祐:実 験作物病理学:673, 1930(昭5) (注) 文献誌名訂正	形円星病) <i>Phyllosticta mume</i> Hara 原 攝祐:日園雑 29(10):5, 1917(大6) ; 原 攝祐:実 用作物病理学:673, 1930(昭5)
--	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) (1) <i>Rhizobium radiobacter</i> (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium</i> <i>tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 原 攝祐:果樹病害論:345, 1916(大5) ; 澤田宏之 ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014 (2) <i>Rhizobium rhizogenes</i> (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez- Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium</i> <i>tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 原 攝祐:果樹病害篇:345, 1916(大5) ; 澤田宏之 ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014 (注) 文献誌名訂正	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) (1) <i>Rhizobium radiobacter</i> (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium</i> <i>tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 原 攝祐:果樹病害篇:345, 1916(大5) ; 澤田宏之 ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014 (2) <i>Rhizobium rhizogenes</i> (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez- Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium</i> <i>tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 原 攝祐:果樹病害篇:345, 1916(大5) ; 澤田宏之 ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014
--	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp.	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp.
--	--

(広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病) (1) <i>Podosphaera longiseta</i> Sawada 野村幸彦:日菌報 20(3):389, 1979; 澤田兼吉:東北 生物研究 1(1):6, 1949; 澤田兼吉:林試研報 50:105, 1951 [備考] ウワミズザクラに発生 (2) <i>Podosphaera prunigena</i> Meeboon, S. Takamatsu & U. Braun 白水 貴ら:日菌報 61:33, 2020 [備考] クマノザクラに発生 (3) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (Wallroth) de Bary] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:219, 1933(昭8); 澤 田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾菌類調査報告 1):162, 1919(大8); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):179, 1988 [備考] ウワミズザクラ・エゾノウワミズザク ラ・イヌザクラ・ソメイヨシノ・サトザクラ・ ヤマザクラ・コヒガンザクラ・ウバヒガン・シ ウリザクラ・ヤエザクラ・エドヒガン・オオシ マザクラ・カスミザクラに発生 (4) <i>Podosphaera</i> sp. 丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000 [備考] チョウジザクラ (<i>P. apetala</i> (Sieb. & Zucc.) Franch. & Sav.) に発生 (注) 備考修正	(広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病, 粉病) (1) <i>Podosphaera longiseta</i> Sawada 野村幸彦:日菌報 20(3):389, 1979; 澤田兼吉:東北 生物研究 1(1):6, 1949; 澤田兼吉:林試研報 50:105, 1951 [備考] ウワミズザクラに発生 (2) <i>Podosphaera prunigena</i> Meeboon, S. Takamatsu & U. Braun 白水 貴ら:日菌報 61:33, 2020 [備考] クマノザクラに発生 (3) <i>Podosphaera tridactyla</i> (Wallroth) de Bary var. <i>tridactyla</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (Wallroth) de Bary] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:219, 1933(昭8); 澤 田兼吉:台湾農試特別報 19(台湾菌類調査報告 1):162, 1919(大8); 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):179, 1988 [備考] ウワミズザクラ・エゾノウワミズザク ラ・イヌザクラ・ソメイヨシノ・サトザクラ・ ヤマザクラ・コヒガンザクラ・ウバヒガン・シ ウリザクラ・ヤエザクラ・エドヒガン・オオシ マザクラ・カスミザクラに発生 (4) <i>Podosphaera</i> sp. 丹田誠之助:東農大農学集報 45(2):122, 2000 [備考] チョウジサクラ (<i>P. apetala</i> (Sieb. & Zucc.) Fr. & Sav.) に発生
---	---

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹)	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹)
--	--

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten] ナラタケ 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭13) [備考] コヒガンザクラ・ソメイヨシノ・キクザクラ・サトザクラ。病原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照 (注) 備考修正	ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten] ナラタケ 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭13) [備考] コヒガンザクラ・ソメイヨシノ・キクザクラ・サトザクラ。病原菌の異名はポプラ類ならたけ病参照
---	---

バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 本多哲也ら:日植病報 63(6):494, 1997 ; 三澤知央・佐藤豊三:北日本病虫研報 64:99, 2013 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] カプリチェリー (<i>Prunus capuli</i>) に発生 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 69:88, 2018 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 本多哲也ら:日植病報 63(6):494, 1997 [備考] カプリチェリー (<i>Prunus capuli</i>) に発生 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 三澤知央ら:日植病報 84(1):58, 2018 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 末松直次・鍬塚喜久治:農商務省病菌害虫彙報 8:1, 1920(大9)
---	---

末松直次・鋤塚喜久治:農商務省病菌害虫彙報 8:1, 1920(大9) (注) 病原学名変更、文献追加	
---	--

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i> :Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170, 1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i> :JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 萩田孝志:北日本病虫研報 57:78, 2006 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa Sato, T. <i>et al.</i> :Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170, 1996 ; 萩田孝志:北日本病虫研報 57:78, 2006 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 飯島章彦ら (関東病虫研報 38:129, 1991) が記載した <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo は上記種の誤同定 (注) 病原学名変更	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan Sato, T. <i>et al.</i> :Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170, 1996 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i> :JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 萩田孝志:北日本病虫研報 57:78, 2006 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (3) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa Sato, T. <i>et al.</i> :Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(2):170, 1996 ; 萩田孝志:北日本病虫研報 57:78, 2006 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 飯島章彦ら (関東病虫研報 38:129, 1991) が記載した <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo は上記種の誤同定
---	--

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley ††††ロゼット病 rozetto-byo (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用作物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理病と考えられている (注) 文献誌名訂正	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley ††††ロゼット病 rozetto-byo (多葉病) 病原不明 原 攝祐:実用植物病理学:306, 1925(大14) [備考] 生理病と考えられている
---	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 枝折病 edaore-byo <i>Fusicoccum</i> canker <i>Phomopsis amygdali</i> (Delacroix) J.J. Tuset & M.T. Portilla [<i>Fusicoccum</i> sp.] 原田倭男・鍵渡徳次:桃の新病害枝折病に関する 研究, 神奈川県農林部:1, 1951 ; Kanematsu, S. <i>et</i> <i>al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(5):531, 1999 (注) 病原学名修正	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 枝折病 edaore-byo <i>Fusicoccum</i> canker <i>Phomopsis amygdali</i> (Delacroix) Tuset & Portilla [<i>Fusicoccum</i> sp.] 原田倭男・鍵渡徳次:桃の新病害枝折病に関する 研究, 神奈川県農林部:1, 1951 ; Kanematsu, S. <i>et</i> <i>al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(5):531, 1999
---	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot <i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux [<i>Dematophora necatrix</i> Hartig] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:197, 1917(大6); 原 攝祐:実用作物病理学:120, 1925(大14) (注) 文献誌名訂正	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 白紋羽病 shiro-mompa-byo White root rot <i>Rosellinia necatrix</i> Prillieux [<i>Dematophora necatrix</i> Hartig] 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録:197, 1917(大6); 原 攝祐:実験作物病理学:120, 1925(大14)
---	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider すすかび病 susukabi-byo Fruit mold <i>Stenella persicae</i> T. Yokoyama & Nasu [<i>Stenella</i> sp.] 那須英夫ら:日植病報 52(3):534, 1986 ; 那須英夫・横山竜夫:日植病報 62(6):587, 1996 ; Yokoyama, T. & Nasu, H.:Mycoscience 41(1):92, 2000 (注) 病原学名変更、病名英名追加	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider すすかび病 susukabi-byo <i>Stenella</i> sp. 那須英夫ら:日植病報 52(3):534, 1986 ; 那須英夫・横山竜夫:日植病報 62(6):587, 1996
--	---

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (硬化病, 腐敗病, 木守病, 立葉病) (1) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium laeticolor</i> Berkeley] 白井光太郎:最近植物病理学:457, 1903(明36) ; 堀正太郎:農業世界 5(12):49, 1910(明43) ; 小野光明ら:関東病虫研報 43:109, 1996 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:297, 1925) は <i>Gloeosporium laeticolor</i> の完全時代を発見し, <i>Glomerella perscicae</i> Hara を記述している (2) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (注) 病原学名変更	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i> Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (硬化病, 腐敗病, 木守病, 立葉病) (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium laeticolor</i> Berkeley] 白井光太郎:最近植物病理学:457, 1903(明36) ; 堀正太郎:農業世界 5(12):49, 1910(明43) [備考] 原 攝祐 (実用作物病理学:297, 1925) は <i>Gloeosporium laeticolor</i> の完全時代を発見し, <i>Glomerella perscicae</i> Hara を記述している (2) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013
バラ科 Rosaceae セイヨウナシ(ヨウナシ)(西洋梨)	バラ科 Rosaceae セイヨウナシ(ヨウナシ)(西洋梨)

Pear, European pear <i>Pyrus communis</i> L. var. <i>sativa</i> de Candolle (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium</i> <i>fructigenum</i> Berkeley] 鑄方末彦:実験果樹病害篇:76, 1927(昭2) ; 深谷雅 子・加藤作美:北日本病虫研報 43:80, 1992 ; 菅野 博英ら:日植病報 65(6):661, 1999 (注) 病原学名変更	Pear, European pear <i>Pyrus communis</i> L. var. <i>sativa</i> de Candolle (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (苦腐病, 晩腐病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 菅野博英・森脇丈治:日植病報 65(3):407, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium</i> <i>fructigenum</i> Berkeley] 鑄方末彦:実験果樹病害篇:76, 1927(昭2) ; 深谷雅 子・加藤作美:北日本病虫研報 43:80, 1992 ; 菅野 博英ら:日植病報 65(6):661, 1999
---	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus</i> <i>betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus</i> <i>ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (葉炭疽病, 葉の炭疽病, 果の炭疽病, 苦腐病, 晩 腐病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R.	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus</i> <i>betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus</i> <i>ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 炭疽病 tanso-byo Anthracnose, Bitter rot (葉炭疽病, 葉の炭疽病, 果の炭疽病, 苦腐病, 晩 腐病) (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli)
--	--

Johnston 井上麻里子ら:関東病虫研報 69:38, 2022 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 深谷雅子ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 深谷雅子: 日植病報 70(3):184, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治: 植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, <i>Colletotrichum</i> <i>gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák] 黒澤良平:植物学雑 26(311):359, 1912(大1) ; 中田 覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 原 攝祐: 果樹病害論:107, 1916(大5) ; 鑄方末彦:実験果樹病 害篇:54, 1927(昭2) ; 矢野和孝ら:日植病報 70(4):314, 2004 ; 菊原賢次:日植病報 88(3):185, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤 豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] 葉炭疽病を統合した (4) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 (5) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 井上麻里子ら:関東病虫研報 69:38, 2022 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加、病原学名変更による病原統合	R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 深谷雅子ら:日植病報 66(2):99, 2000 ; 深谷雅子: 日植病報 70(3):184, 2004 ; 佐藤豊三・森脇丈治: 植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (2) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 菊原賢次:日植病報 88(3):185, 2022 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Colletotrichopsis piri</i> (F. Noack) Bubák f. <i>tirolense</i> Bubák] 黒澤良平:植物学雑 26(311):359, 1912(大1) ; 中田 覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 原 攝祐: 果樹病害論:107, 1916(大5) ; 鑄方末彦:実験果樹病 害篇:54, 1927(昭2) [備考] 葉炭疽病を統合した
---	---

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose
--	--

<i>Rosa</i> spp. (野草, 広葉樹) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. †††† <i>Lasiodiplodia pseudotheobromae</i> A.J.L. Phillips, A. Alves & Crous Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	<i>Rosa</i> spp. (野草, 広葉樹) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb.
---	---

バラ科 Rosaceae シモツケ類(木下野) Spiraea <i>Spiraea</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera minor</i> Howe var. <i>minor</i> [<i>Podosphaera clandestina</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>clandestina</i>, <i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 原 攝祐:果樹病害論:175, 1916(大5) ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):177, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:11, 2012 [備考] トサシモツケ・マルバシモツケ・ホザキ シモツケ (<i>S. salicifolia</i>)・ホソバシモツケ (<i>S.</i> <i>pubescens</i>)に発生 (2) <i>Podosphaera spiraeae</i> (Sawada) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Sphaerotheca spiraeae</i> Sawada-pro parte, <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill sensu Homma-pro parte] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):296, 1937(昭12) ; 野村幸彦:日本産ウドンコ	バラ科 Rosaceae シモツケ類(木下野) Spiraea <i>Spiraea</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Podosphaera clandestina</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>clandestina</i> [<i>Podosphaera oxyacanthae</i> (de Candolle) de Bary] 原 攝祐:果樹病害論:175, 1916(大5) ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agri. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):177, 1988 [備考] トサシモツケ・マルバシモツケ・ホザキ シモツケ (<i>S. salicifolia</i>)・ホソバシモツケ (<i>S.</i> <i>pubescens</i>)に発生 (2) <i>Podosphaera filipendulae</i> (Z.Y. Zhao) T.Z. Liu & U. Braun [<i>Sphaerotheca filipendulae</i> Z.Y. Zhao, <i>Sphaerotheca spiraeae</i> Sawada-pro parte, <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill sensu Homma-pro parte] Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):296, 1937(昭12) ; 佐藤幸生・望月正己:北陸
---	--

菌科の分類学的研究:40, 1997 ; 高松 進:三重大生 資紀要 38:20, 2012 ; Liu, S.-Y. et al.:Mycoscience 62(6):390, 2021 [備考] シジミバナ・ユキヤナギ・コデマリ・シ モツケに発生 (3) <i>Podosphaera</i> sp. 丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):124, 1973 [備考] シモツケ (<i>S. japonica</i>)・トサシモツケ (<i>S.</i> <i>nipponica</i> var. <i>tosaensis</i>)・イワシモツケ (<i>S.</i> <i>nipponica</i>)・エゾシモツケ (<i>S. media</i> var. <i>sericea</i>)に 発生 (注) 病原学名変更、文献追加、文献削除、文献 ページ修正、備考変更	病虫研報 37:67, 1989 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ 菌科の分類学的研究:35, 1997 ; 高松 進:三重大生 資紀要 38:17, 2012 [備考] オニシモツケ・キョウガノコに発生 (3) <i>Podosphaera</i> sp. 丹田誠之助ら:東農大農学集報 18(2):124, 1973 [備考] シモツケ (<i>S. japonica</i>)・トサシモツケ (<i>S.</i> <i>nipponica</i> var. <i>tosaensis</i>)・イワシモツケ (<i>S.</i> <i>nipponica</i>)・エゾシモツケ (<i>S. media</i> var. <i>sericea</i>)に 発生
---	--

アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Chaetoscorias vulgaris</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954 [備考] 台湾 (2) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 [備考] 台湾 (3) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):46, 1953 [備考] 台湾 (注) 文献誌名訂正	アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Chaetoscorias vulgaris</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954 [備考] 台湾 (2) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 [備考] 台湾 (3) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953 [備考] 台湾
--	--

アカネ科 Rubiaceae キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) †すす病 susu-byo (1) <i>Chaetoscorias vulgaris</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954 ; 山本和太 郎:兵庫農大研報農生編 3(1):36, 1957 [備考] 台湾。病名未提案 (2) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 ; 山本和太 郎:兵庫農大研報農生編 3(1):33, 1957 [備考] 台湾 (3) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):46, 1953 [備考] 台湾 (注) 文献誌名訂正	アカネ科 Rubiaceae キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) †すす病 susu-byo (1) <i>Chaetoscorias vulgaris</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954 ; 山本和太 郎:兵庫農大研報農生編 3(1):36, 1957 [備考] 台湾。病名未提案 (2) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 ; 山本和太 郎:兵庫農大研報農生編 3(1):33, 1957 [備考] 台湾 (3) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953 [備考] 台湾
---	---

アカネ科 Rubiaceae コーヒーノキ(珈琲) Coffee tree <i>Coffea</i> spp. (<i>C. arabica</i> L. など) (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum theobromicola</i> Delacroix [<i>Colletotrichum coffeanum</i> F. Noack] 佐藤豊三:東京農試研報 20:25, 1987 ; 佐藤豊三:植 物防疫 41(12):590, 1987 ; 堀江博道ら:菌蕈研報 28:267, 1990 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991 ; Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol.	アカネ科 Rubiaceae コーヒーノキ(珈琲) Coffee tree <i>Coffea</i> spp. (<i>C. arabica</i> L. など) (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum coffeanum</i> F. Noack 佐藤豊三:東京農試研報 20:25, 1987 ; 佐藤豊三:植 物防疫 41(12):590, 1987 ; 佐藤豊三:農業技術 46(11):493, 1991 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner
--	---

83(5):291, 2017 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マ ニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 柴田 葵ら:日植病報 81(3):207, 2015 (注) 病原学名変更	& Samuels 柴田 葵ら:日植病報 81(3):207, 2015
--	---

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (Anthracnose tear stain) (さび果病 sabika-byo, 落葉病, 葉枯 病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook 田代暢哉ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; Tashiro, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(5):381, 2018 [備考] 収穫後のウンシュウミカン果実に発生 (2) <i>Colletotrichum gigasporum</i> Rakotoniriana & Munaut Liu, F. <i>et al.</i>:Persoonia 33:83, 2014 ; 佐藤豊三ら:植 物防疫 77(2):76, 2023 [備考] レモンに発生。接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida] 堀 正太郎:果樹 123:20, 1913(大2) ; 山田峻一・山	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (Anthracnose tear stain) (さび果病 sabika-byo, 落葉病, 葉枯 病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 田代暢哉ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; Tashiro, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(5):381, 2018 [備考] 収穫後のウンシュウミカン果実に発生 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium foliicolum</i> Nishida]
---	---

本省二:日植病報 28(2):74, 1963 ; 間佐古将則ら: 日植病報 73(3):181, 2007 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 堀の記載した葉枯病の病原菌 <i>G. citricolum</i> Massee は <i>G. foliicolum</i> の誤りである (西田藤次:柑橘病害と予防法:111, 1914)。佐藤ら (2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>を報告した (4) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 (5) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 [備考] 安部ら(2017)は病原(3)(4)によるキンカン の葉枯を報告した (注) 病原追加、(1)病原学名変更	堀 正太郎:果樹 123:20, 1913(大2) ; 山田峻一・山 本省二:日植病報 28(2):74, 1963 ; 間佐古将則ら: 日植病報 73(3):181, 2007 ; 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 [備考] 堀の記載した葉枯病の病原菌 <i>G. citricolum</i> Massee は <i>G. foliicolum</i> の誤りである (西田藤次:柑橘病害と予防法:111, 1914)。佐藤ら (2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>を報告した (3) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 (4) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 安部睦実ら:九病虫研会報 63:122, 2017 [備考] 安部ら(2017)は病原(3)(4)によるキンカン の葉枯を報告した
---	--

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus</i> <i>trifoliata</i> (L.) Raf. †††† <i>Lasiodiplodia</i> sp. Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):80, 2023 [備考] スイートオレンジに発生。接種試験未了 (注) 新宿主	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus</i> <i>trifoliata</i> (L.) Raf.
---	--

アワブキ科 Sabiaceae	アワブキ科 Sabiaceae
-----------------	-----------------

アワブキ(泡吹) (Meliosma) <i>Meliosma myriantha</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium hornotinum</i> Cummins Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:14, 1955 [備考] リュウキュウアワブキ (<i>M. oldhami</i>) (2) <i>Phakopsora meliosmae-myrianthae</i> (Hennings & Shirai) Y. Ono [<i>Phakopsora euvitis</i> Y. Ono, <i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai] 工藤 晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978 ; Ono, Y.:Mycologia 92:154, 2000 ; Ono, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] <i>Vitis</i>属の宿主はブドウさび病の項を参照 (3) <i>Phakopsora montana</i> Y. Ono & Chatasiri Ono, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] ミヤマハハソ(<i>M. tenuis</i>)に発生。<i>Vitis</i>属の宿主はブドウさび病の項を参照 (4) <i>Physopella ampelopsidis</i> (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [<i>Phakopsora ampelopsidis</i> Dietel & P. Sydow, <i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai, <i>Aecidium meliosmae</i> Dietel] 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) ; 松村 任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明37) ; 工藤	アワブキ(泡吹) (Meliosma) <i>Meliosma myriantha</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (1) <i>Aecidium hornotinum</i> Cummins Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:14, 1955 [備考] リュウキュウアワブキ (<i>M. oldhami</i>) (2) <i>Aecidium meliosmae-pungentis</i> Hennings & Shirai 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) ; 松村 任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明37) [備考] ヤマビワ(<i>M. rigida</i>)に発生。柿島・佐藤 (25回日菌講:61, 1981)は本病原菌が<i>Phakopsora meliosmae</i> Kusano のさび胞子世代であることを口頭発表した、論文としての発表はない (3) <i>Phakopsora meliosmae-myrianthae</i> (Hennings & Shirai) Y. Ono [<i>Phakopsora euvitis</i> Y. Ono, <i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai] 工藤 晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978 ; Ono, Y.:Mycologia 92:154, 2000 ; Ono, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] <i>Vitis</i>属の宿主はブドウさび病の項を参照 (4) <i>Phakopsora montana</i> Y. Ono & Chatasiri Ono, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):338, 2012 [備考] ミヤマハハソ(<i>M. tenuis</i>)に発生。<i>Vitis</i>属の宿主はブドウさび病の項を参照 (5) <i>Physopella ampelopsidis</i> (Dietel & P. Sydow) Cummins & Ramachar [<i>Phakopsora ampelopsidis</i> Dietel & P. Sydow, <i>Aecidium meliosmae-myrianthae</i> Hennings & Shirai, <i>Aecidium meliosmae</i> Dietel] 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) ; 松村 任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明37) ; 工藤 晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978 [備考] ミヤマハハソ (<i>M. tenuis</i>) にも発生 (6) <i>Physopella meliosmae</i> (Kusano) Cummins &
--	---

晟・金子 繁:日植病報 44(3):375, 1978 [備考] ミヤマハハソ (<i>M. tenuis</i>) にも発生 (5) <i>Physopella meliosmae</i> (Kusano) Cummins & Ramachar [<i>Phakopsora meliosmae</i> Kusano, <i>Aecidium meliosmae-pungentis</i> Hennings & Shirai] Kusano, S.:Bot. Mag. 18(214):148, 1904(明37) ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):129, 1904(明37) ; 安田篤:植物学各論隠花部:427, 1911(明44) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) ; Kakishima, M. <i>et al.</i>:Trans. Br. Mycol. Soc. 80:77, 1983 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:337, 1992 [備考] リュウキュウアワブキ・ミヤマハハソ・ヤマビワ(<i>M. rigida</i>)に発生 (注) 病原(2) <i>Aecidium meliosmae-pungentis</i>は, <i>Physopella meliosmae</i> の異名として入っているので、元の病原(2)を削除。元の(2)の文献を新しい(5)へ移動。文献順修正	Ramachar [<i>Phakopsora meliosmae</i> Kusano, <i>Aecidium meliosmae-pungentis</i> Hennings & Shirai] 安田 篤:植物学各論隠花部:427, 1911(明44) ; Kusano, S.:Bot. Mag. 18(214):148, 1904(明37) ; Kakishima, M. <i>et al.</i>:Trans. Br. Mycol. Soc. 80:77, 1983 ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:337, 1992 [備考] リュウキュウアワブキ・ミヤマハハソ・ヤマビワ(<i>M. rigida</i>)に発生
--	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar 枝枯炭疽病 edagare-tanso-byo Glomerella shoot blight (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook 千葉 修・小林享夫:日林誌 41(5):189, 1959 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 [備考] アメリカクロヤマナラシ。千葉・小林	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar 枝枯炭疽病 edagare-tanso-byo Glomerella shoot blight <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan 千葉 修・小林享夫:日林誌 41(5):189, 1959 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 [備考] アメリカクロヤマナラシ。千葉・小林
--	---

(1959)は、本病原を<i>Glomerella cingulata</i>(異名 <i>Myxosporium rimosum</i>)としたが, Sato <i>et al.</i> (2013) は, <i>C. fioriniae</i> と再同定した (2) <i>Colletotrichum salicis</i> (Auerswald ex Fuckel) Damm, P.F. Cannon & Crous 千葉 修・小林享夫:日林誌 41:189, 1959 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] ポプラ交雑種に発生 (注) 病原学名変更、病原追加	(1959)は、本病原を<i>Glomerella cingulata</i>(異名 <i>Myxosporium rimosum</i>)としたが, Sato <i>et al.</i> (2013) は, <i>C. fioriniae</i> と再同定した
--	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar †††炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑葉病) ††<i>Titaosporina tremulae</i> (Libert) Luijk [<i>Gloeosporium tremulae</i> (Libert) Passerini] 新島善直:森林保護学(下):476, 1925(大14) ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 国内発生未確認。調査を要する (注) 病原学名変更。Index fungorumによる	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar †††炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑葉病) ††<i>Gloeosporium tremulae</i> (Libert) Passerini 新島善直:森林保護学(下):476, 1925(大14) [備考] 国内発生未確認。調査を要する
---	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp.	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp.
---	---

(広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ††ドシキザ胴枯病 <i>Dothichiza-dogare-byo</i> Dothichiza canker (潰瘍病, 癌腫病) <i>Cryptodiaporthe populea</i> (Saccardo) Butin [<i>Dothichiza populea</i> Saccardo & Briard] 吉田末彦:病虫雑 4(6):444, 1917(大6) ; 伊藤一雄: 林業技術 182:33, 1957 (注) 文献順修正	(広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ††ドシキザ胴枯病 <i>Dothichiza-dogare-byo</i> Dothichiza canker (潰瘍病, 癌腫病) <i>Cryptodiaporthe populea</i> (Saccardo) Butin [<i>Dothichiza populea</i> Saccardo & Briard] 伊藤一雄:林業技術 182:33, 1957 ; 吉田末彦:病虫 雑 4(6):444, 1917(大6)
--	---

ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) †角斑病 kakuhan-byo (1) <i>Cercospora babylonicae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):79, 1944(昭19) [備考] 台湾。シダレヤナギ(<i>S. babylonica</i>)に発生 (2) <i>Cercospora salicicola</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):87, 1944(昭19) [備考] 台湾。タカサゴアカメヤナギ(<i>S. glandulosa</i> var. <i>warburgii</i>)に発生 (3) <i>Cercospora salicina</i> Ellis & Everhart 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):73, 1960 ; 山本和太郎:熱帯農学会誌 6(3):606, 1934(昭9) [備考] 台湾。シダレヤナギに発生	ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳) Willow <i>Salix</i> spp., <i>Chosenia</i> spp. (広葉樹) †角斑病 kakuhan-byo (1) <i>Cercospora babylonicae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):79, 1944(昭19) [備考] 台湾。シダレヤナギ(<i>S. babylonica</i>)に発生 (2) <i>Cercospora salicicola</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農試報 87(台湾産菌類調査報告 10):87, 1944(昭19) [備考] 台湾。タカサゴアカメヤナギ(<i>S. glandulosa</i> var. <i>warburgii</i>)に発生 (3) <i>Cercospora salicina</i> Ellis & Everhart 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):173, 1960 ; 山本和太郎:熱帯農学会誌 6(3):606, 1934(昭9) [備考] 台湾。シダレヤナギに発生
---	--

(注) 文献ページ修正	
-------------	--

ムクロジ科 Sapindaceae リュウガン(龍眼, 亜荔枝) Longan <i>Euphoria longana</i> Lamarck (果樹) †すす病 susu-byo Sooty mold (1) <i>Chaetothyrium echinulatum</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956 [備考] 台湾 (2) <i>Chaetothyrium sawadai</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956 [備考] 台湾 (3) <i>Meliola nepheliicola</i> F. Stevens & Roldan 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):43, 1953 ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(2):62, 1958 [備考] 台湾 (4) <i>Phaeosaccardinula penzigii</i> (Saccardo) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):46, 1957 [備考] 台湾 (5) <i>Triposporiopsis spinigera</i> (Höhnelt) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953 ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):40, 1957 [備考] 台湾 (注) 文献表記・ページ修正	ムクロジ科 Sapindaceae リュウガン(龍眼, 亜荔枝) Longan <i>Euphoria longana</i> Lamarck (果樹) †すす病 susu-byo Sooty mold (1) <i>Chaetothyrium echinulatum</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956 [備考] 台湾 (2) <i>Chaetothyrium sawadai</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 21(4):167, 1956 [備考] 台湾 (3) <i>Meliola nepheliicola</i> F. Stevens & Roldan 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):43, 1953 ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 3(2):262, 1958 [備考] 台湾 (4) <i>Phaeosaccardinula penzigii</i> (Saccardo) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):46, 1957 [備考] 台湾 (5) <i>Triposporiopsis spinigera</i> (Höhnelt) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農学篇 1(1):46, 1953 ; 山本和太郎:兵庫農大研報 農業生物学編 3(1):40, 1957 [備考] 台湾
---	---

ムクロジ科 Sapindaceae レイシ(ライチー)(荔枝)	ムクロジ科 Sapindaceae レイシ(ライチー)(荔枝)
--	--

Litchi, Lychee, Lichee <i>Litchi chinensis</i> Sonnerat (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 竹内 純ら:関東病虫研報 59:59, 2012 (2) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels Weir, B.S. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 73:115, 2012 ; Ishii, H. <i>et al.</i>:Pestic. Biochem. Physiol. 182:105049, 2022 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	Litchi, Lychee, Lichee <i>Litchi chinensis</i> Sonnerat (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 竹内 純ら:関東病虫研報 59:59, 2012
---	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae ヒマラヤユキノシタ(ベルゲニア) Himalaya-bergenie, Strackey bergenia <i>Bergenia stracheyi</i> (Hook.f & Thomson) Engl. を中心とした種及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 佐藤 衛ら:関西病虫研報 53:71, 2011 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 佐藤豊三ら:日植病報 89(1):9, 2023 (注) 病原学名変更	ユキノシタ科 Saxifragaceae ヒマラヤユキノシタ(ベルゲニア) Himalaya-bergenie, Strackey bergenia <i>Bergenia stracheyi</i> (Hook.f & Thomson) Engl. を中心とした種及び種間雑種 (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 佐藤 衛ら:関西病虫研報 53:71, 2011
--	---

ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花)	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花)
---	---

Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (円星病) (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003 [備考] アジサイ由来の <i>C. sp.</i> は <i>C. destructivum</i> である (2) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum ajisai</i> Miura, <i>Colletotrichum hydrangeae</i> Sawada] 中村重正ら:日植病報 32(2):64, 1966 ; 澤田兼吉:台湾農試報 85:82, 1943(昭18) ; 中村重正:東農大農学集報 14(3-4):190, 1970 [備考] アジサイ・ガクアジサイ・ヤマアジサイ・ツルアジサイ・ガクウツギ・カラコンテリギ (<i>H. chinensis</i>) (注) 病原追加	Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (円星病) (1) <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 森脇丈治ら:日植病報 69(3):259, 2003 [備考] アジサイ由来の <i>C. sp.</i> は <i>C. destructivum</i> である (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Colletotrichum ajisai</i> Miura, <i>Colletotrichum hydrangeae</i> Sawada] 中村重正ら:日植病報 32(2):64, 1966 ; 澤田兼吉:台湾農試報 85:82, 1943(昭18) ; 中村重正:東農大農学集報 14(3-4):190, 1970 [備考] アジサイ・ガクアジサイ・ヤマアジサイ・ツルアジサイ・ガクウツギ・カラコンテリギ (<i>H. chinensis</i>)
ユキノシタ科 Saxifragaceae	ユキノシタ科 Saxifragaceae

スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑葉病, 炭そ病) (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 佐藤 裕・照井 真:北日本病虫研報 69:205, 2018 [備考] フサスグリに発生 (2) <i>Drepanopeziza ribis</i> (Rehm ex Klebahn) Höhnelt [<i>Gloeosporidiella ribis</i> (Libert) Petrak, <i>Gloeosporium ribis</i> (Libert) Montagne & Desmazières, <i>Pseudopeziza ribis</i> Klebahn] 出田 新:日本植物病理学 下巻:676, 1911(明44) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(4):352, 1915(大4) ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 (注) 病原学名変更。Index Fungorumによる	スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラント(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (斑葉病, 炭そ病) (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 佐藤 裕・照井 真:北日本病虫研報 69:205, 2018 [備考] フサスグリに発生 (2) <i>Gloeosporidiella ribis</i> (Libert) Petrak [<i>Gloeosporium ribis</i> (Libert) Montagne & Desmazières, <i>Pseudopeziza ribis</i> Klebahn] 出田 新:日本植物病理学 下巻:676, 1911(明44) ; 村田壽太郎:病虫雑 2(4):352, 1915(大4)
---	---

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae へーべ Hebe <i>Hebe</i> sp. (広葉樹) (注) 宿主名をカタカナに修正。	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae へーべ Hebe <i>Hebe</i> sp. (広葉樹)
--	--

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ステラ(バコパ) Sutera, Bacopa	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ステラ(バコパ) Sutera, Bacopa
---	---

<i>Sutera</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 ; 佐藤豊三ら: 植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum tabacum</i> Böning [<i>Colletotrichum</i> <i>destructivum</i> O'Gara] 佐藤豊三ら:日植病報 74(1):33, 2008 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(2):133, 2012 ; 森脇丈 治ら:日植病報 82(3):236, 2016 [備考] <i>S. cordata</i> (Thunb.) Kuntze に発生。森脇ら (2016)は本病原菌を<i>C. tabacum</i> と再同定した (注) 病原追加	<i>Sutera</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum tabacum</i> Böning [<i>Colletotrichum</i> <i>destructivum</i> O'Gara] 佐藤豊三ら:日植病報 74(1):33, 2008 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(2):133, 2012 ; 森脇丈 治ら:日植病報 82(3):236, 2016 [備考] <i>S. cordata</i> (Thunb.) Kuntze に発生。森脇ら (2016)は本病原菌を<i>C. tabacum</i> と再同定した
--	---

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae トレニア(ハナウリクサ) Blue torenia <i>Torenia fournieri</i> Linden ex E.Fourm. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Euoidium</i> sp. Hoshi, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):89, 2013 (2) <i>Oidium</i> sp. 高松 進ら:日菌報 19(1):71, 1978 ; 星 秀男ら:日 植病報 74(1):33, 2008 [備考] 分生子の発芽管は <i>Erysiphe polygoni</i> 型。 星ら(2008)は <i>Reticuloidium</i> 亜属とした (3) <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae トレニア(ハナウリクサ) Blue torenia <i>Torenia fournieri</i> Linden ex E.Fourm. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Euoidium</i> sp. Hoshi, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 79(2):89, 2013 (2) <i>Oidium</i> sp. 高松 進ら:日菌報 19:71, 1978 ; 高松 進ら:日菌報 19:71, 1978 ; 星 秀男ら:日植病報 74(1):33, 2008 [備考] 分生子の発芽管は <i>Erysiphe polygoni</i> 型。 星ら(2008)は <i>Reticuloidium</i> 亜属とした (3) <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973
--	--

(注) 重複文献を削除	
-------------	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. ††††退緑病 tairyoku-byo Pepper chlorosis ‘<i>Candidatus</i> Phytoplasma solani’ 下元祥史ら:日植病報 85(1):71, 2019 ; Shimomoto, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):76, 2020 [備考] シシトウガラシに発生。病原同定不十分。16S rDNA相同性に基づく推定 (注) 新病名	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. †††† ‘<i>Candidatus</i> Phytoplasma solani’ 下元祥史ら:日植病報 85(1):71, 2019 ; Shimomoto, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):76, 2020 [備考] シシトウガラシに発生。病原同定不十分。16S rDNAによる推定
---	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Yellow dwarf (1) <i>Eupatorium yellow vein virus</i> (EpYVV) ヒヨドリバナ黄化モザイクウイルス 大貫正俊・上田重文:日植病報 75(1):42, 2009 (2) <i>Honeysuckle yellow vein virus</i> (HYVV) スイカズラ葉脈黄化ウイルス [Honeysuckle yellow vein mosaic virus#, Tobacco leaf curl Japan virus#, Tobacco leaf curl virus#] 尾崎武司ら:日植病報 42(1):82, 1976 ; 尾崎武司ら:植物防疫 30(11):458, 1976 ; 尾崎武司・井上忠男:日植病報 44(2):167, 1978 ; Osaki, T. & Inouye,	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Yellow dwarf (1) <i>Eupatorium yellow vein virus</i> (EpYVV) 大貫正俊・上田重文:日植病報 75(1):42, 2009 (2) <i>Honeysuckle yellow vein mosaic virus</i> (HYVMV) (3) <i>Tobacco leaf curl Japan virus</i> (TbLCJV) Shimizu, S. & Ikegami, M.:Microbiol. Immunol. 43:989, 1999 ; Fauquet, C. M. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 148:405, 2003 ; Ogawa, T. <i>et al.</i>:Virus Res. 137:235, 2008 ; Kitamura, K. <i>et al.</i>:Plant Pathol. 57:391, 2008 (4) <i>Geminiviridae</i>
---	--

T.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses 232, 1981 ; Shimizu, S. & Ikegami, M.:Microbiol. Immunol. 43:989, 1999 ; Fauquet, C. M. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 148:405, 2003 ; Ogawa, T. <i>et al.</i>:Virus Res. 137:235, 2008 ; Kitamura, K. <i>et al.</i>:Plant Pathol. 57:391, 2008 (3) Tomato curly top virus# (ToCTV) トマトカーリートップウイルス 久保田健嗣ら:日植病報 77(3):189, 2011 ; Kubota, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(2):100, 2023 (4) Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV) トマト黄化葉巻ウイルス 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 [備考] RT-PCRによる検出。Kato <i>et al.</i> (1998)は病名として黄化葉巻病を提案 (注) 病原ウイルスを整理し和名を追記	久保田健嗣ら:日植病報 77(3):189, 2011 [備考] Geminiviridae科新規ウイルス (5) Tobacco leaf curl virus 尾崎武司ら:日植病報 42(1):82, 1976 ; 尾崎武司ら:植物防疫 30(11):458, 1976 ; 尾崎武司・井上忠男:日植病報 44(2):167, 1978 ; Osaki, T. & Inouye, T.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses 232, 1981 (6) Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV) 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 [備考] RT-PCRによる検出。Kato <i>et al.</i> (1998)は病名として黄化葉巻病を提案
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化葉巻病 oka-hamaki-byo Yellow leaf curl (1) <i>Lisianthus enation leaf curl virus (LELCV)</i> トルコギキョウひだ葉巻ウイルス Taniguchi, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(1):35, 2023 (2) Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV) トマト黄化葉巻ウイルス 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 ; Ueda, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(4):319, 2005 [備考] RT-PCR による検出。本ウイルスは ICTV では <i>Tomato yellow leaf curl virus-Is, -Sr, -Th, -Ye</i>	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化葉巻病 oka-hamaki-byo Yellow leaf curl <i>Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV)</i> トマト黄化葉巻ウイルス 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 ; Ueda, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(4):319, 2005 [備考] RT-PCR による検出。本ウイルスは ICTV では <i>Tomato yellow leaf curl virus-Is, -Sr, -Th, -Ye</i> に分けられているので、それらとの異同の検討を
--	--

に分けられているので、それらとの異同の検討を要する (注) 病原追加	要する
---	-----

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化病 oka-byo Yellowing (1) <i>Tomato chlorosis virus</i> (ToCV) トマト退緑ウイルス Hirota, T. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 76(2):168, 2010 ; 上田重文・寺見文宏:日植病報 88(4):250, 2022 [備考] 上田・寺見(2022)は、果実重低下が起こることを報告した (2) <i>Tomato infectious chlorosis virus</i> (TICV) トマトインフュクシャスクロロシスウイルス Hartono, S. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 69(1):61, 2003 (注) 備考追加	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化病 oka-byo Yellowing (1) <i>Tomato chlorosis virus</i> (ToCV) トマト退緑ウイルス Hirota, T. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 76(2):168, 2010 (2) <i>Tomato infectious chlorosis virus</i> (TICV) トマトインフュクシャスクロロシスウイルス Hartono, S. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 69(1):61, 2003
--	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>lycopersici</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium lycopersici</i> Saccardo] 村田壽太郎:園芸之友 11(8):934, 1915(大4) ; 菅原	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>lycopersici</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium lycopersici</i> Saccardo] 村田壽太郎:園芸之友 2:934, 1915(大4) ; 菅原裕
--	---

裕幸・鈴木一平:園試報B 5:1, 1966 ; 細淵勇治:日植病報 64(4):434, 1998 ; 益永輝幸ら:日植病報 64(4):435, 1998 [備考] 細淵, 益永ら (1998) は race 3 の発生を報告した (注) 文献巻号訂正	幸・鈴木一平:園試報B 5:1, 1966 ; 細淵勇治:日植病報 64(4):434, 1998 ; 益永輝幸ら:日植病報 64(4):435, 1998 [備考] 細淵, 益永ら (1998) は race 3 の発生を報告した
---	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot, Nail-head spot <i>Alternaria tomato</i> (Cooke) Weber [<i>Macrosporium tomato</i> Cooke] 原 攝祐:実用作物病理学:508, 1925(大14) ; 山本和太郎:植物防疫 15(8):347, 1961 (注) 文献誌名訂正	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot, Nail-head spot <i>Alternaria tomato</i> (Cooke) Weber [<i>Macrosporium tomato</i> Cooke] 原 攝祐:実験作物病理学:508, 1925(大14) ; 山本和太郎:植物防疫 15(8):347, 1961
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 白星病 shirahoshi-byo Septoria blight, Leaf spot (葉斑病, 斑点病) <i>Septoria lycopersici</i> Spegazzini 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1054, 1915(大4) ; 山田 済:病虫雑 10(12):549, 1923(大12) ; 原 攝祐:実用作物病理学:511, 1925(大14) (注) 文献誌名訂正	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 白星病 shirahoshi-byo Septoria blight, Leaf spot (葉斑病, 斑点病) <i>Septoria lycopersici</i> Spegazzini 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1054, 1915(大4) ; 山田 済:病虫雑 10(12):549, 1923(大12) ; 原 攝祐:実験作物病理学:511, 1925(大14)
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実炭疽病, 鮭肉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 末永寛子ら:日植病報 74(1):68, 2008 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum phomoides</i> (Saccardo) Chester] 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1053, 1915(大4); 金野敬三:園芸之友 14(9):662, 1918(大7); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992 (3) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted [<i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes] 白井佳代ら:日植病報 84(3):200, 2018; 白井佳代ら:日植病報 85(3):227, 2019 [備考] 果実の腐敗症状 (4) <i>Colletotrichum plurivorum</i> Damm, Alizadeh & Toy. Sato Damm, U. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 92:1, 2019; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実炭疽病, 鮭肉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 末永寛子ら:日植病報 74(1):68, 2008 (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Colletotrichum phomoides</i> (Saccardo) Chester] 村田壽太郎:園芸之友 11(9):1053, 1915(大4); 金野敬三:園芸之友 14(9):662, 1918(大7); 小林享夫ら:植物病原菌類図説:590, 1992 (3) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted [<i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes] 白井佳代ら:日植病報 84(3):200, 2018; 白井佳代ら:日植病報 85(3):227, 2019 [備考] 果実の腐敗症状
---	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot
--	--

(1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生ら:日植病報 86(3):190, 2020 [備考] 綿腐病の病原でもある (2) <i>Pythium cryptoirregulare</i> Garzón, Yáñez & G.W. Moorman 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (3) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 48(3):349, 1982 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 [備考] 養液栽培で発生 (4) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 47(3):387, 1981 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 (5) <i>Pythium recalcitrans</i> Belbahri & E. Moralejo 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (6) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (7) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (注) 病原追加、病原順変更	(1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生ら:日植病報 86(3):190, 2020 [備考] 綿腐病の病原でもある (2) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 47(3):387, 1981 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 (3) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 48(3):349, 1982 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 [備考] 養液栽培で発生
--	--

ナス科 Solanaceae ホオズキ類 (Physalis) <i>Physalis</i> spp. (野草) センナリホオズキ <i>Physalis angulata</i> L. シヨクヨウホオズキ <i>Physalis pruinosa</i> L. すす斑病 <i>susuhan-byo</i> Sooty spot <i>Cladosporium tenuissimum</i> Cooke Miyake, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):282, 2022 [備考] ショクヨウホオズキの熟した萼に発生	ナス科 Solanaceae ホオズキ類 (Physalis) <i>Physalis</i> spp. (野草) センナリホオズキ <i>Physalis angulata</i> L. シヨクヨウホオズキ <i>Physalis pruinosa</i> L. すす斑病 Sooty spot <i>susuhan-byo</i> <i>Cladosporium tenuissimum</i> Cooke Miyake, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 88(4):282, 2022 [備考] ショクヨウホオズキの熟した萼に発生
---	---

(注) 病名読みと病名英名の位置を修正	
---------------------	--

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium melongenae</i> Ellis & Halsted] 原 攝祐:実験作物病理学:809, 1930(昭5) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:591, 1992 (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore Sato, T. <i>et al.</i> :JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium melongenae</i> Ellis & Halsted] 原 攝祐:実験作物病理学:809, 1930(昭5) ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:591, 1992
---	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes [<i>Colletotrichum atramentarium</i> (Berkeley & Broome) Taubenhaus] 栗林数衛ら:長野農試彙報 34(6):1, 1951 (2) <i>Colletotrichum nigrum</i> Ellis & Halsted Moriwaki, J. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 68(4):307, 2002 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum coccodes</i> (Wallroth) S. Hughes [<i>Colletotrichum atramentarium</i> (Berkeley & Broome) Taubenhaus] 栗林数衛ら:長野農試彙報 34(6):1, 1951
--	--

(注) 病原追加	
----------	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev [<i>Tylenchus dipsaci</i> (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ 鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) (2) <i>Globodera pallida</i> Stone ジャガイモシロシストセンチュウ Sekimoto, S. <i>et al.</i>:Plant Dis. 100(8):1794, 2016 (3) <i>Globodera rostochiensis</i> (Wollenweber) Behrens ジャガイモシストセンチュウ Yamada, E. <i>et al.</i>:Jpn. J. Nematol. 2:12, 1972 (4) <i>Paratrophurus</i> sp. リュウキュウイシユクセンチュウ 照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979 (5) <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 (注) 病原追加	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev [<i>Tylenchus dipsaci</i> (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ 鏑木外岐雄:実際園芸 13(増 4):302, 1932(昭 7) (2) <i>Paratrophurus</i> sp. リュウキュウイシユクセンチュウ 照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979 (3) <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27
---	--

アオギリ科 Sterculiaceae カカオ Cacao <i>Theobroma cacao</i> L. (特用作物) †††† <i>Lasiodiplodia thailandica</i> T. Trakunyingcharoen, L. Lombard & Crous Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):79, 2023	アオギリ科 Sterculiaceae カカオ Cacao <i>Theobroma cacao</i> L. (特用作物)
--	---

[備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	
-----------------------------------	--

ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐色葉枯病) (1) <i>Colletotrichum camelliae</i> Massee 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Guignardia camelliae</i> (Cooke) E.J. Butler, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 伊藤一雄:植物防疫 9(11):437, 1955 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:68, 1973 [備考] ユキツバキ (<i>C. rusticana</i>) にも発生 (注) 病原追加	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (褐色葉枯病) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Guignardia camelliae</i> (Cooke) E.J. Butler, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 伊藤一雄:植物防疫 9(11):437, 1955 ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:68, 1973 [備考] ユキツバキ (<i>C. rusticana</i>) にも発生
--	---

ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) <i>Sasanqua camellia</i> <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) †炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Discula theae-sinensis</i> (I. Miyake) Moriwaki & Toy. Sato [<i>Gloeosporium theae-sinensis</i> I. Miyake] Miyake, I.:Bot. Mag. Japan 27(315):51, 1913(大2) ; Moriwaki, J. & Sato, T.:J. Gen. Plant Pathol.	ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅) <i>Sasanqua camellia</i> <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) †炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Gloeosporium theae-sinensis</i> I. Miyake Miyake, I.:Bot. Mag. Japan 27(315):51, 1913(大2) [備考] 中国。サザンカでは国内未発生。チャ炭疽病では病原は<i>Discula theae-sinensis</i> (I. Miyake)
---	--

75(5):359, 2009 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 中国。サザンカでは国内未発生 (注) 病原学名変更、備考変更。Index Fungorumによる	Moriwaki & Toy. Satoと転属された
--	---------------------------------------

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 赤焼病 akayake-byo Bacterial shoot blight <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>theae</i> (Hori 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas theae</i> (Hori) Okabe & Goto] 堀 正太郎:病虫雑 1(3):247, 1914(大3) ; 堀 正太郎:病虫雑 2(1):1, 1915 ; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:96, 1955 [備考] 初めに本病原とされた <i>Bacillus theae</i> Hori & Bokura と <i>Pseudomonas theae</i> (Hori) Okabe & Goto との同一性には疑義がある (西山:日本産植物病原細菌病の病原と病原細菌の学名 p.21, 1997) (注) 文献ページ・発行年訂正	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 赤焼病 akayake-byo Bacterial shoot blight <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>theae</i> (Hori 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas theae</i> (Hori) Okabe & Goto] 堀 正太郎:病虫雑 1(3):217, 1914(大3) ; 堀 正太郎:病虫雑 2(1):247, 1914 ; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:96, 1955 [備考] 初めに本病原とされた <i>Bacillus theae</i> Hori & Bokura と <i>Pseudomonas theae</i> (Hori) Okabe & Goto との同一性には疑義がある (西山:日本産植物病原細菌病の病原と病原細菌の学名 p.21, 1997)
---	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) †褐色すす病 kasshoku-susu-byo Sooty mold <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W.	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) †褐色すす病 kasshoku-susu-byo Sooty mold <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W.
--	--

Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2-3):258, 1940(昭15) [備考] 台湾 (注) 文献号数修正	Yamamoto 山本和太郎:日植病報 10(2, 3):258, 1940(昭15) [備考] 台湾
---	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) †††† <i>Tea plant necrotic ring blotch virus</i> (TPNRBV) 岩渕 望ら:日植病報 89(1):11, 2023 [備考] 塩基配列解析による同定。戻し接種なし (注) 新宿主	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物)
--	--

シナノキ科 Tiliaceae モロヘイヤ(タイワンツナソ) Jew's marrow <i>Corchorus olitorius</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 本多哲也ら:日植病報 61(6):605, 1995 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (注) 病原学名変更	シナノキ科 Tiliaceae モロヘイヤ(タイワンツナソ) Jew's marrow <i>Corchorus olitorius</i> L. (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 本多哲也ら:日植病報 61(6):605, 1995 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013
---	--

ニレ科 Ulmaceae ウラジロエノキ (Trema) <i>Trema orientalis</i> (L.) Bl. (広葉樹) †††† <i>Lasiodiplodia hormozganensis</i> Abdollahzadeh, Zare & A.J.L. Phillips Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 64(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	ニレ科 Ulmaceae ウラジロエノキ (Trema) <i>Trema orientalis</i> (L.) Bl. (広葉樹)
--	--

ニレ科 Ulmaceae ニレ類(榆) (Ulmus) <i>Ulmus</i> spp. (広葉樹) ハルニレ(春榆) <i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehd.) Nakai オヒョウ <i>Ulmus laciniata</i> (Trautv.) Mayr アキニレ(秋榆) <i>Ulmus parvifolia</i> Jacq. †斑葉病 han'yo-byo <i>Phyllosticta ulmicola</i> Saccardo 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 362):36, 1928(昭3) [備考] 中国東北部。ノニレ・ハルニレ・チョウ センニレ (<i>U. macrocarpa</i>) (注) 文献誌名修正 (他と合わせた)	ニレ科 Ulmaceae ニレ類(榆) (Ulmus) <i>Ulmus</i> spp. (広葉樹) ハルニレ(春榆) <i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehd.) Nakai オヒョウ <i>Ulmus laciniata</i> (Trautv.) Mayr アキニレ(秋榆) <i>Ulmus parvifolia</i> Jacq. †斑葉病 han'yo-byo <i>Phyllosticta ulmicola</i> Saccardo 原 攝祐:東亜菌類誌:36, 1928(昭3) [備考] 中国東北部。ノニレ・ハルニレ・チョウ センニレ (<i>U. macrocarpa</i>)
---	--

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes
---	---

<i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 73:113, 2022 (2) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> sensu stricto Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 [備考] 狭義の<i>C. gloeosporioides</i> (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子ら:日植病報 84(1):3, 2018 (6) <i>Colletotrichum perseae</i> G. Sharma & S. Freeman Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 73:113, 2022 (8) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D.	<i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 (2) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) R.G. Shivas & Y.P. Tan [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> sensu stricto Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 [備考] 狭義の<i>C. gloeosporioides</i> (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子ら:日植病報 84(1):3, 2018 (6) <i>Colletotrichum perseae</i> G. Sharma & S. Freeman Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (8) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D.
--	---

Hyde & Z.Y. Liu 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 ; 三澤知央 ら:北日本病虫研報 73:113, 2022 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀 正 太郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40) [備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphilinum</i> Cavara を記載した。ま た, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病 の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した (注) 文献追加、病原学名変更	Hyde & Z.Y. Liu 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀 正 太郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40) [備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphilinum</i> Cavara を記載した。ま た, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病 の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した
--	--

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, モニリア病) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) ; 原 攝祐:実 用作物病理学:354, 1925(大14) ; 原 攝祐:実験作物 病理学:486, 1930(昭5) [備考] 永田英明ら (日植病報 50(1):137, 1984) は 巨峰の腐敗果から <i>M. fructicola</i> (Winter) Honey を	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 灰星病 haiboshi-byo Brown rot (菌核病, モニリア病) <i>Monilinia fructigena</i> (Aderhold & Ruhland) Honey [<i>Monilia fructigena</i> Persoon, <i>Sclerotinia fructigena</i> (Persoon) J. Schröter] 原 攝祐:果樹病害論:102, 1916(大5) ; 原 攝祐:実 験果樹 486:345, 1930(昭5) [備考] 永田英明ら (日植病報 50(1):137, 1984) は
--	---

分離している (注) 文献修正	巨峰の腐敗果から<i>M. fructicola</i> (Winter) Honey を分離している
-------------------------------	--

シヨウガ科 Zingiberaceae ミヨウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) †††† <i>Pseudomonas</i> sp. 津野 翔ら:日植病報 89(1):17, 2023 [備考] 養液栽培ミヨウガの花蕾腐敗症状から分離した。16S rRNA遺伝子解析では<i>Pseudomonas fluorescens</i>のグループと同定。詳細な分類と病原性については検討を要す (注) 新宿主	シヨウガ科 Zingiberaceae ミヨウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜)
--	---

シヨウガ科 Zingiberaceae シヨウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia zingiberis</i> Y. Nisikado 原 攝祐:日園雑 28(12):9, 1916(大5) (注) 文献巻数訂正	シヨウガ科 Zingiberaceae シヨウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia zingiberis</i> Y. Nisikado 原 攝祐:日園雑 29(12):9, 1916(大5)
--	--

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2023年8月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名，病原追加，病名・学名変更，文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤 衛

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

レンブクソウ科 Adoxaceae レンブクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia argentata</i> (Schultz) G. Winter [<i>Puccinia nolitangeris</i> Corda] Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:794, 1992 [備考] レンブクソウ・ツリフネソウ(<i>Impatiens textorii</i>)・キツリフネソウ(<i>Impatiens noli-tangere</i>)に発生 (注) 文献ページの前にコロン挿入	レンブクソウ科 Adoxaceae レンブクソウ (Adoxa) <i>Adoxa moschatellina</i> L. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia argentata</i> (Schultz) G. Winter [<i>Puccinia nolitangeris</i> Corda] Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan 794, 1992 [備考] レンブクソウ・ツリフネソウ(<i>Impatiens textorii</i>)・キツリフネソウ(<i>Impatiens noli-tangere</i>)に発生
アロエ科 Aloaceae アロエ Aloe <i>Aloe</i> spp. (草花) 紫斑病 shihan-byo Purple spot <i>Fusarium phyllophilum</i> Nirenberg & O'Donnell [<i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg var. <i>minus</i>] 岸 國平ら:日植病報 63(3):202, 1997 ; Kishi, K. <i>et</i>	アロエ科 Aloaceae アロエ Aloe <i>Aloe</i> spp. (草花) 紫斑病 shihan-byo Purple spot <i>Fusarium phyllophilum</i> Nirenberg & O'Donnell [<i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg var. <i>minus</i>] 岸 國平ら:日植病報 63(3):202, 1997 ; Kishi, K. <i>et</i>

<i>al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(6):576, 1999 [備考] <i>A. arborescens</i> Mill. (注) 備考の宿主学名命名者名のピリオド修正	<i>al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 65(6):576, 1999 [備考] <i>A. arborescens</i> Mill
--	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岬哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (2) <i>Colletotrichum asianum</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (3) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岬哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (4) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岬哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岬哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017
---	---

(5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した (6) <i>Colletotrichum miaoliense</i> P.C. Chung & H.Y. Wu 澤岷哲也ら:日植病報 89(3):149, 2023 (7) <i>Colletotrichum queenslandicum</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(5):291, 2017 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (8) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岷哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (9) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (10) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (11) <i>Colletotrichum</i> sp. (Clade Q) 澤岷哲也ら:日植病報 87(3):150, 2021	(5) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:続日本植物病理学 下巻:764, 1926(大15) ; 中村重正ら:日植病報 45(4):545, 1979 ; 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 [備考] 安次富ら(2017)は狭義の<i>C. gloeosporioides</i>と再同定した (6) <i>Colletotrichum queenslandicum</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 83(5):291, 2017 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (7) <i>Colletotrichum scovillei</i> Damm, P.F. Cannon & Crous [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 田場 聡ら:熱帯農業 48:57, 2004 ; 澤岷哲也ら:日植病報 81(3):206, 2015 (8) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (9) <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk] 澤岷哲也ら:日植病報 77(1):36, 2011 ; 澤岷哲也ら:日植病報 79(1):10, 2013 ; 安次富 厚ら:日植病報 83(1):81, 2017 (10) <i>Colletotrichum</i> sp. (Clade Q) 澤岷哲也ら:日植病報 87(3):150, 2021
---	---

(注) 病原追加	
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) 根朽病 nekuchi-byo Root rot <i>Didymella</i> sp. 廣岡裕吏ら:日植病報 85(1):54, 2019 [備考] 斑点病の病原との異同は不明 (注) 備考追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) 根朽病 nekuchi-byo Root rot <i>Didymella</i> sp. 廣岡裕吏ら:日植病報 85(1):54, 2019
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Didymella</i> sp. 加藤誠司ら:日植病報 89(3):150, 2023 [備考] 根朽病の病原との異同は不明 (注) 新病名	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物)
セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物)	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物)

†††† Cnidium virus 1# (CnV1) センキュウウイルス1 岩井一真ら:日植病報 89(3):168, 2023 [備考] 戻し接種なし (注) 新宿主	
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> Nym. (野菜) 疫病 eki-byo (1) <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse, <i>Phytophthora</i> <i>parasitica</i> Dastur] 赤山喜一郎ら:日植病報 52(3):533, 1986 (2) <i>Phytophthora tentaculata</i> Kröber & Marwitz 藤 結宇ら:日植病報 89(3):211, 2023 (注) 病原追加	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> Nym. (野菜) 疫病 eki-byo <i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan [<i>Phytophthora nicotianae</i> Breda de Haan var. <i>parasitica</i> (Dastur) G.M. Waterhouse, <i>Phytophthora</i> <i>parasitica</i> Dastur] 赤山喜一郎ら:日植病報 52(3):533, 1986
--	--

キョウチクトウ科 Apocynaceae ラネテ (Wrightia) <i>Wrightia laniti</i> (Blanco) Merr. (広葉樹) †さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium prolixum</i> Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):242, 1935(昭10) [備考] 台湾 (2) <i>Hemileia wrightiae</i> Raciborski	キョウチクトウ科 Apocynaceae ラネテ (Wrightia) <i>Wrightia laniti</i> (Blanco) Merr. (広葉樹) †さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium prolixum</i> Sydow & P. Sydow Hiratsuka, N. & Hashioka, Y.:Trans. Tottori Soc. Agr. Sci. 5(3):242, 1935(昭10) [備考] 台湾 (2) <i>Hemileia wrightiae</i> Raciborski
---	---

平塚直秀:植研雑 12(9):674, 1936(昭11) [備考] 台湾 (注) 文献号数訂正	平塚直秀:植研雑 12(7):674, 1936(昭11) [備考] 台湾
--	--

サトイモ科 Araceae モンステラ (Monstera) <i>Monstera</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum boninense</i> Moriwaki, Toy. Sato & Tsukiboshi sensu lato [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 竹内 純ら:関東病虫研報 58:69, 2011 ; 佐藤豊三ら:日植病報 81(3):205, 2015 [備考] ホウライショウ (<i>M. deliciosa</i> Liebm.)に発生 (注) 病原学名修正	サトイモ科 Araceae モンステラ (Monstera) <i>Monstera</i> spp. (草花) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum boninense</i> sensu lato [<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo] 竹内 純ら:関東病虫研報 58:69, 2011 ; 佐藤豊三ら:日植病報 81(3):205, 2015 [備考] ホウライショウ (<i>M. deliciosa</i> Liebm.)に発生
--	---

ウコギ科 Araliaceae ウコギ(五加木) Ginseng <i>Acanthopanax spinosus</i> (L. fil.) Miq. (広葉樹) †††† <i>Phyllosticta yamaukogi</i> Miura Miyura, M.:Rep. Akita Pref. Agri. Expt. Sta. 13:11, 1962 [備考] ヤマウコギ (注) 著者名・誌名修正、文献年訂正	ウコギ科 Araliaceae ウコギ(五加木) Ginseng <i>Acanthopanax spinosus</i> (L. fil.) Miq. (広葉樹) †††† <i>Phyllosticta yamaukogi</i> Miura 三浦密成:秋田農試報 13:11, 1961 [備考] ヤマウコギ
---	---

ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Neofusicoccum parvum</i> species complex 富石爽太ら:日植病報 89(3):212, 2023 (注) 新病名	ウコギ科 Araliaceae ヤツデ(八手) Japanese aralia <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. & Planch. (広葉樹)
--	---

ウコギ科 Araliaceae カミヤツデ(紙八手) Rice paper plant <i>Tetrapanax papyriferus</i> (Hook.) K. Koch (広葉樹) 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Neofusicoccum parvum</i> (Pennycook & Samuels) Crous, Slippers & A.J.L. Phillips Ashida, A. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(3):179, 2023 ; 芦田 晃ら:日植病報 89(3):212, 2023 (注) 新病名	ウコギ科 Araliaceae カミヤツデ(紙八手) Rice paper plant <i>Tetrapanax papyriferus</i> (Hook.) K. Koch (広葉樹)
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 坂本美沙:九病虫研会報 68:44, 2022 ; 坂本美沙:植	キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 軟腐病 nampu-byo Soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 坂本美沙:九病虫研会報 68:44, 2022
---	--

物防疫 77(7):378, 2023 (注) 文献追加	
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 黒あざ病 kuroaza-byo (ヤケ) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 松田 明ら:日植病報 39(3):200, 1973 ; 角野晶大 ら:日植病報 59(1):88, 1993 ; 三澤知央・角野晶 大:日植病報 89(1):50, 2023 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。松田 ら(1973)の病原は, 菌糸融合群 AG-2-2 IIIB, 三 澤・角野(2023)は, AG-2-2 IIIBおよび角野ら(1993) の病原をAG-2-2 IVと再同定した (注) 文献間の全角コロンを全角セミコロンの修 正	キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 黒あざ病 kuroaza-byo (ヤケ) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 松田 明ら:日植病報 39(3):200, 1973 ; 角野晶大 ら:日植病報 59(1):88, 1993 ; 三澤知央・角野晶 大:日植病報 89(1):50, 2023 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。松田 ら(1973)の病原は, 菌糸融合群 AG-2-2 IIIB, 三 澤・角野(2023)は, AG-2-2 IIIBおよび角野ら(1993) の病原をAG-2-2 IVと再同定した
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物) ホソバオケラ <i>Atractylodes lancea</i> (Thunb.) DC. 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot (1) <i>binucleate Rhizoctonia</i> 森 万菜実ら:日植病報 89(1):50, 2023 [備考] 菌糸融合群 AG-A。ホソバオケラに発生 (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森 万菜実ら:日植病報 89(1):50, 2023	キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物) ホソバオケラ <i>Atractylodes lancea</i> (Thunb.) DC. 立枯病 tachigare-byo Stem and root rot (1) <i>binucleate Rhizoctonia</i> 森 万菜実ら:日植病報 89(1):50, 2023 [備考] 菌糸融合群 AG-A。ホソバオケラに発生 (2) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 森 万菜実ら:日植病報 89(1):50, 2023
--	--

[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 IV。ホソバオケラに発生 (注) 病原学名修正	[備考] 菌糸融合群 AG-2-2 IV。ホソバオケラに発生
---	---------------------------------------

キク科 Asteraceae, Compositae ジョチュウギク(ムシヨケギク, 除虫菊) Pyrethrum <i>Chrysanthemum cinerariaefolium</i> (Trev.) Bocc. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia cnici-oleracei</i> Persoon ex Desmazières [Puccinia heeringiana Klebahn] 平塚直秀:植物銹菌学研究:314, 1955 ; 平塚直秀:菌 蕈研報 18:39, 1980 (注) 文献誌名を他と合わせた	キク科 Asteraceae, Compositae ジョチュウギク(ムシヨケギク, 除虫菊) Pyrethrum <i>Chrysanthemum cinerariaefolium</i> (Trev.) Bocc. (特用作物) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia cnici-oleracei</i> Persoon ex Desmazières [Puccinia heeringiana Klebahn] 平塚直秀:植物銹菌学研究:314, 1955 ; 平塚直秀:菌 蕈研究 18:39, 1980
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ハルシャギク(クジャクソウ, ジャノメソウ) Tickseed, Plains coreopsis, Lance coreopsis <i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt. (草花) キンケイギク Golden wave <i>Coreopsis</i> <i>drummondii</i> Torr. & Gray オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte, <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte] 平田幸治:千葉園芸学術報告 5:35, 1942(昭17) ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agric. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku	キク科 Asteraceae, Compositae ハルシャギク(クジャクソウ, ジャノメソウ) Tickseed, Plains coreopsis, Lance coreopsis <i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt. (草花) キンケイギク Golden wave <i>Coreopsis</i> <i>drummondii</i> Torr. & Gray オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte, <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte] 平田幸治:千葉園芸学術報告 5:35, 1942(昭17) ; Tanda, S.:J. Agric. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku
--	--

30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 [備考] 平田(1942) は発芽管の観察のみ。 Tanda(1986) は寄主リストのみ (注) 文献著者修正	30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 [備考] 平田(1942) は発芽管の観察のみ。 Tanda(1986) は寄主リストのみ
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte, <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte] 本間ヤス:北大農紀 38:301, 1937(昭12) ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agric. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 有賀 麻貴ら:日植病報 66(3):272, 2000 ; 有賀麻貴ら:日 植病報 67(2):116, 2001 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 [備考] Tanda (1986) は寄主リスト。チョコレート コスモスに発生[有賀ら(2000, 2001)] (注) 文献著者修正	キク科 Asteraceae, Compositae コスモス(秋桜, アキザクラ, オオハルシャギク) Cosmos <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav. (草花) チョコレートコスモス <i>Cosmos atrosanguineus</i> (Hook.) Voss キバナコスモス Golden cosmos, Sulfur cosmos <i>Cosmos sulphureus</i> Cav. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte, <i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte] 本間ヤス:北大農紀 38:301, 1937(昭12) ; Tanda, S.:J. Agric. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 30(3):258, 1986 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 有賀 麻貴ら:日植病報 66(3):272, 2000 ; 有賀麻貴ら:日 植病報 67(2):116, 2001 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 [備考] Tanda (1986) は寄主リスト。チョコレート コスモスに発生[有賀ら(2000, 2001)]
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊)	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊)
--	--

Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt, Wilt (1) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg 鈴木啓太ら:日植病報 89(1):42, 2023 (2) <i>Fusarium languescens</i> L. Lombard & Crous 竹原有志ら:日植病報 89(3):152, 2023 (3) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 有江 力ら:日植病報 52(1):100, 1986 (4) <i>Fusarium torulosum</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Nirenberg 鈴木啓太ら:日植病報 89(1):42, 2023 (注) 病原追加	Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 萎凋病 icho-byo Fusarium wilt, Wilt (1) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg 鈴木啓太ら:日植病報 89(1):42, 2023 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 有江 力ら:日植病報 52(1):100, 1986 (3) <i>Fusarium torulosum</i> (Berkeley & M.A. Curtis) Nirenberg 鈴木啓太ら:日植病報 89(1):42, 2023
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae ムラサキバレンギク(エキナセア) Purple coneflower <i>Echinacea purpurea</i> (L.) Moench (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 山本孝彗ら:四国植防 28:49, 1993 (注) 文献著者修正	キク科 Asteraceae, Compositae ムラサキバレンギク(エキナセア) Purple coneflower <i>Echinacea purpurea</i> (L.) Moench (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 山本孝彗:四国植防 28:49, 1993
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae スイゼンジナ(キンジソウ) Gynura <i>Gynura bicolor</i> (Roxb. ex Willd.) DC.	キク科 Asteraceae, Compositae スイゼンジナ(キンジソウ) Gynura <i>Gynura bicolor</i> (Roxb. ex Willd.) DC.
---	---

(野菜) †††† <i>Chrysanthemum virus B</i> (CVB) キクBウイルス 関根健太郎ら:日植病報 89(3):173, 2023 [備考] 葉巻症状。塩基配列による検出。戻し接種なし (注) 新宿主	(野菜)
---	-------------

キク科 Asteraceae, Compositae リアトリス(キリンギク) Gayfeather <i>Liatris</i> spp. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Virus <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス2 山本孝彜ら:四国植防 29:71, 1994 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004 (注) 文献著者修正	キク科 Asteraceae, Compositae リアトリス(キリンギク) Gayfeather <i>Liatris</i> spp. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Virus <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス2 山本孝彜:四国植防 29:71, 1994 ; 小林有紀ら:関東病虫研報 51:43, 2004
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ルドベキア Coneflower <i>Rudbeckia</i> spp. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic <i>Rudbeckia mosaic virus#</i> (RuMV) ルドベキアモザイクウイルス 山本孝彜ら:四国植防 29:77, 1994 (注) 文献著者修正	キク科 Asteraceae, Compositae ルドベキア Coneflower <i>Rudbeckia</i> spp. (草花) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic <i>Rudbeckia mosaic virus#</i> (RuMV) ルドベキアモザイクウイルス 山本孝彜:四国植防 29:77, 1994
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ネコノシタ (Wollastonia) <i>Wollastonia dentata</i> (H.Lév. & Vaniot) Orchard (草花) (注) 宿主英名訂正	キク科 Asteraceae, Compositae ネコノシタ (Wedelia) <i>Wollastonia dentata</i> (H.Lév. & Vaniot) Orchard (草花)
--	--

カバノキ科 Betulaceae シデ類 Hornbeam <i>Carpinus</i> spp. (広葉樹) サワシバ (Carpinus) <i>Carpinus cordata</i> Blume クマシデ <i>Carpinus japonica</i> Blume アカシデ <i>Carpinus laxiflora</i> (Sieb. & Zucc.) Blume イヌシデ <i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe carpinicola</i> (Hara) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpinicola</i> (Hara) Hara, <i>Uncinula geniculata</i> W.R. Gerard var. <i>carpinicola</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大4) ; 原 攝祐:樹病学各論:16, 1923(大12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 [備考] アカシデ・イヌシデ・クマシデに発生 (2) <i>Erysiphe carpini-cordatae</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpini-cordatae</i> Tanda & Nomura, <i>Uncinula pseudocarpinicola</i> Y. Nomura & Tanda] Tanda, S. & Nomura, Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):117, 1994 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:76, 1997 ; 高松 進:三重大	カバノキ科 Betulaceae シデ類 Hornbeam <i>Carpinus</i> spp. (広葉樹) サワシバ (Carpinus) <i>Carpinus cordata</i> Blume クマシデ <i>Carpinus japonica</i> Blume アカシデ <i>Carpinus laxiflora</i> (Sieb. & Zucc.) Blume イヌシデ <i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe carpinicola</i> (Hara) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpinicola</i> (Hara) Hara, <i>Uncinula geniculata</i> W.R. Gerard var. <i>carpinicola</i> Hara] 原 攝祐:大日本山林会報 392:62, 1915(大4) ; 原 攝祐:樹病学各論:16, 1923(大12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:66, 2012 [備考] アカシデ・イヌシデ・クマシデに発生 (2) <i>Erysiphe carpini-cordatae</i> (Tanda & Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Uncinula carpini-cordatae</i> Tanda & Nomura, <i>Uncinula pseudocarpinicola</i> Y. Nomura & Tanda] Tanda, S. & Nomura, Y.:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(2):117, 1994 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:76, 1997 ; 高松 進:三重大
---	---

生資紀要 38:66, 2012 [備考] サワシバに発生 (3) <i>Erysiphe fimbriata</i> S. Takamatsu, Masuya & Y. Nomura Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 49(3):188, 2008 [備考] アカシデに発生 (4) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973 [備考] サワシバ・イヌシデに発生 (5) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Léveillé [<i>Phyllactinia</i> sp.] 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:79, 1977 ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):268, 1995 [備考] サワシバ・イヌシデに発生 (注) 文献誌名を他と合わせた、文献順変更	生資紀要 38:66, 2012 [備考] サワシバに発生 (3) <i>Erysiphe fimbriata</i> S. Takamatsu, Masuya & Y. Nomura Takamatsu, S. <i>et al.</i>:Mycoscience 49(3):188, 2008 [備考] アカシデに発生 (4) <i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon 平田幸治:日植病報 21(2-3):91, 1956 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:486, 1973 [備考] サワシバ・イヌシデに発生 (5) <i>Phyllactinia guttata</i> (Wallroth) Léveillé [<i>Phyllactinia</i> sp.] 和田久美子・平田幸治:新潟農研報 29:79, 1977 ; 平田幸治ら:新潟農林研究 16:91, 1964 ; Tanda, S. <i>et al.</i>:J. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 39(4):268, 1995 [備考] サワシバ・イヌシデに発生
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ワサビダイコン Horseradish <i>Armoracia rusticana</i> Gaertn., Mey. & Scherb. (野菜) †††† Horseradish latent virus# (HRLV) 先川杏樹ら:日植病報 89(3):168, 2023 [備考] 遺伝子解析による検出。戻し接種なし (注) 新宿主	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ワサビダイコン Horseradish <i>Armoracia rusticana</i> Gaertn., Mey. & Scherb. (野菜)
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica)
--	--

<i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard <i>Brassica rapa</i> L. ハクラン <i>Brassica</i> × <i>napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Heterodera schachtii</i> Schmidt テンサイシストセンチュウ Sekimoto, S. et al.:Plant dis. 103(6):1433, 2019 (2) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ 横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962 [備考] ツケナ。接種試験の結果 (注) 文献著者訂正	<i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard <i>Brassica rapa</i> L. ハクラン <i>Brassica</i> × <i>napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミブナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Heterodera schachtii</i> A. Schmidt テンサイシストセンチュウ Narabu, T. et al.:Plant dis. 103(6):1433, 2019 (2) <i>Pratylenchus vulnus</i> Allen & Jensen クルミネグサレセンチュウ 横尾多美男:佐賀大農彙 14:161, 1962 [備考] ツケナ。接種試験の結果
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カリフラワー(ハナヤサイ, 花椰菜) Cauliflower <i>Brassica oleracea</i> L. Botrytis Group (野菜) 萎黄病 io-byo Yellows <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 飯嶋 勉:東京農試研報 5:7, 1971 (注) 文献巻数ページ訂正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カリフラワー(ハナヤサイ, 花椰菜) Cauliflower <i>Brassica oleracea</i> L. Botrytis Group (野菜) 萎黄病 io-byo Yellows <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>conglutinans</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 飯嶋 勉:東京農試研報 57, 1971
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae
--------------------------------	--------------------------------

ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Watery soft rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary [<i>Sclerotinia libertiana</i> Fuckel] ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):313, 1914(大3) (注) 文献巻号訂正	ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot, Watery soft rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary [<i>Sclerotinia libertiana</i> Fuckel] ト蔵梅之丞:病虫雑 3(1):313, 1914(大3)
---	---

ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>Dianthus caryophyllus</i> L. セキチク <i>Dianthus chinensis</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. カワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum lineola</i> Corda Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] ナデシコ属に発生。接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] セキチクに発生。接種試験未了 (3) ††<i>Gloeosporium dianthi</i> Cooke	ナデシコ科 Caryophyllaceae カーネーション, ナデシコ類 Carnation, Pink <i>Dianthus</i> spp. (草花) カーネーション Carnation <i>Dianthus caryophyllus</i> L. セキチク <i>Dianthus chinensis</i> L. ナデシコ <i>Dianthus</i> spp. カワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams ††炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum lineola</i> Corda Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] ナデシコ属に発生。接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum spaethianum</i> (Allescher) Damm, P.F. Cannon & Crous Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 49(4):351, 2015 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] セキチクに発生。接種試験未了 (3) <i>Gloeosporium dianthi</i> Cooke
--	--

今井四郎:病虫雑 1(1):78, 1914(大3) [備考] 病原菌の分類学的所属について検討が必要 (注) 病名のダガーを(3)へ移動。元々、<i>Gloeosporium dianthi</i> のダガーだった。	今井四郎:病虫雑 1(1):78, 1914(大3) [備考] 病原菌の分類学的所属について検討が必要
--	---

ナデシコ科 Caryophyllaceae カスミソウ Common gypsophila <i>Gypsophila elegans</i> M. Bieb. (草花) 根腐病 negusare-byo Fusarium root rot <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 伊賀優実・藤 晋一:日植病報 89(3):210, 2023 (注) 新病名	ナデシコ科 Caryophyllaceae カスミソウ Common gypsophila <i>Gypsophila elegans</i> M. Bieb. (草花)
---	--

ニシキギ科 Celastraceae マサキ(柾) Japanese spindletree <i>Euonymus japonicus</i> Thunb. (広葉樹) 褐色こうやく病* kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏薬病) <i>Septobasidium tanakae</i> (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann 富樫浩吾ら:岩手農試彙報 10:44, 1943(昭18) [備考] 病原菌の異名はポプラ類褐色こうやく病参照 (注) 文献誌名訂正	ニシキギ科 Celastraceae マサキ(柾) Japanese spindletree <i>Euonymus japonicus</i> Thunb. (広葉樹) 褐色こうやく病* kasshoku-koyaku-byo Brown felt disease (膏薬病) <i>Septobasidium tanakae</i> (Miyabe) Boedijn & B.A. Steinmann 富樫浩吾ら:岩手農試彙法 10:44, 1943(昭18) [備考] 病原菌の異名はポプラ類褐色こうやく病参照
---	---

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot (斑点病) (1) <i>Cercospora beticola</i> Saccardo [<i>Cercosporina beticola</i> (Saccardo) Nakata, T. Nakajima & S. Takimoto] 宮部金吾:北海之殖産 35:1, 1893(明26) ; 出田 新:日本植物病理学:401, 1903(明36) ; 中田覺五郎:病虫雑 2(2):117, 1915(大4) (2) <i>Cercospora</i> spp. 宇田宙生ら:日植病報 89(3):150, 2023 [備考] 2種の<i>Cercospora</i>属菌 (注) 病原追加	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) 褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot (斑点病) <i>Cercospora beticola</i> Saccardo [<i>Cercosporina beticola</i> (Saccardo) Nakata, T. Nakajima & S. Takimoto] 宮部金吾:北海之殖産 35:1, 1893(明26) ; 出田 新:日本植物病理学:401, 1903(明36) ; 中田覺五郎:病虫雑 2(2):117, 1915(大4)
--	---

アカザ科 Chenopodiaceae キヌア(キノア) Quinoa <i>Chenopodium quinoa</i> Willd. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping off <i>Aphanomyces cochlioides</i> Drechsler 桂 恵輔ら:日植病報 89(3):211, 2023 [備考] 養液栽培下での発生 (注) 新規宿主、新病名	アカザ科 Chenopodiaceae
--	------------------------------

アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach	アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach
--	--

<i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) †††† (1) <i>Beet western yellows virus</i> (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス 大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977 ; Kojima, M. <i>et al.</i>:Bull. Facul Agric. Niigata Univ. 47:35, 1995 ; 吉田直人・玉田哲男:日植病報 84(3):198, 2018 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。吉田・玉田(2018)は、宿主範囲と塩基配列解析により供試ウイルス株をBWYVのJP系統(BWYV-JP)とした (2) <i>Beet yellows virus</i> (BYV) ビート萎黄ウイルス 杉本利哉ら:てん菜研報 8:1, 1970 ; 大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (3) <i>Lettuce mosaic virus</i> (LMV) レタスモザイクウイルス 与那覇哲義ら:日植病報 59(6):715, 1993 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (4) <i>Spinach temperate virus</i> (SpTV) ホウレンソウ潜伏ウイルス 夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英ら:日植病報 49(5):709, 1983 ; 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (5) <i>Tobacco necrotic dwarf virus</i> (TNDV) タバコえそ萎縮ウイルス 久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses No.234, 1981 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (注) 文献号数挿入	<i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) †††† (1) <i>Beet western yellows virus</i> (BWYV) ビート西部萎黄ウイルス 大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977 ; Kojima, M. <i>et al.</i>:Bull. Facul Agric. Niigata Univ. 47:35, 1995 ; 吉田直人・玉田哲男:日植病報 84(3):198, 2018 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。吉田・玉田(2018)は、宿主範囲と塩基配列解析により供試ウイルス株をBWYVのJP系統(BWYV-JP)とした (2) <i>Beet yellows virus</i> (BYV) ビート萎黄ウイルス 杉本利哉ら:てん菜研報 8:1, 1970 ; 大木 理ら:日植病報 43(1):46, 1977 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (3) <i>Lettuce mosaic virus</i> (LMV) レタスモザイクウイルス 与那覇哲義ら:日植病報 59:715, 1993 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (4) <i>Spinach temperate virus</i> (SpTV) ホウレンソウ潜伏ウイルス 夏秋知英ら:日植病報 45(1):84, 1979 ; 夏秋知英ら:日植病報 49(5):709, 1983 ; 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた (5) <i>Tobacco necrotic dwarf virus</i> (TNDV) タバコえそ萎縮ウイルス 久保 進・高浪洋一:日植病報 43(1):76, 1977 ; Kubo, S.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses No.234, 1981 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた
--	---

ツククサ科 Commelinaceae ツククサ類 (Commelina) <i>Commelina</i> spp. (野草) マルバツククサ <i>Commelina benghalensis</i> L. ツククサ <i>Commelina communis</i> L. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 [備考] ツククサ (注) 文献年修正	ツククサ科 Commelinaceae ツククサ類 (Commelina) <i>Commelina</i> spp. (野草) マルバツククサ <i>Commelina benghalensis</i> L. ツククサ <i>Commelina communis</i> L. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27 [備考] ツククサ
--	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) かいよう病 kaiyo-byo Surface rot (潰瘍病, 暗褐腐敗病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>batatas</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 後藤和夫:甘藷馬鈴薯の病虫害:106, 1946 ; 松尾卓見ら:日植病報 45(1):80, 1979 (2) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 後藤和夫:甘藷馬鈴薯の病虫害:106, 1946 ; 西澤正洋:農及園 24(11):781, 1949 (注) (1)文献修正	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) かいよう病 kaiyo-byo Surface rot (潰瘍病, 暗褐腐敗病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 後藤和夫:甘藷馬鈴薯の病虫害:106, 1946 ; 西澤正洋:農及園 24(11):781, 1949 (2) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 後藤和夫:甘藷馬鈴薯の病虫害:106, 1946 ; 西澤正洋:農及園 24(11):781, 1949
--	---

ドクウツギ科 Coriariaceae ドクウツギ(毒空木) (Coriaria) <i>Coriaria japonica</i> Gray (特用作物) さび病 sabi-byo Rust <i>Pucciniastrum coriariae</i> Dietel Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 28(3):286, 1900 ; 平塚直秀:北大農紀要 21(3):84, 1927(昭2) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾菌類調査報告 5):50, 1931(昭6) [備考] タイワンドクウツギ (<i>C. intermedia</i>) にも発生 (注) 文献年修正	ドクウツギ科 Coriariaceae ドクウツギ(毒空木) (Coriaria) <i>Coriaria japonica</i> Gray (特用作物) さび病 sabi-byo Rust <i>Pucciniastrum coriariae</i> Dietel Dietel, P.:Engl. Bot. Jahrb. 28(3):286, 1900 ; 平塚直秀:北大農紀要 21(3):84, 1928(昭3) ; 澤田兼吉:台湾中研農業部報 51(台湾菌類調査報告 5):50, 1931(昭6) [備考] タイワンドクウツギ (<i>C. intermedia</i>) にも発生
---	--

ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白星病 shirahoshi-byo White leaf spot (円星病) <i>Phomatospora aucubae</i> (Shirai & Hara) Tak. Kobayashi & Y. Suto [<i>Sphaerulina aucubae</i> Shirai & Hara, <i>Phomatospora</i> sp.] 南部信方:病虫雑 1(2):241, 1914(大3) ; 白井光太郎・原 攝祐:植物学雑 25(290):71, 1911(明44) ; Kobayashi, T. & Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):283, 1983 (注) 文献年修正	ミズキ科 Cornaceae アオキ(桃葉珊瑚) Japanese laurel <i>Aucuba japonica</i> Thunb. (広葉樹) 白星病 shirahoshi-byo White leaf spot (円星病) <i>Phomatospora aucubae</i> (Shirai & Hara) Tak. Kobayashi & Y. Suto [<i>Sphaerulina aucubae</i> Shirai & Hara, <i>Phomatospora</i> sp.] 南部信方:病虫雑 1(2):241, 1919(大8) ; 白井光太郎・原 攝祐:植物学雑 25(290):71, 1911(明44) ; Kobayashi, T. & Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24(3):283, 1983
---	--

ベンケイソウ科 Crassulaceae	ベンケイソウ科 Crassulaceae
----------------------	----------------------

ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba, <i>Sedum</i> spp. (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Globisporangium irregulare</i> (Buisman) Uzuhashi, Tojo & Kakishima [<i>Pythium irregulare</i> Buisman] 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 ; Ahsan, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(4):244, 2023 [備考] セダムに発生 (2) <i>Globisporangium ultimum</i> (Trow) Uzuhashi, Tojo & Kakishima [<i>Pythium ultimum</i> Trow] 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 ; Ahsan, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(4):244, 2023 [備考] セダムに発生 (3) <i>Phytophthium helicoides</i> (Drechsler) Abad, de Cock, Bala, Robideau, A.M. Lodhi & Lévesque 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 ; Ahsan, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(4):244, 2023 [備考] セダムに発生 (4) <i>Phytophthium vexans</i> (de Bary) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 ; Ahsan, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(4):244, 2023 [備考] セダムに発生 (5) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 ; Ahsan, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(4):244, 2023 [備考] セダムに発生 (注) 文献追加, 病原学名・病原順変更	ベンケイソウ類(セダム, ベンケイソウ, ミセバヤ, タマノオ, ムラサキベンケイソウ, キリンソウ, イワベンケイなど) Sedum, Siebold sedum <i>Hylotelephium sieboldii</i> (Sweet ex Hook.) H. Ohba, <i>Sedum</i> spp. (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Phytophthium helicoides</i> (Drechsler) Abad, de Cock, Bala, Robideau, A.M. Lodhi & Lévesque 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生 (2) <i>Phytophthium vexans</i> (de Bary) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生 (3) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生 (4) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生 (5) <i>Pythium ultimum</i> Trow 林 美希ら:日植病報 84(1):32, 2018 [備考] セダムに発生
ウリ科 Cucurbitaceae	ウリ科 Cucurbitaceae

シロウリ(越瓜) Oriental pickling melon <i>Cucumis melo</i> L. var. <i>conomon</i> (Thunb. ex Murray) Makino (Conomon Group) (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Jiang, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(5):249, 2023 (2) <i>Colletotrichum chlorophyti</i> S. Chandra & Tandon Jiang, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(5):249, 2023 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Jiang, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(5):249, 2023 (4) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx [<i>Colletotrichum lagenarium</i> (Passerini) Ellis & Halsted] 原 攝祐:実用作物病理学:484, 1925(大14) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273, 1996 ; Jiang, D. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(5):249, 2023 (5) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 蔣 棟梁ら:日植病報 78(3):197, 2012 [備考] 京野菜‘桂ウリ’ (注) 病原追加	シロウリ(越瓜) Oriental pickling melon <i>Cucumis melo</i> L. var. <i>conomon</i> (Thunb. ex Murray) Makino (Conomon Group) (野菜) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum orbiculare</i> (Berkeley & Montagne) Arx [<i>Colletotrichum lagenarium</i> (Passerini) Ellis & Halsted] 原 攝祐:実用作物病理学:484, 1925(大14) ; 佐藤豊三:植物防疫 50(7):273, 1996 (2) <i>Colletotrichum truncatum</i> (Schweinitz) Andrus & W.D. Moore 蔣 棟梁ら:日植病報 78(3):197, 2012 [備考] 京野菜‘桂ウリ’
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt (萎凋病) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp.	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) つる割病 tsuruware-byo Fusarium wilt (萎凋病) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp.
--	--

<i>cucumerinum</i> J.H. Owen [<i>Fusarium niveum</i> E.F. Smith] 福士貞吉・田中彰一:病虫雑 12(4):189, 1925(大14) ; 遠藤 茂:農及園 9(8):1830, 1934(昭9) (注) 文献著者訂正	<i>cucumerinum</i> J.H. Owen [<i>Fusarium niveum</i> E.F. Smith] 福士貞吉・田中 彰:病虫雑 12(4):189, 1925(大14) ; 遠藤 茂:農及園 9(8):1830, 1934(昭9)
--	--

ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 葉枯病 hagare-byo <i>Leptosphaeria thujaecola</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(12):9, 1930(昭5) [備考] コノテガシワ (注) 397号付近は、原本の号数が誤りの可能性が高いので34巻12月号としたほうが無難である	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 葉枯病 hagare-byo <i>Leptosphaeria thujaecola</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(397):49, 1930(昭5) [備考] コノテガシワ
--	---

ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease <i>Pestalotiopsis glandicola</i> (Castagne) Steyaert 日野隆之:採集と飼育 26(9):266, 1964 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:336, 1993 [備考] 病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照	ソテツ科 Cycadaceae ソテツ(蘇鉄) Japanese fern palm, Japanese sago <i>Cycas revoluta</i> Thunb. (針葉樹) ペスタロチア病 <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease <i>Pestalotiopsis glandicola</i> (Castagne) Steyaert 日野隆之:採集と飼育 25(9):266, 1964 ; Suto, Y. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 34:336, 1993 [備考] 病菌の異名はスギ・ペスタロチア病参照
--	--

(注) 文献巻数訂正	
------------	--

ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) 裏白もち病 urajiro-mochi-byo Exobasidium leaf blight (1) <i>Exobasidium japonicum</i> Shirai var. <i>hypophyllum</i> Ezuka [<i>Exobasidium</i> sp.] 江塚昭典:日植病報 41(1):116, 1975 ; 江塚昭典:日 菌報 31(4):443, 1990 [備考] ヤマツツジに発生。接種試験未了 (2) <i>Exobasidium lushanense</i> Zhen Ying Li & L. Guo 柴田紗帆・廣岡裕吏:日植病報 89(3):150, 2023 [備考] コメツツジに発生。接種試験未了。学名 の異同について、さらに検討が必要 (3) <i>Exobasidium otanianum</i> Ezuka 江塚昭典:日菌報 32(1):75, 1991 [備考] コバノミツバツツジに発生。接種試験未 了 (4) <i>Exobasidium otanianum</i> Ezuka var. <i>satsumense</i> X.Y. Zhang & Arai 張 星耀ら:日菌報 36:97, 1995 [備考] ハヤトミツバツツジ(<i>R. dilatatum</i> var. <i>satsumense</i>) に発生。接種試験未了 (5) <i>Exobasidium</i> sp. 柴田紗帆・廣岡裕吏:日植病報 89(3):150, 2023 [備考] シロヤシオに発生。接種試験未了 (注) 病原追加、文献表記変更、備考変更	ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) 裏白もち病 urajiro-mochi-byo Exobasidium leaf blight (1) <i>Exobasidium japonicum</i> Shirai var. <i>hypophyllum</i> Ezuka [<i>Exobasidium</i> sp.] 江塚昭典:日植病報 41(1):116, 1975 ; 江塚昭典:日 菌報 31(4):443, 1990 [備考] ヤマツツジ (2) <i>Exobasidium otanianum</i> Ezuka 江塚昭典:日菌報 32(1):75, 1991 [備考] コバノミツバツツジ (3) <i>Exobasidium otanianum</i> Ezuka var. <i>satsumense</i> X.Y. Zhang & Arai Zhang, X. <i>et al.</i>:Trans. Mycol. Soc. Japan 36:97, 1995 [備考] ハヤトミツバツツジ(<i>R. dilatatum</i> var. <i>satsumense</i>)。接種試験未了
--	---

ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類	ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類
-----------------------------------	-----------------------------------

Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹) 褐色枝枯病 kasshoku-edagare-byo Brown blight <i>Neofusicoccum parvum</i> species complex 富石爽太ら:日植病報 89(3):212, 2023 (注) 新病名	Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹)
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i> Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd. †††斑点病 hanten-byo leaf spot <i>Calonectria pauciramosa</i> C.L. Schoch & Crous 大井明大ら:植防研報 45:49, 2009 [備考] 輸入検疫にてオランダ産ハリアカシアから発見 (注) 新病名	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i> Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd.
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ネムノキ(合歓木)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ネムノキ(合歓木)
--	--

Silktree <i>Albizia julibrissin</i> Durazz. (広葉樹) †††† <i>Camptomeris albiziae</i> (Petch) E.W. Mason [<i>Heterosporium albiziae</i> (Petch) N. Naito] Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:51, 1940(昭15) ; Kobayashi, T. & de Guzman, E.D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:126, 1988 (注) 文献誌名訂正	Silktree <i>Albizia julibrissin</i> Durazz. (広葉樹) †††† <i>Camptomeris albiziae</i> (Petch) E.W. Mason [<i>Heterosporium albiziae</i> (Petch) N. Naito] Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:51, 1940(昭15) ; Kobayashi, T. & de Guzman, E.D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:126, 1988
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) †††† <i>Soybean yellow common mosaic virus</i> (SYCMV) ダイズ黄斑モザイクウイルス 祖田嘉教ら:日植病報 89(3):169, 2023 (注) 新宿主	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物)
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 立枯病 tachigare-byo Fusarium blight (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>tracheiphilum</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium tracheiphilum</i> E.F. Smith]	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 立枯病 tachigare-byo Fusarium blight (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>tracheiphilum</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium tracheiphilum</i> E.F. Smith]
--	--

(2) <i>Gibberella fujikuroi</i> (Sawada) Wollenweber [<i>Gibberella moniliformis</i> Wineland, <i>Fusarium moniliforme</i> J. Sheldon] 松尾卓見ら:信州大繊維研報 8:6, 1958 ; 倉田 浩:農 技研報C 12:62, 1960 (注) 文献誌名を他と合わせた	(2) <i>Gibberella fujikuroi</i> (Sawada) Wollenweber [<i>Gibberella moniliformis</i> Wineland, <i>Fusarium moniliforme</i> J. Sheldon] 松尾卓見ら:信州大繊維研報 8:6, 1958 ; 倉田 浩:農 技研C 12:62, 1960
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ類 (Glycine) <i>Glycine</i> spp. (野草) ツルマメ <i>Glycine ussuriensis</i> Regel & Maack 炭疽病 tanso-byo <i>Colletotrichum destructivum</i> O'Gara 鈴木浩之ら:日植病報 89(3):163, 2023 (注) 新病名、病名英名提案なし	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ類 (Glycine) <i>Glycine</i> spp. (野草) ツルマメ <i>Glycine ussuriensis</i> Regel & Maack
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ類 (Glycine) <i>Glycine</i> spp. (野草) ツルマメ <i>Glycine ussuriensis</i> Regel & Maack リゾクトニア根腐病 <i>Rhizoctonia-negusare-byo</i> <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk 鈴木浩之ら:日植病報 89(3):163, 2023 [備考] 菌糸融合群 AG-1 IB (注) 新病名、病名英名提案なし	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ類 (Glycine) <i>Glycine</i> spp. (野草) ツルマメ <i>Glycine ussuriensis</i> Regel & Maack
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae イヌエンジュ(犬槐) Maackia <i>Maackia amurensis</i> Rupr. & Maxim. subsp. <i>buergeri</i> (Maxim.) Kitamura (広葉樹) 斑点病 hanten-byo Leaf spot (円星病) <i>Cercospora cladrastidis</i> Jaczewski [<i>Cercospora</i> sp.] 原 攝祐:実験樹木病害篇:296, 1927(昭2); 白井光 太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):115, 1917(大6); 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花 植物・菌類:520, 1928(昭3) (注) 文献年訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae イヌエンジュ(犬槐) Maackia <i>Maackia amurensis</i> Rupr. & Maxim. subsp. <i>buergeri</i> (Maxim.) Kitamura (広葉樹) 斑点病 hanten-byo Leaf spot (円星病) <i>Cercospora cladrastidis</i> Jaczewski [<i>Cercospora</i> sp.] 原 攝祐:実験樹木病害篇:296, 1927(昭2); 白井光 太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):115, 1916(大5); 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花 植物・菌類:520, 1928(昭3)
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ナツフジ(夏藤) Japanese millettia <i>Millettia japonica</i> (Sieb. & Zucc.) A. Gray (広葉樹) †すす病* susu-byo Black mildew <i>Meliola banosensis</i> Sydow & P. Sydow 山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):150, 1940(昭15) [備考] 台湾。ムラサキナツフジ (注) 病原学名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ナツフジ(夏藤) Japanese millettia <i>Millettia japonica</i> (Sieb. & Zucc.) A. Gray (広葉樹) †すす病* susu-byo Black mildew <i>Meliola banosensis</i> Sydow 山本和太郎:台湾博物学会報 30(200/201):150, 1940(昭15) [備考] 台湾。ムラサキナツフジ
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物)
--	--

うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:491, 1973 (2) <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non Pollacci sensu Homma-pro parte [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci] 平田幸治:日植病報 19(3-4):186, 1955 (注) 文献誌名を他と合わせた	うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Erysiphe pisi</i> de Candolle 平田幸治・和田久美子:菌蕈研究所報告 10:491, 1973 (2) <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non Pollacci sensu Homma-pro parte [<i>Sphaerotheca fuliginea</i> (Schlechtendal) Pollacci] 平田幸治:日植病報 19(3-4):186, 1955
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) †††† <i>Discosia atrocreas</i> (Tode) Fries 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):211, 1917(大6) (注) 文献年訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) †††† <i>Discosia atrocreas</i> (Tode) Fries 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):211, 1916(大5)
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) †††† <i>Dothidea sambuci</i> (Persoon) Fries 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):213, 1917(大6) (注) 文献年訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ニセアカシア(針槐) Black locust <i>Robinia pseudoacacia</i> L. (広葉樹) †††† <i>Dothidea sambuci</i> (Persoon) Fries 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再 版):213, 1916(大5)
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンジュ(槐) Japanese pagoda tree <i>Sophora japonica</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum sophorae-japonicae</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(12):51, 1930(昭5) [備考] 病原菌の分類学的検討を要する (注) 397号付近は、号数が誤りの可能性が高いので34巻12月号としたほうが無難である	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンジュ(槐) Japanese pagoda tree <i>Sophora japonica</i> L. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum sophorae-japonicae</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(397):51, 1930(昭5) [備考] 病原菌の分類学的検討を要する
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae タマリンド Tamarind <i>Tamarindus indica</i> L. (特用作物) †うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 澤田兼吉:台湾大農専刊 8:187, 1959 ; 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:91, 1977 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(5):77, 1986 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:159, 1988 [備考] 台湾・フィリピン。分生子 (oidium) の発芽形態は <i>Erysiphe polygoni</i> 型 (注) 文献著者訂正、文献順変更	マメ科 Fabaceae, Leguminosae タマリンド Tamarind <i>Tamarindus indica</i> L. (特用作物) †うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium</i> sp. 平田幸治・和田久美子:新潟大農研報 29:91, 1977 ; 小林享夫・de Guzman, E. D.:森林防疫 35(5):77, 1986 ; Kobayashi, T. & de Guzman, E. D.:Bull. For. & For. Prod. Res. Inst. 351:159, 1988 ; 澤田兼吉:台湾大農専刊 8:187, 1959 [備考] 台湾・フィリピン。分生子 (oidium) の発芽形態は <i>Erysiphe polygoni</i> 型
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean
--	--

<i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) †褐斑病 kappan-byo <i>Mycosphaerella phaseolicola</i> Saccardo 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):25, 1928(昭3) [備考] 朝鮮半島 (注) 文献誌名訂正	<i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) †褐斑病 kappan-byo <i>Mycosphaerella phaseolicola</i> Saccardo 中田覺五郎・瀧元清透:産業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):25, 1928(昭3) [備考] 朝鮮半島
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) †斑葉病 han'yo-byo (1) <i>Ascochyta</i> sp. (2) <i>Phyllosticta phaseolorum</i> Saccardo & Spegazzini 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):26, 1928(昭3) [備考] 朝鮮半島 (注) 文献誌名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アズキ(小豆) Adzuki bean, Azuki bean, Small red bean <i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi & Ohashi [<i>Phaseolus angularis</i> (Willd.) Wight] (食用作物) †斑葉病 han'yo-byo (1) <i>Ascochyta</i> sp. (2) <i>Phyllosticta phaseolorum</i> Saccardo & Spegazzini 中田覺五郎・瀧元清透:産業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):26, 1928(昭3) [備考] 朝鮮半島
--	--

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea</i>	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea</i>
--	--

<i>mollissima</i> Blume など すす葉枯病 susu-hagare-byo Sooty leaf blotch <i>Tubakia dryina</i> (Saccardo) B. Sutton [<i>Actinopelte dryina</i> (Saccardo) Höhnel] Yokoyama, T. & Tubaki, K.:IFO Res. Commun. 5:46, 1971 ; 小林享夫・佐々木克彦:日植病報 41(1):117, 1975 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:120, 1980 (注) 文献著者名・誌名修正 (英文なので)	<i>mollissima</i> Blume など すす葉枯病 susu-hagare-byo Sooty leaf blotch <i>Tubakia dryina</i> (Saccardo) B. Sutton [<i>Actinopelte dryina</i> (Saccardo) Höhnel] Yokoyama, T. & Tubaki, K.:IFO Res. Commun. 5:46, 1971 ; 小林享夫・佐々木克彦:日植病報 41(1):117, 1975 ; 金子 繁:菌蕈研究 18:120, 1980
---	--

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Agaricus melleus</i> Vahl, <i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten] 原 攝祐:果樹病害論:467, 1916(大5) ; 原 攝祐:実験樹木病害篇:209, 1927(昭2) ; 伊藤一雄:日本のクリ:46, 1955 (注) 文献誌名を他と合わせた	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Agaricus melleus</i> Vahl, <i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten] 原 攝祐:果樹病害論:467, 1916(大5) ; 原 攝祐:実験樹木病害:209, 1927(昭2) ; 伊藤一雄:日本のクリ:46, 1955
---	---

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp.	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp.
---	---

(果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 葉枯病 hagare-byo Large leaf spot <i>Monochaetia monochaeta</i> (Desmazières) Allescher [<i>Monochaetia desmaytia</i> Saccardo, <i>Monochaetia pachyspora</i> Bubák] 鶴田章逸:病虫雑 4(7):523, 1917(大6) ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:267, 1974 ; Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 18:124, 1980 (注) 文献著者名・誌名修正 (英文なので)	(果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 葉枯病 hagare-byo Large leaf spot <i>Monochaetia monochaeta</i> (Desmazières) Allescher [<i>Monochaetia desmaytia</i> Saccardo, <i>Monochaetia pachyspora</i> Bubák] 鶴田章逸:病虫雑 4(7):523, 1917(大6) ; 伊藤一雄:樹病学大系 3:267, 1974 ; 金子 繁:菌蕈研究 18:124, 1980
---	--

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など †ささら病 sasara-byo (ササラ病) <i>Sphaerospora graminicola</i> (Saccardo) Schröter 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 359):3, 1927(昭2) [備考] 朝鮮半島 (注) 文献誌名・ページ修正	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など †ささら病 sasara-byo (ササラ病) <i>Sphaerospora graminicola</i> (Saccardo) Schröter 原 攝祐:静岡県農会報 359:1, 1927(昭2) [備考] 朝鮮半島
---	---

リンドウ科 Gentianaceae リンドウ	リンドウ科 Gentianaceae リンドウ
---------------------------------------	---------------------------------------

Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花) †††† ウイルス (未同定) 磯貝雅道ら:日植病報 89(3):170, 2023 [備考] 新種のカリモウイルス。遺伝子解析による検出。戻し接種なし (注) 新宿主	Gentian <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim., <i>Gentiana</i> spp. および種間雑種 (草花)
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae バミューダグラス(ギョウギシバ) Bermuda grass <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers. (牧草・芝草) 改良バミューダグラス <i>Cynodon dactylon</i> × <i>Cynodon transvaalensis</i> †††† †<i>Hyphoderma cynodontis</i> Sawada Sawada, K.:Nat. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11]:185, 1959 [備考] 台湾。子房を侵す (注) 文献ページの前にコロン挿入	イネ科 Gramineae, Poaceae バミューダグラス(ギョウギシバ) Bermuda grass <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers. (牧草・芝草) 改良バミューダグラス <i>Cynodon dactylon</i> × <i>Cynodon transvaalensis</i> †††† †<i>Hyphoderma cynodontis</i> Sawada Sawada, K.:Nat. Taiwan Univ., Coll. of Agric., Spec. Pub. 8 [Descriptive Catalogue of Taiwan Fungi 11] 185, 1959 [備考] 台湾。子房を侵す
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian	イネ科 Gramineae, Poaceae ライグラス Ryegrass <i>Lolium</i> spp. (牧草・芝草) イタリアンライグラス(ネズミムギ) Italian
--	--

ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia cerealis</i> E.P. Høeuen [<i>Ceratobasidium</i> <i>gramineum</i> (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki] 井上 興ら:日植病報 57(1):103, 1991 ; 井上 興ら: 山口農試報 45:58, 1994 [備考] 病原菌を <i>Ceratobasidium gramineum</i> とし たが, 完全世代は未確認。菌糸融合群 AG-D (注) 文献年修正	ryegrass <i>Lolium multiflorum</i> Lam. ペレニアルライグラス(ホソムギ) Perennial ryegrass <i>Lolium perenne</i> L. エッチワンライグラス H 1 ryegrass, 上記の種 間交雑種 株腐病 kabugusare-byo Foot rot <i>Rhizoctonia cerealis</i> E.P. Høeuen [<i>Ceratobasidium</i> <i>gramineum</i> (Ikata & T. Matsuura) Oniki, Ogoshi & T. Araki] 井上 興ら:日植病報 57(1):103, 1991 ; 井上 興ら: 山口農試報 45:58, 1995 [備考] 病原菌を <i>Ceratobasidium gramineum</i> とし たが, 完全世代は未確認。菌糸融合群 AG-D
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy <i>Phleum pratense</i> L. (牧草・芝草) 黒さび病 kurosabi-byo Stem rust <i>Puccinia graminis</i> Persoon subsp. <i>graminicola</i> Z. Urban [<i>Puccinia phlei-pratensis</i> Eriksson & Henning] Ito, S.:J. Coll. Agric. Tohoku Imp. Univ. 3(2):222, 1909(明42) ; 成田武四:北海道立農試集報 2:54, 1958 ; 但見明俊:草地試研報 4:57, 1973 [備考] 本菌に <i>P. graminis</i> Persoon:Persoon f.sp. <i>phlei-pratensis</i> (Eriksson & Henning) Stakman & Piemeisel を採用する意見もある (但見1973) (注) 文献誌名訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy <i>Phleum pratense</i> L. (牧草・芝草) 黒さび病 kurosabi-byo Stem rust <i>Puccinia graminis</i> Persoon subsp. <i>graminicola</i> Z. Urban [<i>Puccinia phlei-pratensis</i> Eriksson & Henning] 伊藤誠哉:北大農紀 3(2):222, 1909(明42) ; 成田武 四:北海道立農試集報 2:54, 1958 ; 但見明俊:草地 試研報 4:57, 1973 [備考] 本菌に <i>P. graminis</i> Persoon:Persoon f.sp. <i>phlei-pratensis</i> (Eriksson & Henning) Stakman & Piemeisel を採用する意見もある (但見1973)
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae	イネ科 Gramineae, Poaceae
------------------------	------------------------

イチゴツナギ類 (Poa) <i>Poa</i> spp. (野草) ミゾイチゴツナギ <i>Poa acroleuca</i> Steud. スズメノカタビラ <i>Poa annua</i> L. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセン チュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 [備考] スズメノカタビラ (注) 文献年修正	イチゴツナギ類 (Poa) <i>Poa</i> spp. (野草) ミゾイチゴツナギ <i>Poa acroleuca</i> Steud. スズメノカタビラ <i>Poa annua</i> L. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセン チュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27 [備考] スズメノカタビラ
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) ごま竹病* gomatake-byo (1) <i>Apiospora shiraiana</i> (I. Miyake & Hara) Hara [<i>Munkiella shiraiana</i> I. Miyake & Hara, <i>Hypoderma shiraianum</i> I. Miyake & Hara, <i>Apiosporella bambusae</i> sensu Hara non Sydow, <i>Scirrhia bambusae</i> sensu Hara non Turconi, <i>Melanconium shiraianum</i> P. Sydow, <i>Coniosporium shiraianum</i> (Sydow) Bubák] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:258, 1961 (2) <i>Melanconium sinobambusae</i> I. Hino & Katumoto 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 15:511, 1964 (注) 文献ページ修正	イネ科 Gramineae, Poaceae トウチク(唐竹) Tootsik bamboo <i>Sinobambusa tootsik</i> Makino (竹笹類) ごま竹病* gomatake-byo (1) <i>Apiospora shiraiana</i> (I. Miyake & Hara) Hara [<i>Munkiella shiraiana</i> I. Miyake & Hara, <i>Hypoderma shiraianum</i> I. Miyake & Hara, <i>Apiosporella bambusae</i> sensu Hara non Sydow, <i>Scirrhia bambusae</i> sensu Hara non Turconi, <i>Melanconium shiraianum</i> P. Sydow, <i>Coniosporium shiraianum</i> (Sydow) Bubák] Hino, I.:Icon. Fung. Bamb. Japon.:258, 1961 (2) <i>Melanconium sinobambusae</i> I. Hino & Katumoto 日野 巖・勝本 謙:山口大農学術報 15:111, 1964
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae	イネ科 Gramineae, Poaceae
------------------------	------------------------

モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) †紫斑病 shihan-byo <i>Cercospora koreana</i> Nakata & Takimoto 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):15, 1928 (昭3) [備考] 朝鮮半島 (注) 文献誌名・ページ訂正	モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) †紫斑病 shihan-byo <i>Cercospora koreana</i> Nakata & Takimoto 中田覺五郎・瀧元清透:産業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):16, 1928 (昭3) [備考] 朝鮮半島
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) †††† <i>Endomyces</i> sp. 三浦密成:秋田農試報 8:3, 1957 (注) 文献年訂正、文献誌名を他と合わせた	イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) †††† <i>Endomyces</i> sp. 三浦密成:秋田農試報告 8:3, 1951
---	---

オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花, 広葉樹) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb.	オトギリソウ科 Hypericaceae オトギリソウ類 (Hypericum) <i>Hypericum</i> spp. (草花, 広葉樹) コボウズオトギリ(小坊主弟切) <i>Hypericum androsaemum</i> L. セイヨウキンシバイ(西洋金糸梅) <i>Hypericum calycinum</i> L. オトギリソウ(弟切草) <i>Hypericum erectum</i> Thunb.
---	---

ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura, <i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc.] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo Leaf spot <i>Pestalotiopsis microspora</i> (Spegazzini) G.C. Zhao & Nan Li Zhang, M. <i>et al.</i>:Plant dis. 94(8):1064, 2010 [備考] キンシバイに発生 (注) 病原学名修正。Index Fungorumによる	ビヨウヤナギ(美容柳) <i>Hypericum monogynum</i> L. [<i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolium</i> Y. Kimura, <i>Hypericum salicifolium</i> Sieb. & Zucc.] キンシバイ(金糸梅) Goldencup St. John's wort <i>Hypericum patulum</i> Thunb. セイヨウオトギリソウ(西洋弟切草) <i>Hypericum perforatum</i> L. ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo Leaf spot <i>Pestalotiopsis microspora</i> (Spegazzini) G.C. Zhao & N. Li Zhang, M. <i>et al.</i>:Plant dis. 94(8):1064, 2010 [備考] キンシバイに発生
---	--

クルミ科 Juglandaceae クルミ(胡桃)類 Walnuts <i>Juglans</i> spp. (果樹) 褐斑病 kappan-byo Brown spot <i>Ophiognomonia leptostyla</i> (Fries) Sogonov 横澤志織:日植病報 89(2):81, 2023 [備考] クルミ(<i>J. regia</i> L.)に発生 (注) 新病名	クルミ科 Juglandaceae クルミ(胡桃)類 Walnuts <i>Juglans</i> spp. (果樹)
--	--

クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病)	クスノキ科 Lauraceae ヤブニッケイ(クロダモ)(天竺桂) Wild cinnamon <i>Cinnamomum tenuifolium</i> (Makino) Sugim. (広葉樹) さび病* sabi-byo Rust (銹病)
---	---

(1) <i>Monosporidium machili</i> (Hennings) T. Sato [<i>Endophyllum machili</i> (Hennings) F. Stevens] Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 8:119, 1961 ; 佐藤豊三:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):585, 1992 [備考] 病原菌の異名はタブノキ類さび病参照 (2) <i>Puccinia litseae</i> (Patouillard) Dietel & Hennings [<i>Xenostele litseae</i> (Patouillard) Sydow & P. Sydow] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):375, 1942(昭17) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:775, 1992 [備考] 病原菌の異名はシロダモさび病参照 (注) 備考修正	(1) <i>Monosporidium machili</i> (Hennings) T. Sato [<i>Endophyllum machili</i> (Hennings) F. Stevens] Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Div. Agr., Home Econ. & Engin. Univ. Ryukyus 8:119, 1961 ; 佐藤豊三:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):585, 1992 [備考] 病原菌の異名はタブノキさび病参照 (2) <i>Puccinia litseae</i> (Patouillard) Dietel & Hennings [<i>Xenostele litseae</i> (Patouillard) Sydow & P. Sydow] Hiratsuka, N.:Bot. Mag. Tokyo 56(668):375, 1942(昭17) ; Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:775, 1992 [備考] 病原菌の異名はシロダモさび病参照
---	--

クスノキ科 Lauraceae バリバリノキ (Litsea) <i>Litsea acuminata</i> (Bl.) Kurata (広葉樹) †すす病 susu-byo Black mildew (1) <i>Armatella formosana</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生篇 3(1):19, 1957 [備考] 台湾。ムシャダモ (<i>Actinodaphne mushaensis</i>) (2) <i>Irene kiraiensis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):47, 1941(昭16) [備考] 台湾。ムシャダモ (注) (2)文献ページ修正	クスノキ科 Lauraceae バリバリノキ (Litsea) <i>Litsea acuminata</i> (Bl.) Kurata (広葉樹) †すす病 susu-byo Black mildew (1) <i>Armatella formosana</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生篇 3(1):19, 1957 [備考] 台湾。ムシャダモ (<i>Actinodaphne mushaensis</i>) (2) <i>Irene kiraiensis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:台湾博物学会報 31(209):147, 1941(昭16) [備考] 台湾。ムシャダモ
---	--

ユリ科 Liliaceae リーキ(参照:アリウム類) Leek	ユリ科 Liliaceae リーキ(参照:アリウム類) Leek
---	---

<i>Allium ampeloprasum</i> L. (野菜) †††† <i>Leek yellow stripe virus</i> (LYSV) リーキ黄色条斑ウイルス 川久保修佑ら:日植病報 89(3):173, 2023 [備考] 戻し接種なし (注) 新宿主	<i>Allium ampeloprasum</i> L. (野菜)
--	---

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol.	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol.
---	---

86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2021 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(1):004582, 2021 (8) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 達 瑞枝ら:日植病報 89(3):181, 2023 (9) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (10) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 達 瑞枝・藤 晋一:日植病報 87(3):180, 2021 ;	86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2021 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(1):004582, 2021 (8) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (9) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 達 瑞枝・藤 晋一:日植病報 87(3):180, 2021 ;
--	---

Tsuji, M. & Fuji, S.:Plant Dis. 105(10):3288, 2021 (注) 病原追加	Tsuji, M. & Fuji, S.:Plant Dis. 105(10):3288, 2021
--	--

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 菌糸腐敗病* kinshi-fuhai-byo Mycelial neck rot (菌糸性腐敗病) <i>Botrytis byssoidea</i> J.C. Walker 逸見武雄:農及園 10(1):308, 1935(昭10); 逸見武雄・丹羽静子:日植病報 8(4):309, 1939(昭14) [備考] 灰色腐敗病の備考参照。本病原はボトリチス立枯病の病原でもある (注) 備考変更	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 菌糸腐敗病* kinshi-fuhai-byo Mycelial neck rot (菌糸性腐敗病) <i>Botrytis byssoidea</i> J.C. Walker 逸見武雄:農及園 10(1):308, 1935(昭 10); 逸見武雄・丹羽静子:日植病報 8(4):309, 1939(昭 14) [備考] 灰色腐敗病の備考参照。本病原は++++ボトリチス立枯症の病原でもある
--	--

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) ボトリチス立枯病* <i>Botrytis-tachigare-byo</i> Damping-off <i>Botrytis byssoidea</i> J.C. Walker 池田幸子・安岡眞二:日植病報 86(3):191, 2020 ; <i>Ikeda, S. & Yasuoka, S.:J. Gen. Plant Pathol.</i> <i>89(5):260, 2023</i> [備考] 移植タマネギに発生。菌糸腐敗病の病原でもある (注) 病名変更、病名英名変更、ダガー削除、文献	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) ++++ボトリチス立枯症 <i>Botrytis-tachigare-sho</i> <i>Botrytis damping-off</i> <i>Botrytis byssoidea</i> J.C. Walker 池田幸子・安岡眞二:日植病報 86(3):191, 2020 [備考] 移植タマネギに発生。菌糸腐敗病の病原でもある
--	---

追加	
----	--

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝ら:日植病報 88(3):200, 2022 ; Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(4):238, 2023 (2) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 達 瑞枝ら:日植病報 88(3):200, 2022 ; Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(4):238, 2023 (3) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝ら:日植病報 88(3):200, 2022 ; Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(4):238, 2023 [備考] <i>Pantoea ananatis</i> も分離されたが単独接種では病原性なし。<i>Burkholderia cepacia</i> complex (Bcc) 細菌との混合接種ではBcc単独よりも激しい病徴となる (4) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(5):003018, 2020 ; 澤田宏之ら:日植病報 86(3):232, 2020 (5) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら:日植病報 49(3):415, 1983	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Bacterial rot (1) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝ら:日植病報 88(3):200, 2022 (2) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 達 瑞枝ら:日植病報 88(3):200, 2022 (3) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝ら:日植病報 88(3):200, 2022 [備考] <i>Pantoea ananatis</i> も分離されたが単独接種では病原性なし。<i>Burkholderia cepacia</i> complex (Bcc) 細菌との混合接種ではBcc単独よりも激しい病徴となる (4) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 70(5):003018, 2020 ; 澤田宏之ら:日植病報 86(3):232, 2020 (5) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 梅川 学ら:日植病報 49(3):415, 1983 ; 飯富暁康ら:日植病報 49(3):415, 1983 (6) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013
---	--

(6) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 畔上耕児ら:日植病報 79(1):34, 2013 (注) 文献追加	
---	--

ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) †††† <i>Milk vetch dwarf virus</i> (MDV) レンゲ萎縮ウイルス 皆川裕香ら:日植病報 89(3):174, 2023 (注) 新宿主	ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜)
--	--

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) †††† <i>Milk vetch dwarf virus</i> (MDV) レンゲ萎縮ウイルス	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等)
--	--

ス 皆川裕香ら:日植病報 89(3):174, 2023 (注) 新宿主	
--	--

ユリ科 Liliaceae マイヅルソウ(マイズルソウ, 舞鶴草) False lily of the valley <i>Maianthemum dilatatum</i> Nels. & Macbr. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia majanthemi</i> Dietel 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):217, 1950 ; 平塚直秀: 植物銹菌学研究:321, 1955 (注) 文献誌名訂正	ユリ科 Liliaceae マイヅルソウ(マイズルソウ, 舞鶴草) False lily of the valley <i>Maianthemum dilatatum</i> Nels. & Macbr. (草花) さび病 sabi-byo <i>Puccinia majanthemi</i> Dietel 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):217, 1950 ; 平塚直秀: 日本植物銹菌学研究:321, 1955
--	--

ユリ科 Liliaceae ナギイカダ Butchers broom <i>Ruscus aculeatus</i> L. (広葉樹) ルスカス(イカダバルスカス) <i>Ruscus hypoglossum</i> L. 葉枯病 hagare-byo Leaf blight <i>Fusarium</i> sp. 坂本 彩ら:日植病報 89(3):211, 2023 [備考] イカダバルスカスに発生 (注) 新病名	ユリ科 Liliaceae ナギイカダ Butchers broom <i>Ruscus aculeatus</i> L. (広葉樹) ルスカス(イカダバルスカス) <i>Ruscus hypoglossum</i> L.
---	--

ユリ科 Liliaceae サンダーソニア	ユリ科 Liliaceae サンダーソニア
--------------------------	--------------------------

Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) 乾腐病 kampu-byo Bulb rot (1) †††<i>Fusarium anguioides</i> Sherbakoff 迫田琢也ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 久保周子ら:日植病報 85(1):55, 2019 ; 久保周子 ら:関東病虫研報 66:32, 2019 (3) †††<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium avenaceum</i> species complex) Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド (注) 文献誌名の前のスペース削除	Christmas-bells, Chinese lantern lily, Muscari <i>Sandersonia aurantiaca</i> Hook. (草花) 乾腐病 kampu-byo Bulb rot (1) †††<i>Fusarium anguioides</i> Sherbakoff 迫田琢也ら:日植病報 76(1):66, 2010 ; Sakoda, T. <i>et al.</i>: Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 久保周子ら:日植病報 85(1):55, 2019 ; 久保周子 ら:関東病虫研報 66:32, 2019 (3) †††<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium avenaceum</i> species complex) Sakoda, T. <i>et al.</i>:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 47:41, 2011 [備考] 生産国ニュージーランド
--	--

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, 白渋病, うどんこ病) <i>Phyllactinia moricola</i> (Hennings) Homma [<i>Phyllactinia moricola</i> (Hennings) Sawada, <i>Phyllactinia suffulta</i> (Rebentisch) Saccard var. <i>moricola</i> Hennings, <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P.	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 裏うどんこ病 ura-udonko-byo Powdery mildew (裏白渋病, 白渋病, うどんこ病) <i>Phyllactinia moricola</i> (Hennings) Homma [<i>Phyllactinia moricola</i> (Hennings) Sawada, <i>Phyllactinia suffulta</i> (Rebentisch) Saccard var. <i>moricola</i> Hennings, <i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P.
--	--

Karsten] 岩淵平介:桑樹病理学:37, 1901(明34) ; 三宅市郎: 蚕試報 1(5):308, 1916(大5) ; 本間ヤス:札幌博物 学会報 11:174, 1930(昭5) (注) 文献年訂正	Karsten] 岩淵平介:桑樹病理学:37, 1901(明34) ; 三宅市郎: 蚕試報 1(5):308, 1915(大4) ; 本間ヤス:札幌博物 学会報 11:174, 1930(昭5)
---	--

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 角斑病 kakuhan-byo <i>Phomopsis morifolia</i> (Berlese) Petrak [<i>Phoma</i> <i>morifolia</i> Berlese] 三宅市郎:蚕試報 1(5):338, 1916(大5) ; 原 攝祐:大 日本蚕糸会報 310:19, 1917(大6) (注) 文献年訂正	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 角斑病 kakuhan-byo <i>Phomopsis morifolia</i> (Berlese) Petrak [<i>Phoma</i> <i>morifolia</i> Berlese] 三宅市郎:蚕試報 1(5):338, 1915(大4) ; 原 攝祐:大 日本蚕糸会報 310:19, 1917(大6)
--	---

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir.	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir.
--	--

白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi] 三宅市郎:蚕試報 1(5):334, 1916(大5) [備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照 (注) 文献年訂正	白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi] 三宅市郎:蚕試報 1(5):334, 1915(大4) [備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照
--	---

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. マッサリア病 massaria-byo (擬似胴枯病, マ スサーリア病) <i>Massaria phorcioides</i> I. Miyake 三宅市郎:蚕試報 1(5):318, 1916(大5) [備考] <i>M. mori</i> Miyake と <i>M. moricola</i> Miyake は 疑似胴枯病菌とされている (三宅市郎:蚕試報 1:318, 1915) (注) 文献年訂正	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. マッサリア病 massaria-byo (擬似胴枯病, マ スサーリア病) <i>Massaria phorcioides</i> I. Miyake 三宅市郎:蚕試報 1(5):318, 1915(大4) [備考] <i>M. mori</i> Miyake と <i>M. moricola</i> Miyake は 疑似胴枯病菌とされている (三宅市郎:蚕試報 1:318, 1915)
--	---

ヤマモモ科 Myricaceae ヤマモモ(楊梅) Wax myrtle <i>Myrica rubra</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 褐斑病 kappan-byo	ヤマモモ科 Myricaceae ヤマモモ(楊梅) Wax myrtle <i>Myrica rubra</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 褐斑病 kappan-byo
--	--

<i>Didymella myricae</i> Hara [<i>Mycosphaerella myricae</i> Sawada] 原 攝祐:静岡県農会報 34(12):50, 1930(昭5) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 33(232):6, 1943(昭18) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:162, 1973 (注) 「通算396号」は原本が誤っている可能性あり。34巻12号とする。誌名は他と合わせた	<i>Didymella myricae</i> Hara [<i>Mycosphaerella myricae</i> Sawada] 原 攝祐:静岡農会報 396(12月号):50, 1930(昭5) ; 澤田兼吉:台湾博物学会報 33(232):6, 1943(昭18) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:162, 1973
---	---

フトモモ科 Myrtaceae ユーカリ類(有加利) Gum <i>Eucalyptus</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Oidium eucalypti-globuli</i> Tanda Tanda, S. & Hirose, T.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 47(4):274, 2003 [備考] ユーカリノキ (<i>E. globulus</i> Labill.) に発生 (2) <i>Oidium</i> sp. 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):241, 1959 ; Terashita, T.:J. Jpn. For. Soc. 37(5):213, 1955 [備考] <i>E. citriodora</i>, <i>E. globulus</i>, <i>E. longifolia</i>, <i>E. robusta</i>, <i>E. tereticornis</i> (3) <i>Podosphaera aphanis</i> (Wallroth) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>aphanis</i> [<i>Sphaerotheca aphanis</i> (Wallroth) U. Braun var. <i>aphanis</i>] Tanda, S. & Hirose, T.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 47(4):274, 2003 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:13, 2012 [備考] ユーカリノキ (<i>E. globulus</i> Labill.) に発生 (注) 2008年4月の追録に掲載されたが、漏れていた文献と備考を挿入。(3)備考中の宿主学名を修正。	フトモモ科 Myrtaceae ユーカリ類(有加利) Gum <i>Eucalyptus</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) (1) <i>Oidium eucalypti-globuli</i> Tanda (2) <i>Oidium</i> sp. 伊藤一雄:図説苗畑病害診断法(後):241, 1959 ; Terashita, T.:J. Jpn. For. Soc. 37(5):213, 1955 [備考] <i>E. citriodora</i>, <i>E. globulus</i>, <i>E. longifolia</i>, <i>E. robusta</i>, <i>E. tereticornis</i> (3) <i>Podosphaera aphanis</i> (Wallroth) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>aphanis</i> [<i>Sphaerotheca aphanis</i> (Wallroth) U. Braun var. <i>aphanis</i>] Tanda, S. & Hirose, T.:Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 47(4):274, 2003 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:13, 2012 [備考] ユーカリノキ (<i>E. globulus</i> Labil.) に発生
---	---

フトモモ科 Myrtaceae ユーカリ類(有加利) Gum <i>Eucalyptus</i> spp. (広葉樹) 黒斑病 kokuhan-byo Black spot <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler 奈尾雅浩:四国植防 34:101, 1999 [備考] ギンマルバユーカリ <i>E. cinerea</i> に発生 (注) 2008年4月の追録に掲載されたが、漏れていた病名。今回、採録。	フトモモ科 Myrtaceae ユーカリ類(有加利) Gum <i>Eucalyptus</i> spp. (広葉樹)
---	--

オシロイバナ科 Nyctaginaceae オシロイバナ(ユウゲシヨウ) Four-o'clock <i>Mirabilis jalapa</i> L. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 本間善久・平田幸治:新潟農林研究 20:136, 1968 ; 野村幸彦:日菌報 7:349, 1966 ; 本間善久:四 国植防 11:133, 1976 [備考] 分生子による同定 (注) 文献誌名訂正	オシロイバナ科 Nyctaginaceae オシロイバナ(ユウゲシヨウ) Four-o'clock <i>Mirabilis jalapa</i> L. (草花) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Erysiphe polygoni</i> de Candolle 本間善久・平田幸治:新潟大農林研究 20:136, 1968 ; 野村幸彦:日菌報 7:349, 1966 ; 本間善久:四 国植防 11:133, 1976 [備考] 分生子による同定
---	--

モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹)	モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹)
---	---

炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 都崎芳久・川原精剛:四国植防 36:7, 2001 ; 陰山 優花・大里修一:日植病報 89(3):212, 2023 [備考] 衣川ら(日植病報74(3):157, 2008)は本菌に よる新梢枯死症を報告した。陰山・大里(2023) は、狭義の <i>C. acutatum</i> を報告した (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium olivarum</i> J.V. Almeida] 逸見武雄・倉田静子:菌類 1(3, 4):83, 1931(昭6) ; 逸見武雄ら:日植病報 2(6):550, 1933 ; 山本和太 郎:植物防疫 14:49, 1960 (注) (1)備考変更	炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 都崎芳久・川原精剛:四国植防 36:7, 2001 [備考] 衣川ら(日植病報74(3):157, 2008)は本菌に よる新梢枯死症を報告した (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium olivarum</i> J.V. Almeida] 逸見武雄・倉田静子:菌類 1(3, 4):83, 1931(昭6) ; 逸見武雄ら:日植病報 2(6):550, 1933 ; 山本和太 郎:植物防疫 14:49, 1960
--	--

ヒメハギ科 Olygolaceae セネガ Senega <i>Polygala senega</i> L. (特用作物) 輪紋病 rimmon-byo Ring spot <i>Alternaria gaisen</i> Nagano ex Bokura 石山理紗ら:日植病報 89(3):211, 2023 (注) 新病名	ヒメハギ科 Olygolaceae セネガ Senega <i>Polygala senega</i> L. (特用作物)
---	---

ラン科 Orchidaceae シラン Bletilla <i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Rchb. fil. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis fabiopsis</i> J. Zhang, M.D. Wu & G.Q. Li 河原崎秀志・加藤孝太郎:日植病報 89(3):210,	ラン科 Orchidaceae シラン Bletilla <i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Rchb. fil. (草花)
--	---

2023	
(注) 新病名	

ケシ科 Papaveraceae ケシ類 Poppy <i>Papaver</i> spp. (草花) アイスランドポピー Iceland poppy <i>Papaver nudicaule</i> L. ヒナゲシ(虞美人草) Corn poppy <i>Papaver rhoeas</i> L. †黒斑病 kokuhan-byo (黒変病) <i>Cercospora papaveri</i> Nakata 瀧元清透:朝鮮農会報 13(11):33, 1918(大7) ; 中田 覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物 病害目録):65, 1928(昭3) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):67, 1960 [備考] 朝鮮半島 (注) 文献誌名訂正	ケシ科 Papaveraceae ケシ類 Poppy <i>Papaver</i> spp. (草花) アイスランドポピー Iceland poppy <i>Papaver nudicaule</i> L. ヒナゲシ(虞美人草) Corn poppy <i>Papaver rhoeas</i> L. †黒斑病 kokuhan-byo (黒変病) <i>Cercospora papaveri</i> Nakata 瀧元清透:朝鮮農会報 13(11):33, 1918(大7) ; 中田 覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物 病害目録):65, 1927(昭2) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報 4(2):67, 1960 [備考] 朝鮮半島
---	---

マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (F. Schmidt) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (F. Schmidt) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (F. Schmidt) Mast. var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo (注) 宿主学名修正	マツ科 Pinaceae トドマツ Saghalien fir <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. (針葉樹) アカトドマツ(赤楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (F. Schmidt) Mast. var. <i>sachalinensis</i> アオトドマツ(青楡松) <i>Abies sachalinensis</i> (F. Schmidt) Mast. var. <i>mayriana</i> Miyabe & Kudo
---	--

オオバコ科 Plantaginaceae オオバコ類 (Plantago) <i>Plantago</i> spp. (野草) オオバコ <i>Plantago asiatica</i> L. ヘラオオバコ <i>Plantago lanceolata</i> L. エダウチオオバコ <i>Plantago psyllium</i> L. †††† <i>Habenaria mosaic virus</i> (HaMV) サギソウモザイクウイルス 櫻井路夏ら:日植病報 89(3):173, 2023 [備考] 戻し接種なし (注) 新宿主	オオバコ科 Plantaginaceae オオバコ類 (Plantago) <i>Plantago</i> spp. (野草) オオバコ <i>Plantago asiatica</i> L. ヘラオオバコ <i>Plantago lanceolata</i> L. エダウチオオバコ <i>Plantago psyllium</i> L.
---	--

ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ) 黒色斑点病 kokushoku-hanten-byo Black spot disease <i>Hyphozyma</i> sp. [<i>Eleutheromyces subulatus</i> (Tode) Fuckel] 常田昭彦:菌蕈 42(2):34, 1996 ; Tsuneda, A. <i>et al.</i>:Rept. Tottori Mycol. Inst. 33:14, 1995 ; Tsuneda, A. <i>et al.</i>:Mycologia 89:867, 1997 [備考] 子実体に発生 (注) 文献誌名訂正	ヒラタケ科 Pleurotaceae シイタケ(椎茸) Shiitake mushroom <i>Lentinula edodes</i> (Berkeley) Pegler (きのこ) 黒色斑点病 kokushoku-hanten-byo Black spot disease <i>Hyphozyma</i> sp. [<i>Eleutheromyces subulatus</i> (Tode) Fuckel] 常田昭彦:菌蕈 42(2):34, 1996 ; Tsuneda, A. <i>et al.</i>:菌蕈研報 33:14, 1995 ; Tsuneda, A. <i>et al.</i>:Mycologia 89:867, 1997 [備考] 子実体に発生
---	---

マキ科 Podocarpaceae イヌマキ(狗槨, 羅漢松)	マキ科 Podocarpaceae イヌマキ(狗槨, 羅漢松)
---	---

Longleaf podocarpus <i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don (針葉樹) ラカンマキ(羅漢楨) <i>Podocarpus macrophyllus</i> D.Don var. <i>maki</i> Sieb. †††† <i>Physalospora podocarpi</i> Hara 原 攝祐:菌類 1(1):27, 1931(昭6) (注) 文献号数挿入	Longleaf podocarpus <i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don (針葉樹) ラカンマキ(羅漢楨) <i>Podocarpus macrophyllus</i> D.Don var. <i>maki</i> Sieb. †††† <i>Physalospora podocarpi</i> Hara 原 攝祐:菌類 1:27, 1931(昭6)
--	---

タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum) <i>Polygonum</i> spp. (野草) イブキトラノオ <i>Polygonum bistorta</i> auct. non L. ツルソバ <i>Polygonum chinense</i> L. イタドリ <i>Polygonum cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルタデ <i>Polygonum dumetorum</i> L. ミズヒキ <i>Polygonum filiforme</i> Thunb. ヤナギタデ <i>Polygonum hydropiper</i> L. サナエタデ <i>Polygonum lapathifolia</i> L. オオイヌタデ <i>Polygonum lapathifolium</i> L. subsp. <i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>Polygonum longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>Polygonum nepalensis</i> Meisn. オオケタデ <i>Polygonum orientale</i> L. イシミカワ <i>Polygonum perfoliatum</i> L. ハナタデ <i>Polygonum posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i> (Meisn.) Ohwi ママコノシリヌグイ <i>Polygonum senticosum</i> (Meisn.) Franch. & Sav. アキノウナギツカミ <i>Polygonum sieboldii</i> Meisn. ミゾソバ <i>Polygonum thunbergii</i> Sieb. & Zucc. ムカゴトラノオ <i>Polygonum viviparum</i> L.	タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum) <i>Polygonum</i> spp. (野草) イブキトラノオ <i>Polygonum bistorta</i> auct. non L. ツルソバ <i>Polygonum chinense</i> L. イタドリ <i>Polygonum cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルタデ <i>Polygonum dumetorum</i> L. ミズヒキ <i>Polygonum filiforme</i> Thunb. ヤナギタデ <i>Polygonum hydropiper</i> L. サナエタデ <i>Polygonum lapathifolia</i> L. オオイヌタデ <i>Polygonum lapathifolium</i> L. subsp. <i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>Polygonum longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>Polygonum nepalensis</i> Meisn. オオケタデ <i>Polygonum orientale</i> L. イシミカワ <i>Polygonum perfoliatum</i> L. ハナタデ <i>Polygonum posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i> (Meisn.) Ohwi ママコノシリヌグイ <i>Polygonum senticosum</i> (Meisn.) Franch. & Sav. アキノウナギツカミ <i>Polygonum sieboldii</i> Meisn. ミゾソバ <i>Polygonum thunbergii</i> Sieb. & Zucc. ムカゴトラノオ <i>Polygonum viviparum</i> L.
---	---

植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセン チュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 [備考] イタドリ・イヌタデに発生 (注) 文献修正	植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセン チュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27 [備考] イタドリ・イヌタデに発生
---	---

バラ科 Rosaceae ボケ(貼梗海棠) Japanese quince <i>Chaenomeles speciosa</i> (Sweet) Nakai (広葉樹) †††† <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler apple pathotype 村上晃太:日植病報 89(3):159, 2023 [備考] 接種試験未了 (注) 新宿主	バラ科 Rosaceae ボケ(貼梗海棠) Japanese quince <i>Chaenomeles speciosa</i> (Sweet) Nakai (広葉樹)
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 黄腐病 kigusare-byo Bull's-eye-rot (1) <i>Gloeosporium</i> sp. 福井白志:農林省農改資料 152:186, 1940(昭15) (2) <i>Phlyctema vagabunda</i> Desmazières [<i>Neofabraea alba</i> (E.J. Guthrie) Verkley, <i>Gloeosporium album</i> Osterwalder] 佐藤 裕:植物防疫 71(12):772, 2017 ; 平山和幸ら:	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 黄腐病 kigusare-byo Bull's-eye-rot (1) <i>Gloeosporium</i> sp. 福井白志:農林省農改資料 152:186, 1940(昭15) (2) <i>Phlyctema</i> spp. 佐藤 裕:植物防疫 71(12):772, 2017 ; 平山和幸ら: 日植病報 84(1):53, 2018 ; 佐藤 裕ら:日植病報 85(1):43, 2019 ; 佐藤 裕:北日本病虫研報 70:204,
---	--

日植病報 84(1):53, 2018 ; 佐藤 裕ら:日植病報 85(1):43, 2019 ; 佐藤 裕:北日本病虫研報 70:204, 2019 ; 佐藤 裕ら:日植病報 87(3):133, 2021 (注) 病原同定、備考削除	2019 [備考] 佐藤(2017)は本病の果実小黑斑4症状を報告したが、その内の「ひび黒」症状については未解明。佐藤(2019)は本病原による黄色系リンゴの赤色斑を報告した
--	--

バラ科 Rosaceae ズミ(栂, 棠梨) Toringo crabapple <i>Malus toringo</i> (Sieb.) Sieb. ex Vriese (広葉樹) 赤星病 akahoshi-byo Rust (1) <i>Gymnosporangium hemisphaericum</i> Hara 原 攝祐:大日本山林会報 419:13, 1917(大6) [備考] オオズミ (<i>M. sieboldii</i> var. <i>zumi</i>) ・ オオウ ラジロノキ(<i>M. tschonoskii</i>) (2) <i>Gymnosporangium miyabei</i> G. Yamada & I. Miyake [<i>Roestelia solitaria</i> Miyabe] 平塚直秀:植研雑 10(10):618, 1934(昭9) (3) <i>Gymnosporangium yamadae</i> Miyabe ex G. Yamada (銹病, 毛銹病) 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1910(明 43) ; 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明36) ; 平塚直秀:日菌報 16(1):91, 1975 [備考] エゾノコリンゴ (<i>M. baccata</i> var. <i>mandshurica</i>) ・ カラフトズミ (<i>M. baccata</i>)にも発 生 (注) 文献誌名訂正	バラ科 Rosaceae ズミ(栂, 棠梨) Toringo crabapple <i>Malus toringo</i> (Sieb.) Sieb. ex Vriese (広葉樹) 赤星病 akahoshi-byo Rust (1) <i>Gymnosporangium hemisphaericum</i> Hara 原 攝祐:大日本山林会報 419:13, 1917(大6) [備考] オオズミ (<i>M. sieboldii</i> var. <i>zumi</i>) ・ オオウ ラジロノキ(<i>M. tschonoskii</i>) (2) <i>Gymnosporangium miyabei</i> G. Yamada & I. Miyake [<i>Roestelia solitaria</i> Miyabe] 平塚直秀:植物学雑 10(10):618, 1934(昭9) (3) <i>Gymnosporangium yamadae</i> Miyabe ex G. Yamada (銹病, 毛銹病) 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:306, 1910(明 43) ; 宮部金吾:植物学雑 17(192):34, 1903(明36) ; 平塚直秀:日菌報 16(1):91, 1975 [備考] エゾノコリンゴ (<i>M. baccata</i> var. <i>mandshurica</i>) ・ カラフトズミ (<i>M. baccata</i>)にも発 生
--	---

バラ科 Rosaceae カナメモチ(アカメモチ) (Photinia) <i>Photinia glabra</i> Maxim.	バラ科 Rosaceae カナメモチ(アカメモチ) (Photinia) <i>Photinia glabra</i> Maxim.
---	---

(広葉樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall <i>Rhizobium rhizogenes</i> (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 大野啓一郎:森林防疫 24(12):243, 1975 ; 牧野孝宏:静岡農試研報 36:129, 1991 ; 牧野孝宏:静岡農試特報 17:25, 1994 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015 (注) 文献追加、文献修正	(広葉樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall <i>Rhizobium rhizogenes</i> (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 大野啓一郎:森林防疫 24(12):243, 1975 ; 牧野孝宏:静岡県農業試験場特別報告 17:1 ; 澤田宏之ら:植物防疫 69(2):106, 2015
---	--

バラ科 Rosaceae カマツカ (Pourthiaea) <i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>laevis</i> (Thunb.) Stapf (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Microsphaera divaricata</i> (Wallroth) Léveillé 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:88, 1977 ; 野村幸彦:日菌報 7(2-3):348, 1966 (2) <i>Podosphaera photiniae</i> Meeboon & S. Takamatsu [<i>Podosphaera</i> sp.] 佐藤幸生ら:日植病報 62(3):264, 1996 ; Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:14, 2015 (注) 文献著者訂正	バラ科 Rosaceae カマツカ (Pourthiaea) <i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>laevis</i> (Thunb.) Stapf (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Microsphaera divaricata</i> (Wallroth) Léveillé 平田幸治:新潟大農研報 29:88, 1977 ; 野村幸彦:日菌報 7(2-3):348, 1966 (2) <i>Podosphaera photiniae</i> Meeboon & S. Takamatsu [<i>Podosphaera</i> sp.] 佐藤幸生ら:日植病報 62(3):264, 1996 ; Meeboon, J. & Takamatsu, S.:Mycoscience 56:14, 2015
--	--

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot
---	---

<i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot <i>Grovesinia pruni</i> Y. Harada & Noro [不完全世代: <i>Hinomyces pruni</i> (Y. Harada & Noro) Narumi & Y. Harada, <i>Cristulariella</i> sp., <i>Sclerotinia</i> sp.] 原田幸雄ら:弘大農報 36:12, 1981 ; 野呂俊一:植物防疫 39(12):564, 1985 ; Harada, Y. & Noro, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(1):85, 1988 ; Narumi-Saito, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:351, 2006 (注) 病原学名修正、文献著者訂正	<i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot <i>Grovesinia pruni</i> Y. Harada & Noro [不完全世代: <i>Hinomyces pruni</i> (Y. Harada & Noro) Narumi-Saito & Y. Harada, <i>Cristulariella</i> sp., <i>Sclerotinia</i> sp.] 原田幸雄ら:弘大農報 36:12, 1981 ; 野呂俊一ら:植物防疫 39(12):564, 1985 ; Harada, Y. & Noro, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(1):85, 1988 ; Narumi-Saito, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:351, 2006
---	---

バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt (灰色膏葉病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard [<i>Septobasidium pedicellatum</i> (Schweinitz) Patouillard] 南部信方:病虫雑 2(2):192, 1915(大4) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭5) (注) 文献年訂正	バラ科 Rosaceae ウメ(梅) Mume, Japanese apricot <i>Prunus mume</i> Sieb. & Zucc. (果樹) 灰色こうやく病 haiiro-koyaku-byo Felt (灰色膏葉病) <i>Septobasidium bogoriense</i> Patouillard [<i>Septobasidium pedicellatum</i> (Schweinitz) Patouillard] 南部信方:病虫雑 2(2):192, 1913(大2) ; 原 攝祐:実験作物病理学:314, 1930(昭5)
---	--

バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i>	バラ科 Rosaceae モモ(桃) Peaches <i>Prunus</i> spp. (果樹) モモ Peach <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>vulgaris</i>
--	--

Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 高田真里ら:日植病報 87(3):209, 2021 ; 川上敦子 ら:日植病報 89(2):77, 2023 [備考] 菌糸融合群 AG-1, IB (注) 文献追加	Maximowicz ネクタリン(油桃) Nectarine <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>nucipersica</i> Schneider くもの巣病 kumonosu-byo Web-blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 高田真里ら:日植病報 87(3):209, 2021 [備考] 菌糸融合群 AG-1, IB
--	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus</i> <i>betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus</i> <i>ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† Pear chlorotic leaf spot-associated virus# (PCLSaV) ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス [Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV)] 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健 嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植 病報 86(3):221, 2020 ; 竹山さわな ら:日植病報 87(1):7, 2021 ; 竹山さわな ら:日植病報 88(1):1, 2022 ; Kubota <i>et al.</i> :Plant Dis. 105(4):1234, 2021 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセ ナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT- PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田ら(2020)は, JPCSaVと名付けた。その後,	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus</i> <i>betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus</i> <i>ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† Pear chlorotic leaf spot-associated virus# (PCLSaV) ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス [Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV)] 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健 嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植 病報 86(3):221, 2020 ; 竹山さわな ら:日植病報 87(1):7, 2021 ; 竹山さわな ら:日植病報 88(1):1, 2022 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセ ナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT- PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田ら(2020)は, JPCSaVと名付けた。その後,
---	--

竹山ら(2021)は、本ウイルスがPCLSaVと同種であることを報告した。神山ら(2020)は、果梗の裂傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆した。戻し接種なし (注) 文献追加	竹山ら(2021)は、本ウイルスがPCLSaVと同種であることを報告した。神山ら(2020)は、果梗の裂傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆した。戻し接種なし
---	---

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 萎縮病 ishuku-byo Dwarf (萎縮症) (1) <i>Fomitiporia punctata</i> (P. Karsten) Murrill 金子洋平ら:日植病報 80(1):24, 2014 (2) <i>Fomitiporia torreyae</i> Y.C. Dai & B.K. Cui チャアナタケモドキ 関本美和:園学要旨 昭53春:76, 1978 ; 塩田あづさら:日植病報 76(3):156, 2010 ; 金子洋平ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Ota, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 106(1):66, 2014 (注) 病原学名の命名者名にスペース挿入	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 萎縮病 ishuku-byo Dwarf (萎縮症) (1) <i>Fomitiporia punctata</i> (P.Karsten) Murrill 金子洋平ら:日植病報 80(1):24, 2014 (2) <i>Fomitiporia torreyae</i> Y.C. Dai & B.K. Cui チャアナタケモドキ 関本美和:園学要旨 昭53春:76, 1978 ; 塩田あづさら:日植病報 76(3):156, 2010 ; 金子洋平ら:日植病報 77(3):168, 2011 ; Ota, Y. <i>et al.</i>:Mycologia 106(1):66, 2014
---	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹)	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹)
--	--

ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaeifolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† <i>Mycosphaerella bellona</i> Saccardo 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 360):14, 1927(昭2) (注) 文献号数・ページ訂正	ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaeifolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† <i>Mycosphaerella bellona</i> Saccardo 原 攝祐:静岡県農会報 359:11, 1927(昭2)
---	--

バラ科 Rosaceae ワレモコウ類 Burnet bloodwort, Great burnet <i>Sanguisorba</i> spp. (草花) シロバナトウウチソウ <i>Sanguisorba albiflora</i> (Makino) Makino ワレモコウ Great Burnet <i>Sanguisorba officinalis</i> L. ナガボノシロワレモコウ <i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fischer var. <i>alba</i> Trautv. & Mey. さび病 sabi-byo <i>Xenodochus carbonarius</i> Schlechtendal 平塚直秀・本間ヤス:札幌農林学会報 19(85):182, 1927 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955 ; Sato, T. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:411, 1980 (注) 文献号数・ページ修正	バラ科 Rosaceae ワレモコウ類 Burnet bloodwort, Great burnet <i>Sanguisorba</i> spp. (草花) シロバナトウウチソウ <i>Sanguisorba albiflora</i> (Makino) Makino ワレモコウ Great Burnet <i>Sanguisorba officinalis</i> L. ナガボノシロワレモコウ <i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fischer var. <i>alba</i> Trautv. & Mey. さび病 sabi-byo <i>Xenodochus carbonarius</i> Schlechtendal 平塚直秀・本間ヤス:札幌農林学会報 19:278, 1927 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:283, 1955 ; Sato, T. & Sato, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 21:411, 1980
--	--

ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳)	ヤナギ科 Salicaceae ヤナギ類(柳)
---------------------------------------	---------------------------------------

Willow <i>Chosenia</i> spp., <i>Salix</i> spp. (広葉樹) ††かいよう病* kaiyo-byo Scab, Bark scorch (斑点病, 潰瘍病) <i>Venturia chlorospora</i> (Cesati) P. Karsten [<i>Fusicladium saliciperdu</i>m (Allescher & Tubeuf) Tubeuf] 北島君三:樹病学及木材腐朽論:261, 1933(昭8) [備考] 国内未発生 (注) 文献変更 (元の文献情報が不適切で見つからない)	Willow <i>Chosenia</i> spp., <i>Salix</i> spp. (広葉樹) ††かいよう病* kaiyo-byo Scab, Bark scorch (斑点病, 潰瘍病) <i>Venturia chlorospora</i> (Cesati) P. Karsten [<i>Fusicladium saliciperdu</i>m (Allescher & Tubeuf) Tubeuf] 北島君三:日林誌 12(2):64, 1930(昭5) [備考] 国内未発生
--	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar 褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot <i>Mycosphaerella togashiana</i> Kaz. Ito & Tak. Kobayashi [<i>Pseudocercospora salicina</i> (Ellis & Everhart) Deighton, <i>Cercospora populina</i> Ellis & Everhart] 原 攝祐:静岡県農会報 34(12):52, 1930(昭5) ; Ito, K. & Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 59:1, 1953 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら):598, 1992 (注) 文献号数挿入、ページ修正	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar 褐斑病 kappan-byo Cercospora leaf spot <i>Mycosphaerella togashiana</i> Kaz. Ito & Tak. Kobayashi [<i>Pseudocercospora salicina</i> (Ellis & Everhart) Deighton, <i>Cercospora populina</i> Ellis & Everhart] 原 攝祐:静岡県農会報 34:49, 1930(昭5) ; Ito, K. & Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 59:1, 1953 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら):598, 1992
--	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae ウツギ(空木, 卯木) Japanese snowflower <i>Deutzia crenata</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) †††† <i>Ascochyta deutziae</i> Bresàdola Yokoyama, T.:IFO Res. Commun. 8:80, 1977 (注) 文献年訂正	ユキノシタ科 Saxifragaceae ウツギ(空木, 卯木) Japanese snowflower <i>Deutzia crenata</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) †††† <i>Ascochyta deutziae</i> Bresàdola Yokoyama, T.:IFO Res. Commun. 8:80, 1997
--	---

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Heterophoma rehmanniae</i> A. Shibata, Tonegawa, Sei. Kato, Toy. Sato & Hirooka 加藤誠司ら:日植病報 89(3):150, 2023 (注) 新病名	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih
--	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.
--	--

えそ環紋病 eso-kammon-byo Leaf necrosis <i>Tomato zonate spot orthotospovirus</i> (TZSV) トマト環紋ウイルス 島田涼子・岡本昌広:日植病報 88(3):187, 2022 ; Shimada, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(5):292, 2023 [備考] ピーマンに発生 (注) 文献追加	えそ環紋病 eso-kammon-byo Leaf necrosis <i>Tomato zonate spot orthotospovirus</i> (TZSV) トマト環紋ウイルス 島田涼子・岡本昌広:日植病報 88(3):187, 2022 [備考] ピーマンに発生
---	---

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. †††† Pepper chlorosis associated virus# (PepCaV) トウガラシ退緑随伴ウイルス Shimomoto Y. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 168:48, 2023 [備考] 戻し接種なし (注) 新宿主	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.
---	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. †††† †††Potato spindle tuber viroid (PSTVd) ジャガイモやせいもウイロイド 田中さおり ら:日植病報 89(3):170, 2023	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.
---	--

[備考] ベトナム産トウガラシ種子から輸入検疫時に発見された (注) 新宿主	
--	--

ナス科 Solanaceae チョウセンアサガオ Hindu datura <i>Datura</i> spp. (草花) ケチョウセンアサガオ <i>Datura inoxia</i> Mill. ヤエチョウセンアサガオ <i>Datura metel</i> L. ヨウシュチョウセンアサガオ <i>Datura stramonium</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe orontii</i> Castagne Tanda, S. & Hirose, T.: Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 47(4):274, 2003 (2) <i>Oidium</i> sp. 佐藤幸生ら: 日植病報 62(6):630, 1996 [備考] 接種試験未了。ヨウシュチョウセンアサガオ (<i>D. stramonium</i>)。分生子の発芽管の形態は <i>Erysiphe polygoni</i> 型 (注) 文献巻数訂正	ナス科 Solanaceae チョウセンアサガオ Hindu datura <i>Datura</i> spp. (草花) ケチョウセンアサガオ <i>Datura inoxia</i> Mill. ヤエチョウセンアサガオ <i>Datura metel</i> L. ヨウシュチョウセンアサガオ <i>Datura stramonium</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe orontii</i> Castagne Tanda, S. & Hirose, T.: Jour. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agric. 57(4):274, 2003 (2) <i>Oidium</i> sp. 佐藤幸生ら: 日植病報 62(6):630, 1996 [備考] 接種試験未了。ヨウシュチョウセンアサガオ (<i>D. stramonium</i>)。分生子の発芽管の形態は <i>Erysiphe polygoni</i> 型
---	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化病 oka-byo Yellowing (1) <i>Tomato chlorosis virus</i> (ToCV) トマト退緑ウイルス	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化病 oka-byo Yellowing (1) <i>Tomato chlorosis virus</i> (ToCV) トマト退緑ウイルス
---	---

Hirota, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 76(2):168, 2010 ; 上田重文・寺見文宏:日植病報 88(4):250, 2022 ; 上田重文:植物防疫 77(7):374, 2023 [備考] 上田・寺見(2022)および上田(2023)は, 果実重低下が起こることを報告した (2) <i>Tomato infectious chlorosis virus</i> (TICV) トマトインフュクシャスクロロシスウイルス Hartono, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 69(1):61, 2003 (注) 文献追加	Hirota, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 76(2):168, 2010 ; 上田重文・寺見文宏:日植病報 88(4):250, 2022 [備考] 上田・寺見(2022)は, 果実重低下が起こることを報告した (2) <i>Tomato infectious chlorosis virus</i> (TICV) トマトインフュクシャスクロロシスウイルス Hartono, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 69(1):61, 2003
--	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf mold (1) <i>Pseudocercospora fuligena</i> (Roldan) Deighton [<i>Cercospora fuligena</i> Roldan] 山田峻一:日植病報 15(2):61, 1951 ; 富樫浩吾・香月繁孝:植物学雑 65(763, 764):18, 1952 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:597, 1992 (2) <i>Pseudocercospora</i> sp. 宇田宙生ら:日植病報 89(3):150, 2023 (注) 病原追加	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) すすかび病 susukabi-byo Cercospora leaf mold <i>Pseudocercospora fuligena</i> (Roldan) Deighton [<i>Cercospora fuligena</i> Roldan] 山田峻一:日植病報 15(2):61, 1951 ; 富樫浩吾・香月繁孝:植物学雑 65(763, 764):18, 1952 ; 小林享夫ら:植物病原菌類図説:597, 1992
--	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 根腐病 negusare-byo Root rot
---	---

(1) <i>Aphanomyces cladogamus</i> Drechsler 渡邊麻衣ら:日植病報 89(3):151, 2023 (2) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生ら:日植病報 86(3):190, 2020 [備考] 綿腐病の病原でもある (3) <i>Pythium cryptoirregulare</i> Garzón, Yáñez & G.W. Moorman 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (4) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 48(3):349, 1982 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 [備考] 養液栽培で発生 (5) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 47(3):387, 1981 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 (6) <i>Pythium recalcitrans</i> Belbahri & E. Moralejo 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (7) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (8) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (注) 病原追加	(1) <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 楠 幹生ら:日植病報 86(3):190, 2020 [備考] 綿腐病の病原でもある (2) <i>Pythium cryptoirregulare</i> Garzón, Yáñez & G.W. Moorman 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (3) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 48(3):349, 1982 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 [備考] 養液栽培で発生 (4) <i>Pythium myriotylum</i> Drechsler 草刈眞一ら:日植病報 47(3):387, 1981 ; 草刈眞一・田中 寛:関西病虫研報 29:31, 1987 (5) <i>Pythium recalcitrans</i> Belbahri & E. Moralejo 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (6) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023 (7) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 渡邊麻衣ら:日植病報 89(1):21, 2023
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) †††† †††<i>Columnea latent viroid</i> (CLVd) コルムネア潜在ウイルス 田中さおり ら:日植病報 89(3):170, 2023 [備考] タイ産トマト種子から輸入検疫時に発見された	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜)
--	--

(注) 新宿主	
---------	--

ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 巻葉病 makiha-byo Tobacco leaf curl (腫葉性ヴァイラス病, 捲葉病) <i>Honeysuckle yellow vein virus</i> (HYVV) スイカズラ葉脈黄化ウイルス [Honeysuckle yellow vein mosaic virus#, Tobacco leaf curl Japan virus#, Tobacco leaf curl virus#] 津曲彦寿:病虫雑 22(10):780, 1935(昭10); 中村寿夫・津曲彦寿:病虫雑 27(4):254, 1940(昭15); 桐山 清:日植病報 38(4):323, 1972; 尾崎武司・井上忠男:日植病報 44(2):167, 1978 (注) 病原学名修正、和名追加	ナス科 Solanaceae タバコ(煙草) Tobacco <i>Nicotiana tabacum</i> L. (特用作物) 巻葉病 makiha-byo Tobacco leaf curl (腫葉性ヴァイラス病, 捲葉病) <i>Tobacco leaf curl virus</i> 津曲彦寿:病虫雑 22(10):780, 1935(昭10); 中村寿夫・津曲彦寿:病虫雑 27(4):254, 1940(昭15); 桐山 清:日植病報 38(4):323, 1972; 尾崎武司・井上忠男:日植病報 44(2):167, 1978
---	---

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 乾腐病 kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 乾朽病, 乾燥病, 腐敗病, フザリウム病) (1) <i>Fusarium acuminatum</i> Ellis & Everhart Osawa, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):46, 2021 (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 鈴木 敦ら:日植病報 51(1):107, 1985; 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (3) <i>Fusarium caeruleum</i> Libert ex Saccardo	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 乾腐病 kampu-byo Dry rot (乾性腐敗病, 乾朽病, 乾燥病, 腐敗病, フザリウム病) (1) <i>Fusarium acuminatum</i> Ellis & Everhart Osawa, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):46, 2021 (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (3) <i>Fusarium caeruleum</i> Libert ex Saccardo [<i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo var. <i>caeruleum</i>
--	---

[<i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo var. <i>caeruleum</i> (Libert ex Saccardo) C. Booth] 鈴木 敦ら:日植病報 51(1):107, 1985 ; 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (4) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg Osawa, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):46, 2021 (5) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 鈴木 敦ら:日植病報 51(1):107, 1985 ; 一戸正勝ら:日植病報 52(3):519, 1986 ; 陶山一雄ら:日植病報 52(3):520, 1986 (6) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel [<i>Fusarium roseum</i> Link] 荒木隆男:日植病報 43(3):341, 1977 ; 鈴木 敦ら:日植病報 51(1):107, 1985 ; 陶山一雄ら:日植病報 52(3):520, 1986 ; 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (7) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>eumartii</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 荒木隆男・坪木和男:日植病報 41(1):123, 1975 (8) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 荒木隆男:日植病報 43(3):341, 1977 ; 坂口荘一:九病虫研会報 23:60, 1977 (注) (5)(6)(8)文献修正、(2)(3)文献追加	(Libert ex Saccardo) C. Booth] 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (4) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg Osawa, H. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 87(1):46, 2021 (5) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大3) (6) <i>Fusarium sambucinum</i> Fuckel 陶山一雄ら:日植病報 52(3):520, 1986 ; 一戸正勝・陶山一雄:植物防疫 41:260, 1987 (7) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>eumartii</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 荒木隆男・坪木和男:日植病報 41(1):123, 1975 (8) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo f. sp. <i>radicicola</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen [<i>Fusarium radicicola</i> Wollenweber] ト蔵梅之丞:病虫雑 1(3):314, 1914(大3)
---	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) シスト線虫病 cyst-senchu-byo <i>Globodera rostochiensis</i> (Wollenweber) Skarbilovich ジャガイモシストセンチュウ 加藤利之:植物防疫 26(11):442, 1972 ; Yamada, E.	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) シスト線虫病 cyst-senchu-byo <i>Globodera rostochiensis</i> (Wollenweber) Mulvey & Stone [<i>Heterodera rostochiensis</i> Wollenweber] ジ ジャガイモシストセンチュウ
---	--

<i>et al.</i>:Jpn. J. Nematol. 2:12, 1972 ; 児島司忠:植物防疫 27(2):69, 1973 (注) 病原学名変更	加藤利之:植物防疫 26(11):442, 1972 ; Yamada, E. <i>et al.</i>:Jpn. J. Nematol. 2:12, 1972 ; 児島司忠:植物防疫 27(2):69, 1973
---	---

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev [<i>Tylenchus dipsaci</i> (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ 鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) (2) <i>Globodera pallida</i> Stone ジャガイモシロシストセンチュウ Narabu, T. <i>et al.</i>:Plant Dis. 100(8):1794, 2016 (3) <i>Globodera rostochiensis</i> (Wollenweber) Skarbilovich ジャガイモシストセンチュウ Yamada, E. <i>et al.</i>:Jpn. J. Nematol. 2:12, 1972 (4) <i>Paratrophurus</i> sp. リュウキュウイシュクセンチュウ 照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979 (5) <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971 (注) (2)文献著者訂正、(3)病原学名変更	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Ditylenchus dipsaci</i> (Kühn) Filipjev [<i>Tylenchus dipsaci</i> (Kühn) Bastian] ナミクキセンチュウ 鐔木外岐雄:実際園芸 13(増4):302, 1932(昭7) (2) <i>Globodera pallida</i> Stone ジャガイモシロシストセンチュウ Sekimoto, S. <i>et al.</i>:Plant Dis. 100(8):1794, 2016 (3) <i>Globodera rostochiensis</i> (Wollenweber) Behrens ジャガイモシストセンチュウ Yamada, E. <i>et al.</i>:Jpn. J. Nematol. 2:12, 1972 (4) <i>Paratrophurus</i> sp. リュウキュウイシュクセンチュウ 照屋林宏:沖縄農試研報 4:56, 1979 (5) <i>Xiphinema insigne</i> Loos ヤマユリオオハリセンチュウ 三枝敏郎・山本洋祐:植防研報 9:27, 1971
---	---

スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹)	スギ科 Taxodiaceae スギ(杉) Japanese cedar, <i>Cryptomeria</i> <i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D. Don (針葉樹)
--	--

赤枯病 akagare-byo Needle blight (焦茶赤枯病, 苗赤枯病, 溝腐病, 造林木溝腐病) <i>Cercospora sequoiae</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora cryptomeriae</i> Shirai] 川村清一:山林公報 5:57, 1912(明45); 北島君三:林試研報 14:31, 1916(大5); 伊藤一雄:植物防疫 6:176, 1953; Ito, K. <i>et al.</i>:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:73, 1967 [備考] 本病原菌を<i>Asperisporium</i>属に転属[<i>A. sequoiae</i> (Ellis & Everhart) Sutton & Hodges]する見解がある(Sutton, B. C. & Hodges, C. S.:Mycologia 82:314, 1990) (注) 文献年訂正、文献誌名を他と合わせた	赤枯病 akagare-byo Needle blight (焦茶赤枯病, 苗赤枯病, 溝腐病, 造林木溝腐病) <i>Cercospora sequoiae</i> Ellis & Everhart [<i>Cercospora cryptomeriae</i> Shirai] 川村清一:山林公報 5:57, 1912(明45); 北島君三:林試報 14:31, 1916(大6); 伊藤一雄:植物防疫 6:176, 1953; Ito, K. <i>et al.</i>:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 204:73, 1967 [備考] 本病原菌を<i>Asperisporium</i>属に転属[<i>A. sequoiae</i> (Ellis & Everhart) Sutton & Hodges]する見解がある(Sutton, B. C. & Hodges, C. S.:Mycologia 82:314, 1990)
--	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 赤焼病 akayake-byo Bacterial shoot blight <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>theae</i> (Hori 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas theae</i> (Hori) Okabe & Goto] 堀 正太郎:病虫雑 1(3):247, 1914(大3); 堀 正太郎:病虫雑 2(1):1, 1915(大4); 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:96, 1955 [備考] 初めに本病原とされた <i>Bacillus theae</i> Hori & Bokura と <i>Pseudomonas theae</i> (Hori) Okabe & Goto との同一性には疑義がある (西山:日本産植物病原細菌病の病原と病原細菌の学名 p.21, 1997) (注) 文献和暦追加	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 赤焼病 akayake-byo Bacterial shoot blight <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>theae</i> (Hori 1915) Young, Dye & Wilkie 1978 [<i>Pseudomonas theae</i> (Hori) Okabe & Goto] 堀 正太郎:病虫雑 1(3):247, 1914(大3); 堀 正太郎:病虫雑 2(1):1, 1915; 岡部徳夫・後藤正夫:静岡大農研報 5:96, 1955 [備考] 初めに本病原とされた <i>Bacillus theae</i> Hori & Bokura と <i>Pseudomonas theae</i> (Hori) Okabe & Goto との同一性には疑義がある (西山:日本産植物病原細菌病の病原と病原細菌の学名 p.21, 1997)
--	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪斑病 rinhan-byo Gray blight (1) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. 野澤俊介ら:日植病報 85(3):255, 2019 ; Nozawa, S. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 88(5):293, 2022 [備考] 病原(2)との異同について検討を要する (2) <i>Pestalotiopsis longiseta</i> (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [<i>Pestalotia longiseta</i> Spegazzini] 臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990 ; 臺 喜吉ら: 横浜植防調報 26:4, 1990 (3) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia</i> <i>theae</i> Sawada, <i>Pestalozzia theae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):13, 1913(大2) ; 宇 田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978 (4) <i>Pseudopestalotiopsis chinensis</i> F. Liu & L. Cai 山田憲吾・羽野愛理:日植病報 89(3):212, 2023 (注) 病原追加	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪斑病 rinhan-byo Gray blight (1) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. 野澤俊介ら:日植病報 85(3):255, 2019 ; Nozawa, S. <i>et al.</i> :J. Gen. Plant Pathol. 88(5):293, 2022 [備考] 病原(2)との異同について検討を要する (2) <i>Pestalotiopsis longiseta</i> (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [<i>Pestalotia longiseta</i> Spegazzini] 臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990 ; 臺 喜吉ら: 横浜植防調報 26:4, 1990 (3) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia</i> <i>theae</i> Sawada, <i>Pestalozzia theae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):13, 1913(大2) ; 宇 田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978
---	--

ニレ科 Ulmaceae ニレ類(榆) (Ulmus) <i>Ulmus</i> spp. (広葉樹) ハルニレ(春榆) <i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehd.) Nakai オヒョウ <i>Ulmus laciniata</i> (Trautv.) Mayr アキニレ(秋榆) <i>Ulmus parvifolia</i> Jacq. †††† † <i>Dothidella ulmi</i> (C.-J. Duval) G. Winter [<i>Euryachora ulmi</i> (Duval) J. Schröter]	ニレ科 Ulmaceae ニレ類(榆) (Ulmus) <i>Ulmus</i> spp. (広葉樹) ハルニレ(春榆) <i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehd.) Nakai オヒョウ <i>Ulmus laciniata</i> (Trautv.) Mayr アキニレ(秋榆) <i>Ulmus parvifolia</i> Jacq. †††† † <i>Dothidella ulmi</i> (C.-J. Duval) G. Winter [<i>Euryachora ulmi</i> (Duval) J. Schröter]
---	---

三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:155, 1928(昭3) ; 三浦密成:秋田農試報 8:8, 1957 [備考] 中国東北部。ニレ・ノニレ・ハルニレ。病原菌は<i>Platychocha ulmi</i> (Schleicher) Petrak とされている(Petrak, F.:Ann. Mycol. 23:103, 1925) (注) 文献年訂正	三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:155, 1928(昭3) ; 三浦密成:秋田農試報 8:8, 1957 [備考] 中国東北部。ニレ・ノニレ・ハルニレ。病原菌は<i>Platychocha ulmi</i> (Schleicher) Petrak とされている(Petrak, F.:Ann. Mycol. 23:103, 1925)
--	---

オミナエシ科 Valerianaceae オミナエシ Dahurian patrinia <i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch., <i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch. ex Trevir. (草花) さび病 sabi-byo (1) <i>Puccinia hemerocallidis</i> Thümen Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:710, 1992 [備考] オミナエシ, オトコエシ, キンレイカ, マルバキンレイカ上に精子・さび胞子世代が, キスゲ, カンゾウ類に夏・冬胞子世代が寄生する (2) <i>Puccinia patriniae</i> Hennings 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):307, 1950 ; 平塚直秀:植物銹菌学研究:326, 1955 [備考] 接種試験未了 (注) 文献誌名訂正	オミナエシ科 Valerianaceae オミナエシ Dahurian patrinia <i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch., <i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch. ex Trevir. (草花) さび病 sabi-byo (1) <i>Puccinia hemerocallidis</i> Thümen Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:710, 1992 [備考] オミナエシ, オトコエシ, キンレイカ, マルバキンレイカ上に精子・さび胞子世代が, キスゲ, カンゾウ類に夏・冬胞子世代が寄生する (2) <i>Puccinia patriniae</i> Hennings 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):307, 1950 ; 平塚直秀:日本植物銹菌学研究:326, 1955 [備考] 接種試験未了
--	--

クマツヅラ科 Verbenaceae ムラサキシキブ(紫式部) Beautyberry <i>Callicarpa japonica</i> Thunb. (広葉樹) 角斑病 kakuhan-byo <i>Pseudocercospora callicarpae</i> (Cooke) Y.L. Guo &	クマツヅラ科 Verbenaceae ムラサキシキブ(紫式部) Beautyberry <i>Callicarpa japonica</i> Thunb. (広葉樹) 角斑病 kakuhan-byo <i>Pseudocercospora callicarpae</i> (Cooke) Y.L. Guo &
---	---

W.X. Zhao [<i>Cercospora callicarpae</i> Cooke, <i>Cercospora callicarpicola</i> N. Naito, <i>Cercospora callicarpicola</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):100, 1943(昭18) ; Naito, N.:Mem. Coll. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:49, 1940(昭15) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):48, 1960 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 [備考] ヤブムラサキ (<i>C. mollis</i>)・ホウライムラサキ (<i>C. formosana</i>) にも発生 (注) 文献誌名訂正	W.X. Zhao [<i>Cercospora callicarpae</i> Cooke, <i>Cercospora callicarpicola</i> N. Naito, <i>Cercospora callicarpicola</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾農試報 85(台湾産菌類調査報告 8):100, 1943(昭18) ; Naito, N.:Mem. Fac. Agr. Kyoto Imp. Univ. 47:49, 1940(昭15) ; 山本和太郎・前田巳之助:兵庫農大研報農生編 4(2):48, 1960 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 [備考] ヤブムラサキ (<i>C. mollis</i>)・ホウライムラサキ (<i>C. formosana</i>) にも発生
---	--

クマツヅラ科 Verbenaceae バーベナ(ビジョザクラ) Verbena <i>Verbena</i> × <i>hybrida</i> Voss (草花) ヒメビジョザクラ (Verbena) <i>Verbena tenera</i> Spreng. シュツコンバーベナ <i>Verbena rigida</i> Spreng. 褐斑病 kappan-byo leaf spot <i>Corynespora cassiicola</i> (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei 近藤亜美・永島 進:日植病報 89(3):151, 2023 (注) 新病名	クマツヅラ科 Verbenaceae バーベナ(ビジョザクラ) Verbena <i>Verbena</i> × <i>hybrida</i> Voss (草花) ヒメビジョザクラ (Verbena) <i>Verbena tenera</i> Spreng. シュツコンバーベナ <i>Verbena rigida</i> Spreng.
--	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L.	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L.
--	--

ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 73:113, 2022 (2) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo sensu stricto Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 [備考] 狭義の<i>C. gloeosporioides</i> (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子ら:日植病報 84(1):3, 2018 (6) <i>Colletotrichum perseae</i> G. Sharma & S. Freeman Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 73:113, 2022 (8) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D. Hyde & Z.Y. Liu 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 73:113, 2022	ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. 晩腐病 osogusare-byo Ripe rot (炭疽病, 苦腐病, 腐敗病, 褐斑病) (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 佐藤豊三ら:日植病報 83(1):43, 2017 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 73:113, 2022 (2) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 山本 淳ら:日植病報 63(6):527, 1997 ; 山本 淳:日植病報 65(1):83, 1999 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> sensu stricto Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 [備考] 狭義の<i>C. gloeosporioides</i> (5) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 綿打享子ら:日植病報 83(3):184, 2017 ; 綿打享子ら:日植病報 84(1):3, 2018 (6) <i>Colletotrichum perseae</i> G. Sharma & S. Freeman Yokosawa, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(3):163, 2020 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 73:113, 2022 (8) <i>Colletotrichum viniferum</i> L.J. Peng, L. Cai, K.D. Hyde & Z.Y. Liu 三澤知央ら:日植病報 83(1):71, 2017 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 73:113, 2022
---	--

ら:北日本病虫研報 73:113, 2022 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀正太郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40) [備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphilinum</i> Cavara を記載した。また, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した (注) 病原学名修正	(9) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk [<i>Gloeosporium fructigenum</i> Berkeley, <i>Glomerella rufomaculans</i> (Berkeley) Spaulding & H. Schrenk] 出田 新:大日本農会報 296:3, 1906(明39) ; 堀正太郎:農業世界 2(11):47, 1907(明40) [備考] 白井光太郎 (植物病理学(下):260, 1984) は <i>Gloeosporium ampelophagum</i> Saccardo, 原 攝祐 (日本菌類目録:80, 1954) は暗紋病として <i>Colletotrichum amphilinum</i> Cavara を記載した。また, 石井賢二 (日植病報 30(5):269, 1965) は本病の類似症状から <i>Phoma</i> sp. を分離した
---	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† Grapevine red globe virus# (GRGV) ブドウレッドグローブウイルス 山本桐也ら:日植病報 89(3):169, 2023 [備考] 遺伝子解析による検出。戻し接種なし (注) 新宿主	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L.
---	--

ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(蘘荷) Mioga	ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(蘘荷) Mioga
---	---

<i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia zingiberis</i> Y. Nisikado 白井光太郎:植物学雑 19(217):27, 1905(明38) ; 末 松直次:病虫雑 5(1):33, 1918(大7) (注) 文献修正	<i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) いもち病 imochi-byo Blast <i>Pyricularia zingiberis</i> Y. Nisikado 白井光太郎:植物学雑 29(217):27, 1915(大4) ; 末 松直次:病虫雑 5(1):33, 1918(大7)
--	---

ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 褐色しみ病 kasshoku-shimi-byo Brown blotted root rot <i>Musidium stromaticum</i> (W. Gams & R.H. Stover) Giraldo López & Crous 林 一沙・矢野和孝:日植病報 87(1):28, 2021 ; 林 一沙ら:日植病報 89(3):151, 2023 [備考] 林・矢野(2021)が<i>Plectosphaerella</i> sp.とし た本病原を林ら(2023)が再同定した (注) 病原再同定	ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 褐色しみ病 kasshoku-shimi-byo Brown blotted root rot <i>Plectosphaerella</i> sp. 林 一沙・矢野和孝:日植病報 87(1):28, 2021
---	---

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2024年2月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名、病原追加、病名・学名変更、文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤 衛

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) せん孔斑点病* senko-hanten-byo (斑紋病, 斑点病, 褐斑病, 穿孔斑点病) <i>Taphrina nikkoensis</i> Kusano Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 21(243):65, 1907(明40) ; 西田藤次:宮部記念植物学襍説:197, 1912(大1) [備考] カジカエデ・オニメグスリノキ・タカカラコギカエデに発生 (注) 文献年訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) せん孔斑点病* senko-hanten-byo (斑紋病, 斑点病, 褐斑病, 穿孔斑点病) <i>Taphrina nikkoensis</i> Kusano Kusano, S.:Bot. Mag. Tokyo 21(243):65, 1907(明40) ; 西田藤次:宮部植物学襍説:197, 1911(明44) [備考] カジカエデ・オニメグスリノキ・タカカラコギカエデに発生
マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 疫病 eki-byo Phytophthora rot	マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 疫病 eki-byo Phytophthora rot

(1) <i>Phytophthora cinnamomi</i> Rands 池田亜紀ら:九病虫研会報 69:31, 2023 (2) <i>Phytophthora citrophthora</i> (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 (注) 病原追加	<i>Phytophthora citrophthora</i> (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物) 乾腐病 kampu-byo (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 倉田 浩・藤田 早苗之助:衛生試報 81:182, 1963 ; 倉田 浩・藤田 早苗之助:衛生試報 81:184, 1963 (2) <i>Phoma terrestris</i> H.N. Hansen 倉田 浩・藤田 早苗之助:衛生試報 81:182, 1963 ; 倉田 浩・藤田 早苗之助:衛生試報 81:184, 1963 (3) <i>Phomopsis</i> sp. 倉田 浩・藤田 早苗之助:衛生試報 81:182, 1963 ; 倉田 浩・藤田 早苗之助:衛生試報 81:184, 1963 [備考] 病原性が強いのは(2)(3)である (注) 新病名、病名英名提案なし	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ミシマサイコ(三島柴胡) Buplever <i>Bupleurum falcatum</i> L. (特用作物)
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物)	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物)
---	---

†††† Cnidium virus 2# (CnV2) センキュウウイルス2 岩井一真ら:日植病報 90(1):22, 2024 (注) 新宿主	
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物) †††† Cnidium vein yellowing virus# (CVYV) センキュウ葉脈黄化ウイルス 本間大士ら:日植病報 87(1):20, 2021 (注) 新宿主	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae センキュウ (Cnidium) <i>Cnidium officinale</i> Makino (特用作物)
--	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> (Mill.) Fuss (野菜) 葉先枯病 hasakigare-byo Leaf tip blight (1) <i>Stemphylium lycopersici</i> (Enjoji) W. Yamamoto 青木 由ら:日植病報 90(1):28, 2024 (2) <i>Stemphylium vesicarium</i> (Wallroth) E.G. Simmons 青木 由ら:日植病報 90(1):28, 2024 (注) 新病名、宿主学名変更	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae パセリー(オランダゼリ, 旱芹菜) Parsley <i>Petroselinum crispum</i> Nym. (野菜)
---	--

キョウチクトウ科 Apocynaceae	キョウチクトウ科 Apocynaceae
----------------------	----------------------

ニチニチソウ(ビンカ) Madagascar periwinkle <i>Catharanthus roseus</i> (L.) G. Don (草花) 褐斑病 kappan-byo Leaf spot <i>Paramyrothecium roridum</i> (Tode) L. Lombard & Crous [<i>Myrothecium roridum</i> (Tode) Fries] 高野喜八郎:北陸病虫研報 40:37, 1992 (注) 新病名	ニチニチソウ(ビンカ) Madagascar periwinkle <i>Catharanthus roseus</i> (L.) G. Don (草花)
---	---

サトイモ科 Araceae モンステラ (Monstera) <i>Monstera</i> spp. (草花) さび病 sabi-byo Rust <i>Pseudocercospora paullula</i> (Sydow & P. Sydow) M. Ebinghaus & Dianese [<i>Puccinia paullula</i> Sydow & P. Sydow] 坂本 彩ら:日植病報 88(1):41, 2022 ; 坂本 彩ら: 関東病虫研報 70:48, 2023 (注) 病原学名変更	サトイモ科 Araceae モンステラ (Monstera) <i>Monstera</i> spp. (草花) さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia paullula</i> Sydow & P. Sydow 坂本 彩ら:日植病報 88(1):41, 2022
---	---

ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (1) <i>Pectobacterium araliae</i> Sawada, Someya, Morohoshi, Ono & Satou	ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003
--	--

小野光明ら:日植病報 55(4):509, 1989 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 74(4):006326, 2024 (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 (Approved Lists 1980) emend. Portier, Pédrón, Taghouti, Fischer-Le Saux, Caullireau, Bertrand, Laurent, Chawki, Oulgazi, Moumni, Andrivon, Dutrieux, Faure, Hélias & Barny 2019 [<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 小野光明ら:日植病報 55(4):509, 1989 (注) 病原追加、病原学名変更	[<i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 小野光明ら:日植病報 55(4):509, 1989
---	---

ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium araliae</i> Sawada ex S. Ito & D. Murayama 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):119, 1943(昭18) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(3-4):171, 1943(昭18) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 1:85, 1952 [備考] タイワンタラノキにも発生 (2) <i>Nyssopsora asiatica</i> Lütjeharms [<i>Triphragmium thwaitesii</i> auct. non Berkeley & Broome, <i>Triphragmium clavellousum</i> Berkeley f. <i>asiaticum</i> Komarov] 白井光太郎:日本菌類目録:101, 1905(明38) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:446, 1911(明44) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):51, 1950 [備考] メダラ (<i>A. elata</i> var. <i>subinermis</i>) にも発生	ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium araliae</i> Sawada ex S. Ito & D. Murayama 澤田兼吉:台湾農試報 86(台湾産菌類調査報告 9):119, 1943(昭18) ; Ito, S. & Murayama, D.:Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17(3-4):171, 1943(昭18) ; Hiratsuka, N.:Mem. Fac. Agr. Tokyo Univ. Education 1:85, 1952 [備考] タイワンタラノキにも発生 (2) <i>Nyssopsora asiatica</i> Lütjeharms [<i>Triphragmium thwaitesii</i> auct. non Berkeley & Broome, <i>Triphragmium clavellousum</i> Berkeley f. <i>asiaticum</i> Komarov] 安田 篤:植物学各論隠花部:446, 1911(明44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:101, 1905(明38) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(3):51, 1950 [備考] メダラ (<i>A. elata</i> var. <i>subinermis</i>) にも発生
---	---

(注) 文献順修正	
-----------	--

キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 黒あざ病 kuroaza-byo (ヤケ) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 松田 明ら:日植病報 39(3):200, 1973 ; 尾崎克己 ら:茨城県農試研報 20:31, 1979 ; 角野晶大ら:日植 病報 59(1):88, 1993 ; 三澤知央・角野晶大:日植病 報 89(1):50, 2023 ; 三澤知央・角野晶大:北日本病 虫研報 74:9, 2023 [備考] 松田ら(1973)・尾崎ら(1979)の病原は, 菌 糸融合群 AG-2-2 IIIB, 三澤・角野(日植病報 2023・北日本病虫研報 2023)は, AG-2-2 IIIBおよ び角野ら(1993)の病原をAG-2-2 IVと再同定した (注) 文献追加、備考変更	キク科 Asteraceae, Compositae ゴボウ(牛蒡) Edible burdock, Great burdock <i>Arctium lappa</i> L. (野菜) 黒あざ病 kuroaza-byo (ヤケ) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 松田 明ら:日植病報 39(3):200, 1973 ; 角野晶大 ら:日植病報 59(1):88, 1993 ; 三澤知央・角野晶 大:日植病報 89(1):50, 2023 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。松田 ら(1973)の病原は, 菌糸融合群 AG-2-2 IIIB, 三 澤・角野(2023)は, AG-2-2 IIIBおよび角野ら(1993) の病原をAG-2-2 IVと再同定した
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物) ホソバオケラ <i>Atractylodes lancea</i> (Thunb.) DC. 黒斑病 kokuhan-byo Black leaf spot <i>Alternaria gaisen</i> Nagano ex Bokura 河下美都里・櫻井美希:日植病報 89(1):9, 2023 ; Kawashimo, M. & Sakurai, M.:J. Gen. Plant Pathol. 90(1):63, 2024 [備考] ホソバオケラに発生	キク科 Asteraceae, Compositae オケラ類 <i>Atractylodes</i> <i>Atractylodes</i> spp. (特用作物) ホソバオケラ <i>Atractylodes lancea</i> (Thunb.) DC. 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot <i>Alternaria</i> sp. section <i>Alternata</i> 河下美都里・櫻井美希:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] ホソバオケラに発生
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166:381, 1916(大5); 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大8); 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166:381, 1916(大5); 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大8); 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013; 佐藤豊三・森脇丈治:植	キク科 Asteraceae, Compositae ベニバナ(紅花, サフラワー) Safflower <i>Carthamus tinctorius</i> L. (特用作物) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166, 1916(大5); 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大8); 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 (2) <i>Colletotrichum chrysanthemi</i> (Hori) Sawada [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan, <i>Gloeosporium carthami</i> (Fukui) Hori & Hemmi, <i>Marssonina carthami</i> Fukui] 福井武治:農学会報:166, 1916(大5); 逸見武雄:日植病報 1(2):1, 1919(大8); 上田郁子・梶原敏宏:日植病報 34(5):371, 1968; 植松清次ら:日植病報 70(1):47, 2004; 植松清次ら:日植病報 70(3):219, 2004; 植松清次ら:日植病報 77(3):164, 2011; Uematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 78(5):316, 2012; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫
---	--

物防疫 67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i> を<i>C. gloeosporioides</i> の異名とする説 (Arx, 1957)を紹介したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C. carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し, さらにUematsu <i>et al.</i> (2012)は分子系統解析によりこれらを<i>C. carthami</i> としたが, Sato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および<i>C. chrysanthemi</i>と再同定した (注) 文献ページ挿入 (2か所)	67(7):367, 2013 [備考] 上田・梶原 (1968) は<i>G. carthami</i> を<i>C. gloeosporioides</i> の異名とする説 (Arx, 1957)を紹介したが要検討とした。植松ら(2004)は逸見の<i>C. carthami</i> とされる標本も<i>C. acutatum</i> と再同定し, さらにUematsu <i>et al.</i> (2012)は分子系統解析によりこれらを<i>C. carthami</i> としたが, Sato & Moriwaki(2013)は<i>C. carthami</i>および<i>C. chrysanthemi</i>と再同定した
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Phytophthium oedoehilum</i> (Drechsler) Abad, de Cock, Bala, Robideau, A.M. Lodhi & Lévesque 藤根 統ら:日植病報 90(1):60, 2024 (注) 新病名	キク科 Asteraceae, Compositae ダリア(テンジクボタン) Dahlia <i>Dahlia pinnata</i> Cav. (草花)
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot (1) <i>Paragibellulopsis chrysanthemi</i> (Hirooka, Kawaradani & Toy. Sato) Giraldo López & Crous [<i>Gibellulopsis chrysanthemi</i> Hirooka, Kawaradani &	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 黒斑病 kokuhan-byo Leaf spot <i>Septoria chrysanthemella</i> Saccardo 南部信方:病虫雑 1(1):74, 1914(大3) ; 逸見武雄:植物学雑 31(372):309, 1917(大6)
--	---

Toy. Sato] 安次富 厚ら:日植病報 90(1):69, 2024 (2) <i>Septoria chrysanthemella</i> Saccardo 南部信方:病虫雑 1(1):74, 1914(大3) ; 逸見武雄:植 物学雑 31(372):309, 1917(大6) [備考] <i>Septoria chrysanthemi</i> との異同について検 討が必要。南部 (1914) は病徴の解説 (注) 病原追加	[備考] <i>Septoria chrysanthemi</i> との異同について検 討が必要。南部 (1914) は病徴の解説
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae ツワブキ・メタカラコウ類 Leopard plant <i>Farfugium</i> spp., <i>Ligularia</i> spp. (草花) ツワブキ <i>Farfugium japonicum</i> (L.) Kitam. [<i>Ligularia tussilaginea</i> (Burm.f.) Makino] 斑葉病 han'yo-byo Leaf spot <i>Septoria tussilaginis</i> Westendorp 南部信方:病虫雑 2(8):743, 1915(大4) [備考] 採集標本リストのみ。調査を要する (注) 文献号数修正	キク科 Asteraceae, Compositae ツワブキ・メタカラコウ類 Leopard plant <i>Farfugium</i> spp., <i>Ligularia</i> spp. (草花) ツワブキ <i>Farfugium japonicum</i> (L.) Kitam. [<i>Ligularia tussilaginea</i> (Burm.f.) Makino] 斑葉病 han'yo-byo Leaf spot <i>Septoria tussilaginis</i> Westendorp 南部信方:病虫雑 2(10):743, 1915(大4) [備考] 採集標本リストのみ。調査を要する
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group)	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group)
---	---

コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 疫病 eki-byo Phytophthora wilt, Stem blight (1) <i>Phytophthora crassamura</i> Scanu, Deidda & T. Jung Yosilia, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(2):120, 2024 (2) <i>Phytophthora pseudolactucae</i> M.Z. Rahman, S. Uematsu, Kanto, Kusunoki, Y. Ishiguro, H. Suga & Kageyama 神頭武嗣ら:日植病報 71(1):74, 2005 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>:日植病報 80(4):241, 2014 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:419, 2015 (注) 病原追加	コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 疫病 eki-byo Phytophthora wilt, Stem blight <i>Phytophthora pseudolactucae</i> M.Z. Rahman, S. Uematsu, Kanto, Kusunoki, Y. Ishiguro, H. Suga & Kageyama 神頭武嗣ら:日植病報 71(1):74, 2005 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>:日植病報 80(4):241, 2014 ; Rahman, M.Z. <i>et al.</i>:Mycoscience 56:419, 2015
--	---

キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (黒黴病, 灰色腐敗病) <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 村田壽太郎:病虫雑 3(10):800, 1916(大5) (注) 文献号数修正	キク科 Asteraceae, Compositae レタス(チシャ, 萵苣) Lettuce <i>Lactuca sativa</i> L. (野菜) 結球レタス(玉チシャ, サラダナ) Head lettuce (Capitata group) リーフレタス(葉チシャ, サニーレタス) Leaf lettuce (Crispa group) ステムレタス(茎チシャ) Stem lettuce (Angustana group) コスレタス(立チシャ) Cos lettuce (Longiflora group) 灰色かび病* haiiro-kabi-byo Gray mold (黒黴病, 灰色腐敗病) <i>Botrytis cinerea</i> Persoon 村田壽太郎:病虫雑 3(6):800, 1916(大5)
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae フキ(蓴) Japanese butterbur <i>Petasites japonicus</i> (Sieb. & Zucc.) Maxim. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:627, 1917(大6) ; 本間ヤス:北大農紀 38:306, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012 (注) 文献年訂正	キク科 Asteraceae, Compositae フキ(蓴) Japanese butterbur <i>Petasites japonicus</i> (Sieb. & Zucc.) Maxim. (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Podosphaera xanthii</i> (Castagne) U. Braun & Shishkoff [<i>Sphaerotheca fusca</i> (Fries) S. Blumer emend. U. Braun-pro parte, <i>Sphaerotheca fuliginea</i> non (Schlechtendal) Pollacci sensu Homma-pro parte] 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:627, 1905(明38) ; 本間ヤス:北大農紀 38:306, 1937(昭 12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):172, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:21, 2012
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae フキ(蓴) Japanese butterbur <i>Petasites japonicus</i> (Sieb. & Zucc.) Maxim. (野菜) 褐斑病 kappan-byo Leaf spot (斑点病) <i>Cercospora petasitis</i> Shirai & Sono 園 孝治郎:農業国 3(6):29, 1909(明42) (注) 著者名修正	キク科 Asteraceae, Compositae フキ(蓴) Japanese butterbur <i>Petasites japonicus</i> (Sieb. & Zucc.) Maxim. (野菜) 褐斑病 kappan-byo Leaf spot (斑点病) <i>Cercospora petasitis</i> Shirai & Sono 園 孝次郎:農業国 3(6):29, 1909(明42)
---	--

キク科 Asteraceae, Compositae ナツシロギク(コシロギク, ナツノコシロギク) Feverfew, Pellitory <i>Tanacetum parthenium</i> (L.) Schultz-Bip (草花)	キク科 Asteraceae, Compositae ナツシロギク(コシロギク, ナツノコシロギク) Feverfew, Pellitory <i>Tanacetum parthenium</i> (L.) Schultz-Bip (草花)
---	---

さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia cnici-oleracei</i> Persoon ex Desmazières [<i>Puccinia heeringiana</i> Klebahn] 平塚直秀:菌蕈研報 18:40, 1980 ; 堀江博道ら:関東 病虫研報 37:129, 1990 [備考] シュンギク (<i>Chrysanthemum coronarium</i> var. <i>spatiosum</i>), マーガレット (<i>Chrysanthemum</i> <i>frutescens</i>) にも発生 (注) 文献著者修正、文献ページ修正	さび病 sabi-byo Rust <i>Puccinia cnici-oleracei</i> Persoon ex Desmazières [<i>Puccinia heeringiana</i> Klebahn] 平塚直秀ら:菌蕈研報 18:1, 1980 ; 堀江博道ら:関 東病虫研報 37:129, 1990 [備考] シュンギク (<i>Chrysanthemum coronarium</i> var. <i>spatiosum</i>), マーガレット (<i>Chrysanthemum</i> <i>frutescens</i>) にも発生
---	---

カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシャブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシャブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier オオバヤシャブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum. てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病) (1) <i>Taphrina epiphylla</i> Sadebeck (葉腫病) 西田藤次:宮部記念植物学襍説:170, 1912(大1) ; 田 中 潔:日菌報 29(1):13, 1988 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・ケヤマハンノ キ (2) <i>Taphrina japonica</i> Kusano [<i>Taphrina alni-</i> <i>japonicae</i> Nishida] (腫葉病, 膨葉病) 草野俊助:植物学雑 18(208):91, 1904(明37) ; 草野 俊助:植物学雑 19(216):3, 1905(明38)	カバノキ科 Betulaceae ハンノキ類(楊枝) Alder <i>Alnus</i> spp. (広葉樹) ヤシャブシ Japanese green alder <i>Alnus firma</i> Sieb. & Zucc. ケヤマハンノキ <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. ハンノキ <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. ミヤマハンノキ <i>Alnus maximowiczii</i> Callier ヒメヤシャブシ <i>Alnus pendula</i> Matsum. カワラハンノキ <i>Alnus serrulatoides</i> Callier オオバヤシャブシ <i>Alnus sieboldiana</i> Matsum. てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病) (1) <i>Taphrina epiphylla</i> Sadebeck (葉腫病) 西田藤次:宮部植物学襍説:170, 1911(明44) ; 田中 潔:日菌報 29(1):13, 1988 [備考] ハンノキ・ヤマハンノキ・ケヤマハンノ キ (2) <i>Taphrina japonica</i> Kusano [<i>Taphrina alni-</i> <i>japonicae</i> Nishida] (腫葉病, 膨葉病) 草野俊助:植物学雑 18(208):91, 1904(明37) ; 草野 俊助:植物学雑 19(216):3, 1905(明38)
---	---

[備考] ハンノキ・ヒロハケハンノキ (注) 文献年訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	[備考] ハンノキ・ヒロハケハンノキ
--	--------------------

カバノキ科 Betulaceae カンバ類(樺) Birch <i>Betula</i> spp. (広葉樹) ダケカンバ(岳樺) Erman's birch <i>Betula ermanii</i> Cham. ヨグソミネバリ(ミズメ)(水芽) <i>Betula grossa</i> Sieb. & Zucc. ウダイカンバ <i>Betula maximowicziana</i> Regel シラカンバ(白樺) <i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.) Hara てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病) <i>Taphrina betulicola</i> Nishida 西田藤次:宮部記念植物学襍説:169, 1912(大1) [備考] ダケカンバ・シラカンバ (注) 文献年・ページ訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	カバノキ科 Betulaceae カンバ類(樺) Birch <i>Betula</i> spp. (広葉樹) ダケカンバ(岳樺) Erman's birch <i>Betula ermanii</i> Cham. ヨグソミネバリ(ミズメ)(水芽) <i>Betula grossa</i> Sieb. & Zucc. ウダイカンバ <i>Betula maximowicziana</i> Regel シラカンバ(白樺) <i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.) Hara てんぐ巣病 tengusu-byo Witches' broom (天狗巣病) <i>Taphrina betulicola</i> Nishida 西田藤次:宮部博士記念植物襍説:109, 1911(明44) [備考] ダケカンバ・シラカンバ
--	--

カバノキ科 Betulaceae ハシバミ類 Hazelnut <i>Corylus</i> spp. (広葉樹) オオハシバミ(大榛) Chinese hazel, Japanese hazel <i>Corylus heterophylla</i> Fischer ハシバミ(榛) <i>Corylus heterophylla</i> Fischer ex Besser var. <i>thunbergii</i> Blume ツノハシバミ(角榛) <i>Corylus sieboldiana</i> Blume	カバノキ科 Betulaceae ハシバミ類 Hazelnut <i>Corylus</i> spp. (広葉樹) オオハシバミ(大榛) Chinese hazel, Japanese hazel <i>Corylus heterophylla</i> Fischer ハシバミ(榛) <i>Corylus heterophylla</i> Fischer ex Besser var. <i>thunbergii</i> Blume ツノハシバミ(角榛) <i>Corylus sieboldiana</i> Blume
--	--

オオツノハシバミ(大角榛) <i>Corylus sieboldiana</i> var. <i>mandshurica</i> (Maxim.) C. K. Schn. 葉ぶくれ病* habukure-byo Leaf blister (腫 葉病, 膨葉病, 葉腫病) <i>Taphrina coryli</i> Nishida 西田藤次:宮部記念植物学襍説:168, 1912(大1) (注) 文献年訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	オオツノハシバミ(大角榛) <i>Corylus sieboldiana</i> var. <i>mandshurica</i> (Maxim.) C. K. Schn. 葉ぶくれ病* habukure-byo Leaf blister (腫 葉病, 膨葉病, 葉腫病) <i>Taphrina coryli</i> Nishida 西田藤次:宮部植物学襍説:168, 1911(明44)
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) バーティシリウム萎凋病 <i>Verticillium-icho-byo</i> Verticillium wilt (1) <i>Verticillium dahliae</i> Klebahn 北沢健治・柳田騏策:日植病報 47(1):99, 1981 ; 酒 井 宏ら:日植病報 67(2):160, 2001 [備考] 北沢・柳田(1981)が報告した <i>V. dahliae</i> は <i>V. longisporum</i> である (2) <i>Verticillium longisporum</i> (C. Stark) Karapapa, Bainbridge & Heale 酒井 宏ら:日植病報 67(2):160, 2001 (注) 備考修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) バーティシリウム萎凋病 <i>Verticillium-icho-byo</i> Verticillium wilt (1) <i>Verticillium dahliae</i> Klebahn 北沢健治・柳田騏策:日植病報 47(1):99, 1981 ; 酒 井 宏ら:日植病報 67(2):160, 2001 [備考] 北澤・柳田(1981)が報告した <i>V. dahliae</i> は <i>V. longisporum</i> である (2) <i>Verticillium longisporum</i> (C. Stark) Karapapa, Bainbridge & Heale 酒井 宏ら:日植病報 67(2):160, 2001
--	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae タイサイ類(パクチョイ, シャクシナ, チンゲン サイ) Pak choi, Chinese mustard <i>Brassica rapa</i> L. Chinensis Group (野菜)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae タイサイ類(パクチョイ, シャクシナ, チンゲン サイ) Pak choi, Chinese mustard <i>Brassica rapa</i> L. Chinensis Group (野菜)
---	---

白斑病 hakuhan-byo <i>Pseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora brassicae</i> (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt, <i>Cercospora albomaculans</i> (Ellis & Everhart) Saccardo] 園 孝治郎:農業国 3(9):47, 1909(明42) ; 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959 ; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959 (注) 文献著者訂正、文献年訂正	白斑病 hakuhan-byo <i>Pseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora brassicae</i> (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt, <i>Cercospora albomaculans</i> (Ellis & Everhart) Saccardo] 園 孝次郎:農業国 3(9):47, 1908(明41) ; 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959 ; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 白さび病 shirosabi-byo White rust (白銹病, 白錆病, 白黴病, ひぶくれ病) <i>Albugo macrospora</i> (Togashi) S. Ito [<i>Albugo candida</i> var. <i>macrospora</i> Togashi, <i>Alternaria brassicae</i> Sawada] 田中延次郎:植物学雑 4(42):298, 1890(明23) ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物学会報 14(1):17, 1935(昭10) (注) 文献年訂正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group (特用作物) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 白さび病 shirosabi-byo White rust (白銹病, 白錆病, 白黴病, ひぶくれ病) <i>Albugo macrospora</i> (Togashi) S. Ito [<i>Albugo candida</i> var. <i>macrospora</i> Togashi, <i>Alternaria brassicae</i> Sawada] 田中延次郎:植物学雑 4(42):298, 1980(明23) ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:札幌博物学会報 14(1):17, 1935(昭10)
--	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ナタネ・ナバナ(菜種, 油菜, 薺苔) Rape <i>Brassica rapa</i> L. Oleifera Group
--	--

(特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 白斑病 hakuhan-byo Leaf spot, White spot, Pale spot <i>Cercospora brassicae</i> (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt [<i>Cercospora albomaculans</i> (Ellis & Everhart) Saccardo] 園 孝治郎:農業国 3(9):47, 1909(明42); 原 攝祐:実験作物病理学:389, 1930(昭5); 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959 (注) 文献著者訂正、文献年訂正	(特用作物, 野菜) ナバナ(洋種ナタネ) <i>Brassica napus</i> L. ハナナ(ナバナ) <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group 白斑病 hakuhan-byo Leaf spot, White spot, Pale spot <i>Cercospora brassicae</i> (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt [<i>Cercospora albomaculans</i> (Ellis & Everhart) Saccardo] 園 孝次郎:農業国 3(9):47, 1908(明41); 原 攝祐:実験作物病理学:389, 1930(昭5); 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ハクサイ(白菜), 不結球ハクサイ[サントウサイ(山東菜), シロナ] Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group (野菜) 白斑病 hakuhan-byo Leaf spot, White spot <i>Pseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora brassicae</i> (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt, <i>Cercospora albomaculans</i> (Ellis & Everhart) Saccardo] 園 孝治郎:農業国 3(9):47, 1909(明42); 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959 (注) 文献著者訂正、文献年訂正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ハクサイ(白菜), 不結球ハクサイ[サントウサイ(山東菜), シロナ] Chinese cabbage <i>Brassica rapa</i> L. Pekinensis Group (野菜) 白斑病 hakuhan-byo Leaf spot, White spot <i>Pseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora brassicae</i> (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt, <i>Cercospora albomaculans</i> (Ellis & Everhart) Saccardo] 園 孝次郎:農業国 3(9):47, 1908(明41); 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カブ(蕪菁)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae カブ(蕪菁)
---	---

Turnip <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group (野菜) 白斑病 hakuhan-byo White spot <i>Pseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora brassicae</i> (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt, <i>Cercospora albomaculans</i> (Ellis & Everhart) Saccardo] 園孝治郎:農業国 3(9):47, 1909(明42); 出田新:日本植物病理学:731, 1911(明44); 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959 (注) 文献著者訂正、文献年訂正	Turnip <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group (野菜) 白斑病 hakuhan-byo White spot <i>Pseudocercospora capsellae</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora brassicae</i> (Fautrey & Roumeguère) Höhnelt, <i>Cercospora albomaculans</i> (Ellis & Everhart) Saccardo] 園孝次郎:農業国 3(9):47, 1908(明41); 出田新:日本植物病理学:731, 1911(明44); 香月繁孝:植物防疫 13(6):248, 1959; 香月繁孝:日菌報 2(1):4, 1959
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) 黒腐病 kurogusare-byo Black rot (腐敗病, 黒変病, 空洞病, 太鼓病) <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939 [<i>Pseudomonas campestris</i> (Pammel) Smith] ト蔵梅之丞:病虫雑 2(8):735, 1915(大4) (注) 文献ページ前のカンマをコロンの修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae ダイコン(大根) Japanese radish <i>Raphanus sativus</i> L. Daikon Group [<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>hortensis</i> Baker (daikon group)] (野菜) 黒腐病 kurogusare-byo Black rot (腐敗病, 黒変病, 空洞病, 太鼓病) <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i> (Pammel 1895) Dowson 1939 [<i>Pseudomonas campestris</i> (Pammel) Smith] ト蔵梅之丞:病虫雑 2(8), 735, 1915(大4)
--	--

サボテン科 Cactaceae サボテン(仙人掌) Cactus <i>Aporocactus</i> spp., <i>Carnegiea</i> spp., <i>Cereus</i> spp.,	サボテン科 Cactaceae サボテン(仙人掌) Cactus <i>Aporocactus</i> spp., <i>Carnegiea</i> spp., <i>Cereus</i> spp.,
---	---

<i>Echinocactus</i> spp., <i>Epiphyllum</i> spp., <i>Mammillaria</i> spp., <i>Nopalxochia</i> spp., <i>Opuntia</i> spp. (草花) 日射病 nisssha-byo Scorch <i>Hendersonia opuntiae</i> Ellis & Everhart 南部信方:病虫雑 2(6):562, 1915(大4) [備考] 解説書につき病徴記載のみ。詳細不明。 病原菌の分類学的所属については検討が必要 (注) 文献号数訂正	<i>Echinocactus</i> spp., <i>Epiphyllum</i> spp., <i>Mammillaria</i> spp., <i>Nopalxochia</i> spp., <i>Opuntia</i> spp. (草花) 日射病 nisssha-byo Scorch <i>Hendersonia opuntiae</i> Ellis & Everhart 南部信方:病虫雑 2(9):562, 1915(大4) [備考] 解説書につき病徴記載のみ。詳細不明。 病原菌の分類学的所属については検討が必要
---	---

アサ科 Cannabaceae タイマ(アサ, 大麻) Hemp <i>Cannabis sativa</i> L. (特用作物) 白星病 shirahoshi-byo Leaf spot (斑点病) <i>Septoria cannabicola</i> Ujat & C. Nakashima [<i>Septoria cannabidis</i> (Lasch) Saccardo] 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:397, 1904(明37) ; 原 攝祐:実用作物病理学:195, 1925(大14) ; <i>Ujat, A.H. et al.:Mycoscience</i> 65(2):94, 2024 (注) 病原学名変更	アサ科 Cannabaceae タイマ(アサ, 大麻) Hemp <i>Cannabis sativa</i> L. (特用作物) 白星病 shirahoshi-byo Leaf spot (斑点病) <i>Septoria cannabidis</i> (Lasch) Saccardo 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:397, 1904(明37) ; 原 攝祐:実用作物病理学:195, 1925(大14)
--	--

アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物) 黒色腐敗病 kokushoku-fuhai-byo <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg	アカザ科 Chenopodiaceae テンサイ(サトウダイコン, ビート, 甜菜) Sugar beet <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> (特用作物)
--	---

岩間成美ら:北日本病虫研報 74:121, 2023 [備考] テーブルビートに発生 (注) 新病名。病名英名提案なし	
--	--

リョウブ科 Clethraceae リョウブ(令法) (Clethra) <i>Clethra barbinervis</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Pucciniastrum kusanoi</i> Dietel 白井光太郎:日本菌類目録:85, 1905(明38) ; 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:274, 1910(明43) (注) 文献順修正	リョウブ科 Clethraceae リョウブ(令法) (Clethra) <i>Clethra barbinervis</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Pucciniastrum kusanoi</i> Dietel 大森順造・山田玄太郎:植物病理学:274, 1910(明43) ; 白井光太郎:日本菌類目録:85, 1905(明38)
--	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) †††† Sweet potato virus 2# (PSV2) サツマイモウイルス2 青山実樹ら:日植病報 90(1):66, 2024 [備考] 戻し接種なし (注) 新宿主	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物)
--	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae アサガオ(朝顔) Japanese morning glory	ヒルガオ科 Convolvulaceae アサガオ(朝顔) Japanese morning glory
---	---

<i>Pharbitis nil</i> Choisy [<i>Ipomoea nil</i> (L.) Roth] (草花) セイヨウアサガオ Royal morning-glory <i>Pharbitis nil</i> Choisy [<i>Ipomoea tricolor</i> Cav.] 斑紋病 hammon-byo Leaf spot (斑点病) <i>Cercospora ipomoeae</i> G. Winter [<i>Cercosporina ipomoeae</i> (Winter) Hori] 園 孝治郎:農業国 3(11):35, 1909(明42) [備考] 接種試験未了 (注) 著者名修正	<i>Pharbitis nil</i> Choisy [<i>Ipomoea nil</i> (L.) Roth] (草花) セイヨウアサガオ Royal morning-glory <i>Pharbitis nil</i> Choisy [<i>Ipomoea tricolor</i> Cav.] 斑紋病 hammon-byo Leaf spot (斑点病) <i>Cercospora ipomoeae</i> G. Winter [<i>Cercosporina ipomoeae</i> (Winter) Hori] 園 孝次郎:農業国 3(11):35, 1909(明42) [備考] 接種試験未了
---	--

ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aplopsora corni</i> Y. Ono & Y. Harada Ono, Y. & Harada, Y.:Mycoscience 35(2):181, 1994 (2) <i>Pucciniastrum corni</i> Dietel 白井光太郎:日本菌類目録:85, 1905(明38) ; 澤田兼吉:林試研報 57:15, 1952 ; Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:83, 1976 [備考] クマノミズキ・サンシュユ・ヤマボウシ・ハナミズキ	ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aplopsora corni</i> Y. Ono & Y. Harada Ono, Y. & Harada, Y.:Mycoscience 35(2):181, 1994 (2) <i>Pucciniastrum corni</i> Dietel 澤田兼吉:林試研報 57:15, 1952 ; 白井光太郎:日本菌類目録:85, 1905(明38) ; Hiratsuka, N. & Kaneko, S.:Rept. Tottori Mycol. Inst. 14:83, 1976 [備考] クマノミズキ・サンシュユ・ヤマボウシ・ハナミズキ
---	---

(注) 文献順修正	
-----------	--

ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak †††† <i>Septoria carnicola</i> Desmazières 徳淵永治郎:宮部記念植物学襍説:309, 1912(大1) [備考] ミズキ (注) 文献年訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	ミズキ科 Cornaceae ミズキ類 Dogwood <i>Cornus</i> spp., <i>Swida</i> spp. (広葉樹) ハナミズキ(アメリカヤマボウシ) Flowering dogwood <i>Cornus florida</i> L. ヤマボウシ(四照花) Cornel <i>Cornus kousa</i> (Buerger ex Miq.) Hance サンシュユ(山茱萸) <i>Cornus officinalis</i> Sieb. & Zucc. ミズキ(水木) <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Sojak クマノミズキ(熊野水木) <i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Sojak †††† <i>Septoria carnicola</i> Desmazières 徳淵永治郎:宮部記念植物襍説:309, 1911(明44) [備考] ミズキ
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae トウガン(カモウリ, トウガ, 冬瓜) Wax gourd, White gourd <i>Benincasa hispida</i> (Thunb.) Cogn. (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick Miyake, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(1):59, 2024 ; 三宅律幸:日植病報 90(1):35, 2024	ウリ科 Cucurbitaceae トウガン(カモウリ, トウガ, 冬瓜) Wax gourd, White gourd <i>Benincasa hispida</i> (Thunb.) Cogn. (野菜)
--	---

(注) 新病名	
---------	--

ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 葉枯病 hagare-byo <i>Leptosphaeria thujaecola</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(12):49, 1930(昭5) [備考] コノテガシワ (注) 文献ページ修正	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 葉枯病 hagare-byo <i>Leptosphaeria thujaecola</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(12):9, 1930(昭5) [備考] コノテガシワ
--	--

ツツジ科 Ericaceae イワナンテン (Leucothoe) <i>Leucothoe keiskei</i> Miq. (広葉樹) 紫斑病 shihan-byo Violet leaf spot <i>Pseudocercospora leucothoës</i> (B.H. Davis) Deighton [<i>Cercospora leucothoës</i> B.H. Davis] 小林享夫:植物防疫 29(8):318, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):272, 1976 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992 [備考] アメリカイワナンテン (<i>L. fontanesiana</i>) (注) 文献号数修正	ツツジ科 Ericaceae イワナンテン (Leucothoe) <i>Leucothoe keiskei</i> Miq. (広葉樹) 紫斑病 shihan-byo Violet leaf spot <i>Pseudocercospora leucothoës</i> (B.H. Davis) Deighton [<i>Cercospora leucothoës</i> B.H. Davis] 小林享夫:植物防疫 29(5):318, 1975 ; Katsuki, S. & Kobayashi, T.:Trans. Mycol. Soc. Japan 17(3-4):272, 1976 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):597, 1992 [備考] アメリカイワナンテン (<i>L. fontanesiana</i>)
---	---

ツツジ科 Ericaceae	ツツジ科 Ericaceae
----------------	----------------

ヨウラクツツジ(瓔珞躑躅) Menziesia <i>Menziesia purpurea</i> Maxim. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Chrysomyxa menziesiae</i> Dietel 白井光太郎:日本菌類目録:20, 1905(明38) ; 安田篤:植物学各論隠花部:422, 1911(明44) [備考] コヨウラクツツジ (2) <i>Thekopsora menziesiae</i> Hiratsuka, f. 平塚直秀:北大農紀要 21(1):22, 1927(昭2) ; 澤田兼吉:林試研報 57:13, 1952 [備考] コヨウラクツツジ・ウラジロヨウラク (注) 文献順修正	ヨウラクツツジ(瓔珞躑躅) Menziesia <i>Menziesia purpurea</i> Maxim. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Chrysomyxa menziesiae</i> Dietel 安田 篤:植物学各論隠花部:422, 1911(明44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:20, 1905(明38) [備考] コヨウラクツツジ (2) <i>Thekopsora menziesiae</i> Hiratsuka, f. 澤田兼吉:林試研報 57:13, 1952 ; 平塚直秀:北大農紀要 21(1):22, 1927(昭2) [備考] コヨウラクツツジ・ウラジロヨウラク
--	--

ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe izuensis</i> (Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte, <i>Microsphaera izuensis</i> Y. Nomura] 野村幸彦:日菌報 25(4):475, 1984 ; Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):39, 1913(大2) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):211, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012 [備考] モチツツジに発生 (2) <i>Microsphaera izuensis</i> Y. Nomura f. <i>breviseta</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 47(4):290, 2003	ツツジ科 Ericaceae ツツジ類(躑躅) Azalea <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Erysiphe izuensis</i> (Y. Nomura) U. Braun & S. Takamatsu [<i>Microsphaera alni</i> (Wallroth) Salmon sensu Homma-pro parte, <i>Microsphaera izuensis</i> Y. Nomura] 野村幸彦:日菌報 25(4):475, 1984 ; Miyake, I.:Bot. Mag. Tokyo 27(314):39, 1913(大2) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):378, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):211, 1988 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:55, 2012 [備考] モチツツジに発生 (2) <i>Microsphaera izuensis</i> Y. Nomura f. <i>breviseta</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 47(4):290, 2003
---	---

[備考] キリシマツツジ (<i>R. obtusum</i> (Lindl.) Planch. var. <i>obtusum</i>) に発生 (3) <i>Microsphaera</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 [備考] ヤマツツジに発生 (4) <i>Oidium</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 [備考] オオゴメツツジ・ケラマツツジ (<i>R. scabrum</i>)に発生 (5) <i>Phyllactinia enkianthi</i> Z.Y. Zhao [<i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten] 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:97, 1977 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:27, 2012 [備考] ムラサキヤシオツツジに発生 (6) <i>Phyllactinia</i> sp. 平田幸治ら:新潟農林研究 16:92, 1964 [備考] レンゲツツジに発生 (注) 文献著者・文献年修正	[備考] キリシマツツジ (<i>R. obtusum</i> (Lindl.) Planch. var. <i>obtusum</i>) に発生 (3) <i>Microsphaera</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 [備考] ヤマツツジに発生 (4) <i>Oidium</i> sp. 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:494, 1973 [備考] オオゴメツツジ・ケラマツツジ (<i>R. scabrum</i>)に発生 (5) <i>Phyllactinia enkianthi</i> Z.Y. Zhao [<i>Phyllactinia corylea</i> (Persoon) P. Karsten] 和田久美子・平田幸治:新潟大農研報 29:97, 1977 ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):404, 1937(昭12) ; 高松 進:三重大生資紀要 38:27, 2012 [備考] ムラサキヤシオツツジに発生 (6) <i>Phyllactinia</i> sp. 平田幸治・中山賢三・浅見 賢:新潟農林研究 16:92, 1963 [備考] レンゲツツジに発生
--	---

ツツジ科 Ericaceae シャクナゲ類(石楠花) <i>Rhododendron</i> <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) 粉もち病 konamochi-byo (餅病) (1) <i>Exobasidium caucasicum</i> Woronichin Nagao, H. et al.:Mycoscience 45(2):85, 2004 [備考] キバナシャクナゲ (<i>R. aureum</i>) に発生 (2) <i>Exobasidium shiraianum</i> Hennings 白井光太郎:日本菌類目録:34, 1905(明38) ; 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):51, 1955 ; Nagao, H. et al.:Mycoscience 45(2):85, 2004 [備考] キバナシャクナゲ(<i>R. aureum</i>)・シロバナ	ツツジ科 Ericaceae シャクナゲ類(石楠花) <i>Rhododendron</i> <i>Rhododendron</i> spp. (広葉樹) 粉もち病 konamochi-byo (餅病) (1) <i>Exobasidium caucasicum</i> Woronichin Nagao, H. et al.:Mycoscience 45(2):85, 2004 [備考] キバナシャクナゲ (<i>R. aureum</i>) に発生 (2) <i>Exobasidium shiraianum</i> Hennings 伊藤誠哉:日本菌類誌 2(4):51, 1955 ; 白井光太郎:日本菌類目録:34, 1905(明38) ; Nagao, H. et al.:Mycoscience 45(2):85, 2004 [備考] キバナシャクナゲ(<i>R. aureum</i>)・シロバナ
---	---

シャクナゲ(<i>R. brachycarpum</i> var. <i>roseum</i>)・アズマシャクナゲ (<i>R. degronianum</i>) に発生 (3) <i>Exobasidium woronichinii</i> Nagao Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 45(2):85, 2004 [備考] ハクサンシャクナゲ (<i>R. brachycarpum</i>) に発生 (注) 文献順修正	シャクナゲ(<i>R. brachycarpum</i> var. <i>roseum</i>)・アズマシャクナゲ (<i>R. degronianum</i>) に発生 (3) <i>Exobasidium woronichinii</i> Nagao Nagao, H. <i>et al.</i>:Mycoscience 45(2):85, 2004 [備考] ハクサンシャクナゲ (<i>R. brachycarpum</i>) に発生
---	--

トウダイグサ科 Euphorbiaceae パラゴムノキ Para rubber tree <i>Hevea brasiliensis</i> Muell. & Arg. (特用作物) †うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium heveae</i> B.A. Steinmann 栃内吉彦:農及園 17(8):986, 1942(昭17) [備考] マレーシア (注) 文献号数訂正	トウダイグサ科 Euphorbiaceae パラゴムノキ Para rubber tree <i>Hevea brasiliensis</i> Muell. & Arg. (特用作物) †うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Oidium heveae</i> B.A. Steinmann 栃内吉彦:農及園 17(9):986, 1942(昭17) [備考] マレーシア
---	---

トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (Mallotus) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 斑点性細菌病) <i>Erwinia mallotivora</i> Goto 1976 瀧元清透:病虫雑 17(8):513, 1930(昭5) ; Goto, M.:Int. J. Syst. Bacteriol. 26:467, 1976 [備考] 病名の異同については西山幸司:日本植物細菌病の病名と病原細菌の学名p.91(1997)を参照	トウダイグサ科 Euphorbiaceae アカメガシワ(赤芽柏) (Mallotus) <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.-Arg. (広葉樹) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 斑点性細菌病) <i>Erwinia mallotivora</i> Goto 1976 瀧元清透:病虫雑 17(8):513, 1930 ; Goto, M.:Int. J. Syst. Bacteriol. 26:467, 1976 [備考] 病名の異同については西山幸司:日本植物細菌病の病名と病原細菌の学名p.91(1997)を参照
---	---

(注) 文献和暦挿入	
------------	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i> Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd. †††斑点病 hanten-byo Leaft spot <i>Calonectria pauciramosa</i> C.L. Schoch & Crous 大井明大ら:植防研報 45:49, 2009 [備考] 輸入検疫にてオランダ産ハリアカシアから発見 (注) 病名英名修正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アカシア類 (Acacia) <i>Acacia</i> spp. (広葉樹) ミモザアカシア Silver wattle <i>Acacia dealbata</i> Link モリシマアカシア Black wattle <i>Acacia mearnsii</i> De Wild. メラノキシロンアカシア Blackwood <i>Acacia melanoxylon</i> R. Br. カマバアカシア <i>Acacia auriculiformis</i> A. Cunn. ex Benth. アカシア・マンギューム <i>Acacia mangium</i> Willd. †††斑点病 hanten-byo leaft spot <i>Calonectria pauciramosa</i> C.L. Schoch & Crous 大井明大ら:植防研報 45:49, 2009 [備考] 輸入検疫にてオランダ産ハリアカシアから発見
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L. (食用作物) 大菌核病 o-kinkaku-byo Large sclerotinia rot (菌核病, 大粒菌核病) (1) <i>Sclerotinia miyabeana</i> Hanzawa 半澤 洵:宮部記念植物学漢説:213, 1912(大1); 出	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L. (食用作物) 大菌核病 o-kinkaku-byo Large sclerotinia rot (菌核病, 大粒菌核病) (1) <i>Sclerotinia miyabeana</i> Hanzawa 半澤 洵:宮部記念植物学集説:213, 1912(大1); 出
---	---

田 新:続日本植物病理学(上):164, 1923(大12) (2) <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 熊 燭傑ら:日植病報 88(1):71, 2022 (注) 文献誌名訂正	田 新:続日本植物病理学(上):164, 1923(大12) (2) <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 熊 燭傑ら:日植病報 88(1):71, 2022
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L. (食用作物) 小菌核病 ko-kinkaku-byo Small sclerotinia rot (菌核病) <i>Botryotinia arachidis</i> (Hanzawa) W. Yamamoto [<i>Sclerotinia arachidis</i> Hanzawa] 半澤 洵:宮部記念植物学雑説:213, 1912(大1); 出 田 新:続日本植物病理学(上):162, 1923(大12); 関 沢 博:日植病報 38(3):193, 1972 (注) 文献誌名訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ラッカセイ(ナンキンマメ, 落花生) Peanut <i>Arachis hypogaea</i> L. (食用作物) 小菌核病 ko-kinkaku-byo Small sclerotinia rot (菌核病) <i>Botryotinia arachidis</i> (Hanzawa) W. Yamamoto [<i>Sclerotinia arachidis</i> Hanzawa] 半澤 洵:宮部記念植物学集説:213, 1912(大1); 出 田 新:続日本植物病理学(上):162, 1923(大12); 関 沢 博:日植病報 38(3):193, 1972
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ナタマメ(刀豆) Sword bean <i>Canavalia gladiata</i> DC. (食用作物) †††† 細菌(未同定) 土屋健一ら:日植病報 90(1):69, 2024 [備考] <i>Pseudomonas syringae</i>の近縁種と考えられ る細菌による葉枯れ症状 (注) 新宿主	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ナタマメ(刀豆) Sword bean <i>Canavalia gladiata</i> DC. (食用作物)
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae クロタラリア Crotalaria <i>Crotalaria</i> spp. (特用作物) 萎凋病 icho-byo Wilt <i>Fusarium udum</i> (Berkeley) Wollenweber 水野はるか ら:日植病報 74(1):82, 2008 ; 江畑智章ら:日植病報 90(1):63, 2024 (注) 病原同定	マメ科 Fabaceae, Leguminosae クロタラリア Crotalaria <i>Crotalaria</i> spp. (特用作物) 萎凋病 icho-byo Wilt <i>Fusarium</i> sp. 水野はるか ら:日植病報 74(1):82, 2008
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae クロタラリア Crotalaria <i>Crotalaria</i> spp. (特用作物) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Athelia rolfsii</i> (Curzi) C.C. Tu & Kimbrough 陳 沙里奈ら:日植病報 87(3):151, 2021 ; <i>Chen, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol.</i> 89(6):322, 2023 (注) 文献追加	マメ科 Fabaceae, Leguminosae クロタラリア Crotalaria <i>Crotalaria</i> spp. (特用作物) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight <i>Athelia rolfsii</i> (Curzi) C.C. Tu & Kimbrough 陳 沙里奈ら:日植病報 87(3):151, 2021
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) フオモプシス腐敗病 <i>Phomopsis-fuhai-byo</i> Phomopsis seed decay (ホモプシス腐敗病) (1) <i>Diaporthe caulivora</i> (Athow & Caldwell) J.M. Santos, Vrandečić & A.J.L. Phillips	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) フオモプシス腐敗病 <i>Phomopsis-fuhai-byo</i> Phomopsis seed decay <i>Phomopsis longicolla</i> Hobbs 佐藤豊三ら:日植病報 55(4):495, 1989
--	---

畑中良太・高村志帆:日植病報 90(1):60, 2024 (2) <i>Diaporthe longicolla</i> (Hobbs) J.M. Santos, Vrandečić & A.J.L. Phillips [<i>Phomopsis longicolla</i> Hobbs] 佐藤豊三ら:日植病報 55(4):495, 1989 (注) 病原追加。畑中・高村(2024)での「ホモプシス腐敗病」は、病名異名として追加	
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ類 (Glycine) <i>Glycine</i> spp. (野草) ツルマメ <i>Glycine ussuriensis</i> Regel & Maack †††† (1) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス 大貫正俊:九病虫研会報 63:30, 2017 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (3) <i>Soybean mosaic virus</i> (SMV) ダイズモザイクウイルス 大貫正俊:九病虫研会報 63:30, 2017 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし。海外ではOrellana <i>et al.</i>:Phytopathology 73:1156, 1983が戻し接種によりモザイク症状が引き起こされることを報告 (4) <i>Soybean yellow common mosaic virus</i> (SYCMV) ダイズ黄斑モザイクウイルス 大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ類 (Glycine) <i>Glycine</i> spp. (野草) ツルマメ <i>Glycine ussuriensis</i> Regel & Maack †††† (1) <i>Bean common mosaic virus</i> (BCMV) インゲンマメモザイクウイルス 大貫正俊:九病虫研会報 63:30, 2017 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (2) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし (3) <i>Soybean mosaic virus</i> (SMV) ダイズモザイクウイルス 大貫正俊:九病虫研会報 63:30, 2017 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし。海外ではOrellana <i>et al.</i>:Phytopathology 73:1156, 1983が戻し接種によりモザイク症状が引き起こされることを報告 (4) <i>Soybean yellow common mosaic virus</i># (SYCMV) ダイズ黄斑モザイクウイルス 大貫正俊ら:日植病報 80(4):301, 2014
--	---

[備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし。病原体の種同定には全ゲノム解析が必要 (注) 病原(4)病原学名をイタリック化	[備考] ウイルス病(Virus)とされていた。戻し接種なし。病原体の種同定には全ゲノム解析が必要
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 株枯病 kabugare-byo Base and stolon rot (1) <i>Fusarium vanettenii</i> O'Donnell, Geiser, Kasson & T. Aoki 佐藤豊三ら:日植病報 88(3):223, 2022 ; 佐藤豊三ら:関東病虫研報 70:15, 2023 [備考] スペインカンゾウに発生 (2) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 ; 佐藤豊三ら:関東病虫研報 65:61, 2018 [備考] ウラルカンゾウに発生 (注) 文献追加	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 株枯病 kabugare-byo Base and stolon rot (1) <i>Fusarium vanettenii</i> O'Donnell, Geiser, Kasson & T. Aoki 佐藤豊三ら:日植病報 88(3):223, 2022 [備考] スペインカンゾウに発生 (2) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 ; 佐藤豊三ら:関東病虫研報 65:61, 2018 [備考] ウラルカンゾウに発生
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae アルファルファ(ルーサン, ムラサキウマゴヤシ) Alfalfa, Lucerne <i>Medicago sativa</i> L. [<i>Medicago media</i> Persoon] (牧草・芝草) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight	マメ科 Fabaceae, Leguminosae アルファルファ(ルーサン, ムラサキウマゴヤシ) Alfalfa, Lucerne <i>Medicago sativa</i> L. [<i>Medicago media</i> Persoon] (牧草・芝草) 白絹病 shirakinu-byo Southern blight
---	---

<i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi] 遠藤 茂:宮崎高農学報 10:74, 1938(昭13) ; 斉藤正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):185, 1957 [備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照 (注) 文献巻数訂正	<i>Sclerotium rolfsii</i> Saccardo [<i>Corticium rolfsii</i> Curzi] 遠藤 茂:宮崎高農学報 19:74, 1938(昭13) ; 斉藤正・小野小三郎:畜産の研究 11(1):185, 1957 [備考] 病原菌の異名はイネ白絹病参照
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae スイートクローバ Sweet clover <i>Melilotus</i> spp. (牧草・芝草) ホワイтスイートクローバ(シロバナシナガワハギ, コゴメハギ) White sweet clover <i>Melilotus alba</i> Medic. イエロースイートクローバ Yellow sweet clover <i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pallas 葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (くもの巣病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 土屋貞夫・尾崎政春:北農 34(11):44, 1967 [備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照 (注) 文献年訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae スイートクローバ Sweet clover <i>Melilotus</i> spp. (牧草・芝草) ホワイтスイートクローバ(シロバナシナガワハギ, コゴメハギ) White sweet clover <i>Melilotus alba</i> Medic. イエロースイートクローバ Yellow sweet clover <i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pallas 葉腐病 hagusare-byo Summer blight, Rhizoctonia rot (くもの巣病) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 土屋貞夫・尾崎政春:北農 34(11):44, 1976 [備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 褐紋病 katsumon-byo Brown leaf spot (斑点病) <i>Phyllosticta phaseolina</i> Saccardo 村田寿太郎:病虫雑 4(12):931, 1917(大6) ; 鑄方末	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) 褐紋病 katsumon-byo Brown leaf spot (斑点病) <i>Phyllosticta phaseolina</i> Saccardo 村田寿太郎:病虫雑 4(11):931, 1917(大6) ; 鑄方末
--	--

彦:食用作物病学(上):254, 1949 [備考] 病原菌の異名はアズキ褐紋病参照 (注) 文献号数訂正	彦:食用作物病学(上):254, 1949 [備考] 病原菌の異名はアズキ褐紋病参照
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) すす紋病 susumon-byo (煤紋病, 褐紋病, 煤斑病, すすかび病) <i>Pseudocercospora cruenta</i> (Saccardo) Deighton [<i>Cercospora cruenta</i> Saccardo] 村田寿太郎:病虫雑 4(12):931, 1917(大6) [備考] 病原菌の異名はササゲすすかび病参照 (注) 文献号数訂正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物) すす紋病 susumon-byo (煤紋病, 褐紋病, 煤斑病, すすかび病) <i>Pseudocercospora cruenta</i> (Saccardo) Deighton [<i>Cercospora cruenta</i> Saccardo] 村田寿太郎:病虫雑 4(11):931, 1917(大6) [備考] 病原菌の異名はササゲすすかび病参照
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) 褐色根腐細菌病* kasshoku-negusare-saikin-byo Bacterial brown root rot <i>Pseudomonas</i> sp. Suzuki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(6):347, 2023 [備考] 水耕栽培の豆苗根部に発生。 <i>Pseudomonas vanderleydeniana</i>に最も近縁な<i>Pseudomonas asplenii</i>サブグループに属する<i>Pseudomonas</i>種 (注) 新病名	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物)
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンジュ(槐) Japanese pagoda tree <i>Sophora japonica</i> L. (広葉樹) †表黒点病* omote-kokuten-byo <i>Parodiella puncta</i> (Cooke) Saccardo 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 359):10, 1927(昭2) [備考] 朝鮮半島。病原菌の <i>Parodiella</i> <i>perisporioides</i> (Berkeley & Curtis) Spegazziniとの異 同について検討を要する (注) 文献号数の前にスペース挿入。他と合わせ た	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンジュ(槐) Japanese pagoda tree <i>Sophora japonica</i> L. (広葉樹) †表黒点病* omote-kokuten-byo <i>Parodiella puncta</i> (Cooke) Saccardo 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報359):10, 1927(昭2) [備考] 朝鮮半島。病原菌の <i>Parodiella</i> <i>perisporioides</i> (Berkeley & Curtis) Spegazziniとの異 同について検討を要する
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病, 葉渋病, 赤渋 病) <i>Uromyces viciae-fabae</i> (Persoon) J. Schröter var. <i>viciae-fabae</i> [<i>Uromyces fabae</i> (Persoon) de Bary] 出田 新:農作物病理学:89, 1901(明34) ; 平塚直 秀・吉田政治:病虫雑 17(9):571, 1930(昭5) ; 平塚 直秀:菌蕈研報 10:27, 1973 (注) 文献著者修正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ソラマメ(蚕豆) Broad bean <i>Vicia faba</i> L. (食用作物) さび病 sabi-byo Rust (銹病, 葉渋病, 赤渋 病) <i>Uromyces viciae-fabae</i> (Persoon) J. Schröter var. <i>viciae-fabae</i> [<i>Uromyces fabae</i> (Persoon) de Bary] 出田 新:農作物病理学:89, 1901(明34) ; 平塚直秀: 病虫雑 17(9):571, 1930(昭5) ; 平塚直秀:菌蕈研報 10:27, 1973
---	---

ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 槲) Oak	ブナ科 Fagaceae カシ類(櫟, 槲) Oak
---	---

<i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫟) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L. †††† <i>Phytophthora castaneae</i> Katsura & K. Uchida Tsutsui, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(2):95, 2024 [備考] シラカシ苗に葉枯れを生じる (注) 新宿主。病名未提案。	<i>Quercus</i> spp. (広葉樹) アカガシ(赤櫟) Japanese Evergreen Oak <i>Quercus acuta</i> Thunb. ex Murray イチイガシ(石櫟) <i>Quercus gilva</i> Blume アラカシ <i>Quercus glauca</i> Thunb. ex Murray シラカシ(白櫟, クロガシ黒櫟) <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume ウバメガシ(姥芽櫟) <i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray ウラジロガシ(裏白櫟) <i>Quercus salicina</i> Blume ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i> Blume コルクガシ <i>Quercus suber</i> L.
---	---

ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫟, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus</i>	ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫟) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫟, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus</i>
--	--

<i>robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus</i> <i>rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai 紫かび病 <i>murasaki-kabi-byo</i> (うどんこ病, 粉病, 白粉病, 白渋病, 裏うどんこ病, 褐斑病, 紫黴病) <i>Cystotheca lanestris</i> (Harkness) Miyabe [<i>Sphaerotheca lanestris</i> Harkness, <i>Sphaerotheca kusanoi</i> Hennings & Shirai, <i>Cystotheca kusanoi</i> (Hennings & Shirai) Miyabe & Takahashi, <i>Cystotheca tenuis</i> Miyabe & Shirai] 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:190, 1900(明33); 出田 新:日本植物病理学(上):226, 1909(明42); 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 359):5, 1927(昭2) [備考] コナラ・ミズナラ・カシワ・クヌギ・ナラガシワ・オオバコナラ (注) 文献誌名修正 (他と合わせた)	<i>robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus</i> <i>rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai 紫かび病 <i>murasaki-kabi-byo</i> (うどんこ病, 粉病, 白粉病, 白渋病, 裏うどんこ病, 褐斑病, 紫黴病) <i>Cystotheca lanestris</i> (Harkness) Miyabe [<i>Sphaerotheca lanestris</i> Harkness, <i>Sphaerotheca kusanoi</i> Hennings & Shirai, <i>Cystotheca kusanoi</i> (Hennings & Shirai) Miyabe & Takahashi, <i>Cystotheca tenuis</i> Miyabe & Shirai] 白井光太郎:植物病理学(下)改訂版:190, 1900(明33); 出田 新:日本植物病理学(上):226, 1909(明42); 原 攝祐:東亜菌類誌 静岡県農会報 359:5, 1927(昭2) [備考] コナラ・ミズナラ・カシワ・クヌギ・ナラガシワ・オオバコナラ
---	---

ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫨) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫨, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var.	ブナ科 Fagaceae ナラ類(櫨) Oak <i>Quercus</i> spp. (広葉樹) クヌギ(栲) Japanese chestnut oak <i>Quercus acutissima</i> Carr. アメリカシロナラ(ホワイトオーク) <i>Quercus alba</i> L. ナラガシワ <i>Quercus aliena</i> Blume ミズナラ(水櫨, カラフトガシワ, モンゴリナラ) <i>Quercus crispula</i> Blume ミヤマナラ <i>Quercus crispula</i> Blume var.
---	---

<i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai (注) 病名削除。小林(1982)の文献で出てくるナラとは、フィリピンの国木で、<i>Pterocarpus indicus</i> のこと。	<i>horikawae</i> H.Ohba カシワ(柏) <i>Quercus dentata</i> Thunb. ex Murray オウシュウナラ(ヨーロッパナラ) <i>Quercus robur</i> L. アメリカアカナラ(レッドオーク) <i>Quercus rubra</i> L. コナラ(小櫨) <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray アベマキ <i>Quercus variabilis</i> Blume オオバコナラ <i>Quercus</i> × <i>major</i> Nakai †植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Helicotylenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 小林享夫:熱研集報 43:195, 1982 [備考] フィリピン
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ヌカボ類 (Agrostis) <i>Agrostis</i> spp. (野草) ヤマヌカボ <i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>clavata</i> ヌカボ <i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>matsumurae</i> Tateoka クロコヌカグサ <i>Agrostis nigra</i> With. コヌカグサ <i>Agrostis palustris</i> Huds. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 丹田誠之助:東農大農学集報 23:215, 1978 [備考] ヌカボ・ヤマヌカボ・コヌカグサに発生。<i>Claviceps purpurea</i> var. <i>purpurea</i> と var.	イネ科 Gramineae, Poaceae ヌカボ類 (Agrostis) <i>Agrostis</i> spp. (野草) ヤマヌカボ <i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>clavata</i> ヌカボ <i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>matsumurae</i> Tateoka コヌカグサ <i>Agrostis palustris</i> Huds. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 丹田誠之助:東農大農学集報 23:215, 1978 [備考] ヌカボ・ヤマヌカボ・コヌカグサ。<i>Claviceps purpurea</i> var. <i>purpurea</i> と var. <i>alopecuri</i>
---	--

<i>alopecuri</i> Tanda が混在する (2) <i>Claviceps tandae</i> E. Tanaka Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:21, 2023 [備考] クロコヌカグサに発生 (注) 病原追加、宿主追加	Tanda が混在する
--	--------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベツトベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps bavaricensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu [<i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne] 徳永芳雄:日植病報 4(1-2):113, 1934(昭9) ; 成田武四:北海道における農作物病害:215, 1977 ; Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 [備考] レッドトップに発生。<i>Claviceps purpurea</i> var. <i>purpurea</i>とvar. <i>alopecuri</i> Tanda が混在するが, Liu <i>et al.</i>(2022)はこれらを<i>C. bavaricensis</i>とした (注) 病原学名変更、備考追加	イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベツトベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 徳永芳雄:日植病報 4(1-2):113, 1934(昭9) ; 成田武四:北海道における農作物病害:215, 1977
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノテッポウ類	イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノテッポウ類
--	--

Foxtail <i>Alopecurus</i> spp. (野草) スズメノテッポウ <i>Alopecurus aequalis</i> Sobol. var. <i>amurensis</i> (Komar.) Ohwi セトガヤ <i>Alopecurus japonicus</i> Steud. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps bavaricensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu [<i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>alopecuri</i> Tanda] 丹田誠之助:東農大農学集報 22:293, 1977 ; Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 [備考] スズメノテッポウに発生 (注) 病原学名変更、備考変更	Foxtail <i>Alopecurus</i> spp. (野草) スズメノテッポウ <i>Alopecurus aequalis</i> Sobol. var. <i>amurensis</i> (Komar.) Ohwi セトガヤ <i>Alopecurus japonicus</i> Steud. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>alopecuri</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 22:293, 1977 [備考] スズメノテッポウ
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae トールオートグラス(オオカニツリグサ) Tall oatgrass <i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Beauv. ex J. & C. Presl (牧草・芝草) 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 徳永芳雄:日植病報 4(1-2):113, 1934(昭9) ; 阿部又三:日農化誌 20(6):355, 1944(昭19) ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:10, 2023 (注) 文献追加	イネ科 Gramineae, Poaceae トールオートグラス(オオカニツリグサ) Tall oatgrass <i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Beauv. ex J. & C. Presl (牧草・芝草) 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 徳永芳雄:日植病報 4(1-2):113, 1934(昭9) ; 阿部又三:日農化誌 20(6):355, 1944(昭19)
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae トダシバ類 (Arundinella) <i>Arundinella</i> spp.	イネ科 Gramineae, Poaceae トダシバ類 (Arundinella) <i>Arundinella</i> spp.
--	--

(野草) トダシバ <i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps microspora</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 30:94, 1985 [備考] トダシバに発生 (注) 病原学名変更、備考変更	(野草) トダシバ <i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps microspora</i> Tanda var. <i>microspora</i> 丹田誠之助:東農大農学集報 30:94, 1985 [備考] トダシバ
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ヒメアブラススキ類 (Bothriochloa) <i>Bothriochloa</i> spp. (野草) ヒメアブラススキ <i>Bothriochloa parviflora</i> Ohwi 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps bothriochloae</i> Tanda & Y. Murayama 丹田誠之助:東農大農学集報 36:36, 1991 [備考] ヒメアブラススキに発生 (注) 病原学名修正、備考変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ヒメアブラススキ類 (Bothriochloa) <i>Bothriochloa</i> spp. (野草) ヒメアブラススキ <i>Bothriochloa parviflora</i> Ohwi 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps bothriochloae</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 36:36, 1991 [備考] ヒメアブラススキ
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ノガリヤス類 Small-reed <i>Calamagrostis</i> spp. (野草) ノガリヤス <i>Calamagrostis arundinacea</i> (L.) Roth var. <i>brachytricha</i> (Steud.) Hack. オオハマガヤ <i>Calamagrostis breviligulata</i> (Fernald) Saarela ヤマアワ <i>Calamagrostis epigeios</i> Roth ヒメノガリヤス <i>Calamagrostis hakonensis</i> Franch. & Savat. イワノガリヤス <i>Calamagrostis langsdorffii</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae ノガリヤス類 Small-reed <i>Calamagrostis</i> spp. (野草) ノガリヤス <i>Calamagrostis arundinacea</i> (L.) Roth var. <i>brachytricha</i> (Steud.) Hack. ヤマアワ <i>Calamagrostis epigeios</i> Roth ヒメノガリヤス <i>Calamagrostis hakonensis</i> Franch. & Savat.
--	--

(Link.) Trin. ホッサガヤ <i>Calamagrostis pseudo-phragmites</i> Koel. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps bavarieensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 [備考] ヤマアワ・オオハマガヤに発生 (2) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 丹田誠之助:東農大農学集報 24:67, 1979 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:10, 2023 [備考] 丹田(1979)の報告では, ヤマアワ・ヒメノガリヤス・ホッサガヤに発生。<i>Claviceps purpurea</i> var. <i>phalaridis</i> Tanda が混在する。Tanaka <i>et al.</i>(2023)の報告では, オオハマガヤに発生 (3) <i>Claviceps tandae</i> E. Tanaka Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:21, 2023 [備考] オオハマガヤに発生 (注) 病原追加、備考追加、宿主追加	イワノガリヤス <i>Calamagrostis langsdorffii</i> (Link.) Trin. ホッサガヤ <i>Calamagrostis pseudo-phragmites</i> Koel. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 丹田誠之助:東農大農学集報 24:67, 1979 [備考] ヤマアワ・ヒメノガリヤス・ホッサガヤ。<i>Claviceps purpurea</i> var. <i>phalaridis</i> Tanda と var. <i>alopecuri</i> Tandaが混在する
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草) 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps bavarieensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu [<i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>dactylidis</i> Tanda] Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 (2) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 竹本常松:薬雑 64(4):225, 1944(昭19) ; 西原夏樹:関東病虫研報 5:44, 1958 ; 成田武四:北海道における農作物病害:222, 1977	イネ科 Gramineae, Poaceae オーチャードグラス(カモガヤ) Orchardgrass, Cocksfoot <i>Dactylis glomerata</i> L. (牧草・芝草) 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 竹本常松:薬雑 64(4):225, 1944(昭19) ; 西原夏樹:関東病虫研報 5:44, 1958 ; 成田武四:北海道における農作物病害:222, 1977
--	---

(注) 病原追加	
----------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae アブラススキ類 (Eccoilopus) <i>Eccoilopus</i> spp. (野草) アブラススキ <i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.) Camus 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps kawatanii</i> (Tanda) E. Tanaka [<i>Claviceps microspora</i> Tanda var. <i>kawatanii</i> Tanda] 丹田誠之助:東農大農学集報 36:28, 1991 ; 丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平編):1204, 1998 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:26, 2023 [備考] アブラススキに発生 (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae アブラススキ類 (Eccoilopus) <i>Eccoilopus</i> spp. (野草) アブラススキ <i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.) Camus 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps microspora</i> Tanda var. <i>kawatanii</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 36:28, 1991 ; 丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平編):1204, 1998 [備考] アブラススキ
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae カモジグサ類 Drooping wheatgrass <i>Elymus</i> spp. [<i>Agropyron</i> spp.] (野草) アオカモジグサ <i>Elymus racemifer</i> (Steud.) Tzvelev var. <i>racemifer</i> [<i>Agropyron ciliare</i> (Trin.) Franch var. <i>minus</i> (Miq.) Ohwi] シバムギ(ヒメカモジグサ) <i>Elymus repens</i> (L.) Gould [<i>Agropyron repens</i> (L.) Beauv.] カモジグサ <i>Elymus tsukushiensis</i> Honda var. <i>transiens</i> (Hack.) Osada [<i>Agropyron tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi] 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps agropyri</i> (Tanda) E. Tanaka [<i>Claviceps</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae カモジグサ類 Drooping wheatgrass <i>Agropyron</i> spp. (野草) アオカモジグサ <i>Agropyron ciliare</i> Franch var. <i>pilosum</i> Honda シバムギ(ヒメカモジグサ) <i>Agropyron repens</i> (L.) Beauv. カモジグサ <i>Agropyron tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi
--	---

<i>purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>agropyri</i> Tanda] Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:11, 2023 [備考] カモジグサ・アオカモジグサに発生 (2) <i>Claviceps bavariensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu [<i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>alopecuri</i> Tanda] Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 [備考] カモジグサに発生 (注) 新病名、宿主学名変更	
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ハマニンニク類 (<i>Leymus</i>) <i>Leymus</i> spp. (野草) ハマニンニク(テンキグサ) <i>Leymus mollis</i> (Trin.) Pilg. [<i>Elymus mollis</i> Trin.] 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps litoralis</i> Kawatani 丹田誠之助・川谷豊彦:東農大農学集報 24:281, 1979 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:16, 2023 [備考] ハマニンニクに発生 (注) 文献追加、宿主学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae ハマニンニク類 (<i>Elymus</i>) <i>Elymus</i> spp. (野草) ハマニンニク(テンキグサ) <i>Elymus mollis</i> Trin. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps litoralis</i> Kawatani 丹田誠之助・川谷豊彦:東農大農学集報 24:281, 1979 [備考] ハマニンニク
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>Festuca arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>Festuca longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch	イネ科 Gramineae, Poaceae フェスク(ウシノケグサ) Fescues <i>Festuca</i> spp. (牧草・芝草) トールフェスク(オニウシノケグサ) Tall fescue <i>Festuca arundinacea</i> Schreb. ハードフェスク Hard fescue <i>Festuca longifolia</i> Thuill. var. <i>duriuscula</i> (L.) Koch
---	---

ナギナタガヤ Rat's tail <i>Festuca myuros</i> L. シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>Festuca ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>Festuca pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ) Creeping red fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i> 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps bavarieensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 [備考] クリーピングレッドフェスクに発生 (2) <i>Claviceps humidiphila</i> Pažoutová & M. Kolařík Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:15, 2023 [備考] クリーピングレッドフェスクに発生 (3) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 富樫浩吾:植物学雑 56(662):74, 1942(昭17) ; 竹本 常松:薬雑 64(4):225, 1944(昭19) ; 阿部又三:日農 化誌 20(6):353, 1944(昭19) [備考] 富樫 (1942) はレッドフェスク, 竹本 (1944) はトールフェスクおよびメドーフェスク, 阿部 (1944) はシープフェスクの麦角病について 報告した (4) <i>Claviceps tandae</i> E. Tanaka Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:21, 2023 [備考] クリーピングレッドフェスクに発生 (注) 病原追加	ナギナタガヤ Rat's tail <i>Festuca myuros</i> L. シープフェスク(ウシノケグサ) Sheep fescue <i>Festuca ovina</i> L. メドーフェスク(ヒロハノウシノケグサ) Meadow fescue <i>Festuca pratensis</i> Huds. チューイングフェスク Chewing fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>commutata</i> Gaudin クリーピングレッドフェスク(オオウシノケグサ) Creeping red fescue <i>Festuca rubra</i> L. subsp. <i>rubra</i> 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 富樫浩吾:植物学雑 56(662):74, 1942(昭17) ; 竹本 常松:薬雑 64(4):225, 1944(昭19) ; 阿部又三:日農 化誌 20(6):353, 1944(昭19) [備考] 富樫 (1942) はレッドフェスク, 竹本 (1944) はトールフェスクおよびメドーフェスク, 阿部 (1944) はシープフェスクの麦角病について 報告した
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ウラハグサ類 (Hakonechloa) <i>Hakonechloa</i> spp.	イネ科 Gramineae, Poaceae ウラハグサ類 (Hakonechloa) <i>Hakonechloa</i> spp.
---	---

(野草) ウラハグサ <i>Hakonechloa macra</i> (Munro) Makino 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps microcephala</i> (Wallroth) Tulasne 丹田誠之助:東農大農学集報 22:204, 1977 [備考] ウラハグサに発生 (2) <i>Claviceps phragmitis</i> E. Tanaka Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:18, 2023 [備考] ウラハグサに発生 (注) 病原追加	(野草) ウラハグサ <i>Hakonechloa macra</i> (Munro) Makino 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps microcephala</i> (Wallroth) Tulasne 丹田誠之助:東農大農学集報 22:204, 1977 [備考] ウラハグサ
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps bavoriensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 (2) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>purpurea</i> 出田 新:農作物病理学:67, 1901(明34) ; 勝本 謙: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):512, 1992 (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>purpurea</i> 出田 新:農作物病理学:67, 1901(明34) ; 勝本 謙: 植物病原菌類図説(小林享夫ら編):512, 1992
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae チガヤ類 Cogongrass <i>Imperata</i> spp. (野草) チガヤ <i>Imperata cylindrica</i> (L.) Beauv. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Durand & Schinz	イネ科 Gramineae, Poaceae チガヤ類 Cogongrass <i>Imperata</i> spp. (野草) チガヤ <i>Imperata cylindrica</i> (L.) Beauv. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Durand & Schinz
--	--

麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps imperatae</i> Tanda & Kawatani Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:15, 2023 [備考] チガヤに発生 (2) <i>Claviceps miscanthicola</i> E. Tanaka Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:29, 2023 [備考] チガヤにまれに発生。接種試験未了 (注) 新病名	
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae チゴザサ類 (Isachne) <i>Isachne</i> spp. (野草) チゴザサ <i>Isachne globosa</i> (Thunb.) Kuntze 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps panicoidearum</i> Tanda & Y. Harada 丹田誠之助:日菌報 30:105, 1989 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:32, 2023 [備考] チゴザサに発生 (注) 文献追加	イネ科 Gramineae, Poaceae チゴザサ類 (Isachne) <i>Isachne</i> spp. (野草) チゴザサ <i>Isachne globosa</i> (Thunb.) Kuntze 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps panicoidearum</i> Tanda & Y. Harada 丹田誠之助:日菌報 30:105, 1989 [備考] チゴザサ
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ススキ類 Silvergrass <i>Miscanthus</i> spp. (野草) トキワススキ <i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb. ex. K. Schum. & Lauterb. カリヤスモドキ <i>Miscanthus oligostachyus</i> Stapf オギ <i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Hack. ハチジョウススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>condensatus</i> (Hack.) Makino	イネ科 Gramineae, Poaceae ススキ類 Silvergrass <i>Miscanthus</i> spp. (野草) トキワススキ <i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb. ex. K. Schum. & Lauterb. カリヤスモドキ <i>Miscanthus oligostachyus</i> Stapf オギ <i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Hack. ハチジョウススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>condensatus</i> (Hack.) Makino
---	---

ススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>sinensis</i> ムラサキススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. f. <i>purpurascens</i> カリヤス <i>Miscanthus tinctorius</i> (Steud.) Hack. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps miscanthicola</i> E. Tanaka Tanaka, E. et al.:Stud. Mycol. 106:29, 2023 [備考] ススキ, ハチジョウススキ, カリヤスに発生 (2) <i>Claviceps panicoidearum</i> Tanda & Y. Harada 丹田誠之助:東農大農学集報 35:213, 1991 (注) 病原追加	ススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. var. <i>sinensis</i> ムラサキススキ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. f. <i>purpurascens</i> 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps panicoidearum</i> Tanda & Y. Harada 丹田誠之助:東農大農学集報 35:213, 1991
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps sasae</i> E. Tanaka [<i>Claviceps purpurea</i>	イネ科 Gramineae, Poaceae ササ類 (竹笹類) ハコネメダケ(箱根女竹) <i>Nipponobambusa sawadai</i> (Makino) Muroi ヤダケ(矢竹, 箭竹) <i>Pseudosasa japonica</i> (Sieb. & Zucc. ex Steud.) Makino スズ(スズタケ) <i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino & Shibata チシマザサ(ネマガリダケ) <i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino & Shibata ミヤマスズ <i>Sasa nana</i> Makino ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino & Shibata チマキザサ <i>Sasa palmata</i> (Bean) Nakai クマイザサ <i>Sasa senanensis</i> (Franch. & Savat.) Rehder クマザサ <i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd. アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne
--	--

(Fries) Tulasne, <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>sasae</i> Tanda & Kawatani nom. inval.] 松村任三:帝国植物名鑑(上):135, 1904(明37) ; Tanaka, E. et al.:Stud. Mycol. 106:18, 2023 [備考] チマキザサ, クマイザサ, クマザサ, ヤヒコザサに発生。スズタケ類(<i>Sasamorpha</i> spp.)に発生。ササ類麦角菌の学名として<i>Claviceps purpurea</i> var. <i>sasae</i> Tanda(丹田誠之助:富士竹園報 18:30, 1973)が提唱されているが正規の記載はない (注) 病原学名変更	松村任三:帝国植物名鑑(上):135, 1904(明37) [備考] ササ類麦角菌の学名として<i>Claviceps purpurea</i> var. <i>sasae</i> Tanda(丹田誠之助:富士竹園報 18:30, 1973)が提唱されているが正規の記載はない
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae アレチイネガヤ類 Smilo-grass, Rice millet <i>Oloptum</i> spp. (野草) アレチイネガヤ <i>Oloptum miliaceum</i> (L.) Röser & Hamasha 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne Tanaka, E. et al.:Stud. Mycol. 106:10, 2023 [備考] アレチイネガヤに発生 (注) 新病名、新規宿主	イネ科 Gramineae, Poaceae
---	-------------------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae チヂミザサ類 (Oplismenus) <i>Oplismenus</i> spp. (野草) ケチヂミザサ, チヂミザサ Wavyleaf basketgrass <i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. & Schult.	イネ科 Gramineae, Poaceae チヂミザサ類 (Oplismenus) <i>Oplismenus</i> spp. (野草) ケチヂミザサ, チヂミザサ Wavyleaf basketgrass <i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. & Schult.
---	---

麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps oplismeni</i> E. Tanaka Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:30, 2023 [備考] チヂミザサに発生 (2) <i>Claviceps viridis</i> Padwick & Azmatullah 丹田誠之助:日菌報 33:343, 1992 [備考] ケチヂミザサに発生 (注) 病原追加	麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps viridis</i> Padwick & Azmatullah 丹田誠之助:日菌報 33:343, 1992 [備考] ケチヂミザサ
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew (黄斑性萎縮病, 萎縮性黄斑病) <i>Sclerophthora macrospora</i> (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan [<i>Phytophthora macrospora</i> (Saccardo) S. Ito & I. Tanaka, <i>Sclerospora oryzae</i> Brizi] 山田玄太郎:宮部記念植物学襍説:381, 1912(大1) (注) 文献誌名訂正	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew (黄斑性萎縮病, 萎縮性黄斑病) <i>Sclerophthora macrospora</i> (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan [<i>Phytophthora macrospora</i> (Saccardo) S. Ito & I. Tanaka, <i>Sclerospora oryzae</i> Brizi] 山田玄太郎:宮部記念植物学集説:381, 1912(大1)
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ穀粒 Rice grain <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 黒変米 kokuhen-mai Dark colorsis of grains <i>Aspergillus chevalieri</i> (Mangin) Thom & Church 角田 廣・鶴田 理:日植病報 18(3-4):143, 1954 ;	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ穀粒 Rice grain <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 黒変米 kokuhen-mai Dark colorsis of grains <i>Aspergillus chevalieri</i> (Mangin) Thom & Church 角田 廣・鶴田 理:日植病報 18(3-4):143, 1954 ;
---	---

角田 廣・鶴田 理:食研報 10:55, 195⁵ (注) 文献著者修正、文献年訂正	鶴田 理:食研報 10:55, 195⁴
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ穀粒 Rice grain <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) †††† <i>Micrococcus</i> sp. 畔上耕児ら:日植病報 78(3):273, 2012 ; 畔上耕児: 日植病報 90(1):29, 2024 [備考] 内部まで赤褐変～黄褐変する。畔上耕児 ら(2012)が<i>Microbacterium</i>属と報告した菌を畔上 (2024)は, 本病原学名に訂正した (注) 新宿主	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ穀粒 Rice grain <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物)
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ穀粒 Rice grain <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) †††† <i>Streptomyces</i> sp. 佐藤豊三・浅野亮樹:日微資学誌 39(2):89, 2023 [備考] 乾燥・貯蔵粳にカビ臭被害 (注) 新宿主	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ穀粒 Rice grain <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物)
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae キビ(黍)	イネ科 Gramineae, Poaceae キビ(黍)
---	---

Common millet, Millet, Proso millet <i>Panicum miliaceum</i> L. (食用作物) 紋枯病 mongare-byo Sheath blight <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [Rhizoctonia solani J.G. Kühn] 中田覚五郎:作物病害図編:6, 1934(昭9) [備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照 (注) 文献誌名の前の中黒をコロンに修正。文献 和暦のスペース削除。	Common millet, Millet, Proso millet <i>Panicum miliaceum</i> L. (食用作物) 紋枯病 mongare-byo Sheath blight <i>Thanatephorus cucumeris</i> (A.B. Frank) Donk [Rhizoctonia solani J.G. Kühn] 中田覚五郎・作物病害図編:6, 1934(昭 9) [備考] 病原菌の異名はイネ紋枯病参照
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノヒエ類 (Paspalum) <i>Paspalum</i> spp. (野草) スズメノヒエ <i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud. スズメノコビエ <i>Paspalum orbiculare</i> Forst. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps paspali</i> F. Stevens & J.G. Hall 丹田誠之助:東農大農学集報 36:292, 1992 ; Tanaka, E. <i>et al.</i> :Stud. Mycol. 106:34, 2023 [備考] スズメノヒエに発生 (2) <i>Claviceps queenslandica</i> Langdon [<i>Claviceps</i> <i>paspali</i> var. <i>queenslandica</i>] 丹田誠之助:東農大農学集報 36:292, 1992 ; Tanaka, E. <i>et al.</i> :Stud. Mycol. 106:34, 2023 [備考] スズメノコビエに発生。丹田は <i>Claviceps</i> <i>paspali</i> var. <i>queenslandica</i> としたが, Tanaka <i>et</i> <i>al.</i> (2023)は, <i>C. queenslandica</i> と再同定した (注) 病原追加、備考変更	イネ科 Gramineae, Poaceae スズメノヒエ類 (Paspalum) <i>Paspalum</i> spp. (野草) スズメノヒエ <i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud. スズメノコビエ <i>Paspalum orbiculare</i> Forst. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps paspali</i> F. Stevens & J.G. Hall 丹田誠之助:東農大農学集報 36:292, 1992 [備考] スズメノヒエ・スズメノコビエ。丹田は スズメノコビエ菌を <i>Claviceps paspali</i> var. <i>queenslandica</i> とした
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae パスパルム(スズメノヒエ) Paspalum <i>Paspalum</i> spp. (牧草・芝草) ダリスグラス(シマスズメノヒエ) Dallisgrass <i>Paspalum dilatatum</i> Poir. キシウスズメノヒエ(カリマタスズメノヒエ) Knotgrass <i>Paspalum distichum</i> L. バヒアグラス(アメリカスズメノヒエ) Bahia grass <i>Paspalum notatum</i> Flügge ベージグラス(タチスズメノヒエ) Vaseygrass <i>Paspalum urvillei</i> Steud. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps paspali</i> F. Stevens & J.G. Hall [<i>Sclerotium paspali</i> Schweinitz, <i>Sphacelia paspali</i> Bornet] 西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):128, 1962 ; 福代和子・古田 力:中国農試報告E 6:91, 1970 ; Tanaka, E. et al.:Stud. Mycol. 106:34, 2023 [備考] ダリスグラス・ベージグラス・スズメノヒエ(<i>P. thunbergii</i>)およびキシウスズメノヒエに発生 (注) 文献・備考追加	イネ科 Gramineae, Poaceae パスパルム(スズメノヒエ) Paspalum <i>Paspalum</i> spp. (牧草・芝草) ダリスグラス(シマスズメノヒエ) Dallisgrass <i>Paspalum dilatatum</i> Poir. キシウスズメノヒエ(カリマタスズメノヒエ) Knotgrass <i>Paspalum distichum</i> L. バヒアグラス(アメリカスズメノヒエ) Bahia grass <i>Paspalum notatum</i> Flügge ベージグラス(タチスズメノヒエ) Vaseygrass <i>Paspalum urvillei</i> Steud. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps paspali</i> F. Stevens & J.G. Hall [<i>Sclerotium paspali</i> Schweinitz, <i>Sphacelia paspali</i> Bornet] 西原夏樹:日植病報 25(1):49, 1960 ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):128, 1962 ; 福代和子・古田 力:中国農試報告E 6:91, 1970 [備考] ダリスグラス・ベージグラスおよびキシウスズメノヒエ
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae リードカナリーグラス(クサヨシ) Reed canarygrass, Harding grass <i>Phalaris arundinacea</i> L., <i>Phalaris stenoptera</i> Hack. (牧草・芝草) 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps bavarieensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu [<i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>alopecuri</i> Tanda]	イネ科 Gramineae, Poaceae リードカナリーグラス(クサヨシ) Reed canarygrass, Harding grass <i>Phalaris arundinacea</i> L., <i>Phalaris stenoptera</i> Hack. (牧草・芝草) 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 丹田誠之助・松涛誠道:東京農大農学集報 6(4):323, 1961 ; 平塚直秀・小谷英二:鳥取農学会
--	---

Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 (2) <i>Claviceps humidiphila</i> Pažoutová & M. Kolařík [<i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>phalaridis</i> Tanda] Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):78, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:15, 2023 (3) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 丹田誠之助・松涛誠道:東京農大農学集報 6(4):323, 1961 ; 平塚直秀・小谷英二:鳥取農学会報 2:57, 1930(昭5) ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):153, 1962 (4) <i>Claviceps tandae</i> E. Tanaka Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:21, 2023 (注) 病原追加	報 2:57, 1930(昭5) ; 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):153, 1962
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy <i>Phleum pratense</i> L. (牧草・芝草) 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps bavoriensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu [<i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>alopecuri</i> Tanda] Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 (2) <i>Claviceps humidiphila</i> Pažoutová & M. Kolařík Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):78, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:15, 2023 (3) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):154, 1962 ; 成田武四:北海道における農作物病害:228, 1977	イネ科 Gramineae, Poaceae チモシー(オオアワガエリ) Timothy <i>Phleum pratense</i> L. (牧草・芝草) 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 西原夏樹:千葉農試資料 2(牧草の病害II):154, 1962 ; 成田武四:北海道における農作物病害:228, 1977
---	---

(注) 病原追加	
----------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ヨシ類 Common reed <i>Phragmites</i> spp. (野草) ヨシ <i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud. ツルヨシ <i>Phragmites japonicus</i> Steud. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps microcephala</i> (Wallroth) Tulasne 丹田誠之助:東農大農学集報 22:193, 1977 [備考] ヨシに発生 (2) <i>Claviceps palustris</i> E. Tanaka Tanaka, E. et al.:Stud. Mycol. 106:17, 2023 [備考] ヨシ・ツルヨシに発生 (3) <i>Claviceps phragmitis</i> E. Tanaka Tanaka, E. et al.:Stud. Mycol. 106:18, 2023 [備考] ヨシ・ツルヨシに発生 (注) 病原追加、宿主学名修正	イネ科 Gramineae, Poaceae ヨシ類 Common reed <i>Phragmites</i> spp. (野草) ヨシ <i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud. ツルヨシ <i>Phragmites japonica</i> Steud. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps microcephala</i> (Wallroth) Tulasne 丹田誠之助:東農大農学集報 22:193, 1977 [備考] ヨシ
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps bavaricus</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu	イネ科 Gramineae, Poaceae ブルーグラス Bluegrass <i>Poa</i> spp. (牧草・芝草) カナダブルーグラス(コイチゴツナギ) Canada bluegrass <i>Poa compressa</i> L. ケンタッキーブルーグラス(ナガハグサ) Kentucky bluegrass <i>Poa pratensis</i> L. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 徳永芳雄:日植病報 4(1-2):113, 1934(昭9) ; 西原夏
--	---

Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 (2) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne 徳永芳雄:日植病報 4(1-2):113, 1934(昭9) ; 西原夏樹:農林水産研究文献解題 8:392, 1981 (注) 病原追加	樹:農林水産研究文献解題 8:392, 1981
--	---------------------------------

イネ科 Gramineae, Poaceae イチゴツナギ類 (Poa) <i>Poa</i> spp. (野草) ミゾイチゴツナギ <i>Poa acroleuca</i> Steud. スズメノカタビラ <i>Poa annua</i> L. オオスズメノカタビラ <i>Poa trivialis</i> L. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps bavaricensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M. Liu Liu, M. <i>et al.</i>:Mycotaxon 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:13, 2023 [備考] ミゾイチゴツナギ, スズメノカタビラ, オオスズメノカタビラに発生 (注) 新病名、宿主追加	イネ科 Gramineae, Poaceae イチゴツナギ類 (Poa) <i>Poa</i> spp. (野草) ミゾイチゴツナギ <i>Poa acroleuca</i> Steud. スズメノカタビラ <i>Poa annua</i> L.
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエガエリ類 (Polypogon) <i>Polypogon</i> spp. (野草) ヒエガエリ <i>Polypogon fugax</i> Steud. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps bavaricensis</i> M. Kolařík, E. Tanaka & M.	イネ科 Gramineae, Poaceae ヒエガエリ類 (Polypogon) <i>Polypogon</i> spp. (野草) ヒエガエリ <i>Polypogon fugax</i> Steud. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>alopecuri</i>
---	--

Liu [<i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>alopecuri</i> Tanda] 丹田誠之助・川谷豊彦:日菌報 21:97, 1980 ; Liu, M. et al.:<i>Mycotaxon</i> 137(1):80, 2022 ; Tanaka, E. et al.:<i>Stud. Mycol.</i> 106:13, 2023 [備考] ヒエガエリに発生 (注) 病原学名変更	Tanda 丹田誠之助・川谷豊彦:日菌報 21:97, 1980 [備考] ヒエガエリ
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae ライムギ(ライ, 黒麦) Rye <i>Secale cereale</i> L. (食用作物) 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne Tanaka, E. et al.:<i>Stud. Mycol.</i> 106:10, 2023 (2) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>purpurea</i> 出田 新:農作物病理学:67, 1901(明34) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):512, 1992 (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae ライムギ(ライ, 黒麦) Rye <i>Secale cereale</i> L. (食用作物) 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>purpurea</i> 出田 新:農作物病理学:67, 1901(明34) ; 勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):512, 1992
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) セイバンモロコシ <i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps africana</i> Frederickson, Mantle & De Milliano [<i>Sphacelia sorghi</i> McRae] 月星隆雄ら:日植病報 58(4):543, 1992 ; 月星隆雄ら:日植病報 65(3):318, 1999 ; Tanaka, E. et	イネ科 Gramineae, Poaceae モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps sorghicola</i> Tsukiboshi, Shimanuki & T. Uematsu 島貫忠幸ら:日植病報 54(3):346, 1988 ; Tsukiboshi, T. et al.:Mycological Research 103(11):1403, 1999
---	--

<i>al.</i>:Stud. Mycol. 106:22, 2023 [備考] 月星ら(1999)は, <i>S. sorghi</i> としたが, Tanaka <i>et al.</i>(2023)は, <i>C. africana</i> と再同定した。セイバンモロコシに発生 (2) <i>Claviceps sorghicola</i> Tsukiboshi, Shimanuki & T. Uematsu 島貫忠幸ら:日植病報 54(3):346, 1988 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:Mycological Research 103(11):1403, 1999 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:32, 2023 [備考] 麦角病罹病穂で繁殖した <i>Epicoccum andropogonis</i> (Cesati) Schol-Schwarz, <i>Cerebella andropogonis</i> Cesati によって黒穂病様の異常穂が発生することがある (兼平 勉ら・日植病報 54(3):346, 1988) (注) 宿主追加、病原学名変更、備考・文献追加	[備考] 麦角病罹病穂で繁殖した <i>Epicoccum andropogonis</i> (Cesati) Schol-Schwarz, <i>Cerebella andropogonis</i> Cesati によって黒穂病様の異常穂が発生することがある (兼平 勉ら・日植病報 54(3):346, 1988) (2) <i>Sphacelia sorghi</i> McRae 月星隆雄ら:日植病報 58(4):543, 1992 ; 月星隆雄ら:日植病報 65(3):318, 1999
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオアブラススキ類 (Spodiopogon) <i>Spodiopogon</i> spp. (野草) オオアブラススキ <i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin. var. <i>sibiricus</i> 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps kawatanii</i> (Tanda) E. Tanaka [<i>Claviceps microspora</i> Tanda var. <i>kawatanii</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 36:28, 1991 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:26, 2023 [備考] オオアブラススキに発生 (注) 病原学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae オオアブラススキ類 (Spodiopogon) <i>Spodiopogon</i> spp. (野草) オオアブラススキ <i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin. var. <i>sibiricus</i> 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps microspora</i> Tanda var. <i>kawatanii</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 36:28, 1991 [備考] オオアブラススキ
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae	イネ科 Gramineae, Poaceae
------------------------	------------------------

コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew (黄斑性萎縮病, 萎縮性黄斑病) <i>Sclerophthora macrospora</i> (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan 山田玄太郎:宮部記念植物学襍説:381, 1912(大1) [備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照 (注) 文献誌名修正(他と合わせた)	コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Downy mildew (黄斑性萎縮病, 萎縮性黄斑病) <i>Sclerophthora macrospora</i> (Saccardo) Thirumalachar, C.G. Shaw & Narasimhan 山田玄太郎:宮部記念植物集説:381, 1912(大1) [備考] 病原菌の異名はイネ黄化萎縮病参照
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne Tanaka, E. et al.:Stud. Mycol. 106:10, 2023 (2) <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>purpurea</i> 出田 新:農作物病理学:67, 1901(明34) (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps purpurea</i> (Fries) Tulasne var. <i>purpurea</i> 出田 新:農作物病理学:67, 1901(明34)
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf.	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf.
--	--

†††† <i>Pythium aphanidermatum</i> (Edson) Fitzpatrick 畔上耕児:日植病報 59(6):719, 1993 ; 畔上耕児:日植病報 90(1):29, 2024 [備考] 枯熟れ様障害。畔上(1993)が<i>Pythium</i> sp.と報告した菌を, 畔上(2024)が本病原に同定した (注) 新宿主	
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) <i>Zoysia</i> grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps yanagawaensis</i> Togashi 富樫浩吾:札幌博物学会報 14(4):280, 1936(昭11) ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:22, 2023 (注) 文献追加	イネ科 Gramineae, Poaceae シバ(芝, 和芝, 日本芝) <i>Zoysia</i> grass <i>Zoysia</i> spp. (牧草・芝草) シバ, ノシバ <i>Zoysia</i>, Japanese lawngrass <i>Zoysia japonica</i> Steud. ハリシバ Manila grass <i>Zoysia matrella</i> (L.) Merr. コウライシバ Mascarene grass <i>Zoysia tenuifolia</i> Willd. ex Thiele 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps yanagawaensis</i> Togashi 富樫浩吾:札幌博物学会報 14(4):280, 1936(昭11)
---	--

ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Rhizopus rot	ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜)
--	--

<i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer 片山貴博ら:日植病報 90(1):35, 2024 (注) 新病名	
--	--

ユリ科 Liliaceae クサスギカズラ(アスパラガス)類 (Asparagus) <i>Asparagus</i> spp. (草花) スマイラックス <i>Asparagus asparagoides</i> (L.) W. F. Wight ハマタマボウキ <i>Asparagus kiusianus</i> Makino タチテンモンドウ <i>Asparagus pygmaeus</i> (Makino) Makino †††† <i>Phanerochaete concrescens</i> Spirin & Volobuev 王 靖怡ら:日植病報 90(1):68, 2024 [備考] ハマタマボウキに発生。食用アスパラガスへの病原性を確認 (注) 新宿主	ユリ科 Liliaceae クサスギカズラ(アスパラガス)類 (Asparagus) <i>Asparagus</i> spp. (草花) スマイラックス <i>Asparagus asparagoides</i> (L.) W. F. Wight ハマタマボウキ <i>Asparagus kiusianus</i> Makino タチテンモンドウ <i>Asparagus pygmaeus</i> (Makino) Makino
---	---

ユリ科 Liliaceae ヒアシンス Hyacinth <i>Hyacinthus orientalis</i> L. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Black slime <i>Sclerotinia bulborum</i> (Wakker) Saccardo 南部信方:病虫雑 2(3):296, 1915(大4) (注) 元の文献のページが間違っていた(誤植だった)	ユリ科 Liliaceae ヒアシンス Hyacinth <i>Hyacinthus orientalis</i> L. (草花) 菌核病 kinkaku-byo Black slime <i>Sclerotinia bulborum</i> (Wakker) Saccardo 南部信方:病虫雑 2(3):396, 1915(大4)
---	---

ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic (1) Carlavirus# 前田孚憲ら:日植病報 61(6):630, 1995 [備考] テッポウユリに発生。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 堀 正太郎:実際園芸 7(2):115, 1929(昭4) (2) <i>Plantago asiatica mosaic virus</i> (PIAMV) オオバコモザイクウイルス 高橋修一郎ら:日植病報 69(3):330, 2003 (注) 病原学名修正、病原略号・和名追加	ユリ科 Liliaceae ユリ類 Lily <i>Lilium</i> spp. (草花) ロンギフローラムハイブリッド系(テッポウユリ, タカサゴユリの仲間, 種間雑種のシンテッポウユリ等) オリエンタルハイブリッド系(ヤマユリ, サクユリ, カノコユリ, ササユリ, オトメユリの仲間, 品種カサブランカ, ルレーブ等) アジアティックハイブリッド系(スカシユリ, オニユリ, ヒメユリの仲間, 品種エンチャントメント, コネチカットキング等) モザイク病 <i>mosaic-byo</i> Mosaic (1) Carlavirus# 前田孚憲ら:日植病報 61(6):630, 1995 [備考] テッポウユリに発生。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 堀 正太郎:実際園芸 7(2):115, 1929(昭4) (2) <i>Plantago asiatica mosaic viurs</i> 高橋修一郎ら:日植病報 69(3):330, 2003
--	---

ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) えそ病 <i>eso-byo</i> Necrosis (1) <i>Olive latent virus 1</i> (OLV-1) オリーブ潜在ウイルス 1 [Tobacco necrosis virus#]	ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) えそ病 <i>eso-byo</i> Necrosis (1) <i>Olive latent virus 1</i> (OLV-1) オリーブ潜在ウイルス 1 [Tobacco necrosis virus#]
--	--

Kanematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):333, 2001 (2) <i>Olive mild mosaic virus</i> (OMMV) オリーブ微斑ウイルス [Tobacco necrosis virus#] 守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006 (3) <i>Tobacco necrosis virus D</i> (TNV-D) タバコえそDウイルス [Tobacco necrosis virus#] 多賀由美子ら:日植病報 71(3):232, 2005 (4) <i>Tulip necrosis virus</i># (TulNV) チューリップえそウイルス [Tobacco necrosis virus#, Tobacco necrosis virus-Toyama] Saeki, K. <i>et al.</i>:Biosci Biotechnol Biochem 65(3):719, 2001 ; 守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006 [備考] Saeki <i>et al.</i>(2001)はTobacco necrosis virus-Toyamaと報告 (5) <i>Tobacco necrosis virus A</i> (TNVA) タバコえそAウイルス [Tobacco necrosis virus#] 草葉敏彦ら:日植病報 43(1):76, 1977 ; 松涛美文ら:日植病報 43(1):77, 1977 ; 名畑清信ら:富山農試研報 9:1, 1978 ; 一木(植原)珠樹ら:日微資学会誌 32(1):39, 2016 [備考] ウイルス株の分類学的検証が必要。罹病株からは Tobacco necrosis satellite virus も検出された (注) 病原学名変更	Kanematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):333, 2001 (2) <i>Olive mild mosaic virus</i> (OMMV) オリーブ微斑ウイルス [Tobacco necrosis virus#] 守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006 (3) <i>Tobacco necrosis virus D</i> (TNV-D) タバコえそDウイルス [Tobacco necrosis virus#] 多賀由美子ら:日植病報 71(3):232, 2005 (4) <i>Tulip necrosis virus</i># (TulNV) チューリップえそウイルス [Tobacco necrosis virus#, Tobacco necrosis virus-Toyama] Saeki, K. <i>et al.</i>:Biosci Biotechnol Biochem 65(3):719, 2001 ; 守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006 [備考] Saeki <i>et al.</i>(2001)はTobacco necrosis virus-Toyamaと報告 (5) Tobacco necrosis virus# 草葉敏彦ら:日植病報 43(1):76, 1977 ; 松涛美文ら:日植病報 43(1):77, 1977 ; 名畑清信ら:富山農試研報 9:1, 1978 [備考] ウイルス株の分類学的検証が必要。罹病株からは Tobacco necrosis satellite virus も検出された
--	--

アオイ科 Malvaceae トロロアオイ(黄蜀葵) Sunset musk mallow, Sunset hibiscus <i>Abelmoschus manihot</i> (L.) Medik. [<i>Hibiscus manihot</i> L.] (特用作物) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 黒斑病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902	アオイ科 Malvaceae トロロアオイ(黄蜀葵) Sunset musk mallow, Sunset hibiscus <i>Abelmoschus manihot</i> (L.) Medik. [<i>Hibiscus manihot</i> L.] (特用作物) 斑点細菌病* hanten-saikin-byo Bacterial leaf spot (細菌性斑点病, 黒斑病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902
---	---

[<i>Bacterium hibisci</i> Nakata & Takimoto, <i>Pseudomonas hibisci</i> (Nakata & Takimoto) Stapp] 中田覺五郎・瀧元清透:日植病報 1(5):13, 1923(大12) ; 中田覺五郎:作物病害図編:254, 1934(昭9) ; 中田覺五郎:最新改訂作物病害図編:639, 1957 (注) 文献誌名訂正	[<i>Bacterium hibisci</i> Nakata & Takimoto, <i>Pseudomonas hibisci</i> (Nakata & Takimoto) Stapp] 中田覺五郎・瀧元清透:日植病報 1(5):13, 1923(大12) ; 中田覺五郎:作物病害図編:254, 1934(昭9) ; 中田覺五郎:作物病害図編:639, 1957
---	---

アオイ科 Malvaceae ムクゲ(木槿) Rose of sharon <i>Hibiscus syriacus</i> L. (広葉樹) 葉すす病 hasusu-byo Cercospora leaf spot <i>Pseudocercospora abelmoschi</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora abelmoschi</i> Ellis & Everhart, <i>Cercospora hibisci</i> Tracy & Earle] 富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大研報II, 1:3, 1952 ; 内藤中人・谷 利一:香川農大学術報 4(3):187, 1953 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992 (注) 文献年修正、文献号数挿入	アオイ科 Malvaceae ムクゲ(木槿) Rose of sharon <i>Hibiscus syriacus</i> L. (広葉樹) 葉すす病 hasusu-byo Cercospora leaf spot <i>Pseudocercospora abelmoschi</i> (Ellis & Everhart) Deighton [<i>Cercospora abelmoschi</i> Ellis & Everhart, <i>Cercospora hibisci</i> Tracy & Earle] 富樫浩吾・香月繁孝:横浜国大研報II, 1:3, 1952 ; 内藤中人・谷 利一:香川農大学術報 4:187, 1954 ; 勝本 謙・小林享夫:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):596, 1992
--	---

ツヅラフジ科 Menispermaceae アオツヅラフジ(カミエビ) Snailseed, Moonseed <i>Cocculus trilobus</i> (Thunb.) DC. (特用作物) †††† †<i>Cercospora menispermi</i> Ellis & Holway [<i>Cercosporiopsis menispermi</i> (Ellis & Holway) Miura] 原 攝祐:東亜菌類誌(静岡県農会報 363):49,	ツヅラフジ科 Menispermaceae アオツヅラフジ(カミエビ) Snailseed, Moonseed <i>Cocculus trilobus</i> (Thunb.) DC. (特用作物) †††† †<i>Cercospora menispermi</i> Ellis & Holway [<i>Cercosporiopsis menispermi</i> (Ellis & Holway) Miura] 原 攝祐:東亜菌類誌 静岡県農会報 363:49,
--	---

1928(昭3) ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:528, 1928(昭3) [備考] 中国東北部 (注) 文献誌名修正(他と合わせた)	1928(昭3) ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:528, 1928(昭3) [備考] 中国東北部
--	--

クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 赤渋病 akashibu-byo Red rust (銹病) <i>Gymnosporangium mori</i> (Barclay) T. Kasuya, K. Hosaka, Jing X. Ji & Kakishima [<i>Aecidium mori</i> Barclay] 堀 正太郎:農事雑報 2(17), 1900(明33) ; Kasuya, T. <i>et al.</i> :Mycoscience 65(2):82, 2024 (注) 病原学名変更	クワ科 Moraceae クワ(桑) Mulberry <i>Morus</i> spp. (特用作物) シマグワ Mulberry <i>Morus acidosa</i> Griff., <i>Morus australis</i> Poir. カラヤマグワ <i>Morus alba</i> L. ヤマグワ <i>Morus bombycis</i> Koidz. ログワ <i>Morus latifolia</i> Poir. 赤渋病 akashibu-byo Red rust (銹病) <i>Aecidium mori</i> Barclay 堀 正太郎:農事雑報 2(17), 1900(明33)
--	---

バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) 株腐病 kabugusare-byo Crown rot <i>Fusarium sacchari</i> (E.J. Butler) W. Gams 坂本 彩ら:関東病虫研報 70:33, 2023 [備考] <i>Musa acuminata</i> L. cv. 'Gros Michel' に発生	バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹)
---	--

(注) 新病名	
---------	--

フトモモ科 Myrtaceae ワックスフラワー Waxflower <i>Darwinia uncinata</i> (Schauer) F.Muell. [<i>Chamelaucium uncinatum</i> Schauer] (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum theobromicola</i> Delacroix 久保田まや ら:関東病虫研報 70:41, 2023 (2) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 久保田まや ら:関東病虫研報 70:41, 2023 (注) 新病名、新規宿主	フトモモ科 Myrtaceae
---	------------------------

モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium fraxini-bungeanae</i> Dietel 白井光太郎:日本菌類目録:3, 1905(明38) ; 安田篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) [備考] トネリコ・アオダモ (<i>F. lanuginosa</i>)・シマタゴ (2) <i>Uropyxis fraxini</i> (Komarov) Magnus 伊藤誠哉・平塚直秀:札幌博物学会報 9(2):267, 1927(昭2) [備考] アオダモ・マンシュウトネリコ (<i>F. mandshurica</i>)	モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium fraxini-bungeanae</i> Dietel 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:3, 1905(明38) [備考] トネリコ・アオダモ (<i>F. lanuginosa</i>)・シマタゴ (2) <i>Uropyxis fraxini</i> (Komarov) Magnus 伊藤誠哉・平塚直秀:札幌博物学会報 9(2):267, 1927(昭2) [備考] アオダモ・マンシュウトネリコ (<i>F. mandshurica</i>)
--	---

(注) 文献順修正	
-----------	--

モクセイ科 Oleaceae ネズミモチ(鼠竊, 玉椿) Japanese privet <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. (広葉樹) トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet <i>Ligustrum lucidum</i> Ait. †††† <i>Diplodia mamma</i> Fuckel 徳淵永治郎:宮部記念植物学襍説:309, 1912(大1) (注) 文献年訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	モクセイ科 Oleaceae ネズミモチ(鼠竊, 玉椿) Japanese privet <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. (広葉樹) トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet <i>Ligustrum lucidum</i> Ait. †††† <i>Diplodia mamma</i> Fuckel 徳淵永治郎:宮部記念植物襍説:309, 1911(明44)
---	---

モクセイ科 Oleaceae ネズミモチ(鼠竊, 玉椿) Japanese privet <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. (広葉樹) トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet <i>Ligustrum lucidum</i> Ait. 斑紋病 hammon-byo Cercospora leaf spot <i>Cercospora ligustri</i> Roumeguère 南部信方:病虫雑 8(11):554, 1921(大10) ; 徳淵永治郎:宮部記念植物学襍説:309, 1912(大1) [備考] トウネズミモチ (<i>L. lucidum</i>) にも発生 (注) 文献年訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	モクセイ科 Oleaceae ネズミモチ(鼠竊, 玉椿) Japanese privet <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. (広葉樹) トウネズミモチ Glossy Privet, Chinese Privet <i>Ligustrum lucidum</i> Ait. 斑紋病 hammon-byo Cercospora leaf spot <i>Cercospora ligustri</i> Roumeguère 南部信方:病虫雑 8(11):554, 1921(大10) ; 徳淵永治郎:宮部記念植物襍説:309, 1911(明44) [備考] トウネズミモチ (<i>L. lucidum</i>) にも発生
--	--

モクセイ科 Oleaceae イボタノキ(水臘木)	モクセイ科 Oleaceae イボタノキ(水臘木)
---	---

Ibota Privet <i>Ligustrum obtusifolium</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium klugkistianum</i> Dietel 白井光太郎:日本菌類目録:4, 1905(明38) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) [備考] タンナスイボタ・ケイボタにも発生 (2) <i>Uredo amami-oshimaensis</i> Morimoto Morimoto, Y.:Journ. Jap. Bot. 31(2):40, 1956 [備考] オオバイボタ (<i>L. ovalifolium</i>) (注) 文献年修正	Ibota Privet <i>Ligustrum obtusifolium</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) (1) <i>Aecidium klugkistianum</i> Dietel 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) ; 白井 光太郎:日本菌類目録:4, 1905(明38) [備考] タンナスイボタ・ケイボタにも発生 (2) <i>Uredo amami-oshimaensis</i> Morimoto Morimoto, Y.:Journ. Jap. Bot. 31(2):40, 1956 [備考] オオバイボタ (<i>L. ovalifolium</i>)
--	--

モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 都崎芳久・川原精剛:四国植防 36:7, 2001 ; 陰山 優花・大里修一:日植病報 89(3):212, 2023 [備考] 衣川ら(日植病報 74(3):157, 2008)は本菌に よる新梢枯死症を報告した。陰山・大里(2023) は, 狭義の <i>C. acutatum</i> を報告した (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium olivarum</i> J.V. Almeida] 逸見武雄・倉田静子:菌類 1(3, 4):83, 1931(昭6) ; 逸見武雄ら:日植病報 2(6):550, 1933 ; 山本和太 郎:植物防疫 14:49, 1960 (注) 備考修正	モクセイ科 Oleaceae オリーブ Olive <i>Olea europaea</i> L. (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds 都崎芳久・川原精剛:四国植防 36:7, 2001 ; 陰山 優花・大里修一:日植病報 89(3):212, 2023 [備考] 衣川ら(日植病報74(3):157, 2008)は本菌に よる新梢枯死症を報告した。陰山・大里(2023) は, 狭義の <i>C. acutatum</i> を報告した (2) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium olivarum</i> J.V. Almeida] 逸見武雄・倉田静子:菌類 1(3, 4):83, 1931(昭6) ; 逸見武雄ら:日植病報 2(6):550, 1933 ; 山本和太 郎:植物防疫 14:49, 1960
---	--

ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) 蛇の目病* janome-byo Cercospora leaf spot (蛇の眼病, 蛇眼病, 斑点病, 葉枯病) <i>Cercospora sesami</i> Zimmermann [<i>Cercosporina sesami</i> (Zimmermann) Hara] 園 孝治郎:農事雑報 139:46, 1909(明42) (注) 著者名訂正	ゴマ科 Pedaliaceae ゴマ(胡麻) Sesame, Gingili <i>Sesamum indicum</i> L. (特用作物) 蛇の目病* janome-byo Cercospora leaf spot (蛇の眼病, 蛇眼病, 斑点病, 葉枯病) <i>Cercospora sesami</i> Zimmermann [<i>Cercosporina sesami</i> (Zimmermann) Hara] 園 孝次郎:農事雑報 139:46, 1909(明42)
--	---

マツ科 Pinaceae カラマツ Larch <i>Larix</i> spp. (針葉樹) チョウセンカラマツ(朝鮮落葉松) <i>Larix dahurica</i> var. <i>koreana</i> Nakai オウシュウカラマツ European larch <i>Larix decidua</i> Mill. グイマツ Kurile larch <i>Larix gmelini</i> var. <i>japonica</i> (Maxim.) Pilger カラマツ(落葉松) Japanese larch <i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carriere 先枯病 sakigare-byo Shoot blight (梢枯病, 枝枯病) <i>Neofusicoccum laricinum</i> (Sawada) Y. Hattori & C. Nakashima [<i>Botryosphaeria laricina</i> (Sawada) Y.Z. Shang, <i>Guignardia laricina</i> (Sawada) W. Yamamoto & Kaz. Ito, <i>Physalospora laricina</i> Sawada, 不完全世代: <i>Macrophoma</i> sp.] 伊藤一雄:北方林業 143:43, 1961 ; 澤田兼吉:林試研報 46:111, 1950 ; 魚住 正:林試研報 132:47,	マツ科 Pinaceae カラマツ Larch <i>Larix</i> spp. (針葉樹) チョウセンカラマツ(朝鮮落葉松) <i>Larix dahurica</i> var. <i>koreana</i> Nakai オウシュウカラマツ European larch <i>Larix decidua</i> Mill. グイマツ Kurile larch <i>Larix gmelini</i> var. <i>japonica</i> (Maxim.) Pilger カラマツ(落葉松) Japanese larch <i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carriere 先枯病 sakigare-byo Shoot blight (梢枯病, 枝枯病) <i>Botryosphaeria laricina</i> (Sawada) Y.Z. Shang [<i>Guignardia laricina</i> (Sawada) W. Yamamoto & Kaz. Ito, <i>Physalospora laricina</i> Sawada, 不完全世代: <i>Macrophoma</i> sp.] 伊藤一雄:北方林業 143:43, 1961 ; 澤田兼吉:林試研報 46:111, 1950 ; 魚住 正:林試研報 132:47, 1961 ; 小林享夫:森林防疫 39:80, 1990
--	--

1961 ; 小林享夫:森林防疫 39:80, 1990 ; Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 65(2):47, 2024 [備考] マンシュウカラマツ・ラリシナカラマツ・アメリカセイブカラマツ・ホクシカラマツ・シベリヤカラマツにも発生 (注) 病原学名変更	[備考] マンシュウカラマツ・ラリシナカラマツ・アメリカセイブカラマツ・ホクシカラマツ・シベリヤカラマツにも発生
--	---

オオバコ科 Plantaginaceae オオバコ類 (Plantago) <i>Plantago</i> spp. (野草) オオバコ <i>Plantago asiatica</i> L. ヘラオオバコ <i>Plantago lanceolata</i> L. エダウチオオバコ <i>Plantago psyllium</i> L. モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Plantago asiatica</i> mosaic virus (PLAMV) オオバコモザイクウイルス 高橋修一郎ら:日植病報 69(3):330, 2003 [備考] オオバコに発生 (注) 病原学名修正、病原略号・和名追加	オオバコ科 Plantaginaceae オオバコ類 (Plantago) <i>Plantago</i> spp. (野草) オオバコ <i>Plantago asiatica</i> L. ヘラオオバコ <i>Plantago lanceolata</i> L. エダウチオオバコ <i>Plantago psyllium</i> L. モザイク病 mosaic-byo Mosaic <i>Plantago asiatica</i> mosaic viurs 高橋修一郎ら:日植病報 69(3):330, 2003 [備考] オオバコに発生
--	---

ハナシノブ科 Polemoniaceae フロックス(キキョウナデシコ) Drummond Phlox <i>Phlox drummondii</i> Hook. (草花) オイランソウ(クサキョウチクトウ) Summer perennial phlox <i>Phlox paniculata</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Golovinomyces magnicellulatus</i> (U. Braun) V.P. Heluta var. <i>magnicellulatus</i> [<i>Erysiphe magnicellulata</i>]	ハナシノブ科 Polemoniaceae フロックス(キキョウナデシコ) Drummond Phlox <i>Phlox drummondii</i> Hook. (草花) オイランソウ(クサキョウチクトウ) Summer perennial phlox <i>Phlox paniculata</i> L. うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (1) <i>Golovinomyces magnicellulatus</i> (U. Braun) V.P. Heluta var. <i>magnicellulatus</i> [<i>Erysiphe magnicellulata</i>]
--	--

U. Braun var. <i>magnicellulata</i>, <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle] 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:223, 1917(大6); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973; 高松 進ら:日菌報 19(1):65, 1978; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(4):202, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:36, 2012 [備考] 白井・三宅 (1917), 平田・和田 (1973), 高松 (1978) は寄主植物リスト。接種試験未了 (2) <i>Oidium</i> sp. 野村幸彦:日菌報 17(3-4):338, 1976 [備考] 分生子の発芽管の形状は <i>Sphaerotheca fuliginea</i> 型である。寄主植物リスト。接種試験未了 (3) <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill 野村幸彦:日菌報 15(1):72, 1974 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討が必要。寄主植物リスト。接種試験未了 (注) 文献年訂正、文献号数表記修正	U. Braun var. <i>magnicellulata</i>, <i>Erysiphe cichoracearum</i> de Candolle] 白井光太郎・三宅市郎:日本菌類目録:223, 1917(大6); 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:485, 1973; 高松 進ら:日菌報 19(1):65, 1978; 丹田誠之助:東農大農学集報 41(4):202, 1997; 高松 進:三重大生資紀要 38:36, 2012 [備考] 白井・三宅 (1917), 平田・和田 (1973), 高松 (1978) は寄主植物リスト。接種試験未了 (2) <i>Oidium</i> sp. 野村幸彦:日菌報 17(3, 4):338, 1977 [備考] 分生子の発芽管の形状は <i>Sphaerotheca fuliginea</i> 型である。寄主植物リスト。接種試験未了 (3) <i>Sphaerotheca humuli</i> (de Candolle) Burrill 野村幸彦:日菌報 15(1):72, 1974 [備考] 病原菌の分類学的所属については検討が必要。寄主植物リスト。接種試験未了
--	---

サクラソウ科 Primulaceae プリムラ類(サクラソウ) Primrose <i>Primula</i> spp. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):78, 1955 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7) (2) <i>Plantago asiatica mosaic virus</i> (PIAMV) オオバコモザイクウイルス 高橋修一郎ら:日植病報 69(3):330, 2003	サクラソウ科 Primulaceae プリムラ類(サクラソウ) Primrose <i>Primula</i> spp. (草花) モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 小室康雄・明日山秀文:日植病報 20(2-3):78, 1955 [備考] 汁液接種検定による同定。戻し接種なし。ウイルス (未同定) によるモザイク病の最初の記載は, 福士貞吉:実地園芸 13(4):83, 1932(昭 7) (2) <i>Plantago asiatica mosaic virus</i> (PIAMV) オオバコモザイクウイルス 高橋修一郎ら:日植病報 69(3):330, 2003
---	---

(注) 病原学名修正、病原略号・和名追加	
----------------------	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) †††† <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler 花岡朋絵ら:北日本病虫研報 74:123, 2023 [備考] 果実腐敗症状。黒斑病の病原でもあるが、 病徴が異なる (注) 新宿主	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜)
--	---

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 疫病 eki-byo Crown rot, Collar rot, Phytophthora fruit rot (根頸疫病) (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 瀧元清透:病虫雑 6(8):687, 1919(大8) ; 瀧元清透: 病虫雑 6(9):756, 1919(大8) ; 柳瀬春夫・佐久間 勉:果樹試報C 6:105, 1979 (2) <i>Phytophthora cambivora</i> (Petri) Buisman 鈴井孝仁・星野好博:日植病報 45(1):81, 1979 ; Suzui, T. & Hoshino, Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 45(3):344, 1979 (3) <i>Phytophthora syringae</i> (Klebahn) Klebahn 藤田孝二ら:日植病報 58(1):121, 1992 ; 藤田孝二	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 疫病 eki-byo Crown rot, Collar rot, Phytophthora fruit rot (根頸疫病) (1) <i>Phytophthora cactorum</i> (Lebert & Cohn) J. Schröter 瀧元清透:病虫雑 6(8):687, 1919(大8) ; 瀧元清透: 病虫雑 6(9):756, 1919(大8) ; 柳瀬春夫・佐久間 勉:果樹試報C 6:105, 1979 (2) <i>Phytophthora cambivora</i> (Petri) Buisman 鈴井孝仁・星野好博:日植病報 45(1):81, 1979 ; Suzui, T. & Hoshino, Y.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 45(3):344, 1979 (3) <i>Phytophthora syringae</i> (Klebahn) Klebahn 藤田孝二ら:日植病報 58(1):121, 1992 ; 藤田孝二
--	--

ら:日植病報 60(6):717, 1994 (4) <i>Phytophthora</i> sp. 八木橋素良ら:日植病報 90(1):24, 2024 (注) 病原追加	ら:日植病報 60(6):717, 1994
---	------------------------

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 黒斑病 kokuhan-byo (潰瘍病) <i>Macrophoma curvispora</i> Peck 菅原太吉:果樹 109:28, 1912(明45) ; 農商務省:病虫雑 1(3):328, 1914(大3) [備考] 病原菌の分類学的検討を要する (注) 文献年訂正、文献和暦のカッコを半角に修正	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) 黒斑病 kokuhan-byo (潰瘍病) <i>Macrophoma curvispora</i> Peck 菅原太吉:果樹 109:28, 1912(明45) ; 農商務省:病虫雑 1(3):328, 1014(大3) [備考] 病原菌の分類学的検討を要する
--	--

バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †枝枯病 edagare-byo <i>Stagonospora mali</i> Delacroix 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 中田覺五郎・瀧元清透:勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):116, 1928(昭3) [備考] 朝鮮半島 (注) 文献誌名訂正	バラ科 Rosaceae リンゴ(苹果) Apple <i>Malus pumila</i> Miller var. <i>domestica</i> Schneider (果樹) †枝枯病 edagare-byo <i>Stagonospora mali</i> Delacroix 中田覺五郎:朝鮮農会報 11(9):10, 1916(大5) ; 中田覺五郎・瀧元清透:朝鮮勸業模範場研報 15(朝鮮作物病害目録):116, 1928(昭3) [備考] 朝鮮半島
---	---

バラ科 Rosaceae アンズ(杏) Apricot <i>Prunus armeniaca</i> L. (果樹) 環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot <i>Grovesinia pruni</i> Y. Harada & Noro [不完全世代: <i>Hinomyces pruni</i> (Y. Harada & Noro) Narumi & Y. Harada, <i>Cristulariella</i> sp.] 鷺尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981 ; 野呂俊一 ら:日植病報 48(3):365, 1982 ; Harada, Y. & Noro, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(1):85, 1988 ; Narumi- Saito, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:351, 2006 (注) 病原学名修正	バラ科 Rosaceae アンズ(杏) Apricot <i>Prunus armeniaca</i> L. (果樹) 環紋葉枯病 kammon-hagare-byo Zonate leaf spot <i>Grovesinia pruni</i> Y. Harada & Noro [不完全世代: <i>Hinomyces pruni</i> (Y. Harada & Noro) Narumi-Saito & Y. Harada, <i>Cristulariella</i> sp.] 鷺尾貞夫ら:日植病報 47(1):106, 1981 ; 野呂俊一 ら:日植病報 48(3):365, 1982 ; Harada, Y. & Noro, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 29(1):85, 1988 ; Narumi- Saito, T. <i>et al.</i>:Mycoscience 47:351, 2006
--	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) (1) <i>Rhizobium radiobacter</i> (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium</i> <i>tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 原 攝祐:果樹病害論:345, 1916(大5) ; 澤田宏之 ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014 (2) <i>Rhizobium rhizogenes</i> (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez- Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium</i> <i>tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942,	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 根頭がんしゅ病 konto-ganshu-byo Crown gall (根頭癌腫病) (1) <i>Rhizobium radiobacter</i> (Smith & Townsend 1907) Young, Kuykendall, Martinez-Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942, <i>Bacterium</i> <i>tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 原 攝祐:果樹病害論:345, 1916(大5) ; 澤田宏之 ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014 (2) <i>Rhizobium rhizogenes</i> (Riker, Banfield, Wright, Keitt & Sagen 1930) Young, Kuykendall, Martinez- Romero, Kerr & Sawada 2001 (Ti) [<i>Agrobacterium</i> <i>tumefaciens</i> (Smith & Townsend 1907) Conn 1942,
--	--

<i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 原 攝祐:果樹病害論:345, 1916(大5) ; 澤田宏之 ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014 (注) 文献誌名訂正	<i>Bacterium tumefaciens</i> Smith & Townsend 1907] 原 攝祐:果樹病害篇:345, 1916(大5) ; 澤田宏之 ら:Microbiol. Cult. Coll. 30:13, 2014
--	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 斑紋病 hammon-byo (斑点病) <i>Helminthosporium pruni</i> Berkeley & M.A. Curtis 白井光太郎:日本菌類目録:118, 1905(明38) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:569, 1911(明44) [備考] ソメイヨシノ。病原菌の分類学的所属の 検討を要する (注) 文献順修正	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 斑紋病 hammon-byo (斑点病) <i>Helminthosporium pruni</i> Berkeley & M.A. Curtis 安田 篤:植物学各論隠花部:569, 1911(明44) ; 白井 光太郎:日本菌類目録:118, 1905(明38) [備考] ソメイヨシノ。病原菌の分類学的所属の 検討を要する
--	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) ふくろ実病 fukuromi-byo Fruit pocket (囊 果病, 実腫病, 赤腫病, 膨腫病) (1) <i>Taphrina farlowii</i> Sadebeck 伊藤一雄:樹病学大系 2:8, 1973 ; 西田藤次:宮部記 念植物学襍説:192, 1912(大1) [備考] シウリザクラ(<i>P. ssiori</i>)・ウワミズザクラ (<i>P. grayana</i>) (2) <i>Taphrina pruni</i> (Fuckel) Tulasne [<i>Taphrina</i> <i>insititiae</i> (Sadebeck) Johanson]	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) ふくろ実病 fukuromi-byo Fruit pocket (囊 果病, 実腫病, 赤腫病, 膨腫病) (1) <i>Taphrina farlowii</i> Sadebeck 伊藤一雄:樹病学大系 2:8, 1973 ; 西田藤次:宮部植 物学襍説:192, 1911(明44) [備考] シウリザクラ(<i>P. ssiori</i>)・ウワミズザクラ (<i>P. grayana</i>) (2) <i>Taphrina pruni</i> (Fuckel) Tulasne [<i>Taphrina</i> <i>insititiae</i> (Sadebeck) Johanson]
--	---

伊藤誠哉:日本菌類誌 3(1):214, 1964 ; 西田藤次:宮部記念植物学襍説:194, 1912(大1) [備考] ミヤマザクラ (<i>P. maximowiczii</i>)。西田 (1911) の記載した病原菌が本種であるか疑問 (3) <i>Taphrina truncicola</i> Kusano 伊藤一雄:樹病学大系 2:8, 1973 ; 草野俊助:植物学雑 19(216):1, 1905(明38) ; 西田藤次:宮部記念植物学襍説:193, 1912(大1) [備考] ミヤマザクラ (<i>P. maximowiczii</i>) ・ マメザクラ (<i>P. incisa</i>) ・ コニワザクラ ・ ニワザクラ (<i>P. grandulosa</i> var. <i>albi-plena</i>) (注) 文献年訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	伊藤誠哉:日本菌類誌 3(1):214, 1964 ; 西田藤次:宮部植物学襍説:194, 1911(明44) [備考] ミヤマザクラ (<i>P. maximowiczii</i>)。西田 (1911) の記載した病原菌が本種であるか疑問 (3) <i>Taphrina truncicola</i> Kusano 伊藤一雄:樹病学大系 2:8, 1973 ; 草野俊助:植物学雑 19(216):1, 1905(明38) ; 西田藤次:宮部植物学襍説:193, 1911(明44) [備考] ミヤマザクラ (<i>P. maximowiczii</i>) ・ マメザクラ (<i>P. incisa</i>) ・ コニワザクラ ・ ニワザクラ (<i>P. grandulosa</i> var. <i>albi-plena</i>)
--	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot (1) <i>Trametes hirsuta</i> (Wulfen) Pilát [<i>Coriolus hirsutus</i> (Wulfen) Quélet] アラゲカワラタケ 北島君三:樹病学及木材腐朽論:460, 1933(昭8) ; 亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:745, 1987 [備考] シウリザクラにも発生。病原菌の異名はハンノキ類幹辺材腐朽病参照 (2) <i>Daedaleopsis tricolor</i> (Bulliard) Bondartsev & Singer [<i>Lenzites tricolor</i> (Bulliard) Fries] チャカイガラタケ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:30, 1952 ; 朝比奈泰彦ら:日本隠花植物図鑑:479, 1939(昭14) [備考] ソメイヨシノ・エゾヤマザクラ	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 幹辺材腐朽病* miki-henzai-fukyu-byo Stem sap rot (1) <i>Trametes hirsuta</i> (Wulfen) Pilát [<i>Coriolus hirsutus</i> (Wulfen) Quélet] アラゲカワラタケ 北島君三:樹病学及木材腐朽論:460, 1933(昭8) ; 亀井専次・五十嵐恒夫:日林北支講 8:53, 1959 ; Gilbertson, R. L. & Ryvarden, L.:North American Polypores Vol.2:745, 1987 [備考] シウリザクラにも発生。病原菌の異名はハンノキ類幹辺材腐朽病参照 (2) <i>Daedaleopsis tricolor</i> (Bulliard) Bondartsev & Singer [<i>Lenzites tricolor</i> (Bulliard) Fries] チャカイガラタケ 千葉 修・寺本敏雄:東大農演報 43:30, 1952 ; 朝比奈泰彦:日本隠花植物図鑑:479, 1939(昭 14) [備考] ソメイヨシノ・エゾヤマザクラ
--	--

(注) 文献著者修正、文献和暦のスペース削除	
------------------------	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 幼果菌核病 yoka-kinkaku-byo (嫩果菌核病, 木乃伊(ミイラ)病, 菌核病, 花腐病) (1) <i>Monilinia kusanoi</i> (Hennings ex Takahashi) Yamamoto [<i>Sclerotinia kusanoi</i> Hennings ex Takahashi, <i>Monilia kusanoi</i> Hennings] 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):154, 1904(明37) ; 高橋良直:宮部記念植物学襍説:142, 1912(大1) (2) <i>Monilinia ssiori</i> Y. Harada, M. Sasaki & T. Sano 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 53(3):378, 1987 ; 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 56(1):112, 1990 ; Harada, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:376, 2005 [備考] シウリザクラ (<i>P. ssiori</i> Fr. Schm.) に発生 (注) 文献年訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 幼果菌核病 yoka-kinkaku-byo (嫩果菌核病, 木乃伊(ミイラ)病, 菌核病, 花腐病) (1) <i>Monilinia kusanoi</i> (Hennings ex Takahashi) Yamamoto [<i>Sclerotinia kusanoi</i> Hennings ex Takahashi, <i>Monilia kusanoi</i> Hennings] 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959 ; 松村任三:帝国植物名鑑(上):154, 1904(明37) ; 高橋良直:宮部植物学襍説:142, 1911(明44) (2) <i>Monilinia ssiori</i> Y. Harada, M. Sasaki & T. Sano 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 53(3):378, 1987 ; 原田幸雄・佐々木将人:日植病報 56(1):112, 1990 ; Harada, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 46:376, 2005 [備考] シウリザクラ (<i>P. ssiori</i> Fr. Schm.) に発生
--	---

バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 幼果菌核病 yoka-kinkaku-byo Young-fruit rot	バラ科 Rosaceae オウトウ(桜桃) Cherries <i>Prunus</i> spp. (果樹) スイートチェリー(サクランボ, カンカオウトウ)(甘果桜桃) Sweet cherry <i>Prunus avium</i> L. サワーチェリー(サンカオウトウ)(酸果桜桃) Sour cherry <i>Prunus cerasus</i> L. 幼果菌核病 yoka-kinkaku-byo Young-fruit rot
--	--

(嫩果菌核病, 菌核病, モニリア病, 花腐病) <i>Monilinia kusanoi</i> (Hennings ex Takahashi) Yamamoto [<i>Sclerotinia kusanoi</i> Hennings ex Takahashi] 高橋良直:宮部記念植物学襍説:135, 1912(大1) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959 ; 原田幸雄:弘大農報 27:34, 1977 (注) 文献年訂正、文献誌名修正(他と合わせた)	(嫩果菌核病, 菌核病, モニリア病, 花腐病) <i>Monilinia kusanoi</i> (Hennings ex Takahashi) Yamamoto [<i>Sclerotinia kusanoi</i> Hennings ex Takahashi] 高橋良直:宮部博士記念論文集:135, 1911(明44) ; 山本和太郎:日菌報 2(2):3, 1959 ; 原田幸雄:弘大農報 27:34, 1977
---	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† Pear chlorotic leaf spot-associated virus# (PCLSaV) ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス [Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV)] 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 竹山さわな ら:日植病報 87(1):7, 2021 ; Kubota <i>et al.</i>:Plant Dis. 105(4):1234, 2021 ; 竹山さわな ら:日植病報 88(1):1, 2022 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT-PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田ら(2020)は, JPCSaVと名付けた。その後, 竹山ら(2021)は, 本ウイルスがPCLSaVと同種であることを報告した。神山ら(2020)は, 果梗の裂	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi †††† Pear chlorotic leaf spot-associated virus# (PCLSaV) ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス [Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV)] 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 竹山さわな ら:日植病報 87(1):7, 2021 ; 竹山さわな ら:日植病報 88(1):1, 2022 ; Kubota <i>et al.</i>:Plant Dis. 105(4):1234, 2021 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT-PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田ら(2020)は, JPCSaVと名付けた。その後, 竹山ら(2021)は, 本ウイルスがPCLSaVと同種であることを報告した。神山ら(2020)は, 果梗の裂
---	---

傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆した。戻し接種なし (注) 文献順修正	傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆した。戻し接種なし
--	---------------------------------------

バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (野草, 広葉樹) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. 黒星病 kurohoshi-byo Black spot (黒点病, 黒斑病, 斑点病) <i>Diplocarpon rosae</i> F.A. Wolf [<i>Actinonema rosae</i> Fries, <i>Marssonina rosae</i> (Trail) Sawada] 白井光太郎:日本菌類目録:1, 1905(明38); 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):209, 1917(大6); 原 攝祐:実用作物病理学:581, 1925(大14) (注) 文献順修正	バラ科 Rosaceae バラ(薔薇)類 Rose <i>Rosa</i> spp. (野草, 広葉樹) ヤマハマナス <i>Rosa davurica</i> Pallas ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunb. 黒星病 kurohoshi-byo Black spot (黒点病, 黒斑病, 斑点病) <i>Diplocarpon rosae</i> F.A. Wolf [<i>Actinonema rosae</i> Fries, <i>Marssonina rosae</i> (Trail) Sawada] 原 攝祐:実用作物病理学:581, 1925(大14); 白井光太郎:日本菌類目録:1, 1905(明38); 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):209, 1917(大6)
--	---

バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など	バラ科 Rosaceae キイチゴ(木苺)類 Brambles <i>Rubus</i> spp. (果樹) ラズベリー Raspberries <i>Rubus idaeus</i> L., <i>Rubus occidentalis</i> L. など ブラックベリー Blackberries <i>Rubus allegheniensis</i> Porter など デューベリー Dewberry <i>Rubus procumbens</i> Muhlenberg など
---	---

斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Pseudocercospora rubi</i> (Saccardo) Deighton [<i>Cercospora rubi</i> Saccardo] 福井武治:病虫雑 5(10):808, 1918(大7) ; 原 攝祐: 実用作物病理学:410, 1925(大14) (注) 文献ページの前のカンマをコロンに修正	斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Pseudocercospora rubi</i> (Saccardo) Deighton [<i>Cercospora rubi</i> Saccardo] 福井武治:病虫雑 5(10), 808, 1918(大7) ; 原 攝祐: 実用作物病理学:410, 1925(大14)
---	--

アカネ科 Rubiaceae カトアンバンカル Kaatoan bangkal <i>Anthocephalus chinensis</i> (Lam.) A. Rich. ex Walp. (広葉樹) †††† †<i>Helicotylenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 小林享夫ら:熱研集報 43:195, 1982 [備考] フィリピン (注) 文献著者修正	アカネ科 Rubiaceae カトアンバンカル Kaatoan bangkal <i>Anthocephalus chinensis</i> (Lam.) A. Rich. ex Walp. (広葉樹) †††† †<i>Helicotylenchus</i> sp. ラセンセンチュウの1種 小林享夫:熱研集報 43:195, 1982 [備考] フィリピン
--	---

ミカン科 Rutaceae サンショウ(山椒) Japanese pepper <i>Zanthoxylum piperitum</i> (Linn.) DC. (広葉樹) カラスザンショウ(烏山椒) <i>Zanthoxylum</i> <i>ailanthoides</i> Sieb. & Zucc. フユザンショウ(冬山椒) <i>Zanthoxylum armatum</i> DC. var. <i>subtrifoliatum</i> (Franch.) Kitamura イヌザンショウ(犬山椒) <i>Zanthoxylum</i> <i>schinifolium</i> Sieb. & Zucc. さび病 sabi-byo (腫錆病, 錆病) (1) <i>Aecidium zanthoxyli-schinifolii</i> Dietel 白井光太郎:日本菌類目録:7, 1905(明38) ; 安田	ミカン科 Rutaceae サンショウ(山椒) Japanese pepper <i>Zanthoxylum piperitum</i> (Linn.) DC. (広葉樹) カラスザンショウ(烏山椒) <i>Zanthoxylum</i> <i>ailanthoides</i> Sieb. & Zucc. フユザンショウ(冬山椒) <i>Zanthoxylum armatum</i> DC. var. <i>subtrifoliatum</i> (Franch.) Kitamura イヌザンショウ(犬山椒) <i>Zanthoxylum</i> <i>schinifolium</i> Sieb. & Zucc. さび病 sabi-byo (腫錆病, 錆病) (1) <i>Aecidium zanthoxyli-schinifolii</i> Dietel 安田 篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) ; 白井
--	---

篤:植物学各論隠花部:452, 1911(明44) [備考] ヒレザンショウにも発生 (2) <i>Coleosporium zanthoxyli</i> Dietel & P. Sydow [<i>Uredo asperata</i> Berkeley & M.A. Curtis] 西田藤次:植物学雑誌 16(190):271, 1902(明35); 藤黒與三郎:台湾博物学会報 4(19):9, 1914(大3); 陳野好之:日林誌 57(11):369, 1975 [備考] ヒレザンショウ・ヤマアサクラザンショウ (<i>Z. piperitum</i> f. <i>brevispinosum</i>) ・トゲザンショウ・コカラスザンショウ (<i>Z. fauriei</i>) ・アコウザンショウ・シマイヌザンショウ・テリハザンショウにも発生 (3) <i>Uredo fagarae</i> Sydow & P. Sydow 藤黒與三郎・澤田兼吉:台湾博物学会報 4(18):236, 1914(大3); 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):392, 1919(大8); Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:15, 1955 [備考] テリハザンショウ (注) 文献順修正	光太郎:日本菌類目録:7, 1905(明38) [備考] ヒレザンショウにも発生 (2) <i>Coleosporium zanthoxyli</i> Dietel & P. Sydow [<i>Uredo asperata</i> Berkeley & M.A. Curtis] 藤黒與三郎:台湾博物学会報 4(19):9, 1914(大3); 西田藤次:植物学雑誌 16(190):271, 1902(明35); 陳野好之:日林誌 57(11):369, 1975 [備考] ヒレザンショウ・ヤマアサクラザンショウ (<i>Z. piperitum</i> f. <i>brevispinosum</i>) ・トゲザンショウ・コカラスザンショウ (<i>Z. fauriei</i>) ・アコウザンショウ・シマイヌザンショウ・テリハザンショウにも発生 (3) <i>Uredo fagarae</i> Sydow & P. Sydow 澤田兼吉:台湾農試特報 19(台湾産菌類調査報告 1):392, 1919(大8); 藤黒與三郎・澤田兼吉:台湾博物学会報 4(18):236, 1914(大3); Hiratsuka, N. & Shimabukuro, S.:Sci. Bull. Fac. Agr., Univ. Ryukyus 2:15, 1955 [備考] テリハザンショウ
---	--

ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラントツ(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Mycosphaerella grossulariae</i> (Auerswald) Lindau [<i>Mycosphaerella ribis</i> (Fuckel) Feltgen, <i>Septoria ribis</i> Desmazières] 村田壽太郎:病虫雑誌 14(8):439, 1927(昭2)	ユキノシタ科 Saxifragaceae スグリ(須具利)類 (Ribes) <i>Ribes</i> spp. (果樹) グーズベリー(スグリ) Gooseberries <i>Ribes grossularia</i> L., <i>Ribes hirtellum</i> Michaux など カラントツ(フサスグリ) Currants <i>Ribes nigrum</i> L., <i>Ribes rubrum</i> L., <i>Ribes vulgare</i> Lamarck など 斑点病 hanten-byo Leaf spot <i>Mycosphaerella grossulariae</i> (Auerswald) Lindau [<i>Mycosphaerella ribis</i> (Fuckel) Feltgen, <i>Septoria ribis</i> Desmazières] 村田壽太郎:病虫雑誌 14(7):439, 1927(昭2)
--	--

(注) 文献号数訂正

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Amazon lily mild mottle virus</i> (ALiMMV) アマゾンユリ微斑ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス2 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 (3) <i>Citrus leaf blotch virus</i> (CLBV) カンキツ斑点ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (4) <i>Cnidium vein yellowing virus</i># (CVYV) センキュウ葉脈黄化ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (5) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出 (6) <i>Plantago asiatica mosaic virus</i> (PlAMV) オオ	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae ジオウ(地黄) Rehmannia plant <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. (特用作物) アカヤジオウ Sticky rehmannia <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>purpurea</i> Makino カイケイジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> (Gaertn.) Libos. var. <i>hueichingensis</i> Chao & Schih モザイク病 mosaic-byo Mosaic (1) <i>Amazon lily mild mottle virus</i> (ALiMMV) アマゾンユリ微斑ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (2) <i>Broad bean wilt virus 2</i> (BBWV-2) ソラマメウィルトウイルス2 [Broad bean wilt virus#] 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 (3) <i>Citrus leaf blotch virus</i> (CLBV) カンキツ斑点ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (4) <i>Cnidium vein yellowing virus</i># (CVYV) センキュウ葉脈黄化ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出。塩基配列解析による同定。戻し接種なし (5) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] カイケイジオウからのみ検出 (6) <i>Plantago asiatica mosaic virus</i> (PlAMV) オオ
--	--

バコモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出 (7) <i>Youcai mosaic virus</i> (YoMV) アブラナモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出 (注) 病原(2)病原学名異名削除	バコモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出 (7) <i>Youcai mosaic virus</i> (YoMV) アブラナモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):151, 2018 [備考] アカヤジオウからのみ検出
---	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Yellow dwarf (1) <i>Eupatorium yellow vein virus</i> (EpYVV) ヒヨドリバナ黄化モザイクウイルス 大貫正俊・上田重文:日植病報 75(1):42, 2009 (2) <i>Honeysuckle yellow vein virus</i> (HYVV) スイカズラ葉脈黄化ウイルス [Honeysuckle yellow vein mosaic virus#, Tobacco leaf curl Japan virus#, Tobacco leaf curl virus#] 尾崎武司ら:日植病報 42(1):82, 1976 ; 尾崎武司ら:植物防疫 30(11):458, 1976 ; 尾崎武司・井上忠男:日植病報 44(2):167, 1978 ; Osaki, T. & Inouye, T.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses 232, 1981 ; Shimizu, S. & Ikegami, M.:Microbiol. Immunol. 43:989, 1999 ; Fauquet, C. M. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 148:405, 2003 ; Ogawa, T. <i>et al.</i>:Virus Res. 137:235, 2008 ; Kitamura, K. <i>et al.</i>:Plant Pathol. 57:391, 2008 (3) Tomato curly top virus# (ToCTV) トマトカーリートップウイルス 久保田健嗣ら:日植病報 77(3):189, 2011 ; Kubota, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(2):100, 2023 ; 久保	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化萎縮病 oka-ishuku-byo Yellow dwarf (1) <i>Eupatorium yellow vein virus</i> (EpYVV) ヒヨドリバナ黄化モザイクウイルス 大貫正俊・上田重文:日植病報 75(1):42, 2009 (2) <i>Honeysuckle yellow vein virus</i> (HYVV) スイカズラ葉脈黄化ウイルス [Honeysuckle yellow vein mosaic virus#, Tobacco leaf curl Japan virus#, Tobacco leaf curl virus#] 尾崎武司ら:日植病報 42(1):82, 1976 ; 尾崎武司ら:植物防疫 30(11):458, 1976 ; 尾崎武司・井上忠男:日植病報 44(2):167, 1978 ; Osaki, T. & Inouye, T.:CMI/AAB Descriptions of Plant Viruses 232, 1981 ; Shimizu, S. & Ikegami, M.:Microbiol. Immunol. 43:989, 1999 ; Fauquet, C. M. <i>et al.</i>:Arch. Virol. 148:405, 2003 ; Ogawa, T. <i>et al.</i>:Virus Res. 137:235, 2008 ; Kitamura, K. <i>et al.</i>:Plant Pathol. 57:391, 2008 (3) Tomato curly top virus# (ToCTV) トマトカーリートップウイルス 久保田健嗣ら:日植病報 77(3):189, 2011 ; Kubota, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(2):100, 2023
---	--

田健嗣:植物防疫 78(2):102, 2024 (4) <i>Tomato yellow leaf curl virus</i> (TYLCV) トマト黄化葉巻ウイルス 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 [備考] RT-PCRによる検出。Kato <i>et al.</i>(1998)は病名として黄化葉巻病を提案 (注) 文献追加	(4) <i>Tomato yellow leaf curl virus</i> (TYLCV) トマト黄化葉巻ウイルス 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 [備考] RT-PCRによる検出。Kato <i>et al.</i>(1998)は病名として黄化葉巻病を提案
---	---

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) †††† <i>Tobacco necrosis virus A</i> (TNVA) タバコえそAウイルス[Tobacco necrosis virus#] 深谷雅博ら:日植病報 53(3):421, 1987 ; 一木(植原)珠樹ら:日微資学誌 32(1):39, 2016 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。水耕栽培の萎ちょう症状株から検出されたが、萎ちょうとの関係については検討を要する (注) 病原学名変更	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) †††† Tobacco necrosis virus# 深谷雅博ら:日植病報 53(3):421, 1987 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。水耕栽培の萎ちょう症状株から検出されたが、萎ちょうとの関係については検討を要する
---	---

ナス科 Solanaceae ペチュニア(ツクバネアサガオ) Petunia <i>Petunia</i> × <i>hybrida</i> Vilm. (草花) こうがいび病 kogai-kabi-byo Choanephora blight <i>Choanephora cucurbitarum</i> (Berkeley & Ravenel)	ナス科 Solanaceae ペチュニア(ツクバネアサガオ) Petunia <i>Petunia</i> × <i>hybrida</i> Vilm. (草花) こうがいび病 kogai-kabi-byo Choanephora blight <i>Choanephora cucurbitarum</i> (Berkeley & Ravenel)
--	--

Thaxter 竹内 純・堀江博道:日植病報 62(6):607, 1996 ; 竹内 純・堀江博道:日植病報 66(2):72, 2000 (注) 文献号数訂正	Thaxter 竹内 純・堀江博道:日植病報 62(2):607, 1996 ; 竹内 純・堀江博道:日植病報 66(2):72, 2000
--	--

ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 黒枯病 kurogare-byo Black blight <i>Corynespora cassiicola</i> (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei [<i>Corynespora melongenae</i> Takimoto, <i>Helminthosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 25(4):281, 1938(昭13) ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:155, 1939(昭14) ; 瀧元清透:最新改訂作物病害図編 185, 1957 ; 下元祥史ら:日植病報 77(2):105, 2011 [備考] 本病菌により果実の水ほう症 (Pimples) が生じる。瀧元(1957)は本病菌を<i>C. melongenae</i> として報告したが, 下元ら(2011)は<i>C. cassiicola</i> と再同定した (注) 文献和暦挿入	ナス科 Solanaceae ナス(茄) Eggplant <i>Solanum melongena</i> L. (野菜) 黒枯病 kurogare-byo Black blight <i>Corynespora cassiicola</i> (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei [<i>Corynespora melongenae</i> Takimoto, <i>Helminthosporium</i> sp.] 瀧元清透:病虫雑 25(4):281, 1938 ; 瀧元清透:花卉及温室作物の病害:155, 1939(昭14) ; 瀧元清透:最新改訂作物病害図編 185, 1957 ; 下元祥史ら:日植病報 77(2):105, 2011 [備考] 本病菌により果実の水ほう症 (Pimples) が生じる。瀧元(1957)は本病菌を<i>C. melongenae</i> として報告したが, 下元ら(2011)は<i>C. cassiicola</i> と再同定した
--	---

アオギリ科 Sterculiaceae カカオ Cacao <i>Theobroma cacao</i> L. (特用作物) † <i>Colletotrichum</i> sp. (the <i>Colletotrichum gigasporum</i> species complex)	アオギリ科 Sterculiaceae カカオ Cacao <i>Theobroma cacao</i> L. (特用作物)
--	---

高田美輝ら:日植病報 90(1):29, 2024 [備考] 果実腐敗。フィリピン (注) 新宿主	
---	--

エゴノキ科 Styracaceae ハクウンボク(白雲木) Fragrant snowball <i>Styrax obassia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) セプトチス葉枯病 <i>Septotis-hagare-byo</i> Septotis leaf blight <i>Septotinia</i> sp. [<i>Septotis</i> sp.] 原田幸雄ら:日植病報 75(1):57, 2009 ; 吉岡龍一 ら:日植病報 90(1):25, 2024 [備考] <i>Septotinia</i> sp. の未記載種 (注) 病原学名変更、備考追加	エゴノキ科 Styracaceae ハクウンボク(白雲木) Fragrant snowball <i>Styrax obassia</i> Sieb. & Zucc. (広葉樹) セプトチス葉枯病 <i>Septotis-hagare-byo</i> Septotis leaf blight <i>Septotis</i> sp. 原田幸雄ら:日植病報 75(1):57, 2009
---	--

ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (1) <i>Asterina camelliae</i> Sydow, P. Sydow & E.J. Butler [<i>Asterina theae</i> W. Yamamoto, <i>Asterina cincta</i> sensu Tanaka non Berkeley] 白井光太郎:日本菌類目録:11, 1905(明38) ; 安田 篤:植物学各論隠花部:372, 1911 (明44) ; Katamoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:73, 1975 (2) <i>Hypocapnodium camelliae</i> (Hara) W. Yamamoto non Sawada [<i>Aithaloderma camelliae</i> Hara]	ツバキ科 Theaceae ツバキ(ヤブツバキ)(椿, 山茶) Camellia <i>Camellia japonica</i> L. (広葉樹) すす病 susu-byo Sooty mold, Black mildew (1) <i>Asterina camelliae</i> Sydow, P. Sydow & E.J. Butler [<i>Asterina theae</i> W. Yamamoto, <i>Asterina cincta</i> sensu Tanaka non Berkeley] 安田 篤:植物学各論隠花部:372, 1911 (明44) ; 白 井光太郎:日本菌類目録:11, 1905(明38) ; Katamoto, K.:Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 26:73, 1975 (2) <i>Hypocapnodium camelliae</i> (Hara) W. Yamamoto non Sawada [<i>Aithaloderma camelliae</i> Hara]
--	---

白井光太郎:植物病理学(下):176, 1894(明27) ; 原 攝祐:菌類 1(2):19, 1931(昭6) ; 山本和太郎:兵庫農 大研報農生編 4(1):18, 1959 (注) 文献順修正	白井光太郎:植物病理学(下):176, 1894(明27) ; 原 攝祐:菌類 1(2):19, 1931(昭6) ; 山本和太郎:兵庫農 大研報農生編 4(1):18, 1959
--	---

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 褐色円星病 kasshoku-maruhoshi-byo Brown round spot (円赤星病, 緑斑病) (1) <i>Pseudocercospora ocellata</i> (Deighton) Deighton [<i>Puccinia theae</i> (Cavara) Deighton, <i>Cercospora theae</i> (Cavara) Breda de Haan, <i>Cercospora theaecola</i> Hara, <i>Cercosporina theae</i> (Breda de Haan) Hara, <i>Cercoseptoria theae</i> (Cavara) Curzi] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):17, 1913(大2) ; 広 川 敢:茶試研報 7:95, 1971 ; 福田徳治:茶技研 54:44, 1978 (2) <i>Cercospora chaae</i> Hara ex Yamamoto & Maeda [<i>Cercospora chaae</i> Hara] 原 攝祐:茶樹の病害:35, 1956 ; 山本和太郎・前田 巳之助:兵庫農大研報 4(2):49, 1960 [備考] 原 攝祐 (茶樹の病害:36, 1956) は褐色円 星病に <i>Cercospora theaecola</i> Hara を充て, 円赤星 病に <i>C. theae</i> Hara を充てている (注) 文献誌名修正(茶業試験場研究報告と茶業研 究報告を区別したい)	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 褐色円星病 kasshoku-maruhoshi-byo Brown round spot (円赤星病, 緑斑病) (1) <i>Pseudocercospora ocellata</i> (Deighton) Deighton [<i>Puccinia theae</i> (Cavara) Deighton, <i>Cercospora theae</i> (Cavara) Breda de Haan, <i>Cercospora theaecola</i> Hara, <i>Cercosporina theae</i> (Breda de Haan) Hara, <i>Cercoseptoria theae</i> (Cavara) Curzi] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):17, 1913(大2) ; 広 川 敢:茶研報 7:95, 1971 ; 福田徳治:茶技研 54:44, 1978 (2) <i>Cercospora chaae</i> Hara ex Yamamoto & Maeda [<i>Cercospora chaae</i> Hara] 原 攝祐:茶樹の病害:35, 1956 ; 山本和太郎・前田 巳之助:兵庫農大研報 4(2):49, 1960 [備考] 原 攝祐 (茶樹の病害:36, 1956) は褐色円 星病に <i>Cercospora theaecola</i> Hara を充て, 円赤星 病に <i>C. theae</i> Hara を充てている
--	---

ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae ガンピ(雁皮, 雁鼻) Paper bush (Ganpi)	ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae ガンピ(雁皮, 雁鼻) Paper bush (Ganpi)
---	---

<i>Wikstroemia sikokiana</i> Franch. & Savat. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Melampsora yoshinagai</i> Hennings [<i>Melampsora wikstroemiae</i> Hennings] 白井光太郎:日本菌類目録:52, 1905(明38) ; 安田篤:植物学各論隠花部:425, 1911(明44) [備考] キガンピ (<i>W. trichotoma</i>)・ミヤマガンピ (<i>W. albiflora</i>)・シマサクラガンピ (<i>W. yakusimensis</i>)・イヌガンピ・インドガンピ・オオシマガンピにも発生 (注) 文献順修正	<i>Wikstroemia sikokiana</i> Franch. & Savat. (広葉樹) さび病 sabi-byo Rust (銹病) <i>Melampsora yoshinagai</i> Hennings [<i>Melampsora wikstroemiae</i> Hennings] 安田 篤:植物学各論隠花部:425, 1911(明44) ; 白井光太郎:日本菌類目録:52, 1905(明38) [備考] キガンピ (<i>W. trichotoma</i>)・ミヤマガンピ (<i>W. albiflora</i>)・シマサクラガンピ (<i>W. yakusimensis</i>)・イヌガンピ・インドガンピ・オオシマガンピにも発生
--	--

シナノキ科 Tiliaceae シナノキ(椴) Japanese linden <i>Tilia japonica</i> (Miq.) Simonkai (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Erysiphe oleosa</i> (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>oleosa</i> [<i>Uncinula clintonii</i> Peck, <i>Uncinula miyabei</i> (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow, <i>Uncinula oleosa</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>oleosa</i>] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19 (台湾産菌類調査報告 1):175, 1919(大8) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):344, 1937(昭12) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):365, 1937(昭12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:18, 1973 ; 平田幸治・和田久美子:菌蕈研報 10:493, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:93, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012	シナノキ科 Tiliaceae シナノキ(椴) Japanese linden <i>Tilia japonica</i> (Miq.) Simonkai (広葉樹) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (白渋病) <i>Erysiphe oleosa</i> (R.Y. Zheng & G.Q. Chen) U. Braun & S. Takamatsu var. <i>oleosa</i> [<i>Uncinula clintonii</i> Peck, <i>Uncinula miyabei</i> (E.S. Salmon) Saccardo & P. Sydow, <i>Uncinula oleosa</i> R.Y. Zheng & G.Q. Chen var. <i>oleosa</i>] 澤田兼吉:台湾農試特別報 19 (台湾産菌類調査報告 1):175, 1919(大8) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):344, 1937(昭12) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):365, 1937(昭12) ; 伊藤一雄:樹病学大系 2:18, 1973 ; 和田久美子:菌蕈研報 10:493, 1973 ; 野村幸彦:日本産ウドンコ菌科の分類学的研究:93, 1997 ; 高松 進:三重大生資紀要 38:68, 2012
---	--

(注) 文献著者修正	
------------	--

クマツヅラ科 Verbenaceae バーベナ(ビジョザクラ) Verbena <i>Verbena</i> × <i>hybrida</i> Voss (草花) ヒメビジョザクラ (Verbena) <i>Verbena tenera</i> Spreng. シュツコンバーベナ <i>Verbena rigida</i> Spreng. 褐斑病 kappan-byo Leaf spot <i>Corynespora cassicola</i> (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei 近藤亜美・永島 進:日植病報 89(3):151, 2023 (注) 病名英名修正	クマツヅラ科 Verbenaceae バーベナ(ビジョザクラ) Verbena <i>Verbena</i> × <i>hybrida</i> Voss (草花) ヒメビジョザクラ (Verbena) <i>Verbena tenera</i> Spreng. シュツコンバーベナ <i>Verbena rigida</i> Spreng. 褐斑病 kappan-byo leaf spot <i>Corynespora cassicola</i> (Berkeley & M.A. Curtis) C.T. Wei 近藤亜美・永島 進:日植病報 89(3):151, 2023
---	---

ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† (1) <i>Grapevine fabavirus</i> (GfabV) ブドウファバウ イルス (2) <i>Grapevine geminivirus A#</i> (GGVA) ブドウジ ェミニウイルスA (3) <i>Grapevine yellow speckle viroid 1</i> (GYSVd-1) ブドウ黄色斑点ウイロイド1 (4) <i>Hop stunt viroid</i> (HSVd) ホップ矮化ウイロ	ブドウ科 Vitaceae ブドウ(葡萄) Grapes <i>Vitis</i> spp. (果樹) アメリカブドウ Fox grape <i>Vitis labrusca</i> L. ヨーロッパブドウ European grape, Wine grape <i>Vitis vinifera</i> L. †††† (1) <i>Grapevine fabavirus</i> (GfabV) ブドウファバウ イルス (2) <i>Grapevine geminivirus A#</i> (GGVA) ブドウジ ェミニウイルスA (3) <i>Grapevine yellow speckle viroid 1</i> (GYSVd-1) ブドウ黄色斑点ウイロイド1 (4) <i>Hop stunt viroid</i> (HpSVd) ホップ矮化ウイロ
---	--

イド Chiaki, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):34, 2020 ; 伊藤隆男ら:日植病報 86(3):217, 2020 [備考] シャインマスカットに発生。RT-PCRによる検出。台木からの病原(1)～(4)の感染により、矮化および葉の奇形の症状を引き起こす (注) 病原(4)略号修正	イド Chiaki, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):34, 2020 ; 伊藤隆男ら:日植病報 86(3):217, 2020 [備考] シャインマスカットに発生。RT-PCRによる検出。台木からの病原(1)～(4)の感染により、矮化および葉の奇形の症状を引き起こす
---	--

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2024年8月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名, 病原追加, 病名・学名変更, 文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤 衛

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 堀江博道・小林享夫:日植病報 48(3):368, 1982 ; 堀江博道・小林享夫:森林防疫 32:11, 1983 [備考] ノルウェーカエデ (<i>A. platanoides</i>)・セイヨウカジカエデ (<i>A. pseudoplatanus</i>)に発生。南部信方 (病虫雑 2(5):481, 1915)の記録したカエデ炭疽病菌<i>Gloeosporium apocryptum</i> Ellis & Everhart は Von Arx (1970) により <i>Kabatiella apocrypta</i> (Ellis & Everhart) Arx に, さらに <i>Hermanides-Nijhof</i> (1977) により <i>Aureobasidium apocryptum</i> (Ellis & Everhart) Hermanides に移され, 炭疽病菌からは除外される。病原菌の完全世代<i>Glomerella cingulate</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenkはカエデでは未記録 (2) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 市之瀬玲美ら:関東病虫研報 63:123, 2016 [備考] ノルウェーカエデに発生 (3) <i>Colletotrichum</i> sp. 山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):178, 1960 [備考] ウリハダカエデに発生	カエデ科 Aceraceae カエデ(モミジ)類(楓, 槭樹) Maples <i>Acer</i> spp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 堀江博道・小林享夫:日植病報 48(3):368, 1982 ; 堀江博道・小林享夫:森林防疫 32:11, 1983 [備考] ノルウェーカエデ (<i>A. platanoides</i>)・セイヨウカジカエデ (<i>A. pseudoplatanus</i>)に発生。南部信方 (病虫雑 2(5):481, 1915)の記録したカエデ炭疽病菌<i>Gloeosporium apocryptum</i> Ellis & Everhart は Von Arx (1970) により <i>Kabatiella apocrypta</i> (Ellis & Everhart) Arx に, さらに <i>Heimanides-Nijhof</i> (1977) により <i>Aureobasidium apocryptum</i> (Ellis & Everhart) Hermanides に移され, 炭疽病菌からは除外される。病原菌の完全世代<i>Glomerella cingulate</i> (Stoneman) Spaulding & Schrenkはカエデでは未記録 (2) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 市之瀬玲美ら:関東病虫研報 63:123, 2016 [備考] ノルウェーカエデに発生 (3) <i>Colletotrichum</i> sp. 山本昌木・安盛 博:島根農大研報 8(A):178, 1960 [備考] ウリハダカエデに発生
--	--

(注) (1)備考中の著者名訂正	
------------------	--

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 前川和正・相野公孝:日植病報 65(3):409, 1999 ; 前川和正ら:関西病虫研報 46:43, 2004 ; 栢森美如 ら:日植病報 86(1):31, 2020 [備考] 前川・相野(1999)および前川ら(2004)は, 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA, 栢森ら(2020)は, AG-1 IB, AG-1 IC を報告した (注) 備考訂正	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae トウキ(ニホントウキ, 当帰) (Angelica) <i>Angelica acutiloba</i> (Sieb. & Zucc.) Kitagawa [<i>Ligusticum acutiloba</i> Sieb. & Zucc.] (特用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 前川和正・相野公孝:日植病報 65(3):409, 1999 ; 前川和正ら:関西病虫研報 46:43, 2004 ; 栢森美如 ら:日植病報 86(1):31, 2020 [備考] 前川・相野(1999)および前川ら(2004)は, 菌糸融合群 AG-4 培養型 IIIA, 栢森ら(2020)は, AG-1 IB, AG-1 IC を報告した
---	---

セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) しみ腐病 shimigusare-byo Brown blotted root rot (1) <i>Globisporangium violae</i> (Chesters & Hickman) Uzuhashi, Tojo & Kakishima 桂 恵輔・東條元昭:日植病報 90(3):177, 2024 (2) <i>Pythium sulcatum</i> R.G. Pratt & J.E. Mitchell 長井雄治ら:日植病報 50(3):393, 1984 ; 渡辺恒雄 ら:日植病報 52(2):287, 1986 [備考] Suffert, F. & J.-M. Lucas (J. Gen. Plant Pathol.	セリ科 Apiaceae, Umbelliferae ニンジン(人参, 胡蘿蔔) Carrot <i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>sativus</i> (Hoffm.) Arcang. (野菜) しみ腐病 shimigusare-byo Brown blotted root rot <i>Pythium sulcatum</i> R.G. Pratt & J.E. Mitchell 長井雄治ら:日植病報 50(3):393, 1984 ; 渡辺恒雄 ら:日植病報 52(2):287, 1986 [備考] Suffert, F. & J.-M. Lucas (J. Gen. Plant Pathol. 74(4):296, 2008) はフランスで<i>Pythium violae</i> Chesters & Hickmanによるしみ腐病を紹介した
---	--

74(4):296, 2008) はフランスで <i>Pythium violae</i> Chesters & Hickmanによるしみ腐病を紹介した (注) 病原追加	
---	--

ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (1) <i>Pectobacterium araliae</i> Sawada, Someya, Morohoshi, Ono & Satou 2024 小野光明ら:日植病報 55(4):509, 1989 ; Sawada, H. et al.:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 74(4):006326, 2024 ; 澤田宏之ら:日植病報 90(3):206, 2024 (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 (Approved Lists 1980) emend. Portier, Pédrón, Taghouti, Fischer-Le Saux, Caullireau, Bertrand, Laurent, Chawki, Oulgazi, Moumni, Andrivon, Dutrieux, Faure, Hélias & Barny 2019 [<i>Erwinia</i> <i>carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 小野光明ら:日植病報 55(4):509, 1989 (注) 病原学名訂正、文献追加	ウコギ科 Araliaceae タラノキ(楸木) Angelica tree, Hercules-club, Devil's walking-stick <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann (広葉樹) 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot (1) <i>Pectobacterium araliae</i> Sawada, Someya, Morohoshi, Ono & Satou 小野光明ら:日植病報 55(4):509, 1989 ; Sawada, H. et al.:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 74(4):006326, 2024 (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 (Approved Lists 1980) emend. Portier, Pédrón, Taghouti, Fischer-Le Saux, Caullireau, Bertrand, Laurent, Chawki, Oulgazi, Moumni, Andrivon, Dutrieux, Faure, Hélias & Barny 2019 [<i>Erwinia</i> <i>carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923] 小野光明ら:日植病報 55(4):509, 1989
---	---

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 変形菌病 henkeikin-byo Slime mold disease	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) 変形菌病 henkeikin-byo Slime mold disease
--	--

(粘菌病) (1) <i>Fuligo gyrosa</i> (Rostafínsky) E. Jahn クダマキフクロホコリ Asano, S. & Sumikawa, Y.:Ann. Rept. Kansai Pl. Prot. 66:17, 2024 (2) <i>Physarum</i> sp. 森田 儔:原色菊の病害虫防除:98, 1990 [備考] 接種試験未了 (注) 病原追加	(粘菌病) <i>Physarum</i> sp. 森田 儔:原色菊の病害虫防除:98, 1990 [備考] 接種試験未了
---	--

ツリフネソウ科 Balsaminaceae インパチエンス(アフリカハウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカハウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort. 褐斑病 kappan-byo <i>Myrothecium</i> leaf spot <i>Paramyrothecium breviseta</i> L. Lombard & Crous 管原 敬・牧住芳之:日植病報 90(3):179, 2024 (注) 新病名	ツリフネソウ科 Balsaminaceae インパチエンス(アフリカハウセンカ)類 <i>Impatiens</i> spp. (草花) インパチエンス(アフリカハウセンカ) Busy lizzie <i>Impatiens sultanii</i> Hook. f. ニューギニア・インパチエンス <i>Impatiens</i> × <i>hybridus</i> Hort.
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 黒斑病 kokuhan-byo Dark leaf spot (1) <i>Alternaria brassicae</i> (Berkeley) Saccardo 吉井 甫:日植病報 2(3):301, 1930(昭5) ; 吉井 甫:	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キャベツ(カンラン, タマナ, 甘藍) Cabbage <i>Brassica oleracea</i> L. Capitata Group (= var. <i>capitata</i> L.) (野菜) 黒斑病 kokuhan-byo Alternaria leaf spot <i>Alternaria brassicae</i> (Berkeley) Saccardo 吉井 甫:日植病報 2(3):301, 1930(昭5) ; 吉井 甫:
---	---

病虫雑 28(1):14, 1941(昭16) (2) <i>Stemphylium lycopersici</i> (Enjoji) W. Yamamoto 岩舘康哉ら:日植病報 90(3):179, 2024 (注) 病原追加、病名英名変更	病虫雑 28(1):14, 1941(昭16)
--	--------------------------------

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) ミズナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group †††† Mibuna temperate virus# (MTV) ミズナ潜伏ウイルス 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。ミズナ (注) 宿主変更 (ミズナを宿主キョウナと統合、 その他のアブラナ科類の本項目は削除する)	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae その他のアブラナ科類(ツケナ, 漬菜) (Brassica) <i>Brassica</i> spp. (野菜) オオサキナ Field mustard, Turnip mustard <i>Brassica rapa</i> L. ハクラン <i>Brassica × napus</i> hort. ペルコPVH <i>Brassica rapa</i> L. ヒロシマナ <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaulis</i> クキタチナ <i>Brassica rapa</i> L. Rapifera Group ミズナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group †††† Mibuna temperate virus# (MTV) ミズナ潜伏ウイルス 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。ミズナ
--	--

パイナップル科 Bromeliaceae パイナップル(パインアップル)(鳳梨) Pineapple <i>Ananas comosus</i> Merrill (果樹) 心腐細菌病 shingusare-saikin- byo Bacterial heart rot <i>Dickeya oryzae</i> Wang, He, Guo, Han, Thin, Gao, Wang & Zhang 2020 安次富 厚ら:日植病報 90(3):206, 2024 (注) 新病名	パイナップル科 Bromeliaceae パイナップル(パインアップル)(鳳梨) Pineapple <i>Ananas comosus</i> Merrill (果樹)
--	--

アサ科 Cannabaceae ホップ(忽布) Hop <i>Humulus lupulus</i> L. (特用作物) わい化病 waika-byo Stunt (矮化病) (1) Apple fruit crinkle viroid (AFCVd) リンゴゆず果ウイロイド Sano, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 70(3):181, 2004 (2) <i>Hop stunt viroid</i> (HSVd) ホップ矮化ウイロイド 山本初美ら:北大農邦文紀 7(4):491, 1970 ; Sasaki, M. & Shikata, E.:Proc. Japan Acad. 53B:103, 1977 ; 佐々木真津生・四方英四郎:日植病報 43(3):364, 1977 (注) 病原略号修正	アサ科 Cannabaceae ホップ(忽布) Hop <i>Humulus lupulus</i> L. (特用作物) わい化病 waika-byo Stunt (矮化病) (1) Apple fruit crinkle viroid (AFCVd) リンゴゆず果ウイロイド Sano, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 70(3):181, 2004 (2) <i>Hop stunt viroid</i> (HpSVd) ホップ矮化ウイロイド 山本初美ら:北大農邦文紀 7(4):491, 1970 ; Sasaki, M. & Shikata, E.:Proc. Japan Acad. 53B:103, 1977 ; 佐々木真津生・四方英四郎:日植病報 43(3):364, 1977
--	---

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato
--	--

<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) †††† Sweet potato virus 2# (SPV2) サツマイモウイルス2 青山実樹ら:日植病報 90(1):66, 2024 [備考] 戻し接種なし (注) 病原略号修正	<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) †††† Sweet potato virus 2# (PSV2) サツマイモウイルス2 青山実樹ら:日植病報 90(1):66, 2024 [備考] 戻し接種なし
---	---

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) †††† <i>Cucurbit aphid-borne yellows virus</i> (CABYV) 門馬悠介ら:日植病報 90(3):191, 2024 (注) 新宿主	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜)
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot	ウリ科 Cucurbitaceae メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group 軟腐病 nampu-byo Bacterial soft rot
---	---

(1) <i>Pectobacterium brasiliense</i> Portier, Pédrón, Taghouti, Fischer-Le Saux, Caullireau, Bertrand, Laurent, Chawki, Oulgazi, Moumni, Andrivon, Dutrieux, Faure, Hélias & Barny 2019 小幡善也・金子 誠:日植病報 90(3):205, 2024 (2) <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [Erwinia aroideae (Townsend) Holland, Erwinia carotovora subsp. carotovora (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 奈須田和彦ら:日植病報 40(2):135, 1974 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 23:92, 1975 (注) 病原追加	<i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [Erwinia aroideae (Townsend) Holland, Erwinia carotovora subsp. carotovora (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntton 1923] 奈須田和彦ら:日植病報 40(2):135, 1974 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 23:92, 1975
--	---

ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn. ††† <i>Acidovorax avenae</i> subsp. <i>citrulli</i> (Schaad, Sowell, Goth, Colwell & Webb 1978) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 [備考] 輸入検疫中に中国産雑種カボチャの種子から確認された病害	ウリ科 Cucurbitaceae カボチャ Pumpkin, Squash <i>Cucurbita</i> spp. (野菜) クロダネカボチャ Figleaf gourd <i>Cucurbita ficifolia</i> Bouché セイヨウカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita maxima</i> Duch. ザッシュカボチャ <i>Cucurbita maxima</i> Duch. × <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ニホンカボチャ Pumpkin, Winter squash <i>Cucurbita moschata</i> Duch. ペポカボチャ(ズッキーニ) Pumpkin, Winter squash, Summer squash <i>Cucurbita pepo</i> Linn.
---	---

(注) 新宿主	
ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear, Bitter melon <i>Momordica charantia</i> L. (野菜) 萎黄病 io-byo Yellows disease ‘<i>Candidatus Phytoplasma asteris</i>’ 富高保之ら:日植病報 90(3):208, 2024 (注) 新病名, 宿主英名追加	ウリ科 Cucurbitaceae ニガウリ(苦瓜, ツルレイシ) Balsam pear <i>Momordica charantia</i> L. (野菜)
ヒノキ科 Cupressaceae コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Platycladus orientalis</i> (L.) Franco (針葉樹) 枝枯病 edagare-byo <i>Rhabdospora orientalis</i> Togashi & Tsukamoto 伊藤一雄:樹病学大系 3:302, 1974 ; Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17:122, 1953 (注) 宿主分離、宿主学名変更、備考削除。ニオイヒバ枝枯病は削除	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 枝枯病 edagare-byo <i>Rhabdospora orientalis</i> Togashi & Tsukamoto 伊藤一雄:樹病学大系 3:302, 1974 ; Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17:122, 1953 [備考] コノテガシワ
ヒノキ科 Cupressaceae	ヒノキ科 Cupressaceae

コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Platycladus orientalis</i> (L.) Franco (針葉樹) 葉枯病 hagare-byo <i>Leptosphaeria thujaecola</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(12):49, 1930(昭5) (注) 宿主分離、宿主学名変更、備考削除。ニオイヒバ葉枯病は削除	ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 葉枯病 hagare-byo <i>Leptosphaeria thujaecola</i> Hara 原 攝祐:静岡県農会報 34(12):49, 1930(昭5) [備考] コノテガシワ
--	---

ヒノキ科 Cupressaceae コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Platycladus orientalis</i> (L.) Franco (針葉樹) ヒポデルマ枝枯病 <i>Hypoderma-edagare-byo</i> <i>Hypoderma shimanense</i> Y. Suto 周藤靖雄:日林関西支講 33:219, 1982 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24:419, 1983 (注) 宿主分離、宿主学名変更、備考削除。ニオイヒバ・ヒポデルマ枝枯病は削除	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. ヒポデルマ枝枯病 <i>Hypoderma-edagare-byo</i> <i>Hypoderma shimanense</i> Y. Suto 周藤靖雄:日林関西支講 33:219, 1982 ; Suto, Y.:Trans. Mycol. Soc. Japan 24:419, 1983 [備考] コノテガシワ
--	---

ヒノキ科 Cupressaceae コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Platycladus orientalis</i> (L.) Franco	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L.
---	--

(針葉樹) †モノケチア葉枯病* <i>Monochaetia-hagare-byo</i> Needle blight <i>Monochaetia</i> sp. 高木五六:朝鮮山林会報 213:9, 1943(昭18) [備考] 朝鮮 (注) 宿主分離、宿主学名変更、備考変更。ニオイヒバ・†モノケチア葉枯病は削除	(針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) <i>Chinese arborvitae</i> <i>Thuja orientalis</i> L. †モノケチア葉枯病* <i>Monochaetia-hagare-byo</i> Needle blight <i>Monochaetia</i> sp. 高木五六:朝鮮山林会報 213:9, 1943(昭18) [備考] 朝鮮。コノテガシワに発生
---	--

ヒノキ科 Cupressaceae コノテガシワ(児手柏, 側柏) <i>Chinese arborvitae</i> <i>Platycladus orientalis</i> (L.) Franco (針葉樹) †††† <i>Phoma thujana</i> Thümen 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):433, 1917(大6) (注) 宿主分離、宿主学名変更、備考削除。ニオイヒバ病名未提案は削除	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) <i>American arborvitae</i> <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) <i>Chinese arborvitae</i> <i>Thuja orientalis</i> L. †††† <i>Phoma thujana</i> Thümen 白井光太郎・三宅市郎:訂正増補日本菌類目録(再版):433, 1917(大6) [備考] コノテガシワに発生
--	--

ヒノキ科 Cupressaceae コノテガシワ(児手柏, 側柏) <i>Chinese arborvitae</i> <i>Platycladus orientalis</i> (L.) Franco (針葉樹)	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) <i>American arborvitae</i> <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) <i>Chinese arborvitae</i>
--	--

†††† <i>Rhabdospora orientalis</i> Togashi & Tsukamoto Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17(3-4):122, 1953 (注) 宿主分離、宿主学名変更、備考削除。ニオイヒバ病名未提案は削除	<i>Thuja orientalis</i> L. †††† <i>Rhabdospora orientalis</i> Togashi & Tsukamoto Tsukamoto, E.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 17(3-4):122, 1953 [備考] コノテガシワに発生
--	--

ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) 暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight <i>Racodium therryanum</i> Thümen 佐藤邦彦:林試研報 124:41, 1960 [備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照 ----- ヒノキ科 Cupressaceae コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Platycladus orientalis</i> (L.) Franco (針葉樹) 暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight <i>Racodium therryanum</i> Thümen	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 暗色雪腐病 anshoku-yukigusare-byo Racodium snow blight <i>Racodium therryanum</i> Thümen 佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959 ; 佐藤邦彦:林試研報 124:41, 1960 [備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照
---	---

佐藤邦彦ら:日林誌 41:66, 1959 ; 佐藤邦彦:林試研 報 124:41, 1960 [備考] 病菌の異名はヒノキ暗色雪腐病参照 (注) 病名分離、宿主学名変更、ニオイヒバ暗色 雪腐病も残す	
--	--

ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) 樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Resinous canker <i>Seiridium unicorne</i> (Cooke & Ellis) B. Sutton 山田利博・奥田清貴:98回日林論:509, 1987 [備考] 病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照 ----- ヒノキ科 Cupressaceae コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Platycladus orientalis</i> (L.) Franco (針葉樹) 樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Resinous canker <i>Seiridium unicorne</i> (Cooke & Ellis) B. Sutton 周藤靖雄:森林防疫 36:197, 1987 [備考] 病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照 (注) 宿主分離、宿主学名変更	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 樹脂胴枯病 jushi-dogare-byo Resinous canker <i>Seiridium unicorne</i> (Cooke & Ellis) B. Sutton 山田利博・奥田清貴:98回日林論:509, 1987 ; 周藤 靖雄:森林防疫 36:197, 1987 [備考] 病菌の異名はヒノキ樹脂胴枯病参照
---	--

ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae
--	--

<i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) てんぐ巢病 tengusu-byo <i>Blastospora betulae</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. 伊藤一雄:森林防疫 21:175, 1972 ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:228, 1981 [備考] 本病菌の夏孢子・冬孢子世代は<i>Betula</i>属(ダケカンバ・ミズメ・ウダイカンバ・シラカンバ)に寄生してさび病を起こす。病菌の異名はアスナロてんぐ巢病参照 (注) 宿主変更、備考変更	<i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. てんぐ巢病 tengusu-byo <i>Blastospora betulae</i> S. Kaneko & Hiratsuka, f. 伊藤一雄:森林防疫 21:175, 1972 ; Kaneko, S. & Hiratsuka, N.:Trans. Mycol. Soc. Japan 22:228, 1981 [備考] ニオイヒバ。本病菌の夏孢子・冬孢子世代は<i>Betula</i>属(ダケカンバ・ミズメ・ウダイカンバ・シラカンバ)に寄生してさび病を起こす。病菌の異名はアスナロてんぐ巢病参照
--	---

ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) 胴枯病 dogare-byo Cytospora canker <i>Valsa abietis</i> Fries 小林享夫:林業と薬剤 47:2, 1974 (注) 宿主変更、備考削除。	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 胴枯病 dogare-byo Cytospora canker <i>Valsa abietis</i> Fries 小林享夫:林業と薬剤 47:2, 1974 [備考] ニオイヒバ
---	--

ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹)	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹)
---	---

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu lato ナ ラタケ(広義) 魚住 正・小野 馨:68回日林講:250, 1958 [備考] 狭義の種への検討は行われていない (注) 宿主変更、備考変更。	コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer sensu lato ナ ラタケ(広義) 魚住 正・小野 馨:68回日林講:250, 1958 [備考] ニオイヒバ。狭義の種への検討は行われていない
---	---

ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) 紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:3, 1949 [備考] 病菌の異名はイチヨウ紫紋羽病参照 (注) 宿主分離、宿主学名変更、備考削除	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 紫紋羽病 murasaki-mompa-byo Violet root rot <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 43:3, 1949 [備考] ニオイヒバ。病菌の異名はイチヨウ紫紋羽病参照
---	---

ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) 漏脂病 roshi-byo	ヒノキ科 Cupressaceae ニオイヒバ(匂檜葉) American arborvitae <i>Thuja occidentalis</i> L. (針葉樹) コノテガシワ(児手柏, 側柏) Chinese arborvitae <i>Thuja orientalis</i> L. 漏脂病 roshi-byo
---	---

生理障害 佐藤邦彦:森林防疫 28:196, 1979 [備考] ニオイヒバ・ヒノキなど他の針葉樹の漏脂病(病原菌 <i>Cistella japonica</i> Suto & Kobayashi)との異同について検討を要する (注) 宿主変更	生理障害 佐藤邦彦:森林防疫 28:196, 1979 [備考] ニオイヒバ・ヒノキなど他の針葉樹の漏脂病(病原菌 <i>Cistella japonica</i> Suto & Kobayashi)との異同について検討を要する
---	---

カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 腐敗病, 葉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 生咲 巖ら:日植病報 90(3):184, 2024 (2) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 氏家章雄ら:四国植防 55:17, 2022 (3) <i>Colletotrichum gigasporum</i> Rakotoniriana & Munaut Liu, F. <i>et al.</i>:Persoonia 33:83, 2014 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo sensu stricto 生咲 巖ら:日植病報 90(3):184, 2024 (5) <i>Colletotrichum horii</i> B.S. Weir & P.R. Johnston	カキノキ科 Ebenaceae カキ(柿) Persimmons <i>Diospyros</i> spp. (果樹) カキ Japanese persimmon, Oriental persimmon <i>Diospyros kaki</i> Linne, f., <i>Diospyros kaki</i> Thunberg, <i>Diospyros kaki</i> Thunberg var. <i>domestica</i> Makino マメガキ Dateplum <i>Diospyros lotus</i> L. 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (黒斑病, 腐敗病, 葉炭疽病) (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook Sato, T. <i>et al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (2) <i>Colletotrichum gigasporum</i> Rakotoniriana & Munaut Liu, F. <i>et al.</i>:Persoonia 33:83, 2014 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (3) <i>Colletotrichum horii</i> B.S. Weir & P.R. Johnston
---	--

[<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium kaki</i> Hori] 吉野毅一:果樹 34:18, 1906(明39) ; 堀正太郎:園芸之友 6(2):21, 1910(明43) ; Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 25(296):197, 1911(明44) ; 鑄方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:102, 1942(昭17) ; 佐藤豊三ら:日植病報 80(4):235, 2014 [備考] 葉炭疽病を統合した (6) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 ; 生咲巖ら:日植病報 90(3):184, 2024 (7) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa 生咲 巖ら:日植病報 90(3):184, 2024 (8) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 佐藤豊三ら:日菌報 39(2):35, 1998 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 果実に病原性あり (注) 病原追加、備考削除	[<i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk, <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo, <i>Gloeosporium kaki</i> Hori] 吉野毅一:果樹 34:18, 1906(明39) ; 堀正太郎:園芸之友 6(2):21, 1910(明43) ; Ito, S.:Bot. Mag. Tokyo 25(296):197, 1911(明44) ; 鑄方末彦:柿の重要寄生性病害に関する病理並に治病学的研究:102, 1942(昭17) ; 佐藤豊三ら:日植病報 80(4):235, 2014 [備考] 葉炭疽病を統合した (4) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 接種試験未了 (5) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 佐藤豊三ら:日菌報 39(2):35, 1998 ; 佐藤豊三:微生物遺伝資源利用マニュアル 45:1, 2022 ; 佐藤豊三ら:植物防疫 77(2):76, 2023 [備考] 果実に病原性あり
--	---

ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹) †††† Blueberry virus L# (BIVL) ブルーベリーLウイルス Isogai, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(5):273, 2024 ; 磯貝雅道ら:日植病報 90(3):189, 2024	ツツジ科 Ericaceae ブルーベリー類 Blueberry <i>Vaccinium</i> spp. (果樹)
--	--

[備考] ブルーベリー樹への戻し接種では無病徴 (注) 新病名	
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カワラケツメイ類 (Cassia) <i>Cassia</i> spp. (野草) カワラケツメイ <i>Cassia mimosoides</i> L. subsp. <i>nomame</i> (Sieb.) Ohashi 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 [備考] カワラケツメイ ----- マメ科 Fabaceae, Leguminosae センナ類 Oriental senna <i>Senna</i> spp. (特用作物) 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961 [備考] Shibuya & Takara (1961)は、宿主として 「<i>Cassia tora</i> (ebisu-gusa)」を記載したが、<i>Cassia</i>	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カワラケツメイ類 (Cassia) <i>Cassia</i> spp. (野草) カワラケツメイ <i>Cassia mimosoides</i> L. subsp. <i>nomame</i> (Sieb.) Ohashi エビスグサ <i>Cassia tora</i> L. 根こぶ線虫病* nekobu-senchu-byo Root knot <i>Meloidogyne incognita</i> (Kofoid & White) Chitwood サツマイモネコブセンチュウ Saigusa, T. & Matsumoto, Y.:Res. Bull. Pl. Prot. Japan 1:84, 1961 ; Shibuya, M. & Takara, T.:Kagoshima Univ. Ryukyu Univ. Rep. Coop. Invest. Sci. & Indust. in Ryukyu Is. 1:67, 1961 [備考] カワラケツメイ・エビスグサ ----- マメ科 Fabaceae, Leguminosae センナ類 Oriental senna <i>Cassia</i> spp. (特用作物)
---	--

<i>tora</i> (<i>Senna tora</i>)の和名はホソミエビスグサ (注) カワラケツメイ類・根こぶ線虫病を2つの病名に分けた。宿主学名変更	
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ(大豆) Soybean <i>Glycine max</i> (L.) Merr. (食用作物) 褐色根腐病 kasshoku-negusare-byo Neocosmospora stem rot <i>Neocosmospora vasinfecta</i> E.F. Smith var. <i>vasinfecta</i> 三室元気ら:日植病報 82(3):233, 2016 (注) 宿主修正	マメ科 Fabaceae, Leguminosae ダイズ類 (Glycine) <i>Glycine</i> spp. (野草) ツルマメ <i>Glycine ussuriensis</i> Regel & Maack 褐色根腐病 kasshoku-negusare-byo Neocosmospora stem rot <i>Neocosmospora vasinfecta</i> E.F. Smith var. <i>vasinfecta</i> 三室元気ら:日植病報 82(3):233, 2016
---	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) 褐色根腐細菌病 kasshoku-negusare-saikin-byo Bacterial brown root rot <i>Pseudomonas</i> sp. Suzuki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(6):347, 2023 ; 鈴木拓海ら:日植病報 90(3):206, 2024 [備考] 水耕栽培の豆苗根部に発生。<i>Pseudomonas vanderleydeniana</i>に最も近縁な<i>Pseudomonas asplenii</i>サブグループに属する<i>Pseudomonas</i>種 (注) 文献追加、病名のアスタリスク削除。	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) 褐色根腐細菌病* kasshoku-negusare-saikin-byo Bacterial brown root rot <i>Pseudomonas</i> sp. Suzuki, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(6):347, 2023 [備考] 水耕栽培の豆苗根部に発生。<i>Pseudomonas vanderleydeniana</i>に最も近縁な<i>Pseudomonas asplenii</i>サブグループに属する<i>Pseudomonas</i>種
--	---

マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物) ピシウム根腐病 <i>Pythium-negusare-byo</i> Pythium root rot (1) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 福岡貴寿・永島 進:日植病報 90(3):178, 2024 (2) <i>Pythium ultimum</i> Trow var. <i>ultimum</i> 福岡貴寿・永島 進:日植病報 90(3):178, 2024 (注) 新病名	マメ科 Fabaceae, Leguminosae エンドウ(豌豆) Pea, Garden pea, Field Pea <i>Pisum sativum</i> L. (食用作物)
---	---

ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実腐病, 実炭疽病) (1) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 内田和馬:関東病虫研報 11:51, 1964 ; 小林享夫:森林防疫ニュース 17(7):142, 1968 ; 寺下隆喜代:林試研報 252:1, 1973 ; 小林享夫・内田和馬:植物防疫 37(2):50, 1983 [備考] 完全世代の <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk は国内未発見 (2) <i>Colletotrichum henanense</i> F. Liu & L. Cai 石原夏帆ら:日植病報 90(3):175, 2024	ブナ科 Fagaceae クリ(栗) Chestnuts <i>Castanea</i> spp. (果樹) ニホングリ Japanese chestnut <i>Castanea crenata</i> Sieb. & Zucc. チュウゴクグリ Chinese chestnut <i>Castanea mollissima</i> Blume など 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (実腐病, 実炭疽病) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo 内田和馬:関東病虫研報 11:51, 1964 ; 小林享夫:森林防疫ニュース 17(7):142, 1968 ; 寺下隆喜代:林試研報 252:1, 1973 ; 小林享夫・内田和馬:植物防疫 37(2):50, 1983 [備考] 完全世代の <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk は国内未発見
---	--

(注) 病原追加	
----------	--

リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) 立枯病 tachigare-byo Root rot (1) <i>Fusarium nirenbergiae</i> L. Lombard & Crous Hanagasaki, T. <i>et al.</i>:Fruits 78(4), 2023 DOI: 10.17660/th2023/014 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 松尾卓見ら:作物のフザリウム病:472, 1980 ; 外側 正之ら:日植病報 74(1):35, 2008 (3) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 松尾卓見ら:作物のフザリウム病:472, 1980 ; 富岡 啓介ら:日植病報 68(2):185, 2002 ; 富岡啓介ら:四 国植防 44:44, 2009 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(2):132, 2011 [備考] 本病原菌は <i>F. solani</i> species complex Clade 3に属する (注) 病原追加。ページがないオンライン文献で すが、この書き方でよいですか。	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) 立枯病 tachigare-byo Root rot (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 松尾卓見ら:作物のフザリウム病:472, 1980 ; 外側 正之ら:日植病報 74(1):35, 2008 (2) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 松尾卓見ら:作物のフザリウム病:472, 1980 ; 富岡 啓介ら:日植病報 68(2):185, 2002 ; 富岡啓介ら:四 国植防 44:44, 2009 ; Tomioka, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 77(2):132, 2011 [備考] 本病原菌は <i>F. solani</i> species complex Clade 3に属する
--	--

リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) †††† <i>Sikte waterborne virus</i> (SWBV)	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花)
---	--

シクテウオーターボーンウイルス 山下一夫ら:北日本病虫研報 59:236, 2008 ; 中島 航介ら:日植病報 78(3):252, 2012 (注) 新宿主	
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis</i> <i>gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベツトベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. デッドスポット病 <i>dead spot-byo</i> Dead spot <i>Ophiosphaerella agrostidis</i> Dernoeden, M.P.S. Câmara, N.R. O'Neill, Berkum & M.E. Palm 早川敏広・小林真樹:日植病報 70(3):225, 2004 ; 早川敏広ら:芝草研究 36(1):12, 2007 [備考] クリーピングベントグラス <i>A. stolonifera</i> var. <i>palustris</i> に発生 (注) 病原学名修正(Index Fungorumによる)、文献追 加	イネ科 Gramineae, Poaceae レッドトップ, ベントグラス Redtop and Bentgrass <i>Agrostis</i> spp. (牧草・芝草) レッドトップ(コヌカグサ) Redtop <i>Agrostis</i> <i>gigantea</i> Roth [<i>Agrostis alba</i> L.] ベルベツトベントグラス(タカネヌカボ) Velvet bentgrass <i>Agrostis canina</i> L. クリーピングベントグラス Creeping bentgrass <i>Agrostis stolonifera</i> L. var. <i>palustris</i> (Huds.) Farw. コロニアルベントグラス Colonial bentgrass, Browntop <i>Agrostis tenuis</i> Sibth. デッドスポット病 <i>dead spot-byo</i> Dead spot <i>Ophiosphaerella agrostis</i> Dernoeden, M.P.S. Câmara, N.R. O'Neill, Berkum & M.E. Palm 早川敏広・小林真樹:日植病報 70(3):225, 2004 [備考] クリーピングベントグラス <i>A. stolonifera</i> var. <i>palustris</i> に発生
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物)	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物)
--	--

黄萎病 oi-byo Yellow dwarf (1) <i>Barley yellow dwarf virus-PAS</i> (BYDV-PAS) オオムギ黄萎PASウイルス 佐野義孝ら:日植病報 90(3):191, 2024 (2) <i>Barley yellow dwarf virus-PAV</i> (BYDV-PAV) オオムギ黄萎 PAV ウイルス Kojima, M. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 49(3):338, 1983 ; Sano, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(6):566, 1996 (3) <i>Barley yellow dwarf virus-RMV</i> 様分離株# 丹野史典ら:日植病報 63(3):277, 1977 [備考] <i>Barley yellow dwarf virus-RMV</i> に近いと考えられるが, 塩基配列の相同性が低い (4) <i>Cereal yellow dwarf virus-RPS</i> (CYDV-RPS) ムギ類黄萎 RPS ウイルス 松原 旭ら:日植病報 77(3):228, 2011 (注) 病原追加	黄萎病 oi-byo Yellow dwarf (1) <i>Barley yellow dwarf virus-PAV</i> (BYDV-PAV) オオムギ黄萎PAVウイルス Kojima, M. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 49(3):338, 1983 ; Sano, Y. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62(6):566, 1996 (2) <i>Barley yellow dwarf virus-RMV</i>様分離株# 丹野史典ら:日植病報 63(3):277, 1977 [備考] <i>Barley yellow dwarf virus-RMV</i> に近いと考えられるが, 塩基配列の相同性が低い (3) <i>Cereal yellow dwarf virus-RPS</i> (CYDV-RPS) ムギ類黄萎RPSウイルス 松原 旭ら:日植病報 77(3):228, 2011
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) セイバンモロコシ <i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps africana</i> Frederickson, Mantle & De Milliano [<i>Sphacelia sorghi</i> McRae] 月星隆雄ら:日植病報 58(4):543, 1992 ; 月星隆雄 ら:日植病報 65(3):318, 1999 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:22, 2023 [備考] 月星ら(1999)は, <i>S. sorghi</i> としたが, Tanaka <i>et al.</i>(2023)は, <i>C. africana</i> と再同定した。セイバンモロコシに発生 (2) <i>Claviceps sorghicola</i> Tsukiboshi, Shimanuki & T.	イネ科 Gramineae, Poaceae モロコシ(ソルガム) Sorghum, Great millet, Grain sorghum <i>Sorghum vulgare</i> L. (食用作物) セイバンモロコシ <i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers. 麦角病 bakkaku-byo Ergot (1) <i>Claviceps africana</i> Frederickson, Mantle & De Milliano [<i>Sphacelia sorghi</i> McRae] 月星隆雄ら:日植病報 58(4):543, 1992 ; 月星隆雄 ら:日植病報 65(3):318, 1999 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:22, 2023 [備考] 月星ら(1999)は, <i>S. sorghi</i> としたが, Tanaka <i>et al.</i>(2023)は, <i>C. africana</i> と再同定した。セイバンモロコシに発生 (2) <i>Claviceps sorghicola</i> Tsukiboshi, Shimanuki & T.
---	---

Uematsu 島貫忠幸ら:日植病報 54(3):346, 1988 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:Mycological Research 103(11):1403, 1999 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:32, 2023 [備考] 麦角病罹病穂で繁殖した <i>Epicoccum andropogonis</i> (Cesati) Schol-Schwarz, <i>Cerebella andropogonis</i> Cesati によって黒穂病様の異常穂が 発生することがある (兼平 勉ら:日植病報 54(3):346, 1988) (注) 備考修正	Uematsu 島貫忠幸ら:日植病報 54(3):346, 1988 ; Tsukiboshi, T. <i>et al.</i>:Mycological Research 103(11):1403, 1999 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:32, 2023 [備考] 麦角病罹病穂で繁殖した <i>Epicoccum andropogonis</i> (Cesati) Schol-Schwarz, <i>Cerebella andropogonis</i> Cesati によって黒穂病様の異常穂が 発生することがある (兼平 勉ら・日植病報 54(3):346, 1988)
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオアブラススキ類 (Spodiopogon) <i>Spodiopogon</i> spp. (野草) アブラススキ <i>Spodiopogon cotulifer</i> (Thunb.) Hack. オオアブラススキ <i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin. var. <i>sibiricus</i> さび病* sabi-byo Rust <i>Puccinia miyoshiana</i> Dietel Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:559, 1992 ; Ono, Y. & Azbukina, M. Z.:Mycoscience 38:281, 1997 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 [備考] オオアブラススキ, アブラススキに発 生。精子・さび胞子世代をミシマサイコの一 種 (<i>Bupleurum stenophyllum</i>) 上に形成 (注) 宿主統合による病名統合、アブラススキ宿 主学名変更	イネ科 Gramineae, Poaceae オオアブラススキ類 (Spodiopogon) <i>Spodiopogon</i> spp. (野草) オオアブラススキ <i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin. var. <i>sibiricus</i> さび病* sabi-byo Rust <i>Puccinia miyoshiana</i> Dietel Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:559, 1992 ; Ono, Y. & Azbukina, M. Z.:Mycoscience 38:281, 1997 [備考] オオアブラススキに発生。精子・さび胞 子世代をミシマサイコの一 種 (<i>Bupleurum komarovianum</i>) 上に形成 ----- イネ科 Gramineae, Poaceae アブラススキ類 (Eccoilopus) <i>Eccoilopus</i> spp. (野草) アブラススキ <i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.)
---	---

	Camus さび病* sabi-byo Rust <i>Puccinia miyoshiana</i> Dietel Hiratsuka, N. <i>et al.</i>:The rust flora of Japan:559, 1992 ; Kobayashi, T. & Okamoto, T.:J. Agr. Sci., Tokyo Univ. Agr. 48(3):89, 2003 [備考] アブラススキ <i>E. cotulifer</i> に発生
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオアブラススキ類 (<i>Spodiopogon</i>) <i>Spodiopogon</i> spp. (野草) アブラススキ <i>Spodiopogon cotulifer</i> (Thunb.) Hack. オオアブラススキ <i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin. var. <i>sibiricus</i> 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps kawatanii</i> (Tanda) E. Tanaka [<i>Claviceps microspora</i> Tanda var. <i>kawatanii</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 36:28, 1991 ; Tanda, S.:Trans. Mycol. Soc. Japan 32:497, 1991 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:26, 2023 [備考] オオアブラススキ, アブラススキに発生 (注) 宿主統合による病名統合、アブラススキ宿主学名変更、文献変更	イネ科 Gramineae, Poaceae オオアブラススキ類 (<i>Spodiopogon</i>) <i>Spodiopogon</i> spp. (野草) オオアブラススキ <i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin. var. <i>sibiricus</i> 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps kawatanii</i> (Tanda) E. Tanaka [<i>Claviceps microspora</i> Tanda var. <i>kawatanii</i> Tanda 丹田誠之助:東農大農学集報 36:28, 1991 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:26, 2023 [備考] オオアブラススキに発生 ----- イネ科 Gramineae, Poaceae アブラススキ類 (<i>Eccoilopus</i>) <i>Eccoilopus</i> spp. (野草) アブラススキ <i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.) Camus 麦角病 bakkaku-byo Ergot <i>Claviceps kawatanii</i> (Tanda) E. Tanaka [<i>Claviceps microspora</i> Tanda var. <i>kawatanii</i> Tanda]
---	---

	丹田誠之助:東農大農学集報 36:28, 1991 ; 丹田誠之助:日本植物病害大事典(岸 國平編):1204, 1998 ; Tanaka, E. <i>et al.</i>:Stud. Mycol. 106:26, 2023 [備考] アブラススキに発生
--	---

イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf. †††† Wheat closterovirus 1# (WhCV1) 近藤秀樹ら:日植病報 90(3):189, 2024 [備考] 黄化症状を呈するコムギから次世代シークエンスにより検出。新規クロステロウイルス。上記の病原名は仮称 (注) 新宿主	イネ科 Gramineae, Poaceae コムギ(小麦) Wheat <i>Triticum aestivum</i> L. [<i>Triticum sativum</i> Lam.] (食用作物) マカロニコムギ <i>Triticum durum</i> Desf.
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (1) <i>Achlya klebsiana</i> Pieters 菅原幸哉・月星隆雄:日植病報 87(3):151, 2021 (2) <i>Fusarium</i> sp. 島田昌一:日植病報 10(4):334, 1941(昭16) (3) <i>Penicillium</i> sp. 西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959 ; 田中文夫ら:北日本病虫研報 40:37, 1989	イネ科 Gramineae, Poaceae トウモロコシ(玉蜀黍) Maize, Corn, Indian corn <i>Zea mays</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (1) <i>Achlya klebsiana</i> Pieters 菅原幸哉・月星隆雄:日植病報 87(3):151, 2021 (2) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 島田昌一:日植病報 10(4):334, 1941(昭16) (3) <i>Penicillium</i> sp.
--	--

(注) 文献から種名が読み取れないので、sp.に変更	西原夏樹:関東病虫研報 6:23, 1959 ; 田中文夫ら: 北日本病虫研報 40:37, 1989
----------------------------	--

シキミ科 Illiciaceae シキミ(楸) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease (1) <i>Neopestalotiopsis</i> sp. 山田憲吾・羽野愛理:日植病報 90(3):179, 2024 (2) <i>Pestalotia illicii</i> Hino 日野隆之:門司植物防疫所植防資料 7:3, 1953 (3) <i>Pestalotiopsis longiaristata</i> (Maublanc) Ribeiro de Souza [<i>Pestalotia longiaristata</i> Maublanc] 日野隆之:植研雑 41(4):121, 1966 ; 小林享夫・勝 本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992 (4) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia</i> <i>theae</i> Sawada] 日野隆之:採集と飼育 26(12):354, 1964 (注) 病原追加	シキミ科 Illiciaceae シキミ(楸) Japanese anise-tree <i>Illicium anisatum</i> L. (広葉樹) ペスタロチア病* <i>Pestalotia</i>-byo <i>Pestalotia</i> disease (1) <i>Pestalotia illicii</i> Hino 日野隆之:門司植物防疫所植防資料 7:3, 1953 (2) <i>Pestalotiopsis longiaristata</i> (Maublanc) Ribeiro de Souza [<i>Pestalotia longiaristata</i> Maublanc] 日野隆之:植研雑 41(4):121, 1966 ; 小林享夫・勝 本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):594, 1992 (3) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia</i> <i>theae</i> Sawada] 日野隆之:採集と飼育 26(12):354, 1964
--	--

シソ科 Labiatae, Lamiaceae ハナハッカ(オレガノ) <i>Origanum vulgare</i> L. (特用作物) 葉腐病 hagusare-byo Leaf blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:65, 2006 ; 窪田昌春ら:関西病虫研報 51:123, 2009 ; 佐藤豊	シソ科 Labiatae, Lamiaceae ハナハッカ(オレガノ) <i>Origanum vulgare</i> L. (特用作物) 葉腐病 hagusare-byo Leaf blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 竹内 純・堀江博道:関東病虫研報 53:65, 2006 ; 窪田昌春ら:関西病虫研報 51:123, 2009
---	---

三ら:関東病虫研報 57:51, 2010 [備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型IB (注) 文献追加	[備考] 菌糸融合群 AG-1 培養型IB
---	------------------------------

シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) Perilla <i>Perilla frutescens</i> L. (野菜) †††† <i>Phytopythium helicoides</i> (Drechsler) Abad, de Cock, Bala, Robideau, A.M. Lodhi & Lévesque Miyake, N. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(5):288, 2024 [備考] 生育不良と根腐れを生じる (注) 新宿主	シソ科 Labiatae, Lamiaceae シソ(紫蘇) Perilla <i>Perilla frutescens</i> L. (野菜)
---	---

ユリ科 Liliaceae リーキ(参照:アリウム類) Leek <i>Allium ampeloprasum</i> L. (野菜) †††† Garlic yellow mosaic-associated virus# (GYMaV) ニンニク黄斑モザイク随伴ウイルス 星野優輝ら:日植病報 90(3):189, 2024 [備考] ジャンボニンニクに発生。遺伝子解析による検出 (注) 新宿主	ユリ科 Liliaceae リーキ(参照:アリウム類) Leek <i>Allium ampeloprasum</i> L. (野菜)
--	--

ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia</i>	ユリ科 Liliaceae タマネギ(葱頭, 玉葱) Onion <i>Allium cepa</i> L. (野菜) 腐敗病 fuhai-byo Soft rot (春腐病) (1) <i>Burkholderia ambifaria</i> (Palleroni & Holmes 1981) Coenye, Mahenthiralingam, Henry, LiPuma, Laevens, Gillis, Speert & Vandamme 2001 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (2) <i>Burkholderia cenocepacia</i> Vandamme, Holmes, Coenye, Goris, Mahenthiralingam, Lipuma & Govan 2003 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (3) <i>Burkholderia cepacia</i> (Palleroni & Holmes 1981) Yabuuchi, Kosako, Oyaizu, Yano, Hotta, Hashimoto, Ezaki & Arakawa 1993 瀧川雄一ら:日植病報 68(1):64, 2002 ; Sotokawa, N. & Takikawa, Y.:J. Gen. Plant Pathol. 70(6):348, 2004 ; 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 [備考] 達・永坂 (2018), Tsuji & Kadota (2020) は狭義の <i>B. cepacia</i> を報告した (4) <i>Burkholderia pyrrocinia</i> Viallard, Poirier, Cournoyer, Haurat, Wiebkin, Ophel-Keller & Balandreau 1998 達 瑞枝・永坂 厚:日植病報 84(3):203, 2018 ; Tsuji, M. & Kadota, I.:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):376, 2020 (5) <i>Erwinia persicina</i> corrig. Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990 [<i>Erwinia</i>
---	---

<i>persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2021 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(1):004582, 2021 (8) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 達 瑞枝ら:日植病報 89(3):181, 2023 ; Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(4):217, 2024 (9) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (10) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 達 瑞枝・藤 晋一:日植病報 87(3):180, 2021 ; Tsuji, M. & Fuji, S.:Plant Dis. 105(10):3288, 2021 (注) 文献追加	<i>persicinus</i> Hao, Brenner, Steigerwalt, Kosako & Komagata 1990] Tsuji, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(1):24, 2020 [備考] Tsuji <i>et al.</i> (2020)は病原学名を<i>Erwinia persicinus</i>としたが, Euzéby (J. Sys. Evol. Microbiol. 48:1073, 1998) によって<i>Erwinia persicina</i>とされていた (6) <i>Erwinia rhapontici</i> (Millard 1924) Burkholder 1948 [<i>Bacterium rhapontici</i> Millard 1924] 大内 昭ら:日植病報 48(1):76, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (7) <i>Pseudomonas allii</i> Sawada, Fujikawa, Tsuji & Satou 2021 Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 71(1):004582, 2021 (8) <i>Pseudomonas kitaguniensis</i> Sawada, Fujikawa, Nishiwaki & Horita 2020 達 瑞枝ら:日植病報 89(3):181, 2023 (9) <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> (Brown 1918) Stevens 1925 富永時任・土屋行夫:日植病報 23(1):36, 1958 ; 大内 昭ら:日植病報 48(1):137, 1982 ; 大内 昭ら:日植病報 49(5):619, 1983 (10) <i>Pseudomonas viridiflava</i> (Burkholder 1930) Dowson 1939 達 瑞枝・藤 晋一:日植病報 87(3):180, 2021 ; Tsuji, M. & Fuji, S.:Plant Dis. 105(10):3288, 2021
---	---

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜)	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜)
---	---

根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 清水佐知子・東條元昭:日植病報 76(3):157, 2010 ; 清水佐知子ら:日植病報 78(3):191, 2012 [備考] 有性器官未確認 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 佐古 勇ら:日植病報 63(3):203, 1997 (3) <i>Pythium</i> sp. (Clade A) Shimizu, S. & Tojo, M.:Asian Res. J. Agric. 15(4):86, 2022 ; 清水佐知子・東條元昭:日植病報 90(3):177, 2024 (4) <i>Pythium</i> sp. (Cluster B1d) Shimizu, S. & Tojo, M.:Asian Res. J. Agric. 15(4):86, 2022 ; 清水佐知子・東條元昭:日植病報 90(3):177, 2024 (5) <i>Pythium</i> sp. (Cluster B2a) Shimizu, S. & Tojo, M.:Plant Dis. 106(1):336, 2022 ; 清水佐知子・東條元昭:日植病報 90(3):177, 2024 [備考] 有性器官未確認 (注) 文献追加	根腐病 negusare-byo Root rot (1) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 清水佐知子・東條元昭:日植病報 76(3):157, 2010 ; 清水佐知子ら:日植病報 78(3):191, 2012 [備考] 有性器官未確認 (2) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 佐古 勇ら:日植病報 63(3):203, 1997 (3) <i>Pythium</i> sp. (Clade A) Shimizu, S. & Tojo, M.:Asian Res. J. Agric. 15(4):86, 2022 (4) <i>Pythium</i> sp. (Cluster B1d) Shimizu, S. & Tojo, M.:Asian Res. J. Agric. 15(4):86, 2022 (5) <i>Pythium</i> sp. (Cluster B2a) Shimizu, S. & Tojo, M.:Plant Dis. 106(1):336, 2022 [備考] 有性器官未確認
--	--

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) †††† <i>Dickeya fangzhongdai</i> Tian, Zhao, Yuan, Yi, Fan, Xu, Hu, De Boer & Li 2016 川端杏衣里ら:日植病報 90(3):207, 2024 [備考] 細菌性軟化腐敗症状 (注) 新宿主	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜)
---	---

ユリ科 Liliaceae クサスギカズラ(アスパラガス)類 (Asparagus) <i>Asparagus</i> spp. (草花) スマイラックス <i>Asparagus asparagoides</i> (L.) W. F. Wight ハマタマボウキ <i>Asparagus kiusianus</i> Makino タチテンモンドウ <i>Asparagus pygmaeus</i> (Makino) Makino †††† (1) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde (2) <i>Colletotrichum guizhouense</i> G. Tao, Zuo Y. Liu & L. Cai (3) <i>Colletotrichum liriopes</i> Damm, P.F. Cannon & Crous (4) <i>Curvularia canadensis</i> Y. Marín & Crous (5) <i>Trichoderma asperellum</i> Samuels, Lieckfeldt & Nirenberg 王 靖怡ら:日植病報 90(3):176, 2024 (注) 新宿主	ユリ科 Liliaceae クサスギカズラ(アスパラガス)類 (Asparagus) <i>Asparagus</i> spp. (草花) スマイラックス <i>Asparagus asparagoides</i> (L.) W. F. Wight ハマタマボウキ <i>Asparagus kiusianus</i> Makino タチテンモンドウ <i>Asparagus pygmaeus</i> (Makino) Makino
---	--

ユリ科 Liliaceae グロリオーサ Glory-lily, Climbing lily <i>Gloriosa</i> spp. (草花) 乾腐病 kampu-byo Bulb rot <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium oxysporum</i> species complex) 林 一沙ら:日植病報 90(3):176, 2024 (注) 新病名	ユリ科 Liliaceae グロリオーサ Glory-lily, Climbing lily <i>Gloriosa</i> spp. (草花)
---	---

ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) えそ病 eso-byo Necrosis (1) <i>Olive latent virus 1</i> (OLV-1) オリーブ潜在ウイルス1 [Tobacco necrosis virus#] Kanematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):333, 2001 (2) <i>Olive mild mosaic virus</i> (OMMV) オリーブ微斑ウイルス [Tobacco necrosis virus#] 守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006 (3) <i>Tobacco necrosis virus D</i> (TNV-D) タバコえそDウイルス [Tobacco necrosis virus#] 多賀由美子ら:日植病報 71(3):232, 2005 (4) Tulip necrosis virus# (TulNV) チューリップえそウイルス [Tobacco necrosis virus#, Tobacco necrosis virus-Toyama] Saeki, K. <i>et al.</i>:Biosci Biotechnol Biochem 65(3):719, 2001 ; 守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006 [備考] Saeki <i>et al.</i>(2001)はTobacco necrosis virus-Toyamaと報告 (5) <i>Tobacco necrosis virus A</i> (TNVA) タバコえそAウイルス [Tobacco necrosis virus#] 草葉敏彦ら:日植病報 43(1):76, 1977 ; 松涛美文ら:日植病報 43(1):77, 1977 ; 名畑清信ら:富山農試研報 9:1, 1978 ; 一木(植原)珠樹ら:日微資学誌 32(1):39, 2016 [備考] ウイルス株の分類学的検証が必要。罹病株からは Tobacco necrosis satellite virus も検出された (注) (5)文献誌名を他と合わせた	ユリ科 Liliaceae チューリップ Tulip <i>Tulipa</i> spp. 及び種間雑種 (草花) えそ病 eso-byo Necrosis (1) <i>Olive latent virus 1</i> (OLV-1) オリーブ潜在ウイルス1 [Tobacco necrosis virus#] Kanematsu, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 67(4):333, 2001 (2) <i>Olive mild mosaic virus</i> (OMMV) オリーブ微斑ウイルス [Tobacco necrosis virus#] 守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006 (3) <i>Tobacco necrosis virus D</i> (TNV-D) タバコえそDウイルス [Tobacco necrosis virus#] 多賀由美子ら:日植病報 71(3):232, 2005 (4) Tulip necrosis virus# (TulNV) チューリップえそウイルス [Tobacco necrosis virus#, Tobacco necrosis virus-Toyama] Saeki, K. <i>et al.</i>:Biosci Biotechnol Biochem 65(3):719, 2001 ; 守川俊幸ら:日植病報 72(4):327, 2006 [備考] Saeki <i>et al.</i>(2001)はTobacco necrosis virus-Toyamaと報告 (5) <i>Tobacco necrosis virus A</i> (TNVA) タバコえそAウイルス [Tobacco necrosis virus#] 草葉敏彦ら:日植病報 43(1):76, 1977 ; 松涛美文ら:日植病報 43(1):77, 1977 ; 名畑清信ら:富山農試研報 9:1, 1978 ; 一木(植原)珠樹ら:日微資学会誌 32(1):39, 2016 [備考] ウイルス株の分類学的検証が必要。罹病株からは Tobacco necrosis satellite virus も検出された
---	---

オオバヤドリギ科 Loranthaceae マツグミ (Taxillus) <i>Taxillus kaempferi</i> (DC.) Danser (広葉樹) タイワンマツグミ <i>Taxillus caloareas</i> (Diels) Danser †すす病 susu-byo Black mildew <i>Asterina loranthe-rhododendricolae</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):24, 1957 [備考] 台湾。シャクナゲヤドリギ(<i>Taxillus sutchuenensis</i>) (注) 科名和名変更、備考変更、宿主名追加	ヤドリギ科 Loranthaceae マツグミ (Taxillus) <i>Taxillus kaempferi</i> (DC.) Danser (広葉樹) †すす病 susu-byo Black mildew <i>Asterina loranthe-rhododendricolae</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報 農生編 3(1):24, 1957 [備考] 台湾。シャクナゲモドキ (<i>Loranthus rhododendricola</i>)
---	--

ツヅラフジ科 Menispermaceae タマザキツヅラフジ(タマサキツヅラフジ) (Stephania) <i>Stephania cephalantha</i> Hayata (特用作物) †††† (1) <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) キュウリモザイクウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 90(3):190, 2024 [備考] 次世代シーケンスと生物検定による検出 (2) ウイルス (未同定) 一木(植原)珠樹ら:日植病報 90(3):190, 2024 [備考] ポティウイルス様のウイルス。次世代シーケンスと生物検定による検出 (注) 新宿主、宿主和名追加	ツヅラフジ科 Menispermaceae タマザキツヅラフジ (Stephania) <i>Stephania cephalantha</i> Hayata (特用作物)
--	---

クワ科 Moraceae フィカス属植物 (Ficus) <i>Ficus</i> spp. (広葉樹) フィカス・ウンベラータ Giant hart leaf Ficus tree <i>Ficus umbellata</i> Vahl 褐斑細菌病 kappan-saikin-byo Bacterial spot <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>fici</i> (Cavara 1905) Dye 1978 中山大誠ら:日植病報 90(3):207, 2024 [備考] フィカス・ウンベラータに発生 (注) 新病名、新規宿主	クワ科 Moraceae
--	---------------------

バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) パナマ病 Panama-byo Fusarium wilt, Panama disease, Banana wilt (萎ちょう病) (1) †<i>Fusarium incarnatum-equiseti</i> species complex (FIESC) Pangilinan, D.C.J.C. et al.:Jpn. J. Phytopathol. 90(3):176, 2024 [備考] フィリピン (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 二谷貴夫ら:日植病報 83(3):185, 2017 ; Nitani, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):165, 2018 [備考] 島バナナ(<i>Musa × paradisiaca</i>)に発生 (3) †<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>cubense</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 中村重正ら:日植病報 37(3):172, 1971 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:10, 1977	バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) パナマ病 Panama-byo Fusarium wilt, Panama disease, Banana wilt (萎ちょう病) (1) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 二谷貴夫ら:日植病報 83(3):185, 2017 ; Nitani, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):165, 2018 [備考] 島バナナ(<i>Musa × paradisiaca</i>)に発生 (2) †<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>cubense</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 中村重正ら:日植病報 37(3):172, 1971 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:10, 1977 [備考] 台湾・中南米・フィリピン (3) <i>Fusarium</i> sp. 野澤俊介ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] 新種の<i>Fusarium</i> 属菌。品種 “キャベンデイッシュ”
---	--

[備考] 台湾・中南米・フィリピン (4) †<i>Fusarium solani</i> species complex (FSSC) Pangilinan, D.C.J.C. <i>et al.</i>:Jpn. J. Phytopathol. 90(3):176, 2024 [備考] フィリピン (5) †<i>Fusarium</i> sp. 野澤俊介ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] フィリピン。新種の<i>Fusarium</i> 属菌。品種“キャベンディッシュ” (注) 病原追加	
---	--

モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) 疫病 eki-byo Phytophthora disease (1) <i>Phytophthora</i> sp. 植松清次ら:日植病報 85(3):255, 2019 [備考] シオジ(<i>F. platypoda</i>) に発生。<i>Phytophthora</i>属菌の新種と考えられる。トネリコ類苗疫病の病原追加とすべきか検討を要する (2) <i>Phytophthora</i> sp. 植松清次ら:日植病報 90(3):164, 2024 [備考] シオジ(<i>F. platypoda</i>) に発生。<i>Phytophthora</i>属菌の新種と考えられる。病原(1)とは別種である (注) 病原追加	モクセイ科 Oleaceae トネリコ類 Ash <i>Fraxinus</i> spp. (広葉樹) 疫病 eki-byo Phytophthora disease <i>Phytophthora</i> sp. 植松清次ら:日植病報 85(3):255, 2019 [備考] シオジ(<i>F. platypoda</i>) に発生。<i>Phytophthora</i>属菌の新種と考えられる。トネリコ類苗疫病の病原追加とすべきか検討を要する
---	---

マツ科 Pinaceae ダグラスモミ(ダグラスファー, オレゴンパイン)(米松) Douglas fir	マツ科 Pinaceae ダグラスモミ(ダグラスファー, オレゴンパイン)(米松) Douglas fir
--	--

<i>Pseudotsuga menziesii</i> (Mirb.) Franco (針葉樹) ††アデロプス落葉病 <i>Adelopus-rakuyo-byo</i> Adelopus needle cast, Swiss needle cast (スイス落葉病) <i>Phaeocryptopus gaeumannii</i> (T. Rohde) Petrak [<i>Adelopus gaeumannii</i> T. Rohde] 伊藤一雄:林木の耐病性:58, 1959 [備考] 国内未発生 (注) 病原学名異名の種小名の後にスペース挿入	<i>Pseudotsuga menziesii</i> (Mirb.) Franco (針葉樹) ††アデロプス落葉病 <i>Adelopus-rakuyo-byo</i> Adelopus needle cast, Swiss needle cast (スイス落葉病) <i>Phaeocryptopus gaeumannii</i> (T. Rohde) Petrak [<i>Adelopus gaeumannii</i> T. Rohde] 伊藤一雄:林木の耐病性:58, 1959 [備考] 国内未発生
--	---

タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum) <i>Polygonum</i> spp. (野草) イブキトラノオ <i>Polygonum bistorta</i> auct. non L. ツルソバ <i>Polygonum chinense</i> L. イタドリ <i>Polygonum cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルタデ <i>Polygonum dumetorum</i> L. ミズヒキ <i>Polygonum filiforme</i> Thunb. ヤナギタデ <i>Polygonum hydropiper</i> L. サナエタデ <i>Polygonum lapathifolia</i> L. オオイヌタデ <i>Polygonum lapathifolium</i> L. subsp. <i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>Polygonum longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>Polygonum nepalensis</i> Meisn. オオケタデ <i>Polygonum orientalis</i> L. イシミカワ <i>Polygonum perfoliatum</i> L. ハナタデ <i>Polygonum posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i> (Meisn.) Ohwi ママコノシリヌグイ <i>Polygonum senticosum</i> (Meisn.) Franch. & Sav. アキノウナギツカミ <i>Polygonum sieboldii</i> Meisn. ミゾソバ <i>Polygonum thunbergii</i> Sieb. & Zucc.	タデ科 Polygonaceae タデ類 (Polygonum) <i>Polygonum</i> spp. (野草) イブキトラノオ <i>Polygonum bistorta</i> auct. non L. ツルソバ <i>Polygonum chinense</i> L. イタドリ <i>Polygonum cuspidatum</i> Sieb. & Zucc. ツルタデ <i>Polygonum dumetorum</i> L. ミズヒキ <i>Polygonum filiforme</i> Thunb. ヤナギタデ <i>Polygonum hydropiper</i> L. サナエタデ <i>Polygonum lapathifolia</i> L. オオイヌタデ <i>Polygonum lapathifolium</i> L. subsp. <i>nodosum</i> (Pers.) Kitam. イヌタデ <i>Polygonum longisetum</i> De Bruyn タニソバ <i>Polygonum nepalensis</i> Meisn. オオケタデ <i>Polygonum orientalis</i> L. イシミカワ <i>Polygonum perfoliatum</i> L. ハナタデ <i>Polygonum posumbu</i> Ham. var. <i>laxiflorum</i> (Meisn.) Ohwi ママコノシリヌグイ <i>Polygonum senticosum</i> (Meisn.) Franch. & Sav. アキノウナギツカミ <i>Polygonum sieboldii</i> Meisn. ミゾソバ <i>Polygonum thunbergii</i> Sieb. & Zucc.
--	--

ムカゴトラノオ <i>Polygonum viviparum</i> L. †††† <i>Lasiodiplodia</i> sp. 中野美希ら:日植病報 90(3):186, 2024 小斑点状の褐斑病斑の病徴を示す [備考] イタドリに発生 (注) 新宿主	ムカゴトラノオ <i>Polygonum viviparum</i> L.
--	--

ミズアオイ科 Pontederiaceae コナギ類 (Pontederia) <i>Pontederia</i> subgen. <i>Monochoria</i> (C.Presl) M.Pell. & C.N.Horn (野草) ミズアオイ <i>Monochoria korsakowii</i> Regel & Maack コナギ <i>Pontederia vaginalis</i> Burm.f. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode (1) <i>Hirschmanniella diversa</i> Sher レンコンネモグリセンチュウ 高木素紀ら:Nematological Research 41:53, 2011 [備考] ミズアオイに発生 (2) <i>Hirschmanniella oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey [<i>Hirschmannia oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ 川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963 [備考] コナギに発生。1968年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性はある	ミズアオイ科 Pontederiaceae コナギ類 (Monochoria) <i>Monochoria</i> spp. (野草) コナギ <i>Monochoria vaginalis</i> (Burm.) Presl var. <i>plantaginea</i> (Roxb.) Laub. 植物寄生性線虫 shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Hirschmanniella oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey [<i>Hirschmannia oryzae</i> (van Breda de Haan) Luc & Goodey] イネネモグリセンチュウ 川島嘉内:北日本病虫研報 14:112, 1963 [備考] コナギに発生。1968年以前の本属線虫の記録は別種との混同の可能性はある ----- ミズアオイ科 Pontederiaceae ミズアオイ Pickerel weed <i>Monochoria korsakowii</i> Regel & Maack (野草) 植物寄生性線虫* shokubutsu-kiseisei-senchu Plant parasitic nematode <i>Hirschmanniella diversa</i> Sher レンコンネモグリ
---	--

(注) 宿主統合による病名統合。宿主学名変更。 病名アスタリスク削除。ミズアオイの英名はそのまま残してよいですか。	センチュウ 高木素紀ら:Nematological Research 41:53, 2011
--	---

バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston Poti, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(5):241, 2024 (2) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 佐藤豊三ら:日植病報 60(3):339, 1994 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997 (3) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Poti, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(5):241, 2024 (4) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium eriobotryae</i> Spegazzini] Hemmi, T.:Journ. Coll. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 9(1):15, 1920 ; 原 攝祐:実験作物病理学:686, 1930(昭5) (5) <i>Colletotrichum karsti</i> You L. Yang, Zuo Y. Liu, K.D. Hyde & L. Cai Poti, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(5):241, 2024 (6) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde Poti, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(5):241, 2024	バラ科 Rosaceae ビワ(枇杷) Loquat, Japanese medlar <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley (果樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 佐藤豊三ら:日植病報 60(3):339, 1994 ; Sato, T. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 63(1):16, 1997 (2) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (3) <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardo [<i>Gloeosporium eriobotryae</i> Spegazzini] Hemmi, T.:Journ. Coll. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 9(1):15, 1920 ; 原 攝祐:実験作物病理学:686, 1930(昭5)
--	---

(注) 病原追加、病原順変更	
----------------	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 炭疽病 tanso-byo Crown rot, Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds [<i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato] Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki(2013)は果実から分離され た菌株を暫定的に系統群A2-Sとした (2) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; 佐藤豊三 ら:日植病報 83(1):43, 2017 (3) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉 章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; 佐藤豊三・森脇 丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et</i> <i>al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum fragariae</i> A.N. Brooks 山本 勉・福西 務:日植病報 36(3):165, 1970 ; 山 本 勉:植物防疫 25(2):61, 1971 ; 岡山健夫:奈良農 試研報 20:79, 1989 [備考] Weir, B.S. <i>et al.</i> (Stud. Mycol. 73:115, 2012) は, <i>C. fragariae</i> を <i>C. theobromicola</i> の異名とし ている (5) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) 炭疽病 tanso-byo Crown rot, Anthracnose (1) <i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds [<i>Colletotrichum carthami</i> (Fukui) S. Uematsu, Kageyama, Moriwaki & Toy. Sato] Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 [備考] Sato & Moriwaki(2013)は果実から分離され た菌株を暫定的に系統群A2-Sとした (2) <i>Colletotrichum aenigma</i> B.S. Weir & P.R. Johnston 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; 佐藤豊三 ら:日植病報 83(1):43, 2017 (3) <i>Colletotrichum fioriniae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉 章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; 佐藤豊三・森脇 丈治:植物防疫 67(2):113, 2013 ; Sato, T. <i>et</i> <i>al.</i>:JARQ 47(3):295, 2013 (4) <i>Colletotrichum fragariae</i> A.N. Brooks 山本 勉・福西 務:日植病報 36(3):165, 1970 ; 山 本 勉:植物防疫 25(2):61, 1971 ; 岡山健夫:奈良農 試研報 20:79, 1989 [備考] Weir, B.S. <i>et al.</i> (Stud. Mycol. 73:115, 2012) は, <i>C. fragariae</i> を <i>C. theobromicola</i> の異名とし ている (5) <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde
--	--

鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; Hirayama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(4):186, 2016 (6) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 (8) <i>Colletotrichum</i> sp. 山城 都ら:日植病報 90(3):175, 2024 [備考] <i>Colletotrichum subalidis</i>, <i>C. salicis</i>の近縁種 (9) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 岡山健夫:植物防疫 42(12):5, 1988 ; 岡山健夫・辻本 昭:日植病報 60(5):617, 1994 (注) 病原追加	鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 ; Hirayama, Y. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 82(4):186, 2016 (6) <i>Colletotrichum nymphaeae</i> (Passerini) Aa [<i>Colletotrichum acutatum</i> J.H. Simmonds, <i>Colletotrichum simmondsii</i> R.G. Shivas & Y.P. Tan] 松尾和敏・太田孝彦:日植病報 58(4):544, 1992 ; 石川成寿ら:関東病虫研報 39:129, 1992 ; 築尾嘉章ら:日植病報 58(4):554, 1992 ; Sato, T. & Moriwaki, J.:Microbiol. Cult. Coll. 29(1):13, 2013 ; 佐藤豊三・森脇丈治:植物防疫 67(7):367, 2013 (7) <i>Colletotrichum siamense</i> Prihastuti, L. Cai & K.D. Hyde 鈴木幹彦ら:日植病報 82(3):234, 2016 (8) <i>Glomerella cingulata</i> (G.F. Atkinson) Spaulding & H. Schrenk 岡山健夫:植物防疫 42(12):5, 1988 ; 岡山健夫・辻本 昭:日植病報 60(5):617, 1994
--	--

バラ科 Rosaceae ポテンティラ Potentilla <i>Potentilla</i> spp. (草花) ベニバナロウゲ <i>Potentilla nepalensis</i> Hook. べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora potentillae</i> de Bary 栢森美如ら:日植病報 79(3):182, 2013 (注) 文献著者名訂正	バラ科 Rosaceae ポテンティラ Potentilla <i>Potentilla</i> spp. (草花) ベニバナロウゲ <i>Potentilla nepalensis</i> Hook. べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora potentillae</i> de Bary 栢森美如ら:日植病報 79(3):182, 2013
---	--

バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose (1) <i>Colletotrichum fiorinae</i> (Marcelino & Gouli) Pennycook 後藤新一ら:日植病報 90(3):174, 2024 (2) <i>Colletotrichum godetiae</i> Neergaard 後藤新一ら:日植病報 90(3):174, 2024 (注) 新病名	バラ科 Rosaceae サクラ類(桜) Cherry <i>Prunus</i> spp. (広葉樹)
---	--

バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley 斑入果病 huirika-byo Dapple fruit (黄果病) Hop stunt viroid (H S Vd) ホップ矮化ウイルス 寺井康夫:日植病報 51(3):363, 1985 ; 畑谷達児ら: 日植病報 54(1):112, 1988 ; 寺井康夫:植物防疫 44(3):127, 1990 [備考] Plum系統による。黄果病は品種ソルダム での一病徴と考えられている (注) 病原略号修正	バラ科 Rosaceae スモモ(李) Plums <i>Prunus</i> spp. (果樹) ヨーロッパスモモ(プルーン) European plum, Prune <i>Prunus domestica</i> L. ニホンスモモ Japanese plum <i>Prunus salicina</i> Lindley 斑入果病 huirika-byo Dapple fruit (黄果病) Hop stunt viroid (H p SVd) ホップ矮化ウイルス 寺井康夫:日植病報 51(3):363, 1985 ; 畑谷達児ら: 日植病報 54(1):112, 1988 ; 寺井康夫:植物防疫 44(3):127, 1990 [備考] Plum系統による。黄果病は品種ソルダム での一病徴と考えられている
--	---

バラ科 Rosaceae	バラ科 Rosaceae
--------------	--------------

ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 胴枯細菌病 dogare-saikin-byo Bacterial canker (さび色胴枯病) (1) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 ; 藤川貴史・大田将禎:日植病報 86(3):232, 2020 [備考] 藤川・大田(2020)は, 本病原によるさび色胴枯病を本病へ変更した (2) <i>Dickeya fangzhongdai</i> Tian, Zhao, Yuan, Yi, Fan, Xu, Hu, De Boer & Li 2016 藤川貴史ら:日植病報 90(3):206, 2024 (注) 病原追加、備考変更	ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi 胴枯細菌病 dogare-saikin-byo Bacterial canker (さび色胴枯病) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 大田将禎・藤川貴史:日植病報 85(1):46, 2019 ; 藤川貴史・大田将禎:日植病報 86(3):232, 2020 [備考] 藤川・大田は, 本病原によるさび色胴枯病を本病へ変更した
--	--

バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi	バラ科 Rosaceae ナシ(梨) Pears <i>Pyrus</i> spp. (果樹) ホクシマメナシ(マンシュウマメナシ) <i>Pyrus betulaefolia</i> Bunge ニホンナシ Japanese pear <i>Pyrus serotina</i> Rehder var. <i>culta</i> Rehder チュウゴクナシ Chinese white pear <i>Pyrus ussuriensis</i> Maximowicz var. <i>sinensis</i> Kikuchi
--	--

†††† Pear chlorotic leaf spot-associated virus# (PCLSaV) ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス [Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV)] 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健 嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植 病報 86(3):221, 2020 ; 竹山さわな ら:日植病報 87(1):7, 2021 ; Kubota <i>et al.</i>:Plant Dis. 105(4):1234, 2021 ; 竹山さわな ら:日植病報 88(1):1, 2022 ; 竹 山さわな ら:日植病報 90(3):196, 2024 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセ ナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT- PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田ら(2020)は, JPCSaVと名付けた。その後, 竹山ら(2021)は, 本ウイルスがPCLSaVと同種で あることを報告した。神山ら(2020)は, 果梗の裂 傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆 した。戻し接種なし。竹山ら(2024)は, 本ウイル スが, ニセナシサビダニ媒介性であると報告した (注) 備考追加	†††† Pear chlorotic leaf spot-associated virus# (PCLSaV) ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス [Japanese pear chlorotic spot-associated virus# (JPCSaV)] 千秋祐也ら:日植病報 84(3):195, 2018 ; 久保田健 嗣ら:日植病報 86(3):221, 2020 ; 神山光子ら:日植 病報 86(3):221, 2020 ; 竹山さわな ら:日植病報 87(1):7, 2021 ; Kubota <i>et al.</i>:Plant Dis. 105(4):1234, 2021 ; 竹山さわな ら:日植病報 88(1):1, 2022 [備考] 葉に多数の微小退緑斑点を生じる。ニセ ナシサビダニによる吸汁害とされてきたが, RT- PCRにより, エマラウイルス様配列が検出され, 久保田ら(2020)は, JPCSaVと名付けた。その後, 竹山ら(2021)は, 本ウイルスがPCLSaVと同種で あることを報告した。神山ら(2020)は, 果梗の裂 傷および新梢の黒変・壊疽症状への関与を示唆 した。戻し接種なし
---	--

バラ科 Rosaceae ワレモコウ類 Burnet bloodwort, Great burnet <i>Sanguisorba</i> spp. (草花) シロバナトウウチソウ <i>Sanguisorba albiflora</i> (Makino) Makino ワレモコウ Great Burnet <i>Sanguisorba</i> <i>officinalis</i> L. ナガボノシロワレモコウ <i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fischer var. <i>alba</i> Trautv. & Mey. べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora sparsa</i> Berkeley 栢森美如ら:日植病報 79(3):182, 2013	バラ科 Rosaceae ワレモコウ類 Burnet bloodwort, Great burnet <i>Sanguisorba</i> spp. (草花) シロバナトウウチソウ <i>Sanguisorba albiflora</i> (Makino) Makino ワレモコウ Great Burnet <i>Sanguisorba</i> <i>officinalis</i> L. ナガボノシロワレモコウ <i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fischer var. <i>alba</i> Trautv. & Mey. べと病 beto-byo Downy mildew <i>Peronospora sparsa</i> Berkeley 栢森美如ら:日植病報 79(3):182, 2013
--	--

(注) 文献著者名訂正	
-------------	--

アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那, キナノキ) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) †フィロスチクタ病 <i>Phyllosticta</i>-byo (炭疽病) <i>Phyllosticta cinchonae</i> Patouillard 山田 済:病虫雑 11(12):671, 1924(大13); 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:140, 1977 [備考] ボリビアキナノキ(<i>Cinchona ledgeriana</i>) にも発生 (注) 宿主統合による病名統合、キナノキの宿主学名変更、備考追加	アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) フィロスチクタ病 <i>Phyllosticta</i>-byo (炭疽病) <i>Phyllosticta cinchonae</i> Patouillard 山田 済:病虫雑 11(12):671, 1924(大13); 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:140, 1977 ----- キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) †フィロスチクタ病 <i>Phyllosticta</i>-byo (炭疽病) <i>Phyllosticta cinchonae</i> Patouillard 山田 済:病虫雑 11(12):671, 1924(大13); 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:140, 1977
--	---

アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那, キナノキ) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) ††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome]	アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) ††赤衣病 akagoromo-byo Pink disease <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome]
--	--

渡邊龍雄:熱帯果樹と作物の病害:141, 1977 [備考] 病原菌の異名はイヌビワ赤衣病または,阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992 を参照 (注) 宿主統合による病名統合、キナノキの宿主学名変更	渡邊龍雄:熱帯果樹と作物の病害:141, 1977 [備考] 病原菌の異名はイヌビワ赤衣病参照 ----- キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) ††赤衣病 akagoromo-byo <i>Erythricium salmonicolor</i> (Berkeley & Broome) Burdsall [<i>Corticium salmonicolor</i> Berkeley & Broome] 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:141, 1977 [備考] 病原菌の学名は阿部恭久:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):316, 1992を参照
---	--

アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那, キナノキ) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) †疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora cinchonae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農事報 32(5):1, 1936(昭11) [備考] 台湾。ポリビアキナノキ (<i>Cinchona ledgeriana</i>) にも発生 (注) 宿主統合による病名統合、キナノキの宿主学名変更	アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) †疫病 eki-byo Phytophthora rot <i>Phytophthora cinchonae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農事報 32(5):1, 1936(昭11) [備考] 台湾。ポリビアキナノキ (<i>Cinchona ledgeriana</i>) にも発生 ----- キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) †疫病 eki-byo <i>Phytophthora cinchonae</i> Sawada 澤田兼吉:台湾農事報 32(5):1, 1936(昭11) [備考] 台湾。ポリビアキナノキ(<i>C. ledgeriana</i>) に
---	--

	も発生
--	-----

アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那, キナノキ) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) †褐色すす病* kasshoku-susu-byo Brown sooty mold <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 [備考] 台湾。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照 (注) 宿主統合による病名統合、キナノキの宿主学名変更	アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) †褐色すす病* kasshoku-susu-byo Brown sooty mold <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 [備考] 台湾。病原菌の異名はクチナシ†褐色すす病参照 ----- キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) †褐色すす病 kasshoku-susu-byo <i>Phaeosaccardinula javanica</i> (Zimmermann) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 [備考] 台湾
---	--

アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那, キナノキ) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) †すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Chaetoscorias vulgaris</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):36, 1957	アカネ科 Rubiaceae アカキナノキ(赤規那) Red bark quinine <i>Cinchona pubescens</i> Vahl (広葉樹) †すす病 susu-byo Black mildew, Sooty mold (1) <i>Chaetoscorias vulgaris</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954 [備考] 台湾
--	--

[備考] 台湾 (2) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):34, 1957 [備考] 台湾 (3) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953 [備考] 台湾 (注) 宿主統合による病名統合、キナノキの宿主学名変更	(2) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 [備考] 台湾 (3) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 1(1):46, 1953 [備考] 台湾 ----- キナノキ(規邦) Red bark quinine <i>Cinchona succirubra</i> Pav. (特用作物) すすす病 susu-byo (1) <i>Chaetoscorias vulgaris</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):44, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):3, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):36, 1957 [備考] 台湾。病名未提案 (2) <i>Neocapnodium tanakae</i> (Shirai & Hara) W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):45, 1953 ; 山本和太郎:日植病報 19(1-2):1, 1954 ; 山本和太郎:兵庫農大研報農生編 3(1):33, 1957 [備考] 台湾 (3) <i>Scorias communis</i> W. Yamamoto 山本和太郎:兵庫農大研報農学編 1(1):46, 1953 [備考] 台湾
---	--

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.
--	--

ウイルス病 viroid-byo Viroid disease (1) <i>Citrus bark cracking viroid</i> (CBCVd) カンキツバーククラッキングウイルス [Citrus IV viroid] (2) <i>Citrus bent leaf viroid</i> (CBLVd) カンキツベントリーフウイルス [Citrus I viroid#] (3) <i>Citrus dwarfing viroid</i> (CDVd) カンキツ矮化ウイルス [Citrus III viroid] Sano, T. <i>et al.</i>:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. <i>et al.</i>:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997 ; 畑谷達児:日植病報 79(1):68, 2013 (4) <i>Citrus viroid V</i> (CVd-V) カンキツウイルス V 伊藤隆男ら:日植病報 76(3):223, 2010 ; Ito, T. & Ohta, S.:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):348, 2010 [備考] カンキツ樹に発生 (5) <i>Hop stunt viroid</i> (HSVd) ホップ矮化ウイルス [Citrus II viroid#] Sano, T. <i>et al.</i>:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. <i>et al.</i>:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997 (6) F10 citrus viroid# (7) OS citrus viroid# 伊藤隆男ら:日植病報 63(6):484, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 64(4):425, 1998 [備考] ウイルス (1) ～ (3) は単独あるいは混合感染でカラタチ台バレンシアオレンジ樹にわい化などの症状を現すことが知られている (Roistacher, N. <i>et al.</i>:Proc. 12th Conf. IOCV:173, 1993)。 (6), (7) は仮称である (注) (5)病原略号修正	ウイルス病 viroid-byo Viroid disease (1) <i>Citrus bark cracking viroid</i> (CBCVd) カンキツバーククラッキングウイルス [Citrus IV viroid] (2) <i>Citrus bent leaf viroid</i> (CBLVd) カンキツベントリーフウイルス [Citrus I viroid#] (3) <i>Citrus dwarfing viroid</i> (CDVd) カンキツ矮化ウイルス [Citrus III viroid] Sano, T. <i>et al.</i>:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. <i>et al.</i>:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997 ; 畑谷達児:日植病報 79(1):68, 2013 (4) <i>Citrus viroid V</i> (CVd-V) カンキツウイルス V 伊藤隆男ら:日植病報 76(3):223, 2010 ; Ito, T. & Ohta, S.:J. Gen. Plant Pathol. 76(5):348, 2010 [備考] カンキツ樹に発生 (5) <i>Hop stunt viroid</i> (HpSVd) ホップ矮化ウイルス [Citrus II viroid#] Sano, T. <i>et al.</i>:Proc. Japan Acad. 62:325, 1986 ; Sano, T. <i>et al.</i>:Nucleic Acids Res. 16:347, 1988 ; 伊藤隆男ら:日植病報 62(6):614, 1996 ; 畑谷達児:植物防疫 51(4):163, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 63(3):193, 1997 (6) F10 citrus viroid# (7) OS citrus viroid# 伊藤隆男ら:日植病報 63(6):484, 1997 ; 伊藤隆男ら:日植病報 64(4):425, 1998 [備考] ウイルス (1) ～ (3) は単独あるいは混合感染でカラタチ台バレンシアオレンジ樹にわい化などの症状を現すことが知られている (Roistacher, N. <i>et al.</i>:Proc. 12th Conf. IOCV:173, 1993)。 (6), (7) は仮称である
---	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病) <i>Uncinula adunca</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>mandshurica</i> (Miura) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [<i>Uncinula salicis</i> auct. Jap. non Winter, <i>Uncinula mandshurica</i> Miura] 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明34) ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:127, 1928(昭3) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):356, 1937(昭12) ; 伊藤一雄:日本におけるポプラの寄生性病害:2, 1959 ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988 [備考] ドロノキ・ヤマナラシ。三浦 (1928) は中国東北部の<i>U. mandshurica</i> によるテリハドロウうどんこ病を報告した (注) 文献順修正	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew (粉病) <i>Uncinula adunca</i> (Wallroth) Léveillé var. <i>mandshurica</i> (Miura) R.Y. Zheng & G.Q. Chen [<i>Uncinula salicis</i> auct. Jap. non Winter, <i>Uncinula mandshurica</i> Miura] 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:127, 1928(昭3) ; 伊藤一雄:日本におけるポプラの寄生性病害:2, 1959 ; 出田 新:実用植物病理学:160, 1901(明34) ; Homma, Y.:Journ. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 38(3):356, 1937(昭12) ; 大谷吉雄:日本菌類誌 3(2):247, 1988 [備考] ドロノキ・ヤマナラシ。三浦 (1928) は中国東北部の<i>U. mandshurica</i> によるテリハドロウうどんこ病を報告した
---	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar
--	--

ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten, <i>Agaricus melleus</i> Vahl] ナラタケ 北島君三:樹病学及木材腐朽論:260, 1933(昭8) ; 帝 室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭 13) [備考] 病原菌の狭義の種については未検討 (注) 文献順修正	ならたけ病 naratake-byo Armillaria root rot (根朽病) <i>Armillaria mellea</i> (Vahl) P. Kummer [<i>Armillariella mellea</i> (Vahl) P. Karsten, <i>Agaricus melleus</i> Vahl] ナラタケ 帝室林野林試:森林病虫害図説病害編 1:7, 1938(昭13) ; 北島君三:樹病学及木材腐朽論:260, 1933(昭8) [備考] 病原菌の狭義の種については未検討
---	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar 腐らん病 furan-byo Cytospora canker (胴枯 病, 粗皮病) (1) <i>Valsa ceratosperma</i> (Tode) Maire [<i>Valsa ceratophora</i> Tulasne & C. Tulasne, <i>Valsa mali</i> Miyabe & G. Yamada ex Ideta, <i>Valsa theae</i> Hara, <i>Cytospora rosarum</i> Greville, <i>Cytospora mandshurica</i> Miura] 小口健夫:日林誌 52(10):300, 1970 (2) <i>Valsa germanica</i> Nitschke 小林享夫:山林 1093:32, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:115, 1970 (3) <i>Valsa salicina</i> (Persoon) Fries 小林享夫:山林 1093:32, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:117, 1970	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar 腐らん病 furan-byo Cytospora canker (胴枯 病, 粗皮病) (1) <i>Valsa ceratosperma</i> (Tode) Maire [<i>Valsa ceratophora</i> Tulasne & C. Tulasne, <i>Valsa mali</i> Miyabe & G. Yamada ex Ideta, <i>Valsa theae</i> Hara, <i>Cytospora rosarum</i> Greville, <i>Cytospora mandshurica</i> Miura] 小口健夫:日林誌 52(10):300, 1970 (2) <i>Valsa germanica</i> Nitschke 小林享夫:山林 1093:32, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:115, 1970 (3) <i>Valsa salicina</i> (Persoon) Fries 小林享夫:山林 1093:32, 1975 ; Kobayashi, T.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 226:117, 1970
--	--

(4) <i>Valsa sordida</i> Nitschke [<i>Cytospora chrysosperma</i> (Persoon) Fries] 富樫浩吾:札幌農林学会報 15(64):29, 1923(大12) ; 逸見武雄:教育農芸 11(11):1258, 1942(昭17) ; 伊藤一雄:林業技術 182:32, 1957 (注) 文献順修正	(4) <i>Valsa sordida</i> Nitschke [<i>Cytospora chrysosperma</i> (Persoon) Fries] 伊藤一雄:林業技術 182:32, 1957 ; 富樫浩吾:札幌農林学会報 15(64):29, 1923(大12) ; 逸見武雄:教育農芸 11(11):1258, 1942(昭17)
--	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ペスタロチア病* <i>Pestalotia-byo</i> Pestalotia disease, Pestalotia shoot blight, Pestalotia leaf spot (ペスタロチア枝枯病, 黒列病, 枝枯病, 輪紋病, ペスタロチア斑紋病) <i>Pestalotiopsis populi-nigrae</i> (Sawada & Kaz. Ito) M. Morelet [<i>Pestalotia populi-nigrae</i> Sawada & Kaz. Ito] Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 45:135, 1950 ; 澤田兼吉:林試研報 105:78, 1958 ; 千葉 修・小林享夫:日林誌 41(4):146, 1959 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992 (注) 文献順修正	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ペスタロチア病* <i>Pestalotia-byo</i> Pestalotia disease, Pestalotia shoot blight, Pestalotia leaf spot (ペスタロチア枝枯病, 黒列病, 枝枯病, 輪紋病, ペスタロチア斑紋病) <i>Pestalotiopsis populi-nigrae</i> (Sawada & Kaz. Ito) M. Morelet [<i>Pestalotia populi-nigrae</i> Sawada & Kaz. Ito] Ito, K.:Bull. Gov. For. Exp. Sta. 45:135, 1950 ; 千葉 修・小林享夫:日林誌 41(4):146, 1959 ; 澤田兼吉:林試研報 105:78, 1958 ; 小林享夫・勝本 謙:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):595, 1992
--	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹)	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹)
--	--

ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar マルゾニナ落葉病 <i>Marssonina-rakuyo-byo</i> Marssonina leaf blight <i>Marssonina brunnea</i> (Ellis & Everhart) Magnus [<i>Marssonina populicola</i> Miura] 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:480, 1928(昭3) ; 伊藤一雄:ポプラ 2:11, 1959 (注) 文献順修正	ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar マルゾニナ落葉病 <i>Marssonina-rakuyo-byo</i> Marssonina leaf blight <i>Marssonina brunnea</i> (Ellis & Everhart) Magnus [<i>Marssonina populicola</i> Miura] 伊藤一雄:ポプラ 2:11, 1959 ; 三浦密成:満蒙植物 誌 3, 隠花植物・菌類:480, 1928(昭3)
--	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar 紫紋羽病 <i>murasaki-mompa-byo</i> Violet root rot <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka [<i>Stypinella</i> <i>mompa</i> (Tanaka) Lindau, <i>Septobasidium mompa</i> (Tanaka) Raciborski] 出田 新:実用植物病理学:205, 1901(明34) ; 出田 新:日本植物病理学(下):553, 1911(明44) (注) 文献順修正	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar 紫紋羽病 <i>murasaki-mompa-byo</i> Violet root rot <i>Helicobasidium mompa</i> Nobuj. Tanaka [<i>Stypinella</i> <i>mompa</i> (Tanaka) Lindau, <i>Septobasidium mompa</i> (Tanaka) Raciborski] 出田 新:日本植物病理学(下):553, 1911(明44) ; 出 田 新:実用植物病理学:205, 1901(明34)
--	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar
---	---

<i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ††がんしゅ細菌病 ganshu-saikin-byo (がんしゅ性細菌病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 [<i>Bacterium rimaefaciens</i> (Koning) Isiyama & Muko] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌 388, 1941(昭16); 岡部徳夫:植物細菌病学:381, 1949; 伊藤一雄:林業技術 181:32, 1957; 伊藤一雄:樹病学大系 1:239, 1971 [備考] 国内未発生。伊藤が病原としている <i>Pseudomonas syringae</i> f. sp. <i>populea</i> Sabet の学名は1980年1月1日をもって失効したが, pv. <i>syringae</i> との関係は不明である (注) 文献順修正	<i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ††がんしゅ細菌病 ganshu-saikin-byo (がんしゅ性細菌病) <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>syringae</i> van Hall 1902 [<i>Bacterium rimaefaciens</i> (Koning) Isiyama & Muko] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌 388, 1941(昭16); 岡部徳夫:植物細菌病学:381, 1949; 伊藤一雄:樹病学大系 1:239, 1971; 伊藤一雄:林業技術 181:32, 1957 [備考] 国内未発生。伊藤が病原としている <i>Pseudomonas syringae</i> f. sp. <i>populea</i> Sabet の学名は1980年1月1日をもって失効したが, pv. <i>syringae</i> との関係は不明である
--	---

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ††白星病 shirahoshi-byo Septoria leaf spot (セプトリア斑点病) (1) <i>Mycosphaerella populicola</i> G.E. Thompson [<i>Septoria populicola</i> Peck] (2) <i>Mycosphaerella populorum</i> G.E. Thompson	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar ††白星病 shirahoshi-byo Septoria leaf spot (セプトリア斑点病) (1) <i>Mycosphaerella populicola</i> C.H. Thompson [<i>Septoria populicola</i> Peck] (2) <i>Mycosphaerella populorum</i> G.E. Thompson
---	---

[<i>Septoria musiva</i> Peck] 伊藤一雄:林業技術 181:32, 1957 [備考] 国内未発生 (注) (1)病原学名命名者名修正	[<i>Septoria musiva</i> Peck] 伊藤一雄:林業技術 181:32, 1957 [備考] 国内未発生
---	--

ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar †フィロスチクタ斑点病 <i>Phyllosticta-hanten-byo</i> <i>Phyllosticta populea</i> Saccardo 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:409, 1928(昭3) ; 伊藤一雄:林業技術 181:34, 1957 [備考] 中国東北部 (注) 文献順修正	ヤナギ科 Salicaceae ポプラ類 Poplar <i>Populus</i> spp. (広葉樹) ドロノキ類 Balsam poplar クロヤマナラシ類 Black poplar ヤマナラシ類 Aspen ギンドロ類 White poplar †フィロスチクタ斑点病 <i>Phyllosticta-hanten-byo</i> <i>Phyllosticta populea</i> Saccardo 伊藤一雄:林業技術 181:34, 1957 ; 三浦密成:満蒙植物誌 3, 隠花植物・菌類:409, 1928(昭3) [備考] 中国東北部
---	--

ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キリ(桐) Paulownia, Princesstree <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud. (広葉樹) 腐らん病 furan-byo Canker (立枯病, 腐爛病) <i>Cytospora paulowniae</i> (Miyabe & Hemmi) Y. Hattori, Masuya & C. Nakashima [<i>Valsa paulowniae</i> Miyabe & Hemmi] 北島君三:山林彙報 13:1223, 1916(大5) ; Hemmi,	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae キリ(桐) Paulownia, Princesstree <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud. (広葉樹) 腐らん病 furan-byo Canker (立枯病, 腐爛病) <i>Valsa paulowniae</i> Miyabe & Hemmi 北島君三:山林彙報 13:1223, 1916(大5) ; Hemmi, T.:Bot. Mag. Tokyo 30(357):304, 1916(大5)
---	---

T.:Bot. Mag. Tokyo 30(357):304, 1916(大5) ; Hattori, Y. <i>et al.</i>:Mycoscience 65(4):156, 2024 (注) 病原学名変更	
--	--

ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L. †††† ウイルス (未同定) 田原 緑ら:日植病報 90(3):200, 2024 [備考] ナルナウイルス科の新規RNAウイルス (注) 新宿主	ナス科 Solanaceae トウガラシ(唐芥子, 蕃椒) Red pepper, Hot pepper <i>Capsicum annuum</i> L. var. <i>annuum</i> (野菜) ピーマン Sweet pepper <i>Capsicum annuum</i> L.
--	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化葉巻病 oka-hamaki-byo Yellow leaf curl (1) <i>Lisianthus enation leaf curl virus</i> (LELCV) トルコギキョウひだ葉葉巻ウイルス Taniguchi, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(1):35, 2023 ; 小枝壮太ら:日植病報 90(3):191, 2024 (2) <i>Tomato yellow leaf curl virus</i> (TYLCV) トマ ト黄化葉巻ウイルス 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 ; Ueda, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(4):319, 2005 [備考] RT-PCR による検出。本ウイルスは ICTV	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) 黄化葉巻病 oka-hamaki-byo Yellow leaf curl (1) <i>Lisianthus enation leaf curl virus</i> (LELCV) トルコギキョウひだ葉葉巻ウイルス Taniguchi, M. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 89(1):35, 2023 (2) <i>Tomato yellow leaf curl virus</i> (TYLCV) トマ ト黄化葉巻ウイルス 大貫正俊ら:日植病報 63(6):482, 1997 ; Kato, K. <i>et al.</i>:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 64(6):552, 1998 ; Ueda, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 71(4):319, 2005 [備考] RT-PCR による検出。本ウイルスは ICTV
--	---

では <i>Tomato yellow leaf curl virus-Is, -Sr, -Th, -Ye</i> に分けられているので、それらとの異同の検討を要する (注) 文献追加	では <i>Tomato yellow leaf curl virus-Is, -Sr, -Th, -Ye</i> に分けられているので、それらとの異同の検討を要する
--	--

ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 84(1):61, 2018 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):124, 2018 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違いは明確でない (2) <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤本岳人ら:日植病報 85(3):312, 2019 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):423, 2020 (3) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39(4):351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (4) <i>Pectobacterium parmentieri</i> Khayi, Cigna, Chong,	ナス科 Solanaceae ジャガイモ(馬鈴薯) Potato <i>Solanum tuberosum</i> L. (食用作物) 黒あし病 kuroashi-byo Black leg (黒脚病) (1) <i>Dickeya dianthicola</i> Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 [<i>Dickeya</i> sp., <i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 84(1):61, 2018 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):124, 2018 [備考] 本菌による萎凋細菌病と黒あし病の違いは明確でない (2) <i>Dickeya chrysanthemi</i> (Burkholder, McFadden & Dimock 1953) Samson, Legendre, Christen, Fishcher-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 藤本岳人ら:日植病報 85(3):312, 2019 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 86(5):423, 2020 (3) <i>Pectobacterium atrosepticum</i> (van Hall 1902) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 [<i>Bacillus phytophthorus</i> Appel, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>atroseptica</i> (van Hall 1902) Dye 1969] 石山信一・向 秀夫:植物病原細菌誌:152, 1941(昭16) ; 尾崎政春ら:日植病報 34(5):362, 1968 ; 谷井昭夫ら:日植病報 39(4):351, 1973 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 (4) <i>Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto
--	--

Quetu-Laurent, Chan, Helias & Faure 2016 <i>[Pectobacterium wasabiae</i> (Goto & Matsumoto 1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003, <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41(3):280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 ; 中山尊登ら:日植病報 90(3):207, 2024 (5) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss & Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:Plant Dis. 101(1):241, 2017 (注) 病原学名変更	1987) Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003 <i>[Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> (Jones 1901) Bergey, Harrison, Breed, Hammer & Huntoon 1923, <i>Pectobacterium carotovorum</i> (Jones 1901) Waldee 1945 emend. Gardan, Gouy, Christen & Samson 2003] 谷井昭夫・赤井 純:日植病報 41(3):280, 1975 ; 川上清隆ら:植物防疫調査研究報告 13:19, 1976 ; 谷井昭夫:北海道立農試報 45:1, 1984 ; 藤本岳人ら:日植病報 83(3):236, 2017 (5) <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>brasiliense</i> (Duarte, De Boer, Ward & de Oliveira 2004) Nabhan, De Boer, Maiss & Wydra 2012 藤本岳人ら:日植病報 82(3):277, 2016 ; Fujimoto, T. <i>et al.</i>:Plant Dis. 101(1):241, 2017
--	--

エゴノキ科 Styracaceae オオバアサガラ(大葉麻殻) Epaulette tree <i>Pterostyrax hispidus</i> Siebold & Zucc. (広葉樹) 疫病 eki-byo Phytophthora disease <i>Phytophthora</i> sp. 植松清次ら:日植病報 90(3):164, 2024 [備考] <i>Phytophthora</i>属の新種 (注) 新病名	エゴノキ科 Styracaceae オオバアサガラ(大葉麻殻) Epaulette tree <i>Pterostyrax hispidus</i> Siebold & Zucc. (広葉樹)
--	---

ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅)	ツバキ科 Theaceae サザンカ(山茶花, 茶梅)
---	---

Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 平もち病 hiramochi-byo Exobasidium leaf blister <i>Exobasidium sasanqua</i> Hara & Ezuka 江塚昭典・原 攝祐:農及園 34(9):1352, 1959 ; 江 塚昭典:日菌報 31(3):385, 1990 (注) 文献表記修正	Sasanqua camellia <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (広葉樹) 平もち病 hiramochi-byo Exobasidium leaf blister <i>Exobasidium sasanqua</i> Hara & Ezuka 江塚昭典・原 攝祐:農及園 34(9):1352, 1959 ; 江 塚昭典:日菌報 31(3), 385, 1990
---	--

ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪斑病 rinhan-byo Gray blight (1) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. 野澤俊介ら:日植病報 85(3):255, 2019 ; Nozawa, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 88(5):293, 2022 [備考] 病原(2)との異同について検討を要する (2) <i>Pestalotiopsis longiseta</i> (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [<i>Pestalotia longiseta</i> Spegazzini] 臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990 ; 臺 喜吉ら: 横浜植防調報 26:4, 1990 (3) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia</i> <i>theae</i> Sawada, <i>Pestalozzia theae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):13, 1913(大2) ; 宇 田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978 (4) <i>Pseudopestalotiopsis chinensis</i> F. Liu & L. Cai 山田憲吾・羽野愛理:日植病報 89(3):212, 2023 ; 山田憲吾・羽野愛理:関西病虫研報 66:68, 2024 (注) 文献追加	ツバキ科 Theaceae チャ(茶) Tea <i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze (特用作物) 輪斑病 rinhan-byo Gray blight (1) <i>Neopestalotiopsis</i> spp. 野澤俊介ら:日植病報 85(3):255, 2019 ; Nozawa, S. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 88(5):293, 2022 [備考] 病原(2)との異同について検討を要する (2) <i>Pestalotiopsis longiseta</i> (Spegazzini) K. Dai & Tak. Kobayashi [<i>Pestalotia longiseta</i> Spegazzini] 臺 喜吉ら:日植病報 56(1):149, 1990 ; 臺 喜吉ら: 横浜植防調報 26:4, 1990 (3) <i>Pestalotiopsis theae</i> (Sawada) Steyaert [<i>Pestalotia</i> <i>theae</i> Sawada, <i>Pestalozzia theae</i> Sawada] 澤田兼吉:台湾博物学会報 3(9):13, 1913(大2) ; 宇 田川俊一ら:菌類図鑑(下):1190, 1978 (4) <i>Pseudopestalotiopsis chinensis</i> F. Liu & L. Cai 山田憲吾・羽野愛理:日植病報 89(3):212, 2023
---	---

スミレ科 <i>Violaceae</i> スミレ類 <i>Viola</i> spp. (草花) パンジー(サンシキスミレ・ビオラ) <i>Garden pansy</i> <i>Viola × wittrockiana</i> Gams ビオラ・コルヌータ <i>Horned violet</i> <i>Viola cornuta</i> L. ニオイスマレ <i>Sweet violet</i> <i>Viola odorata</i> L. †††† <i>Viola</i> white distortion associated virus# (VWDaV) ビオラ白色奇形随伴ウイルス 河野紘輝ら:日植病報 90(3):189, 2024 [備考] ビオラに発生。RNAの配列解析による検出 (注) 新宿主	スミレ科 <i>Violaceae</i> スミレ類 <i>Viola</i> spp. (草花) パンジー(サンシキスミレ・ビオラ) <i>Garden pansy</i> <i>Viola × wittrockiana</i> Gams ビオラ・コルヌータ <i>Horned violet</i> <i>Viola cornuta</i> L. ニオイスマレ <i>Sweet violet</i> <i>Viola odorata</i> L.
--	--

ショウガ科 <i>Zingiberaceae</i> ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 褐色しみ病 <i>kasshoku-shimi-byo</i> Brown rhizome rot <i>Musidium stromaticum</i> (W. Gams & R.H. Stover) Giraldo López & Crous 林 一沙・矢野和孝:日植病報 87(1):28, 2021 ; 林一沙ら:日植病報 89(3):151, 2023 ; Hayashi, K. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 90(4):223, 2024 [備考] 林・矢野(2021)が<i>Plectosphaerella</i> sp.とした本病原を林ら(2023)が再同定した (注) 文献追加、病名英名変更	ショウガ科 <i>Zingiberaceae</i> ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 褐色しみ病 <i>kasshoku-shimi-byo</i> Brown blotted root rot <i>Musidium stromaticum</i> (W. Gams & R.H. Stover) Giraldo López & Crous 林 一沙・矢野和孝:日植病報 87(1):28, 2021 ; 林一沙ら:日植病報 89(3):151, 2023 [備考] 林・矢野(2021)が<i>Plectosphaerella</i> sp.とした本病原を林ら(2023)が再同定した
--	--

シヨウガ科 Zingiberaceae ミヨウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 葉鞘褐色腐敗病 yosho-kasshoku-fuhai-byo Brown stem blight <i>Musidium stromaticum</i> (W. Gams & R.H. Stover) Giraldo López & Crous 岡田知之ら:日植病報 90(3):177, 2024 (注) 新病名	シヨウガ科 Zingiberaceae ミヨウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜)
--	---

2025 年（令和 7 年）8 月 22 日

日本植物病名目録 新旧対照表

日本植物病名目録(2025年2月版)の正誤情報ならびに同版刊行後に本学会病名委員会が新たに審査終了した新病名，病原追加，病名・学名変更，文献追加等の情報を本表に示します。

病名委員長 佐藤 衛

左段: 修正案 / 右段: 現行データ

マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 疫病 eki-byo <i>Phytophthora rot</i> (1) <i>Phytophthora cinnamomi</i> Rands 池田亜紀ら:九病虫研会報 70:59, 2024 (2) <i>Phytophthora citrophthora</i> (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998 (注) 文献訂正。発表内容が2023年と2024年で同じだが、2023年は、発表取り下げとなったのに、誤って掲載されていたとのこと	マタタビ科 Actinidiaceae キウイフルーツ(キウイ, チュウゴクサルナシ) Kiwi fruit, Kiwi, Chinese gooseberry <i>Actinidia deliciosa</i> (A. Chevalier) C.F. Liang & A.R. Ferguson var. <i>deliciosa</i> [<i>Actinidia chinensis</i> Planchon] (果樹) オニマタタビ Gold kiwi <i>Actinidia chinensis</i> Planch. 疫病 eki-byo <i>Phytophthora rot</i> (1) <i>Phytophthora cinnamomi</i> Rands 池田亜紀ら:九病虫研会報 69:31, 2023 (2) <i>Phytophthora citrophthora</i> (R.E. Smith & E.H. Smith) Leonian 植松清次ら:日植病報 64(4):433, 1998
--	---

ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot	ウルシ科 Anacardiaceae マンゴー(檬果) Mango, Indian mango <i>Mangifera indica</i> L. (果樹) 枝枯細菌病 edagare-saikin-byo Bacterial shoot
---	---

blight (1) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 Febryani, N. <i>et al.</i> :Jpn. J. Phytopathol. 81(3):300, 2015 ; 澤岷哲也ら:九病虫研会報 70:1, 2024 (2) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 宮平奈央ら:日植病報 74(3):253, 2008 (3) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 櫛間義幸ら:日植病報 85(1):94, 2019 (注) 文献追加	blight (1) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 Febryani, N. <i>et al.</i> :Jpn. J. Phytopathol. 81(3):300, 2015 (2) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 宮平奈央ら:日植病報 74(3):253, 2008 (3) <i>Pseudomonas cichorii</i> (Swingle 1925) Stapp 1928 櫛間義幸ら:日植病報 85(1):94, 2019
--	--

キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花) こうがいかび病 kogai-kabi-byo <i>Choanephora cucurbitarum</i> (Berkeley & Ravenel) Thaxter 齋藤隆明ら:北日本病虫研報 75:142, 2024 (注) 新病名。病名英名提案なし	キク科 Asteraceae, Compositae キク(菊) Chrysanthemum <i>Dendranthema grandiflorum</i> Kitamura [<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.] (草花)
--	--

ムラサキ科 Boraginaceae ワスレナグサ(ワスルナグサ) Forget-me-not <i>Myosotis scorpioides</i> L. (草花) 根腐病 negusare-byo Root rot <i>Globisporangium irregulare</i> (Buisman) Uzuhashi, Tojo & Kakishima	ムラサキ科 Boraginaceae ワスレナグサ(ワスルナグサ) Forget-me-not <i>Myosotis scorpioides</i> L. (草花)
--	---

五十嵐美優ら:日植病報 91(1):34, 2025 (注) 新病名	
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) ミズナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group †††† Mibuna temperate virus# (MTV) ミズナ潜伏ウイルス 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984 [備考] その他のアブラナ科類ウイルス病(Virus)とされていた。ミズナに発生 (注) 備考修正	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae キョウナ(ミズナ) Mizuna <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group (野菜) ミズナ <i>Brassica rapa</i> L. Japonica Group †††† Mibuna temperate virus# (MTV) ミズナ潜伏ウイルス 夏秋知英:宇都宮大農学報特輯 43:1, 1984 [備考] ウイルス病(Virus)とされていた。ミズナ
---	---

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(臺菜) Spinach mustard, Tendergreen mustard <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜) うどんこ病 udonko-byo Powdery mildew <i>Pseudoidium</i> sp. 田中貴幸・東條元昭:日植病報 91(1):34, 2025 [備考] コマツナに発生 (注) 新病名	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae コマツナ(小松菜)・ノザワナ(野沢菜)・トウナ(臺菜) Spinach mustard, Tendergreen mustard <i>Brassica rapa</i> L. Perviridis Group (野菜)
---	--

アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae	アブラナ科 Brassicaceae, Cruciferae
--------------------------------	--------------------------------

ナズナ類 (Capsella) <i>Capsella</i> spp. (野草) ナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. オオナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. var. <i>pinnata</i> Makino 菌核病 kinkaku-byo Sclerotinia rot <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (Libert) de Bary 山内智史:関東病虫研報 71:16, 2024 [備考] ナズナに発生 (注) 新病名	ナズナ類 (Capsella) <i>Capsella</i> spp. (野草) ナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. オオナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medik. var. <i>pinnata</i> Makino
---	--

アカザ科 Chenopodiaceae キヌア(キノア) Quinoa <i>Chenopodium quinoa</i> Willd. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping off <i>Aphanomyces cochlioides</i> Drechsler 桂 恵輔ら:日植病報 89(3):211, 2023 ; Kawasumi, R. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 91(2):126, 2025 [備考] 養液栽培下での発生 (注) 文献追加	アカザ科 Chenopodiaceae キヌア(キノア) Quinoa <i>Chenopodium quinoa</i> Willd. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping off <i>Aphanomyces cochlioides</i> Drechsler 桂 恵輔ら:日植病報 89(3):211, 2023 [備考] 養液栽培下での発生
--	--

アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot	アカザ科 Chenopodiaceae ホウレンソウ(菠薐草, 菠菜) Spinach <i>Spinacia oleracea</i> L. (野菜) 株腐病 kabugusare-byo Foot rot
--	--

<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 河合一郎:園芸病害編:272, 1954 ; 奥田純一郎・古田力:日植病報 29(2):89, 1964 ; Naiki, T. & Kanoh, M.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 44(5):554, 1978 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 67:94, 2016 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 ; 三澤知央・角野晶大:北日本病虫研報 75:1, 2024 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。Naiki, T. & Kanoh(1978)の病原は, 菌糸融合群 AG-1, 2-1, 2-2, 4, 三澤ら(2016)の病原は, 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, AG-4 HG-I, Misawa & Kurose(2019)の病原は, 菌糸融合群 AG-4 HG-III, 三澤ら(2024)の病原は, 菌糸融合群 AG-2-1 Subset 1 (注) 文献追加、備考変更	<i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 河合一郎:園芸病害編:272, 1954 ; 奥田純一郎・古田力:日植病報 29(2):89, 1964 ; Naiki, T. & Kanoh, M.:Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 44(5):554, 1978 ; 三澤知央ら:北日本病虫研報 67:94, 2016 ; Misawa, T. & Kurose, D.:J. Gen. Plant Pathol. 85(4):282, 2019 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照。Naiki, T. & Kanoh(1978)の病原は, 菌糸融合群 AG-1, 2-1, 2-2, 4, 三澤ら(2016)の病原は, 菌糸融合群 AG-1 培養型 IB, AG-4 HG-I, Misawa & Kurose(2019)の病原は, AG-4 HG-III
--	--

ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 茎根腐細菌病 kuki-negusare-saikin-byo Bacterial stem and root rot (1) <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 田村逸美ら:日植病報 64(4):376, 1998 [備考] 病原菌のpathovarは未決定 (2) <i>Dickeya dadantii</i> Samson, Legendre, Christen, Fischer-Le Saux, Achouak & Gardan 2005 福元智博ら:日植病報 91(1):51, 2025 [備考] 病原(1)との異同は不明 (注) 病原追加	ヒルガオ科 Convolvulaceae サツマイモ(甘藷) Sweet potato <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. (食用作物) 茎根腐細菌病 kuki-negusare-saikin-byo Bacterial stem and root rot <i>Dickeya</i> sp. [<i>Erwinia chrysanthemi</i> Burkholder, McFadden & Dimock 1953] 田村逸美ら:日植病報 64(4):376, 1998 [備考] 病原菌のpathovarは未決定
--	--

ウリ科 Cucurbitaceae	ウリ科 Cucurbitaceae
--------------------------	--------------------------

メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group †††† <i>Cucurbit aphid-borne yellows virus</i> (CABYV) 小幡善也ら:日植病報 91(1):29, 2025 [備考] 黄化症状を示すメロンからRT-PCRにより 検出。戻し接種の結果報告なし (注) 新宿主	メロン Melon <i>Cucumis</i> spp. (野菜) ネットメロン Netted melon <i>Cucumis melo</i> L. Reticulatus Group カンタロープ Cantaloupe <i>Cucumis melo</i> L. Cantalupensis Group ウィンターメロン Winter melon <i>Cucumis melo</i> L. Inodorus Group
--	---

ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜) 葉腐病 hagusare-byo <i>Rhizoctonia</i> sp. 本藏良三ら:北日本病虫研報 75:142, 2024 (注) 新病名、病名英名提案なし	ウリ科 Cucurbitaceae キュウリ(胡瓜, 黄瓜) Cucumber <i>Cucumis sativus</i> L. (野菜)
--	---

ツツジ科 Ericaceae ベニバナイチヤクソウ (Pyrola) <i>Pyrola incarnata</i> (DC.) Fisch. ex Freyn (草花)	ツツジ科 Ericaceae
--	-------------------

褐斑病 kappan-byo Brown leaf spot <i>Phyllosticta neopyrolae</i> Wikee, Crous, Motohashi, K.D. Hyde & McKenzie 太田琴美ら:日植病報 91(1):9, 2025 (注) 新病名、新規宿主	
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 株枯病 kabugare-byo Base and stolon rot <i>Fusarium vanettenii</i> O'Donnell, Geiser, Kasson & T. Aoki [<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex)] 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 ; 佐藤豊三ら:関東病虫研報 65:61, 2018 ; 佐藤豊三ら:日植病報 88(3):223, 2022 ; 佐藤豊三ら:関東病虫研報 70:15, 2023 [備考] ウラルカンゾウ, スペインカンゾウに発生。ウラルカンゾウ株枯病菌については佐藤ら(2023)を参照 (注) 病原統合	マメ科 Fabaceae, Leguminosae カンゾウ(甘草) Licorice <i>Glycyrrhiza</i> spp. (特用作物) シナカンゾウ <i>Glycyrrhiza echinata</i> L. スペインカンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> L. ウラルカンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 株枯病 kabugare-byo Base and stolon rot (1) <i>Fusarium vanettenii</i> O'Donnell, Geiser, Kasson & T. Aoki 佐藤豊三ら:日植病報 88(3):223, 2022 ; 佐藤豊三ら:関東病虫研報 70:15, 2023 [備考] スペインカンゾウに発生 (2) <i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) 佐藤豊三ら:日植病報 84(1):42, 2018 ; 佐藤豊三ら:関東病虫研報 65:61, 2018 [備考] ウラルカンゾウに発生
---	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物)	マメ科 Fabaceae, Leguminosae インゲンマメ(インゲン, 菜豆) Kidney bean, Garden bean, Haricot bean <i>Phaseolus vulgaris</i> L. (食用作物)
--	--

こうがいかび病 kogai-kabi-byo <i>Choanephora cucurbitarum</i> (Berkeley & Ravenel) Thaxter 齋藤隆明ら:北日本病虫研報 75:142, 2024 (注) 新病名。英名提案なし	
--	--

マメ科 Fabaceae, Leguminosae サクヤアカササゲ Zombi pea, wild cowpea <i>Vigna vexillata</i> (L.) A.Rich. var. <i>vexillata</i> (野草) 種苗腐敗病 shubyo-fuhai-byo Seed and seedling rot <i>Fusarium annulatum</i> Bugnicourt 前上門 陽ら:土と微生物 78:78, 2024 (注) 新病名、新規宿主	マメ科 Fabaceae, Leguminosae
---	----------------------------------

リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) 茎腐病 kukigusare-byo Stem rot <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 岩田康広ら:日植病報 57(1):123, 1991 ; 堀田治邦・児玉不二雄:日植病報 61(6):646, 1995 [備考] <i>F. roseum</i> は <i>Fusarium avenaceum</i> の異名。 高橋英樹ら(日植病報 91(1):14, 2025)は、本病原菌による立ち枯れ症状を報告した (注) 備考追加	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) 茎腐病 kukigusare-byo Stem rot <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo 岩田康広ら:日植病報 57(1):123, 1991 ; 堀田治邦・児玉不二雄:日植病報 61(6):646, 1995 [備考] <i>F. roseum</i> は <i>Fusarium avenaceum</i> の異名
---	--

リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花) †††† Gentian Kobu-sho-associated virus# (GKaV) リンドウこぶ症関連ウイルス 藤崎恒喜ら:日植病報 91(1):16, 2025 [備考] 次世代シーケンスによる検出。戻し接種なし (注) 新宿主	リンドウ科 Gentianaceae トルコギキョウ Russell prairie gentian <i>Eustoma grandiflorum</i> (Raf.) Shinn. (草花)
---	--

イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 縞萎縮病 shima-ishuku-byo Yellow mosaic (モザイク病) (1) <i>Barley mild mosaic virus</i> (BaMMV) オオムギ微斑ウイルス 野村 研ら:関東病虫研報 39:33, 1992 (2) <i>Barley yellow mosaic virus</i> (BaYMV) オオムギ縞萎縮ウイルス 鑄方末彦・河合一郎:農改資 154:1, 1940(昭15) (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae オオムギ(大麦) Barley <i>Hordeum vulgare</i> L. (食用作物) 縞萎縮病 shima-ishuku-byo Yellow mosaic (モザイク病) <i>Barley yellow mosaic virus</i> (BaYMV) オオムギ縞萎縮ウイルス 鑄方末彦・河合一郎:農改資 154:1, 1940(昭15)
--	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice
--	--

<i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗腐病 naegusare-byo Seed and seedling rot (苗腐敗病, 粃種腐敗病, 苗綿腐敗病, 猫毛病) (1) <i>Achlya americana</i> Humphrey 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) (2) <i>Achlya flagellata</i> Coker 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):232, 1978 (3) <i>Achlya klebsiana</i> Pieters 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):233, 1978 (4) <i>binucleate Rhizoctonia</i> 戸田 武ら:日植病報 88(3):229, 2022 [備考] 菌糸融合群 AG-B, AG-C, AG-F。水稻直播栽培での報告 (5) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg 菊池亮汰・戸田 武:日植病報 91(1):14, 2025 (6) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 菊池亮汰・戸田 武:日植病報 91(1):14, 2025 (7) <i>Dictyuchus sterilis</i> Coker (8) <i>Pythiomorpha miyabeana</i> S. Ito & Nagai [備考] <i>Phytophthora megasperma</i> Drechslerの異名 (9) <i>Pythiomorpha oryzae</i> S. Ito & Nagai 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) [備考] <i>Phytophthora japonica</i> G.M. Waterh.の異名 (10) <i>Pythium</i> spp. 高橋勝太郎:病虫雑 5(5):357, 1918(大7);伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:北大農紀 32:201, 1933(昭8) (11) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 戸田 武ら:日植病報 88(3):229, 2022 [備考] 菌糸融合群 AG-11。水稻直播栽培での報告 (12) <i>Sclerotium hydrophilum</i> Saccardo 菊池亮汰・戸田 武:日植病報 91(1):14, 2025	<i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗腐病 naegusare-byo Seed and seedling rot (苗腐敗病, 粃種腐敗病, 苗綿腐敗病, 猫毛病) (1) <i>Achlya americana</i> Humphrey 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) (2) <i>Achlya flagellata</i> Coker 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) ; 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):232, 1978 (3) <i>Achlya klebsiana</i> Pieters 宇田川俊一ら:菌類図鑑(上):233, 1978 (4) <i>binucleate Rhizoctonia</i> 戸田 武ら:日植病報 88(3):229, 2022 [備考] 菌糸融合群 AG-B, AG-C, AG-F。水稻直播栽培での報告 (5) <i>Dictyuchus sterilis</i> Coker (6) <i>Pythiomorpha miyabeana</i> S. Ito & Nagai [備考] <i>Phytophthora megasperma</i> Drechslerの異名 (7) <i>Pythiomorpha oryzae</i> S. Ito & Nagai 伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) [備考] <i>Phytophthora japonica</i> G.M. Waterh.の異名 (8) <i>Pythium</i> spp. 高橋勝太郎:病虫雑 5(5):357, 1918(大7);伊藤誠哉・永井政次:北大農紀 32:45, 1931(昭6) ; 伊藤誠哉・徳永芳雄:北大農紀 32:201, 1933(昭8) (9) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 戸田 武ら:日植病報 88(3):229, 2022 [備考] 菌糸融合群 AG-11。水稻直播栽培での報告
---	--

(注) 病原追加	
----------	--

イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (苗いちょう病, ムレ病, 急性萎凋症, 萎凋性立枯 病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (2) <i>Fusarium commune</i> K. Skovgaard, O'Donnell & Nirenberg 菊池亮汰・戸田 武:日植病報 91(1):14, 2025 (3) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 山本賢一郎ら:日植病報 84(3):201, 2018 (4) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (5) <i>Mucor fragilis</i> Bainier 茨木忠雄:日植病報 42(3):332, 1976 ; 青木孝之:植物病原菌類図説(小林享夫ら編):72, 1992 [備考] Schipper, M.A.A.(Stud.Mycol. 12:37, 1976) は本菌を疑問種にあげており, 分類学的検討を要する (6) <i>Phoma</i> sp. 茨木忠雄:日植病報 43(3):316, 1977 (7) <i>Phytophthium litorale</i> (Nechwatal) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016	イネ科 Gramineae, Poaceae イネ(稲) Rice <i>Oryza sativa</i> L. (食用作物) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Seedling blight (苗いちょう病, ムレ病, 急性萎凋症, 萎凋性立枯 病) (1) <i>Fusarium avenaceum</i> (Fries) Saccardo [<i>Fusarium roseum</i> Link f. sp. <i>cereale</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen] 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 山本賢一郎ら:日植病報 84(3):201, 2018 (3) <i>Fusarium solani</i> (Martius) Saccardo 原 攝祐:稲の病害:68, 1959 ; 奈須田和彦ら:北陸病虫研報 9:104, 1961 ; 小野小三郎:イネの病害:215, 1966 (4) <i>Rhizopus chinensis</i> Saito (5) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs [<i>Rhizopus nodosus</i> Namyslowski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa] (6) <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer (7) <i>Rhizopus javanicus</i> Y. Takeda 茨木忠雄:日植病報 39(2):141, 1973 ; 矢尾板恒雄ら:北陸病虫研報 24:60, 1976 ; 郷 直俊ら:北陸病虫研報 26:90, 1978 [備考] <i>R. chinensis</i> は <i>R. microsporus</i> v. Tieghem var. <i>chinensis</i> (Saito) Schipper & Stalpers の異名。
--	---

(8) <i>Pythium arrhenomanes</i> Drechsler 戸田 武ら:日植病報 75(3):236, 2009 ; 松浦昌平 ら:日植病報 78(4):301, 2012 (9) <i>Pythium catenulatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (10) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (11) <i>Pythium graminicola</i> Subramanian 梅原吉廣ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美 ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:植物防 疫 38:218, 1984 (12) <i>Pythium inflatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (13) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (14) <i>Pythium marsipium</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (15) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (16) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (17) <i>Rhizopus chinensis</i> Saito (18) <i>Rhizopus oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs [<i>Rhizopus nodosus</i> Namyslowski, <i>Rhizopus delemar</i> (Boidin) Wehmer & Hanzawa] (19) <i>Rhizopus arrhizus</i> A. Fischer (20) <i>Rhizopus javanicus</i> Y. Takeda 茨木忠雄:日植病報 39(2):141, 1973 ; 矢尾板恒雄 ら:北陸病虫研報 24:60, 1976 ; 郷 直俊ら:北陸病 虫研報 26:90, 1978 [備考] <i>R. chinensis</i> は <i>R. microsporus</i> v. Tieghem var. <i>chinensis</i> (Saito) Schipper & Stalpers の異名。 <i>R. arrhizus</i>, <i>R. javanicus</i> は <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs の異名とする報告がある (Schipper, M.A.A:Stud. Mycol. 25:1-34, 1984) (21) <i>Sclerotium hydrophilum</i> Saccardo	<i>R. arrhizus</i>, <i>R. javanicus</i> は <i>R. oryzae</i> Went & Prinsen Geerligs の異名とする報告がある (Schipper, M.A.A:Stud. Mycol. 25:1-34, 1984) (8) <i>Trichoderma viride</i> Persoon ex S.F. Gray 茨木忠雄:日植病報 40(3):189, 1974 (9) <i>Mucor fragilis</i> Bainier 茨木忠雄:日植病報 42(3):332, 1976 ; 青木孝之:植 物病原菌類図説(小林享夫ら編):72, 1992 [備考] Schipper, M.A.A.(Stud.Mycol. 12:37, 1976) は本菌を疑問種にあげており, 分類学的検討を要 する (10) <i>Phoma</i> sp. 茨木忠雄:日植病報 43(3):316, 1977 (11) <i>Pythium arrhenomanes</i> Drechsler 戸田 武ら:日植病報 75(3):236, 2009 ; 松浦昌平 ら:日植病報 78(4):301, 2012 (12) <i>Pythium catenulatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (13) <i>Pythium dissotocum</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (14) <i>Pythium graminicola</i> Subramanian 梅原吉廣ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美 ら:日植病報 49(3):389, 1983 ; 小川勝美ら:植物防 疫 38:218, 1984 (15) <i>Pythium inflatum</i> V.D. Matthews 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (16) <i>Pythium irregulare</i> Buisman 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (17) <i>Pythium marsipium</i> Drechsler 畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 (18) <i>Pythium spinosum</i> Sawada 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (19) <i>Pythium sylvaticum</i> W.A. Campbell & F.F. Hendrix 加藤重博ら:日植病報 50(1):114, 1984 (20) <i>Phytophthium litorale</i> (Nechwatal) Abad, de Cock, Bala, Robideau, Lodhi & Lévesque
---	--

菊池亮汰・戸田 武:日植病報 91(1):14, 2025 (22) <i>Trichoderma viride</i> Persoon ex S.F. Gray 茨木忠雄:日植病報 40(3):189, 1974 [備考] <i>Py. torulosum</i>, <i>Py. aristosporum</i> も関与しているとの報告がある (遠藤頼嗣・茨木忠雄:北日本病虫研報 37:189, 1986) (注) 病原追加、病原順変更。最後の備考は、病原の備考ではなく、病名の全体的な備考と思われるので、このまま最後に残す。	畑 和秀ら:日植病報 82(3):215, 2016 [備考] <i>Py. torulosum</i>, <i>Py. aristosporum</i> も関与しているとの報告がある (遠藤頼嗣・茨木忠雄:北日本病虫研報 37:189, 1986)
---	---

イネ科 Gramineae, Poaceae サトウキビ(甘蔗) Sugar cane <i>Saccharum officinarum</i> L. (特用作物) 赤すじ病 akasuji-byo Red stripe (赤条性細菌病, 赤条病) (1) <i>Acidovorax avenae</i> subsp. <i>avenae</i> (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 [<i>Xanthomonas rubrilineans</i> (Lee, Purdy, Barnum & Martin) Starr & Burkholder, <i>Bacterium rubrilineans</i> (Lee, Purdy, Barnum & Martin) Elliott] 岡部徳夫:熱帯農学会誌 5(1):32, 1933(昭8) ; 栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病虫害図説:29, 1965 (2) <i>Acidovorax sacchari</i> Sawada, Shinohara, Takashima, Naito & Satou 2025 篠原弘亮:微採取報 15:29, 2003 ; Sawada, H. <i>et al.</i>:Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 75(2):006575, 2025 (注) 病原追加	イネ科 Gramineae, Poaceae サトウキビ(甘蔗) Sugar cane <i>Saccharum officinarum</i> L. (特用作物) 赤すじ病 akasuji-byo Red stripe (赤条性細菌病, 赤条病) <i>Acidovorax avenae</i> subsp. <i>avenae</i> (Manns 1909) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley 1992 [<i>Xanthomonas rubrilineans</i> (Lee, Purdy, Barnum & Martin) Starr & Burkholder, <i>Bacterium rubrilineans</i> (Lee, Purdy, Barnum & Martin) Elliott] 岡部徳夫:熱帯農学会誌 5(1):32, 1933(昭8) ; 栄 政文・松田鋤男:サトウキビ病虫害図説:29, 1965
--	---

ハエモドルム科 Haemodoraceae アニゴザントス(カンガルー・ポー) Kangaroo paw	
---	--

<i>Anigozanthos</i> spp. (草花) 立枯病 tachigare-byo Fusarium blight (1) <i>Fusarium chlamydosporum</i> Wollenweber & Reinking 佐藤 衛ら:日植病報 59(1):74, 1993 (2) <i>Fusarium pallidroseum</i> (Cooke) Saccardo 佐藤 衛ら:日植病報 59(1):74, 1993 (注) 新病名、新規科新規宿主	
--	--

ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off (1) <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 三澤知央・角野晶大:北日本病虫研報 75:6, 2024 [備考] 三澤(2024)の病原菌は、菌糸融合群 AG-2-1 Subset 1 (2) <i>Rhizoctonia</i> sp. 山本 勉・上原 等:植物防疫 26(4):153, 1972 (注) 文献・備考追加	ユリ科 Liliaceae ネギ(葱) Welsh onion, Spring onion <i>Allium fistulosum</i> L. (野菜) 苗立枯病 nae-tachigare-byo Damping-off <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 山本 勉・上原 等:植物防疫 26(4):153, 1972 [備考] 病菌の異名はトマト苗立枯病参照
---	--

ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜) 黒かび病 kurokabi-byo Black mold <i>Aspergillus welwitschiae</i> (Bresàdola) Hennings	ユリ科 Liliaceae ニンニク(大蒜) Garlic <i>Allium sativum</i> L. (野菜)
--	---

小林亜沙人ら:日植病報 91(1):9, 2025 (注) 新病名	
--	--

ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 株腐病 kabugusare-byo (1) <i>Fusarium moniliforme</i> J. Sheldon 橋本典久ら:日植病報 56(3):385, 1990 (2) <i>Fusarium proliferatum</i> (Matsushima) Nirenberg ex Gerlach & Nirenberg 堂面那由和ら:北日本病虫研報 69:45, 2018 ; 児玉不二雄ら:日植病報 91(1):45, 2025 [備考] 児玉ら(2025)は若茎にサビ症状を引き起こすことを報告した (注) 病原追加	ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 株腐病 kabugusare-byo <i>Fusarium moniliforme</i> J. Sheldon 橋本典久ら:日植病報 56(3):385, 1990
---	--

ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 立枯病 tachigare-byo <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>asparagi</i> S.I. Cohen 鑑谷大節ら:北農 30(7):12, 1963 ; 鈴井孝仁・鑑谷大節:北日本病虫研報 16:38, 1965 ; 原田敏男ら:関東病虫研報 23:49, 1976 ; 児玉不二雄ら:日植病報 91(1):45, 2025 [備考] 児玉ら(2025)は、本病原菌が若茎にサビ症	ユリ科 Liliaceae アスパラガス(石勺柏) Asparagus <i>Asparagus officinalis</i> L. (野菜) 立枯病 tachigare-byo <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>asparagi</i> S.I. Cohen 鑑谷大節ら:北農 30(7):12, 1963 ; 鈴井孝仁・鑑谷大節:北日本病虫研報 16:38, 1965 ; 原田敏男ら:関東病虫研報 23:49, 1976
---	--

状を引き起こすことを報告した (注) 文献・備考追加	
--	--

バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) パナマ病 Panama-byo Fusarium wilt, Panama disease, Banana wilt (萎ちょう病) (1) †<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium incarnatum-equiseti</i> species complex) Pangilinan, D.C.J.C. et al.:Jpn. J. Phytopathol. 90(3):176, 2024 [備考] フィリピン (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 二谷貴夫ら:日植病報 83(3):185, 2017 ; Nitani, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):165, 2018 [備考] 島バナナ(<i>Musa × paradisiaca</i>)に発生 (3) †<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>cubense</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 中村重正ら:日植病報 37(3):172, 1971 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:10, 1977 [備考] 台湾・中南米・フィリピン (4) †<i>Fusarium</i> sp. (the <i>Fusarium solani</i> species complex) Pangilinan, D.C.J.C. et al.:Jpn. J. Phytopathol. 90(3):176, 2024 [備考] フィリピン (5) †<i>Fusarium</i> sp. 野澤俊介ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] フィリピン。新種の<i>Fusarium</i> 属菌。品種“キャベンディッシュ” (注) 学名表記を他と揃えた	バショウ科 Musaceae バナナ(甘蕉, 香蕉) Bananas <i>Musa</i> spp.及び種間雑種 (果樹) パナマ病 Panama-byo Fusarium wilt, Panama disease, Banana wilt (萎ちょう病) (1) †<i>Fusarium incarnatum-equiseti</i> species complex (FIESC) Pangilinan, D.C.J.C. et al.:Jpn. J. Phytopathol. 90(3):176, 2024 [備考] フィリピン (2) <i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal 二谷貴夫ら:日植病報 83(3):185, 2017 ; Nitani, T. et al.:J. Gen. Plant Pathol. 84(2):165, 2018 [備考] 島バナナ(<i>Musa × paradisiaca</i>)に発生 (3) †<i>Fusarium oxysporum</i> Schlechtendal f. sp. <i>cubense</i> W.C. Snyder & H.N. Hansen 中村重正ら:日植病報 37(3):172, 1971 ; 渡邊龍雄:熱帯の果樹と作物の病害:10, 1977 [備考] 台湾・中南米・フィリピン (4) †<i>Fusarium solani</i> species complex (FSSC) Pangilinan, D.C.J.C. et al.:Jpn. J. Phytopathol. 90(3):176, 2024 [備考] フィリピン (5) †<i>Fusarium</i> sp. 野澤俊介ら:日植病報 89(1):9, 2023 [備考] フィリピン。新種の<i>Fusarium</i> 属菌。品種“キャベンディッシュ”
---	--

フトモモ科 Myrtaceae ユーカリ類(有加利) Gum <i>Eucalyptus</i> spp. (広葉樹) 斑点落葉病 hanten-rakuyo-byo <i>Stemphylium</i> sp. 堀越紀夫ら:北日本病虫研報 75:159, 2024 (注) 新病名、病名英名提案なし	フトモモ科 Myrtaceae ユーカリ類(有加利) Gum <i>Eucalyptus</i> spp. (広葉樹)
---	--

モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種 (広葉樹) †††† Ligustrum virus A (LVA) イボタノキウイルスA 太田真莉ら:日植病報 91(1):6, 2025 [備考] 全ゲノム配列解析による同定。戻し接種なし (注) 新宿主	モクセイ科 Oleaceae ライラック(ムラサキハシドイ) Lilac <i>Syringa vulgaris</i> L. 及び1代交配種 (広葉樹)
---	--

ラン科 Orchidaceae シラン Bletilla <i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Rchb. fil. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis fabiopsis</i> J. Zhang, M.D. Wu & G.Q. Li 河原崎秀志・加藤孝太郎:日植病報 89(3):210,	ラン科 Orchidaceae シラン Bletilla <i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Rchb. fil. (草花) 灰色かび病 haiiro-kabi-byo Gray mold <i>Botrytis fabiopsis</i> J. Zhang, M.D. Wu & G.Q. Li 河原崎秀志・加藤孝太郎:日植病報 89(3):210, 2023
---	--

2023 ; 河原崎秀志・加藤孝太郎:日植病報 91(1):1, 2025 (注) 文献追加	
--	--

ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) †††† (1) <i>Cycas necrotic stunt virus</i> (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018; 一木(植原)珠樹ら:関東病虫研報 67:30, 2021 [備考] モザイク症状。遺伝子解析による検出, 戻し接種なし (2) <i>Gentian Kobu-sho-associated virus</i># (GKaV) リンドウこぶ症関連ウイルス 藤崎恒喜ら:日植病報 91(1):16, 2025 [備考] 次世代シーケンスによる検出。戻し接種なし (注) 病原追加	ボタン科 Paeoniaceae シャクヤク(芍薬) Chinese peony <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (草花) †††† <i>Cycas necrotic stunt virus</i> (CNSV) ソテツえそ萎縮ウイルス 一木(植原)珠樹ら:日植病報 84(3):196, 2018; 一木(植原)珠樹ら:関東病虫研報 67:30, 2021 [備考] モザイク症状。遺伝子解析による検出, 戻し接種なし
---	---

ジュズサンゴ科 Petiveriaceae ジュズサンゴ Rougeplant pigeonberry, Bloodberry <i>Rivina humilis</i> L. (野草) 炭疽病 tanso-byo Anthracnose <i>Colletotrichum tropicale</i> E.I. Rojas, S.A. Rehner & Samuels 芦田 晃ら:日植病報 91(1):22, 2025	
---	--

(注) 新病名、新規科新規宿主	
-----------------	--

バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜) アルタナリア果実腐敗病 <i>Alternaria-kajitsu-fuhai</i>- byo Fruit rot <i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler 花岡朋絵ら:北日本病虫研報 75:71, 2024 (注) 新病名	バラ科 Rosaceae イチゴ(オランダイチゴ, クサイチゴ, 莓) Strawberry <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> Duchesne (野菜)
---	---

ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus</i> <i>trifoliata</i> (L.) Raf. 果頂部晩腐病 kachobu-osogusare-byo Fruit apex ripe rot <i>Diaporthe citri</i> (H.S. Fawcett) F.A. Wolf 三好孝典ら:日植病報 91(1):35, 2025 [備考] 品種せとか, 不知火に発生 (注) 新病名	ミカン科 Rutaceae カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus</i> <i>trifoliata</i> (L.) Raf.
--	--

ミカン科 Rutaceae	ミカン科 Rutaceae
---------------	---------------

カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf. †††† <i>Penicillium</i> sp. 田代暢哉・草葉基章:日植病報 91(1):51, 2025 [備考] ウンシュウミカンの果頂部付近に褐変症状 (注) 新宿主	カンキツ(柑橘)類 Citrus <i>Citrus</i> spp. 等 (果樹) カンキツ(柑橘) Citrus <i>Citrus</i> spp. キンカン(金柑) Kumquats <i>Fortunella</i> spp. カラタチ(枳殻) Trifoliate orange <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.
--	---

ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea</i> <i>Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba 緑化病 ryokka-byo Virescence ‘<i>Candidatus</i> Phytoplasma asteris’ 赤堀真子ら:日植病報 91(1):11, 2025 [備考] 葉化病の病原(1)とは系統が異なる	ユキノシタ科 Saxifragaceae アジサイ(紫陽花) Hortensia <i>Hydrangea</i> spp. (広葉樹) タマアジサイ <i>Hydrangea</i> <i>Hydrangea involucrata</i> Sieb. ヤマアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>acuminata</i> Makino ベニガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>japonica</i> Makino コアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. var. <i>serrata</i> Makino f. <i>thunbergii</i> Makino エゾアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. var. <i>megacarpa</i> (Ohwi) H. Ohba
--	--

(注) 新病名	
---------	--

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜)	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) ††††黄化えそ病 oka-eso-byo Spotted wilt (1) <i>Groundnut ringspot virus</i> Williams, L. V. <i>et al.</i>:Plant Dis. 85(12):1227, 2001 [備考] アルゼンチン。ELISAによる検出。戻し接種なし (2) <i>Tomato chlorotic spot virus</i> Williams, L. V. <i>et al.</i>:Plant Dis. 85(12):1227, 2001 [備考] アルゼンチン。ELISAによる検出。戻し接種なし
(注) 病名削除 (アルゼンチンでの病気)	

ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) †††† †††<i>Columnea latent viroid</i> (CLVd) 田中さおり ら:日植病報 89(3):170, 2023 ; Tanaka, S. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 91(2):115, 2025 [備考] タイ産トマト種子から輸入検疫時に発見された	ナス科 Solanaceae トマト(蕃茄) Tomato <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. (野菜) †††† †††<i>Columnea latent viroid</i> (CLVd) コルムネア潜在ウィロイド 田中さおり ら:日植病報 89(3):170, 2023 [備考] タイ産トマト種子から輸入検疫時に発見された
(注) 文献追加	

アオギリ科 Sterculiaceae カカオ Cacao <i>Theobroma cacao</i> L. (特用作物) (注) 病名削除 (フィリピンでの病気)	アオギリ科 Sterculiaceae カカオ Cacao <i>Theobroma cacao</i> L. (特用作物) † <i>Colletotrichum</i> sp. (the <i>Colletotrichum gigasporum</i> species complex) 高田美輝ら:日植病報 90(1):29, 2024 [備考] 果実腐敗。フィリピン
---	--

ツバキ科 Theaceae ヒサカキ(野茶, 枌) (Eurya) <i>Eurya japonica</i> Thunb. (広葉樹) ††††枝葉枯病 edahagare-byo Brown thread blight 未同定(糸状菌) 市原 優ら:森林総研研報 23(3):93, 2024 (注) 新病名。病名提案書では、病名を「袈裟掛病」とすることが提案されていたが、袈裟の色が様々であるため、根拠文献の提案通りとした	ツバキ科 Theaceae ヒサカキ(野茶, 枌) (Eurya) <i>Eurya japonica</i> Thunb. (広葉樹)
---	---

キシメジ科 Tricholomataceae エノキタケ(榎茸) Winter mushroom, Velvet foot <i>Flammulina velutipes</i> (Curtis) Singer (きのこ)	キシメジ科 Tricholomataceae エノキタケ(榎茸) Winter mushroom, Velvet foot <i>Flammulina velutipes</i> (Curtis) Singer (きのこ)
--	--

褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown soft-rot (1) <i>Erwinia</i> sp. 土屋健一ら:日植病報 51:344, 1985 [備考] 子実体に発生 (2) <i>Ewingella americana</i> Grimont, Farmer, Grimont, Asbury, Brenner & Deval 1984 芳川 諒ら:日植病報 91(1):11, 2025 (3) <i>Janthinobacterium agaricidamnosum</i> Lincoln, Fermor & Tindall 1999 芳川 諒ら:日植病報 91(1):11, 2025 (注) 病原追加	褐色腐敗病 kasshoku-fuhai-byo Bacterial brown soft-rot <i>Erwinia</i> sp. 土屋健一ら:日植病報 51:344, 1985 [備考] 子実体に発生
--	--

ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 黄化病 oka-byo Yellows ‘<i>Candidatus</i> Phytoplasma asteris’ 岡田知之・下元祥史:日植病報 91(1):28, 2025 (注) 新病名	ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜)
--	--

ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜) 紋枯病 mongare-byo Sheath blight <i>Rhizoctonia solani</i> J.G. Kühn 古谷眞二:日植病報 59(1):73, 1993	ショウガ科 Zingiberaceae ミョウガ(囊荷) Mioga <i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Rosc. (野菜)
--	--

(注) 新病名	
---------	--

ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 褐色しみ病 kasshoku-shimi-byo Brown rhizome rot <i>Musidium stromaticum</i> (W. Gams & R.H. Stover) Giraldo López & Crous 林 一沙・矢野和孝:日植病報 87(1):28, 2021 ; 林 一 沙ら:日植病報 89(3):151, 2023 ; Hayashi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(4):223, 2024 ; 佐藤豊三ら:日植 病報 91(1):8, 2025 [備考] 林・矢野(2021)が<i>Plectosphaerella</i> sp.とした 本病原を林ら(2023)が再同定した。佐藤豊三ら (2025)は、本病原による茎枯れ症状を報告した (注) 病徴・文献追加	ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 褐色しみ病 kasshoku-shimi-byo Brown rhizome rot <i>Musidium stromaticum</i> (W. Gams & R.H. Stover) Giraldo López & Crous 林 一沙・矢野和孝:日植病報 87(1):28, 2021 ; 林 一 沙ら:日植病報 89(3):151, 2023 ; Hayashi, K. <i>et al.</i>:J. Gen. Plant Pathol. 90(4):223, 2024 [備考] 林・矢野(2021)が<i>Plectosphaerella</i> sp.とした 本病原を林ら(2023)が再同定した
--	--

ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 貯蔵根茎腐敗病 chozo-konkei-fuhai-byo Storage rhizome rot (1) <i>Globisporangium spinosum</i> (Sawada) Uzuhashi, Tojo & Kakishima [<i>Pythium spinosum</i> Sawada] 山崎睦子ら:日植病報 81(3):215, 2015 (2) <i>Globisporangium splendens</i> (Hans Braun) Uzuhashi, Tojo & Kakishima	ショウガ科 Zingiberaceae ショウガ(生姜, 薑) Ginger <i>Zingiber officinale</i> (Willd.) Rosc. (野菜) 貯蔵根茎腐敗病 chozo-konkei-fuhai-byo Storage rhizome rot <i>Pythium spinosum</i> Sawada 山崎睦子ら:日植病報 81(3):215, 2015
--	--

帆足美伸:農及園 100(2):137, 2025 (注) (2)病原追加、(1)病原学名変更(Index Fungorum による)	
---	--

付録) 日本植物病理学会病名委員会細則

- 第1条 この細則は、日本植物病理学会（以下「本学会」という。）会則第13条の規定に基づき、病名委員会（以下「委員会」という。）が行う植物の病名等に関する審議に関し必要な事項を定める。
- 第2条 この細則において、次に掲げる用語の意義は以下に定めるところによる。
- (1) 植物とは、食用作物、特用作物、牧草及び芝草、野草、野菜、きのこ、草花、果樹、針葉樹、竹笹、広葉樹をいう。
 - (2) 病名等とは、病名（和名と英名）、病原名、根拠文献をいう。
- 第3条 委員会は、以下に掲げる事項について審議を行う。
- (1) 病名の決定および病名の変更
 - (2) 病原名の決定および病原名の変更、追加
 - (3) 根拠文献の採録、変更、追加
- 第4条 病名等の命名、変更は委員会が制定する「植物における新病名等命名基準」に従うこととする。
- 第5条 病名等の審議では2名以上の病名委員が審査を行い、病名委員長が最終決定を行う。
- 第6条 病名等の対象は原則として日本国内で発生した植物の病気とするが、輸入検疫で認められた病気ならびに海外に発生する病気も含めることができる。
- 第7条 報告者は病名等に関する学術報告を行った後に、本学会所定の様式「新病名等命名申請書」に必要事項を記入し、根拠文献の別刷又はコピーを添えて病名委員長に申請することとする。ただし、病名等の提案が日本植物病理学会報あるいは *Journal of General Plant Pathology* における学術論文により行われる場合には、編集委員長は病名委員会に意見を求めることとし、報告者は「新病名等命名申請書」による申請を省略できることとする。
- 第8条 病名等は原則として、病気あるいは病原の第一報告者による提案を尊重する。
- 第9条 委員会は学術雑誌等による病名等の提案を認め、報告者が病名等の申請を行わない場合に、報告者に病名等の申請を求めることができる。
- 第10条 委員会は次のような場合に、委員会の責任で病名等を決定、変更できる。
- (1) 報告者が病名等の申請を行わない場合に、報告者へ連絡することなく病名等を決定、変更することができる。
 - (2) 病原の報告はあるが病名等の報告がない場合でも、必要に応じて病名等を新たに決定することができる。
 - (3) 過去にさかのぼって病名等を決定、変更することができる。
- 第11条 委員会が審査し決定する病名等は、本学会会員が学術上の目的により使用する際の基準とするもので、一般書や普及情報等における病気の慣用的な名称等の使用を妨げるものではない。
- 第12条 委員会による審査は病名の有効性あるいは病原名等の妥当性に関し行うもので、病原名の分類学上の正当性等は対象としない。
- 第13条 委員会により決定された病名等は、本学会が刊行する「日本植物病名目録」ならびに同「追録」、あるいはそれらが本学会ホームページ上に公表された時点で、正式病名等として発効することとする。

付 則

- 1 この細則は平成 18 年 6 月 3 日より施行する。

付録) 植物における新病名等命名基準

新しく発生した植物の病気に病名を命名しようとする場合、病原名を確定しようとする場合、病名を変更しようとする場合、病原名を変更あるいは追加しようとする場合、報告者は以下の基準にしたがって新病名等を付して公表し、提案するものとする。

- 1 報告者は、本学会所定の様式「新病名等命名申請書」(様式1)に必要な事項を記入し、根拠文献の別刷又はコピーを添えて病名委員長に申請することとする。ただし、病名等の提案が日本植物病理学会報あるいは *Journal of General Plant Pathology* における学術論文(講演要旨を除く)により行われる場合には、報告者は「新病名等命名申請書」による申請を省略できる。
- 2 病名の命名等は、原則として自然発病により明確な病徴あるいは被害が認められるものに対し行う。
- 3 以下の(1)~(4)のうちいずれかの条件を満たす場合には、新しく病名を付けることができる。
 - (1) 日本において新たに自然発生が認められた病気。
 - (2) 輸入検疫において発見された国内未発生の病気。
 - (3) 海外において発生している病気で、日本に紹介する病気。
 - (4) 既に病名が付されている病気で、病名を変更することが適切として提案する場合。
- 4 報告者は原則として次に掲げる(1)~(4)の学術雑誌のいずれかに、病名等に関する報告を行うものとする。そのうち、(1)に論文報告した場合には申請手続きを省略できるが、(2)~(4)に報告した場合には、申請手続きが必要である。ただし、下記の(1)~(4)の学術雑誌以外に報告が行われた場合も、申請があれば審査を行う。本学会以外の講演要旨ならびに商業誌等における病名等の提案は、原則として認めない。
 - (1) 日本植物病理学会報, *Journal of General Plant Pathology*
 - (2) 日本菌学会会報, *Mycoscience*
 - (3) 土と微生物
 - (4) 病害虫研究会報(北日本, 北陸, 関東東山, 関西, 島根, 九州), 四国植防
- 5 病名等は本学会の講演要旨でも提案できるが、報告者はすみやかに「病害短信」あるいは「Disease Note」等により正式提案することが望ましい。
- 6 病名等に関する学術報告には、発生確認年月、発生場所(少なくとも県名)、宿主植物名、病徴、病原名、同定の根拠、ならびに病原性の証明(病徴再現)のすべてが記載されることが望ましい。なお、ウイルス、ファイトプラズマ、その他培養できない病原については、2つ以上の同定方法(たとえば、血清反応とPCR)による病原同定が望ましい。
- 7 病名和名は、次の基準にしたがって命名する。
 - (1) 病名和名は、植物の病徴、病気の性質を的確に表す表現とする。
 - (2) 原則として1植物ごとに1病原1病名とする。ただし、異なった2種以上の病原によって起こる病気で、病徴による区別が困難なものについては1病名とする(例: 苗立枯病)。
 - (3) 複数病原の感染により際だった病徴を表す場合には、新たに病名を命名できる。
 - (4) 同一病原による種々の植物の病名は、病徴が極端に異なる場合を除いて同一病名とする(例: 灰色かび病)。
 - (5) 発病部位によって異なった特徴があり、いずれも慣用されて重要と認められる病気については、それぞれについて病名を命名できる(例: ナシ輪紋病, いぼ皮病)。
 - (6) 細菌による病気のうち「〇〇細菌病」を使用する場合には、原則として「〇〇性細菌病」とはせず「〇〇細菌病」とする。
 - (7) 病徴が明確でないウイルス病については、和名の病名を「ウイルス」とし、和文表記:「ウイルス」、ローマ字表記:「Uirusu」、英名の病名:「Virus」と記載する。なお、備考欄に「無病徴」、「戻し接種不成功」、「接木により伝染」、「PCRによる検出」などの記載を付ける。
 - (8) 線虫が1宿主から得られた場合、病徴あるいは被害が明確なものを「〇〇線虫病」とする。
 - (9) きこの病気については、ほだ木や菌床に生える他の菌類等もきのこ生産を阻害する病原として記載し、病名を決定する。
- 8 病名等には常用漢字の他に、「褐」、「斑」、「萎」、「縞」、「疽」、「凋」、「叢」、「穎」、

「尻」，「ひらがな」および「カタカナ」を使用できる．

9 病名のローマ字は，ヘボン式で表記する．

10 病名和名と病原和名にはカタカナの乱用は避け，できるだけ和語（漢語）を使用する（例：「イエローリーフカール」→「黄化葉巻」）．

11 ウイルス学名は，原則として印刷公表された「国際ウイルス分類委員会報告」によるものとする．

付）本基準は，病名調査委員会による「日本有用植物における新病名命名基準（日植病報 58:167）」を元に，2006 年 6 月 2 日に病名委員会において改訂したものである．

付録) 日本有用植物病名目録 (旧目録) 第 1 巻～5 巻の編集関係者

(以下氏名: ABC 順、◎: 委員長)

日本有用植物病名目録第 1 巻 (食用作物、特用作物、牧草・芝草)

(初版: 昭和 35 年 12 月、第 2 版: 昭和 50 年 4 月、第 3 版: 平成 2 年 10 月発行)

初版編集委員: 明日山秀文・梶原敏宏・河村貞之助・小室康雄・鈴木直治・渡辺龍雄

第 2 版病名調査委員長: 梶原敏宏

同編集委員: 後藤正夫・平野和弥・一戸 稔・飯田 格・稲葉忠興・◎梶原敏宏・岸 國平・北島 博・

小林享夫・小室康雄・倉田 浩・森田 儔・西原夏樹・小畑琢志・寺中理明・都丸敬一

第 3 版病名調査委員長: 小林享夫・鈴木孝仁

同編集委員: 江原淑夫・後藤正夫・浜屋悦次・亀谷満朗・君ヶ袋尚志・小林享夫・夏秋知英・西原夏

樹・西山幸司・小川 奎・生越 明・奥田誠一・佐藤昭二・鈴木孝仁・高橋広治・高橋幸

吉・◎寺中理明・都丸敬一・土崎常男・和田久美子・渡辺 實・八重樫博志・吉野嶺一

日本有用植物病名目録第 2 巻 (野菜および草花)

(初版: 昭和 40 年 2 月、第 2 版: 昭和 55 年 3 月、第 3 版: 平成 5 年 12 月発行)

初版病名調査委員: 明日山秀文・伊藤一雄・河村貞之助・北島 博・小室康雄・田中彰一・富永時
任 / 幹事: 梶原敏宏・大内 昭

第 2 版編集委員: 我孫子和雄・天野幸治・江塚昭典・後藤正夫・萩原 廣・平野和弥・平塚 直秀・

飯嶋 勉・梶原敏宏・香月繁孝・小泉信三・小室康雄・国安克人・松濤美文・松尾卓見・

森田 儔・中村秀雄・◎西 泰道・西原夏樹・西村十郎・西沢 務・野場和徳・大沢高

志・竹内昭士郎・手塚信夫・栃原比呂志・渡辺康正・米山伸吾

第 3 版編集委員: 我孫子和雄・福本文良・◎後藤正夫・飯嶋 勉・粕山新二・勝本 謙・国安克人・

皆川 望・長尾記明・根田 仁・佐藤豊三・鈴木孝仁・瀧川雄一・丹田誠之助・手塚信
夫・土崎常男

日本有用植物病名目録第 3 巻 (果樹)

(初版: 昭和 40 年 3 月、第 2 版: 昭和 59 年 3 月発行)

初版病名調査委員: 明日山秀文・伊藤一雄・河村貞之助・北島 博・小室康雄・田中彰一・富永時
任 / 幹事: 梶原敏宏・大内 昭

第 2 版病名調査小委員会委員長: 北島 博

同専門委員: 天野幸治・後藤正夫・原田幸雄・林 康夫・平野和弥・香月繁孝・勝本 謙・小林享

夫・松尾卓見・中村重正・佐藤昭二・沢村健三・栃原比呂志・内田和馬・渡邊恒雄・山田

峻一・矢野 龍

同編集委員: 石井英夫・工藤 晟・高梨和雄・◎田中寛康・山口 昭・柳瀬春夫

日本有用植物病名目録第 4 巻 (針葉樹、竹笹)

(初版: 昭和 40 年 3 月、第 2 版: 昭和 58 年 3 月発行)

初版病名調査委員: 明日山秀文・伊藤一雄・河村貞之助・北島 博・小室康雄・田中彰一・富永時
任 / 幹事: 梶原敏宏・大内 昭

第 2 版病名調査小委員会委員長: 北島 博

同編集委員: 青島清雄・林 弘子・林 康夫・平野和弥・堀江博道・伊藤進一郎・鍵渡徳治・勝本

謙・◎小林享夫・楠木 学・真宮靖治・松濤美文・佐藤昭二・渡邊恒雄・陳野好之

日本有用植物病名目録第 5 巻 (広葉樹(林木、観賞樹木))

(初版: 昭和 40 年 3 月、第 2 版: 昭和 59 年 3 月発行)

初版病名調査委員: 明日山秀文・伊藤一雄・河村貞之助・北島 博・小室康雄・田中彰一・富永時
任 / 幹事: 梶原敏宏・大内 昭

第2版病名調査小委員会委員長：北島 博

同編集委員：天野幸治・青島清雄・江塚昭典・後藤正夫・林 弘子・林 康夫・堀江博道・伊藤進一郎・鍵渡徳次・香月繁孝・勝本 謙・◎小林享夫・楠木 学・真宮靖治・松濤美文・佐藤昭二・栃原比呂志・渡邊恒雄・陳野好之

付録) 日本植物病名目録の編集関係者

初版：平成12年4月1日発行

(以下氏名：ABC順、◎：委員長、○：部会長または責任者)

病名委員

○我孫子和雄・安藤康雄・荒城雅昭・藤田佳克・萩原 廣・原田幸雄・堀江博道・○家城洋之・石黒 潔・岩井 久・○岩野正敬・門田育生・○金子 繁・木嶋利男・小金澤碩城・楠木 学・○皆川 望・宮川久義・内藤繁男・夏秋啓子・奥田誠一・○大木 理・○大久保博人・大村敏博・大津善弘・佐藤 守・○佐藤豊三・○島貫忠幸・○瀧川雄一・○月星隆雄・上田一郎・◎植松 勉
／ 幹事：○門田育生

病原体名検討小委員

ウイルス部会：夏秋啓子・○大木 理・大村敏博・高橋 壮・上田一郎
細菌部会：畔上耕児・木嶋利男・西山幸司・奥田誠一・○瀧川雄一
糸状菌部会：青木孝之・服部 力・柿嶋 眞・勝本 謙・根田 仁・大久保博人・○佐藤豊三・佐藤幸生・月星隆雄
線虫部会：荒城雅昭・○皆川 望・百田洋二

宿主学名等アドバイザー小委員

宿主部会：飛騨健一・鈴木和夫・○手塚信夫・横井政人
きのこ部会：前川二太郎・角田光利・陶山一雄・○鈴木孝仁・山中勝次

日本植物病名目録(初版)編集委員

食用作物、特用作物、牧草・芝草・野草編：安藤康雄・内藤秀樹・内藤繁男・夏秋啓子・◎大畑 貫一・斉藤初雄・佐藤 守・佐藤豊三・島貫忠幸・白田 昭・月星隆雄
野菜、きのこ、草花編：我孫子和雄・萩原 廣・門田育生・御子柴義郎・水野明文・大木 理・◎鈴木孝仁・手塚信夫・植松清次・矢口行雄
果樹編：家城洋之・加納 健・工藤 晟・大津善弘・田中寛康・◎山口 昭・吉田幸二
針葉樹、竹笹編：阿部恭久・堀江博道・金子 繁・◎小林享夫・楠木 学・高橋幸吉
広葉樹編：阿部恭久・原田幸雄・堀江博道・伊藤進一郎・金子 繁・◎勝屋敬三・楠木 学・高橋幸吉
編集委員会事務局：○畔上耕児・大久保博人・月星隆雄・植松 勉

第2版：平成24年3月27日発行

(以下氏名：ABC順、◎：委員長(監修)、○：病原別責任者または担当責任者)

病名委員

阿部恭久・○荒城雅昭・石川浩一・岩井 久・門田育生・兼松聡子・窪田昌春・近藤則夫・宮川久義・仲川晃生・夏秋啓子・○大木 理・佐橋憲生・佐藤 衛・○佐藤豊三・白川 隆・菅原 敬・○瀧川雄一・竹内 純・田中文夫・富岡啓介・◎月星隆雄・吉田重信・鈴木孝仁(事務局)

病名データベース担当(農業生物資源研究所)

小林みゆき・熊谷みどり・大園麻友・○佐藤豊三・竹谷 勝・埋橋志穂美・山崎福容

2015年版：平成27年8月26日発行

(以下氏名：ABC順、◎：委員長(監修)、○：病原別責任者または担当責任者)

日本植物病理学会 病名委員会

阿部恭久・青木孝之・○荒城雅昭・藤 晋一・井上康宏・石川浩一・岩井 久・門田育生・近藤

則夫・窪田昌春・森脇丈治・夏秋啓子・○大木 理・佐橋憲生・佐藤 衛・○佐藤豊三・菅原 敬・
須崎浩一・○瀧川雄一・竹内 純・田中文夫・◎富岡啓介・月星隆雄・吉田重信
農業生物資源研究所
竹谷 勝・山崎福容・大園麻友・熊谷みどり・佐藤豊三・小林みゆき・○青木孝之

2016 年版：平成 28 年 5 月 31 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2015 年度日本植物病理学会 病名委員会

阿部恭久・青木孝之・○荒城雅昭・藤 晋一・井上康宏・石川浩一・岩井 久・門田育生・近藤
則夫・窪田昌春・森脇丈治・夏秋啓子・○大木 理・佐橋憲生・佐藤 衛・○佐藤豊三・菅原 敬・
須崎浩一・○瀧川雄一・竹内 純・田中文夫・◎富岡啓介・月星隆雄・吉田重信・熊谷みどり（補
助員）

2017 年版：平成 29 年 7 月 18 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2016 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○荒城雅昭・藤 晋一・井上康宏・伊藤陽子・岩井 久・門田育生・小板橋基夫・近
藤則夫・◎窪田昌春・松下範久・森脇丈治・夏秋啓子・○大木 理・佐橋憲生・笹谷孝英・○佐
藤豊三・佐藤 衛・菅原 敬・須崎浩一・竹内 純・○瀧川雄一・田中文夫・月星隆雄・熊谷み
どり（業務委託）

2018 年版：平成 30 年 4 月 10 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2017 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○荒城雅昭・○藤 晋一・井上康宏・伊藤陽子・岩井 久・門田育生・小板橋基夫・
近藤則夫・◎窪田昌春・松下範久・森脇丈治・夏秋啓子・望月知史・佐橋憲生・笹谷孝英・○佐
藤豊三・佐藤 衛・菅原 敬・須崎浩一・竹内 純・○瀧川雄一・田中文夫・月星隆雄・熊谷み
どり（業務委託）

2019 年 4 月版：平成 31 年 4 月 1 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2018 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○植原健人・○藤 晋一・井上康宏・伊藤陽子・岩井 久・門田育生・小板橋基夫・
近藤則夫・○窪田昌春・松下範久・夏秋啓子・望月知史・森脇丈治・佐橋憲生・笹谷孝英・佐藤
衛・◎佐藤豊三・菅原 敬・須崎浩一・竹内 純・○瀧川雄一・田中文夫・月星隆雄・熊谷み
どり（業務委託）

2019 年 9 月版：令和元年 9 月 1 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2019 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○植原健人・○藤 晋一・井上康宏・伊藤陽子・岩井 久・小板橋基夫・近藤則夫・
○窪田昌春・松下範久・夏秋啓子・望月知史・森脇丈治・佐橋憲生・笹谷孝英・佐藤 衛・◎佐
藤豊三・篠原弘亮・菅原 敬・須崎浩一・竹内 純・○瀧川雄一・田中文夫・月星隆雄・熊谷み
どり（業務委託）

2020 年 1 月版：令和 2 年 1 月 16 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2019 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○植原健人・○藤 晋一・井上康宏・伊藤陽子・岩井 久・小板橋基夫・近藤則夫・

○窪田昌春・松下範久・夏秋啓子・望月知史・森脇丈治・佐橋憲生・笹谷孝英・佐藤 衛・◎佐藤豊三・篠原弘亮・菅原 敬・須崎浩一・竹内 純・○瀧川雄一・田中文夫・月星隆雄・熊谷みどり（業務委託）

2020 年 8 月版：令和 2 年 8 月 25 日発行

（以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者）

2020 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○藤 晋一・廣岡裕吏・井上康宏・岩井 久・小板橋基夫・近藤則夫・◎窪田昌春・升屋勇人・松下範久・三澤知央・望月知史・森脇丈治・夏秋啓子・笹谷孝英・○佐藤 衛・篠原弘亮・菅原 敬・須崎浩一・竹内 純・○瀧川雄一・田中文夫・月星隆雄・○植原健人・熊谷みどり（業務委託）

2021 年 3 月版：令和 3 年 3 月 22 日発行

（以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者）

2020 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○藤 晋一・廣岡裕吏・井上康宏・岩井 久・小板橋基夫・近藤則夫・◎窪田昌春・升屋勇人・松下範久・三澤知央・望月知史・森脇丈治・夏秋啓子・笹谷孝英・○佐藤 衛・篠原弘亮・菅原 敬・須崎浩一・竹内 純・○瀧川雄一・田中文夫・月星隆雄・○植原健人・熊谷みどり（業務委託）

2021 年 9 月版：令和 3 年 9 月 6 日発行

（以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者）

2021 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○藤 晋一・廣岡裕吏・井上康宏・岩井 久・小板橋基夫・近藤則夫・◎窪田昌春・升屋勇人・松下範久・三澤知央・望月知史・森脇丈治・夏秋啓子・笹谷孝英・○佐藤 衛・篠原弘亮・菅原 敬・須崎浩一・竹内 純・○瀧川雄一・田中栄爾・月星隆雄・○植原健人・熊谷みどり（業務委託）

2022 年 2 月版：令和 4 年 2 月 10 日発行

（以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者）

2021 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○藤 晋一・廣岡裕吏・井上康宏・岩井 久・小板橋基夫・近藤則夫・◎窪田昌春・升屋勇人・松下範久・三澤知央・望月知史・森脇丈治・夏秋啓子・笹谷孝英・○佐藤 衛・篠原弘亮・菅原 敬・須崎浩一・竹内 純・○瀧川雄一・田中栄爾・月星隆雄・○植原健人・永井みどり（業務委託）

2022 年 8 月版：令和 4 年 8 月 2 日発行

（以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者）

2022 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○藤 晋一・廣岡裕吏・○井上康宏・岩井 久・近藤則夫・○窪田昌春・升屋勇人・松下範久・三澤知央・望月知史・森脇丈治・夏秋啓子・笹谷孝英・◎佐藤 衛・篠原弘亮・菅原敬・須崎浩一・竹内 純・田中栄爾・達 瑞枝・月星隆雄・○植原健人・山内智史・永井みどり（業務委託）

2023 年 2 月版：令和 5 年 2 月 20 日発行

（以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者）

2022 年度日本植物病理学会 病名委員会

青木孝之・○藤 晋一・廣岡裕吏・○井上康宏・岩井 久・近藤則夫・○窪田昌春・升屋勇人・松下範久・三澤知央・望月知史・森脇丈治・夏秋啓子・笹谷孝英・◎佐藤 衛・篠原弘亮・菅原

敬・須崎浩一・竹内 純・田中栄爾・達 瑞枝・月星隆雄・○植原健人・山内智史・永井みどり
(業務委託)

2023 年 8 月版：令和 5 年 8 月 21 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2023 年度日本植物病理学会 病名委員会

秋野聖之・青木孝之・○藤 晋一・廣岡裕吏・○井上康宏・岩井 久・○窪田昌春・升屋勇人・
松下範久・三澤知央・望月知史・森脇丈治・笹谷孝英・◎佐藤 衛・篠原弘亮・菅原 敬・須崎
浩一・竹内 純・田中栄爾・達 瑞枝・月星隆雄・○植原健人・山内智史・永井みどり（業務委
託）

2024 年 2 月版：令和 6 年 2 月 21 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2023 年度日本植物病理学会 病名委員会

秋野聖之・青木孝之・○藤 晋一・廣岡裕吏・○井上康宏・岩井 久・○窪田昌春・升屋勇人・
松下範久・三澤知央・望月知史・森脇丈治・笹谷孝英・◎佐藤 衛・篠原弘亮・菅原 敬・須崎
浩一・竹内 純・田中栄爾・達 瑞枝・月星隆雄・○植原健人・山内智史・永井みどり（業務委
託）

2024 年 8 月版：令和 6 年 8 月 1 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2024 年度日本植物病理学会 病名委員会

秋野聖之・○藤 晋一・廣岡裕吏・○井上康宏・○窪田昌春・升屋勇人・松下範久・三澤知央・
望月知史・森脇丈治・小野 剛・笹谷孝英・◎佐藤 衛・関根健太郎・篠原弘亮・菅原 敬・菅
原幸哉・須崎浩一・田中栄爾・達 瑞枝・○植原健人・埋橋志穂美・山内智史・永井みどり（業
務委託）

2025 年 2 月版：令和 7 年 2 月 19 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2024 年度日本植物病理学会 病名委員会

秋野聖之・○藤 晋一・廣岡裕吏・○井上康宏・○窪田昌春・升屋勇人・松下範久・三澤知央・
望月知史・森脇丈治・小野 剛・笹谷孝英・◎佐藤 衛・関根健太郎・篠原弘亮・菅原 敬・菅
原幸哉・須崎浩一・田中栄爾・達 瑞枝・○植原健人・埋橋志穂美・山内智史・永井みどり（業
務委託）

2025 年 8 月版：令和 7 年 8 月 22 日発行

(以下氏名：ABC 順、◎：委員長（監修）、○：病原別責任者または担当責任者)

2025 年度日本植物病理学会 病名委員会

秋野聖之・○藤 晋一・廣岡裕吏・○井上康宏・○窪田昌春・升屋勇人・松下範久・三澤知央・
望月知史・森脇丈治・小野 剛・笹谷孝英・◎佐藤 衛・関根健太郎・篠原弘亮・菅原 敬・菅
原幸哉・須崎浩一・田中栄爾・達 瑞枝・○植原健人・埋橋志穂美・山内智史・永井みどり（業
務委託）

日本植物病名目録
(2025年8月版)

2025年8月22日 発行

編集・発行 一般社団法人 日本植物病理学会
〒114-0015 東京都北区中里2-28-10
日本植物防疫協会内
電話 03-5980-0281

本書の無断転写・複製・転載を禁じます。 ISBN978-4-930901-26-2